servicenow

ワシントン DC プラットフォーム分析

最終更新日: **2025**年**12**月**17**日

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

これらの資料は、翻訳ソフトウェアを使用してお客様の便宜のために翻訳されています。正確な翻訳をご提供できるよう相当な努力を払っておりますが、いかなる自動翻訳も人間の翻訳者に代わることはなく、そのようなことは意図されておりません。翻訳は「現状のまま」提供されています。他言語への翻訳の的確性、信頼性または正確性については、明示または黙示を問わず、いかなる保証も行われません。翻訳ソフトには限界があるため、一部のコンテンツが正確に翻訳されていない場合があります。これらの資料の公用言語は英語です。翻訳の際に生じる相違または不一致は、コンプライアンスまたは履行の目的に関しては拘束力を有さず、法的効力はないものとします。

ここで示したいくつかの例と図は、説明の目的でのみ提供されています。ServiceNow 製品またはサービスへの実際の関連付けやつながりは意図されておらず、推測されるものではありません。

ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の商標または登録商標です。その他の会社名および製品名は、それぞれの所有者の商標です。

下記の ServiceNow ウェブサイト利用規約をお読みください。 www.servicenow.com/terms-of-use.html

自動翻訳

本社
2225 Lawson Lane
Santa Clara, CA 95054
United States
(408) 501-8550

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

servicenow

目次

ビジネスプロセスの分析と最適化..... 5
パフォーマンスアナリティクス..... 9
パフォーマンスアナリティクス の詳細..... 10
構成 パフォーマンスアナリティクス の基礎..... 20
高度な機能の設定パフォーマンスアナリティクス..... 219
パフォーマンスアナリティクス サブスクリプションのアクティブ化..... 359
レポート、ダッシュボード、およびパフォーマンスアナリティクスコア UI..... 362
レポート..... 364
コア UI のレスポンシブダッシュボード..... 733
インタラクティブフィルター..... 822
Performance Analytics ウィジェット..... 860
分析ハブ..... 974
インタラクティブアナリシス..... 997
分析ソリューション..... 1006
利用可能な プラットフォームアナリティクスソリューション..... 1007
ServiceNow Store コンテンツを含む パフォーマンスアナリティクス アプリケーション..... 1011
ガイド付き設定を使用したソリューションのアクティブ化..... 1012
ダッシュボードのインストール..... 1014
プラットフォームアナリティクスソリューション の構成..... 1017
のデータを収集 プラットフォームアナリティクスソリューション..... 1023
インストール済み Performance Analytics インジケーター..... 1030
ビジネスプロセスの分析と最適化.....
ビジネスプロセスの分析と最適化.....
ビジネスプロセスの分析と最適化.....
ビジネスプロセスの分析と最適化.....
ビジネスプロセスの分析と最適化.....
ビジネスプロセスの分析と最適化.....
ビジネスプロセスの分析と最適化.....
ビジネスプロセスの分析と最適化.....
ビジネスプロセスの分析と最適化.....
ビジネスプロセスの分析と最適化.....
ユーザーエクスペリエンスアナリティクス..... 1102
ユーザーエクスペリエンスアナリティクス を設定..... 1103
ユーザーエクスペリエンスアナリティクス の使用..... 1124
User Experience Analytics データソース..... 1163
[store-future: BEGIN review]
User Experience Analytics の探索..... 1164
User Experience Analytics の構成..... 1165
[End]
プロセスマイニング..... 1165

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロセスマイニング の詳細 1173
プロセスマイニング のアクティブ化 1186
プロセスマイニング の構成 1217
プロセスマイニング の使用 1222
プロセスマイニング に関する参照情報 1315
Automation Discovery 1334
Automation Discovery をインストールする 1337
Automation Discovery レポートの作成 1340

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

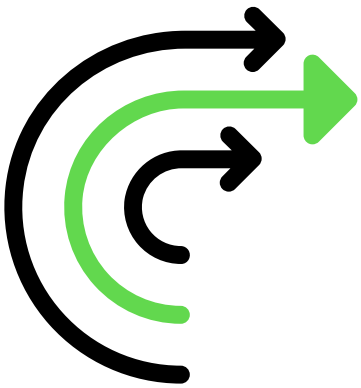
ビジネスプロセスの分析と最適化

アプリケーションを使用してプロセスを最適化し、生産性を向上させます プラットフォームアナリティクス 。これらのアプリケーションにはレポート、パフォーマンスアナリティクスユーザーエクスペリエンスアナリティクス、プロセスマイニングまたはエクスペリエンスを通じて コア UI データを提示します プラットフォームアナリティクス 。

開始するには

いずれかのタイルを選択すると、さまざまな種類のユーザーにさまざまな種類のデータを提供するのに役立つアプリケーションの詳細が表示されます。

パフォーマンス アナリティクス



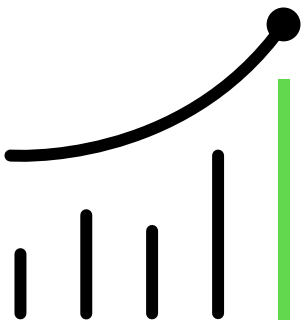
この一連のビジネス分析ツールを使用して、サービスデリバリ時間を短縮し、コストを削減します。

のレポートとダッシュボード コア UI



テーブルと パフォーマンスアナリティクス インジケーターのデータを表示します。のインジケーターにドリルダウンします アナリティクスハブ。

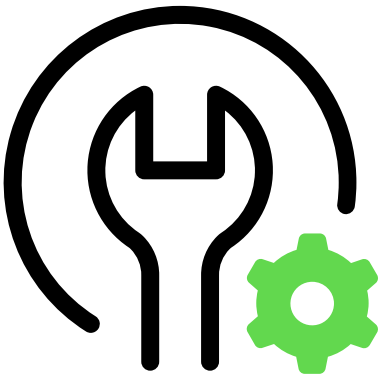
分析ソリューション



構築済みダッシュボード、重要業績評価指標 (KPI) などを備えたコンテンツパッケージを活用し ServiceNow ます。

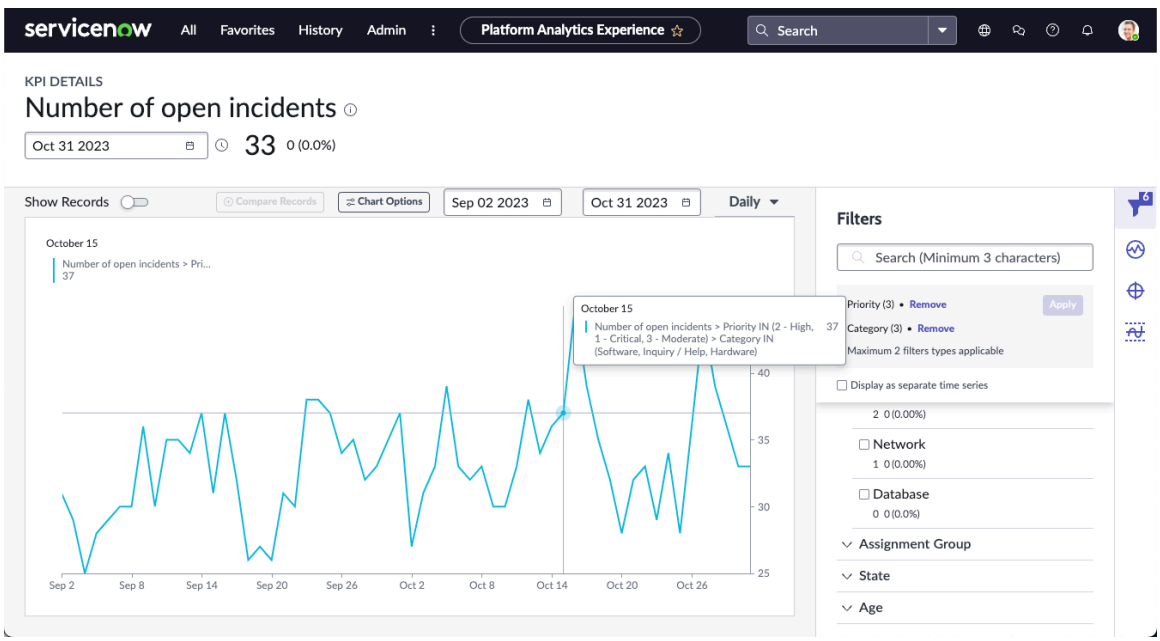
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プラットフォームアナリティクスエクスペリエンス	ユーザーエクスペリエンスアナリティクス	プロセスマイニング
		
データ視覚化ツール、ダッシュボード、KPI を使用して分析を探索します。これらはすべて自然言語クエリでアクセスできます。	ユーザーが複数の ServiceNow アプリケーションをどのように使用しているかを示すダッシュボードビューを、測定基準やインタラクションなどを完全に可視化して取得します。	このアプリケーションを使用して自動化されたプロセスフローでデータを分析し、企業のワークフロー効率を向上させる方法を見つけます。

パフォーマンスアナリティクス

このアプリケーションがビジネスの継続的な改善にどのように役立つのかについて説明します。ファンダメンタルズを使用して重要業績評価指標を パフォーマンスアナリティクス 計画および実装します。さらに、高度な機能を構成し、管理者としてデータ構造を直接操作できるようにします。



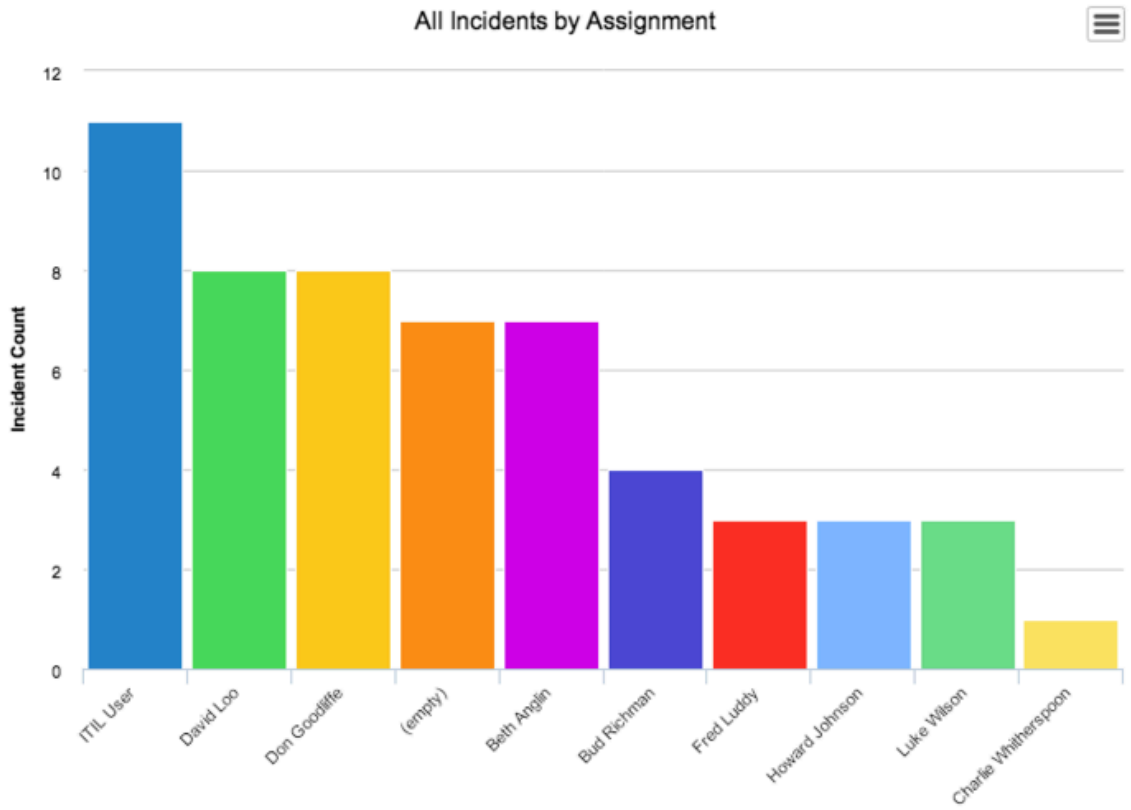
のレポートとダッシュボード コア **UI**

管理者やその他のステークホルダーが、ダッシュボードを使用して コア UI リアルタイムのデータレポートを操作し、傾向を分析できるようにします。データとビジネス目標に合わせて、ウィジェッ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

トを作成して定義 パフォーマンスアナリティクス し、それらの可視化を使用するクイックビュー ダッシュボードを構成します。アナリティクスハブ を使用して、オプションのアドオンとして詳細なデータ探索を実行し、アクティビティを経時的に調べ、スコアとベンチマークを比較し、その他のさまざまなターゲットや傾向を分析します。



分析ソリューション

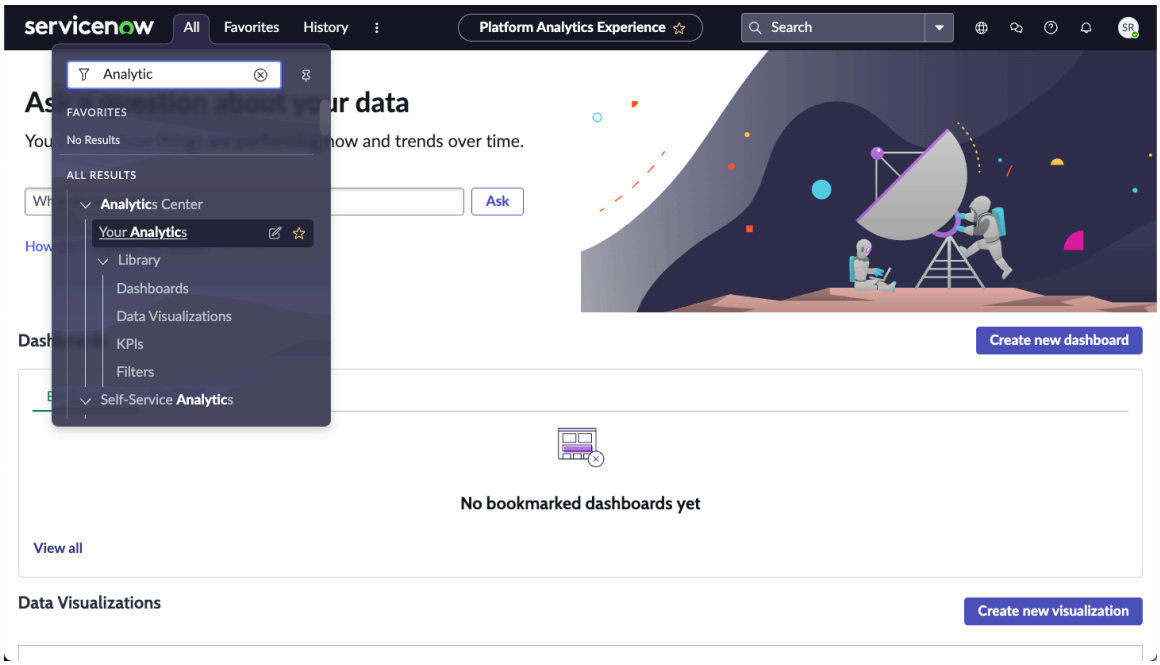
ほとんどの ServiceNow 製品で利用可能なダッシュボードと KPI を備えた、事前パッケージ済みソリューションのフルセットを活用します。アプリケーションのいくつかは、組み込み パフォーマンスアナリティクス コンポーネントのおかげでスタンドアロンで機能できます。標準のテーブルとフィールドのデータセットに留まらず、プラットフォームアナリティクスソリューション をカスタマイズして、分析のための手動およびスケジュールされたデータ収集を実行します。

プラットフォームアナリティクスエクスペリエンス

に アナリティクスセンターデータを表示するためのさまざまなオプションを確認します。データのビジュアル化とダッシュボードを作成、変更、および共有します。ダッシュボードに表示されるデータをフィルタリングします。データ内の潜在的に重要なイベントをダッシュボードで通知します。を使用してプロセス動作 KPI 詳細のインジケーターを探索し、これらのインジケーター KPI シグナルの大幅な変更についてアラートを受け取ります。

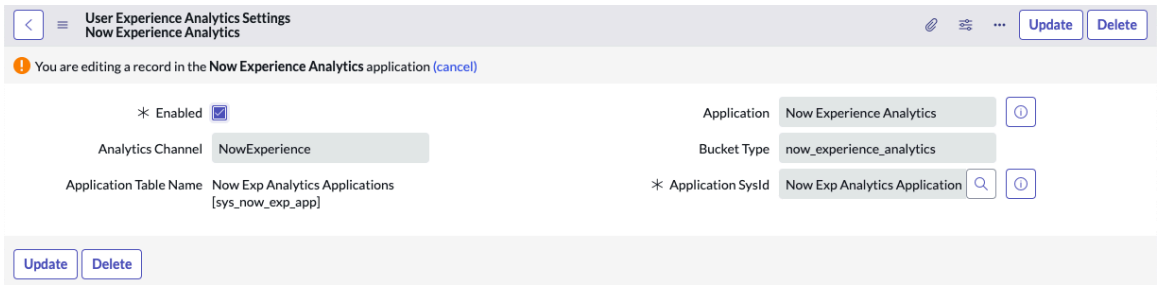
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



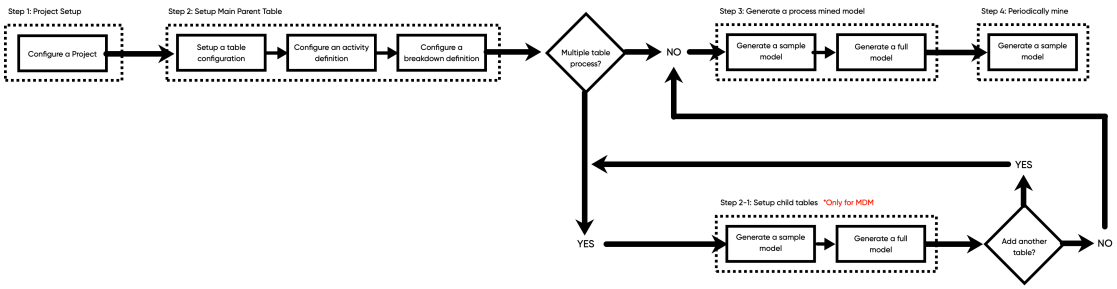
ユーザーエクスペリエンスアナリティクス

複数の ServiceNow アプリケーションの使用状況に関するダッシュボードベースの分析について学習します。管理者は、ユーザー母集団、保持、動作など、モバイルアプリケーションと Web アプリケーションの両方でのユーザーエンゲージメントに関する情報を取得できます。



プロセスマイニング

ビジネスを簡素化する方法の発見、ワークフローのボトルネックと逸脱の検出、プロセスのフィルターおよび比較などを実行します。主要な プロセスマイニング 用語 の包括的なリストには、企業が効果的なパフォーマンスを最大限発揮するのに役立つ注目すべき用語とその定義がすべて記載されています。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーションと機能

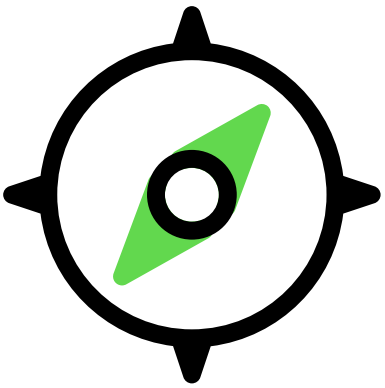
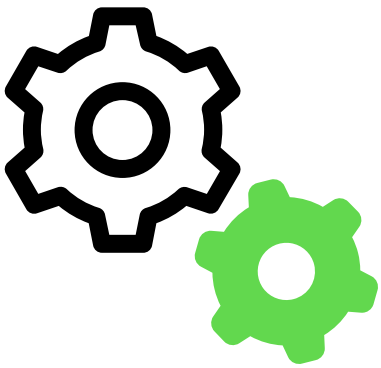
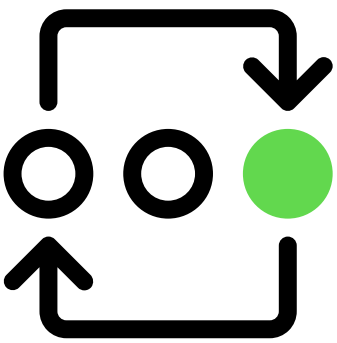
- パフォーマンスアナリティクス
- コア UI のレポート
- Performance Analytics ウィジェット
- レスポンシブ ダッシュボード コア UI の
- 構成可能なワークスペースでのレポート (データのビジュアル化)
- プラットフォームアナリティクス ダッシュボード
- 分析ソリューション
- ユーザーエクスペリエンスアナリティクス
- プロセスマイニング
- Automation Discovery

パフォーマンスアナリティクス

ServiceNow® パフォーマンスアナリティクス は、管理ダッシュボードを作成し、KPI と測定基準に関するレポートを作成し、重要なビジネス上の質問に回答することで、品質向上とサービスデリバリのコストの削減に役立つプラットフォーム内のプロセス最適化ソリューションです。

開始するには

KPI Composer、KPI 詳細、スポットライトなどの パフォーマンスアナリティクス ツールを使用すると、管理者やその他のステークホルダーがリアルタイムデータを使用して現在のステータスに対処し、傾向を正確に評価できます。

パフォーマンスアナリティクス の詳細	構成 パフォーマンスアナリティクス の基礎	詳細構成 パフォーマンスアナリティクス
		
インジケーター、ブレークダウン、データ収集などの概念と機能について説明します パフォーマンスアナリティクス 。	ソリューションの設計 パフォーマンスアナリティクス 方法、インジケーターとブレークダウンの構成方法、集計の適用方法について説明します。	スポットライト、診断、ログ記録などの高度な機能について詳しく説明します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

トラブルシューティングとヘルプ

- に関する質問と専門知識の共有 ServiceNow Community
- 既知のエラーポータルで既知のエラー記事を検索する
- 連絡先 カスタマーサービス & サポート
- Performance Analytics トレーニング
  - Performance Analytics Essentials
  - Performance Analytics Fundamentals
  - Performance Analytics Advanced

パフォーマンスアナリティクス の詳細

パフォーマンスアナリティクスユースケース、コンポーネント、およびアーキテクチャを確認し、製品の実装を開始します。

パフォーマンスアナリティクス 企業が目標に対する進捗状況を設定、追跡、分析できるようにすることで、ビジネス変革を促進します。より短い時間でより多くの人をより良いデータに結び付け、本当に重要なことに集中できるようにします。

重要:
本番インスタンスで設定する前に、非本番インスタンスで パフォーマンスアナリティクス を設定してテストします。

パフォーマンスアナリティクスは、以下によってパフォーマンスを向上させ、継続的なサービス改善を加速させます：

- 重要なプロセス測定基準と傾向を追跡する。
- 組織のターゲットに対してプロセスの健全性と動作を測定します。
- プロセスパターンと潜在的なボトルネックを発生前に特定する。
- ロールベースのダッシュボードでリアルタイムのプロセス健全性統計の履歴を継続的に視覚化し、個々のステークホルダーが情報に基づいた意思決定を行えるようにします。

使用する パフォーマンスアナリティクス 利点は次のとおりです。

インサイトを瞬時に提供

従業員は、データベースやスプレッドシートからデータをエクスポートする代わりに、ボタンをクリックするだけで、関連するパーソナライズされたインサイトを得ることができます。すぐに古くなってしまうレポートを手動で作成する必要はありません。

唯一の真実の確立

ビジュアライゼーションを定義し、それらが一貫性のある正確なデータに基づいていることを確認することで、チームが前向きな変化を推進するために使用できる単一のバージョンの現実を提供します。

価値実現までの時間を短縮

数か月ではなく数週間以内に実装 パフォーマンスアナリティクス し、データインサイトを迅速に活用します。

継続的な改善に向けた推進

パフォーマンスアナリティクス 改善が必要な領域を特定するのに役立ちます。主要インジケーター、モバイル対応スコアカード、タイムチャート、ドリルダウン、およびダッシュボードに基づいて処理します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この 5 分間のビデオを見て、概念について ServiceNow パフォーマンスアナリティクス 理解してください。 このビデオでは、サンプル ビジネス シナリオと、Performance Analytics がそのシナリオをどのようにサポートするかを示します	この 7 分間のビデオでは、パフォーマンスアナリティクス によって各ダッシュボードがさまざまなユーザーにどのようなメリットをもたらすのかを説明します。 このビデオでは、ダッシュボードに関してさまざまな目標とニーズを持つ役員、プロセスオーナー、およびフロントラインワーカー向けの Performance Analytics ダッシュボードについて説明します。

ヒント:
の使用 パフォーマンスアナリティクスの概要については、「 Performance Analytics Essentials 」コースを受講してください。

パフォーマンスアナリティクス コンセプト

ServiceNowプラットフォームには独自性があるため、パフォーマンスアナリティクスでは業界の標準とは異なる用語や概念を使用しています。

注:
パフォーマンス分析は、ベンチマークなどの他のアプリケーションで使用されます。以下の情報は、パフォーマンス分析のコア機能について説明しています。パフォーマンス分析を使用するその他のアプリケーションについては、それらのアプリケーションのドキュメントを参照してください。

パフォーマンスアナリティクス には次の概念とコンポーネントが含まれています。

主要コンポーネント

インジケーター

ビジネスサービス、アクティビティ、または組織の動作の定期的な間隔で実行されるパフォーマンス測定値を定義します。これらのパフォーマンス測定では、時間とともに一連のインジケーター スコアを得られます。企業はこれらのスコアを追跡して現在の状況を測定し、傾向を予測します。

技術的には、インジケーターは、データセットとデータ集計 (カウントなど) をオプションの条件と組み合わせます。

インジケーターの主な特徴は次の通りです。

- インジケータースコアは、インジケーターソースで定義された一連のレコードから自動的に生成することや、手動で入力したり、その他のインジケーターから計算したりできます。
- インジケータースコアは、分析ハブで表示や分析することや、ダッシュボードのウィジェットから示すことができます。

利便性を向上させるために、インジケーターをテーマ別にインジケーターグループに整理することができます。

同義語：メトリック、ビジネス評価指標、KPI

ブレークダウンおよび要素

を使用して、優先度、カテゴリ、アサイン先グループなどの定性的属性別にインジケータースコアをグループ化またはフィルタリングすることができます。ブレークダウン アナリティクスハブは、、KPI 詳細、およびダッシュボードに適用できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

例えば、[アサイン先グループ別] の [未解決の変更の数] を確認することができます。または、[優先度別] の [新規変更の数] を表示できます。

各ブレークダウンの値は、ブレークダウン要素と呼ばれます。たとえば、優先度ブレークダウンに [重大]、 [高]、 [低] の要素があるとします。ブレークダウンは、これらの要素の発生元により、自動、手動、または外部に分類されます。自動ブレークダウンの要素は、ブレークダウンソースで指定されます。手動ブレークダウンには、組織を定義するために手動入力された要素があります。最後に、外部ブレークダウンでは、ブレークダウン要素を取得するための JDBC データ ソースと SQL ステートメントを指定します。

インジケーターに 3 レベルを超えるブレークダウンを適用することはできません。

同義語：様相、ドリルダウン

データコレクター

は、プロセステーブルの定期的なスナップショットを取得してスコアテーブルとスナップショットテーブルに保存するエンジンです。データコレクタージョブを設定することで、スケジュールに従って自動的に実行できます。通常、インジケーターソースの頻度と一致するジョブスケジュールを設定します。1 つのジョブは、通常、同じインジケーターソースを使用する複数のインジケーターのスコアを生成します。履歴ジョブなど手動で実行するジョブを設定し、新しいインジケーターのデータを収集するときにのみ実行することもできます。

クラシックのビジュアル化

分析ハブ

は、より詳細な分析に使用されるインジケーターの探索的ビューです。特定のインジケーターの傾向、予測、ブレークダウン、および関連レコードを表示することができます。そのインジケーターを に含めるかどうかを アナリティクスハブ インジケーターレコードに設定します。

アナリティクスハブ は、以前は「詳細スコアカード」と呼ばれていました。

コア UI のレスポンシブダッシュボード

は、複数の Performance Analytics、レポート、およびその他のウィジェットのコレクションであり、対象者向けに論理ビューに配置されています。ダッシュボードには、レスポンシブとレスポンシブでないものがあります。レスポンシブ ダッシュボードを作成、共有するには、少なくとも 1 つのロールが必要ですが、これはどのロールでもかまいません。レスポンシブ ダッシュボード上ではウィジェットをドラッグして移動したり、サイズを変更することができます。レスポンシブでないダッシュボードでは、柔軟性の低いドロップ ゾーン レイアウトが使用されており、表示、作成、編集するにはパフォーマンス分析のロールが必要となります。

時系列

は次のいずれかの項目を参照することができます。

- ある期間にわたって収集されたインジケーターの複数のスコアを集計して表示するウィジェットの一種。「時系列ウィジェット」を参照してください。
- アナリティクスハブ またはウィジェットである期間に収集されたインジケータースコアに適用される統計関数。 集計関数とも呼ばれます。「時系列集計の適用」を参照してください。

ターゲット

は、組織が達成したい目標で、インジケーターの得点として操作されます。ターゲットを使用すると、特定の日付の希望のスコアとインジケーターの実際のスコアとの差異を視覚化することができます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ターゲットは、個人としてもグローバルとしても使用できます。個人のターゲットは、作成したユーザーだけが見ることができ、明るい線で表示されます。グローバル ターゲットは、すべてのユーザーに表示され、暗い線で表示されます。個人のターゲットはアナリティクスハブ にのみ表示され、グローバルターゲットは アナリティクスハブ と時系列ウィジェットに表示されます。

しきい値

は、インジケーターの通常のスコアの範囲を定義し、スコアが常に高いか低いかなど、特定のイベントが発生したときに警告します。

しきい値がトリガーされると、インスタンスではメール通知が生成されます。このメッセージはインジケーターに関連付けられており、メッセージは アナリティクスハブ を使用して直接利用できます。

しきい値は、個人としてもグローバルとしても使用できます。個人のしきい値は、作成したユーザーだけが見ることができ、ライト グレーの点線で表示されます。グローバルのしきい値は、すべてのユーザーに表示され、暗いグレーの点線で表示されます。個人のしきい値はインジケーターの アナリティクスハブ にのみ表示され、グローバルしきい値は アナリティクスハブ と時系列のウィジェットの両方に表示されます。

ウィジェット

パフォーマンスアナリティクス の はインジケータースコアの再利用可能なビジュアル化です。例えば、ウィジェットはインジケーターの時間を伴う進化、インジケーターのブレークダウン方法、複数のインジケーターの並行表示を表示できます。多くのバリエーションが可能です。ウィジェットは、ダッシュボードに追加された場合にのみ表示されます。

その他の概念

集計/集計

次のいずれかの機能を参照できます。

- 時間に伴った集計、収集、インジケーター スコアの パフォーマンスアナリティクス機能。このインジケーター構成にはインジケーター スコアが収集される周期が含まれます。
- ある期間に集められたインジケーター スコアに適用される統計機能。例えば、インジケーター スコアに 3 か月の合計を適用することができます。集計関数は、インジケーターフォーム、または アナリティクスハブ かウィジェットの後のいずれかに追加できます。アナリティクスハブ またはウィジェットの集計関数は、時系列の名前が付けられます。

ブレークダウンマッピング

インジケーターソースへの関係または「マッピング」ブレークダウンを指定します。ブレークダウンマッピングは、インジケーターソースのフィールドを指定するか、インジケーターソースをクエリするスクリプトを指定します。後者はスクリプト化されたブレークダウンマッピングと呼ばれることがあり、このようなマッピングを使用するブレークダウンはスクリプト化されたブレークダウンと呼ばれます。

ブレークダウンソース

ブレークダウンに含まれるブレークダウン要素と呼ばれる一意の値を指定します。 ブレークダウンソースは、テーブルやデータベースビューからのレコードのセット、またはバケットグループとして定義されています。複数のブレークダウンで同じブレークダウン ソースを使用できます。たとえば、[未解決の変更の数] インジケーターのすべてのアサイン先グループを表示する代わりに、[ブレークダウンソース] を構成することで、変更プロセスの一部であるグループのみに要素リストを制限することができます。

バケットグループ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

たとえば、値の範囲を個別のバケットにグループ化することで、データを分類してブレークダウンとして使用できるようにするために使用されます。

バケットグループを操作するには、バケット [pa_buckets] をファクトテーブルとして使用し、条件でバケットグループを指定するブレークダウンソースを作成します。このソースに基づいて構築されたブレークダウンがスクリプトを含むブレークダウンマッピングを使用する場合、ブレークダウンはスクリプトが返す値をバケットにグループ化します。ブレークダウンマッピングでスクリプトを使用する代わりにフィールドを指定すると、ブレークダウンはマッピングされたフィールドの値をバケットにグループ化します。

データアーキテクチャでは、バケットグループはバケットグループ [pa_bucket_groups] レコードで、バケットはバケット [pa_buckets] レコードで定義されます。各バケット [pa_buckets] レコードには、バケット グループ [pa_bucket_groups] レコードへの参照であるバケットグループフィールドが含まれています。

日

パフォーマンスアナリティクスの 1 日は常に 24 時間で定義されます。パフォーマンスアナリティクス では「営業日」という概念を使用しません。

インジケーターソース

は、1 つのテーブルまたはデータベースビューからのフィルタリングされたレコードで構成されるデータセットです。インジケーターソース構成では、インシデント [incident] などのテーブル、そのテーブルからレコードをフィルタリングするための条件、および条件に基づく頻度を指定します。インジケーターソースは、ローテーションされたテーブルを指定できません。複数のインジケーターで同じインジケーター ソースを使用できます。データコレクションジョブは、インジケーターソースごとに 1 回データベースをクエリします。したがって、同じインジケーターソースを使用するすべてのインジケーターは、同じ時点からデータを取得します。

通常、インジケーターは特定の日付の状況を追跡します。インジケーターソースの条件には、通常、[オープン] [次の値に等しい **(=)**] [今日] のような日付関連のフィルターが含まれます。収集頻度の低いインジケーターでは、[クローズ済み] [次の値に等しい **(=)**] [今月] のような広い日付範囲を指定できます。

スクリプト化されたブレークダウン

スクリプトを使用してインジケーターソースをブレークダウンマッピングとしてクエリするブレークダウンです。

スナップショット

は、これらのレコードのスコアが収集されたときに、収集されるレコードリスト (sys_ids) です。スナップショットは、 [レコードの収集] を選択した自動インジケーターにのみ作成されます。

レコードのスナップショット/リストは、アナリティクスハブ で取得できます。

スナップショットは、メインのインジケーターと最初のレベルのブレークダウン用に保持されます。ブレークダウレベル 2 のスナップショットは、ブレークダウンレベル 1 の 2 つのスナップショットリストの共通部分として派生されます。

レコードにスポットライトを当てる

スポットライト機能を使用して、見落としがちなレコードを照らし出します。

重み付けされた条件を定義すると、インシデントのトリアージ時またはリード スコアリングの実行時など、注意が必要なレコードを特定してランク付けできます。優先度などの 1 つのフィールド値ではなく、複数の次元に基づいてレコードをランク付けできます。ほとんどの組織は、優先度の高い

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アイテムに適切なタイミングで対処しますが、優先度の低いアイテムは長時間処理されないことがあります。スポットライトは、ビジネスニーズに基づいてアイテムに重点を置くのに役立ちます。

試用： インシデント管理の無料版パフォーマンスアナリティクス

インシデント管理の無料版パフォーマンスアナリティクスはベース システムに含まれているパフォーマンスアナリティクスの限定版であり、これを使って機能に慣れることができます。パフォーマンスアナリティクス に登録すると、すべての機能を利用できます。

> **注:**
> インシデント管理の無料版パフォーマンスアナリティクス を使用する代わりに、非本番インスタンスでサブスクリプションなしで パフォーマンスアナリティクス の全機能を備えたプラグインをアクティブ化することができます。

インシデント管理の無料版パフォーマンスアナリティクス には次の機能と制限があります。

- パフォーマンスアナリティクス 管理コンソールが含まれており、これを使用して パフォーマンスアナリティクス の全機能セットをアクティブ化することができます。
- インジケーターの追加や削除はできません
- 今日の日付から数えて最大 180 日間のスコア履歴がビジュアル化されます。
- グローバル ドメインでのみ使用可能です

試用 インシデント管理の無料版パフォーマンスアナリティクスするには、次に移動します: **Performance Analytics** > ガイド付きセットアップ インシデント管理のガイド付き設定を開始します。この設定では、インジケーター、ブレークダウン、ソース、データ収集、および結果表示のガイドが表示されます。

インシデント管理の無料版パフォーマンスアナリティクスを使用してスポットライト機能を試すこともできます。スポットライトは、複数の重み付き条件に基づいてレコードを評価することにより、作業を優先順位付けできるようにします。ライセンスがない場合は、スポットライトをインシデント・レコードでのみ使用でき、スポットライトのインタラクティブ分析にはアクセスできません。スポットライトを試すには、パフォーマンス分析 - スポットライト - インシデント スポットライト プラグインを有効にし、次のガイド付きセットアップに従います。 スポットライト > ガイド付きセットアップ。プラグインを有効にするには admin ロールが必要です。

2 時間の無料コース Performance Analytics Essentials では、インシデント管理の無料版パフォーマンスアナリティクスで使用できる PA コンポーネントと概念を紹介しています。(登録が必要です。)

Performance Analytics と Reporting の比較

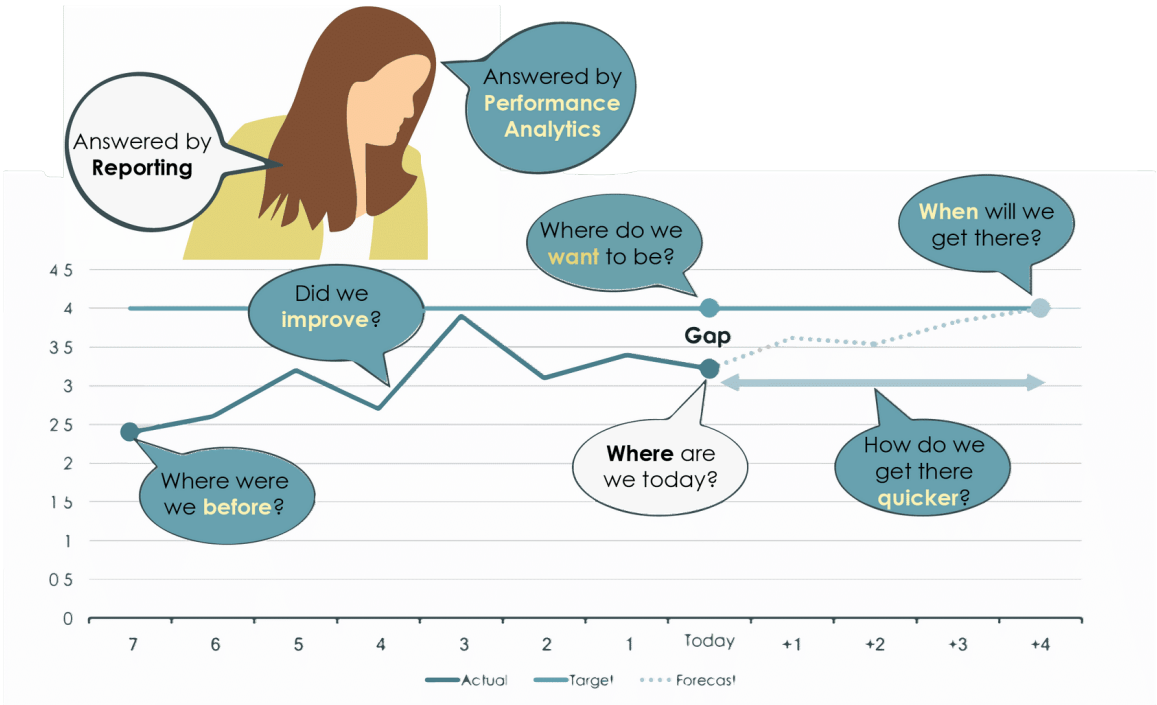
パフォーマンスアナリティクス と レポート は 2 つの異なるアプリケーションです。異なるユースケースに対応し、相互に補完します。

パフォーマンスアナリティクス は、定期的なスケジュールで継続的なスナップショットをキャプチャすることで、正確な履歴傾向を生成できます。次の図に示すように、「 レポート 今日はどこにいるのか」という質問には回答し パフォーマンスアナリティクス 、時間の経過とともに何が起こっているのかという質問には回答します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

およびレポート **for** のプロセスインサイトに関する一般的な質問 パフォーマンスアナリティクス



スナップショットから傾向を計算するだけでなく、 パフォーマンスアナリティクス 次のことができます。

- ターゲットに対するパフォーマンスを追跡します。
- しきい値に達したときにアラートを発行します。
- 将来のパフォーマンス予測
- さまざまな時点でのパフォーマンスを比較します。
- ベストプラクティスの測定基準を使用して価値実現までの時間を短縮します。

最後に、試行錯誤しながらレポートソリューションを開発することもできますが、Performance Analytics には機能の仕組みに関する背景知識が必要です。運用環境に実装する前に、ソリューションを パフォーマンスアナリティクス 慎重に計画してテストする必要があります。

重要:
トレーニングなしで構成 パフォーマンスアナリティクス を試みないでください。適切に設計 パフォーマンスアナリティクス されていないソリューションは、パフォーマンスに深刻な影響を与え、さらにはインスタンスを不安定にする可能性があります。初回トレーニングである Performance Analytics Essentials は無料で受講できます。

関連情報

インジケーターの計画

インジケーターを作成するためのワークフロー

を使用したソリューションの設計パフォーマンスアナリティクスKPI Composer

パフォーマンスアナリティクス の実装

サービスレベルを向上させるために使用 パフォーマンスアナリティクス を開始するには、次の手順に従います。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

計画して準備する

改善を評価して推進するための目標と測定を定義します。

1. 測定して改善するビジネスプロセスを特定します。
2. これらのビジネスプロセスの健全性に影響を与える要因と動作を特定します。
3. 測定する測定基準を決定します。

ソリューションの パフォーマンスアナリティクス 計画と準備に役立つツールについては、を参照してください を使用したソリューションの設計パフォーマンスアナリティクスKPI Composer。

次で始まる プラットフォームアナリティクスソリューション

新しいインジケーターを作成する前に、で プラットフォームアナリティクスソリューション利用可能な組み込みのダッシュボードとインジケーターを試してください。

重要:
本番で有効にする前に、非本番インスタンスで プラットフォームアナリティクスソリューション を設定してテストします。

1. ライセンスエンタイトルメントを確認し、該当するソリューションを有効にします (「」を参照 分析ソリューション)。
2. インジケーターとブレークダウンのソースが正しいテーブルを参照していることを確認します。
3. 組織のニーズを満たすようにインジケーターとブレークダウンをカスタマイズします。

。

データの収集

収集ジョブは、目的の頻度で実行するように構成し、アクティブ化する必要があります。

1. データコレクタージョブをスケジュールしてアクティブ化します。
2. 履歴データコレクタージョブをワンオフとして実行し、空のインジケーターを入力します。

結果の共有

ビジネスプロセスのストーリーを伝えるアクション可能な KPI を表示し、対象となる閲覧者に適切なレベルの情報を表示します。

1. 事前に構成された利用可能なコンテンツを調べてデータの感触をつかみ、ダッシュボードのカスタマイズを決定します。
2. ステークホルダーにダッシュボードへのアクセス権を付与します。
3. 組み込み型のリアルタイム分析により、誰もがアクションを起こせるようにします。

インジケーターの計画

インジケーターを作成する前に、インジケーターで達成したい目標を明確にします。

インジケーターを作成する前に、次の質問をします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- [What (ニーズ)]
  - 何を測定しますか? 測定したいものは、ビジネス目標に向けた進捗状況に基づいていますか? ビジネス目標から始めて、何を測定するかを決定することを検討してください。以下を使用できます KPI Composer お役に立ちます。

    オープンインシデントの数のような単純なカウントが必要ですか、それともインシデントの平均クローズ時間のようなより高度なカウントが必要ですか?

  - 多い方が良いですか、それとも少ない方が良いですか?

    たとえば、オープンインシデントの数はできるだけ少なくし、営業の数は増やすとします。

  - この数値に最も寄与する要因は何ですか?
  - この数値を歪める要因は何ですか?

    季節。人員数や構成の変化?

  - 数字が良いものから悪いものに変わったらどうしますか?
- 誰が
  - このインジケーターの責任者は誰ですか?

    要求履行者? マネージャー?

  - この情報を表示できないのは誰ですか?
- [Why (目的)]
  - 次の質問は何ですか?

    たとえば、オープンインシデントの数がわかったら、そのうちの何パーセントが 30 日以上オープンになっているかを知りたくなる場合があります。

  - この数字は、何が起こるかを予測していますか、それとも何が起こったかを示していますか?
- 方法
  - 今日、これを測定しますか?
  - はいの場合、あなたはそれで何をしますか?
  - 「いいえ」の場合は、なぜですか?
- 時期
  - データはどのくらいの速さで変化しますか?
  - 見るのに意味のある期間は何ですか?

    日々の変化は意味があるのか、それともうるさすぎるのか? 実際のトレンドを確立するには、どのくらいの時間がかかりますか?

- ユースケースに一致するインジケーターが既にあるのか、それとも独自に構築する必要があるのか?
  - サブジェクト領域用の がインストールされ プラットフォームアナリティクスソリューション ていますか? これらのソリューションには、多くの一般的なユースケースのインジケーターが含まれています。
  - インジケーターリストで、要件と一致する、またはそれに近いインジケーターはあるか? 既存のインジケーターを複製して微調整することはできますか?
  - 要件を満たす式インジケーターを既存のインジケーターから作成できますか?

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

分析ソリューション

を使用したソリューションの設計パフォーマンスアナリティクスKPI Composer

Performance Analytics データフロー

の使用 パフォーマンスアナリティクスを開始する前に、データがプラットフォーム内をどのように流れるかを理解し、最終的にプロセスの改善を視覚化できるようにします。

1. 日々の事業運営とデータ連携から生成されたデータが、それぞれのビジネスプロセスのテーブルに入力されます。

   例:新しいインシデントを送信すると、インシデントテーブルにレコードが作成されます。

2. アクティブなジョブスケジュールは定期的に実行され、プロセスの動作のスナップショットを定期的に取得します。各ジョブは、PA インジケーターおよびブレークダウンのメタデータに基づいてインジケーター (KPI) スコアを計算します。時間が経つにつれて、この連続的なスコアのストリームが傾向を構築します。

   例:収集ジョブは、毎日のインシデントテーブルのインシデント数をカウントします。1 か月後、約 30 のデータポイントを含む傾向を表示できるようになります。

3. データスナップショットとスコアはデータテーブルに保存されます パフォーマンスアナリティクス 。これらのテーブルは、すべての パフォーマンスアナリティクス 可視化のソースです。
4. ウィジェットは、トレンド ラインや棒グラフなどの特定の形式でインジケーター スコアを表示します。

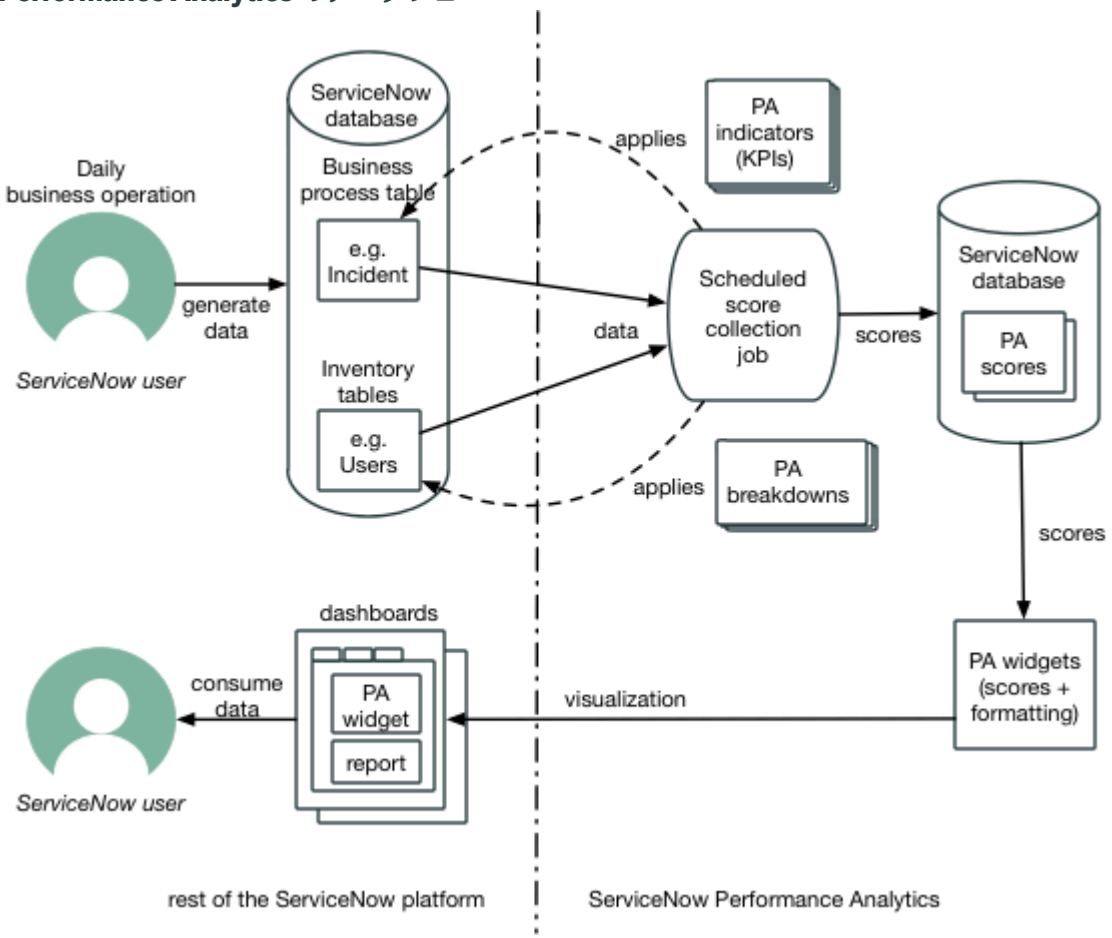
   例:新規インシデントの数は、追跡できるインジケーターです。このインジケーターは、適切なウィジェットを設定することで、単一のスコアまたは経時的な毎日の読み取り値の傾向として視覚化できます。

5. 複数の パフォーマンスアナリティクス ウィジェットが 1 つのダッシュボードビューに表示されるため、ステークホルダーは関連するすべてのビジネスプロセス情報を 1 か所で表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Performance Analytics のデータフロー



構成 パフォーマンスアナリティクス の基礎

インジケーターとブレークダウンを作成および構成します。データを収集します。計算された パフォーマンスアナリティクス スコアを表示します。

の パフォーマンスアナリティクス基本的な使用方法の概要については、無料のトレーニング「Performance Analytics Essentials」を受講してください。

注:
すべての表示方法で、測定基準に従って高スコアが省略されます。したがって、数百万のスコアはMで省略され、(米国の)数十億のスコアはGで短縮されます。

を使用したソリューションの設計パフォーマンスアナリティクス**KPI Composer**

KPI Composer パフォーマンス管理戦略がビジネス目標に沿っていることを確認し、エグゼクティブスポンサーからのサポートを得られるようにします。パフォーマンス測定戦略の定義と、その戦略を内部パフォーマンスアナリティクスから実現することとの間のギャップを埋めるために使用しますKPI Composer。ビジネス目標から開始し、最終的なダッシュボードまでのインジケーターを通じてすべてのコンポーネントを計画します。

KPI Composer は、実装目標、望ましいビジネス成果、および必要な技術的成果物を簡潔で視覚的な要約で視覚化することで、パフォーマンス管理要件を引き出し、ステークホルダーの連携を促進するのに役立ちます。この包括的なアプローチにより、実装者が技術的な成果物の作業に時間を費やす前に、ステークホルダーが望ましい結果と要件について完全に連携できるようになります。準備が整うと、パフォーマンス分析の実装者は、目標をサポートするために作成する必要があるもの (インジケーター、ブレークダウン、レポート、ダッシュボード) のタスクリストを取得し、KPI コンポーザーを使用して実装の進捗状況を追跡することもできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ServiceNow University ではKPI Composer無料のトレーニングを利用できます。

KPI Composer のアクティブ化

KPI Composer は、 で入手可能です ServiceNow Store。移動先 システムアプリケーション > **ServiceNow Store** を検索をクリックするか、ブラウザで にアクセスします https://store.servicenow.com/sn_appstore_store.do#!/store/home。という名前の KPI Composerアプリケーションを検索します。アプリケーションを本番インスタンスにダウンロードする場合は、アカウントが必要です Now Support 。

アプリケーションをダウンロードしたら、次に移動します。 システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて。アプリケーションを検索し KPI Composer てインストールします。例については、以下を参照してください。 の有効化 ServiceNow Store アプリケーション 。

注:
をフルに KPI Composer活用するには、 を使用する パフォーマンスアナリティクスための適切なエンタイトルメントが必要です。

関連情報

パフォーマンスアナリティクス ロール

アクセス先：**KPI Composer**

アクセス KPI Composer のレベルによって、ユーザーがプロジェクトを作成、編集、または表示のみできるかどうかが決まります KPI Composer 。また、ユーザーがアクセスできるプロジェクトと、基になるレコードにアクセスできるか、UI にのみアクセスできるかも決定します。

へのアクセス KPI Composer は、単独または組み合わせて、次のものに依存します。

- ユーザーロール
- 責任
- 共有中に許可されるアクセス

ロールベースのアクセス

管理者は、ユーザーに管理者またはユーザーのロール KPI Composer を付与できます。KPI Composer管理者は、 のKPI Composer管理者と同じNow Platform権限を持ちます。KPI Composerユーザーが自動的にすべてのプロジェクトにアクセスできるわけではなく、インジケーターやブレークダウン定義を実際のパフォーマンスアナリティクスエンティティに関連付けることはできません。

のユーザーロール **KPI Composer**

ロール	包含	説明
sn_kpi_composer.admin または admin	pa_viewer	• レコードを含む、のすべての KPI Composerコンポーネントへのフル アクセス。 • すべてのプロジェクトへのフルアクセス。 • プロジェクトの責任を共有またはアサインできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

のユーザーロール **KPI Composer** (続く)

ロール	包含	説明
		• インジケーターとブレークダウンの定義を パフォーマンスアナリティクス インジケーターとブレークダウンに関連付けることができます。
sn_kpi_composer.user	なし	• 自分が作成したプロジェクトにのみアクセスできます。 • 作成したプロジェクトを共有したり、責任をアサインしたりできます。 • それらのプロジェクトのデザインタブ、アーティファクトプロパティ、インジケーター定義、およびブレークダウン定義にのみアクセスできます。 • インジケーターまたはブレークダウンをそれぞれの定義に追加する パフォーマンスアナリティクス ことはできません。 このロールを持つユーザーは、責任または共有されているプロジェクトに基づいて、より多くのプロジェクトにアクセスできます。

でパフォーマンスアナリティクスデザインを実装するKPI Composerには、適切なパフォーマンスアナリティクスロールも必要です。

プロジェクトの責任

責任ユーザーは、担当するプロジェクトに対して次のアクセス権を持ちます。

- プロジェクトを表示および編集できます。
- プロジェクトの責任を共有またはアサインできます。
- それらのプロジェクトのデザインタブ、アーティファクトプロパティ、インジケーター定義、およびブレークダウン定義にのみアクセスできます。
- インジケーターまたはブレークダウンをそれぞれの定義に追加する パフォーマンスアナリティクス ことはできません。

このレベルのアクセスは、sn_kpi_composer.user ロールで付与されるものと同じです。また、プロジェクトを編集権限で共有することと同等です。責任は、まず、どの役割からも独立しているという点で異なります。2つ目の違いは、技術的な違いではなく、手続き上の違いです:責任あるユーザーは、プロジェクトの監督と実施を担当すると理解されています。したがって、プロジェクトの作成者でさえ、自動的に責任を負うわけではありません。

責任ユーザーは、プロジェクトプロパティで指定されます。編集権限を持つユーザーは、責任のあるユーザーを指名できます。担当ユーザの命名の詳細については、を参照してください プロジェクトのプロパティの定義。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

共有プロジェクト

編集権限を持つすべてのユーザーがプロジェクトを共有できます。プロジェクトを共有するときは、次の 2 つのレベルのアクセス権のいずれかを付与します。

アクセス権を編集

このレベルのアクセスは、技術的には責任ユーザーまたは sn_kpi_composer.user ロールを持つユーザーのアクセスと同じです。最初の違いは、ロールは不要であるということです。2つ目の違いは、プロジェクトを監督または実施する責任の意味合いがないことです。

ビューアクセス

表示アクセス権を持つユーザーは、共有プロジェクトのデザインタブ、アーティファクトプロパティ、インジケーター定義、およびブレークダウン定義を読み込むことができます。検索やフィルターなど、すべての表示ユーティリティを使用できます。ただし、プロジェクト内の何も変更することはできません。追加できるのは日誌エントリだけです。

詳細については、「KPI Composer プロジェクトの共有」を参照してください。

KPI Composer プロジェクト

KPI Composerプロジェクトに基づいていますの各 KPI Composer プロジェクトは、重要業績評価指標 (KPI) ツリーと、それらのツリー内のすべての成果物の機能的および技術的定義で構成されます。複数のプロジェクトを作成できます。

KPI Composerプロジェクト UI には一連の 4 つのタブがあり、それぞれがプロジェクトのフェーズに対応しています。

分析

このフェーズでは、ビジネス目標、重要な成功要因、および測定 (KPI) の階層ツリーを作成します。KPI を概念的に定義し、目標と成功要因にマッピングすることで、必要なすべての Performance Analytics 構成の詳細な機能仕様が生成されます。この仕様は、ビジネス スポンサーによって吟味され、技術的な実装者に明確な方向性を提供します。

ダッシュボードデザイン

このフェーズでは、1 つ以上の パフォーマンスアナリティクス ダッシュボードの設計仕様を作成します。実装の早い段階でプレゼンテーションの [ダッシュボードのビジュアル化] タブを使用してタイムリーなフィードバックを取得し、プロジェクトが完了したときにダッシュボードの閲覧者が期待するビジュアル化を取得できるようにします。

データの定義

このフェーズでは、分析中に定義した KPI に一致するインジケーターの パフォーマンスアナリティクス 技術仕様を提供します。既に存在するか、後で作成する適切な パフォーマンスアナリティクス インジケーターに KPI をリンクできます。

レビュー

このフェーズでは、プロジェクト内の設計コンポーネントを検証し、システム定義の健全性チェックを実行し、 で パフォーマンスアナリティクスプロジェクトを実装するためのタスク リストを生成します。

KPI Composer プロジェクトの作成

を使用する KPI Composer最初のステップとして、プロジェクトを作成します。

始める前に
必要なロール:sn_kpi_composer.user、sn_kpi_composer.admin、admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

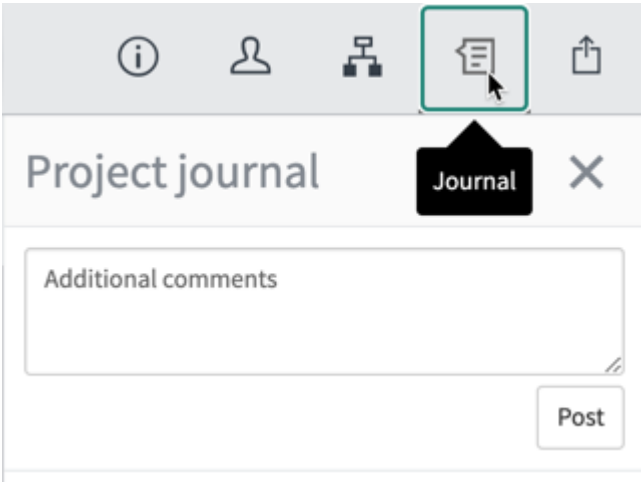
自動翻訳

手順

1. 移動先 すべて > **KPI Composer** > プロジェクト をクリックし、[新規] をクリックします。
2. 「新規プロジェクトの作成」ダイアログで、プロジェクトにわかりやすい名前を付け、「 保存」をクリックします。

タスクの結果
プロジェクトが作成され、[プロジェクト] ページに表示されます。

次のタスク
プロジェクトで作業しながら、プロジェクトジャーナルで共同作業で追跡します。



プロジェクトのプロパティの定義

[プロジェクトプロパティ] では、ナレッジ記事、オーナー、および連絡担当者をプロジェクトに関連付けることができます。

始める前に

注:
「プロジェクト・プロパティ」は、「アーティファクト・プロパティ」の「情報」タブと似ています。異なるのはスコープだけです。

必要なロール：sn_kpi_composer.user (自分のプロジェクト)、sn_kpi_composer.admin (任意のプロジェクト)、admin。責任ユーザーまたはプロジェクト共有からの編集アクセス権を持つユーザーには、ロールは必要ありません。

手順

1. 移動先 すべて > **KPI Composer** をクリックし、プロジェクトを作成するか開きます。
2. 「解析」タブで、画面右上の「情報」アイコン( )をクリックします。
3. プロジェクトにわかりやすい名前を付けます。
4. 他のユーザーがプロジェクトの目的を理解できるように、プロジェクトの詳細な説明を追加します。
5. このプロジェクトで達成したい事業達成目標を指定します。
6. 次のいずれかの詳細を指定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- プロジェクトに関連する情報を含むナレッジ記事。ナレッジ記事はいくつでもリンクできます。
- 責任ユーザー。責任あるユーザーは、完全な編集権限を持っていますが、プロジェクトの実装にも責任を持つことが期待されています。この責任により、責任あるユーザーと、プロジェクトが編集権限で共有されているユーザーと区別されます。
- 連絡担当者

プロジェクトにペルソナを追加する

各プロジェクトには、設計しているソリューションで パフォーマンスアナリティクス 異なるロールを持つ複数のペルソナがいます。ペルソナは、サービスデスクマネージャーやサービスオーナーなど、社内での役割です。

始める前に

必要なロール：sn_kpi_composer.user (自分のプロジェクト)、sn_kpi_composer.admin (任意のプロジェクト)、admin。責任ユーザーまたはプロジェクト共有からの編集アクセス権を持つユーザーには、ロールは必要ありません。

前提条件

KPI Composer プロジェクトの作成

手順

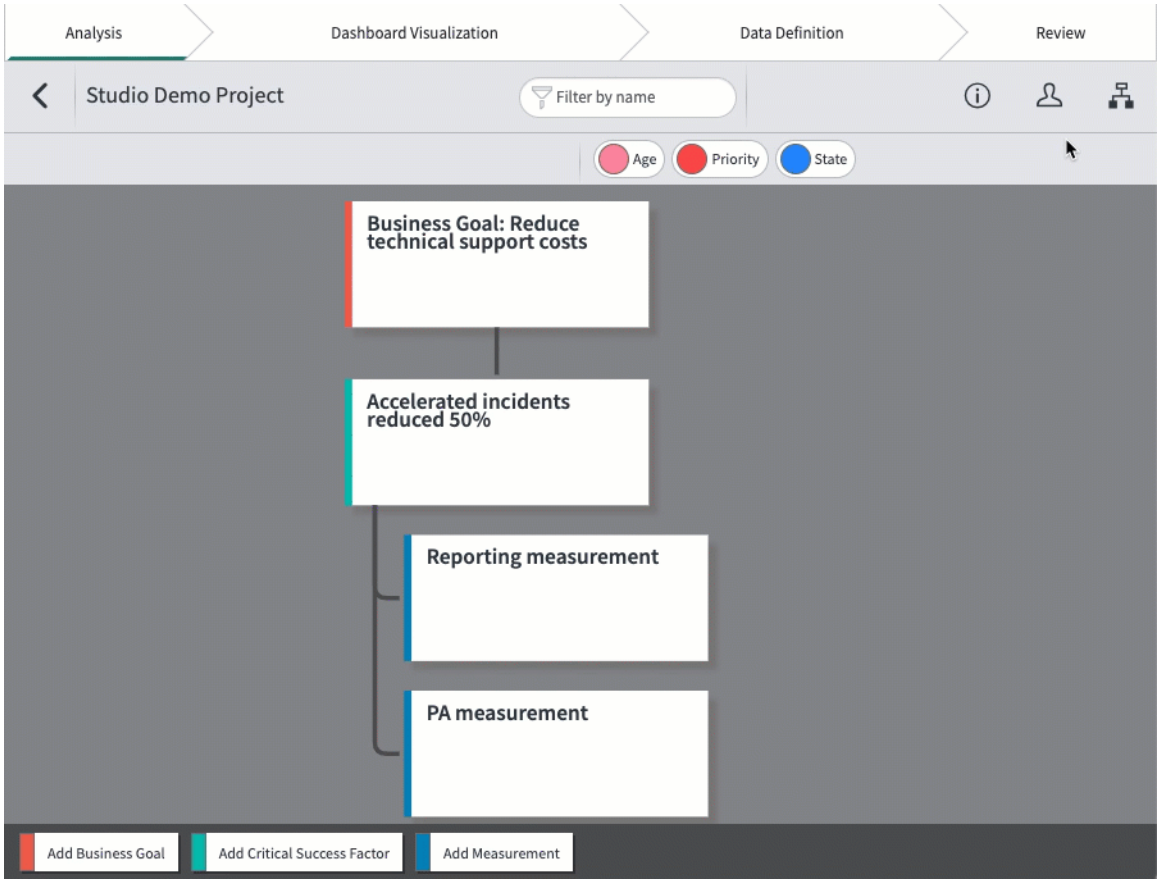
1. 移動先 すべて > **KPI Composer** をクリックし、プロジェクトを作成するか開きます。
2. [分析] タブで、画面の右上にあるペルソナアイコン ()  をクリックします。
3. ペルソナダイアログで、「 項目を追加」をクリックします。
4. 新しいペルソナの名前を入力し、テキストボックスの外側をクリックします。
   ペルソナが KPI ツリーキャンバスのヘッダーに表示されます。各ペルソナは、名前の最初の 2 つの単語 (1 つの単語のみの場合は最初の 2 文字) に基づく 2 文字の識別子を自動的に取得します。
5. ペルソナをさらに追加するには、これらの手順を繰り返します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: プロジェクトへの **KPI Composer** ペルソナの追加

次の短いアニメーションでは、ペルソナ (エージェントと CIO) をプロジェクトに追加する方法を示しています。次に、CIO ペルソナをビジネス目標に追加する方法を見ていきます。



次のタスク
ペルソナをキャンバス上の既存のアーティファクトにドラッグして、それらのアーティファクトに追加します。アーティファクトに追加できるペルソナの数に制限はありません。アーティファクトに 3 つ以上のペルソナがある場合、ペルソナのフルネームは非表示になります。フルネームを表示するには、ペルソナをポイントします。
Ctrl/Command キーまたは Alt/Option キーを押しながらペルソナをアーティファクトにドロップすると、次の詳細機能が有効になります。

Ctrlを押しながらドロップ

ドロップ先のアーティファクトとそのアーティファクトのすべての子アーティファクトにペルソナを追加します。

Alt キーを押しながらドロップ

ドロップされたアーティファクトからペルソナを削除します。

Ctrl と Alt を押しながらドロップ

ドロップされたアーティファクトとそのアーティファクトのすべての子アーティファクトからペルソナを削除します。

ブレークダウン定義別のデータのグループ化

各プロジェクトには、KPI のデータをグループ化するために使用できる一連のブレークダウン定義を含めることができます。これらのブレークダウン定義は、最終的に作成するブレークダウンの パフォーマンスアナリティクス 仕様を提供します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

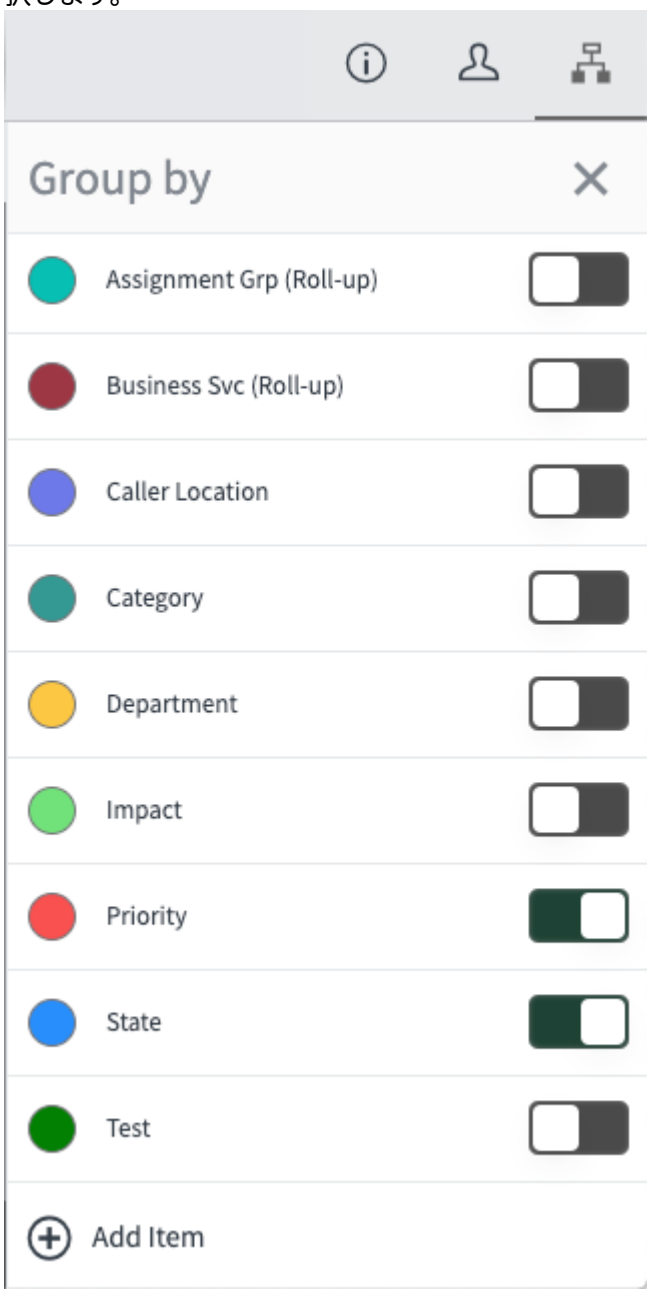
始める前に
必要なロール：sn_kpi_composer.user (自分のプロジェクト)、sn_kpi_composer.admin (任意のプロジェクト)、admin。責任ユーザーまたはプロジェクト共有からの編集アクセス権を持つユーザーには、ロールは必要ありません。

前提条件

KPI Composer プロジェクトの作成

手順

1. 移動先 すべて > **KPI Composer** をクリックし、プロジェクトを作成するか開きます。
2. 「分析」タブで、画面右上の「グループ化」アイコン( )をクリックします。
3. [グループ] ダイアログで、スライダーを使用して、プロジェクトに含めるブレークダウン定義を選択します。



選択したブレークダウン定義が KPI ツリーキャンバスのヘッダーに表示されます。ここから、アーティファクトにドラッグできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

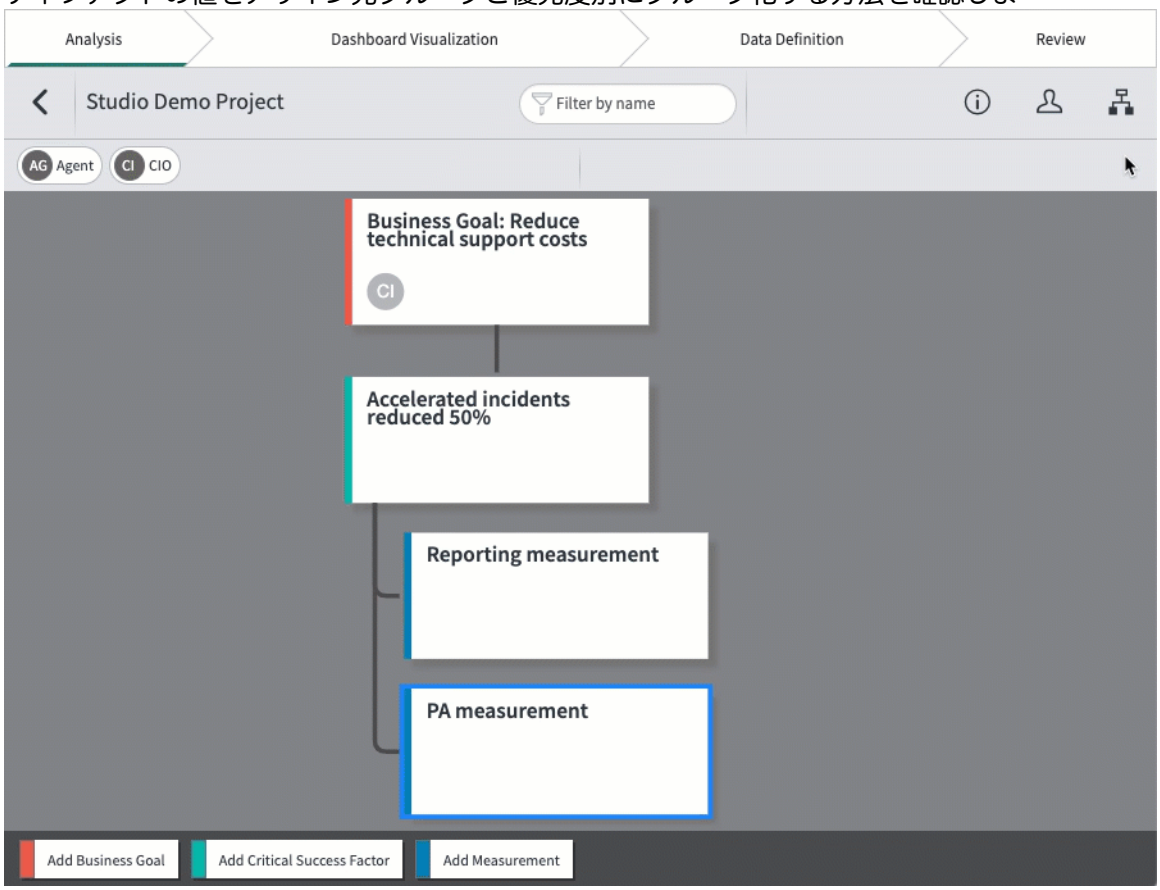
4. 新しいブレークダウン定義をプロジェクトに追加するには、「 項目の追加」 をクリックして用語を入力します。



新しいアイテムが [グループ] リストに表示され、一致するブレークダウン定義レコードが作成されます。

Example: プロジェクトのブレークダウン定義 KPI Composer の選択

次の短いアニメーションでは、プロジェクトに対するブレークダウン定義 [アサイン先グループ]、[影響度]、および [優先度] を選択する方法を示しています。次に、KPI ツリーのアーティファクトの値をアサイン先グループと優先度別にグループ化する方法を確認します。



次のタスク

ブレークダウン定義 (「グループ」アイテム) をキャンバス上の既存のアーティファクトにドラッグします。アーティファクトに関連付けられたデータは、任意の数のブレークダウン定義でグループ化できます。アーティファクトの色付きの点は、アーティファクトがどのブレークダウン定義でグループ化されているかを示します。これらのブレークダウン定義の名前を表示するには、アーティファクトの色付きのドットのいずれかをポイントします。

[Ctrl]/[command]キーまたは [Alt]/[option]キーを押しながらブレークダウン定義をアーティファクトにドロップすると、次の高度な機能がアクティブになります。

Ctrlを押しながらドロップ

ドロップ先のアーティファクトと、そのアーティファクトのすべての子アーティファクトにブレークダウン定義を追加します。

Alt キーを押しながらドロップ

ドロップ先のアーティファクトからブレークダウン定義を削除します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Ctrl と Alt を押しながらドロップ

削除されたアーティファクトとそのアーティファクトのすべての子アーティファクトからブレークダウン定義を削除します。

ブレークダウンの定義

ブレークダウン定義で実際の パフォーマンスアナリティクス ブレークダウンを構築する方法の機能説明を入力します。適切な パフォーマンスアナリティクス ブレークダウンが存在すると、ブレークダウン定義でそのブレークダウンにリンクできます。

始める前に

必要なロール:sn_kpi_composer.user、sn_kpi_composer.admin (ブレークダウンにリンクするため パフォーマンスアナリティクス)、admin 責任ユーザーまたは編集アクセス権を持つユーザーには、ブレークダウンへのリンクへのリンク パフォーマンスアナリティクス を除いて、ロールは必要ありません。

このタスクについて

KPI Composer プロジェクトに追加するブレークダウン定義は、実際の パフォーマンスアナリティクス ブレークダウンではありません。これらは、ブレークダウンがどう パフォーマンスアナリティクス あるべきかを説明するプレースホルダーにすぎません。ブレークダウン定義では KPI Composer 、次のいずれかまたは両方の情報を指定します。

- エキスパートが パフォーマンスアナリティクス 実際のブレークダウンを作成するために必要な詳細。
- 要件を満たす既存の パフォーマンスアナリティクス ブレークダウンへの参照。

手順

1. 「分析」タブで、「グループ化」アイコン()をクリックします。
2. 定義するブレークダウンの名前をクリックします。
3. 次の情報を入力します。

フィールド	説明	メモ
PA 明細 (sn_kpi_composer.admin および admin ロールに制限)	パフォーマンスアナリティクスこのインスタンスに存在するブレークダウン。	ブレークダウン定義にブレークダウンへの パフォーマンスアナリティクス 参照がない場合は、そのブレークダウンを作成することを検討してください。
ファクトテーブル	ブレークダウンの パフォーマンスアナリティクス ブレークダウンソースが参照する必要があるテーブル。	ブレークダウンを作成するための重要な情報。
条件	ブレークダウン ソースまたはブレークダウン自体のいずれかで ファクト テーブルに適用するフィルタ条件。	

プロジェクトのジャーナルエントリを書き込む

ジャーナルエントリでプロジェクトを追跡するKPI Composer

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール:表示アクセス権を含む、プロジェクトへのアクセス権 KPI Composer を持つすべてのユーザーがジャーナルエントリを書き込むことができます。

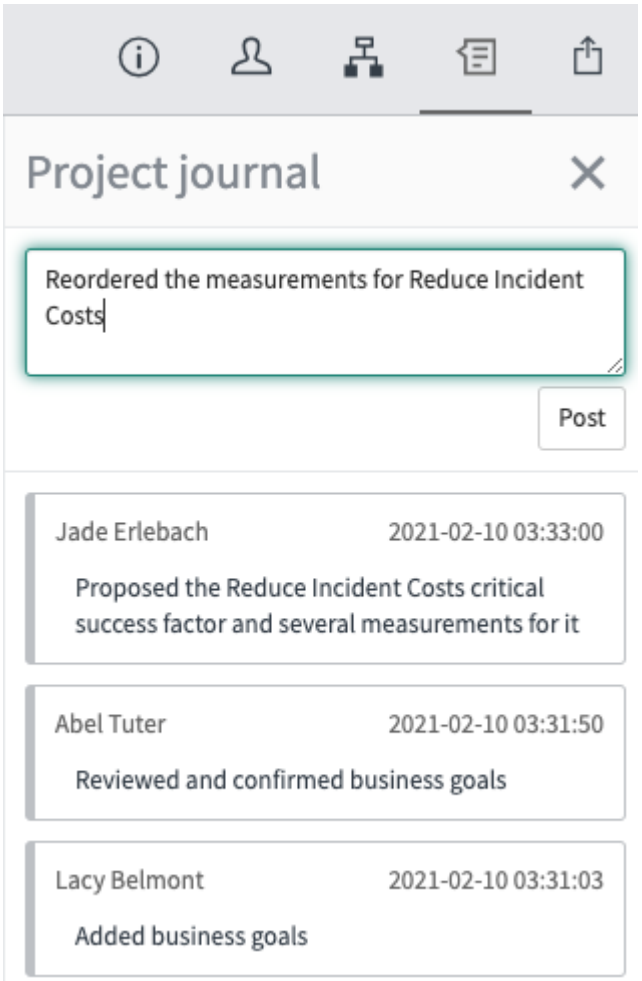
前提条件

KPI Composer プロジェクトの作成

手順

1. ジャーナルアイコン () をクリックします。
2. ジャーナルエントリを書き込みます。
3. [投稿] をクリックします。

タスクの結果
転記されたすべての仕訳帳エントリは、降順で表示されます。



KPI Composer プロジェクトの共有

所有している KPI Composer プロジェクトまたは自分が担当しているプロジェクトを共有できます。ユーザーには、読み取り/書き込みまたは読み取り専用のアクセス権を提供できます。

始める前に
必要なロール：sn_kpi_composer.user (自分のプロジェクト)、sn_kpi_composer.admin (任意のプロジェクト)、admin。責任ユーザーまたはプロジェクト共有からの編集アクセス権を持つユーザーには、ロールは必要ありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

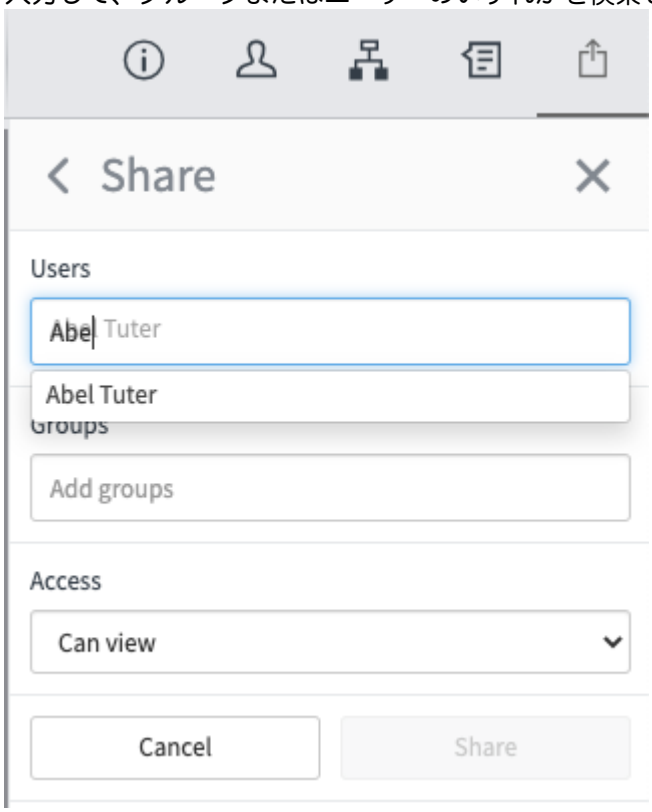
前提条件

KPI Composer プロジェクトの作成

このタスクについて
編集権限を持つプロジェクトを共有する場合、そのユーザーは技術的には責任ユーザーと同じ権限を持ちます。違いはプロジェクト管理に関係しており、プロジェクトを共有しているユーザーは単にプロジェクトを編集できるのに対し、責任あるユーザーはプロジェクトの実装を成功させる責任があります。

手順

1. 移動先 すべて > **KPI Composer** をクリックし、プロジェクトを作成するか開きます。
2. ツールバーの「共有」アイコン() をクリックします。
3. [グループとユーザーの追加] をクリックします。
4. 入力して、グループまたはユーザーのいずれかを検索します。



5. [表示可能] または [編集可能] アクセスを選択します。
6. [共有] または [キャンセル] を選択します。

KPI Composerプロジェクトのエクスポート

インスタンス間でプロジェクトを KPI Composer コピーするには、まずプロジェクトを JSON ファイルとしてエクスポートします。

始める前に
必要なロール:sn_kpi_composer.admin

前提条件

KPI Composer プロジェクトの作成

自動翻訳

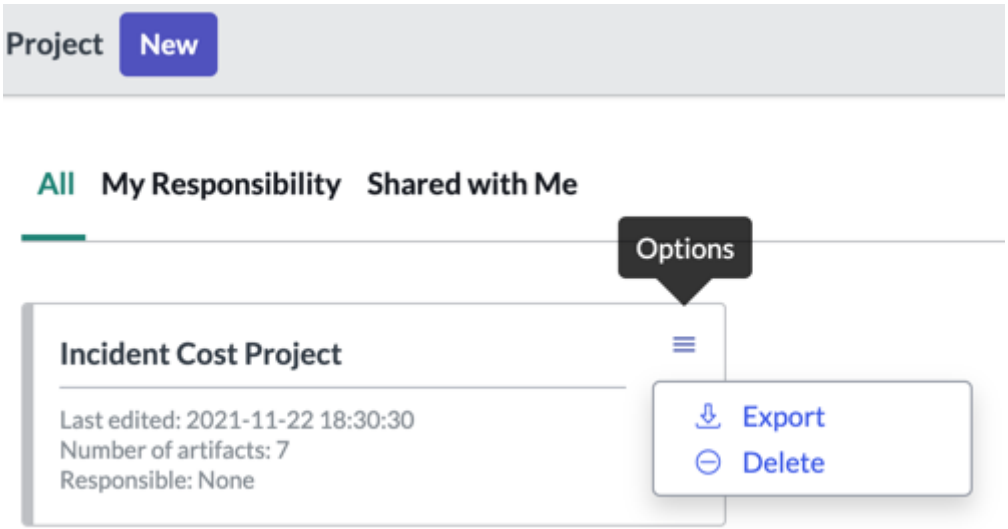
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
次のフィールドは、プロジェクトとともにエクスポートされません。

- 責任ユーザー
- 担当者
- プロジェクト仕訳入力
- ナレッジ記事への参照

手順

1. **KPI Composer** に移動します。
   プロジェクトカードのページが開きます。
2. エクスポートするプロジェクトの 「オプション 」メニューから、「 エクスポート」を選択します。



3. エクスポートされないフィールドに関する通知を読みます。
4. [ダウンロード] をクリックします。

タスクの結果
KPI Composerプロジェクトは、コンピューターのダウンロード先に JSON ファイルで保存されます。ファイル名の形式は ProjectExport.[Project_name]。[タイムスタンプ].json。たとえば、「インシデントコストプロジェクト」という名前のプロジェクトの場合、エクスポートファイル名は「ProjectExport.Incident_Cost_Project.2021-11-22_19_13_20.json」です。

プロジェクトのインポート**KPI Composer**

エクスポート KPI Composer されたプロジェクトがある場合は、インスタンスにインポートできます。

始める前に
必要なロール:sn_kpi_composer.admin

前提条件

KPI Composer プロジェクトの作成

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > **KPI Composer** > プロジェクトをインポート。
2. [ファイルの選択] を選択し、ファイル システム内のエクスポートされたプロジェクトに移動します。
3. [インポート] を選択します。
   同じプロジェクトのコピーが既にある場合は、インポートによって上書きされます。

タスクの結果
これで、プロジェクトを で KPI Composer開くことができます。

分析と **KPI** ツリー

KPI Composer の [分析] タブで、KPI ツリーを設計します。ビジネス目標、それに関連する重要な成功要因、およびそれらの要因に関連する測定を指定します。これらの要因とそれを担当するペルソナの間の論理的な関係を図式化します。

KPI ツリーには、階層的に関連する次の アーティファクトが含まれています。

ビジネス目標

通常、ビジネス目標は KPI ツリーの最上部に配置します。この目標は、このプロジェクトから得られるダッシュボードで達成したいことを表します。ビジネス目標は、「コスト効率」や「品質保証」などです。

重要な成功要因

これらの要素をビジネス目標の下に配置して、ビジネス目標を達成するために組織が何を行う必要があるかを特定します。重要な成功要因は、ビジネス目標またはその他の重要な成功要因の下に配置できます。

測定

重要な成功要因のパフォーマンスを測定する方法を決定します。測定は、KPI ツリーの中で最も「インジケーターに似た」アーティファクトです。それらには、測定方法の機能説明が含まれています。さらに、測定の責任者と、この測定が別のプロジェクトで使用される場合の連絡先を保存できます。

KPI ツリーには、次のドラッグアンドドロップアイコンを含むヘッダーとフッターがあります。

- フッターの左側にあるアーティファクト
- ヘッダーの右側のブレークダウン定義 (参照 ブレークダウン定義別のデータのグループ化)
- ペルソナ、ヘッダーの左側 (参照 プロジェクトにペルソナを追加する)

フィルタリング

[分析] タブでは、次のフィルター オプションを使用できます。

- ペルソナでフィルタリングします。ヘッダーのペルソナアイコンを選択して、ペルソナにリンクされているアーティファクトをハイライト表示します。複数のペルソナを選択できます。この場合、選択したペルソナの少なくとも 1 つにリンクされているすべてのアーティファクトがハイライトされます。
- ブレークダウン定義でフィルタリングします。ヘッダーのブレークダウン定義アイコンを選択して、ブレークダウンにリンクされているアーティファクトをハイライト表示します。複数のブレークダウンを選択できます。この場合、選択したブレークダウンの少なくとも 1 つにリンクされているすべてのアーティファクトがハイライトされます。
- テキストにフィルターを適用します。フィルターフィールドにテキストを入力し、フィールドから出ます。テキストを含むすべての成果物が強調表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

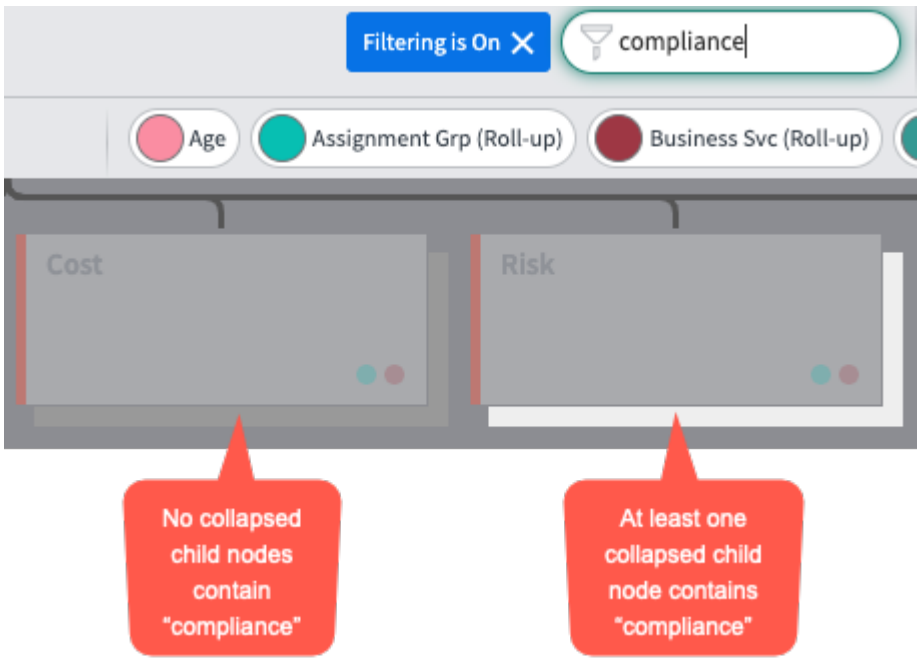
すべてのフィルター関数は相互に使用できます。

ツリーノードの展開と折りたたみ

大きな KPI ツリーで作業する場合は、現在作業していないツリーの部分を閉じることができます。ツリーの一部を折りたたむには、子アーティファクトを持つアーティファクトのマイナス - アイコンをクリックします。折りたたまれたノードは、最上位ノードの下に影として表示されます。折りたたまれたノードを展開するには、プラス + アイコンをクリックします。



フィルターまたは検索が折りたたまれた非表示のアーティファクトと一致する場合、ツリーは展開されません。代わりに、「影」は白に変わりますが、最上位の要素は灰色のままです。



KPI ツリーへのアーティファクトの追加

プロジェクトキャンバスの下部にあるドラッグアンドドロップタイルを使用して、アーティファクトを KPI ツリーに追加します。

始める前に

プロジェクトに取り掛かる前に、ビジネス目標と重要な成功要因について考えてみましょう。
必要なロール：sn_kpi_composer.user (自分のプロジェクト)、sn_kpi_composer.admin (任意のプロジェクト)、admin。責任ユーザーまたはプロジェクト共有からの編集アクセス権を持つユーザーには、ロールは必要ありません。

手順

1. **KPI Composer** に移動し、プロジェクトを開くか作成してから、[分析] タブに移動します。
2. 画面の下部で KPI ツリーのアーティファクトを見つけます。

3. ビジネス目標アイコンをプロジェクトの上部にドラッグします。
   計画をシンプルに保つために、通常はプロジェクトごとに 1 つのビジネス目標を設定しますが、他のビジネス目標の子としてビジネス目標を設定することもできます。
4. 「アーティファクトのプロパティ」の説明に従って、ビジネス目標のプロパティを設定します。

自動翻訳

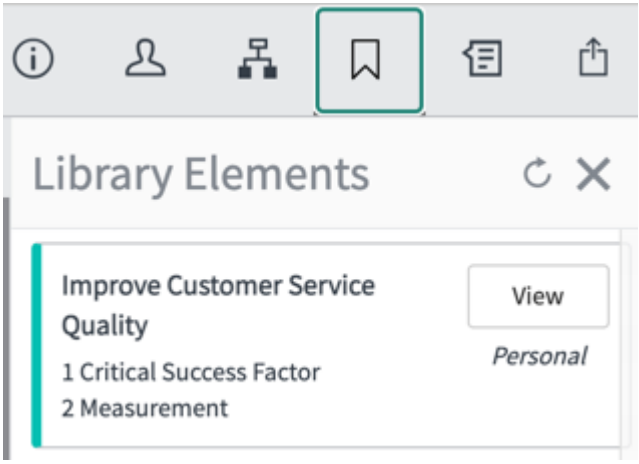
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

これらのプロパティは、アーティファクトタイルの編集アイコン () をクリックして後で編集できます。

5. このプロセスを重要成功要因と測定値で繰り返します。
アーティファクトを別のアーティファクトの上にドロップして、新しいアーティファクトを既存のアーティファクトの子として表示します。重要成功要因は、ビジネス目標またはその他の重要な成功要因の子にすることができます。測定は、任意のアーティファクトの子にすることができます。
6. すべてのアーティファクトを作成して設定する代わりに、既存のライブラリ要素を追加できます。

   a. ブックマークアイコンを選択して、[ライブラリ要素] リストを開きます。

   b. 適切なライブラリ要素を KPI ツリーにドラッグします。



詳細については、「プロジェクト間ライブラリ要素」を参照してください。

次のタスク
ツリー内の関係について気が変わった場合は、既存の成果物を選択して別の成果物にドラッグできます。アーティファクトの順序を変更することもできます。子アーティファクトをその親にドラッグして、兄弟の中で一番上の位置に移動します。

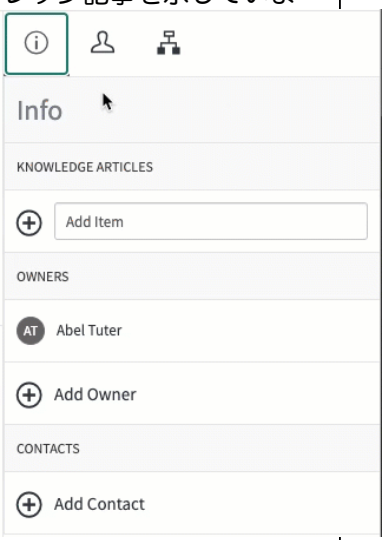
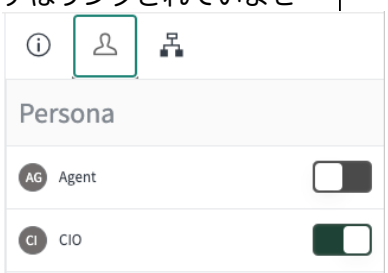
アーティファクトのプロパティ

KPI ツリー内の各アーティファクトは、ナレッジベース記事、ペルソナ、またはブレークダウン定義を参照できます。

プロパティ	説明	例
名前	一意で意味のある名前	高品質でコスト効率の高いビジネス解決 (ビジネス目標成果物用) 合計インシデント解決コスト (測定アーティファクトの場合)
説明	他の人がその目的を理解し、冗長性を回避するのに役立つアーティファクトの詳細な説明	インシデントが発生してから解決されるまでの総金銭的コスト (推定給与および機会コストを含む)
ターゲット	から必要な パフォーマンスアナリティクス将来のパフォーマンスの向上。インジケーターの	最終値の 40 に達するまで、毎月 10% の削減。

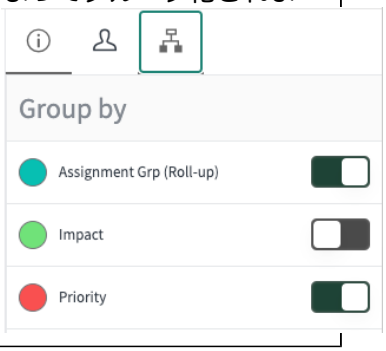
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

プロパティ	説明	例
	定量的ターゲットスコアがまだない場合は、ターゲットを定性的に記述します。	
この要素をライブラリリンクに追加	このアーティファクトと KPI ツリー内の子アーティファクトを、マルチプロジェクトの再利用可能なライブラリ要素に追加します。	詳細については、「プロジェクト間ライブラリ要素」を参照してください。
Info 	次のいずれかの詳細を指定します。 • アーティファクトに関する詳細な説明を含むナレッジ記事。ナレッジ記事はいくつでもリンクできます。 • アーティファクトオーナー • 連絡担当者	この短いアニメーションは、アーティファクトに追加されるナレッジ記事を示しています。 
ペルソナ 	現在プロジェクトにリンクされているペルソナ。アーティファクトのプロパティでは、アーティファクトへのペルソナの追加と削除のみを行うことができます。プロジェクトへのペルソナの追加については、「」を参照してください プロジェクトにペルソナを追加する。	この画像では、エージェントと CIO のペルソナがプロジェクトにリンクされています。CIO のペルソナはアーティファクトにリンクされていますが、エージェントのペルソナはリンクされていません。 
グループごと 	プロジェクト用に選択された 1 つ以上のブレークダウン定義でアーティファクトに関連付けられたデータをグループ化します。プロジェクトへのブレークダウン定義の追加については、を参照してください ブレークダウン定義別のデータのグループ化。	この画像では、アサイン先グループ、影響度、および優先度のブレークダウン定義をアーティファクトで使用できます。アーティファクトのデータは、アサイン先グループの

自動翻訳

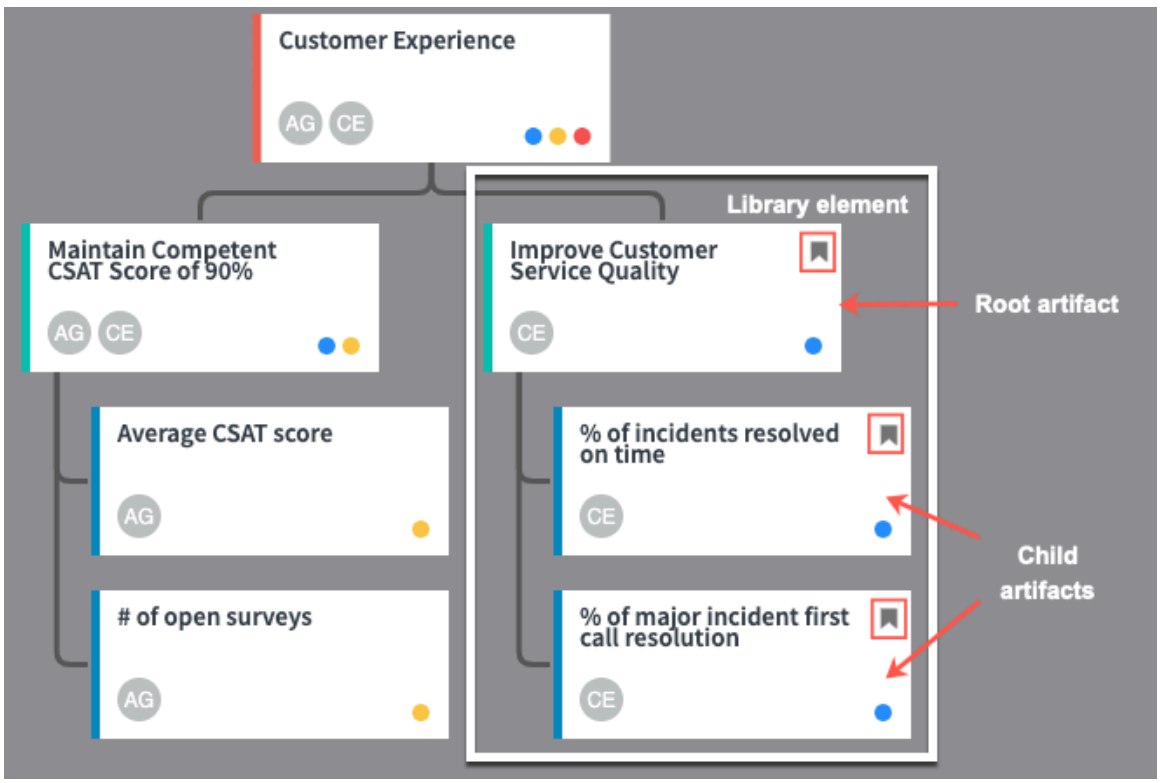
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明	例
		みによってグループ化されます。 

プロジェクト間ライブラリ要素

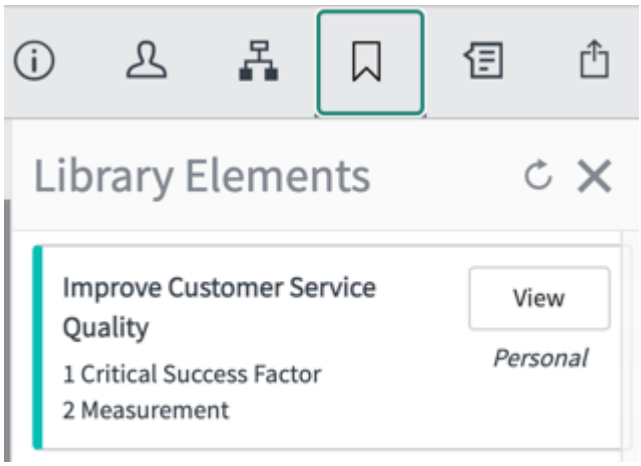
ライブラリ要素は、複数のプロジェクトで再利用できる単一の成果物または成果物のツリーです。

各ライブラリ要素には、1 つのルートアーティファクトがあります。そのアーティファクトのすべての子アーティファクトがライブラリ要素に含まれます。次の画像は、「カスタマーサービス品質の向上」重要成功要因に基づくライブラリ要素を示しています。その子である 2 つの測定アーティファクトは、ライブラリ要素に自動的に含まれます。



任意のプロジェクトの [分析] タブの [ライブラリ要素] メニューから、ライブラリ要素を KPI ツリーにドラッグできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ライブラリ要素の作成

KPI ツリー内のアーティファクトとその子を、プロジェクト間ライブラリ要素に変換し KPI Composer ます。

始める前に

少なくとも 1 つのアーティファクトを含む KPI ツリーを持つ既存のプロジェクトが必要です。
必要なロール：sn_kpi_composer.user (自分のプロジェクト)、sn_kpi_composer.admin (任意のプロジェクト)、admin。責任ユーザーまたはプロジェクト共有からの編集アクセス権を持つユーザーには、ロールは必要ありません。

このタスクについて

注:
ライブラリ要素はネストできます。つまり、子孫の中に別のライブラリ要素を含むアーティファクトからライブラリ要素を作成できます。元のライブラリ要素の要素は、新しい上位レベルの要素に含まれます。元のライブラリ要素はまだ存在し、単独で KPI ツリーに含めることができます。

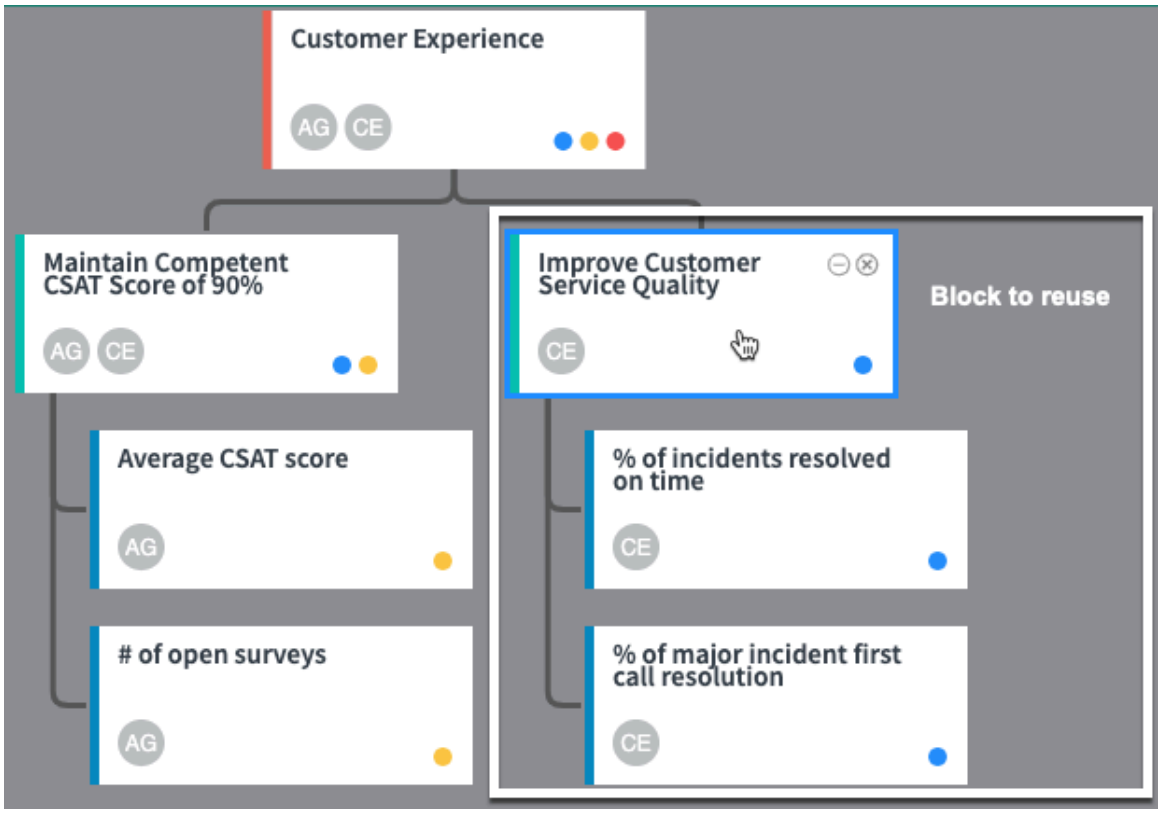
手順

1. プロジェクトの [解析] タブ KPI Composer を開きます。
2. ツリー内のアーティファクトを選択します。
   他のプロジェクトで再利用できるようにする成果物を選択します。アーティファクトのグループを再利用する場合は、ルートアーティファクトを選択します。ルートアーティファクトのすべての子孫アーティファクトがライブラリ要素に含まれます。

   Example
   この例では、「カスタマーサービス品質の向上」という重要な成功要因を再利用します。この測定基準を、「時間どおりに解決されたインシデントの割合 (%)」と「重大なインシデントの最初のコールでの解決の割合 (%)」という 2 つの子測定とともに使用します。

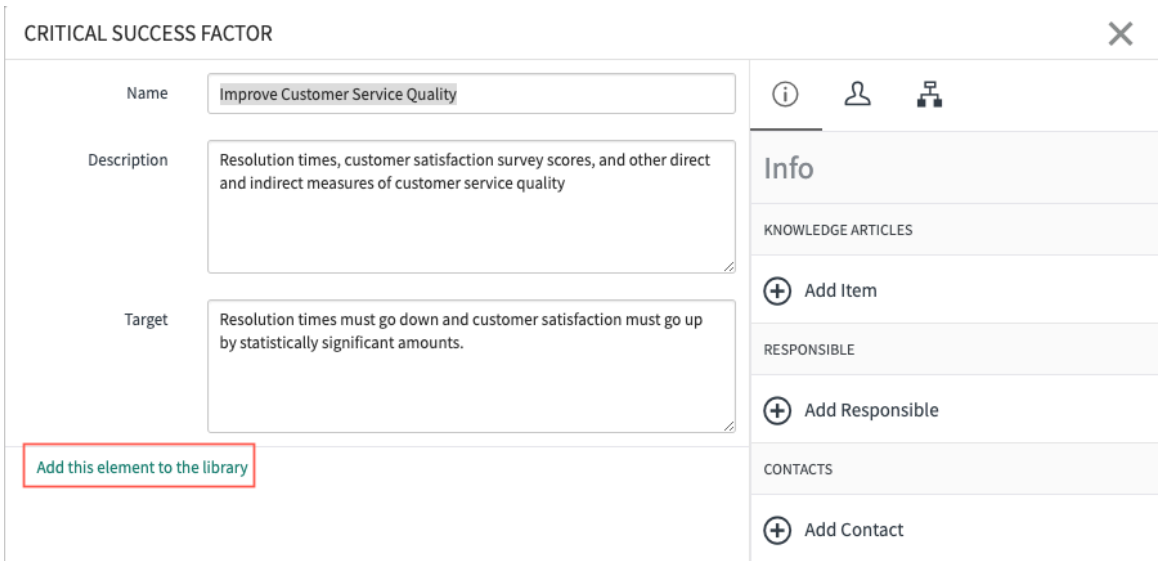
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. 成果物のプロパティ ウィンドウで、 [この要素をライブラリに追加] を選択します。

Example
この例では、「Improve Customer Service Quality」アーティファクトのプロパティを開き、[この要素をライブラリに追加] をクリックしようとしています。



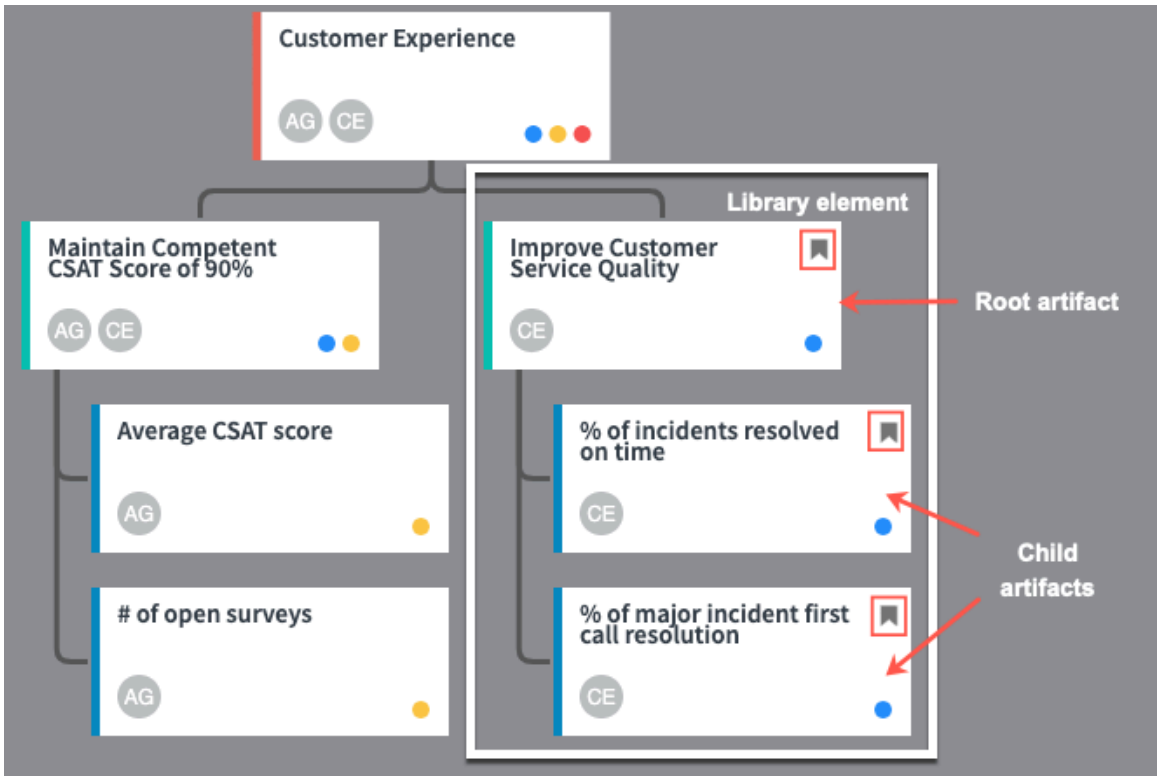
タスクの結果
選択したアーティファクトとその子孫がライブラリ要素に変換されます。ブックマークアイコンが各タイルに追加され、ライブラリ要素に属していることが識別されます。元のプロジェクトでは編集できなくなります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: 「カスタマーサービス品質の向上」ライブラリ要素

この例は、プロシージャー・ステップの結果として得られるライブラリー要素を示しています。ルートアーティファクトは「カスタマーサービス品質の向上」です。ライブラリ要素は、この要素と、2 つの測定値「時間どおりに解決されたインシデントの割合 (%)」と「重大なインシデントの最初のコールでの解決の割合 (%)」で構成されます。



次のタスク
ライブラリ要素は、スコープ内で Personal として始まります。KPI ツリーに追加できるのは、作成したユーザーのみです。admin または sn_kpi_composer_admin ロールを持っている場合は、ライブラリ要素のスコープをグローバルに変更できます。すべてのユーザーは、グローバルライブラリ要素を KPI ツリーに追加できます。
プロジェクト内からライブラリ要素を編集することはできません。

ライブラリ要素を使用

任意の KPI Composer プロジェクトの KPI ツリーにライブラリ要素を追加します。

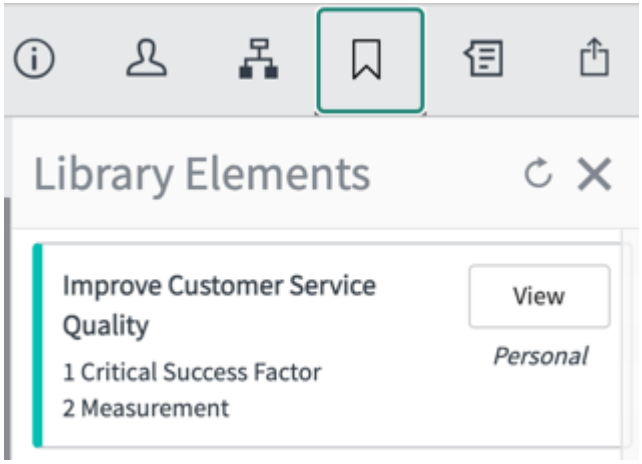
始める前に
使用できるライブラリ要素が少なくとも 1 つ必要です。
必要なロール：sn_kpi_composer.user (自分のプロジェクト)、sn_kpi_composer.admin (任意のプロジェクト)、admin。責任ユーザーまたはプロジェクト共有からの編集アクセス権を持つユーザーには、ロールは必要ありません。

手順

1. 移動先 すべて > アプリケーション > モジュール.
2. ブックマークアイコンを選択して、[ライブラリ要素] リストを開きます。
3. 適切なライブラリ要素を KPI ツリーにドラッグします。
   ライブラリ要素のタイルには、要素に含まれるアーティファクトの数と種類が一覧表示されます。次の画像は、1 つの重要な成功要因と 2 つの測定値を持つライブラリ要素のタイルを示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. KPI ツリーからライブラリ要素を削除するには、ルートアーティファクトを削除します。
   ライブラリ要素内の他のアーティファクトから削除するオプションはありません。

次のタスク
ライブラリ要素は KPI ツリーにいくつでも追加できます。同じライブラリ要素を何度でも追加できます。

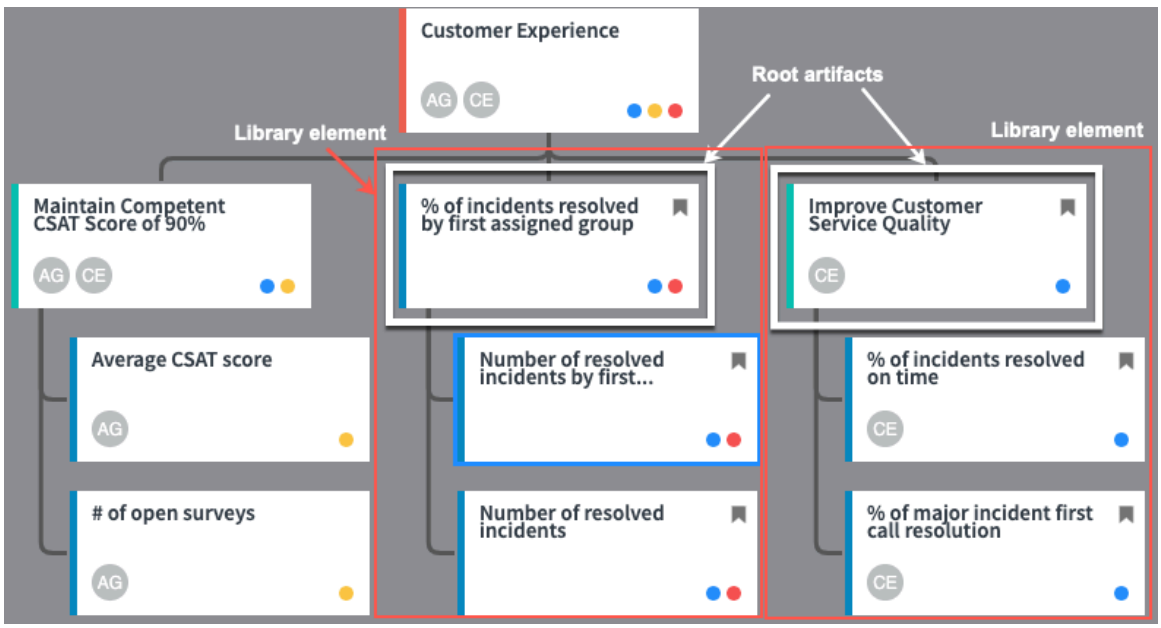
ライブラリ要素の編集または削除

成果物をライブラリ要素に追加したり、ライブラリ要素をプロジェクトベースの成果物に変換し直したりできます。ライブラリ要素内のアーティファクトのデータ定義を編集することもできます。

始める前に
必要なロール:sn_kpi_composer.admin または admin (全編集機能)

手順

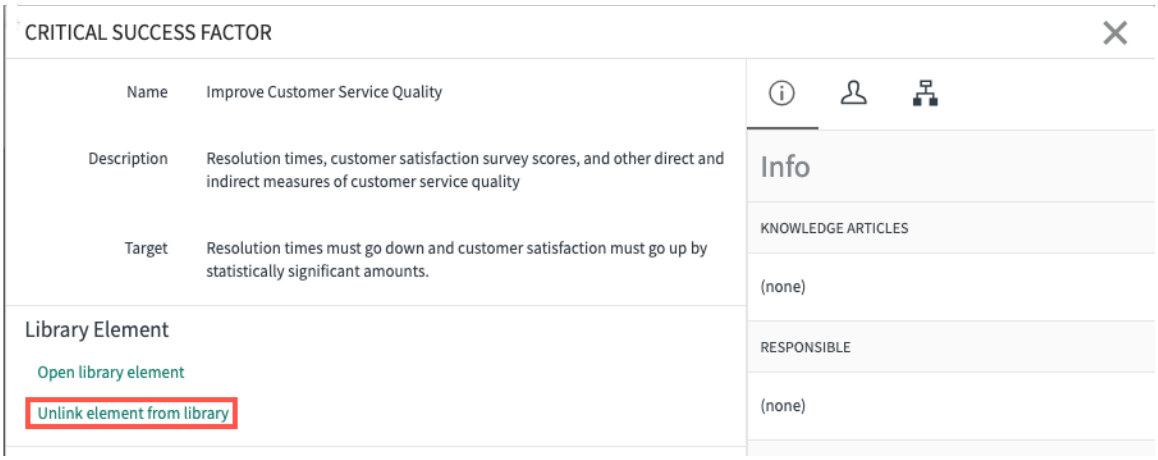
1. プロジェクトの [解析] タブ KPI Composer を開きます。
2. KPI ツリー内のいずれかのライブラリ要素のルートアーティファクトを選択して、そのプロパティを開きます。
   ブックマークアイコン () は、ライブラリ要素内の成果物を識別します。ルート成果物 (親成果物) は、各ライブラリ要素の最上位レベルの成果物です。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. ライブラリ要素を削除するには、[ライブラリから要素のリンクを解除] を選択します。



成果物は、そのライブラリ要素のメンバーではなくなります。ただし、そのライブラリ要素を含むすべての KPI ツリーには、これらのアーティファクトが引き続き含まれており、各ツリー内の通常のアーティファクトの個別のセットになっています。

4. ライブラリ要素を編集するには、「 ライブラリ要素を開く」を選択します。

注:

- ライブラリ要素は、ルートアーティファクトだけでなく、その要素内の任意のアーティファクトから開くことができます。
- sn_kpi_composer.admin または admin ロールを持っている場合は、代わりに **KPI Composer** > ライブラリー をクリックし、ライブラリ要素タイルのセットからライブラリ要素を開きます。

5. ライブラリ要素にアーティファクトを追加するには、「」の KPI ツリーへのアーティファクトの追加手順に従います。

注:

- 新しいアーティファクトのプロパティで [この要素をライブラリに追加] をクリックする必要はありません。このリンクをクリックすると、このライブラリ要素内にネストされている新しいライブラリ要素に新しいアーティファクトが追加されます。
- 新しいアーティファクトを追加する代わりに、別のライブラリ要素を追加して、このライブラリ要素内にネストすることができます。詳細については、「ライブラリ要素を使用」を参照してください。

6. ライブラリ要素内のアーティファクトにインジケーターとレポートの定義を追加するには、[データ定義] タブを開き、「」の インジケーターとレポートの定義手順に従います。
7. 情報アイコン () を選択して、ライブラリ要素がスコープ内でグローバルであるか個人用であるかなど、ライブラリ要素のプロパティを表示または編集します。
プロパティを編集するには、sn_kpi_composer.admin または admin ロールが必要です。それ以外の場合は読み取り専用です。

ライブラリ要素のプロパティ

各 KPI Composer ライブラリ要素には、次のプロパティがあります。編集するには、sn_kpi_composer.admin または admin ロールが必要です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明	例
名前	一意で意味のある名前	デフォルトでは、名前は「カスタマーサービス品質の向上」など、ルートアーティファクトの名前と同じです。
説明	他の人がその目的を理解し、冗長性を防ぐのに役立つアーティファクトの詳細な説明	インシデントが発生してから解決されるまでの総金銭的コスト(推定給与および機会コストを含む)
目標	から必要な パフォーマンスアナリティクス将来のパフォーマンスの向上。インジケーターの定量的ターゲットスコアがまだない場合は、ターゲットを定性的に記述します。	最終値の 40 に達するまで、毎月 10% の削減。
グローバル はい |いいえ	[はい] の場合、すべてのユーザーがこのライブラリ要素をKPI ツリーに追加できます。[いいえ] の場合、このライブラリ要素は個人用であり、作成したユーザーのみが使用できます。デフォルト: いいえ	該当なし
ナレッジ記事	ライブラリ要素に関する詳しい説明を含むナレッジベースの記事。次のいずれかの詳細を指定します。 • アーティファクトに関する詳細な説明を含むナレッジ記事。ナレッジ記事はいくつでもリンクできます。 • アーティファクトオーナー • 連絡担当者	KB0000006 スパイウェアやウイルスへの対処
責任者	責任あるユーザーは、完全な編集権限を持っていますが、ライブラリ要素の保守も担当することが期待されています。詳細については、「アクセス先：KPI Composer」を参照してください。	Abel Tuter
連絡先	ライブラリ要素に責任はないが、利害関係者または相談する関連分野の専門家である人。	エイブラハム・リンカーン

ダッシュボードの設計

[ダッシュボードの視覚化] タブでは、[分析] タブのアーティファクトに対応する視覚化を使用して、複数のダッシュボードのモックアップを作成できます。このモックアップのウィジェットをウィジェットに パフォーマンスアナリティクス リンクできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロジェクトの最終出力はダッシュボードであり パフォーマンスアナリティクス 、重要な成功要因に対応する個別のダッシュボードまたは個別のタブと、測定値を表示するウィジェットがあります。では パフォーマンスアナリティクス、基礎となるすべてのインジケーターとブレークダウンが作成されるまで、これらのダッシュボードを作成できません。これらのインジケーターのウィジェットの設計もやや技術的で、少なくともpa_power_userロールが必要です。最終的なダッシュボードを共有すると、ダッシュボードを必要とする閲覧者から、デザインがニーズや期待を完全に満たしていないというフィードバックが送信されることがよくあります。

[KPI Composer ダッシュボードの視覚化] タブでは、ワークフローのかなり早い段階でダッシュボードの設計を開始できます。[分析] タブに成功要因と測定値の概念ツリーのみがある場合は、ビジュアル化の作業を開始できます。さらに、プロセスの早い段階で他の関係者を巻き込むことができます。早い段階でプレゼンテーションで KPI Composer を使用してタイムリーなフィードバックを得ることで、プロジェクトが完了したときにダッシュボードの閲覧者が期待するビジュアライゼーションを得ることができます。

ダッシュボードを追加

ダッシュボードを設計する最初のステップとして、空のダッシュボード KPI Composer を [ダッシュボードの視覚化] タブに追加します。

始める前に

[分析] タブに KPI ツリーの完全なドラフトを含む既存の KPI Composer プロジェクトがある。

必要なロール：sn_kpi_composer.user (自分のプロジェクト)、sn_kpi_composer.admin (任意のプロジェクト)、admin。責任ユーザーまたはプロジェクト共有からの編集アクセス権を持つユーザーには、ロールは必要ありません。

手順

1. 移動先 すべて > **KPI Composer** をクリックし、プロジェクトを開きます。
2. [ダッシュボードの可視化] タブに移動します。
3. [**+ Add Dashboard]** をクリックします。
4. ダッシュボードにわかりやすい名前を付けます。おそらく KPI ツリー内のビジネス目標または上位レベルの重要な成功要因に対応する名前を付けます。
5. オプション: ダッシュボード アーティファクトの [アイテムの編集] アイコン () をクリックして、ダッシュボードのプロパティを編集します。
6. ダッシュボードを作成するすべてのビジネス目標または重要な成功要因について、このプロセスを繰り返します。

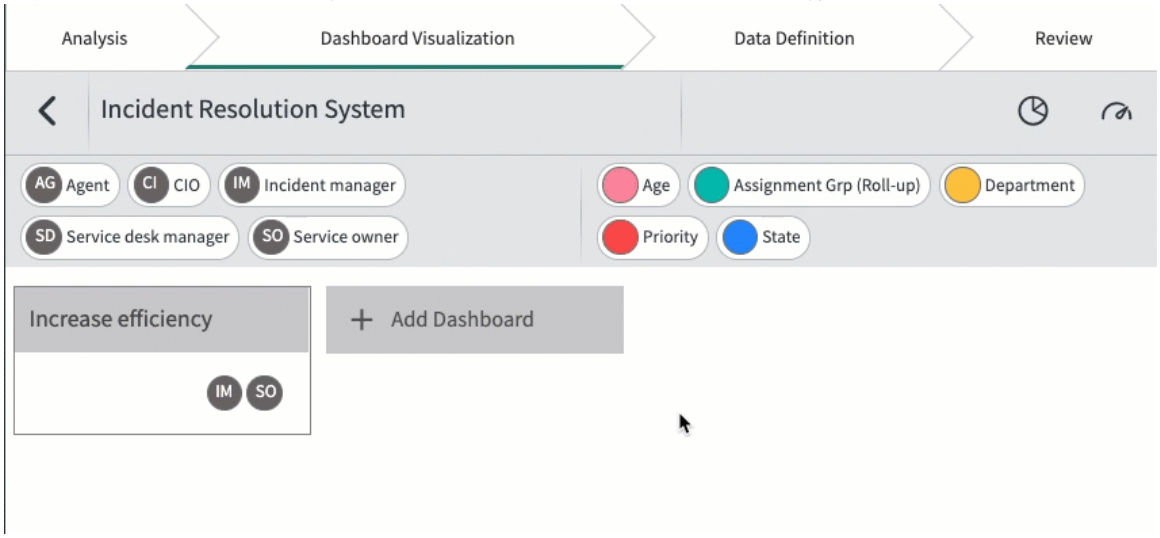
Example: [デザイン] タブへのカスタマーエクスペリエンスダッシュボードの追加

次の短いアニメーションでは、ユーザーが [Critical Success Factor (重要成功要因)] にちなんで Customer Experience という名前のダッシュボードを作成しています。ユーザーは、ダッシュボードを表示する予定のエージェントと CIO のペルソナを追加します。ユーザーは、ダッシュボード上のすべてのウィジェットをア

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

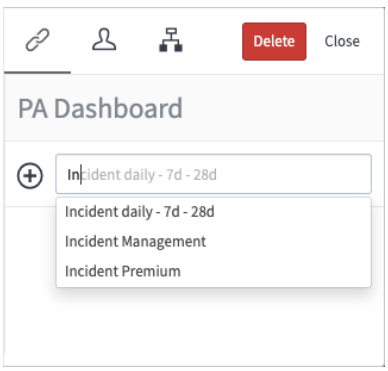
サイン先グループ別にグループ化し、ブレークダウンダッシュボードを作成しま



す。

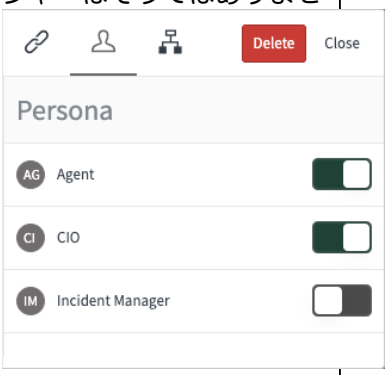
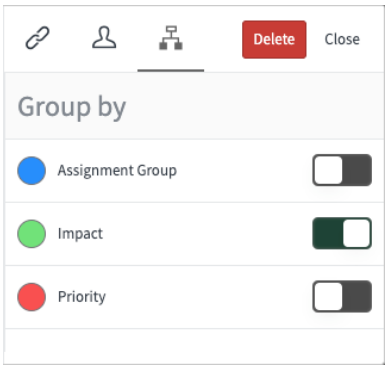
KPI Composer ダッシュボードの詳細

各 KPI Composer ダッシュボードのモックアップは、プロジェクトのペルソナや「グループ化」カテゴリ、または既存の パフォーマンスアナリティクス ダッシュボードを参照できます。

詳細	説明	例
PA ダッシュボード	既存の パフォーマンスアナリティクス ダッシュボードへのリンク。これは、ユースケースに対応する古いダッシュボードでも、この KPI Composer 設計に基づいて作成した新しいダッシュボードでもかまいません。作成時にダッシュボードをリンクすることで、プロジェクトのステータスを追跡できます。	この画像では、既存の パフォーマンスアナリティクス ダッシュボードが「インシデント」という単語でフィルタリングされています。 
ペルソナ	最終的なダッシュボードを表示する予定のペルソナ。現在プロジェクトにリンクされているペルソナから選択します。プロジェクトへのペルソナの追加については、「」を参照してください プロジェクトにペルソナを追加する。 ペルソナをダッシュボードのモックアップにリンクすると、それらのペルソナに関連付けられている [分析] タブのアー	この画像では、エージェント、CIO、およびインシデントマネージャーのペルソナがプロジェクトにリンクされています。エージェントと CIO のペルソナはダッシュボードにリンクされています。インシデントマ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

詳細	説明	例
	ティファクトのみが使用可能になります。	ネージャーはそうではありません。 
グループごと	ダッシュボードに配置するすべてのウィジェットを、1 つ以上のブレークダウン定義でグループ化します。(結果として得られる設計は、 パフォーマンス アナリティクス ブレークダウン ダッシュボード用です。プロジェクトに対して現在選択されているブレークダウン定義から選択します。プロジェクトへのブレークダウン定義の追加については、を参照してください ブレークダウン定義別のデータのグループ化。	この画像では、アサイン先グループ、影響度、および優先度のブレークダウン定義をプロジェクト内のダッシュボードで使用できます。ダッシュボードのデータは、影響度別にのみグループ化されます。 

関連情報

ダッシュボードでのブレークダウンの使用

ダッシュボードへのタブと行の追加

の KPI Composer ダッシュボードモックアップでは、ビジュアルコンポーネントを追加する前にタブと行をレイアウトする必要があります。

始める前に

[分析] タブに KPI ツリーの完全なドラフトを含む既存の KPI Composer プロジェクトがある。また、[ダッシュボードの可視化] タブで少なくとも 1 つのダッシュボードが定義されている。

必要なロール：sn_kpi_composer.user (自分のプロジェクト)、sn_kpi_composer.admin (任意のプロジェクト)、admin。責任ユーザーまたはプロジェクト共有からの編集アクセス権を持つユーザーには、ロールは必要ありません。

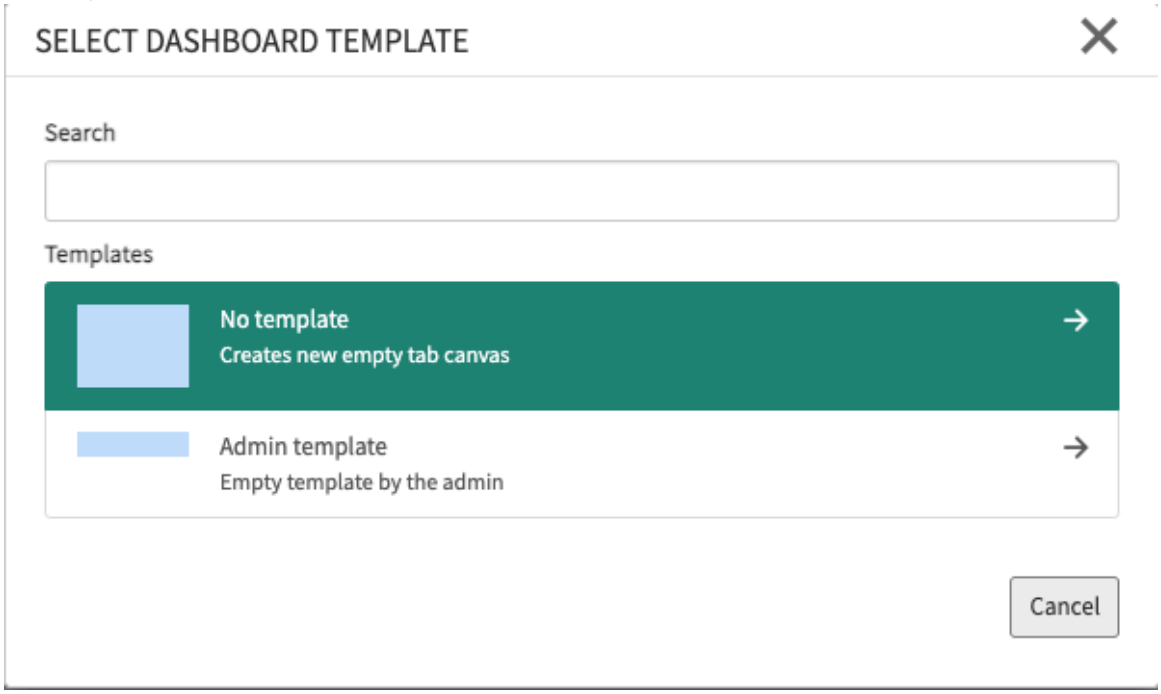
手順

1. を開く **KPI Composer** プロジェクトに移動し、[ダッシュボードの視覚化] タブに移動します。
2. タブ内のいずれかのダッシュボードを選択します。
3. ダッシュボードの下にある [+] アイコン。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. いずれも：
   - タブテンプレートを選択します。タブは、テンプレートから継承された名前、行、キャンバスを使用して作成されます。行やキャンバスを追加する必要はありませんが、行やキャンバスは編集できます。
   - [テンプレートなし] を選択します。空のタブを作成し、この手順の残りの部分で説明するように、行とキャンバスを設定します。



5. タブに意味のある名前を付けます。おそらく下位レベルの重要成功要因と一致します。
6. [行の追加**(Add Row)**] をクリックします。
   行は水平方向のデザイン領域です。各タブに少なくとも 1 つの行を追加します。
7. [行の詳細] ダイアログで、行内のキャンバスの数を選択します。
   ここでの「キャンバス」という用語は、ウィジェットを保持するスペースを指し、アーティファクトを指します。行に水平に配置するキャンバスの数を決定します。キャンバスは最大 3 つまで選択できます。この番号を変更することも、行を後で移動することもできます。

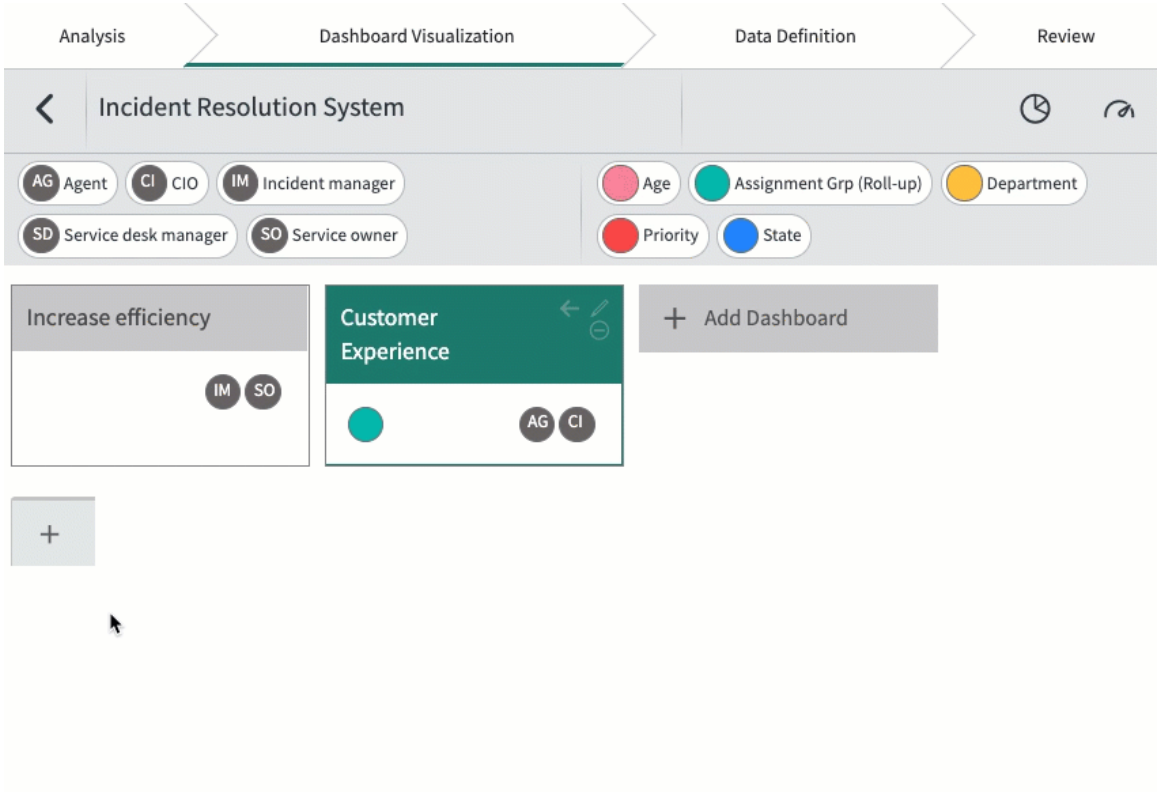
Example: ダッシュボードへのタブと行の追加

次の短いアニメーションでは、ユーザーがカスタマーエクスペリエンス
ダッシュボードのモックアップに [サービス品質] タブを追加していま

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

す。ユーザーは、このタブの最初の行に 3 つのキャンバスを提供しま



す。

次のタスク
この手順に従って、行またはタブをさらに追加します。または、作成した行にキャンバスを追加し、後で戻ってタブと行を追加することもできます。

ダッシュボードタブにキャンバスを追加する

分析アーティファクトとウィジェットを組み合わせて、ダッシュボードのモックアップ上に KPI Composer キャンバスと呼ばれるビジュアルコンポーネントを作成します。「ウィジェット」には、レポート、インタラクティブ フィルター、スポットライト、およびコンテンツ ブロックが含まれます。

始める前に
[分析] タブに KPI ツリーの完全なドラフトを含む既存の KPI Composer プロジェクトがある。また、[ダッシュボードの可視化] タブで少なくとも 1 つのダッシュボードが定義されている。最後に、これらのダッシュボードの 1 つには、少なくとも 1 つの行を含む少なくとも 1 つのタブがあります。

必要なロール：sn_kpi_composer.user (自分のプロジェクト)、sn_kpi_composer.admin (任意のプロジェクト)、admin。責任ユーザーまたはプロジェクト共有からの編集アクセス権を持つユーザーには、ロールは必要ありません。

前提条件

ダッシュボードを追加

手順

1. を開く **KPI Composer** プロジェクトに移動し、[ダッシュボードの視覚化] タブに移動します。
2. タブ内のいずれかのダッシュボードを選択します。
   少なくとも 1 つのタブと空のキャンバス スロットのある行を含むダッシュボードを選択します。
3. [ダッシュボードの視覚化] タブの右上にある [アーティファクト] アイコン () を展開します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. キャンバススロットで表現するアーティファクトを選択し、アーティファクトをスロットにドラッグします。
これらの アーティファクトは、以前に [分析] タブの KPI ツリーで定義しました。

   複数のアーティファクトを同じキャンバス スロットにドロップできます。キャンバススロットにウィジェットを追加した後、そのスロットにアーティファクトをドロップすることもできます。ただし、コンテンツブロックまたはインタラクティブフィルターウィジェットを含むキャンバススロットにアーティファクトをドロップすることはできません。

   アーティファクトを名前のないキャンバスにドラッグすると、アーティファクトの名前がキャンバスに付けられます。追加のアーティファクトをキャンバスにドラッグしても、名前は変更されません。

   ダッシュボードプロパティでペルソナを選択した場合は、それらのペルソナにリンクされているアーティファクトのみを使用できます。

5. [ダッシュボードの可視化] タブの右上にある [ウィジェット] アイコン () を展開します。
6. 以前に選択したアーティファクトのデータを表すウィジェットを決定し、同じキャンバススロットにドラッグします。
ウィジェットデザインでは、実際のデータの可視化ではなく、静的な画像を使用します。

   インタラクティブフィルターウィジェットは、同じダッシュボード上にあるレポートウィジェットにのみ影響します。

   スポットライトの「ウィジェット」はスポットライトのインタラクティブ分析を表し、通常はダッシュボード上のレポートではなく共有 URL を介してアクセスされます。詳細については、「スポットライトのインタラクティブ分析」を参照してください。

   キャンバス上のウィジェットを置き換えるには、別のウィジェットをその上にドラッグします。元のウィジェットのタイトルは、コンテンツ ブロックで置き換えない限りそのまま残ります。ウィジェットを置き換えても、キャンバスに関連付けられたアーティファクトには影響しません。

   ウィジェットをドラッグすると、[キャンバスの詳細] ダイアログが開きます。
7. 次のようにキャンバスの詳細を入力します。

   注:
   既存のウィジェットの [キャンバスの詳細] を変更するには、キャンバス上の鉛筆アイコン () をクリックします。このアイコンは、キャンバスの右上隅をポイントすると表示されます。

すべてのウィジェットの [キャンバスの詳細] オプション

フィールド	コンテンツ
ウィジェットタイプ	アーティファクトを表すウィジェットのタイプを選択します。すでにウィジェット タイプを選択している場合は、そのタイプを変更することができます。その他のフィールドは、選択したウィジェット タイプによって異なります。
タイトル	「アサイン先グループあたりのインシデントの割合 (Percent of incidents per assignment group)」など、わかりやすいタイトルを入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	コンテンツ
説明	式インジケーターに基づくウィジェットなど、内部使用のためのウィジェットに関する情報 ア サイン先グループ別のオープンインシデントの割合 。 このエントリはウィジェットに表示されません。

パフォーマンス分析ウィジェットの [キャンバスの詳細] オプション

フィールド	コンテンツ
可視化タイプ (Visualization type)	要素を最もよく表すビジュアライゼーションを決定します。
要素をフォロー	このウィジェットが、ビューアーがブレークダウン ダッシュボードでパフォーマンスアナリティクス 選択したブレークダウン要素にフォローするかどうかを設定します。
時系列	日次、週次、または月次単位で結果を表示します。
測定	このウィジェットで測定されたアーティファクト。このフィールドでは、測定だけでなく、任意のアーティファクトを選択できます。
PA ウィジェット	このモックアップ ウィジェットに一致する既存の パフォーマンス アナリティクス ウィジェットを選択します。詳細については、「Performance Analytics ウィジェット」を参照してください。

コンテンツ ブロック ウィジェットの [キャンバスの詳細] オプション

フィールド	コンテンツ
コンテンツ ブロック	既存のコンテンツ ブロックから選択します。詳細については、「コンテンツ ブロック」 を参照してください。

インタラクティブフィルターウィジェットの [キャンバスの詳細] オプション

フィールド	コンテンツ
UI コントロール タイプ	インタラクティブ フィルターの UI スタイルを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	コンテンツ
インタラクティブ フィルター	既存のインタラクティブ フィルターを選択します。詳細については、「インタラクティブ フィルター」を参照してください

レポート ウィジェットの [キャンバスの詳細] オプション

フィールド	コンテンツ
可視化タイプ (Visualization type)	要素を最もよく表すビジュアライゼーションを決定します。
インタラクティブフィルターに従う	ダッシュボードのインタラクティブフィルターでレポートをフィルタリングできるかどうかを設定します。[はい] を選択した場合は、インタラクティブ フィルター ウィジェットも含めます。
測定	このレポートが示す測定成果物を選択します。
レポート	既存のレポートを選択します。詳細については、「レポートの作成」を参照してください

スポットライト ウィジェットの [キャンバスの詳細] オプション

フィールド	コンテンツ
測定	このレポートが示す測定成果物を選択します。
スポットライトグループ	既存のスポットライト グループを選択します。詳細については、「スポットライトによるレコードのランキング」を参照してください。

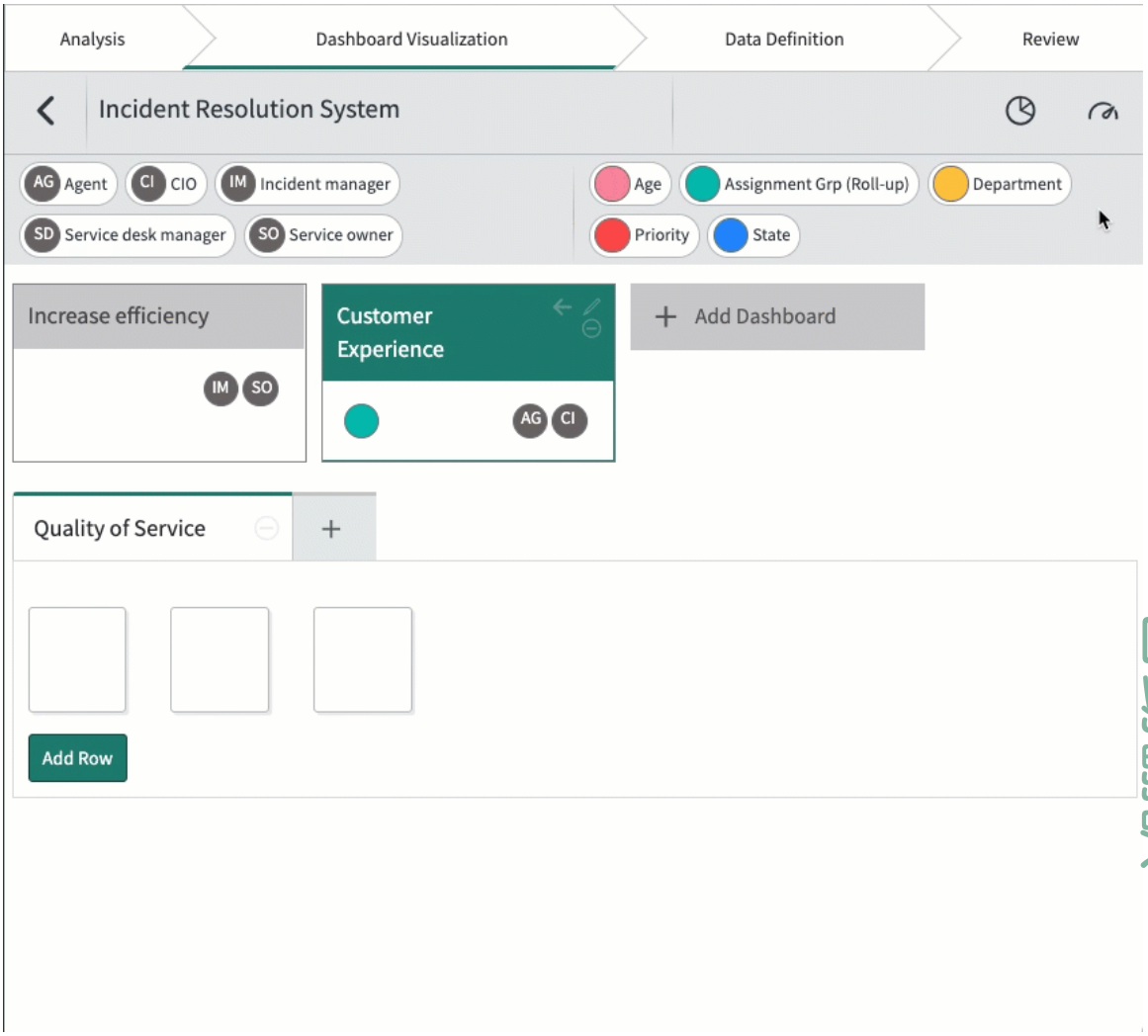
タスクの結果
分析からの アーティファクトと、そのアーティファクトをダッシュボードに示すビジュアライゼーションがあります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: ダッシュボードへのキャンバスの追加

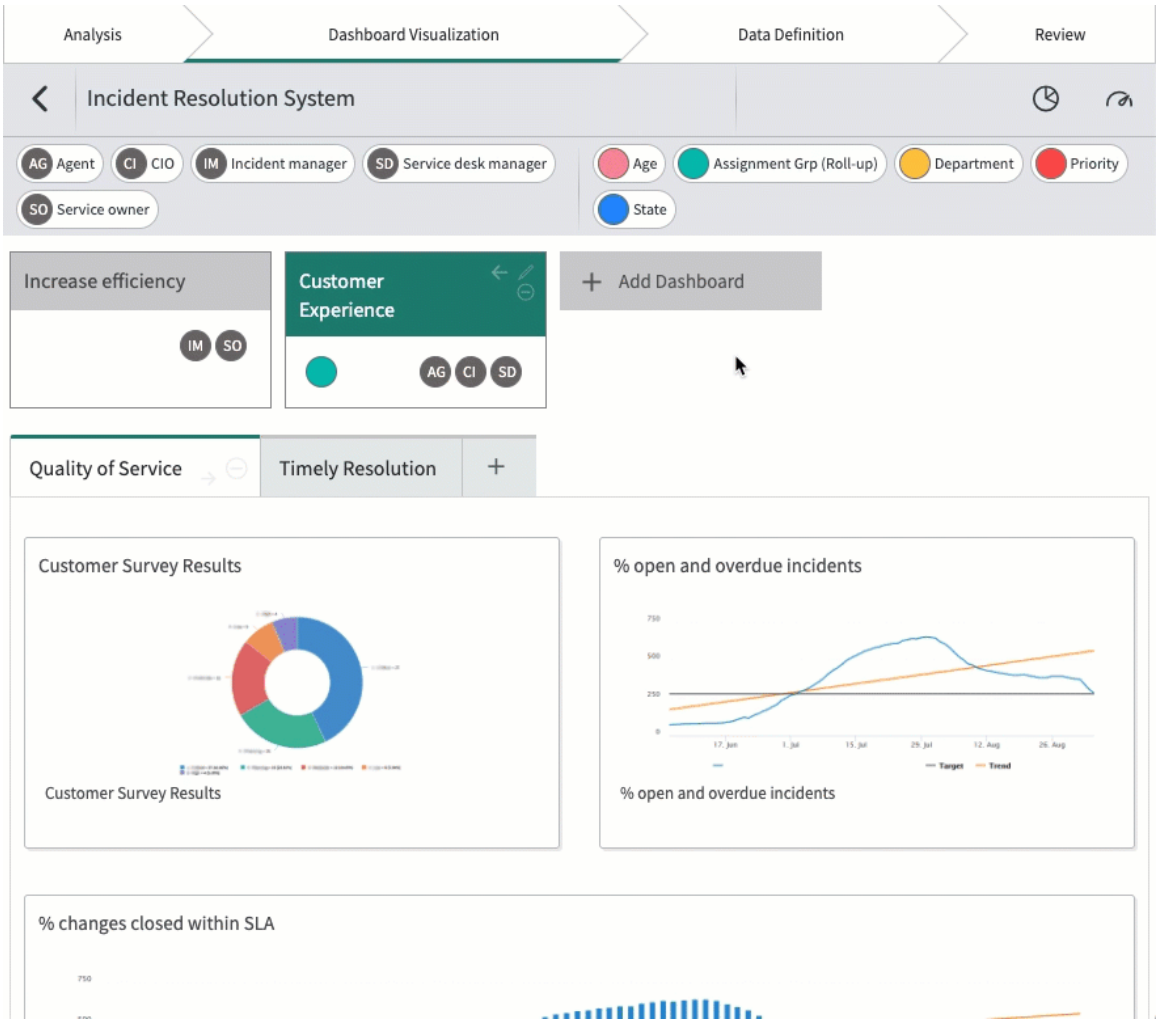
注:
この短いアニメーションでは、カスタマーエクスペリエンスダッシュボードの [Quality of Service] タブにキャンバスが追加されています。ユーザーは最初に KPI ツリーからアーティファクトを選択し、次にそのアーティファクトを説明するウィジェットを選択します。



次のタスク
ダッシュボードに入力したら、アーティファクトバナーの行の順序、ウィジェットの順序、またはウィジェットのタイトルを変更できます。次の短いアニメーションは、ダッシュボードコンポーネントを移動する方法を示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



自動翻訳

ダッシュボードタブテンプレートの作成

ダッシュボード タブのデザインを再利用するには、そのタブからテンプレートを作成します。

始める前に

キャンバスが入力されたタブを含むダッシュボードを作成します。

必要なロール：sn_kpi_composer.user (自分のプロジェクト)、sn_kpi_composer.admin (任意のプロジェクト)、admin。責任ユーザーまたはプロジェクト共有からの編集アクセス権を持つユーザーには、ロールは必要ありません。

前提条件

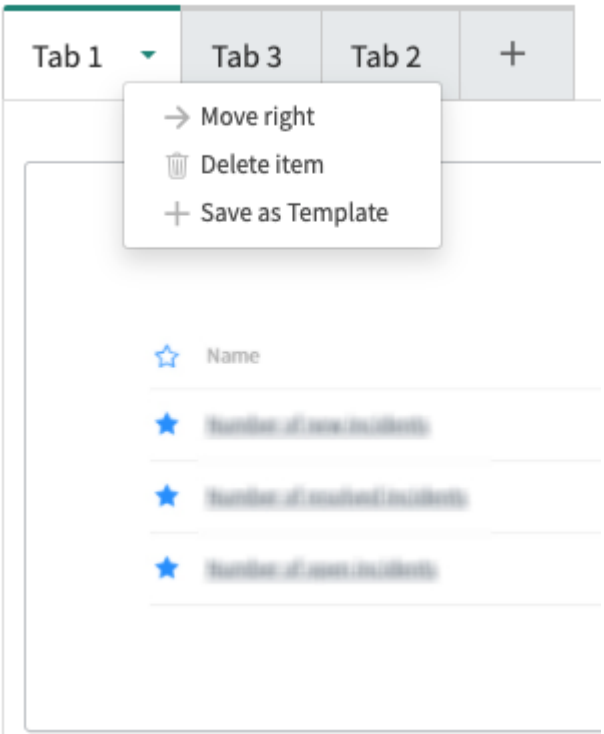
ダッシュボードを追加

ダッシュボードへのタブと行の追加

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. ダッシュボードタブのメニューを開き、[テンプレートとして保存]を選択します。



2. テンプレートにわかりやすいタイトルと説明を付けます。
3. [保存] を選選択します。

タスクの結果
ダッシュボードに新しいタブを作成するために使用できる個人用テンプレートがあります。このテンプレートは編集できません。

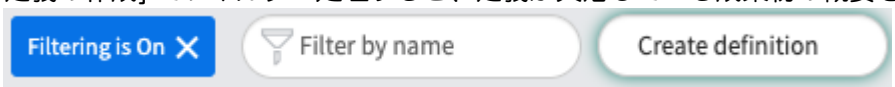
次のタスク
このテンプレートを他のユーザーが利用できるようにするには、管理者に KPI Composer [テンプレート] のグローバル 値を true に設定するように依頼してください。 **KPI Composer** > ダッシュボードタブテンプレート。

インジケーターとレポートの定義

[データ定義] KPI Composer タブでは、分析中に定義したアーティファクトをさらに指定し、それらをインジケーター定義とレポート定義にリンクします。

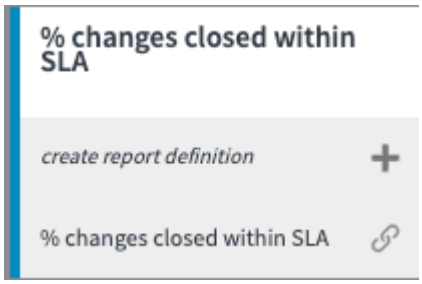
「データ定義」タブを開くと、「分析」タブで定義したものと同じKPIツリーが表示されます。ペルソナとブレークダウン定義を含むヘッダーと新しいアーティファクトを含むフッターはなくなりました。

ダッシュボード可視化のウィジェットに関連付けられている パフォーマンスアナリティクス 各アーティファクトは、インジケーター定義を参照する必要があります。ウィジェットに関連付けられている レポート 各アーティファクトは、レポート定義を参照する必要があります。アーティファクトは、インジケーターとレポート定義の両方に関連付けることができます。定義が欠落している場合は、クリック可能なプラス記号 + がメッセージとともに表示され、定義を作成します。アーティファクトがいずれかの定義にリンクされている場合は、各定義を開くためのハイパーリンクが表示されます。 [定義の作成] でフィルター処理すると、定義が欠落している成果物の概要をすばやく取得できます。



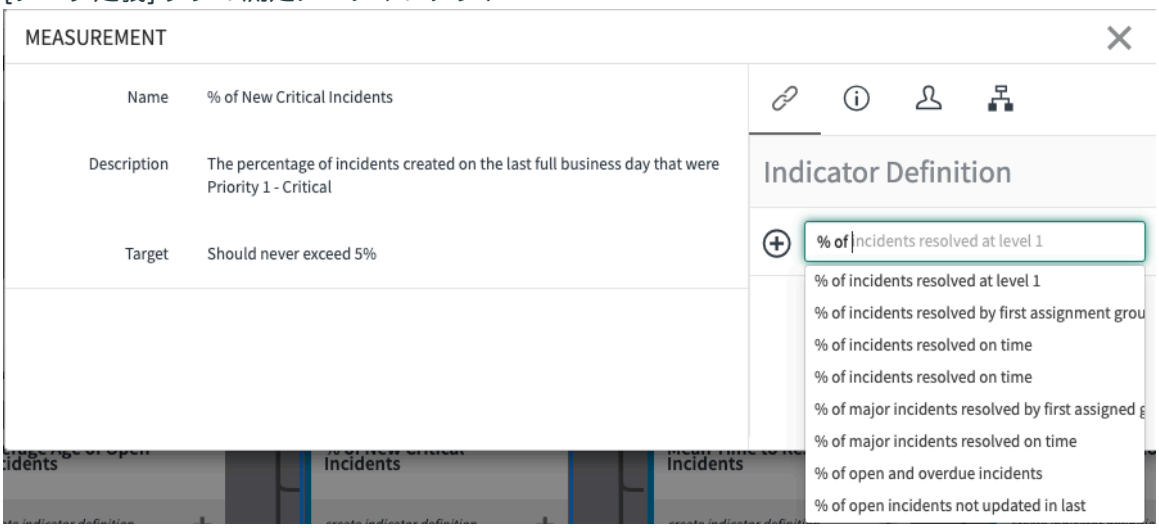
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の図は、レポートとインジケーター定義の両方を必要とする測定アーティファクトを示しています。「SLA 内でクローズされた変更の割合」という名前のアーティファクト定義がリンクされます。アーティファクトにはまだレポート定義が必要です。



新しい定義を作成する前に、適切な定義が既に存在するかどうかを確認してください。アーティファクトをクリックしてそのプロパティを開きます。[分析] タブで設定したプロパティの読み取り専用ビューが 1 つ追加されています。 アーティファクトを既存のインジケーターやレポート定義にリンクできます。入力を開始して、一致する定義のリストを入力します。既存の定義のリンクは、インジケーターやレポート定義レコードよりもプロパティ ダイアログの方が簡単です。

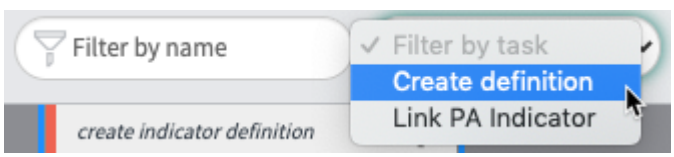
[データ定義] タブの測定アーティファクト



フィルタリング

[データ定義] タブでは、次のフィルター オプションを使用できます。

- アーティファクト名に含まれる 1 つ以上の単語でフィルタリングする場合、名前でフィルタリング
- タスクでフィルター
- インジケーター定義またはレポート定義が必要かどうかでフィルタリングするための定義の作成
- インジケーターにリンクされていないインジケーター定義を持つアーティファクトでフィルタリングするための PA インジケーターを パフォーマンスアナリティクス リンク



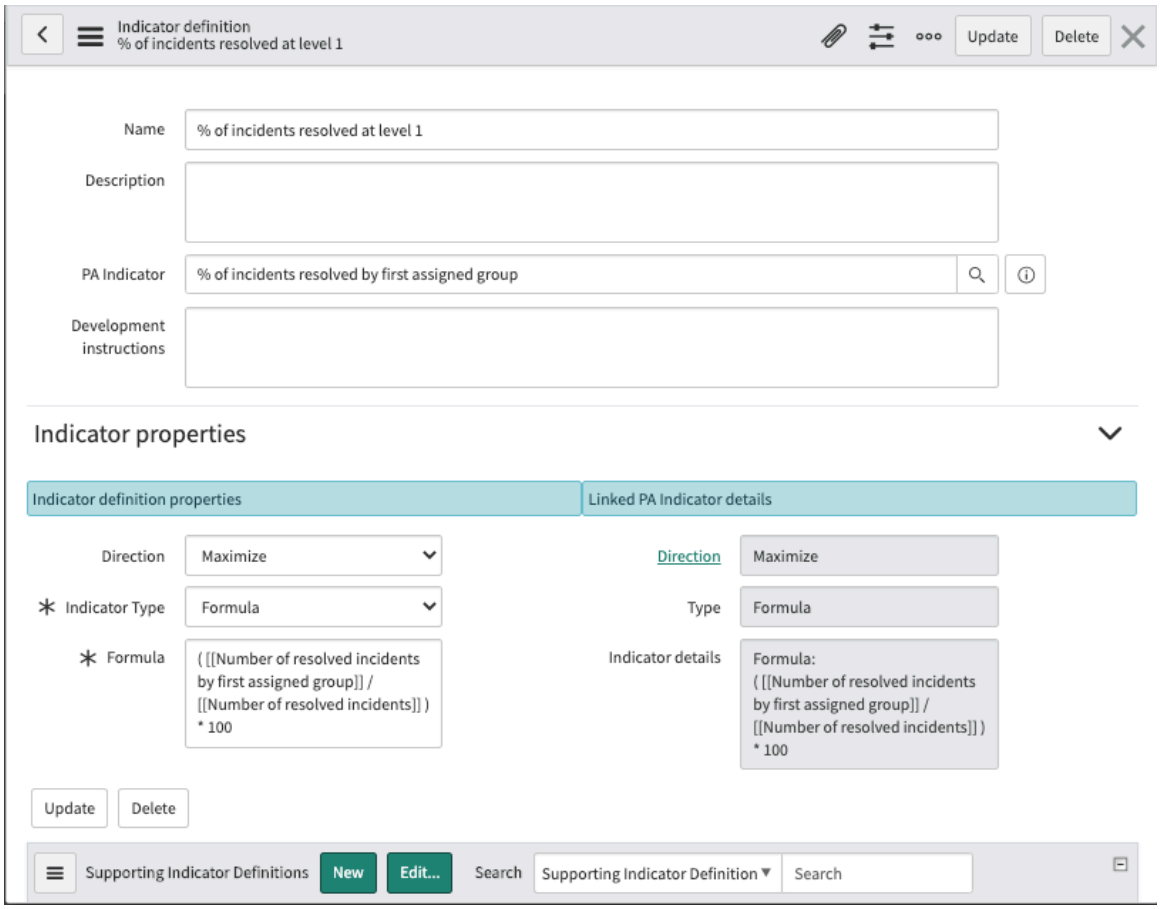
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター定義

インジケーター定義には、特定の パフォーマンスアナリティクス インジケーターの開発方法の説明が含まれています。インジケーター定義自体はインジケーターではありません パフォーマンスアナリティクス 。インジケータ定義は、KPI ツリー内の機能指向のアーティファクトと 内の パフォーマンスアナリティクスインジケータの技術的な実装を橋渡しします。

適切なインジケーター定義が存在しない場合は、アーティファクトタイルの [インジケーター定義の作成] リンクをクリックします。インジケーターの必要なプロパティを指定します。また、提供されたフィールドに開発手順を記入します。自動インジケーターを定義する場合は、インジケーター ソースのファクト テーブルを指定します。また、インジケーター自体またはインジケーター ソースの条件についても説明します。条件ビルダーの形式に従うのではなく、定性的に条件を記述できます。式インジケーターを定義する場合は、その貢献インジケーターの定義を追加します。

適切な パフォーマンスアナリティクス インジケーターが存在する場合は、インジケーター定義にそのインジケーターへのリンクを追加できます。リンクされたインジケーターの技術的な詳細を確認できます。インジケーターを正確に再現するか、 パフォーマンスアナリティクス 変更されたバージョンを指定します。

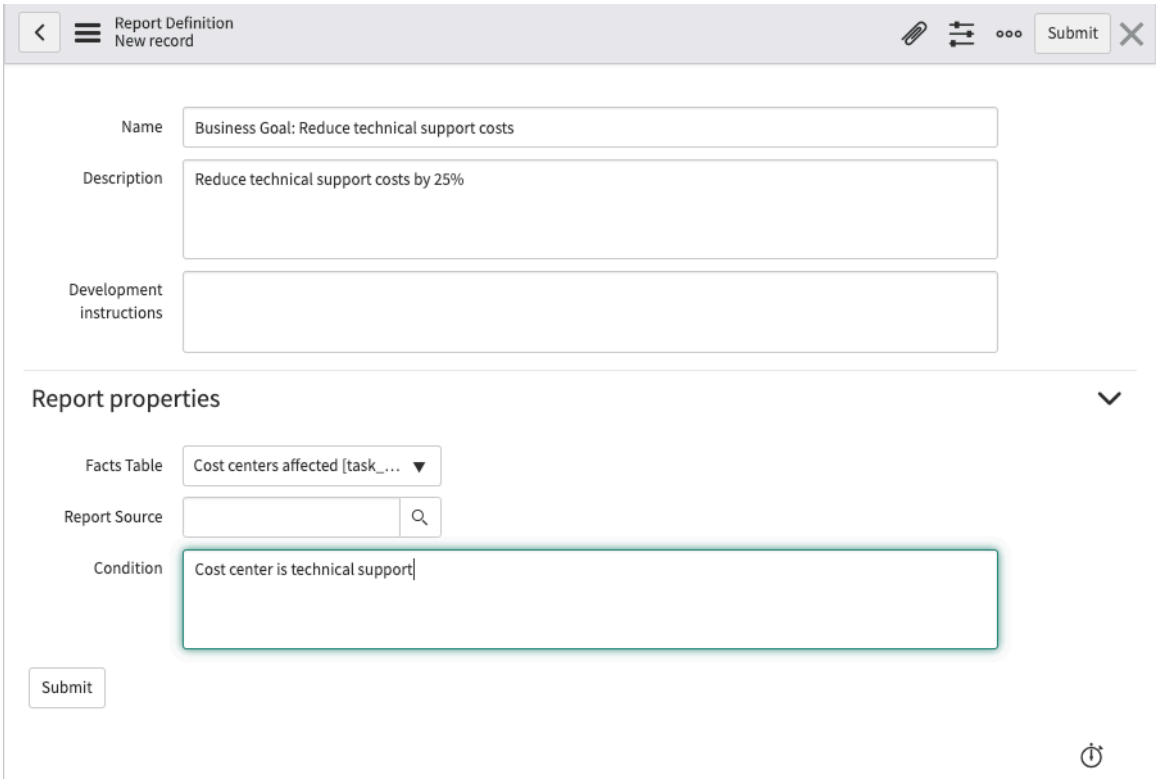


レポート定義

レポート定義には、レポートを作成するための説明が含まれています。重要な情報は、ファクトテーブルまたはレポート ソース、および条件です。条件を記述するときに、技術的な形式に従う必要はありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



インジケーター定義の作成

[データ定義] タブの関連するアーティファクトから、新しい KPI Composer インジケーター定義を直接作成できます。インジケーターの作成に必要な情報をインジケーター定義に入力します パフォーマンスアナリティクス 。

始める前に

既存の KPI Composer プロジェクト KPI ツリーの完全なドラフトを [分析] タブに追加します。また、インジケーターに関する パフォーマンスアナリティクス 技術的な知識も必要です。

必要なロール:インジケーターにリンクするには sn_kpi_composer.admin または admin、その他の機能には パフォーマンスアナリティクス sn_kpi_composer.user 責任ユーザーまたは編集アクセス権を持つユーザーには、インジケーターへのリンク パフォーマンスアナリティクス を除いて、ロールは必要ありません。

このタスクについて

インジケーター定義は、ウィジェットに関連付けられている パフォーマンスアナリティクス かどうかに関係なく、プロジェクト内のすべてのアーティファクトに対して作成できます。1 つのアーティファクトに複数のインジケーター定義を追加することはできません。ただし、アーティファクトを式インジケーターにリンクすると、式内のすべての貢献インジケーターに自動的にリンクされます。

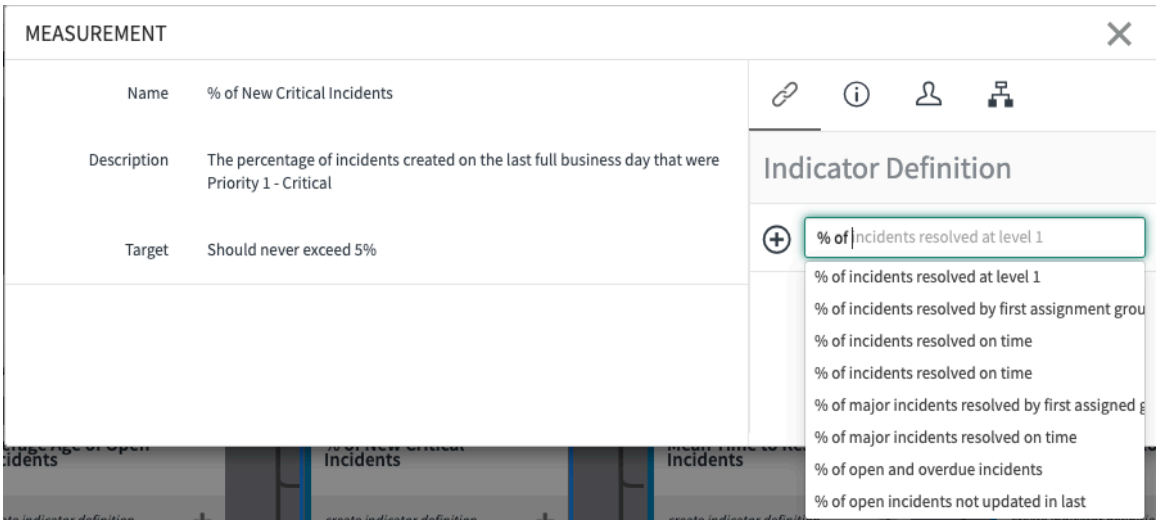
手順

1. 移動先 すべて > **KPI Composer** をクリックし、関連するプロジェクトを開きます。
2. 「データ定義」タブに移動します。
3. インジケーターを定義するアーティファクト (おそらく測定) を見つけます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヒント:
インジケーター定義の作成を続行する前に、適切なインジケーター定義が既に存在するかどうかを確認してください。アーティファクトをクリックしてプロパティを開きます。次に、利用可能なインジケーター定義のリストを参照します。

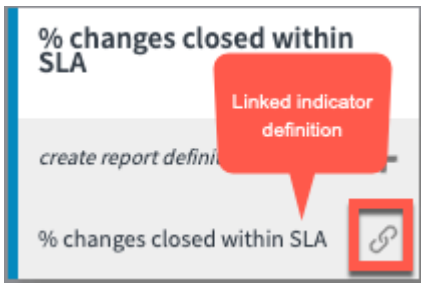


4. プラス記号 + を選択します。
5. [**PA** インジケーター] フィールドで、このインスタンスの既存の パフォーマンスアナリティクス インジケーターを検索して、このインジケーター定義に一致するインジケーターがあるかどうかを確認できます。
   インジケーターを選択すると パフォーマンスアナリティクス 、そのプロパティは [リンクされた PA インジケーターの詳細] 列に読み取り専用で表示されます。この情報は、リンクされたインジケーターに基づいてインジケーターを定義するのに役立ちます。

   注:
   sn_kpi_composer.admin または admin ロールが必要です。

   インジケーターは名前でのみ検索できます。

   アーティファクトでは、インジケーターに パフォーマンスアナリティクス リンクされているインジケーター定義の名前の横にリンクアイコンが表示されます。



6. フォームの残りの部分にない開発者の情報を [開発手順] フィールドに入力します。
   開発手順の情報は、内部開発者のみが使用します。[説明] フィールドにインジケーターの詳細を入力することもできます。[説明] フィールドの情報は、結果パフォーマンスアナリティクスのインジケーターの [説明] フィールドに複製されます。
7. インジケーターの 方向 を決定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

8. 自動、式、または手動インジケーターのどれがアーティファクトの情報に最も適しているかを判断します。

9. 残りのフィールドに入力します。
   - 手動インジケーターを定義する場合は、これ以上情報を追加する必要はありません。
   - 式インジケーターを定義する場合は、式の作成方法を管理者に パフォーマンスアナリティクス 明確に説明してください。実際の式インジケーターの JavaScript 構文を使用する必要はありません。
   - 自動インジケーターを定義する場合は、次の情報を含めます。

フィールド	説明
集計	インジケーター ソースからのデータに適用する集計関数。
周期	データ収集の予想される周期性。通常、インジケーターの [頻度] はインジケーターソースの [有効な頻度] の値と一致します。
ファクトテーブル	インジケーターソースが参照するテーブル。
条件	ファクトテーブルからレコードをフィルタリングするための条件をテキストで説明しています。条件ビルダー構文を使用する必要はありません。

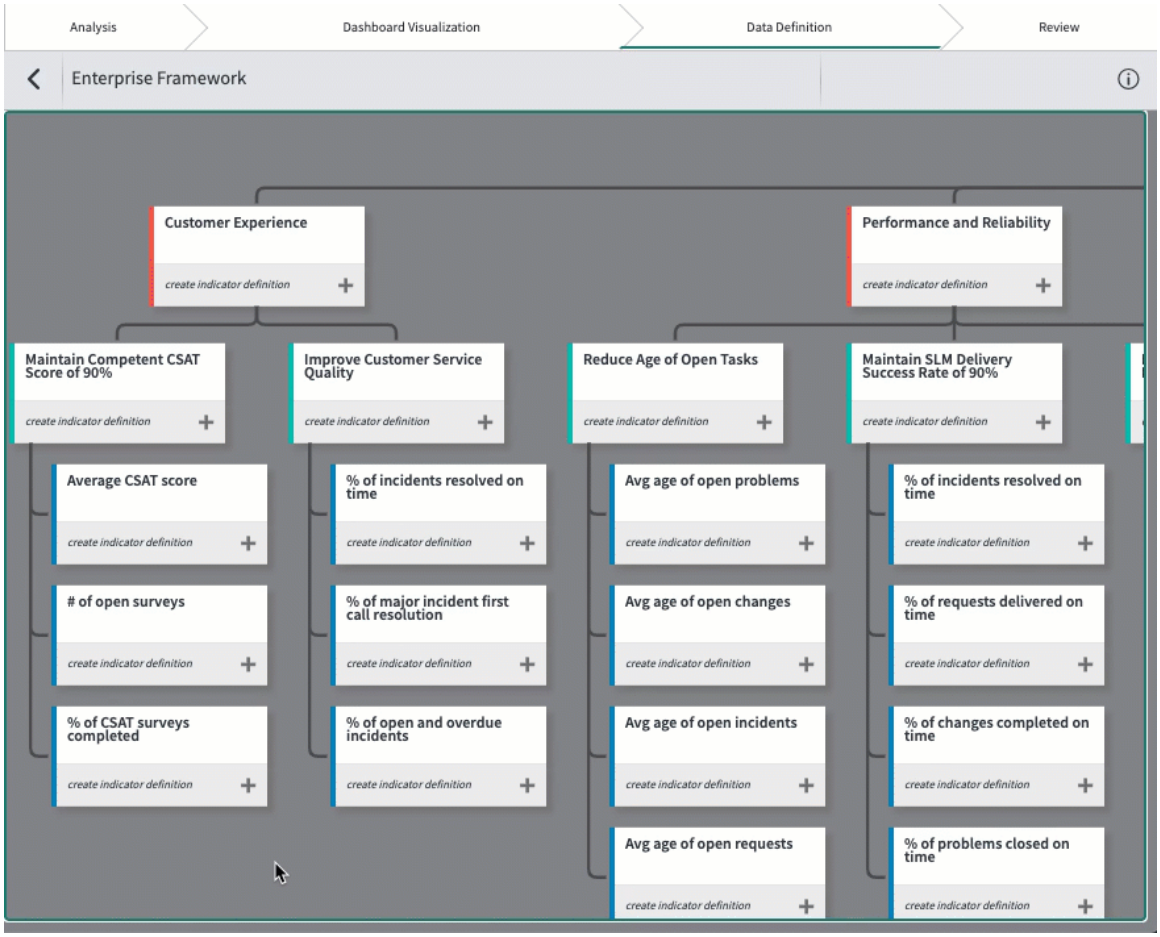
10. [送信] をクリックするか、サポートインジケーターを定義する場合はコンテキストメニューを開いて [保存] をクリックします。

Example: インジケーター定義の作成

次の短いアニメーションでは、ユーザーは「重大なインシデントの最初のコールでの解決の割合 (%) (% of major incident first call resolution)」という測定の式インジケーターを定義しています。このインジケーターは、同様のパーセンテージを計算するが、優先度でフィルタリングしない既存の PA インジケーターに基づいています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



関連情報

- 自動インジケーター
- インジケーターソース
- インジケーター (計算)
- 手動インジケーター

貢献インジケーターの追加

で KPI Composerインジケーター定義を作成した後、その定義に貢献インジケーターを追加できます。式インジケーター定義 (式に 1 つ以上の他のインジケーターが含まれる場合) では、貢献インジケーターが完成する必要があります。

始める前に

[分析] タブに KPI ツリーの完全なドラフトを含む既存の KPI Composer プロジェクトがある。このプロジェクトには、他のインジケーターへの参照を必要とするインジケーター定義が少なくとも 1 つあります。

インジケーターに関する パフォーマンスアナリティクス 技術的な知識が必要です。

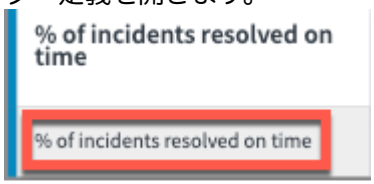
必要なロール:インジケーター定義の作成と同じ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. [データ定義] タブの関連アーティファクトで、インジケーター定義名をクリックしてインジケーター定義を開きます。



2. [サポートインジケーター定義] 関連リストで、次のいずれかのボタンをクリックします。
   - [新規] をクリックして、新しいインジケーター定義を作成します。「」と同じ インジケーター定義の作成手順に従います。
   - [編集] をクリックして、このプロジェクトの既存のインジケーター定義のリストを開きます。インジケーターは必要な数だけ選択できます。

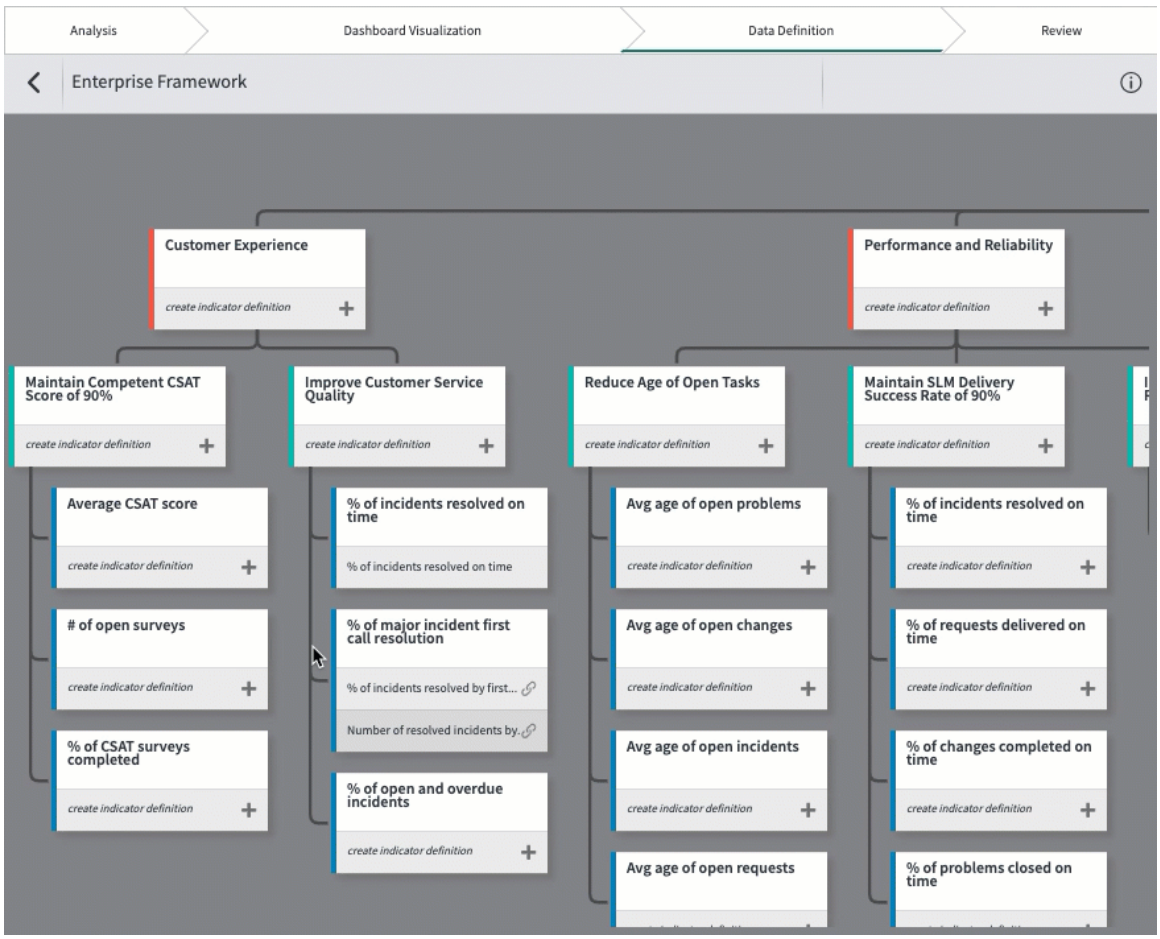
   インジケーターが重複しないように、新しいインジケーター定義を作成する前に既存のインジケーター定義を検索してください。

タスクの結果

変更を保存すると、[データ定義] タブのアーティファクトのメインインジケーター定義の下に、背景が暗くなって貢献インジケーター定義が表示されます。

Example: 貢献インジケーターの追加

この例では、貢献インジケーター [解決済みインシデントの数] が [重大なインシデントの最初の応対での解決の割合 (% of major incident first call resolution)] アーティファクトに追加されています。このインジケーターは、既存のインジケーター定義と一致します。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポート定義を作成する

新しい KPI Composer レポート定義は、「データ定義」タブの関連するアーティファクトから直接作成できます。レポートの作成に必要な情報をレポート定義に入力します。

始める前に

既存の KPI Composer プロジェクト KPI ツリーの完全なドラフトを [分析] タブに追加します。また、に関する レポート技術的な知識も必要です。

必要なロール:既存のレポートにリンクするには sn_kpi_composer.admin または admin、その他の機能には sn_kpi_composer.user 責任ユーザーと編集アクセス権を持つユーザーは、既存のレポートへのリンク以外の機能も使用できます。

手順

1. 移動先 すべて > **KPI Composer** をクリックし、関連するプロジェクトを開きます。
2. 「データ定義」タブに移動します。
3. レポート定義の作成リンクがある成果物を見つけて、そのリンクを開きます。
   [ダッシュボードの表示方法] タブのレポート ウィジェットに関連付けられたアーティファクトにのみ、レポート定義を作成するためのリンクがあります。
4. レポートの名前と説明を入力します。
   デフォルトでは、レポート定義は、それを含む成果物と同じ名前です。このデフォルト名は、そのアーティファクトのインジケーター定義のデフォルトと同じであるため、区別することを検討してください。
5. [開発手順] フィールドで、レポートのプロパティ以外に必要な技術情報を開発者に提供します。
   [説明] フィールドには、ユーザーの情報を含める必要があります。**[Development instructions (開発手順)]** フィールドには、開発者の内部情報を含める必要があります。
6. [ファクト テーブル] または [レポート ソース] を選択します。
7. [条件] フィールドに、レポートのフィルタリング条件を記述します。
   条件ビルダー構文の代わりにプレーンテキストで条件を記述できます。

プロジェクトのレビュー

作成された KPI Composer プロジェクト成果物と計画された パフォーマンスアナリティクス コンポーネントの両方を要約します。プロジェクトの内容を検証します。計画された パフォーマンスアナリティクス コンポーネントを構築するタスクを生成します。

完了した設計作業と処理待ちの Performance Analytics 構成の最新情報については、いつでも [レビュー] タブに移動します。

[Review] タブには、次の 4 つの情報ボックスが表示されます。

サマリー

[分析] タブで定義されたアーティファクトとペルソナの数を合計します。アイテムタイプをクリックすると、それらのアイテムのリストが開きます。

PA アーティファクト

プロジェクト内のインジケーター定義とブレークダウン定義の数を表示します。アーティファクトタイプをクリックして、それらのアーティファクトのリストを開きます。

プロジェクト検証

新しい定義を追加または既存の定義を編集した後は、「 データの更新 」をクリックします。次のレベルの問題が特定されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 警告:重要な成功要因はインジケーター定義にリンクされていません。
- エラー:測定がインジケーター定義にリンクされていないか、インジケーターまたはブレークダウン定義がファクトテーブルにリンクされていません。

タスク

プロジェクトで定義した AND レポート 要素を作成するパフォーマンスアナリティクスためのタスクを生成して一覧表示します。詳細については、「KPI Composer でのタスクの生成」を参照してください。

KPI Composer でのタスクの生成

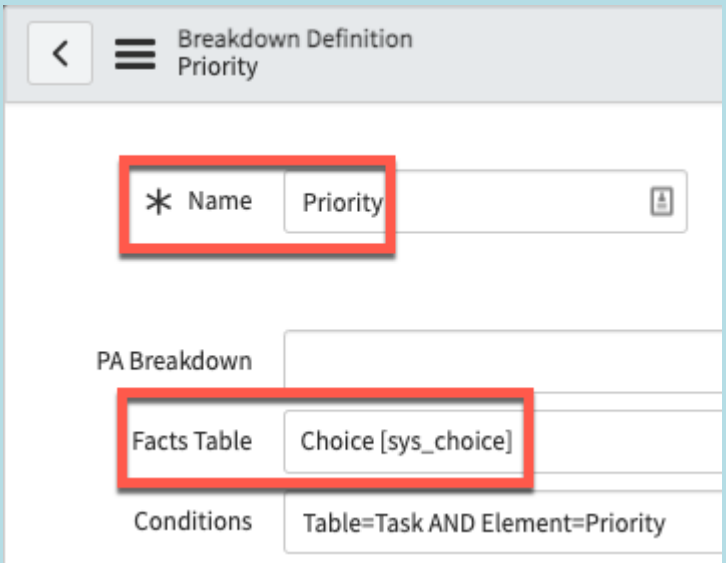
プロジェクト内の成果物ごとに KPI Composer 、同等の パフォーマンスアナリティクス 要素を作成するタスクを生成できます。すべてのタスクは 1 回のアクションで作成されます。タスクは、分析を実装する責任グループに自動的に割り当てられます。

タスクを生成して、プロジェクト内のKPI Composer定義に基づいて次の パフォーマンスアナリティクス AND レポート 要素を作成できます。タスクは、要素のタイプごとに次の順序で生成されます。

- ブレークダウン
- レポート
- インタラクティブフィルター
- インジケーター
- ウィジェット
- スポットライト グループ
- コンテンツブロック
- ダッシュボード

重要:
要素を作成するタスクを生成するには、関連する KPI Composer アーティファクト定義に必要なすべての情報が含まれている必要があります。たとえば、ブレークダウンまたは自動インジケーターを作成するタスクを生成するには、名前とファクト テーブルをそれらの定義で指定する必要があります。

タスクに必要な情報を示す優先度ブレークダウンの定義



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクをアサイン**KPI Composer**

プロジェクト内の KPI Composer タスクをグループにアサインします。デフォルトでは、タスクは分析実装者アサイン先グループにアサインされます。このグループにユーザーとグループを追加することも、別のアサイン先グループを選択することもできます。

始める前に

必要なロール:sn_kpi_composer.user、sn_kpi_composer.admin、admin

このタスクについて

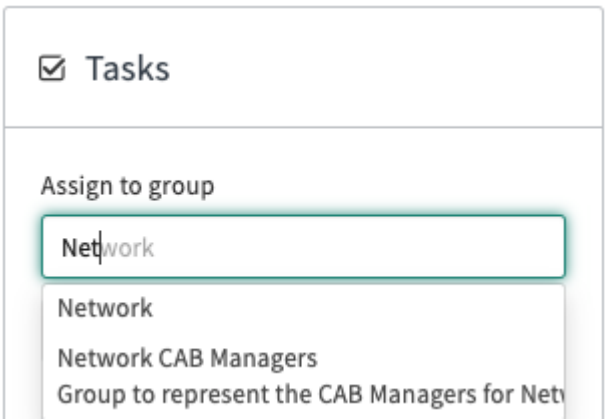
プロジェクト内のすべてのタスクは KPI Composer 、同じアサイン先グループにアサインされます。タスクを生成すると、グループは通常のワークフローでそれらのタスクを処理します。

デフォルトでは、タスクは に KPI Composer付属する Analytics Implementers グループに割り当てられます。このグループには、デフォルトで pa_admin ロールが含まれています。このグループに追加するすべてのユーザーに、このロールが付与されます。このグループへのアクセス ユーザー管理 > グループをクリックするか、[Review] タブの [Tasks] タイルにある **[Analytics Implementers**] リンクをクリックします。このグループを編集するには、user_admin ロールが必要です。このグループに対するユーザーの追加と削除の詳細については、「 ユーザー グループの作成 」を参照してください。

アサイン先グループを変更するには、次の手順に従います。

手順

1. KPI Composerプロジェクトを開きます。
2. [レビュー] タブを開きます。
3. [タスク] タイルを見つけます。
4. 現在のアサイン先グループの名前の横にある [クリア] アイコンを見つけて選択します。
   
5. アサイン先グループをクリアすることを確認します。
6. 必要なアサイン先グループの名前の入力を開始します。
   KPI Composer 予測される一致のリストを提供します。



7. グループを選択します。

次のタスク

選択したグループにアサインするタスクを生成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクを生成

1 回のアクションで、十分に定義された KPI Composer すべてのアーティファクトのタスクを生成します。

始める前に

- 分析実装者グループにユーザーを入力します。
- プロジェクトの設計を完了します KPI Composer 。必要なアーティファクトをすべて定義する必要があります。ただし、後で変更を加えた場合は、タスクを再生成できます。タスクの再生成は、タスクの完了を追跡する良い方法です。

必要なロール:sn_kpi_composer.user、sn_kpi_composer.admin、admin

手順

1. 完全に定義されたプロジェクトに移動し KPI Composer て開きます。
2. [レビュー] タブを開きます。
3. [タスク] タイルを見つけます。
4. [タスクの生成] を選択します。

タスクの結果

作成 パフォーマンスアナリティクス タスクと レポート アーティファクトを生成します。これらのタスクは、分析実装者のアサイン先グループに自動的にアサインされます。

次のタスク

作成したタスクを表示します。[タスク] タイルには、アクティブなタスク、保留中のタスク、および完了したタスクへのリンクがあります。リンクをクリックすると、タスク定義 [sn_kpi_composer_task_definition] テーブルに移動します。

タスク定義レコード

KPI Composer タスクは、タスク定義 [sn_kpi_composer_task_definition] レコードで定義されます。タスクを生成するときは、これらのレコードを作成するか、そのステータスを更新します。

[レビュー] タブの [タスク] タイルにあるリンクから、既存のタスク定義レコードにアクセスできます。これらのリンクをクリックすると、次のようにフィルタリングされたレコードリストに移動します。

「リンク」	フィルター
アクティブなタスク	• プロジェクトは<プロジェクト名>を含む • ステータス (作成、更新) • 依存関係を待機中 = false
保留中のタスク	• プロジェクトは<プロジェクト名>を含む • ステータス (作成、更新) • 依存関係を待機中 = true

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

「リンク」	フィルター
完了したタスク	• プロジェクトは<プロジェクト名>を含む • ステータス = OK

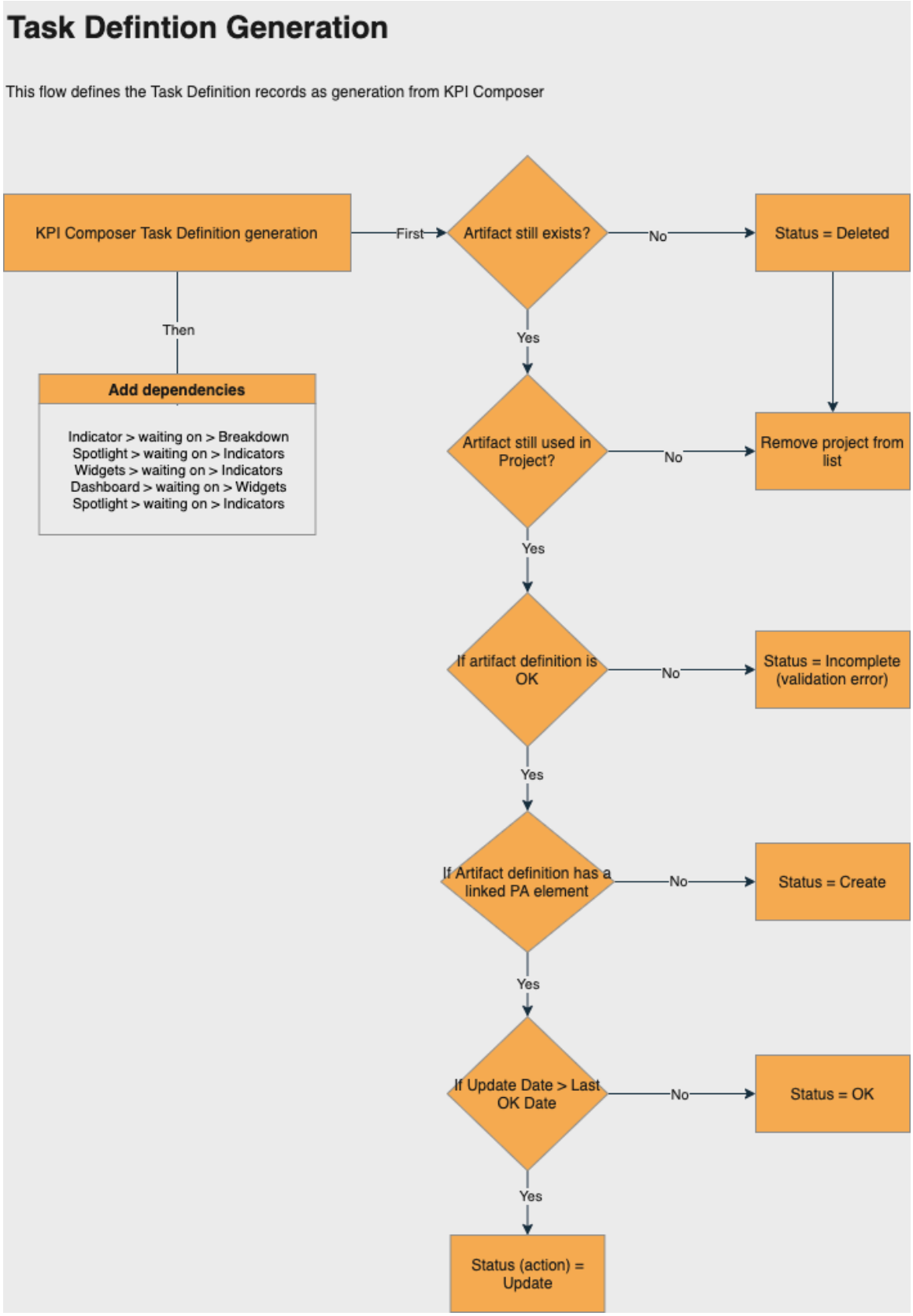
タスクステータス

タスクジェネレータを実行すると、すべてのタスクのステータスが決定されます。タスク生成では、次のロジックを使用してタスクを作成し、そのステータスを設定します。

1. KPI Composerアーティファクトはまだ存在しますか? そうでない場合、ステータスは [削除済み] になります。
2. 既存の KPI Composer アーティファクトに有効な定義があるか? そうでない場合、ステータスは未完了です。
3. 有効なKPI Composerアーティファクト定義は、インジケーターや CMS コンテンツブロックなどのパフォーマンスアナリティクス既存のNow Platform要素にリンクされていますか? そうでない場合、ステータスは [作成] です。
4. リンクされた要素が存在し、ステータスが以前に [OK] に設定されていた場合、アーティファクト定義は後で更新されましたか? その場合、ステータスは [更新] です。
5. それ以外の場合、リンクされた要素が存在する場合、ステータスは OK です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



アーティファクト更新の追跡

タスク生成では、ステータスが「OK」のタスク定義を含むすべてのタスク定義がチェックされます。タスクステータスが「OK」に設定されてからアーティファクト定義が変更された場合、次のタスク生成ジョブはタスクステータスを「更新」に変更します。変更がチェックされる成果物定義の

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールドは、成果物タイプによって異なります。他の関連する成果物を変更すると、ステータスが [更新] に変更されることもあります。次の表に、フィールドと関連するアーティファクトを示します。

アーティファクト定義	Fields	関連するアーティファクトの変更
ブレークダウン	条件	
	ファクトテーブル	
	名前	
インジケーター	集計	追加されたブレークダウン
	条件	削除されたブレークダウン
	方向	
	ファクトテーブル	
	計算式	
	頻度	
	インジケータータイプ	
	名前	
レポート	集計	
	条件	
	説明	
	ファクトテーブル	
	名前	
	レポートソース	
	ソースタイプ	
インタラクティブフィルター	UI コントロール タイプ	
	タイトル	
	説明	
	インタラクティブフィルター	
PA ウィジェット	ウィジェットタイプ	
	可視化タイプ	
	タイトル	
	説明	
	要素をフォロー	
	時系列	
	アーティファクト	
スポットライト	タイトル	
	説明	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アーティファクト定義	Fields	関連するアーティファクトの変更
	アーティファクト	
ダッシュボード	名前	追加されたブレークダウン
	説明	削除されたブレークダウン
		キャンバスレイアウトの変更 - キャンバスの並べ替え/削除/追加

タスクフロー

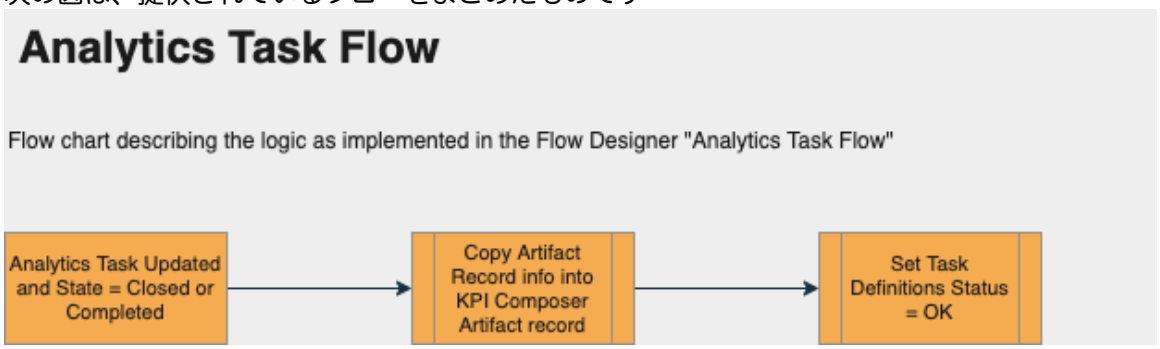
KPI Composer タスクは、Flow Designer で作成されたフローを利用します Now Platform® 。

KPI Composer には、タスクステータス間の移行を管理するための 2 つのフローがあります。

- KPI コンポーザー:分析タスクフロー
- KPI コンポーザー:タスク定義フロー

これらのフローはいずれも Flow Designer で変更できます。ただし、フローを直接変更するのではなく、フローをコピーしてそのコピーを変更する必要があります。コピーをアクティブにし、提供されたフローを非アクティブ化します。これは、更新に KPI Composer フローの更新が含まれる可能性があるためです。提供されたフローを変更すると、それらのフローの更新が失敗する可能性があります。代わりに、更新後に、指定されたフローの変更を調べることができます。コピーしたフローにこれらの変更を組み込みます。

次の図は、提供されているフローをまとめたものです

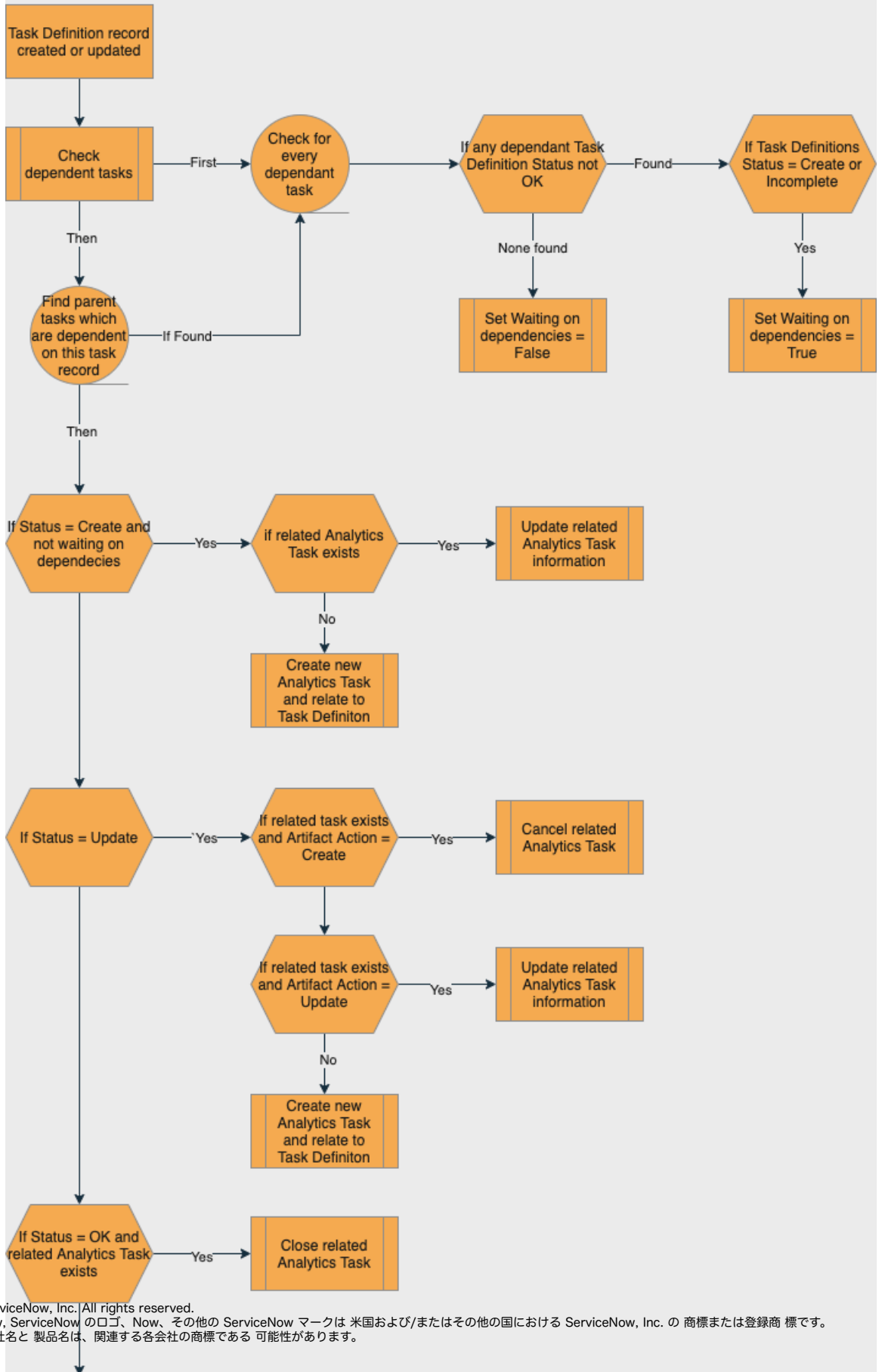


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Task Definition Flow

Flow chart describing the logic as implemented in the Flow Designer "Task Definition Flow"



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

関連情報

Flow Designer

パフォーマンスアナリティクス インジケーター

インジケーター ビジネスサービス、アクティビティ、または組織の動作の定期的な間隔で実行されるパフォーマンス測定値を定義します。これらのパフォーマンス測定では、時間とともに一連のインジケーター スコアを得られます。

自動、手動、および式インジケーターの違いとその作成方法を示すビデオ。

さまざまな種類のインジケーターとその作成方法の詳細については、この 6 分間のビデオをご覧ください。

インジケーターの主な特徴は次の通りです。

- インジケータースコアは、インジケーターソースで定義された一連のレコードから自動的に生成することや、手動で入力したり、その他のインジケーターから計算したりできます。
- インジケータースコアは、分析ハブで表示や分析することや、ダッシュボードのウィジェットから示すことができます。

インジケーターソースに直接基づくインジケーターは、最も一般的なタイプのインジケーターです。これらのインジケーターは 、自動インジケーターと呼ばれます。他のインジケーターのスコアから式で計算されるインジケーターは 、式インジケーターと呼ばれます。スコアが手動で入力されるインジケーターは、 手動インジケーターと呼ばれます。手動インジケーターは、主にテスト目的で使用することを目的としています。最後に、高度な機能として、外部データソースからインジケーターを作成できます。

関連情報

自動インジケーター

インジケーター (計算)

手動インジケーター

外部データとのパフォーマンス分析の使用

インジケーターを作成するためのワークフロー

テーブルから Now Platform 始めて、ダッシュボードで共有できるスコアコレクションを使用して、完了したインジケーターまで作業します。

始める前に
KPI を作成する前に設計してください。を使用して KPI Composer、まず、 で パフォーマンスアナリティクス達成するビジネス目標を決定します。各ビジネス目標について、その目標の重要な成功要因を決定します。最後に、これらの重要な成功要因の進捗状況を確認するために、どのような測定を行う必要があるかを決定します。これらの測定値は、実装する必要がある KPI に対応しています。Performance Analytics ソリューションの設計の詳細については、次を参照してください を使用したソリューションの設計パフォーマンスアナリティクスKPI Composer。

PA インジケーターを設計したら、からServiceNow入手可能なプラットフォームアナリティクスソリューションパッケージ済みインジケーターの 1 つがニーズを満たしているかどうかを確認します。一般的に言えば、これらのパッケージ済みソリューションの 1 つをカスタマイズする方が、ゼロから構築するよりもはるかに簡単です。詳細については、「分析ソリューション」を参照してください。

必要なロール：なし

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
必要な KPI がわかれば、インジケーターとブレークダウン、および必要に応じてそれらのデータソースの作成を開始できます。次のワークフローは、データベース テーブルからNow Platformスコアを収集する KPI の実装である自動インジケーターに適用されます。(式インジケーターでは、自動インジケーターに操作を組み合わせて適用することができます。また、データベースをNow Platformまったく参照しない手動インジケーターと外部インジケーターを使用することもできます。

重要:
Performance Analytics は、資格のある担当者が実装する必要があります。以下で説明しているように、いくつかのトレーニングコースが利用可能です ServiceNow Community article . このドキュメントは、トレーニングの代わりになるものではありません。

Performance Analytics の KPI の設計はトップダウンのプロセスですが、インジケーターの技術的な実装はボトムアップのプロセスです。

手順

1. 分析するデータがあるテーブルを特定します。

   最小ロール:pa_data_collector

   KPI はどのテーブルを参照していますか? たとえば、KPI がインシデントに関するものである場合、情報はインシデント [incident] にあります。KPI が変更要求に関するものである場合、テーブルは変更要求 [change_request] です。を使用して KPI Composer KPI を設計する場合、この情報は既にあります。

2. KPI に関連するレコードのサブセットを決定します。

   最小ロール:pa_data_collector

   ほぼ確実に、テーブルのすべてのレコードを参照する KPI はありません。代わりに、オープンインシデントの数、少なくとも 1 回再アサインされたオープンインシデント、オープン日に解決されたインシデントなど、レコードのサブセットを参照する KPI があります。テーブルごとに、レコードの関連サブセットを定義するために使用できる条件 (「オープン」、「少なくとも 1 回再アサイン」、「解決済み」、「オープン日に解決されたステータス」など>メモします。

   繰り返しになりますが、KPI の設計に使用している KPI Composer 場合は、この情報はすでに得られています。

3. KPI に関連するレコードのサブセットを定義する条件に基づいて、必要なインジケーターソースを決定します。

   最小ロール:pa_data_collector

   インジケーターソースは、ServiceNow テーブルとそのテーブルのレコードをフィルタリングする 1 つ以上の条件を参照するデータソースです。インジケーターソースはできるだけ少なくしたい。この倹約の主な理由は効率です。データ収集では、各インジケーターではなく、インジケーター ソースを共有するインジケーターのセットをデータベースにクエリする必要があります。インジケーターソースの数を最小限に抑えることは、インジケーター全体で信頼できる唯一の情報源を維持するのにも役立ちます。条件を変更する必要がある場合は、インジケーター ソースで条件を変更し、この変更を関連するすべてのインジケーターに自動的に伝播できます。

   インジケーター ソースを設計するときに、複数のインジケーターに適用できる共通の条件を探します。次の KPI を検討します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- オープンなインシデントの数。
- 少なくとも 1 回再アサインされたオープンインシデントの数。
- 30 日を超えてオープンになっているインシデント。
- 「解決済み」とマークされたインシデント。
- オープン日に解決されたインシデント。

これらすべての KPI のスコアを取得する 2 つのインジケーターソースを作成できます。

- 1 つはインシデントテーブルで、オープンなインシデントをフィルタリングします。
- もう 1 つはインシデントテーブルで、解決されたインシデントをフィルタリングします。

4. ニーズに合った既存のインジケーターとインジケーターソースを検索します。

   最小ロール:pa_data_collector、pa_power_user (インジケーターのみ)。

   冗長なインジケーターとインジケーターソースは一般的な問題です。適切なインジケーターまたはインジケーター ソースが存在しないことを確認した場合にのみ、インジケーターとインジケーター ソースを作成します。

   ニーズを満たすインジケーターソースが見つかる場合は、設計した KPI に一致するインジケーターがそれらのソースに既に存在するかどうかを確認します。

   > **注:**
   > KPI Composer 適切な既存の パフォーマンスアナリティクス インジケーターの検索を設計プロセスに組み込みます。

5. 必要な不足しているインジケーターソースを作成します。

   最小ロール:pa_data_collector

6. 必要な KPI に一致する欠落している自動インジケーターを作成します。

   最小ロール:pa_power_user

   インジケーター ソースを入手した後、ビジネス アナリストなどのpa_power_userロールを持つユーザーが自動インジケーターを作成できます。

   インジケーターを作成するときは、 条件を追加します。これらの条件は 1 つまたは 2 つのインジケーターにのみ適用され、インジケーター ソースのレベルで適用するのは効率的ではありません。インジケーター ソースとインジケーターの間で条件を効率的に分割した場合、インジケーター ソースの一部のインジケーターには追加の条件がありません。これらのインジケーターは、インジケーター ソースの列の集計にすぎません。

7. 関連するブレークダウンを新しいインジケーターに関連付けてマッピングします。

   最小ロール:pa_power_user

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーターを設計するときは、インジケーターに適用するブレークダウンも設計する必要があります。ブレークダウン設計は に含まれています KPI Composer。新しいブレークダウンまたはブレークダウン ソースを作成する必要がある場合がありますが、それはこのワークフローの範囲外です。

8. ブレークダウンのマトリクスを収集して管理します。

   最小ロール:pa_power_user

   優先度とカテゴリの両方によるブレークダウンなど、複数のレベルのブレークダウンを収集する場合は、ブレークダウン マトリクスを設定します。不必要または無意味なブレークダウンの組み合わせは除外してください。

9. インジケーターのジョブを編集します。

   最小ロール:pa_data_collector

   スケジュール設定済みのデータ収集ジョブと (通常は) スケジュール設定されていないデータ収集ジョブを 1 つずつインジケーターに追加します。履歴データが存在する場合は、スケジュール設定されていないジョブを実行してインジケーターの履歴データを収集します。通常、このジョブはインジケーターの作成時にのみ実行し、今後は実行しません。スケジュール設定済みジョブを有効にして、今後 (通常はインジケーターの頻度に従って) 定期的なデータを収集します。1 期間のみ収集します。たとえば、インジケーターの頻度が日次である場合は、前 (最終完了) 日分を毎日収集するようにスケジュール設定済みジョブを設定します。

タスクの結果
このワークフローの最後には、データが入力された自動インジケーターが作成されます。この自動インジケーターは、KPI Composer で設計した測定、重要な成功要因、またはサポートインジケーターに対応します。

次のタスク
このインジケーターを式インジケーターに含めることができます。インジケーターを可視化するウィジェットを設計し、ダッシュボードを作成してこれらの可視化を適切なステークホルダーと共有することもできます。

インジケーターソース

インジケーター ソース は、1 つのテーブルまたはデータベースビューからのフィルタリングされたレコードで構成されるデータセットです。

インジケーターソース構成では、インシデント [incident] などのテーブル、そのテーブルからレコードをフィルタリングするための条件、および条件に基づく頻度を指定します。インジケーターソースは、ローテーションされたテーブルを指定できません。複数のインジケーターで同じインジケーター ソースを使用できます。データコレクションジョブは、インジケーターソースごとに 1 回データベースをクエリします。したがって、同じインジケーターソースを使用するすべてのインジケーターは、同じ時点からデータを取得します。

通常、インジケーターは特定の日付の状況を追跡します。インジケーター ソースの条件には、[オープン済み][日付][今日] のような日付関連のフィルタが含まれている必要があります。収集周期の低いインジケーターでは、[クローズ済み][日付][今月] のようなより広い日付範囲を指定できます。

注意深くインジケーター ソースを作成します。インジケーター ソースには複数のインジケーターがリンクされる可能性があるため、インジケーター ソースを作成した後に変更することは容易ではありません。さらに、インジケーター ソースを変更すると、すでに収集したスコアと不整合が生じる可能性があります。

注:
インジケーターを作成する前に、インジケーター ソースを作成する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター ソースの定義

1 つ以上のインジケーターで評価できるレコードのフィルター済みデータセットを提供するには、インジケーター ソースを作成します。

始める前に

次の理由により、インジケーターソースのリストを確認します。

- 要件を満たすインジケーターソースが既に存在している可能性があります。インスタンスを維持するには、重複するインジケーター ソースを作成しないでください。
- 作成するインジケーター ソースには必ず一意の名前を付けてください。異なるインジケーターソースに同じ名前を付けると、混乱を招く可能性があります。

必要なロール：pa_data_collector または admin

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** > インジケーターソース をクリックし、[新規] をクリックします。
2. **Incidents.Open** など、インジケーター ソースの使用目的を簡単に確認できる一意の名前を入力します。
3. 他のユーザーがこのインジケーター ソースの使用法と目的を理解し、重複を作成しないように、詳細な 説明 を追加します。
4. [カレンダー] フィールドで、標準カレンダーまたはインスタンスで定義されているビジネスカレンダーのいずれかを選択します。

   ⚠ 警告:
   ビジネスカレンダーを使用していて、後でそのビジネスカレンダーのエントリを変更すると、データが無効になります パフォーマンスアナリティクス 。エントリ変更前に収集したスコアは、エントリ変更後に収集したスコアと互換性がありません。この警告は、会計カレンダースケジュールにも適用されます。

   ビジネスカレンダーを使用する場合は、「ビジネスカレンダー:エントリ開始」または「ビジネスカレンダー:エントリ終了時間」に実行するデータ収集ジョブを作成できます。

5. [有効期間の頻度] または [カレンダーの頻度] フィールドに入力します。
   - 標準カレンダーを選択した場合は、[有効期間] の [頻度] フィールドがあります。このフィールドでは、標準インジケーターの頻度を選択できます。デフォルトの選択は [毎日] です。
   - ビジネスカレンダーを選択すると、[カレンダー頻度] フィールドが表示されます。このフィールドは必須です。選択したビジネスカレンダーによって、使用可能な頻度の範囲が決まります。

   このインジケーターソースに基づくインジケーターは、このフィールドの値をインジケーター の頻度として使用します。デフォルトでは、インジケーターのスコア収集期間はこの頻度に従います。この動作はインジケーター レコードで上書きできます。

   設定する周期がわからない場合は、ビジネス サイクルの周期を基準にします。

6. ファクト テーブルを直接選択するか、レポート ソースを再利用して選択します。

   ⚠ 警告:
   - パフォーマンスアナリティクス はリモートテーブルをサポートしていません。
   - データの収集を開始した後は、ソースのファクトテーブルを変更しないでください。ファクトテーブルを変更すると、次のスコア収集時に関連するインジケーターのすべての履歴スコアが失われます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. ファクト テーブルを直接選択する場合は、データをサブセットに含める前に満たす必要がある 条件 を追加します。

   Example
   たとえば、条件 [有効][次の値に等しい (=)][true]、[作成日][次の値もしくはそれ以前（<=）][日付] などと設定します。

   ヒント:

   - テキスト フィールドのインジケーター ソース条件では、大文字と小文字は区別されません。
   - インジケーターソースとインジケーターに設定された条件がすべて適用されます。
   - インジケーターでリアルタイム スコアを表示するには、インジケーターまたはインジケーター ソースに条件を設定します。
   - インジケーター ソースを再利用できるように、上位レベルの条件のみを使用してインジケーター ソース条件を定義してください。データをより深く理解するには、個々のインジケーターの詳細フィルタを使用します。
   - インジケーター ソースには、[作成][日付][今日] などの日付条件が少なくとも 1 つ必要です。
   - 通常、日付条件はインジケーターの頻度と同じ期間を参照する必要があります。たとえば、日数に関する条件は、日次インジケーターにのみ指定する必要があります。月数に関する条件は、月次インジケーターにのみ設定する必要があります。
   - テーブルのsys_id値または表示値へのドット連結は避けてください。代わりに、参照フィールドを単独で使用して、不要な結合が作成されないようにします。
   - インジケーター ソース条件を適切に設計すると、そのソースのインジケーターの少なくとも 1 つに独自の追加条件はありません。

   条件の構築に関する一般的な情報については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

8. オプション: 関連リスト条件を定義して、フィルターに別のテーブルとの関係を含めます。
   詳細については、「 関連リスト条件の追加 」を参照してください。
9. このインジケーターソースが返すレコードの数を確認するには、[プレビュー] をクリックします。

   警告:

   プレビュー機能に表示されている内容にかかわらず、収集されるレコードの上限を超えている可能性があります。プレビュー機能では、データコレクターが実際にフェッチする数よりも少ない数のレコードが表示されます。データ収集ジョブはレコードをフェッチするときに ACL とビジネスルールを無視しますが、プレビュー機能はそれらに従います。詳細については、「 KB0756238 」を参照してください。

10. [レコードビュー] タブのリスト ビューで、デフォルトビューを選択します。
    デフォルトビューは、ワークベンチウィジェットと、 および KPI 詳細のこのインジケーターソースアナリティクスハブ用に収集されたレコードリストに適用されます。使用可能なビューは、ファクト テーブルによって異なります。
11. オプション: [レコード コレクション] タブで、単一のインジケーター ソースに対してのみ、ジョブが単一のインジケーター ソースに対して収集できるレコードの最大数を上書きします。
    [**Override record collection** (レコード収集を上書き)] を選択し、[Maximum number of **records collected** (収集されるレコードの最大数)] に値を入力します。プロパティ *com.snc.pa.dc.max_row_count_indicator_source*に設定されているデフォルト値を上書

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

きしています。詳細については、「パフォーマンスアナリティクス のプロパティ」を参照してください。

12. コンテキスト メニューを展開して [保存] をクリックします。
13. オプション: ビジネスカレンダーを使用するようにこのインジケーターソースを構成した場合は、スコアとスナップショットを保持し、季節パターンを見つけるための期間の数を設定します。
これらの設定は、同じカレンダー頻度を使用するすべてのインジケーター ソースとインジケーターに適用されます。インジケーターのオーナーは、そのインジケーターのこれらの設定を上書きできます。インジケーター ソースでこれらの値を設定しない場合、誰かがこのカレンダー頻度を使用して初めてインジケーターを作成するときに、これらの値を設定するように求められます。

    a. [関連リンク] で、[保存期間を構成] をクリックします。
    PA ビジネスカレンダー保持期間レコードが開きます。

    b. 「 季節性を確立するエントリ数 」フィールドに、季節パターンの検索に必要な、ビジネス・カレンダまたはスケジュール・エントリで定義されている期間の数を入力します。
    ビジネスカレンダーエントリの詳細については、「 ビジネスカレンダーの作成 」を参照してください。

    c. ビジネスカレンダーまたはスケジュールエントリでの定義に従って、スコアとスナップショットを保持する期間の数を設定します。
    デフォルト値の 1 が指定されていますが、変更を検討する必要があります。

Example: シンプルなインジケーターソース

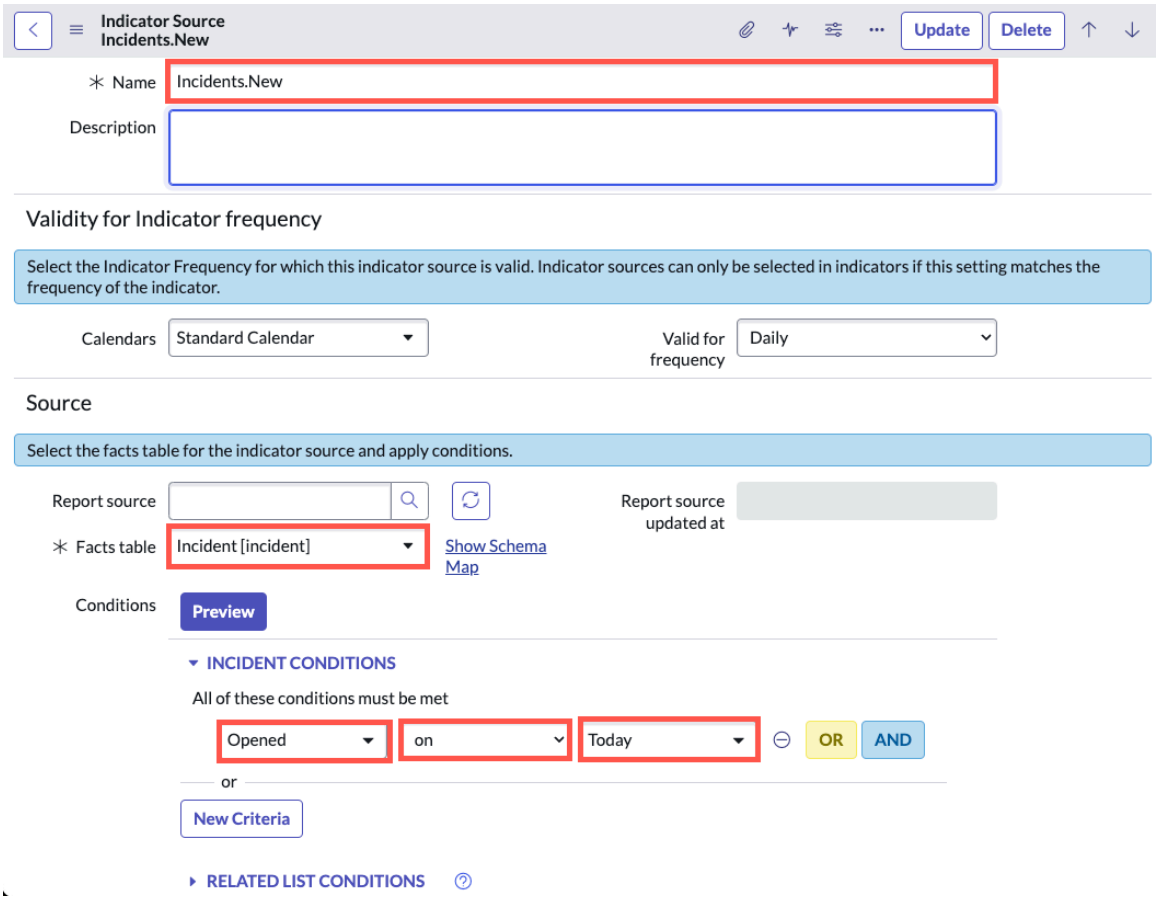
次の設定は、毎日新しいインシデントを収集するインジケーター ソースを作成します。

- [名前]：Incidents.New
- [周期]：日次
- [ファクトテーブル]：インシデント [incident]
- [条件]：[オープン済み][日付][今日]

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター ソースの作成



次のタスク
インジケーター ソースを作成したら、レコードの関連リストでテキスト インデックス構成を定義できます。これらの構成を使用して、ワード クラウドを含むテキスト ウィジェットを作成します パフォーマンスアナリティクス 。詳細については、「テキスト分析の設定」を参照してください。

レポート ソースを再利用しているときにレポート ソースが変更されると、インジケーター ソース レコードに警告が表示されます。インジケーター ソースをレポート ソースと一致するように更新するには、[レポート ソースの更新] をクリックします。[レポートソース] フィールドの横にある更新ボタンをクリックすることもできます。

読み取り専用の [レポートソース更新日時] フィールドにレポート ソースが最後に更新された時刻が表示されます。この日付と時刻は、常に GMT タイムゾーンで表示されます。

関連情報

- レポートソース
- ビジネスカレンダーの作成

インジケーター ソースでのデータベース ビューの使用

インジケーター ソースのファクト テーブルとしてデータベース ビューを選択できます。データベース ビューを使用すると、デフォルトでは接続されていないServiceNowインスタンスのテーブルのデータを統合することができます。

始める前に
必要なロール：pa_admin

自動翻訳

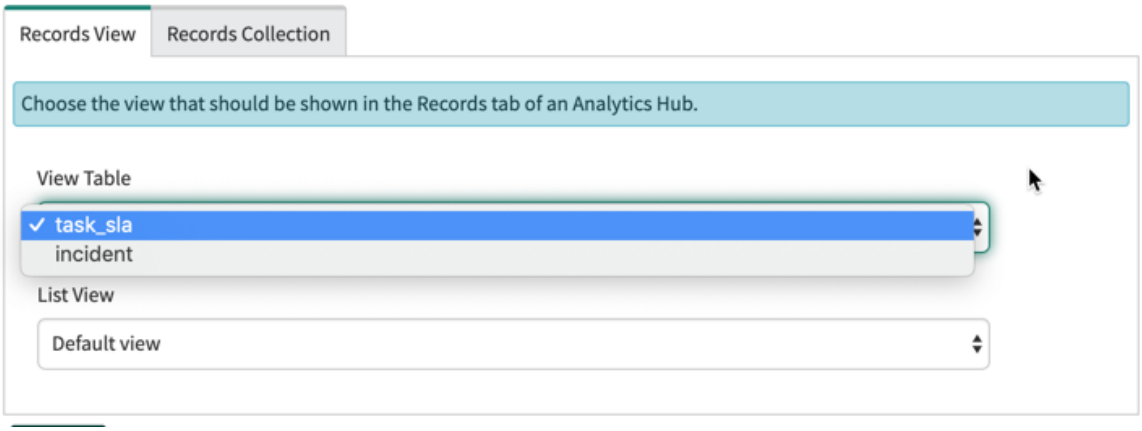
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
データベースビューでテーブルを結合すると、ビューを呼び出すことで簡単にテーブルにアクセスできます。次に、ビューに含まれる任意のテーブルからフィールドを選択できます。たとえば、違反した SLA の数をレポートする場合、SLA とインシデント テーブル両方のフィールドが必要です。

手順

インジケーター ソースのファクト テーブルとしてデータベース ビューを選択した場合は、インジケーター ソース フォームの [レコードビュー] セクションで追加の構成を行います。

インジケーターソースフォームの [レコードビュー] セクション



フィールド	説明
ビューテーブル	レコードのスナップショットは、データベースビューの 1 つのテーブルからのみ収集されます。レコードが収集されるテーブルを選択します。 **重要:** この値を変更すると、以前のスナップショットがすべて実質的に削除されます。この変更は、データ収集ジョブが次に実行されるときに有効になります。この変更は履歴スコアには影響しません。
リストビュー	収集されたレコード セットの表示に使用するリスト ビューを選択します。デフォルトのビューが提案されますが、[ワークスペース] などの定義済みのビューを選択できます。

注:
一意のSys ID を生成しないビューテーブルで第 2 レベルのブレークダウンを収集すると、スコアとレコード数が一致しないことがあります。これらの値が一致しない場合、スコアは正しいです。レコード数は一意でないsys_idsのアーティファクトであるため、正しくありません。

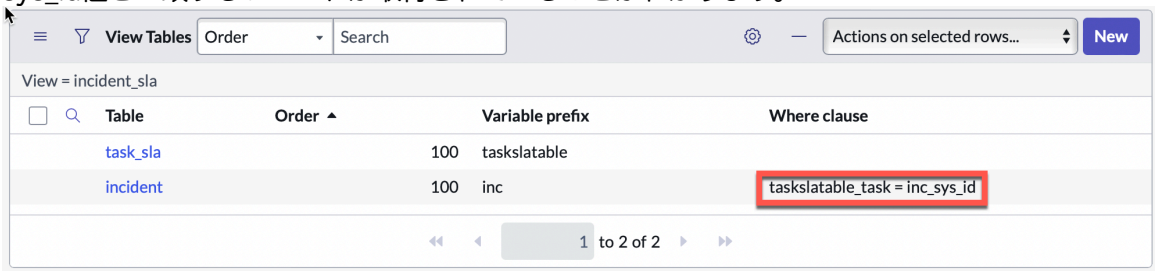
Example: データベースビューからのインジケーターソース

SLA に違反したインシデントの数を追跡するインジケーターを作成するとします。着信incident_slaには、タスク SLA [task_sla] テーブルとインシデント [incident] テーブルを結合するデータベースビューがすでに含まれ ベースシステム ています。したがって、このデータベースビューを使用して新しいインジケーターソースを作成します。

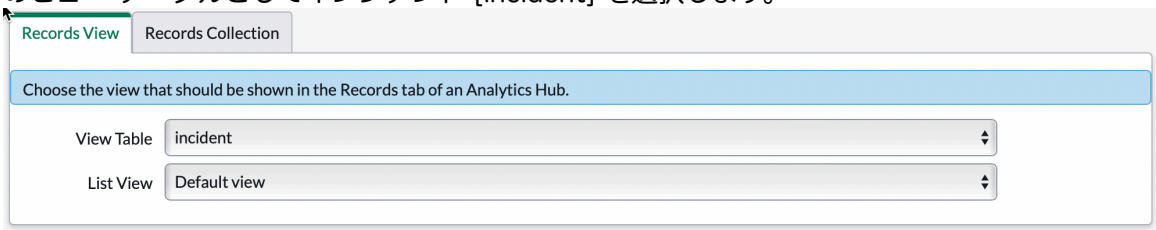
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

データベースビューを見ると、タスク SLA テーブルのタスクがインジケーターテーブルの一意の sys_id値と一致するレコードが取得されていることがわかります。



スナップショットは 1 つのテーブルからのみ取得できますが、通常は一意の値を持つフィールドを持つテーブルのスナップショットを撮ることをお勧めします。したがって、インジケーター ソースのビュー テーブルとしてインシデント [incident] を選択します。



関連情報

データベースビュー

自動インジケーター

自動インジケーターは、インジケーターソースをデータセットとして使用します。インジケーターソースは、テーブル、そのテーブルのレコードをフィルタリングするための条件、およびデータを表示する頻度を指定します。インジケーターは、このデータに集計関数とオプションの条件を適用します。

自動インジケータは、最も頻繁に使用されるタイプのインジケータであり、おそらく の最も基本的なコンポーネント パフォーマンスアナリティクスです。自動インジケーターを使用して、変更要求や HR ケースなどのビジネスプロセスに関する情報を格納するテーブルから一連のレコードのスコアを計算します。スコアは、インジケーター ソースの頻度と同じ周期性に従うスケジュール設定済みデータ収集ジョブで自動的に計算されます。また、手動で実行する 1 つ以上のデータ収集ジョブも設定します。たとえば、インジケーターを最初に作成するときに履歴データのスパンを収集します。

インジケーターを任意の数のブレークダウンに関連付けて、インジケーターのスコアをスライスまたはフィルタリングできます。たとえば、オープンインシデントの数を示すインジケーターがある場合、このインジケーターを優先度ブレークダウンに関連付けて、優先度が「最重要」のインシデントの数を確認できます。インジケーターをカテゴリブレークダウンに関連付けて、ハードウェアとソフトウェアのインシデントの数を比較することもできます。

使用するインジケーター ソースがあり、非常に簡単な自動インジケーターを作成する場合は、ウィザードを使用できます。インジケーターをより詳細に指定する必要がある場合は、このセクションで説明するフォームを使用します。ウィザードからのインジケータの作成の詳細については、次を参照してください ウィザードを使用した自動インジケーターの作成。いずれかの方法でインジケーターを作成する前に、「」の説明 インジケーターの計画に従ってインジケーターを計画します。また、適切なインジケーターがベースライン パフォーマンスアナリティクス ソリューションコンテンツパックのいずれかで既に利用可能かどうかも確認します。

自動インジケーターを式インジケーターへの入力として使用すると、たとえば、新規インシデントであるオープンインシデントの割合を計算できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動インジケーターの作成

テーブルに記録 ServiceNow されたビジネスプロセスのパフォーマンスを分析するには、自動インジケーターを使用します。で適切なインジケーターが指定され プラットフォームアナリティクスソリューションていない場合は、新しいインジケーターを作成します。

始める前に

「」で 自動インジケーター説明されているように、適切なインジケーターソースが必要です。また、「」およびインジケーターの計画「」を使用したソリューションの設計パフォーマンスアナリティクスKPI Composerで説明されているように、KPI を作成する前に、ビジネス戦略の一部として KPI を設計する必要があります。また、.インジケーターを作成するためのワークフロー

注:

- インジケーターを作成するには、 の パフォーマンスアナリティクス サブスクリプションが必要です。
- ドメイン分離を使用している場合、現在のドメインにインジケーターが作成されます。

必要なロール：pa_admin、pa_power_user、または admin

このタスクについて

このフォームには、自動インジケーターを作成するための多くのオプションがすべてあります。単純な自動インジケーターをすばやく作成するには、「ウィザードを使用した自動インジケーターの作成」を参照してください。ただし、インジケーター オプションの詳細とヒントについては、最初にこのトピックをお読みください。

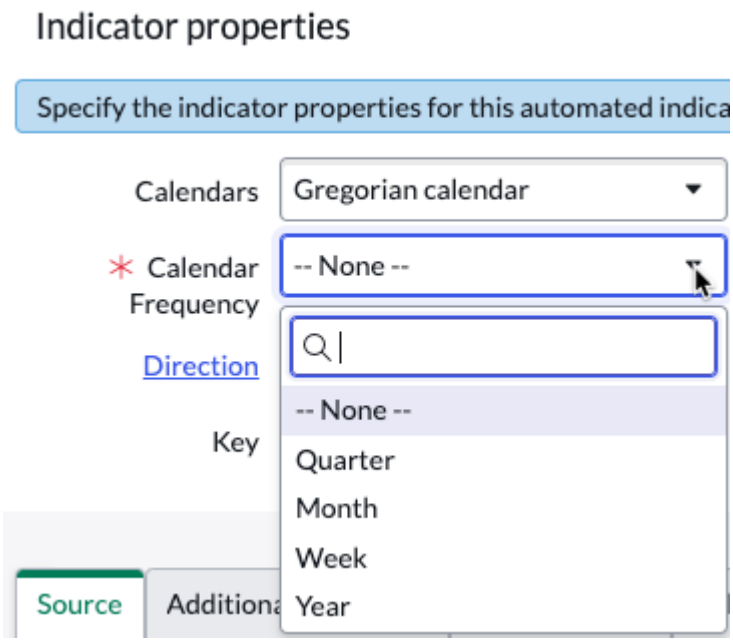
手順

1. [名前] フィールドで、[重要なインシデントの数] など、記述名をインジケーターに指定します。
2. [カレンダー] フィールドで、標準カレンダー、ビジネスカレンダー、または会計カレンダーグループを選択します。

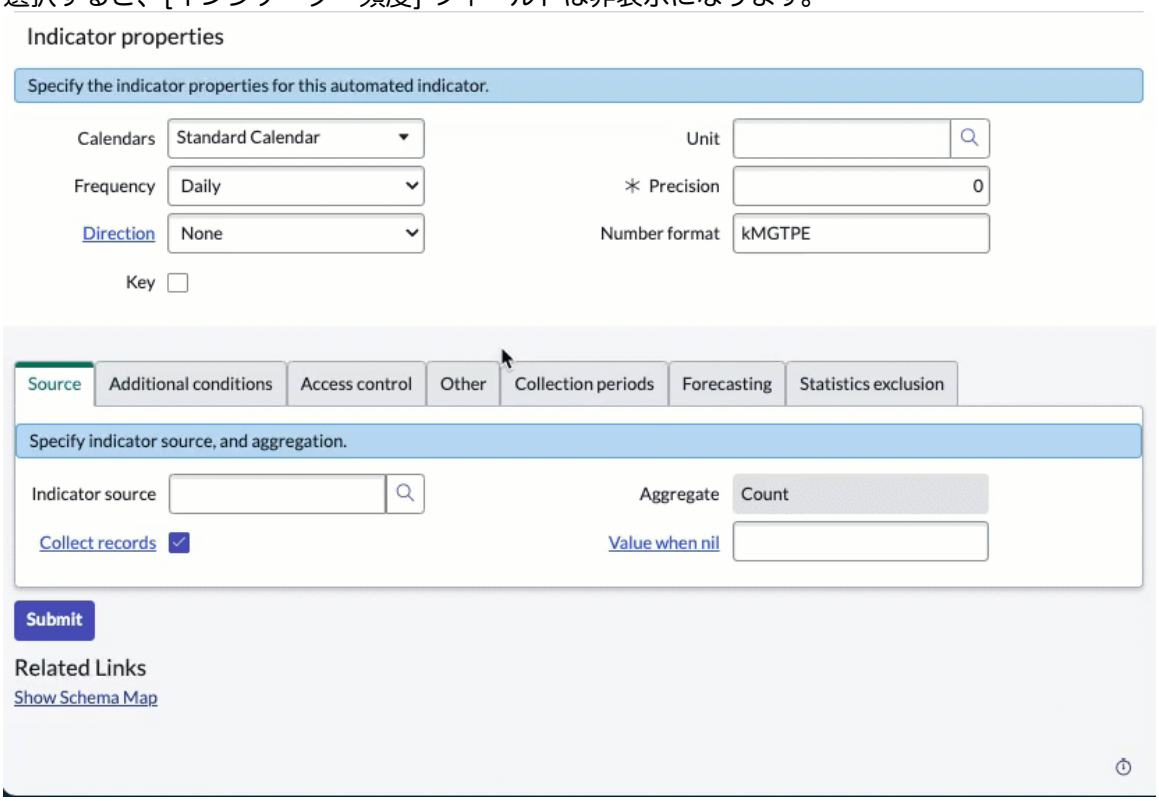
   a. ビジネスカレンダーまたは会計カレンダーを選択した場合は、カレンダー頻度を選択します。カレンダー頻度の選択は、ビジネスカレンダーエントリまたは会計カレンダースケジュールの設定によって異なります。

   Example
   たとえば、グレゴリオ暦には、四半期、月、週、および年の頻度があります。グレゴリオ暦を使用している場合は、これらの頻度のいずれかを選択する必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



b. オプション: 標準カレンダーを選択した場合は、インジケーターの頻度を選択できます。インジケーターの頻度を選択しない場合は、インジケーター ソースを選択したときに頻度が自動的に設定されます。インジケーターの頻度を手動で選択することで、頻度が選択した値と一致するものに利用可能なインジケーターソースをフィルタリングします。インジケーター ソースを選択すると、[インジケーター頻度] フィールドは非表示になります。



3. [ソース] タブまでスクロールし、[インジケーターソース] を選択します。フィールドに名前の一部を入力すると、それに応じて使用可能なインジケーター ソースのリストがフィルタリングされます。ドメイン分離を使用している場合は、可視性があるインジケーターソースのみを選択できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

指定された カレンダー頻度 または 頻度をサポートするインジケーターソースのみを選択できます。

4. [ソース] タブの [集計] フィールドで、インジケーター ソースからのデータに適用する集計関数を選択します。

   [カウント] は、レコード数を数えます。[個別のカウント] は、レコードの総数ではなく一意の値の数をカウントします。例えば、ユーザーの名前がリストに複数回表示される場合、そのユーザーは 1 回のみカウントされます。他の選択肢は、レコード間のフィールドの値の合計など、指定された集計演算を実行します。

   [合計]、[最小]、または [最大] 集計を選択する場合は、インジケーターへの適用から時系列のタイプを除外することを検討してください。詳細については、「インジケーターからの時系列の除外」を参照してください。

   ヒント:
   平均集計は時系列の使用を複雑にする可能性があるため、この集計の使用は避けてください。代わりに、合計自動インジケーターとカウント自動インジケーターを作成します。次に、合計インジケーターをカウントインジケーターで除算して平均を計算する式インジケーターを作成します。

5. このインジケーターのスコアが時間の経過とともに増減することを希望する場合は、[方向] フィールドで [最大化] または [最小化] を選択します。
   分析ツールとグラフィック ディスプレイがこのインジケーターの [方向] に使用されています。

   ヒント:
   可能な限り方向を設定します。すべてのキー インジケーターを [最大化] または [最小化] に設定する必要があります。

6. [ソース] タブで、残りのフィールドを入力します。
   [集計] が [カウント] に設定されている場合は、[レコードを収集] フィールドと [値がない場合に値] フィールドのみを使用できます。

[ソース] タブのフィールド

フィールド	説明
レコードの収集	インジケーターが収集されたときに個々のレコード sys_ids が格納されているかどうかを示すチェック ボックス。このチェックボックスをオンにすると、ウィジェットの詳細 アナリティクスハブ にドリルダウンできます。利用可能な場合、収集されたレコードが [記録] タブに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

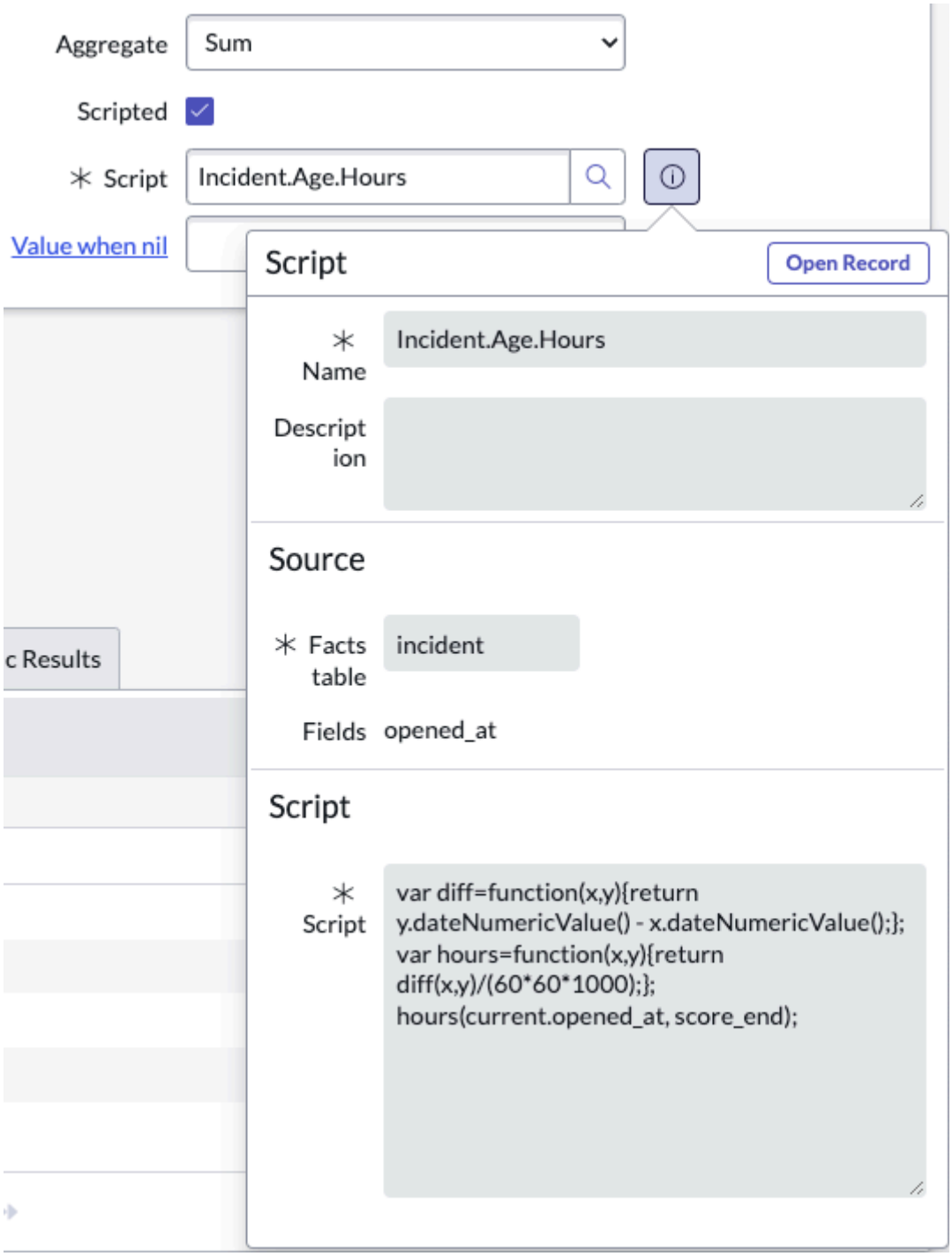
フィールド	説明
	ヒント: 一般に、Count と Sum 以外の集計を含むレコードの収集は避けてください。ユーザーが最小または最大に入るレコードを確認することはめったになく、[個別のカウント] のレコード数はスコアと異なる場合があります。ユーザーから要求された場合にのみ、これらの他の集計を使用してインジケーターのレコードを収集することを検討してください。 スポットライト グループのメイン インジケーターでは、このオプションを有効にする必要があります。そうしないと、[スポットライト] グループは収集したレコードのスナップショットを評価できません。詳細については、「スナップショットまたはプラットフォームデータの評価」を参照してください。
スクリプト化	スクリプトに基づいて値を集計するかどうかを示すチェック ボックス。このオプションは、[集計] が [カウント] に設定されていない場合にのみ利用できます。[スクリプト化済み] チェック ボックスをクリアしてフィールドの値を集計します。
フィールド	集計操作を実行するフィールド。このフィールドは、[集計] で [カウント] ではなく [スクリプト化済み] を選択している場合にのみ表示されます。
スクリプト	集計のスクリプトを選択するか、スクリプトを作成します。このオプションは、[スクリプト化済み] チェック ボックスが選択されている場合にのみ利用できます。 詳細については、「スクリプト： パフォーマンスアナリティクス」を参照してください。
値がない時の挿入値	値が収集されない場合にスコアとして挿入される値。この値は、ブレークダウンが適用されるかどうかに関係なく挿入されます。 この値は、数式や集計 (平均など) の計算には使用されません。

Example

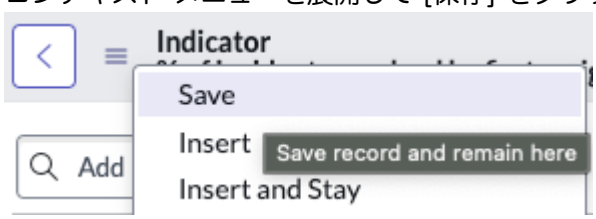
たとえば、「オープンインシデントの合計経過時間」インジケーターは、合計集計を使用します。この集計を使用するため、フィールドまたはスクリプトのいずれかを指定する必要があります。この場合はスクリプト化され、Incident.Age.Hours スクリプトを使用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



7. [アクセス制御] タブで、このインジケーターをエクスペリエンスの KPI プラットフォームアナリティクス とリストにアナリティクスハブ公開するかどうか、およびインジケーターの表示をユーザー、グループ、またはロール別に制限するかどうかを設定します。
8. コンテキスト メニューを展開して [保存] をクリックします。



9. 次のいずれかの手順を実行します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- さらにアクションを実行するプロンプトが表示されず、インジケーターが要件を満たしている場合は、[ブレークダウンの管理] を選択してインジケーターにブレークダウンを追加します。詳細については、を参照してください。 ブレークダウンのアサインとマップ
- さらにアクションを実行するように求められた場合、またはより複雑なインジケーターを設計した場合は、インジケーターの詳細設定を完了します。

関連情報

インジケーター グループの作成

ブレークダウン マトリクスの収集と管理

インジケーターの詳細設定

必要な設定で自動インジケーターを作成したら、オプションの詳細設定を構成できます。

始める前に
自動インジケーターを作成して保存しました。
必要なロール：pa_power_user

手順

1. ビジネスカレンダーまたは会計カレンダーを選択しており、このインジケーターがこのカレンダー頻度で作成された最初のインジケーターである場合は、周期性を設定するように求められます。これらの設定は、[収集期間] タブで設定を上書きしない限り、同じカレンダー頻度のすべてのインジケーターに適用されます。詳細については、「ビジネスカレンダーを使用するインジケーター」セクションを参照してください。

   a. [関連リンク] セクションで、[周期性の設定] をクリックします。
   PA ビジネスカレンダー保持期間レコードが開きます。

   b. 「 季節性を確立するエントリ数 」フィールドに、季節パターンの検索に必要な、ビジネス・カレンダまたはスケジュール・エントリで定義されている期間の数を入力します。
   ビジネスカレンダーエントリの詳細については、「 ビジネスカレンダーの作成 」を参照してください。

   c. ビジネスカレンダーまたはスケジュールエントリでの定義に従って、スコアとスナップショットを保持する期間の数を設定します。
   デフォルト値の 1 が指定されていますが、変更を検討する必要があります。

2. [他の条件] タブで、インジケーターが評価するレコード セットを制限する条件を追加します。インジケーター ソースの条件に加えてインジケーターの条件が適用されます。リアルタイム スコアを表示するには、インジケーターまたはインジケーター ソースで条件を設定する必要があります。

   ただし、次の演算子はインジケーターではサポートされていません。代わりに、インジケーター ソース条件で次の演算子を使用できます。

   - キーワード
   - 次のフィールド値を超える **(>)**
   - 次のフィールド値未満 **(<)**
   - 次のフィールド値以上 **(>=)**
   - 次の値以下 **(<)** フィールド

自動翻訳

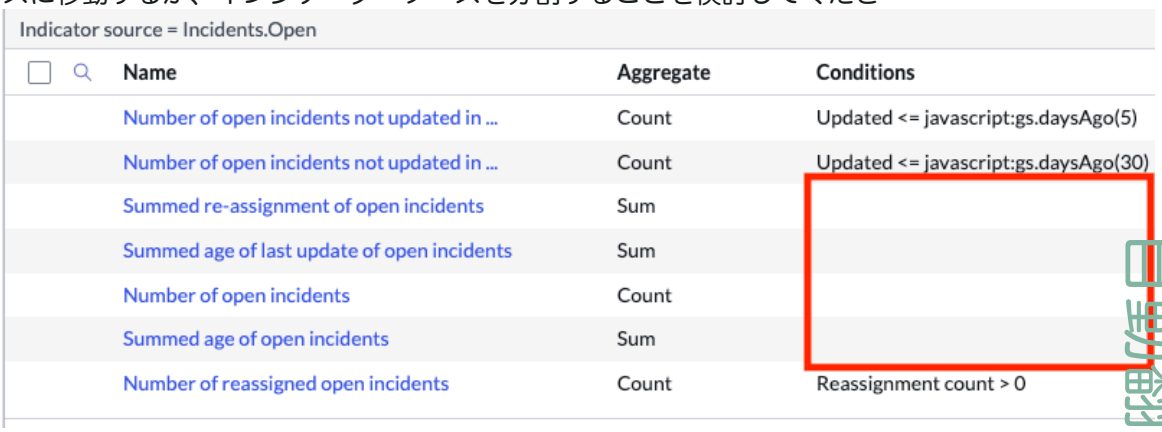
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

警告:
データ収集ジョブがエラーで完了しないようにするには、次の制限事項に従ってください。

- ロールを参照する条件をインジケーターに追加しないでください。ロールテーブルは、インジケーター ソースでのみ参照できます。
- ドット連結フィールドのみを参照する条件を定義する場合は、少なくとも 1 つのブレークダウンをインジケーターに関連付ける必要があります。

一般に、sys_idまたはテーブルの表示値へのドット連結は避けてください。そうすると不要なテーブル結合が作成されるためです。

ヒント:
条件が適切に設計されていることを確認するには、インジケーター ソースのインジケーターをリストし、ビューに [条件] フィールドを含めます。インジケーター ソースの条件のみを使用するインジケーターが少なくとも 1 つ必要です。それ以外の場合は、インジケーターソースが未使用のデータを収集している可能性があります。この場合は、共通条件をインジケーターからインジケーターソースに移動するか、インジケーターソースを分割することを検討してください。



3. オプション: 次のインジケータープロパティのいずれかを指定します。

フィールド	説明
単位	数値、日数、割合などスコアの測定単位。 (Optional) [価格]、[通貨]、または [FX 通貨] フィールドでシステム参照通貨でスコアを収集するには、[参照通貨を使用] を選択します。詳細については、「参照通貨でのインジケータースコア」を参照してください。 単位として % または期間を選択する場合は、インジケーターへの適用対象から時系列を除外することを検討してください。詳細については、「インジケーターからの時系列の除外」を参照してください。 単位として [時間] を選択した場合、時間は [日]、[時間]、および [分] で指定されます。システムプロパティ *glide.ui.duration.seconds.enabled* が存在し、true の場合は、秒も表示されます。この場合、秒はインスタンスのすべて

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	の時間フィールドにも表示され、Excel への Microsoft エクスポートに含まれます。
精度	小数点の後ろの桁数。詳細については、「インジケーターの丸めと精度」を参照してください。 このフィールドは、単位が [参照通貨を使用] の場合は使用できません。この場合、精度は参照通貨から継承されます。
数値形式	多数の略語、数千から五分の一までに使用される略語。詳細については、「インジケーターの丸めと精度」を参照してください。
キー	インジケーターをキー インジケーターとして識別します。のインジケーターのリストをフィルタリングするためにのみ使用されます **Performance Analytics** > 分析ハブ。

4. オプション: [その他] タブで、その他のさまざまなプロパティを設定します。

[その他] タブのフィールド

フィールド	説明
デフォルトの時系列	(Optional) インジケーターの生のスコアを表示する代わりにインジケーターに適用する、7 日間の実行平均などの事前定義された分析機能。 詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーまたは会計カレンダーを使用するインジケーターにデフォルトの時系列を設定することはできません。これらのカレンダーは時系列集計をサポートしていません。
ライブグループプロファイル	(Optional) ライブ フィード グループのライブ グループ プロフィール [live_group_profile] レコード。グループプロファイルを指定して、そのグループがこのインジケーターに関する通知を受け取るようにします。 上の Now Platformこのソーシャルアプリケーションの詳細については、「 Live Feed」 を参照してください。
順番	(Optional) にインジケーターが表示される順番を示す番号。 アナリティクスハブ 最小値のインジケーターがリストの一番上に表示されます。[順序] フィールドに値が指定されていな

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
	い場合、インジケーターは [名前] フィールドを使用して a から z まで表示されます。[順番] フィールドを使用するには、すべてのインジケーターの順番の番号を入力する必要があります。少数のインジケーターのみに数字を入力すると、インジケーターの表示順序は a から z に戻ります。
デフォルトのグラフ種別	(Optional) このインジケーターのデフォルトのチャート タイプ (行、列、スプライン、または領域) を設定します。このインジケーターの [またはKPI 詳細] を初めて開くアナリティクスハブときは、デフォルトのチャートタイプが使用されます。でグラフの種類が変更され アナリティクスハブ た場合、その設定が記憶されます。
実線のレンダリング	(Optional) 選択すると、アナリティクスハブKPI 詳細特定の日付のデータがない場合でも、このインジケーターの破損していないデータ行が表示されます。この動作は、さまざまな開始日のデータセットを表示する場合や、在庫情報など、定期的に更新されないデータを表示する場合に役立つ場合があります。 インジケーターまたは で アナリティクスハブ時系列が設定されている場合、実線はレンダリングされません。
リアルタイムスコアを表示	(Optional) とを選択すると、アナリティクスハブKPI 詳細このインジケーターのスコアと関連レコードの現在のステータスをリアルタイムで表示できます。第三者のソースからのデータを使用した統合などインジケーター データがリアルタイムで利用できない場合は、このチェックボックスをオフにします。詳細については、「リアルタイムスコア」を参照してください。 注意:リアルタイムスコアを表示するには、インジケーターまたは関連するインジケーターソースに条件を設定する必要があります。

Example

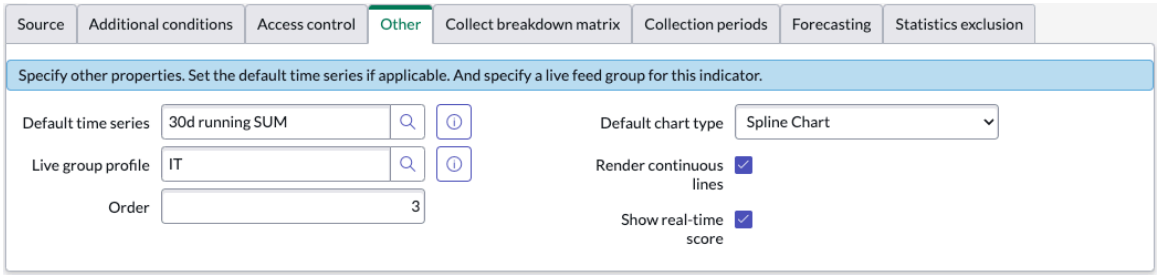
たとえば、[その他] タブでは、次のようにインジケーターを設定できます。

- デフォルトでは、30 日間分移動したスコアの合計がウィジェットに表示されます。このデフォルトは、KPI 詳細ダッシュボードウィジェット、またはワークスペースデータの可視化でアナリティクスハブ上書きできます。
- インジケーターの変更が IT Live グループに通知されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- インジケーターは、インジケーターのリストの アナリティクスハブ 3 番目に表示されます。他のすべてのインジケーターにもポジションが指定されています。この設定は、上の構成可能ワークスペースインジケーターアナリティクスセンターの順序には影響しません。
- デフォルトのグラフの種類は、 アナリティクスハブ と KPI 詳細のスプラインです。
- インジケーターのデータ行は、データが欠落している場合でも切れ目なく表示されます。
- と アナリティクスハブKPI 詳細 は、このインジケーターのスコアをリアルタイムで表示できます。



5. オプション: [ブレークダウンマトリクスフィールドを収集] タブで、インシデントを [優先度別カテゴリ別に開く] など、インジケーターのブレークダウンレベル 2 を有効にすることができます。ブレークダウンレベル 2 を有効にすると、パフォーマンスに重大な影響を与える可能性があります。詳細については、「ブレークダウン マトリクスの収集と管理」を参照してください。
6. オプション: [収集期間] タブで、スコアとスナップショットが収集され、保持される今日までの最大期間数を設定するプロパティを上書きします。
7. オプション: [予測] タブで、予測方法、予測するデータ収集期間、予測の基礎となる履歴データの量、予測値の上限と下限を設定します。
   詳細については、「Performance Analytics スコア予測」を参照してください。
8. オプション: [統計の除外] タブで、KPI 詳細または .アナリティクスハブ

   Example
   たとえば、パーセンテージ単位のインジケーターの変更 % を表示したくない場合があります。
9. [ブレークダウンを管理] をクリックします。
   詳細については、「」を参照してください ブレークダウンのアサインとマップ。

ビジネスカレンダーを使用するインジケーター

ビジネスカレンダーと会計カレンダーには標準期間がありません。 パフォーマンスアナリティクスは、これらのカスタム期間に対応するためにいくつかの革新を導入しました。それに応じて、インジケーターを作成するためのワークフローは異なります。

重要:
インジケーター の新規作成 ウィザードは、ビジネスカレンダーまたは会計カレンダーに基づくインジケーターをサポートしていません。

期間の定義方法の違い

標準カレンダーとは異なり、ビジネスカレンダーにはビジネスカレンダーエントリに基づくカスタム期間があります。この違いに対応するために、ビジネスカレンダーまたは会計カレンダーを使用するインジケーターでは、次のプロパティの定義が異なります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- インジケーターの頻度は、静的な選択肢のリストではなく、ビジネスカレンダーから導出されます。インジケーターレコードの [頻度] 列は無視されます。代わりに、[カレンダー頻度] 列が使用されます。
- 予測では、季節パターンを見つけるために必要な期間の数を指定する必要があります。この値は、標準カレンダーのように、カレンダー期間から自動的に決定することはできません。この値は、PAビジネスカレンダー保存期間[pa_calendars_retention]レコードのカレンダ頻度ごとに設定します。
- スコアとスナップショットを保持するカレンダー期間の数を設定する必要があります。データを保持するためのデフォルトのカレンダー期間数を設定するシステムプロパティは無視されます。代わりに、これらの数値を PA ビジネスカレンダー保持期間レコードの各カレンダー頻度に設定します。

PA ビジネスカレンダー保持期間レコードとその上書き

特定のカレンダー頻度を使用するインジケーターを初めて作成すると、「PA ビジネスカレンダー保持期間」レコードに入力するように求められます。そのカレンダー頻度を使用して将来作成するインジケーターは、同じ PA ビジネスカレンダー保持期間レコードを使用します。

特定のインジケーターの PA ビジネスカレンダー保持期間レコードの設定を上書きできます。標準カレンダーインジケーターの場合と同様に、インジケーターレコードの [収集期間] タブのデフォルトを上書きします。ただし、最初に [保持期間の上書き] を選択すると、標準カレンダーの日次インジケーターの既定の保持期間が表示されます。これらの値は表示アーティファクトのみであり、無視してかまいません。必要な値を入力すると、PA ビジネスカレンダー保持期間レコードの値が上書きされます。

注:
「PA ビジネスカレンダー保存期間」レコードの「 季節性を確立するエントリ数 」の値を上書きすることはできません。

ビジネスカレンダーグループ

標準カレンダー以外の [カレンダー] フィールドでエントリを選択すると、実際にはビジネスカレンダーグループまたは会計カレンダーグループが選択されます。ビジネスカレンダーグループと会計カレンダーグループの両方が、 ビジネスカレンダー > ビジネスカレンダーグループ。各ビジネスカレンダーまたは会計カレンダーグループには、一連のビジネスカレンダーが含まれており、[カレンダー頻度] でこれを選択します。各ビジネスカレンダーには、ビジネスカレンダーと会計カレンダーのそれぞれについて、ビジネスカレンダーまたはスケジュールエントリのセットが含まれています。

会計カレンダーを生成するプロセスでは、会計カレンダーグループが自動的に作成されます。ビジネスカレンダーの場合、ビジネスカレンダーの作成者は、ビジネスカレンダーグループも手動で作成する必要があります。ご不明な点がある場合は、ビジネスカレンダーの作成を担当する管理者にお問い合わせください。詳細については、「 ビジネスカレンダーグループの作成 」を参照してください。

式の自動インジケーター

式インジケーターには、ビジネスカレンダーを使用する自動インジケーターを含めることができます。式インジケーターは、貢献する自動インジケーターの少なくとも 1 つと同じビジネスカレンダーを使用する必要があります。詳細については、「式インジケーターの作成」を参照してください。

ブレークダウンのアサインとマップ

インジケーターにアサインするブレークダウンを選択します。ブレークダウン ソースを参照するインジケーター ソースのフィールドをマップします。適切なフィールドがない場合は、スクリプトを指定してインジケーターとブレークダウン ソースを関連付けます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なブレークダウンが、ブレークダウン ソースで定義されている必要があります。

必要なロール：pa_data_collector、pa_power_user、pa_admin、または admin

このタスクについて
同じブレークダウンに対して複数のマッピングを作成し、複数のインジケーターにそのブレークダウンを使用できます。

注:

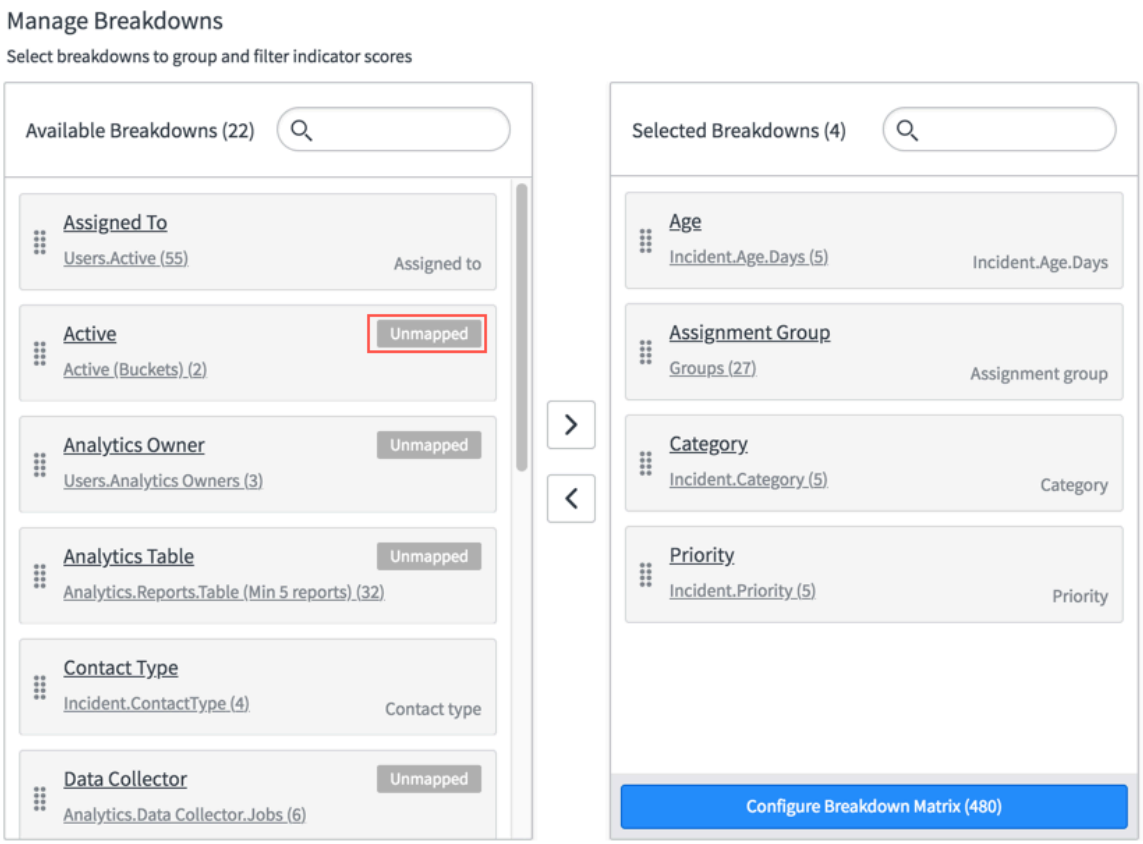
- ブレークダウンを自動インジケーターにのみマッピングできます。式インジケーターにブレークダウンをアサインする場合は、式内の自動インジケーターに既にマップされているブレークダウンを選択してみてください。
- データ収集に含めることができるブレークダウン要素の最大数は、プロパティ *com.snc.pa.dc.max_breakdown_elements_limit* で設定されます。この値を超えると、ツールに警告が表示されます。詳細については、「パフォーマンスアナリティクス のプロパティ」を参照してください。
- このページの手順では、グラフィカル ツールを使用します。代わりに、インジケーター フォームの [ブレークダウン] 関連リストでインジケーターのブレークダウンを選択できます。ブレークダウン フォームでインジケーター ソースのインジケーター フィールドまたはクエリをマップすることもできます。詳細については、「ブレークダウン レコードでのブレークダウンマッピングの作成」を参照してください。

手順

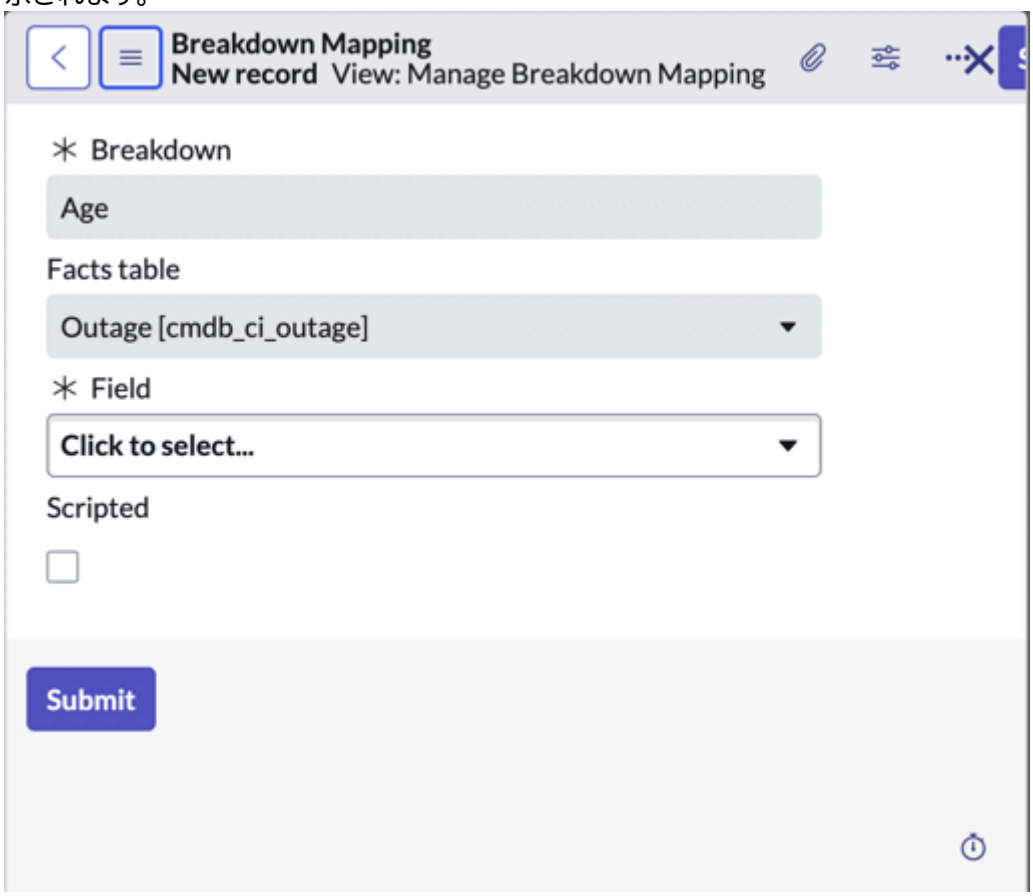
1. ブレークダウンをアサインするインジケーターに移動します。
2. [ブレークダウンを管理] をクリックします。
   詳細については、「」を参照してください ブレークダウンのアサインとマップ。
3. [利用可能なブレークダウン] から [選択済みのブレークダウン] に、インジケーターにアサインするブレークダウンを移動します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



マップされていないブレークダウンを追加すると、[ブレークダウンマッピング] ダイアログが表示されます。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
ブレークダウンを式インジケーターにアサインしている場合、[マップされていない] アイコンは表示されず、[ブレークダウンマッピング] ダイアログは表示されません。ブレークダウンを式インジケーターにマッピングすることはできません。式インジケーターにブレークダウンを正常に適用するには、式内のすべての自動インジケーターにブレークダウンがマップされていることを確認します。式に他の式インジケーターが含まれている場合は、それらの式の自動インジケーターを確認します。再帰的に、すべて下までチェックします。ブレークダウンをフォローできなくなった自動インジケーターをチェックする必要はありません。

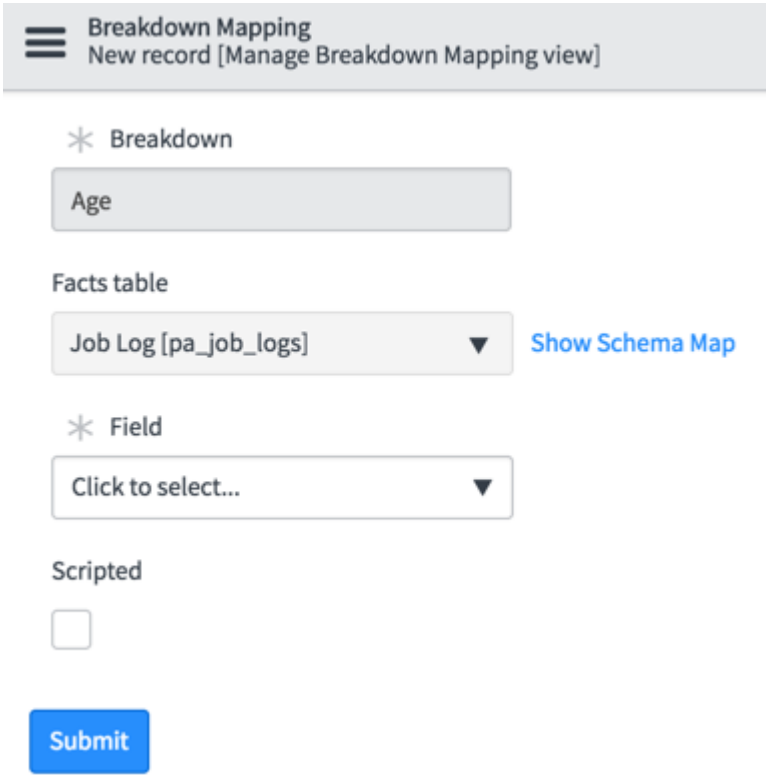
4. ブレークダウンマッピングを次のように入力します。

オプション	説明
フィールドを使用して値を要素にマップします。	ブレークダウンのレコードにマッピングするインジケーター ソースのフィールドを選択します。 [カテゴリ] フィールドの使用方法について、「例：フィールド マッピング」を参照してください。
スクリプトを使用して値を要素にマップします。	[スクリプト化] を選択してから [スクリプト] を選択し、インジケーター レコードとブレークダウン要素との関連付けを定義します。 ブレークダウン ソース テーブルにマップするインジケーター ソースのフィールドに簡単なユース・ケースがない場合は、スクリプトを使用します。スクリプトでは、広範なマッピング関係を定義できます。最も一般的なユース・ケースは、ブレークダウン ソースがバケット グループであり、スクリプトがバケットにインジケーター スコアを割り当てるための整数を返す場合です。「例：スクリプト マッピング」を参照してください。 スクリプト化されたブレークダウンを使用するインジケーターのリアルタイム スコアを表示することはできません。 **ヒント:** [レベル 1 のマッピングとレベル 2 のマッピング] が [レベル 1 のマッピング] と [レベル 2 のマッピング] の共通部分と等しくなるように、スクリプト化されたブレークダウンマッピングを実装してみてください。そうでない場合、スコアとレコードの数が第 2 レベルのブレークダウンに対して一致しない可能性があります。これらの値が一致しない場合、スコアは正しいです。詳細と例については、「KB0748969」を参照してください。Now Support ログインが必要です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
[ファクトテーブル] 選択リストをクリックすると、選択リストが表示されますが、別のファクト テーブルを選択することはできません。



5. [送信] をクリックします。

6. 必要に応じてステップ 2 ～ 5 を繰り返し、追加のマッピングを定義します。

次のタスク
自動インジケーターに少なくとも 2 つのブレークダウンをアサインすると、2 つのブレークダウンの組み合わせを収集できます。そうすると、意味のない組み合わせのブレークダウンが収集されなくなり、システム リソースが節約されます。「ブレークダウン マトリクスの収集と管理」を参照してください。

次のいずれかの方法でブレークダウンを適用します。クラシック環境内:

- 上の アナリティクスハブ
- ダッシュボードの パフォーマンスアナリティクス ウィジェット を構成する場合
- ブレークダウン ダッシュボード上
- ダッシュボードの ブレークダウン ウィジェット 内

構成可能ワークスペースで :

- インチ KPI 詳細
- インジケーターデータソースの データの可視化 を構成する場合

ブレークダウン マトリクスの収集と管理

インジケーターの 2 つのブレークダウンの組み合わせのマトリクスを収集します。不必要な、または意味のないブレークダウンの組み合わせは収集から除外します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
ブレークダウンにはインジケーターをアサインする必要があります。「ブレークダウンのアサインとマップ」を参照してください。

必要なロール：pa_data_collector、pa_power_user、pa_admin、または admin

このタスクについて
すべてのブレークダウンの組み合わせが有用な情報を提供しないこともあります。たとえば、[国, 地域] の組み合わせは、国ブレークダウンと同じスコアを返します。ブレークダウン マトリクスの除外を使用して、これらの無効な組み合わせのデータをインスタンスが収集しないようにすることができます。これらの除外は、 、KPI 詳細またはスコアシートには表示されませんアナリティクスハブ。また、ウィジェットまたはデータのビジュアル化を作成するときに、除外されたブレークダウンの組み合わせを選択することはできません。

パフォーマンスの問題を防ぐために、このプロパティ `com.snc.pa.dc.max_breakdown_elements_level2_limit` は、データ収集に含まれるブレークダウン接続の要素の数を制限します。この制限を超えると、マトリクス内の一部の組み合わせがグレー表示されます。一部のブレークダウンの組み合わせを除外することで、この制限を超えないようにすることができます。詳細については「パフォーマンスアナリティクス のプロパティ」を参照してください。

注:

- これらのブレークダウンの組み合わせが除外されても、個々のブレークダウンのスコアは収集されます。
- ブレークダウンの組み合わせの以前のジョブで収集されたスコアは、組み合わせが後で除外されても、削除されません。これらの組み合わせの新しいスコアは収集されません。
- 以下の手順は、グラフィカル ツールを使用してブレークダウン マトリクスの除外を管理するためのものです。ただし、インジケーター フォームの [ブレークダウンマトリクスの除外] タブで管理することもできます。

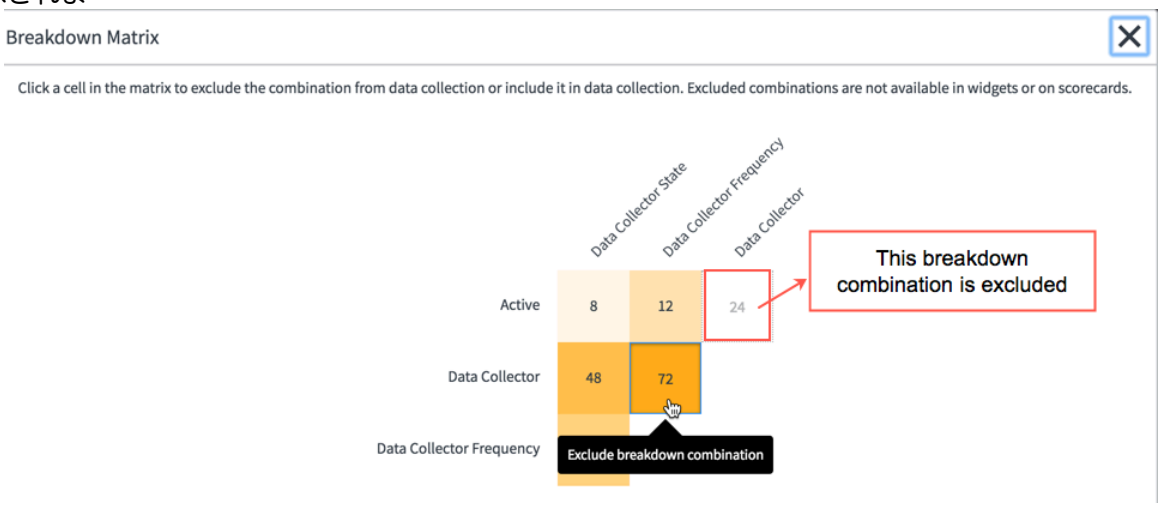
手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** > インジケーター (自動)。
2. ブレークダウン マトリクスを構成する自動インジケーターを選択します。
3. [インジケータープロパティ] で、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブを選択します。
4. [ブレークダウンマトリクスを収集] チェック ボックスをオンにします。
5. [ブレークダウンを管理] をクリックします。
6. [ブレークダウンマトリクスの構成] をクリックします。
   マトリクスには、2 つのブレークダウンの要素数を乗算して計算された、各ブレークダウンペアの要素の組み合わせの数が表示されます。組み合わせ数が多いブレークダウンペアは濃い色で表示され、潜在的なパフォーマンスのボトルネックを一目で特定できます。デフォルトでは、すべての組み合わせがデータ収集に含まれます。データ収集から除外する組み合わせを選択できます。
7. オプション: [ブレークダウンマトリクス] ポップアップで、除外する アナリティクスハブ ブレークダウンの組み合わせとダッシュボードウィジェットを選択します。
   ブレークダウン マトリクスで、含まれる組み合わせは網掛けされています。除外された組み合わせは白です。ブレークダウンの組み合わせの数が の値を超える `com.snc.pa.dc.max_breakdown_elements_level2_limit`と、一部の組み合わせはグレー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

表示されま



す。

8. オプション: インジケーター フォームで [ブレークダウンマトリクスの除外] タブを開き、除外されたブレークダウンの組み合わせを確認します。
グラフィカル ツールを使用する代わりに、このタブで、除外するブレークダウンの組み合わせを管理できます。

インジケーターに収集ジョブを追加する

自動インジケーターのスコアを収集するには、そのインジケーターに収集ジョブを追加します。

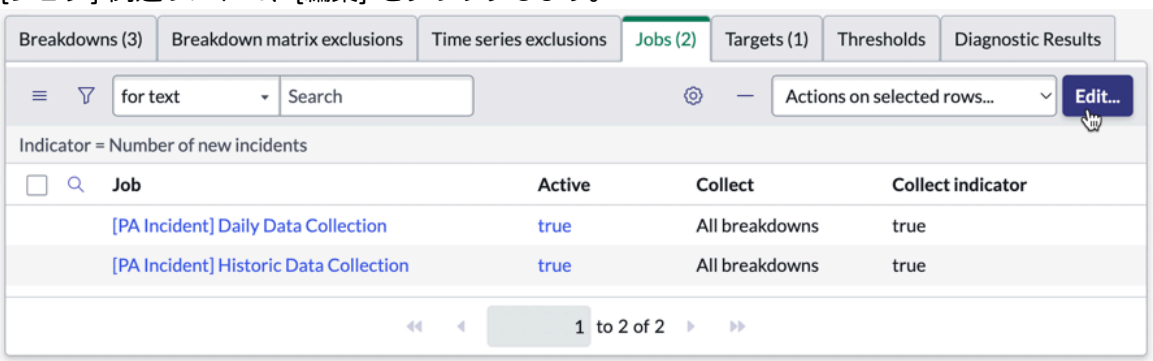
始める前に

注:
この手順では、完全に構成されたデータ収集ジョブをインジケーター側から自動インジケーターに追加する方法を示します。ジョブ側からデータ収集ジョブを設定し、インジケータに追加する方法については、次を参照してください ジョブ インジケーターの構成。管理者などのパフォーマンスアナリティクス pa_data_collectorロールを持つユーザーのみが、ジョブ インジケーターを構成できます。

必要なロール:pa_power_user、または admin

手順

1. 既存の自動インジケーターを開きます。
2. [ジョブ] 関連リストで、[編集] をクリックします。



3. オプション: [フィルタを追加] および [フィルタ実行] を使用してジョブの選択を制限します。
4. [コレクション] または [ジョブリスト] で 1 つまたは複数のジョブを選択します。
明確なユースケースがない限り、インジケーターに対して選択するジョブスケジュールを 1 つだけにすることで、ジョブを管理しやすくします。関連するスケジュール設定されていないジョブを

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

できるだけ多く選択してください。通常は、新しいインジケーターに 1 回だけ実行する履歴ジョブを 1 つ追加します。

5. 矢印ボタンを使用して、ジョブを他のリストに移動します。
6. [保存] をクリックします。

Performance Analytics スナップショット

スナップショットは、それらのレコードのスコアが収集されたときに収集されるレコード (sys_ids) のリストです。スナップショットを使用すると、ユーザーはインジケーターのビジュアル化から パフォーマンスアナリティクス レコードにドリルダウンできます。

スナップショットを持つことができるのは、自動インジケーターのみです。スナップショットは、[レコードの収集] が有効になっている自動インジケーターに対してのみ作成されます。次の機能では、レコードを収集する必要があります。

- ウィジェットのスコアから個々のレコードにドリルダウンする パフォーマンスアナリティクス 。
- のレコードを表示しています アナリティクスハブ。
- のレコードを表示しています KPI 詳細。

保存期間

既定では、スナップショットは 183 日間保持されます。この期間は、グローバルに、または特定のインジケーターに対して変更できます。

- グローバルスナップショットの保持期間を変更するには、システムプロパティ *com.snc.pa.dc.keep_snapshots_for.frequency*を編集します。詳細については、「パフォーマンスアナリティクス のプロパティ」を参照してください。
- インジケーターのスナップショットの保持期間を変更するには、インジケーターフォームの [収集期間] タブで [収集期間の上書き] を設定します。詳細については、「インジケーターの詳細設定」を参照してください。

ウィザードを使用した自動インジケーターの作成

そのインジケーターのブレークダウン、ウィジェット、およびデータ収集ジョブを使用して、パフォーマンス分析の自動インジケーターをすばやく作成します。このウィザードを使用するには、KPI の パフォーマンスアナリティクス トレーニングと計画が必要です。

始める前に

インジケーターについて パフォーマンスアナリティクス コンセプト 理解し、分析戦略の一部としてのみ作成してください。で KPI を計画する KPI Composer。を学習します インジケーターを作成するためのワークフロー。

インジケーター ソース ファクト テーブルに少なくとも 1 つのインジケーター ソースとデータ収集ジョブがあることを確認してください。

> ⚠ **警告:**
> このウィザードでは、ビジネスカレンダーまたは会計カレンダーを使用したインジケーターの作成はサポートされていません。

必要なロール：pa_contributor、pa_data_collector、pa_power_user、または pa_admin

このタスクについて

これらの手順は、ウィザードを使用して簡単な自動インジケーターを迅速に作成するためのものです。インジケーター パラメータの全範囲にアクセスする必要がある場合は、「自動インジケーターの作成」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注:
ドメイン分離を使用している場合、現在のドメインにインジケーターが作成されます。

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** > インジケーター > 新規作成。
2. 「 一般 」タブに入力します。

[全般] タブのフィールド

フィールド	説明
インジケーター名	説明的な名前 (「オープンインシデントの平均数」など)。
説明	インジケーターのテキスト説明 (オプション)。目的と内部ロジックを含めることができます。説明は、自分や他のユーザーがインジケーターの目的を思い出すのに役立ちます。
方向	次のいずれかを選択します。 ○ なし:インジケーターに優先する上昇トレンドまたは下降トレンドはありません。 ○ 最小化:インジケータースコアは時間経過とともに減少します。 ○ 最大化:インジケータースコアは時間とともに増加します。
単位	インジケーターのスコアの単位。使用可能な単位は次のとおりです。 ○ **#**:単純な数(デフォルト) ○ **$**:ドル ○ **%**:パーセント
グループ	インジケーターが属するインジケーター グループ (存在する場合)。

3. 「 次へ 」をクリックし、「 データソース 」タブに入力します。

[データソース] タブのフィールド

フィールド	説明
インジケーターソース	利用可能なインジケーターソースの選択。インジケーター ソースは、テーブルとそのテーブルのレコードをフィルタリングする 1 つ以上の条件を参照する Now Platform データ ソースです。ソースを選択した後、 [このインジケーターソースのレコードをプレビュー] を選択できます。 ドメイン分離を使用している場合は、可視性があるインジケーターソースのみを選択できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
集計	インジケーター ソースでインジケーターを計算するときに適用する集計関数。 [カウント] は、レコード数を数えます。[個別のカウント] は、レコードの総数ではなく一意の値の数をカウントします。例えば、ユーザーの名前がリストに複数回表示される場合、そのユーザーは 1 回のみカウントされます。他の選択肢は、レコード間のフィールドの値の合計など、指定された集計演算を実行します。
フィールド/スクリプト	カウント以外の集計の場合は、インジケーター ソースが使用するテーブルのフィールドまたはスクリプトのいずれかを指定する必要があります。集計関数は、フィールドの値またはスクリプトが返す値のいずれかに適用されます。
条件	インジケーター ソースが使用するテーブルのフィールドに適用する値と操作のオプションのリスト。これらの条件は、インジケーター ソースで指定されている任意の条件と重ねられます。 インジケーターの条件にはいくつかの制限があります。詳細については、「」の 自動インジケーターの作成条件を追加する手順を参照してください。

4. [ブレークダウン] タブで、このインジケーターに適用する利用可能なブレークダウンを選択します。
   2 つのレベルのブレークダウンを適用するには、 [ブレークダウン マトリクスを収集] も選択します。
5. [データ収集] タブで、このインジケーターのスコアを収集するデータ収集ジョブを選択します。
   スコアは、ジョブのスケジュールに応じて収集されます。ジョブを手動で実行することもできます。
6. 過去からスコアを収集し、傾向を作成するには、[過去からデータを収集する] を選択し、期間を指定します。
   このジョブは、インジケーターの作成時に 1 回だけ実行されます。すべてのインジケーターで遡及的スコア収集ができるわけではありません。代替手段として、履歴データ収集ジョブをインジケーターに手動で関連付けて実行します。
7. [ウィジェット] タブで、作成する時系列、前回のスコア、およびブレークダウン ウィジェットの任意の組み合わせを選択します。
   既存のダッシュボードのタブにウィジェットを配置することもできます。このウィザードからのウィジェットの作成と表示の詳細については、「」を参照してください インジケーター作成ウィジェットのオプション。
8. 「概要」タブで、変更内容を確認し、「 適用」をクリックします。
   インジケーターが作成され、選択したインジケーター ソース、ブレークダウン、およびデータ収集ジョブにリンクされます。インジケーターに関連付けられたウィジェットが作成され、指定したダッシュボード タブに追加されます。
9. オプション: [別のインジケーターを作成] をクリックして、新しいインジケーターでプロセスを再開します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
データ収集ジョブが過去のスコアを収集するように構成されている場合、[実行] の値が **[1** 回] の一時的なデータ収集ジョブが作成されます。このジョブ レコードは、ジョブの実行後に削除できます。

関連情報

- 自動インジケーターの作成
- インジケーターソース
- インジケータースコアの収集

インジケーター作成ウィジェットのオプション

インジケーターと関連レコードを作成するときにインジケーター データを表示するウィジェットを作成するためのオプションがいくつかあります。使用可能なウィジェット タイプのいずれかまたはすべてを作成できます。

時系列ウィジェットのオプション

フィールド	説明
時系列ウィジェットのオプション	
時系列ウィジェット	インジケーター データを表示する時系列ウィジェットを作成するには、このチェックボックスをオンにします。
時系列	7 日間の合計や平均など、特定の期間のインジケーター スコアで機能を実行します。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーと会計カレンダーは時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットに時系列集計を設定することはできません。
チャート化	データの表示に使用するチャートの種類を選択します。[線]、[列] など。

最新スコアウィジェットのオプション

フィールド	説明
最新のスコア ウィジェット	[チャート化] の値を [最新スコア] にしてインジケーター データを表示するスコア ウィジェットを作成する場合、このチェックボックスをオンにします。
時系列	7 日間の合計や平均など、特定の期間のインジケーター スコアで機能を実行します。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーと会計カレンダーは時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットに時系列集計を設定することはできません。
期間を遡る	スコアを比較する期間の数を選択します。たとえば、[時系列] が [週別合計] の場合は、現在のスコアと過去 4 週間のスコアを比較するために [期間を遡る] の値に **4** を入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ブレークダウン ウィジェット オプション

フィールド	説明
ブレークダウンウィジェット	このインジケーターに適用された各ブレークダウンのスコアカードによるチャート化を含むブレークダウン ウィジェットを作成するには、このチェック ボックスをオンにします。

ウィジェットのダッシュボード表示オプション

フィールド	説明
ダッシュボードの新しいタブにウィジェットを配置	これらのウィジェットを追加するダッシュボードを選択します。ダッシュボードを選択しない場合、ウィジェットレコードは作成されますが、ダッシュボードには追加されません。
新しいタブ名	これらのウィジェットを表示するために作成された新しいタブの名前を入力します。このフィールドは、ダッシュボードを選択する場合に必要です。

関連情報

Performance Analytics ウィジェット

インジケーター (計算)

式インジケーターは、他のインジケーターのデータを使用して新しい測定基準を計算します。

自動インジケーターとは異なり、式インジケーターはデータ収集中に入力されるインジケーターソースに基づいていません。式インジケーターのスコアは、1 つ以上の他のインジケーターからのデータを含む数学ステートメントから計算されます。このデータは、インジケーターのスコアまたはインジケーターの `PAFormulaUtils()` 計算値です。たとえば、式には、インジケーターのスコアと または KPI 詳細でアナリティクスハブ設定されたインジケーター ターゲット値との間のギャップ (差異) を含めることができます。

重要:
式インジケーターのスコアは、ユーザーがダッシュボードまたはでKPI 詳細アナリティクスハブインジケーターを表示すると計算されます。

次の場合は、式インジケーターを作成します。

- 2 つのインジケーターの平均など、複数のインジケーターからスコアを計算します。
- `PAFormulaUtils()` API からインジケーターの計算値を抽出し、その値に対して操作を実行します。
- 複数の組み合わされたインジケーター (インデックスインジケーター) の全体的なターゲットとのギャップを測定すること。

ヒント:
式インジケーターを作成および使用するためのトレーニングを利用できます。ServiceNow University Center のコース「 式インジケーターの概要 」を参照してください。

式インジケーターの作成

式インジケーターを作成して、1 つ以上の他のインジケーターから新しい計算済みスコアを生成します。インジケータースコアに加えて、式にはインジケータースコアとインジケーターターゲットの間のギャップなどの計算を含めることができます。

始める前に

必要なロール：pa_power_user、pa_admin、または admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このタスクについて
多くの場合、式は以下の目的で使用されます。

- 比率とパーセンテージを計算する。
- 異なるアプリケーションのデータを結合する。
- 履歴パフォーマンスに基づいて予測インジケーターを構築する。

式インジケーターのフィールドは、自動インジケーターのフィールドと似ています。ただし、ソース、追加条件、およびコレクションのプロパティの代わりに、式ステートメントが定義されます。式は、他のインジケーター、定数、変数、時系列、またはこれらの要素の任意の組み合わせで構成できます。

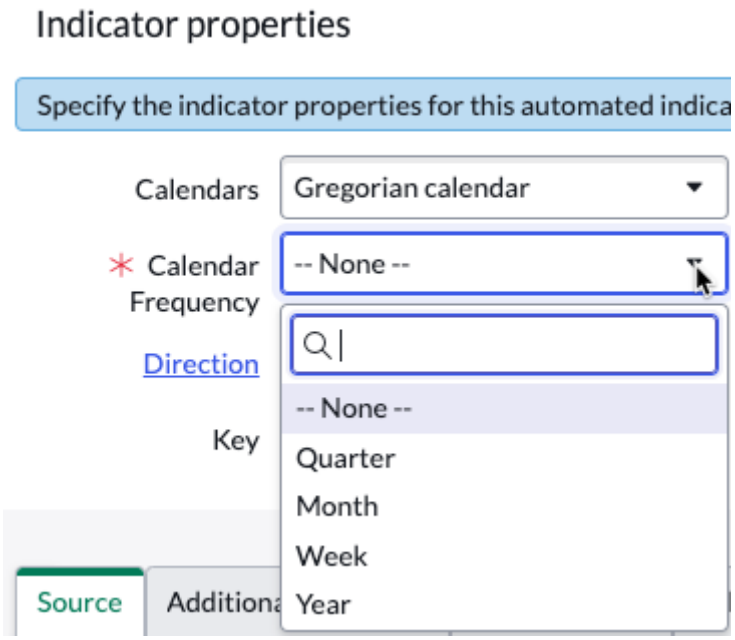
注:

- インジケーターを作成するには、 の パフォーマンスアナリティクス サブスクリプションが必要です。
- ドメイン分離を使用している場合、現在のドメインにインジケーターが作成されます。

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** > インジケーター (計算) をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、「オープンインシデントの平均期間」など、インジケーターにわかりやすい名前を付けます。
3. [カレンダー] フィールドで、標準カレンダー、ビジネスカレンダー、または会計カレンダーグループを選択します。
4. ビジネスカレンダーまたは会計カレンダーを選択した場合は、カレンダー頻度を選択します。式内の少なくとも 1 つのインジケーターは、指定されたカレンダー頻度と一致する必要があります。カレンダー頻度の選択は、ビジネスカレンダーエントリまたは会計カレンダースケジュールの設定によって異なります。

Example
たとえば、グレゴリオ暦には、四半期、月、週、および年の頻度があります。グレゴリオ暦を使用している場合は、これらの頻度のいずれかを選択する必要があります。



自動翻訳

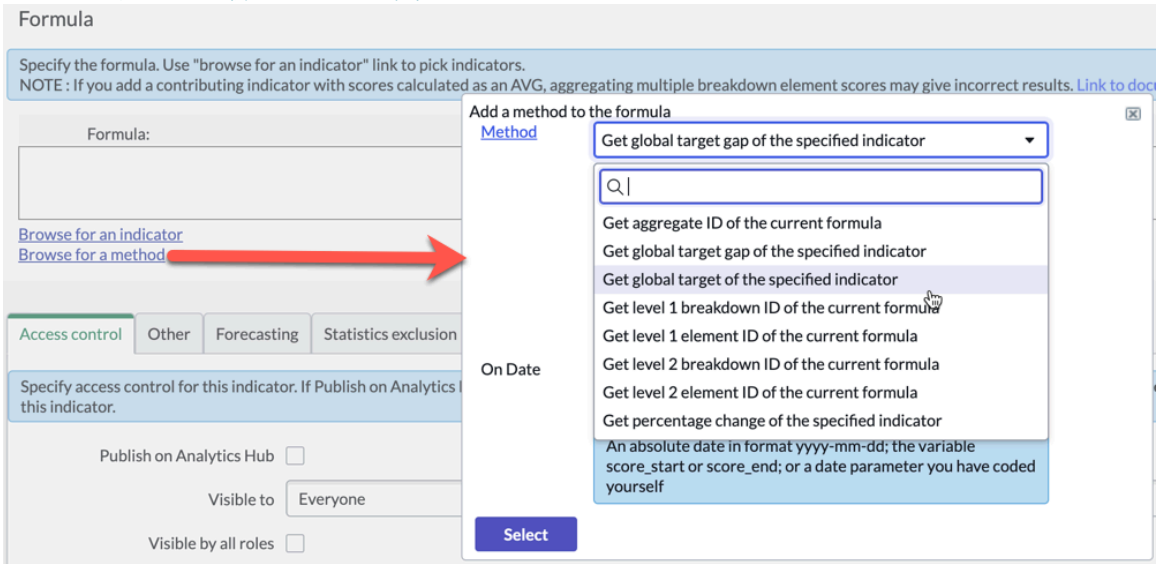
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. このインジケーターのスコアが時間の経過とともに増減することを希望する場合は、[方向] フィールドで [最大化] または [最小化] を選択します。
分析ツールとグラフィック ディスプレイがこのインジケーターの [方向] に使用されています。

> **ヒント:**
> 可能な限り方向を設定します。すべてのキー インジケーターを [最大化] または [最小化] に設定する必要があります。

6. このインジケーターの計算式を定義します。

   a. 計算値を数式で使用するには、メソッド (繰り返し可能) の [参照] をクリックします。
   PAFormulaUtils() のメソッドを式に挿入するためのダイアログが開きます。この API はインジケーターの計算値を返します。この API の使用の詳細については、次のリンクを参照してください 数式で分析メソッドを取得する。



   b. インジケーターのスコアを式に入れるには、[インジケーターの参照] リンクをクリックし、ダイアログに入力します (繰り返し可能)。

インジケーター選択ダイアログ

フィールド	説明
インジケーター	貢献インジケーターとして式に挿入するインジケーター。 このインジケーターにビジネスカレンダーまたは会計カレンダーを使用する場合、式内の少なくとも 1 つのインジケーターで、一致するカレンダーとカレンダー頻度を使用する必要があります。
ブレークダウン、要素、第 2 レベルのブレークダウン、第 2 レベルの要素	インジケーターのスコアをフィルタリングするための最大 2 レベルのブレークダウンと要素。ブレークダウンを指定する場合は、そのブレークダウンの要素を指定する必要があります。これらのブレークダウンと要素は、この貢献インジケーターにのみ適用され、式インジケーター全体には適用されません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
時系列	インジケーターの生のスコアを表示する代わりにインジケーターに適用する、7 日間の実行平均などの事前定義された分析機能。 この時系列は、この貢献インジケーターにのみ適用され、式インジケーター全体には適用されません。
ブレークダウンを許可	式内の個々のインジケーターではなく、式インジケーター全体に適用されるブレークダウンを適用して、この貢献インジケーターに適用します。デフォルトで有効になっています。詳細については、「式内の貢献インジケーターがブレークダウンをフォローしないようにする」を参照してください。 ブレークダウンは、インジケーターの保存後に使用できる [ブレークダウンの管理] ダイアログを通じて式全体に追加されます。ステップ 11を参照してください。
メソッドで使用します。	このインジケーターのスコアの代わりに一意の識別子を返します。式でメソッドのインジケーターを指定する場合は、このボックスを選択します。これらのメソッドは、からインジケーター アナリティクスハブの計算値を取得します。これらのメソッドの使用方法の詳細については、を参照してください 数式で分析メソッドを取得する。

インジケーターは手動で追加できます。ただし、 インジケーターの参照 機能を使用すると、インジケーターとブレークダウン要素に適切な表記があることを確認できます。

式インジケーターを保存すると、式のインジケーターが [貢献インジケーター] 関連リストに表示されます。式インジケーターを含めると、その貢献インジケーターもリストされます。

c. 必要に応じて、 数式 に数学演算子と記号を追加します。

式に含める演算子や数値を入力します。+、-、/、%、>、< などの有効な演算子記号を使用します。式にインジケーターを追加することもできます。たとえば、オープンインシデントの合計経過時間とオープンインシデントの数に基づいてオープンインシデントの平均経過時間を計算するには、[[オープンインシデントの合計経過時間]] / [[オープンインシデント]] / 24 という式を使用します。

式でデータ収集期間を指定するには、変数 score_start とscore_end を使用して、データ収集期間の開始と終了をそれぞれ参照します。ただし、「」の ユーザーのタイムゾーンが異なることによるscore_start/終了の変更注意事項を参照してください。

> ⚠ 警告:
> パフォーマンスアナリティクス スクリプトまたは式インジケーターで `GlideRecords` または `GlideAggregates` を使用しないでください。必要なものを取得するためにこれらの操作を使用する必要がある場合もありますが、これらはコストがかかり、数十万回実行する可能性があります。使用する前に、代替が存在しないことを確認してください。

7. [アクセス制御] タブで、このインジケーターをエクスペリエンスの KPI プラットフォームアナリティクス とリストにアナリティクスハブ公開するかどうか、およびインジケーターの表示をユーザー、グループ、またはロール別に制限するかどうかを設定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

8. [その他] タブで、その他のプロパティを設定します。
これらのプロパティは、式インジケーター全体に適用されます。

[その他] タブのフィールド

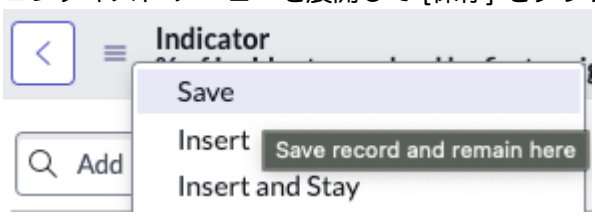
フィールド	説明
デフォルトの時系列	7 日間の実行平均など、事前定義された分析関数。[結果に時系列を適用] が設定されているかどうかに応じて、この時系列は、結果が計算される前の各コンポーネント インジケーターに適用するか、結果に適用することができます。
ライブグループプロファイル	ライブ フィード グループのライブ グループ プロフィール [live_group_profile] レコード。グループプロファイルを指定して、そのグループがこのインジケーターに関する通知を受け取るようにします。 上の Now Platformこのソーシャルアプリケーションの詳細については、「 Live Feed」 を参照してください。
順番	にインジケーターが表示される順番を示す番号。 アナリティクスハブ 最小値のインジケーターがリストの一番上に表示されます。[順序] フィールドに値が指定されていない場合、インジケーターは [名前] フィールドを使用して a から z まで表示されます。[順番] フィールドを使用するには、すべてのインジケーターの順番の番号を入力する必要があります。少数のインジケーターのみに数字を入力すると、インジケーターの表示順序は a から z に戻ります。
実線のレンダリング	選択すると、アナリティクスハブKPI 詳細特定の日付のデータがない場合でも、このインジケーターの破損していないデータ行が表示されます。この動作は、さまざまな開始日のデータセットを表示する場合や、在庫情報など、定期的に更新されないデータを表示する場合に役立つ場合があります。 インジケーターまたは で アナリティクスハブ 時系列が設定されている場合、実線はレンダリングされません。
時系列を結果に適用	結果が計算される前に、各コンポーネントインジケーターではなく、式の計算結果に時系列集計を適用します。このオプションは、ウィジェットまたは上の アナリティクスハブインジケーターに対して選択された時系列に適用されます。インジケーターにデフォルトの時系列が指定されている場合、このオプションはその時系列にも適用されます。詳細については、「結

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	果または貢献インジケーターへの時系列の適用」を参照してください。
計算式コンポーネントが NULL となることを許可する	null スコアが含まれている場合でも計算式が行われます。トラブルシューティングに役立ちます。詳細については、「式にスコアがないインジケーターを検出する」を参照してください。
複数のブレークダウン要素のスコアのアグリゲーションを許可	ウィジェットで、このインジケーターの複数のブレークダウン要素の合計スコアを表示できるようにします。このフィールドが選択されている場合、このインジケーターを使用するブレークダウン ダッシュボードのフォームで集計値または分離値を選択できます。加算、減算、または乗算に基づく数式は、一般に集計を許可するのに適した候補です。パーセンテージの合計が 100% の場合は、パーセンテージもサポートされます。一方、平均で要素を集計した結果、または関連のないパーセンテージの結果は、通常、意味がありません。 **⚠ 警告:** これらの集計は、数学的妥当性がチェックされることはありません。

9. オプション: [予測] タブで、予測方法、予測するデータ収集期間、予測の基礎となる履歴データの量、予測値の上限と下限を設定します。
詳細については、「Performance Analytics スコア予測」を参照してください。
10. コンテキスト メニューを展開して [保存] をクリックします。



11. 数式インジケーター全体にブレークダウンを適用するには、ページ上部の [ブレークダウンの管理] をクリックします。
デフォルトでは、式のすべての貢献インジケーターに対して構成されたブレークダウンのみを適用できます。

> **注:**
> システムプロパティ *com.snc.pa.formula_indicator_valid_breakdown* は、この動作を制御します。デフォルトでは true です。false に変更すると、少なくとも 1 つの貢献インジケーターがブレークダウンを使用する場合に、式インジケーターにそのブレークダウンを適用できます。サポートされていないブレークダウンのスコアをウィジェット、 でアナリティクスハブKPI 詳細表示しようとすると、値の代わりに警告メッセージが表示されます。

式インジケーターレコードのブレークダウン要素を選択することはできません。ブレークダウンを選択できます。ブレークダウンは対話的にのみ使用できます。つまり、、KPI 詳細適切に構成されたウィジェット、およびブレークダウンダッシュボードでのみアナリティクスハブ使用できます。[ブレークダウンを管理] ツールの使用方法の詳細については、「ブレークダウンのアサインとマップ」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

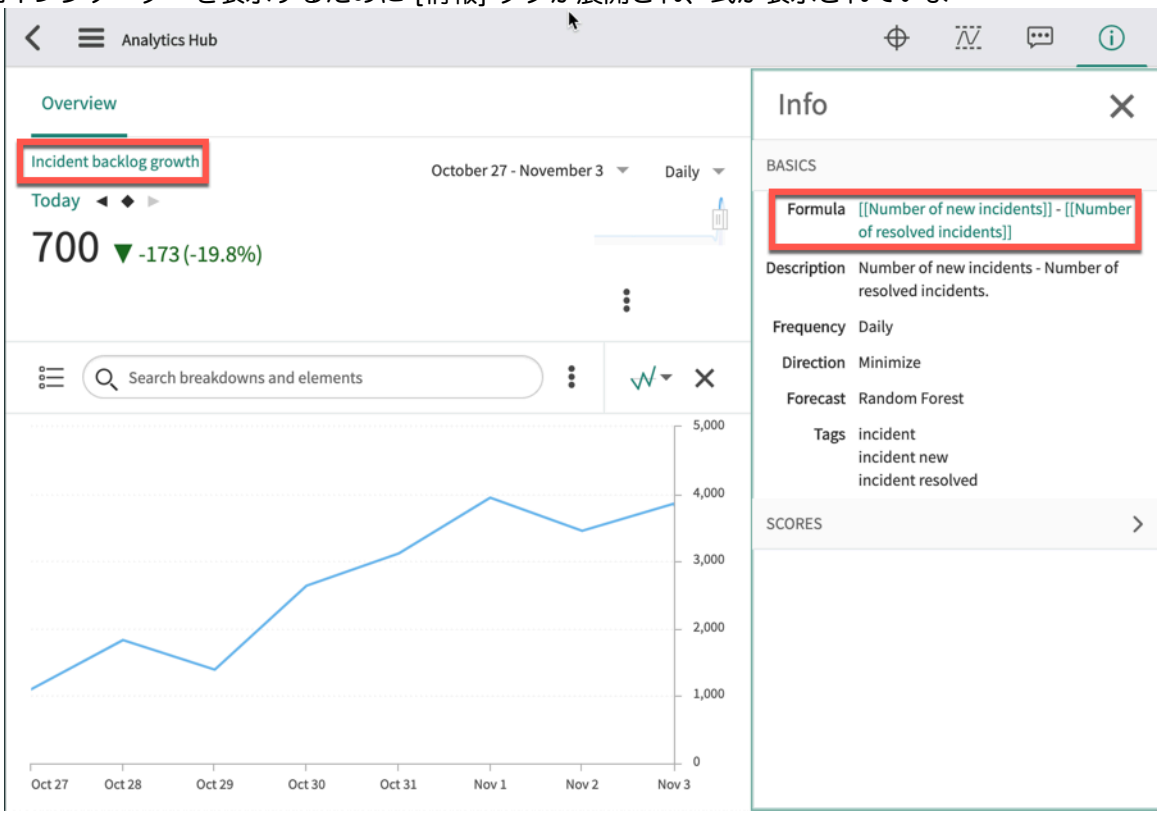
Example: インシデントバックログの増加

インシデントマネージャーは、インシデント解決の効率を向上させたいと考えています。新規インシデントと解決済みインシデントは、既に [新規インシデントの数] および [解決済みインシデントの数] インジケーターとして追跡されています。ただし、これらのインジケーターでは、インシデント解決を改善するという目標を達成できているかどうかはわかりません。

未処理のインシデントの量を測定するには、新しいバックログ増加 KPI が必要です。この KPI を実装するには、次の式を使用して「インシデントバックログの増加」という名前の式インジケーターを作成します。

```
[[Number of new incident]] - [[Number of resolved incidents]]
```

次のスクリーンショットでは、 の アナリティクスハブインシデントバックログの増加インジケーターを表示するために [情報] タブが展開され、式が表示されていま



す。

数式で分析メソッドを取得する

から アナリティクスハブ 計算された値を式に挿入するには、式でメソッドを使用します。

始める前に

必要なロール:pa_power_user、admin

このタスクについて

で アナリティクスハブ 計算された値を式の入力として使用できます。その値は、現在の式インジケーター自体を含む、任意のインジケーターから取得できます。

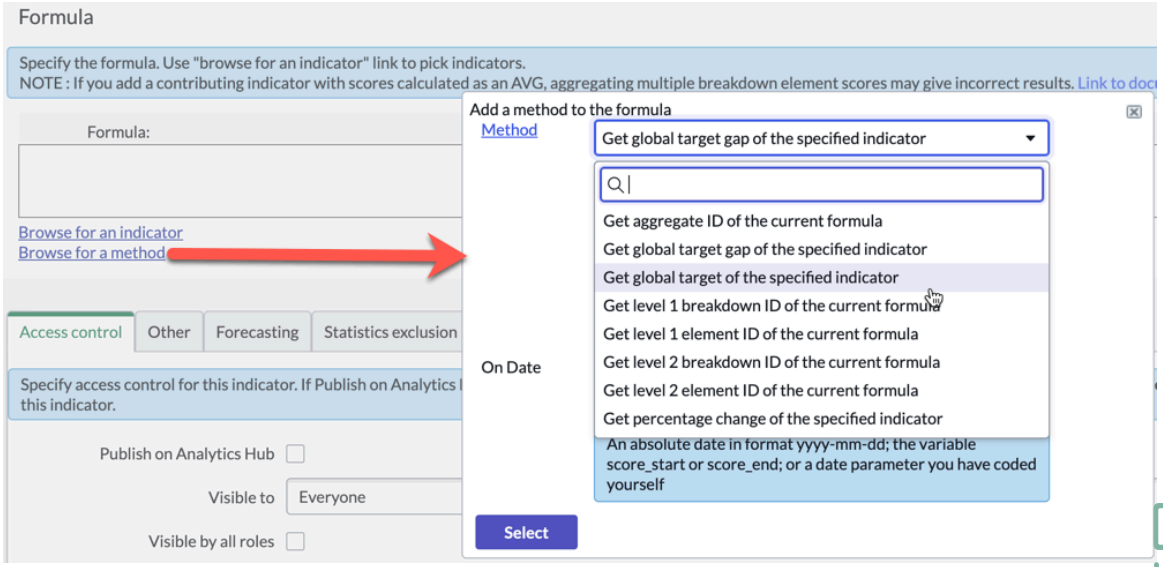
から値を取得するには、アナリティクスハブ`PAFormulaUtils()` のメソッドを式に挿入します。これらのメソッドの 1 つを呼び出すには、変数 pa を使用しますパフォーマンスアナリティクス。たとえば、 `PAFormulaUtils.getScore` メソッドを使用するには、 pa.getScore を呼び出します。詳細については、 「PAFormulaUtils API」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

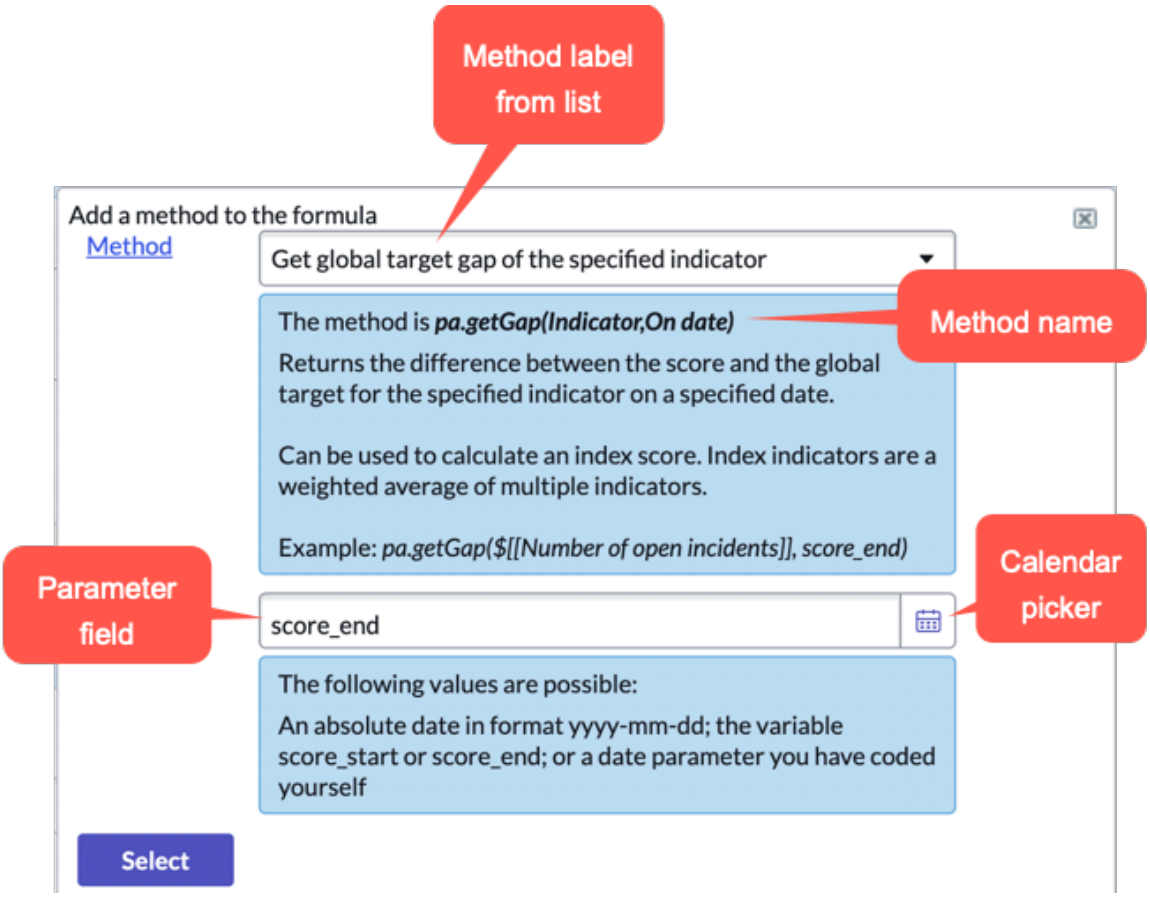
1. 式インジケーターレコードを開きます。
2. [数式] ボックスの下で、 メソッドの [参照] をクリックします。
   メソッドを選択できるダイアログボックスが開きます。
3. ニーズに合った方法を参照します。
   メソッドは、編集している現在の計算式、または指定する必要がある別のインジケーターを参照します。リストには、メソッド名の代わりに各メソッドの説明ラベルが表示されます。



4. メソッドを選択します。
   メソッドを選択すると、メソッドの名前とパラメーターフィールドを含む説明が開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

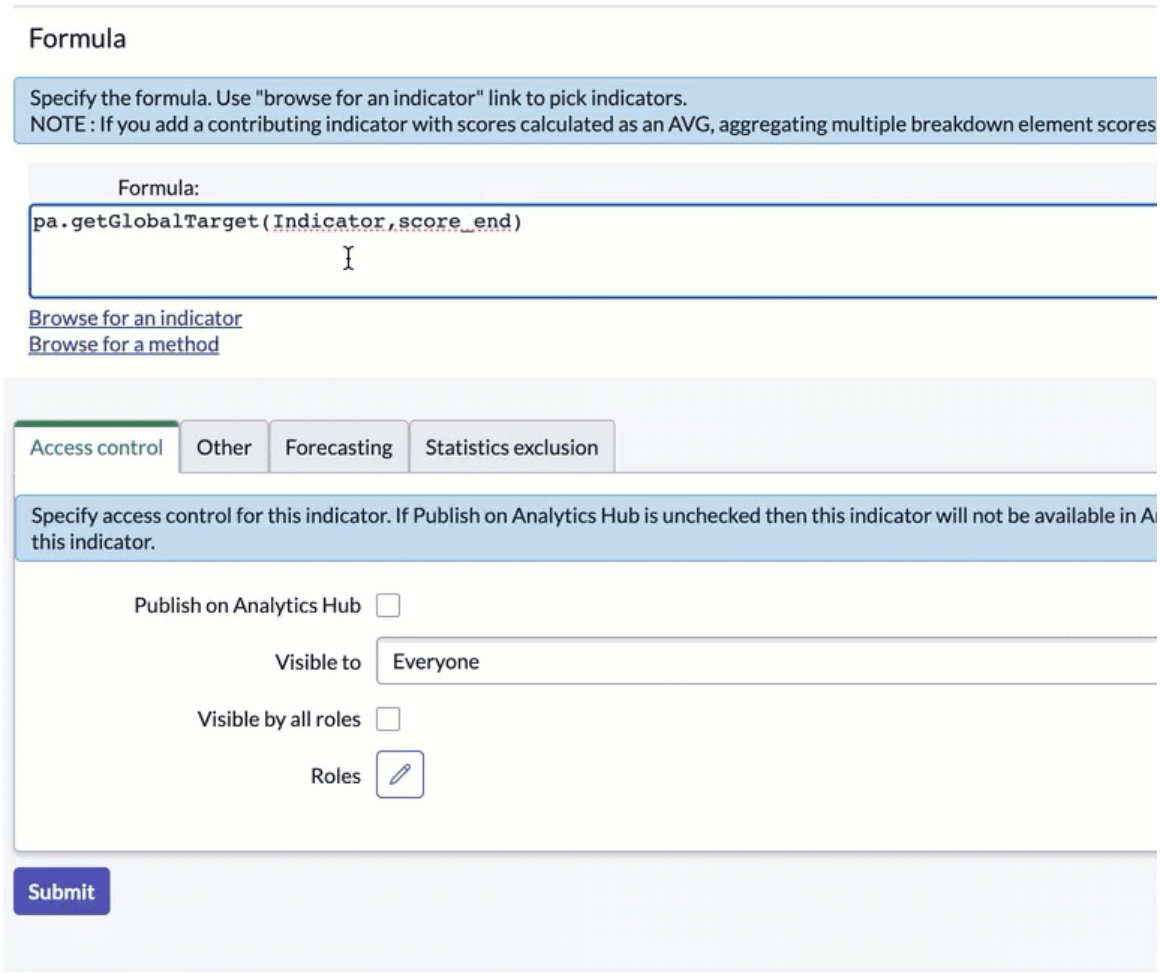


日付フィールドには、次の値を指定できます。

- 2018-12-21 などの YYYY-MM-DD 形式の絶対日付。
- 変数 score_start または score_end。これらの変数は、参照されるインジケーターに対して計算される収集期間の最初と最後の 1 秒を表します。時刻は、ユーザのタイムゾーンとデータベースサーバのタイムゾーン (GMT) の時差から計算されます。詳細については、「ユーザーのタイムゾーンが異なることによるscore_start/終了の変更」を参照してください。
- `GlideDate` または `GlideDateTime` API を使用して自分でコーディングした日付パラメーター。

5. パラメータを入力し、「 選択」をクリックします。
ダイアログが閉じ、メソッドがインジケーターフォームの式フィールドに表示されます。
6. メソッドでインジケーターを指定する必要がある場合は、カーソルで `インジケーター` パラメーターを選択し、[インジケーターの参照] をクリックします。
インジケーター選択ダイアログが開きます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

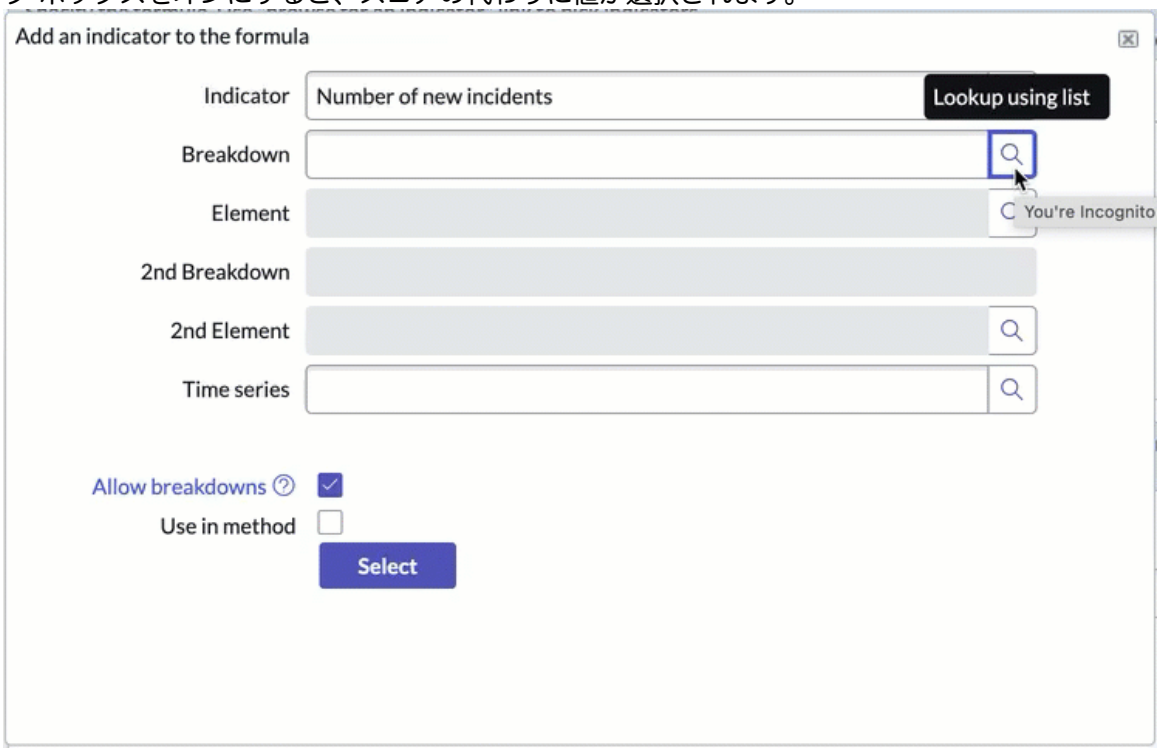


7. インジケーターを選択します。
8. オプション: ブレークダウンまたは要素、および時系列集計を選択します。
9. 「 メソッドで使用 」を選択し、「 送信」をクリックします。
   メソッドが完了し、インジケーターが選択されました。ドル記号 $ がインジケーターの前にあることに注意してください。このドル記号は、 アナリティクスハブ インジケータースコアの代わり

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

にインジケーターの値が返されることを意味します。アナリティクスハブ[メソッドで使用] チェック ボックスをオンにすると、スコアの代わりに値が選択されます。



Example: インデックスインジケーター

インデックスインジケーターは、複数のインジケーターを表す単一のスコアを生成するための式インジケーターのユースケースです。次の例では、次のインジケーターのスコアとグローバル ターゲットの間のギャップを集計する単一のインデックスが必要です。

- 期限切れのインシデントの割合。
- オープンインシデントの前回の更新の平均経過時間。
- オープンインシデントの合計数。

この 1 つのインデックスを取得するには、[方向] を [最大化] に設定して式インジケーターを作成します。すべてのインデックスインジケーターを最大化する必要があります。次に、 メソッドの参照関数と インジケーターの参照 関数を使用して、次の式を作成します。

```
var a = pa.getGap($[[% of open overdue incidents]], score_start) / pa.getGlobalTarget($[[% of
 open overdue incidents]],score_start);
var b = pa.getGap($[[Average age of last update of open incidents]], score_start) /
 pa.getGlobalTarget($[[Average age of last update of open incidents]], score_start);
var c = pa.getGap($[[Number of open incidents]], score_start) / pa.getGlobalTarget($[[Number
 of open incidents]], score_start);
var res = 100 - (100 * (a + b + c) / 3);
res;
```

Example: 変更自体にターゲットを設定する

インシデントバックログで前月比 10% 削減というチームの目標を設定するとします。次の式を使用して式インジケーターを作成し、このインジケーター アナリティクスハブのターゲットを -10% に設定します。

```
var lastPeriod = new GlideDateTime(score_start.getYear() + '-' + score_start.getMonth() +
 '-01');
```

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
lastPeriod.addDaysUTC(-1);
pa.getChangePercentage($[[Number of open incidents]], lastPeriod.addDaysUTC(-1),
 score_start);
```

Example: ブレークダウンと要素に基づいてスコアを除外

優先度 = 1 - 重大のインシデントのスコアを除外するとします。

1. [優先度] ブレークダウンと [1 - 重大] 要素の一意のレコード識別子を取得します。ブレークダウンレコードはブレークダウンテーブルにあります。要素レコードの場所はさまざまですが、ブレークダウンのブレークダウン ソースで特定されます。この場合、要素は選択肢 [sys_choice] レコードです。一意のレコード識別子を取得する方法については、「一意のレコード識別子 (sys_id)」を参照してください。

   一意のレコード識別子は、優先度ブレークダウンの場合は baec0752bf130100b96dac808c0739ed、1 - 重要な要素の場合は 8a4dde73c6112278017a6a4baf547aa7 です。

2. 次の式を使用してインジケーターを作成します。

```
var res = [[Number of open incidents]];
if(pa.getCurrentBreakdownID() == 'baec0752bf130100b96dac808c0739ed' &&
 pa.getCurrentElementID() == '8a4dde73c6112278017a6a4baf547aa7')
{
res = 0;
}
res;
```

PAFormulaUtils API

PAFormulaUtils API を使用すると、で アナリティクスハブ 計算された値を取得し、その値を式の入力として使用できます。

PAFormulaUtils API を使用するには、次の要件を満たす必要があります。

- パフォーマンスアナリティクス を有効にする必要があります。
- この API を使用する式インジケーターを作成するユーザーには、pa_power_user、pa_admin、または admin ロールが必要です。

ドル記号 $ は、 *PAFormulaUtils* パラメータのインジケーター名の前に付きます。たとえば、この例では pa.getGap($[[Number of open incidents]], score_end); のように、インジケーター名が付けられます。このドル記号は、 アナリティクスハブ インジケーター スコアの代わりにインジケーターの計算された値が返されることを意味します。

PAFormulaUtils メソッドの日付パラメータは、次のいずれかの形式を取ります。

- 2018-12-21 などの YYYY-MM-DD 形式の絶対日付。
- 変数 score_start または score_end。これらの変数は、参照されるインジケーターに対して計算される収集期間の最初と最後の 1 秒を表します。時刻は、ユーザのタイムゾーンとデータベースサーバのタイムゾーン (GMT) の時差から計算されます。詳細については、「ユーザーのタイムゾーンが異なることによるscore_start/終了の変更」を参照してください。
- *GlideDate* または *GlideDateTime* API を使用して自分でコーディングした日付パラメーター。

> ⚠ 警告:
> *PAFormulaUtils* API は、式インジケーターでのみ使用でき、スクリプトでは使用できません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

`PAFormulaUtils` API には、次のメソッドが含まれています。

getChange(文字列 **indicator,** オブジェクト **fromDate,** オブジェクト **toDate)**

指定された 2 つの日付の間のインジケーターのスコアの変化を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
インジケーター	文字列	変化を計算するインジケーターの一意の識別子。
開始日	オブジェクト	比較の最初の日付。
toDate	オブジェクト	比較の終了日。

返される内容

タイプ	説明
番号	2 つの日付間の指定されたインジケータースコアの差。

Example: 月初から最終収集期間までの変更

この例では、スコアが毎日収集されるオープンインシデントの数というインジケーターがあります。fromDate パラメーターは、現在の月の最初の 2 秒で、最後の収集期間 (score_start) のタイムスタンプを取得し、タイムスタンプから年と月を抽出し、日を表す数字 01 を付加することによって構成されます。toDate パラメーターは、最後の収集期間の開始のタイムスタンプで、タイムゾーンの違いに応じて、前日の最初の 1 秒になります。

```
pa.getChange($[[Number of open incidents]], new GlideDateTime(score_start.getYear() + '-' +
 score_start.getMonth() + '-01'), score_start);
```

関連情報

PAFormulaUtils API

getChangePercentage(文字列インジケーター, オブジェクト **fromDate,** オブジェクト **toDate)**

指定された 2 つの日付間のインジケーターのスコアの変化率を返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
インジケーター	文字列	変化率を計算するインジケーターの一意の識別子。
開始日	オブジェクト	比較の最初の日付。
toDate	オブジェクト	比較の終了日

返される内容

タイプ	説明
番号	指定された 2 つの日付の間の指定されたインジケーターの変化率。

例：

```
var lastPeriod = new GlideDateTime(score_start.getYear() + '-' + score_start.getMonth() +
 '-01');
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
lastPeriod.addDaysUTC(-1);
pa.getChangePercentage($[[Number of open incidents]], lastPeriod, score_start);
```

関連情報

PAFormulaUtils API

getCurrentAggregateID()

現在の式のインジケーターから時系列集計識別子 (sys_id) を返します。sys_idは、選択 アナリティクスハブ 内容が変更されると動的に返されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	での選択によって変化する現在の式のインジケーターからの動的な時系列集計 ID。 アナリティクスハブ 時系列集計 ID がない場合、メソッドは値を返しません。

例：

```
var res = [[Number of open incidents]];
if(pa.getCurrentAggregateID() == '89ea4c11d7001100ba986f14ce6103dc')
  {
    res = 0;
  }
res;
```

関連情報

PAFormulaUtils API

getCurrentBreakdownID()

現在の式のインジケーターからレベル 1 ブレークダウン識別子 (sys_id) を返します。sys_idは、選択 アナリティクスハブ 内容が変更されると動的に返されます。

特定のブレークダウンの式を変更するときに、この方法を使用してレベル 1 ブレークダウンのsys_idを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
文字列	での選択によって変化する現在の式のインジケーターからの動的なレベル 1 ブレークダウン ID。アナリティクスハブレベル 1 ブレークダウン ID がない場合、メソッドは値を返しません。

例：

```
var res = [[Number of open incidents]];
if(pa.getCurrentBreakdownSysID() == 'baec0752bf130100b96dac808c0739ed' &&
 pa.getCurrentElementSysID() == '8a4dde73c6112278017a6a4baf547aa7')
  {
  res = 0;
  }
res;
```

関連情報

PAFormulaUtils API

getCurrentBreakdownLevel2ID()

現在の式のインジケーターからレベル 2 ブレークダウン識別子 (sys_id) を返します。sys_idは、選択 アナリティクスハブ 内容が変更されると動的に返されます。

特定のブレークダウンの式を変更するときに、この方法を使用してレベル 2 ブレークダウンのsys_idを取得します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	での選択によって変化する現在の式のインジケーターからの動的なレベル 2 ブレークダウン ID。アナリティクスハブレベル 2 のブレークダウン ID がない場合、メソッドは値を返しません。

例：

```
var res = [[Number of open incidents]];
if(pa.getCurrentBreakdownLevel2ID() == 'baec0752bf130100b96dac808c0739ed' &&
 pa.getCurrentElementLevel2ID() == '8a4dde73c6112278017a6a4baf547aa7')
  {
  res = 0;
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
 }
res;
```

関連情報

PAFormulaUtils API

getCurrentElementID()

現在の式のインジケーターからレベル 1 ブレークダウン要素識別子 (sys_id) を返します。sys_id は、選択 アナリティクスハブ 内容が変更されると動的に返されます。

このメソッドは、特定の要素の式を変更する場合に使用します。たとえば、クエリーを実行してさまざまな属性をカウントするときにこのメソッドを使用します。たとえば、変更されないグループから変更のスコアを除外するなどです。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	で アナリティクスハブの選択によって変化する現在の式のインジケーターからの動的なレベル 1 ブレークダウン要素 ID。レベル 1 のブレークダウン要素 ID がない場合、メソッドは値を返しません。

例：

```
var res = [[Number of open incidents]];
if(pa.getCurrentBreakdownID() == 'baec0752bf130100b96dac808c0739ed' &&
 pa.getCurrentElementID() == '8a4dde73c6112278017a6a4baf547aa7')
 {
 res = 0;
 }
res;
```

関連情報

PAFormulaUtils API

getCurrentElementLevel2ID()

現在の式のインジケーターからレベル 2 ブレークダウン要素識別子 (sys_id) を返します。sys_id は、選択 アナリティクスハブ 内容が変更されると動的に返されます。

このメソッドは、特定の要素の式を変更する場合に使用します。たとえば、クエリーを実行してさまざまな属性をカウントするときにこのメソッドを使用します。たとえば、変更されないグループから変更のスコアを除外するなどです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
文字列	での選択に応じて変化する現在の式のインジケーターからの動的なレベル 2 ブレークダウン要素 ID。アナリティクスハブレベル 2 ブレークダウン要素 ID がない場合、メソッドは値を返しません。

例：

```
var res = [[Number of open incidents]];
if(pa.getCurrentBreakdownLevel2ID() == 'baec0752bf130100b96dac808c0739ed' &&
 pa.getCurrentElementLevel2ID() == '8a4dde73c6112278017a6a4baf547aa7')
 {
 res = 0;
 }
res;
```

関連情報

PAFormulaUtils API

getGap(文字列 **indicator,** オブジェクト **onDate)**

指定された日付に、指定されたインジケーターのグローバルターゲットギャップを返します。

ギャップは、指定された日付のスコアとターゲットとの差です。MAXIMIZE 方向のインジケーターの場合、ギャップはスコアからターゲットを引いた値として計算されます。最小化方向または無方向のインジケーターの場合、ギャップはターゲットからスコアを引いたものとして計算されます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
インジケーター	文字列	ギャップ情報を提供するインジケーターの一意の識別子。
onDate	オブジェクト	ターゲット スコアと比較するために使用するスコアの日付。

返される内容

タイプ	説明
番号	指定された日付のスコアとグローバル ターゲット スコアの差。

例：

```
var a = pa.getGap($[[% of open overdue incidents]], score_start) / pa.getGlobalTarget($[[% of
 open overdue incidents]],score_start);
var b = pa.getGap($[[Average age of last update of open incidents]], score_start) /
 pa.getGlobalTarget($[[Average age of last update of open incidents]], score_start);
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var c = pa.getGap($[[Number of open incidents]], score_start) / pa.getGlobalTarget($[[Number
 of open incidents]], score_start);
var res = 100 - (100 * (a + b + c) / 3);
res;
```

関連情報

PAFormulaUtils API

getGlobalTarget(文字列 **indicator,** オブジェクト **onDate)**

指定された日付の指定されたインジケーターに関連付けられたグローバル ターゲットを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
インジケーター	文字列	インジケーターの一意の識別子。
onDate	オブジェクト	グローバルターゲットを返す日付。

返される内容

タイプ	説明
番号	指定された日付とインジケーターのグローバル ターゲット。

例：

```
pa.getGlobalTarget($[[% of open overdue incidents]],score_start);
```

関連情報

PAFormulaUtils API

getPersonalTarget(文字列 **indicator,** オブジェクト **onDate)**

指定された日付の指定されたインジケーターに関連付けられた個人ターゲットを返します。

このメソッドを使用して、個人インデックススコアを取得します。「個人」とは、.アナリティクス ハブ

パラメーター

名前	タイプ	説明
インジケーター	文字列	インジケーターの一意の識別子。
onDate	オブジェクト	個人ターゲットを返す日付。

返される内容

タイプ	説明
番号	指定された日付とインジケーターの個人ターゲット。

例：

```
var a = pa.getGap($[[% of open overdue incidents]], score_start) / pa.getPersonalTarget($[[%
 of open overdue incidents]],score_start);
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var b = pa.getGap($[[Average age of last update of open incidents]], score_start) /
 pa.getPersonalTarget($[[Average age of last update of open incidents]], score_start);
var c = pa.getGap($[[Number of open incidents]], score_start) /
 pa.getPersonalTarget($[[Number of open incidents]], score_start);
var res = 100 - (100 * (a + b + c) / 3);
res;
```

関連情報

PAFormulaUtils API

getScore(文字列 **indicator,** オブジェクト **onDate)**

指定された日付の指定されたインジケーターのスコアを返します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
インジケーター	文字列	スコアを取得するインジケーターの一意の識別子。
onDate	オブジェクト	スコアを返す日付。

返される内容

タイプ	説明
番号	指定された日付とインジケーターのスコア。

例：

```
pa.getScore($[[Number of open incidents]], score_end);
```

関連情報

PAFormulaUtils API

式内の貢献インジケーターがブレークダウンをフォローしないようにする

式内の貢献インジケーターを選択して、ブレークダウンしないようにすることができます。ユーザーが式インジケーターにブレークダウンを適用しても、ブレークダウンはこれらのインジケーターには適用されません。

ブレークダウン ダッシュボードなどで式インジケーターにブレークダウンを適用すると、ブレークダウンはすべての貢献インジケーターに適用されます。{{Indicator}} という構文を使用して、貢献インジケーターが分解されないようにします。[インジケーターの参照] ダイアログの [ブレークダウンを許可] チェック ボックスをオフにすることで、貢献インジケーターがブレークダウンをフォローしないようにすることもできます。このダイアログは、

たとえば、式 [[インシデント]] / [[顧客]] を考えてみます。このインジケーターに地域ブレークダウンを適用し、ブレークダウン要素として EU を指定すると、この式インジケーターは式 [[インシデント > 地域 = eu]] / [[顧客 > 地域 = eu]] を使用してスコアを返します。しかし、すべての地域のインシデントの合計数で割った EU のインシデント数を表示するために、式 [[インシデント]] / {{Customers}} を記述することができます。{{Indicator}} 形式を使用すると、顧客インジケーターはブレークダウンを無視します。この方法で、EU ブレークダウン要素で地域ブレークダウンを適用するしたときに、この式インジケーターは式 [[インシデント > 地域 = EU]] / [[顧客]] と等しくなります。

式インジケーター全体のブレークダウンに従わない貢献インジケーターのブレークダウンと要素を指定することはできます。式 [[Incidents]] / {{Customers > importance = high}} について考えてみま

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

す。この例では、式の分母は常に重要度の高い顧客のみを含むように分解されます。地域ブレークダウンなどの、式インジケーターに適用されるすべてのブレークダウンは、顧客インジケーターには適用されません。

式インジケーターのブレークダウン マトリクス

式インジケーターは、式内のインジケーターからブレークダウン マトリクスを継承します。

式内のすべてのインジケーターがブレークダウン マトリクスを収集する場合、式インジケーターで第 2 レベルのブレークダウンを使用できます。式内のインジケーターがブレークダウン マトリクスを収集しない場合、式インジケーターで第 2 レベルのブレークダウンは使用できません。式内の一部のインジケーターだけがブレークダウン マトリクスを収集する場合、それらのインジケーターのみを第 2 レベルで分解することができます。

Example: 一方または両方のインジケーターについてブレークダウン マトリクスが計算される、2 つの貢献インジケーターを含む式

「オープンインシデントの合計経過時間」と「オープンインシデントの数」インジケーターのブレークダウンマトリクスが収集されるケースを考えてみましょう。次に、次の式を使用してインジケーターを作成します。

```
[[Summed age of open incidents]]/[[Number of open incidents]]/24
```

特定の日に、この式インジケーターのスコアは 170 で、次のように計算されます。

```
Summed age of open incidents with Category = Software and Priority = 2: 8,152 hours
Number of open incidents with Category = Software and Priority = 2: 2
Formula: 8152/2/24=170
```

ブレークダウンマトリクスが「オープンインシデントの合計経過時間」に対してのみ計算される場合はどうなりますか? この場合、「オープンインシデントの数」はカテゴリ別にのみブレークダウンされ、優先度別にはブレークダウンされません。同じ日の同じ式インジケーターのスコアは 11 で、次のように計算されます。

```
Summed age of open incidents with Category = Software and Priority = 2: 8,152 hours
Number of open incidents with Category = Software: 31
Formula: 8152/31/24=11
```

結果または貢献インジケーターへの時系列の適用

式インジケーターの場合、時系列集計は、式内の各インジケーターに個別に適用することも、式の結果に適用することもできます。

[結果に時系列を適用] オプションを使用して、時系列集計の適用方法を決定します。このオプションは、式インジケーターレコードの [その他の プロパティ] タブで選択または無効にできます。このオプションは、 と 、 アナリティクスハブまたは のでのデータの可視化 プラットフォームアナリティクスインジケーターコア UI Performance Analytics ウィジェットに適用するすべての時系列集計に適用されます。このオプションは、インジケーターで設定されているデフォルトの時系列にも適用されます。

注:

- デフォルトの時系列は、 アナリティクスハブ と KPI 詳細にのみ適用されます。ウィジェットまたはデータの可視化で時系列集計を選択しない場合、デフォルトの時系列は適用されません。
- またはで設定を有効にするアナリティクスハブKPI 詳細には、インジケーターにデフォルトの時系列が設定されていない場合は、実際の集計を選択する必要があります。時系列がインジケーターの頻度 (日次、週次など) のみの場合、[時系列を結果に適用] 設定は適用されません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

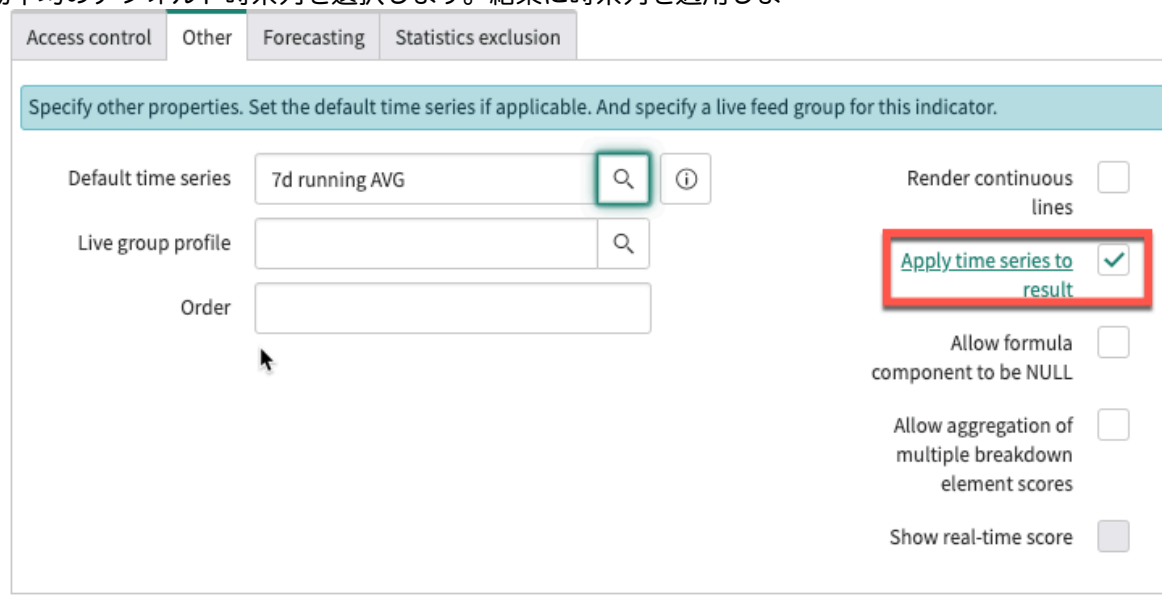
「 結果に時系列を適用 」にチェックを入れると、最初に数式が評価され、次に選択した時系列が最終結果に適用されます。[結果に時系列を適用] がオフの場合、各貢献インジケーターが評価され、デフォルトの時系列が適用されます。次に、式が評価されます。2 つの設定では、結果が大きく異なる可能性があります。どちらの設定も間違っているわけではありませんが、選択する前に、測定対象を慎重に検討する必要があります。

Example: 時系列を結果に適用する場合と貢献インジケーターに適用する場合の比較

式インジケーター「新規 P1 インシデントの割合」を考えてみましょう。このインジケーターは、優先度 1 - 最重要の新規インシデントの割合を毎日計算します。

([[優先度>新規インシデントの数 = 1:重大]] / [[新規インシデントの数]]) * 100

結果の 7 日間の実行平均をデフォルトで アナリティクスハブ表示することにします。インジケーターレコードの [その他] タブで、7 日間移動平均のデフォルト時系列を選択します。結果に時系列を適用します。



結果の計算では、式は日ごとに解決されます。次に、その日と過去 6 日間の結果の平均が取得されます。

((新規 P1/すべて新規$_{\text{Day 1}}$ * 100) + (新規 P1/All new$_{\text{Day 2}}$ * 100)+ ...(新規 P1/新$_{\text{7 日目}}$ *100))/7

最終結果の 7 日間の平均が必要なのか、各インジケーターの 7 日間の平均が必要なのかがわからない。したがって、同じ時系列で前の式インジケーターをコピーしますが、[時系列を結果に適用] はオフにします。これで、式が解決される前に、 Priority = 1 - Critical > の新しいインシデントの数 インジケーターと [Number of new incidents contributors] インジケーターに時系列が個別に適用されます。

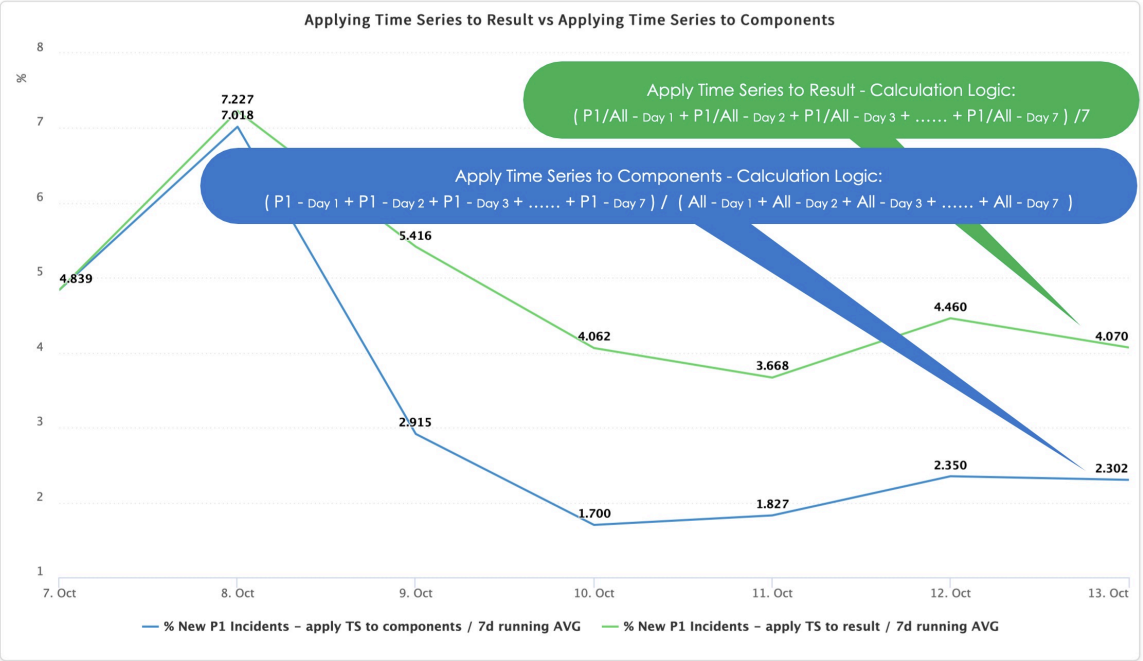
(新しいP1$_{\text{の1日目}}$ +新しいP1$_{\text{の2日目}}$ + ...新しいP1$_{\text{の7日目}}$)/(すべての新しい$_{\text{1日目}}$ +すべての新しい$_{\text{2日目}}$ + ...すべて新しい$_{\text{7)}}$ * 100 日目

両方の式インジケーターを時系列ウィジェットにプロットして、2 つの設定の結果の違いを確認します。デフォルトの時系列は にのみ適用される アナリティ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クスハブため、7 日間移動平均の時系列もウィジェットに追加します。同じ



関連情報

時系列集計の適用

式にスコアがないインジケーターを検出する

式の作成者は、スコアが null の貢献インジケーターを処理できます。最初に、計算式に null スコアが含まれている場合でも計算式を計算するように式インジケーターを設定します。

始める前に

必要なロール:pa_power_user、admin

このタスクについて

式インジケーターの式には、通常、1 つ以上の他のインジケーターが含まれています。これらのインジケーターのいずれかにスコアがない場合、デフォルトでは式は計算されず、式インジケーターはスコアを返しません。ただし、式インジケーターが null を返す代わりにスコアのないインジケーターを識別するユースケースがいくつかあります。まず、式内のインジケーターにスコアがない場合に計算式が計算されるようにします。その後、スコアのないインジケーターに値を割り当てることができます。

手順

1. 対象の式インジケーターを開きます。
2. [**Allow formula component to be null** (数式コンポーネントを **null** にすることを許可する)] を選択します。
3. [式] に、スコアがないときにインジケーターに値を割り当てる if{} else {} ステートメントを追加します。

Example: 式コンポーネントを **null** にすることを許可するフィールドインジケーター

クローズされたインシデントがないため、インジケーター [クローズされたインシデントの数] にスコアがない収集期間について、次の式インジケーターを検討してください。

フォーミュラ1:

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
[[Number of open incidents]] / [[Number of closed incidents]]
```

フォーミュラ2:

```
[[Formula 1]] + 23
```

フォーミュラ3:

```
if ([[Formula 1]] == null) { 23 } else { 11 }
```

フォーミュラ4:

```
[[Formula 2]] || 64
```

フォーミュラ5:

```
(([[Formula 1]] == null && [[Formula 2]] == null) ? 11 : 18)
```

どの式インジケーターに対しても [式コンポーネントの **null** を許可] が選択されていない場合、どの式インジケーターにもスコアはありません。

すべての式インジケーターに対して [式コンポーネントの **null** を許可] が選択されている場合、次のスコアがあります。

- 式 1 = null
- 式 2 = 23
- 式 3 = 23
- フォーミュラ4 = 64
- 式 5 = 11

式 2、式 3、式 4、および式 5 は、null スコアを処理する 4 つの異なる方法を表します。

式内の複数のインジケーターのインデックス作成

複数の結合されたインジケーターの全体的なターゲットに対するギャップを測定する式を記述できます。このような式インジケーターは「インデックスインジケーター」と呼ばれます。

プロセス、サービス、グループ、およびその他のビジネスエンティティのパフォーマンスは、多くの場合、複数のインジケーターを使用して追跡および監視されます。これらのプロセス、ビジネスサービス、またはワークグループのパフォーマンスを表示および分析すると、全体像が複雑であいまいになる可能性があります。例：

- 3 つのインジケーターのスコアはやや改善しましたが、そのうちの 2 つのスコアは依然として目標を下回り、1 つは目標を上回っています。
- 1つの指標のスコアはほぼ同じままで、依然として目標を下回っています。
- 1つの指標のスコアは大幅に悪化しましたが、幸いなことに目標をわずかに上回っています。

この情報を見ると、次の質問に対する答えが明確ではありません。

- プロセス/サービス/グループの全体的なパフォーマンスは、依然として目的レベル以上でしょうか？
- 全体的なパフォーマンスは向上しましたか？

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インデックスインジケーターは、これらの質問に回答できます。インデックスインジケーターを使用すると、複数のインジケーターのスコアが 1 つのスコアに集計されます。これは、いくつかのインジケーターの加重平均です。これらのインジケーターの加重合計が改善している場合、インデックス式の計算スコアは上がります。他のインジケーターと同様に、インデックスインジケーターは、スコアが良好かどうか、およびスコアが改善されたかどうかを示します。

インデックス インジケーターの背後にある原則は、各インジケーターの 100 にインデックス付けされたスコア値を計算することです。これらのインデックス付きスコアがある場合、数学的にはそれらの全体的な平均を計算できます。

インデックス インジケーターに含めるには、インジケーターに方向とターゲットが必要です。最大化方向を持つインジケーターのインデックス付きスコアを計算するための基本的な式は次のとおりです。

```
100 + (((actual score - target) / target) * 100)
```

最小化方向を持つインジケーターの場合、式は次のようになります。

```
100 - (((actual score - target) / target) * 100)
```

インジケーターの重み付けを均等にしている場合は、個々のインジケーターを 100 にインデックス化する代わりに、最終的な集計を 100 にインデックス化することができます。

PAFormulaUtils() API のメソッドを使用して、からインジケーターアナリティクスハブのスコアとターゲットの差を取得できます。詳細については、以下を参照してください 数式で分析メソッドを取得する。

```
pa.getGap(indicator, On date) / pa.getGlobalTarget(indicator, On date)
```

異なる方向の演算子により、基になるインジケーターのスコアが改善 (上昇または下降) している場合、インデックスインジケータースコアは増加しています。したがって、インデックス インジケーターの方向は常に [最大化] に設定してください。

インジケーターにターゲット値が設定されていない場合は、代わりにノルム値を使用します。ターゲット値またはノルム値が 0 に等しいインジケーターは、0 で除算する必要があるため、インデックスインジケーターでは使用できません。

各インデックス インジケーターのターゲットを 100 に設定します。このターゲットは、基礎となるすべてのインジケーターの実際のスコアがターゲット値または標準値と等しい場合に、総合的に計算されたインデックス付きスコアになります。

インデックスインジケーターは、複数の組み合わされたインジケーターの全体的なターゲットとのギャップを測定します。「目標達成率」を測定しています。

Example: PAFormulaUtils() メソッドを使用したインデックスインジケーター

次の例では、次のインジケーターのスコアとグローバル ターゲットの間のギャップを集計する単一のインデックスが必要です。

- 期限切れのインシデントの割合。
- オープンインシデントの前回の更新の平均経過時間。
- オープンインシデントの合計数。

この単一のインデックスを取得するには、次の手順に従ってインデックスインジケーターを生成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

1. 移動先 パフォーマンスアナリティクス > インジケーター (計算) をクリックし、[新規] をクリックします。インデックスインジケーターは、式インジケーターのユースケースです。
2. インジケーターに「 インシデントギャップの集計 **(Aggregate incident gap)**」など、わかりやすい名前を付けます。
3. インデックス インジケーターを作成しているため、[方向] を [最大化] に設定します。
4. [式] フィールドでは、 メソッドの参照 関数と インジケーターの参照 関数を使用して、次の式を作成します。

```
var a = pa.getGap($[[% of open overdue incidents]], score_start) / pa.getGlobalTarget($[[%
 of open overdue incidents]],score_start);
var b = pa.getGap($[[Average age of last update of open incidents]], score_start) /
 pa.getGlobalTarget($[[Average age of last update of open incidents]], score_start);
var c = pa.getGap($[[Number of open incidents]], score_start) /
 pa.getGlobalTarget($[[Number of open incidents]], score_start);
var res = 100 - (100 * (a + b + c) / 3);
res;
```

3 つのインジケーターは均等に重み付けされているため、集計のインデックスは個々のインジケーターではなく 100 になります。

ユーザーのタイムゾーンが異なることによる**score_start/**終了の変更

式インジケーターの場合、変数 score_start および score_end の値は、式を実行しているユーザーのタイムゾーンに基づいて計算されます。異なるタイムゾーンのユーザーが同じ式を実行すると、score_start と score_end の値が変わります。

> ⚠ 警告:
> 異なるタイムゾーンのユーザーが同じ式を表示すると、 score_start 変数と score_end 変数の日付値がシフトする可能性があります。

式には 、式 が参照するインジケーターのパラメーターとして score_startまたはscore_end 変数を含めることができます。これらの変数は、参照されるインジケーターに対して計算される特定の収集期間の最初と最後の 1 秒を表します。score_start変数とscore_end変数の値は、数式を実行するユーザーのタイムゾーンとデータベースサーバーのタイムゾーン (GMT) の差から計算されます。ユーザーは、ダッシュボード ウィジェットまたは .アナリティクスハブ その結果、異なるユーザーが同じ式を表示すると、収集期間の開始または終了の日付値がシフトする可能性があります。

Example: ユーザーのタイムゾーンごとに異なる**score_end**値

日次周期と次の式を持つ式インジケーターを考えます。

```
pa.getScore($[[Number of open incidents]], score_end);
```

10 月 18 日に 3 人の異なるユーザーが、この式インジケーターを含むダッシュボードウィジェットを表示します。データベース サーバーは、10 月 18 日の score_end を 10 月 18 日の 23:59:59 GMT と見なします。

- 1 人のユーザーがヨーロッパ/ベルリンのタイムゾーンにいます。score_end値は「2019-10-18 21:59:59」で、10 月 18 日の日付のスコアが返されます。
- 1 人のユーザーが米国/太平洋タイムゾーンにいます。score_end値は「2019-10-19 06:59:59」で、10 月 19 日の日付のスコアが返されます。
- 1 人のユーザーが GMT タイムゾーンにいます。score_end値はデータベース サーバー "2019-10-18 23:59:59" と一致し、10 月 18 日の日付のスコアが返されます。

関連情報

パフォーマンスアナリティクス の変数

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手動インジケーター

手動インジケーターは、データベースから収集されたスコアを使用しません。 手動インジケーターは通常、ServiceNow インスタンスから取得できないデータに使用されます。データが第三者の営業システムからの顧客データなど外部システムからのものであるためです。

始める前に

必要なロール：pa_admin、pa_power_user、または admin

このタスクについて

手動インジケーターは、インジケーター ソースに関連付けられていません。手動インジケーターのスコアは、データ収集ジョブによって自動的に生成されません。代わりに、スコアシートに手動でスコアを追加することで、これらのインジケーターに入力します。

注:

- インジケーターを作成するには、 の パフォーマンスアナリティクス サブスクリプションが必要です。
- ドメイン分離を使用している場合、現在のドメインにインジケーターが作成されます。

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** > インジケーター > インジケーター (手動) をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、[重要なインシデントの数] など、記述名をインジケーターに指定します。
3. [周期] フィールドで、スコアが設定される周期を選択します。
   デフォルト値は [日次] です。

   注:
   手動インジケーターの周期では、そのデータをチャート化する方法を指定します。たとえば、チャートで 1 日あたりまたは 1 か月あたりのデータ ポイントを設定した場合、この設定はスコアシートにも影響するため、日次または月次のどちらの値を入力できるかが決まります。

4. このインジケーターのスコアが時間の経過とともに増減することを希望する場合は、[方向] フィールドで [最大化] または [最小化] を選択します。
   分析ツールとグラフィック ディスプレイがこのインジケーターの [方向] に使用されています。

   ヒント:
   可能な限り方向を設定します。すべてのキー インジケーターを [最大化] または [最小化] に設定する必要があります。

5. オプション: 次のインジケータープロパティのいずれかを指定します。

フィールド	説明
単位	数値、日数、割合などスコアの測定単位。 (Optional) [価格]、[通貨]、または [FX 通貨] フィールドでシステム参照通貨でスコアを収集するには、[参照通貨を使用] を選択します。詳細については、「参照通貨でのインジケータースコア」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	単位として % または期間を選択する場合は、インジケーターへの適用対象から時系列を除外することを検討してください。詳細については、「インジケーターからの時系列の除外」を参照してください。 単位として [時間] を選択した場合、時間は [日]、[時間]、および [分] で指定されます。システムプロパティ *glide.ui.duration.seconds.enabled* が存在し、true の場合は、秒も表示されます。この場合、秒はインスタンスのすべての時間フィールドにも表示され、Excel への Microsoft エクスポートに含まれます。
精度	小数点の後ろの桁数。詳細については、「インジケーターの丸めと精度」を参照してください。 このフィールドは、単位が [参照通貨を使用] の場合は使用できません。この場合、精度は参照通貨から継承されます。
数値形式	多数の略語、数千から五分の一までに使用される略語。詳細については、「インジケーターの丸めと精度」を参照してください。
キー	インジケーターをキー インジケーターとして識別します。のインジケーターのリストをフィルタリングするためにのみ使用されます **Performance Analytics** > 分析ハブ。

6. [アクセス制御] タブで、このインジケーターをエクスペリエンスの KPI プラットフォームアナリティクス とリストにアナリティクスハブ公開するかどうか、およびインジケーターの表示をユーザー、グループ、またはロール別に制限するかどうかを設定します。
7. [アクセス制御] タブで、インジケーター スコア追加の権限を持つ貢献者になるユーザーを設定します。
pa_admin、pa_power_user、または pa_contributor ロールを持つユーザーのみを選択できます。
8. [その他] タブで、その他のさまざまなプロパティを設定します。

フィールド	説明
デフォルトの時系列	インジケーターの生のスコアを表示する代わりにインジケーターに適用する、7 日間の実行平均などの事前定義された分析機能。 詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: ビジネスカレンダーまたは会計カレンダーを使用するインジケーターにデフォルトの時系列を設定することはできません。これらのカレンダーは時系列集計をサポートしていません。
ライブグループプロファイル	ライブ フィード グループのライブ グループ プロフィール [live_group_profile] レコード。グループプロファイルを指定して、そのグループがこのインジケーターに関する通知を受け取るようにします。 上の Now Platformこのソーシャルアプリケーションの詳細については、「 Live Feed」 を参照してください。
値がない時の挿入値	値が収集されない場合にスコアとして挿入される値。 この値はインジケーター スコアにのみ適用されます。ブレークダウン要素のスコアには影響しません。
順番	にインジケーターが表示される順番を示す番号。 アナリティクスハブ 最小値のインジケーターがリストの一番上に表示されます。[順序] フィールドに値が指定されていない場合、インジケーターは [名前] フィールドを使用して a から z まで表示されます。[順番] フィールドを使用するには、すべてのインジケーターの順番の番号を入力する必要があります。少数のインジケーターのみに数字を入力すると、インジケーターの表示順序は a から z に戻ります。
実線のレンダリング	選択すると、アナリティクスハブKPI 詳細特定の日付のデータがない場合でも、このインジケーターの破損していないデータ行が表示されます。この動作は、さまざまな開始日のデータセットを表示する場合や、在庫情報など、定期的に更新されないデータを表示する場合に役立つ場合があります。 インジケーターまたは で アナリティクスハブ時系列が設定されている場合、実線はレンダリングされません。

9. オプション: [予測] タブで、予測方法、予測するデータ収集期間、予測の基礎となる履歴データの量、予測値の上限と下限を設定します。
詳細については、「Performance Analytics スコア予測」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

次のタスク
手動ブレークダウンを作成して、このインジケーターにアサインします。次に、スコアを手動で追加します。

関連情報

手動ブレークダウン

インジケーターのスコアの手動での追加または編集

Performance Analytics スコア予測

パフォーマンスアナリティクス を使用すると、過去の動作に基づいて将来のスコアを予測できます。時系列ウィジェット、時系列データの視覚化、KPI 詳細および .アナリティクスハブ 予測スコアは点線で表示されます。

予測は、インジケーター レコードの [予測] タブで設定します。予測に含まれるデータポイントの数は、インジケーターの頻度と、インジケーターで構成された 予測期間 の数によって異なります。期間は、インジケーターの頻度に基づいて設定されたスコア数です。設定と予測方法に関係なく、生成される予測データポイントは 2688 個までです。

注:
での 構成可能ワークスペース時系列データの可視化では、インジケーターに設定されている予測構成を上書きできます。この上書きは、そのデータ可視化にのみ適用されます。

また、時系列データの視覚化では、インジケーターの パフォーマンスアナリティクス 予測に限定されません。の パフォーマンスアナリティクスサブスクリプションバージョンを使用している場合は、テーブルを除くすべてのデータソースの予測を生成できます。詳細については、「で時系列のビジュアル化を作成する 可視化デザイナー」を参照してください。

この機能には、ServiceNow® Store のデータの可視化 24.0.x アプリケーションが必要です。

関連情報

自動インジケーターの作成

インジケーターの予測を構成する

自動インジケーターのレコードで、ウィジェットに表示される予測アナリティクスハブパフォーマンスアナリティクス、および時系列データの可視化を設定します。

始める前に
必要なロール:pa_power_user、pa_admin、admin

手順

1. 移動先 **Performance Analytics** > インジケーター > 自動インジケーター。
2. 予測を構成する自動インジケーターを開きます。
3. [予測] タブに移動します。
4. 以下の値を設定します:

フィールド	説明
使用した予測方法	このインジケーターの値を予測するためにシステムが使用する統計手法。デフォルト値は [自動] で、データに最適な方法が選択されます。詳細については、「予測方法の選択」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
予測期間	スコアを予測する将来のデータ期間の数。 **注:** 期間の長さはインジケーターの頻度に基づいています。詳細については、「インジケーター予測期間」を参照してください。
予測下限	予測スコアの意味のある最小値。この値よりも低いスコアが予測されている場合は、代わりにこの値が表示されます。
予測上限	予測スコアの意味のある最高値。この値よりも高いスコアが予測される場合は、代わりにこの値が表示されます。

5. 予測の基にするスコアを選択します。

オプション	説明
すべてのスコア	このインジケーターについて収集されたすべてのスコア
前の期間	予測の基となる現在までのデータ期間の数。これらのデータ期間は、 予測期間の期間と同じ長さです。 [前の期間] を選択した場合は、[期間] フィールドで期間の数も指定します。
開始日（固定）	開始日以降に収集されたすべてのスコア。[固定開始] を選択した場合は、[開始日] も指定します。

予測方法の選択

統計の専門家は、手動で予測方法を選択できます。デフォルトでは、インスタンスはメソッドの適合性に基づいて最適なメソッドを自動的に選択します。

最適な予測方法を決定するために、インスタンスは履歴データで各予測方法を使用して予測を生成します。インスタンスは、どの程度先まで予測するかに基づいて、それらの予測と最新のデータを比較します。インスタンスは、予測を表示するたびにこの評価を実行します。したがって、追加のスコアを収集したり、予測期間を変更したりすると、使用される予測方法が変更される可能性があります。

たとえば、2 期間先を予測する日次頻度のインジケーターを設定すると、インスタンスは 2 週間より前の履歴データに各予測方法を適用します。次にインスタンスは、これらの予測を最新の 2 週間分のデータと比較します。最新の 2 週間分のデータに最も近似する予測が、データ セット全体を使用して再計算されます。このインスタンスでは、この最終計算 アナリティクスハブ の結果を または で表示します KPI 詳細。

予測方法

パフォーマンスアナリティクス では、次の標準的な予測方法を使用できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

メソッド	説明
リニア	定数と傾向を説明変数として使用し、履歴スコアに基づいて線形回帰予測を生成します。
季節雇用	季節ダミーを説明変数として使用し、履歴スコアに基づいて線形回帰予測を生成します。 この分析の「季節」は 1 つの期間です。
季節傾向	季節性がありますが、説明変数として傾向が含まれています。
Loess による季節傾向分解 (STL)	最適な関数に基づいて季節予測を生成します。この方法は、指数関数的に重み付けされた移動平均アプローチを使用して、傾向、季節、およびランダムノイズプロセスをデータに適合させます。予測は完全なデータセットに基づいており、最近の観測結果ほど重み付けが高くなります この分析の「季節」は 1 つの期間です。
ランダムフォレスト (RF)	意思決定ツリーの組み合わせを作成し、これらのツリーによって生成された予測を平均して単一の予測を取得します。ランダム性は、利用可能なデータと入力のランダムなサブセットから構築された各ツリーに由来します。ランダムフォレスト手法の詳細については、この「Medium の記事」を参照してください。
自己回帰 (AR)	自己回帰 (AR) モデルは、傾向、季節ダミー、および過去の値の線形結合を使用して、インジケーターの将来の値を予測します。ランダムフォレスト (RF) モデルと同様に、AR モデルは最適な遅延数をチェックします。ただし、AR モデルは現在と過去の値を直線的に関連付けますが、RF モデルは非線形です。

インジケーター予測期間

スコアの頻度に応じて、異なる期間の長さが選択されます。表を参照して、系列に使用される期間の長さを確認してください。

スコアの周期	期間あたりのデータポイント数	総期間長
日次	7	1 週間
週次	13	1 四半期
隔週	6	1 四半期
4 週間ごと	13	1 年
月次	12	1 年
隔月	6	1 年
四半期ごと	4	1 年
会計四半期ごと	4	1 年
半年ごと	2	1 年
年次	4	4 年
会計年度ごと	4	4 年

予測とターゲット

インジケーターの予測が有効になっていて、グローバル ターゲットが定義されている場合、ターゲットにいつ到達するかが予測に表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

さらに、インスタンスは、ターゲット到達が予想される 14 日前に通知を送信します。プロパティを設定する *pa.job.forecast.target.days_to_check* ことで、何日前に通知を送信するかを変更できます。

この機能は、グローバル ターゲットでのみ使用できます。しきい値と個人のターゲットは、予測に関係しません。

関連情報

パフォーマンスアナリティクス ターゲットとしきい値

時系列集計による予測

インジケーターに時系列集計を適用すると、予測期間の長さが変更されます。変更は、時系列のタイプによって異なります。

予測期間に対する時系列集計の影響

時間集計	予測期間への影響	例
実行中	期間内のポイント数は、「範囲」フィールドの値と等しくなります。	7 日間の移動合計の場合、予測期間には 7 つのデータポイントがあります。28 日間の移動合計の場合、28 個のデータ ポイントがあります。
期間別	選択した期間は、インジケーターの頻度であるかのように扱われます。	日次インジケーターに適用される「週別」時間集計には、予測期間 (四半期) ごとに 13 個のデータポイントがあります。この予測期間は、時間集計のない週次インジケーターの場合と同じです。
終了日	期間の長さは集計のタイムスパンと一致します。期間あたりのデータポイント数は、この時間スパンとインジケーター頻度の積です。	このセクションの残りの部分を参照してください。

頻度が日次であるインジケーターの場合、累計集計の期間ごとのデータポイント数は次のようになります。

日次インジケーターの期間ごとのデータ ポイント (累計時間集計あり)

週度累計	月度累計	四半期累計	年度累計
7	30	91	365

1 つの例外を除き、頻度が日次でないインジケーターは、累計時間集計のうち年初来のみをサポートします。月次インジケーターは例外です。また、四半期累計の時間集計もサポートされています。四半期累計集計の月次インジケーターには、期間ごとに 3 つのデータポイントがあります。さまざまなインジケーター頻度の予測期間あたりのデータポイント数 (年初来累計集計あり) は次のとおりです。

年初来の時系列集計の予測期間あたりのデータポイント数

インジケーターの周期	期間、年度累計ごとのデータポイント
日ごと	365
週次	52

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

年初来の時系列集計の予測期間あたりのデータポイント数 (続く)

インジケーターの周期	期間、年度累計ごとのデータポイント
4 週間ごと	13
隔週	26
四半期ごと (会計)	4

関連情報

時系列集計の適用

インジケータースコア予測の表示

クラシック環境では、時系列ウィジェットまたは アナリティクスハブ. では 構成可能ワークスペース、時系列データの視覚化に関する予測を表示するか KPI 詳細、.

時系列ウィジェットに予測を表示するには、[ウィジェット] フォームの [表示設定] セクションで [予測を表示] を選択します。[予測範囲を表示] を選択すると、予測の 95% 信頼間隔を表示することもできます。詳細については、「時系列ウィジェット」を参照してください。

で アナリティクスハブ予測を表示するには、チャート設定アイコン( )をクリックし、[予測]オプションを有効にします。同様に、 で KPI 詳細[チャート オプション] を開き、[予測] を有効にします。

時系列データの視覚化で予測を表示するには、[追加設定] を展開して [予測の表示] をオンにします。その後、予測範囲を表示するオプションがあります。[予測を構成] を開くことで、この特定のデータ可視化のインジケーターの予測構成を上書きできます。

で KPI 詳細インジケーターの予測を表示するには、で のチャートオプション KPI 詳細予測をオンにします。

関連情報

時系列ウィジェットの追加設定

アナリティクスハブ 特定のインジケーターの

時系列可視化のインジケーターデータオプション

でのインジケーターの探索 KPI 詳細

インジケーター グループの作成

便宜上、関連するインジケーターをインジケーター グループに整理できます。複数のインジケーターを表示するチャート化を構成する場合は、個々のインジケーターの代わりにインジケーター グループを指定できます。

始める前に

必要なロール：pa_admin、pa_power_user、または admin

このタスクについて

インジケーター グループを作成することで、最も役立つテーマに沿ってインジケーターを整理できます。インジケーターは、同じタイプである必要はなく、インジケーター ソースまたはデータ コレクタ ジョブを共有する必要もありません。インジケーター グループを使用すると、次のオブジェクトを構成するときに複数の個別のインジケーターを指定する手間が省けます。

- リストウィジェット
- 相対比較によるチャート化を使用した時系列ウィジェット

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- インジケーターに関するメール通知
- [Security Incident Analytics] ツリーマップ

インジケーター グループを作成した後、インジケーターをグループに追加したり、グループから削除したりできます。この変更は、インジケーター グループを使用するすべてのオブジェクトに反映されるため、オブジェクトの構成を編集する必要はありません。

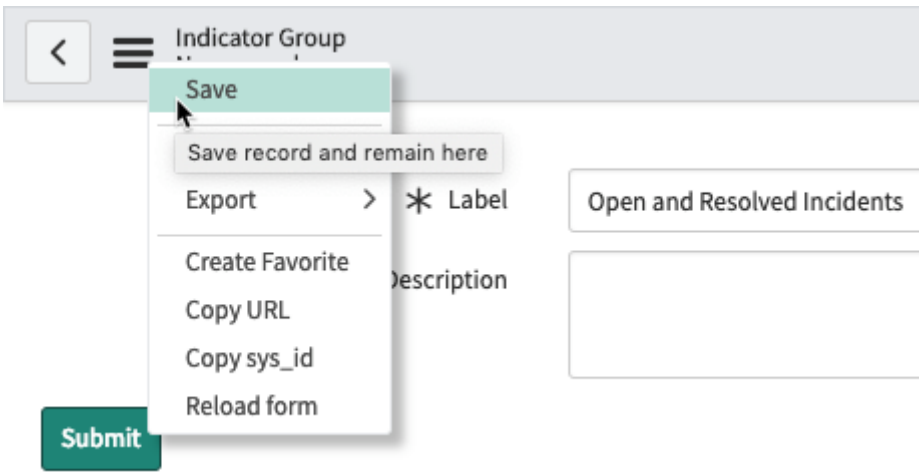
手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** > インジケーターグループ。
2. [新規] をクリックします。
3. インジケーター グループの [ラベル] を入力します。
4. [他のアクション] メニュー ()を開き 、[保存] をクリックします。
   [インジケーター] 関連リストが表示されます。
5. [インジケーター] 関連リストで [編集] をクリックし、グループにインジケーターを追加します。
6. [保存] をクリックしてインジケーターの追加を終了し、[更新] をクリックしてインジケーターグループレコードを終了します。

Example: 「オープンおよび解決済みインシデント」インジケーターグループの作成および使用

この例では、オープンまたは解決済みのインシデントを参照するすべてのインジケーターを含むインジケーターグループを作成します。インシデントはすべて、 の パフォーマンスアナリティクスデモデータに含まれています。インジケーター グループを作成した後、インジケーター グループを使用するリスト ウィジェットを作成し、そのウィジェットをダッシュボードに追加します。

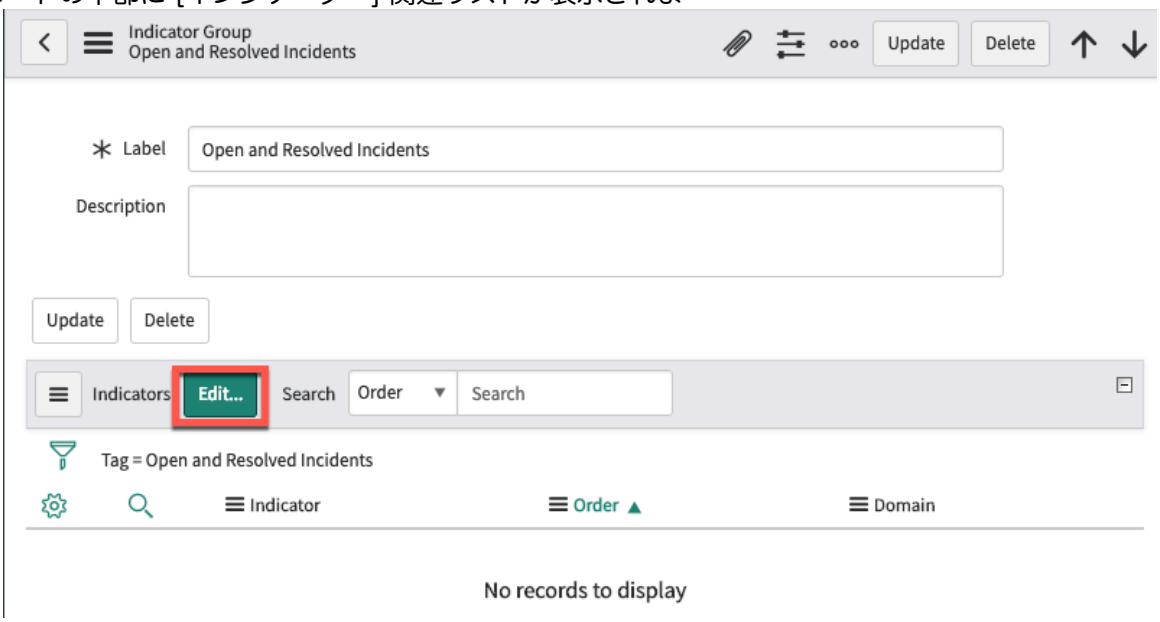
1. まず、 **Performance Analytics** > インジケーターグループ をクリックし、[新規] をクリックします。空のインジケーターグループフォームが開きます。
2. インジケーターグループに 「オープンおよび解決済みインシデント」というラベルを付け、[他のアクション] メニューからフォームを保存します。



自動翻訳

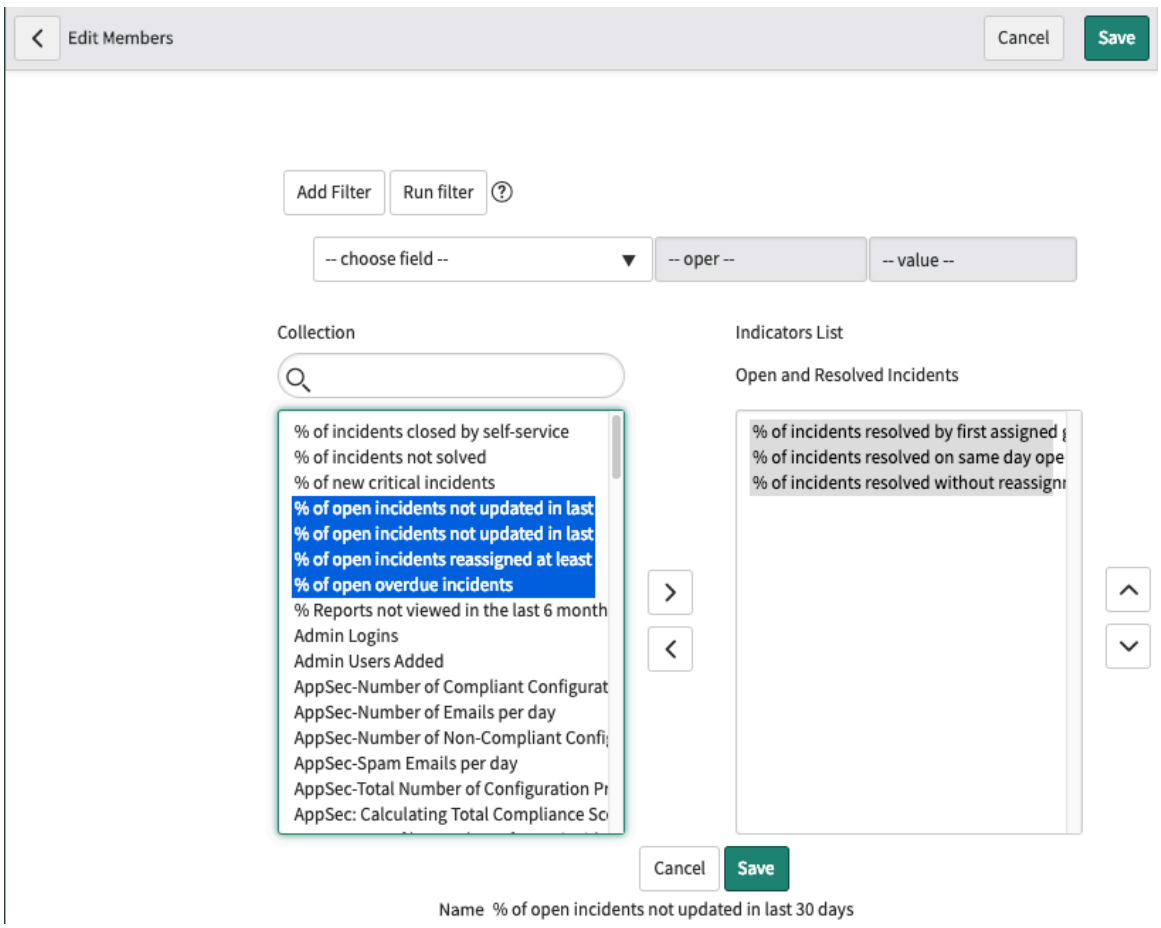
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レコードの下部に [インジケーター] 関連リストが表示されま



す。

3. 「編集」をクリックすると、「メンバーの編集」ダイアログが開きます。解決済みまたはオープンのインシデントに関連するすべてのインジケーターをグループ化するには、名前に「解決済み」または「オープン」を含むすべてのインジケーターを追加します。インシデントバックログの増加インジケーターも追加します。

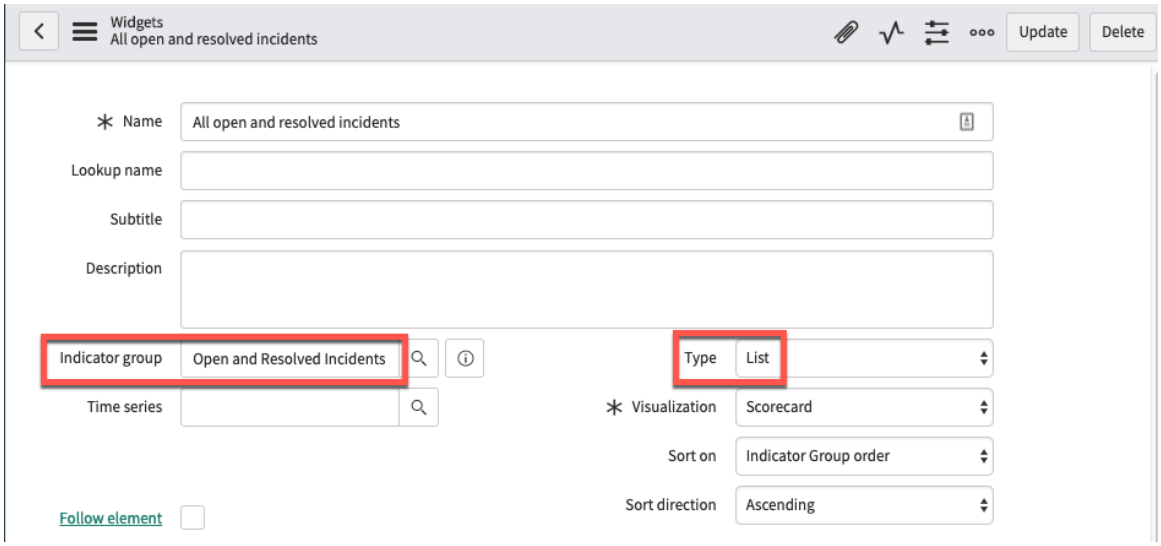


4. インジケーターグループが完了しました。[メンバーの編集] ダイアログで [保存] をクリックし、インジケーター グループ レコードで [更新] をクリックします。

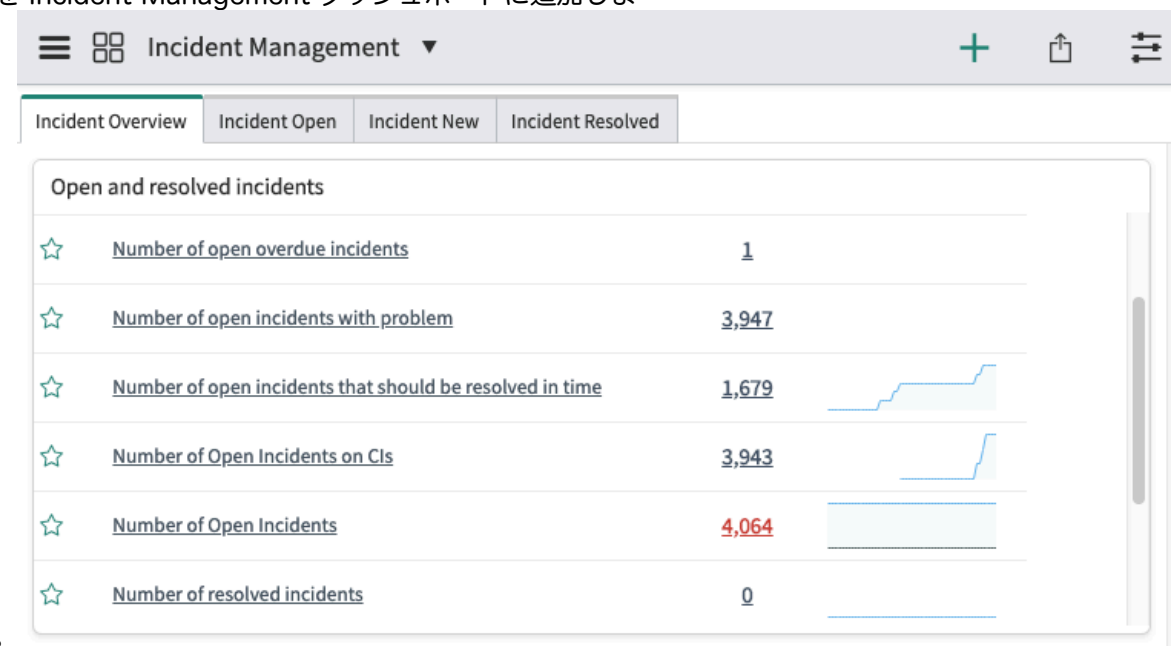
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. 次に、 パフォーマンスアナリティクス リストウィジェットを作成し、オープンインシデントと解決済みインシデントインジケーターグループを指定します。



6. ウィジェットを他のユーザーと共有するには、ウィジェットを Incident Management ダッシュボードに追加します。



関連情報

- リストウィジェット
- 時系列ウィジェットの相対比較によるチャート化の作成
- インジケーターのメール通知の作成
- ツリーマップカテゴリの作成または更新 (Security Incident Analytics)

インジケーターの丸めと精度

インジケーターは、インジケーター [精度] に応じて、「銀行家の丸め」または数学的な丸めを使用して、結果の小数部を丸めます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

10,000 未満のスコア

インジケーターの [精度] が 0 の場合、インジケーターは結果を最も近い偶数の整数に丸めます。たとえば、[精度] が 0 のインジケーターが値 7 + (5 / 2) を計算した場合、結果は 10 に丸められます。ただし、式が 2 + (5 / 2) を計算した場合、インジケーターは結果を 4 に丸めます。

インジケーターの [精度] が 0 より大きい場合、指定された精度に最も近い小数点に丸めます。たとえば、[精度] が 1 のインジケーターは、4.45 の結果を 4.5 に丸めます。

10,000 を超えるスコア

インジケータースコアが 10,000 を超える場合、スコアは次のように四捨五入され、単位の省略形で表示されます。

大きな数の表示

番号	略称	例、precision=0	例、precision=1
10,000-999,999	1000 に最も近い k	13,291 を 13 k として表示	13,291 を 13.3 k として表示
1,000,000-999,999,999	最も近い 100 万、M	17,824,391 を 18 M として表示	17,824,391 を 17.8 M として表示
1,000,000,000	最も近い 10 億、G	2,378,425,321 を 2 G として表示	2,378,425,321 を 2.4 G として表示
1,000,000,000,000	最も近い兆、T	3,456,398,231,094 を 3 T として表示	3,456,398,231,094 を 3.5 T として表示
1,000,000,000,000,000	最も近いクアドリオン、P (ペタの場合)	18,103,456,398,231,094 は 18 P として表示されます。	18,103,456,398,231,094 は 18.1 P として表示されます。
1,000,000,000,000,000,000	最も近いクインティリオン、E(エクサの場合)	7,618,103,456,398,231,094 は 8 E と表示されます。	7,618,103,456,398,231,094 は 7.6 E と表示されます。

注:

- 10,000 未満の数値とは異なり、precision = 0 の場合、大きな数値は最も近い偶数に丸められません。
- 単位の省略形は設定できません。

例外

線グラフまたは縦棒グラフにプロットされた Y 軸の値は丸められません。チャート上の値をポイントすると表示されるスコアとツールヒントは、インジケーターの [精度] に基づいて丸められます。

注:
式インジケーターでは、丸めは式の結果にのみ適用されます。式内の値は丸められません。

参照通貨でのインジケータースコア

価格、通貨、または FX 通貨タイプの通貨フィールドの傾向を追跡できます。これらのフィールドのいずれかに基づくインジケーターのスコアは、参照通貨の値で収集されます。

これらのスコアを収集するには、インジケーターの単位として [参照通貨を使用] を選択します

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

⚠ 警告:
インジケーターの設定後にフィールドの参照通貨が変更された場合、スコアは正しく収集されなくなります。

標準通貨に換算された金額 KPI をユーザーに提供する必要がある場合があります。例えば、グローバルプロジェクトマネージャーやCFOが、さまざまなオリジナル通貨でプロジェクトコストを扱っているとします。グローバルなトレンドに基づいて意思決定を行えるように、これらすべてのコストをグローバルな企業通貨に変換する必要があります。そのようなユーザーに必要な KPI を提供するために、参照通貨でスコアを収集するようにインジケーターを構成できます パフォーマンスアナリティクス 。

参照通貨でインジケーター スコアを収集するには、次の特性を持つインジケーターを作成します。

- インジケーターが自動インジケーターであり、式や手動インジケーターではありません。
- 集計が カウント または 個別のカウント ではなく、インジケーターが スクリプト化されていない。
- 集計するために選択された フィールドの タイプは、価格、通貨、または FX 通貨です。
- スコアに選択された 単位 は [参照通貨を使用] です。

このようなインジケーターを作成する完全な手順については、次を参照してください 自動インジケーターの作成。

注:

- 通貨管理者は、インジケーターで使用する前に FX 通貨フィールドを設定する必要があります。
- [基準通貨を使用] が選択されている場合、インジケーターフォームの [精度] フィールドは使用できません。代わりに、精度は FX 通貨構成から継承されます。

スコアが収集されたら、で アナリティクスハブ さらに詳しく調べたり、ウィジェットを介して共有したりすることができます。参照通貨の精度と記号は、スコア値、変更値、ターゲット、しきい値、ツールヒントなど、すべての視覚要素で使用されます。

システム参照 通貨参照

エキスパートは パフォーマンスアナリティクス 、参照通貨を設定しません。通貨管理者ロールを持つユーザーがこのタスクを実行します。ただし、参照通貨 Now Platformが . 以下に、リンク付きの簡単な概要を示します。

[価格] または [通貨] フィールドの場合、システム参照通貨はローカライズプロパティで設定された値 `glide.system.locale` です。このプロパティが設定されていない場合は、物理的な場所に基づくシステムのデフォルトが使用されます。これらのフィールドの参照通貨の設定の詳細については、「 標準通貨フィールドの設定と操作 」を参照してください。

注:
パフォーマンスアナリティクス インジケーターはセッション通貨値を使用しません。

FX 通貨フィールドの場合、インジケータースコアは構成設定のこの階層に基づいています。

1. フィールドレベルの FX 通貨構成が設定されている場合は、そちらが優先されます。設定されていない場合...
2. グローバル FX 通貨構成が使用されます。グローバル構成が設定されていない場合
3. で `glide.system.locale` の設定が使用されます。このプロパティに値が設定されていない場合
4. システムのデフォルトが使用されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

FX 通貨フィールドの設定の詳細については、「 FX 通貨フィールドの設定と操作 」を参照してください。

単位の作成

パフォーマンス分析インジケーターのスコアが表示される単位を定義できます。単位は、数値、パーセンテージ、通貨、時間数、または定義したその他のエンティティにすることができます。よく使用される単位は、デフォルトで提供されています。

始める前に

必要なロール：pa_admin または pa_data_collector

重要:
デフォルトで提供されているユニットは削除しないでください。たとえば、[参照通貨単位を使用] を削除すると、インジケータースコアを参照通貨で表示できなくなります。

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** > システム > 単位。
2. [新規] をクリックします。
3. 単位の名前を入力します。

   Example
   たとえば、Gallon と入力します。
4. 単位を書式設定する方法を指定します。

   Example
   たとえば、{0}Gal とすると、略語 Gal でガロン数が表現されます。通貨の場合、${0} のように数値の前に単位記号を置くことができます。
5. [送信] をクリックします。
   単位は、自動、手動、および式インジケーターで使用できます。

インジケーターからの時系列の除外

一部の時系列集計は、一部のインジケーターに適用するのに不適切です。自動、数式、および手動インジケーターでは時系列を除外できます。除外された時系列は、KPI 詳細またはウィジェットからアナリティクスハブ選択できません。他の時系列は選択可能なままになります。

インジケーターから時系列を除外するには、インジケーターフォームの [時系列の除外] 関連リストで時系列を選択します。

時系列を除外するユースケースの 1 つは、インジケーター集計と時系列集計の間の論理的な関係です。たとえば、それ自体が平均であるインジケーターの合計または平均を取る時系列集計を許可したくない場合があります。

インジケーター集計に基づいて可能な時系列の除外

インジケーター集計	時系列の除外を検討します。
平均	すべての合計、平均すべての部分ピリオド (+)。
合計	すべての合計
最小	すべての合計
最大	すべての合計

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーターの単位タイプに基づいて時系列を除外することもできます。たとえば、スコアがパーセンテージ値であるインジケーターがある場合、これらのパーセンテージの合計を表示しないことがあります。同様に、日、週、月、四半期、または年単位で測定されるインジケーターの時系列集計はあまり意味がない場合があります。

最後のポイントとして、指標の主題を検討します。定性的な理由により、一部の時系列集計はインジケーターに適さない場合があります。

インジケーターへのアクセスの制御

特定のインジケーターに対して、どのユーザー ロールにアクセス権を付与するかを制御できます。インジケーターへのアクセスは、インジケーター レコードによって規制されます。

始める前に

必要なロール：pa_admin または admin

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** > インジケーター (自動) または手動 インジケーター または 式インジケーター (該当する場合)
2. インジケーター レコードを選択します。
3. [アクセス制御] の選択で [全てのロールに公開] チェック ボックスをクリアします。
4. インジケーターへのアクセス権を付与する [ロール] を選択します。
5. [更新] をクリックします。

関連情報

- ブレークダウン要素を表示する機能の制御
- レスポンシブ ダッシュボードの共有

インジケーターのメール通知の作成

パフォーマンス分析では、1 つ以上のインジケーターのスコア、変更 %、ターゲット、およびスコアとターゲットのギャップ % を含むメールを自動的に生成できます。

始める前に

サマリー メールを使用する前に、メール通知を有効にして構成します。

必要なロール：pa_admin

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** > 自動化 > サマリーメールの設定。
2. [新規] をクリックします。
3. サマリー メールの [名前] と [説明] を入力します。
4. [アクティブ] チェック ボックスをオンにすると、サマリー メールを作成する、スケジュール設定済みジョブが実行されます。
5. ジョブをいつ実行するかを選択します。
   - 日次
   - 週次
   - 月次
   - 定期的

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 1 回
- オンデマンド

6. 時、分、秒を変更して、ジョブを実行する時間を設定します (24 時間表記を使用)。
   デフォルトでは、ジョブは深夜に実行されます。
7. サマリーに含めるインジケーターを動的または手動で選択します。

   動的

   [条件別] チェック ボックスをオンにします。条件ビルダーを使用して、サマリー メールにどのインジケーターを含めるかを決定する条件を定義します。たとえば、条件を [キー] [次の値に等しい] [true] に設定することで、すべてのキーインジケーターを選択できます。

   手動

   [条件別] チェック ボックスをオフにします。[スケジュール設定済みメール概要] フォームを保存した後、[インジケーター] 関連リストのサマリーに含める個々のインジケーターを選択します。

8. フォームヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。
   関連リストが利用可能になります。
9. [ユーザー] 関連リストで任意の数のユーザーを選択します。
10. インジケーターを手動で選択している場合は、[インジケーター] 関連リストで選択します。

タスクの結果
サマリー メール ジョブは、設定したスケジュールに基づいて実行されます。[今すぐ実行] をクリックして、ジョブを手動で実行することもできます。

関連情報
メール通知/SMS 通知

インジケーターのエクスポートと配布のスケジュールを設定する
インジケーターにスケジュールを設定し、配布を自動化します。

始める前に
この機能を使用するには、パフォーマンスアナリティクス のライセンス バージョンが必要です。

必要なロール：pa_power_user、pa_admin、または admin

手順

移動先 すべて > **Performance Analytics** > スケジュール設定済みインジケーター 新しいレコードを作成します

[スケジュール設定済みインジケーター] のフィールド

フィールド	説明
インジケーター	エクスポートするインジケーターを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ブレークダウン	ブレークダウンを選択して、インジケーターのスコアをフィルタします。
要素	ブレークダウンを選択した場合は、ブレークダウン要素を選択し、その要素に関連付けられたスコアのみを表示します。
チャート	このチェックボックスを選択すると、PDF にスコアのチャート化を含めることができます。チャート化は、インジケーター アナリティクスハブに表示されるものと同じです。
ブレークダウン	このチェックボックスを選択すると、PDF の下部の各テーブルにブレークダウンおよびブレークダウン要素のスコアを含めることができます。[ブレークダウン] および [要素] を選択した場合、PDF の下部に表示されるブレークダウンは第 2 レベルのブレークダウンになります。
ユーザー	インジケーターを受け取るユーザー。 インジケーターを受信するには、ユーザーにメール アドレスが定義されていてユーザー レコードの [通知] が [有効化] に設定されている必要があります。
グループ	インジケーターを受け取るグループ。
メール アドレス	インジケーターを受け取るが、システムにないユーザーのメール アドレス。
アクティブ	インジケーターのスケジューリングを有効 (選択) または無効 (クリア) にするチェックボックス。
実行	インジケーターをエクスポートする頻度。
時刻	インジケーターをエクスポートする時刻。
条件節	[条件節] フィールドを表示 (選択) するか、または非表示にする (クリア) チェック ボックス。このフィールドでは、インジケーターがエクスポートされる条件を指定できます。
条件	インジケーターをエクスポートする前に特定の条件が満たされているかどうかをチェックするユーザー作成のスクリプト。 このフィールドは、[条件節] が選択されている場合にのみ表示されます。
件名	配布メールの件名に表示されるテキスト。
導入メッセージ	インジケーターとともに提供される追加メッセージ。
一緒に含める	追加で送信するスケジュールされたインジケーター。
向き	横向きまたは縦向きで、ページの向きを選択します。
ZIP 出力	インジケーターを ZIP ファイルとして送信するには、このチェック ボックスをオンにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動インジケーターをベンチマークにリンクする

インジケーターを ITSM および ITOM ベンチマークと比較できるようにするには、自動インジケーターを対応するベンチマーク KPI にリンクします。ベンチマーク KPI は、1 つのインジケーターにのみリンクすることができます。リンクされたインジケーターは、 アナリティクスハブで比較できます。

始める前に

アプリケーションに ServiceNow® ベンチマーク オプトインする必要があります。

必要なロール:pa_data_collector、pa_power_user、admin

注:
sn_bm_client.benchmark_admin ロールを持っている場合は、[セットアップ] インターフェイスからベンチマークインジケーターをベンチマークインジケーターにリンクパフォーマンスアナリティクスできます。そのインターフェイスを介してインジケーターをリンクする手順については、「 ベンチマーク KPI をリンクまたはカスタマイズ する」を参照してください。

このタスクについて

ベンチマーキングを併用することで、 パフォーマンスアナリティクス エンタープライズ ITSM と ITOM を業界標準に照らして測定しながら、すべての重要な測定基準の改善を促進できます。詳細については、「 ベンチマーク 」を参照してください。

手順

1. 自動インジケーターのリストまたは式インジケーターのリストで、どのベンチマークインジケーターを他のどのインジケーターにリンクするかを特定します。
   ベンチマークインジケーター名は 、「ベンチマーク」という単語で始まります。
2. ベンチマークインジケーターとリンクされたインジケーターに互換性があることを確認します。
   具体的には、次のプロパティが両方のインジケーターで一致していることを確認します。
   - インジケーターソース
   - 単位
   - 計算式 (計算式インジケーター用)

   警告:
   の プラットフォームアナリティクスソリューション インジケーターは、一致するベンチマークインジケーターと同じように構成されていません。
3. ベンチマークインジケーターレコードを開きます。
4. [インジケータープロパティ] の [リンクされたインジケーター] フィールドで、ベンチマークにリンクする自動インジケーターを選択します。

   注:
   - Performance Analytics の自動インジケーターと式インジケーターの完全なリストを表示するには、完全にライセンス付与されたバージョンの Performance Analytics をアクティブ化する必要があります。
   - [リンクされたインジケーター] フィールドを編集するには、作業しているスコープ対象のアプリケーションをレコードの上部で変更する必要がある場合があります。
   - ベンチマークインジケーターとリンクするインジケーターの名前が一致していない可能性があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
ベンチマーク KPI レコードを更新した後、自動インジケーターの [アナリティクスハブ比較] タブでベンチマーク KPI と自動インジケーターを比較できます。詳細と例については、次のリンクを参照してください スコアを比較。

Performance Analytics のブレークダウン

故障 を使用して、優先度、カテゴリ、アサイン先グループなどの定性的属性別にインジケータースコアをグループ化またはフィルタリングすることができます。ブレークダウン アナリティクスハブは、、KPI 詳細、およびダッシュボードに適用できます。

各ブレークダウンの値は、ブレークダウン要素と呼ばれます。たとえば、優先度ブレークダウンに [重大]、 [高]、 [低] の要素があるとします。ブレークダウンは、これらの要素の発生元により、自動、手動、または外部に分類されます。自動ブレークダウンの要素は、ブレークダウンソースで指定されます。手動ブレークダウンには、組織を定義するために手動入力された要素があります。最後に、外部ブレークダウンでは、ブレークダウン要素を取得するための JDBC データ ソースと SQL ステートメントを指定します。

例えば、[アサイン先グループ別] の [未解決の変更の数] を確認することができます。または、[優先度別] の [新規変更の数] を表示できます。

ウィザードからのブレークダウンの作成

ブレークダウン、ブレークダウン ソース、およびブレークダウンマッピングを作成し、ブレークダウンをインジケーターに関連付けます。

始める前に
必要なロール：pa_power_user、pa_data_collector、または admin

> **注:**
> pa_power_user ロールしかないユーザーは、ブレークダウン ソースを作成できません。

このタスクについて
既存のインジケーターに基づいて、単純なブレークダウンを作成します。複雑なフィルタを使用してデータ セットを制限するなど、より高度なブレークダウンやブレークダウン ソースを作成するには、ブレークダウンやブレークダウンのソース レコードを直接作成または更新します。

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** > ブレークダウン > 新規作成。
2. ブレークダウンを作成するインジケーターを選択します。
   [テーブル] フィールドは、インジケーター ソース テーブルに基づいて自動的に入力されます。[インジケーターへのリンク] タブの同じソース テーブルを使用し、新しいブレークダウンを他のインジケーターに適用することができます。
3. どのフィールドに基づいてブレークダウンを作成するかを選択します。
   ブレークダウンでは、このフィールドの値をブレークダウン要素として使用し、各レコードのこのフィールドの値に基づいて収集されたデータに基づいてブレークダウンを作成します。
4. [次へ] をクリックします。
   [ブレークダウンを定義] タブには、指定したインジケーター、テーブル、およびフィールドのブレークダウン、ブレークダウン ソース、またはブレークダウンマッピングが存在するかどうかによって異なるデータが表示されます。
5. 次のいずれかの操作を実行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
ブレークダウン、ブレークダウン ソース、およびマッピングを作成する	指定したテーブルにブレークダウンまたはブレークダウン ソースが存在しない場合は、新しいブレークダウンの名前を入力します。選択したテーブルおよびフィールドのブレークダウン ソースおよびマッピングは、自動的に作成されます。[フィルタを表示して調整する] をクリックし、ブレークダウン ソースに含まれるデータをフィルタします。
既存のブレークダウン ソースを使用してマッピングを作成する	指定したテーブルに少なくとも 1 つのブレークダウン ソースが存在し、ソースを使用する 1 つ以上のブレークダウンがある場合は、マッピングを作成するブレークダウンを選択します。 選択したソースを持つブレークダウンとインジケーター テーブルの親のフィールドとの間にマッピングが存在する場合は、マッピングを作成する既存のブレークダウンを選択するだけしかできません。そのような親テーブルのマッピングが存在しない場合は、既存のブレークダウンを選択するか、新しいブレークダウンを作成することができます。
既存のレコードを確認する	指定したテーブルのブレークダウンおよびブレークダウン ソースが存在し、指定したブレークダウンおよびフィールドのブレークダウン マッピングが存在する場合は、設定を確認します。何も変更する必要はありません。

6. [次へ] をクリックします。
7. [インジケーターへのリンク] タブで、ブレークダウンを適用する追加のインジケーターを選択します。
   最初に選択したインジケーターと同じソース テーブルを持つ他のインジケーターにブレークダウンを適用できます。ブレークダウンが既にインジケーターに適用されている場合、そのインジケーターは表示されません。
8. [次へ] をクリックします。
9. [データコレクション] タブで、過去何日分のブレークダウンされたスコアおよびスナップショットを収集するかを選択します。または、[過去のデータを収集します] をクリアします。
10. [次へ] をクリックします。
11. 設定を確認し、正しいレコードが作成されたことを確認してから、[適用] をクリックします。
    作成後、各レコードの横にチェック マークが表示されます。すべてのレコードが作成されると、[別のブレークダウンを作成] ボタンが表示されます。

ブレークダウン ソースの定義

ブレークダウン ソース ブレークダウンに含まれるブレークダウン要素と呼ばれる一意の値を指定します。

始める前に

必要なロール：pa_data_collector、pa_admin、または admin。ブレークダウン ソースの作成者には、インジケーター ソースが使用するテーブルおよび参照列へのアクセス権が必要です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

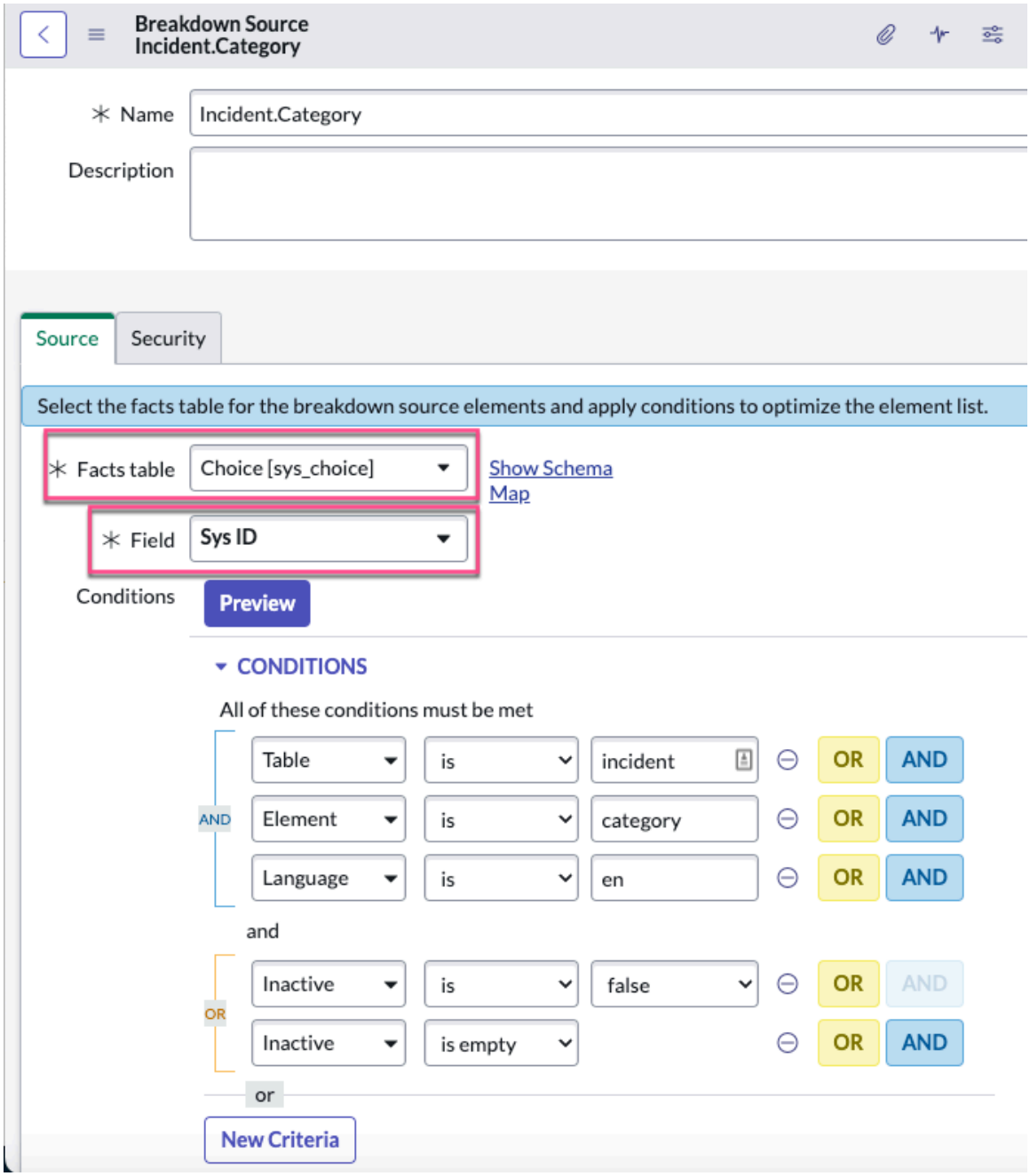
このタスクについて
ブレークダウンソースは、テーブルやデータベースビューからのレコードのセット、またはバケットグループとして定義されています。複数のブレークダウンで同じブレークダウン ソースを使用できます。たとえば、[未解決の変更の数] インジケーターのすべてのアサイン先グループを表示する代わりに、[ブレークダウンソース] を構成することで、変更プロセスの一部であるグループのみに要素リストを制限することができます。

レコードごとに一意の値があるフィールドを持ったファクト テーブルを常に使用します (通常は、**Sys ID**)。たとえば、Incident.Category ブレークダウン ソースは、[選択肢] テーブルから要素を取得します。その要素は、**[Sys ID]** フィールドによって特定されます。ブレークダウン ソースは、[インシデント] テーブル上に存在し、英語で、非アクティブでないものに、選択肢を絞り込みます。

ヒント:
この例のように、ファクト テーブルに選択肢 [sys_choice] を使用する場合は、[テーブル]、[要素]、および [言語] フィールドに条件を設定します。非アクティブなレコードも除外します。

自動翻訳

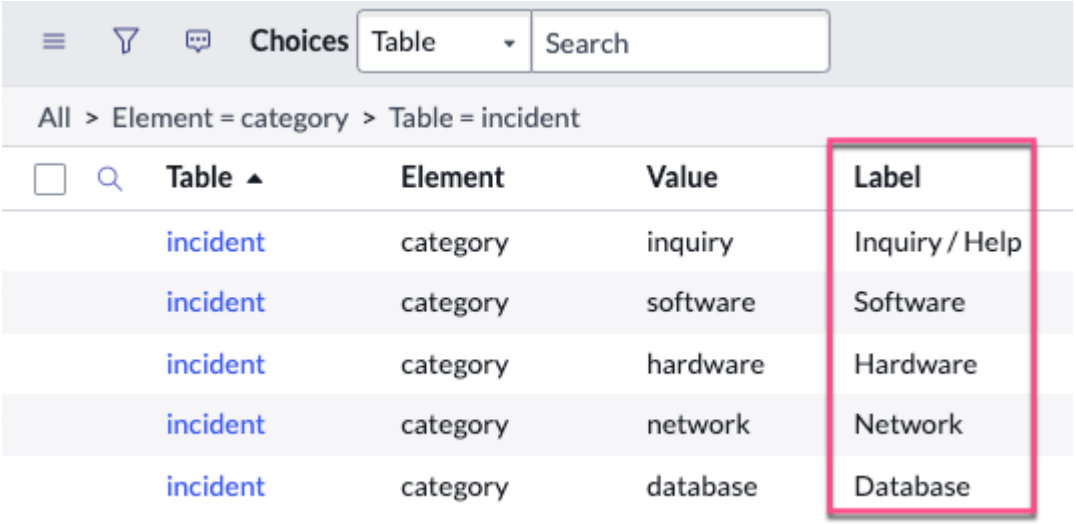
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ブレークダウン ソースは、選択肢テーブルの次のレコードを使用します

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



注:
[選択肢] テーブルには、すべてのテーブルからの可能な選択肢がすべて含まれています。そのため、[テーブル] 列と [要素] 列があります。ブレークダウン ソースに使用するその他のファクト テーブルは、ほとんどが単純です。

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** > ブレークダウンソース をクリックし、[新規] をクリックします。
2. ブレークダウン ソースにわかりやすい名前を付けます。
3. 他のユーザーがこのブレークダウンソースの使用法と目的を理解し、重複を作成しないように、詳細な 説明 を追加します。
4. ファクトテーブルでは、ブレークダウン ソースが要素を取得するテーブルを選択します。
たとえば、ブレークダウン ソースでユーザー グループを要素として指定するには、グループ **[sys_user_group]** を選択します。

   警告:
   データの収集を開始した後は、ソースのファクトテーブルを変更しないでください。ファクトテーブルを変更すると、次のスコア収集時に関連するインジケーターのすべての履歴スコアが失われます。

5. [フィールド] テーブルで、各レコードの一意の値を含むフィールドを選択します。
このフィールドは通常、**[Sys ID]** です。
6. 不要な要素を除外する 条件 を設定します。
ファクト テーブルとして選択肢 [sys_choice] を設定する場合は、常にテーブル、要素、および言語でフィルター処理し、非アクティブなレコードを除外します。例を次に示します。

   [テーブル] [次の値に等しい **(=)**] [インシデント] および

   [要素] [次の値に等しい **(=)**] [カテゴリ] および

   [言語] [次の値に等しい **(=)**] **[en]** および

   [無効] [次の値に等しい **(=)**] **[false]** または

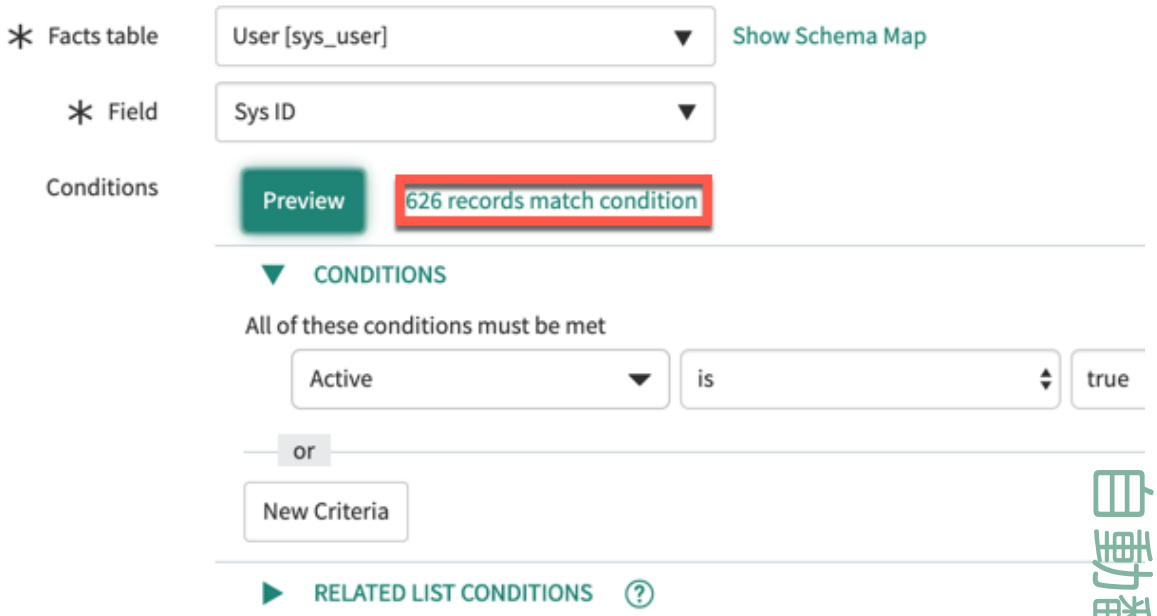
   [非アクティブ] [次の値に等しい **(=)**] [空]

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. 選択した条件に一致するレコードの数を確認するには、[プレビュー] をクリックします。
8. オプション: 関連リスト条件を定義して、フィルターに別のテーブルとの関係を含めます。
   詳細については、「 関連リスト条件の追加 」を参照してください。

   Example
   たとえば、構成アイテム (CI) マネージャーのブレークダウン ソースを考えてみましょう。ファクト テーブルはユーザー [sys_user] ですが、このテーブルから適用できる唯一の条件は、アクティブなユーザーをフィルタリングすることです。CI マネージャーであるユーザーのみを選択できるテーブルのフィールドはありません。何百もの結果が得られます。

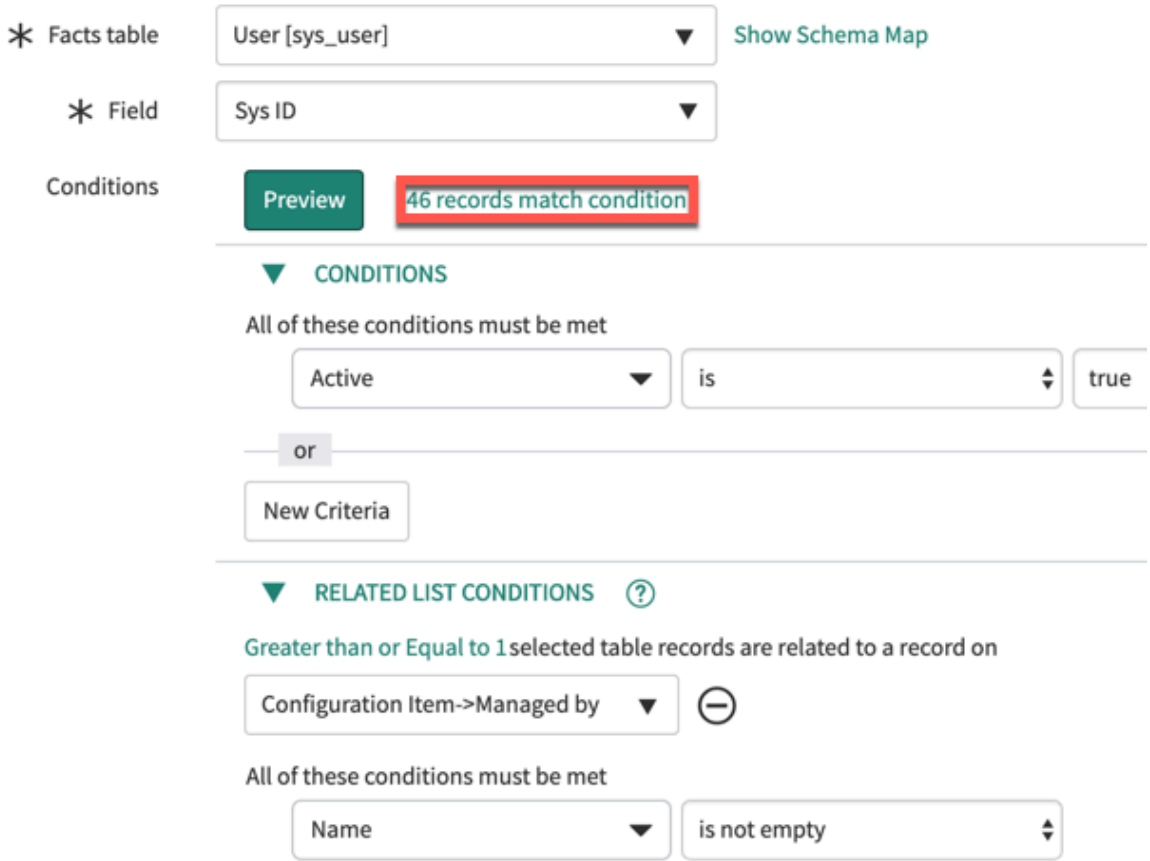


   (Optional)

   ユーザーレコードの名前が構成アイテム [cmdb_ci] テーブルの [管理担当者] 列の少なくとも 1 つのエントリーと一致する必要があるという条件を追加すると、ブレークダウン ソースは CI マネージャーであるユーザーのみを返します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



9. オプション: [不一致のラベル] に、インジケーター ソース レコードのマッピングされたフィールドの値がブレークダウン ソースのどの要素とも一致しない場合に使用するカスタム ラベルを記述します。
デフォルトのラベルは、[不一致] です。

   Example
   Incident.Category ブレークダウン ソースは、テーブル フィールドの値がインシデントで要素フィールドの値がカテゴリである選択肢 [sys_choices] テーブルのレコードを参照します。[カテゴリ] ブレークダウンには、Incident.Category ブレークダウン ソースからインシデント [incident] テーブルの [カテゴリ] フィールドへのマッピングが含まれています。インシデントレコードの [カテゴリ] フィールドに null 値が含まれている場合、このレコードにカテゴリブレークダウンを適用したときの値は、デフォルトで [不一致] になります。

10. [セキュリティ] タブで、要素のセキュリティリストに基づいて、ブレークダウン ソースの要素をロール別に除外するか、または含めるかを設定します。
詳細については、「要素のセキュリティ リストの定義」を参照してください。

次のタスク
このブレークダウン ソースを使用するブレークダウンを作成します。[ブレークダウン] タブを開いて [新規] をクリックします。で自動ブレークダウンの作成説明されているように、[ブレークダウン] フォームが開きます。このソースを使用するブレークダウンを作成すると、これらのブレークダウンが [ブレークダウン] タブに一覧表示されます。

ブレークダウンソースのバケットグループ

バケット グループ たとえば、値の範囲を個別のバケットにグループ化することで、データを分類してブレークダウンとして使用できるようにするために使用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データアーキテクチャでは、バケットグループはバケットグループ [pa_bucket_groups] レコードで、バケットはバケット [pa_buckets] レコードで定義されます。各バケット [pa_buckets] レコードには、バケット グループ [pa_bucket_groups] レコードへの参照であるバケットグループフィールドが含まれています。

バケットグループを操作するには、バケット [pa_buckets] をファクトテーブルとして使用し、条件でバケットグループを指定するブレークダウンソースを作成します。このソースに基づいて構築されたブレークダウンがスクリプトを含むブレークダウンマッピングを使用する場合、ブレークダウンはスクリプトが返す値をバケットにグループ化します。ブレークダウンマッピングでスクリプトを使用する代わりにフィールドを指定すると、ブレークダウンはマッピングされたフィールドの値をバケットにグループ化します。

関連情報

ブレークダウン レコードでのブレークダウンマッピングの作成

バケットへのフィールド値のグループ化

スクリプトを使用しないブレークダウンマッピングでバケット グループを使用して、マッピングされたフィールドの値をバケットにグループ化できます。

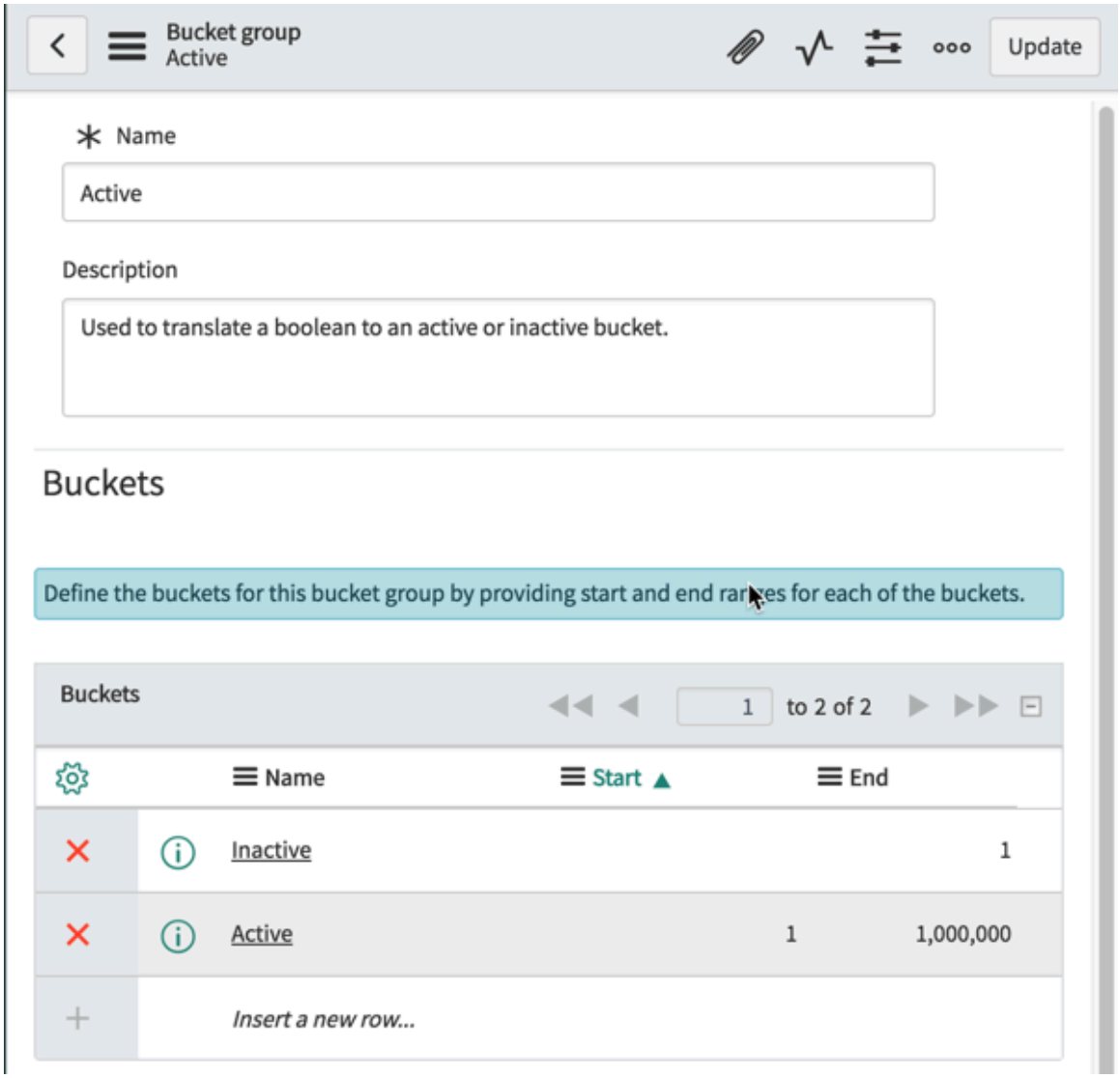
ユースケースは、ブール値の `true` 値と `false` 値を意味のあるラベルを持つ 2 つのバケットに変換するのと同じくらい簡単です。

Example: ブール値をバケットにソートする

基本 パフォーマンスアナリティクス インストールには、分析使用状況の概要の一部としてアクティブブレークダウンが含まれています。このブレークダウンでは、ジョブログ [pa_jobs_logs] テーブルの job.active ブールフィールドへのマッピングを使用します。ブレークダウン ソースはバケットグループを使用し、job.active の `true` 値はアクティブ バケットにソートされ、 `false` 値は非アクティブ バケットにソートされます。`false` 値は数値的には 1 未満の値と見なされ、`true` 値は数値的には 1 以上であることに注意してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



自動翻訳

スクリプトの結果のバケットへのグループ化

ある範囲の値を収集するブレークダウンマッピングスクリプトがある場合は、バケットグループを定義して、それらの値を個別のバケットに分割することができます。

バケット グループを作成したら、バケット グループに基づいてブレークダウン ソースを作成します。次に、そのブレークダウン ソースを使用するブレークダウンを作成します。ブレークダウンのブレークダウンマッピングを作成するときは、マッピングのスクリプトを定義または選択します。ブレークダウンは、スクリプトが返す結果をバケットグループのバケットにグループ化します。例については、「例：スクリプト マッピング」を参照してください。

既存のスクリプトのバケット グループを記述することも、最初にバケット グループを作成してからスクリプトを記述することもできます。ブレークダウンを作成するには、両方が存在する必要があります。

注:
同じスクリプトを任意の数のバケット グループで使用できます。また、原則として、同じ種類のデータを返すスクリプトは、同じバケット グループで使用できます。

バケット グループの作成

データを再分類するバケットのグループを指定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：pa_data_collector または admin

手順

1. 移動先 すべて > ブレークダウン > バケットグループ。
2. [新規] をクリックします。
3. バケット グループを明確に特定する名前 (経過範囲（日数）など) を入力します。
4. [新規行を挿入] をダブルクリックし、新しいバケットを追加します。
5. 最初のバケットに名前を入力し、Enter キーを押すか、緑のチェック アイコンをクリックします。
6. [開始] および [終了] 列をダブルクリックし、開始値と終了値を入力します。
   終了値に一致するレコードはバケットから除外されます。したがって、1 つのバケットの終了値と次のバケットの開始値を同じに設定します。その値と完全に一致するレコードは、その値を開始値として持つバケットにソートされます。

   ⚠ 警告:
   1 つのバケットの終了値が次のバケットの開始値と一致しない場合、レコードがどのバケットにもソートされない「穴」ができます。たとえば、20 で終了し、次のバケットが 21 から始まるバケットがある場合、スクリプトが 20.0000~ から 20.9999~ の間の値を返すレコードは、どのバケットにもソートされません。

7. すべてのバケット範囲を定義した後、[送信] をクリックします。

Example: [インシデント経過時間範囲] バケット グループ

次のように、インシデントを経過時間別にグループ化する場合を考えてみましょう。

- 1 日未満
- 1 – 5 日
- 6–30 日
- 31 - 90 日
- 90 日以上

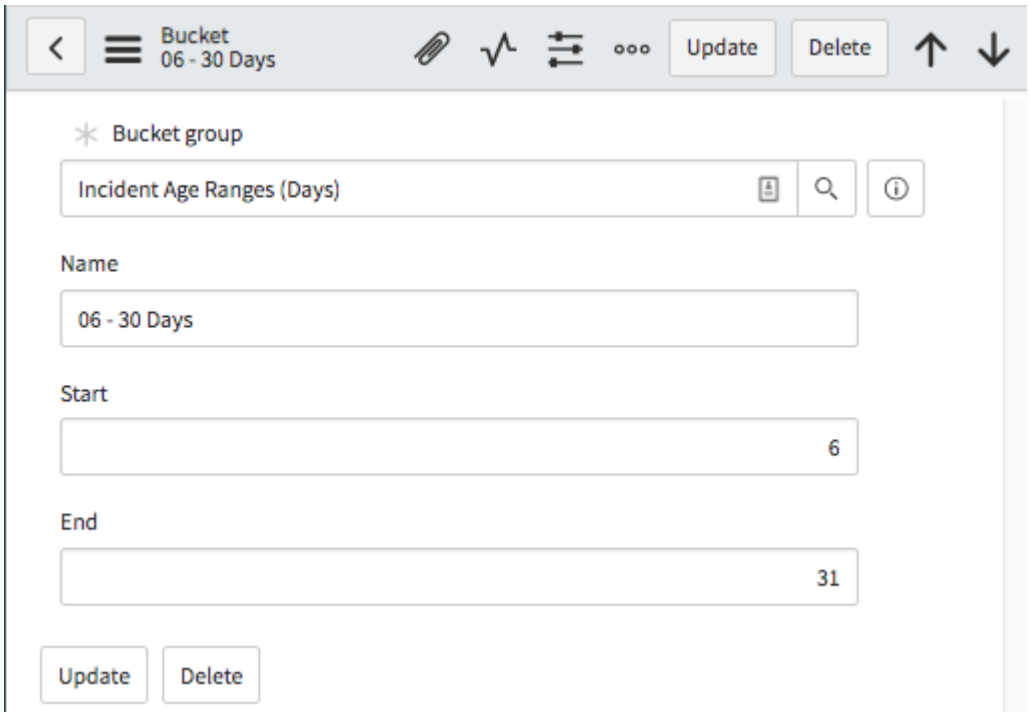
この **Performance Analytics** > スクリプトの場合、Incident.Age.Days という名前のスクリプトが既に存在します。このスクリプトは、インシデントの開始日とスコアが収集された最新の日付から、インシデントの経過時間 (日数) を導出します。

```
var diff=function(x,y){return y.dateNumericValue() - x.dateNumericValue();};
var days=function(x,y){return diff(x,y)/(24*60*60*1000);};
days(current.opened_at, score_end);
```

「Incident Age Ranges (Days)」という名前の新しいバケット グループを作成します。このバケット グループでは、希望する日付に開始し、次のバケットの開始時に終了するバケットのセットを定義します。たとえば、06 ～ 30 日のバケットは 6 時に開始し 31 に終了します。

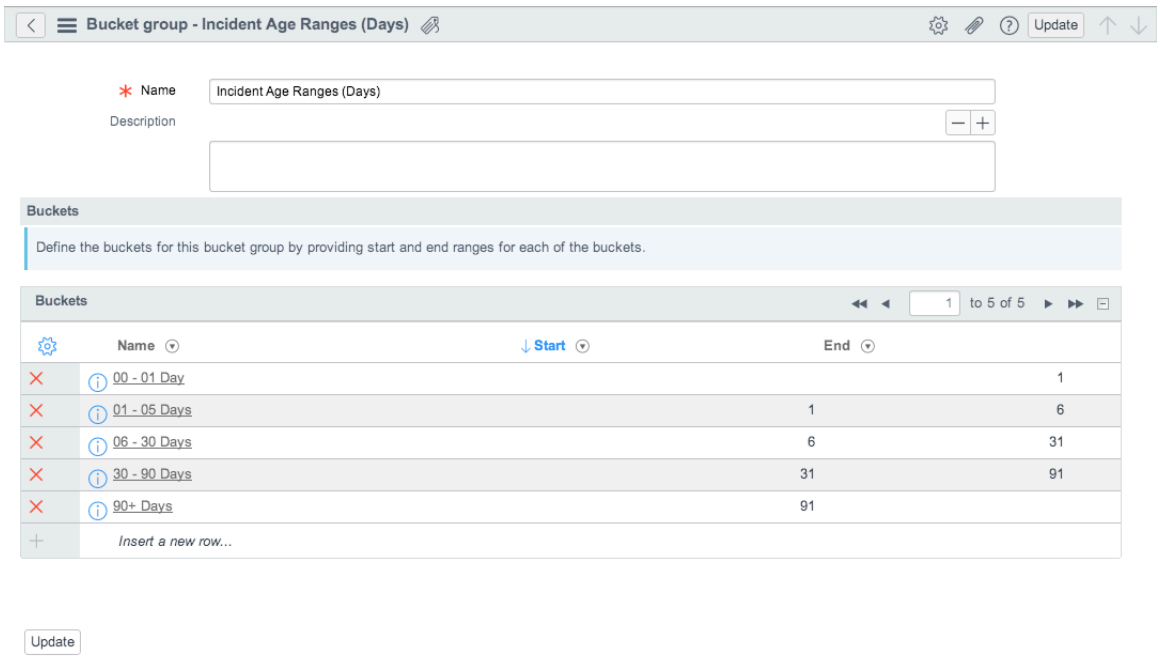
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



このバケットには、経過時間が正確に 6 日から 30 日と 23 時間 59 分 59 秒までのインシデントが含まれます。

最後に、インシデントを分割する経過時間範囲に対応する 5 つのバケットを含むバケット グループを作成します。



スクリプト マッピングの例は、このバケット グループとスクリプトを使用するブレークダウンを示しています。

次のタスク
バケット [pa_buckets] ファクト テーブル、Sys ID フィールド、および条件 [バケット グループ] [次の値に等しい][<作成したバケット グループの名前>] を使用するブレークダウン ソースを作成します。次に、このブレークダウン ソースを使用し、ブレークダウンマッピングに関連するスクリプトを使用するブレークダウンを作成します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

例：スクリプト マッピング

スクリプト： パフォーマンスアナリティクス

自動ブレークダウン

自動ブレークダウンでは、ブレークダウン ソースを使用して選択可能な要素を決定します。

自動ブレークダウンは、テーブルの一連のレコードであるブレークダウン ソースに基づいています。ブレークダウンは、ブレークダウン要素と呼ばれるこれらのレコードを、インジケーターがスコアを収集するテーブルのフィールドとともにマッピングします。マッピングされたテーブルから収集したスコアは、マッピングされたフィールドやブレークダウン要素の値に基づいてグループ化、フィルタリングされます。

たとえば、[グループ] のブレークダウン ソースは、このグループの [sys_user_groups] テーブルからのレコードを含み、デフォルトで使用できます。このブレークダウン ソースはフィルタ [アクティブ] [次の値に等しい **(=)] [true]** を指定し、要素としてアクティブになっているグループのみを含みます。このブレークダウン ソースは、インシデントの [アサイン先グループ] フィールドなど、[グループ] テーブルを参照する他のテーブルのフィールドにマップできます。マップされたテーブルから収集されるスコアは、そのフィールドの値に基づいてグループ化されます。その後、ハードウェアグループに割り当てられたインシデントのスコアのみを表示するなど、ブレークダウンと要素を選択することで、ダッシュボードとダッシュボードの アナリティクスハブ スコアをフィルタリングできます。

自動ブレークダウンの作成

自動ブレークダウンを作成するには、そのブレークダウン ソースを選択し、アクセス制限を適用します。次に、インジケーター ソースのどのフィールドがブレークダウン ソースを参照しているかをマップします。最後に、インジケーターをブレークダウンに割り当てます。

始める前に

ブレークダウン全般、また特に自動ブレークダウンについて、その定義と使用方法を理解してください。

必要なロール：pa_data_collector、pa_power_user、pa_admin、または admin

このタスクについて

自動ブレークダウンでは、ブレークダウン ソースを使用して選択可能な要素を決定します。 既存のブレークダウン ソースを使用することも、新しいブレークダウン ソースを定義することもできます。

> **注:**
> このプロセスにより、完全にカスタマイズされたブレークダウンを作成することができます。簡単な自動ブレークダウンを作成するには、「ウィザードからのブレークダウンの作成」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** > 自動ブレークダウン をクリックし、[新規] をクリックします。
2. わかりやすい名前を付けます。
   ブレークダウンの名前は、ブレークダウンマッピングで使用されているフィールドのラベルに基づいていることがよくあります。
3. [自動] タブで、[ブレークダウンソース] を選択します。
4. オプション: [デフォルトフィルタ] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素フィルタを使用して、ユーザーが表示できる要素を制限します。詳細については、「要素フィルタ」を参照してください。

5. オプション: [アクセス制御] タブで、ブレークダウンを表示できるユーザーを設定します。
これらの制限は、ブレークダウンのリストでのブレークダウンの表示、OR ダッシュボードでの アナリティクスハブ ブレークダウンの表示、またはウィジェット作成時のブレークダウンの使用など、すべての場合に適用されます。

次のタスク

ブレークダウンマッピングを作成し、インジケーターをブレークダウンに関連付けます。これは、インディケータからグラフィカルツールを使用して 行うことができます (を参照 ブレークダウンのアサインとマップ)。

ブレークダウン レコードでのブレークダウンマッピングの作成

インジケーター ソースのどのフィールドがブレークダウン ソースを参照しているかを指定します。適切なフィールドがない場合は、インジケーター ソースをクエリするためのスクリプトを指定します。

始める前に

マッピングを作成する前に、ブレークダウン ソースをブレークダウンに割り当てます。

必要なロール:ブレークダウンを作成する場合と同じです。

このタスクについて

同じブレークダウンに対して複数のマッピングを作成し、複数のインジケーターにそのブレークダウンを使用できます。

> **注:**
> このページの手順では、ブレークダウン フォームの関連リストを使用しています。代わりに、インジケーター フォームからアクセスするグラフィカル ツールも使用できます。「ブレークダウンのアサインとマップ」を参照してください。

手順

1. 既存のブレークダウンにマッピングを追加する場合は、該当するリストのブレークダウンを見つけて開きます。
2. [ブレークダウンマッピング] 関連リストで、[新規] をクリックします。
3. [ファクトテーブル] を選択します。
このテーブルは、ブレークダウンを作成するインジケーター ソースです。
4. 次のいずれかのアクションを実行します。

オプション	説明
フィールドを使用して値を要素にマップします。	ブレークダウンのレコードにマッピングするインジケーター ソースのフィールドを選択します。 [カテゴリ] フィールドの使用方法について、「例：フィールド マッピング」を参照してください。
スクリプトを使用して値を要素にマップします。	[スクリプト化] を選択してから [スクリプト] を選択し、インジケーター レコードとブレークダウン要素との関連付けを定義します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
	ブレークダウン ソース テーブルにマップするインジケーター ソースのフィールドに簡単なユース・ケースがない場合は、スクリプトを使用します。スクリプトでは、広範なマッピング関係を定義できます。最も一般的なユース・ケースは、ブレークダウン ソースがバケット グループであり、スクリプトがバケットにインジケーター スコアを割り当てるための整数を返す場合です。「例：スクリプト マッピング」を参照してください。 スクリプト化されたブレークダウンを使用するインジケーターのリアルタイム スコアを表示することはできません。 ヒント: [レベル 1 のマッピングとレベル 2 のマッピング] が [レベル 1 のマッピング] と [レベル 2 のマッピング] の共通部分と等しくなるように、スクリプト化されたブレークダウンマッピングを実装してみてください。そうでない場合、スコアとレコードの数が第 2 レベルのブレークダウンに対して一致しない可能性があります。これらの値が一致しない場合、スコアは正しいです。詳細と例については、「KB0748969」を参照してください。Now Support ログインが必要です。

5. [送信] をクリックします。

6. 必要に応じてステップ 2 ～ 5 を繰り返し、追加のマッピングを定義します。

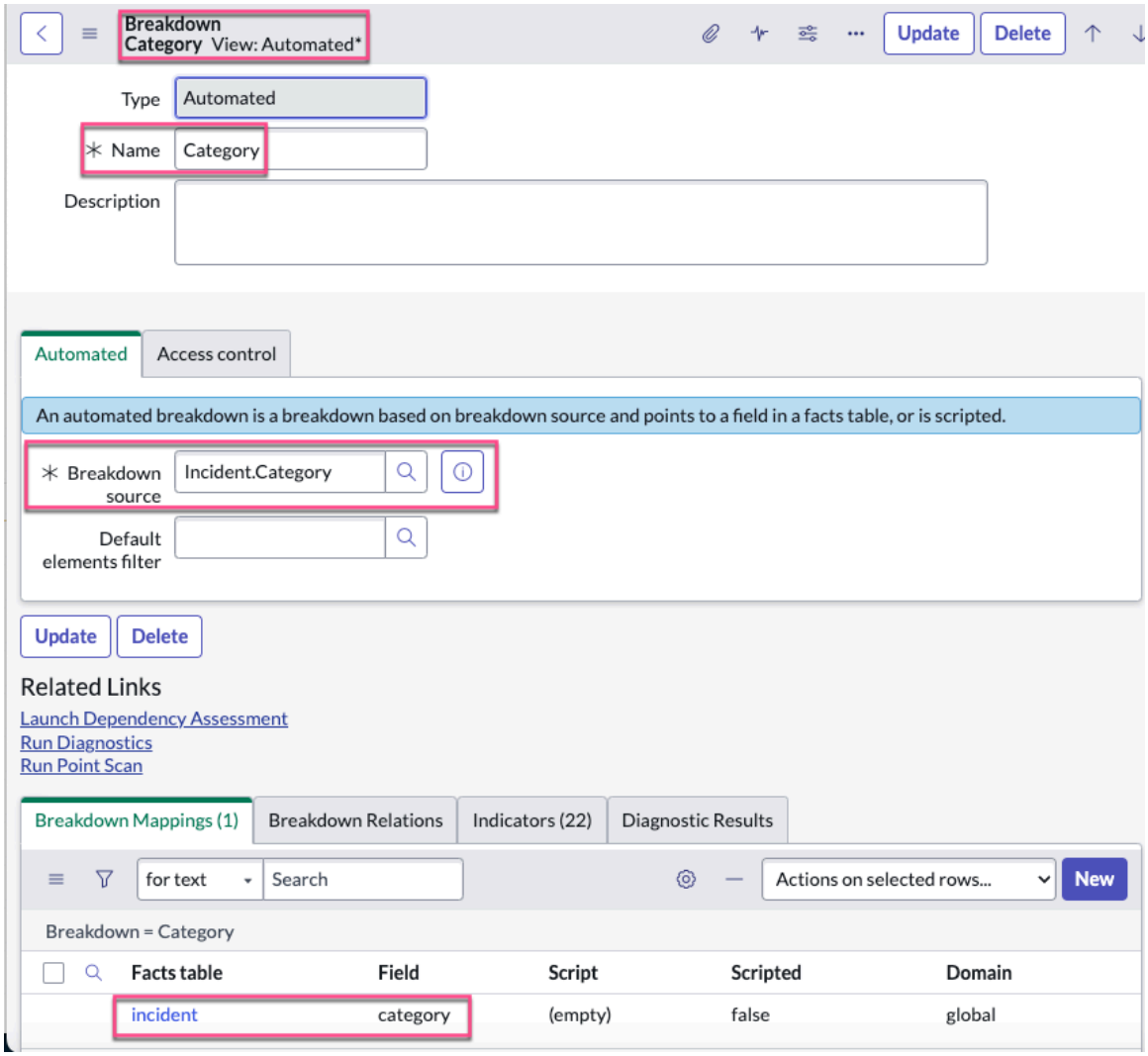
例：フィールド マッピング

[カテゴリ] ブレークダウンは、インシデント テーブルの [カテゴリ] フィールドを Incident.Category ブレークダウン ソースにマップします。このブレークダウン ソースは、選択肢 [sys_choice_list] テーブルを参照します。

最初の画像では、Incident.Category ブレークダウン ソースとともに [カテゴリ] ブレークダウンが表示されています。このブレークダウンには、インシデント テーブルの [カテゴリ] フィールドに対するブレークダウンマッピングがあります。

自動翻訳

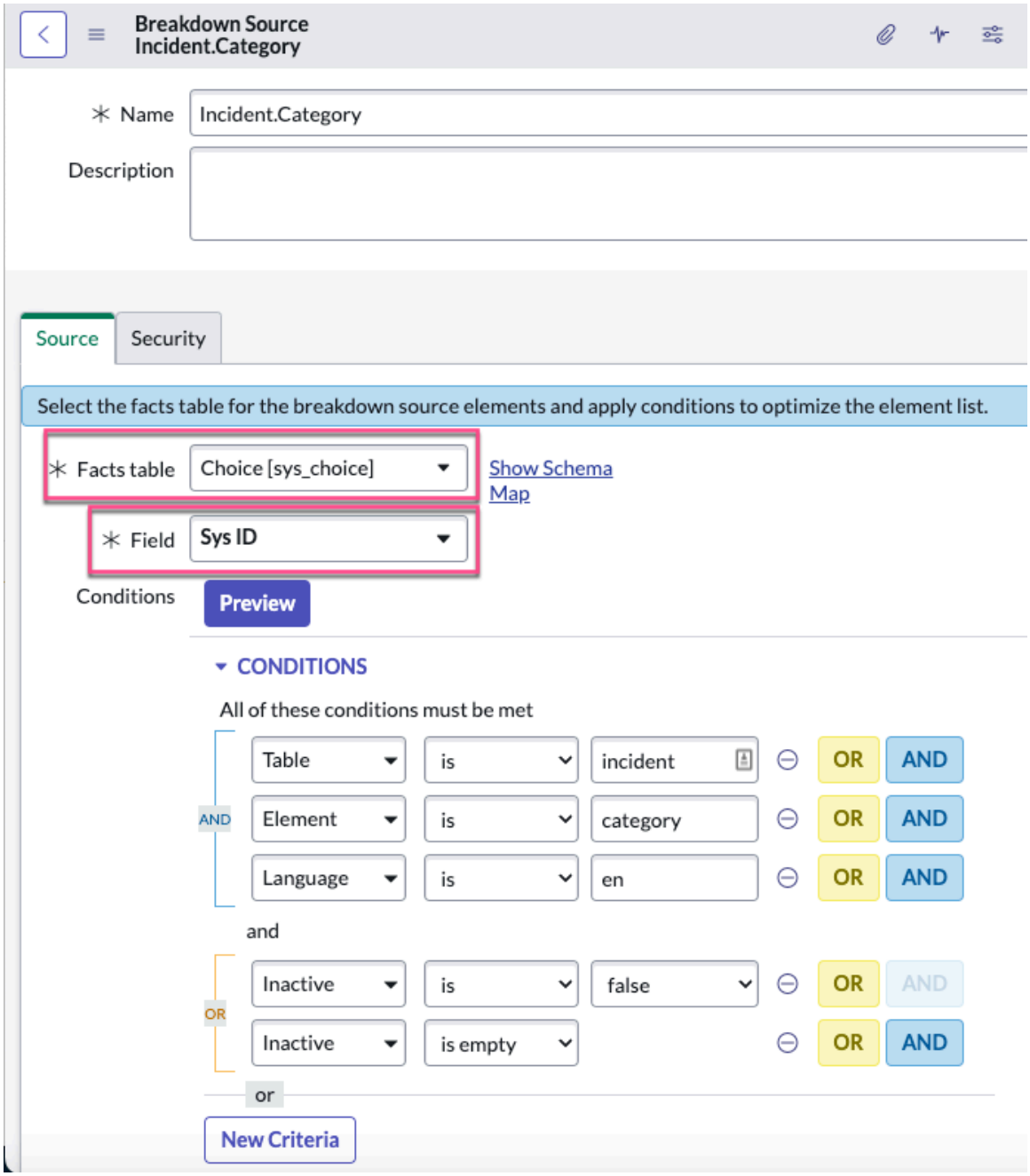
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



Incident.Category ブレークダウン ソースは、選択肢 [sys_choice_list] テーブルのレコードを使用します。

自動翻訳

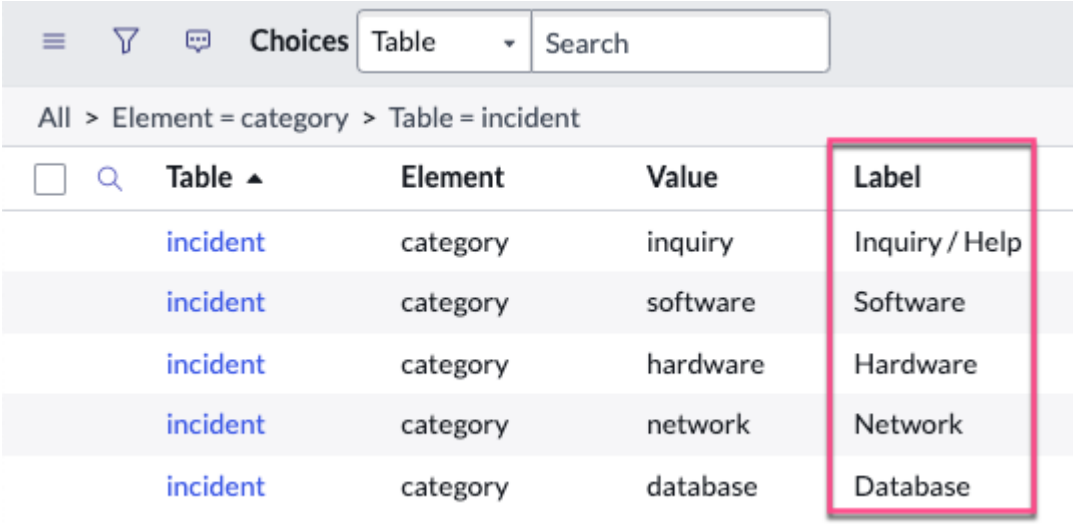
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



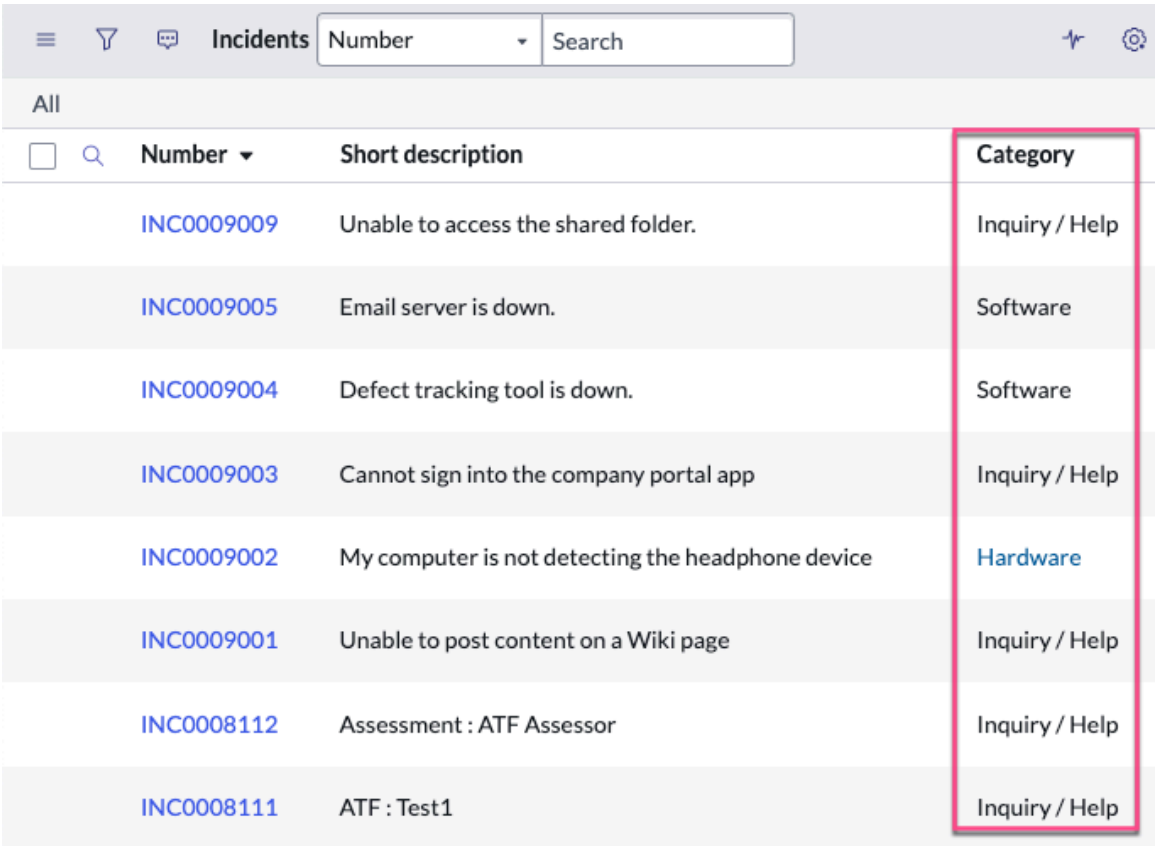
次の画像は、Incident.Category ブレークダウン ソースで指定された条件を満たす選択肢 [sys_choice] テーブル レコードを示しています。[ラベル] フィールドの値に注目してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



最後に、[インシデント] テーブルのいくつかのレコードの [カテゴリ] フィールドが表示されます。このフィールドは [カテゴリ] ブレークダウンにマップされています。このフィールド値は、Incident.Category ブレークダウン ソースがフィルタリングする選択肢 [sys_choice_list] テーブルのレコードの [ラベル] フィールドと一致します。



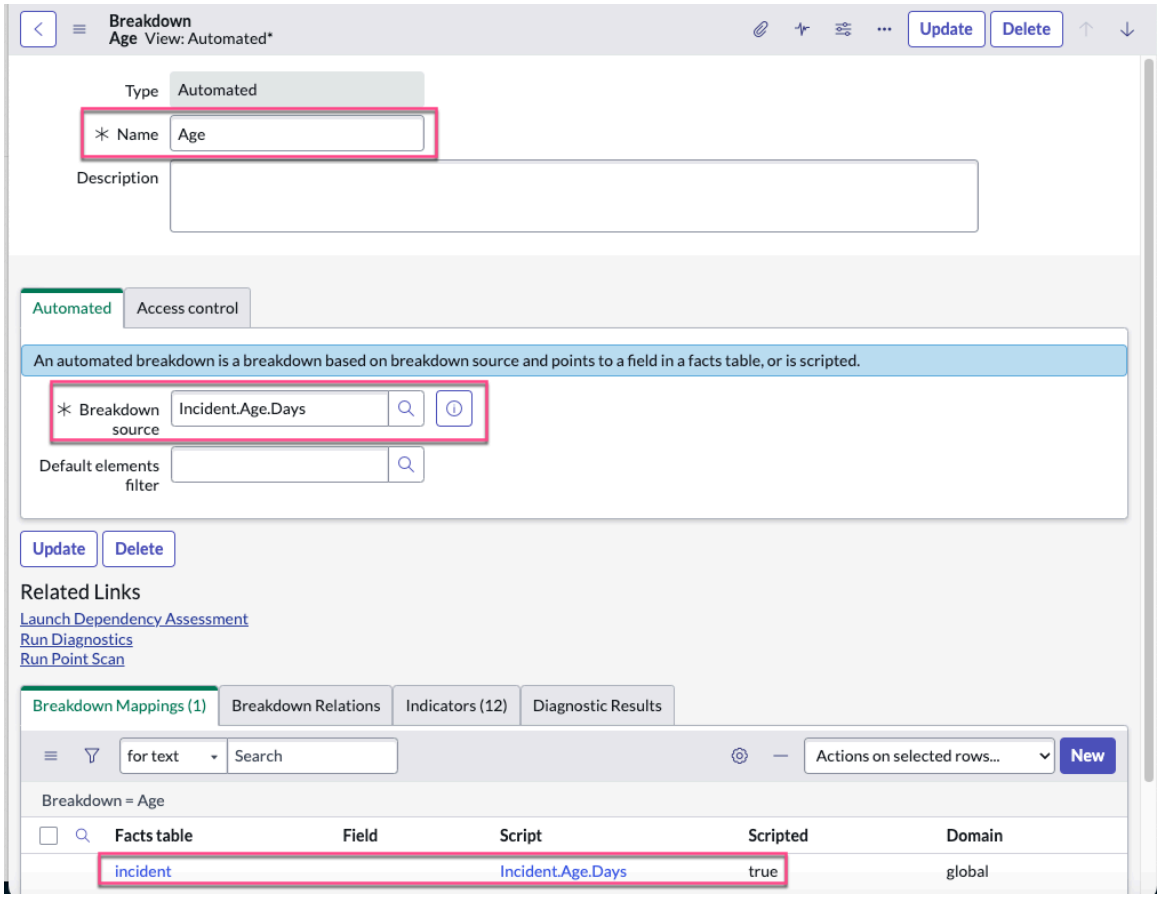
例：スクリプト マッピング

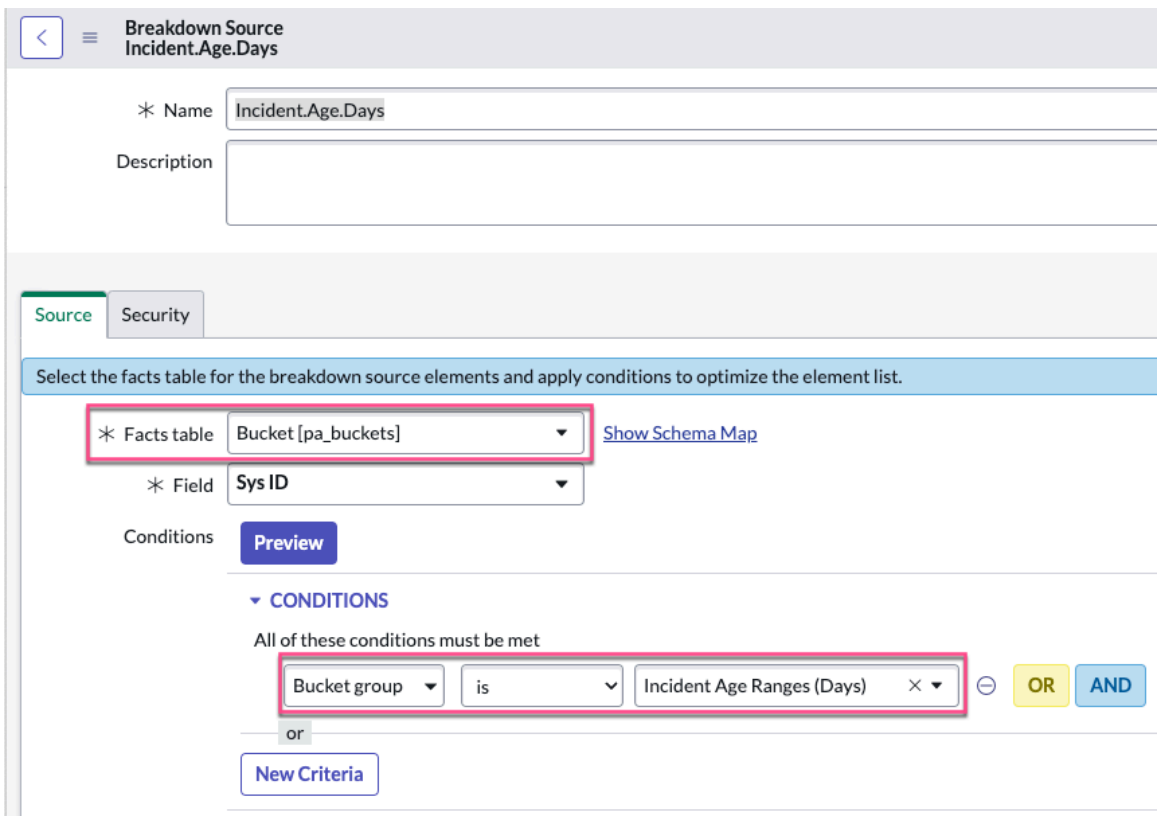
[経過時間] ブレークダウンでは、Incident.Age.Days スクリプトを使用してインシデントの日数を計算し、その値を [インシデント経過時間範囲] バケット グループにマップします。

最初の 2 つの画像では、[経過時間] ブレークダウンが表示されており、Incident.Age.Days ブレークダウン ソースと、ブレークダウンマッピング用の Incident.Age.Days スクリプトを使用しています。また、ブレークダウン ソースは、[インシデント経過時間範囲 (日数)] バケット グループを参照していることがわかります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。





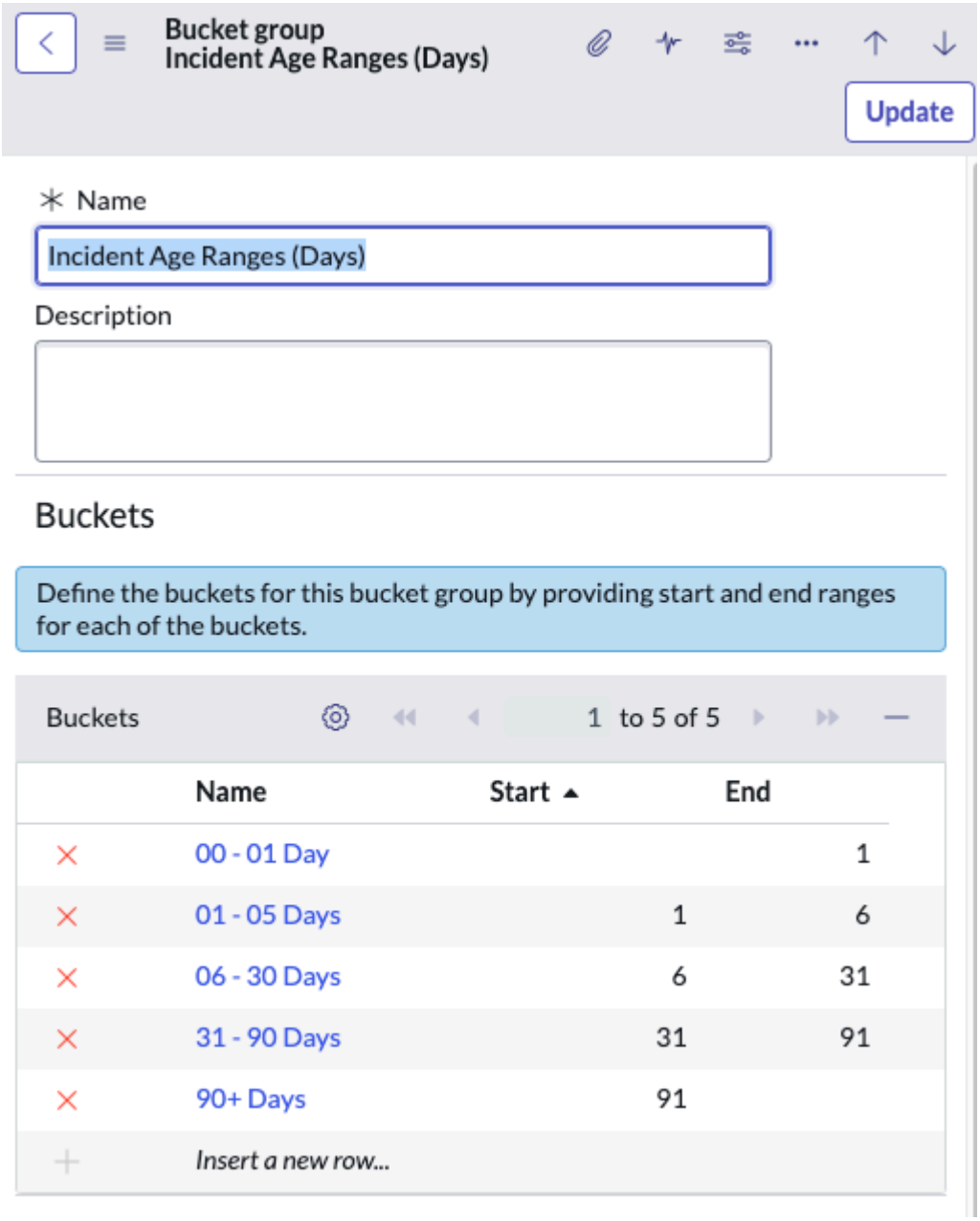
Incident.Age.Days スクリプトは、インシデントがインシデント テーブルからオープンになったときにタイムスタンプを取得し、これを収集期間の最後のタイム スタンプから差し引きます。スクリプトは、この値をミリ秒から日数に変換します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
var diff=function(x,y){return y.dateNumericValue() - x.dateNumericValue();};
var days=function(x,y){return diff(x,y)/(24*60*60*1000);};
days(current.opened_at, score_end);
```

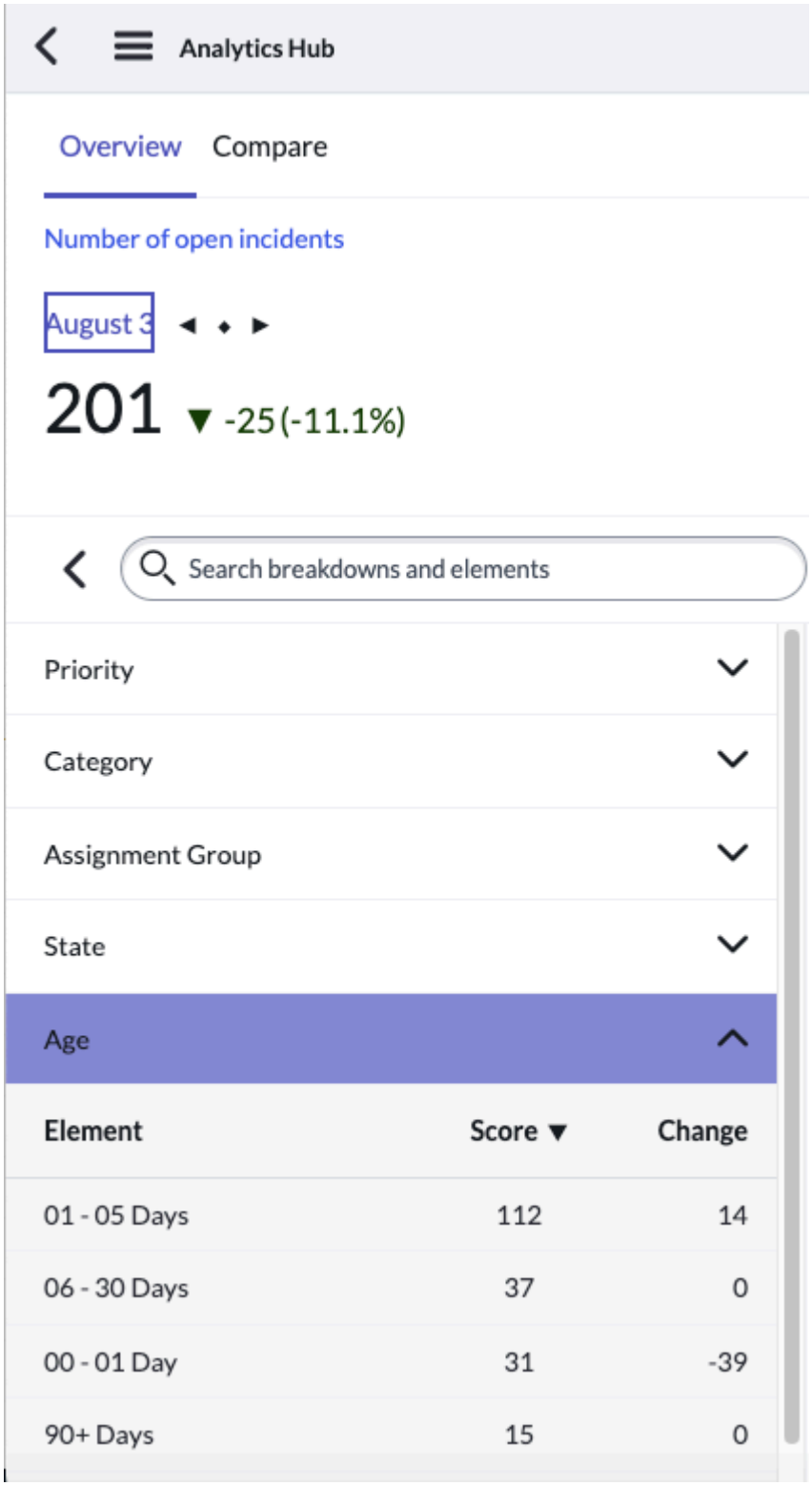
結果の日数は、バケット グループのバケットにソートされます。



以下に、オープン インシデント インジケーターの [番号] についてこのスクリプトを実行した結果を示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



関連情報

スクリプト： パフォーマンスアナリティクス

自動ブレークダウンへのインジケーターのを割り当て

自動または式インジケーターをブレークダウンに関連付けて、それらのインジケーターのブレークダウンされたスコアの収集を可能にします。

始める前に
ブレークダウンには、インジケーター ソース テーブルへのブレークダウンマッピングが必要です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

必要なロール：pa_data_collector、pa_power_user、pa_admin、または admin

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** > 自動ブレークダウン.
2. ブレークダウン レコードを選択します。
3. [インジケーター] 関連リストで、[編集] をクリックします。
4. スラッシュ・バケットを使用して、このブレークダウンに割り当てるインジケーターを選択します。
5. [保存] をクリックします。
6. オプション: [インジケーターブレークダウン] 関連リストで、[表示] 値を false に設定して、ウィジェット アナリティクスハブ とダッシュボードウィジェットでブレークダウンを非表示にします。
   [表示] フィールドが false の場合、ブレークダウン スコアはデータ収集中に入力されますが、ブレークダウンはダッシュボード アナリティクスハブ ウィジェットまたはダッシュボード ウィジェットでは選択できません。

次のタスク
インジケーターでデータ収集ジョブを実行して、新しいブレークダウンのスコアを収集します。

重要:
すでにスコアがある既存のインジケーターにブレークダウンを追加する場合は、収集されたスコアを上書きしないように新しいブレークダウンのスコアを収集するように注意してください。

この目的のために、特別な 1 回限りの収集ジョブを作成します。必要なだけさかのぼってデータを収集するようにジョブを設定します。このブレークダウンを追加したインジケーターのみを選択します。他のすべてのブレークダウンを除外するように結果のジョブ インジケーターを構成します。ジョブ インジケーターの [インジケーターの収集] オプションをオフにします。次に、ジョブを実行します。

ロールで収集ジョブを作成できない場合は、管理者にお問い合わせください パフォーマンスアナリティクス 。

詳細については、「データ収集ジョブの作成またはスケジュール」と「ジョブ インジケーターの構成」を参照。

手動ブレークダウン

手動ブレークダウンでは、ブレークダウン ソースからのレコードを使用する代わりに、各要素のブレークダウン要素とインジケーターのスコアを手動で定義します。

自動ブレークダウンとは異なり、手動ブレークダウンはインジケーター ソース テーブルのどのフィールドにもマッピングしません。代わりに、ユーザーはブレークダウンしたスコアを手動で入力する必要があります。

手動ブレークダウンの作成

スコアを手動で追加するインジケーターのブレークダウンを作成します。

始める前に
必要なロール：pa_data_collector、pa_power_user、pa_admin、または admin

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** > 手動ブレークダウン。
2. [新規] をクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[タイプ] が自動的に [手動] に設定されます。

3. 内容を端的に表す名前を入力します。
4. フォーム ヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。
5. [手動] セクションで、[新規行を挿入] をダブルクリックし、新しいブレークダウン要素を追加します。
6. Enter を押すか、緑色のチェック マークをクリックしてエントリを保存します。
7. オプション: [順番] の値を変更します。
   [順序] の値が小さい要素は、 や ダッシュボードなどのアナリティクスハブ要素のリストの上位に表示されます。
8. 手順 5 ～ 7 を繰り返して、さらにブレークダウン要素を追加します。
9. [送信] をクリックします。

次のタスク
手動インジケーターをこのブレークダウンに関連付け、スコアシートを使用してスコアを入力します。

手動ブレークダウンへの手動インジケーターの割り当て

手動インジケーターを手動ブレークダウンに関連付けて、インジケーターのブレークダウン スコアを入力できるようにします。

始める前に
必要なロール：pa_data_collector、pa_power_user、pa_admin、または admin

このタスクについて
注:
手動インジケーターのスコアは、一度に 1 つのブレークダウンのみでブレークダウンすることができます。手動インジケーターに第 2 レベルのブレークダウンを適用することはできません。

手順
1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** > 手動ブレークダウン。
2. ブレークダウン レコードを選択します。
3. [インジケーター] 関連リストで、[編集] をクリックします。
4. スラッシュ・バケットを使用して、このブレークダウンに割り当てるインジケーターを選択します。
5. [保存] をクリックします。
6. オプション: [インジケーターブレークダウン] 関連リストで、[表示] 値を false に設定して、ウィジェット アナリティクスハブ とダッシュボードウィジェットでブレークダウンを非表示にします。
   [表示] フィールドが false の場合、ブレークダウン スコアはデータ収集中に入力されますが、ブレークダウンはダッシュボード アナリティクスハブ ウィジェットまたはダッシュボード ウィジェットでは選択できません。

次のタスク
スコアシートを使用してインジケーターのブレークダウン スコアを入力します。

要素フィルタ

要素フィルターを使用すると、ビジュアル化で表示されるブレークダウン要素を指定または制限することができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素フィルターは、条件付きフィルターまたは関連リスト条件と、条件が適用されるブレークダウンソースで構成されます。

ヒント:
動的条件で要素フィルターを使用して、ウィジェットでパーソナライズされたビジュアルを作成します。詳細については、「パーソナライズされたビジュアル」を参照してください。

ビジュアライゼーションの要素フィルター

さまざまなビジュアル化で、次の方法で要素フィルターを選択できます。

- クラシック アナリティクスハブ：ブレークダウンを選択すると、そのブレークダウンに要素フィルターがある場合は、それらのリストが表示され、そこで選択できます。
- パフォーマンスアナリティクス ウィジェットの場合：ウィジェットを設定するときに、[要素設定] タブの [要素フィルター] フィールドに入力します。ブレークダウン、時系列、およびスコアのウィジェットのみが要素フィルターをサポートしています。時系列ウィジェットとスコアウィジェットでは、要素フィルターが第 1 レベルのブレークダウン要素を置き換えます。ブレークダウンウィジェットの場合、要素フィルターは表示される要素を制限します。
- 時系列ウィジェットのウィジェットインジケーターの場合： [要素設定] の [要素フィルター] フィールドでフィルターを選択します。まず、ブレークダウンソースで要素フィルターを使用してブレークダウンを選択する必要があります。

  注:
  適用されるすべての要素の名前がインジケーターの名前またはラベルに追加されます。

- プラットフォームアナリティクス ワークスペースの KPI 詳細：[フィルター] ペインでブレークダウンを選択すると、そのブレークダウンに要素フィルターがある場合は、それらのリストが表示され、そこで選択できます。
- プラットフォームアナリティクス データのビジュアル化：データのビジュアル化を設定するときに、インジケーターデータソース、ブレークダウン、および [is (dynamic)] 演算子を選択します。そのブレークダウンの要素フィルターが [要素] フィールドで使用できるようになります。

いずれの場合も、要素フィルターを選択できるのは、ブレークダウン ソースに少なくとも 1 つの要素フィルターがあるブレークダウンを最初に選択した場合のみです。また、フィルターの構成によっては、要素フィルターを選択するために特定のロールが必要になる場合もあります。

ビジュアル化で要素フィルターを指定するだけでなく、ブレークダウンレコードで デフォルトの要素フィルター を指定することもできます。その要素フィルターは、任意の可視化のブレークダウンに対して自動的に選択されます。または でアナリティクスハブKPI 詳細ブレークダウンを表示するユーザーは、選択した要素フィルターを変更またはクリアできます。

注:
ダッシュボードまたはワークスペースでビジュアルを表示するだけでは、ビジュアルをカスタマイズするために使用される要素フィルターを変更することはできません。基礎となるウィジェットまたはデータの可視化を編集する権限を持つユーザーのみが、要素フィルターを変更できます。詳細については、「パーソナライズされたビジュアル」を参照してください。

関連情報

分析ハブ

でのインジケーターの探索 KPI 詳細

Performance Analytics ウィジェット

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

要素フィルターの作成

ブレークダウン ソースを選択し、そのブレークダウン ソースからブレークダウン要素をフィルタリングするフィルタ条件を選択します。

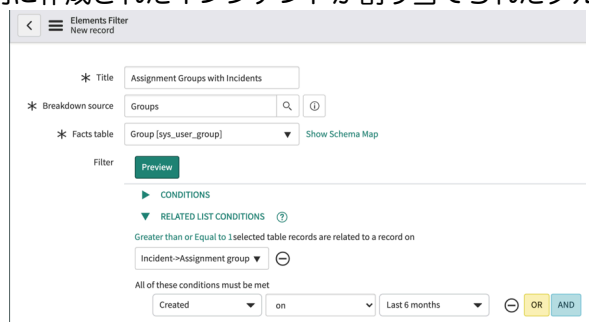
始める前に

必要なロール：pa_data_collector または admin

手順

移動先 すべて > **Performance Analytics** > 要素フィルター をクリックし、新しいレコードを作成します (フィールドの説明についてはテーブルを参照)。

要素フィルタ フィールド

フィールド	説明
ブレークダウンソース	要素フィルタを作成するブレークダウン ソースを選択します。要素フィルタは、このブレークダウン ソースに基づくブレークダウンに使用できます。
ファクトテーブル	読み取り専用。ブレークダウン ソースのファクト テーブルを表示します。
フィルター	CONDITIONS:使用可能な要素を制限するフィルター条件を指定します。この要素フィルタを適用すると、これらの条件を満たす要素のみが表示されます。 たとえば、ブレークダウン ソースのファクト テーブルがユーザー [sys_user] の場合、HR 部門のユーザーのみを含めるフィルター条件を追加できます。このフィルター条件は [部門][次の値に等しい][HR] です。 の場合 パーソナライズされたビジュアル、フィルター条件の演算子は [is (dynamic)] である必要があります。
	関連リスト条件:条件に別のテーブルとの関係を含めます。たとえば、グループ [sys_user_group] テーブルを使用するグループブレークダウン ソースに要素フィルタを作成することができます。インシデント [incident]->アサイン先グループに関連リスト条件を追加すると、インシデントがアサインされているグループのみが表示されます。この条件に [[作成][日付][過去 6 か月]] が含まれる場合、過去 6 か月以内に作成されたインシデントが割り当てられたグループを取得します。 
ロール	ウィジェットフォームでこの要素フィルターを選択するためにユーザーが必要とするロールを選択します。ユーザーには、指定されたロールの少なくとも 1 つが必要です。ロールを指定しないと、パフォーマンスアナリティクス ウィジェットを編集できるすべてのユーザーがこの要素フィルターを追加できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
動的条件で要素フィルターを使用して、ウィジェットにパーソナライズされたビジュアルを作成します。詳細については、「パーソナライズされたビジュアル」を参照してください。

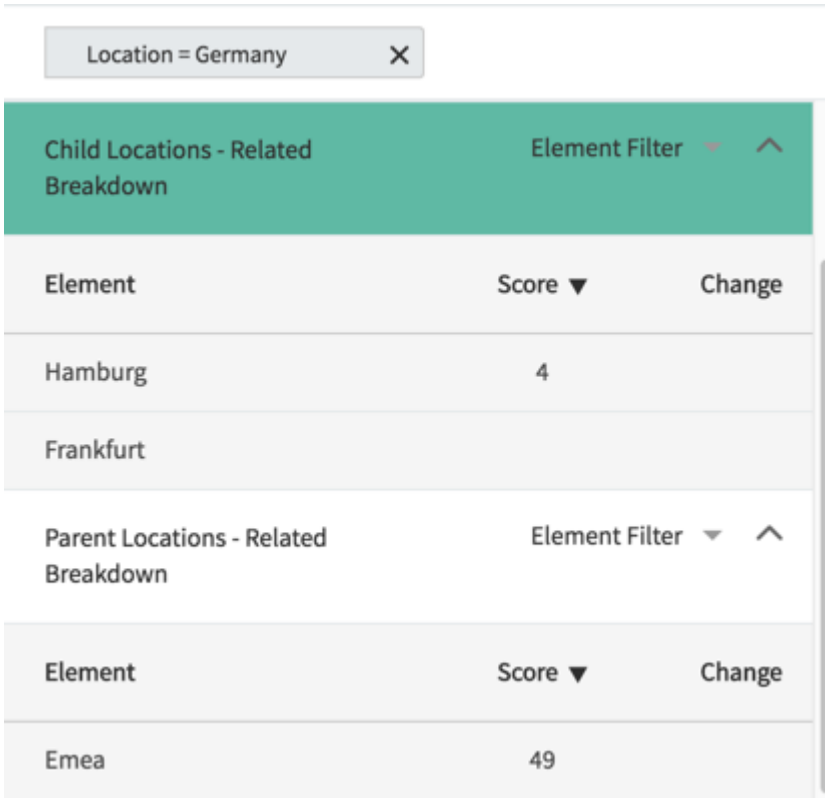
この要素フィルターを使用するすべてのウィジェットインジケーターと、この要素フィルターに言及するすべての診断結果は、要素フィルターレコードの下部に一覧表示されます。

ブレークダウンの関連付けを持つブレークダウン要素のナビゲート

ブレークダウンの関連付けは、あるブレークダウン要素から別のブレークダウン要素に移動することによって、ブレークダウンスコアを表示するための新しいナビゲーションパスを開きます。ブレークダウンの関連付けは、異なるブレークダウンの要素間に配置することも、同じブレークダウン内の要素の階層構造内に配置することもできます。ブレークダウンの関連付けは、 アナリティクスハブ ブレークダウン ウィジェットとブレークダウン内ウィジェットのナビゲーションに影響します。

ブレークダウンの関連付けを使用すると、階層関係にある単一のブレークダウンの要素間を移動できます。たとえば、場所ブレークダウンには「親」要素と「子」要素の階層があり、国を都市の親にすることができます。ブレークダウン リレーションを使用すると、閲覧者は アナリティクスハブ 国から都市へ、都市から国へ、または同じ国内の都市間を移動できます。

同じブレークダウンの要素間を アナリティクスハブ 移動する

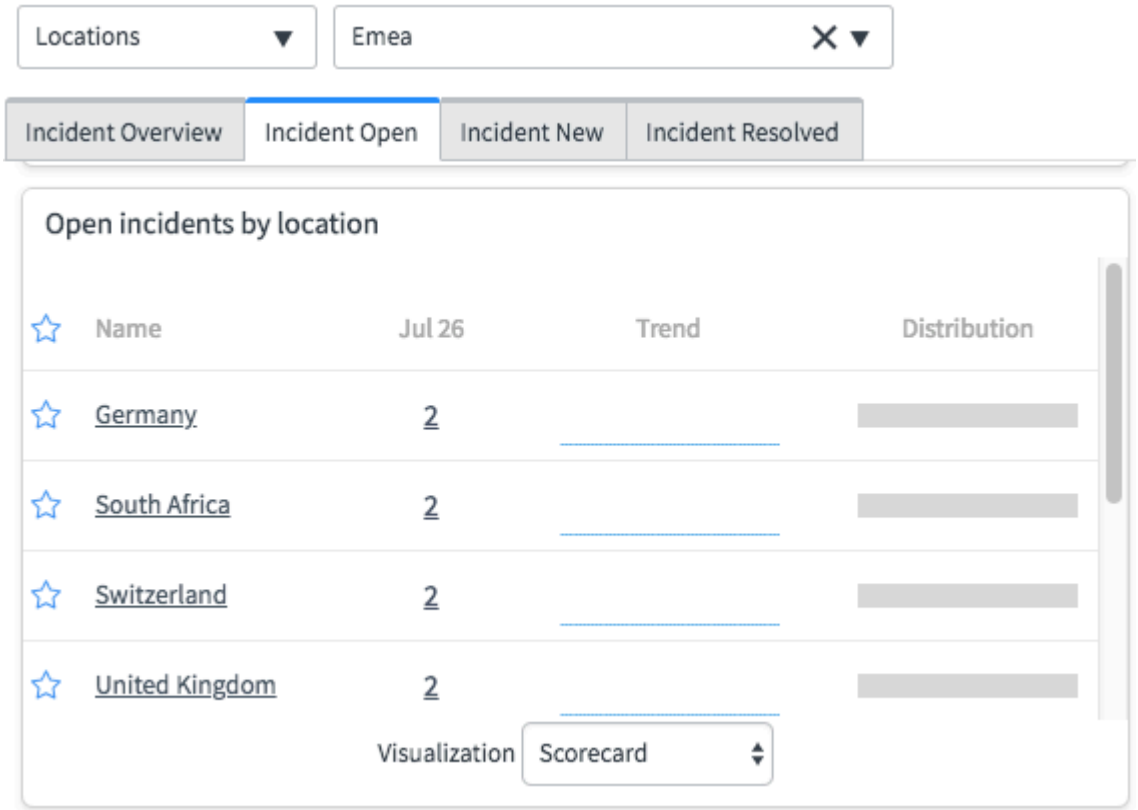


同様に、ブレークダウン ウィジェットには、ブレークダウン ダッシュボード用に選択された要素の親、子、または兄弟要素を表示できます。ブレークダウン ダッシュボードでのブレークダウンの関連付けの使用の詳細については、「」を参照してください ダッシュボードのブレークダウン関係の表示。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

EMEA 要素の子を表示するブレークダウンダッシュボード

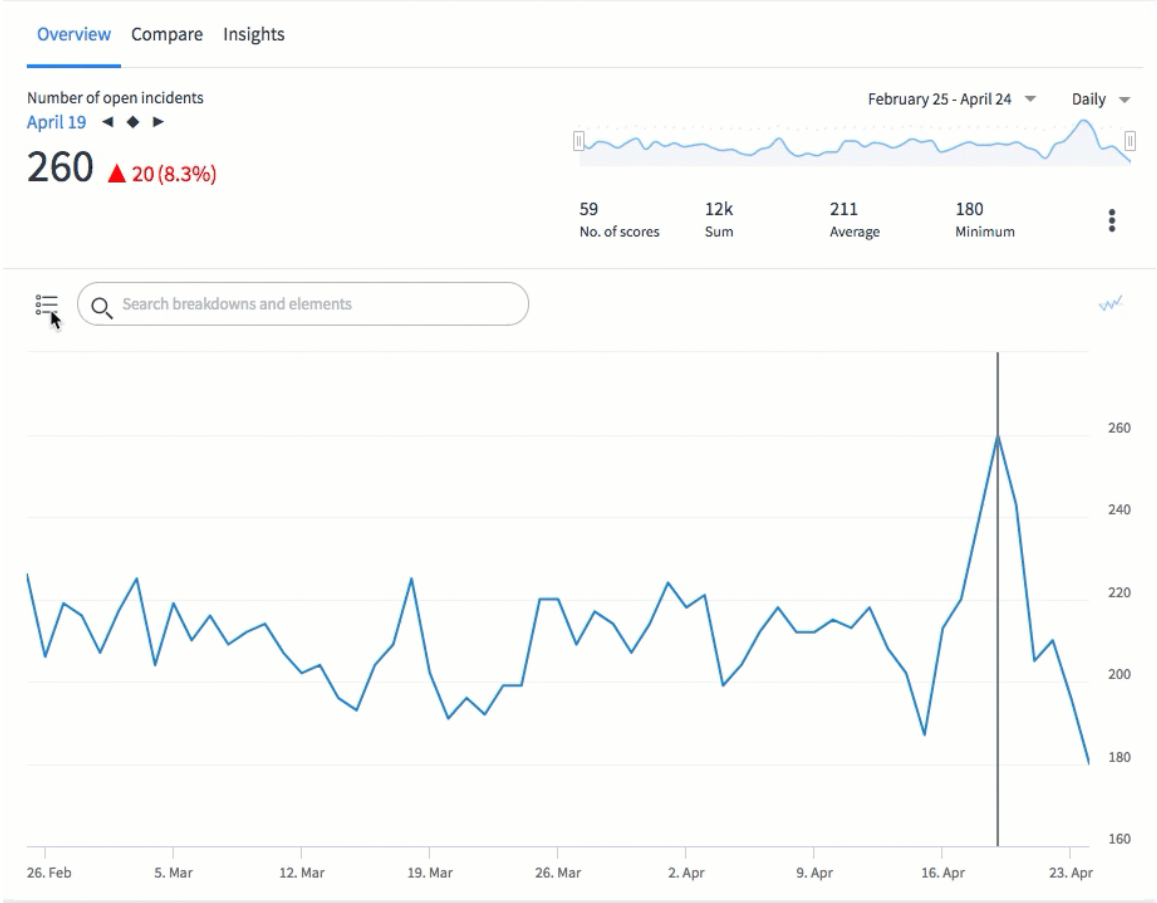


ブレークダウンの関連付けは、異なる第 1 レベルのブレークダウンの要素間のナビゲーションも可能にします。たとえば、最初にアサイン先グループブレークダウンの要素を選択してから、メンバーブレークダウンの関連付けを確認します。この関係で、[アサイン先] ブレークダウンの要素に移動します。[アサイン先] の選択されたメンバーは、必ずしもアサイン先グループのメンバーである必要はありません。さらに、アサイン先のメンバーのアサイン数が、選択したアサイン先グループのアサイン数を超えています。最初に選択したアサイン先グループのアサインだけでなく、すべてのアサインの合計が表示されます。表示している第 1 レベルのブレークダウンを変更しているのであって、ブレークダウンと要素の第 2 レベルにドリルダウンしていない。繰り返しになりますが、このブレークダウンの関連付けは、ブレークダウン ダッシュボードのブレークダウン ウィジェットとブレークダウン ウィジェットの両方で アナリティクスハブ 使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

異なるブレークダウンの要素間を移動するアナリティクスハブ



ブレークダウンの関連付けを使用するこれらのケースの詳細については、ブレークダウンの関連付けの作成に関するトピックを参照してください。

ブレークダウン間のブレークダウンの関連付けを作成する

同じレベルにある 2 つのブレークダウンの要素間でチャート化のナビゲーションを設定するには、ブレークダウン間にブレークダウンの関連付けを作成します。両方のブレークダウンのレコードを参照するフィールドを持つテーブルが存在する必要があります。

始める前に

で ブレークダウンの関連付けを持つブレークダウン要素のナビゲートブレークダウンの関連付けのユースケースを確認します。

必要なロール:pa_data_collector、pa_power_user、admin

> **注:**
> 通常、pa_power_userロールを持つビジネスアナリストは、作成するブレークダウン関係を知っている可能性が高くなりますが、それらを作成するには、pa_data_collectorを持つ技術エキスパートの知識とテーブルへのアクセスが必要です。pa_adminは両方を理解している可能性が高いです。pa_adminが関係を作成するか、pa_power_userとpa_data_collectorの間でコラボレーションを行うことを検討してください。

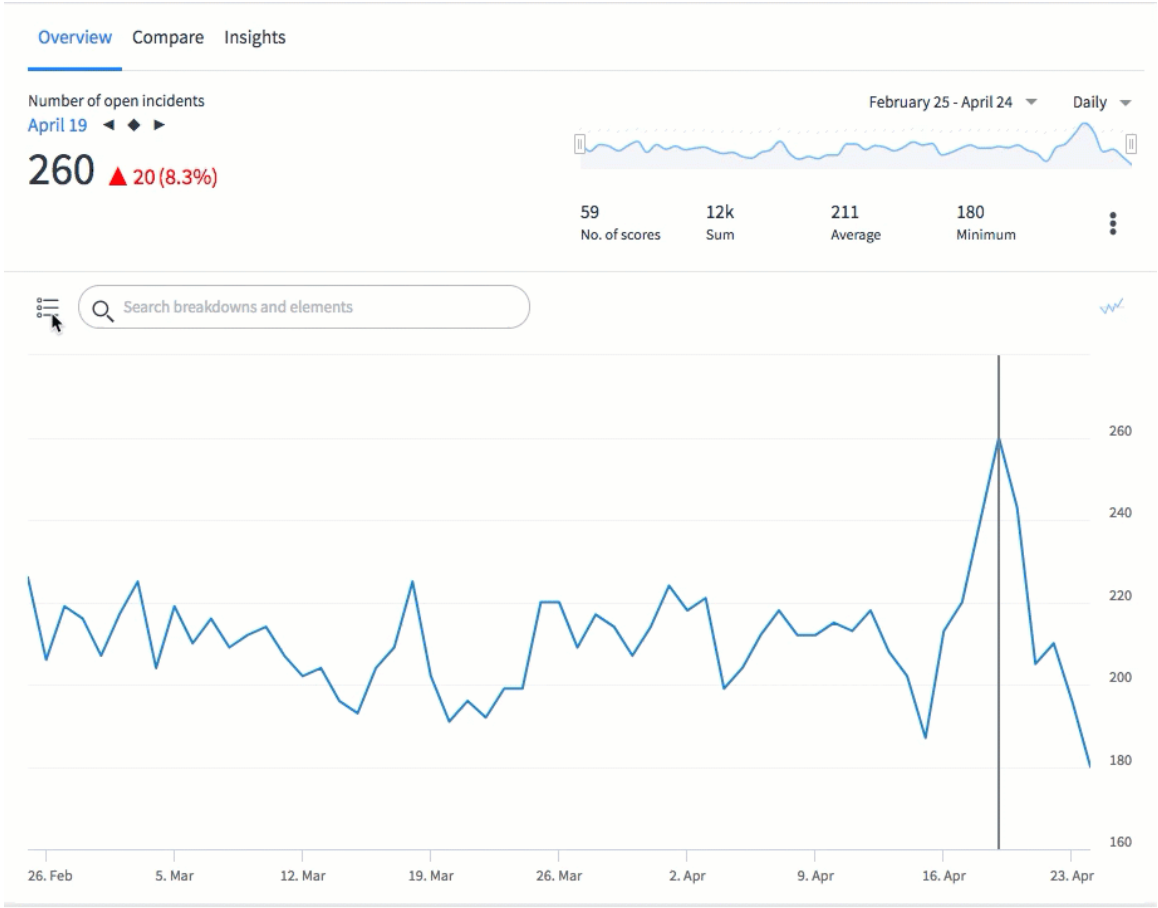
このタスクについて

論理的に関連している同じレベルの 2 つのブレークダウン間をすばやく移動できるようにする必要があります。このトピックで使用する例には、[オープンインシデントの数] インジケーターの [アサイン先グループ] と [アサイン先] ブレークダウンが含まれます。次のアニメーションでは、Oracle Support グループに割り当てられたインシデントの数の表示から、Candace Bruckman に割り当てられたインシデントの数の表示に切り替わります。どちらのブレークダウンも第1レベルであるため、Oracleサポートに割り当てられたインシデントの合計数とCandace Bruckmanに割り当てられ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

た合計が表示されます。Candiceをブレークダウン・リレーションではなく、第2レベルのブレークダウンとして選択した場合は、Candiceが取り組んでいるOracleサポートの問題のみが表示されます。



注:
ブレークダウンの関係は、一方向の関係です。双方向の関係を作成するには、複数のブレークダウン関係を定義します。

手順

1. 移動先 すべて > ブレークダウン > ブレークダウンの関連付け をクリックし、[新規] をクリックします。
2. フォームのフィールドに次のように入力します。

[ブレークダウンの関連付け] フォーム

フィールド	説明	例
ブレークダウン	この関係が属しているブレークダウンを選択します。このブレークダウンからのみ、関連付けられたブレークダウンにアクセスできます。	この例では、アサイン先グループを選択したときにグループメンバーの選択を表示する場合、 ブレークダウンはアサイン先グループになります。
関連ブレークダウン	最初のブレークダウンと関連付けるブレークダウンを選択します。	この例では、アサイン先グループメンバーとの関連ブレークダウンは [Assigned To] です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明	例
テーブル	両方のブレークダウンのソースのファクト テーブル レコードを参照するフィールドを持つテーブルを選択します。多対多の関係の場合は、多対多のテーブルを選択します。1 対多の関係の場合は、ファクト テーブルを選択します。	アサイン先グループブレークダウンはグループデータを使用します。[アサイン先] ブレークダウンでは、ユーザーデータが使用されます。アサイン先グループには多くのメンバーを含めることができ、ユーザーは複数のアサイン先グループのメンバーになることができるため、多対多の関係になります。したがって、グループとユーザーを結合する多対多テーブルであるグループメンバー [sys_user_grmember] テーブルを選択します。
明細フィールド	指定したテーブルから、移動元となるブレークダウン要素を識別するフィールドを選択します。	この例では、[**Group**] フィールドを選択します。グループメンバー [sys_user_grmember] テーブルのこのフィールドは、アサイン先グループブレークダウンの要素を識別します。
関連ブレークダウンフィールド	指定したテーブルから、この関連付けを表示するときに移動できるブレークダウン要素を識別するフィールドを選択します。	この例では、[ユーザー] フィールドを選択します。グループメンバー [sys_user_grmember] テーブルのこのフィールドは、アサイン先ブレークダウンの要素を識別します。
共通フィールド	ブレークダウン間の関係を定義する際は、このフィールドを空のままにします。	
条件	この関係の関連ブレークダウンとして表示するためにレコードが満たす必要があるその他の条件を定義します。	この例では、条件 **[User.Active] [is] [true]** を追加して、非アクティブなグループメンバーをフィルタリングします。

自動翻訳

タスクの結果

[ブレークダウンの関連付け] フォームを送信すると、関連するインジケーターの アナリティクスハブ ナビゲーションオプションが使用可能になります。最初にデータ収集ジョブを実行する必要はありません。

次のタスク

すべてのインスタンスでデフォルトで出荷されるブレークダウンの関連付けの例を表示します。ここに示されている例は、 メンバー のブレークダウンの関連付けです。[メンバー] ブレークダウンの関連付けは、[アサイン先] の要素から始まって [アサイン先グループ] まで、逆方向のナビゲーションを提供します。最後に、 マネージャー ブレークダウンの関連付けは メンバーと似ていますが、各アサイン先グループにはマネージャーが 1 人しかいないため、多対 1 の関係を示します。したがって、多対多テーブルの代わりにファクト テーブルを使用します。

1 つのブレークダウンの要素間の関係を作成する

ブレークダウンの関連付けを使用して、同じブレークダウン内の要素の階層間のナビゲーション アナリティクスハブ を設定します。ブレークダウンレコードのフィールドは、あるレコードと別のレコードの階層関係を示す必要があります。

始める前に

で ブレークダウンの関連付けを持つブレークダウン要素のナビゲートブレークダウンの関連付けのユースケースを確認します。

必要なロール:pa_data_collector、pa_power_user、admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
通常、pa_power_userロールを持つビジネスアナリストは、作成するブレークダウン関係を知っている可能性が高くなりますが、それらを作成するには、pa_data_collectorを持つ技術エキスパートの知識とテーブルへのアクセスが必要です。pa_adminは両方を理解している可能性が高いです。pa_adminが関係を作成するか、pa_power_userとpa_data_collectorの間でコラボレーションを行うことを検討してください。

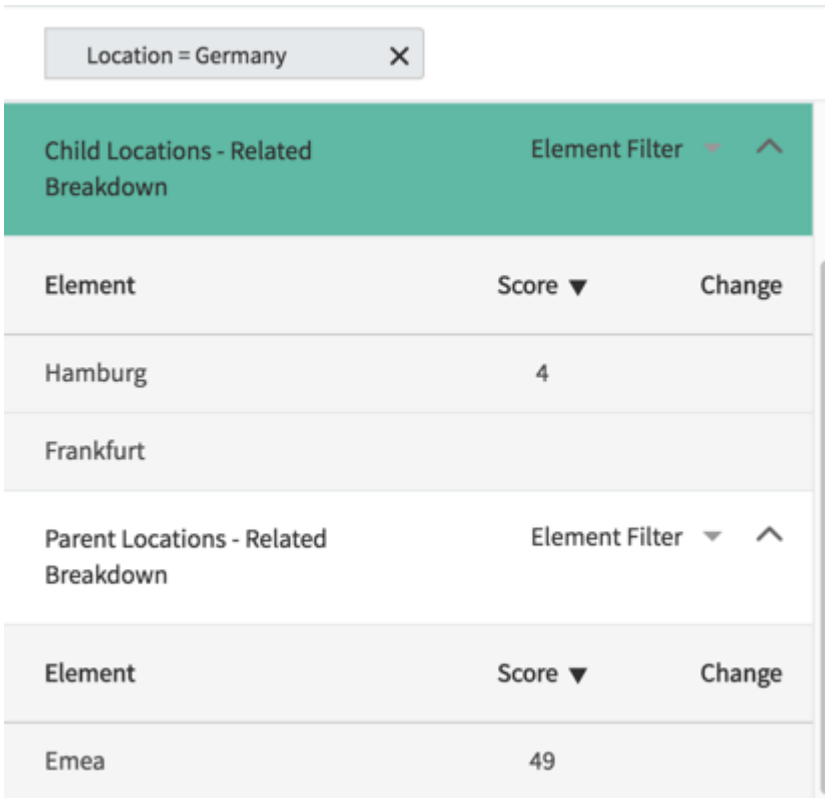
このタスクについて

ブレークダウンの関連付けを作成して、ブレークダウンの要素間の次の階層関係をナビゲートできます。

- 親要素からその子に移動するための子関係
- 子要素からその親に移動するための親関係
- 同じ親要素を共有する要素間を移動するための兄弟関係またはピア関係

要素間の階層関係があるブレークダウンでは、要素レコードの 1 つのフィールドが階層内の要素の位置を識別します。通常、このフィールドは親であり、親要素を識別します。1 つの要素の親である要素自体が親要素を持つことができ、この複数レベルの階層は で アナリティクスハブ移動できます。

このトピックで使用する例は、[オープンインシデントの数] インジケーターの場所のブレークダウンです。子関係と親関係は、地域から国、都市へ、またその逆など、階層の複数のレベルをナビゲートするために必要です。



注:
ブレークダウンの関係は、一方向の関係です。複数のブレークダウンを定義し、双方向の関係を作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > ブレークダウン > ブレークダウンの関連付け をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [ブレークダウン] および [関連ブレークダウン] フィールドで、要素間を移動するブレークダウンを選択します。
   同じブレークダウンの要素間の関係を作成する場合、これらのフィールドは同じ値になります。この例では、両方のフィールドで 場所 ブレークダウンを選択します。
3. [テーブル] フィールドで、ブレークダウン ソースのファクト テーブルと同じテーブルを選択します。
   この例では、 場所 **[cmn_location]** を選択します。
4. フォームの残りの部分に、子、親、または兄弟/ピア関係のいずれを作成するかに応じて入力します。

[ブレークダウンの関連付け] フォーム

フィールド	子関係	親関係	兄弟/ピア関係
明細フィールド	親要素を識別するフィールドを選択します。 場所のブレークダウンで、親を選択します。	このブレークダウンの要素の一意の識別子フィールドを選択します。 場所ブレークダウンには、ほとんどのブレークダウンと同様に、[**Sys ID**] を選択します	このブレークダウンの要素の一意の識別子フィールドを選択します。 場所ブレークダウンには、ほとんどのブレークダウンと同様に、[**Sys ID**] を選択します
関連ブレークダウンフィールド	このブレークダウンの要素の一意の識別子フィールドを選択します。 場所ブレークダウンには、ほとんどのブレークダウンと同様に、[**Sys ID**] を選択します	親要素を識別するフィールドを選択します。 場所のブレークダウンで、親を選択します。	このブレークダウンの要素の一意の識別子フィールドを選択します。 場所ブレークダウンには、ほとんどのブレークダウンと同様に、[**Sys ID**] を選択します
共通フィールド	空のままにします。	空のままにします。	親要素を識別するフィールドを選択します。 場所のブレークダウンで、親を選択します。

5. [条件] で、この関係の関連ブレークダウンとして表示するためにレコードが満たす必要があるその他の条件を定義します。

タスクの結果

[ブレークダウンの関連付け] フォームを送信すると、関連するインジケーターの アナリティクスハブ ナビゲーションオプションが使用可能になります。最初にデータ収集ジョブを実行する必要はありません。

次のタスク

すべてのインスタンスでデフォルトで出荷されるブレークダウンの関連付けの例を表示します。場所ブレークダウンには、 子場所 と 親場所 のブレークダウンの関連付けが含まれます。兄弟グループブレークダウンの関連付けは、兄弟関係またはピア関係の一例です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ブレークダウン要素を表示する機能の制御

ユーザーのサブセットがインジケーターで表示できるブレークダウン要素を制限するには、要素セキュリティを実装します。要素セキュリティは、ウィジェット、ワークスペース、および アナリティクスハブ .

始める前に
必要なロール：pa_admin または admin

このタスクについて
ブレークダウンの表示オプションはありません。代わりに、ブレークダウンへのアクセスは、ブレークダウン ソースの ACL によって制限されます。

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** > ブレークダウンソース.
2. アクセス権を設定するブレークダウンのブレークダウン ソース レコードを開きます。
3. [セキュリティの種類] ボックスの一覧で、次の選択肢から選択します。
4. 要素のセキュリティ リスト レコードを定義し、次のいずれかを行います。
   - リストの要素を選択します。
   - 条件を設定して、リスト上の要素を定義します。
5. 要素のセキュリティ リストを適用するロールを指定します。

要素のセキュリティ リストの定義

要素のセキュリティリストは、ブレークダウン要素への不正アクセスを防ぎます。

始める前に
必要なロール：pa_admin

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** > ブレークダウンソース.
2. 既存のブレークダウン ソース レコードを開きます。
3. [要素のセキュリティリスト] 関連リストで、[新規] をクリックします。
4. 必要に応じてフィールドを入力します。

名前	説明
名前	要素のセキュリティ リストの記述名
説明	要素のセキュリティ リストの実行内容と、その目的の詳細な説明。
アクティブ	要素のセキュリティ リストをアクティブ (選択) にするか、または非アクティブ (クリア) にするためのチェック ボックス。
すべてのロール	リストがすべてのロールに適用されることを示す場合に選択します。この要素のセキュリティ リストに属するロールを指定するには、チェック ボックスをオフにして、ロック アイコンをクリックします。特定のロールを検索するには、検索ボタンを使用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
セキュリティタイプ	[読み取り専用] 関連付けられたブレークダウン ソースのために選択されたセキュリティ タイプ。
様相	[読み取り専用] 関連付けられたブレークダウン ソースに対して選択された様相。
ファクトテーブル	[読み取り専用] 関連付けられたブレークダウン ソースに対して選択されたファクト テーブル。
要素の選択	このセキュリティ・リストが適用される要素を明示的に指定する場合に選択します。このオプションをオフにした場合は、[条件] を使用して、含める要素を決定します。
すべての要素	セキュリティリストにすべての要素を含める場合に選択します。このセキュリティリストの個々の要素を指定する場合はクリアします。デフォルト:オン
空オプションを表示	ブレークダウンダッシュボードのユーザーがブレークダウン要素を指定せずにスコアを表示できるようにする場合に選択します。これをクリアすると、ブレークダウン ダッシュボードのユーザーは、自分のロールに表示されるブレークダウン要素のスコアのみを表示できます。 この設定は、ブレークダウン ダッシュボード要素をフォローするウィジェットにのみ影響します。admin ロールを持つユーザーは、ブレークダウン ダッシュボードでフィルタリングされていないスコアを常に表示できます。
条件	セキュリティ リストが適用されるブレークダウン要素を決定するための条件。たとえば、[**User.Manager] [is (dynamic)] [Me]** などとします。条件は、ブレークダウンのソース条件で最優先のものとして適用されます。このフィールドは、[要素を選択] が選択されていない場合にのみ使用できます。

5. [送信] をクリックします。

拒否リストによるロール制限

拒否リスト セキュリティがブレークダウン ソースに指定されており、ユーザーのロールのいずれかがそのブレークダウン ソースの要素セキュリティ リストにある場合、そのユーザーはそのセキュリティ リストが適用される要素を表示できません。

拒否リストセキュリティを使用したユーザーロール別のブレークダウン要素の可視性

要素のセキュリティリストのユーザーロールは?	要素の可視性
ユーザーのどのロールも要素セキュリティリストに含まれていません。	セキュリティ リストが適用されるすべての要素が表示されます。
ユーザーのいずれかのロールが要素のセキュリティ リストに含まれています。	セキュリティ・リストが適用される要素は表示されません。
ユーザーには admin ロールがあります。	すべての要素が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

許可リストによるロール制限

ブレークダウンソースに許可リストセキュリティが指定されており、ユーザーのいずれかのロールがそのブレークダウンソースの要素セキュリティリストにある場合、そのユーザーはそのセキュリティリストが適用される要素を表示できます。

許可リストセキュリティを使用したユーザーロール別のブレークダウン要素の可視性

要素のセキュリティリストのユーザーロールは?	要素の可視性
ユーザーのどのロールもセキュリティ・リストに含まれていません。	セキュリティ・リストが適用される要素は表示されません。
ユーザーのいずれかのロールがセキュリティ・リストに含まれています。	セキュリティ リストが適用されるすべての要素が表示されます。
ユーザーには admin ロールがあります。	すべての要素が表示されます。

ダッシュボードでのブレークダウンの使用

ダッシュボードにブレークダウン ソースを追加できます。ダッシュボード ユーザーは、ブレークダウン ソースと 1 つ以上のブレークダウン要素を選択して、ダッシュボード上の可視化でスコアをフィルタリングできます。

選択した要素は、次の条件に従うダッシュボード上のウィジェットをフィルタリング パフォーマンス アナリティクス します。

- ウィジェットのインジケーターは、選択したブレークダウン ソースに基づくブレークダウンを使用します。式インジケーターの場合、式のすべての貢献インジケーターは、このソースに基づくブレークダウンを使用する必要があります。
- ウィジェットは、ブレークダウン ダッシュボードの要素をフォローします。

選択した要素は、次の条件下でダッシュボード上のレポートをフィルタリングします。

- ブレークダウン ソースをインタラクティブ フィルターとして使用するようにダッシュボードを設定しました。
- レポートは、ダッシュボードのインタラクティブフィルターに従います。

ダッシュボード ユーザーが複数の要素を選択した場合、ウィジェットは、ウィジェットのタイプと構成に応じて、それらの要素のスコアを個別に表示することも、単一の集計を表示することもできます。詳細については、「複数の要素を個別に表示または集計して表示する」を参照してください。

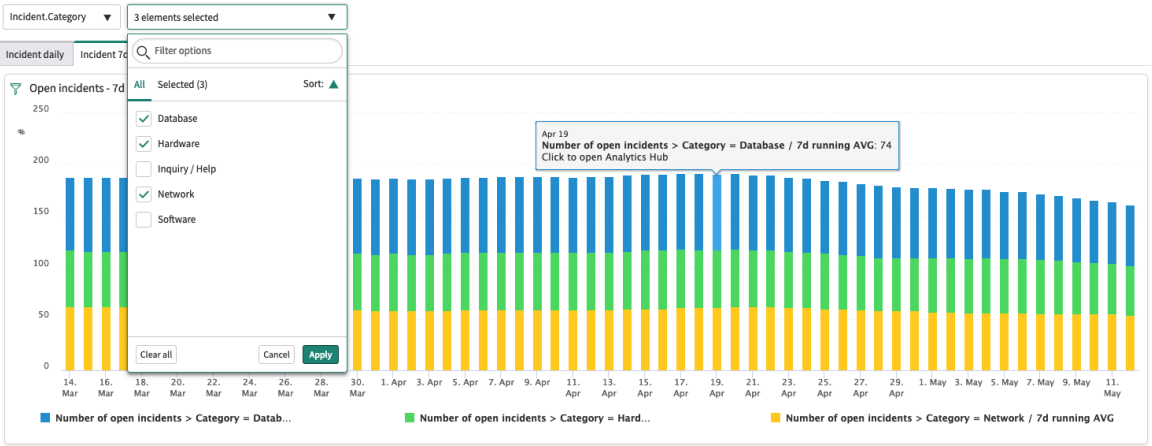
> **注:**
> ウィジェットにブレークダウンの関連付けを表示する場合、そのウィジェットに複数の要素を表示することはできません。詳細については、「ダッシュボードのブレークダウン関係の表示」を参照してください。

次の図は、[カテゴリ] ブレークダウンの選択した要素ごとに個別にスコアが指定されたブレークダウン ウィジェットを示しています。ダッシュボード ユーザーは、Incident.Category ブレークダウン ソースの 3 つの要素を選択しました。このユーザーがアクセス権 アナリティクスハブを持っている場合は、任意のスコアをクリックして、 アナリティクスハブでスコアの傾向を表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ブレークダウンダッシュボードの時系列ウィジェット



注:
ブレークダウンが適用されていても要素がないブレークダウンダッシュボードを表示する場合、ウィジェットにはベースインジケータースコアが表示されます。ブレークダウンはスコアをフィルタリングしません。通常、これらのスコアは、ブレークダウンとすべての要素を選択した場合のスコアよりも高くなります。多くの場合、要素のセキュリティや要素フィルターが原因で、すべての要素が利用できるわけではありません。また、インジケータースコアに貢献する未アサインスコアも通常は選択できません。

関連情報

- Performance Analytics ウィジェット
- Performance Analytics のブレークダウン
- ブレークダウン ソースの定義
- アナリティクスハブ 特定のインジケーターの
- ブレークダウンをインタラクティブ フィルターとして機能させる

ダッシュボードへのブレークダウン ソースの追加

ダッシュボード ユーザーがブレークダウン要素によってダッシュボード上のチャート化をフィルタリングできるようにするには、ダッシュボードにブレークダウン ソースを追加します。

始める前に
必要なロール：pa_admin、pa_power_user、または admin

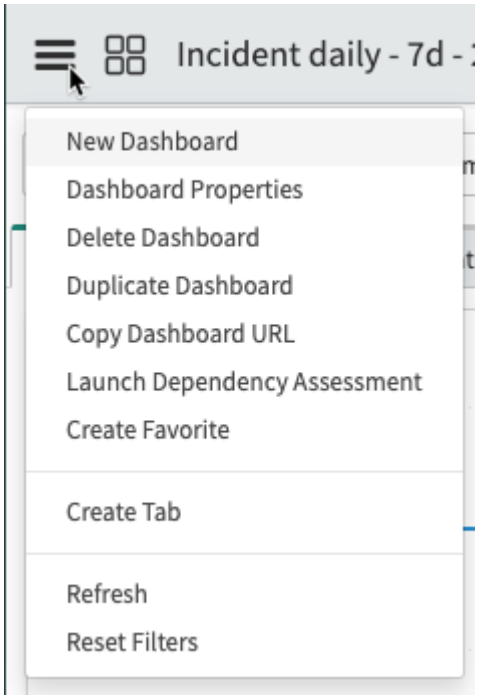
このタスクについて

手順

1. 移動先 すべて > セルフサービス > ダッシュボード または すべて > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード。
2. 関連するダッシュボードを開きます。
3. コンテキスト メニューから [ダッシュボード プロパティー] を選択します。

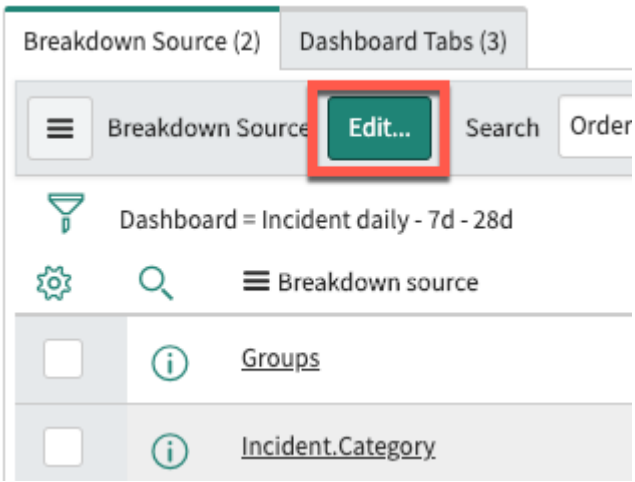
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ダッシュボードレコードが開きます。

4. ブレークダウン ソース関連リストの [編集] をクリックします。



ブレークダウン ソースをリスト内またはリストから移動できるダイアログが開きます。

5. 適用するブレークダウン ソースをブレークダウン ソース リストに移動します。
6. [保存] をクリックします。

タスクの結果

ブレークダウン ソースはダッシュボードで利用できます。ユーザーは、選択した要素に基づいてダッシュボードをグループ化できます。

次のタスク

- [ブレークダウン ソース] 関連リストのエントリーを設定して、ダッシュボード上のレポートがブレークダウン ソースをインタラクティブ フィルターとして使用できるようにすることができます。最初に、ブレークダウン ソースと同じテーブルに基づくインタラクティブ フィルターを作成

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

します。詳細については、「ブレークダウンをインタラクティブ フィルターとして機能させる」を参照してください。

- パフォーマンスアナリティクスユーザーがダッシュボードのブレークダウン要素を選択してフィルタリングできるように、ダッシュボードのウィジェットを設定します。詳細については、「ブレークダウン ダッシュボードのウィジェットの設定」を参照してください。

ブレークダウン ダッシュボードのウィジェットの設定

ブレークダウンダッシュボードに配置される各ウィジェットを構成します。構成によって、ウィジェットがダッシュボードで選択した要素に従うかどうか、またどのように追従するかが決まります。一部のウィジェットおよびインジケーターでは、複数の要素値を個別に表示するか、集計として表示するかを選択できます。

始める前に

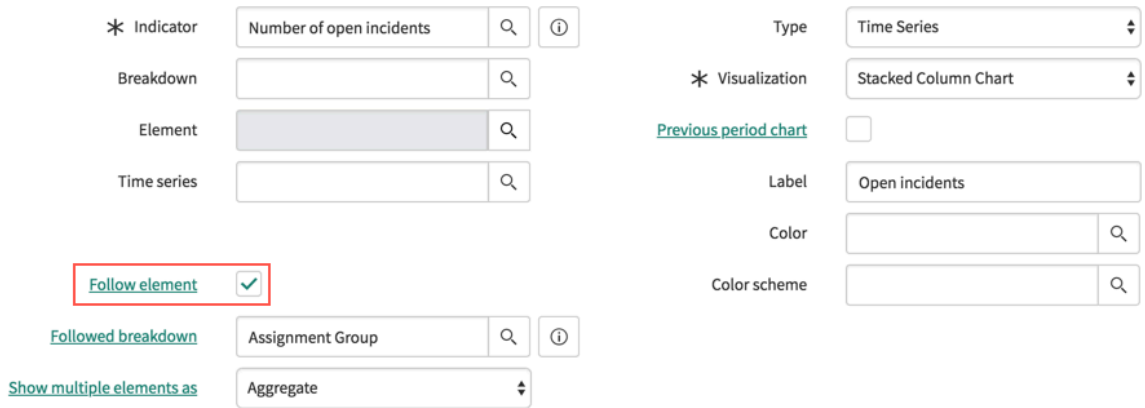
このタスクは、オープンブレークダウンダッシュボードから開始していることを前提としています。

必要なロール:pa_power_user、admin

手順

1. ブレークダウン ダッシュボードで、プラス記号 ( ) をクリックして、ダッシュボードを編集モードにします。
2. ウィジェットをポイントし、鉛筆アイコン () をクリックします。
   ウィジェットレコードが開きます。
3. ウィジェットレコードの [要素をフォロー] を選択します。

オプションを表示するウィジェットレコード



ウィジェットの [要素を フォロー] を選択しない場合、そのウィジェットはダッシュボードで選択されたブレークダウン要素をフォローしません。[フォローしているブレークダウン] オプションと [複数の要素を次のように表示] オプションは表示されません。

ウィジェットが式インジケーター用である場合、式のすべての貢献インジケーターは、ダッシュボードで選択したブレークダウン ソースをサポートする必要があります。それ以外の場合、スコアはウィジェットに表示されません。この場合、状況を知らせるメッセージが表示されます。

重要:
ブレークダウン ダッシュボードでブレークダウンと要素を選択する場合は、ウィジェット レコードにブレークダウンと要素を指定しないでください。ウィジェット レコードの要素は、そのブレークダウンのブレークダウン ダッシュボードで選択されている要素を上書きします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. 複数のブレークダウンがダッシュボードのいずれかのブレークダウン ソースを使用する場合は、[フォローしているブレークダウン] のウィジェットに適用するブレークダウンを指定します。

   Example
   たとえば、オープン担当者、要求元、要求、アサイン先などのブレークダウンは、Users.Active ブレークダウン ソースを使用します。Users.Active をダッシュボードに追加する場合は、そのダッシュボードにある各ウィジェットの [フォローしているブレークダウン] で、関連するブレークダウンを選択します。このオプションは、ダッシュボードに追加した他のブレークダウン ソースには影響しません。

5. [複数の要素の表示方法] フィールドで、ダッシュボード ビューアーが複数のブレークダウン要素を選択したときのスコアの表示方法を選択します。
   次の 2 つの方法から選択します。

   - 集計:選択したすべての要素の単一の集計スコアを表示します。
   - [分離] では、選択した各要素が個別に表示されます。

   すべてのウィジェットとインジケーターのタイプが両方のビューをサポートしているわけではありません。一部の型では、複数の要素の選択がまったくサポートされていません。ウィジェットとインジケーターの組み合わせに対して複数の要素を選択できない場合は、フィールドに [利用不可] と表示されます。詳細については、「複数の要素を個別に表示または集計して表示する」を参照してください。

複数の要素を個別に表示または集計して表示する

ダッシュボード上の複数の要素を選択すると、これらの要素に続くウィジェットに、それらの値が個別に、または集計として表示されます。

ウィジェット フォームで、[複数の要素の表示方法] フィールドを使用して、複数の要素を個別に表示するか、集計として表示するかを設定します。ビュー タイプ が [独立] のウィジェットでは、選択されたブレークダウン要素ごとに異なる値が表示されます。ビュー タイプ が [集計] のウィジェットには、選択したすべてのブレークダウン要素の集計値を表す単一の値が表示されます。

ウィジェットのタイプによって、集計ビュー、個別ビュー、またはその両方が使用可能かどうかが論理的に決定されます。また、式インジケーターは、インジケーター レコードで集計ビューが明示的に有効になっている場合にのみ、集計ビューをサポートします。たとえば、スコア ウィジェットでは集計ビューのみを表示できます。集計ビューが有効になっていない場合、式インジケーターのスコア ウィジェットを複数の要素でフィルタリングすることはできません。この場合、[複数の要素を表示] フィールドには [利用不可] と表示され、グレー表示されます。詳細については、「」のセクション複数の要素の集計をサポートするインジケーターを参照してください。

集計ビューと個別ビューのウィジェットサポート

- 時系列ウィジェットは、集計ビューと個別ビューをサポートしています。
- リストウィジェットは、集計ビューと個別ビューをサポートしています。
- スコアウィジェットは集計ビューのみをサポートしています。
- ブレークダウン ウィジェットは集計ビューのみをサポートしています。

注:
ピボット、ワークベンチ、またはテキストのビジュアル化で複数の要素を選択することはできません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

複数の要素の集計をサポートするインジケーター

次のインジケーターは、集計ビューをサポートしています。

- データをカウント、合計、最小、または最大値として集計する自動インジケーター

  注:
  ここでは、「集計」という用語は、複数のインジケータースコアの集計ビューと、インジケーターに設定されたデータ集計の 2 つの異なる目的で使用されます。

- 手動インジケーター
- SQL ステートメントで SQL AVG() または SQL COUNT(DISTINCT...) を使用しない外部標識
- インジケーター レコードで集計要素ビューが有効になっている式インジケーター。詳細については、 の [式インジケーターの作成その他] タブにある [複数のブレークダウン要素のスコアの集計を許可] フィールドのエントリを参照してください。

重要:

- 平均または個別のカウントとしてデータを集計するインジケーターは、集計ビューをサポートしていません。
- [複数の要素の表示方法] の値は、メインウィジェットとインジケーターウィジェットの両方に適用されます。[集計] が選択されていても、インジケーター ウィジェットの 1 つが集計ビューをサポートしていない場合、そのインジケーターはブレークダウン ダッシュボードの要素をフォローしません。代わりに、インジケーターは、ウィジェット構成で設定されている第 1 レベルのブレークダウンと要素に従います。他のインジケーターは、ブレークダウン ダッシュボード上の要素をフォローし、それらの値の集計を表示します。

集計ビューを表示したときの結果

複数の要素の集計ビューには、インジケーターのデータ集計に応じて異なる結果が表示されます。

自動インジケーターデータ集計	外部標識 **SQL** ステートメント	ウィジェットでは、複数の要素の集計ビューが示す内容
総数	SQL カウント()	選択した要素のスコアの合計
合計	SQL SUM()	選択した要素のスコアの合計で、それ自体が合計です
MAX	SQL MAX()	各時点で最も高い値を持っていた要素
最小	SQL MIN()	各時点で最も低い値を持つ要素

集計ビューが選択されている場合、すべてのウィジェットで、またはユーザーがウィジェットから次の場所に移動し アナリティクスハブたときに、すべての機能を使用できるわけではありません。

- 集計ビューで選択された複数のブレークダウン要素を含むウィジェットからアナリティクスハブに移動する場合、ターゲット、しきい値、およびコメントは使用できません。ブレークダウンセレクターと検索機能も利用できません。
- ターゲットとしきい値は時系列ウィジェットでは使用できません。
- ターゲットとブレットグラフはリストウィジェットでは使用できません。

自動翻訳

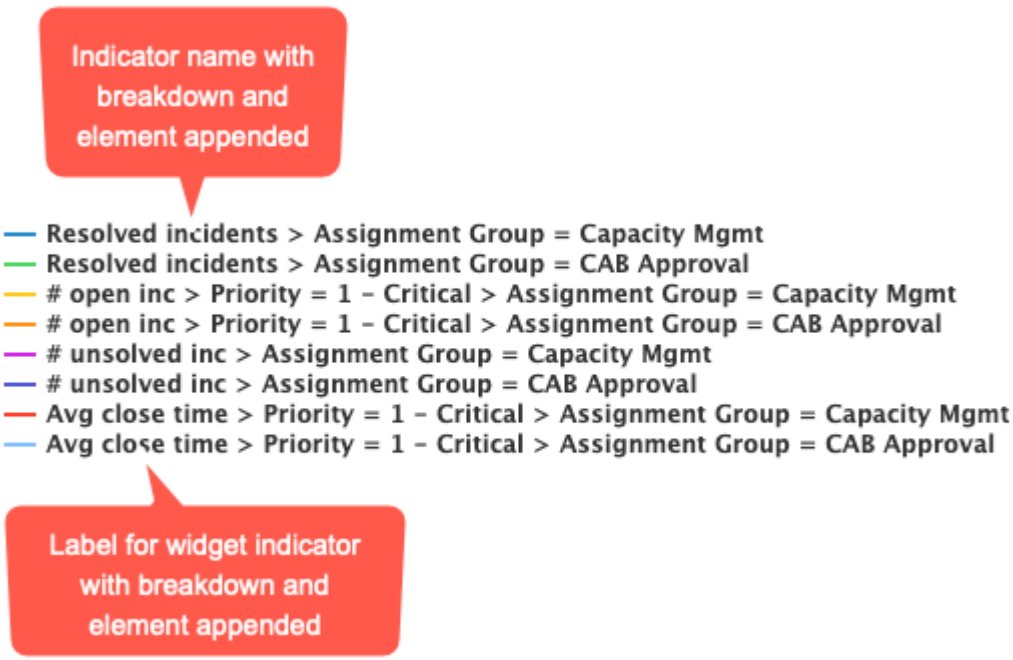
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ウィジェットインジケーターとブレークダウンダッシュボード

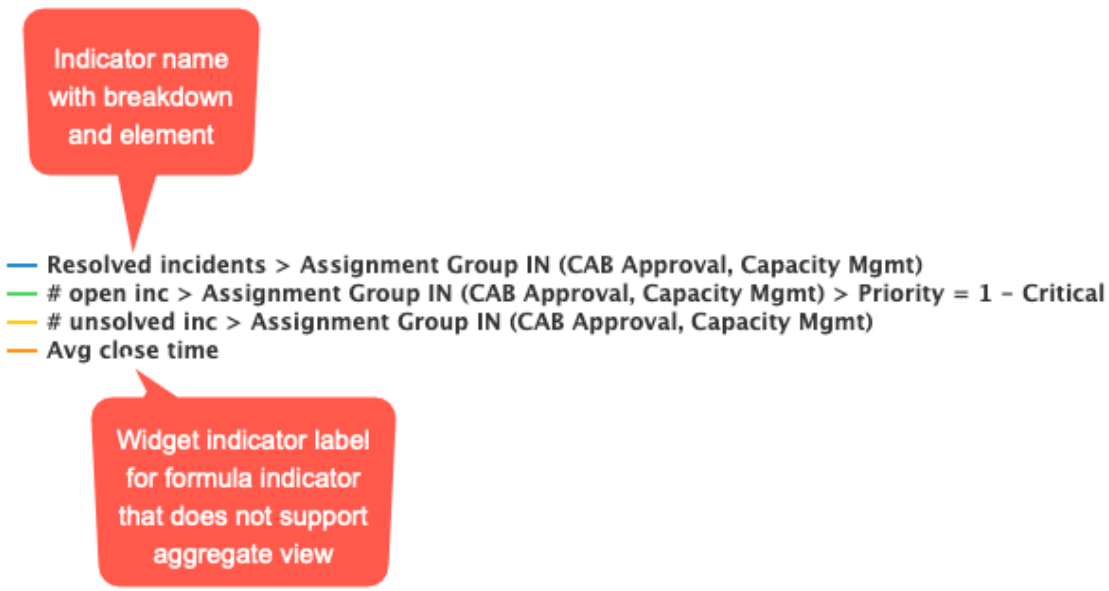
ユーザーがブレークダウンダッシュボードでブレークダウン要素を選択すると、ブレークダウンと要素名がウィジェットインジケーター名に追加されます。ウィジェットインジケーターのラベルには、ブレークダウンと要素の名前も追加されます。次の状況では、ブレークダウンと要素の名前はウィジェットインジケータの名前とラベルに追加されません。

- ウィジェットは複数の要素の集計ビューを表示しますが、ウィジェットインジケーターはこのビューをサポートしていません。
- ウィジェットは要素をフォローしません。
- ウィジェットインジケーターは、選択したブレークダウン要素をサポートしていません。

複数の要素が選択された個別のビューのウィジェットインジケーターの名前とラベル



複数の要素が選択された集計ビューのウィジェットインジケーターの名前とラベル

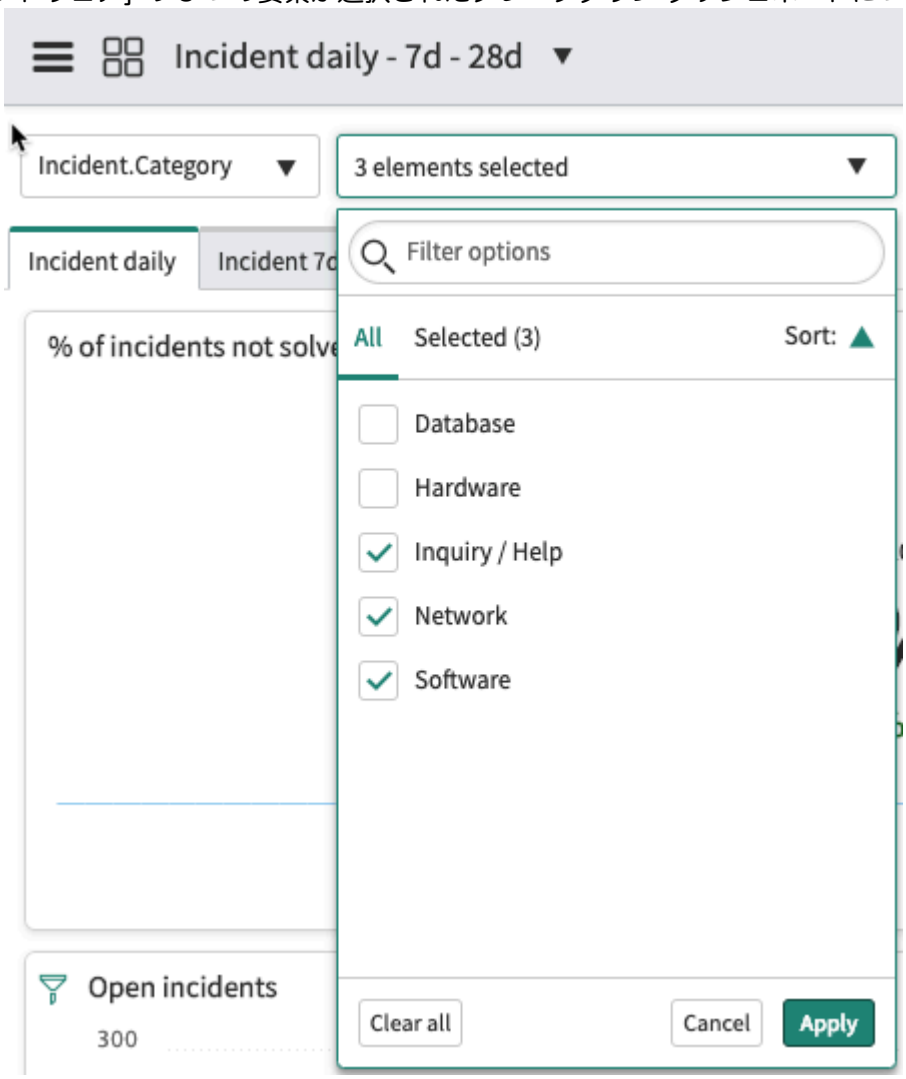


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

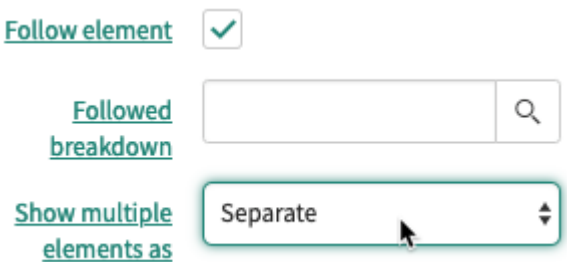
Example: 複数の要素の集計値と個別の値を持つオープンインシデント

Incident.Category ブレークダウン ソースと、[問い合わせ/ヘルプ]、[ネットワーク]、および [ソフトウェア] の 3 つの要素が選択されたブレークダウン ダッシュボードについて考えてみま



す。

ダッシュボードには、[オープン インシデント] と呼ばれる時系列ウィジェットが含まれています。このウィジェットには、[カウント] 集計がある [オープンインシデントの数] インジケーターが表示されます。ウィジェットは、ダッシュボードで選択されている要素に従います。したがって、ウィジェットでは、ダッシュボードで選択された複数の要素を個別に表示することも、集計値として表示することもできます。[複数の要素を表示] フィールドが [分離] に設定されてい

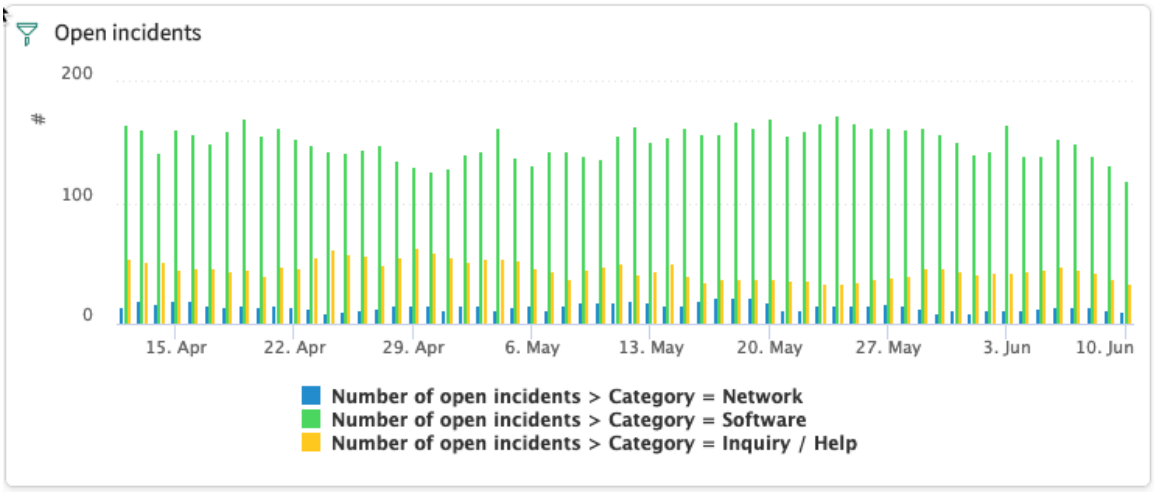


る。

自動翻訳

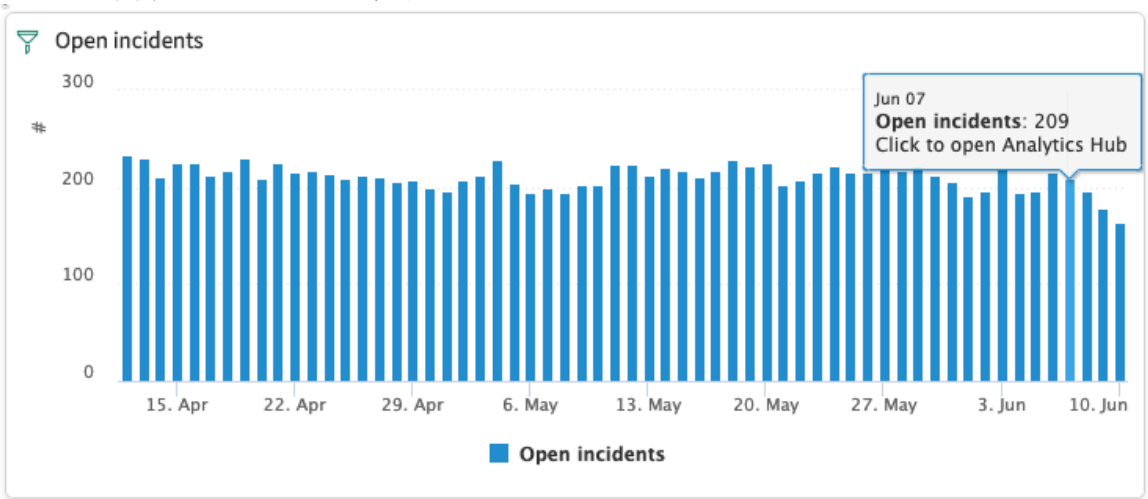
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ダッシュボードには、選択した 3 つの要素ごとに個別の列が表示されま



す。

[複数の要素を表示] フィールドを [集計] に設定すると 、 選択した 3 つの要素に対して 1 つの集計スコアが表示されま



す。

ウィジェットとダッシュボードで同じブレークダウン

ウィジェットがダッシュボードと同じブレークダウンを使用する場合、ダッシュボード ブレークダウンは適用されません。

ウィジェットを設計するときは、そのウィジェットに適用するブレークダウンのレベルを最大 2 つ指定できます。その後、そのウィジェットを、ブレークダウン ダッシュボードを含む任意のダッシュボードに追加できます。ダッシュボードのブレークダウンの 1 つがウィジェットのブレークダウンの 1 つと同じである場合、そのダッシュボード ブレークダウンはウィジェットに影響しません。そのブレークダウンの動作は、このウィジェットで [要素をフォロー] が無効にされた場合と同じになります。

インタラクティブなブレークダウン選択を持つブレークダウン タイプ ウィジェットをダッシュボードに追加する場合、この制限は完全には適用されません。ユーザーがウィジェットとダッシュボードで同じブレークダウンを選択すると、ダッシュボードのブレークダウンは無視されます。しかし、ユーザーが他の組み合わせのブレークダウンをウィジェットとダッシュボードで選択すると、両方のブレークダウンが適用されます。

Example: ブレークダウン ダッシュボードのブレークダウン ウィジェット

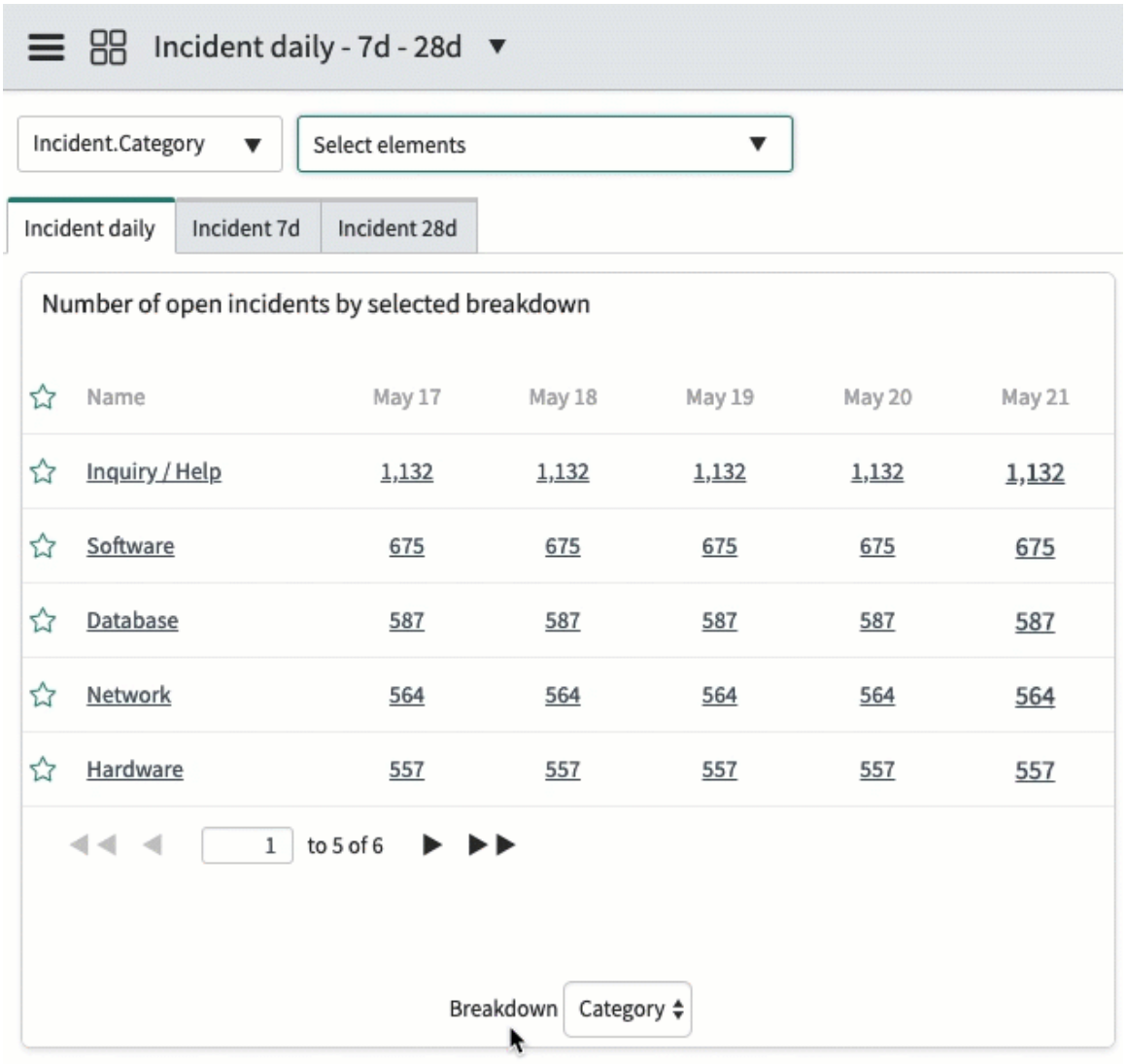
次のアニメーションでは、ブレークダウン ダッシュボードにブレークダウン ウィジェットがあります。ウィジェットの構成で [要素をフォロー] が選択されています。ダッシュボードとウィジェットの両方がカテゴリブレークダウンの要素を使用しています。ダッシュボードで要素を選択しても、

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ウィジェットには影響しません。次に、ウィジェットで緊急度ブレークダウンを選択します。ダッシュボードで要素を選択すると、ウィジェットに影響するようになりました。ウィジェットのブレークダウンではなくダッシュボードのブレークダウン ソースを変更した場合は、ダッシュボード上の要素を選択してもウィジェットに影響します。

ブレークダウン ダッシュボードのインタラクティブなブレークダウン選択を持つウィジェット



ダッシュボードのブレークダウン関係の表示

ブレークダウン ウィジェットは、ダッシュボード用に選択された要素に関連する第 1 レベルのブレークダウン要素を表示できます。ウィジェットはブレークダウン ダッシュボード上になければなりません。そのダッシュボードには、関連するブレークダウンのブレークダウン ソースが含まれている必要があります。

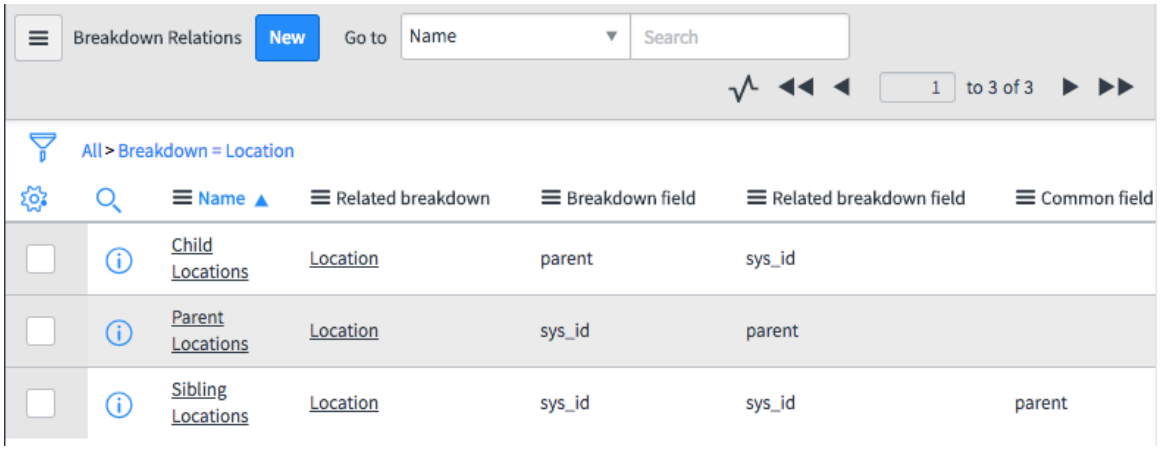
注:
ブレークダウンの関連付けを表示するウィジェットのダッシュボード上の複数の要素を選択することはできません。

オープン インシデントの数などのインジケーターを考えてみましょう。このインジケーターは、場所ブレークダウンを使用します。場所ブレークダウンには、その要素間に 3 つのブレークダウン関係があります。場所の要素の場合、これらの関係は次のとおりです。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

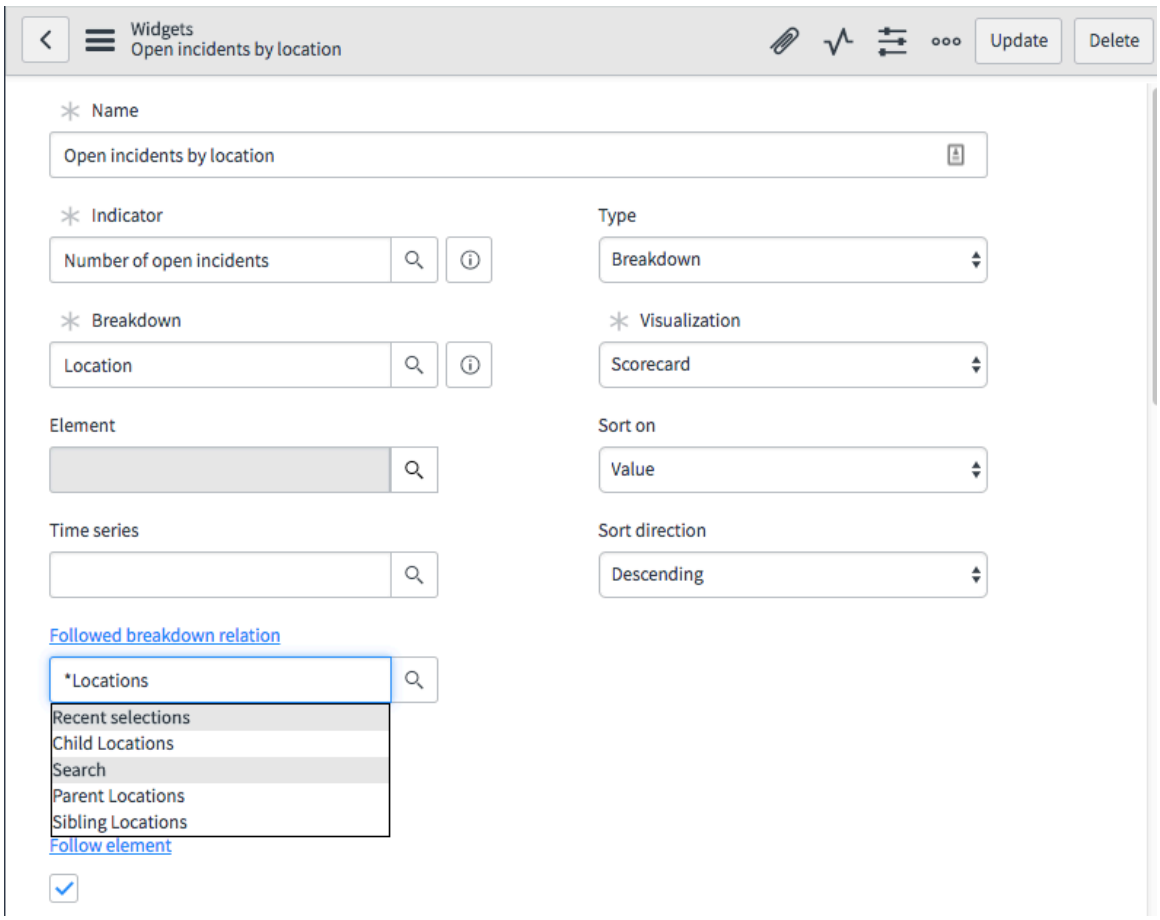
- 親場所。Sys ID 値が他の場所要素の [親] フィールドにあります。
- 子場所。その [親] フィールドの他の場所要素のSys ID 値を持ちます。
- 兄弟場所。[親] フィールドで同じ値を共有する場所要素で構成されます。

場所の要素間のブレークダウン関係



ここで、場所別にグループ化されたオープン インシデントの数インジケーター スコアを表示するウィジェットを考えてみましょう。ブレークダウン ダッシュボードで選択された要素をフォローするようにウィジェットを設定します。ここで、フォローするブレークダウン関係を選択する必要があります。

ブレークダウン関係別に要素を表示するウィジェットの設定



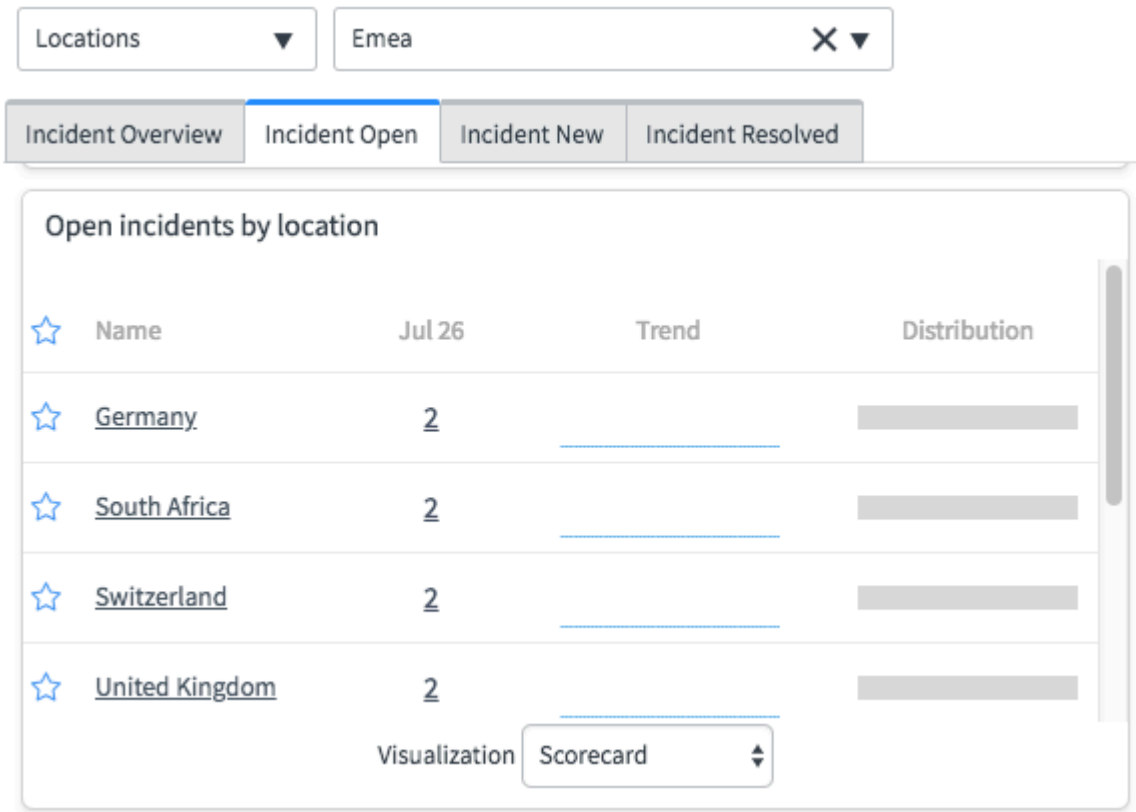
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:
[フォローされているブレークダウンの関連付け] メニューは、[スコアカード] のチャート化が選択されている場合にのみ機能します。ユーザーが他のチャート化でブレークダウン関係をフォローできるようにするには、ウィジェット フォームで [表示方法セレクタを表示] を選択します。

子場所を選択します。これで、場所ブレークダウン ソースを使用するブレークダウン ダッシュボードにウィジェットを配置しました。場所は場所ブレークダウンのブレークダウン ソースなので、ダッシュボードで場所の要素を選択することができます。EMEA を選択すると、EMEA を親として持つ場所がウィジェットに表示されます。

ダッシュボード要素の子を表示するブレークダウン ダッシュボードのウィジェット

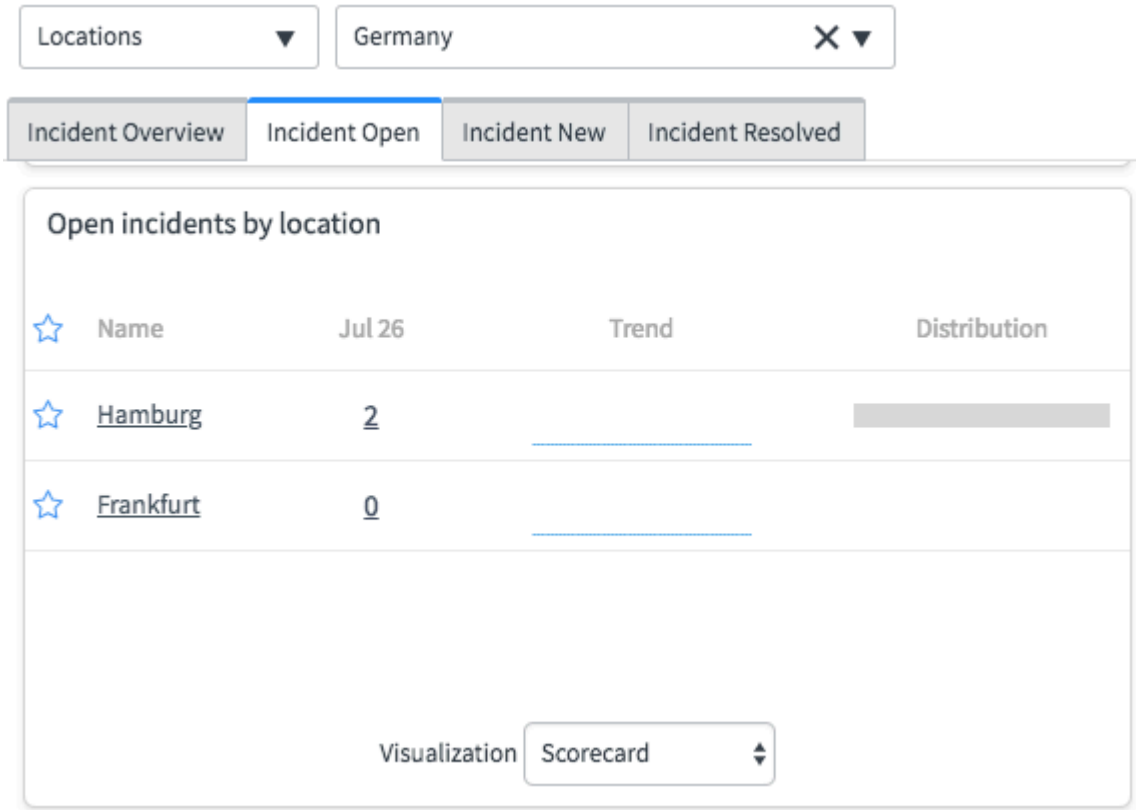


「孫」要素や「曾孫」要素まで、レベルを下げることができます。たとえば、ここではドイツの場所が選択されています。

自動翻訳

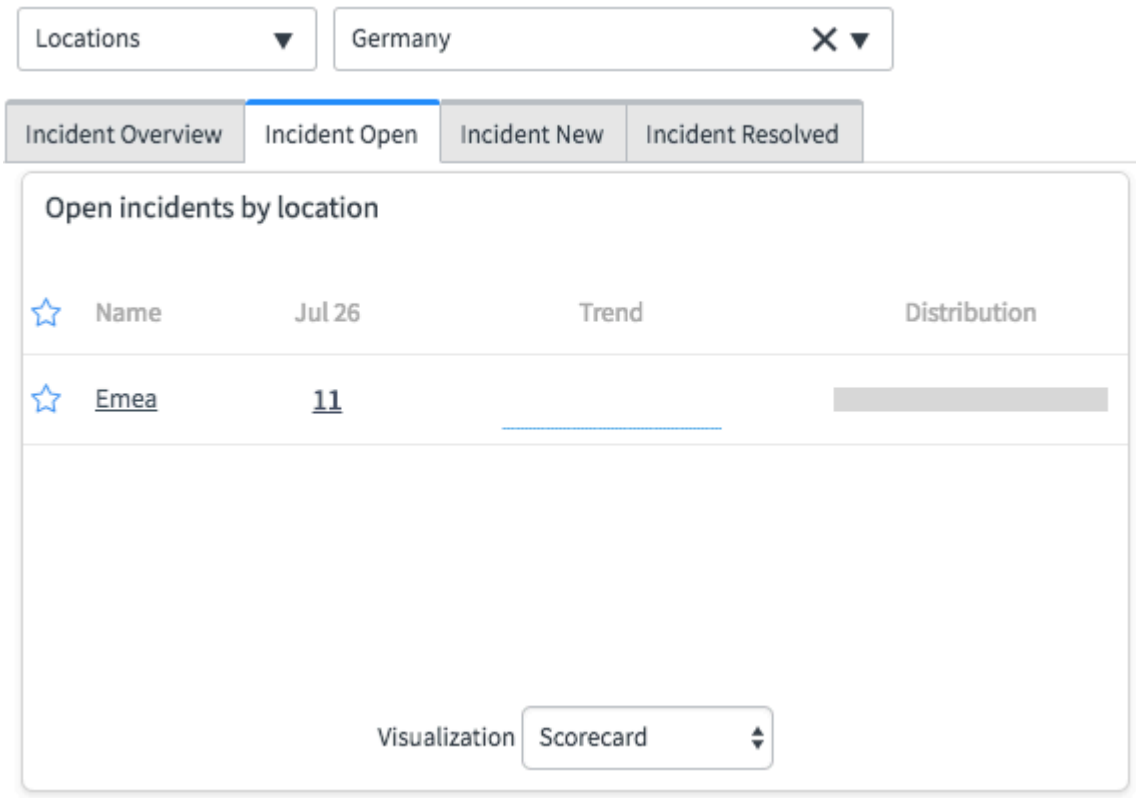
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

EMEA の子が選択されているブレークダウン ウィジェット



子場所の代わりに親場所を表示するようにウィジェットを編集し、ダッシュボードで再度ドイツを選択すると、ドイツの親場所が表示されます。

ダッシュボード要素の親を表示するブレークダウン ウィジェット



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

ブレークダウンの関連付けを持つブレークダウン要素のナビゲート

ブレークダウン ウィジェットでのスコアカードによるチャート化の作成

マルチレベルブレークダウン

一部の内部インスタンスでは、 パフォーマンスアナリティクス 管理者とパワーユーザーが一部のインジケーターに 2 レベルを超えるブレークダウンを適用できます。

2 レベルを超えるブレークダウンを適用できることで、 の パフォーマンスアナリティクス長年の問題点の 1 つに対処できます。この機能により、データの分析能力が深まり、から得られる パフォーマンスアナリティクスインサイトが広がります。

一部の内部インスタンスのインジケーターの一部が新しいバックエンドソースタイプに移行され、単一のソースのディメンションを優先してブレークダウンソースが削除されています。マトリクスに複数レベルのブレークダウンが適用されなくなったため、リソース消費量が幾何学的に増加することはなくなりました。その結果、これらのインジケーターに最大 30 レベルのブレークダウンを適用できます。

次のインジケーターは、マルチレベルブレークダウンをサポートしています。

- スクリプト化されていない自動インジケーター
- スクリプト化されていない自動貢献インジケーターのみを持つ式インジケーター
- 最終的に基礎となるインジケーターがスクリプト化されておらず自動化されている場合に、他の式インジケーターを含む式インジケーター。

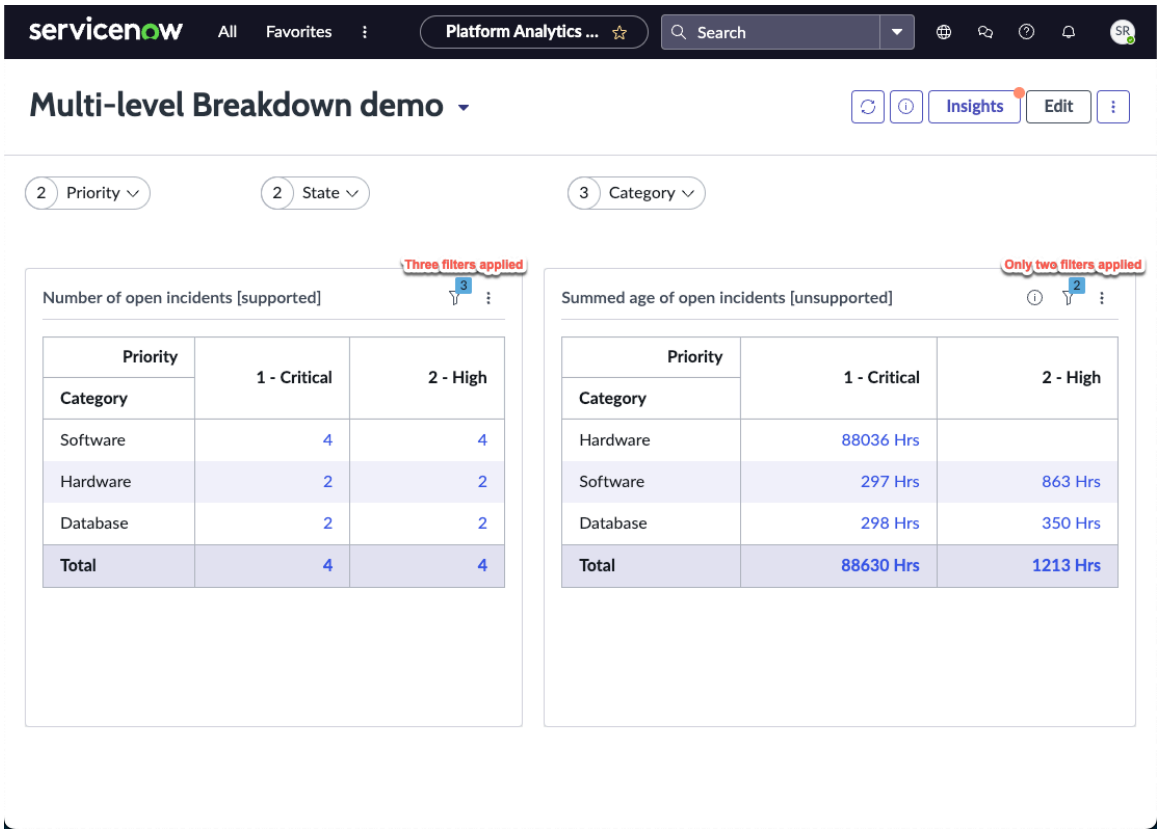
重要:
機能がアクティブ化される前に収集されたデータにマルチレベルのブレークダウンを適用することはできません。このようなデータに適用できるブレークダウンのレベルは 2 つだけです。さらに詳細なブレークダウン レベルを適用しようとすると、データの可視化または KPI 詳細チャートのその日付範囲に空白の領域が表示されます。

Example: サポートされているインジケーターとサポートされていないインジケーター

フィルターは、マルチレベルブレークダウンをサポートするインジケーターとサポートしないインジケーターのビジュアル化に異なる方法で適用されます。この例では、2 つのピボットテーブルデータを可視化したダッシュボードがあります。1 つのピボットテーブルには、[オープンインシデントの数] インジケーターが表示されます。このインジケーターはスクリプト化されていないため、マルチレベルブレークダウンをサポートしています。もう 1 つのピボットテーブルには、オープンインシデントの合計経過時間インジケーターが表示されます。このインジケーターはスクリプト化されているため、マルチレベルブレークダウンはサポートされていません。ダッシュボードには 3 つのフィルターがあり、それぞれが両方のインジケーターのブレークダウンにフィルターを適用します。3 つのフィルターがすべて適用されています。フィルターは、優先度、カテゴリ、ステータスの順という時系列順で適用されました。[オープン インシデントの数] のビジュアル化では 3 つのフィルターが適用されていますが、[オープン インシデントの合計経過時間] のビジュアル化では 2 つしか表示されません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



Priority / Category	1 - Critical	2 - High
Software	4	4
Hardware	2	2
Database	2	2
Total	4	4

Priority / Category	1 - Critical	2 - High
Hardware	88036 Hrs	
Software	297 Hrs	863 Hrs
Database	298 Hrs	350 Hrs
Total	88630 Hrs	1213 Hrs

[オープン インシデントの数] インジケーターに適用されているフィルターを調べると、3 つのフィルターがすべて適用されていることがわかります。

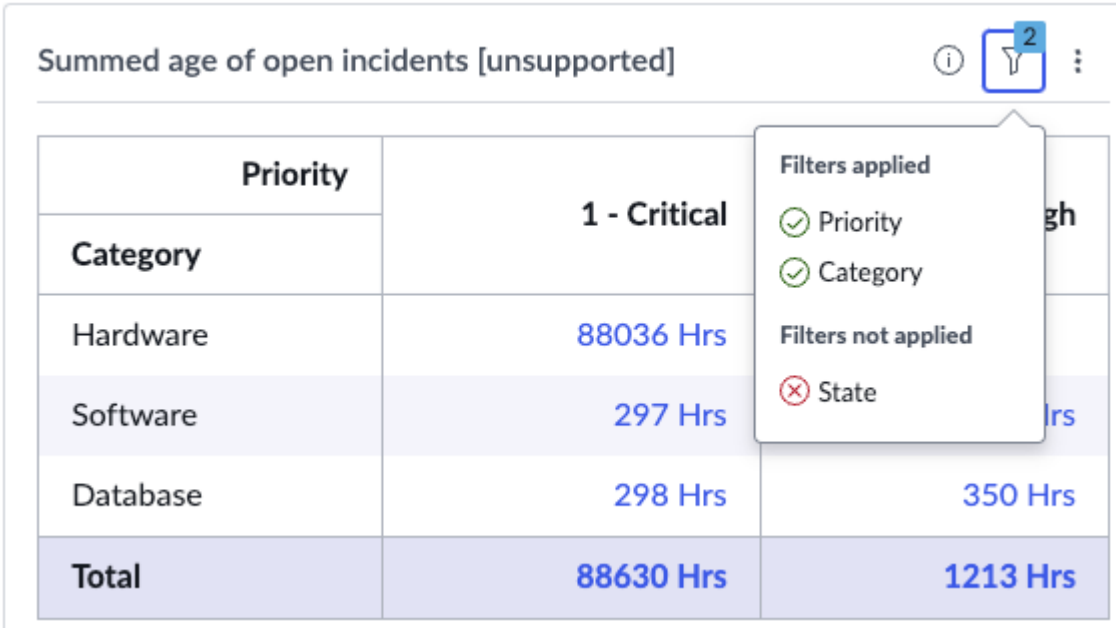


Priority / Category	1 - Critic	gh
Software		4
Hardware	2	2
Database	2	2
Total	4	4

[オープンインシデントの合計経過時間] インジケーターでは、ダッシュボードに適用された最初の 2 つのフィルターのみがこのインジケーターに適用されることがわかります。

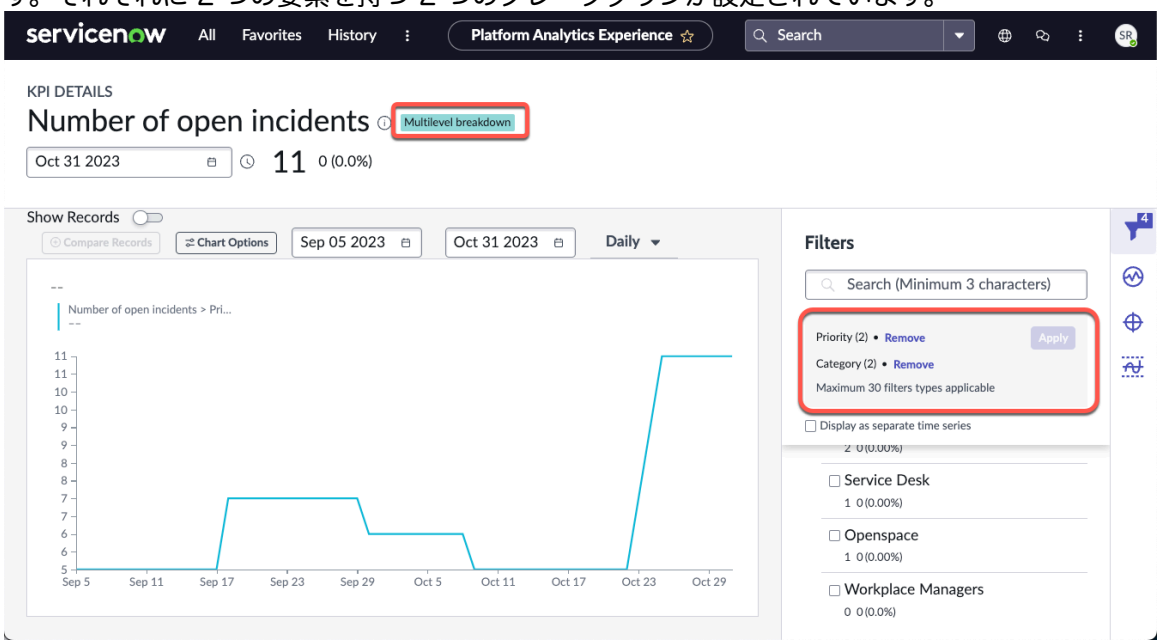
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



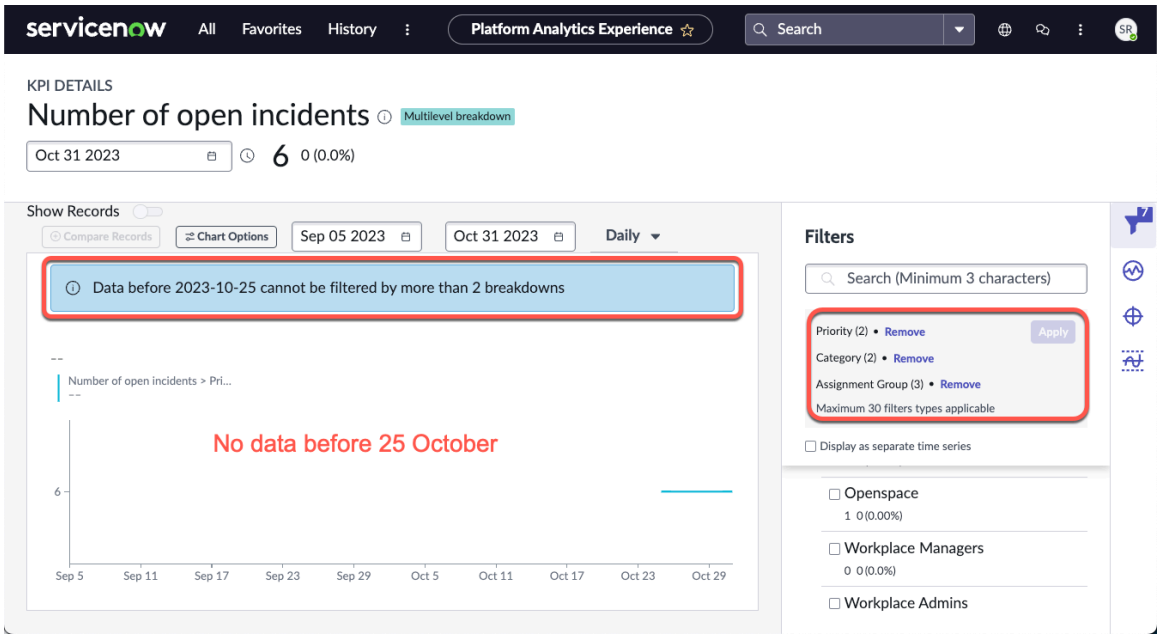
Example: マルチレベルブレークダウンを持つインジケーターの **KPI** 詳細

この例は、[KPI 詳細 オープンインシデントの数] インジケーターを示しています。このインジケーターは、ヘッダーのバッジで示されるように、マルチレベルのブレークダウンをサポートしています。それぞれに 2 つの要素を持つ 2 つのブレークダウンが設定されています。



3 番目のブレークダウンを選択できます。ただし、マルチレベルブレークダウンのサポートは数日前にこのインスタンスに実装されたばかりです。3 番目のブレークダウンを選択すると、この日付より前のデータは表示されません。この旨を警告するバナーが表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



マルチレベルブレークダウンの制限

インジケーターとブレークダウンのいくつかの機能は、マルチレベル ブレークダウンではサポートされていません。

制限またはサポートされていない機能	メモ
ベンチマーキングインジケーター	サポート対象外
スクリプト化されたブレークダウンマッピング/集計	サポート対象外
文字列および数値タイプのフィールドのブレークダウン/集計はサポートされていません	文字列または整数である選択肢フィールドのブレークダウンがサポートされています。純粋な文字列フィールドと数値フィールドのみがサポートされていません。たとえば、Category は選択肢フィールドであるため、Incident.Category のブレークダウンはサポートされます。[簡単な説明] のブレークダウンは、純粋に文字列であるため、サポートされません。
一部のクエリ演算子のみがサポートされています	サポートされていない演算子: • 次の値未満/より大きい • 次の値以下/次の値以上 • [より小さい]/[次の値を超える] フィールド • 「次の値未満/次の値以上」フィールド • は次の値と同じ • は次の値と異なる
ブレークダウンのマトリクス	マルチレベルのブレークダウンでは、ブレークダウン マトリクスは使用されません。
データコレクタに設定された収集期間	すべてのコレクションは毎日です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

制限またはサポートされていない機能	メモ
不適合時のラベル	ブレークダウンソースの [不一致のラベル] オプションは、マルチレベルブレークダウンでは無視されます。
値がない時の挿入値	自動インジケーターの [値がないとき の値] オプションは、マルチレベルブレークダウンでは無視されます。
セキュリティタイプ	ブレークダウンソースで定義されたセキュリティタイプは、新しいバックエンドソースではサポートされていません。
データ収集ジョブの設定	開始/終了期間、特定の時間構成、およびその他の設定は、マルチレベルブレークダウンには影響しません。すべてのデータ収集は毎日行われます。データ収集レコードに設定されたタイムゾーンのみが有効になります。
バケットグループ	サポート対象外
関連リスト条件	関連リストの条件は、マルチレベルブレークダウンには適用されません
手動または外部のインジケーターまたはブレークダウン	自動 AND 式インジケーターと自動ブレークダウンのみがサポートされています。
履歴処理	有効化日以降に収集されたデータのみがサポートされます。古いデータに 3 レベルを超えるブレークダウンを適用しようとしても、結果は返されません。
30 を超えるブレークダウン/集計フィールドを持つインジケーター	30 レベルのブレークダウンのみがサポートされています。
収集ジョブに複数のタイムゾーンがあるインジケーター	毎日の収集と 1 つのタイムゾーンのみがサポートされています。
ターゲットとしきい値	最大 2 つのフィルターのみをサポートします。
KPI シグナル	1 つのフィルターのみをサポートします。
インジケーター スコアカードによるチャート化	最大 2 つのフィルターのみをサポートします。

自動翻訳

インジケーターのマルチレベルブレークダウンを非アクティブ化する

インジケーターがマルチレベルブレークダウンをサポートしている場合は、インジケーターのマルチレベルブレークダウンのオン/オフを切り替えることができます。

始める前に

必要なロール：pa_power_user

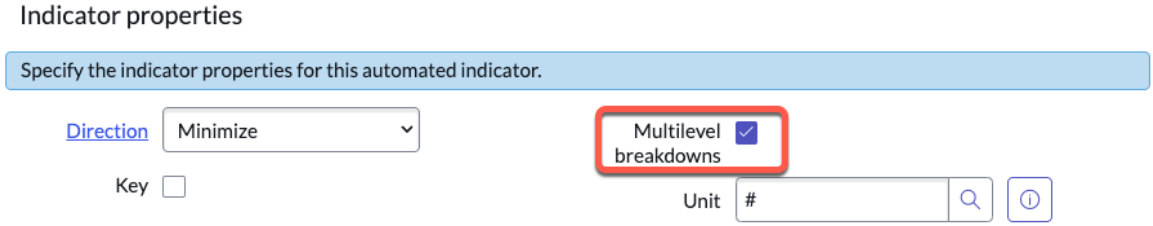
このタスクについて

マルチレベルブレークダウンの制限により、インジケーターが使用できなくなる可能性があります。この場合、そのインジケーターのマルチレベルブレークダウンを非アクティブにすることができます。後でそのインジケーターのマルチレベルブレークダウンを再アクティブ化することができます。詳細については、「マルチレベルブレークダウンの制限」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > インジケーター > 自動インジケーター または すべて > インジケーター > インジケーター (計算)(インジケーターによって異なります)。
2. 前のインジケーター、ブレークダウンソース、およびブレークダウンマトリクスに復元するインジケーターを開きます。
3. [マルチレベルブレークダウン] オプションを見つけて非アクティブ化します。



4. [更新] を選択します。

次のタスク
今後いつでも、この手順を取り消すことができます。インジケーターは、マルチレベルブレークダウンをサポートする新しいソースタイプに移動されます。

パフォーマンスアナリティクス ターゲットとしきい値

ターゲットとしきい値を使用すると、データ内の重要なポイントを定義し、スコアが特定のポイントに達したときに通知を行うことができます。

パフォーマンスアナリティクス ターゲット

ターゲットは、組織が達成したい目標です。ターゲットは、特定の日付の希望のスコアとインジケーターの実際のスコアとの差を示します。

ターゲットKPI 詳細は、 またはそれコア UIに相当する .アナリティクスハブ

ターゲットは、個人としてもグローバルとしても使用できます。個人のターゲットは、作成したユーザーだけが見ることができ、明るい線で表示されます。グローバル ターゲットは、すべてのユーザーに表示され、暗い線で表示されます。個人のターゲットは共有できないため、 と KPI 詳細にのみ表示されますアナリティクスハブ。ターゲットの可視性のマトリックスは次のとおりです。

ターゲットを表示する機能

プラットフォームアナリティクス エクスペリエンス機能	同等の コア UI 機能	グローバルまたは個人のターゲット	表示または設定
KPI 詳細	分析ハブ	グローバルおよびパーソナル	設定と表示
時系列 および 単一スコア プラットフォームアナリティクス データの可視化	時系列 パフォーマンスアナリティクス ウィジェット	グローバル	表示のみ
プラットフォームアナリティクス ダッシュボード ターゲットを示す時系列または単一ス	ターゲットを表示する時系列パフォーマンスアナリティクスウィジェットを含むレスポンシブダッシュボード	グローバル	表示のみ

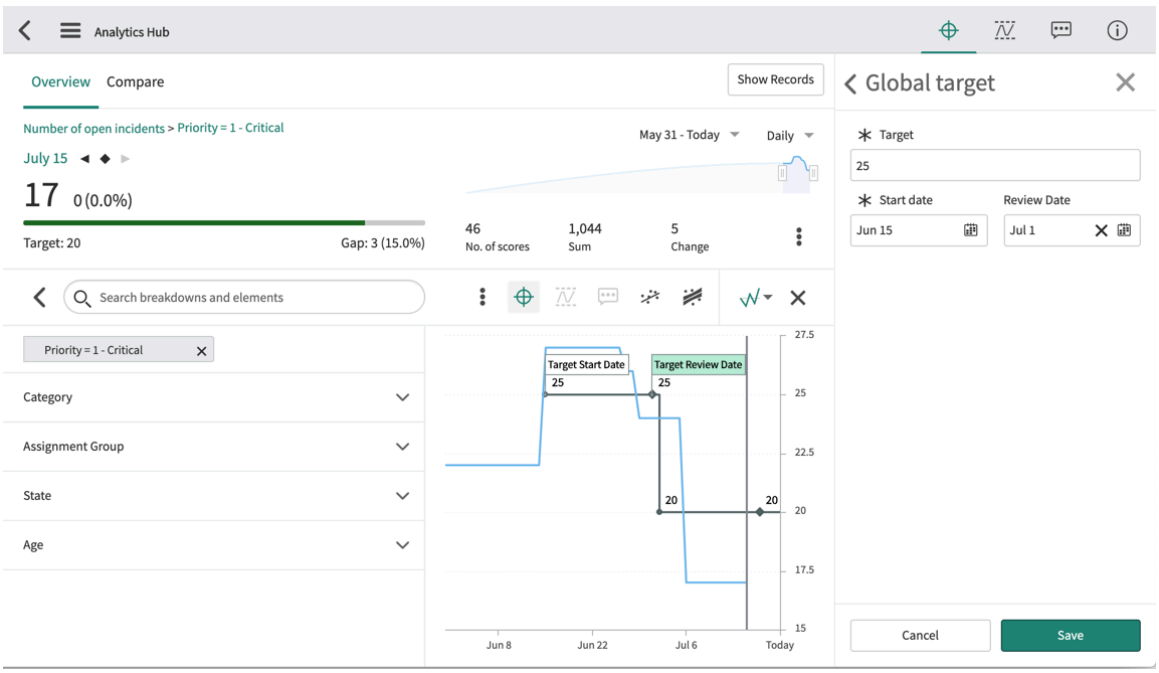
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ターゲットを表示する機能 (続く)

プラットフォームアナリティクス エクスペリエンス機能	同等の コア UI 機能	グローバルまたは個人のターゲット	表示または設定
コアデータの可視化を含む			
ターゲットの達成または違反を示すダッシュボードのプラットフォームアナリティクスプロアクティブ分析インサイトカード	同等の機能はありません	グローバル	表示のみ
UI ビルダー ターゲットを表示する時系列または単一スコアデータの可視化を含むページ	同等の機能はありません	グローバル	表示のみ

編集用に開いたターゲット



ターゲットを作成または編集する

インジケーターのターゲット値を設定できます。ターゲットを特定のブレークダウン要素と時系列にのみ適用できます。ターゲットは選択した日付に適用が開始され、次のターゲットを設定するまで適用が継続されます。ただし、ターゲットを再検討するレビュー日を設定できます。

始める前に

必要なロール:すべてのユーザーに表示されるグローバル ターゲットを作成するpa_target_admin。で アナリティクスハブ インジケーターを表示できるユーザー、または KPI 詳細 ターゲットを表示して個人ターゲットを作成できるユーザー。pa_target_admin、pa_power_user、またはpa_adminは、任意のグローバルターゲットを編集できます。

自動翻訳

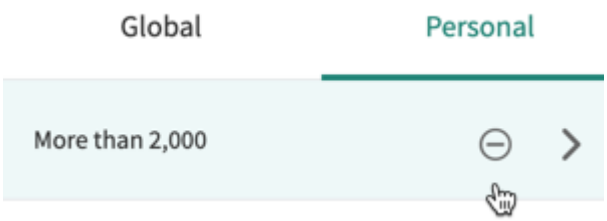
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. いずれも：
   - インジケーターの を開きます アナリティクスハブ 。
   - エクスペリエンスで プラットフォームアナリティクス 作業している場合は、 KPI 詳細 インジケーターを開きます。詳細については、「でのターゲットの作成 KPI 詳細」を参照してください。

     注:
     KPI 詳細 には、複数のブレークダウン要素のターゲットを一括で設定する追加オプションがあります。詳細については、「での複数のブレークダウン要素のターゲットの追加 KPI 詳細」を参照してください。

2. ターゲットをスコアのサブセットに限定するには、ブレークダウンとブレークダウン要素を選択します。
   第 2 レベルのブレークダウンと要素を選択することもできます。
3. ターゲットを特定の時系列 (7 日間の合計など) にのみ適用する場合は、時間集計を選択します。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。
4. 「ターゲット」アイコン()をクリックします。
   「ターゲット」パネルが開きます。
5. [ターゲット] パネルで、[グローバル ターゲット] または [個人ターゲット] を選択します。
   選択したブレークダウン要素または時系列に適用される、このインジケーターの既存のグローバルターゲットまたは個人ターゲットがすべて表示されます。ブレークダウン要素または時系列をインタラクティブに選択および選択解除でき、ターゲットのリストが更新されます。
6. 新しいターゲットを作成するか、既存のターゲットを編集または削除します。
   - ターゲットを作成するには、[+] プラス記号をクリックします。
   - 既存のターゲットを編集するには、[ターゲット] パネルでそのターゲットをクリックします。
   - で アナリティクスハブ既存のターゲットを削除するには、削除アイコンをクリックします。



7. 次のいずれかの方法で、スコアの目標値を入力します。
   - [ターゲット] に絶対値を入力するか、
   - ベースラインの改善として [ターゲットを設定] を選択します。このオプションを選択すると、次のフィールドが使用可能になります。

フィールド	説明
ターゲット計算	改善の基準となるインジケーターの改善率または単位数を選択します。
方向	インジケーターに方向が定義されている場合、このフィールドは読み取り専用です。インジケーターの方向が変わると、このフィー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	ルドも変わります。それに応じてターゲットが再計算されます。 インジケーターに方向がない場合は、ここでターゲットの方向を設定できます。ただし、通常はインジケーターで方向を定義することをお勧めします。たとえば、改善または悪化を示すスコアの色は、インジケーターで方向が定義されている場合にのみ機能します。
KPI のパーセンテージ/単位	ベースラインに対するターゲット変更として必要な KPI の割合または単位数を入力します。
ベースライン	改善を既存のターゲットに適用するか、で選択した アナリティクスハブ 日付範囲の平均値に適用するかを決定します。[既存のターゲット] を選択するには、別のターゲットが既に存在している必要があります。日付範囲の詳細については、「」を参照してください 分析ハブのスコアの日付範囲。
ベースライン値	ターゲットの基礎となる読み取り専用の計算値。
ターゲット	この値は、ベースラインとターゲット計算から計算されます。この値を調整して、たとえば、カウントの 10 進値を整数に変更することができます。ターゲットを調整すると、KPI のパーセンテージ/単位が再計算されます。

8. 開始日を選択します。
   将来の日付を設定できます。
9. レビュー日を選択します。
   ターゲットは、選択した開始日から次のターゲットの開始日まで適用されます (存在する場合)。後のターゲットを定義しない場合、ターゲットは無期限に適用されます。したがって、レビュー日は、ターゲットの変更を検討するためのリマインダーとして機能します。レビュー後にターゲット値を変更するかどうかにかかわらず、将来の新しいレビュー日を選択することを検討してください。

   注:
   重複するターゲットは許可されません。一度にアクティブにできるターゲットは 1 つだけです。

10. [保存] をクリックします。

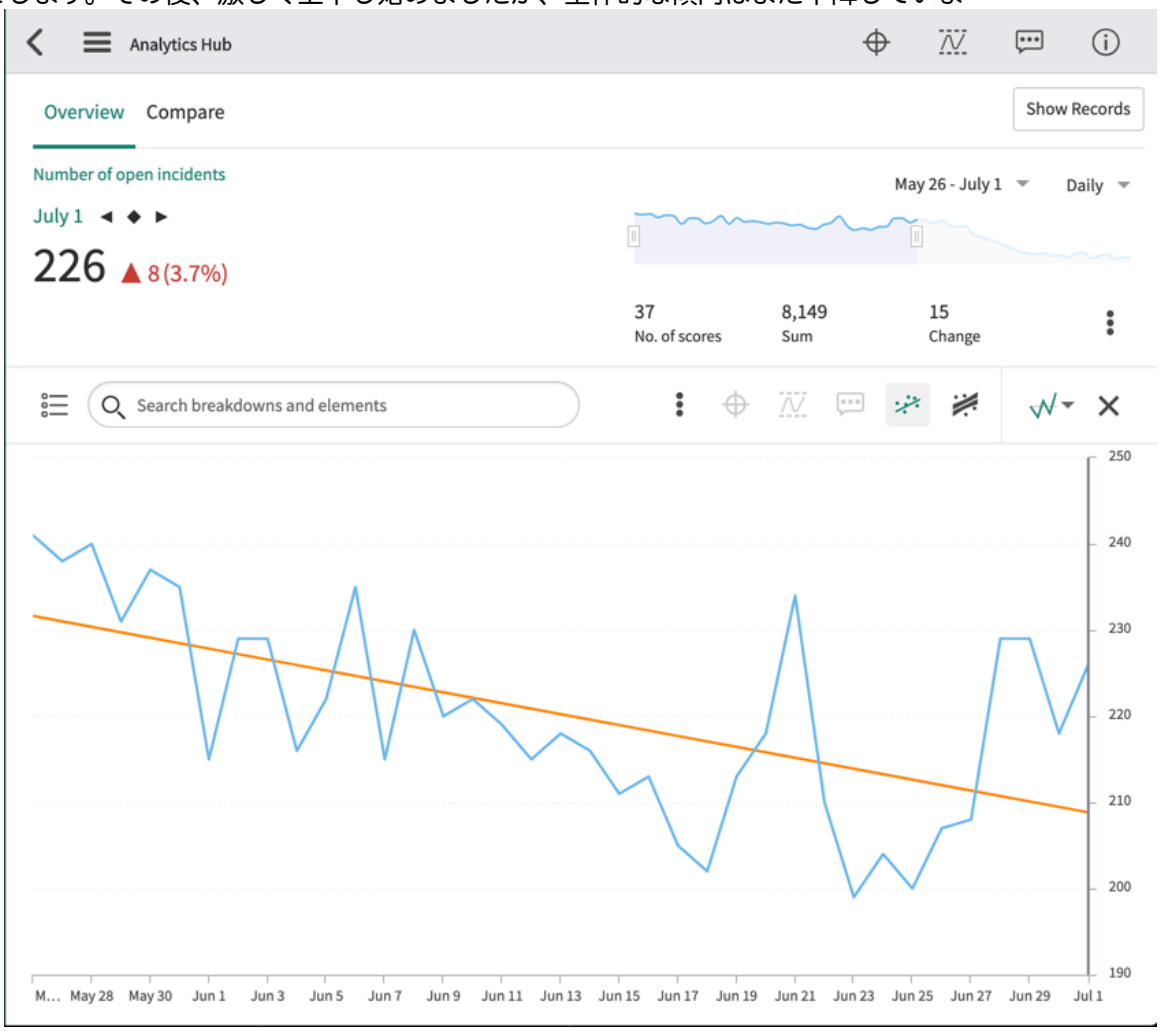
Example: ターゲットの作成、レビューおよび編集

ここでは、より高度なターゲット機能を見ていきます。現在が 7 月 1 日で、オープンインシデントの数が 5 月下旬から 6 月中旬まで定期的に変動し、徐々に減少傾向にあ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

るとします。その後、激しく上下し始めましたが、全体的な傾向はまだ下降していま



す。

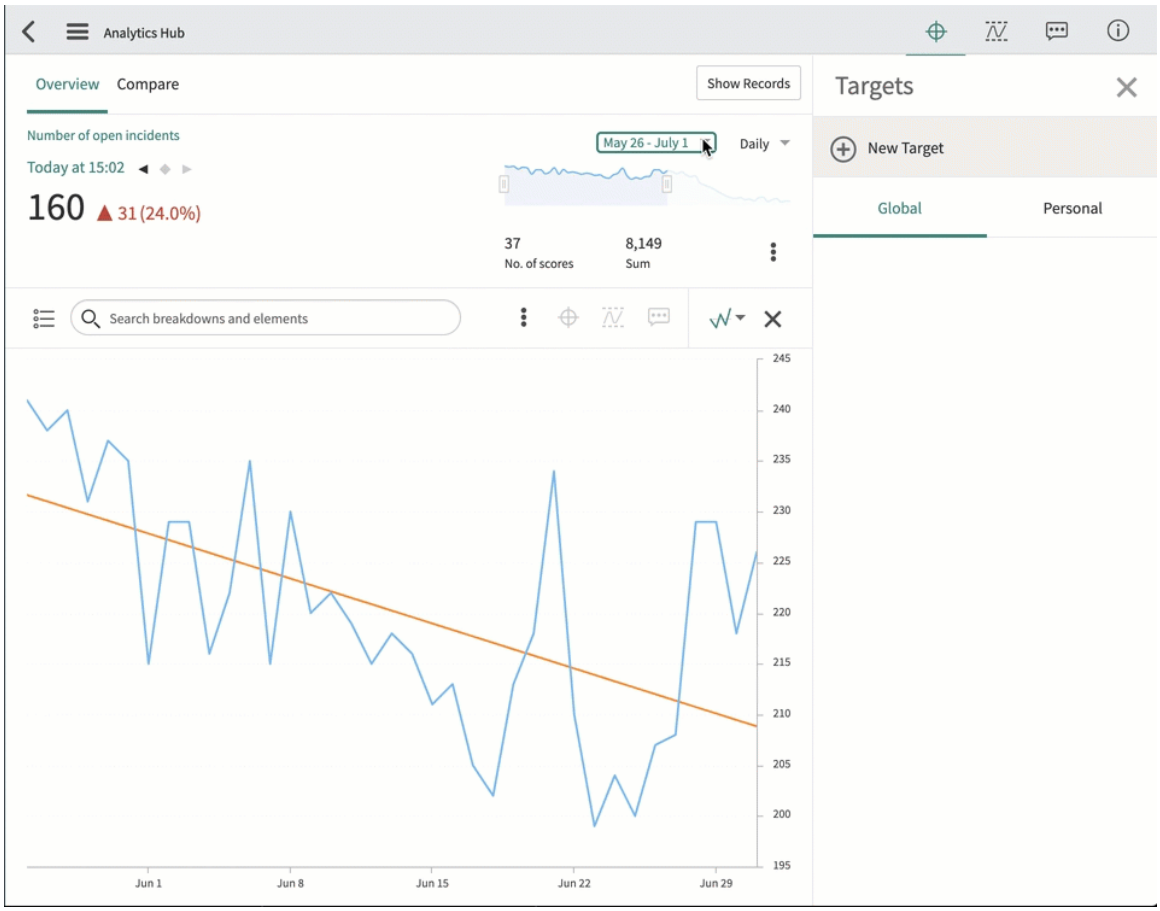
インシデントマネージャーとして、オープンインシデントの数を減らしたいと考えています。スコアから設定すべき適切なターゲットがわからない。しかし、6月中旬までは信頼できる数字なので、それまでの平均スコアが10%下がるのは妥当なようです。そのため、チームの新しいグローバル ターゲットを作成します。6 月 15 日までの日付範囲を選択し、その期間の平均の 10% 減少をターゲットとして設定します。今日からターゲットを開始し、7 月 15 日に評価することにします。

最初のターゲットのフィールド設定

フィールド	値
ターゲット計算	割合 (%)
パーセンテージ	10
ベースライン	選択した日付範囲の平均スコア (古いターゲットが設定されていないため、選択肢のみ)
ターゲット	当初は 202.5 と計算されていました。インシデント数は整数のみであるため、この値を 203 に丸めることにしました。
開始/終了日	7月1日/7月15日

自動翻訳

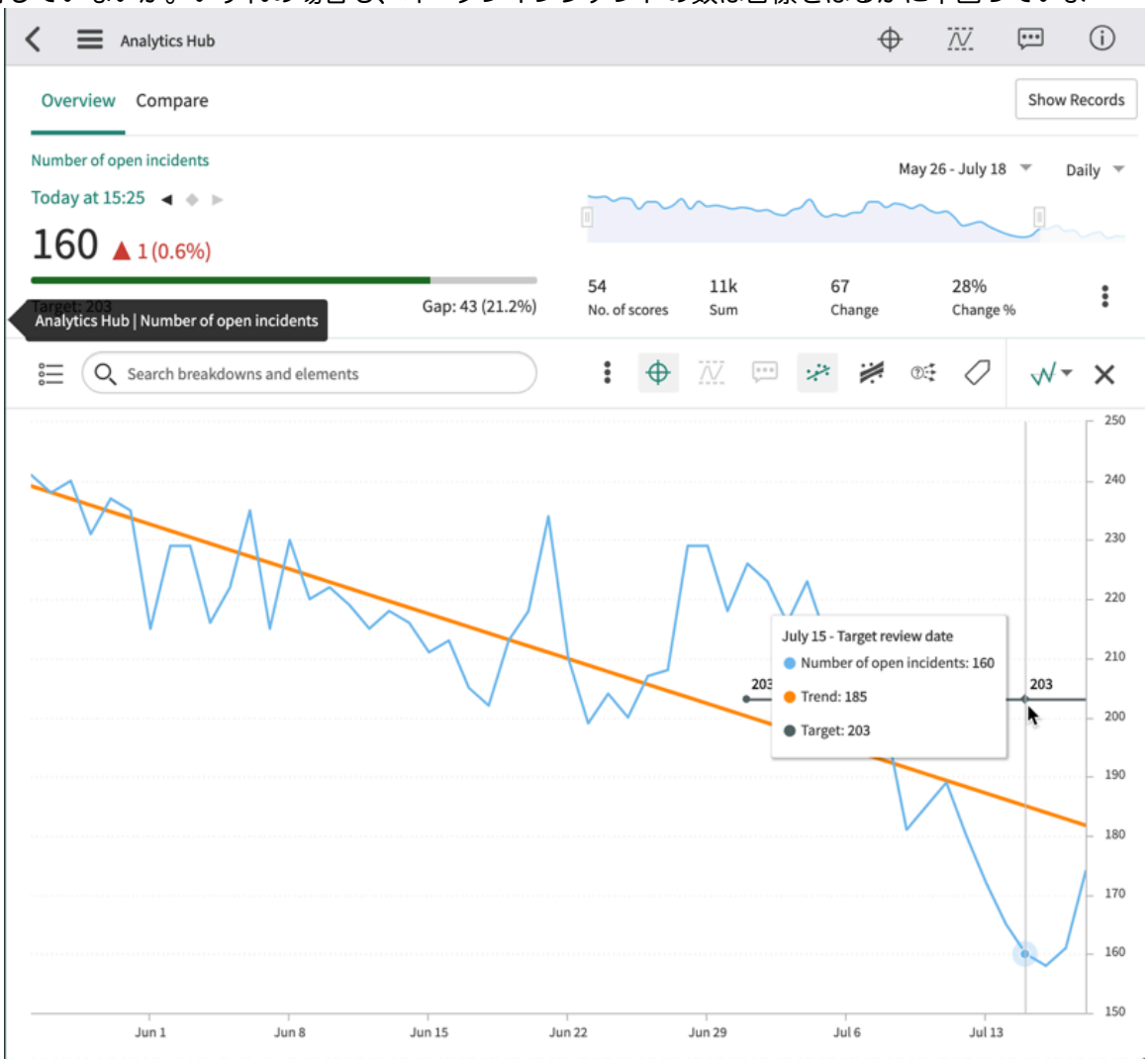
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7 月 15 日が近づき、チームがすべての期待を上回ったか、顧客が全員休暇中でインシデントを報告していないか。いずれの場合も、オープンインシデントの数は目標をはるかに下回っていま



す。

いくつかのオプションがあります。

- 既存のターゲットを編集します。新しいターゲット値と新しいレビュー日 (160 や 8 月 15 日など) を設定します。
- 別のターゲットを作成します。古いターゲットは、新しいターゲットの開始日に適用されなくなります。新しいターゲットは、再びベースラインの改善である可能性があります。古いターゲットを新しいターゲットのベースラインとして設定することもできます。

次のタスク

通知を受信するユーザーを選択します。ターゲットが達成されたとき、または 14 日以内に達成が見込まれるときに通知が送信されます。詳細については、「ターゲット通知を受信するユーザーの構成」を参照してください。

では KPI 詳細、ターゲットの責任ユーザーを指名することもできます。詳細については、「グローバルインジケーターターゲットの責任」を参照してください。

関連情報

KPI 詳細

ターゲットのカラー スキームの作成

ターゲットのカラー スキームを使用すると、ターゲットに対するインジケーター スコアの位置を可視化できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール：pa_admin、pa_power_user、または admin

このタスクについて
たとえば、オープンになっているインシデントの数をフィルタリングする場合、25% 増加のスコアは赤で、10% 増加のスコアはオレンジで、変化なしは黄色で表示することができます。一方、たとえば、25% の減少は暗緑色で示すことができます。パフォーマンス分析では、デフォルトで 3 色の信号と 5 色の信号の 2 つのターゲットのカラースキームが利用できます。

注:
カラースキームはグローバルターゲットにのみ設定でき、個人ターゲットには設定できません。

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** > **System** > ターゲットのカラースキーム。
   には、いくつかのターゲットのカラースキーム ベースシステムが用意されています。
2. [新規] をクリックします。
3. [名前] と [説明] を入力します。
4. 5 つの範囲のそれぞれとそれに関連する色を定義します。

   すべての範囲を使用しない場合は、複数の範囲の制限に対し、同じ範囲の色を使用できます。

   色定義 [sys_report_color] テーブルから色を選択します。その他の色の定義については、を参照してください 分析用のシステムの色の定義。
5. [送信] をクリックします。

   デフォルトのインジケーター ターゲットのカラー スキームは、 **Performance Analytics** > **System** > プロパティ。これは、インジケーター ターゲットに対してカラー スキームが選択されていない場合に使用されます。

ブレークダウンのすべての要素へのターゲットの追加

ブレークダウンのあるインジケーターのデータの各サブセットに個別に適用されるターゲットを指定できます。

始める前に
必要なロール：pa_target_admin または admin

このタスクについて
たとえば、各アサイン先グループのスコアに個別に適用されるインシデント インジケーターにターゲットを設定することができます。

注:
この機能は、グローバル ターゲットでのみ使用できます。[すべての要素] チェック ボックスは、個人のターゲットには表示されません。

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** > ターゲット.
2. ターゲットを設定する [インジケーター] を選択します。
3. [ブレークダウン] を選択します。
   [すべての要素] チェック ボックスはデフォルトで選択されています。このチェック ボックスをオフにしないでください。
4. オプション: [時系列] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

たとえば、クローズされたインシデントを毎日測定し、クローズするインシデントの月間目標を設定することができます。

5. オプション: ターゲットの [カラースキーム] を選択します。
6. [送信] をクリックします。

次のタスク
新しいターゲットのターゲット値を定義します。

ターゲット通知を受信するユーザーの構成

ターゲットが達成されたときに通知を受け取るユーザーを制御できます。今後 14 日以内に目標が達成されると思われる場合にも、通知が送信されます。

始める前に
必要なロール：pa_target_admin

このタスクについて
この機能はグローバル ターゲットにのみ適用されます。個人のターゲットの場合、ターゲットの所有者は自動的に通知を受け取ります。

手順
1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** > ターゲット。
2. ターゲットを選択します。
3. [ユーザー] 関連リストで、[編集] をクリックします。
4. 通知するユーザーを [コレクション] 列から [ユーザーリスト] 列に移動します。
5. [保存] をクリックします。

次のタスク
通知は、ターゲットに達すると自動的に送信されます。通知を受信するユーザーは、その通知の登録を解除することができます。

関連情報
通知

パフォーマンスアナリティクス しきい値

しきい値は、インジケーターの通常のスコアの範囲を定義し、スコアが常に高い状態であるなど、特定のイベントが発生したときに警告します。

しきい値がトリガーされると、インスタンスではメール通知が生成されます。このメッセージはインジケーターに関連付けられており、 アナリティクスハブ メッセージは または KPI 詳細から直接利用できます。

しきい値は、個人としてもグローバルとしても使用できます。個人のしきい値は、それを作成したユーザーのみが表示でき、明るい灰色の点線で表示されます。グローバルしきい値はすべてのユーザーに表示され、濃い灰色の点線で表示されます。個人のしきい値は、 アナリティクスハブ KPI 詳細にのみ表示されます。しきい値の可視性のマトリックスは次のとおりです。

しきい値を示す機能

プラットフォームアナリティクス エクスペリエンス機能	同等の コア UI 機能	グローバルまたは個人のターゲット
KPI 詳細	分析ハブ	グローバルおよびパーソナル

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

しきい値を示す機能 (続く)

プラットフォームアナリティクス エクスペリエンス機能	同等の コア UI 機能	グローバルまたは個人のターゲット
時系列 プラットフォームアナリティクス データの可視化	時系列 パフォーマンスアナリティクス ウィジェット	グローバル
プラットフォームアナリティクス ダッシュボード しきい値を示す時系列データの可視化を含む	しきい値を表示する時系列パフォーマンスアナリティクスウィジェットを含むレスポンシブダッシュボード	グローバル
しきい値違反を示すダッシュボードのプラットフォームアナリティクスプロアクティブアナリティクスインサイトカード	同等の機能はありません	グローバル
UI ビルダー しきい値を示す時系列データの可視化を含むページ	同等の機能はありません	グローバル

グローバルしきい値は、 パフォーマンスアナリティクス 時系列ウィジェット や データの可視化にも表示できます。 プラットフォームアナリティクス ダッシュボードは、 プロアクティブ分析インサイトカードを介してしきい値に関連するイベントを閲覧者にアラートできます。

しきい値の作成または編集

正常と見なされるスコアの範囲を定義するためのしきい値を作成します。

始める前に

必要なロール:自分の個人しきい値の任意のロール。グローバルしきい値および他のユーザーが作成した個人しきい値のpa_threshold_adminロールまたはそれを含むロール (pa_power_user、pa_admin、または admin)。

このタスクについて

しきい値は、任意のインジケーターに設定できます。ブレークダウンと要素の組み合わせ、およびしきい値が適用される時系列集計を指定できます。

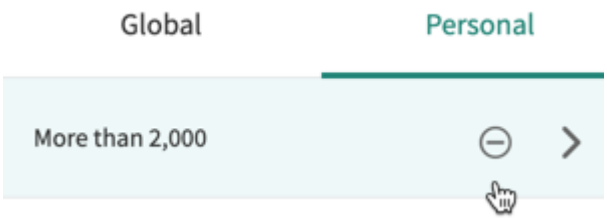
手順

1. いずれも：
   - インジケーターの を開きます アナリティクスハブ 。
   - ワークスペースを使用している場合は、インジケーターのワークスペースで開きます KPI 詳細 。詳細については、「のインジケーターしきい値 KPI 詳細」を参照してください。
2. しきい値をスコアのサブセットに制限するには、ブレークダウンとブレークダウン要素を選択します。
   第 2 レベルのブレークダウンと要素を選択することもできます。
3. しきい値をデータの特定の集計にのみ適用する必要がある場合は、時系列集計を選択します。
4. しきい値アイコン ()  をクリックします。
   [しきい値] パネルが開きます。
5. [しきい値] パネルで、[グローバル] または [パーソナル] のしきい値を選択します。
   個人のしきい値は自分にのみ表示されますが、admin ロールを持つユーザーは編集または削除できます。個人のしきい値はウィジェットには表示されません。
6. 新しいしきい値を作成するか、既存のしきい値を編集または削除します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- しきい値を作成するには、プラス + 記号をクリックします。
- 既存のしきい値を編集するには、しきい値パネルでそのしきい値をクリックします。
- で アナリティクスハブ既存のしきい値を削除するには、削除アイコンをクリックします。



で KPI 詳細既存のしきい値を削除するには、そのしきい値を編集用に開いて [削除] をクリックします。

7. しきい値を作成または編集している場合は、しきい値通知をトリガーする条件を選択します。
   スコアが常に高い値に達したとき、またはスコアが特定の値より下がったときに条件を設定できます。
8. [保存] をクリックします。

次のタスク
しきい値を作成したら、しきい値通知を設定します。

関連情報

KPI 詳細

しきい値通知を受信するユーザーの構成

しきい値に達したときにメールを受信するユーザーを設定します。

始める前に
必要なロール:pa_threshold_adminロールまたはそれを含むロール (pa_power_user、pa_admin、または admin)

このタスクについて
この手順は、グローバルしきい値に適用されます。個人のしきい値の通知は、そのしきい値の所有者にのみ送信されます。メッセージ内容を構成するには、PA しきい値到達通知を変更します。詳細については、通知に関するドキュメントを参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** > インジケーター > しきい値.
2. しきい値を開きます。
3. [ユーザー] 関連リストで、[編集] をクリックします。
4. [メンバーの編集] 画面で、スラッシュ・バケットを使用してメンバーを追加します。
5. [保存] をクリックします。
   各インジケーターの通知に加えて、しきい値に達したすべてのインジケーターの概要を示す通知を送信することもできます。

しきい値のコメントの設定

[PA しきい値のチェック] ジョブは、PA しきい値到達コメント スクリプト アクションをトリガーします。このアクションは、しきい値に達したインジケーターにコメントを追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
インジケーターの を開く アナリティクスハブ と、コメントが表示されます。異なるテキストを表示するには、しきい値コメントを設定します。

手順

1. 移動先 すべて > システムポリシー > イベント > スクリプトアクション.
2. **[PA** しきい値到達コメント] を開きます。
3. スクリプト内の `buildMessage` 関数を変更します。
4. [更新] をクリックします。

しきい値の概要通知の構成

各インジケーターの通知に加えて、しきい値に達したすべてのインジケーターの概要を示す通知を送信することもできます。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
この手順では、概要通知にアクセスし、通知を受け取るユーザーおよび通知の内容を変更する方法について説明します。

手順

1. 移動先 すべて > システムポリシー > メール > **Notifications**.
2. **[PA** しきい値通知] を選択します。
3. オプション: [受信者] セクションに、[ユーザー] または [グループ] のいずれかのロック アイコンをクリックしてから適切なユーザーまたはグループを選択し、追加します。
4. オプション: [メッセージ] フィールドを変更し、メッセージの内容を変更します。
5. [更新] をクリックします。

ターゲット/しきい値を一括削除するか、別のユーザーの個人のターゲットまたはしきい値を削除します

グローバル ターゲットまたはしきい値を作成できる場合は、それらを一括で削除できます。同じプロセスを使用して、別のユーザーの個人のターゲットまたはしきい値を削除します。

始める前に
必要なロール:pa_target_admin、pa_threshold_admin、pa_power_user

このタスクについて
ロールでグローバル・ターゲットまたはしきい値を作成できる場合は、任意のターゲットまたはしきい値 (個人のものも含む) をターゲットまたはしきい値リストから削除できます。

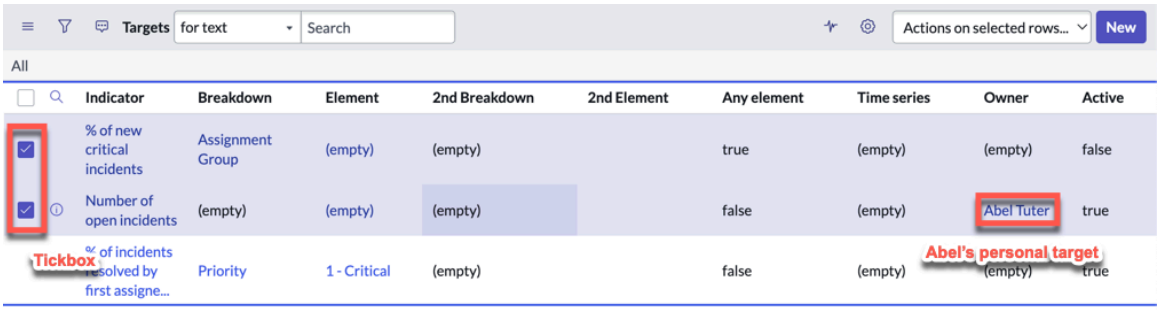
手順

1. 移動先 **Performance Analytics** > ターゲット または **Performance Analytics** > しきい値。
2. 削除するターゲットまたはしきい値のチェックボックスを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

所有者がターゲットまたはしきい値に指定されている場合、それは個人のターゲットまたはしきい値で



す。

3. [選択した行のアクション] リストを展開し、[削除] を選択します。
   [確認] ダイアログが開きます。
4. [確認] ダイアログの警告を読み、安全であることが確実な場合は、 [削除] を選択します。

別のユーザーの個人ターゲットまたはしきい値の追加または変更

グローバル ターゲットまたはしきい値を作成できる場合は、任意のユーザーの個人のターゲットおよびしきい値を変更または追加できます。

始める前に

必要なロール:pa_target_admin、pa_threshold_admin、pa_power_user

このタスクについて

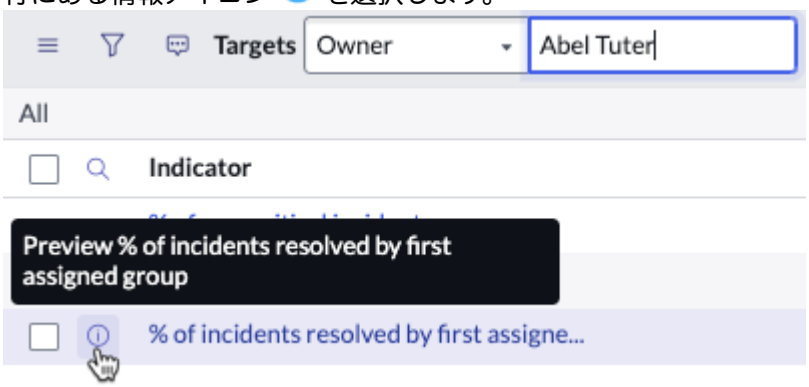
ユーザーの個人ターゲットまたはしきい値を検索するか、新しいターゲットまたはしきい値を作成してユーザーに割り当てることができます。

手順

1. 移動先 **Performance Analytics** > ターゲット または **Performance Analytics** > しきい値。
2. 既存の個人しきい値またはターゲットを開いて変更するには、次の手順に従います。

   a. 所有者でレコードを検索します。

   b. 変更するターゲットまたはしきい値が見つかったら、そのターゲットまたはしきい値レコードの行にある情報アイコン ⓘ を選択します。



   そのターゲットまたはしきい値レコードのプレビューが表示されます。

   c. プレビューで、 [レコードを開く] を選択します。
   プレビューされたレコードが開きます。

3. 新しい個人のしきい値またはターゲットを作成するには、次の手順に従います。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

a. 「ターゲット」または「しきい値」リストで、「 新規」を選択します。

b. 表示されるターゲットまたはしきい値フォームで、[所有者] を指定します。
所有者は、インジケーター KPI 詳細 の または アナリティクスハブでこのターゲットまたはしきい値が表示される唯一のユーザーです。

しきい値では、単一の所有者を選択する代わりに、関連リストで複数のユーザーを指定できます。これらのすべてのユーザーには、インジケーターの および アナリティクスハブ にKPI 詳細このしきい値が表示されます。

4. インジケーター と、 ターゲットまたはしきい値のブレークダウン、ブレークダウン要素、または時系列集計を指定または変更します。
5. その他の関連フィールドに入力します。
6. 新しいターゲットを作成する場合は、それを保存します。
[ターゲット値] 関連リストが表示されます。
7. ターゲットの場合、既存のターゲット値の開始日、レビュー日、または値を変更するか、[新規] を選択して新しいターゲット値を作成します。
複数のターゲット値を設定できますが、開始とレビューの間の日付範囲を重複させることはできません。

リアルタイムスコア

最新の パフォーマンスアナリティクス データ収集ジョブからではなく、リアルタイムでスコアを表示できます。リアルタイムスコアが有効になっている場合は、 および アナリティクスハブ 一部のウィジェットやレポートでリアルタイムスコアを表示できます。

通常、ビジュアル化で表示できる最新のスコアは、正常に実行された最新のデータ収集ジョブのスコアです。ただし、一部のチャート化では、一部のインジケーターについてインジケータースコアをリアルタイムで表示できます。

次の基準を満たすインジケーターのリアルタイム スコアを表示できます。

- インジケーターは自動インジケーターです。
- リアルタイムスコアを表示するように構成されています。
- インジケーターの集計関数はスクリプトを使用しません。
- インジケーターソースはデータベースビューを使用しません。
- インジケーターに適用されるブレークダウンは、スクリプト化されたブレークダウンソースを使用しません。

次の可視化では、スコアをリアルタイムで表示できます。

- アナリティクスハブ。
- 構成可能なワークスペースでは、リアルタイム更新をサポートするデータ可視化が
- KPI 詳細
- パフォーマンスアナリティクス リアルタイム チャート化によるスコア ウィジェット
- 単一スコアレポート
- メイン インジケーターのワークベンチ ウィジェット

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

警告:
リアルタイムスコアはビューアーごとに異なり、収集されたスコアとは異なる場合があります。リアルタイムスコアは、関連するファクトテーブルから直接取得されます。したがって、これらのファクトテーブルのアクセス制御リスト (ACL) によって、各ログインユーザーに表示されるリアルタイムスコアが決まります。

重要:
は アナリティクスハブ 、リアルタイム スコアを自動的に更新しません。で最新のスコア アナリティクスハブ を表示するには、ブラウザのページを更新します。自動的に KPI 詳細 更新されます

関連情報

- 自動インジケーターの作成
- アナリティクスハブ 特定のインジケーターの
- スコア ウィジェットでのリアルタイム スコアによるチャート化の作成
- 単一スコア レポート
- ワークベンチ プロセス ウィジェットによるワークフローの監視

時系列集計の適用

インジケーターの変化を個別の時間間隔に集計することができます。これらの集計により、傾向がより簡単に見えるようになり、ターゲットに対する進捗状況を追跡することができます。

時系列集計は、AVG や SUM などの関数と、四半期別などの時系列の組み合わせで構成されます。これらの集計アナリティクスハブは、KPI 詳細ワークスペースエクスペリエンスパフォーマンスアナリティクス

毎日何歩歩いたかを記録する時計、電話、フィットネストラッカーを考えてみましょう。これらのデバイスはすべて、分単位で測定値を収集して保存します。ただし、アプリとレポートは、多くの場合、先週、先月、または昨年と比較してアクティビティの進行状況を示すように設計されています。午前10時と正午のどちらが活動的だったかを確認するのは一つのことです。ただし、本当に知りたいのは、時間の経過とともに改善し続けているかどうかです。ステップを週次、月次、および年次スコアに集計すると、アクティビティの傾向を簡単に特定できます。

日次インジケータースコアは基盤であり、ほとんどの場合望ましいものですが、週、月、または四半期ごとにスコアを利用できるようにしたい場合もあります。それ以外の場合は、現在の時点までの累積的な進行状況を示す月/四半期/年度累計の数値が必要です。複数のインジケーターソースと各間隔を追跡するインジケーターを定義する代わりに、ネイティブではデータを パフォーマンスアナリティクス 一度キャプチャしてからビューを調整できます。次のいずれかのシナリオで時系列集計を使用します。

- 期間の時系列を使用して、頻度の低い期間にデータを集計します。
- データのスパイクを平滑化し、実行中の時系列で傾向を明らかにします。
- 終了日の時系列を使用して、期間累計の累積スコアを決定します。

注:
ビジネスカレンダーと会計カレンダーは時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットまたは アナリティクスハブ エントリに時系列集計を設定することはできません。

インジケーターで時系列集計を使用する例と詳細については、この パフォーマンスアナリティクス アカデミーのビデオを参照してください。 での時系列の活用 パフォーマンスアナリティクス 。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

部分期間

一部の時系列には、不完全な収集期間のインジケーター スコアが含まれます。これらの期間には、現在の期間とデータ収集の開始からの期間を含めることができます。名前のプラス記号 + で、このような時系列を識別します。

部分期間のデータを含まない時系列には、期間の始めと終わりのデータが必要です。たとえば、 月別合計 時系列集計では、月の初めと終わりのスコアが必要です。そうでない場合、その月は含まれません。[月別合計 +] など、部分的な期間のデータを含む時系列には、期間内の 1 日間のデータのみが必要です。

警告:
部分期間は、平均などの特定の集計の結果を歪める可能性があります。

集計定義

パフォーマンスアナリティクス には、デフォルトの SUM、AVG、およびその他の時系列集計定義が付属しています。

危険:
これらの定義を変更しないでください。新しい定義を追加しないでください。集計定義を変更すると、予期しない結果が生じる可能性があります。新しい定義を作成すると、データ コレクタ ジョブが実行されなくなる可能性があります。

許可されていない時系列集計

パーセントを単位とするインジケーターに SUM 集計を入れることはできません。パーセンテージを合計しても意味がありません。

時系列集計の検証

時系列集計は、アナリティクスハブ および KPI 詳細では検証されますが、ウィジェットでは検証されません。したがって、作業中のウィジェットから アナリティクスハブ に移動すると、インジケーターに無効な集計があるという警告が表示される場合があります。

インジケーターの時系列集計の除外

一部の時系列集計は、技術的には許容されますが、インジケーターに適用するのに役立ちません。たとえば、パーセンテージ値の合計では、有用な分析情報が得られる可能性は低くなります。これらの時系列集計をインジケーターから除外できます。詳細については、「インジケーターからの時系列の除外」を参照してください。

日付範囲セレクターを使用した時系列集計の表示

ウィジェットで [月別合計] などの時系列集計を日付範囲セレクターと組み合わせると、予想よりも 1 つ多い期間が表示される場合があります。これは、日付範囲セレクターで 3m などの期間を選択すると、インスタンスはそれを 0 ～ 3 か月と解釈し、4 か月分のスコアを表示するためです。

関連情報

結果または貢献インジケーターへの時系列の適用

時系列集計のユースケース

パフォーマンスアナリティクス には 4 種類の時系列があります。ユースケースを理解して、使用するタイプを把握します。

平均に基づく丸め計算は、丸めエラーが原因でわずかにずれる場合があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

時系列のタイプごとのユースケースと例

タイプ	例	ユースケース
実行中	28 日間分の移動平均/合計 30 日間分の移動平均/合計 7 日間分の移動平均/合計 12 ヶ月間分の平均/合計を実行 3 ヶ月間分の平均/合計を実行 6 ヶ月間分の平均/合計を実行 13 週間分の平均/合計を実行 4 週間分の平均/合計を実行 四半期移動平均/合計	データのスパイクを平滑化して、傾向を見つけやすくします。たとえば、毎日のインシデント数を見ると毎週末に減少していることがわかりますが、7 日間の移動平均ではこれらの減少が平準化されます。
終了日	会計四半期累計平均/合計 会計年度累計平均/合計 月累計平均/合計 四半期累計平均/合計 週度累計平均/合計 年度累計平均/合計	期間の累積スコアを表示します。これらの時系列集計は、達成する月次ターゲットがあるが、月全体の速度も確認する必要がある場合に非常に役立ちます。
期間別	週別平均/合計 月別平均/合計 会計四半期別の平均/合計 四半期別平均/合計 会計年度別の平均/合計 年別平均/合計	全期間の累積スコアを表示します。P1 インシデントの数を毎日追跡したい場合もありますが、スコアを毎日考慮すると頻度が高すぎます。代わりに、「月別」の時系列を使用して月次レベルでターゲットを設定できます。現在の期間は不完全であるため、結果に表示されません。
期間別 (一部を含む)	週別 + 平均/合計 月別 + 平均/合計 会計四半期別 + 平均/合計 四半期別 + 平均/合計 会計年度別 + 平均/合計 年別 + 平均/合計	「別」時系列の「+」バージョンには部分的な期間が含まれているため、常に現在の期間のスコアが提供されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

時系列集計のインジケーター頻度の制限

インジケーターのスコアが収集される周期で、適用可能な時系列が決まります。一部の時系列には、部分収集期間のデータが含まれます。

時系列集計を選択すると、インジケーター スコアが収集される頻度によって、選択できる時系列が制限されます。スコアが収集されるよりも頻繁にスコアに適用される時系列集計は選択できません。たとえば、 週別合計 時系列集計は、日次周期のインジケーターに適用できます。ただし、[週別合計] は、週次、月次、四半期、または年次周期のインジケーターには適用できません。

注:

- 週次インジケーターのみが、 **4** 週間実行 と **13** 週間実行 の時系列をサポートしています。週次インジケーターは、週次および年次の時系列のみをサポートします。
- 隔月および年ごとのインジケーターは時系列集計をサポートしていません。

次の表は、どのインジケーター頻度でどの時系列がサポートされているかを示しています。これらの関係は、集計 (AVG、SUM、またはカスタム) が時系列と組み合わされるとは無関係であるため、時系列のみが表示されます。

時系列および関連するインジケーター周期

時系列	インジケーターの頻度			
	日次	週次	月次	四半期ごと (会計四半期、4 週間ごと、隔週)
日次	はい	いいえ	いいえ	いいえ
7 日間移動	はい	いいえ	いいえ	いいえ
28 日間移動	はい	いいえ	いいえ	いいえ
30 日間移動	はい	いいえ	いいえ	いいえ
4 週間移動	いいえ	はい	いいえ	いいえ
13 週間移動	いいえ	はい	いいえ	いいえ
3 か月間移動	いいえ	いいえ	はい	いいえ
6 か月間移動	いいえ	いいえ	はい	いいえ
12 か月間移動	いいえ	いいえ	はい	いいえ
四半期移動	いいえ	いいえ	いいえ	はい
週別、週別 +	はい	いいえ	いいえ	いいえ
月別、月別 +	はい	いいえ	いいえ	いいえ
四半期別、会計四半期別、四半期別 +、会計四半期別 +	はい	いいえ	はい	いいえ
年度別、年度別、年度別+、年度別 +	はい	はい	はい	はい
週度累計	はい	いいえ	いいえ	いいえ
月度累計	はい	いいえ	いいえ	いいえ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

時系列および関連するインジケーター周期 (続く)

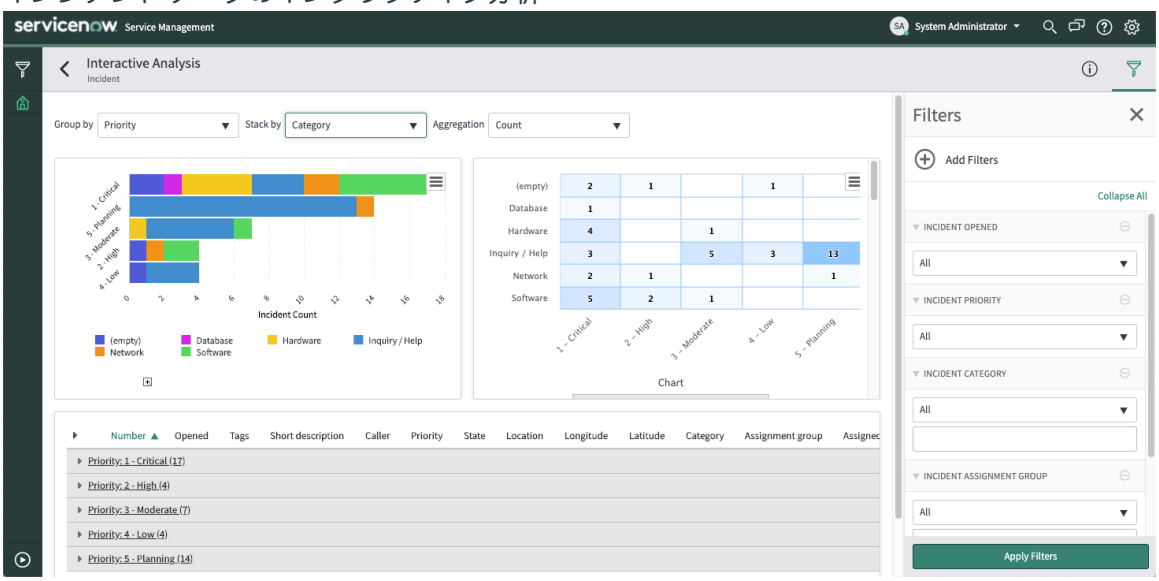
時系列	インジケーターの頻度			
	日次	週次	月次	四半期ごと (会計四半期、4 週間ごと、隔週)
四半期累計、会計四半期累計	はい	いいえ	はい	いいえ
年度累計、会計年度累計	はい	はい	はい	あり

Performance Analytics のインタラクティブ分析

インタラクティブ分析では、ビジュアル化を使用してデータをすばやく探索 パフォーマンスアナリティクス できます。

レコードの任意の コア UI リストから、リストデータに関するインタラクティブなレポートセットにアクセスできます。また、インタラクティブ フィルタをグループ化、スタッキング、集計、および適用することで、データを操作することもできます。チャート化をクリックし、データにドリルダウンします。情報アイコン () をクリックして、ソースフィルターを編集し、適用されたフィルターのリストを表示し、分析の URL をコピーします。

インシデント データのインタラクティブ分析



インタラクティブアナリシスの起動

リストからインタラクティブ分析を起動します。

始める前に
必要なロール：なし。

分析するレコードリストにアクセスできる必要があります。

手順

1. 任意のリストに移動します。
2. オプション: リストに表示される列を設定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インタラクティブ分析を起動する場合にリストに表示される列によって、分析に含まれるフィールドが決まります。含まれるフィールドによって、使用できる [グループ] と [積み重ね基準] オプションおよびデフォルトで表示されるインタラクティブ フィルタが決まります。

3. 参照、選択肢、日付/時刻、整数、またはブール フィールドの列ヘッダーを右クリックし、[インタラクティブ分析の起動] を選択します。
   インタラクティブ分析を起動する列は、デフォルトの [グループ] 値として使用されます。
4. オプション: [データ] と [積み重ね基準] に異なる値を選択することでデータの集計方法を変更するか、1 つ以上のインタラクティブ フィルタを適用してデータをフィルタリングします。
5. オプション: 棒グラフの棒やヒートマップのセルなど、チャート化をクリックしてデータのサブセットにドリルダウンします。

フォーム内分析

フォーム内分析により、パフォーマンスに関する見識がフォームに統合されるため、ユーザーはコンテキスト内の重要な測定基準にアクセスして適切に意思決定を行うことができます。

フォーム内分析には、ブレークダウンに基づいてダッシュボードのビューを開くフォームの UI アクションが関係します。このブレークダウンダッシュボードは、フォームに入力しているユーザーに有用なパフォーマンスのインサイトを提供します。たとえば、サポートエンジニアがインシデントの作成中に、インシデントカテゴリに基づいてインシデントをクローズする予定時間を確認できるようにする必要があるとします。エンジニアがこの情報を表示できるようにするには、インシデントフォームのフォーム内分析 UI アクションを作成します。この UI アクションは、インシデントを開きます。インシデントをクローズする予定時間を表示するウィジェットを備えたカテゴリブレークダウンダッシュボード。

インシデント:カテゴリのフォーム内分析



フォーム内分析の UI アクションは、フォーム上のフィールドの横にある、ブレークダウンを表すアイコンによってアクティブ化されます。そのフィールドがフォームビューに表示されていない場合は、アイコンも表示されません。フォーム内分析を設定するときに、フォームに [関連アクション] リンクを含めることもできます。このリンクはいつでも利用できます。

関連情報

ダッシュボードでのブレークダウンの使用

UI アクション

フォームへのフォーム内分析の追加

ユーザーがフォームの入力中に関連する分析を表示できるようにする UI アクションを作成します。UI アクションは、フォームを使用するテーブル、そのテーブルで使用されるブレークダウン、およびブレークダウンダッシュボードを関連付けます。

始める前に
必要なロール：pa_power_user、pa_admin、または admin パフォーマンス分析のロールに加えて、UI アクション [sys_ui_action] テーブルにレコードを作成できる必要があります。

特定のテーブルとブレークダウンのフォーム内分析を追加する前に、そのテーブルとそのブレークダウンのブレークダウン ソースを使用するブレークダウン ダッシュボードを作成します。そのテーブルにレコードを作成するユーザーにとって最も有用な情報が目立つようにダッシュボードを設計します。ブレークダウン ダッシュボードの詳細については、「」を参照してください ダッシュボードでのブレークダウンの使用。

フォーム内分析を作成するには、パフォーマンス分析を有効にする必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて

手順

移動先 すべて > **Performance Analytics** > フォーム内アナリティクス をクリックし、新しいレコードを作成します (フィールドの説明についてはテーブルを参照)。

フォーム内分析のフィールド

フィールド	説明
名前	UI アクションのわかりやすい名前。
テーブル	分析を表示するテーブル。このテーブルのフォームにページ内アイコンが表示されます。
ブレークダウン	テーブルを分析するためのブレークダウン。フィールドがフォームビューに含まれている場合、このブレークダウンに対応するフィールドの横に UI アクションアイコンが表示されます。
ダッシュボード	表示するブレークダウン ダッシュボード。ダッシュボードでは、選択した テーブル と ブレークダウンのブレークダウン ソースを使用する必要があります。
アイコン	フォーム上のブレークダウン関連フィールドの横に表示されるアイコン。
アイコンの色	フォーム アイコンの色。
フォーム内リンクを作成	このチェックボックスをオンにすると、アイコンに加えてフォーム上に関連リンクを表示します。関連リンクはアイコンと同じダッシュボードに誘導します。

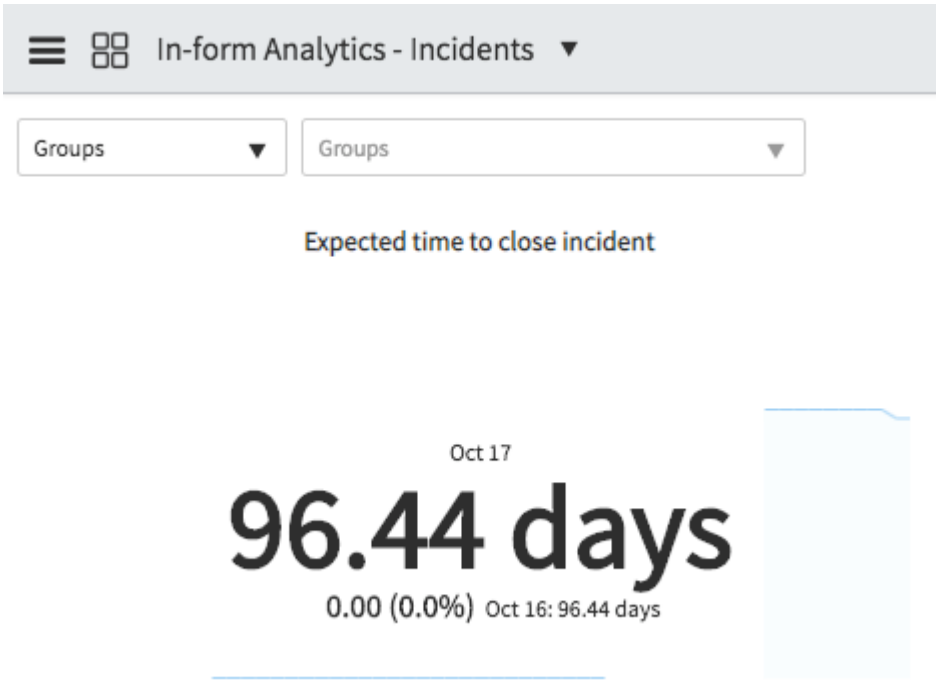
Example: インシデントアサイン先グループのフォーム内分析

インシデントを作成するサポートエンジニアが、アサイン先グループに基づいてインシデントをクローズする予定時間を確認できるようにする場合を考えてみましょう。インシデントをクローズする予定時間を表示するウィジェットを設計しました。このウィジェットは、グループブレークダウンソースを使用するフォーム内分析ブレークダウンダッシュボードに追加されました。「グループ」は、アサイン先グループブレークダウンのソースです。

自動翻訳

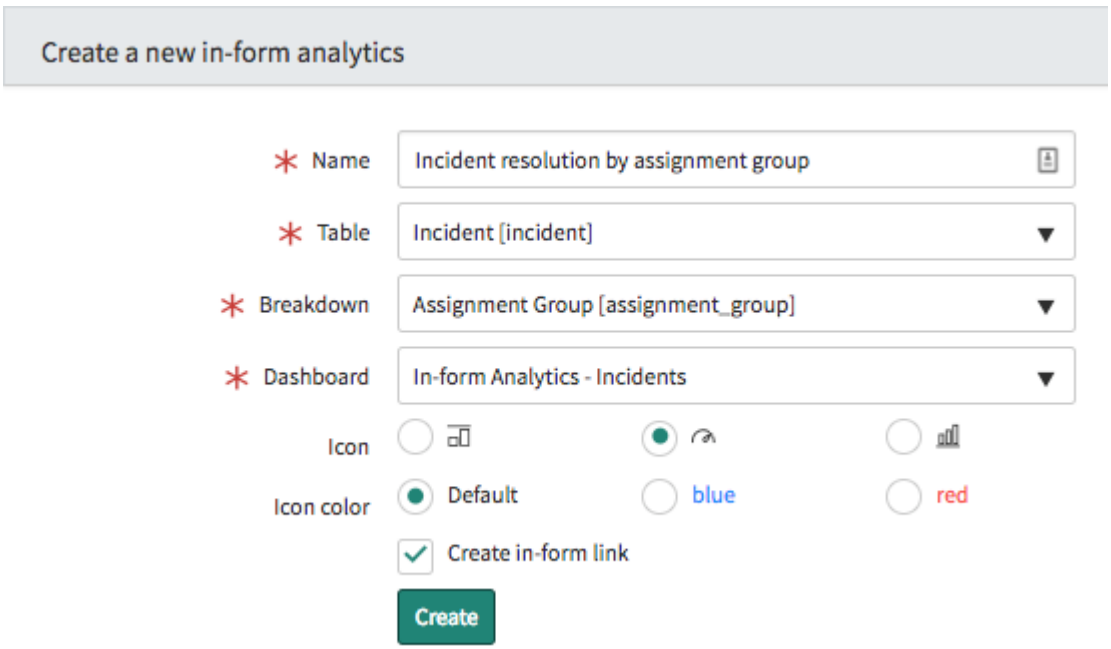
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ブレークダウン ダッシュボード



次に、インシデント [incident] テーブル、アサイン先グループブレークダウン、およびフォーム内分析 - インシデントダッシュボードのフォーム内分析を作成します。UI アクションのアイコンを選択します。このアイコンは、[アサイン先グループ] フィールドの横に表示されます。また、ダッシュボードへの関連リンクを作成することにします。

フォーム内分析の作成



目盛りアイコンをクリックすると、ダッシュボードのポップアップ ビューが開きます。ダッシュボード名の代わりに、ポップアップウィンドウには「[ブレークダウン名] の分析 (Analysis of [Breakdown name])] ([ブレークダウン名] の分析)」というタイトルが付けられています。

インシデントフォームからダッシュボードビューを開く

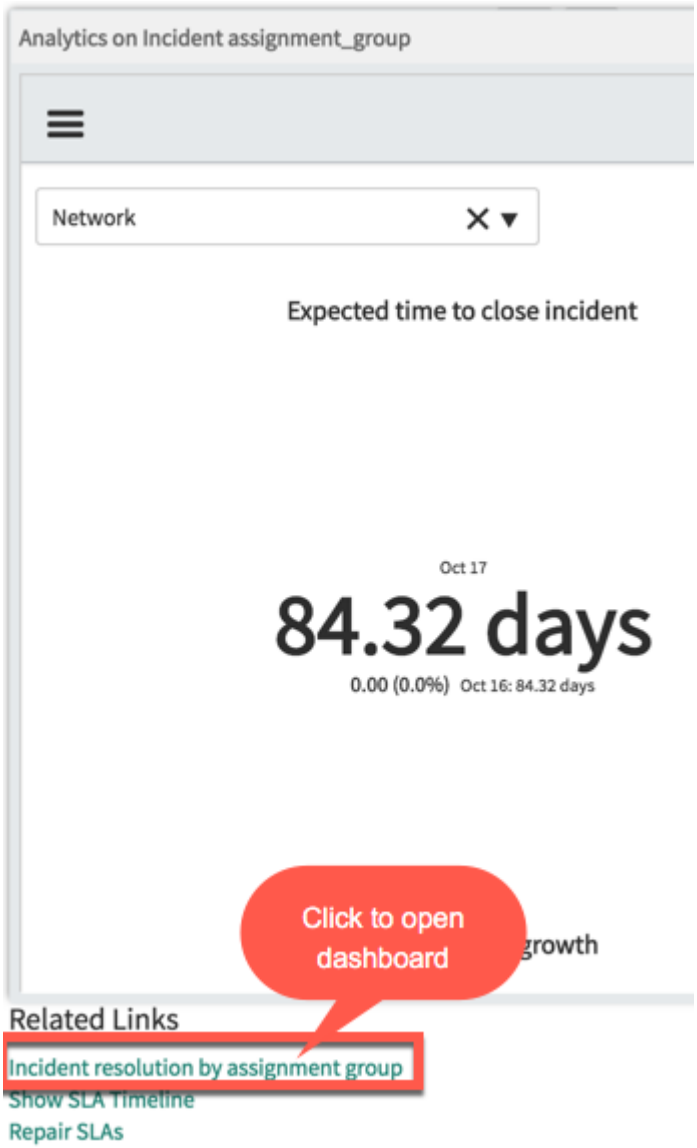


© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

セルフサービスビューには、デフォルトでは [アサイン先グループ] フィールドが表示されません。この場合でも、関連リンクから分析を表示できます。

分析への関連リンク



事前設定されたフォーム内分析

事前設定されたフォーム内分析は、いくつかのアプリケーションおよび関連するテーブルやフォームのプラグインとして使用できます。

フォーム内分析プラグインと関連テーブル

プラグイン名	プラグイン ID	テーブルとフォーム
パフォーマンスアナリティクス - 変更管理のためのコンテキスト依存分析	com.snc.pa.change.context_sensitive_analytics	変更要求 [change_request]
パフォーマンスアナリティクス - チャットのコンテキスト依存分析	com.snc.pa.chat.context_sensitive_analytics	チャットキューエントリー [chat_queue_entry]

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フォーム内分析プラグインと関連テーブル (続く)

プラグイン名	プラグイン ID	テーブルとフォーム
パフォーマンスアナリティクス - カスタマーサービスのコンテキスト依存分析	com.snc.pa.cs.context_sensitive_analytic	ケース [sn_customerservice_case]
パフォーマンスアナリティクス - インシデントのコンテキスト依存分析	com.snc.pa.incident.context_sensitive_analytic	インシデント [incident]
パフォーマンスアナリティクス - 問題管理のためのコンテキスト依存分析	com.snc.pa.problem.context_sensitive_analytic	問題 [problem]

注:
事前設定されたフォーム内分析のプラグインをアクティブ化すると、そのアプリケーションのソリューションもアクティブ化 パフォーマンスアナリティクス されます。詳細については、「分析ソリューション」を参照してください。

高度な機能の設定パフォーマンスアナリティクス

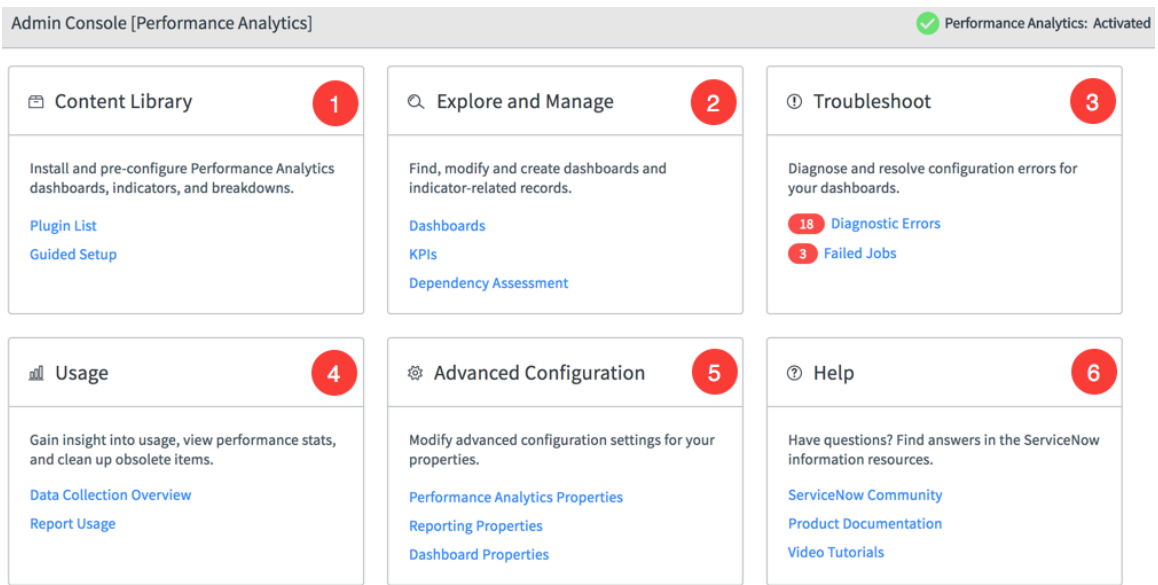
主要評価指標とスコアを生成するデータ構造を定義します。

このセクションのトピックは、主にデータ構造を直接扱う管理者を対象 パフォーマンスアナリティクス としています。

パフォーマンスアナリティクス 管理コンソール

管理者は、1 つのコンソールから、コンテンツの管理 プラットフォームアナリティクスソリューション 、ウィジェットとダッシュボードの管理 パフォーマンスアナリティクス 、エラーの診断と解決、利用状況分析の表示、構成設定の変更、ヘルプへのアクセス ServiceNow を行うことができます。

admin または pa_admin ロールを持つユーザーは、次の場所に移動できます。 パフォーマンスアナリティクス > アドミンコンソール。パフォーマンスアナリティクスが有効になっていない場合は、[詳細] をクリックして有効にする方法を確認してください。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

1 コンテンツライブラリ

の プラットフォームアナリティクスソリューションGuided Setup。

[プラグインリスト**(Plugin List**)] をクリックして、非アクティブ プラットフォームアナリティクスソリューションで使用可能なシステムプラグインのリストを表示します。

> **注:**
> プラグインのリストを表示するには、admin ロールが必要です。

[**Guided Setup**] をクリックして、の Guided Setup を起動します プラットフォームアナリティクスソリューション。

2 探索および管理

1 か所で、自分のパフォーマンスアナリティクス要素間の関係をすばやく特定して管理したり、変更の影響度を評価したりします。たとえば、フィールド名を変更した場合に影響を受ける、ダッシュボード グループ内のすべてのレポート、インジケーター、インタラクティブ フィルタを特定できます。

[ダッシュボード] をクリックすると、グループ別にソートされたインスタンス内のすべてのダッシュボードを探索できます。グループを展開して、個々のダッシュボードを表示します。

KPI をクリックして、分析ハブインジケーターの探索的ビューを表示する を開きます。

依存関係アセスメントを使用して、パフォーマンスアナリティクスコンポーネントを表示、分析、および管理します。

3 トラブルシューティング

[トラブルシューティング] パネルを使用すると、ServiceNowアプリケーションが提供する診断を利用して、エラー警告や失敗したデータ収集ジョブの原因となったテストを調査できます。すぐに使用できる診断はスケジュールに従って実行されますが、オンデマンドで実行することもできます。[スケジュールされたデータ収集] リストは、一度だけ実行されるジョブと、オンデマンドでのみ実行されるジョブを除外します。

> **注:**
> [トラブルシューティング] カードのいずれかの数字が 0 より大きい場合、パフォーマンスアナリティクスの実装に何らかの問題がある可能性があります。

- [診断エラー] をクリックすると、[診断実行] リスト、実行された診断テストの数、および見つかった問題の数が表示されます。[状態] フィールドを使用して、解決された問題を追跡します。診断実行の詳細については、「 分析診断」を参照してください。
- [失敗したジョブ] をクリックすると、[スケジュールされたデータ収集] リストが表示されます。失敗したジョブは、最新の完了した実行の状態が **collected_error** であるスケジュール設定済みジョブです。データ収集の詳細については、「 Performance Analytics のデータ収集とクリーンアップ」を参照してください。

4 使用率

データ収集ジョブに関する統計情報とレポートの使用率に関するダッシュボード。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- [データ収集の概要] ダッシュボードを使用して、データ収集を追跡および管理します。データ収集ジョブは、デフォルトでは実行されないことに注意してください。ダッシュボードウィジェットには、関連するデータ収集ジョブを実行するまでデータは表示されません。詳細については、「 パフォーマンス分析のデータ収集とクリーンアップ」を参照してください。
- [レポートの使用率] ダッシュボードを使用して、レポートの使用率を追跡および管理します。詳細については、「 レポート統計」を参照してください。

5 詳細設定

詳細設定のクイック リンク。

- Performance Analytics プロパティ
- レポートのプロパティ
- レスポンシブ ダッシュボードのプロパティー

6 ヘルプ

コミュニティ、製品ドキュメント、およびServiceNow YouTube チャンネルのビデオチュートリアルでは、パフォーマンスアナリティクス機能を詳しく紹介しています。

関連情報

インタラクティブ分析情報パネル

インジケータースコアの収集

パフォーマンスアナリティクス はデータ収集ジョブを使用して、スコアとスナップショットを収集してクリーニングします。インジケーターのスコアを手動で設定することもできます。

既存のレコードのデータをすぐに収集するには、履歴データ収集ジョブを実行します。

進行中のデータ収集では、次のいずれかの方法を選択し、データの頻度と完全性に基づいてインジケーター スコアとスナップショットを収集します。

- インジケーターを 1 か月、四半期、または 1 年に 1 回測定する必要がある場合は、手動でスコアを入力するか、スコアをインポートします。
- インジケーターをより頻繁に測定する必要がある場合や、人間の関与を排除したい場合は、スケジュールされたデータ収集ジョブを使用します。

注:
パフォーマンスアナリティクス スナップショットは これらのレコードのスコアが収集されたときに、収集されるレコードリスト (sys_ids) です。スナップショットは、 [レコードの収集] を選択した自動インジケーターにのみ作成されます。

パフォーマンスアナリティクス データ収集ジョブは、プロパティ `com.snc.pa.dc.keep_snapshots_for`で指定されているスコアより古いスコアを収集しません。この値より古いスコアまたはスナップショットは、データ収集中に収集されません。

履歴データの収集

履歴データ収集ジョブを実行し、既存のレコードのスコアとスナップショットを収集します。新しいインジケーターなど、初めてのデータ収集では、履歴データ収集を 1 回実行して、既存のレコードのスコアとスナップショットを生成します。

始める前に

必要なロール：pa_data_collector または admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このタスクについて

パフォーマンスアナリティクス は、継続的にデータからスコアを定期的に収集します。アプリケーションにパフォーマンスアナリティクスを最初にセットアップしたとき、または新しいインジケーターまたはインジケーター ソースを作成したときは、履歴データ収集を実行して既存のデータのスコアを収集します。履歴データ収集を使用すると、設定前に存在していたデータを分析できますパフォーマンスアナリティクス。

⚠ 警告:

- 履歴収集ジョブを複数回実行することは避けてください。たとえば、新しいインジケーターを作成する場合は、既存のジョブに追加するのではなく、そのインジケーターの新しいデータ収集ジョブを作成することを検討してください。
- 履歴データ収集ジョブは、ジョブが対象とする期間およびインジケーターに対し、以前に収集したデータを削除します。その日付範囲外のデータやその他のインジケーターは削除されません。

履歴ジョブは、既存のデータのスナップショットも収集します。パフォーマンスアナリティクススナップショットは、これらのレコードのスコアが収集されたときに、収集されるレコードリスト (sys_ids) です。スナップショットは、 [レコードの収集] を選択した自動インジケーターにのみ作成されます。

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** > データコレクター > ジョブ.
2. [PA 変更] 履歴データ収集などの履歴データ収集ジョブを選択するか、新規履歴データ収集ジョブを作成します。
3. 履歴データ収集ジョブを作成または編集する場合は、データ収集ジョブの作成またはスケジュールの手順に従ってください。

   重要:
   履歴データ収集ジョブの場合は、[実行] を [オンデマンド] に設定します。履歴データ収集ジョブを、固定のスケジュールで実行しないでください。

4. ジョブ インジケーターで、履歴収集期間中に値が変更される可能性のあるフィールドに基づくブレークダウンは除外します。これについては、「ジョブ インジケーターの構成」で説明しています。
   たとえば、提供されている [PA インシデント SLA] 履歴データ収集ジョブでは、ジョブ インジケーター [未解決で期限切れのインシデントの数] には、[アサイン先グループ] と [状態] ブレークダウンが含まれません。これらのブレークダウンの両方の値は、データ収集期間にわたって変化する可能性があり、その結果は無意味になります。
5. [今すぐ実行する] をクリックします。

次のタスク

履歴データを収集した後は、スケジュールされたデータ収集ジョブを使用し、定期的に新しいスコアを収集します。

データ収集ジョブの作成またはスケジュール

インジケーターのスコアとスナップショットを定期的に収集 パフォーマンスアナリティクス するようにデータ収集ジョブをスケジュールします。

始める前に

データ収集ジョブを定義する前に、インジケーター ソース、ブレークダウン ソース、およびインジケーターが定義されていることを確認してください。そうしないと、ジョブは結果を返すことができません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

必要なロール：pa_data_collector または admin

このタスクについて

データ収集ジョブを構成するときに知っておくべき重要な項目は、次のとおりです。

- 収集期間
- 収集タイムゾーン
- ドメインが使用される場合は、収集されるスコアのドメイン。
- コレクション ジョブは、どのような制限もなく実行されます。実行するユーザーの権限は使用しません。

データ収集ジョブは、スコアを収集するため、およびテキスト分析データを収集するために、異なるステップを実行します。デフォルトでは、ジョブは両方のタイプのデータを収集します。パフォーマンスを向上するため、スコアとテキスト分析データに別々のジョブをスケジュールすることもできます。

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** > データコレクター > ジョブ をクリックし、[新規] をクリックします。
   代わりに、ジョブの実行スケジュールを変更するなど、既存のデータ収集ジョブを編集することもできます。この場合は、 **Performance Analytics** > データコレクター > ジョブ をクリックし、ジョブ名をクリックします。
2. [名前] フィールドには、わかりやすい名前を付けます。
   [PA インジケーター] 日次データ収集や [PA インジケーター] 履歴データ収集など、データ コレクタ ジョブの命名のための標準形式に従います。
3. [演算子] フィールドで、データ収集を絶対時間でするのか、または相対時間でするのか選択します。
4. [期間指定] を演算子として選択した場合、[開始日（固定）] 日付と [終了日（固定）] 日付を選択します。
5. [相対] を演算子として選択した場合、データを収集する実行時間より前の間隔を指定します。

   a. [開始日（相対）] と [開始日指定（相対）] のフィールドで、データを収集する過去の期間の数と長さをそれぞれ設定します。

   b. [終了日（相対）] と [終了日指定（相対）] のフィールドで、データの収集を開始する過去の最後の期間の数と長さをそれぞれ設定します。

   ヒント:

   - ほとんどのインジケーター、つまりほとんどのデータ収集ジョブは毎日実行されます。日次ジョブスケジュールは、通常、最後に完了した日について収集する必要があります。したがって、相対開始と相対終了の両方が 1 日前である必要があります。収集期間の長い履歴データ収集ジョブは、1 回のみ実行します。
   - ビジネスカレンダーを使用するインジケーターでこのジョブを使用する場合は、 前の期間 の間隔を考慮してください。この間隔は、ビジネスカレンダーに定義された期間に基づいています。

Example

たとえば、同じインジケーター ソースを使用して、日次の頻度で複数の新しいインジケーターのセットのスコアを収集するとします。まず、2 か月前から昨日までのデータを収集する履歴

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データ収集ジョブを作成します。このジョブで、[開始日（相対）] に **60** を、[開始日指定（相対）] に日前を入力します。[終了日（相対）] に **2** を、[終了日指定（相対）] に日前を入力します。[実行] フィールドを [オンデマンド] に設定します。[今すぐ実行] をクリックし、このジョブを 1 回実行して最初のスコアを収集します。

開始日 (相対) と終了日 1 日前で 2 番目のジョブを作成し、[実行] フィールドを [日次] に設定します。このジョブを有効化し、昨日のスコアと、そのジョブが実行される前日について、将来のスコアをすべて収集します。

6. 必要に応じて [ジョブパラメータ] を入力します。

ジョブパラメータ	説明
実行方法	ドメイン分離インスタンスの場合は、このジョブを実行するユーザーを選択します。このジョブは、グローバル ドメインを持つか、またはこのユーザーのドメイン内にあるファクト テーブルと パフォーマンスアナリティクス レコードからスコアを収集します。 データ収集ジョブはドメインのみに従い、このユーザーの権限には従いません。ACL およびビジネスルールはデータ収集ジョブには適用されません。すべてのユーザーがジョブを実行できます。 **重要:** このジョブのドメイン構成を選択すると、 実行ユーザーが上書き されます。このトピックの「手順 9 」を参照してください。
実行時のタイムゾーン	クエリがジョブから実行されるときに使用するタイムゾーンを選択します。会社のレポートタイムゾーンがある場合は、それを使用します。デフォルトでは、システムのタイムゾーンが使用されます。 このタイムゾーンは、[[Opened][on][Today]] のような条件の「今日」の日を決定します。
有効	オンの場合、デフォルトではスケジュールされた日時にデータ収集が行われます。
実行	データを収集するスケジュールを選択します。選択肢は次のとおりです。 ○ 日次 ○ 週次 ○ 月次 ○ 定期的 ○ 1 回 ○ オンデマンド ビジネスカレンダーを使用している場合は、ビジネスカレンダー期間の開始と終了に次のオプションもあります (ビジネスカレンダーエントリの定義 を参照)。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ジョブパラメータ	説明
	○ ビジネスカレンダー:エントリ開始 ○ ビジネスカレンダー:エントリ終了 履歴データ収集ジョブを作成する場合は、オンデマンドで実行するようにジョブをスケジュールします。
曜日	○ [実行] が [週次] の場合は、曜日を指定します。 ○ [実行] が [月次] の場合は、日付を指定します。 月末に収集するには、1 日目に設定し、[時刻] を [午前 0 時過ぎ] に設定します。この設定では、月の長さに関係なく、完了した月のデータが収集されます。
繰り返し間隔	[実行] が [定期的] の場合は、スケジュールされるデータ収集の間隔を日数と時間数で指定します。
開始中	[実行] が [定期的] または **[1** 回] の場合、スケジュールされる最初のデータ収集の日時を指定します。
時刻	ジョブの実行時間 (24 時間形式)。フィールドは、[アクティブ] が選択された後に表示されます。 ○ 実行 時のタイム ゾーンではなく、ユーザーセッションのタイムゾーンに基づく時間。 ○ 通常、会社で真夜中から午前 6 時までの 1 時間に設定して、最後の完全な期間を収集します。 たとえば、ニューヨークにいて、ロサンゼルス時間の会社の午前 5 時にデータを収集する場合は、その時間を 08:00:00 に設定します。
収集	データ収集ジョブには、スコア収集とテキスト分析の収集のために個別のステップがあります。次のいずれかを選択します。 ○ スコアのみ ○ テキストインデックスのみ ○ スコアとテキストインデックスの両方 (デフォルト) 詳細については、「テキスト分析の設定」を参照してください。
条件節	オンにすると、特定の条件が満たされた場合にのみデータ収集が行われます。
条件	スケジュール設定済みジョブを実行するかどうかを決定する条件付きスクリプト。スクリプトの最後の式はブール値 (true/false) で評価されます。このテキストボックスは、[条件を使用 **(Use conditions)]** を選択した場合にのみ表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ジョブパラメータ	説明
	⚠ 警告: パフォーマンスアナリティクス データコレクションジョブの条件付きスクリプトは、サンドボックスで実行されます。したがって、関数定義は許可されません。一部の API 呼び出しとキーワードも許可されません。詳細については、「Script sandbox property (スクリプトサンドボックスプロパティ)」を参照してください。 アップグレード後に、これらの許可されていない API コンポーネントを含む条件付きスクリプトがあるジョブは、「収集済み (エラーあり)」というメッセージが出て終了します。これらのジョブはスコアを収集しません。 com.snc.pa.dc.script.use.sandbox システムプロパティは、データ収集スクリプトがサンドボックスを使用するかどうかを制御します。このプロパティを有効化できるのは、security_admin ロールを持つユーザーに限られます。このプロパティをオフにするときは注意が必要です。false に設定すると、権限のないユーザーがインスタンスに対して悪意のあるアクションを実行する可能性があります。

7. フォームヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。
8. [インジケーター] 関連リストで、[編集] をクリックし、このジョブがデータを収集するインジケーターを選択します。

   ℹ 重要:
   - ジョブのインジケーターを少なくとも 1 つ含めます。そうしないと、ジョブは結果を返すことができません。
   - ジョブを保守可能に保つには、明確なユースケースがない限り、インジケーターを複数のアクティブな収集ジョブに関連付けないようにしてください。リアルタイムデータを取得しようとしている場合は、リアルタイムインジケーターの使用を検討してください。
   - データ収集ジョブは、関連するインジケーターのインジケーター ソースごとに 1 つのデータベース クエリを生成します。したがって、インジケーターソースを共有するすべてのインジケーターのデータは、同じ時点を表します。

9. ドメイン構成を有効にした場合は、[ドメイン構成] 関連リストでこのジョブに関連付けるドメイン構成を選択できます。
   ドメイン構成は、ユーザーグループに対する可視性またはその他の条件に基づいてドメインをグループ化したものです。これらのグループ化には、親子関係を含めることができます。ジョブのドメイン構成を選択すると、ジョブはグローバルドメインを含む、構成のドメイン内のレコードのスコアを収集します。ドメイン構成は、 ユーザーとして実行 を上書きします。詳細については、「ドメイン構成での パフォーマンスアナリティクス ドメインのグループ化」を参照してください。
10. [送信] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク

- デフォルトでは、各ジョブ インジケーターごとに、すべてのブレークダウンとインジケーター自体のデータが収集されます。インジケーターのこの設定を変更するには、「ジョブ インジケーターの構成」を参照してください。
- ドメイン サポートを有効にしている場合は、[ドメイン設定] という関連リストがあります。このタブで、[編集] をクリックし、既存のドメイン設定とこのジョブを関連付けます。または、[新規] をクリックして新しいドメイン設定を作成します。詳細については、「ドメイン構成の作成」を参照してください。

ジョブ インジケーターの構成

必要かつ合理的なデータのみを収集するようにジョブ インジケーターを構成することにより、データ収集の効率を向上させます。

始める前に

必要なロール：admin、pa_admin

このタスクについて

デフォルトでは、ジョブ インジケーターは、インジケーター自体のデータと、そのインジケーターに関連付けられているすべてのブレークダウンのデータを収集します。ただし、特定のデータ収集ジョブで、すべてのブレークダウン データが意義あるものというわけではありません。たとえば、アサイン先グループや状態など、収集期間中に変更される可能性のあるフィールドに基づくブレークダウンは、通常、履歴ジョブから除外されます。多くの場合、ジョブは、ジョブの実行時にのみアサイン先グループとステータスの値を収集します。完了が期待できるほど 6 か月前のインシデントは、6 か月の履歴全体で [完了] ステータスになる可能性があります。このような値は誤解を招く恐れがあります。

あるいは、ブレークダウン データのみを収集する必要があり、インジケーター スコアを計算する必要がない場合もあります。不要なデータや無意味なデータを収集しないようにジョブ インジケーターを構成することで、ジョブのリソース消費を削減できます。

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** > ジョブ。
2. ジョブ インジケーターを構成するジョブを開きます。
   ジョブ インジケーターは、ジョブ インジケーターを使用するジョブに固有のものです。
3. [インジケーター] タブで、構成するジョブ インジケーターの名前をクリックします。
4. 必要に応じてフィールドを入力します。

フィールド	説明
ジョブ	ジョブ名から自動的にコピーされます。
インジケーター	関連付けられた自動インジケーター。[スケジュール設定済みデータ収集] レコードで [編集] ボタンを使用してジョブインジケーターを追加する場合は、自動インジケーターを選択します。
収集	[すべてのブレークダウン] を収集するか、[ブレークダウンなし] を選択するか、または特定のブレークダウンを除外するように選択します。
インジケー	インジケーター自体のデータを収集するには、このチェック ボックスをオンにします (デフォルト)。ブレークダウンのデータのみを収集する場合は、このチェック ボックスをオフにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ターの収集	ヒント: 既存のインジケーターにブレークダウンを追加した場合は、これらのインジケーターに対して 1 回限りの履歴収集ジョブを実行して、そのブレークダウンのスコアを取得することを検討してください。インジケーター自体ではなく、追加されたブレークダウンでのみ収集します。

5. [収集] フィールドで **[1** ブレークダウン] を選択した場合は、除外するブレークダウンを選択します。

   a. コンテキストメニューを開いて [保存] をクリックします。
   除外されたブレークダウンの関連リストが表示されます。

   b. [ブレークダウンを除外] リストで [編集] をクリックし、除外するブレークダウンを追加または削除します。

データ収集ジョブのキャンセル

ジョブがスコアを収集しないようにするには、アクティブなデータ収集ジョブをキャンセルします。

始める前に
必要なロール：pa_data_collector および schedule_admin、または admin

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** > データコレクター > ジョブ。
2. キャンセルするジョブを選択します。
3. [ジョブのキャンセル] をクリックします。

インジケーターのスコアの手動での追加または編集

自動および手動インジケーターのスコア データを手動で入力することができます。自動インジケーターのスコアを編集するときは注意が必要です。

始める前に
必要なロール：pa_contributor、pa_admin、pa_power_user、または admin

このタスクについて
通常、月に 1 回以下の頻度でのみ更新が必要なインジケーターに対しては、手動でスコアを追加します。さらに、顧客などの一部のエンティティで自動的にデータを収集できない場合は、手動でデータを入力またはインポートすることができます。

ジョブが収集したデータは手動で上書きできます。ただし、次回このデータを収集するジョブが実行されると、今度は手動で入力したデータが上書きされます。

注:

- 監査では、スコアシートへの手動変更は追跡されません。手動での挿入、更新、および削除は、pa_scoresすべてのテーブルに対してディクショナリレベルで監査が有効になっている場合でも監査されません。
- 式インジケーターのスコアを手動で編集することはできません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 移動先 **Performance Analytics** > スコアシート > .
2. 手動スコアを入力するインジケーターを選択します。
3. オプション: 日付範囲の左または右の矢印をクリックし、選択されている日付を変更するか、日付範囲をクリックして新しい範囲を選択します。
4. [インジケータースコア] 行のインジケーターでメイン スコアを入力します。
   または、インジケーターにブレークダウンが含まれている場合は、ブレークダウン要素ごとのインジケータースコアを入力します。

   注:
   スコアの各列の上にあるパーセンテージ バーは、スコアを含むブレークダウン要素のパーセンテージを示します。値 0 はスコアとしてカウントされます。値が存在しない場合にのみ、空としてカウントされます。

   a. [スコアの集計] をクリックします。

   b. インジケーターの特定のブレークダウンのメイン スコアを計算するために、合計を使用するのか、平均を使用するのかを選択します。

   c. [優先度] など、集計するブレークダウンを選択し、[適用] をクリックします。

      そのブレークダウンのすべてのスコアが合計されるか、それらの平均が計算されます。

      第 2 レベルのブレークダウンを収集し、2 つ以上のブレークダウン ソースに基づく自動インジケーターの場合、複数レベルのブレークダウンをスコアシートに入力できます。たとえば、ワークグループ別の優先度によるオープン インシデントでは、ワークグループ (第 1 レベル) の要素と優先度 (第 2 レベル) の要素の両方のスコアを入力できます。これらのインジケーターの集計は、他の内訳と同じ方法で計算されます。

関連情報

手動インジケーター

スポットライトでレコードをランク付けする

スポットライトを使用すると、複数の重み付けされた条件に基づいて対象レコードを識別してランク付けできます。

スポットライトにより、見逃しやすいレコードがわかりやすくなります。 重み付けされた条件を定義すると、インシデントのトリアージ時またはリード スコアリングの実行時など、注意が必要なレコードを特定してランク付けできます。優先度などの 1 つのフィールド値ではなく、複数の次元に基づいてレコードをランク付けできます。ほとんどの組織は、優先度の高いアイテムに適切なタイミングで対処しますが、優先度の低いアイテムは長時間処理されないことがあります。スポットライトは、ビジネスニーズに基づいてアイテムに重点を置くのに役立ちます。

たとえば、インシデントが長期間オープンである場合や、複数回再アサインされている場合は、これらのインシデントの優先度が低い場合でも、インシデントに注意を喚起することができます。これらのインシデントの中で、長期間オープンされ、複数回アサインされているインシデントを、長期間しかオープンされていないインシデントよりも上位にランク付けすることができます。

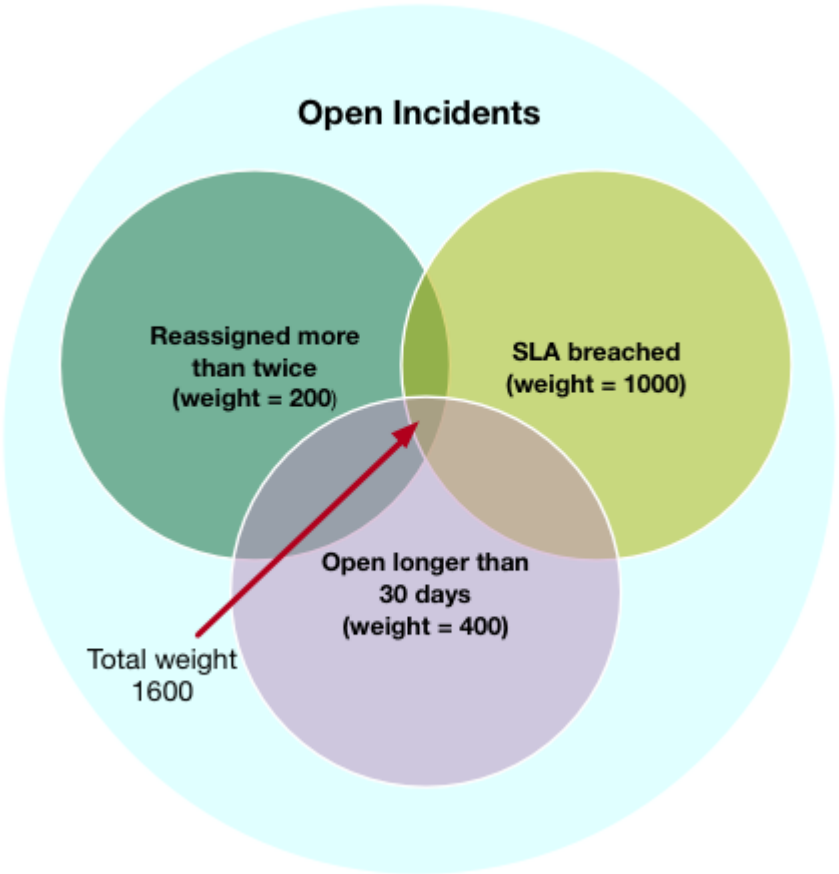
スポットライトは、レコードを評価するために実行されるスケジュール済みのジョブを使用します。これらのジョブの結果は、スポットライトの対話型分析で表示できます。スポットライトの結果を共有するには、分析の URL を pa_spotlight_viewer ロールを持つユーザーと共有します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の図は、スポットライトのスコアリングを示します。大きな円は、すべてのオープン インシデントの集合を表します。小さな円は、オープン インシデントのサブセットに適用される重み付けされたスポットライト条件を表します。

スポットライトの図



注:
スポットライトを使用するには、管理者がスポットライト プラグインまたは分析およびレポート スポットライト ソリューションのいずれかを有効にする必要があります。詳細については、「分析およびレポートのスポットライトソリューションのアクティブ化」を参照してください。

スポットライトの設定

評価して重要度別にランク付けするテーブル レコードのセットごとにスポットライトを設定します。レコードはインジケーターと関連付ける必要があります。

スポットライト グループを作成して評価するレコードを指定します。複数のスポットライト条件を作成し、レコードの重み付け方法を定義するグループと関連付けます。スポットライト グループで、スポットライトの作成がトリガーされるように、レコードが一致する必要がある条件の重み付けの合計を設定します。

注:
スポットライトの使用を開始する前に、管理者はスポットライトプラグインを有効にする必要があります。スポットライトを有効にする場合は、分析およびレポートのスポットライトソリューションのいずれかを有効にすることを検討してください。最初に、このソリューションの 1 つがビジネス ユース・ケースに対応しているかどうかを確認します。第 2 に、それでも新しいスポットライト グループまたはスポットライト条件を作成する必要がある場合は、分析およびレポート ソリューションが便利なテンプレートになります。詳細については、「分析およびレポートのスポットライトソリューションのアクティブ化」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スポットライト グループと複数のスポットライト条件を作成したら、スポットライト グループを有効にします。グループが有効になると、スポットライト グループのジョブ スケジュールに従ってスポットライト スコアが自動的に収集されます。また、アクティブなグループのスポットライト スコアをいつでも手動で収集することもできます。スポットライト グループのしきい値を超えるスポットライト スコアを持つレコードにはスポットライトが自動的に作成されるため、最も優先度の高い作業をすばやく特定できます。

関連情報

- 分析およびレポートのスポットライトソリューション
- パフォーマンスアナリティクス コンセプト

スポットライト グループの作成

スポットライト グループを作成して、評価するレコードを定義します。スポットライトの作成がトリガーされるためには、スポットライト グループで、レコードのスコアが超える必要のあるしきい値も設定します。

始める前に

管理者は、スポットライト プラグインまたは分析およびレポート スポットライト ソリューションのいずれかを有効にしておく必要があります。「分析およびレポートのスポットライトソリューションのアクティブ化」を参照してください。

必要なロール：pa_spotlight または admin

このタスクについて

スポットライト グループでは、評価するレコードのセットおよびしきい値を指定します。データセット内のレコードのスコアがしきい値を超えると、このレコードに対してスポットライトが作成されます。レコードのスコアは、スポットライト グループ内で利用可能なすべてのスポットライト条件の重み付け合計です。

評価するレコードのセットは パフォーマンスアナリティクスインジケーターと関連付ける必要があります。スポットライト グループはこのインジケーターを指定します。スポットライト グループは 1 つのファクト テーブルのみを参照できます。グループのメイン インジケーターとすべてのスポットライト条件の両方が同じテーブルを参照する必要があります。

注:
既存のスポットライト グループのメイン インジケーターを変更できます。ただし、グループの条件を選択した後は、メイン インジケーターを、同じファクト テーブルを使用する別のインジケーターにのみ変更できます。

ドメイン分離を有効にしている場合は、作成時にログインしているドメインにスポットライト グループを作成します。スポットライト グループを設定したら、「」で スポットライト グループをドメインにコピーする説明されているように、複数のドメインにコピーできます。

警告:
グローバル ドメインでスポットライト グループを作成すると、すべてのドメインがグループにアクセスできます。

手順

1. 移動先 すべて > スポットライト > スポットライトグループ をクリックし、[新規] をクリックします。
2. フィールドを入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スポットライト グループ フォーム

フィールド	説明
しきい値	スポットライトの作成がトリガーされるように、レコードが一致する必要があるスポットライト条件の重み付けの合計。 スポットライト条件に重み付けを割り当てる場合は、この値を再検討します。
メイン インジケーター	このスポットライト グループを評価するレコードを収集するインジケーター。 メイン インジケーターは次の要件を満たしている必要があります。 ○ 自動インジケーターである。 ○ インジケーターの collect_records プロパティを [true] に設定する必要がある。このプロパティはインジケーター フォームの [ソース] タブで設定する必要があります。 ○ インジケーターのインジケーター ソースは、データベース ビューではなく、実際のテーブルを参照する必要がある。 このスポットライト グループを評価するためのすべての条件は、メイン インジケーターのインジケーター ソースと同じファクト テーブルを使用します。

3. オプション: 評価するレコードをフィルタするには、[ブレークダウン] および [要素] を選択します。

   重要:
   スポットライト グループの作成では、ブレークダウン ソース テーブルのアクセス制御リスト (ACL) が優先されます。したがって、ACL によっては、管理者ロールであっても、ブレークダウンの既存の要素の一部が表示されない場合があります。

   スポットライト グループが完成したら、完成したスポットライト グループを同じブレークダウン内の他の要素にコピーできます。[ブレークダウンのスポットライト グループをコピー] をクリックします。詳細については、「ブレークダウン要素へのスポットライト グループのコピー」を参照してください。

4. [スコアの評価元] フィールドで、スポットライト ジョブがスナップショットまたはプラットフォームのスコアのどちらからスコアを評価するかを選択します。
   詳細については、「スナップショットまたはプラットフォームデータの評価」を参照してください。

5. コンテキスト メニューで、[保存] を選択します。

タスクの結果

インジケーターとしきい値を使用してスポットライト グループを作成し、スナップショットまたはプラットフォーム データに基づいてスコアを収集するかどうかを定義しました。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク

- スポットライト グループのスポットライト条件を作成し、スポットライト スコアを収集するスケジュールを設定します。「スポットライト条件の作成」を参照してください。
- ドメイン分離を使用している場合、グループ作成時のドメインにスポットライト グループが作成されます。条件やスケジュールなど、スポットライト グループの設定が完了したら、[ドメインにコピー] をクリックしてスポットライト グループを別のドメインにコピーできます。
- メイン インジケーターのブレークダウンと要素を指定した場合は、スポットライト グループを同じブレークダウン内の他の要素にコピーできます。これを行うには、[ブレークダウンのスポットライト グループをコピー] をクリックします。まず、条件とスケジュールを含むスポットライト グループを完成させます。

注:
スポットライト グループを他のドメインまたは他のブレークダウン要素にコピーする場合、元のスポットライト グループに対してすでに生成されているスポットライト ジョブの結果はコピーされません。

関連情報

スポットライトによるドメイン分離

スポットライト インタラクティブ分析

パフォーマンスアナリティクス インジケーター

インジケータースコアの収集

スナップショットまたはプラットフォームデータの評価

スポットライト ジョブが実行されると、収集されたレコードのスナップショットが評価されるか、プラットフォームから直接データを収集して評価します。

注:
新しいスポットライト スコアは、スナップショットまたはプラットフォーム データのスコアに関係なく、以前のスコアを上書きします。

スナップショット レコードの評価

デフォルトでは、新しいスポットライトグループはレコードのスナップショットを使用します。スナップショットは、スポットライト グループのメイン インジケーターと基準インジケーターのデータ収集ジョブによってスナップショットこれらのレコードのスコアが収集されたときに、収集されるレコードリスト (sys_ids) です。スナップショットは、 [レコードの収集] を選択した自動インジケーターにのみ作成されます。パフォーマンスアナリティクスが作成されます。これらのジョブは、スポットライト評価ジョブが実行される前に、レコードを収集するために実行する必要があります。

スナップショット レコードを使用するスポットライト グループの場合、データ収集とスポットライト評価ジョブは次の条件を満たす必要があります。

- スポットライト グループの条件で使用されるメイン インジケーターおよびすべてのインジケーターでは、レコード収集が有効になっています。

  注:
  インジケーター フォームの [レコードの収集] オプションでは、自動インジケーターの作成の説明のとおりにレコード収集が有効になります。

- スポットライト グループ条件で使用されるメイン インジケーターとすべてのインジケーターで、同じデータ収集頻度を使用します。
- すべてのスポットライトグループインジケーターのデータコレクションジョブをできるだけ一緒に実行し、データを同期させた状態に保ちます。基準インジケーターのスナップショットの日付は、

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

メインインジケーターの最終スコア日と同じである必要があります。メインインジケーターとすべての基準インジケーターが同じデータコレクションジョブ内にあると理想的です。

- スポットライト スコア収集ジョブは、ジョブの完了後にすぐにデータ収集ジョブと同じ頻度で実行します。スポットライト スコア収集をこの方法でスケジュールすると、最新で役立つ結果になります。

注:
インジケーターベースのスポットライト基準のみがスナップショットレコードを評価します。スナップショットからのデータを評価するようにグループを設定した場合でも、クエリベースの基準は常にプラットフォームデータを評価します。

プラットフォームデータの評価

スポットライトでは、スポットライトジョブの実行時にプラットフォームから直接レコードを収集して評価できます。結果のスポットライトスコアは、最新のスポットライトジョブの時点でのプラットフォームのステータスを反映します。

プラットフォームデータに基づくスポットライトスコアは、真に「リアルタイム」ではありません。レコードはプラットフォームで変更される可能性がありますが、次にスポットライト ジョブが実行されるまで、レコードのスポットライト スコアにはこの変更が反映されません。

プラットフォームデータの評価では、スナップショットのレコードの評価に比べ、インジケーターデータをクエリするためにより多くのシステムリソースを必要とします。

また、スクリプト化されたブレークダウンが適用される場合、インジケーターベースの基準を使用してプラットフォームデータを評価することはできません。特定の制限は次のとおりです。

- 基準のインジケーターが、スクリプトに基づくブレークダウンを使用する場合は、この特定の条件を使用できません。プラットフォームデータの代わりにスナップショットを収集するか、インジケータベースの基準の代わりにクエリベースの基準を作成します。
- スポットライトグループのメインインジケータがスクリプトに基づくブレークダウンを使用する場合、プラットフォームデータを評価することはできません。スナップショットのみに基づいてデータを収集するようにスポットライトグループを設定します。

スポットライト条件の作成

レコードの重み付けのタイミングと割り当てる重み付けを定義するスポットライト条件を作成します。

始める前に

スポットライト グループの作成

必要なロール：pa_spotlight または admin

このタスクについて

スポットライト条件は、特定の属性に基づいてレコードに重みを付ける方法を定義します。各スポットライト条件はスポットライト グループと関連付けます。

スポットライト条件では、インジケーターを参照するか、ファクト テーブルに対して直接クエリを使用できます。前者の条件はインジケーターベースの条件と呼ばれ、後者はクエリベースの条件と呼ばれます。インジケーターベースの条件のインジケーターは、次の要件を満たす必要があります。

- 自動インジケーターである必要がある。
- レコードを収集するように設定する必要がある。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- メインインジケーターのインジケーターソースと同じテーブルに基づいている必要があります。このテーブルをデータベースビューにすることはできません。
- スポットライト グループがプラットフォーム データを評価する場合、インジケーターはスクリプト化されたブレークダウンを使用できません。

クエリベースの条件は、メインインジケーターのインジケーターソースが基づいているものと同じテーブルをクエリします。インジケーターベースおよびクエリベースの条件の適合性は、スポットライト グループがプラットフォーム データを評価するか、レコードのスナップショットを評価するかによっても異なります。詳細については、「スナップショットまたはプラットフォームデータの評価」を参照してください。

一部の条件は他の条件よりも重要で、重み付けが高くなる場合があります。複数の条件の重み付けはスポットライト グループ内で累積されます。レコードのスコアは、スポットライト グループ内で利用可能なすべてのスポットライト条件の重み付け合計です。

ドメイン分離を有効にしている場合:

- グローバル スポットライト グループのスポットライト条件を作成すると、条件はログイン ユーザーのドメインに作成されます。
- 特定のドメイン内のスポットライト グループにスポットライト条件を作成すると、スポットライト条件がそのドメインに作成されます。

スポットライト条件を作成すると、ドメインの状況を通知するメッセージが表示されます。詳細については、「スポットライトによるドメイン分離」を参照してください。

手順

1. スポットライトグループレコードで、[スポットライト条件] 関連リストを見つけて [新規] をクリックします。
2. この条件を満たすレコードに割り当てる [重み付け] を入力します。
   関連するスポットライト グループで設定されている しきい値 を再確認することをお勧めします。グループとグループのしきい値のスポットライト条件を互いに比較して重み付けを最適化します。
3. [基準タイプ] を選択すると、指定した重み付けが割り当てられるレコードが特定されます。

オプション	説明
インジケーター	[インジケーター] を選択すると、このインジケーターに含まれるすべてのレコードに重み付けが割り当てられます。必要に応じて、1 つまたは 2 つのブレークダウンと要素を選択し、指定したブレークダウン要素値を含むレコードのみにレコードを制限します。
クエリ	[フィルタ条件] を設定します。指定した重み付けは、フィルタ条件と一致するファクト テーブルのすべてのレコードに割り当てられます。スポットライト グループのメイン インジケーターのファクト テーブルは自動的に選択されます。

4. [送信] をクリックします。

タスクの結果
スポットライト グループの基準を使用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: 3 つの基準が含まれるスポットライト グループ

インジケーターを参照する次の 3 つの基準すべてが含まれるスポットライト グループを検討します。

- 30 日間更新されないオープン インシデントで、重み付けが 1000 である。
- 再割り当て> 3 回、重み付け 800
- 説明が空、重み付けが 300 である

この例では、4 回再アサインされ、[Description] フィールドが空のオープンインシデントの合計スコアは 1100 です。このインシデントは、合計スコアが 1000 である 30 日間更新されていないインシデントよりも優先されます。

次のタスク
手順を繰り返して、必要な数の基準を作成します。次にスコアを収集します。「スポットライト スコアの収集」を参照してください。

スポットライト スコアの収集

スポットライト スコアを収集するには、スコアの収集をスケジュールし、スポットライト グループを有効にします。また、アクティブなスポットライト グループのスコアを手動で収集することもできます。

始める前に

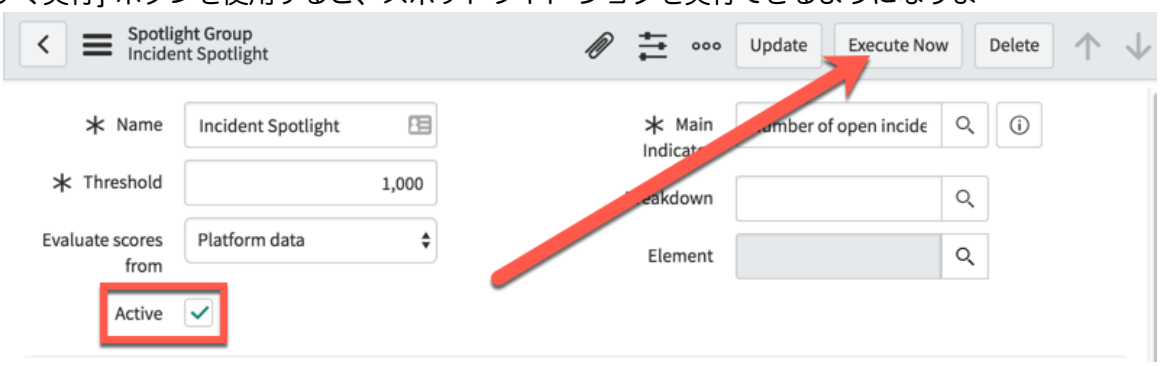
1. スポットライト グループの作成
2. スポットライト条件の作成

必要なロール：pa_spotlight または admin

このタスクについて
スポットライトがスコアを収集する場合、スポットライトは、例外なく関連するスポットライト グループの古いスポットライト レコードもすべて削除します。

手順

1. スコアを収集するスコア グループを開きます。
2. まだ選択されていない場合は、チェックボックスで [有効] を選択し、スポットライト グループ フォームを保存します。
   デフォルトでは、新しいスポットライト グループは有効です。
   [今すぐ実行] ボタンを使用すると、スポットライト ジョブを実行できるようになりま



す。

3. スコアをすぐに収集するには、[今すぐ実行] をクリックします。
4. [スケジュール] セクションに移動し、[実行] フィールドでスポットライト スコアを収集する頻度を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. スポットライト スコアを収集するタイミングの具体的な情報を入力します。
必要な情報は、[実行] フィールドで選択した期間に応じて異なります。たとえば、[日次] を選択した場合は、実行する日時を入力する必要があります。[月次] を選択した場合は、実行する月の日付と時刻を入力する必要があります。
6. ドメイン分離を使用している場合は、[実行方法] フィールドでユーザーを指定します。

   実行ユーザーを指定しない場合、スコアはグローバル ドメインに対して評価されます。この場合、スポットライトスコアリングはすべてのドメインの一致するすべてのレコードに対して実行されます。

   詳細については、「スポットライトによるドメイン分離」を参照してください。

タスクの結果

スポットライトでは、設定したスケジュールに従ってスコアの収集が開始されます。また、[今すぐ実行] をクリックすると、スコアをいつでも手動で収集することができます。スケジュールのトラブルシューティングが必要な管理者は、「スポットライトのスケジュール [sys_trigger] レコード」を参照してください。

次のタスク

スポットライト スコアに寄与する基準の詳細を確認できます。詳細については、「スポットライト スコアの詳細の確認」を参照してください。また、結果のインタラクティブな分析を確認および共有することもできます。

スポットライト スコアの詳細の確認

スポットライト スコアに寄与した重み付けの基準を確認するには、スポットライト レコードの詳細を確認します。

始める前に

必要なロール：pa_spotlight または admin

手順

1. 移動先 すべて > スポットライト > スポットライト または、スポットライトグループレコードのスポットライト 関連リストを表示します。
2. 目的のスポットライトを見つけて、情報アイコン をクリックします。
3. [レコードを開く] をクリックします。

タスクの結果

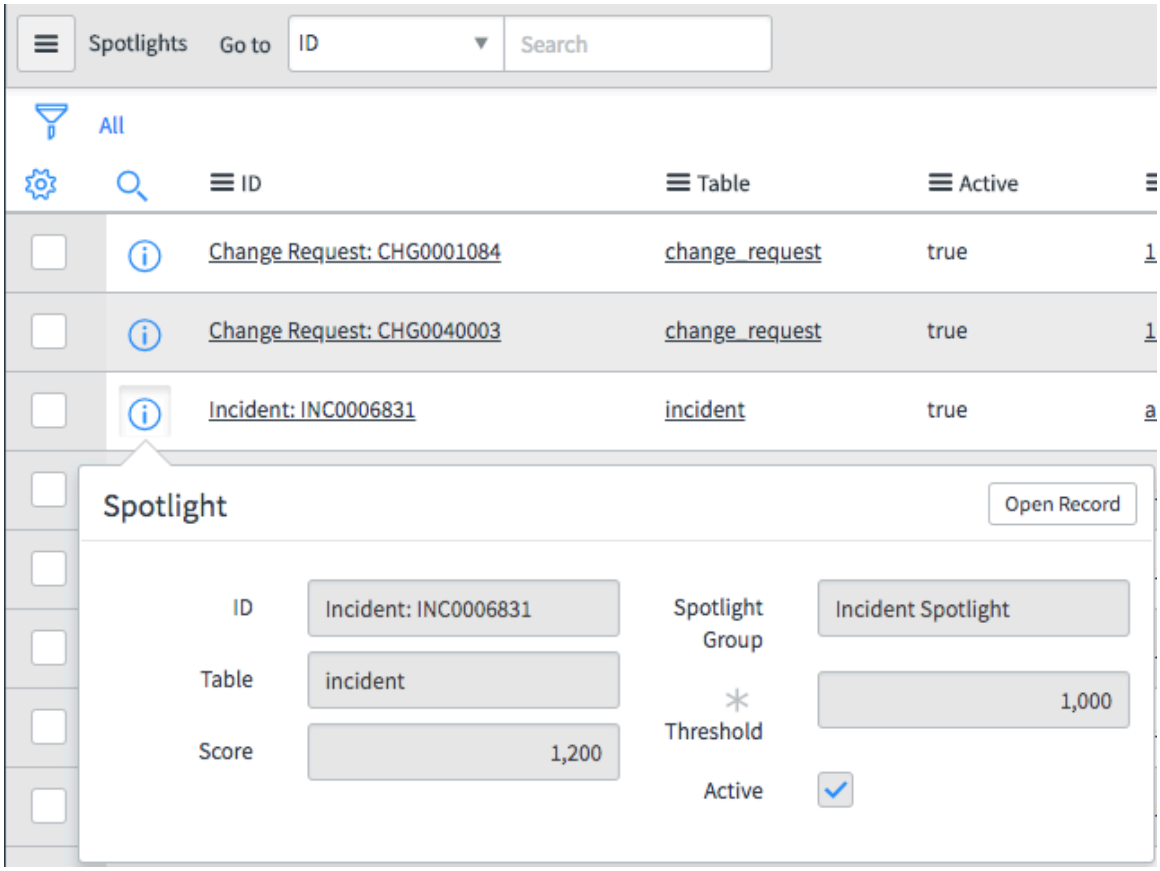
スポットライト レコードが開きます。スポットライト監査関連リストでは、レコードが一致したスポットライト基準と、合計スコアに対する各基準の寄与を確認できます。

Example: 合計スコアに寄与するスポットライト条件

しきい値 1,000 に対するスポットライト スコアが 1,200 のインシデント INC0006831 のスポットライト レコードを検討します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

選択したレコードのスポットライト リスト



スポットライト レコードを開くと、合計スコアに寄与する次の条件の重み付けが表示されます。

条件	重み付け
30 日間更新されていないオープン インシデント	1,000 日
28 日間より古いインシデント	25
7 日間より古いインシデント	25
5 日間更新されていないオープン インシデント	100
14 日間より古いインシデント	25
90 日間より古いインシデント	25
合計スコア：	1,200

スポットライト インタラクティブ分析

スポットライト インタラクティブ分析は、スポットライト ジョブの重要な結果を示します。スポットライトグループレコードから分析にアクセスします。

スポットライト インタラクティブ分析を開くには、対象のグループのスポットライト グループ レコードを開き、[インタラクティブ分析の起動] 関連リンクをクリックします。pa_spotlight または admin ロールが必要です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
インタラクティブ分析では、スポットライト データベース ビューを使用します。グループを作成すると、スポットライトは各スポットライト グループのデータベース ビューを作成します。データベースビューがない場合は、警告が表示されます。pa_spotlight ロールまたは admin ロールを持っている場合は、データベースビューを生成するためのリンクも表示されます。詳細については、「スポットライト データベース ビュー」を参照してください。

インシデント以外のテーブルでインタラクティブ分析を使用するには、 、完全に有効なサブスクリプション バージョンが必要です パフォーマンスアナリティクス。「 Performance Analytics サブスクリプションのアクティブ化」を参照してください。

インタラクティブ分析 Interactive Analysis には、次の情報が含まれています。

- スポットライト レコードの数。また、この値は、スポットライト グループのしきい値を超えた対応するファクト テーブル レコードの数でもあります。
- スポットライトしきい値を超えた未アサインのファクトテーブルレコードの数。これらのレコードの [アサイン先] 列には何の値もありません。
- スポットライト テーブルとメイン インジケーターのファクト テーブルを結合するデータベース ビュー。このビューの各行には、スポットライト レコードの列と対応するファクト テーブル レコードが表示されます。

  注:
  - ユーザーがこのテーブルの値を表示できない場合は、itil ロールを使用していることを確認します。
  - ドメイン分離が有効な場合、ユーザーは、ドメインに含まれる対応するファクト テーブル レコードのスポットライト レコードのみを表示できます。
  - このデータベース ビューをデータソースとして使用すると、レポートを作成できます。これらのレポートをダッシュボードに含めることができます。各分析およびレポートスポットライトソリューションには、このようなダッシュボードとレポートが含まれています。

  詳細については、「スポットライト データベース ビュー」を参照してください。

インタラクティブなフィルタを分析に適用できます。一致する列を含むファクト テーブルでは、次のフィルタが使用できます。

- ファクト テーブル レコードの [優先度] (タスクのみ)
- レコードが [オープン] である場合
- レコードの [経過時間]
- [アサイン先グループ] (タスクのみ)
- レコードの [状態]

これらのフィルタの追加または削除については、およびインタラクティブ分析からのフィルタの削除を参照してくださいインタラクティブ分析へのフィルタの追加。

注:
スポットライト インタラクティブ分析用のインタラクティブ フィルタを作成する場合は、関連するスポットライト データベース ビューの上部にフィルタを作成する必要があります。データベース ビューにアクセスするには、admin ロールが必要です。このロールを持っていない場合は、システム管理者に連絡してください。

インタラクティブ分析を共有するには、フィルタ情報から URL を共有します。インタラクティブ分析を共有するユーザーには、pa_spotlight_viewer ロールが必要です。フィルタ情報の詳細については、「インタラクティブ分析情報パネル」を参照してください。

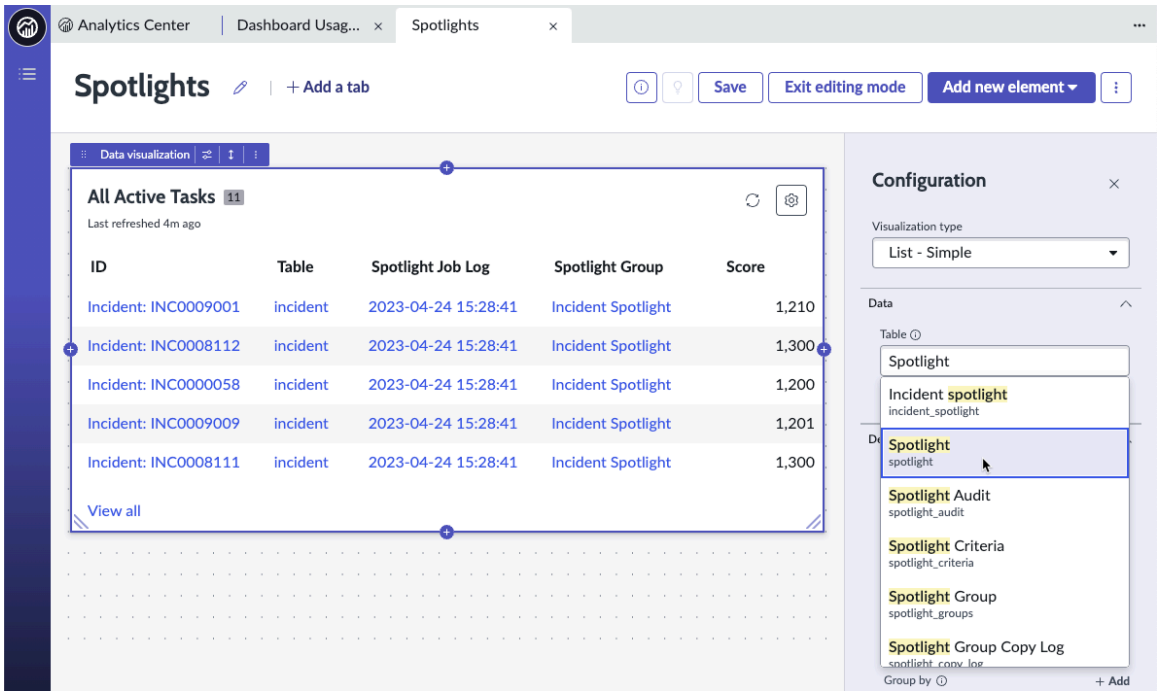
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

構成可能なワークスペースダッシュボードのスポットライト

スポットライトを一覧表示し、構成可能なワークスペースのダッシュボードに表示できます。

構成可能なワークスペースにスポットライトを表示するには、インラインエディターでダッシュボードを作成します。スポットライト [spotlight] テーブルのレコードを表示するリストをダッシュボードに追加します。



関連情報

プラットフォームアナリティクス ダッシュボード

での簡易リストの作成 可視化デザイナー

スポットライトジョブログ

スポットライト ジョブの手順はログに記録されます。このログを使用して問題をデバッグします。

pa_spotlight または admin ロールを持つユーザーは、スポットライト ジョブ ログを読み取りおよび削除できます。

ログには次の場所にリストされます。

- 時間： スポットライト > スポットライトログ。
- 関連するスポットライト グループ レコードのスポットライト ジョブ ログ関連リストとして。

スポットライト グループ フォームではなく、同じスポットライト ジョブ ログ リストは両方の場所で開き、リストはこのスポットライト グループによってフィルタリングされます。

スポットライト ジョブをデバッグするには、リストからジョブ ログを開き、ジョブ ログの行フィールドを調査します。

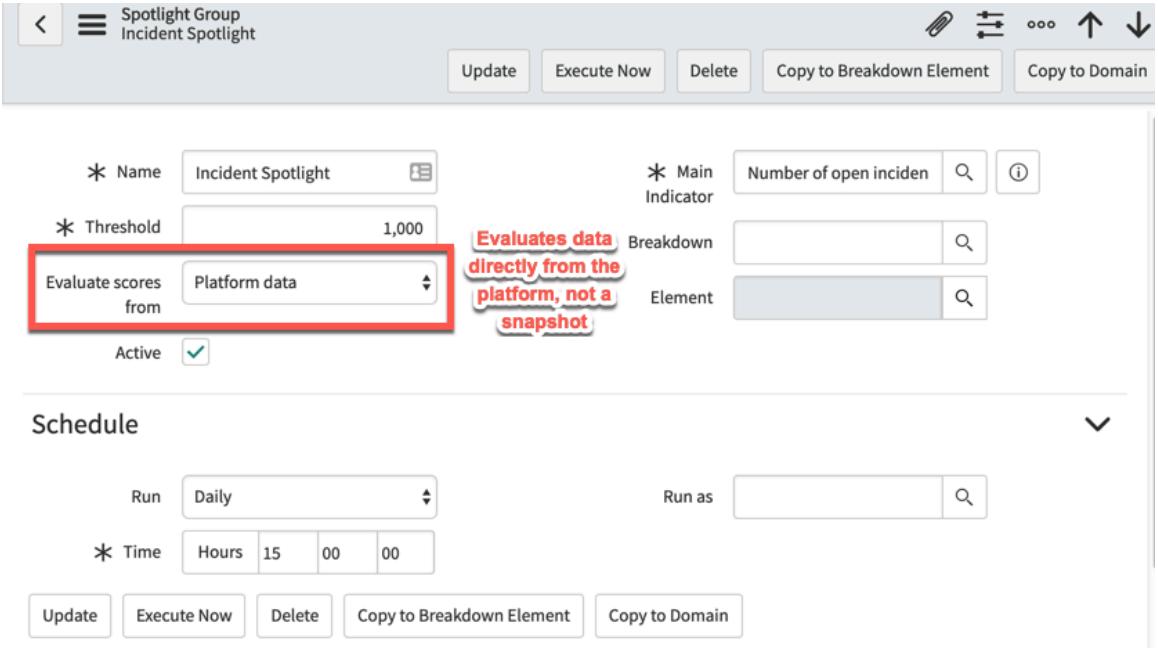
Example: スポットライト ジョブのデバッグ

インシデント [incident] テーブルのリアルタイム データを評価するインシデント スポットライト グループを考えてみましょう。このテーブルは、[オープンインシデントの数] インジケーターのインジケーターソースが使用するテーブルです。ス

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

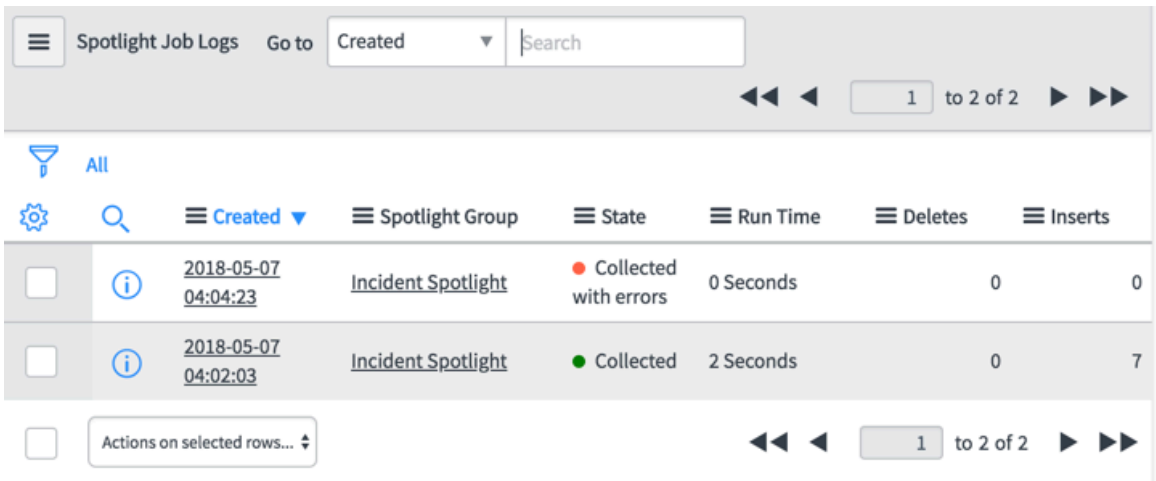
ポットライト ジョブは、このスポットライト グループで毎日 15:00 に実行されま



す。

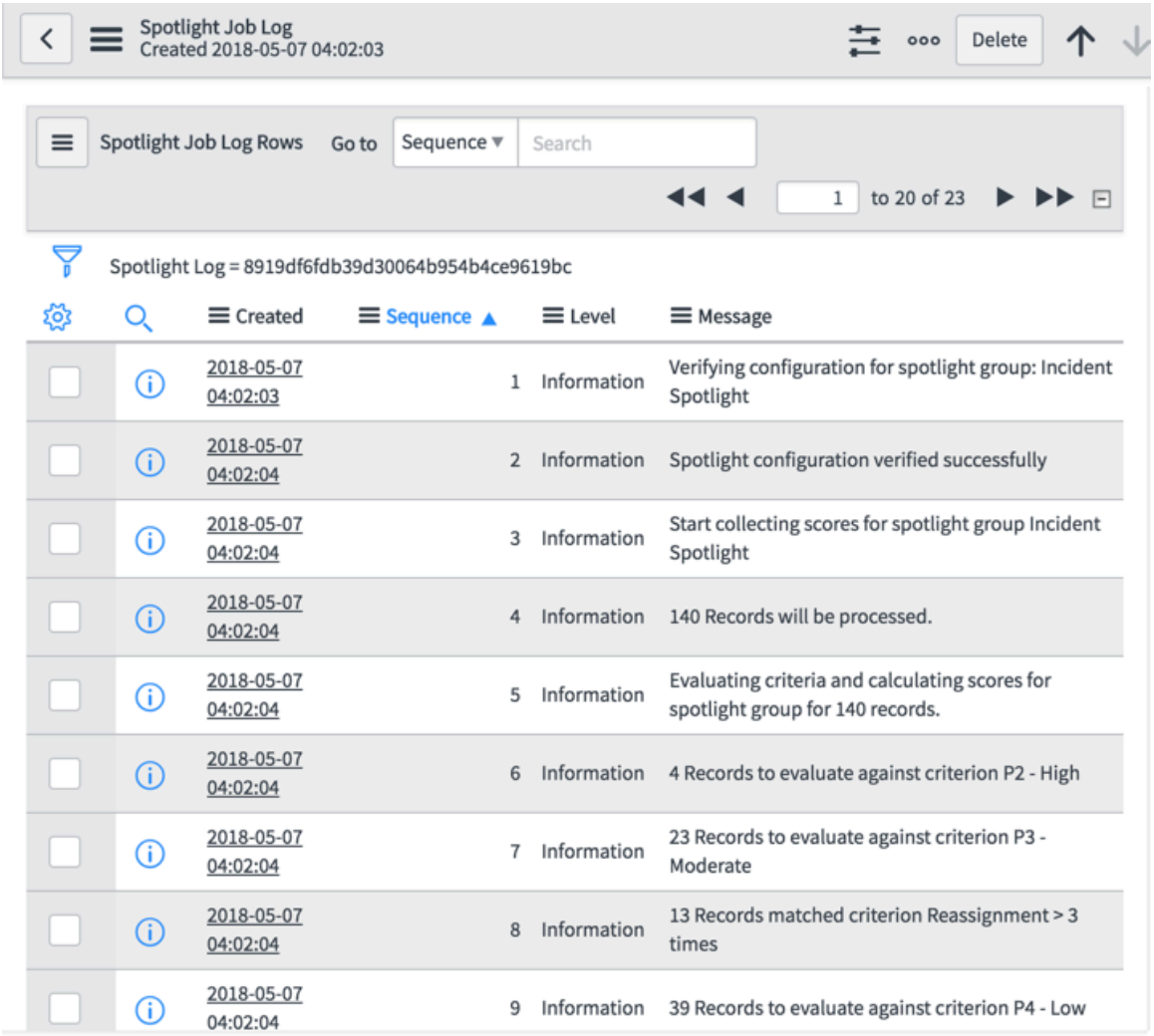
このグループのスポットライト ジョブは、最新のジョブがエラーで完了したスポットライト ジョブ ログの次のリストを生成します。

スポットライトジョブログ

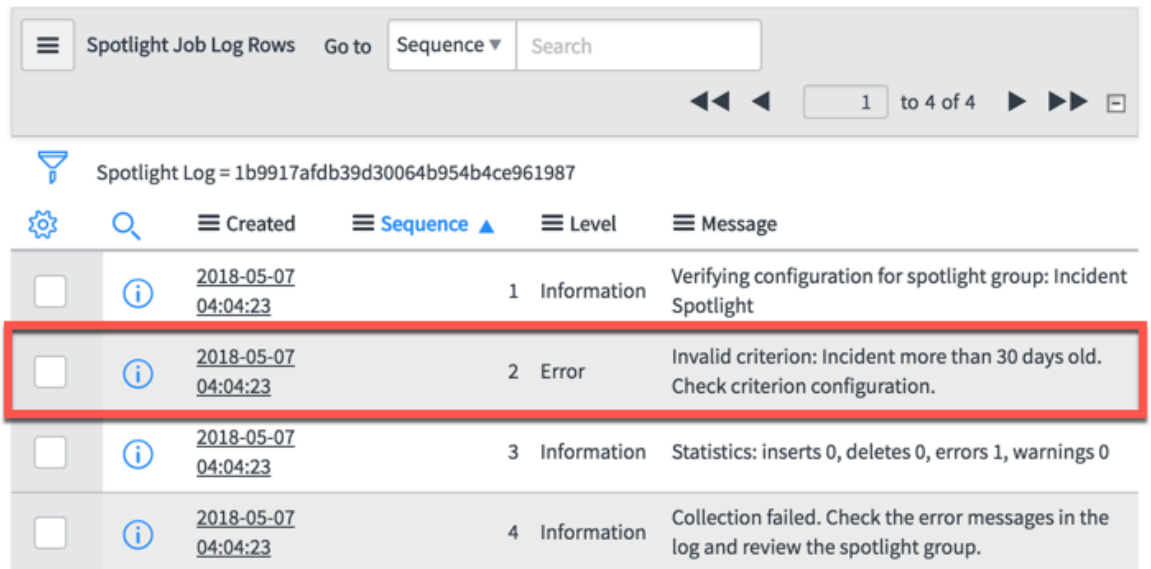


04:02:03 ジョブのタイムスタンプをクリックすると、情報メッセージのみを含む成功したジョブが表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



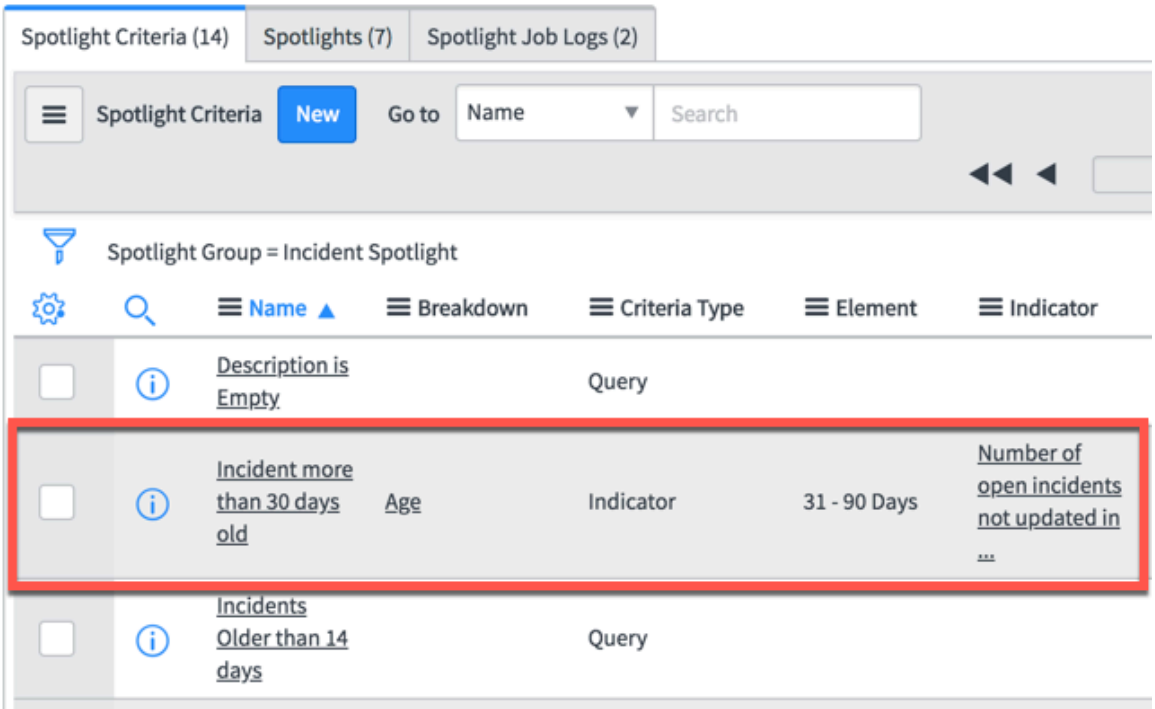
リストに戻り、エラーが発生したジョブのログを開くと、スポットライト基準 **[30** 日間より古いインシデント] は無効であることがわかります。



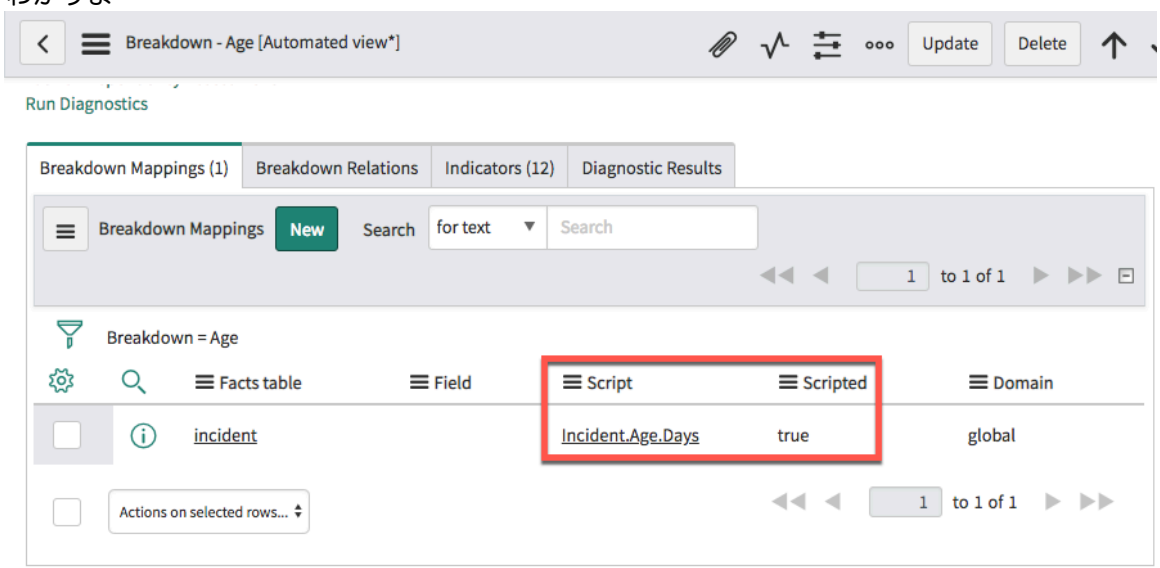
スポットライト基準に移動すると、**[30** 日間より古いインシデント] が経過時間ブレークダウンを使用するインジケーターベースの基準であることがわかります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳



経過時間ブレークダウンを表示すると、ブレークダウンマッピングでスクリプトが使用されていることがわかりま



す。

上部に示すように、インシデント スポットライト グループはリアルタイム データを評価します。したがって、グループはスクリプト化されたブレークダウンを使用する基準をサポートできません。エラーのないジョブを実行するには、この基準を、インジケーターとブレークダウンの代わりにクエリを使用する基準に置き換えます。たとえば、次の条件でインシデント [incident] テーブルをクエリする基準を作成します。

- [[オープン済み][相対][は次の値以前][30][日間][前]]
- [[オープン][相対][次の値以後][90][日間][前]]

詳細については、「スポットライト条件の作成」を参照してください。

スポットライトによるドメイン分離

ドメイン分離を有効にしている場合、スポットライトはスポットライトジョブ中にドメイン分離を適用します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

スポットライトグループのドメイン

スポットライト グループを作成すると、グループの作成時にログインしているユーザーのドメインにスポットライト グループが作成されます。たとえば、ACME 製品ドメインのユーザーがスポットライト グループを作成すると、そのグループは ACME 製品ドメインに作成されます。どのドメインのメンバーでもないユーザーとしてスポットライト グループを作成した場合、そのスポットライト グループはグローバル ドメインにあります。

ドメイン分離の定義 Now Platform® に従って、スポットライト グループを他のドメインにコピーすることができます。

セッションドメインとスポットライトグループドメイン

スポットライト グループのドメインとは異なるドメインにログインしている場合、そのスポットライト グループ レコードを編集することはできません。この場合、スポットライト グループは別のドメインにのみコピーできます。

スポットライト条件ドメイン

- グローバル スポットライト グループのスポットライト条件を作成すると、条件はログイン ユーザーのドメインに作成されます。
- 特定のドメイン内のスポットライト グループにスポットライト条件を作成すると、スポットライト条件がそのドメインに作成されます。

スポットライト条件を作成すると、メッセージによってドメインの状況が通知されます。

ドメイン分離によるスコアの評価

スポットライト グループがプラットフォーム データを評価する場合、メイン インジケーターとすべての条件が 、実行 ユーザーのドメインとドメインの可視性に従ってクエリされます。スポットライト グループがスナップショットのレコードを評価する場合、メイン インジケーターおよびインジケーター ベースの条件は、実行ユーザー ドメイン専用に収集されたスナップショットを使用しますパフォーマンスアナリティクス。この場合、 実行 ユーザーのドメインの可視性はインジケーターに適用されません。(クエリベースの条件では、スポットライト グループがスナップショットを評価するように設定されている場合でも、常にプラットフォーム データが評価されます。したがって、クエリベースの条件は、常に 実行 ユーザーのドメインとドメインの可視性の両方に従います)。

注:
各インジケーターのスナップショットは、スナップショットを作成するデータ収集ジョブの パフォーマンスアナリティクス ドメイン構成によって異なる場合があります。

関連情報

- スポットライト グループの作成
- スナップショットまたはプラットフォームデータの評価
- スポットライト グループをドメインにコピーする
- ドメイン分離と パフォーマンスアナリティクス

スポットライト グループをドメインにコピーする

スポットライト グループを他のドメインにコピーして、ドメインごとにグループを手動で再現する手間を省くことができます。

始める前に
コピーするスポットライト グループの構成を完了します。
必要なロール:admin、pa_spotlight_copy_domain

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
スポットライト グループを初めて作成すると、ログインしているドメインにスポットライト グループが作成されます。他のドメインに同一のスポットライト グループを作成するには、コピー機能を使用します。コピー機能は、 Now Platform ドメイン分離に従います。

手順

1. スポットライト グループ リストからスポットライト グループ レコードを見つけて開きます。
2. [**Copy to Domain**] をクリックします。
3. 「スポットライト・グループのコピー」ダイアログで、「 名前設定」の値を選択します。
4. [スポットライト グループのコピー] ダイアログの残りのフィールドに次のように入力します。

フィールド	説明
新しい名前	作成しているスポットライト グループ コピーの名前を表示する編集可能なフィールド。このフィールドは、[名前設定] で [名前を変更しない] 以外の値を選択した場合に表示されます。[**Add domain name to new name as prefix**] または [Add **domain name to new name as suffix**] を選択しない限り、すべてのコピーは同じ名前になります。ドメイン名の接頭辞または接尾辞は、このフィールドには表示されません。
ドメイン	任意の数のドメインを選択します。選択肢には、親ドメインとすべてのサブドメインが含まれます。選択したドメインごとにスポットライト グループのコピーが作成されます。

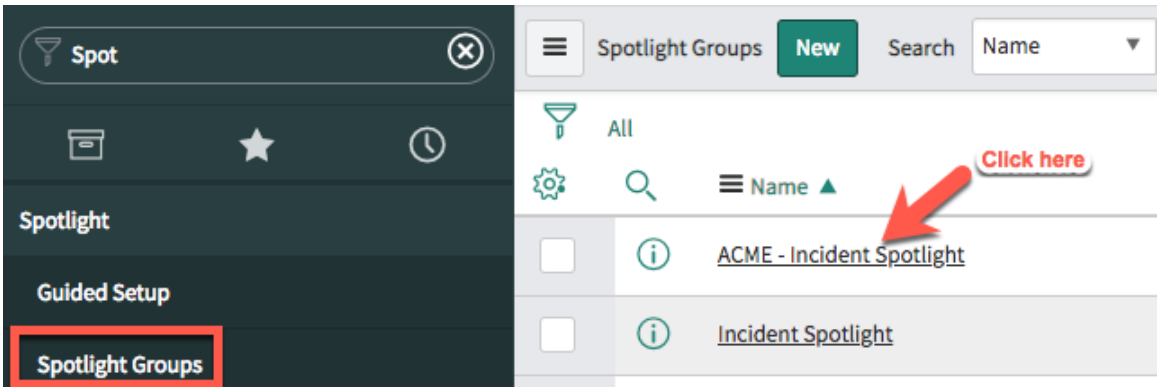
5. **[OK]** をクリックします。
スポットライト グループがコピーされます。コピーが成功すると、作成したスポットライト グループの一覧が開きます。コピー処理中にエラー・メッセージまたは警告が表示された場合は、「スポットライトグループコピーログ」をお読みください。
6. 作成したスポットライト グループをそれぞれ開き、次の手順を実行します。
   a. 実行ユーザーがスポットライト グループのドメインにアクセスできることを確認し、必要に応じてこのユーザーを変更します。
   b. スポットライト ジョブのスケジュールを確認し、必要に応じて調整します。
   c. スポットライト グループを有効にします。

Example: スポットライト グループを複数のドメインにコピーする

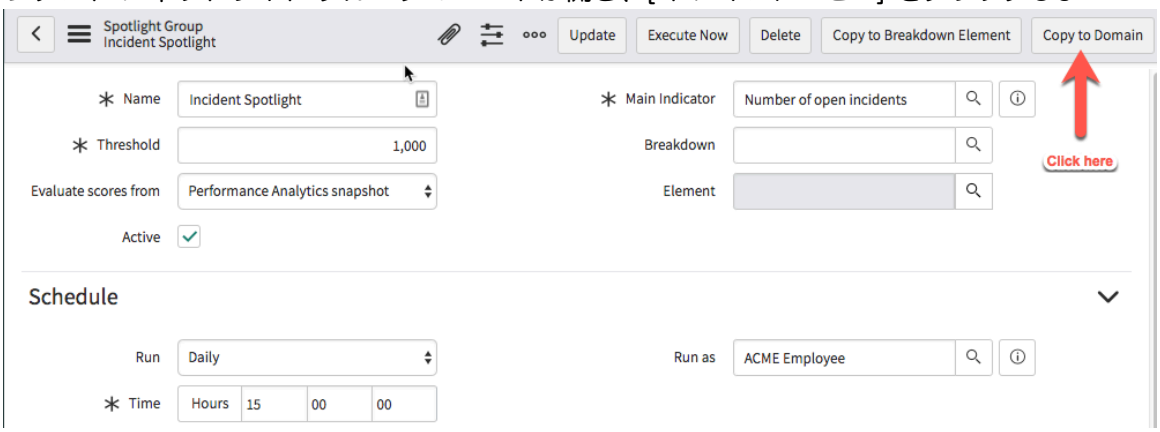
この例では、ACME ドメインで作成された ACME - インシデント スポットライト グループが、ACME 社の製品部門のサブドメインにコピーされます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

1. スポットライトグループリストを開き、[**ACME -** インシデントスポットライト] をクリックします。



2. インシデント スポットライト グループ レコードが開き、[ドメインにコピー] をクリックします。

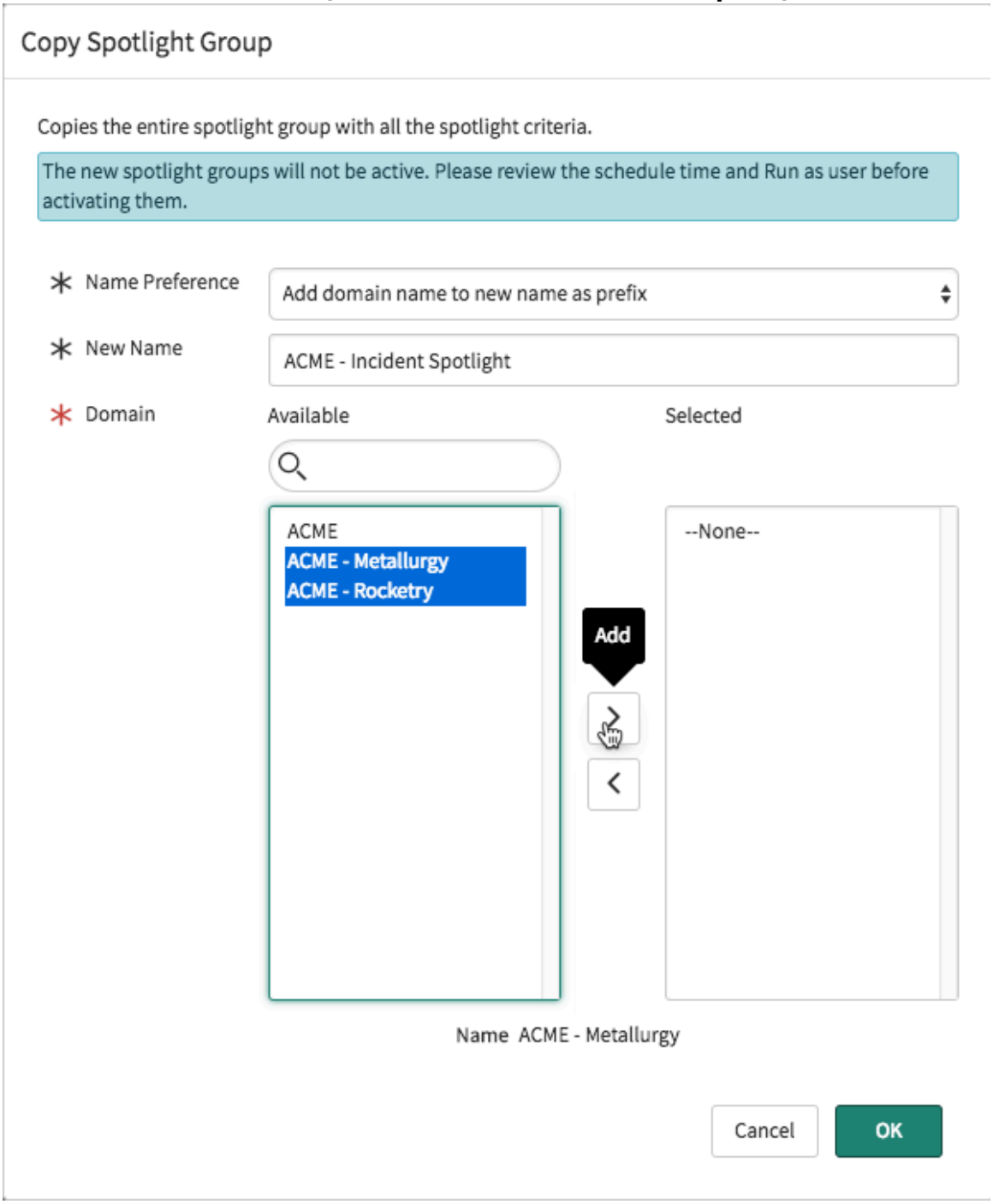


3. 「 スポットライト・グループのコピー 」ダイアログで、「ACME - 冶金」および「ACME - Rocketry」サブドメインを選択します。元のスポットライト グループは ACME ドメインで作成されているため、ACME と ACME サブドメインのみを使用できます。グループ名の

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

先頭にドメイン名を表示するため、[Add **domain name to new name as prefix**] も選択しま

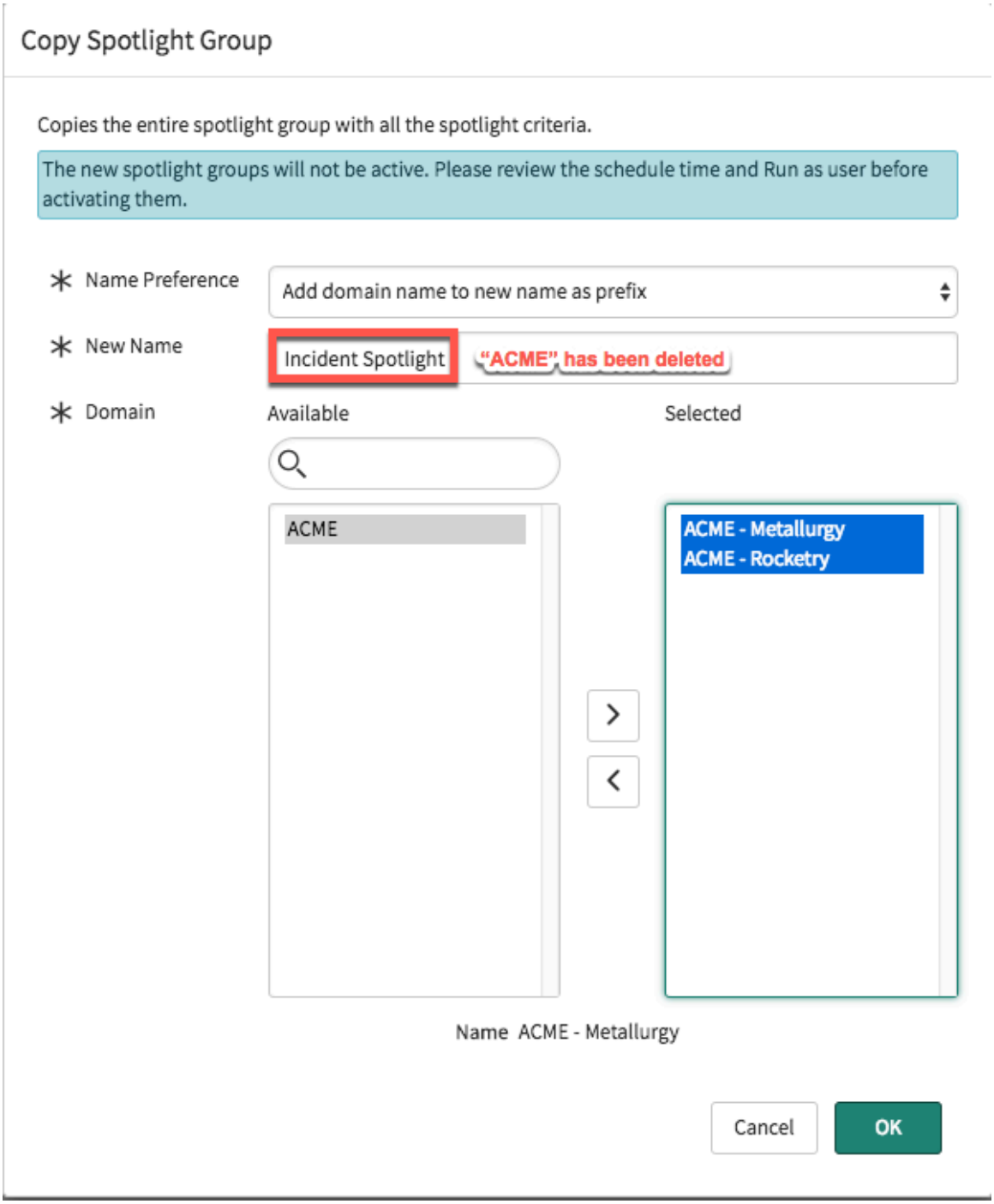


す。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. プレフィックスとして追加されるドメイン名は ACME で始まるため、グループの基本名に ACME を含める必要はありません。したがって、削除します。

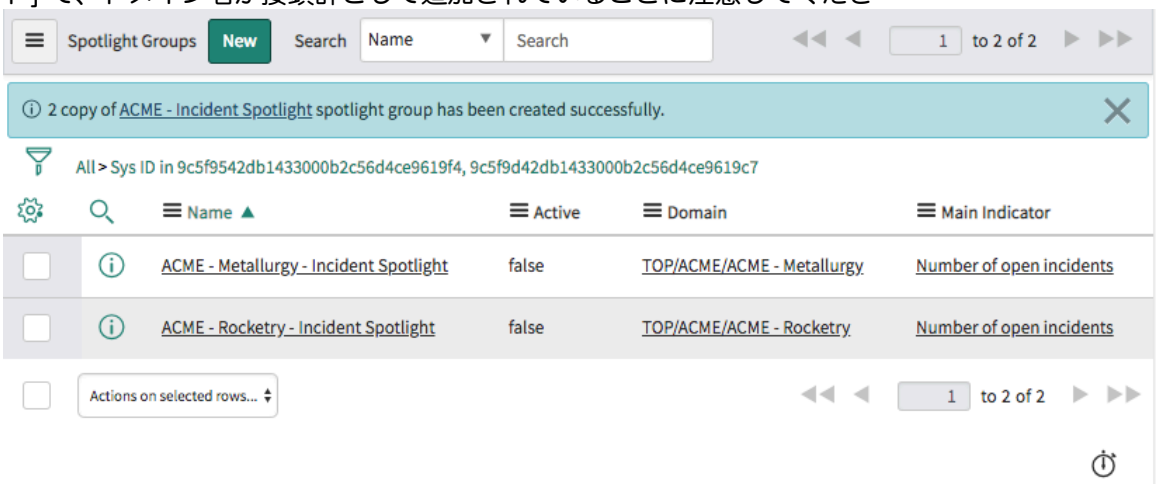


5. [**OK]** をクリックすると、作成したスポットライト グループを示す一覧が表示されます。どちらにも、[スポットライト グループのコピー] ダイアログの [新しい名前] フィールドに表示されるように、ベース名が [インシデント スポット

自動翻訳

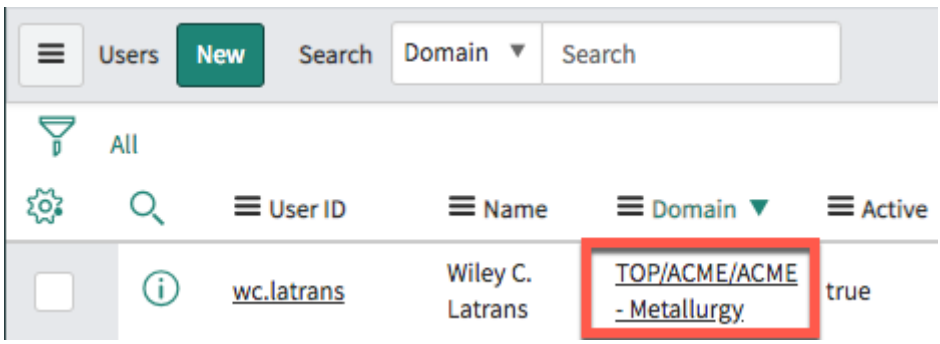
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ライト] で、ドメイン名が接頭辞として追加されていることに注意してくださ

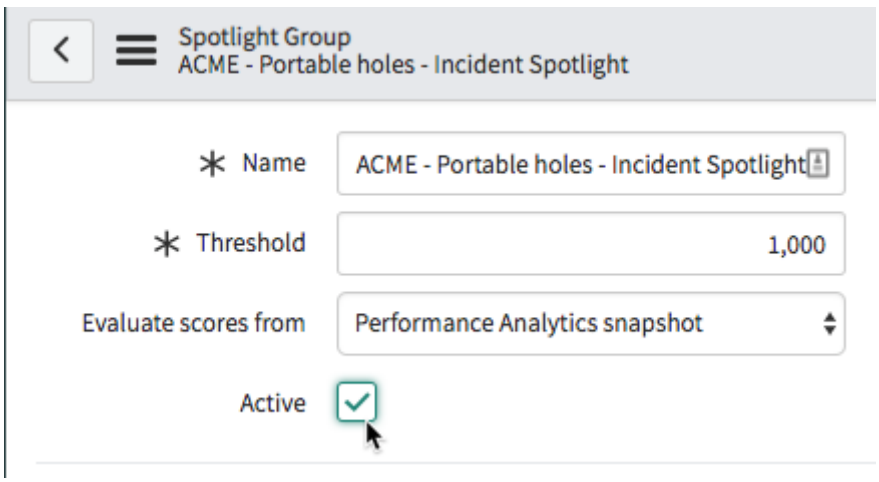


い。

6. [実行方法] フィールドで、ACME - 冶金ドメインのユーザーを参照し、[Wiley C. Latrans] を選択します。グローバルユーザーとスポットライト グループのドメイン内のユーザーのみが利用可能です。スポットライト ジョブは、スポットライト グループと同じドメイン内の 実行 ユーザーを使用すると、このドメインに表示されるレコードのみが評価されるため、より効率的に実行されます。



7. スポットライト ジョブの実行スケジュールを確認し、スポットライト グループを有効にします。



8. ACME - Rocketry - インシデント スポットライト グループのスケジュールを確認し、グループをアクティブ化します。

次のタスク
コピー処理中にエラー・メッセージまたは警告が表示された場合は、「 スポットライトグループコピーログ」をお読みください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ブレークダウン要素へのスポットライト グループのコピー

スポットライト グループは、1 つのブレークダウンの複数の要素にわたってコピーできます。

始める前に

コピーするスポットライト グループの構成を完了します。
必要なロール:admin、pa_spotlight、pa_spotlight_copy_breakdown

このタスクについて

スポットライト グループを最初に作成するときは、1 つのブレークダウンの最大 1 つの要素に関連付けることができます。ブレークダウンの複数の要素に対して同一のスポットライト グループを作成するには、コピー機能を使用します。たとえば、 国 ブレークダウンの複数の要素に同じスポットライト グループ構成を使用する場合は、1 つの国のスポットライト グループを作成し、それを他の国にコピーします。

手順

1. スポットライト グループ リストからスポットライト グループ レコードを見つけて開きます。
2. [ブレークダウン要素にコピー] をクリックします。
3. 「スポットライト・グループのコピー」ダイアログで、「 名前設定」の値を選択します。
4. [スポットライトグループをコピー] ダイアログの残りのフィールドに入力します。

フィールド	説明
新しい名前	作成しているスポットライト グループ コピーの名前を表示する編集可能なフィールド。このフィールドは、[名前設定] で [名前を変更しない] 以外の値を選択した場合に表示されます。「接 頭辞として新しい名前に要素名を追加 」または「接 尾辞として新しい名前に要素名を追加」を選択しない限り、すべてのコピーは同じ名前になります。要素名の接頭辞または接尾辞は、このフィールドには表示されません。
ブレークダウン	元のスポットライト グループの作成時にブレークダウンを指定した場合は、このフィールドにブレークダウン名が表示されます。それ以外の場合は、ブレークダウンを選択します。メインインジケーターに関連付けられているブレークダウンのみが利用可能です。
要素	指定したブレークダウンの要素をいくつでも選択します。選択した要素ごとにスポットライト グループのコピーが作成されます。

5. **[OK]** をクリックします。
   スポットライト グループがコピーされます。コピーが成功すると、作成した新しいスポットライト グループの一覧が開きます。コピー処理中にエラー・メッセージまたは警告が表示された場合は、「 スポットライトグループコピーログ」をお読みください。
6. 作成した各スポットライト グループを開き、次の手順を実行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

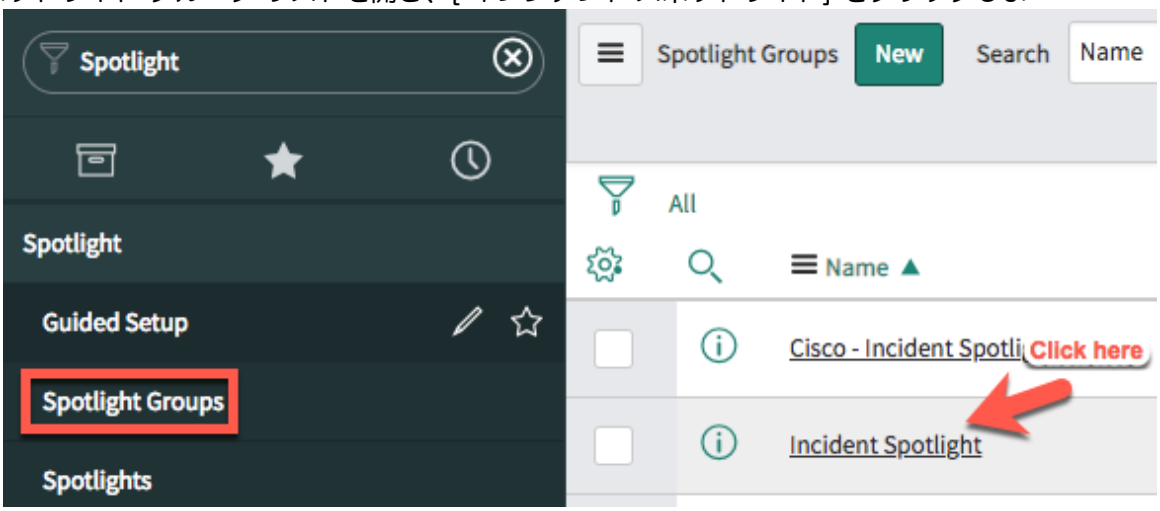
a. スポットライト ジョブのスケジュールを確認し、必要に応じて調整します。

b. スポットライト グループを有効にします。

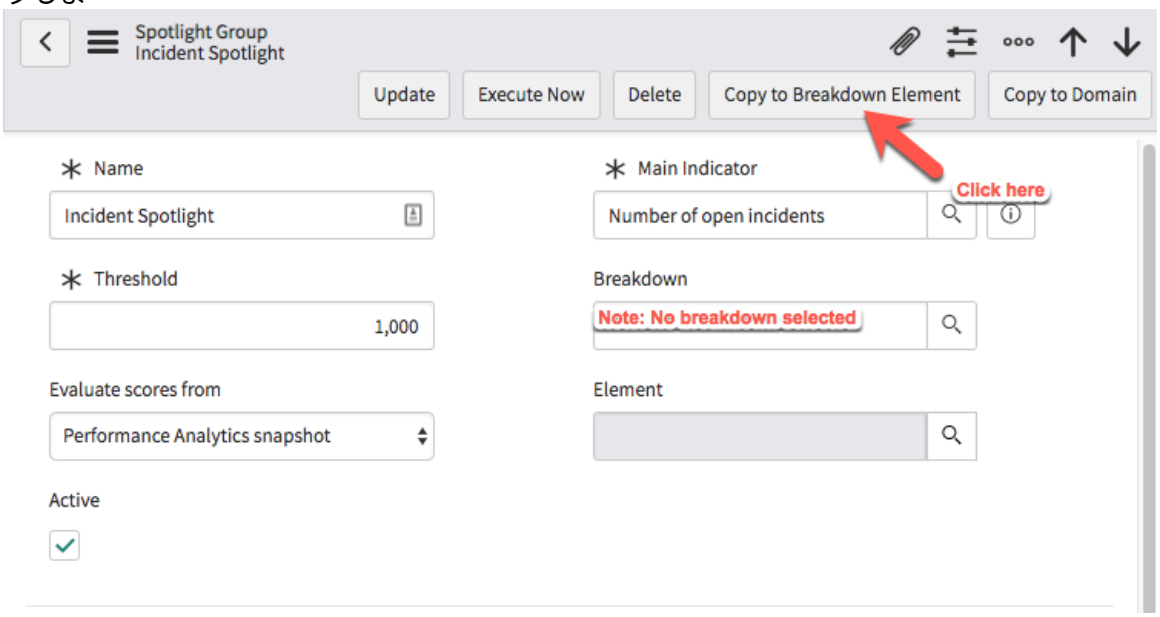
Example: 複数のブレークダウン要素のスポットライト グループをコピーする

この例では、ブレークダウン要素 [カテゴリ:ハードウェア] と [カテゴリ:ソフトウェア] の [インシデント スポットライト] グループをコピーします。

1. スポットライト グループ リストを開き、[インシデント スポットライト] をクリックします。



2. インシデント スポットライト グループ レコードが開き、[ブレークダウン要素にコピー] をクリックします。

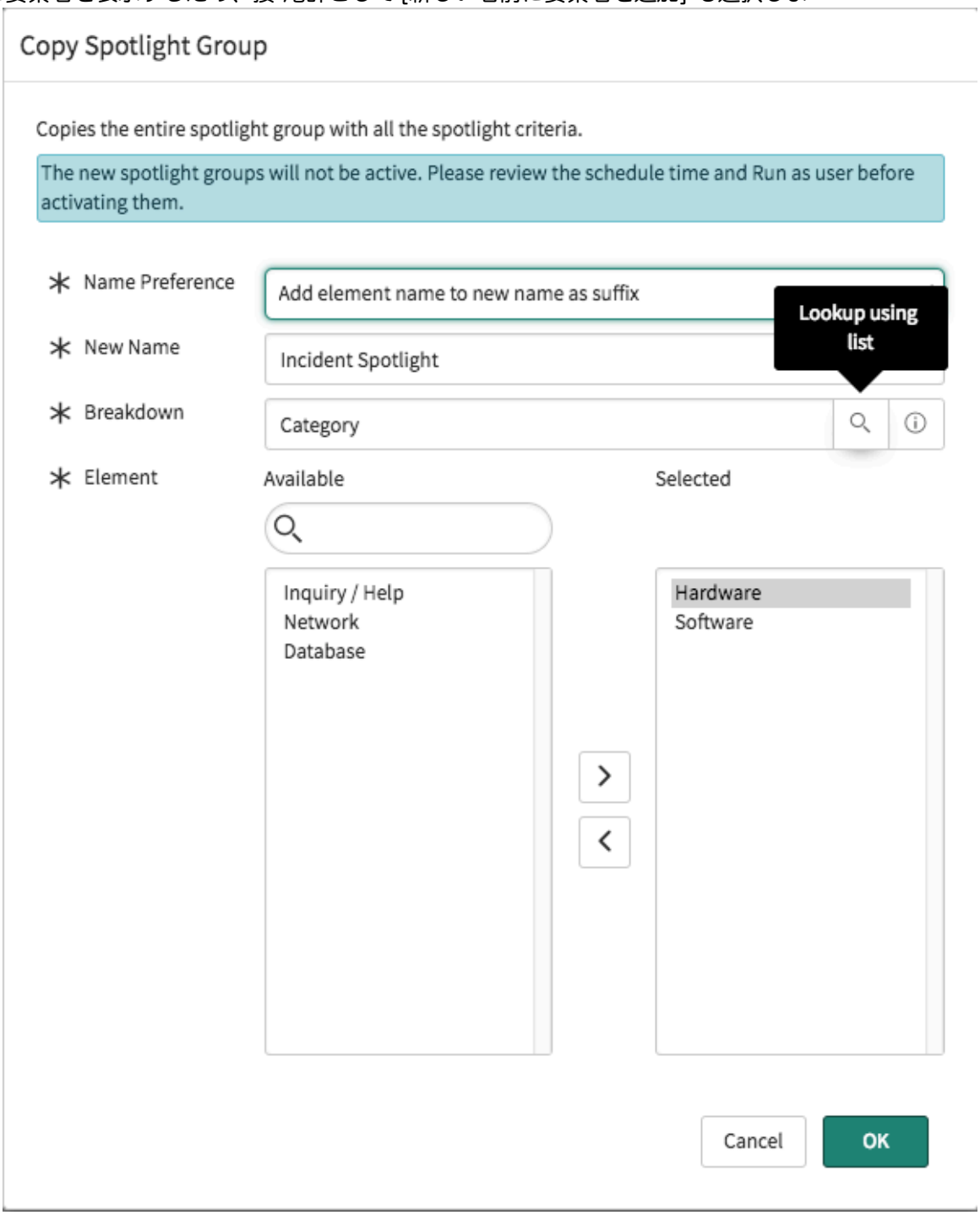


3. [スポットライト グループのコピー] ダイアログで、[カテゴリ] ブレークダウンを指定し、[ハードウェア] 要素と [ソフトウェア] 要素を選択します。グループ名の末

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

尾に要素名を表示するため、接 尾辞として [新しい名前に要素名を追加] も選択しま



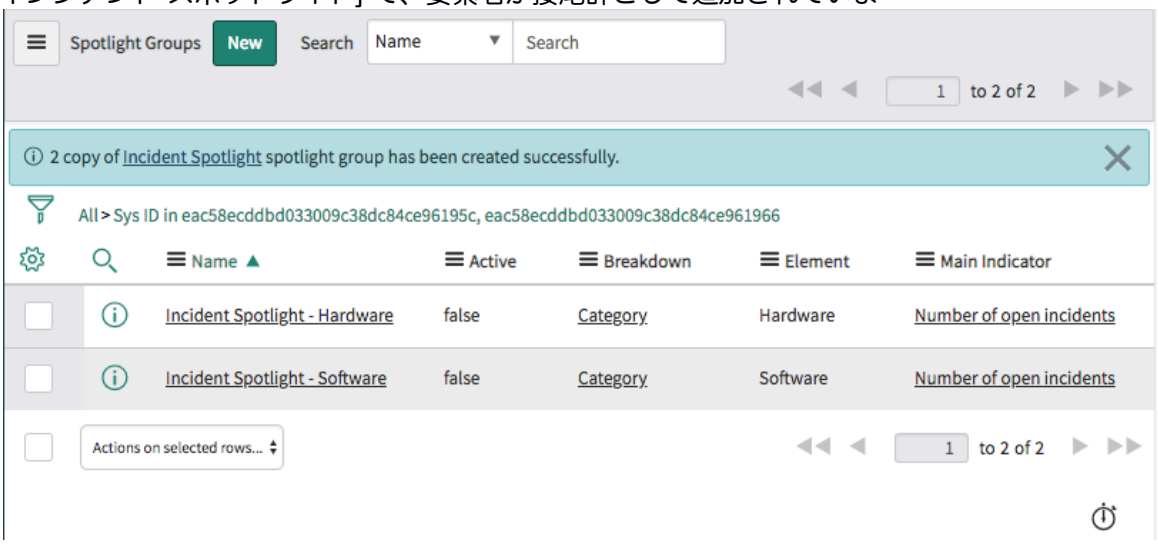
す。

4. [**OK]** をクリックすると、作成したスポットライト グループを示す一覧が表示されます。どちらのスポットライト グループにも、[スポットライト グループのコピー] ダイアログの [新しい名前] フィールドに表示されるように、基本名

自動翻訳

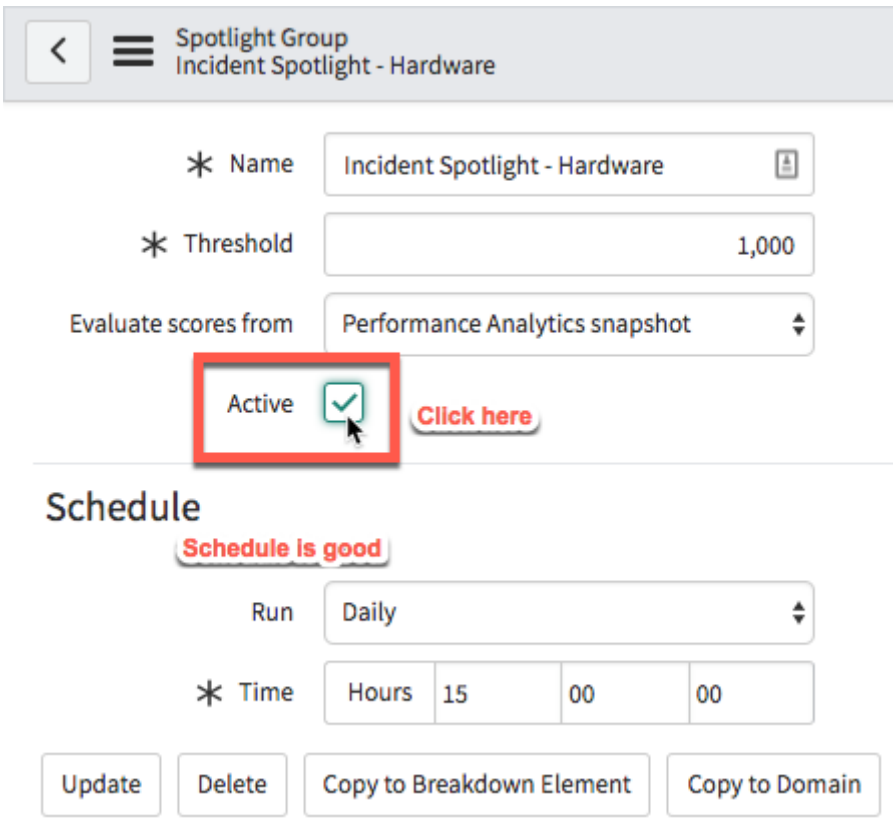
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

は [インシデント スポットライト] で、要素名が接尾辞として追加されていま



す。

5. [インシデント スポットライト - ハードウェア] グループを開きます。ここでは、スポットライト ジョブ スケジュールが適切であることを確認し、グループをアクティブにします。



6. インシデント スポットライト - ソフトウェア グループのスケジュールを確認し、グループをアクティブ化します。

次のタスク

コピー処理中にエラー・メッセージまたは警告が表示された場合は、「 スポットライトグループコピーログ」をお読みください。

スポットライトグループコピーログ

スポットライト グループをコピーすると、コピー処理の手順がログに記録されます。このログを使用して問題をデバッグします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

pa_spotlight または admin ロールを持つユーザーは、スポットライト ジョブ ログを読み取りおよび削除できます。

ログには次の場所にリストされます。

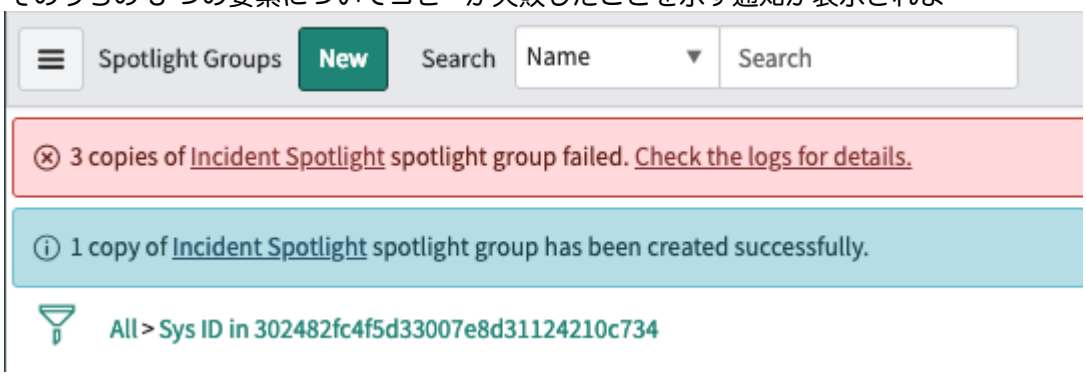
- 時間： スポットライト > スポットライトグループコピーログ。
- 関連するスポットライトグループレコードのスポットライトグループコピーログ関連リストとして。

両方の場所で同じスポットライト グループ コピー ログ リストが開きますが、スポットライト グループ フォームでは、リストはそのスポットライト グループでフィルタリングされます。

スポットライト グループ コピー ジョブをデバッグするには、リストからグループ コピー ログを開き、ログ行フィールドを調べます。また、コピージョブの最後に表示される通知からグループコピーログを開くこともできます。

Example: エラーが発生したグループコピーログ

この例では、[アサイン先グループ] ブレークダウン要素 [データベース]、[フィールドサービス]、[ハードウェア]、および [米国大統領グループ 1] の [インシデント スポットライト] グループがコピーされています。ただし、コピー ジョブが完了すると、そのうちの 3 つの要素についてコピーが失敗したことを示す通知が表示されます。

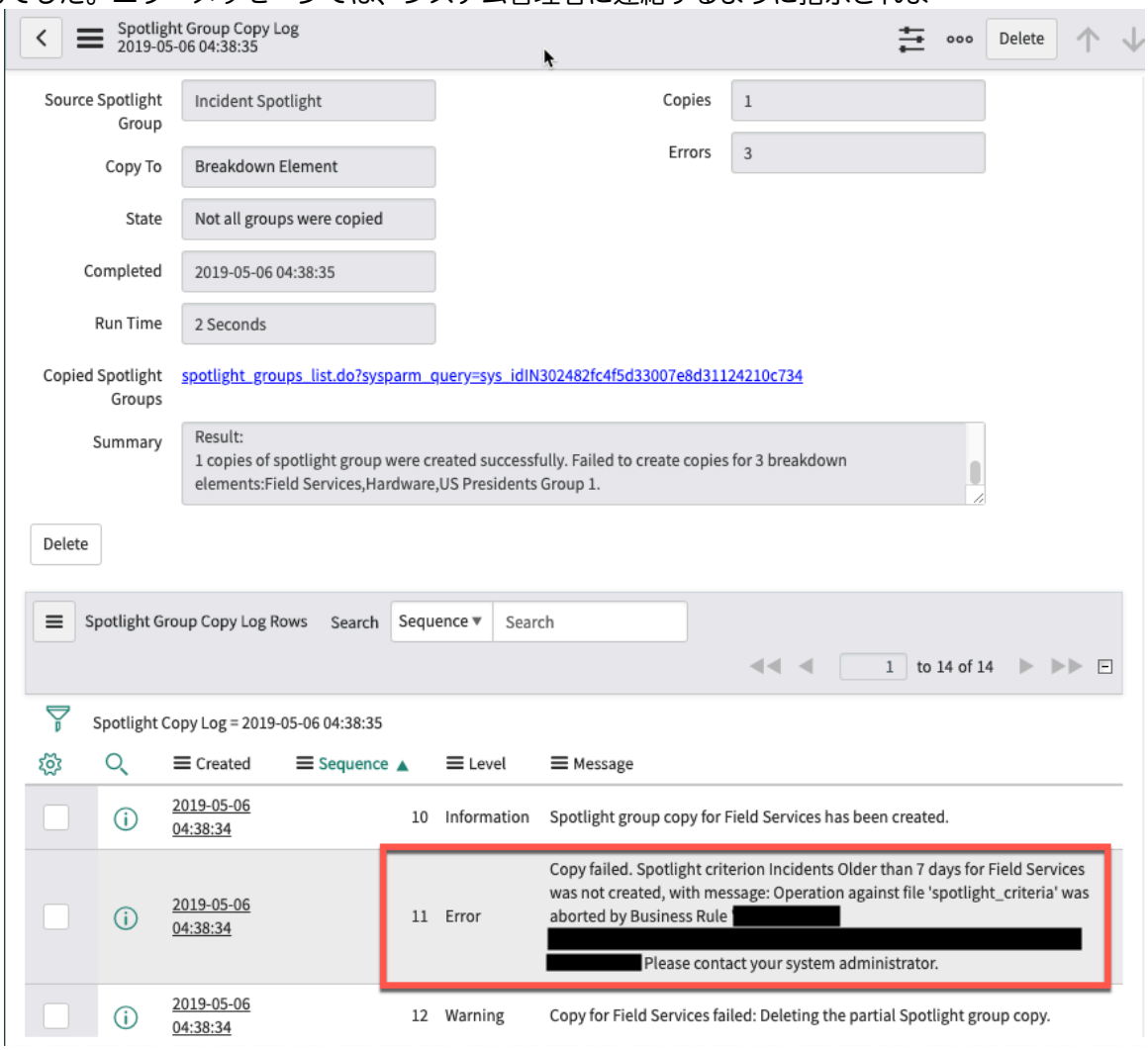


[詳細のログの確認] をクリックすると、このコピー ジョブのスポットライト グループ コピー ログが開きます。このログでは、各エラーの原因となったエラーを見つけることができます。次の例では、ビジネスルール違反によりコピーを作成できま

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

せんでした。エラーメッセージでは、システム管理者に連絡するように指示されま



す。

スポットライトの管理

admin ロールを持つユーザーは、スポットライトの下位コンポーネントにアクセスできます。

スポットライト データベース ビュー

スポットライトでは、データベース ビューがスポットライト グループで評価されるレコードのスポットライト [spotlight] テーブルとファクト テーブルを結合します。スポットライト インタラクティブ分析を使用するには、このデータベース ビューが必要です。管理者は、このデータベース ビューにアクセスして、レポートを作成したり、問題を診断したりできます。

データベース ビューを作成した後、スポットライトはスポットライト グループ [spotlight_groups] テーブルの関連するスポットライト グループ レコードにそのビューへの参照を追加します。参照は、レコードのdatabase_view列にあるデータベースビューのプライマリキーフィールド値で構成されます。

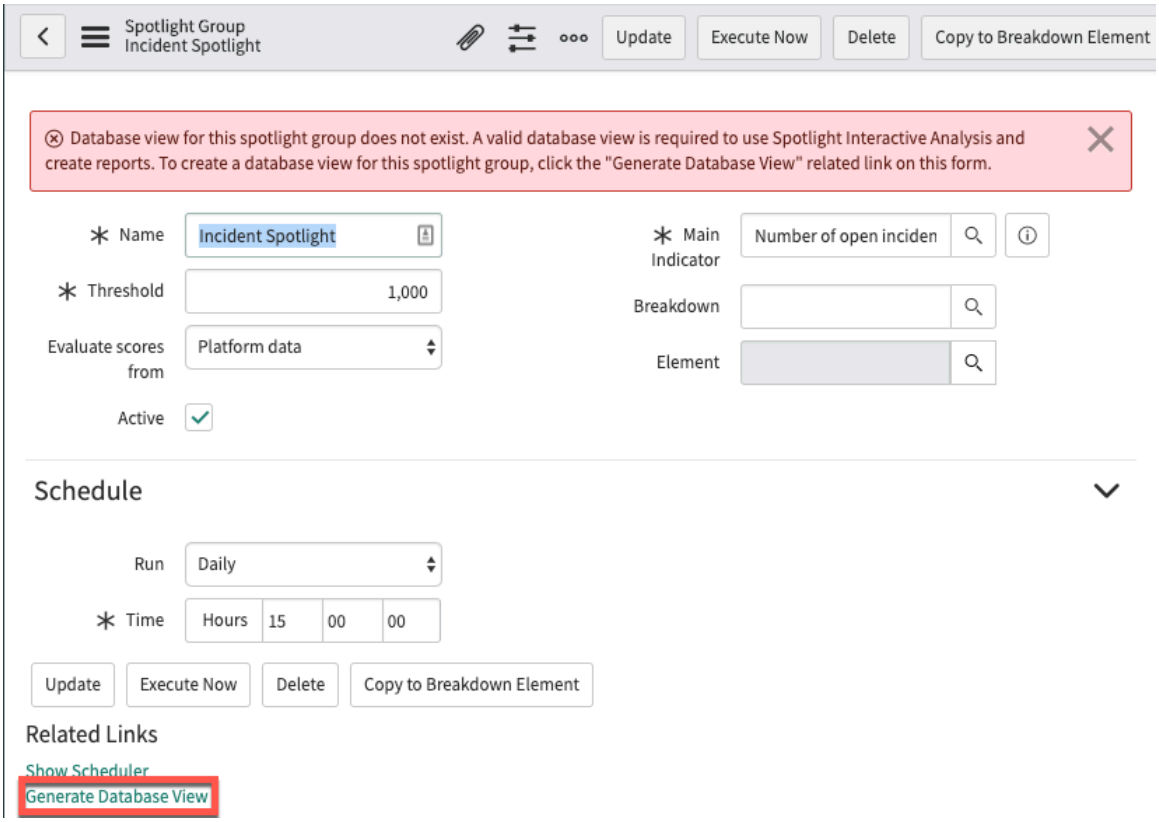
注:
より London前のバージョンからアップグレードする場合は、spotlight_groups レコードの database_view 列のdatabase_view値が空の状態で開始します。この空の列は影響を与えません。ユーザーがspotlight_groupsテーブルのレコードを変更すると、列が入力されます。

管理者の場合は、データベース ビューに直接アクセスできます。スポットライト グループのデータベース ビューを表示するには、スポットライト グループ フォームの [データベースビューを表示] 関連リンクをクリックします。また、[データベースビュー] 列をスポットライト グループ リストにも追加します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データベースビューがないか無効な場合、スポットライトグループレコードにエラーメッセージが表示されます。この場合、[データベースビューを生成] 関連リンクをクリックすると使用可能になります。その後、データベースの生成が成功したかどうかを通知するメッセージが表示されます。

データベースビューが欠落しているスポットライトグループ



スポットライト グループを削除すると、安全に行うことができる場合、スポットライトはそのグループに関連付けられたデータベース ビューを削除します。データベース ビューを削除しても安全かどうかを判断するために、スポットライトは次の条件を確認します。

- 他のスポットライト グループにそのデータベース ビューへの参照が含まれていますか？
- 他のスポットライト グループは、削除するグループのメイン インジケーターと同じファクト テーブルを使用するメイン インジケーターで定義されていますか?

どちらの条件も当てはまらない場合、スポットライトはデータベース ビューを削除します。

データベース ビューを作成、変更、または削除する場合、スポットライトは次のビジネス ルールを実行します。

- データベース ビューの更新
- データベース ビューの削除
- 挿入時の DB ビューの設定

関連情報

データベースビュー

分析およびレポートのスポットライトソリューションのアクティブ化

スポットライトのスケジュール **[sys_trigger]** レコード

スポットライト グループを [有効] に設定すると、スケジュール [sys_trigger] レコードが作成されます。管理者は、このレコードにアクセスしてスケジューリングをトラブルシューティングします。このレコードには、スポットライト グループで設定されたスケジュール情報が含まれます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スポットライト グループ レコードのスケジュールを編集すると、スケジュール [sys_trigger] レコードが新しいレコードに置き換えられます。スポットライト グループを無効または削除すると、スケジュール レコードが削除されます。スポットライト グループを再び有効にする場合は、新しいスケジュール レコードを作成します。

注:
管理者は、 スポットライト グループ フォームの [スケジューラーを表示] をクリックすると、スポットライト グループのスケジュール [sys_trigger] レコードにアクセスできます。

スケジュール [sys_trigger] レコードの作成、編集、および削除のプロセスでは、次のようなビジネス ルールが使用されます。

スポットライト グループの有効化、ビジネス ルール、スケジューリング

アクション	ビジネス ルール	スケジュール レコードへの影響
スポットライト グループの有効化	スケジュール [sys_trigger] レコードの作成	新しいスケジュール [sys_trigger] レコードはスケジューリング情報とともに作成されます。
スポットライト グループ レコードのスケジュールの編集	スケジュール [sys_trigger] レコードの作成	既存のスケジュール [sys_trigger] レコードは、新しいスケジューリング情報を含む新しいレコードに置き換えられます。
スポットライト グループの無効化	スケジュール [sys_trigger] レコードの削除	このスポットライト グループに関連付けられた既存のスケジュール [sys_trigger] レコードは削除されます。
スポットライト グループの再有効化	スケジュール [sys_trigger] レコードの作成	新しいスケジュール [sys_trigger] レコードはスケジューリング情報とともに作成されます。
スポットライト グループの削除	スケジュール [sys_trigger] レコードの削除	このスポットライト グループに関連付けられた既存のスケジュール [sys_trigger] レコードは削除されます。

分析およびレポートのスポットライトソリューション

次のソリューションには、事前設定されたスポットライト コンポーネントが含まれます。また、ソリューションには、スポットライト インタラクティブ分析と同じ情報を表示するダッシュボードも含まれます。

インシデント管理の無料版パフォーマンスアナリティクス では次のスポットライトソリューションが利用可能です。

- スポットライト - スポットライト パフォーマンス分析ソリューションの変更 (com.snc.pa.spotlight.change)
- スポットライト - インシデント スポットライト パフォーマンス分析ソリューション (com.snc.pa.spotlight.incident)
- スポットライト - 問題スポットライト パフォーマンス分析ソリューションの変更 (com.snc.pa.spotlight.problem)
- スポットライト - 要求スポットライト インシデント パフォーマンス分析ソリューション (com.snc.pa.spotlight.request)

スポットライト グループは、パフォーマンスアナリティクス の完全にライセンスされたバージョンを必要とする他の プラットフォームアナリティクスソリューション に含まれている場合があります。たとえば、Customer Service (com.snc.pa.customer_service) ソリューションにはケーススポットライトグループが含まれます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

分析およびレポートのスポットライトソリューションのアクティブ化

スポットライトを使用するには、スポットライト プラグインを有効にします。また、製品の使用方法に適用されるスポットライト ソリューション プラグインも有効にします。スポットライト ソリューションをインストールしたら、「ガイド付きセットアップ」に従ってそのソリューションを確認およびカスタマイズします。

始める前に

- インシデントスポットライト以外の分析およびレポートのスポットライトソリューションには、、完全に有効なサブスクリプション バージョンが必要です パフォーマンスアナリティクス。「Performance Analytics サブスクリプションのアクティブ化」を参照してください。 が必要です。
- パフォーマンスアナリティクス レスポンシブ ダッシュボードは有効である必要があります。詳細については、「レスポンシブダッシュボードの操作」を参照してください。

必要なロール：admin

このタスクについて

スポットライト機能は、パフォーマンスアナリティクス - スポットライト プラグイン (com.snc.pa.spotlight) を有効にするまで利用できません。プラグインの有効化は、直接または最初のスポットライト ソリューション プラグインを有効にすることでも行うことができます。

各スポットライト ソリューションは、次の機能を提供します。

- 関連するアプリケーションのスポットライト ダッシュボード。このダッシュボードの情報は、スポットライト インタラクティブ分析の情報に似ています。このダッシュボードのレポートは他のダッシュボードでも使用できます。
- 事前設定されたスポットライト グループ。スポットライト グループでは、指定したインジケーターに基づいて優先度を評価するレコードを定義します。また、スポットライト グループでは、データ評価用のデータとスケジュールの評価に使用する基準を定義します。
- 一般的なビジネス ユース・ケースに基づく複数のスポットライト基準
- スポットライト グループのメイン インジケーターのソースであるファクト テーブルにスポットライト テーブルを結合するデータベース ビュー。ソリューションのスポットライト ダッシュボードとインタラクティブ分析の両方がこのデータベース ビューを使用します。詳細については、「スポットライト データベース ビュー」を参照してください。

スポットライト ソリューションが有効になると、「ガイド付きセットアップ」を使用してスポットライト ソリューションを確認します。移動先 スポットライト > ガイド付きセットアップ その指示に従います

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. フィルター基準と検索バーを使用してプラグインを検索します。

   名前または ID でプラグインを検索できます。プラグインが見つからない場合は、ServiceNow 担当者から要求する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. [インストール] を選択して、[プラグインをアクティブにする] ダイアログボックスで、[アクティブ化] をクリックします。

> **注:**
> ドメイン分離と代理管理者がインスタンスで有効になっている場合、管理ユーザーはグローバルドメインに含まれている必要があります。それ以外の場合、次のエラーが表示されます： 別の操作が実行されているため、アプリケーションのインストールは利用できません：<プラグイン名> のプラグインの有効化。

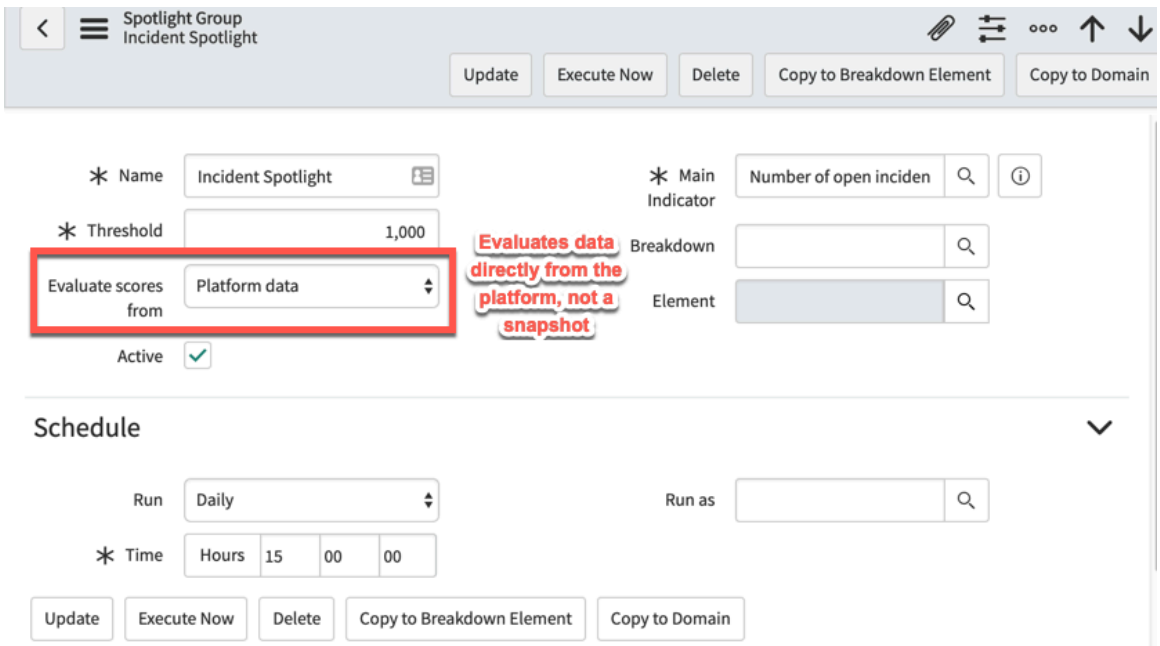
次のタスク
スポットライト ソリューションを有効にしている場合は、このソリューションのスポットライト グループとスポットライト基準を調査します。ガイド付きセットアップは、ソリューションの確認に使用できます。移動先 スポットライト > ガイド付きセットアップ その指示に従います

例：インシデント スポットライト

この例では、インシデント スポットライトに含まれるインシデント スポットライト プラットフォームアナリティクスソリューショングループの設定について説明します。この例には、スポットライトジョブの結果と生成されるスポットライト レコードの詳細が含まれます。

インシデント スポットライト ソリューションには、スポットライト グループのインシデント スポットライトが含まれます。このグループはインジケーター [オープンインシデントの数] を使用し、しきい値は 1000 です。[オープンインシデントの数] インジケーターがインシデント ファクト テーブルをソースとして使用するため、スポットライト ジョブはそのテーブル内のレコードを評価します。

インシデント スポットライト グループには、毎日実行するようにスケジュールされたジョブが 1500 あります。グループを [有効] に設定し、ジョブがスケジュールに従って実行されるようにします。



インシデント スポットライト グループには、以下に関連するスポットライト基準があります。

- インシデントがオープンになっている期間
- インシデントが更新されてからの経過時間
- インシデントに説明があるかどうか

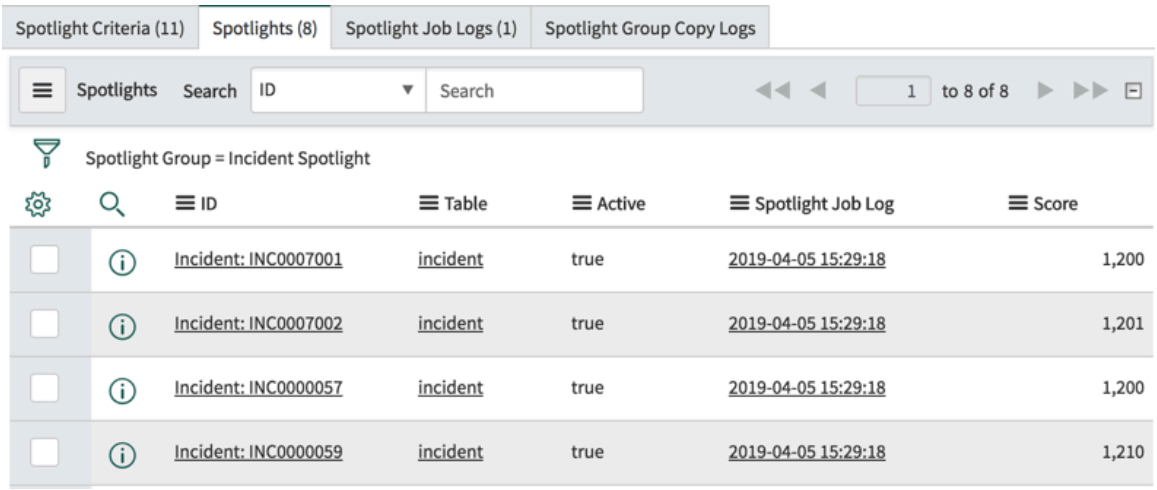
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- インシデントが 3 回以上繰り返し割り当てられているかどうか
- インシデントの優先度が「低」か「中」か。(重大および高優先度のインシデントにスポットライトは必要ありません)。

各基準には重み付けが割り当てられます。この場合は、P4 低の優先度の 1 から 30 日を超えて更新されていない優先度の 1000 までさまざまです。

データ評価ジョブが実行されると、インシデント ファクト テーブルのレコードが評価されます。各レコードには、レコードが満たす基準の重み付けの合計に等しいスコアが与えられます。ジョブでは、グループしきい値が 1000 以上のスコアを持つインシデント・レコードごとにスポットライトが生成されます。



スポットライトの情報アイコンをクリックすると、スコアに寄与した基準の詳細が表示されます。たとえば、インシデント INC0007001は次のスポットライト基準を満たしています。

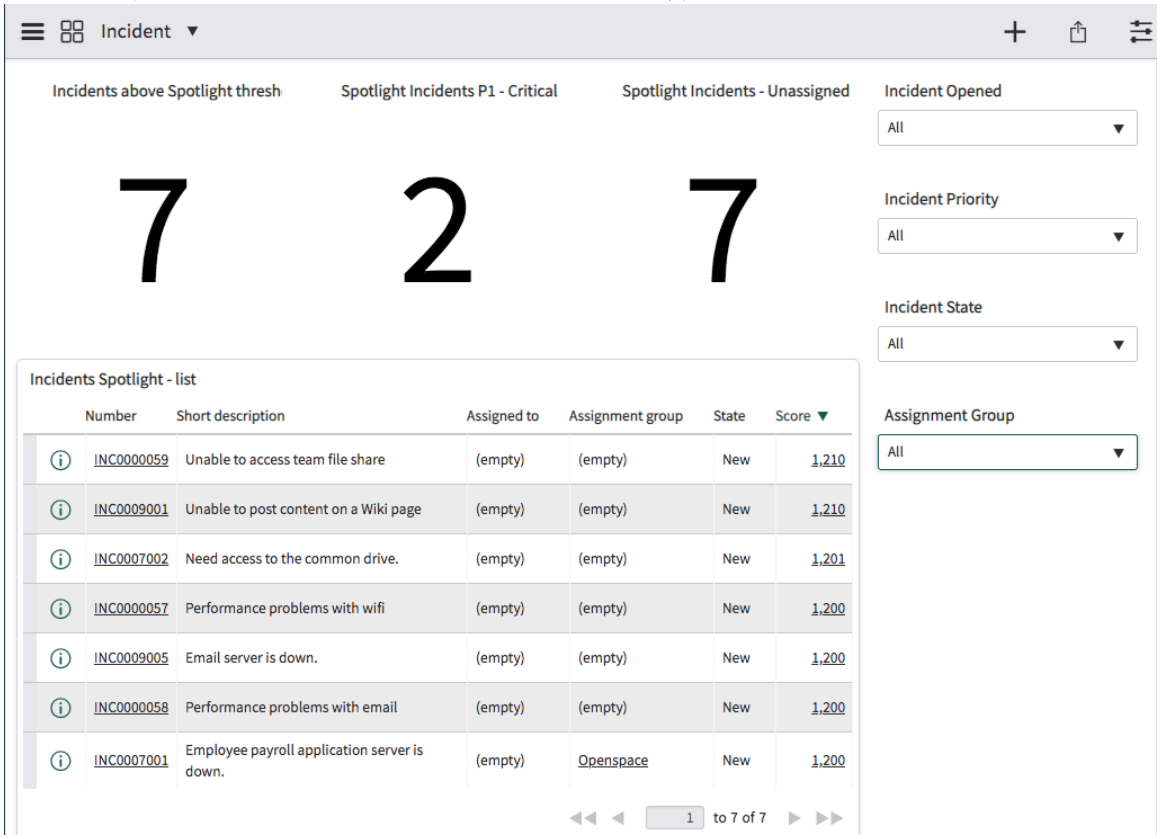
基準	重み付け
28 日間より古いインシデント	25
14 日間より古いインシデント	25
30 日間更新されていないオープン インシデント	1,000
7 日間より古いインシデント	25
90 日間より古いインシデント	25
5 日間更新されていないオープン インシデント	100
合計スコア：	1,200

スポットライト ジョブの結果は、スポットライト グループ内にあるインシデント ダッシュボードに表示されます。このダッシュボードは、イ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ンシデント スポットライト グループのインタラクティブ分析と同じで



す。

データ収集プロセスとログ記録

パフォーマンスアナリティクス データ収集ジョブはインジケータースコアを収集します。データ収集をデバッグするには、データ収集プロセスと、それがジョブログにどのように反映されるかを理解しておくと役に立ちます。

管理者として、データ収集ジョブをデバッグする必要が生じることがあります。各ジョブはログを生成しますが、このログのエントリを理解するには、データ収集プロセスのどのステップでエントリが生成されたかを知る必要があります。 パフォーマンスアナリティクス には、次の 3 つのレベルのログがあります。

- どのジョブが実行されたかを示すジョブイベント。
- 実行された各ジョブの概要を示すジョブログ。
- 実行されたジョブの各ステップで何が起こったかを説明するジョブログの詳細。

管理コンソールには、データ収集ジョブの日次、週次、および月次の概要も表示されます。

データ収集の最適化

最適化 パフォーマンスアナリティクス されたデータコレクタにより、大規模なデータセットの処理にかかる時間、メモリ、CPU 使用率が削減されます。

最適化されたデータコレクタは、 でTokyo始まるすべてのインスタンスでデフォルトでアクティブになります。アップグレード時にアクティブ化されます。最適化されたコレクターを非アクティブ化するには、システムプロパティ *com.snc.pa.dc.hsql* を作成して `false` に設定します。詳細については、「システムプロパティを追加する」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:
Oracle データベースはサポートされていません。パフォーマンス分析スコア [pa_scores] テーブルを引き続き使用する他のインスタンスもサポートされていません。最適化されたデータコレクタは、インジケータースコアがスコアレベル 1 [pa_scores_l1] とスコアレベル 2 [pa_scores_l2] の 2 つのテーブルにあるインスタンスのみをサポートします。詳細については、「パフォーマンス分析スコアの移行」を参照してください。

最適化されたデータコレクターは、次の機能をサポートしています。

- パフォーマンスに悪影響を与えることなく 1,000 万件を超えるレコードを処理できます。
- ブレークダウンマトリクスを有効にした、少なくとも 10 個のブレークダウンのサポート。ブレークダウンのサポートには次のものが含まれます。
  - ドット連結条件
  - 最大 100 万件のレコードを含む 2 つの大きなブレークダウン
  - ブレークダウンの関連付け
- インジケーターとブレークダウンの追加条件のサポート。
- 個別のカウント集計の最適化。

注:
最適化されたデータ収集のために、データ収集でインジケーターソースごとに許可されるデフォルトの最大レコード数が増えました。詳細については、のパフォーマンスアナリティクス のプロパティプロパティを参照してください`com.snc.pa.dc.hsql.max_row_count_indicator_source`。

最適化は、組み込みデータベースの使用に由来します。標準データ収集ジョブは、ジョブ実行中にすべてのスコアをノードメモリーに保存します。ただし、最適化されたデータ収集ジョブは、スコアのパケットをディスク上の一時ストレージに移動します。ジョブの最後に、スコアがスコアテーブルに書き込まれ、一時データベースがクリアされます。

注:
遅延読み込みを使用したメモリ最適化が実装され、メモリ不足エラーが排除されました。ただし、このメモリの最適化により、CPU 使用率が増加し、大規模なジョブの処理時間が長くなる可能性があります。詳細については、にお問い合わせください カスタマーサービス & サポート。

データ収集ジョブのイベントの表示

ジョブ イベントは、パフォーマンス分析のために実行されたジョブと、ServiceNow インスタンスでどのようなアクション (通知やビジネス ルールなど) がトリガーされたかを示します。

始める前に
必要なロール：pa_data_collector または admin

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** > データコレクター > ジョブイベント.
2. [作成日時] をクリックし、特定のジョブ イベントの詳細を表示します。
   ジョブ イベントに関する追加情報が表示されます。

関連情報

データ収集ジョブ履歴の表示

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

データ収集ジョブ履歴の表示

ジョブ履歴には、パフォーマンス分析のために実行されたデータ収集ジョブに関する情報が表示されます。ジョブ履歴を表示したり、イベントを作成したり、イベントレジストリを表示および編集したりできます。リスト ビューには、フィルタリングされていない限り、すべての履歴エントリが表示されます。

始める前に
必要なロール：pa_data_collector または admin

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** > データコレクター > ジョブ履歴.
   履歴には、すべての履歴に関して次の情報が表示されます。

   データ収集ジョブ履歴

フィールド	説明
作成日時	データ収集ジョブが開始された日時。
ステータス	[収集中]、[収集済み]、または [収集済み (エラーあり)] のいずれかの値です。
名前	ジョブの名前。
完了	データ収集ジョブが終了した日時。
挿入	挿入された新規レコードの数。
更新	更新された既存のレコードの数。
警告	データ収集プロセス中に発生した警告の数。
エラー	データ収集プロセス中に発生したエラーの数。
実行時間	ジョブの所要時間。

2. [作成日時] をクリックし、特定のジョブの詳細を表示します。
   ジョブ設定およびシーケンス ステップに関する追加情報が表示されます。通知が有効になっている場合は、データ収集結果に関するメールをユーザーに送信できます。

次のタスク
ジョブの詳細ログを表示するには、リスト内のジョブをクリックします。 個々のジョブ・ログの内容については、を参照してください クラシックデータコレクターのログの詳細 。

> **注:**
> ログが次のエラー java.lang.IllegalStateException: Sparse storage format has one field, sys_id を返す場合は、 KB0550063 を参照してください。

関連情報

データ収集ジョブのイベントの表示

最適化されたデータコレクターのログの詳細

このリリースから Tokyo 、最適化された新しいデータコレクターが利用可能になりました。このデータ・コレクターのログの詳細は、クラシック・データ・コレクターのログの詳細とは異なります。

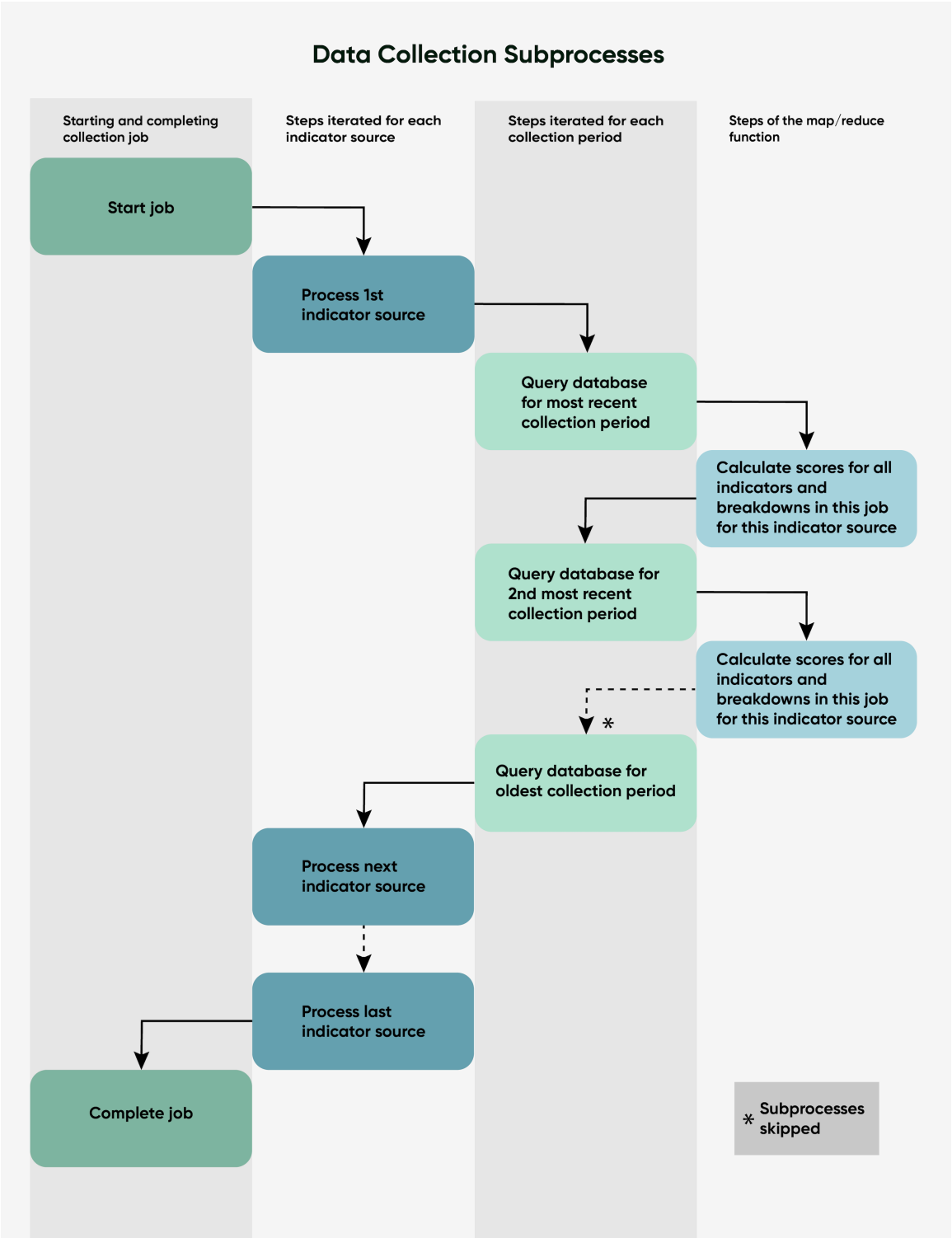
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コレクションの概要

データ収集ジョブでは、データ コレクタを使用する各インジケーター ソースに対して SQL クエリを実行します。クエリは、開始日から停止日まで収集時間ごとに繰り返されます。次に、次のインジケーター ソースに対してクエリが実行されます。クエリを実行する各ステップは、データ収集ジョブ ログに記録されます。

データ収集ジョブの概要



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

収集ジョブの開始と完了

ログメッセージに表示されるデータ収集プロセスに従います。各サブプロセスのログメッセージは、独自のテーブルに分離されています。

注:
このログは、「」で データ収集の最適化説明されているように最適化された HSQL データコレクタ用です。が「false」の場合は `com.snc.pa.dc.hsql` 、従来のデータコレクターを使用しています。それ以外の場合は、最適化されたデータコレクターを使用しています。このログの詳細については、次のリンクを参照してください クラシックデータコレクターのログの詳細。

収集ジョブのステップ	結果のログ エントリの例
収集ジョブの [実行ユーザー (Run As User)] のドメインを表示します。	ユーザー <admin> は、ドメイン global に属しています。
収集が開始されます。ジョブ開始は、スコア、テキストインデックス、またはその両方を収集するかどうかを指定します。メッセージには、最適化された HSQL データコレクターが使用中であること、およびデバッグログが有効かどうかも示されます。デバッグログのみ カスタマーサービス & サポート を有効にできます。	スコアとテキストインデックスの両方の収集を開始します。システム内のプロパティの値 - HSQL データコレクターの使用: true デバッグログが有効:true ノード名:vsr007
スコアが収集されるドメインを表示します。また、ドメインに関するその他の関連する詳細も表示します。	DomainConfig:ドメイン構成収集ログのテスト - 3d359877b77000106886e664de11a97c、Type:conditions、はい、collectChildren?:はい、AggregateDomain:名前:3d359877b77000106886e664de11a97c-SysID:d1659c77b77000106886e664de11a91e、ドメイン:Default、MSP、ACME、Cisco、Initech、Oceanic Airlines
ジョブがデータを収集するインジケーターソース (一意の ID を含む) を一覧表示します。	収集するインジケーターソース:Incidents.New: b54f2c23d7030100b96d45a3ce61032f、Incidents.Open: b5cf2c23d7030100b96d45a3ce6103cc、Incidents.Closed: 2ac8dd31ff2302001e68ffffffffff3d, Incidents.Resolved: 4c207c23d7030100b96d45a3ce610308
ジョブに関連付けられた各インジケーターと、データ収集に関連するインジケーターのプロパティーをリストします。 • レコードはスナップショットに収集されますか? • いずれかのブレークダウンが除外されていますか? • インジケーターソースの収集期間は上書きされていますか?	JobIndicator:オープンインシデントの数 - de537dc3d7131100b96d45a3ce610305 ジョブインジケータープロパティ:collectIndicator?:はい、BreakdownCollectionType:WITH_EXCLUDE 除外されたブレークダウン:アサイン先グループ、ステータスインジケータープロパティ => CollectingRecords:はい、上書きされた収集期間:いいえ、スクリプト化:いいえ、ブレークダウンの組み合わせ:はい、除外されるブレークダウンの組み合わせ:組み合わせは除外されません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

収集ジョブのステップ	結果のログ エントリの例
• ブレークダウンマトリクスは収集されていますか? • ブレークダウンマトリクスが収集された場合、ブレークダウンの組み合わせは除外されますか?	
各インジケーター ソースのステップを繰り返す	表 「各インジケーター ソースの反復ステップ」を参照してください。
データ収集ジョブの統計情報を表示します	統計: 184 の挿入、0 の更新、92 の削除、エラー 0、警告 0
ジョブを完了	収集が終了しました

各インジケーターソースに対して反復されるステップ

収集ジョブのステップ	結果のログ エントリの例
インジケーター ソースを取得します。	インジケーターソース Incidents.Open を処理しています。
最適化されたHSQLデータコレクターが使用されていることを繰り返します。	
インジケーター ソースから継承された条件以外に、追加の条件を持つインジケーターを一覧表示します。	インジケーター:管理者ログイン - [インジケーターのsys_id]、他の条件:ref_isc_login_event.login_type=login_admin、レコード収集:true
収集期間ごとにステップを反復します。	各収集期間で反復されるステップの表を参照してください
次のインジケーターソースを取得します。	インジケーターソース Incidents.New を処理しています

収集期間ごとに反復されるステップ

収集ジョブのステップ	結果のログ エントリの例
収集ジョブの開始日。	インジケーターソース Incidents.Open の 20191103のための収集
次のフィールドをフェッチします。 • ブレークダウンソースの一意のフィールド (通常はsys_id) • ブレークダウンマッピングで使用されるインジケーターフィールド • スクリプト化されたブレークダウンマッピングで使用されるテーブルフィールド	「インシデント」から「short_description、sys_id、opened_at、assignment_group 説明、優先度、カテゴリ」を取得しています

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

収集ジョブのステップ	結果のログ エントリの例
• テキスト インデックスが収集される場合にテキスト分析で使用されるインジケーター ソース フィールド (通常はshort_descriptionを含む)	
インジケーター ソースで指定されている条件に基づいて SQL を生成します。 **注:** インジケーター ソースがいずれかの条件で今日を指定している場合、今日はデータ収集ジョブが実行される期間に関連して考慮されます。たとえば、Incidents.New インジケーター ソースには、条件 [オープン] [次の値に等しい **(=)**][今日] が含まれています。07:00:00 に開始するように日が定義されていて、2019-10-28 のデータが収集されると、ジョブは右側の SQL スクリプトを生成します。	SELECT task0.'sys_id' FROM task task0 WHERE task0.'sys_class_name' = 'incident' AND (task0.'opened_at' >= '2019-10-28 07:00:00' AND task0.'opened_at' <= '2019-10-29 06:59:59')
SQL によってフェッチされたレコードの数を表示します。	インジケーターソース Incidents.Open から 150 行をフェッチしました (ファクトテーブル: インシデント)
以前の結果を削除します。	インジケーター:代理操作の以前の結果 1 を削除しました
map/reduce 機能を実行して、インジケータースコアを計算します。	表「map/reduce 関数の手順」を参照してください。
テキスト インデックス作成がアクティブで、インジケーター ソース用に設定されている場合、データ コレクタは結果のテキスト インデックスを格納します。	インジケーターソース Incidents.Open のテキストインデックスを保存中 Incidents.Open のテキストインデックス 41,984 に使用されるバイト
オブジェクトは、次のいずれかのしきい値を超えるたびにHSQLデータベースにオフロードされます。 • スコア数 • スナップショットの数 • 個別のカウント値の合計数 オブジェクトのカテゴリごとにオフロード制限を超過した回数をログに記録します。1つのカテゴリーでオフロード制限を超えるたびに、すべてのオブジェクトがHSQL一時データベース・ストレージに移動されます。map/reduce 機能の終了時に、残りのレコードはすべてオフロードされます。通常、残りのレコード数はしきい値より少なく、このオフロードもログに記録されます。	オフロード制限がスコアのしきい値を超えた回数:275 スナップショットのオフロード制限がしきい値を超えた回数:0 オフロード制限が個別の値のしきい値を超えた回数:0 しきい値を超えなかったレコードのオフロードバッチ:1

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

収集ジョブのステップ	結果のログ エントリの例
インジケーター ソースの新しく収集された結果の保存を開始します。	インジケーターソース Incidents.Resolved の収集結果を保存しています
null 値を持つインジケーターはすべてログに記録されます。	保存された「値がない時の値」:インジケーターのスコアとして 0.0:ナレッジによって回避されたインシデントの数
結果の保存を完了します。	保存されている収集結果
データ コレクタがスコアを収集しないインジケーターを指定します。	インジケーターの収集ではありません：オープンインシデントの合計経過時間除外されたブレークダウン付き：アサイン先グループ
その期間のインジケーター ソースのデータ収集を完了します。	インジケーターソース Incidents.Open の 20200519の収集が完了しました
インジケーターに設定された追加条件を処理するためにレコードに費やされた平均時間を表示します。	各レコードの追加インジケーター条件の処理に要する平均時間:138 ミリ秒

map/reduce 機能の手順

収集ジョブのステップ	結果のログ エントリの例
マップ/低減機能が実行されます。	インジケーターソース Incidents.Open のマップ/低減機能を適用しています。
ジョブのテキストインデックス作成がアクティブであるが、テキストインデックス構成が見つからないか無効であるために実行できない場合は警告です。	テキストインデックス設定がないか、無効であるため、テキストインデックスの収集をスキップしています
インジケーター ソースの各レコードを処理してスコアを計算します。ログメッセージは、処理されたレコードの累計を追跡します。 結果のスコアまたはスナップショットの数が制限を超えるたびに、すべてのオブジェクトがHSQLデータベースにオフロードされます。オフロードは、map/reduce 機能の完了後にログに記録されます。 各レコードの処理には、以下が含まれます。 • スクリプトを実行または評価します。 • インジケーター条件を検証します。 • インジケータースコアを計算します。 • 各ブレークダウンについて： 1. ブレークダウン スコアを計算するか、ブレークダウン スクリプトを実行します。 2. すべてのブレークダウンの一意の値を取得します。 3. スコアまたはスナップショットの配列を作成または更新します。アレイは 、インジケーター、ブレークダウン 1、アーティ	処理済み 15.8% (3) 件のレコード 31.6% (6) 件のレコードを処理した 処理済み 47.4% (9) 件のレコード 63.2% (12) 件のレコードを処理した 78.9% (15) 件のレコードを処理した 94.7% (18) 件のレコードを処理 処理済み 100% (4) レコード、結果オブジェクトサイズ:20 MB

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

収集ジョブのステップ	結果のログ エントリの例
ファクト 1、ブレークダウン 2、アーティファクト 2、ドメイン、値、[sys_id] のアレイです。	
マップ/低減機能が完了します。	適用されたマップ/低減関数

関連情報

- データ収集の最適化
- データ収集ジョブ履歴の表示

クラシックデータコレクターのログの詳細

パフォーマンスアナリティクス スコア収集は、ここで説明するプロセスに従います。トラブルシューティングを支援するために、ジョブステップとログエントリの間のマッピングが提供されています。

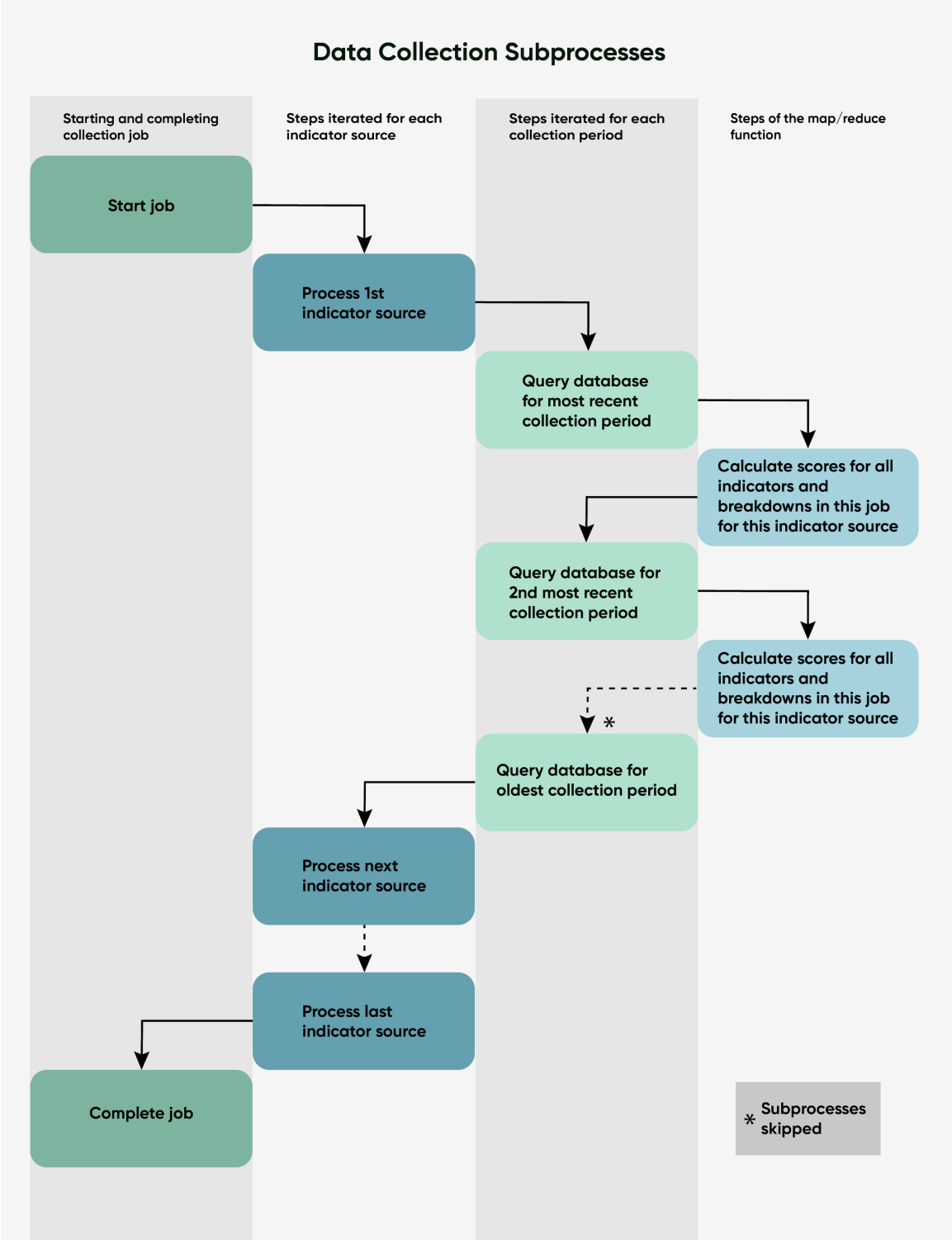
コレクションの概要

データ収集ジョブでは、データ コレクタを使用する各インジケーター ソースに対して SQL クエリを実行します。クエリは、開始日から停止日まで収集時間ごとに繰り返されます。次に、次のインジケーター ソースに対してクエリが実行されます。クエリを実行する各ステップは、データ収集ジョブ ログに記録されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データ収集ジョブの概要



ログに表示される最適化プロパティ

データコレクターには、システムのプロパティでオンまたはオフにできるいくつかの最適化があります。ジョブ・ログの先頭には、これらのプロパティーの状態が含まれます。

注:
これらの最適化プロパティを、新しく最適化されたデータコレクターと混同しないでください。これらのプロパティーは、クラシック・データ・コレクターにのみ適用されます。新しいデータコレクタは、より基本的なレベルで最適化されています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データ収集の最適化に関するプロパティ

最適化	説明	システムプロパティ
入れ子になったコレクション	フラットマッピングを置き換えて、冗長なオブジェクトを削減します。たとえば、そのインジケーターのすべてのブレークダウンと要素に対して同一のインジケーター オブジェクトを作成するのではなく、インジケーターに対して 1 つのオブジェクトのみを作成します。	*com.snc.pa.dc.nested_collection* デフォルト：true
スナップショットのフラッシュ	は Now Platform 、最大数の パフォーマンスアナリティクス スナップショットをメモリに格納してから、それらをデータベースにオフロードします。	*com.snc.pa.dc.flush_snapshot_c* [デフォルト]：1000
個別のカウントにハッシュコードを使用	個別の集計を個別の値としてではなくハッシュコードとして格納します。	*com.snc.pa.dc.use_hashcode_for* デフォルト：true

収集ジョブの開始と完了

ログメッセージに表示されるデータ収集プロセスに従います。各サブプロセスのログメッセージは、独自のテーブルに分離されています。

注:
このログは元のデータ コレクタ用です。インスタンスでこのデータコレクタを使用する場合、システムパラメータ *com.snc.pa.dc.hsql* は存在し、「false」です。それ以外の場合は、「」で データ収集の最適化説明されているように最適化されたデータコレクタを使用します。このログの詳細については、次のリンクを参照してください 最適化されたデータコレクターのログの詳細。

自動翻訳

収集ジョブのステップ	結果のログ エントリの例
収集ジョブの [実行ユーザー (Run As User)] のドメインを表示します。	ユーザー <admin> は、ドメイン global に属しています。
収集が開始されます。ジョブ開始は、スコア、テキストインデックス、またはその両方を収集するかどうかを指定します。メッセージでは、データ収集最適化プロパティの設定も指定します。	スコアとテキストインデックスの両方の収集を開始します。システム内のプロパティの値 - フラッシュスナップショット数:1,000 入れ子になったコレクション: true 個別のカウントにハッシュコードを使用:true
スコアが収集されるドメインを表示します。また、ドメインに関するその他の関連する詳細も表示します。	DomainConfig:ドメイン構成収集ログのテスト - 3d359877b77000106886e664de11a97c、Type:conditions、はい、collectChildren?:はい、AggregateDomain:名前:3d359877b77000106886e664de11a97c-SysID:d1659c77b77000106886e664de11a91e、ドメイン:Default、MSP、ACME、Cisco、Initech、Oceanic Airlines

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

収集ジョブのステップ	結果のログ エントリの例
ジョブがデータを収集するインジケーターソース (一意の ID を含む) を一覧表示します。	収集するインジケーターソース:Incidents.New: b54f2c23d7030100b96d45a3ce61032f、Incidents.Open: b5cf2c23d7030100b96d45a3ce6103cc、Incidents.Closed: 2ac8dd31ff2302001e68ffffffffff3d, Incidents.Resolved: 4c207c23d7030100b96d45a3ce610308
ジョブに関連付けられた各インジケーターと、データ収集に関連するインジケーターのプロパティーをリストします。 • レコードはスナップショットに収集されますか? • いずれかのブレークダウンが除外されていますか? • インジケーターソースの収集期間は上書きされていますか? • ブレークダウンマトリクスは収集されていますか? • ブレークダウンマトリクスが収集された場合、ブレークダウンの組み合わせは除外されますか?	JobIndicator:オープンインシデントの数 - de537dc3d7131100b96d45a3ce610305 ジョブインジケータープロパティ:collectIndicator?:はい、BreakdownCollectionType:WITH_EXCLUDE 除外されたブレークダウン:アサイン先グループ、ステータスインジケータープロパティ => CollectingRecords:はい、上書きされた収集期間:いいえ、スクリプト化:いいえ、ブレークダウンの組み合わせ:はい、除外されるブレークダウンの組み合わせ:組み合わせは除外されません。
各インジケーター ソースのステップを繰り返す	表 「各インジケーター ソースの反復ステップ」を参照してください。
データ収集ジョブの統計情報を表示します	統計: 184 の挿入、0 の更新、92 の削除、エラー 0、警告 0
ジョブを完了	収集が終了しました

各インジケーターソースに対して反復されるステップ

収集ジョブのステップ	結果のログ エントリの例
インジケーター ソースを取得します。	インジケーターソース Incidents.Open を処理しています。
インジケーター ソースから継承された条件以外に、追加の条件を持つインジケーターを一覧表示します。	インジケーター:再アサインされたオープンインシデントの数 - ffb59561ff2302001e68ffffffffff33、他の条件:reassignment_count>0
スコア収集がフラットマッピングを使用する代わりにネストされたデータ構造に従っているかどうかを示します。入れ子になったコレクションでは、メモリ内に作成される冗長なオブジェクトが少なくなります。 ネストされていないコレクションは、スコアのバッチ処理をサポートします。	入れ子になったコレクションを使用する。 注 - スコアのバッチ挿入は、ネストされたコレクションではサポートされていません。
収集期間ごとにステップを反復します。	各収集期間で反復されるステップの表を参照してください

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

収集ジョブのステップ	結果のログ エントリの例
次のインジケーターソースを取得します。	インジケーターソース Incidents.New を処理しています

収集期間ごとに反復されるステップ

収集ジョブのステップ	結果のログ エントリの例
収集ジョブの開始日。	インジケーターソース Incidents.Open の 20191103のための収集
次のフィールドをフェッチします。 • ブレークダウンソースの一意のフィールド (通常はsys_id) • ブレークダウンマッピングで使用されるインジケーターフィールド • スクリプト化されたブレークダウンマッピングで使用されるテーブルフィールド • テキスト インデックスが収集される場合にテキスト分析で使用されるインジケーター ソース フィールド (通常はshort_descriptionを含む)	「インシデント」から「short_description、sys_id、opened_at、assignment_group 説明、優先度、カテゴリ」を取得しています
インジケーター ソースで指定されている条件に基づいて SQL を生成します。 **注:** インジケーター ソースがいずれかの条件で今日を指定している場合、今日はデータ収集ジョブが実行される期間に関連して考慮されます。たとえば、Incidents.New インジケーター ソースには、条件 [オープン] [次の値に等しい **(=)**][今日] が含まれています。07:00:00 に開始するように日が定義されていて、2019-10-28 のデータが収集されると、ジョブは右側の SQL スクリプトを生成します。	SELECT task0.'sys_id' FROM task task0 WHERE task0.'sys_class_name' = 'incident' AND (task0.'opened_at' >= '2019-10-28 07:00:00' AND task0.'opened_at' <= '2019-10-29 06:59:59')
SQL によってフェッチされたレコードの数を表示します。	インジケーターソース Incidents.Open から 150 行をフェッチしました (ファクトテーブル: インシデント)
map/reduce 機能を実行して、インジケータースコアを計算します。	表「map/reduce 関数の手順」を参照してください。
テキスト インデックス作成がアクティブで、インジケーター ソース用に設定されている場合、データ コレクタは結果のテキスト インデックスを格納します。	インジケーターソース Incidents.Open のテキストインデックスを保存中
	Incidents.Open のテキストインデックス 41,984 に使用されるバイト
インジケーター ソースの新しく収集された結果の保存を開始します。	保存されるスコア:374,842 (インジケーターの遅延評価されたレベル 2 カウント個別スコア -

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

収集ジョブのステップ	結果のログ エントリの例
	ID - 3 つのブレークダウンすべてを含むすべてのインシデントを除く)
null 値を持つインジケーターはすべてログに記録されます。	保存された「値がない時の値」:インジケーターのスコアとして 0.0:ナレッジによって回避されたインシデントの数
結果の保存を完了します。	保存されたスコア:1,125,057
	保存されている収集結果
データ コレクタがスコアを収集しないインジケーターを指定します。	インジケーターの収集ではありません：オープンインシデントの合計経過時間除外されたブレークダウン付き：アサイン先グループ
その期間のインジケーター ソースのデータ収集を完了します。	インジケーターソース Incidents.Open の 20200519の収集が完了しました
インジケーターに設定された追加条件を処理するためにレコードに費やされた平均時間を表示します。	各レコードの追加インジケーター条件の処理に要する平均時間:138 ミリ秒

map/reduce 機能の手順

収集ジョブのステップ	結果のログ エントリの例
マップ/低減機能が実行されます。	インジケーターソース Incidents.Open のマップ/低減機能を適用しています。
ジョブのテキストインデックス作成がアクティブであるが、テキストインデックス構成が見つからないか無効であるために実行できない場合は警告です。	テキストインデックス設定がないか、無効であるため、テキストインデックスの収集をスキップしています
インジケーター ソースを使用するインジケーターとブレークダウンの以前のスコアを削除します。	インジケーターソース Incidents.Open の以前の結果を削除しています。
	インジケーター:外部ログインの以前の結果 38 を削除しました
	インジケーターの以前の結果 21 を削除しました:失敗したログイン
インジケーター ソースの各レコードを処理してスコアを計算します。ログメッセージは、処理されたレコードの累計とメモリ使用量を追跡します。各レコードの処理には、以下が含まれます。 • スクリプトを実行または評価します。 • インジケーター条件を検証します。 • インジケータースコアを計算します。 • 各ブレークダウンについて： 1. ブレークダウン スコアを計算するか、ブレークダウン スクリプトを実行します。 2. すべてのブレークダウンの一意の値を取得します。	処理済み 18%% (1) レコード、結果オブジェクトサイズ: 5 MB
	処理済み 42% (2) レコード、結果オブジェクトサイズ: 9 MB
	76% (3) レコードを処理しました。結果オブジェクトのサイズ: 14 MB
	処理済み 100% (4) レコード、結果オブジェクトサイズ:20 MB

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

収集ジョブのステップ	結果のログ エントリの例
3. スコアまたはスナップショットの配列を作成または更新します。アレイは 、インジケーター、ブレークダウン 1、アーティファクト 1、ブレークダウン 2、アーティファクト 2、ドメイン、値、[sys_id] のアレイです。	
マップ/低減機能が完了します。	適用されたマップ/低減関数

データ収集の使用法の表示

データ収集ジョブに関する統計を表示するには、パフォーマンスアナリティクス管理コンソールの [使用法] タイルにある [データ収集の概要] をクリックします。

始める前に
必要なロール：pa_admin、admin

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** > アドミンコンソール.

2. [使用法] タイルで、[データ収集の概要] をクリックします。

タスクの結果
次のウィジェットが表示されます。

- 新しいネット スコア、平均実行時間、および 1 日のエラー数
- 週次の新しいネット スコアと平均実行時間
- 経時的なデータ収集ジョブの挿入および削除の回数

次のタスク
デフォルトでは、週次統計はデータコレクタ別に分類されて表示されます アナリティクスハブ。ウィジェット内のさまざまなチャート化とブレークダウンを選択できます。

パフォーマンス分析診断

無効なレコードについてデータベースで検証し、問題解決に向けた提案を提供するための事前定義されたスクリプトを使用して、構成の問題を特定、診断します。

各診断には、重大度コード、メッセージ テキスト、推奨されるソリューションを含むスクリプトまたはデータベース クエリが含まれます。診断は読み取り専用です。診断の作成や編集はできません。

適用可能なすべてのレコードに対して 1 つまたはすべての診断を実行したり、1 つのレコードに対して適用可能なすべての診断を実行したりできます。

すべてのレコードに対して診断を実行

構成の問題が実装に影響する可能性がある パフォーマンスアナリティクス かどうかを判断するには、診断を実行します。1 つの診断を実行するか、すべての診断を実行するかを選択できます。診断では、論理的に適用されるレコードの パフォーマンスアナリティクス サブセットを調べます。

始める前に
必要なロール:sn_pa_diagnostics.pa_diagnostic

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** > 診断.
2. 実行する診断を選択します。
   すべてのアクティブな診断を実行するには、リストから [すべて実行] をクリックします。
3. [診断を実行] をクリックします。
   診断スクリプトは、実行に 2 分以上かかると自動的にキャンセルされます。
4. 診断が完了したら、[結果を表示] をクリックします。

次のタスク
診断で警告またはエラーが返された場合は、指定したソリューションを確認し、問題を解決するための手順を実行します。

1 つのレコードに対してすべてのアクティブな診断を実行する

レコードの設定詳細のいずれかがパフォーマンスアナリティクスの実装に影響するかどうかを判断するには、そのレコードに対して適用可能なすべての診断セットを実行します。

始める前に
必要なロール:sn_pa_diagnostics.pa_diagnostic

手順

1. [パフォーマンス分析] に移動し、インジケーター、インジケーター ソース、ブレークダウン、ブレークダウンソース、ウィジェットなどのコンポーネントのリストを開きます。
2. 対象のレコードを特定して開きます。
3. [診断を実行] リンクをクリックします。
   診断の進行状況を示すダイアログが開きます。
4. 診断実行が完了したら、進行状況ダイアログの [結果を表示] をクリックします。

次のタスク
診断で警告またはエラーが返された場合は、指定したソリューションを確認し、問題を解決するための手順を実行します。

パフォーマンスアナリティクス ロール

ユーザーが必要なすべてのアクションを確実に実行できるようにロールを割り当てます。

ロールとペルソナ

⚠ 警告:
誰かにpa_adminまたはpa_data_collectorロールを付与することは、セキュリティの観点からは管理者を付与することと同じです。

ロール	認証	典型的なペルソナ
ロールなし	• サービスポータルでパフォーマンス分析のビジュアルを表示します。 • このユーザーと共有されているダッ	特定の結果の可視化以外にはアクセス パフォーマンスアナリティクス する必要のない要求者

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロール	認証	典型的なペルソナ
	シュボードを表示します。 一部のダッシュボードでは、HR エージェントダッシュボードの sn_hr_core_basic など、表示のために該当分野に関連するロールが必要です。ダッシュボードの所有者と管理者は、ロールごとにダッシュボードのアクセスを制限することもできます。詳細については、「ダッシュボード権限」を参照してください。	
任意のロール (パフォーマンスアナリティクスロールである必要はない)	• ダッシュボードを作成します。 • ロールによるアクセスを作成したダッシュボードに制限します。 • 自分が所有するダッシュボードを共有します。	
pa_viewer 次のものに含まれる：pa_contributor 以外のすべてのロール	以前は Quebec、このロールは次のアクションに必要でした。アップグレードされたインスタンスでも必要な場合があります。 • アナリティクスハブ を表示します。 • インジケーターの個人のしきい値とターゲットを作成します。 • 作成したしきい値とターゲットを読み込み、更新、および削除します。	重要業績評価指標の詳細を必要とし、理解している要求者

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロール	認証	典型的なペルソナ
	• ダッシュボード上のテキスト分析ウィジェットを表示します。	
sn_pa_diagnostics.pa_diagnostic 次のものに含まれる：pa_admin	• 診断テーブルから読み込みます。 • 診断を有効または無効にします。 • 診断を実行します。 • メッセージ レコードと診断ログを削除します。	特定のペルソナはありませんが、このロールは通常、個々のビジネス アナリストまたは担当者のグループに割り当てられます。
pa_contributor 次のものに含まれる：pa_power_user、pa_admin	ユーザーが貢献者として指定されたインジケーターの場合： • スコアシートのスコアを読み込んで更新します。 • を表示します アナリティクスハブ。 このユーザーは、共有されているダッシュボードを読み込むこともできます。	特定のペルソナはありませんが、このロールは通常、インジケーターのスコアを手動で設定できる個々の担当者またはグループに割り当てられます。
pa_kpi_signal_admin 次のものに含まれる:admin	ユーザーがシグナルを却下したり、のKPI シグナルベースラインをリセットしたりできるようにします。	の パフォーマンスアナリティクストレーニングも受けているプロセスオーナー。pa_viewerロールも必要です。
pa_target_admin 次のものに含まれる：pa_power_user、pa_admin	• ターゲットを作成します。 • 所有していないターゲットを含め、すべてのターゲットを読み込み、更新、および削除します。 • ターゲットをインジケーターに割り当てます。	設定するターゲットを知っているが、それ以上の入力がない可能性のあるマネージャ パフォーマンスアナリティクス

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロール	認証	典型的なペルソナ
pa_threshold_admin 次のものに含まれる：pa_power_user、pa_admin	• グローバルしきい値を作成します。 • 所有していないしきい値を含め、すべてのしきい値を読み込み、更新、および削除します。 • しきい値をインジケーターに割り当てます。	設定するしきい値を知っているが、それ以上の入力がない可能性のあるマネージャ パフォーマンスアナリティクス
pa_analyst 次のものに含まれる：pa_power_user、pa_admin	• テキスト分析のキーワード、フレーズ、ストップワードの CRUD 操作を実行します • インジケーターソースを読み込みます。	特定のペルソナはありませんが、このロールは、ワード クラウドのキーワード、フレーズ、ストップ ワードを専門とする個々の担当者またはグループに割り当てられます。
pa_power_user 次のものに含まれる：pa_admin pa_power_user ロールには、pa_viewer、pa_contributor、pa_target_admin、pa_analyst、および pa_threshold_admin ロールが含まれます。	• インジケーターとブレークダウンの CRUD 操作を実行します。 • ウィジェットの CRUD 操作を実行します • ダッシュボードにパフォーマンスアナリティクスウィジェットを追加します。 • テキスト分析のテキスト インデックス構成の CRUD 操作を実行します。 • バケット グループの CRUD 操作を実行します。 • インジケーター グループの CRUD 操作を実行します	ビジネス アナリスト。パフォーマンスアナリティクスのビジネス ユース・ケースおよびインジケーターとブレークダウンの要件を理解します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロール	認証	典型的なペルソナ
pa_data_collector 次のものに含まれる：pa_admin	• データ収集ジョブを CRUD、スケジュール設定、および実行します • インジケーターとブレークダウンのソースの CRUD 操作を実行します • 一部のシステム プロパティを読み込みます • システム ユニットの CRUD 操作を実行します • スクリプトと自動通知の CRUD 操作を実行します • バケット グループの CRUD 操作を実行します	基礎となるデータベースレコード構造を理解している技術エキスパート パフォーマンスアナリティクス
pa_admin pa_admin ロールには、pa_power_user、sn_pa_diagnostics.pa_diagnostic、および pa_data_collector ロールが含まれます。	• プロパティを読み取り パフォーマンスアナリティクスます。 • 管理コンソールにアクセスします • 依存関係アセスメントを起動	パフォーマンス アナリティクス ビジネス ニーズを理解している技術エキスパート。
admin	システム管理者ロール。admin ロールを持つユーザーは、すべてのpa_admin 機能の実行、プロパティの編集、データベース ビューの作成、ダッシュボードの CRUD 操作、およびダッシュボードへの所有権の割り当てを行うことができます。	システム管理者

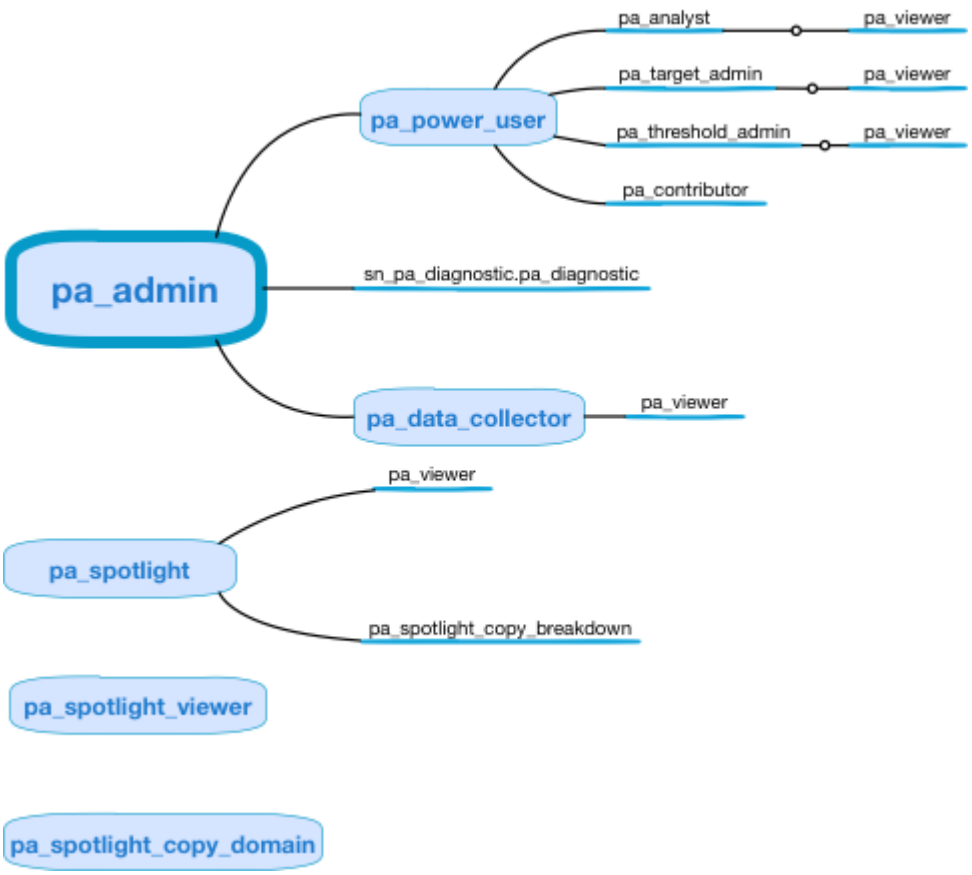
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スポットライトロール

ロール	認証	典型的なペルソナ
pa_spotlight 包含:pa_viewer、pa_spotlight_copy_breakdown	スポットライト グループと条件の CRUD 操作を実行します。	リマインダーが必要なレコードのビジネスロジックを理解しているエキスパート。
pa_spotlight_viewer	分析およびレポートのスポットライトソリューションからダッシュボードにアクセスします。	アクションが必要なレコードをリマインドするために、単純な優先度設定以上のものを必要とする履行者。
pa_spotlight_copy_breakdown	スポットライト グループをブレークダウンの複数の要素にコピーできます。	ブレークダウン要素別のスポットライト グループの適用性を理解しているスポットライト エキスパートまたはビジネス アナリスト。
pa_spotlight_copy_domain	スポットライト グループを複数のドメインにコピーできます	専門知識を持つ パフォーマンス アナリティクス ドメイン管理者

ロールの階層

pa_power_user や pa_admin などの特定のロールには、他のロールも含まれます。たとえば、pa_power_user には pa_contributor が含まれます。この図は、ロール階層を示しています。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクションに必要なロール

モジュール	アクション	最低限必要なロール
管理コンソール	アクセス	pa_admin
分析ハブ (スコアカード)	表示	以来 Quebec、なし。ただし、アップグレードされたインスタンスには引き続きpa_viewerが必要な場合があります。
自動インジケーター	CRUD	pa_data_collector または pa_power_user
自動化スケジュール	読み込みと削除 (他のセキュリティ制限が適用される可能性があります)	pa_data_collector
自動化スクリプト	CRUD	pa_data_collector
ブレークダウンと要素 (ブレークダウン関係を含む)	CRUD	pa_data_collector または pa_power_user
バケット グループ	CRUD	pa_data_collector または pa_power_user
チャートとターゲットのカラースキーム	CRUD	pa_power_user
ダッシュボード	ダッシュボードを作成します。ロールによるアクセスを制限するなど、作成したダッシュボードを更新します。	表示するデータにアクセスするために必要なロール、またはいずれかのロール
ダッシュボード	所有するダッシュボードにパフォーマンスアナリティクス ウィジェットを追加します。	pa_power_user
ダッシュボード	共有されているダッシュボードを読み込みます	デフォルトではロールはありませんが、ダッシュボードにはデータを表示するためにロールが必要になる場合があります。詳細については、「ダッシュボード権限」を参照してください。
ダッシュボード	自分が所有するダッシュボードを更新、削除、または共有します。	pa_power_user
ダッシュボード	任意のダッシュボードを更新、削除、または共有します。ダッシュボードの所有権を再割り当てします。	admin (およびダッシュボードのロール dashboard_admin)
データ コレクタ ジョブ	読み込み、書き込み、実行します	pa_data_collector

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モジュール	アクション	最低限必要なロール
依存関係アセスメント	インジケーターまたはブレークダウン フォームから依存関係アセスメントを開始します	pa_admin
外部インジケーターとブレークダウン	CRUD	pa_data_collector または pa_power_user
計算式およびマニュアル インジケーター	CRUD	pa_power_user
インジケーター グループ	CRUD	pa_power_user
ソース (インジケーターまたはブレークダウン)	CRUD	pa_data_collector
インジケーター ターゲット	自分が所有していないターゲットを読み込みおよび編集します	pa_target_administrator
インジケーター ターゲットまたはしきい値	新規作成します。自分が所有しているものを読み込みまたは編集します。	以来 Quebec、なし。ただし、アップグレードされたインスタンスには引き続きpa_viewerが必要な場合があります。
インジケーター しきい値	自分が所有していないしきい値を読み込みおよび編集します	pa_threshold_administrator
フォーム内分析	CRUD	pa_power_user
KPI シグナル	ベースラインをリセットまたは信号を却下	pa_kpi_signal_admin
すべてのアプリケーション内のリスト	インタラクティブ分析にアクセスします	デフォルトでロールはありませんが、一部のインタラクティブ分析にはテーブルを表示するためのロールが必要です
診断の管理	読み込み、実行、削除します	sn_pa_diagnostics.pa_diagnostic
スケジュール設定済みメール概要ジョブ	CRUD	pa_power_user
スコアシート	CRUD	pa_power_user
サービスポータル	パフォーマンス分析のビジュアルを表示します	ロールなし
システム プロパティ	編集	admin
システムプロパティ	読み取り	一部の人にとっては pa_data_collector、すべての人にとってpa_admin
システム ユニット	CRUD	pa_data_collector
テキスト分析	テキスト インデックス構成を設定します	pa_power_user
テキスト分析	ダッシュボード上にテキストウィジェットを表示します	以来 Quebec、なし。ただし、アップグレードされたインスタンスには引き続きpa_viewerが必要な場合があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モジュール	アクション	最低限必要なロール
テキスト分析のキーワード、フレーズ、またはストップ ワード	CRUD	pa_analyst
ニュース移動ルールと統計情報ジェネレータに関する情報	読み込みおよび編集します	pa_power_user
ウィジェット	CRUD	pa_power_user

関連情報

- ダッシュボード権限
- レポートの管理

パフォーマンスアナリティクス のプロパティ

これらのシステム プロパティがパフォーマンスアナリティクスの動作を制御します。

プロパティを設定するには、次の場所に移動します **Performance Analytics** > **System** > プロパティ または sys_properties_list.doに。

注:
ここでは、[パフォーマンスアナリティクス プロパティ] ページのプロパティについてのみ説明します。sys_properties.list ページには、 に影響するパフォーマンスアナリティクスその他のプロパティが含まれています。詳細については、「 利用可能なシステムプロパティ 」を参照してください。

コレクションのクリーンアップ **Performance Analytics** プロパティ

いくつかのプロパティにより、パフォーマンスアナリティクスのスコアとスナップショットが、スケジュール設定済みのクリーンアップ ジョブにより削除される前に維持管理される期間が決まります。

プロパティ	説明
com.snc.pa.dc.keep_scores_for.frequency	スコアが収集されて保持される、今日までの期間の最大数。期間の数は、次のようにスコアの収集周期に応じて変化します。日次、週次、隔週、4 週間ごと、月次、隔月、四半期ごと、会計四半期ごと、半年ごと、年次、会計年度ごと。 この制限よりも古いスコアは、データ収集中に収集されません。 **注:** このプロパティは、個々のインジケーターで上書きできます。 • タイプ：文字列 • デフォルト値：732;105;53;40;60;30;20;20;20;10;10 • 場所： **Performance Analytics** > **System** > プロパティ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明
com.snc.pa.dc.keep_snapshots_for.頻度	スコアに関連するレコードリスト (スナップショット) が収集されて保持される、今日までの期間の最大数。期間の数は、次のようにスコアの収集周期に応じて変化します。日次、週次、隔週、4 週間ごと、月次、隔月、四半期ごと、会計四半期ごと、半年ごと、年次、会計年度ごと。 この制限よりも古いスナップショットは、データ収集中に収集されません。 **注:** このプロパティは、個々のインジケーターで上書きできます。 • タイプ：文字列 • デフォルト値：183;26;13;10;15;8;5;5;5;3;3 • 場所： **Performance Analytics** > **System** > プロパティ

会計年度 **Performance Analytics** プロパティ

これらのプロパティは、会社の会計年度と一致するようにパフォーマンスアナリティクスの年を設定します。

プロパティ	説明
com.snc.pa.fy_start	会社の会計年度の開始 範囲: 1 (1 月) - 12 (12 月) デフォルト値：1

デフォルトのカラースキーム **Performance Analytics** プロパティ

これらのプロパティは、チャート全体とインジケーター ターゲットのデフォルトの色を設定します。

プロパティ	説明
com.snc.pa.indicator_target_default_color_schema	デフォルト インジケーターのターゲット カラー スキーム デフォルト:3 色の信号
com.snc.pa.chart_default_color_schema	デフォルトのチャート化のカラー スキーム デフォルト:デフォルトの UI14

ブレークダウンとインジケーター **Performance Analytics** プロパティ

これらのプロパティは、主にチャート化のコンテキストで、ブレークダウン要素とインジケーターに制限を設定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

プロパティ	説明
com.snc.pa.scoresheet.max_要素	スコアシートで表示できるブレークダウン要素の最大数 デフォルト：500
com.snc.pa.breakdown_element_cutoff	と KPI 詳細 がそのスコアレス要素を表示する場合にアナリティクスハブブレークダウンが持つことができる要素の最大数。 要素がスコアレスになるのは、次のいずれかの条件を満たす場合です。 • リアルタイムスコアの場合、要素にスコアがありません。 • 式インジケーターの場合、要素が 1 つ以上の貢献インジケーターでスコアを獲得したことがない。 • 自動インジケーターの収集スコアでは、要素にスコアがありません。ただし、まだ表示される要素の数が値を超える *com.snc.pa.breakdown_element_cutoff* 場合は、選択した日付にスコア値または変更値がある要素のみが表示されます。詳細と例については、「収集されたスコアと com.snc.pa.breakdown_element_cutoff」を参照してください。 **注:** このパラメータは、一致しない要素が表示されるかどうかには影響しません。 デフォルト：50
com.snc.pa.scorecards.max_breakdown_element	リスト内の アナリティクスハブ ブレークダウン要素の最大数 [デフォルト]：1000
com.snc.pa.scorecard.breakdown.chart.max_rows	チャート化のブレークダウン要素の数 デフォルト：10
com.snc.pa.thresholds.frequency_intervals_in_the_past_limit	しきい値インジョブが分析する過去の周波数間隔の最大数 デフォルト値：2
com.snc.pa.scorecard.max_record_num	単一のインジケーターの アナリティクスハブ レコードタブに自動的にロードされるレコードの

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明
	数。レコードの数がこのプロパティの値を超えると、レコードは自動的にロードされません。この場合は、メッセージとすべてのレコードをロードするためのボタンがユーザーに表示されます。 デフォルト:50,000
com.snc.pa.breakdown_element_ui_max_records	アナリティクスハブ で使用廃止。ブレークダウンのためにフェッチされる要素数の制限。ルックアップ フィールド (ブレークダウン ダッシュボード、古い詳細スコアカードなど) に使用されます。 デフォルト：100
com.snc.pa.target_batch_operation_limit	KPI 詳細にのみ適用：[ターゲット構成] ページで 1 回の一括アクションで挿入または更新できるターゲットの最大数。ターゲットの一括挿入または更新中にタイムアウトが発生した場合は、この制限を減らすことを検討してください。 デフォルト：100
com.snc.pa.widget.max_widget_indicators	ウィジェットに追加できるメインインジケーターに加えて、ウィジェットインジケーターの最大数 デフォルト値：7
com.snc.pa.widgets.respect_acl	インジケーターおよびブレークダウンの ACL に従ってウィジェットの表示を制限します。True|false。 • 新規インスタンスのデフォルト:true • 以前 Quebecからアップグレードされたインスタンスのデフォルト:false

Performance Analytics のチャートプロパティ

チャート とは、 ここではウィジェットの パフォーマンスアナリティクス グラフィカルコンポーネント、または アナリティクスハブ. これらのプロパティはコア UI にのみ適用され、構成可能なワークスペースの可視化には適用されません。

プロパティ	説明
com.snc.pa.default_chart_line_color	トレンド ラインとブレット グラフを含む、ウィジェットとウィジェットの アナリティクスハブ スコアの色。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明
	• 形式：RGBA • デフォルト：106,183,239,1
com.snc.pa.text.trendline_points_for.頻度	テキストアナリティクストレンド ラインに表示されるポイントの最大数 デフォルト値：30
com.snc.pa.default_chart_target_color	グラフ内のターゲットの色。 • 形式：16 進数 • デフォルト:#506163
com.snc.pa.default_chart_personal_target_color	単一のインジケーターで表示される アナリティクスハブ 個人ターゲットの線の色。 • タイプ：文字列 • デフォルト値:#879394
com.snc.pa.default_chart_threshold_color	チャート内のしきい値の色。 • 形式：16 進数 • デフォルト:#506163
com.snc.pa.default_chart_personal_threshold_color	単一のインジケーターに表示される個人しきい値 アナリティクスハブ の線の色。 • タイプ：文字列 • デフォルト値:#879394
com.snc.pa.default_chart_area_color0	グラフの最初のグラデーション領域の色。 • 形式：RGBA • デフォルト：106,183,239,1
com.snc.pa.default_chart_area_color1	グラフの 2 番目のグラデーション領域の色。 • 形式：RGBA • デフォルト：106,183,239,0
com.snc.pa.navigator_line_color	チャート ナビゲータの線の色。 • 形式：RGBA • デフォルト:106,183,239,1
com.snc.pa.navigator_area_color0	チャート ナビゲータの最初のグラデーション領域の色。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明
	• 形式：RGBA • デフォルト：204,204,204,0.25
com.snc.pa.navigator_area_color1	チャート ナビゲータにある 2 番目のグラデーション領域の色。 • 形式：RGBA • デフォルト：204,204,204,0.5
com.snc.pa.navigator_mask_fill_color	で アナリティクスハブ廃止されました。 チャート ナビゲータのマスク塗りつぶし色。 • 形式：RGBA • デフォルト：106,183,239,0.25
com.snc.pa.spark_line_width	チャートの線のピクセル幅。ワークベンチ ウィジェットでのみ使用されます。 デフォルト値：1
com.snc.pa.scorecard.breakdown.chart.name_max_length	ブレークダウン ウィジェットにある凡例の要素名の最大数。 デフォルト：27

データコレクタ **Performance Analytics** プロパティ

データ コレクタのプロパティを使用すると、パフォーマンスアナリティクスのデータ収集のさまざまな制限を設定できます。このプロパティは、データ収集プロセスを保護するために設定されます。デフォルト値はほとんどの環境に適しています。

注:
これらの値を必要以上に増やさないようにしてください。実装によっては、これらの値の増加がパフォーマンスに影響を与える可能性があります。可能であれば、ドメインの専門家または実装パートナーに相談してください。これらのパートナーは、資産価値を高めるための代替ソリューションを見つけることができるかもしれません。

プロパティ	説明
com.snc.pa.dc.script_timeout	インジケーター ソース スクリプトやブレークダウン スクリプトなどのスクリプトをデータ収集サイクル中に実行できる最大時間 (秒)。 この制限は、データ収集ジョブによって処理されるレコードごとに個別に適用されます。スクリプトがこの制限を超えると、データ収集ジョブは現在のレコードをスキップします。 スクリプトが頻繁にデフォルトの制限に達する場合は、このプロパティを変更する前にスクリプトを可能な限り簡素化してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明
	• タイプ：整数 • デフォルト値：30
com.snc.pa.dc.query_time_limit	警告がログに記録される前にデータ収集ジョブの単一クエリを実行できる最大期間 (分)。 • タイプ：整数 • デフォルト値： 60
com.snc.pa.dc.max_row_count_indicator_source	単一のインジケーター ソースからジョブが収集できるレコードの最大数。 **重要:** このプロパティは、最適化されたデータ収集を使用しないジョブにのみ適用されます。最適化されたデータ収集が有効な場合 (デフォルトの条件) は、プロパティ *com.snc.pa.dc.hsql.max_row_count_indicator_sou* 参照してください。 この制限は、データ収集ジョブに含まれるインジケーター ソースごとに個別に適用されます。各インジケーター ソースに関連付けられたインジケーターの数は、この制限に影響しません。 たとえば、データ収集ジョブが 3 つのインジケーター ソースから 12 のインジケーターのスコアを収集する場合、ジョブはデフォルトで最大 150,000 レコード (各インジケーター ソースから 50,000 レコード) を収集できます。 **警告:** • 単一のインジケーター ソースに含まれるレコードの数がこのプロパティの値よりも多い場合、そのインジケーター ソースのインジケーターは収集されません。 • このプロパティは、個々のインジケーター ソースで上書きできます。この場合、行数が の値 *com.snc.pa.dc.max_row_count_indicator_source* りも小さくても、個々のインジケーター ソースが収集されないことがあります。 • タイプ：整数 • デフォルト値：50,000
com.snc.pa.dc.hsql.max_row_count_indicator_source	単一のインジケーター ソースからジョブが収集できるレコードの最大数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明
	重要: このプロパティは、最適化されたデータ収集を使用するジョブにのみ適用されます。それ以外の場合は `com.snc.pa.dc.max_row_count_indicator_source` 、適用されます。詳細については、「データ収集の最適化」を参照してください。 この制限は、データ収集ジョブに含まれるインジケーター ソースごとに個別に適用されます。各インジケーター ソースに関連付けられたインジケーターの数は、この制限に影響しません。 たとえば、データ収集ジョブが 3 つのインジケーター ソースから 12 のインジケーターのスコアを収集する場合、ジョブはデフォルトで最大 300 万レコード (各インジケーター ソースから 100 万レコード) を収集できます。 より San Diego新しいバージョンにアップグレードすると、最適化されたデータコレクタが有効になります。その後、このプロパティは を上書きします `com.snc.pa.dc.max_row_count_indicator_source`。の値が 100 万を超えない限り、新しいプロパティの値は `com.snc.pa.dc.max_row_count_indicator_source` デフォルトの 100 万に設定されます。後者の場合、元のプロパティ値が保持されます。 **警告:** • 単一のインジケーター ソースに含まれるレコードの数がこのプロパティの値よりも多い場合、そのインジケーター ソースのインジケーターは収集されません。 • このプロパティは、個々のインジケーター ソースで上書きできます。この場合、行数が の値 `com.snc.pa.dc.hsql.max_row_count_indicator_s` りも小さくても、個々のインジケーター ソースが収集されないことがあります。 • タイプ：整数 • デフォルト値 ：1,000,000
com.snc.pa.dc.max_breakdown_elements_limit	ブレークダウンソースごとのデータ収集によって取得されるブレークダウン要素の最大数。ブレークダウンソースの要素数がこの制限を超えると、データコレクターはそのブレークダウンソースからスコアを収集しません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明
	重要: このプロパティは、最適化されたデータ収集を使用しないジョブにのみ適用されます。最適化されたデータ収集については、プロパティ `com.snc.pa.dc.hsql.max_breakdown_elements_limi` 参照してください。も参照してください データ収集の最適化。 この限界値は、データコレクションジョブに含まれるブレークダウンソースごとに個別に適用されます。各ブレークダウンソースに関連付けられたブレークダウンの数は、この限界値には影響しません。 たとえば、データ収集ジョブが 3 つのブレークダウン ソースから 12 のブレークダウンのスコアを収集する場合、ジョブはデフォルトで最大 30,000 レコード (各ブレークダウン ソースから 10,000 レコード) を収集できます。 **警告:** この制限を増やすと、ノードの処理負荷が増加します。 このプロパティは、ネストされたコレクションが有効かどうかによって処理が異なります。 ネストしたコレクションが有効になっている場合は、null 以外のスコアを持つ要素のみがこの制限に対してカウントされます。この数は、データ収集ジョブの実行時に取得されます。スコアを持つ要素の数がこの制限に達すると、ブレークダウン ソースが無効になり、スコアがメモリからクリアされます。 ネストしたコレクションが有効になっていない場合、ブレークダウン ソースのすべての要素が制限に対してカウントされます。スコアが収集される前にカウントが取られます。 100 万個の要素があり、そのうち 5,000 個にスコアがあるブレークダウン ソースに、デフォルトの制限である 10,000 個の要素が適用されるケースを考えてみましょう。入れ子になったコレクションでは、ジョブはこれらの 5,000 個の要素のスコアを収集します。ネストされた収集をオフにすると、ジョブはこのブレークダウン ソースのスコアを収集しません。 • タイプ：整数 • デフォルト値：10,000

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明
com.snc.pa.dc.hsql.max_ブレークダウン_要素_制限	ブレークダウンソースごとのデータ収集によって取得されるブレークダウン要素の最大数。ブレークダウンソースの要素数がこの制限を超えると、データコレクターはそのブレークダウンソースからスコアを収集しません。 **重要:** このプロパティは、最適化されたデータ収集を使用するジョブにのみ適用されます。それ以外の場合は *com.snc.pa.dc.max_breakdown_elements_limit* 、適用されます。詳細については、「データ収集の最適化」を参照してください。 この限界値は、データコレクションジョブに含まれるブレークダウンソースごとに個別に適用されます。各ブレークダウンソースに関連付けられたブレークダウンの数は、この限界値には影響しません。 デフォルトでは、ブレークダウン要素の数に制限は設定されていません。多数の要素を含むブレークダウンソースを持つジョブでパフォーマンスの問題が発生した場合は、 と カスタマーサービス & サポート相談して制限を設定することを検討してください。 より San Diego新しいバージョンにアップグレードすると、最適化されたデータ収集がアクティブ化されます。その後、このプロパティは を上書きします *com.snc.pa.dc.max_breakdown_elements_limit*。 • タイプ：整数 • デフォルト値：-1
com.snc.pa.dc.max_ブレークダウン_要素_レベル 2_制限	2 つのブレークダウンのマトリクスで許容されるブレークダウン要素の最大数。この制限を超えると、マトリクス内のブレークダウン要素は収集されません。 **重要:** このプロパティは、最適化されたデータ収集を使用しないジョブにのみ適用されます。最適化されたデータ収集については、プロパティ *com.snc.pa.dc.hsql.max_breakdown_elements_leve* 参照してください。も参照してください データ収集の最適化。 たとえば、デフォルトの制限が 100 万要素で、第 1 レベルのブレークダウンが 10,000 要素、第 2 レベルのブレークダウンが 500 要素の場

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明
	合、結果として得られる 500 万要素のマトリックスは収集されません。第 1 レベルのブレークダウンに 1,000 個の要素しかない場合は、結果として得られる 500,000 個の要素が収集されます。 **注:** この制限は、プロパティによっても影響を受けます `com.snc.pa.dc.max_breakdown_elements_limit` 。ブレークダウンソースの 1 つがその制限を超えるブレークダウンマトリクスは収集されません。 • タイプ：整数 • デフォルト値 ：1,000,000
com.snc.pa.dc.hsql.max_ブレークダウン_要素_レベル 2_制限	2 つのブレークダウンのマトリクスで許容されるブレークダウン要素の最大数。この制限を超えると、ブレークダウン要素は収集されません。 **重要:** このプロパティは、最適化されたデータ収集を使用するジョブにのみ適用されます。「データ収集の最適化」を参照してください。 デフォルトでは、マトリクス内のブレークダウン要素の数に限界値は設定されていません。多数の要素を含むブレークダウンソースを持つジョブでパフォーマンスの問題が発生した場合は、 と カスタマーサービス & サポート相談して制限を設定することを検討してください。 **注:** この制限は、プロパティの影響を受け `com.snc.pa.dc.hsql.max_breakdown_elements_limi` る可能性があります。この制限が設定されている場合、ブレークダウン ソースの 1 つがその制限を超えるブレークダウン マトリクスは収集されません。 • タイプ：整数 • デフォルト値：-1
com.snc.pa.dc.max_error_count	データ収集が停止されるまでに単一のデータ収集ジョブ実行で発生できるエラーの最大数。 データ収集中のエラーは、通常、無効なスクリプトやスクリプトのタイムアウト制限が原因で発生します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明
	この制限が適用された場合は、データ収集中に実行されるすべてのスクリプトを調べて、スクリプトが有効であり、想定どおりに機能することを確認します。 • タイプ：整数 • デフォルト値： 500
com.snc.pa.dc.max_records	1 つのスナップショット [pa_snapshots] レコードに格納される Sys ID の最大数。スナップショット レコードは収集されたスコアごとに作成され、このレコードのフィールドには、スコアに寄与するレコードのすべてのSys ID が含まれます。この制限を超えると、最大レコード数でスナップショットレコードが作成されます。この制限は、インジケーターに [レコードの収集] が選択されている場合にのみ適用されます。 たとえば、デフォルトの制限である 5,000 を使用していて、5,010 レコードがスコアに寄与するジョブを実行するとします。[sys_id] フィールドの最初の 5,000 個のSys ID をカンマで区切ったリストを使用して、スナップショットレコードが作成されます。 一般には、デフォルトの限界値によって、収集されたレコードの十分な詳細が得られます。この制限を増やすと、データ収集時やスナップショット テーブルで操作を実行する時のパフォーマンスに影響を与える可能性があります。 • タイプ：整数 • デフォルト値：5000

収集されたスコアと**com.snc.pa.breakdown_element_cutoff**

と KPI 詳細 が選択した日付で表示されるブレークダウンアナリティクスハブの要素は、要素の数との値*com.snc.pa.breakdown_element_cutoff*によって異なります。

一般に、ブレークダウンの要素数が *com.snc.pa.breakdown_element_cutoff*を超える アナリティクスハブ と、 と KPI 詳細 はスコアを持つ要素のみを表示します。

式インジケーターの場合、貢献しているすべての自動インジケーターのスコアを持つ要素が表示されます。これらのスコアは、同じ日付である必要はありません。要件は、貢献インジケーターごとに、ある日付に要素のスコアがあったことだけです。

自動インジケーターの収集されたスコア (つまり、リアルタイム スコア以外のすべてのスコア) には、次の 2 つの動作があります。

- スコアが設定された要素の数が で *com.snc.pa.breakdown_element_cutoff*設定された制限よりも少ない場合、これらの要素はすべて、選択した日付に対して一覧表示されます。選択した日付のスコアを持たない要素は、その日付でもリストされます。この動作は、リアルタイム スコアの動作と同じです。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- スコアが設定された要素の数が で設定された *com.snc.pa.breakdown_element_cutoff*制限を超える場合、選択した日付のスコアまたは変更値を持つ要素のみが、その日付にリストされます。その日付のスコアまたは変更値を持たない要素は、他の日付のスコアがあるかどうかに関係なく、リストに含まれません。

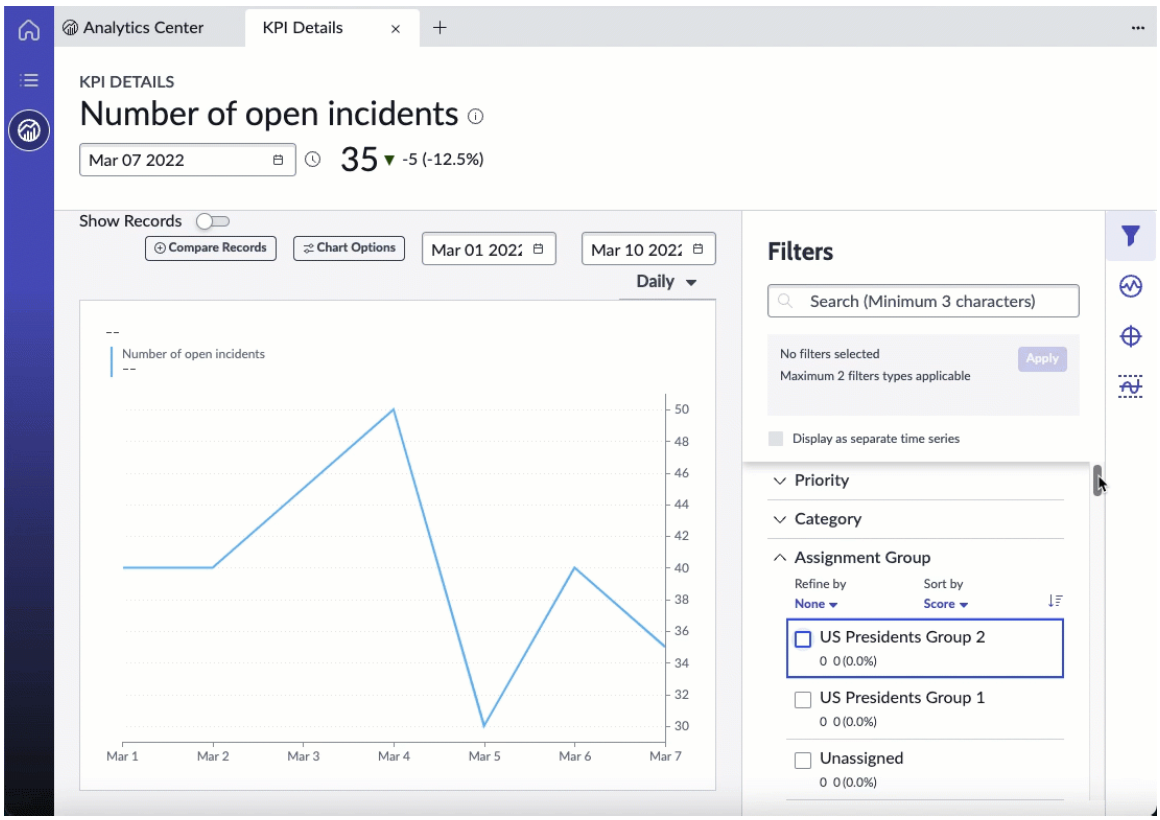
ヒント:

自動インジケーターの [またはKPI 詳細] に アナリティクスハブ null スコアの要素が表示されないようにするには、 に *com.snc.pa.breakdown_element_cutoff*0 や 1 などの低い値を設定することを検討してください。ただし、リアルタイムスコアと式インジケーターでは、スコアが null の要素が引き続き表示される場合があります。

Example: さまざまな**com.snc.pa.breakdown_element_cutoff**値を持つ自動インジケーターに表示されるスコア

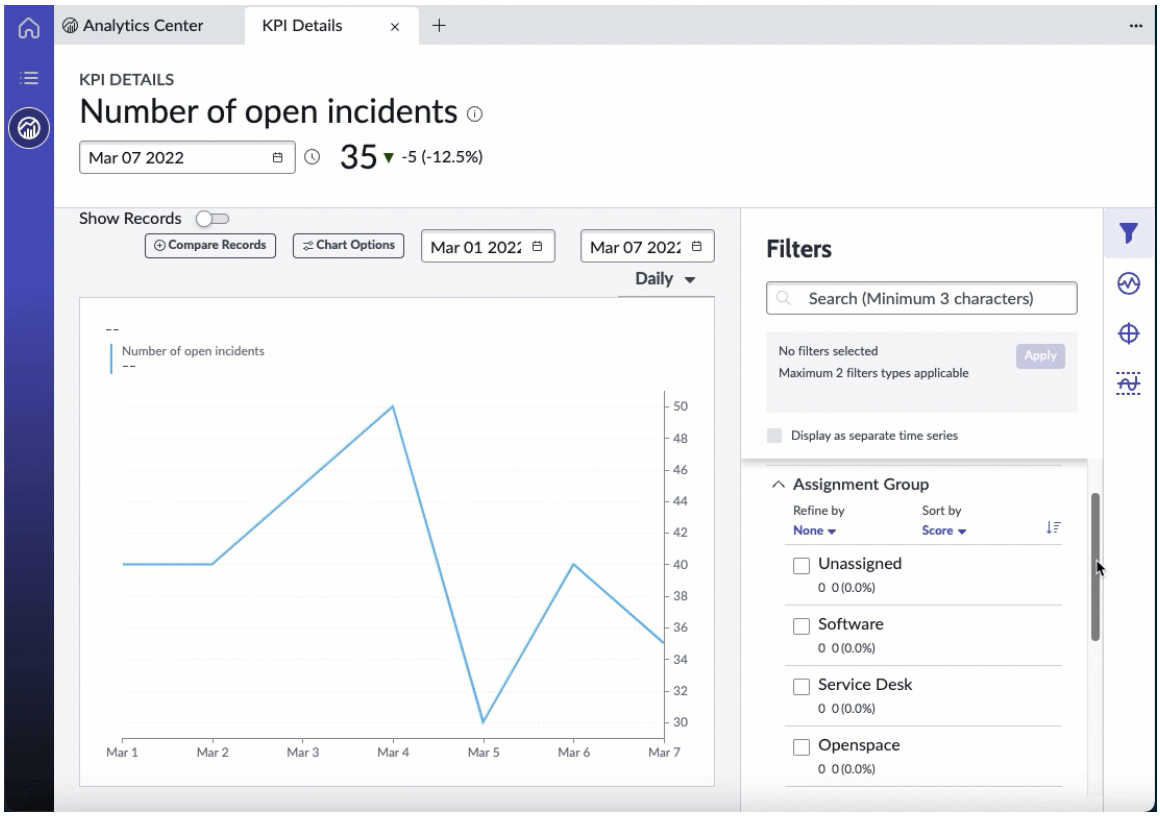
KPI 詳細この例では、「オープンインシデントの数」インジケーターのアサイン先グループブレークダウンを探索します。例で使用されているインスタンスのアサイン先グループブレークダウンには、50 弱の要素があります。

1 番目はデフォルトのケースで、= *com.snc.pa.breakdown_element_cutoff*50 です。この値は、アサイン先グループの要素数よりも大きくなっています。したがって、選択した日付では、ブレークダウングループのすべての要素が表示されます。

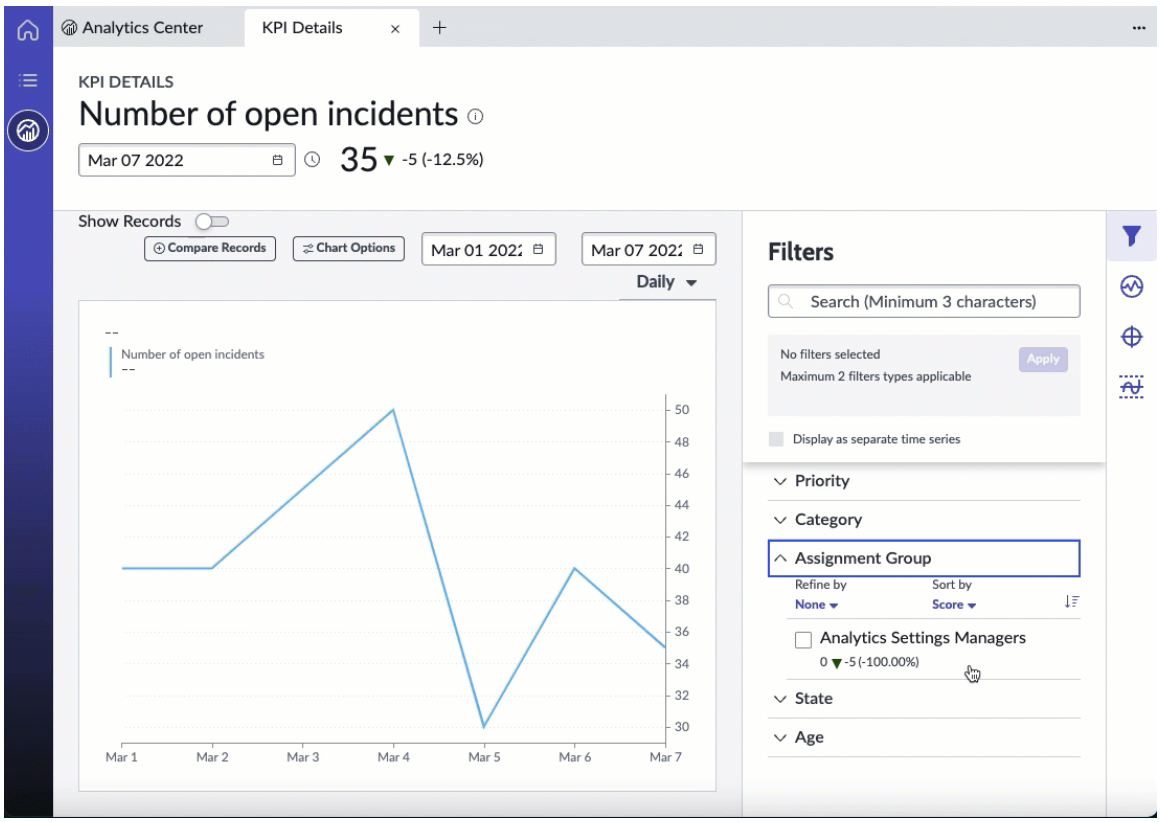


次のケースは =10 です *com.snc.pa.breakdown_element_cutoff*。アサイン先グループブレークダウンの要素数がこの値をはるかに上回っています。ただし、これまでにスコアが付けられたのは 8 つの要素のみです。この数値はカットオフ値の 10 より小さいため、どの日付でも、null の場合でも 8 つの要素すべてが表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



最後に、=5 の場合 *com.snc.pa.breakdown_element_cutoff*があります。この数は、これまでにスコアが付けられた要素の数よりも少なくなります。これで、選択した日付で null 以外の値または変更値を持つ要素のみがその日付に表示されます。したがって、異なる日付に対して異なる要素が表示されます。

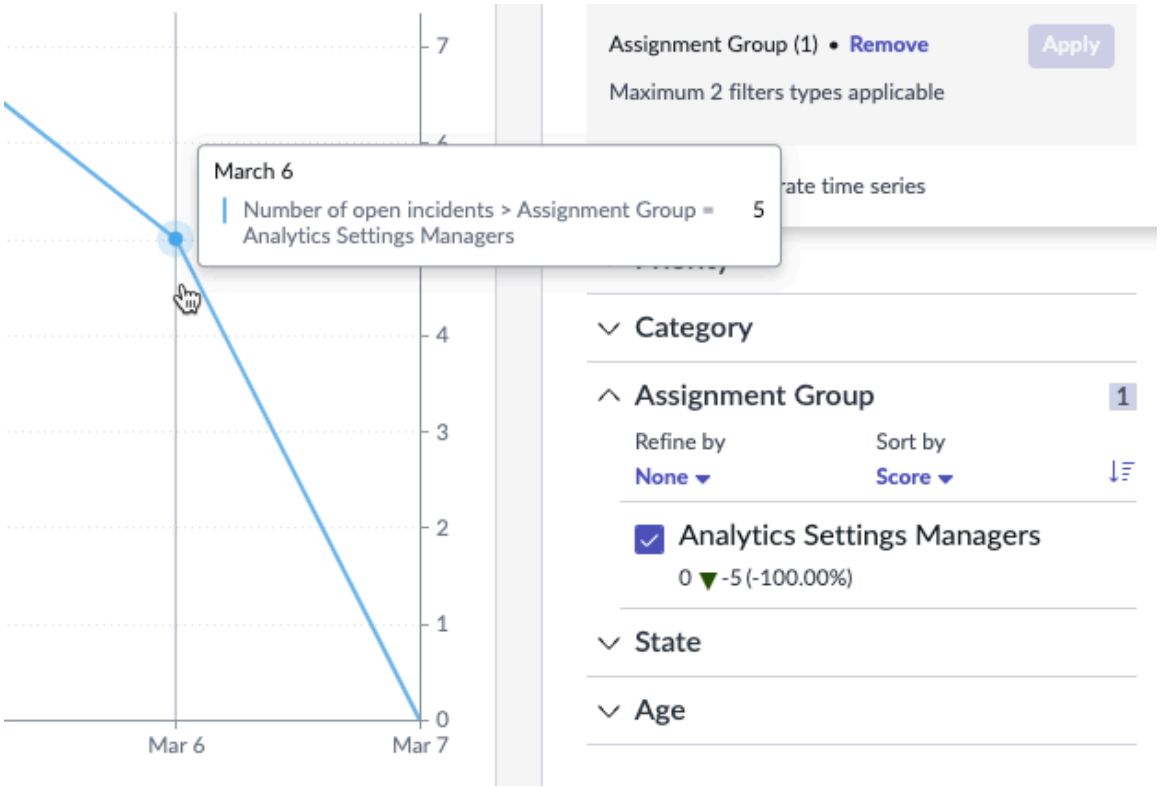


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

3 月 7 日の Analytics 設定マネージャー要素は、null 値であるにもかかわらず表示されます。これは、前の収集期間の値が 5 であり、3 月 7 日の変更値が -5 であるためです。



依存関係アセスメント

依存関係アセスメントを使用すると、ウィジェット、インジケーター、ブレークダウンなどのパフォーマンス分析コンポーネントを単一のビューから表示、分析、編集できます。コンポーネントの階層とそれらの関係を表示することで、変更の影響を受けるユーザーと変更の影響をすぐに確認できます。

依存関係アセスメントは、いくつかのコンポーネントで構成されています。

トップダウン ツリー ビュー

トップダウン ツリー ビューは、パフォーマンス分析エンティティのコンポーネントを階層ビューで表示します。 ダッシュボードで依存関係アセスメントを開始すると、たとえばトップダウン ツリー ビューには各ダッシュボード タブのノードが表示されます。ダッシュボード タブを選択すると、ツリー ビューが展開され、ダッシュボード上の各ウィジェットを表すノードが表示されます。

ボトムアップ ツリー ビュー

ボトムアップ ツリー ビューは、インスタンスでパフォーマンス分析エンティティが使用されている場所を表示します。ツリー ビュー コンポーネントのコンテキスト メニューから [使用者を表示] を選択した場合、ツリー ビューにはそのエンティティが使用されているすべての場所が表示されます。リセット アイコン () をクリックすると、トップダウン ツリー ビューに戻ります。

コンポーネントの概要

情報アイコン (ⓘ) をクリックすると、コンポーネントの概要が表示されます。

その他のアクション

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

任意のコンポーネントでコンテキスト メニュー アイコン (☰) をクリックすると、そのコンポーネントで使用可能なアクションが表示されます。たとえばコンポーネントの編集、コンポーネントのスキーマ マップの表示、ウィジェットのプレビューなどがあります。

注:
ツリー ビューは永続的です。依存関係アセスメントに戻ると、ツリー ビューには前回訪問したときと同じ構成が表示されます。

依存関係アセスメントを起動

依存関係アセスメントのツリー ビューを使用して、ウィジェット、インジケーター、ブレークダウンなどのコンポーネントを単一のビューから表示および編集 パフォーマンスアナリティクス します。変更の影響はすぐに確認できます。

始める前に
必要なロール:pa_admin

このタスクについて
依存関係アセスメントのツリー ビューは、起動したときと同じブラウザー ウィンドウで開きます。編集ウィンドウはポップアップで開くため、ブラウザ ウィンドウ間を移動したりコンテキストを失ったりする必要はありません。このタスクでは、[ダッシュボード] リストから依存関係アセスメントを起動する方法について説明します。次の場所のいずれかに移動し、リストからアイテムを選択し、関連リンクの [依存関係アセスメントを起動] をクリックする方法もあります。

- パフォーマンスアナリティクス > ウィジェット
- パフォーマンスアナリティクス > スクリプト
- パフォーマンスアナリティクス > インジケーター > インジケーター (自動)
- パフォーマンスアナリティクス > インジケーター > インジケーター (手動)
- パフォーマンスアナリティクス > ソース > インジケーターソース
- パフォーマンスアナリティクス > ブレークダウン > 自動ブレークダウン
- パフォーマンスアナリティクス > ブレークダウン > 手動ブレークダウン
- パフォーマンスアナリティクス > ソース > ブレークダウンソース
- パフォーマンスアナリティクス > スコアカード

注:
アナリティクスハブ から、コンテキスト メニューを選択し、 [依存関係アセスメントの起動] を選択します。

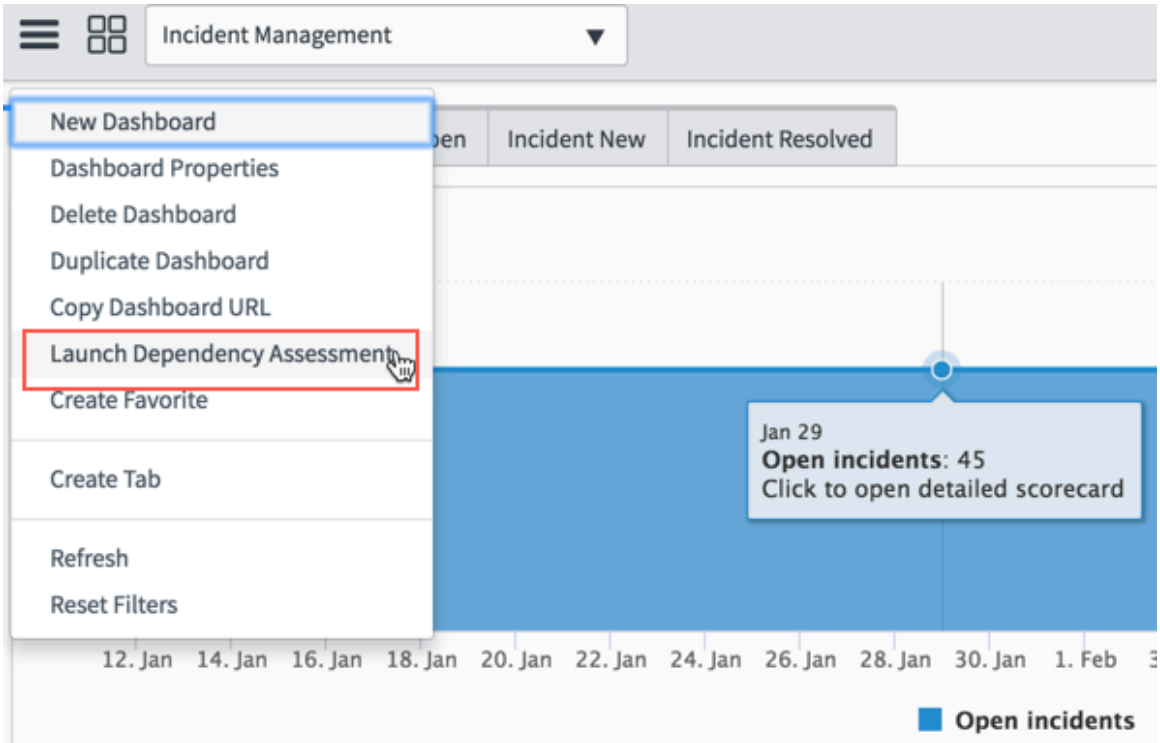
手順

1. 移動先 パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード > または セルフサービス > ダッシュボード。
2. 分析するダッシュボードを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. コンテキスト メニューから、[依存関係アセスメントを起動] をクリックしま



す。
また、[ダッシュボードプロパティ] を選択し、関連リンクの [依存関係アセスメントを起動] をクリックすることもできます。

タスクの結果
選択したダッシュボードのツリー ビューが開きます。

依存関係アセスメントのツリー ビュー

ツリー ビューを使用すると、管理者ユーザーは PA エンティティ間の関係を確認したり、ツリー ビュー階層内の任意のノードに対する変更の影響を把握したりすることができます。

依存関係アセスメントのツリー ビューは、さまざまなノードと凡例から構成されています。ノードは、パフォーマンス分析エンティティを表します。ノードを指すと、ノードのタイプが凡例でハイライトされます。ツリー ビューでノードをクリックすると、子ノードが開きます。ツリー ビューのあるレベルに 8 つ以上のノードがある場合は、6 つが表示され、7 番目のノードには表示されていないノードの数が示されます。このノードをクリックすると、他のノードのリストが表示されます。

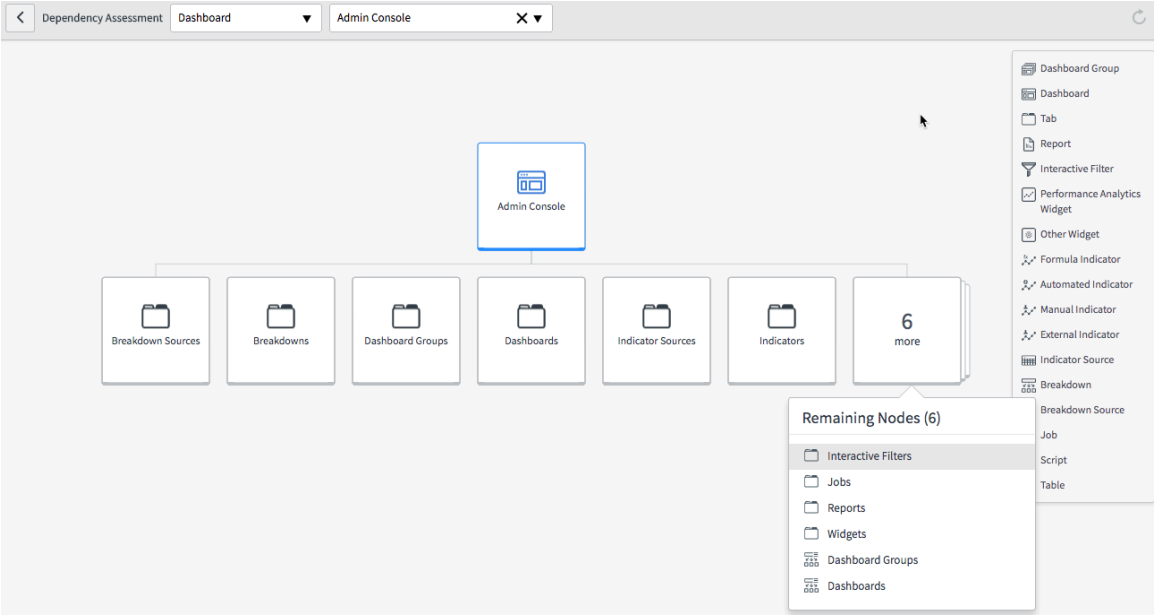
ツリー ビュー ヘッダーには、PA エンティティタイプと値を変更するための選択リストが含まれています。選択した内容に応じてツリー ビューが更新されます。 リセットボタン( )をクリックすると、ツリービューが最初のレベルの親ノードとその直接の子ノードのみの開始点に戻ります。

各ノードにはコンテキスト メニュー ( ) があり、いくつかのアクションから選択できます。[使用者を表示] を選択すると、ツリー ビューが変更され、インスタンスでノードが使用されている場所が表示されます。詳細については、「ボトムアップ ツリー ビュー」を参照してください。

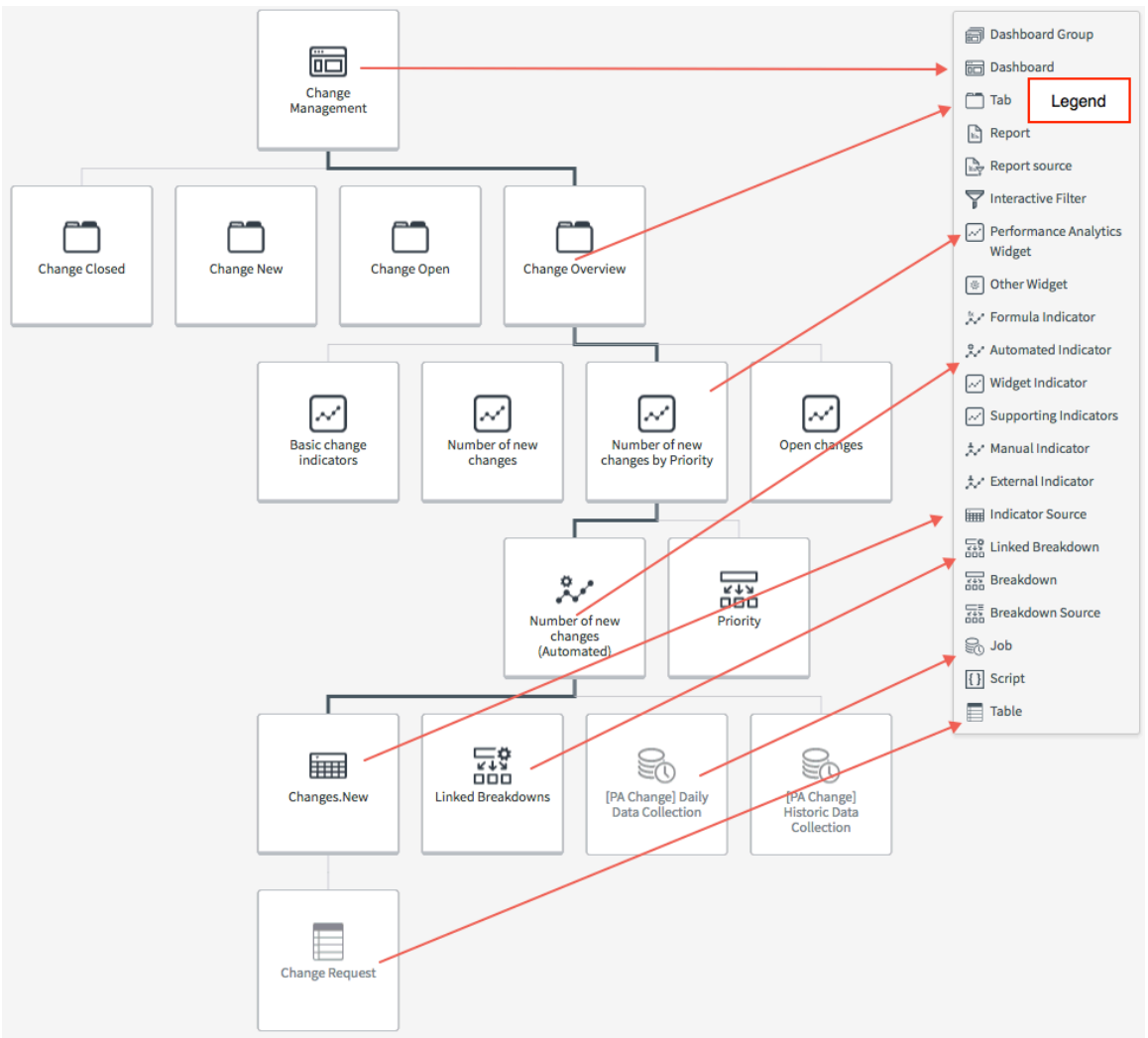
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

依存関係アセスメントのツリービュー



下の図は、トップダウン ツリー ビューの例を示しています。トップ レベルにダッシュボード、第 2 レベルにタブ、第 3 レベルにいずれかのダッシュボード タブのウィジェットがあります。この例のツリー ビューには、ブレークダウン フォームで定義されているすべてのブレークダウンとサポートされているインジケーターが表示されています。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

Performance Analytics のブレークダウン

ボトムアップ ツリー ビュー

ツリー ビュー内で要素が使用されている場所を確認できます。これは、インジケーターやブレークダウンなどの要素を変更するときに、変更が他の PA 要素に及ぼす影響を確認する場合に便利です。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 依存関係アセスメントを起動 (調査対象のパフォーマンス分析エンティティ上)。

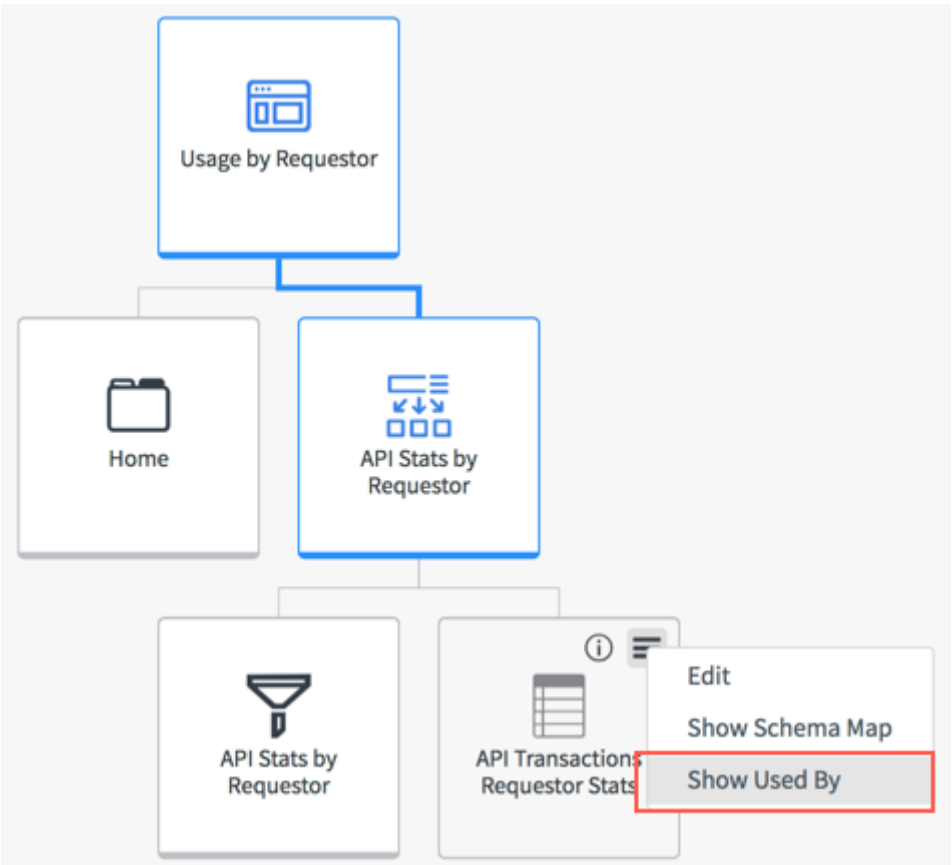
   a. 移動先 **Performance Analytics** > ダッシュボード。

   b. 調査するダッシュボード、または調査対象のエンティティを使用するダッシュボードを選択します。
   この例では、[要求者別の使用率] ダッシュボードから始めます。

   c. コンテキスト メニュー () から [依存関係評価の起動] を選択します。

2. ツリー ビューを展開して、調査対象のエンティティを探します。

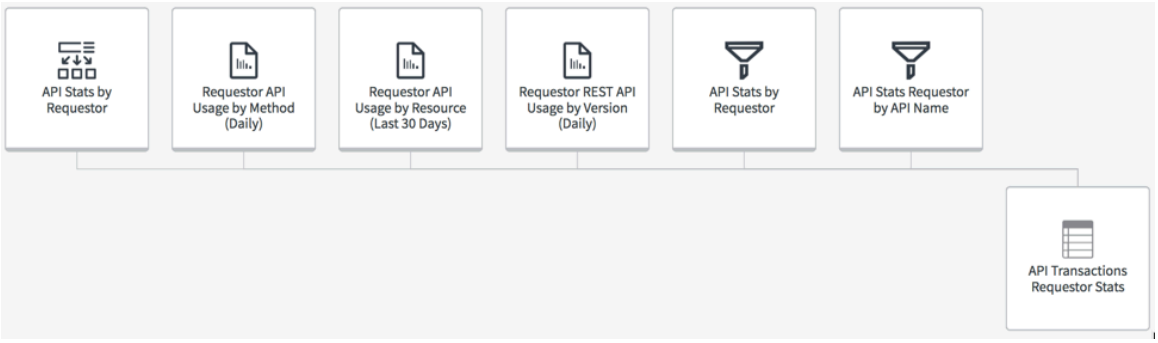
3. エンティティのコンテキストメニュー( )をクリックし、[使用者を表示]を選択します。



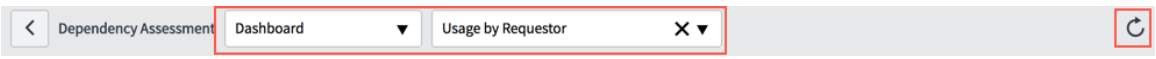
4. トップダウン ツリー ビューは、選択されたエンティティを使用するすべてのエンティティを表示するビューに置き換えられます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この例では、[API トランザクション要求者の統計情報] テーブルは、1 つのブレークダウン ソース、3 つのレポート、および 2 つのインタラクティブ フィルタで使用されています。



5. リセットボタン( )をクリックすると、ツリービューがヘッダーに示されているベース選択に戻ります。



ツリー ビュー ナビゲーション

管理コンソールのツリー ビューを効果的にナビゲートするには、ツリー ビューのさまざまなアイコンやその他のビジュアル データの意味を理解しておくとよいでしょう。

ツリービュー内を移動する

ツリービューをクリックしてドラッグすると、画面の外側にあるノードを表示できます。また、Ctrl + A を使用してから矢印キーを使用してツリー ビューを移動することもできます。Tab キーを使用して、ツリーの最初のノードに戻ります。

ノードタイプ

ノードタイプには、 のさまざまな機能 パフォーマンスアナリティクスが反映されています。ノードをクリックすると、ツリー ビューの次のレベルの子フィーチャに展開されます。

ダッシュボード関連のノード

ダッシュボード グループ ノードはダッシュボードが展開されます。ダッシュボードにタブが 1 つしかない場合でも、ダッシュボードはダッシュボード タブに展開されます。ダッシュボード タブは、タブの内容に展開されます。

ウィジェット

ウィジェットは、その構成要素を表示するノードを開きます。

インジケーター

すべてのインジケーターノードは、コンポーネントソース、ブレークダウン、ジョブ、およびスクリプトのノードで開かれます。インジケーターノードには、自動インジケーター、数式インジケーター、ウィジェットインジケーター、手動インジケーター、外部インジケーター、およびサポートインジケーターがあります。

レポート

レポートは、コンポーネント テーブルを表示するノードを開きます。

ブレークダウン

ブレークダウンは、ソースを表示するノードをオープンします。

ソース

すべてのソース ノード (ブレークダウン、インジケーター、およびレポート ソース) は、ソース テーブルを表示するノードを開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テキスト ウィジェットをクリックすると、基礎となるファイルがツリー ビューの上にポップアップとして表示されます。コンテキストメニューからの選択項目もポップアップに表示されます。

アイコン

アイコン	機能	コンテキスト メニュー アクション
	ダッシュボード グループ	編集
	ダッシュボード	• 編集 • ダッシュボードを表示 [ダッシュボードを表示] を選択すると、ダッシュボードがツリー ビューの上にポップアップで表示されます。共有、レイアウト構成、ウィジェットの追加など、ダッシュボードのすべての機能を利用できます。ポップアップを閉じると、ツリー ビューが再び表示されます。 • 使用者を表示 このエンティティを使用するすべてのエンティティを表示する起動 ボトムアップ ツリー ビュー します。
	ダッシュボード タブ	• 編集 • 使用者を表示 このエンティティを使用するすべてのエンティティを表示する起動 ボトムアップ ツリー ビュー します。
	レポート	• 編集 レポート デザイナーのレポートをポップアップ ウィンドウに開きます。ポップアップを閉じると、ツリー ビューが再び表示されます。 • 使用者を表示

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アイコン	機能	コンテキスト メニュー アクション
		このエンティティを使用するすべてのエンティティを表示する起動 ボトムアップ ツリー ビュー します。
	レポート ソース	• 編集 • 使用者を表示 このエンティティを使用するすべてのエンティティを表示する起動 ボトムアップ ツリー ビュー します。
	インタラクティブフィルター	• 編集 • 使用者を表示 このエンティティを使用するすべてのエンティティを表示する起動 ボトムアップ ツリー ビュー します。
	パフォーマンスアナリティクス ウィジェット	• 編集 • ウィジェットをプレビュー [ウィジェットをプレビュー] を選択すると、ウィジェットがポップアップ ウィンドウに表示されます。 • 使用者を表示 このエンティティを使用するすべてのエンティティを表示する起動 ボトムアップ ツリー ビュー します。
	その他のウィジェット	コンテキスト メニューなし。
	式インジケーター	• 編集 • アナリティクスハブ を表示 • 使用者を表示 このエンティティを使用するすべてのエンティティを表示する起動 ボトムアップ ツリー ビュー します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アイコン	機能	コンテキスト メニュー アクション
	自動インジケーター	• 編集 • アナリティクスハブ を表示 • スコアを表示 • 使用者を表示 このエンティティを使用するすべてのエンティティを表示する起動 ボトムアップ ツリー ビュー します。
	ウィジェットインジケーター	• 編集 • ウィジェットをプレビュー [ウィジェットをプレビュー] を選択すると、ウィジェットがポップアップ ウィンドウに表示されます。
	サポート インジケーター	編集
	手動インジケーター	編集
	外部インジケーター	編集
	インジケーターソース	• 編集 • スキーマ マップを表示 • 使用者を表示 このエンティティを使用するすべてのエンティティを表示する起動 ボトムアップ ツリー ビュー します。
	リンクされているブレークダウン	コンテキスト メニューなし。タイルをクリックすると、関連するブレークダウンが表示されます。
	ブレークダウン	• 編集 • 使用者を表示 このエンティティを使用するすべてのエンティティを表示する起動 ボトムアップ ツリー ビュー します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アイコン	機能	コンテキスト メニュー アクション
	ブレークダウンソース	• 編集 • スキーマ マップを表示 • 使用者を表示 このエンティティを使用するすべてのエンティティを表示する起動 ボトムアップ ツリー ビュー します。
	ジョブ	• 編集 • 今すぐ実行 • すべてのログを表示 • 最後に実行されたログを表示 • 使用者を表示 このエンティティを使用するすべてのエンティティを表示する起動 ボトムアップ ツリー ビュー します。
	スクリプト	編集
	テーブル	• 編集 • スキーマ マップを表示 • 使用者を表示 このエンティティを使用するすべてのエンティティを表示する起動 ボトムアップ ツリー ビュー します。
	ウィジェットをフィルタ	• 編集 • ウィジェットをプレビュー [ウィジェットをプレビュー] を選択すると、ウィジェットがポップアップ ウィンドウに表示されます。 • 使用者を表示 このエンティティを使用するすべてのエンティティを表示する起動 ボトムアップ ツリー ビュー します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

その他のビジュアル データ

各ノードには、これらのアイコンが 1 つ以上あります。ノードの右上隅をポイントすると表示されます。

情報ボタン [ⓘ]

情報ボタンをクリックすると、ノードの詳細が表示されます。ノードの情報パネルには、ノードのタイプに応じて異なる情報が表示されますが、すべての情報パネルに [レコードを開く] ボタンがあります。[レコードを開く] をクリックして編集するレコードを開きます。

コンテキスト メニュー [☰]

コンテキスト メニュー アイコンをクリックすると、ノードのソースに対してさらにアクションを実行できます。

エラー インジケーター [⚠]

問題を修正できるように、ノードが参照する要素を開きます。

ドメイン分離と パフォーマンスアナリティクス

ドメイン分離は、 で パフォーマンスアナリティクスサポートされています。 ドメイン分離では、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。 パフォーマンスアナリティクス は、複数のドメインからのスコアの収集をサポートし、ドメイン固有の管理を有効にするように構成できます。複雑なドメインを使用する顧客は、拡張ドメイン構成機能を利用できます。

サポートレベル：拡張

- ベーシックレベルと標準レベルを含みます。
- データドリブンプロセスにより、サービスプロバイダーの顧客は定義されたユースケースに基づくビジネスロジックを変更できます。これらの構成は UI ベースでフェイルセーフであるため、1 人の顧客による構成が別のユーザーに影響を与えることはありません。
- インスタンスのテナントは、それ自体、MVP (minimum viable product) ビジネスロジックとデータパラメーターを設定できる必要があります。アプリケーションの通常の関数では、このロジックとパラメーターが想定されます。

サンプルユースケース：共有環境のテナント顧客は、影響度、緊急性、または優先度のマトリクスに変更を加えて、ドメイン内で優先順位を設定できる必要があります。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメイン分離のサポート)」を参照してください。

要件

- A 、完全に有効なサブスクリプション バージョンが必要です パフォーマンスアナリティクス。「Performance Analytics サブスクリプションのアクティブ化」を参照してください。
- Domain Support - Domain Extension Installer プラグイン

⚠ 警告:
複数のサービスプロバイダー (MSP) で一般的であるように、多数のドメインを持つインスタンスでは、スコアを取得する パフォーマンスアナリティクス ときにパフォーマンスが低下する可能性があります。考えられる解決策については、「 KB1516963 」を参照してください。 へのアクセス Now Support は必須です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ドメイン分離へのアプローチ

ドメイン パフォーマンスアナリティクス分離には、次の 3 つのアプローチがあります。

グローバル

パフォーマンスアナリティクスインジケーターやブレークダウンなどのレコードは、すべてグローバル ドメイン内にあります。データ収集ジョブは、インジケーター スコアを収集するときに、インシデントなどのファクト テーブル レコードのドメインを尊重します。ユーザーには、自分が可視性を持つドメインのスコアのみが表示されます。 プラットフォームアナリティクスソリューション このアプローチを使用します。ほとんどの場合、これが最適なアプローチです。

ドメイン固有

レコード自体は パフォーマンスアナリティクス ドメイン分離されています。各ドメインには、を管理する パフォーマンスアナリティクスためのpa_adminおよびその他のロールを持つユーザーがいます。

ハイブリッド

インジケーター ソースなどの低レベルの パフォーマンスアナリティクス レコードはグローバルです。ウィジェットなどの上位レベルの パフォーマンスアナリティクス レコードは、ドメインで分離されています。pa_adminユーザーは、低レベルのグローバルレコードを管理します。各ドメインには、高レベルのレコードを管理するpa_power_userなどのロールを持つユーザーがいます。このアプローチは高度です。

詳細については、以下を参照してください。

- ドメイン分離を使用したパフォーマンス分析へのアプローチ
- マネージドサービスプロバイダー向け Performance Analytics
- SPM Project Portfolio Management、ドメイン分離、マネージドサービスプロバイダー

複雑なドメイン向けの拡張機能

ドメイン分離のサポート パフォーマンスアナリティクス は、特に管理が複雑なドメインを持つ顧客向けに設計された次の機能を使用して拡張できます。

階層型マルチドメイン構成

ユーザーグループに対する可視性またはその他の条件に基づいて、ドメインをグループ化します。これらのドメインの子ドメインの一部またはすべてについてスコアを収集するか、収集しないかのいずれかです。子ドメインのスコアを親ドメインにロールアップするかどうか、すべての子に対して行うか、構成に明示的に含まれている子のみを対象にするかを決定します。

集計スコアを収集

ドメイン構成内の複数のドメインのスコアを結合して、集計スコアを作成します。

ドメインによるダッシュボードのフィルタリング

ダッシュボードをフィルタリングして、ブレークダウン別と同様に、ドメイン別またはドメイン別にスコアを表示します。

拡張機能は、Performance Analytics - Domain Separation Support プラグインで利用できます。の パフォーマンスアナリティクス ドメイン分離の一般的な要件も適用されます。

拡張機能は、ドメイン分離に対するグローバルなアプローチのみをサポートしています。

この拡張機能の詳細については、以下を参照してください。 ドメイン構成での パフォーマンスアナリティクス ドメインのグループ化

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

サービスプロバイダーのドメイン分離

ドメイン分離を使用したパフォーマンス分析へのアプローチ

ドメイン分離とともに使用する パフォーマンスアナリティクス と、ドメイン固有のスコアを収集できます。グローバルまたはドメイン固有の パフォーマンスアナリティクス テーブルレコード、あるいはその両方の組み合わせを使用できます。

グローバルなアプローチとドメイン固有のスコアの収集

インジケーター、ブレークダウン、ウィジェットなどのすべての パフォーマンスアナリティクス レコードをグローバル ドメインに保持できます。この場合、ドメイン固有のデータ収集ジョブを通じてドメイン分離を適用します。

データ収集ジョブをドメイン固有に構成するには、ジョブに 実行 ユーザーを追加します。[別のユーザーとして実行] ユーザーは、データ収集ジョブが実行されるドメイン コンテキストを決定します。詳細については、「データ収集ジョブの作成またはスケジュール」を参照してください。

ドメイン構成を指定することもできます。ドメイン構成は、複雑なドメイン管理を支援することを目的とした、ドメインサポート用のプラグインの一部です パフォーマンスアナリティクス 。詳細については、「データ収集ジョブへのドメイン構成の関連付け」を参照してください。

データ収集ジョブは、グローバル ドメイン内のファクト テーブル レコードに対するスコアを収集します。このジョブは、 別のユーザーとして実行 ユーザーのドメイン内のレコードに対するスコアも収集します。ジョブは、スコアを収集したドメインにスコアを保存します。データのビジュアル化では、可視性があるドメインのスコアのみがユーザーに表示されます。

[別のユーザーとして実行] のみを指定した場合、すべての子ドメインのスコアが親にロールアップされます。ドメイン構成も指定する場合は、さらに多くのオプションを使用できます。子ドメインスコアの収集とロールアップのオプションの詳細については、次を参照してください ドメイン構成での パフォーマンスアナリティクス ドメインのグループ化。

ジョブがスコアを収集するドメインのいずれかのメンバーである pa_admin ロールを持つユーザーのみが、ドメインで区切られたデータ収集ジョブを変更できます。pa_adminを持つグローバルユーザーは、任意のジョブを変更できます。

デフォルトでは、 プラットフォームアナリティクスソリューション グローバルアプローチを使用します。

注:
ドメイン構成には、ドメイン分離に対するグローバルなアプローチが必要です。詳細については、「ドメイン構成での パフォーマンスアナリティクス ドメインのグループ化」を参照してください。

ドメイン固有のアプローチ

ドメイン固有の パフォーマンスアナリティクス レコードを使用することで、ドメインユーザーにpa_adminロールを付与して、独自のドメイン固有のコンポーネントを作成することができます。管理者を含むユーザーは、自分のドメイン内でのみレコードを作成、編集 パフォーマンスアナリティクス できます。子ドメインのユーザーは、親ドメインのレコードを読み取ることはできますが、編集 パフォーマンスアナリティクス することはできません。

レコードをそのドメインで使用するには、そのドメイン固有の パフォーマンスアナリティクス コピーを作成する必要があります。たとえば、ドメイン固有の条件をインジケーター ソースに追加するには、インジケーターのコピーとインジケーター ソースをそのドメインに作成する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

別のドメインからインジケーターまたはブレークダウンと関連データをすばやくコピーできます。インジケーターフォームまたはブレークダウンフォームの [関係の挿入と維持] UI アクションを使用します。ブレークダウン、ブレークダウンの除外、または時系列の除外の関係もコピーされます。関連付けられているスケジュール設定済みジョブは、そのジョブの [実行ユーザー] が現在のユーザーの場合にのみコピーされます。

スコアを収集するには、ドメイン固有のインジケーターに関連付けられた新しいデータ コレクタ ジョブを作成します。

注:
ドメイン ユーザーは、com.snc.pa で始まるプロパティを設定パフォーマンスアナリティクスできません。グローバルドメインで admin または pa_admin ロールを持つユーザーのみが、これらのプロパティを表示または設定できます。

ハイブリッドアプローチ

ハイブリッドアプローチでは、インジケーターソースなどの再利用可能な基盤 パフォーマンスアナリティクス レコードをグローバルドメインまたは親ドメイン内に保持します。同時に、他のドメインの管理者は、インジケーターやウィジェットなどのドメイン固有の上位レベルの パフォーマンスアナリティクス レコードを作成します。

注:
ハイブリッドアプローチは高度なオプションです。ハイブリッドアプローチを使用する前に、グローバルまたはドメイン固有のアプローチを正常に実装してください。

ハイブリッドアプローチを使用する場合、基盤レコードはグローバルドメインまたは親ドメイン内でのみ管理する必要があります。ウィジェットやインジケーターなどの他のすべての パフォーマンスアナリティクス レコードは、各子ドメイン内で個別に管理する必要があります。次のレコードタイプは、基盤レコードと見なされます。

- バケットグループ
- バケット
- スクリプト
- ブレークダウンソース
- インジケーターソース
- フィルター
- ブレークダウン
- 管理ソース
- 手動ブレークダウン
- ブレークダウンマッピング
- ブレークダウンの関連付け

ドメイン間でのレコードのコピー パフォーマンスアナリティクス

複数のドメインでレコードを再利用できます パフォーマンスアナリティクス 。*PADomainUtils* API は、管理者がドメイン間でレコードを移動またはコピーパフォーマンスアナリティクスできるようにする機能を提供します。

ドメイン構成での パフォーマンスアナリティクス ドメインのグループ化

特定のユーザーのドメイン用に構成 パフォーマンスアナリティクス する代わりに、再利用可能なドメイン構成を作成します。ユーザーのグループに表示されるドメインを選択するか、ドメインを直接

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィルタリングします。ドメイン構成を使用すると、階層関係を定義し、複数のドメイン間でスコアを集計することができます。

> **注:**
> パフォーマンスアナリティクス ドメイン構成は、 パフォーマンスアナリティクス Domain Separation Support プラグインで有効になります。プラグインの詳細については、「 プラグインを有効にする 」を参照してください。

これらのドメイン構成を特定のデータ収集ジョブおよびダッシュボードに関連付けて、関連するスコアをユーザーに提供します。同時に、インジケーター、ブレークダウン、ソースなどのレコードを パフォーマンスアナリティクス グローバルドメインで管理します。

> **重要:**
> ドメイン構成が使用されているかどうかに関係なく、[**Run as]** (実行 ユーザー)は、データ収集ジョブが実行される場所のドメインコンテキストを常に決定します。

構成内のすべてのドメインにアクセスできる管理者のみが パフォーマンスアナリティクス 、ドメイン構成が適用されているデータ収集ジョブを編集できます。

必要なアプローチ

ドメイン構成がサポートされているのは、Domain Separation に対するグローバルなアプローチ パフォーマンスアナリティクス のみです。詳細については、「ドメイン分離を使用したパフォーマンス分析へのアプローチ」を参照してください。

データテーブル、プロセステーブル、および実行ユーザー

[Run as] ユーザーは、データ収集ジョブが実行されるドメインコンテキストを常に決定します。インシデント [incident] などのデータテーブルのみのスコアを収集する場合は、グローバルドメインの管理者を 実行 ユーザーとして設定します。このユーザー、およびその下で実行されているデータコレクターは、すべてのデータテーブルレコードを完全に表示できます。

プロセスドメインでスコアを収集する場合は、別のアプローチが必要です。プロセスドメインでは、ビジネスルールや SLA などのプロセスレコードを定義するのが一般的です。この場合、グローバル管理者である 実行 ユーザーは、これらのテーブルのグローバルドメインレコードのみを表示できます。この制限は、たとえば contract_sla のような SLA テーブルに結合が行われた場合など、データベースビューを通じて収集されるスコアにも影響します。このような場合は、関連するプロセスドメインを明示的に表示できる ユーザーを実行 ユーザーとして設定します。

収集、ロールアップ、および集計のオプション

ドメイン設定レコードは、ドメインレコードがスコアに寄与する方法に柔軟性を提供します。ドメインサポートプラグインが利用可能になる前は、子ドメインのレコードは「ロールアップ」され、親ドメインのスコアに寄与していました。ドメインサポートプラグインには、子ドメインのレコードの処理方法に関する追加オプションがあります。

- 個々の子ドメインからスコアを収集するかどうかを選択します。
- 子ドメインのスコアを親ドメインのスコアにロールアップするかどうかを選択します。個々のスコアの収集の有無にかかわらず、子ドメインスコアをロールアップできます。
- 子ドメインから親ドメインにスコアをロールアップする場合は、すべての子ドメインをロールアップするか、ドメイン構成に明示的に含まれているもののみをロールアップするかを選択します。
- 収集された個々のドメインスコアをすべて集計スコアに合計するかどうかを選択します。このスコアは別のドメインに保存されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

次の表は、親ドメインと 3 つの子顧客ドメインを持つさまざまな構成について収集されるスコアを示しています。このテーブルには集計値も表示されます。

3 つの子を持つ単一の親ドメインのドメイン構成の例

構成	親ドメイン:MSP					
	子ドメイン:顧客			**MSP** には顧客が含まれています		
	A	**B**	**C**	**MSP**	顧客	集計
			データ			
新しいインシデントレコード	30	100	50	20	0	-
			結果			
集計オプションなし	-	-	-	20	-	-
集計オプションなし + 集計	-	-	-	20	-	20
子を収集	30	100	50	20	0	-
子の収集 + 集計	30	100	50	20	0	200
子を収集 + 選択したドメインのみをロールアップ (A と C)	30	100	50	100	80	-
子の収集 + 選択したドメインのみのロールアップ (A と C) + 集計	30	100	50	100	80	200
子ドメインを収集 + すべての子ドメインをロールアップ	30	100	50	200	180	-
子ドメインの収集 + すべての子ドメインのロールアップ + 集計	30	100	50	200	180	380
選択したドメイン	-	-	-	100	-	-

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3 つの子を持つ単一の親ドメインのドメイン構成の例 (続く)

構成	親ドメイン:MSP					
	子ドメイン:顧客			**MSP** には顧客が含まれています		
	A	**B**	**C**	**MSP**	顧客	集計
(A および C) のみをロールアップする						
選択したドメインのみをロールアップ (A と C) + 集計	-	-	-	100	-	100
すべての子ドメインをロールアップする	-	-	-	200	-	-
すべての子ドメインのロールアップ + 集計	-	-	-	200	-	200

ドメイン構成レコード

– Domain Separation Support プラグインは パフォーマンスアナリティクス 、ドメイン構成 [pa_domain_configurations] テーブルをインスタンスに追加します。各ドメイン構成の詳細は、これらのレコードの 1 つに保存されます。

インスタンス間でのレコードの転送

更新セットを使用して、インスタンス間でドメイン構成を転送します。ドメイン構成で [集計の収集] が有効になっている場合は、集計ドメインも個別に転送します。詳細についてはスコア集計を使用するドメイン構成の転送を参照してください。

ドメイン構成の作成

ドメイン構成を作成して、スコアを収集するドメインと、ドメイン階層内にスコアを格納する方法を定義します。

始める前に
必要なロール:pa_admin または admin
パフォーマンス分析 - ドメインサポートプラグイン (com.snc.pa.domain_support) を有効にする必要があります。

手順

移動先 すべて > **Performance Analytics** > ドメイン構成 新しいレコードを作成します

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
構成タイプ	この構成に含めるドメインを決定する方法を指定します。 特定のグループに関連付けられた既存の可視性ドメインに基づいて、そのグループに表示されるすべてのドメインを含めるには、[可視性グループ] を選択します。 条件を使用してドメインを直接指定するには、[条件] を選択します。
可視性グループ	構成タイプが可視性グループの場合は、少なくとも 1 つの可視性ドメインを持つグループ [sys_user_group] を選択または作成します。このグループで利用可能なすべての可視性ドメインは、このドメイン構成に含まれます。可視性ドメインの詳細については、「 可視性ドメイン」および「包含ドメイン 」を参照してください。
条件	[構成タイプ] が [条件] の場合に、この構成に含まれるドメインを決定する条件を指定します。選択した条件がドメイン [domain] テーブルに適用されます。たとえば、すべての管理対象サービスプロバイダーのドメインを選択するには、[[タイプ][次の値に等しい][MSP]] を選択します。
集計の収集	指定したドメイン階層からのスコアを集計します。集計スコアは、ドメイン階層の外にあり、スコアのみを含む別のドメインに格納されます。 [集計の収集] が選択されているドメイン構成ごとに 1 つの集計ドメインが作成されます。このドメインの名前は、読み込み専用の [集計ドメイン] フィールドに表示されます。 集計ドメインは、パフォーマンスアナリティクスの集計コンテナ ドメインの子として格納されます。
子の収集	指定したドメインの子からスコアを収集するには、このオプションを選択します。指定したドメインの直接の子のドメインだけでなく、すべての子ドメインからスコアが収集されます。 子ドメインから収集されたスコアは、そのドメインに格納されます。
ロールアップ	子ドメインの収集されたスコアを階層内の最上位の親ドメインにロールアップするには、このオプションを選択します。
ロールアップ タイプ	指定したドメインとそのすべての子ドメインからスコアをロールアップするには、[すべての子ドメイン] を選択します。ドメイン構成に明示的に含まれている子ドメインからのみスコアをロールアップするには、[選択したドメインのみ] を選択します。可視性グループの場合、ドメインとその親ドメインがグループの可視性ドメイン内にある場合、ドメイン構成に子ドメインが明示的に含まれます。条件の場合、条件によって子ドメインとその親ドメインが選択されている場合、ドメイン構成に子ドメインが明示的に含まれます。

関連情報

Domain Separation のセットアップと管理

データ収集ジョブへのドメイン構成の関連付け

ドメイン構成で指定されたドメインからインジケータースコアを収集 パフォーマンスアナリティクス するには、そのドメイン構成を収集ジョブに関連付けます。

始める前に
必要なロール：pa_data_collector または admin
パフォーマンス分析 - ドメインサポートプラグイン (com.snc.pa.domain_support) を有効にする必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このタスクについて

重要:
ドメイン構成が使用されているかどうかに関係なく、[**Run as]** (実行 ユーザー)は、データ収集ジョブが実行される場所のドメインコンテキストを常に決定します。

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** > ジョブ。
2. データ収集ジョブを選択します。
3. [ドメイン構成] 関連リストで、[編集] をクリックします。
4. このジョブに関連付けるドメイン構成を選択します。
   構成に含まれるドメインごとに個別のデータ収集ジョブが実行されます。
5. [保存] をクリックします。
6. オプション: ドメイン構成の [順番] を変更します。
   複数のドメイン構成が収集ジョブに関連付けられている場合、含まれているドメインの重複が原因で、スコアが正しく収集されない場合があります。重複しているドメインでは、[順番] の値が最も大きいドメイン構成の収集されたスコアのみが保持されます。

ヒント:
単一のジョブに複数のドメイン構成を使用する場合は、各ドメイン構成で一意のドメインのセットが指定されていることを確認します。

ダッシュボードへのドメイン構成の関連付け

ダッシュボードにドメイン ピッカーを表示して、そのダッシュボードのユーザーが特定のドメインからのスコアを表示できるようにします。

始める前に
必要なロール：pa_power_user または admin
パフォーマンス分析 - ドメインサポートプラグイン (com.snc.pa.domain_support) を有効にする必要があります。

このタスクについて
ダッシュボードでドメイン固有のスコアを表示するには、ユーザーにドメイン構成内のすべてのドメインの可視性が必要です。

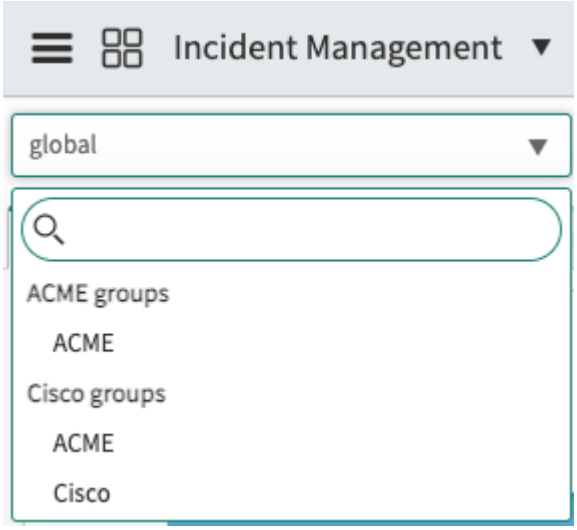
手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** > ダッシュボード管理。
2. ダッシュボードを選択します。
3. [ドメイン構成] 関連リストで、[編集] をクリックします。
4. このダッシュボードに関連付けるドメイン構成を選択します。
5. [保存] をクリックします。

タスクの結果
ドメイン構成内のすべてのドメインに対する可視性を持つユーザー (管理者など) は、ドメインを選択できます。ダッシュボードのレポートとウィジェットには、そのドメインのスコアと値のみが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



次のタスク
ドメインピッカーを使用してダッシュボードから開く アナリティクスハブ と、選択したドメインについて収集されたスコアのみが表示されます。追加するターゲット、しきい値、またはコメントは、現在のドメインに自動的に関連付けられます。[スコアを編集] オプションは使用できません。

スコア集計を使用するドメイン構成の転送

スコアを集計するように構成されたパフォーマンスアナリティクスドメイン構成をインスタンス間で転送するには、構成と集計ドメインの両方を転送します。

始める前に
更新セットを使用してドメイン構成を転送します。更新セットを使用してインスタンス間で構成を転送する方法の詳細については、「 システム更新セット 」を参照してください。

必要なロール：admin

手順

1. ドメイン構成の転送元のソース インスタンスに、admin としてログインします。
2. 移動先 データコレクター > ドメイン構成.
3. 更新セットで転送したドメイン構成レコードを開きます。
4. フォームのヘッダーを右クリックし、**[XML** 表示] を選択します。
5. aggregate_domain要素の値であるsys_idをコピーします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

This XML file does not appear to have any style information associated with it. The document tree is shown below.


```
▼<xml>
  ▼<pa_domain_configurations>
    <aggregate_domain
    display_value="OpCos">676a49440fa8060094a9716ce1050e14</aggregate_domain>
    <aggregate_domain_parent display_value="PA aggregation
    container">a42da8e7d70022006ecfa3b20e61037f</aggregate_domain_parent>
    <collect_aggregate>true</collect_aggregate>
    <collect_children>true</collect_children>
    <conditions table="domain"/>
    <domain_table>domain</domain_table>
    <name>SILVA PA OPCOS</name>
    <roll_up>true</roll_up>
    <roll_up_type>roll_up_children</roll_up_type>
    <sys_class_name>pa_domain_configurations</sys_class_name>
    <sys_created_by>laetitia.dano@servicenow.com</sys_created_by>
    <sys_created_on>2018-02-15 12:11:40</sys_created_on>
    <sys_customer_update>true</sys_customer_update>
    <sys_id>1b30e2e94f589300a02a4c318110c7f7</sys_id>
    <sys_mod_count>4</sys_mod_count>
    <sys_name>SILVA PA OPCOS</sys_name>
    <sys_package display_value="Global" source="global">global</sys_package>
    <sys_policy/>
    <sys_replace_on_upgrade>false</sys_replace_on_upgrade>
    <sys_scope display_value="Global">global</sys_scope>
  ▼<sys_update_name>
      pa_domain_configurations_1b30e2e94f589300a02a4c318110c7f7
    </sys_update_name>
    <sys_updated_by>laetitia.dano@servicenow.com</sys_updated_by>
    <sys_updated_on>2018-06-05 15:11:06</sys_updated_on>
    <type>visibility_group</type>
    <visibility_group display_value="SILVA PA OPCOS" name="SILVA PA
    OPCOS">e3bf9aa54f589300a02a4c318110c75d</visibility_group>
  </pa_domain_configurations>
</xml>
```


6. 移動先 ドメイン管理 > ドメイン.
7. 転送されたドメイン構成からコピーした sys_id でドメインのリストをフィルタリングします。
8. フィルタリングされたドメインを開き、コンテキスト メニューからドメイン レコードを XML にエクスポートします。
9. ターゲット インスタンスに admin としてログインします。
10. 移動先 ドメイン管理 > ドメイン.
11. コンテキスト メニューから、ドメイン レコードの XML ファイルをソース インスタンスからインポートします。

タスクの結果

転送されたドメインのデータ収集ジョブを実行できます。

PADomainUtils - グローバル

`PADomainUtils` API を使用すると、同じインスタンス上の異なるドメイン間でレコードをコピーパフォーマンスアナリティクスできます。

サーバースクリプトでこの API を使用して、インジケーターやブレークダウン、ダッシュボードなどの パフォーマンスアナリティクス のレコードを別のドメインにコピーします。この API を使用すると、1 つのドメインにレコードを作成し パフォーマンスアナリティクス 、そのレコードを任意の数の追加ドメインにコピーできます。

注:
この API では、レコードをグローバル ドメインにコピーすることはできません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

⚠ 警告:
構成レコードを別のドメインに移動すると、スコアにアクセスできなくなります。

PADomainUtils を使用するには、次の要件を満たす必要があります。

- パフォーマンスアナリティクス を有効にする必要があります。
- スクリプトを実行するユーザーには admin ロールが必要です。
- インスタンスがドメイン分離を使用する必要があります。
- グローバル ドメインからスクリプトを実行する必要があります。
- レコードを移動またはコピーする場合は、ソース ドメインとターゲット ドメインが異なる必要があります。

PADomainUtils - PADomainUtils()

新しい PADomainUtils オブジェクトのインスタンスを作成して、グローバルドメインから パフォーマンスアナリティクス のレコードを移動またはコピーします。

グローバルドメイン以外のドメインからレコードを移動またはコピーする際は、代わりに PADomainUtils(文字列 *domainFrom)* コンストラクターを使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

```
// PADomainUtils initialized with the global domain
var globalUtils = new SNC.PADomainUtils();
```

PADomainUtils - PADomainUtils(文字列 domainFrom)

新しい PADomainUtils オブジェクトのインスタンスを作成して、指定したドメインから パフォーマンスアナリティクス のレコードを移動またはコピーします。

グローバルドメインから移動またはコピーする際は、代わりに *PADomainUtils()* コンストラクターを使用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
domainFrom	文字列	レコードのコピー元のドメイン

```
// c90d4b084a362312013398f051272c0d is the sys id of the ACME domain
var acmeUtils = new SNC.PADomainUtils('c90d4b084a362312013398f051272c0d');
```

PADomainUtils - setFoundation(ブーリアン foundation)

ハイブリッドドメイン構成の基盤レコードのみを移動またはコピーするには、このメソッドを使用します。

レコードの一部のタイプを親ドメイン内で管理し、一部のタイプを子ドメイン内で管理することで、ハイブリッドアプローチを実施できます。通常、親ドメインには基盤レコードが入り、子ドメインにはウィジェットなどの上位レベルのレコードが入ります。基盤レコードとみなされるのは以下のタイプのレコードです。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- バケットグループ
- バケット
- スクリプト
- ブレークダウンソース
- インジケーターソース
- フィルター
- ブレークダウン
- 管理ソース
- 手動ブレークダウン
- ブレークダウンマッピング
- ブレークダウンの関連付け

他の パフォーマンスアナリティクス のレコード (ウィジェットやインジケーターなど) は、基盤レコードではありません。これらの追加レコードも移動またはコピーするには、このメソッドを false に設定します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
foundation	ブーリアン	この PADomainUtils オブジェクトで基盤レコードのみをコピーまたは移動する必要があるかどうかを示します。

返される内容

タイプ	説明
DomainUtils	この関数を呼び出すオブジェクト。

```
var pa = new SNC.PADomainUtils().setFoundation(true);
pa.copy('bb6b58b01f1310005a3637b8ec8b70dd');
```

PADomainUtils - setOverrides(ブール **overrides)**

レコードをコピーして新しいレコードの sys_override 値を元の親レコードに設定する前に、このメソッドを使用します。

このメソッドを使用すると、親ドメインのレコードを自動的に上書きできます。親レコードを上書きすることで、親レコードから子ドメインに影響を与えることはありません。レコードのコピー時にソースドメインがターゲットドメインの親でない場合は、sys_override 値を設定しても動作に影響はありません。レコードの移動時ではなく、レコードのコピー時にのみ上書きを指定できます。

パラメーター

名前	タイプ	説明
overrides	ブーリアン	子ドメインのコピーされたレコードが、親ドメインのソースレコードを上書きする必要があることを示します。この値のデフォルトは true です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返される内容

タイプ	説明
DomainUtils	この関数を呼び出すオブジェクト。

```
var pa = new SNC.PADomainUtils('c90d4b084a362312013398f051272c0d');
pa.setOverrides(false);
pa.copy('bb6b58b01f1310005a3637b8ec8b70dd');
```

PADomainUtils - copy(文字列 **runAs)**

パフォーマンスアナリティクス のレコードを別のドメインにコピーします。

ダッシュボードまたはスケジュール設定済みジョブをコピーするには、「copyDashboard」および「copyJob」を参照してください。

パラメーター

名前	タイプ	説明
runAs	文字列	レコードのコピー先のドメインのユーザー。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
// copy all the Performance Analytics records from global to user's domain
var pa = new SNC.PADomainUtils();
pa.copy('09ff3d105f231000b12e3572f2b4775d');
```

PADomainUtils - copyJob(文字列 **paJob,** 文字列 **runAs)**

パフォーマンスアナリティクスのスケジュール設定済みデータ収集ジョブ レコードを別のドメインにコピーします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
paJob	文字列	パフォーマンスアナリティクスのスケジュール設定済みデータ収集ジョブ [sysauto_pa] レコードの sys_id。
runAs	文字列	ジョブのコピー先のドメインのユーザー。

返される内容

タイプ	説明
文字列	エラーが発生した場合はエラー メッセージが表示され、エラーがなければ空の文字列が返されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
// No source domain needs to be set
var pa = new SNC.PADomainUtils();
// copy the '[PA Incident] Daily Data Collection job'
// set the 'run as' of the new record to be the 'acme.itil' user
// first argument is the sys_id of the sysauto_pa record
// the second is the sys_id of the acme.itil user record
pa.copyJob('82ba2023d7101100b96d45a3ce6103cd','797d14341f1310005a3637b8ec8b7010');
```

PADomainUtils - copyDashboard(文字列 **dashboardId,** 文字列 **runAs)**

ダッシュボードを別のドメインにコピーします。

パラメーター

名前	タイプ	説明
dashboardId	文字列	コピーするダッシュボードのSys_id。
runAs	文字列	ダッシュボードのコピー先のドメインのユーザー。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
//Copy Incident Management dashboard from global to user's domain
var pa = new SNC.PADomainUtils();
pa.copyDashboard('a64b7031d7201100b96d45a3ce610335','09ff3d105f231000b12e3572f2b4775d');
```

PADomainUtils - move(文字列 **runAs)**

パフォーマンスアナリティクス のレコードを別のドメインに移動します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
runAs	文字列	レコードのコピー先のドメインのユーザー。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
// move all the Performance Analytics records from the global to the customers domain
var pa = new SNC.PADomainUtils();
pa.move('774190f01f1310005a3637b8ec8b70ef')
```

PADomainUtils - isWriteable(文字列 **table,** 文字列 **id)**

table と sys_id によって識別される特定のレコードに書き込むことができるかどうかを評価します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
テーブル	文字列	pa_indicators などの、クエリーするレコードを含むテーブルの名前。
ID	文字列	クエリするレコードの sys_id。

返される内容

タイプ	説明
ブーリアン	指定されたレコードに書き込めることを示します。レコードが現在のユーザーのドメイン内に存在する場合は true を返します。レコードが存在しないか、別のドメインにある場合は false を返します。

```
var pa = new SNC.PADomainUtils();
pa.isWriteable('pa_incidents','cd8125b5140012007665a83e633b028d');
```

パフォーマンスアナリティクス の統合

外部システムと統合 パフォーマンスアナリティクス して、リモートデータに基づいてスコアを収集したり、情報を公開 アナリティクスハブ したりします。

クエリの作成に REST API と Javascript API を使用できます。

パフォーマンス分析 **API** の例

次の例では、cURL コマンドを使用して REST クエリを実行し、各コマンドで返されるデータを表示する方法を示しています。以前の例で返されるデータを使用した次の各例は、最後の例を基に作成されます。

に表示されるすべてのインジケーターを返す アナリティクスハブ

一意のレコード識別子を含む、アナリティクスハブ に表示されるすべてのインジケーターのリストを要求できます。

注:
これらの例では、curl コマンドに macOS 構文を使用しています。Windows 構文は異なる場合があります。

コマンド：

```
curl -v -u "user:password" -H "Accept:application/json"
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/pa/scorecards"
```

次の応答は、このページの他の例で使用されている [オープンインシデントの数] インジケーターのみを表示するように短縮されています。

```
//{
  "result" : [
...

    {
      "change_formatted" : "",
      "key" : false,
      "value_unit" : "",
```

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
    "value_formatted" : "",
    "period_title" : null,
    "gapperc" : null,
    "gap" : null,
    "target" : null,
    "period" : null,
    "target_formatted" : "",
    "favorite" : false,
    "direction_label" : "Minimize",
    "uuid" : "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4",
    "name" : "Number of open incidents",
    "value_color" : "#000000",
    "frequency_label" : "Daily",
    "change" : null,
    "gap_formatted" : "",
    "gapperc_formatted" : "",
    "value" : null,
    "unit" : {
      "display_value" : "#",
      "link" :
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_units/17b365e2d7320100ba986f14ce
6103ad",
      "value" : "17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad"
    },
    "changeperc_formatted" : "",
    "direction" : 2,
    "frequency" : 10,
    "precision" : 0,
    "changeperc" : null,
    "indicator" : {
      "display_value" : "Number of open incidents",
      "link" :
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_indicators/fb007202d7130100b96d45
a3ce6103b4",
      "value" : "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4"
    },
    "description" : "Number of incidents open based on resolved date is empty."
  },
...

 ]
}
```


インジケーターの詳細を返す

sysparm_uuid パラメーターにインジケーター sys_id 値を指定することで、特定のインジケーターの アナリティクスハブ をクエリできます。この場合、アナリティクスハブ 内のすべてのインジケーターを取得したときに、最初の例で取得した [オープンインシデントの数] インジケーターの sys ID を使用します。


```
"uuid" : "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4",
"name" : "Number of open incidents",
```


コマンド：

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
curl -v -u "user:password" -H "Accept:application/json"
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/pa/scorecards?sysparm_uuid=fb007202d7130
100b96d45a3ce6103b4"
```

応答：


```
{
  "result" : [
    {
      "change_formatted" : "",
      "key" : false,
      "value_unit" : "",
      "value_formatted" : "",
      "period_title" : null,
      "gapperc" : null,
      "gap" : null,
      "target" : null,
      "period" : null,
      "target_formatted" : "",
      "favorite" : false,
      "direction_label" : "Minimize",
      "uuid" : "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4",
      "name" : "Number of open incidents",
      "value_color" : "#000000",
      "frequency_label" : "Daily",
      "change" : null,
      "gap_formatted" : "",
      "gapperc_formatted" : "",
      "value" : null,
      "unit" : {
        "display_value" : "#",
        "link" :
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_units/17b365e2d7320100ba986f14ce
6103ad",
        "value" : "17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad"
      },
      "changeperc_formatted" : "",
      "direction" : 2,
      "frequency" : 10,
      "precision" : 0,
      "changeperc" : null,
      "indicator" : {
        "display_value" : "Number of open incidents",
        "link" :
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_indicators/fb007202d7130100b96d45
a3ce6103b4",
        "value" : "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4"
      },
      "description" : "Number of incidents open based on resolved date is empty."
    }
  ]
}
```


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーターのすべてのブレークダウンと集計を返す

sysparm_include_available_breakdowns および *sysparm_include_available_aggregates* パラメーターを true に設定することで、インジケーターの利用可能なブレークダウンと集計のリストをクエリすることができます。

コマンド：

```
curl -v -u "user:password" -H "Accept:application/json"
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/pa/scorecards?sysparm_uuid=fb007202d7130
100b96d45a3ce6103b4&sysparm_include_available_breakdowns=true&sysparm_include_availa
ble_aggregates=true"
```

応答：

```
{
  "result" : [
    {
      "key" : false,
      "change_formatted" : "",
      "aggregates" : [
        {
          "display_value" : "7d running SUM",
          "link" :
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_aggregates/89ea4c11d7001100ba98
6f14ce6103dc",
          "value" : "89ea4c11d7001100ba986f14ce6103dc"
        },
        {
          "display_value" : "28d running SUM",
          "link" :
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_aggregates/4dfa4c11d7001100ba986
f14ce6103e2",
          "value" : "4dfa4c11d7001100ba986f14ce6103e2"
        },
        {
          "display_value" : "30d running SUM",
          "link" :
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_aggregates/3e409011d7001100ba98
6f14ce610319",
          "value" : "3e409011d7001100ba986f14ce610319"
        },
        // Aggregates truncated for brevity

      ],
      "changeperc" : null,
      "value_formatted" : "",
      "period_title" : null,
      "gapperc" : null,
      "value_unit" : "",
      "target" : null,
      "period" : null,
      "target_formatted" : "",
      "favorite" : false,
      "gap" : null,
      "direction_label" : "Minimize",
      "uuid" : "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4",
      "name" : "Number of open incidents",
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "value_color" : "#000000",
    "frequency_label" : "Daily",
    "change" : null,
    "gap_formatted" : "",
    "gapperc_formatted" : "",
    "value" : null,
    "unit" : {
      "display_value" : "#",
      "link" :
"https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_units/17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad",
      "value" : "17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad"
    },
    "breakdowns" : [
      {
        "display_value" : "Priority",
        "link" :
"https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdowns/0df47e02d7130100b96d45a3ce610399",
        "value" : "0df47e02d7130100b96d45a3ce610399"
      },
      {
        "display_value" : "Category",
        "link" :
"https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdowns/1f918835d7231100b96d45a3ce6103fe",
        "value" : "1f918835d7231100b96d45a3ce6103fe"
      },
      {
        "display_value" : "Assignment Group",
        "link" :
"https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdowns/baec0752bf130100b96dac808c0739ed",
        "value" : "baec0752bf130100b96dac808c0739ed"
      },
      // Information for State and Age indicators truncated

    ],
    "changeperc_formatted" : "",
    "frequency" : 10,
    "precision" : 0,
    "direction" : 2,
    "indicator" : {
      "display_value" : "Number of open incidents",
      "link" :
"https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_indicators/fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4",
      "value" : "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4"
    },
    "description" : "Number of incidents open based on resolved date is empty."
  }
 ]
}
```


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケータースコアの時系列集計を返す

sysparm_uuid 値と集計の sys_id を使用して、[7 日間分の集計を実行] 集計を アナリティクスハブ に適用できます。

コマンド：

```
curl -v -u "user:password" -H "Accept:application/json"
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/pa/scorecards?sysparm_uuid=fb007202d7130
100b96d45a3ce6103b4:89ea4c11d7001100ba986f14ce6103dc"
```

応答：


```
{
  "result" : [
    {
      "key" : false,
      "change_formatted" : "",
      "value_unit" : "",
      "value_formatted" : "",
      "period_title" : null,
      "aggregate" : {
        "display_value" : "7d running SUM",
        "link" :
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_aggregates/89ea4c11d7001100ba98
6f14ce6103dc",
        "value" : "89ea4c11d7001100ba986f14ce6103dc"
      },
      "gapperc" : null,
      "target" : null,
      "period" : null,
      "target_formatted" : "",
      "favorite" : false,
      "gap" : null,
      "direction_label" : "Minimize",
      "uuid" : "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4:89ea4c11d7001100ba986f14ce6103dc",
      "name" : "Number of open incidents / 7d running SUM",
      "value_color" : "#000000",
      "frequency_label" : "Daily",
      "change" : null,
      "gap_formatted" : "",
      "gapperc_formatted" : "",
      "value" : null,
      "unit" : {
        "display_value" : "#",
        "link" :
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_units/17b365e2d7320100ba986f14ce
6103ad",
        "value" : "17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad"
      },
      "changeperc_formatted" : "",
      "direction" : 2,
      "frequency" : 10,
      "precision" : 0,
      "changeperc" : null,
      "indicator" : {
        "display_value" : "Number of open incidents",
```


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "link" :
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_indicators/fb007202d7130100b96d45
a3ce6103b4",
      "value" : "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4"
    },
    "description" : "Number of incidents open based on resolved date is empty."
   }
 ]
}
```

ブレークダウンの要素を返す

ブレークダウンの各要素に関連付けられたスコアを取得し、それらの要素の sys_id を取得するには、ブレークダウンの sys_id とともに *sysparm_breakdown* パラメーターを使用します。この例では、[オープンインシデントの数] インジケーターのアサイン先グループブレークダウンの要素を取得します。前の例では、[オープンインシデントの数] インジケーターの sys_id が fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4 で、アサイン先グループブレークダウンの sys_id が baec0752bf130100b96dac808c0739ed になっています。

コマンド：

```
curl -v -u "user:password" -H "Accept:application/json"
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/pa/scorecards?sysparm_uuid=fb007202d7
130100b96d45a3ce6103b4&sysparm_breakdown=baec0752bf130100b96dac808c0739ed"
```

応答は一連の indicator オブジェクトで構成され、それぞれに 1 つの element オブジェクトが含まれています。element オブジェクトにはそれぞれ、オブジェクトの名前と sys_id が含まれています。インジケーターに関する情報は各 indicator オブジェクトで同じであるため、この例では最初の indicator オブジェクトのみが詳細に示されています。

応答：

```
{
  "result":[
    {
      "indicator": {
        "display_value":"Number of open incidents",

 "link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_indicators/fb007202d7130100b96d45a3ce6
103b4",
      "value":"fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4"
    },
    "gap_formatted":"",
    "benchmarking":false,
    "frequency_label":"Daily",
    "changeperc_formatted":"0.0%",
    "direction_label":"Minimize",
    "precision":0,
    "breakdown": {
      "display_value":"Assignment Group",

 "link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdowns/baec0752bf130100b96dac808
c0739ed",
      "value":"baec0752bf130100b96dac808c0739ed"
    },
    "personal_target":null,
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "description":"Number of incidents open based on resolved date is empty.",
    "value_color":"#455464",

 "uuid":"fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4:baec0752bf130100b96dac808c0739ed:unmatched",
    "frequency":10,
    "gap":null,
    "value_unit":"14",
    "indicator_frequency":10,
    "value":14.0,
    "indicator_aggregate":1,
    "facts_table": {
      "name":"incident",
      "label":"Incidents"
    },
    "key":false,
    "indicator_frequency_label":"Daily",
    "direction":2,
    "element": {
      "display_value":"Unassigned",      //Element name

 "link":"https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/sys_user_group/unmatched",
      "value":"unmatched"               //No sys_id for unmatched scores
    },
    "period_title":"Jul 22",
    "period":"Jul 22",
    "target_formatted":"",
    "change":0.0,
    "gapperc_formatted":"",

 "query":"opened_atONToday@javascript:gs.beginningOfToday()@javascript:gs.endOfToday()^ORopened_at<javascript:gs.beginningOfToday()^resolved_atISEMPTY^ORresolved_at>javascript:gs.endOfToday()^state!=8",
    "realtime_enabled":true,
    "changeperc":0.0,
    "target":null,
    "unit": {
      "display_value":"#",

 "link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_units/17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad",
      "type":"formatted",
      "value":"17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad"
    },
    "value_formatted":"14",           // Score where Assignment Group=Unassigned
    "name":"Number of open incidents > Assignment Group = Unassigned",
    "gapperc":null,
    "change_formatted":"0",
    "favorite":false,
    "personal_target_formatted":""
  },
  {"indicator": {

    "element": {
      "display_value":"Software",
```


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
 "link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/sys_user_group/8a4dde73c6112278017a6a4ba
f547aa7",
       "value":"8a4dde73c6112278017a6a4baf547aa7"    // sys_id of element Software
     },
     ...

     "value_formatted":"6",                    // Score where Assignment Group: Software
     "name":"Number of open incidents > Assignment Group = Software",
     "gapperc":null,
     "change_formatted":"0",
     "favorite":false,
     "personal_target_formatted":""
   },
   {"indicator": {
     ...

     "element": {
       "display_value":"Service Desk",

 "link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/sys_user_group/d625dccec0a8016700a222a0f
7900d06",
       "value":"d625dccec0a8016700a222a0f7900d06"   // sys_id of element Service Desk
     },

     ...

     "value_formatted":"5",                    // Score for Assignment Group: Service Desk
     "name":"Number of open incidents > Assignment Group = Service Desk",
     "gapperc":null,
     "change_formatted":"0",
     "favorite":false,
     "personal_target_formatted":""
   },
   {"indicator": {

     ...

     "element": {
       "display_value":"Hardware",

 "link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/sys_user_group/8a5055c9c61122780043563ef
53438e3",
       "value":"8a5055c9c61122780043563ef53438e3"   // sys_id for element Hardware
     },

     ...

     "value_formatted":"3",                    // Score for Assignment Group: Hardware
     "name":"Number of open incidents > Assignment Group = Hardware",
     "gapperc":null,
     "change_formatted":"0",
     "favorite":false,
     "personal_target_formatted":""
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
   },
   {"indicator": {

 ...

     "element": {
       "display_value":"Network",

 "link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/sys_user_group/287ebd7da9fe198100f92cc8d1d2154e",
       "value":"287ebd7da9fe198100f92cc8d1d2154e"},  // sys_id for element Network

...

     "value_formatted":"3",                    // Score for Assignment Group: Network
     "name":"Number of open incidents > Assignment Group = Network",
     "gapperc":null,
     "change_formatted":"0",
     "favorite":false,
     "personal_target_formatted":""
   },
 ...
 ]
...
}
```

ブレークダウンと要素でフィルタリングされたインジケーターを返す

ブレークダウンを適用するには、ブレークダウンおよびブレークダウン要素 sys_id 値を *sysparm_uuid* パラメーターに付加します。この例では、優先度 1 インシデントを表示するためにデータがブレークダウンされています。優先度ブレークダウンの sys_id は 0df47e02d7130100b96d45a3ce610399 で、「インジケーターのすべてのブレークダウンと集計を返す」の例にあります。「1：重大」要素の sys_id を取得するには、「ブレークダウンのすべての要素を返す」と同じコマンドを実行しますが、アサイン先グループではなく優先度ブレークダウンを使用します。「1：重大」要素の sys_id は 5f012106db5123003ee8f93baf9619bd です。

コマンド：

```
curl -v -u "user:password" -H "Accept:application/json"
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/pa/scorecards?sysparm_uuid=fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4:0df47e02d7130100b96d45a3ce610399:5f012106db5123003ee8f93baf9619bd"
```

応答：

```
{
// The request is made Dec 12. The
// score is 76, which is unchanged from
// Dec 11, and which exceeds the
// target of 70.
  "result": [
    {
      "indicator": {
        "display_value":"Number of open incidents",

 "link":"https://
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_indicators/fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4",
        "value":"fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4"
      },
      "gap_formatted":"-6",
      "benchmarking":false,
      "frequency_label":"Daily",
      "changeperc_formatted":"0.0%",
      "direction_label":"Minimize",
      "precision":0,
      "breakdown": {
        "display_value":"Priority",

 "link":"https://
instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdowns/0df47e02d7130100b96d45a3ce610399",
        "value":"0df47e02d7130100b96d45a3ce610399"
      },
      "personal_target":null,
      "description":"Number of incidents open based on resolved date is empty.",
      "value_color":"#ff8c00",

 "uuid":"fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4:0df47e02d7130100b96d45a3ce610399:5f012106db5123003ee8f93baf9619bd",
      "frequency":10,
      "gap":-6.0,
      "value_unit":"76",
      "indicator_frequency":10,
      "value":76.0,
      "indicator_aggregate":1,
      "facts_table": {
        "name":"incident",
        "label":"Incidents"
      },
      "key":false,
      "indicator_frequency_label":"Daily",
      "direction":2,
      "element": {
        "display_value":"1 - Critical",

 "link":"https://
instance.service-now.com/api/now/v1/table/sys_choice/5f012106db5123003ee8f93baf9619bd",
        "value":"5f012106db5123003ee8f93baf9619bd"
      },
      "period_title":"Dec 12",
      "period":"Dec 12",
      "target_formatted":"70",
      "change":0.0,
      "gapperc_formatted":"-8.6%",

 "query":"opened_atONToday@javascript:gs.beginningOfToday()@javascript:gs.endOfToday()^ORopened_at<javascript:gs.beginningOfToday()^resolved_atISEMPTY^ORresolved_at>javascript:gs.endOfToday()^state!=8^priority=1^EQ",
      "realtime_enabled":true,
      "changeperc":0.0,
      "target":70.0,
```


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "unit": {
      "display_value":"#",

 "link":"https://
instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_units/17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad",
      "type":"formatted","value":"17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad"
    },
    "value_formatted":"76",
    "name":"Number of open incidents > Priority = 1 - Critical",
    "gapperc":-0.08571428571428572,
    "change_formatted":"0",
    "favorite":true,
    "personal_target_formatted":""
  }
 ]
}
```


場所別にブレークダウンしたインジケーターを返す

パフォーマンス分析 API は、利用可能な場合に位置情報データを返します。

コマンド：

```
curl -v -u "user:password" -H "Accept:application/json"
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/pa/scorecards?sysparm_uuid=fb007202d7
130100b96d45a3ce6103b4&sysparm_breakdown=656d5662eb23310065deac6aa206fee7"
```

応答：


```
{
 "result": [
  {
    ...
    "element": {
      "display_value": "San Diego",
      "link":
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/cmn_location/108752c8c611227501d
4ab0e392ba97f",
      "value": "108752c8c611227501d4ab0e392ba97f",
      "longitude": -117.15726,
      "latitude": 32.71533
    },
    ...
  }
  {
    ...
    "element": {
      "display_value": "Florida",
      "link":
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/cmn_location/8e3e85f037d0200044e
0bfc8bcbe5d14",
      "value": "8e3e85f037d0200044e0bfc8bcbe5d14",
      "longitude": -95.71289,
      "latitude": 37.09024
    },
    ...
  }
```


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
 ]
}
```

第 1 および第 2 レベルのブレークダウンスコアを返す

複数のブレークダウンを適用するには、複数のブレークダウン sys_id を *sysparm_uuid* パラメーターに付加します。この例では、優先度 1 インシデントを表示するために優先度別にデータをブレークダウンし、データベース インシデントを表示するためにカテゴリ別にデータをブレークダウンしています。

コマンド：

```
curl -v -u "user:password" -H "Accept:application/json"
 "https://instance.service-now.com/api/now/v1/pa/scorecards?sysparm_uuid=fb007202d7130
100b96d45a3ce6103b4:0df47e02d7130100b96d45a3ce610399:e590014020033100766597829 9a
805f3:1f918835d7231100b96d45a3ce6103fe:9e418d4020033100766597829 9a805c1"
```

応答：

```
{
 "result": [
  {
   "value_formatted": "",
   "indicator": {
    "display_value": "Number of open incidents",
    "link":
 "http://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_indicators/fb007202d7130100b96d45a
3ce6103b4",
    "value": "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4"
   },
   "gapperc": null,
   "change": null,
   "value_color": "#000000",
   "direction": 2,
   "target_formatted": "",
   "frequency": 10,
   "changeperc_formatted": "",
   "direction_label": "Minimize",
   "period_title": null,
   "description": "Number of incidents open based on resolved date is empty.",
   "name": "Number of open incidents / Priority / 1 - Critical / Category / Database",
   "value": null,
   "key": false,
   "gap_formatted": "",
   "element": {
    "display_value": "1 - Critical",
    "link":
 "http://instance.service-now.com/api/now/v1/table/sys_choice/e590014020033100766597829
99a805f3",
    "value": "e590014020033100766597829 9a805f3"
   },
   "precision": 0,
   "element_level2": {
    "display_value": "Database",
    "link":
 "http://instance.service-now.com/api/now/v1/table/sys_choice/9e418d4020033100766597829
99a805c1",
    "value": "9e418d4020033100766597829 9a805c1"
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    },
    "breakdown": {
      "display_value": "Priority",
      "link":
"http://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdowns/0df47e02d7130100b96d45a3ce610399",
      "value": "0df47e02d7130100b96d45a3ce610399"
    },
    "period": null,
    "favorite": false,
    "change_formatted": "",
    "unit": {
      "display_value": "#",
      "link":
"http://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_units/17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad",
      "value": "17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad"
    },
    "frequency_label": "Daily",
    "breakdown_level2": {
      "display_value": "Category",
      "link":
"http://instance.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdowns/1f918835d7231100b96d45a3ce6103fe",
      "value": "1f918835d7231100b96d45a3ce6103fe"
    },
    "target": null,
    "changeperc": null,
    "uuid":
"fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4:0df47e02d7130100b96d45a3ce610399:e590014020033
1007665978299a805f3:1f918835d7231100b96d45a3ce6103fe:9e418d40200331007665978299a8
05c1",
    "gapperc_formatted": "",
    "value_unit": "",
    "gap": null
  }
 ]
}
```


第 2 レベルのブレークダウンの日付の範囲のスコアを返す

すべての使用可能な日付の個々のスコアのリストを要求するには、*sysparm_include_scores* パラメーターを true に設定します。スコアの日付範囲を指定するには、*sysparm_from* パラメーターと *sysparm_to* パラメーターも使用します。この例では、第 1 レベルのブレークダウンと要素は [アサイン先グループ：ソフトウェア] (sys_id baec0752bf130100b96dac808c0739ed と 8a4dde73c6112278017a6a4baf547aa7) です。第 2 レベルのブレークダウンと要素は [優先度：1：重大] (sys_id 0df47e02d7130100b96d45a3ce610399 と e590014020033100766597829 9a805f3) です。2018 年 11 月 30 日以降のスコアのみが返されます。

コマンド：

```
curl -v -u "resttest:resttest" -H "Accept:application/json"
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/pa/scorecards?sysparm_uuid=fb007202d7
130100b96d45a3ce6103b4:baec0752bf130100b96dac808c0739ed:8a4dde73c6112278017a6a4b
af547aa7:0df47e02d7130100b96d45a3ce610399:e590014020033100766597829 9a805f3&syspar
m_include_scores=true&sysparm_from=2018-11-30"
```

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

応答：


```
{
 "result": [
  { "indicator": {
      "display_value":"Number of open incidents",

 "link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_indicators/fb007202d7130100b96d45a3ce6
103b4",
      "value":"fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4"
    },
    "gap_formatted":"",
    "benchmarking":false,
    "frequency_label":"Daily",
    "scores": [
     { "end_at":"2018-12-04",
       "period":"Dec 04",
       "value_formatted":"2",
       "start_at":"2018-12-04",
       "value":2.0
     },
     ...

     { "end_at":"2018-11-30",
       "period":"Nov 30",
       "value_formatted":"0",
       "start_at":"2018-11-30",
       "value":0.0
     }
    ],
    "changeperc_formatted":"",
    "direction_label":"Minimize",
    "precision":0,
    "breakdown": {                  //First-level breakdown
     "display_value":"Assignment Group",

 "link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdowns/baec0752bf130100b96dac808
c0739ed",
      "value":"baec0752bf130100b96dac808c0739ed"
    },
    "personal_target":null,
    "description":"Number of incidents open based on resolved date is empty.",
    "value_color":"#455464",

 "uuid":"fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4:baec0752bf130100b96dac808c0739ed:8a4dde73
c6112278017a6a4baf547aa7:0df47e02d7130100b96d45a3ce610399:e590014020033100766597 8
299a805f3",
    "frequency":10,
    "gap":null,
    "value_unit":"2",
    "indicator_frequency":10,
    "value":2.0,
    "indicator_aggregate":1,
    "key":false,
    "indicator_frequency_label":"Daily",
```


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "direction":2,
    "element": {                    //First-level breakdown element
      "display_value":"Software",

 "link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/sys_user_group/8a4dde73c6112278017a6a4baf547aa7",
       "value":"8a4dde73c6112278017a6a4baf547aa7"
    },
    "period_title":"Dec 04",
    "period":"Dec 04",
    "target_formatted":"",
    "change":2.0,
    "gapperc_formatted":"",
    "realtime_enabled":false,
    "changeperc":null,
    "target":null,
    "unit":{
      "display_value":"#",

 "link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_units/17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad",
       "type":"formatted",
       "value":"17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad"
    },
    "value_formatted":"2",              //Second-level breakdown and element
    "name":"Number of open incidents > Assignment Group = Software > Priority =
 e5900140200331007665978299a805f3",
    "gapperc":null,
    "change_formatted":"2",
    "favorite":false,
    "breakdown_level2": {
      "display_value":"Priority",

 "link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdowns/0df47e02d7130100b96d45a3ce610399",
       "value":"0df47e02d7130100b96d45a3ce610399"
    },
    "personal_target_formatted":""
   }
  ]
}
```


ブレークダウンと要素のブレークダウンの関連付けを返す

インジケーターに関連付けられたすべてのブレークダウンの関連付けの sys_id 値を取得するには、*sysparm_include_available_breakdowns* パラメーターを使用します。*sysparm_uuid* パラメーターには、第 1 レベルのブレークダウンの sys_id と、目的の関連付けを持っている要素を含めます。この例では、*sysparm_uuid* パラメーターには、アサイン先グループブレークダウンの sys_id とソフトウェア要素の sys_id が含まれています。アサイン先グループの sys_id は、すべてのブレークダウンと集計が返された例で取得されました。ソフトウェア要素の sys_id は、アサイン先グループのすべての要素が返された前の例で取得されました。アサイン先グループブレークダウンの sys_id は baec0752bf130100b96dac808c0739ed であり、ソフトウェア要素の sys_id は

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

8a4dde73c6112278017a6a4baf547aa7 です。sys_id が fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4である [オープンインシデントの数] インジケーターのブレークダウンの関連付けが取得されます。

注:
[アサイン先グループ：未アサイン (Assignment Group: Unassigned)] など、ブレークダウンの要素値と一致しないインシデントのブレークダウンの関連付けを検索するには、要素 sys_id の代わりに文字列 unmatched を使用します。この場合、パラメーターは sysparm_uuid=fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4:baec0752bf130100b96dac808c0739ed:unmatchedになります。

コマンド：

```
curl -v -u "user:password" -H "Accept:application/json"
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/pa/scorecards?sysparm_uuid=fb007202d7
130100b96d45a3ce6103b4:baec0752bf130100b96dac808c0739ed:8a4dde73c6112278017a6a4b
af547aa7&sysparm_include_available_breakdowns=true"
```

応答：

```
{
  "result": [
    {
      "value_formatted": "37",
      "indicator": {
        "display_value": "Number of open incidents",
        "link":
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_indicators/fb007202d7130100b96
d45a3ce6103b4",
        "value": "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4"
      },
      "gapperc": null,
      "change": 9.0,
      "value_color": "#455464",
      "direction": 2,
      "target_formatted": "",
      "frequency": 10,
      "changeperc_formatted": "32.1%",
      "direction_label": "Minimize",
      "period_title": "Jul 22",
      "description": "Number of incidents open based on resolved date is empty.",
      "name": "Number of open incidents / Assignment Group / Software",
      "value": 37.0,
      "key": false,
      "gap_formatted": "",
      "element": {
        "display_value": "Software",
        "link":
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/sys_user_group/287ee6fea9fe198100
ada7950d0b1b73",
        "value": "8a4dde73c6112278017a6a4baf547aa7"
      },
      "precision": 0,
      "breakdowns": [
        // Information about each breakdown

      ],
      "breakdown_relations": [
        {
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "display_value": "Child Groups",
        "link":
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdown_relations/301fd511eb
23310065deac6aa206fe31",
        "value": "301fd511eb23310065deac6aa206fe31"
       },
       {
        "display_value": "Parent Group",
        "link":
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdown_relations/790b6e11eb
23310065deac6aa206fe1c",
        "value": "790b6e11eb23310065deac6aa206fe1c"
       },
       {
        "display_value": "Sibling Groups",
        "link":
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdown_relations/15e15a12eb
233100871aac6aa206fe59",
        "value": "15e15a12eb233100871aac6aa206fe59"
       }
     ],
     "breakdown": {
       "display_value": "Assignment Group",
       "link":
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdowns/baec0752bf130100b
96dac808c0739ed",
       "value": "baec0752bf130100b96dac808c0739ed"
     },
     "period": "Jul 22",
     "favorite": false,
     "change_formatted": "9",
     "unit": {
       "display_value": "#",
       "link":
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_units/17b365e2d7320100ba986f1
4ce6103ad",
       "value": "17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad"
     },
     "frequency_label": "Daily",
     "target": null,
     "changeperc": 0.32142857142857145,
     "uuid":
 "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4:baec0752bf130100b96dac808c0739ed:8a4dde73c6112
278017a6a4baf547aa7",
     "gapperc_formatted": "",
     "value_unit": "6",
     "gap": null
   }
 ]
}
```


ブレークダウンの関連付けを使用してインジケーターを返す

ブレークダウンの関連付けを使用するには、*sysparm_uuid* パラメーターにインジケーター、ブレークダウン、および要素の sys_id 値を含め、*sysparm_breakdown_relation* パラメーターに

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ブレークダウンの関連付けの sys_id を含めます。この例では、前の例の [アサイン先グループ：ソフトウェア] の兄弟グループ値が返されます。

コマンド：

```
curl -v -u "user:password" -H "Accept:application/json"
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/pa/scorecards?sysparm_uuid=fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4:baec0752bf130100b96dac808c0739ed:8a4dde73c6112278017a6a4baf547aa7&sysparm_breakdown_relation=15e15a12eb233100871aac6aa206fe59"
```

応答：


```
{
 "result": [
  {
   "indicator": {
    "gap_formatted":"",
    "benchmarking":false,
    "frequency_label":"Daily",
    "changeperc_formatted":"0.0%",
    "direction_label":"Minimize",
    "precision":0,
    "breakdown": {
     "display_value":"Assignment Group",

 "link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdowns/baec0752bf130100b96dac808c0739ed",
      "value":"baec0752bf130100b96dac808c0739ed"
    },
    "personal_target":null,
    "description":"Number of incidents open based on resolved date is empty",
    "value_color":"#455464",

 "uuid":"fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4:baec0752bf130100b96dac808c0739ed:0a52d3dcd7011200f2d224837e6103f2",
    "frequency":10,
    "gap":null,
    "value_unit":"0",
    "indicator_frequency":10,
    "value":0.0,
    "indicator_aggregate":1,
    "facts_table": {
     "name":"incident",
     "label":"Incidents"
    },
    "key":false,
    "indicator_frequency_label":"Daily",
    "direction":2,
    "element": {
     "display_value":"Application Development",

 "link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/sys_user_group/0a52d3dcd7011200f2d224837e6103f2",
      "value":"0a52d3dcd7011200f2d224837e6103f2"
    },
    "period_title":"Dec 03",
```


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "period":"Dec 03",
    "target_formatted":"",
    "change":0.0,
    "gapperc_formatted":"",

 "query":"opened_atONToday@javascript:gs.beginningOfToday()@javascript:gs.endOfToday()^O
ROpened_at<javascript:gs.beginningOfToday()^resolved_atISEMPTY^ORresolved_at>javascript
:gs.endOfToday()^state!=8^assignment_group=0a52d3dcd7011200f2d224837e6103f2^EQ",
    "realtime_enabled":true,
    "changeperc":0.0,
    "target":null,
    "unit": {
      "display_value":"#",

 "link":"https://
<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_units/17b365e2d7320100ba986f14ce6103a
d",
       "type":"formatted",
       "value":"17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad"
     },
    "value_formatted":"0",
    "name":"Number of open incidents > Assignment Group = Application Development",
    "gapperc":null,
    "change_formatted":"0",
    "favorite":false,
    "personal_target_formatted":""
   }
   // Followed by an indicator object with an element object for every element in the Sibling
 Group
 ]
}
```

ブレークダウンの要素のフィルタリングされたセットを返す

Performance Analytics 要素フィルターレコードsys_id **sysparm_elements_filter**パラメーターを使用して、データにアナリティクスハブフィルターを適用できます。

「」の説明に従って、要素フィルターレコードから要素フィルターのsys_idを取得します。

この例では、要素フィルターが [[Parent][is][Database]] の条件でグループブレークダウンソースに適用されます。この要素フィルターの sys_id は 7b9eb563eb11020065deac6aa206fe11 です。この例では、要素データベースを親として持つアサイン先グループブレークダウンの要素を取得します。

コマンド：

```
curl -v -u "user:password" -H "Accept:application/json"
 "https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/pa/scorecards?sysparm_uuid=fb007202d7
130100b96d45a3ce6103b4&sysparm_breakdown=baec0752bf130100b96dac808c0739ed&syspa
rm_elements_filter=7b9eb563eb11020065deac6aa206fe11"
```

応答：

```
{
  "result": [
    {
      "value_formatted": "37",
      "indicator": {
```

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
      "display_value": "Number of open incidents",
      "link":
"https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_indicators/fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4",
      "value": "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4"
    },
    "gapperc": null,
    "change": 9.0,
    "value_color": "#455464",
    "direction": 2,
    "target_formatted": "",
    "frequency": 10,
    "changeperc_formatted": "32.1%",
    "direction_label": "Minimize",
    "period_title": "Jul 22",
    "description": "Number of incidents open based on resolved date is empty.",
    "name": "Number of open incidents / Assignment Group / Database",
    "value": 37.0,
    "key": false,
    "gap_formatted": "",
    "element": {
      "display_value": "Database",
      "link":
"https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/sys_user_group/287ee6fea9fe198100ada7950d0b1b73",
      "value": "287ee6fea9fe198100ada7950d0b1b73"
    },
    "precision": 0,
    "breakdown": {
      "display_value": "Assignment Group",
      "link":
"https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdowns/baec0752bf130100b96dac808c0739ed",
      "value": "baec0752bf130100b96dac808c0739ed"
    },
    "period": "Jul 22",
    "favorite": false,
    "change_formatted": "9",
    "unit": {
      "display_value": "#",
      "link":
"https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_units/17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad",
      "value": "17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad"
    },
    "frequency_label": "Daily",
    "target": null,
    "changeperc": 0.32142857142857145,
    "uuid":
"fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4:baec0752bf130100b96dac808c0739ed:287ee6fea9fe198100ada7950d0b1b73",
    "gapperc_formatted": "",
    "value_unit": "37",
    "gap": null
  },
  {
    "value_formatted": "20",
```


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "indicator": {
      "display_value": "Number of open incidents",
      "link":
"https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_indicators/fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4",
      "value": "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4"
    },
    // Database Atlanta
    "gapperc": null,
    "change": 4.0,
    "value_color": "#455464",
    "direction": 2,
    "target_formatted": "",
    "frequency": 10,
    "changeperc_formatted": "25.0%",
    "direction_label": "Minimize",
    "period_title": "Jul 22",
    "description": "Number of incidents open based on resolved date is empty.",
    "name": "Number of open incidents / Assignment Group / Database Atlanta",
    "value": 20.0,
    "key": false,
    "gap_formatted": "",
    "element": {
      "display_value": "Database Atlanta",
      "link":
"https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/sys_user_group/db53580b0a0a0a6501aa37c294a2ba6b",
      "value": "db53580b0a0a0a6501aa37c294a2ba6b"
    },
    "precision": 0,
    "breakdown": {
      "display_value": "Assignment Group",
      "link":
"https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_breakdowns/baec0752bf130100b96dac808c0739ed",
      "value": "baec0752bf130100b96dac808c0739ed"
    },
    "period": "Jul 22",
    "favorite": false,
    "change_formatted": "4",
    "unit": {
      "display_value": "#",
      "link":
"https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_units/17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad",
      "value": "17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad"
    },
    "frequency_label": "Daily",
    "target": null,
    "changeperc": 0.25,
    "uuid":
"fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4:baec0752bf130100b96dac808c0739ed:db53580b0a0a0a6501aa37c294a2ba6b",
    "gapperc_formatted": "",
    "value_unit": "20",
    "gap": null
  },
```


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
  {
    "value_formatted": "19",
    "indicator": {
      "display_value": "Number of open incidents",
      "link":
"https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_indicators/fb007202d7130100b96
d45a3ce6103b4",
      "value": "fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4"
    },
    ...

    // Database San Diego
    "gapperc": null,
    "change": 0.0,
    "value_color": "#455464",
    "direction": 2,
    "target_formatted": "",
    "frequency": 10,
    "changeperc_formatted": "0.0%",
    "direction_label": "Minimize",
    "period_title": "Jul 22",
    "description": "Number of incidents open based on resolved date is empty.",
    "name": "Number of open incidents / Assignment Group / Database San Diego",
    "value": 10.0,
    "key": false,
    "gap_formatted": "",
    "element": {
      "display_value": "Database San Diego",
      "link":
"https://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/sys_user_group/db53a9290a0a0a650
091abebccf833c6",
      "value": "db53a9290a0a0a650091abebccf833c6"
    },
    "precision": 0,
    "breakdown": {
      "display_value": "Assignment Group",
      "link":
"http://localhost:8080/api/now/v1/table/pa_breakdowns/baec0752bf130100b96dac808c0739
ed",
      "value": "baec0752bf130100b96dac808c0739ed"
    },
    "period": "Jul 22",
    "favorite": false,
    "change_formatted": "0",
    "unit": {
      "display_value": "#",
      "link":
"http://<instance>.service-now.com/api/now/v1/table/pa_units/17b365e2d7320100ba986f14
ce6103ad",
      "value": "17b365e2d7320100ba986f14ce6103ad"
    },
    "frequency_label": "Daily",
    "target": null,
    "changeperc": 0.0,
    "uuid":
"fb007202d7130100b96d45a3ce6103b4:baec0752bf130100b96dac808c0739ed:db53a9290a0a0
a650091abebccf833c6",
```


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    "gapperc_formatted": "",
    "value_unit": "10",
    "gap": null
   }
  ]
}
```

スクリプト： パフォーマンスアナリティクス

パフォーマンスアナリティクスは、パフォーマンスアナリティクスデータのクエリのためのスクリプトと API で使用するための、いくつかのスクリプト オブジェクトを提供しています。このスクリプトはブレークダウンマッピングとして機能するか、インジケーターから値を計算します。

スクリプトに関するヒント

- 一般に、スクリプトは、 score_start 変数と score_end 変数を使用して、経過時間などの日付処理を伴うインジケーターをサポートする場合にのみ使用します。
- 不要なフィールドを制限します。追加のドット連結フィールドを含めるたびに、クエリに追加の結合を追加します。
- パフォーマンスを向上させるために、手動によるブレークダウンをデータベースビューに置き換えてみてください。
- 一般的な機能にはスクリプトインクルードを使用するようにしてください。詳細については、「スクリプトインクルード」を参照してください。
- レポートに必要な方法でデータが構造化されていない場合は、スクリプトを作成する代わりに、運用テーブルに「レポートフィールド」を追加してみてください。詳細については、この コミュニティの投稿 を参照してください。
- スコアテーブルまたはスナップショットテーブルを パフォーマンスアナリティクス 照会するバックグラウンドスクリプトを実行している場合は、適切なロールがないと、スコープ対象のアプリケーションに関するデータにアクセスできません。

警告:
パフォーマンスアナリティクス スクリプトまたは式インジケーターで `GlideRecords` または `GlideAggregates` を使用しないでください。必要なものを取得するためにこれらの操作を使用する必要がある場合もありますが、これらはコストがかかり、数十万回実行する可能性があります。使用する前に、代替が存在しないことを確認してください。

ブレークダウンマッピングとインジケータースクリプト

ブレークダウンマッピング スクリプトは、通常、ブレークダウン要素の sys_id または整数を返し、スコアをバケットに入れます。インジケーター スクリプトは、1 つ以上のフィールドから計算されたスコアを返します。同じスクリプトを、ブレークダウンマッピング スクリプトとインジケーター スクリプトの両方として機能させることができます。

Example: ブレークダウンスクリプト

たとえば、提供されている Incident.Age.Days スクリプトは、インシデント テーブルの opened_at フィールドを使用します。このスクリプトは、インシデント経過時間範囲 (日数) バケット グループをブレークダウン ソースとして使用する、経過時間ブレークダウン用のブレークダウンマッピングとして機能します。

```
var diff=function(x,y){return y.dateNumericValue() - x.dateNumericValue();};
var days=function(x,y){return diff(x,y)/(24*60*60*1000);};
days(current.opened_at, score_end);
```

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

この例では、 current.opened_at 現在評価されているレコードが開かれたときのタイムスタンプを取得します。score_end スクリプト変数は、データコレクタから取得され、収集される期間にバインドされます。たとえば、月次インジケーターが収集される場合、 score_end は月末になります。ここでは、インシデントがオープンされたときのタイムスタンプが、収集期間の終わりのタイムスタンプから減算され、結果が日に変換されます。

この例には、このスクリプトの [フィールド] フィールドで指定された [Incident.opened_at] フィールドが含まれています。score_startとscore_endは、[フィールド] フィールドで定義せずに使用できます。

関連情報

ブレークダウン レコードでのブレークダウンマッピングの作成

サーバースコープ API リスト

パフォーマンス分析でのスクリプトの作成

スクリプトを作成するには、まず、スクリプトを適用するファクト テーブルを選択し、明示的にフィールドを選択します。

始める前に

必要なロール:admin、pa_admin テーブル内の パフォーマンスアナリティクス スコープ対象アプリケーションのデータにアクセスするには、そのアプリケーションに対する適切な admin ロールも必要です。

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** > スクリプト をクリックし、[新規] をクリックします。
2. スクリプトにわかりやすい [名前] を付けます。
3. スクリプトを適用する [ファクトテーブル] を選択します。
   これと同じファクト テーブルを使用するインジケーターのみが、このスクリプトを使用できます。
4. スクリプトで使用されるファクト テーブルの [フィールド] がある場合は、選択します。
   フィールドはラベルで選択します。
5. スクリプトを記述します。
   スクリプトは、次の関係と制限に従う必要があります。
   - このフォームで選択されたフィールドとスクリプト変数のみを含めることができます。詳細については、Performance Analytics 変数に関するセクションを参照してください。
   - スクリプトでフィールドを使用する場合は、列名を使用します。必要に応じて、ファクト テーブルの列名をルックアップします。
   - データベース ビューのフィールドを使用する場合は、プリフィックスを含める必要があります。たとえば、incident_sla データベース ビューには、taskslatable というプリフィックスを持つ task_sla テーブルが含まれています。task_sla には、business_duration 列が含まれています。incident_slaデータベースビューから business_duration フィールドを使用するには、*`taskslatable_business_duration`* として記述します。データベース ビューにアクセスできない場合は、システム管理者にプリフィックスの検索を依頼してください。

次のタスク

スクリプトを作成したら、スクリプトを使用するブレークダウンマッピングまたはインジケーターを作成します。ブレークダウンマッピングまたはインジケーター タブのいずれかで [新規] をクリックすると、ブレークダウンマッピングまたはインジケーター フォームを開くことができます。このスクリプトを使用するブレークダウンマッピングとインジケーターがこれらのタブに一覧表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パフォーマンスアナリティクス の変数

いくつかの変数をスクリプトと式インジケーターで使用する パフォーマンスアナリティクス ことができます。

スクリプトと式では パフォーマンスアナリティクス 、次の変数を使用できます。

- score_start:最初のインジケータースコア収集の日の最初の 1 秒。スクリプトの場合、時間は、収集ジョブの実行ユーザーのタイムゾーンとデータベースのタイムゾーン (GMT) の時差に基づいて計算されます。数式の場合、時間は数式を実行するユーザーのタイムゾーンと GMT の時差に基づいて計算されます。ユーザーは、ダッシュボードウィジェットまたは で アナリティクスハブ式インジケーターを表示して、式を実行します。
- score_end:前回のインジケータースコア収集の日の最後の秒。時間は score_startと同じ方法で計算されます。
- pa:一連の属性とメソッドを提供する アナリティクスハブ 、スクリプトでは使用できない式変数。

スクリプトでは、スコア収集の開始変数と終了変数は *GlideElementGlideObject* オブジェクトです。これらの変数から *GlideDateTime* オブジェクトを取得するには、次の例のように *getGlideObject()* を呼び出します 。gs.log("Score main = " + score_end.getGlideObject().getDayOfWeek());

式では、スコア収集の開始変数と終了変数はすでに *GlideDateTime* オブジェクトになっています。したがって、次の例のように、 *getGlideObject()* を呼び出さずに変数を直接使用できます 。gs.log("Score main = " + score_end.getDayOfWeek());

開始変数と終了変数の値は、収集される期間にバインドされます。たとえば、月次インジケーターが収集される場合、 score_end は月末になります。

score_startとscore_endの値は、関連するユーザーのタイムゾーンに基づいて計算されます。スクリプトの場合 パフォーマンスアナリティクス 、これは収集ジョブの実行タイムゾーンです。数式の場合、これはダッシュボードウィジェットまたは アナリティクスハブで式インジケーターを表示するユーザーのタイムゾーンです。そのため、タイムゾーンが異なれば、数式の score_start や score_end の日付も異なる場合があります。

関連情報

数式で分析メソッドを取得する

ユーザーのタイムゾーンが異なることによるscore_start/終了の変更

外部データとのパフォーマンス分析の使用

外部データソースに対するパフォーマンス分析により、ServiceNow インスタンスにないデータに対して詳細な分析を実行できます。

外部データのスコアを収集する場合、パフォーマンス分析は、インスタンスに外部データのスコアとブレークダウン要素を保存します。分析される生データは外部データソースに残り、インスタンスにはコピーされません。この機能を使用すると、基礎となるデータを複製せずにメトリックを分析および共有できます。

パフォーマンス分析の外部データ収集では、次の 3 つのタイプの構成レコードが使用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- スコアを収集するために使用される JDBC データソースと SQL ステートメントを指定する外部インジケーター
- ブレークダウン要素を指定するために使用される JDBC データソースと SQL ステートメントを指定する外部ブレークダウン
- 外部インジケーターとブレークダウンの関係を定義する外部インジケーター ブレークダウンと、そのインジケーターの各ブレークダウン要素のスコアを収集するために使用される SQL ステートメント

外部データでサポートされているデータベース形式

パフォーマンスアナリティクス は、デフォルトでサポートされているデータベース形式 ServiceNow のみをサポートしています。顧客がサポートされていないデータベース形式の JDBC ドライバーを追加した場合、 は パフォーマンスアナリティクス そのデータベース形式を外部データソースとしてサポートしません。

サポートされているデータベース形式

SQL Server タイプ	ポート
MySQL	3306
Microsoft SQL Server	1433
Oracle	1521

関連情報

JDBC タイプのデータソース

外部データのインジケーターの作成

外部インジケーターを作成して、評価するデータと、インジケーター スコアを決定するために使用される SQL ステートメントを定義します。

始める前に
必要なロール：pa_admin、pa_power_user、または admin

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** > 外部インジケーター をクリックし、[新規] をクリックします。
2. インジケーターにわかりやすい [名前] を付けます。
3. [周期] フィールドに、[日次]、[週次]、または [月次] などの、インジケーターのデータ ポイントの周期を指定します。
4. [ソース] タブで、スコアを収集する [データソース] を選択します。

   パフォーマンス分析では、JDBC タイプのデータ ソースのみがサポートされています。データソースの設定については、データソースのドキュメントを参照してください。

   注:
   データソースで定義された [SQL ステートメント] と [インポート・セット] の両テーブルはパフォーマンス分析では使用されません。

5. スコア値を計算するために使用する **[SQL** ステートメント] を指定します。
   SQL ステートメントは、エイリアス *value*を使用して集計値を返し、日付フィールドに基づいてデータをフィルタリングする必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:
集計の別名は、[値] である必要があります。

Example
単純なインジケーターの場合、SQL ステートメントは SELECT count(*) AS value FROM... のようになります 。ここで、DATE(date_field) >= DATE(${start_at}) です。

より複雑なインジケーターの場合は、DATE が DATEADD が戻す日付よりも前であるという条件も必要になる場合があります。ここで、複合データを含む月次インジケーターには、SQL ステートメント SELECT count(*) AS value FROM... ここで、DATE(date_field) >= DATE(${start_at}) と DATE(date_field) < DATEADD(MONTH, 1, ${start_at}) です。

6. このインジケーターのスコアが時間の経過とともに増減することを希望する場合は、[方向] フィールドで [最大化] または [最小化] を選択します。
分析ツールとグラフィック ディスプレイがこのインジケーターの [方向] に使用されています。

ヒント:
可能な限り方向を設定します。すべてのキー インジケーターを [最大化] または [最小化] に設定する必要があります。

7. オプション: 次のインジケータープロパティのいずれかを指定します。

フィールド	説明
単位	数値、日数、割合などスコアの測定単位。 (Optional) [価格]、[通貨]、または [FX 通貨] フィールドでシステム参照通貨でスコアを収集するには、[参照通貨を使用] を選択します。詳細については、「参照通貨でのインジケータースコア」を参照してください。 単位として % または期間を選択する場合は、インジケーターへの適用対象から時系列を除外することを検討してください。詳細については、「インジケーターからの時系列の除外」を参照してください。 単位として [時間] を選択した場合、時間は [日]、[時間]、および [分] で指定されます。システムプロパティ *glide.ui.duration.seconds.enabled* が存在し、true の場合は、秒も表示されます。この場合、秒はインスタンスのすべての時間フィールドにも表示され、Excel への Microsoft エクスポートに含まれます。
精度	小数点の後ろの桁数。詳細については、「インジケーターの丸めと精度」を参照してください。 このフィールドは、単位が [参照通貨を使用] の場合は使用できません。この場合、精度は参照通貨から継承されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
数値形式	多数の略語、数千から五分の一までに使用される略語。詳細については、「インジケーターの丸めと精度」を参照してください。
キー	インジケーターをキー インジケーターとして識別します。のインジケーターのリストをフィルタリングするためにのみ使用されます **Performance Analytics** > 分析ハブ。

8. [アクセス制御] タブで、このインジケーターをエクスペリエンスの KPI プラットフォームアナリティクス とリストにアナリティクスハブ公開するかどうか、およびインジケーターの表示をユーザー、グループ、またはロール別に制限するかどうかを設定します。
9. オプション: [その他] タブで、その他のさまざまなプロパティを設定します。

[その他] タブのフィールド

フィールド	説明
デフォルトの時系列	(Optional) インジケーターの生のスコアを表示する代わりにインジケーターに適用する、7 日間の実行平均などの事前定義された分析機能。 詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーまたは会計カレンダーを使用するインジケーターにデフォルトの時系列を設定することはできません。これらのカレンダーは時系列集計をサポートしていません。
ライブグループプロファイル	(Optional) ライブ フィード グループのライブ グループ プロフィール [live_group_profile] レコード。グループプロファイルを指定して、そのグループがこのインジケーターに関する通知を受け取るようにします。 上の Now Platformこのソーシャルアプリケーションの詳細については、「 Live Feed」 を参照してください。
順番	(Optional) にインジケーターが表示される順番を示す番号。 アナリティクスハブ 最小値のインジケーターがリストの一番上に表示されます。[順序] フィールドに値が指定されていない場合、インジケーターは [名前] フィールドを使用して a から z まで表示されます。[順番] フィールドを使用するには、すべてのインジケーターの順番の番号を入力する必要があります。少数のインジケーターのみに数字を入力

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	すると、インジケーターの表示順序は a から z に戻ります。
デフォルトのグラフ種別	(Optional) このインジケーターのデフォルトのチャート タイプ (行、列、スプライン、または領域) を設定します。このインジケーターの [またはKPI 詳細] を初めて開くアナリティクスハブときは、デフォルトのチャートタイプが使用されます。でグラフの種類が変更され アナリティクスハブ た場合、その設定が記憶されます。
実線のレンダリング	(Optional) 選択すると、アナリティクスハブKPI 詳細特定の日付のデータがない場合でも、このインジケーターの破損していないデータ行が表示されます。この動作は、さまざまな開始日のデータセットを表示する場合や、在庫情報など、定期的に更新されないデータを表示する場合に役立つ場合があります。 インジケーターまたは で アナリティクスハブ時系列が設定されている場合、実線はレンダリングされません。
リアルタイムスコアを表示	(Optional) とを選択すると、アナリティクスハブKPI 詳細このインジケーターのスコアと関連レコードの現在のステータスをリアルタイムで表示できます。第三者のソースからのデータを使用した統合などインジケーター データがリアルタイムで利用できない場合は、このチェックボックスをオフにします。詳細については、「リアルタイムスコア」を参照してください。 注意:リアルタイムスコアを表示するには、インジケーターまたは関連するインジケーターソースに条件を設定する必要があります。

Example

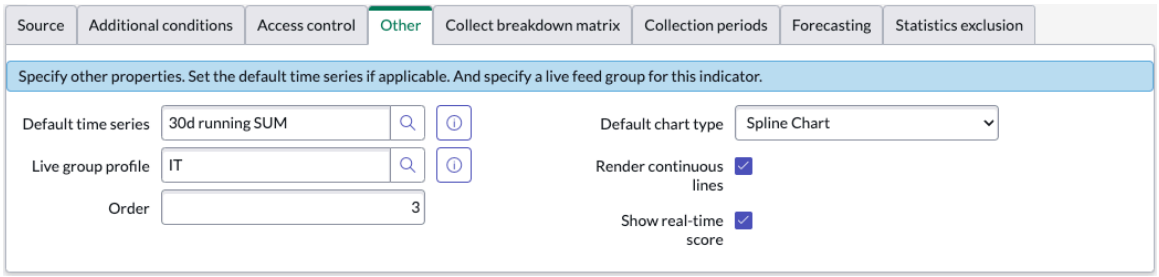
たとえば、[その他] タブでは、次のようにインジケーターを設定できます。

- デフォルトでは、30 日間分移動したスコアの合計がウィジェットに表示されます。このデフォルトは、KPI 詳細ダッシュボードウィジェット、またはワークスペースデータの可視化でアナリティクスハブ上書きできます。
- インジケーターの変更が IT Live グループに通知されます。
- インジケーターは、インジケーターのリストの アナリティクスハブ 3 番目に表示されます。他のすべてのインジケーターにもポジションが指定されています。この設定は、上の構成可能ワークスペースインジケーターアナリティクスセンターの順序には影響しません。
- デフォルトのグラフの種類は、 アナリティクスハブ と KPI 詳細のスプラインです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- インジケーターのデータ行は、データが欠落している場合でも切れ目なく表示されます。
- と アナリティクスハブKPI 詳細 は、このインジケーターのスコアをリアルタイムで表示できます。



10. オプション: [予測] タブで、予測方法、予測するデータ収集期間、予測の基礎となる履歴データの量、予測値の上限と下限を設定します。
    詳細については、「Performance Analytics スコア予測」を参照してください。
11. インジケーターを保存します。
12. [コレクションのテスト] を押します。
    このアクションは、インジケーターのメインクエリをテストします。

次のタスク
インジケーターのブレークダウン スコアを収集する場合は、外部ブレークダウンを定義し、インジケーターに関連付けます。

外部データを使用したブレークダウンの作成

外部ブレークダウンを作成して、外部インジケーター スコアのブレークダウンに使用できる要素を定義します。

始める前に
必要なロール：pa_admin、pa_power_user、または admin

このタスクについて
デフォルトでは、外部ブレークダウンには最大で 5000 個の要素を含めることができます。この制限は、プロパティ `com.snc.pa.dc.max_external_elements`によって制御されます。

外部ブレークダウン要素は、pa_ext_elements テーブルに格納されます。

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** > 外部ブレークダウン。
2. [新規] をクリックします。
3. ブレークダウン要素として使用するレコードが含まれている [データソース] を選択します。

   パフォーマンス分析では、JDBC タイプのデータ ソースのみがサポートされています。データソースの設定については、データソースのドキュメントを参照してください。

   注:
   データソースで定義された [SQL ステートメント] と [インポート・セット] の両テーブルはパフォーマンス分析では使用されません。

4. **[SQL** ステートメント] を指定して、ブレークダウン要素を選択します。
   SQL ステートメントは、エイリアス `id` を持つ各ブレークダウン要素の一意のキーと、エイリアス `name`を持つ要素表示名を返す必要があります (SELECT guid AS id、user_name AS name FROM... など)。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

> **重要:**
> 一意のキーの別名は **[ID]**、表示名の別名は [名前] である必要があります。

5. ブレークダウンを保存します。
6. [コレクションのテスト] を押します。
   このアクションは、ブレークダウン要素を選択するクエリをテストします。

次のタスク
ブレークダウン要素の収集方法を定義したら、外部ブレークダウンを 1 つ以上の外部インジケーターに関連付けます。

外部ブレークダウンを使用するための外部インジケーターの構成

外部インジケーターと外部ブレークダウンを関連付けて、インジケーターのブレークダウンスコアの収集方法を定義します。

始める前に
必要なロール：pa_admin、pa_power_user、または admin

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** > 外部インジケーター。
2. [インジケーター] を選択します。
3. [ブレークダウン] 関連リストで、[新規] をクリックします。
4. 外部の [ブレークダウン] を選択してこのインジケーターに適用します。
5. **[SQL** ステートメント] フィールドに、各ブレークダウン要素のスコア値を計算する SQL ステートメントを入力します。
   SQL ステートメントには、COUNT などの、インジケーター SQL ステートメントと同じ集計関数を使用する必要があります。SQL ステートメントは、エイリアス *value* を含む集計値と、エイリアス **ID** を含むブレークダウン要素の一意のキーを返す必要があります。また、SQL ステートメントは、ブレークダウン要素の値を含む列でデータをグループ化する必要があります。

   たとえば、 `SELECT count(*) AS value, guid as id FROM... WHERE DATE(date_field) >= DATE({$start_at}) GROUP BY GUID`

> **重要:**
> 集計の別名は [値]、ブレークダウンの一意のキーの別名は **[ID]** である必要があります。

6. 変更内容を保存します。
7. [コレクションのテスト] を押します。
   このアクションは、ブレークダウン要素のスコア値を計算する SQL ステートメントをテストします。

次のタスク
前の手順を繰り返して、インジケーターにブレークダウンを追加します。それぞれを追加した後、SQL ステートメントをテストします。

外部インジケーターとブレークダウンのテスト

外部インジケーターとブレークダウンをテストし、外部データソースに接続して期待するデータを収集できることを確認します。

始める前に
必要なロール：pa_admin、pa_power_user、または admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このタスクについて

インジケーターをテストして、そのインジケーターのクエリと、すべてのブレークダウン要素のクエリをテストします。ブレークダウンをテストして、利用可能なブレークダウン要素を決定するために使用されるクエリをテストします。

インジケーターまたはブレークダウンをテストするときは、スコアまたはブレークダウン要素は保存されません。

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** > 外部インジケーター または **Performance Analytics** > 外部ブレークダウン.
2. テストするインジケーターまたはブレークダウンを選択します。
3. [テスト] ボタンをクリックします。
   クエリが正常に実行されると、収集されるスコアまたはブレークダウン要素の数が表示されます。テスト中にエラーが発生すると、エラー メッセージが表示されます。

次のタスク

すべてのクエリが正常に実行され、期待するデータが返されることを確認したら、データ収集ジョブに外部インジケーターを追加して、スコアの収集を開始します。

日付による外部データのフィルタリング

外部データとともにパフォーマンス分析を使用する場合は、スコアを収集する SQL ステートメントを日付によりフィルタリングする必要があります。

インジケーターおよびインジケーターブレークダウン SQL ステートメントで、 `WHERE DATE(my_date_field) >= DATE(${start_at})` のように、日付でクエリをフィルタリングします。ブレークダウン SQL ステートメントは、スコアではなく要素のみを収集するため、ブレークダウン SQL ステートメントを日付によりフィルタリングする必要はありません。

変数 ${start_at} には、収集される期間の日付が YYYYMMDD の形式で含まれます。日次インジケーターの場合、この値は常に収集される日付です。週次や月次などの、収集頻度の長いインジケーターの場合、この日付は収集期間の最初の日となります。データ収集ジョブが実行される日付は、この変数に影響しません。

インジケーターまたはブレークダウンをテストすると、${start_at} 変数は常に現在の日付に設定されます。

外部データとパフォーマンス分析を使用する場合の制限事項

外部データを測定するときは、特定のパフォーマンス分析機能が利用できません。

- スナップショットは収集できません。
- リアルタイム スコアは表示できません。
- 第 2 レベルのブレークダウンは適用できません。
- 外部データを持つ第 2 レベルのブレークダウンに依存するウィジェットのチャート化を使用することはできません。これには、ピボットやヒートマップによるチャート化が含まれます。
- スナップショットが利用できないため、収集されたレコードの変更を表示できません。

収集されたパフォーマンスアナリティクスデータのクリーニング

パフォーマンスアナリティクス のスコアとスナップショットは時間とともに増加する可能性があるため、最適なパフォーマンスと正確なデータを確保するために定期的にクリーニングする必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パフォーマンスアナリティクス は、スケジュール設定済みジョブを使用して古いスコアとスナップショットを削除します。

PA 収集のクリーニングのスケジュール設定済みジョブは、デフォルトでアクティブであり、パフォーマンスに影響を与えません。デフォルトでは、このジョブは毎日実行されるため、削除する必要があるのは少量のデータのみです。

> **注:**
> テーブル属性の attributes nibble_size と nibble_sleep は、属性がスコアまたはスナップショットのテーブルに定義されている場合、コレクションクリーナー ジョブの動作に影響します。

このスケジュール設定済みジョブは、関連するインジケーターまたはブレークダウンがないスコア [pa_scores]、スコア レベル 1 [pa_scores_l1]、スコア レベル 2 [pa_scores_l2]、またはスナップショット [pa_snapshots] のレコードも削除します。たとえば、ユーザーがインジケーターを削除した場合、スケジュール設定済みジョブは、削除されたインジケーターに関連付けられたスコアまたはスナップショットをクリーンアップします。

関連情報

辞書の属性

KB0720725:Performance Analytics スコアデータの消去

PA 収集のクリーニング ジョブの変更

スケジュール設定済みジョブを変更して、パフォーマンス分析のスコアとスナップショットがいつクリーニングされるかを設定します。スケジュール設定済みのクリーンアップ ジョブは、データ収集ジョブの実行中は実行しないでください。

始める前に
必要なロール：pa_admin または admin

このタスクについて
デフォルトでは、PA 収集のクリーニング ジョブは 05:00 に実行されます。これは、デフォルトのデータ収集ジョブを使用する場合に適切です。追加のデータ収集ジョブを作成する場合は、PA 収集のクリーニング ジョブの開始時間を変更する必要があります。

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** > 自動化 > スケジュール.
2. **[PA** 収集のクリーニング] ジョブを選択します。
3. 必要な変更を行います。
   たとえば、ジョブが実行される時間を変更するには、[実行時間] フィールドの値を変更します。
4. [更新] をクリックします。

関連情報

ジョブスケジュール

KB0721309:テーブルクリーナーの構成パフォーマンスアナリティクス

パフォーマンス分析スコアの移行

スコア [pa_scores] テーブルは パフォーマンスアナリティクス 2 つのテーブルに分割されました。この構造は、多数のスコアを処理する場合に役立ちます。スコア移行ツールを使用して、古いテーブル構造から新しいテーブル構造にスコアを移行できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

警告:
新しいテーブル構造は、Oracle データベースではサポートされていません。

では Istanbul、スコア [pa_scores] テーブルがスコア レベル 1 [pa_scores_l1] とスコア レベル 2 [pa_scores_l2] に分割されました。pa_scores_l2テーブルにはスコアの第 2 レベルのブレークダウン マトリクスが含まれ、pa_scores_l1テーブルには他のすべてのスコアが含まれます。このスコアの分離により、スコアの収集および分析時に最適なパフォーマンスが保証され、より大きなスコアのセットが可能になります。リリース以降で作成された新しいインスタンスは、 Istanbul デフォルトで新しいスコア テーブルを使用します。

より Istanbul 前に作成されたインスタンスは、 より前の Washington DCバージョンにアップグレードした後も、元のスコア [pa_scores] テーブルを使用します。

重要:
従来の pa_scores テーブルのスコアが 4,300 万未満のインスタンス以降に Washington DC アップグレードすると、それらのスコアは pa_scores_l1 および pa_scores_l2 に自動的に移行されます。

従来の pa_scores テーブルに 4,300 万を超えるスコアがある場合は、スコアを新しいスコア テーブルに手動で移行できます。

移行モニター

移行を開始したら、次の場所に移動して移行ステータスを追跡できます。 パフォーマンスアナリティクス > スコア移行モニター。

移行中にエラーが発生した場合は、問題を解決するためにカスタマーサービス & サポートにお問い合わせください。

スコア移行開始時の遅延

次のいずれかのプロセスが実行されている場合、スコアの移行は停止するまで待機状態のままになります。

- データ コレクタ ジョブ
- コレクションクリーナージョブ
- スコアシートの編集

パフォーマンス分析スコアの移行のスケジュール

自動化された移行プロセスをスケジュールして、既存のスコアを新しいテーブル構造に移動します。

始める前に
必要なロール：admin pa_admin ロールを持つユーザーは、移行モニター ページを表示できますが、移行をスケジュールすることはできません。

このタスクについて
スコアの移行により、パフォーマンスアナリティクスのパフォーマンスとスケーラビリティが向上します。移行はピーク時間外に実行する必要があります。

移行中はスコアの収集、変更、または削除を行うことはできません。スケジュール設定済みデータ収集ジョブは、移行中は実行されません。移行の完了後に、移行時に実行するようにスケジュール設定されたデータ収集ジョブを確認してください。これらのジョブは一時停止されました。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

- スコアの数に応じて、スコアの移行には数時間かかる場合があります。非本番インスタンスでの移行をスケジュールしてから、本番インスタンスでの移行を慎重に計画します。
- 移行に成功してから 10 日後に元のスコア [pa_scores] テーブルが切り捨てられます。

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** > スコアの移行モニター.
2. [スコアの移行のスケジュール] ボタンをクリックします。
   スコアの移行がスケジュールされます。このページには、移行の開始がスケジュールされた時間と、完了予定時間が表示されます。
3. オプション: 移行に関する追加情報を表示するには、[ログ] リンクまたは [アクティブジョブ] リンクをクリックします。
   移行を開始したときに実行中のデータ収集ジョブまたはクリーンアップ ジョブがある場合は、移行の開始前にそれらのジョブの完了が待機されます。移行中は、すべてのスケジュール設定済みの収集ジョブとクリーンアップ ジョブが一時停止されます。

次のタスク
何らかの理由で移行が失敗した場合は、カスタマーサービス & サポートに連絡してサポートを受けてください。既存のスコアはそのまま残ります。

(従来)タスクテーブルの迅速な構成パフォーマンスアナリティクス

構成ジェネレータを使用すると、パフォーマンスアナリティクスをすばやく構成して任意のタスクテーブルのデータを表示することができます。

注:
構成ジェネレータはレガシー機能です。パフォーマンスアナリティクス ソリューションは、ダッシュボードを含むコンポーネントの パフォーマンスアナリティクス コンテンツパックです。これらの パフォーマンスアナリティクス ソリューションは、過去数回のリリースで大幅に拡張されています。個別の構成ジェネレータは、その価値のほとんどを失っています。カスタム アプリケーションの場合は、密接に関連する パフォーマンスアナリティクス ソリューションを見つけてインストールし、必要に応じて変更する方が理にかなっています。詳細については、「分析ソリューション」を参照してください。

レポートするタスクベースのテーブルを指定することができ、構成ジェネレータによりインジケーター、ブレークダウン、計算、データ収集ジョブ、およびダッシュボードが自動的に作成されます。この構成ではパフォーマンスアナリティクスのインシデント解決と同じ要素が提供されますが、任意のタスク テーブル用です。ドメイン分離を使用する場合は、すべてのレコードが現在のユーザーのドメインに作成されます。

注:
タスクを拡張するテーブルでのみ構成ジェネレータを使用できます。ジェネレーターによって作成されたファイルの使用を開始する前に、構成を微調整する必要がある場合があります。

構成ジェネレータにアクセスするには、次の場所に移動します。 パフォーマンスアナリティクス > 構成ジェネレータ。

選択したテーブルの構成を生成した後は、[設定レコードに移動]、[生成済みインジケーター]、および [生成済みジョブ] 関連リンクを使用して作成したレコードを表示できます。生成されたレコードは、必要に応じて標準のパフォーマンスアナリティクスの設定オプションを使用して変更できます。

パフォーマンスアナリティクス構成ジェネレータの有効化

管理者として、パフォーマンスアナリティクス構成ジェネレータ プラグイン (com.snc.pa.configurationgenerator) を有効にすることができます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール：admin
この手順を開始する前に、 の パフォーマンスアナリティクスサブスクリプションが必要です。

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. フィルター基準と検索バーを使用してプラグインを検索します。

   名前または ID でプラグインを検索できます。プラグインが見つからない場合は、ServiceNow 担当者から要求する必要があります。
3. [インストール] を選択して、[プラグインをアクティブにする] ダイアログボックスで、[アクティブ化] をクリックします。

   注:
   ドメイン分離と代理管理者がインスタンスで有効になっている場合、管理ユーザーはグローバルドメインに含まれている必要があります。それ以外の場合、次のエラーが表示されます： 別の操作が実行されているため、アプリケーションのインストールは利用できません：<プラグイン名> のプラグインの有効化。

パフォーマンスアナリティクス サブスクリプションのアクティブ化

有料 パフォーマンスアナリティクス サブスクリプションがない場合、使用は 180 日間のデータ収集 (月次インジケーターの場合は 5 か月) と、 が提供する ServiceNow特定のインジケーターに制限されます。すべての機能に無制限にアクセスするには、の パフォーマンスアナリティクスサブスクリプションを購入してください。

サブスクリプションを購入した後、本番インスタンスでそのサブスクリプションに関連付けられたプラグインを有効にする必要がある場合があります。

パフォーマンスアナリティクス サブスクリプションを使用すると、ベースシステム で利用可能な機能以外に次の機能を使用できます。

- カスタム パフォーマンスアナリティクス インジケーター、ブレークダウン、ウィジェット、またはその他の設定レコード
- に含まれる 分析ソリューション非インシデントインジケーターの使用。
- スコアが 180 日を超えて保存されている (月次インジケーターの場合は 5 か月間)
- テキスト分析ウィジェット
- ダッシュボードでのプロアクティブな分析インサイト

Professional または Enterprise オファリングを通じて購入 パフォーマンスアナリティクス された場合は、次の状況で制限なく使用できます。

- 関連付けられたストアアプリを含む ServiceNow 、関連付けられたサブスクリプションのテーブル上
- 任意のプラットフォームと一般的なアプリ (Knowledge Management、CMDB、Catalog など) を使用
- 有料のパートナー ストア アプリの場合

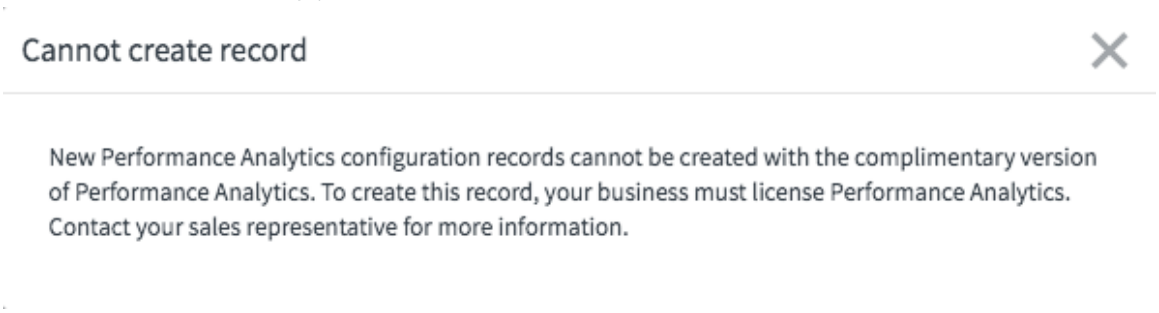
重要:
無料のパートナー ストア アプリでは使用 ServiceNow できません。

自動翻訳

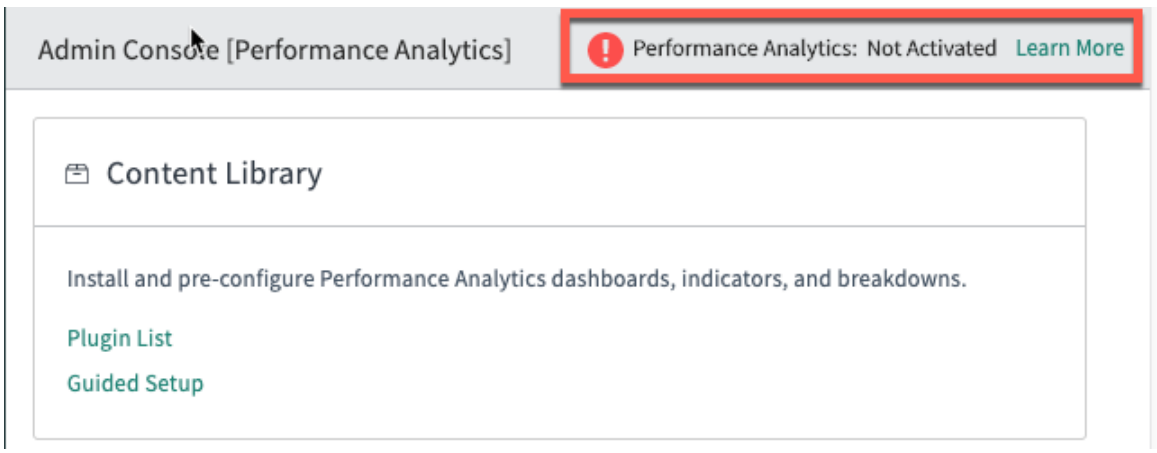
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サブスクリプションのない パフォーマンスアナリティクス 本番インスタンスでこれらのタスクを実行しようとすると、サブスクリプションが必要であるという警告が表示されます。

サブスクリプションが必要であるという警告



管理コンソールは パフォーマンスアナリティクス 、インスタンスでフルバージョンの パフォーマンスアナリティクス アクティブ化が行われていない場合にも警告を発します。



Performance Analytics の Subscription Management

を購読 パフォーマンスアナリティクスすると、機能が自動的に有効になります。

以降は Tokyoに適用されますサブスクリプション管理。パフォーマンスアナリティクスサブスクリプション管理を使用する場合、プラグインを手動で有効にする必要はありませんパフォーマンスアナリティクス。このページの残りの部分では、サブスクリプションをアクティブ化するための古い手動システムについて説明します。

この機能は、ホストされているインスタンスでのみ使用できます。セルフホスト型および非本番インスタンスでは、適切な パフォーマンスアナリティクス プラグインを手動で有効にする必要があります。詳細については、「 Subscription Management 」を参照してください。

に対するエンタイトルメントを特定する パフォーマンスアナリティクス

製品ラインの パフォーマンスアナリティクス サブスクリプションを購入すると、本番インスタンスで対応するプラグインをアクティブ化する資格が付与されます。

管理者は、次の場所に移動してサブスクリプションを表示しますパフォーマンスアナリティクス **Subscription Management** > サブスクリプション。Subscription Management から、アクティブ化する資格のあるプラグインを見つけることができます パフォーマンスアナリティクス 。詳細については、「Exploring Subscription Management 」を参照してください。

サブスクリプションのプラグインを有効にするパフォーマンスアナリティクス

サブスクリプションを購入し パフォーマンスアナリティクス 、関連するプラグインを特定したら、次のようにそのプラグインを有効にします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に

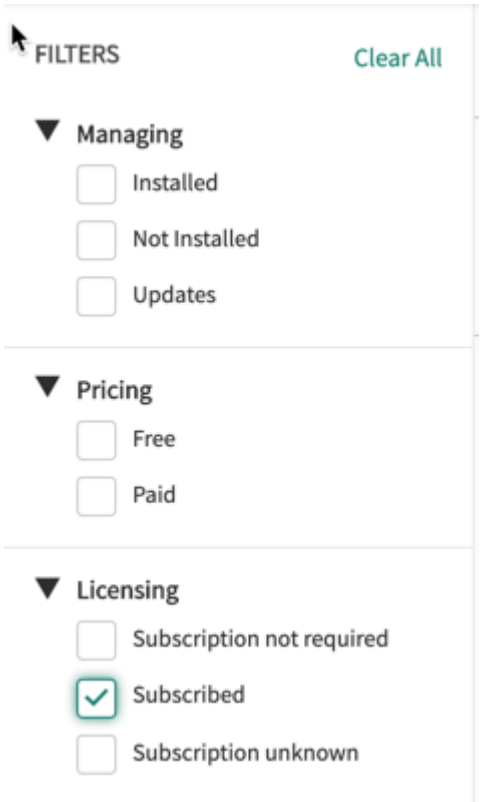
重要:
本番インスタンスで設定する前に、非本番インスタンスで パフォーマンスアナリティクス を設定してテストします。

必要なロール：admin

手順

1. 移動先 システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.

2. [フィルター] で [ライセンス] セクションを見つけ、 [サブスクライブ済み] を選択します。



3. 名前に Performance Analytics プレミアム が含まれるプラグインを検索します。

4. パフォーマンスアナリティクス資格に一致するプレミアムプラグインを見つけて、[インストール] をクリックします。
サブスクリプションを所有しているパフォーマンス分析プレミアム プラグインのみがフィルター済みリストに表示されます。
「プラグインをアクティブ化」ダイアログが開きます。

5. [プラグインを有効にする] ダイアログで、[有効化] をクリックします。

タスクの結果

進捗状況バーには、プラグインの有効化の進捗状況が表示され、その後に表示内容を決めるオプションがいくつかあります。

次のタスク

プロセスが完了したら、事前設定されたダッシュボードとすべての必要な基本コンポーネントを含む分析およびレポートソリューションのインストールを検討してください。詳細については、「分析ソリューション」を参照してください。

また、スポットライトを有効にすることを検討してください。スポットライトは、複数の重み付き条件に基づいてレコードを評価することにより、レコードを優先順位付けできるようにします。詳細については、「スポットライトでレコードをランク付けする」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポート、ダッシュボード、およびパフォーマンスアナリティクスコア UI

レポートとパフォーマンスアナリティクスウィジェットを使用してダッシュボードにコア UI分析を表示します。のアナリティクスハブインジケーターを確認しますパフォーマンスアナリティクス。

開始するには

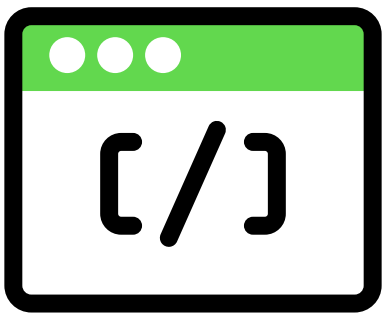
ツールの視覚化には コア UI 、ダッシュボード、レポート、分析ハブが含まれます。これらの視覚化により、管理者やその他のステークホルダーはリアルタイムデータを使用して、ステータスに対処し、傾向を正しく評価できるようになります。

レポート



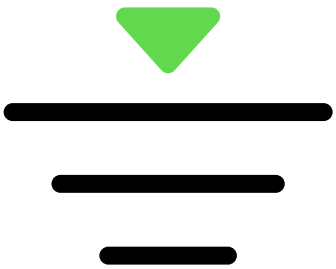
データの現在の状態を視覚化して、他のユーザーと共有します。

応答 ダッシュボード



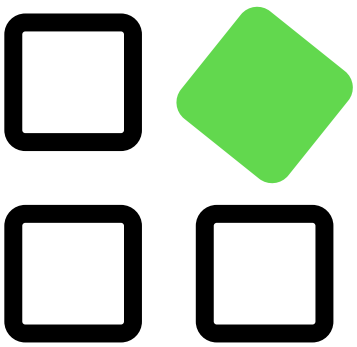
ダッシュボードを使用して、組織全体で共有できるデータでストーリーを作成します。

インタラクティブフィルター



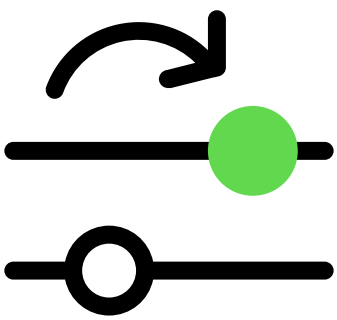
ダッシュボード上のすべてのレポートをまとめて動的にフィルタリングします。

パフォーマンスアナリティクス ウィジェット



重要業績評価指標スコアのチャート化を定義して、データの進化を示し、ダッシュボードで共有します。

アナリティクスハブ



分析ハブを使用して KPI の詳細を掘り下げます。

インタラクティブアナリシス



テーブルレコードのリストビューでフィルター済み列のデータを分析します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポート

テーブルデータを可視化して、インスタンス内の ServiceNow 情報の現在のステータスを表示します。スケジュールされたエクスポートを使用するか、ダッシュボードに追加して、ビジュアル化を他のユーザーと共有します。

Performance Analytics ウィジェット

重要業績評価指標 (KPI) データを視覚的に表現します。 パフォーマンスアナリティクス ウィジェットは、インジケーターをトレンド ライン、一連の列、円グラフなどのチャート化に結び付けます。インジケータースコアをブレークダウンでフィルタリングし、時系列関数を適用してウィジェットを微調整します。

レスポンシブダッシュボード

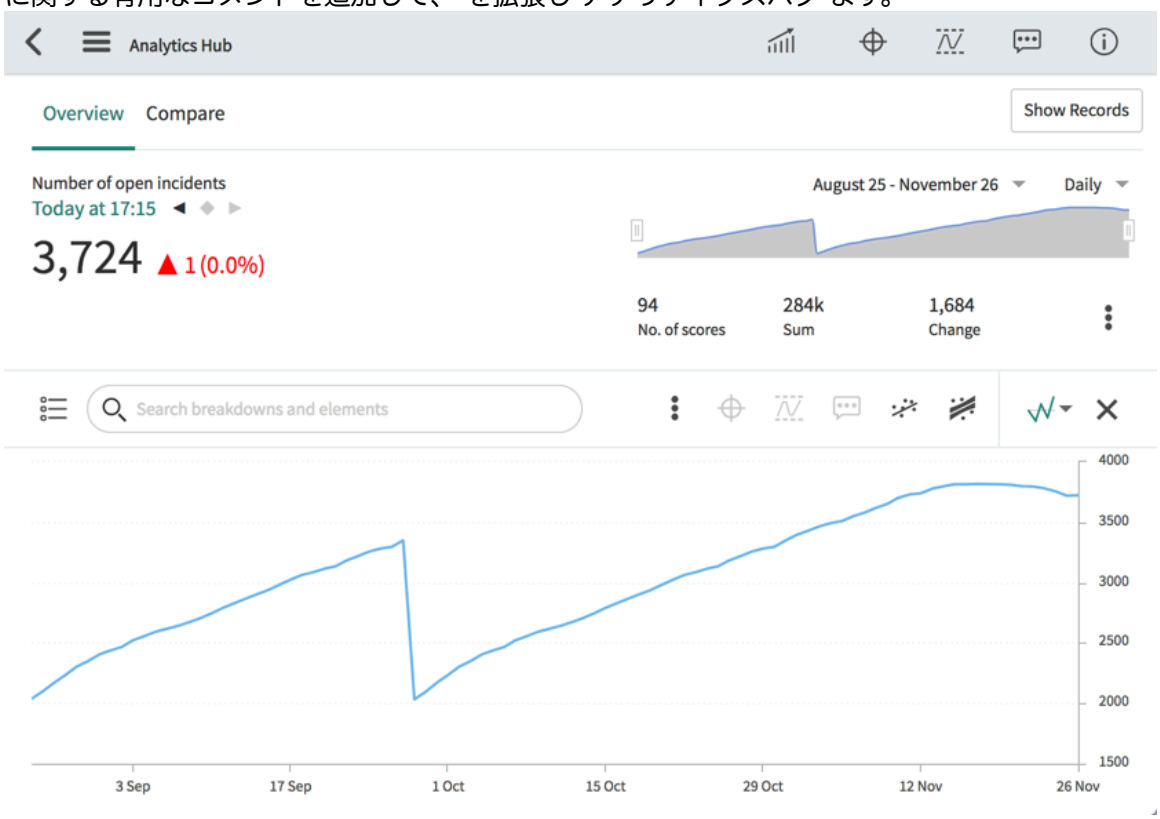
複数のレポートと パフォーマンスアナリティクス ウィジェットを 1 つの画面に表示して、ステークホルダーと共有できるデータを使用してストーリーを伝えます。

インタラクティブフィルター

インタラクティブ フィルターを使用すると、元のレポートを変更することなく、ダッシュボード上のすべてのレポートを動的にフィルターで絞り込むことができます。

分析ハブ

データの集計、スコアの比較、経時変化の表示によってインジケータースコアを分析し、ブレークダウンでスコアをフィルタリングします。ターゲット、しきい値、トレンドライン、および重要な変更に関する有用なコメントを追加して、 を拡張し アナリティクスハブ ます。



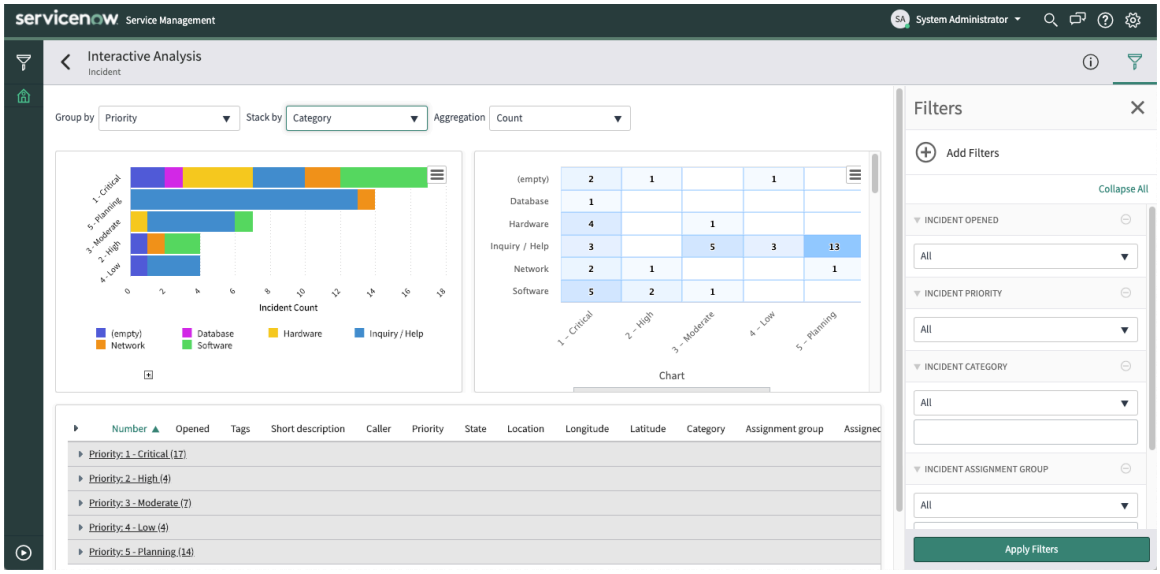
インタラクティブアナリシス

テーブルの複数のレコードにわたってフィールドのデータを動的に分析します。テーブル列のコンテキストメニューから、フィールド内のデータの棒グラフとヒートマップ表現を表示するインターフェ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

イスを開きます。データをグループ化する値と、分析するデータをフィルタリングする方法を対話形式で選択します。

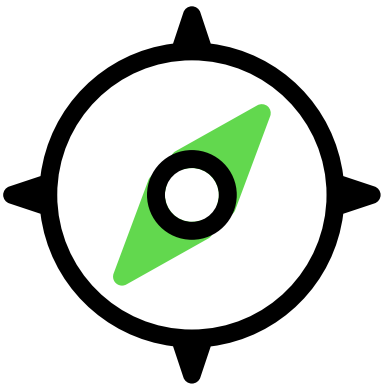


レポート

ServiceNow® レポート により、各優先度のオープン中のインシデントの数など、インスタンスデータの現在のステータスを示したレポートを作成して配布できます。デフォルトでは、レポート機能はシステムテーブルを除くすべてのテーブルで利用できます。

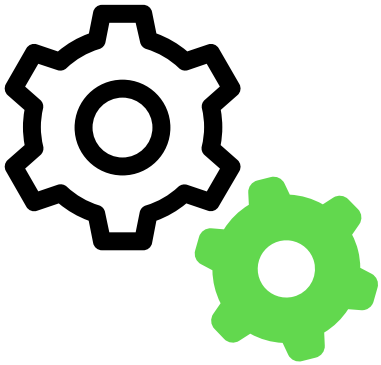
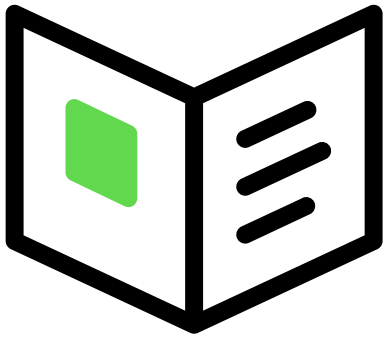
コア UI で動画を作成してレスポンシブダッシュボードに追加する方法

開始するには

詳細を読む	使用	レポートタイプ
		
ServiceNow レポートは、データを可視化したものであり、ダッシュボードやサービスポータルでユーザーと共有したり、PDF にエクスポートしたり、メールで送信したりできます。	レポートを作成、実行、編集、表示、共有する方法の基本を学びます。	レポートの種類と、それぞれの具体的な作成方法の詳細について説明します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

構成と高度な使用	管理	参照
		
変数に関するレポート、ドリルダウンの構成、および admin ロールを必要としないその他の高度なトピックについて学習します。	権限の設定、統計情報の設定、および管理者またはreport_adminロールを必要とするその他のオプションの設定を行います。	データ集計のタイプ、ロール、プロパティ、およびキーボードショートカットを表示します。

トラブルシューティングとヘルプ

- パフォーマンスアナリティクスとレポートコミュニティで質問する/質問に答える
- 既知のエラーポータルで既知のエラー記事を検索
- 連絡先 カスタマーサービス & サポート

レポートの詳細

デフォルトでは、レポート機能はシステム テーブル以外のすべてのテーブルで利用できます。

レポート の概要

ServiceNow® 各優先度のオープンインシデントの数など、インスタンスデータの現在のステータスを示すレポートを作成して配布できます。

レポート ワークフロー

ServiceNow レポートは、データを可視化したものであり、ダッシュボードやサービスポータルでユーザーと共有したり、PDF にエクスポートしたり、メールで送信したりできます。レポートを作成、実行、編集、表示、および共有する方法を学びます。

レポート のメリット

メリット	機能	ユーザー
レポートを実行して、既存のレポートの現在のデータを表示します。	レポートの実行	itil、report_user、report_group、repo または admin
インポートした現在のインスタンス データまたは一時データを可視化および分析するためのレポートを作成します。	レポートの作成	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

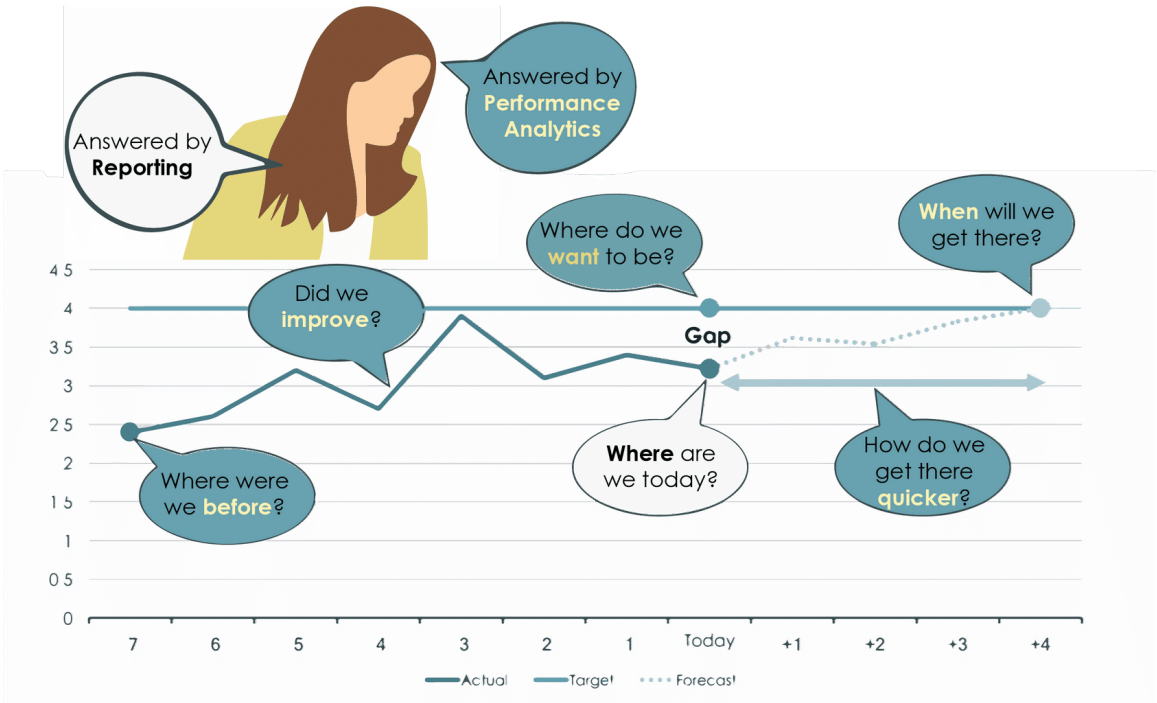
メリット	機能	ユーザー
レポートのリストを表示し、[レポート] リストからレポートを作成します。	[レポート] リストの表示	admin
独自のグローバル レポートを作成できないユーザーは、グローバル レポートを変更し、レポートの個人用バージョンを保存できます。	レポートのコピー	itil、report_user、report_group、repo または admin
使用しなくなったレポートを削除します。	レポートの削除	作成者、管理者、または削除するレポートの管理ロールを持っている
キーボード ショートカットを使用すると、マウスを使用せずにレポート デザイナーで特定の機能を実行できます。	レポート デザイナーのキーボード ショートカット	

レポートと **Performance Analytics** の比較

レポート と パフォーマンスアナリティクス は 2 つの異なるアプリケーションです。異なるユースケースに対応し、相互に補完します。

パフォーマンスアナリティクス は、定期的なスケジュールで継続的なスナップショットをキャプチャすることで、正確な履歴傾向を生成できます。次の図に示すように、「 レポート 今日はどこにいるのか」という質問には回答し パフォーマンスアナリティクス 、時間の経過とともに何が起こっているのかという質問には回答します。

およびレポート **for** のプロセスインサイトに関する一般的な質問 パフォーマンスアナリティクス



スナップショットから傾向を計算するだけでなく、 パフォーマンスアナリティクス 次のことができます。

- ターゲットに対するパフォーマンスを追跡します。
- しきい値に達したときにアラートを発行します。
- 将来のパフォーマンス予測

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- さまざまな時点でのパフォーマンスを比較します。
- ベストプラクティスの測定基準を使用して価値実現までの時間を短縮します。

パフォーマンスアナリティクス の使用に関する詳細については、パフォーマンスアナリティクス の詳細 を参照してください。

レポートの使用

ServiceNow レポートは、データを可視化したものであり、ダッシュボードやサービスポータルでユーザーと共有したり、PDF にエクスポートしたり、メールで送信したりできます。レポートを作成、実行、編集、表示、および共有する方法を学びます。

注:
Next Experience が有効になっている場合、レポートデザイナーでレポートを作成し、分析センターでデータの可視化を作成できます。レポートデザイナーの詳細については、「レポートの作成」を参照してください。

レポート、レポート ロール、およびレポート ソースを管理するには、次の場所に移動します。 レポート > アドミニストレーション をクリックし、管理する領域を選択します。

ServiceNow システムには、インシデント管理やサービスカタログ要求などのアプリケーションや機能に関するデータを提供する一連の定義済みレポートが含まれています。独自のレポートを作成することもできます。ダッシュボードやランディングページにレポートを追加して、組織全体で情報を共有します。

関連情報

レポートの管理

レポートの実行

レポートを実行して、既存のレポートの現在のデータを表示します。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

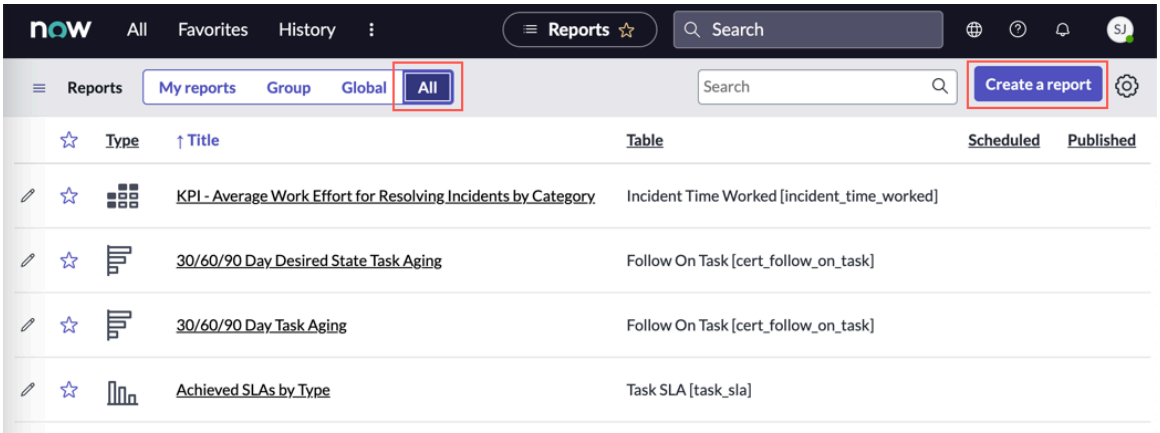
レポート、レポート ロール、およびレポート ソースを管理するには、次の場所に移動します。 レポート > 管理 をクリックし、管理する領域を選択します。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 表示/実行 既存のレポートのリストを表示します。
   表示するレポートが表示されない場合は、 [すべて] を選択して、レポートの完全な一覧を表示します。
2. 実行するレポートのタイトルを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. レポートの視覚化を作成する場合は、[レポートの作成] を選択します。



タスクの結果
レポートはレポートデザイナーに表示されます。

次のタスク
レポートの作成

関連情報

レポートの管理

リストからのレポートの実行

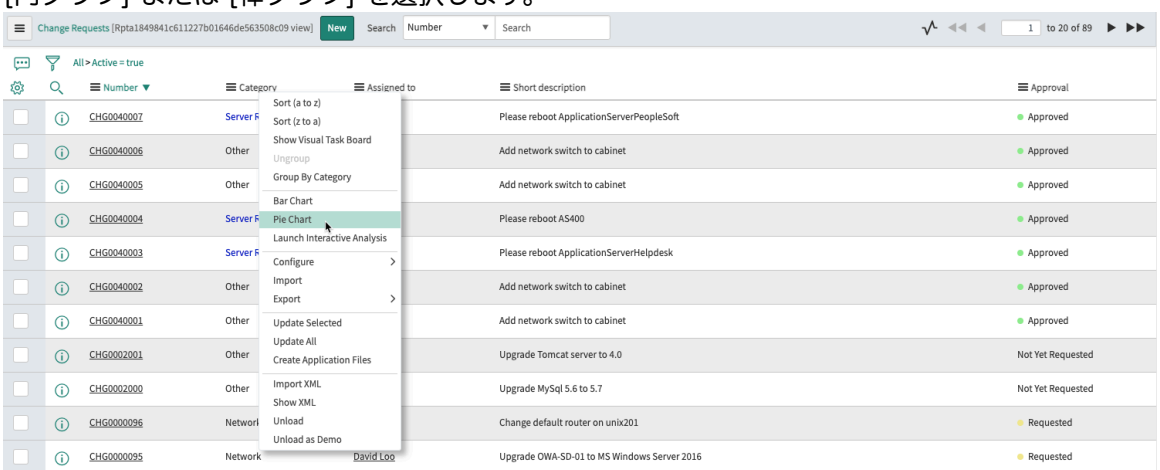
リストから直接円グラフまたは棒グラフのレポートを作成することができます。レポートのロールがある場合は、これらのレポートを保存、配布、およびエクスポートすることもできます。

始める前に
必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

別の種類のレポートを作成するには、を参照してください レポートの作成。

手順

1. リストに移動します。
2. グラフの棒またはスライスとして表示する値を含む列の見出しを右クリックします。
3. [円グラフ] または [棒グラフ] を選択します。



レポート作成ツールでレポートが生成され、開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク

- レポート デザイナーを使用してレポートを共有します。
- 他のユーザーと共有するための URL を生成し、レポートを公開します。

関連情報

円グラフ

縦棒グラフと横棒グラフのレポート

レポートの作成

インポートした現在のインスタンス データまたは一時データを可視化および分析するためのレポートを作成します。

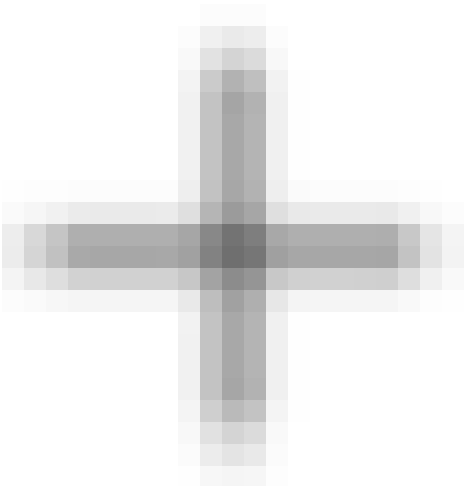
始める前に
必要なロール：なし。

このタスクについて
レポートの生成、レポート デザイナーでのレポートの作成、レポートの共有とスケジュール設定については、この 6 分間のビデオをご覧ください。

新しいレポートを生成する方法、レポートデザイナーでレポートを作成する方法、レポートを共有する方法、レポートをスケジュールする方法。

手順

1. 次のいずれかのパスに従います。

オプション	説明
レポートの作成	移動先 レポート > 新規作成.
既存のレポートの編集	移動先 レポート > 表示/実行 をクリックし、レポート名の横にある編集アイコン( )をクリックします。
ダッシュボードでのレポートの作成	レポートを追加するダッシュボードに移動し、[ウィジェットを追加] アイコン  ( ) を選択し、[レポート] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
ダッシュボードでのレポートの編集	レポートが存在するダッシュボードに移動し、[編集] をクリックします。レポートを編集するには、その編集アイコン ( ) をクリックします。

2. [設定] および [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力します。
3. [保存] をクリックします。

レポートが生成されます。

注:
特定のレポート タイプの作成の詳細については、「レポートタイプ」を参照してください。

分析 Q&A を含むレポートの作成

レポートデザイナーフォームに質問を入力すると、分析 Q&A によってレポートが生成されます。分析 Q&A では、データソースの選択肢が提供され、適切な可視化が選択されます。

始める前に
分析 Q&A には ()NLQ が必要です自然言語クエリー。

NLQ は、 の レポートのプロパティーレポート デザイナで使用するために有効にする必要があります。管理者に確認してください。

注:
Internet Explorer を使用している Microsoft 場合、分析 Q&A は使用できません。

必要なロール：なし

このタスクについて
分析 Q&A では、次の言語がサポートされています。

- 英語
- フランス語
- カナダフランス語
- スペイン語
- ドイツ語
- 日本語

この機能は、サポートされていない言語を使用するセッションでは使用できません。

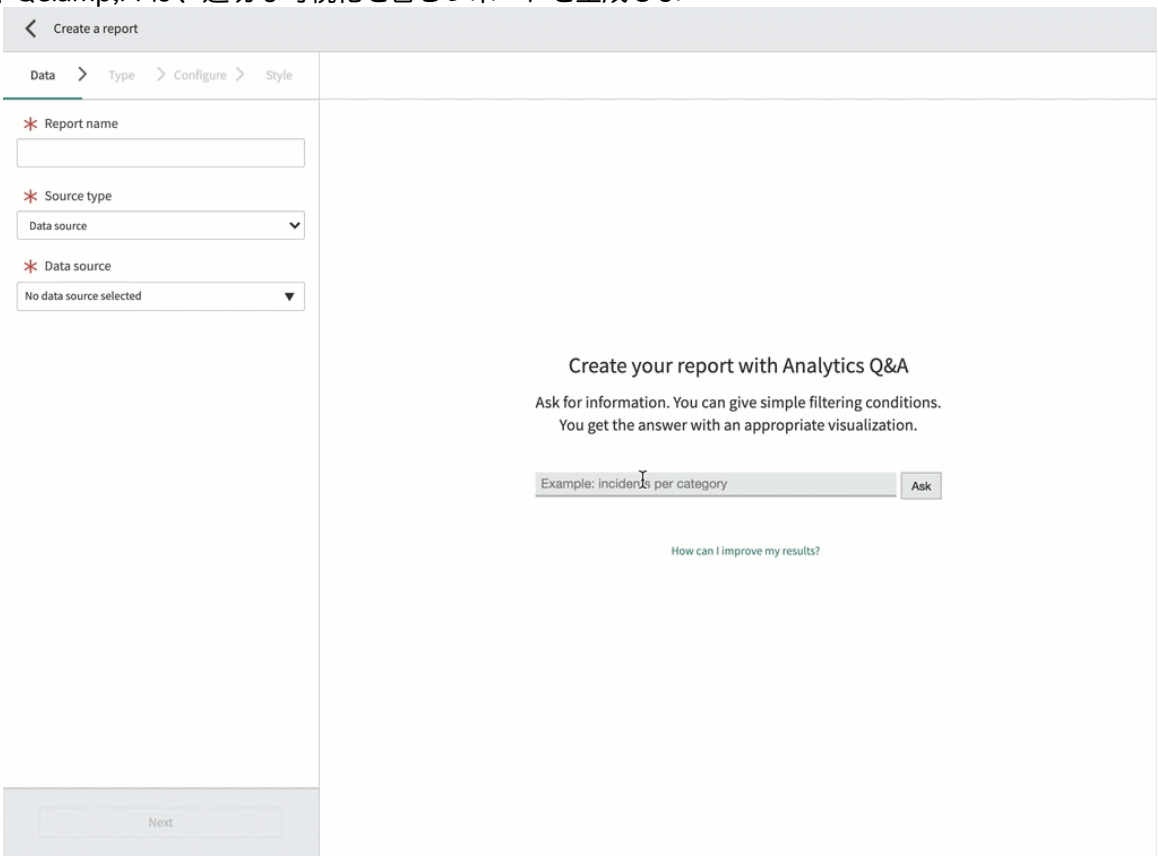
手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.
2. レポートに必要な情報を [分析 Q&A] フィールドに入力します。
   分析 Q&A は、クエリ内のキーワードを使用して、探している情報の種類を判断します。これらのキーワードに基づいて入力中に提案が表示されます。キーワードとその用途の完全なリストを表示するには、[検索結果を改善するにはどうすればよいですか?] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. [**Ask**] をクリックします。
   分析 Q&A は、適切な可視化を含むレポートを生成しま



す。

次のタスク
ビジュアリゼーションの変更などのレポートは、左マージン メニューで変更できます。新しいクエリを入力して [確認する] をクリックすると、新しいレポートが生成されます。追加したカスタム可視化は消去されますが、その他の設定は新しいレポートに保持されます。

関連情報

分析 Q&A

レポートのオプション

フォームの編集時には、レポートについて、保存、共有、実行、削除、または詳細情報を表示するように選択することもできます。

すべてのアクションは、フォームの右上にある [保存] と [共有] の各リスト、[情報]、[削除]、および [実行] の各ボタンから実行できます。使用可能なレポートのオプションは、レポートを操作するユーザーのロールによって異なります。



レポートのオプション

名前	説明
リンク ()	他の文書にコピーできる保存済みレポートの URL を表示します。
情報()	レポートの一般情報と統計情報を表示します。一般情報には、ベース テーブル、タイプ、作成者、ユーザー、グループ、およびレポートの最終更新日が含まれます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

レポートのオプション (続く)

名前	説明
	統計情報には、レポートが最後に実行された日時、実行回数、および実行時間が含まれます。
共有 ()	レポートの出力を共有するための複数のオプションを表示します。
共有	レポートの表示を設定できます。オプションは、[自分]、[全員]、および [グループとユーザー] です。共有の詳細については、「レポートの共有」を参照してください。 このオプションは、共有アイコン() から使用できます。
スケジュール	レポートを実行するためのスケジュールを作成します。 **注:** カレンダー レポートをスケジュールすることはできません。
Add to Dashboard (ダッシュボードに追加)	現在のレポートをダッシュボードに追加します。レポートやその他のダッシュボードの内容を編集する方法の詳細については、「レスポンシブ ダッシュボードを編集する」を参照してください。
PDF にエクスポート	ダウンロードやメールで送信できる PDF を生成します。このオプションは、カレンダー レポートでは使用できません。 **注:** ドリルダウン レポートは PDF へエクスポートされません。ドリルダウンで **[PDF** にエクスポート] を選択した場合、トップレベルのレポートの PDF が生成されます。
公開	レポートの URL を作成し、レポート フォームの上に URL を表示します。この URL をメールで送信してレポートを共有できます。
削除	
削除 ()	レポートを削除します。
保存	
保存	変更内容をレポートに保存し、フォームを開いたままにします。
更新	変更内容をレポートに保存し、[レポート] リストに戻ります。
挿入	レポート レコードを複製し、[レポート] リストに挿入し、[レポート] リストを開きます。既存のレポートの値を変更してレポートをすばやく作成するには、このオプションを使用します。新しいレポートには必ず一意の名前を付けてください。
挿入と維持	レポート レコードを複製し、[レポート] リストに挿入し、新しいレポートを開きます。既存のレポートの値を変更してレポートをすばやく作成するには、このオプションを使用します。新しいレポートには必ず一意の名前を付けてください。
データソースとして保存	[新しいレポートソースを作成します] ウィンドウを開きます。このウィンドウでは、レポート条件を他のレポートに再利用できるレポート ソースとして保存することができます。
実行	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポートのオプション (続く)

名前	説明
実行	選択した条件とレイアウトに基づいてレポートを作成します。

関連情報

レポートの管理

[レポート] リストの表示

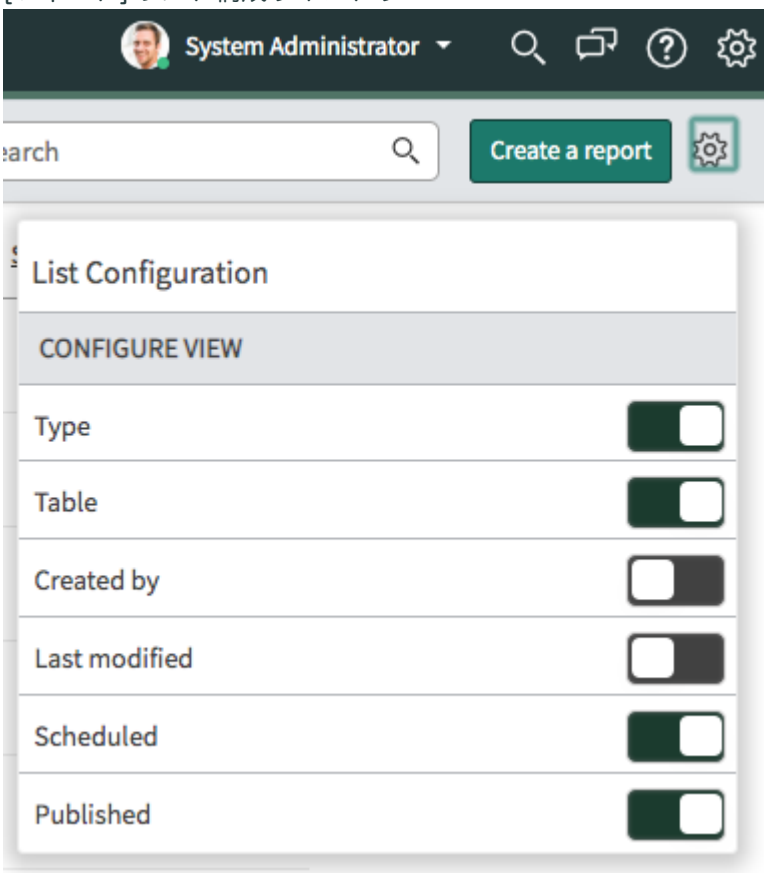
レポートのリストを表示し、[レポート] リストからレポートを作成します。

レポート の表示/実行 モジュールでは、標準プラットフォーム ACL がレポートリスト内のレポートへのアクセスを制御します。レポートへのアクセスを制御するために使用される ACL の詳細については、「 アクセス制御リストのルール 」を参照してください。

タブ、列見出し、またはお気に入りアイコン ( ) をクリックするなどして、標準のレポート リストコントロールを使用して検索結果をソートおよびフィルタリングできます。

[レポートの作成] ボタンの横にある歯車アイコン () を選択して、[レポート] リストに表示される列を構成します。

[レポート] リスト構成ウィンドウ



次のタブを使用して、[レポート] リストをフィルタリングできます。

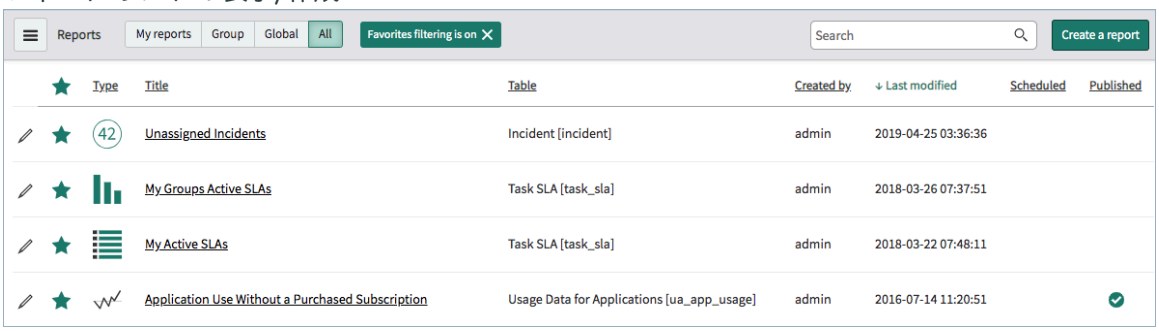
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[レポート] リスト

タブ	説明
自分のレポート	自分が作成したレポート。
グループ	自分と、自分がメンバーになっているグループに共有されたレポート。
グローバル	全員が利用できるレポート。
すべて	アクセスできるすべてのレポート (グローバル、グループ、および自分のレポート)。

レポート リストの表示/作成



report_admin ロールまたは admin ロールを持っている場合は、[レポート] リストにこれらの列も表示されます。

追加の列

列	説明
スケジュール済み	レポートが将来実行されるようにスケジュールされていることを示します。レポートの定期的なメール送信をスケジュールできます。
公開	レポートが公開されている場合、この列にはチェック マーク( )が表示されます。

お気に入りのレポートの表示

すべてのレポートを表示するか、またはお気に入りとしてマークしたレポートのみを表示できます。レポートには、自動と手動の両方でお気に入りをマークすることができます。

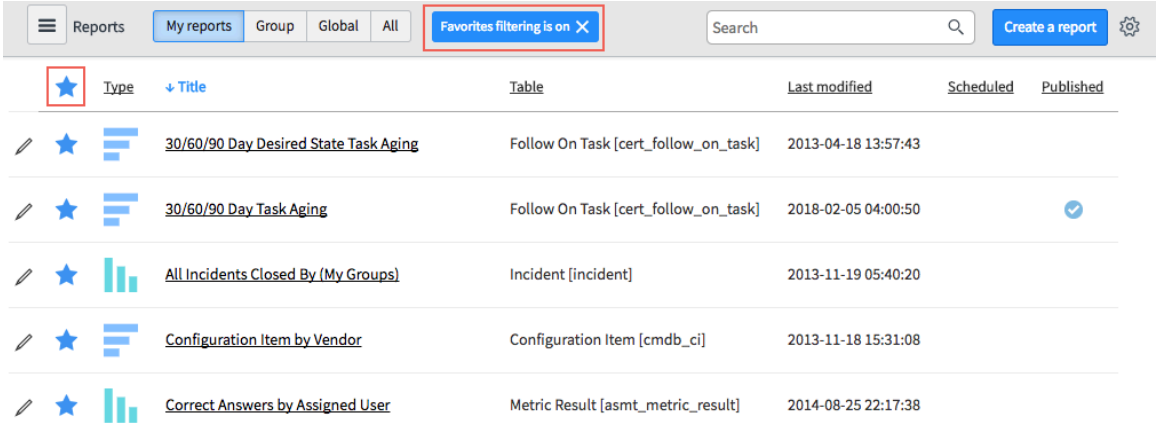
お気に入りのレポートのみを表示するか、すべてのレポートを表示するかを切り替えるには、リスト見出しのお気に入りアイコン ( ) をクリックします。

注:
お気に入りのフィルタリングは有効なままになります。前回 [レポート] リストを表示したときにお気に入りだけを表示するように選択した場合は、次回もお気に入りのみが表示されます。お気に入りアイコンをクリックするか、または [お気に入りのフィルタリングはオンです] ボタンをクリックすると、選択したカテゴリで表示する権限を持っているすべてのレポートが表示されます。[自分のレポート] カテゴリは、[レポート] リストを開くとデフォルトで選択されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポートのお気に入り



レポートを開くと、レポートは自動的にお気に入りとしてマークされます。レポートのタイトルの横にある星形アイコンをクリックすると、レポートをお気に入りとして手動でマークできます。

レポートをお気に入りとして自動的にマークする機能をオフにするには、ユーザー初期設定 `glide.ui.nav.auto_favorite`を無効にします。詳しくは、 ユーザー初期設定 を参照してください。

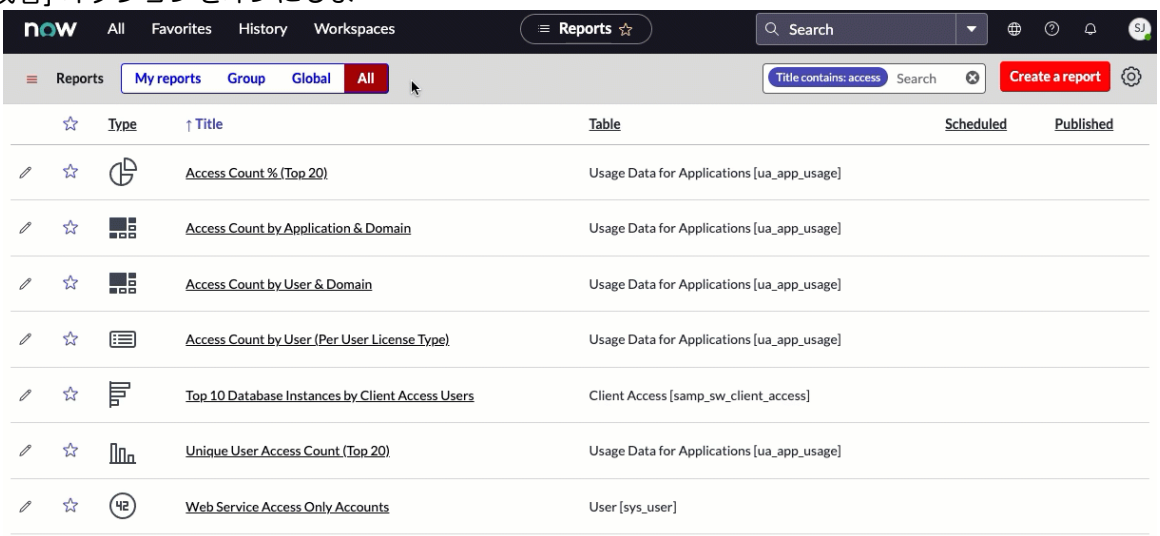
レポート所有者の表示

レポートオーナーは、デフォルトではレポートリストに表示されませんが、レポートを作成したユーザーを表示する列を追加することができます。通常、作成者は所有者です。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 表示/実行.
2. [すべて] を選択すると、レポートの完全なリストが表示されます。
3. 歯車アイコン を選択すると、[リスト構成] メニューが表示されます。
4. [作成者] オプションをオンにしま



す。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[レポート] リストの **URL** パラメータ

[レポート] リストの URL にパラメータを追加して、ロード前にリストをフィルタリングすることができます。

[レポート] リストの **URL** 構造

URL の構造は、https://<instance-name>.service-now.com/report_home.do?<parameter_name>=<parameter-value> となります。

たとえば、URL https://yourbusiness.service-now.com/report_home.do?jvar_selected_tab=MyReports は、[自分のレポート] タブを選択した状態で [レポート] リストを返します。

パラメータ

[レポート] リストの URL では、次のパラメータを使用できます。

パラメータ	可能な値
jvar_selected_tab	指定されたタブが選択された [レポート] リストを表示します。次の値を使用します。 • myReports • groupReports • globalReports • すべてのレポート
jvar_search_table	指定したテーブルに作成されたレポートをフィルタリングします。たとえば、パラメータ jvar_search_table=incident は、インシデントテーブルで作成されたレポートのみを表示します。
jvar_list_order_by	次のいずれかの列で、リストをソートします。 • type • タイトル • table • 変更日 • 予定 • 公開済 • createdBy たとえば、https://yourbusiness.service-now.com/report_home.do?jvar_list_order_by=table は、レポートのソーステーブルでソートされたリストを返します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメータ	可能な値
	注: 昇順または降順を指定するには、jvar_list_sort_direction を使用します。
jvar_list_sort_direction	ソートの方向を指定します。 • asc：リストを昇順でソートします • desc：リストを降順でソートします
sysparm_reportquery	指定した値を含む名前でレポートをフィルタリングします。たとえば、sysparm_reportquery=Active は、タイトルに文字列 Active を含むレポートを返します。
jvar_search_created_by	レポートを作成したユーザー。たとえば、https://yourbusiness.service-now.com/report_home.do?jvar_selected_tab=allReports&jvar_search_created_by=itil は、ユーザー名 itil のユーザーが作成したレポートを返します。
sysparm_query	プラットフォーム条件ビルダ形式の任意の条件をフィルタリングできます。たとえば、https://yourbusiness.service-now.com/report_home.do?sysparm_query=titleSTARTSWITHPRB&table!=incident です。 詳細については、「条件ビルダー」を参照してください。

自動翻訳

レポートのコピー

独自のグローバル レポートを作成できないユーザーは、グローバル レポートを変更し、レポートの個人用バージョンを保存できます。

始める前に

必要なロール:itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。

このタスクについて

グローバル レポートをグループまたは個人レポートとして保存すると、プラットフォームによってレポートがコピーされます。レポートのセキュリティ状態は変更されません。

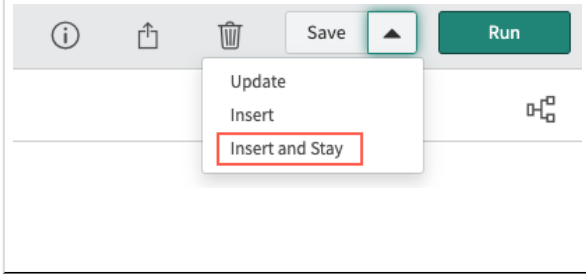
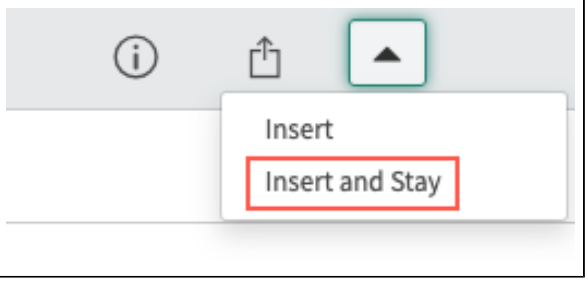
注:

- 個人レポートを開き、グループまたはグローバルレポートとして保存しようとすると、セキュリティ状態のみが変更されます。レポート自体はコピーされません。
- [挿入と維持] を選択してレポートをコピーする場合、共有設定は新しいレポートにコピーされません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 表示/実行.
2. 「保存」ボタンの横の矢印または「 共有 」アイコン()をクリックします。
   レポートを変更する権限がある場合は、[保存] ボタンが表示されます。矢印が表示されるのは、元のレポートを変更する権限がない場合のみです。
3. [挿入と維持] を選択します。

[保存] ボタンを使用	[保存] ボタンがない場合
	

「挿入と維持」アクションでは、変更可能なレポートのコピーが作成されます。

4. レポートを変更します。
   「レポートタイプ」を参照してください。
5. オプション: レポートの可視性を変更します。
   レポートフォームの右上にある 共有 アイコン( )をクリックし、[共有]を選択します。

関連情報

レポートの共有

レポートの削除

使用しなくなったレポートを削除します。

始める前に

必要なロール:レポートを削除するには、作成者または管理者であるか、レポートの管理ロールを持っている必要があります。レポートを管理するロールがないユーザーにレポートが共有されている場合、そのユーザーがレポートを管理することはできません。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 表示/実行.
2. 削除するレポートを選択します。
3. レポートが開いたら、「 削除 」アイコン()をクリックします。
4. レポートを削除することを確認します。

タスクの結果

選択したレポートが削除され、共有、公開、または表示することはできなくなります。

関連情報

レポートの管理

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

複数のレポートを削除する

使用しなくなった複数のレポートを削除します。

始める前に

必要なロール:レポートを削除するには、作成者または管理者であるか、レポートの管理ロールを持っている必要があります。レポートが共有されていて、レポート管理ロールがない場合、そのレポートを削除することはできません。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 管理 > すべて.
2. 削除するレポートの横にあるボックスを選択します。
3. [選択した行のアクション] メニューから [削除] を選択します。
   削除が許可されていないレポートを選択した場合、メニューには、削除される数が少ないことが表示されます。
4. レポートを削除することを確認します。

タスクの結果

選択したレポートが削除され、共有、公開、または表示できなくなります。

関連情報

レポートの管理

レポートの配布

レポートを配布して、他のユーザーにビジネス情報を提供します。

レポートの配布の概要については、次のビデオをご覧ください。

レポートのアクセス制御

セキュリティ状態を適用し、レポートを表示するユーザーを制御できます。次のようなレポートを作成できます。

- すべてのユーザーにグローバルに表示
- ユーザーがレポート作成者の場合にのみ表示。
- 特定の 1 つまたは複数のロールに表示
- 特定の 1 つまたは複数のユーザーまたはグループに表示

ユーザー、グループ、またはロール別での共有が、レポートを共有する主な方法です。アクセス制御リスト (ACL) を使用すると、基礎となるテーブルまたはデータベース ビューのデータへのアクセスを制御できます。ユーザーは、レポートのデータソースまたはソース テーブル内のデータ レコードへのアクセス権がない場合、レポートを表示できます。ただし、レコードをリスト ビューまたはドリルダウン ビューで表示することはできません。データベースビューリストのレポートでは、リスト内のレコードを表示するために、レポートを実行するユーザーがターゲット データの ACL を満たす必要があります。十分な権限がないユーザーには、フィルタリングされたリストのレポートが表示されます。

注:
テーブルの ACL が、そのテーブルに基づくデータベース ビューを伝播するわけではありません。データベース ビューには個別の ACL が必要です。

円グラフや棒グラフなどの集計データを表示するレポートでは、レポートを表示するためにターゲット テーブルの ACL を満たす必要はありません。レポート表示方法の一部を選択する場合は、レコードリストを表示するために ACL が必要です。レポートへのアクセス権があってもレコードの一部

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

にアクセスできない場合、そのレコードはレポートのデータのドリルダウン リストまたはリストビューに表示されません。ただし、データの表示方法には含まれます。

ユーザーがグローバル レポートをグループまたは個人レポートとして保存する場合、プラットフォームはセキュリティ状態を変更するのではなく、レポートをコピーします。レポートをコピーすると、独自のグローバル レポートを作成できないユーザーがグローバル レポートを変更して、レポートの個人用バージョンを保存できます。

ユーザーが個人レポートを開いてグループまたはグローバル レポートとして保存しようとすると、レポートをコピーするのではなく、セキュリティ状態が変更されます。

関連情報

ACL トラブルシューティングリファレンス

レポートの共有

[レポート] リストでレポートを表示できるユーザーとグループを制御します。

始める前に
必要なロール:report_admin、report_global、または report_group

レポートを共有できるロールは次のとおりです。

ロール	レポートの共有権限
report_admin	ユーザー、グループ、または全員と共有されているレポートを共有できます。このロールでは、次を対象として共有できます。 • 任意のユーザー • 任意のグループ • 全員
report_global	• 全員と共有されているレポートを共有できます。このロールでは、全員を対象として共有できます。 • ユーザーまたはグループと共有されているレポートは共有できません
report_group	• ユーザーと共有されているレポート、またはユーザーが所属するグループと共有されているレポートを共有できます。このロールでは、次を対象としてレポートを共有できます。 ○ 任意のユーザー ○ 任意のグループ • 全員、またはユーザーが属していないグループと共有されているレポートを共有することはできません。
report_publisher	共有権限はありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロール	レポートの共有権限
report_scheduler	共有権限はありません。
report_user	共有権限はありません。

このタスクについて
次のようにして、レポートを表示するユーザーを制御できます。

- すべてのユーザーにグローバルに表示
- ユーザーがレポート作成者の場合にのみ表示。
- 特定の 1 人または複数のユーザーに表示
- 特定の 1 つまたは複数のグループに表示

注:
レポートの権限によって、レポートを共有できるユーザーまたはグループの数が制限されることがあります。詳細については、「ACL ルールを使用してレポートの作成を制限する」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 表示/実行 をクリックし、制御するレポートを選択します。
2. レポートフォームの右上にある 共有 アイコン( )をクリックし、[共有]を選択します。
3. [共有設定] ダイアログ ボックスで、フィールドに入力して **[OK]** をクリックします。

共有設定

フィールド	説明
表示対象	レポートを利用可能なユーザー。次のオプションを選択できます。 ○ 自分：ユーザーのみがレポートを表示できます。このオプションは、作成したレポートでのみ使用できます。 ○ 全員：すべてのユーザーがレポートを表示できます。ただし、必要なロールを選択でき、それらのロールのうち少なくとも 1 つを持つユーザーのみがレポートを表示できます。 ○ グループとユーザー：特定のグループとユーザーだけがレポートを表示できます。 [グループとユーザー] オプションは、report_group ロールを持つユーザーに表示されます。
ロールが必要	(オプション)ロール [sys_user_role] テーブルのロール。ロールを選択する場合、ユーザーがレポートを表示するには、少なくとも 1 つのロールが必要です。ロールを選択しない場合は、すべてのユーザーがレポートを表示できます。 必要なロールは、それ以外の場合は [全員] に表示されるレポートに対してのみ指定できます。特定のグループおよびユーザーと共有するようにこのようなレポートを変更すると、必要なロールは適用されなくなります。
グループ	メンバーがレポートを表示する権限を持つグループ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	このフィールドは、[グループとユーザー] オプションが選択されている場合に利用できます。
ユーザー	レポートを表示する権限を持つユーザー。 このフィールドは、[グループとユーザー] オプションが選択されている場合に利用できます。

4. 「共有」アイコン( )をクリックし、「ダッシュボードに追加」または「公開」を選択します。
5. ダッシュボードを共有するか、公開されたレポートの URL を共有します。
   公開されたレポートの URL は、レポートを共有した任意のユーザー、ロール、またはグループと共有できます。

   レポートを公開するには、プロパティ *glide.report.published_reports.enabled*を有効にします。詳細については、「(従来)レポートの公開」を参照してください。

   レポートを共有するユーザーには、レポートのデータを表示する権限が必要です。

関連情報

レスポンシブ ダッシュボードの共有

レポートの管理

レポートのメールをスケジュールする

レポートスケジュールを生成し、メールで配布します。

始める前に

必要なロール:report_scheduler、report_admin、admin

このタスクについて

スケジュールされたレポートは、PDF、CSV、または XLS 形式で配布できます。グラフィカルなレポートは、PNG または PDF 形式で配布することができます。マルチレベルピボットレポートは、PDF 形式でのみスケジュールすることができます。

注:

- カレンダー、マップ、単一スコアのレポートをスケジュールすることはできません。プラグイン *com.snc.whtp* が有効になっている場合にのみ、ピボットテーブルレポートをスケジュールできます。
- ユーザーアカウントが無効になっている個人が作成したレポートには、データが表示されない場合があります。目的のデータが表示されるようにするには、アクティブユーザーがレポートスケジュールを再作成する必要があります。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > スケジュール済みレポート.
2. [新規] を選択します。
3. 必要に応じてフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
名前	スケジュールされているレポートの名前。
レポート	スケジュール設定しているレポートへの参照。検索アイコン を使用して、レポートを見つけることができます。 **注:** 自動メールサポートは、カレンダー、マップ、単一スコアレポートでは利用できません。
ユーザー	スケジュールされた日時にレポートを受信する個々のユーザー。レポートを受け取るためにユーザーレコードで [通知] が [有効] に設定されている必要があります。
グループ	スケジュールされた日時にレポートを受信するグループ。
メールアドレス	システムに属していないレポート受信者のメール アドレス。
アプリケーション	レポートを含むスコープ対象のアプリケーションの名前。レポートがグローバルスコープ内にある場合、[グローバル] が表示されます。
アクティブ	アクティブな場合、レポートスケジュールが配信されます。
実行	スケジュール設定済みジョブの実行に使用する時間間隔： ○ 日次：指定された時刻に毎日実行されます。 ○ 週次：指定された時刻と曜日に、毎週実行されます。 ○ 月次：指定された日の時刻に、毎月実行されます。 ○ 定期的：指定した繰り返し間隔で実行されます。 ○ **1**回：1 回のみ実行されます。 ○ オンデマンド：オンデマンドですぐに実行されます。 ○ ビジネスカレンダー：エントリ開始：[ビジネスカレンダー] フィールドで選択したビジネスカレンダーのエントリ開始日に実行されます。ビジネスカレンダーに定義した各ビジネスエントリの開始日にスケジュール設定済みジョブが実行されます。 たとえば、ビジネスカレンダーが会計年度を表し、各エントリの開始日が会計月である場合、スケジュール設定済みジョブは毎月最初の日に実行されます。 ○ ビジネスカレンダー：エントリ終了：[ビジネスカレンダー] フィールドで選択したビジネスカレンダーの終了日に対して実行されます。この選択は、[ビジネスカ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	レンダー：エントリ開始] と同じ方法で実行されますが、関連するビジネスカレンダーエントリの終了日に対して実行されます。 注: [ビジネスカレンダー：エントリ開始 **(Business Calendar: Entry Start)**] または [ビジネスカレンダー：エントリ終了 **(Business Calendar: Entry End)**] を選択すると、オフセット係数を適用して、選択したビジネスカレンダーの時間スパンの前または後にジョブを実行するようにスケジュールを設定できます。詳細については、[オフセットタイプ **(Offset Type)**] フィールドと [オフセット **(Offset)**] フィールドを参照してください。 ビジネスカレンダーの作成と使用、およびビジネスカレンダーエントリの定義の詳細については、「Creating business calendars」および「Define business calendar entries」を参照してください。
タイムゾーン	スケジュール設定済みジョブの実行時間を指定するときに [時間] フィールドエントリで使用するタイムゾーン。タイムゾーンエントリを次のように選択します。 ○ なし：スケジュール設定済みジョブを作成しているログインユーザーのデフォルトのタイムゾーンを使用します。 たとえば、ユーザーのアサインされたタイムゾーンが米国太平洋標準時であり、[時間] フィールドに 16:45 と入力した場合、スケジュール設定済みジョブは米国太平洋標準時の午後 4 時 45 分に実行されます。 ○ システムのタイムゾーンを使用：実行するインスタンスに指定されたデフォルトのシステムタイムゾーンを使用します。 たとえば、インスタンスのデフォルトのシステムタイムゾーンがヨーロッパ/ロンドンであり、[時間] フィールドに 22:15 と入力した場合、スケジュール設定済みジョブはロンドン時間の午後 10 時 15 分に実行されます。 ○ 実際のタイムゾーン。 たとえば、[米国/東部] を選択し、[時間] フィールドに 13:30 と入力した場合、スケジュール設定済みジョブは米国東部標準時の午後 1 時 30 分に実行されます。
時刻	スケジュール設定済みジョブを実行する時刻。時間、分、秒を 24 時間形式で表します。[タイムゾーン] フィールドで選択した内容によって、このエントリのタイムゾーンが決まります。
日	スケジュール設定済みジョブを実行する日。 ○ [実行] が [週次] の場合は、曜日を選択します。たとえば、水曜日を選択します。 ○ [実行] が [月次] に設定されている場合は、月の日を選択します。たとえば、毎月 25 日の場合、25 を選択します。 このフィールドは、[実行] フィールドで [月次] または [週次] を選択した場合にのみ表示されます。
繰り返し間隔	スケジュール設定された各ジョブ実行の繰り返し間隔の期間。期間を日数、時間数、または分数で入力します。例：

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ 4 日ごとにスケジュール設定済みジョブを実行するには、[日数] フィールドに「04」と入力します。 ○ 26 時間ごとに実行するには、[時間] フィールドに「26」と入力します。 ○ 13:30:25 の間隔で繰り返す必要がある場合は、[時間] フィールドに「13」と入力し、その後のラベルのない 2 つのフィールドに「30」と「25」を入力します。
開始中	最初にスケジュール設定されたジョブ生成の日時。カレンダー日時を選択します。このフィールドは、[実行] フィールドで [定期的] を選択した場合にのみ表示されます。
ビジネスカレンダー	スケジュール設定済みジョブに対するビジネスカレンダーの開始日または終了日を決定するために使用しているビジネスカレンダーエントリ。このフィールドは、[時間] フィールドで [ビジネスエントリ：開始日 **(Business Entry: Start Date)]** または [ビジネスエントリ：終了日 **(Business Entry: End Date)]** を選択した場合にのみ表示されます。
オフセットタイプ (Offset type)	このジョブをスケジュール設定するために選択したビジネスカレンダーに適用する時間オフセットのタイプ (存在する場合)。 ○ 過去 **(Past)**：オフセット係数を適用して、選択したビジネスカレンダーの時間スパンの開始前に実行するジョブをスケジュール設定します。 ○ 将来 **(Future)**：オフセット係数を適用して、選択したビジネスカレンダーの時間スパンの終了後に実行するジョブをスケジュール設定します。 ○ なし：このジョブのスケジュール設定に時間オフセットを適用しません。 オフセット係数を追加すると、次のユースケースに対するビジネスカレンダーで定義された正式な時間スパンの前または後にジョブの実行をスケジュール設定できます。
オフセット (OffSet)	このジョブをスケジュール設定するために選択したビジネスカレンダーに適用する時間オフセットの量 (日、時間、分、秒)。たとえば、ビジネスカレンダーの開始日よりも 3 日、14 時間、10 分、45 秒前にジョブを開始するようにスケジュール設定する場合は、次のようにします。 ○ [オフセットタイプ **(Offset type)]** フィールドで [過去 **(Past)]** を選択します。 ○ [日数] フィールドに「**3**」と入力します。 ○ [時間] フィールドに「**14**」、「**10**」、「**45**」と入力します。 [オフセット日数 **(Offset days)]** フィールドと [時間] フィールドは、[実行] フィールドで [ビジネスカレンダー：エントリ開始] または [ビジネスカレンダー：エントリ終了] を選択し、[オフセットタイプ] フィールドで [過去] または [予定] を選択した場合にのみ表示されます。
優先度	スケジュール設定済みジョブの数値の優先度： ○ 必須ジョブの優先度値を 100 未満に設定します。 ○ 必須でないジョブの優先度値を 100 より高く設定します。 ○ すべてのジョブスケジュールの 70 パーセント以上が [期限切れ] の場合、100 を超える値でマークされたジョブは実行されません。
条件付き	オンにすると、レポートを生成するためのスクリプト化された条件を指定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
レコードがない場合は省略	オンにすると、空のレポートは配布されません。
条件	スケジュール設定済みジョブを実行するかどうかを決定する条件付きスクリプト。スクリプトの最後の式はブール値 (true/false) で評価されます。このテキストボックスは、[条件を使用 **(Use conditions)]** を選択した場合にのみ表示されます。ServiceNow プラットフォームのスクリプトの詳細については、「スクリプト」を参照してください。 **警告:** スケジュールされたレポートメールの条件付きスクリプトは、サンドボックスで実行されます。したがって、関数定義は許可されません。一部の API 呼び出しとキーワードも許可されません。詳細については、「Script sandbox property (スクリプトサンドボックスプロパティ)」を参照してください。
件名	配布メールの件名に表示されるテキスト。
導入メッセージ	(オプション) レポートにメッセージを追加します。 レポート出力タイプが埋め込み PNG の場合 ○ メッセージ本文でタグ ${report.png} を使用して、メッセージ内にレポートを配置します。それ以外の場合、レポートはメッセージの下部に表示されます。 ○ タグ ${report.include_with} を使用して、メールに含める他のレポートを配置します。それ以外の場合、これらのレポートはメッセージの下部に表示されます。
タイプ	レポートの出力タイプ。グラフィカルなレポートは、PNG または PDF ファイルにすることができます。リストレポートは、PDF、Excel、または CSV ファイルにすることができます。 グラフィカルレポートをスケジュールするときは、**[PDF]** または **[PDF - 横向き]** 出力タイプを選択し、チャートのグリッドデータを含めることができます。データレポートをスケジュールするときは、**[Excel]** または **[CSV]** 出力タイプを選択します。 レポート可視化をメールの本文に埋め込むには、[埋め込み **PNG]** を選択します。大きな画像はメールに合わせてスケールされます。 詳細については、「レポート出力形式」セクションを参照してください。 **注:** PDF 出力では、マルチレベルピボットのレポートをスケジュールすることのみが可能です。
ZIP 出力	オンにすると、レポートは zip ファイルの添付ファイルとしてメールに送信されます。
一緒に含める	メールに含める 1 つ以上の追加レポート。メール内でレポートを並び替えることはできません。検索アイコン を使用して、他のレポートを見つけることができます。
ページサイズ (マルチレベルピボットの	A3、A4、レター、リーガルのサイズの中から選択します。別の用紙サイズの寸法を指定するには、[カスタム] を選択し、[ページの高さ] および [ページの幅] をピクセル単位で入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
レポートのみ)	
ページの高さ (ピクセル) (マルチレベルピボットのレポートのみ)	[ページサイズ] が [カスタム] に設定されている場合に表示されます。非標準の用紙サイズの場合は、インチ単位のページの高さに 72 をかけて、このフィールドに値を入力します。
ページの幅 (ピクセル) (マルチレベルピボットのレポートのみ)	[ページサイズ] が [カスタム] に設定されている場合に表示されます。非標準の用紙サイズの場合は、インチ単位のページの幅に 72 をかけて、このフィールドに値を入力します。

4. [送信] をクリックします。

次のタスク

スケジュール済みメールレポートを編集するには、[スケジュール済みレポート] リストからレポートを開きます。レポートを削除するには、[レポートスケジュール] リストからその行を削除します。

レポート出力形式

特定の出力形式でレポートをエクスポートできます。これらのレポートを定期的にエクスポートするようにスケジュールできます。

レポート出力形式

レポート形式	説明
PDF	縦または横向きで PDF を生成します。PDF レポートには、チャートグリッドデータが含まれます。マップレポートは PDF 形式にエクスポートできません。 **注:** マルチレベル ピボット テーブル を PDF にエクスポートするには、Webkit HTML to PDF プラグイン (com.snc.whtp) を有効にする必要があります。
Excel	レポートの表示方法は、Microsoft Excel (XLS) スプレッドシートとして表示されます。
PNG	レポートの表示方法は、ポータブルネットワークグラフィック (PNG) ファイルとして表示されます。「レポートスケジュールメールにレポートを画像として埋め込む方法」も参照してください。
CSV	レポートの表示方法は、カンマ区切り値 (CSV) のプレーンテキストファイルとして表示されます。

「別のユーザーとして実行」ユーザーとスケジュールされたレポートのメール

ドメイン分離インスタンスを使用している場合、スケジュールレポートは「別のユーザーとして実行」ユーザーの権限を使用して生成されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デフォルトでは、スケジュール設定済みメールレポートを設定するユーザーは「別のユーザーとして実行」ユーザーです。このユーザーのドメインアクセスと report_view ACL 権限は、レポートスケジュールの生成時に適用されます。

レポートスケジュール設定したユーザーが適切な「別のユーザーとして実行」ユーザーでない場合、管理者または report_admin は別の「別のユーザーとして実行」ユーザーを指定できます。

> ⚠ **警告:**
> 「別のユーザーとして実行」ユーザーには、レポートをスケジュールするための適切な report_view ACL 権限が必要です。このユーザーの設定にはセキュリティ上のリスクがある可能性もあります。「別のユーザーとして実行」ユーザーを設定する場合は、カスタマーサービス & サポート に相談することを検討してください。

関連情報

report_view のアクセス制御

レポートを **PDF** にエクスポートする

レポートを PDF にエクスポートして ServiceNow 、インスタンスの外部で使用します。

始める前に

必要なロール:itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。
エクスポートされたレポートの情報は、ユーザーがアクセス権を持っている情報のみです。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 表示/実行 をクリックし、エクスポートするレポートを選択します。
2. レポートフォームの右上にある 共有 アイコン( )をクリックし、[**PDF**にエクスポート]を選択します。
   a. PDF を生成するか、1 人の受信者にメールで送信するかを選択します。
3. PDF の向き、 縦向き 、横 向きを選択します。
4. 配信方法を選択します。

   [今すぐ生成] を選択して PDF を作成し、ダウンロードを受け取ります。

   「メールで送信」を選択して、PDF を 1 人の受信者に送信します。エクスポートしたレポートを複数のアドレスに配信するスケジュールを設定するには、「」を参照してください レポートのメールをスケジュールする。
5. [エクスポート] を選択します。

タスクの結果

エクスポートが完了すると、ダウンロードリンクまたはエクスポートが受信者に配信されることを示すメッセージが表示されます。

レスポンシブ ダッシュボードへのレポートの追加

関連するレポートやウィジェットをダッシュボード上に組み合わせることで、実行可能な意思決定をより迅速に下すことができます。レポートやウィジェットに 1 つずつ移動すると時間がかかり、効率が良くありません。

始める前に

必要なロール:レポートを作成できるユーザーは、レスポンシブ ダッシュボードにレポートを追加できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポートの生成、レポート デザイナーでのレポートの作成、レポートの共有とスケジュール設定については、この 6 分間のビデオをご覧ください。 新しいレポートを生成する方法、レポートデザイナーでレポートを作成する方法、レポートを共有する方法、レポートをスケジュールする方法。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 表示/実行.
2. 追加するレポートを選択します。
3. 「共有」アイコン()をクリックし、「 ダッシュボードに追加」を選択します。
4. レポートをホームページに追加するのか、ダッシュボード (デフォルト) に追加するのかを選択します。
5. レポートを追加する [ダッシュボード] および [タブ] を選択します。
6. [追加] を選択します。
   上側にあるダッシュボードにウィジェットが追加され、ダッシュボードが開きます。
7. オプション: [編集] を選択して、ウィジェットを移動またはサイズ変更します。

(従来)レポートの公開

レポートを公開して、ユーザー以外の人を含め、誰でもレポートにアクセスできる URL を作成します。誰かがその URL に移動すると、インスタンスから現在のデータでレポートが生成されます。レポートは公開が中止されるまで利用可能です。

始める前に

危険:
権限のないユーザーにデータが公開されるリスクがあるため、この機能はデフォルトで非アクティブ化されています。

この機能を使用するには、システムプロパティ *glide.report.published_reports.enabled* を true に設定する必要があります。

必要なロール:report_publisher、report_admin、または admin

このタスクについて
ユーザーがレポートの公開 URL をたどるときに表示される内容には制限があります。

- グラフィック レポートとして表示され、ビジネスルールに制限されていないデータは、公開されたレポートに常に表示されます。リスト レポートを除くすべてのレポートは、グラフィック レポートです。
- 読み取り ACL はリスト レポートの内容を管理します。ユーザーは、アクセス権のないレコードを表示できません。
- 公開されたレポートへのアクセス権を持つ公開ロールは、ログインしていないときにレポートに表示される元のデータの小さなサブセットを表示できます。公開されたレポートで想定されるすべてのデータが表示されない場合の解決方法については、 KB 記事 KB0736982 を参照してください。

admin または report_admin ロールを持つユーザーは、レポートが公開されているかどうかを確認できます。移動先 レポート > 表示/実行をクリックし、レポートを開き、「 共有 」アイコン() をクリックします。[共有] メニューに [公開] オプションがある場合、レポートはまだ公開されていません。[共有] メニューに [公開を中止] オプションがある場合、レポートは公開されています。

注:
ログインしているユーザーのみがレポートを使用できるようにするには、[共有] 設定を [全員] に設定しますが、公開はしません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 レポート > 表示/実行.
2. 公開するレポートをクリックします。
3. レポート フォームの右上にある [共有] アイコン () をクリックし 、[公開] を選択します。

   リンクアイコン () が [レポート] オプションアイコンのメッセージとともに表示されます。このアイコンをクリックし、公開されたレポートへのリンクを表示します。このリンクは、レポートが公開されている限り利用できます。

   注:
   ビジネスルールは、公開レポートのレコード収集方法に影響を与える可能性があります。

レポートの公開中止

公開されたレポートは、公開を中止するまで公開されている URL で利用できます。

始める前に
必要なロール:report_publisherとreport_user、report_admin、または admin の両方。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 表示/実行.
2. 公開を中止するレポートを選択します。
3. レポートフォームの右上にある 「共有 」アイコン( )をクリックし、「 非公開」を選択します。

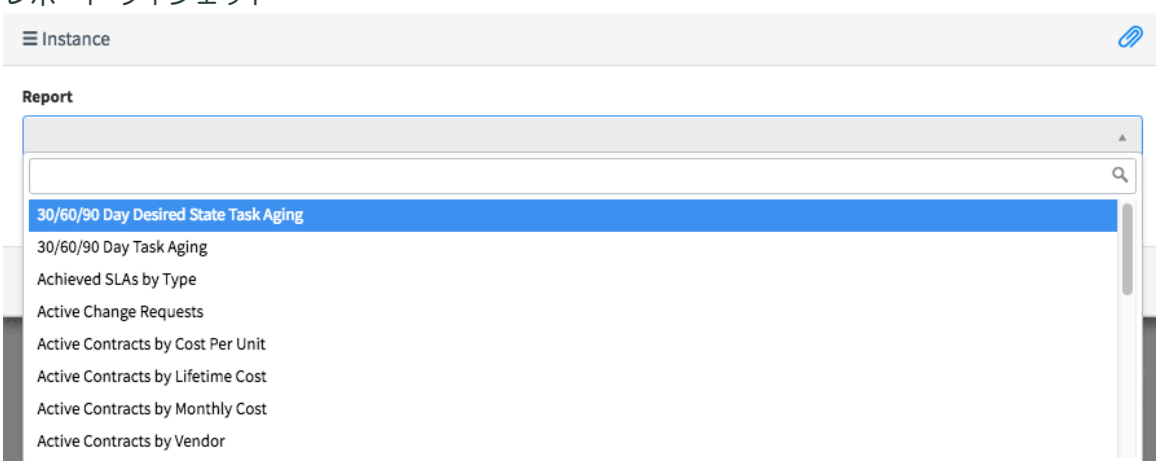
タスクの結果
レポートは公開されなくなり、公開が中止されたレポートのレポート デザイナーからリンク アイコン () が削除されます。

サービスポータルに関するレポート

サービスポータルを使用してレポートを表示します。

ポータルを編集するときは、レポート ウィジェットを追加します。ウィジェットのオプションを使用して、サービスポータルに表示するレポートと、レポートのタイトルを表示するかどうかを指定します。

レポート ウィジェット



レポート ウィジェットを使用すると、リスト レポート以外のすべてのレポート タイプをポータルに表示できます。代わりに 簡易リストウィジェット を使用してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Performance Analytics and Reporting - Service Portal Widgets プラグインの有効化

admin ロールがある場合は、Performance Analytics and Reporting - Service Portal Widgets プラグイン (com.snc.pa.sp.widget) を有効にすることができます。このプラグインにはデモ データが含まれ、関連プラグインがまだ有効化されていない場合は有効化します。

始める前に
必須ロール：admin

このタスクについて
Service Portal Widget プラグインは、関連プラグインがまだ有効化されていない場合は有効化します。

Performance Analytics and Reporting - Service Portal ウィジェットのプラグイン

プラグイン	説明
Service Portal [com.glide.service-portal]	サービスポータルのコア機能。

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. フィルター基準と検索バーを使用してプラグインを検索します。

   名前または ID でプラグインを検索できます。プラグインが見つからない場合は、ServiceNow 担当者から要求する必要があります。
3. [インストール] を選択して、[プラグインをアクティブにする] ダイアログボックスで、[アクティブ化] をクリックします。

   注:
   ドメイン分離と代理管理者がインスタンスで有効になっている場合、管理ユーザーはグローバルドメインに含まれている必要があります。それ以外の場合、次のエラーが表示されます： 別の操作が実行されているため、アプリケーションのインストールは利用できません：<プラグイン名> のプラグインの有効化。

関連情報

プラグインのリスト

レポートタイプ

作成できるさまざまなタイプのレポート、作成するタイミングおよび作成方法について説明します。

以下のタイプのレポートを生成してカテゴリ別に整理することができます。

- 棒グラフレポート：データ次元どうしでスコアを比較することができます。
- 円およびドーナツグラフレポート：円グラフなどの形状を使用して、データ セットの一部分と全体との関係を可視化します。
- 時系列レポート：データの経時変化を可視化します。時系列レポートでは、インスタンス内のデータやインポートしたデータ ソース内のデータだけでなく、MetricBase のデータを使用することもできます。詳細については、「MetricBase アプリケーション」を参照してください。
- マルチディメンション レポート：次元どうしでデータを 1 つの表またはグラフに可視化します。
- スコア：単一のデータ ポイントを、範囲全体にわたって、または単一の値として可視化します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 統計レポート：中央値や平均値などの統計値でデータを可視化します。
- その他のレポート：カレンダー、マップ、リストなどがあります。

レポートデザイナーでレポートを作成、スタイル設定、共有する方法

レポートデザイナー内で自然言語クエリ (NLQ) を使用してレポートを生成することもできます。[NLQ] フィールドに質問を書き込むだけで、レポートデザイナーが適切なタイプのレポートを生成します。

棒グラフレポート

	レポート	説明
	縦棒グラフと横棒グラフのレポート	垂直または水平の棒グラフが、それぞれの値に比例した長さで表示されます。
	パレート図レポート	棒グラフレポートと線グラフのレポートを組み合わせて、多数の要素の中で最も重要な要素を特定します。
	ヒストグラム レポート	値の範囲内にあるデータ ポイントの数を示すことによって、数値データを視覚的に解釈します。

円およびドーナツグラフレポート

	レポート	説明
	円グラフ	全体を表す円を使用して、全体に対して個々のデータがどのように関連しているのかを示します。
	ドーナツグラフ レポート	全体を表すドーナツ形を使用して、全体に対して個々のデータがどのように関連しているのかを示します。
	半ドーナツグラフ レポート	全体を表す半ドーナツ形を使用して、全体に対して個々のデータがどのように関連しているのかを示します。半ドーナツグラフレポートでは、半分に分割されたドーナツ形を使用して全体を表します。

時系列レポート

	レポート	説明
	縦棒グラフ レポート	1 つまたは複数の値を割合を表す縦棒として表示し、値が時間の経過とともにどのように変化するかを示します。
	線グラフ レポート	一連のデータポイントを直線で結び、1 つまたは複数の値が時間の経過とともにどのように変化するかを示します。
	ステップ ライン レポート	一連のデータポイントを横線と縦線で結び、1 つまたは複数の値が時間の経過とともにどのように変化するかを示します。
	面グラフ レポートとスプライン レポート	線グラフに似ていますが、一般に軸と線の間の面を色付けして強調します。
	面グラフ レポートとス	一連のデータ ポイントを滑らかな曲線で結び、1 つまたは複数の値が時間の経過とともにどのように変化するかを示します。スプラインレポートで

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

時系列レポート (続く)

	レポート	説明
	プライン レポート	は、既知のデータポイントの限定された部分を取り出し、途中の値を近似することができます。

マルチディメンションレポート

	レポート	説明
	マルチレベル ピボット テーブル	複数の測定基準で分割された集計データを 1 つのグラフに表示します。
	ヒートマップ レポート	色を使用してさまざまな値を表現し、集計データをマトリクスで表示します。
	バブル レポート	1 つのグラフに複数の測定基準を表示します。

スコア

	レポート	説明
	スピードメーターレポート	現時点でのインジケーターのカウントの概要を円形のメーターの形で表示します。
	目盛りレポート	測定するインジケーターのカウントの概要を半円で表示します。スコアが表示される部分は色で塗りつぶされます。
	単一スコア レポート	ビジネスにとって重要な単一の集計値を表示します。

統計分析の可視化

	レポート	説明
	コントロール レポート	データを一連の点のつながりとして表示し、ビジネスプロセスが統計管理の状態にあるかどうかを判断して、外れ値を特定します([その他のレポート] セクションにあります)。
	傾向レポート	1 つ以上のアイテムの値が時間の経過とともにどのように変化するかを示します。傾向レポートの横軸上の値は、時間測定値を表します。縦軸の値は、監視対象のアイテムの変化を表します。傾向の直線または曲線によって、変化の一般的なパターンが明らかになります([その他のレポート] セクションにあります)。
	ボックス レポート	データセットの値の分布を示し、統計的な平均を強調します([その他のレポート] セクションにあります)。
	Trendbox レポート	データセット内の値の分布を示し、指定した期間の統計平均を強調します([その他のレポート] セクションにあります)。

その他のレポート

	レポート	説明
	じょうごおよびピラミッド グラフ レポート	値を、段階的に減少する割合として表示します。各セクションのサイズは、すべての値の合計のパーセンテージを反映します([その他のレポート] セクションにあります)。

自動翻訳

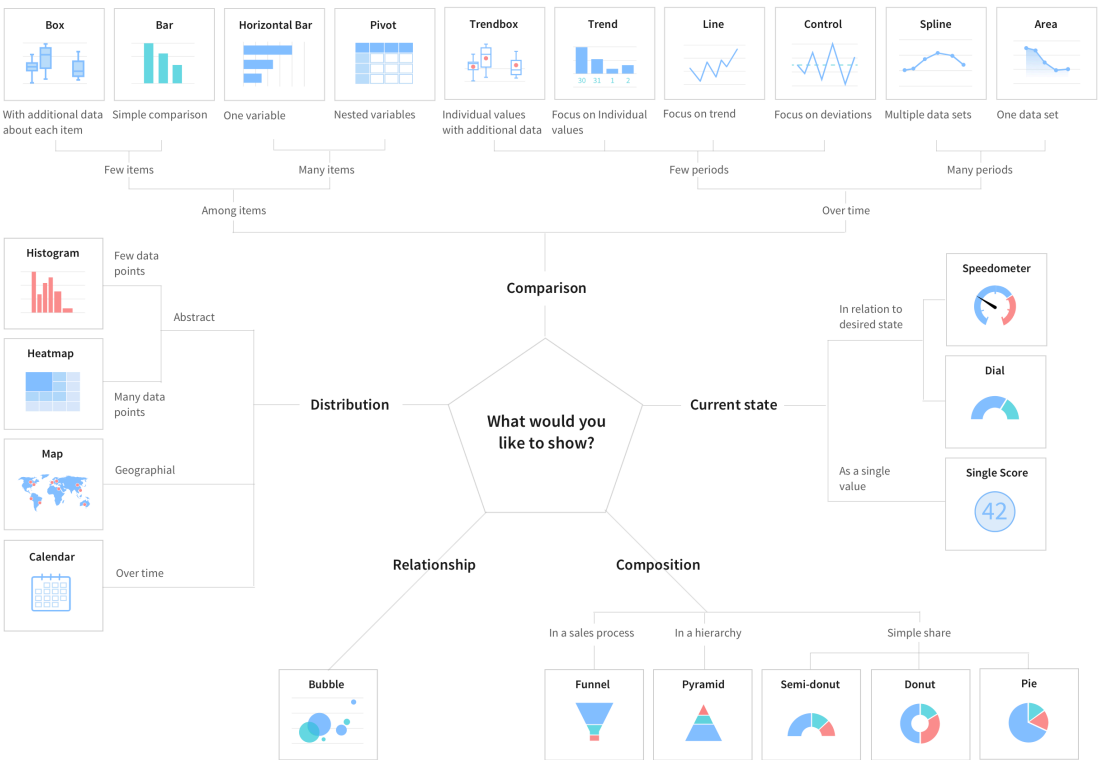
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

その他のレポート (続く)

	レポート	説明
	リストレポート	標準のServiceNow リストコンポーネント に似た拡張可能なリストの形式でデータを表示します。
	カレンダー レポート	データ駆動型のイベントをカレンダー形式で表示します。
	マップ レポート	データを地図画像に表示します。
	ピボットテーブル	表からデータを集計して、要約したデータのソースを表示します。この機能はマルチレベルピボットレポートに拡張されています。
	じょうごおよびピラミッド グラフ レポート	長方形の代わりにピラミッドの区分けを使用して、棒グラフレポート上での変動を可視化します([その他のレポート] セクションにあります)。

レポートタイプの選択

データで伝えるストーリーに基づいてレポートタイプを選択します。



面グラフ レポートとスプライン レポート

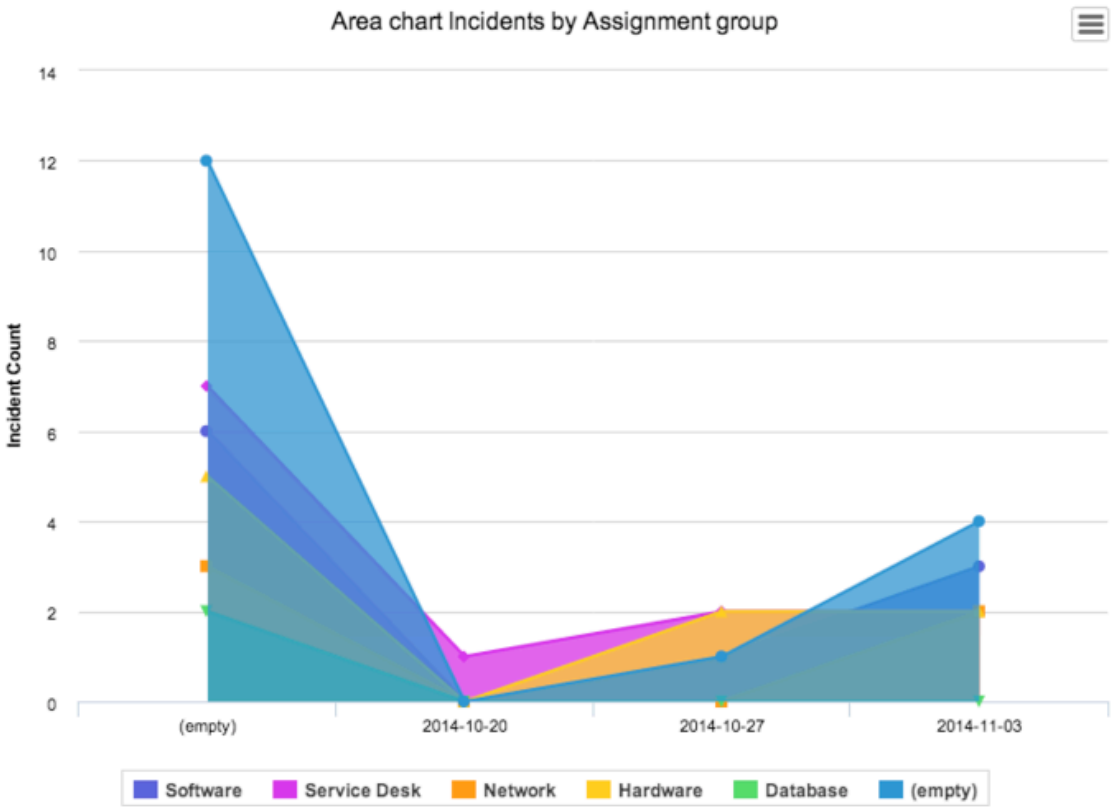
面グラフ レポートは、関連する属性の時間経過による傾向を示します。スプラインレポートは、一連の既知のデータ ポイントを曲線で結び、1 つ以上の値がどのように変化するかを示して、個々のデータ ポイントの傾向を強調します。

たとえば、インシデント数を表す面グラフ レポートやスプライン レポートを作成して、インシデント数が時間とともにどのように変化するかを示すことができます。多くの場合、インシデント数は製品のアップグレードが導入されてから最初の数か月間は増加します。時間が経つにつれてユーザーが製品の変化に慣れてくると、報告されるインシデントの数は減少します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

面グラフ レポート



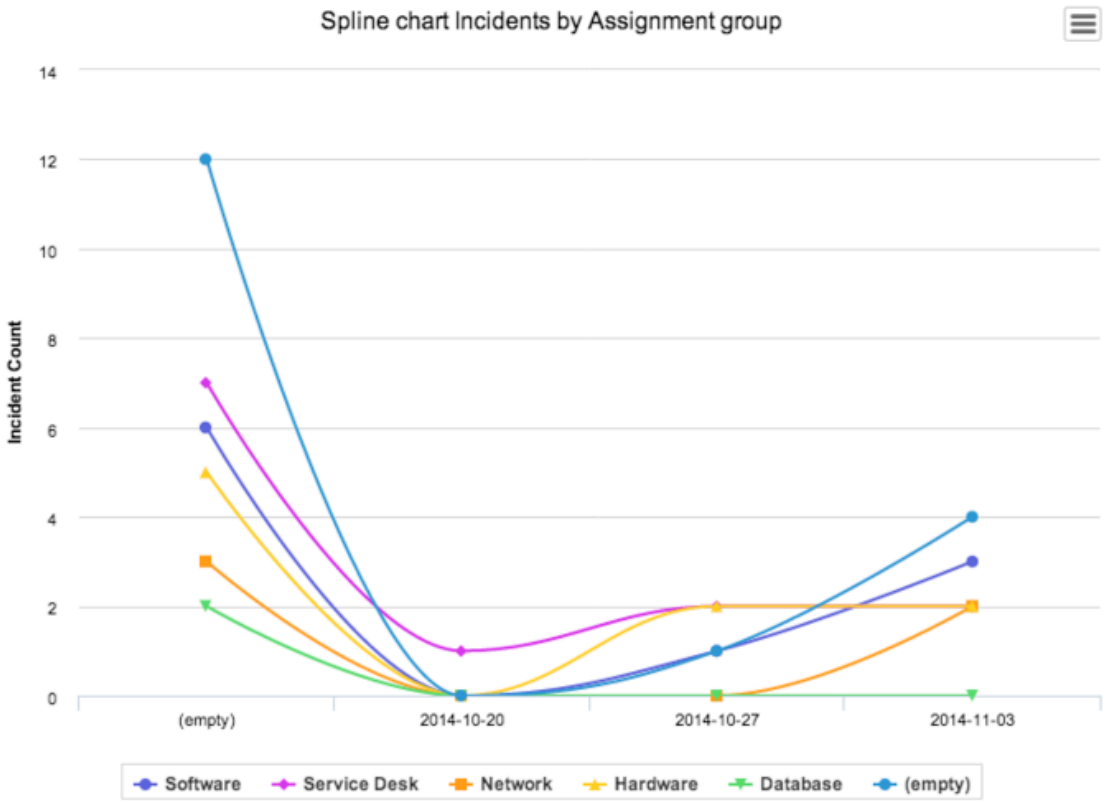
注:

複数のデータ セットを含む面グラフ レポートのセクションどうしが重なっている場合、個々のセクションにドリルダウンすることはできません。ドリルダウンするには、凡例内のアイテムをクリックしてレポートからクリアします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スプライン レポート



注:
このデータの可視化は、モバイルプラットフォームでサポートされています。詳細については、およびMobile dashboard preview を参照してくださいTime series reports for mobile 。

面グラフ レポートまたはスプライン レポートを作成する

関連する属性の経時変化を表示する面グラフ レポートまたはスプライン レポートを作成します。

始める前に
必要なロール：itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. レポートに適用可能なソースを選択します。

オプション	説明
データソース	データソースはレポートソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためにフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
	注: 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、それらのレポートを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、テーブル名の下に簡単な説明が表示されます。 傾向レポートでは、外部ソースから取得したデータをメモリに集約するリモートテーブルを選択することもできます。次に、[傾向] フィールド オプションを選択して、そのデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得 」を参照してください
外部インポート	既存のインポートされたレポートソースを選択するか、[アップロード] アイコン () を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからレポートを作成する」を参照してください。
MetricBase	MetricBase を使用すると、新しいプラットフォームでカスタム時系列データを収集、保持、分析、視覚化することができます。詳細については、「 MetricBase 」を参照してください。

4. [次へ] を選択します。
5. [タイプ] タブのフィルターに「面」または「スプライン」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、 [実行] を選択します。
6. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

[設定] タブ

フィールド	説明
グループごと	このフィールドの値を使用するグループのレポートデータ。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明については、情報アイコン () をクリックします。 レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: ○ レポートは、[タグ] フィールドや MEDIUMTEXT などの特定のフィールドタイプでのグループ化やスタックはできません。 ○ データベースビューに基づくレポートでは、[変数] または [質問] フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。
他のグループ化	レポートをグループ化する追加のフィールド。[他のグループ化] フィールドまたは機能フィールドを選択すると、追加のフィールドのいずれか 1 つでレポートをグループ化できるコントロールがレポートの下部に組み込まれます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明については、情報アイコン ()ⓘ をクリックします レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 注: ○ メインの [グループごと] リストに表示されない [他のグループ化] リストの選択肢を表示できます。レポートでは、表示される追加フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。メインの [グループごと] の選択肢とは異なり、[他のグループ化] フィールドはフィルタリングされません。サポートされていないフィールドを選択しても、効果はありません。 ○ メインの [グループごと] フィールドにリストされている制限は、[他のグループ化] フィールドにも適用されます。 詳細については、「[グループの追加] または [積み重ね基準]」を参照してください。
データテーブルを表示	レポートの下のリストにレポートデータを表示するには、このオプションを選択します。レポートが追加されたダッシュボードにリストが表示されます。 glide.ui.section508 システムプロパティが **true** に設定されている場合、すべてのレポート可視化にレポートデータが表示されます。glide.ui.section508 プロパティは、[データテーブルを表示] フィールドを上書きします。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「機能フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
トレンドの基準	時間順に値を表示したいテーブル フィールド。選択したフィールドの説明については、情報アイコン (ⓘ) をクリックします。 注: [テーブル] フィールドでリモートテーブルを選択した場合、このフィールドで選択したオプションは、外部ソースから取得されてメモリに集計されたデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
カレンダー	レポートの時系列の基礎となるカレンダー。標準カレンダーまたはカスタマイズされたビジネスカレンダードキュメント のいずれかを選択します。
期間	データをグループ化する期間。利用可能な期間の範囲は、選択したカレンダーによって異なります。期間は、1 時間から 1 年の範囲です。日付を指定することもできます。 注: 週ごとのレポートの場合：レポート範囲に複数の暦年が含まれている場合、週が 2 つの年にまたがって分割されると不整合が生じます。ISO 週に従ってデータ値をより正確に表示するには、システムプロパティ [sys_properties] テーブルの **glide.db.aggregates.trend.use_iso_week** プロパティを追加して有効にします。
集計	データで実行する数値計算。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数を示します。 一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。 選択した [テーブル] からのフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択します。集計の基準となるフィールドをこのリストから選択します。 レポートをフィールド別にグループ化し、[平均] 集計を選択すると、各グループの平均が取得されます。合計値が表示されている場合は、個々のフィールド値ではなく、これらのグループ平均の平均です。 [最小] または [最大] を選択して、レポートの各セグメントの最大値または最小値を表示します。 集計の詳細については、「レポートの集計」を参照してください。 [平均]、[合計]、[個別のカウント]、[最小]、[最大] を選択した場合は、拡張テーブルのフィールドで集計することもできます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 FX 通貨値の集計については、「レポートの FX 通貨値」を参照してください。
割合の計算	パーセンテージの計算方法。パーセンテージは、棒グラフのレポートの棒グラフなど、レポート セグメントを指すときに表示されます。このフィールドは、[集計] が [平均]、[合計]、[個別のカウント] に設定されているときに表示されます。 ○ [集約を使用] は、[集計] フィールドの選択を使用してパーセンテージを計算します。パーセンテージの計算には、レポートに表示されるデータのみが使用されます。 たとえば、レポートには [集形] が [合計] に設定された部門別の資産と、集計を使用して計算されたパーセンテージが表示されます。資産の総コストが 100,000 USD、カスタマーサポートの資産コストが 10,000 USD の場合、カスタマーサポートのパーセンテージは 10% となります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ [レコード数を使用] では、データセット内のレコードの総数を使用してパーセンテージを計算します。 たとえば、レポートは優先度別にインシデントを表示します。インシデント 500 件の記録のうち、インシデント 200 件の優先度が低いとします。低優先度セクションのパーセンテージは 40% となります。
値の書式を設定	小数点以下桁数、丸め、最小および最大の期間単位、期間単位の省略形など、レポートでの数値の表示方法を構成できます。「レポートの値の書式設定」を参照してください。 注: 小数点以下桁数は通貨フィールドでは機能しません。

7. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。
   フィルターアイコン () を選択し、[並べ替えの追加] を選択します。
   a. [並べ替え順序] ボックスの一覧で、並べ替えるフィールドを選択し、アルファベット順または逆アルファベット順に **[a-z**] または **[z-a**] を選択します。

      このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張または関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

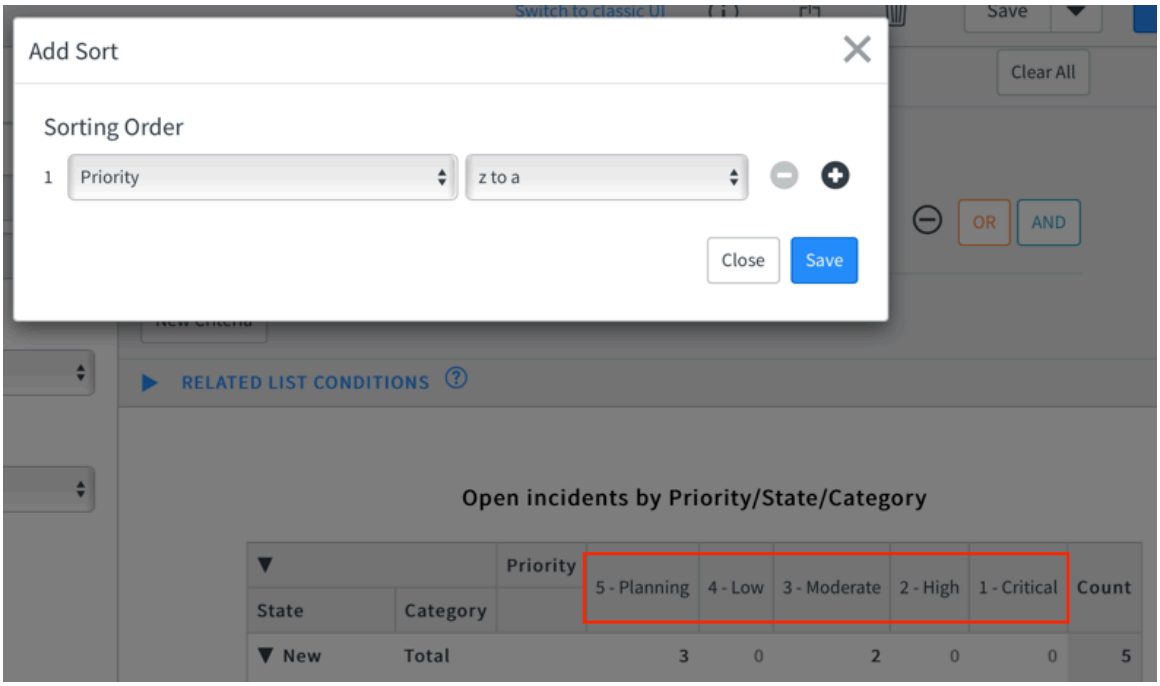
      注:
      ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドでのみソートできます。

   b. ソートプラスアイコン () を選択して、追加のソート順序条件を設定します。(ソートマイナスアイコン ( ) を選択すると、構成済みのソート順条件を削除できます)。
   c. [保存] を選択します。

   [選択リスト] タイプのフィールドの場合、ソート順は [ラベル] に基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択フィールドの [値] に基づいてソートされます。マルチレベル ピボットテーブルおよびヒートマップ レポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



8. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン () を選択し、レポートデータをフィルターする条件を指定します。
   条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。
9. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。
10. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- レポート情報アイコン () を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン () を選択して [共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。

面グラフ レポートとスプライン レポートのスタイル オプション

面グラフ レポートまたはスプライン レポートの外観を変更します。

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

面グラフ レポートとスプライン レポートのスタイル オプション

フィールド	説明
全般	
チャートの色	レポートで使用される色のソース。 レポートのグループ化または積み重ねを行わない場合は、**[1** つの色を使用] が自動的に選択されます。この場合、事前定義された単一のシステム カラーを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

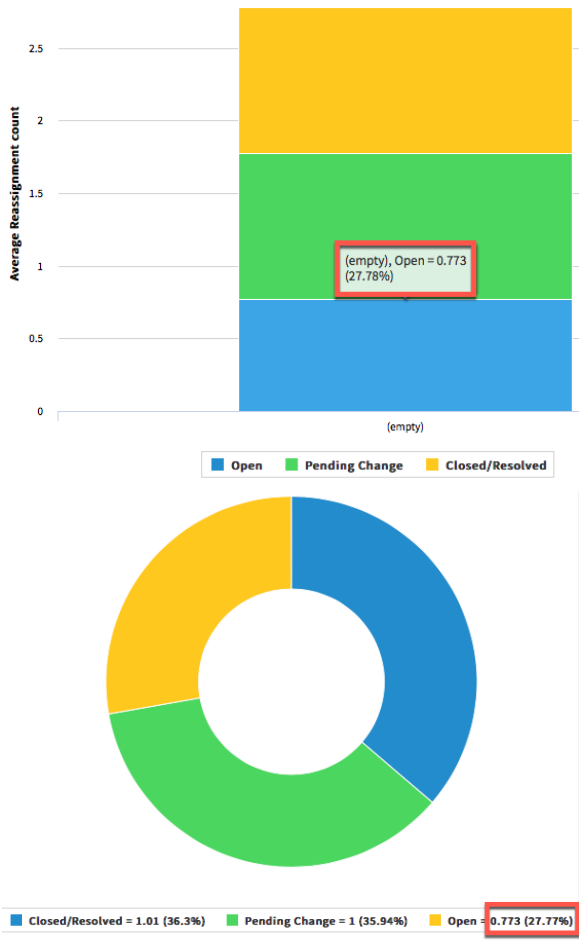
面グラフ レポートとスプライン レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	レポートのグループ化または積み重ねを行う場合は、以下のオプションのいずれかを選択します。 • カラーパレットを使用：事前定義済みのシステムのカラー パレットからカラー パレットを選択します。 • 複数の色を使用:16 進数コードを使用して カスタムの色の セットを定義します。任意の数の色を追加できます。 • チャートの色を使用: で定義されている色を使用します。 レポート > チャートの色. これらのオプションの違いの詳細については、を参照してください レポートの定義済みの色。
色を設定	レポートで使用される色。このフィールドは、[チャートの色] リストから **[1** つの色を使用] を選択すると表示されます。検索アイコン()をクリックして、「 色定義 」リストから選択します。
色	レポートで使用される色。このフィールドは、[チャートの色] リストから [複数の色を使用] を選択すると表示されます。検索アイコン()をクリックして、[チャートのカラースキーム]または [カラー定義] リストから選択します。
パレットを設定	レポートで使用されるカラー パレット。このフィールドは、[チャートの色] リストから [カラーパレットを使用] を選択すると表示されます。
データラベルを表示	このチェック ボックスをオンにすると、各データ ポイントの値が表示されます。
nil をゼロとしてプロットしない	値のないデータ ポイントをゼロ値に置き換えるかどうかを指定するためのチェック ボックス。このフィールドは、複数のデータセットを含む時系列レポート (面、曲線、線、ステップラインのレポートのみ) の作成や編集時、また該当する時系列レポート内でのデータセットの作成や編集時に使用できます。このフィールドは、レポート内のデータがグループ化されている場合、または [カウント] または [個別のカウント] で集計されている場合には使用できません。 選択すると、データが存在しない場合はレポートにギャップが表示されることがあります。
マーカーを表示	チェック ボックスをオンにすると、各データ ポイントに記号が表示されます。
カスタムグラフサイズ	レポートの幅と高さをピクセル単位で指定するチェック ボックス。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
チャートサイズ	チャートのサイズ。このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] がクリアされている場合に利用できます。選択肢は、[小]、[中]、[大] です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

面グラフ レポートとスプライン レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	注: レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
ドリルダウン ビュー	ドリルダウン レポート タイプが指定されていないレポートのセグメントをユーザーが選択したときに表示するリスト ビュー。このビューは、ユーザーがレポートの最小ドリルダウン レベルに達したときにも使用されます。詳しくは 、 リストレイアウトの設定 を参照してください。[レポートのドリルダウン] を指定すると、[ドリルダウンビュー] は無視されます。 詳細については、「レポート ドリルダウンの定義」を参照してください。
小数点以下桁数	表示する小数点以下の桁数。ゼロから 4 桁の小数点以下まで表示することができます。デフォルト値：2。デフォルト値を変更するには、システム プロパティ glide.chart.decimal.precision を作成し、値を指定します。 **注:** パーセンテージ ラベルは、指定された小数点以下桁数に応じて変更されることはありません。 
タイトル	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

面グラフ レポートとスプライン レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 • 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのカスタム位置	チャート タイトルの位置の X 座標と Y 座標を指定するチェック ボックス。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャート タイトルの X 位置	チャートのタイトル位置を左右に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを右に移動するには、正の値を入力します。左に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの Y 位置	チャート タイトルの位置を上下に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを上に移動するには、正の値を入力します。下に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
凡例	
凡例を表示	チャートの凡例を表示するチェック ボックス。このチェックボックスは、[グループ] フィールドがレポート フォームで選択されている場合に表示されます。 凡例はデフォルトでは短縮されます。切り捨ての長さを調整するには、プロパティ *glide.chart.label.legend.truncate_to* と *glide.chart.label.legend.truncate_to.large*を構成します。詳細については、「レポートのプロパティー」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

面グラフ レポートとスプライン レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
凡例の水平配置	凡例を水平に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例の垂直配置	凡例を垂直に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例境界を表示	凡例を囲む枠線を表示するチェック ボックス。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例テキストを左揃え	ブラウザでレポートを表示するときに凡例テキストを左揃えにするチェック ボックス。デフォルトでは、凡例テキストが中央揃えになっています。レポートを PDF、PNG、JPG にエクスポートすると、凡例は中央揃えのままとなります。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。
軸	
Y 軸と X 軸	タイトル、外観、ラベルを設定する軸。
タイトル	軸のタイトル。
タイトルのサイズ	軸のタイトルのサイズ (ピクセル単位)。デフォルト値は 12 です。
タイトル太字	太字の書体で軸のタイトルを表示するには、このボックスをチェックします。
反対側	**[X** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートの右側に X 軸のタイトルが表示されます。**[Y** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、X 軸のタイトルが下部ではなく、レポート上部に表示されます。
グリッドを表示	**[X** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートに水平のグリッド線が表示されます。 **[Y** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートの上部に垂直のグリッド線が表示されます。
グリッドドット付き	実線ではなく点線のグリッド線を表示するには、このボックスをチェックします。
スケール最小値	レポートの情報量を制限する Y 軸の最小値を指定します。[数] タイプでない集計のフィールドを選択すると、[スケール最小値]、[スケール最大値] の両フィールドは利用できなくなります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

面グラフ レポートとスプライン レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	注: • 設定されたHighcharts の設定に応じて、最小値は切り上げまたは切り捨てられる場合があります。この変更に影響する設定が必要な場合は、管理者に問い合わせてください。 • [設定] タブの [値の書式を設定] を使用して期間フィールドを追加で書式設定する場合: ○ [開始]/[終了]フィールドに入力された値 (スタイル > **Y** 軸 秒単位ですビジュアル化では、Y 軸ラベルが選択した 最小/最大期間単位 (構成 > 値の書式を設定)、From/To (秒) の値の範囲内にあるデータを返します。 ○ 例: 期間の最小単位と最大単位を [分] に設定した場合、ビジュアル化では Y 軸ラベルが分として表示され、[開始]/[終了] フィールドに設定された対応する秒値の範囲内にあるデータが返されます。
宛先	レポートの情報量を制限する Y 軸の最大値を指定します。[数] タイプでない集計のフィールドを選択すると、[スケール最小値]、[スケール最大値] の両フィールドは利用できなくなります。 注: • 設定されたHighcharts の設定に応じて、最小値は切り上げまたは切り捨てられる場合があります。この変更に影響する設定が必要な場合は、管理者に問い合わせてください。 • [設定] タブの [値の書式を設定] を使用して期間フィールドを追加で書式設定する場合: ○ [開始]/[終了]フィールドに入力された値 (スタイル > **Y** 軸 秒単位ですビジュアル化では、Y 軸ラベルが選択した 最小/最大期間単位 (構成 > 値の書式を設定)、From/To (秒) の値の範囲内にあるデータを返します。 ○ 例: 期間の最小単位と最大単位を [分] に設定した場合、ビジュアル化では Y 軸ラベルが分として表示され、[開始]/[終了] フィールドに設定された対応する秒値の範囲内にあるデータが返されます。
X 軸/Y 軸のラベル サイズ	**[X** 軸] タブで、レポートの行のラベルのサイズを指定します。 **[Y** 軸] タブで、レポートの列のラベルのサイズを指定します。
ラベル太字	太字の書体でレポートのラベルを表示するには、このボックスをオンにします。

縦棒グラフと横棒グラフのレポート

縦棒グラフと横棒グラフのレポートでは、データ ディメンション全体で個々のスコアまたはスコアの集計を比較します。縦棒グラフ レポートの列の基準は X 軸で、水平棒グラフ レポートの列の基準は Y 軸です。

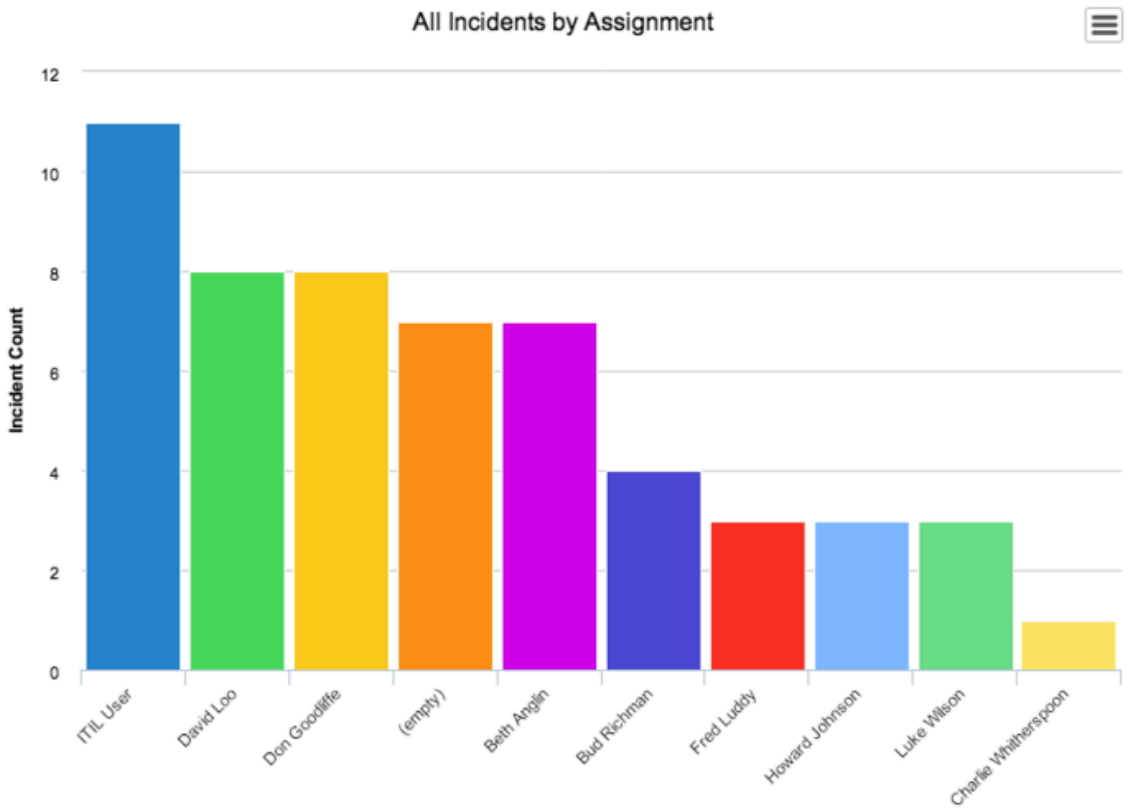
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

棒グラフは、データを横棒または縦棒の形式で表示します。棒はそれぞれ特定のカテゴリのデータを表します。棒グラフでは、1 つの色ですべてのカテゴリのデータを表すことも、カテゴリごとに異なる色で表すこともできます。

次の図は、個別のカテゴリのデータを表示する棒グラフ レポートの例です。レポートには、レポートが生成されるまでに記録されたすべてのインシデントの「インシデント[incident]」テーブルのデータが含まれています。

注:
このデータの可視化は、モバイルプラットフォームでサポートされています。詳細については、「Bar reports for mobile」と「Mobile dashboard preview」を参照してください。

棒グラフレポート

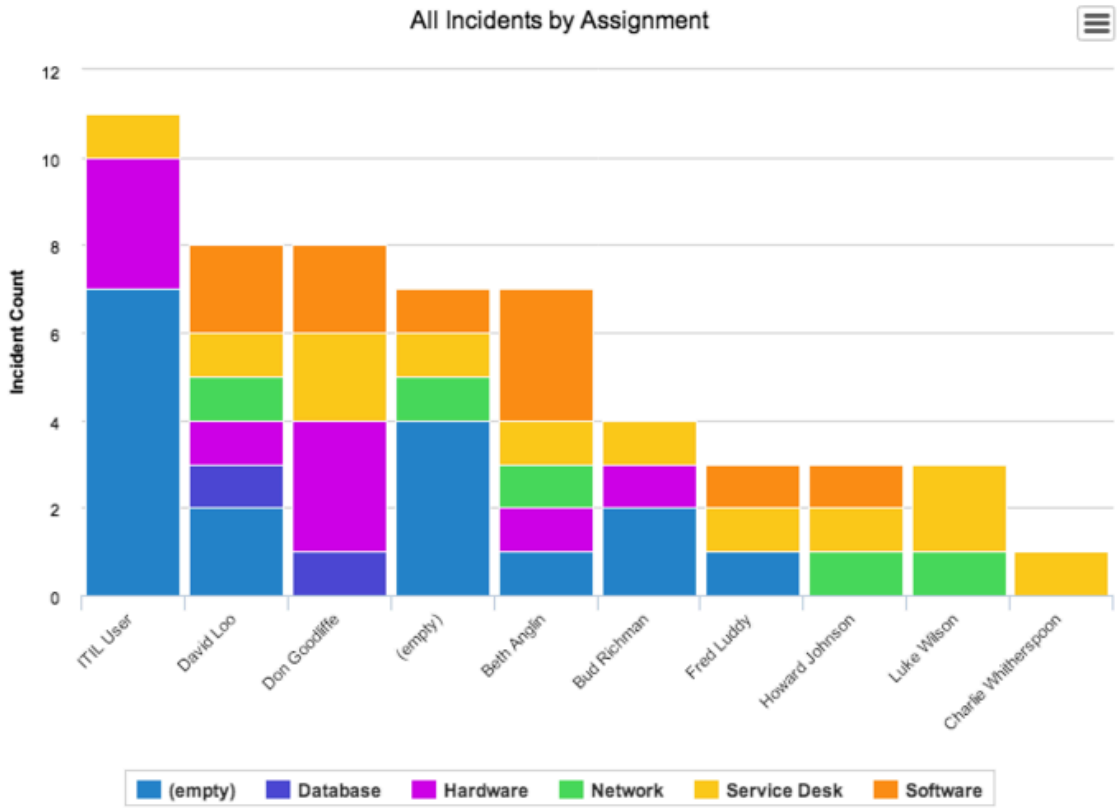


棒グラフ レポートを構成して、データを積み重ねて表示したり、棒の測定単位を変更したりすることができます。積み重ねバー グラフ レポートは、どの部分が合計に寄与しているか示します。次の図は、各ユーザーにアサインされたインシデントの数を示す棒グラフ レポートを示しています。また、このレポートでは各インシデントカテゴリからのインシデント数を積み重ねて表示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

積み重ねバー グラフ レポート



棒グラフ レポートを作成する

棒グラフ レポートを使用すると、それぞれの情報をその値に比例したセグメントに分けて表示できます。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin

意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. レポートに適用可能なソースを選択します。

オプション	説明
データソース	データソースはレポートソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためにフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 **注:** 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、それらのレポートを表示するように求める通知が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、テーブル名の下に簡単な説明が表示されます。 傾向レポートでは、外部ソースから取得したデータをメモリに集約するリモートテーブルを選択することもできます。次に、[傾向] フィールド オプションを選択して、そのデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得 」を参照してください
外部インポート	既存のインポートされたレポートソースを選択するか、[アップロード] アイコン ()  を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからレポートを作成する」を参照してください。
MetricBase	MetricBase を使用すると、新しいプラットフォームでカスタム時系列データを収集、保持、分析、視覚化することができます。詳細については、「 MetricBase 」を参照してください。

4. [次へ] を選択します。
5. [タイプ] タブのフィルターに「棒」または「水平バー」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、 [実行] を選択します。
6. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

[設定] タブ

フィールド	説明
グループごと	このフィールドの値を使用するグループのレポートデータ。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明については、情報アイコン (ⓘ) をクリックします。 レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: ○ レポートは、[タグ] フィールドや MEDIUMTEXT などの特定のフィールドタイプでのグループ化やスタックはできません。 ○ データベースビューに基づくレポートでは、[変数] または [質問] フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。
他のグループ化	レポートをグループ化する追加のフィールド。[他のグループ化] フィールドまたは機能フィールドを選択すると、追加のフィールドのいずれか 1 つでレポートをグループ化できるコントロールがレポートの下部に組み込まれます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明については、情報アイコン ()ⓘ をクリックします レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 注: ○ メインの [グループごと] リストに表示されない [他のグループ化] リストの選択肢を表示できます。レポートでは、表示される追加フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。メインの [グループごと] の選択肢とは異なり、[他のグループ化] フィールドはフィルタリングされません。サポートされていないフィールドを選択しても、効果はありません。 ○ メインの [グループごと] フィールドにリストされている制限は、[他のグループ化] フィールドにも適用されます。 詳細については、「[グループの追加] または [積み重ね基準]」を参照してください。
積み重ね基準	このフィールドの値を使用し、各棒を分割します。拡張テーブルのフィールドごとにスタックする方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明については、情報アイコン ()ⓘ をクリックします 注: ○ レポートは、[タグ] フィールドや MEDIUMTEXT などの特定のフィールドタイプでのグループ化やスタックはできません。 ○ データベースビューに基づくレポートでは、[変数] または [質問] フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。 カテゴリ別にソートされ、優先度で積み重ねられたインシデントの棒グラフでは、各カテゴリについての優先度の高、中、低の割合を見ることができます。 積み重ねられたフィールドを慎重に選択すると、レポートが乱れるのを防ぐことができます。大量のデータを積み重ねるのではなく、これらの関係を示す別のレポートを作成する方が良い場合もあります。棒グラフは、積み重ねたフィールドが選択されている場合にのみ凡例を表示します。ブール、参照、および選択リストは、積み重ねフィールドとして使用できます。日付、日付/時刻、整数、ロング、文字列、テキスト フィールドは、積み重ねフィールドとして使用することはできません。 注: Report Charting v2 プラグインが導入されてからは、日付の種類が許可されなくなりました。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	積み重ねたフィールドを 1 本の棒で表示するか棒の集まりとして表示するかを選択できます。 レポート フォームで [グループ] フィールドを選択すると、グループ化された棒として棒を表示することを選択できます。この場合、棒は、積み重ねられるのではなく、[グループ] フィールド (インシデントの状態など) ごとに互いに隣接して表示されます。 [他のグループ化] のフィールドを選択すると、これらのフィールドはレポートの下部の [積み重ね基準] コントロールでも利用できます。詳細については、「[グループの追加] または [積み重ね基準]」を参照してください。
データテーブルを表示	レポートの下のリストにレポートデータを表示するには、このオプションを選択します。レポートが追加されたダッシュボードにリストが表示されます。 glide.ui.section508 システムプロパティが **true** に設定されている場合、すべてのレポート可視化にレポートデータが表示されます。glide.ui.section508 プロパティは、[データテーブルを表示] フィールドを上書きします。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「機能フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
集計	データで実行する数値計算。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数を示します。 一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。 選択した [テーブル] からのフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択します。集計の基準となるフィールドをこのリストから選択します。 レポートをフィールド別にグループ化し、[平均] 集計を選択すると、各グループの平均が取得されます。合計値が表示されている場合は、個々のフィールド値ではなく、これらのグループ平均の平均です。 [最小] または [最大] を選択して、レポートの各セグメントの最大値または最小値を表示します。 集計の詳細については、「レポートの集計」を参照してください。 [平均]、[合計]、[個別のカウント]、[最小]、[最大] を選択した場合は、拡張テーブルのフィールドで集計することもできます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 FX 通貨値の集計については、「レポートの FX 通貨値」を参照してください。
割合の計算	パーセンテージの計算方法。パーセンテージは、棒グラフのレポートの棒グラフなど、レポート セグメントを指すときに表示されます。このフィールドは、[集計] が [平均]、[合計]、[個別のカウント] に設定されているときに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ [集約を使用] は、[集計] フィールドの選択を使用してパーセンテージを計算します。パーセンテージの計算には、レポートに表示されるデータのみが使用されます。 たとえば、レポートには [集形] が [合計] に設定された部門別の資産と、集計を使用して計算されたパーセンテージが表示されます。資産の総コストが 100,000 USD、カスタマーサポートの資産コストが 10,000 USD の場合、カスタマーサポートのパーセンテージは 10% となります。 ○ [レコード数を使用] では、データセット内のレコードの総数を使用してパーセンテージを計算します。 たとえば、レポートは優先度別にインシデントを表示します。インシデント 500 件の記録のうち、インシデント 200 件の優先度が低いとします。低優先度セクションのパーセンテージは 40% となります。
値の書式を設定	小数点以下桁数、丸め、最小および最大の期間単位、期間単位の省略形など、レポートでの数値の表示方法を構成できます。「レポートの値の書式設定」を参照してください。 注: 小数点以下桁数は通貨フィールドでは機能しません。
グループの最大数	[グループ] 条件が返すグループの最大数。最高値を持つグループが最初に表示されます。制限を超えるグループはどれも、[その他] という単一のグループに結合されます。 [すべて表示] を選択すると、最大 50 までのグループが表示されます。残りの結果は [その他] としてグループ化されます。
その他の表示	レポートに [その他] グループを含めるかどうかを指定するチェックボックス。[その他] グループには、[グループの最大数] で指定されている数を超えるすべてのグループのデータが含まれます。

7. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。
   フィルターアイコン () を選択し、[並べ替えの追加] を選択します。
   a. [並べ替え順序] ボックスの一覧で、並べ替えるフィールドを選択し、アルファベット順または逆アルファベット順に **[a-z**] または **[z-a**] を選択します。

      このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張または関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

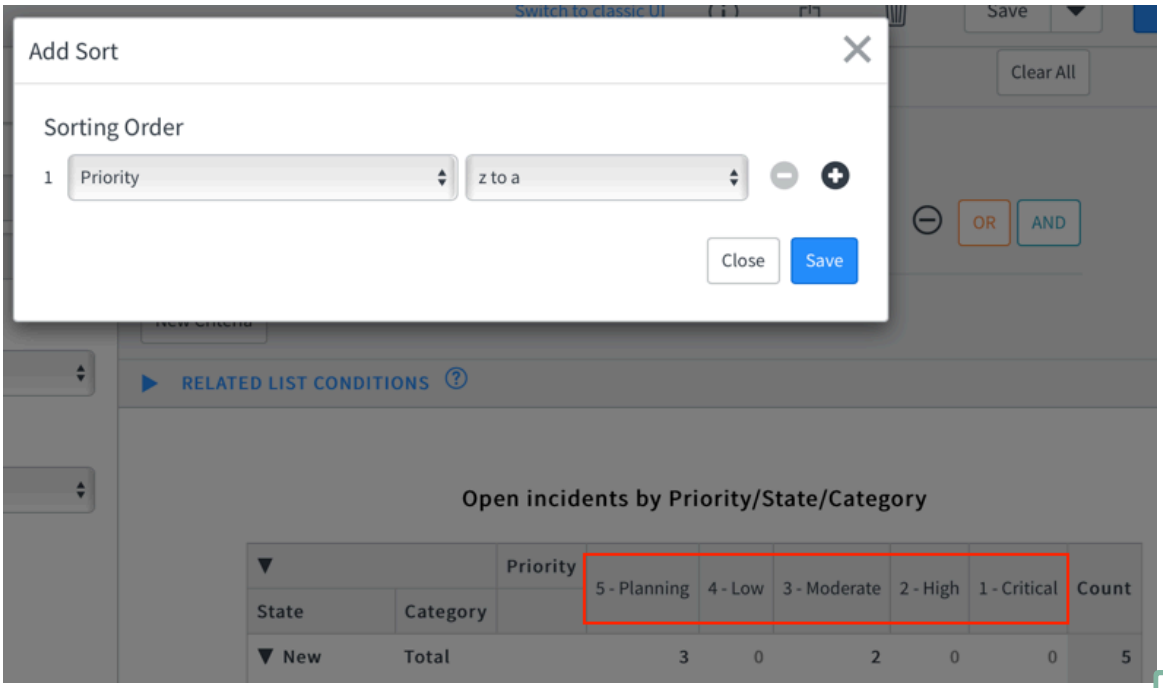
      注:
      ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドでのみソートできます。

   b. ソートプラスアイコン () を選択して、追加のソート順序条件を設定します。(ソートマイナスアイコン ( ) を選択すると、構成済みのソート順条件を削除できます)。
   c. [保存] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[選択リスト] タイプのフィールドの場合、ソート順は [ラベル] に基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択フィールドの [値] に基づいてソートされます。マルチレベル ピボット テーブルおよびヒートマップ レポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。



8. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン () を選択し、レポートデータをフィルターする条件を指定します。
   条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。
9. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。
10. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- レポート情報アイコン () を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン () を選択して [共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。

棒グラフ レポートのスタイル オプション

棒グラフ レポートの外観を変更します。

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

棒グラフ レポートのスタイル オプション

フィールド	説明
全般	
チャートの色	レポートで使用される色のソース。フィールド単位でレポートを積み重ねていない場合は、次のいずれかのオプションを選択できます。 • **1** つの色を使用: [チャートの色] フィールドで定義済みの色を 1 つ選択します。 • カラーパレットを使用：事前定義済みのシステムのカラー パレットからカラー パレットを選択します。 • チャートの色を使用: で定義されている色を使用します。 レポート > チャートの色. レポートを積み重ねる場合は、次のいずれかのオプションを選択します。 • カラーパレットを使用：事前定義済みのシステムのカラー パレットからカラー パレットを選択します。 • 複数の色を使用:16 進数コードを使用して カスタムの色の セットを定義します。任意の数の色を追加できます。 • チャートの色を使用: で定義されている色を使用します。 レポート > チャートの色. これらのオプションの違いの詳細については、を参照してください レポートの定義済みの色。
色を設定	レポートで使用される色。このフィールドは、[チャートの色] リストから **[1** つの色を使用] を選択すると表示されます。検索アイコン(🔍)をクリックして、「 色定義 」リストから選択します。
パレットを設定	レポートで使用されるカラー パレット。このフィールドは、[チャートの色] リストから [カラーパレットを使用] を選択すると表示されます。パレットは、チャートの配色 [pa_chart_color_scheme] テーブルで定義されます。
色	レポートで使用される色。このフィールドは、[チャートの色] リストから [複数の色を使用] を選択すると表示されます。16 進数のカラーコードのカンマ区切りリストを入力します。これらの色は、カラーパレットやチャートの色で使用される事前定義されたシステムの色とは無関係です。 **注:** 透明度の 16 進数の値は使用できません。
データラベルを表示	各バーの現在の値を表示する場合に選択します。このフィールドは、[積み重ね基準] リストの [なし] を選択した場合や、[積み重ね基準] リストがない場合に利用できます。 • [中央のデータラベル] を選択して、各バーの中央にラベルを表示します。 • [データラベルの重複を許可します] を選択して、表示方法でのラベルのデフォルトの分離を上書きします。
カスタムグラ	レポートの幅と高さをピクセル単位で指定するチェック ボックス。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

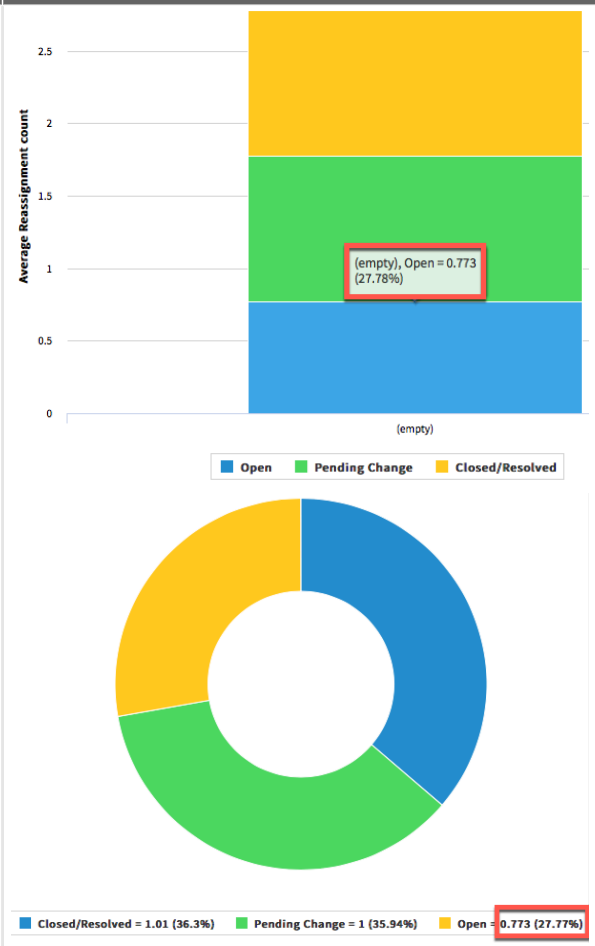
棒グラフ レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
フサイズ	注: レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
チャートの幅	レポートの幅 (ピクセル単位)。デフォルト値は 600 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に利用できます。
チャートの高さ	レポートの高さ (ピクセル単位)。デフォルト値は 450 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に表示されます。
チャートサイズ	チャートのサイズ。このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] がクリアされている場合に利用できます。選択肢は、[小]、[中]、[大] です。 注: レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
ドリルダウン ビュー	ドリルダウン レポート タイプが指定されていないレポートのセグメントをユーザーが選択したときに表示するリスト ビュー。このビューは、ユーザーがレポートの最小ドリルダウン レベルに達したときにも使用されます。詳しくは 、 リストレイアウトの設定 を参照してください。[レポートのドリルダウン] を指定すると、[ドリルダウンビュー] は無視されます。 詳細については、「レポート ドリルダウンの定義」を参照してください。
小数点以下桁数	表示する小数点以下の桁数。ゼロから 4 桁の小数点以下まで表示することができます。デフォルト値：2。デフォルト値を変更するには、システム プロパティ glide.chart.decimal.precision を作成し、値を指定します。 注: パーセンテージ ラベルは、指定された小数点以下桁数に応じて変更されることはありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

棒グラフ レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	
タイトル	
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 • 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

棒グラフ レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
チャートタイトルのカスタム位置	チャート タイトルの位置の X 座標と Y 座標を指定するチェック ボックス。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] オプションがクリアされている場合に使用できます。
タイトルの垂直配置	チャートのタイトルを垂直に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] がクリアされいてる場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの X 位置	チャートのタイトル位置を左右に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを右に移動するには、正の値を入力します。左に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの Y 位置	チャート タイトルの位置を上下に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを上に移動するには、正の値を入力します。下に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
軸	
Y 軸と X 軸	タイトル、外観、ラベルを設定する軸。
タイトル	軸のタイトル。
タイトルのサイズ	軸のタイトルのサイズ (ピクセル単位)。デフォルト値は 12 です。
タイトル太字	太字の書体で軸のタイトルを表示するには、このボックスをチェックします。
反対側	**[X** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートの右側に X 軸のタイトルが表示されます。**[Y** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、X 軸のタイトルが下部ではなく、レポート上部に表示されます。
グリッドを表示	**[X** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートに水平のグリッド線が表示されます。 **[Y** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートの上部に垂直のグリッド線が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

棒グラフ レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
グリッドドット付き	実線ではなく点線のグリッド線を表示するには、このボックスをチェックします。
スケール最小値	レポートの情報量を制限する Y 軸の最小値を指定します。[数] タイプでない集計のフィールドを選択すると、[スケール最小値]、[スケール最大値] の両フィールドは利用できなくなります。 注: • 設定されたHighcharts の設定に応じて、最小値は切り上げまたは切り捨てられる場合があります。この変更に影響する設定が必要な場合は、管理者に問い合わせてください。 • [設定] タブの [値の書式を設定] を使用して期間フィールドを追加で書式設定する場合: ◦ [開始]/[終了]フィールドに入力された値 (スタイル > **Y** 軸 秒単位ですビジュアル化では、Y 軸ラベルが選択した 最小/最大期間単位 (構成 > 値の書式を設定)、From/To (秒) の値の範囲内にあるデータを返します。 ◦ 例: 期間の最小単位と最大単位を [分] に設定した場合、ビジュアル化では Y 軸ラベルが分として表示され、[開始]/[終了] フィールドに設定された対応する秒値の範囲内にあるデータが返されます。
宛先	レポートの情報量を制限する Y 軸の最大値を指定します。[数] タイプでない集計のフィールドを選択すると、[スケール最小値]、[スケール最大値] の両フィールドは利用できなくなります。 注: • 設定されたHighcharts の設定に応じて、最小値は切り上げまたは切り捨てられる場合があります。この変更に影響する設定が必要な場合は、管理者に問い合わせてください。 • [設定] タブの [値の書式を設定] を使用して期間フィールドを追加で書式設定する場合: ◦ [開始]/[終了]フィールドに入力された値 (スタイル > **Y** 軸 秒単位ですビジュアル化では、Y 軸ラベルが選択した 最小/最大期間単位 (構成 > 値の書式を設定)、From/To (秒) の値の範囲内にあるデータを返します。 ◦ 例: 期間の最小単位と最大単位を [分] に設定した場合、ビジュアル化では Y 軸ラベルが分として表示され、[開始]/[終了] フィールドに設定された対応する秒値の範囲内にあるデータが返されます。
X 軸/Y 軸のラベルサイズ	**[X** 軸] タブで、レポートの行のラベルのサイズを指定します。 **[Y** 軸] タブで、レポートの列のラベルのサイズを指定します。
ラベル太字	太字の書体でレポートのラベルを表示するには、このボックスをオンにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

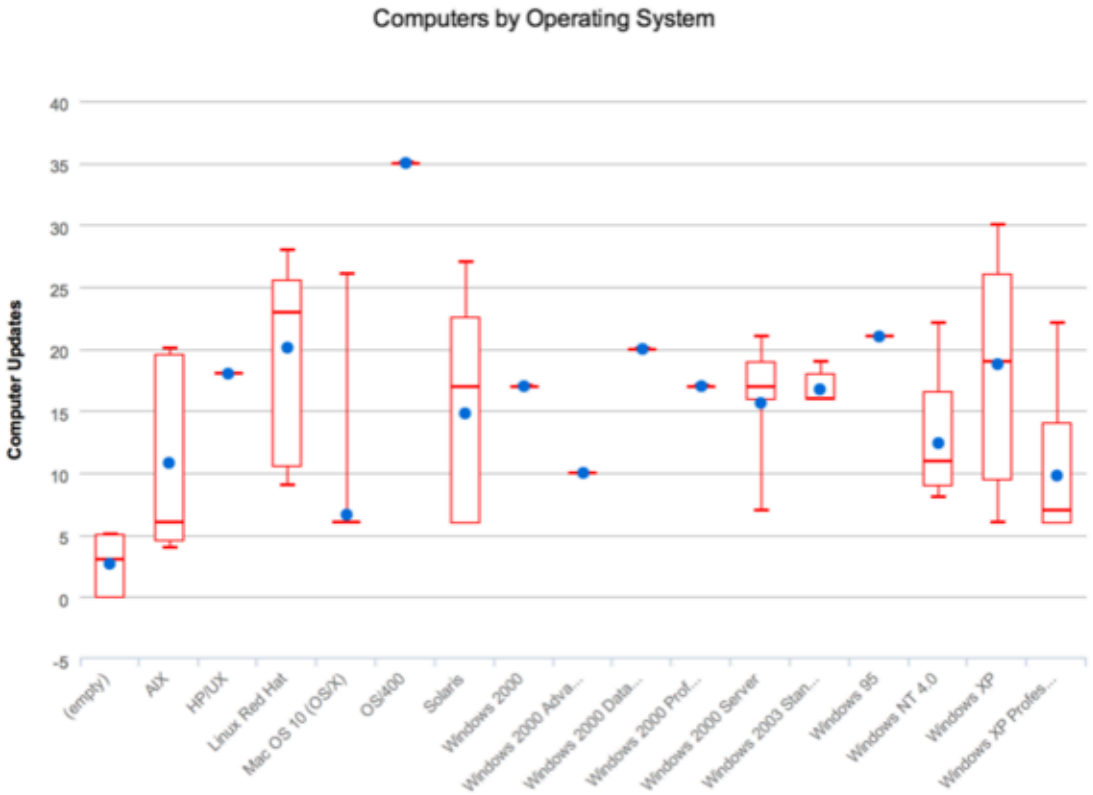
ボックス レポート

ボックス レポートはボックス プロットとも呼ばれ、データの分布 (最大、最小、四分位数、中央値、平均値など) を視覚化します。

ボックス チャートは、互いに関連するさまざまなソースから複数のデータ セットを抽出して表示する場合に使用します。

たとえば、ボックス チャートを使用して、コンベンションに参加したすべての顧客の年齢範囲を表示できます。ボックス チャートにより、最も多い年齢層を分類して特定できます。この結果を利用して、出席数の低い年齢層を広告のターゲットにし、それによって今後のイベントで出席数を増やすことができます。

ボックス チャート

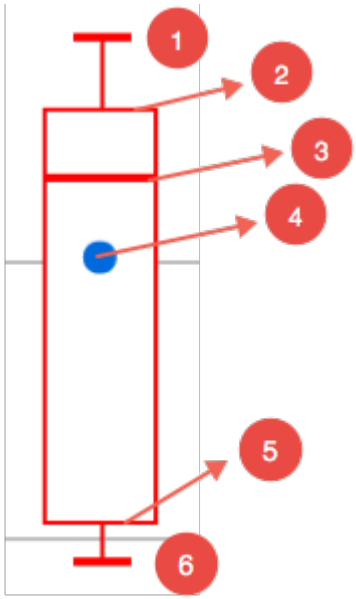


ボックス チャートでは、データ グループごとに次の情報が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ボックス チャートのスケール



1. サンプルの最大値
2. 上位四分位数
3. 中央値
4. 平均
5. 下位四分位数
6. サンプルの最小値

注:
アクセシビリティが有効になっている場合、この表示方法には読者が解釈できるレポートが含まれます。詳細については、「 アクセシビリティ機能の有効化 」を参照してください。

ボックス レポートを作成する

ボックス レポートを作成して、データ セット内の値の分布を表示します。

始める前に
必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

このタスクについて
ボックス レポートを使用すると、データを統計平均別に整理して表示できます。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. レポートに適用可能なソースを選択します。

オプション	説明
データソース	データソースはレポートソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためにフィルターが適用されたテーブルです。詳細

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
	については、「レポートソース」を参照してください。 注: 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、それらのレポートを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、テーブル名の下に簡単な説明が表示されます。 傾向レポートでは、外部ソースから取得したデータをメモリに集約するリモートテーブルを選択することもできます。次に、[傾向] フィールド オプションを選択して、そのデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください
外部インポート	既存のインポートされたレポートソースを選択するか、[アップロード] アイコン () を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからレポートを作成する」を参照してください。
MetricBase	MetricBase を使用すると、新しいプラットフォームでカスタム時系列データを収集、保持、分析、視覚化することができます。詳細については、「 MetricBase」を参照してください。

4. [次へ] を選択します。
5. [タイプ] タブのフィルターに「ボックス」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、 [実行] を選択します。
6. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

[設定] タブ

フィールド	説明
グループ	このフィールドの値を使用するグループのレポートデータ。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明については、情報アイコン () をクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 **注:** ○ レポートは、[タグ] フィールドや MEDIUMTEXT などの特定のフィールドタイプでのグループ化やスタックはできません。 ○ データベースビューに基づくレポートでは、[変数] または [質問] フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。 ○ 20 文字を超えるラベル名は表示時や印刷時に切り捨てられることがあります。
他のグループ化	レポートをグループ化する追加のフィールド。[他のグループ化] フィールドまたは機能フィールドを選択すると、追加のフィールドのいずれか 1 つでレポートをグループ化できるコントロールがレポートの下部に組み込まれます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明については、情報アイコン ()ⓘ をクリックします レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 **注:** ○ メインの [グループごと] リストに表示されない [他のグループ化] リストの選択肢を表示できます。レポートでは、表示される追加フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。メインの [グループごと] の選択肢とは異なり、[他のグループ化] フィールドはフィルタリングされません。サポートされていないフィールドを選択しても、効果はありません。 ○ メインの [グループごと] フィールドにリストされている制限は、[他のグループ化] フィールドにも適用されます。 詳細については、「[グループの追加] または [積み重ね基準]」を参照してください。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「機能フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
測定基準	データの測定値として使用するフィールド。ボックス チャートでは日付と時刻のフィールドはサポートされていません。 選択したフィールドの説明については、情報アイコン (ⓘ) をクリックします。

7. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。
   フィルターアイコン () を選択し、[並べ替えの追加] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [並べ替え順序] ボックスの一覧で、並べ替えるフィールドを選択し、アルファベット順または逆アルファベット順に **[a-z**] または **[z-a**] を選択します。

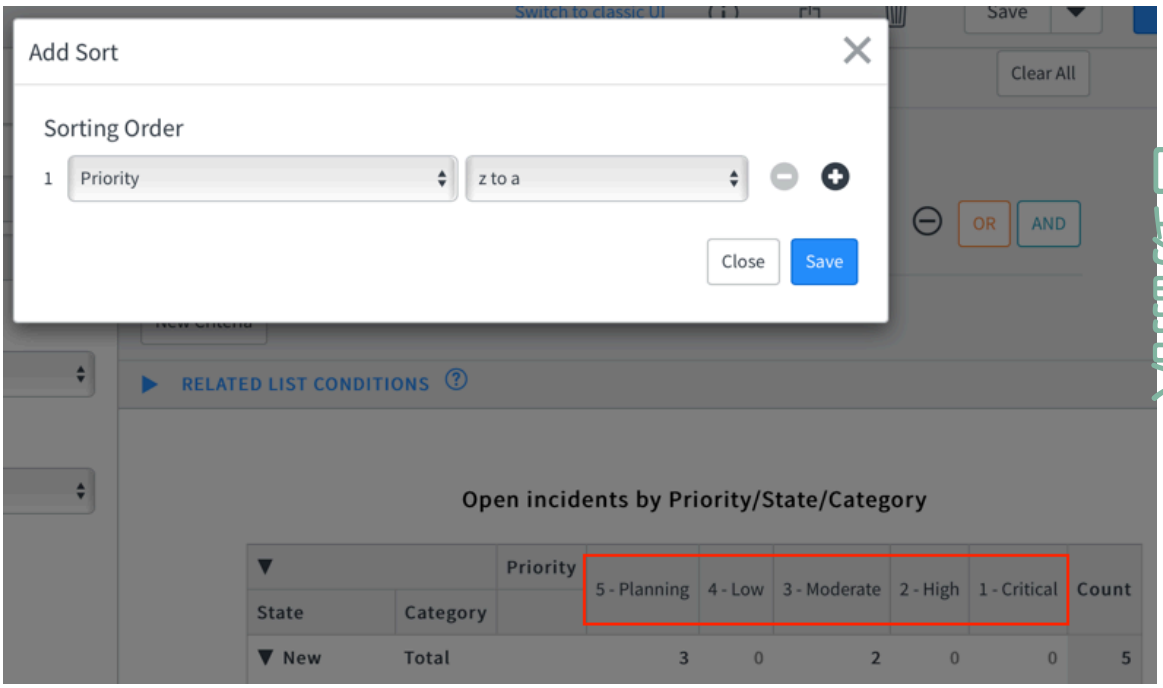
このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張または関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

注:
ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドでのみソートできます。

b. ソートプラスアイコン ()を選択して、追加のソート順序条件を設定します。(ソートマイナスアイコン ( ) を選択すると、構成済みのソート順条件を削除できます)。

c. [保存] を選択します。

[選択リスト] タイプのフィールドの場合、ソート順は [ラベル] に基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択フィールドの [値] に基づいてソートされます。マルチレベル ピボットテーブルおよびヒートマップ レポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。



8. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ()を選択し、レポートデータをフィルターする条件を指定します。
条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

9. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。

10. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク

- レポート情報アイコン () を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン () を選択して [共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。

ボックス レポートのスタイル オプション

ボックス レポートの外観を構成します。

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

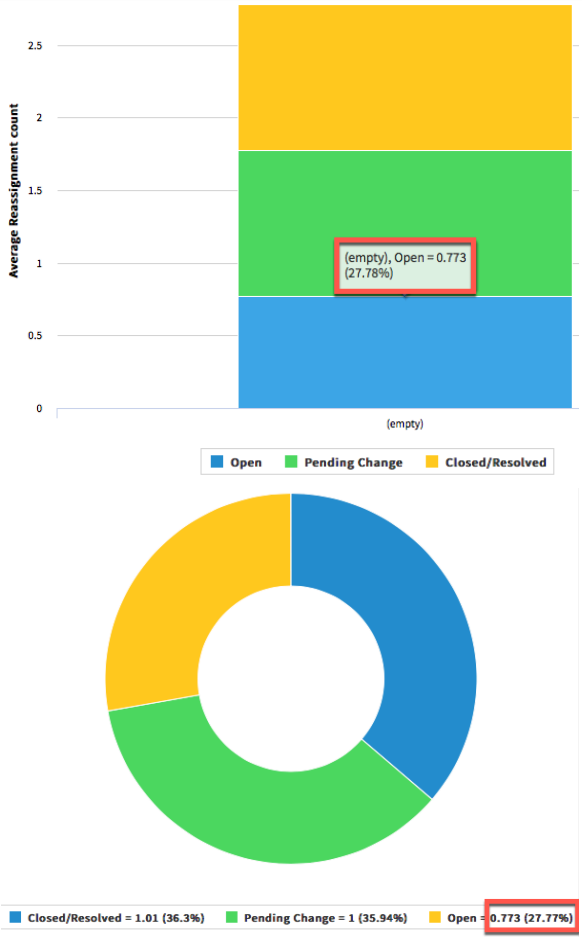
レポートのスタイルオプション

フィールド	説明
全般	
カスタムグラフサイズ	レポートの幅と高さをピクセル単位で指定するチェック ボックス。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
チャートの幅	レポートの幅 (ピクセル単位)。デフォルト値は 600 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に利用できます。
チャートの高さ	レポートの高さ (ピクセル単位)。デフォルト値は 450 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に表示されます。
チャートサイズ	チャートのサイズ。このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] がクリアされている場合に利用できます。選択肢は、[小]、[中]、[大] です。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
小数点以下桁数	表示する小数点以下の桁数。ゼロから 4 桁の小数点以下まで表示することができます。デフォルト値：2。デフォルト値を変更するには、システム プロパティ glide.chart.decimal.precision を作成し、値を指定します。 **注:** パーセンテージ ラベルは、指定された小数点以下桁数に応じて変更されることはありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポートのスタイルオプション (続く)

フィールド	説明
	
タイトル	
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 • 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル	チャート タイトルの位置の X 座標と Y 座標を指定するチェック ボックス。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポートのスタイルオプション (続く)

フィールド	説明
のカスタム位置	
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] オプションがクリアされている場合に使用できます。
タイトルの垂直配置	チャートのタイトルを垂直に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] がクリアされいてる場合にのみ表示されます。
チャートタイトルの X 位置	チャートのタイトル位置を左右に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを右に移動するには、正の値を入力します。左に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
チャートタイトルの Y 位置	チャート タイトルの位置を上下に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを上に移動するには、正の値を入力します。下に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
軸	
Y 軸と X 軸	タイトル、外観、ラベルを設定する軸。
タイトル	軸のタイトル。
タイトルのサイズ	軸のタイトルのサイズ (ピクセル単位)。デフォルト値は 12 です。
タイトル太字	太字の書体で軸のタイトルを表示するには、このボックスをチェックします。
反対側	**[X** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートの右側に X 軸のタイトルが表示されます。**[Y** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、X 軸のタイトルが下部ではなく、レポート上部に表示されます。
グリッドを表示	**[X** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートに水平のグリッド線が表示されます。 **[Y** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートの上部に垂直のグリッド線が表示されます。
グリッドドット付き	実線ではなく点線のグリッド線を表示するには、このボックスをチェックします。
送信元	レポートの情報量を制限する Y 軸の最小値を指定します。[数] タイプでない集計のフィールドを選択すると、[スケール最小値]、[スケール最大値] の両フィールドは利用できなくなります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポートのスタイルオプション (続く)

フィールド	説明
	注: 設定されたHighcharts の設定に応じて、最小値は切り上げまたは切り捨てられる場合があります。この変更に影響する設定が必要な場合は、管理者に問い合わせてください。
宛先	レポートの情報量を制限する Y 軸の最大値を指定します。[数] タイプでない集計のフィールドを選択すると、[スケール最小値]、[スケール最大値] の両フィールドは利用できなくなります。 注: 設定されたHighcharts の設定に応じて、最小値は切り上げまたは切り捨てられる場合があります。この変更に影響する設定が必要な場合は、管理者に問い合わせてください。
X 軸/Y 軸のラベルサイズ	**[X** 軸] タブで、レポートの行のラベルのサイズを指定します。 **[Y** 軸] タブで、レポートの列のラベルのサイズを指定します。
ラベル太字	太字の書体でレポートのラベルを表示するには、このボックスをオンにします。

バブル レポート

バブル レポートは、データ ポイントを x 軸と y 軸にプロットし、3 つ目の集計ディメンションを使用してバブルのサイズを定義します。

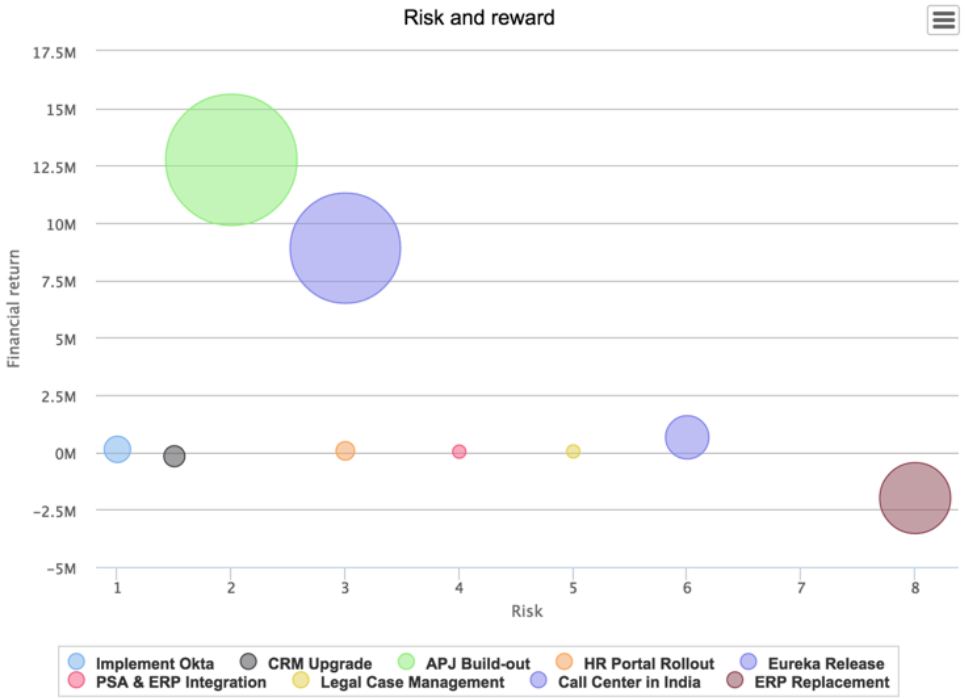
バブル レポートでは、数値を使用して X 軸と Y 軸を定義し、集計値を使用して各バブルの大きさを決定することができます。

注:
アクセシビリティが有効になっている場合、この表示方法には読者が解釈できるレポートが含まれます。詳細については、「 アクセシビリティ機能の有効化 」を参照してください。

たとえば、デマンド管理を使用する場合に、「要求」テーブルにバブル レポートを作成して、さまざまな要求に対するリスクと報酬を比較することができます。バブルはそれぞれ 1 つの要求を表します。それぞれのバブルの位置はリスクと金銭的見返りによって決まり、一方で、バブルの大きさは要求に対する金銭的見返りの合計によって決まります。レポートの左上に大きなバブルがあることから、これを利用して、リスクが小さく見返りが大きい要求をすばやく特定できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



バブル レポートを作成する

バブル レポートを作成して、1 つのチャートに複数の別々の評価指標を表示します。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

このタスクについて

バブルレポートは、X 軸、Y 軸、およびバブルサイズを使用して、3 つの異なる測定基準で情報を集計します。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. レポートに適用可能なソースを選択します。

オプション	説明
データソース	データソースはレポートソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためにフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 **注:** 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、それらのレポートを表示するように求める通知が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、テーブル名の下に簡単な説明が表示されます。 傾向レポートでは、外部ソースから取得したデータをメモリに集約するリモートテーブルを選択することもできます。次に、[傾向] フィールド オプションを選択して、そのデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得 」を参照してください
外部インポート	既存のインポートされたレポートソースを選択するか、[アップロード] アイコン () を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからレポートを作成する」を参照してください。
MetricBase	MetricBase を使用すると、新しいプラットフォームでカスタム時系列データを収集、保持、分析、視覚化することができます。詳細については、「 MetricBase 」を参照してください。

4. [次へ] を選択します。
5. [タイプ] タブのフィルターに「バブル」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、 [実行] を選択します。
6. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

[設定] タブ

フィールド	説明
グループ：	データをグループ化するための基準となるフィールド。値はそれぞれ、チャート上で一意のバブル カラーで表されます。 選択したフィールドの説明については、情報アイコン () をクリックします。 注: レポートは、[タグ] フィールドや MEDIUMTEXT などの特定のフィールドタイプでのグループ化やスタックはできません。
他のグループ化	レポートをグループ化する追加のフィールド。[他のグループ化] フィールドまたは機能フィールドを選択すると、追加のフィールドのいずれか 1 つでレポートをグループ化できるコントロールがレポートの下部に組み込まれます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明については、情報アイコン () をクリックします

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 **注:** ◦ メインの [グループごと] リストに表示されない [他のグループ化] リストの選択肢を表示できます。レポートでは、表示される追加フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。メインの [グループごと] の選択肢とは異なり、[他のグループ化] フィールドはフィルタリングされません。サポートされていないフィールドを選択しても、効果はありません。 ◦ メインの [グループごと] フィールドにリストされている制限は、[他のグループ化] フィールドにも適用されます。 詳細については、「[グループの追加] または [積み重ね基準]」を参照してください。
行	Y 軸として使用する数値フィールド。 選択したフィールドの説明については、情報アイコン (ⓘ) をクリックします。
列	X 軸として使用する数値フィールド。 選択したフィールドの説明については、情報アイコン (ⓘ) をクリックします。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「機能フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
集計	データで実行する数値計算。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数を示します。 一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。 選択した [テーブル] からのフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択します。集計の基準となるフィールドをこのリストから選択します。 レポートをフィールド別にグループ化し、[平均] 集計を選択すると、各グループの平均が取得されます。合計値が表示されている場合は、個々のフィールド値ではなく、これらのグループ平均の平均です。 [最小] または [最大] を選択して、レポートの各セグメントの最大値または最小値を表示します。 集計の詳細については、「レポートの集計」を参照してください。 [平均]、[合計]、[個別のカウント]、[最小]、[最大] を選択した場合は、拡張テーブルのフィールドで集計することもできます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 FX 通貨値の集計については、「レポートの FX 通貨値」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。
   フィルターアイコン () を選択し、[並べ替えの追加] を選択します。

   a. [並べ替え順序] ボックスの一覧で、並べ替えるフィールドを選択し、アルファベット順または逆アルファベット順に **[a-z**] または **[z-a**] を選択します。

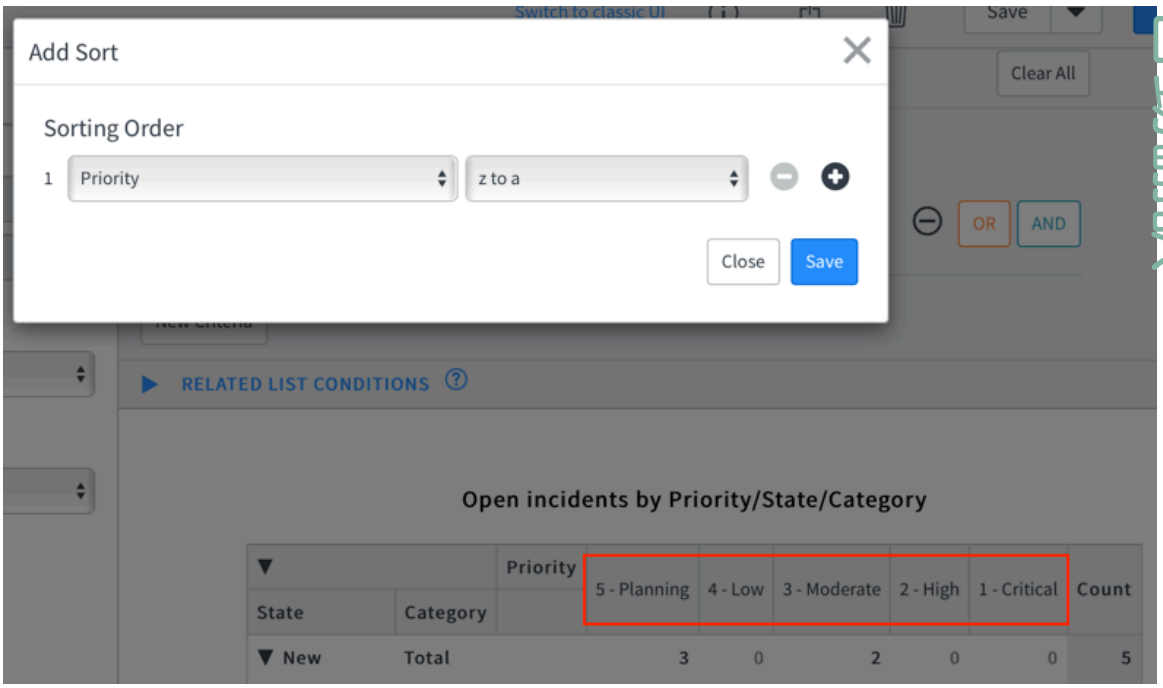
      このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張または関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

      注:
      ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドでのみソートできます。

   b. ソートプラスアイコン () を選択して、追加のソート順序条件を設定します。(ソートマイナスアイコン ( ) を選択すると、構成済みのソート順条件を削除できます)。

   c. [保存] を選択します。

   [選択リスト] タイプのフィールドの場合、ソート順は [ラベル] に基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択フィールドの [値] に基づいてソートされます。マルチレベル ピボットテーブルおよびヒートマップ レポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。



8. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン () を選択し、レポートデータをフィルターする条件を指定します。
   条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。
9. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。
10. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク

- レポート情報アイコン () を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン () を選択して [共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。

バブル レポートのスタイル オプション

バブル レポートの外観を変更します。

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

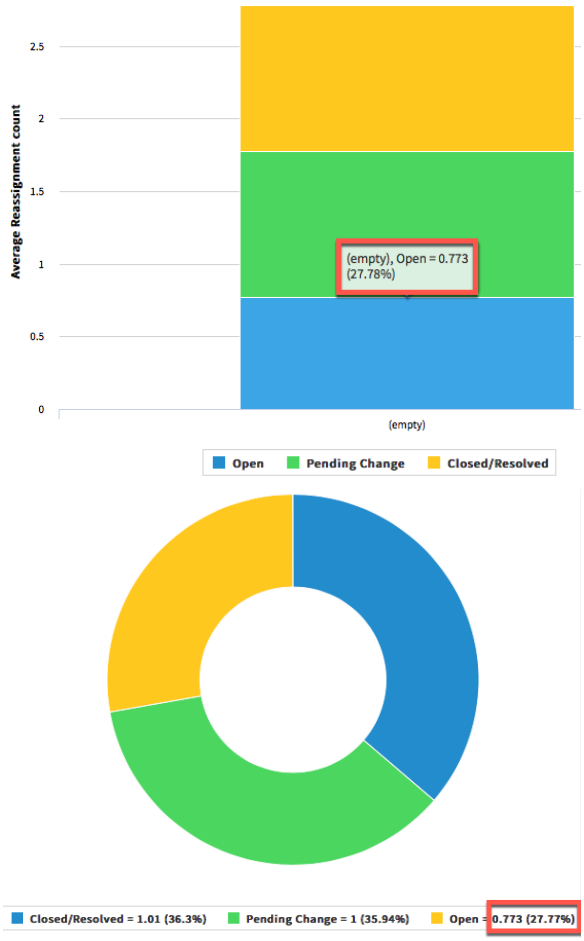
バブル レポートのスタイル オプション

フィールド	説明
全般	
カスタムグラフサイズ	レポートの幅と高さをピクセル単位で指定するチェック ボックス。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
チャートの幅	レポートの幅 (ピクセル単位)。デフォルト値は 600 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に利用できます。
チャートの高さ	レポートの高さ (ピクセル単位)。デフォルト値は 450 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に表示されます。
チャートサイズ	チャートのサイズ。このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] がクリアされている場合に利用できます。選択肢は、[小]、[中]、[大] です。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
ドリルダウン ビュー	ドリルダウン レポート タイプが指定されていないレポートのセグメントをユーザーが選択したときに表示するリスト ビュー。このビューは、ユーザーがレポートの最小ドリルダウン レベルに達したときにも使用されます。詳しくは 、 リストレイアウトの設定 を参照してください。[レポートのドリルダウン] を指定すると、[ドリルダウンビュー] は無視されます。 詳細については、「レポート ドリルダウンの定義」を参照してください。
小数点以下桁数	表示する小数点以下の桁数。ゼロから 4 桁の小数点以下まで表示することができます。デフォルト値：2。デフォルト値を変更するには、システム プロパティ glide.chart.decimal.precision を作成し、値を指定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

バブル レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	注: パーセンテージ ラベルは、指定された小数点以下桁数に応じて変更されることはありません。 
タイトル	
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 • 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

バブル レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのカスタム位置	チャート タイトルの位置の X 座標と Y 座標を指定するチェック ボックス。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] オプションがクリアされている場合に使用できます。
タイトルの垂直配置	チャートのタイトルを垂直に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] がクリアされいてる場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの X 位置	チャートのタイトル位置を左右に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを右に移動するには、正の値を入力します。左に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの Y 位置	チャート タイトルの位置を上下に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを上に移動するには、正の値を入力します。下に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
凡例	
凡例を表示	チャートの凡例を表示するチェック ボックス。このチェックボックスは、[グループ] フィールドがレポート フォームで選択されている場合に表示されます。 凡例はデフォルトでは短縮されます。切り捨ての長さを調整するには、プロパティ *glide.chart.label.legend.truncate_to* と *glide.chart.label.legend.truncate_to.large*を構成します。詳細については、「レポートのプロパティー」を参照してください。
凡例の水平配置	凡例を水平に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例の垂直配置	凡例を垂直に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例境界を表示	凡例を囲む枠線を表示するチェック ボックス。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

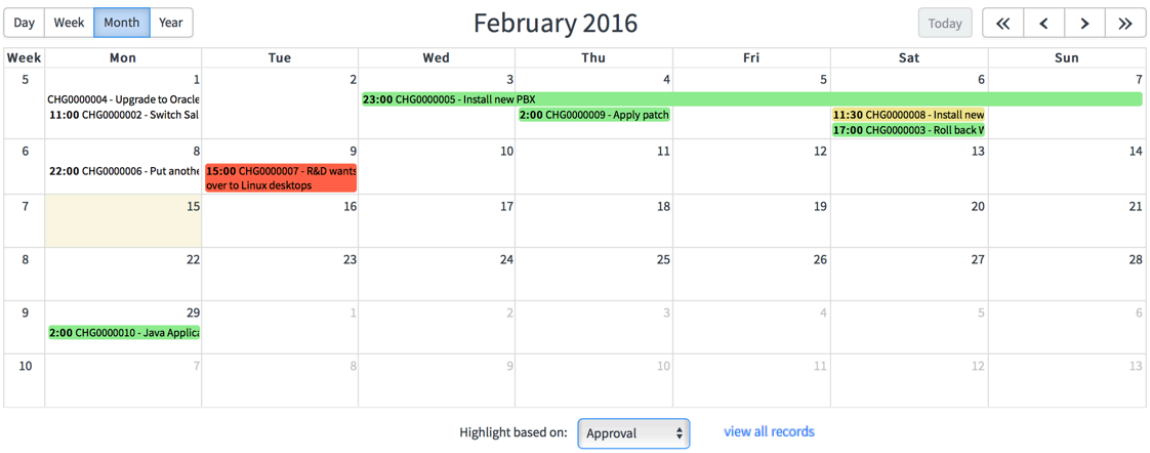
バブル レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
凡例テキストを左揃え	ブラウザでレポートを表示するときに凡例テキストを左揃えにするチェック ボックス。デフォルトでは、凡例テキストが中央揃えになっています。レポートを PDF、PNG、JPG にエクスポートすると、凡例は中央揃えのままとなります。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。

カレンダー レポート

カレンダー レポートは、日付駆動型のイベントをカレンダーに表示します。

カレンダー レポート



カレンダーのイベントは、優先度、ステータス、エスカレーションなどの関連する基準で強調表示できます。終了日のないイベントの期間は 1 時間です。

制限事項

- カレンダーのビジュアル化を後方に参照するときに返されるイベントの数を制限できます。現在のカレンダービューの初日から過去 30 日間という制限があります。カレンダーに表示される最初の日の 30 日以上前に開始されるイベントは表示されません。「 年」を選択した場合、カレンダーには前年の12月1日から今年の12月31日までに開始するイベントが含まれます。

  KB 記事「 週次予定表ビューにすべてのエントリが表示されない 」では、予期される一部のエントリが表示されないシナリオについて説明します。

  表示する日数を増減するには、プロパティを編集します `glide.report.calendar.max_days_back` 。「レポートのプロパティー」を参照してください。

  > **注:**
  > この値が大きすぎるとパフォーマンスが低下することがあります。

- このレポート タイプは、スケジュール設定済みレポートとして実行することはできません。
- 管理者が選択した 1 つの基準 (優先度 など) を継続的にハイライト表示します。「カレンダー条件の永続的な強調表示を設定する」を参照してください。
- 開始日フィールドのカレンダー レポートには、開始日から終了日までのフィールドの範囲が表示されます。終了日フィールドのカレンダー レポートには、終了日のみが表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

カレンダー レポートを作成する

日付駆動型のイベントを表示および強調表示するカレンダー レポートを作成します。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. レポートに適用可能なソースを選択します。

オプション	説明
データソース	データソースはレポートソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためにフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 **注:** 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、それらのレポートを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、テーブル名の下に簡単な説明が表示されます。 傾向レポートでは、外部ソースから取得したデータをメモリに集約するリモートテーブルを選択することもできます。次に、[傾向] フィールド オプションを選択して、そのデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください
外部インポート	既存のインポートされたレポートソースを選択するか、[アップロード] アイコン ()を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからレポートを作成する」を参照してください。
MetricBase	MetricBase を使用すると、新しいプラットフォームでカスタム時系列データを収集、保持、分析、視覚化することができます。詳細については、「 MetricBase」を参照してください。

4. [次へ] を選択します。
5. [タイプ] タブのフィルターに「カレンダー」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、 [実行] を選択します。

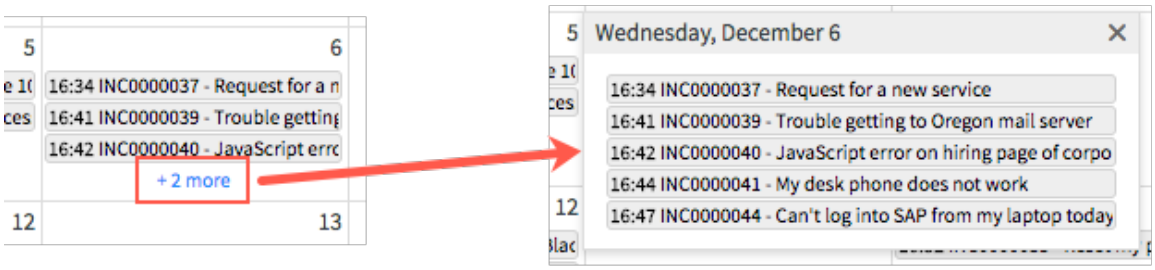
6. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

フィールド	説明
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「機能フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
次を表示するイベント：	カレンダーに表示する日付駆動型のイベント。このリストには、データ ソースまたはソース テーブルにある日付/時刻形式のフィールドが含まれています。情報アイコン () をクリックすると、選択したイベントの説明が表示されます。

7. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン () を選択し、レポートデータをフィルターする条件を指定します。
条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。
8. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

注:
対象の日付で、カレンダー セルに収まるよりも多くのイベントがある場合は、追加のイベントを表示するためのリンクが表示されます。



イベントが 30 件を超える場合、セルには [+ 多数] が表示されます。このリンクをクリックすると、その日付のリスト ビューにすべてのイベントが表示されます。

- レポート情報アイコン () を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン () を選択して [共有] メニューを開きます。このメニューでは、ユーザーやグループとレポートの共有、ダッシュボードにレポートの追加、レポートの Web 公開などが行えます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新しいカレンダー レポートを無効にする

Helsinki 以前にリリースされたバージョンのカレンダーを使用する場合は 、新しいバージョンのカレンダーを無効にします。新しいカレンダーと互換性のないスクリプトがある場合や、以前のカレンダーのスタイル設定を望む場合などに、以前のカレンダーを使用します。最新のカレンダーは、Internet Explorer バージョン 7 および 8 でもサポートされていません。

始める前に
必要なロール：report_admin または admin

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 管理 > プロパティ.
2. *glide.report.new_calendar*システムプロパティを追加し、**false** に設定します。
   追加方法については、「レポートのプロパティー」を参照してください。

   注:

   このシステムプロパティが true に設定されている場合は、クラシック環境でのみサポートされます。レポート デザイナーで [以前の **UI** に切り替える] をクリックします。

縦棒グラフ レポート

縦棒グラフ レポートは、1 つ以上のアイテムの値が時間の経過とともにどのように変化するかを示します。

縦棒グラフの横軸上の値は、時間の測定値 (年、時、分、ミリ秒など) を表します。縦軸の値は、監視対象のアイテムの変化を表します。report_admin ロールを持つユーザーは、縦棒グラフ レポートで使用する範囲を定義できます。レポート範囲の作成については、「レポート範囲」を参照してください。

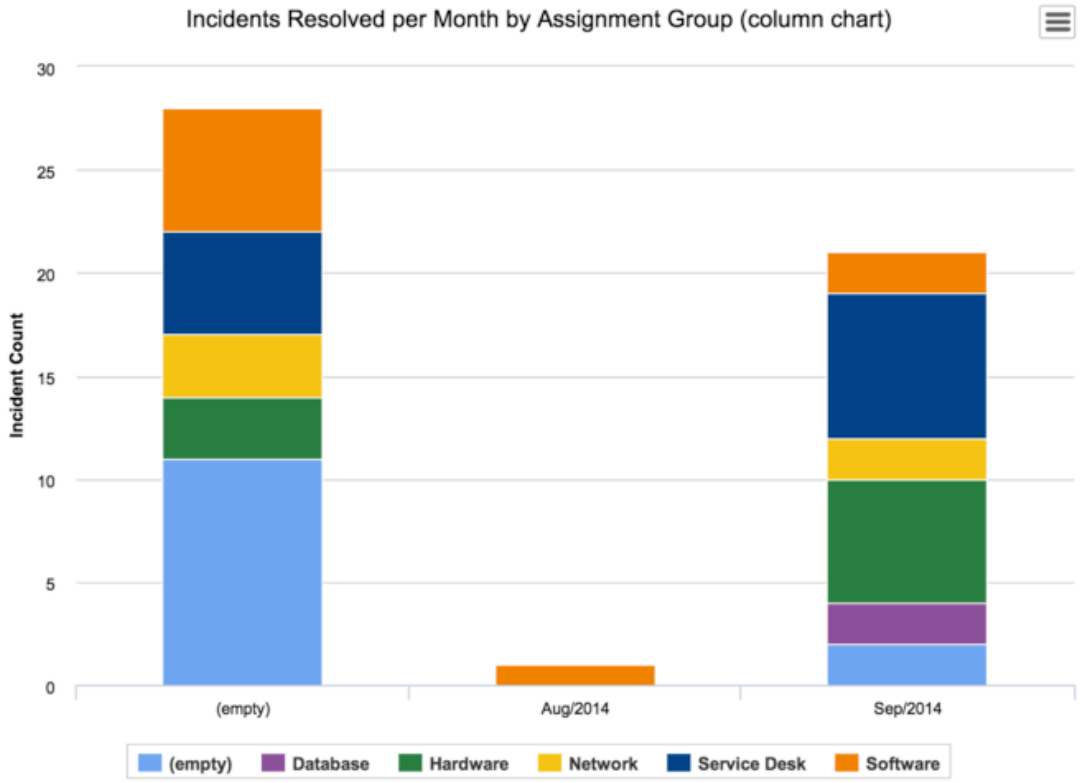
たとえば、インシデント数を表す縦棒グラフを作成して、インシデント数が時間の経過とともにどのように変化するかを表示できます。多くの場合、インシデント数は製品のアップグレードが導入されてから最初の数か月間は増加します。時間が経つにつれてユーザーが製品の変化に慣れてくると、報告されるインシデントの数は減少します。

この図は、カテゴリ別に積み上げられた解決済みのインシデントを示しています。凡例は、色が表しているカテゴリを示しています。

自動翻訳

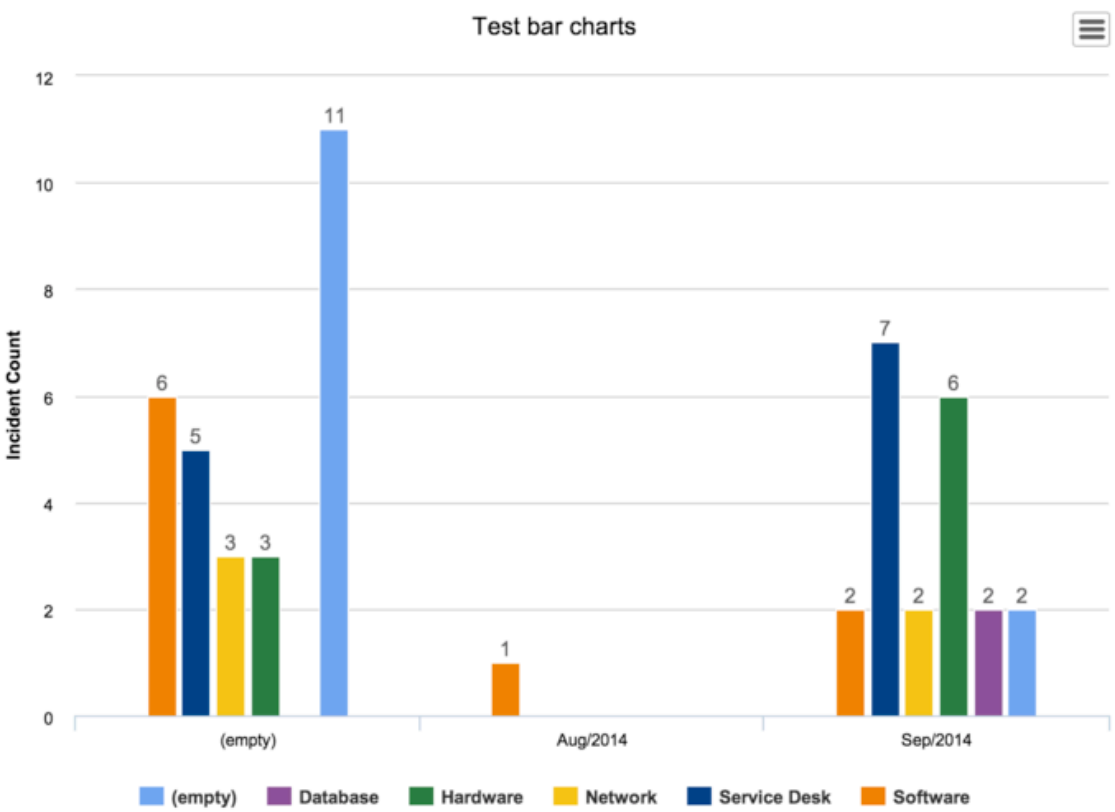
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

積み上げ縦棒グラフ



グループ化された縦棒グラフでは、1 本の棒に色を積み上げるのではなく、カテゴリを個々の棒として表示します。

グループ化された縦棒グラフ



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

縦棒グラフ レポートを作成する

縦棒グラフ レポートを作成し、1 つ以上のデータ要素の値が時間の経過とともにどのように変化するかを表示します。

始める前に
必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. レポートに適用可能なソースを選択します。

オプション	説明
データソース	データソースはレポートソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためにフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 **注:** 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、それらのレポートを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、テーブル名の下に簡単な説明が表示されます。 傾向レポートでは、外部ソースから取得したデータをメモリに集約するリモートテーブルを選択することもできます。次に、[傾向] フィールド オプションを選択して、そのデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください
外部インポート	既存のインポートされたレポートソースを選択するか、[アップロード] アイコン ()を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからレポートを作成する」を参照してください。
MetricBase	MetricBase を使用すると、新しいプラットフォームでカスタム時系列データを収集、保持、分析、視覚化することができます。詳細については、「 MetricBase」を参照してください。

4. [次へ] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. [タイプ] タブのフィルターに「縦棒」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、 [実行] を選択します。

6. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

[設定] タブ

フィールド	説明
グループごと	このフィールドの値を使用するグループのレポートデータ。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明については、情報アイコン (ⓘ) をクリックします。 レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 注: ○ レポートは、[タグ] フィールドや MEDIUMTEXT などの特定のフィールドタイプでのグループ化やスタックはできません。 ○ データベースビューに基づくレポートでは、[変数] または [質問] フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。
他のグループ化	レポートをグループ化する追加のフィールド。[他のグループ化] フィールドまたは機能フィールドを選択すると、追加のフィールドのいずれか 1 つでレポートをグループ化できるコントロールがレポートの下部に組み込まれます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明については、情報アイコン ()ⓘ をクリックします レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 注: ○ メインの [グループごと] リストに表示されない [他のグループ化] リストの選択肢を表示できます。レポートでは、表示される追加フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。メインの [グループごと] の選択肢とは異なり、[他のグループ化] フィールドはフィルタリングされません。サポートされていないフィールドを選択しても、効果はありません。 ○ メインの [グループごと] フィールドにリストされている制限は、[他のグループ化] フィールドにも適用されます。 詳細については、「[グループの追加] または [積み重ね基準]」を参照してください。
棒 (積み上げ)/グループ化された棒	選択したフィールドから得られる個々のアイテムの全体に対する関係を表示する方法。 積み重ねフィールドを 1 本の棒で表示するか棒の集まりとして表示するかを選択できます。 [棒 (積み上げ)/] を選択すると、グラフの各棒の全体に対する寄与部分が示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
	[グループ化された棒] を選択すると、個々の棒の全体に対する寄与部分が示されます。積み上げではなく、[グループ：] フィールド (たとえば、インシデントの状態) に従って、棒が隣り合って表示されます。
データテーブルを表示	レポートの下のリストにレポートデータを表示するには、このオプションを選択します。レポートが追加されたダッシュボードにリストが表示されます。 glide.ui.section508 システムプロパティが **true** に設定されている場合、すべてのレポート可視化にレポートデータが表示されます。glide.ui.section508 プロパティは、[データテーブルを表示] フィールドを上書きします。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「機能フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
トレンドの基準	時間順に値を表示したいテーブル フィールド。選択したフィールドの説明については、情報アイコン (ⓘ) をクリックします。 **注:** [テーブル] フィールドでリモートテーブルを選択した場合、このフィールドで選択したオプションは、外部ソースから取得されてメモリに集計されたデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください
カレンダー	レポートの時系列の基礎となるカレンダー。標準カレンダーまたはカスタマイズされたビジネスカレンダードキュメント のいずれかを選択します。
期間	データをグループ化する期間。利用可能な期間の範囲は、選択したカレンダーによって異なります。期間は、1 時間から 1 年の範囲です。日付を指定することもできます。 **注:** 週ごとのレポートの場合：レポート範囲に複数の暦年が含まれている場合、週が 2 つの年にまたがって分割されると不整合が生じます。ISO 週に従ってデータ値をより正確に表示するには、システムプロパティ [sys_properties] テーブルの **glide.db.aggregates.trend.use_iso_week** プロパティを追加して有効にします。
集計	データで実行する数値計算。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数を示します。 一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。 選択した [テーブル] からのフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択します。集計の基準となるフィールドをこのリストから選択します。 レポートをフィールド別にグループ化し、[平均] 集計を選択すると、各グループの平均が取得されます。合計値が表示されている場合は、個々のフィールド値ではなく、これらのグループ平均の平均です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	[最小] または [最大] を選択して、レポートの各セグメントの最大値または最小値を表示します。 集計の詳細については、「レポートの集計」を参照してください。 [平均]、[合計]、[個別のカウント]、[最小]、[最大] を選択した場合は、拡張テーブルのフィールドで集計することもできます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 FX 通貨値の集計については、「レポートの FX 通貨値」を参照してください。
割合の計算	パーセンテージの計算方法。パーセンテージは、棒グラフのレポートの棒グラフなど、レポート セグメントを指すときに表示されます。このフィールドは、[集計] が [平均]、[合計]、[個別のカウント] に設定されているときに表示されます。 ○ [集約を使用] は、[集計] フィールドの選択を使用してパーセンテージを計算します。パーセンテージの計算には、レポートに表示されるデータのみが使用されます。 たとえば、レポートには [集形] が [合計] に設定された部門別の資産と、集計を使用して計算されたパーセンテージが表示されます。資産の総コストが 100,000 USD、カスタマーサポートの資産コストが 10,000 USD の場合、カスタマーサポートのパーセンテージは 10% となります。 ○ [レコード数を使用] では、データセット内のレコードの総数を使用してパーセンテージを計算します。 たとえば、レポートは優先度別にインシデントを表示します。インシデント 500 件の記録のうち、インシデント 200 件の優先度が低いとします。低優先度セクションのパーセンテージは 40% となります。
値の書式を設定	小数点以下桁数、丸め、最小および最大の期間単位、期間単位の省略形など、レポートでの数値の表示方法を構成できます。「レポートの値の書式設定」を参照してください。 **注:** 小数点以下桁数は通貨フィールドでは機能しません。

7. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。

フィルターアイコン () を選択し、[並べ替えの追加] を選択します。

a. [並べ替え順序] ボックスの一覧で、並べ替えるフィールドを選択し、アルファベット順または逆アルファベット順に **[a-z**] または **[z-a**] を選択します。

このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張または関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

注:
ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドでのみソートできます。

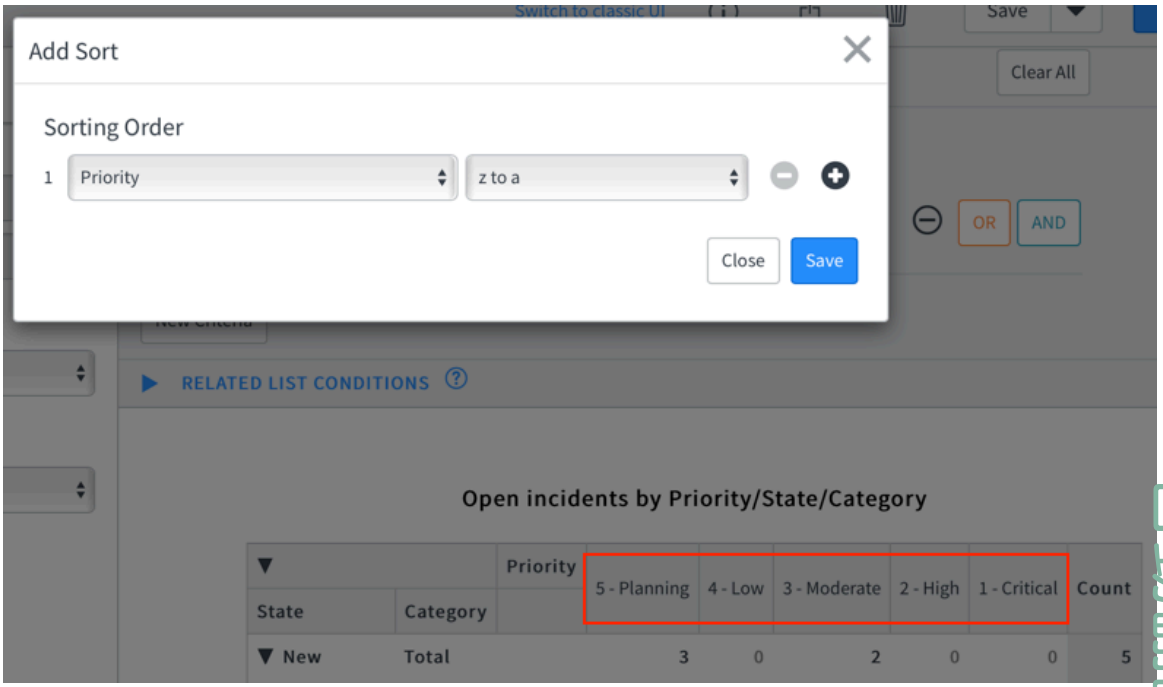
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

b. ソートプラスアイコン ( ) を選択して、追加のソート順序条件を設定します。(ソートマイナスアイコン ( ) を選択すると、構成済みのソート順条件を削除できます)。

c. [保存] を選択します。

[選択リスト] タイプのフィールドの場合、ソート順は [ラベル] に基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択フィールドの [値] に基づいてソートされます。マルチレベル ピボットテーブルおよびヒートマップ レポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。



8. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルターする条件を指定します。
条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。
9. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。
10. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- レポート情報アイコン ( ) を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン ( ) を選択して [共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。

縦棒グラフ レポートのスタイル オプション

縦棒グラフ レポートの外観を変更します。

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

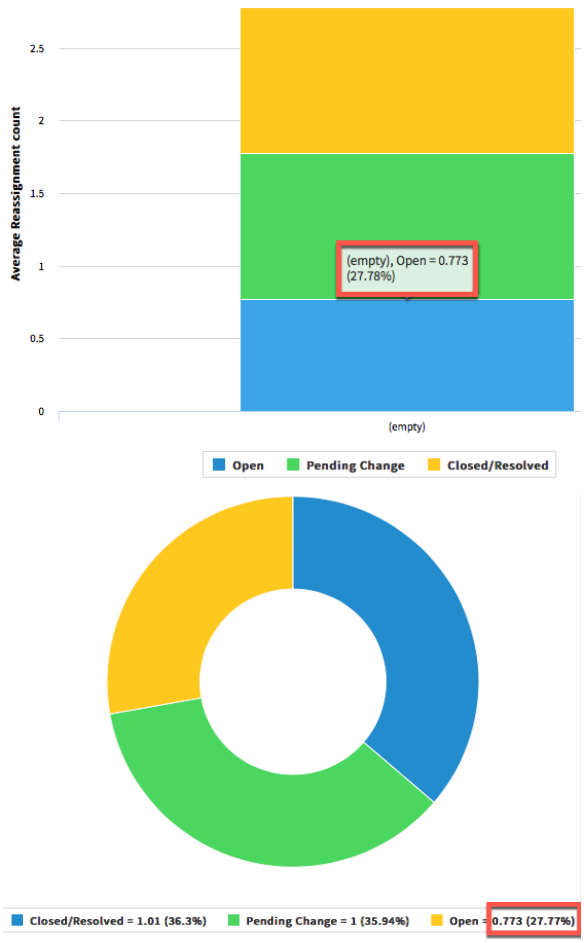
縦棒グラフ レポートのスタイル オプション

フィールド	説明
全般	
チャートの色	レポートで使用される色のソース。 レポートのグループ化または積み重ねを行わない場合は、**[1** つの色を使用] が自動的に選択されます。この場合、事前定義された単一のシステム カラーを選択します。 レポートのグループ化または積み重ねを行う場合は、以下のオプションのいずれかを選択します。 • カラーパレットを使用：事前定義済みのシステムのカラー パレットからカラー パレットを選択します。 • 複数の色を使用:16 進数コードを使用して カスタムの色の セットを定義します。任意の数の色を追加できます。 • チャートの色を使用: で定義されている色を使用します。 レポート > チャートの色. これらのオプションの違いの詳細については、を参照してください レポートの定義済みの色。
パレットを設定	レポートで使用されるカラー パレット。このフィールドは、[チャートの色] リストから [カラーパレットを使用] を選択すると表示されます。パレットは、チャートの配色 [pa_chart_color_scheme] テーブルで定義されます。
色	レポートで使用される色。このフィールドは、[チャートの色] リストから [複数の色を使用] を選択すると表示されます。16 進数のカラーコードのカンマ区切りリストを入力します。これらの色は、カラーパレットやチャートの色で使用される事前定義されたシステムの色とは無関係です。 **注:** 透明度の 16 進数の値は使用できません。
データラベルを表示	このチェック ボックスをオンにすると、各データ ポイントの値が表示されます。
カスタムグラフサイズ	レポートの幅と高さをピクセル単位で指定するチェック ボックス。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
チャートの幅	レポートの幅 (ピクセル単位)。デフォルト値は 600 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に利用できます。
チャートの高さ	レポートの高さ (ピクセル単位)。デフォルト値は 450 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に表示されます。
チャートサイズ	チャートのサイズ。このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] がクリアされている場合に利用できます。選択肢は、[小]、[中]、[大] です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

縦棒グラフ レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	注: レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
ドリルダウン ビュー	ドリルダウン レポート タイプが指定されていないレポートのセグメントをユーザーが選択したときに表示するリスト ビュー。このビューは、ユーザーがレポートの最小ドリルダウン レベルに達したときにも使用されます。詳しくは 、 リストレイアウトの設定 を参照してください。[レポートのドリルダウン] を指定すると、[ドリルダウンビュー] は無視されます。 詳細については、「レポート ドリルダウンの定義」を参照してください。
小数点以下桁数	表示する小数点以下の桁数。ゼロから 4 桁の小数点以下まで表示することができます。デフォルト値：2。デフォルト値を変更するには、システム プロパティ glide.chart.decimal.precision を作成し、値を指定します。 注: パーセンテージ ラベルは、指定された小数点以下桁数に応じて変更されることはありません。 
タイトル	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

縦棒グラフ レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 • 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのカスタム位置	チャート タイトルの位置の X 座標と Y 座標を指定するチェック ボックス。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] オプションがクリアされている場合に使用できます。
タイトルの垂直配置	チャートのタイトルを垂直に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] がクリアされいてる場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの X 位置	チャートのタイトル位置を左右に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを右に移動するには、正の値を入力します。左に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの Y 位置	チャート タイトルの位置を上下に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを上に移動するには、正の値を入力します。下に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
凡例	
凡例を表示	チャートの凡例を表示するチェック ボックス。このチェックボックスは、[グループ] フィールドがレポート フォームで選択されている場合に表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

縦棒グラフ レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	凡例はデフォルトでは短縮されます。切り捨ての長さを調整するには、プロパティ *glide.chart.label.legend.truncate_to* と *glide.chart.label.legend.truncate_to.large*を構成します。詳細については、「レポートのプロパティー」を参照してください。
凡例の水平配置	凡例を水平に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例の垂直配置	凡例を垂直に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例境界を表示	凡例を囲む枠線を表示するチェック ボックス。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例テキストを左揃え	ブラウザでレポートを表示するときに凡例テキストを左揃えにするチェック ボックス。デフォルトでは、凡例テキストが中央揃えになっています。レポートを PDF、PNG、JPG にエクスポートすると、凡例は中央揃えのままとなります。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。
軸	
Y 軸と X 軸	タイトル、外観、ラベルを設定する軸。
タイトル	軸のタイトル。
タイトルのサイズ	軸のタイトルのサイズ (ピクセル単位)。デフォルト値は 12 です。
タイトル太字	太字の書体で軸のタイトルを表示するには、このボックスをチェックします。
反対側	**[X** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートの右側に X 軸のタイトルが表示されます。**[Y** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、X 軸のタイトルが下部ではなく、レポート上部に表示されます。
グリッドを表示	**[X** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートに水平のグリッド線が表示されます。 **[Y** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートの上部に垂直のグリッド線が表示されます。
グリッドドット付き	実線ではなく点線のグリッド線を表示するには、このボックスをチェックします。
スケール最小値	レポートの情報量を制限する Y 軸の最小値を指定します。[数] タイプでない集計のフィールドを選択すると、[スケール最小値]、[スケール最大値] の両フィールドは利用できなくなります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

縦棒グラフ レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	注: • 設定されたHighcharts の設定に応じて、最小値は切り上げまたは切り捨てられる場合があります。この変更に影響する設定が必要な場合は、管理者に問い合わせてください。 • [設定] タブの [値の書式を設定] を使用して期間フィールドを追加で書式設定する場合: ◦ [開始]/[終了]フィールドに入力された値 (スタイル > **Y** 軸 秒単位ですビジュアル化では、Y 軸ラベルが選択した 最小/最大期間単位 (構成 > 値の書式を設定)、From/To (秒) の値の範囲内にあるデータを返します。 ◦ 例: 期間の最小単位と最大単位を [分] に設定した場合、ビジュアル化では Y 軸ラベルが分として表示され、[開始]/[終了] フィールドに設定された対応する秒値の範囲内にあるデータが返されます。
宛先	レポートの情報量を制限する Y 軸の最大値を指定します。[数] タイプでない集計のフィールドを選択すると、[スケール最小値]、[スケール最大値] の両フィールドは利用できなくなります。 注: • 設定されたHighcharts の設定に応じて、最小値は切り上げまたは切り捨てられる場合があります。この変更に影響する設定が必要な場合は、管理者に問い合わせてください。 • [設定] タブの [値の書式を設定] を使用して期間フィールドを追加で書式設定する場合: ◦ [開始]/[終了]フィールドに入力された値 (スタイル > **Y** 軸 秒単位ですビジュアル化では、Y 軸ラベルが選択した 最小/最大期間単位 (構成 > 値の書式を設定)、From/To (秒) の値の範囲内にあるデータを返します。 ◦ 例: 期間の最小単位と最大単位を [分] に設定した場合、ビジュアル化では Y 軸ラベルが分として表示され、[開始]/[終了] フィールドに設定された対応する秒値の範囲内にあるデータが返されます。
X 軸/Y 軸のラベル サイズ	**[X** 軸] タブで、レポートの行のラベルのサイズを指定します。 **[Y** 軸] タブで、レポートの列のラベルのサイズを指定します。
ラベル太字	太字の書体でレポートのラベルを表示するには、このボックスをオンにします。

コントロール レポート

コントロール レポートは、データを経時的に可視化し、標準偏差を使用して統計尤度を示したり外れ値を特定したりします。

コントロール レポートは、データを一連の点のつながりとして表示します。レポートの中央にある青い線は平均値で描かれています。赤い線で表されるコントロールの上限および下限は、活動の可能性が統計的にほとんどないと考えられるしきい値を示しています。プロセスが管理下にある場合は、

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

すべての点がコントロール限界内にプロットされます。これらの限界の範囲外となる活動を調べることもできます。

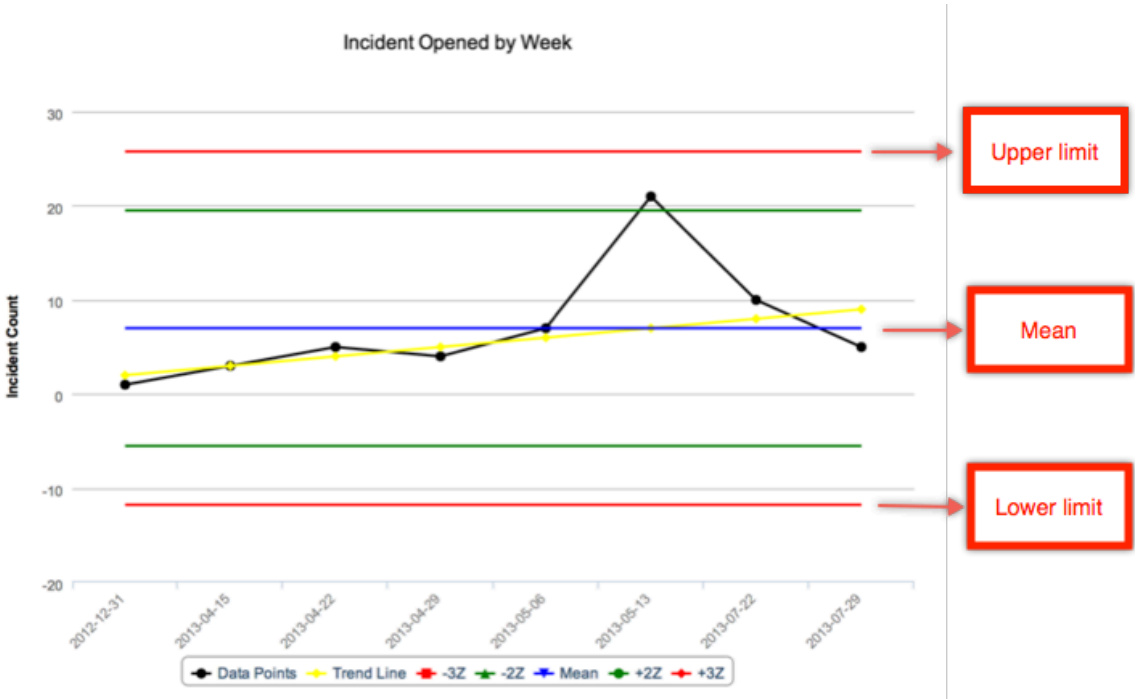
これらのレポートでは、Z スコアを使用して統計尤度を示します。

```
Z-score = (Observation - Mean) / Standard Deviation
```

上下の緑色の線は、Z スコアのプラスマイナスの 2 倍を示します。上下の赤い線は、Zスコアのプラスマイナスの3倍を示しています。

注:
アクセシビリティが有効になっている場合、この表示方法には読者が解釈できるレポートが含まれます。詳細については、「 アクセシビリティ機能の有効化 」を参照してください。

コントロール レポート



注:
平均は、 データポイント 線上のデータポイントの合計をポイント数で割ったものです。これらの値は集計 (カウント、平均、合計、または個別のカウント) に依存します。この平均は、同じデータに基づく他のレポートが異なる集計を使用している場合、他のレポートの平均とは異なる場合があります。たとえば、1 か月あたりの平均インシデント数 (カウント) は、同じインシデントの平均期間とは異なります。

コントロール レポートを作成する

ビジネス プロセスが統計管理の状態にあるかどうかを判断するためのコントロール グラフを作成します。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. レポートに適用可能なソースを選択します。

オプション	説明
データソース	データソースはレポートソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためにフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 **注:** 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、それらのレポートを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、テーブル名の下に簡単な説明が表示されます。 傾向レポートでは、外部ソースから取得したデータをメモリに集約するリモートテーブルを選択することもできます。次に、[傾向] フィールド オプションを選択して、そのデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください
外部インポート	既存のインポートされたレポートソースを選択するか、[アップロード] アイコン ()を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからレポートを作成する」を参照してください。
MetricBase	MetricBase を使用すると、新しいプラットフォームでカスタム時系列データを収集、保持、分析、視覚化することができます。詳細については、「 MetricBase」を参照してください。

4. [次へ] を選択します。
5. [タイプ] タブのフィルターに「コントロール」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、 [実行] を選択します。
6. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[設定] タブ

フィールド	説明
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「機能フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
トレンドの基準	時間順に値を表示したいテーブル フィールド。選択したフィールドの説明については、情報アイコン (ⓘ) をクリックします。 **注:** [テーブル] フィールドでリモートテーブルを選択した場合、このフィールドで選択したオプションは、外部ソースから取得されてメモリに集計されたデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください
期間	データをグループ化する期間。利用可能な期間の範囲は、選択したカレンダーによって異なります。期間は、1 時間から 1 年の範囲です。日付を指定することもできます。 **注:** 週ごとのレポートの場合：レポート範囲に複数の暦年が含まれている場合、週が 2 つの年にまたがって分割されると不整合が生じます。ISO 週に従ってデータ値をより正確に表示するには、システムプロパティ [sys_properties] テーブルの **glide.db.aggregates.trend.use_iso_week** プロパティを追加して有効にします。
集計	データで実行する数値計算。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数を示します。 一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。 選択した [テーブル] からのフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択します。集計の基準となるフィールドをこのリストから選択します。 レポートをフィールド別にグループ化し、[平均] 集計を選択すると、各グループの平均が取得されます。合計値が表示されている場合は、個々のフィールド値ではなく、これらのグループ平均の平均です。 [最小] または [最大] を選択して、レポートの各セグメントの最大値または最小値を表示します。 集計の詳細については、「レポートの集計」を参照してください。 [平均]、[合計]、[個別のカウント]、[最小]、[最大] を選択した場合は、拡張テーブルのフィールドで集計することもできます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 FX 通貨値の集計については、「レポートの FX 通貨値」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
値の書式を設定	小数点以下桁数、丸め、最小および最大の期間単位、期間単位の省略形など、レポートでの数値の表示方法を構成できます。「レポートの値の書式設定」を参照してください。 **注:** 小数点以下桁数は通貨フィールドでは機能しません。

7. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。

   フィルターアイコン () を選択し、[並べ替えの追加] を選択します。

   a. [並べ替え順序] ボックスの一覧で、並べ替えるフィールドを選択し、アルファベット順または逆アルファベット順に **[a-z**] または **[z-a**] を選択します。

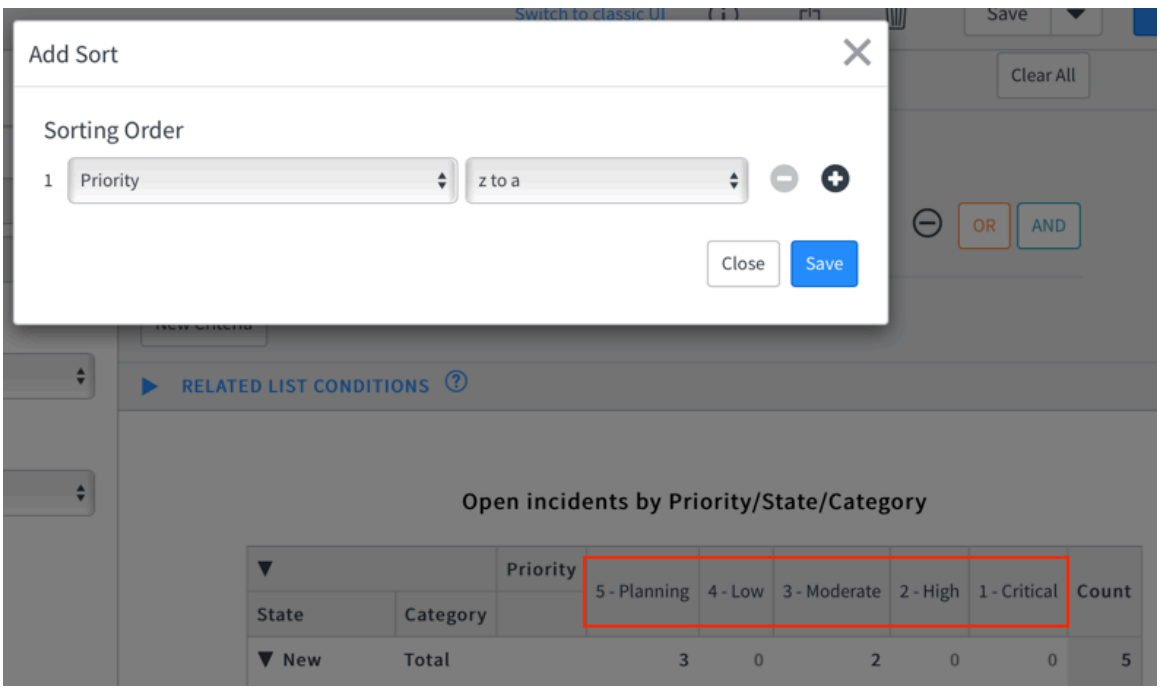
      このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張または関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

      注:
      ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドでのみソートできます。

   b. ソートプラスアイコン () を選択して、追加のソート順序条件を設定します。(ソートマイナスアイコン ( ) を選択すると、構成済みのソート順条件を削除できます)。

   c. [保存] を選択します。

   [選択リスト] タイプのフィールドの場合、ソート順は [ラベル] に基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択フィールドの [値] に基づいてソートされます。マルチレベル ピボットテーブルおよびヒートマップ レポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

8. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン () を選択し、レポートデータをフィルターする条件を指定します。
   条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。
9. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。
10. [保存] をクリックしてレポートを生成します。

次のタスク

- レポート情報アイコン () を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン () を選択して [共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。

コントロール レポートのスタイル オプション

コントロール レポートの外観を変更します。

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

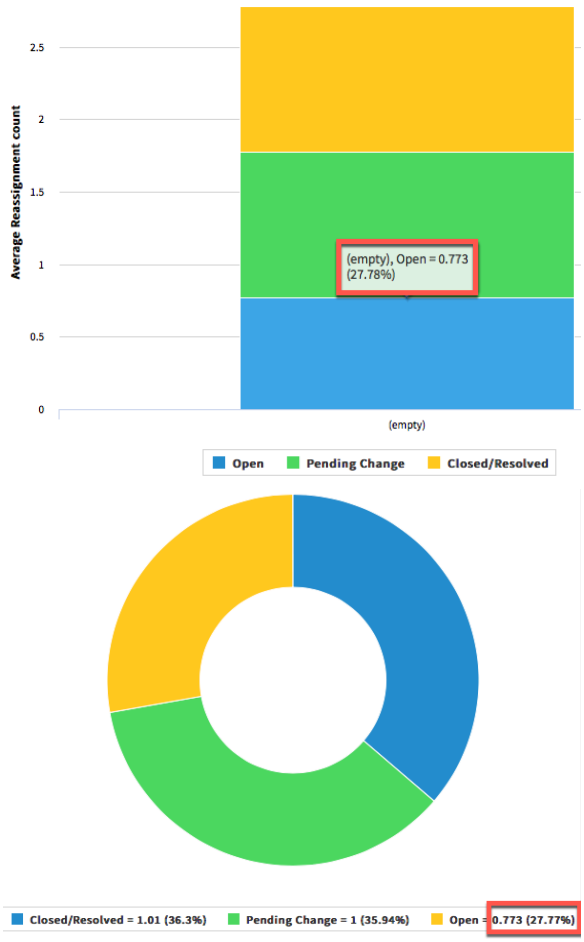
コントロール グラフのスタイル オプション

フィールド	説明
全般	
データラベルを表示	このチェック ボックスをオンにすると、各データ ポイントの値が表示されます。
カスタムグラフサイズ	レポートの幅と高さをピクセル単位で指定するチェック ボックス。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
チャートの幅	レポートの幅 (ピクセル単位)。デフォルト値は 600 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に利用できます。
チャートの高さ	レポートの高さ (ピクセル単位)。デフォルト値は 450 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に表示されます。
チャートサイズ	チャートのサイズ。このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] がクリアされている場合に利用できます。選択肢は、[小]、[中]、[大] です。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コントロール グラフのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
ドリルダウン ビュー	ドリルダウン レポート タイプが指定されていないレポートのセグメントをユーザーが選択したときに表示するリスト ビュー。このビューは、ユーザーがレポートの最小ドリルダウン レベルに達したときにも使用されます。詳しくは 、 リストレイアウトの設定 を参照してください。[レポートのドリルダウン] を指定すると、[ドリルダウンビュー] は無視されます。 詳細については、「レポート ドリルダウンの定義」を参照してください。
小数点以下桁数	表示する小数点以下の桁数。ゼロから 4 桁の小数点以下まで表示することができます。デフォルト値：2。デフォルト値を変更するには、システム プロパティ glide.chart.decimal.precision を作成し、値を指定します。 **注:** パーセンテージ ラベルは、指定された小数点以下桁数に応じて変更されることはありません。 
タイトル	
チャートタイ	レポートのチャート タイトルが表示される期間。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コントロール グラフのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
トルを表示	• 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのカスタム位置	チャート タイトルの位置の X 座標と Y 座標を指定するチェック ボックス。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] オプションがクリアされている場合に使用できます。
タイトルの垂直配置	チャートのタイトルを垂直に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] がクリアされいてる場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの X 位置	チャートのタイトル位置を左右に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを右に移動するには、正の値を入力します。左に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの Y 位置	チャート タイトルの位置を上下に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを上に移動するには、正の値を入力します。下に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
凡例	
凡例を表示	チャートの凡例を表示するチェック ボックス。このチェックボックスは、[グループ] フィールドがレポート フォームで選択されている場合に表示されます。 凡例はデフォルトでは短縮されます。切り捨ての長さを調整するには、プロパティ `glide.chart.label.legend.truncate_to` と

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コントロール グラフのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	*glide.chart.label.legend.truncate_to.large*を構成します。詳細については、「レポートのプロパティー」を参照してください。
凡例の水平配置	凡例を水平に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例の垂直配置	凡例を垂直に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例境界を表示	凡例を囲む枠線を表示するチェック ボックス。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例テキストを左揃え	ブラウザでレポートを表示するときに凡例テキストを左揃えにするチェック ボックス。デフォルトでは、凡例テキストが中央揃えになっています。レポートを PDF、PNG、JPG にエクスポートすると、凡例は中央揃えのままとなります。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。
軸	
Y 軸と X 軸	タイトル、外観、ラベルを設定する軸。
タイトル	軸のタイトル。
タイトルのサイズ	軸のタイトルのサイズ (ピクセル単位)。デフォルト値は 12 です。
タイトル太字	太字の書体で軸のタイトルを表示するには、このボックスをチェックします。
反対側	**[X** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートの右側に X 軸のタイトルが表示されます。**[Y** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、X 軸のタイトルが下部ではなく、レポート上部に表示されます。
グリッドを表示	**[X** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートに水平のグリッド線が表示されます。 **[Y** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートの上部に垂直のグリッド線が表示されます。
グリッドドット付き	実線ではなく点線のグリッド線を表示するには、このボックスをチェックします。
X 軸/Y 軸のラベル サイズ	**[X** 軸] タブで、レポートの行のラベルのサイズを指定します。 **[Y** 軸] タブで、レポートの列のラベルのサイズを指定します。
ラベル太字	太字の書体でレポートのラベルを表示するには、このボックスをオンにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

目盛りレポートとスピードメーター レポート

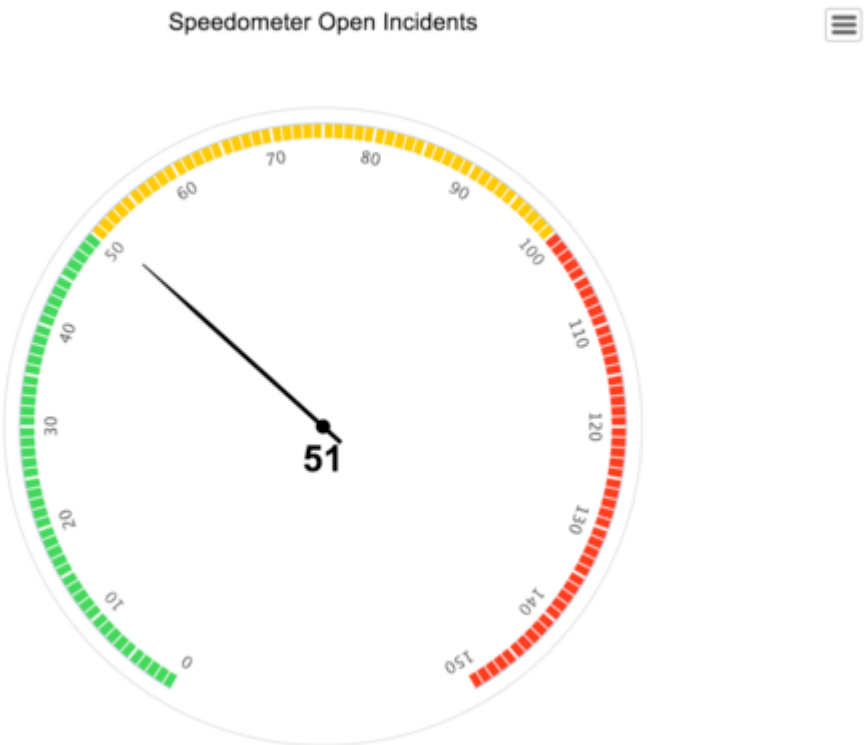
目盛りとスピードメーターでは、インジケーターのカウントがリアルタイムで提供されます。これらのグラフには比較データや履歴データを含めることはできません。値が指定の範囲内にあることをひと目で確認できるように色を構成できます。

レポート作成者は、許容できない値の範囲を示すために赤を使用することがよくあります。月額売上では低い値の方が高い値より悪くなりますが、インシデント解決時間では低い値の方が高い値より良くなります。月次売上の値が小さい場合は赤を構成し、高いインシデント解決値の場合は赤を構成できます。

目盛りとスピードメーターは外観も異なります。

- スピードメーターには、定義された範囲を持つ円形のメーターの形で数字が表示されます。
- 目盛りには、範囲内に収まるスコアが半円の目盛りで表示されます。

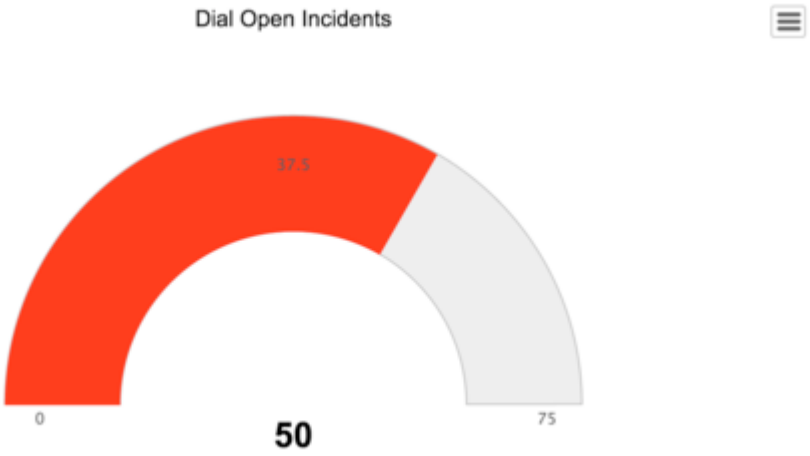
Angular スピードメーター レポート



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソリッド ゲージ レポート



目盛りレポートまたはスピードメーター レポートを作成する

目盛りまたはスピードメーターを作成して、インジケーターのリアルタイムのカウントを値の範囲を示す色で提供します。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin

意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. レポートに適用可能なソースを選択します。

オプション	説明
データソース	データソースはレポートソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためにフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 **注:** 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、それらのレポートを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、テーブル名の下に簡単な説明が表示されます。 傾向レポートでは、外部ソースから取得したデータをメモリに集約するリモートテーブルを選択することもできます。次に、[傾向] フィールド オプションを選択して、そのデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
	「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得 」を参照してください
外部インポート	既存のインポートされたレポートソースを選択するか、[アップロード] アイコン () を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからレポートを作成する」を参照してください。
MetricBase	MetricBase を使用すると、新しいプラットフォームでカスタム時系列データを収集、保持、分析、視覚化することができます。詳細については、「 MetricBase 」を参照してください。

4. [次へ] を選択します。
5. [タイプ] タブのフィルターに「スピードメーター」または「目盛り」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、 [実行] を選択します。
6. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

   [設定] タブ

フィールド	説明
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「機能フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
集計	データで実行する数値計算。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数を示します。 一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。例えば、与えられたロール リストの中で、ロールを 1 つ以上持つユーザーの個別の数に関するレポートが必要だとします。この場合、複数のロールを持つユーザーは、[個別のカウント] を使用しない限り 2 回カウントされてしまいます。 選択した [テーブル] からのフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択します。[集計] の基準となるフィールドをこのリストから選択します。たとえば、[優先度] などの整数フィールドを選択した場合、データは 10 進数の数値で表されます。 [平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択すると、拡張テーブルのフィールドでさらに集計できる場合があります。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: 期間値の場合、集約軸に表示される測定単位をカスタマイズすることはできません。

7. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン () を選択し、レポートデータをフィルターする条件を指定します。
   条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。
8. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。
9. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- レポート情報アイコン () を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン () を選択して [共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。

目盛りレポートとスピードメーター レポートのスタイル オプション

目盛りレポートまたはスピードメーター レポートの外観を変更します。

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

目盛りチャートのスタイル オプション

フィールド	説明
全般	
チャートの色 (目盛りチャートのみ)	目盛りの定義済みのシステム カラー。
色を設定	レポートで使用される色。このフィールドは、[チャートの色] リストから **[1** つの色を使用] を選択すると表示されます。検索アイコン()をクリックして、「 色定義 」リストから選択します。
カスタムグラフサイズ	レポートの幅と高さをピクセル単位で指定するチェック ボックス。 注: レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

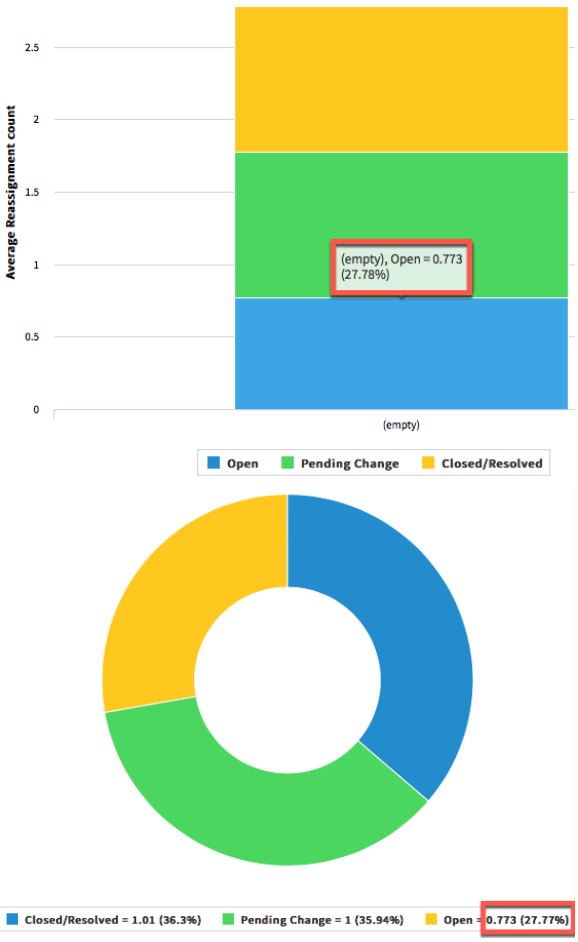
目盛りチャートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
チャートの幅	レポートの幅 (ピクセル単位)。デフォルト値は 600 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に利用できます。
チャートの高さ	レポートの高さ (ピクセル単位)。デフォルト値は 450 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に表示されます。
チャートサイズ	チャートのサイズ。このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] がクリアされている場合に利用できます。選択肢は、[小]、[中]、[大] です。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
方向	小さい方の値が好ましいか大きい方の値が好ましいかを選択します。小さい方の値が好ましい場合は、[最小化] を選択します。大きい方の値が好ましい場合は、[最大化] を選択します。この設定は [下限] および [上限] で有効です。これにより、目盛りまたはスピードメーターの領域の色が決まります。 • 緑色は、数字が許容範囲内にあることを示します。 • オレンジ色は、数字が変更されたが、依然として許容範囲内にあることを示します。 • 赤色は、数字が許容範囲ではないことを示します。
下限	目盛りまたはスピードメーターの色変化の下限側のしきい値。2 色しか使用しない場合は、下限と上限の両方で同じ値を指定します。
上限	目盛りまたはスピードメーターの色変化の上限側のしきい値。2 色しか使用しない場合は、下限と上限の両方で同じ値を指定します。 たとえば、目盛りに含まれる現在のスコアが 50 で、[目盛りオートスケール] を選択します。[下限] を 50 に設定し、[上限] を 100 に設定し、方向を [最小化] とします。目盛りでは、0 ～ 50 の領域が緑色で、50 ～ 100 の領域がオレンジ色で、100 を超える領域が赤色で表示されます。 [下限] を 50 に設定し、[上限] を 100 に設定し、方向を [最大化] とした場合は、色が逆になります。 上限と下限を設定しない場合は、視覚化に色が使用されません。2 つのセクションまたは色しか持たせない場合は、上限と下限を同じ数に設定できます。
目盛りオートスケール	チェック ボックスをオンにすると、選択したデータに基づいて目盛りまたはスピードメーターの開始値と終了値が自動的に生成されます。
開始	目盛りまたはスピードメーターの左側に表示するカスタムの最小値。このフィールドは、[目盛りオートスケール] をクリアした場合に使用できます。
終了	目盛りまたはスピードメーターの左側に表示するカスタムの最大値。このフィールドは、[目盛りオートスケール] をクリアした場合に使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

目盛りチャートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
ドリルダウン ビュー	ドリルダウン レポート タイプが指定されていないレポートのセグメントをユーザーが選択したときに表示するリスト ビュー。このビューは、ユーザーがレポートの最小ドリルダウン レベルに達したときにも使用されます。詳しくは 、 リストレイアウトの設定 を参照してください。[レポートのドリルダウン] を指定すると、[ドリルダウンビュー] は無視されます。 詳細については、「レポート ドリルダウンの定義」を参照してください。
小数点以下桁数	表示する小数点以下の桁数。ゼロから 4 桁の小数点以下まで表示することができます。デフォルト値：2。デフォルト値を変更するには、システム プロパティ glide.chart.decimal.precision を作成し、値を指定します。 **注:** パーセンテージ ラベルは、指定された小数点以下桁数に応じて変更されることはありません。 
タイトル	
チャートタイ	レポートのチャート タイトルが表示される期間。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

目盛りチャートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
トルを表示	• 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのカスタム位置	チャート タイトルの位置の X 座標と Y 座標を指定するチェック ボックス。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャート タイトルの X 位置	チャートのタイトル位置を左右に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを右に移動するには、正の値を入力します。左に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの Y 位置	チャート タイトルの位置を上下に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを上に移動するには、正の値を入力します。下に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] オプションがクリアされている場合に使用できます。
タイトルの垂直配置	チャートのタイトルを垂直に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] がクリアされいてる場合にのみ表示されます。

ドーナツ グラフ レポート

ドーナツおよび半ドーナツ グラフ レポートには、全体を構成する各部分の割合が表示されます。

ドーナツ グラフ レポートは円グラフ レポートに似ていますが、中心に空白があります。ドーナツと半ドーナツの違いは、半ドーナツはドーナツを半分に切った形状であることです。表示される情報

自動翻訳

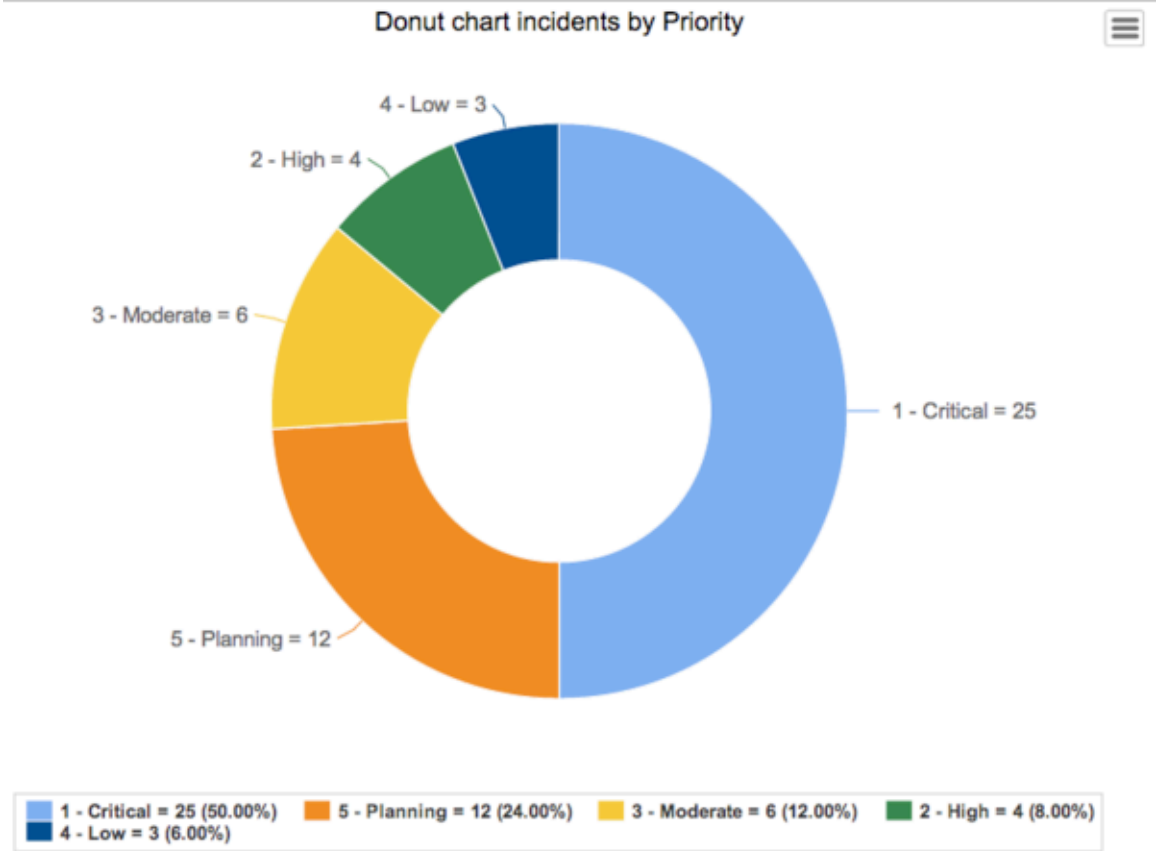
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

は同じです。ドーナツおよび半ドーナツ グラフ レポートをダッシュボードに配置することで、ユーザーは表示された情報をすばやく把握できます。

たとえば、オープンのインシデントを優先度別に表示する場合にドーナツおよび半ドーナツ グラフ レポートを使用します。オープンのインシデントは、いつでもさまざまな優先度を持ちます。ドーナツおよび半ドーナツ グラフ レポートを使用すれば、さまざまな優先度のインシデント カウントが許容範囲内かどうかをすばやく確認できます。

注:
このデータの可視化は、モバイルプラットフォームでサポートされています。詳細については、「Donut reports for mobile」と「Mobile dashboard preview」を参照してください。

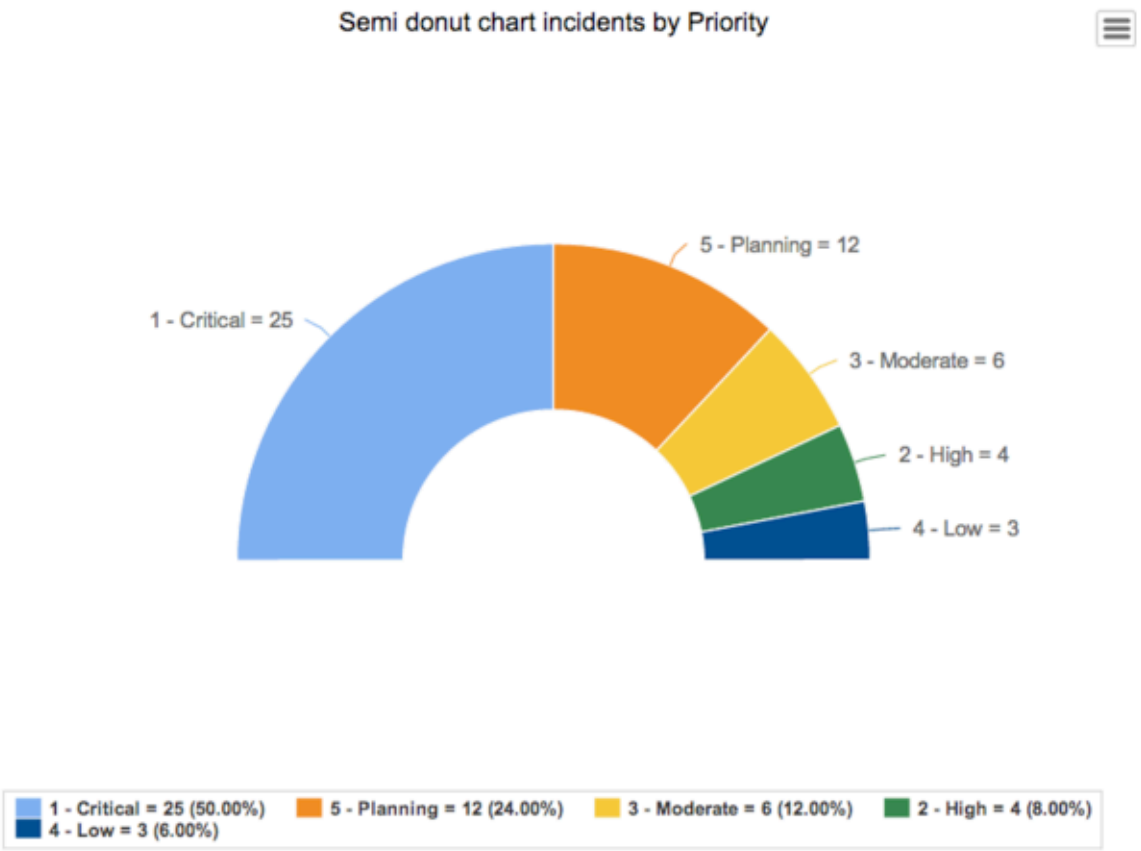
インシデントを優先度別に表示したドーナツ グラフ レポート



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インシデントを優先度別に表示した半ドーナツ グラフ レポート



ドーナツ グラフ レポートを作成する

ドーナツ グラフ レポートを作成して、各部分が全体に占める大きさを比較します。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. レポートに適用可能なソースを選択します。

オプション	説明
データソース	データソースはレポートソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためにフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 **注:** 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、それらのレポートを表示するように求める通知が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、テーブル名の下に簡単な説明が表示されます。 傾向レポートでは、外部ソースから取得したデータをメモリに集約するリモートテーブルを選択することもできます。次に、[傾向] フィールド オプションを選択して、そのデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得 」を参照してください
外部インポート	既存のインポートされたレポートソースを選択するか、[アップロード] アイコン ()  を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからレポートを作成する」を参照してください。
MetricBase	MetricBase を使用すると、新しいプラットフォームでカスタム時系列データを収集、保持、分析、視覚化することができます。詳細については、「 MetricBase 」を参照してください。

4. [次へ] を選択します。
5. [タイプ] タブのフィルターに「ドーナツ」と入力し、[ドーナツ] または [半ドーナツ] を選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、 [実行] を選択します。
6. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

[設定] タブ

フィールド	説明
グループごと	このフィールドの値を使用するグループのレポートデータ。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明については、情報アイコン (ⓘ) をクリックします。 レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: ○ レポートは、[タグ] フィールドや MEDIUMTEXT などの特定のフィールドタイプでのグループ化やスタックはできません。 ○ データベースビューに基づくレポートでは、[変数] または [質問] フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。
他のグループ化	レポートをグループ化する追加のフィールド。[他のグループ化] フィールドまたは機能フィールドを選択すると、追加のフィールドのいずれか 1 つでレポートをグループ化できるコントロールがレポートの下部に組み込まれます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明については、情報アイコン ()ⓘ をクリックします レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 注: ○ メインの [グループごと] リストに表示されない [他のグループ化] リストの選択肢を表示できます。レポートでは、表示される追加フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。メインの [グループごと] の選択肢とは異なり、[他のグループ化] フィールドはフィルタリングされません。サポートされていないフィールドを選択しても、効果はありません。 ○ メインの [グループごと] フィールドにリストされている制限は、[他のグループ化] フィールドにも適用されます。 詳細については、「[グループの追加] または [積み重ね基準]」を参照してください。
データテーブルを表示	レポートの下のリストにレポートデータを表示するには、このオプションを選択します。レポートが追加されたダッシュボードにリストが表示されます。 glide.ui.section508 システムプロパティが **true** に設定されている場合、すべてのレポート可視化にレポートデータが表示されます。glide.ui.section508 プロパティは、[データテーブルを表示] フィールドを上書きします。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「機能フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
集計	データで実行する数値計算。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数を示します。 一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。 選択した [テーブル] からのフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択します。集計の基準となるフィールドをこのリストから選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	レポートをフィールド別にグループ化し、[平均] 集計を選択すると、各グループの平均が取得されます。合計値が表示されている場合は、個々のフィールド値ではなく、これらのグループ平均の平均です。 [最小] または [最大] を選択して、レポートの各セグメントの最大値または最小値を表示します。 集計の詳細については、「レポートの集計」を参照してください。 [平均]、[合計]、[個別のカウント]、[最小]、[最大] を選択した場合は、拡張テーブルのフィールドで集計することもできます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 FX 通貨値の集計については、「レポートの FX 通貨値」を参照してください。
値の書式を設定	小数点以下桁数、丸め、最小および最大の期間単位、期間単位の省略形など、レポートでの数値の表示方法を構成できます。「レポートの値の書式設定」を参照してください。 注: 小数点以下桁数は通貨フィールドでは機能しません。
グループの最大数	[グループ] 条件が返すグループの最大数。最高値を持つグループが最初に表示されます。制限を超えるグループはどれも、[その他] という単一のグループに結合されます。 [すべて表示] を選択すると、最大 50 までのグループが表示されます。残りの結果は [その他] としてグループ化されます。
その他の表示	レポートに [その他] グループを含めるかどうかを指定するチェックボックス。[その他] グループには、[グループの最大数] で指定されている数を超えるすべてのグループのデータが含まれます。

7. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。
   フィルターアイコン () を選択し、[並べ替えの追加] を選択します。
   a. [並べ替え順序] ボックスの一覧で、並べ替えるフィールドを選択し、アルファベット順または逆アルファベット順に **[a-z**] または **[z-a**] を選択します。

      このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張または関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

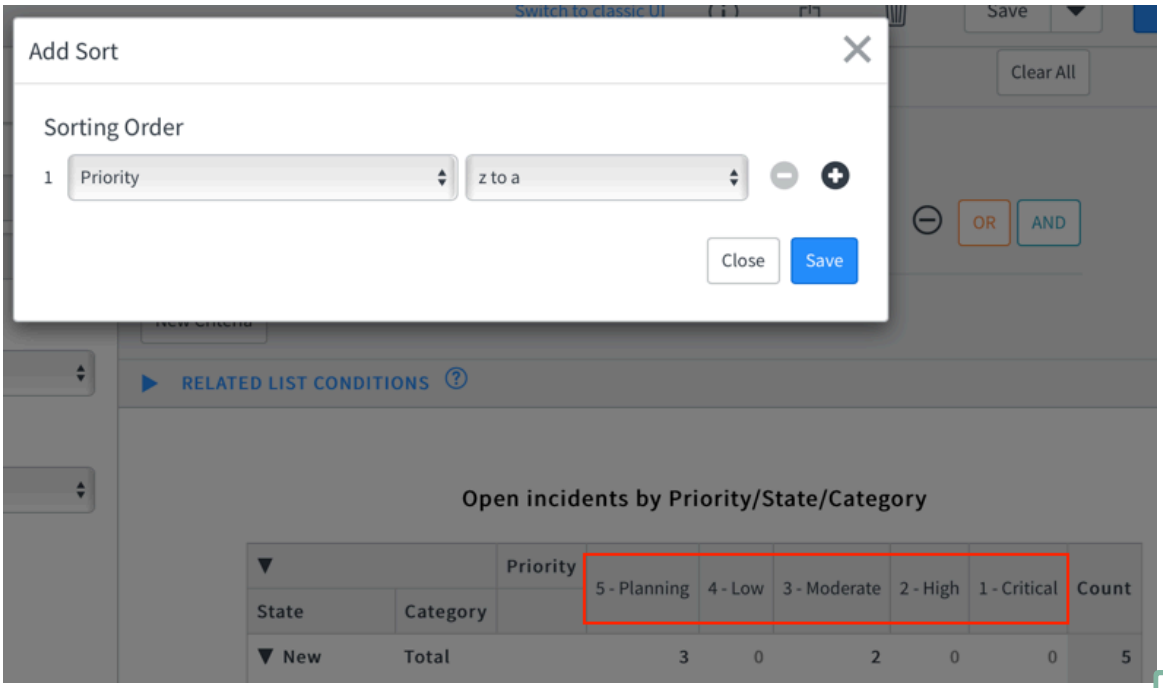
      注:
      ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドでのみソートできます。

   b. ソートプラスアイコン () を選択して、追加のソート順序条件を設定します。(ソートマイナスアイコン ( ) を選択すると、構成済みのソート順条件を削除できます)。
   c. [保存] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[選択リスト] タイプのフィールドの場合、ソート順は [ラベル] に基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択フィールドの [値] に基づいてソートされます。マルチレベル ピボット テーブルおよびヒートマップ レポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。



8. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン () を選択し、レポートデータをフィルターする条件を指定します。
   条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。
9. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。
10. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- レポート情報アイコン () を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン () を選択して [共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。

ドーナツ グラフのスタイル オプション

ドーナツ グラフまたは半ドーナツ グラフの外観を変更します。

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

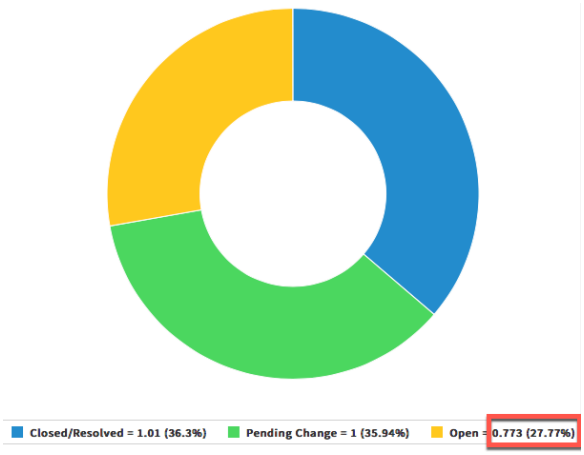
ドーナツ グラフのスタイル オプション

フィールド	説明
全般	
ドーナツの幅	ドーナツまたは半ドーナツの幅の割合。範囲は 1 ～ 100% です。100% は円グラフと同じです。デフォルト値は 50 です。
合計を表示/凡例を非表示	チェック ボックスをオンにすると、ドーナツの中心に集計値の合計が表示されます。また、グラフの凡例が自動的に非表示になります。集計タイプが [平均] で、グループ化の基準となるフィールドを選択した場合、合計は各グループの平均の平均になります。
チャートの色	レポートで使用される色のソース。次のいずれか 1 つを選択します。 • カラーパレットを使用：事前定義済みのシステムのカラー パレットからカラー パレットを選択します。 • 複数の色を使用:16 進数コードを使用して カスタムの色の セットを定義します。任意の数の色を追加できます。 • チャートの色を使用: で定義されている色を使用します。 レポート > チャートの色.
パレットを設定	レポートで使用されるカラー パレット。このフィールドは、[チャートの色] リストから [カラーパレットを使用] を選択すると表示されます。パレットは、チャートの配色 [pa_chart_color_scheme] テーブルで定義されます。
色	レポートで使用される色。このフィールドは、[チャートの色] リストから [複数の色を使用] を選択すると表示されます。16 進数のカラーコードのカンマ区切りリストを入力します。これらの色は、カラーパレットやチャートの色で使用される事前定義されたシステムの色とは無関係です。 **注:** 透明度の 16 進数の値は使用できません。
データラベルを表示	このチェック ボックスをオンにすると、各データ ポイントの値が表示されます。
カスタムグラフサイズ	レポートの幅と高さをピクセル単位で指定するチェック ボックス。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
チャートの幅	レポートの幅 (ピクセル単位)。デフォルト値は 600 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に利用できます。
チャートの高さ	レポートの高さ (ピクセル単位)。デフォルト値は 450 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に表示されます。
チャートサイズ	チャートのサイズ。このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] がクリアされている場合に利用できます。選択肢は、[小]、[中]、[大] です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ドーナツ グラフのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	注: レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
ドリルダウン ビュー	ドリルダウン レポート タイプが指定されていないレポートのセグメントをユーザーが選択したときに表示するリスト ビュー。このビューは、ユーザーがレポートの最小ドリルダウン レベルに達したときにも使用されます。詳しくは 、 リストレイアウトの設定 を参照してください。[レポートのドリルダウン] を指定すると、[ドリルダウンビュー] は無視されます。 詳細については、「レポート ドリルダウンの定義」を参照してください。
小数点以下桁数	表示する小数点以下の桁数。ゼロから 4 桁の小数点以下まで表示することができます。デフォルト値：2。デフォルト値を変更するには、システム プロパティ glide.chart.decimal.precision を作成し、値を指定します。このオプションは、平均集計で使用できます。 **注:** パーセンテージ ラベルは、指定された小数点以下桁数に応じて変更されることはありません。 
タイトル	
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 • 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ドーナツ グラフのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
トルのサイズ	
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのカスタム位置	チャート タイトルの位置の X 座標と Y 座標を指定するチェック ボックス。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャート タイトルの X 位置	チャートのタイトル位置を左右に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを右に移動するには、正の値を入力します。左に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの Y 位置	チャート タイトルの位置を上下に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを上に移動するには、正の値を入力します。下に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] オプションがクリアされている場合に使用できます。
タイトルの垂直配置	チャートのタイトルを垂直に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] がクリアされいてる場合にのみ表示されます。
凡例	
凡例を表示	チャートの凡例を表示するチェック ボックス。このチェックボックスは、[グループ] フィールドがレポート フォームで選択されている場合に表示されます。 凡例はデフォルトでは短縮されます。切り捨ての長さを調整するには、プロパティ *glide.chart.label.legend.truncate_to* と *glide.chart.label.legend.truncate_to.large*を構成します。詳細については、「レポートのプロパティー」を参照してください。
凡例の水平配置	凡例を水平に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例の垂直配置	凡例を垂直に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ドーナツ グラフのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
凡例境界を表示	凡例を囲む枠線を表示するチェック ボックス。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例テキストを左揃え	ブラウザでレポートを表示するときに凡例テキストを左揃えにするチェック ボックス。デフォルトでは、凡例テキストが中央揃えになっています。レポートを PDF、PNG、JPG にエクスポートすると、凡例は中央揃えのままとなります。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。

じょうごおよびピラミッド グラフ レポート

じょうごおよびピラミッド グラフ レポートは、データの分布を視覚化します。スライスまたはセクションのサイズは、すべての値の合計に占める割合を表します。

じょうごグラフ レポートは、セールス プロセスの各段階 (潜在顧客から取引成立まで) を表す場合や、プロセス内の潜在的な問題領域を特定する場合によく使用されます。じょうごグラフにネックを適用すると、合計値に占める割合が一定以下の値がすべてバーとして表されます。このバーは、それらの違いの重要度が同等であることを示します。

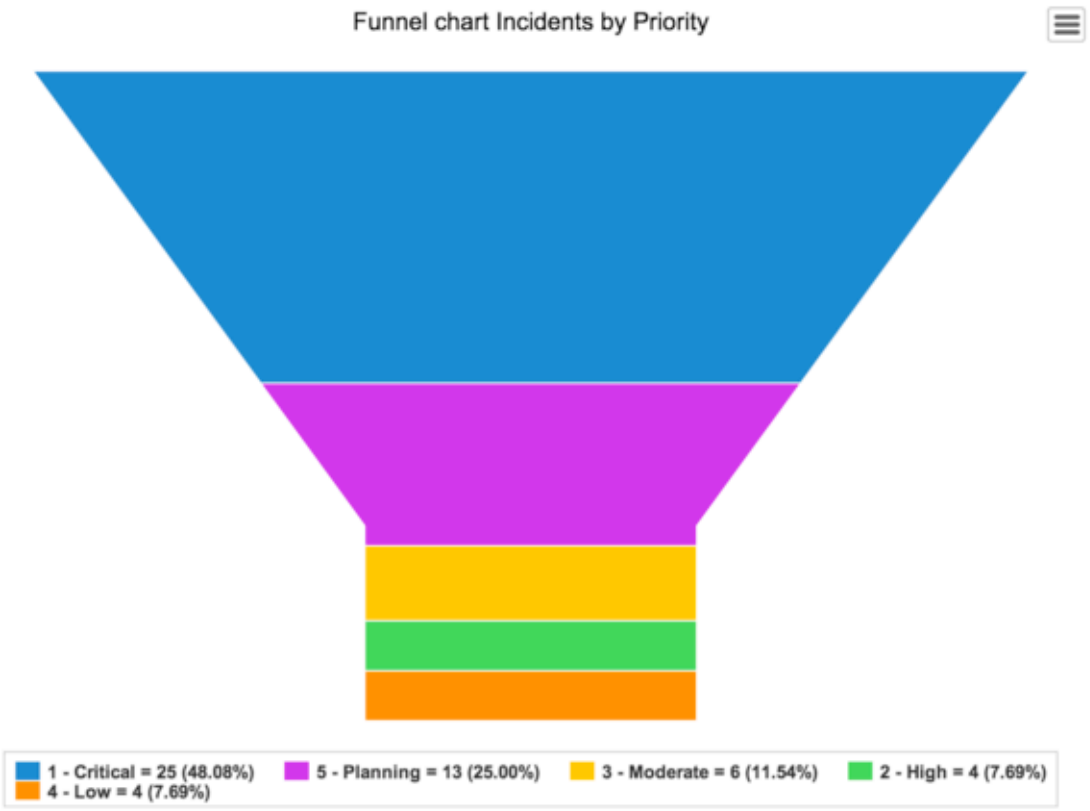
じょうごグラフ レポートは、割合が減少することでスライスが上から下に積み重なります。ピラミッド グラフは、割合が増加することでスライスが積み重なります。ピラミッド グラフ レポートは、組織の階層レベルを表現する場合によく使用されます。じょうごおよびピラミッド グラフ レポートをダッシュボードに配置することで、ユーザーは表示された情報をすばやく解釈できます。

たとえば、オープンのインシデントを優先度別に表示する場合にじょうごおよびピラミッド グラフ レポートを使用します。オープンのインシデントは、いつでもさまざまな優先度を持ちます。たとえば組織が、P1 というインシデントがすべてのオープン インシデントの 40% を超えることは許されない、というポリシーを設けているとします。じょうごやピラミッド グラフによって、インシデント カウントが許容範囲内かどうかが示されます。

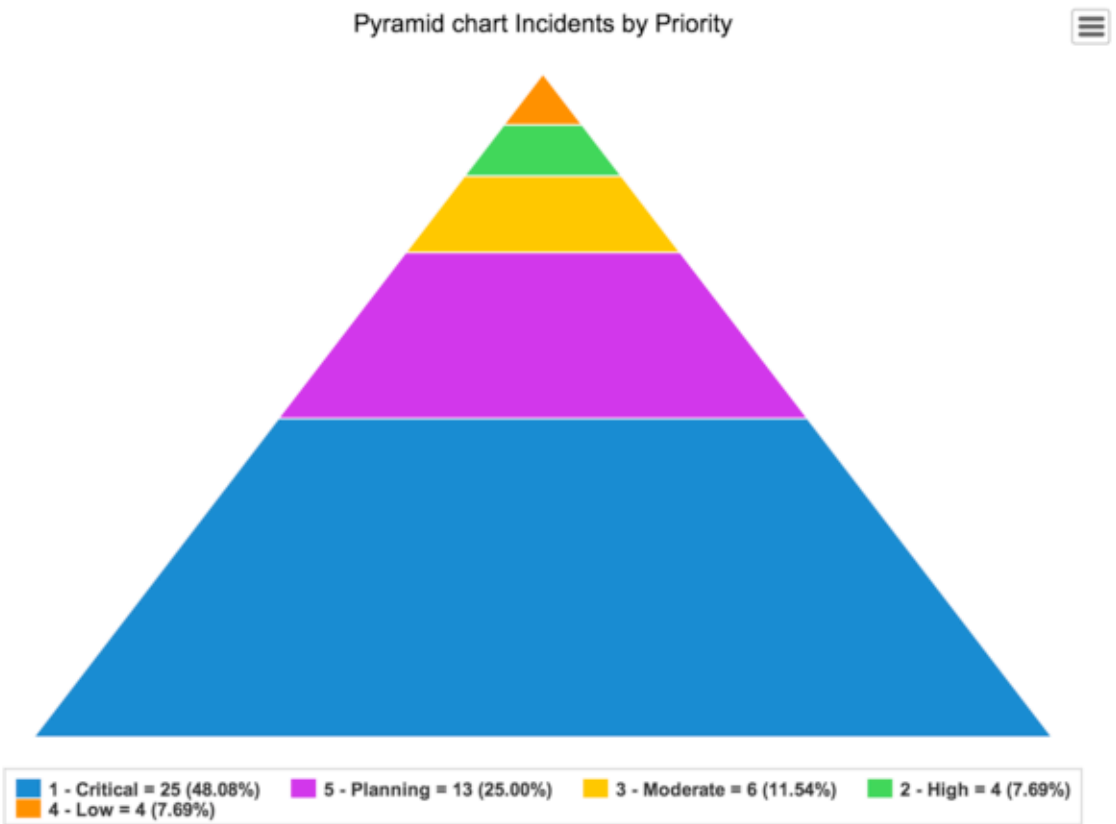
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インシデントを優先度別に表示したじょうごグラフ レポート



インシデントを優先度別に表示したピラミッド グラフ レポート



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

じょうごおよびピラミッド グラフ レポートを作成する

各スライスのサイズが全体に対する割合を表すじょうごグラフ レポートを作成し、プロセス内のデータの分布を示します。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin

意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. レポートに適用可能なソースを選択します。

オプション	説明
データソース	データソースはレポートソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためにフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 **注:** 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、それらのレポートを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、テーブル名の下に簡単な説明が表示されます。 傾向レポートでは、外部ソースから取得したデータをメモリに集約するリモートテーブルを選択することもできます。次に、[傾向] フィールド オプションを選択して、そのデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください
外部インポート	既存のインポートされたレポートソースを選択するか、[アップロード] アイコン ()を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからレポートを作成する」を参照してください。
MetricBase	MetricBase を使用すると、新しいプラットフォームでカスタム時系列データを収集、保持、分析、視覚化することができます。詳細については、「 MetricBase」を参照してください。

4. [次へ] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. [タイプ] タブのフィルターに「ピラミッド」または「じょうご」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、 [実行] を選択します。

6. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

   じょうごグラフ

フィールド	説明
グループ	このフィールドの値を使用するグループのレポートデータ。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明については、情報アイコン (ⓘ) をクリックします。 レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 注: ◦ レポートは、[タグ] フィールドや MEDIUMTEXT などの特定のフィールドタイプでのグループ化やスタックはできません。 ◦ データベースビューに基づくレポートでは、[変数] または [質問] フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。 ◦ 20 文字を超えるラベル名は表示時や印刷時に切り捨てられることがあります。
他のグループ化	レポートをグループ化する追加のフィールド。[他のグループ化] フィールドまたは機能フィールドを選択すると、追加のフィールドのいずれか 1 つでレポートをグループ化できるコントロールがレポートの下部に組み込まれます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明については、情報アイコン ()ⓘ をクリックします レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 注: ◦ メインの [グループごと] リストに表示されない [他のグループ化] リストの選択肢を表示できます。レポートでは、表示される追加フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。メインの [グループごと] の選択肢とは異なり、[他のグループ化] フィールドはフィルタリングされません。サポートされていないフィールドを選択しても、効果はありません。 ◦ メインの [グループごと] フィールドにリストされている制限は、[他のグループ化] フィールドにも適用されます。 詳細については、「[グループの追加] または [積み重ね基準]」を参照してください。
データテーブル	レポートの下のリストにレポートデータを表示するには、このオプションを選択します。レポートが追加されたダッシュボードにリストが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
を表示	glide.ui.section508 システムプロパティが **true** に設定されている場合、すべてのレポート可視化にレポートデータが表示されます。glide.ui.section508 プロパティは、[データテーブルを表示] フィールドを上書きします。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「機能フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
集計	データで実行する数値計算。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数を示します。 一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。 選択した [テーブル] からのフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択します。集計の基準となるフィールドをこのリストから選択します。 レポートをフィールド別にグループ化し、[平均] 集計を選択すると、各グループの平均が取得されます。合計値が表示されている場合は、個々のフィールド値ではなく、これらのグループ平均の平均です。 [最小] または [最大] を選択して、レポートの各セグメントの最大値または最小値を表示します。 集計の詳細については、「レポートの集計」を参照してください。 [平均]、[合計]、[個別のカウント]、[最小]、[最大] を選択した場合は、拡張テーブルのフィールドで集計することもできます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 FX 通貨値の集計については、「レポートの FX 通貨値」を参照してください。
値の書式を設定	小数点以下桁数、丸め、最小および最大の期間単位、期間単位の省略形など、レポートでの数値の表示方法を構成できます。「レポートの値の書式設定」を参照してください。 **注:** 小数点以下桁数は通貨フィールドでは機能しません。
グループの最大数	[グループ] 条件が返すグループの最大数。最高値を持つグループが最初に表示されます。制限を超えるグループはどれも、[その他] という単一のグループに結合されます。 [すべて表示] を選択すると、最大 50 までのグループが表示されます。残りの結果は [その他] としてグループ化されます。
その他の表示	レポートに [その他] グループを含めるかどうかを指定するチェックボックス。[その他] グループには、[グループの最大数] で指定されている数を超えるすべてのグループのデータが含まれます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。
   フィルターアイコン () を選択し、[並べ替えの追加] を選択します。

   a. [並べ替え順序] ボックスの一覧で、並べ替えるフィールドを選択し、アルファベット順または逆アルファベット順に **[a-z**] または **[z-a**] を選択します。

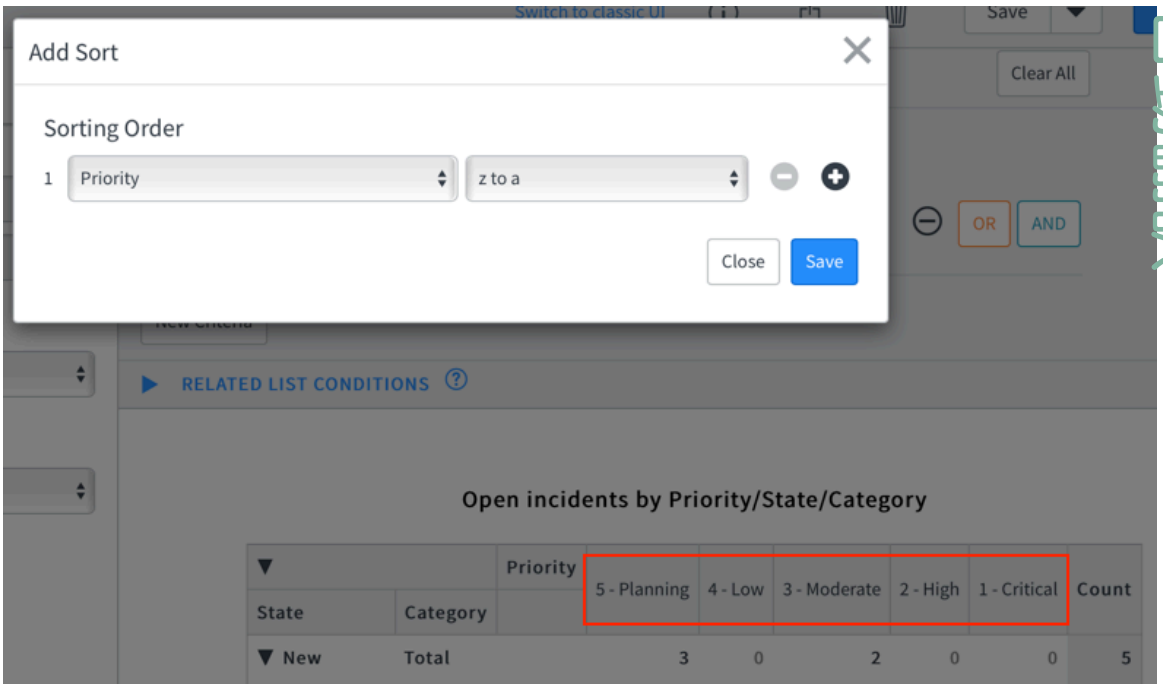
      このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張または関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

      注:
      ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドでのみソートできます。

   b. ソートプラスアイコン () を選択して、追加のソート順序条件を設定します。(ソートマイナスアイコン ( ) を選択すると、構成済みのソート順条件を削除できます)。

   c. [保存] を選択します。

   [選択リスト] タイプのフィールドの場合、ソート順は [ラベル] に基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択フィールドの [値] に基づいてソートされます。マルチレベル ピボットテーブルおよびヒートマップ レポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。



8. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン () を選択し、レポートデータをフィルターする条件を指定します。
   条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。
9. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。
10. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク

- レポート情報アイコン () を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン () を選択して [共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。

じょうごおよびピラミッド グラフ レポートのスタイルオプション

じょうごおよびピラミッド グラフ レポートの外観を変更します。

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

じょうごおよびピラミッド グラフのスタイルオプション

フィールド	説明
全般	
じょうごネックのサイズ	じょうごグラフの幅の割合を 1 ～ 100% の範囲で入力します。1% は、じょうごネックの上に表示できる最低値です。1% 未満の値は、設定された幅のバーとしてネックの下に積み重ねられます。 100% は棒グラフと同じです。デフォルト値は 30 です。
チャートの色	次のオプションのいずれかを選択します。 • カラーパレットを使用：事前定義済みのシステムのカラー パレットからカラー パレットを選択します。 • 複数の色を使用:16 進数コードを使用して カスタムの色の セットを定義します。任意の数の色を追加できます。 • チャートの色を使用: で定義されている色を使用します。 レポート > チャートの色.
パレットを設定	レポートで使用されるカラー パレット。このフィールドは、[チャートの色] リストから [カラーパレットを使用] を選択すると表示されます。パレットは、チャートの配色 [pa_chart_color_scheme] テーブルで定義されます。
色	レポートで使用される色。このフィールドは、[チャートの色] リストから [複数の色を使用] を選択すると表示されます。16 進数のカラーコードのカンマ区切りリストを入力します。これらの色は、カラーパレットやチャートの色で使用される事前定義されたシステムの色とは無関係です。 **注:** 透明度の 16 進数の値は使用できません。
カスタムグラフサイズ	レポートの幅と高さをピクセル単位で指定するチェック ボックス。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
チャートの幅	レポートの幅 (ピクセル単位)。デフォルト値は 600 です。

自動翻訳

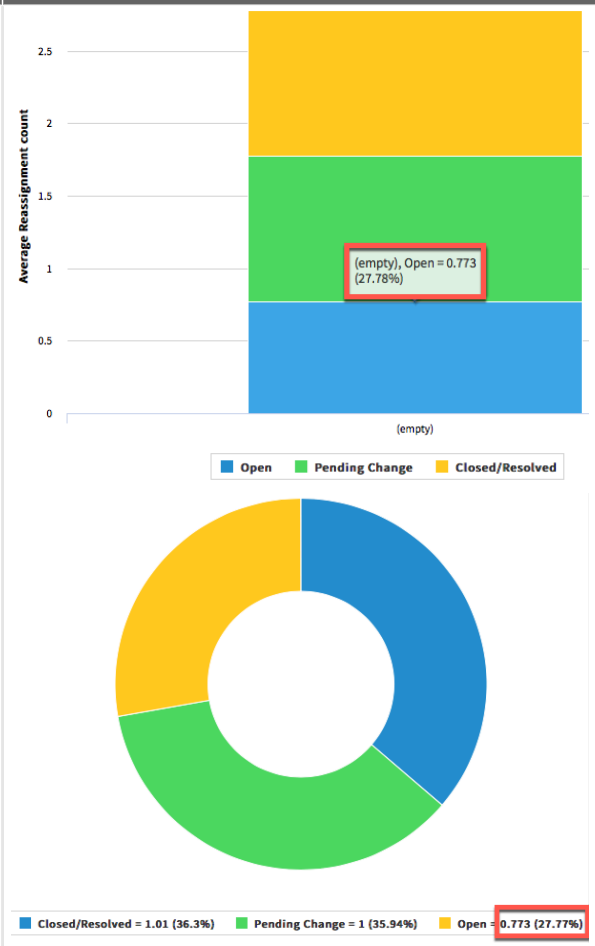
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

じょうごおよびピラミッド グラフのスタイルオプション (続く)

フィールド	説明
	このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に利用できます。
チャートの高さ	レポートの高さ (ピクセル単位)。デフォルト値は 450 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に表示されます。
チャートサイズ	チャートのサイズ。このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] がクリアされている場合に利用できます。選択肢は、[小]、[中]、[大] です。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
ドリルダウン ビュー	ドリルダウン レポート タイプが指定されていないレポートのセグメントをユーザーが選択したときに表示するリスト ビュー。このビューは、ユーザーがレポートの最小ドリルダウン レベルに達したときにも使用されます。詳しくは 、 リストレイアウトの設定 を参照してください。[レポートのドリルダウン] を指定すると、[ドリルダウンビュー] は無視されます。 詳細については、「レポート ドリルダウンの定義」を参照してください。
小数点以下桁数	表示する小数点以下の桁数。ゼロから 4 桁の小数点以下まで表示することができます。デフォルト値：2。デフォルト値を変更するには、システム プロパティ glide.chart.decimal.precision を作成し、値を指定します。 **注:** パーセンテージ ラベルは、指定された小数点以下桁数に応じて変更されることはありません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

じょうごおよびピラミッド グラフのスタイルオプション (続く)

フィールド	説明
	
タイトル	
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 • 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

じょうごおよびピラミッド グラフのスタイルオプション (続く)

フィールド	説明
チャートタイトルのカスタム位置	チャート タイトルの位置の X 座標と Y 座標を指定するチェック ボックス。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャート タイトルの X 位置	チャートのタイトル位置を左右に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを右に移動するには、正の値を入力します。左に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの Y 位置	チャート タイトルの位置を上下に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを上に移動するには、正の値を入力します。下に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] オプションがクリアされている場合に使用できます。
タイトルの垂直配置	チャートのタイトルを垂直に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] がクリアされいてる場合にのみ表示されます。
凡例	
凡例を表示	チャートの凡例を表示するチェック ボックス。このチェックボックスは、[グループ] フィールドがレポート フォームで選択されている場合に表示されます。 凡例はデフォルトでは短縮されます。切り捨ての長さを調整するには、プロパティ *glide.chart.label.legend.truncate_to* と *glide.chart.label.legend.truncate_to.large*を構成します。詳細については、「レポートのプロパティー」を参照してください。
凡例の水平配置	凡例を水平に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例の垂直配置	凡例を垂直に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例境界を表示	凡例を囲む枠線を表示するチェック ボックス。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例テキストを左揃え	ブラウザでレポートを表示するときに凡例テキストを左揃えにするチェック ボックス。デフォルトでは、凡例テキストが中央揃えになっています。レポートを PDF、PNG、JPG にエクスポートすると、凡例は中央揃えのままとなります。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。

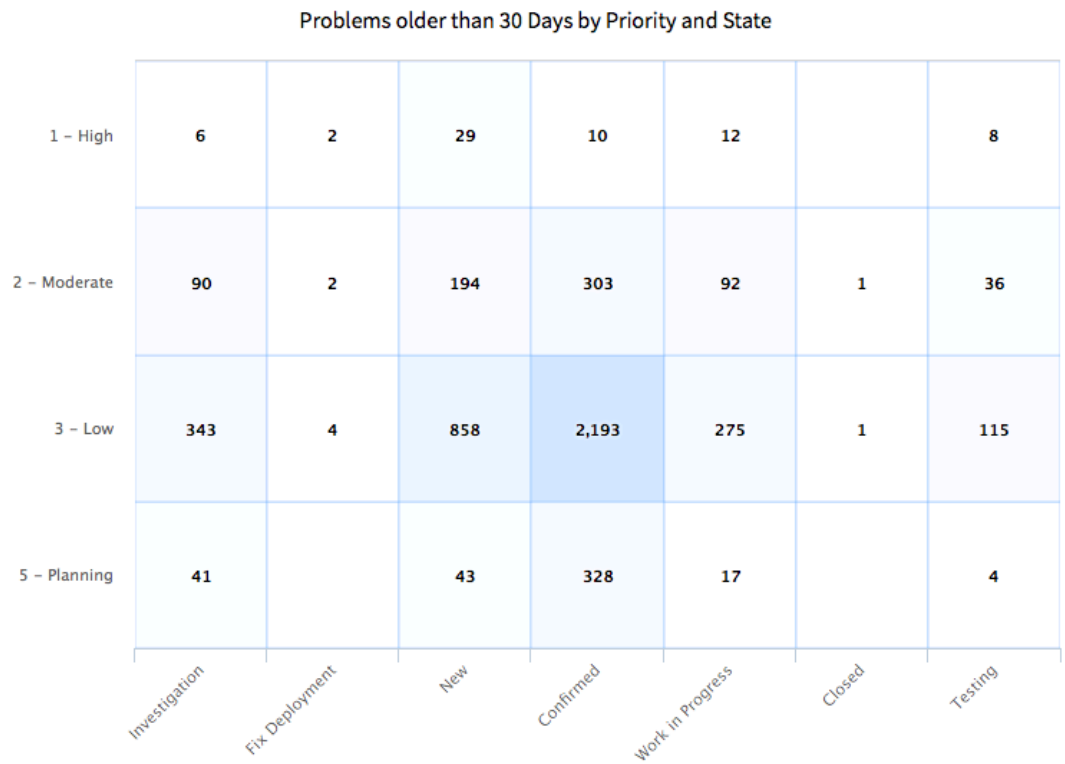
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヒートマップ レポート

ヒートマップ レポートは、色を使用して集計データを視覚的に表示し、マトリクスのさまざまな値を表現します。ヒートマップ レポートで使用できるセルは最大 1000 個です。

注:
アクセシビリティが有効になっている場合、この表示方法には読者が解釈できるレポートが含まれます。詳細については、「 アクセシビリティ機能の有効化 」を参照してください。

この図では、優先度の低い確認済みの問題のセルを塗りつぶし、大きな値をハイライト表示していま



す。

ヒートマップ レポートを作成する

ヒートマップ レポートを作成して、色を使用して集計データを視覚的に表示し、マトリクスのさまざまな値を表現します。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

このタスクについて

注:
小さいサイズのヒートマップ チャートでは、隣接する値と重なる 0 以外の値は表示されません。これらの値の行ラベルも表示されません。空白値のセルにカーソルを合わせるとその値が表示され、グラフのサイズを拡大して値を表示できます。この特定の種類のグラフの動作を理解すると、結果を解釈し、データの適切なサイズを決定するのに役立ちます。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.

2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。

3. レポートに適用可能なソースを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

オプション	説明
データソース	データソースはレポートソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためにフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 **注:** 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、それらのレポートを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、テーブル名の下に簡単な説明が表示されます。 傾向レポートでは、外部ソースから取得したデータをメモリに集約するリモートテーブルを選択することもできます。次に、[傾向] フィールド オプションを選択して、そのデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください
外部インポート	既存のインポートされたレポートソースを選択するか、[アップロード] アイコン () を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからレポートを作成する」を参照してください。
MetricBase	MetricBase を使用すると、新しいプラットフォームでカスタム時系列データを収集、保持、分析、視覚化することができます。詳細については、「 MetricBase」を参照してください。

4. [次へ] を選択します。
5. [タイプ] タブのフィルターに「ヒートマップ」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、 [実行] を選択します。
6. 必要に応じて、フィールドに値を入力します (表を参照)。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド

フィールド	説明
行	ヒートマップ内の行データのソースとして使用するフィールド。拡張テーブルのソースフィールドを選択する場合は、「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明については、情報アイコン (ⓘ) をクリックします。 注: 20 文字を超えるラベル名は表示時または印刷時に切り捨てられることがあります。
列	ヒートマップ内の列データのソースとして使用するフィールド。拡張テーブルのソースフィールドを選択する場合は、「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明については、情報アイコン (ⓘ) をクリックします。 注: 20 文字を超えるラベル名は表示時または印刷時に切り捨てられることがあります。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「機能フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
集計	データで実行する数値計算。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数を示します。 一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。 選択した [テーブル] からのフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択します。集計の基準となるフィールドをこのリストから選択します。 レポートをフィールド別にグループ化し、[平均] 集計を選択すると、各グループの平均が取得されます。合計値が表示されている場合は、個々のフィールド値ではなく、これらのグループ平均の平均です。 [最小] または [最大] を選択して、レポートの各セグメントの最大値または最小値を表示します。 集計の詳細については、「レポートの集計」を参照してください。 [平均]、[合計]、[個別のカウント]、[最小]、[最大] を選択した場合は、拡張テーブルのフィールドで集計することもできます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 FX 通貨値の集計については、「レポートの FX 通貨値」を参照してください。
グループの	[グループ] 条件が返すグループの最大数。最高値を持つグループが最初に表示されます。制限を超えるグループはどれも、[その他] という単一のグループに結合されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
最大数	[すべて表示] を選択すると、最大 50 までのグループが表示されます。残りの結果は [その他] としてグループ化されます。
その他の表示	レポートに [その他] グループを含めるかどうかを指定するチェックボックス。[その他] グループには、[グループの最大数] で指定されている数を超えるすべてのグループのデータが含まれます。

7. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。

   フィルターアイコン () を選択し、[並べ替えの追加] を選択します。

   a. [並べ替え順序] ボックスの一覧で、並べ替えるフィールドを選択し、アルファベット順または逆アルファベット順に **[a-z**] または **[z-a**] を選択します。

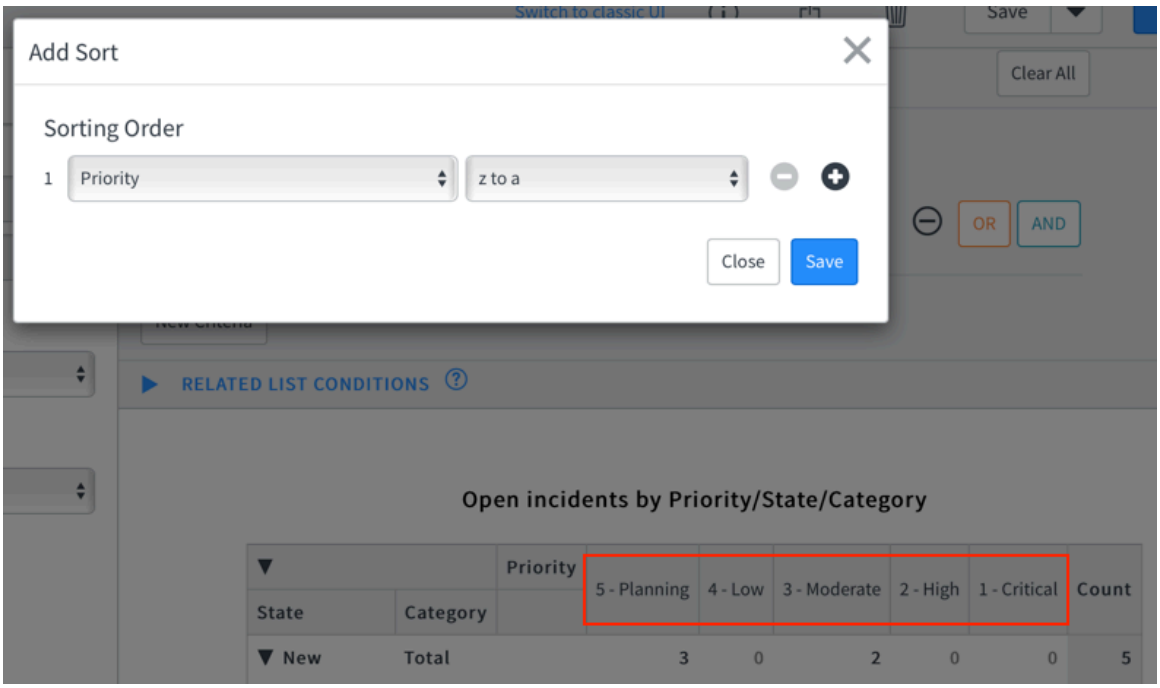
      このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張または関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

      注:
      ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドでのみソートできます。

   b. ソートプラスアイコン () を選択して、追加のソート順序条件を設定します。(ソートマイナスアイコン ( ) を選択すると、構成済みのソート順条件を削除できます)。

   c. [保存] を選択します。

   [選択リスト] タイプのフィールドの場合、ソート順は [ラベル] に基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択フィールドの [値] に基づいてソートされます。マルチレベル ピボットテーブルおよびヒートマップ レポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

8. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン () を選択し、レポートデータをフィルターする条件を指定します。
   条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。
9. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。
10. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- レポート情報アイコン () を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン () を選択して [共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。

ヒートマップ レポートのスタイル オプション

ヒートマップ チャートの外観を変更します。

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

ヒートマップ チャートのスタイル オプション

全般	
ヒートマップ カラーを使用	チェック ボックスをオンにすると、値ごとに異なる色を使用します。
高スコア用の色	チャート上で高い値を示すために使用する色。
低スコア用の色	チャート上で低い値を示すために使用する色。
データ ラベルを表示	このチェック ボックスをオンにすると、各データ ポイントの値が表示されます。
ゼロを表示	セルの値が 0 の場合に数値 **0** を表示するには、このチェック ボックスをオンにします。セルの値が 0 の場合に空のセルを表示するには、このチェック ボックスをオフにします。
カスタム グラフ サイズ	レポートの幅と高さをピクセル単位で指定するチェック ボックス。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
チャートの幅	レポートの幅 (ピクセル単位)。デフォルト値は 600 です。 このフィールドは、[カスタム グラフ サイズ] が選択されている場合に利用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

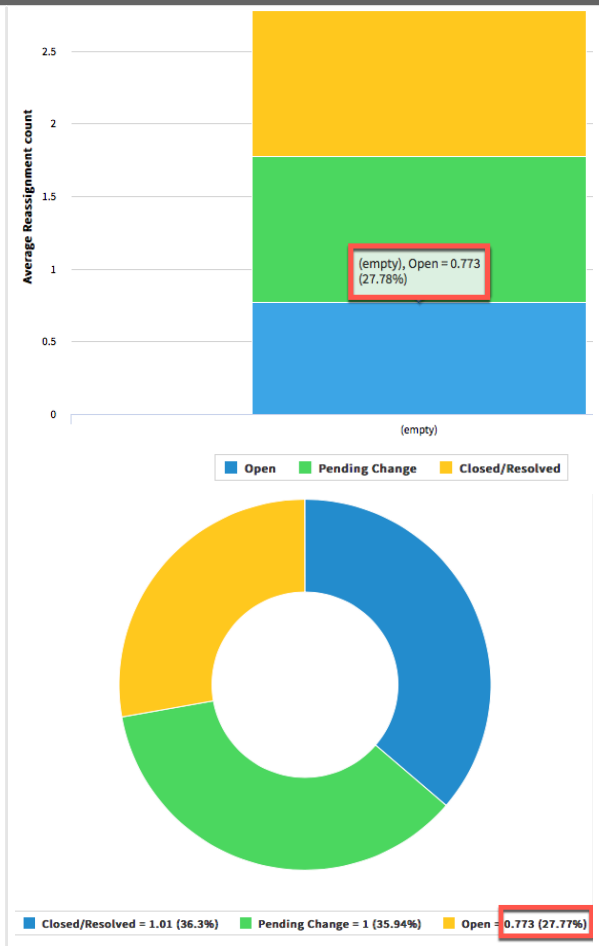
ヒートマップ チャートのスタイル オプション (続く)

全般	
チャートの高さ	レポートの高さ (ピクセル単位)。デフォルト値は 450 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に表示されます。
チャートサイズ	チャートのサイズ。このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] がクリアされている場合に利用できます。選択肢は、[小]、[中]、[大] です。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
ドリルダウン ビュー	ドリルダウン レポート タイプが指定されていないレポートのセグメントをユーザーが選択したときに表示するリスト ビュー。このビューは、ユーザーがレポートの最小ドリルダウン レベルに達したときにも使用されます。詳しくは 、 リストレイアウトの設定 を参照してください。[レポートのドリルダウン] を指定すると、[ドリルダウンビュー] は無視されます。 詳細については、「レポート ドリルダウンの定義」を参照してください。
小数点以下桁数	表示する小数点以下の桁数。ゼロから 4 桁の小数点以下まで表示することができます。デフォルト値：2。デフォルト値を変更するには、システム プロパティ glide.chart.decimal.precision を作成し、値を指定します。 **注:** パーセンテージ ラベルは、指定された小数点以下桁数に応じて変更されることはありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヒートマップ チャートのスタイル オプション (続く)

全般	
	
タイトル	
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 • 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヒートマップ チャートのスタイル オプション (続く)

全般	
チャートタイトルのカスタム位置	チャート タイトルの位置の X 座標と Y 座標を指定するチェック ボックス。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャート タイトルの X 位置	チャートのタイトル位置を左右に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを右に移動するには、正の値を入力します。左に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの Y 位置	チャート タイトルの位置を上下に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを上に移動するには、正の値を入力します。下に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] オプションがクリアされている場合に使用できます。
タイトルの垂直配置	チャートのタイトルを垂直に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] がクリアされいてる場合にのみ表示されます。
凡例	
凡例を表示	チャートの凡例を表示するチェック ボックス。このチェックボックスは、[グループ] フィールドがレポート フォームで選択されている場合に表示されます。 凡例はデフォルトでは短縮されます。切り捨ての長さを調整するには、プロパティ *glide.chart.label.legend.truncate_to* と *glide.chart.label.legend.truncate_to.large*を構成します。詳細については、「レポートのプロパティー」を参照してください。
凡例の水平配置	凡例を水平に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例の垂直配置	凡例を垂直に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例境界を表示	凡例を囲む枠線を表示するチェック ボックス。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例テキストを左揃え	ブラウザでレポートを表示するときに凡例テキストを左揃えにするチェック ボックス。デフォルトでは、凡例テキストが中央揃えになっています。レポートを PDF、PNG、JPG にエクスポートすると、凡例は中央揃えのままとなります。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

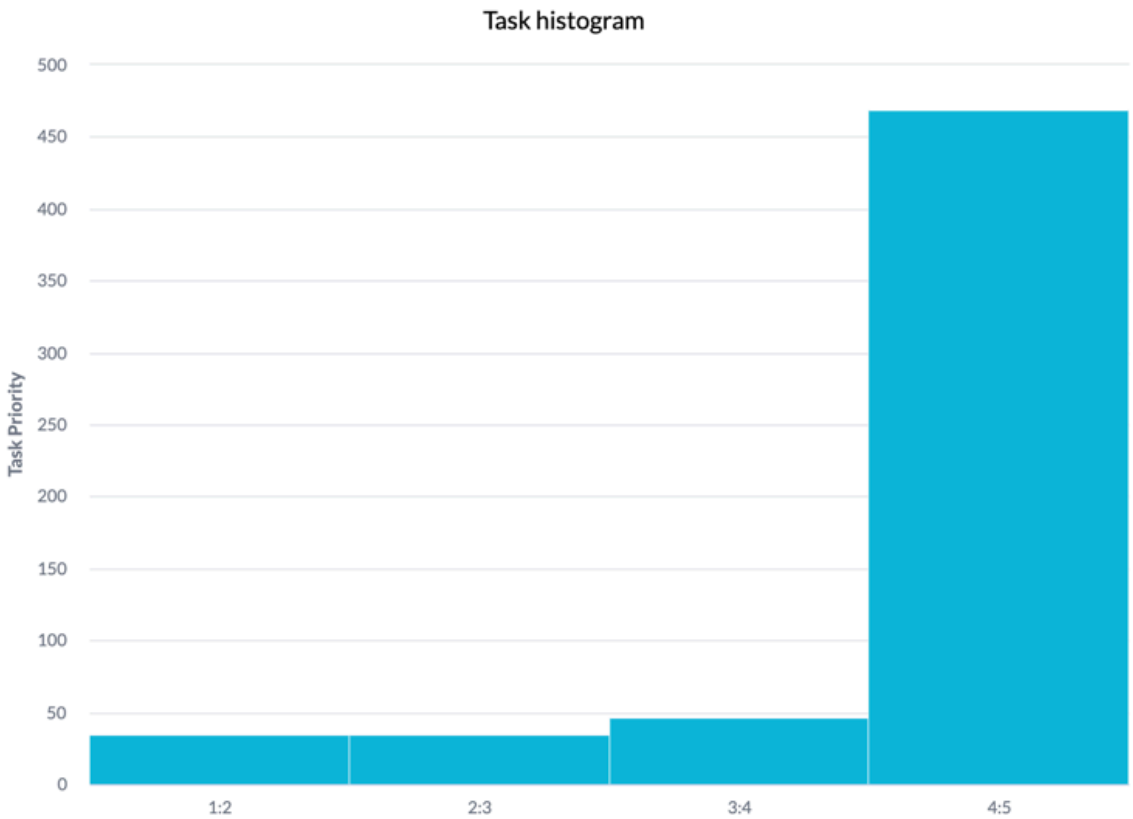
ヒストグラム レポート

ヒストグラムは、データ セット内の数値を範囲にグループ化します。ヒストグラムで使用するデータは連続するデータです。連続するデータを測定します。一方で、棒グラフで使用する離散データをカウントします。

たとえば、ヒストグラムを使用して、製品のリリース後 4 週間にわたって記録した P1 というインシデントのパターンを表示できます。製品がリリースされてから最初の 1 週間は、ユーザーがまだ製品を十分理解しておらず、使用が少ないため、P1 インシデントは低くなっています。2 週目では、より多くのユーザーが製品の使用を開始し、P1 の問題が増加します。3 週目では、さらに多くのユーザーが製品の使用を開始するにつれて、P1 の問題がいっそう増加します。4 週目では、P1 の問題は 3 週目と同じ状態を保っています。こうした情報は、製品がリリースされてから 3 週目まではサポート スタッフを増やす必要がないことを示しています。

注:
アクセシビリティが有効になっている場合、この表示方法には読者が解釈できるレポートが含まれます。詳細については、「 アクセシビリティ機能の有効化 」を参照してください。

ヒストグラム レポート



ヒストグラム レポートを作成する

ヒストグラムにより、連続するデータ セット内の数値を範囲にグループ化します。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. レポートに適用可能なソースを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
データソース	データソースはレポートソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためにフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 **注:** 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、それらのレポートを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、テーブル名の下に簡単な説明が表示されます。 傾向レポートでは、外部ソースから取得したデータをメモリに集約するリモートテーブルを選択することもできます。次に、[傾向] フィールド オプションを選択して、そのデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください
外部インポート	既存のインポートされたレポートソースを選択するか、[アップロード] アイコン () を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからレポートを作成する」を参照してください。
MetricBase	MetricBase を使用すると、新しいプラットフォームでカスタム時系列データを収集、保持、分析、視覚化することができます。詳細については、「 MetricBase」を参照してください。

4. [次へ] を選択します。
5. [タイプ] タブのフィルターに「ヒストグラム」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、 [実行] を選択します。
6. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

[設定] タブ

フィールド	説明
関数フィー	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「機能フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
ルドを構成	は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
測定基準	レポートを作成する対象のフィールドを選択します。このフィールドの値は、ヒストグラムの X 軸に表示され、バーの幅を決定します。 選択したフィールドの説明については、情報アイコン (ⓘ) をクリックします。

7. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン () を選択し、レポートデータをフィルターする条件を指定します。
条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。
8. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- レポート情報アイコン () を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン () を選択して [共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。

線グラフ レポート

線グラフ レポートは、個々のデータ ポイントをプロットして、1 つまたは複数のアイテムの値が時間とともにどのように変化するかを示します。

特定の日付または時刻のアイテムの値は、水平線で結ばれたデータ ポイントとして表示されます。線グラフの横軸上の値は、時間の測定値 (年、時、分、ミリ秒など) を表します。縦軸の値は、監視対象のアイテムの変化を表します。report_admin ロールを持つユーザーは、線グラフ レポートで使用する範囲を定義できます。

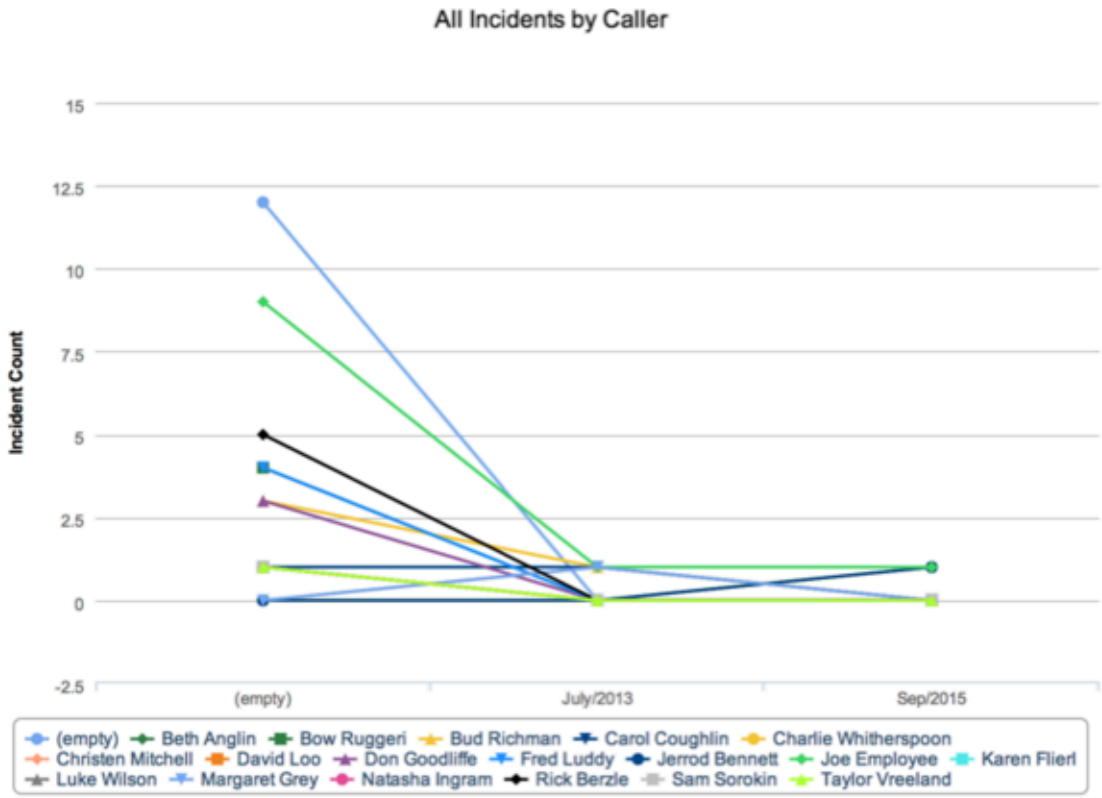
注:
このデータの可視化は、モバイルプラットフォームでサポートされています。詳細については、「Time series reports for mobile 」と「Mobile dashboard preview 」を参照してください。

たとえば、インシデント数を表す線グラフ レポートを作成して、インシデント数が時間とともにどのように変化するかを示すことができます。多くの場合、インシデント数は製品のアップグレードが導入されてから最初の数か月間は増加します。時間が経つにつれてユーザーが製品の変化に慣れてくると、報告されるインシデントの数は減少します。この図は、問い合わせユーザーあたりのインシデント数の経時変化を示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

線グラフ レポート



線グラフ レポートを作成する

線グラフ レポートを作成して、1 つ以上のアイテムの値の経時変化の傾向を示します。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. レポートに適用可能なソースを選択します。

オプション	説明
データソース	データソースはレポートソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためにフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 **注:** 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、それらのレポートを表示するように求める通知が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、テーブル名の下に簡単な説明が表示されます。 傾向レポートでは、外部ソースから取得したデータをメモリに集約するリモートテーブルを選択することもできます。次に、[傾向] フィールド オプションを選択して、そのデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得 」を参照してください
外部インポート	既存のインポートされたレポートソースを選択するか、[アップロード] アイコン ()  を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからレポートを作成する」を参照してください。
MetricBase	MetricBase を使用すると、新しいプラットフォームでカスタム時系列データを収集、保持、分析、視覚化することができます。詳細については、「 MetricBase 」を参照してください。

4. [次へ] を選択します。
5. [タイプ] タブのフィルターに「線」と入力し、[時系列] セクションで線グラフ レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、 [実行] を選択します。
6. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

[設定] タブ

フィールド	説明
グループごと	このフィールドの値を使用するグループのレポートデータ。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明については、情報アイコン (ⓘ) をクリックします。 レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: ○ レポートは、[タグ] フィールドや MEDIUMTEXT などの特定のフィールドタイプでのグループ化やスタックはできません。 ○ データベースビューに基づくレポートでは、[変数] または [質問] フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。
他のグループ化	レポートをグループ化する追加のフィールド。[他のグループ化] フィールドまたは機能フィールドを選択すると、追加のフィールドのいずれか 1 つでレポートをグループ化できるコントロールがレポートの下部に組み込まれます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明については、情報アイコン ()ⓘ をクリックします レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 注: ○ メインの [グループごと] リストに表示されない [他のグループ化] リストの選択肢を表示できます。レポートでは、表示される追加フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。メインの [グループごと] の選択肢とは異なり、[他のグループ化] フィールドはフィルタリングされません。サポートされていないフィールドを選択しても、効果はありません。 ○ メインの [グループごと] フィールドにリストされている制限は、[他のグループ化] フィールドにも適用されます。 詳細については、「[グループの追加] または [積み重ね基準]」を参照してください。
データテーブルを表示	レポートの下のリストにレポートデータを表示するには、このオプションを選択します。レポートが追加されたダッシュボードにリストが表示されます。 glide.ui.section508 システムプロパティが **true** に設定されている場合、すべてのレポート可視化にレポートデータが表示されます。glide.ui.section508 プロパティは、[データテーブルを表示] フィールドを上書きします。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「機能フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
トレンドの基準	時間順に値を表示したいテーブル フィールド。選択したフィールドの説明については、情報アイコン (ⓘ) をクリックします。 注: [テーブル] フィールドでリモートテーブルを選択した場合、このフィールドで選択したオプションは、外部ソースから取得されてメモリに集計されたデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
カレンダー	レポートの時系列の基礎となるカレンダー。標準カレンダーまたはカスタマイズされたビジネスカレンダードキュメント のいずれかを選択します。
期間	データをグループ化する期間。利用可能な期間の範囲は、選択したカレンダーによって異なります。期間は、1 時間から 1 年の範囲です。日付を指定することもできます。 注: 週ごとのレポートの場合：レポート範囲に複数の暦年が含まれている場合、週が 2 つの年にまたがって分割されると不整合が生じます。ISO 週に従ってデータ値をより正確に表示するには、システムプロパティ [sys_properties] テーブルの **glide.db.aggregates.trend.use_iso_week** プロパティを追加して有効にします。
集計	データで実行する数値計算。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数を示します。 一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。 選択した [テーブル] からのフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択します。集計の基準となるフィールドをこのリストから選択します。 レポートをフィールド別にグループ化し、[平均] 集計を選択すると、各グループの平均が取得されます。合計値が表示されている場合は、個々のフィールド値ではなく、これらのグループ平均の平均です。 [最小] または [最大] を選択して、レポートの各セグメントの最大値または最小値を表示します。 集計の詳細については、「レポートの集計」を参照してください。 [平均]、[合計]、[個別のカウント]、[最小]、[最大] を選択した場合は、拡張テーブルのフィールドで集計することもできます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 FX 通貨値の集計については、「レポートの FX 通貨値」を参照してください。
割合の計算	パーセンテージの計算方法。パーセンテージは、棒グラフのレポートの棒グラフなど、レポート セグメントを指すときに表示されます。このフィールドは、[集計] が [平均]、[合計]、[個別のカウント] に設定されているときに表示されます。 ○ [集約を使用] は、[集計] フィールドの選択を使用してパーセンテージを計算します。パーセンテージの計算には、レポートに表示されるデータのみが使用されます。 たとえば、レポートには [集形] が [合計] に設定された部門別の資産と、集計を使用して計算されたパーセンテージが表示されます。資産の総コストが 100,000 USD、カスタマーサポートの資産コストが 10,000 USD の場合、カスタマーサポートのパーセンテージは 10% となります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ [レコード数を使用] では、データセット内のレコードの総数を使用してパーセンテージを計算します。 たとえば、レポートは優先度別にインシデントを表示します。インシデント 500 件の記録のうち、インシデント 200 件の優先度が低いとします。低優先度セクションのパーセンテージは 40% となります。
値の書式を設定	小数点以下桁数、丸め、最小および最大の期間単位、期間単位の省略形など、レポートでの数値の表示方法を構成できます。「レポートの値の書式設定」を参照してください。 注: 小数点以下桁数は通貨フィールドでは機能しません。

7. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。
   フィルターアイコン () を選択し、[並べ替えの追加] を選択します。
   a. [並べ替え順序] ボックスの一覧で、並べ替えるフィールドを選択し、アルファベット順または逆アルファベット順に **[a-z**] または **[z-a**] を選択します。

      このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張または関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

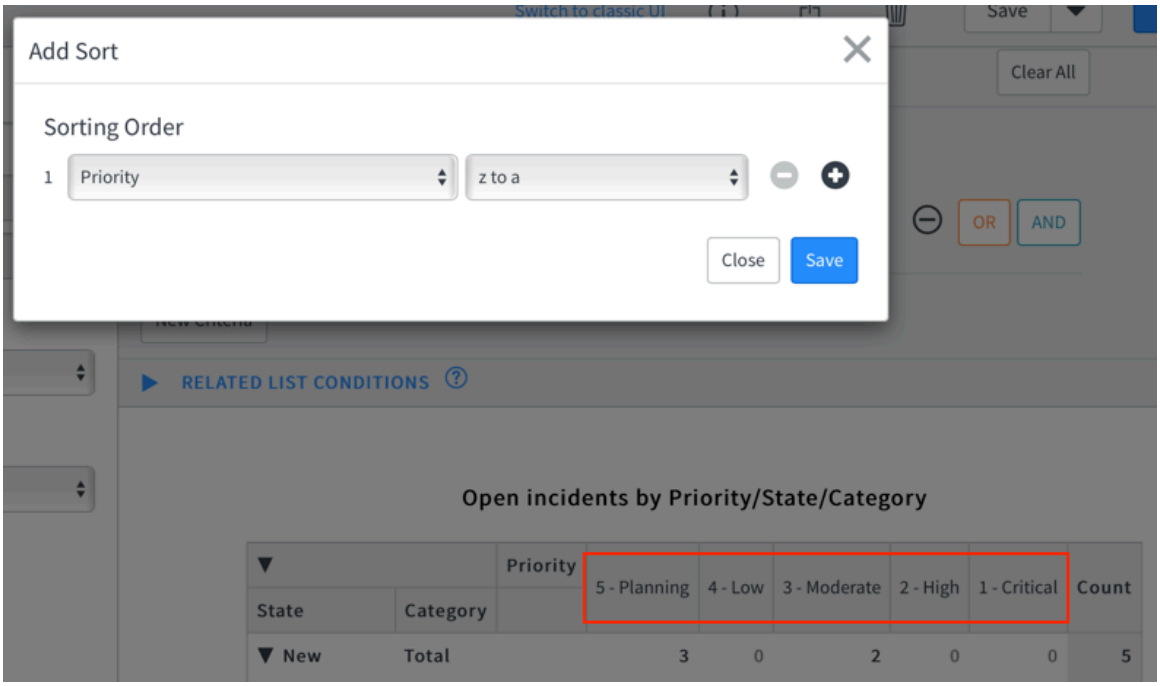
      注:
      ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドでのみソートできます。

   b. ソートプラスアイコン () を選択して、追加のソート順序条件を設定します。(ソートマイナスアイコン ( ) を選択すると、構成済みのソート順条件を削除できます)。
   c. [保存] を選択します。

   [選択リスト] タイプのフィールドの場合、ソート順は [ラベル] に基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択フィールドの [値] に基づいてソートされます。マルチレベル ピボットテーブルおよびヒートマップ レポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



8. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン () を選択し、レポートデータをフィルターする条件を指定します。
   条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。
9. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。
10. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- レポート情報アイコン () を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン () を選択して [共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。

線グラフ レポートのスタイル オプション

線グラフ レポートの外観を構成します。

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

線グラフのスタイル オプション

フィールド	説明
全般	
チャートの色	レポートで使用される色のソース。 レポートのグループ化または積み重ねを行わない場合は、**[1** つの色を使用] が自動的に選択されます。この場合、事前定義された単一のシステム カラーを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

線グラフのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	レポートのグループ化または積み重ねを行う場合は、以下のオプションのいずれかを選択します。 • カラーパレットを使用：事前定義済みのシステムのカラー パレットからカラー パレットを選択します。 • 複数の色を使用:16 進数コードを使用して カスタムの色の セットを定義します。任意の数の色を追加できます。 • チャートの色を使用: で定義されている色を使用します。 レポート > チャートの色. これらのオプションの違いの詳細については、を参照してください レポートの定義済みの色。
色を設定	レポートで使用される色。このフィールドは、[チャートの色] リストから **[1** つの色を使用] を選択すると表示されます。検索アイコン( )をクリックして、「 色定義 」リストから選択します。
パレットを設定	レポートで使用されるカラー パレット。このフィールドは、[チャートの色] リストから [カラーパレットを使用] を選択すると表示されます。パレットは、チャートの配色 [pa_chart_color_scheme] テーブルで定義されます。
色	レポートで使用される色。このフィールドは、[チャートの色] リストから [複数の色を使用] を選択すると表示されます。16 進数のカラーコードのカンマ区切りリストを入力します。これらの色は、カラーパレットやチャートの色で使用される事前定義されたシステムの色とは無関係です。 **注:** 透明度の 16 進数の値は使用できません。
データラベルを表示	このチェック ボックスをオンにすると、各データ ポイントの値が表示されます。
nil をゼロとしてプロットしない	値のないデータ ポイントをゼロ値に置き換えるかどうかを指定するためのチェック ボックス。このフィールドは、複数のデータセットを含む時系列レポート (面、曲線、線、ステップラインのレポートのみ) の作成や編集時、また該当する時系列レポート内でのデータセットの作成や編集時に使用できます。このフィールドは、レポート内のデータがグループ化されている場合、または [カウント] または [個別のカウント] で集計されている場合には使用できません。 選択すると、データが存在しない場合はレポートにギャップが表示されることがあります。
マーカーを表示	チェック ボックスをオンにすると、各データ ポイントに記号が表示されます。
カスタムグラフサイズ	レポートの幅と高さをピクセル単位で指定するチェック ボックス。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

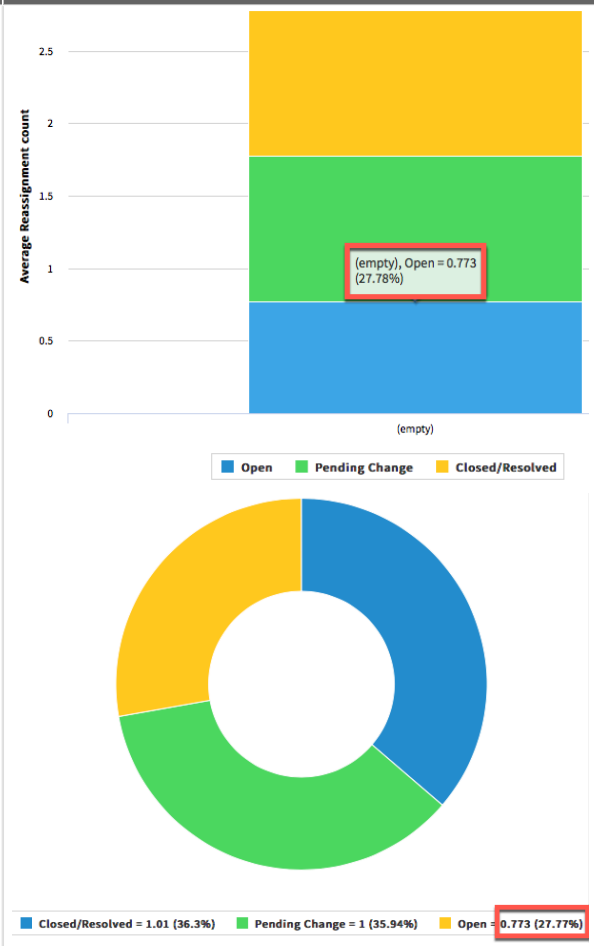
線グラフのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
チャートの幅	レポートの幅 (ピクセル単位)。デフォルト値は 600 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に利用できます。
チャートの高さ	レポートの高さ (ピクセル単位)。デフォルト値は 450 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に表示されます。
チャートサイズ	チャートのサイズ。このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] がクリアされている場合に利用できます。選択肢は、[小]、[中]、[大] です。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
ドリルダウン ビュー	ドリルダウン レポート タイプが指定されていないレポートのセグメントをユーザーが選択したときに表示するリスト ビュー。このビューは、ユーザーがレポートの最小ドリルダウン レベルに達したときにも使用されます。詳しくは 、 リストレイアウトの設定 を参照してください。[レポートのドリルダウン] を指定すると、[ドリルダウンビュー] は無視されます。 詳細については、「レポート ドリルダウンの定義」を参照してください。
小数点以下桁数	表示する小数点以下の桁数。ゼロから 4 桁の小数点以下まで表示することができます。デフォルト値：2。デフォルト値を変更するには、システム プロパティ glide.chart.decimal.precision を作成し、値を指定します。 **注:** パーセンテージ ラベルは、指定された小数点以下桁数に応じて変更されることはありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

線グラフのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	
タイトル	
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 • 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

線グラフのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
チャートタイトルのカスタム位置	チャート タイトルの位置の X 座標と Y 座標を指定するチェック ボックス。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャート タイトルの X 位置	チャートのタイトル位置を左右に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを右に移動するには、正の値を入力します。左に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの Y 位置	チャート タイトルの位置を上下に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを上に移動するには、正の値を入力します。下に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] オプションがクリアされている場合に使用できます。
タイトルの垂直配置	チャートのタイトルを垂直に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] がクリアされいてる場合にのみ表示されます。
凡例	
凡例を表示	チャートの凡例を表示するチェック ボックス。このチェックボックスは、[グループ] フィールドがレポート フォームで選択されている場合に表示されます。 凡例はデフォルトでは短縮されます。切り捨ての長さを調整するには、プロパティ *glide.chart.label.legend.truncate_to* と *glide.chart.label.legend.truncate_to.large*を構成します。詳細については、「レポートのプロパティー」を参照してください。
凡例の水平配置	凡例を水平に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例の垂直配置	凡例を垂直に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例境界を表示	凡例を囲む枠線を表示するチェック ボックス。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例テキストを左揃え	ブラウザでレポートを表示するときに凡例テキストを左揃えにするチェック ボックス。デフォルトでは、凡例テキストが中央揃えになっています。レポートを PDF、PNG、JPG にエクスポートすると、凡例は中央揃えのままとなります。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

線グラフのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
軸	
Y 軸と X 軸	タイトル、外観、ラベルを設定する軸。
タイトル	軸のタイトル。
タイトルのサイズ	軸のタイトルのサイズ (ピクセル単位)。デフォルト値は 12 です。
タイトル太字	太字の書体で軸のタイトルを表示するには、このボックスをチェックします。
反対側	**[X** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートの右側に X 軸のタイトルが表示されます。**[Y** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、X 軸のタイトルが下部ではなく、レポート上部に表示されます。
グリッドを表示	**[X** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートに水平のグリッド線が表示されます。 **[Y** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートの上部に垂直のグリッド線が表示されます。
グリッドドット付き	実線ではなく点線のグリッド線を表示するには、このボックスをチェックします。
送信元	レポートの情報量を制限する Y 軸の最小値を指定します。[数] タイプでない集計のフィールドを選択すると、[スケール最小値]、[スケール最大値] の両フィールドは利用できなくなります。
スケール最大値	レポートの情報量を制限する Y 軸の最大値を指定します。[数] タイプでない集計のフィールドを選択すると、[スケール最小値]、[スケール最大値] の両フィールドは利用できなくなります。
X 軸/Y 軸のラベル サイズ	**[X** 軸] タブで、レポートの行のラベルのサイズを指定します。 **[Y** 軸] タブで、レポートの列のラベルのサイズを指定します。
ラベル太字	太字の書体でレポートのラベルを表示するには、このボックスをオンにします。

リストレポート

リスト レポートでは、拡張可能なリストの形でデータが表示されます。リストを展開表示するか折りたたみ表示するかを構成できます。リストは、インシデント数や変更数などの列挙によく使用されます。より詳細な情報 (簡単な説明、カテゴリ、ステータスなど) を表示する列が含まれています。

注:

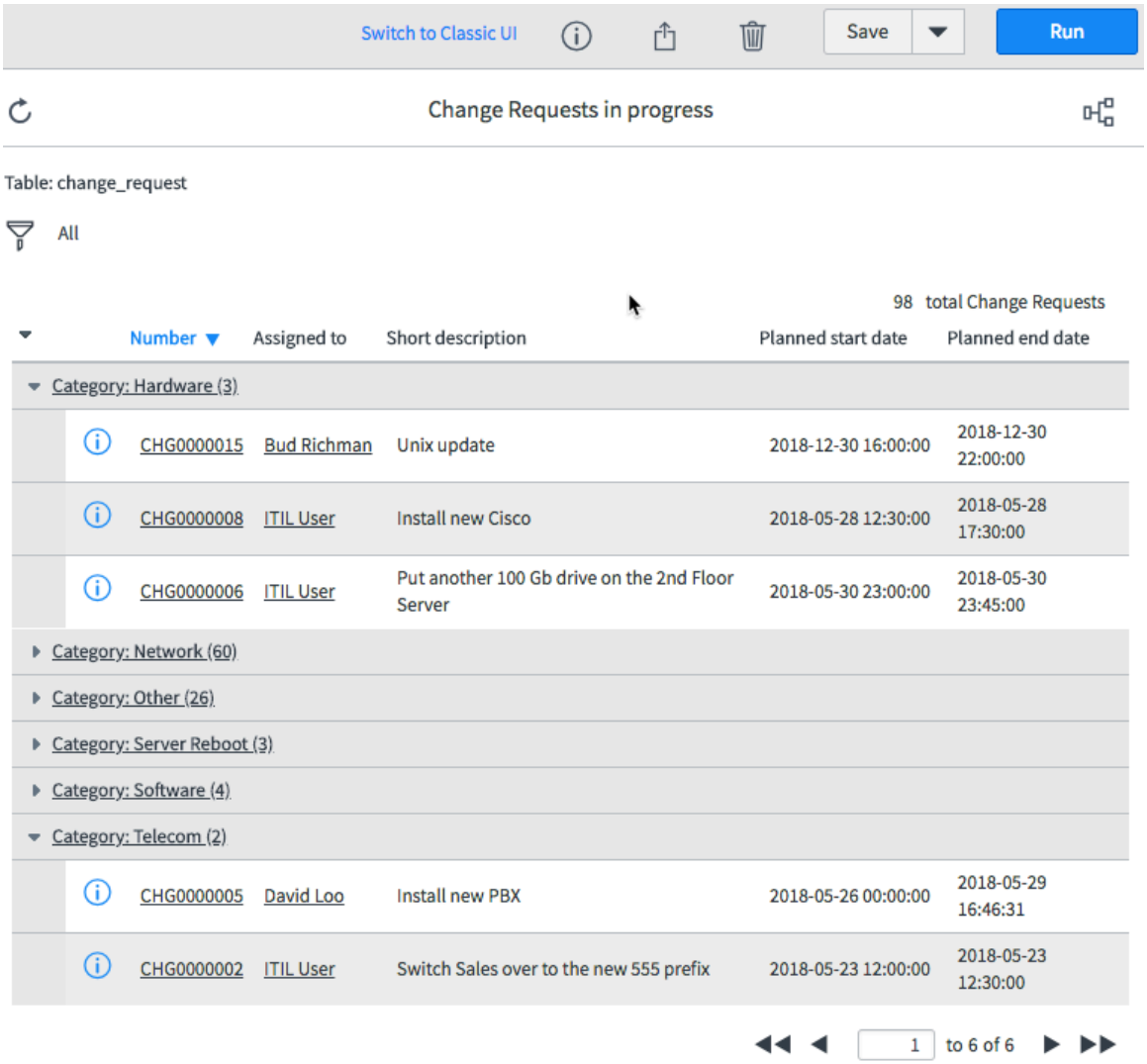
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- リスト v3 を有効にしていても、リスト レポートはリスト v2 で表示されます。
- Kingston のリリースの時点では、レコード数と改ページ ボタンはリストの一番下にのみ表示されます。

このリストレポートの例では、問い合わせユーザー別にソートされたインシデントが表示されています。

リストレポート



リストレポートのタイプ

リストレポートには 3 つのタイプがあります。

基本リストレポート

追加機能のないリストレポート

変数列を持つリスト レポート

変数が関連付けられたデータ ソースまたはテーブル (サービス カタログ データ ソースなど) に基づいてレポートを一覧表示します。変数は、多くの場合、コンピューターのストレージ容量などの積のバリエーションです。

質問列のあるリスト レポート

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

質問が関連付けられているデータ ソースまたはテーブルに基づいてレポートを一覧表示します。たとえば、フォームでユーザーに問題の特定の内容を選択するよう求めるメッセージが表示された場合は、応答の列を持つリスト レポートを作成できます。

基本リスト レポートでは、テーブル、データ ソース、インポートした Excel スプレッドシート、または MetricBase レポート ソース用のテーブルを使用できます。変数列と質問列を含むリスト レポートは、テーブルとデータ ソースのみを使用します。

質問と変数の列を設定するための追加の手順があります。

基本的なリストレポートを作成する

リスト レポートでは、拡張可能なリストの形でデータが表示されます。たとえば、優先度別にグループ化されたインシデント レポートには、優先度の名前と、ユーザーが優先度をクリックした場合に表示されるレコード数だけが表示されます。リストを展開表示するか折りたたみ表示するかを構成できます。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin

意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. レポートに適用可能なソースを選択します。

オプション	説明
データソース	データソースはレポートソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためにフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 **注:** 既存のレポートで使用されているデータ ソースを選択すると、それらのレポートを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、テーブル名の下に簡単な説明が表示されます。 傾向レポートでは、外部ソースから取得したデータをメモリに集約するリモートテーブルを選択することもできます。次に、[傾向] フィールド オプションを選択して、そのデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください
外部インポート	既存のインポートされたレポートソースを選択するか、[アップロード] アイコン () を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメン

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

オプション	説明
	トからレポートを作成する」を参照してください。
MetricBase	MetricBase を使用すると、新しいプラットフォームでカスタム時系列データを収集、保持、分析、視覚化することができます。詳細については、「 MetricBase 」を参照してください。

4. [次へ] を選択します。
5. [タイプ] タブのフィルターに「リスト」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、 [実行] を選択します。
6. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

[設定] タブ

フィールド	説明
列を選択	リスト レポートに列として表示するフィールド。[列を選択] をクリックすると [列] ウィンドウが開きます。その中の [利用可能] リストで、レポートに表示するフィールドを選択し、[選択済み] リストに移動します。 選択したフィールドの説明については、情報アイコン ()ⓘ をクリックします システム構成によっては、選択したテーブルを拡張するテーブルのフィールドを追加できます。詳細については、「拡張テーブルに関するレポート」を参照してください。
グループごと	このフィールドの値を使用するグループのレポートデータ。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明については、情報アイコン (ⓘ) をクリックします。 レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 注: ○ レポートは、[タグ] フィールドや MEDIUMTEXT などの特定のフィールドタイプでのグループ化やスタックはできません。 ○ データベースビューに基づくレポートでは、[変数] または [質問] フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。
他のグループ化	レポートをグループ化する追加のフィールド。[他のグループ化] フィールドまたは機能フィールドを選択すると、追加のフィールドのいずれか 1 つでレポートをグループ化できるコントロールがレポートの下部に組み込まれます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明については、情報アイコン ()ⓘ をクリックします

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 注: ◦ メインの [グループごと] リストに表示されない [他のグループ化] リストの選択肢を表示できます。レポートでは、表示される追加フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。メインの [グループごと] の選択肢とは異なり、[他のグループ化] フィールドはフィルタリングされません。サポートされていないフィールドを選択しても、効果はありません。 ◦ メインの [グループごと] フィールドにリストされている制限は、[他のグループ化] フィールドにも適用されます。 詳細については、「[グループの追加] または [積み重ね基準]」を参照してください。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「機能フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。

7. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。
   フィルターアイコン () を選択し、[並べ替えの追加] を選択します。
   a. [並べ替え順序] ボックスの一覧で、並べ替えるフィールドを選択し、アルファベット順または逆アルファベット順に **[a-z**] または **[z-a**] を選択します。

      このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張または関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

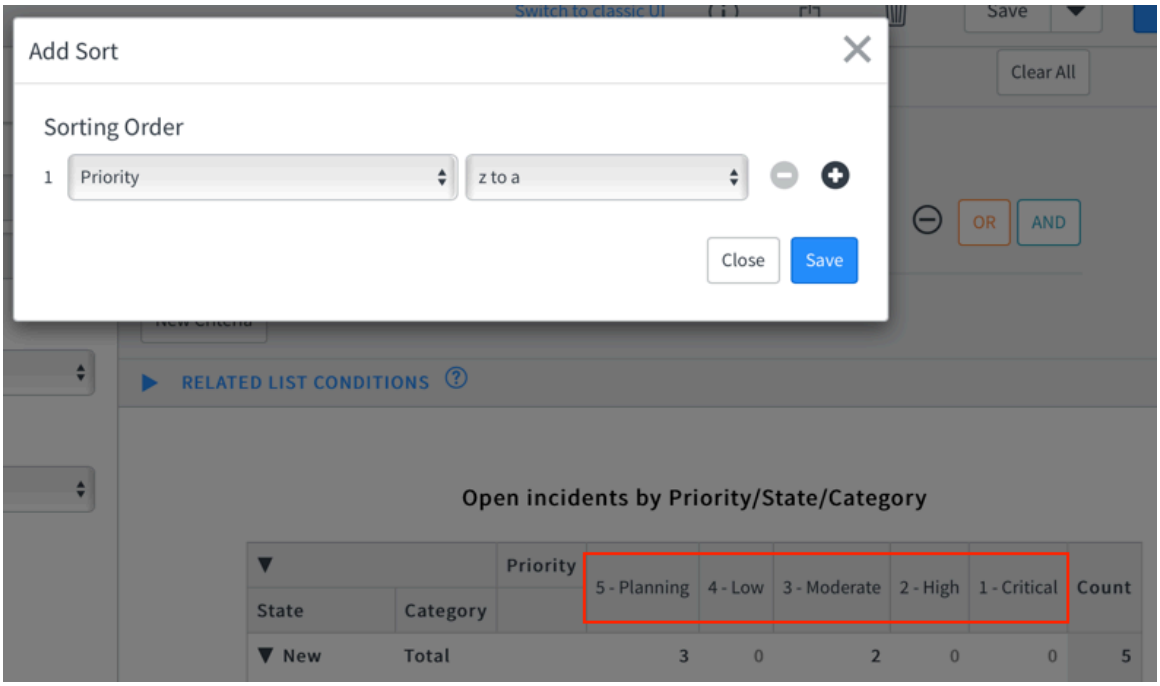
      注:
      ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドでのみソートできます。

   b. ソートプラスアイコン () を選択して、追加のソート順序条件を設定します。(ソートマイナスアイコン ( ) を選択すると、構成済みのソート順条件を削除できます)。
   c. [保存] を選択します。

   [選択リスト] タイプのフィールドの場合、ソート順は [ラベル] に基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択フィールドの [値] に基づいてソートされます。マルチレベル ピボットテーブルおよびヒートマップ レポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



8. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン () を選択し、レポートデータをフィルターする条件を指定します。
   条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。
9. オプション: [スタイル] タブで、レポート タイトルを追加および構成します。
   「リスト レポートのスタイル オプション」を参照してください。
10. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- レポート情報アイコン () を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン () をクリックして [共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートをダッシュボードに追加する、レポートを PDF にエクスポートする、レポートを Web に公開する、可視性とスケジュールを設定する、などが行なえます。詳細については、「レポートの共有」を参照してください。

  注:

  - PDF にエクスポートされるリスト レポートのデフォルトの行数は 1000 です。この値を構成するには、フィルター ナビゲーターで「sys_properties.list」と入力し、プロパティー glide.pdf.max_rows を編集します。詳しくは、システム ・プロパティーの追加 を参照してください。
  - リストのフィルタリングにかかわらず、PDF 形式でエクスポートされた行は、エクスポート制限まですべてのレコード行を順番にカウントし、ACL によって制限されたデータを表示できないロールについては空白として表示されます。

- リスト機能を構成して使用する

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

変数列を含むリスト レポートを作成する

変数が関連付けられたデータ ソースまたはテーブルに基づいて、変数列を含むリスト レポートを作成できます。たとえば、**Storage** という変数を持つアイテムの場合、この変数の値を表示するための列を持つリスト レポートを作成できます。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. 変数が関連付けられているレポート ソースを選択します。
   レポート ソースには 2 種類あります。変数を含むリスト レポートの場合、レポート ソースは通常はサービス カタログ テーブルです。
4. [次へ] を選択します。
5. [タイプ] タブのフィルターに「リスト」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

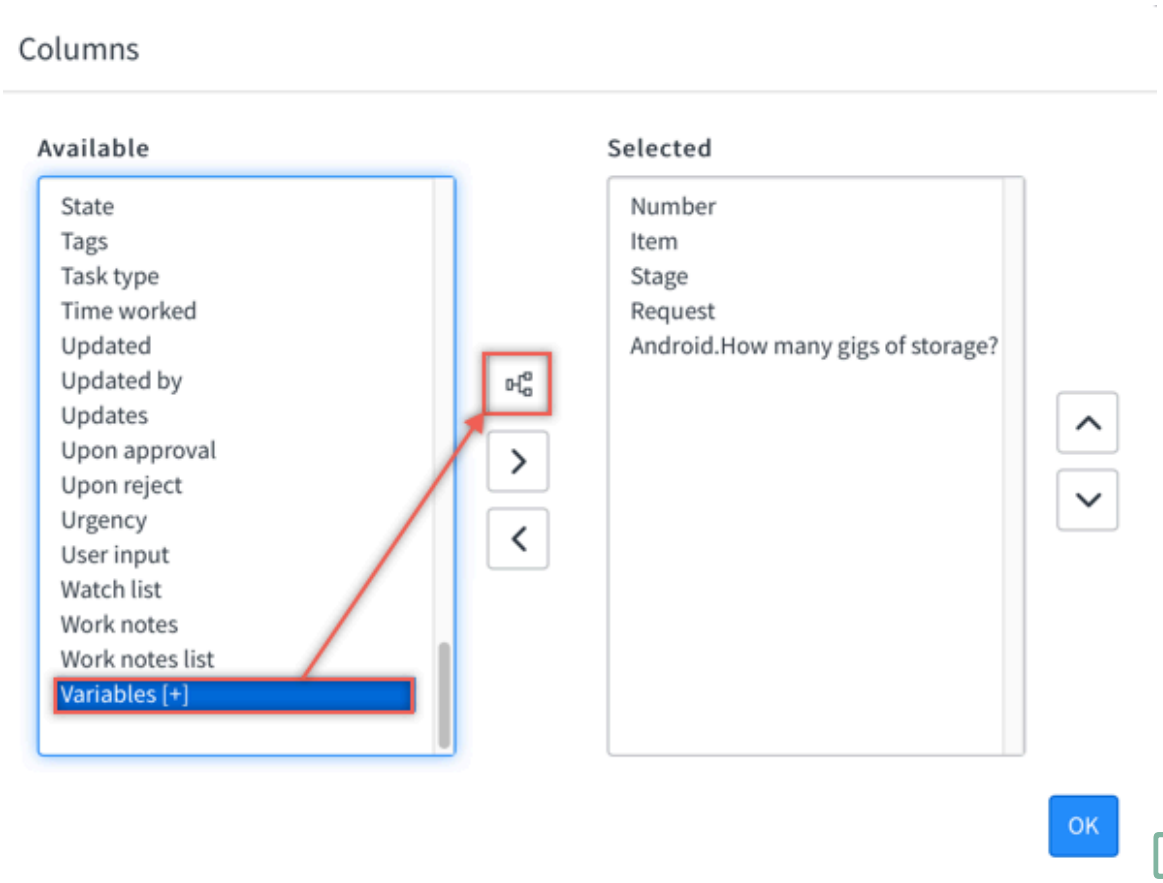
   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、 [実行] を選択します。
6. [設定] タブで [列を選択] をクリックし、開いた [列] ウィンドウで [変数 **[+]]** を選択します。

   [変数**[+]]** は、利用可能な列のリストの一番下にあります。

   システム構成によっては、選択したテーブルを拡張するテーブルのフィールドを追加できます。詳細については、「拡張テーブルに関するレポート」を参照してください。
7. 構造アイコン ()  をクリックしてアイテムを選択します。

自動翻訳

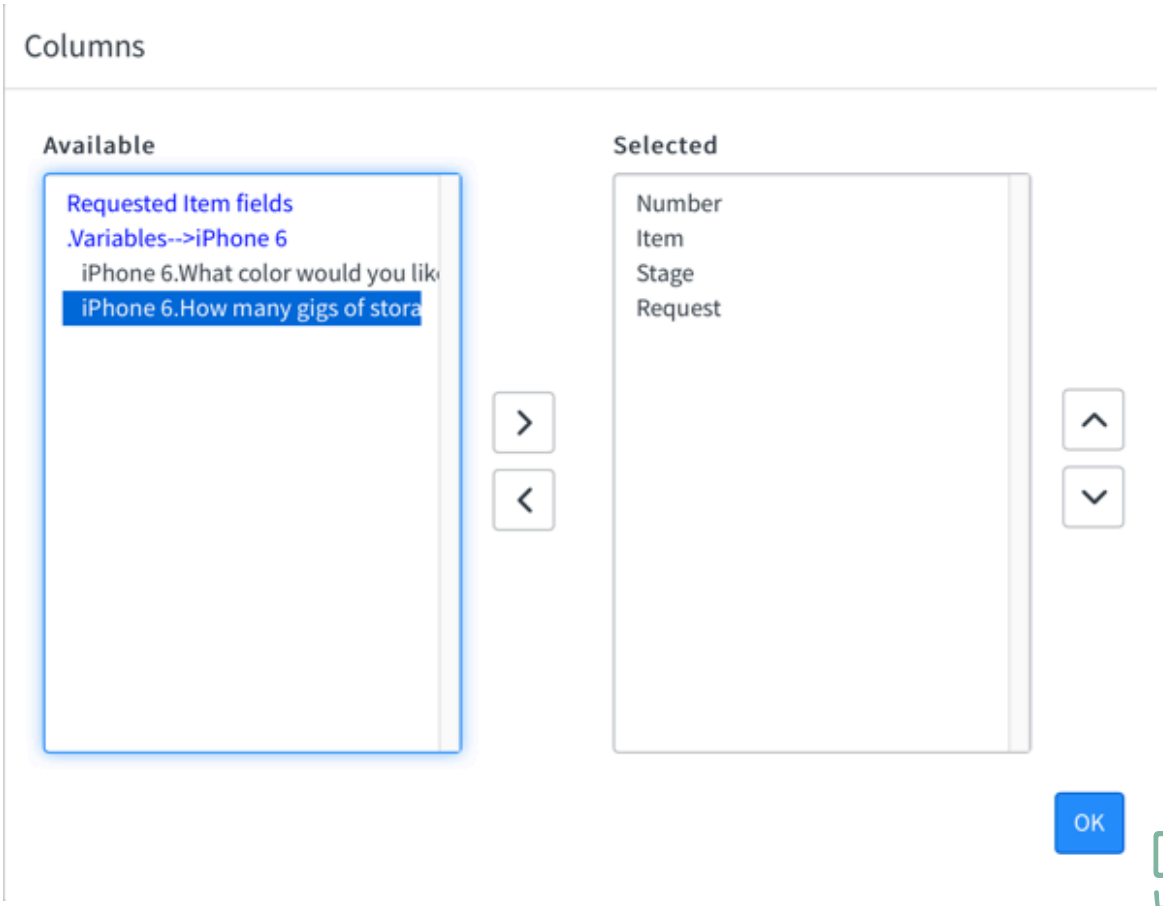
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



8. 表示される [カタログ アイテム] リストからアイテムを選択します。
選択したアイテムに関連付けられている変数が [列] ウィンドウに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



9. 変数を選択して [選択済み] 列に移動し、**[OK]** をクリックします。
10. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

[設定] タブ

フィールド	説明
グループごと	このフィールドの値を使用するグループのレポートデータ。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明については、情報アイコン (ⓘ) をクリックします。 レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 **注:** ◦ レポートは、[タグ] フィールドや MEDIUMTEXT などの特定のフィールドタイプでのグループ化やスタックはできません。 ◦ データベースビューに基づくレポートでは、[変数] または [質問] フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。
他のグ	レポートをグループ化する追加のフィールド。[他のグループ化] フィールドまたは機能フィールドを選択すると、追加のフィールドのいずれか 1 つでレポートをグループ化できるコントロールがレポートの下部に組み込まれます。拡張テーブルのフィールドごと

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ループ化	にグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明については、情報アイコン ()ⓘ をクリックします レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 注: ◦ メインの [グループごと] リストに表示されない [他のグループ化] リストの選択肢を表示できます。レポートでは、表示される追加フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。メインの [グループごと] の選択肢とは異なり、[他のグループ化] フィールドはフィルタリングされません。サポートされていないフィールドを選択しても、効果はありません。 ◦ メインの [グループごと] フィールドにリストされている制限は、[他のグループ化] フィールドにも適用されます。 詳細については、「[グループの追加] または [積み重ね基準]」を参照してください。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「機能フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。

11. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。
フィルターアイコン () を選択し、[並べ替えの追加] を選択します。
    a. [並べ替え順序] ボックスの一覧で、並べ替えるフィールドを選択し、アルファベット順または逆アルファベット順に **[a-z**] または **[z-a**] を選択します。

    このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張または関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

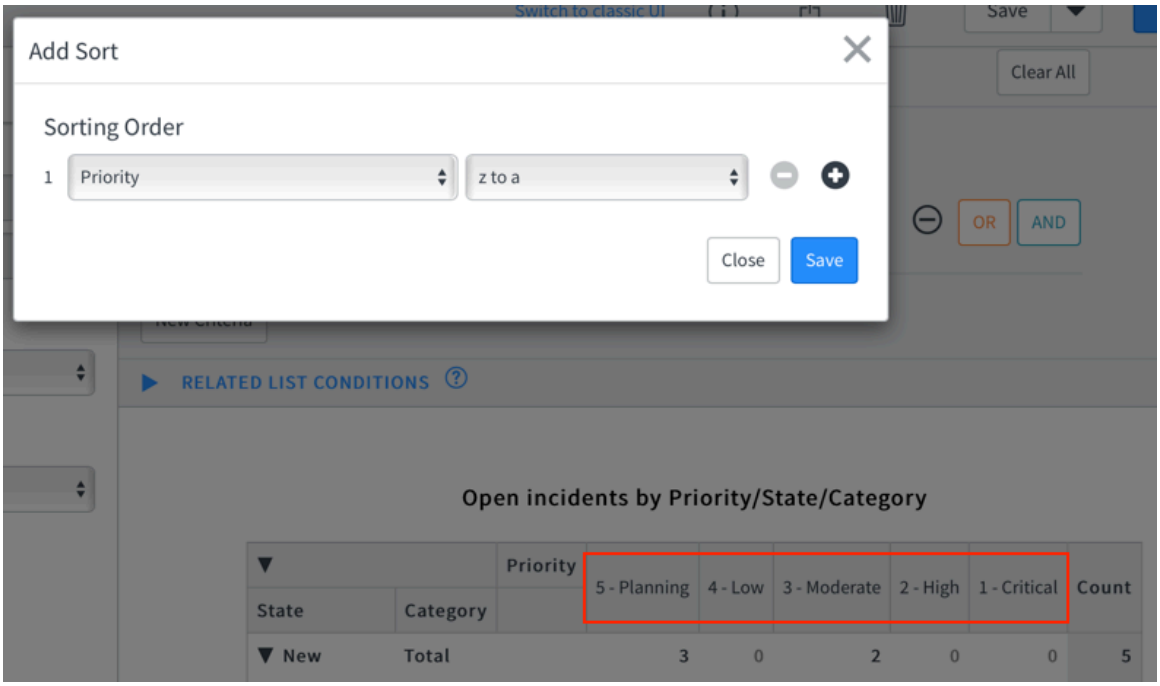
    注:
    ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドでのみソートできます。

    b. ソートプラスアイコン () を選択して、追加のソート順序条件を設定します。(ソートマイナスアイコン ( ) を選択すると、構成済みのソート順条件を削除できます)。
    c. [保存] を選択します。

[選択リスト] タイプのフィールドの場合、ソート順は [ラベル] に基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択フィールドの [値] に基づいてソートされます。マルチレベル ピボットテーブルおよびヒートマップ レポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



12. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン () を選択し、レポートデータをフィルターする条件を指定します。
条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。
13. オプション: [スタイル] タブで、レポート タイトルを追加および構成します。
「リスト レポートのスタイル オプション」を参照してください。
14. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- レポート情報アイコン () を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン () をクリックして [共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートをダッシュボードに追加する、レポートを PDF にエクスポートする、レポートを Web に公開する、可視性とスケジュールを設定する、などが行なえます。詳細については、「レポートの共有」を参照してください。

注:

- PDF にエクスポートされるリスト レポートのデフォルトの行数は 1000 です。この値を構成するには、フィルター ナビゲーターで「sys_properties.list」と入力し、プロパティー glide.pdf.max_rows を編集します。詳しくは、システム ・プロパティーの追加 を参照してください。
- リストのフィルタリングにかかわらず、PDF 形式でエクスポートされた行は、エクスポート制限まですべてのレコード行を順番にカウントし、ACL によって制限されたデータを表示できないロールについては空白として表示されます。

質問列のあるリスト レポートを作成する

質問が関連付けられているデータ ソースまたはテーブルに基づいた質問列を持つ、リスト レポートを作成することができます。たとえば、ユーザーに表示するフォームで、問題の特徴を選択するようユーザーに求める場合に、特徴に対応する値の列を一覧表示するリスト レポートを作成できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

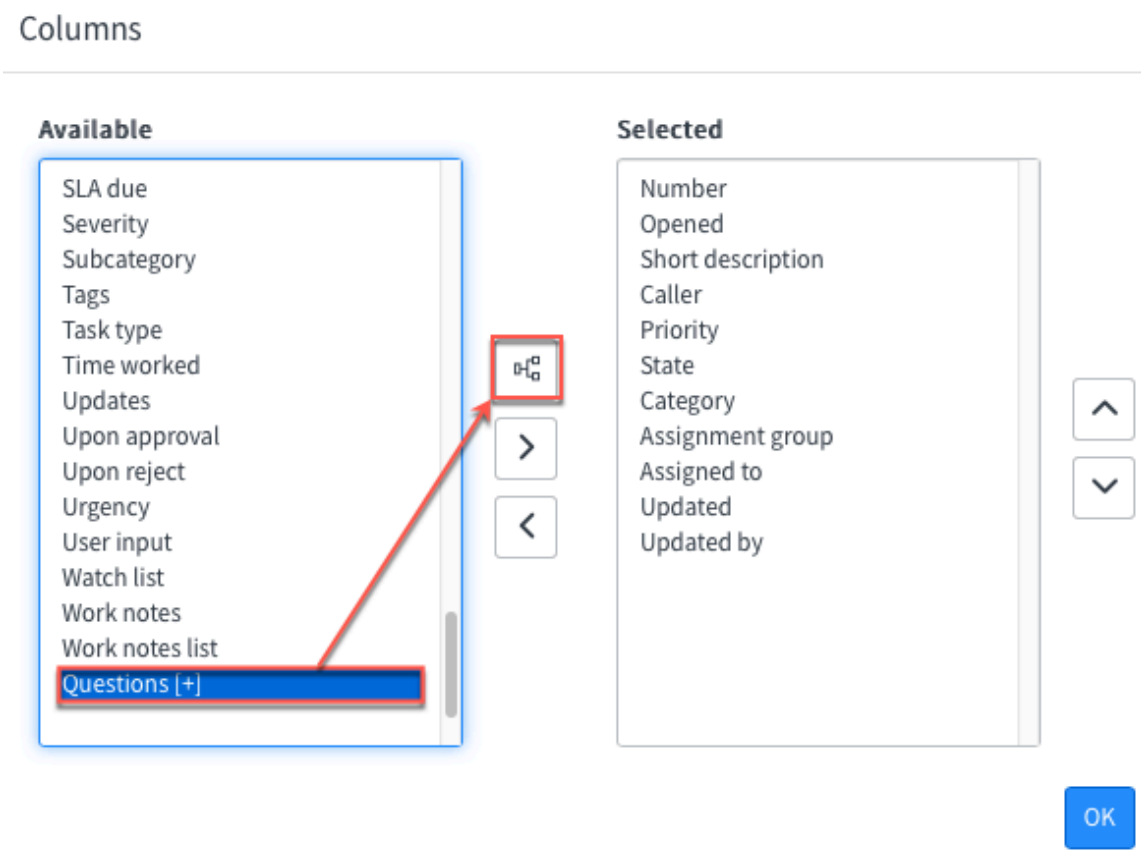
手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. 変数が関連付けられているレポート ソースを選択します。
   レポート ソースには 2 種類あります。変数を含むリスト レポートの場合、レポート ソースは通常はサービス カタログ テーブルです。
4. [次へ] を選択します。
5. [タイプ] タブのフィルターに「リスト」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、 [実行] を選択します。
6. [設定] タブで [列を選択] をクリックし、開いた [列] ウィンドウで [質問 **[+]]** を選択します。

   [質問**[+]]** は、利用可能な列のリストの一番下にあります。

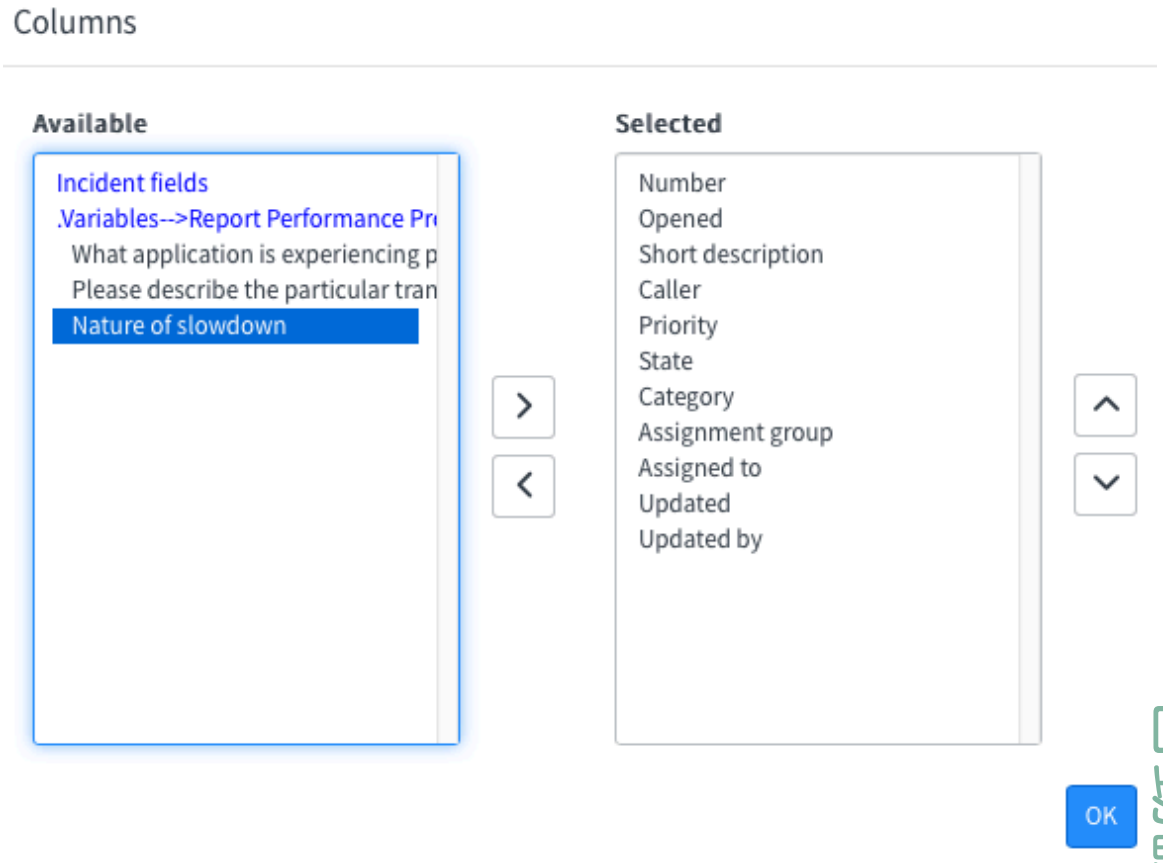
   システム構成によっては、選択したテーブルを拡張するテーブルのフィールドを追加できます。詳細については、「拡張テーブルに関するレポート」を参照してください。
7. 構造アイコン ()  をクリックしてアイテムを選択します。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

8. 表示される [カタログ アイテム] リストからアイテムを選択します。
選択したアイテムに関連付けられている変数が [列] ウィンドウに表示されます。



9. 質問を選択して [選択済み] 列に移動し、**[OK]** をクリックします。
10. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

[設定] タブ

フィールド	説明
グループごと	このフィールドの値を使用するグループのレポートデータ。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明については、情報アイコン (ⓘ) をクリックします。 レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 **注:** ○ レポートは、[タグ] フィールドや MEDIUMTEXT などの特定のフィールドタイプでのグループ化やスタックはできません。 ○ データベースビューに基づくレポートでは、[変数] または [質問] フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
他のグループ化	レポートをグループ化する追加のフィールド。[他のグループ化] フィールドまたは機能フィールドを選択すると、追加のフィールドのいずれか 1 つでレポートをグループ化できるコントロールがレポートの下部に組み込まれます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明については、情報アイコン ()ⓘ をクリックします レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 注: ◦ メインの [グループごと] リストに表示されない [他のグループ化] リストの選択肢を表示できます。レポートでは、表示される追加フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。メインの [グループごと] の選択肢とは異なり、[他のグループ化] フィールドはフィルタリングされません。サポートされていないフィールドを選択しても、効果はありません。 ◦ メインの [グループごと] フィールドにリストされている制限は、[他のグループ化] フィールドにも適用されます。 詳細については、「[グループの追加] または [積み重ね基準]」を参照してください。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「機能フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。

11. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。
フィルターアイコン () を選択し、[並べ替えの追加] を選択します。
    a. [並べ替え順序] ボックスの一覧で、並べ替えるフィールドを選択し、アルファベット順または逆アルファベット順に **[a-z**] または **[z-a**] を選択します。

    このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張または関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

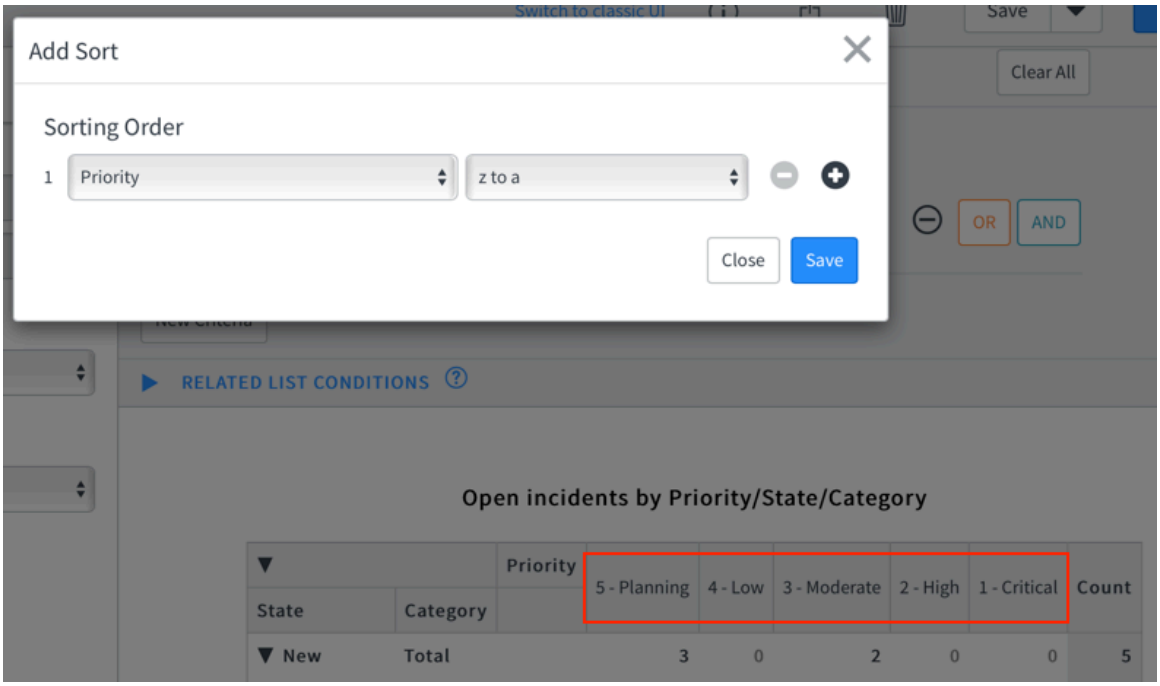
    注:
    ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドでのみソートできます。

    b. ソートプラスアイコン () を選択して、追加のソート順序条件を設定します。(ソートマイナスアイコン ( ) を選択すると、構成済みのソート順条件を削除できます)。
    c. [保存] を選択します。

[選択リスト] タイプのフィールドの場合、ソート順は [ラベル] に基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択フィールドの [値] に基づいてソートされます。マルチレベル ピボットテーブルおよびヒートマップ レポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



12. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン () を選択し、レポートデータをフィルターする条件を指定します。
条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。
13. オプション: [スタイル] タブで、レポート タイトルを追加および構成します。
「リスト レポートのスタイル オプション」を参照してください。
14. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- レポート情報アイコン () を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン () をクリックして [共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートをダッシュボードに追加する、レポートを PDF にエクスポートする、レポートを Web に公開する、可視性とスケジュールを設定する、などが行なえます。詳細については、「レポートの共有」を参照してください。

> **注:**
> PDF にエクスポートされるリスト レポートのデフォルトの行数は 1000 です。この値を構成するには、フィルター ナビゲーターで「sys_properties.list」と入力し、プロパティー glide.pdf.max_rows を編集します。詳しくは、システム ・プロパティーの追加 を参照してください。

リスト レポートのスタイル オプション

リストレポートにタイトルを追加し、タイトルのサイズ、色、配置を構成します。

リスト レポートを作成または編集するときに、[データ] タブで指定したレポート名の代わりにタイトルを追加できます。レポートを共有しているユーザーには、レポートの名前の代わりに新しいタイトルが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスト レポートのスタイル オプション

フィールド	説明
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 • 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] オプションがクリアされている場合に使用できます。

リストレポート内のグループレコード

グループ化されたリスト レポートでは、通常のリストに表示するように構成されたレコードのみを各グループに表示できます。リスト レポートの情報行を特定のフィールド別にグループ化できます。サービスカタログ変数別にリスト レポートをグループ化することはできません。

一度に 100 件のレコードを表示するように構成されたリストでは、そのグループのレコード数に関係なく、最初の 100 件のレコードのみを表示できます。グループ内でページングを使用することはできず、グループ化されたリストから離れずに残りのレコードにアクセスすることはできません。グループ内のすべてのレコードにアクセスするには、次のようにします。

- リストの表示サイズを大きくします。
- グループ ヘッダーをクリックして、そのグループでページングが有効になっている通常のリストに戻ります。

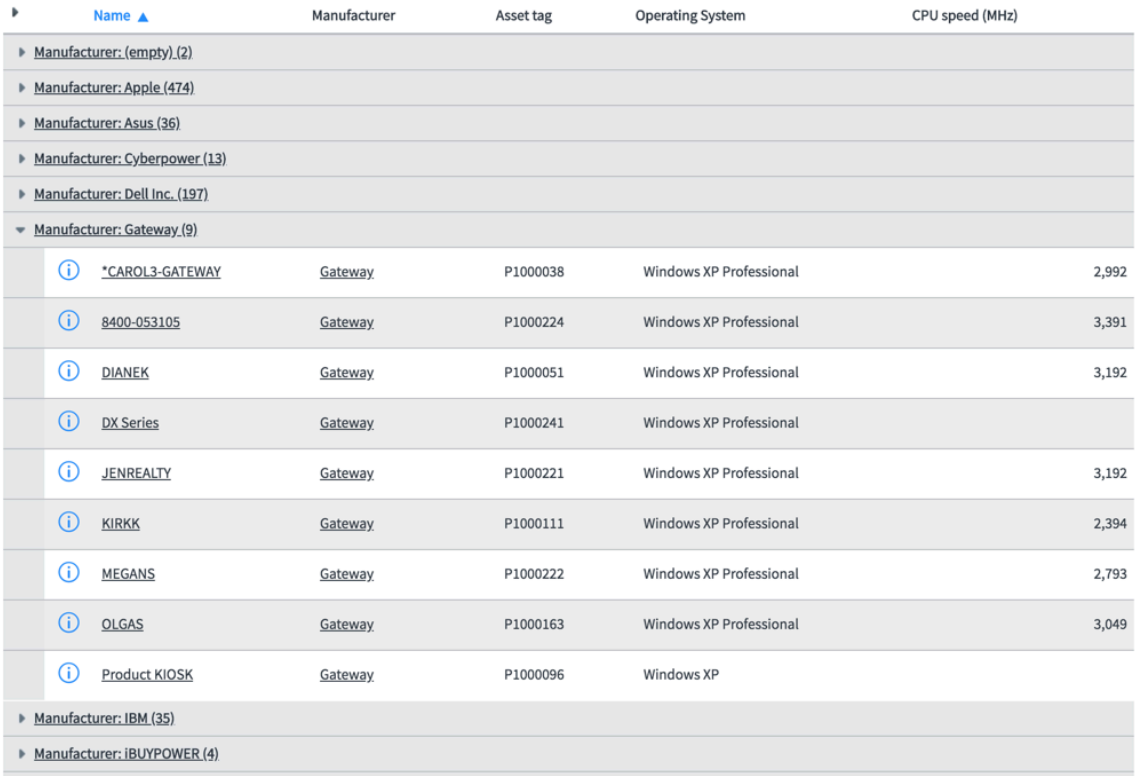
リスト レポートでは、グループ化されたレコードを自動的に展開するためのユーザー設定はサポートされていません。

デフォルトでは、レポートのセクションは折りたたまれています。この例では、製品のリストがメーカー別にグループ化され、Gateway に関連付けられているアイテムが展開されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

グループ化されたリスト レポート



Name ▲	Manufacturer	Asset tag	Operating System	CPU speed (MHz)
Manufacturer: (empty) (2)				
Manufacturer: Apple (474)				
Manufacturer: Asus (36)				
Manufacturer: Cyberpower (13)				
Manufacturer: Dell Inc. (197)				
Manufacturer: Gateway (9)				
*CAROL3-GATEWAY	Gateway	P1000038	Windows XP Professional	2,992
8400-053105	Gateway	P1000224	Windows XP Professional	3,391
DIANEK	Gateway	P1000051	Windows XP Professional	3,192
DX Series	Gateway	P1000241	Windows XP Professional	
JENREALTY	Gateway	P1000221	Windows XP Professional	3,192
KIRKK	Gateway	P1000111	Windows XP Professional	2,394
MEGANS	Gateway	P1000222	Windows XP Professional	2,793
OLGAS	Gateway	P1000163	Windows XP Professional	3,049
Product KIOSK	Gateway	P1000096	Windows XP	
Manufacturer: IBM (35)				
Manufacturer: iBUYPOWER (4)				

リスト レポートを **Excel** にエクスポートする

レポートのエクスポートをスケジュールすると、リストレポートを Excel にエクスポートできます。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。

注:
管理者が作成した制限により、これらのロールを持つユーザーにエクスポートオプションが表示されなくなる場合があります。

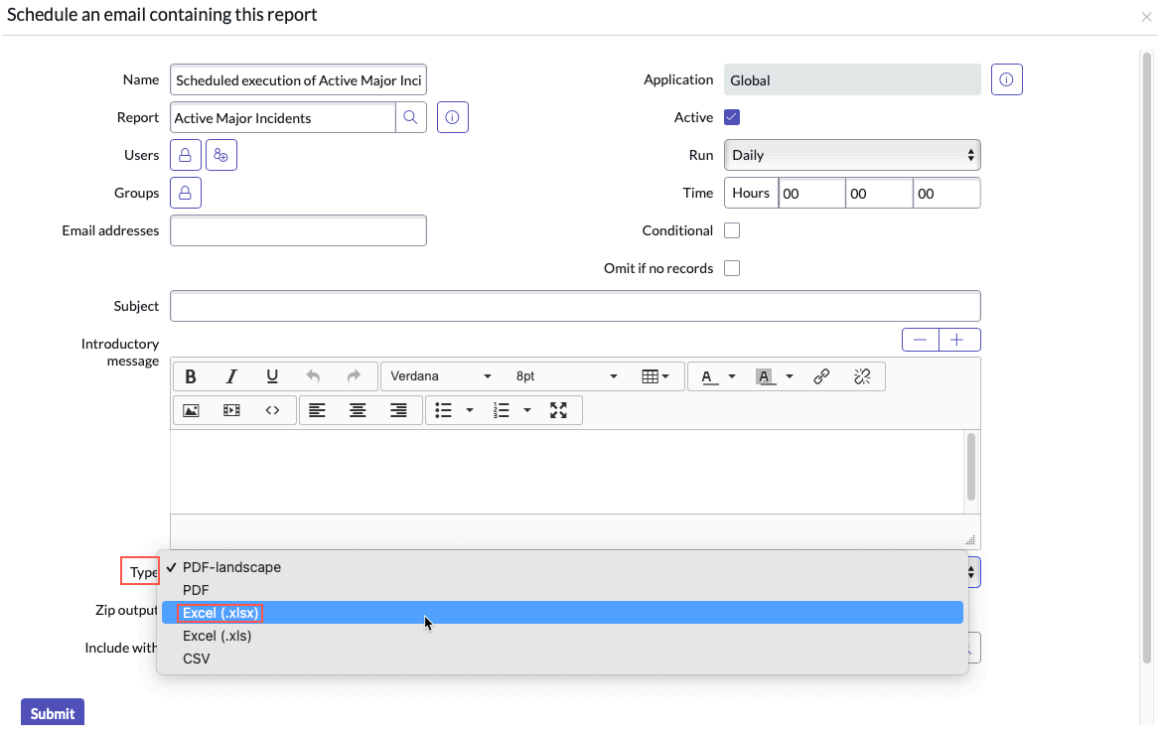
手順

1. 移動先 レポート > 表示/実行.
2. エクスポートするリストレポートを開きます。
3. [共有] アイコン ()をクリックし、[スケジュール] を選択します。
4. Excel スプレッドシートとしての保存済みリスト レポートのエクスポートをスケジュール設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[タイプ] を [Excel スプレッドシート] に指定します。Excel ではレポートの期間がミリ秒で表示されます。「<x> 日 <y> 時間」という形式では表示されません。詳細については、「レポートのメールをスケジュールする」を参照してください。



タスクの結果

レポートスケジュールの受信者は、Excel スプレッドシートの形式でレポートを受信します。

プラットフォームリストを**Excel**にエクスポート

リストには、テーブルのレコードセットが表示されます。クラシック環境のリストの情報をスプレッドシートにエクスポートできます。

始める前に

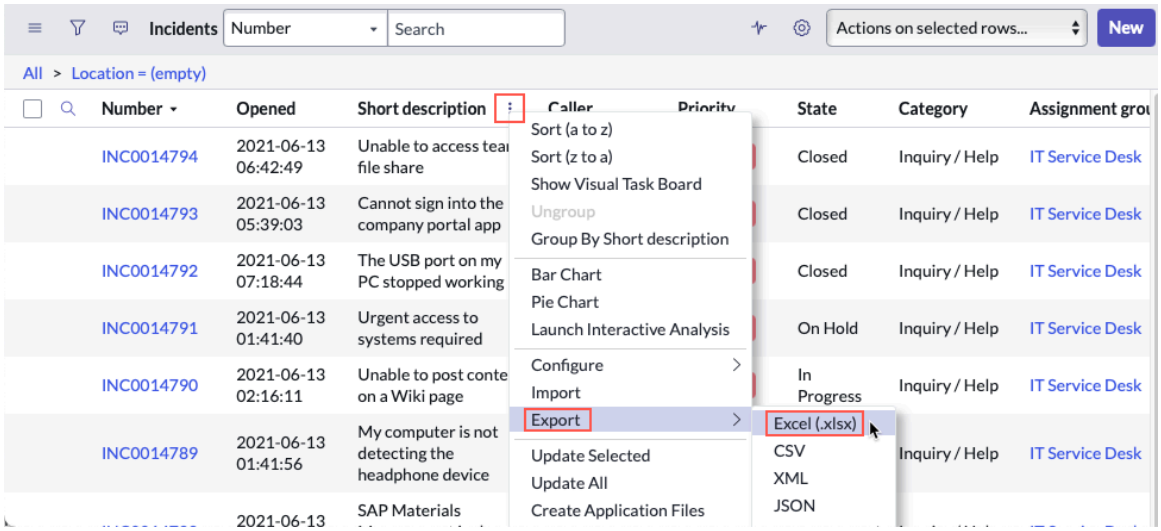
必要なロール:なし。ただし、リストを表示するには権限が必要です。

詳細については、「Lists in the classic environment」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. エクスポートするリストに移動します。
2. 任意の列見出しを右クリックし、 エクスポート > **Excel**.



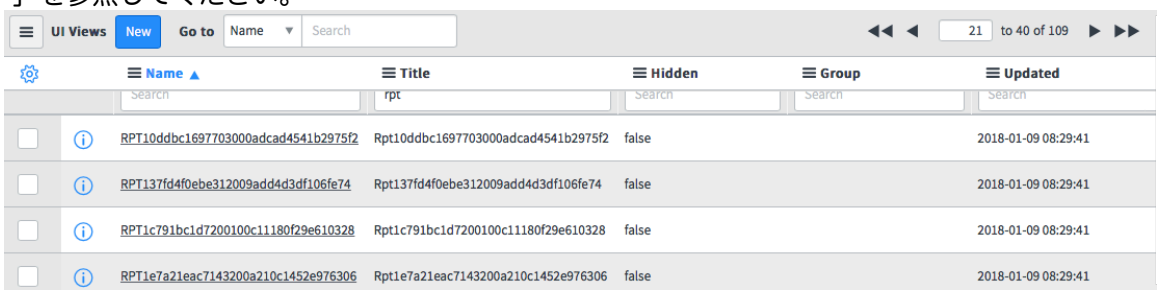
更新セットを使用したリストレポートの列構成の適用

リストレポート内の構成済みの列は、更新セットをコミットすることで別のインスタンスに移動できます。

構成されたリストレポート列は、更新セットをコミットするときにインスタンスに自動的には適用されません。リスト レポートは、レポートを保存するたびに作成される UI ビューを使用して表示されます。構成された列がリスト レポートまたは別のインスタンスのダッシュボード ウィジェットに表示されるようにするには、次の手順を実行します。

1. UI ビューテーブルから、変更のレポート (RPT) ビューレコードのsys_idを検索します。
2. それを更新セットに追加します。

カスタマイズした構成を更新セットに追加して適用する方法については、「システム更新セット」を参照してください。



マップ レポート

マップ レポートは、データをマップ (地図) 上に表示します。データを地理的なヒートマップとして表示したり ( )、特定のデータポイントを表示したり ( ) したりできます。

マップを拡大すると、より詳細な画面が表示されます。ヒートマップ モードでは、データが含まれているマップ上の任意の地域をクリックして、マップにドリル ダウンすることができます。

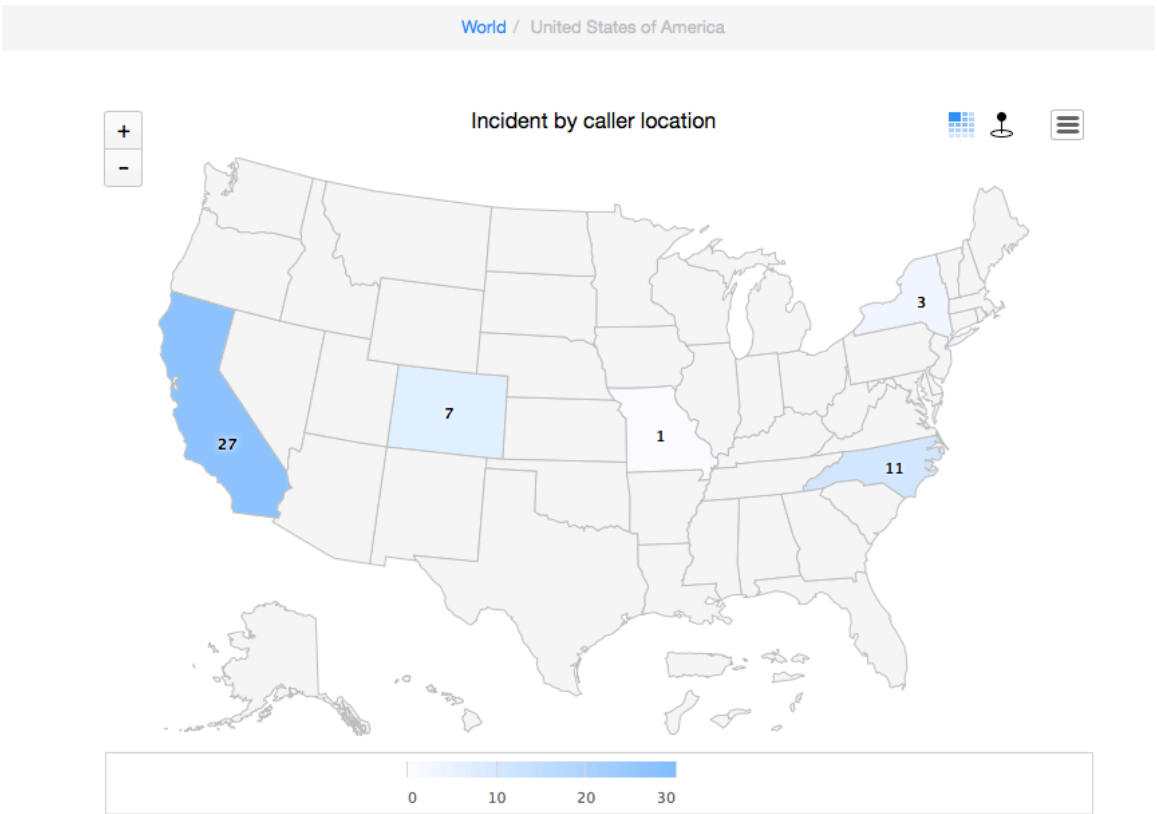
注:
マップ レポートにドリル ダウンする場合はマップ レポートを保存してください。未保存のレポートにドリル ダウンすることはできません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

マップ階層の最下層にはデータ ポイントのみ表示できます。この最下層のデータをクリックすると、データがリスト ビューまたはドリル ダウン ビュー (そのように構成している場合) に表示されます。

制限事項

- Internet Explorer バージョン 7 および 8 では、マップはサポートされていません。
- マップ レポートは、Internet Explorer バージョン 7 ～ 9、Firefox バージョン 31 ～ 37、Safari 5、またはすべてのバージョンの Edge ブラウザで、画像として保存することはできません。最良の結果を得るには、Chrome を使用してマップ レポートを操作してください。
- マップ レポートは PDF としてエクスポートすることはできませんが、画像として保存することはできます。
- このレポート タイプは、スケジュール設定済みレポートとして実行することはできません。



マップ レポートを作成する

マップ レポートを作成して、地理的なヒートマップ上にデータをプロットするか、特定のデータ ポイントのピン位置でデータをプロットします。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. レポートに適用可能なソースを選択します。

オプション	説明
データソース	データソースはレポートソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためにフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 **注:** 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、それらのレポートを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、テーブル名の下に簡単な説明が表示されます。 傾向レポートでは、外部ソースから取得したデータをメモリに集約するリモートテーブルを選択することもできます。次に、[傾向] フィールド オプションを選択して、そのデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください
外部インポート	既存のインポートされたレポートソースを選択するか、[アップロード] アイコン ()を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからレポートを作成する」を参照してください。
MetricBase	MetricBase を使用すると、新しいプラットフォームでカスタム時系列データを収集、保持、分析、視覚化することができます。詳細については、「 MetricBase」を参照してください。

4. [次へ] を選択します。
5. [タイプ] タブのフィルターに「マップ」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、 [実行] を選択します。

6. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

フィールド	説明
データ テーブルを表示	レポートの下のリストにレポートデータを表示するには、このオプションを選択します。レ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	ポートが追加されたダッシュボードにリストが表示されます。 glide.ui.section508 システムプロパティが **true** に設定されている場合、すべてのレポート可視化にレポートデータが表示されます。glide.ui.section508 プロパティは、[データテーブルを表示] フィールドを上書きします。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「機能フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
集計	データで実行する数値計算。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数を示します。 一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。 選択した [テーブル] からのフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択します。集計の基準となるフィールドをこのリストから選択します。 レポートをフィールド別にグループ化し、[平均] 集計を選択すると、各グループの平均が取得されます。合計値が表示されている場合は、個々のフィールド値ではなく、これらのグループ平均の平均です。 [最小] または [最大] を選択して、レポートの各セグメントの最大値または最小値を表示します。 集計の詳細については、「レポートの集計」を参照してください。 [平均]、[合計]、[個別のカウント]、[最小]、[最大] を選択した場合は、拡張テーブルのフィールドで集計することもできます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	FX 通貨値の集計については、「レポートの FX 通貨値」を参照してください。
このデータをマップ	マップにプロットするデータ。レポート管理者がマップ ソースとして準備したデータのみ使用できます。
マップを設定	レポートの開始マップ。ズームインができますが、このマップからズームアウトすることはできません。

7. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン () を選択し、レポートデータをフィルターする条件を指定します。
条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。
8. [スタイル] タブで、レポートの外観を構成します。
必要に応じてフィールドを入力します。

マップ レポートのスタイル オプション

フィールド	説明
全般	
ヒートマップ カラーを使用	チェック ボックスをオンにすると、マップ上の値ごとに異なる色を使用します。このチェック ボックスをオフにすると、データのあるすべての地理的な場所が同じ色で表示されます。
高スコア用の色	高い値を示す色。
低スコア用の色	低い値を示す色。
データ ラベルを表示	このチェック ボックスをオンにすると、各データ ポイントの値が表示されます。
地理的ラベルを表示	チェック ボックスをオンにすると、マップ上の国、地域、州などの地理的オブジェクトの名前が表示されます。
カスタム グラフ サイズ	レポートの幅と高さをピクセル単位で指定するチェック ボックス。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
チャートの幅	レポートの幅 (ピクセル単位)。デフォルト値は 600 です。 このフィールドは、[カスタム グラフ サイズ] が選択されている場合に利用できます。

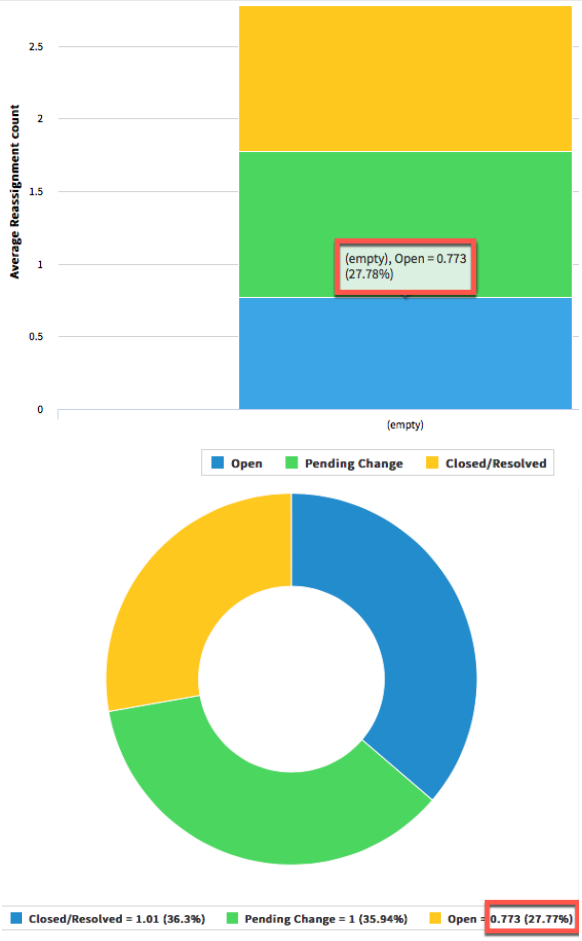
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
チャートの高さ	レポートの高さ (ピクセル単位)。デフォルト値は 450 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に表示されます。
チャートサイズ	チャートのサイズ。このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] がクリアされている場合に利用できます。選択肢は、[小]、[中]、[大] です。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
ドリルダウンビュー	ドリルダウン レポート タイプが指定されていないレポートのセグメントをユーザーが選択したときに表示するリスト ビュー。このビューは、ユーザーがレポートの最小ドリルダウン レベルに達したときにも使用されます。詳しくは 、 リストレイアウトの設定 を参照してください。[レポートのドリルダウン] を指定すると、[ドリルダウンビュー] は無視されます。 詳細については、「レポート ドリルダウンの定義」を参照してください。
小数点以下桁数	表示する小数点以下の桁数。ゼロから 4 桁の小数点以下まで表示することができます。デフォルト値：2。デフォルト値を変更するには、システム プロパティ glide.chart.decimal.precision を作成し、値を指定します。 **注:** パーセンテージ ラベルは、指定された小数点以下桁数に応じて変更されることはありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	
タイトル	
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 ○ 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 ○ レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 ○ 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルの	チャート タイトルの位置の X 座標と Y 座標を指定するチェック ボックス。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
カスタム位置	
チャート タイトルの X 位置	チャートのタイトル位置を左右に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを右に移動するには、正の値を入力します。左に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの Y 位置	チャート タイトルの位置を上下に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを上に移動するには、正の値を入力します。下に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] オプションがクリアされている場合に使用できます。
タイトルの垂直配置	チャートのタイトルを垂直に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] がクリアされいてる場合にのみ表示されます。
[凡例] タブのフィールド (レポートで色が使用されている場合のみ使用可能)	
凡例を表示	チャートの凡例を表示するチェック ボックス。このチェックボックスは、[グループ] フィールドがレポート フォームで選択されている場合に表示されます。 凡例はデフォルトでは短縮されます。切り捨ての長さを調整するには、プロパティ *glide.chart.label.legend.truncate_to* と *glide.chart.label.legend.truncate_to.large*を構成します。詳細については、「レポートのプロパティー」を参照してください。
凡例の水平配置	凡例を水平に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例の垂直配置	凡例を垂直に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例境界を表示	凡例を囲む枠線を表示するチェック ボックス。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例テキストを左揃え	ブラウザでレポートを表示するときに凡例テキストを左揃えにするチェック ボックス。デフォルトでは、凡例テキストが中央揃えになっています。レポートを PDF、PNG、JPG にエクスポートすると、凡例は中央揃えのままとなります。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。

9. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン () を選択し、レポートデータをフィルターする条件を指定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

10. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- レポート情報アイコン () を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン () を選択して [共有] メニューを開きます。このメニューでは、ユーザーやグループとレポートの共有、ダッシュボードにレポートの追加、レポートの Web 公開などが行えます。

マルチレベル ピボット テーブル

マルチレベル ピボット テーブルでは、集計データが複数のディメンションに分類されて 1 つの表に表示されます。行と列の値の組み合わせごとに別々のセルが表示され、第 1 レベルの行には列の小計が表示されます。集計情報は、チャートの左上に表示されます。

また、変数を含む列と行を持つマルチレベル ピボット テーブルを作成することもできます。「レポートでサービス カタログ変数を使用する」を参照してください。

表の行を展開したり折りたたんだりして、グラフの詳細を表示することも、小計のみを表示することもできます。マルチレベル ピボット レポートの一番上の行は常に表示されます。

注:

- 行の構成によってはチャートに小計情報が表示されなくなります。たとえば、文字列の列のテキスト値が同じであっても文字の大文字と小文字が異なる場合などです。
- このレポートタイプは PDF としてのみスケジュールできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

小計と展開された行が表示されたマルチレベル ピボット

Multilevel Pivot Report Example

▼		Active	false				true	Count
		State	Closed	New	In Progress	On Hold	Resolved	
Last name	Name							
▼ (empty)	Total			5		1		6
	(empty)			5		1		6
▼ Anglin	Total		1		5			6
	Sales		1		5			6
▼ Goodliffe	Total		4		4			8
	Development		4		4			8
▼ Johnson	Total		1		1	1		3
	Sales		1		1	1		3
▼ Loo	Total		6		1	1		8
	Development		6		1	1		8
▶ Luddy	Total				2	1		3
▶ Richman	Total		1		1		2	4
▶ User	Total		3		6	2		11
▶ Whitherspoon	Total		1					1
▶ Wilson	Total		3					3
Count			20	5	20	6	2	53

マルチレベル ピボット レポートを作成する

マルチレベル ピボット テーブルを作成して、集計データを複数の評価指標に分類して 1 つの表に表示します。

始める前に
必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.

2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。

3. レポートに適用可能なソースを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
データソース	データソースはレポートソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためにフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 **注:** 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、それらのレポートを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、テーブル名の下に簡単な説明が表示されます。 傾向レポートでは、外部ソースから取得したデータをメモリに集約するリモートテーブルを選択することもできます。次に、[傾向] フィールド オプションを選択して、そのデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください
外部インポート	既存のインポートされたレポートソースを選択するか、[アップロード] アイコン () を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからレポートを作成する」を参照してください。
MetricBase	MetricBase を使用すると、新しいプラットフォームでカスタム時系列データを収集、保持、分析、視覚化することができます。詳細については、「 MetricBase」を参照してください。

4. [次へ] を選択します。
5. [タイプ] タブのフィルターに「マルチレベル ピボット テーブル」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、 [実行] を選択します。
6. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[設定] タブ

フィールド	説明
列を選択	チャートの列として使用する 1 つ以上のフィールド。グラフには、行と列の値の組み合わせによって分類されたデータが表示されます。最大 3 つの列を選択できます。 選択したフィールドの説明については、情報アイコン ()ⓘ をクリックします **注:** [タグ] フィールド別にグループ分けすることはできません。
行を選択	チャートの行として使用する 1 つ以上のフィールド。グラフには、行と列の値の組み合わせによって分類されたデータが表示されます。最大 5 つの行を選択できます。 選択したフィールドの説明については、情報アイコン ()ⓘ をクリックします **注:** [タグ] フィールドはマルチレベル ピボット レポートではサポートされていません。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「機能フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
集計	データで実行する数値計算。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数を示します。 一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。 選択した [テーブル] からのフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択します。集計の基準となるフィールドをこのリストから選択します。 レポートをフィールド別にグループ化し、[平均] 集計を選択すると、各グループの平均が取得されます。合計値が表示されている場合は、個々のフィールド値ではなく、これらのグループ平均の平均です。 [最小] または [最大] を選択して、レポートの各セグメントの最大値または最小値を表示します。 集計の詳細については、「レポートの集計」を参照してください。 [平均]、[合計]、[個別のカウント]、[最小]、[最大] を選択した場合は、拡張テーブルのフィールドで集計することもできます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 FX 通貨値の集計については、「レポートの FX 通貨値」を参照してください。
値の書式	小数点以下桁数、丸め、最小および最大の期間単位、期間単位の省略形など、レポートでの数値の表示方法を構成できます。「レポートの値の書式設定」を参照してください。

自動翻訳

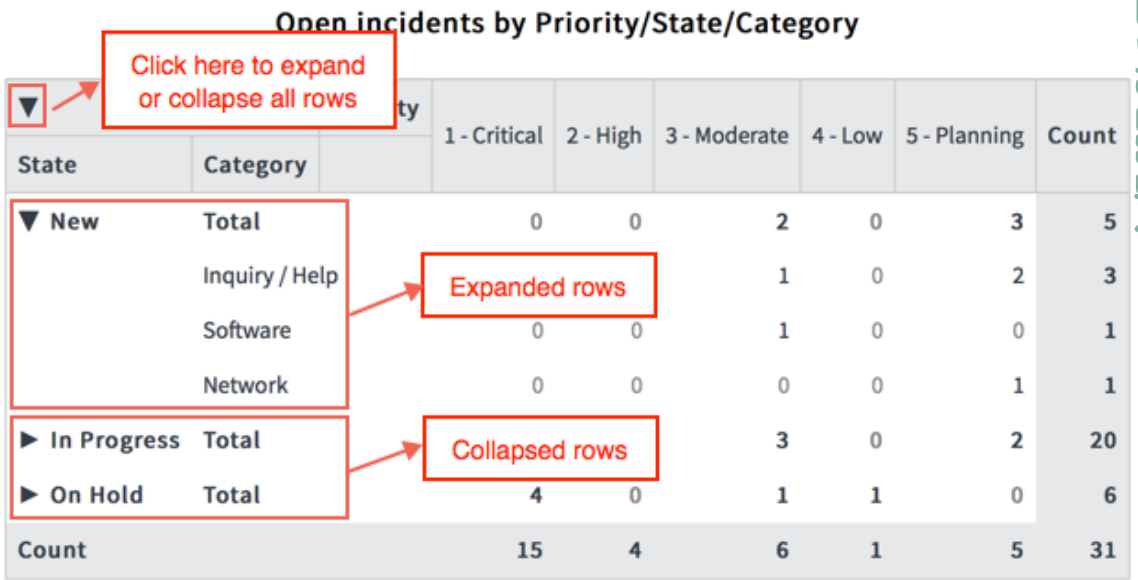
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
を設定	注: 小数点以下桁数は通貨フィールドでは機能しません。
グループの最大数	[グループ] 条件が返すグループの最大数。最高値を持つグループが最初に表示されます。制限を超えるグループはどれも、[その他] という単一のグループに結合されます。 [すべて表示] を選択すると、最大 50 までのグループが表示されます。残りの結果は [その他] としてグループ化されます。
その他の表示	レポートに [その他] グループを含めるかどうかを指定するチェックボックス。[その他] グループには、[グループの最大数] で指定されている数を超えるすべてのグループのデータが含まれます。

注:
通貨フィールドのデフォルトは小数点以下 2 桁です。[値の書式を設定] オプションを使用すると、小数点以下 0 から 4 桁の小数精度を構成できます。

7. オプション: 行が展開された状態のレポートを表示するには、[デフォルトで展開] を選択します。選択しない場合は、すべての行が折りたたまれた状態でレポートが表示されます。

折りたたまれた行と展開された行を含むマルチレベル ピボット レポート



8. オプション: レポート内のセルを区切る行を表示するには、[行の線を表示] と [列の線を表示] をオンにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Open incidents by Priority/State/Category

▶		Priority	1 - Critical	2 - High	3 - Moderate	4 - Low	5 - Planning	Count
State	Category							
▶ New	Total		0	0	2	0	3	5
▶ In Progress	Total		11	4	3	0	2	20
▶ On Hold	Total		4	0	1	1	0	6
Count			15	4	6	1	5	31

9. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。

フィルターアイコン () を選択し、[並べ替えの追加] を選択します。

a. [並べ替え順序] ボックスの一覧で、並べ替えるフィールドを選択し、アルファベット順または逆アルファベット順に **[a-z**] または **[z-a**] を選択します。

このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張または関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

注:
ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドでのみソートできます。

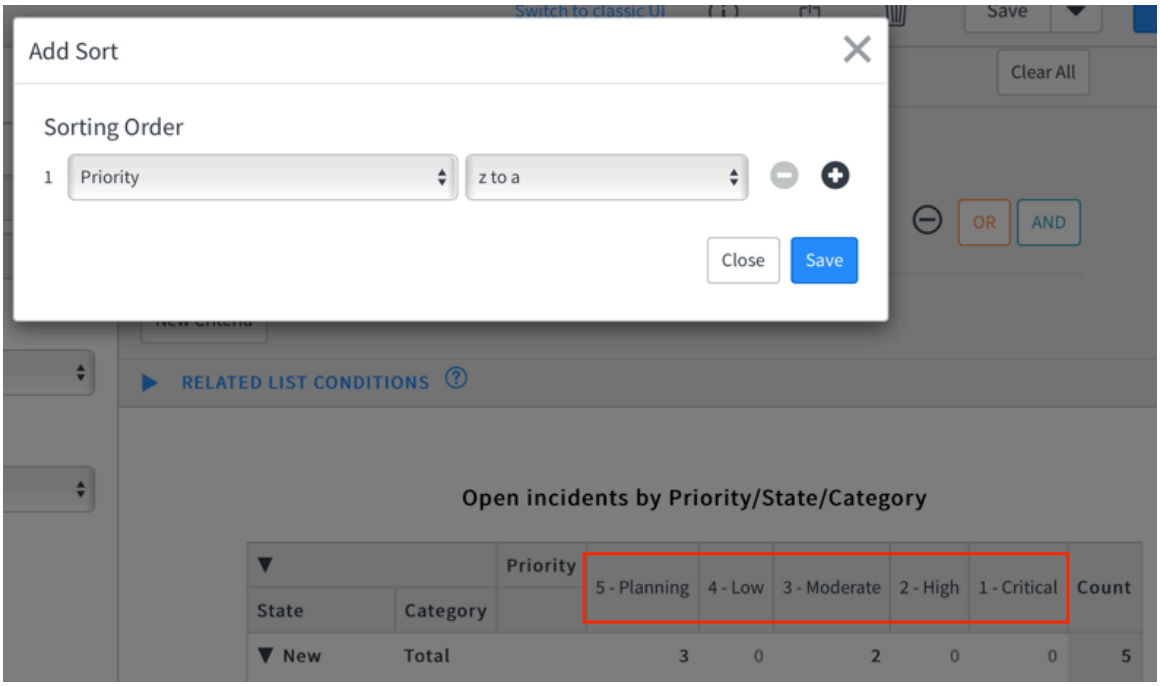
b. ソートプラスアイコン () を選択して、追加のソート順序条件を設定します。(ソートマイナスアイコン ( ) を選択すると、構成済みのソート順条件を削除できます)。

c. [保存] を選択します。

[選択リスト] タイプのフィールドの場合、ソート順は [ラベル] に基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択フィールドの [値] に基づいてソートされます。マルチレベル ピボットテーブルおよびヒートマップ レポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



10. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン () を選択し、レポートデータをフィルターする条件を指定します。
条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。
11. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。
12. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- レポート情報アイコン () を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン () を選択して [共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。
- コミュニティ サイトを検索して、マルチレベルピボットレポートの詳細やヘルプを確認してください。

可変列と可変行を持つマルチレベル ピボット レポートを作成する

変数が関連付けられたデータ ソースまたはテーブルに基づいて、可変の列と行を含むマルチレベル ピボット レポートを作成できます。変数はカタログ アイテムの説明です。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. レポートに適用可能なソースを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
データソース	データソースはレポートソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためにフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 注: 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、それらのレポートを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、テーブル名の下に簡単な説明が表示されます。 傾向レポートでは、外部ソースから取得したデータをメモリに集約するリモートテーブルを選択することもできます。次に、[傾向] フィールド オプションを選択して、そのデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください
外部インポート	既存のインポートされたレポートソースを選択するか、[アップロード] アイコン () を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからレポートを作成する」を参照してください。
MetricBase	MetricBase を使用すると、新しいプラットフォームでカスタム時系列データを収集、保持、分析、視覚化することができます。詳細については、「 MetricBase」を参照してください。

4. [次へ] を選択します。
5. [タイプ] タブのフィルターに「マルチレベル ピボット テーブル」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、 [実行] を選択します。
6. [設定] タブで、[列を選択] をクリックします。

   [マルチレベル ピボット列] ウィンドウの [利用可能] リストで、レポートで使用する列を選択し、[選択済み] リストに移動します。

   注:
   レポートは、[タグ] フィールドや MEDIUMTEXT などの特定のフィールドタイプでのグループ化やスタックはできません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

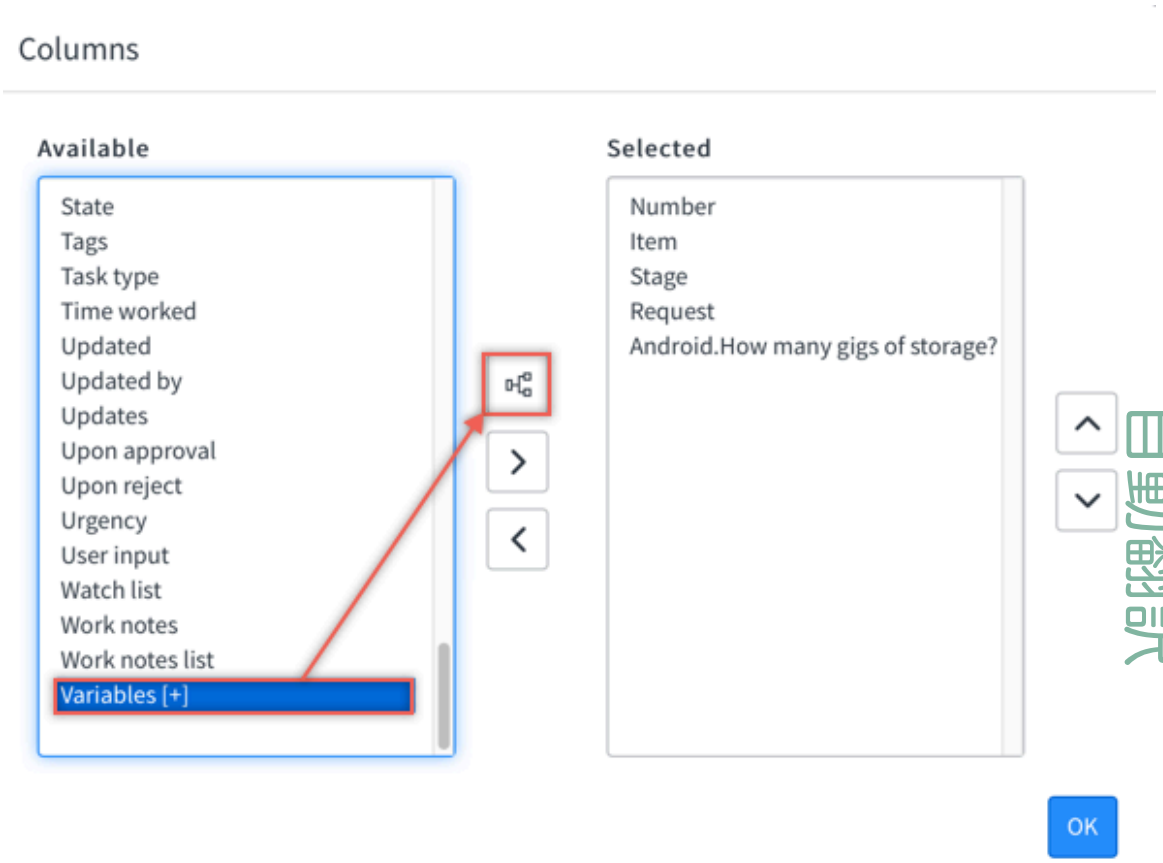
自動翻訳

システム構成によっては、レポート データ ソースとして選択したテーブルを拡張するテーブルのフィールドを追加できます。詳細については、「拡張テーブルに関するレポート」を参照してください。

7. 列として使用する変数を選択します。

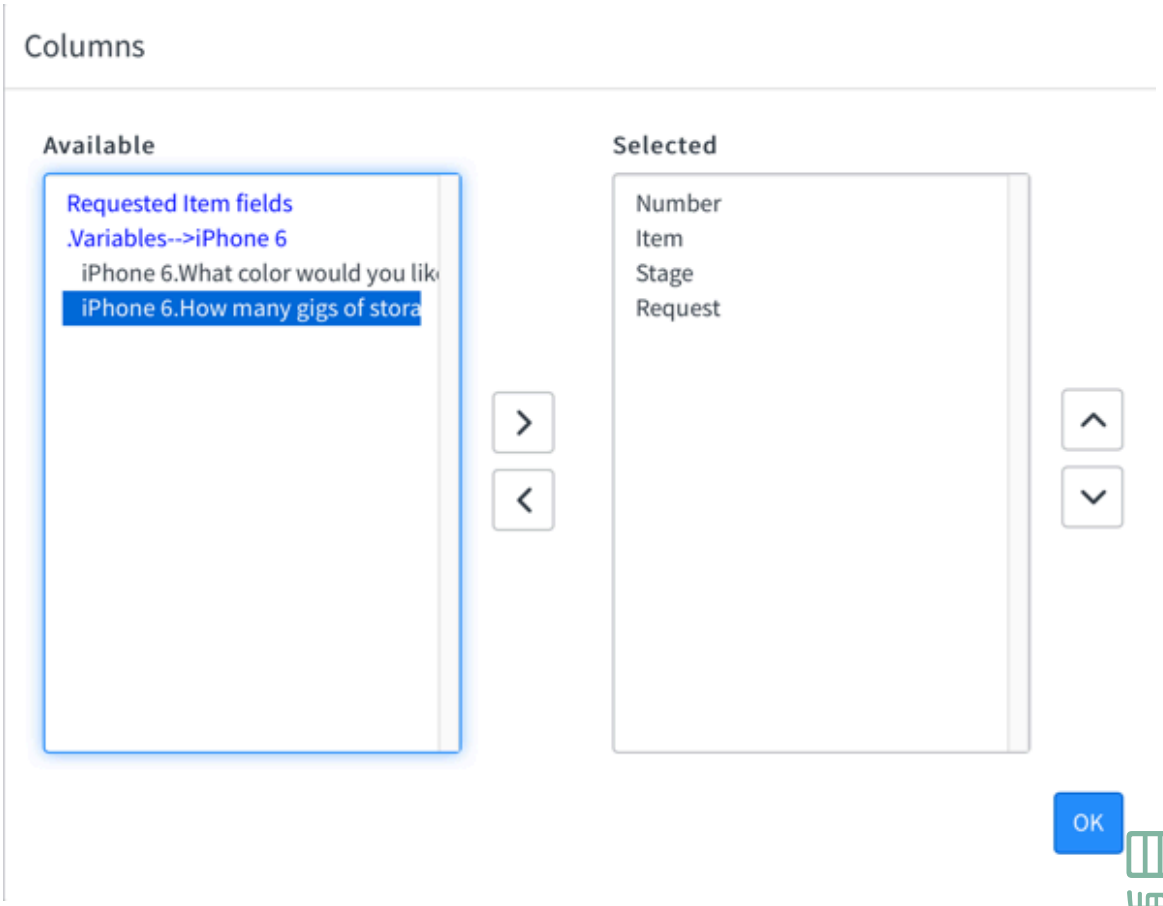
a. レポートの列として使用するフィールドを 1 つ以上選択します。
レポートの表示には、行と列の値の組み合わせによって分類されたデータが表示されます。変数を含めて最大 3 つの列を選択できます。

b. 変数 **[+]** を選択し、構造アイコン ()  をクリックして項目を選択します。



c. ポップアップ ウィンドウから [カタログ アイテム] を選択します。
アイテムに関連付けられた変数が [列] ウィンドウに表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



d. 選択した変数を [選択済み] 列に移動し、**[OK]** をクリックします。 選択したフィールドの説明については、情報アイコン ()ⓘ をクリックします

8. [行を選択] をクリックし、レポートの行として使用するフィールドを 1 つ以上選択します。

列の選択方法と同様に行を選択します。 選択したフィールドの説明については、情報アイコン ()ⓘ をクリックしますです。

レポートの表示には、行と列の値の組み合わせによって分類されたデータが表示されます。変数を含めて最大 5 つの行を選択できます。

> **注:**
> レポートは、[タグ] フィールドや MEDIUMTEXT などの特定のフィールドタイプでのグループ化やスタックはできません。

9. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

[設定] タブ

フィールド	説明
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「機能フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
集計	データで実行する数値計算。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数を示します。 一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。 選択した [テーブル] からのフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択します。集計の基準となるフィールドをこのリストから選択します。 レポートをフィールド別にグループ化し、[平均] 集計を選択すると、各グループの平均が取得されます。合計値が表示されている場合は、個々のフィールド値ではなく、これらのグループ平均の平均です。 [最小] または [最大] を選択して、レポートの各セグメントの最大値または最小値を表示します。 集計の詳細については、「レポートの集計」を参照してください。 [平均]、[合計]、[個別のカウント]、[最小]、[最大] を選択した場合は、拡張テーブルのフィールドで集計することもできます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 FX 通貨値の集計については、「レポートの FX 通貨値」を参照してください。
値の書式を設定	小数点以下桁数、丸め、最小および最大の期間単位、期間単位の省略形など、レポートでの数値の表示方法を構成できます。「レポートの値の書式設定」を参照してください。 **注:** 小数点以下桁数は通貨フィールドでは機能しません。
グループの最大数	[グループ] 条件が返すグループの最大数。最高値を持つグループが最初に表示されます。制限を超えるグループはどれも、[その他] という単一のグループに結合されます。 [すべて表示] を選択すると、最大 50 までのグループが表示されます。残りの結果は [その他] としてグループ化されます。
その他の表示	レポートに [その他] グループを含めるかどうかを指定するチェックボックス。[その他] グループには、[グループの最大数] で指定されている数を超えるすべてのグループのデータが含まれます。

注:
通貨フィールドのデフォルトは小数点以下 2 桁です。[値の書式を設定] オプションを使用すると、小数点以下 0 から 4 桁の小数精度を構成できます。

10. オプション: レポート内のセルを区切る行を表示するには、[行の線を表示] と [列の線を表示] をオンにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Open incidents by Priority/State/Category

▶		Priority	1 - Critical	2 - High	3 - Moderate	4 - Low	5 - Planning	Count
State	Category							
▶ New	Total		0	0	2	0	3	5
▶ In Progress	Total		11	4	3	0	2	20
▶ On Hold	Total		4	0	1	1	0	6
Count			15	4	6	1	5	31

11. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。

フィルターアイコン () を選択し、[並べ替えの追加] を選択します。

a. [並べ替え順序] ボックスの一覧で、並べ替えるフィールドを選択し、アルファベット順または逆アルファベット順に **[a-z**] または **[z-a**] を選択します。

このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張または関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

注:
ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドでのみソートできます。

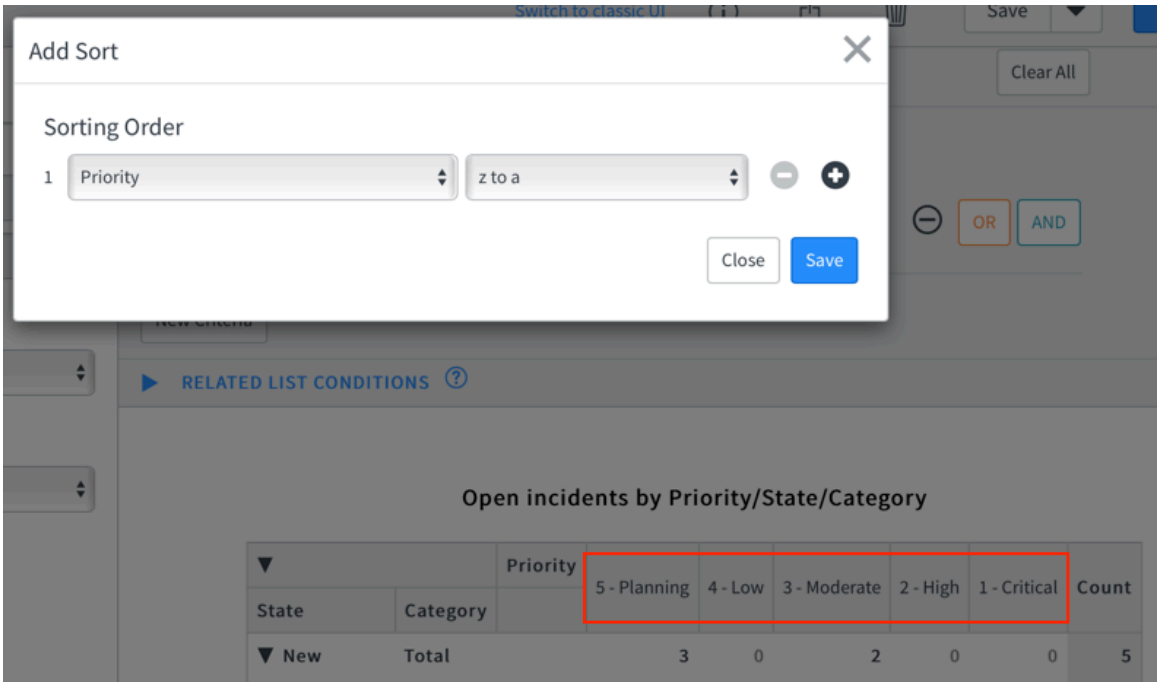
b. ソートプラスアイコン () を選択して、追加のソート順序条件を設定します。(ソートマイナスアイコン ( ) を選択すると、構成済みのソート順条件を削除できます)。

c. [保存] を選択します。

[選択リスト] タイプのフィールドの場合、ソート順は [ラベル] に基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択フィールドの [値] に基づいてソートされます。マルチレベル ピボットテーブルおよびヒートマップ レポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



12. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン () を選択し、レポートデータをフィルターする条件を指定します。
条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。
13. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。
14. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- レポート情報アイコン () を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン () を選択して [共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。
- コミュニティ サイトを検索して、マルチレベルピボットレポートの詳細やヘルプを確認してください。

マルチレベル ピボット レポートのスタイル オプション

マルチレベル ピボット チャートの外観を変更します。

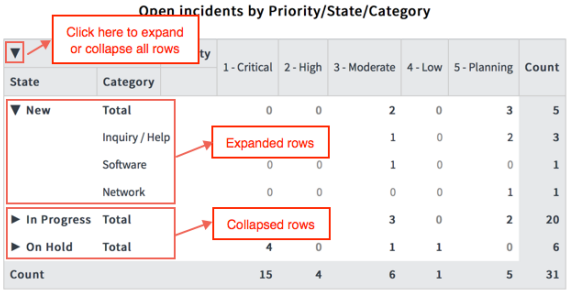
レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

マルチレベル ピボット レポートのスタイル オプション

フィールド	説明
全般	

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

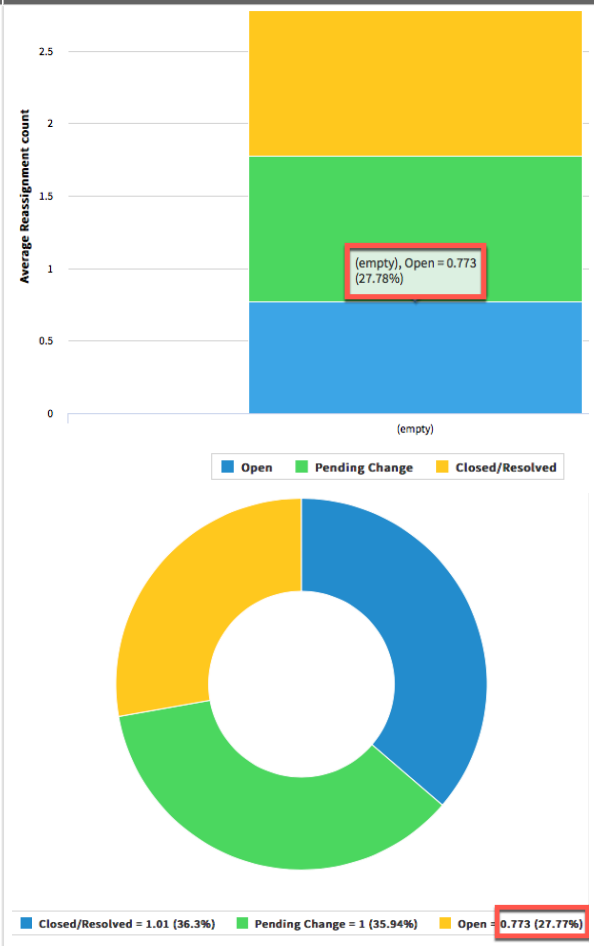
マルチレベル ピボット レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
ゼロを表示	セルの値が 0 の場合に数値 **0** を表示するには、このチェック ボックスをオンにします。セルの値が 0 の場合に空のセルを表示するには、このチェック ボックスをオフにします。[集計] が [カウント] または [個別のカウント] の際に適用可能です。
デフォルトで展開	レポートが表示されるときにすべての行を展開するには、このチェック ボックスをオンにします。レポートが表示されるときにすべての行を折りたたむには、このチェック ボックスをオフにします。 
行の線を表示	レポートの行間に線を表示するには、このチェック ボックスをオンにします。
列の線を表示	レポートの列間に線を表示するには、このチェック ボックスをオンにします。
ドリルダウン ビュー	ドリルダウン レポート タイプが指定されていないレポートのセグメントをユーザーが選択したときに表示するリスト ビュー。このビューは、ユーザーがレポートの最小ドリルダウン レベルに達したときにも使用されます。詳しくは 、 リストレイアウトの設定 を参照してください。[レポートのドリルダウン] を指定すると、[ドリルダウンビュー] は無視されます。 詳細については、「レポート ドリルダウンの定義」を参照してください。
カラーリング ルールの編集	セルまたは数値のセル テキストをレポートでどのように色付けするかを構成するには、このハイパーリンクをクリックします。演算子と値に基づいてどの色を使用するかを定義するルールを作成できます。たとえば、5 より大きい値をすべて赤で表示するように指定できます。「マルチレベル ピボット レポートの色分けルールを作成する」を参照してください。 **注:** マルチレベル ピボット レポートの合計セルに色分けルールを適用することはできません。
小数点以下桁数	表示する小数点以下の桁数。ゼロから 4 桁の小数点以下まで表示することができます。デフォルト値：2。デフォルト値を変更するには、システム プロパティ glide.chart.decimal.precision を作成し、値を指定します。 **注:** パーセンテージ ラベルは、指定された小数点以下桁数に応じて変更されることはありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

マルチレベル ピボット レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	
タイトル	
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 • 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

マルチレベル ピボット レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] オプションがクリアされている場合に使用できます。
タイトルの垂直配置	チャートのタイトルを垂直に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] がクリアされいてる場合にのみ表示されます。

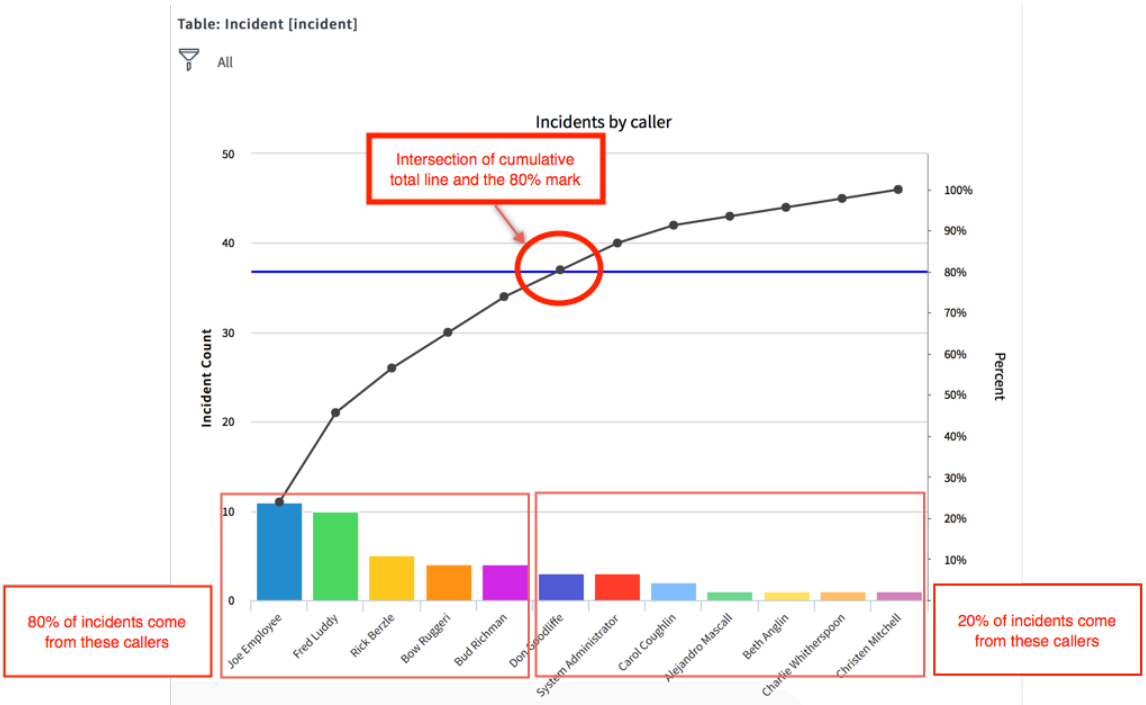
パレート図レポート

パレート図は、一連の大規模なディメンションの中で最も重要なディメンションを特定するのに役立ちます。棒グラフにはデータが降順で表示されます。線グラフは累積のパーセンテージを示します。

パレート図には棒グラフと線グラフの両方が含まれています。棒グラフには、データが左から右に向かって降順で表示されます。線グラフには、カテゴリごとの累積合計が同じ順序で表示されます。左側の Y 軸はレコード カウントです。右側の Y 軸は、評価対象のレコードの合計数に占める累積のパーセンテージです。80% のマークにある青い線は、どのデータがプロセスに最も影響を与えているかを判断するのに役立ちます。線グラフと 80% のマークとの交差点の左側にあるデータは、全体の結果に最も大きな影響を与えています。

下の図は、インシデント コールの 80% が 5 人の問い合わせユーザーで占められており、他の 20% が 7 人で占められていることを示しています。

パレート図レポートの例



パレート図レポートを作成する

大規模な要因群の中で最も重要な要因を特定するパレート図レポートを作成します。棒グラフにはデータが降順で表示されます。曲線は累積のパーセンテージを示します。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin

意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. レポートに適用可能なソースを選択します。

オプション	説明
データソース	データソースはレポートソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためにフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 **注:** 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、それらのレポートを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、テーブル名の下に簡単な説明が表示されます。 傾向レポートでは、外部ソースから取得したデータをメモリに集約するリモートテーブルを選択することもできます。次に、[傾向] フィールド オプションを選択して、そのデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得 」を参照してください
外部インポート	既存のインポートされたレポートソースを選択するか、[アップロード] アイコン () を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからレポートを作成する」を参照してください。
MetricBase	MetricBase を使用すると、新しいプラットフォームでカスタム時系列データを収集、保持、分析、視覚化することができます。詳細については、「 MetricBase 」を参照してください。

4. [次へ] を選択します。
5. [タイプ] タブのフィルターに「パレート図」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、 [実行] を選択します。
6. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[設定] タブ

フィールド	説明
グループごと	このフィールドの値を使用するグループのレポートデータ。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明については、情報アイコン (ⓘ) をクリックします。 レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 **注:** ○ レポートは、[タグ] フィールドや MEDIUMTEXT などの特定のフィールドタイプでのグループ化やスタックはできません。 ○ データベースビューに基づくレポートでは、[変数] または [質問] フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。
他のグループ化	レポートをグループ化する追加のフィールド。[他のグループ化] フィールドまたは機能フィールドを選択すると、追加のフィールドのいずれか 1 つでレポートをグループ化できるコントロールがレポートの下部に組み込まれます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明については、情報アイコン (ⓘ) をクリックします レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 **注:** ○ メインの [グループごと] リストに表示されない [他のグループ化] リストの選択肢を表示できます。レポートでは、表示される追加フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。メインの [グループごと] の選択肢とは異なり、[他のグループ化] フィールドはフィルタリングされません。サポートされていないフィールドを選択しても、効果はありません。 ○ メインの [グループごと] フィールドにリストされている制限は、[他のグループ化] フィールドにも適用されます。 詳細については、「[グループの追加] または [積み重ね基準]」を参照してください。
データテーブルを表示	レポートの下のリストにレポートデータを表示するには、このオプションを選択します。レポートが追加されたダッシュボードにリストが表示されます。 glide.ui.section508 システムプロパティが **true** に設定されている場合、すべてのレポート可視化にレポートデータが表示されます。glide.ui.section508 プロパティは、[データテーブルを表示] フィールドを上書きします。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「機能フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
グループの最大数	[グループ] 条件が返すグループの最大数。最高値を持つグループが最初に表示されます。制限を超えるグループはどれも、[その他] という単一のグループに結合されます。 [すべて表示] を選択すると、最大 50 までのグループが表示されます。残りの結果は [その他] としてグループ化されます。
その他の表示	レポートに [その他] グループを含めるかどうかを指定するチェックボックス。[その他] グループには、[グループの最大数] で指定されている数を超えるすべてのグループのデータが含まれます。

7. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。
   フィルターアイコン () を選択し、[並べ替えの追加] を選択します。
   a. [並べ替え順序] ボックスの一覧で、並べ替えるフィールドを選択し、アルファベット順または逆アルファベット順に **[a-z**] または **[z-a**] を選択します。

      このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張または関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

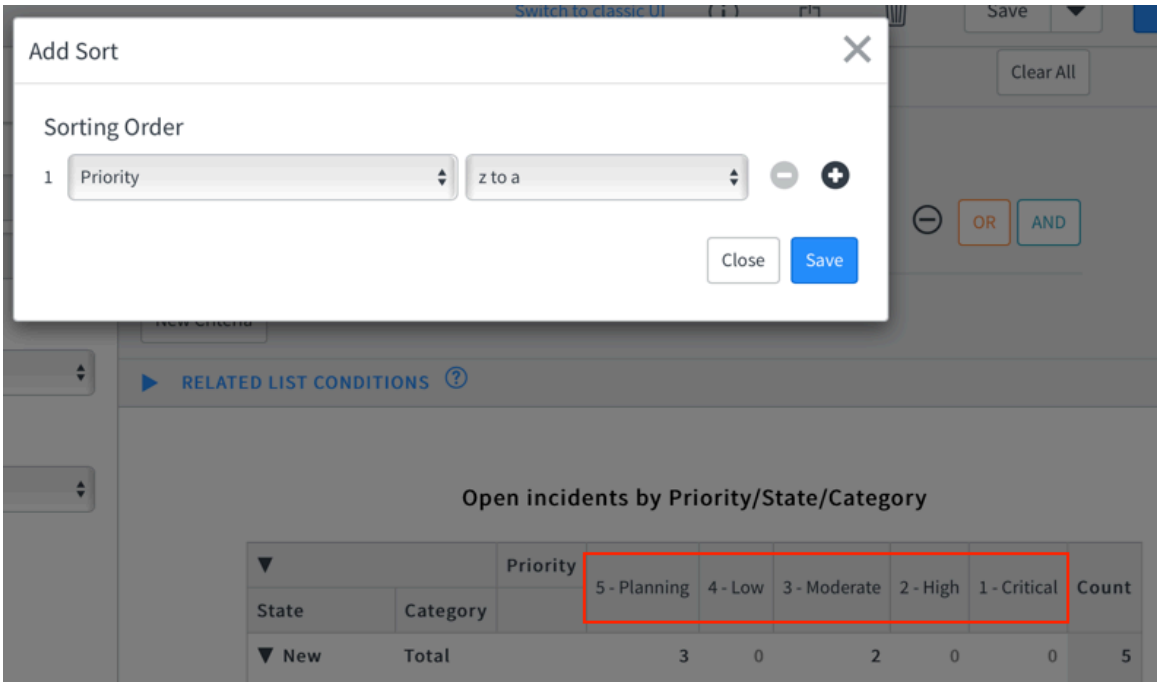
      注:
      ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドでのみソートできます。

   b. ソートプラスアイコン ()を選択して、追加のソート順序条件を設定します。(ソートマイナスアイコン ( ) を選択すると、構成済みのソート順条件を削除できます)。
   c. [保存] を選択します。

   [選択リスト] タイプのフィールドの場合、ソート順は [ラベル] に基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択フィールドの [値] に基づいてソートされます。マルチレベル ピボットテーブルおよびヒートマップ レポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



8. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン () を選択し、レポートデータをフィルターする条件を指定します。
   条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。
9. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。
10. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- レポート情報アイコン () を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン () を選択して [共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。

パレート図レポートのスタイル オプション

パレート図レポートの外観を変更します。

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

注:
累積合計のパーセンテージ行は構成できません。無効にしたり、色を変更したりすることはできません。

パレート図のスタイル オプション

フィールド	説明
全般	

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パレート図のスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
チャートの色	レポートで使用される色のソース。フィールド単位でレポートを積み重ねていない場合は、次のいずれかのオプションを選択できます。 • **1** つの色を使用: [チャートの色] フィールドで定義済みの色を 1 つ選択します。 • カラーパレットを使用：事前定義済みのシステムのカラー パレットからカラー パレットを選択します。 • チャートの色を使用: で定義されている色を使用します。 レポート > チャートの色. レポートを積み重ねる場合は、次のいずれかのオプションを選択します。 • カラーパレットを使用：事前定義済みのシステムのカラー パレットからカラー パレットを選択します。 • 複数の色を使用:16 進数コードを使用して カスタムの色の セットを定義します。任意の数の色を追加できます。 • チャートの色を使用: で定義されている色を使用します。 レポート > チャートの色. これらのオプションの違いの詳細については、を参照してください レポートの定義済みの色。
色を設定	レポートで使用される色。このフィールドは、[チャートの色] リストから **[1** つの色を使用] を選択すると表示されます。検索アイコン(🔍)をクリックして、「 色定義 」リストから選択します。
パレットを設定	レポートで使用されるカラー パレット。このフィールドは、[チャートの色] リストから [カラーパレットを使用] を選択すると表示されます。パレットは、チャートの配色 [pa_chart_color_scheme] テーブルで定義されます。
色	レポートで使用される色。このフィールドは、[チャートの色] リストから [複数の色を使用] を選択すると表示されます。16 進数のカラーコードのカンマ区切りリストを入力します。これらの色は、カラーパレットやチャートの色で使用される事前定義されたシステムの色とは無関係です。 **注:** 透明度の 16 進数の値は使用できません。
データラベルを表示	各バーの現在の値を表示する場合に選択します。このフィールドは、[積み重ね基準] リストの [なし] を選択した場合や、[積み重ね基準] リストがない場合に利用できます。 • [中央のデータラベル] を選択して、各バーの中央にラベルを表示します。 • [データラベルの重複を許可します] を選択して、表示方法でのラベルのデフォルトの分離を上書きします。
カスタムグラフサイズ	レポートの幅と高さをピクセル単位で指定するチェック ボックス。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パレート図のスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
チャートの幅	レポートの幅 (ピクセル単位)。デフォルト値は 600 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に利用できます。
チャートの高さ	レポートの高さ (ピクセル単位)。デフォルト値は 450 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に表示されます。
チャートサイズ	チャートのサイズ。このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] がクリアされている場合に利用できます。選択肢は、[小]、[中]、[大] です。 注: レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
ドリルダウン ビュー	ドリルダウン レポート タイプが指定されていないレポートのセグメントをユーザーが選択したときに表示するリスト ビュー。このビューは、ユーザーがレポートの最小ドリルダウン レベルに達したときにも使用されます。詳しくは 、 リストレイアウトの設定 を参照してください。[レポートのドリルダウン] を指定すると、[ドリルダウンビュー] は無視されます。 詳細については、「レポート ドリルダウンの定義」を参照してください。
タイトル	
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 • 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのカスタム位置	チャート タイトルの位置の X 座標と Y 座標を指定するチェック ボックス。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パレート図のスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
チャート タイトルの X 位置	チャートのタイトル位置を左右に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを右に移動するには、正の値を入力します。左に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの Y 位置	チャート タイトルの位置を上下に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを上に移動するには、正の値を入力します。下に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] オプションがクリアされている場合に使用できます。
タイトルの垂直配置	チャートのタイトルを垂直に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] がクリアされいてる場合にのみ表示されます。
軸	
Y 軸と X 軸	タイトル、外観、ラベルを設定する軸。
タイトル	軸のタイトル。
タイトルのサイズ	軸のタイトルのサイズ (ピクセル単位)。デフォルト値は 12 です。
タイトル太字	太字の書体で軸のタイトルを表示するには、このボックスをチェックします。
タイトル太字	太字の書体で軸のタイトルを表示するには、このボックスをチェックします。
反対側	**[X** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートの右側に X 軸のタイトルが表示されます。**[Y** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、X 軸のタイトルが下部ではなく、レポート上部に表示されます。
グリッドを表示	**[X** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートに水平のグリッド線が表示されます。 **[Y** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートの上部に垂直のグリッド線が表示されます。
グリッドドット付き	実線ではなく点線のグリッド線を表示するには、このボックスをチェックします。
X 軸/Y	**[X** 軸] タブで、レポートの行のラベルのサイズを指定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パレート図のスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
軸のラベル サイズ	**[Y 軸]** タブで、レポートの列のラベルのサイズを指定します。
ラベル太字	太字の書体でレポートのラベルを表示するには、このボックスをオンにします。

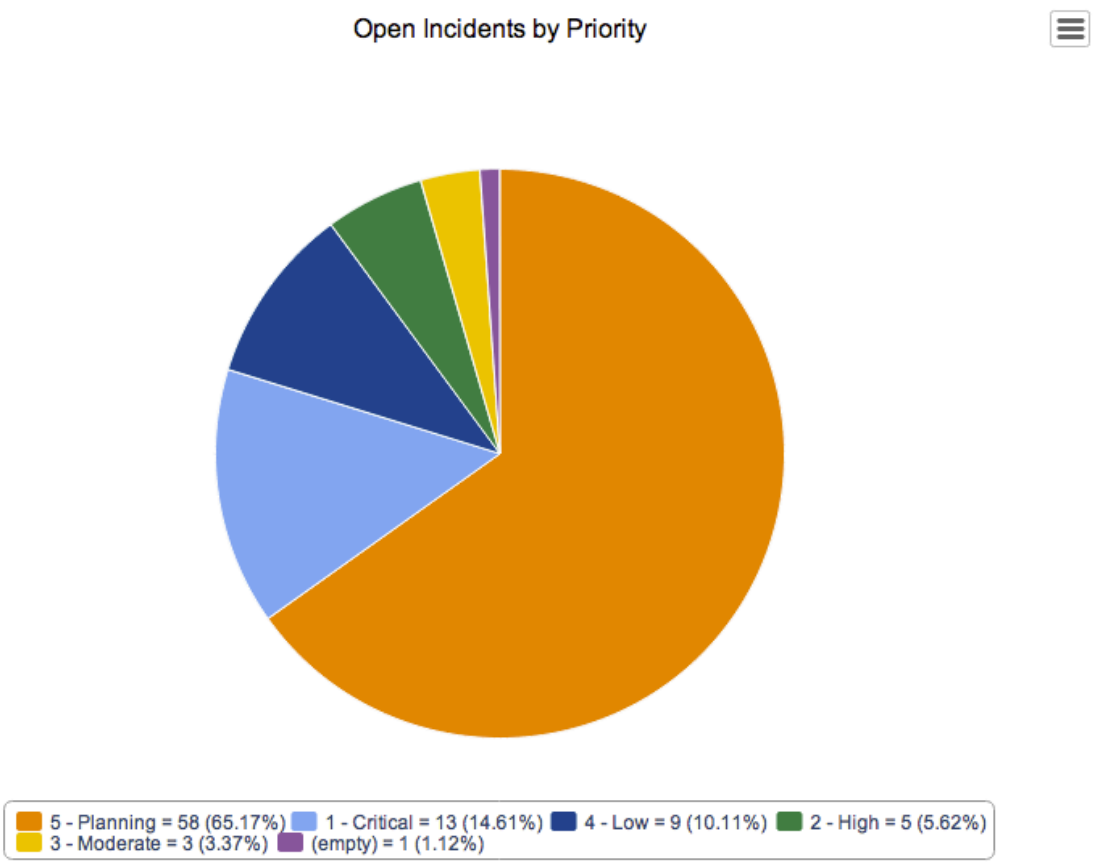
円グラフ

円グラフには、全体を構成する割合が表示されます。

円グラフを使用して、オープンのインシデントなどを優先度別に表示することができます。たとえば組織が、重要なインシデントがすべてのオープン インシデントの 40% を超えることは許されない、というポリシーを設けているとします。オープンのインシデントには常にさまざまな優先度レベルがあるという状況において、インシデント数が許容範囲を超えたときに、円グラフですばやく確認することができます。この図は、オープンのインシデントの 14.61% が重要であることを示しています。

注:
このデータの可視化は、モバイルプラットフォームでサポートされています。詳細については、「Pie charts for mobile」と「Mobile dashboard preview」を参照してください。

円グラフ



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

円グラフを作成する

個々のカテゴリのサイズを全体と比較する円グラフを作成します。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. レポートに適用可能なソースを選択します。

オプション	説明
データソース	データソースはレポートソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためにフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 **注:** 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、それらのレポートを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、テーブル名の下に簡単な説明が表示されます。 傾向レポートでは、外部ソースから取得したデータをメモリに集約するリモートテーブルを選択することもできます。次に、[傾向] フィールド オプションを選択して、そのデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得 」を参照してください
外部インポート	既存のインポートされたレポートソースを選択するか、[アップロード] アイコン ()を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからレポートを作成する」を参照してください。
MetricBase	MetricBase を使用すると、新しいプラットフォームでカスタム時系列データを収集、保持、分析、視覚化することができます。詳細については、「 MetricBase 」を参照してください。

4. [次へ] を選択します。
5. [タイプ] タブのフィルターに「円グラフ」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、 [実行] を選択します。

6. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

[設定] タブ

フィールド	説明
グループごと	このフィールドの値を使用するグループのレポートデータ。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明については、情報アイコン (ⓘ) をクリックします。 レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 注: ○ レポートは、[タグ] フィールドや MEDIUMTEXT などの特定のフィールドタイプでのグループ化やスタックはできません。 ○ データベースビューに基づくレポートでは、[変数] または [質問] フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。
他のグループ化	レポートをグループ化する追加のフィールド。[他のグループ化] フィールドまたは機能フィールドを選択すると、追加のフィールドのいずれか 1 つでレポートをグループ化できるコントロールがレポートの下部に組み込まれます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明については、情報アイコン ()ⓘ をクリックします レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 注: ○ メインの [グループごと] リストに表示されない [他のグループ化] リストの選択肢を表示できます。レポートでは、表示される追加フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。メインの [グループごと] の選択肢とは異なり、[他のグループ化] フィールドはフィルタリングされません。サポートされていないフィールドを選択しても、効果はありません。 ○ メインの [グループごと] フィールドにリストされている制限は、[他のグループ化] フィールドにも適用されます。 詳細については、「[グループの追加] または [積み重ね基準]」を参照してください。
データテーブルを表示	レポートの下のリストにレポートデータを表示するには、このオプションを選択します。レポートが追加されたダッシュボードにリストが表示されます。 glide.ui.section508 システムプロパティが **true** に設定されている場合、すべてのレポート可視化にレポートデータが表示されます。glide.ui.section508 プロパティは、[データテーブルを表示] フィールドを上書きします。
関数フィー	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「機能フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ルドを構成	は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
集計	データで実行する数値計算。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数を示します。 一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。 選択した [テーブル] からのフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択します。集計の基準となるフィールドをこのリストから選択します。 レポートをフィールド別にグループ化し、[平均] 集計を選択すると、各グループの平均が取得されます。合計値が表示されている場合は、個々のフィールド値ではなく、これらのグループ平均の平均です。 [最小] または [最大] を選択して、レポートの各セグメントの最大値または最小値を表示します。 集計の詳細については、「レポートの集計」を参照してください。 [平均]、[合計]、[個別のカウント]、[最小]、[最大] を選択した場合は、拡張テーブルのフィールドで集計することもできます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 FX 通貨値の集計については、「レポートの FX 通貨値」を参照してください。
値の書式を設定	小数点以下桁数、丸め、最小および最大の期間単位、期間単位の省略形など、レポートでの数値の表示方法を構成できます。「レポートの値の書式設定」を参照してください。 **注:** 小数点以下桁数は通貨フィールドでは機能しません。
グループの最大数	[グループ] 条件が返すグループの最大数。最高値を持つグループが最初に表示されます。制限を超えるグループはどれも、[その他] という単一のグループに結合されます。 [すべて表示] を選択すると、最大 50 までのグループが表示されます。残りの結果は [その他] としてグループ化されます。
その他の表示	レポートに [その他] グループを含めるかどうかを指定するチェックボックス。[その他] グループには、[グループの最大数] で指定されている数を超えるすべてのグループのデータが含まれます。

7. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。
   フィルターアイコン () を選択し、[並べ替えの追加] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [並べ替え順序] ボックスの一覧で、並べ替えるフィールドを選択し、アルファベット順または逆アルファベット順に **[a-z**] または **[z-a**] を選択します。

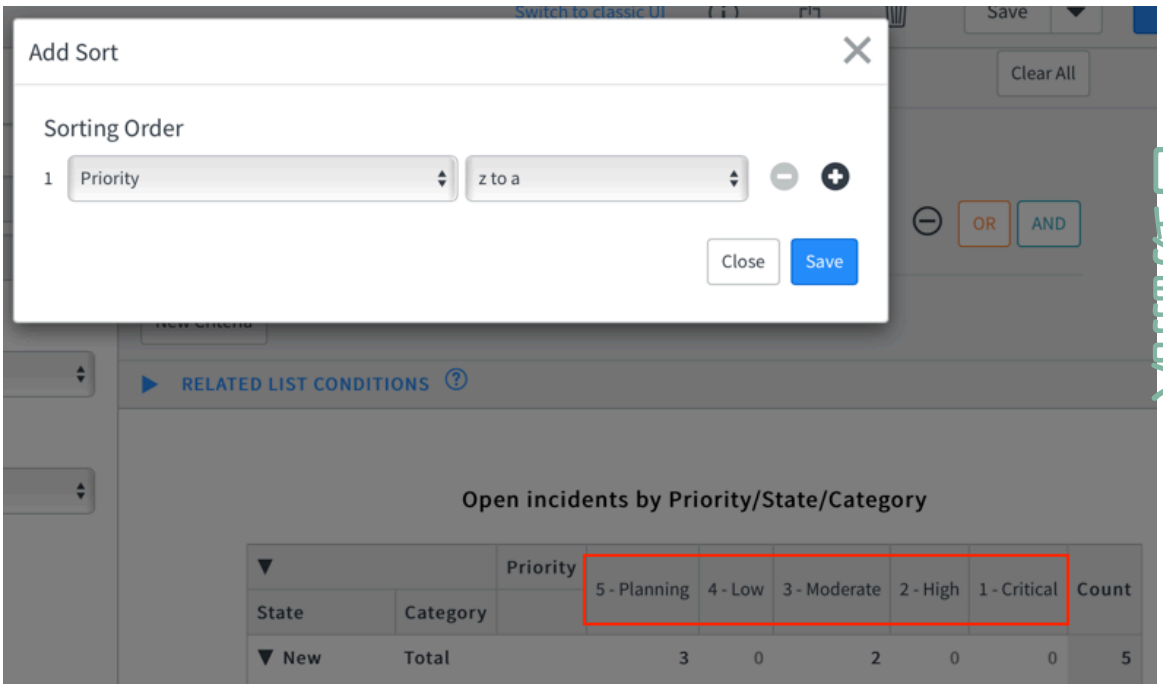
このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張または関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

> **注:**
> ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドでのみソートできます。

b. ソートプラスアイコン ( ) を選択して、追加のソート順序条件を設定します。(ソートマイナスアイコン ( ) を選択すると、構成済みのソート順条件を削除できます)。

c. [保存] を選択します。

[選択リスト] タイプのフィールドの場合、ソート順は [ラベル] に基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択フィールドの [値] に基づいてソートされます。マルチレベル ピボットテーブルおよびヒートマップ レポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。



8. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン ( ) を選択し、レポートデータをフィルターする条件を指定します。
条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。
9. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。
10. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク

- レポート情報アイコン () を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン () を選択して [共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。

円グラフのスタイル オプション

円グラフの外観を変更します。

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

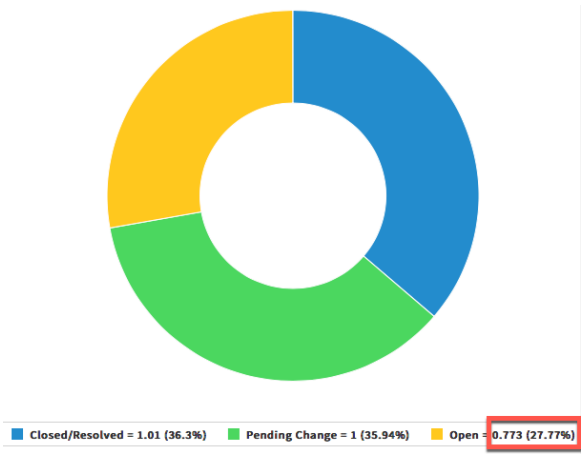
グラフのスタイル オプション

フィールド	説明
全般	
チャートの色	レポートで使用される色のソース。次のいずれか 1 つを選択します。 • カラーパレットを使用：事前定義済みのシステムのカラー パレットからカラー パレットを選択します。 • 複数の色を使用:16 進数コードを使用して カスタムの色の セットを定義します。任意の数の色を追加できます。 • チャートの色を使用: で定義されている色を使用します。 レポート > チャートの色.
パレットを設定	レポートで使用されるカラー パレット。このフィールドは、[チャートの色] リストから [カラーパレットを使用] を選択すると表示されます。パレットは、チャートの配色 [pa_chart_color_scheme] テーブルで定義されます。
色	レポートで使用される色。このフィールドは、[チャートの色] リストから [複数の色を使用] を選択すると表示されます。16 進数のカラーコードのカンマ区切りリストを入力します。これらの色は、カラーパレットやチャートの色で使用される事前定義されたシステムの色とは無関係です。 **注:** 透明度の 16 進数の値は使用できません。
データラベルを表示	各スライスの値を表示するには、チェック ボックスをオンにします。
カスタムグラフサイズ	レポートの幅と高さをピクセル単位で指定するチェック ボックス。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
チャートの幅	レポートの幅 (ピクセル単位)。デフォルト値は 600 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に利用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

グラフのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
チャートの高さ	レポートの高さ (ピクセル単位)。デフォルト値は 450 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に表示されます。
チャートサイズ	チャートのサイズ。このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] がクリアされている場合に利用できます。選択肢は、[小]、[中]、[大] です。 注: レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
ドリルダウン ビュー	ドリルダウン レポート タイプが指定されていないレポートのセグメントをユーザーが選択したときに表示するリスト ビュー。このビューは、ユーザーがレポートの最小ドリルダウン レベルに達したときにも使用されます。詳しくは 、 リストレイアウトの設定 を参照してください。[レポートのドリルダウン] を指定すると、[ドリルダウンビュー] は無視されます。 詳細については、「レポート ドリルダウンの定義」を参照してください。
小数点以下桁数	表示する小数点以下の桁数。ゼロから 4 桁の小数点以下まで表示することができます。デフォルト値：2。デフォルト値を変更するには、システム プロパティ glide.chart.decimal.precision を作成し、値を指定します。このオプションは、平均集計で使用できます。 注: パーセンテージ ラベルは、指定された小数点以下桁数に応じて変更されることはありません。 
タイトル	
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 • 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

グラフのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのカスタム位置	チャート タイトルの位置の X 座標と Y 座標を指定するチェック ボックス。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] オプションがクリアされている場合に使用できます。
タイトルの垂直配置	チャートのタイトルを垂直に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] がクリアされいてる場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの X 位置	チャートのタイトル位置を左右に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを右に移動するには、正の値を入力します。左に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの Y 位置	チャート タイトルの位置を上下に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを上に移動するには、正の値を入力します。下に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
凡例	
凡例を表示	チャートの凡例を表示するチェック ボックス。このチェックボックスは、[グループ] フィールドがレポート フォームで選択されている場合に表示されます。 凡例はデフォルトでは短縮されます。切り捨ての長さを調整するには、プロパティ *glide.chart.label.legend.truncate_to* と *glide.chart.label.legend.truncate_to.large*を構成します。詳細については、「レポートのプロパティー」を参照してください。
凡例の水平配置	凡例を水平に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

グラフのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
凡例の垂直配置	凡例を垂直に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例境界を表示	凡例を囲む枠線を表示するチェック ボックス。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例テキストを左揃え	ブラウザでレポートを表示するときに凡例テキストを左揃えにするチェック ボックス。デフォルトでは、凡例テキストが中央揃えになっています。レポートを PDF、PNG、JPG にエクスポートすると、凡例は中央揃えのままとなります。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。

ピボットテーブル

ピボット テーブルは、表からデータを集計して、ユーザーが定義した列および行に配置します。ピボット テーブルは、要約されたデータのソースをすばやく調べるのに役立ちます。空でないセルには、セルが表すレコードの数を示すツールヒントが表示されます。空でないセルをクリックすると、それらのレコードの内訳が表示されます。

データをさらに絞り込むフィルターを構成し、集計値を選択できます。

注:
ピボット テーブル レポートは引き続き使用できますが、このレポートの機能強化は予定されておらず、制限事項は修正されていません。新しいレポートと問題のある古いレポートには、マルチレベル ピボット テーブル レポートを使用します。マルチレベルピボットテーブルはより安定しており、ピボットテーブルよりも多くの機能を備えており、継続的にメンテナンスされています。詳細については、「マルチレベル ピボット テーブル」を参照してください。

ピボット テーブル

Incident Breakdown

	Category					
Assigned to	**Request**	**Inquiry / Help**	**Software**	**Hardware**	**Network**	**Database**	**Total**
(empty)	0	0	1	0	1	0	2
Beth Anglin	0	2	1	1	1	0	5
Bow Ruggeri	0	1	0	0	0	0	1
Bud Richman	1	0	1	0	0	0	2
Charlie Whitherspoon	0	0	1	0	1	0	2
David Loo	0	4	1	3	0	1	9
Don Goodliffe	0	3	2	1	0	1	7
Fred Luddy	0	0	1	0	0	0	1
Howard Johnson	0	0	2	1	0	0	3
ITIL User	0	8	5	2	0	0	15
Luke Wilson	0	2	1	0	0	0	3
Total	1	20	16	8	3	2	50

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ピボットテーブルを作成する

表からデータを集計して列と行に配置するピボット テーブルを作成します。ツールチップは、値が表す内容を示します。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

このタスクについて

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. レポートに適用可能なソースを選択します。

オプション	説明
データソース	データソースはレポートソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためにフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 **注:** 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、それらのレポートを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、テーブル名の下に簡単な説明が表示されます。 傾向レポートでは、外部ソースから取得したデータをメモリに集約するリモートテーブルを選択することもできます。次に、[傾向] フィールド オプションを選択して、そのデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください
外部インポート	既存のインポートされたレポートソースを選択するか、[アップロード] アイコン () を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからレポートを作成する」を参照してください。
MetricBase	MetricBase を使用すると、新しいプラットフォームでカスタム時系列データを収集、保持、分析、視覚化することができます。詳細については、「 MetricBase 」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [次へ] を選択します。
5. [タイプ] タブのフィルターに「ピボット」と入力し、[その他] セクションからピボット レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、 [実行] を選択します。
6. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

[設定] タブ

フィールド	説明
行	チャートの行のフィールドを 1 つ選択します。グラフには、行と列の値の組み合わせによって分類されたデータが表示されます。拡張テーブルのソース フィールドを選択する場合は、「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明については、情報アイコン (ⓘ) をクリックします。
列	チャートの列のフィールドを 1 つ選択します。グラフには、行と列の値の組み合わせによって分類されたデータが表示されます。拡張テーブルのソース フィールドを選択する場合は、「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明については、情報アイコン (ⓘ) をクリックします。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「機能フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
集計	データで実行する数値計算。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数を示します。 一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。 選択した [テーブル] からのフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択します。集計の基準となるフィールドをこのリストから選択します。 レポートをフィールド別にグループ化し、[平均] 集計を選択すると、各グループの平均が取得されます。合計値が表示されている場合は、個々のフィールド値ではなく、これらのグループ平均の平均です。 [最小] または [最大] を選択して、レポートの各セグメントの最大値または最小値を表示します。 集計の詳細については、「レポートの集計」を参照してください。 [平均]、[合計]、[個別のカウント]、[最小]、[最大] を選択した場合は、拡張テーブルのフィールドで集計することもできます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 FX 通貨値の集計については、「レポートの FX 通貨値」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
グループの最大数	[グループ] 条件が返すグループの最大数。最高値を持つグループが最初に表示されます。制限を超えるグループはどれも、[その他] という単一のグループに結合されます。 [すべて表示] を選択すると、最大 50 までのグループが表示されます。残りの結果は [その他] としてグループ化されます。
その他の表示	レポートに [その他] グループを含めるかどうかを指定するチェックボックス。[その他] グループには、[グループの最大数] で指定されている数を超えるすべてのグループのデータが含まれます。

7. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。
   フィルターアイコン () を選択し、[並べ替えの追加] を選択します。
   a. [並べ替え順序] ボックスの一覧で、並べ替えるフィールドを選択し、アルファベット順または逆アルファベット順に **[a-z**] または **[z-a**] を選択します。

      このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張または関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

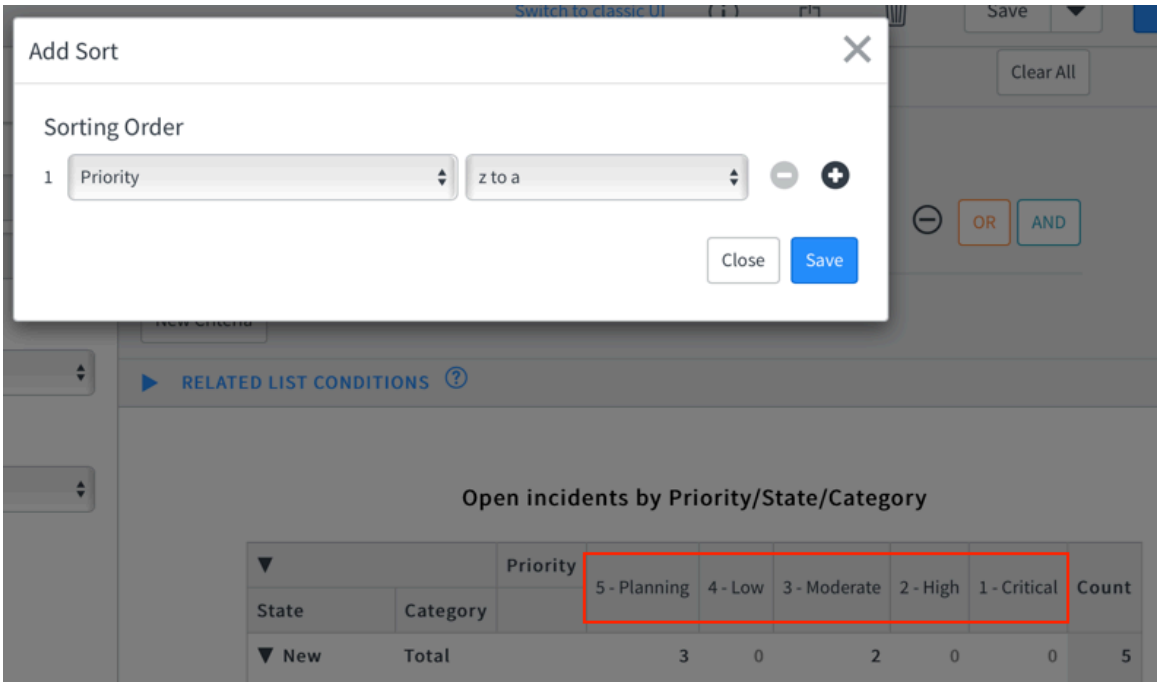
      注:
      ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドでのみソートできます。

   b. ソートプラスアイコン () を選択して、追加のソート順序条件を設定します。(ソートマイナスアイコン ( ) を選択すると、構成済みのソート順条件を削除できます)。
   c. [保存] を選択します。

   [選択リスト] タイプのフィールドの場合、ソート順は [ラベル] に基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択フィールドの [値] に基づいてソートされます。マルチレベル ピボットテーブルおよびヒートマップ レポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



8. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン () を選択し、レポートデータをフィルターする条件を指定します。
   条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。
9. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。
10. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- レポート情報アイコン () を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン () を選択して [共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。
- ピボットレポートの詳細やヘルプについては 、コミュニティ サイトを検索してください。

注:
「インポート・エクスポート」プロパティー glide.pdf.max_rows は、プラットフォーム製品の PDF データ・エクスポートの行制限に適用されますが、レポート製品から PDF にエクスポートされるピボット・レポートでは、合計セル (行と列の両方) の最大数が設定されます。

ピボット レポートのスタイル オプション

ピボット レポートの外観を変更します。

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ピボット レポートのスタイル オプション

フィールド	説明
全般	
ドリルダウン ビュー	ドリルダウン レポート タイプが指定されていないレポートのセグメントをユーザーが選択したときに表示するリスト ビュー。このビューは、ユーザーがレポートの最小ドリルダウン レベルに達したときにも使用されます。詳しくは 、 リストレイアウトの設定 を参照してください。[レポートのドリルダウン] を指定すると、[ドリルダウンビュー] は無視されます。 詳細については、「レポート ドリルダウンの定義」を参照してください。

単一スコア レポート

単一スコア レポートは、ビジネスにとって重要な単一の値を表示します。単一スコアレポートをダッシュボードに追加し、リアルタイムで更新されるように構成します。

注:
レポート レベルで 追加された動的条件 を含む単一スコア レポートでは、手動で更新するか、ページを更新しない限り、ダッシュボードにリアルタイムの更新は表示されません。リアルタイムダッシュボードウィジェットは、単一スコアウィジェットを自動更新するために、レコード監視による更新のタイミングに依存しています。ただし、動的条件は Record Watcher の一部としてはサポートされていません。詳細については、「」を参照してください スコアウィジェットでのリアルタイム スコアによるチャート化の作成。

ダッシュボードに追加された単一スコア レポート



注:
このレポート タイプは、スケジュール設定済みレポートとして実行することはできません。

このデータの可視化は、モバイルプラットフォームでサポートされています。詳細については、「Single score reports for mobile 」と「Mobile dashboard preview 」を参照してください。

単一スコア レポートを作成する

単一スコア チャートを作成して、ビジネスにとって重要な評価指標またはスコアを表示します。値はダッシュボードでリアルタイムに更新されます。

始める前に
必要なロール:itil、report_user

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. レポートに適用可能なソースを選択します。

オプション	説明
データソース	データソースはレポートソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためにフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 **注:** 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、それらのレポートを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、テーブル名の下に簡単な説明が表示されます。 傾向レポートでは、外部ソースから取得したデータをメモリに集約するリモートテーブルを選択することもできます。次に、[傾向] フィールド オプションを選択して、そのデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください
外部インポート	既存のインポートされたレポートソースを選択するか、[アップロード] アイコン ()を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからレポートを作成する」を参照してください。
MetricBase	MetricBase を使用すると、新しいプラットフォームでカスタム時系列データを収集、保持、分析、視覚化することができます。詳細については、「 MetricBase」を参照してください。

4. [次へ] を選択します。
5. [タイプ] タブのフィルターに「単一スコア」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、 [実行] を選択します。
6. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[構成] タブ

フィールド	説明
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「機能フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
集計	レポート データを集計する計算方法。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数が表示されます。 **注:** 単一スコアチャートには、集計値のみが表示されます。 [個別のカウント] を選択した場合は、一意のレコードのみがカウントされます。たとえば、特定のロールリスト内のロールを 1 つ以上持つユーザーの個別の数に関するレポートを生成する必要があるとします。この場合、複数のロールを持つユーザーは、[個別のカウント] を使用しない限り 2 回カウントされてしまいます。 [平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択した場合は、選択した [テーブル] からのフィールドのリストが表示されます。拡張テーブルのフィールドでさらに集計することができます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。集計の基準となるフィールドをこのリストから選択します。例えば、[インシデント] テーブルで [ビジネス時間] などの期間のフィールドを選択した場合、集計されたデータは日数、時数、分数で表示されます。 [優先度] などの整数フィールドを選択した場合、データは数値で表されます。拡張テーブルのフィールドでさらに集計することができます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。
値の書式を設定	小数点以下桁数、丸め、最小および最大の期間単位、期間単位の省略形など、レポートでの数値の表示方法を構成できます。「レポートの値の書式設定」を参照してください。 **注:** 小数点以下桁数は通貨フィールドでは機能しません。

注:
通貨フィールドのデフォルトは小数点以下 2 桁です。[値の書式を設定] オプションを使用すると、小数点以下 0 から 4 桁の小数精度を構成できます。

7. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン () を選択し、レポートデータをフィルターする条件を指定します。
   条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。
8. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。
9. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

次のタスク

- レポート情報アイコン () を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン () を選択して [共有] メニューを開きます。このメニューでは、ユーザーやグループとレポートの共有、ダッシュボードにレポートの追加、レポートの Web 公開などが行えます。

単一スコア レポートのスタイル オプション

単一スコア レポートの外観を変更します。

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

単一スコア チャートのスタイル オプション

フィールド	説明
全般	
ゼロを表示	このチェック ボックスをオンにすると、レポートの値がゼロの場合に数値 **0** が表示されます。このチェック ボックスをオフにすると、セルの値が 0 の場合にエラー メッセージが表示されます。 [集計] が [カウント] または [個別のカウント] の際に適用可能です。
デフォルトの色	チャートのスコアの色。
ドリルダウン ビュー	ドリルダウン レポート タイプが指定されていないレポートのセグメントをユーザーが選択したときに表示するリスト ビュー。このビューは、ユーザーがレポートの最小ドリルダウン レベルに達したときにも使用されます。詳しくは 、 リストレイアウトの設定 を参照してください。[レポートのドリルダウン] を指定すると、[ドリルダウンビュー] は無視されます。 詳細については、「レポート ドリルダウンの定義」を参照してください。
カラーリング ルールの編集	このハイパーリンクをクリックすると、レポートでの値の色付けを構成できます。演算子と値に基づいてどの色を使用するかを定義するルールを作成できます。たとえば、5 より大きい値をすべて赤で表示するように指定できます。「単一スコア レポートの色付けルールを作成する」を参照してください。
タイトル	
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 • 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

単一スコア チャートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] オプションがクリアされている場合に使用できます。
タイトルの垂直配置	チャートのタイトルを垂直に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] がクリアされいてる場合にのみ表示されます。

ステップ ライン レポート

ステップ ライン レポートは、個々のデータ ポイントをプロットして、1 つ以上のアイテムの値が時間とともにどのように変化するかを示します。ステップ レポートの横の線は変化の持続時間を示し、縦の線は変化の大きさを示します。

特定の日付または時刻のアイテムの値は、水平線で結ばれたデータ ポイントとして表示されます。ステップ ライン レポートの横軸上の値は、時間の測定値 (年、時、分、ミリ秒など) を表します。縦軸の値は、監視対象のアイテムの変化の大きさを表します。report_admin ロールを持つユーザーは、ステップ ライン レポートで使用する範囲を定義できます。

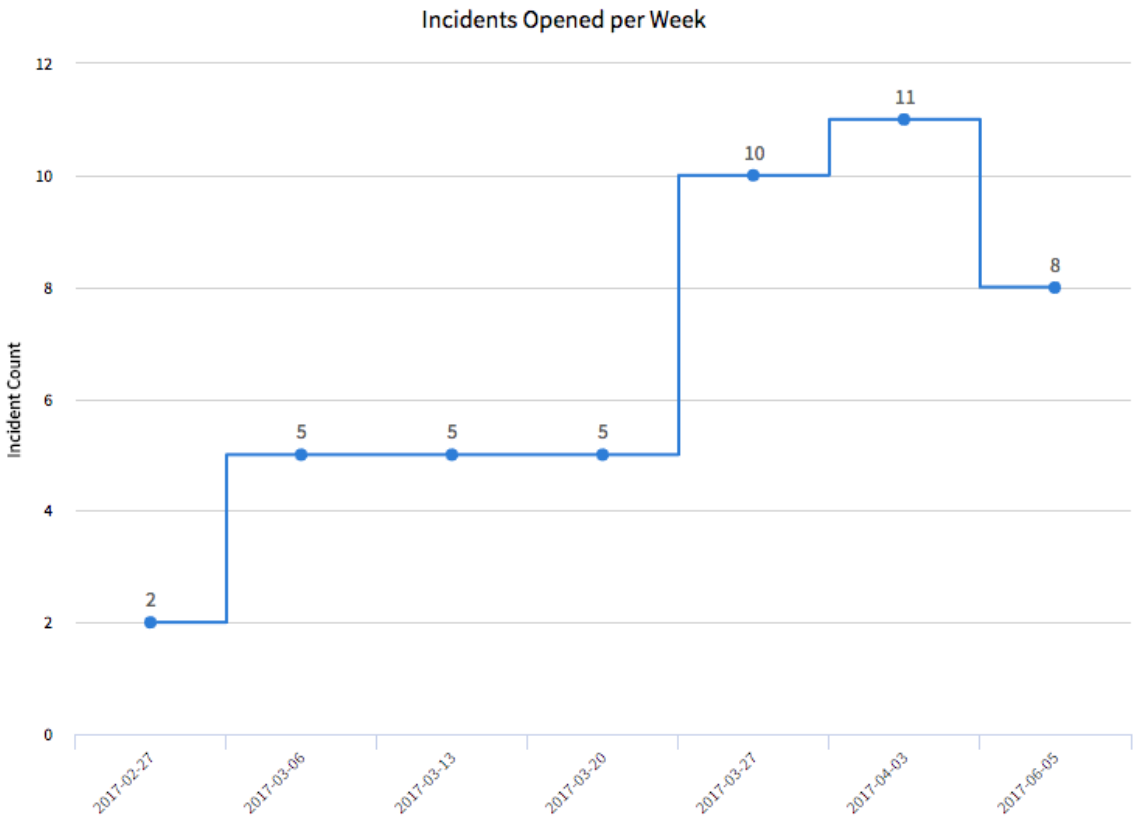
たとえば、インシデント数を表すステップ ライン レポートを作成して、インシデント数が時間とともにどのように変化するかを示すことができます。

注:
このデータの可視化は、モバイルプラットフォームでサポートされています。詳細については、「Time series reports for mobile」と「Mobile dashboard preview」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステップ ライン レポート



ステップ ライン レポートを作成する

ステップ ライン レポートを作成して、1 つ以上のアイテムの値が時間の経過とともにどのように変化するかを表示します。ステップ ライン レポートでは、変更の期間と大きさが強調されます。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

このタスクについて

このタスクは、 を使用したコア UIリリースを参照Washington DCします。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. レポートに適用可能なソースを選択します。

オプション	説明
データソース	データソースはレポートソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためにフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
	注: 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、それらのレポートを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、テーブル名の下に簡単な説明が表示されます。 傾向レポートでは、外部ソースから取得したデータをメモリに集約するリモートテーブルを選択することもできます。次に、[傾向] フィールド オプションを選択して、そのデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得 」を参照してください
外部インポート	既存のインポートされたレポートソースを選択するか、[アップロード] アイコン () を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからレポートを作成する」を参照してください。
MetricBase	MetricBase を使用すると、新しいプラットフォームでカスタム時系列データを収集、保持、分析、視覚化することができます。詳細については、「 MetricBase 」を参照してください。

4. [次へ] を選択します。
5. [タイプ] タブのフィルターに「ステップ」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、 [実行] を選択します。
6. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

[設定] タブ

フィールド	説明
グループごと	このフィールドの値を使用するグループのレポートデータ。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明については、情報アイコン () をクリックします。 レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: ○ レポートは、[タグ] フィールドや MEDIUMTEXT などの特定のフィールドタイプでのグループ化やスタックはできません。 ○ データベースビューに基づくレポートでは、[変数] または [質問] フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。
他のグループ化	レポートをグループ化する追加のフィールド。[他のグループ化] フィールドまたは機能フィールドを選択すると、追加のフィールドのいずれか 1 つでレポートをグループ化できるコントロールがレポートの下部に組み込まれます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明については、情報アイコン ()ⓘ をクリックします レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 注: ○ メインの [グループごと] リストに表示されない [他のグループ化] リストの選択肢を表示できます。レポートでは、表示される追加フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。メインの [グループごと] の選択肢とは異なり、[他のグループ化] フィールドはフィルタリングされません。サポートされていないフィールドを選択しても、効果はありません。 ○ メインの [グループごと] フィールドにリストされている制限は、[他のグループ化] フィールドにも適用されます。 詳細については、「[グループの追加] または [積み重ね基準]」を参照してください。
データテーブルを表示	レポートの下のリストにレポートデータを表示するには、このオプションを選択します。レポートが追加されたダッシュボードにリストが表示されます。 glide.ui.section508 システムプロパティが **true** に設定されている場合、すべてのレポート可視化にレポートデータが表示されます。glide.ui.section508 プロパティは、[データテーブルを表示] フィールドを上書きします。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「機能フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
トレンドの基準	時間順に値を表示したいテーブル フィールド。選択したフィールドの説明については、情報アイコン (ⓘ) をクリックします。 注: [テーブル] フィールドでリモートテーブルを選択した場合、このフィールドで選択したオプションは、外部ソースから取得されてメモリに集計されたデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
カレンダー	レポートの時系列の基礎となるカレンダー。標準カレンダーまたはカスタマイズされたビジネスカレンダードキュメント のいずれかを選択します。
期間	データをグループ化する期間。利用可能な期間の範囲は、選択したカレンダーによって異なります。期間は、1 時間から 1 年の範囲です。日付を指定することもできます。 注: 週ごとのレポートの場合：レポート範囲に複数の暦年が含まれている場合、週が 2 つの年にまたがって分割されると不整合が生じます。ISO 週に従ってデータ値をより正確に表示するには、システムプロパティ [sys_properties] テーブルの **glide.db.aggregates.trend.use_iso_week** プロパティを追加して有効にします。
集計	データで実行する数値計算。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数を示します。 一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。 選択した [テーブル] からのフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択します。集計の基準となるフィールドをこのリストから選択します。 レポートをフィールド別にグループ化し、[平均] 集計を選択すると、各グループの平均が取得されます。合計値が表示されている場合は、個々のフィールド値ではなく、これらのグループ平均の平均です。 [最小] または [最大] を選択して、レポートの各セグメントの最大値または最小値を表示します。 集計の詳細については、「レポートの集計」を参照してください。 [平均]、[合計]、[個別のカウント]、[最小]、[最大] を選択した場合は、拡張テーブルのフィールドで集計することもできます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 FX 通貨値の集計については、「レポートの FX 通貨値」を参照してください。
割合の計算	パーセンテージの計算方法。パーセンテージは、棒グラフのレポートの棒グラフなど、レポート セグメントを指すときに表示されます。このフィールドは、[集計] が [平均]、[合計]、[個別のカウント] に設定されているときに表示されます。 ○ [集約を使用] は、[集計] フィールドの選択を使用してパーセンテージを計算します。パーセンテージの計算には、レポートに表示されるデータのみが使用されます。 たとえば、レポートには [集形] が [合計] に設定された部門別の資産と、集計を使用して計算されたパーセンテージが表示されます。資産の総コストが 100,000 USD、カスタマーサポートの資産コストが 10,000 USD の場合、カスタマーサポートのパーセンテージは 10% となります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	○ [レコード数を使用] では、データセット内のレコードの総数を使用してパーセンテージを計算します。 たとえば、レポートは優先度別にインシデントを表示します。インシデント 500 件の記録のうち、インシデント 200 件の優先度が低いとします。低優先度セクションのパーセンテージは 40% となります。
値の書式を設定	小数点以下桁数、丸め、最小および最大の期間単位、期間単位の省略形など、レポートでの数値の表示方法を構成できます。「レポートの値の書式設定」を参照してください。 注: 小数点以下桁数は通貨フィールドでは機能しません。

7. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。

   フィルターアイコン () を選択し、[並べ替えの追加] を選択します。

   a. [並べ替え順序] ボックスの一覧で、並べ替えるフィールドを選択し、アルファベット順または逆アルファベット順に **[a-z**] または **[z-a**] を選択します。

      このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張または関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

      注:
      ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドでのみソートできます。

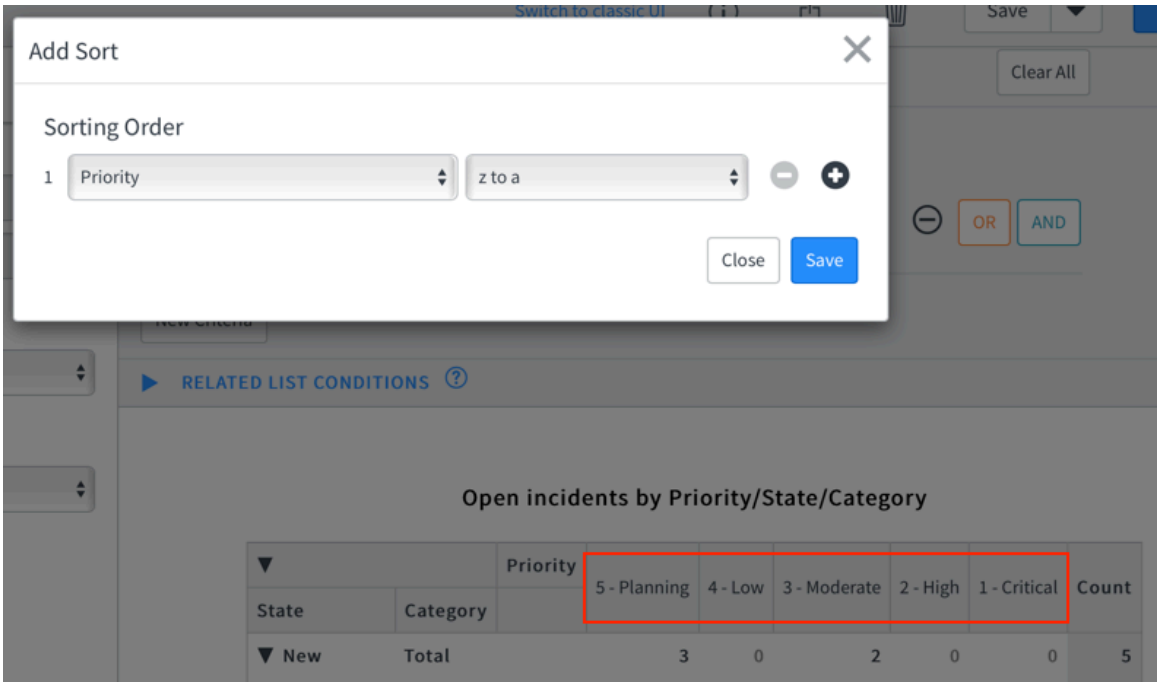
   b. ソートプラスアイコン () を選択して、追加のソート順序条件を設定します。(ソートマイナスアイコン ( ) を選択すると、構成済みのソート順条件を削除できます)。

   c. [保存] を選択します。

   [選択リスト] タイプのフィールドの場合、ソート順は [ラベル] に基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択フィールドの [値] に基づいてソートされます。マルチレベル ピボットテーブルおよびヒートマップ レポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



8. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン () を選択し、レポートデータをフィルターする条件を指定します。
   条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。
9. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。
10. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- レポート情報アイコン () を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン () を選択して [共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。

ステップ ライン レポートのスタイル オプション

ステップ ライン レポートの外観を構成します。

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

ステップ ライン レポートのスタイル オプション

フィールド	説明
全般	
チャートの色	レポートで使用される色のソース。 レポートのグループ化または積み重ねを行わない場合は、**[1** つの色を使用] が自動的に選択されます。この場合、事前定義された単一のシステム カラーを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステップ ライン レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	レポートのグループ化または積み重ねを行う場合は、以下のオプションのいずれかを選択します。 • カラーパレットを使用：事前定義済みのシステムのカラー パレットからカラー パレットを選択します。 • 複数の色を使用:16 進数コードを使用して カスタムの色の セットを定義します。任意の数の色を追加できます。 • チャートの色を使用: で定義されている色を使用します。 レポート > チャートの色. これらのオプションの違いの詳細については、を参照してください レポートの定義済みの色。
色を設定	レポートで使用される色。このフィールドは、[チャートの色] リストから **[1** つの色を使用] を選択すると表示されます。検索アイコン( )をクリックして、「 色定義 」リストから選択します。
パレットを設定	レポートで使用されるカラー パレット。このフィールドは、[チャートの色] リストから [カラーパレットを使用] を選択すると表示されます。パレットは、チャートの配色 [pa_chart_color_scheme] テーブルで定義されます。
色	レポートで使用される色。このフィールドは、[チャートの色] リストから [複数の色を使用] を選択すると表示されます。16 進数のカラーコードのカンマ区切りリストを入力します。これらの色は、カラーパレットやチャートの色で使用される事前定義されたシステムの色とは無関係です。 **注:** 透明度の 16 進数の値は使用できません。
データラベルを表示	このチェック ボックスをオンにすると、各データ ポイントの値が表示されます。
nil をゼロとしてプロットしない	値のないデータ ポイントをゼロ値に置き換えるかどうかを指定するためのチェック ボックス。このフィールドは、複数のデータセットを含む時系列レポート (面、曲線、線、ステップラインのレポートのみ) の作成や編集時、また該当する時系列レポート内でのデータセットの作成や編集時に使用できます。このフィールドは、レポート内のデータがグループ化されている場合、または [カウント] または [個別のカウント] で集計されている場合には使用できません。 選択すると、データが存在しない場合はレポートにギャップが表示されることがあります。
マーカーを表示	チェック ボックスをオンにすると、各データ ポイントに記号が表示されます。オンにすると、ステップの中央とレポートの視覚化の端点にマーカーが表示されます。
カスタムグラフサイズ	レポートの幅と高さをピクセル単位で指定するチェック ボックス。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

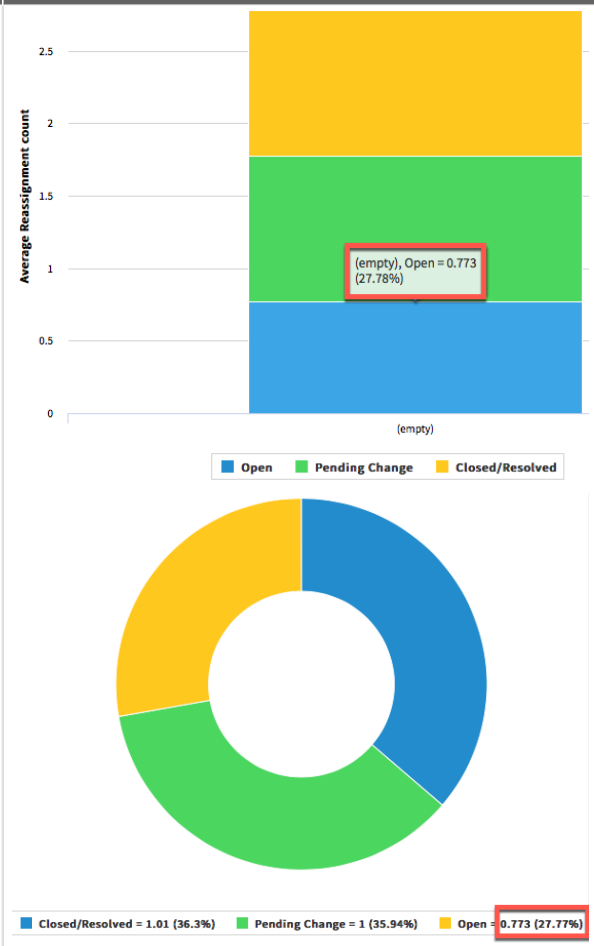
ステップ ライン レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
チャートの幅	レポートの幅 (ピクセル単位)。デフォルト値は 600 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に利用できます。
チャートの高さ	レポートの高さ (ピクセル単位)。デフォルト値は 450 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に表示されます。
チャートサイズ	チャートのサイズ。このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] がクリアされている場合に利用できます。選択肢は、[小]、[中]、[大] です。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
ドリルダウン ビュー	ドリルダウン レポート タイプが指定されていないレポートのセグメントをユーザーが選択したときに表示するリスト ビュー。このビューは、ユーザーがレポートの最小ドリルダウン レベルに達したときにも使用されます。詳しくは 、 リストレイアウトの設定 を参照してください。[レポートのドリルダウン] を指定すると、[ドリルダウンビュー] は無視されます。 詳細については、「レポート ドリルダウンの定義」を参照してください。
小数点以下桁数	表示する小数点以下の桁数。ゼロから 4 桁の小数点以下まで表示することができます。デフォルト値：2。デフォルト値を変更するには、システム プロパティ glide.chart.decimal.precision を作成し、値を指定します。 **注:** パーセンテージ ラベルは、指定された小数点以下桁数に応じて変更されることはありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステップ ライン レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	
タイトル	
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 • 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステップ ライン レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
チャートタイトルのカスタム位置	チャート タイトルの位置の X 座標と Y 座標を指定するチェック ボックス。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャート タイトルの X 位置	チャートのタイトル位置を左右に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを右に移動するには、正の値を入力します。左に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの Y 位置	チャート タイトルの位置を上下に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを上に移動するには、正の値を入力します。下に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] オプションがクリアされている場合に使用できます。
タイトルの垂直配置	チャートのタイトルを垂直に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] がクリアされいてる場合にのみ表示されます。
凡例	
凡例を表示	チャートの凡例を表示するチェック ボックス。このチェックボックスは、[グループ] フィールドがレポート フォームで選択されている場合に表示されます。 凡例はデフォルトでは短縮されます。切り捨ての長さを調整するには、プロパティ *glide.chart.label.legend.truncate_to* と *glide.chart.label.legend.truncate_to.large*を構成します。詳細については、「レポートのプロパティー」を参照してください。
凡例の水平配置	凡例を水平に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例の垂直配置	凡例を垂直に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例境界を表示	凡例を囲む枠線を表示するチェック ボックス。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例テキストを左揃え	ブラウザでレポートを表示するときに凡例テキストを左揃えにするチェック ボックス。デフォルトでは、凡例テキストが中央揃えになっています。レポートを PDF、PNG、JPG にエクスポートすると、凡例は中央揃えのままとなります。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステップ ライン レポートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
軸	
Y 軸と X 軸	タイトル、外観、ラベルを設定する軸。
タイトル	軸のタイトル。
タイトルのサイズ	軸のタイトルのサイズ (ピクセル単位)。デフォルト値は 12 です。
タイトル太字	太字の書体で軸のタイトルを表示するには、このボックスをチェックします。
反対側	**[X** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートの右側に X 軸のタイトルが表示されます。**[Y** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、X 軸のタイトルが下部ではなく、レポート上部に表示されます。
グリッドを表示	**[X** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートに水平のグリッド線が表示されます。 **[Y** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートの上部に垂直のグリッド線が表示されます。
グリッドドット付き	実線ではなく点線のグリッド線を表示するには、このボックスをチェックします。
X 軸/Y 軸のラベル サイズ	**[X** 軸] タブで、レポートの行のラベルのサイズを指定します。 **[Y** 軸] タブで、レポートの列のラベルのサイズを指定します。
ラベル太字	太字の書体でレポートのラベルを表示するには、このボックスをオンにします。

傾向レポート

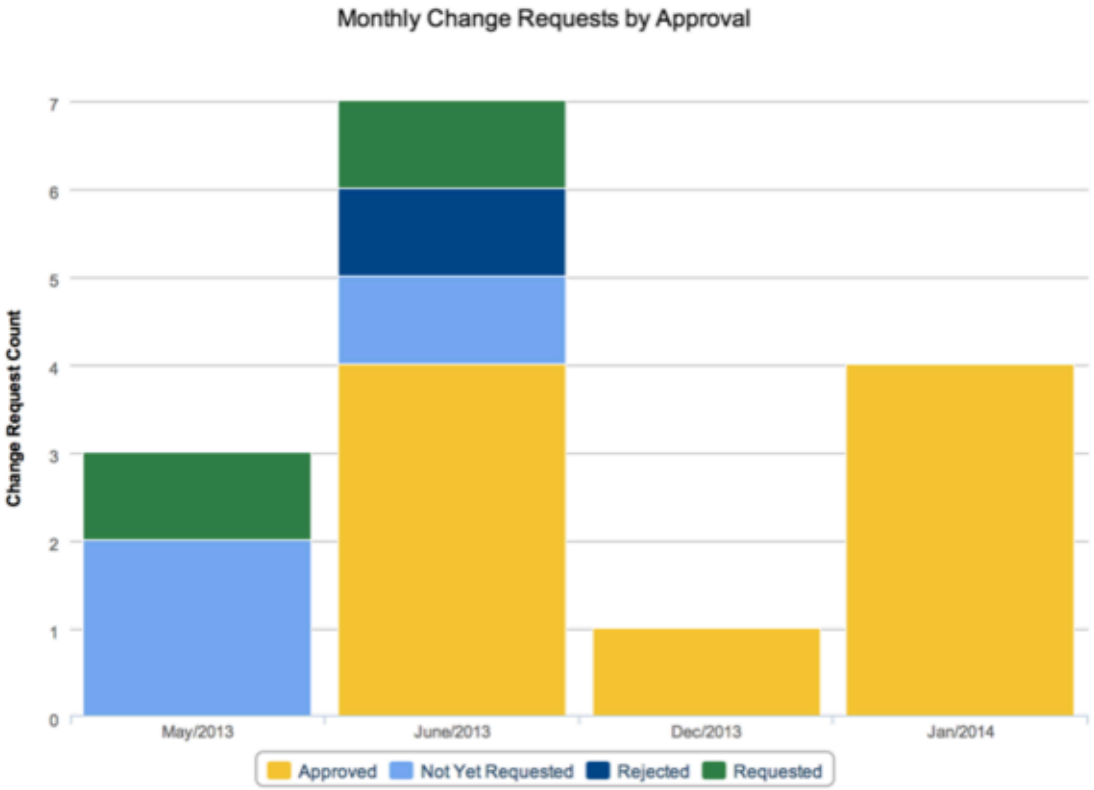
傾向レポートは、1 つ以上のアイテムの値が時間とともにどのように変化するかを示します。傾向レポートの横軸上の値は、時間測定値を表します。縦軸の値は、監視対象のアイテムの変化を表します。

report_admin ロールを持つユーザーは、傾向図レポートで使用する範囲を定義できます。レポート範囲の作成については、「レポート範囲」を参照してください。

時間の経過とともに変化するアイテムの例として、インシデント数があります。インシデント数は、製品のアップグレードが導入されてから最初の数か月間は増加する可能性があります。時間が経つにつれてユーザーが製品の変化に慣れてくると、報告されるインシデントの数は減少します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



傾向レポートを作成する

傾向レポートを作成して、1 つまたは複数のデータ要素の値が時間の経過とともにどのように変化するかを示します。

始める前に
必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. レポートに適用可能なソースを選択します。

オプション	説明
データソース	データソースはレポートソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためにフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 **注:** 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、それらのレポートを表示するように求める通知が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、テーブル名の下に簡単な説明が表示されます。 傾向レポートでは、外部ソースから取得したデータをメモリに集約するリモートテーブルを選択することもできます。次に、[傾向] フィールド オプションを選択して、そのデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得 」を参照してください
外部インポート	既存のインポートされたレポートソースを選択するか、[アップロード] アイコン ()  を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメントからレポートを作成する」を参照してください。
MetricBase	MetricBase を使用すると、新しいプラットフォームでカスタム時系列データを収集、保持、分析、視覚化することができます。詳細については、「 MetricBase 」を参照してください。

4. [次へ] を選択します。
5. [タイプ] タブのフィルターに「傾向」と入力し、[その他] セクションから傾向レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、 [実行] を選択します。
6. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

[設定] タブ

フィールド	説明
グループごと	このフィールドの値を使用するグループのレポートデータ。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明については、情報アイコン (ⓘ) をクリックします。 レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: ○ レポートは、[タグ] フィールドや MEDIUMTEXT などの特定のフィールドタイプでのグループ化やスタックはできません。 ○ データベースビューに基づくレポートでは、[変数] または [質問] フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。
他のグループ化	レポートをグループ化する追加のフィールド。[他のグループ化] フィールドまたは機能フィールドを選択すると、追加のフィールドのいずれか 1 つでレポートをグループ化できるコントロールがレポートの下部に組み込まれます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明については、情報アイコン ()ⓘ をクリックします レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 注: ○ メインの [グループごと] リストに表示されない [他のグループ化] リストの選択肢を表示できます。レポートでは、表示される追加フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。メインの [グループごと] の選択肢とは異なり、[他のグループ化] フィールドはフィルタリングされません。サポートされていないフィールドを選択しても、効果はありません。 ○ メインの [グループごと] フィールドにリストされている制限は、[他のグループ化] フィールドにも適用されます。 詳細については、「[グループの追加] または [積み重ね基準]」を参照してください。
データテーブルを表示	レポートの下のリストにレポートデータを表示するには、このオプションを選択します。レポートが追加されたダッシュボードにリストが表示されます。 glide.ui.section508 システムプロパティが **true** に設定されている場合、すべてのレポート可視化にレポートデータが表示されます。glide.ui.section508 プロパティは、[データテーブルを表示] フィールドを上書きします。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「機能フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
トレンドの基準	時間順に値を表示したいテーブル フィールド。選択したフィールドの説明については、情報アイコン (ⓘ) をクリックします。 注: [テーブル] フィールドでリモートテーブルを選択した場合、このフィールドで選択したオプションは、外部ソースから取得されてメモリに集計されたデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
期間	データをグループ化する期間。利用可能な期間の範囲は、選択したカレンダーによって異なります。期間は、1 時間から 1 年の範囲です。日付を指定することもできます。 **注:** 週ごとのレポートの場合：レポート範囲に複数の暦年が含まれている場合、週が 2 つの年にまたがって分割されると不整合が生じます。ISO 週に従ってデータ値をより正確に表示するには、システムプロパティ [sys_properties] テーブルの **glide.db.aggregates.trend.use_iso_week** プロパティを追加して有効にします。
集計	データで実行する数値計算。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数を示します。 一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。 選択した [テーブル] からのフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択します。集計の基準となるフィールドをこのリストから選択します。 レポートをフィールド別にグループ化し、[平均] 集計を選択すると、各グループの平均が取得されます。合計値が表示されている場合は、個々のフィールド値ではなく、これらのグループ平均の平均です。 [最小] または [最大] を選択して、レポートの各セグメントの最大値または最小値を表示します。 集計の詳細については、「レポートの集計」を参照してください。 [平均]、[合計]、[個別のカウント]、[最小]、[最大] を選択した場合は、拡張テーブルのフィールドで集計することもできます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 FX 通貨値の集計については、「レポートの FX 通貨値」を参照してください。
割合の計算	パーセンテージの計算方法。パーセンテージは、棒グラフのレポートの棒グラフなど、レポート セグメントを指すときに表示されます。このフィールドは、[集計] が [平均]、[合計]、[個別のカウント] に設定されているときに表示されます。 ○ [集約を使用] は、[集計] フィールドの選択を使用してパーセンテージを計算します。パーセンテージの計算には、レポートに表示されるデータのみが使用されます。 たとえば、レポートには [集形] が [合計] に設定された部門別の資産と、集計を使用して計算されたパーセンテージが表示されます。資産の総コストが 100,000 USD、カスタマーサポートの資産コストが 10,000 USD の場合、カスタマーサポートのパーセンテージは 10% となります。 ○ [レコード数を使用] では、データセット内のレコードの総数を使用してパーセンテージを計算します。 たとえば、レポートは優先度別にインシデントを表示します。インシデント 500 件の記録のうち、インシデント 200 件の優先度が低いとします。低優先度セクションのパーセンテージは 40% となります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

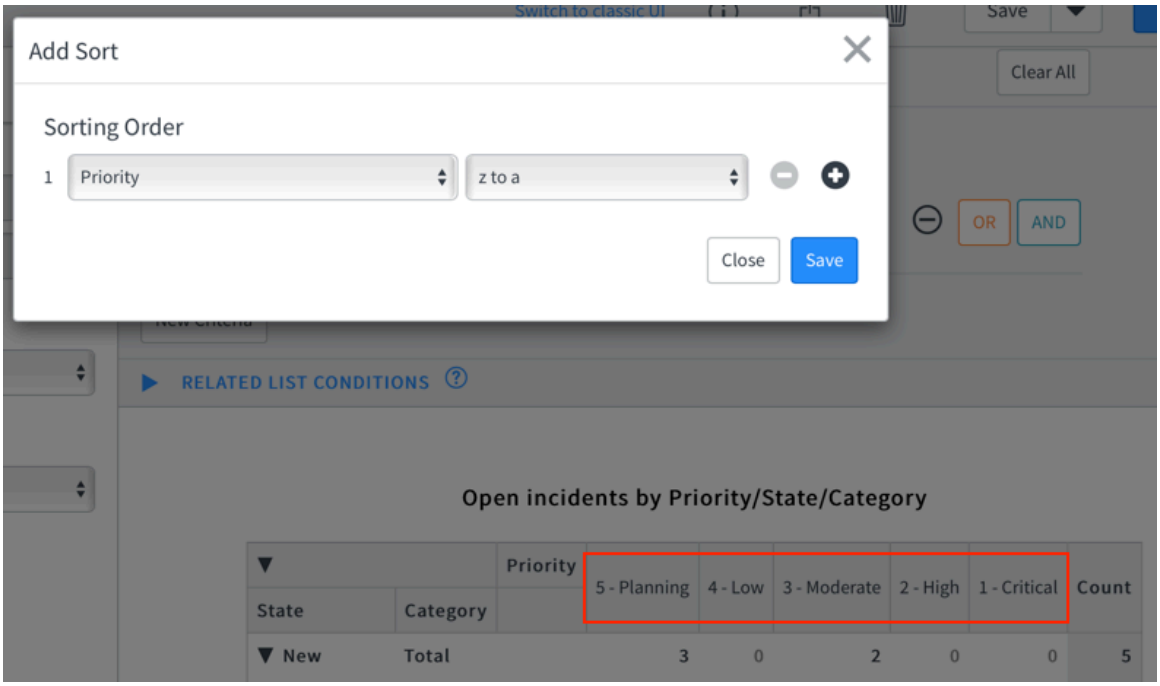
フィールド	説明
値の書式を設定	小数点以下桁数、丸め、最小および最大の期間単位、期間単位の省略形など、レポートでの数値の表示方法を構成できます。「レポートの値の書式設定」を参照してください。 注: 小数点以下桁数は通貨フィールドでは機能しません。
グループの最大数	傾向の基準条件が返すグループの最大数。この制限は x 軸にのみ影響します。[グループ] 条件が Y 軸で返すグループの数は影響を受けません。 最高値を持つグループが最初に表示されます。制限を超えるグループはどれも、[その他] という単一のグループに結合されます。 [すべて表示] を選択すると、グループ ごとの 傾向の上位 50 件が X 軸に表示されます。グループが 50 を超える場合、残りは [その他] としてグループ化されます。
その他の表示	レポートに [その他] グループを含めるかどうかを指定するチェックボックス。[その他] グループには、[グループの最大数] で指定されている数を超えるすべてのグループのデータが含まれます。

7. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。
   フィルターアイコン () を選択し、[並べ替えの追加] を選択します。
   a. [並べ替え順序] ボックスの一覧で、並べ替えるフィールドを選択し、アルファベット順または逆アルファベット順に **[a-z**] または **[z-a**] を選択します。
      このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張または関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。
      注:
      ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドでのみソートできます。
   b. ソートプラスアイコン () を選択して、追加のソート順序条件を設定します。(ソートマイナスアイコン ( ) を選択すると、構成済みのソート順条件を削除できます)。
   c. [保存] を選択します。

[選択リスト] タイプのフィールドの場合、ソート順は [ラベル] に基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択フィールドの [値] に基づいてソートされます。マルチレベル ピボット テーブルおよびヒートマップ レポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



8. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン () を選択し、レポートデータをフィルターする条件を指定します。
   条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。
9. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。
10. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- レポート情報アイコン () を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン () を選択して [共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。

傾向レポートのスタイル オプション

傾向レポートの外観を変更します。

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

傾向図のスタイル オプション

フィールド	説明
全般	
チャートの色	レポートで使用される色のソース。 レポートのグループ化または積み重ねを行わない場合は、**[1** つの色を使用] が自動的に選択されます。この場合、事前定義された単一のシステム カラーを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

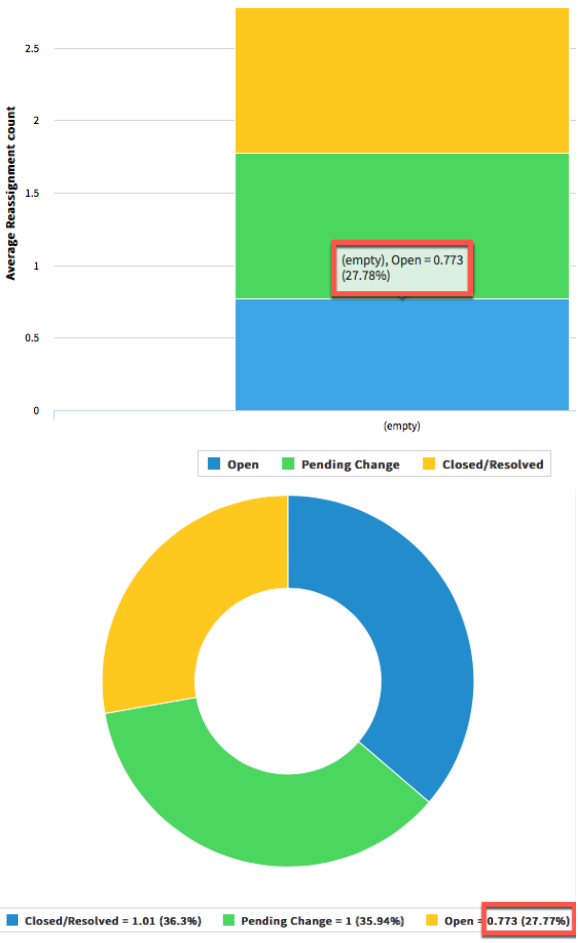
傾向図のスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	レポートのグループ化または積み重ねを行う場合は、以下のオプションのいずれかを選択します。 • カラーパレットを使用：事前定義済みのシステムのカラー パレットからカラー パレットを選択します。 • 複数の色を使用:16 進数コードを使用して カスタムの色の セットを定義します。任意の数の色を追加できます。 • チャートの色を使用: で定義されている色を使用します。 レポート > チャートの色. これらのオプションの違いの詳細については、を参照してください レポートの定義済みの色。
色を設定	レポートで使用される色。このフィールドは、[チャートの色] リストから **[1** つの色を使用] を選択すると表示されます。検索アイコン()をクリックして、「 色定義 」リストから選択します。
パレットを設定	レポートで使用されるカラー パレット。このフィールドは、[チャートの色] リストから [カラーパレットを使用] を選択すると表示されます。パレットは、チャートの配色 [pa_chart_color_scheme] テーブルで定義されます。
色	レポートで使用される色。このフィールドは、[チャートの色] リストから [複数の色を使用] を選択すると表示されます。16 進数のカラーコードのカンマ区切りリストを入力します。これらの色は、カラーパレットやチャートの色で使用される事前定義されたシステムの色とは無関係です。 **注:** 透明度の 16 進数の値は使用できません。
データラベルを表示	各バーの現在の値を表示する場合に選択します。このフィールドは、[積み重ね基準] リストの [なし] を選択した場合や、[積み重ね基準] リストがない場合に利用できます。 • [中央のデータラベル] を選択して、各バーの中央にラベルを表示します。 • [データラベルの重複を許可します] を選択して、表示方法でのラベルのデフォルトの分離を上書きします。
カスタムグラフサイズ	レポートの幅と高さをピクセル単位で指定するチェック ボックス。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
チャートの幅	レポートの幅 (ピクセル単位)。デフォルト値は 600 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に利用できます。
チャートの高さ	レポートの高さ (ピクセル単位)。デフォルト値は 450 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

傾向図のスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
チャートサイズ	チャートのサイズ。このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] がクリアされている場合に利用できます。選択肢は、[小]、[中]、[大] です。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
ドリルダウン ビュー	ドリルダウン レポート タイプが指定されていないレポートのセグメントをユーザーが選択したときに表示するリスト ビュー。このビューは、ユーザーがレポートの最小ドリルダウン レベルに達したときにも使用されます。詳しくは 、 リストレイアウトの設定 を参照してください。[レポートのドリルダウン] を指定すると、[ドリルダウンビュー] は無視されます。 詳細については、「レポート ドリルダウンの定義」を参照してください。
小数点以下桁数	表示する小数点以下の桁数。ゼロから 4 桁の小数点以下まで表示することができます。デフォルト値：2。デフォルト値を変更するには、システム プロパティ glide.chart.decimal.precision を作成し、値を指定します。 **注:** パーセンテージ ラベルは、指定された小数点以下桁数に応じて変更されることはありません。 

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

傾向図のスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
タイトル	
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 • 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのカスタム位置	チャート タイトルの位置の X 座標と Y 座標を指定するチェック ボックス。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャート タイトルの X 位置	チャートのタイトル位置を左右に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを右に移動するには、正の値を入力します。左に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの Y 位置	チャート タイトルの位置を上下に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを上に移動するには、正の値を入力します。下に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] オプションがクリアされている場合に使用できます。
タイトルの垂直配置	チャートのタイトルを垂直に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] がクリアされいてる場合にのみ表示されます。
凡例	
凡例を表示	チャートの凡例を表示するチェック ボックス。このチェックボックスは、[グループ] フィールドがレポート フォームで選択されている場合に表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

傾向図のスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	凡例はデフォルトでは短縮されます。切り捨ての長さを調整するには、プロパティ *glide.chart.label.legend.truncate_to* と *glide.chart.label.legend.truncate_to.large*を構成します。詳細については、「レポートのプロパティー」を参照してください。
凡例の水平配置	凡例を水平に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例の垂直配置	凡例を垂直に整列させる方法。このフィールドは、[凡例を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例境界を表示	凡例を囲む枠線を表示するチェック ボックス。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。
凡例テキストを左揃え	ブラウザでレポートを表示するときに凡例テキストを左揃えにするチェック ボックス。デフォルトでは、凡例テキストが中央揃えになっています。レポートを PDF、PNG、JPG にエクスポートすると、凡例は中央揃えのままとなります。このチェックボックスは、[汎用を表示] が選択されている場合に表示されます。
軸	
Y 軸と X 軸	タイトル、外観、ラベルを設定する軸。
タイトル	軸のタイトル。
タイトルのサイズ	軸のタイトルのサイズ (ピクセル単位)。デフォルト値は 12 です。
タイトル太字	太字の書体で軸のタイトルを表示するには、このボックスをチェックします。
反対側	**[X** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートの右側に X 軸のタイトルが表示されます。**[Y** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、X 軸のタイトルが下部ではなく、レポート上部に表示されます。
グリッドを表示	**[X** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートに水平のグリッド線が表示されます。 **[Y** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートの上部に垂直のグリッド線が表示されます。
グリッドドット付き	実線ではなく点線のグリッド線を表示するには、このボックスをチェックします。
スケール最小値	レポートの情報量を制限する Y 軸の最小値を指定します。[数] タイプでない集計のフィールドを選択すると、[スケール最小値]、[スケール最大値] の両フィールドは利用できなくなります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

傾向図のスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	注: • 設定されたHighcharts の設定に応じて、最小値は切り上げまたは切り捨てられる場合があります。この変更に影響する設定が必要な場合は、管理者に問い合わせてください。 • [設定] タブの [値の書式を設定] を使用して期間フィールドを追加で書式設定する場合: ◦ [開始]/[終了]フィールドに入力された値 (スタイル > **Y** 軸 秒単位ですビジュアル化では、Y 軸ラベルが選択した 最小/最大期間単位 (構成 > 値の書式を設定)、From/To (秒) の値の範囲内にあるデータを返します。 ◦ 例: 期間の最小単位と最大単位を [分] に設定した場合、ビジュアル化では Y 軸ラベルが分として表示され、[開始]/[終了] フィールドに設定された対応する秒値の範囲内にあるデータが返されます。
宛先	レポートの情報量を制限する Y 軸の最大値を指定します。[数] タイプでない集計のフィールドを選択すると、[スケール最小値]、[スケール最大値] の両フィールドは利用できなくなります。 注: • 設定されたHighcharts の設定に応じて、最小値は切り上げまたは切り捨てられる場合があります。この変更に影響する設定が必要な場合は、管理者に問い合わせてください。 • [設定] タブの [値の書式を設定] を使用して期間フィールドを追加で書式設定する場合: ◦ [開始]/[終了]フィールドに入力された値 (スタイル > **Y** 軸 秒単位ですビジュアル化では、Y 軸ラベルが選択した 最小/最大期間単位 (構成 > 値の書式を設定)、From/To (秒) の値の範囲内にあるデータを返します。 ◦ 例: 期間の最小単位と最大単位を [分] に設定した場合、ビジュアル化では Y 軸ラベルが分として表示され、[開始]/[終了] フィールドに設定された対応する秒値の範囲内にあるデータが返されます。
X 軸/Y 軸のラベル サイズ	**[X** 軸] タブで、レポートの行のラベルのサイズを指定します。 **[Y** 軸] タブで、レポートの列のラベルのサイズを指定します。
ラベル太字	太字の書体でレポートのラベルを表示するには、このボックスをオンにします。

Trendbox レポート

Trendbox レポートは、特定の期間におけるグループ間のデータの分布を視覚化します。

Trendbox レポートはボックス レポートに似ていますが、レポートの期間を指定することもできます。レポートを定義する際は、期間の使用を示すわかりやすいタイトルを使用します。互いに関連性のある異なるソースから複数の小さなデータ セットが得られる場合に、Trendbox レポートを使用

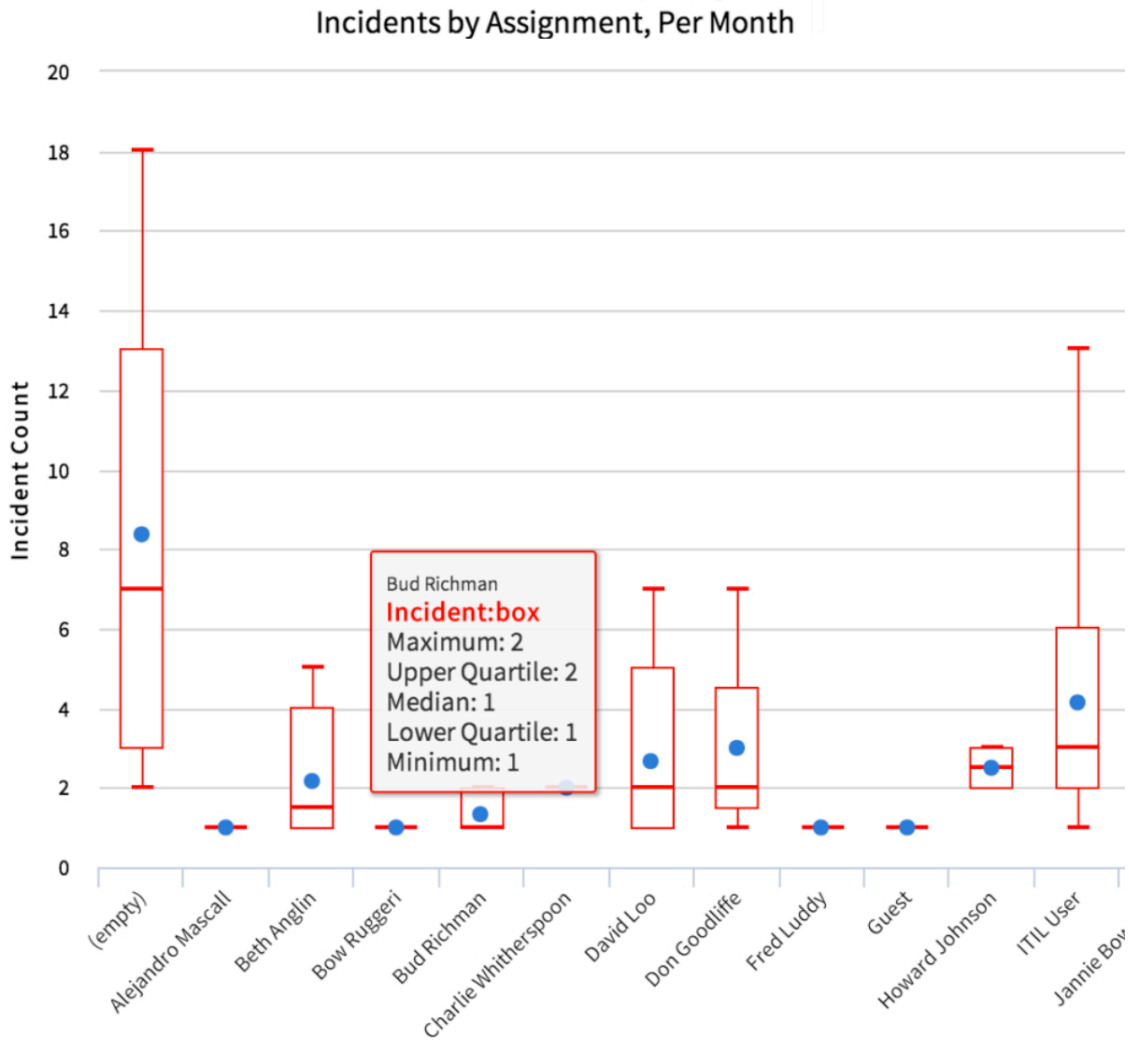
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

します。例として、製品の機能ごとのインシデント解決時間、優先度が異なるインシデント解決時間などがあります。

たとえば、Trendbox レポートでは、サポートエージェントごとのインシデントを表示できます。Trendbox レポートでは、従業員別にインシデントの数と、各エージェントが処理するインシデントの数を中央値と四分位数で分類して表示できます。この情報をもとに、従業員ごとに処理されたインシデントを比較したり、今後のサポート スタッフ レベルを推定したりすることができます。

Trendbox レポート

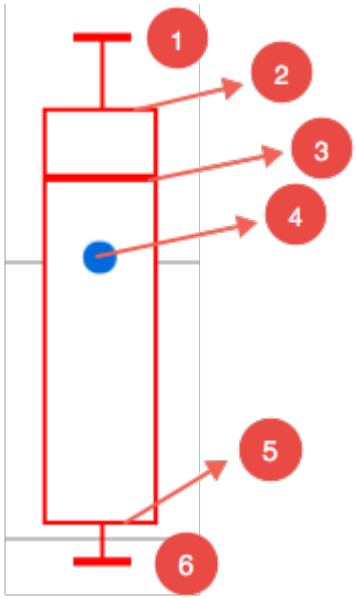


Trendbox レポートについて

Trendbox レポートのボックスにはそれぞれ、データ グループごとに次の情報が表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ボックス チャートのスケール



1 - サンプルの最大値	期間内に到達した最大数。
2 - 上位四分位数	データの上半分の中央値。
3 - 中央値	すべての間隔カウントが最小値から最大値の順に並べられている場合、中央値は中心の最も大きい値を表します。
4 - 平均	平均は青い点で視覚化されます。これは、すべてのデータポイントの平均、または度数の合計を間隔の数で割ったものです。
5 - 下位四分位数	データの下半分の中央値。
6 - サンプルの最小値	期間内に到達した最小数。

ボックス チャート スケールの読み方を理解するには、1 か月あたりの従業員に割り当てられたインシデントについてレポートする次の理論上のトレンドボックスを参照してください。この従業員は、1 か月あたり次のインシデント数に取り組みました。

1か月目	2か月目	3か月目	4か月目	5か月目	6か月目
1 インシデント	3 件のインシデント	5 件のインシデント	2 件のインシデント	6 件のインシデント	5 件のインシデント

月ごとの傾向を示すこのレポートの例では、値は次のとおりです。

- 中央値: データセット 1,2,3,5,5,6 は偶数データセット ((3+5)/2) であるため、中央値は 4 です。データセットが奇数個の値の場合、中央値は正確な中心値になります。
- 上位四分位数:データが分割されている場合、5,5,6 は上半分のデータセットを表します。この例では、上位四分位数は 5 です。データセットの例は偶数の値であるため、上位四分位数は正確な値です。データセットの値の数が奇数の場合は、2 つの中心値を平均化します。
- 最大値:従業員に最も多くのインシデントがアサインされた月、または月 5 の 6 インシデント。
- 平均: (1+3+5+2+6+5)/6、つまり 3.66。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 下位四分位数: データが分割されている場合、1、2、3 はデータの下半分の値のセットを表します。この例では、下位四分位数は 2 です。データセットの値の数は偶数であるため、下位四分位数は正確な値です。データセットの値の数が奇数の場合は、2 つの中心の数値を平均化します。
- 最小:従業員にアサインされたインシデントの数が最も少ない月、この例では 1 インシデント。

注:
アクセシビリティが有効になっている場合、この表示方法には読者が解釈できるレポートが含まれます。詳細については、「 アクセシビリティ機能の有効化 」を参照してください。

Trendbox レポートを作成する

Trendbox レポートを作成して、指定した期間におけるデータ セット内の値の分布を表示します。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

このタスクについて

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. レポートに適用可能なソースを選択します。

オプション	説明
データソース	データソースはレポートソースとも呼ばれ、すべてのユーザーに単一の情報源を提供するためにフィルターが適用されたテーブルです。詳細については、「レポートソース」を参照してください。 **注:** 既存のレポートで使用されているデータソースを選択すると、それらのレポートを表示するように求める通知が表示されます。
テーブル	フィルタが適用されていないテーブルの生データ。テーブルを選択すると、テーブル名の下に簡単な説明が表示されます。 傾向レポートでは、外部ソースから取得したデータをメモリに集約するリモートテーブルを選択することもできます。次に、[傾向] フィールド オプションを選択して、そのデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得 」を参照してください
外部インポート	既存のインポートされたレポートソースを選択するか、[アップロード] アイコン () を選択して新しいファイルをインポートします。「インポートされた Microsoft Excel ドキュメン

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
	トからレポートを作成する」を参照してください。
MetricBase	MetricBase を使用すると、新しいプラットフォームでカスタム時系列データを収集、保持、分析、視覚化することができます。詳細については、「 MetricBase 」を参照してください。

4. [次へ] を選択します。
5. [タイプ] タブのフィルターに「**Trendbox**」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、 [実行] を選択します。
6. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

Trendbox レポートの構成オプション

フィールド	説明
グループ	このフィールドの値を使用するグループのレポートデータ。たとえば、[アサイン先グループ] でグループ化されているインシデントレポートでは、ソフトウェア、サービスデスク、ネットワークに属するすべてのインシデントが別々のグループに配置されます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明については、情報アイコン (ⓘ) をクリックします。 レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。 注: ○ レポートは、[タグ] フィールドや MEDIUMTEXT などの特定のフィールドタイプでのグループ化やスタックはできません。 ○ データベースビューに基づくレポートでは、[変数] または [質問] フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。 ○ 20 文字を超えるラベル名は表示時や印刷時に切り捨てられることがあります。
他のグループ化	レポートをグループ化する追加のフィールド。[他のグループ化] フィールドまたは機能フィールドを選択すると、追加のフィールドのいずれか 1 つでレポートをグループ化できるコントロールがレポートの下部に組み込まれます。拡張テーブルのフィールドごとにグループ化する方法については、「拡張テーブルのレポート方法」を参照してください。 選択したフィールドの説明については、情報アイコン ()ⓘ をクリックします レポートを保存した後に、構成済みの機能フィールドがこのリストに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: ◦ メインの [グループごと] リストに表示されない [他のグループ化] リストの選択肢を表示できます。レポートでは、表示される追加フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。メインの [グループごと] の選択肢とは異なり、[他のグループ化] フィールドはフィルタリングされません。サポートされていないフィールドを選択しても、効果はありません。 ◦ メインの [グループごと] フィールドにリストされている制限は、[他のグループ化] フィールドにも適用されます。 詳細については、「[グループの追加] または [積み重ね基準]」を参照してください。
関数フィールドを構成	算術関数を含む複数の入力の計算に基づいてフィールドを構成します。詳細については、「機能フィールドに関するレポート」を参照してください。関数フィールドの結果は、レポートの実行時に計算されます。結果は集計とグループ化に使用できます。関数フィールドを構成する前に、レポートを保存する必要があります。 レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。
トレンドの基準	時間順に値を表示したいテーブル フィールド。選択したフィールドの説明については、情報アイコン (ⓘ) をクリックします。 注: [テーブル] フィールドでリモートテーブルを選択した場合、このフィールドで選択したオプションは、外部ソースから取得されてメモリに集計されたデータを集計します。リモートテーブルの詳細については、「リモートテーブルとスクリプトを使用した外部データの取得」を参照してください
期間	データをグループ化する期間。利用可能な期間の範囲は、選択したカレンダーによって異なります。期間は、1 時間から 1 年の範囲です。日付を指定することもできます。 注: 週ごとのレポートの場合：レポート範囲に複数の暦年が含まれている場合、週が 2 つの年にまたがって分割されると不整合が生じます。ISO 週に従ってデータ値をより正確に表示するには、システムプロパティ [sys_properties] テーブルの **glide.db.aggregates.trend.use_iso_week** プロパティを追加して有効にします。
集計	データで実行する数値計算。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数を示します。 一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。 選択した [テーブル] からのフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択します。集計の基準となるフィールドをこのリストから選択します。 レポートをフィールド別にグループ化し、[平均] 集計を選択すると、各グループの平均が取得されます。合計値が表示されている場合は、個々のフィールド値ではなく、これらのグループ平均の平均です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	[最小] または [最大] を選択して、レポートの各セグメントの最大値または最小値を表示します。 集計の詳細については、「レポートの集計」を参照してください。 [平均]、[合計]、[個別のカウント]、[最小]、[最大] を選択した場合は、拡張テーブルのフィールドで集計することもできます。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。 FX 通貨値の集計については、「レポートの FX 通貨値」を参照してください。

7. オプション: レポート内の該当するフィールドのソート順を設定します (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向])。

フィルターアイコン () を選択し、[並べ替えの追加] を選択します。

a. [並べ替え順序] ボックスの一覧で、並べ替えるフィールドを選択し、アルファベット順または逆アルファベット順に **[a-z**] または **[z-a**] を選択します。

このリストには、レポートのソースから可能なすべてのフィールドと、拡張または関連テーブルのフィールドが含まれています。ただし、有効な値は、現在のレポート (レポートの種類に応じて、[列]、[行]、[グループ別]、[積み重ね基準別]、[傾向]) に選択されたフィールドだけです。

> **注:**
> ドット連結 (拡張) テーブルのフィールドでは、日付フィールドでのみソートできます。

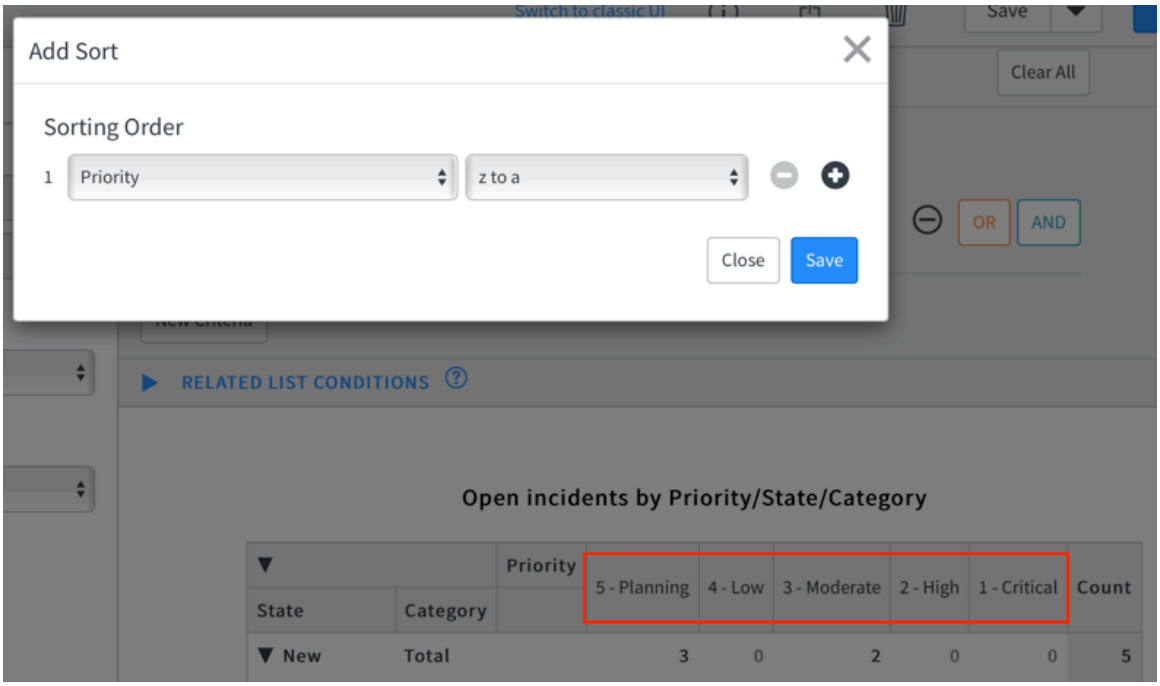
b. ソートプラスアイコン () を選択して、追加のソート順序条件を設定します。(ソートマイナスアイコン ( ) を選択すると、構成済みのソート順条件を削除できます)。

c. [保存] を選択します。

[選択リスト] タイプのフィールドの場合、ソート順は [ラベル] に基づいてアルファベット順に決定されるのではなく、選択フィールドの [値] に基づいてソートされます。マルチレベル ピボットテーブルおよびヒートマップ レポートの場合、ソート順はリスト内の選択肢の順序によって決まります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



8. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン () を選択し、レポートデータをフィルターする条件を指定します。
   条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。
9. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。
10. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

次のタスク

- レポート情報アイコン () を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン () を選択して [共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。

関連情報

レポートの共有

Trendbox レポートのスタイル オプション

Trendbox レポートの外観を変更します。

レポートの作成や編集時、オプションの [スタイル] タブをクリックしてレポートの外観を設定します。このオプションは、[全般]、[タイトル]、[凡例]、[軸] のうち 2 つ以上のタブで構成されています。変更した設定のレポートの外観を表示するには、[保存] をクリックします。

Trendbox チャートのスタイル オプション

フィールド	説明
全般	

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

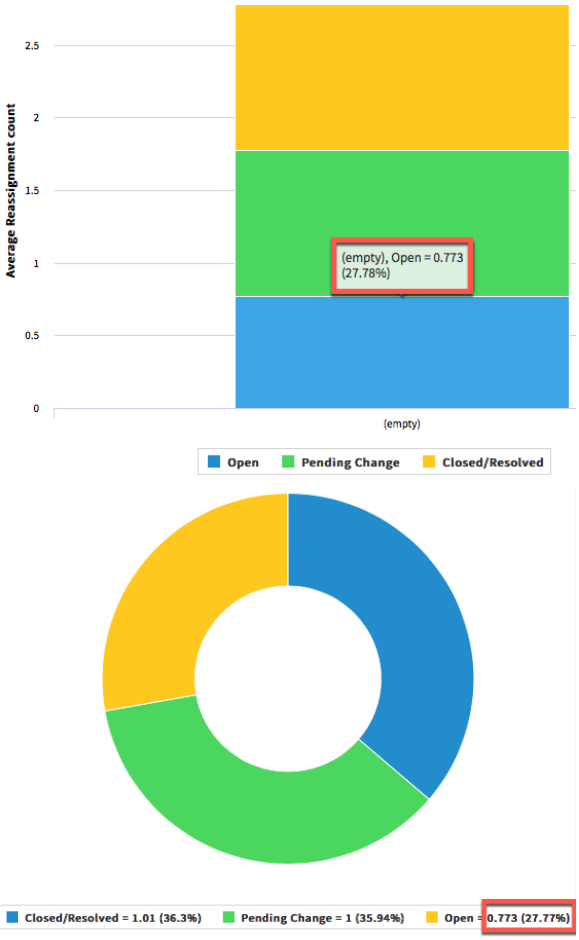
Trendbox チャートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
カスタム グラフ サイズ	レポートの幅と高さをピクセル単位で指定するチェック ボックス。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
チャートの幅	レポートの幅 (ピクセル単位)。デフォルト値は 600 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に利用できます。
チャートの高さ	レポートの高さ (ピクセル単位)。デフォルト値は 450 です。 このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] が選択されている場合に表示されます。
チャート サイズ	チャートのサイズ。このフィールドは、[カスタムグラフサイズ] がクリアされている場合に利用できます。選択肢は、[小]、[中]、[大] です。 **注:** レポートを PDF にエクスポートする際、チャートのサイズは無視されます。PDF では、全ページ幅がチャートを表示するために使用されます。
小数点以下桁数	表示する小数点以下の桁数。ゼロから 4 桁の小数点以下まで表示することができます。デフォルト値：2。デフォルト値を変更するには、システム プロパティ glide.chart.decimal.precision を作成し、値を指定します。 **注:** パーセンテージ ラベルは、指定された小数点以下桁数に応じて変更されることはありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Trendbox チャートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	
タイトル	
チャートタイトルを表示	レポートのチャート タイトルが表示される期間。 • 今後表示しない：チャートのタイトルを表示しません。 • レポートのみ：レポートのみにチャート タイトルを表示します。 • 常時:レポート、ダッシュボード、およびランディングページにチャートタイトルを表示します。
チャートタイトル	チャート タイトルの最大長は 40 文字です。タイトルが入力されていない場合は、タイトルにレポート名が使用されます。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトルのサイズ	チャートタイトルのサイズ (ピクセル)。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル色	チャートタイトルの色。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。
チャートタイトル	チャート タイトルの位置の X 座標と Y 座標を指定するチェック ボックス。このフィールドは、[レポートのみ] または [常時] が [チャートタイトルを表示] リストから選択されると表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Trendbox チャートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
のカスタム位置	
チャート タイトルの X 位置	チャートのタイトル位置を左右に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを右に移動するには、正の値を入力します。左に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
チャート タイトルの Y 位置	チャート タイトルの位置を上下に調整するピクセル数。デフォルトでは、タイトルはチャートの中央上部に表示されます。チャート タイトルを上に移動するには、正の値を入力します。下に移動するには、負の値を入力します。 このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] が選択される場合にのみ表示されます。
タイトルの水平配置	チャート タイトルを水平に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] オプションがクリアされている場合に使用できます。
タイトルの垂直配置	チャートのタイトルを垂直に整列させる方法。このフィールドは、[チャートタイトルのカスタム位置] がクリアされいてる場合にのみ表示されます。
軸	
Y 軸と X 軸	タイトル、外観、ラベルを設定する軸。
タイトル	軸のタイトル。
タイトルのサイズ	軸のタイトルのサイズ (ピクセル単位)。デフォルト値は 12 です。
タイトル太字	太字の書体で軸のタイトルを表示するには、このボックスをチェックします。
反対側	**[X** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートの右側に X 軸のタイトルが表示されます。**[Y** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、X 軸のタイトルが下部ではなく、レポート上部に表示されます。
グリッドを表示	**[X** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートに水平のグリッド線が表示されます。 **[Y** 軸] タブでこのチェック ボックスを選択すると、レポートの上部に垂直のグリッド線が表示されます。
グリッドドット付き	実線ではなく点線のグリッド線を表示するには、このボックスをチェックします。
送信元	レポートの情報量を制限する Y 軸の最小値を指定します。[数] タイプでない集計のフィールドを選択すると、[スケール最小値]、[スケール最大値] の両フィールドは利用できなくなります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Trendbox チャートのスタイル オプション (続く)

フィールド	説明
	注: 設定されたHighcharts の設定に応じて、最小値は切り上げまたは切り捨てられる場合があります。この変更に影響する設定が必要な場合は、管理者に問い合わせてください。
宛先	レポートの情報量を制限する Y 軸の最大値を指定します。[数] タイプでない集計のフィールドを選択すると、[スケール最小値]、[スケール最大値] の両フィールドは利用できなくなります。 注: 設定されたHighcharts の設定に応じて、最小値は切り上げまたは切り捨てられる場合があります。この変更に影響する設定が必要な場合は、管理者に問い合わせてください。
X 軸/Y 軸のラベル サイズ	**[X** 軸] タブで、レポートの行のラベルのサイズを指定します。 **[Y** 軸] タブで、レポートの列のラベルのサイズを指定します。
ラベル太字	太字の書体でレポートのラベルを表示するには、このボックスをオンにします。

詳細レポートのトピック

レポートの表示方法とレポートするデータをカスタマイズする方法について説明します。

このセクションのトピックは、レポート作成の基本をすでによく知っているユーザーに適しています。ただし、管理者またはreport_adminでなくても、このセクションで説明されているようにレポートを設定できます。

レポート内のドリルダウン

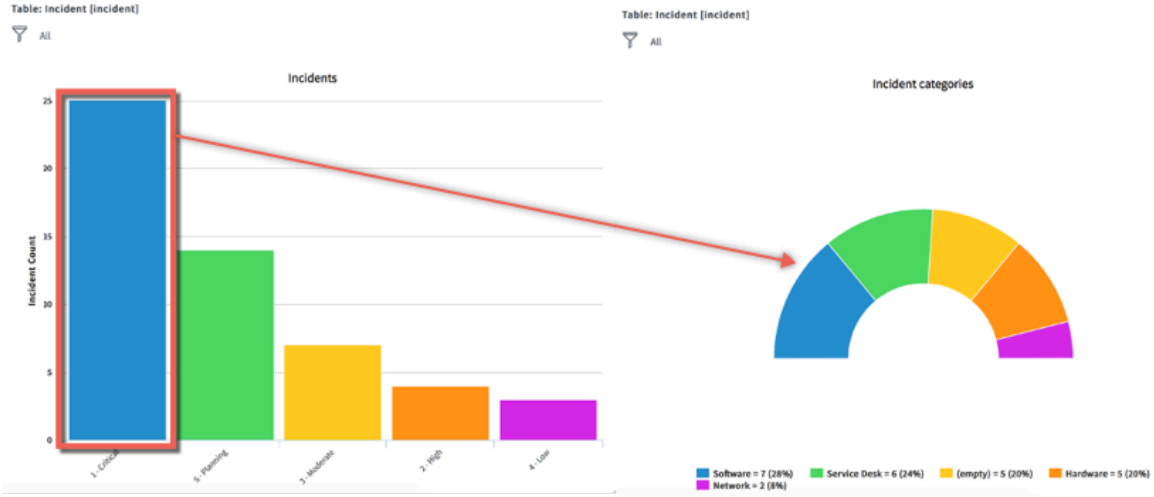
レポート内をドリルダウンして、データのサブセットをビジュアル化することができます。たとえば、優先度別にソートされたレポートの重大セクションをクリックすると、重大インシデントのカテゴリが表示されます。

ドリルダウンが定義されているレポートの場合、チャートの一部をクリックしてデータのサブセットを表示します。サブセットは、異なるチャートのタイプを使用することがあります。この例では、ユーザーが棒グラフの重大インシデントをクリックすると、重大インシデントのカテゴリが半ドーナツ グラフに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ドリルダウンの例



リスト、ヒストグラム、カレンダー、コントロール、ボックス、およびトレンドボックス チャート以外のすべてのタイプのチャートはドリルダウンをサポートします。フォームに追加されたチャートや iFrame として埋め込まれたチャートではドリルダウンは使用できません。レポートに任意の数のドリルダウン レベルを定義できます。

注:
ドリルダウン レポートは PDF にエクスポートされません。ドリルダウンで **[PDF** にエクスポート] を選択した場合、トップ レベルのレポートの PDF が生成されます。

レポート ドリルダウンの定義

レポート ドリルダウンを定義して、レポート ユーザーがレポート データのサブセットを表示できるようにすることができます。レポート ドリルダウンを定義すると、定義したレポートにのみ適用されます。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。

ドリルダウンを定義するレポートが存在する必要があります。

注:
レポートと同じテーブル内のデータだけにドリルダウンできます。次のレポート タイプでは、ドリルダウン機能はサポートされていません。リスト、ヒストグラム、カレンダー、コントロール、ボックス、およびトレンドボックス。

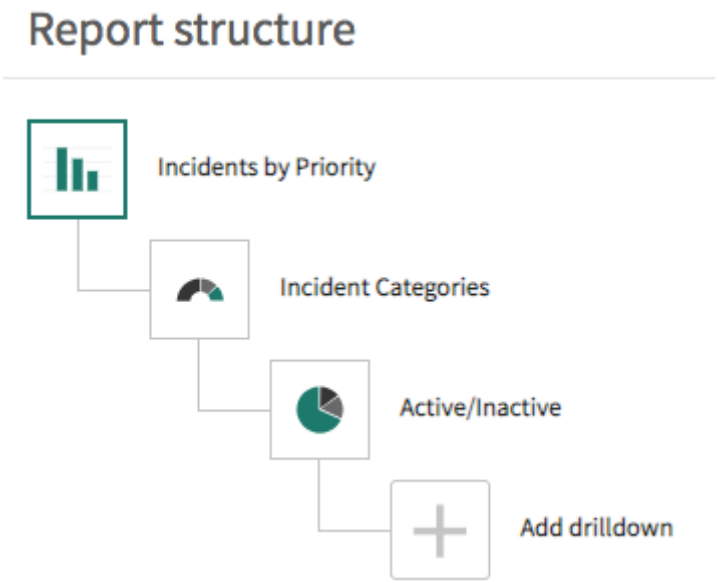
手順

1. 移動先 すべて > レポート > 表示/実行.
2. ドリルダウンを追加するレポートを選択します。
3. [レポート構造を表示] アイコン ( ) をクリックします。
   レポート構造アイコンのバッジは、定義されたドリルダウンの数を表示します。
4. [ドリルダウンを追加] アイコンをクリックします( )。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ドリルダウンの例



5. ドリルダウンの [タイトル] を入力して、[次へ] をクリックします。
6. データを表示するレポート の「タイプ 」を選択し、「 次へ」をクリックします。
「レポートタイプ」を参照してください。ドリルダウン レポートのタイプは、親レポートとは異なる場合があります。
7. ドリルダウン レポートは、他のレポートと同じ方法で構成できます。
構成オプションは、選択したドリルダウン レポート の [タイプ] によって異なります。
8. [ドリルダウンを保存] をクリックします。

タスクの結果
ユーザーは、トップレベルのレポートから、指定したドリルダウン レポートの視覚化にドリルダウンできます。

注:
すべてのユーザーは、円グラフや縦棒グラフなどのビジュアル化されたレポートを表示できます。ただし、ドリルダウンの最後のレベルは常にリストです。プラットフォーム アクセス制御リストは、リスト情報へのユーザー アクセスを決定します。セキュリティ上の制約により、行がリストから削除されたことを示すメッセージがユーザーに表示される場合があります。詳細については、「アクセス制御リストルール」を参照してください。

レポートのクリック時の動作を設定する

ユーザーがレポートをクリックしたときに URL が開くように設定できます。

始める前に
必要なロール：

- レポート作成時：任意
- 他者が作成したレポートを編集する場合：report_admin、report_global、または report_group

このタスクについて
設定されたドリルダウン、またはレポートのクリックされたセクションの基になるリストではなく、URL にユーザーをリダイレクトします。

ドリルダウン機能をサポートしていないレポートタイプについては、「」を参照してください レポート ドリルダウンの定義 。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 表示/実行.
2. 設定するレポートを選択します。
3. [レポート構造を表示] アイコン () をクリックします。
4. リンクアイコン ( .
5. [リダイレクト **URL** を設定] ダイアログ ボックスで、インスタンスに相対リンクを入力します (例：/$knowledge.do)。
   ユーザーがレポートをポインタすると、ツールヒントに「クリックして開く」というテキストが表示されます。
6. オプション: URL のラベルを入力します。
   ユーザーがレポートにポインタを合わせると、ツールヒントに「クリックして (ラベルのテキスト) を開く」と表示されます (例：「クリックしてナレッジ ベースを開く」)。
7. [保存] をクリックします。

タスクの結果

ユーザーがレポートをクリックすると、リダイレクト URL がドリルダウン機能を置き換えます。

レポートで複数のデータセットを使用する

1 つのレポートで最大 5 つのテーブルのデータセットを使用するレポートを作成できます。

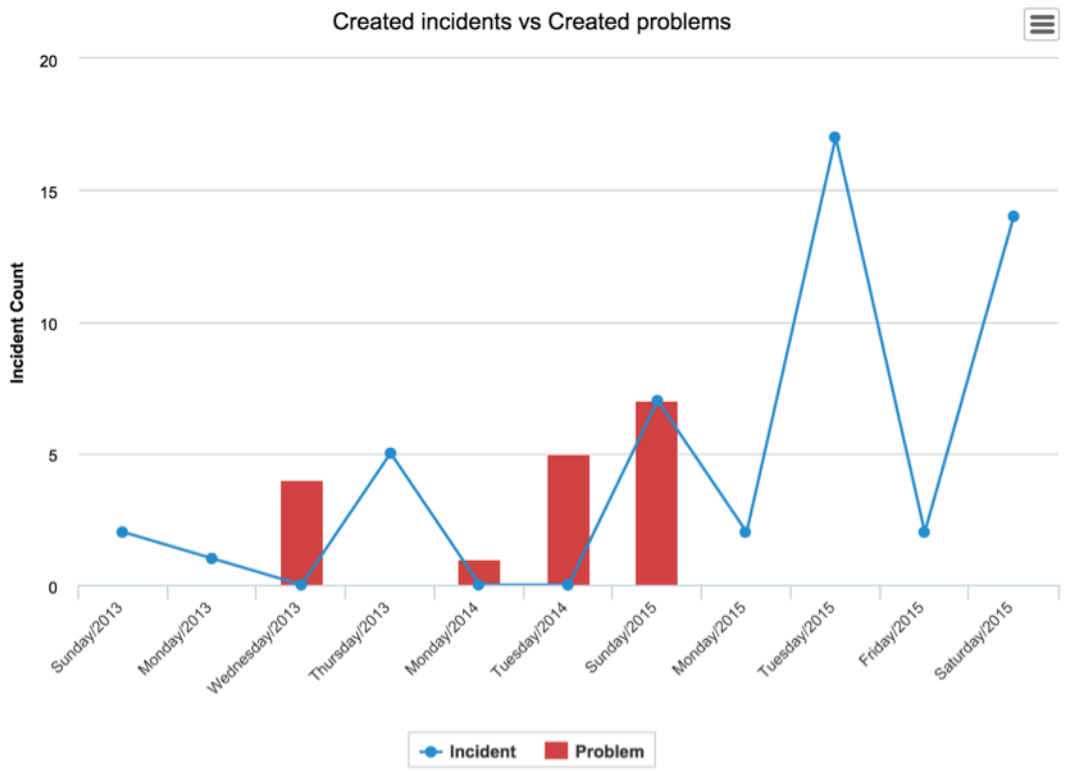
次のレポート タイプは、棒、水平棒、縦棒、折れ線、ステップ ライン、面、スプラインなどの複数のデータセットをサポートしています。

複数のグループ化は、複数のデータセットではサポートされていません。複数のデータセットを使用する場合、レポートの凡例が常に表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インシデントと問題のデータを 1 つのレポートにまとめる



レポートにデータセットを追加する

最大 5 つのデータセットを追加して、複数のソースからのデータを 1 つのレポートに視覚化します。

始める前に
必要なロール:itil、report_user プロパティ *glide.ui.doctype* を有効にする必要があります。

手順

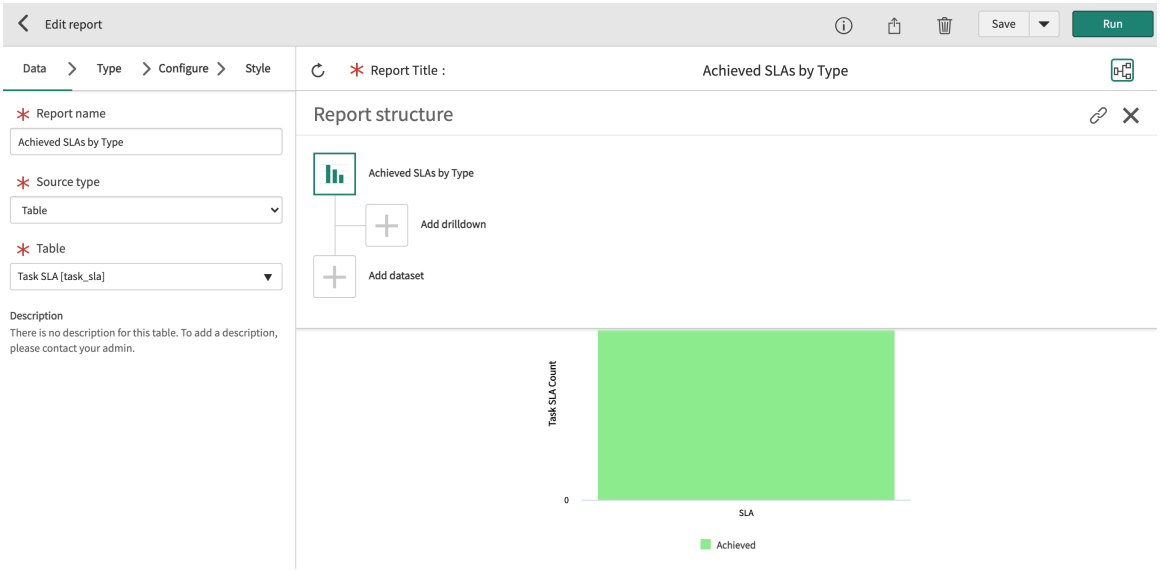
1. 移動先 すべて > レポート > 表示/実行.
2. 複数のデータセットをサポートするタイプのレポートを選択します。

   棒、水平棒、線、縦棒、面、およびスプラインなどのレポートにさらにセットを追加できます。

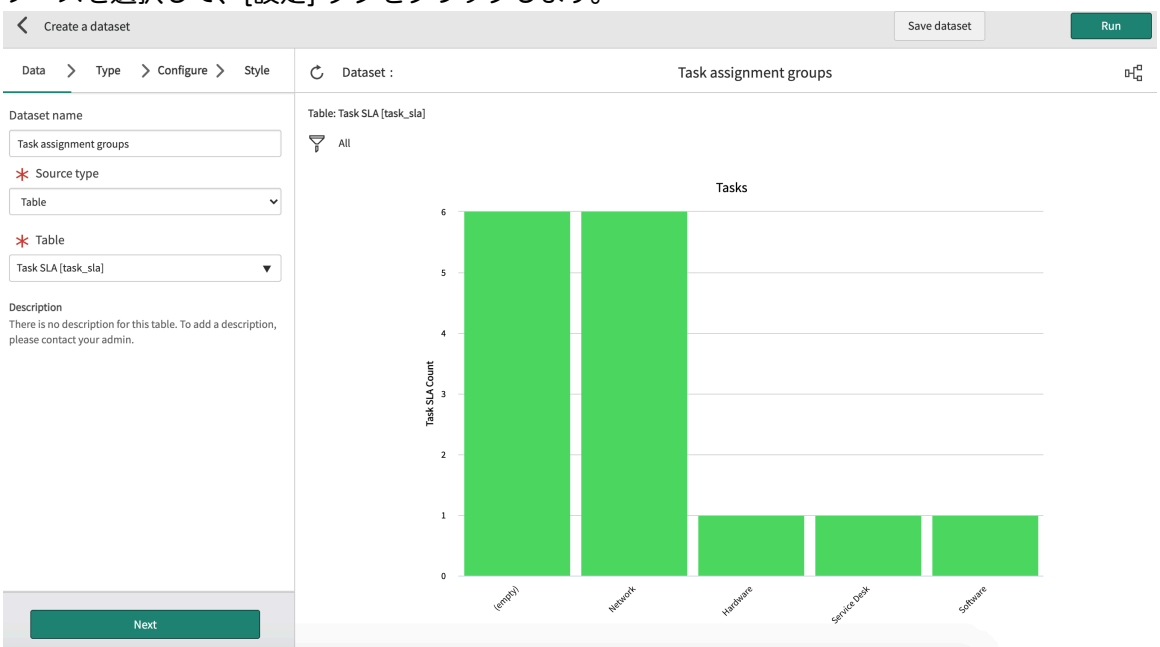
3. [レポート構造を表示] アイコン ( ) をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. [データセットを追加] をクリックします。
5. [データ] タブで、レポートの凡例に表示する追加データセットのカスタム名を指定し、データソースを選択して、[設定] タブをクリックします。

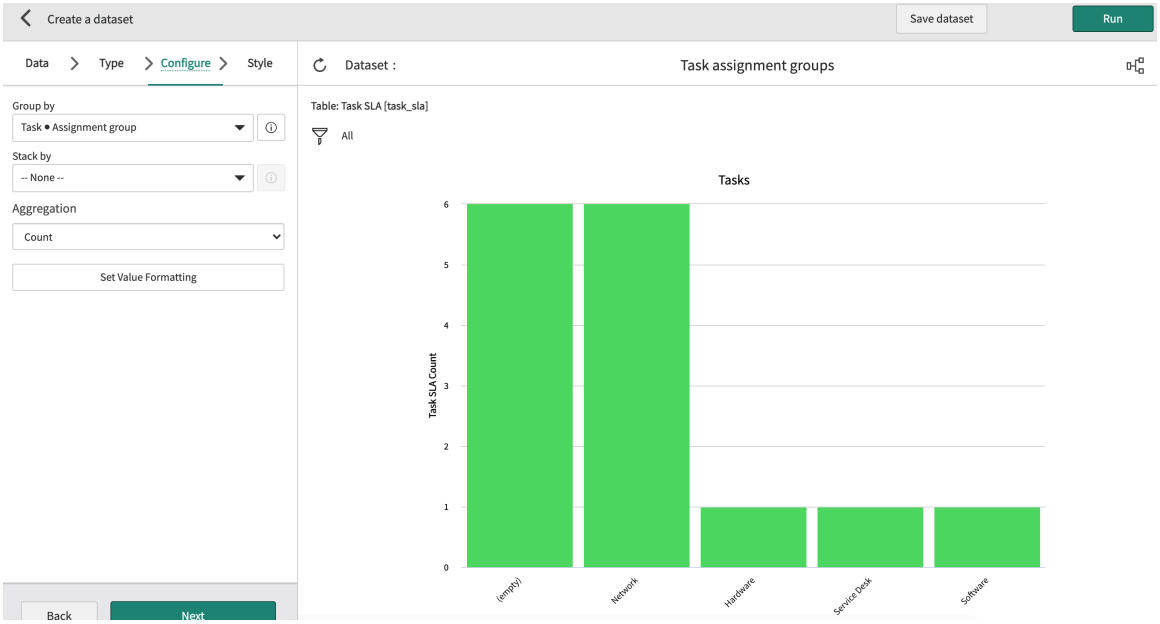


6. [設定] タブで、スタンドアロン レポートを設定するのと同じ方法で該当するフィールドを指定します。

   該当するレポート タイプの次のフィールドに注意してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



注:
[データ テーブルを表示] オプションは [データセットの追加] モジュールからは使用できず、メインのレポート デザイナーの [構成] タブからのみ使用できます。[データ テーブルの表示] オプションを選択すると、最初のデータセットのみがデータ テーブルに表示されます。

7. [スタイル] タブで、スタンドアロン レポートを設定するのと同じ方法で次のフィールドを指定します。
8. [データセットを保存] をクリックします。

タスクの結果
このレポートは、追加のデータセットからの情報で生成されます。

[グループの追加] または [積み重ね基準]

ユーザーがグループ化とスタッキングを調整できるようにレポートを設定できます。

始める前に
必要なロール：itil、report_user

このタスクについて
ユーザーがグラフを表示するときに選択できる [追加のグループ化] と [積み重ね基準] の選択肢を設定します。グループをサポートする任意のレポート (棒グラフや円グラフなど) に別のグループを追加して、レポートを縦棒グラフとして一覧表示します。他のグループを棒グラフまたは水平棒グラフに設定すると、追加の積み重ね基準としても追加されます。変数と変数グループを他のグループ化として追加できます。

注:

- 使用可能な [積み重ね基準] フィールドは、カタログ変数、参照フィールド、選択リスト、およびブール値に制限されます。日付/時刻、整数、長整数、文字列、リスト、およびテキスト フィールドは、積み重ねフィールドとして使用することはできません。
- メインの [グループごと] リストに表示されない [他のグループ化] リストの選択肢を表示できます。レポートでは、表示される追加フィールドによるグループ化や積み重ねはサポートされていません。メインの [グループごと] の選択肢とは異なり、[他のグループ化] フィールドはフィルタリングされません。サポートされていないフィールドを選択しても、効果はありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 表示/実行.
2. レポートを選択します。
3. [設定] タブで、[他のグループ化] をクリックします。
4. 1 つまたは複数のフィールドを [選択済み] リストに移動します。
5. オプション: 選択されたフィールドから全体に対して個々のアイテムの関係を示すために使用される [積み重ね基準] フィールドを選択します。

   (Optional) たとえば、インシデントの棒グラフをカテゴリ別にグループ化し、優先度別にスタックします。これにより、各カテゴリにおいて優先度の高い問題、中程度の問題、低い問題の割合を一目で判断できます。

   レポートを表示するユーザーは、これらのフィールドの 1 つを選択して、レポート データをグループ化またはスタックできます。レポートの [グループ] および [積み重ね基準] フィールド値がデフォルトの選択肢です。

   注:
   棒グラフと水平棒グラフのレポートでのみ積み重ねデータを使用します。他のレポート タイプでは、グループ化のみが可能です。

6. [選択済み] 列のフィールドをユーザーに表示する順序で配列します。
7. [クローズ] をクリックします。
8. [保存] を選択します。

インポートされた **Microsoft Excel** ドキュメントからレポートを作成する

インスタンスの外部で管理されているデータの Excel スプレッドシート (.xlsx ファイル) をインポートし、それらのファイルからレポートを作成できます。

始める前に
必要なロール：admin、sys_admin、report_admin、pa_admin、または pa_power_user

インポートされたデータを使用してレポートを作成するには、Performance Analytics のサブスクリプションバージョンが必要です。「Performance Analytics サブスクリプションのアクティブ化」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
インポートされたデータには、次の制限が適用されます。

- 最大ファイル サイズは 2 MB です。
- 行の最大数は 10,000 です。列の最大数は 25 です。

  注:
  .xlsx ファイルを最大 50,000 行までインポートできますが、最初の 10,000 行だけがデータセットに表示されます。

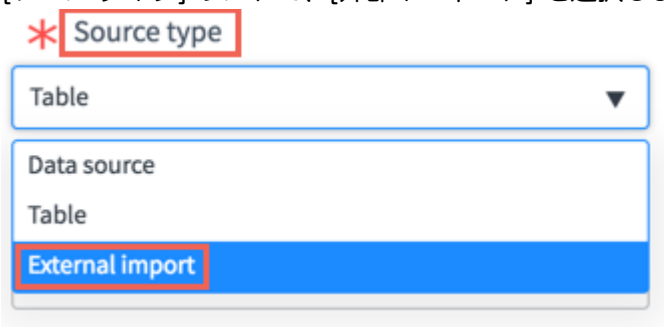
- .xlsx ファイルの複数のシートの内、最初のシートだけがインポートされます。
- インポートされたファイルの最初の行と最初の列は空にできません。最初の行は、列名を識別するために使用されます。
- インポート後に列を結合したり、フィールドを計算したり、テーブルに他の変更を加えたりすることはできません。これらの変更は、インポートする前に行う必要があります。
- インポートされた .xlsx ファイルには、有効期限が指定されている必要があります。
- 所有者がインポート後にテーブルを削除すると、インポートされたテーブルに基づくレポートも削除されます。

このタスクについて

注:
インスタンスの外部で保持されている情報 (たとえば、定期的な第三者 データ) がある場合、この方法でレポート データをインポートすると便利です。外部データセットをインスタンスに永続的にインポートするには、「 インポートセットを使用したデータのインポート 」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. [ソース タイプ] リストで、[外部インポート] を選択します。



   注:
   [外部インポート] メニュー オプションは、パフォーマンスアナリティクスが有効な場合のみ使用できます。

4. 既存のインポートされたレポート ソースを選択するか、[アップロード] アイコン () アイコンをクリックして新しいファイルをインポートします。
   a. ファイルをクリックしてドロップ ゾーンにドラッグするか、[ファイルを参照] をクリックしてファイル システムから選択します。
   b. アップロードしたファイルの名前を入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. ファイルの有効期限を設定します。この日付以降、インポートされたファイルは削除され、それに基づくレポートは使用できなくなります。

d. アップロードされたファイルの可視性 (すべてのユーザー、指定されたグループのユーザー、グループ、またはロール) を選択します。

e. [アップロード] をクリックします。

f. [完了] をクリックします。

5. [次へ] を選択します。

6. [タイプ] タブで、作成するレポートのタイプを選択して [次へ] をクリックします。
特定のレポートの詳細については、「レポートタイプ」を参照してください。

   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、 [実行] を選択します。

7. [設定] タブで、レポート タイプに適したフィールドに入力します。

8. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン () を選択し、レポートデータをフィルターする条件を指定します。
条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。

9. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。

10. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

タスクの結果
レポートは外部ソースから作成されます。ダッシュボードのレポートには、レポートが一時的であり外部データソースの有効期限が切れたときに期限切れになることを示すアイコンが表示されます。

次のタスク

- レポート情報アイコン () を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン () を選択して [共有] メニューを開きます。このメニューでは、ユーザーやグループとレポートの共有、ダッシュボードにレポートの追加、レポートの Web 公開などが行えます。

インポートされたデータソースを編集する

インスタンス外で保持されたデータを含むインポートされた Excel スプレッドシート (.xlsx ファイル) を編集できます。

始める前に
必要なロール:なし、ただしデータソースをインポートしたユーザーのみが編集できます。

このタスクについて

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 表示/実行.

2. データソースのインポートに使用するレポートの名前をクリックして、レポート デザイナーでレポートを開きます。

3. [データ] タブで、外部インポートの名前の横にある鉛筆アイコン () をクリックします。

4. [外部インポートを編集] ダイアログ ボックスで、これらの変更を加えることができます：

   ファイルを変更

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このオプションを選択して、同じ名前と構造の新しい .xlsx ファイルをアップロードします。

名前

外部インポートの新しい名前を指定します。この名前は、[外部インポート] リスト内のレポート デザイナーの [データ] タブに表示されます。

有効期限

外部インポートの新しい有効期限を設定します。 この日付以降、インポートされたファイルは削除され、それに基づくレポートは使用できなくなります。

表示対象

アップロードされたファイルの可視性 (自分のみ、すべてのユーザー、またはカスタム) を変更します。[カスタム] を選択して、ユーザー、グループ、またはロールを指定します。

[カスタム] を選択した場合 、[次へ] をクリックしてインポートしたファイルのデータを使用できるユーザーを選択し、[送信] をクリックします 。

5. [送信] をクリックします。

タスクの結果

ファイルを変更した場合、インポートされたファイルに基づくレポートで、新しいファイルのデータが古いファイルのデータを置き換えます。変更された名前、有効期限、可視性がインポートされたファイルに適用されます。

時系列データから **MetricBase** レポートを作成する

MetricBase アプリケーションを使用して、MetricBase データから時系列レポートを作成します。

始める前に

MetricBase 製品が必要です。これを取得するには、「 MetricBase 製品の要求 」を参照してください。の詳細については MetricBase、 MetricBase を参照してください。

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.

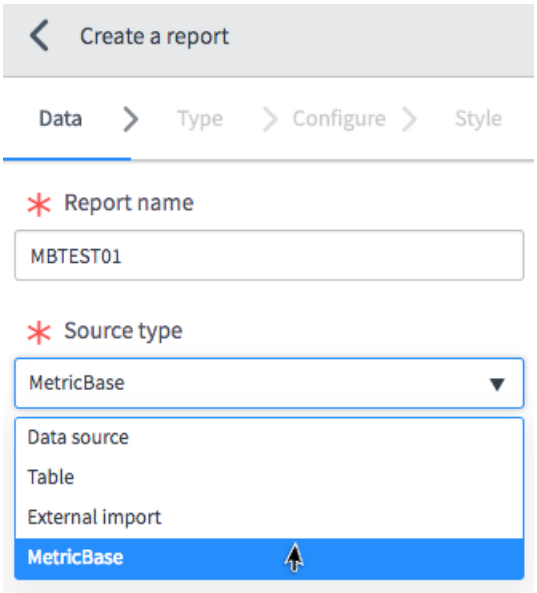
2. [データ] タブで、レポート内の情報を反映したレポート名を入力します。

3. [ソース タイプ] リストで、**[MetricBase]** を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

- **[MetricBase]** メニューオプションは、インスタンスに MetricBase がインストールされている場合にのみ使用できます。
- データセットあたりの系列のデフォルトの最大数は 20 です。システムプロパティを設定する *glide.report.metric_max_series* ことで、最大値を 100 まで増やすことができます。ただし、10,000 個のデータ ポイントの制限により、データ セット内の系列の数を増やすと、系列あたりのデータ ポイントの数が少なくなります。
- 系列ごとに表示できるデータ ポイントの総数は、10,000 / (データセット内の実際の系列数 * データセットの数) です。例を次に示します。
  - 20 系列で使用される 1 つのデータセット: 10K / (20*1) = 500
  - 20系列で使用される2つのデータセット:10K /(20 * 2)= 250
  - 100系列で使用される1つのデータセット:10K/(100 * 1)= 100
- 系列内のデータ ポイントの実際の数が制限を超えると、データがリサンプリングされます。



4. 既存の MetricBase テーブルを選択します。
5. [次へ] をクリックします。
6. 「 タイプ 」タブで、作成するレポートのタイプを選択し、「 次へ」をクリックします。
   時系列レポートのみが利用可能です。特定のレポート タイプの詳細については、「レポートタイプ」を参照してください。更新されたレポートを表示するには、[実行] をクリックします。
7. [構成] タブで、次のフィールドに入力し、[次へ] を選択します。

[タブを構成] フォーム

フィールド	説明
グループごと	測定基準テーブルの該当するフィールドでグループ化したレポート データ。
測定基準	MetricBase データベースで決定された測定基準。プラス アイコン (+) をクリックして、複数の測定基準を追加します。測定基準ごとに、1 つ以上の変換を設定できます。マイナス アイコン (-) をクリックして、測定基準を削除します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
変換	データが改ざんされる。 ○ レポートに生データを表示するには、変換なしを選択します。 ○ 変換を 1 つ選択します。 ○ 変換チェーンを作成するには、複数の変換を選択します。変換チェーンは、前の変換の結果に新しい変換を適用します。 詳細については、「MetricBase の変換」を参照してください。
時間範囲	レポートが対象とする期間。相対値は、現在時刻からの分、時間、日、月、または年の数です。絶対範囲では、レポートの開始時間と終了時間を指定できます。
データテーブルを表示	レポートの下のリストにレポートデータを表示するには、このオプションを選択します。レポートが追加されたダッシュボードにリストが表示されます。 glide.ui.section508 システムプロパティが **true** に設定されている場合、すべてのレポート可視化にレポートデータが表示されます。glide.ui.section508 プロパティは、[データテーブルを表示] フィールドを上書きします。

8. オプション: レポートに表示される情報を制限するには、フィルターアイコン () を選択し、レポートデータをフィルターする条件を指定します。
   条件の作成方法については、「 条件ビルダー 」を参照してください。
9. [スタイル] タブで、必要に応じてフィールドに入力してレポートの外観を設定します。
   詳細については、作成するレポートの [スタイル オプション] セクションを参照してください。
   - 面グラフ レポートとスプライン レポートのスタイル オプション
   - 線グラフ レポートのスタイル オプション
   - ステップ ライン レポートのスタイル オプション
10. [保存] を選択して可視化の編集を続行するか、[保存して閉じる] を選択して アナリティクスセンター メイン画面に戻ります。

タスクの結果

レポートは MetricBase ソースから作成されます。レポートのビジュアル化が切り捨てられると、メッセージが表示されます。

次のタスク

- レポート情報アイコン () を選択し、レポートの説明を追加します。
- 共有アイコン () を選択して [共有] メニューを開きます。このメニューでは、レポートのダッシュボードへの追加、レポートの PDF へのエクスポート、レポートの Web 公開、可視化とスケジュールの設定などが行えます。

MetricBase の変換

変換を使用すると、MetricBase データをさまざまな方法でビジュアル化できます。

利用可能な変換

ラベル変換以外のすべての変換は、測定基準データに適用できる数学関数です。複数の変換を適用して変換チェーンを作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

変換	説明
追加	データセットのデータ ポイントに指定された値を加算して結果を計算します。
平均	現在選択されているすべての測定基準の算術平均を計算します。
下	測定基準データセットに指定された値の最低数のみを表示します。
カイ二乗	統計モデルが測定基準データセットにどの程度適合するかを示します。
カウント	測定基準データセット内のデータ ポイントのカウントを示します。
分解	予測モデルのコンポーネントを分離します。最小値と最大値の両方を分解して要求し、予測モデルの下限と上限を取得できます。
除算	データセット内のデータ ポイントを指定された値で除算して結果を計算します。
エンベロープ	測定基準データセットの最小値と最大値を表示します。
フィルター	指定された期間のスライドする時間枠中に、指定された集計関数を使用して計算された値を持つ新しい系列を生成します。スライドする 15 分の平均は、平均集計関数および 15 分の期間を活用して、フィルター変換を使用します。 サポートされている集計関数： • AVG • カイ 2 乗 • 最後 • 最大 • MEDIAN • 最小 • STDDEV
枠幅に合わせる (Fit)	モデルベースのトリガーで使用できる予測モデルを生成します。
変位値	基になるデータの指定された百分位数を表す値を持つ新しい系列を返します。たとえば、90 パーセンタイルと 99 パーセンタイルの応答時間を照会するには、[0.9,0.99] の配列を指定します。
補間	結果を計算するために指定された期間の新しいデータ ポイントを構築します。
ラベル	変換のラベルを設定できます。
最後	期間枠内で最後に定義された値を返します。
ログ	データセット内のすべての値の自然対数を計算します。
最大	測定基準データセットの各時点での最大値を示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

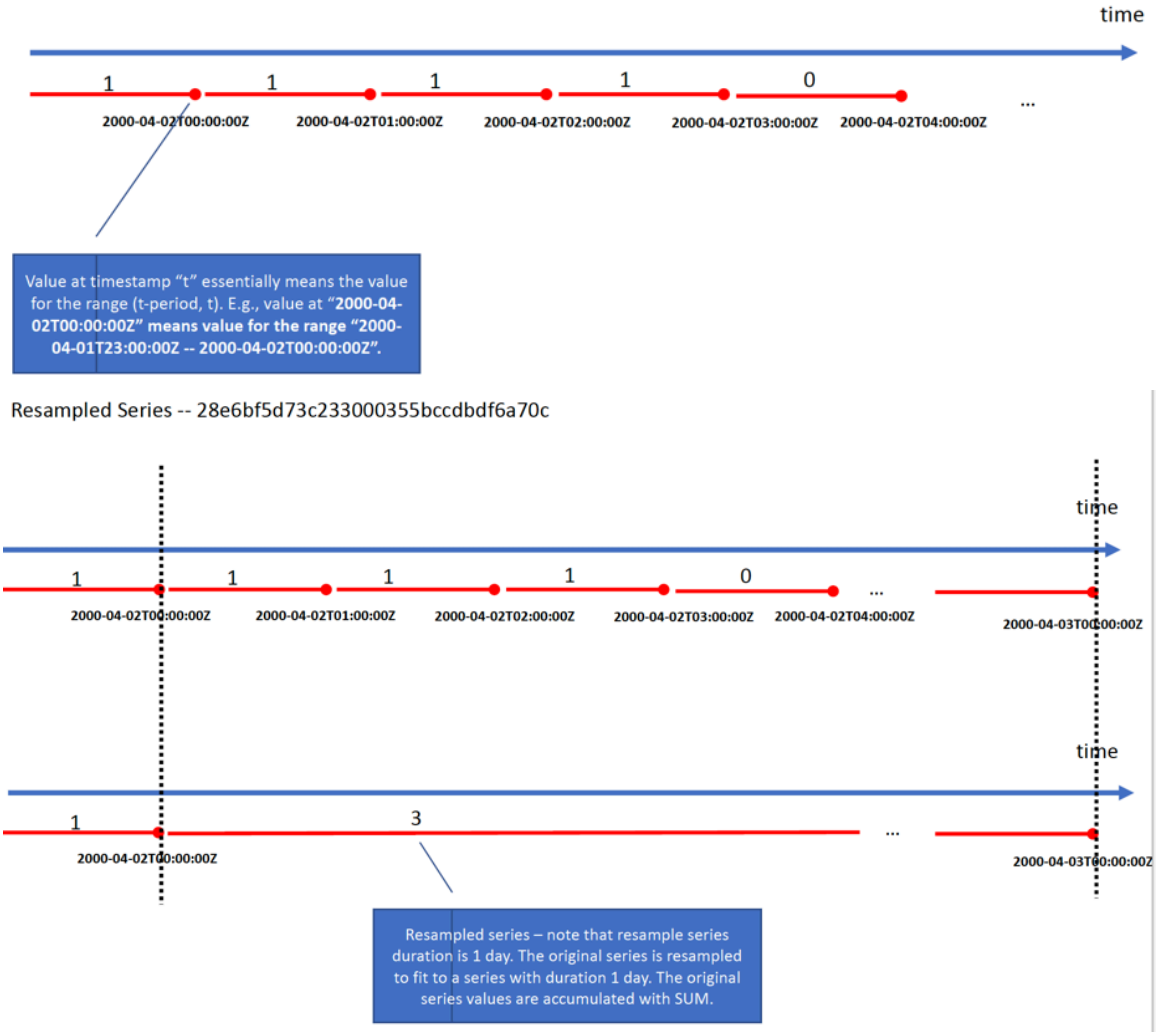
変換	説明
中央値	測定基準データセットの中央値を示します。中央値は、測定基準データセットの高い方の値と低い方の値を分離します。
最小	測定基準データセットの各時点での最小値を示します。
乗算	データセット内のデータ ポイントに指定された値を乗算して結果を計算します。
パーティション	指定された期間の固定期間にわたり指定された集計関数を使用して計算された値を持つ新しい系列を生成します。**Base**(タイムスタンプ)を指定して、パーティションウィンドウを整列します。 サポートされている集計関数： • AVG • カイ 2 乗 • 最後 • 最大 • MEDIAN • 最小 • STDDEV
予測	[MetricBase モデル] テーブル (mb_model) で選択した予測モデルによって生成された予測時系列データを実際のデータと比較します。予測データと実際のデータをグラフ化できます。予測トリガーは、予測値としきい値に基づいています。しきい値は、予測値の上下の値です。これらのしきい値を外れた実際のデータは、予測トリガーを実行します。
配置	時系列測定基準を別の MetricBase 時系列測定基準 (`copyData('targetMetric').put()` など) にコピーします。
リサンプル	指定された期間に合わせてデータを展開または縮小します。期間を延長すると、集計関数が新しい期間に合わせてデータを結合するために使用されます。期間を短くすると、既存のデータが下位の期間に伝達されます。 サポートされている集計関数： • AVG • カイ 2 乗 • 最後 • 最大 • MEDIAN • 最小 • STDDEV
標準偏差	基になるデータ間の標準偏差を計算します。測定基準データセット内の一連のデータ値の変動または分散を定量化するために使用されます。
減算	データセット内のデータ ポイントから指定された値を減算して結果を計算します。
合計	測定基準データセット内のデータ ポイントの合計を計算します。詳細については、「Sum 変換」を参照してください。
最高	測定基準データセットに指定された値の最高数のみを表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

合計変換

タイム・スタンプ "T" の値は、範囲 (T ピリオド、T) の値を示します。あなたのクエリでは、 *sum()* は入力系列を与えます。系列が 1 つあり、元の系列を期間 = 1 日の新しい系列にリサンプリングします。元の系列を期間にリサンプリングすると、2 つのデータ ポイント (2000-04-02T00:00:00Z と 2000-04-03T00:00:00Z) が作成されます。データ ポイントが 1 つあるため、2000-04-02T00:00:00Z の値は 1 です。2000-04-03T00:00:00Z の値は、(2000-04-02T00:00:00Z, 2000-04-03T00:00:00Z) の範囲の値を集計することによって計算されます。値は 3 です。



この例では、

```
var startTime = new GlideDateTime('2000-04-02 00:00:00');
var endTime = new GlideDateTime('2000-04-02 23:00:00');
transformer.metric('u_cost').sum().resample('SUM', GlideDuration('1 00:00:00'))
```

は [4] ではなく [1, 3] です。

```
====== rest api result for GET ======
{
  "seriesRef": {
    "subject": "28e6bf5d73c233000355bccdbdf6a70c",
    "table": "sn_cld_intg_aws_cost_usage",
    "metric": "u_cost"
  },
  "label": "28e6bf5d73c233000355bccdbdf6a70c:sn_cld_intg_aws_cost_usage|u_cost",
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
 "values": [
  {
   "timestamp": "2000-04-02T00:00:00Z",
   "value": 1
  },
  {
   "timestamp": "2000-04-02T01:00:00Z",
   "value": 1
  },
  {
   "timestamp": "2000-04-02T02:00:00Z",
   "value": 1
  },
  {
   "timestamp": "2000-04-02T03:00:00Z",
   "value": 1
  },
  {
   "timestamp": "2000-04-02T04:00:00Z",
   "value": 0
  },
  {
   "timestamp": "2000-04-02T05:00:00Z",
   "value": 0
  },
  ...
  {
   "timestamp": "2000-04-02T23:00:00Z",
   "value": 0
  },
  {
   "timestamp": "2000-04-03T00:00:00Z",
   "value": 0
  }
 ]
}
```


自動翻訳

フォームでグラフを設定する

変更要求などのフォームにレポートを追加し、レポートのビジュアル化を設定してフォームのユーザーに関連する情報を表示できます。設定は、現在のビューにのみ適用されます。

始める前に

必要なロール：admin

フォームでは、リスト、ピボット、マルチレベル ピボット、カレンダー、シングル スコアなどのレポート タイプはサポートされていません。

手順

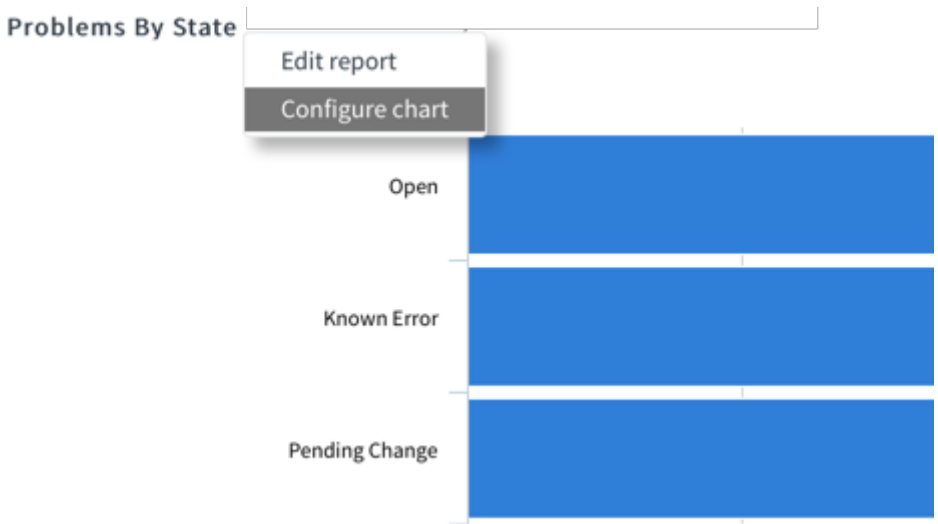
1. フィルター ナビゲータのレポートでフォームを設定するテーブルを選択し、レコードを選択します。
   たとえば、task.list からレコードを選択します。
2. コンテキストメニューから、 構成 > フォームレイアウト .
3. [利用可能] リストから、[選択済み] 列に *Chart を追加します。
   上向き矢印と下向き矢印を使用して、フォームにレポートを配置します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. オプション: チャートのラベルを指定します。
   ラベルは、フォームのレポートの横に表示されます。ラベルを指定しない場合は、「New Chart」というラベルが使用されます。
5. [保存] をクリックします。
   [チャートを構成] というテキスト付きの灰色のボックスが指定された位置のフォームに表示されます。
6. [チャートを構成] をクリックします。
7. 検索アイコン () をクリックして、レポートを選択します。
8. オプション: チャートの高さを指定します。
   デフォルト値は 300 ピクセルです。
9. オプション: 選択したフィールドに基づいて、またはスクリプト化されたフィルターやエンコードされたクエリに基づいて、レポートのデータをフィルタリングできます。
   最初のフィールドはフォーム上に表示する必要があります。フォームにフィールドを追加するには、 構成 > フォームレイアウト をクリックし、[利用可能フィールド] スラッシュバケットを使用します。

   [レポート条件拡張] タブで、レポートが更新されるフォーム フィールドと、フォーム フィールドが比較されるレポート ソース テーブルのフィールドを選択します。

   スクリプト化されたフィルターまたはエンコードされたクエリを指定するには、[高度な条件拡張] を選択し、[レポート品質] テキスト ボックスにスクリプトを貼り付けます。高度な条件拡張がある場合は、レポート条件拡張を上書きします。
10. [更新] をクリックします。
11. 設定を変更するには、ラベルを右クリックして [チャートを構成] を選択します。



タスクの結果

選択したレポートは、選択したタイプと同じタイプのすべてのフォームに表示されます。これらのレポートは、レポート条件拡張に基づいてフィルタリングされます。

Jelly にレポートを埋め込む

UI ページなどの Jelly ベースの要素にレポートを埋め込むことができます。

埋め込みの有効化

Jelly にレポートを埋め込むには、次の要素を Jelly コードに追加します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

<g:inline template="reporting_includes.xml" />

このコードを追加した後、既存のレポートを埋め込むか、Jelly コード内でレポートを生成することができます。

既存のレポートを埋め込む

embedReportById(targetSpan, reportId) 関数を呼び出すことで、既存のレポートを埋め込むことができます。

たとえば、UI ページレコードの HTML/XML ブロックに以下を追加します。

```
<xml version="1.0" encoding="utf-8">
    <j:jelly trim="false" xmlns:j="jelly:core" xmlns:g="glide" xmlns:j2="null" xmlns:g2="null">
    <g:inline template="reporting_includes.xml" />
    <div id="report_stuff" />
    </j:jelly>
```

そして、UI ページレコードのクライアントスクリプトブロックに以下を追加します。<report sys_id>をレポートの実際のsys_idで置き換えます。

```
var div = $j("#report_stuff");
embedReportById(div, <"report sys_id">);
```

または、JavaScript を HTML/XML ブロックの Jelly コード全体に埋め込むこともできます。クライアントスクリプトブロックから次の間にコードを追加します。 <script> tags:

```
<xml version="1.0" encoding="utf-8">
    <j:jelly trim="false" xmlns:j="jelly:core" xmlns:g="glide" xmlns:j2="null" xmlns:g2="null">
    <g:inline template="reporting_includes.xml" />
    <div id="report_stuff" />
    <script>
        var div = $j("#report_stuff");
        embedReportById(div, <"report sys_id">);
    </script>
    </j:jelly>
```

パラメーター

パラメーター	説明
ターゲットスパン	チャートを埋め込むための jQuery 要素。チャートはこの要素のサイズを使用します。
reportId	埋め込むレポートの sys_id。

レポートの生成と埋め込み

embedReportByParams(targetSpan, parms) 関数を呼び出すことで、UI 内にレポートを埋め込むことができます。このようにレポートを埋め込む場合、パラメータを使用して新しいレポートを生成するか、レポート sys_id を指定してそのレポートを表示できます。

たとえば、UI ページレコードの HTML/XML ブロックに以下を追加します。

```
<xml version="1.0" encoding="utf-8">
    <j:jelly trim="false" xmlns:j="jelly:core" xmlns:g="glide" xmlns:j2="null" xmlns:g2="null">
    <g:inline template="reporting_includes.xml" />
    <div id="report_stuff" />
    </j:jelly>
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

UI ページレコードのクライアントスクリプトブロックに以下を追加します。

```
var params = {sysparm_title: "Average for all ratings", sysparm_field: "category", sysparm_type:
 "bar", sysparm_table: "asmt_category_result", sysparm_aggregate: "AVG", sysparm_sumfield:
 "rating"};
var div = $j("#report_stuff");
embedReportByParams(div, params);
```

または、JavaScript を Jelly コード内に埋め込むこともできます。クライアントスクリプトブロックから次の間にコードを追加します。 <script> tags:

```
<xml version="1.0" encoding="utf-8">
    <j:jelly trim="false" xmlns:j="jelly:core" xmlns:g="glide" xmlns:j2="null" xmlns:g2="null">
    <g:inline template="reporting_includes.xml" />
    <div id="report_stuff" />
    <script>
        var params = {sysparm_title: "Average for all ratings", sysparm_field: "category",
 sysparm_type: "bar", sysparm_table: "asmt_category_result", sysparm_aggregate: "AVG",
 sysparm_sumfield: "rating"};
        var div = $j("#report_stuff");
        embedReportByParams(div, params);
    </script>
    </j:jelly>
```

パラメーター

パラメーター	説明
ターゲットスパン	チャートを埋め込むための jQuery 要素。
parms	レポートを定義する JSON オブジェクト。利用可能なパラメータは、レポート タイプによって異なります。

自動翻訳

リスト レポートの生成と埋め込み

既存のリスト レポートを埋め込む場合、またはリスト レポートを生成して埋め込む場合は、もう 1 行のコードを入力する必要があります。

UI ページレコードの HTML/XML ブロックに以下を追加します。

```
<xml version="1.0" encoding="utf-8">
    <j:jelly trim="false" xmlns:j="jelly:core" xmlns:g="glide" xmlns:j2="null" xmlns:g2="null">
    <g:inline template="reporting_includes.xml" />
    <g:inline template="list2_js_includes.xml" />
    <div id="report_stuff" />
    </j:jelly>
```

UI ページレコードのクライアントスクリプトブロックに以下を追加します。<report sys_id>をレポートの実際のsys_idで置き換えます。

```
var div = $j("#report_stuff");
embedReportById(div, <"report sys_id">);
```

または、JavaScript を HTML/XML ブロックの Jelly コード全体に埋め込むこともできます。クライアントスクリプトブロックから次の間にコードを追加します。 <script> tags:

```
<xml version="1.0" encoding="utf-8">
    <j:jelly trim="false" xmlns:j="jelly:core" xmlns:g="glide" xmlns:j2="null" xmlns:g2="null">
```

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
<g:inline template="reporting_includes.xml" />
<g:inline template="list2_js_includes.xml" />
<div id="report_stuff" />
<script>
    var div = $j("#report_stuff");
    embedReportById(div, <"report sys_id">);
</script>
</j:jelly>
```

パラメーター

パラメーター	説明
ターゲットスパン	チャートを埋め込むための jQuery 要素。チャートはこの要素のサイズを使用します。
reportId	埋め込むレポートの sys_id。

埋め込みレポート パラメータ

Jelly 要素にレポートを埋め込む場合、パラメータを渡すことによっていつでもレポートを定義できます。

共通パラメータ

特定のパラメータは、複数のレポート タイプで使用されます。

共通パラメータ

パラメータ	説明	デフォルト値
jvar_report_id	レポート レコードの sys_id。このパラメーターを渡す場合、他のパラメーターを指定しないでください。すべての値は、レポート レコードから取得されます。	
sysparm_report_id	レポート内に存在する他の sysparm パラメーターを上書きする場合は、jvar_report_id の代わりにこのパラメーターを使用します。	
sysparm_title	レポートのタイトル。	
sysparm_table	レポートするテーブル。この値または sysparm_report_source_id を指定しますが、両方を指定することはできません。	
sysparm_report_source_id	レポート ソースの sys_id。この値または sysparm_table を指定しますが、両方を指定することはできません。両方を渡すと、sysparm_table の代わりにこの値が使用されます。	
sysparm_type	作成するレポートのタイプ。 可能な値:list、line、line_bar、area、spline、bar、horizontal_bar、pareto、hist、p map。	line
sysparm_field	指定された表からデータをグループ化するためのフィールド。時系列、縦棒、棒、円、ドーナツ、じょ	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

共通パラメータ (続く)

パラメータ	説明	デフォルト値
	うご、ピラミッド、ボックス、トレンド、および trendbox の各レポートに必要です。リストレポートではオプションです。	
sysparm_query	レポートを生成する前にデータに適用するフィルター。この値にクエリ文字列を指定します。 特定のフィールドでクエリ結果をソートするには、 ^ORDERBY<field_name> または ^ORDERBYDES<field_name> をクエリ文字列の最後に追加します。ORDERBY は、クエリを昇順で並べ替えます。ORDERBYDES は、クエリを降順で並べ替えます。	
sysparm_aggregate	集計タイプ。 可能な値:AVG、COUNT、SUM、および COUNT_DISTINCT	総数
sysparm_sumfield	データを集計するフィールド。このパラメータは、総数集計タイプを使用する場合は適用されません。	
sysparm_display_grid	レポートにデータグリッドを表示するかどうかを制御する true/false 値。	false
sysparm_show_other	[その他] グループをレポートに表示するかどうかを制御する true/false 値。このグループは、グループ数が sysparm_others パラメータで指定された数を超えた場合にのみ表示されます。このパラメータは、棒、円、じょうご、ピラミッド、ピボット、ヒートマップなどのレポートに適用されます。	true
sysparm_others	表示する個々のデータ グループの最大数。追加のデータ グループは、他のグループに結合されます。このパラメータは、棒、円、じょうご、ピラミッド、ピボット、ヒート マップなどのレポートに適用されます。	
sysparm_source_type	埋め込みレポートのソース。オプション。 可能な値:table、metricbase、source、import	table
sysparm_set_color	レポートの色設定。 可能な値:one_color、color_palette、several_colors	color_palette
sysparm_color_palette	レポートが使用するカラー パレット。このパラメータは、sysparm_set_color="color_palette" の場合に使用されます。 可能な値：カラー パレットの sys_id	デフォルト UI14

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

共通パラメータ (続く)

パラメータ	説明	デフォルト値
sysparm_color	レポートが使用する色。このパラメータは、sysparm_set_color="one_color" の場合に使用されます。 可能な値：色の sys_id	
sysparm_chart_colors	レポートが使用する一連のチャートの色。このパラメータは、sysparm_set_color="several_colors" の場合に使用されます。 可能な値：コンマで区切られた色の 16 進コードのリスト	
sysparm_show_marker	マーカーは、線内の点またはグラフ内の別のグラフィック要素で表される値です。このパラメーターは、マーカーを表示するかどうかを制御する true/false 値です。	true
sysparm_show_empty	空のグループ化値または傾向値を含むレコードをレポートに表示するかどうかを制御する true/false 値。	false
sysparm_stack_field	棒グラフおよび列レポートのスタッキングを制御するために使用されるフィールド。	
sysparm_bar_unstack	積み重ねデータが単一の棒グラフまたは列として表示されるか、複数の棒グラフとして表示されるかを制御する true/false 値。	false
sysparm_box_field	データを測定するために使用される数値フィールド。このパラメータは、ボックスおよびヒストグラムのレポートに必要です。	
sysparm_trend_field	傾向データを整理するために使用される日時フィールド。このパラメータは、時系列、トレンド、およびボックスのレポートに必要です。	
sysparm_trend_interval	トレンド値を測定する間隔。 可能な値:year、quarter、month、week、dayofweek、hour、および date。	年
sysparm_compute_percent	レポートの割合を表示するときに使用する値。合計レコード数または指定された集計に基づいてパーセンテージを表示できます。 可能な値:aggregate と count	カウント
sysparm_funnel_neck_percent	1 ～ 100 の数字は、じょうごの首部であるじょうごレポートの割合を定義します。	30
sysparm_show_chart_data_label	データラベルをレポートに表示するかどうかを制御する true/false 値。	false

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

共通パラメータ (続く)

パラメータ	説明	デフォルト値
sysparm_show_zero	マルチレベル ピボットおよびヒート マップ レポートにゼロを表示するかどうかを制御する true/false 値。	
sysparm_ct_row	ヒート マップおよびバブル レポートで行を定義するために使用されるフィールド。	
sysparm_ct_column	ヒート マップおよびバブル レポートで列を定義するために使用されるフィールド。	
sysparm_y_axis_category_fields	マルチレベル ピボット レポートで行を定義するために使用されるフィールド。コンマ区切りフィールド名を最大 5 つ指定します。	
sysparm_x_axis_category_fields	マルチレベル ピボット レポートで列を定義するために使用されるフィールド。コンマ区切りフィールド名を最大 3 つ指定します。	
sysparm_list_ui_view	ユーザーがレポートにドリルダウンする場合に使用するリスト ビューの sys_id。	
sysparm_show_marker	レポート上のすべてのプロット点にマーカーを表示するかどうかを制御する true/false 値。	true
sysparm_apply_alias	構成されたエイリアスを埋め込みレポートに表示するかどうかを制御する true/false 値。	

サービス カタログ パラメータ

特定のパラメータは、要求アイテム [sc_req_item] テーブルなど、サービス カタログ テーブルで作成されたレポートにのみ適用されます。これらのパラメータは、リストまたはカレンダー タイプのレポートでは使用できません。

サービス カタログ レポート パラメータ

パラメータ	説明
sysparm_sc_groupby_item_id	カタログ アイテムの sys_id。このパラメータを *sysparm_sc_groupby_variable_id* パラメータと一緒に使用して、カタログ変数値に基づいてサービス カタログ レポートをグループ化します。これらのパラメーターは、サービスカタログ変数をグループ化するときにパラメーターを置き換え *sysparm_field* ます。
sysparm_sc_groupby_variable_id	レポート上のデータのグループ化方法を決定するために使用されるカタログ アイテム変数の sys_id。この変数は、パラメーターで指定されたカタログアイテムに属している *sysparm_sc_groupby_item_id* 必要があります。
sysparm_sc_stackby_item_id	カタログ アイテムの sys_id。このパラメーターを *sysparm_sc_stackby_variable_id* パラメーターと一緒に使用して、カタログ変数値に基づいてサービス カタログ レポートをスタックします。これらのパラメーターは、サービスカタログ変数をグループ化するときにパラメーターを置き換え*sysparm_stack_field* ます。棒グ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サービス カタログ レポート パラメータ (続く)

パラメータ	説明
	ラフ レポートなどスタッキングをサポートするレポートのみがこれらのパラメータをサポートします。
sysparm_sc_stackby_variable_id	レポート上のデータのグループ化方法を決定するために使用されるカタログ アイテム変数の sys_id。この変数は、パラメーターで指定されたカタログアイテムに属している *sysparm_sc_stackby_item_id* 必要があります。

MetricBase パラメータ

埋め込みレポートで MetricBase を使用するには、sysparm_source_type パラメータを「metricbase」に設定する必要があります。

MetricBase には次の構文を持つ sysparm_custom_configuration パラメータも必要です。

```
sysparm_custom_config:
 "{query_condition:\"\",transforms:[{transform:{transform:\"Reference\",name:\"chart-subje
cts\"},metric:\"mb_metricname\"}], group_by:\"\", table:\"mb_tablename\"}";
```

この構文では：

- 変換は、ネストされた一連の変換関数です。すべてのチェーンの最後の変換は、常に参照変換である必要があります。

  ```
  {transform:\"Reference\",name:\"chart-subjects\"}
  ```

- 測定基準は、測定基準テーブルの測定基準フィールドです。
- グループ別フィールドは、時系列をグループ化する、選択した測定基準テーブルのフィールドです。
- テーブル は測定基準テーブルを参照します
- Mb_。。。 プレースホルダー名である

group-by を除くすべての属性が必要です。

グラフ固有のパラメータ

特定のパラメータは特定のレポート タイプに対してのみ使用できます。

ドーナツ レポート パラメータ

パラメータ	説明	デフォルト値
sysparm_show_chart_total	グループ化されたドーナツの合計スコアをレポートの中央に表示するかどうかを制御する true/false 値。	false
sysparm_donut_width_percent	ドーナツ レポートの幅を制御する 1 ～ 100 の数値。	50

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヒートマップ パラメータ

パラメータ	説明	デフォルト値
sysparm_use_color_heatmap	ヒートマップがグラデーションを使用してレポートに色を付けるかどうかを制御する true/false 値。true の場合、sysparm_axis_max_color および sysparm_axis_min_color の値が使用されます。	true
sysparm_axis_max_color	ヒートマップ グラデーションで使用される色で、高い値を示します。この値は、色定義 [sys_report_color] レコードの sys_id である必要があります。	UI14 青
sysparm_axis_min_color	ヒートマップ グラデーションで使用される色で、低い値を示します。この値は、色定義 [sys_report_color] レコードの sys_id である必要があります。	白

ダイヤル パラメータ

パラメータ	説明	デフォルト値
sysparm_gauge_autoscale	ダイヤルがレポートの最小スケールと最大スケールを自動的に計算するかどうかを制御する true/false 値。この値を false に設定する場合、sysparm_from および sysparm_to の値を指定する必要があります。	true
sysparm_from	軸のスケールの最小値を定義する数値。	
sysparm_to	軸のスケールの最大値を定義する数値。	
sysparm_upper_limit	ダイヤルの上限しきい値を定義する数値。値を指定しない場合、ダイヤルには上限のしきい値がありません。	
sysparm_lower_limit	ダイヤルの下限しきい値を定義する数値。値を指定しない場合、ダイヤルには下限しきい値がありません。	
sysparm_direction	レポートでどちらの値が正の値であるか、低い値か高い値かを制御する値。 可能な値:minimize と maximize。	最小化

グラフ サイズ パラメータ

特定のパラメータは、レポートの幅と高さを制御します。

サイズ パラメータ

パラメータ	説明	デフォルト値
sysparm_chart_size	レポート内のグラフのサイズ。有効な値は、small、medium、および large です。	大
sysparm_custom_chart_size	パラメーターのサイズ *sysparm_chart_size* オプションを使用する代わりに、カスタムのチャートの高さと幅の値を指定するには、このパラメーターを有効にします。	false

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サイズ パラメータ (続く)

パラメータ	説明	デフォルト値
sysparm_custom_chart_height	レポート内のグラフの高さ (ピクセル単位)。	
sysparm_custom_chart_width	レポート内のチャートの幅（ピクセル単位）。	

グラフ タイトル パラメータ

特定のパラメータは、タイトルを表示するレポートに対してのみ使用できます。これらのレポート タイプには、時系列、棒、縦棒、円、ドーナツ、ダイヤル、トレンド、ボックス、トレンドボックス、ヒストグラム、ピラミッド、ヒートマップ、じょうご、およびコントロールのレポートが含まれます。

タイトル パラメータ

パラメータ	説明	デフォルト値
sysparm_report_title_size	タイトルのフォント サイズを定義する数値。	16
sysparm_report_title_color	タイトル テキストの色。この値は、色定義 [sys_report_color] レコードの sys_id である必要があります。	黒
ysparm_title_horizontal_alignment	タイトルはレポートに対して水平に配置されます。この値は、sysparm_custom_report_title_position が false の場合にのみ使用されます。 可能な値は、left、center、および right です。	中心
sysparm_title_vertical_alignment	タイトルはレポートに対して垂直に配置されます。この値は、sysparm_custom_report_title_position が false の場合にのみ使用されます。 可能な値:top、middle、および bottom。	top
sysparm_custom_report_title_position	相対的な配置ではなく、X 座標と Y 座標でレポート タイトルの位置を定義するかどうかを制御する true/false 値。	false
sysparm_report_title_x_position	レポート上のタイトルの X 位置を定義する数値。この値は、sysparm_custom_report_title_position が true の場合にのみ使用されます。	0
sysparm_report_title_y_position	レポート上のタイトルの Y 位置を定義する数値。この値は、sysparm_custom_report_title_position が true の場合にのみ使用されます。	0

グラフの境界線のパラメータ

特定のパラメータは、境界線を表示するレポートに対してのみ使用できます。これらのレポート タイプには、時系列、棒グラフ、縦棒グラフ、円グラフ、ドーナツ、ダイヤル、トレンド、ボックス、

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

トレンド ボックス、ヒストグラム、ピラミッド、ヒート マップ、じょうご、およびコントロール レポートが含まれます。

境界線パラメータ

パラメータ	説明	デフォルト値
sysparm_show_report_border	レポートに境界線を表示するかどうかを制御する true/false 値。	false
sysparm_report_border_width	境界線の幅をピクセル単位で定義する数値。	1
sysparm_report_border_radius	境界線の角の半径サイズをピクセル単位で定義する数値。	0

凡例パラメータ

特定のパラメータは、凡例を表示するレポートでのみ使用できます。これらのレポートタイプには、円、ドーナツ、積み重ね棒、積み上げ縦棒、時系列、トレンド、ボックス、ヒストグラム、ピラミッド、コントロール、およびヒートマップのレポートが含まれます。

凡例パラメータ

パラメータ	説明	デフォルト値
sysparm_show_legend	レポートに凡例を表示するかどうかを制御する true/false 値。	true
sysparm_legend_horizontal_alignment	凡例はレポートに対して水平に配置されます。 指定できる値:left、center、right。	center
sysparm_legend_vertical_alignment	凡例は、レポートに対して垂直に配置されます。 可能な値:top、middle、および bottom。	bottom
sysparm_show_legend_border	凡例に境界線を表示するかどうかを制御する true/false 値。	true
sysparm_legend_border_width	凡例の境界線の幅をピクセル単位で定義する数値。	1
sysparm_legend_border_radius	凡例境界線の角の半径のサイズをピクセル単位で定義する数値。	0

X 軸パラメータ

特定のパラメータは、X 軸を使用するレポートでのみ使用できます。これらのレポート タイプには、棒、水平棒、パレート、列、ライン エリア、スプライン、ボックス、トレンド ボックス、コントロール、およびトレンドのレポートが含まれます。

X 軸パラメータ

パラメータ	説明	デフォルト値
sysparm_x_axis_title	X 軸に表示する名前。	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

X 軸パラメータ (続く)

パラメータ	説明	デフォルト値
sysparm_x_axis_title_size	X 軸タイトルのフォント サイズを定義する数値。	
sysparm_x_axis_title_bold	X 軸のタイトルテキストを太字にするかどうかを制御する true/false 値。	true
sysparm_x_axis_opposite	X 軸をレポートの上部に表示するかどうかを制御する true/false 値。	false
sysparm_x_axis_display_grid	X 軸から垂直グリッド線を表示するかどうかを制御する true/false 値。	false
sysparm_x_axis_grid_dotted	垂直グリッド線を点描するかどうかを制御する true/false 値。	false
sysparm_x_axis_label_size	X 軸のインクリメント ラベルのフォント サイズを定義する数値。	11
sysparm_x_axis_label_bold	X 軸のインクリメントラベルを太字にするかどうかをコントロールする true/false 値。	false

Y 軸パラメータ

特定のパラメータは、Y 軸を使用するレポートに対してのみ使用できます。これらのレポート タイプには、棒、水平棒、パレート図、縦棒、ライン エリア、スプライン、ボックス、トレンド ボックス、コントロール、およびトレンド レポートが含まれます。

Y 軸パラメータ

パラメータ	説明	デフォルト値
sysparm_y_axis_title	Y 軸に表示する名前。	レポート集計の自動生成された説明
sysparm_y_axis_title_size	Y 軸タイトルのフォント サイズを定義する数値。	
sysparm_y_axis_title_bold	Y 軸のタイトル テキストを太字にするかどうかを制御する true/false 値。	true
sysparm_y_axis_opposite	Y 軸をレポートの左側に表示するかどうかを制御する true/false 値。	false
sysparm_y_axis_display_grid	水平グリッド線を Y 軸から表示するかどうかを制御する true/false 値。	true
sysparm_y_axis_grid_dotted	水平グリッド線を点描するかどうかを制御する true/false 値。	false
sysparm_y_axis_label_size	Y 軸のインクリメント ラベルのフォント サイズを定義する数値。	12

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Y 軸パラメータ (続く)

パラメータ	説明	デフォルト値
sysparm_y_axis_label_bold	Y 軸のインクリメント ラベルを太字にするかどうかを制御する true/false 値。	false
sysparm_y_axis_from	Y 軸に表示される最小値を定義する数値。	
sysparm_y_axis_to	Y 軸に表示される最高値を定義する数値。	

拡張テーブルに関するレポート

単一のレポートでタスク テーブルを拡張するテーブルからのフィールドを含める方法を学びます。たとえば、インシデントと問題の両方を単一のレポートに含めることができます。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin
拡張テーブルに固有の列をレポートに含めるには、admin ロールを持つユーザーがシステムプロパティ [glide.ui.list.allow_extended_fields] を有効にする必要があります。

1. 移動先 システムプロパティ > **UI** プロパティ.
2. 拡張テーブルフィールド (incident_state、os_versionなど) を含めるには、ベーステーブルリスト (タスク、cmdb_ciなど) を許可するプロパティを有効にし、拡張テーブルフィールドのフィルタリングを許可する (glide.ui.list.allow_extended_fields) を有効にします。
3. ページ下部の [保存] をクリックします。

必要なロール:report_admin

このタスクについて

親テーブルから始めて、拡張テーブルのフィールドをレポートに含める方法については、この 6 分間のビデオをご覧ください。

ドット連結では利用できないフィールドを拡張テーブルに含める方法

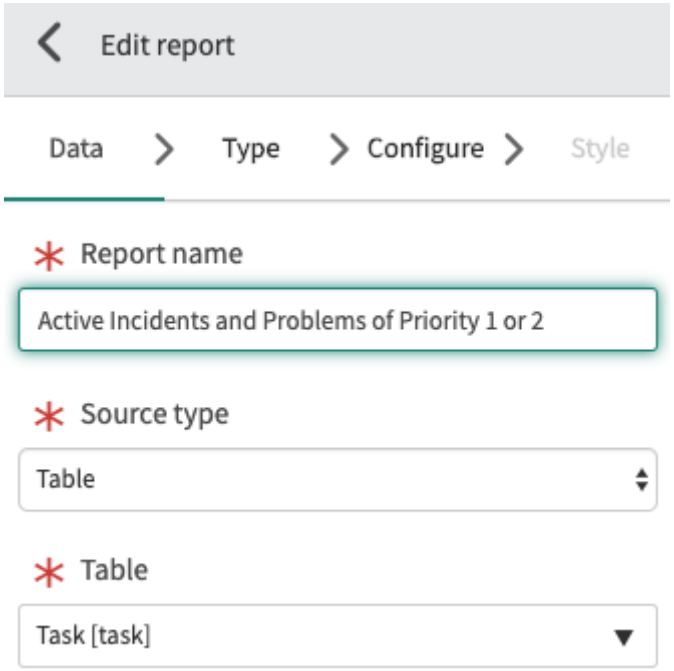
このビデオでは、レポート デザイナーを使用して複数のテーブルのデータでレポートを作成する方法を紹介しています。レポートには、インシデントと問題の両方が含まれ、これらはタスクテーブルの子テーブルです。優先度 1 または 2 のアクティブなインシデントと問題レポートを作成する方法は次のとおりです。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.
2. [データ] タブで、レポートに「 優先度 1 または 2 のアクティブなインシデントと問題」という名前を付け、ソースの種類として [テーブル] を選択し、テーブル [タスク] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. [タイプ] タブのフィルターに「リスト」と入力し、レポート タイプを選択して、[次へ] をクリックします。

   アプリケーションは、レポートの暫定バージョンを表示します。更新されたレポートをいつでも表示するには、 [実行] を選択します。

4. 「 構成 」タブで、タスク・タイプ別にグループ化し、「 保存」をクリックします。
   リストレポートが更新され、すべてのタスクがそれぞれのタイプに折りたたまれます。

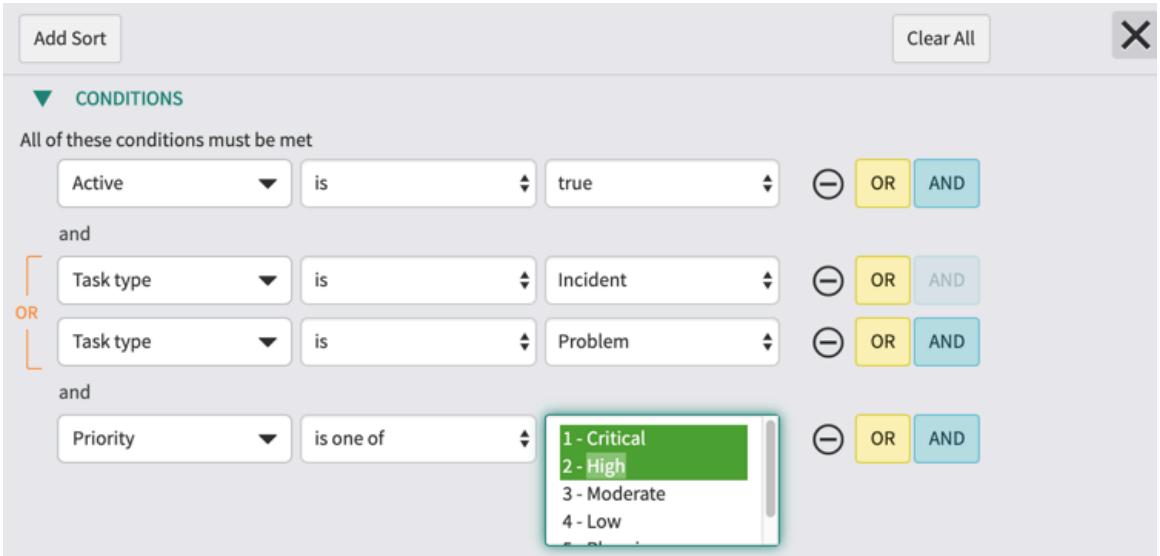


5. フィルターアイコン () をクリックして、条件ビルダーを開きます。
   条件ビルダーを使用して、レポートの表示内容を必要な情報のみに制限します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. 優先度が 1 または 2 のアクティブなインシデントと問題のみを表示するには、次の条件を設定して [保存] をクリックします。
   - アクティブが true です。
   - タスクタイプがインシデントであるか、タスクタイプが問題である。
   - 優先度は、[1:重大] または [2 - 高] のいずれかです。



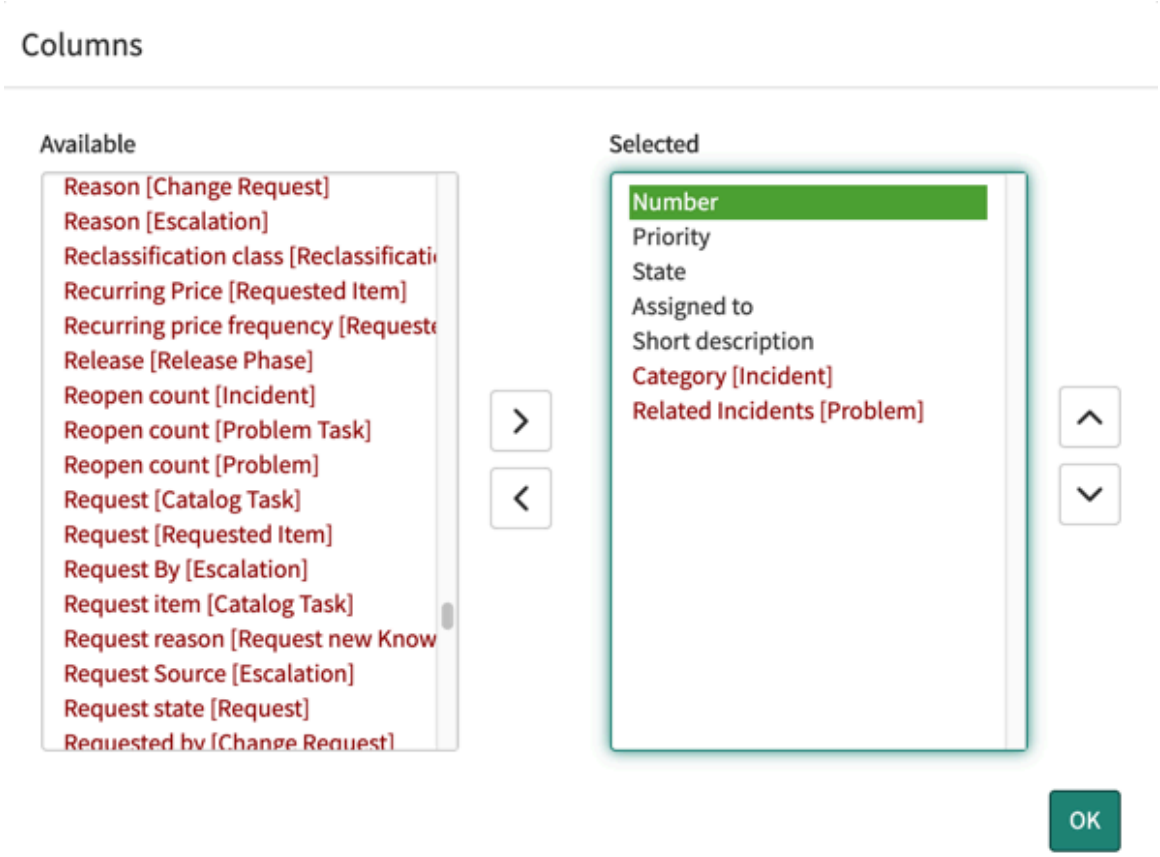
新しいレポートには、2 つのタスク タイプしかありません。アクティブなタスクのみを選択したため、各カテゴリのタスクの数も少なくなります。



7. カテゴリ [インシデント] および関連インシデント [問題] という拡張テーブル フィールドを含む、レポートに表示する列を選択し 、[保存] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



カテゴリ [インシデント] および関連インシデント [問題] フィールドは、拡張テーブル (インシデントと問題) に固有です。これらは、タスクテーブルから使用できる列のリストの一番下に表示されます。これら 2 つのフィールドは、[ベース テーブル リストに拡張テーブル フィールドを含めることを許可し、拡張テーブル フィールドのフィルタリングを許可する (glide.ui.list.allow_extended_fields)] プロパティを有効にしたため、使用できます。
レポートには、オープン中のインシデントとそのカテゴリ、および未解決の問題が関連するインシデントの数とともに表示されます。

レポートの関連テーブル

ビデオを見て、ドット連結、動的フィルター、およびデータベース ビューを使用して拡張または関連テーブルのデータにアクセスする方法を学んでください。

ドット連結を使用して拡張テーブルまたは関連テーブルのデータをレポートに含める方法については、この 5 分間のビデオをご覧ください。このビデオでは、レポートでの動的フィルターの使用とデータベースビューのレポートについても説明しています。 ドット連結とデータベース ビューを使用して、拡張または関連テーブルのデータをレポートに含める方法。

ドット連結を使用した拡張テーブル フィールドのレポート

ドット連結は、拡張または関連テーブルのフィールドへのアクセスを提供します。これにより、それらのテーブルのフィールドをレポートすることができます。

レポートを作成または編集する場合、[構成] タブの [グループ/積み重ね基準]、[列/行]、または [傾向] フィールドから拡張テーブルの参照にアクセスできます。[ソートを追加] オプションを使用すると、拡張テーブルで適用可能な参照フィールドのソート順を設定することもできます。他のテーブルを参照するテーブルには、矢印 () アイコンが付きます。

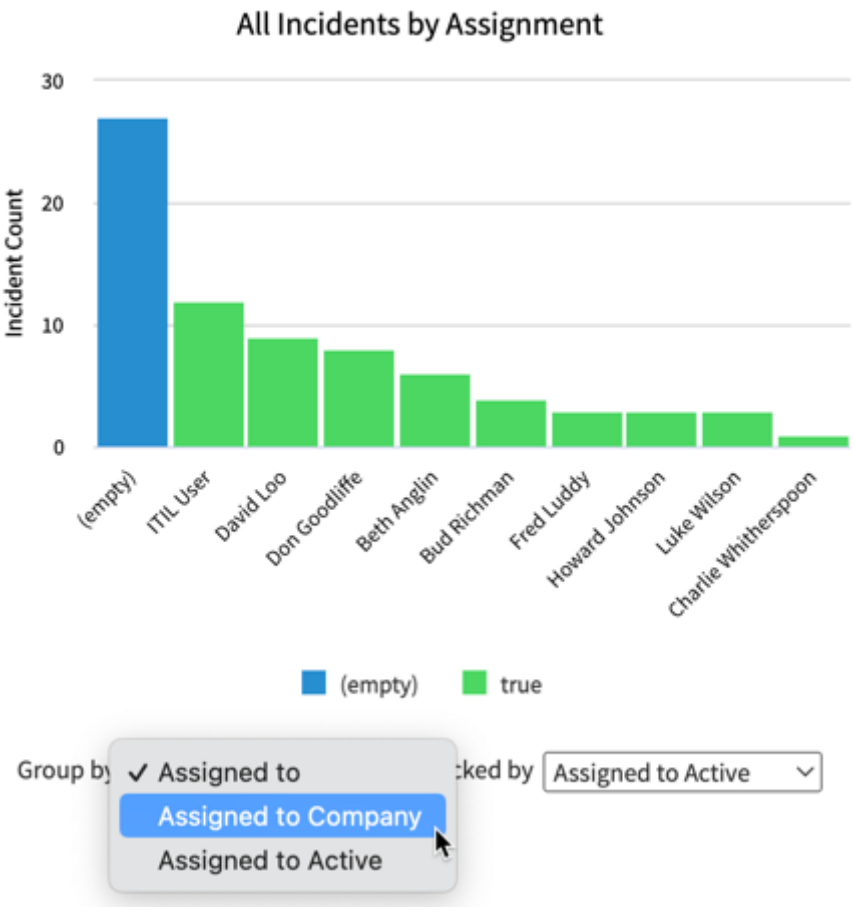
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ドット連結は、ドット (ピリオド) で区切られたフィールド名のチェーンを作成することによりフィールドを参照します。たとえば、 *incident.assigned_to.company* インシデントに割り当てられたユーザーの会社を参照します。チェーンの長さの上限は 3 レベルを推奨します。

1. インシデント テーブルのレポートで、[構成] タブの [他のグループ化] を選択します。
2. [アサイン先 [+]] を選択し、構造アイコン ()を選択します。

   これで、ユーザーテーブルに関連フィールドが表示されます。
3. 会社 [+] を [選択済み] 列に移動し、 **OK** を選択します。
4. レポートを保存します。

   [Assigned to Company] は、レポートの [Group by] リストのオプションです。この例では、[アクティブ] フィールドが設定されたスタック基準オプションであるため、[アクティブにアサイン済み] と表示されます。



関連情報

ドット連結の例

レポートの **FX** 通貨値

FX (外国為替) 通貨を使用して、複数の通貨でプロジェクトを管理します。プロジェクトに関するレポートは、ユーザーが入力した通貨値、参照通貨、またはその両方で行うことができます。

注:
FX 通貨機能を使用するためにプラグインをインストールする必要はありません。この機能は、デフォルトで有効になっています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

FX 通貨機能の詳細については、「」を参照してください。レポートのコンテキストでは、他の通貨が換算される参照通貨で集計することが重要です。

> **注:**
> 複数の通貨がある場合、計算できない場合があります。集計ソースまたはフィルター条件を変更してレポートを表示します。

FX 通貨フィールドで [平均] または [合計] で集計する場合は、[集計ソース] を選択します。

FX 通貨構成の使用

FX 通貨構成テーブルに基づいて値を計算します。詳細については、「 FX 通貨フィールドの設定と操作」 を参照してください。

入力値として

ユーザーが入力した通貨値に基づいて値を計算します。

> **注:**
> このオプションを選択すると、異なる通貨で入力された金額を適切に集計できない場合があります。たとえば、米ドル、円、およびユーロの通貨金額があるとします。一度に 1 つの通貨でのみ値を集計できます。異なる通貨でレコードを集計すると、このエラーが表示されます:「レポートを生成できません。通貨コードが一致しません。「」を参照してください 通貨の不一致の例。

参照値

基準通貨に基づいて値を計算します。

FX 通貨フィールドに関するレポート

FX 通貨フィールドでレポートする場合、エラーを生成する可能性がある特定の制限があります。これらのエラーは集計に関連しています。

始める前に
必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.
2. [データ] タブで、レポートに名前を付け、FX 通貨フィールドを含むソース テーブルを選択して、[次へ] をクリックします。
   ソースに FX 通貨フィールドが必要です。「 FX 通貨フィールドの設定と操作」を参照してください。
3. [タイプ] タブで、使用するビジュアリゼーションの種類を選択します。
   「レポートタイプ」を参照してください。
4. [構成] タブで、レポートをグループ化、スタック、および集計する方法を選択します。
   一度に 1 つの通貨でのみ値を集計できます。FX 通貨フィールドで異なる通貨でレコードを集計すると、このエラーが表示されます:「レポートを生成できません。通貨コードが一致しません。

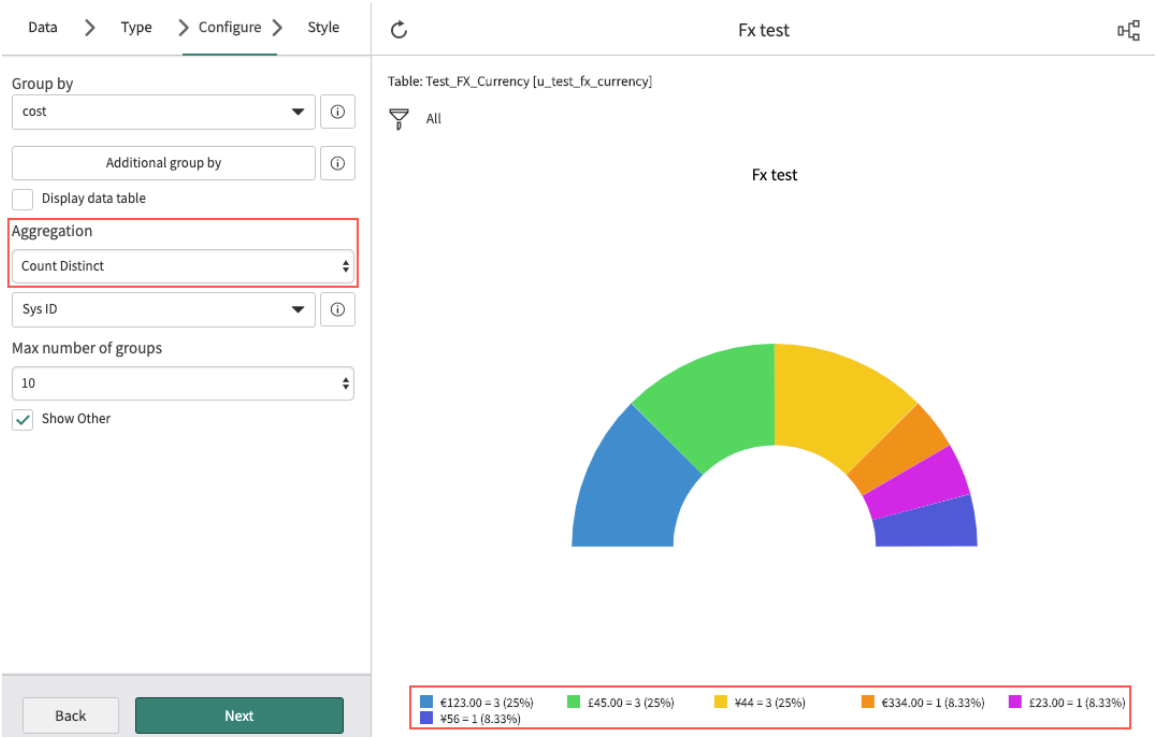
通貨の不一致の例

FX 通貨テーブルでレポートする場合、グループと集計タイプの一部の組み合わせは計算できません。これらの組み合わせでは、「レポートを生成できません。通貨コードが一致しません。集計ソースまたはフィルター条件を変更してください。(Change your aggregation source or filter conditions.)」

このレポートのソースには、ユーロ、日本円、および英国ポンドのコストがあります。この視覚化では、個別のカウントごとにコストが集計されるため、個々の値に独自のセグメントが与えられます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



コストを複数の通貨で合計または平均で集計しようとすると、いくつかの結果が考えられます。

[集計ソース] が [FX 通貨を使用] 構成

通貨が一致しないため、計算を実行できません。

集計ソースは入力値として

通常、入力された値も複数の通貨であり、計算を実行することはできません。

集計ソースは参照値

この場合、値は計算前に参照値に変換され、レポートが生成されます。詳細については、「 フォームの FX 通貨値について 」を参照してください。

サービス カタログ変数のレポート

選択したサービス カタログ アイテムの変数別にグループ化されたレポートを作成します。同じ変数でフィルターを作成することもできます。

変数に関するレポートは、たとえば、特定のカタログアイテムがインスタンスで有用かどうかを判断するのに役立ちます。

さらに、同じ変数でフィルターを作成することもできます。たとえば、特定の携帯電話アイテムにストレージ変数がある場合、32 GBのストレージを持つ電話機のみを表示するレポートを作成できます。

データベースビューでのカタログ変数のドット連結、フィルタリング、および使用に関する概要ビデオは、「 カタログ変数のレポート 」を参照してください。

- 変数別にグループ化するには、「サービス カタログ変数によるレポートのグループ化」を参照してください。
- フィールドでレポートをグループ化し、変数でグループ化する方法については、「」を参照してください 他の変数別のグループをサービス カタログ レポートに追加する。
- 変数フィールドをリスト レポートに追加するには、「変数列を含むリスト レポートを作成する」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レコード・プロデューサの場合は、レポートの作成中に質問にフィルターを指定して、設定された条件に基づいてレコードがフィルタリングされるようにすることができます。次のタイプの質問は、条件ビルダーに表示されません。

- ラベル
- リッチテキストラベル
- マクロ
- コンテナ

変数の質問に関するレポートについては、以下を参照してください。 質問に関するレポート

レポートでサービス カタログ変数を使用する

サービス カタログ データ、スタック変数、グループ変数のレポートでは、リスト レポートでは列として、またマルチレベル ピボット テーブルでは列と行として変数を使用します。

始める前に

必要なロール:グローバルレポートの場合は itil、report_user、report_global、グループレポートの場合は report_group

report_admin ロールを持つユーザーは、サービスカタログ変数に関するレポートを作成できます。オプション [sc_item_option]、変数所有権 [sc_item_option_mtom]、および変数 [item_option_new] テーブルの ACL に report_admin ロールを追加します。

注:

- 変数を使用するレポートは、要求アイテム テーブル [sc_req_item] またはカタログ タスク テーブル [sc_task] に基づいている必要があります。他のタイプの変数を使用すると、レポートを生成するときにエラーが発生します。
- Oracle DatabaseのCLOBフィールドには、レポート内の変数データを取得する機能はありません。4000 バイト未満の列文字列フィールドの場合は、列タイプを varchar2 に変更できます。小さいサイズのCLOB列を比較するには、to_char()関数を使用します。サイズの CLOB が大きい場合は、dbms_lob.substr 関数を使用して比較用の部分文字列を取得する必要があります。

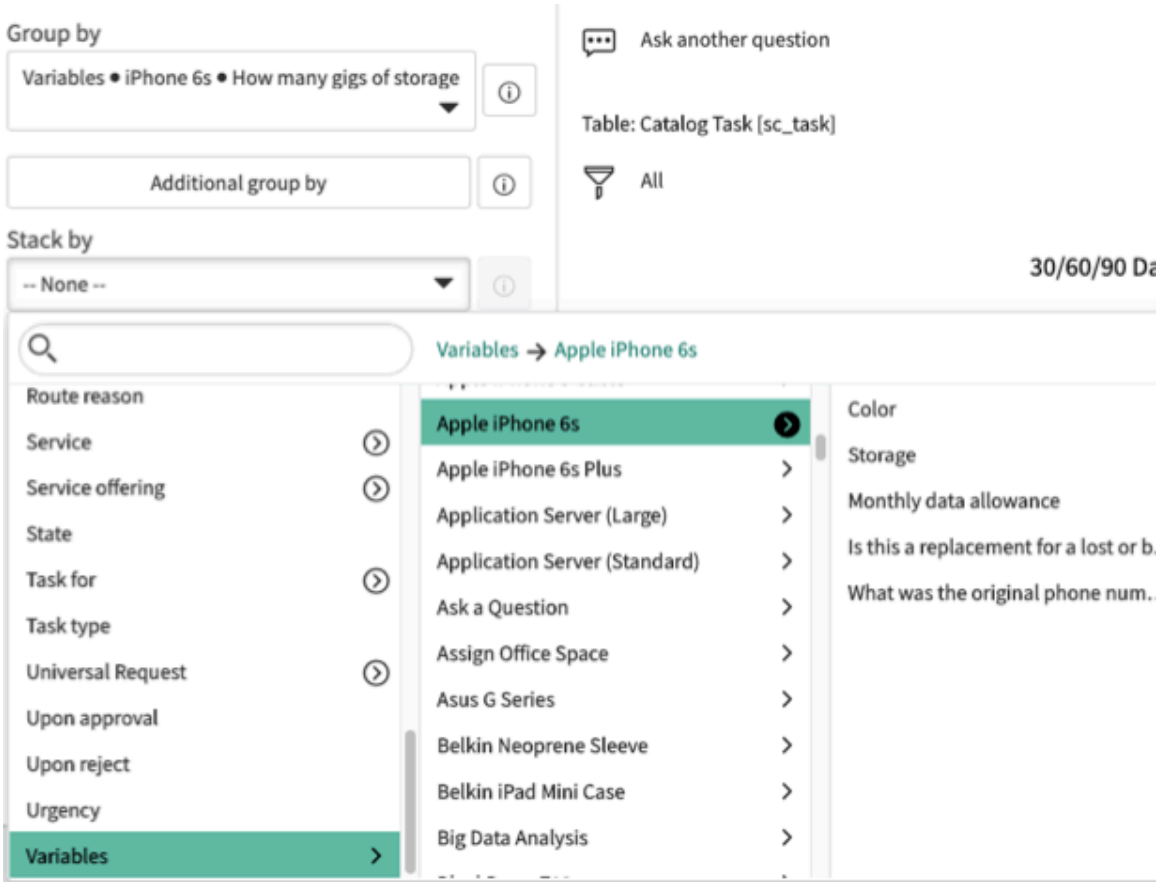
このタスクについて

プライマリの [グループ] と [積み重ね基準] の場合、これらの手順は直感的です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[グループ] フィールドと [積み重ね基準] フィールドでの変数の使用



注:
リスト、ボックス、トレンドボックス、およびピボットの各レポートは、サービス カタログ変数をプライマリまたはセカンダリの [グループ] として使用できません 。シングル スコア、カレンダー、コントロール、およびマップの各レポートは、どのフィールドでも [グループ] をサポートしていません。リスト レポートは、サービス カタログ変数を列として使用できます。

変数を追加の [グループ化] として、リスト レポートの列として、またはマルチレベル ピボット テーブルの列または行として使用します。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 表示/作成 をクリックし、変数を追加するレポートを開きます。
2. 次のいずれかを実行します。

オプション	説明
リスト レポートに列として追加する	[構成] タブで、[変数 ✚] を [選択済み] 列に移動します。
追加として追加 グループ化基準	[構成] タブで [追加のグループ化] をクリックし、[追加のグループ化] リストの [選択済み] の下部にある [変数 ✚] を移動します。
マルチレベル ピボット テーブルの列または行として追加する	[列の選択] または [行の選択] をクリックし、リストの下部にある [変数✚] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
	注: ○ 最初に変数をメインの [グループ化] としてレポートを作成した場合、レポートは常に内部結合として動作します。 ○ 最初に、プライマリ グループ用の通常のフィールドと変数のセカンダリ グループを使用してレポートを作成すると、外部結合として機能します。

3. 構造アイコン ()  をクリックしてから、表示されるプラス記号をクリックします。
   サービス カタログ アイテムのリストが表示されます。
4. 変数を含むカタログアイテムを選択します。
   そのアイテムの変数が [利用可能] リストに表示されます。
5. 使用する変数を [選択済み] 列に移動します。
6. レポートを [保存] します。

サービス カタログ変数によるレポートのグループ化

選択したサービス カタログ アイテムで変数別にグループ化されたレポートを作成できます。さらに、同じ変数でフィルターを作成することもできます。たとえば、特定の携帯電話アイテムにストレージ変数がある場合、32 GBのストレージを持つ電話機のみを表示するレポートを作成できます。

始める前に

必要なロール：itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

このタスクについて

これらのステップは、レポート ソースに関連付けられた変数があるかぎり、任意のレポート タイプに適用できます。レポート ソースに変数がない場合、 [変数] オプションは [グループ] および [積み重ね基準] フィールドに表示されません。

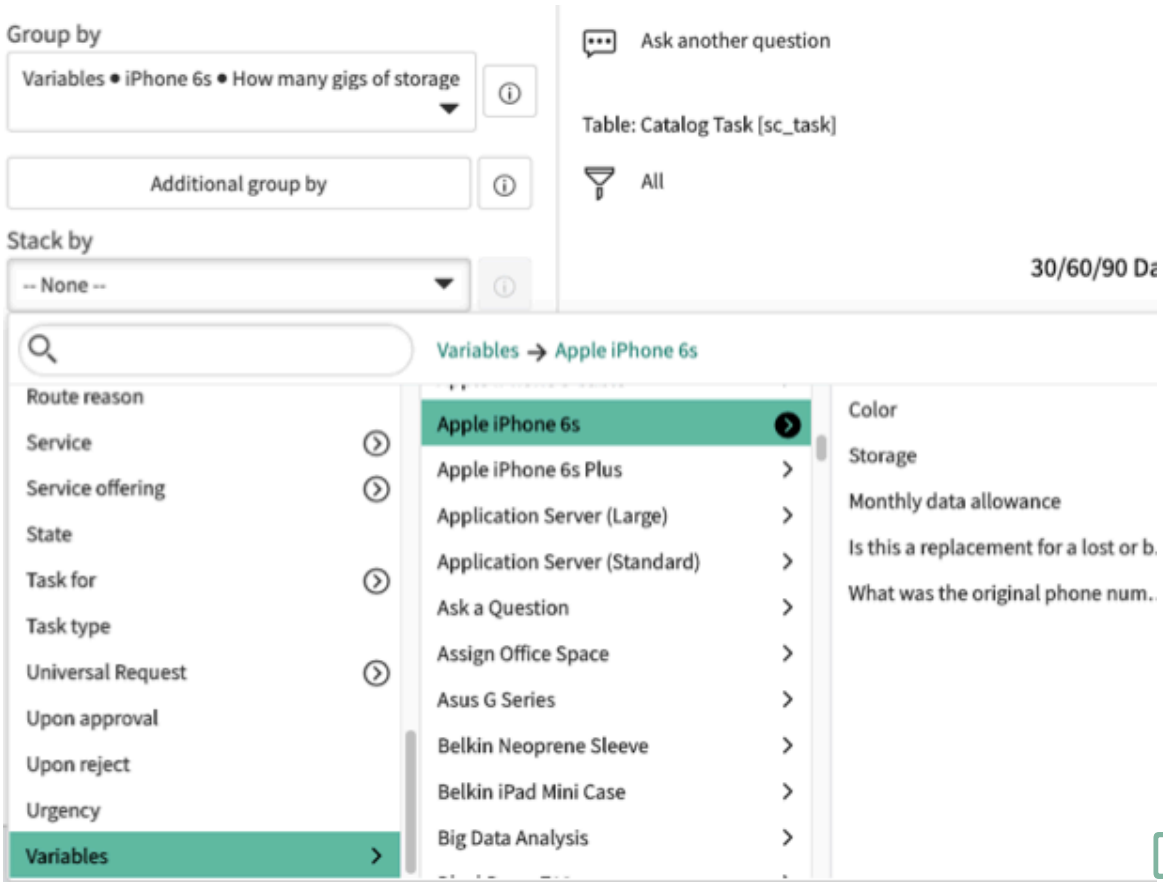
注:
リスト、ボックス、トレンドボックス、およびピボットの各レポートは、サービス カタログ変数をプライマリまたはセカンダリの [グループ] として使用できません 。シングル スコア、カレンダー、コントロール、およびマップの各レポートは、どのフィールドでも [グループ] をサポートしていません。リスト レポートは、サービス カタログ変数を列として使用できます。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. 変数が関連付けられているレポート ソースを選択します。
   レポート ソースには 2 種類あります。
4. [次へ] を選択します。
5. [タイプ] タブで、レポート タイプを選択して [次へ] をクリックします。
6. [設定] タブで、[グループ] または [積み重ね基準] フィルターから [変数] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



7. グループ化または積み重ねの基準となるアイテムに関連付けられた変数を検索して選択します。
8. レポート タイプに応じてレポートの設定を続けます。
   「レポートタイプ」を参照してください。

他の変数別のグループをサービス カタログ レポートに追加する

選択したサービス カタログ アイテムでは、他の変数別のグループを持つ任意のフィールドによりグループ化されたレポートを作成できます。さらに、同じ変数でフィルターを作成することもできます。たとえば、特定の携帯電話アイテムにストレージ変数がある場合、32 GBのストレージを持つ電話機のみを表示するレポートを作成できます。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

このタスクについて

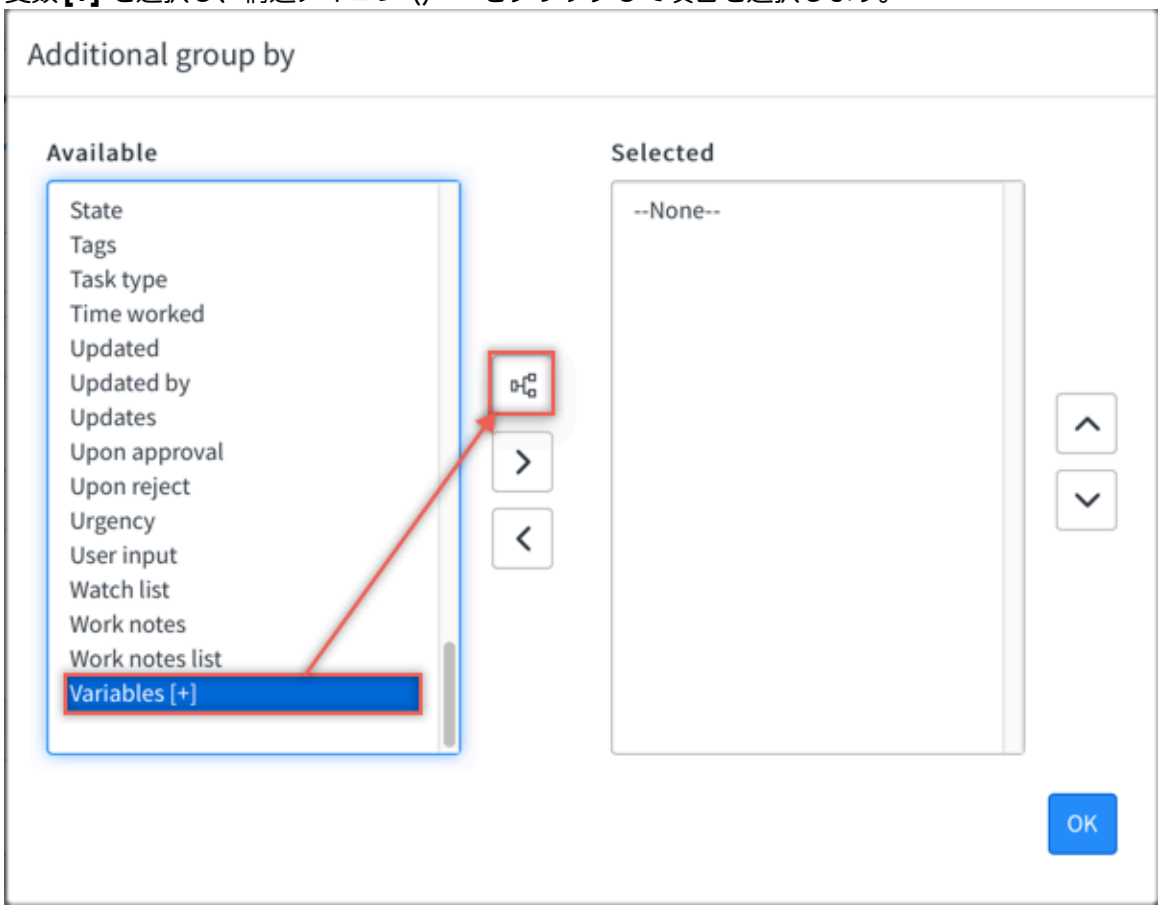
これらのステップは、レポート ソースに関連付けられた変数があるかぎり、任意のレポート タイプに適用できます。レポート ソースに変数がない場合、[変数] オプションは [他のグループ化] フィルターに表示されません。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. 変数が関連付けられているレポート ソースを選択します。
   レポート ソースには 2 種類あります。
4. [次へ] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. [タイプ] タブで、レポート タイプを選択して [次へ] をクリックします。
6. [設定] タブで、 [グループ] フィルターを選択します。
7. [**Additional group by**] をクリックします。
8. 変数 **[+]** を選択し、構造アイコン ()  をクリックして項目を選択します。

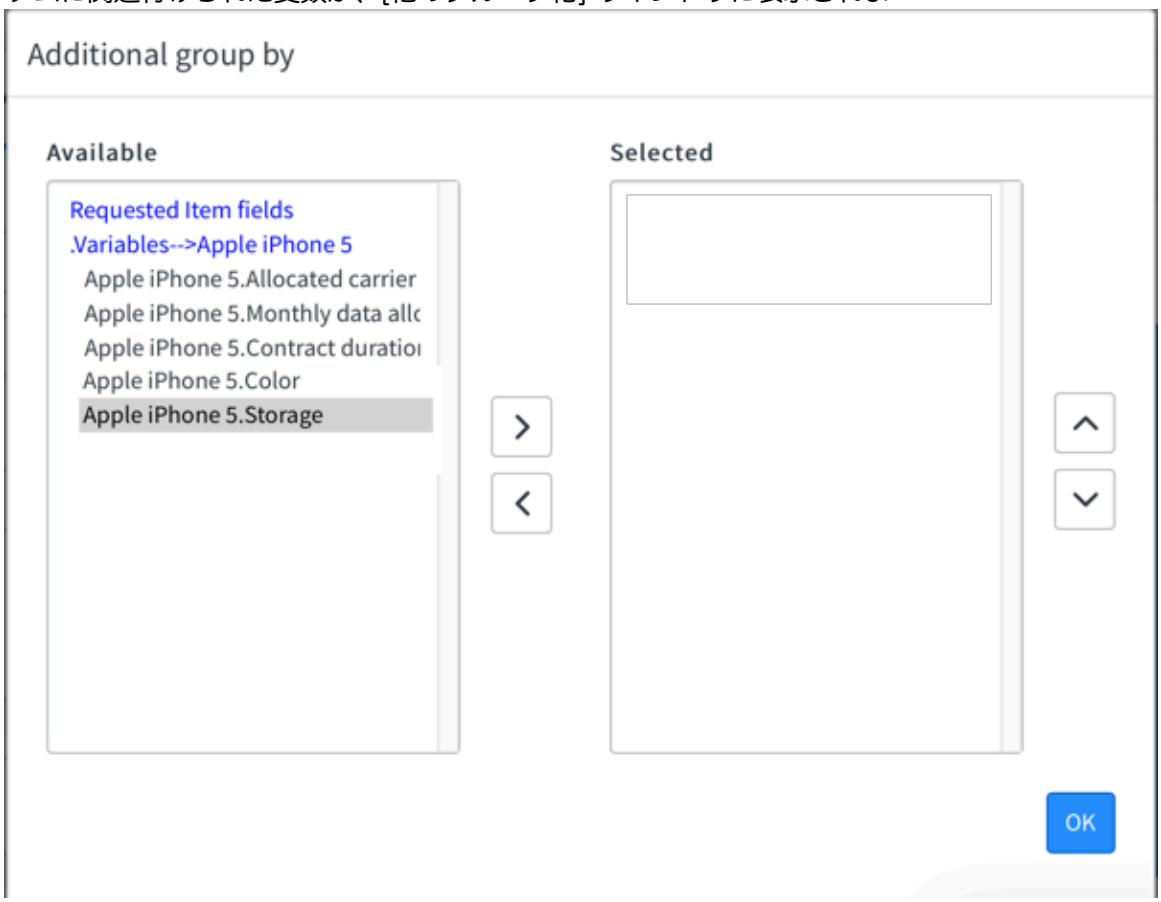


9. [カタログ アイテム] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アイテムに関連付けられた変数が、[他のグループ化] ウィンドウに表示されま



す。

10. 目的の変数を 「選択済み 」列に追加し、「 OK」をクリックします。
11. レポート タイプに応じてレポートの設定を続けます。
「レポートタイプ」を参照してください。

機能フィールドに関するレポート

通常のフィールドはデータベースに値を格納しますが、関数フィールドはデータベースクエリの結果を表示します。関数フィールドは、他のフィールドと定数の計算に基づいて値を生成します。これらのフィールドは、他のフィールドと同様にレポートで使用できます。

機能フィールドの作成、編集、非アクティブ化の責任は、function_field_adminロールを持つユーザーにあります。アップグレード時に、このロールを持つユーザーはいません。管理者は、このロールを管理者以外のユーザーに付与する必要があります。「 ロールの作成 」を参照してください。

機能フィールドの詳細については、「 機能フィールド」 を参照してください。

機能フィールドの操作

機能フィールドでは、`glidefunction:<operation>` 構文を使用して次の操作を実行できます。

注:
定数は一重引用符または二重引用符で囲んで指定します。concat()、dayofweek()、position()、および `substring()` 操作の例は、関数フィールドでの定数の使用を示しています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

機能フィールドの操作

機能フィールドの操作テーブルには、機能フィールドの操作の名前の列、実行する操作の内容の詳細な説明、およびコードとコードが返す内容の両方を含む例が含まれています。

操作	説明	例
`add()`	2 つの数値フィールドを入力として取得し、これらを加算して、結果をフィールド値として返します。 さらにこの関数は、どちらの入力に対しても数値を取ります。数値は単一引用符または二重引用符で囲みます。	`glidefunction:add(child_incidents, parent_incident)` インシデントに 5 つの子インシデントと 1 つの親インシデントがある場合は、6 を返します。 可能な戻り値の型：10 進数、浮動小数点数、大きい整数、整数
`subtract()`	2 つの数値フィールドを入力として取得し、1 つ目の数値から 2 つ目の数値を減算して、結果をフィールド値として返します。 さらにこの関数は、どちらの入力に対しても数値を取ります。数値は単一引用符または二重引用符で囲みます。	`glidefunction:subtract(u_num1, u_num2)` num1 = 8 および num_2 = 6 の場合は 2 を返します。 可能な戻り値の型：10 進数、浮動小数点数、大きい整数、整数
`multiply()`	2 つの数値フィールドを入力として取得し、乗算を実行して、結果をフィールド値として返します。 さらにこの関数は、どちらの入力に対しても数値を取ります。数値は単一引用符または二重引用符で囲みます。	`glidefunction:multiply(u_num1, u_num2)` num1 = 8 および num_2 = 6 の場合は 48 を返します。 可能な戻り値の型：10 進数、浮動小数点数、大きい整数、整数
`divide()`	2 つの数値フィールドを入力として取得し、1 つ目の数値を 2 つ目の数値で除算して、結果をフィールド値として返します。 さらにこの関数は、どちらの入力に対しても数値を取ります。数値は単一引用符または二重引用符で囲みます。	`glidefunction:divide(u_num2,u_num1)` num2 = 10 および num1 = 2 の場合は 5 を返します。 可能な戻り値の型：10 進数、浮動小数点数、大きい整数、整数
`concat()`	任意の数のカンマ区切りフィールドと定数を入力として取得し、入力を連結して、単一の文字列をフィールド値として返します。	`glidefunction:concat(incident_number, '/', short_description)` 数値フィールドの値が「INC0001」で、short_description が「クライアントに新しいラップトップが必要」である場合には、「INC0001 /クライアントに新

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

機能フィールドの操作

機能フィールドの操作テーブルには、機能フィールドの操作の名前の列、実行する操作の内容の詳細な説明、およびコードとコードが返す内容の両方を含む例が含まれています。

(続く)

操作	説明	例
		しいラップトップが必要」を返します。 戻り値の型：テキスト
`datediff()`	2 つの日時フィールドを入力として取得し、日時の差を日、分、および秒の単位で計算して、結果を期間フィールド値として返します。	`glidefunction:datediff(closed_at, sys_created_on)` 作成日からクローズ日までのインシデントの期間を返します。結果の例：10 日、8 時間 23 分 11 秒 戻り値の型：期間
`dayofweek()`	日付フィールドと `'1'` (日曜日に週が開始) または `'2'` (月曜日に週が開始) の定数の、2 つの引数を取得します。曜日を表す整数値として結果を返します。 dayofweek() 関数は UTC 日付を使用しますが、インスタンスのタイムゾーンに基づいて比較値を調整します。	`glidefunction:dayofweek(resolved_at, '1')`. resolved_at が水曜日に発生した場合、整数が 1 の場合は 4 を返し、整数が 2 の場合は 3 を返します。 戻り値の型：整数
`length()`	文字列フィールドを入力として取得し、フィールド長を文字数単位で計算して、結果をフィールド値として返します。	`glidefunction:length(short_descriptio` short_description =「This application is performing a test」の場合は 37 を返します。 戻り値の型：整数
`coalesce()`	任意の数のカンマ区切りフィールドを入力として取得し、最初の空でない値を返します。	`glidefunction:coalesce(closed_at, resolved_at, sys_updated_on)` closed_at の値が空の場合、関数は値 [resolved_at] を返します。[resolved_at] の値も空の場合、関数は値 [sys_updated_on] を返します。 戻り値の型：テキスト

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

機能フィールドの操作

機能フィールドの操作テーブルには、機能フィールドの操作の名前の列、実行する操作の内容の詳細な説明、およびコードとコードが返す内容の両方を含む例が含まれています。

(続く)

操作	説明	例
`position()`	2 つのテキストフィールド、または 2 つのテキストフィールドと 1 つの整数を入力として取得します。テキストフィールドの一方または両方を文字列にすることもできます。 **1.** 2 つ目のものの最初のテキストフィールドの最初の文字列の位置を返します。 **2.** 整数を指定した場合、この関数は整数の位置の後の 2 番目のテキストフィールドの位置を返します。 最初のテキストフィールドが 2 番目に存在しない場合は、0 を返します (指定されている場合は整数の位置の後)。	• `glidefunction:position('e',short_de` short_description フィールドの値が「This computer is performing an upgrade」の場合は、12 を返します。 • `glidefunction:position('e',short_de` short_description フィールドの値が「This computer is performing an upgrade」の場合は、19 を返します。 戻り値の型：整数
`substring()`	テキストフィールドと 2 つの整数を入力として取得します。最初の整数の位置から始まり、2 番目の長さである文字列の最初のインスタンスを返します。	`glidefunction:substring(short_descrip '7', '2')` short_description フィールドの値が「We're going to the store」の場合は、「go」を返します。 戻り値の型：テキスト

機能フィールドの構成

レポートデザイナーを使用したレポートで使用するために、テーブルごとに最大 20 個のアクティブな関数フィールドを設定できます。テーブルに関数フィールドを設定すると、関数の計算結果によってグループ化または積み重ねることができます。

必要なロール:admin、function_field_admin

通常のフィールドはデータベースに値を格納しますが、関数フィールドはデータベースクエリの結果を表示します。関数フィールドは、他のフィールドと定数の計算に基づいて値を生成します。これらのフィールドは、他のフィールドと同様にレポートで使用できます。

制限事項：

- レポートの機能フィールドでは、ドット連結はサポートされていません。
- データベースビューは機能フィールドをサポートしていません。
- セキュリティは、機能のコンポーネントとフィールドの計算値で評価されます。可視化で使用する場合、ユーザーに表示が許可されていない情報を含むセクションは非表示になります。
- 機能フィールドの作成者またはプラットフォーム管理者のみが、そのフィールドを編集または非アクティブ化できます。プラットフォーム管理者は、任意の機能フィールドを非アクティブ化できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- フィールド機能名は一意である必要があります。
- 1 つのテーブルで一度にアクティブにできる関数フィールドは 20 個のみです。機能フィールドを追加するには、他のフィールドを非アクティブ化する必要があります。「機能フィールドを非アクティブ化する」を参照してください。

関数フィールドを作成する

フィールドの計算結果によってレポートをグループ化および積み重ねることができる関数フィールドを作成します。

始める前に

必要なロール:admin、function_field_admin

各関数フィールドには、ラベル、戻り値の型、および定義が必要です。定義は、操作と、操作が実行される 1 つ以上のフィールドで構成されます。

> **注:**
> 関数フィールドを保存した後は、ラベルまたは戻り値の型を変更できません。必要に応じて、機能フィールドを非アクティブ化して、最初からやり直してください。

手順

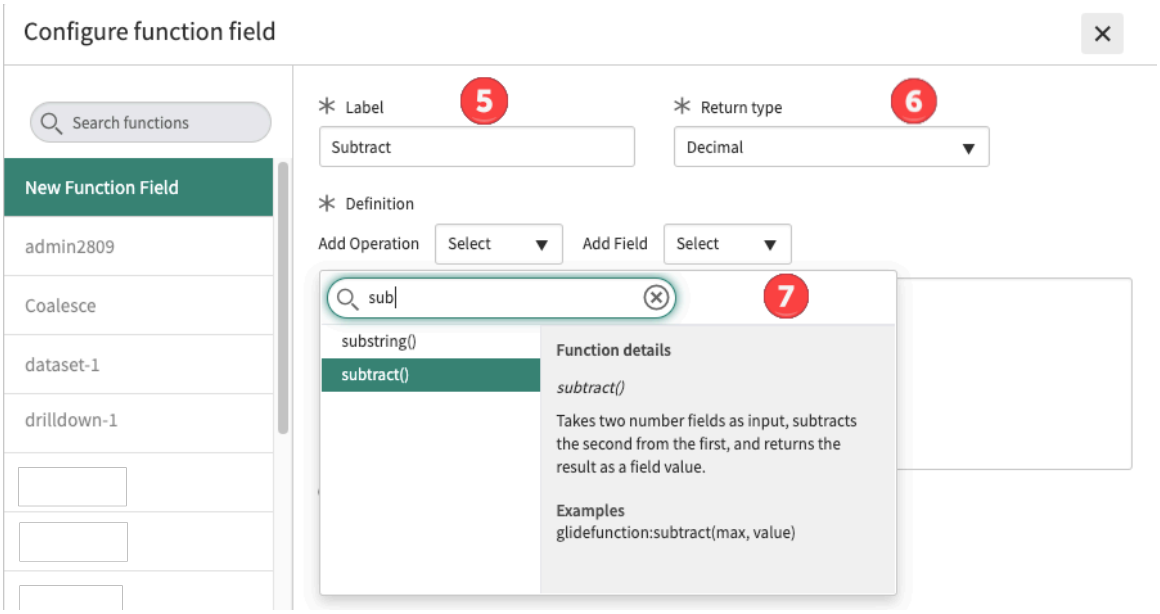
1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.
2. 関数フィールドを追加するレポートを選択します。
   テーブルに関数フィールドを構成すると、同じテーブルのレポートを含め、 で Now Platformそのテーブルを使用する任意の場所で使用できます。たとえば、オープン インシデントの経過時間を計算する関数フィールドは、インシデント テーブルのすべてのレポートで使用できます。
3. 「 構成 」タブを開き、「 機能フィールドの構成」をクリックします。
4. オプション: 検索バーにフィールド名を入力して、誰かがすでに機能フィールドを作成しているかどうかを確認します。
   検索結果をポイントすると、関数の定義が表示されます。
5. [作成] をクリックします。
   レポートの基になるテーブルには、最大 20 個のアクティブな機能フィールドを設定できます。テーブルに既に 20 個の関数フィールドがある場合、いずれかのフィールドまたはplatform_adminの作成者は、関数フィールドを非アクティブ化または削除する必要があります。
6. ラベルを指定します。
   ラベルは、ユーザーがレポートでデータをグループ化または積み重ねるときに表示される名前です。
7. [戻り値の型] を選択します。
   戻り値の型は、関数が生成する情報の種類です。たとえば、 `datediff()` 関数は 2 つの日付の間の期間を計算するため、Duration 型を返します。

   > **注:**
   > 戻り値の型が関数の論理結果でない場合、メッセージは表示されません。

8. 操作を選択します。
   [構文] テキストボックスには、`glidefunction:` が前に付いた関数の名前が表示されます。

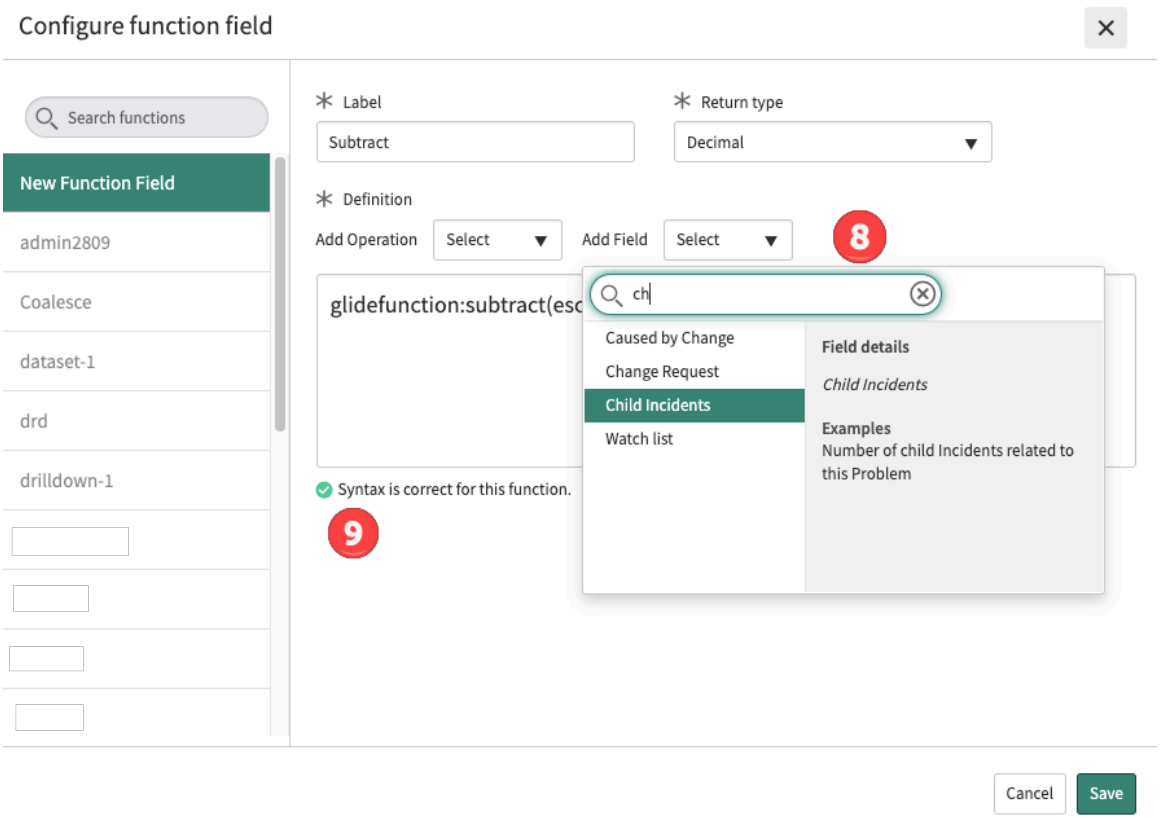
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



9. 関数が動作するフィールドを選択します。
一部の関数には 1 つのフィールドのみが必要です。2 つまたは 3 つのフィールドを必要とするものもあります。「機能フィールドに関するレポート」を参照してください。フィールドは必ずカンマで区切ってください。

10. 構文が正しければ、関数フィールドを保存できます。
構文が正しくない場合は、「 構文エラー:無効な式」というメッセージが表示されます。他のメッセージも表示される場合があります。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
レポートを保存した後に、構成済みの関数フィールドが [グループごと] および [他のグループ化] リストに表示されます。

作成した関数フィールドをレポート構成で使用します。の Now Platform別の場所で機能フィールドを使用する方法については、 関数フィールド を参照してください。

機能フィールドを編集する

機能フィールドを作成したユーザーまたは platform_admin ロールを持つユーザーは、保存された機能フィールドの定義を編集できます。保存された関数フィールドのラベルまたは戻り値の型を編集することはできません。

始める前に
必要なロール:admin、function_field_admin

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.
2. 関数フィールドを追加するテーブルに基づいてレポートを選択します。
   関数フィールドを構成すると、同じテーブルの任意のレポートで使用できます。たとえば、インシデントがオープンになっている期間を計算する関数フィールドは、インシデント テーブルのすべてのレポートで使用できます。
3. 「 構成 」タブを開き、「 機能の構成」フィールドをクリックします。
4. オプション: [検索機能] ボックスにテキストを入力して、編集する機能フィールドを見つけます。
   検索機能では、フィールドのラベル、フィールドの名前、および機能の定義が検索されます。
5. 新しい操作、機能が操作する新しいフィールド、またはその両方を選択します。
   編集された関数を検証すると、無効な結果が返されることが示される場合があります。
6. [保存] をクリックします。
   1 つ以上のレポートで機能フィールドが使用されている場合は、それらのレポートのリストへのリンクが表示されます。リストを確認するか、[保存] をクリックするか、[キャンセル] をクリックすることができます。

タスクの結果
編集された機能フィールドの結果は、その機能フィールドが使用されているすべてのレポートの古い結果を置き換えます。

機能フィールドを非アクティブ化する

機能フィールドを作成したユーザーまたはplatform_adminロールを持つユーザーは、そのフィールドを非アクティブ化できます。テーブルに 20 を超える関数フィールドがある場合、1 つ以上の既存の関数フィールドを非アクティブにしないと、新しい関数フィールドを作成することはできません。

始める前に
必要なロール:admin、function_field_admin

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.
2. 非アクティブ化する機能フィールドを含むレポートを選択します。
3. 「 構成 」タブを開き、「 機能の構成」フィールドをクリックします。
4. オプション: [検索機能] ボックスにテキストを入力して、非アクティブ化する機能フィールドを見つけます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. 機能フィールドを選択し、[非アクティブ化] をクリックします。
   1 つ以上のレポートで機能フィールドが使用されている場合は、それらのレポートのリストへのリンクが表示されます。リストを確認するか、[非アクティブ化] をクリックするか、[キャンセル] をクリックします。
6. 非アクティブ化を確定するか、キャンセルします。

タスクの結果
非アクティブ化された関数フィールドは、基になっていたテーブルのレポートで使用できなくなります。

注:
フィールドを非アクティブ化すると、ユーザーリスト設定は削除されます。詳細については、「https://support.servicenow.com/kb?id=kb_article_view&sysparm_article=KB1116135」を参照してください。

機能フィールドを削除する

admin ロールを持つユーザーは、テーブルから関数フィールドを削除できます。これは、そのテーブルに既に存在するものと同じ名前の関数フィールドをテーブルに作成する場合に便利です。

始める前に
必要なロール：admin

関数フィールドは、それらを作成したテーブルの列として格納されます。関数フィールドを削除するには、関連する列を削除します。

重要:
>削除時に機能フィールドが使用される場所のチェックは行われません。また、機能フィールドの削除は元に戻せません。

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > テーブル.
2. 削除する関数フィールドを含むテーブルを選択します。
3. 列を選択してフォームを開きます。
4. [列の削除] を選択します。
   列名が `u_` または `x_` で始まる場合にのみ、列を削除できます。列名が他の名前で始まる場合は、サポートによって*ServiceNow*作成されています。削除するには、サポートにお問い合わせください。

タスクの結果
関数フィールドが削除され、データのビジュアル化で使用できなくなります。

機能フィールドの作成を無効にする

レポートデザイナーで機能フィールドを作成する機能を削除するようにシステムプロパティを設定します。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > **sys_properties.list**.
2. *glide.report.enable_function_field_ui* プロパティを検索します。
3. プロパティの名前を選択してフォームを開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. プロパティの値を `false` に設定します。
5. [更新] を選択します。

タスクの結果
機能フィールドを設定するオプションは、どのユーザーのレポート デザイナーにも表示されません。

質問に関するレポート

グループ化またはフィルタリングして、選択した質問についてレポートします。

質問別にグループ化されたレポートを作成すると、次の場合に役立ちます。

- 顧客の質問が回答されているかどうかを判断します。
- 要求プロセス中に顧客からより多くの情報を取得します。

次のフィールドをサポートするレポート タイプを使用して、質問に関するレポートを作成します。

- グループごと
- 積み重ね基準
- 他のグループ化
- 列を選択
- 行を選択

注:

質問を使用するレポートは、質問が関連付けられているデータ ソースまたはサービス カタログ以外のテーブルをレポートする必要があります。レコードプロデューサーテーブル [sc_cat_item_producer]、またはタスク [task] テーブルから拡張されたテーブル ([incident] テーブルや [problem] テーブルなど) の質問についてレポートできます。レコードプロデューサーの詳細については、「レコードプロデューサー」を参照してください

条件ビルダーを使用して質問をフィルタリングすることもできます。

質問によるレポートのグループ化または積み重ね

質問ごとにグループ化または積み重ねてレポートを作成したり、同じ質問に対してフィルターを作成したりできます。たとえば、サポートを要求する理由や問題の説明に関する顧客の応答を示すレポートを作成できます。

始める前に
必要なロール：itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

このタスクについて
レポートソースに質問が関連付けられている限り、これらのステップは任意のレポートタイプに適用できます。レポート ソースに質問がない場合、[質問] オプションは [グループ] フィールド と [積み重ね基準] フィールドに 表示されません。

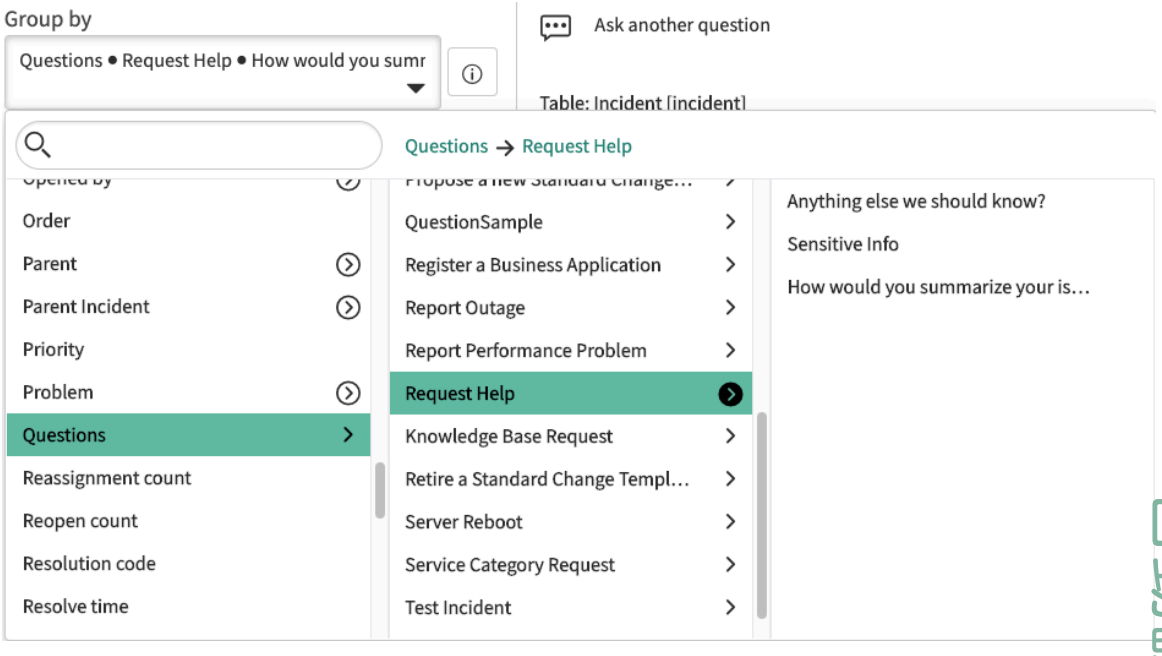
注:
リスト、ボックス、Trendbox、およびピボット レポートでは、質問をプライマリまたはセカンダリの [グループ化] として使用することはできません。単一スコア、カレンダー、コントロール、ヒストグラム、およびマップの各レポートは、どのフィールドでも グループをサポートし ていません。リスト レポートでは、質問を列として使用することができます。マルチレベル ピボット レポートでは、質問を列および行として使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. 質問が関連付けられているレポート ソースを選択し、[次へ] をクリックします。
4. [タイプ] タブで、レポート タイプを選択して [次へ] をクリックします。
5. [構成] タブで、[グループ] または[積み重ね基準] フィルターから [質問] を選択します。



6. グループ化または積み重ねの基準となるカテゴリに関連付けられた質問を検索して選択します。
7. レポート タイプに応じてレポートの設定を続けます。
   「レポートタイプ」を参照してください。

質問別のグループをレポートに追加する

選択した質問でさらにグループ化されたレポートを作成します。同じ質問に対してフィルターを作成することもできます。たとえば、サポートを要求する理由や問題の説明に関する顧客の応答を示すレポートを作成できます。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

このタスクについて

レポートソースに質問が関連付けられている限り、これらのステップは任意のレポートタイプに適用できます。レポート ソースに質問がない場合、[質問] オプションは [追加のグループ化基準] フィルターに表示されません。

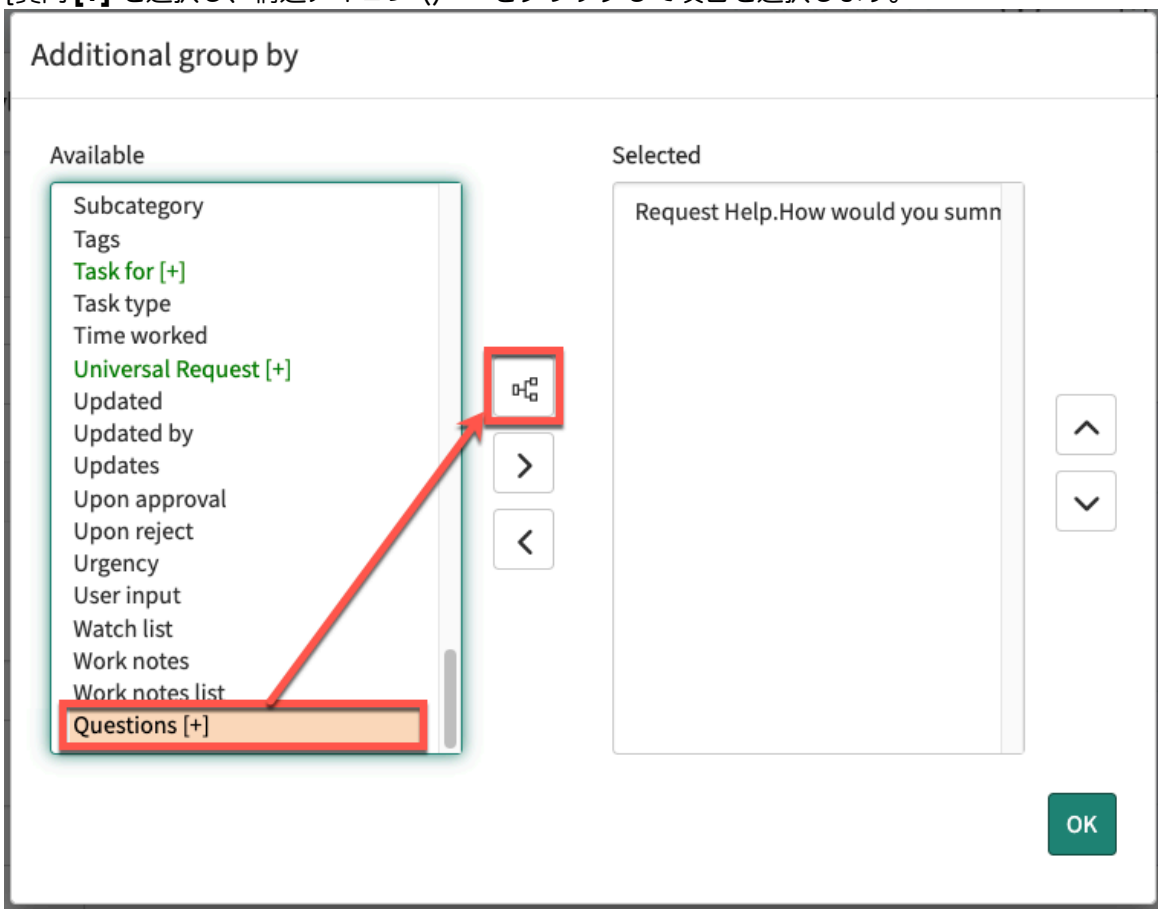
手順

1. 移動先 すべて > レポート > 新規作成.
2. [データ] タブで、グループ化されている情報を反映する名前をレポートに付けます。
3. 質問が関連付けられているレポート ソースを選択し、[次へ] をクリックします。
4. [タイプ] タブで、レポート タイプを選択して [次へ] をクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

5. [設定] タブで、 [グループ] フィルターを選択します。
6. [**Additional group by**] をクリックします。
7. [質問 **[+]** を選択し、構造アイコン ()  をクリックして項目を選択します。

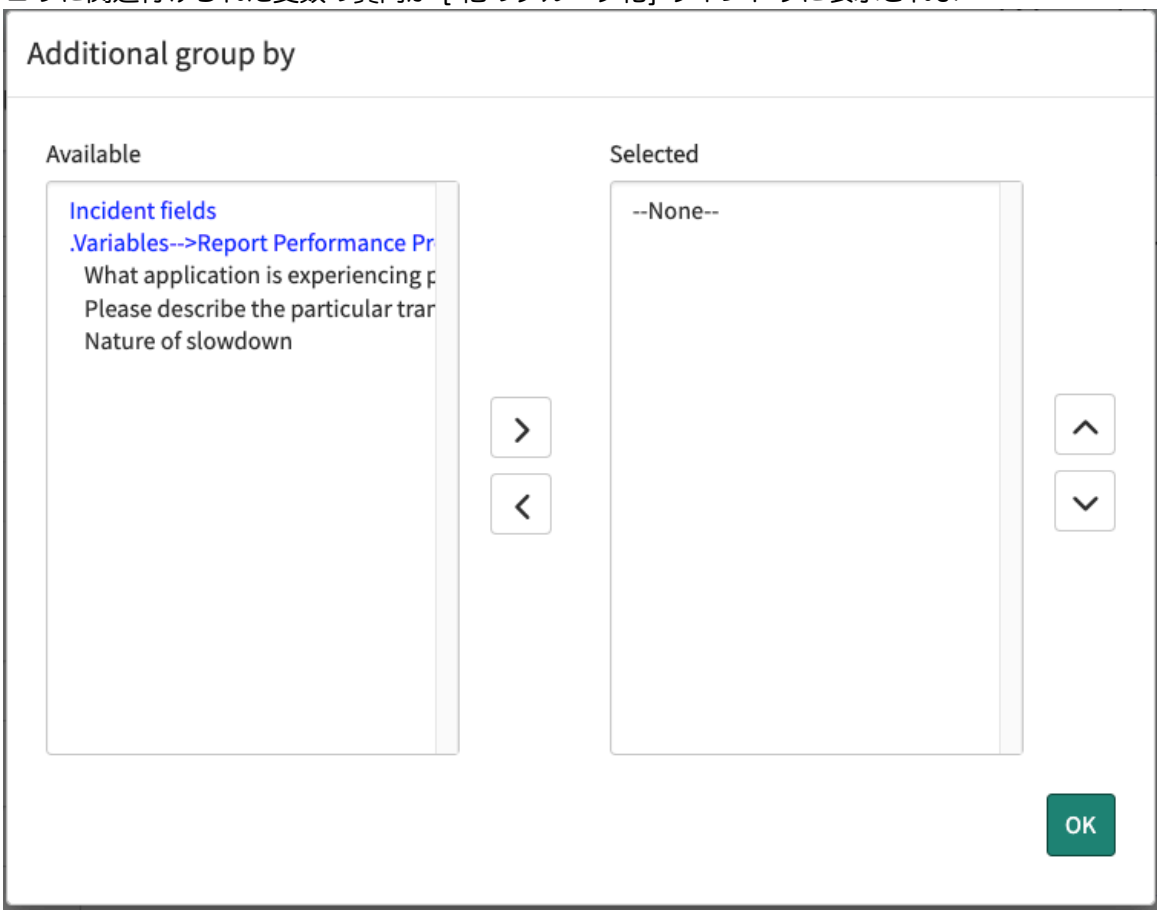


8. 質問カテゴリを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

カテゴリに関連付けられた変数の質問が [他のグループ化] ウィンドウに表示されま



す。

9. 目的の質問を 「選択済み」 列に追加し、「 OK」をクリックします。
10. レポート タイプに応じてレポートの設定を続けます。
「レポートの作成」を参照してください。

レポートの定義済みの色

レポートのタイプと構成に応じて、1 つの色、定義済みのカラー パレット、または定義済みのチャートの色を選択できます。3 つのオプションはすべて、カスタマイズ可能な個々の色のセットに基づいて構築されています。

レポート内のデータをグループ化または積み重ねていない場合は、1 つの色を選択します。データをスタックまたはグループ化する場合、色には主に 2 つの選択肢があります。

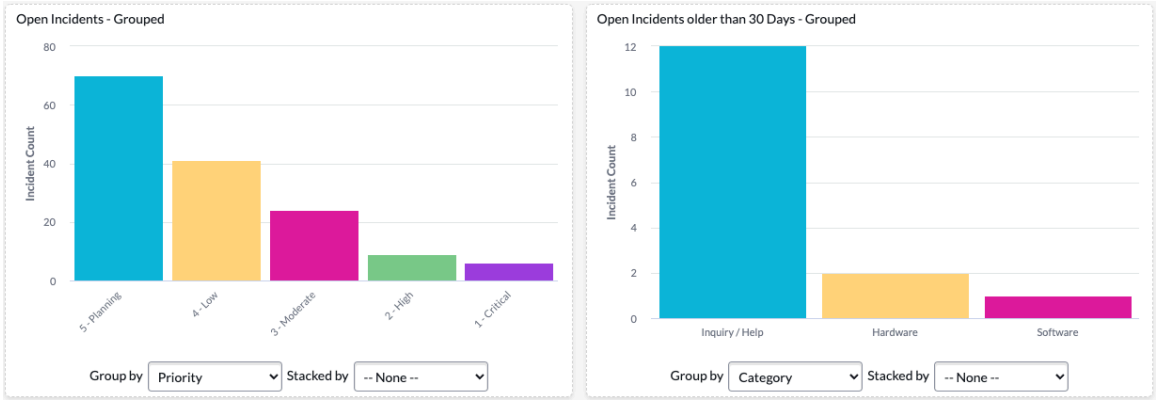
カラーパレット

チャート内の要素に適用される一連の色。色は、最大値から最小値の順に繰り返されます。レポートの色で順序を示す場合は、レポートのカラー パレットを使用します。同じパレットを使用するレポートは、表示しているデータに関係なく同じ色が使用されます。

次の例では、[優先度] と [カテゴリ] という異なるフィールドでグループ化されたインシデントに関する 2 つのレポートが表示されています。どちらのレポートもデフォルトのカラー パレットを使用し、どちらも同じ色で表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



チャートの色

グラフの色は、常に同じグループ化または積み重ね値に同じ色を適用します。異なるレポート内の異なるグループ化値および積み重ね値の色は異なります。たとえば、「優先度 > 1:重大」のような要素を常に同じ色にしたい場合は、チャートの色を使用します。

次の例では、同じフィールド [優先度] でグループ化されたインシデントに関する 2 つのレポートが表示されています。どちらのレポートもチャートの色を使用します。Priority の同じ値でも、順序は異なりますが、同じ色になります。



次の例では、レポートがさまざまなフィールドでグループ化され、チャートの色を使用しています。各要素に固有の色があるため、バーはさまざまな色で表示されます。



カラーパレットとチャートの色は、どちらも色定義 [sys_report_color] テーブルで定義された色を使用します。レポート管理者はさらに色を追加できます。

注:
カラーパレットもチャートの色もレポートに適していない場合は、16 進数のカラーコードのセットを入力できます。これらのコードは、定義された色とは無関係です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

カラーパレット

カラーパレットは、チャート内の要素に適用される一連の色で、最大値から最小値の順に並べられます。同じパレットを使用するすべてのレポートは、同じ色を使用します。

次のレポートでは、カラー パレットを使用できます。レポートデザイナーの [**Style**] タブでカラーパレットを選択します。

- 円グラフ
- [積み重ね基準] または [グループ] 値を持つ棒グラフと縦棒グラフ
- [積み重ね基準] または [グループ] 値を持つ線およびトレンド レポート

カラーパレットは、チャートのカラースキーム [pa_chart_color_scheme] テーブルで定義されます。レポート管理者には、このテーブルへの読み取りアクセス権があります。

ヒント:
またはNow Platformパフォーマンスアナリティクス管理者は、カスタムカラーパレットを作成できます。詳細については、「配色を作成する」を参照してください。

San Diego から始まるデフォルトのカラースキームでは、UX テーマプロパティ [sys_ux_theme_property] テーブルの定性的テーマ可能な色を使用した色定義が使用されます。これらの色を使用するには、Next Experience をアクティブ化する必要があります。そうしない場合は、色定義の代替色が使用されます。

Example: カラーパレット

次の例では、[優先度] と [カテゴリ] という異なるフィールドでグループ化されたインシデントに関する 2 つのレポートが表示されています。どちらのレポートもデフォルトのカラー パレットを使用し、どちらも同じ色で表示されます。



チャートの色

チャートの色は、レポートのグループ化または積み重ね値に一貫した色を割り当てます。値の順序に関係なく、色はレポート全体で同じままです。

チャートの色の仕組み

チャートの色を使用するレポートにデータ カテゴリが初めて表示されると、レコードがチャートの色 [sys_report_chart_color] テーブルに自動的に追加されます。次のフィールドは、チャートの色レコードのデータカテゴリを定義します。

- データソース
- 要素の積み重ねまたはグループ化

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 要素値
- アプリケーションスコープ

[チャートの色] レコードでも色を指定します。チャートの色レコードが自動的に作成されると、色は UI 14 色定義 [sys_report_color] レコードから割り当てられます。チャートの色を編集して、別の色定義または 16 進数のカラーコードを使用できます。チャートの色の編集の詳細については、「データカテゴリの色を定義する」セクションを参照してください。

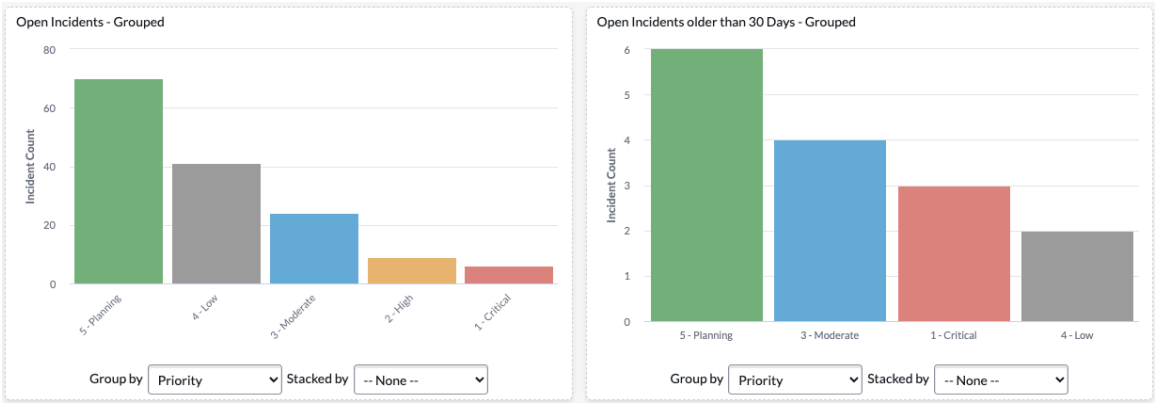
注:

- には ベースシステム 、事前定義されたチャートの色がいくつか含まれています。 プラットフォームアナリティクスソリューション より多くのチャートの色を指定できます。
- UI 14 の色定義では、UX テーマプロパティ [sys_ux_theme_property] テーブルの DataVis - 定性的テーマ可能色を使用します。 Next Experience これらの色を使用するには、アクティブ化する必要があります。そうしない場合は、色定義の代替色が使用されます。

チャートの色を使用し、同じデータ カテゴリを表示する他のレポートは、同じチャートの色のレコードを参照します。レポートは同じレコードを参照するため、同じデータ カテゴリを同じ色で表示します。たとえば、チャートの色を使用し、グローバル スコープの優先度 1 のインシデントを示す最初のレポートを作成するとします。このようなインシデントを色に関連付けるために、チャートの色レコードが自動的に作成されます。チャートの色を使用し、グローバル スコープの優先度 1 のインシデントを表示する他のすべてのレポートは、同じ色で表示されます。

Example: チャートの色

次の例では、同じフィールド [優先度] でグループ化されたインシデントに関する 2 つのレポートが表示されています。どちらのレポートもチャートの色を使用します。Priority の同じ値でも、順序は異なりますが、同じ色になります。



データカテゴリの色を定義する

重要な優先度のインシデントなど、レポートのデータカテゴリのチャートの色を定義することができます。事前定義された色を選択するか、16 進コードを指定できます。

始める前に

必要なロール:report_admin

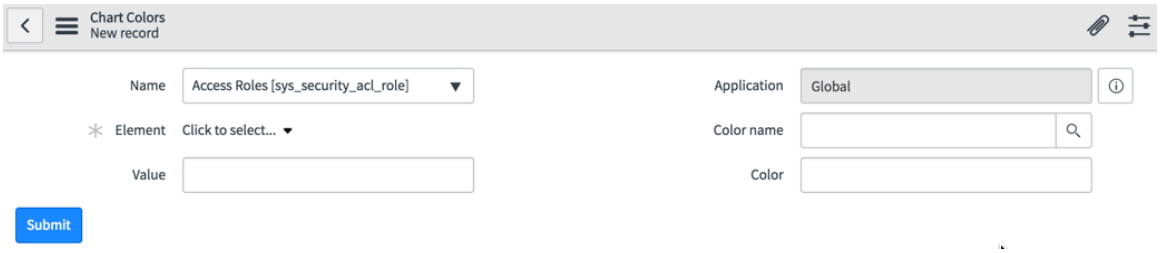
手順

1. 移動先 すべて > レポート > 管理 > チャートの色.
2. [新規] をクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

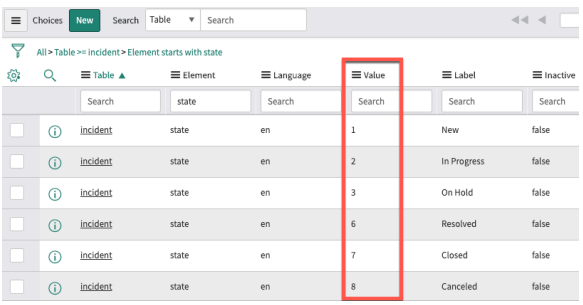
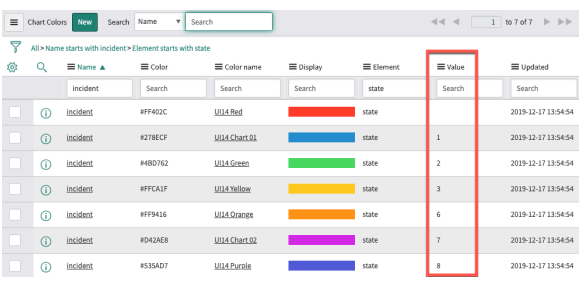
自動翻訳

新しいチャートの色のフォーム



3. 必要に応じてフィールドに入力します。

新しいチャートの色のフォーム

名前	説明
名前	レポートに使用されるテーブル。 **注:** このリストには、チャートの色のレコード と同じスコープ内にある テーブルとデータベースビューのみが表示されます。
要素	選択したテーブルに固有の列名。
値	指定された色が適用される要素の値。値の大文字と小文字は区別されます。 参照タイプ フィールドである要素の場合、Value は、指定した色が適用される値のsys_idです。 次の例は、Choice [sys_choice] レコードの state 要素の値が Chart Color [sys_report_chart_color] レコードの state 要素の値とどのように一致するかを示しています。   レコードのsys_idを取得するさまざまな方法を理解するには、「一意のレコード識別子 (sys_id)」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
色名	色定義 [sys_report_color] テーブルから選択された色。色定義を選択すると、[色] フィールドで指定された色が上書きされます。カラー定義の詳細については、を参照してください 分析用のシステムの色の定義。
色	[色定義] テーブルで定義されていない色を指定するために使用される 16 進値。 注: [色名] フィールドに値が含まれる場合、[色] フィールドは無視されます。

4. [送信] をクリックします。

タスクの結果
[名前] フィールドのテーブルのために [要素] フィールドで選択された値が、指定された色で表示されます。

分析用のシステムの色の定義

レポートや パフォーマンスアナリティクス ウィジェットで使用する色定義を作成します。

始める前に
必要なロール:report_admin

このタスクについて
次のビジュアライゼーションでは、色定義 [sys_report_color] テーブルで定義した色を使用しています。

- 単色のレポート
- カラー パレットを使用したレポート
- チャートの色を使用したレポート
- パフォーマンスアナリティクス ブレークダウン ウィジェット
- パフォーマンスアナリティクス ウィジェットインジケーター付きの時系列ウィジェット
- 単一色、カラーパレット、または固定要素の色 (チャートの色) を使用するデータ可視化Next Experience コンポーネント
- パフォーマンスアナリティクス ターゲットのカラースキーム

カラー パレットを使用するレポートとビジュアライゼーション、およびウィジェットでは パフォーマンスアナリティクス 、これらの色はチャートのカラー スキームで使用されます。チャートの色は、色定義を直接参照します。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 管理 > 色定義.
2. [新規] をクリックします。
3. フィールドに入力します。

新しい色の定義フォーム

名前	説明
名前	新しい色の一意の名前を入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

名前	説明
色	「#003366」のように、16 進数の値を入力します。
テーマ可能な色	テーマの適用時に使用する、UX テーマプロパティ [sys_ux_theme_property] テーブルの代替色を適用します。UX テーマプロパティテーブルの色は、UX テーマ [sys_ux_theme] テーブルのどのテーマバリアントがインスタンスに適用されているかに応じて異なる値になる場合があります。テーマの詳細については、以下を参照してください。 のテーマ Next Experience . テーマをオンにすると、データビジュアル化コンポーネントによって作成されたクラシック レポートやビジュアル化にこの色が適用されます。テーマ可能な色が定義されていない場合、システムは [色] フィールドで定義された色を使用します。 テーマがオフになっている場合、データビジュアル化コンポーネントによって作成されたビジュアライゼーションにのみこの色が適用されます。[色] フィールドで定義された色がクラシック レポートに適用され、[テーマ可能な色] フィールドは無視されます。

4. [送信] をクリックします。

スコープ レポート

現在のスコープとは異なるアプリケーション スコープからレポートを編集する場合、元のレポートを変更するアクションは実行できません。

元のレポートを変更するには、現在のアプリケーション スコープをレポートのスコープに変更し、それからレポートを変更します。

レポート デザイナーで別のアプリケーション スコープからレポートを開いた後、[保存] メニューから次のアクションを実行できます。更新などの他のアクションは実行できません。

- 挿入
- 挿入と維持
- スケジュール
- ダッシュボードに追加
- PDF にエクスポート
- レポート履歴

既存のレポートに基づいて新しいレポートを作成できますが、[挿入] または [挿入と維持] オプションを使用する現在のアプリケーション スコープ内に限られます。

関連情報

アプリケーションスコープ

レポートの値の書式設定

ほとんどのレポートでは、レポートを公開するときの数値の表示方法を構成できます。

サポートされている値の形式

値の書式設定をサポートするビジュアライゼーション タイプは限られています。

書式設定は集計値に適用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

値の書式設定の種類

単位形式

時間フィールドの形式を d/h/m/s または日/時/分/秒として表示します。

最大/最小期間単位

表示する最大単位または最小単位を、日、時、分、秒から選択します。

単位が 1 分を超える場合は秒を非表示

期間の値が 1 分を超える場合、秒の表示を削除します。最小期間単位として [秒] を選択した場合にのみ使用できます。

小数点以下桁数

表示する小数点以下の桁数 (0 ～ 4 桁)。

> **注:**
> 通貨フィールドでは小数点以下桁数はサポートされていません。

丸め

値が 1 分を超える場合は、数値を値に近づけながら丸めて単純化します。「丸めオプション」を参照してください。

3 桁ごとの区切り文字を使用

1000 以上の値はカンマまたはピリオドで区切ります。

略語を有効化

1 文字で 1000 以上の値を表示します。

> **注:**
> 通貨、価格、または FX 通貨の値の省略形はサポートされていません。

ツールヒントの値を非表示

丸められていない、省略されていない値はツールヒントに表示されません。

丸めオプション

値が 1 分を超える場合、丸めオプションによって数値は単純化されますが、数値はその値に近づけられます。次の丸めオプションから選択します。

- Up - 正の場合は次に大きい整数、負の場合は次に小さい整数。例:元の値の場合:
  - 1.1 は値 2 を返します。
  - 1.6 は値 2 を返します。
  - -1.6 は値 -2 を返します。
- 下 - 正の場合は次に小さい整数、負の場合は次に大きい整数。例:元の値の場合:
  - 1.1 は値 1 を返します。
  - 1.6 は値 1 を返します。
  - -1.6 は値 -1 を返します。
- 天井 - 次に大きい整数に、正に向かって。例:元の値の場合:
  - 1.1 は値 2 を返します。
  - 1.6 は値 2 を返します。
  - -1.6 は値 -1 を返します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- Floor - 負に向かって、次に小さい整数。例:元の値の場合:
  - 1.1 は値 1 を返します。
  - 1.6 は値 1 を返します。
  - -1.6 は値 -2 を返します。
- 半分以上 - 最も近い隣接する整数まで。両方の隣接が等距離にある場合は、次に大きい整数に丸められます。例:元の値の場合:
  - 1.1 は値 1 を返します。
  - 1.6 は値 2 を返します。
  - 2.5 は値 3 を返します。
- 半分下 - 最も近い隣接する整数まで。両方の隣接が等距離にある場合は、次に小さい整数に丸められます。例:元の値の場合:
  - 1.1 は値 1 を返します。
  - 1.6 は値 2 を返します。
  - 2.5 は値 2 を返します。
- 半分偶数 - 最も近い整数まで。両方の隣接が等距離にある場合は、最も近い偶数に丸められます。例:元の値の場合:
  - 1.1 は値 1 を返します。
  - 1.6 は値 2 を返します。
  - -2.5 は値 -2 を返します。

丸めオプションの概要:

指定された丸めモードで入力を **1** 桁に丸めた結果

入力番号	稼働中	ダウン	天井	フロア	半分以上切り上げ	半分以下切り捨て	最近接偶数丸め
5.5	6	5	6	5	6	5	6
2.5	3	2	3	2	3	2	2
1.6	2	1	2	1	2	2	2
1.1	2	1	2	1	1	1	1
1.0	1	1	1	1	1	1	1
-1.0	-1	-1	-1	-1	-1	-1	-1
-1.1	-2	-1	-1	-2	-1	-1	-1
-1.6	-2	-1	-1	-2	-2	-2	-2
-2.5	-3	-2	-2	-3	-3	-2	-2
-5.5	tinyint	-5	-5	tinyint	tinyint	-5	tinyint

レポートで書式設定された値を構成する

既存のレポートでは、レポート デザイナーの [設定] タブで書式設定された値を構成できます。

始める前に

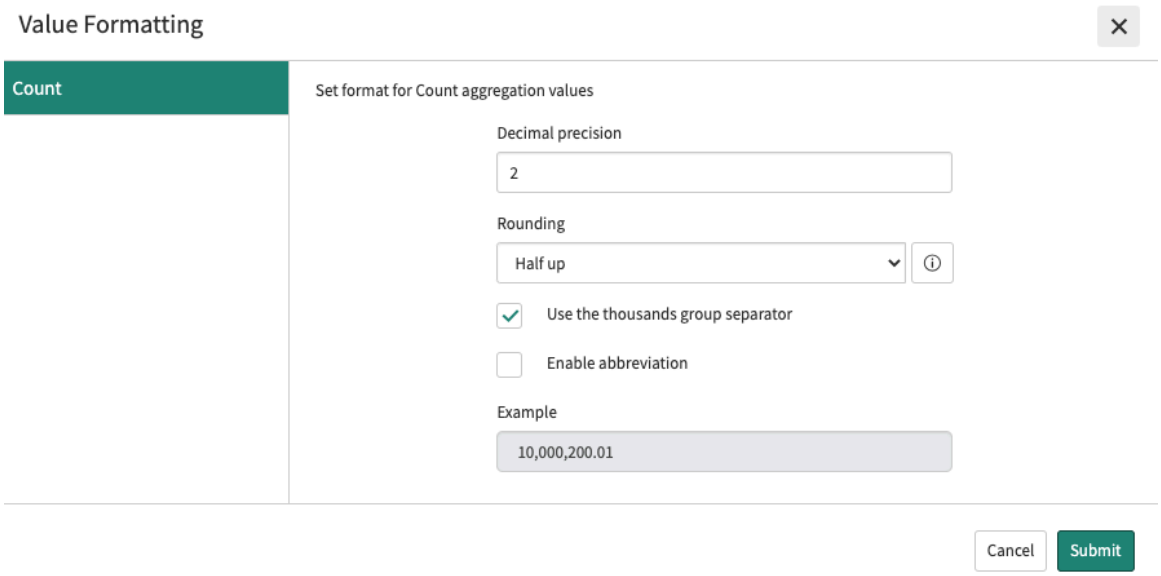
必要なロール:itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 表示/実行.
2. 書式設定する値を持つレポートを選択します。
3. [構成] タブを選択します。
4. [Set Value Formatting] をクリックします。
5. [値の書式設定] ウィンドウで、期間、小数点以下桁数、丸めオプション、単位区切り、および省略形を構成します。
   カウント集計を含む単一スコア レポートの値の書式設定オプション:



レポートの管理

レポート管理者が通常実行する作業、操作するオブジェクト、および適用されるロールとルールについて学習します。

レポート、レポート ロール、およびレポート ソースを管理するには、次の場所に移動します。 レポート > アドミニストレーション をクリックし、管理する領域を選択します。

レポートがシステムパフォーマンスに影響を与えずに意図した値を確実に提供するための管理プラクティスを提供します。

レポート ロール

注:

- アプリケーションナビゲーター (左側のナビゲーションペイン) にレポートモジュールを表示するには、ユーザーは report_user ロールを持っている必要があります。
- 任意のレポート ロールまたは itil ロールを持つユーザーは、表示可能なすべてのレポートに対して、 挿入、挿入 と維持、 ダッシュボードに追加、および **PDF** にエクスポートのレポート オプションにアクセスできます。
- 以下の表では、「 管理する」という言葉は、[更新]、[削除]、および [設定をエクスポート] のレポート オプションへのアクセスを示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポート ロール

ロールのタイトル [名前]	説明
ロールなし	共有済みのレポートを表示できます。
ACL ベース	テーブルとフィールドのreport_viewアクセス制御により、レポートの読み取り、編集、および作成の機能が制限されます。管理者は他の ACL ルールを作成できます。レポートの対象であるデータへのアクセス権を付与するロールが必要です。詳細については、「ACL ルールを使用してレポートの作成を制限する」と「report_view のアクセス制御」を参照してください。
レポートユーザー [report_user]、itil	レポートを作成でき、共有済みのレポートを表示できます。すでに共有されているレポートを共有、編集、または削除することはできません。
レポート スケジューラー [report_scheduler]	自分が管理できないレポートを含む、自分が表示できるすべてのレポートについて、それらのメール送信をスケジュール設定できます。このロールを持つユーザーには、レポートの作成、編集、共有の権限を付与する別のロールも必要です。
グループ レポート ユーザー [report_group]	自分がメンバーであるグループ ([グループ] に表示) と共有されているレポートを管理および共有できます。
グローバル レポート ユーザー [report_global]	全員と共有しているレポート ([グローバル] に表示) を管理できます。
レポート管理者 [report_admin]	すべてのレポートの管理、共有、公開、スケジュール設定を実行できます。アクセス権を付与 レポート > 管理 すべてのレポート関連オブジェクトを管理します。report_admin ロールは、他のすべてのレポート ロールを継承します。
レポート記述管理者 [report_description_admin]	レポートのテーブルとフィールドの説明を読んだり更新したりできます。

関連情報

パフォーマンスアナリティクス ロール

ダッシュボード権限

ACL ルールを使用してレポートの作成を制限する

アクセス制御リスト ルールを作成して、テーブル、データ ソース、またはデータベース ビューでレポートを作成できるユーザーを制限します。

始める前に

必要なロール：security_admin

注:
特定のテーブルの report_on ACL に加えて、[sys_report] テーブルの書き込み ACL は、すべてのレポートの書き込みアクセスを制御します。この ACL が原因で現在のレポートを保存できない場合、レポート デザイナーの [保存] ボタンは無効になります。たとえば、別のユーザーと共有しているレポートを表示する場合、セキュリティ設定が正しい場合は、 保存 > 挿入 をクリックして、レポートの編集可能なコピーを保存します。

手順

1. 移動先 システムセキュリティ > アクセス制御 **(ACL)**.
2. 次の情報を使用してアクセス制御レコードを追加します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

オプション	説明
タイプ	レコード
操作	report_on
[名前] (テーブル)	<select the table name>

3. ユーザーがテーブルのレポートを作成できるかどうかを決めるルールを定義します。
ユーザーがテーブルに対する report_on アクセス権を持っていない場合、ユーザーがレポートを作成するときにそのテーブルは [テーブル] フィールドに表示されません。ユーザーが report_on ACL に合格していないテーブルに基づくデータ ソースは、レポート デザイナーの [データ ソース] リストには表示されません。1 人または複数のユーザーに対して [レポート ソース] にデータ ソースが表示されないように制限するには、それらのユーザーを除外する新しい読み取り ACL を [sys_report_source] テーブルに作成します。

   注:

   - report_on ACL の制約のためにレポートを作成できない場合でも、ユーザーはテーブルでレポートを表示および実行できます。
   - デフォルトでは、システム テーブルではレポートを作成できません。システム テーブルに対するレポートを許可するために、管理者はプロパティを設定できます *glide.ui.permitted_tables* 。詳細については、「システム テーブルのレポート」を参照してください。
   - ACL report_on 操作は、ターゲットテーブルでレポートする権限を付与します。
   - データベース ビューは独自の ACL を持ちます。ユーザーがデータベース ビュー内のすべてのテーブルに対して report_on 権限を持っている場合でも、データベース ビューに関するレポートを作成するには、データベース ビューに対するreport_on権限が必要です。「データベース・ビュー」を参照してください。

関連情報

ACL ルールを作成する

アクセス制御ルール

report_view のアクセス制御

report_view 操作はレポートへのアクセスを制限するレコードタイプのアクセス制御リスト (ACL) です。必要なロールのいずれかを持つユーザーのみが制限付きリソースを含むレポートを表示できます。

report_view のアクセス制御リスト (ACL) には、report_view テーブル ACL と report_view フィールド ACL の 2 種類があります。report_view テーブル ACL では、ユーザーは、ACL で指定されたテーブルに基づいてレポート内容を表示できないようになります。report_view フィールド ACL では、ユーザーは、ACL で指定されたフィールドで使用するレポートをグループ、行、列、または集計別に表示できなくなります。

たとえば、report_view フィールド ACL は report_admin ロールに HR テーブルの給与フィールドへの表示アクセス権を付与します。itil または report_user ロールを持つユーザーが給与フィールドでグループ化されたレポートにアクセスすると、「report_view フィールド ACL に基づいて、このコンテンツへのアクセスが拒否されました」というメッセージが表示されます。

report_view 操作のデザインの検討

独自の report_view 操作のアクセス制御を作成する場合は、次のガイドラインに従ってください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

必要なロールによるレポートへのアクセス制限

report_view 操作は必要なロールに基づくアクセス制限のみをサポートしています。report_view アクセス制御はスクリプトまたは詳細条件をサポートしていません。

読み取り操作によるリストレポートへのアクセス制限

リストレポートは通常のレコードアクセス制御を使用して、テーブルまたはフィールドのデータにアクセスできるユーザーを決定します。report_view アクセス制御では、ユーザーが読み取りアクセス権を持つリストを非表示にすることはできません。リストおよびフォームのレコードデータへのアクセスを制限するには、読み取り操作アクセス制御を作成します。レコードのアクセス制御の詳細については、「アクセス制御リストのルール」を参照してください。

関連情報

ACL ルールのタイプ

ACL ルールの作成

レポート実行のセキュリティ

レポートが実行されると、レポートの基になるテーブルとテーブルフィールドでreport_viewアクセス制御リスト (ACL) が評価されます。report_view ACL が存在しない場合は、テーブルレベルの読み取り ACL ロールにフォールバックチェックがあります。

フォールバック読み取り ACL は、システム プロパティ *`glide.report.report_view.read_acl`*によって制御されます。

このプロパティには 3 つの値があります。リリースの Utah デフォルト値は [強制] です。

ignore

読み取り ACL に対する評価は行われず、すべてのユーザーは、そのテーブルまたはテーブルフィールドにreport_view ACL がなかったかのようにレポートを表示できます。

enforce

そのテーブルまたはテーブルフィールドのreport_view ACL が存在しない場合、評価は読み取り ACL に対して実行されます。ユーザーは、読み取り ACL に合格した場合にのみレポートを表示できます。

ログ

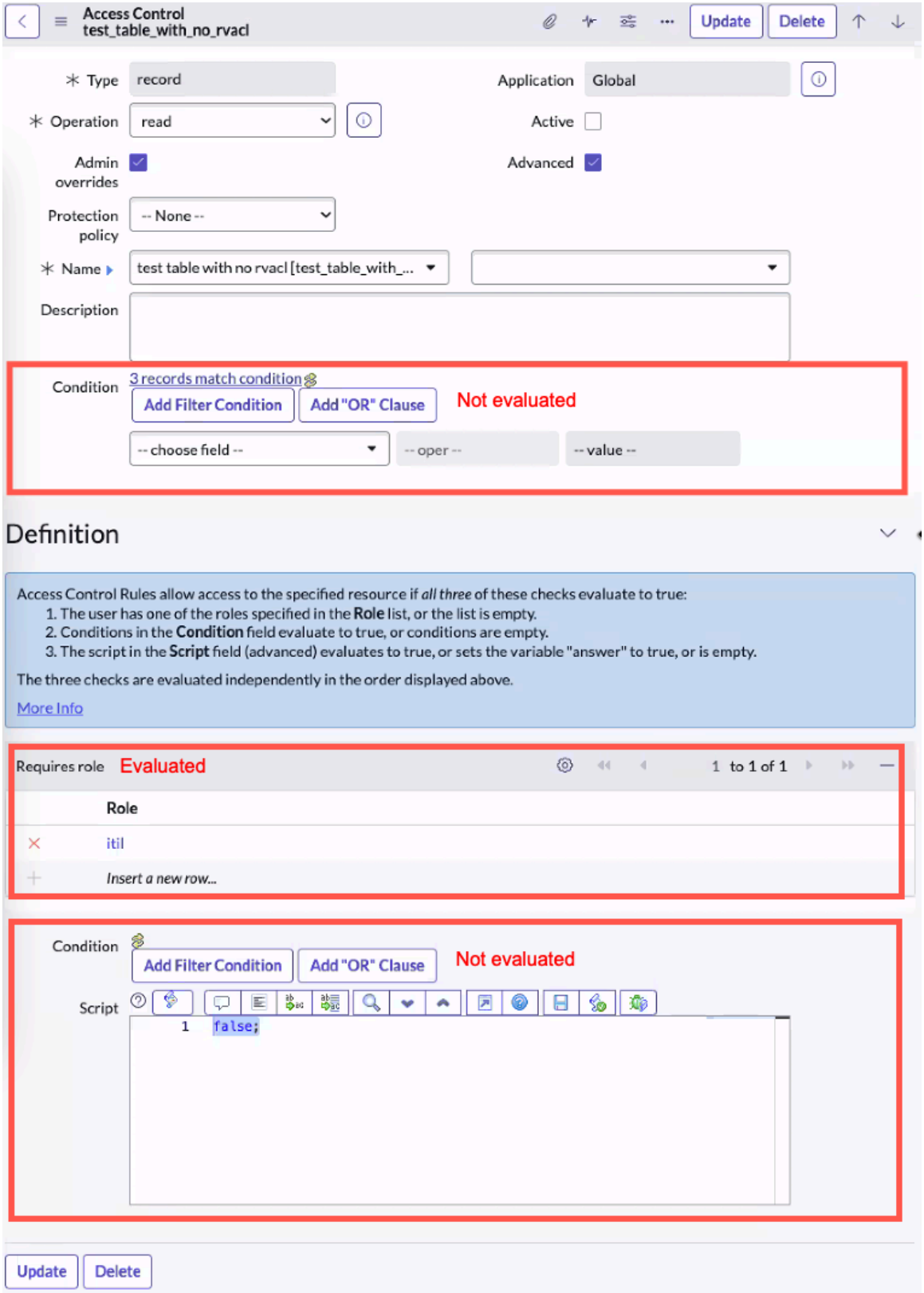
そのテーブルまたはテーブルフィールドにreport_view ACL がない場合、読み取り ACL チェックは適用されませんが、管理者は、セキュリティチェックが適用された場合にブロックされるユーザーをログで確認できます。

読み取り ACL フォールバックにより、レポートを表示するときに追加のレベルの保護が提供されるため、システムプロパティを無視またはログに変更することはお勧めしません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
フォールバックテーブルレベルの読み取り ACL チェックはロールにのみ適用され、スクリプトや条件には適用されません。テーブルレベルの読み取り ACL にロールとスクリプト、ロールと条件、またはロール、スクリプト、および条件がある場合は、ロールのみが評価されます。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポート用アクセス制御リスト (ACL) アセスメント

ServiceNow® レポート用アクセス制御リスト (ACL) アセスメントを使用して、report_view ACL (アクセス制御リスト) でブロックされるレポートを特定します。

アプリケーションコンポーネント

レポート ACL ダッシュボードを使用して、ユーザーが表示できないレポートを特定します。所有者が ACL の制約を満たしていない場合、ACL はレポート作成者を自身のレポートからブロックすることもできます。すべての ITIL ユーザーと共有されるレポートを考えてみます。レポートの基になるテーブルまたはテーブル列では、admin ロールを持つユーザーへのアクセスが制限されます。この場合、itil ロールを持つほとんどのユーザーはレポートを表示できません。アプリケーションは、ユーザーとレポートの両方を識別します。アセスメントの情報を使用して、ユーザーとレポートを無視し、後で対処することができます。

スキャンでは、インスタンスの report_view ACL に対してすべてのレポートが評価されます。また、report_view ACL のないテーブルを識別し、どのユーザーがテーブルの READ ACL に合格しないか評価します。その後、ACL アセスメントにより、両方のカテゴリのユーザー、つまり report_view ACL に合格しないユーザーと、report_view ACL のないレポートの READ ACL に合格しないユーザーに対処できるようになります。

アプリケーションの外部では、レポートまたは可視化デザイナーで共有を変更したり、ユーザー、グループ、およびロールのアクセス権を変更したりすることができます。

アプリケーションには、次の 3 つのコンポーネントがあります。

レポート ACL ダッシュボード
: ダッシュボード内からスキャンを実行します。

影響を受けるレポートのリスト
: 影響を受けるすべてのレポートをプラットフォームリストで表示します。プラットフォームフィルタリング機能を使用して、ここでレポートを修正できます。

無視されたレポートおよびユーザーのリスト
: 次回レポートをスキャンするときに表示されるように、このリストからユーザーとレポートを削除します。

注:
ServiceNow プラットフォームの一部のテーブルには、デフォルトでアクセス制御リストが作成されています。

レポート用 ACL アセスメントのインストール

レポートの ACL アセスメントを使用すると、レポートにアクセスできないユーザーを特定し、必要に応じてアクセスを有効にすることができます。

始める前に
必要なロール:admin および security_admin

このタスクについて
レポートの ACL アセスメントはストアアプリです。ストアアプリのインストールの詳細については、「ServiceNow Store アプリケーションのインストール」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. 検索バーに「 ACL assessment (ACL アセスメント)」と入力します。
   名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Store から要求する必要がある場合があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. リストからバージョンを選択し、[インストール] を選択します。

   表示されるインストールダイアログボックスには、アプリケーションと併せてインストールされている依存関係が一覧表示されます。

4. プロンプトが表示された場合は、ServiceNow Store へのリンクに従って、依存関係のエンタイトルメントを取得します。
5. リストからバージョンを選択し、[インストール] を選択します。

   表示されるインストールダイアログボックスには、アプリケーションと併せてインストールされている依存関係が一覧表示されます。

レポートビューアセスメントスキャンの実行

既存のアクセス制御リスト (ACL) に基づいてユーザーが表示できないレポートがないか、インスタンスをスキャンします。

始める前に

必要なロール:admin および security_admin

このタスクについて

アセスメントスキャンは、影響を受けるレポートのリストを返します。report_view ACL のないテーブルに基づくレポートの場合、ユーザーが report_view ACL またはブロッキング READ ACL に基づいて表示できないレポートを表示すると、レポートが影響を受けます。

アセスメントスキャンにかかる時間は、インスタンス内のレコード数によって異なります。アセスメントを夜間に実行することを検討してください。また、アセスメントが適用されるレポートをフィルタリングすることも検討してください。詳細については、「レポートアセスメントスキャンのフィルタリング」を参照してください。

手順

1. ロールを security_admin に昇格させます。
   詳細については、「 特権ロールへの昇格 」を参照してください。
2. 移動先 すべて > レポート > レポート用アクセス制御リスト **(ACL)** アセスメント > レポート **ACL** ダッシュボード.
3. [評価スキャンの実行] を選択します。
   レポートが多いインスタンスでは、アセスメントスキャンに時間がかかることがあります。スキャンの進行中に部分的な結果を表示するか、スキャンの完了時に [結果の表示] を選択するかを選択できます。スキャンが完了すると、アセスメントを実行したユーザーと、アセスメントの開始時刻と終了時刻がメッセージに表示されます。

   > **注:**
   > スキャンでは、影響を受ける各レポートの実行回数が計算されます。プロパティ *`sn_report_acl.run_scan_based_on_report_execution_only`* が false の場合、[影響を受けるレポート] リストの [合計実行数] 列は常に空であり、*`process_reports_executed_within_X_days_ago`* 無視されます。

   初回スキャンでは次の情報が表示されます。

   - スキャンを実行したユーザーとスキャンの開始時刻と終了時刻
   - 影響を受けるレポートの数
   - 影響を受けるインスタンスのレポートの割合
   - report_viewアクセス制御リストを持つテーブルの数

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

4. オプション: 影響を受けるレポートのリストが空の場合は、 **report_executions.list** に移動します。

   a. このテーブルが空の場合、ACL の問題はありません。

   b. **report_executions.list** にエントリーがある場合は、システムプロパティ*sn_report_acl.run_scan_based_on_report_execution_only*を false に変更して、スキャンを再実行してください。
   今回は、スキャンには、実行されたレポートだけでなく、影響を受けるすべてのレポートが表示されます。多くの場合、2 回目のスキャンの実行には時間がかかります。

5. 移動先 すべて > レポート > レポート用アクセス制御リスト **(ACL)** アセスメント > 影響を受けるレポートのリスト 影響を受ける レポートのリストを表示します。
   [影響を受けるレポート] リストには、ACL の影響を受けるレポートが表示されます。

影響を受けるレポートのリストの表示

レポートの ACL アセスメントによって特定された、影響を受けるすべてのレポートのリストを表示できます。このリストを使用して、影響を受けるレポートとユーザーを修復します。

始める前に
必要なロール:admin および security_admin

手順
1. 移動先 すべて > レポート > レポート用アクセス制御リスト **(ACL)** アセスメント > 影響を受けるレポートのリスト.
   リストレポートには、影響を受けるレポートが表示されます。
2. の説明に従って、影響を受けるレポートとユーザに対処します レポート ACL アセスメントの管理。

レポート **ACL** アセスメントの管理

レポート ACL (アクセス制御リスト) アセスメントスキャンを実行すると、影響を受けるレポートのリストが結果として表示されます。アセスメントには、レポート作成者を含む、レポートを表示したユーザーの詳細が表示されます。アセスメントには、レポートが制限されているロールと、それらのロールを含むグループも含まれます。

始める前に
必要なロール:admin および security_admin

このタスクについて
テーブルレベルの読み取り ACL によってブロックされているレポートの場合、アセスメントにはブロッキング ACL を含むテーブルとブロックされているユーザーが表示されます。アセスメント アプリケーションには、それ以上の管理ツールは用意されていません。report_view ACL または読み取り ACL がないためにブロックされたレポートの場合、レポートは影響を受けるものとしてマークされますが、影響を受けるユーザーは表示されません。

> **重要:**
> ブロッキングテーブルのアクセス制御リスト (ACL) とブロッキング列の ACL に関連付けられたロールは、sys_security_acl_roleテーブルから取得されます。このテーブルにロールレコードがない ACL は、レポートビュー ACL リストにも、影響を受けるテーブル、列、および読み取り ACL のリストにも表示されません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

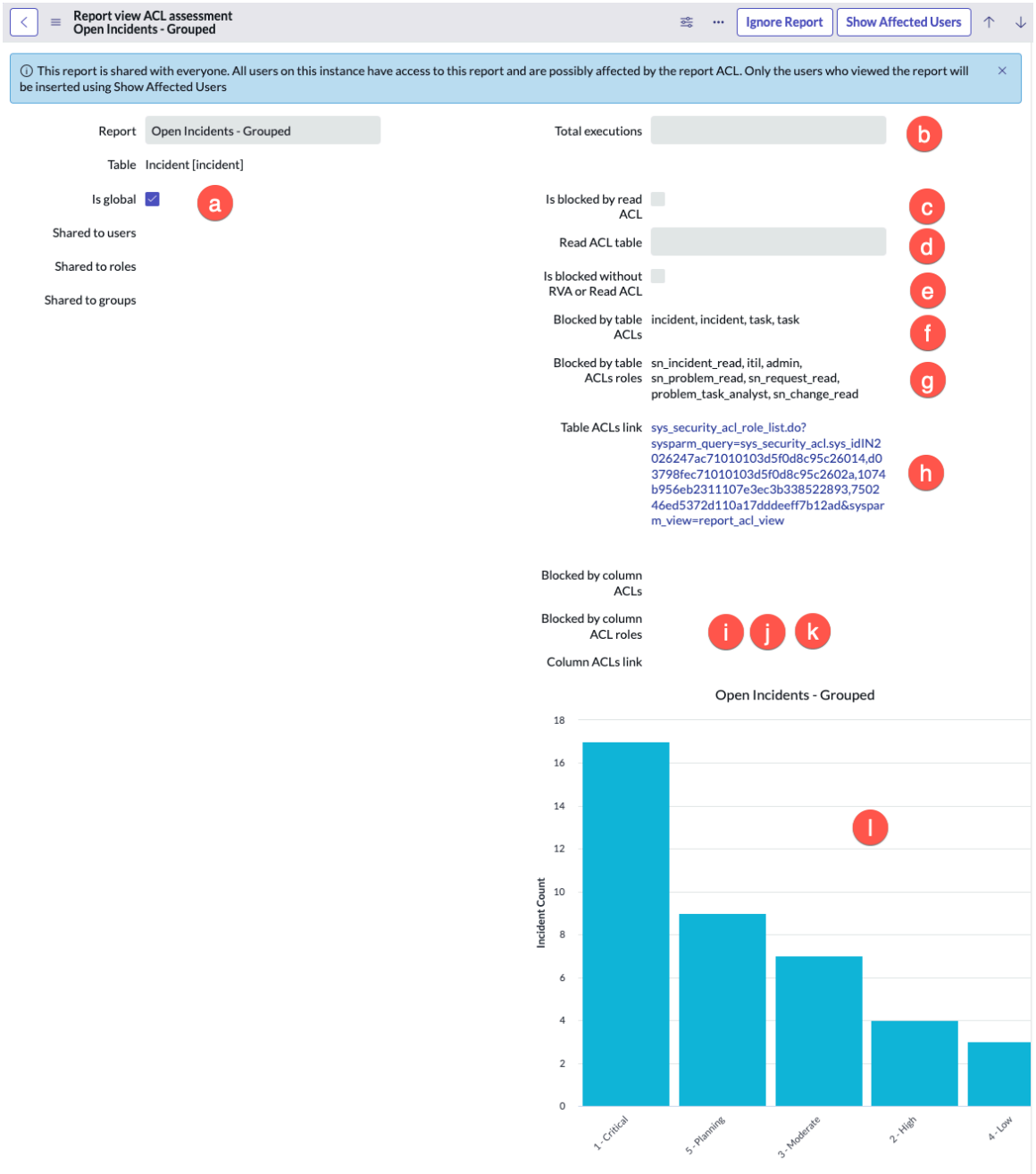
1. 移動先 すべて > レポート > レポート用アクセス制御リスト **(ACL)** アセスメント > 影響を受けるレポートのリスト.
2. 対応するレポートの横にある情報ボタン ( ) を選択し、[レコードを開く] を選択してレポートに関連付けられているオプションを表示します。
   この結果には、次の情報が表示されます。
   a. レポート所有者が属し、レポートを共有しているユーザー、ロール、およびグループ。[グローバル] フィールドをオンにすると、レポートはすべてのユーザーと共有されます。それ以外の場合は、[ユーザーと共有]、[ロールと共有]、または [グループと共有] (あるいはその両方) が選択されます。
   b. ユーザーがレポートを表示した回数。

      プロパティ *run_scan_based_on_report_execution_only* が false の場合、このフィールドは空です。

   c. レポートの基になっているテーブルに report_view ACL がないものの、読み取り ACL がアクセスをブロックする場合は、[読み取り **ACL** によってブロック] フィールドが選択されます。
   d. レポートに適用される読み取り ACL を含むテーブル。
   e. レポートが ACL 以外の理由でブロックされた場合は、[**RVA** なしでブロック済み] または [読み取り **ACL**] フィールドが選択されます。
   f. レポートに適用されるテーブル ACL (およびテーブルのすべての列に適用される列 ACL)
   g. ブロッキングテーブル ACL に関連付けられたロール
   h. 関連するブロッキングテーブル ACL へのリンク
   i. レポートに適用される列 ACL
   j. ブロッキング列の ACL に関連付けられているロール
   k. 関連するブロッキング列 ACL へのリンク
   l. レポートのリアルタイム表示

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

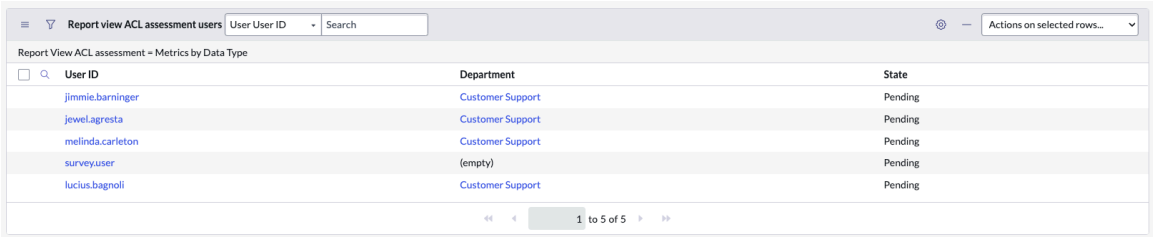


3. オプション: 今後のアセスメントからこのレポートを削除するには、[レポートを無視] を選択します。
   これらのレポートを後で確認するには、を参照してください 無視されたレポートの再評価。
4. 「 影響を受けるユーザーを表示 」を選択し、「 結果の表示」を選択します。
   影響を受ける最初の数人のユーザーは、レポートアセスメントの下の関連リストに表示されます。影響を受けるユーザーは、レポート所有者がレポートを共有しているが、report_view ACL に基づいてレポートを表示できないユーザーです。

   表示される影響を受けるユーザーのデフォルトの人数は 5 人です。さらに表示するには、プロパティ *sn_report_acl.com.par_report_acl_assessment.max_affected_users*を設定します。詳細については、「レポートアセスメントスキャンのフィルタリング」を参照してください。

自動翻訳

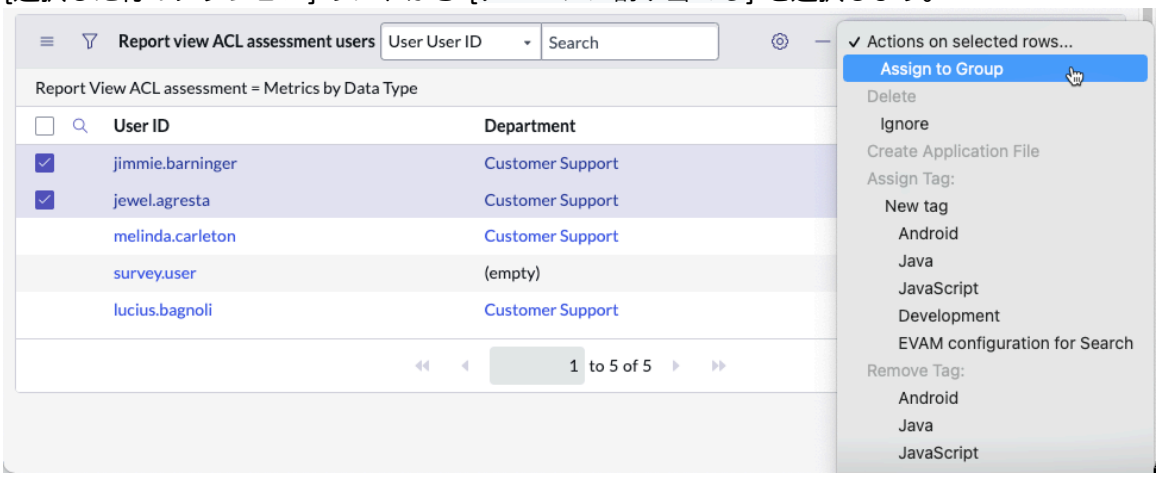
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



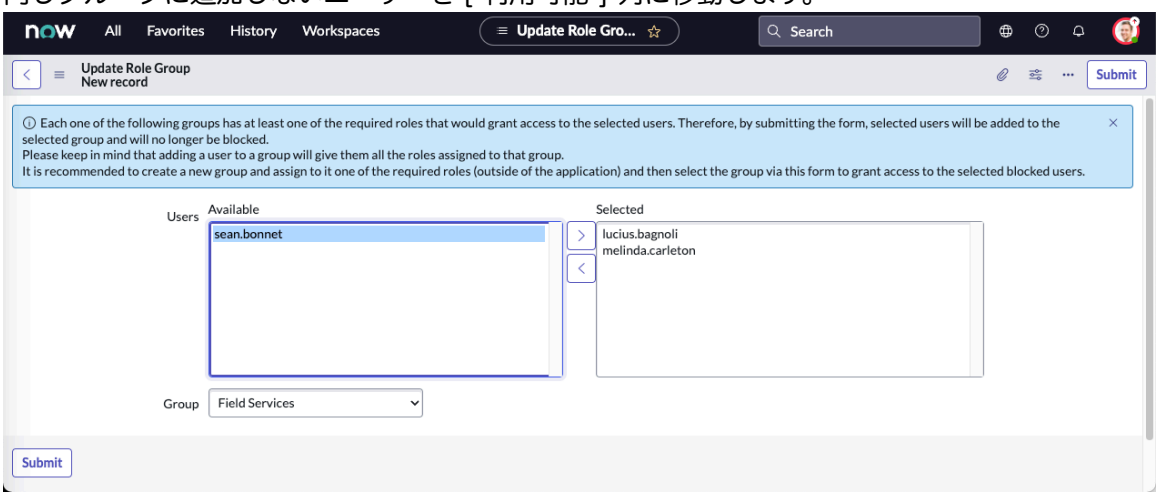
5. オプション: 影響を受けるユーザーを 1 人以上選択し、 選択した行のアクション > 無視 をクリックして、レポートへのユーザーのアクセス権を変更せずに残します。
   選択したユーザーは引き続きレポートを表示できませんが、次回アセスメントスキャンを実行するときに名前は表示されません。
6. ユーザーをグループに追加します。

   a. 影響を受けるユーザーを 1 人以上選択します。

   b. [選択した行のアクション] リストから [グループに割り当てる] を選択します。



   c. 選択したユーザーを追加するグループとロール (利用可能な場合) を選択し、[送信] を選択します。
   同じグループに追加しないユーザーを [利用可能] 列に移動します。



   d. 少なくとも 1 つのブロッキングロールを持つグループがなければ、適切なグループを選択し、ブロッキングロールの 1 つを追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユーザーに適したグループがない場合は、グループを作成し、アプリケーションの外部で必要なロールの 1 つをそのグループにアサインします。次に、アプリケーション内で、選択したブロックされたユーザーにアクセス権を付与します。グループの作成の詳細については、「ユーザーグループの作成」を参照してください。

e. [送信] を選択します。

タスクの結果

[影響を受けるユーザー] リストで、アサインされているユーザーのステータスが [処理済み] に変わります。次回このリストを表示すると、これらのアサインされたユーザーはリストに表示されなくなります。

関連情報

グループへのロールのアサイン

拡張フィールドに ACL を使用してレポートを管理する

システムプロパティを追加して、ドット連結フィールドでreport_view ACL の影響を受けるレポートを識別します。

始める前に

必要なロール:admin および security_admin

手順

1. システムプロパティ *sn_report_acl.com.par_report_acl_assessment.collect_dotwalk* を作成し、 true に設定します。
   システムのプロパティの作成については、「システムのプロパティを追加する」を参照してください。
2. レポートビューアセスメントスキャンの実行。

タスクの結果

[影響を受けるレポート] リストには、[ドット連結フィールド] という新しい列があります。この列は、影響を受けるレポートが拡張テーブルのフィールドの ACL に基づいて識別された場合にのみ表示されます。

関連情報

拡張テーブルに関するレポート

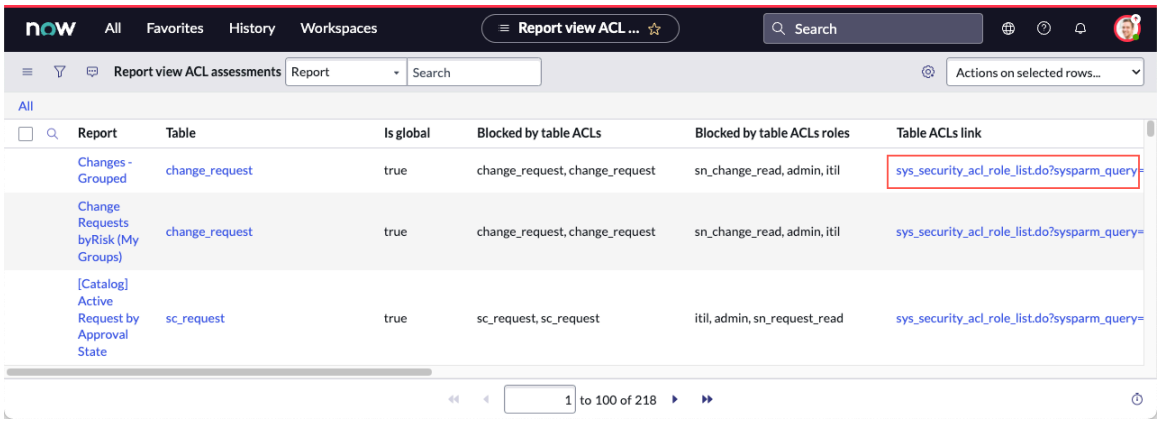
その他のレポート修復タスク

レポート評価を実行した後、影響を受けるユーザーに対処できます。アクセス制御リスト (ACL) のロールを変更したり、レポートの共有オプションを変更したり、レポート ユーザーをグループに追加してブロッキング ロールを付与したりできます。

ACL ロールの編集

ロールを security_admin に昇格させ、ブロッキング ACL に 1 つ以上のロールを追加します。[影響を受けるレポート] フォームで [テーブル **ACL]**、[列 **ACL]**リンク、または [**ACL** の読み取り] リンク を選択して、関連する ACL ロールリストを開きます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



レポート共有オプションの編集

- クラシック環境で作成されたレポートの場合は、レポート デザイナーでレポートを開き、レポートを共有するユーザーを変更します。詳細については、「レポートの共有」を参照してください。
- 構成可能なワークスペースで作成されたレポートの場合は、可視化デザイナーでレポートを開き、レポートの共有先を変更します。詳細については、「での可視化の共有 可視化デザイナー」を参照してください。

レポートアセスメントスキャンのフィルタリング

特に大規模なインスタンスでは、レポートの ACL アセスメントに時間がかかることがあります。アセスメント時間を短縮するために、システムプロパティを使用して、アセスメントが適用されるレポートをフィルタリングできます。

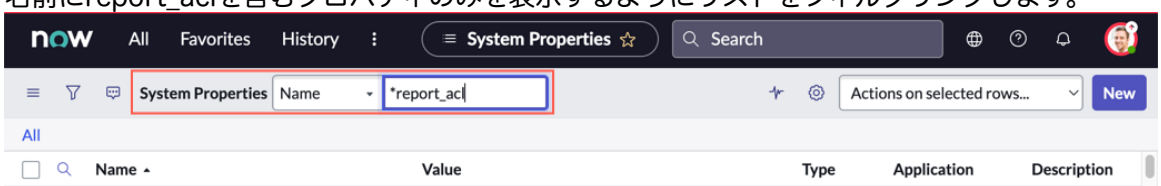
始める前に
必要なロール:admin および security_admin

レポートの ACL アセスメントでは、次の 2 つを除くすべてのプロパティを操作できます。

- *sn_report_acl.com.par_report_acl_assessment.report_view.sys_ids*
- *sn_report_acl.glide.script.block.client.globals*

手順

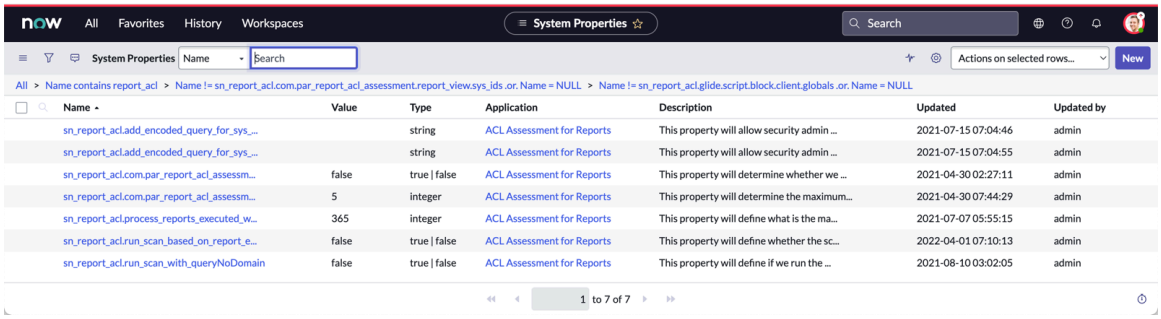
1. 移動先 すべて > システムプロパティ > すべてのプロパティ.
2. 名前にreport_aclを含むプロパティのみを表示するようにリストをフィルタリングします。



3. プロパティ *sn_report_acl.com.par_report_acl_assessment.report_view.sys_ids* と *sn_report_acl.glide.script.block.client.globals*を除外します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. 残りのプロパティを使用して、アセスメントスキャンを構成します。

レポートアセスメントシステムプロパティ

これらのプロパティを使用して、レポートスキャンの ACL アセスメントを構成します。

システムプロパティを設定するには、 sys_properties.list に移動し、プロパティ名でフィルタリングします。

プロパティ	説明
sn_report_acl.run_scan_with_queryNoDomain	ドメイン分離インスタンスでのみ有効です 実行時にアプリがユーザー ドメインを考慮 かを定義します。false の場合、security_ 性のあるドメインの結果のみを取得します ルsecurity_adminは、プロパティを true インスタンス上のすべてのドメインの結果 ます。個々のsecurity_adminsは、自分の いて収集された結果を表示できます。詳細 「レポートアセスメントとドメイン分離」 ださい。 ドメイン分離されていないインスタンスで ティを true に設定すると、アセスメント リーとして実行されます。 このプロパティを削除すると、コードの既 になります。 タイプ：true/false デフォルト値：false
sn_report_acl.add_encoded_query_for_sys_report_table	セキュリティ管理者ユーザーが、sys_repo でアセスメントスキャンが実行されている コードされた AND クエリ条件を追加でき す。たとえば、指定したテーブルのレポー するエンコードされたクエリを追加できま エンコードされたクエリの有効性は、ユー です。パフォーマンス上の理由から、アプ コード内の追加のクエリを検証しません。 このプロパティを削除するか、値が空の場 ントスキャンは元の条件でのみ実行されま タイプ：文字列

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明
sn_report_acl.com.par_report_acl_assessment.collect_dotwalk	影響を受けるレポートのドット連結フィー でチェックするかどうかを決定します。 false の場合、アプリのパフォーマンスは が、アプリは合計結果のサブセットのみを タイプ：true/false デフォルト値：false
sn_report_acl.add_encoded_query_for_sys_user_table	セキュリティ管理者ユーザーが、sys_use セスメントスキャンを実行するクエリにエ た AND クエリー条件を追加できるように えば、指定されたロールのみを評価するエ たクエリを追加できます。 エンコードされたクエリの有効性は、ユー です。パフォーマンス上の理由から、アプ コード内の追加のクエリを検証しません。 このプロパティを削除した場合、または値 アセスメントスキャンは元の条件でのみ実 タイプ：文字列
sn_report_acl.process_reports_executed_within_X_days_ago	アセスメント スキャンの実行時にアプリが レポートが最後にユーザーによって表示さ 日数を定義します。 タイプ：整数 デフォルト:365
sn_report_acl.run_scan_based_on_report_execution_only	スキャンでは、影響を受ける各レポートの 実行回数が計算されます。このプロパティ が false の場合、[影響を受けるレポート] ストの [合計実行数] 列は常に空であり、 `process_reports_executed_within_` 無視されます。 タイプ：true/false デフォルト：true
sn_report_acl.com.par_report_acl_assessment.max_affected_users	[影響を受けるユーザーを表示] をクリック 取得される影響を受けるユーザーの最大数 ロールを持つユーザーが表示できるレポー べてのユーザーが表示できるレポートに適 グループごとに表示可能なレポートの場合 グループごとに取得される影響を受けるユ 数です。 タイプ：整数 デフォルト：5

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明
sn_report_acl.com.par_report_acl_assessment.collect_dotwalk	レポートをブロックする原因となる拡張テ ポートフィールドをキャプチャします。こ は、[影響を受けるレポート] テーブルに [フィールド] 列を追加します (存在する場 タイプ：true/false デフォルト：true

report_view ACL リスト

report_view ACL とそれに関連するロールの全リストを表示して、インスタンスのアクセス制御の概要を表示します。

各インスタンスには、異なる数の report_view ACL があります。この数は、インスタンスでアクティブ化されているプラグインによって異なります。

report_view ACL リストを表示するには、 すべて > レポート > レポート用アクセス制御リスト **(ACL)** アセスメント > レポートビュー **ACL** リスト.

report_view ACL リスト列

ACL は、一度に 1 つのロールにのみ適用されます。ACL が適用されるロールが複数ある場合は、ACL の複数のインスタンスが存在する可能性があります。たとえば、同じ ACL で、itil ユーザーよりも管理者に高いレポートアクセス権が付与されます。

列	説明
ACL	report_view ACL の名前。
有効	ACL がアクティブかどうかを示します。True/False。
アプリケーション	ACL が適用されるアプリケーション。
パッケージ	ACL に関連付けられているプラグイン。
説明	関連付けられているロールに対して ACL で禁止または許可される内容。
ロール	ACL が適用されるロールの名前。
説明	ロールの説明。

無視されたレポートの再評価

レポートの ACL アセスメントに対処するときは、すべてのレポートを無視できます。これらのレポートを表示して、ステータスを再度検討してください。

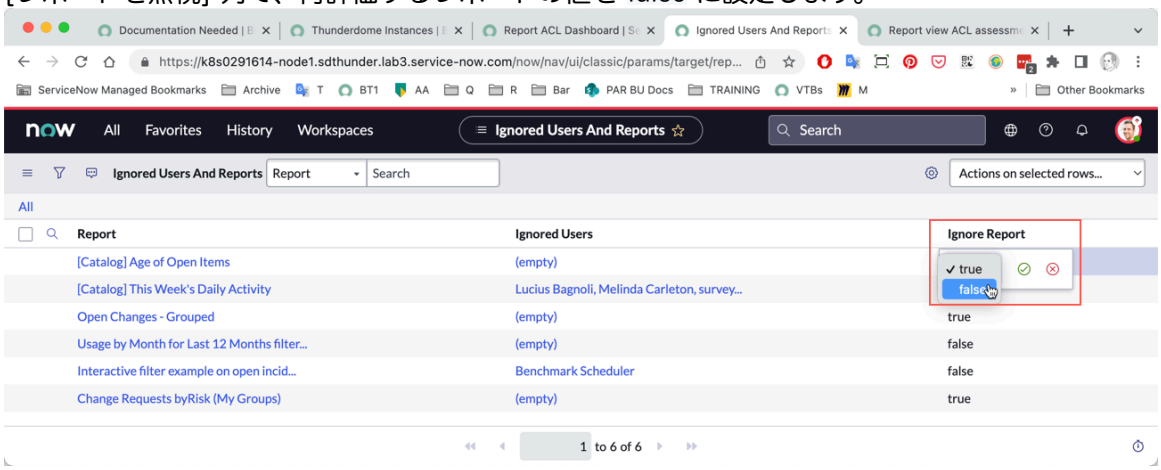
始める前に
必要なロール:admin および security_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > レポート用アクセス制御リスト **(ACL)** アセスメント > 無視されたレポートおよびユーザーのリスト.
2. [レポートを無視] 列で、再評価するレポートの値を false に設定します。



タスクの結果
レポートの ACL アセスメントは、次回アセスメントを実行するときに 誤った レポートを評価します。

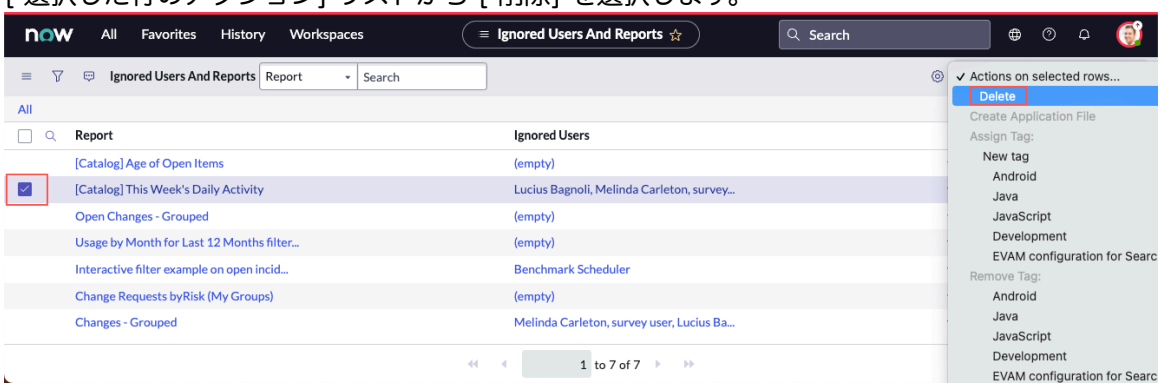
無視されたユーザーの再評価

レポートの ACL アセスメントに対処するときは、個々のユーザーを無視できます。これらのユーザーを表示して、ステータスを再度検討します。

始める前に
必要なロール:admin および security_admin

手順

1. 移動先 すべて > レポート > レポート用アクセス制御リスト **(ACL)** アセスメント > 無視されたレポートおよびユーザーのリスト.
2. 無視されたユーザーの行を選択します。
3. [選択した行のアクション] リストから [削除] を選択します。



タスクの結果
レポートの ACL アセスメント アプリケーションには、次回アセスメントを実行するときにこのレポートから削除したユーザーが含まれます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポートアセスメントとドメイン分離

ドメイン分離インスタンスでは、レポートの ACL アセスメントに一定の制限があります。

ドメイン分離プロパティ

true/false プロパティ *sn_report_acl.run_scan_with_queryNoDomain* を構成して、アセスメントをインスタンス全体に適用するか、個々のドメインに適用するかを指定します。

このプロパティは、ドメイン分離インスタンスでのみ有効です。クエリの実行時にアプリがユーザードメインを考慮するかどうかを定義します。false の場合、security_adminsは可視性のあるドメインの結果のみを取得します。

グローバルsecurity_adminは、プロパティを true に設定し、インスタンス上のすべてのドメインの結果を表示できます。個々のsecurity_adminsは、自分のドメインについて収集された結果を取得できます。詳細については、「レポートアセスメントスキャンのフィルタリング」を参照してください。

このプロパティが単一のドメインインスタンスで true に設定されている場合、アセスメントは通常のクエリーとして実行されます。プロパティが削除されると、アプリケーションはアセスメントを false であるものとして扱います。

注:
グローバルsecurity_adminとしてアセスメントを実行する場合は、必ずプロパティを false に戻してください。true の場合、どのsecurity_adminもインスタンス全体をクエリできます。他のsecurity_adminsには、表示する権限のないデータは表示されませんが、収集されたデータは上書きされます。

リストレポートの列ビューのアクセス制御

リスト レポートの場合、 **glide.report.add_to_list_supported** システム プロパティはadd_to_listアクセス制御リストを有効にします。このアクセス制御リスト (ACL) により、ユーザーは機密データを含むリストレポート列でレポートを実行できなくなります。

たとえば、マネージャーは、ユーザーがレポートを作成するときに [担当者] 列で報告できないようにすることができます。ユーザーに対してテーブルフィールドが制限されている場合、[利用可能] 列には表示されません。したがって、ユーザーは作成するレポートでこれを選択できません。

注:
プロパティが有効な場合:列のadd_to_listアクセス制御リストを渡さないユーザーには、レポートに既に含まれている制限された列が [選択済み] 列に表示されます。このユーザーには、これらの列のデータもレポートに表示されます。ユーザーが [選択済み] 列から列を削除すると、その列は [利用可能] 列に表示されなくなります。ユーザーが再度選択してレポートに含めることはできません。

add_to_list ACL は、レポートの基になっている最上位のテーブルにのみ適用されます。

このプロパティは、デフォルトでは無効になっています。有効にするには、 **sys_properties.list** (システムプロパティテーブル) に移動し、 **glide.report.add_to_list_supported**を **true** に設定します。admin ロールが必要です。

プロパティを有効にした後、既存のレポートは影響を受けません。列は、制限付きとして指定したフィールドを含む新しく作成されたリストレポートでのみ非表示になります。

関連情報

ACL ルールのタイプ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

権限の問題を報告

レポートに表示される情報が予想よりも少ない場合や、データがまったく表示されない場合は、いくつかの理由が考えられます。これには、レポートに対する十分な権限がないことや、レポートが共有されていないことが含まれます。

レポートが共有されていません

レポートを表示できない一般的な理由は、レポートにアクセスしようとしているユーザーとレポートが共有されていないことです。既定では、新しく作成されたレポートは共有されないため、レポート作成者または admin ロールを持つユーザー以外はアクセスできません。レポートは、個々のユーザー、1 つ以上のグループと共有することも、1 つ以上のロールに割り当てることもできます。

共有されていないレポートは、ユーザーがアクセスできるレポートのリストや、レポートを開いたり選択したりできるその他のオプションには表示されません。レポートが追加されたダッシュボードは表示できるが、レポート自体は表示できない場合は、「レポートは特定のユーザーまたはグループにのみ表示されます」というメッセージが表示されます。

この問題を修正するには、レポートの所有者 (または管理者) が、そのレポートに対する可視性とアクセス権を持つ必要がある個人とレポートを共有します。レポートの共有アイコンから直接レポートを共有できます。詳細については、「レポートの共有」を参照してください。

リストレポートに表示される行数が予想よりも少ない

もう 1 つのよくある問題は、リスト レポートに表示される行数が、閲覧者の予想よりも少ないことです。たとえば、あるユーザーにはリスト レポートに 100 行が表示されますが、別のユーザーに同じレポートを表示すると、行数が少なくなったり、行がまったく表示されなかったりすることがあります。レポートから 1 つ以上の行が削除されると、セキュリティ上の制約のために削除された行数を示すメッセージが表示されます。

通常の原因は、リストレポートの各行が最初に、レポートのソーステーブルで定義されている読み取りアクセス制御リスト (ACL) と比較されることです。

ACL は、レポートに表示される可能性のあるリスト行ごとに考慮されます。詳細については、「report_view のアクセス制御」を参照してください。

リスト以外のレポートに不完全なデータが表示される

グラフィカル レポート (リスト以外のタイプのレポートとして定義) では、あるユーザーのデータセットが不完全であるのに対し、別のユーザーは同じレポートをレビューしている場合があります。

この問題は、レポートが生成されて表示される前に、ソーステーブルのデータに対してクエリ前ビジネスルールが実行されるという事実が原因で発生します。レポートのソーステーブルにあるビジネスルールは、権限または同様の基準に基づいてデータを制限します。ルールの基準を満たさないレコードはレポートに含まれません。したがって、(主にグループまたはロールの権限が原因で) 権限レベルが異なるユーザーには、異なる結果を示す同じレポートが表示されます。詳細については、「「クエリー前」ビジネスルール (Before Query business rules)」を参照してください。

レポート統計情報

[レポート統計情報] リストを使用すると、各コア UIレポートの実行頻度とレポートの実行にかかる時間を確認できます。

レポート統計情報を表示するには、次の場所に移動します。 すべて > レポート > 管理 > レポート統計情報. admin または report_admin ロールが必要です。デフォルトでは、[レポート統計情報] リストには、実行されたすべてのレポートが表示されます。実行されていないレポートを表示するには、コンテキスト メニュー アイコン ()☰ を選択し、[未使用のレポートの追加] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注:

- 特にインスタンスに多数のレポートがある場合は、このリストに未使用のレポートが追加されるまでに時間がかかります。
- [レポート統計情報] リストは、最大 500 件のレポートをサポートします。

ServiceNow 環境におけるレポートの管理方法の概要と推奨事項

[レポート統計情報] リストには次の列があります。

列	説明
レポート	レポートの名前。ハイパーリンクを選択すると、レポートのプロパティが表示されます。
前回の実行	レポートが最後に実行された日時。
実行	レポートが実行された回数。
ページで実行	レポートがダッシュボードで実行された回数。
最新の実行時間	直前の 25 回の実行に基づくレポートの平均実行時間 (ミリ秒)。プロパティを編集して *glide.report.recent_executions_number*、この値の計算に使用する実行回数を変更します。
実行時間	レポートのすべての実行の平均実行時間 (ミリ秒)。

- 実行に最も時間がかかるレポートを表示するには、[最近の実行時間] を z-a 順にソートします。
- 使用されたレポートを表示するには、フィルターで [実行] 列から値 0 を除外します。
- 最も使用頻度の高いレポートを表示するには、[実行] 列を z-a 順にソートします。

レポートの使用率ダッシュボード

レポートの使用率ダッシュボードには、ServiceNow のインスタンスまたはドメインにおけるレポートの使用率の概要が表示されます。

レポート統計情報を表示するには、次の場所に移動します。 **Performance Analytics** > アドミンコンソール をクリックし、[使用状況] タイルで [レポートの使用状況] を選択します。

注:
report_admin ロールはこのコンソールを表示できません。admin または pa_admin ロールが必要です。

レポートの使用率ダッシュボードには次のウィジェットが表示されます。

ウィジェット	タイプ	説明
レポートの数	単一のスコアと月別の割合の変化	インスタンス内のレポートの数。スコアをクリックするとダッシュボードが表示され、チャート、およびブレークダウン/レコード/スコアのリストが表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ウィジェット	タイプ	説明
過去 6 か月間に表示されていないレポートの割合	単一のスコアと月別の割合の変化	過去 6 か月間に表示されなかったドメインまたはインスタンス内のレポートの割合。スコアをクリックすると詳細ダッシュボードにチャートが表示されます。チャートでは、期間、使用された計算、およびレポートに関する追加情報を調整できます。
上位 10 件のレポート テーブル	リスト	レポートで使用されている上位 10 件のテーブルのリスト。テーブルの名前をポイントするとその説明が表示されます。テーブルの名前またはレポートの数をクリックすると、拡大されたチャートがダッシュボードに表示され、テーブル内のレコードリスト、スコア、およびレポートに関する追加情報が表示されます。
表示方法タイプ別のレポート	棒グラフ (オプションで、他のいくつかのレポート タイプの 1 つに視覚化を変更可能)	レポートがダッシュボードで実行された回数。レポートのセグメントをクリックすると、拡大されたチャートがダッシュボードに表示され、テーブル内のレコードリスト、スコア、およびレポートに関する追加情報が表示されます。

自動翻訳

レポートソース

レポート ソースは、レポートを作成するための事前定義されたデータ セットです。

レポート ソースは、レポートに同じ条件が含まれている場合に使用します。そのため、条件を何度も定義する必要はありません。レポート ソースを使用して、組織全体で同じ定義を実装することもできます。

可視化デザイナーでは、事前定義された条件でテーブルをフィルターするときにレポートソースを使用できます。

レポート ソースは、常にテーブルといくつかの条件で構成されます。新しいレポートを作成するときは、レポート ソースを使用するか、またはテーブルを選択することができます。レポート ソースの例としては、オープンのインシデント、クローズ済みの問題などがあります。

レポート ソースの作成。関連するテーブルのフィールドからのレポート データを使用する。関連するリストを使用する。

このオプションを使用して、既存のレポートの条件に基づいてレポート ソースを作成するか、追加した新しい条件に基づいてソースを作成する手順を参照してください。

レポート ソースの使用に関するその他のヒントについては、「 レポート ソースで時間を節約する方法 」を参照してください。

レポート ソースを作成する

レポートの作成に使用できるカスタムのデータセットを作成します。 レポートデザイナーでは、レポートソースはデータソースと呼ばれます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール:report_admin

このタスクについて
レポート ソースの条件を更新すると、そのレポート ソースをベースとするすべてのレポートに、それらの条件が自動的に反映されます。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 管理 > レポートソース.
2. [新規] をクリックします。
3. 必要に応じてフォームのフィールドに入力します。

レポート ソースの新規レコード

フィールド	説明
名前	レポート ソースの名前。たとえば、`オープン インシデント`などです。
テーブル	レポート ソースのベースとなるテーブル。たとえば、インシデント **[incident]** などです。
説明	レポート ソースの動作や目的の詳細な説明。
フィルター	レポート ソースに含める特定のテーブルレコードの条件。たとえば、オープン インシデントを含めるには、[インシデント] テーブルで「[ステータス] [は] [アクティブ]」を選択します。 **注:** 一部のレポート タイプでは、レポート内からデータ フィールドのソートにアクセスできます。アクセス方法については、データをソートするレポートタイプのトピックで レポートタイプ [ソートの追加] フィールドの説明を検索してください。 ○ OR 条件を含むレポートにレポート ソースを使用する場合は、レポートとレポート ソース条件の両方に一致するレコードのみが含まれます。 ○ レポートソースで 関連リスト条件 が指定されている場合、そのレポートソースに基づくレポートでは、レポート内から指定された追加の関連リスト条件はすべて無視されます。 ○ レポートが 、関連リスト条件 を指定するレポートソースに基づいており、ドット連結条件を持つ追加の関連リスト条件も含まれている場合、レポートはエラーを生成します。

4. レポート ソースをベースとするレポートを表示するには、レポート ソース レコードで [このレポートソースを使用したレポート] 関連リンクをクリックします。
5. [送信] をクリックします。

次のタスク
レポート ソースを使用してレポートを作成します。

注:
レポートソースはアクティブなレポートで使用されますが、削除することはできません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

レポート範囲

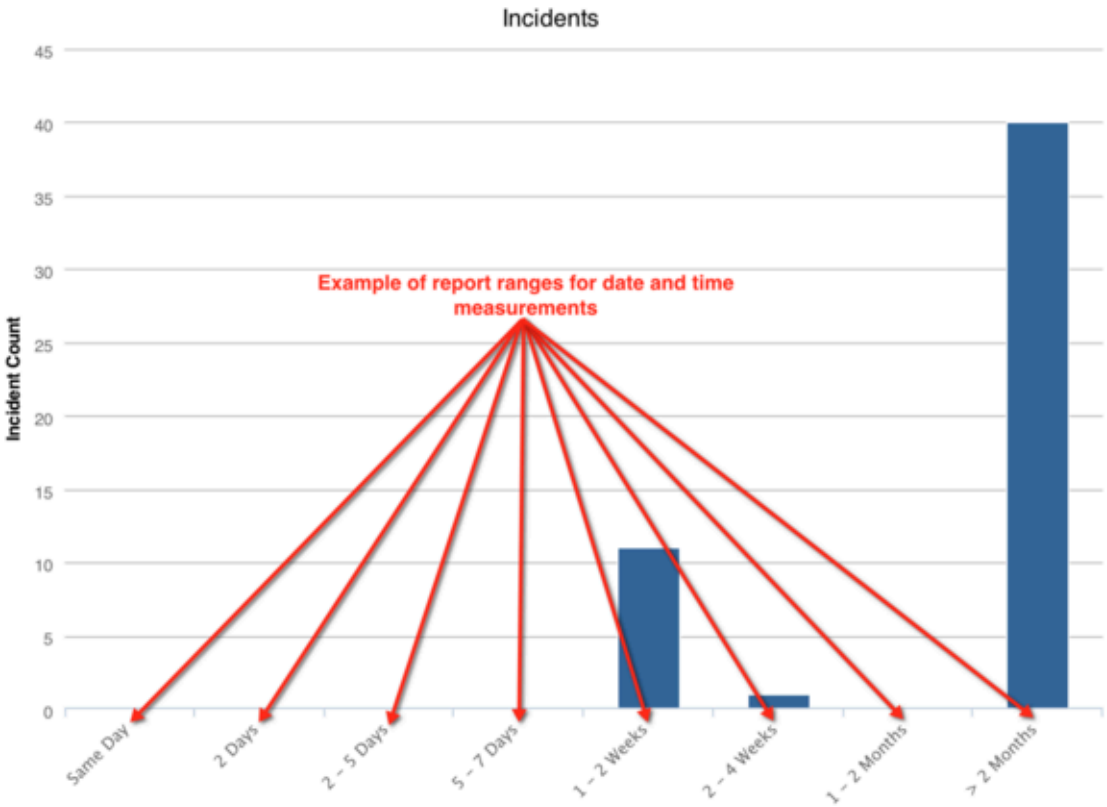
レポート範囲は、棒グラフおよび円グラフで使用するデータ間隔の定義に使用します。

すべての結果を個別のスコアとして表示するのではなく、結果を範囲またはバケットにグループ化すると便利な場合があります。パーセンテージの結果を示す棒グラフまたは円グラフを考えてください。既定では、0% から 100% までの個々の値が個別のデータ ポイントになり、不必要に混雑したビジュアルが作成されます。ただし、結果をスコアの論理グループにセグメント化すると、コンテキストが追加され、対象者がどの範囲が良いか、悪いか、または懸念があるかを理解するのに役立ちます。レポート範囲は、棒グラフ、円グラフ、およびドーナツグラフのデータ間隔を定義するために使用されます。たとえば、SLA 内で正常に完了したタスクの数と、SLA 中に経過したタスクの数を把握する場合です。

ユースケースの例:会社で SLA に違反するたびに、ビジネスに多大なコストがかかります。サービス マネージャーは、どの SLA が簡単に満たされ、どの SLA に違反しているか、または違反されそうになっているかを理解できます。この情報は、調整が必要な SLA を特定するのに役立ちます。

注:
レポートには過去のデータのみが表示されます。未来の日付のレポート範囲を設定することはできません。

範囲によるインシデント作成日



レポート範囲の仕組み

レポート範囲は、日付、リスト、または整数のみを保持する要素で有効です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポート範囲の要素の一覧

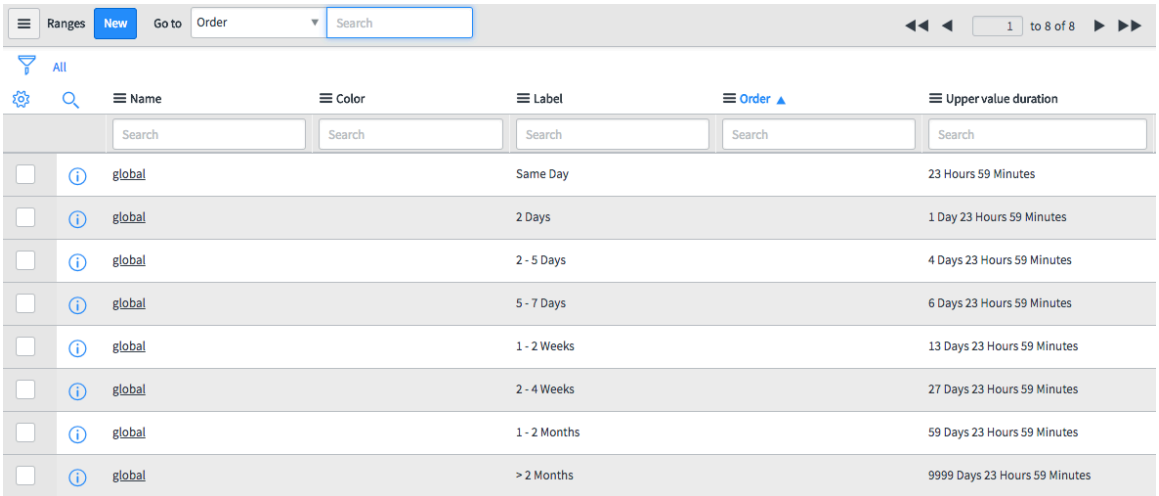
タイプ	例
日付	インシデントテーブルの [作成日時] フィールドを使用: 同日、2 日、2 ～ 5 日、5 ～ 7 日、1 ～ 2 週間、2 ～ 4 週間、1 ～ 2 か月>
リスト	インシデントテーブルの [優先度] フィールドの使用:低、中、高、重大、計画中
整数	インシデントテーブルの [カウント] フィールドの使用:過負荷、最適化、未使用

レポート範囲は、すべての日付タイプ フィールド (日付、期日、期間、日時、日付時刻) にグローバルに適用することも、特定のテーブルに制限することもできます。

すべてのレポート範囲を表示する

現在構成されているすべてのレポート範囲を表示するには、 レポート > 管理 > レポート範囲.

レポート範囲リスト



重要な列と関連するデータタイプは次のとおりです。

レポート範囲リストのフィールド

フィールド	対応するデータ タイプ
期間最高値	日付 - 日付を格納する要素で有効です。
整数最高値	整数 - 数値を格納する要素で有効です。
値リスト	リスト - リスト アイテムを格納する要素で有効です。

レポート範囲を作成する

棒グラフおよび円グラフで使用するデータ間隔を定義するレポート範囲を作成します。

始める前に

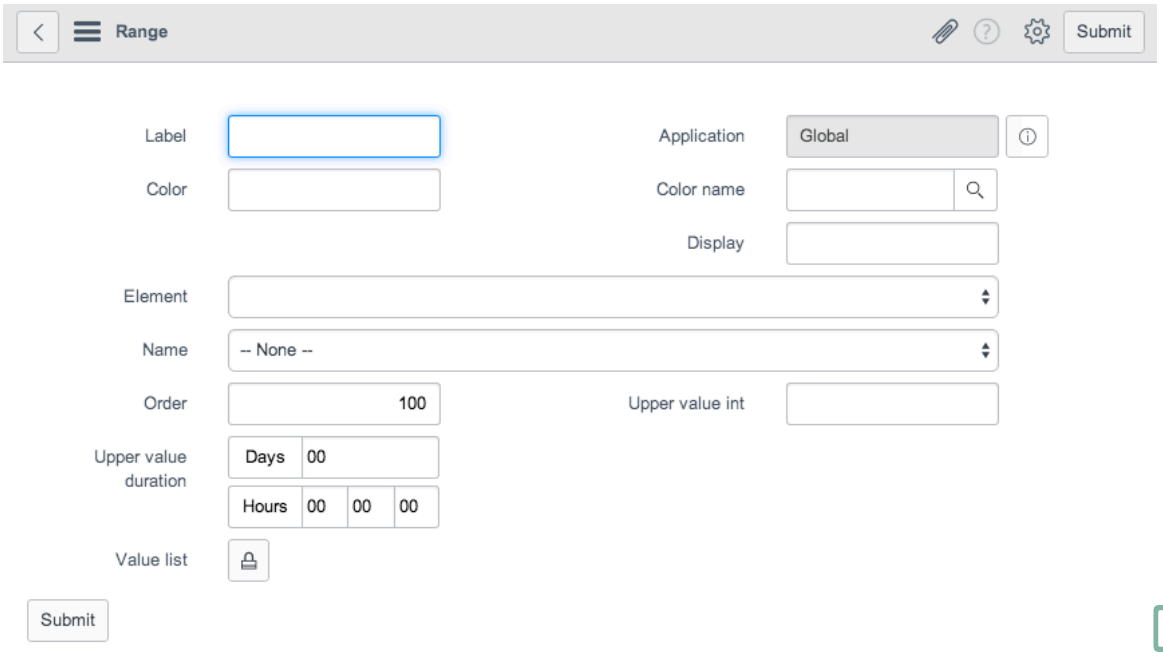
必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 管理 > レポート範囲.
2. [新規] を選択します。
3. フォームに記入します (表を参照)：



次のフィールドを使用して、レポートに表示されるデータを絞り込み、レポートのビジュアル化の外観をデザインします。

レポート範囲フォームのフィールド

フィールド	説明
名前	値を抽出するテーブルの名前。 注: [要素] リストから選択する場合は先にこのフィールドが必要です。
要素	値を抽出するテーブルのフィールド。
ラベル	レポートに表示されるレポート範囲の名前。
値リスト	リスト要素の場合、このフィールドは範囲内となる値を定義します。 範囲が保存されると、値リストに要素の選択肢が入力されます。
色名	このレポート範囲を表示する際の色。 色は [表示] フィールドに表示されます。色名を入力する場合は、色値を入力する必要はありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: レポートを作成する際、ドット連結で選択された [グループ] レポート フィールドの範囲に対して、指定された色が表示されないことがあります。適切に機能させるには、該当する [グループ] フィールドをベース テーブルからのみ選択してください。
色	このレポート範囲のレポートを表示する際の色を表す 16 進値。 色は [表示] フィールドに表示されます。色値を入力する場合は、色名を入力する必要はありません。 **注:** レポートを作成する際、ドット連結で選択された [グループ] レポート フィールドの範囲に対して、指定された色が表示されないことがあります。適切に機能させるには、該当する [グループ] フィールドをベース テーブルからのみ選択してください。
整数最高値	整数型要素の場合、このフィールドは範囲の上限を定義します。 この範囲の下限は、最も近い下限の [順番] を持つレポート範囲の上限値として定義されます。下限の [順番] を持つ範囲が存在しない場合には、下限はゼロになります。 例：1 つ目のレポート範囲の上限が 10 で、[順番] が 20 とします。2 つ目のレポート範囲の上限が 5 で、[順番] が 19 とします。5 ～ 10 の値は、この範囲で指定された書式で表示されます。
期間最高値	期間型要素の場合、このフィールドは範囲の上限を定義します。 この範囲の下限は、最も近い下限の [順番] を持つレポート範囲の上限値として定義されます。下限の [順番] を持つ範囲が存在しない場合には、下限はゼロになります。 例：1 つ目のレポート範囲の上限が 10 で、[順番] が 20 とします。2 つ目のレポート範囲の上限が 5 で、[順番] が 19 とします。5 ～ 10 の値は、この範囲で指定された書式で表示されます。
表示	読み取り専用。特定のレポート範囲で使用される色を示します。
順番	レポート範囲が使用される順番。値が複数のラベルの中で定義されている場合は、最も低い順番のレポート範囲で表示されます。

注:
設定後、レポートに利用可能なデータがない場合、レポート範囲は空として表示されます。設定されたレポート範囲に関連するデータラベルや凡例などのコンテキストフィールドは引き続き表示され、強調表示されます。

レポート範囲モジュールを有効にする

棒グラフと円グラフでレポート範囲を使用するには、レポート範囲モジュールを有効にする必要があります。

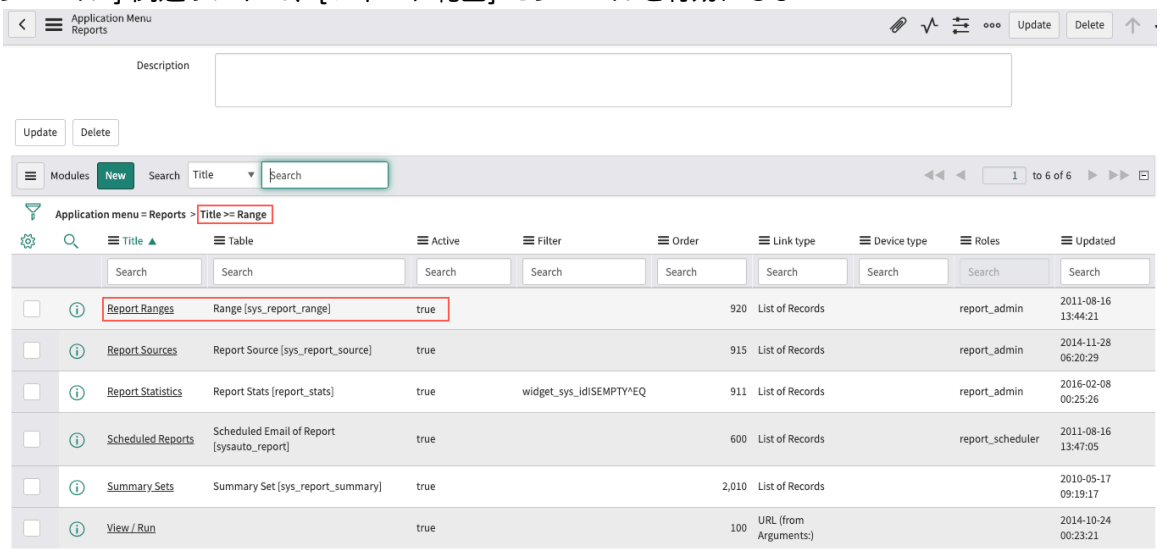
始める前に
必要なロール：admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > アプリケーションメニュー.
2. [レポート] アプリケーションメニューを開きます。
3. [モジュール] 関連リストで、[レポート範囲] モジュールを有効にしま



す。

モジュール関連リストには 100 を超えるエントリーがある場合があります。単語範囲でフィルタリングして、検索を絞り込みます。

タスクの結果

円グラフと棒グラフのレポート範囲を定義できます。

インポートされたレポート データを使用する

インポートされた Excel スプレッドシートを使用すると、インスタンスの外部で管理されているデータに基づいてレポートを生成でき、それらのレポートを配布できます。

admin、sys_admin、report_admin、pa_admin、および pa_power_user のロールを持つユーザーは、.xlsx ファイルをアップロードできます。アップロードされたデータは一時的です。指定された有効期限があり、期限後は、それらのファイルに基づくレポートは利用できなくなります。

インポートされたデータを使用してレポートを作成するには、Performance Analytics のサブスクリプションバージョンが必要です。「Performance Analytics サブスクリプションのアクティブ化」を参照してください。

注:
インスタンスの外部で情報が保持されている場合は、この方法でレポート データをインポートすると便利です。外部データセットをインスタンスに永続的にインポートするには、「簡単インポート」を参照してください。

システム テーブルのレポート

デフォルトでは、システム テーブルはレポート モジュールの制限を受けます。

これらのテーブルには次のものが含まれますが、これらに限定されません。

- システム監査 [sys_audit]
- ログ [syslog]
- トランザクション ログ [syslog_transaction]

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 添付ファイル [sys_attachment]
- Eメール [sys_email]

これは 、通常、sys_audit がどのインスタンスでも最大のテーブルであるためです。中規模のインスタンスでも監査テーブルが数ギガバイトになることは珍しいことではありません。大規模な環境では、このテーブルが 50 GB 以上に及ぶこともあります。

プログラムで sys_audit テーブルにアクセスすると、クエリ パターンがどのようになるかがわかっているので、クエリに合わせて適切なデータ インデックスを追加しました。たとえば、インシデントの履歴などを表示するときに、データベースでインデックスを使用することで、そのクエリに必要な数十行を効率的に取り出すことができます。

ただし、自由形式のレポートでは、クエリ パターンがどのようになるかを予測することはできません。フィールド名でグループ化したり、古い値で並べ替えたりしたい場合があります。したがって、クエリーがインデックス付きのクエリになることはありません。実質的な結果として、複数のギガバイトのファイルをスキャンするようデータベースに要求することになりますが、こうした操作は次の理由から適切ではありません。

- 処理が遅いため、レポートの実行に容認できないほどの長い時間がかかります。
- データベースがテーブルをスキャンしている間、他のクエリーが必要なリソースを取得できないため、インスタンスの速度が低下したり、インスタンスが使用できなくなることもあります。

システム テーブルに関するレポートを作成する必要がある場合は、プロパティに追加できます *glide.ui.permitted_tables* 。移動先 システムプロパティ > **UI** プロパティ そして、「List of system tables (start from the "sys_ separated, inc-separated), that are reportable」というラベルの付いた プロパティを探します。デフォルトでは、システム テーブルはレポート不可能です。」というラベルのプロパティーを探します。操作の際は十分注意してください。

マップ レポートの管理

マップ レポートで使用するさまざまなオブジェクトと、それらを作成および変更する方法について説明します。

マップ レポートのオブジェクト

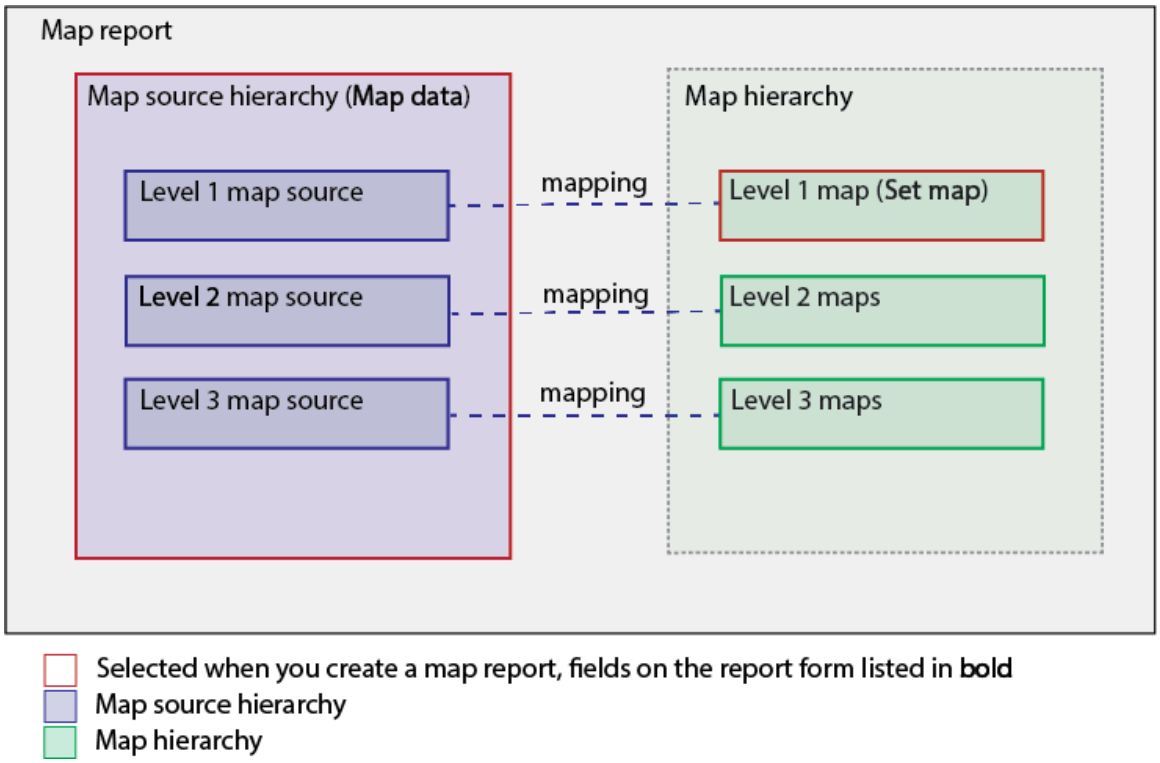
マップ オブジェクトは、ユーザーがマップレポートでドリル ダウンできるさまざまなレベルと、それらのレベルで表示されるデータを定義します。これらのオブジェクトは、管理者が作成および管理できます。

マップ レポートにはそれぞれ、マップ レベルのデータを構成するマップ ソース階層が含まれています。また、マップのドリル ダウン レベルを定義するマップ階層も含まれています。これらの階層のレベルは、[レベル] フィールドによって結び付けられます。たとえば、レベル 1 のマップのデータは、レベル 1 のマップ オブジェクトに表示されます。

注:
デフォルトでは、事前定義済みのマップ ソースとマップのセットを使用できます。できるだけ、これらの事前定義済みのオブジェクトを使用してください。存在しないマップ ソースが必要な場合は、マップ ソース フォームの [マップ ソース レベルを生成] リンクをクリックし、カスタマイズします。場所テーブルを参照するマップ ソースの場合のみ、マップ ソース レベルを自動的に生成することができます。これらのマップ ソースには、末尾が .location のフィールドがあります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



マップ オブジェクト

オブジェクト	説明
マップ ソース	マップ レポートに表示するデータのセットを定義します。 ユーザーがマップ レポートの作成時に [マップ データ] フィールドで選択するマップ ソースは、実際にはマップ ソース階層です。マップ上のドリル レベルごとにマップ ソース レベルが 1 つずつあります。階層内の最上位のマップ ソースはレベルではなく、他の階層レベルをまとめるラッパーです。マップ ソースにはそれぞれ、1 つのマップ階層ドリル レベルのデータが含まれており、どちらも同じレベルです。 どちらもレポートで使用されるデータを指定するため、マップ ソースはレポート ソースに似ています。ただし、マップ ソースではテーブルの代わりに、レポートを作成するためのフィールドを選択します。
マップ	データを表示するマップ。マップは、親子関係で定義された階層の中で設定されます。階層レベルはそれぞれ、マップ レポートのドリル レベルです。実際のマップ レイアウトは JSON 定義 (地図の場合は geoJSON 定義) により定義されます。 既存のマップを選択するか、新しいマップを作成します。必要に応じてマップの条件を定義し、マップに表示するデータをフィルターでさらに絞り込むことができます。
マッピング	マップ ソース内のデータをマップ上に表示できる値に変換します。 マッピングは、国および都道府県のマッピング グループに整理されます。マップ ソースの構成時に、ソースのデータを変換するためのマッピング グループを選択します。選択するマッピング グループは、すでに選択したフィールドに合わせる必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

マップ オブジェクト (続く)

オブジェクト	説明
	たとえば、マップ ソースの [フィールド] の値が [場所：国] の場合は、[国のマッピング] グループが使用されます。マップ ソースの [フィールド] の値が [場所：都道府県] の場合は、[地域と都道府県のマッピング] マッピング グループが使用されます。

マップ ソース階層を自動的に生成します。

マップ ソース階層は、マップ レポートの作成に使用されるデータ ソースです。最上位のラッパーを除いて、階層内のマップ ソース レベルはそれぞれ、1 つのマップ ドリル レベルのデータを定義します。

始める前に
必要なロール：report_admin または admin

このタスクについて

注:
デフォルトでは、事前定義済みのマップ ソースとマップのセットを使用できます。できるだけ、これらの事前定義済みのオブジェクトを使用してください。存在しないマップ ソースが必要な場合は、マップ ソース フォームの [マップ ソース レベルを生成] リンクをクリックし、カスタマイズします。場所テーブルを参照するマップ ソースの場合のみ、マップ ソース レベルを自動的に生成することができます。これらのマップ ソースには、末尾が .location のフィールドがあります。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 管理 > マップソース.
2. [新規] をクリックします。
3. フィールドに入力します。

マップ ソースのフィールド

フィールド	説明
名前	内容を端的に表す名前を入力します。たとえば、場所別のインシデントなどです。ユーザーは、マップ レポートの作成時に [マップ データ] フィールドでこの名前でマップ ソースを選択します。
テーブル	マップするフィールドが含まれているテーブルを選択します。階層内のすべてのマップ ソース レベルがこのテーブルを使用します。
フィールド	マップ レポートに表示するデータを持つフィールドを選択します。このフィールドは場所テーブルを参照する必要があります。たとえば、**incident.caller.location**、**incident.location** などです。このフィールドへのドット連結ができます。
アクティブ	マップ レポートの作成時にマップ ソースを使用できるようにするには、このチェック ボックスをオンにします。

4. フォーム ヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。
5. [マップ ソース レベルを生成] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3 つのマップ ソース レベルが作成されます。レベル 1 のマップ ソースのみが [マップ ソース] 関連リストに表示されます。

> **注:**
> マップ ソースは最大 4 つのレベルを持つことができますが、自動的に生成されるのは 3 つのみです。使用するマップ階層で追加のドリル レベルが必要な場合は、4 つ目のレベルのマップ ソースを作成できます。

次のタスク
これで、マップ ソースをマップ レポートで使用する準備ができました。

マップ ソース レベルをカスタマイズする

マップ ソースでは、マップ レポートに表示するデータを構成します。 必要に応じて既存のマップ ソースをカスタマイズします。

始める前に
必要なロール：report_admin または admin

このタスクについて
> **注:**
> デフォルトでは、事前定義済みのマップ ソースとマップのセットを使用できます。できるだけ、これらの事前定義済みのオブジェクトを使用してください。存在しないマップ ソースが必要な場合は、マップ ソース フォームの [マップ ソース レベルを生成] リンクをクリックし、カスタマイズします。場所テーブルを参照するマップ ソースの場合のみ、マップ ソース レベルを自動的に生成することができます。これらのマップ ソースには、末尾が .location のフィールドがあります。

手順
1. 移動先 すべて > レポート > 管理 > マップソース.
2. レベルをカスタマイズするマップ ソースを開き、[マップ ソース] 関連リストを使用して該当するレベルまで移動します。
   たとえば、レベル 1 のマップ ソース名をクリックしてマップ ソース フォームを再度開き、関連リストでレベル 2 のマップ ソースを選択するなどの操作を行います。
3. 必要に応じて以下のフィールドを変更します。

マップ ソースのフィールド

フィールド	説明
名前	マップ ソースの名前を入力します。マップ ソース レベルの名前にはレベルを含めます。たとえば、「場所別インシデント - レベル 2」などとします。
テーブル	同じテーブルがマップ ソース階層全体で使用され、最上位のマップ ソースで指定されます。
フィールド	マップ上に表示するデータを持つフィールドを選択します。他のフィールドへのドット連結ができます。データを表示するマップよりも詳細度が 1 レベル高いフィールドを選択します。 たとえば、世界地図に表示されるレベル 1 のマップ ソースのデータを構成する場合は、各国のデータを世界地図上に表示するため、[場所：国] を選択します。同様に、都道府県の地図に表示するデータを構成する場合は、[場所：都道府県] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: 市ラベルは、マップ レポートにドリル ダウンするときに表示できる最も細かいレベルです。たとえば、都市内のさまざまな場所のレポートを作成して、最下位のマップ ソース フィールドの定義に location.name を含めた場合、マップ レポートには複数の場所が対応する市ラベルとして表示されます。その結果、同じ location.city の値を持つ複数の場所のレポートを作成すると、ラベルが同じで集計値が異なる複数のマップ ドットが表示され、異なる場所にドリル ダウンされます。 ほとんどのマップ ソースでは、場所テーブルのフィールドを使用します。
レベル	このマップ ソースの階層レベルを選択します。最大 4 つのレベルを持たせることができます。マップ ソース レベルはそれぞれ、マップ階層のドリル レベルに対応し、それらのレベルはほとんど一致しています。レベルはそれぞれ、必ず階層内に 1 回だけ出現します。
アクティブ	マップ レポートの作成時にこのマップ ソースを使用できないようにするには、このチェック ボックスをオフにします。

4. [データ変換] セクションで、必要に応じて以下のフィールドを変更します。

フィールド	説明
データ	このマップ ソースでのデータの使用方法を選択します。 ○ [テーブルのデータを使用]：ServiceNow プラットフォームのデータを無変換で使用します。データがすでにマッピング先の JSON キー値と一致している場合は、このオプションを選択します。 ○ [マッピングを使用]：マッピング先の JSON キー値と一致するようにデータを変換します。hc キーの geoJSON キーを使用する地図のマップ ソースの場合は、常にこのオプションを選択します。 ○ [緯度と経度を使用]：緯度と経度の座標を使用してデータをプロットします。このオプションは、レベル 3 などの下位のマップ レベルでは常に選択してください。データに緯度と経度の値があることを確認してください。 **警告:** [緯度と経度を使用] オプションでは、このマップ ソースを使用しているマップのヒートマップとドリルが無効になります。そのため、階層の最下位であるマップ ソース レベルでのみ、このオプションを選択してください。
次のマッピングを使用	[マッピングを使用] を選択した場合は 、使用するマッピング グループを選択します。マッピング グループは、データを変換するキーと値のペアのマッピングの集まりです。マッピング グループ内のマッピングを確認するには、[場所マッピング] の [sys_report_map_source_mapping] テーブルに移動します。 たとえば、フィールド値 **[USA]** を hc キー値 **[us]** に変換する場合は、[国のマッピング] を選択します。これには、関連するキーと値のペアのマッピングが含まれています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. **[JSON** キー] セクションで、マップ ソース データをマップに結び付ける JSON キーを選択します。
   地図では通常、hc キーを使用します。

   レポート マップにはすべて JSON 定義があります。データのマップ先となる JSON のキーと値のペアを 1 つ選択します。マップに表示するデータは、JSON キー値と一致する必要があります。したがって、選択するキーによって、[データの使い方] セクションの設定でデータを変換する必要があるかどうかが決まります。デフォルトのプラットフォームマップとマッピングはすべて、geoJSON hc キーと ISO 3166 標準値を使用します。カスタム マップでは、別の JSON キーを入力できます。

6. [更新] をクリックします。

キーと値のペアのマッピングを作成する

キーと値のペアのマッピングは、ServiceNow プラットフォームのデータを、マップ上にプロットできる値に変換するものです。データの変換が必要な場合は、マップ ソースの構成時にマッピングが使用されます。マッピングはそれぞれマッピング グループに存在します。

始める前に
必要なロール:report_admin または admin

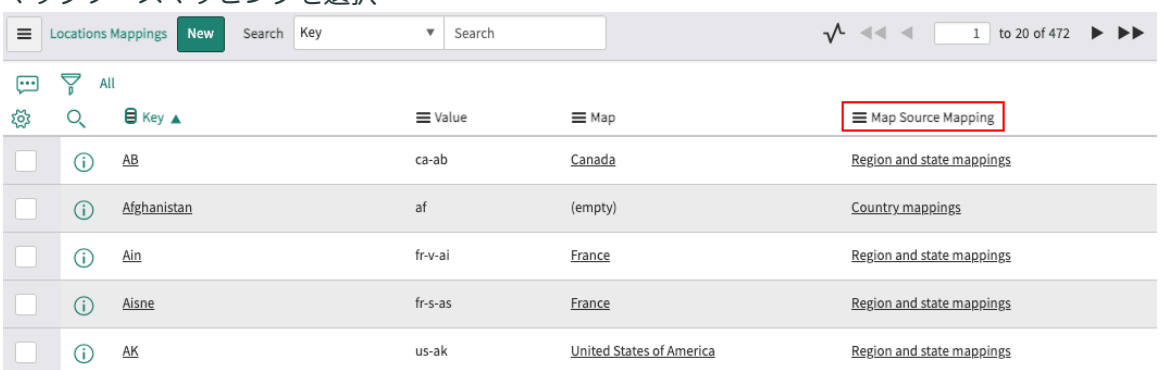
このタスクについて
デフォルトのシステムのキーと値のペアでは、データが geoJSON hc キー値にマップされます。hc キー値はすべて ISO 3166 規格に準拠しています。デフォルトのマッピングは、最も一般的に使用されるデータ値のために用意されています。データで異なる値を使用する場合は、キーと値のペアのマッピングを作成する必要があります。

たとえば、アメリカ合衆国のデフォルトマッピングでは、キー USA を ISO 値 us にマップします。データに USA ではなく United States という値が含まれている場合は、新しいキーと値のペアを作成して、 United States を ISO 値 us にマッピングする必要があります。

手順

1. 場所マッピング [sys_report_map_source_mappings] テーブルに移動します。
2. 「 マップ・ソース・マッピング 」列で、マッピングを追加するマッピング・グループを選択します。
   マッピングを作成する対象のオブジェクトのタイプに対応したマッピング グループを選択します。たとえば、フィールド値 United States のマッピングを作成する場合は、[国のマッピング] グループを選択します。マッピングのある行の [キー] と [マップ] の値は考慮されません。

マップソースマッピングを選択



3. [新規] を選択します。
4. フィールドに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

場所マッピング

フィールド	説明
キー	変換するフィールド値。たとえば、USA などです。
値	キーの変換先となる値。たとえば、us などです。この値は、通常は ISO 3166 規格の値です。値はそれぞれマップごとに 1 回のみ使用できます。
マップ	このマッピングに関連付けるマップ。このフィールドに記入しない場合、このマッピングは任意のマップで使用できます。

5. [送信] を選択して変更を保存します。

次のタスク
マッピングをレポート ソースに追加すると、マッピングを使用してそのソースからマップにデータをマップすることができます。

マップを作成する

マップ階層で使用できるマップを作成します。

始める前に
必要なロール:report_admin または admin

手順
1. 移動先 すべて > レポート > 管理 > マップをクリックし、[新規] をクリックします。

2. 必要に応じて次のフィールドに入力します。

レポート マップ フォーム

フィールド	説明
キー	このマップを他のマップにリンクする一意のキーを指定します。デフォルトのマップの場合、キーは hc キー値です。キーは親マップの geoJSON に含める必要があります。
名前	マップの名前を入力します。
レベル	マップ階層におけるこのマップのレベルを指定します。
JSON 定義	マップの geoJSON を定義します。定義済みのマップは Highcharts からダウンロードできます。
親	このマップの親マップを選択します。親子関係によって、マップ階層内のドリル レベルが定義されます。
アクティブ	マップ レポートの作成時にマップを使用できないようにするには、このチェック ボックスをオフにします。
地理的地図	マップが地理的でない場合は、このチェック ボックスをオフにします。たとえば、フロア マップではこのチェック ボックスをオフにします。

3. フォーム ヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。

4. マップのデータをフィルタリングする条件を追加するには：

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [マップ条件] 関連リストで、[新規] をクリックします。

b. フィールドに入力します。

マップ条件フォーム

フィールド	説明
アクティブ	この条件を適用するには、このチェック ボックスをオンにします。
テーブル	これらの条件を適用するテーブルを指定します。テーブル間で条件を共有することはできません。
マップ ソース	条件を適用するマップ ソースを選択します。
条件	このマップに適用するフィルター条件を追加します。

c. [送信] をクリックします。

5. オプション: [レポート マップ] 関連リストで、マップ階層を拡張する子マップを作成します。

6. [更新] をクリックしてマップを保存します。

マップ レポートのデフォルトのマップを設定する

マップ レポートの作成時にデフォルトで [マップを設定] フィールドに表示されるマップを作成します。

始める前に
必要なロール：admin または report_admin

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 管理 > プロパティ.

2. [「マップ」タイプのレポートのデフォルト マップを設定します] フィールドに、デフォルトとして設定するマップのキーを入力します。
マップのリストは、 レポート > 管理 > マップ.

3. [保存] をクリックします。

テーブルとフィールドの説明を管理する

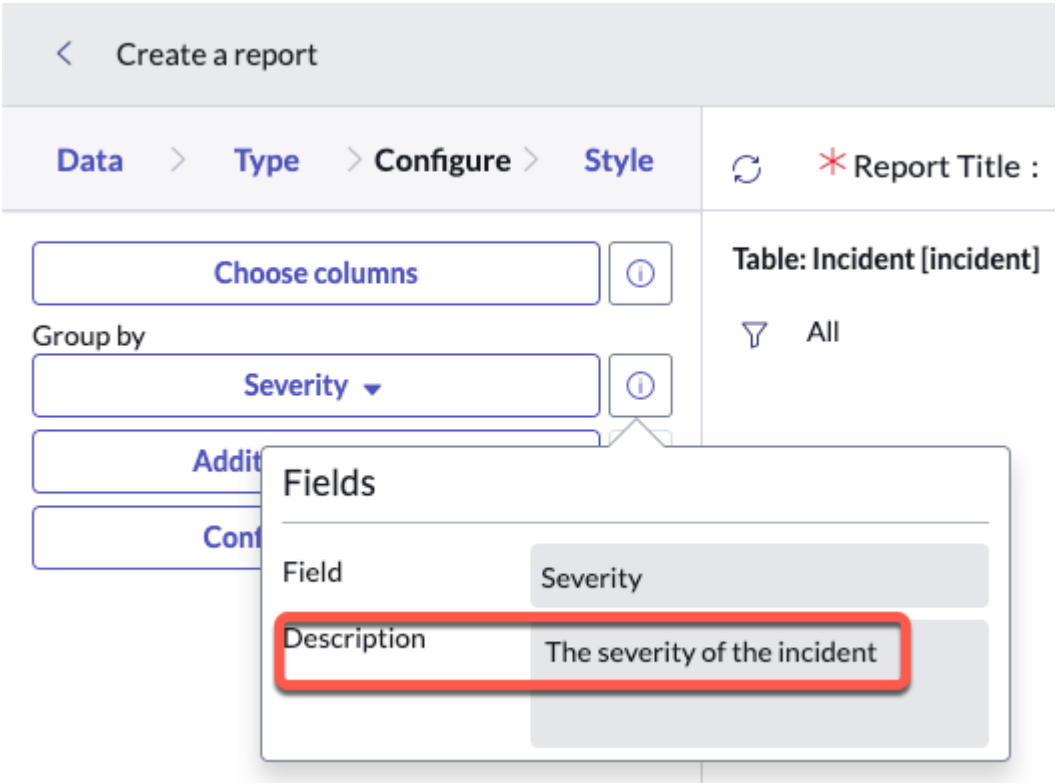
report_description_admin ロールを持つユーザーは、ユーザーがレポートを作成するときに表示されるテーブルとフィールドの説明を追加および編集できます。

admin ロールを持つユーザーは、report_description_admin ロールを有効にする必要があります。report_description_admin ロールを持つユーザーは、フィールドとテーブルの説明を編集できます。レポート管理者は、有効化されるとデフォルトでこのロールを継承します。

レポート デザイナーの [データ] タブにテーブルの説明が表示されます。必要に応じて、[構成] タブにフィールドの説明が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



レポートの説明の **admin** ロールの有効化

admin ロールを持つユーザーは、report_description_admin ロールを有効にすることができます。このロールを持つユーザーは、テーブルとフィールドの説明を追加および編集できます。

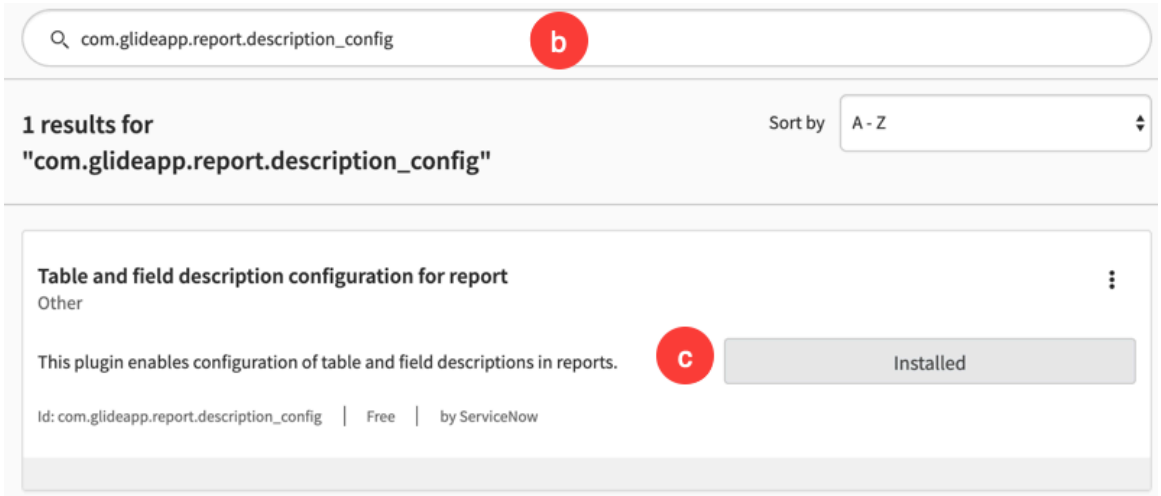
始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > プラグイン.

2. 検索バーに 「com.glideapp.report.description_config 」と入力します。

3. レポートプラグインのテーブルとフィールドの説明の構成をインストールします。



4. report_description_adminロールをアサインします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

詳細については、「ユーザーへのロールのアサイン」および「グループへのロールのアサイン」を参照してください

report_adminロールを持つユーザーには、自動的に新しいロールが付与されます。

タスクの結果
レポート デザイナーでは、[**Data**] タブにテーブルの説明が表示され、必要に応じて [**Configure**] タブにフィールドの説明が表示されます。

テーブルとフィールドの説明の編集

report_description_admin ロールを持つユーザーは、ユーザーがレポートを作成するときに表示されるテーブルとフィールドの説明を追加および編集できます。

始める前に
必要なロール:report_description_admin

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 管理 > フィールドの説明.
   [フィールドラベル] リストには、次の 4 つの列があります。

   テーブル

   要素が関連付けられているテーブルを一覧表示します。この列には、テーブル内のすべてのフィールドに対して 1 つのエントリと、テーブル自体に対して 1 つのエントリがあります。

   要素

   説明が適用されるテーブルのフィールド。[要素] の値が空の場合、説明はテーブルに適用されます。

   言語

   フィールドがローカライズされる言語の 2 文字のコード。読み取り専用です。

   > **注:**
   > 説明を追加する言語のコードを右クリックし、[この値で絞り込み] を選択します。このようにして、テーブルをこのタスクに必要なフィールドのみに制限します。

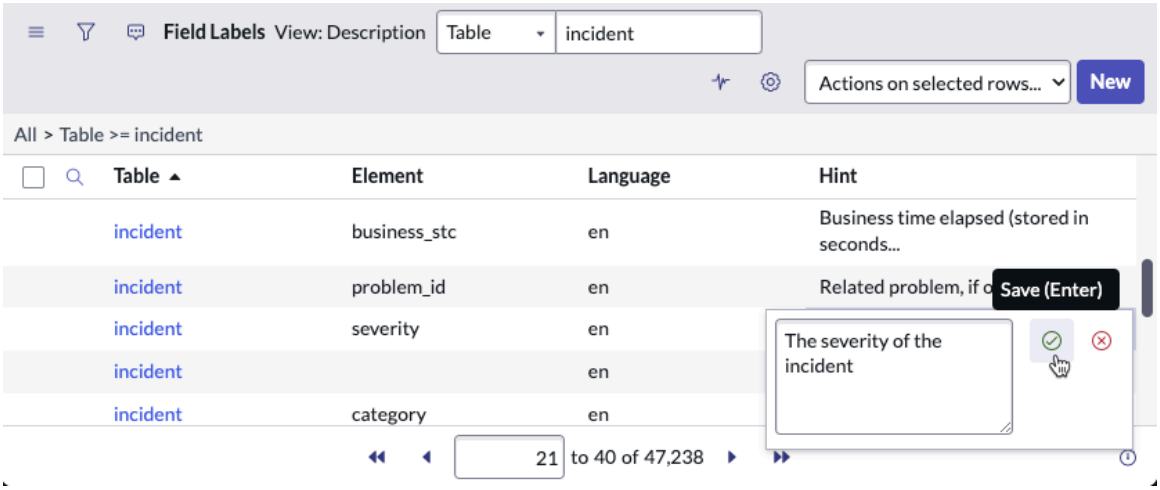
   ヒント

   レポート デザイナーでユーザーに表示されるテーブルとフィールドの説明が含まれています。

自動翻訳

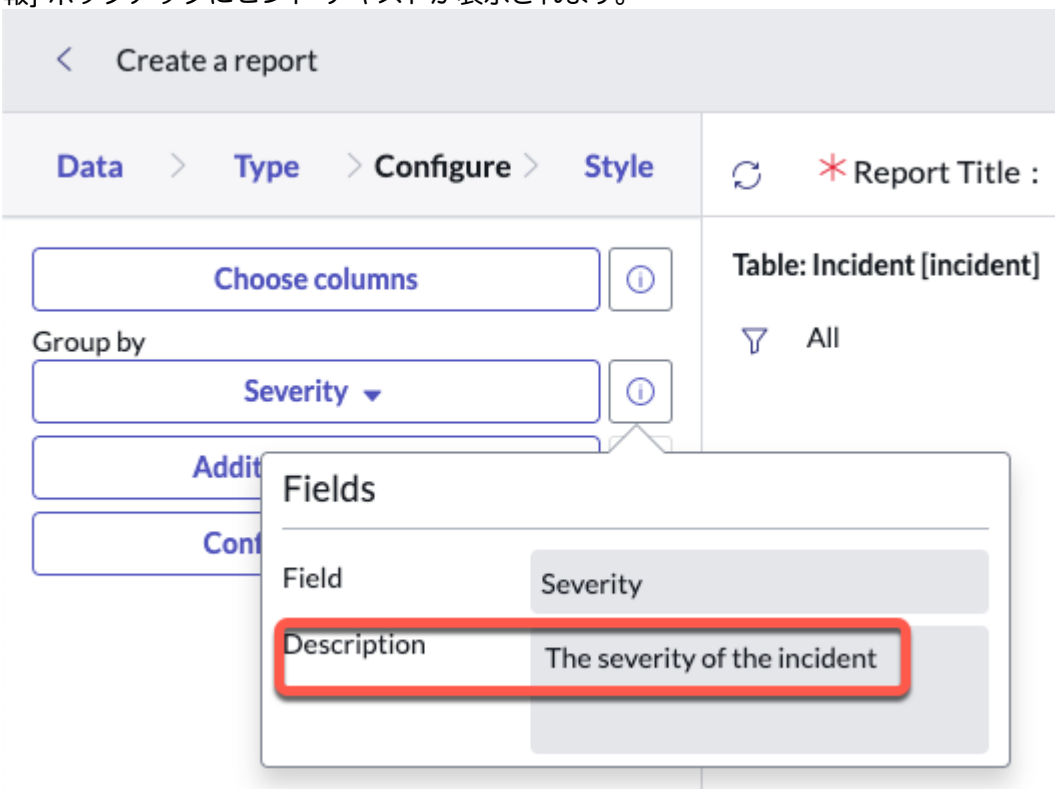
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

2. [ヒント] 列のセルをダブルクリックし、説明を追加または編集します。
   チェックアイコンをクリックして、説明を保存しま



す。

タスクの結果
レポート デザイナーで、ヒントを追加したフィールドでグループ化すると、そのフィールドの [情報] ポップアップにヒント テキストが表示されます。



マルチレベル ピボット レポートの色分けルールを作成する

マルチレベル ピボット テーブル レポートでの数値の表示方法に関するルールを構成します。色分けルールを使用すると、より重要な値を簡単に強調表示できます。カラー ルールは、ピボット レポートのセルの内容に適用されます。

始める前に
必要なロール：report_admin または admin

注:
マルチレベル ピボット レポートの合計セルに色分けルールを適用することはできません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. レポート デザイナーの [スタイル] タブで、[カラーリング ルールの編集] を選択します。
「セキュリティ制約により、要求されたページにはアクセスできません」というエラーメッセージが表示された場合は、アクセス制御リストによってアクセスが禁止されています。必要に応じて、security_adminロールを持つユーザーは、マルチレベルピボットルール [sys_report_mpivot_rule] テーブルに読み取りおよび書き込みアクセス制御リスト (ACL) を作成する必要があります。
2. [マルチレベル ピボット ルール] ダイアログ ボックスで、[新しいルール] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

マルチレベル ピボット ルールのフィールド

フィールド	説明
演算子	セルの値を評価するときに使用する演算子 ([次の値を超える]、[次の間] など)。たとえば、セルのスタイルを 5 未満の値に設定するには、[未満] を選択し、[値 **1]** の値に 5 を指定します。
値 1	セル値を評価するための数値。[演算子] の値が [次の間] の場合、[値 **1]** フィールドには小さい方の値を入力します。 **注:** 期間値に基づくルールを作成する場合は、期間を秒単位で指定します。
値 2	このルールに一致するためにセルに含めることができる最大値。このフィールドは、[演算子] の値が [次の間] の場合にのみ表示されます。
フォントの色	このルールに一致するセルに適用するフォントの色。
背景色	このルールに一致するセルに適用する背景色。このオプションは、マルチレベル ピボット テーブル レポートにのみ適用されます。
ルール オーダー	ルールが適用される順序を決定する数値。ルール オーダーが高いルールほど後で適用され、オーダーが低いルールほどオーバーライド (無効化) されます。 たとえば、140 より大きい値のセルに一致するルールと、150 より小さい値のセルに一致するルールがあります。それらより高いオーダーのルールは 141 ～ 149 の値を持つセルに適用されます。

4. [送信] を選択してルールを保存し、別のルールを作成するか、[**OK**] を選択してルールを保存し、レポート デザイナーに戻ります。

単一スコア レポートの色付けルールを作成する

値が重要である理由を強調するために、単一スコア レポートでの数値の表示方法に関するルールを構成します。

始める前に

必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。

この作業は、単一スコア レポートのスタイル オプションを構成する作業の一部です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. レポート デザイナーの [スタイル] タブで、[カラーリング ルールの編集] をクリックします。
2. [マルチレベル ピボット ルール] の [単一スコアの色ルール ビュー] ダイアログ ボックスで、[新しいルール] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

単一スコアの色ルールフィールド

フィールド	説明
演算子	値を評価するときに使用される演算子 (「より大きい 」や 「次の間」など)。たとえば、5 未満の値をスタイル設定するには、[未満] を選択し、[値**1**] の値を 5 に指定します。
値 1	セル値を評価するための数値。[演算子] の値が [次の間] の場合、[値**1]** フィールドには小さい方の値を入力します。 注: ○ カラー ルールが集計値に適用されます。 ○ 期間値に基づくルールを作成する場合は、期間を秒単位で指定します。
値 2	このルールに一致する最大値。このフィールドは、[演算子] の値が [次の間] の場合にのみ表示されます。
フォントの色	このルールに一致する値に適用するフォントの色。検索アイコン () を選択して既存のリストから色を選択するか、16 進数の色値を入力します。
ルールオーダー (オプション)	色ルールが適用される順序を決定する数値。 ルールは最低値から最高値の順に評価されます。たとえば、1 つのルールで値 7 に青色を適用し、2 番目のルールで 1 ～ 10 の値に赤色を適用します。7 を青色にする場合は、最初のルールの [ルール順序] の値を大きくして、2 番目のルールによって上書きされないようにします。 ルールの順序を指定しない場合、カラーリング ルールは作成された順序で適用されます。

4. [送信**(Submit**)] をクリックしてルールを保存し、新しいルールを作成するか、[**OK**] をクリックしてルールを保存し、レポート デザイナに戻ります。

タスクの結果
ルールで指定した色は、編集中の単一スコア レポートに適用されます。

ドメイン分離とレポート

ドメイン分離は、レポートと、それがレポートの作成と管理にどのように関連しているかでサポートされています。 ドメイン分離では、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートレベル：標準

- ベーシックレベルサポートを含みます。
- ビジネスロジック：サービスプロバイダー (SP) によって顧客ごとにプロセスを作成または変更できます。ユースケースには、単一のインスタンスでの複数のサービスプロバイダー顧客によるアプリケーションの正しい使用が反映されています。
- インスタンスのオーナーは、特定のアプリケーションに期待される通りに、テナントごとに MVP ビジネスロジックとデータパラメーターを設定できる必要があります。

サンプルユースケース：管理者は、レコードを他のテナントに対してはクローズしないが、1 つのテナントに対してクローズする場合、コメントを必須にすることができる必要があります。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメイン分離のサポート)」を参照してください。

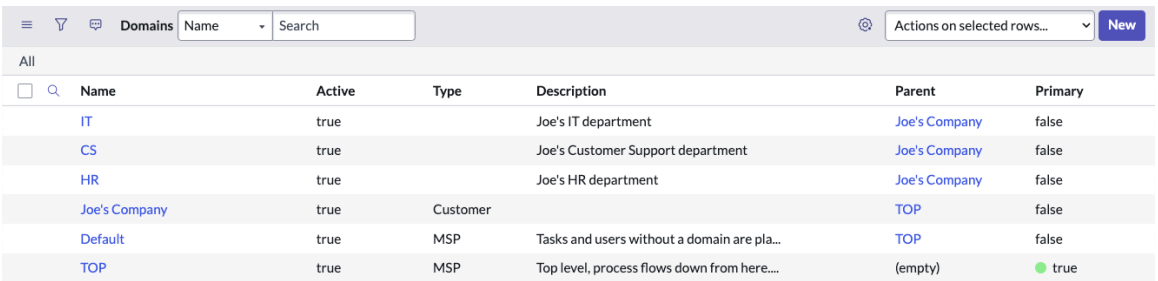
概要

ドメイン分離プラグインを有効にするには、「 ドメイン分離を要求する」を参照してください。

レポートでのドメイン分離の仕組み

レポートの場合、分離されるデータにはレポートのデザインとレポートの内容が含まれます。グローバル レベルで定義されたレポートは、すべての子ドメインのユーザーに表示されます。下の図の TOP ドメインは、グローバル ドメインを表しています。

- TOP ドメインで作成されたレポートは、Joe の会社ドメインのユーザー、および Joe の会社の HR、CS、IT の子ドメインのユーザーに表示されます。
- IT、CS、HR のいずれかの子ドメインで作成されたレポートは、他の子ドメインのユーザーには表示されませんが、親の Joe の会社ドメインのユーザーには表示されます。
- 親の Joe の会社ドメインで作成されたレポートは、そのドメイン内のユーザーだけが使用でき、子ドメインのユーザーは使用できません。



Name	Active	Type	Description	Parent	Primary
IT	true		Joe's IT department	Joe's Company	false
CS	true		Joe's Customer Support department	Joe's Company	false
HR	true		Joe's HR department	Joe's Company	false
Joe's Company	true	Customer		TOP	false
Default	true	MSP	Tasks and users without a domain are pla...	TOP	false
TOP	true	MSP	Top level, process flows down from here....	(empty)	true

ただし、あるドメインでレポートを作成して別のドメインにコピーした場合、レポートの構造は変わりませんが、レポートがアクセスするデータはドメイン用に調整されます。たとえば、アクティブなインシデントを表示する [incident] テーブルのレポートの場合、親ドメインのユーザーにはすべてのアクティブなインシデントが表示されますが、IT ドメインのユーザーには IT のインシデントのみ表示されます。

関連情報

アプリケーションでのドメイン分離のサポート

ドメイン分類の概要

レポートでドメイン分離を有効にする

ドメイン分離プラグインを有効にして、ログオンしたユーザー ドメインのデータ、ルール、および設定に基づいてレポートにコンテンツを表示できるようにします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール：security_admin

このタスクについて
デフォルトでは、ドメイン サポート プラグインによって特定のテーブルのデータがドメイン別に分離されます。ただし、MSP 拡張プラグインがインストールされていない限り、レポートはドメイン別に分離されません。レポートにはユーザーのドメインのデータのみ表示されますが、ユーザーはすべてのレポートを表示できます。

MSP 拡張プラグインがインストールされていない場合は、次の手順に従ってレポートのドメイン分離を有効にします。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 管理 をクリックし、ドメイン別に分けるレポートを選択します。
2. ヘッダーを右クリックし、 構成 > 辞書.
3. [sys_domain] フィールドでディクショナリを設定し、[参照] フィールドにこのレポートのドメインを入力します。
   空白のままにすると、レポートはグローバルになります。
   [ドメイン] フィールドがレポートに表示され、このフィールドからテーブルが参照されます。
   フォームにドメイン フィールドが表示された後、テーブル内のすべてのレコードのドメイン フィールドが有効になります。デフォルトでは、これらのレコードはすべてグローバルです。

関連情報

Domain Separation を要求する

レポートのクイックスタートテスト

アップグレードの適用などの構成変更を行った後も、それが レポート 変わらず 正常に動作 するかを検証します。自分のインスタンスに固有のデータを使用するときは、それが成功するように、これらのクイックスタートテストをコピーしてカスタマイズします。

レポート クイックスタートテスト Automated Test Framework - レポートプラグイン (com.glide.automated_testing_impl.report) は、デフォルトまたはインスタンスの再起動時にアクティブ化されます。

注:
レポート クイックスタートテストはダッシュボードからのレポートアクセスをテストしません。ダッシュボードをテストするには、「ダッシュボードのクイックスタートテスト」を参照してください。

レポート クイックスタートテスト

テスト	説明	リリースバージョン
レポートの可視性	レポートを共有しているユーザーにレポートが表示されるかどうかを確認します。	Madrid

関連情報

クイックスタートテスト

レポート可視性テストステップ

これらの事前設定されたサンプルテストステップをカスタマイズできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
レポート可視性テストには、次の 2 種類のステップが含まれています。

代理操作

この手順を設定する場合は、後続の確認手順を実行するときに代理操作するユーザーを選択します。アクセスをテストするロールを持つユーザーを選択します。

レポートの可視性

この手順を設定するときは、テストするレポートを選択します。また、テストが成功して陽性か陰性かを選択します。つまり、ユーザーがレポートを表示できるときにレポートの表示が成功するか、ユーザーがレポートを表示できないときにレポートの表示が成功するかを設定します。

プラグインに含まれるサンプルテストには、次の 3 つのステップが含まれています。

手順

1. ユーザーの代理操作を行います。
2. テストユーザーがテストレポートを表示できることを確認します。
3. テストユーザーがテストレポートを表示できないことを確認します。

次のタスク
ただし、テストをカスタマイズする場合は、2 つのタイプのステップを追加して設定することで、任意の論理シーケンスでステップを組み合わせることができます。たとえば、レポートの可視性テストを次のように構成できます。

1. 「Impersonate a user」を参照してください。
2. このユーザーがレポートを表示できることを確認します。
3. このユーザーが別のレポートを表示できることを確認します。
4. このユーザーが 3 番目のレポートを表示できないことを確認します。

カレンダー レポートをカスタマイズする

カレンダー タスクに表示されるフィールドを指定できます。

デフォルトでは、 数値と **short_description** のフィールドが表示されますが、この動作は構成可能です。さまざまなフィールドに対してレポートのラジオ ボタンを構成し、優先度や承認ステータスなどのプロパティーによってカレンダー エントリーをハイライト表示することができます。タスク プロパティーごとに固有のハイライト表示カラーを選択できます。

カレンダー エントリーの表示方法を構成する

テーブルのカレンダー エントリーの表示方法を構成するには、そのテーブルの「システム辞書」エントリーに calendar_elements 属性を追加します。

始める前に
必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権限が必要です。

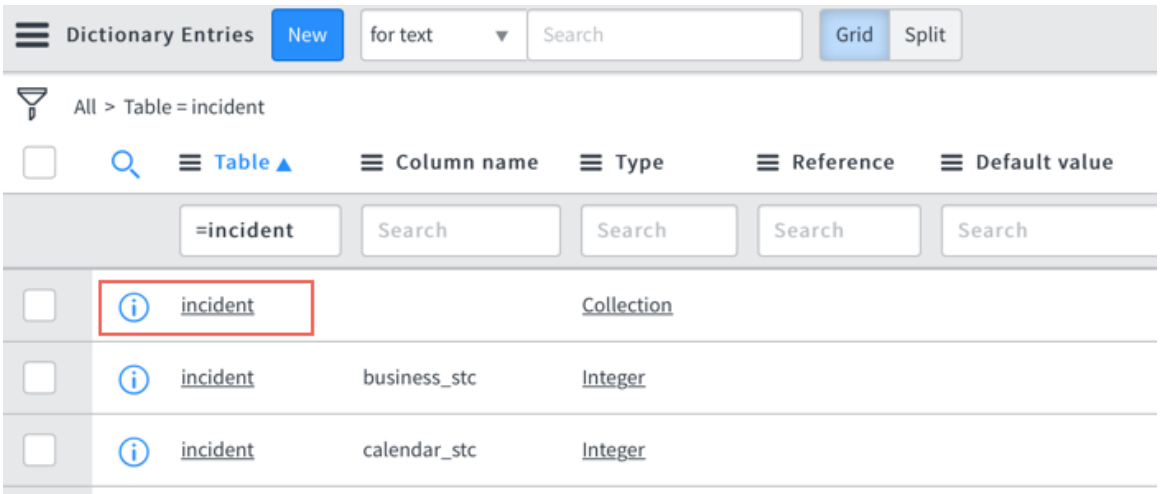
手順

1. テーブルの任意のレコード用のフォームを開きます。
2. フォームヘッダーを右クリックし、 構成 > 辞書.

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

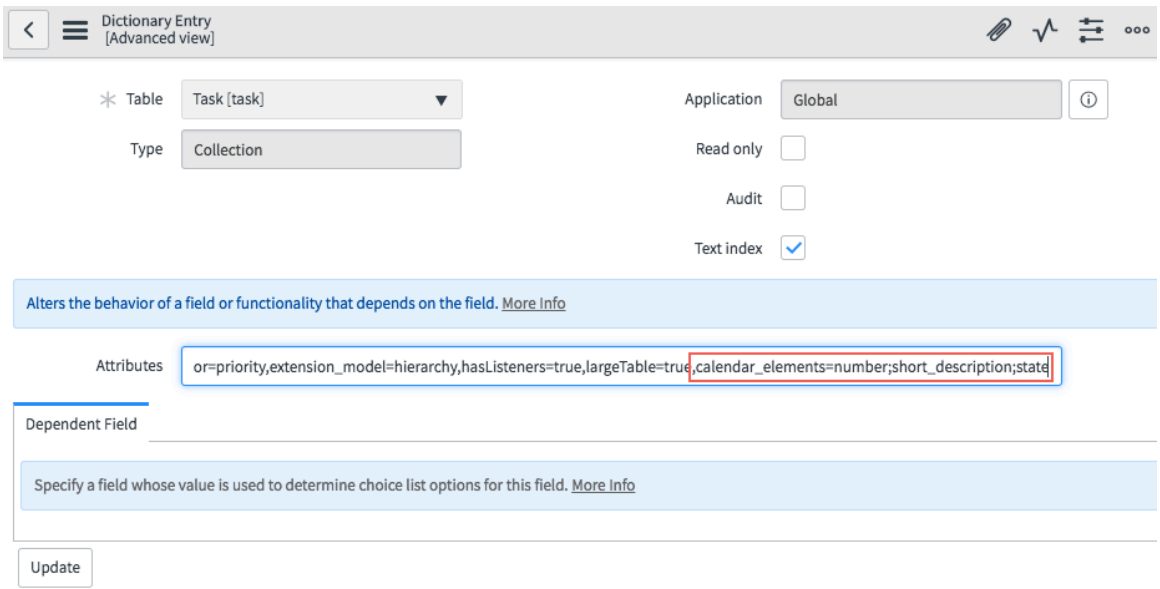
3. 表示されるレコード リストで、[列名] フィールドに値が存在しない最初のレコードを選択します。



4. [辞書エントリー] フォームを詳細ビューに切り替えます。
5. [属性] フィールドに を追加し *calendar_elements=<field name>;<field name>*、カレンダー レポートの各エントリに表示するフィールドをセミコロンで区切ってリストします。

> **注:**
> カレンダー要素の属性を定義すると、デフォルトの表示要素である **number** フィールドと **short_description** フィールドが、このフィールドに列挙した属性に置き換えられます。カレンダー エントリーにさらに属性を追加し、変更された番号と簡単な説明を保持するには、**number** フィールドと **short_description** フィールドを属性に含めます。たとえば、タスク カレンダーにステータス情報を追加するには、タスク テーブルに次の属性を追加します。

```
calendar_elements=number;short_description;state
```



6. テーブルにすでに属性が存在する場合は、次の例のように、追加する属性をカンマで区切ります。

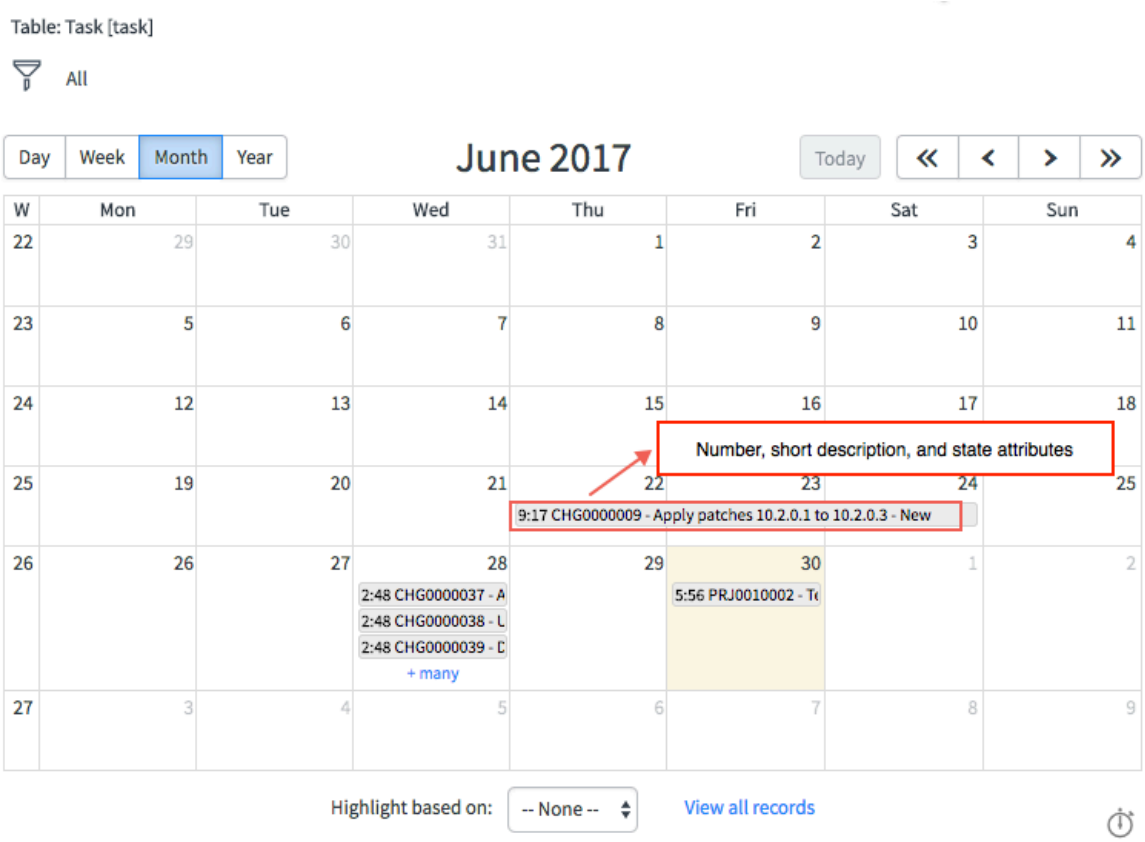
```
reference_index_include=active,calendar_elements=number;short_description;state
```

7. [更新] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

タスクの結果
選択したテーブルに対して追加した属性が、カレンダー エントリーに表示されます。



カレンダー・レポートのシステム・プロパティーの変更と追加

システム プロパティーの値を指定して、カレンダー イベントでのタスク テーブルのハイライト表示を無効にしたり、カレンダー セル内のイベント数を制限したり、カレンダー週の開始日を変更したりすることができます。

カレンダー イベントがハイライト表示されるようにタスク テーブルのフィールド スタイルを上書きする

カレンダー レポートのイベントのハイライト表示は、特定のテーブルに対して定義されるフィールド スタイルで構成されます。カレンダー レポートで、テーブルのフィールド スタイルを使用するか、またはレポートのベースになっているレポート ソースのフィールド スタイルを使用するかを構成できます。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
デフォルトでは、タスク [task] テーブルのフィールド スタイルがカレンダー レポートに適用されます。カレンダーレポートが、テーブルまたはレポート ソースのフィールド スタイルを使用するように構成されている場合は、これらのフィールド スタイルによってタスク テーブルのスタイルが上書きされます。

手順

1. フィルター ナビゲーターで、「sys_properties.list」と入力します。
2. *glide.ui.report.extend_calendar_choices*このプロパティを選択して、カレンダーのハイライト表示の際に使用するフィールドスタイルを指定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- False の場合、カレンダー レポートでは、カレンダーのハイライト表示のオプションを決定するときに、タスク テーブルのスタイルのみ使用されます。たとえば、変更要求 [change_request] のカレンダー レポートでは、タスク [task] テーブルのスタイルのみが使用され、2 つのテーブルの組み合わせによるスタイルは使用されません。
- True の場合、カレンダー レポートでは、カレンダー レポートのベースになっているテーブルのフィールド スタイルが使用されます。

3. [更新] をクリックします。

カレンダー日に表示されるイベントの数を制限する

カレンダー レポートでは、一部のカレンダー ビューに表示されるイベントの最大数を構成できます。

始める前に
必要なロール:report_admin、admin

このタスクについて
イベントの最大数を超えると、[**+] <数値>** リンクが表示され、ポップアップ ウィンドウが開いて追加のイベントが表示されます。このポップアップ ウィンドウに表示されるイベントの最大数を構成することもできます。この最大値を超えると **[+** 多数] リンクが表示され、ポップアップ ウィンドウの代わりにイベントのリストが開きます。

次のカレンダー ビューに対してこれらの設定を構成できます。

- カレンダーが月ビューまたは年ビューに表示されるときのカレンダー日
- カレンダーが曜日ビューまたは週ビューになっているときのカレンダー日の一番上の「終日」セクション

手順

1. ナビゲーションフィルターで、「sys_properties.list」と入力します。
2. *glide.report.calendar.max_events_displayed_per_cell*と*glide.report.calendar.max_more_ev*ロパティを設定します。
3. [更新] をクリックします。

カレンダーの週の開始日を変更する

デフォルトでは、カレンダー レポートの週は月曜日から開始されます。代わりに、日曜日または別の日に週を開始するシステム プロパティーを追加できます。週では、開始日に関係なく ISO 番号を使用します。

始める前に
必要なロール：admin
システムプロパティは *glide.ui.date_format.first_day_of_week* 、クエリで使用される生成された日付/時刻値を変更し、レンダリングされたカレンダーの開始日を設定します。

注:

glide.ui.filter.first_day_of_week また、正しく表示するには、設定された日と同じ値 *glide.ui.date_format.first_day_of_week* に設定する必要があります。

スコア データの収集パフォーマンスアナリティクス後にプロパティを変更する*glide.ui.filter.first_day_of_week*と、週次インジケーターのスコアを表示できなくなります。それらにアクセスするには、 スコアを再度収集 する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. *glide.ui.date_format.first_day_of_week*システムプロパティを追加します。
2. 次のいずれかの整数値を設定します。

オプション	説明
月曜日を週の開始日にする	[値] を 2 に設定します。
日曜日を週の開始日にする	[値] を 1 に設定します。

3. [送信] をクリックします。

カレンダー レコードの上限を設定する

デフォルトでは、カレンダー レポートには最大 10,000 件のレコードが保存されます。この制限を変更するには、 *glide.ui.max_calendar_records* システムプロパティを設定します。取得されるレコードの数がこの制限を超える場合は、データをフィルタリングしてレポートを再実行するよう求められます。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. *glide.ui.max_calendar_records*システムプロパティを追加します。
2. フォームに次の値を入力します。

オプション	説明
名前	*glide.ui.max_calendar_records*
説明	プロパティーの機能を説明するフレーズ (「保存されたレンダー レコードの最大数」など) を入力します。
タイプ	整数
値	プラットフォームで保持されるレコード数の望ましい値を入力します。このプロパティーを構成しない場合のデフォルト値は 10,000 です。

3. [送信] をクリックします。

関連情報

システムプロパティを追加する

カレンダー レポートのイベントのハイライト表示を変更する

カレンダー レポートのイベントのハイライト表示は、フィールド スタイルによって制御されます。ハイライト表示の方法を変更するフィールド スタイルを管理します。

始める前に
必要なロール：admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
カレンダーに対して、カレンダーのベースになっているテーブルのフィールド スタイルを適用するか、またはタスク [task] テーブルのフィールド スタイルを適用できます。カレンダーのハイライト表示に適用されるフィールドスタイルは、 *glide.ui.report.extend_calendar_choices* システムプロパティによって異なります。

変更できるのはカレンダー イベントの背景色のみです。その他の CSS はすべて無視されます。フィールド スタイルが定義されていないイベントには、カレンダー レポートにハイライトが適用されるときに白い背景が表示されます。

手順

適切なテーブルのフィールドスタイルを定義します。

- すべてのカレンダー レポートのフィールド スタイルを定義するには、タスク [task] テーブルでスタイルを定義します。
- 特定のテーブルまたはレポート ソースに基づくカレンダーにのみ適用されるフィールド スタイルを定義するには、そのテーブルのフィールド スタイルを定義します。

カレンダーレポートが、テーブルまたはレポート ソースのフィールド スタイルを使用するように構成されている場合は、これらのフィールド スタイルによってタスク [task] テーブルのスタイルが上書きされます。

カレンダー条件の永続的な強調表示を設定する

レポートまたはウィジェットを閉じると、カレンダーレポートとウィジェット基準のハイライト表示は削除されます。選択した条件のハイライト表示を永続的に維持するように設定します。

始める前に
必要なロール：admin

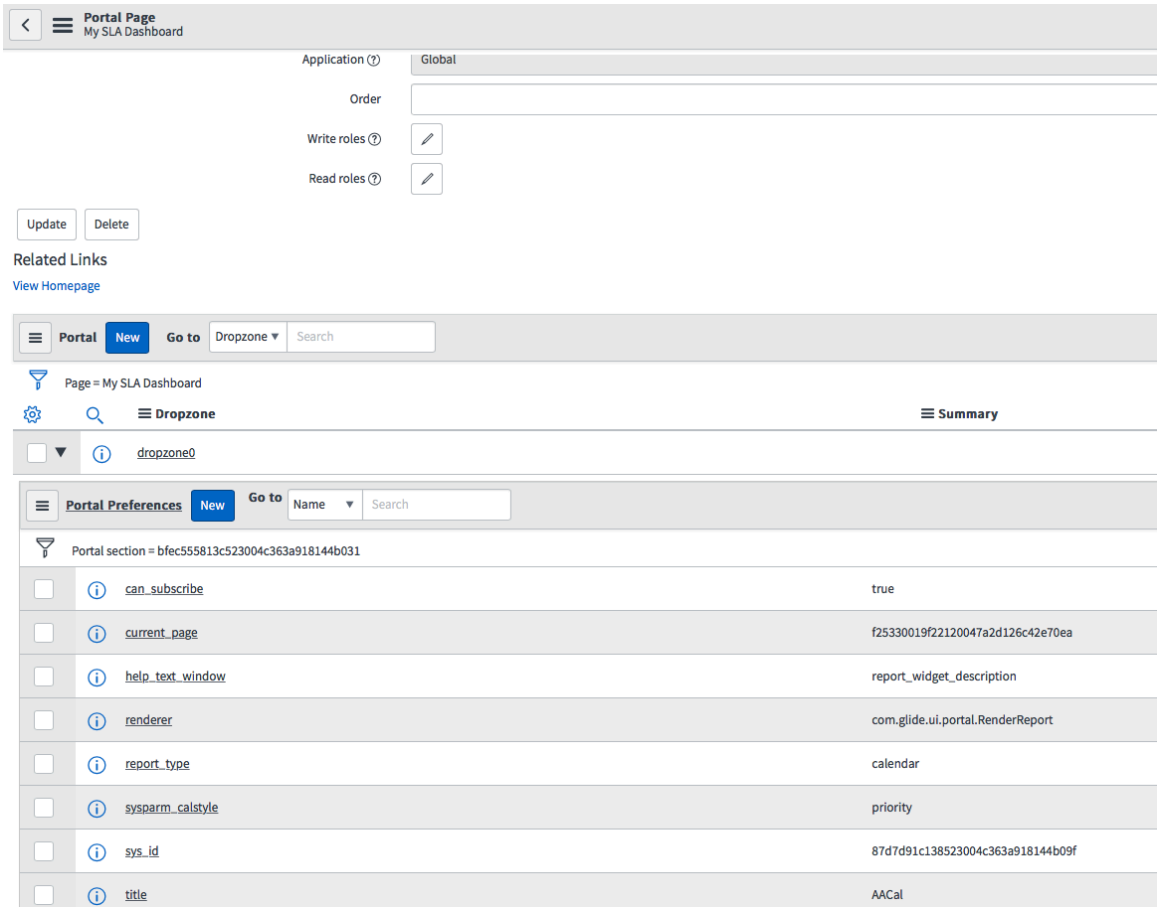
手順

1. 移動先 すべて > ホームページ管理者 > ページ.
2. カレンダーレポートが配置されているダッシュボードのタイトルを選択します。
3. カレンダーレポートタイプがリストされているドロップゾーンを選択します。
4. 新規 を選択して、新しいポータル設定を定義します。
5. これらのフィールドに入力します。

自動翻訳

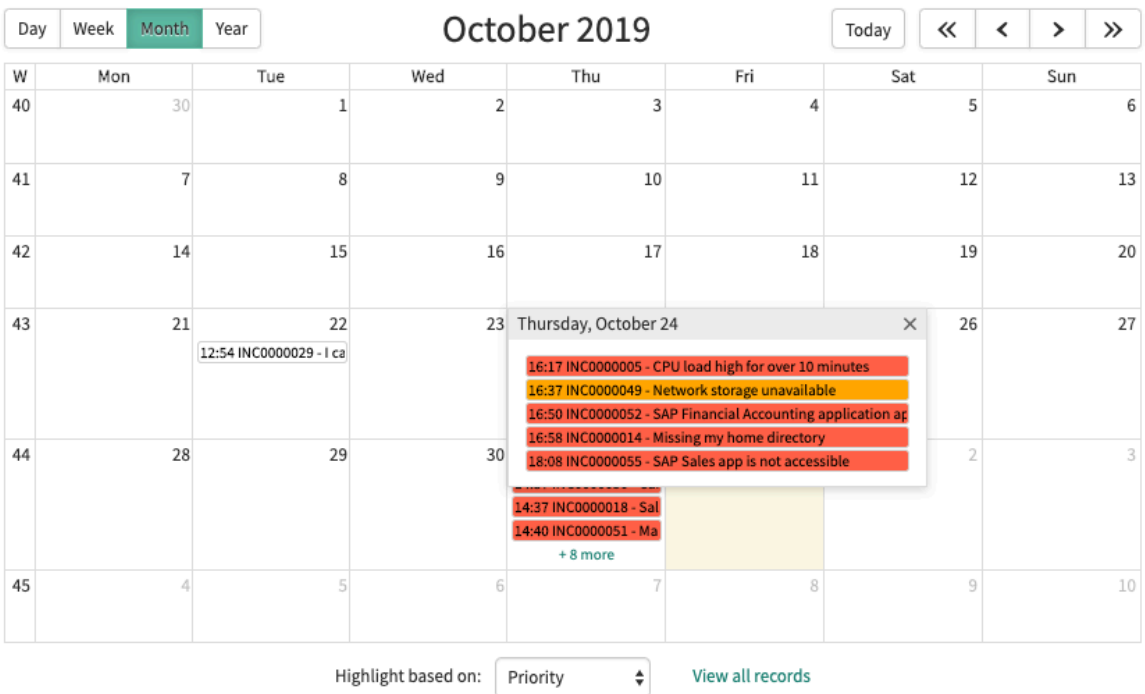
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. [更新] を選択して設定を保存し、ダッシュボードポータルページフォームに戻ります。



タスクの結果

レポートを開くたびに、選択した条件が強調表示されます。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

開始日と終了日をカスタマイズする

複数日のイベントが複数のカレンダー セルにわたるように、カレンダー レポートを構成することができます。

始める前に
必要なロール:dictionary admin または admin

このタスクについて
[作業開始日時] が月曜日で [作業終了日時] が火曜日の変更要求は、[カレンダー] フィールドに表示されるときに両方の日に表示されます。ただし、[最初日] および [最終日] という 2 つのカスタム フィールドを使用する場合は、同じ動作にはなりません。

コードでは、開始日時フィールドと同じ名前の終了フィールドが検索されますが、「開始」ではなく「終了」という語が使用されます。カスタム フィールドが [自分の開始日時] および [自分の終了日時] の場合には、「開始」と「終了」の語を除いて名前が同じであるため、これらのフィールドの意味は正しく解釈されます。

手順

1. 「 テーブルのフィールドを追加およびカスタマイズする 」の手順に従います。
2. フォームに次の値を入力して、開始日のスパン フィールドを作成します。

3. 終了日のスパン フィールドについて、次の値を使用して別のフィールドを追加します。

レポートのグループ化ラベルを翻訳する

翻訳されたテキストフィールドで結果をグループ化するレポートを実行する場合、個々のフィールドラベルと値が翻訳済みとして表示されるようにするには、translated_textタイプを使用します。

> **注:**
> レポートでは、translated_textタイプの列のみがサポートされます。

[翻訳されたテキスト] フィールドで結果をグループ化するレポート (マルチレベル ピボットや棒グラフ レポートなど) を実行すると、インスタンス言語を英語から別の言語に変更すると、一部のラベルが翻訳済みとして表示されないことがあります。これらのフィールドラベルは、 翻訳名/フィールド テーブル からのエントリです。

翻訳エラーは、レポートの最初の行または列を超える数を翻訳する場合、またはグループ化用のカスタム フィールドを作成する場合に発生する可能性があります。translated_textタイプを使用して、個々のフィールドラベルと値を翻訳 します。特定のレポートタイプの [設定] タブで使用できるグループ化オプションについては、「」を参照してください レポートタイプ 。

レポートのカスタム フィールドを作成しても、ラベルは自動的に追加されません。フィールドラベル テーブル にラベルを追加し、フィールドラベルを手動で翻訳 する必要があります。

関連情報

- 翻訳テーブル
- テキストフィールドを翻訳する
- 国際化サポート

レポート管理モジュール

を使用して、プラットフォームで ServiceNow レポートを管理する方法を学びます。 レポート > 管理 移動します

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このモジュールはデフォルトでは有効になっておらず、有効にする必要があります。プラットフォームで ServiceNow 提供されるレポート ロールのリストについては、次を参照してください レポート ロール。

> **注:**
> レポートをロール別に制限すると、レポートを表示できるユーザーが制限されます。管理者ロールを持たないユーザーは、グローバル レポートを編集することはできません。管理者以外のユーザーがグローバル レポートを編集した場合、そのレポートを保存すると、そのユーザーに属するカスタマイズ バージョンが作成されます。

標準のレコード リスト コントロールのいずれかを使用してレポートをフィルタリング、表示、または変更するには、レコード リスト ビューを使用します。[新規] をクリックしてレポートを作成するか、または任意のレコードを選択してレポートをフォームとして表示します。ServiceNow のすべての標準のフォーム コントロールが適用されます。

レポートするテーブルとフィールド、およびレポート形式の特性を選択することができます。[フィルター] フィールドに条件を作成して、レポートに表示されるデータをさらに限定し、レポートを使用できるロールを選択します。

レポートのセキュリティー

レポートのセキュリティーのアクセス制御チェックの適用プラグインを使用すると、管理者はアクセス制御リスト (ACL) ルールを使用してレポート アクセスを制限できます。この機能により、権限のないユーザーは、UI または URL 構成を使用してレポートを編集、更新、または削除することができなくなります。詳細については、「 アクセス制御リストのルール 」を参照してください。

利用可能なレポート フィールド

次のフィールドを操作できます。

フィールド	入力値
タイトル	一意でわかりやすいレポートの名前。
テーブル	このレポートが実行される対象の ServiceNow テーブル。
フィールド名	group-by フィールドの名前。
タイプ	このレポートのレポート タイプ。
チャート サイズ	大、中、または小。
表示対象	レポートの表示を許可されたメンバーが属しているグループを選択します。すべてのユーザーにアクセス権を付与するには、[全員] を選択します。
ユーザー	グラフを表示できるユーザー。すべての人がレポートにアクセスできるようにするには、「GLOBAL」と入力します。
フィルター	レポート データに適用されるフィルター。
ロール	レポートの表示に必要なロール。
以下のフィールドは、フォームに追加された場合に使用できます。	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	入力値
集計	レポートでのデータの集計方法を決定します。デフォルトは [カウント] で、選択されたレコードの数が表示されます。[平均]、[合計]、または [個別のカウント] を選択すると、データの集計に使用する値を持つ追加のフィールドのリストから選択できます。平均または合計として使用する典型的な値としては、[ビジネス継続時間] (日単位、時単位、分単位) や [解決時間] (秒単位) などの時間測定値があります。その他の [優先度] などのフィールドでは、数値がそのレベルに関連付けられており、集積者として使用することができます。 **注:** 平均は、すべてのフィールドの合計を、値を含むフィールドの数で除算することによって計算されます。空のフィールド、または明るい灰色のゼロを含むフィールドは、合計を除算する際に使用されるフィールド数には含まれません。
コンテンツ	レポートの内容を記述する HTML フィールド。レポートの生成では処理されません。
グリッドを表示	グラフの下に、要求されたデータの内訳を含むテーブルを表示する場合に選択します。集計単位は、[カウント]、[平均]、[合計]、または [個別のカウント] です。それぞれの個別の部分によって表される合計データの割合が表示されます。
グループ	レポートの表示を許可されたメンバーが属しているグループを選択します。すべてのユーザーにアクセス権を付与するには、[全員] を選択します。
間隔	傾向グラフまたは Trendbox グラフで、グラフに沿って測定する時間間隔。
グループはありません	グラフに表示される棒の数を制限するには、このリストの値を使用します。デフォルトでは、高い値から低い値までの 12 本の棒を表示し、残りのデータを [その他] カテゴリーに置きます。10 本、12 本、15 本、20 本、またはすべての棒を表示することを選択できます。
その他	レポートに [その他] グループを追加するには、このチェック ボックスをオンにします。
リストのフィールドを選択	リストレポートに表示するフィールド。
orderByのフィールドを選択	レポートに表示されるフィールドの順序。
空を表示	空のカテゴリーを表示するかどうか。
合計フィールド	傾向グラフまたは Trendbox グラフで、合計を実行する対象のフィールド。
傾向フィールド	傾向グラフまたは Trendbox グラフで、時間の経過とともに追跡するフィールド。

レポートの参照

ロール、プロパティ、およびその他の情報のその他のテーブル。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このセクションには、レポートのデータ集計タイプ、レポート ロール、プロパティ、およびレポート デザイナーのキーボード ショートカットを説明する表があります。

レポートの集計

集計では、レポートに表示されるデータに計算を適用できます。

- カウント集計は、レポートの各要素のレコード数を示します。
- 個別のカウントは、指定されたフィールドの一意の値の数を提供します。
- [平均] は、特定のフィールドの値の算術平均を示します。
- [合計] には、集計値の合計が表示されます。
- [最小] と [最大] には、表示された各カテゴリの最小値または最大値が表示されます。
- 標準偏差は、特定のフィールドの平均値からのデータの偏差を示します。

[平均]、[合計]、[個別のカウント]、[最小]、[最大]、または [標準偏差] を選択すると、拡張テーブルのフィールドで集計できる場合があります。「拡張テーブルのレポート作成方法」を参照してください。

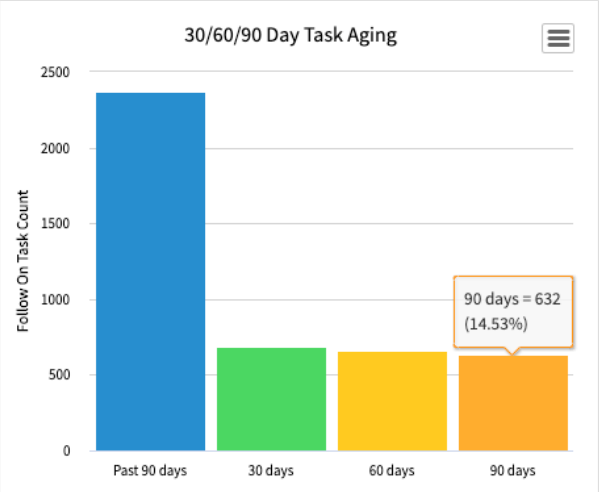
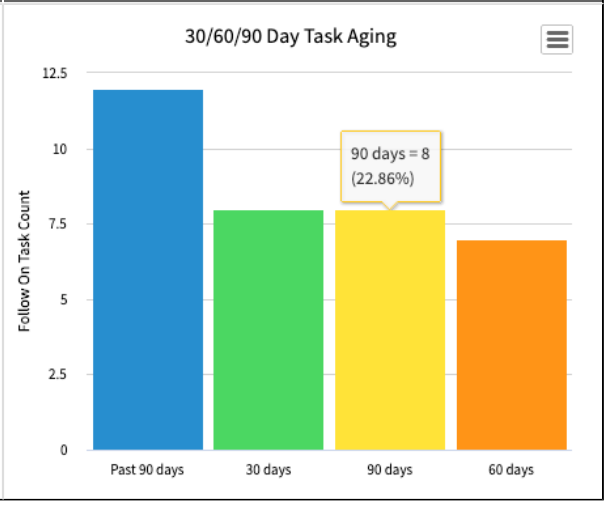
FX 通貨値の集計については、「レポートの FX 通貨値」を参照してください。

カウント集計

デフォルトの集計は **[Count]**です。カウント集計は、選択したレコードの数を示します。

一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。たとえば、実行されているタスクタイプの個別の数の値を表示するとします。複数の顧客に対して実行されているタスクタイプは、[個別のカウント] を使用しない限り、複数回カウントされます。

次の画像は、Count と Count Distinct を比較したものです。1 つ目は、1 つの列の生のカウントが 632 であることを示しています。2 つ目は、同じ列の個別のカウントが 8 のみであることを示しています。

カウント	個別のカウント
	

平均

[平均] には、集計するフィールドの算術平均が表示されます。たとえば、期間フィールドを選択します。集計されたデータは、日、時間、分、秒で表されます。(期間を設定して、必要な詳細レベルを

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

表示できます。 [優先度] などの整数フィールドを選択すると、データは 10 進数の数値で表されます。

平均集計を選択する場合は、 パーセンテージ計算 [データ テーブルの表示] を選択すると、パーセンテージ計算が表示されます。

集約を使用

[平均のパーセンテージ] という列に、平均の合計量の一部としてパーセンテージを表示します。たとえば、このデータテーブルでは、照会、ネットワーク、およびソフトウェアのインシデントの平均期間は約 1 日と 16 時間で、平均ビジネス時間全体の 30% (またはそれ程度) でした。ハードウェアインシデントの平均所要時間は 12 時間で、これはインシデントの合計平均ビジネス時間の約 9% に相当します。

Aggregation

Category	Average Business duration	Percentage of Average
Inquiry / Help	1 Day 16 Hours 52 Minutes 26 Seconds	30.63%
Network	1 Day 16 Hours 40 Minutes 27 Seconds	30.48%
Software	1 Day 15 Hours 54 Minutes 58 Seconds	29.91%
Hardware	12 Hours 0 Minutes 0 Seconds	8.99%
Total	**1 Day 9 Hours 21 Minutes 57 Seconds**	**100%**

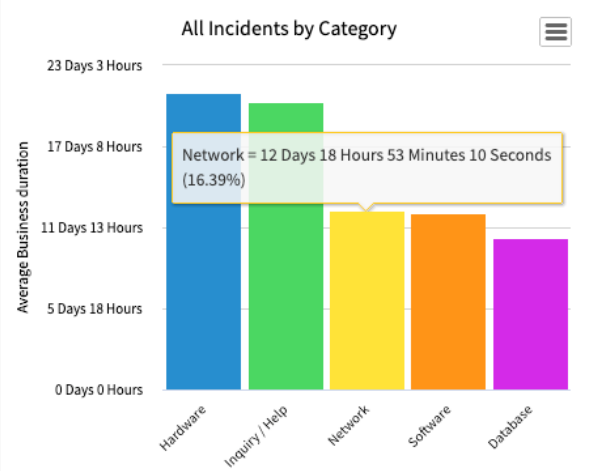
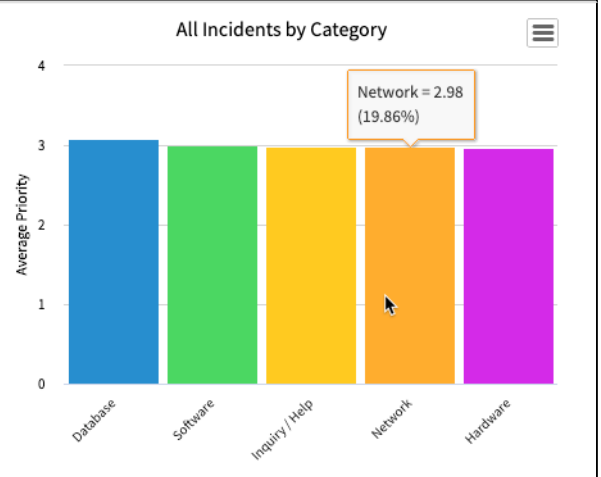
レコード数を使用

各カテゴリのレコード数を、可視化されたレコードの合計数に対する割合として、[インシデントの割合] という列に表示します。このデータテーブルには、各カテゴリで同じ平均ビジネス時間が表示されますが、パーセンテージはそのカテゴリ内のインシデント数に対するものです。たとえば、照会インシデントは全インシデントの約 17%、ソフトウェアインシデントは全インシデントの約 77% を占めていますが、これらのインシデントの解決に要する平均時間は 30% 程度です。一方、ハードウェア インシデントは全インシデントの 1% 未満ですが、平均期間は合計平均解決時間の 9% です。

Aggregation

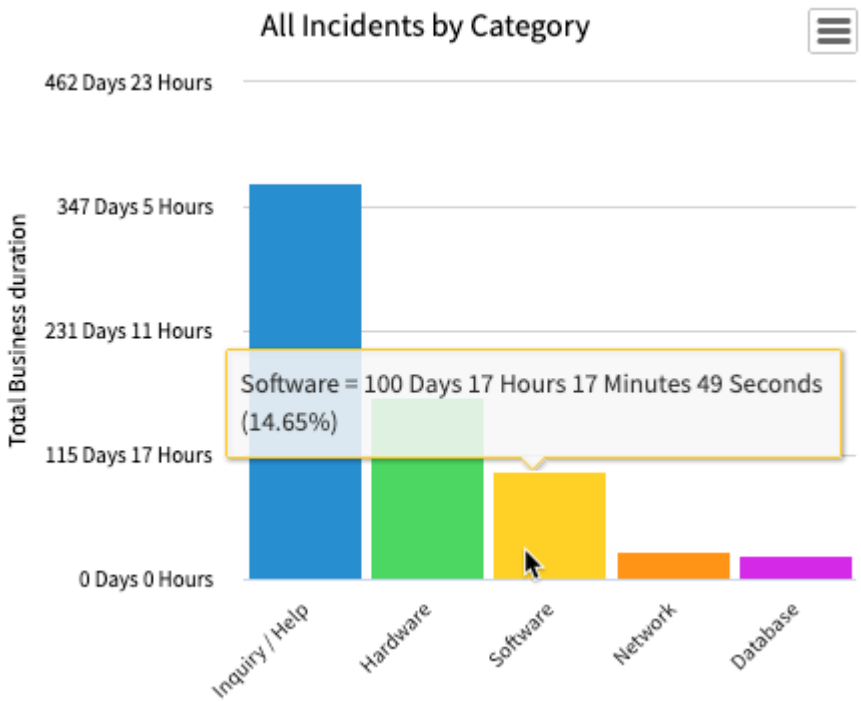
Category	Average Business duration	Percentage of Incidents
Inquiry / Help	1 Day 16 Hours 52 Minutes 26 Seconds	16.69%
Network	1 Day 16 Hours 40 Minutes 27 Seconds	6.58%
Software	1 Day 15 Hours 54 Minutes 58 Seconds	76.67%
Hardware	12 Hours 0 Minutes 0 Seconds	0.06%
Total	**1 Day 9 Hours 21 Minutes 57 Seconds**	**100%**

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

平均時間	平均優先度
	

合計

集計するフィールドの合計を表示するには 、[合計] を選択します。たとえば、期間フィールドを選択します。集計されたデータは、日、時間、分、秒で表されます。(期間を設定して、必要な詳細レベルを表示できます。 [優先度] などの整数フィールドを選択すると、データは整数で表されます。

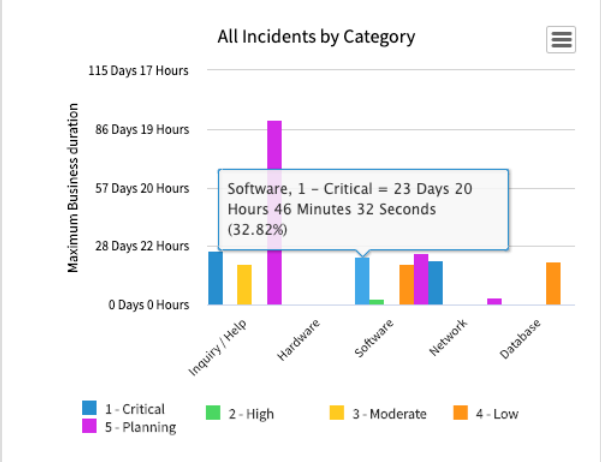
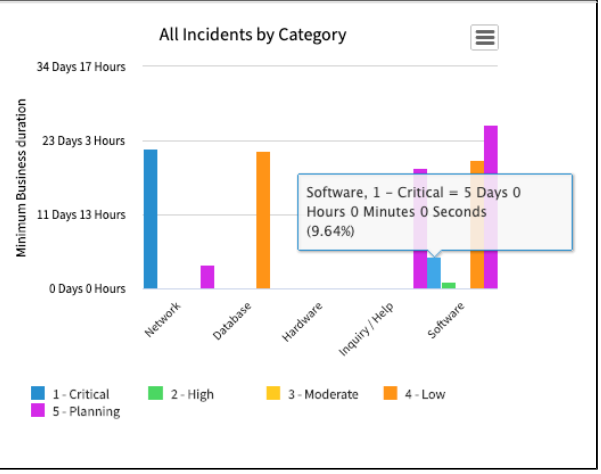


Minimum and Maximum

[最小] または [最大] を選択して、レポートの各セグメントの最大値または最小値を表示します。たとえば、優先度別にグループ化されたインシデントに最大集計を適用します。レポートには、ビジネス期間が最も長い各優先度のインシデントのバーが表示されます。

次の画像は、グループ化されたバーを使用してインシデントの各カテゴリのさまざまな優先度を並べて表示している最大期間と最小期間を示しています。積み上げ棒は、積み上げの一番上にある要素の値が大きいような錯覚を与えます。実際、バーには 2 つの要素の相対値のみが表示されています。

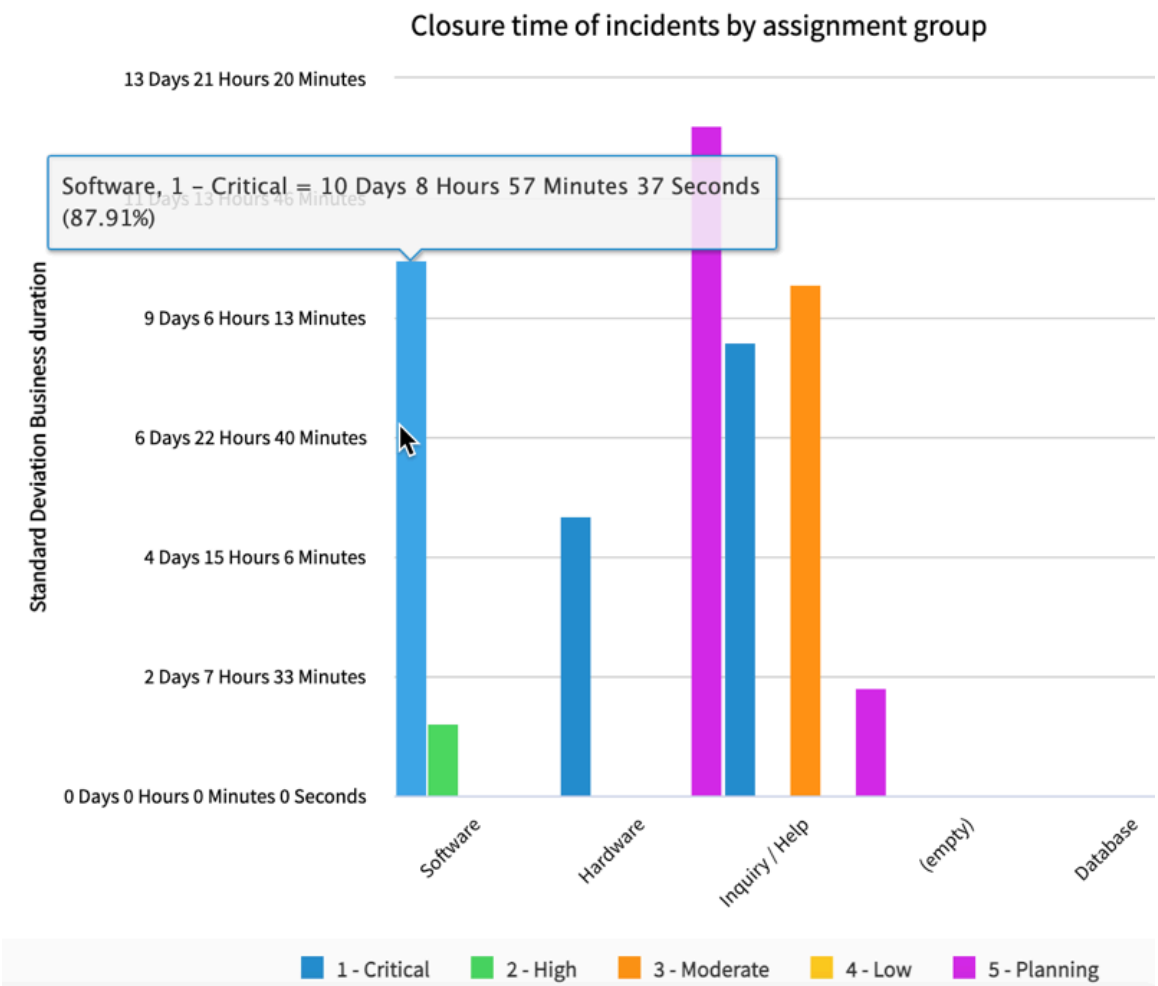
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

最大期間	最小期間
	

標準偏差

[標準偏差 (SD)] を選択して、期間または数値フィールドの平均値からの変動を確認します。たとえば、インシデントのビジネス期間に標準偏差集計を適用します。レポートには、各優先度のインシデントの平均ビジネス時間からの偏差が表示されます。

標準偏差は、常にデータと同じ単位で表されます。次の例では、データは時間単位であり、SD も時間単位です。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

カウントに関するレポートを集計

レポートを作成するときは、レコード数、平均、標準偏差など、いくつかの計算でデータを集計できます。カウント集計は、可視化の各要素のレコード数を示します。

始める前に
必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

一意のレコードのみを表示するには、[個別のカウント] を選択します。たとえば、実行されているタスクタイプの個別の数の値を表示するとします。複数の顧客に対して実行されているタスクタイプは、[個別のカウント] を使用しない限り、複数回カウントされます。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 表示/実行.
2. 集計するレポートを選択します。
3. [Configure] タブで、[**Aggregation**] リストから **[Count**] または **[Count Distinct**] を選択します。
4. [実行] を選択します。

タスクの結果
可視化のセクションは、レコード数別にグループ化されます。

合計に関するレポートを集計する

レポートを作成するときは、レコード数、平均、標準偏差など、いくつかの計算でデータを集計できます。合計集計には、集計するフィールドの合計が表示されます。

始める前に
必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 表示/実行.
2. 集計するレポートを選択します。
3. [構成] タブで、[集計] リストから [合計] を選択します。
4. 集計するフィールドを選択します。
5. [実行] を選択します。

タスクの結果
可視化のセクションは、選択したレコードの合計によってグループ化されます。期間フィールドを選択すると、集計データが日数、時数、分数、秒数で表示されます。[優先度] などの整数フィールドを選択すると、データは整数で表されます。

平均に関するレポートの集計

レポートを作成するときは、レコード数、平均、標準偏差など、いくつかの計算でデータを集計できます。合計集計には、集計するフィールドの合計が表示されます。

始める前に
必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 表示/実行.
2. 集計するレポートを選択します。
3. [構成] タブで、[集計] リストから [平均] を選択します。
4. 集計するフィールドを選択します。
5. [実行] を選択します。

タスクの結果
可視化のセクションは、選択したレコードの平均によってグループ化されます。

最小値または最大値に関するレポートを集計する

レポートを作成するときは、レコード数、平均、標準偏差など、いくつかの計算でデータを集計できます。最大集計と最小集計は、視覚化の各セグメントの最大値または最小値を示します。

始める前に
必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 表示/実行.
2. 集計するレポートを選択します。
3. [構成] タブで、[集計] リストから [最大] または [最小] を選択します。
4. [実行] を選択します。

タスクの結果
可視化のセクションは、選択したレコードの最高値または最低値の順にグループ化されます。

標準偏差に関するレポートを集計する

レポートを作成するときは、レコード数、平均、標準偏差など、いくつかの計算でデータを集計できます。標準偏差集計は、ビジュアライゼーション内の期間または数値フィールドの平均値からの変動を示します。

始める前に
必要なロール: itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。
意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 表示/実行.
2. 集計するレポートを選択します。
3. [構成] タブで、[集計] リストから [標準偏差] を選択します。
4. [実行] を選択します。

タスクの結果
可視化のセクションは、選択したレコードの最高値または最低値の順にグループ化されます。

レポート ロール

レポート は、レポートの作成を制限するロールとともにインストールされます。アクセス制御リスト (ACL) を使用して、レポートの表示と作成を制限することもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

- アプリケーションナビゲーター (左側のナビゲーションペイン) にレポートモジュールを表示するには、ユーザーは report_user ロールを持っている必要があります。
- 任意のレポート ロールまたは itil ロールを持つユーザーは、表示可能なすべてのレポートに対して、 挿入、挿入 と維持、 ダッシュボードに追加、および **PDF** にエクスポートのレポート オプションにアクセスできます。

ユーザーごとのサブスクリプション管理の詳細については、「Managing per-user subscriptions in Subscription Management」を参照し、アカウント担当者にお問い合わせください。

次の表では、 *manage* という用語は、 レポート オプション ([更新]、[削除]、および [エクスポートの設定]) へのアクセスを示します。

ロールのないアクセス

共有済みのレポートを表示できます。

ACL によるレポートアクセス

テーブルとフィールドのreport_viewアクセス制御により、レポートの読み取り、編集、および作成の機能が制限されます。管理者は他の ACL ルールを作成できます。レポートの対象であるデータへのアクセス権を付与するロールが必要です。詳細については、「ACL ルールを使用してレポートの作成を制限する」と「report_view のアクセス制御」を参照してください。

注:
レポート公開者 [report_publisher] ロールとレポートエイリアス管理者 [report_alias_admin] ロールも存在しますが、非アクティブ化された機能をサポートしています。

レポートユーザー **[report_user]**

共有済みのレポートを作成および表示します。すでに共有されているレポートを共有、編集、または削除することはできません。

含まれるロール

レポートユーザー [report_user] ロールには、可視化作成者 [viz_creator] ロールが含まれています。

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

特別な考慮事項

なし。

レポートスケジューラー **[report_scheduler]**

自分が管理できないレポートを含む、自分が表示できるすべてのレポートのメール送信をスケジュールします。このロールを持つユーザーには、レポートの作成、編集、共有の権限を付与する別のロールも必要です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

含まれるロール

レポートスケジューラー [report_scheduler] ロールには、レポートユーザー [report_user] ロールが含まれています。

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

特別な考慮事項

なし。

グループレポートユーザー **[report_group]**

全員と共有しているレポート ([グローバル] に表示) を管理できます。

含まれるロール

グループレポートユーザー [report_group] ロールには、レポートユーザー [report_user] ロールが含まれています。

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

特別な考慮事項

なし。

レポート管理者 **[report_admin]**

すべてのレポートを管理、共有、公開、およびスケジュールします。アクセス レポート > 管理 すべてのレポート関連オブジェクトを管理します。

ロールを含む

ロール内に含まれるロールのリスト。

- report_scheduler
- analytics_filter_admin
- report_global
- report_group
- gauge_maker
- viz_admin

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

特別な考慮事項

注:
より分化したロールが利用可能な場合は、管理者ロールを付与しないでください。

レポート記述管理者 **[report_description_admin]**

レポートのテーブルとフィールドの説明を読んだり更新したりします。レポート [com.glideapp.report.description_config] のプラグインテーブルとフィールドの説明の構成に含まれています。

ロールを含む

ロール内に含まれるロールのリスト。

なし。

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

特別な考慮事項

詳細については、「テーブルとフィールドの説明を管理する」を参照してください。

レポートのプロパティー

プロパティーを使用して、レポートの動作と外観を詳細に調整します。

はじめに

移動先 レポート > 管理 > プロパティ をクリックして、メインのレポートプロパティを設定します。他のレポート プロパティーを構成するには、フィルター ナビゲーターで、「sys_properties.list」と入力します。

レポートのプロパティー

プロパティー	説明
レポートデザイナーでの自然言語クエリ (NLQ) を有効にします com.snc.par.nlq.report_designer.enabled	• タイプ：true | false • デフォルト値：true • 場所： レポート > 管理 > プロパティ
x 軸ラベルを 20 文字に切り捨てます。(グラフ作成 v2 プラグインで生成されたグラフにのみ適用可能) glide.chart.truncate.x_axis_labels	• タイプ：True | False • デフォルト値：true • 場所： レポート > 管理 > プロパティ
glide.ui.chart.bar.horiz.max_col_slant_labels	ラベルを傾ける前の水平棒グラフの列の最大数を設定しま

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティー	説明
	• タイプ：整数 • デフォルト値： 5 • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブルに ティを追加 します。
グラフ作成 v2 プラグインで生成されたグラフについてアニメーションのオンとオフを切り替えます glide.chart.animation	アニメーションをサポートするレポートおよびパフォーマビジュアライゼーションで、アニメーションを有効にしま 注: マップ レポートはアニメーションをサポートしていな め、このプロパティーは無効です。 • タイプ：True | False • デフォルト値：true • 場所： レポート > 管理 > プロパティ
切り捨てられた値のデフォルトの切り捨てを設定します。 glide.chart.data_labels.remove_leading	有効にすると、デフォルトの切り捨ては左側になります。 ると、デフォルトは右側の切り捨てになります。 • タイプ：文字列 • デフォルト値：false • 場所： レポート > 管理 > プロパティ このプロパティーは、glide.chart.truncate.data_labels ている場合にのみ適用されます。
ヒストグラム チャートのビンの数 (最小 1、最大 20) glide.chart.histogram.bins	ヒストグラムの Y 軸に表示されるセクションの数を指定し • タイプ：整数 • デフォルト値：10 (値の許容範囲は 1 ～ 20) • 場所： レポート > 管理 > プロパティ このプロパティーはヒストグラム レポートに適用されます
ボックス チャートおよび trendbox グラフの平均値の色。 glide.chart.box.mean.color	ボックス レポートまたは Trendbox レポートの平均値ド 設定します。 • タイプ：文字列 • デフォルト値：#2f7ed8 • 場所： レポート > 管理 > プロパティ このプロパティーはボックス レポートおよび Trendbox 適用されます。
glide.chart.drill.open_new_win	有効にすると、ドリルダウンが定義されていない場合に、 トのリストドリルダウンが新しいタブで開きます。リスト イプのレポートにのみ適用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティー	説明
	• タイプ：True | False • デフォルト値：false • 場所： レポート > 管理 > プロパティ
ボックス チャートのボックスおよびウィスカーの色。 glide.chart.box.color	ボックス レポートの色を設定します。 • タイプ：文字列 • デフォルト値：#FF0000 • 場所： レポート > 管理 > プロパティ このプロパティーはボックス レポートに適用されます。
各データセットのデフォルトの色リスト名 glide.ui.report.datasets.default_colors	1 つのグラフに複数のデータ セットを追加する場合に使用フォルトの色を設定します。これらの値は、 [チャートの[1 つの色を使用] の場合に使用されます。 チャートの色の [色名] の値のリストをカンマで区切って入す。チャートの色 [sys_report_chart_color] テーブルで、な色を確認でき、新しい色を定義することができます。 チャートにデータ セットを追加すると、それぞれの色がデのチャートの色として順番に使用されます。デフォルトの多くのデータ セットがある場合は、色が繰り返されます。 • タイプ：文字列 • デフォルト値：デフォルトの色 • 場所： レポート > 管理 > プロパティ
各データセットのデフォルト カラー パレットとして使用されるカラー パレット名のリスト glide.ui.report.datasets.default_palettes	単一のグラフに複数のデータ セットを追加する場合に使用フォルトのパレットを設定します。これらの値は、 [チャの値が [カラー パレットを使用] の場合に使用されます。 チャートのカラー スキームの [名前] の値のリストをカンマで区切って入力します。チャートのカラースキーム [pa_chart_color_schemes] テーブルで、使用可能なパレ示し、新しいパレットを定義できます。 チャートにデータ セットを追加すると、それぞれのパレフォルトのチャート パレットとして順番に使用されます。トのパレットよりも多くのデータ セットがある場合は、繰り返されます。 • タイプ：文字列 • デフォルト値：デフォルトの UI14 • 場所： レポート > 管理 > プロパティ このプロパティーは、円グラフ、棒グラフ、水平棒、ドードーナツの各レポートに適用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティー	説明
「マップ」タイプのレポートのデフォルト マップを設定します glide.ui.report.map.default_map	マップ タイプのレポートを作成する場合に使用するデフォルトマップを指定します。 • タイプ：文字列 • デフォルト値：世界 • 場所： レポート > 管理 > プロパティ このプロパティーはマップ レポートに適用されます。
glide.ui.chart.color	グラフの色を指定します。 • タイプ：文字列 • デフォルト値：#006DDA • 場所:システムプロパティ [sys_properties] テーブルにプロパティを追加します 。
glide.ui.chart.use_full_color_palette	このプロパティを有効にすると、棒グラフおよびパレートとに異なる色の棒が生成されます。 • タイプ：true | false • デフォルト値：#False • 場所： レポート > 管理 > プロパティ このプロパティーは、棒グラフ、水平棒グラフ、パレートポートに適用されます。
glide.chart.label.legend.truncate_to	大規模なグラフを除くすべてのサイズのグラフで、凡例のたは右揃えでの凡例のラベルを切り捨てます。ラベルが長合にグラフが縮小するのを防ぎます。 • タイプ：整数 • デフォルト値： 14 • 場所:システムプロパティ [sys_properties] テーブル
glide.chart.label.legend.truncate_to.large	大規模なグラフのグラフで、凡例の左揃えまたは右揃えでラベルを切り捨てます。ラベルが長すぎる場合にグラフがのを防ぎます。 • タイプ：整数 • デフォルト値：20 • 場所:システムプロパティ [sys_properties] テーブル
glide.report.new_calendar	• タイプ：true | false • デフォルト値：true • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブル

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティー	説明
glide.report.calendar.max_days_back	カレンダー レポートで前後にブラウズしたときに返される の日数を指定できます。レポート作成の [カレンダー担当者 ルドで評価されます。 • タイプ：整数 • デフォルト値：30 • 場所:システムプロパティ [sys_properties] テーブルに プロパティを追加します 。 このプロパティーはカレンダー レポートに適用されます。
glide.report.calendar.default_event_duration	指定された終了日のないイベントのデフォルトの期間。 • タイプ：文字列 • デフォルト値：01:00:00 (1 時間 0 分 0 秒) • 場所:システムプロパティ [sys_properties] テーブル このプロパティーはカレンダー レポートに適用されます。
glide.report.calendar.max_more_events_per_day	次の **[+ <**数値**>** ポップアップウィンドウに表示できるカ イベントの最大数を定義します。 • カレンダーが月ビューまたは年ビューに表示されるとき ダー日 • カレンダーが曜日ビューまたは週ビューになっている ンダー日の一番上の「終日」セクション この数を超えると、**+** 多数リンクが表示され、 ポップアップの代わりにイベントのリストが開 きます。詳細については、「システムプロパティ *glide.report.calendar.max_events_displayed_* を参照してください。 • タイプ：整数 • デフォルト値：30 • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブル ティを追加 します。
glide.report.calendar.max_events_displayed_per_cell	以下のカレンダーレポートに表示できるイベントの最大数 ます。 • カレンダーが月ビューまたは年ビューに表示されるとき ダー日 • カレンダーが曜日ビューまたは週ビューになっている ンダー日の一番上の「終日」セクション この値を超えるイベントは、カレンダーセルの リンクを介して表示されます。詳細については、 「*glide.report.calendar.max_more_events_per_* 参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティー	説明
	• タイプ：整数 • デフォルト値：3 • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブルに ティを追加 します。
glide.ui.report.extend_calendar_choices	カレンダーの強調表示の際に適用されるフィールド スタイ ントロールします。このプロパティが false に設定されて は、[タスク] テーブルのフィールド スタイルが使用され のプロパティが true に設定されている場合、カレンダー レポートの基になっているテーブルのフィールド スタイル ます。該当するスタイルがそのテーブルに存在しない場合 ダーは [タスク] テーブルのフィールド スタイルを使用し • タイプ：true | false • デフォルト値：true • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブル
glide.ui.filter.first_day_of_week	会社の暦週の最初の日を示します。デフォルトでは週 の開始は月曜日なので、暦週は月曜日から始まり日曜 日で終わります。この動作を変更するには、プロパティ *glide.ui.filter.first_day_of_week* を整数プロパ てインスタンスに追加します。カレンダーの開始曜日に対 数を入力します。1 は日曜日、2 は月曜日、以下同様です 能により曜日がパラメーターとして使用されているすべて や計算に影響を及ぼします。 • タイプ：整数 • デフォルト値：2 • 場所:システムプロパティ [sys_properties] テーブルに プロパティを追加します 。
glide.ui.chart.bar.horiz.max_col_slant_labels	ラベルを傾ける前の水平棒グラフの列の最大数を設定しま • タイプ：整数 • デフォルト値： 5 • 場所:システムプロパティ [sys_properties] テーブルに プロパティを追加します 。 このプロパティーは水平棒グラフ レポートに適用されます
glide.ui.chart.pie.labels	円グラフのスライスのラベルを有効 (true) または無効 (fa ます。 • タイプ：true | false • デフォルト値：true • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブル ティを追加 します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティー	説明
glide.ui.chart.pie.labels.max_items	ラベルを表示するために返すことができる円グラフのスラ 大値を設定します。 • タイプ：整数 • デフォルト値：8 • 場所：システムプロパティ [sys_properties] テーブル ティを追加 します。
glide.chart.data.label.truncate_to	グラフのデータ ラベルの最大長を設定します。これより長 ラベルは切り捨てられ、末尾に省略記号 (...) が付きます。 注: このプロパティーは、積み重ね式の棒グラフ レポート 用されません。 • タイプ：整数 • デフォルト値：13 • 場所:システムプロパティ [sys_properties] テーブル
glide.report.pivot.fixed_headers	無効にすると、マルチレベル ピボット テーブルのヘッダー 定が解除され、ユーザーがテーブルをスクロールすると枠 ロールします。 • タイプ：True | False • デフォルト値：true • 場所:システムプロパティ [sys_properties] テーブルに プロパティを追加します 。 このプロパティーはマルチレベル ピボット テーブルに適用 す。
glide.report.metric_max_data_points	MetricBase レポートごとの最大データ ポイント数を構成 通常、この制限を必要とするだけの多くのデータが表示さ は、MetricBase の時系列レポートのみです。 • タイプ：整数 • デフォルト値：2000 • 場所:システムプロパティ [sys_properties] テーブルに プロパティを追加します 。
glide.report.metric_max_series	MetricBase レポートでデータ セットあたりの系列の数を す。 • タイプ：整数 • デフォルト値：20

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティー	説明
	• 最大値:100 • 場所:システムプロパティ [sys_properties] テーブルに プロパティを追加します 。
glide.report.report_view.read_acl	レポート実行時に READ レベルのセキュリティを構成しま • タイプ：文字列 • デフォルト値:強制 • 可能な値： ignore 読み取り ACL に対して評価は行われず、すべての ユーザーは ACL に合格したかのようにレポートを 表示できます。 enforce 評価は読み取り ACL に対して行われます。ユー ザーは、読み取り ACL に合格した場合にのみレ ポートを表示できます。 ログ 読み取り ACL チェックは適用されませんが、管 者は、セキュリティチェックが実施された場合に ロックされるユーザーを確認できます。 • 場所:システムプロパティ [sys_properties] テーブルに プロパティを追加します 。

自動翻訳

インタラクティブ フィルターのプロパティー

プロパティー	説明
glide.homepage_interactivity.ui_ctrls_max_display_options	ラジオボタンとチェック ボックスのインタラクティブ フィルターの選択肢の最大数。 • タイプ：整数 • デフォルト値：25 • 場所： レポート > 管理 > プロパティ カテゴリー：選択リスト、参照フィールド、日付、グループ

レポート デザイナーのキーボード ショートカット

キーボード ショートカットを使用すると、マウスを使用せずにレポート デザイナーで特定の機能を実行できます。

次のキーボード ショートカットを使用できます。

関連情報

キーボード ショートカット

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

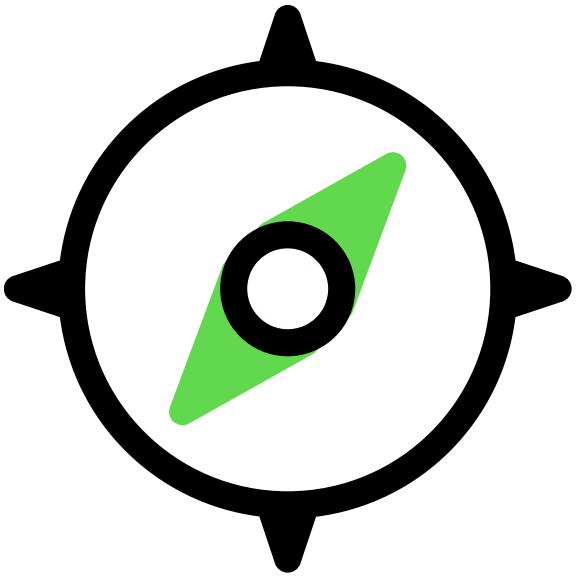
コア UI のレスポンシブダッシュボード

レスポンシブダッシュボードでは、1 つの画面に複数の Performance Analytics、レポート、およびその他ウィジェットを表示できます。ダッシュボードを使用して、複数のユーザーと共有できるデータを用いてストーリーを作成できます。

開始するには

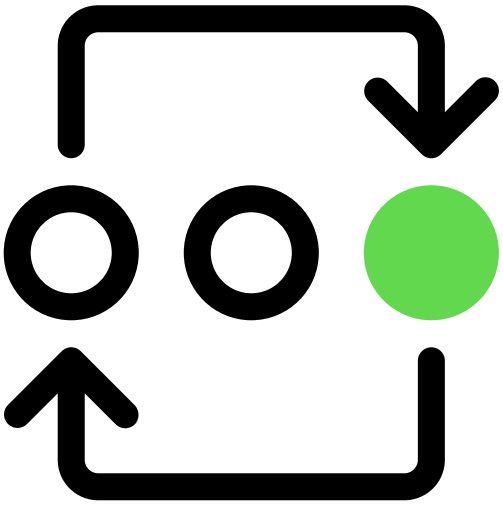
注:
(UI16) ダッシュボードをプラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに移行コア UIできます。詳細については、「プラットフォームアナリティクス移行センター」を参照してください。

詳細を読む



ServiceNow レスポンシブダッシュボードを使用すると、レポートやその他のデータの可視化、および組織全体でユーザーを使用するためのフィルターを共有できます。

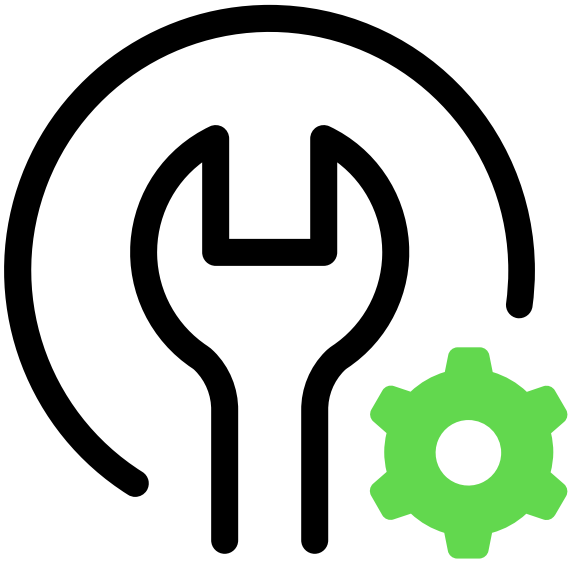
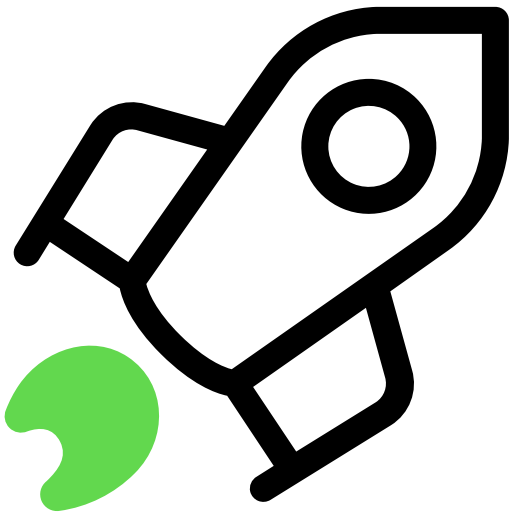
作成



ダッシュボードを作成、編集、表示、共有することで、データのストーリーを伝える方法を学びます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

管理	移行
	
ダッシュボードをグループ化する方法、更新セットを含むダッシュボードを移動する方法、権限のトラブルシューティングを行う方法などについて説明します。	ダッシュボード プラットフォームアナリティクス をエクスペリエンスに移行します。

の探索 レスポンシブダッシュボード

サンプルワークフローを使用してダッシュボードの詳細を確認し、さまざまなユーザーに提供されるメリットを確認してください。

ダッシュボード の概要

アプリケーションを使用すると ダッシュボード 、データの可視化、KPI の詳細、インタラクティブフィルター、およびインスタンス上のデータのストーリーの他の部分を表示するダッシュボードを作成して共有できます。

ダッシュボード のワークフロー

柔軟なレイアウト、複数のタブ、共有、ホームページのダッシュボードへの変換、レスポンシブダッシュボードの有効化の詳細については、この 7 分間のビデオをご覧ください。 柔軟なレイアウト、複数のタブ、共有、ホームページの変換、有効化を含むダッシュボード機能の概要。	この 7 分間のビデオでは、パフォーマンスアナリティクス によって各ダッシュボードがさまざまなユーザーにどのようなメリットをもたらすのかを説明します。 このビデオでは、ダッシュボードに関してさまざまな目標とニーズを持つ役員、プロセスオーナー、およびフロントラインワーカー向けの Performance Analytics ダッシュボードについて説明します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ダッシュボード のメリット

メリット	機能	ユーザー
ダッシュボードのリストを表示し、ダッシュボードを選択して、関連データのコンテキストでインスタンスに関する最新情報を表示します。	レスポンシブダッシュボードの検索	ダッシュボードを操作するために必要な特定の権限はありません。ダッシュボードの概要とダッシュボードピッカーを表示するには、少なくとも 1 つのダッシュボードを表示する権限が必要です。
ダッシュボードを作成して、共有可能な現在のインスタンスデータでストーリーを伝えます。	レスポンシブ ダッシュボードの作成または構成	
ユーザーアクセスの削除、コピー、編集など、ダッシュボードを管理します。	レスポンシブ ダッシュボードの管理	ダッシュボードに対する権限をコピー、削除、または管理するには、ダッシュボードを所有しているか、管理者である必要があります。
ダッシュボードを共有して、共同作業に使用できるデータの共有ビューを作成します。他のユーザーに対して、表示権限または表示と編集の両方の権限を付与できます。	レスポンシブ ダッシュボードの共有	ダッシュボードを共有するには、ダッシュボードを所有しているか、管理者である必要があります。

ダッシュボードを作成および使用する

さまざまなタイプのダッシュボードとその使用方法について説明します。

柔軟なレイアウト、複数のタブ、共有、ホームページのダッシュボードへの変換、レスポンシブダッシュボードの有効化の詳細については、この 7 分間のビデオをご覧ください。 柔軟なレイアウト、複数のタブ、共有、ホームページの変換、有効化を含むダッシュボード機能の概要。	この 7 分間のビデオでは、パフォーマンスアナリティクス によって各ダッシュボードがさまざまなユーザーにどのようなメリットをもたらすのかを説明します。 このビデオでは、ダッシュボードに関してさまざまな目標とニーズを持つ役員、プロセスオーナー、およびフロントラインワーカー向けの Performance Analytics ダッシュボードについて説明します。

ダッシュボード の概要

レスポンシブダッシュボードを作成するには、「レスポンシブ ダッシュボードの作成または構成」を参照してください。

レスポンシブダッシュボードの操作

レスポンシブダッシュボードを使用すると、クラシック環境でレポートなどのウィジェットや パフォーマンスアナリティクス のビジュアル化を共有できます。使いやすいドラッグアンドドロップキャンバスを使用して、コンテンツを作成、編集、整理し、それを同僚と共有できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ダッシュボードを使用すると、次のことが可能です。

- パフォーマンスアナリティクス のビジュアル化やその他のウィジェットを、ダッシュボードから直接作成および編集できます。
- [ウィジェットを追加] ペインを使用して、ウィジェットをすばやく見つけてプレビューし、それをダッシュボードに追加できます。
- 統合された [共有] ペインから、ダッシュボードを他のユーザーと簡単に共有できます。
- ウィジェットを事前定義されたレイアウトにスナップし、必要に応じてレイアウトを調整します。
- 頻繁に使用する情報に簡単にアクセスできるように、ダッシュボードをホームとして設定できます。

柔軟なレイアウト、複数のタブ、共有、ホームページのダッシュボードへの変換、レスポンシブダッシュボードの有効化の詳細については、この 3 分間のビデオをご覧ください。(このビデオは Jakarta リリースを反映していますが、その情報は正確 Washington DCです)。 レスポンシブダッシュボードの使用を開始する方法

利点

- 構成可能なウィジェットのロードにより、パフォーマンスを最適化できます。 構成可能なウィジェットをロードすることの利点についての詳細は、「レスポンシブダッシュボードでのウィジェットの表示時間の最適化」を参照してください。
- [ロールに制限] フィールドを使用して、ダッシュボードへのアクセスに必要なロールを指定します。指定したいずれかのロールを持つユーザーは、ダッシュボードの [共有] パネルに対するアクセス権が付与されていれば、ダッシュボードにアクセスできます。

制限事項

ServiceNow ダッシュボードはモバイル画面のサイズに合わせて最適化されていないため、モバイルアプリではダッシュボードへのアクセス権は付与されません。タブレットでは、標準の Web インターフェイスを使用してダッシュボードにアクセスできます。レポートや パフォーマンスアナリティクス 視覚化を表示するモバイルアプリを作成することは可能ですが、これらは完全にレスポンシブなダッシュボードではありません。詳細については、「Configure an analytics UI section」を参照してください。

関連情報

レスポンシブダッシュボードをホームとして設定

レスポンシブ ダッシュボードの作成または構成

頻繁に使用するウィジェットやその他のウィジェットを追加 パフォーマンスアナリティクス できるダッシュボードを作成します。作成したダッシュボードは、他のユーザーと共有できます。

始める前に

ダッシュボードを初めて使用する場合は、ServiceNow University Performance Analytics Essentials トレーニング の「ダッシュボード」セクションと「ウィジェット」セクションで、これらの機能の概要を説明しています。(登録・入会が必要です。

必要なロール：なし

手順

1. 移動先 すべて > セルフサービス > ダッシュボード または すべて > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード。
2. [**Create a Dashboard**] を選択します。
3. 次のフィールドに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

4. オプション: [ロールに制限] 編集アイコン () を選択して、ユーザーがこのダッシュボードにアクセスするために必要なロールを指定します。
   詳細については、「レスポンシブ ダッシュボードの共有」を参照してください。
5. オプション: admin、pa_admin、および pa_power_user ロールを持つユーザーは、次の追加フィールドを設定できます。

6. [送信] を選択します。

タスクの結果
ダッシュボードはコンテンツなしで作成されます。最初のコンテンツを追加するには、ウィジェットタイプとウィジェットを選択し、[追加] をクリックします。

次のタスク
新しいダッシュボードにコンテンツを追加します。詳細については、「レスポンシブ ダッシュボードを編集する」を参照してください。

関連情報

- Performance Analytics のブレークダウン
- ダッシュボードへのブレークダウンの追加
- ダッシュボードをグループに整理する

空のダッシュボードに関する問題の解決

ダッシュボードに空のダッシュボード セレクターを含む空のページが表示される場合、ダッシュボード名に特殊文字が含まれることがあります。

始める前に
この問題は、ダッシュボード名にタブ文字、改行文字、または文字や数字以外の ASCII 文字が含まれている場合に発生します。

必要なロール：admin

手順

1. pa_dashboards_list.do に移動します。
2. 問題ダッシュボードのタイトルフィールドを編集して、特殊文字を削除します。

タスクの結果
ダッシュボードページには、想定されるコンテンツと入力されたダッシュボードセレクターが表示されます。

ダッシュボードの概要

ダッシュボードの概要では、アクセスできるダッシュボード、1 つのグループに関連付けられたダッシュボード、またはすべてのダッシュボードのリストから選択できます。カードをクリックすると、ダッシュボードが開きます。

[ダッシュボードの概要] の概要

ダッシュボードの概要の使用方法の詳細については、この簡単なビデオをご覧ください。

移動先 すべて > セルフサービス > ダッシュボード または すべて > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ダッシュボードの概要では、これらのカテゴリのいずれかのダッシュボードを表示できます。デフォルトでは、[ダッシュボードの概要] にアクセスすると [最近] カテゴリが選択されます。

- [最近] には、最近訪問した最大 9 個のダッシュボードが表示されます。最新のダッシュボードが最初に表示されます。
- [自分が所有] には、自分が作成したダッシュボードと、自分に所有権がアサインされたダッシュボードが表示されます。
- [自分と共有] には、ユーザーとしての自分またはグループやロールのメンバーと共有されているダッシュボードが表示されます。
- [すべて] には、自分がアクセスできるすべてのダッシュボードが表示されます。

注:
選択するカテゴリによって、[グループ] リストと [ダッシュボード ピッカー] 検索ボックスから選択するときに表示されるダッシュボード グループと個々のダッシュボードが制限されます。選択したグループ内に自分と共有されているダッシュボードがない場合、概要には 検索に一致するダッシュボードは共有されていません

[最近] タブを除くすべてのタブは、以下のように昇順にソートされます。

1. ダッシュボードグループ - 注文

   ダッシュボードの所有者は、ダッシュボードグループのフォームで注文番号を指定できます。このフィールドはオプションです。

2. ダッシュボードグループ - 名前
3. ダッシュボード - 注文

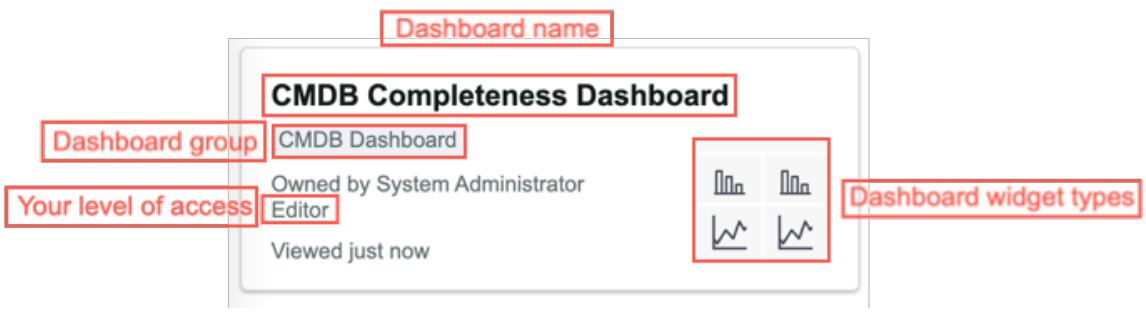
   ダッシュボードの所有者は、ダッシュボードのフォームに注文番号を指定できます。このフィールドはオプションです。

4. ダッシュボード - 名前

ダッシュボードの概要タイル

概要のタイルには、ダッシュボードのウィジェット、ダッシュボード グループ、アクセス レベル、ダッシュボード名、およびダッシュボード オーナーのサムネイルが表示されます。ダッシュボードのアクセスレベルには、オーナー、エディター、およびビューアがあります。詳細については、「レスポンシブ ダッシュボードの共有」を参照してください。

ダッシュボードの概要を示すタイルの例



注:
なんらかの理由でダッシュボードウィジェットを表示できない場合は、エラーに固有のメッセージが表示され、管理者に連絡するように求められます。

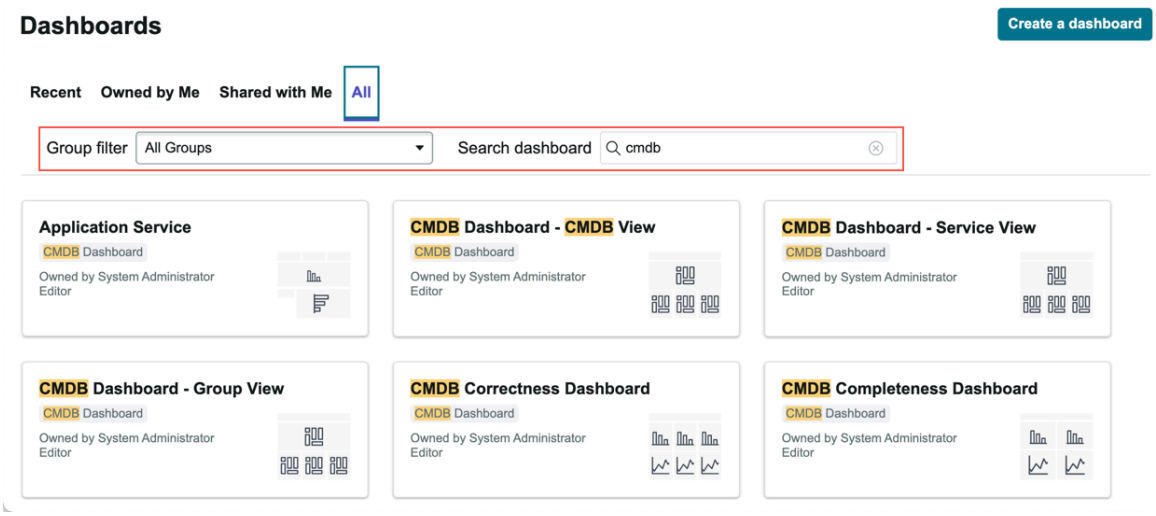
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[ダッシュボードの概要グループ] リスト

[グループ] リストを使用して、1 つのグループ内のダッシュボードのみを表示します。グループが指定されていないダッシュボードは、[その他] グループに分類されます。

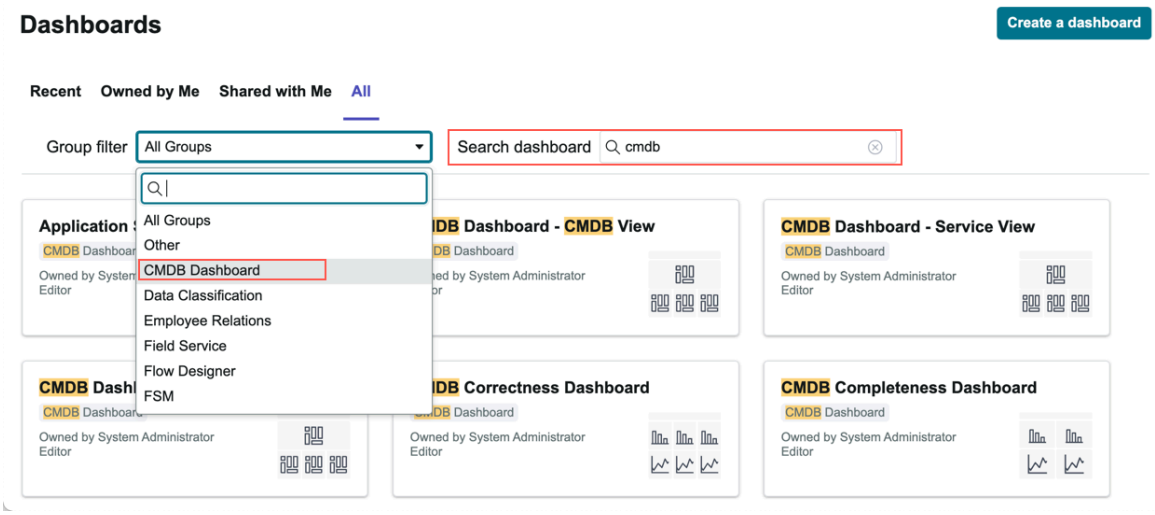
ダッシュボードの概要グループの例



ダッシュボードの概要検索ボックス

検索ボックスを使用して、ダッシュボードを名前またはグループで検索します。

ダッシュボードの概要検索の例



[新規] をクリックして、レスポンシブダッシュボードを作成します。

関連情報

レスポンシブダッシュボードの操作

レスポンシブダッシュボードの検索

ダッシュボード カテゴリー、ダッシュボード グループ、およびダッシュボード リストを使用して、使用するダッシュボードを見つけます。

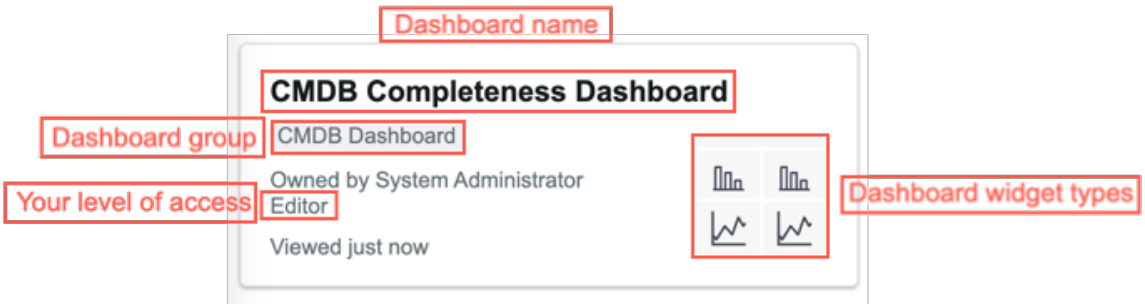
始める前に
必要なロール:ダッシュボードを表示するために必要な特定の権限はありません。ただし、ダッシュボードの概要とダッシュボード ピッカーを表示するには、少なくとも 1 つのダッシュボードを表示

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

する権限が必要です。ダッシュボード権限の詳細については、「」を参照してください レスポンシブダッシュボードでの権限の問題の解決。

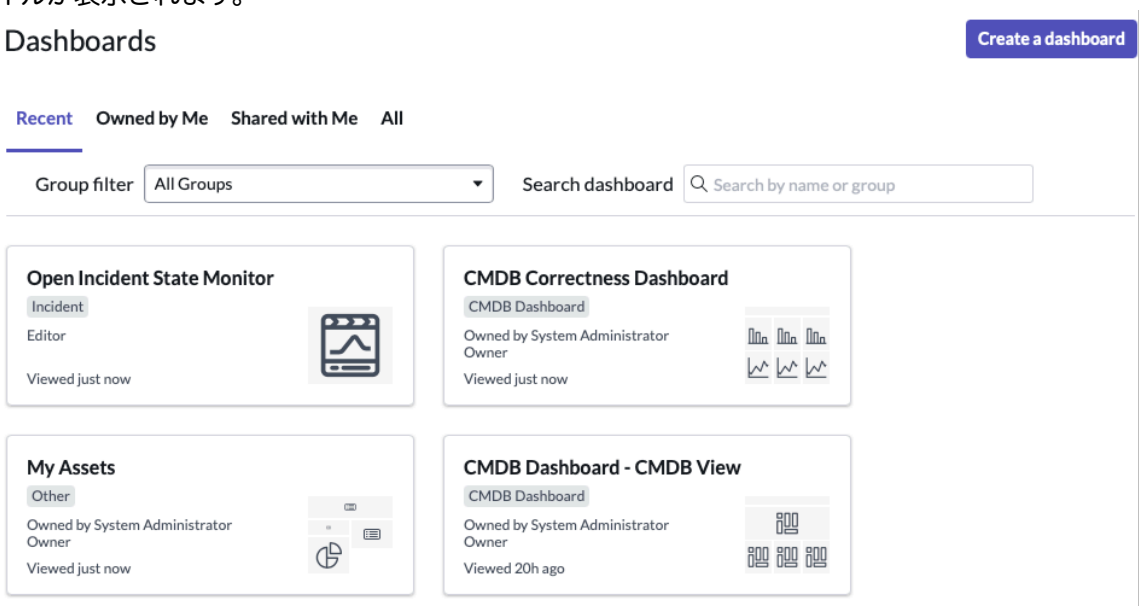
このタスクについて

[ダッシュボードの概要] の各タイルには、ダッシュボード上のウィジェットのサムネイル、ダッシュボード グループ、ダッシュボードでのロール、ダッシュボードの名前、およびダッシュボードのオーナーなど、各タイルが表すダッシュボードに関する情報が含まれています。作成者によってグループがアサインされていないダッシュボードには、 グループ [その他] がアサインされます。



手順

1. 移動先 すべて > セルフサービス > ダッシュボード または すべて > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード。 ダッシュボードの概要には、アクセスした最新のダッシュボードを表すタイルが表示されます。



2. カテゴリを選択します。
   - [最近] には、最近訪問した最大 9 個のダッシュボードが表示されます。最新のダッシュボードが最初に表示されます。
   - [自分が所有] には、自分が作成したダッシュボードと、自分に所有権がアサインされたダッシュボードが表示されます。
   - [自分と共有] には、ユーザーとしての自分またはグループやロールのメンバーと共有されているダッシュボードが表示されます。
   - [すべて] には、自分がアクセスできるすべてのダッシュボードが表示されます。

   [最近] タブを除くすべてのタブは、以下のように昇順にソートされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. ダッシュボードグループ - 注文

ダッシュボードの所有者は、ダッシュボードグループのフォームで注文番号を指定できます。このフィールドはオプションです。

b. ダッシュボードグループ - 名前

c. ダッシュボード - 注文

ダッシュボードの所有者は、ダッシュボードのフォームに注文番号を指定できます。このフィールドはオプションです。

d. ダッシュボード - 名前

3. [グループ] リストからグループを選択し、ダッシュボード グループに表示されるタイルをフィルタリングします。

カテゴリとグループの組み合わせに一致するダッシュボードがない場合は、次のようなメッセージが表示されます 検索に一致するダッシュボードは共有されていません。

4. [名前またはグループで検索] ボックスに文字列を入力して、ダッシュボードをさらにフィルタリングします。
たとえば、「 complete 」と入力すると、完全性ダッシュボードが検索されます。

5. ダッシュボードタイルをクリックすると、そのダッシュボードが開きます。

6. 開いているダッシュボードで、グリッドアイコン ()  をクリックして [ダッシュボードの概要] に戻ります。

7. 別のダッシュボードを検索するには、ダッシュボード名の横にある矢印をクリックして、ダッシュボードピッカーを開きます。
以下のことを行うことができます。

- [名前またはグループで検索] ボックスへの入力を開始して、リストをフィルター処理します。
- [グループ] フィルターをクリックして、特定のダッシュボード グループでリストをフィルタリングします。

  グループ フィルターは、インスタンス内のすべてのダッシュボード グループを表示します。選択したグループ内のダッシュボードを表示する権限がない場合は、次のメッセージが表示されます。 検索に一致するダッシュボードは共有されていません

- 開く権限を持つすべてのダッシュボードを、最近表示したものから順にスクロールします。



8. ダッシュボードの名前を選択して、現在のダッシュボードを新しいダッシュボードに置き換えます。

レスポンシブ ダッシュボードを編集する

ウィジェット、レポート、タブなどの パフォーマンスアナリティクス ダッシュボードのコンテンツを編集できます。ダッシュボードは共有されているため、変更した内容はすべてグローバルに適用されます。

始める前に

必要なロール：ユーザーは、所有するダッシュボード、または編集権限を持つダッシュボードを編集できます。ダッシュボードの表示と編集権限の詳細を参照してください ダッシュボード権限 。

注:
レスポンシブダッシュボードでは、Sticky Notes ウィジェットはサポートされていません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 移動先 すべて > セルフサービス > ダッシュボード または すべて > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード。
2. ダッシュボードピッカーから、編集するダッシュボードを選択します。
3. 次のいずれかのアクションを実行します。

関連情報

レスポンシブ ダッシュボードの共有

レスポンシブ ダッシュボードのレイアウトの構成

ウィジェットの外観を変更できます。ウィジェットのレイアウトを変更する。ウィジェットのタイトル、ヘッダー、および背景の色を変更します。ウィジェットヘッダーの表示/非表示を切り替えます。

始める前に
必要なロール:ユーザー。 所有するダッシュボード、または編集権限を持つダッシュボードを編集できます。ダッシュボードの表示権限と編集権限の詳細については、「ダッシュボード権限」を参照してください。

注:
レスポンシブダッシュボードでは、Sticky Notes ウィジェットはサポートされていません。

手順

1. 移動先 すべて > セルフサービス > ダッシュボード または すべて > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード。
2. ダッシュボードピッカーから、編集するダッシュボードを選択します。
3. プラス記号 (+) をクリックして、ダッシュボードを編集モードにします。
4. 次のいずれかのアクションを実行します。
5. オプション: コンテンツ ブロックを追加して、ダッシュボードのコンテンツを分割したり、他のコンテンツを提供したりします。
   [ウィジェットを追加] リストから [コンテンツ ブロック] を選択します。スタティック コンテンツ ブロックの詳細については、「 スタティック HTML ブロックの設定 」を参照してください。

レスポンシブ ダッシュボードの共有

他のユーザーとダッシュボードを共有して、共同作業に使用できるデータの共有ビューを作成します。他のユーザーに対して、表示権限または表示と編集の両方の権限を付与できます。

始める前に
必要なロール：

- 自分が所有するダッシュボードを他のグループやユーザーと共有できます。
- admin、dashboard_admin、pa_admin、または pa_power_user ロールを持つユーザーのみが、[共有] パネルでロールを表示できます。
- pa_admin または pa_power_user ロールを持つユーザーは、自分が編集できるダッシュボードを共有できます。
- admin ロールを持つユーザーは、自分がアクセスできるすべてのダッシュボードを共有できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
スコープ対象のアプリケーションのアクセス制御リスト (ACL) ルールは、スコープ対象のアプリケーション内で作成されたダッシュボードに適用されます。スコープ対象のアプリケーション内のダッシュボードに pa_dashboard ACL を適用する方法については、「」を参照してください スコープ対象のアプリケーションでのpa_dashboardレコードの有効化。

ダッシュボード上のレポートやその他のデータの可視化は、report_view ACL の対象であり、ダッシュボードを共有しているすべてのユーザーに表示されるわけではありません。詳細については、「report_view のアクセス制御」を参照してください。

管理者は、レスポンシブ ダッシュボードの共有方法に影響する 2 つのプロパティを設定できます。

glide.cms.share_dashboards.role

このシステムプロパティで、管理者は自分のダッシュボードを共有できるロールのコンマ区切りリストを指定できます。

注:
このリストに含まれる 1 つのロールのスペルが間違っていると、そのロールはダッシュボードを共有できなくなります。このリストにロールが 1 つだけ指定され、そのロールのスペルが間違っている場合、このプロパティの値が修正されるまで、ユーザーはダッシュボードを共有できなくなります。

glide.cms.dashboards.sharing_with_secure_search

このシステムプロパティで、管理者は、ユーザーがレスポンシブダッシュボードを共有するときに表示されるユーザー、ユーザーグループ、およびロールのリストにセキュリティルールを適用するように指定できます。[共有] パネルでロールを確認できるのは、管理者、dashboard_admin、pa_admin、pa_power_userのいずれかのロールを持つユーザーのみです。

詳細については、「ダッシュボード権限」を参照してください。

このタスクについて

一般に、ダッシュボードを共有する場合、そのダッシュボード上のウィジェットに権限を付与することはありません。ただし、ほとんどの Performance Analytics ウィジェットは、追加されたダッシュボードからセキュリティルールを継承します。ダッシュボードを表示できる場合は、そのダッシュボード上のパフォーマンス分析ウィジェットを表示できます。

注:
パフォーマンスアナリティクス リストウィジェットには、読み取り権限のないインジケーターは表示されません。ダッシュボードの権限はリスト ウィジェット全体 パフォーマンスアナリティクス に適用されますが、ウィジェットの個々のインジケーターはそれらのインジケーターの権限に従います。インジケータの権限の詳細については、次を参照してください インジケーターへのアクセスの制御。

ドメイン分離が有効になっていて、システムプロパティ *glide.security.admin.override.accessterm* が選択されていない場合、共有するには、管理者がダッシュボードと同じドメインに属している必要があります。「 アクセス レベルで管理者優先を評価する 」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > セルフサービス > ダッシュボード または すべて > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード。
2. [検索ダッシュボード] ボックスを使用して、共有するダッシュボードを見つけます。
3. 共有アイコン ()を選択して [共有] パネルを開きます。

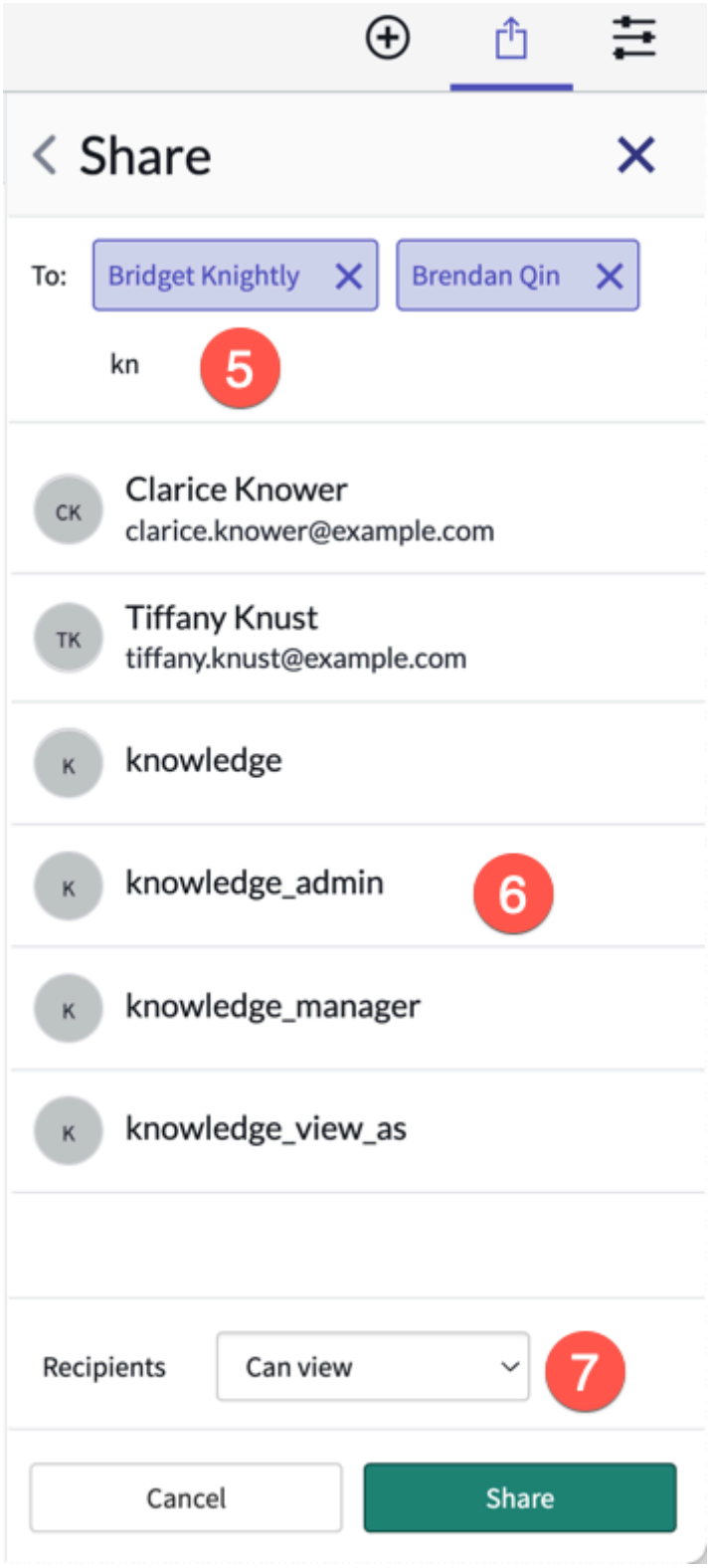
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [グループとユーザーの追加] () を選択します⊕。 管理者、pa_admin、dashboard_admin、または pa_power_user のロールを持つユーザーは、[共有]パネルのロールを見ることもできます。
5. [宛先] フィールドに、名前の入力を開始します。
6. 表示されたリストからユーザー、グループ、またはロールを選択します。
7. [受信者] リストから、[表示可能] または [編集可能] を選択して、ユーザー、グループ、またはロールがダッシュボードに対して持つ権限を指定します。
   ダッシュボードを共有したユーザーが [ダッシュボードの概要] に移動すると、ダッシュボード上のロールとして [閲覧者] または [エディター] が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



注:
共有ダッシュボードを編集するには、ユーザーがダッシュボードと同じドメインに属している必要があります。書き込みアクセス権 (編集可能) でダッシュボードを共有しても、これは変更されません。[編集可能] オプションは、ダッシュボードがダッシュボードと同じドメイン内のユーザーと共有されている場合にのみ機能します。詳細については、「ドメイン分離とダッシュボード」を参照してください。

8. オプション: [招待メールを送信] チェック ボックスをオフにします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

メール メッセージを送信しないように選択できます。たとえば、ダッシュボードが共有されていることを受信者がすでに知っている場合などです。

> **注:**
> インスタンス内からメールを送信するには、メールサーバーを設定する必要があります。詳細については、「Basic email setup」を参照してください。

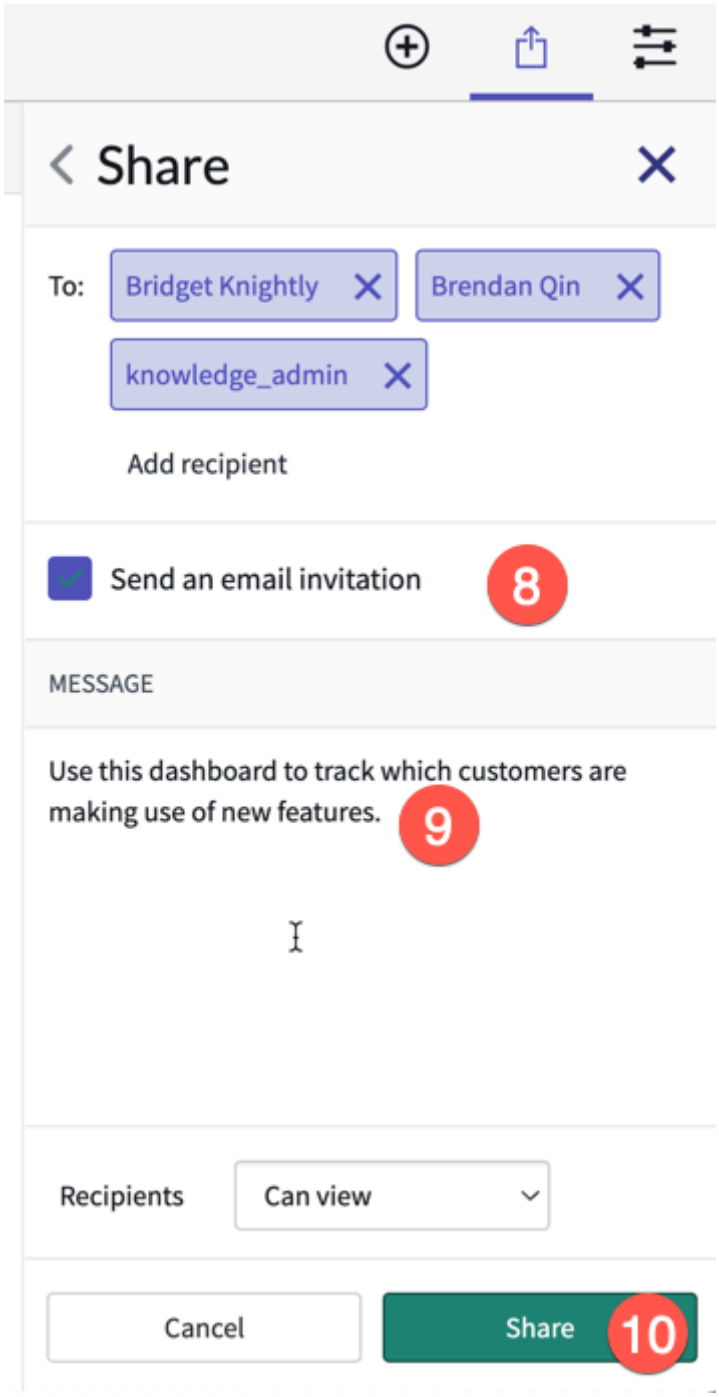
9. オプション: デフォルトの招待メールメッセージに追加を書き込みます。
デフォルトのメール メッセージは、[The dashboard <Name of Dashboard> has been shared with you by <user role>.] (<ユーザー ロール> によって <ダッシュボード名> ダッシュボードが共有されています。) です。

   (Optional) admin ロールを持つユーザーは、デフォルトのメール メッセージを編集できます。移動先 システム通知 > メール > **Notifications** をクリックし、ダッシュボード共有通知を開きます。詳細については、「メール通知を作成する」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

10. [共有] を選択します。



タスクの結果
ダッシュボードが共有され、指定した場合は、招待されたユーザーに招待状が送信されます。

スコープ対象のアプリケーションでの**pa_dashboard**レコードの有効化

スコープ対象のアプリケーションに対してアプリケーション管理が有効になっている場合、スコープ対象のアプリケーションのアクセス制御リスト (ACL) ルールが適用されます。スコープ対象アプリの [pa_dashboards] テーブルで定義されている ACL をスコープで使用できるようにするには、[pa_dashboards] ACL を継承します。

始める前に
必要なロール：admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

必要なスコープ: アプリケーションのスコープ。

手順

1. システムプロパティ *glide.security.scoped_administration.honor_global_acl* を [true] に設定します。
   多くの場合、このプロパティはすでに true に設定されているため、追加の更新は必要ありません。詳細については、「システムプロパティを追加する」を参照してください。
2. スコープを、ダッシュボードが作成されたスコープに切り替えます。
   ユーザーは、そのスコープのアプリケーション管理者である必要があります。
3. sys_scoped_admin_acl_inheritance_list.do に移動します。
4. PA ダッシュボード [pa_dashboards] テーブルのレコードを作成し、[送信] を選択します。
5. 次の各テーブルのレコードを作成します。
   - ポータルページ [sys_portal_page]
   - タブ [pa_tabs]
   - ダッシュボード権限 [pa_dashboards_permissions]
6. オプション: 複数のレポートに同じ問題がある場合は、次の各テーブルのレコードを作成します。
   - レポート [sys_report]
   - レポートユーザーおよびグループ [sys_report_users_groups]

レスポンシブ ダッシュボードの管理

ユーザーは、ロールに応じて、レスポンシブ ダッシュボードを削除または複製したり、ダッシュボードからユーザーを削除することができます。すべてのユーザーは、ダッシュボードをお気に入りとしてマークできます。

レスポンシブ ダッシュボードの削除

使用しなくなったダッシュボードを削除します。削除したダッシュボードは復元できません。

始める前に

必要なロール：dashboard_admin、admin、またはダッシュボード オーナー。

ダッシュボードを共有しているすべてのユーザーに、ダッシュボードを削除することを通知します。ユーザーがダッシュボードをブックマークしたか、お気に入りとしてマークした可能性があります。これらのユーザーが削除されたダッシュボードにアクセスしようとすると、エラーが表示されます。

手順

1. 移動先 すべて > セルフサービス > ダッシュボード または すべて > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード。
2. 削除するダッシュボードを選択します。
3. コンテキストメニュー(≡)をクリックし、[ダッシュボードの削除]を選択します。

タスクの結果

ダッシュボードを削除すると、他のダッシュボードで使用されていないダッシュボード タブも削除されます。

ダッシュボードタブの削除

ダッシュボードのタブが役に立たなくなった場合、そのタブを削除できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール:dashboard_admin または admin ダッシュボードの所有者であるか、またはダッシュボードに対する編集権限を持っている場合は、ダッシュボード タブを削除することもできます。

手順

1. 移動先 すべて > セルフサービス > ダッシュボード または すべて > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード。
2. 削除するタブを含むダッシュボードを選択します。
3. ダッシュボード タブを削除するには、タブをポイントし、ごみ箱アイコンをクリックします。

タスクの結果
ダッシュボード タブを削除すると、タブはダッシュボードから削除されます。他のダッシュボードで使用されていなければ、そのタブは完全に削除されます。

レスポンシブ ダッシュボードのコピー

レスポンシブ ダッシュボードを複製すると、そのウィジェット レイアウトが保持されます。ただし、共有権限は保持されません。複製したダッシュボードに加えた変更は、元のダッシュボードには影響しません。

始める前に
に関連する プラットフォームアナリティクスソリューションダッシュボードをコピーするには、「」を参照してください 分析およびレポートのソリューションダッシュボードの複製。

必要なロール:ダッシュボードを共有できるすべてのユーザーがダッシュボードをコピーできます。

手順

1. 移動先 すべて > セルフサービス > ダッシュボード または すべて > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード。
2. 複製するダッシュボードを選択します。
3. コンテキストメニュー () を選択し、[ダッシュボードを複製] を選択します。
   自分をオーナーとして、ダッシュボードのコピーが作成されます。コピーの名前は、[[元のダッシュボード名] のコピー] です。
4. オプション: ダッシュボードの名前を変更するには、コンテキスト メニュー () をクリックし、[ダッシュボード プロパティ] を選択して [名前] フィールドを編集します。

タスクの結果
自分をオーナーとして、ダッシュボードのコピーが作成されます。

次のタスク
ダッシュボードを変更し、他のユーザーと共有します。

レスポンシブ ダッシュボードの名前の変更

ダッシュボードの名前を変更して、よりわかりやすい名前を付けます。

始める前に
必要なロール：ユーザーは、所有するダッシュボード、または編集権限を持つダッシュボードを編集できます。ダッシュボードの表示と編集権限の詳細を参照してください ダッシュボード権限 。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > セルフサービス > ダッシュボード または すべて > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード。
2. ダッシュボード ピッカーから、名前を変更するダッシュボードを選択します。
3. コンテキストメニュー() から、[ダッシュボードプロパティ]を選択します。
4. [名前] フィールドに、ダッシュボードの新しい名前を入力します。
5. [更新] を選択します。

> **注:**
> [所有者] フィールドは必須です。このフィールドが空の場合は、ダッシュボードのオーナーの名前を入力してこのタスクを完了します。

ダッシュボードからのユーザーの削除

ダッシュボードを特定のユーザー、グループ、またはロールと共有する必要がなくなった場合は、ダッシュボードへのアクセス権を削除できます。

始める前に
必要なロール：ダッシュボード オーナーは、自分が所有するダッシュボードからユーザーまたはグループを削除できます。

dashboard_admin または admin ロールを持つユーザーは、すべてのダッシュボードからユーザー、グループ、またはロールを削除できます。

pa_admin または pa_power_user ロールを持つユーザーは、自分が編集できるすべてのダッシュボードからユーザー、グループ、またはロールを削除できます。これらのダッシュボードには、ユーザーが所有するダッシュボードや、ユーザーが編集権限を付与されたダッシュボードが含まれます。

詳細については、「ダッシュボード権限」を参照してください。

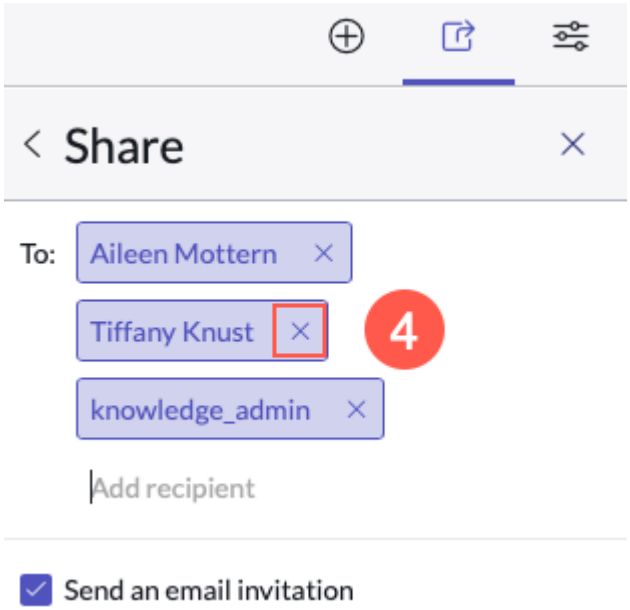
手順

1. 移動先 すべて > セルフサービス > ダッシュボード または すべて > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード。
2. 変更するダッシュボードを選択します。
3. 共有アイコン () を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [共有] パネルで、削除するユーザー、グループ、またはロールの名前の横にある [X] を選択します。



タスクの結果
削除されたユーザーには、共有ダッシュボードを表示する権限がなくなります。

関連情報
レスポンシブ ダッシュボードへのアクセス権を特定のロールに制限

レスポンシブ ダッシュボードをお気に入りとしてマークする
ナビゲーション ペインから簡単にアクセスできるように、ダッシュボードをお気に入りとしてマークできます。

始める前に
ダッシュボードにアクセスできるユーザーはいずれも、ダッシュボードをお気に入りとして設定できます。

必要なロール：なし

手順
1. 移動先 すべて > セルフサービス > ダッシュボード または すべて > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード。
2. ダッシュボード ピッカーから、お気に入りとしてマークするダッシュボードを選択します。
3. コンテキストメニュー () をクリックし、[**Create Favorite]** を選択します。

タスクの結果
お気に入りのダッシュボードは、アプリケーションナビゲータのお気に入りタブに表示されます。

ブレークダウン要素でダッシュボードをフィルタリング
一部のダッシュボードでは、1 つ以上の パフォーマンスアナリティクス ブレークダウン要素を適用してダッシュボード全体をフィルタリングできます。たとえば、優先度の高い重要なアイテムのみを表示したり、特定のマネージャーに報告するチームのみを表示したりできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
ブレークダウン要素でフィルタリングするダッシュボードが既に作成されている パフォーマンスアナリティクス 必要があります。この方法で構成されたダッシュボードは 、ブレークダウン ダッシュボードと呼ばれます。

必要なロール：なし

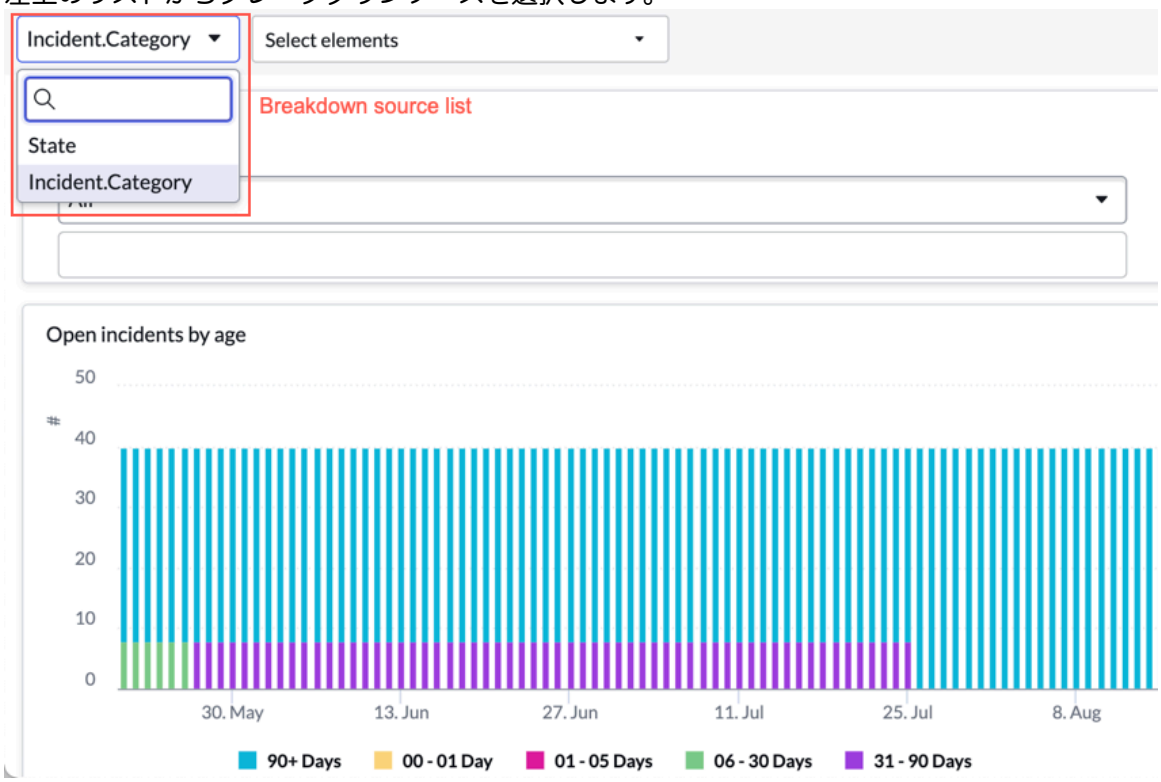
このタスクについて
優先度やカテゴリなどのブレークダウン要素でダッシュボードをフィルタリングするには、ブレークダウン ソースを選択してから、そのブレークダウン ソース内の要素を選択します。フィルターが適用されると、レポートおよび適切に構成された パフォーマンスアナリティクス ウィジェットにフィルターが反映されます。複数の要素を選択すると、各パフォーマンスアナリティクスウィジェットの構成方法に応じて、パフォーマンスアナリティクスそれらの要素に関連付けられた値が集計または個別の要素として表示されます。ブレークダウン ダッシュボードとそのウィジェットの構成の詳細については、「」を参照してください ダッシュボードでのブレークダウンの使用。

パフォーマンス上の理由から、すべてのブレークダウン要素を選択するオプションはありません。

注:
ブレークダウンが適用されていても要素がないブレークダウンダッシュボードを表示する場合、ウィジェットにはベースインジケータースコアが表示されます。ブレークダウンはスコアをフィルタリングしません。通常、これらのスコアは、ブレークダウンとすべての要素を選択した場合のスコアよりも高くなります。多くの場合、要素のセキュリティや要素フィルターが原因で、すべての要素が利用できるわけではありません。また、インジケータースコアに貢献する未アサインスコアも通常は選択できません。

手順

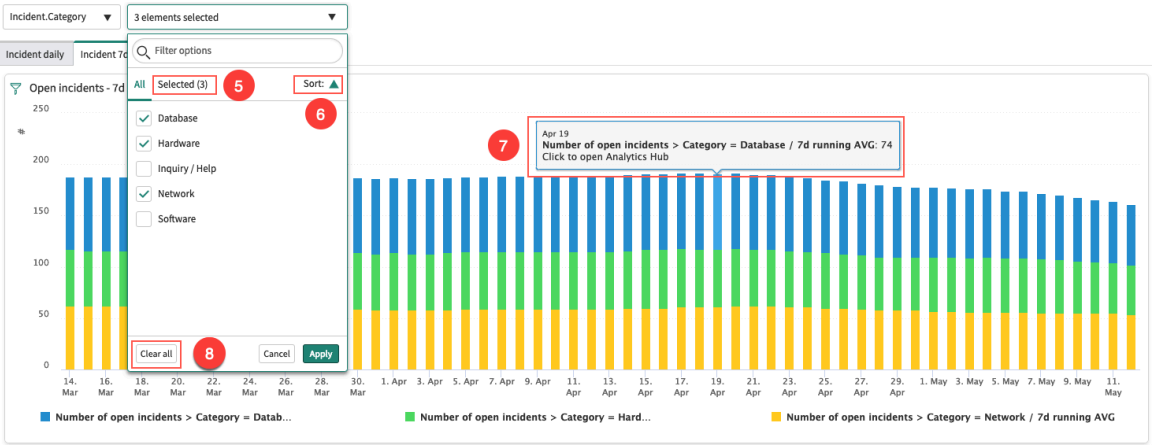
1. 移動先 すべて > セルフサービス > ダッシュボード または すべて > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード。
2. ブレークダウン要素でフィルタリングするダッシュボードを選択します。
3. 左上のリストからブレークダウンソースを選択します。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [要素を選択] リストで、フィルターを適用する要素を選択し、[適用] をクリックしま



す。
フィルタリングできるダッシュボード上のウィジェットは、選択した要素でフィルタリングされます。フィルター済みウィジェットのタイトルの横には、フィルター アイコン ( ) が表示されます。

> **注:**
> 要素のセキュリティ設定により、選択した 1 つ以上の要素が表示されない場合は、警告が表示されます。

5. 選択したブレークダウン要素のみを表示するには、[選択済み] をクリックします。
[すべて] をクリックすると、リスト内のすべてのブレークダウン要素が表示されます。
6. [並べ替え] をクリックして、要素のリストをアルファベット順に並べ替えます。
三角形の方向は、a-zまたはz-aを示します。
7. にインジケーターとブレークダウン要素 アナリティクスハブ を表示するには、データポイントを選択します。
へのアクセス アナリティクスハブ には pa_viewer ロールが必要です。

   集計ビューで選択された複数のブレークダウン要素を含むウィジェットからアナリティクスハブに移動する場合、ターゲット、しきい値、およびコメントは使用できません。ブレークダウンセレクターと検索機能も利用できません。 ウィジェット内の複数の要素の集計ビューと個別ビューの詳細については、「」を参照してください ブレークダウン ダッシュボードのウィジェットの設定。
8. [すべてクリア] を選択して選択した要素を削除し、すべての要素を含むブレークダウンウィジェットを表示します。

ダッシュボードでの複数要素の選択の無効化

ダッシュボード オーナーは、ブレークダウン ダッシュボード全体で複数の要素の選択を無効にすることができます。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
ブレークダウン ダッシュボードで複数要素の選択を無効にすると、そのダッシュボードのユーザーは、ブレークダウンの 1 つの要素でのみダッシュボードのウィジェットをフィルタリングできます。

自動翻訳

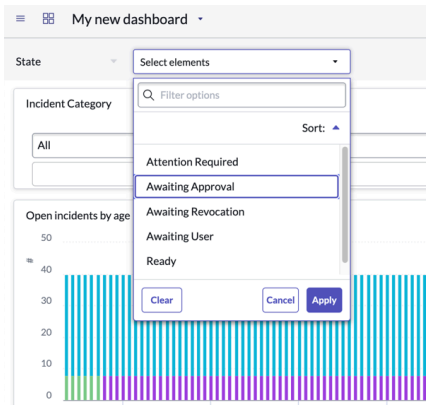
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

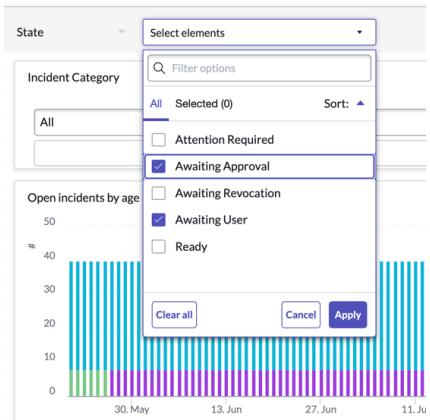
1. 移動先 すべて > セルフサービス > ダッシュボード または すべて > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード。
2. 一度に 1 つのブレークダウン要素のみでフィルタリングするブレークダウンダッシュボードを選択します。
3. コンテキスト メニューから [ダッシュボード プロパティー] を選択します。
4. [複数要素の選択を無効にする] を選択します。
   このオプションは、ダッシュボードの [ブレークダウン ソース] 関連リストに少なくとも 1 つのブレークダウン ソースがある場合に使用できます。
5. [更新] をクリックします。

タスクの結果
ブレークダウン要素でダッシュボードをフィルタリングする場合、選択できるブレークダウン要素は 1 つだけです。ダッシュボード上のウィジェットは、選択した単一のブレークダウン要素に従います。要素を選択する場合、または選択した要素をクリアする場合、この選択を行うには [適用] をクリックする必要があります。

ブレークダウン要素のリスト - 複数要素の選択は無効です



ブレークダウン要素のリスト - 複数要素の選択が有効



レスポンシブ ダッシュボードを **PDF** にエクスポート

ダッシュボードを PDF としてエクスポートして、アーカイブ、印刷、または配布できるようにします。

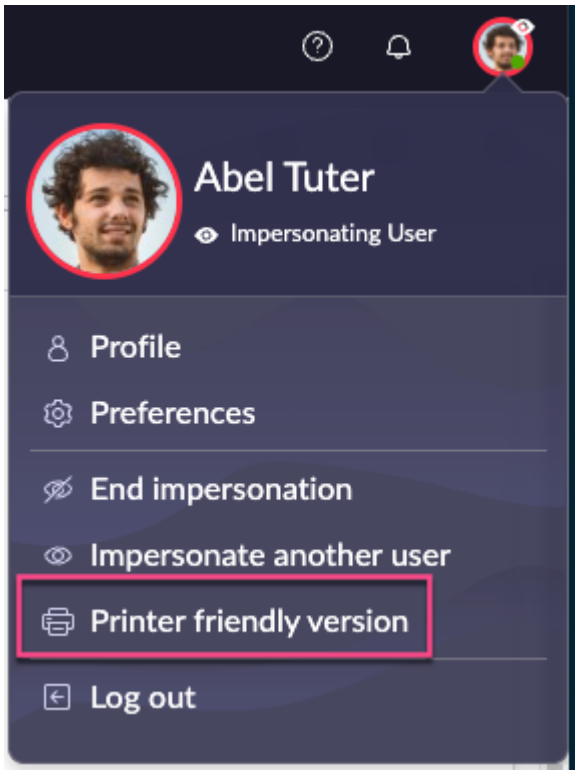
始める前に
必要なロール:ダッシュボードを PDF にエクスポートするためのロールは必要ありませんが、管理者が PDF エクスポート用にインスタンスを構成する必要があります。詳細については、「ダッシュボードの PDF エクスポートの有効化」を参照してください。

このタスクについて
ダッシュボードに適用されたインタラクティブ フィルターは、PDF にも適用されます。ただし、適用されたブレークダウンはエクスポートには含まれません。

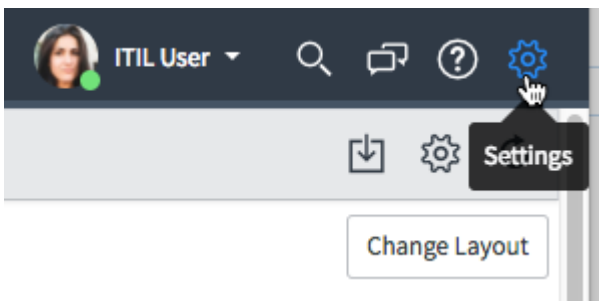
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
PDF をローカルに生成するには、インタラクティブ フィルターを設定し、ユーザー アイコンをクリックして、[印刷用バージョン] を選択します。ダッシュボードが新しいウィンドウまたはタブで開きます。ブラウザーの印刷設定を使用して、ダッシュボードをエクスポートします。



ライセンス認証を行っていない場合はNext Experience、[設定]メニューから[印刷対応版]を選択します。



制限事項：

- PDF にエクスポートしたカスタム コンテンツは、予測どおりに生成されないことがあります。詳細については、「カスタム コンテンツの PDF エクスポートに関する制限事項」を参照してください。
- PDF にエクスポートされたダッシュボードには、ダッシュボードのレイアウトは含まれません。各ウィジェットは上下に重ねて表示され、全ページ幅を占めます。
- ウィジェットは、一定の高さにエクスポートされます。ワークベンチやリスト ウィジェットなどの大きなウィジェットは、切り捨てられます。
- カレンダー レポートの PDF へのエクスポートがサポートされていないため、ダッシュボードからエクスポートされたカレンダー レポートが切り捨てられることがあります。
- ダッシュボードに適用されたブレークダウンは、PDF には含まれません。

自動翻訳

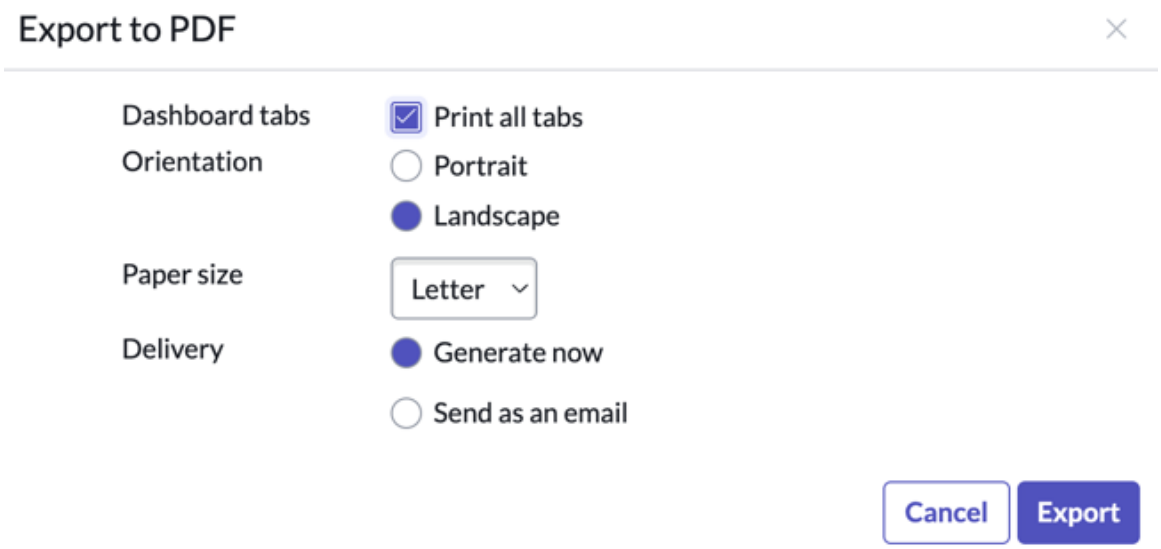
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ウィジェットは、ダッシュボードとは異なる順序で表示されることがあります。
- ウィジェットの凡例は表示されないことがあります。
- エクスポートには、レポートのビジュアル化に関連付けられたデータテーブルは含まれません。個々のレポートは、そのデータテーブルも含めて個別にエクスポートできます。スケジュール設定済みレポートにデータテーブルを含めるには、レポートデザイナーのレポートの [設定] タブに [**Display data table**] をオンにします。
- 単一スコア レポート ウィジェットのデルタ テキストの色設定は、保持されません。
- ウィジェットレベルで [日付範囲セレクターを表示] を選択すると、PDF には選択した期間が反映されません。
- レスポンシブダッシュボードをテンプレートとしてエクスポートすることはできません。

注:
メールで送信される PDF は、すぐに生成されないことがあります。

手順

1. 移動先 すべて > セルフサービス > ダッシュボード または すべて > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード。
2. 左上のダッシュボード ピッカーから、エクスポートするダッシュボードを選択します。
3. コンテキストメニュー( )をクリックし、[**PDF**にエクスポート]を選択します。
4. 印刷と配送のオプションを構成します。



5. [エクスポート] をクリックします。

タスクの結果
コンテンツは、印刷および配送のオプションに従って PDF にエクスポートされます。PDF が生成されない場合は、JavaScript エラーを特定して解決してください。

ブラウザーの印刷機能を使用したダッシュボードのエクスポート

ブラウザの印刷機能を使用して、ダッシュボードやホームページをPDFにエクスポートすることができます。

始める前に
必要なロール:ブラウザーの印刷機能を使用してダッシュボードを PDF にエクスポートする場合、ロールは必要ありません。

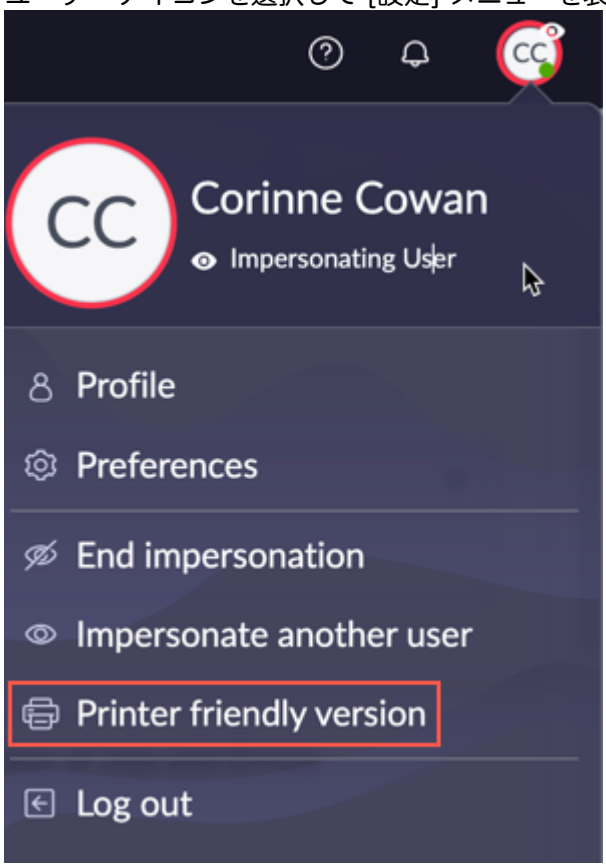
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このタスクについて
ブラウザーの印刷機能を使用して、オンデマンドで PDF をエクスポートしたり、ブレークダウンが適用された PDF をエクスポートしたりできます。スケジュール済み PDF では、ブレークダウンはデータに適用されません。

手順

1. エクスポートするダッシュボードを開きます。
2. インタラクティブ フィルターを設定します。
3. ユーザー アイコンを選択して [設定] メニューを表示します。



ブラウザー タブが開き、ダッシュボードのウィジェットが上下に並べられます。

4. 新しいブラウザー タブで、印刷するタブ、ページ サイズ、およびページの向きを選択します。
5. [印刷] を選択します。
6. ブラウザーの [印刷] ダイアログで、印刷先または出力先として [PDF] を選択します。

タスクの結果
ダッシュボード タブは、選択したページ サイズと向きで PDF にエクスポートされます。

レスポンシブ ダッシュボード **URL** のコピー

ブラウザからダッシュボード URL をコピーすることはできません。ただし、タブやブレークダウン要素などのダッシュボードの現在のビューを開く URL を作成することができます。リンクに続く場合、ServiceNow ダッシュボード周囲のプラットフォームフレームは含まれません。

始める前に
必要なロール:ダッシュボードにアクセスできる必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > セルフサービス > ダッシュボード または すべて > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード。
2. コピーする URL を含むレスポンシブ ダッシュボードを選択します。
3. オプション: タブ、ブレークダウン、およびブレークダウン要素を選択します。
4. コンテキスト メニュー () をクリックし、[ダッシュボード **URL** のコピー] を選択します。

タスクの結果
ダッシュボード URL がクリップボードにコピーされます。一部のブラウザーでは、URL をクリップボードにコピーするように求められます。

次のタスク
URL を他のユーザーと共有します。

ダッシュボードの **URL** 形式

インスタンスからダッシュボードに パフォーマンスアナリティクス リンクできます。いくつかの URL パラメーターを使用すると、リンクをクリックしたときのダッシュボードのアスペクトを指定できます。

すべてのダッシュボード URL は次の形式に従います。

```
https://<instance>.service-now.com/$dashboards.do?
```

。

注:
ダッシュボードは Performance Analytics のユーザーに限定されていないため、

```
$dashboards.do
```

置換

```
$pa_dashboard
```

ただし、どちらの文字列もダッシュボードの URL で機能します。

このベース URL の後に、いくつかのオプションの URL クエリパラメーターが続きます。

URL パラメーター

パラメーター	説明
sysparm_dashboard=<sys_id>	表示するダッシュボードの sys_id。
sysparm_tab=<sys_id>	表示するダッシュボード タブの sys_id。タブを指定しない場合、一番左のタブが表示されます。このパラメーターは、存在する場合にのみ *sysparm_dashboard* 適用されます。
sysparm_breakdown_source=<sys_id>	表示するダッシュボード ブレークダウンの sys_id。
sysparm_element=<値>	表示するブレークダウン要素のsys_idまたは値。このパラメーターは、ALSO が存在する場合にのみ *sysparm_breakdown_source* 適用されます。値の大文字と小文字は区別されます。
sysparm_element_value=<値>	選択された要素値。この値は、参照されるレコードの sys_id、または選択リストの選択肢

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

URL パラメーター (続く)

パラメーター	説明
	のデータベース値です。データベース値の大文字と小文字は区別されます。このパラメーターは、*sysparm_breakdown_source* 存在する場合にのみ*sysparm_element*適用されます。
sysparm_header=<値>	ダッシュボード ヘッダーを表示するかどうかを制御します。可能な値： • 表示：完全なヘッダーが表示されます。 • 非表示：完全なヘッダーは非表示になります。 • Embedded (埋め込み)：ヘッダーは表示されますが、[リフレッシュ]、[フィルターをリセット]、および **[PDF** にエクスポート] の各オプションのみが表示されます。
sysparm_breakdown=<値>	ダッシュボード ブレークダウンを表示するかどうかを制御します。可能な値： • 表示：ソースと要素の両方を含む完全なブレークダウンが表示されます。 • 非表示：完全なブレークダウンは非表示になります。 • Embedded (埋め込み)：ブレークダウン要素のみが表示されます。 • Readonly (読み込み専用)：ブレークダウンは表示されますが、ユーザーはフィルターの構成方法を変更できません。

自動翻訳

単一スコア レポート ウィジェットのリアルタイム更新の有効化

リアルタイム更新により、レスポンシブ ダッシュボードを表示しているユーザーは常に最新の情報を確認できます。

始める前に

必要なロール:ウィジェットが追加されたダッシュボードに対する編集権限が必要です。

単一スコア レポートでは、[カウント]、[平均]、[合計]、[個別のカウント] の 4 つのタイプの集計を使用できます。リアルタイム更新は、[カウント] 集計を使用する単一スコア ウィジェットでのみ使用可能です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
次の状況では、レスポンシブダッシュボードの単一スコアレポートウィジェットのリアルタイム更新は機能しません。

- レポート ソースがデータベース ビューの場合、スコアを更新するにはウィジェットの [リフレッシュ] アイコン をクリックする必要があります。詳細については、「データベースビュー」を参照してください。
- ドメインの可視性は、リアルタイムレポートではサポートされていません。ユーザーに割り当てられたドメインとそのドメイン階層、およびグローバルドメインのみがサポートされます。
- 可視化にドット連結条件がある場合、拡張テーブルに関連する変更があると単一スコアレポートは更新されません。Record Watcher は、レポートのベーステーブルでのみ更新を送信します。詳細については、 KB 記事 KB0868215 を参照してください。
- current.update() メソッドを使用するビジネスルールが挿入/更新時に起動されると、単一スコアレポートは 1 ではなく 2 ずつインクリメントします。詳細については、 KB 記事 KB0693812 を参照してください。
- クエリービジネスルールによって追加または変更された条件は、リアルタイムレポートでは考慮されません。

  クエリビジネスルールは特定のユーザーのクエリ条件を臨機応変に変更するため、リアルタイム更新に使用される Record Watcher フレームワークはクエリビジネスルールをトリガーしません。

- ウィジェットでフィルター [アサイン先グループ - は (動的) - 自分のグループの 1 つ] を使用している場合、ウィジェットはリアルタイムで更新されません。詳細については、 KB 記事 KB0749987 を参照してください。
- 単一スコアレポート時間の更新はローテーションテーブルではサポートされていません。

このタスクについて
ダッシュボード上の単一スコア ウィジェットのリアルタイム更新を有効にすることができます。

手順
1. 単一スコア ウィジェットが追加されたダッシュボードに移動します。
2. [ウィジェットを追加] アイコン (記号) をクリックして、ダッシュボードを編集モードにします。
3. ウィジェットをポイントし、歯車アイコン() をクリックします。
4. [リアルタイム更新を表示] を選択し、[完了] をクリックします。
5. プラス記号 ( ) をクリックして、ダッシュボードの編集モードを終了します。
   リアルタイム アイコン () がウィジェットに追加されます。スコアが変化していなくても、このアイコンは永続的に表示されます。

タスクの結果
単一スコアによるチャート化の値が変更されると、その変更がダッシュボードに反映されます。

レスポンシブ ダッシュボードのオーナーの変更

ダッシュボードのオーナーは、ダッシュボードを編集し、他のユーザーと共有できます。

始める前に
必要なロール：dashboard_admin または admin ロールを持つユーザーのみが、ダッシュボードオーナーを変更できます。

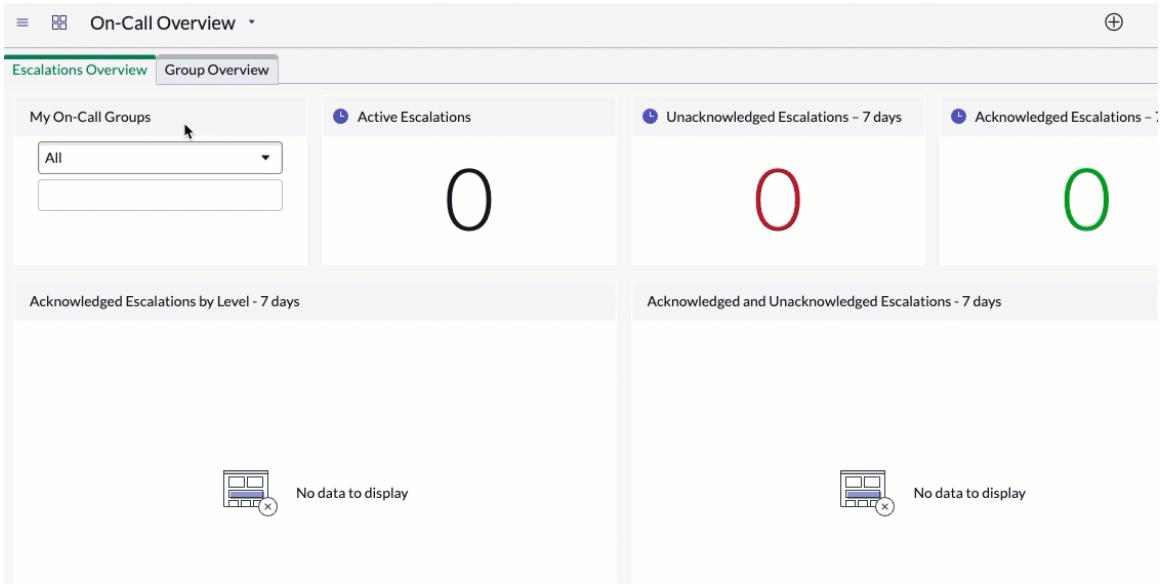
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このタスクについて
ダッシュボードの所有者を確認するには、pa_dashboards_list.do に移動してダッシュボードを検索します。

手順

1. 移動先 すべて > セルフサービス > ダッシュボード または すべて > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード。
2. 所有者を変更するダッシュボードを開きます。
3. コンテキストメニュー( )をクリックし、[ダッシュボードのプロパティ]を選択します。
4. [オーナー] フィールドで、新しいオーナーを選択します。



5. [更新] をクリックします。

関連情報

レスポンシブ ダッシュボードの共有

レスポンシブ ダッシュボードを編集する

ホームページとレスポンシブダッシュボードの違い

ホームページは廃止されます。ホームページに関連するほぼすべての機能をレスポンシブダッシュボードで使用できます。レスポンシブ ダッシュボードを使用すると、個々の要素のサイズを決定し、複数のタブを作成して他のユーザーと共有できます。

レスポンシブダッシュボードの機能

タブ

ホームページは 1 つの表示画面のみをサポートしています。タブを使用すると、コンテンツを論理的に複数の画面に分割できます。詳細については、「レスポンシブ ダッシュボードを編集する」を参照してください。

共有

他のユーザーとダッシュボードを共有すると、共同作業に使用できるデータの共有ビューが作成されます。他のユーザーに対して、表示権限または表示と編集の両方の権限を付与できます。詳細については、「レスポンシブ ダッシュボードの共有」を参照してください。

レスポンシブ レイアウト

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レスポンシブ レイアウトを使用すると、事前構成されたレイアウトによってサイズを制御するのではなく、ダッシュボード要素のサイズを変更できます。

遅延ロード

レスポンシブ ダッシュボードの要素は、ダッシュボードまたはダッシュボード タブを開いた直後にロードされるのではなく、下にスクロールして表示するとロードされます。これにより、ダッシュボードのパフォーマンスが向上します。

レスポンシブダッシュボードでサポートされていない要素

レスポンシブダッシュボードは、次のホームページ機能をサポートしていません。

付箋ウィジェット

付箋ウィジェットは廃止されました。

自動リフレッシュ

レスポンシブダッシュボードでは全自動更新は利用できませんが、ユーザーは個々のダッシュボードコンポーネントを更新したり、もちろんブラウザーウィンドウ全体を更新したりできます。

リストウィジェットの垂直方向の自動サイズ変更

ホームページでは、リストのビジュアル化はリストの長さに合わせて自動的にサイズ変更されます。レスポンシブダッシュボードでは、必要に応じてリストに垂直スクロールバーが表示されます。

PDF にエクスポート

PDF にエクスポートされたダッシュボードには、ダッシュボードのレイアウトは含まれません。ダッシュボードの要素は互いに重ねて表示され、ページ幅全体を占めます。詳細については、「レスポンシブ ダッシュボードを PDF にエクスポート」を参照してください。

ロールのデフォルトダッシュボード

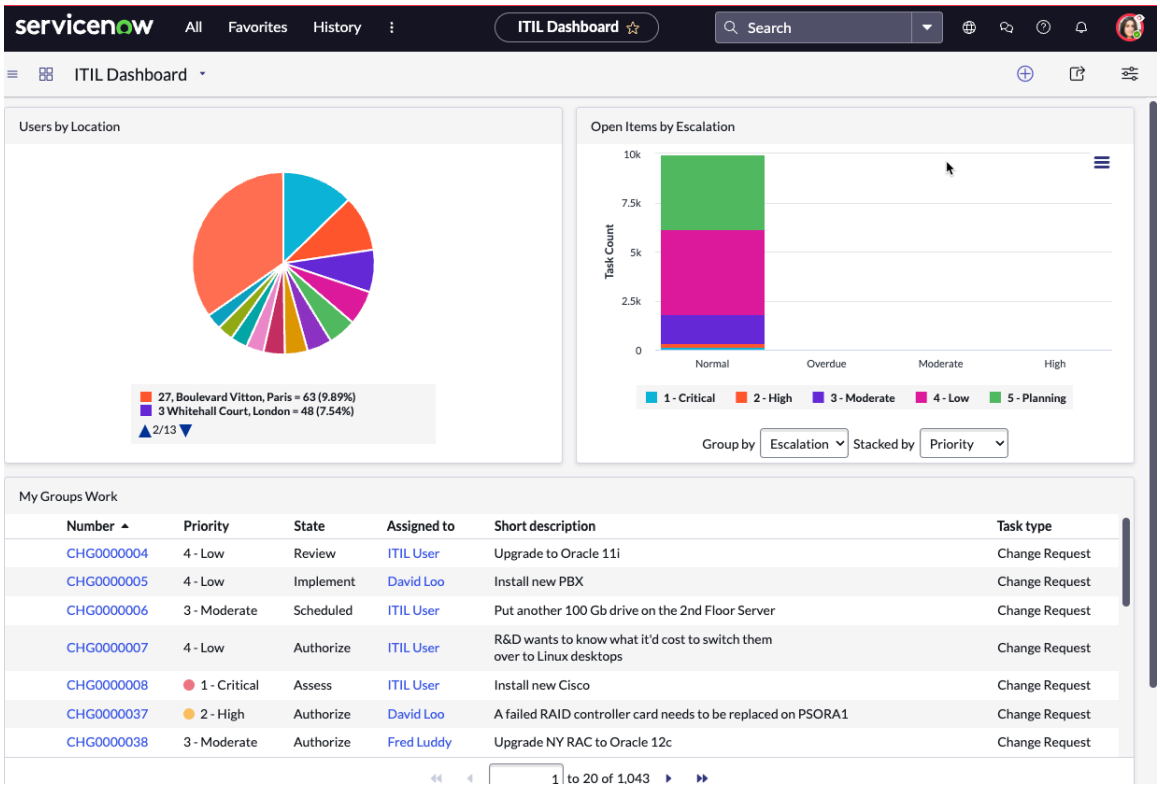
個々のユーザーまたはグループに対してデフォルトのダッシュボードを設定することはできますが、同じロールを持つすべてのユーザーに対してデフォルトのレスポンシブダッシュボードを設定することはできません。

構築済みホームページ

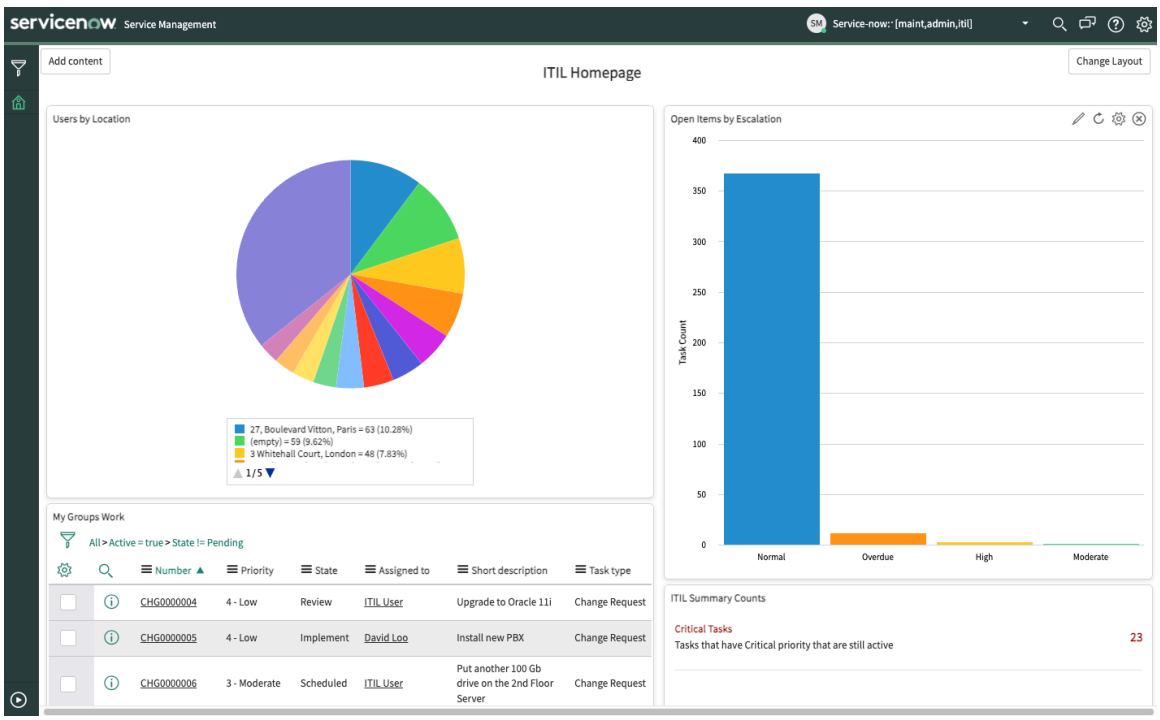
コンテンツパックやソリューションなどの製品で ServiceNow® 提供されるホームページには、2 つのケースがあります。ほとんどの場合、これらのホームページのダッシュボード バージョンが既に存在します。ただし、これらのダッシュボードの追加機能の 1 つをカスタマイズした場合は、レスポンシブダッシュボードに変換する必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ダッシュボードの例



ホームページの例



レスポンシブでないダッシュボードの操作

Utahこのリリース以降、レスポンシブでないダッシュボードは使用できなくなりました。

アップグレード時に、レスポンシブでないダッシュボードは レスポンシブダッシュボードに変換されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レスポンシブダッシュボードをホームとして設定

ホームページの代わりにダッシュボードをホームとして設定できます。この設定では、プラットフォームの左上隅にあるロゴを選択すると、最後に選択したダッシュボードが表示されます。

始める前に

注:
有効になっている場合 Next Experience 、このページの手順は適用されません。ランディングページの詳細については Next Experience 、「 デフォルトのランディングページの探索 」および 「ユーザーが選択したスタートページの設定 」を参照してください。

必要なロール:user

重要:

インスタンスからの情報を整理してデータに関するストーリーを伝える、ホームページの機能は、新しいインスタンスのダッシュボードにあります。Next Experience を有効にしてアップグレードされたインスタンスでは、ユーザーは直接 URL を持っている場合は既存のホームページを表示できますが、作成や編集はできません。レスポンシブダッシュボードと アナリティクスセンター ダッシュボードがホームページの機能を引き継ぎます。

ホームページ廃止ヘルプツールを使用して、インスタンスのホームページをレスポンシブダッシュボードに変換します。

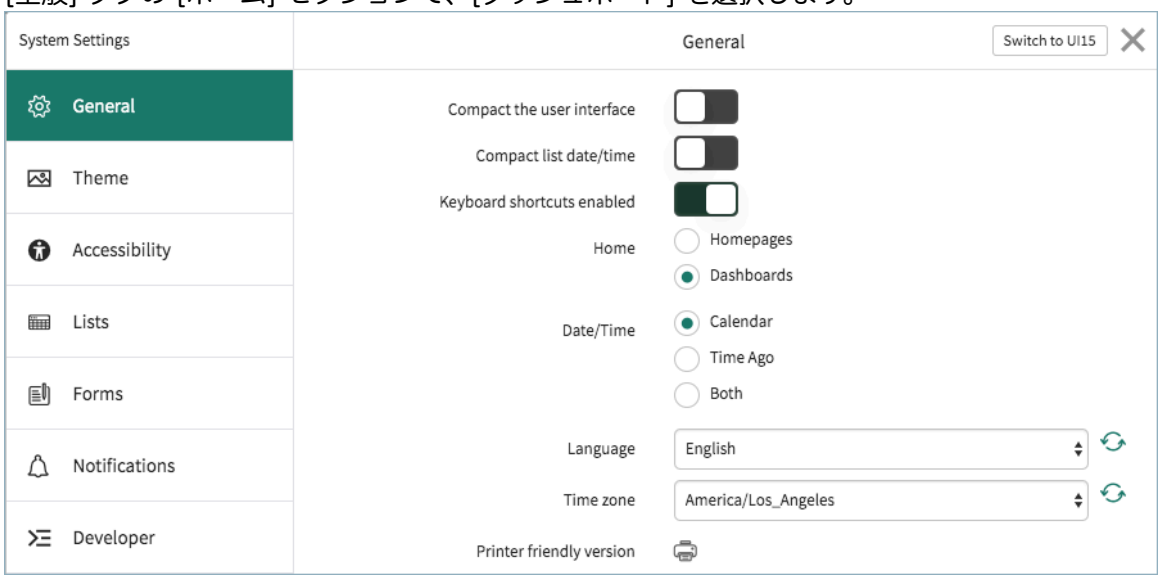
詳細については、以下を参照してください。

- 分析センターでのダッシュボード
- レスポンシブダッシュボードの操作。

ダッシュボードを ホームとして設定すると、常に最後に選択したダッシュボードがロードされます。ダッシュボードを ホームとして指定することはできません。ダッシュボードをお気に入りとしてマークすると、ダッシュボードに簡単に移動できます。

手順

1. 歯車アイコン ()  をクリックして、[システム設定] にアクセスします。
2. [全般] タブの [ホーム] セクションで、[ダッシュボード] を選択します。



次に移動すると、 セルフサービス > ダッシュボード または会社のロゴを選択すると、最後に選択したダッシュボードが表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

分析サービスの要求

新しいダッシュボードの要求、既存のダッシュボードへのアクセスなど、ダッシュボードに関連するサービスを要求します。

始める前に
必要なロール：なし

手順

1. 次のいずれかに移動 すべて > セルフサービス > **Service Catalog** または サービスポータル > サービスポータルホーム。
2. [サービス ポータル] に移動した場合は、[注文する] を選択します。
3. [何かお困りですか？] カテゴリーを選択します。
4. [分析要求] を選択します。
5. [要求タイプ] ([ダッシュボードへのアクセスを要求]、[ダッシュボードを編集]、[問題の報告] など) を選択します。
6. オプション: 別のユーザーの要求を送信する場合は、 **[Request on behalf of another user]** (別のユーザーの代わりに要求) チェック ボックスをオンにして、自分が代わりに要求するユーザーを選択します。
7. ダッシュボードの名前や変更の説明など、要求に関する追加の詳細を入力します。
   使用可能なフィールドは、要求タイプによって異なります。
   要求したユーザーに、通知が自動的に送信されます。

次のタスク
要求を送信した後は、分析チームが、要求された変更のレビューと実装を担当します。

分析要求の履行

分析サービス要求は、要求をレビューおよび履行できる分析グループにアサインされます。

始める前に
少なくとも 1 人のユーザーが分析グループのメンバーである必要があります。

必要なロール：

- 履行者：itil および pa_admin。履行者であるユーザーは、これらのロールを自動的に付与する分析グループのメンバーである必要があります。
- 承認者：itil および approver_user

手順

1. 移動先 すべて > サービスデスク > 自分のグループ作業。
2. 要求を選択します。
3. ダッシュボードへのアクセス権の付与を要求する場合は、この要求を適用するダッシュボードを選択します。
4. [要求承認者] として、1 人以上のユーザーを選択します。
   この承認者は、分析グループのメンバーでない人にする必要があります。

   注:
   要求タイプが [問題の報告] の場合、承認は必要ありません。

5. 承認者が要求を承認できるようになります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. 移動先 セルフサービス > 自分の承認。

b. [承認リクエスト] を選択します。

c. [承認] をクリックします。
承認者が承認を拒否した場合、要求は自動的にクローズします。承認者が [承認済み] または [却下] 以外のオプションを選択した場合、履行者ユーザーは、[状態] を [スキップしてクローズ] または [未完了でクローズ] に設定することによって要求をクローズできます。
要求が承認された場合、または承認の必要がなかった場合は、分析チームに対してタスクが作成されます。要求レコードの [タスク] 関連リストに移動して、タスクを表示します。メール通知が分析チームに送信されます。

6. 承認者が要求を承認した後、要求された変更を実行して、要求を履行します。
ダッシュボードおよびダッシュボード権限の変更手順については、ダッシュボードのドキュメントを参照してください。
7. タスクの [状態] を [完了してクローズ] に更新します。
タスクがクローズされると、要求の [状態] が自動的に更新されます。要求したユーザーに、要求された変更が完了したことを知らせるメール通知が送信されます。

関連情報

ダッシュボードを作成および使用する

レスポンシブ ダッシュボードの共有

分析用セルフサービス ポータル プラグインの有効化

admin ロールがある場合、分析用セルフサービス ポータル プラグイン (com.snc.pa.bi_service) を有効化できます。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
分析用セルフサービス ポータルは、これらの関連プラグインがまだ有効化されていない場合は有効化します。

分析用セルフサービス ポータルのプラグイン

プラグイン	説明
パフォーマンス分析 [com.snc.pa]	コア パフォーマンス分析機能

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. フィルター基準と検索バーを使用してプラグインを検索します。

名前または ID でプラグインを検索できます。プラグインが見つからない場合は、ServiceNow 担当者から要求する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. [インストール] を選択して、[プラグインをアクティブにする] ダイアログボックスで、[アクティブ化] をクリックします。

> **注:**
> ドメイン分離と代理管理者がインスタンスで有効になっている場合、管理ユーザーはグローバルドメインに含まれている必要があります。それ以外の場合、次のエラーが表示されます： 別の操作が実行されているため、アプリケーションのインストールは利用できません：<プラグイン名> のプラグインの有効化。

関連情報

プラグインのリスト (Washington DC)

ダッシュボードの管理

ダッシュボードをグループ化する方法、更新セットを含むダッシュボードを移動する方法、権限のトラブルシューティングなど、ダッシュボードの管理について学びます。

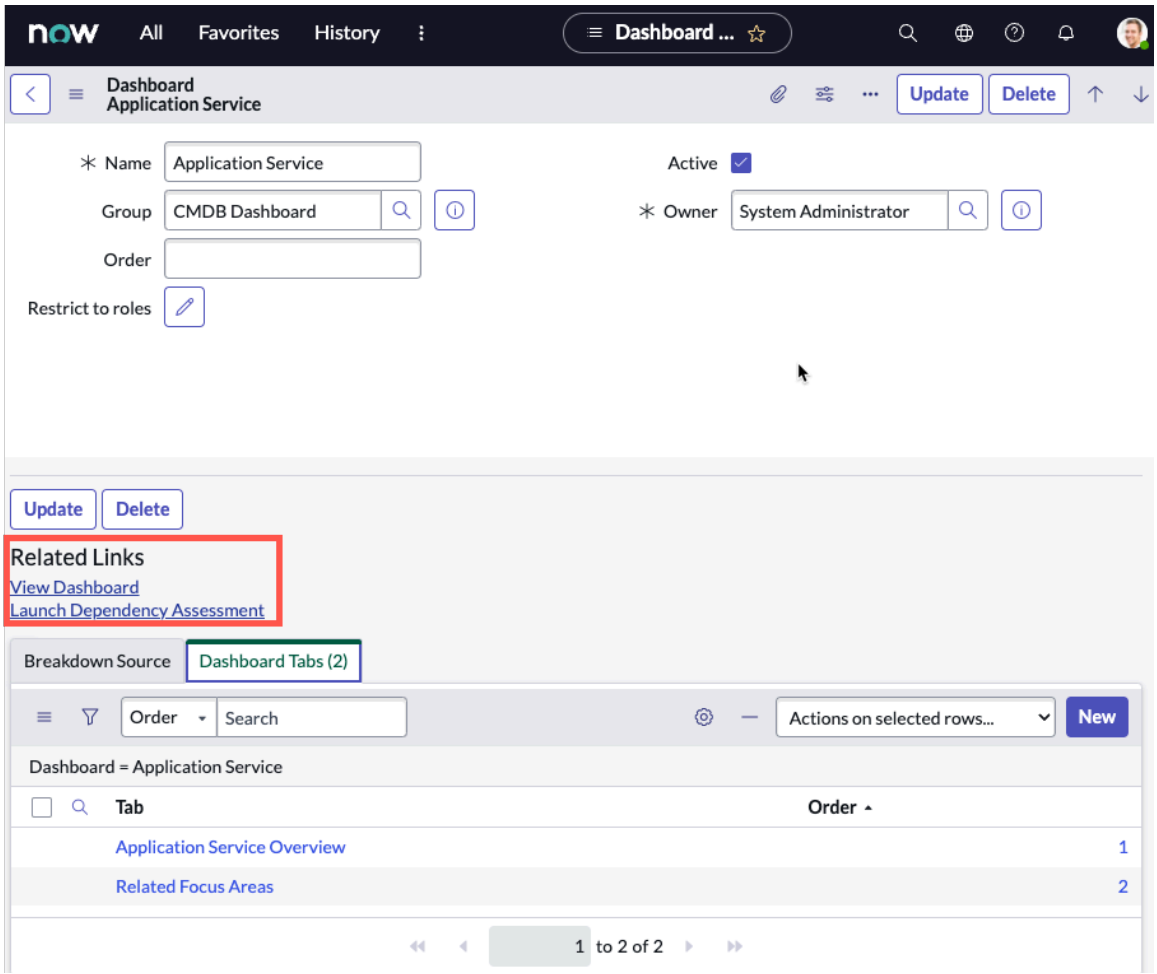
dashboard_admin ロールを持つユーザーは、インスタンス内のすべてのダッシュボード (すべての非アクティブ ダッシュボードを含む) に対する表示、編集、削除、および共有の権限を含む完全アクセス権を持ちます。インスタンス内のすべてのダッシュボードのリストを表示するには、次の場所に移動します。 パフォーマンスアナリティクス > システム > ダッシュボード管理。ダッシュボードの名前をクリックすると、そのフォームが表示されます。

ダッシュボードのフォームのフィールドについては、「」で レスポンシブ ダッシュボードの作成または構成説明しています。関連リンクを使用して、次のことを行います。

- ダッシュボードメタデータを生成
- ダッシュボードを表示する
- 依存関係アセスメントを起動

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ダッシュボードの探索および管理

ダッシュボード、レポート、インジケーターなどのパフォーマンスアナリティクス要素間の関係をすばやく特定します。各ダッシュボード タブには、ダッシュボードに表示される情報を絞り込むためのカスタマイズされたインタラクティブ フィルターがあります。

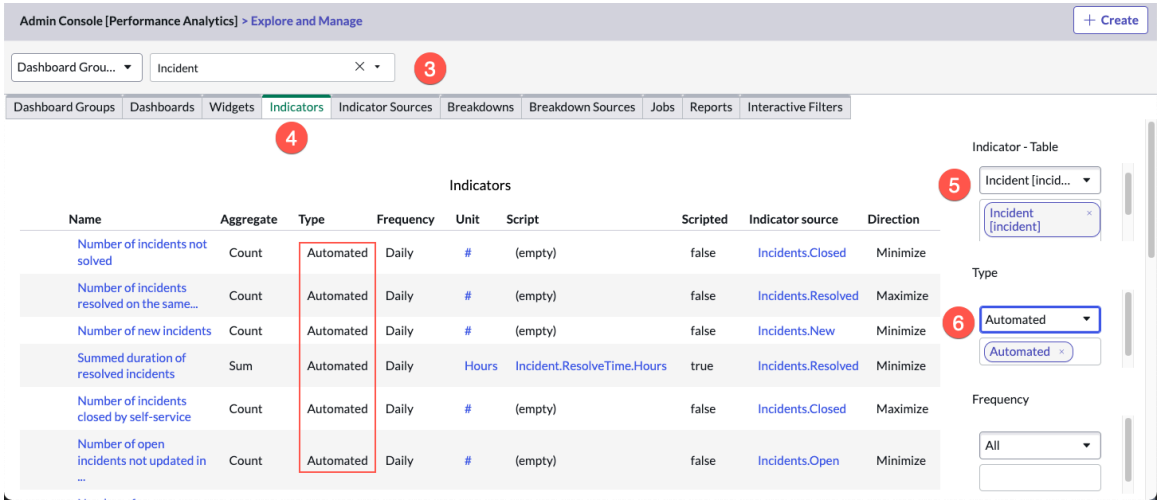
ダッシュボードの探索の例

インシデント テーブルに基づいて、インシデント ダッシュボード グループに関連するすべての自動インジケーターを表示するには：

1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > アドミンコンソール
2. [探索と管理] タイルで [ダッシュボード] を選択します。
3. 最初の 2 つのリストから、[ダッシュボード グループ] と [インシデント] を選択します。
4. [インジケーター] タブを選択します。
5. **[Indicator - Table]** (インジケーター - テーブル) リストから [インシデント] を選択すると、インシデント テーブルのインジケーターのみが表示されます。
6. [タイプ] リストから [自動] を選択すると、インシデント テーブルの自動インジケーターのみが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ダッシュボードおよびダッシュボード グループ

[ダッシュボード] または [ダッシュボードグループ] をクリックすると、インスタンス内のすべての Performance Analytics の要点に関する情報を提供するダッシュボードが表示されます。

ダッシュボードグループ

インスタンス内のすべてのダッシュボード グループのリスト。管理コンソールで [ダッシュボード グループ] を選択した場合は、このタブにフォーカスがあります。グループが指定されていないダッシュボードは、[その他] グループに分類されます。

[可視性] フィルターを使用して、すべてのダッシュボード グループ、すべてのユーザーに表示されるダッシュボード グループ、または指定したグループとユーザーに限定されたダッシュボード グループを表示します。

ダッシュボード

グループ別にソートされた、インスタンス内のすべてのダッシュボードのリスト。グループを展開して、個々のダッシュボードを表示します。ダッシュボード名をクリックすると、その詳細を表示して編集できます。管理コンソールで [ダッシュボード] を選択した場合は、このタブにフォーカスがあります。

フィルタ：

- アクティブ：[すべて]、[Active=**True**]、または [Active=**False**] を選択します。
- ダッシュボード オーナー — [すべて] を選択するか、リストから 1 人以上のオーナーを選択します。

ウィジェット

インスタンスのダッシュボードで使用されているすべてのウィジェットのリスト。

フィルタ：

- タイプ：[すべて] を選択するか、1 つ以上のウィジェット タイプでフィルタリングします。「 Performance Analytics ウィジェット」を参照してください。
- ビジュアライズ：[すべて] を選択するか、リスト内の 1 つ以上のレポート ビジュアライズ タイプでフィルタリングします。

インジケーター

インスタンスのダッシュボードで使用されているすべてのインジケーターのリスト。フィルター: [インジケーターテーブル]、[タイプ]、[頻度]、[インジケーターソース]、[単位]、[方向]、[スクリプト化]、および [集計タイプ] でリストをフィルタリン

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

グできます。[インジケーター] または [インジケーター ソース] の名前をクリックすると、その詳細を表示して編集できます。詳細については「Performance Analytics インジケーター」を参照してください。

インジケーターソース

インスタンス内のすべてのインジケーター ソースのリスト。[インジケーターテーブル] と [頻度] でリストをフィルタリングできます。[インジケーター ソース] の名前をクリックすると、その詳細を表示して編集できます。詳細については、「 インジケーター ソース」を参照してください。

ブレークダウン

インスタンス内のすべてのブレークダウンのリスト。1 つ以上の ブレークダウンテーブルでリストをフィルタリングできます。ブレークダウンとブレークダウン ソースの名前をクリックすると、その詳細を表示して編集できます。詳細については、「 Performance Analytics のブレークダウン」を参照してください。

ブレークダウンソース

インスタンス内のすべてのブレークダウン ソースのリスト。1 つ以上の ブレークダウンテーブルでリストをフィルタリングできます。ブレークダウン ソースの名前をクリックすると、その詳細を表示して編集できます。詳細については、「 ブレークダウン ソースの定義」を参照してください。

ジョブ

インスタンスで作成されたすべてのジョブのリスト。[実行] 列には、ジョブの実行頻度が表示されます。[時間] 列には、ジョブが最後に実行されたときにかかった時間が表示されます。また、リストには、ジョブがアクティブかどうかも示されます。ジョブの名前をクリックすると、その詳細が表示されます。詳細については、「 ジョブ インジケーターの構成」を参照してください。

レポート

インスタンスで作成されたすべてのレポートのリスト。1 つ以上のレポート テーブルと 1 つ以上のレポート タイプでリストをフィルタリングできます。レポートのタイトルをクリックすると、その詳細が表示されます。詳細については、「 レポートの視覚化の作成」を参照してください。

インタラクティブフィルター

インスタンスに構成されているすべてのインタラクティブフィルターのリスト。インタラクティブ フィルターの基になるテーブルとフィールド、および 1 つ以上の UI コントロール タイプでフィルターを適用できます。[ルックアップ名] をクリックすると、インタラクティブ フィルターの詳細を表示して編集できます。詳細については、「インタラクティブ フィルター」を参照してください。

関連情報

ツリー ビュー ナビゲーション

レスポンシブ ダッシュボードへのカスタム メッセージの追加

新しいページへのリンクの有無にかかわらず、レスポンシブ ダッシュボードの上部にメッセージを追加します。

始める前に

必要なロール:admin、またはメッセージを追加するダッシュボードのオーナー。

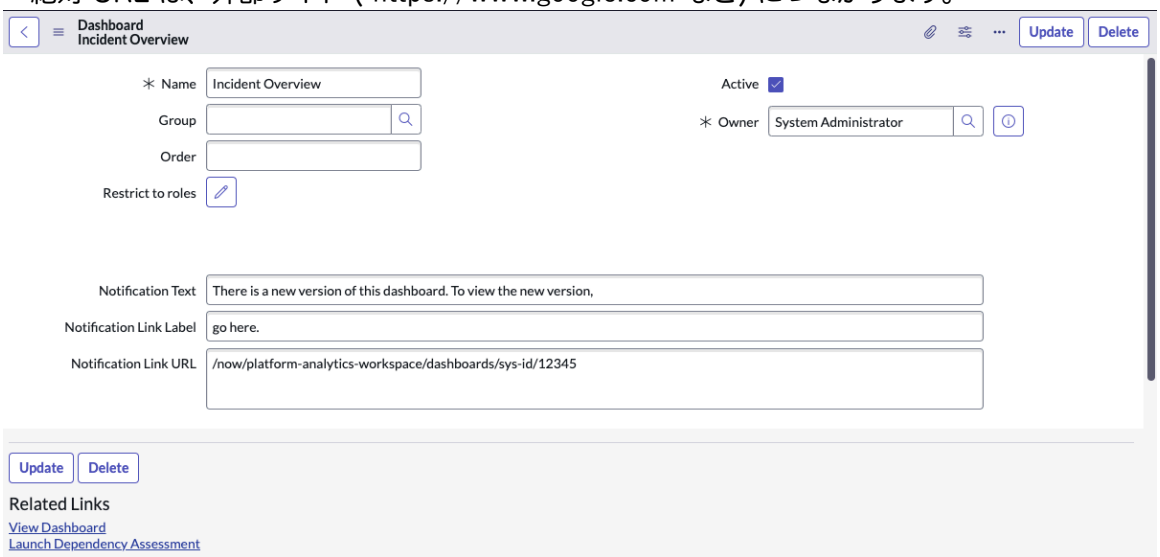
手順

1. 移動先 すべて > セルフサービス > ダッシュボード。
2. 編集するダッシュボードを開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. ダッシュボードメニュー() から、[ダッシュボードプロパティ]を選択します。
4. ダッシュボードのフォームで、[追加プロパティ] メニュー () を選択し、 構成 > フォームレイアウト。
5. これらのフィールドを [利用可能] から [選択済み] に移動し、[保存] を選択します。
   - 通知リンクラベル
   - 通知リンクの URL
   - 通知テキスト
6. [通知テキスト] フィールドにメッセージを追加します。
   たとえば、 このダッシュボードの新しいバージョンがあります。新しいバージョンを表示するには、 .
7. [通知リンクラベル] フィールドにハイパーリンク付きテキストを追加します。
   たとえば、 ここに移動します。
8. ハイパーリンクされたページへの相対 URL または絶対 URL を指定します。
   - 相対リンクは、ServiceNow インスタンス内のページです。たとえば、 /now/platform-analytics-workspace/dashboards/sys-id/12345 は、sys_ID 12345 のライブラリ内の プラットフォームアナリティクス ダッシュボードを開きます。相対リンクはスラッシュで始まり、インスタンスの名前の後にパスが含まれます。
   - 絶対 URL は、外部サイト (https://www.google.com など) につながります。



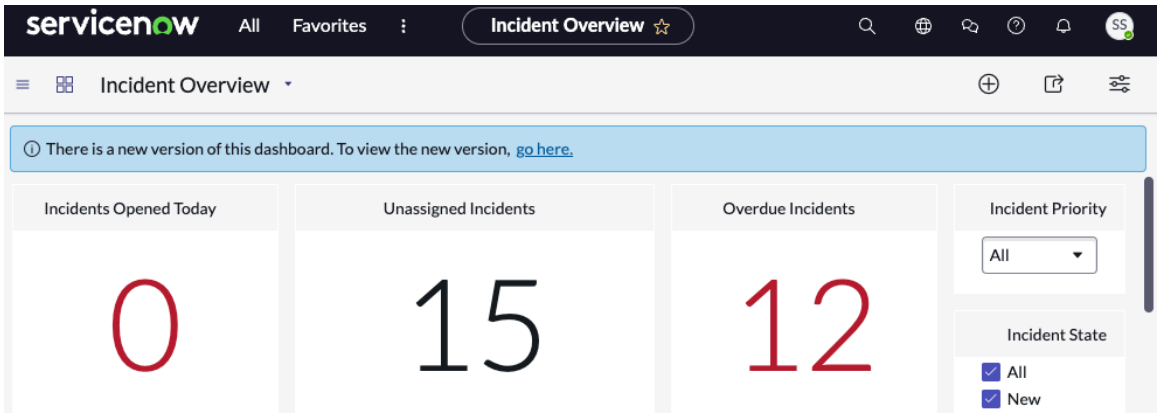
9. [更新] を選択します。

タスクの結果

ダッシュボードが開き、ダッシュボード名の下にカスタムメッセージが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ダッシュボードをすべてのユーザーのホームとして設定

個々のユーザーがホームページではなくダッシュボードを設定することは可能ですが、ダッシュボードをすべてのユーザーのホームとして設定することもできます。デフォルトでは、ユーザーが最後にアクセスしたダッシュボードが、 にログインし ServiceNowたときに表示されるダッシュボードです。

始める前に
必要なロール：admin

重要:

インスタンスからの情報を整理してデータに関するストーリーを伝える、ホームページの機能は、新しいインスタンスのダッシュボードにあります。Next Experience を有効にしてアップグレードされたインスタンスでは、ユーザーは直接 URL を持っている場合は既存のホームページを表示できますが、作成や編集はできません。レスポンシブダッシュボードと アナリティクスセンター ダッシュボードがホームページの機能を引き継ぎます。

ホームページ廃止ヘルプツールを使用して、インスタンスのホームページをレスポンシブダッシュボードに変換します。

詳細については、以下を参照してください。

- 分析センターでのダッシュボード
- レスポンシブダッシュボードの操作。

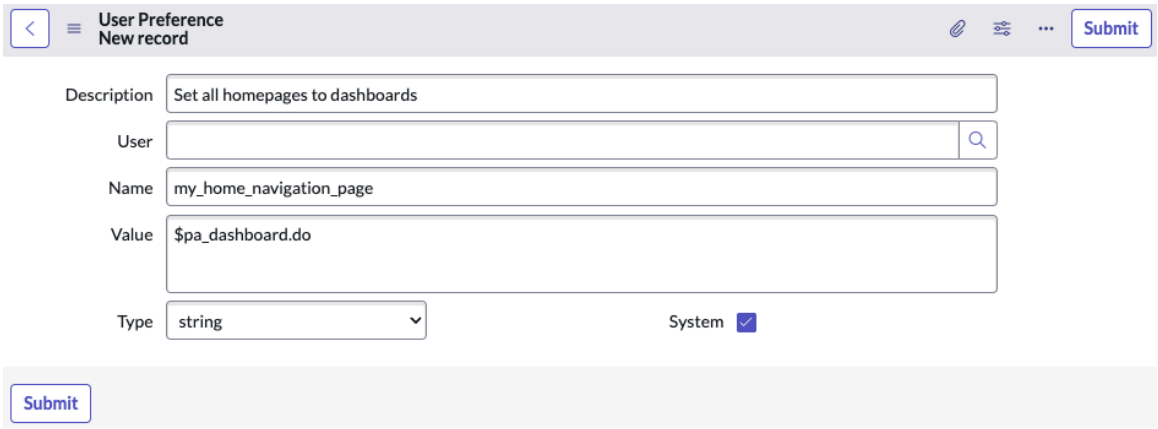
手順

1. 移動先 すべて > ユーザー管理 > ユーザー設定。
2. my_home_navigation_page という名前でユーザー初期設定を作成します。
3. 設定に 「Set all homepages to dashboards」 という説明を入力します。
4. [システム] チェックボックスをオンにして、インスタンス全体のデフォルトを作成します。
5. [ユーザー] フィールドは空のままにします。
   ステップ 4 と 5 では、プリファレンスをユニバーサルにします。
6. [タイプ] を [文字列] に設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. 値を $pa_dashboard.do に設定します。
8. [送信] を選択しま



す。

タスクの結果
すべてのユーザーがログイン ServiceNowすると、最後にアクセスしたダッシュボードが表示されます。

次のタスク
特定のダッシュボードをすべてのユーザーのホームとして設定します。

ダッシュボードをグループに整理する

ダッシュボードをグループに割り当てて、ユーザーが必要なダッシュボードをより簡単に見つけられるようにします。ダッシュボード グループによって、次の場所に移動したときのダッシュボード ピッカーでのダッシュボードの表示方法が決まります。 セルフサービス > ダッシュボード。また、ダッシュボード グループに表示権限を追加することもできます。

始める前に
必要なロール:admin、pa_admin、または pa_power_user

このタスクについて
ダッシュボード グループに対する権限は、そのグループ内のすべてのダッシュボードに適用されます。

注:

- 個々のダッシュボードに対する表示権限は、ダッシュボード グループ レベルで設定された権限を上書きします。
- ダッシュボードに対する編集権限は、ダッシュボード グループ権限に影響を与えたり、上書きしたりできます。
- ダッシュボード グループの権限は、ダッシュボードの [共有] パネルに表示されません。

ダッシュボード ピッカーに単一のグループを表示するには、ダッシュボード URL にパラメーター sysparm_group= を追加し、その後にグループ名を追加します。たとえば、incident という名前のダッシュボード グループのみを表示するには、URL https://<instance>/$dashboards.do?sysparm_group=incident を使用します。

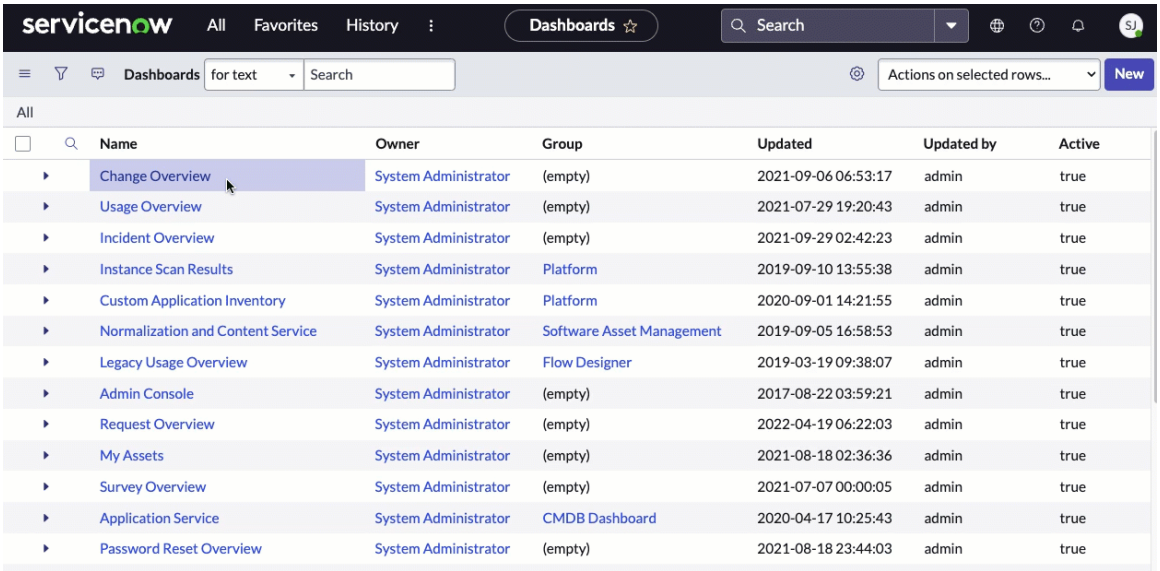
手順

1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > システム > ダッシュボード管理。
   [グループ] 列を使用して、現在のダッシュボード グループ設定をレビューします。グループが割り当てられていないダッシュボードは、[グループ] 列に (空) と表示されます。ダッシュボードの概要では、これらのダッシュボードは [その他] としてグループ化されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

2. グループに追加するダッシュボードの名前を選択して、そのフォームを開きます。
3. [グループ] フィールドで、ルックアップアイコン ()を使用して、ダッシュボードを追加するグループを選択します。
   既存のダッシュボード グループを選択するか、[新規] を選択してダッシュボード グループを作成します。



Name	Owner	Group	Updated	Updated by	Active
Change Overview	System Administrator	(empty)	2021-09-06 06:53:17	admin	true
Usage Overview	System Administrator	(empty)	2021-07-29 19:20:43	admin	true
Incident Overview	System Administrator	(empty)	2021-09-29 02:42:23	admin	true
Instance Scan Results	System Administrator	Platform	2019-09-10 13:55:38	admin	true
Custom Application Inventory	System Administrator	Platform	2020-09-01 14:21:55	admin	true
Normalization and Content Service	System Administrator	Software Asset Management	2019-09-05 16:58:53	admin	true
Legacy Usage Overview	System Administrator	Flow Designer	2019-03-19 09:38:07	admin	true
Admin Console	System Administrator	(empty)	2017-08-22 03:59:21	admin	true
Request Overview	System Administrator	(empty)	2022-04-19 06:22:03	admin	true
My Assets	System Administrator	(empty)	2021-08-18 02:36:36	admin	true
Survey Overview	System Administrator	(empty)	2021-07-07 00:00:05	admin	true
Application Service	System Administrator	CMDB Dashboard	2020-04-17 10:25:43	admin	true
Password Reset Overview	System Administrator	(empty)	2021-08-18 23:44:03	admin	true

4. オプション: ダッシュボード グループのフォームを開いて、その権限を変更します。

   (Optional) ダッシュボード グループに対する表示権限のみを設定できます。

   ダッシュボード グループでは、標準のプラットフォーム権限が使用されます。詳細については、「アクセス制御リストルール」を参照してください。
5. [更新] を選択します。

レスポンシブ ダッシュボードでのダッシュボード権限とダッシュボード グループの権限のインタラクション

ダッシュボード グループ権限とダッシュボード権限は相加的ではありません。ダッシュボードの権限の定義によっては、ダッシュボード グループ権限が適用されないことがあります。

ダッシュボードがダッシュボード グループに属している場合、そのダッシュボードで定義された表示権限が、ダッシュボード グループのすべての表示権限を上書きします。ダッシュボード グループ レベルで定義された権限は、ダッシュボードの [共有] パネルには表示されません。グループ内のダッシュボードの表示権限を変更する場合は、ユーザーがアクセス権を失わないように、必ずダッシュボード グループの権限を確認してください。詳細については、「ダッシュボード権限のシナリオ」を参照してください。

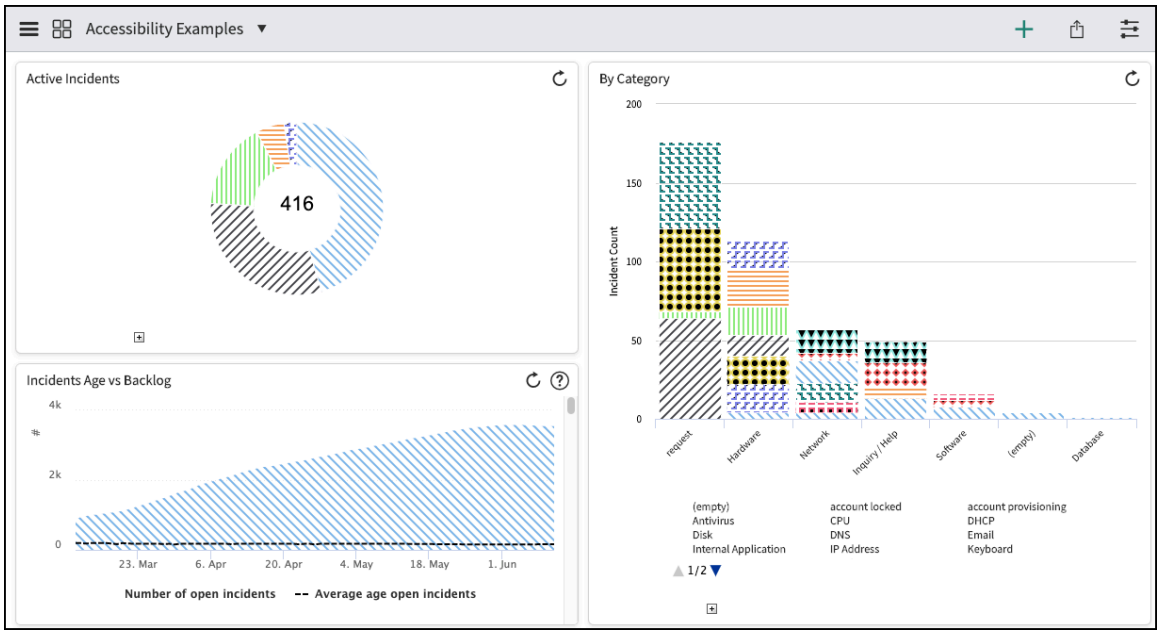
たとえば、ダッシュボード グループ Support Dashboards に、Open Incidents および Incident Metrics というダッシュボードが含まれているとします。このダッシュボード グループには、グループ Support に対する表示権限があります。Incident Metrics というダッシュボードに対する表示権限をユーザー John Dee に付与した場合、グループ Support にはこのダッシュボードが表示されなくなります。ダッシュボードに対する表示権限は、ダッシュボード グループに対するすべての表示権限を上書きします。

ダッシュボードのアクセシビリティ オプション

アクセシビリティ設定がダッシュボード上のレポートと パフォーマンスアナリティクス ウィジェットにどのように影響するかを理解します。での ワークスペース データの可視化も影響を受けます。

自動翻訳

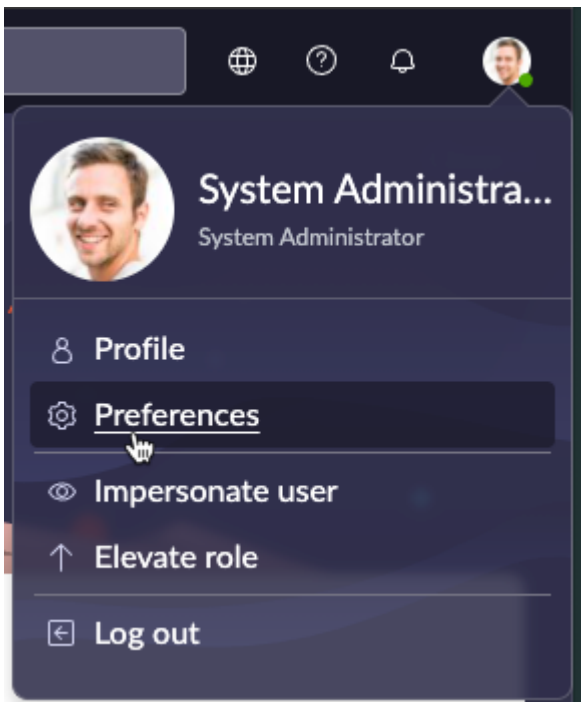
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



次のアクセシビリティオプションを有効または無効にして、インスタンスでのエクスペリエンスをよりアクセシブルにすることができます。

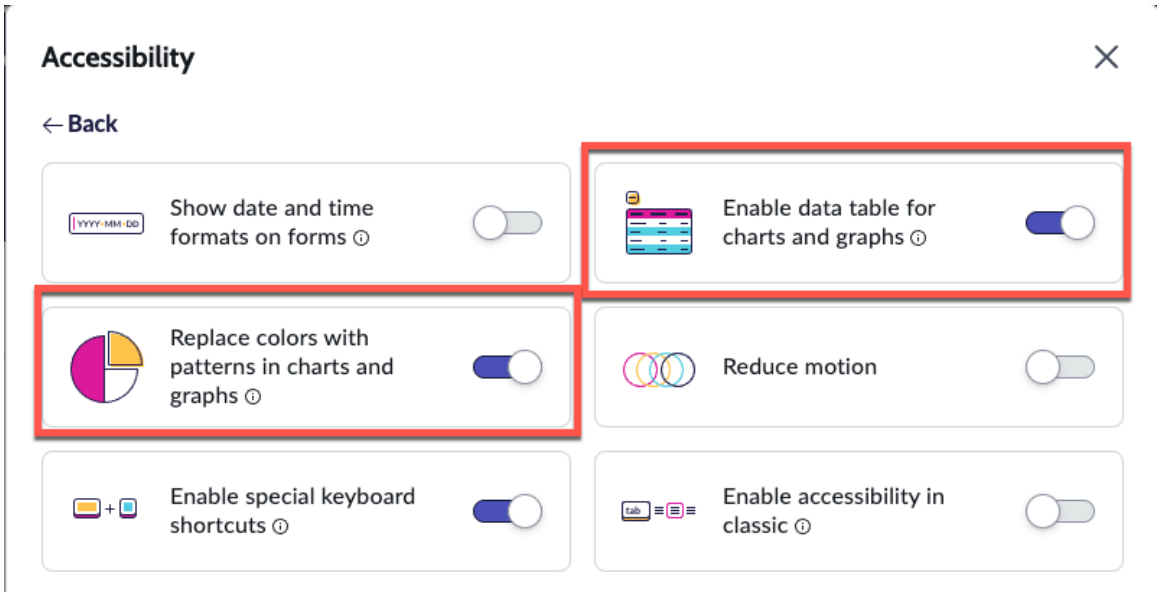
- チャートやグラフの色やパターンを置き換える
- チャートおよびグラフのデータテーブルを有効にする

「環境設定」を開いて、「アクセシビリティ」オプションにアクセスします。詳細については、「システム設定の構成」を参照してください。



自動翻訳

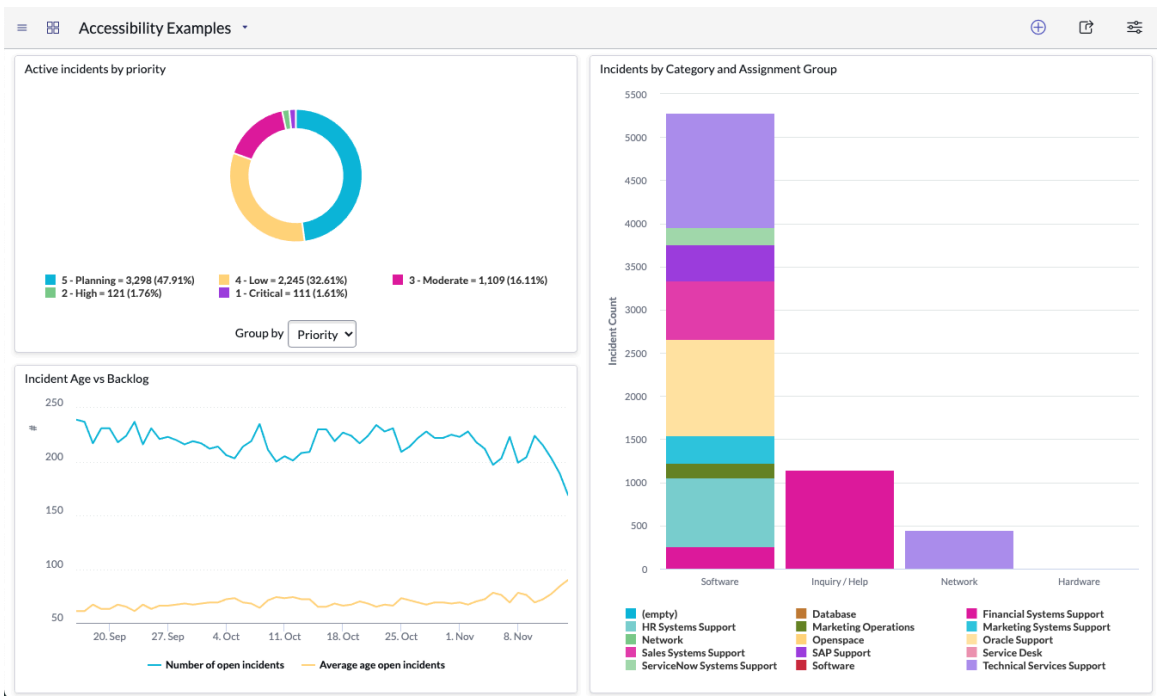
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



データ可視化パターンを有効にする

以下は、アクセシビリティが有効になっていないビジュアライゼーションを表示するダッシュボードの例です。ダッシュボードには、次の可視化が表示されます。

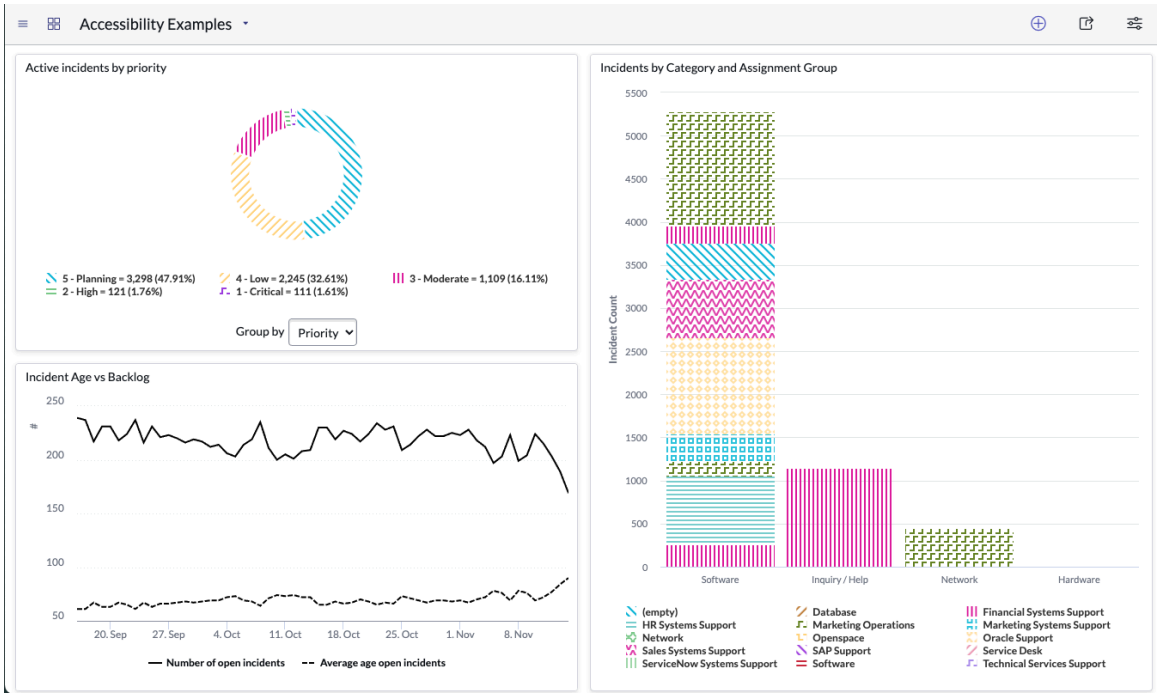
- ドーナツグラフレポート
- 棒グラフレポート
- 時系列の Performance Analytics ウィジェット



[チャートやグラフで色をパターンに置き換える] を選択すると、ビジュアリゼーションの単色がどのように異なるパターンになり、見やすくなるかを確認できます。

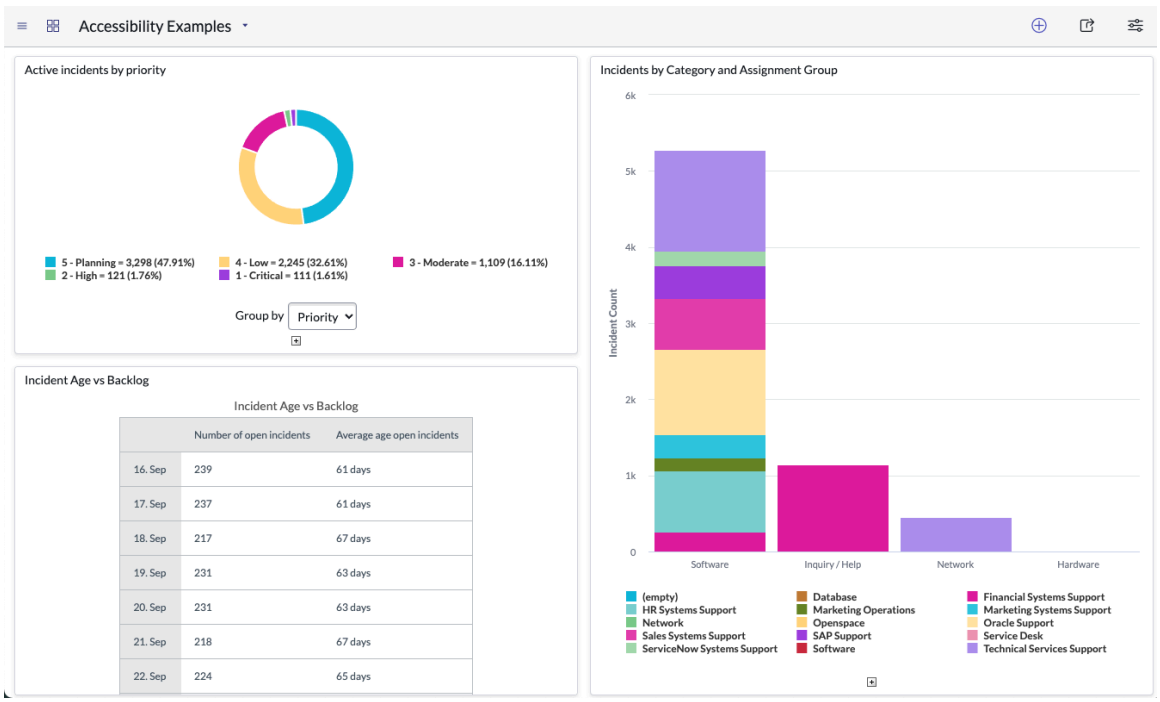
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



有効なデータテーブル

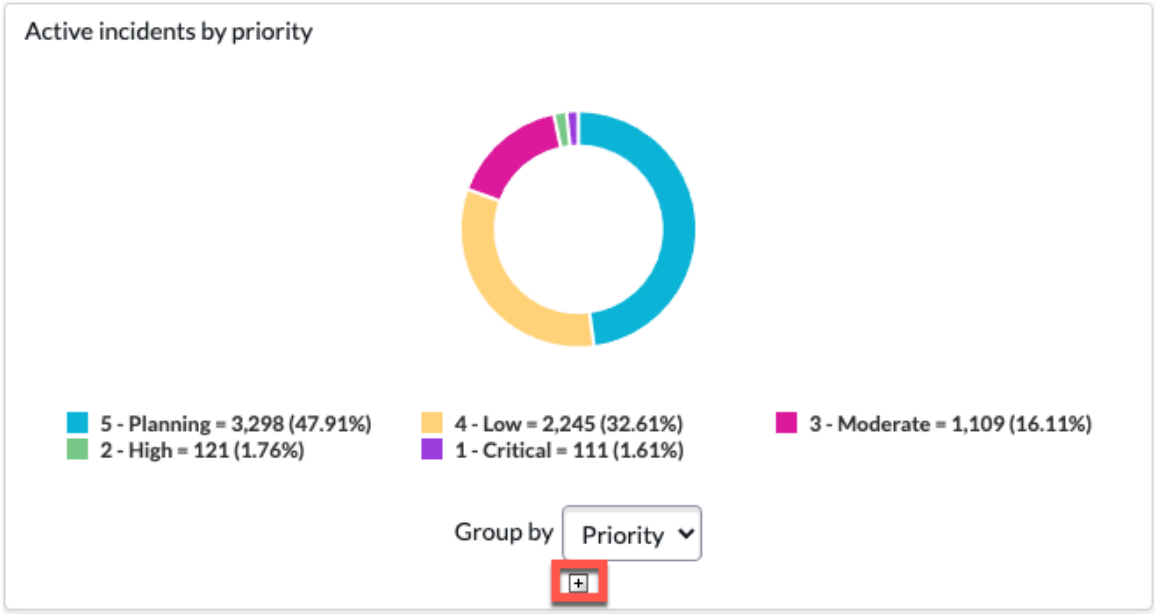
[チャートとグラフのデータテーブルを有効にする] を選択すると、ウィジェットの パフォーマンス アナリティクス チャートがデータテーブルに置き換えられます。レポートにプラス + アイコンが表示されます。



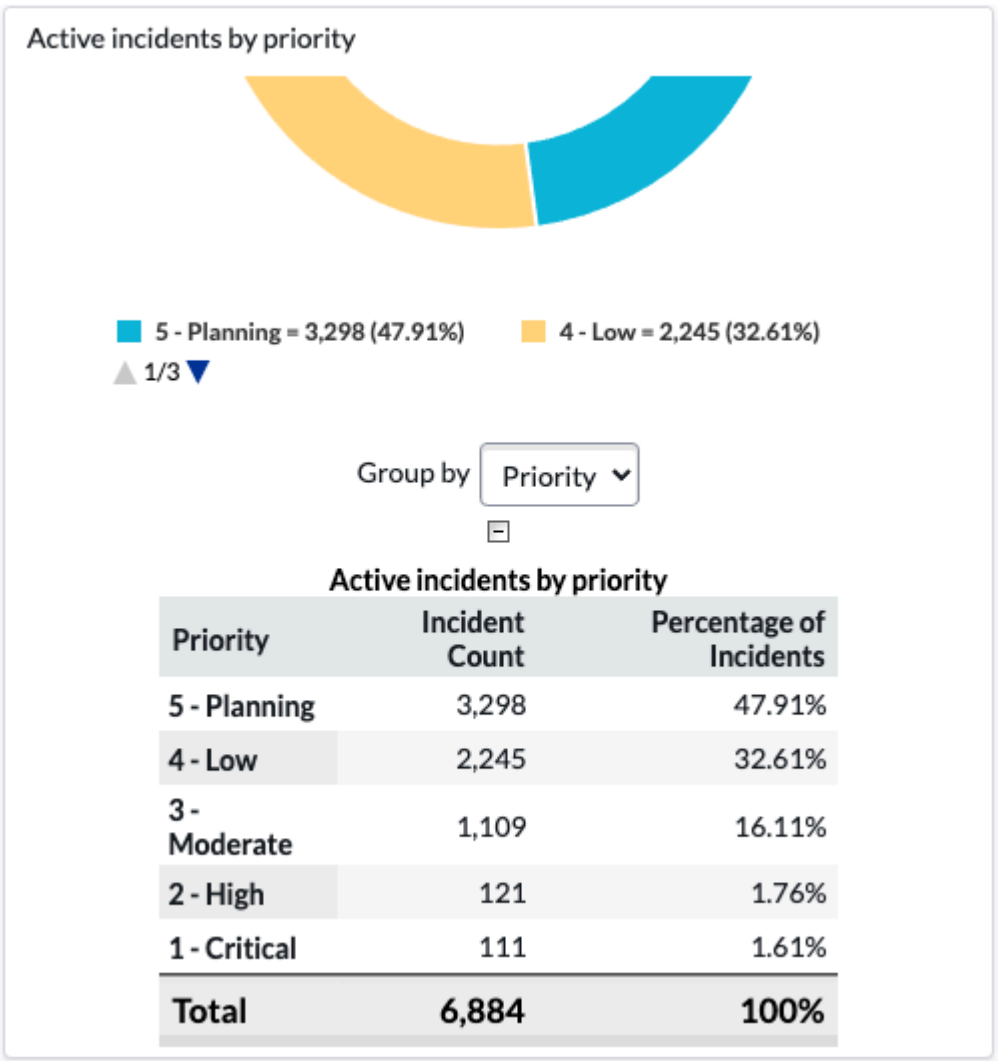
以下は、プラスアイコンの拡大図です。プラスアイコンを有効にすると、個々のレポートに設定されたデータテーブルの設定に関係なく表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



プラスアイコンをクリックすると、対応するデータテーブルが表示されます。



Active incidents by priority

Priority	Incident Count	Percentage of Incidents
5 - Planning	3,298	47.91%
4 - Low	2,245	32.61%
3 - Moderate	1,109	16.11%
2 - High	121	1.76%
1 - Critical	111	1.61%
Total	**6,884**	**100%**

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

更新セットを含むダッシュボードの移動

ダッシュボードタブに関連するポータルページは、更新セットで自動的に転送されません。[ダッシュボードのアンロード] 機能を使用して、ダッシュボードレコードから更新セットにポータルページを追加できます。ダッシュボードのアンロード機能は、ポータルページを含むすべての関連タブを含むダッシュボード全体をアンロードします。

始める前に

必要なロール：admin

このタスクについて

この手順では、ダッシュボード構造を更新セットに移動する方法について説明します。ダッシュボード構造には、ダッシュボード自体、タブ、関連するセキュリティ構成、およびヘッダーの色や境界線などのダッシュボード固有のウィジェット設定が含まれます。

この手順では、ダッシュボードのコンテンツ (レポート、PA ウィジェット、コンテンツブロック、その他のウィジェットなど) は更新セットに移動しません。デフォルトのプラットフォーム機能を使用して、ダッシュボードコンテンツを更新セットに追加できます。

> **注:**
> ダッシュボードコンテンツがダッシュボードレコードと同じ更新セットにあるか、またはターゲットインスタンスに既に存在することを確認してください。移動したダッシュボードが、ターゲットインスタンスに存在しないコンテンツを指している場合、エラーが発生します。

スコープ対象のアプリケーションでダッシュボードを移動する場合は、追加の手順が必要になることがあります。詳細については、「更新セット ID 「グローバル」は更新セットスコープ ID とは異なります」を参照してください。

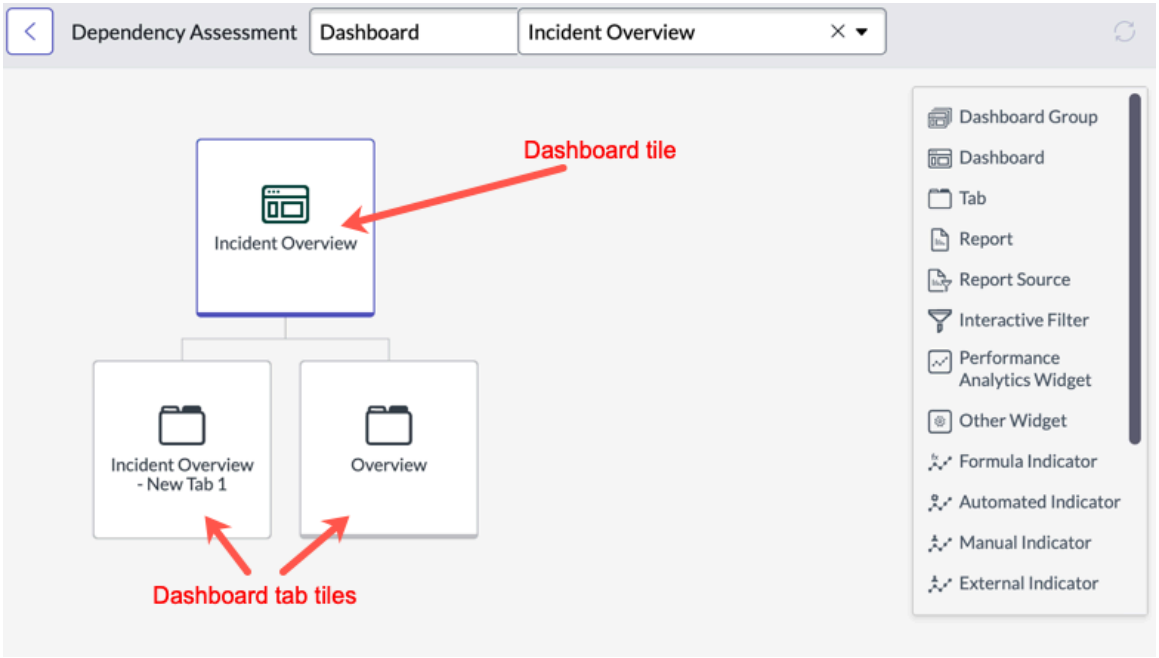
手順

1. ソース インスタンスで、アンロードするダッシュボードの場所に移動します。例: セルフサービス > ダッシュボード.
2. 更新セットにアンロードするダッシュボードを選択します。
3. オプション: 各タブに関連付けられたポータルページレコードがあることを確認します。

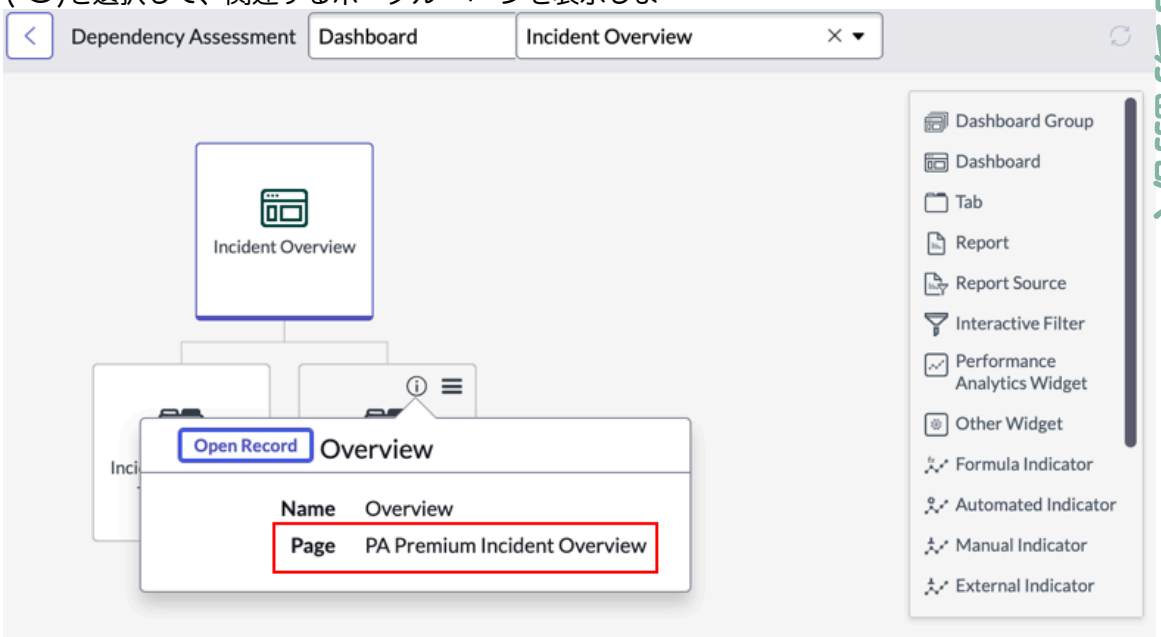
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. コンテキスト メニュー アイコン () ≡ を選択し、 [依存関係アセスメントの起動] を選択します。



b. 各ダッシュボード タブのタイルの隅をポイントし、情報アイコン(ⓘ)を選択して、関連するポータル ページを表示します。



4. ダッシュボードのタイルの隅をポイントし、情報アイコン(ⓘ)を選択します。

[レコードを開く] を選択して、ダッシュボードフォームを開きます。

ダッシュボードのタイルには、ダッシュボード自体と同じ名前が付けられます。

5. コンテキストメニューアイコン(≡)をクリックし、[ダッシュボードをアンロード]を選択します。
この手順は、ダッシュボードをアンロードする準備ができた後、つまりすべてのコンテンツをタブに追加した後にのみ実行してください。

6. 更新セットを移動する準備ができたら、更新セットを完了としてマークします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

7. ターゲット インスタンスで、標準の更新セット機能を使用して更新を移動します。
詳細については、「 更新セットの取得 」を参照してください。
[リモートインスタンス] ページの [取得済み更新セット] 関連リストには、取得したすべての更新セットが表示されます。更新セットを選択して、エラーがあるかどうかを確認します。エラーは、[取得した更新セット] フォームの [更新セットプレビューの問題] という関連リストに表示されます。「更新セットとともに移動されたダッシュボードのエラーの解決」を参照してください。
8. ターゲット インスタンスで、ダッシュボードのすべてのタブに、関連付けられたポータル ページが含まれることを確認します。

「タブがターゲット ダッシュボードに移動されたことを検証」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

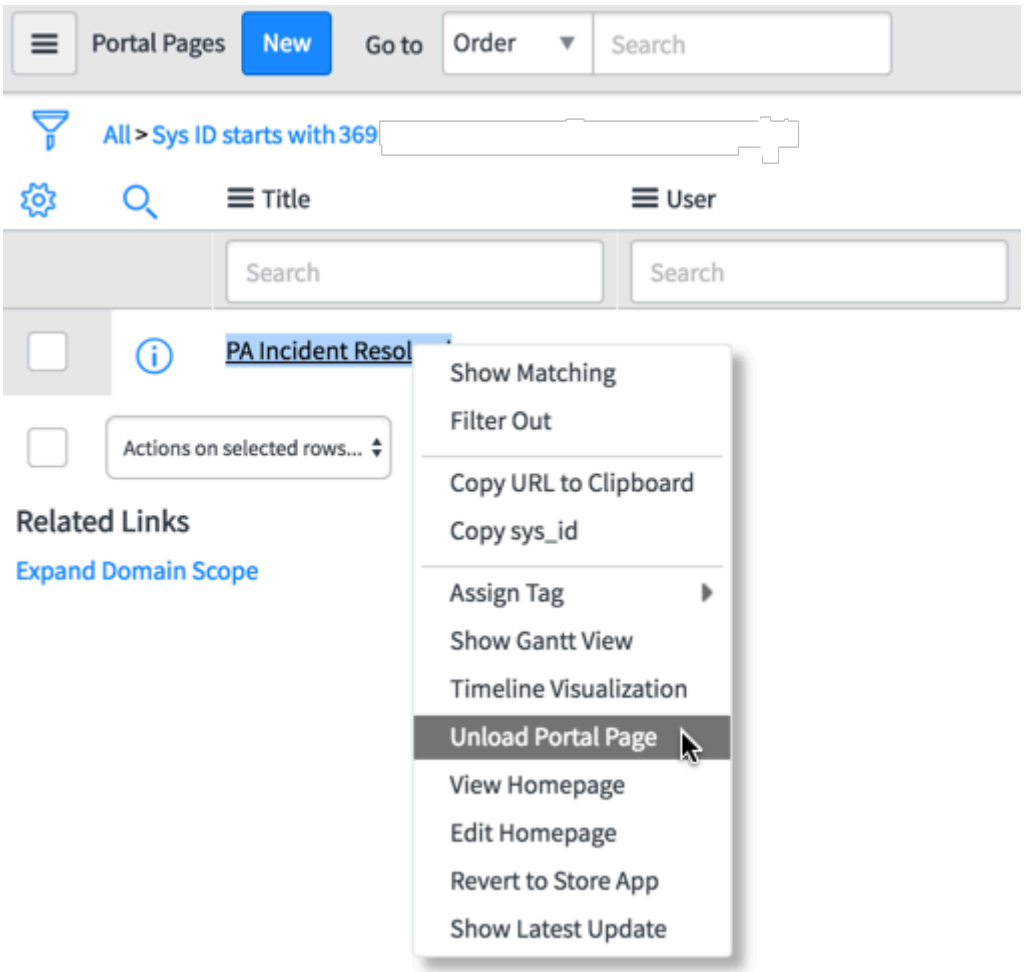
タブフォームにポータルページがない場合は、[ページ] フィールドの横にある検索アイコン () を選択して、関連するポータルページを検索します。

注:
ターゲットインスタンスで関連するポータルページが見つからない場合は、次の手順に従って、欠落している各ポータルページを更新中に移動します。

a. 移動先 ホームページ管理者 > ページ.

b. コピーした sys_id のポータル ページのみが表示されるように、リストをフィルタリングします。

c. レコードを右クリックし、[ポータルページのアンロード] を選択します。



現在のタブのポータルページが現在の更新セットに追加されます。

d. 標準の更新セット機能を使用して、更新セットを別のインスタンスに移動します。詳細については、「 更新セットの取得 」を参照してください。

タスクの結果
ダッシュボードとそのタブが、ターゲット インスタンスに移動されます。

タブがターゲット ダッシュボードに移動されたことを検証

更新セットを含むダッシュボードを移動する場合、タブがターゲット インスタンスに移動され、データが入力されていることを確認します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
ダッシュボードを異なるインスタンス間で移動するには、ダッシュボード タブの sys_id の値を、関連付けられたポータル ページの sys_id の値に関連付ける必要があります。このタスクでは、ダッシュボードの移動に関する問題がある場合に、これらの値を見つけて相互にマップする方法について説明します。このタスクは、 更新セットを含むダッシュボードの移動の後で実行してください。

手順

1. ターゲット インスタンスで、移動したばかりのダッシュボードに移動します。
2. コンテキストメニューアイコン( )をクリックし、[ダッシュボードプロパティ]を選択します。
3. タブ フォームの各タブに、必須フィールド [ページ (sys_portal_page 参照)] が存在することを確認します。
   すべてのタブにポータルページが関連付けられている場合、ダッシュボードは正常に移動されています。
4. ターゲット インスタンスのポータル ページがいずれかのタブ フォームにない場合は、次の手順を実行します。

   a. [タブ] フォームでコンテキスト メニュー アイコン () を選択し、[**sys_id**のコピー] を選択します。

   b. ソース インスタンスのフィルター ナビゲーターで、`pa_tabs.list` と入力します。

   c. 手順 a でコピーした sys_id のタブのみが表示されるように、リストをフィルタリングします。

   d. タブの名前を選択してフォームを開きます。

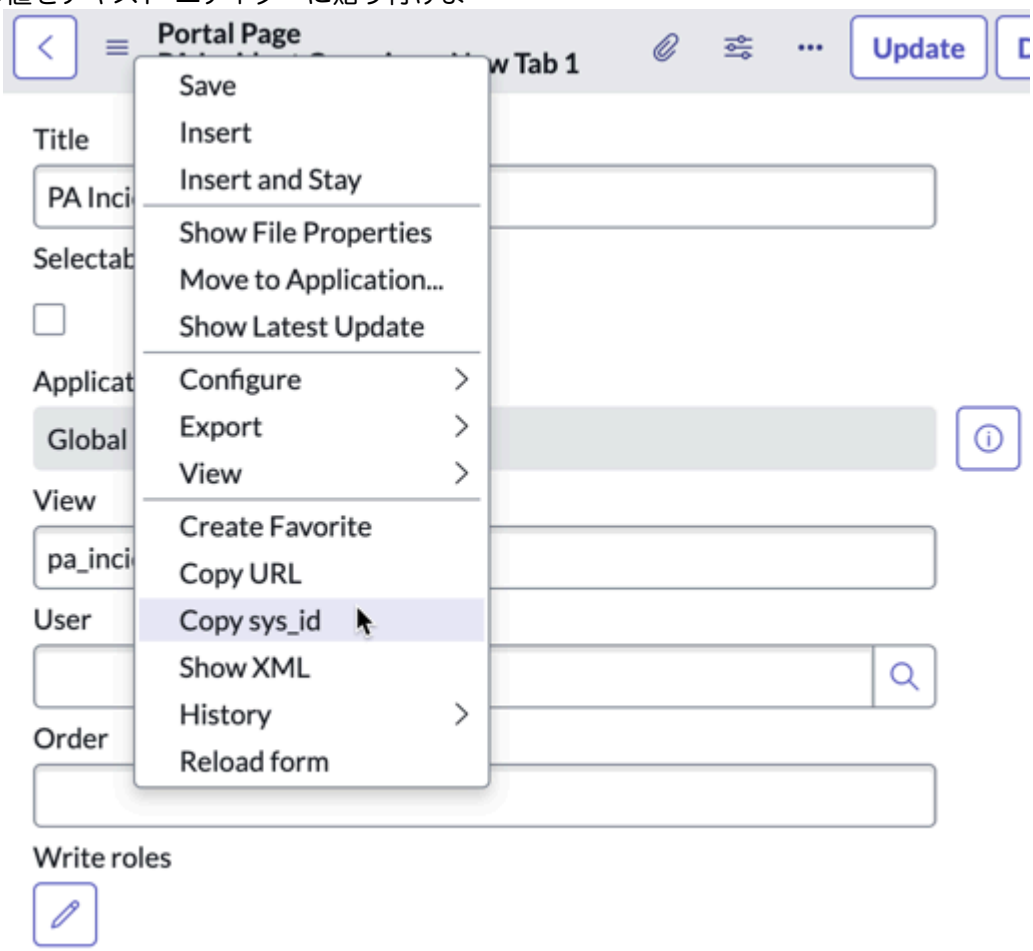
   e. そのタブの [ページ] 値の情報アイコン () を選択します。

   f. [ポータル ページ] で、コンテキスト メニュー アイコン () を選択し、[**sys_id**のコピー] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この値をテキスト エディターに貼り付けま



す。

この値は、ポータル ページの sys_id です。これは、すでに使用した、関連付けられたタブの sys_id とは異なります。これらの値は、タブをポータル ページにマップするために一緒に使用されます。

g. [ページ] フィールドに関連付けられた検索アイコン () を選択します。

h. ポップアップ ウィンドウで、ポータル ページ sys_id でフィルタリングし、返されたクエリー結果を選択します。

i. タブ フォームで [更新] を選択して、変更を保存します。

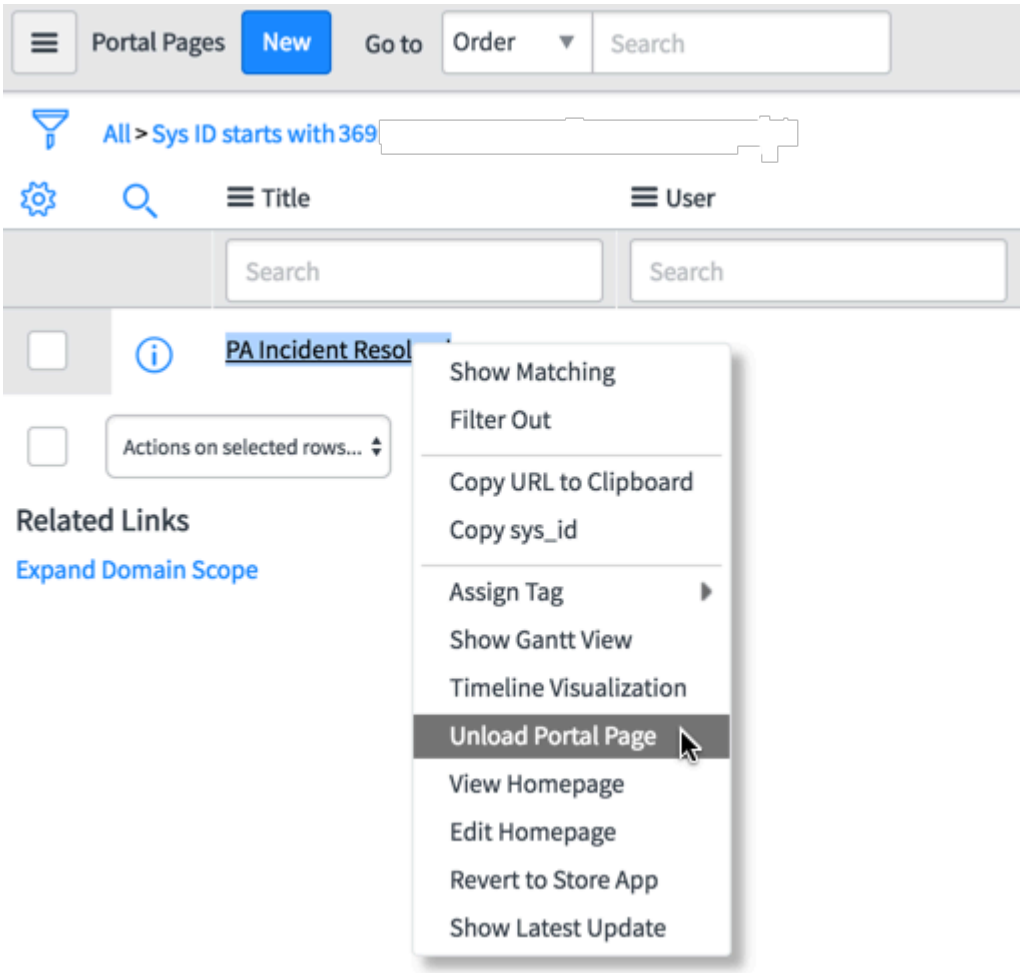
5. ウィジェット、データの可視化、コンテンツ ブロックなど、ダッシュボードで使用されているすべてのオブジェクトがターゲット インスタンスに移行されていることを確認します。
関連付けられたポータル ページが、ターゲット インスタンス内に表示されるはずです。
6. ターゲット内にポータル ページが見つからない場合は、次の手順を実行します。

a. ソースインスタンスで、次に移動します。 ホームページ管理者 > ページ。

b. コピーした sys_id のポータル ページのみが表示されるように、リストをフィルタリングします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. レコードを右クリックし、[ポータルページのアンロード] を選択しま



す。

d. 標準の更新セット機能を使用して、更新セットを別のインスタンスに移動します。
詳細については、「 更新セットの取得 」を参照してください。

更新セットとともに移動されたダッシュボードのエラーの解決

更新セットを含むダッシュボードを移動するときに、[取得した更新セット] ページの [更新セットプレビュー の問題] タブにエラーが表示される場合は、各エラーの指示に従ってこれらの問題を解決してください。

この更新で参照されている列 **canvas_page** のレコードが **sys_grid_canvas** で見つかりませんでした

更新セットを含むダッシュボードを移動すると、「この更新で参照されている列canvas_pageのレコードが sys_grid_canvas に見つかりませんでした」というエラーが発生することがあります。このエラーを解決するには、キャンバスページをソースインスタンスからターゲットインスタンスに移動します。

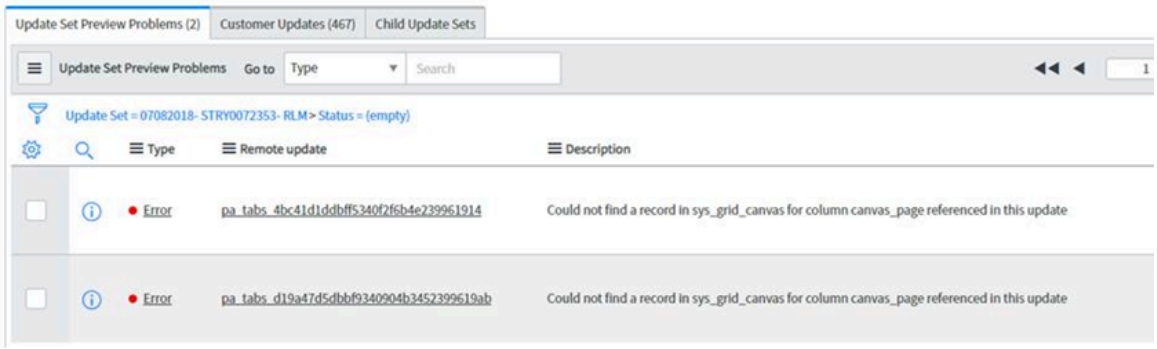
始める前に
必要なロール：admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

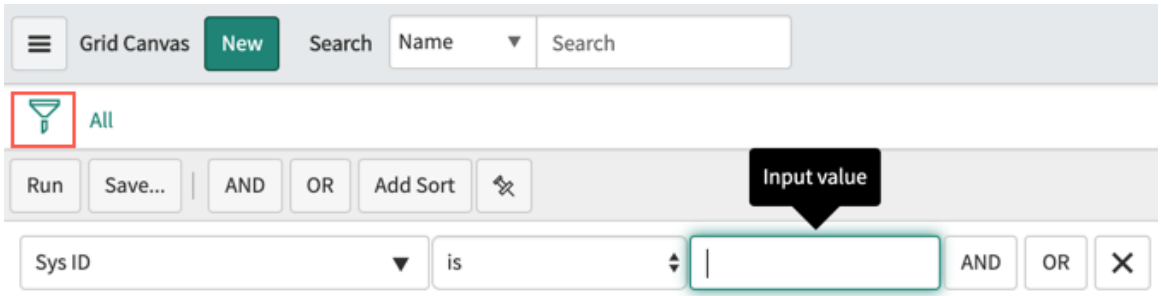
手順

1. [更新セットプレビューでの問題] 関連リストで、エラーの隣にある情報アイコン () をクリックしま



す。

2. pa_tabs レコード ペイロードで、canvas_page フィールドに関連付けられたsys_idをコピーします。



3. ソースインスタンスで、sys_grid_canvas.list に移動します。
4. 手順 2 でコピーしたsys_idのリストをフィルタリングします。
5. 返されたレコードを右クリックし、[キャンバスページのアンロード] を選択して、このレコードを現在の更新セットに追加します。
6. 標準の更新セット機能を使用して、更新セットをターゲットインスタンスに転送します。
詳細については、「 更新セットの取得 」を参照してください。
7. このエラーのあるすべての更新セットプレビューの問題について、このタスクを繰り返します。

タスクの結果

欠落しているダッシュボードタブのコンテンツは、ターゲットインスタンスに移動されます。

更新セット **ID** 「グローバル」は更新セットスコープ **ID** とは異なります

スコープ対象アプリでダッシュボードを移動しようとすると、更新セットを取得しようとして移動に失敗します。

始める前に

必要なロール：admin

このタスクについて

ダッシュボードは複数のテーブルで構成されます。は Now Platform® これらのテーブルのすべてを追跡するわけではありません。追跡対象外テーブルは常にグローバルスコープ内にあります。グローバル スコープでダッシュボードを移動する場合、これらのテーブルは問題になりません。ただし、更新セット内のすべてのコンポーネントのスコープは同じでなければならないため、これらのテーブルは他のスコープでのダッシュボードの移動をブロックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. グローバル顧客アップデートレコード sys_update_xml をグローバル更新セットに配置します。
2. この更新を独自の更新セットとしてコミットするか、元の更新セットの親にして両方を同時にコミットします。

   1 つの更新セットには非グローバルスコープからのすべての顧客アップデートレコードが含まれ、もう 1 つの更新セットにはグローバルスコープからのsys_portal顧客アップデートレコードが含まれます。
3. 両方をエクスポートし、ターゲットインスタンスで同時に取得します。
4. 順番にプレビューしてコミットする:まず、非グローバル顧客アップデートレコードを含む更新セットをコミットし、次にグローバル顧客アップデートレコードを含む更新セットをコミットします。

ダッシュボード権限

ダッシュボードには、特殊で詳細な表示と編集の権限があり、これらは [共有] ペインから管理します。アクセス制御リスト (ACL) は、ダッシュボードに追加されたほとんどのウィジェットに適用されます。

- いずれのロールを持つユーザーも、ダッシュボードを作成し、自分が所有するダッシュボードをユーザーやグループと共有し、編集権限が付与されていればダッシュボードを編集できます。いずれのロールを持つユーザーも、自分が作成したダッシュボードに対して、ロールごとにアクセス権を制限できます。また、ユーザーには、ダッシュボード上の特定のデータにアクセスするために必要なロールも必要です。
- ロールを持たないユーザーは、共有しているダッシュボードを表示できますが、ダッシュボードの作成や編集はできません。
- pa_admin および pa_power_user ロールを持つユーザーは、自分が編集できるすべてのダッシュボード上のユーザー、グループ、およびロールを管理できます。詳細については、「パフォーマンスアナリティクス ロール」を参照してください。
- dashboard_admin または admin ロールを持つユーザーは、すべてのダッシュボードのユーザー、グループ、ロールを編集および管理できます。また、admin および dashboard_admin ユーザーは、いつでもダッシュボード オーナーを変更できます。
- ダッシュボード オーナーと、dashboard_admin または admin ロールを持つユーザーのみが、そのダッシュボードを削除できます。
- ダッシュボードを共有するユーザーの機能は、管理者によって制限される場合があります。詳細については、「レスポンシブ ダッシュボードのプロパティー」を参照してください。
- 明示的ロールが有効化されている場合、ダッシュボードは内部リソースとして扱われます。snc_external ロールを持つユーザーは、デフォルトではダッシュボードを表示できません。詳細については、「 明示的なロール」 を参照してください。
- ドメイン分離は、共有されているダッシュボードをユーザーが編集する機能に影響を与える可能性があります。詳細については、「ドメイン分離とダッシュボード」を参照してください。

ダッシュボードの権限とロール

	表示	作成	編集	共有	削除
ロールなし	それらのユーザーと共有されているダッシュボードのみ。	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ダッシュボードの権限とロール (続く)

	表示	作成	編集	共有	削除
任意のロール	ユーザーが作成し共有しているダッシュボード。	あり	ユーザーが作成したダッシュボードまたは編集権限付きで共有されているダッシュボードのみ。少なくともpa_power_user権限がないと、ウィジェットを追加または削除パフォーマンスアナリティクス できません。	ユーザーが作成し、ユーザーとグループだけが共有しているダッシュボードのみ。 ダッシュボードを共有するユーザーの機能は、管理者によって制限される場合があります。詳細については、「レスポンシブ ダッシュボードのプロパティー」を参照してください。	ユーザーが所有または作成したダッシュボードのみ。
admin	すべて	あり	ダッシュボードの所有者、ユーザー、グループ、およびロールを編集および管理します。	あり	任意のダッシュボード
dashboard_admin	すべて	あり	ダッシュボードの所有者、ユーザー、グループ、およびロールを編集および管理します。	あり	任意のダッシュボード
pa_admin	ユーザーが作成し共有しているダッシュボード。	あり	ユーザーが作成したダッシュボードまたは編集権限付きで共有されているダッシュボードのみ。ウィジェットを追加または削除できます パフォーマンスアナリティクス 。	ユーザーが作成し、ユーザーとグループだけが共有しているダッシュボードのみ。 ダッシュボードを共有するユーザーの機能は、管理者によって制限される場合があります。詳細については、「レスポンシ	ユーザーが所有または作成したダッシュボードのみ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ダッシュボードの権限とロール (続く)

	表示	作成	編集	共有	削除
				ブ ダッシュボードのプロパティー」を参照してください。	
pa_power_user	ユーザーが作成し共有しているダッシュボード。	あり	ユーザーが作成したダッシュボードまたは編集権限付きで共有されているダッシュボードのみ。ウィジェットを追加または削除できます パフォーマンスアナリティクス 。	ユーザーが作成し、ユーザーとグループだけが共有しているダッシュボードのみ。 ダッシュボードを共有するユーザーの機能は、管理者によって制限される場合があります。詳細については、「レスポンシブ ダッシュボードのプロパティー」を参照してください。	ユーザーが所有または作成したダッシュボードのみ。
ダッシュボードオーナー	あり	適用外	あり	はい。 ダッシュボードを共有するユーザーの機能は、管理者によって制限される場合があります。詳細については、「レスポンシブ ダッシュボードのプロパティー」を参照してください。	ユーザーが作成したダッシュボードのみ。

ウィジェットの ACL は、そのウィジェットがダッシュボードに追加されると適用されます (パフォーマンスアナリティクスウィジェットを除く)。ユーザーがダッシュボードを表示できるが、そのウィジェットの 1 つを表示するための ACL を持っていない場合は、空のウィジェット プレースホルダーが表示されます。ACL は、円グラフや棒グラフのレポートなど、データを集計するデータ表示には適用されません。ACL は常に、ウィジェットに表示されたリストデータに適用されます。ユーザーがアクセス権を持たないリスト内の行は、表示されません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
ACL は、ダッシュボードに追加されたパフォーマンスアナリティクスウィジェットには適用されません。ダッシュボードを表示できるユーザーはいずれも、そのすべてのパフォーマンスアナリティクスウィジェットを表示できます。パフォーマンスアナリティクスウィジェットをダッシュボードに追加できるのは、pa_power_user、pa_admin、および admin ロールを持つユーザーのみです。

ただし、パフォーマンスアナリティクス ウィジェットがリアルタイムスコアを表示する場合、ログインしている各ユーザーに表示されるスコアは、ユーザーのロールとファクトテーブルの ACL によって異なります。詳細については、「リアルタイムスコア」を参照してください。

[ダッシュボード プロパティー] フォームの [ロールに制限] フィールドと、ダッシュボード グループ権限は、ダッシュボード権限に影響を与える場合があります。ダッシュボード オーナーと、pa_power_user、pa_admin、または admin ロールを持つユーザーは、ダッシュボードのプロパティーを変更できます。pa_power_user、pa_admin、および admin ロールを持つユーザーは、ダッシュボード グループ権限を変更できます。

たとえば、36 件のレコードを持つ円グラフ レポート ウィジェットを追加すると、そのダッシュボードおよびそのレポートにアクセスできるユーザーは、36 件すべてのレコードのレポートを表示できます。ただし、ユーザーがそのウィジェットのリスト ビューにドリルダウンすると、ユーザーがアクセスを許可されているレコードのみが表示されます。

関連情報

- レスポンシブ ダッシュボードへのアクセス権を特定のロールに制限
- ダッシュボードをグループに整理する
- パフォーマンスアナリティクス ロール
- レポートの管理

レスポンシブダッシュボードでの権限の問題の解決

ダッシュボード権限は、いくつかの異なる場所で設定できます。

始める前に
レスポンシブ ダッシュボードの権限に問題がある場合は、[ダッシュボード共有] パネルの権限、グループ権限、およびダッシュボード プロパティを確認できます。

必要なロール:dashboard_admin、pa_admin

手順

- [Dashboard Sharing] (ダッシュボード共有) ペインで、権限を確認します。
  ダッシュボード オーナー、dashboard_admin または admin ロールを持つユーザー、およびダッシュボードを編集できる pa_power_user または pa_admin ロールを持つユーザーは、この手順を実行できます。
- ダッシュボードが属するグループの権限を確認します。

  ダッシュボード グループの権限は、ダッシュボードの [共有] パネルに表示されません。

  dashboard_admin、admin、pa_power_user、または pa_admin ロールを持つユーザーは、この手順を実行できます。
- ダッシュボード権限とダッシュボード グループ権限を比較します。

  ダッシュボードに対する権限が指定された場合、ダッシュボード グループに対する権限は上書きされ、適用されません。

  dashboard_admin、admin、pa_power_user、または pa_admin ロールを持つユーザーは、この手順を実行できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- [ダッシュボード プロパティー] フォームで、 [ロールに制限] フィールドで指定されているロールをレビューします。

  このフィールドで指定されたロールの 1 つを持つユーザーのみが、ダッシュボードを表示できます。

  ダッシュボード オーナー、dashboard_admin または admin ロールを持つユーザー、およびダッシュボードを編集できる pa_power_user または pa_admin ロールを持つユーザーは、この手順を実行できます。ダッシュボードを編集できる他のユーザーは、このフィールドを表示できますが、編集できません。

ダッシュボード権限のシナリオ

ダッシュボードに対する権限は、複雑になることもあります。たとえば、ダッシュボード グループに対する権限を設定した場合、その権限は、そのグループ内のダッシュボードに対して設定された権限によって上書きされます。このマトリクスは、権限のさまざまに組み合わせに基づいて表示される内容を示しています。

ダッシュボード権限のシナリオの表では、次の略語を使用しています。

- DB = ダッシュボード
- DG = ダッシュボード グループ
- RTR = ロールに制限

  詳細については、「レスポンシブ ダッシュボードへのアクセス権を特定のロールに制限」を参照してください。

- X = 未指定

注:
admin および dashboard_admin ロールを持つユーザーは、すべてのダッシュボードに対する完全な権限を持ちます。

ダッシュボード権限のシナリオ

シナリオ	Dg	DG 権限	DB 表示権限	DB 編集権限	Rtr	DB を表示できるユーザー
DG なし、DB 権限なし	X	X	X	X	X	オーナーのみ
RTR のみ	X	X	X	X	資産	オーナーのみ
DB 権限のみ	X	X	itil	X	X	itil ロールを持つユーザー
DB 権限および RTR	X	X	itil	X	資産	itil ロールと資産ロールの両方を持つユーザー
権限のない DG のみ	存在する	X	X	X	X	pa_admin ロールまたは pa_power_user ロールのい

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ダッシュボード権限のシナリオ (続く)

シナリオ	Dg	DG 権限	DB 表示権限	DB 編集権限	Rtr	DB を表示できるユーザー
						ずれかを持つユーザー
権限のない DG および RTR	存在する	X	X	X	資産	資産ロールと、pa_admin ロールまたは pa_power_user ロールの両方を持つユーザー
DG および DG 権限のみ	存在する	itil	X	X	X	itil ロールまたは pa_admin ロールまたは pa_power_user ロールのいずれかを持つユーザー
DG、DG 権限、および RTR	存在する	itil	X	X	資産	資産ロールと、itil ロール、pa_admin ロール、pa_power_user ロールのいずれかを持つユーザー
DG、DG 権限、および DB 権限	存在する	itil	itil_admin	X	資産	itil_admin ロールと資産ロールの両方を持つユーザー
DG、DG 権限、DB 権限、および RTR	存在する	itil	itil_admin	X	X	itil_admin ロールを持つユーザー

ダッシュボード グループのデフォルトの権限は、pa_admin と pa_power_user です。ダッシュボード グループに itil などの権限が指定されている場合、この権限がデフォルト権限に追加されます。個々のダッシュボードに対する権限は、ダッシュボード グループの権限を上書きします。

レスポンシブダッシュボードの編集権限に関する問題の解決

レスポンシブ ダッシュボードに対する編集権限を持つユーザーは、そのタブが使用されている別のダッシュボードに対する編集権限も必要とする場合があります。

始める前に

必要なロール：admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて

ダッシュボードは、編集権限を持つユーザーと共有されます。一部のタブでは、ユーザーはウィジェットを追加できません。ユーザーが [ウィジェットを追加] を選択しても、何も起こりません。同じユーザーが他のタブやダッシュボードにウィジェットを追加できます。この問題の原因は、影響を受けるダッシュボードタブの作成方法に関連しています。ダッシュボード タブが レスポンシブでないダッシュボード で作成され、そのタブが別のダッシュボード タブにリンクされている場合、影響を受けるユーザーには、この他のリンクされたダッシュボードに対する編集権限が必要です。

手順

1. 影響を受けるダッシュボードに移動します。
2. コンテキスト メニューから 、[ダッシュボードのプロパティ] を選択します。
3. [依存関係評価の起動] を選択します。
   結果には、ダッシュボードと、そのダッシュボードで使用されているすべてのタブが表示されます。
4. 影響を受けるタブを選択します。
5. コンテキスト メニューから [使用者を表示] を選択します。
   結果には、タブが表示されるダッシュボードが表示されます。
6. 影響を受けるタブを使用している他のダッシュボードを開きます。
7. そのダッシュボードに対する共有権限を編集し、影響を受けるユーザーに編集アクセス権を付与します。

タスクの結果

影響を受けたユーザーは、レスポンシブダッシュボードのダッシュボードタブを編集できるようになりました。

非グローバルスコープの共有ダッシュボードに関する問題の解決

スコープ対象のアプリケーションのダッシュボードは、管理者以外のユーザーには表示されない場合があります。管理者以外のユーザーがダッシュボードを表示できないか、ダッシュボード上のウィジェットがロードされない可能性があります。

始める前に

必要なロール:関連するスコープ対象のアプリケーションの管理者。

このタスクについて

ユーザーには、ロールのリストがない状態で、「ダッシュボードがユーザーと共有されていません (Dashboard hasn't been shared with user)」または「このダッシュボードは次のロールに制限されています (This dashboard is restricted to the following roles)」というメッセージが表示される場合があります。

手順

1. 移動先 すべて > **sys_properties.list**。
2. システムプロパティ glide.security.scoped_administration.honor_global_acl を true に設定します。
   このプロパティがすでに true に設定されている場合、更新は必要ありません。
3. アプリケーション管理者として、スコープをダッシュボードが作成されたスコープに切り替えます。
4. ナビゲート すべて > **sys_scoped_admin_acl_inheritance.list**。
5. オプション: レポートに同じ問題がある場合は、次のテーブルのレコードを作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- レポート [sys_report]
- レポートユーザーおよびグループ [sys_report_users_groups]

6. 次のテーブルのレコードを作成します。
   - ダッシュボード [pa_dashboards]
   - ポータルページ [sys_portal_page]
   - タブ [pa_tabs]
   - ダッシュボード権限 [pa_dashboards_permissions]

レスポンシブ ダッシュボードへのアクセス権を特定のロールに制限

指定したユーザー、グループ、またはロールとダッシュボードを共有する場合、ダッシュボードへのアクセスに必要な追加のロールを指定します。ダッシュボードを共有され、指定されたいずれかのロールを持つユーザーのみが、ダッシュボードにアクセスできます。

始める前に

必要なロール：pa_admin、pa_power_user、admin、またはダッシュボード オーナー。ダッシュボードを編集する他のユーザーは、このフィールドを表示できますが、変更できません。

注:
ダッシュボードへのアクセス権を特定のロールに制限することは、ダッシュボードをそれらのロールと共有することとは異なります。アクセス権を指定のロールに制限する前に、ダッシュボードを共有しておく必要があります。ただし、ベスト プラクティスは、[共有] パネルを使用して、ユーザー、グループ、ロールと共有することです。ロールに制限することはお勧めしません。

[ロールに制限] フィールドは、レスポンシブ ダッシュボードが有効化された後に使用可能になります。レスポンシブ ダッシュボードが有効化されてから無効化されると、[ロールに制限] フィールドは使用可能なままですが、ダッシュボード アクセスに影響はありません。

このタスクについて

異なるリリース間でダッシュボードが移行された場合、移行前にダッシュボードにアクセスできていたユーザーのみが以降もダッシュボードにアクセスできるように、このフィールドには、pa_viewer ロールと pa_contributor ロールが自動的に入力されます。

手順

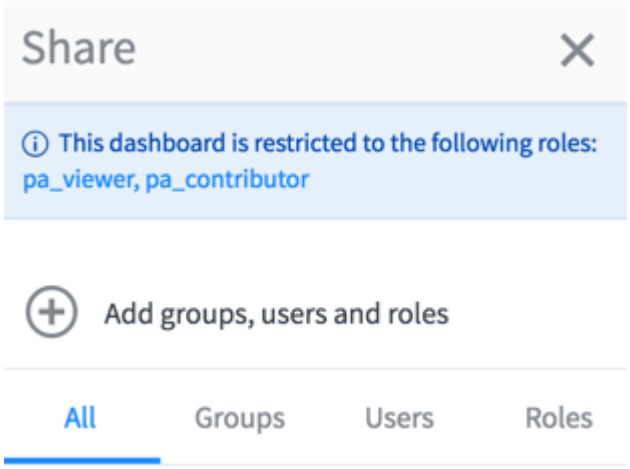
1. ダッシュボードに移動して、特定のロールに制限します。
2. コンテキストメニュー(☰)をクリックし、[ダッシュボードのプロパティ]を選択します。
3. [ロールに制限] フィールドで、ダッシュボードへのアクセスに必要な追加のロールを指定します。指定されたいずれかのロールを持つユーザーは、ダッシュボードが最初に [共有] パネルから共有されている場合にのみ、ダッシュボードにアクセスできます。詳細については、次を参照してください。

タスクの結果

制限されたロールを持つユーザーのみが、ダッシュボードを表示できます。[共有] パネルのメッセージに、どのロールにアクセス権があるかが示されます。このメッセージに示されたロールをクリックすると、ダッシュボードのプロパティーが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



注:
ダッシュボードを共有するユーザーの機能は、管理者によって制限される場合があります。詳細については、「レスポンシブ ダッシュボードのプロパティー」を参照してください。

ロールによるレスポンシブダッシュボード共有の制限

レスポンシブダッシュボードのプロパティを設定して、どのユーザーがレスポンシブダッシュボードを共有できるようにするかを制限できます。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
ダッシュボード プロパティを構成して、独自のダッシュボードを共有できるロールのカンマ区切りリストを指定します。これらのロールを持つユーザーは、レスポンシブダッシュボードで 共有 アイコン ()を表示できます。

手順

1. 移動先 すべて > システムプロパティ > ダッシュボードプロパティ。
2. [独自のダッシュボードを共有できるロールのリスト (カンマ区切り)] というラベルの付いたフィールドに、ロールを入力します。

   たとえば、itil、asset、および pa_admin ロールを持つすべてのユーザーがダッシュボードを共有できる場合は 、「itil, asset, pa_admin」と入力します。このフィールドが空の場合、任意のロールを持つユーザーが自分のダッシュボードを共有できます。

   注:
   このリストに含まれる 1 つのロールのスペルが間違っていると、そのロールはダッシュボードを共有できなくなります。このリストにロールが 1 つだけ指定され、そのロールのスペルが間違っている場合、このプロパティの値が修正されるまで、ユーザーはダッシュボードを共有できなくなります。

タスクの結果
指定されたロールを持つユーザーは、自分が所有するダッシュボードを表示するときに [共有] パネルを表示できます。他のロールを持つユーザーは、[共有] パネルを表示できません。

注:
ダッシュボードの共有を制限するプロパティは、管理者と dashboard_admin ロールを持つユーザーには適用されません。これら 2 つのロールを持つユーザーは、いつでも任意のダッシュボードを共有できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク

[共有] パネルに表示される内容にセキュリティ規則を適用するには、[ダッシュボードを共有するときに表示されるユーザー、ユーザー グループ、およびロールの一覧にセキュリティ規則を適用する] というラベルの付いたボックスを選択します。詳細については、「セキュリティルールを使用したレスポンシブダッシュボード共有の制限」を参照してください。

関連情報

レスポンシブ ダッシュボードの共有

セキュリティルールを使用したレスポンシブダッシュボード共有の制限

レスポンシブダッシュボードを共有しているときに[共有]パネルに表示できるユーザー、ロール、およびグループを設定できます。

始める前に

必要なロール：admin アクセス制御リストを変更するには、管理者が security_admin ロールに昇格する必要があります。詳細については、「 特権ロールへの昇格 」を参照してください。

このタスクについて

自分のダッシュボードを共有できるロールのリスト (カンマ区切り) の構成に基づいて共有アイコンを表示できるユーザーには、ダッシュボードを共有するときに表示されるユーザー、ユーザーグループ、およびロールのリストにセキュリティルールを適用するプロパティの構成に基づいて、[共有] パネルにコンテンツが表示されない場合があります。

手順

1. 移動先 すべて > システムプロパティ > ダッシュボードプロパティ。
2. 「ダッシュボードを共有するときに表示されるユーザー、ユーザー・グループ、およびロールのリストにセキュリティ・ルールを適用する」というラベルの付いたボックスを選択して、「共有」パネルに表示される内容にセキュリティ・ルールを適用します。
   ユーザー、ユーザーグループ、およびロールの既存のセキュリティルール構成は、プラットフォームレベルの関連する読み取りアクセス制御リストに記述されます。詳細については、「アクセス制御リストルール 」を参照してください。

タスクの結果

[自分のダッシュボードを共有できるロールのリスト (カンマ区切り)] フィールドにロールが指定されているユーザーのみが、ダッシュボードを共有できます。このプロパティが設定されていて、ユーザーのロールがプロパティで指定されていない場合、ユーザーには [共有] パネルが表示されません。[ダッシュボードの共有時に表示可能なユーザー、ユーザーグループ、およびロールのリストにセキュリティルールを適用する] が有効になっている場合、ユーザーが [共有] パネルでダッシュボードを共有できるユーザー、グループ、およびロールのリストにセキュリティルールが適用されます。

関連情報

レスポンシブ ダッシュボードの共有

レスポンシブ ダッシュボードのロールの例

ダッシュボードを作成、編集、表示、または共有できるかどうかは、ロールによって異なります。これらの例は、ロールに基づいてダッシュボードで何ができるかを示しています。

これらのダッシュボード ロールの説明は、基本システムの機能を前提としています。この機能を上書きするロールを作成し、権限を割り当てることができます。

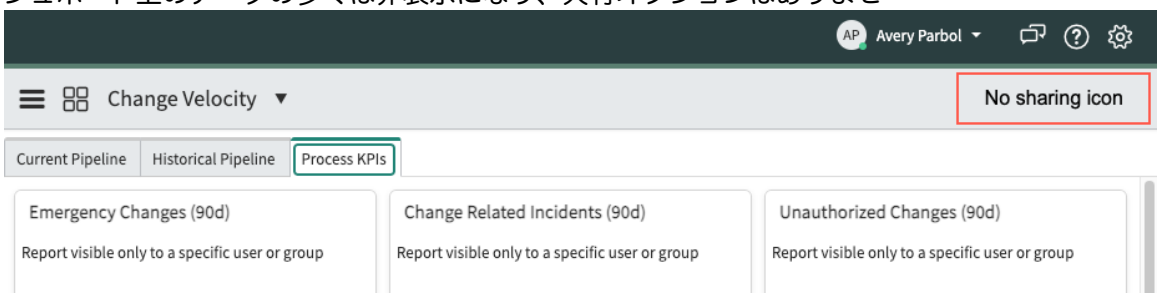
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロールなし

ロールを持たないユーザーには、他のユーザーが共有しているダッシュボードのみが表示されます。ダッシュボードの情報 (特にリストの表示方法) は、ACL に基づいてユーザーに表示されない場合があります。

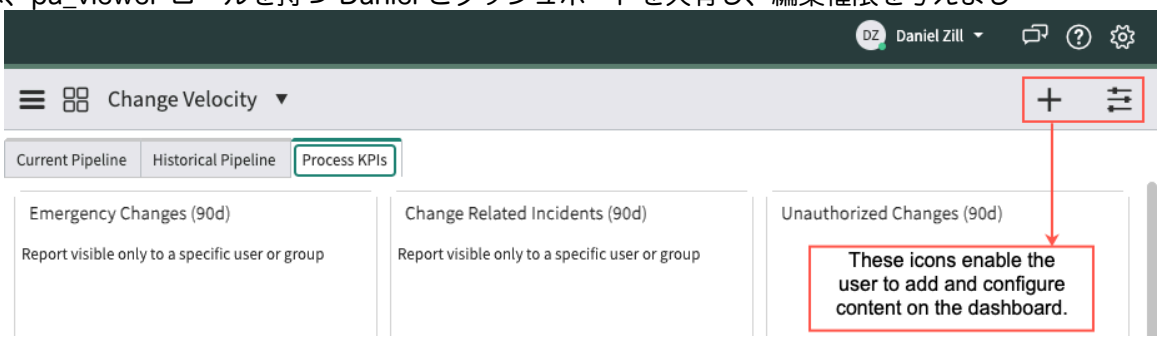
ロールのないユーザーは、ダッシュボードを作成または共有できません。管理者は、このダッシュボードをロールを持たないユーザーの Avery と共有しました。ダッシュボード上のデータの多くは非表示になり、共有オプションはありませ



ん。

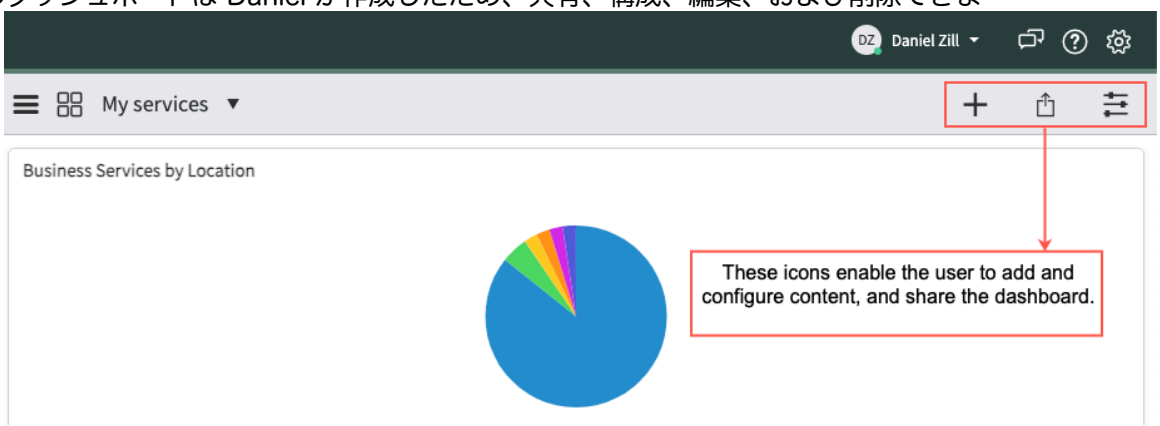
任意のロール

いずれのロールを持つユーザーも、ダッシュボードを作成でき、作成したダッシュボードを共有できます。[編集可能] 権限で共有されているダッシュボードを表示または表示および編集できます。ACL は、ダッシュボードで表示できる内容にも適用されます。管理者は、pa_viewer ロールを持つ Daniel とダッシュボードを共有し、編集権限を与えまし



た。

このダッシュボードは Daniel が作成したため、共有、構成、編集、および削除できま



す。

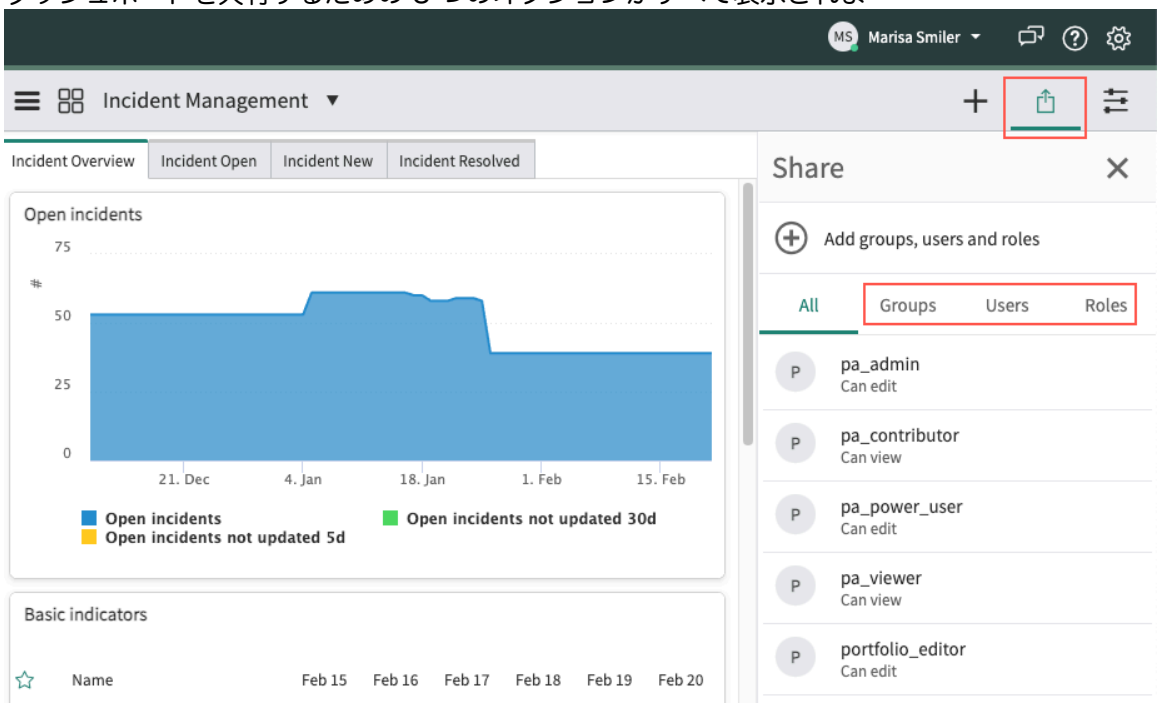
pa_adminとpa_power_user

pa_admin および pa_power_user ロールを持つユーザーは、自分が編集できるすべてのダッシュボード上のユーザー、グループ、およびロールを管理できます。魔理沙はpa_power_user役です。共有アイコン ()  をクリックする

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

と、ダッシュボードを共有するための 3 つのオプションがすべて表示されま



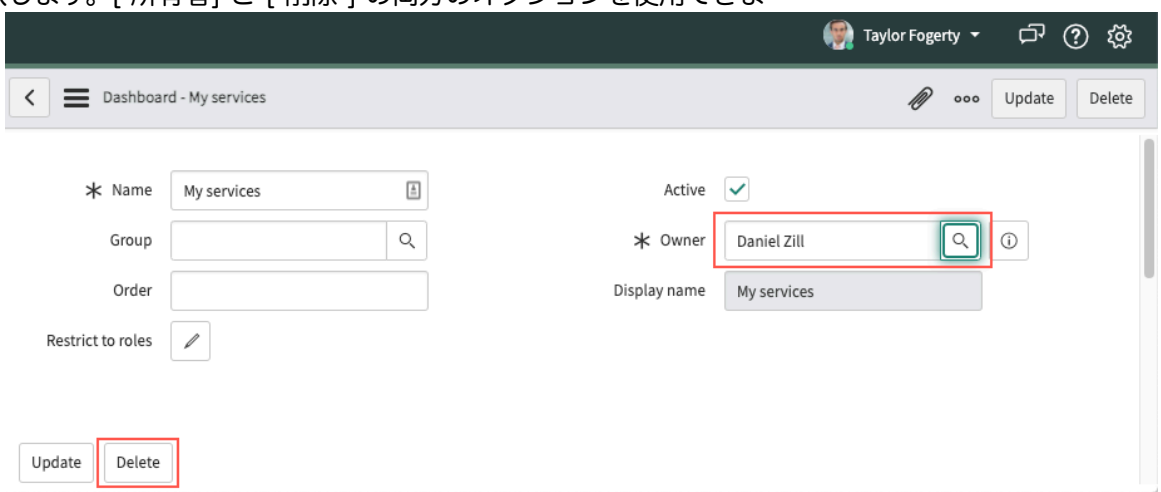
す。

dashboard_adminまたはadmin

dashboard_admin または admin ロールを持つユーザーには、次のことができます。

- ダッシュボードのユーザー、グループ、およびロールの編集と管理
- ダッシュボードの所有者の変更
- ダッシュボードの削除

Taylor には dashboard_admin ロールがあり、コンテキストメニュー
() から **[Dashboard Properties** (ダッシュボードプロパティ)] を
選択します。[所有者] と [削除] の両方のオプションを使用できま



す。

ダッシュボード統計情報

[ダッシュボード統計 情報] リストを使用すると、各 コア UI ダッシュボードの実行頻度と実行にかかる時間を表示できます。

ダッシュボードの統計情報を表示するには、次の場所に移動します。 すべて > **dashboard_stats.list**。admin または dashboard_admin ロールが必要です。デフォルトでは、

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[ダッシュボード統計情報] リストには、表示されたすべてのダッシュボードが表示されます。未表示のダッシュボードの統計を表示するには、コンテキスト メニュー アイコン ()☰ を選択し、[未使用のダッシュボードの追加] を選択します。

注:
特に、インスタンスに多くのダッシュボードが含まれている場合は、このリストに未使用のダッシュボードを追加するのに時間がかかります。

[ダッシュボード統計情報] リストには、次の列があります。

列	説明
実行時間	ダッシュボードのすべての実行の平均実行時間 (ミリ秒)。(実行を実行時間で割った値)
ダッシュボード	ダッシュボードの名前。ハイパーリンクを選択すると、ダッシュボードのプロパティが表示されます。
実行	ダッシュボードが実行された合計回数。
最新の実行時間	直近の 25 回の実行に基づくダッシュボードの平均実行時間 (ミリ秒)。プロパティを編集して *glide.dashboard.recent_executions_number* 、この値の計算に使用する実行回数を変更します。
最近の実行回数	最近の実行時間の計算に使用される値の数 (の値 *glide.dashboard.recent_executions_number* まで)。
実行時間	ダッシュボードのすべての実行における実行時間の合計。

- 実行に最も時間がかかるダッシュボードを表示するには、 最近の実行時間を z-a 順にソートします。
- 表示されたダッシュボードを表示するには、[実行] 列から値 0 を除外します。
- 最も表示されたダッシュボードを表示するには、[実行] 列を z-a 順に並べ替えます。

ダッシュボード実行

[ダッシュボード実行] リストでは、ダッシュボードのロードにかかるコア UI時間と、ダッシュボードを起動したユーザーの ID を表示できます。リストには、ダッシュボードの起動ごとに 1 つのエントリが含まれています。

ダッシュボード実行統計を表示するには、次の場所に移動します。 すべて > **dashboard_executions.list**。admin または dashboard_admin ロールが必要です。

注:

- 特にインスタンスに多数のダッシュボードがある場合は、このリストに未使用のダッシュボードを追加するのに時間がかかります。
- [ダッシュボード実行] リストは、ユーザーごとのダッシュボードごとに最新の 10 回の実行をサポートします。この値を変更するには、システムプロパティ *glide.dashboard.log.max_user_executions_x_dashboard* を編集します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デフォルトでは、[ダッシュボード実行] リストには次の列があります。

列	説明
ダッシュボード	ダッシュボードの名前。ハイパーリンクを選択すると、ダッシュボードのプロパティが表示されます。
実行期間	ダッシュボードの実行に要した時間 (ミリ秒)。一意のユーザーごとに 1 つのエントリがあります。
実行タイムスタンプ	ダッシュボードを起動した日時。
ユーザー Sys ID	ダッシュボードを起動した Sys ID に関連付けられたユーザー。ユーザーを選択すると、そのユーザーの情報が表示されます。

実行に最も時間がかかるダッシュボードを表示するには、[実行期間] を z-a 順にソートします。

ダッシュボード実行統計情報

[ダッシュボード統計の実行] リストを使用すると、ダッシュボードのロードにかかる コア UI 時間を表示できます。リストには、ダッシュボードの起動ごとに 1 つのエントリが含まれています。

ダッシュボード実行統計を表示するには、次の場所に移動します。 すべて > **dashboard_stats_executions.list**。admin または dashboard_admin ロールが必要です。

注:

- 特にインスタンスに多数のダッシュボードがある場合は、このリストに未使用のダッシュボードを追加するのに時間がかかります。
- [ダッシュボード統計の実行] リストは、ダッシュボードごとのプロパティ`glide.dashboard.recent_executions_number`の値をサポートします。このプロパティのデフォルト値は 25 です。

デフォルトでは、[ダッシュボード統計の実行] リストには次の列があります。

列	説明
ダッシュボード	ダッシュボードの名前。ハイパーリンクを選択すると、ダッシュボードのプロパティが表示されます。
実行期間	ダッシュボードの実行に要した時間 (ミリ秒)。
実行タイムスタンプ	ダッシュボードを起動した日時。

実行に最も時間がかかるダッシュボードを表示するには、[実行期間] を z-a 順にソートします。

ダッシュボードの **PDF** エクスポートの有効化

ダッシュボードを PDF にエクスポートするには、プラグインとプロパティが必要です。

始める前に

必要なロール：admin

WebKit HTML To PDF プラグインを有効にし、ホームページ、ダッシュボード、および一部のレポートを PDF ドキュメントとしてエクスポートするようにプラグインを設定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:

インスタンスからの情報を整理してデータに関するストーリーを伝える、ホームページの機能は、新しいインスタンスのダッシュボードにあります。Next Experience を有効にしてアップグレードされたインスタンスでは、ユーザーは直接 URL を持っている場合は既存のホームページを表示できますが、作成や編集はできません。レスポンシブダッシュボードと アナリティクスセンター ダッシュボードがホームページの機能を引き継ぎます。

ホームページ廃止ヘルプツールを使用して、インスタンスのホームページをレスポンシブダッシュボードに変換します。

詳細については、以下を参照してください。

- 分析センターでのダッシュボード
- レスポンシブダッシュボードの操作。

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > プラグイン。
2. 「WebKit **HTML to PDF**」を検索します。
   プラグインを選択してフォームを開きます。
3. [アクティブ化/修復] をクリックします。
   OAuth 2.0 プラグインがまだ有効でない場合、WebKit HTML To PDF プラグインはこのプラグインも有効にします。詳細については、「プラグインを有効にする」を参照してください。

タスクの結果
ユーザーは、ダッシュボードを PDF にエクスポート して、アーカイブ、印刷、または配布できます。

翻訳されたダッシュボードで課題を解決する

ユーザーは、特定の構成で翻訳されたダッシュボードのみを検索できます。ダッシュボード名を翻訳して検索可能にすることができます。

始める前に
言語プラグインが有効になっているインスタンスでは、アプリケーションは最初にインスタンスの背後にあるデータベースを決定します。データベースがMySQLの場合、ユーザーのセッション言語が検索され、翻訳されたダッシュボードが検索されます。言語プラグインの詳細については、「 言語をアクティブ化する」を参照してください。

検索機能は、インスタンスが MySQL データベースを使用し、ダッシュボードの翻訳が提供されている場合、翻訳されたダッシュボードに対してのみ機能します。

必要なロール：admin

手順

1. ソース言語でインスタンスにログインします。
2. 移動先 すべて > **Performance Analytics** > ダッシュボード.
3. 翻訳するダッシュボードを開きます。
4. ユーザーアイコンを選択し、[設定] を選択します。
5. [表示] タイルを選択します。
6. 「言語」メニューからターゲット言語を選択し、ダイアログを閉じます。
   インスタンスで有効な言語プラグインがある場合は、追加の言語を使用できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. コンテキストメニュー() から、[ダッシュボードプロパティ]を選択します。
8. ダッシュボード名をターゲット言語に翻訳し、[更新] をクリックします。

タスクの結果
システムがターゲット言語に設定されている場合、ユーザーは翻訳された名前を使用してダッシュボードを検索できます。

ドメイン分離とダッシュボード

ドメイン分離は、ダッシュボードの作成と管理でサポートされています。 ドメイン分離では、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

サポートレベル：標準

- ベーシックレベルサポートを含みます。
- ビジネスロジック：サービスプロバイダー (SP) によって顧客ごとにプロセスを作成または変更できます。ユースケースには、単一のインスタンスでの複数のサービスプロバイダー顧客によるアプリケーションの正しい使用が反映されています。
- インスタンスのオーナーは、特定のアプリケーションに期待される通りに、テナントごとに MVP ビジネスロジックとデータパラメーターを設定できる必要があります。

サンプルユースケース：管理者は、レコードを他のテナントに対してはクローズしないが、1 つのテナントに対してクローズする場合、コメントを必須にすることができる必要があります。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメイン分離のサポート)」を参照してください。

概要

ドメイン分離プラグインを有効にするには、「 ドメイン分離を要求する」を参照してください。

注:
子ドメインのユーザーが親ドメインのダッシュボードを表示するには、ドメイン分離と委任管理の両方を有効にする必要があります。

子ドメイン内のユーザーは、ダッシュボードを上書きできません。子ドメイン ユーザーには、ダッシュボードへの読み取りアクセス権のみがあります。

ダッシュボードにおけるドメイン分離の仕組み

前提：

- 共有されているダッシュボードのみが、他のユーザーに表示されます。「レスポンシブ ダッシュボードの共有」を参照してください。
- ダッシュボードに対する編集権限を付与されたユーザーは、ダッシュボードと同じドメインに属する場合にのみ、そのダッシュボードを編集できます。たとえば、HR ドメイン内のユーザーは、HR ドメインの親ドメイン内に作成されたダッシュボードを編集できません。

ドメイン分離されたダッシュボード データには、ダッシュボード レコード、ダッシュボード タブ、およびウィジェット コンテナーが含まれます。ウィジェットのコンテンツは、コンテンツ自体に適用されるドメイン分離によって統制されます。たとえば、管理者が、HR ドメイン内に作成されたレポートを IT ドメイン内のダッシュボードに追加したとします。IT ドメイン内のユーザーには、ウィジェット コンテナーは表示されますが、このレポートは表示されません。

自動翻訳

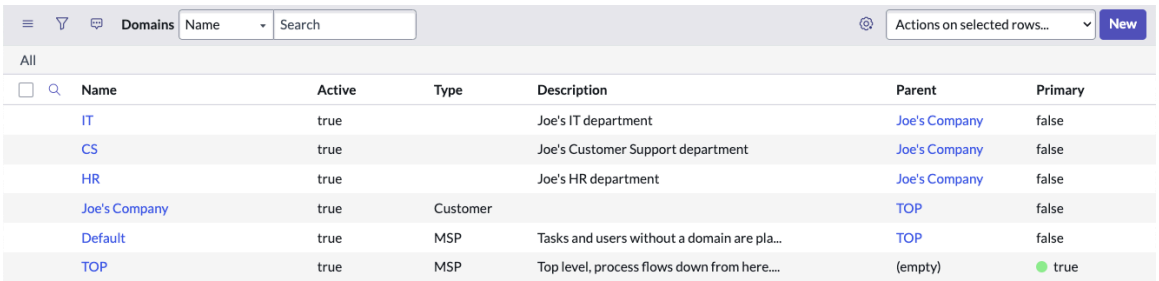
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

グローバル レベルで定義されたダッシュボードは、それを共有しているすべてのユーザーに表示されます。親ドメイン内に作成された共有ダッシュボードは、親ドメインおよびそのすべての子ドメイン内のユーザーに表示されます。たとえば、TOP 社内に作成されたダッシュボードは、次に属するユーザーに表示されます。

- Joe の会社
- TOP 社内の他の会社
- それらの会社内のすべての子ドメイン HR、CS、および IT (これらのユーザーが共有している場合)

次の図では、IT、CS、HR の各ドメインで作成されたダッシュボードは、他の子ドメインまたは親ドメインのユーザーには表示されません。

ドメインリストの例



Name	Active	Type	Description	Parent	Primary
IT	true		Joe's IT department	Joe's Company	false
CS	true		Joe's Customer Support department	Joe's Company	false
HR	true		Joe's HR department	Joe's Company	false
Joe's Company	true	Customer		TOP	false
Default	true	MSP	Tasks and users without a domain are pla...	TOP	false
TOP	true	MSP	Top level, process flows down from here....	(empty)	true

注:
ダッシュボードに追加された内容は、分離されたドメイン内のユーザーには表示されないため、管理者は、ドメイン分離されたダッシュボードをグローバル ドメインから編集しないようにする必要があります。ダッシュボードを編集する際には、正しいドメインにログインしていることを確認してください。

関連情報

ドメイン分類の概要

サービスプロバイダー向けの Domain Separation の推奨プラクティス

ダッシュボードのクイックスタートテスト

アップグレードの適用などの構成変更を行った後も、変わらず正常に動作するかを検証しダッシュボードます。自分のインスタンスに固有のデータを使用するときは、それが成功するように、これらのクイックスタートテストをコピーしてカスタマイズします。

ダッシュボード クイックスタートテストでは、Automated Test Framework - レスポンシブダッシュボードプラグイン (com.glide.automated_testing_impl.dashboards) を有効にする必要があります。このプラグインはインスタンスの zBoot で有効になります。

ダッシュボード クイックスタートテスト

テスト	説明	リリースバージョン
レスポンシブダッシュボードの共有	代理操作をしているユーザーによるダッシュボードの共有を確認します。	Madrid
レスポンシブダッシュボードの可視性	代理操作をしているユーザーによるダッシュボードの可視性を確認します。	Madrid

関連情報

クイックスタートテスト

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ダッシュボードの URL パラメーター

ダッシュボードの URL パラメーターを使用すると、アプリケーション ページで使用されるダッシュボードのヘッダーおよびブレークダウン ソースの表示を制御できます。

ダッシュボード ヘッダー

この sysparm_header URL システム パラメーターは、ダッシュボードのヘッダーの表示を制御します。次の値があります。

- hidden：アプリケーション ページにヘッダーは表示されません。
- embedded：ダッシュボード ヘッダーは表示されますが、オプションに制限があります。コンテキスト メニューで、リフレッシュ、フィルターのリセット、および PDF へのエクスポートのオプションが使用可能です。
- visible (デフォルト)：アプリケーション ページに完全なヘッダーが表示されます。

```
<your-servicenow-instance.com>/$dashboards.do?sysparm_dashboard=ABC123&sysparm_tab
=123ABC&sysparm_editable=false&sysparm_active_panel=false&sysparm_element=fed654&s
ysparm_element_value=def456&sysparm_breakdown_source=ghi789&sysparm_homepage_filte
rs=%7B%ihg789%22:%5B%7B
%22table%22:%22incident%22,%22filter%22:%22assignment_group%jkl212%22%7D%5D
%7D&sysparm_ignore_default_filter=true&sysparm_header=embedded
```

ダッシュボード ブレークダウン

sysparm_breakdown URL システム パラメーターは、ダッシュボード ブレークダウンの表示を制御します。次の値があります。

- visible (デフォルト)：ソースと要素を含む完全なブレークダウンが表示されます。
- hidden：完全なブレークダウンは非表示になります。
- embedded：ブレークダウン要素のみが表示されます。
- readonly：ブレークダウン要素は表示されますが、読み込み専用です。

```
<your-servicenow-instance.com>/$dashboards.do?sysparm_dashboard=ABC123&sysparm_tab
=123ABC&sysparm_editable=false&sysparm_active_panel=false&sysparm_element=fed654&s
ysparm_element_value=def456&sysparm_breakdown_source=ghi789&sysparm_homepage_filte
rs=%7B%ihg789%22:%5B%7B
%22table%22:%22incident%22,%22filter%22:%22assignment_group%jkl212%22%7D%5D
%7D&sysparm_ignore_default_filter=true&sysparm_breakdown=hidden
```

ダッシュボード グループ

sysparm_group URL システム パラメーターを使用すると、ダッシュボードの概要ページのダッシュボード ピッカーに単一のダッシュボード グループを含めることができます。このパラメーターは、値としてダッシュボード グループの名前のみを取ります。

```
<your-servicenow-instance.com>/$dashboards.do?sysparm_dashboard=ABC123&sysparm_tab
=123ABC&sysparm_editable=false&sysparm_group=incident
```

その他のダッシュボード URL パラメーター

sysparm_active_panel
: 編集パネルを表示するかどうかを示します。

sysparm_editable

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

編集パネルを表示できるかどうかを示します。

ダッシュボードの概要 URL パラメーター

sysparm_group パラメーターを使用して、[Dashboard overview] (ダッシュボードの概要) ページのダッシュボード グループのデフォルト値を選択します。

ダッシュボード グループ

sysparm_group URL システム パラメーターを使用すると、[Dashboard overview] (ダッシュボードの概要) ページ (pa_dashboards_overview.do) のすべてのタブを、指定したダッシュボード グループによりフィルタリングした状態で開くことができます。このパラメーターは、値としてダッシュボード グループの名前のみを取ります。

注:
URL に指定したダッシュボード グループが存在しない場合、URL は、[最近] タブが選択された [Dashboard overview] (ダッシュボードの概要) ページを戻します。

この URL の例では、グループ CMDB Overview 内のダッシュボードのみが表示されます。

```
<your-servicenow-instance.com>nav_to.do?uri=%2F
$pa_dashboards_overview.do?sysparm_group=CMDB Overview
```

レスポンシブダッシュボードでのウィジェットの表示時間の最適化

大きなダッシュボードは、特にウィジェットが複雑なクエリや大きなテーブルのクエリに依存している場合は、レンダリングに時間がかかることがあります。システム プロパティーを使用して、ウィジェットのロード方法を最適化できます。

始める前に
必要なロール：admin

注:
ウィジェットの表示は、レスポンシブ ダッシュボードでのみ最適化できます。

手順

1. これら 2 つのシステムプロパティを使用して、ダッシュボードウィジェットの表示を最適化します。
   これらのプロパティーに使用する値は、インスタンスのパフォーマンスおよびそのダッシュボードのコンテンツによって異なります。
2. トランザクションクォータのルールを設定する こともできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

トランザクションクォータのルールを使用すると、ウィジェットまたはダッシュボードの最大実行時間を設定できます。

注:

ウィジェットのロードに時間がかかる場合、次の 2 つのシナリオがあります。

トランザクションクォータ値がパフォーマンスしきい値を下回っています

トランザクションクォータに達する前にウィジェットがロードされない場合、ウィジェットはロードされません。「 ウィジェットがキャンセルされました - 最大実行時間を超えました (Widget cancelled - maximum execution time exceeded)」というメッセージが表示されます。

パフォーマンスしきい値がトランザクションクォータを下回っています

この動作は、トランザクションクォータが存在しない場合と同じです。ウィジェットのロードが停止し、メッセージが表示されます。ウィジェットを選択して再ロードできます。ただし、トランザクションクォータは引き続き適用され、レンダリングが停止する場合があります。

関連情報

利用可能なシステムプロパティ

の管理コンソール ダッシュボード

パフォーマンスアナリティクス管理コンソールには、ダッシュボード管理用のいくつかの機能が含まれています。

探索および管理

移動先 **Performance Analytics** > アドミンコンソール.

[探索および管理] ダッシュボードには、ダッシュボードとインジケーター関連のレコードを検索、変更、作成するためのツールが含まれています。ダッシュボード グループとダッシュボードを管理するためのリンクをクリックします。

詳細設定

移動先 **Performance Analytics** > アドミンコンソール.

管理コンソールの [詳細設定] タイルに、[ダッシュボード プロパティー] へのリンクが表示されます。

ツリー ビュー

管理コンソールのツリービューでは、階層内のパフォーマンス分析エンティティとレポートエンティティの関係を識別して表示できます。ツリー ビューを使用すると、複数のページをふるいにかけなくても、各ページが互いにどのように関連しているかを判断できます。詳細については、「依存関係アセスメント」を参照してください。

Admin Console の機能の詳細については、「」を参照してください パフォーマンスアナリティクス管理コンソール。

レスポンシブ ダッシュボードのプロパティー

プロパティーを使用して、ダッシュボードの動作と外観を微調整します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

前書き

移動先 システムプロパティ > ダッシュボードプロパティ レスポンシブダッシュボードのメインプロパティを設定します。

レスポンシブ ダッシュボードのプロパティー

プロパティ	説明
統合分析ワークスペースエクスペリエンスを有効にします。これにより、すべてのレスポンシブダッシュボードと Next Experience ダッシュボードが分析センターの同じ概要に表示されます。 com.glide.par.unified_analytics.enabled	• タイプ：true | false • デフォルト値：false • 場所： システムプロパティ > ダッシュボードプロパティ 有効にすると、ユーザーには、分析センターにコア UI (レスポンシブ) ダッシュボードの両方 プラットフォームアナリティクス が表示されます。ユーザーは、レスポンシブダッシュボードインジケーターの可視化から KPI 詳細にドリルダウンすることもできます。
セキュリティルールを、ダッシュボードを共有すると表示されるユーザーのリスト、ユーザーグループ、およびロールに適用します。 glide.cms.dashboards.sharing_with_secure_search	• タイプ：true | false • デフォルト値：false • 場所： システムプロパティ > ダッシュボードプロパティ 有効になっている場合、共有パネルに表示されるユーザー、ユーザーグループ、ロールのリストが制限されます。この制限は、sys_user、sys_user_group、および sys_user_role ACL の構成に基づいています。詳細については、「アクセス制御リストルール」を参照してください。 このプロパティの有効化に関連付けられているパフォーマンスのペナルティがあります。パフォーマンスのデグレードは、インスタンスのビジネスルールと ACL の数と複雑さに基づいている場合があります。
所有するダッシュボードを共有できるロールのカンマ区切りリストを指定します。 glide.cms.share_dashboards.role	• タイプ：文字列 • デフォルト値：空 このプロパティが空白の場合、すべてのユーザーが自分のダッシュボードを共有できます。 • 場所： システムプロパティ > ダッシュボードプロパティ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明
	注: ダッシュボードの共有を制限するプロパティは、管理者と dashboard_admin ロールを持つユーザーには適用されません。これら 2 つのロールを持つユーザーは、いつでも任意のダッシュボードを共有できます。
レスポンシブ ダッシュボードにウィジェットを表示する最大秒数 glide.canvas.grid.widget_performance_threshold	• タイプ：整数 • デフォルト値：なし • 場所： システムプロパティ > ダッシュボードプロパティ 詳細については、「レスポンシブダッシュボードでのウィジェットの表示時間の最適化」を参照してください。
レスポンシブ ダッシュボードに同時に表示できるウィジェットの最大数 glide.canvas.grid.widget_render_concurrent_max	• タイプ：整数 • デフォルト値：3 • 場所： システムプロパティ > ダッシュボードプロパティ 詳細については、「レスポンシブダッシュボードでのウィジェットの表示時間の最適化」を参照してください。
レスポンシブ ダッシュボード ウィジェットがブラウザーにキャッシュされる秒数。 glide.canvas.grid.widget_cache_ttl	• タイプ：整数 • デフォルト値：2 • 場所： システムプロパティ > ダッシュボードプロパティ

カスタム コンテンツの **PDF** エクスポートに関する制限事項

Dashboards and Home Pages にウィジェットとして配置するカスタム コンテンツを作成する場合は、コンテンツを PDF にエクスポートする前に、追加のテストを実行する必要があります。

ServiceNow サポートの対象外

他のカスタム実装と同様に、いくつかのアクションは、 で ServiceNow制御できない場合、サポートが制限されるか、まったくサポートされません。

- カスタムコンテンツブロック:ベースシステムの一部でもプラグインの一部でもないコンテンツブロック。
- カスタムコンテンツブロック:レポート可視化を含むコンテンツブロックの数は、エクスポートの成功に影響する場合があります。正常なエクスポートが断続的に行われることもあります。
- カスタムのインタラクティブ フィルター (ダイナミック コンテンツ ブロック)。
- 既存の UI ページおよびスクリプトに戻る Iframe を含む、カスタムの Iframe

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- カスタム ウィジェット：ServiceNow によって作成されていないウィジェット
- カスタム グローバル UI スクリプト:ベース システムに含まれていない UI スクリプト。
- カスタム UI ページ:ベースシステムに含まれていない UI ページ。
- カスタムスクリプトインクルード:ベースシステムに含まれていないスクリプトインクルード。

PDF エクスポート エンジンでのページの表示方法は、ブラウザーでの表示方法とは異なります。PDF エクスポート機能では、Web テクノロジーとして HTML 4、CSS2、および JavaScript 1.5 がサポートされています。コンテンツ ブロックの開発者は、PDF エクスポートに対してコードをテストし、その実装をこれらの制限事項に基づいて調整する責務があります。

ホームページ廃止ヘルプツール

ホームページ機能のサポートは段階的に廃止されており、有効になっている場合 Next Experience 、ホームページの作成や編集は一切できません。すべてのホームページを 1 か所で検索してダッシュボードに変換したり、廃止したり、廃止したホームページをダッシュボードとして復元したりします。

ホームページ廃止ヘルプツールを使用すると、システム管理者とダッシュボード管理者が、ワークフローを使用してホームページを廃止したり、ホームページをレスポンシブダッシュボードに変換したりできます。移行ステータスを追跡し、ユーザーやグループにタスクを割り当てることができます。個人ホームページの廃止には、承認を得るために所有者に送信される要求が含まれます。ホームページ廃止ヘルプツールは、管理者およびdashboard_adminロールを持つユーザー向けのストアアプリです。このアプリケーションを使用するには、「」を参照してください ホームページ廃止ヘルプツールをインストールする。

変換されたホームページのダッシュボードバージョンを見つけるには、 すべて > セルフサービス > ダッシュボード。

ホームページ廃止ダッシュボードにアクセスするには、次の場所に移動します。 すべて > ホームページ廃止ヘルプツール > 概要。

ホームページ廃止ヘルプツールの機能

ホームページ廃止ヘルプツールを使用して、すべてのホームページを 1 か所で検索し、それらをダッシュボードに変換したり、廃止したり、廃止したホームページをダッシュボードとして復元したりします。

ホームページ廃止ダッシュボードにアクセスするには、次の場所に移動します。 すべて > ホームページ廃止ヘルプツール > 概要。

ホームページ廃止ヘルプツールを使用する前に、次の 2 つの手順を実行します。admin ロールを持つユーザーは、システムプロパティを変更する必要があります。admin ロールを持つユーザー、または dashboard_admin ロールと flow_designer ロールの両方を持つユーザーは、ホームページ移行ステータステーブルに入力できます。

1. 新しいホームページの作成を無効にします：システムプロパティ `com.glideapp.home.deprecate_homepages` を true に設定します。

   重要:
   このプロパティを true に設定すると、新しいホームページの作成を無効にし、デフォルトの開始ページまたはランディングページをダッシュボードに設定します。ホームページを開くメニューアイテムと URL は、引き続きそれらのホームページをポイントします。それ以外の場合、ホームページは利用できないため、このツールを使用して移行する必要があります。

2. ホームページ移行ステータステーブルの入力。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ホームページの廃止ダッシュボードには、次の 4 つのタブがあります。

概要

概要では、廃止プロセスを開始し、インスタンスのホームページの一般的なステータスを表示できます。

個人のホームページ

非アクティブな個人またはインスタンスからロックアウトされた個人が所有するすべてのホームページのリスト。個人ホームページは、すべてのユーザーがアクセスできるグローバルホームページとは異なります。

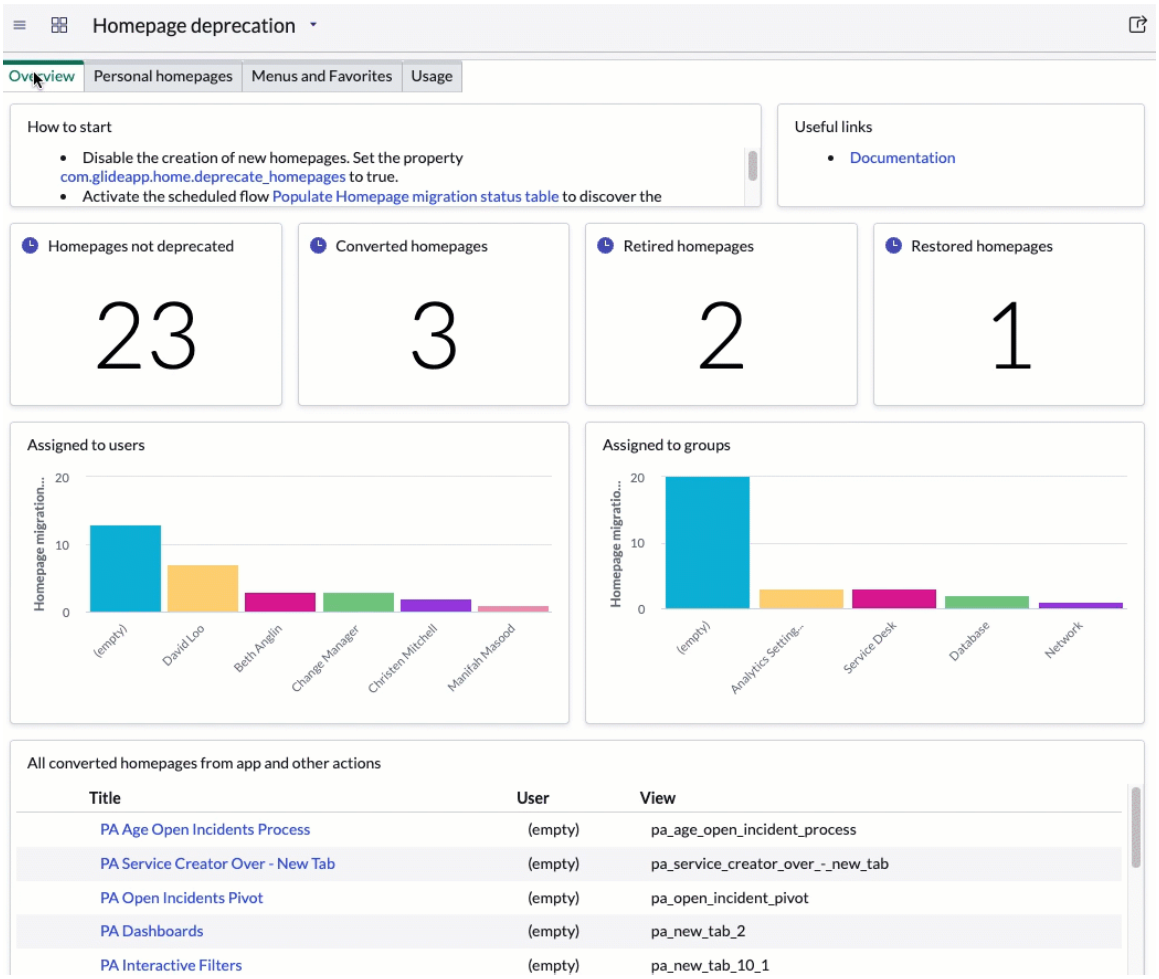
メニューとお気に入り

設定済みメニューに表示されるホームページと、ユーザーによってお気に入りとしてマークされたホームページのリスト。最初のケースでは、変換されたダッシュボードを指すようにメニュー項目を再構成する必要があります。2 番目のケースでは、新しく変換されたダッシュボードをお気に入りとしてマークするようにユーザーに警告する必要があります。

使用法

過去 30 日間表示されていないすべてのホームページのリスト。

ホームページの廃止ダッシュボード



[概要] タブ

[概要] タブには、開始するためのリンクと、注意が必要なホームページを選択できるようにするいくつかのレポートが含まれています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

[開始方法 **(How to start)**] セクションには、管理者が新しいホームページの作成を無効にし、ホームページ移行ステータステーブルに入力するためのリンクがあります。

個人のホームページ

所有者が非アクティブであるか、ロックアウトされているホームページのリストを表示します。これらのホームページは、退職後の有力な候補となる可能性があります。リンクを選択すると、廃止または変換する個人のホームページのみを含むフィルター済みリストが開きます。

メニューとお気に入り

[メニューとお気に入り] タブには 3 つのリストがあります。

メニューに接続されたホームページ

フィルターナビゲーター内の接続されたメニューであるホームページを表示します。これらのホームページを変換または廃止する場合は、メニュー項目を新しいダッシュボードに指定するか、メニュー項目を削除する必要があります。

お気に入りに接続されたホームページ

ユーザーがお気に入りとして識別したホームページを表示します。これらのホームページを変換または廃止する場合は、新しいダッシュボードをお気に入りとしてマークする必要があることをユーザーに通知する必要があります。

ホームページに接続されたメニューとモジュール

フィルターナビゲーターにメニューアイテムまたはモジュールとして表示されるホームページを表示します。新しいダッシュボードを指すようにメニューとモジュールアイテムを編集する必要があります。メニューまたはモジュールアイテムが廃止されたホームページを指している場合は、それらを削除します。

使用法

[使用状況] タブには、過去 30 日間に表示されていないすべてのホームページのリストが表示されます。これらのホームページは、退職後の有力な候補となる可能性があります。

ホームページ廃止ヘルプツールをインストールする

ホームページを変換、廃止、および復元するには、ホームページ廃止ヘルプツールをインストールします。

始める前に
必要なロール：admin

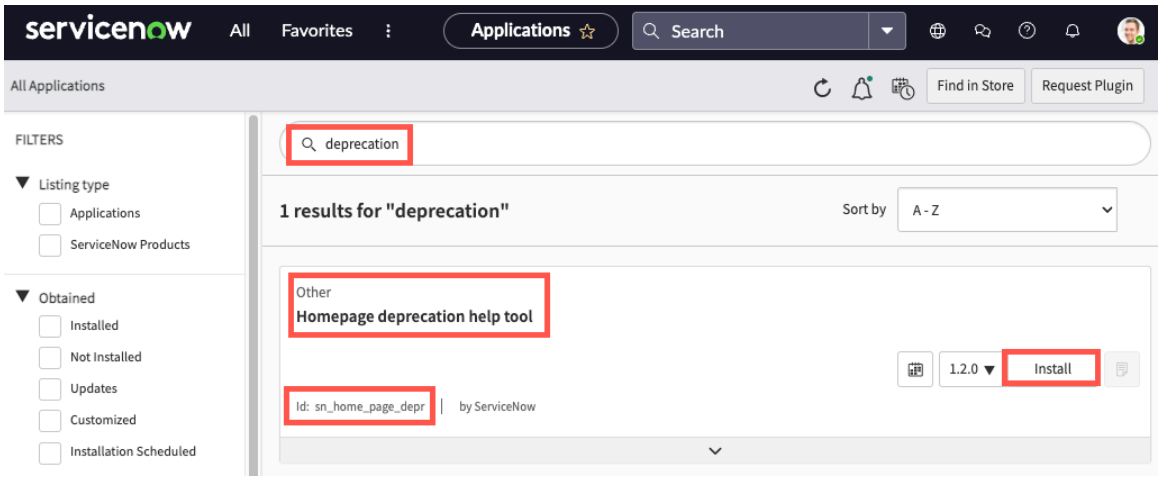
このタスクについて
ホームページ廃止ヘルプツールはストアアプリです。ストアアプリのインストールの詳細については、「 ServiceNow Store アプリケーションのインストール 」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. フィルター基準と検索バーを使用して、ホームページ廃止ヘルプツールアプリケーションを検索します。
   名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、 から要求 ServiceNow Storeする必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. リストからバージョンを選択し、[インストール] を選択します。

   表示されるインストールダイアログボックスには、アプリケーションと併せてインストールされている依存関係が一覧表示されます。

4. プロンプトが表示された場合は、ServiceNow Store へのリンクに従って、依存関係のエンタイトルメントを取得します。
5. リストからバージョンを選択し、[インストール] を選択します。

   表示されるインストールダイアログボックスには、アプリケーションと併せてインストールされている依存関係が一覧表示されます。

ホームページを個々のダッシュボードに変換する

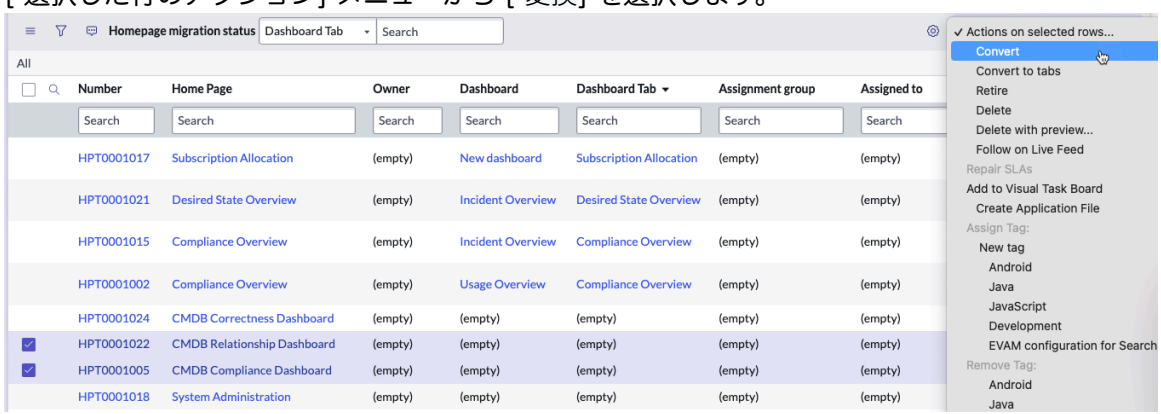
ホームページ移行ステータステーブルに入力し、ダッシュボードに変換するホームページを決定します。ホームページを個々のダッシュボードに変換することも、複数のホームページを同じダッシュボード上のタブに変換することもできます。

始める前に

必要なロール:admin または dashboard_admin

手順

1. 移動先 すべて > ホームページ廃止ヘルプツール > ホームページ移行ステータス。
   アドレス指定されていないすべてのホームページの状態は [オープン] です。
2. 変換するホームページの横にあるボックスを選択します。
3. [選択した行のアクション] メニューから [変換] を選択します。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

変換フローは、スクリプトをトリガーして新しい別のダッシュボードを作成し、権限 canRead と canWrite をダッシュボードの権限に移動します。

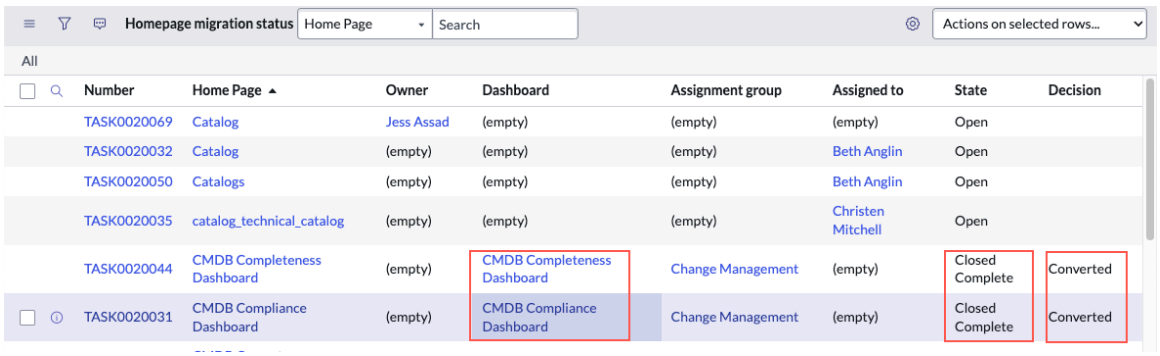
廃止フローは自動的に個人のホームページを廃止し、[選択可能] フィールドを false に設定して、管理者ユーザーに読み取り/書き込み権限を割り当てます。

このフローでは、非個人用ホームページの所有者に廃止の許可を求めます。アクセス許可フローには、アクセス許可の 14 日間の待機期間が含まれています。

タスクの結果

ユーザーは変換されたホームページにアクセスできなくなります。ホームページのダッシュボードバージョンは、[ダッシュボードの概要] で確認できます。移動先 すべて > セルフサービス > ダッシュボード。[すべて] タブを選択して、表示権限のあるすべてのダッシュボードを表示します。

- [ダッシュボード] 列には、新しいダッシュボードの名前とダッシュボードのフォームへのリンクが入力されます。
- 変換されたダッシュボードの [状態] 列のエントリが [完了してクローズ] に変更されます。
- [決定] 列のエントリは [変換済み] に変更されます。



次のタスク

変換されたホームページをポイントするメニューを更新して、新しいダッシュボードをポイントします。

移動先 すべて > セルフサービス > ダッシュボード。[すべて] タブを開いて、変換されたダッシュボードのタイルを確認します。

ホームページの廃止。

ホームページをダッシュボード タブに変換

[ホームページ移行ステータス] テーブルに入力した後、1 つ以上のホームページを新規または既存のダッシュボード上のタブに変換できます。

始める前に

必要なロール:admin または dashboard_admin

> **注:**
> 1 つ以上のホームページをダッシュボード タブに変換するには、それらのホームページの所有者が同じである必要があります。

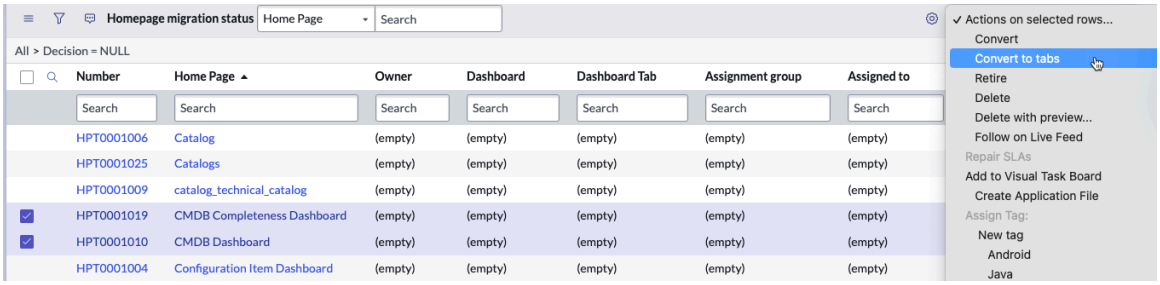
手順

1. 移動先 すべて > ホームページ廃止ヘルプツール > ホームページ移行ステータス。
   アドレス指定されていないすべてのホームページの状態は [オープン] です。
2. 変換するホームページの横にあるボックスを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. [選択した行のアクション] メニューから、[タブに変換] を選択します。



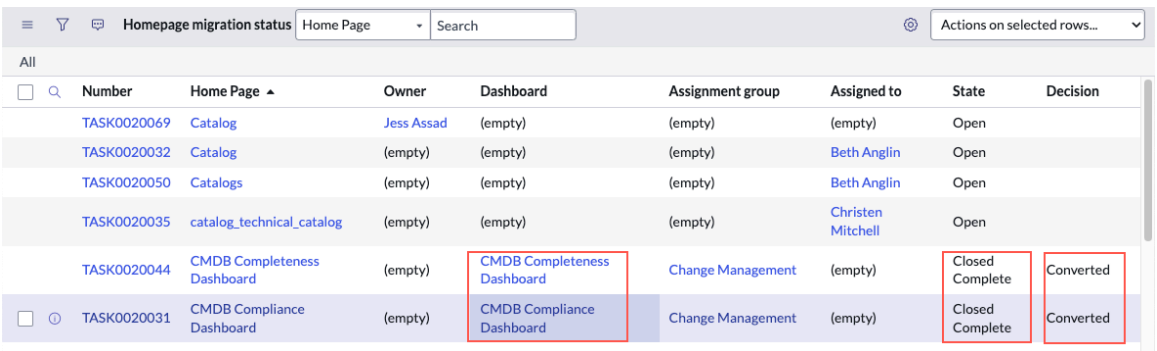
4. 既存のダッシュボードを選択するか、新しいダッシュボードのタイトルを設定します。
既存のダッシュボードを選択すると、ホームページは既存のタブの後にタブとして追加されます。新しいダッシュボードのタイトルを設定すると、新しいダッシュボードには、追加した各ホームページのタブが含まれます。

   変換フローは、スクリプトをトリガーして新しい別のダッシュボードを作成し、権限 canRead と canWrite をダッシュボードの権限に移動します。

タスクの結果

ユーザーは変換されたホームページにアクセスできなくなります。ホームページのダッシュボードバージョンは、[ダッシュボードの概要] で確認できます。移動先 すべて > セルフサービス > ダッシュボード。[すべて] タブを選択して、表示権限のあるすべてのダッシュボードを表示します。

- [ダッシュボード] 列には、新しいダッシュボードの名前とダッシュボードのフォームへのリンクが入力されます。
- [ダッシュボード タブ] 列には、新しいダッシュボード タブの名前と、ダッシュボード タブのフォームへのリンクが入力されます。
- 変換されたダッシュボードの [状態] 列のエントリが [完了してクローズ] に変更されます。
- [決定] 列のエントリは [変換済み] に変更されます。



次のタスク

変換されたホームページをポイントするメニューを更新して、新しいダッシュボードをポイントします。

移動先 すべて > セルフサービス > ダッシュボード。[すべて] タブを開いて、変換されたダッシュボードのタイルを確認します。

ホームページの廃止。

ホームページの廃止

ホームページ移行ステータステーブルを使用して、ホームページを廃止します。ホームページを廃止すると、管理者以外のすべてのユーザーから表示オプションと編集オプションが削除されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール:admin または dashboard_admin

1. 新しいホームページの作成を無効にします：システムプロパティ *com.glideapp.home.deprecate_homepages* を true に設定します。

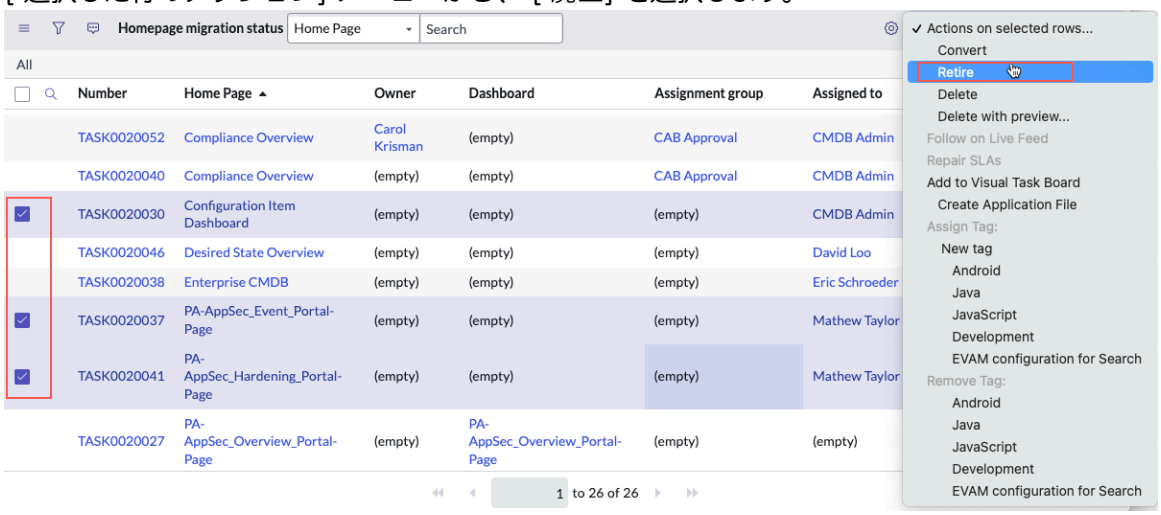
> **重要:**
> このプロパティを true に設定すると、新しいホームページの作成を無効にし、デフォルトの開始ページまたはランディングページをダッシュボードに設定します。ホームページを開くメニューアイテムと URL は、引き続きそれらのホームページをポイントします。それ以外の場合、ホームページは利用できないため、このツールを使用して移行する必要があります。

2. ホームページ移行ステータステーブルの入力。

> **注:**
>
> ホームページを廃止すると、ユーザーは関連するポータルページを選択できなくなり、管理者のみがページの読み取りおよび書き込み権限を持ちます。
>
> 廃止要求に応答する時間制限を設定するには、システムプロパティ *sn_home_page_depr.approval_due_date*を編集します。

手順

1. 移動先 すべて > ホームページ廃止ヘルプツール > ホームページ移行ステータス。
2. 廃止するホームページの横にあるチェックボックスをオンにします。
3. [選択した行のアクション] メニューから、 [廃止] を選択します。



- ホームページがグローバルホームページ、つまり所有者が指定されていないホームページの場合、そのホームページは廃止され、タスクステータスは [すぐに 完了してクローズ] に設定されます。
- 制限時間内に個人ホームページの所有者からの応答がない場合、そのホームページは廃止され、タスクステータスは [完了してクローズ] に設定されます。
- オーナーが廃止要求を却下すると、ホームページはダッシュボードに変換されます。

タスクの結果
変更は、ホームページ移行ステータステーブルで行われます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 変換されたホームページの [状態] 列のエントリが [完了してクローズ] に変更されます。
- 廃止されたホームページの [決定] 列のエントリは、[廃止] に変更されます。
- 所有者が廃止のために却下したホームページの [決定] 列のエントリは、[変換済み] に変更されます。
- 非アクティブまたはロックアウトされたユーザーの個人ホームページは、ホームページ廃止ダッシュボードの [個人ホームページ] タブに表示されなくなります。
- 廃止されたホームページの読み取りおよび書き込み権限は、管理者に制限されています。

次のタスク
ホームページの復元

ホームページの復元

廃止したホームページをダッシュボードとして復元します。

始める前に
廃止されたホームページの関係者が、その情報をまだ求めている場合があります。廃止したホームページをレスポンシブダッシュボードとして復元できます。

必要なロール:admin または dashboard_admin

手順

1. 移動先 すべて > セルフサービス > **Service Catalog**。
2. **[Can we help you]** を選択します。
3. [ホームページの復元] を選択します。
4. 廃止されたホームページの名前を入力するか、検索アイコン () を使用して廃止されたホームページを検索します。
5. [送信] を選択します。

タスクの結果
廃止されたホームページはダッシュボードに変換されます。[ホームページ移行ステータス] テーブルにこれらの変更が表示されます。

- [ダッシュボード] 列に新しいダッシュボードの名前が入力されます。
- 復元されたホームページの [状態] 列のエントリが [完了してクローズ] に変更されます。
- [決定] 列のエントリが [復元済み] に変更されます。

ホームページ移行ステータステーブル

ホームページ移行ステータステーブルを使用して、ホームページの廃止と変換に対処します。

ホームページ移行ステータステーブルには、ダッシュボードまたはダッシュボードタブに関連付けられていないインスタンスのホームページが一覧表示されます。また、それぞれのステータスについて管理者が行った決定も表示されます。ホームページ移行ステータステーブルには、[概要] タブのほとんどの可視化からアクセスできます。または次の場所から移動することもできます。 すべて > ホームページ廃止ヘルプツール > ホームページ移行ステータス。詳細については、「ホームページ廃止ヘルプツール」を参照してください。

このテーブルには次の列が含まれています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ホームページ移行ステータステーブルの入力

ホームページ移行ステータステーブルを使用すると、ホームページの廃止と変換に対処できます。スケジュール済みワークフローを実行して、インスタンスのホームページに関する情報をホームページ移行ステータステーブルに入力します。

始める前に

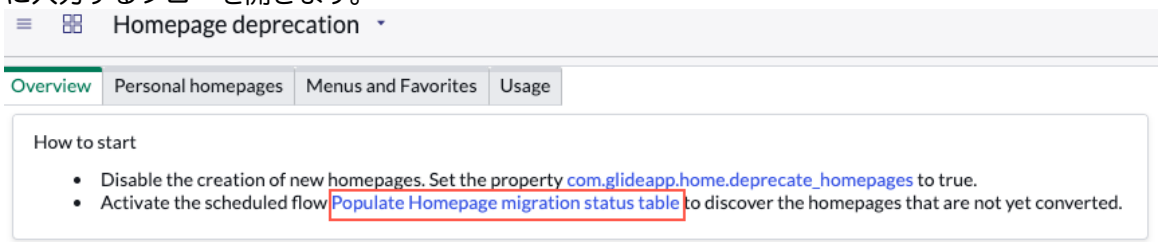
必要なロール：admin

入力フローには、実行ごとに 1000 sys_portal_pages の制限があります。入力フローは数日間実行しておくことができます。フローでは、ホームページ移行ステータステーブルにレコードを 1000 単位で追加します。

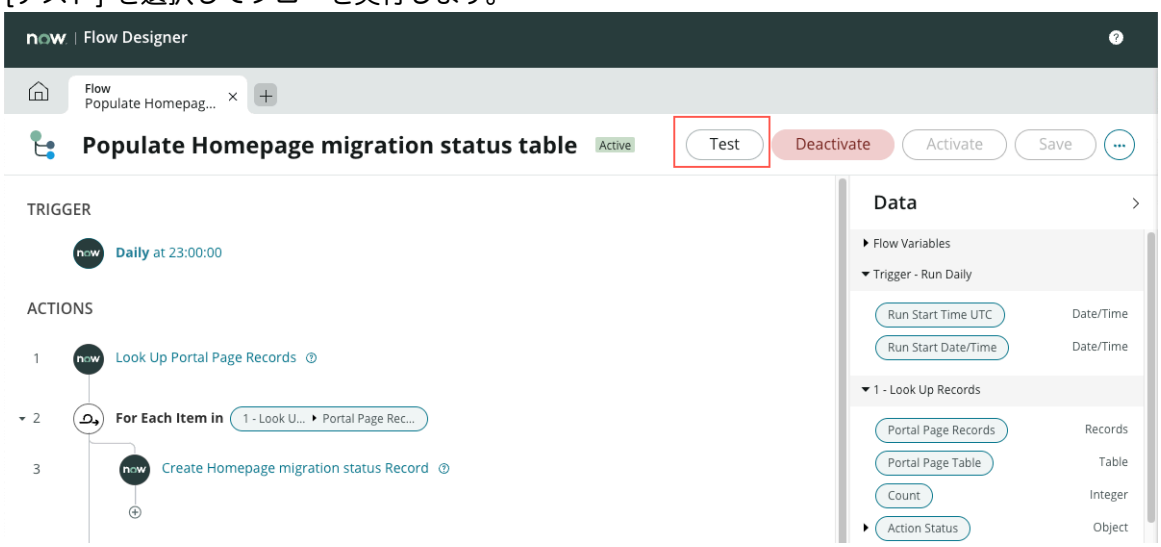
> **注:**
> ドメイン分離されたインスタンスでは、ホームページ移行ステータステーブルに入力するフローはグローバルインスタンスでのみ実行されます。

手順

1. 移動先 すべて > ホームページ廃止ヘルプツール > 概要。
2. [ホームページ移行ステータステーブルを入力] というラベルの付いたリンクを選択して、テーブルに入力するフローを開きます。



3. Flow Designer で、入力フローを実行するタイミングを指定するトリガーを選択します。
   デフォルトのトリガーは毎日 23:00:00 です。
4. [アクティブ化] を選択します。
5. [テスト] を選択してフローを実行します。

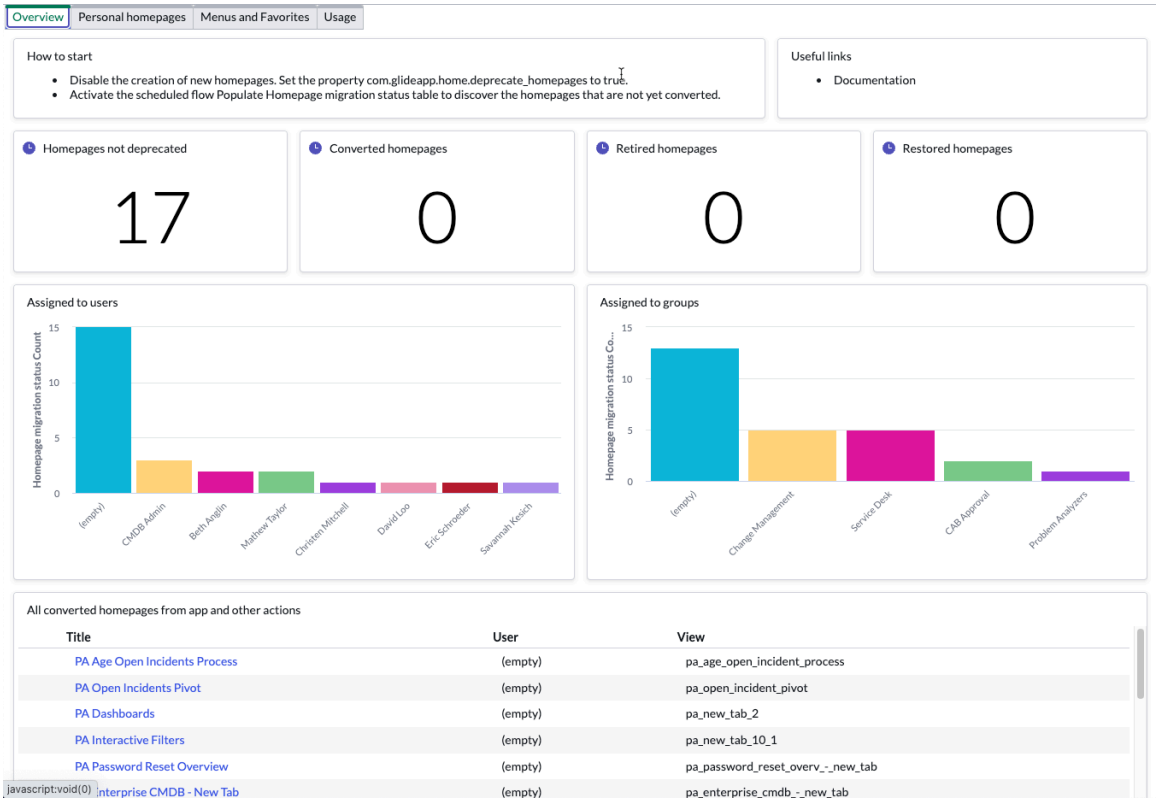


6. [テストを実行] を選択します。
   [テストの実行が終了しました] というメッセージが表示されたら、[テストフロー] ウィンドウを閉じて [概要] タブに戻ります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

タスクの結果
ホームページ廃止ヘルプツールの [概要] タブには、廃止されていないホームページの数が表示されていま



す。

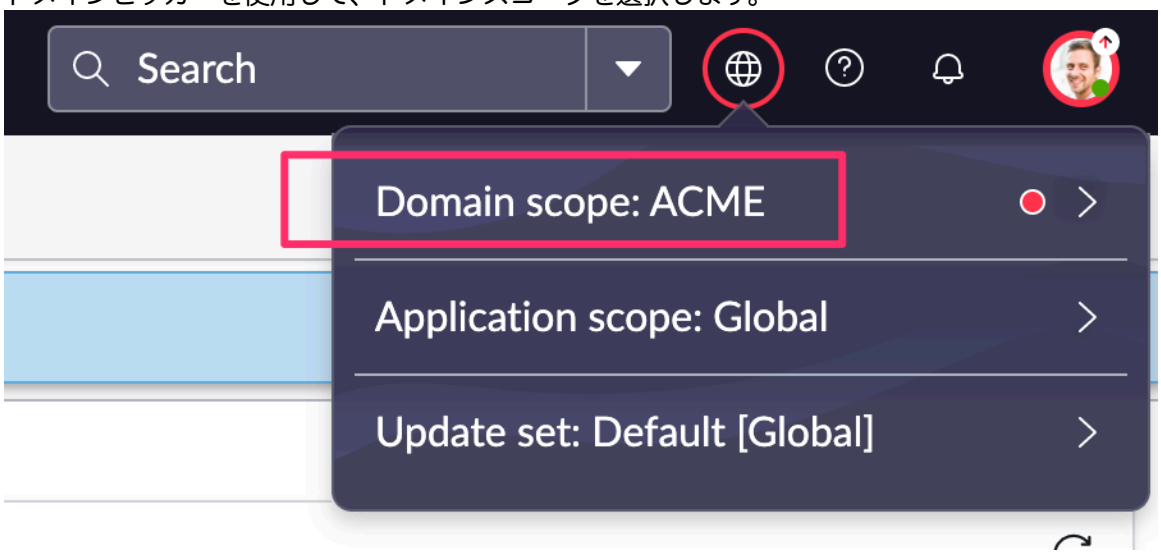
複数ドメインのホームページ移行ステータステーブルに入力する

デフォルトでは、ホームページ移行ステータステーブルに入力するフローは、グローバルドメインにのみ適用されます。フローを作成して、インスタンス内の他のドメインに適用することができます。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. ドメインピッカーを使用して、ドメインスコープを選択します。

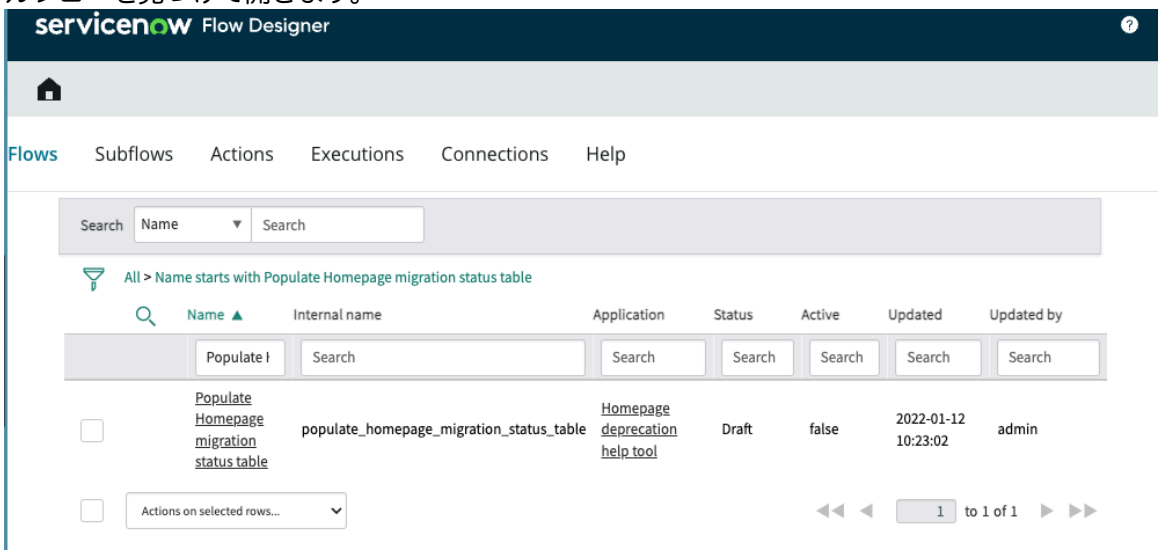


2. 移動先 すべて > **Flow Designer**。

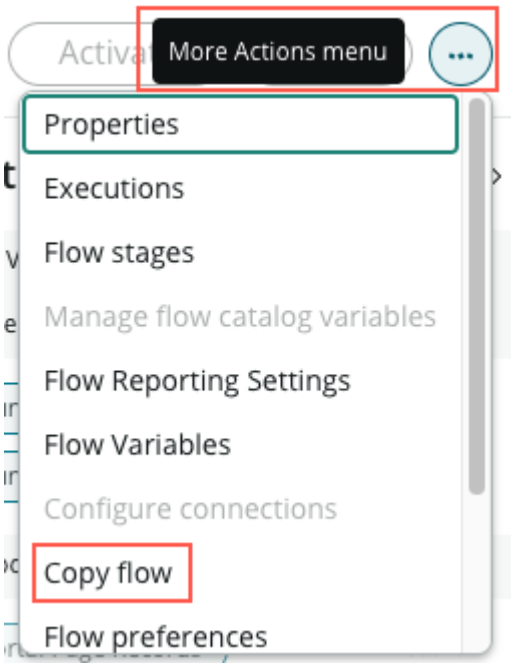
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. [ホームページ移行ステータステーブルの入力 (Populate Homepage migration status)] テーブルフローを見つけて開きます。



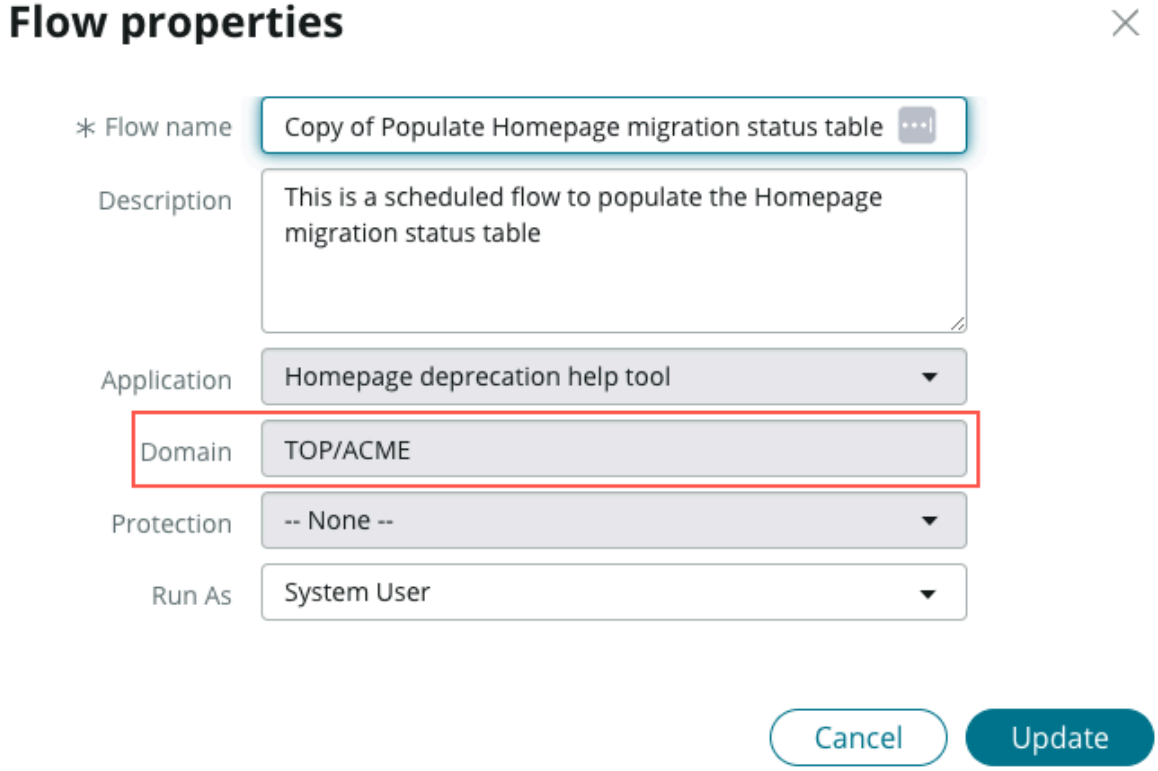
4. 「 その他のアクション 」メニューを選択し、「 フローのコピー」を選択します。



5. アプリケーション「 ホームページ廃止」ヘルプ・ツール を選択し、「 コピー」を選択します。
6. [その他のアクション] メニューを選択し、[フロープロパティ] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フローは選択したドメインスコープを指します。



ウィジェット

クラシック環境でダッシュボードに追加されたオブジェクトは、ウィジェットと呼ばれます。ウィジェットを作成および管理できます。多くのアプリケーションは、独自のウィジェットを持ちます。アプリケーションに含まれるウィジェットの詳細については、アプリケーションのドキュメントを参照してください。

各ウィジェット タイプを使用すると、ダッシュボードで異なる操作を実行できます。各タイプのリンクをたどって、ダッシュボードでウィジェットを作成および編集する方法を学習してください。ウィジェット タイプは次のとおりです。

レポート

レポートの表示方法は、情報の状態をリアルタイムで示すデータのスナップショットです。詳細については、「レポート」を参照してください。

パフォーマンスアナリティクス

パフォーマンスアナリティクス ウィジェットは、時間の経過とともに収集されたインジケーター データに基づいて情報をビジュアル化します。詳細については、「Performance Analytics ウィジェット」を参照してください。

インタラクティブフィルター

インタラクティブ フィルターを使用すると、元のレポートを変更することなく、ダッシュボード上のすべてのレポートを動的にフィルターで絞り込むことができます。 詳細については、「インタラクティブフィルター」を参照してください。

コンテンツブロック

コンテンツ ブロックは、インスタンス全体で再利用できる情報です。詳細については、「 コンテンツ ブロックの構成 」を参照してください。

ServiceNow UI ページを表示するウィジェットの作成

Web ページを表示する ServiceNow UI ページを作成できます。その後、その UI ページを、ダッシュボードに追加できるウィジェットに追加できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
UI ページとは、リストでもフォームでもない ServiceNowページのことです。すべての UI ページがウィジェットに収まるわけではありません。外部サイトのウィジェットやガジェットなどの一部の UI ページは、ダッシュボードに配置すると正しく表示されません。

フレームワーク ページ テンプレートを使用せずに UI ページを作成する方法については、ServiceNow コミュニティーの開発者による「フレームワーク ページ テンプレートを使用せずに UI ページを作成する」というブログ投稿を参照してください。

注:
この機能を使用するには、JavaScript のナレッジが必要です。

手順

1. ウィジェットとして表示する ServiceNow UI ページを作成または検索します。
   ステップ 4 で使用するこの UI ページの名前をメモします。UI ページ名は、UI ページのコンテンツを定義するフォームの name フィールドの値です。
2. 移動先 システム **UI** > ウィジェット をクリックし、[新規] をクリックします。
   ウィジェット レコードは、個々のウィジェットのレコードではなく、ウィジェット カテゴリーのレコードです。ウィジェットをダッシュボードに追加する際は、まずカテゴリーを選択してから、ウィジェットを選択します。ステップ 4 で指定する JavaScript には、そのカテゴリに含めるウィジェットのリストが含まれます。
3. 次のフィールドに入力します。

4. 次の JavaScript を [スクリプト] フィールドに追加し、指定されたとおりに置き換えます。
   return ステートメントには、このウィジェット カテゴリにリストされているウィジェットが含まれています。

   注:
   この手順のコード スニペットは、スコープ指定されていないアプリケーションで使用できます。スコープ対象のアプリケーションには、ステップ 5 のコードスニペットを使用します。

widget_name	ウィジェットをダッシュボードに追加するときに、ユーザーがウィジェット ピッカーで選択するウィジェットの名前。この文字列は、ウィジェット ヘッダーにも表示されます。この値は、ステップ 3 で設定した [名前] です。
UI_page_name	ウィジェットに表示するステップ 1 の UI ページの名前。

```
function sections() {
   return {
      'widget_name': { 'uiPageName' : 'UI_page_name'},
      'widget_name2': {'uiPageName': 'UI_page_name_2'}
   };
}

function render() {
   var uiPageName = renderer.getPreferences().get("uiPageName");
   return renderer.getRenderedPage(uiPageName);
}
```

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
function getEditLink() {
   var uiPageName = renderer.getPreference('uiPageName');
   return 'sys_ui_page.do?sysparm_query=' + encodeURIComponent('name=' +
 uiPageName);
}
```

5. オプション: スコープ対象のアプリケーションには、次のコード例を使用します。

```
function sections() {
   return {
   'Widget': {
   'type': 'widgetname'
   }
   };
}

function render() {
   var scope = gs.getCurrentScopeName();
   scope = (scope == "rhino.global" ? "" : scope + "_");
   var page = renderer.getPreference('type');
   return renderer.getRenderedPage(scope + page);
}

function getEditLink() {
   var scope = gs.getCurrentScopeName();
   scope = (scope == "rhino.global" ? "" : scope + "_");
   var page = renderer.getPreference('type');
   return "sys_ui_page.do?sysparm_query=name=" + scope + page;
}
```

6. [送信] をクリックします。

次のタスク
レスポンシブダッシュボードの編集

インタラクティブフィルター

インタラクティブ フィルターを使用すると、元のレポートを変更することなく、ダッシュボード上のすべてのレポートを動的にフィルターで絞り込むことができます。

インタラクティブ フィルターを作成し、ウィジェットとしてダッシュボードに追加することができます。インタラクティブフィルターウィジェットの値を選択すると、ダッシュボード上のレポートのデータがフィルタリングされます。ダッシュボードでは、選択したフィルターがユーザーごとに保存され、次回ユーザーがダッシュボードを表示するときに自動的に適用されます。

インタラクティブフィルターを作成するには、フィルタータイプを表示 利用可能なインタラクティブ フィルターのタイプ して選択します。

ホームページの対話型フィルターは、デフォルト値を保持したり、ログインやページの更新をまたいで値を保持したりしません。この機能はダッシュボードで利用できます。詳細については、「ホームページを個々のダッシュボードに変換する」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:

- パフォーマンスアナリティクス ダッシュボード上のウィジェットは、インタラクティブ フィルターに従いません。ブレークダウン ダッシュボード コントロールを使用して、同じブレークダウン ソースでこれらのウィジェットを個別にフィルタリングします。詳細については、「ダッシュボードでのブレークダウンの使用」と「ブレークダウンをインタラクティブ フィルターとして機能させる」を参照してください。
- インタラクティブ フィルターは、ソースに基づく MetricBase レポートではサポートされていません。詳細については、「 MetricBase 」を参照してください。

の統合 プラットフォームアナリティクスフィルタの詳細については、「」を参照してください のフィルター プラットフォームアナリティクス。

利用可能なインタラクティブ フィルターのタイプ

複数のフィールド タイプに対応したインタラクティブ フィルターを作成できます。

インタラクティブ フィルターのタイプ

タイプ	説明
選択リスト	特定の選択肢リストの値に基づいてデータをフィルターで絞り込むことができます。テーブルと選択リストのフィールドを選択する必要があります。フィルターは、指定したテーブルのレポートに影響を与えます。
参照	1 つ以上の参照フィールドの値に基づいてデータをフィルターで絞り込むことができます。参照先のテーブルと、他のテーブルの参照フィールドを選択する必要があります。フィルターは、指定した参照フィールドを持つテーブルのレポートに影響を与えます。 **注:** 参照インタラクティブ フィルターは文字列フィールドをサポートしていません。
日付	1 つ以上の日付フィールドの値に基づいてデータをフィルターで絞り込むことができます。テーブルと日付フィールドを選択する必要があります。フィルターは、指定したテーブルのレポートに影響を与えます。
ブール	特定の True/False フィールドの値に基づいてデータをフィルターで絞り込むことができます。テーブルと True/False フィールドを選択する必要があります。フィルターは、指定したテーブルのレポートに影響を与えます。
グループ	ダッシュボード上の 1 つのウィジェットに複数のインタラクティブ フィルターを表示できます。ダッシュボードを表示しているユーザーは、適用するグループ化されたフィルターを選択できます。
空/空でない	フィールドに値が含まれているかどうかに基づいてフィルターで絞り込みます。
カスケード	地域、国、都市など、階層内の複数の値に基づいてフィルターで絞り込むことができます。

選択リスト インタラクティブ フィルターを作成する

選択リスト インタラクティブ フィルターを使用すると、選択リストの値に基づいてレポート ウィジェットをフィルターで絞り込むことができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：hp_publisher_admin および report_admin。hp_publisher_admin ロールは、インタラクティブフィルターを管理する場合にのみ存在します。デフォルトでは、このロールに他のロールは含まれず、他のロールにこのロールは含まれません。

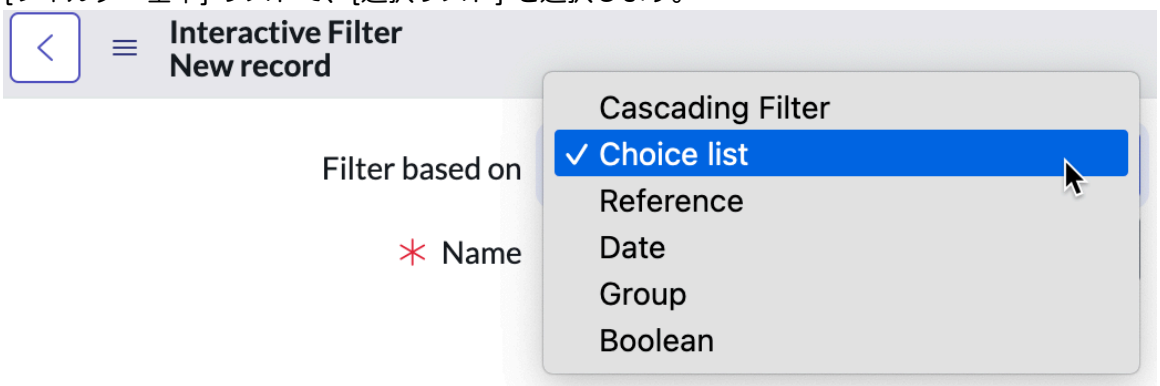
選択リストには、選択できる限られた数の指定された値が含まれています。ステータスと優先度は、選択リストの 2 つの例です。通常、ユーザーと場所は選択リストの選択肢ではありません。詳細については、「 選択リストのフィールドタイプ 」を参照してください。

ユーザーが [すべて] を選択すると、すべてのフィルターオプションが適用されたレポートは表示されず、フィルタリングされていないレポートが表示されます。

注:
インタラクティブフィルターにデフォルト値があるか、前回選択された値が指定されている場合、レスポンシブでないダッシュボードはこの値を自動的に適用しません。この機能は、レスポンシブダッシュボードでのみ使用できます。

手順

1. オプション: 同一テーブルの既存のインタラクティブフィルターを確認します。
   a. 移動先 すべて > レポート > 管理 > インタラクティブフィルター をクリックし、フィルターを適用する同じテーブルに基づいてインタラクティブ フィルターを選択します。
   b. [関連リンク] で [テーブルのその他のフィルター **(Other filters on Table)]** を選択します。
   c. 同一テーブルで利用可能な他のフィルターを調べて、必要なフィルターが既に存在するかどうかを確認します。
2. 移動先 すべて > レポート > 管理 > インタラクティブフィルター。
3. [新規] を選択します。
4. [フィルター基準] リストで、[選択リスト] を選択します。



5. 次のフィールドを設定します。

名前	説明
名前	フィルターの名前を入力します。この名前は、フィルターのダッシュボードウィジェットに表示されます。
ルックアップ名	フィルターのルックアップ名を入力します。この名前は、フィルターをダッシュボードに追加するユーザーの [コンテンツを追加] メニューに表示されます。この名前は、フィルターの整理に役立ちます。ルックアップ名を指定しない場合は、代わりに [名前] 値が使用されます。
説明	フィルターの説明を入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

名前	説明
UI コントロール タイプ	このフィルターに利用可能なフィルタリングオプションをダッシュボード ウィジェットに表示する方法を選択します。「利用可能なインタラクティブ フィルターの UI コントロール タイプ」を参照してください。

6. オプション: 拡張テーブルの親テーブル、子テーブル、および兄弟テーブルにフィルターを適用するには、[階層のすべてのテーブルに適用] を選択します。
7. オプション: データベース ビューとテーブルの両方に基づいてウィジェットにフィルターを適用するには、**[Apply filter to database views and tables]** (データベース ビューとテーブルにフィルターを適用) を選択します。

   注:
   データベースビューのテーブルを拡張するテーブルにフィルターを適用することはできません。詳細については、「データベース ビューとテーブル階層に適用するインタラクティブ フィルター」を参照してください。

8. オプション: フィルターで特定の要素の表示を除外するには、[除外リスト] を使用します。
   ただし、インタラクティブ フィルターで [すべて] を選択するときは、除外された選択肢のデータも含まれます。
9. [テーブル] リストで、フィルターを適用する選択リストを含むテーブルを選択します。
10. [フィールド] リストで、フィルターを適用するフィールドを選択します。
11. オプション: フィルターから除外するリスト要素を [除外リスト] フィールドに追加します。
12. オプション: フィルターの [デフォルト値] を選択します。
    このデフォルトは、すべてのユーザーに対して自動的に適用されます。ユーザーが選択する値は、そのユーザーのグローバルデフォルトを上書きします。複数の選択を可能にする UI コントロールタイプ ([複数の入力を選択] など) を使用する場合は、複数のデフォルト値を指定できます。

    注:
    50 を超えるデフォルト値を渡す場合、またはエラー This is exceeding the GET call limitation が表示される場合は、複数のインタラクティブフィルターを作成します。

13. [送信] を選択します。

次のタスク
フィルターを作成したら、ダッシュボードに追加します。

参照フィールド インタラクティブ フィルターを作成する

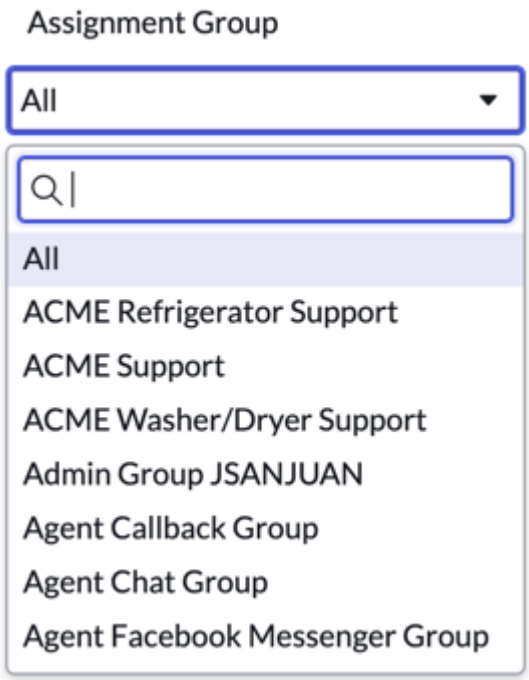
参照フィールド インタラクティブ フィルターを使用すると、参照フィールドの値に基づいてレポート ウィジェットをフィルターで絞り込むことができます。

始める前に
必要なロール：hp_publisher_admin および report_admin。hp_publisher_admin ロールは、インタラクティブフィルターを管理する場合にのみ存在します。デフォルトでは、このロールに他のロールは含まれず、他のロールにこのロールは含まれません。

ユーザーが [すべて] を選択すると、すべてのフィルターオプションが適用されたレポートは表示されず、フィルタリングされていないレポートが表示されます。 この参照フィルターの例では、グループ [sys_user_group] テーブルの [アサイン先グループ] フィールドのフィルターオプションを提供しています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

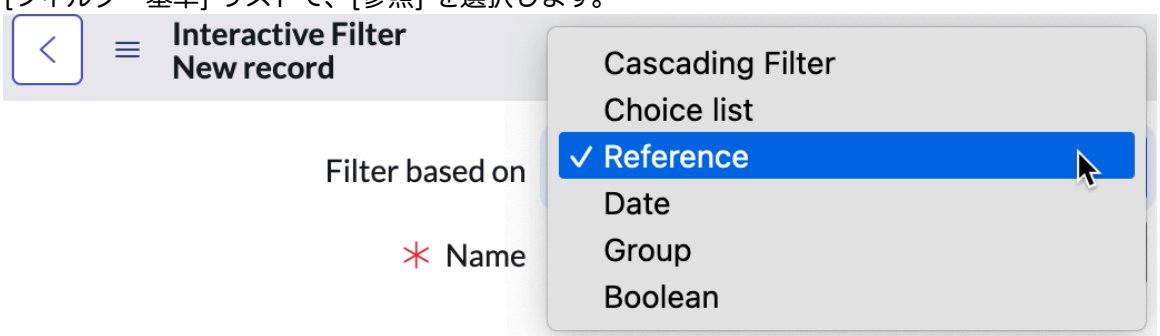


注:
インタラクティブフィルターにデフォルト値があるか、前回選択された値が指定されている場合、レスポンシブでないダッシュボードはこの値を自動的に適用しません。この機能は、レスポンシブダッシュボードでのみ使用できます。

自動翻訳

手順

1. オプション: 同一テーブルの既存のインタラクティブフィルターを確認します。
   a. 移動先 すべて > レポート > 管理 > インタラクティブフィルター をクリックし、フィルターを適用する同じテーブルに基づいてインタラクティブ フィルターを選択します。
   b. [関連リンク] で [テーブルのその他のフィルター **(Other filters on Table)]** を選択します。
   c. 同一テーブルで利用可能な他のフィルターを調べて、必要なフィルターが既に存在するかどうかを確認します。
2. 移動先 すべて > レポート > 管理 > インタラクティブフィルター。
3. [新規] をクリックします。
4. [フィルター基準] リストで、[参照] を選択します。



5. [参照テーブル] リストで、フィルターを適用する参照レコードを格納しているテーブルを選択します。
6. オプション: フィルターの [デフォルト値] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このデフォルトは、すべてのユーザーに対して自動的に適用されます。ユーザーが選択する値は、そのユーザーのグローバルデフォルトを上書きします。複数の選択を可能にする UI コントロールタイプ ([複数の入力を選択] など) を使用する場合は、複数のデフォルト値を指定できます。

> **注:**
> 50 を超えるデフォルト値を渡す場合、またはエラー This is exceeding the GET call limitation が表示される場合は、複数のインタラクティブフィルターを作成します。

7. 次のフィールドを設定します。

名前	説明
名前	フィルターの名前を入力します。この名前は、フィルターのダッシュボードウィジェットに表示されます。
ルックアップ名	フィルターのルックアップ名を入力します。この名前は、フィルターをダッシュボードに追加するユーザーの [コンテンツを追加] メニューに表示されます。この名前は、フィルターの整理に役立ちます。ルックアップ名を指定しない場合は、代わりに [名前] 値が使用されます。
説明	フィルターの説明を入力します。
UI コントロール タイプ	このフィルターに利用可能なフィルタリングオプションをダッシュボード ウィジェットに表示する方法を選択します。「利用可能なインタラクティブ フィルターの UI コントロール タイプ」を参照してください。
キーワードで始まる検索結果のみを表示	選択すると、検索は検索用語で始まる結果のみを返します。それ以外の場合、検索では、任意の場所に検索語を含む結果が返されます。数百万のレコードを含むテーブルなど、非常に大きなテーブルに参照フィルターを設定する場合は、このオプションを検討してください。一般的な用語で検索すると、返されるレコードが多すぎて管理できない場合があります。

8. オプション: データベース ビューとテーブルの両方に基づいてウィジェットにフィルターを適用するには、**[Apply filter to database views and tables]** (データベース ビューとテーブルにフィルターを適用) を選択します。

> **注:**
> データベースビューのテーブルを拡張するテーブルにフィルターを適用することはできません。詳細については、「データベース ビューとテーブル階層に適用するインタラクティブ フィルター」を参照してください。

9. フォームヘッダーを右クリックして、[保存] を選択します。
10. オプション: UI コントロールタイプが [単一入力を選択] の場合は、[すべて削除] オプション を選択して、[すべて] オプションなしでインタラクティブフィルターを構成します。
ユーザーが [すべて] を選択すると、すべてのフィルターオプションが適用されたレポートは表示されず、フィルタリングされていないレポートが表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

11. [インタラクティブフィルター参照] 関連リストで、[新規] を選択します。
この関連リストは、フィルターを保存するまで表示されません。
12. [参照テーブル] フィールドで、フィルターを適用するレポートがあるテーブルを選択します。
13. フィルターを適用する [参照フィールド] を選択します。

フィールドは、親フィルターの [参照テーブル] フィールドで指定されたテーブルを参照する必要があります。

他のテーブルを参照するフィールドからドット連結することができます。たとえば、親フィルターの [参照テーブル] が部門 [cmn_department] の場合、参照の [参照テーブル] として [インシデント] を選択し、[参照フィールド] として [問い合わせユーザーの部門] を選択できます。

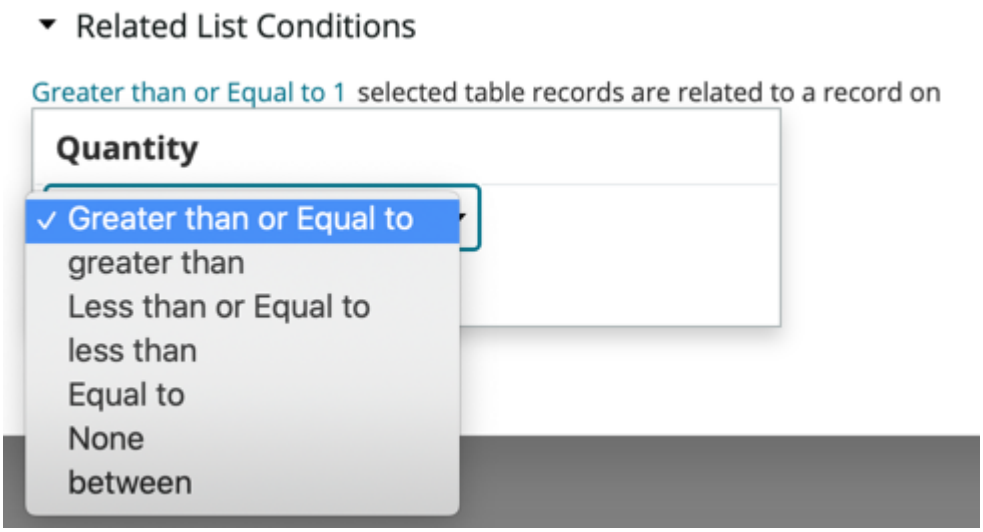
> **注:**
> 参照インタラクティブ フィルターは文字列フィールドをサポートしていません。

14. オプション: 関連リスト条件を追加します。
1 つの関連テーブルのレコードに基づいてフィルターに条件を追加できます。

a. 「1 以上」というラベルの付いたリンクをクリックします。
リストから、ターゲットテーブルのレコードに関連付ける必要があるソーステーブルのレコード数を選択します。

オプションは次のとおりです。

- 次の値以上
- 次の値を超える
- 次の値以下
- 次の値未満
- 次の値に等しい (=)
- なし
- 次の間



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

b. 関連テーブルを選択します。

c. フィルターを有効にするために満たす必要のある条件をテーブルに指定します。

15. [送信] をクリックします。

次のタスク

フィルターを適用する参照フィールドごとに、必要に応じて手順 10 ～ 13 を繰り返します。フィルターを作成したら、ダッシュボードに追加します。

注:
パフォーマンス上の理由から、フィルターを [チェック ボックス] コントロール タイプから [複数の入力を選択] コントロール タイプに変換できます。

関連情報

[参照] フィールドタイプ

利用可能なインタラクティブ フィルターのタイプ

関連リスト条件を追加

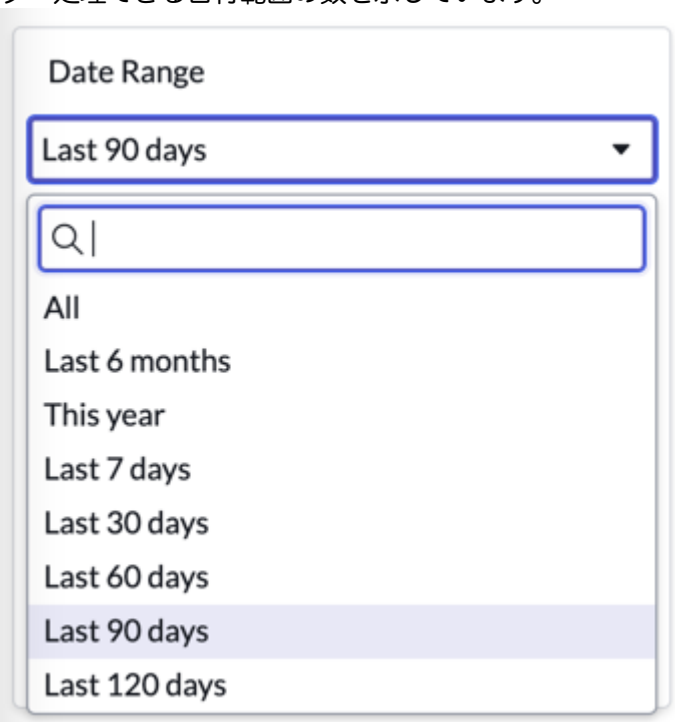
日付インタラクティブ フィルターを作成する

日付インタラクティブ フィルターを使用すると、日付フィールドの値に基づいてレポート ウィジェットをフィルターで絞り込むことができます。

始める前に

必要なロール：hp_publisher_admin および report_admin。hp_publisher_admin ロールは、インタラクティブフィルターを管理する場合にのみ存在します。デフォルトでは、このロールに他のロールは含まれず、他のロールにこのロールは含まれません。

ユーザーが [すべて] を選択すると、すべてのフィルターオプションが適用されたレポートは表示されず、フィルタリングされていないレポートが表示されます。 この日付フィルターの例は、フィルター処理できる日付範囲の数を示しています。



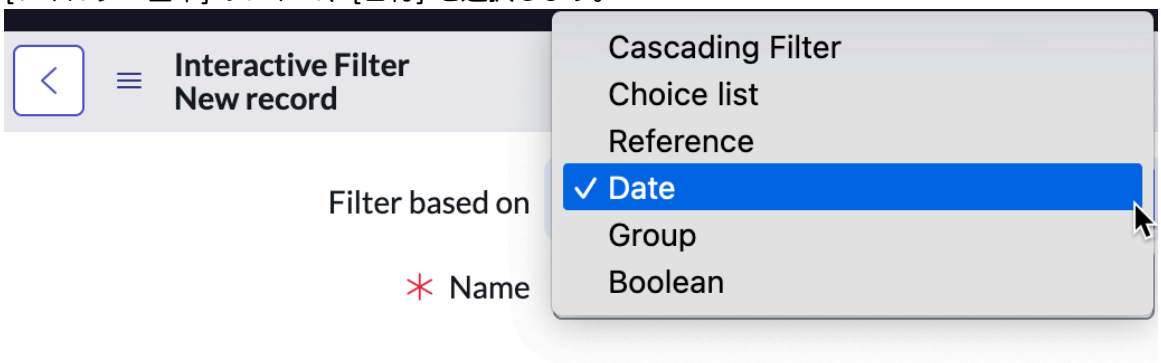
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
インタラクティブフィルターにデフォルト値があるか、前回選択された値が指定されている場合、レスポンシブでないダッシュボードはこの値を自動的に適用しません。この機能は、レスポンシブダッシュボードでのみ使用できます。

手順

1. オプション: 同一テーブルの既存のインタラクティブフィルターを確認します。
   a. 移動先 すべて > レポート > 管理 > インタラクティブフィルター をクリックし、フィルターを適用する同じテーブルに基づいてインタラクティブ フィルターを選択します。
   b. [関連リンク] で [テーブルのその他のフィルター **(Other filters on Table)]** を選択します。
   c. 同一テーブルで利用可能な他のフィルターを調べて、必要なフィルターが既に存在するかどうかを確認します。
2. 移動先 すべて > レポート > 管理 > インタラクティブフィルター。
3. [新規] を選択します。
4. [フィルター基準] リストで、[日付] を選択します。



5. 次のフィールドを設定します。

名前	説明
名前	フィルターの名前を入力します。この名前は、フィルターのダッシュボードウィジェットに表示されます。
ルックアップ名	フィルターのルックアップ名を入力します。この名前は、フィルターをダッシュボードに追加するユーザーの [コンテンツを追加] メニューに表示されます。この名前は、フィルターの整理に役立ちます。ルックアップ名を指定しない場合は、代わりに [名前] 値が使用されます。
説明	フィルターの説明を入力します。
UI コントロール タイプ	このフィルターに利用可能なフィルタリングオプションをダッシュボード ウィジェットに表示する方法を選択します。「利用可能なインタラクティブ フィルターの UI コントロール タイプ」を参照してください。

6. オプション: 拡張テーブルの親テーブル、子テーブル、および兄弟テーブルにフィルターを適用するには、[階層のすべてのテーブルに適用] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. オプション: データベース ビューとテーブルの両方に基づいてウィジェットにフィルターを適用するには、**[Apply filter to database views and tables]** (データベース ビューとテーブルにフィルターを適用) を選択します。

   注:
   データベースビューのテーブルを拡張するテーブルにフィルターを適用することはできません。詳細については、「データベース ビューとテーブル階層に適用するインタラクティブ フィルター」を参照してください。

8. [日付] セクションで、スラッシュバケットを使用して、ユーザーがフィルターを適用できる 1 つ以上の日付範囲を選択します。
   使用可能な日付フィルターは、 *Get Date Filter options for Date Filters* ビジネス ルールで定義されます。このビジネス ルールをカスタマイズして、フィルター オプションを追加または削除します。
9. オプション: フィルターの [デフォルト値] を選択します。
   このデフォルトは、すべてのユーザーに対して自動的に適用されます。ユーザーが選択する値は、そのユーザーのグローバルデフォルトを上書きします。複数の選択を可能にする UI コントロール タイプ ([複数の入力を選択] など) を使用する場合は、複数のデフォルト値を指定できます。

   注:
   50 を超えるデフォルト値を渡す場合、またはエラー This is exceeding the GET call limitation が表示される場合は、複数のインタラクティブフィルターを作成します。

10. フォームヘッダーを右クリックして、[保存] を選択します。
11. [インタラクティブフィルターの日付] 関連リストで、[新規] を選択します。
12. [テーブル] フィールドで、フィルターを適用するレポートがあるテーブルを選択します。
13. [フィールド] フィールドで、フィルターを適用する日付フィールドを選択します。
14. [送信] をクリックします。

次のタスク
フィルターを適用する日付フィールドごとに、必要に応じて手順 8 ～11 を繰り返します。フィルターを作成したら、ダッシュボードに追加します。

ブーリアン インタラクティブ フィルターを作成する

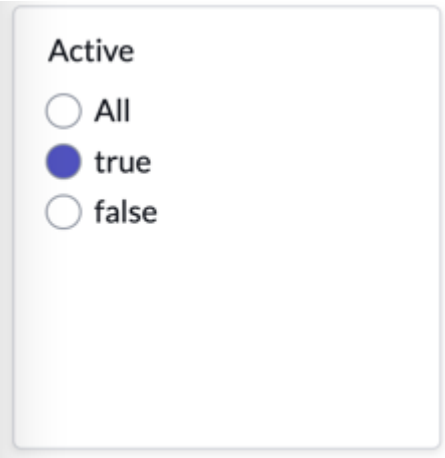
ブール インタラクティブ フィルターを使用すると、ユーザーは true/false フィールドの値に基づいてレポート ウィジェットをフィルターで絞り込むことができます。

始める前に
必要なロール：hp_publisher_admin および report_admin。hp_publisher_admin ロールは、インタラクティブフィルターを管理する場合にのみ存在します。デフォルトでは、このロールに他のロールは含まれず、他のロールにこのロールは含まれません。

ユーザーが [すべて] を選択すると、すべてのフィルターオプションが適用されたレポートは表示されず、フィルタリングされていないレポートが表示されます。 このブールフィルターの例では、フィルター処理できる 3 つのオプション (true、false、および All) を示しています。

自動翻訳

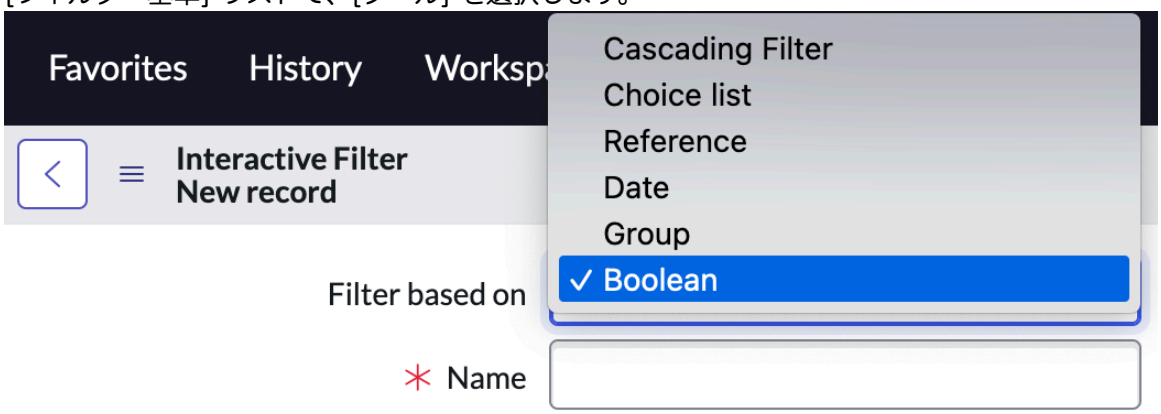
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



注:
インタラクティブフィルターにデフォルト値があるか、前回選択された値が指定されている場合、レスポンシブでないダッシュボードはこの値を自動的に適用しません。この機能は、レスポンシブダッシュボードでのみ使用できます。

手順

1. オプション: 同一テーブルの既存のインタラクティブフィルターを確認します。
   a. 移動先 すべて > レポート > 管理 > インタラクティブフィルター をクリックし、フィルターを適用する同じテーブルに基づいてインタラクティブ フィルターを選択します。
   b. [関連リンク] で [テーブルのその他のフィルター **(Other filters on Table)]** を選択します。
   c. 同一テーブルで利用可能な他のフィルターを調べて、必要なフィルターが既に存在するかどうかを確認します。
2. 移動先 すべて > レポート > 管理 > インタラクティブフィルター。
3. [新規] を選択します。
4. [フィルター基準] リストで、[ブール] を選択します。



5. 次のフィールドを設定します。

名前	説明
名前	フィルターの名前を入力します。この名前は、フィルターのダッシュボードウィジェットに表示されます。
ルック	フィルターのルックアップ名を入力します。この名前は、フィルターをダッシュボードに追加するユーザーの [コンテンツを追加] メニューに表示されます。この名前は、フィ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
アップ名	ルターの整理に役立ちます。ルックアップ名を指定しない場合は、代わりに [名前] 値が使用されます。
説明	フィルターの説明を入力します。
UI コントロール タイプ	このフィルターに利用可能なフィルタリングオプションをダッシュボード ウィジェットに表示する方法を選択します。「利用可能なインタラクティブ フィルターの UI コントロール タイプ」を参照してください。

6. オプション: 拡張テーブルの親テーブル、子テーブル、および兄弟テーブルにフィルターを適用するには、[階層のすべてのテーブルに適用] を選択します。
7. オプション: データベース ビューとテーブルの両方に基づいてウィジェットにフィルターを適用するには、**[Apply filter to database views and tables]** (データベース ビューとテーブルにフィルターを適用) を選択します。

   注:
   データベースビューのテーブルを拡張するテーブルにフィルターを適用することはできません。詳細については、「データベース ビューとテーブル階層に適用するインタラクティブ フィルター」を参照してください。

8. [テーブル] リストで、フィルターを適用する true/false フィールドを含むテーブルを選択します。
9. [フィールド] リストで、フィルターを適用する True/False フィールドを選択します。
10. オプション: フィルターの [デフォルト値] を選択します。
    このデフォルトは、すべてのユーザーに対して自動的に適用されます。ユーザーが別の値を選択した場合、その値はユーザーのデフォルトとして保存され、グローバルのデフォルト値よりも優先されます。
11. [送信] を選択します。

次のタスク
フィルターを作成したら、ダッシュボードに追加します。

グループ インタラクティブ フィルターを作成する

グループ インタラクティブ フィルターを使用すると、ユーザーは複数のインタラクティブ フィルターを選択して、ダッシュボード上のレポートに適用できます。

始める前に
必要なロール：hp_publisher_admin および report_admin。hp_publisher_admin ロールは、インタラクティブフィルターを管理する場合にのみ存在します。デフォルトでは、このロールに他のロールは含まれず、他のロールにこのロールは含まれません。

注:
インタラクティブフィルターにデフォルト値があるか、前回選択された値が指定されている場合、レスポンシブでないダッシュボードはこの値を自動的に適用しません。この機能は、レスポンシブダッシュボードでのみ使用できます。

この手順を開始する前に、グループ化する複数の選択リスト、参照フィールド、ブール、または日付フィルターを作成します。

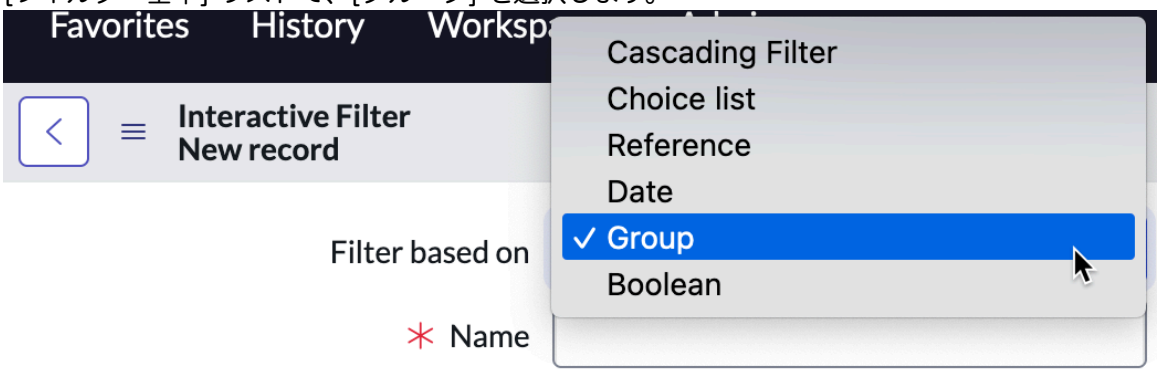
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

子フィルター用に選択したデフォルト値は、グループ フィルターを使用するときに適用されません。グループ フィルターで選択した値は、ダッシュボードを再読み込みするときに保存されません。

手順

1. オプション: 同一テーブルの既存のインタラクティブフィルターを確認します。
   a. 移動先 すべて > レポート > 管理 > インタラクティブフィルター をクリックし、フィルターを適用する同じテーブルに基づいてインタラクティブ フィルターを選択します。
   b. [関連リンク] で [テーブルのその他のフィルター **(Other filters on Table)]** を選択します。
   c. 同一テーブルで利用可能な他のフィルターを調べて、必要なフィルターが既に存在するかどうかを確認します。
2. 移動先 すべて > レポート > 管理 > インタラクティブフィルター。
3. [新規] を選択します。
4. [フィルター基準] リストで、[グループ] を選択します。



5. 次のフィールドを設定します。

名前	説明
名前	フィルターの名前を入力します。この名前は、フィルターのダッシュボードウィジェットに表示されます。
ルックアップ名	フィルターのルックアップ名を入力します。この名前は、フィルターをダッシュボードに追加するユーザーの [コンテンツを追加] メニューに表示されます。この名前は、フィルターの整理に役立ちます。ルックアップ名を指定しない場合は、代わりに [名前] 値が使用されます。
説明	フィルターの説明を入力します。

6. グループ セクションで、新しい行の挿入 を選択します。
7. このグループに追加するインタラクティブ フィルターを選択します。
   グループ フィルターを別のグループ フィルターに追加することはできません。
8. グループ化するフィルターごとに、必要に応じて前の 2 つの手順を繰り返します。
9. [送信] をクリックします。

次のタスク

フィルターを作成したら、ダッシュボードに追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールドが空であるか設定されているかを示すインタラクティブ フィルターを作成する

ブール インタラクティブ フィルターを作成して、特定のフィールドが空であるか設定されているかに基づいてレポート ウィジェットをフィルターで絞り込むことができます。

始める前に

必要なロール：hp_publisher_admin および report_admin。hp_publisher_admin ロールは、インタラクティブフィルターを管理する場合にのみ存在します。デフォルトでは、このロールに他のロールは含まれず、他のロールにこのロールは含まれません。

> **注:**
> インタラクティブフィルターにデフォルト値があるか、前回選択された値が指定されている場合、レスポンシブでないダッシュボードはこの値を自動的に適用しません。この機能は、レスポンシブダッシュボードでのみ使用できます。

このタスクについて

指定されたフィールドが設定されているレコードの場合は [はい] フィルターを作成し、フィールドが空のレコードの場合は [いいえ] フィルターを作成します。フィルターには、この論理関係を表す名前を付けます。たとえば、インシデント テーブルと問題フィールドに基づくフィルタの場合、「インシデントから問題を生成」などの名前を使用できます。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > インタラクティブフィルター。
2. [新規] を選択します。
3. [フィルター基準] リストで、[ブール] を選択します。
4. 次のフィールドを設定します。

名前	説明
名前	フィルターの名前を入力します。この名前は、フィルターのダッシュボードウィジェットに表示されます。
ルックアップ名	フィルターのルックアップ名を入力します。この名前は、フィルターをダッシュボードに追加するユーザーの [コンテンツを追加] メニューに表示されます。この名前は、フィルターの整理に役立ちます。ルックアップ名を指定しない場合は、代わりに [名前] 値が使用されます。
説明	フィルターの説明を入力します。
UI コントロール タイプ	このフィルターに利用可能なフィルタリングオプションをダッシュボード ウィジェットに表示する方法を選択します。「利用可能なインタラクティブ フィルターの UI コントロール タイプ」を参照してください。

5. オプション: 拡張テーブルの親テーブル、子テーブル、および兄弟テーブルにフィルターを適用するには、[階層のすべてのテーブルに適用] を選択します。
6. オプション: データベース ビューとテーブルの両方に基づいてウィジェットにフィルターを適用するには、**[Apply filter to database views and tables]** (データベース ビューとテーブルにフィルターを適用) を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:**
> データベースビューのテーブルを拡張するテーブルにフィルターを適用することはできません。詳細については、「データベース ビューとテーブル階層に適用するインタラクティブ フィルター」を参照してください。

7. [テーブル] リストで、フィルターを適用するフィールドを含むテーブルを選択します。
8. [フィールド] リストで、フィルターを適用するフィールドを選択します。
9. [送信] を選択します。

次のタスク
フィルターを作成したら、ダッシュボードに追加します。

カスケード フィルターを作成する

カスケード フィルターを使用すると、階層内の複数の値 (地域、国、都市など) に基づいてフィルターを適用できます。下位レベルの選択肢は、上位レベルで選択された値によってフィルタリングされます。

始める前に
ユーザーがマネージャーのリストから選択し、そのマネージャーに報告するグループから選択できるカスケードフィルターを作成できます。選択後、レポート データが絞り込まれ、そのグループにアサインされたレコードのみが表示されます。または、マネージャーのみを選択してグループを選択しないなど、フィルターの下位レベルを未選択のままにすることもできます。選択後、レポート データが絞り込まれ、そのマネージャーによって管理されているグループにアサインされたレコードが表示されます。カスケード フィルターでは、ダッシュボードで最後に選択した要素が保持されます。

フィルターの作成に使用するデータの構造に一貫性があることを確認してください。たとえば、場所に基づくカスケード フィルターでは、最上位の選択肢がすべての地域であり、第 2 レベルの選択肢がすべての国であることを確認します。レベルごとに該当する選択肢のみを使用できるようにするフィルター条件を定義できます。

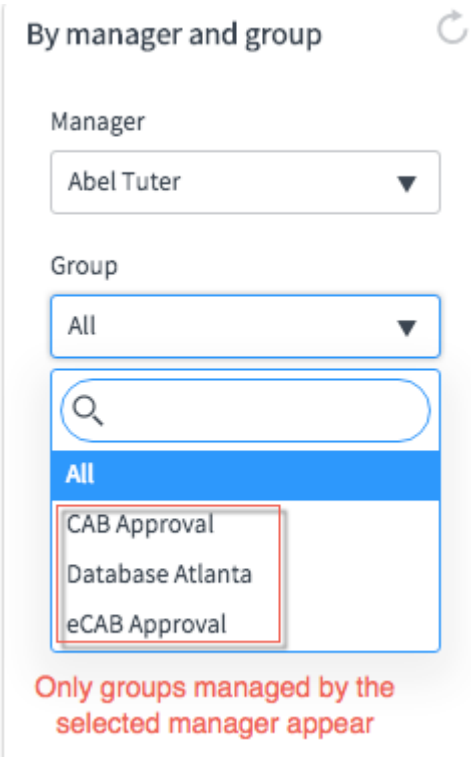
必要なロール：hp_publisher_admin および report_admin。hp_publisher_admin ロールは、インタラクティブフィルターを管理する場合にのみ存在します。デフォルトでは、このロールに他のロールは含まれず、他のロールにこのロールは含まれません。

このタスクについて
この手順の例は、マネージャーとグループを使用するカスケードのインタラクティブ フィルターに基づいています。この例でユーザーは、最上位の選択肢ではマネージャーを選択でき、第 2 レベルの選択肢では、そのマネージャーによって管理されるユーザー グループを選択できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

カスケード フィルターの例



注:
参照フィールドの値のみに基づいてレポートをフィルターで絞り込むことができます。カスケード フィルターでサポートされているのは、 単一選択 **UI** コントロール タイプのみです。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 管理 > インタラクティブフィルター。
2. [新規] をクリックします。
3. [フィルター基準] リストで、[カスケード フィルター] を選択します。
4. フォーム ヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。
5. カスケード フィルターの第 1 レベルを定義します。

   a. [カスケード フィルター] 関連リストで、[新規] をクリックします。

   b. [テーブル] と、フィルターの最上位の選択肢として使用する値が含まれているテーブルの [表示フィールド] を選択します。 [表示フィールド] は、ブール、選択、参照、および文字列のタイプに制限されています。
   マネージャーとマネージャーが管理するグループに基づいて階層の最上位を定義するには、[テーブル] として [グループ **[sys_user_group]** を選択し、[表示] フィールドとして [マネージャー] を選択します。

   c. オプション: [フィルター] フィールドを使用して、ユーザーが使用できる選択肢を制限します。フィルター条件は、場所 [cmn_location] などの自己参照テーブルに基づいてカスケード フィルターを作成する場合に特に便利です。データをフィルター処理して、カスケード フィルターの各レベルに、そのレベルに適したオプションのみが含まれるようにします。

   d. フォームヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. 階層の次のレベルを定義します。
カスケード フィルターでは、上位のフィルターと下位のフィルターの間で 1 対多の関係が使用されます。1 つの上位フィルターが、任意の数の下位フィルターで使用できる選択肢に影響を与える可能性があります。

   a. マネージャーのフィルターの [カスケード フィルター] 関連リストで、[新規] をクリックします。

   b. [テーブル] と、フィルターの第 2 レベルの選択肢として使用する値が含まれているテーブルの [表示フィールド] を選択します。 [表示フィールド] は、ブール、選択、参照、および文字列のタイプに制限されています。
   マネージャーとグループの例では、[テーブル] として [グループ **[sys_user_group]]** を選択し、[表示フィールド] として [名前] を選択します。

   c. [親参照フィールド] フィールドで、上位のフィルターから選択した値を含むフィールドを選択します。
   たとえば、グループ フィルターを作成する場合、[親参照フィールド] の値は [マネージャー] です。この例では、最初のフィルターで選択したマネージャーを使用し、各グループの [マネージャー] フィールドの値に基づいて、使用可能なグループのリストをフィルターで絞り込みます。

   d. フォーム ヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。

   e. 追加するフィルターごとに、前述の下位の手順を繰り返します。
   フィルター階層に別のレベルを追加するには、最下位のフィルターの [カスケード フィルター] 関連リストに新しいレコードを追加します。たとえば、マネージャー フィルターなどの最上位のフィルターではなく、グループ フィルターを追加します。

7. それぞれのフィルター レベルでダッシュボード上のレポートにフィルターを適用する方法を定義します。

   a. [ターゲット テーブル] 関連リストで、[新規] をクリックします。

   b. フィルターを適用するデータが含まれている [ターゲット テーブル] を選択します ([インシデント] など)。

   c. フィルターを適用する [フィールド] を選択します。
   フィールドは、フィルターで指定されたテーブルを参照する必要があります。たとえば、インシデント データにフィルターを適用する場合、最上位のマネージャー フィルターの [フィールド] は **[Assignment group.Manager]** です。この例では、第 2 レベルのグループ フィルターの [フィールド] は [アサイン先グループ] です。

   d. [送信] をクリックします。

   e. 前述の下位の手順を繰り返して、フィルタの各レベルのターゲットを追加します。

自動翻訳

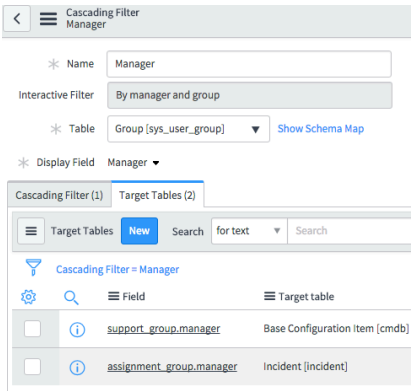
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィルターレベルごとに複数のターゲットを定義できます。たとえば、同じグループ [sys_user_group] フィルターを使用して、インシデントデータをアサイン先グループでフィルタリングしたり、CMDB CI をサポートグループでフィルタリングしたりします。

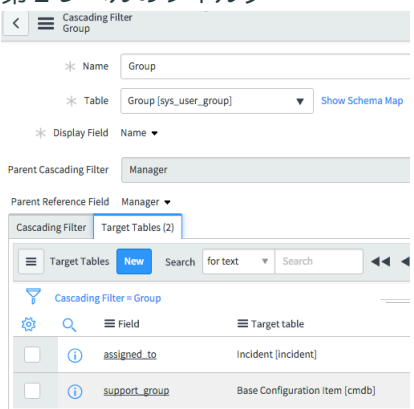
注:
カスケード フィルター階層ではターゲットを少なくとも 1 つ指定する必要があります。階層内のレベルをスキップするカスケード フィルターを定義したり、階層内の特定のレベルのターゲットのみを指定するカスケード フィルターを定義したりできます。たとえば、グループレベルのフィルターに対してのみターゲットを定義し、マネージャーレベルのフィルターには定義しないでください。この例では、ユーザーがマネージャーのみではなく特定のグループを選択した場合にのみ、レポートがフィルターで絞り込まれます。

次の図は、カスケード フィルターの例の詳細な構成を示しています。最上位のフィルターの [カスケード フィルター] 関連リスト (図示せず) には、第 2 レベルのフィルターが含まれています。

最上位のフィルター



第 2 レベルのフィルター



次のタスク
フィルターのすべてのレベルを作成したら、ダッシュボードに追加します。

カスケード フィルターの重複排除

[フィルター] パネルをクリーンアップする必要がないように、重複したフィルターは自動的に削除されます。

重複したフィルターは、次の基準に従って削除されます。

- 構成が同じ場合は、最後に編集したフィルタが保持されます。
- 一部のフィルタに 1 つのみのターゲットがあり、その他のフィルタに複数のターゲットが存在する場合を除き、構成が同じであれば、最新のフィルタのみが保持されます。
- 構成が同じでも、一部のフィルタの同じターゲット テーブルに複数のターゲット列がある場合は、すべてのフィルタが個別のフィルタとみなされて保持されます。同じターゲット テーブルの複数のターゲット列の例は、インシデント テーブルの[開いた日付] と [エスカレートされた日付] です。
- 構成と UI コントロールが同じでも、ベース条件が 2 つのフィルタで異なる場合は、別々のフィルタとみなされて保持されます。

データベース ビューとテーブル階層に適用するインタラクティブ フィルター

拡張テーブルに適用するインタラクティブ フィルターを作成する場合は、フィルターをデータベース ビューと階層内の他のテーブルに適用することもできます。

インタラクティブ フィルターを作成すると、次のことを実行できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

階層内のすべてのテーブルを選択する

ソース テーブルがインシデントの場合、インタラクティブ フィルターは、インシデントとその親テーブル、タスク、インシデントの兄弟テーブル、問題、および変更に適用されます。

データベース ビューとテーブルの両方にフィルターを適用することを選択する

ソース テーブルがインシデントの場合、インタラクティブ フィルターは、インシデントと [incident_sla] などのデータベース ビューの両方に適用されます。

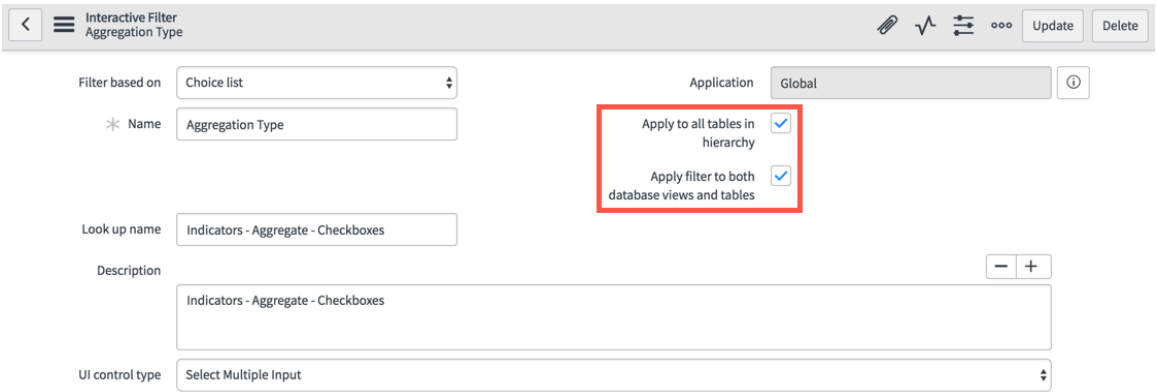
両方のチェック ボックスをオンにする

インタラクティブ フィルターは、階層内のすべてのテーブルとデータベース ビューに適用されます。

どちらのチェック ボックスもオンにしない

インタラクティブ フィルターは、インシデントなどのソース テーブルにのみ適用されます。

注:
これは、インタラクティブ フィルター作成時のデフォルト設定です。



拡張テーブルに適用されるインタラクティブ フィルターは、階層内の他のテーブルにも適用されます。

注:
データベース ビューに適用されるインタラクティブ フィルターは、データベース ビューのソース テーブルの兄弟テーブルに自動的には適用されません。たとえば、[problem_sla] が、[task_problem] テーブルに基づいて作成されたデータベース ビューの場合、[problem_sla] に適用されるインタラクティブ フィルターは、両方のオプションをオンにしている場合でも、[task_problem] の兄弟テーブルである [task_change] テーブルに基づくウィジェットに自動的には適用されません。

利用可能なインタラクティブ フィルターの **UI** コントロール タイプ

インタラクティブ フィルターの **[UI** コントロール タイプ] フィールドには、フィルターを表示するためのいくつかのオプションがあります。

利用可能な **UI** コントロール タイプ

UI コントロール タイプ	説明
ラジオ ボタン	各フィルター オプションをラジオ ボタンとして表示します。ユーザーはラジオ ボタンを一度に 1 つだけ選択できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

利用可能な **UI** コントロール タイプ (続く)

UI コントロール タイプ	説明
チェック ボックス	各フィルター オプションをチェック ボックスとして表示します。ユーザーは一度に任意の数のチェック ボックスを選択できます。
単一の入力を選択	フィルター オプションを選択リストとして表示します。ユーザーは選択肢を一度に 1 つだけ選択できます。
複数の入力を選択	フィルター オプションを選択リストとして表示します。ユーザーは一度に任意の数の選択肢を選択できます。選択した選択肢の横にある X をクリックすると、その選択肢の選択が解除されます。

注:

[チェック ボックス] または [複数の入力を選択] コントロール タイプを使用して複数の値を選択する場合、フィルターの動作はフィルターのタイプによって異なります。選択フィルターでは AND クエリが使用されます。つまり、レコードはすべての条件に一致する必要があります。日付および参照フィルターでは OR クエリが使用されます。つまり、レコードは指定された条件のうち少なくとも 1 つに一致する必要があります。

パフォーマンスに問題がある場合は、フィルターのコントロール タイプを [チェックボックス] から [複数の入力を選択] に変換することもできます。

ダッシュボードのインタラクティブフィルター

インタラクティブ フィルターをダッシュボードに追加することで、ユーザーがインタラクティブ フィルターを利用できるようにすることができます。

有効にするには、インタラクティブフィルターがフィルターを適用するレポートと同じテーブルに基づいている必要があります。たとえば、ユーザーテーブルに基づくレポートは、インシデントテーブルに基づくインタラクティブフィルターには従いません。詳細については、「インタラクティブ フィルターに従ったレポートを作成する」を参照してください。

パフォーマンスアナリティクス ダッシュボード上のウィジェットは、インタラクティブ フィルターに従いません。ブレークダウン ダッシュボード コントロールを使用して、同じブレークダウン ソースでこれらのウィジェットを個別にフィルタリングします。詳細については、「ダッシュボードでのブレークダウンの使用」を参照してください。

インタラクティブ フィルター ウィジェットをレスポンシブ ダッシュボードに追加する

インタラクティブ フィルターをダッシュボードに追加して、そのダッシュボードのレポートにフィルターを適用します。

始める前に

必要なロール：pa_power_user ウィジェットを追加するダッシュボードへの編集アクセス権が必要です。

このタスクについて

有効にするには、インタラクティブフィルターがフィルターを適用するレポートと同じテーブルに基づいている必要があります。たとえば、ユーザーテーブルに基づくレポートは、インシデントテーブルに基づくインタラクティブフィルターには従いません。詳細については、「インタラクティブ フィルターに従ったレポートを作成する」を参照してください。 使用できるインタラクティブ フィ

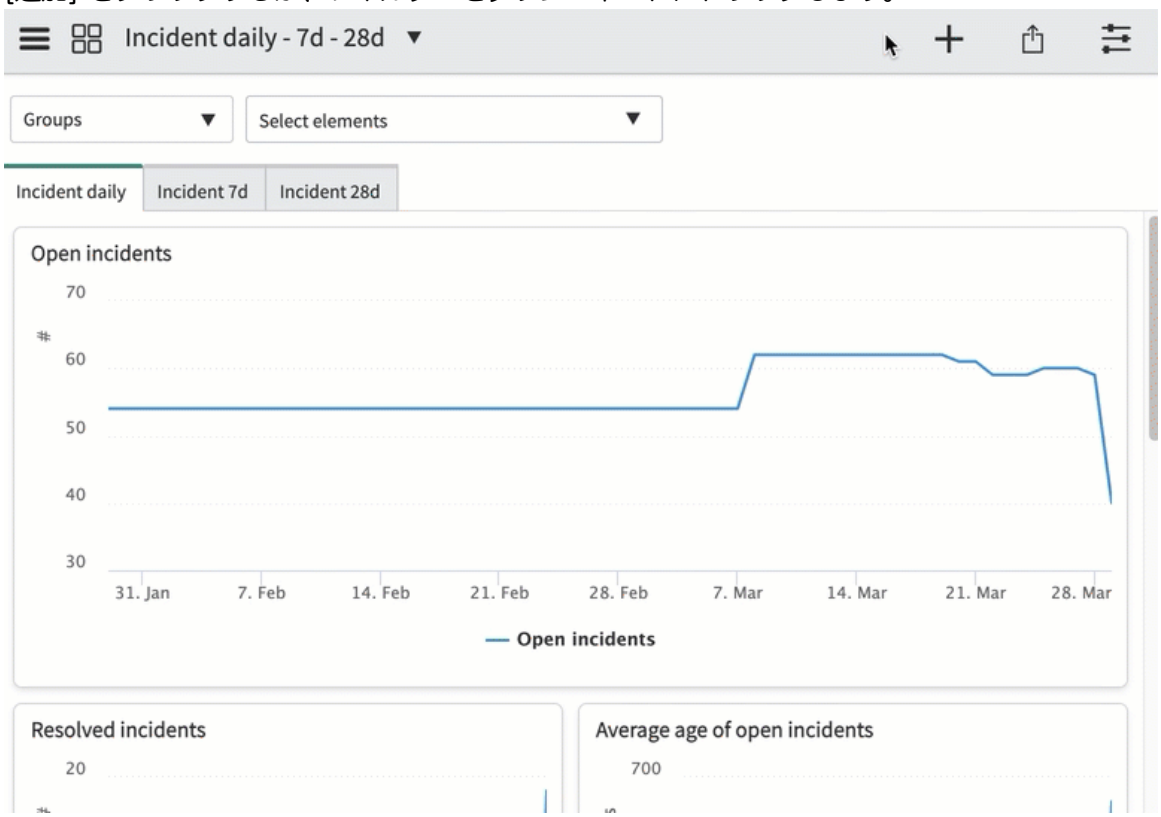
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ルタの詳細については、「」を参照してください 利用可能なインタラクティブ フィルターのタイプ。このトピックから、さまざまなフィルターの作成について詳しく知ることができます。

手順

1. ダッシュボードに移動します。
2. コンテンツの追加アイコン ( ) をクリックします。
3. [インタラクティブ フィルター] を選択します。
4. 追加するフィルターのタイプ ([選択リスト]、[参照]など) を選択します。
5. 追加するフィルターを選択します。
6. [追加] をクリックするか、フィルターをダッシュボードにドラッグします。



ブレークダウンをインタラクティブ フィルターとして機能させる

ダッシュボード上の パフォーマンスアナリティクス ブレークダウンを、ダッシュボード上のレポートのインタラクティブフィルターとして機能するように構成することができます。ダッシュボードは、ブレークダウンダッシュボードとして構成する必要があります。

始める前に

ダッシュボードは、レポートと パフォーマンスアナリティクス ウィジェットの両方で構成されている必要があります。「」でダッシュボードへのブレークダウン ソースの追加説明されているように、ウィジェットがパフォーマンスアナリティクスフォローするブレークダウン ソースを少なくとも 1 つ、ダッシュボードに設定する必要があります。最後に、ダッシュボードには、いずれかのブレークダウン ソースと同じテーブルに基づくインタラクティブ フィルターが必要です。

必要なロール：pa_power_user、pa_admin、または admin

このタスクについて

ダッシュボード上のブレークダウンおよびブレークダウン要素を選択するときは、その要素を使用して、インタラクティブ フィルターで定義されたフィルター ルールに基づいて、ダッシュボード上のレポートにフィルターを適用することができます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > ダッシュボード。
2. ブレークダウンをインタラクティブフィルターとして機能させるダッシュボードを選択します。
3. コンテキスト メニュー アイコン をクリックし、[ダッシュボードのプロパティ] を選択します。
4. [ブレークダウンソース] 関連リストで、インタラクティブフィルターとして使用するブレークダウンソースを見つけます。
5. 各ブレークダウンソースの [フィルターとして機能] フィールドで、そのブレークダウンソースを使用するインタラクティブフィルターを選択します。

   注:
   [ブレークダウンソース] リストに [フィルターとして機能] 列がない場合は、リストをカスタマイズして追加します。詳細については、「 v2 リストのカスタマイズ 」を参照してください。

   ブレークダウン ソースの [ファクト テーブル] は、インタラクティブ フィルターのベースとなっているテーブルに合わせる必要があります。

   たとえば、HR.Groups.Active というブレークダウン ソースの場合は、グループ [sys_user_group] テーブルの参照フィールドのインタラクティブ フィルターを使用します。ブレークダウン ソース HR.Groups.Active からのブレークダウン要素は、他のテーブルのインタラクティブ フィルター (選択肢や日付フィールドに基づくインタラクティブ フィルターなど) では有効な選択肢にはなりません。

   注:
   バケット グループに基づくブレークダウン ソースをインタラクティブ フィルターとして使用することはできません。

6. [更新] をクリックします。
7. ダッシュボードのレコードで、[ダッシュボードを表示] をクリックします。
8. [+] アイコンをクリックして、ダッシュボードを編集モードにします。
9. インタラクティブ フィルターを適用する各レポートについて、次の手順を実行します。
   a. 歯車アイコン をクリックして [ウィジェットの編集] ウィンドウを開きます。
   b. [インタラクティブ フィルターに従う] を選択します。
   c. オプション: ウィジェットがインタラクティブフィルターに従っているときにウィジェットタイトルの横にフィルターアイコンを表示するには、[フィルターに従うときに表示] を選択します。
10. [完了] をクリックします。

タスクの結果
選択したブレークダウンは、ダッシュボードのレポートでインタラクティブフィルターとして機能します。

注:
パフォーマンスアナリティクス ダッシュボード上のウィジェットは、インタラクティブ フィルターに従いません。ブレークダウン ダッシュボード コントロールを使用して、同じブレークダウン ソースでこれらのウィジェットを個別にフィルタリングします。詳細については、「ダッシュボードでのブレークダウンの使用」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インタラクティブ フィルターに従ったレポートを作成する

インタラクティブフィルターをダッシュボードに追加すると、インタラクティブフィルターからの入力を受け入れるようにダッシュボード上のレポートを設定できます。たとえば、インシデントテーブルの [アクティブ] フィールドにフィルターを追加します。インシデントテーブルのレポートでは、そのフィルターからユーザーの選択を反映させることができます。

始める前に
必要なロール：itil、report_user

手順

1. ダッシュボードに移動します。
2. ダッシュボードを編集モードにします。
3. レポート ウィジェットで、[ウィジェットの編集] アイコン () をクリックします。
4. [インタラクティブ フィルターに従う] を選択します。
   このオプションは、すべてのレポートウィジェットで使用できます。[インタラクティブフィルターに従う] オプションが表示されない場合、そのウィジェットはリスト、PA、またはその他の非レポートウィジェットです。
5. レポートがインタラクティブ フィルターに従っているときにレポートの左上隅にフィルター アイコン () を表示するには、[フォローしているときに表示] を選択します。
6. [完了] をクリックします。
7. 現在のブラウザー ページを更新して変更を適用します。

次のタスク
1 つまたは複数のインタラクティブフィルターをダッシュボードに追加します。

関連情報

レスポンシブ ダッシュボードを編集する

レポートをインタラクティブ フィルターとして機能させる

既存のレポート ウィジェットを構成して、同じダッシュボード上の他のレポート ウィジェットをフィルタリングすることができます。

始める前に
必要なロール:itil、report_user
[タイプ] の値が円グラフ、ドーナツ、半ドーナツ、じょうご、またはピラミッドのいずれかのレポートのみが、インタラクティブ フィルターとして機能できます。

注:
レポートがインタラクティブフィルターとして機能している場合、レポートのセグメントにドリルダウンすることはできません。

手順

1. ダッシュボードに移動します。
2. ダッシュボードを編集モードにします。
   - レスポンシブでないダッシュボードで、[編集] を選択します。
   - レスポンシブダッシュボードで、共有アイコン () をクリックします。
3. レポート ウィジェットの上部をポイントし、[ウィジェットの編集] アイコン () をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [インタラクティブ フィルターとして機能] を選択します。
   このフィールドは、フィルターとして機能できるレポートでのみ使用できます。[タイプ] の値が円グラフ、ドーナツ、半ドーナツ、じょうご、またはピラミッドのいずれかのレポートのみが、フィルターとして機能できます。

   注:
   レスポンシブ キャンバス機能が無効な場合、対話型フィルターとして機能するレポートのセグメントをユーザーがすばやく連続してクリックしても、フィルター処理に遅延は発生しません。

5. [完了] を選択します。
6. 現在のブラウザー ページを更新して変更を適用します。

次のタスク
同じテーブルのすべての登録者レポートをフィルタリングするには、レポート内のデータのサブセット (円グラフの円のスライスなど) を選択します。同じテーブルに基づくダッシュボード上のすべてのレポートには、そのデータのサブセットに関する情報のみが表示されます。

ダッシュボード タブですべてのインタラクティブ フィルターをリセットする

ダッシュボード タブで適用されているすべてのフィルターをリセットして、デフォルト値またはフィルターが適用されていないデータを表示します。

始める前に
必要なロール：なしダッシュボードへのアクセス権が必要です。

このタスクについて
注:

フィルターにデフォルト値がある場合、フィルターをリセットすると、そのフィルターは完全にクリアされるのではなく、デフォルト設定に戻ります。

手順
1. 移動先 すべて > セルフサービス > ダッシュボード。
2. リセットするダッシュボードとタブを選択します。
3. コンテキストメニュー ()☰ をクリックし 、[フィルターのリセット] を選択します。

カスタムの インタラクティブ フィルター

管理者は、スクリプトによるインタラクティブ フィルター ウィジェットを作成して、ダッシュボード レポートに高度なフィルター オプションを提供することができます。

カスタムのインタラクティブフィルターを使用すると、フィルターインターフェイスとフィルターロジックの側面を制御できます。特定のニーズに合ったフィルターを作成します。カスタムのインタラクティブ フィルターには、1 回のクリックで複数の一般的なフィルター操作を実行するフィルターが含まれます。

カスタム フィルターは、`DashboardMessageHandler` JavaScript クラスを使用してレポート フィルターを定義および公開するスクリプト化されたシステム **UI** ウィジェットです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
カスタムのインタラクティブ フィルターに公開されている API には制限があり、標準のインタラクティブ フィルターと同等の機能はありません。カスタムのインタラクティブ フィルターを実装する前に、.カスタムのインタラクティブフィルターの制限事項

テーブル API のアクセス制御リストによって、ダッシュボードがフィルタリングされたときに表示されるレコードが制限される場合があります。この問題を軽減するには、テーブル API アクセス制御リストにユーザーまたはロールを追加します。詳細については、「アクセス制御リストルール」を参照してください。

フィルターを公開するコードは、 `SNC.canvas.interactiveFilters.setDefaultValue()` メソッドを呼び出し、 `dashboardMessageHandler.publishFilter()` メソッドを呼び出してフィルターを公開する必要があります。

Jelly を使用して、利用可能なボタンなどのウィジェットの外観を定義します。

同じダッシュボードに複数のカスタムインタラクティブフィルターを追加できます。フィルターには、フィルターオブジェクト内の一意の ID と DashboardMessageHandler、.

カスタムのインタラクティブフィルターの例

管理者は、カスタムのインタラクティブ フィルター ウィジェットを作成して、ダッシュボードに高度なフィルター オプションを提供することができます。

ユースケース

この例では、タスク テーブルまたはその子テーブルのレポートをフィルタリングするカスタム フィルターを作成する方法を詳しく説明します。フィルターは、現在のユーザーが問い合わせユーザーであるレコードのみを表示します。フィルターにより、2 つのボタンがユーザーに公開されます。1 つはフィルターを追加するボタンで、1 つはフィルターを削除するボタンです。

関連情報

- コンテンツブロックを構成する
- UI スクリプト
- Jelly のタグ
- DashboardMessageHandler

カスタムのインタラクティブ フィルター ウィジェットを作成する

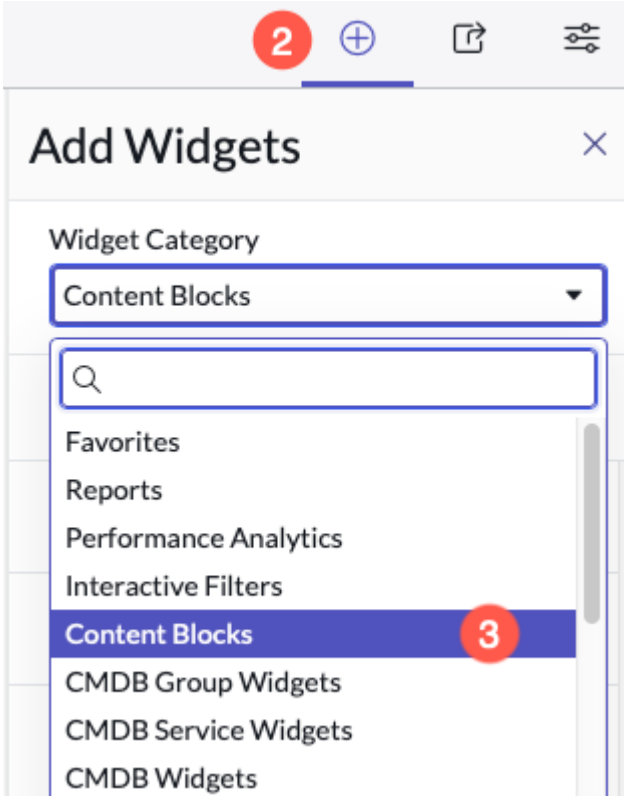
カスタムのインタラクティブ フィルター ウィジェットを作成して、ダッシュボードに高度なフィルター オプションを提供します。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. カスタムのインタラクティブフィルターを追加するダッシュボードを開きます。
2. コンテンツを追加アイコン ()⊕ をクリックします。
3. [ウィジェット カテゴリ] リストから [コンテンツ ブロック] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. コンテンツ ブロックの一覧から、[新しいダイナミック コンテンツ] を選択します。
5. 新規ダイナミックコンテンツパネルで、「 追加」をクリックします。

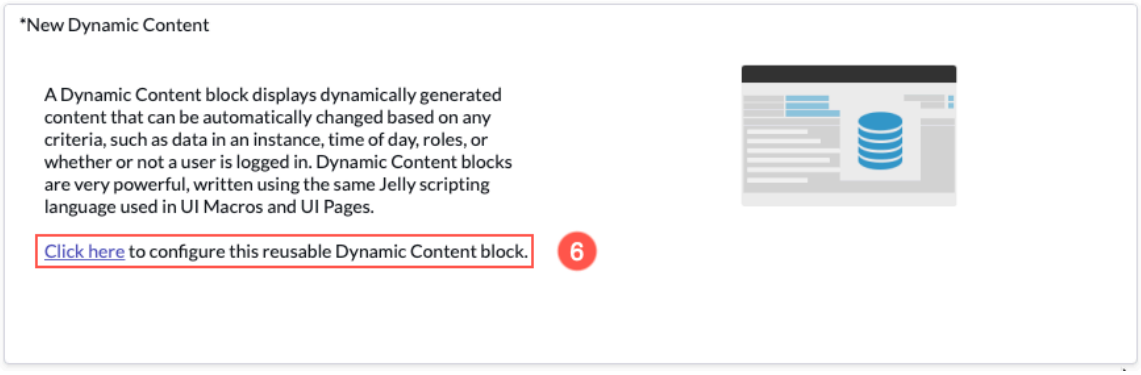


新しいダイナミック コンテンツ ブロックがダッシュボードに追加されます。

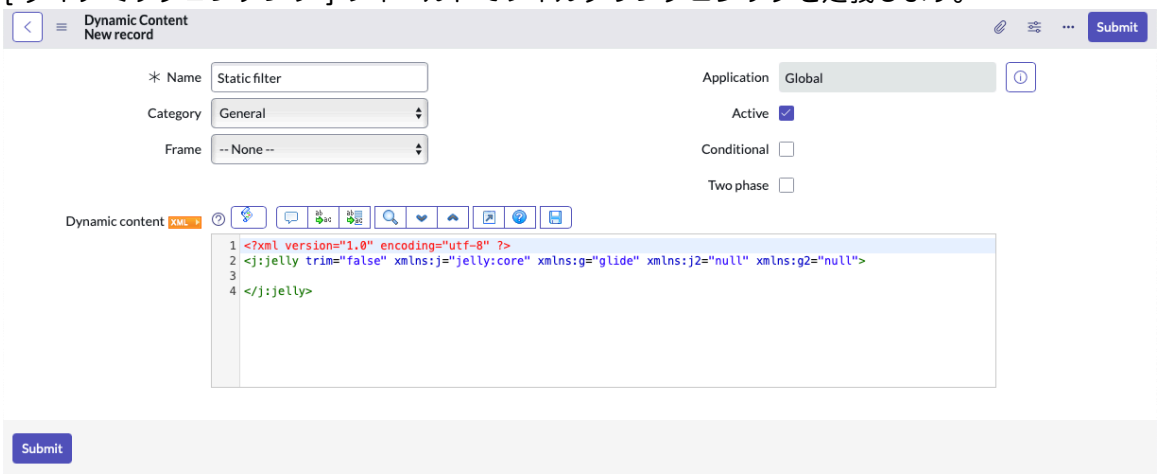
6. ダッシュボードで、[この再利用可能なダイナミック コンテンツ ブロックを構成するには、ここをクリックしてください] というリンクをクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



7. [ダイナミックコンテンツ] フィールドでフィルタリングロジックを定義します。



次のタスク
フィルターロジックを定義します。

カスタムの日付/時刻フィルターオプションを作成する

日付/時刻フィルターオプションの標準的な選択がニーズに合わない場合は、カスタムオプションを作成できます。

始める前に

次の手順に従って、ダッシュボードで使用する日付/時刻ベースのインタラクティブフィルターに含めることができるカスタムの日付/時刻フィルターオプションを作成します。この例では、2 週間 (2 週間) の期間のフィルターオプションを作成します。

必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > ビジネスルール。

2. 日付フィルターのビジネスルール [日付フィルターオプションを取得 (Get Date Filter Options for Date Filters)] を開きます。
このルールによって、新規または既存の日付タイプインタラクティブフィルターのフォームで選択可能なオプションのリストが入力されます。

3. [詳細 設定] タブで、[スクリプト] フィールドを変更して、新しいオプションを追加するために必要な JavaScript を含めます。
次の行を追加します。

```
answer.add('<Time_Period_Name>@javascript:<Beginning_Time_Period>@javascript:<Ending_Time_Period>', gs.getMessage('<Textual_Representation_Of_Time_Period>'));
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. 追加した行で、次の置換を行います。

オプション	説明
<Time_Period_Name>	選択した期間の一意の名前。この文字列は、オプションを識別するためにシステムによって内部的に使用され、記述された期間を記述できるものに設定されます。 Fortnight 112_Last値を入力します。
<Beginning_Time_Period>	このフィルターが開始される特定の日時。この値には、絶対値または相対値を使用できます。JavaScript の URL 構文を使用する相対値を使用する方がはるかに一般的です。 この選択の時間間隔がちょうど 2 週間前であることを示すために値 gs.daysAgoStart(14) を入力します。
<Ending_Time_Period>	このフィルターオプションの期間を終了する特定の日時。この値では、絶対値または相対値を使用することもできます。*Beginning_Time_Period*この値は通常、JavaScript URL 構文を使用するための相対期間です。 期間が現在の日時で終了することを示すには、値 gs.daysAgoStart(0) を入力します。
<Textual_Representation_Of_Time_Period>	日付/時刻フィルターオプションのリストに表示される短いテキスト文字列。アルファベットの昇順で表示されます。 「Last fortnight」と入力すると、現在の日付と時刻の 1 週間前からの期間が指定されます。

完全なステートメントは次のようになります。

```
answer.add('112_Last
 Fortnight@javascript:gs.daysAgoStart(14)@javascript:gs.daysAgoEnd(0)',
 gs.getMessage('Last fortnight'));
```

5. [更新] を選択して、ビジネスルールへの変更を保存します。
6. 日付/時刻フィルターを編集または作成するときに、新しいオプションが利用可能であることを確認します。

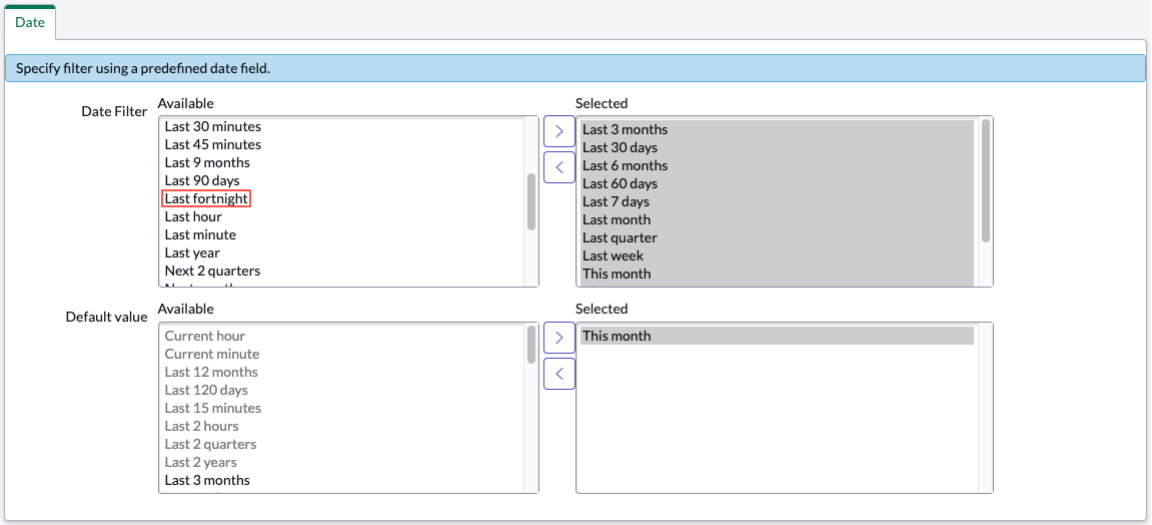
   a. 移動先 すべて > レポート > 管理 > インタラクティブフィルター。

   b. 日付フィルターを選択します。

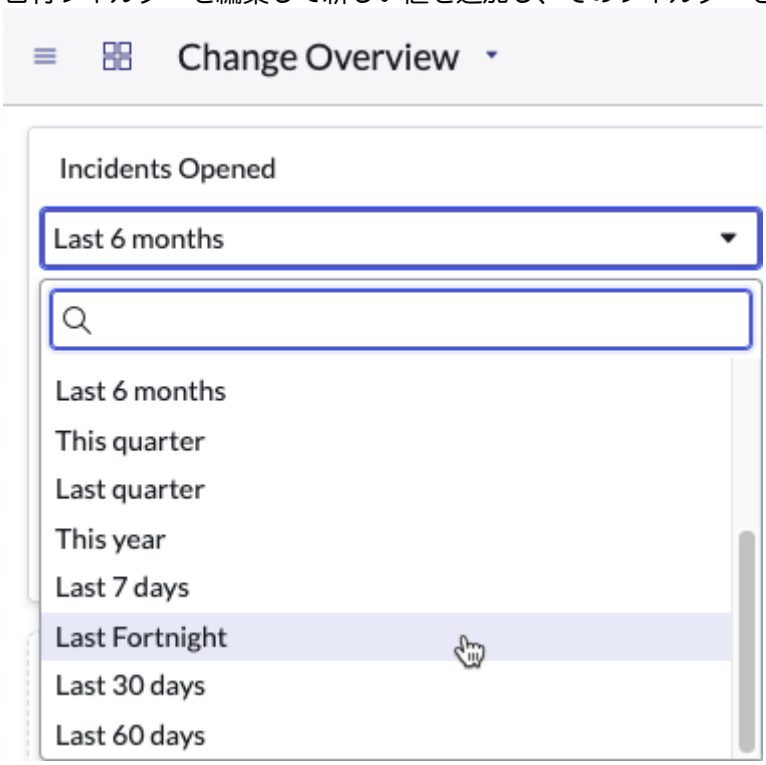
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

使用可能なフィルターには、[過去 **2** 週間] が含まれます。



7. 日付フィルターを編集して新しい値を追加し、そのフィルターをダッシュボードに追加します。



フィルターロジックの定義 - 例

インタラクティブ フィルターを作成したら、フィルター ロジックを追加します。

始める前に

必要なロール：admin

フィルターは、 `DashboardMessageHandler` クラスを使用してアクティブなフィルターを管理します。一意の値で `DashboardMessageHandler` をインスタンス化します。

> **注:**
> カスタムのインタラクティブ フィルターの ID は一意である必要があります。別のインタラクティブ フィルターまたはカスタム インタラクティブ フィルターと同じ ID の場合、フィルターロジックは正しく機能します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. ダイナミックコンテンツレコードで、ダイナミックコンテンツ XML ブロックにフィルタリングロジックを追加します。
2. [**Only mine**] ボタンは、エンコードされたクエリ caller_idDYNAMIC90d1921e5f510100a9ad2572f2b477feを使用してタスクテーブルレポートのフィルターを公開し ます。
   [すべてのタスク] ボタンは、フィルターを削除します。
3. その後、ボタンやその他のインターフェイス要素を動的コンテンツに追加できます。この例では、clearFilter() 関数のコードとフィルターのボタンが publishFilter() 関数の下に追加されます。

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8" ?>
<j:jelly trim="false" xmlns:j="jelly:core" xmlns:g="glide" xmlns:j2="null" xmlns:g2="null">
 <script>
    var my_dashboardMessageHandler = new DashboardMessageHandler("my_unique_id");

   function publishFilter () {
      var filter_message = {};
      filter_message.id = "my_unique_id";
      filter_message.table = "task";

   <!--     Add your own filter query logic here -->
      filter_message.filter = "assigned_toDYNAMIC90d1921e5f510100a9ad2572f2b477fe";
      SNC.canvas.interactiveFilters.setDefaultValue({
            id: filter_message.id,
            filters: [filter_message]
         }, false);
      my_dashboardMessageHandler.publishFilter(filter_message.table, filter_message.filter);
   }

   function clearFilter() {
      var filter_message = {};
      filter_message.id = "my_unique_id";
      filter_message.table = "task";
      filter_message.filter = "";
      SNC.canvas.interactiveFilters.setDefaultValue({
            id: filter_message.id,
            filters: [filter_message]
         }, false);
      my_dashboardMessageHandler.removeFilter();
   }
 </script>

Example of a filter that generates a static filter on 'task' table reports, or removes it <br/>
   <input id="allTasks" type="button" value="All tasks" onclick="clearFilter();" />
   <input id="onlyMine" type="button" value="Only mine" onclick="publishFilter();" />

</j:jelly>
```

4. [送信] を選択します。

タスクの結果
カスタムのインタラクティブ フィルターが、ダイナミック コンテンツ ブロックを追加したダッシュボードに表示されます。また、[ウィジェットを追加] パネルのコンテンツ ブロックのリストにもあります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

カスタムのインタラクティブ フィルターの例 - 複数のレポート

カスタムのインタラクティブフィルターを使用して、異なるテーブルを使用して複数のレポートをフィルターで絞り込むことができます。1 つまたは複数のテーブルのインタラクティブ フィルターを公開するための API は 2 種類あります。この例では、カスタムのインタラクティブフィルターを使用して、インシデントテーブルと問題テーブルのレポートをアサイン先グループでフィルターします。

複数のテーブルに対するカスタムのインタラクティブフィルターについて

カスタムのインタラクティブ フィルターを作成するときは、次の点に注意してください。

- 1 つのテーブルにのみ適用されるカスタムのインタラクティブフィルターは、`DashboardMessageHandler.publishFilter()` 関数を使用します。
- 複数のテーブルに適用されるカスタムのインタラクティブフィルターは、`DashboardMessageHandler.publishMessage()` 関数を使用します。
- 公開する前に、 `SNC.canvas.interactiveFilters.setDefaultValue()` 関数のインタラクティブフィルター呼び出しが必要です。
- フィルターをリセットする前に、`SNC.canvas.interactiveFilters.removeDefaultValue()` または `DashboardMessageHandler.removeFilter()` 関数を呼び出す必要があります。

`publishFilter()` メソッドを複数回呼び出すカスタムのインタラクティブフィルターは、関連するレポートを同じ回数更新します。このメソッドを繰り返し呼び出すと、パフォーマンスの問題が発生する可能性があります。

カスタムインタラクティブフィルターを複数のテーブルに適用する方法

次の例では、インシデント [incident] テーブルと問題 [problem] テーブルのアサイン先グループでレポートをフィルタリングします。

`DashboardMessageHandler.publishMessage()` は、複数のフィルターを配列として受け入れます。フィルター配列を構築し、`DashboardMessageHandler.publishMessage([filters])` を呼び出す `DashboardMessageHandler` のインスタンスを 1 つ作成します。このメソッドは、ウィジェットを 1 回だけ更新します。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<j:jelly xmlns:j="jelly:core" xmlns:g="glide" xmlns:g2="null" xmlns:j2="null" trim="false">
  <script>
    var my_dashboardMessageHandler = new DashboardMessageHandler("my_unique_id");

function publishMultipleFilter() {
    <!-- Mutliple filters can be passed as an array -->
    var finalFilter =
 [{"table":"incident","filter":"assignment_group=6fcd3b573b331300ad3cc9bb34efc447"},
 {"table":"problem","filter":"assignment_group=6fcd3b573b331300ad3cc9bb34efc447"}];
    <!-- call setDefaultValue first -->
    SNC.canvas.interactiveFilters.setDefaultValue({
id: my_dashboardMessageHandler._unique_id,
filters: finalFilter,
}, false);
    <!-- then call Publishmessage to publish filters-->
    my_dashboardMessageHandler.publishMessage(finalFilter);
}

function clearFilter() {
```

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
SNC.canvas.interactiveFilters.removeDefaultValue(my_dashboardMessageHandler._unique_id,
 false);
my_dashboardMessageHandler.removeFilter();
}
  </script>

Example of a filter that filters incident and problem table where the assignment group is
 Problem solving
  <input id="allTasks" type="button" value="All" onclick="clearFilter();" />
  <input id="onlyMine" type="button" value="Assignment group is [Problem solving]"
 onclick="publishMultipleFilter();" />
</j:jelly>
```

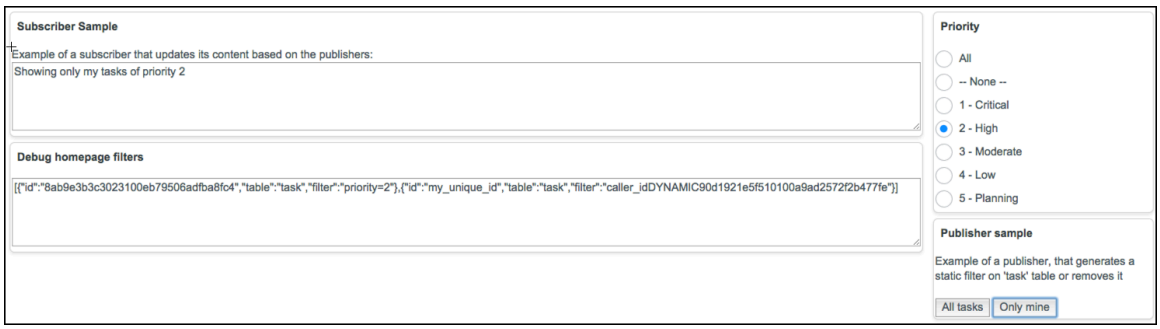
デバッグ フィルターを使用する

デバッグ インタラクティブ フィルターは、カスタム フィルターの作成に役立ちます。このフィルターは、ダッシュボード上のすべてのアクティブなフィルターの JSON 配列表現を表示します。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
デバッグフィルターを使用するには、ダッシュボードに追加します。デバッグ フィルターは読み取り専用で、カスタムのインタラクティブ フィルターの設計と実装を支援するためのものです。

複数のフィルターがあるデバッグ フィルター



手順

1. ダッシュボードで、[ウィジェットを追加 (Add widgets)] アイコン () をクリックします。
2. [ウィジェットの追加] パネルで、ウィジェット カテゴリの [インタラクティブ フィルター] とウィジェット **{Debug}** を選択します。
3. [デバッグ フィルター] リストで、[ホームページ フィルターのデバッグ] を選択し、[追加] をクリックします。

タスクの結果
デバッグ ウィジェットがダッシュボードに追加されます。

カスタムのインタラクティブフィルターの制限事項

カスタムのインタラクティブ フィルターは、標準のインタラクティブ フィルターが特定の機能を提供しない場合に使用するフォールバックです。

> **注:**
> カスタムのインタラクティブ フィルター用に公開されている DashboardMessageHandler API には制限があり、標準のインタラクティブ フィルターと同等の機能はありません。API はこれらの機能をサポートしていません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

サポートされていないカスタムインタラクティブフィルター機能

デフォルトのフィルター値の設定

カスタムインタラクティブフィルターの作成者は、デフォルトのフィルター値を選択できません。

ウィジェットのリフレッシュ時にフィルター値を保持します

ウィジェットのリフレッシュ アイコン () をクリックしてコンテンツを更新するか、コンテキスト メニュー () から [リフレッシュ] を選択すると、カスタムのインタラクティブ フィルター値は保持されません。

カスタムフィルター値/すべてのフィルター値のリセット

コンテキスト メニュー () から [フィルターのリセット] を選択しても、カスタム インタラクティブ フィルターは変更されず、引き続き適用されます。

ページロード時またはタブ切り替え時のフィルター値の設定

ユーザーがタブを切り替えたり、新しいダッシュボードを開いて最初のダッシュボードまたはダッシュボード タブに戻ったりすると、カスタムのインタラクティブ フィルター値は保持されません。

同じカスタムのインタラクティブ フィルターの複数のインスタンスをタブに追加する

1 つのタブに同じカスタム インタラクティブ フィルターのインスタンスが複数ある場合、予期しない動作が発生する可能性があります。

> **注:**
> カスタムのインタラクティブフィルター値は、タブ間で保持されません。同じダッシュボードの複数のタブの値をフィルターするには、各タブにカスタムインタラクティブフィルターを追加する必要があります。

カスタムインタラクティブフィルターの削除に関するレポートの登録解除

ダッシュボード上のカスタムインタラクティブフィルターに従うレポートは、フィルターがダッシュボードから削除されていても引き続きそのフィルターに従います。

[PDF にエクスポート (Export to PDF)] のウィジェットのフィルタリング

Dashboards and Home Pages にウィジェットとして配置するカスタム コンテンツを作成する場合は、コンテンツを PDF にエクスポートする前に、追加のテストを実行する必要があります。 エクスポートされた PDF では、カスタムのインタラクティブ フィルターを使用してフィルタリングされたレポート ウィジェットが空白の正方形として表示されるか、ウィジェットのコンテンツがフィルターに従っていない場合があります。

カスタムインタラクティブフィルターはブレークダウンダッシュボードでは使用できません

ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウン自体を使用してすべてのパフォーマンス分析ウィジェットデータがフィルタリングされます。詳細については、「ダッシュボードでのブレークダウンの使用」を参照してください。

DashboardMessageHandler

インタラクティブ フィルターのカスタム フィルター ロジックを定義するメソッドを提供します。

インタラクティブ フィルターの詳細については、「 レポート と インタラクティブ フィルター」を参照してください。

DashboardMessageHandler - DashboardMessageHandler(文字列 id)

特定の一意の ID を使用して、DashboardMessageHandler オブジェクトのインスタンスを作成します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

パラメーター

名前	タイプ	説明
ID	文字列	フィルターの一意の ID。レポートウィジェットでこの ID を使用して、どのフィルターがどのフィルターに適用されたのかを追跡できます。ID はすべてのダッシュボードで一意である必要はありませんが、各ダッシュボードで同じ ID を持つ複数のフィルターを使用することはできません。

```
var my_dashboardMessageHandler = new DashboardMessageHandler("my_unique_id");
```

DashboardMessageHandler - publishFilter(文字列 **table,** 文字列 **encodedQuery)**

DashboardMessageHandler オブジェクトは、それぞれ 1 つずつフィルターを公開できます。

同じオブジェクトから新しいフィルターを公開すると、元のフィルターが上書きされます。複数のフィルターを公開するには、複数の DashboardMessageHandler オブジェクトを使用します。

パラメータ

名前	タイプ	説明
テーブル	文字列	フィルターを適用するテーブル (タスクなど)。
encodedQuery	文字列	公開するフィルターを指定するエンコードされたクエリー。

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var my_dashboardMessageHandler = new DashboardMessageHandler("my_unique_id");
<input id="onlyMine" type="button" value="Only mine"
 onclick="my_dashboardMessageHandler.publishFilter('task','caller_idDYNAMIC90d1921e5f510100a9ad2572f2b477fe');"/>
```

DashboardMessageHandler - publishMessage(アレイ **filters)**

カスタムのインタラクティブフィルターを複数のテーブルに適用します。

パラメーター

名前	タイプ	説明
フィルター	アレイ	フィルターを適用するテーブルとフィルター基準を定義するフィルターオブジェクトのアレイ。 `[ { "table": String, "filter": String } ]`
filters.table	文字列	フィルタリングするテーブルの名前。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター (続く)

名前	タイプ	説明
filters.filter	文字列	テーブルに適用するフィルター基準を含むエンコードされたクエリ。

返される内容

タイプ	説明
なし	

この jelly スクリプトは、インシデントテーブルと問題テーブルをフィルタリングして、アサイン先グループが [Problem solving (問題解決)] であるレコードを返します。

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8" ?>
<j:jelly trim="false" xmlns:j="jelly:core" xmlns:g="glide" xmlns:j2="null" xmlns:g2="null">
<script>
var my_dashboardMessageHandler = new DashboardMessageHandler("my_unique_id");

function publishMultipleFilter() {
  // Multiple filters can be passed as an array
  var finalFilter =
[{"table":"incident","filter":"assignment_group=6fcd3b573b331300ad3cc9bb34efc447"},
{"table":"problem","filter":"assignment_group=6fcd3b573b331300ad3cc9bb34efc447"}];

  // Call setDefaultValue first so the filter works with lazy loading
  SNC.canvas.interactiveFilters.setDefaultValue({id:
my_dashboardMessageHandler.my_unique_id, filters: finalFilter}, false);

  // Then call publishMessage to publish filters
  my_dashboardMessageHandler.publishMessage(finalFilter);
}

function clearFilter() {

SNC.canvas.interactiveFilters.removeDefaultValue(my_dashboardMessageHandler.my_unique_
id, false);
  my_dashboardMessageHandler.removeFilter();
}
</script>

Example filter on the Incident and Problem tables where assignment group is Problem solving
<br/>
<input id="allTasks" type="button" value="All" onclick="clearFilter();" />
<input id="onlyMine" type="button" value="Assignment group is [Problem solving]"
onclick="publishMultipleFilter();" />

</j:jelly>
```

DashboardMessageHandler - removeFilter()

この DashboardMessageHandler オブジェクトによって公開されている現在のフィルターを、ダッシュボード上のすべてのレポートから削除します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パラメーター

名前	タイプ	説明
なし		

返される内容

タイプ	説明
なし	

```
var my_dashboardMessageHandler = new DashboardMessageHandler("my_unique_id");
<input id="removeFilter" type="button" value="Remove filter"
 onclick="my_dashboardMessageHandler.removeFilter();"/>
```

動的 **JavaScript** フィルター

指定した値の代わりにレポート可視化の基準の一部として構成できる動的な条件を JavaScript で作成します。

動的な条件ステートメントを使用してレポートを作成するには、フィルターの条件値ステートメントに JavaScript URL を配置します。JavaScript コマンドをフィールドに直接入力できますが、複数のステートメントより長いスクリプトの場合は、スクリプトを専用のレコードに配置する必要があります。次に、レポート条件の値フィールドでそのレコードから関数を呼び出します。

動的 **JavaScript** フィルターを追加する

レポート可視化のフィルター基準の一部として、評価用の動的 JavaScript ステートメントを追加します。

始める前に

必要なロール：itil、report_user、report_group、report_global、report_admin、または admin。意味のあるレポートを作成するには、レポートするデータにアクセスする権利が必要です。

このタスクについて

JavaScript フィルターは、1 行のステートメントでも、長いスクリプトでもかまいません。長い JavaScript ステートメントの場合は、正しい形式とデータタイプを返し、レポートでフィルタリングする特定のデータに準拠し、クライアントコール可能なスクリプトインクルードを作成します。詳細については、「スクリプトインクルード」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > レポート > 表示/実行.
2. 動的フィルターを追加するレポート可視化を開きます。
3. フィルターアイコン () を選択して、条件ビルダーを展開します。
4. フィルター条件を作成します。
   これらのフィールドタイプと演算子の組み合わせにより、動的な JavaScript ステートメントを指定できます。

   注:

   - 「between」演算子は、同じまたは異なる JavaScript URL をサポートできる 2 つのフィールドを提供します。
   - 「is」演算子は、予想される型のデータ要素の配列を返すことができます。この場合、演算子は "is one of" 演算子として扱われます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールドタイプ	許可された演算子	想定される戻り値のデータ型
Sys ID (GUID)	"is"、"is not"、"is one of"、"starts with"、"ends with"、"contains"、"does not contain"、"between"、"greater than or is"、"less than or is"。	sys_id値の全部または一部のテキスト表現。 "is one of" 演算子の場合、想定される戻り値の型は、sys_id値のコンマ区切りリストか、結果に含める必要がある各sys_idを含む配列のいずれかになります。
フリーテキスト文字列	"is"、"is not"、"is one of"、"starts with"、"ends with"、"contains"、"does not contain"、"between"、"greater than or is"、"less than or is"	1 つ以上のテキスト文字。「is one of」演算子の場合、想定される結果は、文字列値のカンマ区切りリストか、「is one of」検索値フィールドに含める各値を含む配列のいずれかになります。
参照	"starts with"、"ends with"、"contains"、"does not contain"	テーブルまたはデータソースのこのフィールドにある値の一部または値の一部を表す 1 つ以上のテキスト文字。
文字列 (別のテーブルを参照)	「含む」、「次で始まる」、「次で終わる」、「含まれない」	テーブルまたはデータソースのこのフィールドにある値の一部または値の一部を表す 1 つ以上のテキスト文字。
ユーザー入力	「次の値に等しい」、「次の値と異なる」	テーブルまたはデータソース内のこのフィールドのレコードの完全な値を表すことができるテキスト文字。
テーブル名	"is"、"is not"、"is one of"、"starts with"、"ends with"、"contains"、"does not contain"、"between"、"greater than or is"、"less than or is"	システム内のテーブル名の全体または部分をテキストで表現したもの。"is one of" 演算子の場合、想定される戻り値の型は、テーブル名値のコンマ区切りリストか、または結果に含める必要がある各テーブル名を含む配列のいずれかです。
テンプレート値	「次の値に等しい」、「次の値と異なる」	インスタンスで見つかったテンプレートに従って値を実行するテキスト文字。
ドメイン ID	"starts with"、"ends with"、"contains"、"does not contain"	テーブルまたはデータソースのドメインフィールドにある値の一部または値の一部を表す 1 つ以上のテキスト文字。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールドタイプ	許可された演算子	想定される戻り値のデータ型
ユーザーロール	「次の値に等しい」、「次の値と異なる」	ユーザーロールの文字列値のテキスト表現。
ドメインパス	"starts with"、"ends with"、"contains"、"does not contain"、"is"、"is not"、"is one of"、"less than or is"、"greater than or is"、"between"	テーブルまたはデータソースのこのフィールドにある値の一部または全部を表す 1 つ以上のテキスト文字。「is one of」演算子の場合、コンマで区切られたテキスト値のリスト、または含める必要のある各値を含むアレイオブジェクトのいずれか。
翻訳されたテキスト 翻訳 (変換) 済みフィールド	"is"、"is not"、"is one of"、"starts with"、"ends with"、"contains"、"does not contain"、"between"、"greater than or is"、"less than or is"	テキスト値。 "is one of" 演算子の場合、想定される戻り値の型は、コンマで区切られたテキスト値のリストまたはテキスト値の配列のいずれかです。
HTML HTML テンプレート	「次の値を含む」、「次の値を含まない」	このレポート基準で選択されたフィールドのデータに対応する可能性のあるテキスト値。
Email スクリプト	「次の値を含む」、「次の値を含まない」	[メールスクリプト] フィールドに含める必要がある (または含めない) 値を表すテキスト値。
スクリプト (平文) スクリプト (サーバー側) スクリプト	「次の値を含む」、「次の値を含まない」	[スクリプト] フィールドに含める必要がある (または含めない) 値を表すテキスト値。
短いテーブル名	「次の値に等しい」、「次の値と異なる」	テキスト値 (40 文字未満)。 "is one of" 演算子の場合、想定される戻り値の型は、コンマで区切られたテキスト値のリストか、短いテーブル名を表す各テキスト文字を含む配列です。
フィールド名	"is"、"is not"、"is one of"、"starts with"、"ends with"、"contains"、"does not contain"、"between"、"greater than or is"、"less than or is"	フィールド名値の全体または部分をテキストで表現したもの。 "is one of" 演算子の場合、想定される戻り値の型は、フィールド名値のコンマ区切りリストか、結果に含める必要がある各フィールド名

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールドタイプ	許可された演算子	想定される戻り値のデータ型
		を含む配列のいずれかになります。

5. フィールドタイプと演算子を選択し、JavaScript ステートメントを入力します。
   - 1 行の JavaScript ステートメントの場合は、 javascript:<JavaScript_Statement> という形式を使用します。
   - スクリプトインクルードを呼び出す JavaScript ステートメントの場合は、 javascript:new <Record_Name>().<Function_Name>(); という形式を使用します。ここで Record_Name はスクリプトインクルードのレコード名に対応し、 Function_Name はフィルターで比較された値を返すスクリプトインクルード内の関数です。

   注:
   Javascript URL には、計算を実行して結果を返す関数に渡される 1 つ以上のパラメーターを含めることもできます。たとえば、スクリプトインクルードレコードに 2 つのパラメーターを渡す JavaScript 関数は、 javascript:new TextJSFilter().getGroupIDs("Professional Services","Sales"); のように記述できます。

次のタスク
必要な JavaScript ステートメントと条件を追加し、レポートの残りの部分を構成したら、レポートをテストして、期待した結果が返され、表示されることを確認します。

Performance Analytics ウィジェット

ウィジェットを使用すると、インジケーター スコアのチャート化を定義できます。ウィジェットはダッシュボードに表示されます。

パフォーマンスアナリティクスウィジェットは、トレンド ライン、一連の列、円グラフなどのチャート化にインジケーターを関連付けます。ウィジェット内では、インジケーター スコアをブレークダウンでフィルタまたはグループ化できます。また、7 日間の合計などの時系列関数をスコアに適用することもできます。

パフォーマンスアナリティクスウィジェットを作成または編集するには、pa_admin または pa_power_user ロールが必要です。これらのロールは、ウィジェットをダッシュボードに追加するためにも必要です。ただし、どのユーザーであってもダッシュボードに追加されたウィジェットを表示できます。

注:
ユーザーがビジュアル化を表示できない場合は、管理者に連絡するように求める警告メッセージが表示されます。

ダッシュボードがそのように構成されている場合は、ダッシュボード上のすべてのウィジェットに適用されるダッシュボード上のブレークダウン要素を選択できます。ダッシュボードのウィジェットでスコアをクリックすると、そのインジケーターにフォーカスされた が アナリティクスハブ 開きます。

注:
時系列集計は、アナリティクスハブ および KPI 詳細では検証されますが、ウィジェットでは検証されません。したがって、作業中のウィジェットから アナリティクスハブ に移動すると、インジケーターに無効な集計があるという警告が表示される場合があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

丸め

10,000 ～ 999,999 の値は、最も近い千単位に丸められ、K で省略されます (例：11,234 の場合は 11K)。100 万から 999,999,999 までの値は最も近い 100 万単位に丸められ、M で省略されます。10 億以上の値は、最も近い 10 億単位に丸められ、G で省略されます。

平均に基づく丸め計算は、丸めエラーが原因でわずかにずれる場合があります。

ウィジェットのタイプと作成の詳細

ウィジェットを作成する最初のステップは、作成するウィジェットのタイプを選択することです。この決定は、ウィジェットで達成しようとしているビジネス目標に基づきます。

ウィジェットタイプ	目的	一般的なチャート化
時系列ウィジェット	インジケーター スコアの経時変化を示します。	線グラフによるチャート化が最も一般的です。他のチャート化は、スプライン、ステップ、縦棒、積み上げ縦棒、面、および相対比較です。
ブレークダウンウィジェット	ブレークダウンの要素によってインジケーター スコアをグループ化します。	スコアカード、円と類似のグラフ、じょうごとピラミッド、縦棒と類似のグラフ、相対比較、線、パレート図、ピボット スコアカード、およびツリーマップ。
スコアウィジェット	集計インジケーター スコアを表示します。ターゲットに対してインジケーター スコアを表示できます。	最新スコア、角度ゲージ、リアルタイム スコア。
リスト ウィジェット	複数のインデックスのメトリックをリストします。	スコアカード、スパイダー ウェブ。
ピボット ウィジェット	1 つのインジケーターのスコアを 2 つのブレークダウンの要素でグループ化します。	ヒートマップ
テキスト分析	ユーザーがフォームに入力するテキストの単語の頻度とグループ化をチャート化します	ワード クラウド
ワークベンチ ウィジェット	ワークフローやその他のプロセスを監視するために、複数のインジケーターとその関係を示します。	ワークベンチ

ウィジェットを表示するためのセキュリティ要件

Quebec 以降、ウィジェットはインジケーターとブレークダウンのアクセス制御リスト (ACL) に従います。ACL 以外では、ウィジェットを表示するためのロールは必要ありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ただし、Quebec より前のバージョンからインスタンスをアップグレードする場合、デフォルトでは Quebec より前のルールが適用されます。インジケーターとブレークダウンの ACL に従うのは、次の領域のみです。

- リストウィジェットはインジケーターの ACL に従います。
- ブレークダウンを表示する場合は、ブレークダウンの ACL が適用されます。

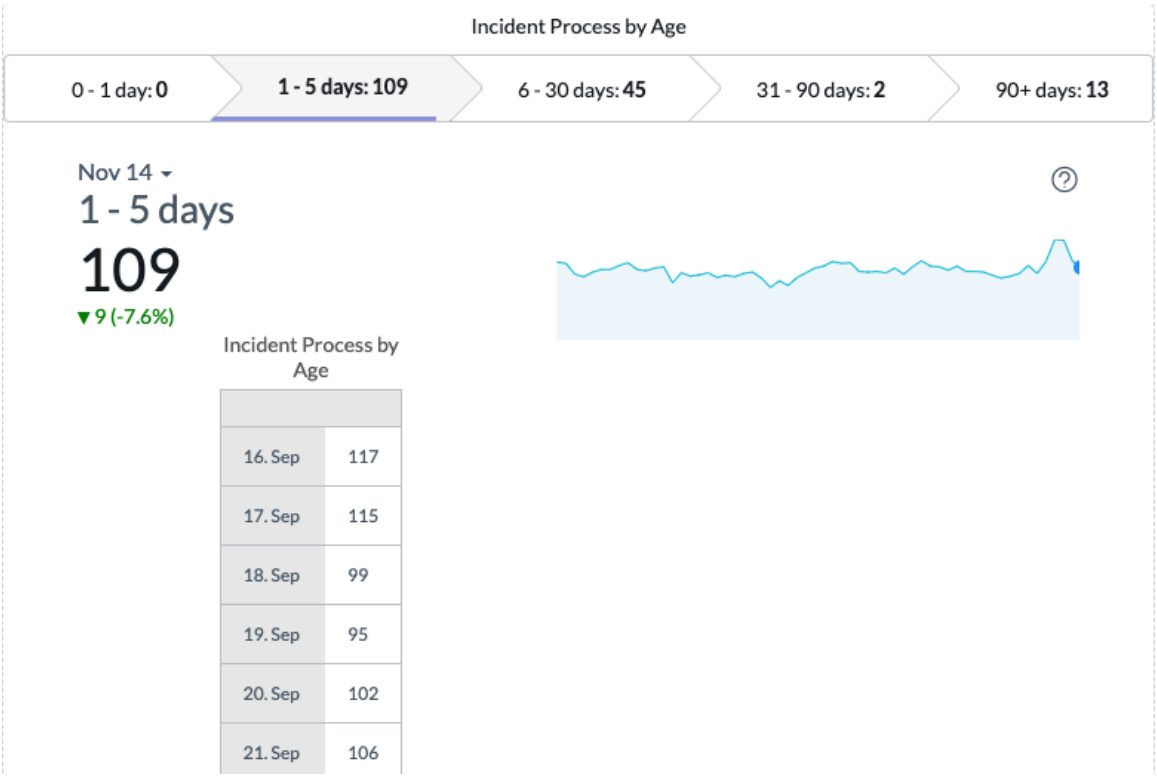
さらに、アップグレードされたインスタンスでは、次のウィジェットでユーザーに pa_viewer ロールが必要な場合があります。

- リストウィジェット
- テキストウィジェット
- ワークベンチウィジェットのブレークダウンセクション

ACL の構成方法が異なるため、アップグレードされたインスタンスは Quebec で導入されたルールに自動的に従うことはできません。

ウィジェットのアクセシビリティのデータテーブル

[設定]で アクセシビリティ > チャートおよびグラフのデータテーブルを有効にするでは、テーブルがインスタンス上のすべての パフォーマンスアナリティクス ウィジェットのグラフィカルなチャートを置き換えます。ワークスペースウィジェットは例外で、チャートとテーブルの両方が表示されます。色をパターンに置き換える方法など、アクセシビリティとウィジェットの詳細については、「」を参照してください ダッシュボードのアクセシビリティ オプション。



時系列ウィジェット

時系列ウィジェットは、インジケーター スコアの経時変化を示します。さまざまなチャート化によって、スコアの傾向またはスコアそのものを強調します。1 つのインジケーターを表示したり、複数のインジケーターを比較したりすることができます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

時系列とは、時間の経過とともに連続的に取得された一連のメトリックを順序付けたものです。インジケーター スコアは、一定の間隔で経時測定され、時系列ウィジェットの適切な対象にします。以下のビジネス ケースは時系列ウィジェットを使用する一例です。

- インジケーター スコアの傾向、パターン、外れ値を特定する。
- 転換点 (ポリシーの変更がインジケーター スコアの変化につながったかどうかなど) を特定する。
- インジケーター間の関係を評価する。

時系列のチャート化を選択するときは、スコアの傾向を強調するのかスコアにおける特定の変化を強調したいのかを検討します。また、1 つのインジケーターを表示するのか複数の関連インジケーターを比較するのかも検討します。

注:
他のウィジェット タイプでも一部のチャート化には時系列が含まれます。たとえば、ブレークダウン ウィジェットのチャート化である [積み上げ縦棒] と [列と合計] には、インジケーター スコアの時系列が含まれています。

時系列ウィジェットのチャート化

	チャート化	説明とユースケース
インジケーターのスコアの傾向をチャート化する		
	Line	一連のデータ ポイントを直線で結び、1 つまたは複数の値が時間の経過とともにどのように変化するかを示します。線グラフによるチャート化を使用して、スコアの傾向を強調します。 時系列を表示するときは、線グラフによるチャート化をデフォルトの選択としてください。使用するチャート化が不明な場合は、線グラフを使用してください。
	スプライン	一連のデータ ポイントを滑らかな曲線で結び、1 つまたは複数の値が時間の経過とともにどのように変化するかを示します。スプライン グラフでは、既知のデータ ポイントの限定された部分を取り出し、途中の値を近似することができます。
インジケーターのスコアを比較する		
	Column	割合を表す縦棒として変化を表示し、スコアが時間の経過とともにどのように変化するかを示します。いずれかを使用して、1 つのインジケーターのスコア変化をチャート化するか、インジケーターを比較します。縦棒グラフによるチャート化でインジケーターを比較するには、インジケーターをウィジェットに追加するか、複数の縦棒グラフによるチャート化ウィジェットをダッシュボードに並べて配置します。
	ステップ	分散した複数の時点におけるインジケーター スコアの変化を強調します。特に線グラフによるチャート化ではデータがはっきりしなくなる場合に、スコアの小さな増分変化を表示するために使用します。
インジケーター間のスコアまたは傾向を比較する		
	積み上げ縦棒	各縦棒は、さまざまなインジケーターを表すスライスに分割されて、スライスが積み上げられた状態になっています。複数のインジケーターを累積した結果を表示する場合に使用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

時系列ウィジェットのチャート化 (続く)

	チャート化	説明とユースケース
	面グラフ	線グラフによるチャート化に似ていますが、軸と線の間の面を色付けして強調します。複数のインジケーターを使用して、各インジケーターが全体に占める相対的な割合を強調します。
	相対比較	時間の経過とともに複数のインジケーターがどのように発散するかを表示します。

時系列ウィジェットを作成する際の考慮事項

ビジネス目標を遂行する時系列ウィジェットを作成するには、いくつかの点に留意してください。

時系列ウィジェットを作成するときは、次の点を考慮してください。

- 時系列ウィジェットでフィルタされた一連のスコアを表示するには、ウィジェットにブレークダウンを適用します。ブレークダウンの指定された要素に一致するスコアのみが表示されます。
- 集計されたスコア (7 日間の平均値または合計など) を表示するには、ウィジェットに時系列を適用します。
- 同じタイム ラインでセカンダリ インジケーターのスコアを表示するには、既存のウィジェットにウィジェット インジケーターを追加します。詳細については、「ウィジェット インジケーターの追加」を参照してください。
- 時系列のチャート化を選択するときは、スコアの傾向を強調するのかスコアにおける特定の変化を強調したいのかを検討します。また、1 つのインジケーターを表示するのか複数の関連インジケーターを比較するのかも検討します。
- 平均に基づく丸め計算は、丸めエラーが原因でわずかにずれる場合があります。

時系列ウィジェットの線グラフによるチャート化の作成

インジケーター スコアの経時傾向を示すには、線グラフによるチャート化で時系列ウィジェットを作成します。

始める前に

必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて

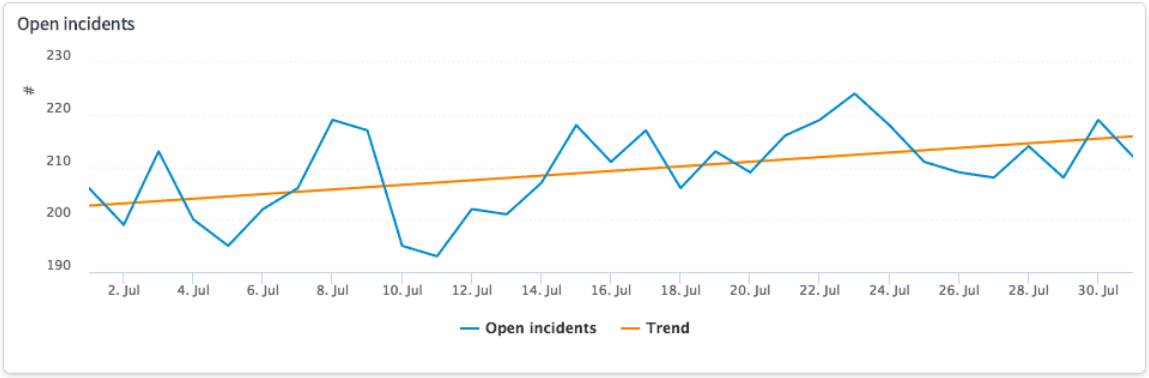
線グラフによるチャート化は、1 つのインジケーターのスコアの傾向を時間の経過とともに示す最も簡単な方法です。時系列のデフォルトのチャート化としてください。時系列に使用するチャート化が不明な場合は、線グラフを使用してください。

次の例は、7 月 1 か月のオープン インシデント数を線グラフでチャート化したものです。オプションの [トレンドを含める] 表示設定が有効になっています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

線グラフによるチャート化 - 時系列



手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** > ウィジェット をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[集計] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
4. [チャート化] フィールドで、[線] を選択します。
5. [インジケーター] フィールドで、スコアを表示するメインのインジケーターを選択します。
6. 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
ブレークダウンと要素	このブレークダウンの指定された要素に一致するスコアのみが表示されます。[ブレークダウン] と [要素] 両方の値を選択します。そうでないと、ブレークダウンの要素に関連付けられていないスコアのみが表示されます。 **注:** 第 1 レベルのブレークダウンの要素を指定する代わりに、[要素の設定] タブで要素フィルターを指定できます。個人的なビジュアライゼーションを作成するには、要素フィルターを使用します。詳細については、「時系列ウィジェットの追加設定」を参照してください。 **重要:** ウィジェットが式インジケーター用である場合、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートしている必要があります。それ以外の場合は、値の代わりにエラーメッセージがダッシュボードのウィジェットに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ブレークダウンレベル 2 と要素	レベル 1 のブレークダウンと要素が指定されている場合は、レベル 2 のブレークダウンと要素にドリルダウンします。 **注:** ○ 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。 ○ [要素をフォロー] は無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。
時系列	7 日間の合計や平均など、特定の期間のインジケーター スコアで機能を実行します。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーと会計カレンダーは時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットに時系列集計を設定することはできません。
前期のチャート	類似した時期のメインのインジケーター スコアを比較します。 [列] の表示方法は、以前の期間のチャートでは正常に機能します。また、[カラースキーム] の設定も考慮してください。 前期のチャートを有効にすると、セカンダリウィジェットインジケーターが無効になります。
ラベル	メインのインジケーターのカスタム ラベルを指定します。
色	メインのインジケーター スコアにのみ適用される単色。このフィールドは、[カラースキーム] で選択されている色を上書きします。
カラースキーム	すべてのインジケーター スコアの色のスペクトラム。インジケーターが 1 つしか表示されない場合は、最初の色のみが使用されます。 カラー スキームを指定しない場合は、プロパティで `glide.ui.chart.default.colors` 定義されているデフォルトのカラー スキームが適用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	提供されているカラー スキームを使用する代わりに、独自のカラー スキームを作成できます。詳細については、「配色を作成する」を参照してください。

7. ブレークダウンダッシュボードで選択されているブレークダウン要素にウィジェットが従うようにするには、次の手順を実行します。

   a. [要素をフォロー] を選択します。

      このオプションを選択すると、ウィジェットでレベル 2 のブレークダウンと要素を設定する機能が削除されます。

   b. オプション: [フォローしているブレークダウン] でフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
   ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンのソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは、同じブレークダウン ソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、ブレークダウン ダッシュボードでどのブレークダウンを適用するかを決定します。

      (Optional) たとえば、インジケーター [オープンインシデントの数] では、[アサイン先] と [オープン者] の 2 つのブレークダウンが使用されます。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、そのウィジェットがブレークダウン ダッシュボードの要素に従うようにする場合を考えてみましょう。ウィジェットで、[アサイン先] ブレークダウンの要素に個別の値を表示する場合。したがって、[フォローしているブレークダウン] フィールドで [アサイン先] を選択します。

   c. [複数の要素の表示方法] で、各要素を個別に表示するか、インジケーター集計に基づいて要素の集計を表示するかを選択します。
   すべてのウィジェットによるチャート化やすべてのインジケーターが、集計ビューと個別ビューの両方をサポートしているわけではありません。自動インジケーターおよび外部インジケーターの場合、集計ビューは COUNT、SUM、MAX、および MIN データ集計のみがサポートされます。COUNT DISTINCT と AVG はそうではありません。詳細については、「複数の要素を個別に表示または集計して表示する」を参照してください。

   重要:
   ブレークダウン ダッシュボードでブレークダウンと要素を選択する場合は、ウィジェット レコードにブレークダウンと要素を指定しないでください。ウィジェット レコードの要素は、そのブレークダウンのブレークダウン ダッシュボードで選択されている要素を上書きします。

8. オプション: [設定] タブをクリックし、必要に応じて設定を変更します。
   詳細については、「時系列ウィジェットの追加設定」を参照してください。
9. [送信] をクリックします。

次のタスク
ウィジェットを表示するには、ウィジェットをダッシュボードまたはポータルに追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット
- 時系列ウィジェットを作成する際の考慮事項
- ブレークダウン ウィジェットでの線グラフによるチャート化の作成

時系列ウィジェットの縦棒グラフによるチャート化の作成

スコアの傾向ではなくインジケーター スコアを時間の経過とともに示すには、縦棒グラフによるチャート化で時系列ウィジェットを作成します。縦棒グラフによるチャート化を使用してインジケーターを比較することもできます。

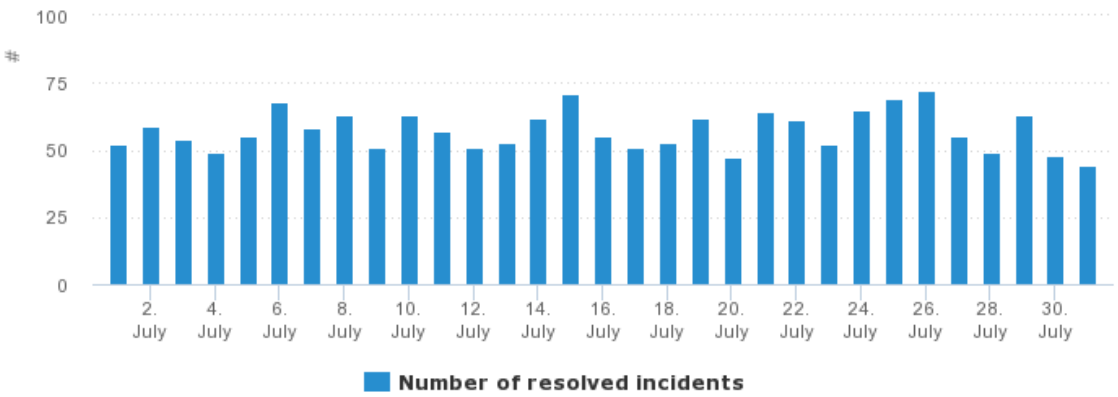
始める前に

必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて

スコアの傾向ではなくインジケーター スコアを時間の経過とともに協調するには、縦棒グラフによるチャート化を使用します。縦棒グラフによるチャート化は、複数のインジケーターのスコアを比較するのにも役立ちます。インジケーターを比較するには、インジケーターをウィジェットに追加するか、縦棒グラフによるチャート化を使用した複数のウィジェットをダッシュボードに並べて配置します。

縦棒グラフによるチャート化

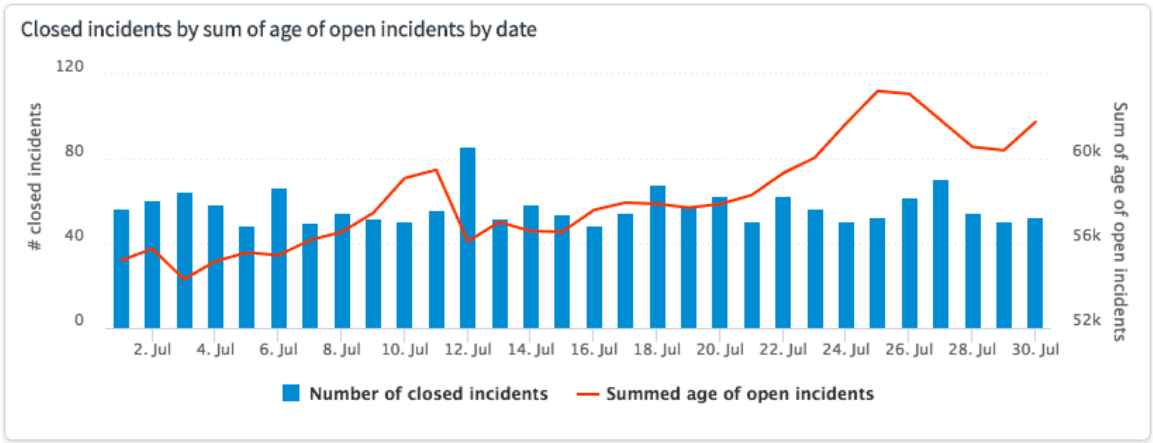


2 つのインジケーターの間に相関があるかどうかを確認するには、ウィジェットに 2 番目のインジケーターを追加します。最善の結果を得るには、主要なインジケーターとして離散値を持つインジケーター、セカンダリ インジケーターとして連続したデータ セットを持つインジケーターを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

相関を調べる縦棒グラフによるチャート化



手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** > ウィジェット をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[集計] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
4. [チャート化] フィールドで、[列] を選択します。
5. [インジケーター] フィールドで、スコアを表示するメインのインジケーターを選択します。
6. 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
ブレークダウンと要素	このブレークダウンの指定された要素に一致するスコアのみが表示されます。[ブレークダウン] と [要素] 両方の値を選択します。そうでないと、ブレークダウンの要素に関連付けられていないスコアのみが表示されます。 **注:** 第 1 レベルのブレークダウンの要素を指定する代わりに、[要素の設定] タブで要素フィルターを指定できます。個人的なビジュアライゼーションを作成するには、要素フィルターを使用します。詳細については、「時系列ウィジェットの追加設定」を参照してください。 **重要:** ウィジェットが式インジケーター用である場合、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートしている必要があります。それ以外の場合は、値の代わりにエラーメッセージがダッシュボードのウィジェットに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ブレークダウンレベル 2 と要素	レベル 1 のブレークダウンと要素が指定されている場合は、レベル 2 のブレークダウンと要素にドリルダウンします。 **注:** ○ 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。 ○ [要素をフォロー] は無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。
時系列	7 日間の合計や平均など、特定の期間のインジケーター スコアで機能を実行します。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーと会計カレンダーは時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットに時系列集計を設定することはできません。
前期のチャート	類似した時期のメインのインジケーター スコアを比較します。 [列] の表示方法は、以前の期間のチャートでは正常に機能します。また、[カラースキーム] の設定も考慮してください。 前期のチャートを有効にすると、セカンダリウィジェットインジケーターが無効になります。
ラベル	メインのインジケーターのカスタム ラベルを指定します。
色	メインのインジケーター スコアにのみ適用される単色。このフィールドは、[カラースキーム] で選択されている色を上書きします。
カラースキーム	すべてのインジケーター スコアの色のスペクトラム。インジケーターが 1 つしか表示されない場合は、最初の色のみが使用されます。 カラー スキームを指定しない場合は、プロパティで `glide.ui.chart.default.colors` 定義されているデフォルトのカラー スキームが適用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	提供されているカラー スキームを使用する代わりに、独自のカラー スキームを作成できます。詳細については、「配色を作成する」を参照してください。

7. ブレークダウンダッシュボードで選択されているブレークダウン要素にウィジェットが従うようにするには、次の手順を実行します。

   a. [要素をフォロー] を選択します。

      このオプションを選択すると、ウィジェットでレベル 2 のブレークダウンと要素を設定する機能が削除されます。

   b. オプション: [フォローしているブレークダウン] でフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
      ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンのソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは、同じブレークダウン ソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、ブレークダウン ダッシュボードでどのブレークダウンを適用するかを決定します。

      (Optional) たとえば、インジケーター [オープンインシデントの数] では、[アサイン先] と [オープン者] の 2 つのブレークダウンが使用されます。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、そのウィジェットがブレークダウン ダッシュボードの要素に従うようにする場合を考えてみましょう。ウィジェットで、[アサイン先] ブレークダウンの要素に個別の値を表示する場合。したがって、[フォローしているブレークダウン] フィールドで [アサイン先] を選択します。

   c. [複数の要素の表示方法] で、各要素を個別に表示するか、インジケーター集計に基づいて要素の集計を表示するかを選択します。
      すべてのウィジェットによるチャート化やすべてのインジケーターが、集計ビューと個別ビューの両方をサポートしているわけではありません。自動インジケーターおよび外部インジケーターの場合、集計ビューは COUNT、SUM、MAX、および MIN データ集計のみがサポートされます。COUNT DISTINCT と AVG はそうではありません。詳細については、「複数の要素を個別に表示または集計して表示する」を参照してください。

   重要:
   ブレークダウン ダッシュボードでブレークダウンと要素を選択する場合は、ウィジェット レコードにブレークダウンと要素を指定しないでください。ウィジェット レコードの要素は、そのブレークダウンのブレークダウン ダッシュボードで選択されている要素を上書きします。

8. オプション: [設定] タブをクリックし、必要に応じて設定を変更します。
   詳細については、「時系列ウィジェットの追加設定」を参照してください。
9. [送信] をクリックします。

次のタスク
インジケーターと他のインジケーターを比較するには、次のいずれかの操作を実行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- インジケーターを [ウィジェットインジケーター] 関連リストに追加します。それらのインジケーターに [列] のチャート化を使用します。
- 他の各インジケーターに [列] のチャート化を使用してウィジェットを作成します。これらのウィジェットをダッシュボードに並べて配置します。

ウィジェットを表示するには、ウィジェットをダッシュボードまたはポータルに追加します。

関連情報

レスポンシブ ダッシュボードを編集する

パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット

ウィジェット インジケーターの追加

時系列ウィジェットを作成する際の考慮事項

時系列ウィジェットの面グラフによるチャート化の作成

1 つ以上のインジケーターの合計インジケーターに占める割合を調べるには、面グラフによるチャート化で時系列ウィジェットを作成します。

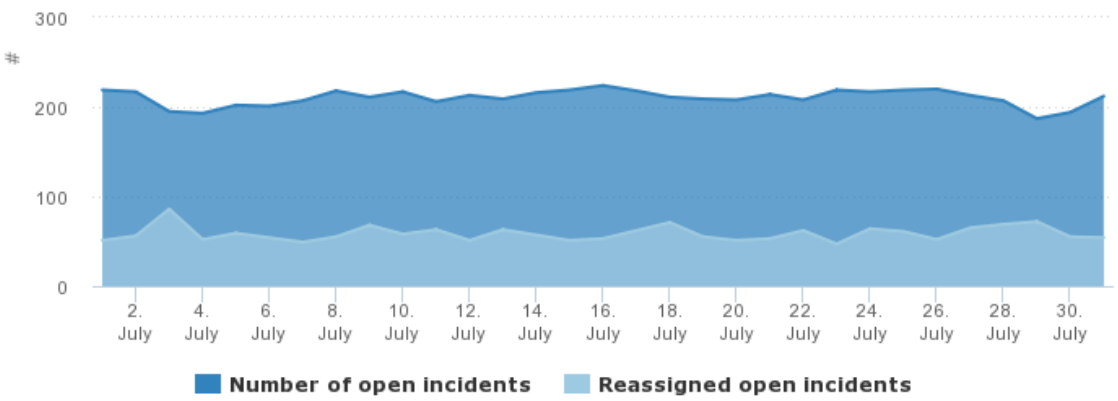
始める前に

必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて

1 つまたは複数のインジケーターがより包括的なインジケーターに与える影響を調べる場合は、面グラフによるチャート化を使用します。面グラフによるチャート化は、1 つ以上のコンポーネント インジケーターが全体的な傾向に対して相対的に占める割合を強調することができます。それと同時に、個々の傾向を見ることもできます。積み上げ縦棒グラフによるチャート化と比較してください。積み上げ縦棒グラフでは、インジケーター スコアを合計し、各スコアが合計に対する対して占める割合を強調します。

面グラフによるチャート化 - 時系列



手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** > ウィジェット をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[集計] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
4. [チャート化] フィールドで、[エリア] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

5. [インジケーター] フィールドで、スコアを表示するメインのインジケーターを選択します。

6. 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
ブレークダウンと要素	このブレークダウンの指定された要素に一致するスコアのみが表示されます。[ブレークダウン] と [要素] 両方の値を選択します。そうでないと、ブレークダウンの要素に関連付けられていないスコアのみが表示されます。 **注:** 第 1 レベルのブレークダウンの要素を指定する代わりに、[要素の設定] タブで要素フィルターを指定できます。個人的なビジュアライゼーションを作成するには、要素フィルターを使用します。詳細については、「時系列ウィジェットの追加設定」を参照してください。 **重要:** ウィジェットが式インジケーター用である場合、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートしている必要があります。それ以外の場合は、値の代わりにエラーメッセージがダッシュボードのウィジェットに表示されます。
ブレークダウンレベル 2 と要素	レベル 1 のブレークダウンと要素が指定されている場合は、レベル 2 のブレークダウンと要素にドリルダウンします。 **注:** ○ 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。 ○ [要素をフォロー] は無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。
時系列	7 日間の合計や平均など、特定の期間のインジケーター スコアで機能を実行します。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: ビジネスカレンダーと会計カレンダーは時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットに時系列集計を設定することはできません。
前期のチャート	類似した時期のメインのインジケーター スコアを比較します。 [列] の表示方法は、以前の期間のチャートでは正常に機能します。また、[カラースキーム] の設定も考慮してください。 前期のチャートを有効にすると、セカンダリ ウィジェットインジケーターが無効になります。
ラベル	メインのインジケーターのカスタム ラベルを指定します。
色	メインのインジケーター スコアにのみ適用される単色。このフィールドは、[カラースキーム] で選択されている色を上書きします。
カラースキーム	すべてのインジケーター スコアの色のスペクトラム。インジケーターが 1 つしか表示されない場合は、最初の色のみが使用されます。 カラー スキームを指定しない場合は、プロパティで *glide.ui.chart.default.colors* 定義されているデフォルトのカラー スキームが適用されます。 提供されているカラー スキームを使用する代わりに、独自のカラー スキームを作成できます。詳細については、「配色を作成する」を参照してください。

7. ブレークダウンダッシュボードで選択されているブレークダウン要素にウィジェットが従うようにするには、次の手順を実行します。

   a. [要素をフォロー] を選択します。

      このオプションを選択すると、ウィジェットでレベル 2 のブレークダウンと要素を設定する機能が削除されます。

   b. オプション: [フォローしているブレークダウン] でフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
   ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンのソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは、同じブレークダウン ソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、ブレークダウン ダッシュボードでどのブレークダウンを適用するかを決定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

(Optional) たとえば、インジケーター [オープンインシデントの数] では、[アサイン先] と [オープン者] の 2 つのブレークダウンが使用されます。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、そのウィジェットがブレークダウン ダッシュボードの要素に従うようにする場合を考えてみましょう。ウィジェットで、[アサイン先] ブレークダウンの要素に個別の値を表示する場合。したがって、[フォローしているブレークダウン] フィールドで [アサイン先] を選択します。

c. [複数の要素の表示方法] で、各要素を個別に表示するか、インジケーター集計に基づいて要素の集計を表示するかを選択します。
すべてのウィジェットによるチャート化やすべてのインジケーターが、集計ビューと個別ビューの両方をサポートしているわけではありません。自動インジケーターおよび外部インジケーターの場合、集計ビューは COUNT、SUM、MAX、および MIN データ集計のみがサポートされます。COUNT DISTINCT と AVG はそうではありません。詳細については、「複数の要素を個別に表示または集計して表示する」を参照してください。

> **重要:**
> ブレークダウン ダッシュボードでブレークダウンと要素を選択する場合は、ウィジェット レコードにブレークダウンと要素を指定しないでください。ウィジェット レコードの要素は、そのブレークダウンのブレークダウン ダッシュボードで選択されている要素を上書きします。

8. オプション: [設定] タブをクリックし、必要に応じて設定を変更します。
詳細については、「時系列ウィジェットの追加設定」を参照してください。

9. [送信] をクリックします。

次のタスク

- 選択したインジケーターを他のインジケーターを比較するには、インジケーターを [ウィジェット インジケーター] 関連リストに追加します。それらのインジケーターに [エリア] のチャート化を使用します。
- ウィジェットを表示するには、ウィジェットをダッシュボードまたはポータルに追加します。

関連情報

レスポンシブ ダッシュボードを編集する

パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット

時系列ウィジェットを作成する際の考慮事項

ウィジェット インジケーターの追加

時系列ウィジェットのスプライン グラフによるチャート化の作成

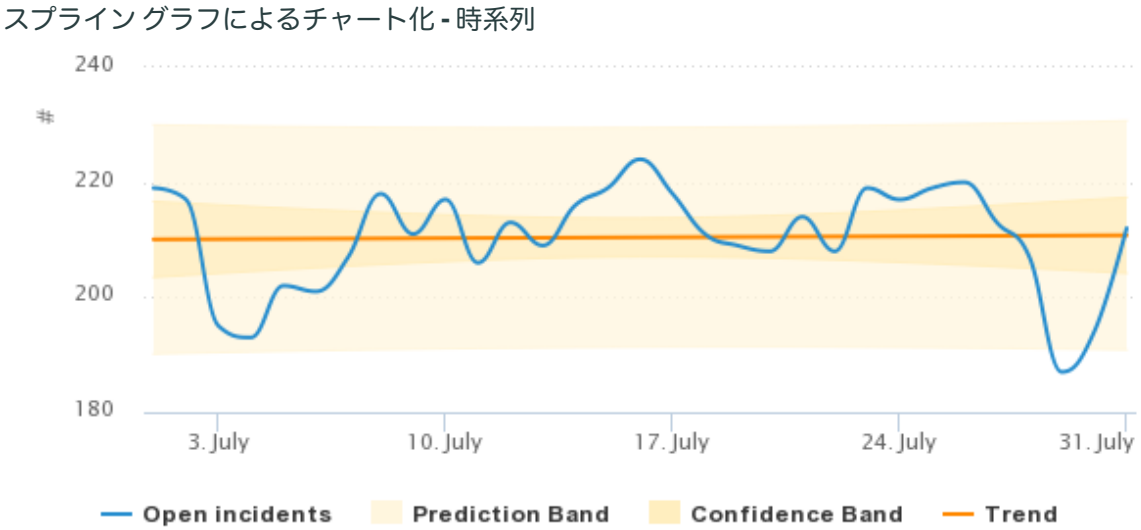
曲線調整を適用する必要があるときにインジケーター スコアの経時傾向を示すには、スプライン グラフによるチャート化で時系列ウィジェットを作成します。

始める前に
必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて
スプライン グラフによるチャート化は、線グラフによるチャート化の直線を曲線に置き換えます。線グラフによるチャート化の場合と同様に、スプライン グラフによるチャート化を使用してインジケーター スコアの経時変化を表示します。インジケーター スコアに曲線を合わせる必要がある場合は、線の代わりにスプラインを使用します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の例では、オープン インシデント数のスプライン グラフによるチャート化を使用してトレンド ラインと 95% 信頼区間が表示されます。



手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** > ウィジェット をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[集計] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
4. [チャート化] フィールドで、[スプライン] を選択します。
5. [インジケーター] フィールドで、スコアを表示するメインのインジケーターを選択します。
6. 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
ブレークダウンと要素	このブレークダウンの指定された要素に一致するスコアのみが表示されます。[ブレークダウン] と [要素] 両方の値を選択します。そうでないと、ブレークダウンの要素に関連付けられていないスコアのみが表示されます。 **注:** 第 1 レベルのブレークダウンの要素を指定する代わりに、[要素の設定] タブで要素フィルターを指定できます。個人的なビジュアライゼーションを作成するには、要素フィルターを使用します。詳細については、「時系列ウィジェットの追加設定」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	重要: ウィジェットが式インジケーター用である場合、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートしている必要があります。それ以外の場合は、値の代わりにエラーメッセージがダッシュボードのウィジェットに表示されます。
ブレークダウンレベル 2 と要素	レベル 1 のブレークダウンと要素が指定されている場合は、レベル 2 のブレークダウンと要素にドリルダウンします。 **注:** ○ 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。 ○ [要素をフォロー] は無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。
時系列	7 日間の合計や平均など、特定の期間のインジケーター スコアで機能を実行します。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーと会計カレンダーは時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットに時系列集計を設定することはできません。
前期のチャート	類似した時期のメインのインジケーター スコアを比較します。 [列] の表示方法は、以前の期間のチャートでは正常に機能します。また、[カラースキーム] の設定も考慮してください。 前期のチャートを有効にすると、セカンダリ ウィジェットインジケーターが無効になります。
ラベル	メインのインジケーターのカスタム ラベルを指定します。
色	メインのインジケーター スコアにのみ適用される単色。このフィールドは、[カラースキーム] で選択されている色を上書きします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
カラースキーム	すべてのインジケーター スコアの色のスペクトラム。インジケーターが 1 つしか表示されない場合は、最初の色のみが使用されます。 カラー スキームを指定しない場合は、プロパティで *glide.ui.chart.default.colors* 定義されているデフォルトのカラー スキームが適用されます。 提供されているカラー スキームを使用する代わりに、独自のカラー スキームを作成できます。詳細については、「配色を作成する」を参照してください。

7. ブレークダウンダッシュボードで選択されているブレークダウン要素にウィジェットが従うようにするには、次の手順を実行します。

   a. [要素をフォロー] を選択します。

      このオプションを選択すると、ウィジェットでレベル 2 のブレークダウンと要素を設定する機能が削除されます。

   b. オプション: [フォローしているブレークダウン] でフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
   ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンのソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは、同じブレークダウン ソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、ブレークダウン ダッシュボードでどのブレークダウンを適用するかを決定します。

      (Optional) たとえば、インジケーター [オープンインシデントの数] では、[アサイン先] と [オープン者] の 2 つのブレークダウンが使用されます。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、そのウィジェットがブレークダウン ダッシュボードの要素に従うようにする場合を考えてみましょう。ウィジェットで、[アサイン先] ブレークダウンの要素に個別の値を表示する場合。したがって、[フォローしているブレークダウン] フィールドで [アサイン先] を選択します。

   c. [複数の要素の表示方法] で、各要素を個別に表示するか、インジケーター集計に基づいて要素の集計を表示するかを選択します。
   すべてのウィジェットによるチャート化やすべてのインジケーターが、集計ビューと個別ビューの両方をサポートしているわけではありません。自動インジケーターおよび外部インジケーターの場合、集計ビューは COUNT、SUM、MAX、および MIN データ集計のみがサポートされます。COUNT DISTINCT と AVG はそうではありません。詳細については、「複数の要素を個別に表示または集計して表示する」を参照してください。

   重要:
   ブレークダウン ダッシュボードでブレークダウンと要素を選択する場合は、ウィジェット レコードにブレークダウンと要素を指定しないでください。ウィジェット レコードの要素は、そのブレークダウンのブレークダウン ダッシュボードで選択されている要素を上書きします。

8. オプション: [設定] タブをクリックし、必要に応じて設定を変更します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

詳細については、「時系列ウィジェットの追加設定」を参照してください。

9. [送信] をクリックします。

次のタスク
ウィジェットを表示するには、ウィジェットをダッシュボードまたはポータルに追加します。

関連情報
- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット
- 時系列ウィジェットを作成する際の考慮事項

時系列ウィジェットのステップ グラフによるチャート化の作成

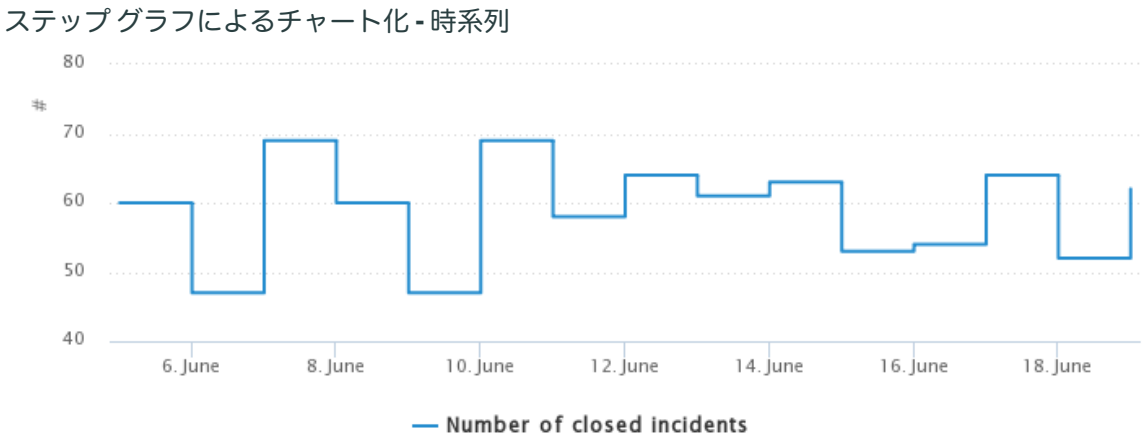
分散した複数の時点におけるインジケーター スコアの変化を強調するには、ステップ グラフによるチャート化で時系列ウィジェットを作成します。

始める前に
必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて
次の状況でステップ グラフによるチャート化を使用することを検討してください。

- 時間経過に伴う傾向ではなく、特定の時点間のインジケーター スコアの変化を強調する場合。
- インジケーター スコアの変化が小さすぎて、線グラフによるチャート化では識別しにくい場合。

ステップ グラフによるチャート化のユース・ケースは、スプライン グラフによるチャート化のユース・ケースとは逆です。時間の経過によるデータの傾向や曖昧さを強調する場合はスプライン グラフを使用します。



手順
1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** > ウィジェット をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[集計] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
4. [チャート化] フィールドで、[ステップ] を選択します。
5. [インジケーター] フィールドで、スコアを表示するメインのインジケーターを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
ブレークダウンと要素	このブレークダウンの指定された要素に一致するスコアのみが表示されます。[ブレークダウン] と [要素] 両方の値を選択します。そうでないと、ブレークダウンの要素に関連付けられていないスコアのみが表示されます。 **注:** 第 1 レベルのブレークダウンの要素を指定する代わりに、[要素の設定] タブで要素フィルターを指定できます。個人的なビジュアライゼーションを作成するには、要素フィルターを使用します。詳細については、「時系列ウィジェットの追加設定」を参照してください。 **重要:** ウィジェットが式インジケーター用である場合、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートしている必要があります。それ以外の場合は、値の代わりにエラーメッセージがダッシュボードのウィジェットに表示されます。
ブレークダウンレベル 2 と要素	レベル 1 のブレークダウンと要素が指定されている場合は、レベル 2 のブレークダウンと要素にドリルダウンします。 **注:** ○ 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。 ○ [要素をフォロー] は無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。
時系列	7 日間の合計や平均など、特定の期間のインジケーター スコアで機能を実行します。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーと会計カレンダーは時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットに時系列集計を設定することはできません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
前期のチャート	類似した時期のメインのインジケーター スコアを比較します。 [列] の表示方法は、以前の期間のチャートでは正常に機能します。また、[カラースキーム] の設定も考慮してください。 前期のチャートを有効にすると、セカンダリ ウィジェットインジケーターが無効になります。
ラベル	メインのインジケーターのカスタム ラベルを指定します。
色	メインのインジケーター スコアにのみ適用される単色。このフィールドは、[カラースキーム] で選択されている色を上書きします。
カラースキーム	すべてのインジケーター スコアの色のスペクトラム。インジケーターが 1 つしか表示されない場合は、最初の色のみが使用されます。 カラー スキームを指定しない場合は、プロパティで *glide.ui.chart.default.colors* 定義されているデフォルトのカラー スキームが適用されます。 提供されているカラー スキームを使用する代わりに、独自のカラー スキームを作成できます。詳細については、「配色を作成する」を参照してください。

7. ブレークダウンダッシュボードで選択されているブレークダウン要素にウィジェットが従うようにするには、次の手順を実行します。

   a. [要素をフォロー] を選択します。

      このオプションを選択すると、ウィジェットでレベル 2 のブレークダウンと要素を設定する機能が削除されます。

   b. オプション: [フォローしているブレークダウン] でフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
   ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンのソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは、同じブレークダウン ソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、ブレークダウン ダッシュボードでどのブレークダウンを適用するかを決定します。

      (Optional) たとえば、インジケーター [オープンインシデントの数] では、[アサイン先] と [オープン者] の 2 つのブレークダウンが使用されます。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、そのウィジェットがブレークダウン ダッシュボードの要素に従うようにする場合を考えてみましょう。ウィジェットで、[アサイン先] ブレークダウンの要素に個別の値を表示する場合。したがって、[フォローしているブレークダウン] フィールドで [アサイン先] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

c. [複数の要素の表示方法] で、各要素を個別に表示するか、インジケーター集計に基づいて要素の集計を表示するかを選択します。
すべてのウィジェットによるチャート化やすべてのインジケーターが、集計ビューと個別ビューの両方をサポートしているわけではありません。自動インジケーターおよび外部インジケーターの場合、集計ビューは COUNT、SUM、MAX、および MIN データ集計のみがサポートされます。COUNT DISTINCT と AVG はそうではありません。詳細については、「複数の要素を個別に表示または集計して表示する」を参照してください。

> **重要:**
> ブレークダウン ダッシュボードでブレークダウンと要素を選択する場合は、ウィジェット レコードにブレークダウンと要素を指定しないでください。ウィジェット レコードの要素は、そのブレークダウンのブレークダウン ダッシュボードで選択されている要素を上書きします。

8. オプション: [設定] タブをクリックし、必要に応じて設定を変更します。
詳細については、「時系列ウィジェットの追加設定」を参照してください。
9. [送信] をクリックします。

次のタスク
ウィジェットを表示するには、ウィジェットをダッシュボードまたはポータルに追加します。

関連情報
- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット
- 時系列ウィジェットを作成する際の考慮事項

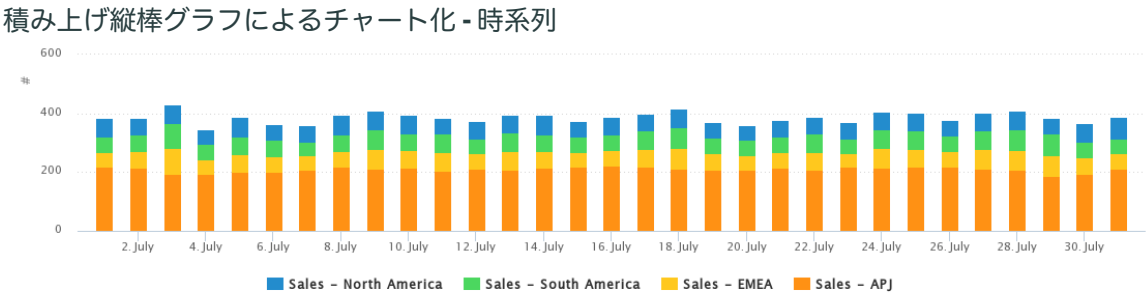
時系列ウィジェットの積み上げ縦棒グラフによるチャート化の作成

複数のインジケーターのスコアを比較および合計するには、積み上げ縦棒グラフによるチャート化による時系列としてウィジェットを作成します。

始める前に
必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて
時間の経過に伴う複数のインジケーターのスコアの合計を表示したり、各インジケーターが合計に占める相対割合を表示するには、積み上げ縦棒グラフによるチャート化を使用します。

次の例では、各地域の販売センターに関するインジケーターが積み上げ縦棒グラフとなって、販売合計と各地域の相対割合の両方を示しています。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** > ウィジェット をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[集計] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
4. [チャート化] フィールドで、[積み上げ縦棒] を選択します。
5. [インジケーター] フィールドで、スコアを表示するメインのインジケーターを選択します。
6. 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
ブレークダウンと要素	このブレークダウンの指定された要素に一致するスコアのみが表示されます。[ブレークダウン] と [要素] 両方の値を選択します。そうでないと、ブレークダウンの要素に関連付けられていないスコアのみが表示されます。 **注:** 第 1 レベルのブレークダウンの要素を指定する代わりに、[要素の設定] タブで要素フィルターを指定できます。個人的なビジュアライゼーションを作成するには、要素フィルターを使用します。詳細については、「時系列ウィジェットの追加設定」を参照してください。 **重要:** ウィジェットが式インジケーター用である場合、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートしている必要があります。それ以外の場合は、値の代わりにエラーメッセージがダッシュボードのウィジェットに表示されます。
ブレークダウンレベル 2 と要素	レベル 1 のブレークダウンと要素が指定されている場合は、レベル 2 のブレークダウンと要素にドリルダウンします。 **注:** ○ 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。 ○ [要素をフォロー] は無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
時系列	7 日間の合計や平均など、特定の期間のインジケーター スコアで機能を実行します。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーと会計カレンダーは時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットに時系列集計を設定することはできません。
前期のチャート	類似した時期のメインのインジケーター スコアを比較します。 [列] の表示方法は、以前の期間のチャートでは正常に機能します。また、[カラースキーム] の設定も考慮してください。 前期のチャートを有効にすると、セカンダリ ウィジェットインジケーターが無効になります。
ラベル	メインのインジケーターのカスタム ラベルを指定します。
色	メインのインジケーター スコアにのみ適用される単色。このフィールドは、[カラースキーム] で選択されている色を上書きします。
カラースキーム	すべてのインジケーター スコアの色のスペクトラム。インジケーターが 1 つしか表示されない場合は、最初の色のみが使用されます。 カラー スキームを指定しない場合は、プロパティで `glide.ui.chart.default.colors` 定義されているデフォルトのカラー スキームが適用されます。 提供されているカラー スキームを使用する代わりに、独自のカラー スキームを作成できます。詳細については、「配色を作成する」を参照してください。

7. ブレークダウンダッシュボードで選択されているブレークダウン要素にウィジェットが従うようにするには、次の手順を実行します。

   a. [要素をフォロー] を選択します。

      このオプションを選択すると、ウィジェットでレベル 2 のブレークダウンと要素を設定する機能が削除されます。

   b. オプション: [フォローしているブレークダウン] でフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンのソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは、同じブレークダウン ソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、ブレークダウン ダッシュボードでどのブレークダウンを適用するかを決定します。

(Optional) たとえば、インジケーター [オープンインシデントの数] では、[アサイン先] と [オープン者] の 2 つのブレークダウンが使用されます。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、そのウィジェットがブレークダウン ダッシュボードの要素に従うようにする場合を考えてみましょう。ウィジェットで、[アサイン先] ブレークダウンの要素に個別の値を表示する場合。したがって、[フォローしているブレークダウン] フィールドで [アサイン先] を選択します。

c. [複数の要素の表示方法] で、各要素を個別に表示するか、インジケーター集計に基づいて要素の集計を表示するかを選択します。
すべてのウィジェットによるチャート化やすべてのインジケーターが、集計ビューと個別ビューの両方をサポートしているわけではありません。自動インジケーターおよび外部インジケーターの場合、集計ビューは COUNT、SUM、MAX、および MIN データ集計のみがサポートされます。COUNT DISTINCT と AVG はそうではありません。詳細については、「複数の要素を個別に表示または集計して表示する」を参照してください。

> **重要:**
> ブレークダウン ダッシュボードでブレークダウンと要素を選択する場合は、ウィジェット レコードにブレークダウンと要素を指定しないでください。ウィジェット レコードの要素は、そのブレークダウンのブレークダウン ダッシュボードで選択されている要素を上書きします。

8. オプション: [設定] タブをクリックし、必要に応じて設定を変更します。
詳細については、「時系列ウィジェットの追加設定」を参照してください。
9. フォームヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。
10. [ウィジェットインジケーター] 関連リストにインジケーターを追加し、各インジケーターに [積み上げ縦棒] のチャート化を適用します。

次のタスク
ウィジェットを表示するには、ウィジェットをダッシュボードまたはポータルに追加します。

関連情報
- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット
- 時系列ウィジェットを作成する際の考慮事項
- ウィジェット インジケーターの追加

時系列ウィジェットの相対比較によるチャート化の作成

複数のインジケーターの相対的な比率の経時変化を示すには、時系列の相対比較によるチャート化を使用します。

始める前に
必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて
円グラフと同様に、相対比較によるチャート化はデータ ポイント間の相対的な比率を示しますが、時間とともにその比率がどのように変化するかを示すこともできます。相対比較によるチャート化は、従来より株価チャートや人口増加傾向を示すために使用されています。相対比較によるチャート

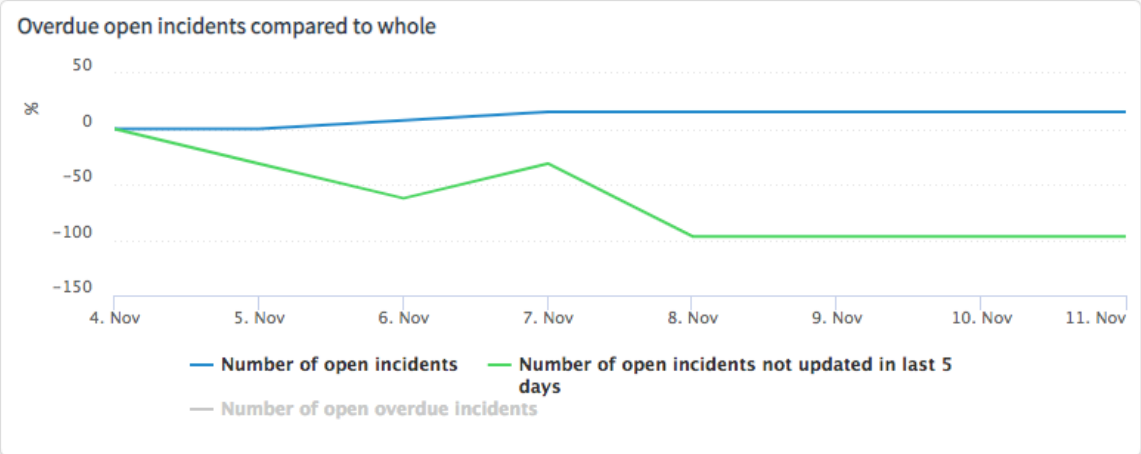
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

化を作成するときは、ベースラインとして 0 を使用し、時間の経過とともにデータがどのように変化するかを示します。

たとえば、このチャート化では、5 日以上更新されていないオープン インシデントの数の変化と比較した、オープン インシデントの合計数の変化が表示されます。線をポイントすると、その日のインシデント数と変化率が表示されます。データ ポイントについて示される変化率は、他のほとんどの時系列のチャート化の場合と同様に、前のデータ ポイントではなくベースライン 0 から計算されます。

時系列の相対比較によるチャート化の例



手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** > ウィジェット。
2. [新規] をクリックします。
3. [タイプ] リストから [時系列] を選択します。
4. [チャート化] リストで、[相対比較] を選択します。
5. 次のいずれかのオプションを使用して、チャート化に含めるインジケーターを指定します。

6. オプション: 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
ブレークダウンと要素	このブレークダウンの指定された要素に一致するスコアのみが表示されます。[ブレークダウン] と [要素] 両方の値を選択します。そうでないと、ブレークダウンの要素に関連付けられていないスコアのみが表示されます。 **注:** 第 1 レベルのブレークダウンの要素を指定する代わりに、[要素の設定] タブで要素フィルターを指定できます。個人的なビジュアライゼーションを作成するには、要素フィルターを使用します。詳細については、「時系列ウィジェットの追加設定」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	重要: ウィジェットが式インジケーター用である場合、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートしている必要があります。それ以外の場合は、値の代わりにエラーメッセージがダッシュボードのウィジェットに表示されます。
ブレークダウンレベル 2 と要素	レベル 1 のブレークダウンと要素が指定されている場合は、レベル 2 のブレークダウンと要素にドリルダウンします。 **注:** ○ 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。 ○ [要素をフォロー] は無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。
時系列	7 日間の合計や平均など、特定の期間のインジケーター スコアで機能を実行します。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーと会計カレンダーは時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットに時系列集計を設定することはできません。

7. フォームヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。
8. 単一のインジケーターを選択する場合は、[ウィジェットインジケーター] 関連リストにインジケーターを追加します。
   インジケーターグループを選択した場合、追加のインジケーターは必要ありません。
9. [日付の設定] タブで [範囲セレクタの表示] チェック ボックスをオンにします。
   この設定により、ユーザーはチャート化で表示される時間を動的に変更できます。
10. ブレークダウンダッシュボードで選択されているブレークダウン要素にウィジェットが従うようにするには、次の手順を実行します。

    a. [要素をフォロー] を選択します。

       このオプションを選択すると、ウィジェットでレベル 2 のブレークダウンと要素を設定する機能が削除されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

b. オプション: [フォローしているブレークダウン] でフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンのソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは、同じブレークダウン ソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、ブレークダウン ダッシュボードでどのブレークダウンを適用するかを決定します。

(Optional) たとえば、インジケーター [オープンインシデントの数] では、[アサイン先] と [オープン者] の 2 つのブレークダウンが使用されます。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、そのウィジェットがブレークダウン ダッシュボードの要素に従うようにする場合を考えてみましょう。ウィジェットで、[アサイン先] ブレークダウンの要素に個別の値を表示する場合。したがって、[フォローしているブレークダウン] フィールドで [アサイン先] を選択します。

c. [複数の要素の表示方法] で、各要素を個別に表示するか、インジケーター集計に基づいて要素の集計を表示するかを選択します。
すべてのウィジェットによるチャート化やすべてのインジケーターが、集計ビューと個別ビューの両方をサポートしているわけではありません。自動インジケーターおよび外部インジケーターの場合、集計ビューは COUNT、SUM、MAX、および MIN データ集計のみがサポートされます。COUNT DISTINCT と AVG はそうではありません。詳細については、「複数の要素を個別に表示または集計して表示する」を参照してください。

> **重要:**
> ブレークダウン ダッシュボードでブレークダウンと要素を選択する場合は、ウィジェット レコードにブレークダウンと要素を指定しないでください。ウィジェット レコードの要素は、そのブレークダウンのブレークダウン ダッシュボードで選択されている要素を上書きします。

11. 必要に応じてその他のフィールドを入力します。

12. [更新] をクリックします。

次のタスク
ウィジェットを表示するには、ウィジェットをダッシュボードまたはポータルに追加します。

関連情報
- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット
- 時系列ウィジェットの追加設定
- 時系列ウィジェットを作成する際の考慮事項
- ウィジェット インジケーターの追加

時系列ウィジェットの追加設定

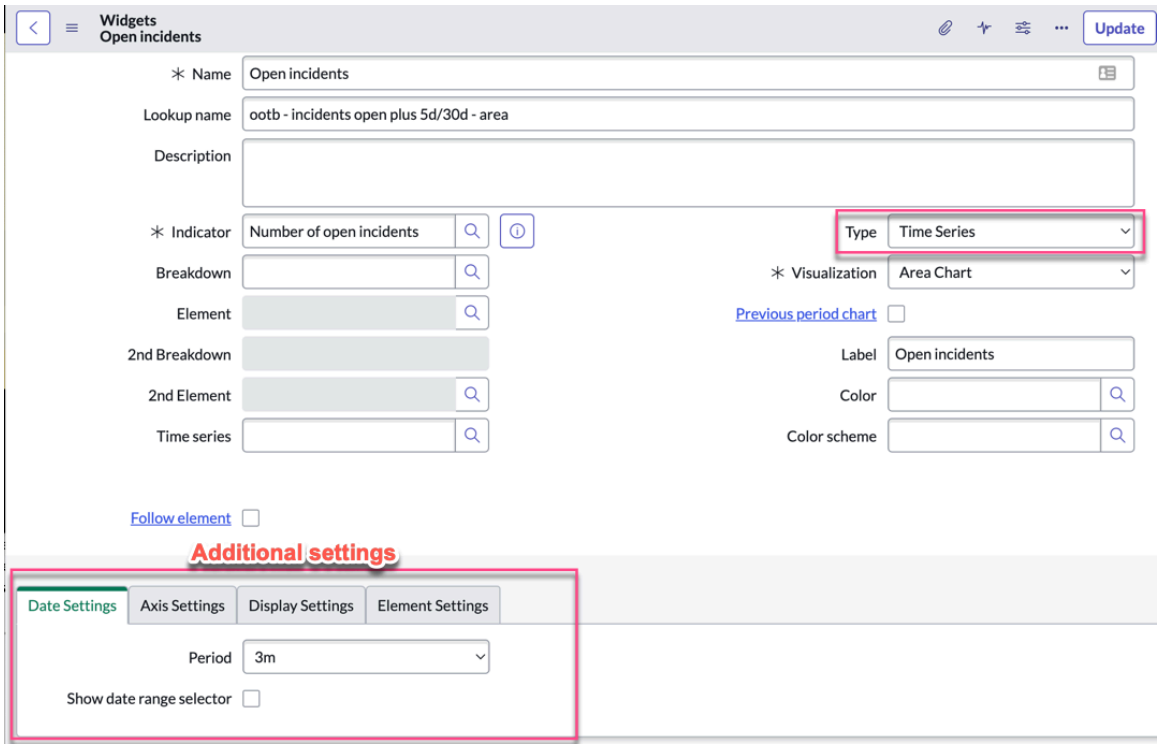
時系列ウィジェットには、表示、日付範囲、および軸ラベルについて次のオプション設定があります。これらの設定を使用して、第 1 レベルのブレークダウン要素の代わりに要素フィルターを選択することもできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:
このトピックには、時系列ウィジェットの追加設定が含まれています。時系列ウィジェットを作成するためのガイドではありません。時系列ウィジェットの作成手順については、該当する「作成」トピックを参照してください。

- 時系列ウィジェットの線グラフによるチャート化の作成
- 時系列ウィジェットの縦棒グラフによるチャート化の作成
- 時系列ウィジェットの面グラフによるチャート化の作成
- 時系列ウィジェットのスプライン グラフによるチャート化の作成
- 時系列ウィジェットのステップ グラフによるチャート化の作成
- 時系列ウィジェットの積み上げ縦棒グラフによるチャート化の作成
- 時系列ウィジェットの相対比較によるチャート化の作成

使用可能な設定は、選択した可視化によって異なります。次の例は、面グラフのビジュアリゼーション用です。



日付設定

日付の設定は、[前期のチャート] が選択されていない場合にのみ利用できます。

設定	説明
期間	ウィジェットに表示する日付範囲を選択します。いくつかのオプションを利用できます。 • 特定の時間範囲を選択します。デフォルトは **[3m]** (3 か月) です。 • 現在の日付までのスコアを使用する場合は [最大] を選択します。 • 期間を定義する場合は [次の間] を選択してから、[開始日付] フィールドと [終了日付] フィールドを入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

設定	説明
	[期間] フィールドは、次のビジュアライズでのみ使用できます。 • 線グラフ • スプライン • 列 • エリア • ステップ • 積み上げ縦棒 • 相対比較
日付範囲セレクタの表示	ウィジェットに日付範囲セレクタを表示します。ユーザーは、ダッシュボードでウィジェットを表示するときに、選択した期間を変更できます。 注: • ウィジェットで日付範囲を選択してもトレンド ラインは更新されません。 • [月別合計] などの時系列集計を日付範囲セレクターと組み合わせると、ユーザーに表示される期間が予想よりも 1 つ多い場合があります。インスタンスは、3 m などの期間を 0 ～ 3 か月と解釈し、4 か月のスコアを表示できます。 • 日付範囲セレクターは、ビジネスカレンダーに基づくインジケーターではサポートされていません。

軸設定

設定	説明
Y 軸のタイトル	チャートの縦軸に表示するタイトルを指定します。
Y 軸の起点	チャートの縦軸の値の範囲の開始点を指定します。
Y 軸の終点	チャートの縦軸の値の範囲の終了点を指定します。
第 2 Y 軸のタイトル	チャートの縦軸に表示する 2 番目のタイトルを指定します。
第 2 Y 軸の起点	チャートの縦軸の 2 番目の値の範囲の開始点を指定します。 2 番目の Y 軸は、スコアが通常限られた範囲間を移動する場合に使用できますが、グラフを歪める例外がいくつかあります。たとえば、スコアは通常 40 から 60 の範囲ですが、1000 の例外があります。
第 2 Y 軸の終点	チャートの縦軸の 2 番目の値の範囲の終了点を指定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

表示設定

設定	説明
ターゲットを表示	定義されている場合は、ターゲット スコアを表示します。このフィールドは、[前期のチャート] が選択されていない場合にのみ利用できます。
しきい値を含める	[常に高い]、[常に低い] などのしきい値を表示します。しきい値は、このインジケーターに対して定義されている場合にのみ表示されます。
データラベルを含める	円グラフの各スライスなど、各データ ポイントのスコアを表示します。
トレンドを含める	トレンド ラインを表示します。このフィールドは、[前期のチャート] が選択されていない場合にのみ利用できます。
信頼帯を含める	このチャートの信頼帯を表示します。信頼帯の計算方法については、「ウィジェットの信頼帯」を参照してください。
予測を含める	現在のトレンド データに基づいてチャートに予測データを表示します。予測は、インジケーターに設定しておく必要があります。
予測範囲を表示	予測の 95% 信頼範囲を表示します。[予測の選択] が有効な場合にのみ利用できます。
コメントを含める	チャートのデータ ポイントに追加されたコメントを表示します。

要素設定

設定	説明
要素フィルター	第 1 レベルのブレークダウン要素の代わりに要素フィルターを指定します。要素フィルターを使用して、ビューアーの特性に応じて表示する要素をカスタマイズします。たとえば、[アサイン先グループ] ブレークダウンの要素をフィルタリングして、ビューアーが属するグループのみを表示することができます。詳細については、「パーソナライズされたビジュアル」を参照してください。

前の期間の設定

前の期間の設定は、[前期のチャート] が選択されている場合にのみ利用できます。

設定	説明
期間の範囲	現在の期間と比較する期間の範囲を選択します。
期間の数	表示する前の期間の数を指定します。

ウィジェットの信頼帯

信頼帯の計算には、トレンド ラインの可視点が使用されます。日付範囲を広げると、新しい日付範囲のトレンドを使用して信頼帯が再計算されます。

はじめに、トレンドの標準的なエラーを使用して信頼帯が算出されます。信頼帯の幅は、計算に含まれるポイントの数とスコアの平均によって異なります。標準的なエラーが低い場合は、トレンドラインが正確であることが示されます。ポイントの数が減少するか外れ値が記録されると、信頼帯が広がります。トレンドの信頼性は、データ ポイントが少ない場合やスコアが変わりやすい場合は確度が低くなります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スコア ウィジェット

スコア ウィジェットは集計インジケーター スコアを表示します。

スコア ウィジェットのチャート化

	チャート化	説明
	最新スコア	単一のインジケーター スコアと、前の期間と比較したそのスコアの変更を表示します。スコアの時系列を表す線がバックグラウンドに表示されます。
	スピードメーター	ラウンド メーターのフォームでインジケーターの最新の収集スコアを表示します。インジケーターのターゲットとそのカラー スキームが目盛りに表示されます。
	目盛り	直近に収集されたインジケーターのスコアの概要を半円で表示します。
	リアルタイム スコア	現在のインジケーター スコアと、最後にスケジュールされた収集でのスコアと比較したそのスコアの変更を表示します。スコアの時系列を表す線がバックグラウンドに表示されます。

スコア ウィジェットでの最新スコアによるチャート化の作成

最新のスコアと前のスコアの変更を確認するには、スコア ウィジェットで最新スコアによるチャート化を使用します。スコアのトレンド ラインを表示することもできます。

始める前に

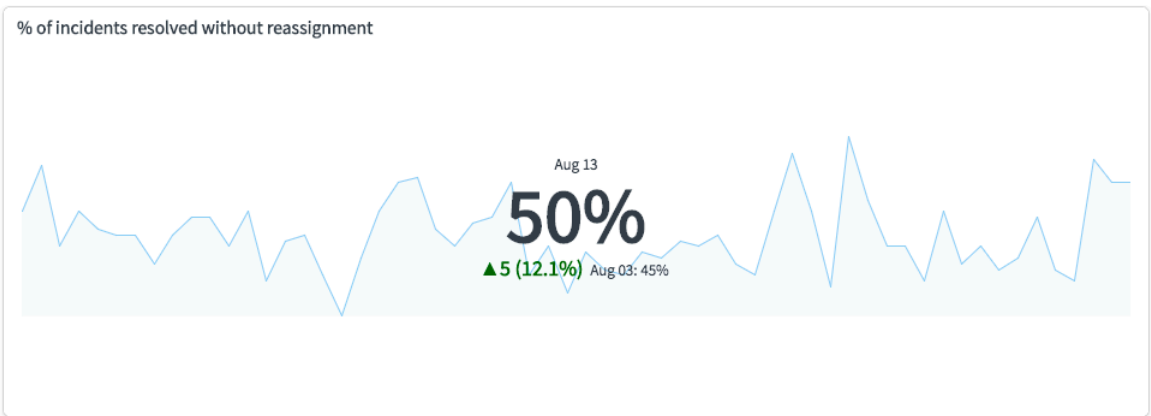
必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて

最新スコアによるチャート化では、最新のスコアと、このスコアと前のスコアの間の絶対値およびパーセンテージでの変更が表示されます。このチャート化は、 の チャート ビュー アナリティクス ハブに似ています。最新のスコアと比較するために遡るスコアの数を選択できます。また、スコアの変化の絶対値またはパーセンテージのトレンド ラインを表示することもできます。

注:
このデータの可視化は、モバイルプラットフォームでサポートされています。詳細については、およびMobile dashboard preview を参照してくださいDisplaying KPI Details for the mobile dashboard 。

最新スコアによるチャート化



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** > ウィジェット をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [名前] フィールドと [サブタイトル] フィールドで、表示されている情報を反映した名前とサブタイトルをウィジェットに付けます。
3. [タイプ] フィールドで、[スコア] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
4. [チャート化] フィールドで、[最新スコア] を選択します。
5. [インジケーター] フィールドで、スコアを表示するインジケーターを選択します。
6. オプション: 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
ブレークダウンと要素	このブレークダウンの指定された要素に一致するスコアのみが表示されます。[ブレークダウン] と [要素] 両方の値を選択します。そうでないと、ブレークダウンの要素に関連付けられていないスコアのみが表示されます。 **注:** 第 1 レベルのブレークダウンの要素を指定する代わりに、[要素の設定] タブで要素フィルターを指定できます。個人的なビジュアライゼーションを作成するには、要素フィルターを使用します。詳細については、「時系列ウィジェットの追加設定」を参照してください。 **重要:** ウィジェットが式インジケーター用である場合、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートしている必要があります。それ以外の場合は、値の代わりにエラーメッセージがダッシュボードのウィジェットに表示されます。
ブレークダウンレベル 2 と要素	レベル 1 のブレークダウンと要素が指定されている場合は、レベル 2 のブレークダウンと要素にドリルダウンします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: ○ 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。 ○ [要素をフォロー] は無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。
時系列	7 日間の合計や平均など、特定の期間のインジケーター スコアで機能を実行します。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 注: ビジネスカレンダーと会計カレンダーは時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットに時系列集計を設定することはできません。

7. ブレークダウンダッシュボードで選択されているブレークダウン要素にウィジェットが従うようにするには、次の手順を実行します。

   a. [要素をフォロー] を選択します。

      このオプションを選択すると、ウィジェットでレベル 2 のブレークダウンと要素を設定する機能が削除されます。

   b. オプション: [フォローしているブレークダウン] でフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
      ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンのソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは、同じブレークダウン ソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、ブレークダウン ダッシュボードでどのブレークダウンを適用するかを決定します。

      (Optional) たとえば、インジケーター [オープンインシデントの数] では、[アサイン先] と [オープン者] の 2 つのブレークダウンが使用されます。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、そのウィジェットがブレークダウン ダッシュボードの要素に従うようにする場合を考えてみましょう。ウィジェットで、[アサイン先] ブレークダウンの要素に個別の値を表示する場合。したがって、[フォローしているブレークダウン] フィールドで [アサイン先] を選択します。

      注:
      ブレークダウン ダッシュボードで複数の要素が選択されている場合、スコア ウィジェットではレコード監視はサポートされません。この場合、リアルタイムはページの更新時にのみ更新されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

詳細については、「ブレークダウン ダッシュボードのウィジェットの設定」を参照してください。

8. オプション: テンプレートを選択します。
パーセンテージ値を返す式インジケーターは、デフォルトでテンプレート 2 を使用します。他のインジケーターは、デフォルトでテンプレート 1 を使用します。
9. [最新のスコア設定] タブの [スコアを比較] フィールドで、最新のスコアと比較する以前のスコアを選択します。

前回スコア	前回のデータ収集のスコア。この設定がデフォルトです。
期間を遡る	比較するスコアの、最新のスコアから遡るデータ収集期間の数を指定します。

10. [要素設定] タブでは、[要素] フィールドで特定の要素を選択する代わりに、要素フィルターを選択できます。
このアプローチを使用して、ビューアーに応じて表示されるブレークダウンをカスタマイズします。要素フィルタを使用したウィジェットのカスタマイズの詳細については、「」を参照してください パーソナライズされたビジュアル。
11. [送信] をクリックします。

次のタスク
ウィジェットを表示するには、ウィジェットをダッシュボードまたはポータルに追加します。

関連情報
- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット
- スコアと統計情報の表示

スコア ウィジェットでの角度ゲージまたは目盛りによるチャート化の作成
スコアの範囲と比較したインジケーターの最新のスコアを表示するには、スコアウィジェットで角度ゲージまたは目盛りによるチャート化を使用します。角度ゲージには、インジケーターのターゲットも表示されます。

始める前に
必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて
角度ゲージによるチャート化では、最新のスコアが角度ゲージの針で表示されます。目盛りによるチャート化では、最新のスコアが半円形のセクションに色分けして表示されます。デフォルトでは、角度ゲージまたは目盛りには可能なスコアの範囲が表示されますが、独自の範囲を作成することもできます。

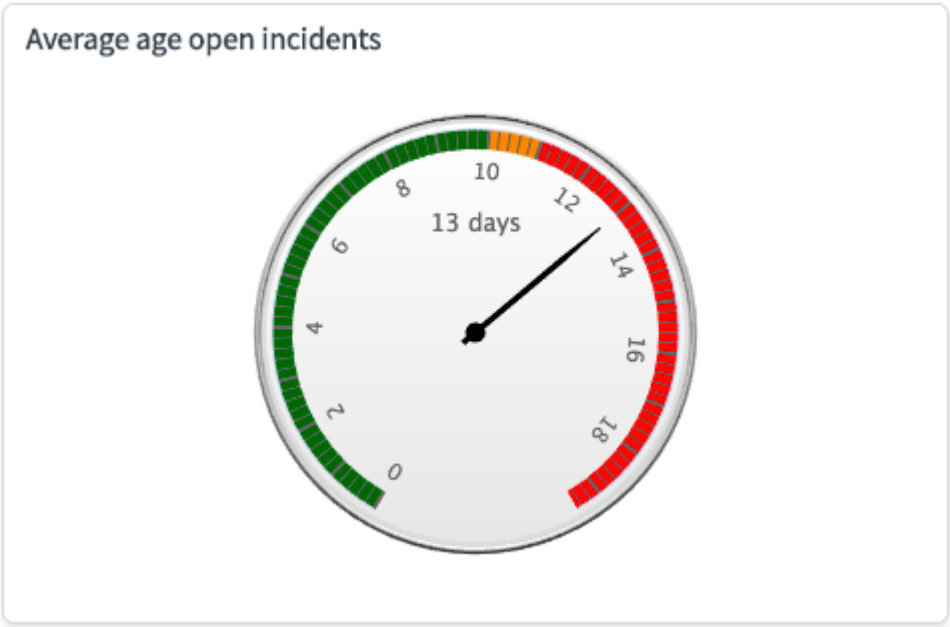
角度ゲージは、インジケーターにターゲットが設定されているときに特に便利です。インジケーターに方向が設定されている場合 (最小化または最大化)、チャート化によりターゲットとインジケーターに設定されている 3 色または 5 色の信号が再現されます。たとえば、次の角度ゲージでは、オープン インシデントの平均経過時間インジケーターが、最小化方向、ターゲット 10、3 色の信号で表示されています。

ターゲットのカラー スキームを作成するには、「」を参照してください パフォーマンスアナリティクス ターゲット。

自動翻訳

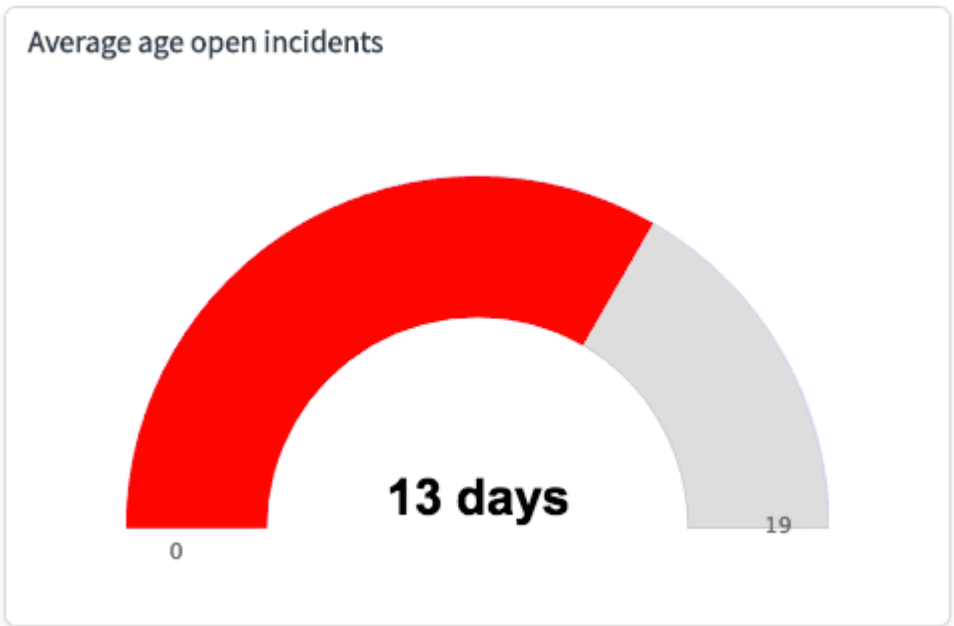
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

角度ゲージによるチャート化 - スコア ウィジェット



目盛りによるチャート化では、インジケーターのターゲットは表示されません。

目盛りによるチャート化 - スコア ウィジェット



手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** > ウィジェット をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[スコア] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
4. [チャート化] フィールドで、[スピードメーター] または [目盛り] を選択します。
5. [インジケーター] フィールドで、スコアを表示するインジケーターを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. オプション: 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
ブレークダウンと要素	このブレークダウンの指定された要素に一致するスコアのみが表示されます。[ブレークダウン] と [要素] 両方の値を選択します。そうでないと、ブレークダウンの要素に関連付けられていないスコアのみが表示されます。 **注:** 第 1 レベルのブレークダウンの要素を指定する代わりに、[要素の設定] タブで要素フィルターを指定できます。個人的なビジュアライゼーションを作成するには、要素フィルターを使用します。詳細については、「時系列ウィジェットの追加設定」を参照してください。 **重要:** ウィジェットが式インジケーター用である場合、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートしている必要があります。それ以外の場合は、値の代わりにエラーメッセージがダッシュボードのウィジェットに表示されます。
ブレークダウンレベル 2 と要素	レベル 1 のブレークダウンと要素が指定されている場合は、レベル 2 のブレークダウンと要素にドリルダウンします。 **注:** ○ 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。 ○ [要素をフォロー] は無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。
時系列	7 日間の合計や平均など、特定の期間のインジケーター スコアで機能を実行します。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーと会計カレンダーは時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットに時系列集計を設定することはできません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. ブレークダウンダッシュボードで選択されているブレークダウン要素にウィジェットが従うようにするには、次の手順を実行します。

   a. [要素をフォロー] を選択します。

      このオプションを選択すると、ウィジェットでレベル 2 のブレークダウンと要素を設定する機能が削除されます。

   b. オプション: [フォローしているブレークダウン] でフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
   ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンのソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは、同じブレークダウン ソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、ブレークダウン ダッシュボードでどのブレークダウンを適用するかを決定します。

      (Optional) たとえば、インジケーター [オープンインシデントの数] では、[アサイン先] と [オープン者] の 2 つのブレークダウンが使用されます。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、そのウィジェットがブレークダウン ダッシュボードの要素に従うようにする場合を考えてみましょう。ウィジェットで、[アサイン先] ブレークダウンの要素に個別の値を表示する場合。したがって、[フォローしているブレークダウン] フィールドで [アサイン先] を選択します。

   注:
   ブレークダウン ダッシュボードで複数の要素が選択されている場合、スコア ウィジェットではレコード監視はサポートされません。この場合、リアルタイムはページの更新時にのみ更新されます。

   詳細については、「ブレークダウン ダッシュボードのウィジェットの設定」を参照してください。

8. オプション: [スピードメーター/目盛り設定] タブで、角度ゲージに実際のスコアの範囲を表示する [自動スケール] を選択するか、別のスケールを指定します。
9. [要素設定] タブでは、[要素] フィールドで特定の要素を選択する代わりに、要素フィルターを選択できます。
   このアプローチを使用して、ビューアーに応じて表示されるブレークダウンをカスタマイズします。要素フィルタを使用したウィジェットのカスタマイズの詳細については、「」を参照してください パーソナライズされたビジュアル。
10. [送信] をクリックします。

次のタスク
ウィジェットを表示するには、ウィジェットをダッシュボードまたはポータルに追加します。

関連情報
- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット
- パフォーマンスアナリティクス ターゲット

スコア ウィジェットでのリアルタイム スコアによるチャート化の作成
現在のスコアを表示するには、スコア ウィジェットでリアルタイム スコアによるチャート化を使用します。スコアのトレンド ラインを表示することもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に

- リアルタイム スコアが必要なインジケーターでは、[リアルタイムスコアを表示] プロパティを有効にする必要があります。
- 必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて

リアルタイム スコアによるチャート化では、現在のスコアと、このスコアと直前にスケジュールされたデータ収集時のスコアの間の絶対値およびパーセンテージ両方での変更が表示されます。スコアは、ダッシュボード ユーザーがウィジェットを含むダッシュボードを開いたときに計算されます。このチャート化は、 の チャート ビュー アナリティクスハブに似ています。また、スコアの絶対値またはパーセンテージの変化のトレンド ラインを表示することもできます。

詳細については、「リアルタイムスコア」を参照してください。

⚠ 警告:

- リアルタイムスコアはビューアーごとに異なり、収集されたスコアとは異なる場合があります。リアルタイムスコアは、関連するファクトテーブルから直接取得されます。したがって、これらのファクトテーブルのアクセス制御リスト (ACL) によって、各ログインユーザーに表示されるリアルタイムスコアが決まります。
- ウィジェットのデータ要素が多すぎると、リアルタイムで更新することはできません。この場合、ウィジェットを手動で更新するようにビューアーに指示するメッセージが表示されます。

リアルタイム スコアによるチャート化



手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** > ウィジェット。
2. [新規] をクリックします。
3. [名前] フィールドと [サブタイトル] フィールドで、表示されている情報を反映した名前とサブタイトルをウィジェットに付けます。
4. [タイプ] フィールドで、[スコア] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
5. [チャート化] フィールドで、[リアルタイムスコア] を選択します。
6. [インジケーター] フィールドで、スコアを表示するインジケーターを選択します。
7. オプション: 次のフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ブレークダウンと要素	このブレークダウンの指定された要素に一致するスコアのみが表示されます。[ブレークダウン] と [要素] 両方の値を選択します。そうでないと、ブレークダウンの要素に関連付けられていないスコアのみが表示されます。 **注:** 第 1 レベルのブレークダウンの要素を指定する代わりに、[要素の設定] タブで要素フィルターを指定できます。個人的なビジュアライゼーションを作成するには、要素フィルターを使用します。詳細については、「時系列ウィジェットの追加設定」を参照してください。 **重要:** ウィジェットが式インジケーター用である場合、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートしている必要があります。それ以外の場合は、値の代わりにエラーメッセージがダッシュボードのウィジェットに表示されます。

8. ブレークダウンダッシュボードで選択されているブレークダウン要素にウィジェットが従うようにするには、次の手順を実行します。

   a. [要素をフォロー] を選択します。

      このオプションを選択すると、ウィジェットでレベル 2 のブレークダウンと要素を設定する機能が削除されます。

   b. オプション: [フォローしているブレークダウン] でフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
      ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンのソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは、同じブレークダウン ソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、ブレークダウン ダッシュボードでどのブレークダウンを適用するかを決定します。

      (Optional) たとえば、インジケーター [オープンインシデントの数] では、[アサイン先] と [オープン者] の 2 つのブレークダウンが使用されます。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、そのウィジェットがブレークダウン ダッシュボードの要素に従うようにする場合を考えてみましょう。ウィジェットで、[アサイン先] ブレークダウンの要素に個別の値を表示する場合。したがって、[フォローしているブレークダウン] フィールドで [アサイン先] を選択します。

      注:
      ブレークダウン ダッシュボードで複数の要素が選択されている場合、スコア ウィジェットではレコード監視はサポートされません。この場合、リアルタイムはページの更新時にのみ更新されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

詳細については、「ブレークダウン ダッシュボードのウィジェットの設定」を参照してください。

9. オプション: テンプレートを選択します。
   リアルタイム スコアによるチャート化は、デフォルトでテンプレート 2 を使用します。
10. [要素設定] タブでは、[要素] フィールドで特定の要素を選択する代わりに、要素フィルターを選択できます。
    このアプローチを使用して、ビューアーに応じて表示されるブレークダウンをカスタマイズします。要素フィルタを使用したウィジェットのカスタマイズの詳細については、「」を参照してください パーソナライズされたビジュアル。
11. [送信] をクリックします。

次のタスク

ウィジェットを表示するには、ウィジェットをダッシュボードまたはポータルに追加します。

関連情報

- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- リアルタイムスコア
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット
- 自動インジケーターの作成

リストウィジェット

リストウィジェットには、複数のインジケーターのスコアが表示されます。

リスト ウィジェットのチャート化

	チャート化	説明
	スコアカード	いくつかのインジケーターには、次のいずれかの属性が表示されます。 • 複数の時点のスコア • 最後の 2 つのスコア間の変化 • % の変更 • トレンド • ブレットグラフ
	スパイダー	各インジケーターの最新スコアのプロットを、中心を 0 として始まる独自の軸に表示します。

インジケーターを表示する権限

アップグレードされたインスタンスでは、リストウィジェットを表示するために pa_viewer ロールが必要な場合があります。また、リスト ウィジェットには、読み込み権限のないインジケーターは表示されません。

リスト ウィジェットでのスコアカードによるチャート化の作成

複数のインジケーターの測定基準を一覧表示するには、リスト ウィジェットでスコアカードによるチャート化を使用します。

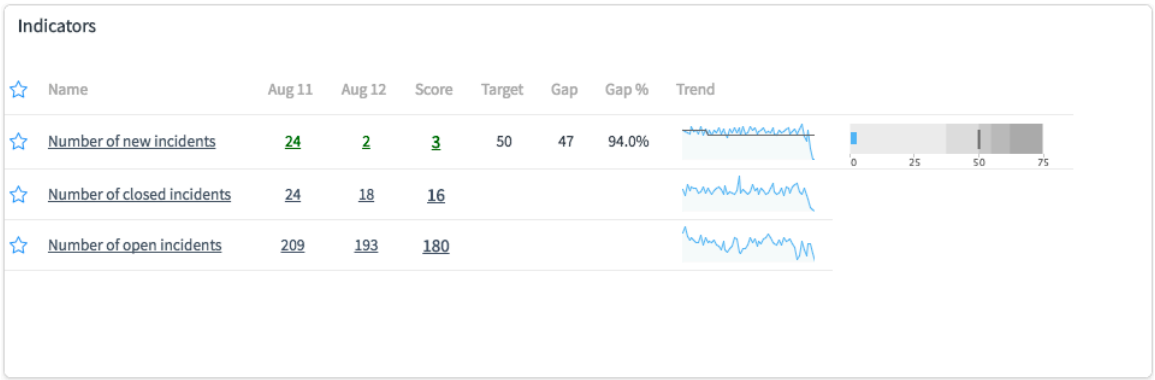
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて
このチャート化を使用すると、スコア、スコアのトレンド、およびターゲットのコンプライアンスに関する複数の類似するインジケーターを比較するのに役立ちます。

スコアカードによるチャート化 - リスト ウィジェット



手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** > ウィジェット。
2. [新規] をクリックします。
3. [名前] フィールドに、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
4. [タイプ] フィールドで、[リスト] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
5. [チャート化] フィールドで、[スコアカード] を選択します。
6. 次のいずれかの方法でインジケーターを選択します。
   - [インジケーターグループ] フィールドでグループを選択します。
   - [保存] をクリックしてから、「ウィジェット インジケーターの追加」で説明されているとおりにウィジェット インジケーターを追加します。
7. 7 日間の合計や平均を適用するなど、特定の期間のウィジェット データを集計するには、[時系列] フィールドの機能を選択します。

   注:
   ビジネスカレンダーと会計カレンダーは時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットに時系列集計を設定することはできません。

8. ブレークダウンダッシュボードで選択されているブレークダウン要素にウィジェットが従うようにするには、次の手順を実行します。

   a. [要素をフォロー] を選択します。

   b. オプション: [フォローしているブレークダウン] でフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
   ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンのソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは、同じブレークダウン ソースに基づく複数のブレークダウンを使用できま

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

す。この設定を使用して、ブレークダウン ダッシュボードでどのブレークダウンを適用するかを決定します。

(Optional) たとえば、インジケーター [オープンインシデントの数] では、[アサイン先] と [オープン者] の 2 つのブレークダウンが使用されます。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、そのウィジェットがブレークダウン ダッシュボードの要素に従うようにする場合を考えてみましょう。ウィジェットで、[アサイン先] ブレークダウンの要素に個別の値を表示する場合。したがって、[フォローしているブレークダウン] フィールドで [アサイン先] を選択します。

c. [複数の要素の表示方法] で、各要素を個別に表示するか、インジケーター集計に基づいて要素の集計を表示するかを選択します。
すべてのウィジェットによるチャート化やすべてのインジケーターが、集計ビューと個別ビューの両方をサポートしているわけではありません。自動インジケーターおよび外部インジケーターの場合、集計ビューは COUNT、SUM、MAX、および MIN データ集計のみがサポートされます。COUNT DISTINCT と AVG はそうではありません。詳細については、「複数の要素を個別に表示または集計して表示する」を参照してください。

9. オプション: [ソート] フィールドでデータをソートする属性を選択します。

10. [列の設定] タブで、表示するスコアと測定基準を選択します。

列の設定	説明
現在のスコア	最新のデータ収集のスコアを表示します。デフォルトで選択されています。
トレンド	インジケーターが動く方向を表示します。トレンドは、ダッシュボードのミニチャートに表示されます。デフォルトで選択されています。
ブレットグラフ	最新のスコアが最新のターゲット スコアにどれくらい近いかを示すグラフを表示します。このグラフは、インジケーターにターゲットが定義されている場合にのみ表示されます。
複数のスコア	[期間の数] フィールドに定義されているスコアの数を表示します。このフィールドは [複数のスコア] が選択されている場合に表示されます。 [現在のスコア] も選択されている場合、最新の期間に [スコア] と表示されます。それ以外の場合は、最新の期間に日付が表示されます。
期間の数	ウィジェットに含める追加期間の数を選択します。
期間のステップ	[期間の数] > 1 の場合、各期間の長さを選択します。単位は、最初のインジケーターの頻度に基づいています。 **注:** 日次、週次などの異なる頻度のインジケーターを含めると、インジケーターごとに異なる期間数が表示されます。たとえば、最初のインジケーターの頻度が日次で、別のインジケーターの頻度が週次である場合、週次インジケーター 1 スコアごとに、日次インジケーターは 7 つのスコアを表示します。
前回比	前のスコアからの値の変更を表示します。
前回比 (%)	前のスコアからのパーセンテージの変更を表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

列の設定	説明
ターゲット	インジケーターのターゲットを表示します。値は、インジケーターにターゲットが定義されている場合にのみ表示されます。ターゲットと現在のスコアは、[ブレットグラフ] にグラフィカルに表示されます。
ギャップ	現在のスコアとターゲットの差を表示します。最大化方向のインジケーターの場合、ギャップの計算はスコア – ターゲットです。最小化方向のインジケーターでは、ターゲット – スコアで計算されます。したがって、正の値は常に良好であり、負の値は常に悪い値です。値は、インジケーターにターゲットが定義されている場合にのみ表示されます。
ギャップ %	現在のスコアとターゲット スコアのパーセンテージの差を表示します。ギャップと同様に、指標の方向に関係なく、正のギャップ%は常に良好であり、負のギャップ%は常に不良です。値は、インジケーターにターゲットが定義されている場合にのみ表示されます。

11. オプション: [リスト設定] タブで表示するインジケーターをフィルタリングします。

リスト設定	説明
スコアカードオプション	[すべてのインジケーター]、[キー] とマークされたインジケーター、または [お気に入りのインジケーター] を選択して、これらのインジケーターのみをダッシュボードに表示します。
ページサイズ	リスト スコアカードに表示する行数を選択します。
フィルタ	[パフォーマンスが最高]、[パフォーマンスが最低]、[改善]、[拒否]、または [悪化] のスコアカード リストをフィルタリングします。フィルタと一致するインジケーター スコアのみが表示されます。

12. [送信] または [更新] をクリックします。

次のタスク
ウィジェットを表示するには、ウィジェットをダッシュボードまたはポータルに追加します。

リスト ウィジェットでのスパイダーによるチャート化の作成

複数のインジケーターのスコアをプロットするには、リスト ウィジェットでスパイダーによるチャート化を使用します。

始める前に
必要なロール：pa_power_user または admin

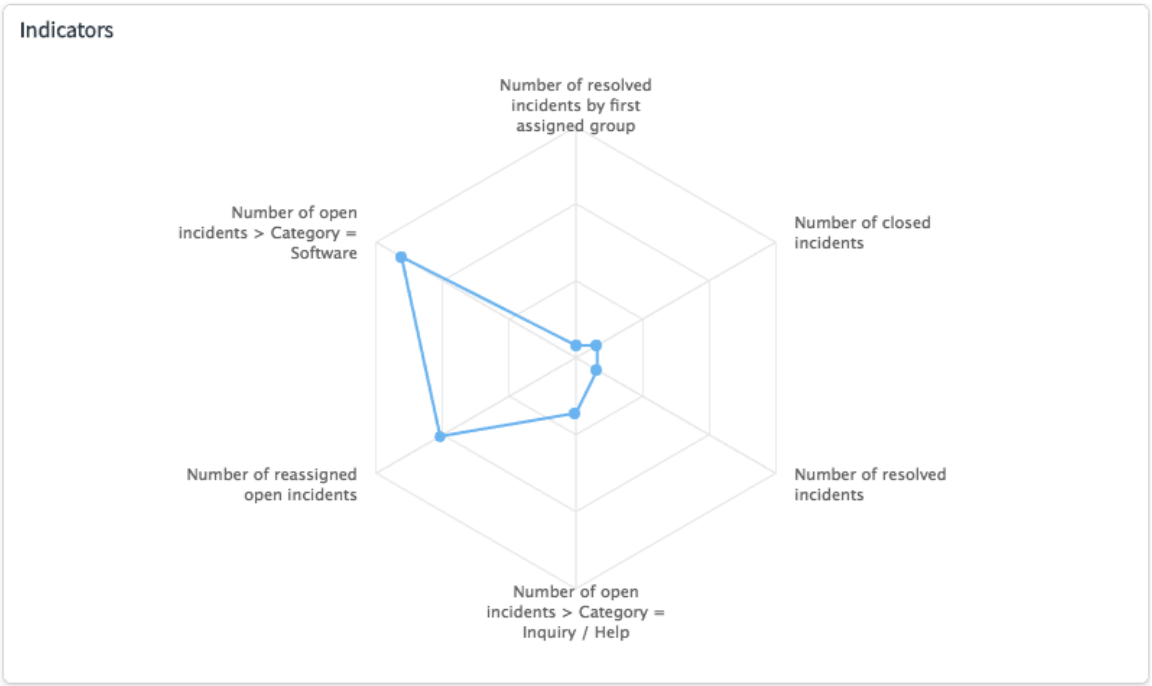
このタスクについて
このチャート化を使用すると、複数の類似するインジケーターのスコアを比較するのに役立ちます。

注:
スパイダーによるチャート化では最大 10 個のインジケーターを比較できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スパイダーによるチャート化 - リスト ウィジェット



手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** > ウィジェット。
2. [新規] をクリックします。
3. [名前] フィールドに、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
4. [タイプ] フィールドで、[リスト] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
5. [チャート化] フィールドで、[スパイダー] を選択します。
6. 次のいずれかの方法でインジケーターを選択します。
   - [インジケーターグループ] フィールドでグループを選択します。
   - [保存] をクリックしてから、「ウィジェット インジケーターの追加」で説明されているとおりにウィジェット インジケーターを追加します。
7. 7 日間の合計や平均を適用するなど、特定の期間のウィジェット データを集計するには、[時系列] フィールドの機能を選択します。

   注:
   ビジネスカレンダーと会計カレンダーは時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットに時系列集計を設定することはできません。

8. ブレークダウンダッシュボードで選択されているブレークダウン要素にウィジェットが従うようにするには、次の手順を実行します。

   a. [要素をフォロー] を選択します。

   b. オプション: [フォローしているブレークダウン] でフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンのソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは、同じブレークダウン ソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、ブレークダウン ダッシュボードでどのブレークダウンを適用するかを決定します。

(Optional) たとえば、インジケーター [オープンインシデントの数] では、[アサイン先] と [オープン者] の 2 つのブレークダウンが使用されます。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、そのウィジェットがブレークダウン ダッシュボードの要素に従うようにする場合を考えてみましょう。ウィジェットで、[アサイン先] ブレークダウンの要素に個別の値を表示する場合。したがって、[フォローしているブレークダウン] フィールドで [アサイン先] を選択します。

c. [複数の要素の表示方法] で、各要素を個別に表示するか、インジケーター集計に基づいて要素の集計を表示するかを選択します。
すべてのウィジェットによるチャート化やすべてのインジケーターが、集計ビューと個別ビューの両方をサポートしているわけではありません。自動インジケーターおよび外部インジケーターの場合、集計ビューは COUNT、SUM、MAX、および MIN データ集計のみがサポートされます。COUNT DISTINCT と AVG はそうではありません。詳細については、「複数の要素を個別に表示または集計して表示する」を参照してください。

9. オプション: [ソート] フィールドでデータをソートする属性を選択します。

10. オプション: [リスト設定] タブで表示するインジケーターをフィルタリングします。

リスト設定	説明
インジケーター オプション	[すべてのインジケーター]、[キー] とマークされたインジケーター、または [お気に入りのインジケーター] を選択します。
ページサイズ	インジケーターリストに表示する行数を選択します。

次のタスク
ウィジェットを表示するには、ウィジェットをダッシュボードまたはポータルに追加します。

ブレークダウンウィジェット

ブレークダウン ウィジェットは、ブレークダウン要素別にグループ化されたインジケーター スコアを表示します。異なるチャート化を使用して、ブレークダウン要素の比率またはこれらの比率のトレンドを比較することができます。

ブレークダウン ウィジェットでのチャート化を選択するときは、ブレークダウン要素のトレンドと比率のどちらを比較するか検討します。また、1 つのインジケーターを表示するのか複数の関連インジケーターを比較するのか、1 つのブレークダウンを表示するのか 2 つのブレークダウンを表示するのかも検討します。

ブレークダウン ウィジェットのチャート化

	チャート化	説明
ブレークダウン要素別に、インジケーターのスコアのトレンドをチャート化する		
	スコアカード	単一のインジケーターの 1 つのブレークダウンのトレンドを表示します。
ブレークダウン要素の比率をチャート化する		

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ブレークダウン ウィジェットのチャート化 (続く)

	チャート化	説明
	Column	ブレークダウン要素の比率を、比例する垂直列として表示することによって比較することができます。円グラフやじょうごグラフなどのチャート化が適切ではない場合に使用します。
	円グラフ	全体を表す円を使用して、ブレークダウン要素の比率を比較できるようにします。
	ドーナツグラフ	全体を表すドーナツ型を使用して、ブレークダウン要素の比率を比較できるようにします。
	半ドーナツ	全体を表す半ドーナツ型を使用して、ブレークダウン要素の比率を比較できるようにします。半ドーナツ チャートでは、半分に分割されたドーナツ形を使用して全体を表します。
	じょうごグラフ	値を漸進的に減少する割合で表示することで、ブレークダウン要素の比率を比較できるようにします。各セクションのサイズは、すべての値の合計のパーセンテージを反映します。
	ピラミッド	値を漸進的に増加する割合で表示することで、ブレークダウン要素の比率を比較できるようにします。各セクションのサイズは、すべての値の合計のパーセンテージを反映します。
スコアのトレンドとブレークダウン要素の比率の両方をチャート化する		
	積み上げ縦棒	時系列とブレークダウン ウィジェットの機能を組み合わせます。X 軸は時間軸であり、チャート化で経時的なインジケーター スコアの開発を表示します。また、各列は、ブレークダウン要素に応じて積み上げられたスライスに分割されます。したがって、このチャート化は、時間の経過とともにブレークダウン要素の比率を表示します。
	列と合計	ブレークダウン要素の比率とインジケーター スコアのトレンドの両方を表示します。時間の経過とともに、ブレークダウン値ごとに個別の列とすべての値の合計を表す線を表示します。
	線	一連のデータ ポイントを直線で結ぶことによって、インジケーターのブレークダウン要素の比率の経時変化を表示します。
	相対比較	時間の経過とともに複数のブレークダウンがどのように発散するかを表示します。
その他のチャート化		
	パレート図	列と線のチャート化を組み合わせて、多数の係数の中で最も重要な係数を特定します。
	ピボット スコアカード	複数のインジケーターに適用された 1 つのブレークダウンのブレークダウン要素を比較できるようにします。Y 軸は、インジケーターまたはブレークダウン要素にすることができます。
	ツリーマップ	ネストされた四角形をグラデーションで色付けしてツリーのように表示して、ポジティブからネガティブまでのスコアまたはスコアのトレンドを示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ブレークダウンによるグループ化とブレークダウンによるフィルタリング

ブレークダウン ウィジェットでは、グループまたはフィルタ インジケーターのスコアをブレークダウンします。ウィジェットを作成すると、ブレークダウンのこの 2 つの目的がブレークダウン フィールドの機能に影響します。

ウィジェット フォームの [ブレークダウン] および [ブレークダウンレベル **2]** フィールドには、他のウィジェット タイプとは異なるブレークダウン ウィジェットの機能があります。他のほとんどのウィジェット タイプでは、これらのフィールドでフィルターが指定されます。指定されたブレークダウン要素に対応するインジケーター スコアのみが表示されます。ただし、ブレークダウン ウィジェットを作成するときは、スコアをフィルタリングするのではなく、ブレークダウンによってグループ化します。ブレークダウン要素は、円グラフによるチャート化の異なる扇形、縦棒グラフによるチャート化の個別の列などとして表示されます。

デフォルトでは、ブレークダウン ウィジェットにはブレークダウンのすべての要素が表示されます。ただし、要素フィルターを適用することで、表示する要素を制限できます。詳細については、「要素フィルタ」を参照してください。

第 1 レベルのブレークダウンと要素でスコアをフィルタリングし、第 2 レベルのブレークダウンの要素を表示することができます。これを行うには、[ブレークダウン] フィールドと [要素] フィールドでブレークダウンと要素を指定します。次に、データのグループ化に使用するブレークダウンを **[2** 番目のブレークダウン] フィールドに指定します。[第 **2** ブレークダウン] を指定しない場合、[要素] フィールドは無視され、インジケーター スコアをフィルタリングするのではなく、グループ化するために最初のブレークダウンが使用されます。

ダッシュボードでのブレークダウン ウィジェットとのやり取り

パフォーマンス分析のユーザーは、ダッシュボードで個々のブレークダウン ウィジェットとやり取りして、チャート化またはブレークダウンを変更できます。

[タイプ] が [ブレークダウン] のウィジェットを使用すると、ユーザーはダッシュボードでウィジェットを表示するときにチャート化を選択できます。ユーザーは、ダッシュボードでウィジェットを表示するときに [チャート化] 選択リストから、ウィジェット タイプの任意のチャート化を選択できます。

注:
ダッシュボードから [ピボットスコアカード] のチャート化を選択することはできません。このチャート化を使用するには、ウィジェット レコードを構成します。

ブレークダウン ウィジェットを使用すると、複数のブレークダウンが利用可能な場合にユーザーにブレークダウンを選択させることもできます。ダッシュボードでウィジェットを表示すると、[ブレークダウン] 選択リストに [インジケーター] ウィジェットのすべての利用可能なブレークダウンが表示されます。インジケーターに関連付けられたブレークダウンが 1 つしかない場合、[ブレークダウン] 選択リストはウィジェットに表示されません。

注:
ウィジェットがブレークダウン ダッシュボードに追加されていて、ユーザーがウィジェットとダッシュボードで同じブレークダウンを選択すると、ダッシュボードのブレークダウンは無視されます。しかし、ユーザーが他の組み合わせのブレークダウンをウィジェットとダッシュボードで選択すると、両方のブレークダウンが適用されます。

デフォルトでは、インタラクティブなブレークダウンが第 1 レベルのブレークダウンとして適用されます。ただし、ウィジェットがブレークダウン ダッシュボードにあり、ウィジェット フォームで [要素をフォロー] が選択されている場合、インタラクティブ ブレークダウンは第 2 レベルのブレークダウンとして適用されます (第 2 レベルのブレークダウンを適用するにはインジケーターで [ブレークダウンマトリクスを収集] が設定されている必要があります)。ウィジェットを含むダッシュボードに設定されているすべてのブレークダウンは、第 1 レベルのブレークダウンとして適用されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

特定のウィジェットのこの機能を無効にするには、ウィジェット フォームで [表示方法セレクタを表示] または [ブレークダウンセレクタを表示] チェックボックスをオフにします。

ウィジェット レコードで選択されているチャート化またはブレークダウンがデフォルトとして使用されます。

関連情報

Performance Analytics のブレークダウン

ダッシュボードでのブレークダウンの使用

ブレークダウン ウィジェットでのスコアカードによるチャート化の作成

1 つのインジケーターに適用されている 1 つのブレークダウンの要素のトレンドを表示するには、スコアカードによるチャート化を使用します。

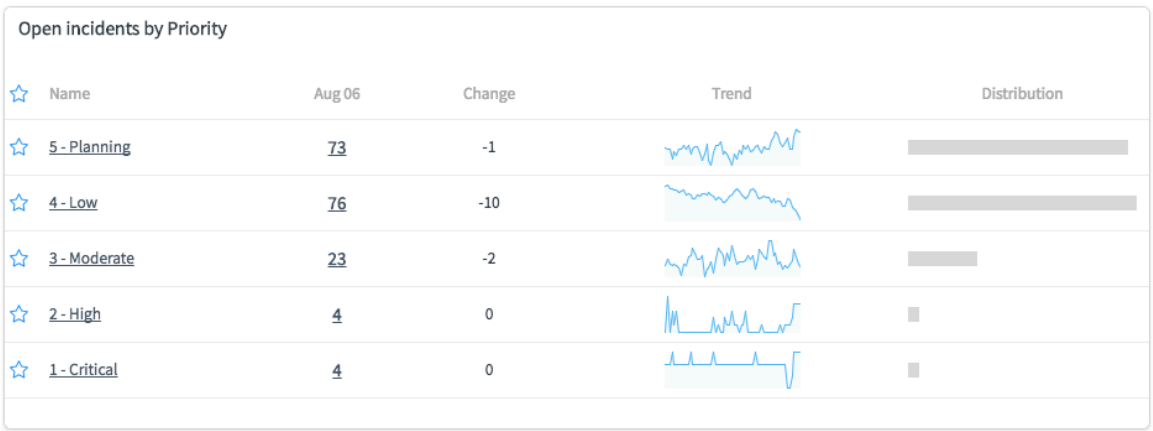
始める前に

必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて

スコアカードによるチャート化では、1 つのインジケーターに適用されている 1 つのブレークダウンの要素別のトレンドを表示します。

スコアカードによるチャート化 - ブレークダウン



手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** > ウィジェット をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[ブレークダウン] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
4. [チャート化] フィールドで、[スコアカード] を選択します。
   ユーザーがチャート化を切り替えられるようにすることができます。[表示設定] タブで [表示方法セレクタを表示] を選択します。
5. [インジケーター] フィールドで、ブレークダウンするメインのインジケーターを選択します。
6. ブレークダウンを選択してスコアをグループ化します。
   ブレークダウンと要素を設定して、スコアをフィルタリングすることもできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ブレークダウンの要素別にグループ化されたスコアをウィジェットに表示するには、[ブレークダウン] フィールドでブレークダウンを選択します。要素または 2 番目のブレークダウンを選択しないでください。
- ビューアの特性に応じて異なる要素をウィジェットに表示させることができます。これを行うには、[要素設定] タブで要素フィルタを指定します。[要素] フィールドに要素を指定しないでください。カスタマイズできるのは、第 1 レベルのブレークダウン要素のみです。詳細については、「パーソナライズされたビジュアル」を参照してください。
- あるブレークダウンの要素でフィルタリングされたスコアを、別のブレークダウンの要素でグループ化してウィジェットに表示するには、[ブレークダウン] フィールドと [要素] フィールドでフィルタリング ブレークダウンと要素を選択します。次に、[**2** 番目のブレークダウン] フィールドでグループ化ブレークダウンを選択します。ウィジェットには、 第 **2** ブレークダウン の各要素のスコアが表示されますが、最初の ブレークダウン と 要素と一致する場合に限られます。

  注:

  - 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。
  - 2 番目のブレークダウンを設定するには、[要素をフォロー] を無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。

- ウィジェットは、1 つのブレークダウンでグループ化され、ユーザーがブレークダウン ダッシュボードで選択した要素によってフィルタリングされたスコアを表示することもできます。[ブレークダウン] フィールドで、グループ化ブレークダウンを選択します。次に、後の手順で説明するように [要素をフォロー] を選択します。

重要:
ウィジェットが式インジケーター用である場合、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートしている必要があります。それ以外の場合は、値の代わりにエラーメッセージがダッシュボードのウィジェットに表示されます。

7. ブレークダウンダッシュボードで選択されているブレークダウン要素にウィジェットが従うようにするには、次の手順を実行します。

a. [要素をフォロー] を選択します。

このオプションを選択すると、ウィジェットでフィルタリング ブレークダウンを設定する機能が削除されます。スコアは、最初のブレークダウンの要素によってグループ化され、ユーザーがダッシュボードで選択した要素によってフィルタリングされます。

b. オプション: [フォローしているブレークダウン] でフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンのソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは、同じブレークダウン ソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、ブレークダウン ダッシュボードでどのブレークダウンを適用するかを決定します。

(Optional) たとえば、インジケーター [オープンインシデントの数] では、[アサイン先] と [オープン者] の 2 つのブレークダウンが使用されます。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、そのウィジェットがブレークダウン ダッシュボードの要素に従うようにする場合を考えてみましょう。[アサイン先] ブレークダウンの要素に個別の値をウィジェットに表示する

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

場合。したがって、[フォローしているブレークダウン] フィールドで [アサイン先] を選択します。

c. [複数の要素の表示方法] では、集計ビューのみを使用できます。

d. オプション: [フォローしているブレークダウンの関連付け] でブレークダウンの関連付けを選択します。
ウィジェットは、指定されたブレークダウンの関連付けをフォローするブレークダウン要素のみを表示します。ブレークダウン ダッシュボードで、関連するブレークダウン要素を選択する必要があります。それ以外の場合、ウィジェットはデータを表示しません。詳細な例については、次のリンクを参照してください ダッシュボードのブレークダウン関係の表示。

注:

- フォローしているブレークダウンまたはフォローしているブレークダウンの関連付けのいずれかを指定できますが、両方を指定することはできません。
- 複数の要素の選択は、ブレークダウンの関連付けに従うウィジェットではサポートされていません。

詳細については、「ブレークダウン ダッシュボードのウィジェットの設定」を参照してください。

8. オプション: 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
時系列	7 日間の合計や平均を適用するなど、特定の期間のスコアに対して機能を実行します。インジケーターに適用されないようにします。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーと会計カレンダーは時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットに時系列集計を設定することはできません。
ソート (Optional) ソートの方向	[ソート] 属性でデータをソートします。次に、昇順または降順のどちらでソートするかを選択します。 **注:** システムは、最新の収集ジョブのスコアに基づいてデータをソートしようとします。最新のジョブがスコアを収集しなかった場合、[ソートオン] 設定は無視されます。

9. オプション: [設定] タブをクリックし、必要に応じて設定を変更します。

10. [送信] をクリックします。

次のタスク

ウィジェットを表示するには、ウィジェットをダッシュボードまたはポータルに追加します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

関連情報

- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット
- ブレークダウン ウィジェットの追加設定
- ブレークダウンによるグループ化とブレークダウンによるフィルタリング
- ダッシュボードでのブレークダウン ウィジェットとのやり取り
- 分析ハブ

ブレークダウン ウィジェットでの円グラフ、ドーナツ グラフ、または半ドーナツ グラフによるチャート化の作成

ブレークダウンの要素の比率を表示するには、円グラフ、ドーナツ グラフ、または半ドーナツ グラフによるチャート化を使用します。

始める前に

必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて

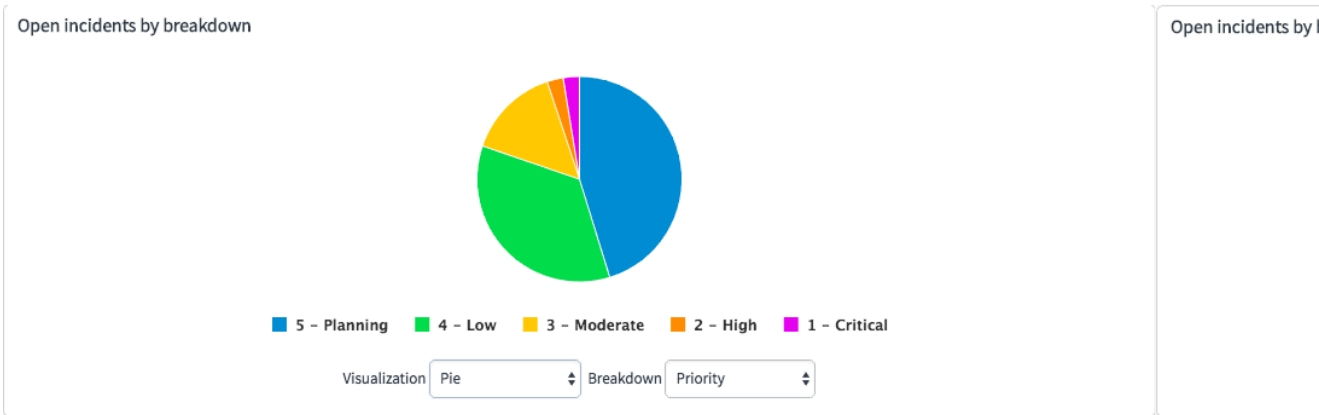
ブレークダウン要素のパーセンテージや比率を比較する必要がある場合は、円グラフ、ドーナツ グラフ、または半ドーナツ グラフによるチャート化を使用できます。特定のウィジェットにどれが最適かを確認するために、3 つすべてを検討してください。

これらのチャート化は、以下の場合には不明瞭になります。

- ブレークダウンに含まれる要素が多すぎる。
- ブレークダウンのいくつかの要素が他の要素よりずっと小さい。

これらの場合、または割合ではなくスコアを比較するには、縦棒グラフによるチャート化の使用を検討してください。

円グラフ、ドーナツ グラフ、半ドーナツ グラフによるチャート化



手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** > ウィジェット をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[ブレークダウン] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [チャート化] フィールドで、[円グラフ]、[ドーナツグラフ]、または [半ドーナツグラフ] を選択します。
   ユーザーがチャート化を切り替えられるようにすることができます。[表示設定] タブで [表示方法セレクタを表示] を選択します。
5. [インジケーター] フィールドで、ブレークダウンするメインのインジケーターを選択します。
6. ブレークダウンを選択してスコアをグループ化します。
   ブレークダウンと要素を設定して、スコアをフィルタリングすることもできます。
   - ブレークダウンの要素別にグループ化されたスコアをウィジェットに表示するには、[ブレークダウン] フィールドでブレークダウンを選択します。要素または 2 番目のブレークダウンを選択しないでください。
   - ビューアの特性に応じて異なる要素をウィジェットに表示させることができます。これを行うには、[要素設定] タブで要素フィルタを指定します。[要素] フィールドに要素を指定しないでください。カスタマイズできるのは、第 1 レベルのブレークダウン要素のみです。詳細については、「パーソナライズされたビジュアル」を参照してください。
   - あるブレークダウンの要素でフィルタリングされたスコアを、別のブレークダウンの要素でグループ化してウィジェットに表示するには、[ブレークダウン] フィールドと [要素] フィールドでフィルタリング ブレークダウンと要素を選択します。次に、[**2** 番目のブレークダウン] フィールドでグループ化ブレークダウンを選択します。ウィジェットには、 第 **2** ブレークダウン の各要素のスコアが表示されますが、最初の ブレークダウン と 要素と一致する場合に限られます。

     注:
     - 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。
     - 2 番目のブレークダウンを設定するには、[要素をフォロー] を無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。

   - ウィジェットは、1 つのブレークダウンでグループ化され、ユーザーがブレークダウン ダッシュボードで選択した要素によってフィルタリングされたスコアを表示することもできます。[ブレークダウン] フィールドで、グループ化ブレークダウンを選択します。次に、後の手順で説明するように [要素をフォロー] を選択します。

   重要:
   ウィジェットが式インジケーター用である場合、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートしている必要があります。それ以外の場合は、値の代わりにエラーメッセージがダッシュボードのウィジェットに表示されます。

7. ブレークダウンダッシュボードで選択されているブレークダウン要素にウィジェットが従うようにするには、次の手順を実行します。

   a. [要素をフォロー] を選択します。

      このオプションを選択すると、ウィジェットでフィルタリング ブレークダウンを設定する機能が削除されます。スコアは、最初のブレークダウンの要素によってグループ化され、ユーザーがダッシュボードで選択した要素によってフィルタリングされます。

   b. オプション: [フォローしているブレークダウン] でフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
      ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンのソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは、同じブレークダウン ソースに基づく複数のブレークダウンを使用できま

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

す。この設定を使用して、ブレークダウン ダッシュボードでどのブレークダウンを適用するかを決定します。

(Optional) たとえば、インジケーター [オープンインシデントの数] では、[アサイン先] と [オープン者] の 2 つのブレークダウンが使用されます。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、そのウィジェットがブレークダウン ダッシュボードの要素に従うようにする場合を考えてみましょう。[アサイン先] ブレークダウンの要素に個別の値をウィジェットに表示する場合。したがって、[フォローしているブレークダウン] フィールドで [アサイン先] を選択します。

c. [複数の要素の表示方法] では、集計ビューのみを使用できます。

詳細については、「ブレークダウン ダッシュボードのウィジェットの設定」を参照してください。

注:
[フォローしているブレークダウンの関連付け] メニューは、スコアカードによるチャート化でのみ機能します。また、フォローするブレークダウンの関連付けを設定した場合、ウィジェットではブレークダウンダッシュボードでの複数要素の選択はサポートされません。

8. オプション: 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
時系列	7 日間の合計や平均を適用するなど、特定の期間のスコアに対して機能を実行します。インジケーターに適用されないようにします。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーと会計カレンダーは時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットに時系列集計を設定することはできません。
ソート (Optional) ソートの方向	[ソート] 属性でデータをソートします。次に、昇順または降順のどちらでソートするかを選択します。 **注:** システムは、最新の収集ジョブのスコアに基づいてデータをソートしようとします。最新のジョブがスコアを収集しなかった場合、[ソートオン] 設定は無視されます。
カラースキーム	すべてのブレークダウンのスコアの色のスペクトラム。ブレークダウンが 1 つしか表示されない場合は、最初の色のみが使用されます。 (Optional) カラースキームを指定しない場合は、システムプロパティ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	glide.ui.chart.default.colors で定義された色が適用されます。 提供されているカラー スキームを使用する代わりに、独自のカラー スキームを作成できます。詳細については、「配色を作成する」を参照してください。

9. オプション: [設定] タブをクリックし、必要に応じて設定を変更します。
   詳細については、「ブレークダウン ウィジェットの追加設定」を参照してください。
10. [送信] をクリックします。

次のタスク
ウィジェットを表示するには、ウィジェットをダッシュボードまたはポータルに追加します。

関連情報
- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット
- ブレークダウンによるグループ化とブレークダウンによるフィルタリング
- ダッシュボードでのブレークダウン ウィジェットとのやり取り

ブレークダウン ウィジェットでのピラミッド グラフまたはじょうごグラフによるチャート化の作成

ブレークダウンの要素の比率を表示するには、特に要素がプロセスのステージを表すときは、ピラミッド グラフまたはじょうごグラフによるチャート化を使用します。

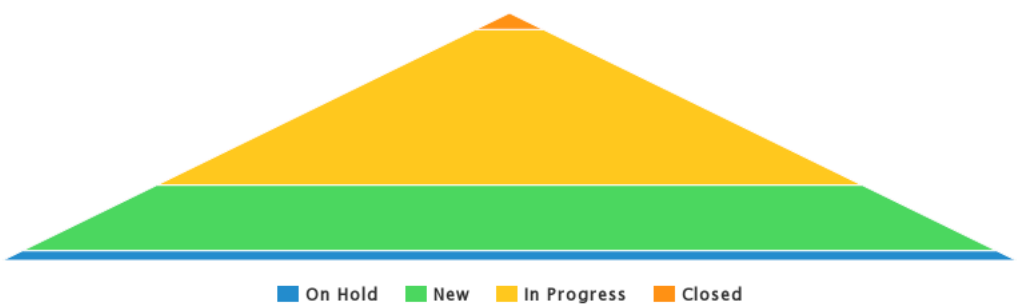
始める前に
必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて
ブレークダウン要素のパーセンテージや比率を比較する必要がある場合は、円グラフによるチャート化の代わりにじょうごグラフまたはピラミッド グラフによるチャート化を使用することを検討してください。じょうごグラフおよびピラミッド グラフによるチャート化は、ブレークダウンの要素がプロセスのステージ (営業プロセスのリードから商談成立までなど) を表す場合に特に適しています。

じょうごグラフはパーセンテージを減少させることで、ピラミッド グラフはパーセンテージを増加させることで、上から下にスライスを積み重ねます。ピラミッド グラフは、組織の階層レベルを表すためによく使用されます。

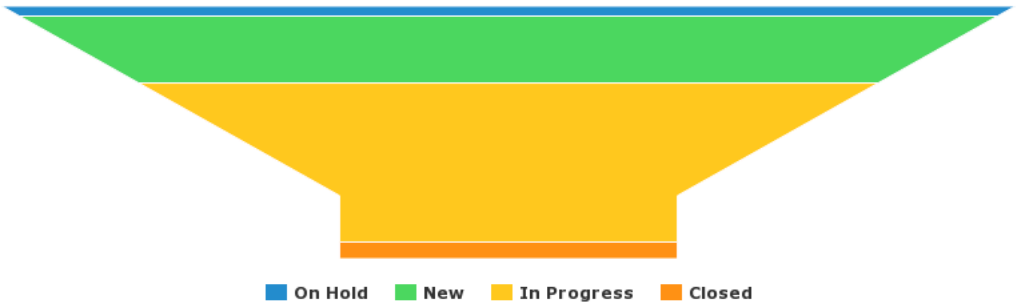
ピラミッド グラフおよびじょうごグラフによるチャート化 - ブレークダウン

次の例では、オープン インシデントがそのステージに応じて表示されています。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** > ウィジェット をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[ブレークダウン] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
4. [チャート化] フィールドで、[ピラミッドグラフ] または [じょうごグラフ] を選択します。
   ユーザーがチャート化を切り替えられるようにすることができます。[表示設定] タブで [表示方法セレクタを表示] を選択します。
5. [インジケーター] フィールドで、ブレークダウンするメインのインジケーターを選択します。
6. ブレークダウンを選択してスコアをグループ化します。
   ブレークダウンと要素を設定して、スコアをフィルタリングすることもできます。
   - ブレークダウンの要素別にグループ化されたスコアをウィジェットに表示するには、[ブレークダウン] フィールドでブレークダウンを選択します。要素または 2 番目のブレークダウンを選択しないでください。
   - ビューアの特性に応じて異なる要素をウィジェットに表示させることができます。これを行うには、[要素設定] タブで要素フィルタを指定します。[要素] フィールドに要素を指定しないでください。カスタマイズできるのは、第 1 レベルのブレークダウン要素のみです。詳細については、「パーソナライズされたビジュアル」を参照してください。
   - あるブレークダウンの要素でフィルタリングされたスコアを、別のブレークダウンの要素でグループ化してウィジェットに表示するには、[ブレークダウン] フィールドと [要素] フィールドでフィルタリング ブレークダウンと要素を選択します。次に、[**2** 番目のブレークダウン] フィールドでグループ化ブレークダウンを選択します。ウィジェットには、 第 **2** ブレークダウン の各要素のスコアが表示されますが、最初の ブレークダウン と 要素と一致する場合に限られます。

     注:

     - 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。
     - 2 番目のブレークダウンを設定するには、[要素をフォロー] を無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。

   - ウィジェットは、1 つのブレークダウンでグループ化され、ユーザーがブレークダウン ダッシュボードで選択した要素によってフィルタリングされたスコアを表示することもできます。[ブレークダウン] フィールドで、グループ化ブレークダウンを選択します。次に、後の手順で説明するように [要素をフォロー] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **重要:**
> ウィジェットが式インジケーター用である場合、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートしている必要があります。それ以外の場合は、値の代わりにエラーメッセージがダッシュボードのウィジェットに表示されます。

7. ブレークダウンダッシュボードで選択されているブレークダウン要素にウィジェットが従うようにするには、次の手順を実行します。

   a. [要素をフォロー] を選択します。

      このオプションを選択すると、ウィジェットでフィルタリング ブレークダウンを設定する機能が削除されます。スコアは、最初のブレークダウンの要素によってグループ化され、ユーザーがダッシュボードで選択した要素によってフィルタリングされます。

   b. オプション: [フォローしているブレークダウン] でフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
      ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンのソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは、同じブレークダウン ソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、ブレークダウン ダッシュボードでどのブレークダウンを適用するかを決定します。

      (Optional) たとえば、インジケーター [オープンインシデントの数] では、[アサイン先] と [オープン者] の 2 つのブレークダウンが使用されます。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、そのウィジェットがブレークダウン ダッシュボードの要素に従うようにする場合を考えてみましょう。[アサイン先] ブレークダウンの要素に個別の値をウィジェットに表示する場合。したがって、[フォローしているブレークダウン] フィールドで [アサイン先] を選択します。

   c. [複数の要素の表示方法] では、集計ビューのみを使用できます。

   詳細については、「ブレークダウン ダッシュボードのウィジェットの設定」を参照してください。

   > **注:**
   > [フォローしているブレークダウンの関連付け] メニューは、スコアカードによるチャート化でのみ機能します。また、フォローするブレークダウンの関連付けを設定した場合、ウィジェットではブレークダウンダッシュボードでの複数要素の選択はサポートされません。

8. オプション: 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
時系列	7 日間の合計や平均を適用するなど、特定の期間のスコアに対して機能を実行します。インジケーターに適用されないようにします。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: ビジネスカレンダーと会計カレンダーは時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットに時系列集計を設定することはできません。
ソート (Optional) ソートの方向	[ソート] 属性でデータをソートします。次に、昇順または降順のどちらでソートするかを選択します。 注: システムは、最新の収集ジョブのスコアに基づいてデータをソートしようとします。最新のジョブがスコアを収集しなかった場合、[ソートオン] 設定は無視されます。
カラースキーム	すべてのブレークダウンのスコアの色のスペクトラム。ブレークダウンが 1 つしか表示されない場合は、最初の色のみが使用されます。 (Optional) カラースキームを指定しない場合は、システムプロパティ *glide.ui.chart.default.colors* で定義された色が適用されます。 提供されているカラー スキームを使用する代わりに、独自のカラー スキームを作成できます。詳細については、「配色を作成する」を参照してください。

9. オプション: [設定] タブをクリックし、必要に応じて設定を変更します。
   詳細については、「ブレークダウン ウィジェットの追加設定」を参照してください。
10. [送信] をクリックします。

次のタスク
ウィジェットを表示するには、ウィジェットをダッシュボードまたはポータルに追加します。

関連情報
- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット
- ブレークダウンによるグループ化とブレークダウンによるフィルタリング
- ダッシュボードでのブレークダウン ウィジェットとのやり取り

ブレークダウン ウィジェットでの縦棒グラフによるチャート化の作成

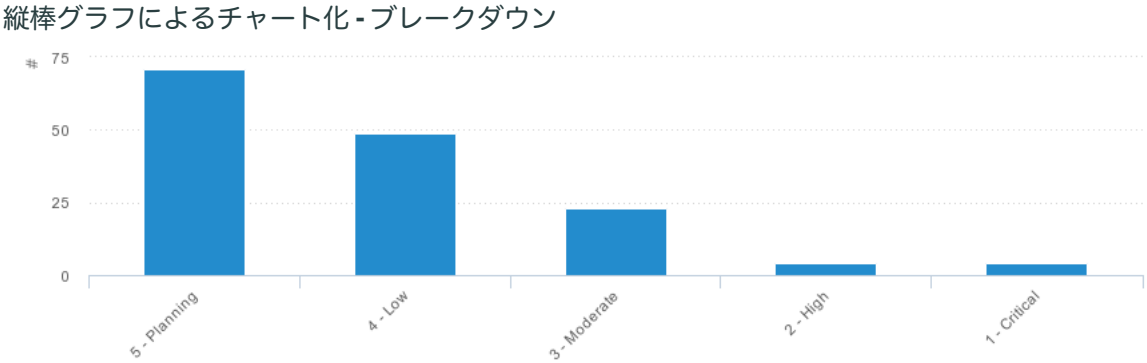
1 つのインジケーターに適用されている 1 つのブレークダウンの要素を比較するには、縦棒グラフによるチャート化を使用します。

始める前に
必要なロール：pa_power_user または admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このタスクについて
ブレークダウン要素別にインジケーター スコアの比率を比較する場合で、円グラフによるチャート化が不適切な場合は、縦棒グラフによるチャート化を使用します。縦棒グラフによるチャート化は、多くの要素がある場合、いくつかの要素が他の要素よりもはるかに小さい場合、またはいくつかの要素の値が互いに近い場合に、明確になります。



手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** > ウィジェット をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[ブレークダウン] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
4. [チャート化] フィールドで、[列] を選択します。
   ユーザーがチャート化を切り替えられるようにすることができます。[表示設定] タブで [表示方法セレクタを表示] を選択します。
5. [インジケーター] フィールドで、ブレークダウンするメインのインジケーターを選択します。
6. ブレークダウンを選択してスコアをグループ化します。
   ブレークダウンと要素を設定して、スコアをフィルタリングすることもできます。
   - ブレークダウンの要素別にグループ化されたスコアをウィジェットに表示するには、[ブレークダウン] フィールドでブレークダウンを選択します。要素または 2 番目のブレークダウンを選択しないでください。
   - ビューアの特性に応じて異なる要素をウィジェットに表示させることができます。これを行うには、[要素設定] タブで要素フィルタを指定します。[要素] フィールドに要素を指定しないでください。カスタマイズできるのは、第 1 レベルのブレークダウン要素のみです。詳細については、「パーソナライズされたビジュアル」を参照してください。
   - あるブレークダウンの要素でフィルタリングされたスコアを、別のブレークダウンの要素でグループ化してウィジェットに表示するには、[ブレークダウン] フィールドと [要素] フィールドでフィルタリング ブレークダウンと要素を選択します。次に、[**2** 番目のブレークダウン] フィールドでグループ化ブレークダウンを選択します。ウィジェットには、 第 **2** ブレークダウン の各要素のスコアが表示されますが、最初の ブレークダウン と 要素と一致する場合に限られます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

- 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。
- 2 番目のブレークダウンを設定するには、[要素をフォロー] を無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。

○ ウィジェットは、1 つのブレークダウンでグループ化され、ユーザーがブレークダウン ダッシュボードで選択した要素によってフィルタリングされたスコアを表示することもできます。[ブレークダウン] フィールドで、グループ化ブレークダウンを選択します。次に、後の手順で説明するように [要素をフォロー] を選択します。

重要:
ウィジェットが式インジケーター用である場合、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートしている必要があります。それ以外の場合は、値の代わりにエラーメッセージがダッシュボードのウィジェットに表示されます。

7. ブレークダウンダッシュボードで選択されているブレークダウン要素にウィジェットが従うようにするには、次の手順を実行します。

a. [要素をフォロー] を選択します。

このオプションを選択すると、ウィジェットでフィルタリング ブレークダウンを設定する機能が削除されます。スコアは、最初のブレークダウンの要素によってグループ化され、ユーザーがダッシュボードで選択した要素によってフィルタリングされます。

b. オプション: [フォローしているブレークダウン] でフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンのソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは、同じブレークダウン ソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、ブレークダウン ダッシュボードでどのブレークダウンを適用するかを決定します。

(Optional) たとえば、インジケーター [オープンインシデントの数] では、[アサイン先] と [オープン者] の 2 つのブレークダウンが使用されます。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、そのウィジェットがブレークダウン ダッシュボードの要素に従うようにする場合を考えてみましょう。[アサイン先] ブレークダウンの要素に個別の値をウィジェットに表示する場合。したがって、[フォローしているブレークダウン] フィールドで [アサイン先] を選択します。

c. [複数の要素の表示方法] では、集計ビューのみを使用できます。

詳細については、「ブレークダウン ダッシュボードのウィジェットの設定」を参照してください。

注:
[フォローしているブレークダウンの関連付け] メニューは、スコアカードによるチャート化でのみ機能します。また、フォローするブレークダウンの関連付けを設定した場合、ウィジェットではブレークダウンダッシュボードでの複数要素の選択はサポートされません。

8. オプション: 次のフィールドに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
時系列	7 日間の合計や平均を適用するなど、特定の期間のスコアに対して機能を実行します。インジケーターに適用されないようにします。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーと会計カレンダーは時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットに時系列集計を設定することはできません。
ソート (Optional) ソートの方向	[ソート] 属性でデータをソートします。次に、昇順または降順のどちらでソートするかを選択します。 **注:** システムは、最新の収集ジョブのスコアに基づいてデータをソートしようとします。最新のジョブがスコアを収集しなかった場合、[ソートオン] 設定は無視されます。
カラースキーム	すべてのブレークダウンのスコアの色のスペクトラム。ブレークダウンが 1 つしか表示されない場合は、最初の色のみが使用されます。 (Optional) カラースキームを指定しない場合は、システムプロパティ `glide.ui.chart.default.colors` で定義された色が適用されます。 提供されているカラー スキームを使用する代わりに、独自のカラー スキームを作成できます。詳細については、「配色を作成する」を参照してください。

9. オプション: [設定] タブをクリックし、必要に応じて設定を変更します。
   詳細については、「ブレークダウン ウィジェットの追加設定」を参照してください。
10. [送信] をクリックします。

次のタスク

ウィジェットを表示するには、ウィジェットをダッシュボードまたはポータルに追加します。

関連情報

- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット
- ブレークダウンによるグループ化とブレークダウンによるフィルタリング
- ダッシュボードでのブレークダウン ウィジェットとのやり取り

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ブレークダウン ウィジェットでのパレート図によるチャート化の作成

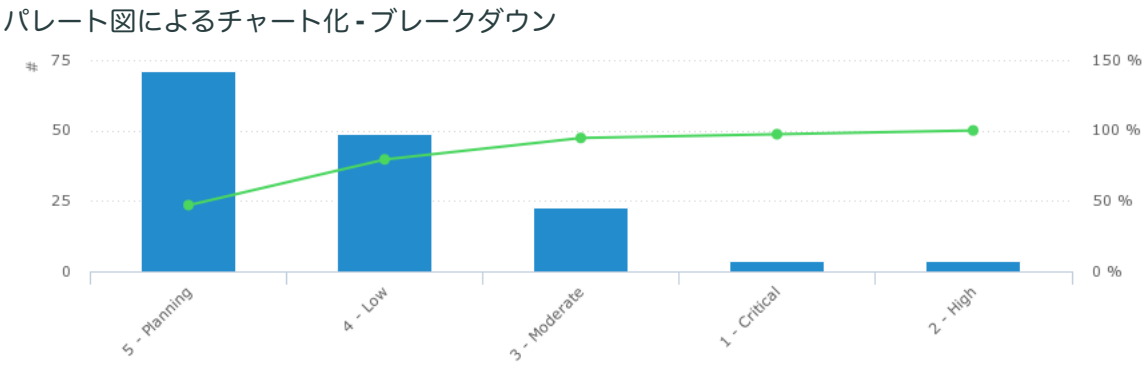
ブレークダウンに多くの要素が含まれているときに最も重要なブレークダウン要素を特定するには、パレート図によるチャート化を使用します。

始める前に

必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて

パレート図によるチャート化には棒グラフと線グラフの両方が含まれます。棒グラフには、データが左から右に向かって降順で表示されます。線グラフには、カテゴリごとの累積合計が同じ順序で表示されます。左側の Y 軸はレコード カウントです。右側の Y 軸は、評価対象のレコードの合計数に占める累積のパーセンテージです。線グラフと 80% のマークとの交差点の左側にあるデータは、全体の成果に最も大きな影響を与えています。



手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** > ウィジェット をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[ブレークダウン] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
4. [チャート化] フィールドで、[パレート図] を選択します。
   ユーザーがチャート化を切り替えられるようにすることができます。[表示設定] タブで [表示方法セレクタを表示] を選択します。
5. [インジケーター] フィールドで、ブレークダウンするメインのインジケーターを選択します。
6. ブレークダウンを選択してスコアをグループ化します。
   ブレークダウンと要素を設定して、スコアをフィルタリングすることもできます。
   - ブレークダウンの要素別にグループ化されたスコアをウィジェットに表示するには、[ブレークダウン] フィールドでブレークダウンを選択します。要素または 2 番目のブレークダウンを選択しないでください。
   - ビューアの特性に応じて異なる要素をウィジェットに表示させることができます。これを行うには、[要素設定] タブで要素フィルタを指定します。[要素] フィールドに要素を指定しないでください。カスタマイズできるのは、第 1 レベルのブレークダウン要素のみです。詳細については、「パーソナライズされたビジュアル」を参照してください。
   - あるブレークダウンの要素でフィルタリングされたスコアを、別のブレークダウンの要素でグループ化してウィジェットに表示するには、[ブレークダウン] フィールドと [要素] フィールドでフィルタリング ブレークダウンと要素を選択します。次に、[**2** 番目のブレークダウン] フィールドでグループ化ブレークダウンを選択します。ウィジェットには、 第 **2** ブレークダウ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ン の各要素のスコアが表示されますが、最初の ブレークダウン と 要素と一致する場合に限られます。

注:

- 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。
- 2 番目のブレークダウンを設定するには、[要素をフォロー] を無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。

- ウィジェットは、1 つのブレークダウンでグループ化され、ユーザーがブレークダウン ダッシュボードで選択した要素によってフィルタリングされたスコアを表示することもできます。[ブレークダウン] フィールドで、グループ化ブレークダウンを選択します。次に、後の手順で説明するように [要素をフォロー] を選択します。

重要:
ウィジェットが式インジケーター用である場合、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートしている必要があります。それ以外の場合は、値の代わりにエラーメッセージがダッシュボードのウィジェットに表示されます。

7. ブレークダウンダッシュボードで選択されているブレークダウン要素にウィジェットが従うようにするには、次の手順を実行します。

a. [要素をフォロー] を選択します。

このオプションを選択すると、ウィジェットでフィルタリング ブレークダウンを設定する機能が削除されます。スコアは、最初のブレークダウンの要素によってグループ化され、ユーザーがダッシュボードで選択した要素によってフィルタリングされます。

b. オプション: [フォローしているブレークダウン] でフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンのソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは、同じブレークダウン ソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、ブレークダウン ダッシュボードでどのブレークダウンを適用するかを決定します。

(Optional) たとえば、インジケーター [オープンインシデントの数] では、[アサイン先] と [オープン者] の 2 つのブレークダウンが使用されます。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、そのウィジェットがブレークダウン ダッシュボードの要素に従うようにする場合を考えてみましょう。[アサイン先] ブレークダウンの要素に個別の値をウィジェットに表示する場合。したがって、[フォローしているブレークダウン] フィールドで [アサイン先] を選択します。

c. [複数の要素の表示方法] では、集計ビューのみを使用できます。

詳細については、「ブレークダウン ダッシュボードのウィジェットの設定」を参照してください。

注:
[フォローしているブレークダウンの関連付け] メニューは、スコアカードによるチャート化でのみ機能します。また、フォローするブレークダウンの関連付けを設定した場合、ウィジェットではブレークダウンダッシュボードでの複数要素の選択はサポートされません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

8. オプション: 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
時系列	7 日間の合計や平均を適用するなど、特定の期間のスコアに対して機能を実行します。インジケーターに適用されないようにします。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーと会計カレンダーは時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットに時系列集計を設定することはできません。
ソート (Optional) ソートの方向	[ソート] 属性でデータをソートします。次に、昇順または降順のどちらでソートするかを選択します。 **注:** システムは、最新の収集ジョブのスコアに基づいてデータをソートしようとします。最新のジョブがスコアを収集しなかった場合、[ソートオン] 設定は無視されます。
カラースキーム	すべてのブレークダウンのスコアの色のスペクトラム。ブレークダウンが 1 つしか表示されない場合は、最初の色のみが使用されます。 (Optional) カラースキームを指定しない場合は、システムプロパティ *glide.ui.chart.default.colors* で定義された色が適用されます。 提供されているカラー スキームを使用する代わりに、独自のカラー スキームを作成できます。詳細については、「配色を作成する」を参照してください。

9. オプション: [設定] タブをクリックし、必要に応じて設定を変更します。
   詳細については、「ブレークダウン ウィジェットの追加設定」を参照してください。
10. [送信] をクリックします。

次のタスク

ウィジェットを表示するには、ウィジェットをダッシュボードまたはポータルに追加します。

関連情報

- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

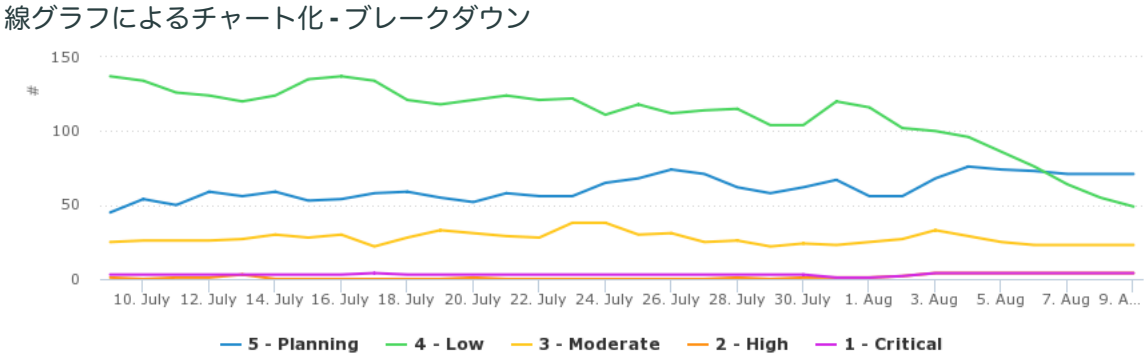
ブレークダウンによるグループ化とブレークダウンによるフィルタリング
ダッシュボードでのブレークダウン ウィジェットとのやり取り

ブレークダウン ウィジェットでの線グラフによるチャート化の作成

インジケーターのブレークダウン要素の比率の経時変化をフォローするには、ブレークダウン ウィジェットで線グラフによるチャート化を使用します。

始める前に
必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて
ブレークダウン ウィジェットの線グラフによるチャート化では、異なるブレークダウン要素に属するインジケーター スコアの割合の経時変化を表示します。変化を追跡する期間を選択するには、[日付の設定] タブに移動します。



手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** > ウィジェット をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[ブレークダウン] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
4. [チャート化] フィールドで、[線] を選択します。
   ユーザーがチャート化を切り替えられるようにすることができます。[表示設定] タブで [表示方法セレクタを表示] を選択します。
5. [インジケーター] フィールドで、ブレークダウンするメインのインジケーターを選択します。
6. ブレークダウンを選択してスコアをグループ化します。
   ブレークダウンと要素を設定して、スコアをフィルタリングすることもできます。
   - ブレークダウンの要素別にグループ化されたスコアをウィジェットに表示するには、[ブレークダウン] フィールドでブレークダウンを選択します。要素または 2 番目のブレークダウンを選択しないでください。
   - ビューアの特性に応じて異なる要素をウィジェットに表示させることができます。これを行うには、[要素設定] タブで要素フィルタを指定します。[要素] フィールドに要素を指定しないでください。カスタマイズできるのは、第 1 レベルのブレークダウン要素のみです。詳細については、「パーソナライズされたビジュアル」を参照してください。
   - あるブレークダウンの要素でフィルタリングされたスコアを、別のブレークダウンの要素でグループ化してウィジェットに表示するには、[ブレークダウン] フィールドと [要素] フィールドでフィルタリング ブレークダウンと要素を選択します。次に、[**2** 番目のブレークダウン]

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールドでグループ化ブレークダウンを選択します。ウィジェットには、 第 **2** ブレークダウン の各要素のスコアが表示されますが、最初の ブレークダウン と 要素と一致する場合に限られます。

注:

- 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。
- 2 番目のブレークダウンを設定するには、[要素をフォロー] を無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。

○ ウィジェットは、1 つのブレークダウンでグループ化され、ユーザーがブレークダウン ダッシュボードで選択した要素によってフィルタリングされたスコアを表示することもできます。[ブレークダウン] フィールドで、グループ化ブレークダウンを選択します。次に、後の手順で説明するように [要素をフォロー] を選択します。

重要:
ウィジェットが式インジケーター用である場合、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートしている必要があります。それ以外の場合は、値の代わりにエラーメッセージがダッシュボードのウィジェットに表示されます。

7. ブレークダウンダッシュボードで選択されているブレークダウン要素にウィジェットが従うようにするには、次の手順を実行します。

a. [要素をフォロー] を選択します。

このオプションを選択すると、ウィジェットでフィルタリング ブレークダウンを設定する機能が削除されます。スコアは、最初のブレークダウンの要素によってグループ化され、ユーザーがダッシュボードで選択した要素によってフィルタリングされます。

b. オプション: [フォローしているブレークダウン] でフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンのソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは、同じブレークダウン ソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、ブレークダウン ダッシュボードでどのブレークダウンを適用するかを決定します。

(Optional) たとえば、インジケーター [オープンインシデントの数] では、[アサイン先] と [オープン者] の 2 つのブレークダウンが使用されます。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、そのウィジェットがブレークダウン ダッシュボードの要素に従うようにする場合を考えてみましょう。[アサイン先] ブレークダウンの要素に個別の値をウィジェットに表示する場合。したがって、[フォローしているブレークダウン] フィールドで [アサイン先] を選択します。

c. [複数の要素の表示方法] では、集計ビューのみを使用できます。

詳細については、「ブレークダウン ダッシュボードのウィジェットの設定」を参照してください。

注:
[フォローしているブレークダウンの関連付け] メニューは、スコアカードによるチャート化でのみ機能します。また、フォローするブレークダウンの関連付けを設定した場合、ウィジェットではブレークダウンダッシュボードでの複数要素の選択はサポートされません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

8. オプション: 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
時系列	7 日間の合計や平均を適用するなど、特定の期間のスコアに対して機能を実行します。インジケーターに適用されないようにします。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーと会計カレンダーは時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットに時系列集計を設定することはできません。
ソート (Optional) ソートの方向	[ソート] 属性でデータをソートします。次に、昇順または降順のどちらでソートするかを選択します。 **注:** システムは、最新の収集ジョブのスコアに基づいてデータをソートしようとします。最新のジョブがスコアを収集しなかった場合、[ソートオン] 設定は無視されます。
カラースキーム	すべてのブレークダウンのスコアの色のスペクトラム。ブレークダウンが 1 つしか表示されない場合は、最初の色のみが使用されます。 (Optional) カラースキームを指定しない場合は、システムプロパティ `glide.ui.chart.default.colors` で定義された色が適用されます。 提供されているカラー スキームを使用する代わりに、独自のカラー スキームを作成できます。詳細については、「配色を作成する」を参照してください。

9. オプション: [設定] タブをクリックし、必要に応じて設定を変更します。
   詳細については、「ブレークダウン ウィジェットの追加設定」を参照してください。
10. [送信] をクリックします。

次のタスク

ウィジェットを表示するには、ウィジェットをダッシュボードまたはポータルに追加します。

関連情報

- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット
- 時系列ウィジェットの線グラフによるチャート化の作成

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ブレークダウンによるグループ化とブレークダウンによるフィルタリング

ダッシュボードでのブレークダウン ウィジェットとのやり取り

ブレークダウン ウィジェットでの列と合計によるチャート化の作成

インジケーターのスコアとそのインジケーターのブレークダウン要素の比率の両方の経時変化をフォローするには、ブレークダウン ウィジェットで列と合計によるチャート化を使用します。

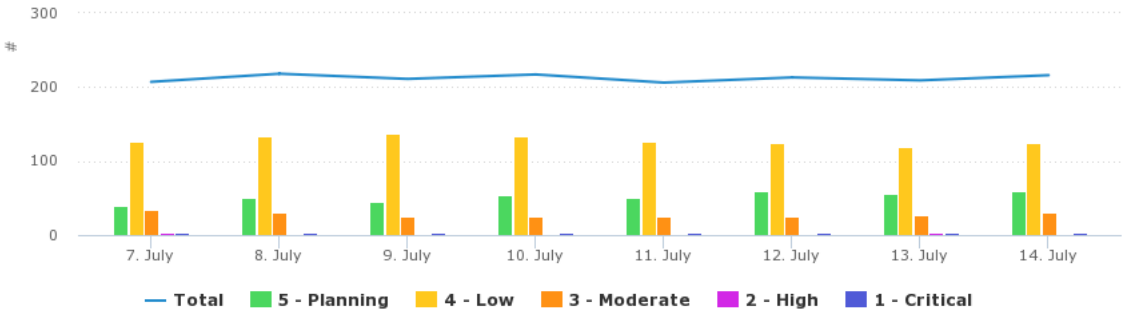
始める前に

必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて

このチャート化は、時系列とブレークダウン ウィジェットを組み合わせます。インジケーター スコアには、線グラフによるチャート化によって従来の時系列が表示されます。この線は、インジケーター スコアが収集された各時点のブレークダウンの縦棒グラフによるチャート化と組み合わされます。このウィジェットを使用して、インジケーター スコアとそのインジケーターのブレークダウン要素の比率との関係を調べます。

列と合計によるチャート化



手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** > ウィジェット をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[ブレークダウン] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
4. [チャート化] フィールドで、[列と合計] を選択します。
   ユーザーがチャート化を切り替えられるようにすることができます。[表示設定] タブで [表示方法セレクタを表示] を選択します。
5. [インジケーター] フィールドで、ブレークダウンするメインのインジケーターを選択します。
6. ブレークダウンを選択してスコアをグループ化します。
   ブレークダウンと要素を設定して、スコアをフィルタリングすることもできます。
   - ブレークダウンの要素別にグループ化されたスコアをウィジェットに表示するには、[ブレークダウン] フィールドでブレークダウンを選択します。要素または 2 番目のブレークダウンを選択しないでください。
   - ビューアの特性に応じて異なる要素をウィジェットに表示させることができます。これを行うには、[要素設定] タブで要素フィルタを指定します。[要素] フィールドに要素を指定しないでください。カスタマイズできるのは、第 1 レベルのブレークダウン要素のみです。詳細については、「パーソナライズされたビジュアル」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- あるブレークダウンの要素でフィルタリングされたスコアを、別のブレークダウンの要素でグループ化してウィジェットに表示するには、[ブレークダウン] フィールドと [要素] フィールドでフィルタリング ブレークダウンと要素を選択します。次に、[**2** 番目のブレークダウン] フィールドでグループ化ブレークダウンを選択します。ウィジェットには、 第 **2** ブレークダウン の各要素のスコアが表示されますが、最初の ブレークダウン と 要素と一致する場合に限られます。

  注:

  - 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。
  - 2 番目のブレークダウンを設定するには、[要素をフォロー] を無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。

- ウィジェットは、1 つのブレークダウンでグループ化され、ユーザーがブレークダウン ダッシュボードで選択した要素によってフィルタリングされたスコアを表示することもできます。[ブレークダウン] フィールドで、グループ化ブレークダウンを選択します。次に、後の手順で説明するように [要素をフォロー] を選択します。

重要:
ウィジェットが式インジケーター用である場合、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートしている必要があります。それ以外の場合は、値の代わりにエラーメッセージがダッシュボードのウィジェットに表示されます。

7. ブレークダウンダッシュボードで選択されているブレークダウン要素にウィジェットが従うようにするには、次の手順を実行します。

a. [要素をフォロー] を選択します。

このオプションを選択すると、ウィジェットでフィルタリング ブレークダウンを設定する機能が削除されます。スコアは、最初のブレークダウンの要素によってグループ化され、ユーザーがダッシュボードで選択した要素によってフィルタリングされます。

b. オプション: [フォローしているブレークダウン] でフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンのソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは、同じブレークダウン ソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、ブレークダウン ダッシュボードでどのブレークダウンを適用するかを決定します。

(Optional) たとえば、インジケーター [オープンインシデントの数] では、[アサイン先] と [オープン者] の 2 つのブレークダウンが使用されます。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、そのウィジェットがブレークダウン ダッシュボードの要素に従うようにする場合を考えてみましょう。[アサイン先] ブレークダウンの要素に個別の値をウィジェットに表示する場合。したがって、[フォローしているブレークダウン] フィールドで [アサイン先] を選択します。

c. [複数の要素の表示方法] では、集計ビューのみを使用できます。

詳細については、「ブレークダウン ダッシュボードのウィジェットの設定」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

> **注:**
> [フォローしているブレークダウンの関連付け] メニューは、スコアカードによるチャート化でのみ機能します。また、フォローするブレークダウンの関連付けを設定した場合、ウィジェットではブレークダウンダッシュボードでの複数要素の選択はサポートされません。

8. オプション: 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
時系列	7 日間の合計や平均を適用するなど、特定の期間のスコアに対して機能を実行します。インジケーターに適用されないようにします。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーと会計カレンダーは時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットに時系列集計を設定することはできません。
ソート (Optional) ソートの方向	[ソート] 属性でデータをソートします。次に、昇順または降順のどちらでソートするかを選択します。 **注:** システムは、最新の収集ジョブのスコアに基づいてデータをソートしようとします。最新のジョブがスコアを収集しなかった場合、[ソートオン] 設定は無視されます。
カラースキーム	すべてのブレークダウンのスコアの色のスペクトラム。ブレークダウンが 1 つしか表示されない場合は、最初の色のみが使用されます。 (Optional) カラースキームを指定しない場合は、システムプロパティ `glide.ui.chart.default.colors` で定義された色が適用されます。 提供されているカラー スキームを使用する代わりに、独自のカラー スキームを作成できます。詳細については、「配色を作成する」を参照してください。

9. オプション: [設定] タブをクリックし、必要に応じて設定を変更します。
   詳細については、「ブレークダウン ウィジェットの追加設定」を参照してください。
10. [送信] をクリックします。

次のタスク

ウィジェットを表示するには、ウィジェットをダッシュボードまたはポータルに追加します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

関連情報

- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット
- ブレークダウンによるグループ化とブレークダウンによるフィルタリング
- ダッシュボードでのブレークダウン ウィジェットとのやり取り
- 時系列ウィジェットの線グラフによるチャート化の作成

ブレークダウン ウィジェットでの積み上げ縦棒グラフによるチャート化の作成

インジケーターのブレークダウン要素の比率の経時変化をフォローするには、ブレークダウン ウィジェットで積み上げ縦棒グラフによるチャート化を使用します。

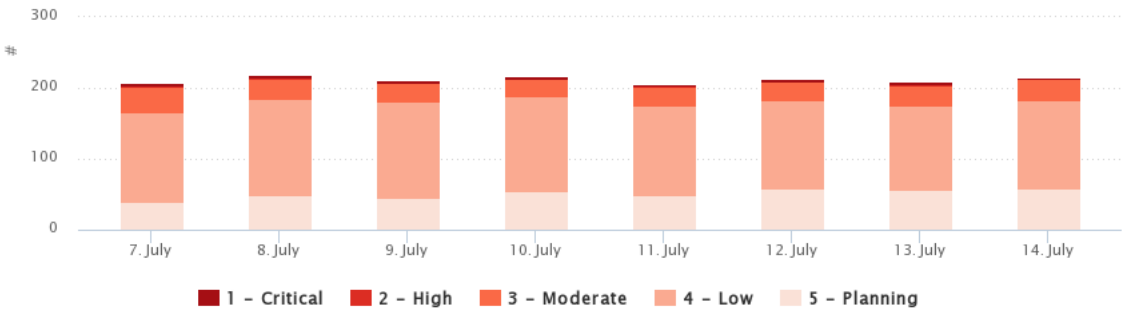
始める前に

必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて

このチャート化は、単一の列でブレークダウン要素の比率を表示し、インジケーター スコアが収集される各時点の列を表示します。変化を追跡する期間を選択するには、[日付の設定] タブに移動します。

積み上げ縦棒グラフによるチャート化 - ブレークダウン



手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** > ウィジェット をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[ブレークダウン] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
4. [チャート化] フィールドで、[積み上げ縦棒] を選択します。
   ユーザーがチャート化を切り替えられるようにすることができます。[表示設定] タブで [表示方法セレクタを表示] を選択します。
5. [インジケーター] フィールドで、ブレークダウンするメインのインジケーターを選択します。
6. ブレークダウンを選択してスコアをグループ化します。
   ブレークダウンと要素を設定して、スコアをフィルタリングすることもできます。
   - ブレークダウンの要素別にグループ化されたスコアをウィジェットに表示するには、[ブレークダウン] フィールドでブレークダウンを選択します。要素または 2 番目のブレークダウンを選択しないでください。
   - ビューアの特性に応じて異なる要素をウィジェットに表示させることができます。これを行うには、[要素設定] タブで要素フィルタを指定します。[要素] フィールドに要素を指定しないでく

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ださい。カスタマイズできるのは、第 1 レベルのブレークダウン要素のみです。詳細については、「パーソナライズされたビジュアル」を参照してください。

- あるブレークダウンの要素でフィルタリングされたスコアを、別のブレークダウンの要素でグループ化してウィジェットに表示するには、[ブレークダウン] フィールドと [要素] フィールドでフィルタリング ブレークダウンと要素を選択します。次に、[**2** 番目のブレークダウン] フィールドでグループ化ブレークダウンを選択します。ウィジェットには、 第 **2** ブレークダウン の各要素のスコアが表示されますが、最初の ブレークダウン と 要素と一致する場合に限られます。

  注:

  - 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。
  - 2 番目のブレークダウンを設定するには、[要素をフォロー] を無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。

- ウィジェットは、1 つのブレークダウンでグループ化され、ユーザーがブレークダウン ダッシュボードで選択した要素によってフィルタリングされたスコアを表示することもできます。[ブレークダウン] フィールドで、グループ化ブレークダウンを選択します。次に、後の手順で説明するように [要素をフォロー] を選択します。

重要:
ウィジェットが式インジケーター用である場合、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートしている必要があります。それ以外の場合は、値の代わりにエラーメッセージがダッシュボードのウィジェットに表示されます。

7. ブレークダウンダッシュボードで選択されているブレークダウン要素にウィジェットが従うようにするには、次の手順を実行します。

a. [要素をフォロー] を選択します。

このオプションを選択すると、ウィジェットでフィルタリング ブレークダウンを設定する機能が削除されます。スコアは、最初のブレークダウンの要素によってグループ化され、ユーザーがダッシュボードで選択した要素によってフィルタリングされます。

b. オプション: [フォローしているブレークダウン] でフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンのソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは、同じブレークダウン ソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、ブレークダウン ダッシュボードでどのブレークダウンを適用するかを決定します。

(Optional) たとえば、インジケーター [オープンインシデントの数] では、[アサイン先] と [オープン者] の 2 つのブレークダウンが使用されます。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、そのウィジェットがブレークダウン ダッシュボードの要素に従うようにする場合を考えてみましょう。[アサイン先] ブレークダウンの要素に個別の値をウィジェットに表示する場合。したがって、[フォローしているブレークダウン] フィールドで [アサイン先] を選択します。

c. [複数の要素の表示方法] では、集計ビューのみを使用できます。

詳細については、「ブレークダウン ダッシュボードのウィジェットの設定」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

> **注:**
> [フォローしているブレークダウンの関連付け] メニューは、スコアカードによるチャート化でのみ機能します。また、フォローするブレークダウンの関連付けを設定した場合、ウィジェットではブレークダウンダッシュボードでの複数要素の選択はサポートされません。

8. オプション: 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
時系列	7 日間の合計や平均を適用するなど、特定の期間のスコアに対して機能を実行します。インジケーターに適用されないようにします。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーと会計カレンダーは時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットに時系列集計を設定することはできません。
ソート (Optional) ソートの方向	[ソート] 属性でデータをソートします。次に、昇順または降順のどちらでソートするかを選択します。 **注:** システムは、最新の収集ジョブのスコアに基づいてデータをソートしようとします。最新のジョブがスコアを収集しなかった場合、[ソートオン] 設定は無視されます。
カラースキーム	すべてのブレークダウンのスコアの色のスペクトラム。ブレークダウンが 1 つしか表示されない場合は、最初の色のみが使用されます。 (Optional) カラースキームを指定しない場合は、システムプロパティ `glide.ui.chart.default.colors` で定義された色が適用されます。 提供されているカラー スキームを使用する代わりに、独自のカラー スキームを作成できます。詳細については、「配色を作成する」を参照してください。

9. オプション: [設定] タブをクリックし、必要に応じて設定を変更します。
   詳細については、「ブレークダウン ウィジェットの追加設定」を参照してください。
10. [送信] をクリックします。

次のタスク

ウィジェットを表示するには、ウィジェットをダッシュボードまたはポータルに追加します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

関連情報

- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット
- ブレークダウンによるグループ化とブレークダウンによるフィルタリング
- ダッシュボードでのブレークダウン ウィジェットとのやり取り

ブレークダウン ウィジェットでの相対比較によるチャート化の作成

複数のインジケーターの相対的な比率の経時変化を示すには、時系列の相対比較によるチャート化を使用します。

始める前に

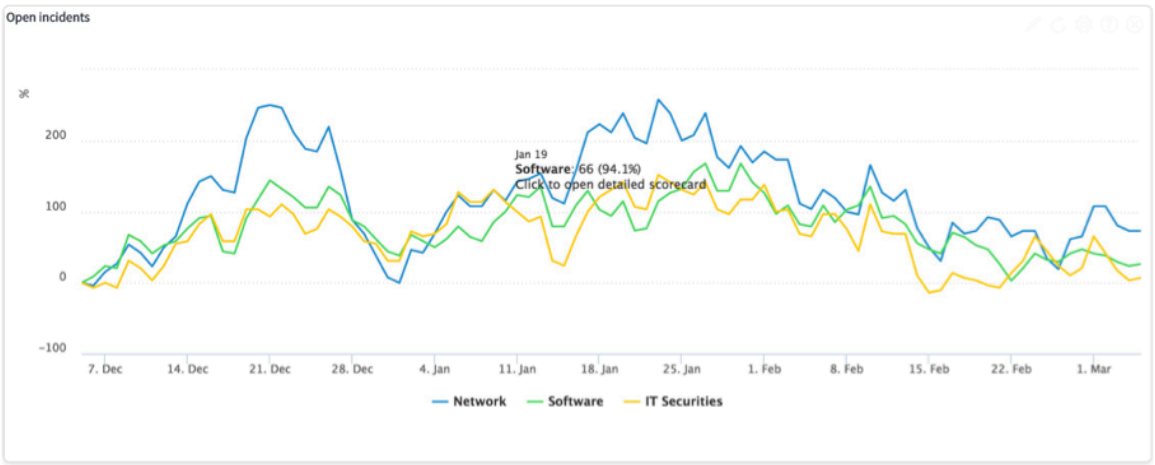
必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて

円グラフと同様に、相対比較によるチャート化はデータ ポイント間の相対的な比率を示しますが、時間とともにその比率がどのように変化するかを示すこともできます。相対比較によるチャート化は、従来より株価チャートや人口増加傾向を示すために使用されています。相対比較によるチャート化を作成するときは、ベースラインとして 0 を使用し、時間の経過とともにデータがどのように変化するかを示します。

たとえばこのチャート化は、3 つの異なるインシデント タイプに対して、12 月から 3 月までのオープン インシデント数を示しています。線をポイントすると、その日のインシデント数と変化率が表示されます。データ ポイントについて示される変化率は、他のほとんどの時系列のチャート化の場合と同様に、前のデータ ポイントではなくベースライン 0 から計算されます。

相対比較によるチャート化の例



手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** > ウィジェット をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[ブレークダウン] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
4. [チャート化] フィールドで、[相対比較] を選択します。
   ユーザーがチャート化を切り替えられるようにすることができます。[表示設定] タブで [表示方法セレクタを表示] を選択します。
5. [インジケーター] フィールドで、ブレークダウンするメインのインジケーターを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. ブレークダウンを選択してスコアをグループ化します。
ブレークダウンと要素を設定して、スコアをフィルタリングすることもできます。
   - ブレークダウンの要素別にグループ化されたスコアをウィジェットに表示するには、[ブレークダウン] フィールドでブレークダウンを選択します。要素または 2 番目のブレークダウンを選択しないでください。
   - ビューアの特性に応じて異なる要素をウィジェットに表示させることができます。これを行うには、[要素設定] タブで要素フィルタを指定します。[要素] フィールドに要素を指定しないでください。カスタマイズできるのは、第 1 レベルのブレークダウン要素のみです。詳細については、「パーソナライズされたビジュアル」を参照してください。
   - あるブレークダウンの要素でフィルタリングされたスコアを、別のブレークダウンの要素でグループ化してウィジェットに表示するには、[ブレークダウン] フィールドと [要素] フィールドでフィルタリング ブレークダウンと要素を選択します。次に、[**2** 番目のブレークダウン] フィールドでグループ化ブレークダウンを選択します。ウィジェットには、 第 **2** ブレークダウン の各要素のスコアが表示されますが、最初の ブレークダウン と 要素と一致する場合に限られます。

     注:
     - 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。
     - 2 番目のブレークダウンを設定するには、[要素をフォロー] を無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。

   - ウィジェットは、1 つのブレークダウンでグループ化され、ユーザーがブレークダウン ダッシュボードで選択した要素によってフィルタリングされたスコアを表示することもできます。[ブレークダウン] フィールドで、グループ化ブレークダウンを選択します。次に、後の手順で説明するように [要素をフォロー] を選択します。

重要:
ウィジェットが式インジケーター用である場合、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートしている必要があります。それ以外の場合は、値の代わりにエラーメッセージがダッシュボードのウィジェットに表示されます。

7. ブレークダウンダッシュボードで選択されているブレークダウン要素にウィジェットが従うようにするには、次の手順を実行します。

   a. [要素をフォロー] を選択します。

   このオプションを選択すると、ウィジェットでフィルタリング ブレークダウンを設定する機能が削除されます。スコアは、最初のブレークダウンの要素によってグループ化され、ユーザーがダッシュボードで選択した要素によってフィルタリングされます。

   b. オプション: [フォローしているブレークダウン] でフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
   ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンのソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは、同じブレークダウン ソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、ブレークダウン ダッシュボードでどのブレークダウンを適用するかを決定します。

   (Optional) たとえば、インジケーター [オープンインシデントの数] では、[アサイン先] と [オープン者] の 2 つのブレークダウンが使用されます。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェット

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

を作成し、そのウィジェットがブレークダウン ダッシュボードの要素に従うようにする場合を考えてみましょう。[アサイン先] ブレークダウンの要素に個別の値をウィジェットに表示する場合。したがって、[フォローしているブレークダウン] フィールドで [アサイン先] を選択します。

c. [複数の要素の表示方法] では、集計ビューのみを使用できます。

詳細については、「ブレークダウン ダッシュボードのウィジェットの設定」を参照してください。

> **注:**
> [フォローしているブレークダウンの関連付け] メニューは、スコアカードによるチャート化でのみ機能します。また、フォローするブレークダウンの関連付けを設定した場合、ウィジェットではブレークダウンダッシュボードでの複数要素の選択はサポートされません。

8. オプション: 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
時系列	7 日間の合計や平均を適用するなど、特定の期間のスコアに対して機能を実行します。インジケーターに適用されないようにします。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーと会計カレンダーは時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットに時系列集計を設定することはできません。
ソート (Optional) ソートの方向	[ソート] 属性でデータをソートします。次に、昇順または降順のどちらでソートするかを選択します。 **注:** システムは、最新の収集ジョブのスコアに基づいてデータをソートしようとします。最新のジョブがスコアを収集しなかった場合、[ソートオン] 設定は無視されます。
カラースキーム	すべてのブレークダウンのスコアの色のスペクトラム。ブレークダウンが 1 つしか表示されない場合は、最初の色のみが使用されます。 (Optional) カラースキームを指定しない場合は、システムプロパティ `glide.ui.chart.default.colors` で定義された色が適用されます。 提供されているカラー スキームを使用する代わりに、独自のカラー スキームを作成できま

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	す。詳細については、「配色を作成する」を参照してください。

9. [日付の設定] タブで、[日付範囲インジケーターを表示] を選択します。
10. [設定] タブをレビューして、必要に応じて他の設定を調整します。
11. [送信] をクリックします。

次のタスク
ウィジェットを表示するには、ウィジェットをダッシュボードまたはポータルに追加します。

関連情報
- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット
- ブレークダウン ウィジェットの追加設定
- ブレークダウンによるグループ化とブレークダウンによるフィルタリング
- ダッシュボードでのブレークダウン ウィジェットとのやり取り

ブレークダウン ウィジェットでのピボット スコアカードによるチャート化の作成

多くのインジケーター間でブレークダウン要素の比率を比較するには、ブレークダウン ウィジェットでピボット スコアカードによるチャート化を使用します。

始める前に
必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて
同じウィジェットの複数のインジケーターに同じブレークダウンを適用して表示する場合は、ピボット スコアカードを使用します。スコアカードを旋回させて、ブレークダウン要素とインジケーターの軸を逆にすることができます。

ピボット スコアカード - ブレークダウン

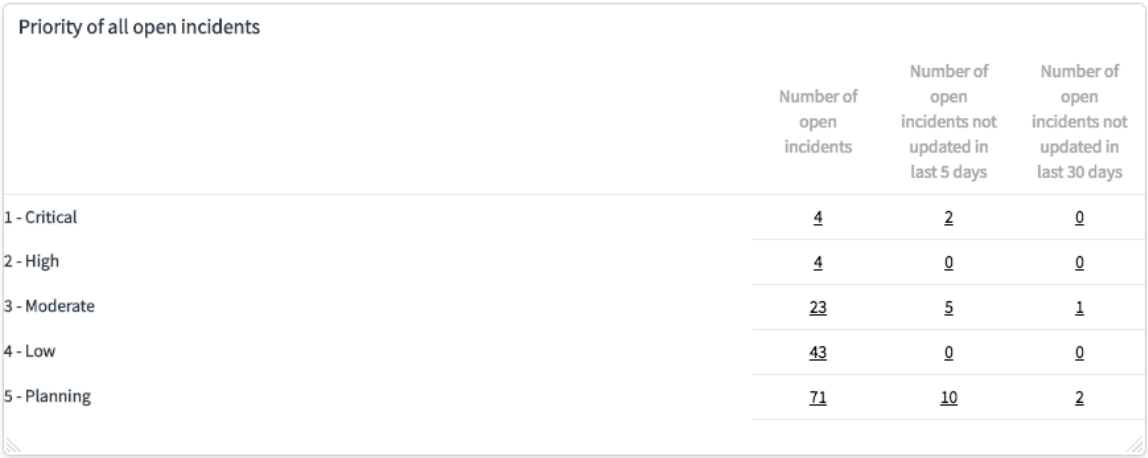
Priority of all open incidents

	1 - Critical	2 - High	3 - Moderate	4 - Low	5 - Planning
Number of open incidents	4	4	23	43	71
Number of open incidents not updated in last 5 days	2	0	5	0	10
Number of open incidents not updated in last 30 days	0	0	1	0	2

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ピボット スコアカード (Y 軸がブレークダウン)



手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** > ウィジェット をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[ブレークダウン] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
4. [チャート化] フィールドで、[ピボットスコアカード] を選択します。
5. [ピボットブレークダウン] フィールドで、複数のインジケーターにまたがって要素を表示するブレークダウンを選択します。
6. [保存] をクリックします。
   [インジケーター] 関連リストがフォームの下部に表示されます。
7. [インジケーター] 関連リストで、[新規] をクリックします。
8. 表示されるメニューで、ブレークダウン要素を比較するインジケーターを選択します。
9. [更新] をクリックします。

次のタスク

- ウィジェットを表示するには、ウィジェットをダッシュボードまたはポータルに追加します。
- ウィジェットがダッシュボードに入ったら、ウィジェットを編集して [ブレークダウンを **Y** 軸に表示] 表示設定を試します。

関連情報

レスポンシブ ダッシュボードを編集する

パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット

ブレークダウンによるグループ化とブレークダウンによるフィルタリング

ブレークダウン ウィジェットでのツリーマップによるチャート化の作成

ブレークダウン要素の階層を表示するには、ツリーマップによるチャート化を使用します。

始める前に

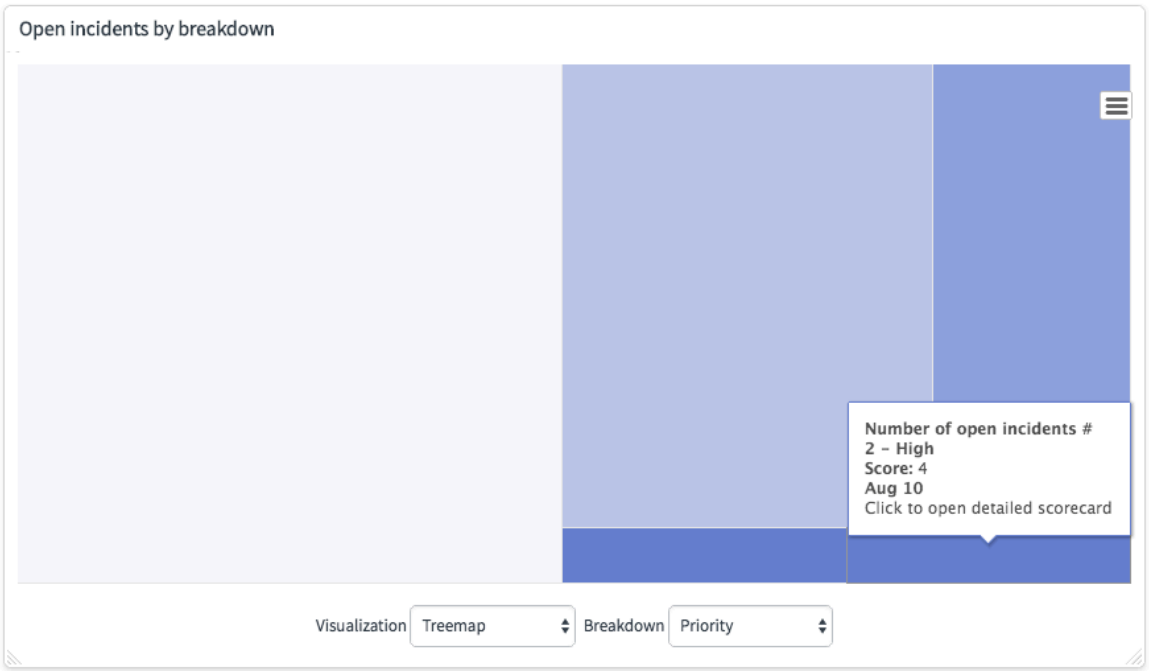
必要なロール：pa_power-user または admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このタスクについて
ブレークダウンの要素が好感度で異なる場合、または各ブレークダウン要素とインジケーター ターゲットを比較する場合は、ツリーマップを使用できます。ツリーマップでは、要素の比率を表すサイズと好感度を表す色のネストされた四角形を使用します。

ツリーマップによるチャート化



手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** > ウィジェット をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[ブレークダウン] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
4. [チャート化] フィールドで、[ツリーマップ] を選択します。
   ユーザーがチャート化を切り替えられるようにすることができます。[表示設定] タブで [表示方法セレクタを表示] を選択します。
5. [インジケーター] フィールドで、ブレークダウンするメインのインジケーターを選択します。
6. ブレークダウンを選択してスコアをグループ化します。
   ブレークダウンと要素を設定して、スコアをフィルタリングすることもできます。
   - ブレークダウンの要素別にグループ化されたスコアをウィジェットに表示するには、[ブレークダウン] フィールドでブレークダウンを選択します。要素または 2 番目のブレークダウンを選択しないでください。
   - ビューアの特性に応じて異なる要素をウィジェットに表示させることができます。これを行うには、[要素設定] タブで要素フィルタを指定します。[要素] フィールドに要素を指定しないでください。カスタマイズできるのは、第 1 レベルのブレークダウン要素のみです。詳細については、「パーソナライズされたビジュアル」を参照してください。
   - あるブレークダウンの要素でフィルタリングされたスコアを、別のブレークダウンの要素でグループ化してウィジェットに表示するには、[ブレークダウン] フィールドと [要素] フィールドでフィルタリング ブレークダウンと要素を選択します。次に、[**2** 番目のブレークダウン] フィールドでグループ化ブレークダウンを選択します。ウィジェットには、 第 **2** ブレークダウ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ン の各要素のスコアが表示されますが、最初の ブレークダウン と 要素と一致する場合に限られます。

注:

- 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。
- 2 番目のブレークダウンを設定するには、[要素をフォロー] を無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。

- ウィジェットは、1 つのブレークダウンでグループ化され、ユーザーがブレークダウン ダッシュボードで選択した要素によってフィルタリングされたスコアを表示することもできます。[ブレークダウン] フィールドで、グループ化ブレークダウンを選択します。次に、後の手順で説明するように [要素をフォロー] を選択します。

重要:
ウィジェットが式インジケーター用である場合、式内のすべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートしている必要があります。それ以外の場合は、値の代わりにエラーメッセージがダッシュボードのウィジェットに表示されます。

7. [色分けの方法] フィールドで、好感度をスコア、スコアの変化、変化の割合、インジケーターターゲットのいずれに基づいてランク付けするかを選択します。
8. [正の色] フィールドで、肯定的であることを示す色を選択します。
9. [色分けの方法] によっては、[負の色] を選択する必要があります。
10. オプション: 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
時系列	7 日間の合計や平均を適用するなど、特定の期間のスコアに対して機能を実行します。インジケーターに適用されないようにします。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 **注:** ビジネスカレンダーと会計カレンダーは時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットに時系列集計を設定することはできません。
ソート (Optional) ソートの方向	[ソート] 属性でデータをソートします。次に、昇順または降順のどちらでソートするかを選択します。 **注:** システムは、最新の収集ジョブのスコアに基づいてデータをソートしようとします。最新のジョブがスコアを収集しなかった場合、[ソートオン] 設定は無視されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
カラースキーム	すべてのブレークダウンのスコアの色のスペクトラム。ブレークダウンが 1 つしか表示されない場合は、最初の色のみが使用されます。 (Optional) カラースキームを指定 しない場合は、システムプロパティ *glide.ui.chart.default.colors* で定義された色が適用されます。 提供されているカラー スキームを使用する代わりに、独自のカラー スキームを作成できます。詳細については、「配色を作成する」を参照してください。

11. オプション: [設定] タブをクリックし、必要に応じて設定を変更します。
    詳細については、「ブレークダウン ウィジェットの追加設定」を参照してください。
12. [送信] をクリックします。

次のタスク

ウィジェットを表示するには、ウィジェットをダッシュボードまたはポータルに追加します。

関連情報

- レスポンシブ ダッシュボードを編集する
- パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット
- ブレークダウンによるグループ化とブレークダウンによるフィルタリング
- ダッシュボードでのブレークダウン ウィジェットとのやり取り

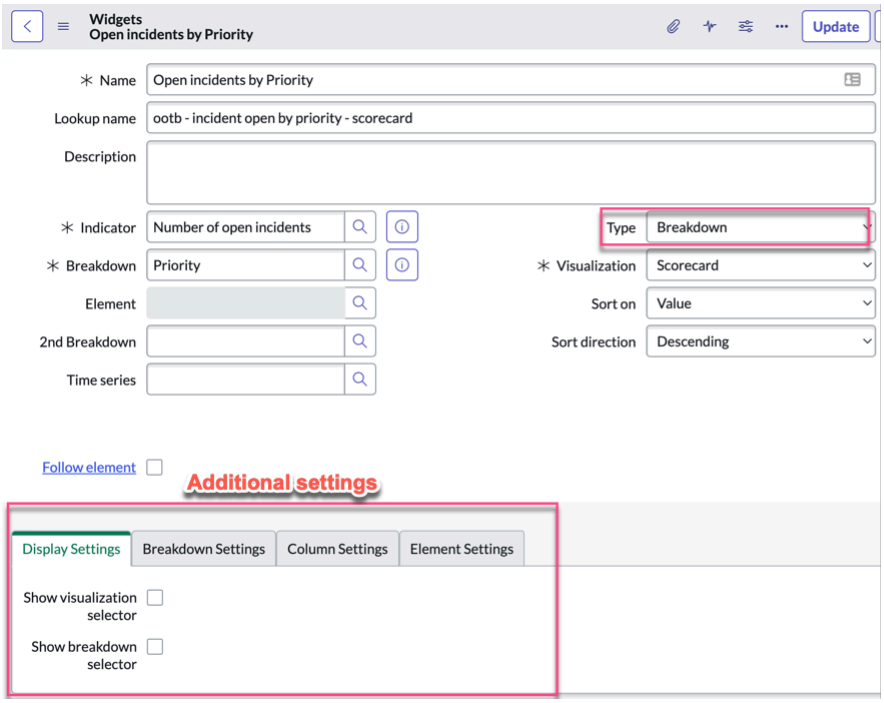
ブレークダウン ウィジェットの追加設定

ブレークダウン ウィジェットには、日付範囲、表示、グループ化ブレークダウン、および列の内容に関する次のオプション設定があります。すべてのオプションがすべてのチャート化で利用できるわけではありません。

使用可能な設定は、選択した可視化によって異なります。次の例は、スコアカードによるチャート化の例です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



日付設定

設定	説明
期間	ウィジェットに表示する日付範囲を選択します。いくつかのオプションを利用できます。 • 特定の時間範囲を選択します。デフォルトは **[3m]** (3 か月) です。 • 現在の日付までのスコアを使用する場合は [最大] を選択します。 • 期間を定義する場合は [次の間] を選択してから、[開始日付] フィールドと [終了日付] フィールドを入力します。 [期間] フィールドは、[チャート化] として [線]、[列と合計]、または [積み上げ縦棒] を選択した場合にのみ利用できます。
範囲セレクタの表示	ダッシュボードにウィジェットを表示しているときに、選択した期間をユーザーが変更できるウィジェットに日付範囲セレクタを表示します。 **注:** • ウィジェットで日付範囲を選択してもトレンド ラインは更新されません。 • [月別合計] などの時系列集計を日付範囲セレクターと組み合わせると、ユーザーに表示される期間が予想よりも 1 つ多い場合があります。インスタンスでは、3m などの期間を 0 ～ 3 か月と解釈し、4 か月分のスコアを表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

軸設定

注:
[積み上げ縦棒] が可視化の場合、軸の設定は使用できません。

設定	説明
Y 軸のタイトル	チャートの縦軸に表示するタイトルを指定します。
Y 軸の起点	チャートの縦軸の値の範囲の開始点を指定します。
Y 軸の終点	チャートの縦軸の値の範囲の終了点を指定します。
第 2 Y 軸のタイトル	チャートの縦軸に表示する 2 番目のタイトルを指定します。
第 2 Y 軸の起点	チャートの縦軸の 2 番目の値の範囲の開始点を指定します。 2 番目の Y 軸は、スコアが通常は限られた範囲内を移動する場合に使用できますが、それ以外の場合はチャートを歪ませる例外があります。たとえば、40 ～ 60 の範囲で 1000 は例外になります。
第 2 Y 軸の終点	チャートの縦軸の 2 番目の値の範囲の終了点を指定します。

表示設定

設定	説明
ターゲットを表示	定義されている場合は、ターゲット スコアを表示します。このフィールドは、[前期のチャート] が選択されていない場合にのみ利用できます。
しきい値を含める	[常に高い]、[常に低い] などのしきい値を表示します。しきい値は、このインジケーターに対して定義されている場合にのみ表示されます。
データラベルを表示	円グラフの各スライスなど、チャートの各部分のスコアを表示します。
トレンドを表示	インジケーターが動く方向を表示します。トレンドは、ダッシュボードのミニチャートに表示されます。
信頼帯を表示	このチャートの信頼帯を表示します。信頼帯の計算方法については、「 ウィジェットの信頼帯」を参照してください。
予測を含める	現在のトレンド データに基づいてチャートに予測データを表示します。予測は、インジケーターに設定しておく必要があります。
コメントを表示	チャートのデータ ポイントに追加されたコメントを表示します。
表示方法セレクタを表示	ユーザーがダッシュボードから選択したチャート化を変更できるように、ウィジェットに選択リストを表示します。 **注:** ダッシュボードから [ピボットスコアカード] のチャート化を選択することはできません。このチャート化を使用するには、ウィジェット レコードを構成する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

設定	説明
ブレークダウンセレクタを表示	ユーザーがダッシュボードから選択したブレークダウンを変更できるように、ウィジェットに選択リストを表示します。ウィジェットにブレークダウン選択リストを表示するには、利用できるブレークダウンが 1 つ以上存在する必要があります。
正の色	[チャート化] が [ツリーマップ] のときは、インジケーター [方向] の値に基づいて、目的の方向に移動するスコアを示すために使用する色を選択します。[色基準] が [ターゲット] に設定されている場合、正の色はターゲットにより近い値を示します。
負の色	[チャート化] が [ツリーマップ] のときは、インジケーター [方向] の値に基づいて、誤った方向に移動するスコアを示すために使用する色を選択します。[色基準] が [ターゲット] に設定されている場合、負の色はターゲットからより遠い値を示します。このフィールドは、[色基準] が [スコア] であるときは利用できません。
凡例を表示	[チャート化] が [ツリーマップ] のときは、このオプションを選択すると、正の色と負の色の凡例が表示されます。
凡例にデータのない要素を含める	ブレークダウンの要素に一致するレコードがない場合でも、ウィジェットの凡例にブレークダウン名を表示します。

ブレークダウン設定

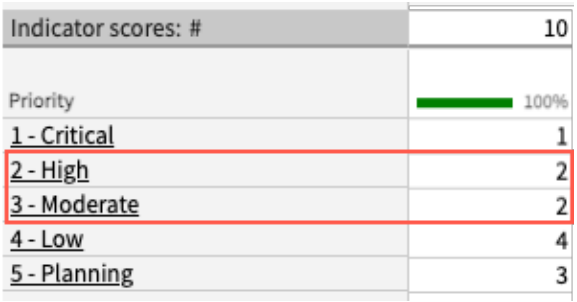
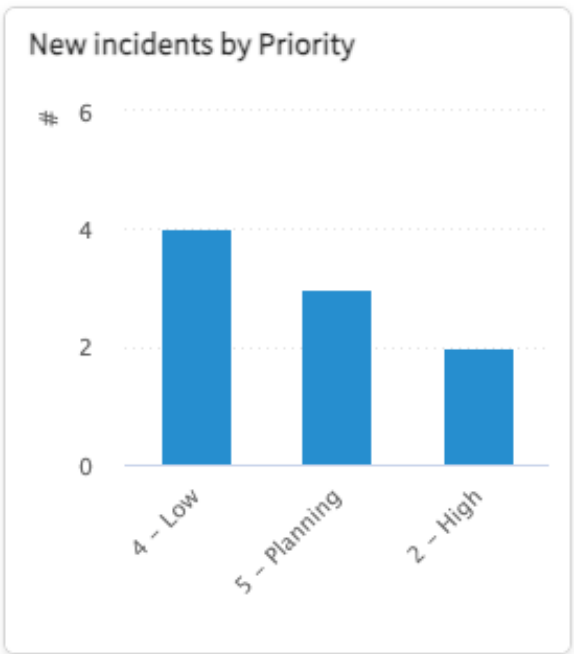
設定	説明
ブレークダウンを Y 軸に表示	ピボット アナリティクスハブ ブレークダウン ウィジェットは、デフォルトでブレークダウン要素を X 軸として表示し、インジケーターを Y 軸として表示します。ブレークダウン要素を Y 軸として、インジケーターを X 軸として表示するには、このチェックボックスをオンにします。
合計の表示	[チャート化] フィールドで [スコアカード] を選択した場合、ブレークダウン チャートにすべての選択されたブレークダウンの合計を示す追加の行を含めることができます。
バーの表示	各インスタンスのスコアをバーで表します。

要素設定

設定	説明
要素フィルター	このウィジェットで特定のサブセットのブレークダウン要素のみを利用できるかどうかを指定します。デフォルトでは、すべての要素が利用可能です。 たとえば、ブレークダウン要素 [優先度] の要素は、[最重要]、[高]、[中]、[低]、または [計画] にすることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

設定	説明
手動の要素	ブレークダウン要素は自動または手動で選択できます。追加する要素の [ウィジェット要素] 関連リストを表示するには、[手動の要素] チェックボックスをオンにします。ブレークダウンに属する要素を自動的に使用するには、[手動の要素] チェックボックスをオフにします。
トップ X の表示	チャートを読みやすくするために、スコアが x 番目に高い要素のみを表示します。 同点の場合は、スコアシートにリストされている最初の要素が表示されます。たとえば、[トップ **x** を表示] が 3 で、[優先度] ブレークダウンの 3 番目に高い値が [高] と [中] の間で同順位であるウィジェットがある場合、ウィジェットには [中] ではなく [高] と表示されます。   スコアシートに要素が一覧表示される順序は、要素を含むテーブルによって異なります。たとえば、選択肢 [sys_choice] テーブルの要素の場合、この順序は [シーケンス] フィールドの値に従います。グループ [sys_group] テーブルの要素では、順序は [名前] フィールドに基づいてアルファベット順になります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

設定	説明
	注: 最新のスコアから上位の要素が選択されます。ウィジェットに線グラフによるチャート化がある場合は、表示されている期間全体の平均スコアが高い他の要素でも、最新のスコアから上位の要素が選択されます。
パーセンテージ	[割合なし] を選択した場合、インスタンスのスコア パーセンテージは表示されません。[要素の割合] を選択した場合、各インスタンスのスコア パーセンテージが表示されます。たとえば、インシデントの総数の 6.4% が最重要、11.8% が高などです。

列の設定

設定	説明
現在のスコア	最新のデータ収集のスコアを表示します。
トレンド	インジケーターが動く方向を表示します。トレンドは、ダッシュボードのミニチャートに表示されます。
複数のスコア	に アナリティクスハブスコアを追加します。[期間の数] で、表示する追加スコアの数を選択します。[期間のステップ] で、各期間の長さを選択します。[現在のスコア] も選択されている場合、スコア列が最新の期間としてカウントされ、N-1 期間が追加されます。
前回比	前のスコアからの変更を表示します。
前回比 (%)	前のスコアからのパーセンテージの変化を表示します。
ターゲット	ターゲットが定義されている場合は、インジケーターのターゲットを表示します。
ギャップ	現在のスコアとターゲット スコアの差を表示します。ギャップは正 (ターゲットに向かって移動) か負 (ターゲットから離れて移動) のいずれかにできます。
ギャップ %	現在のスコアとターゲット スコアのパーセンテージの差を表示します。ギャップ % は正 (ターゲットに向かって移動) か負 (ターゲットから離れて移動) のいずれかにできます。

最新スコア設定

設定	説明
比較するスコア	このタブは、可視化タイプが [最新スコア] の場合に表示されます。前のスコアまたは前の期間を選択します。前の期間はいくつでも指定できます。

パーソナライズされたビジュアル

ダッシュボード、サービスポータル、またはワークスペースキャンバスでビジュアルを見るユーザーにのみ適用される情報を表示するように、動的要素を使用してビジュアルを構成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジュアルには、サポートエージェントにアサインされたチケットや、マネージャーのチームにアサインさられたタスクの数などを表示できます。パーソナライズされたビジュアルから アナリティクスハブ に移動すると、アナリティクスハブ もパーソナライズされます。

パーソナライズされたビジュアルを使用して、パフォーマンスアナリティクス をマネージャーとライン作業者にプッシュします。これは、パーソナライズされたビジュアルのウィジェットをサービスポータルに追加するために特に便利です。ポータルにログインするマネージャーが、自分が所有するグループに属するレコードの分析のみを表示できるようにします。ポータルにログインしたライン作業者が、自分または自分のグループに属するレコードの分析のみを表示できるようにします。パフォーマンスアナリティクス には、[自分のグループの 1 つ]、[自分が管理するグループ]、および [自分] の要素フィルターがあり、このようなパーソナライズされたビジュアルを作成できます。

パーソナライズは、時系列、スコア、およびブレークダウンの各ウィジェットに適用されます。パーソナライズされたビジュアルを構成すると、ウィジェットが表示される場所 (ダッシュボード、ランディングページ、または Service Portal) にパーソナライズが適用されます。

技術的には、ブレークダウン要素を指定するのではなく、要素フィルターをウィジェットに適用してビジュアルをパーソナライズします。パーソナライズは、[次の条件に一致] [自分] などのフィルターの動的条件を使用して行われます。

注:
パーソナライズされたビジュアルは、第 1 レベルのブレークダウンにのみ適用されます。

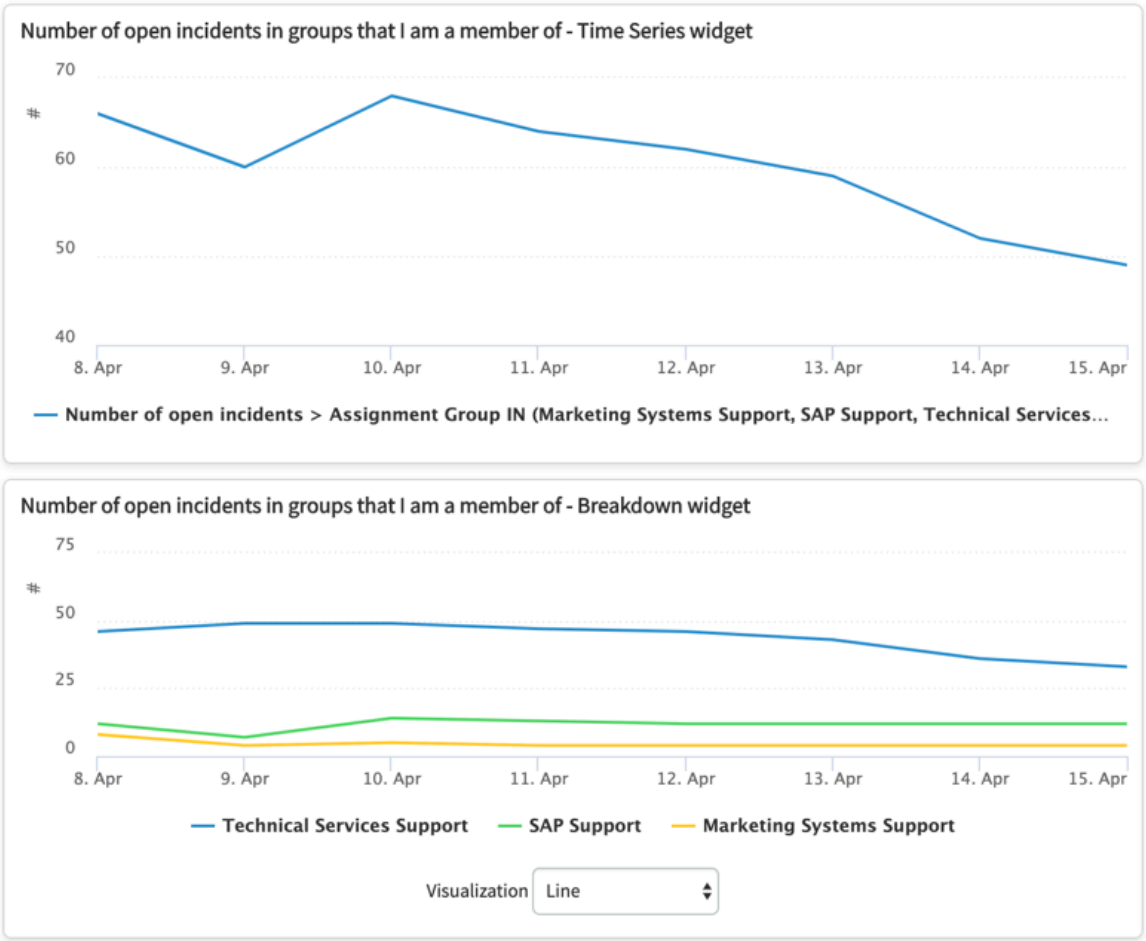
複数の要素を表示する

要素フィルターが複数の要素を返す場合、これらの要素のスコアはスコアウィジェットと時系列ウィジェットに集計値として表示されます。ただし、これらのスコアはブレークダウンウィジェットでは個別に表示されます。次の例は、同じパーソナライズされたビジュアルの時系列ウィジェットとブレークダウンウィジェットを示しています。ログインビューアーは、テクニカルサービスサポート、SAP サポート、およびマーケティングシステムサポートグループのメンバーです。上部の時系列ウィジェットにはこれらのグループの集計ビューが表示され、その下の [ブレークダウン] ウィジェットには個別のビューが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パーソナライズされたビジュアルの時系列ウィジェットとブレークダウンウィジェット

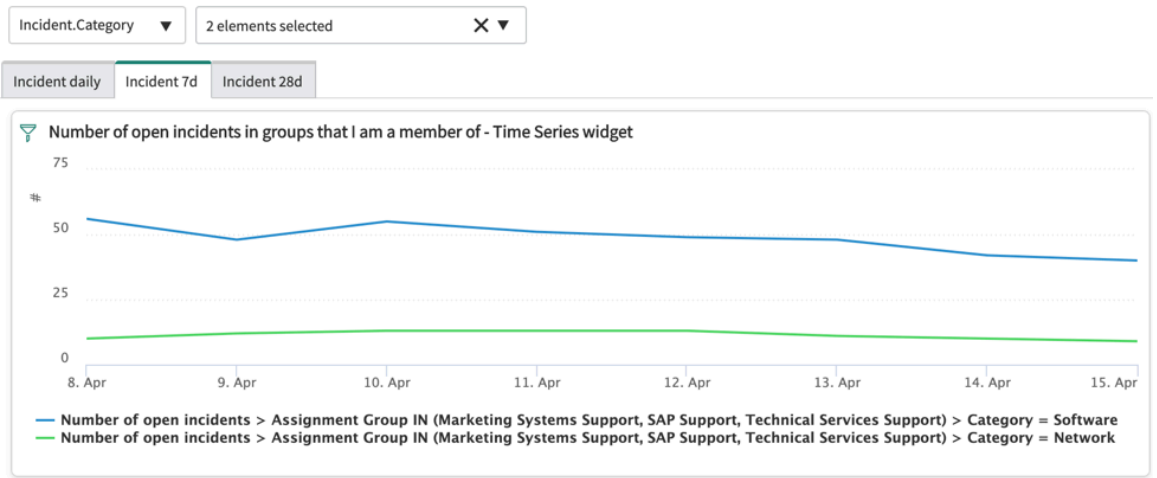


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
ブレークダウンダッシュボードの要素をフォローするようにウィジェットを設定する場合は、複数の要素の [集計] または [独立] のビューを選択しても、パーソナライズされたビジュアルには影響しません。たとえば、ブレークダウンダッシュボードの次の時系列ウィジェットは、複数の要素を個別に表示するように構成されています。この構成は、ダッシュボード上のカテゴリブレークダウンの要素に適用されます。ただし、ウィジェットには、パーソナライズされたビジュアルのアサイン先グループの要素が集計として表示されます。

ブレークダウンダッシュボードのパーソナライズされたビジュアルを備えたウィジェット



詳細については、「ブレークダウン ダッシュボードのウィジェットの設定」を参照してください。

パーソナライズされたビジュアルでのウィジェットの構成

パーソナライズされたビジュアルを使用すると、ダッシュボードまたはキャンバスでビジュアルを使用するユーザーにとって最も関連性の高い情報を共有できます。ウィジェットのビジュアルをカスタマイズするには、要素フィルターを適用します。

始める前に

注:
パーソナライズされたビジュアルは、第 1 レベルのブレークダウンにのみ適用されます。

必要なロール:pa_admin、pa_power_user

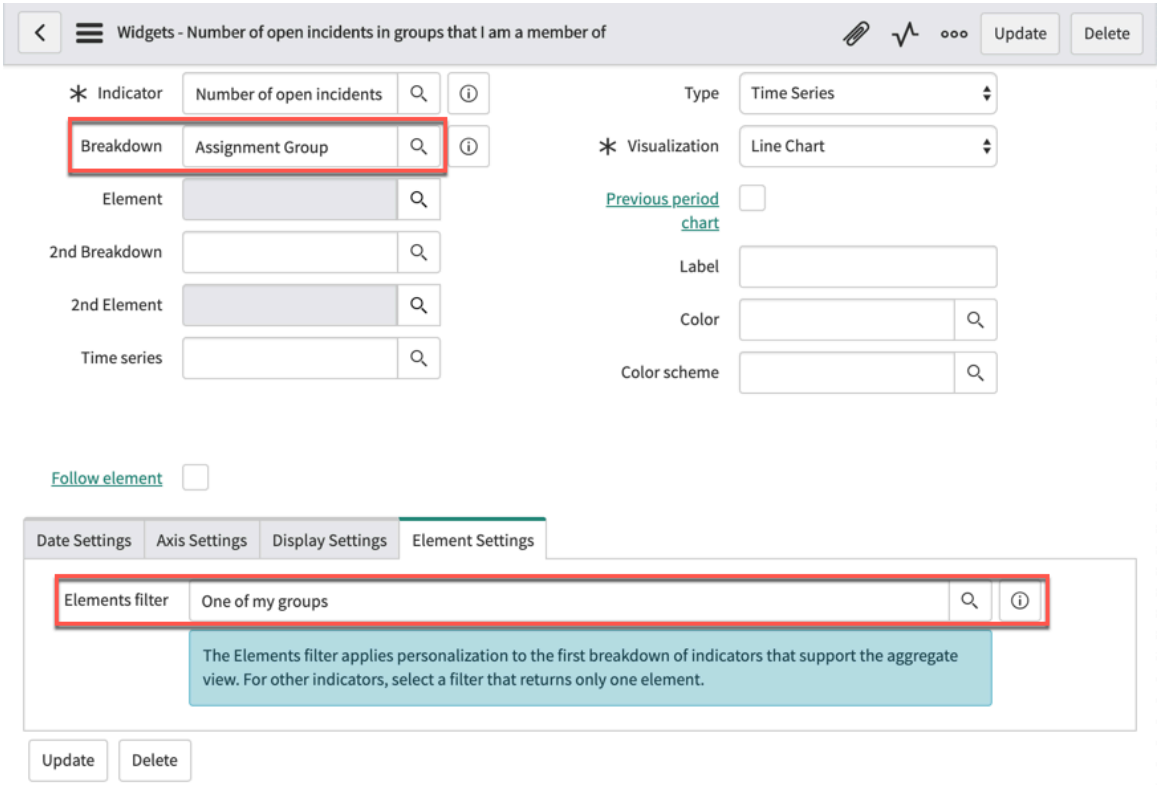
手順

1. [is (dynamic)] [me] などの動的条件を使用して、ブレーク ダウン要素フィルター を 1 つ以上作成します。
   要素フィルターを作成する前に、既存のフィルターを使用できるかどうかを確認します。
2. 移動先 **Performance Analytics** > ウィジェット。
3. カスタマイズするウィジェットを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [ウィジェット] フォームで、[アサイン先] や [アサイン先グループ] などのパーソナライズに適用されるブレークダウンを選択します。



5. [要素の設定] タブで、虫眼鏡をクリックして、ブレークダウンに適用してウィジェットをカスタマイズする要素フィルターを選択します。
6. [更新] をクリックします。

タスクの結果

このウィジェットを含むダッシュボード、サービス ポータル、またはキャンバスでは、ビューアー用にフィルタリングされたブレークダウン要素がウィジェットに表示されます。

パーソナライズされたビジュアルの例

ビジュアルをパーソナライズするには、要素フィルターを作成し、同じフィルターを使用して Performance Analytics ウィジェットを構成します。この例では、ユーザーに属するインシデントのみを表示するフィルターを作成してから、作成したフィルターを使用してスコアウィジェットを設定します。

始める前に

必要なロール:pa_admin、pa_power_user
要素フィルターは永続的です。要素フィルターを作成したら、複数のビジュアルに適用できます。

このタスクについて

この例では、 Users.Active ブレークダウン ソースを使用して、ウィジェットを表示しているユーザーをフィルタリングする要素フィルタを作成します。次に、新しい要素フィルターを使用するようにウィジェットを構成し、ダッシュボードにウィジェットを表示します。

手順

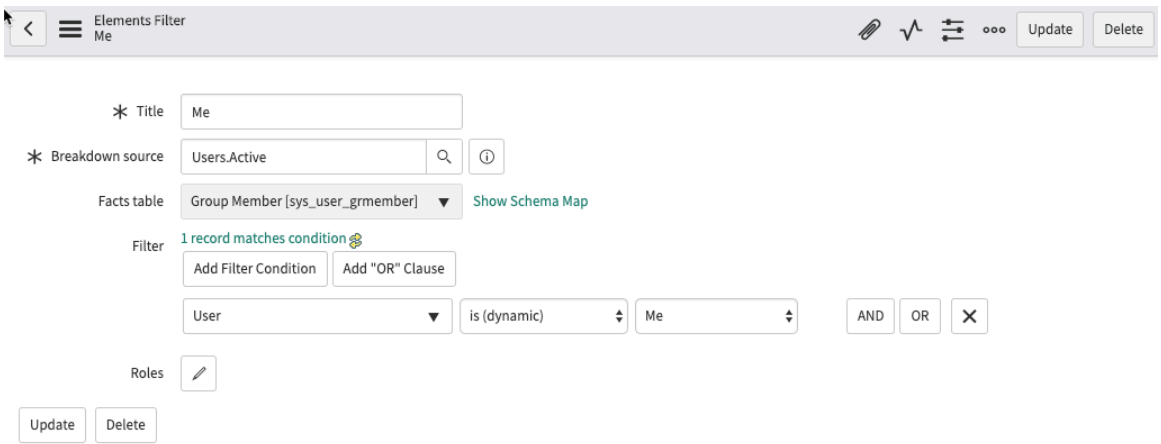
1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** > 要素フィルター をクリックし、[要素フィルターフィールド] テーブルの詳細を使用して新しい要素フィルターを作成します。
   詳細については、「要素フィルターの作成」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素フィルタ フィールド

フィールド	説明
ブレークダウンソース	虫眼鏡をクリックし、[Users.Active] を選択します。要素フィルタは、このブレークダウン ソースに基づくブレークダウンに使用できます。
ファクトテーブル	ブレークダウンソースのファクトテーブルを選択します。Users.Active のファクト テーブルはグループ メンバー **[sys_user_grmember]** です。
フィルター	使用可能な要素を制限するフィルタ条件を指定します。この要素フィルタを適用すると、これらの条件を満たす要素のみが表示されます。 この要素フィルターでは、[User][is (dynamic)][Me] を指定します。 パーソナライズされたビジュアル の場合、フィルター条件の演算子は [is (dynamic)] である必要があります。
ロール	ウィジェットフォームでこの要素フィルターを選択するためにユーザーが必要とするロールを選択します。ユーザーには、指定されたロールの少なくとも 1 つが必要です。ロールを指定しないと、パフォーマンスアナリティクス ウィジェットを編集できるすべてのユーザーがこの要素フィルターを追加できます。 この例では、フィルターを選択できるユーザーを制限しません。



2. ウィジェット フィールド テーブルの詳細を使用してスコア ウィジェットを作成します。詳細については、「Performance Analytics ウィジェット」を参照してください。知っておくべき重要なことは、要素フィルターがインジケーターの第 1 レベルのブレークダウンに適用されることです。

ウィジェットフィールド

フィールド	説明
名前	自分のオープンインシデント (My open incidents)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
インジケーター	オープンインシデントの数
ブレークダウン	[アサイン先] を選択します。このブレークダウンが利用できない場合は、インジケーターに追加します。詳細については、「 ブレークダウンの割り当てとマップ」を参照してください。
タイプ	スコア
チャート化	最新スコア

3. ウィジェットの [要素設定] タブで、手順 1 で作成した要素フィルターである [自分] を選択します。
   ウィジェット [自分のオープンインシデント] を表示できるユーザーには、自分に割り当てられたインシデントのスコアのみが表示されます。
4. [自分のオープンインシデント] ウィジェットをダッシュボードに追加します。

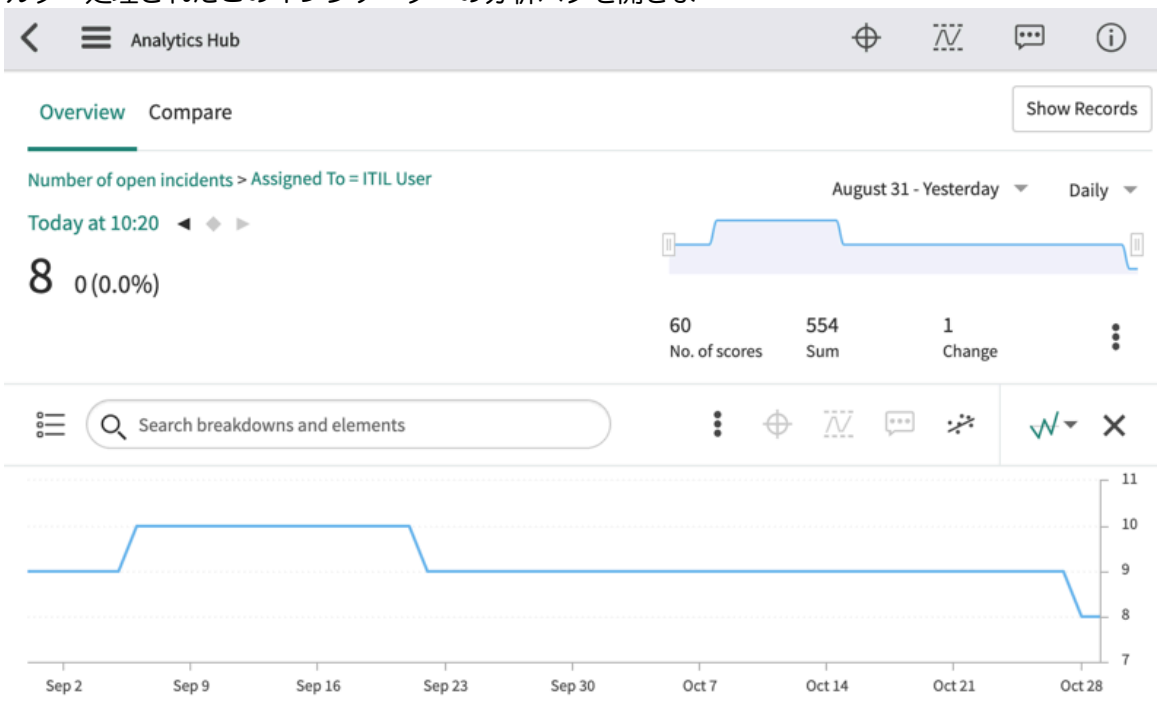
次のタスク
インシデントがアサインされているユーザーとしてログインし、[自分のオープンインシデント] ウィジェットを使用してダッシュボードを開きます。[オープンインシデント] ウィジェットには、そのユーザーに割り当てられたインシデントのスコアのみが表示されます。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スコアをクリックして、ダッシュボードを見ているユーザーで
フィルター処理されたこのインジケーターの分析ハブを開きま



す。

ピボット ウィジェットでのヒートマップによるチャート化の作成

インジケーターのスコアを 2 つのブレークダウンでグループ化するには、ピボット ウィジェットでヒートマップによるチャート化を使用します。

始める前に

必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて

インジケーターに 2 つのブレークダウンを適用する場合は、ブレークダウンをピボット テーブルの 2 つの軸として持つピボット ウィジェットを作成します。両方のスコアが高いときに色のグラデーションを使用して強調表示するヒートマップは、ピボット ウィジェットで使用できる唯一のチャート化です。

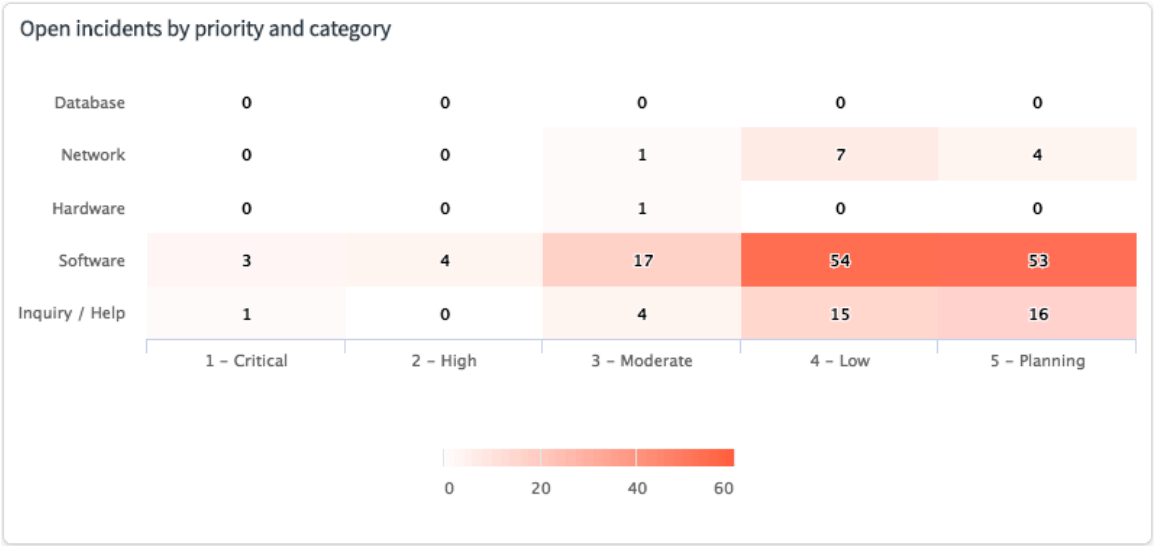
注:

- ピボット ウィジェット は、[要素をフォロー] 機能をサポートしていません。ダッシュボードのブレークダウンは、これらのウィジェットには適用できません。
- ヒートマップには 1000 を超えるセルを表示できません。2 つのブレークダウンの要素の合計数が 1000 を超える場合、ヒートマップは表示されません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ヒートマップによるチャート化 - ピボット ウィジェット



手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** > ウィジェット。
2. [新規] をクリックします。
3. [名前] フィールドに、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
4. [タイプ] フィールドで、[ピボット] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
5. [チャート化] フィールドで、[ヒートマップ] を選択します。
6. [インジケーター] フィールドで、分割するインジケーターを選択します。
7. [ブレークダウン] フィールドで、X 軸にするブレークダウンを選択します。
8. [ブレークダウンレベル **2]** フィールドで、Y 軸にするブレークダウンを選択します。
9. オプション: [表示設定] で、カラー スキームと、データ ラベルと凡例を表示するかどうかを設定します。
10. [送信] をクリックします。

次のタスク
ウィジェットを表示するには、ウィジェットをダッシュボードまたはポータルに追加します。

テキスト分析とテキスト ウィジェット

テキスト分析では、ユーザーが入力したテキスト フィールドに存在するパターンを明らかにします。

テキスト分析では、ユーザーがフォームに入力したテキストを分析する視覚的なツールを使用できます。このような分析の利点として、顧客が苦痛と思っている点の早期警告、不正なアクティビティの発見、営業レポートやインシデント レポートに集められている特定のエンティティや概念の抽出などが考えられます。この構造化されていない、定性的なデータに含まれている有用な情報は、他のツールでは見つけられないことがあります。

注:
テキスト分析は、ライセンス版のパフォーマンスアナリティクスをお持ちの場合にのみ利用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テキスト分析は、テキストのインデックスを作成することから始まります。テキストのインデックス作成は、多くのインジケーターが 1 つのインデックス構成を再利用できるように、インジケーターソースに定義します。

テキスト分析を設定するときは、次の項目を決定します。

- インデックスを作成するインジケーター ソースのフィールド。
- テキスト インデックス構成を適用するインジケーター。
- 分析から除外するストップワード。
- 1 つの単語以外に検索するフレーズ。
- デフォルト フィルタリングのキーワード。

テキスト分析を設定したら、テキストをチャート化するウィジェットを作成して、そのウィジェットをダッシュボードに組み込みます。

次のビデオは、テキスト分析の設定と表示のプロセスを示しています。

非構造化データまたは定性データを分析する Performance Analytics テキスト分析ワードクラウドウィジェットの作成方法テキスト分析ウィジェットのデータを設定および収集する方法も備えています。

テキスト分析の設定

分析するテキスト フィールドと分析するインジケーターを選択します。

始める前に

テキスト分析は、データ収集ジョブの特定の手順に依存します。テキスト分析を収集するには、関連するジョブの [収集] パラメータを設定する必要があります。ジョブは、テキスト分析の対象となる同じインジケーターのデータを収集する場合、関連します。「データ収集ジョブの作成またはスケジュール」を参照してください。

注:

ドメイン分離について:特定のドメインのテキスト分析を収集するには、それらのドメインごとにテキスト分析を設定します。各ドメインの収集ジョブで、そのドメインへのアクセス権を持つ 実行 ユーザーを指定します。収集ジョブのドメイン構成を指定しないでください。詳細については、「ドメイン分離を使用したパフォーマンス分析へのアプローチ」を参照してください。ハイブリッドアプローチを使用しています。

必要なロール：pa_power_user または pa_admin

手順

1. 移動先 すべて > テキストアナリティクス > セットアップ.
   - 新しいテキスト分析構成を作成するには、 新規 を選択します。
   - 既存のテキスト分析構成を編集するには、その行の情報アイコンを選択し、 [レコードを開く] を選択します。インジケーターソース名を選択すると、テキスト分析構成ではなく、インジケーターソースのレコードが開きます。
2. 入力テキストを分析する [インジケーターソース] を選択します。
3. [分析するフィールド] のロックを解除して、入力テキストを分析するフィールドを選択します。少なくとも 1 つのフィールドを選択する必要があります。通常は、[簡単な説明] フィールドを含めます。

   次のフィールドは選択できません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ドット連結フィールド
- 翻訳されたテキストフィールド
- 文字列以外のタイプのその他のフィールド

4. オプション: Zing ストップワードを含めるには、[システムのストップワードを使用] を選択します。
   デフォルトで選択されています。Zing グローバル ストップワードはインジケーター ソースに適用されます。Zing ストップワードを使用しない場合は、すべてのストップワードを自分で選択する必要があります。
5. テキスト インデックス構成を保存します。
   [インジケーター] 関連リストがフォームの下部に表示されます。
6. [インジケーター] リストで [編集] をクリックし、分析するインジケーターを選択します。
7. 関連する履歴データ収集ジョブを実行して、初期データを収集します。
   このフォームからジョブを実行できることがありますが、履歴データ収集ジョブを実行する必要があることもあります。詳細については、次のトピックを参照してください。

関連情報

Zing によるクエリからのストップワードの削除

初期テキスト分析データの収集

インジケーター ソースのテキスト分析を構成するときは、関連するデータ コレクタ ジョブが実行されるまで、データは使用できません。テキスト分析構成を新しく作成した場合は、特別な収集ジョブを実行します。既存のテキスト分析構成にインジケーターを追加した場合は、履歴データ収集ジョブを実行して、テキスト分析のみを収集します。

始める前に

必要なロール：pa_power_user または admin

手順

- [セットアップフィールド] フォームで、[保存]、[更新]、および [削除] の横のボタンが使用可能な場合は、[履歴収集の実行] をクリックします。
  このボタンは、テキスト インデックスのみを収集する 1 回限りの履歴ジョブを起動します。これは、テキスト分析構成を作成する場合にのみ利用できます。

  このジョブは、分析に含まれるいずれかのインジケーターのデータがある最短期間に等しい期間のデータを収集します。たとえば、5 つのインジケーターでテキスト分析を実行していて、そのうちの 4 つは 1 年分のデータがあり、5 つ目のインジケーターは 4 か月分のデータしかない場合、5 つのインジケーターすべてについて 4 か月分のテキスト分析が収集されます。

- 既存のテキスト分析構成にインジケーターを追加した場合は、履歴データ収集ジョブを構成して実行します。

  1. 移動先 データコレクション > ジョブ。
  2. 「データ収集ジョブの作成またはスケジュール」で説明されているとおりに、以下の特性で、履歴データ収集ジョブを作成または編集します。
     - [収集] ジョブ パラメータを [テキストインデックスのみ] に設定します。
     - [実行] ジョブ パラメータを [オンデマンド] に設定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- [開始日（相対）]、[開始日指定（相対）]、[終了日（相対）]、および [終了日指定（相対）] にテキスト分析を実行するインジケーターに適した値を設定します。
- テキスト分析を実行するインジケーターが、収集ジョブのインジケーターと一致していることを確認します。

3. ジョブを実行します。

次のタスク
テキスト分析が構成され、初期データが収集されたので、選択したインジケーターのテキスト分析ウィジェットを作成できます。まず、テキスト分析のストップワードを設定することを検討してください。これらのストップワードと Zing ストップワードの両方を適用できます。

テキスト分析ストップワードの選択

テキスト分析から除外する単語を選択します。インジケーター ソースまたはインジケーター レベルのいずれかで単語を除外できます。

始める前に
必要なロール：pa_analyst または pa_admin

このタスクについて
インジケーター ソースまたはインジケーター レベルのいずれかに適用するストップワードを選択します。インジケーターのストップワードを選択すると、ストップワードが適用されるスコアをブレークダウンおよびブレークダウン要素でフィルタリングできます。インジケーター ソースのストップワードを選択すると、それらをデータ収集から除外します。その結果、インデックスに無駄がなくなります。

デフォルトでは、このフォームで選択したストップワードに加えて、Zing グローバル ストップワードが適用されます。この動作はテキスト インデックス構成で無効にすることができます。現在のストップワードのリストを見つけるには、インスタンスを次の場所に移動します システム定義 > テキストインデックスのストップワード.

手順

1. 移動先 テキストアナリティクス > ストップワード をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [タイプ] フィールドで、[インジケーター] または [インジケーターソース] を選択します。
   インジケーターを指定すると、1 つまたは 2 つのレベルのブレークダウンでテキストをフィルタリングできます。

   インジケーターソースを指定すると、無駄のないインデックスを維持するために、ストップワードがデータ収集から削除されます。ただし、これらのストップワードは、[ストップワード] フィールドから削除しても、すぐにウィジェットに戻すことはできません。次のデータ収集まで表示されません。

   インジケーターで指定されたストップワードは、インデックスに残ります。これらのストップワードは、[ストップワード] リストから削除することですぐにウィジェットに戻すことができますが、インデックスのサイズがパフォーマンスに影響する可能性があります。
3. ストップワードの適用先として [インジケーター] または [インジケーターソース] を選択します。
4. オプション: ブレークダウンでテキストをフィルタリングするには、[ブレークダウン] フィールドと最初の [要素] フィールドで値を選択します。
   ブレークダウンを選択しても要素を選択しなかった場合、ウィジェットはブレークダウンの要素に関連付けられていないテキストのみを分析します。
5. オプション: ブレークダウンを選択し、2 番目のブレークダウンでテキストをフィルタリングする場合は、[ブレークダウンレベル **2]** フィールドと 2 番目の [要素] フィールドで値を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

6. [ストップワード] フィールドで、テキスト分析から除外する単語をカンマで区切って入力します。
7. [送信] をクリックします。

フレーズのテキスト検索

最も頻繁に出現する個々の単語だけを検索するのではなく、テキスト分析が検索するフレーズを指定できます。

始める前に

必要なロール：pa_analyst、pa_power_user、または admin

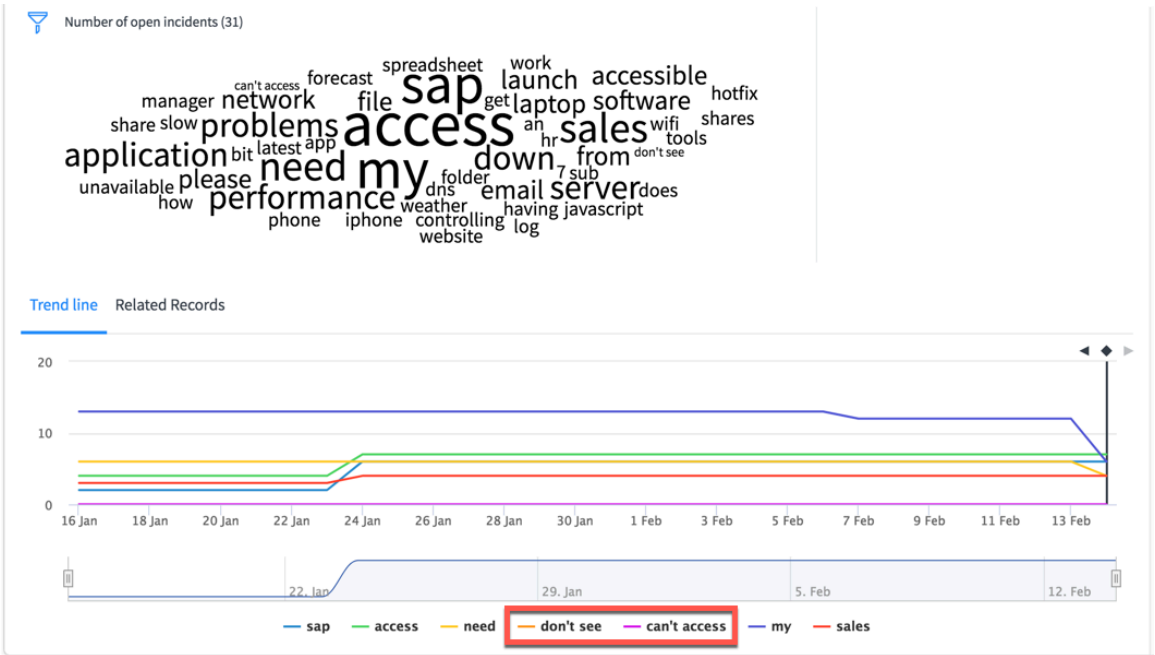
手順

1. 移動先 すべて > テキスト分析 > フレーズ をクリックし、[新規] をクリックします。
   既存のテキスト インデックス フレーズ フォームを編集するには、そのフォームの情報アイコンをクリックしてから、プレビュー ウィンドウで [レコードを開く] を選択します。
2. フレーズを検索する [インジケーター] を選択します。
   このインジケーターに対してテキスト分析を設定する必要があります。
3. オプション: [ブレークダウン] または [要素] フィールドで、フレーズを検索するレコードをフィルタリングすることができます。
   ブレークダウンと要素の両方を指定します。レベル 2 の [ブレークダウン] フィールドと [要素] フィールドを入力すると、2 番目のレベルをフィルタリングすることができます。
4. カンマ区切りの一連のフレーズを [フレーズ] フィールドに入力します。
   たとえば、「can't access, don't see」と入力します。

タスクの結果

このインジケーターのテキスト ウィジェットをダッシュボードに含めると、指定したフレーズがトレンド ラインに表示されます。

「don't see」と「can't access」のフレーズが設定されたテキスト ウィジェット



テキスト ウィジェットの作成

アナリストがインジケーターのユーザー入力テキストのパターンをチャート化しやすいようにするには、テキスト ウィジェットでワード クラウドによるチャート化を作成します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

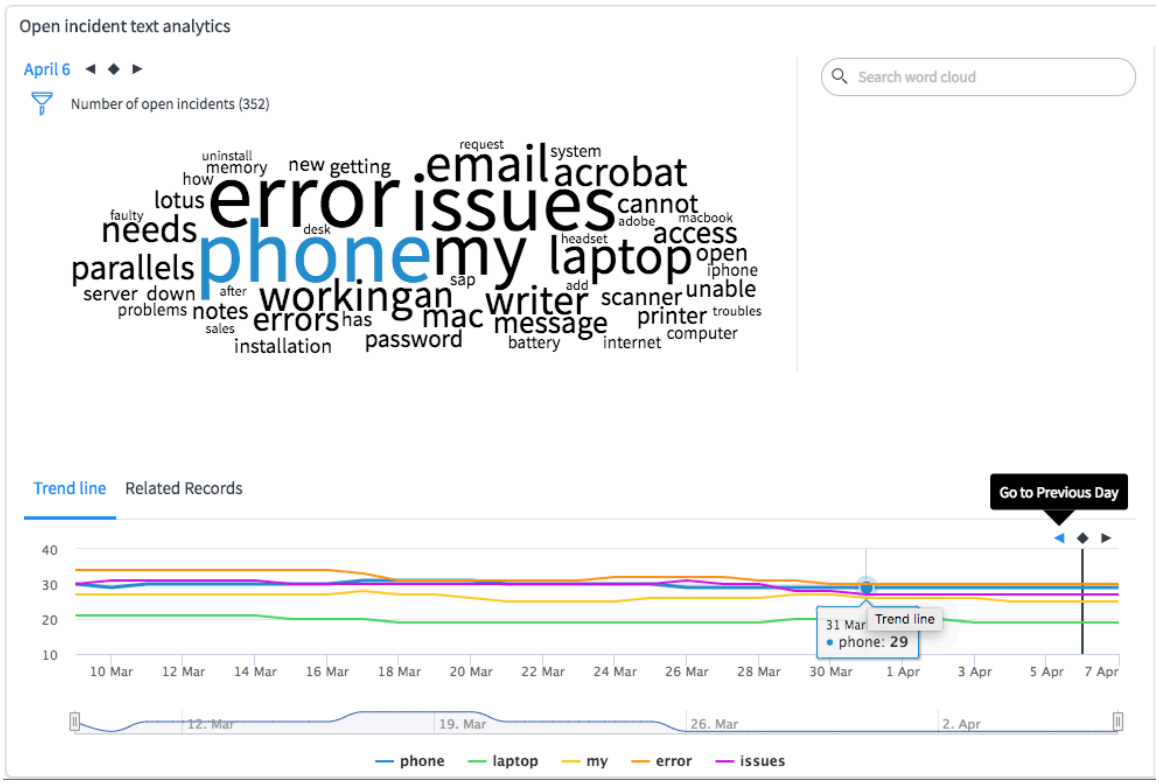
始める前に
テキストのインデックス作成は、関連するインジケーター ソースに対して構成する必要があります。この構成には、関連するインジケーターが含まれている必要があります。

テキスト分析は、ライセンス バージョンのパフォーマンスアナリティクスをお持ちの場合にのみ利用できます。

必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて
テキスト ウィジェットは、単語やフレーズの頻度をチャート化するためのワード クラウドを提供します。

ワード クラウドによるチャート化 - テキスト ウィジェット



手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** > ウィジェット をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [名前] フィールドで、表示する情報を反映するウィジェット名を入力します。
3. [タイプ] フィールドで、[テキスト] を選択します。
   他のフィールドに入力した後に [タイプ] の値を変更すると、これらのフィールドはクリアされます。
   [チャート化] として [ワードクラウド] が自動的に選択されています。
4. [インジケーター] フィールドで、テキストを分析するメイン インジケーターを選択します。
5. オプション: 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
ブレークダウンと要素	指定されたブレークダウンの指定された要素に関連付けられているテキストのみが分析されま

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	す。[ブレークダウン] と [要素] 両方の値を選択します。そうしないと、ブレークダウンの要素に関連付けられていないテキストのみが表示されます。
ブレークダウンレベル 2 と要素	レベル 1 のブレークダウンと要素が指定されている場合は、レベル 2 のブレークダウンと要素にドリルダウンします。 注: ○ 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。 ○ [要素をフォロー] は無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。

6. ブレークダウンダッシュボードで選択されているブレークダウン要素にウィジェットが従うようにするには、次の手順を実行します。

   a. [要素をフォロー] を選択します。

      このオプションを選択すると、ウィジェットでレベル 2 のブレークダウンと要素を設定する機能が削除されます。

   b. オプション: [フォローしているブレークダウン] でフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
   ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンのソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは、同じブレークダウン ソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、ブレークダウン ダッシュボードでどのブレークダウンを適用するかを決定します。

      (Optional) たとえば、インジケーター [オープンインシデントの数] では、[アサイン先] と [オープン者] の 2 つのブレークダウンが使用されます。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、そのウィジェットがブレークダウン ダッシュボードの要素に従うようにする場合を考えてみましょう。ウィジェットで、[アサイン先] ブレークダウンの要素に個別の値を表示する場合。したがって、[フォローしているブレークダウン] フィールドで [アサイン先] を選択します。

      注:
      ブレークダウン ダッシュボードで複数の要素が選択されている場合、スコア ウィジェットではレコード監視はサポートされません。この場合、リアルタイムはページの更新時にのみ更新されます。

   詳細については、「ブレークダウン ダッシュボードのウィジェットの設定」を参照してください。

7. カットオフ値を設定します。カットオフ値は、フィールド内の単語またはフレーズの頻度に基づいてウィジェットに表示される単語やフレーズをフィルタリングします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [カットオフ] フィールドで、カットオフ値を数値カウントにするか、相対的なパーセンテージにするかを選択します。

- カウント は、フィールド内の単語またはフレーズの出現回数です。たとえば、カットオフ設定が [[Count][Greater than or equal to][10]] の場合、ウィジェットには 10 回以上出現する単語やフレーズのみが表示されます。
- パーセンテージ とは、フィールド内のすべての単語が出現する単語またはフレーズの出現率を示します。たとえば、フィールド内のすべての単語の出現回数が合計 30 回あり、カットオフ設定が [[パーセンテージ][次の値以上][10]] の場合、ウィジェットには 3 回以上出現する単語またはフレーズのみが表示されます。

b. [カットオフ条件] フィールドで、カットオフ値が最小か最大かを選択します。

- 以上 **(Greater than or equal to**) では、ウィジェットは、カットオフ値と少なくとも同じ頻度の単語またはフレーズを表示します。
- [以下 (**Less than or equal to**)] では、カットオフ値よりも一般的でない場合に、ウィジェットに単語またはフレーズが表示されます。

c. 「 カットオフ値 」フィールドで、整数値を指定します。

8. オプション: 残りの表示設定を設定します。

フィールド	説明
デフォルトフィールド	テキスト インデックスの構成で複数のフィールドが選択されている場合、デフォルトでこのフィールドが表示されます。
単語の最大数	ワードクラウドに表示される単語の最大数
トレンドラインの最大数	ワードクラウドの下に表示される傾向ラインの最大数

自動翻訳

次のタスク

- ダッシュボードにウィジェットを追加します。
- 管理者またはダッシュボード オーナーは、ウィジェットを含むダッシュボードをこれらのユーザーと共有します。
- テキスト分析では、データ収集ジョブの特別な手順を使用します。ウィジェット用のデータがない場合は、関連するデータ収集ジョブが実行され、ジョブがテキスト インデックスを収集していることを確認します。「初期テキスト分析データの収集」を参照してください。
- キーワードでワード クラウドをフィルタリングします。

テキスト分析用キーワードの保存

テキスト分析ウィジェットを常にフィルタリングするキーワードを保存することができます。ワード クラウドの単語から選択して、ダッシュボードのウィジェットに直接保存することができます。また、保存したキーワードのレコードを作成または編集することもできます。

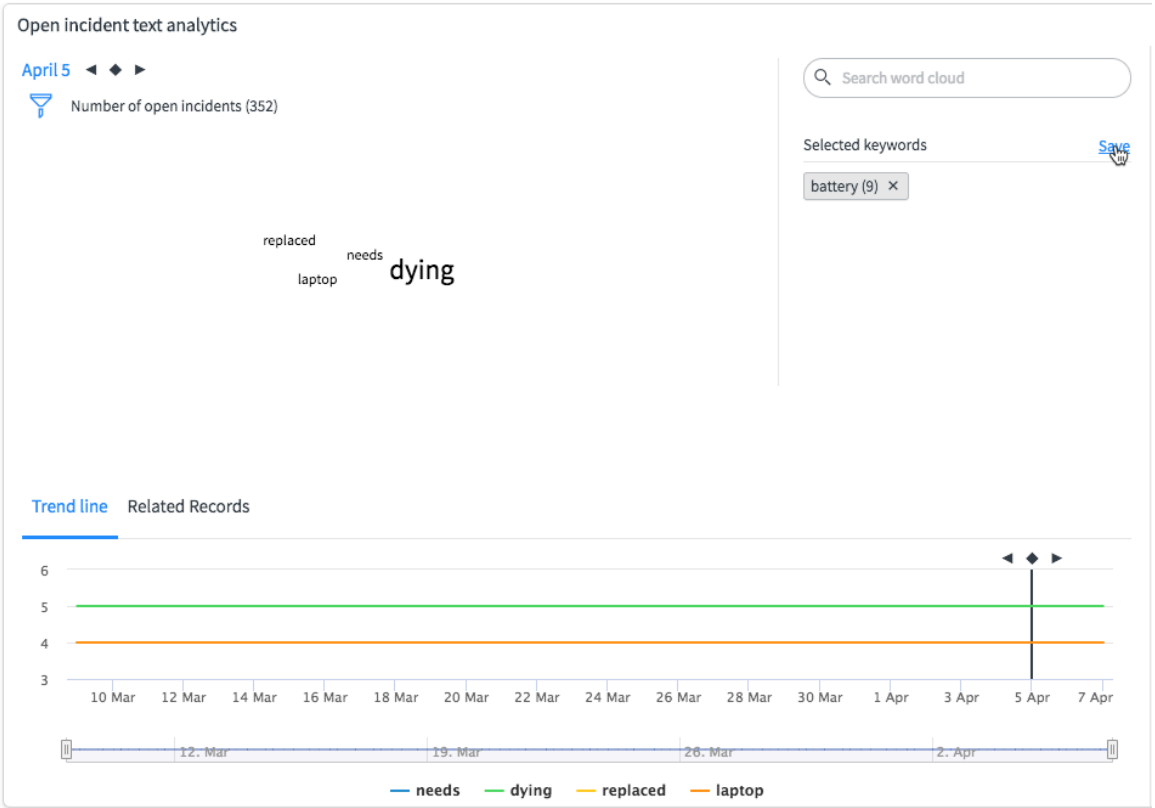
始める前に

必要なロール：pa_analyst または admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
キーワードでワード クラウドをフィルタリングするには、クラウドの中の単語をクリックします。誰かがウィジェットを表示するたびに使用されるキーワードのリストを保存することができます。キーワードの各リストは、1 つのウィジェット内のインジケーターの 1 つのブレークダウンと要素の組み合わせに適用されます。次の例では、「battery」という単語がキーワードとして指定されています。[保存] をクリックすると、すべてのビューアに、このウィジェットが「battery」でフィルタリングされて表示されます。必要なロールを持つユーザーは、後で保存されたキーワードを削除できます。

キーワード「battery」でフィルタリングされたワード クラウド



また、キーワードが保存されたレコードを作成または編集することもできます。この方法では、選択するキーワードが既にワード クラウドに出現しているキーワードに限定されません。

手順

1. 移動先 すべて > テキストアナリティクス > キーワード をクリックし、[新規] をクリックします。
2. [ウィジェット] フィールドに、キーワードを適用するウィジェットを指定します。
3. [インジケーター] フィールドに、キーワードを適用するインジケーターを指定します。
4. [フィールド] フィールドで、キーワードを適用するインジケーター フィールドを選択します。
5. オプション: [ブレークダウン] フィールドと [要素] フィールドでは、ブレークダウン要素によってキーワードを適用するレコードをフィルタリングすることができます。
   ブレークダウンと要素の両方を指定します。レベル 2 の [ブレークダウン] フィールドと [要素] フィールドを入力すると、2 番目のレベルをフィルタリングすることができます。

   ブレークダウンと要素の組み合わせを指定すると、その組み合わせがウィジェットで選択されたときにのみ、キーワードが適用されます。ブレークダウンと要素の組み合わせを指定しないと、キーワードが特に選択されていないすべてのブレークダウンと要素の組み合わせに、キーワードが適用されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. [キーワード] フィールドに、カンマ区切りのキーワード リストを入力します。
7. [送信] をクリックします。

ワークベンチ プロセス ウィジェットによるワークフローの監視

ワークベンチ プロセス ウィジェットは、ストーリーを伝えるインジケーターのコレクションです。このウィジェットを使用すると、ドリルダウンすることなく、1 つの画面で複数のインジケーターの複数のファセットを分析できます。このウィジェットは、ワークフローを持つプロセスまたはサービスを監視する場合に便利です。

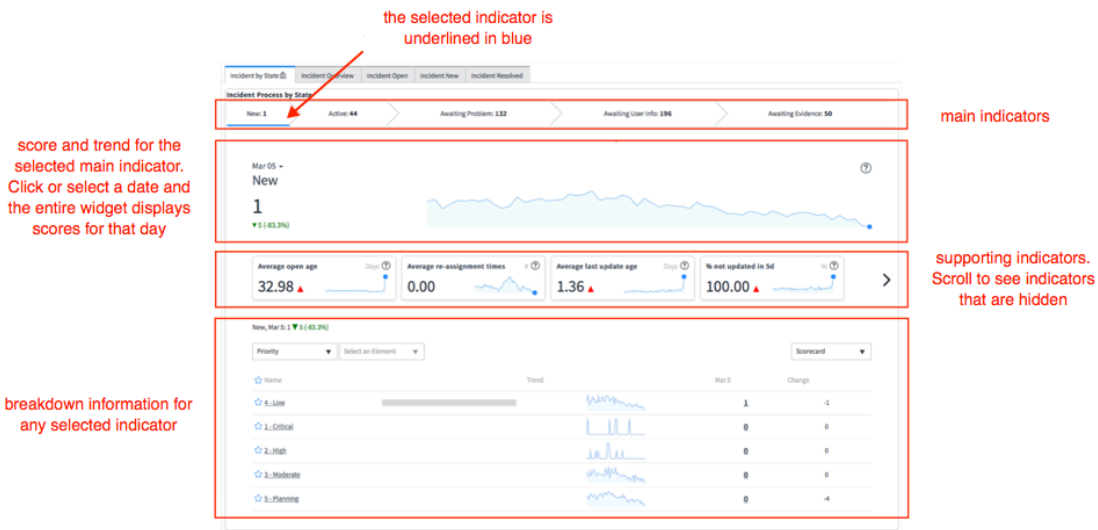
ウィジェット上部のメイン インジケーターを選択します。オプションで、各メインインジケーターは、独自のサポート インジケーターセットを持つことができます。

ウィジェットには、動的に更新される 4 つの相互接続されたセクションがあります。たとえば、メインインジケーターをクリックすると、そのスコア、トレンド、サポートインジケーター、およびブレークダウンの情報が表示されます。いずれかのチャート化の日付をクリックまたは選択すると、ウィジェット全体がその日のデータを表示します。

注:

- メイン インジケーターとその適用されたブレークダウンでリアルタイム スコアがサポートされている場合は、リアルタイム スコアを表示できます。リアルタイム スコアを表示するには、日付セレクタで [リアルタイム] を選択します。リアルタイムスコアは、ワークベンチの上部ペインにのみ表示されます。詳細については、「リアルタイムスコア」を参照してください。
- 各スコアトレンドに対してウィジェットに表示されるタイムスパンは、インジケーターの頻度によって異なります。タイムスパンは、日次が 60 日、週次および月次が 1 年、四半期が 3 年、年次が 12 年です。このタイムスパンを設定することはできません。ただし、ウィジェットで時系列集計を適用すると、それに応じてタイムスパンが変更されます。

ワークベンチ プロセス ウィジェット



ワークベンチ プロセス ウィジェットの下部には、選択したインジケーターの利用可能なブレークダウンまたは収集されたレコードが表示されます。[ブレークダウン] または [レコード] タブをクリックして、どちらか一方を表示します。オープン インシデントの平均経過時間などの集計を指定するサポートインジケーターを選択している場合、[レコード] タブは表示されません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ワークベンチ ウィジェットを作成するときは、メインおよびサポートインジケーターのみを選択します。ウィジェットのスコア、トレンド、およびブレークダウンのセクションは自動的に構成され、変更することはできません。ただし、ウィジェットのインジケーターの順番と外観は変更できます。

ワークベンチ プロセス ウィジェットの作成

複数のインジケーターを使用してプロセスを監視するためのワークベンチ ウィジェットを作成します。

始める前に

- ワークベンチ ウィジェットの構造を理解している
- 含めるメインおよびサポート インジケーターを決めておく
- 必要なロール：pa_admin、pa_power_user、または admin

手順

1. 移動先 すべて > パフォーマンス分析 > ウィジェット をクリックし、[新規] をクリックします。
   新しいウィジェット レコードが表示されます。
2. ウィジェットに名前を付けます。
3. [タイプ] フィールドで、[ワークベンチ] を選択します。
4. フォーム ヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。
   メイン ウィジェット インジケーター関連リストが表示されます。
5. ワークベンチ ウィジェットにメイン インジケーターを追加します。
   メイン インジケーターがウィジェットの上部に表示されます。追加可能なインジケーターの最大数は、com.snc.pa.widget.max_widget_indicators で指定します。ウィジェット インジケーターのデフォルトの最大数は 7 です。

   a. メイン ウィジェット インジケーター関連リストで [新規] をクリックします。

   b. [インジケーター] を選択します。

   c. [順番] を設定して、インジケーターの表示位置 (左から右) を定義します。

   d. 必要に応じてその他のフィールドを入力します。

追加インジケーター構成オプション

フィールド	説明
ブレークダウンと要素	ブレークダウン要素で、インジケーターに表示されるデータをフィルタリングします。ブレークダウンを選択する場合は、要素を選択する必要があります。 たとえば、インジケーターが [オープンインシデントの数] で、[状態] に [ブレークダウン]、[要素] に [有効] を選択した場合、有効状態のインシデントのスコアのみがウィジェットに含まれます。
ブレークダウン レベル 2 と要素	インジケーターに表示されるデータをフィルタリングする 2 つ目のブレークダウン要素を追加します。ブレークダウン レベル 2 を選択する場合は、要素を選択する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	たとえば、インジケーターが [オープンインシデントの数] で、1 つ目のブレークダウン フィルタは有効状態に設定されているとします。そこで、[ブレークダウンレベル **2]** に [カテゴリ]、[要素] に [ソフトウェア] を選択します。インジケーターに、有効でソフトウェア カテゴリに含まれるオープン インシデントのスコアのみが表示されるようになります。
時系列	指定された期間と集計をウィジェットのトレンド チャート化に追加します。 **注:** ビジネスカレンダーと会計カレンダーは時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターには時系列集計を設定できません。
要素をフォロー	ウィジェットが追加されたダッシュボードに適用されたブレークダウン要素をインジケーターにも適用することを指定します。 [ブレークダウンレベル 2] を指定すると、[要素をフォロー] は無視されます。
ブレークダウンをフォロー	このブレークダウンのみを [要素をフォロー] としてインジケーターに適用することを指定します。ウィジェットが追加されたダッシュボードに適用された他のすべてのブレークダウンは無視されます。 [ブレークダウンをフォロー] を指定しない場合は、ダッシュボードに適用されたすべてのブレークダウンがインジケーターに適用されます。
ラベル	ウィジェットでのインジケーターの名前を指定します。ラベルを指定しない場合は、インジケーターの名前が使用されます。

e. フォーム ヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。
サポート ウィジェット インジケーター リストが表示されます。

6. オプション: サポート インジケーターを追加します。
メイン インジケーターをクリックすると、そのサポート インジケーターがウィジェットの中央に表示されます。サポート インジケーターは無制限に追加できます。

a. [サポート ウィジェット インジケーター] 関連リストで [新規] をクリックします。

b. [インジケーター] を選択します。

c. [順番] を設定して、インジケーターの表示位置 (左から右) を定義します。

d. 必要に応じてその他のフィールドを入力します。
サポート インジケーターは、メイン インジケーターと同じ方法で構成できます。「設定オプション」のステップ 5 を参照してください。

e. [送信] をクリックして、メイン インジケーター レコードに戻ります。

f. すべてのサポート インジケーターを追加するまで、ステップ 6 を繰り返します。

7. [更新] をクリックしてウィジェットレコードに戻ります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

8. すべてのインジケーターを追加するまで、ステップ 5 ～ 7 を繰り返します。
9. オプション: メイン インジケーターの 1 つを [デフォルトインジケーター] として選択します。このデフォルトのインジケーターは、ユーザーがウィジェットを表示すると自動的に表示されます。デフォルトのインジケーターを指定しないと、ウィジェットには [順番] の値が最小のメインインジケーターが最初に表示されます。
10. [更新] をクリックして、ウィジェットを保存します。

次のタスク
ウィジェットをレビューして、新しいインジケーターが正しいことを確認します。ウィジェットをまだ追加していない場合は、ダッシュボードにウィジェットを追加して表示します。

ウィジェット インジケーターの追加

既存の時系列またはリスト ウィジェットに任意の数のセカンダリ インジケーターを追加します。

始める前に
ウィジェットが存在する必要があります。作成しているウィジェットにインジケーターを追加する場合は、ウィジェットを送信せずに保存します。フォームは開いたままになり、下部にウィジェットインジケーター関連リストが表示されます。

必要なロール：pa_power_user または admin

このタスクについて
時系列ウィジェットを作成するときは、それを単一のメイン インジケーターに関連付けます。このインジケーターを同じウィジェットの別のインジケーターと比較する場合は、追加のインジケーターを既存のウィジェットに追加します。この手順は、時系列の積み上げ縦棒グラフによるチャート化を作成する場合に必要です。

リスト ウィジェットを作成するときは、インジケーター グループを指定するか、ウィジェット インジケーターを追加する必要があります。

注:
時系列ウィジェットに異なる頻度のメイン インジケーターとウィジェット インジケーターを含める場合は、ウィジェットの X 軸に時間値がどのように表示されるかに注意してください。この動作の詳細については、「 KB0755757 」を参照してください。

ウィジェットがブレークダウン ダッシュボード上の要素に従う場合、[複数の要素を表示] の 値はメイン ウィジェットとウィジェット インジケーターの両方に適用されます。[集計] が選択されていても、いずれかのウィジェットインジケーターが集計ビューをサポートしていない場合、そのインジケーターはブレークダウンダッシュボードの要素をフォローしません。代わりに、インジケーターは、ウィジェット構成で設定されている第 1 レベルのブレークダウンと要素に従います。他のインジケーターは、ブレークダウン ダッシュボード上の要素をフォローし、それらの値の集計を表示します。詳細については、「ブレークダウン ダッシュボードのウィジェットの設定」を参照してください。

警告:
前の期間のチャートとウィジェットインジケーターを同じ時系列ウィジェットに含めることはできません。すでにウィジェットインジケーターが指定されている時系列で前期のチャートを有効にすると、ウィジェットインジケーターリストがクリアされます。

ユーザーがブレークダウンダッシュボードでブレークダウン要素を選択すると、ブレークダウンと要素名がウィジェットインジケーター名に追加されます。ウィジェットインジケーターのラベルには、ブレークダウンと要素の名前も追加されます。次の状況では、ブレークダウンと要素の名前はウィジェットインジケータの名前とラベルに追加されません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ウィジェットは複数の要素の集計ビューを表示しますが、ウィジェットインジケーターはこのビューをサポートしていません。
- ウィジェットは要素をフォローしません。
- ウィジェットインジケーターは、選択したブレークダウン要素をサポートしていません。

手順

1. 作成しているウィジェットを保存するか、既存のウィジェットを開いて編集します。
   ウィジェットを開くには、次のいずれかを行います。 **Performance Analytics** > ウィジェット またはダッシュボードから。詳細については、「レスポンシブ ダッシュボードを編集する」を参照してください。
2. フォームの一番下までスクロールし、[ウィジェットインジケーター] というラベルの関連リストを探します。
3. [新規] をクリックします。
4. [インジケーター] フィールドで、ウィジェットのセカンダリ インジケーターを選択します。
   選択したインジケーターが多すぎると、ウィジェットが読みにくくなる可能性があります。
5. [チャートの種類] フィールドで、インジケーターのチャート化を選択します。
   プライマリ インジケーターのチャート化とマッチするチャート化を選択します。たとえば、プライマリ インジケーターを列として表示し、セカンダリ インジケーターを線として表示します。時系列ウィジェットのプライマリ インジケーターに [積み上げ縦棒] のチャート化を使用している場合は、すべてのセカンダリ インジケーターでも [積み上げ縦棒] を使用するように設定します。
6. オプション: 次のフィールドに入力します。

フィールド	説明
ブレークダウンと要素	(Optional) このブレークダウンの指定された要素に一致するスコアのみが表示されます。[ブレークダウン] と [要素] 両方の値を選択します。そうでないと、ブレークダウンの要素に関連付けられていないスコアのみが表示されます。 **注:** ウィジェット インジケーターが時系列ウィジェット上にある場合は、第 1 レベルの要素の代わりに要素フィルターを指定できます。ステップ 8を参照してください。
ブレークダウンレベル 2 と要素	レベル 1 のブレークダウンと要素が指定されている場合は、レベル 2 のブレークダウンと要素にドリルダウンします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: ○ 第 2 レベルのブレークダウンは、[ブレークダウンマトリクスを収集] タブのインジケーターレコードで有効にする必要があります。 ○ [要素をフォロー] は無効にする必要があります。ダッシュボードのブレークダウンは、可能な 2 つのブレークダウンレベルのうちの 1 つとしてカウントされます。
時系列	7 日間の合計や平均など、特定の期間のインジケーター スコアで機能を実行します。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。 注: ビジネスカレンダーと会計カレンダーは時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターのウィジェットに時系列集計を設定することはできません。
順番	ウィジェットに複数のセカンダリ インジケーターがある場合、このインジケーターが表示される順序。2 と 3 の代わりに 200 と 300 とするなど、余分な桁を追加することを検討します。この方法で、後でインジケーターを追加する場合に、新しいインジケーターの順番を指定するだけですみます。すべてのセカンダリ インジケーターの順番を再指定する必要はありません。
グラフのタイプ	ウィジェットインジケーターを表示するチャートのタイプ
第 2 Y 軸	このインジケーターの Y 軸を追加します。 (Optional) 1 つのセカンダリ インジケーターの Y 軸のみが表示されます。複数のセカンダリ インジケーターで第 2 Y 軸が選択されている場合、元々順番が先頭のインジケーターの軸だけが表示されます。
色	このインジケーターのスコアにのみ適用される単色。
ラベル	このインジケーターのカスタムラベル。

7. ブレークダウン ダッシュボードで選択されているブレークダウン要素にウィジェット インジケーターをフォローさせるには、次の手順を実行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [要素をフォロー] を選択します。

このオプションを選択すると、ウィジェットでレベル 2 のブレークダウンと要素を設定する機能が削除されます。

b. オプション: [フォローしているブレークダウン] でフォローする利用可能なブレークダウンを設定します。
ブレークダウンダッシュボードでは、ブレークダウンのソースと要素を選択できます。ただし、インジケーターは、同じブレークダウン ソースに基づく複数のブレークダウンを使用できます。この設定を使用して、ブレークダウン ダッシュボードでどのブレークダウンを適用するかを決定します。

(Optional) たとえば、インジケーター [オープンインシデントの数] では、[アサイン先] と [オープン者] の 2 つのブレークダウンが使用されます。どちらのブレークダウンも Users.Active ブレークダウン ソースに基づいています。このインジケーターのウィジェットを作成し、そのウィジェットがブレークダウン ダッシュボードの要素に従うようにする場合を考えてみましょう。ウィジェットで、[アサイン先] ブレークダウンの要素に個別の値を表示する場合。したがって、[フォローしているブレークダウン] フィールドで [アサイン先] を選択します。

ブレークダウン ダッシュボードの詳細については、「」を参照してください ダッシュボードでのブレークダウンの使用。

8. 時系列ウィジェットのみ:[要素フィルター] タブでは、[要素] フィールドで第 1 レベルの要素を選択する代わりに、使用する要素フィルターを選択できます。

「要素フィルタ」を参照してください。

このアプローチを使用して、ビューアーに応じて表示されるブレークダウンをカスタマイズします。要素フィルタを使用したウィジェットのカスタマイズの詳細については、「」を参照してください パーソナライズされたビジュアル。

> **注:**
> ダッシュボードでは、要素フィルターが渡すすべての要素の名前が、ウィジェットインジケーターのインジケーター名またはラベルに追加されます。

9. [送信] をクリックします。

次のタスク
これらの設定を後で編集するには、[ウィジェットインジケーター] リストを表示して、インジケーターの名前ではなく情報アイコンをクリックします。

関連情報
関連リスト

KB0724552:時系列またはリスト ウィジェットにセカンダリ インジケーターを追加する方法

ウィジェットのクリック時の動作の設定

ユーザーがウィジェットをクリックしたときの処理を構成できます。

始める前に
必要なロール：pa_power_user、pa_admin、または admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
デフォルトでは、ユーザーがウィジェットをクリックすると、ウィジェット インジケーターの詳細 アナリティクスハブ が表示されます。代わりに別の URL にユーザーを誘導するようにウィジェットを構成することができます。

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** > ウィジェット.
2. 構成するウィジェットを選択します。
3. [クリック時の動作] 関連リストで、[新規] をクリックして、新しいレコードを作成します。
   1 つのウィジェットに対して複数のクリック時の動作レコードを作成した場合、[順番] の値が最小のレコードのみが使用されます。

   a. [ラベル] フィールドに、ユーザーがウィジェットをクリックしたときにこのオプションに表示されるテキストを入力します。

   b. [タイプ] フィールドで、**[URL]** を選択します。

   c. [値] フィールドに、ユーザーがウィジェットをクリックしたときにユーザーを誘導する URL を入力します。
   インスタンス URL の相対 URL のみを入力できます。値は、/incident.do のように、/ 文字で始める必要があります。

   d. [送信] をクリックします。

カラースキーム

データのビジュアル化で複数のインジケーター、ブレークダウン、またはテーブルフィールドが表示される場合、異なる値の色はカラー スキームに従うことができます。

カラー スキームは、次のビジュアライゼーションに適用できます。

- 複数のインジケーターまたはブレークダウンを表示する時系列およびブレークダウン ウィジェット
- 複数の要素が個別に表示される場合のブレークダウン ダッシュボードのウィジェット
- テーブル フィールドごとにグループ化または積み重ねられるレポート
- プラットフォームアナリティクス テーブルフィールドでグループ化または積み重ねるデータビジュアル化コンポーネント

ウィジェットを作成するときに、[カラー スキーム] フィールドでカラー スキームを選択できます。例については、「ブレークダウン ウィジェットでの円グラフ、ドーナツ グラフ、または半ドーナツ グラフによるチャート化の作成」を参照してください。独自の配色をデザインすることもできます。

配色を指定する必要はありません。この場合、必要に応じて、プロパティ *com.snc.pa.chart_default_color_schema* で指定されたデフォルトの配色が適用されます。では ベースシステム、このカラー スキームはデフォルトの UI14 です。

すべての配色は、チャートの配色 [pa_chart_color_schemes] テーブルにあります。 パフォーマンスアナリティクス > **System** > チャートのカラースキーム。

San Diego から始まるデフォルトのカラースキームでは、UX テーマプロパティ [sys_ux_theme_property] テーブルの定性的テーマ可能な色を使用した色定義が使用されます。これらの色を使用するには、Next Experience をアクティブ化する必要があります。そうしない場合は、色定義の代替色が使用されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

関連情報

レポートの定義済みの色

レポートタイプ

配色を作成する

レポート、ウィジェット、 パフォーマンスアナリティクス および プラットフォームアナリティクス データ視覚化コンポーネントに使用できる再利用可能な色のセットを作成します。

始める前に
必要なロール：pa_power_user または pa_admin

このタスクについて

ヒント:
またはNow Platformレポート管理者は、カラースキームで使用するカスタム色を作成できます。詳細については、「分析用のシステムの色の定義」を参照してください。

手順

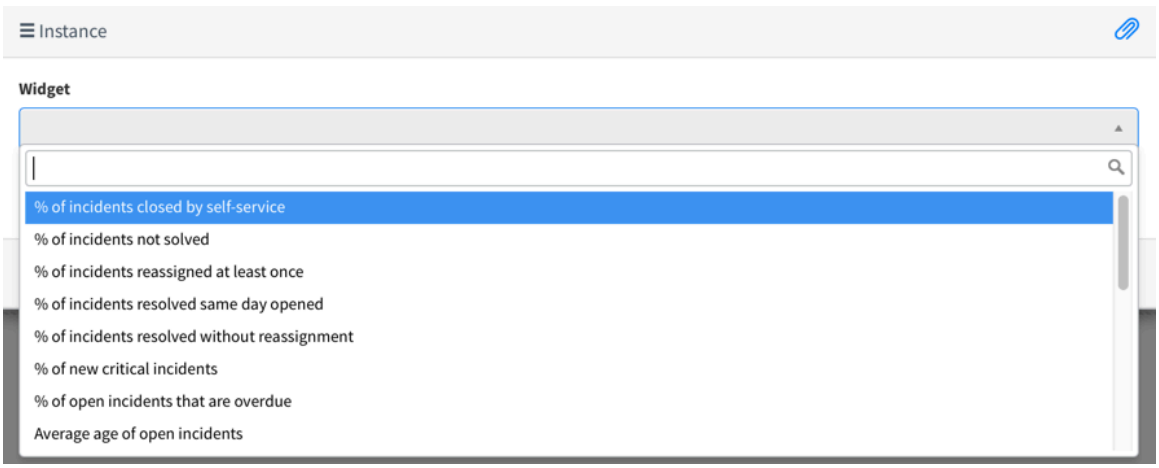
1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** > **System** > チャートのカラースキーム。
2. [新規] をクリックします。
3. 内容を端的に表す名前を入力します。
4. [色 **1**] および [色 **2**] フィールドで色を選択します。
   カラー スキームには少なくとも 2 つの色を設定する必要があります。もっと使えます。
5. オプション: カラー スキームに含める色を最大 32 色選択します。
6. [送信] をクリックします。

パフォーマンスアナリティクス サービスポータルのウィジェット

パフォーマンスアナリティクスのインジケーターとブレークダウンはサービスポータルを使用して表示することができます。

ポータルを編集するときに、[パフォーマンス分析] ウィジェットを追加します。ウィジェット オプションを使用して、ポータルに表示する既存のパフォーマンスアナリティクスポータルと、そのタイトルを表示するかどうかを指定します。

パフォーマンス分析ウィジェット



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ウィジェットを表示するためのセキュリティ要件

Quebec 以降、ウィジェットはインジケーターとブレークダウンのアクセス制御リスト (ACL) に従います。ACL 以外では、ウィジェットを表示するためのロールは必要ありません。

ただし、Quebec より前のバージョンからインスタンスをアップグレードする場合、デフォルトでは Quebec より前のルールが適用されます。インジケーターとブレークダウンの ACL に従うのは、次の領域のみです。

- リストウィジェットはインジケーターの ACL に従います。
- ブレークダウンを表示する場合は、ブレークダウンの ACL が適用されます。

さらに、アップグレードされたインスタンスでは、次のウィジェットでユーザーに pa_viewer ロールが必要な場合があります。

- リストウィジェット
- テキストウィジェット
- ワークベンチウィジェットのブレークダウンセクション

ACL の構成方法が異なるため、アップグレードされたインスタンスは Quebec で導入されたルールに自動的に従うことはできません。

関連情報

サービスポータル デザイナを使用したページの作成および編集

サービスポータルに関するレポート

Performance Analytics ウィジェット

Performance Analytics and Reporting - Service Portal Widgets プラグインの有効化

admin ロールがある場合は、Performance Analytics and Reporting - Service Portal Widgets プラグイン (com.snc.pa.sp.widget) を有効にすることができます。このプラグインにはデモ データが含まれ、関連プラグインがまだ有効化されていない場合は有効化します。

始める前に
必須ロール：admin

このタスクについて
Service Portal Widget プラグインは、関連プラグインがまだ有効化されていない場合は有効化します。

Performance Analytics and Reporting - Service Portal ウィジェットのプラグイン

プラグイン	説明
Service Portal [com.glide.service-portal]	サービスポータルのコア機能。

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. フィルター基準と検索バーを使用してプラグインを検索します。

   名前または ID でプラグインを検索できます。プラグインが見つからない場合は、ServiceNow 担当者から要求する必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. [インストール] を選択して、[プラグインをアクティブにする] ダイアログボックスで、[アクティブ化] をクリックします。

   注:
   ドメイン分離と代理管理者がインスタンスで有効になっている場合、管理ユーザーはグローバルドメインに含まれている必要があります。それ以外の場合、次のエラーが表示されます： 別の操作が実行されているため、アプリケーションのインストールは利用できません：<プラグイン名> のプラグインの有効化。

関連情報

プラグインのリスト

ウィジェット統計情報の表示

パフォーマンス分析ウィジェットの統計情報を表示して、ダッシュボードでのウィジェットのロードが遅いかどうかなどの、問題の特定と解決に役立てることができます。

始める前に
必要なロール：pa_power_user、pa_admin、または admin

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** > ウィジェット統計情報.
2. 統計情報を表示するウィジェットを選択します。
3. 次のフィールドをレビューします。

レポート統計情報フィールド

フィールド	説明
ウィジェット	統計情報が示すウィジェット。
合計実行数	ウィジェットがサーバーからロードされた合計回数。
平均実行時間	このウィジェットのすべての実行でウィジェットをロードするのにかかった平均時間 (ミリ秒単位)。
最新の実行回数	ウィジェットが最近サーバーからロードされた回数。最近の実行の最大数は、プロパティ *glide.report.recent_executions_number*によって決まります。
最新の平均実行期間	最近の実行でウィジェットをロードするのにかかった平均時間 (ミリ秒単位)。最近の実行の最大数は、プロパティ *glide.report.recent_executions_number*によって決まります。
合計実行時間	ウィジェットのすべての実行の合計経過時間。

ウィジェット統計情報のプロパティ

次のプロパティで、ウィジェット統計情報の追跡および管理方法をコントロールします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ

プロパティ	説明
glide.report.recent_executions_number	最近の平均経過時間の計算のために、最近と見なされるウィジェット実行数。 • タイプ：整数 • デフォルト値：25 • 場所：プロパティを追加

分析ハブ

スコアアナリティクスハブ は、より詳細な分析に使用されるインジケーターの探索的ビューです。特定のインジケーターの傾向、予測、ブレークダウン、および関連レコードを表示することができます。アナリティクスハブカードを置き換えます。

注:
Next Experience にアップグレードすると、 アナリティクスハブ 機能も にあります KPI 詳細。移動先 プラットフォームアナリティクス > **KPI**。エクスペリエンスに移行する プラットフォームアナリティクス 場合は、オプション KPI 詳細 のみを使用できます。

の使用アナリティクスハブの概要。

Performance Analytics インジケーターデータを使用して アナリティクスハブ 分析、探索、および比較する方法については、この 5 分間のビデオをご覧ください。

アナリティクスハブでは、データの集計、スコアの比較、または経時変化の表示によってインジケータースコアを分析し、ブレークダウンでスコアをフィルタリングします。ターゲット、しきい値、トレンドライン、および重要な変更に関する有用なコメントを追加して、 を拡張し アナリティクスハブ ます。

インジケーターフォームで、インジケーターが自動的に含まれ アナリティクスハブ るように設定できます。

注:
10,000 ～ 999,999 の値は、最も近い千単位に丸められ、K で省略されます (例：11,234 の場合は 11K)。100 万から 999,999,999 までの値は最も近い 100 万単位に丸められ、M で省略されます。10 億以上の値は、最も近い 10 億単位に丸められ、G で省略されます。

関連情報

パフォーマンスアナリティクス インジケーター

アナリティクスハブ インジケーターのリスト

インジケーター アナリティクスハブ のリスト、そのスコア、およびその他の分析のカスタマイズ可能な選択肢を提供します。インジケーターの名前をクリックすると、そのインジケーターの詳細が表示されます。アナリティクスハブ はスコアカードを置き換えます。

リストにアクセスする アナリティクスハブ には、次に移動します: パフォーマンスアナリティクス > 分析ハブ。

インジケーターリストコントロール

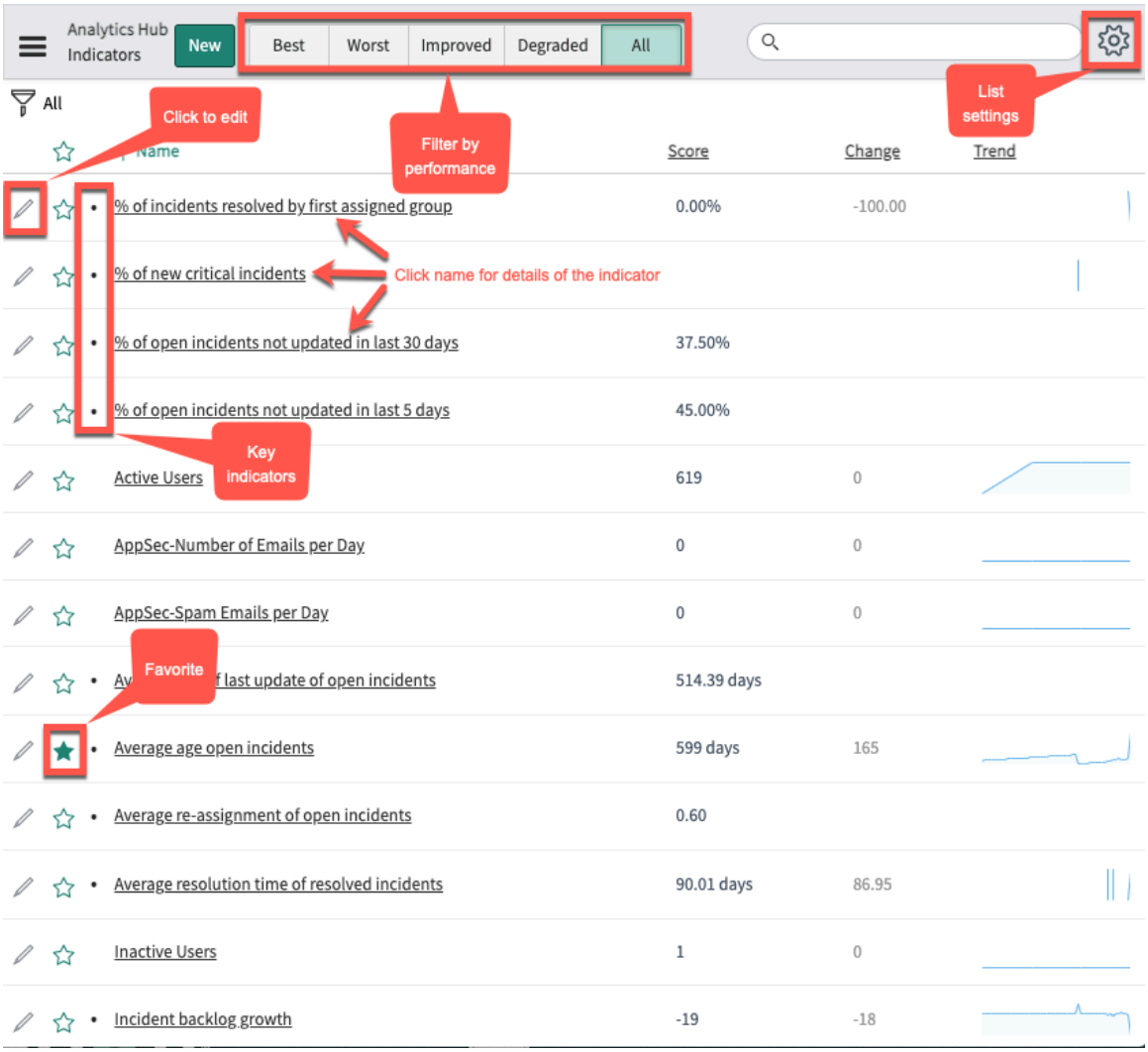
インジケーターのリストには、次のコントロールが含まれています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- インジケーターの名前をクリックして、そのインジケーターにフォーカスしているビュー アナリティクスハブ を開きます。このビューでは、分析ツールの拡張セットを使用できます。
- インジケーターの横にある鉛筆アイコンをクリックして、編集するインジケーターレコードを開きます。このアイコンは、ロールからインジケーターレコードへのアクセス権が付与されている場合にのみ使用できます。
- インジケーター名の横にある緑色の星印は、それがお気に入りであることを示します。インジケーターの横にある星印をクリックすると、お気に入りとしてマークされます。
- インジケーター名の横にある黒い点は、キー インジケーターであることを示します。インジケーターをキーとしてマークするには、インジケーターを作成するときに [キー] チェック ボックスをオンにします。

インジケーターのリスト

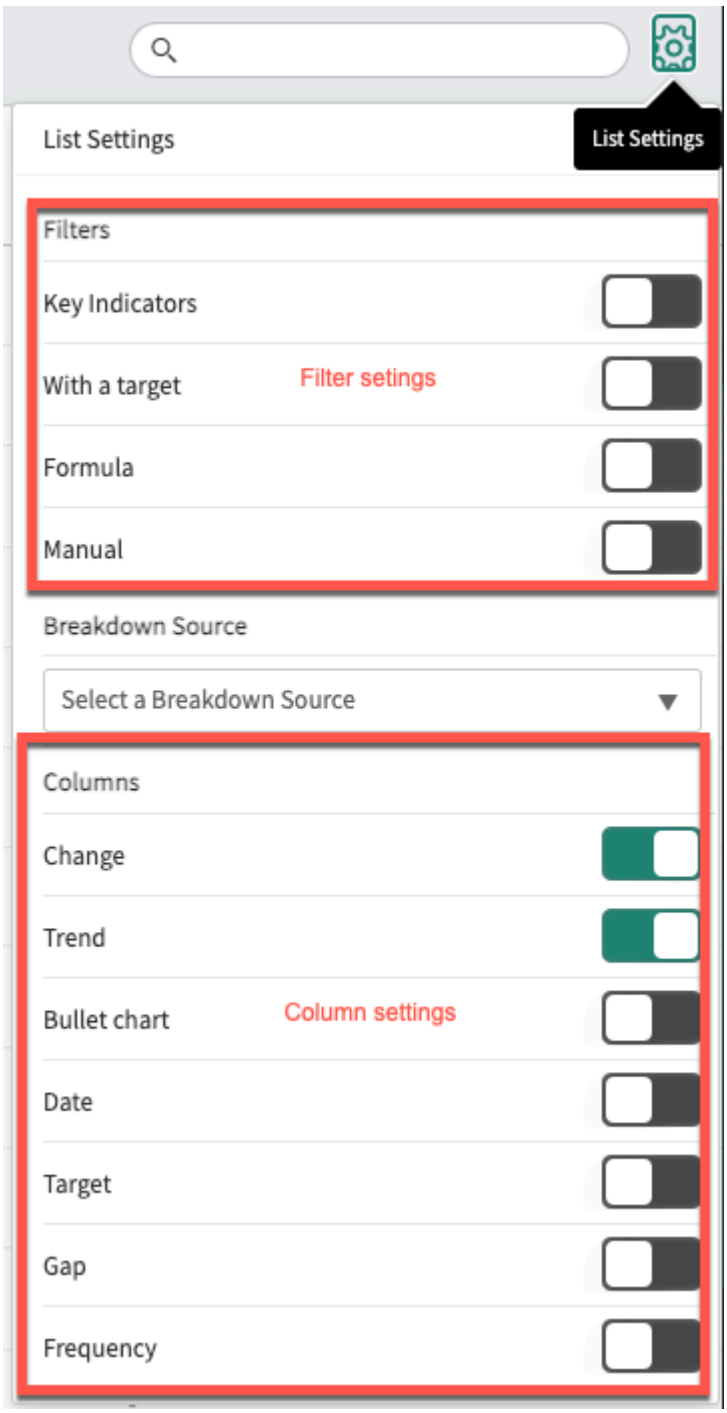


表示内容 アナリティクスハブ をカスタマイズするには、検索ボックスの横にあるリスト設定アイコン () をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーターリストの設定



リスト設定には、次のセクションが含まれます。

- フィルター設定
- ブレークダウンソースと要素の設定
- 列の設定

フィルター設定

次の設定を使用して、表示するインジケーターをフィルタリングできます。

キーインジケーター

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーターレコードでキーインジケーターとして定義されているインジケーターのみが表示されます。

ターゲットあり

ターゲットが定義されているインジケーターのみが表示されます。

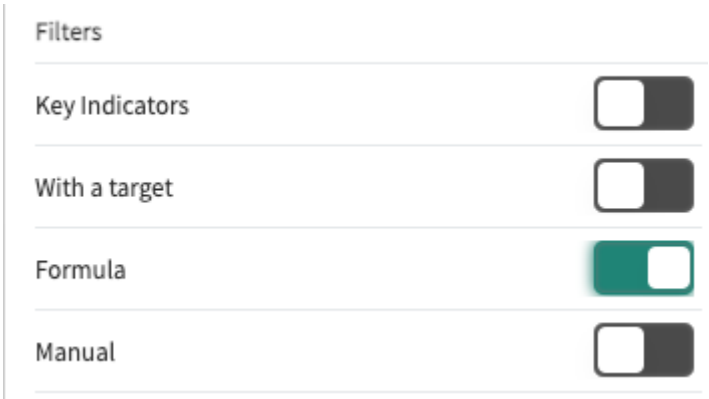
計算式

式インジケーターのみが表示されます。

マニュアル

手動インジケーターのみが表示されます。

式インジケーターのみを表示するフィルター設定



ブレークダウンソースと要素の設定

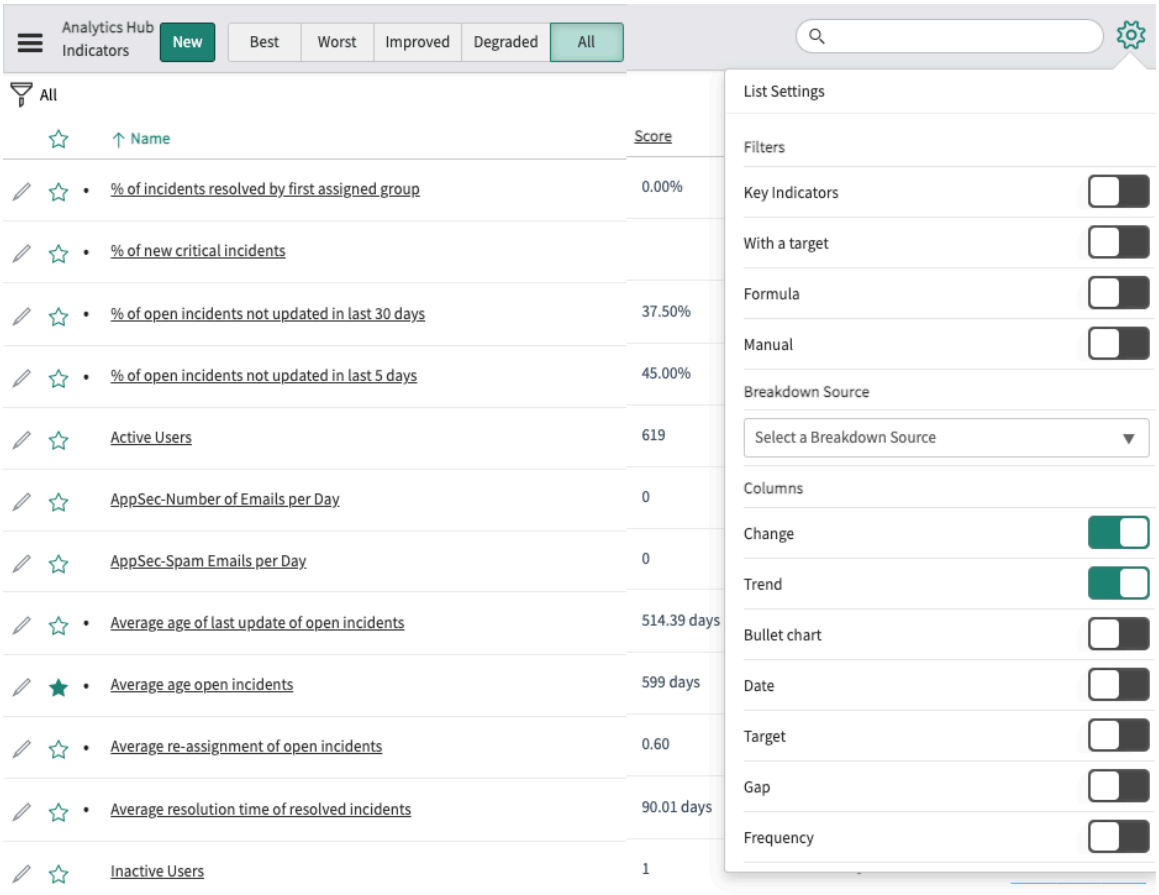
設定内で、ブレークダウンソースを選択することもできます。そのブレークダウン ソースを使用するインジケーターのみが表示されます。ブレークダウンソースを選択した後、ブレークダウン要素を選択してインジケーターのリストをさらにフィルタリングできます。その要素が適用されるインジケーターのみが表示されます。

次の例では、リストが Indicator.Priority ブレークダウンソースでフィルタリングされ、次に 1 - Critical 要素でフィルタリングされたときにスコアがどのように変化するかを示しています。

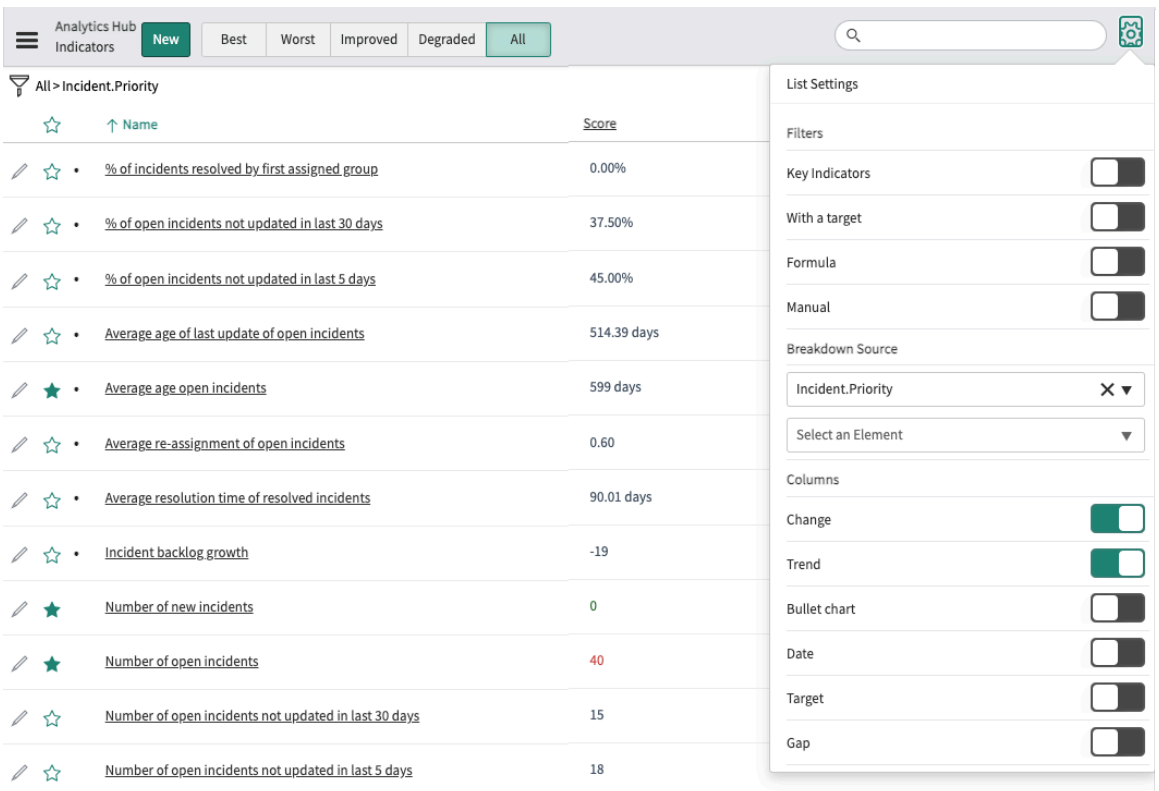
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ブレークダウンフィルターが適用されていないインジケーターリスト



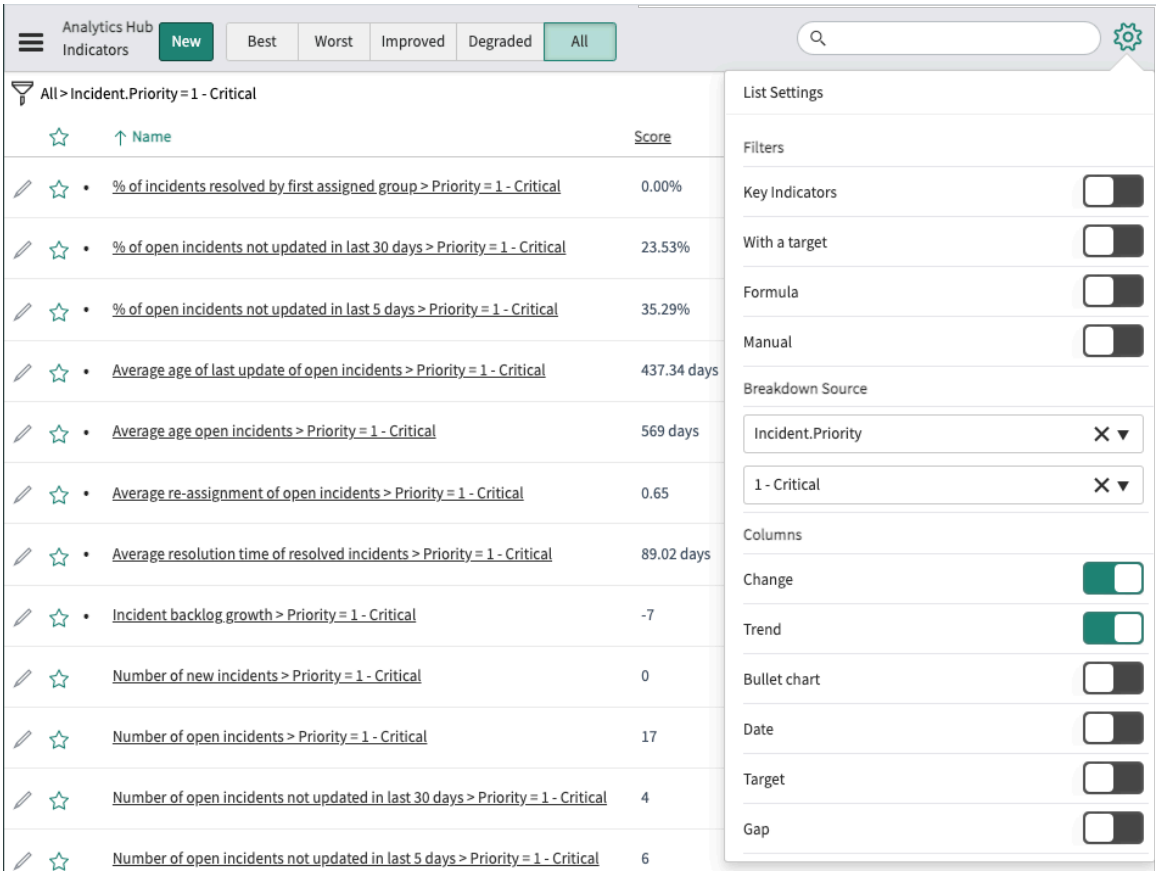
ブレークダウンソースフィルターが適用されたインジケーターリスト



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ブレークダウンソースと要素フィルターが適用されたインジケーターリスト



列の設定

インジケーターリストに表示する分析を選択します。インジケータースコアは常に表示されます。

変更

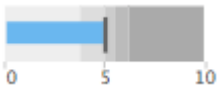
最新のデータ収集と前のデータ収集の間のスコアの変化 (絶対値)。

傾向図

データ収集の過程でのスコアのトレンドライン。このトレンドラインは、特定のインジケーターにフォーカスしているとき アナリティクスハブ に表示されるトレンドラインを縮小したものです。

ブレットグラフ

現在のスコアとターゲットを比較するチャート。このチャートは、ターゲットが設定されているインジケーターにのみ表示されます。



日付

最新のスコアが収集された日付。

ターゲット

インジケーターのターゲット (設定されている場合)。

ギャップ

最新のスコアとターゲットの間のギャップ。値は、インジケーターにターゲットが設定されている場合にのみ表示されます。

頻度

インジケーターのスコアが計算される頻度。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

方向

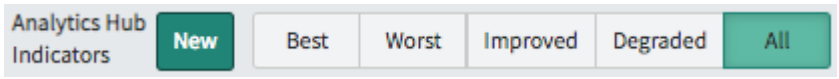
インジケーターのスコアを最小化するか、最大化するか、またはどちらもしないか。

パーセンテージで表示

有効にすると、スコアの変化が絶対値ではなくパーセンテージで表示されます。

パフォーマンスでフィルター

設定でリストをフィルタリングするだけでなく、インジケーターのパフォーマンスに基づいてインジケーターのリストをフィルタリングできます。



- [最高]：ターゲット (緑) のパフォーマンスを上回るインジケーターをすべてギャップ (%) 順に表示します。(最も優れたものを一番上に表示)。
- [最低]：ターゲット (赤) のパフォーマンスを下回るインジケーターをすべてギャップ (%) 順に表示します (最も低いものを一番上に表示)。
- [改善]：以前のデータ収集と比較して改良されたインジケーターをすべて表示します (適切な方向に移動)。
- [悪化]：以前のデータ収集と比較してデグレードされたインジケーターをすべて表示します (不適切な方向に移動)。

アナリティクスハブ 特定のインジケーターの

データの集計、スコアの比較、経時変化の表示などにより、インジケーターデータを詳細に分析するには、を使用します アナリティクスハブ 。

インジケーターにアクセスする アナリティクスハブ には、次のいずれかの方法を選択します。

- 移動先 パフォーマンスアナリティクス > 分析ハブをクリックし、インジケーターを選択します。
- 関連するインジケーターレコードの [分析ハブを表示] 関連リンクをクリックします。
- ダッシュボードから、ウィジェット内の パフォーマンスアナリティクス 任意の値をクリックします。

注:

- ブレークダウン ダッシュボードのインジケーター スコアが複数の要素で集計される場合、それらの アナリティクスハブ スコアは同じ要素で集計されます。詳細については、「複数の要素の集計スコアの表示」を参照してください。
- 時系列集計は、アナリティクスハブ および KPI 詳細では検証されますが、ウィジェットでは検証されません。したがって、作業中のウィジェットから アナリティクスハブ に移動すると、インジケーターに無効な集計があるという警告が表示される場合があります。

制限事項

は アナリティクスハブ モバイル画面サイズ用に最適化されていません。タブレットでは、標準の Web インターフェイスを使用してアクセスできます アナリティクスハブ 。

ターゲット、しきい値、コメント、および改善イニシアチブの追加

のすべての アナリティクスハブ タブの上部には、次のアクションを含むツールバーがあります。

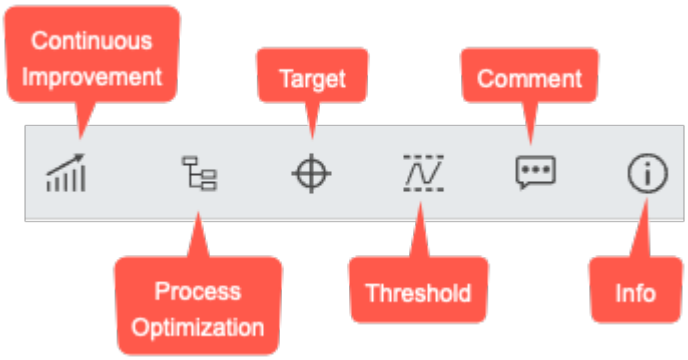
- ターゲット
- しきい値

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- コメントを追加
- 情報
- 改善イニシアチブを作成 (Continual Improvement Management アプリケーションが必要)

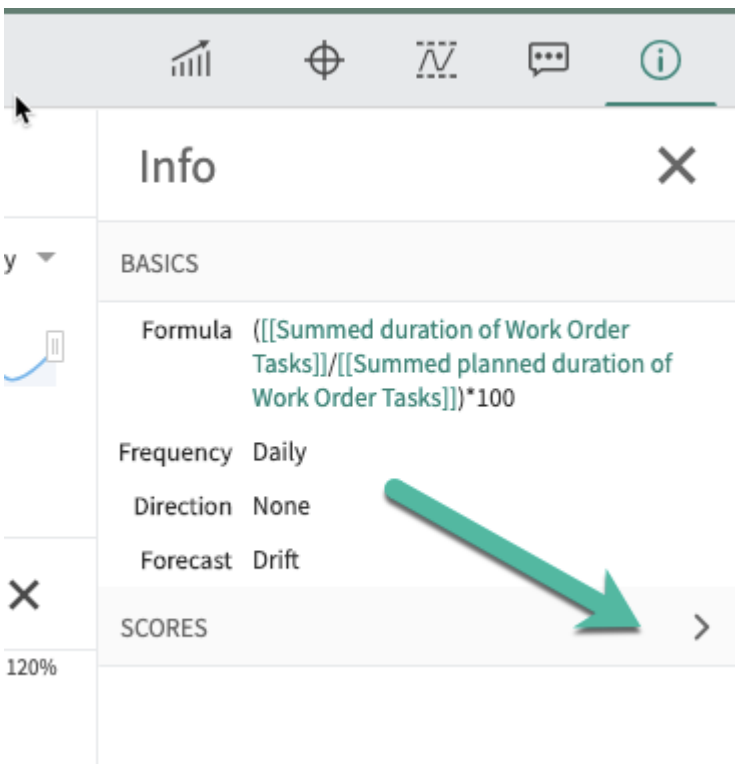
ツールチップは、ツールバーの各アイコンを識別します。



ツールバーには、常にスクリーンショットの右端の 4 つのアイコンがあります。これらのアイコンのいずれかをクリックすると、ターゲット、しきい値、またはコメントを表示または作成できるペインが開きます。このペインからインジケーターに関する基本情報を表示することもできます。

注:
インジケータースコアが複数の要素で集計される場合、ターゲット、しきい値、およびコメント アナリティクスハブ はサポートされていません。

式インジケーターの場合、この基本情報には式が含まれます。情報パネルでは、インジケーターの日次スコアのリストを展開することもできます。式インジケーターの各コンポーネントインジケーターのスコアを表示するには、式のインジケーター名をクリックします。これにより、 アナリティクスハブ そのインジケーターに再度焦点が当てられます。



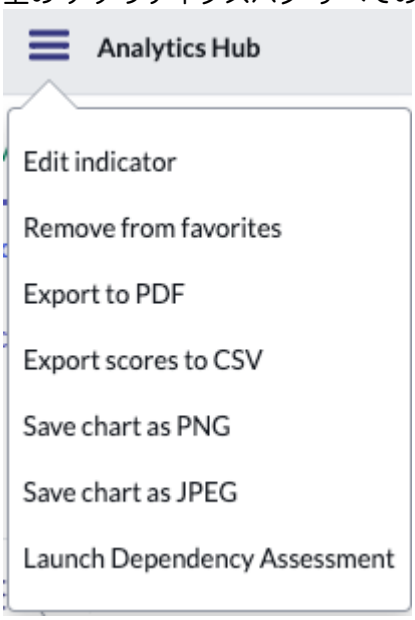
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーションと sn_cim.improvement_requester ロールを持っている 継続的改善管理 場合は、改善イニシアチブを作成できます。改善イニシアチブを作成アイコン () をクリックして、改善イニシアチブフォームを開きます。このフォームには、インジケーターと アナリティクスハブの詳細が自動的に入力されます。イニシアチブの開始日と終了日をタイムラインで確認するには、[概要] タブのチャートオプションで改善イニシアチブアイコンをクリックします。

アプリケーションとプロセスマイニングロールがある場合はプロセスマイニング、ダッシュボードでプロセスマイニングインジケーターを開くことができます。「移動」プロセスマイニングアイコン () をクリックします。

インジケーターとスコアの編集、PDF または **CSV** へのエクスポート、グラフィックスの生成

上の アナリティクスハブ すべてのインジケーターにはコンテキストメニューがあります。



このメニューのオプションは、インジケーターのタイプとスコアがあるかどうかによって異なります。

オプション	存在する場合
インジケーターを編集	すべてのインジケーター
スコアを編集	スコア付き自動インジケーター
お気に入りに追加/お気に入りから削除	すべてのインジケーター
PDF にエクスポート	スコアのあるすべてのインジケーター
CSV にスコアをエクスポート	スコアのあるすべてのインジケーター
グラフをPNG/JPEGとして保存	スコアのあるすべてのインジケーター
依存関係アセスメントを起動	すべてのインジケーター

コンテキストメニューをもう一度クリックすると、選択せずに閉じます。

のさまざまなタブ アナリティクスハブ

アナリティクスハブ特定のインジケーターには次のタブがあり、インジケーターに関するさまざまな情報を提供します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

パフォーマンスアナリティクス インジケーター

パフォーマンスアナリティクス ターゲットとしきい値

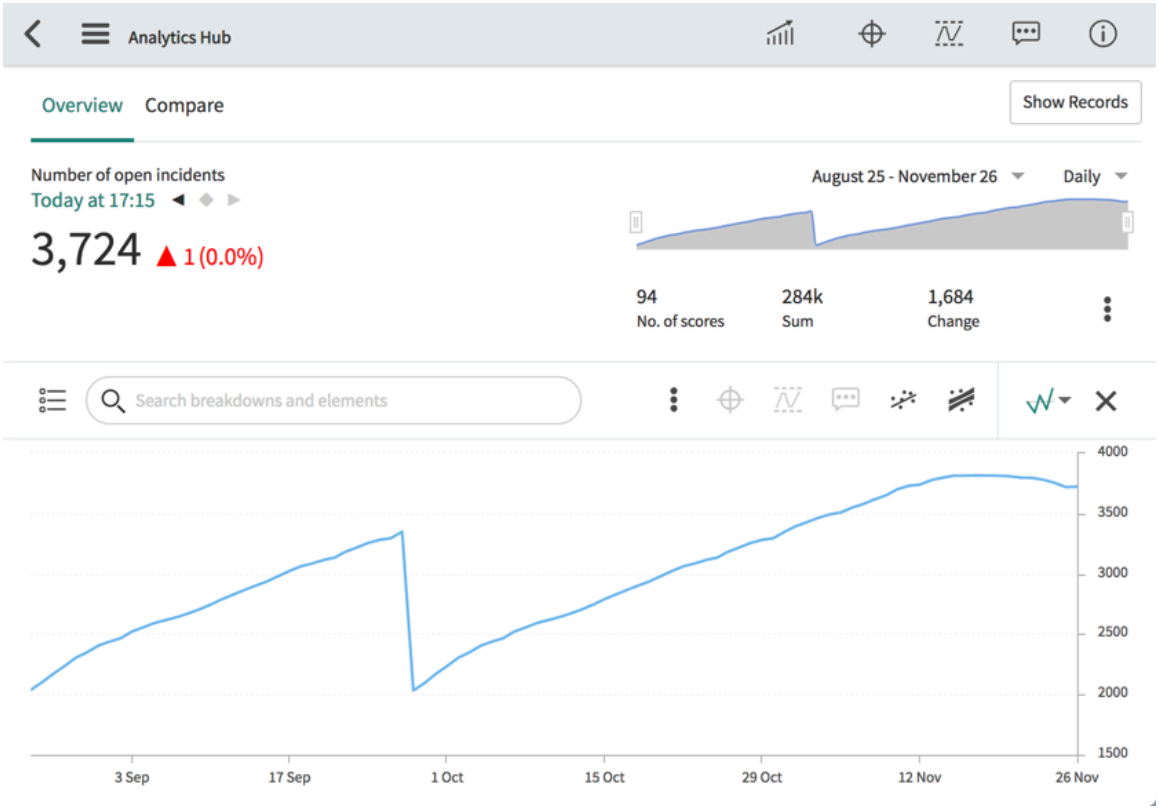
依存関係アセスメント

Continual Improvement Management

スコアと統計情報の表示

[概要] アナリティクスハブ タブには、期間、統計情報、および時系列のスコアが表示されます。統計情報と時系列の期間を設定できます。ブレークダウンと要素でスコアをフィルタリングすることもできます。

[概要] タブ



注:
以前は Madrid詳細スコアカードで利用可能だった式インジケーター計算を表示する機能は、で アナリティクスハブ はサポートされていません。詳細については、ナレッジベースの記事「Performance Analytics: Formula calculation is not shown for scores on Analytics Hub [KB0783438]」 Now Supportを参照してください。

インジケーターサマリー

[表示] タブの上部には、表示されているインジケーターに関する情報がまとめられています。

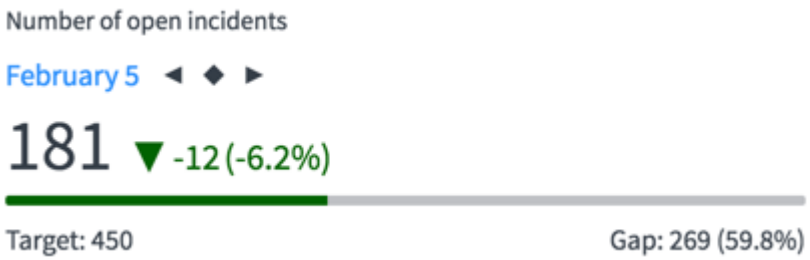
タブの上部に、次の情報が表示されます。

- 選択した期間のスコア
- そのスコアと前の期間のスコアとの間の変化 (絶対値とパーセンテージの両方)
- ターゲットが設定されている場合、スコアとそのターゲットの差
- 前、次、または最後の期間に切り替えるためのコントロール
- 期間またはリアルタイムスコアを選択するためのカレンダー

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ターゲットへの準拠を示す [スコア] セクション



結果は色分けされて好感度を示します。インジケーターの方向が [最大化] の場合、スコアの増加は緑で表示され、減少は赤で表示されます。インジケーターの方向が [最小化] の場合、スコアの増加は赤で表示され、減少は緑で表示されます。同様に、カラーバーはターゲットが達成されたかどうかを示します。色は、ターゲットに設定されているカラースキームによって異なります。詳細については、「ターゲットのカラー スキームの作成」を参照してください。

スコアに関連付けられている期間はスコアの上に表示されます。コントロールを使用すると、次の期間、前の期間、または最後の期間に移動できます。ここで選択した日付は、統計情報と時系列グラフに反映されます。選択した期間は、別のタブに切り替えたときに引き継がれます。期間の長さ (日、月、四半期など) は、インジケーターの周期と同じです。

時系列グラフをクリックして日付を選択することもできます。さらに、ウィジェットからこのアナリティクスハブ場所に移動すると、ウィジェットで選択した日付が .アナリティクスハブ

分析ハブでのリアルタイムスコアの表示

前回のスコアの代わりにリアルタイムのスコアを選択して表示することができます。

次の状況でリアルタイムスコアを表示できます。

- インジケーターは自動インジケーターです。
- リアルタイムスコアを表示するように構成されています。
- インジケーターの集計関数はスクリプトを使用しません。
- インジケーターソースはデータベースビューを使用しません。
- インジケーターに適用されるブレークダウンは、スクリプト化されたブレークダウンソースを使用しません。

⚠ 警告:

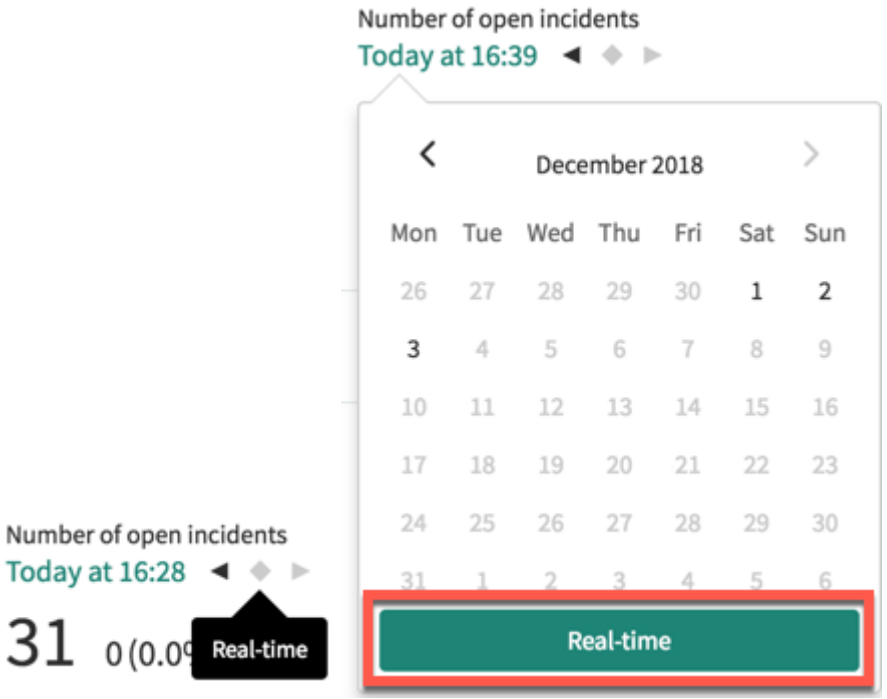
- リアルタイムスコアはビューアーごとに異なり、収集されたスコアとは異なる場合があります。リアルタイムスコアは、関連するファクトテーブルから直接取得されます。したがって、これらのファクトテーブルのアクセス制御リスト (ACL) によって、各ログインユーザーに表示されるリアルタイムスコアが決まります。
- は アナリティクスハブ リアルタイム スコアを自動的にリフレッシュしません。最新のスコアを取得するには、ブラウザーページを更新します。

リアルタイムスコアを選択できる場合は、日付セレクターで選択するか、 レコード ビューで現在の期間を選択して選択します。ただし、リアルタイムスコアを表示するときは、 レコード ビューのブレークダウン要素に一致しないレコードは表示されません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リアルタイムスコアを表示する場合に選択



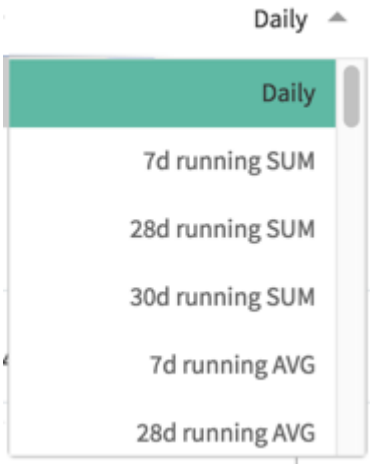
注:
一部のウィジェットでは、ダッシュボードユーザーにリアルタイムスコアを表示できます。詳細については、「リアルタイムスコア」を参照してください。

分析ハブの時系列集計

では、 アナリティクスハブインジケーターの変化を個別の時間間隔に集計できます。

右上隅で、の時系列集計 アナリティクスハブを設定できます。

日次時系列集計のメニュー



時系列集計は、スコア、統計情報、時系列グラフ、その他のタブのチャートに反映されます。使用可能な時系列は、インジケーターの頻度によって異なります。詳細については、「時系列集計の適用」を参照してください。インジケーターで時系列集計を使用する例と詳細については、この パフォーマンスアナリティクス アカデミーのビデオを参照してください。 での時系列の活用 パフォーマンスアナリティクス 。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

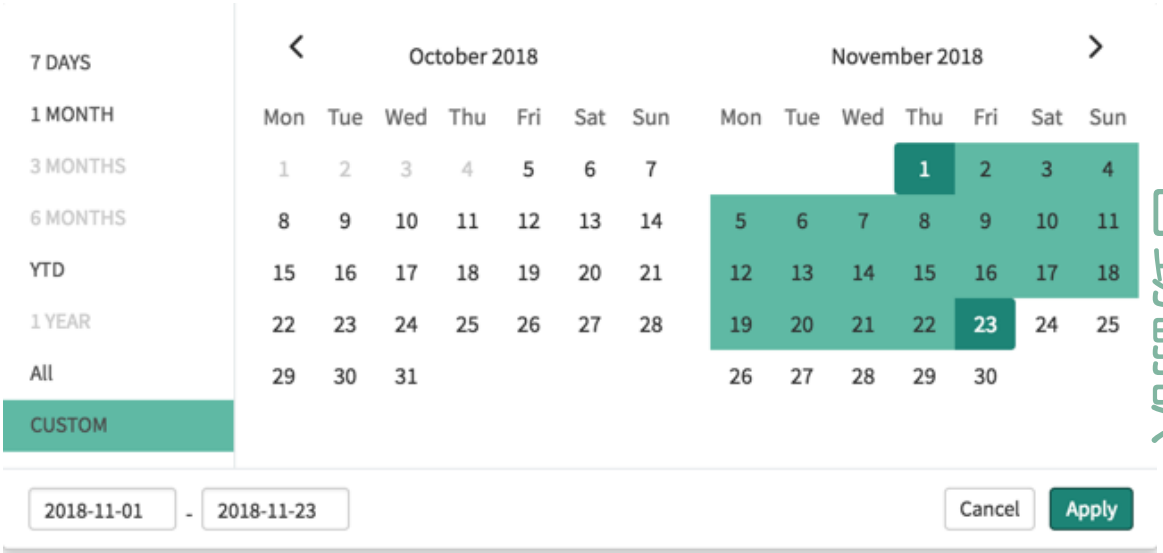
- ビジネスカレンダーと会計カレンダーは時系列集計をサポートしていません。このようなカレンダーを使用するインジケーターには時系列集計を設定できません。
- 時系列集計を選択すると、インジケーターに設定されている [実線をレンダリング] オプションが上書きされます。このオプションを使用すると アナリティクスハブ 、特定の日付のデータがない場合でも、このインジケーターに破損のないデータ行が表示されます。
- 時系列集計を設定した場合、[比較] タブでレコードを比較することはできません。集計されたスコアを比較できます。

分析ハブのスコアの日付範囲

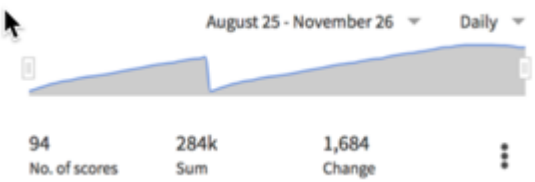
記述するスコア アナリティクスハブ の期間を設定できます。

日付範囲を選択するためのコントロールは、統計情報の上、時系列集計の左側にあります。選択した期間は、統計情報と時系列グラフに反映されます。期間を設定するには、次の 2 つの制御オプションがあります。

- 日付範囲カレンダー



- ナビゲーションバー付きスライダー:



注:
[月別合計] などの時系列集計で [3 か月] などの日付範囲を指定すると、予想よりも 1 つ多くの期間が表示される場合があります。インスタンスでは、3 か月などの期間を 0 ～ 3 か月と解釈し、4 か月分のスコアを表示できます。

分析ハブの統計

の アナリティクスハブ[表示] タブでは、インジケーター スコアに適用するさまざまな統計情報を設定できます。

の アナリティクスハブ統計表示をカスタマイズすることはできません。ただし、すべての統計情報がすべてのインジケーターに関連しているわけではないため、インジケーター レコードの統計情報

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

を除外することができます。たとえば、スコアがパーセンテージで表されるインジケーターに対して [変化 %] を除外できます。詳細については、「自動インジケーターの作成」を参照してください。

ブレークダウン、要素、および要素フィルター

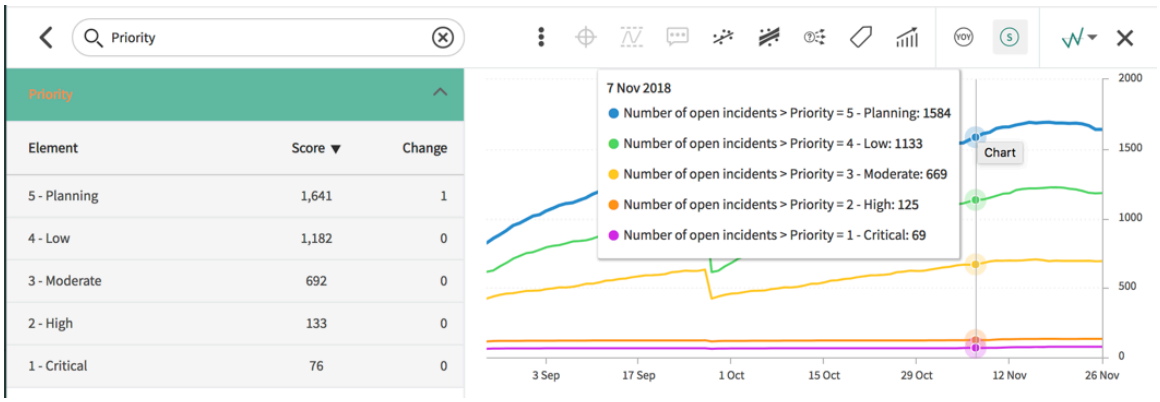
アナリティクスハブには、ブレークダウンとブレークダウン要素を表示するためのオプションがいくつかあります。

ブレークダウンのすべての要素について、チャートに個別の線または列を表示できます。ブレークダウンと要素を選択してスコアをフィルタリングすることもできます。ブレークダウンと要素を名前で検索するか、[ブレークダウンと要素の選択] ダイアログを開くことができます。

ブレークダウンメニューと検索フィールド

要素ではなくブレークダウンを選択した場合、チャートにはブレークダウンの各要素が表示されます。

ブレークダウンのすべての要素を含むチャート

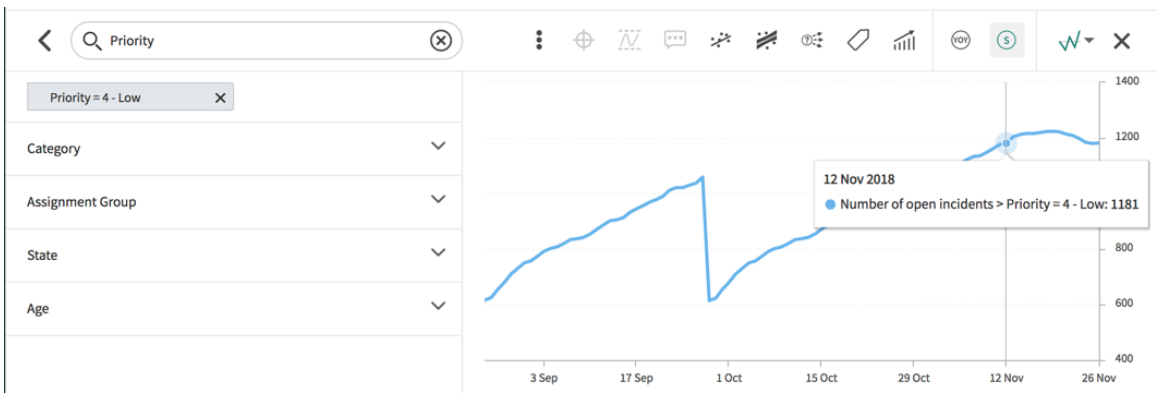


注:

- ブレークダウンの要素が適用されない場合、スコアは表示されません。このルールは、NULL_OVERRIDE で定義されたラベルが none の値を置き換える場合に、選択肢 [sys_choice] テーブルのブレークダウンにも適用されます。
- 式インジケーターにブレークダウンを適用しようとしても、すべての貢献インジケーターがブレークダウンをサポートしているわけではない場合、ブレークダウンは適用されません。代わりに、ブレークダウンのない式インジケーターのスコアが表示されます。これが発生したことを知らせるメッセージが表示されます。

ブレークダウンと要素を選択した場合は、全体を アナリティクスハブ フィルタリングして、そのブレークダウンと要素の値のみを表示します。

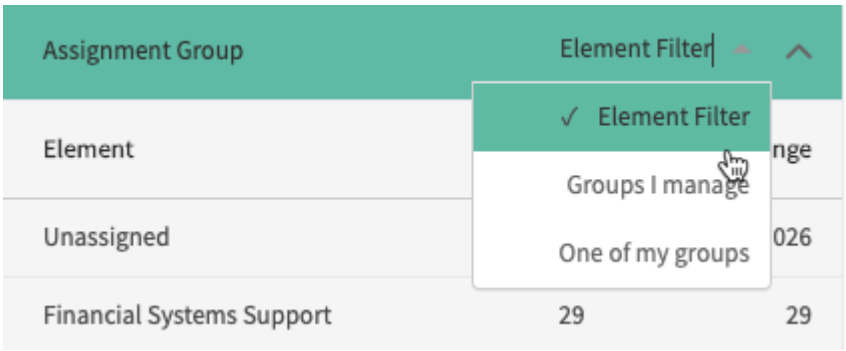
アナリティクスハブ 優先度の低いインシデントのみを表示するようにフィルタリングされています



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

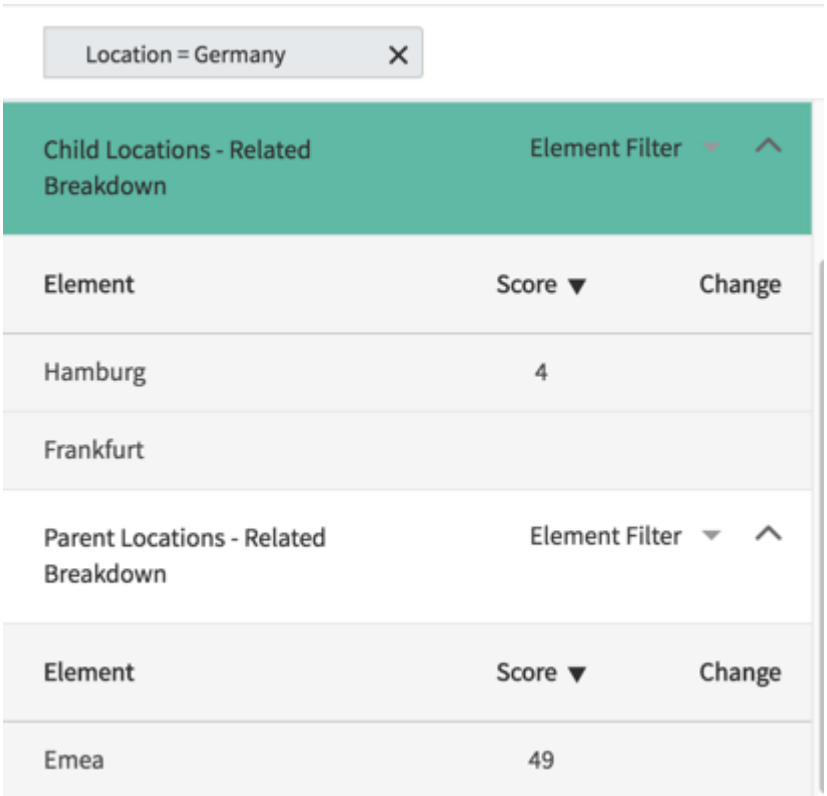
ブレークダウンにブレークダウン ソースの要素フィルターが定義されている場合は、それらの要素フィルターの 1 つを選択できます。詳細については、「要素フィルタ」を参照してください。

要素フィルタ



インジケーターにブレークダウンの関連付けが定義されている場合は、第 1 レベルのブレークダウンと要素を選択した後、関連する要素に移動できます。要素は、同じブレークダウンの親子関係にある場合もあれば、別のブレークダウンにある場合もあります。ブレークダウンの関連付けとその作成手順の詳細については、「」を参照してください ブレークダウンの関連付けを持つブレークダウン要素のナビゲート。

ブレークダウンの関連付け

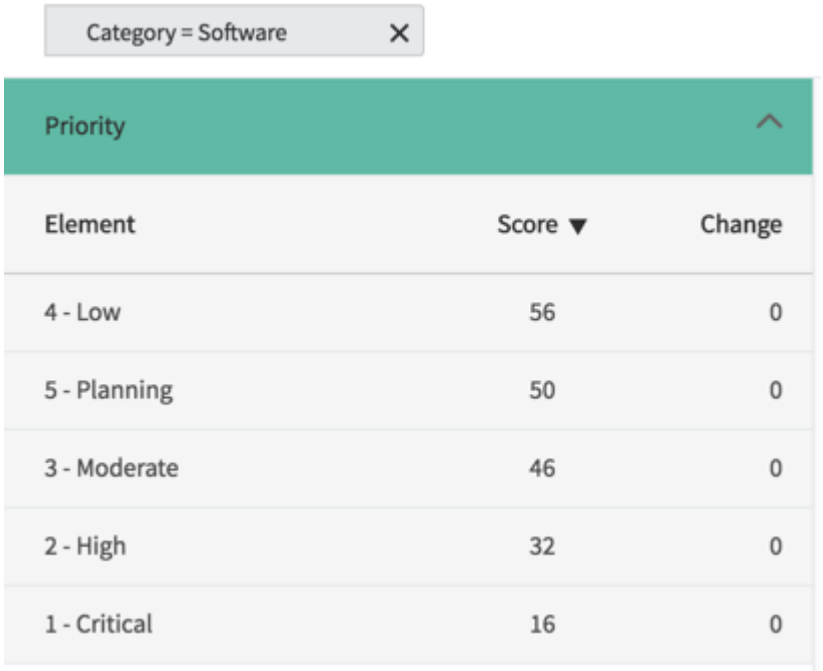


第 1 レベルのブレークダウンと要素を選択した後、第 2 レベルのブレークダウンと要素を選択できます。合計で 3 レベルを超えるブレークダウンを選択することはできません。

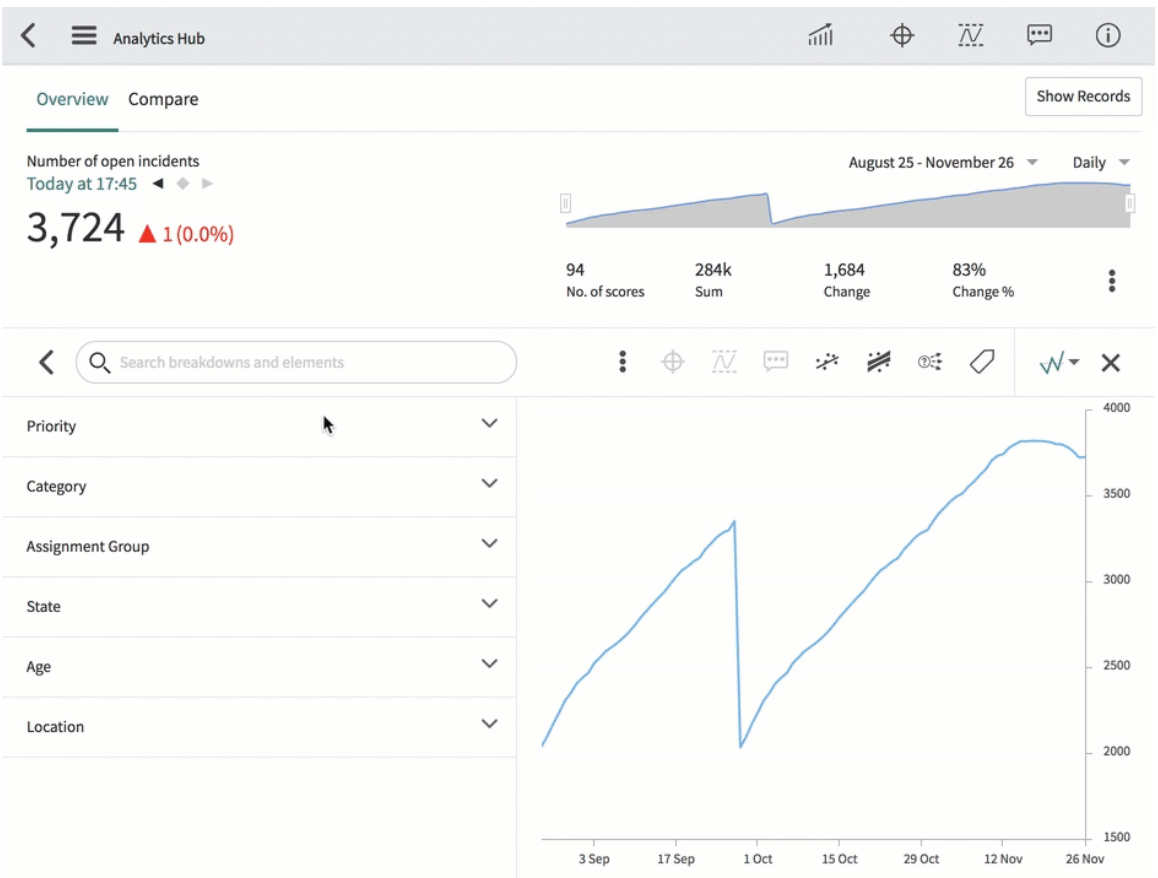
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ブレークダウンと要素の選択



次のアニメーションは、第 1 レベルと第 2 レベルのブレークダウンと要素の選択とクリアを示しています。



第 1 レベルまたは第 2 レベルのブレークダウンと要素の組み合わせをクリアするには、そのブレークダウンと要素のペアのタイルで [X] をクリックします。第 1 レベルのブレークダウン/要素をクリアすると、第 2 レベルのブレークダウン/要素が第 1 レベルのブレークダウン/要素になります。スコアの上にあるブレッドクラムをたどって選択を解除することもできます。

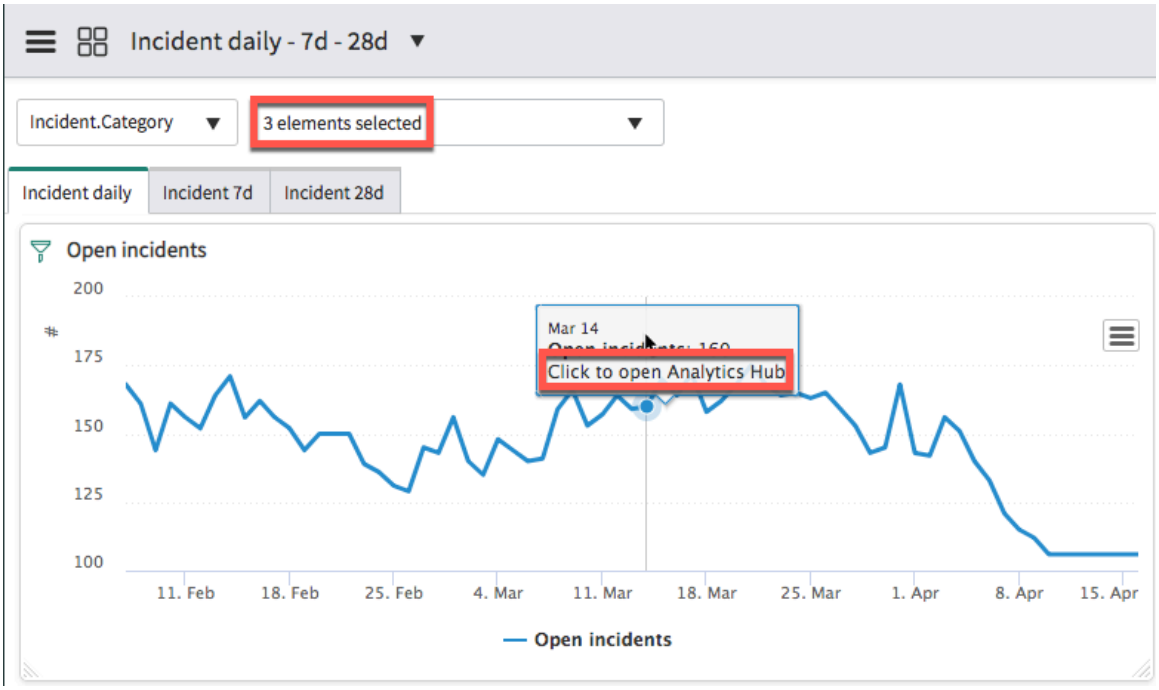
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

複数の要素の集計スコアの表示

ダッシュボードのウィジェットでチャートの値をクリックすると、そのインジケーターの が アナリティクスハブ 開きます。ブレークダウン ダッシュボードを表示していて、複数の要素が選択されており、ウィジェットにそれらの要素の集計が表示されている場合、 にも アナリティクスハブ それらの要素の集計が表示されます。

ダッシュボードで選択された複数の要素の集計ビューの詳細については、次を参照してください 複数の要素を個別に表示または集計して表示する。

3 つの要素の集計スコアを持つ分析ハブ

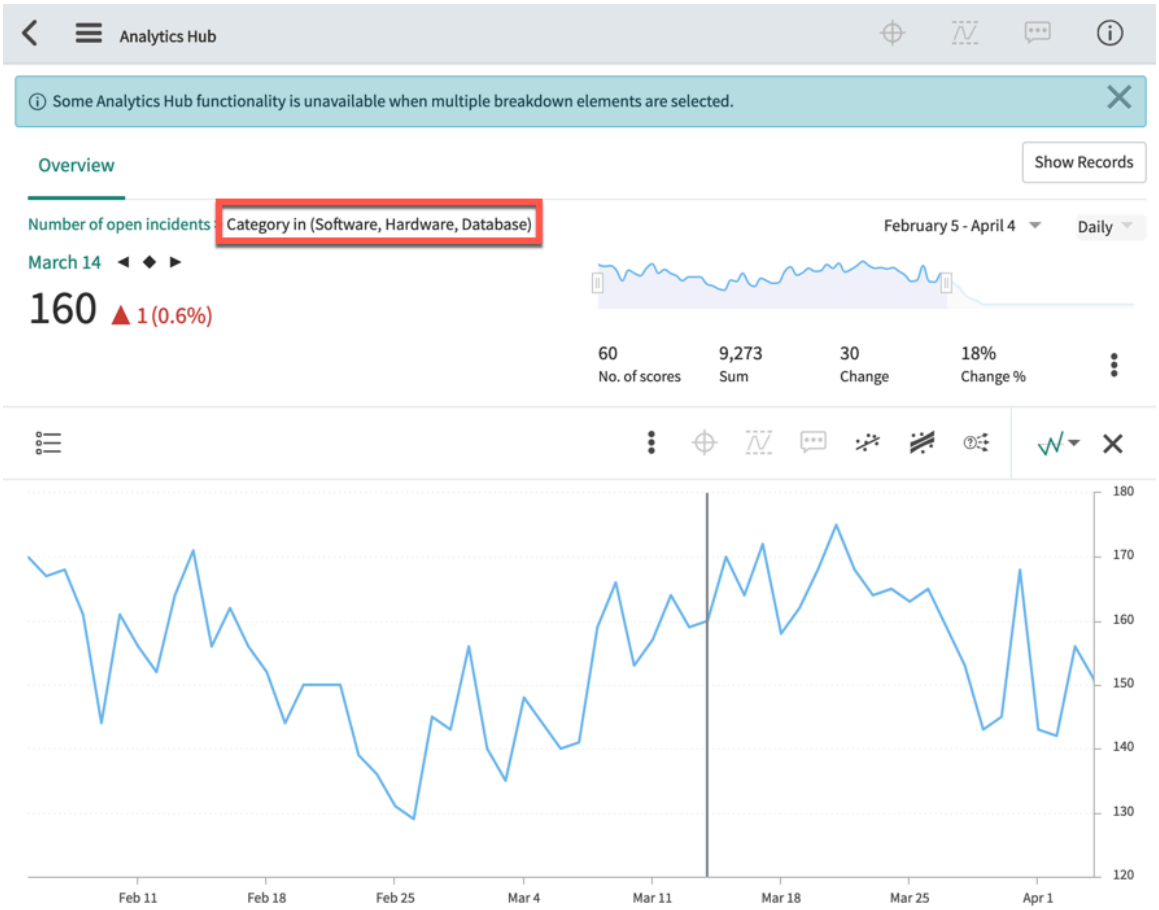


ウィジェット アナリティクスハブ で選択された日付が開きます。複数の要素は、 **{Breakdown} in (element_1, element_2, element_3, +x more)** の形式で表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

複数の要素を持つ分析ハブ



注:
集計ビューで選択された複数のブレークダウン要素を含むウィジェットからアナリティクスハブに移動する場合、ターゲット、しきい値、およびコメントは使用できません。ブレークダウンセレクターと検索機能も利用できません。で アナリティクスハブ[レコードを表示] を選択すると、ダッシュボードで選択した要素のいずれかに一致するレコードが表示されます。

分析ハブでのレコードの表示

インジケーター スコアの時系列表示と、それらのスコアの計算に使用されるレコードのリストの表示を切り替えることができます。

右上隅の [レコードを表示] または [レコードを非表示] をクリックして切り替えます。いずれの場合も、タブの上部で選択した期間のスコアまたはレコードが表示されます。スコアまたはレコードは、選択したブレークダウン/要素のペアによってもフィルタリングされます。

複数の要素が選択された状態でブレークダウン ダッシュボードから開いた アナリティクスハブ 場合、表示される内容はダッシュボード ウィジェットによって異なります。ウィジェットに各要素の値が個別に表示される場合は、選択した要素に一致するレコードが表示されます。ウィジェットに要素の集計スコアが表示されている場合は、それらの要素のいずれかに一致するレコードが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

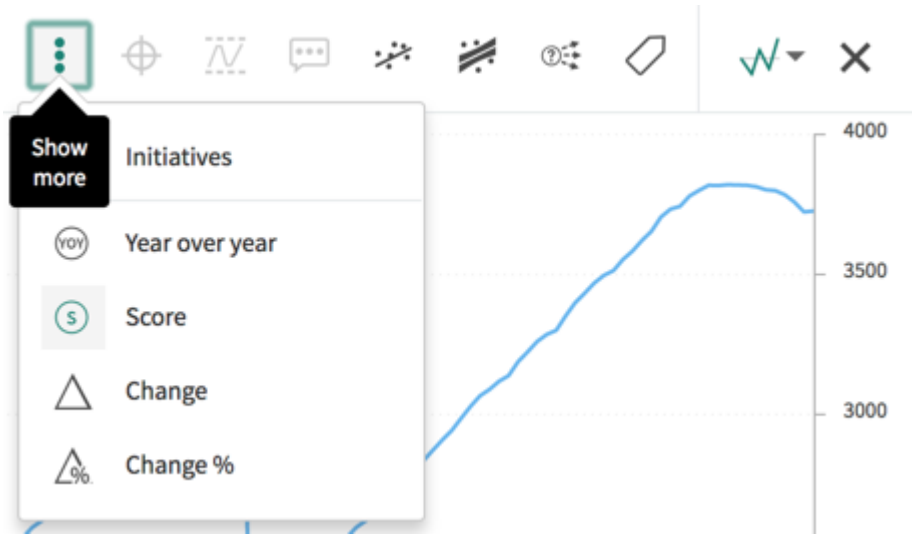
- レコードは自動インジケーターに対してのみ表示されます。
- [レコードを表示] 機能は、一致しないブレークダウン要素のリアルタイムスコアではサポートされていません。リアルタイムでスコアを表示している場合、どのブレークダウン要素にも割り当てられていないレコードは表示されません。
- ファクト テーブルで使用可能なビューに応じて、[レコード] リストのコンテキスト メニューでレコード リストのビューを変更できます。デフォルトのビューはインジケーター ソースで設定されます。
- 場合によっては、第 2 レベルのブレークダウンを収集するときに、スコアとレコード数が一致しないことがあります。これらの値が一致しない場合、スコアは正しいです。詳細と例については、「 KB0748969 」を参照してください。

分析ハブのチャートオプション

グラフの表示内容は、 の アナリティクスハブ[表示] タブで変更できます。

[さらに表示] アイコンをクリックすると、追加のアイコンのツールバーが表示されます。

チャートオプションのアイコン



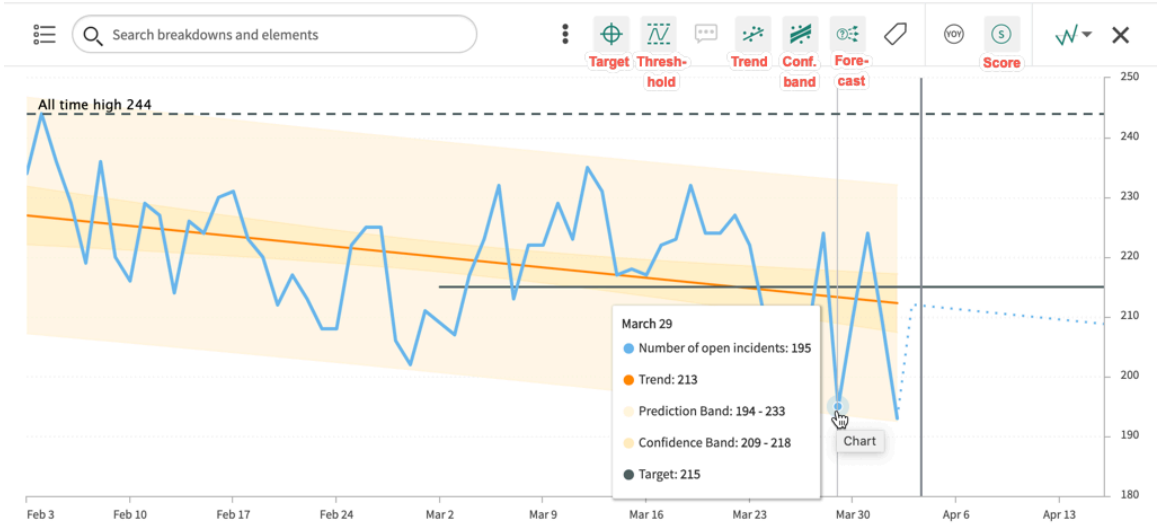
各アイコンのツールヒントは、アイコンのオンとオフを切り替えるチャートオプションを示します。チャートのオプションは次のとおりです。

- 表示される測定のタイプ。
- ラベルの表示
- インジケーターでの予測の設定方法に応じて、将来のスコアの予測を表示します。
- 信頼帯の表示
- 傾向ラインの表示
- コメントの表示
- しきい値の表示
- ターゲットの表示
- チャートのビジュアル化の選択

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

選択された複数のオプションを示すチャート



継続的マネジメント改善アプリケーションがインストールされている場合は、改善イニシアチブを表示または非表示にするアイコン () も表示されます。sn_cim.improvement_requester ロールも持っている場合は、「」で アナリティクスハブ 特定のインジケーターの説明されているように、ツールバーの同じアイコンをクリックして改善イニシアティブを作成できます。

使用可能な測定値は次のとおりです。

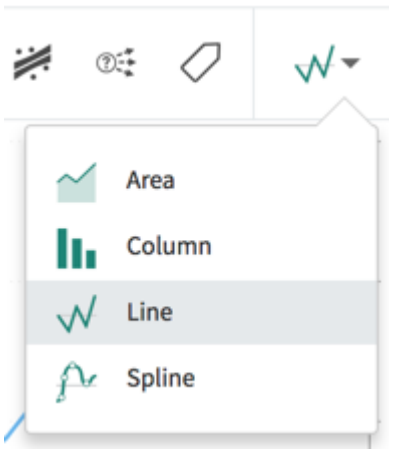
- 前年比
- 変更
- 変更割合
- スコア

スコアはデフォルトの測定値です。前年比を除くすべての測定タイプをまとめて表示できます。前年比は、スコアや変化など、一度に 1 つの他の測定にのみ適用できますが、両方には適用できません。前年比を有意義なものにするには、通年のデータが必要です。

分析ハブの可視化

グラフに使用する可視化を変更するには、リスト メニューから可視化を選択します。面グラフ、縦棒グラフ、線グラフ、スプライン グラフによるチャート化を利用できます。

利用可能なチャートのビジュアル化



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

分析ハブのユーザー初期設定

インジケーターごとに表示設定を設定し、そのインジケーターを表示するたびに表示設定を保持することができます。

は アナリティクスハブ 、次のユーザー設定を追跡します。

- すべての表示設定
- チャートのビジュアル化
- 期間

すべての設定はインジケーターとユーザーごとに保存されるため、各ユーザーは各分析ハブを優先として表示するように構成できます。

注:
の代わりにスコアカード アナリティクスハブを使用するバージョンからアップグレードする場合は、古いユーザー初期設定のテーブルが保持されます。ユーザーがインジケーターの を アナリティクスハブ 初めて開くと、設定が古いテーブルからインポートされます。ユーザーが を開くアナリティクスハブ前に、そのユーザーとインジケーターの設定が PA アナリティクスハブ 初期設定 [pa_ds_preference] テーブルで手動で設定されている場合、このインポートは上書きされます。

分析ハブでのドメイン分離

[アナリティクスハブ システムの設定] で選択したドメインに従います。そのドメインで収集されたスコアのみが表示されます。

追加するターゲット、しきい値、またはコメントは、現在のドメインに自動的に関連付けられます。[スコアを編集] オプションは使用できません。

システム設定のほかに、一部のダッシュボードは、ダッシュボードでドメインを選択できるように構成されています。このようなダッシュボードのウィジェットからに移動する アナリティクスハブ と、そのドメインについて収集されたスコアのみが表示されます。詳細については、「ダッシュボードへのドメイン構成の関連付け」を参照してください。

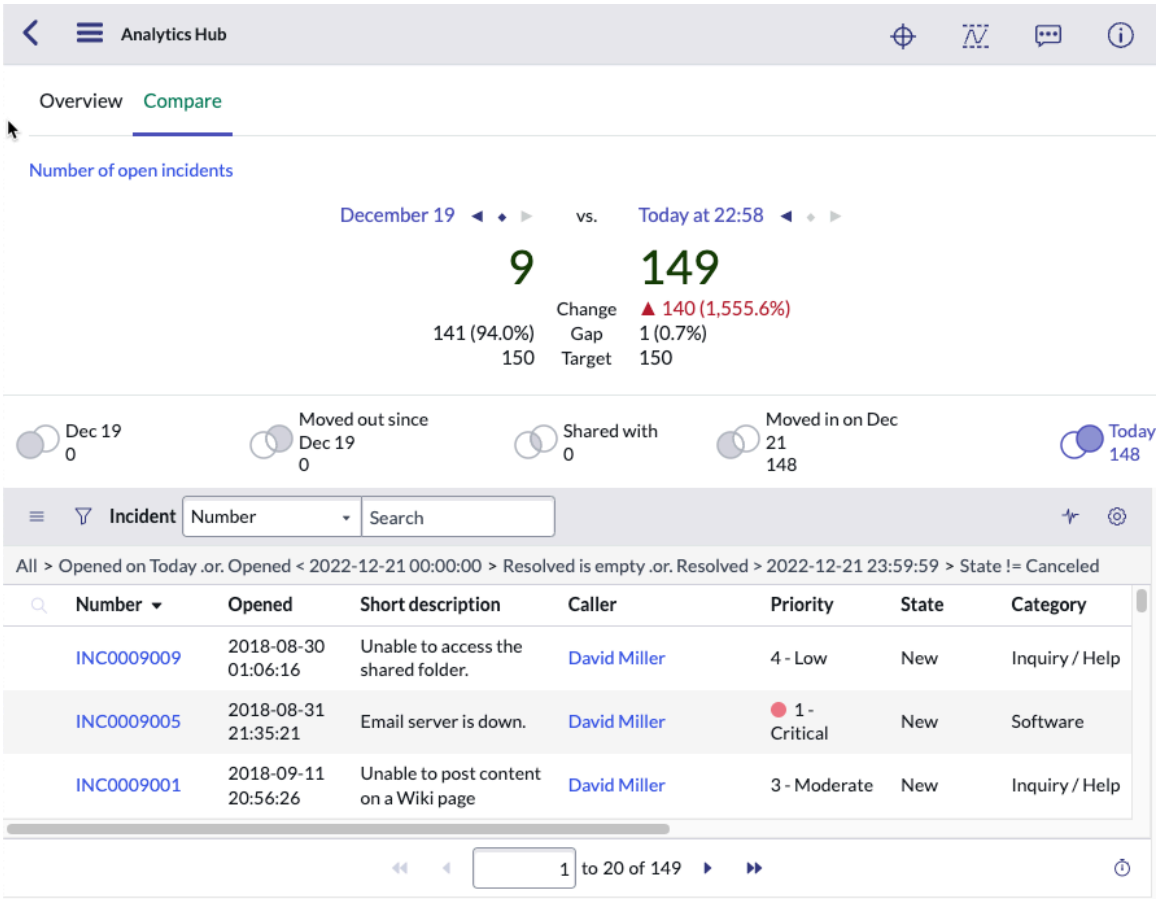
スコアを比較

[アナリティクスハブ 比較] タブで、任意の 2 つの日付のスコアを比較したり、リンクされたベンチマークスコアとスコアを比較したりします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[比較] タブ



注:
[比較] タブは、自動インジケーターでのみ使用できます。

2 つの日付の自動インジケーターのスコアを比較できます。日付の選択は、[概要] タブと同じように機能します。さらに、1 つのタブで選択した日付は、別のタブに変更しても保持されます。

スコアがカウントを参照している場合は、スコアの下に、左から右に次の情報が表示されます。

- 前の日付のスコア
- 以前の日付以降にインジケーターから移動または移動したレコードの数
- 両方の日付でインジケーターによって共有されたレコードの数。つまり、レコードは以前の日付と後の日付の両方でインジケーター内にあることを意味します
- 後の日付でインジケーターに移動された、またはインジケーターに追加されたレコードの数
- 最新日付のレコードの数

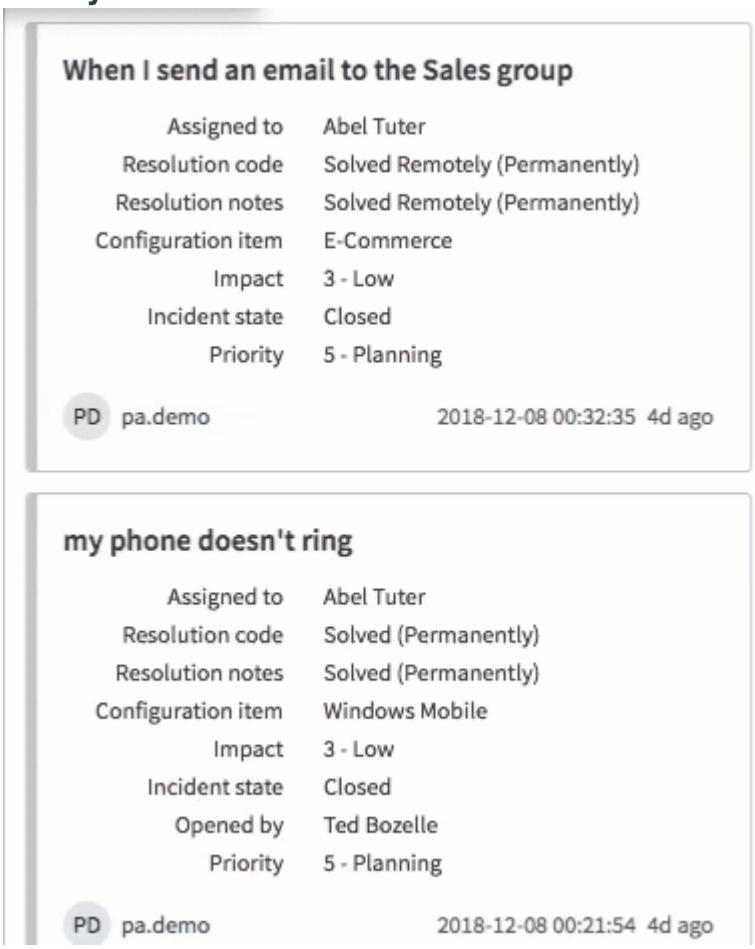
インジケーターのレコードリストが下部ペインに表示されます。日付を比較する場合は、グラフアイコン () をクリックしてアクティビティストリームを開きます。アクティビティストリームには、各レコードについて、レコードの最新のアクティビティとその現在のステータスに最も関連性の高いフィールドが表示されます。アクティビティのタイムスタンプにカーソルを合わせると、[コメント] リンクが表示されます。このリンクをクリックすると、追加コメントまたは作業メモを残すことができるダイアログが開きます。

注:
インジケーターに時系列集計を適用すると、レコードを比較することはできません。スコアは集計されますが、基礎となるレコードは集計されません。集計されたスコアを比較できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Activity Stream



インジケーターがベンチマークインジケーターにリンクされている場合は、[ベンチマーク] を選択して 2 つのインジケーターを比較します。[概要] タブの場合と同様に、インジケーターを比較する日付範囲を選択します。

インジケーターとリンクされたベンチマークインジケーターとの比較



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

自動インジケーターをベンチマークにリンクする

分析ハブ **UUID**

インジケーターに指定するブレークダウン、要素、時系列集計、およびドメインの組み合わせにはすべて、一意の識別子 (UUID) があります。スクリプトを書いたり、単にその アナリティクスハブ 仕組みを理解したりするには、これらのUUIDがどのように構築されているかを理解する必要があります。

アナリティクスハブ およびワークスペース KPI 詳細でインジケーターを選択し、次のようにさらに指定できます。

- 最大 2 レベルのブレークダウン
- 要素フィルタ
- レベルごとに複数の要素を含む、最大 2 レベルのブレークダウン要素 (スコアの集計)
- 時系列集計
- ドメイン分離

各組み合わせは、いわゆるUUIDで表されます。UUID は、インジケーターのsys_IDsとこれらの指定子のいずれかから、次の順序で連結されます (ドメイン ID の前のセミコロンに注意してください)。

<indicator_sys_id>:<breakdown_sys_id>:<elements_filter_sys_id or element_sys_ids>:<lvl-2 breakdown_sys_id>:<lvl-2 elements_filter_sys_id or element_sys_ids>:<aggregate_sys_id>;<domain_sys_id>

以外の *indicator_sys_id* すべての指定子はオプションですが、1 つの例外があります: a *breakdown_sys_id* を指定する場合は、少なくとも 1 つの *element_sys_id*. ブレークダウンを指定し、要素を指定しない場合 (たとえば、すべての要素のリストを取得する場合)、ブレークダウンsys_idは別のパラメーターに入れます。例については、この GET/now/pa/scorecards REST API の例を参照してください。指定したブレークダウンの要素と一致しないスコアを参照するには、文字列 unmatched*element_sys_id*が .

ターゲット、しきい値、およびその他の アナリティクスハブ KPI 詳細機能は、UUID ごとに適用されます。つまり、インジケーター、ブレークダウン、要素と要素フィルター、時系列集計、およびドメインの一意の組み合わせに個別に適用されます。また、 KPI シグナル アプリケーションは、完全に指定された各インジケーターを UUID ごとに個別に監視します。

関連情報

パフォーマンスアナリティクス の統合

KPI 詳細

インタラクティブアナリシス

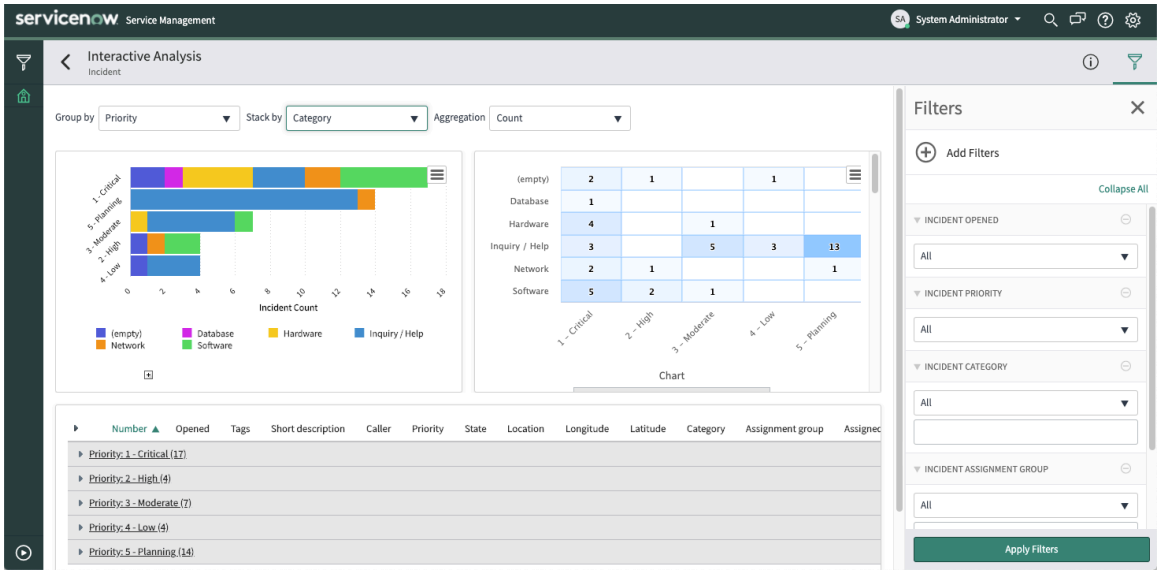
インタラクティブ分析を使用すると、レコードリストのデータをすばやく探索できます。

レコードの任意の コア UI リストから、リストデータに関するインタラクティブなレポートセットにアクセスできます。また、インタラクティブ フィルタをグループ化、スタッキング、集計、および適用することで、データを操作することもできます。チャート化をクリックし、データにドリルダウンします。情報アイコン () をクリックして、ソースフィルターを編集し、適用されたフィルターのリストを表示し、分析の URL をコピーします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インシデント データのインタラクティブ分析



インタラクティブアナリシスの起動

リストからインタラクティブ分析を起動します。

始める前に

必要なロール：なし。

分析するレコードリストにアクセスできる必要があります。

手順

1. 任意のリストに移動します。
2. オプション: リストに表示される列を設定します。
   インタラクティブ分析を起動する場合にリストに表示される列によって、分析に含まれるフィールドが決まります。含まれるフィールドによって、使用できる [グループ] と [積み重ね基準] オプションおよびデフォルトで表示されるインタラクティブ フィルタが決まります。
3. 参照、選択肢、日付/時刻、整数、またはブール フィールドの列ヘッダーを右クリックし、[インタラクティブ分析の起動] を選択します。
   インタラクティブ分析を起動する列は、デフォルトの [グループ] 値として使用されます。
4. オプション: [データ] と [積み重ね基準] に異なる値を選択することでデータの集計方法を変更するか、1 つ以上のインタラクティブ フィルタを適用してデータをフィルタリングします。
5. オプション: 棒グラフの棒やヒートマップのセルなど、チャート化をクリックしてデータのサブセットにドリルダウンします。

インタラクティブ分析情報パネル

[フィルタ情報] パネルでは、現在のフィルタの概要が表示されます。また、ソース フィルタ条件の編集、インタラクティブ分析のブックマーク、同僚とのインタラクティブ分析の共有を行うことができます。

インタラクティブ分析では、作業しているテーブルにインタラクティブ フィルタがあることを前提としています。フィルタを作成するには、「」を参照してください 利用可能なインタラクティブ フィルターのタイプ。

情報アイコン () をクリックして、 フィルタ情報 パネルを開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

情報パネルには次の機能があります。

ソースフィルタ

フィルタに適用される条件を表示します。星をクリックして、このインタラクティブ分析をお気に入りに追加します。

ソースフィルタの編集

[ソースフィルタの編集] ボタンをクリックして条件ビルダを開きます。ソース フィルタは、インタラクティブ フィルタの定義ページを再度開かずにここで編集できます。

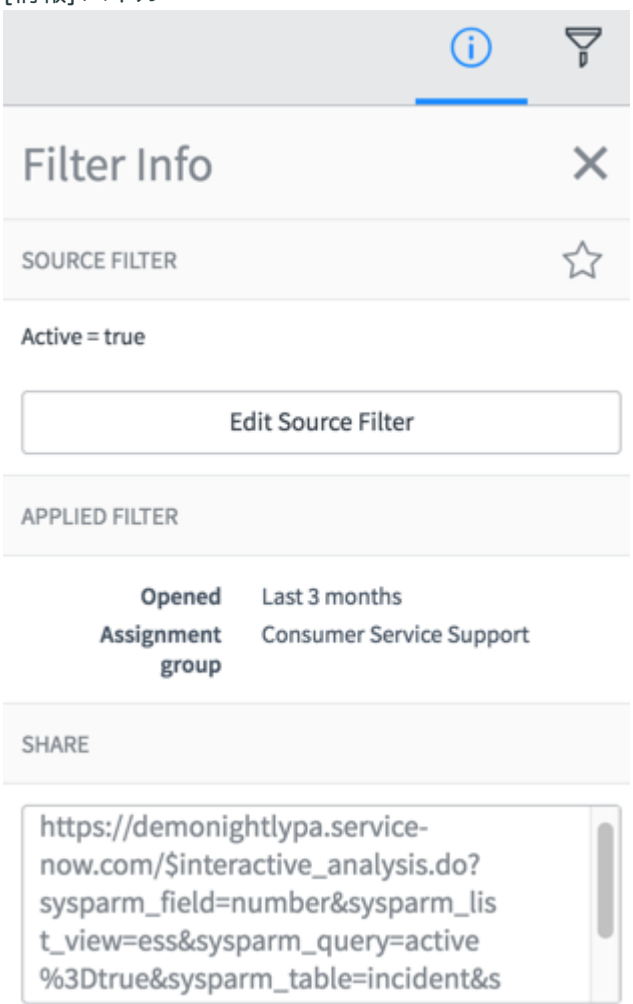
適用済みフィルタ

現在のインタラクティブ分析に適用されるフィルタの概要が表示されます。

共有

分析の完全な URL が表示されます。URL をクリックして強調表示します。詳細については、次を参照してください。

[情報] パネル



インタラクティブ分析のブックマーク

後で使用できるようにインタラクティブ分析を保存するには、お気に入りに追加してください。

始める前に

必要なロール：なし。

分析するレコードリストにアクセスできる必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 分析するテーブルに移動します。
2. 分析する列のヘッダーを右クリックして選択し、[インタラクティブ分析の起動] を選択します。
3. 情報アイコン () をクリックして、 フィルタ情報 パネルを開きます。
4. インタラクティブ分析にフィルタを適用し、[フィルタを適用] をクリックします。
5. 星型のアイコンをクリックして、インタラクティブ分析をお気に入りに追加します。



タスクの結果
ナビゲーション パネルのお気に入りリストは、現在のインタラクティブ分析のブックマークで更新されます。

インタラクティブ分析の共有

インタラクティブ分析の URL は他のユーザーと共有することができます。

始める前に
必要なロール：なし
分析するレコードリストにアクセスできる必要があります。

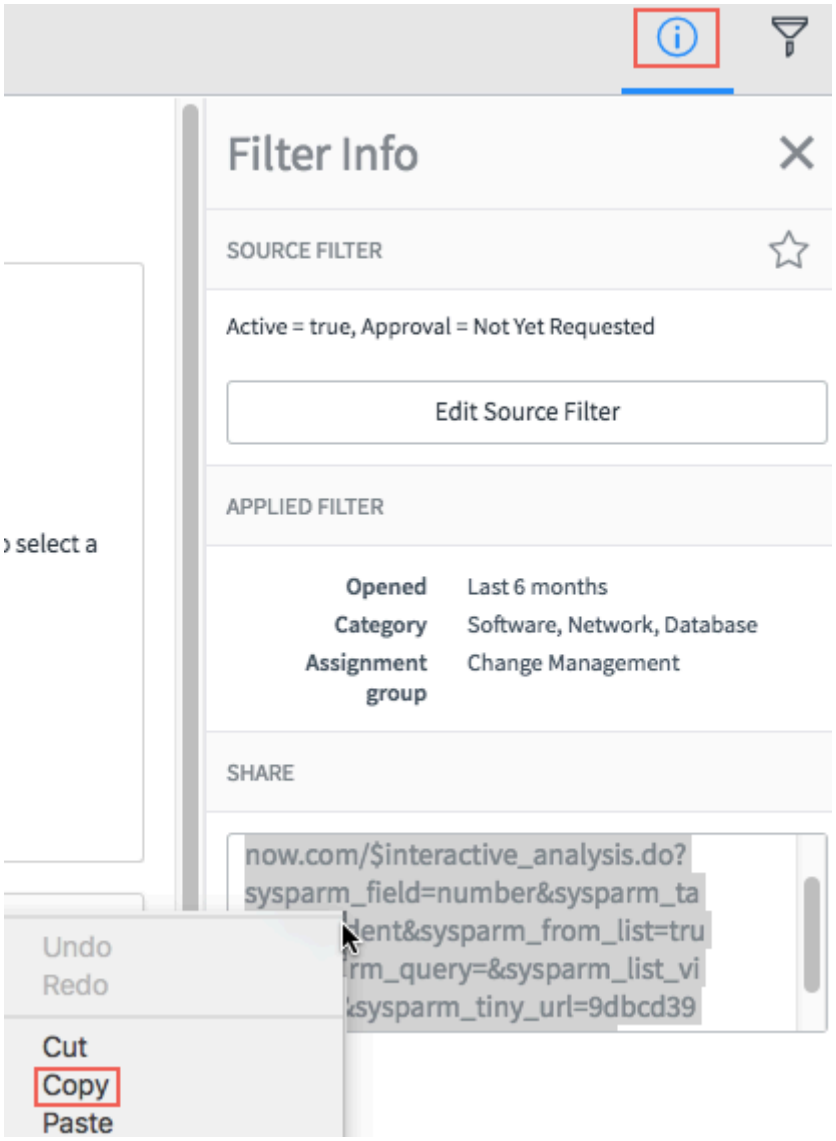
手順

1. 分析するテーブルに移動します。
2. 分析する列のヘッダーを右クリックして選択し、[インタラクティブ分析の起動] を選択します。
3. フィルター アイコン () をクリックすると、インタラクティブ フィルターが表示されます。
4. フィルタを目的通りに変更し、 [フィルタを適用] をクリックします。
5. 情報アイコン () をクリックして、 フィルタ情報 パネルを開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. [共有] セクションの URL を右クリックし、[コピー] を選択します 。



タスクの結果
インタラクティブ分析の URL は、分析の情報にアクセスできるユーザーとメールで共有できます。

インタラクティブ分析へのフィルタの追加

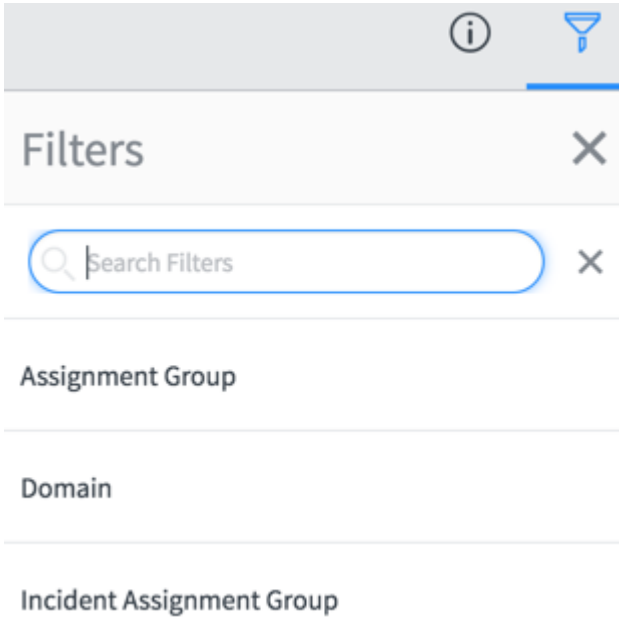
フィルタを追加して、より絞り込んだ情報をインタラクティブ分析に表示します。

始める前に
必要なロール：なし
分析するレコードリストにアクセスできる必要があります。

手順

1. 分析するテーブルに移動します。
2. 分析する列のヘッダーを右クリックして選択し、[インタラクティブ分析の起動] を選択します。
3. フィルターアイコン () をクリックし、[フィルターを追加] をクリックします。
   [検索フィルタ] バーを使用して、表示されるフィルタの数を制限します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. 追加するフィルタを選択します。
5. [フィルタを適用] をクリックします。

タスクの結果

新しいフィルタがインタラクティブ分析に適用されます。情報アイコン () をクリックすると、ソース フィルタの概要にフィルタが表示されます。

インタラクティブ分析からのフィルタの削除

インタラクティブ分析からフィルタを削除し、分析内のグループリストと積み重ね基準リストからフィルタ要素を削除するかどうか指定できます。

始める前に

必要なロール：なし。

分析するレコードリストにアクセスできる必要があります。

手順

1. 分析するテーブルに移動します。
2. 列見出しを右クリックして [インタラクティブ分析の起動] を選択するか、自分が所有するダッシュボードを開いてインタラクティブ フィルタを表示します。
3. フィルター アイコン () をクリックすると、インタラクティブ フィルターが表示されます。
4. 削除するフィルタをポイントし、 [フィルタを削除] アイコンをクリックします。

タスクの結果

フィルタがインタラクティブ分析から削除されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソース フィルタの編集

インタラクティブ分析の [フィルタ情報] パネルでソース フィルタを編集できます。

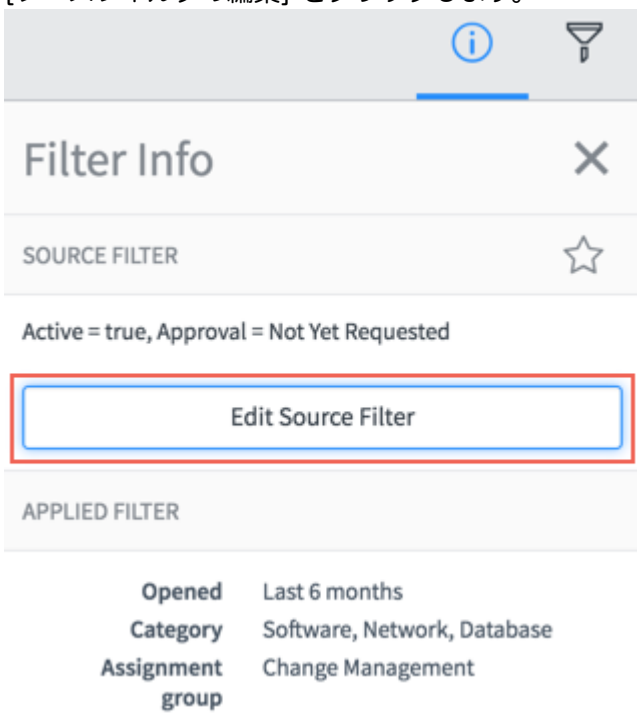
始める前に

必要なロール：なし。

分析するレコードリストにアクセスできる必要があります。

手順

1. 分析するテーブルに移動します。
2. 分析する列のヘッダーを右クリックして選択し、[インタラクティブ分析の起動] を選択します。
3. 情報アイコン () をクリックして、 フィルタ情報 パネルを開きます。
4. [ソースフィルタの編集] をクリックします。



5. [フィルタのロード] をクリックし、編集するフィルターを選択します。
6. 既存の条件を編集し、新しい条件を追加します。
7. [変更内容の保存] をクリックします。

タスクの結果

インタラクティブ分析が新しいソース フィルタで更新されます。[フィルタ情報] パネルに、更新された条件が表示されます。

関連情報

Condition Builder

インタラクティブ分析のフィルタ重複排除

インタラクティブ分析を起動すると、重複したフィルタは [フィルタ] パネルから自動的に削除されます。フィルターパネルを掃除する必要はありません。

重複したフィルターは、次の基準に従って削除されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 構成が同じである場合は、UI コントロールにより初期起動時に表示されるフィルタが決まります。優先度は複数の入力フィルタが最も高く、単一入力、チェック ボックス、ラジオ ボタンと続きます。フィルタを表示するための利用可能な UI コントロール タイプ フィールド オプションについては、「」を参照してください。
- 一部のフィルタに 1 つのみのターゲットがあり、その他のフィルタに複数のターゲットが存在する場合を除き、構成が同じであれば、最新のフィルタのみが保持されます。
- 構成と UI コントロールの両方が同じである場合は、最新のフィルタが保持されます。
- 構成が同じでも、一部のフィルタの同じターゲット テーブルに複数のターゲット列がある場合は、すべてのフィルタが個別のフィルタとみなされて保持されます。同じターゲット テーブルの複数のターゲット列の例は、インシデント テーブルの[開いた日付] と [エスカレートされた日付] です。
- 構成と UI コントロールが同じでも、ベース条件が 2 つのフィルタで異なる場合は、別々のフィルタとみなされて保持されます。

インタラクティブ分析の永続化

選択するフィルタは、各ビューとユーザーごとのインタラクティブ分析の使用において永続します。

ビュー (テーブルの特定の列) でインタラクティブ分析を初めて起動すると、すべてのフィルタがデフォルト値に設定されます。次回、同じビューでインタラクティブ分析を起動すると、フィルタ、フィルタの順番、グループ、積み重ね基準、集計パラメータは、前回使用したものが引き継がれます。

また、 [グループ] と [積み重ね基準] 要素は、フィルタが分析に追加されると更新されます。例えば、インタラクティブ分析ページにマネージャ フィルタを追加します。するとすぐに、マネージャ別にウィジェットをグループ化し、積み重ねできます。

フィルタの [グループ] と [積み重ね要素] の同期

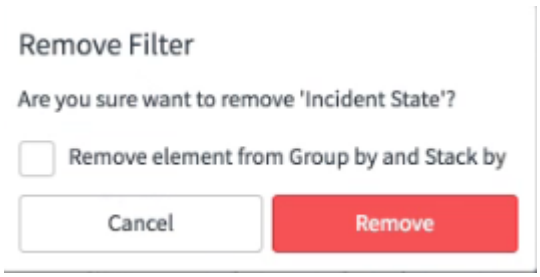
フィルタを [フィルタ] パネルに追加した時、および [フィルタ] パネルから削除した時は、インタラクティブ分析で [グループ] と [積み重ね基準] 要素を同期します。[グループ] と [積み重ね基準] 要素を同期せずに、フィルタを削除することもできます。

始める前に

必要なロール：なし
分析するレコードリストにアクセスできる必要があります。

手順

1. 分析するテーブルに移動します。
2. 分析する列のヘッダーを右クリックして選択し、[インタラクティブ分析の起動] を選択します。
3. [フィルタ] パネルで、[フィルタを追加] をクリックして新しいフィルタを追加します。
4. [フィルタを適用] をクリックします。
   新しいフィルタ要素が [グループ] と [積み重ね基準] リストに表示されます。
5. インタラクティブ分析からフィルタを削除して、[フィルタ] パネルからフィルタを削除します。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. オプション: [[グループ] および [積み重ね基準] から要素を削除] を選択します。
   オプションの「[グループ] および [積み重ね基準] から要素を削除」は、次の場合には表示されません。
   - 削除するフィルタと同じターゲット フィールドを持つ [フィルタ] パネルに、別のフィルタが存在する場合。
   - インタラクティブ分析を起動する前にソース リストをカスタマイズした場合。列がカスタマイズされたリストの一部である場合は、フィルタの追加または削除による [グループ] と [積み重ね基準] の要素の同期はできません。

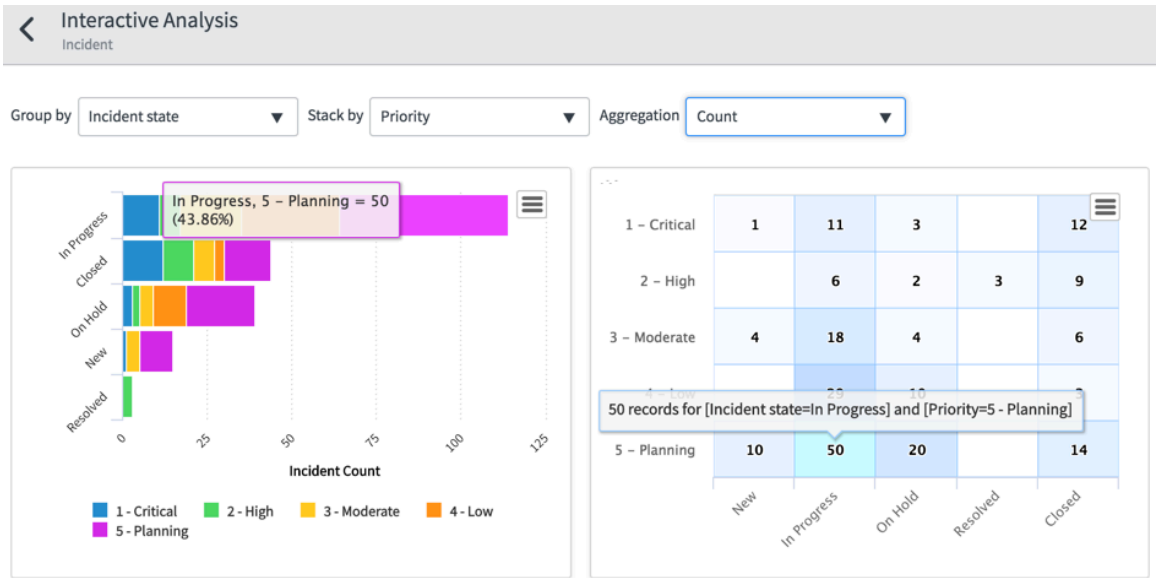
インタラクティブ分析の集計

インタラクティブ分析を使用すると、レコード カウントや、合計、平均、別個のカウントの観点でデータを表示できます。

集計タイプ

カウント

カウントはデフォルトの集計で、インタラクティブ分析を起動した際に表示されます。カウント集計は、選択したレコードの数を示します。例えば、状態ごとにグループ化されたインシデント、優先度別に積み重ねられたインシデント、カウント別に集計されたインシデントの分析は、ヒントの各カテゴリやマルチディメンションレポートのセルのインシデント数を示します。



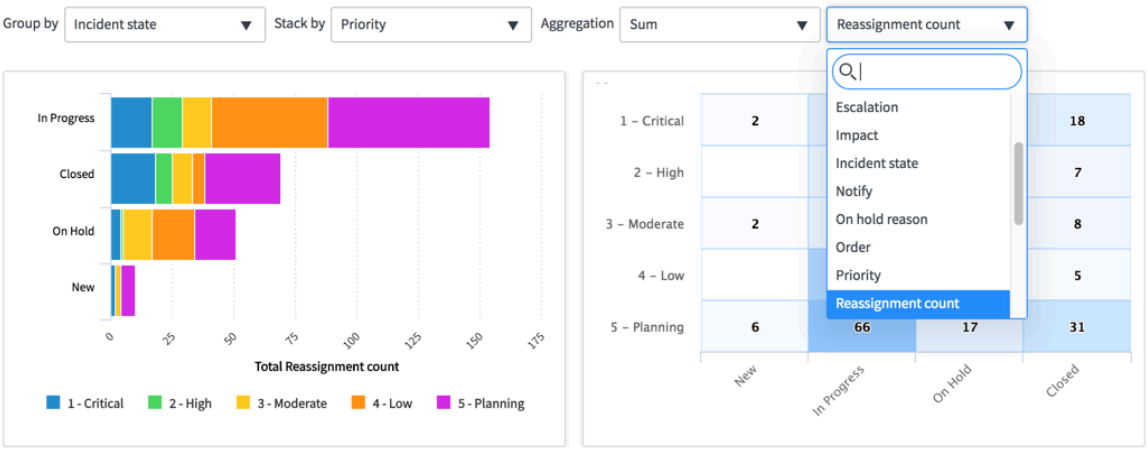
平均、合計、個別のカウント

選択したテーブルからフィールドのリストを表示するには、[平均]、[合計]、[個別のカウント] を選択します。拡張テーブルのフィールドでさらに集計することができます。「 拡張テーブルでレポートする方法」を参照してください。このリストから集計するフィールドを選択します。例えば、[再アサイン回数] などの整数フィールドを選択すると、データは 10 進数で表示されます。詳細については、「縦棒グラフ レポート」を参照してください。

> **注:**
> 期間値だと、集計軸に表示される測定単位をカスタマイズすることはできません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[個別のカウント] を選択した場合は、一意のレコードのみがカウントされます。たとえば、特定のロールリスト内のロールを 1 つ以上持つユーザーの個別の数に関するレポートを生成する必要があるとします。この場合、複数のロールを持つユーザーは、[個別のカウント] を使用しない限り 2 回カウントされてしまいます。



分析ソリューション

多くの ServiceNow® 製品向けに、レポート および パフォーマンスアナリティクス コンポーネントを搭載したパッケージ済みソリューションが用意されています。これらのコンテンツパックには、初期のベストプラクティスの重要業績評価指標 (KPI) と、すぐに使い始めることができるダッシュボードが含まれています。

パフォーマンスアナリティクス ウィジェット

ダッシュボードの プラットフォームアナリティクス ウィジェットを使用して、データの経時的な可視化、ビジネス プロセスの分析、改善が必要な箇所の特定を行います。プラットフォームアナリティクスソリューション を使用すると、最小限のセットアップで パフォーマンスアナリティクス からアプリケーションに関する値を取得できます。いつでも独自のオブジェクトを作成することもできます。

重要:
本番で有効にする前に、非本番インスタンスで プラットフォームアナリティクスソリューション を設定してテストします。

プラットフォームアナリティクスソリューション には、デフォルトアプリケーションの分析に必要なすべての設定レコードが用意されています。本番環境で使用するために、これらのレコードをカスタマイズします。詳細については、次を参照してください。 構成 プラットフォームアナリティクスソリューション.

必要な パフォーマンスアナリティクス 資格付与

プラットフォームアナリティクスソリューション を有効にするには、関連する ServiceNow 製品で パフォーマンスアナリティクス を使用できる資格が必要です。適切なエンタイトルメントがないと、パッケージがアクティブ化できないか、パッケージのデータ範囲が制限される可能性があります。たとえば、すぐに利用可能なカスタマーサービス管理 (CSM) -アドバンスト プラットフォームアナリティクスソリューション ソリューションを有効にするには、パフォーマンスアナリティクス for Customer Service Management を使用する資格が必要です。

パフォーマンスアナリティクス コンポーネントを含まない プラットフォームアナリティクスソリューション には パフォーマンスアナリティクス エンタイトルメントは必要ありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

パフォーマンスアナリティクス サブスクリプションのアクティブ化

利用可能な プラットフォームアナリティクスソリューション

以下のプラットフォームアナリティクスソリューションは、対応する ServiceNow パフォーマンスアナリティクス のエンタイトルメントで利用可能です。ソリューションには追加料金はかかりませんが、基盤となるアプリケーションには適切なライセンスが必要です。

プラットフォームアナリティクスソリューションは、ダッシュボードと基礎となる パフォーマンスアナリティクス コンポーネントを提供します。これらのダッシュボードは、 パフォーマンスアナリティクスを活用して、それぞれのプラットフォームアナリティクスソリューションがサポートする製品の価値を高めます。

一般的な パフォーマンスアナリティクス ソリューション

次の パフォーマンスアナリティクス ソリューションは、有料の パフォーマンスアナリティクス エンタイトルメントで有効になります。

- 構成管理 (CMDB) (com.snc.pa.cmdb)
- ガイド付きツアーダッシュボード
- Knowledge Management (com.snc.pa.knowledge_v2)
- サービスデスク チャット (com.snc.pa.chat)

APM 向け パフォーマンスアナリティクス ソリューション

APM エンタイトルメント向け パフォーマンスアナリティクス がある場合は、次のソリューションをアクティブ化します。

- Application Portfolio Management と Change Management (com.snc.pa.apm.change_request)
- Application Portfolio Management と Problem Management (com.snc.pa.apm.problem)
- ファイナンシャルマネジメント (com.snc.pa.fm)
- カスタマーサービスのファイナンシャルマネジメント (com.snc.pa.fm.csm)
- フィールドサービス管理のファイナンシャルマネジメント (com.snc.pa.fm.fsm)
- ファイナンシャルプランのファイナンシャルマネジメント (com.snc.pa.financial_planning)
- Project Portfolio Suite with Financials (com.snc.financial_planning_pmo) New York以降、このソリューションは Project Portfolio Suite (com.snc.pa.ppm) ソリューションに代わるものです。Time Card Management のダッシュボードが含まれています。

カスタマーサービスソリューション向け パフォーマンスアナリティクス

カスタマーサービスエンタイトルメント向け パフォーマンスアナリティクス がある場合は、次のソリューションをアクティブ化します。

- Advanced Work Assignment (com.snc.pa.awa)
- Change Management (com.snc.pa.change)
- Communities (com.snc.pa.communities)
- カスタマーサービス (com.snc.pa.customer_service) - スポットライトグループとレポートを含みます。また、アクティブ化により、スポットライトプラグインも有効になります。「分析およびレポートのスポットライトソリューションのアクティブ化」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- カスタマーサービス管理 (CSM) - Advanced (com.snc.pa.customer_service_advanced) - カスタマーサービス管理 (CSM) の事前設定済みパフォーマンスアナリティクスインジケーターとブレークダウン。旧 OOTB カスタマーサービスパフォーマンスアナリティクスソリューションのコンテンツを備え、次の機能もサポートしています。
  - Case Management
  - 重大な問題管理
  - カスタマーサービスケースアクションステータス
  - 要求管理によるカスタマーサービス
  - サービス管理によるカスタマーサービス
  - エージェントチャット
  - CSM 向け Advanced Work Assignment
  - Performance Analytics - Content Pack - Advanced Work Assignment
- フィールド サービスマネジメント (com.snc.work_management_pa)
- Incident Management (com.snc.pa)

  注:
  Incident Management コンテンツは、Performance Analytics の 試用： インシデント管理の無料版パフォーマンスアナリティクス でデフォルトで使用できます。

- インシデント SLA (com.snc.pa.sla)
- ITSM ダッシュボード (com.snc.pa.itsm_dashboards)
- 重大なインシデント管理 (com.snc.pa.incident.mim)
- 問題管理 (com.snc.pa.problem)
- カスタマーサービスのセルフサービス分析 (com.snc.pa.self_service_analytics_csm)

  注:
  パフォーマンスアナリティクス をセルフサービス分析でカスタマーサービス管理 (CSM) 以外のアプリケーションで使用するには、「Self-Service Analytics」を参照してください 。

- 仮想エージェントコンテンツパック：この プラットフォームアナリティクスソリューションは、Quebec リリースから廃止されました。代わりに会話型分析ダッシュボード を使用します。
- スポットライト - インシデントスポットライトコンテンツパック (com.snc.pa.spotlight.incident)
- スポットライト - 問題スポットライトコンテンツパック (com.snc.pa.spotlight.problem)
- スポットライト - 要求スポットライトコンテンツパック (com.snc.pa.spotlight.request)

  注:
  パフォーマンスアナリティクススポットライトソリューションについては、「分析およびレポートのスポットライトソリューションのアクティブ化」を参照してください。

ガバナンス、リスク、コンプライアンス ソリューション向け パフォーマンスアナリティクス

GRC エンタイトルメント向け パフォーマンスアナリティクス がある場合は、まず GRC：パフォーマンスアナリティクス プレミアム統合プラグインをアクティブ化します。次のソリューションをアクティブ化します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- GRC: Audit Management
- GRC: Policy and Compliance Management
- GRC: Risk Management

人事管理ソリューション向け パフォーマンスアナリティクス

人事管理エンタイトルメント向け パフォーマンスアナリティクス がある場合は、次のソリューションをアクティブ化します。

- Content Analytics
- ヒューマンリソース (HR) 従業員ドキュメント管理スコープ対象アプリ (com.sn_hr_employee_files_pa)
- ヒューマンリソース (HR) スコープ対象アプリ (com.sn_hr_pa)

  注:
  ヒューマンリソース (HR) のスコープ外バージョンのソリューション (com.snc.pa.hr_core) は不使用になりました。ヒューマンリソース (HR) のスコープ外バージョンを使用していて、そのソリューションプラグインを有効にする場合は、カスタマーサポートカスタマーサービス & サポート に連絡してください。

- ヒューマンリソース (HR) ライフサイクルイベントスコープ対象アプリ (com.sn_hr_lifecycle_pa)

ビジネス管理、ファイナンシャルマネジメント、およびサービス戦略ソリューション向け パフォーマンスアナリティクス

ビジネス管理向け パフォーマンスアナリティクス、ファイナンシャルマネジメント向け パフォーマンスアナリティクス、サービス戦略向け パフォーマンスアナリティクス のエンタイトルメントがある場合は、次のソリューションをアクティブ化します。

- Agile 2.0 (sn_scrum_dashboard オン ServiceNow Store)
- Essential SaFE
- ファイナンシャルマネジメント (com.snc.pa.fm)
- Application Portfolio Management の Financial Management (com.snc.pa.apm)
- カスタマーサービスのファイナンシャルマネジメント (com.snc.pa.fm.csm)
- フィールドサービス管理のファイナンシャルマネジメント (com.snc.pa.fm.fsm)
- ファイナンシャルプランのファイナンシャルマネジメント (com.snc.pa.financial_planning)
- Financial Services Operations (sn_bom_pa)
- Project Portfolio Suite with Financials (com.snc.financial_planning_pmo) New York以降、このソリューションは Project Portfolio Suite (com.snc.pa.ppm) ソリューションに代わるものです。Time Card Management のダッシュボードが含まれています。

ITOM ソリューション向け パフォーマンスアナリティクス

IT 運用スイート向け パフォーマンスアナリティクス または IT Operations Management エンタイトルメント向け パフォーマンスアナリティクス がある場合は、次のソリューションをアクティブ化します。

- ディスカバリ (com.snc.pa.discovery)
- イベント管理 (com.snc.pa.em)

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- Operational Intelligence (com.snc.sa.metric.pa.content)
- Service Mapping (com.snc.service-mapping.pa.content)

Project Portfolio Management ソリューション向け パフォーマンスアナリティクス

Project Portfolio Management エンタイトルメント向け パフォーマンスアナリティクス がある場合は、次のソリューションを有効にします：Project Portfolio Suite with Financials (com.snc.financial_planning_pmo) 。New York 以降、このソリューションは、Project Portfolio Suite (com.snc.pa.ppm) ソリューションに代わるものです。Time Card Management のダッシュボードが含まれています。

セキュリティインシデントと **Vulnerability Response** ソリューション向け パフォーマンスアナリティクス

Security Incident Response エンタイトルメント向け パフォーマンスアナリティクス がある場合は、次のソリューションをアクティブ化します。

- Security Incident Response (com.snc.security_incident.analytics - の ServiceNow Store)
- Vulnerability Response (com.snc.vulnerability.analytics - ServiceNow Store)

Service Management ソリューション向け パフォーマンスアナリティクス

Service Management エンタイトルメント向け パフォーマンスアナリティクス がある場合は、次のソリューションをアクティブ化します。

- Change Management (com.snc.pa.change)
- Incident Management (com.snc.pa)

  注:
  Incident Management コンテンツは、Performance Analytics の 試用： インシデント管理の無料版パフォーマンスアナリティクス でデフォルトで使用できます。

- インシデント SLA (com.snc.pa.sla)
- ITSM ダッシュボード (com.snc.pa.itsm_dashboards)
- ITSM Predictive Intelligence Workbench ダッシュボード - ITSM Pro SKU で利用可能な 予測インテリジェンス アプリケーションが必要です。
- 重大なインシデント管理 (com.snc.pa.incident.mim)
- 問題管理 (com.snc.pa.problem)
- Service Level Management (com.snc.pa.sla.overview)
- スポットライト - インシデントスポットライトコンテンツパック (com.snc.pa.spotlight.incident)
- スポットライト - 問題スポットライトコンテンツパック (com.snc.pa.spotlight.problem)
- スポットライト - 要求スポットライトコンテンツパック (com.snc.pa.spotlight.request)

  注:
  パフォーマンスアナリティクススポットライトソリューションについては、「分析およびレポートのスポットライトソリューションのアクティブ化」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理ソリューション向け パフォーマンスアナリティクス

サービス管理エンタイトルメント向け パフォーマンスアナリティクス がある場合は、ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.pa.samp) ソリューションをアクティブ化します。

[セルフサービス分析] ウィジェットをダッシュボードまたは **Service Portal** に追加

セルフサービス分析をインスタンスでアクティブ化してある場合は、セルフサービス分析ウィジェットを パフォーマンスアナリティクス ダッシュボードまたは Service Portal に追加できます。インジケーターとブレークダウンの既製セットを取得するには、セルフサービス分析 PA (*com.snc.pa.self_service_analytics*) プラグインをアクティブ化してください。セルフサービスインジケーターを パフォーマンスアナリティクス 管理コンソールで検索して、ウィジェットを作成してダッシュボードまたはポータルに追加します。[SSA] セルフサービス分析データコレクションジョブもアクティブ化します。

注:
カスタマーサービス管理 (CSM) カスタマーは、カスタマーサービスのセルフサービス分析のプラットフォームアナリティクスソリューション をインストールできます。このソリューションには、追加のカスタマーサービス固有のインジケーターとブレークダウンに加えて、ウィジェットとダッシュボードが含まれています。詳細については、「カスタマーサービスのセルフサービス分析」を参照してください。

ITSM ダッシュボードソリューション

ITSM ダッシュボードプラグイン (com.snc.pa.itsm_dashboards) は、以下のソリューションと、一連の追加ダッシュボードをアクティブ化します。

- Change Management (com.snc.pa.change)
- 問題管理 (com.snc.pa.problem)
- インシデント SLA (com.snc.pa.sla)
- 重大なインシデント管理 (com.snc.pa.incident.mim)
- スポットライト - インシデントスポットライトコンテンツパック (com.snc.pa.spotlight.incident)

  注:
  パフォーマンスアナリティクススポットライトソリューションについては、「分析およびレポートのスポットライトソリューションのアクティブ化」を参照してください。

- 固定費 (fixed_costs snc)

ServiceNow Store コンテンツを含む パフォーマンスアナリティクス アプリケーション

次の ServiceNow® Store アプリケーションには パフォーマンスアナリティクス 、インジケーターのウィジェットを表示するダッシュボードなどのコンポーネントが含まれます。

Platform Analytics ソリューションとは異なり、これらのアプリケーションにはスタンドアロン機能が含まれています。アプリケーションに含まれるコンポーネントは パフォーマンスアナリティクス 、この機能をサポートしています。

管理者は、 パフォーマンスアナリティクス これらのアプリケーションで提供されるデータ収集ジョブのスケジュール変更が必要になる場合があります。ほとんどのアプリケーションには履歴データ収集ジョブがなく、そのジョブスケジュールはデフォルトでアクティブになっています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注:
これらのアプリケーションにはライセンス要件がある場合があることに注意してください。でServiceNow Storeアプリのエントリを確認します。

Configuration Management Database アプリケーション

CSDM および CMDB データ基盤ダッシュボード

Customer Service アプリケーション

- 会話型分析ダッシュボード

注:
会話型分析ダッシュボードは、このリリース以降 Quebec 、仮想エージェントコンテンツパックに置き換わるものです。

- Customer Service Management のワークフォース最適化

DevOps アプリケーション

DevOps インサイト

従業員サービス管理 **(ESM)**

Safe Workplace ダッシュボード

IT Asset Management アプリケーション

Cloud Insights

戦略的ポートフォリオ管理 **(SPM)** アプリケーション

Strategic Spend Tracking for PPM

IT Operations Management アプリケーション

Firewall Audits and Reporting

IT Service Management アプリケーション

- Coaching
- 継続的改善管理
- オンコールスケジューリング
- Service Portfolio Management Premium (サービスオーナーワークスペース)

AI エクスペリエンスアプリケーション

NLU Workbench

ガイド付き設定を使用したソリューションのアクティブ化

製品に Guided Setup がある場合は パフォーマンスアナリティクス 、その Guided Setup を使用して、関連する分析およびレポートのソリューションを迅速かつ一貫して有効化および構成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
パフォーマンスアナリティクス ガイド付き設定では、関連製品の分析およびレポートソリューションを有効にしてテストする手順を説明します。Guided Setup を完了すると、データを収集し、および事前構成されたソリューションダッシュボードでインジケータースコア アナリティクスハブ を表示できます。

重要:
本番で有効にする前に、非本番インスタンスで プラットフォームアナリティクスソリューション を設定してテストします。

ソリューションに対してガイド付き設定が利用できない場合は、プラグインリストからそのソリューションをインストールできます。ソリューションがプラグインリストにない場合は、 で探し ServiceNow Storeます。

手順

1. 移動先 すべて > パフォーマンスアナリティクス > ガイド付きセットアップ。
   管理コンソールから パフォーマンスアナリティクス ガイド付き設定を実行することもできます。
2. [開始する] を選択します。
3. インシデントやカスタマーサービスなど、ソリューションをセットアップするアプリケーションまでスクロールします。
4. プラグインがまだ有効でない場合、ソリューション プラグインを有効にするまでガイド付き設定はロックされます。

   注:
   これらの手順を実行するには、admin ロールが必要です。

   a. [プラグインの表示] を選択します。

   b. [アクティブ化/アップグレード] 関連リンクを選択します。

   c. [アクティブ化] を選択します。
      パフォーマンス分析ソリューション プラグインを有効にすると、関連付けられているアプリケーションのプラグインも有効になります (有効でない場合)。たとえば、パフォーマンス分析 - コンテンツパック - カスタマーサービス プラグインを有効にすると、カスタマーサービス プラグインが有効になっていない場合は有効になります。

   d. プラグインが有効になったら、プラグイン ウィンドウを閉じてガイド付き設定に戻ります。

5. 設定するアプリケーションの [開始] を選択します。
6. ガイド付き設定の手順に従って、インジケーター、ブレークダウン、ウィジェット、ダッシュボードなどの提供されたレコードをレビューし、パフォーマンス分析スコアの収集を開始します。
   各ステップを実行すると、右側の [ヘルプ] メニューに追加情報が表示されます。

関連情報

ガイド付きセットアップの使用

プラグインのリスト

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ダッシュボードのインストール

ソリューション ライブラリーを使用して、ダッシュボードとそれに関連するすべてのビジュアライゼーション (ウィジェットやレポートなど) をインストールし、既存のダッシュボードを構成します。

始める前に
必要なロール:pa_admin

このタスクについて
Performance Analytics ソリューションをインストールまたはアップグレードすると、インスタンス内のそのままの状態のコンテンツが上書きされ、新しいコンテンツがダッシュボードに追加されます。以前にダッシュボードでカスタマイズしたコンテンツは変更されません。

同じダッシュボードで使用されている他のレコードに影響を与えずに、ウィジェットなどのダッシュボードからソリューションメタデータレコードを再インストールするには、「」を参照してください 単一のソリューションメタデータレコードのインストール。

手順

1. 移動先 **PA** ソリューションライブラリー > ソリューション。
2. インストールするダッシュボードを選択します。

   ソリューション ライブラリで提供されるダッシュボードは、インジケーター、インジケーターソース、またはその他の設定レコードによって異なる場合があります。ソリューション ライブラリーのコンテンツには、常に関連する視覚エフェクトと構成コンテンツが含まれます。
3. [インストール]をクリックします。
4. 確認ウィンドウで、[インストール] をクリックします。
   確認後、インストールが完了するまでに時間がかかる場合があります。この間に [キャンセル] をクリックすると、確認ウィンドウは閉じますが、進行中のインストールは停止されません。
   インストールが完了すると、確認ウィンドウが消え、[インストール済みメタデータ] 関連リストに、インストールされたレコードが入力されます。

次のタスク
ダッシュボードに移動して、データの分析を開始します。

関連情報
プラグインをアクティブ化する

ダッシュボードのアップグレード

ダッシュボードをアップグレードすると、ダッシュボードに追加された新しいレコードを含む、利用可能な更新があるソリューション メタデータがインストールされます。カスタマイズしたソリューションメタデータレコードは、それらのレコードが新しいリリースで更新された場合でも影響を受けません。

始める前に
必要なロール：pa_admin

このタスクについて
Performance Analytics ソリューションをインストールまたはアップグレードすると、インスタンス内のそのままの状態のコンテンツが上書きされ、新しいコンテンツがダッシュボードに追加されます。以前にダッシュボードでカスタマイズしたコンテンツは変更されません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 **PA** ソリューションライブラリー > ソリューション。
   [Update Available] フィールドが true になっているレコードはアップグレードできます。
2. アップグレードするダッシュボードを選択します。
3. [ソリューション メタデータ] 関連リストをレビューします。
   [アップグレード] をクリックすると、update_available = true のソリューションメタデータレコードがインストールされます。以前にカスタマイズされたレコードは上書きされません。
4. [アップグレード] をクリックします。
   [アップグレード] ボタンは、少なくとも 1 つのソリューションメタデータレコードに利用可能な更新があり、ソリューションコンテンツが少なくとも 1 回インストールされている場合に使用できます。
5. 確認ウィンドウで、[アップグレード] をクリックします。
   確認した後、アップグレードが完了するまでに時間がかかる場合があります。この間に [キャンセル] をクリックすると、確認ウィンドウは閉じますが、進行中のアップグレードは停止しません。

タスクの結果
新しいダッシュボードレコードがダッシュボードに追加されます。カスタマイズされていないダッシュボードレコードへの更新が適用されます。カスタマイズしたダッシュボードレコードは変更されません。

次のタスク
ソリューションコンテンツをインストールした後、ダッシュボードが期待通りに表示されない場合は、アンインストールされたレコードが顧客アップデートテーブルに表示されるかどうかを確認します。このテーブルのアンインストールされたレコードは、以前にカスタマイズされています。顧客アップデートテーブルを表示するには、フィルターナビゲーターに 「sys_update_xml.list 」 と入力します。

単一のソリューションメタデータレコードのインストール

ウィジェットなどのダッシュボードで使用される単一のソリューションメタデータレコードをインストールして、同じダッシュボードで使用される他のレコードに影響を与えずにレコードの最新バージョンと一致させます。

始める前に
必要なロール：pa_admin

このタスクについて
ダッシュボード全体と関連するすべてのレコードをインストールするには、「」を参照してください ダッシュボードのインストール。

注:
レコードをインストールしても、そのレコードに加えたカスタマイズは上書きされません。

利用可能なソリューションメタデータ型:

- ブレークダウン
- ブレークダウンソース
- バケットグループ
- ダッシュボード
- ダッシュボードグループ
- フィルター

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- インジケーター
- インジケーターのソース
- 権限
- レポート
- レポートソース
- スケジュールされたデータ収集
- スクリプト
- タグ
- ウィジェット

手順

1. 移動先 **PA** ソリューションライブラリー > ソリューション。
2. インストールするレコードを使用するダッシュボードを選択します。
3. [ソリューションメタデータ] 関連リストで、インストールするレコードを選択します。
4. [インストール]をクリックします。
5. 確認ウィンドウで、[インストール] をクリックします。

分析およびレポートのソリューションダッシュボードの複製

ダッシュボード (プラットフォームアナリティクスソリューション タブ、ポータルページ、キャンバスレコードを含む) をコピーします。ダッシュボードのウィジェットは複製されません。

始める前に
必要なロール：pa_admin

このタスクについて
ダッシュボードを複製すると、他のダッシュボードに影響を与えることなく、1 つのコピーを変更またはアップグレードできます。

> **注:**
> ダッシュボードを複製しても、ダッシュボードに表示されるウィジェットは複製されません。他のダッシュボードに影響を与えることなく、1 つのダッシュボード コピーからウィジェットを再配置または削除できます。ただし、ウィジェット レコードを変更すると、元のダッシュボードと複製の両方が影響を受けます。

の一部 プラットフォームアナリティクスソリューションではないダッシュボードをコピーするには、「」を参照してください レスポンシブ ダッシュボードの管理。

手順

1. 移動先 **PA** ソリューションライブラリー > ソリューション。
2. [ソリューション] リストで、コピーするダッシュボードの名前をクリックします。
3. [ソリューション] フォームで、[ダッシュボードを複製] アイコン () をクリックします。
4. ダッシュボードを複製することを確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
ダッシュボードのコピーが、「(元のダッシュボード名) のコピー」という名前で作成されます。ダッシュボードの概要で表示できます。

プラットフォームアナリティクスソリューション の構成

プラットフォームアナリティクスソリューション は、標準的なテーブルとフィールドのセットにデータを保持する Now Platform ことを想定して構成されています。異なるフィールドを使用している場合は、正しい場所を指すようにソリューションを構成します。

ヒント:
管理コンソールを設定プラットフォームアナリティクスソリューションの開始点として使用すると便利なパフォーマンスアナリティクス場合があります。管理コンソールから、次のアクションを実行できます。

- プラグインリストまたはガイド付き設定 (利用可能な場合) からソリューションをアクティブ化します。(管理コンソールからのみ ServiceNow Store 利用可能なソリューションをアクティブ化することはできません。)
- このインスタンスで完全にアクティブ化されているかどうかを確認します パフォーマンスアナリティクス 。
- 診断を実行します。
- 構成する KPI を検索します。
- 依存関係アセスメントを使用して、ソリューションに関連するインジケーター、ブレークダウン、およびソースを検索します。

詳細については、「パフォーマンスアナリティクス 管理コンソール」を参照してください。

診断を実行

any プラットフォームアナリティクスソリューションをインストールした後、すべてのレコードに対してすべての診断を実行します (「」を参照 すべてのレコードに対して診断を実行)。これらの診断では、プラットフォームアナリティクスソリューション とテーブルの構成間の不一致が多数検出される可能性があります。

ドメインセパレーションと「別のユーザーとして実行」ユーザー

デフォルトでは、システム管理者は、のプラットフォームアナリティクスソリューションデータ収集ジョブの実行ユーザーです。このユーザーがインスタンスに存在するかどうか、およびこのユーザーが適切なレベルのアクセスを持っているかどうかを検証します。不適切な別のユーザーとして実行ユーザーでは、エラーが発生したり、収集されるデータが制限されたりすることがあります。Domain Separation を有効にしている場合は、各ドメインで適切な 実行 ユーザーを設定してください。

インジケーター ソースをレビューする

Performance Analytics に対して有効にする各アプリケーションで探しているデータが含まれているフィールドを決定します。

始める前に
エンタイトルメントに従って有効にしました パフォーマンスアナリティクス 。また、関連する分析およびレポートソリューションをインストールし、診断を実行しておきます。

必要なロール：pa_admin、admin

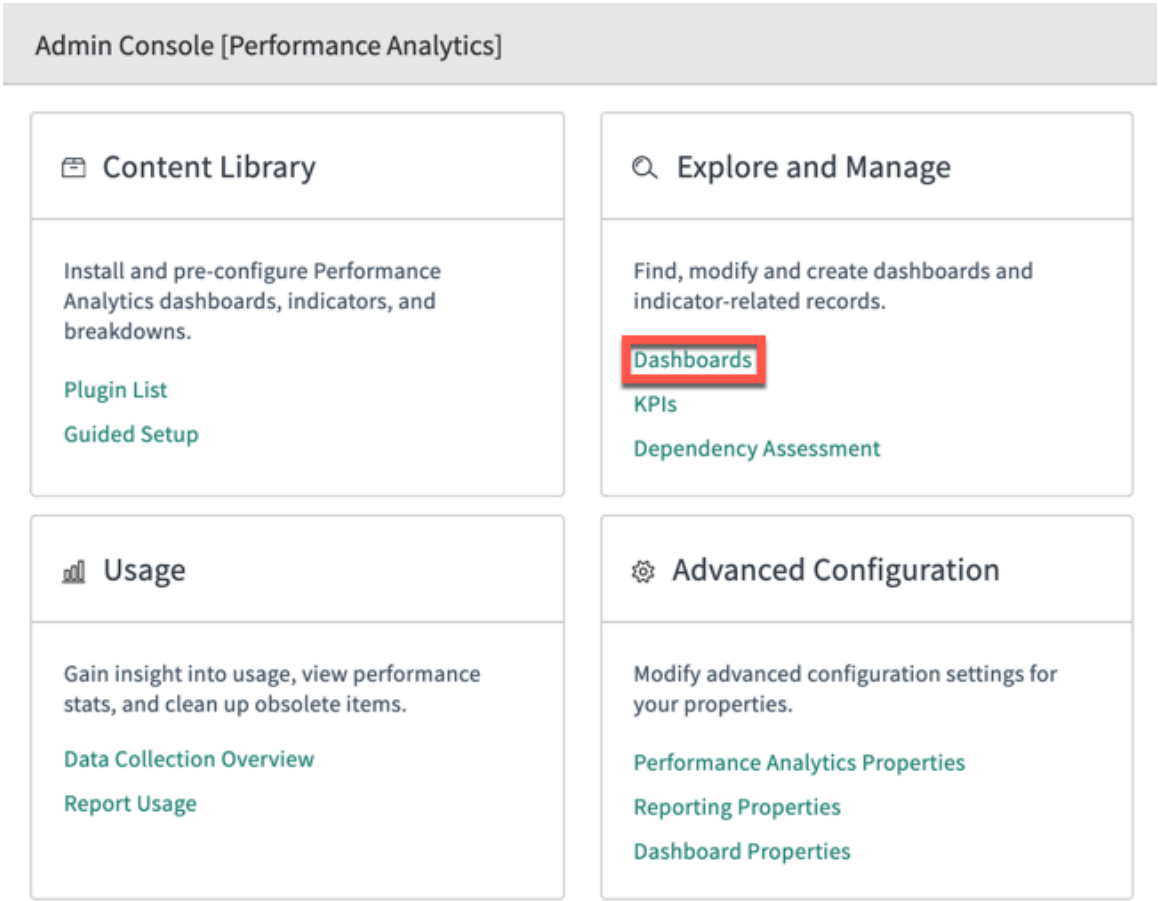
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
を含むインジケーターソース プラットフォームアナリティクスソリューション が、プロセスのパフォーマンスを測定するための正しいフィールドを指していることを確認します。

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** > 管理コンソール.
2. [探索および管理] タイルの [ダッシュボード] リンクをクリックします。



3. これ プラットフォームアナリティクスソリューションとともにインストールされているダッシュボードの名前を確認します。
4. [インジケーターのソース] タブを開きます。
5. この プラットフォームアナリティクスソリューション に含まれる各ダッシュボードで、以下のことを行います。

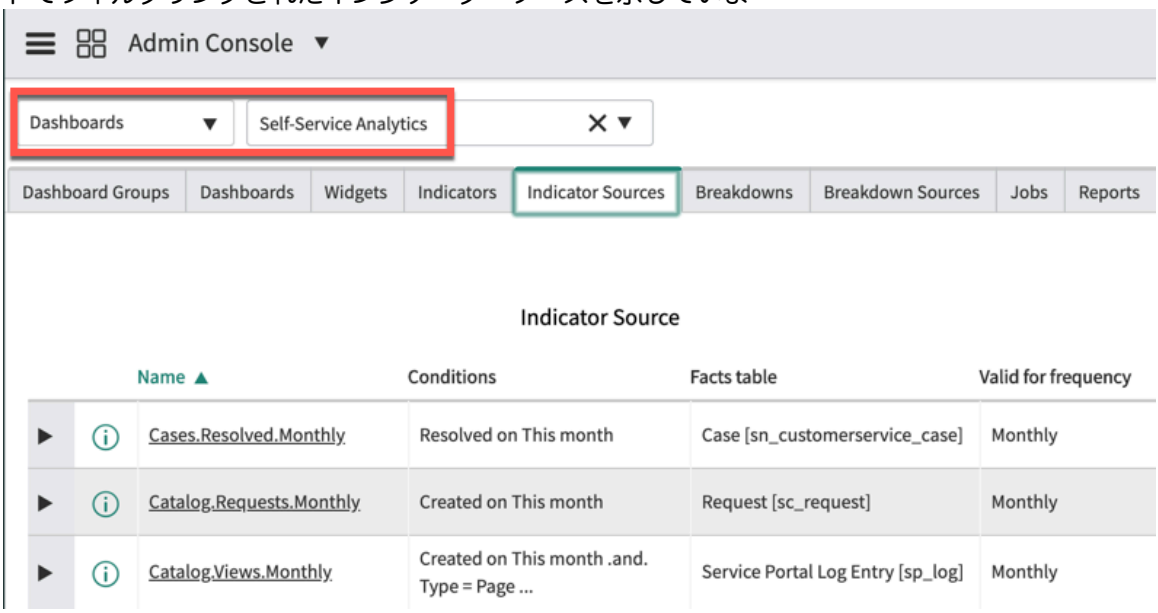
   a. ダッシュボード名のインジケーターソースをフィルタリングします。

   Example
   このスクリーンショットは、CSM プラットフォームアナリティクスソリューションのセルフサービス分析からセルフサービス分析ダッシュ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ボードでフィルタリングされたインジケーターソースを示していま



す。

b. インジケーターソースのファクトテーブル、条件、および頻度を、使用中のインスタンスのデータ構造と比較して確認します。

> **重要:**
> 条件の [解決済み]、[オープン]、[作成済み] などのタイムスタンプフィールドに特に注意してください。別のタイムスタンプフィールドを使用することが必要になる場合があります。

c. 必要に応じて、インジケーターソースを開き、修正します。

d. インジケーターソースレコードを編集している場合は、[インジケーター] 関連リストに移動し、各インジケーターの [条件] フィールドを確認します。
インジケーターソースを変更すると、個々のインジケーターの追加条件にも影響を与える可能性があります。

e. [更新] をクリックして変更を保存します。

関連情報

インジケーターソース

スクリプトの更新パフォーマンスアナリティクス

プラットフォームアナリティクスソリューション レコードで計算を実行するスクリプトを含め パフォーマンスアナリティクス ます。これらのスクリプトは、インジケーター ソースのタイム スタンプ フィールドを使用します。インジケーターソースのタイムフィールドスタンプを変更する場合は、関連するスクリプトも変更してください。

始める前に

> **重要:**
> で プラットフォームアナリティクスソリューションインジケーターソースを更新しなかった場合は、このタスクをスキップします。

必要なロール：pa_admin、admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

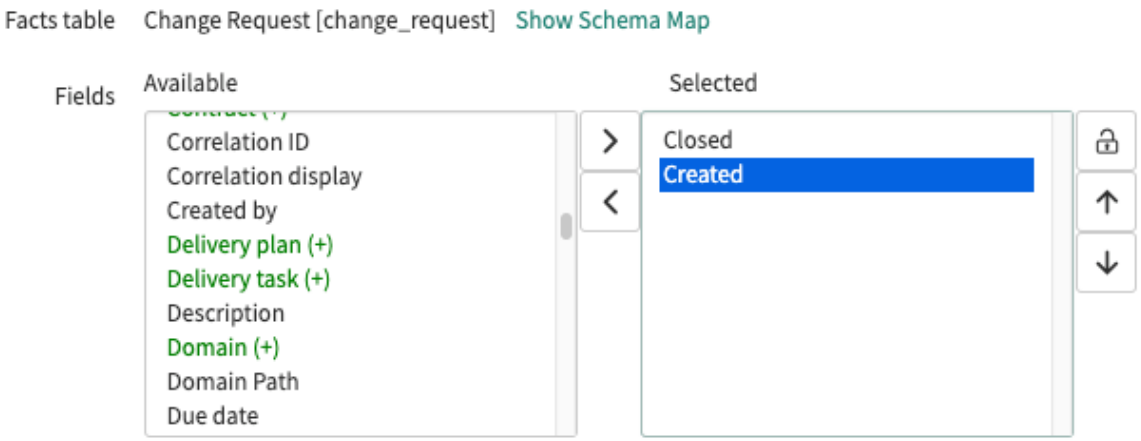
1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** > 自動化 > スクリプト.
2. スクリプトをクリックすると、その詳細が開きます。

   Example
   たとえば、Change.CloseTime.Hours スクリプトレコードには次のスクリプトが含まれています。

   ```
   var diff=function(x,y){return y.dateNumericValue() - x.dateNumericValue();};
   var hours=function(x,y){return diff(x,y)/(60*60*1000);};
   hours(current.opened_at, current.closed_at);
   ```

3. [ソース] セクションで、フィールドのリストの横にあるロック アイコンをクリックします。  フィールドセレクターが開きます。
4. 目的のフィールドをスクリプトに対して 選択されている フィールドに移動し、適切でないフィールドを削除します。

   Example
   たとえば、組織で [作成日時] タイム スタンプ フィールドを使用して新しい変更を定義する場合は、[オープン] を [作成済み] に置き換えます。

5. [スクリプト] フィールドで、使われなくなったフィールドの参照を、選択したフィールドへの参照に置き換えます。

   Example
   この例では、 **Opened** フィールドへの参照が **Created** への参照に置き換えられています。

   ```
   var diff=function(x,y){return y.dateNumericValue() - x.dateNumericValue();};
   var hours=function(x,y){return diff(x,y)/(60*60*1000);};
   hours(current.opened_atcurrent.sys_created_on, current.closed_at);
   ```

6. [更新] をクリックして変更を保存します。

ブレークダウンソースをレビューする

ブレークダウン ソースは、KPI をより詳細に調べるために使用する要素を表します。ブレークダウンソースを変更して、データ分析にとって意味のあるアイテムのみに要素リストを制限します。

始める前に
必要なロール：pa_admin、admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このタスクについて
たとえば、アサイン先グループの自動ブレークダウンはグループブレークダウン ソースを使用します。このブレークダウンソースはインスタンス内のすべてのアクティブなグループを返し、システムはこれらすべてのグループを使用してデータを検査します。[オープン変更の数] インジケーターを見て、[アサイン先グループ] ブレークダウンを調べると、変更要求に実際に取り組んでいるグループだけでなく、インスタンス内のすべてのグループが表示されます。

ブレークダウン ソースが返す要素の数を制限することには、次の利点があります。

- 要素リストが小さいほど、コンシューマーは必要なデータを簡単に見つけることができます。特定のプロセスに関連付けられている 25 個のグループの一覧を並べ替える方が、数千のグループを並べ替えるよりも簡単です。
- 要素リストが小さいほど、データ収集が少なくなり、データをより効率的に使用できます。データコレクタは、1,000 の異なるグループを解析する代わりに、プロセスにとって意味のある 25 のグループを分析できます。

注:
の プラットフォームアナリティクスソリューションブレークダウン ソースを変更する必要はほとんどありません。ただし、プロセスで測定されているものを正確に確認して理解することは役立つ場合があります。

手順

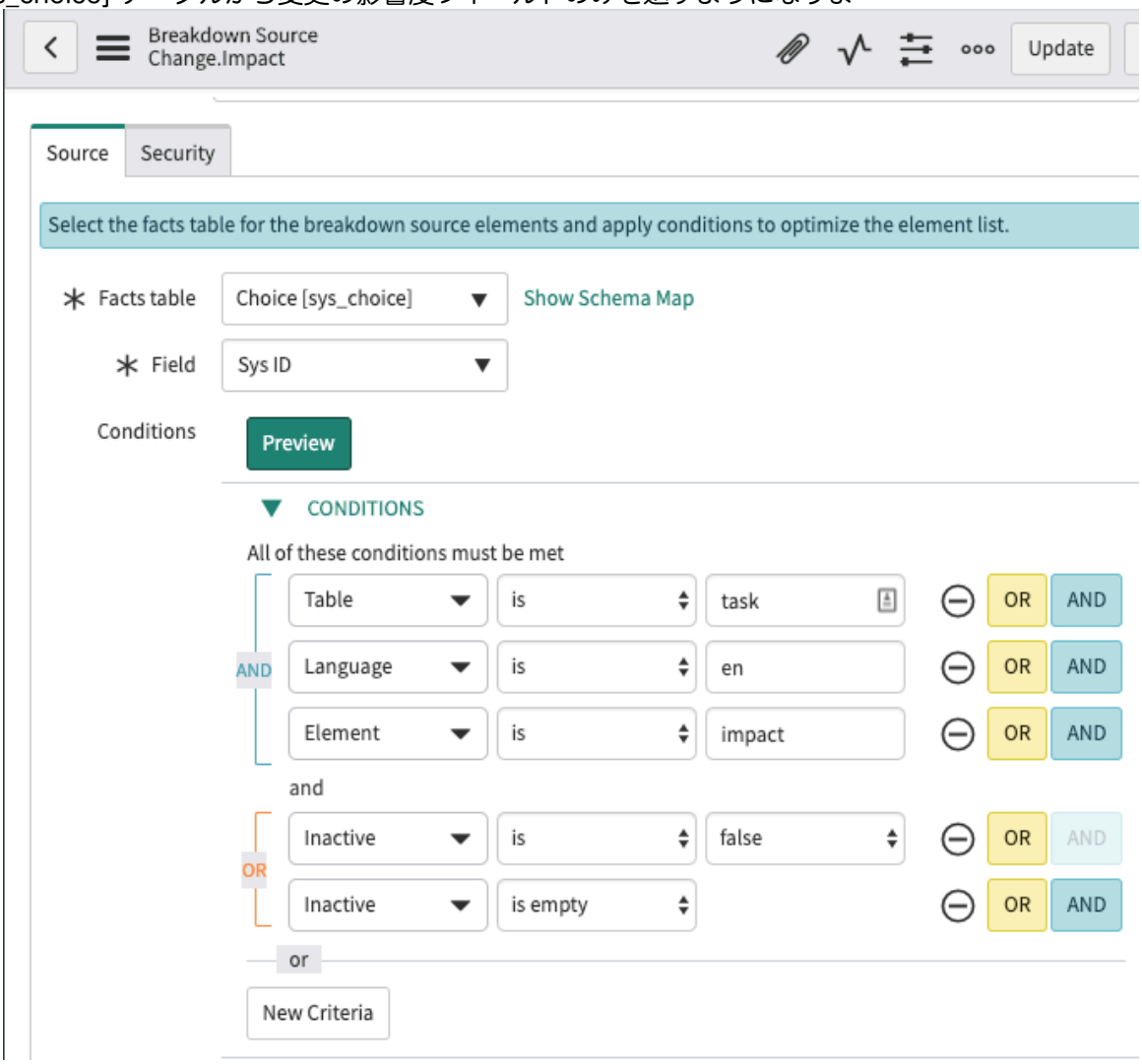
1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** > ソース > ブレークダウンソース.
2. ブレークダウン ソースをクリックすると、その詳細が表示されます。
3. [ソース] タブで、sys_idsの一意のリストを含むテーブルを含むブレークダウン要素の定義を調べます。

   Example
   たとえば、Change.Impact ブレークダウン ソースでは、[変更要求の影響度] フィールドに含まれる一意の値は、選択肢 [sys_choice] テーブルから取得されます。条件には追加のフィルターが用意されており、クエリーが選択肢

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[sys_choice] テーブルから変更の影響度フィールドのみを返すようになりま



す。

4. [プレビュー] をクリックして、クエリが返す要素の数を確認します。

Example
この例では、クエリーは 3 つの影響要素を返します。

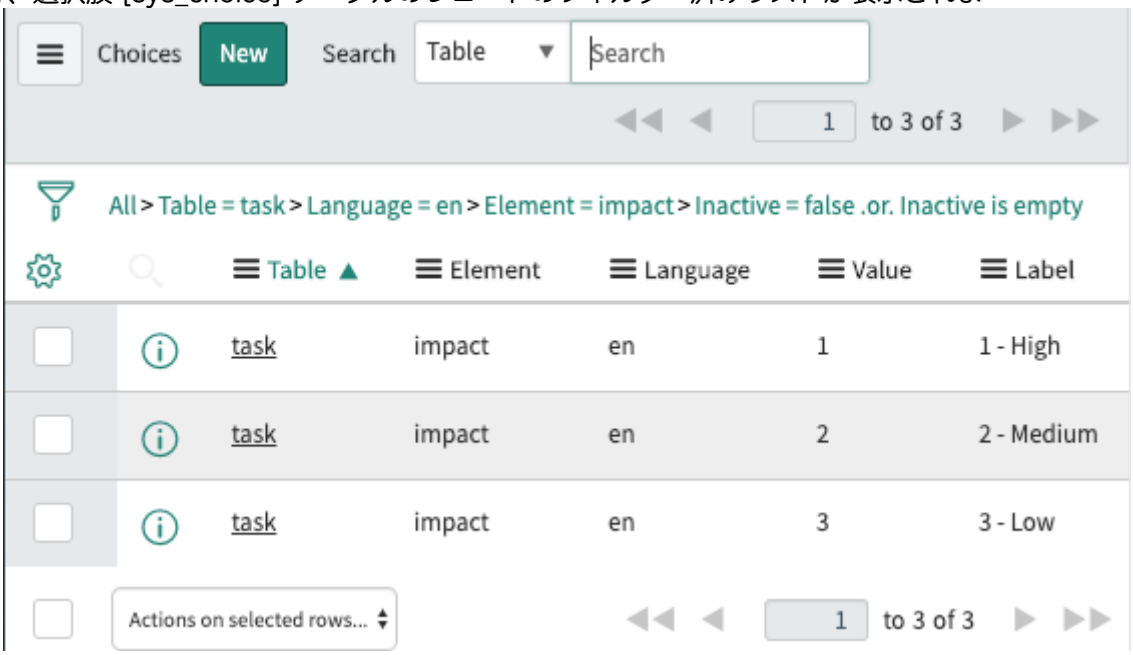


5. **[x** 件のレコードが条件に一致] をクリックすると、クエリが返した特定の値が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example
この例では、[**3** 件のレコード一致条件] をクリックすると、新しいブラウザータブが開き、選択肢 [sys_choice] テーブルのレコードのフィルター済みリストが表示されます。



6. レコードリストがブレークダウン要素リストに表示される内容と一致していることを確認します。
7. レコードが期待したものではなかった場合は、ブレークダウン ソースの [ソース] タブで条件を環境に合わせて変更し、満足するまで手順 4 ～ 6 を繰り返します。
8. [更新] をクリックして変更を保存します。

次のタスク
これで、「」の説明 のデータを収集 プラットフォームアナリティクスソリューションに従って、データを収集する準備ができました。

関連情報

ブレークダウン ソースの定義

のデータを収集 プラットフォームアナリティクスソリューション

をインストールし プラットフォームアナリティクスソリューション 、インスタンス内の正しいデータ構造を指していることを確認したら、インジケーターとブレークダウンのデータを収集します。

を有効にする プラットフォームアナリティクスソリューションたびに、そのソリューションのデータ コレクタ ジョブが自動的にインストールされます。これらのデータ コレクタ ジョブは、ソリューション内のインジケーターとブレークダウンの分析情報を収集します。ジョブの実行後、ソリューションのウィジェットとダッシュボードでデータを確認できます。技術的には、データコレクタージョブは次のアクションを実行します。

- 定期的に (通常は毎日) 実行する
- 運用テーブルの読み取り
- インジケーターとブレークダウンが指定する定義に照らして、期間 (通常は 1 日) のデータを測定する
- 結果の測定スコアと (オプションで) 生データをテーブルに パフォーマンスアナリティクス 保存します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

のプラットフォームアナリティクスソリューションプラグインまたはServiceNow Storeアプリケーションは、通常、次の 2 つのジョブをインストールします。

履歴データ収集

を初めてインストール プラットフォームアナリティクスソリューションするときに、履歴データ コレクタ ジョブを実行します。デフォルトでは、履歴データコレクタージョブは、ジョブで指定されたインジケーターの過去 60 日間のデータを収集します。さらに時間を遡る場合は、より多くの履歴データを収集するようにジョブを構成できます。履歴データ コレクタ ジョブは、収集期間中のすべてのデータを上書きします。したがって、最初にインストール プラットフォームアナリティクスソリューションするときに一度だけ実行してください。後続のすべてのデータに対して定期的なデータ コレクタ ジョブを実行します。

定期的なデータ収集 (通常は毎日)

このジョブにより、 パフォーマンスアナリティクス 今後のデータがテーブルに入力されます。定期的なデータ コレクタが、データを収集するインジケーターの周期と同じ周期性で実行されるようにスケジュールします。ほとんどのインジケーターの頻度は日次であるため、ほとんどのデータコレクタジョブも毎日実行されます。ジョブをスケジュールしたら、それがアクティブであるか、または実行されないことを確認します。

関連情報

インジケータースコアの収集

ソリューションの **Now Intelligence** 履歴データ収集の実行

ソリューションを Now Intelligence アクティブ化した後、履歴データ収集ジョブを実行します。このジョブでは、既存のデータからすぐにインサイトを得ることができます。

始める前に

必要なロール：pa_admin、admin

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** > データコレクター > ジョブ。
2. ジョブのリストをフィルタリングして、「Historic」という単語を含むものを探します。
3. 新しい Now Intelligence ソリューションに対応する履歴ジョブを見つけて開きます。
4. [収集パラメーター] セクションに移動し、[開始 日 (相対)] フィールドと [開始間隔 (相対)] フィールドを設定して、必要な範囲からデータを収集します。
   データコレクターは、フォームで指定された日数 (またはその他の収集期間) と同じ回数実行されます。たとえば、デフォルト設定の 60 日では、データ コレクタが 60 回連続して実行されます。データコレクターは T-60 日から開始し、すべてのレコードを 60 日前であるかのように調べます。これらのレコードを処理した後、データコレクターは T-59 日後に再度実行されます。データコレクターは、現在の日付に達するまでプロセスを繰り返します。

   テーブルのサイズによっては、毎日の収集が完了するまでに 1 分から 2 分かかる場合があります。数か月にわたる履歴データ収集は、完了するまでに時間がかかる場合があります。

   ソリューションをインストールし Now Intelligence た製品またはアプリケーションが新規の場合、履歴データがあまりない可能性があります。この場合、相対開始間隔を短くすることができます。製品またはアプリケーションをまだ使用していない場合は、履歴データの収集を完全にスキップできます。
5. [実行方法] フィールドで指定されたユーザーが存在することを確認します。
   ドメイン分離を使用している場合は、 別のユーザーとして実行 ユーザーが表示できるドメインからレコードのみを収集します。ただし、 実行 ユーザーの ACL 権限はデータ収集には影響しません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. 実行時のタイムゾーンが会社に適していることを確認します。
   このインジケーターソースに基づくデータベースクエリは、このタイムゾーンを使用します。このタイムゾーンは、データ収集ジョブのタイムスタンプに影響します。このタイムゾーンは、[[Created][on][Today]] のような条件の「今日」の日も定義します。
7. [今すぐ実行] をクリックして、スケジュール設定済みジョブを実行します。
8. 移動先 データコレクター > ジョブ履歴。
9. 実行中のジョブ のステータス を確認します。
   ジョブが完了するまで、定期的にビューを更新します。ジョブが成功すると、[ステータス] が [収集済み] に変わります。

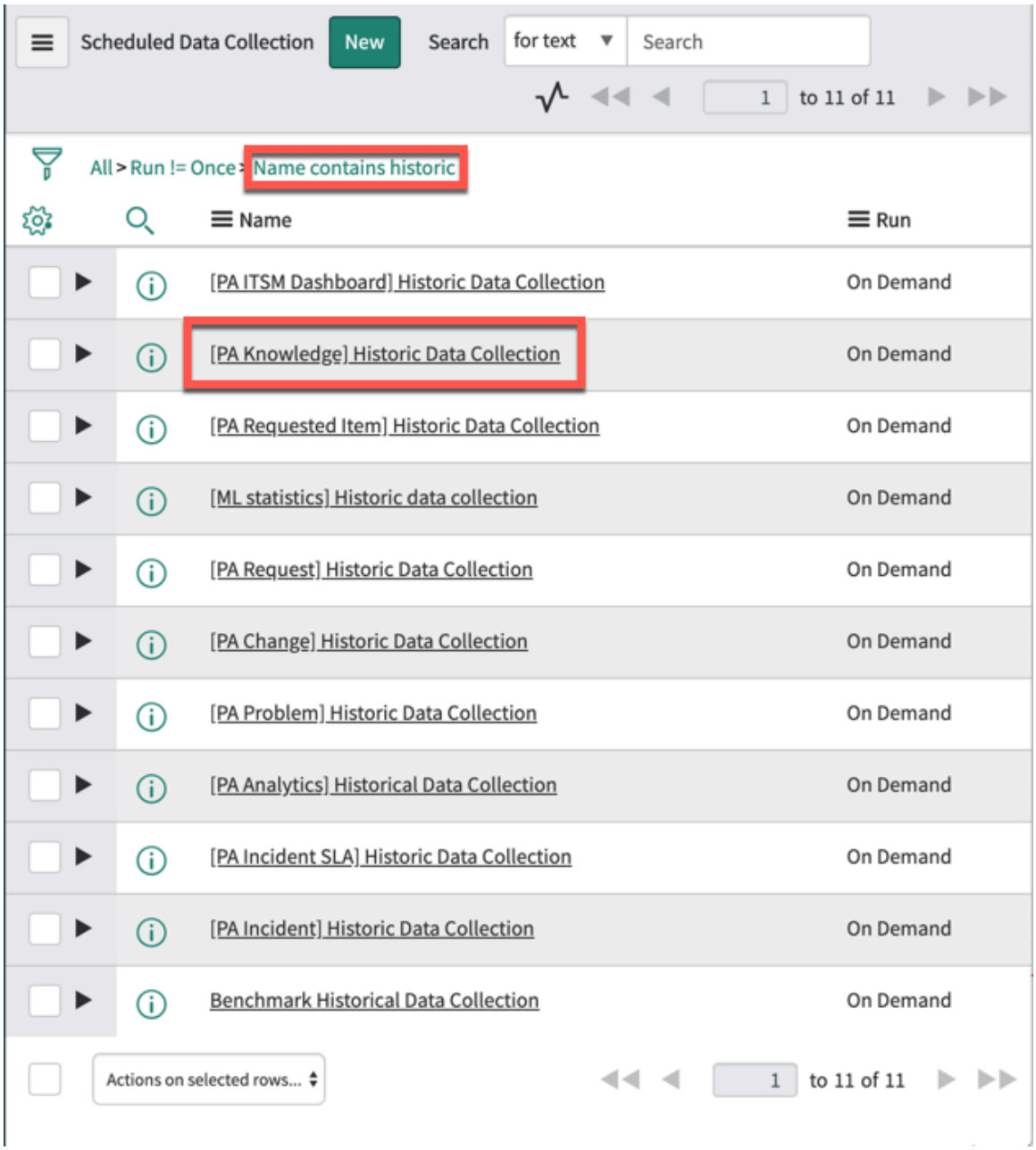
Example: 新しくインストールされた **Now Intelligence** ソリューションの履歴データの収集

ソリューションの Now Intelligence セットをインストールしました。それらに対して最初の履歴データ収集ジョブを実行する必要があるため、 **Performance Analytics** > データコレクター > ジョブ。ソリューションの Now Intelligence 履歴ジョブを見つけるには、[[名前][含む][履歴]] でリストをフィルタリングします。

ヒント:
独自のヒストリカル・データ・コレクター・ジョブの作成を開始する場合は、名前に「Historic」という単語を含めます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

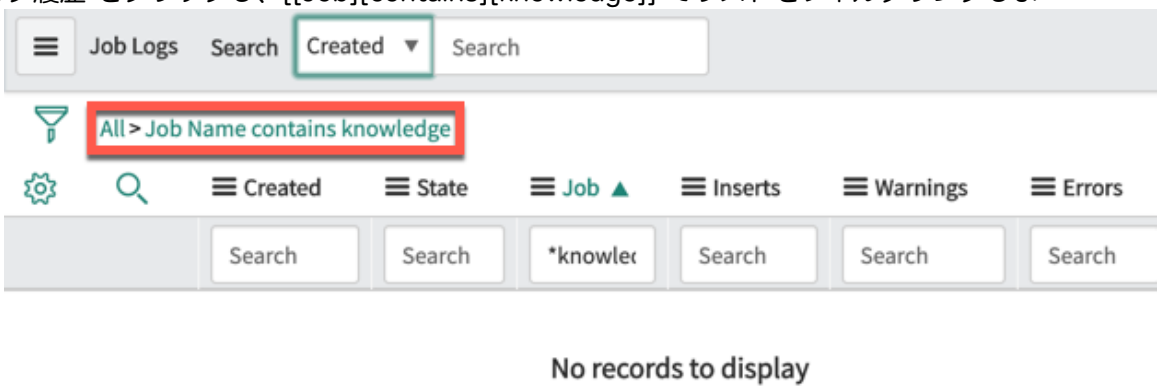


最初に Knowledge Management ソリューションのジョブを実行することにします。ナレッジ管理履歴ジョブの実行者がまだいないことを確認するには、 データコレクター >

自動翻訳

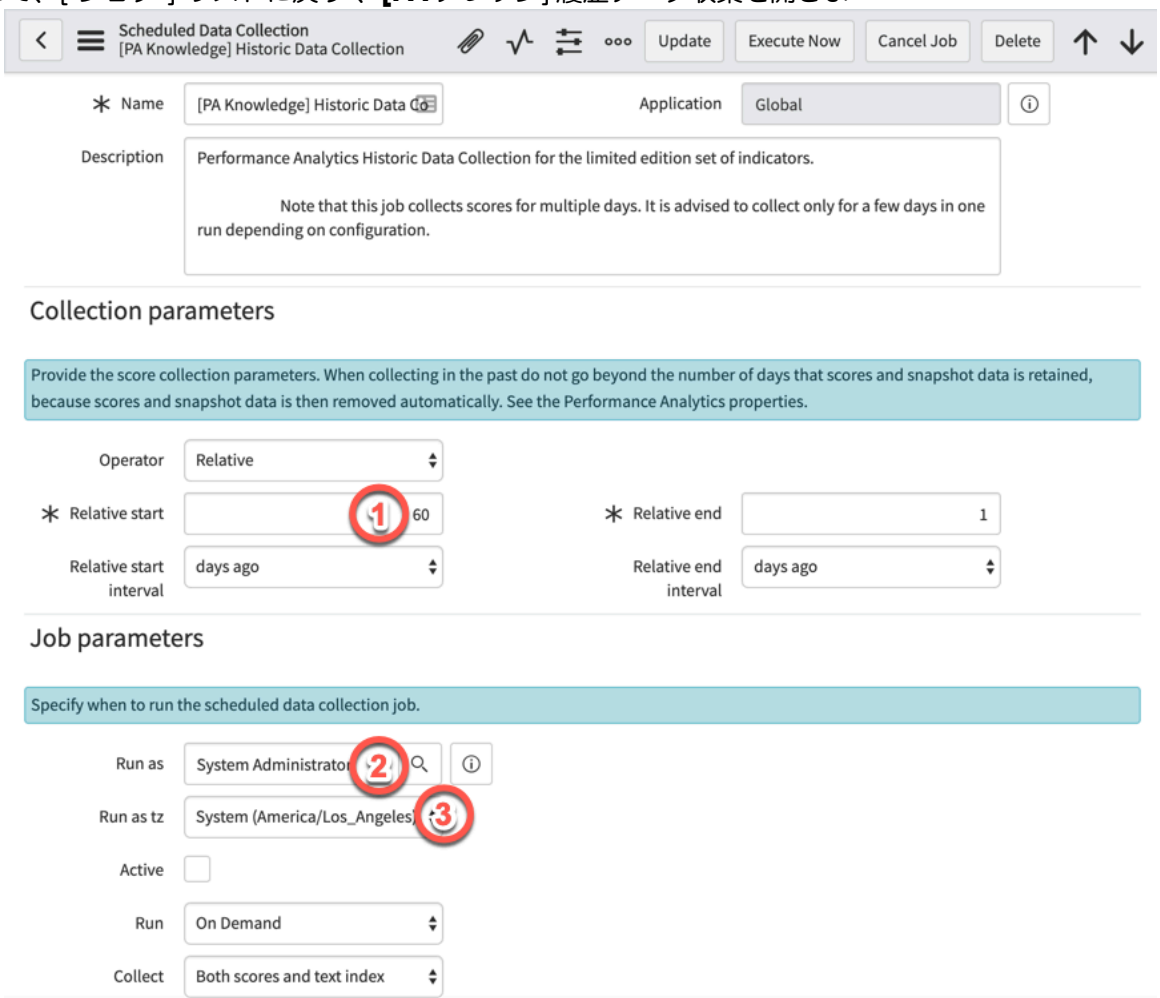
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ジョブ履歴 をクリックし、[[Job][contains][knowledge]] でリストをフィルタリングしま



す。

この場合、前回の zBoot 以降、ジョブが実行されていないことがわかります。
そこで、[ジョブ] リストに戻り 、**[PA** ナレッジ] 履歴データ収集を開きま

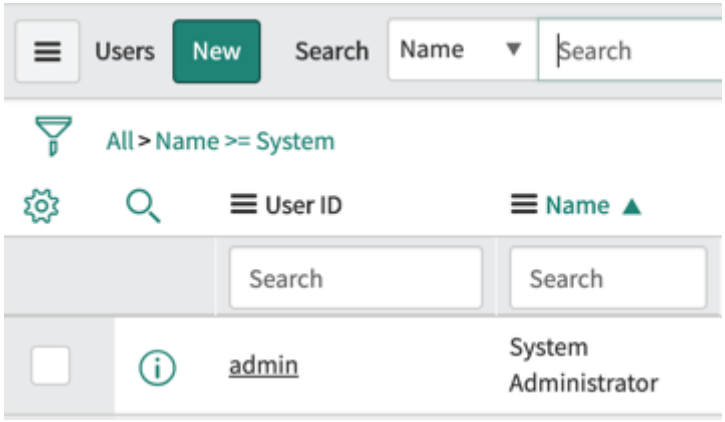


す。

フォームで、次の詳細を確認します。

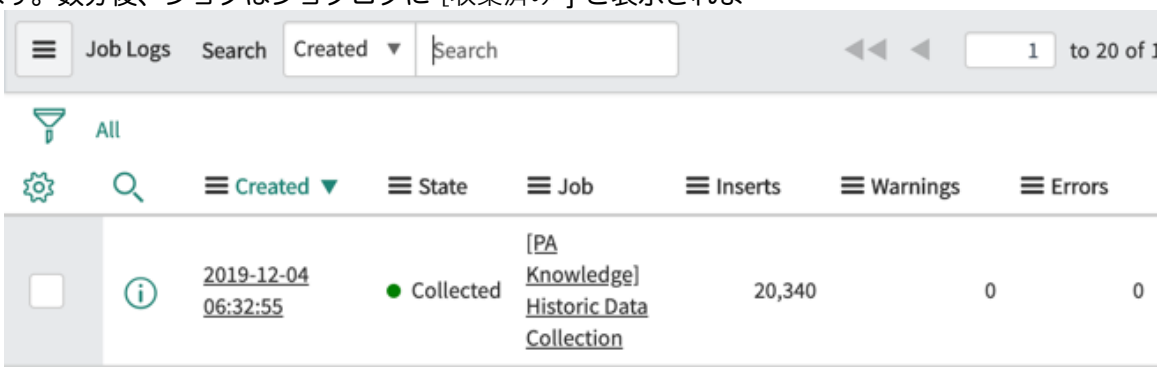
1. [**Relative start** (開始日相対)] フィールドはデフォルトの 60 日に設定されていますが、これは問題ありません。
2. 実行ユーザーがインスタンスに存在します。それ以外の場合は、別のユーザーを選択する必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. タイムゾーンは会社に適しています。

履歴ジョブの設定に問題があったので、「 今すぐ実行」をクリックします。数分後、ジョブはジョブログに [収集済み] と表示されます。



関連情報

履歴データの収集

ソリューションのデータ収集の **Now Intelligence** スケジュール

ソリューションの定期的なデータ収集ジョブを有効にします Now Intelligence 。実行時間が正しいことを確認してください。

始める前に

必要なロール：pa_admin、admin

このタスクについて

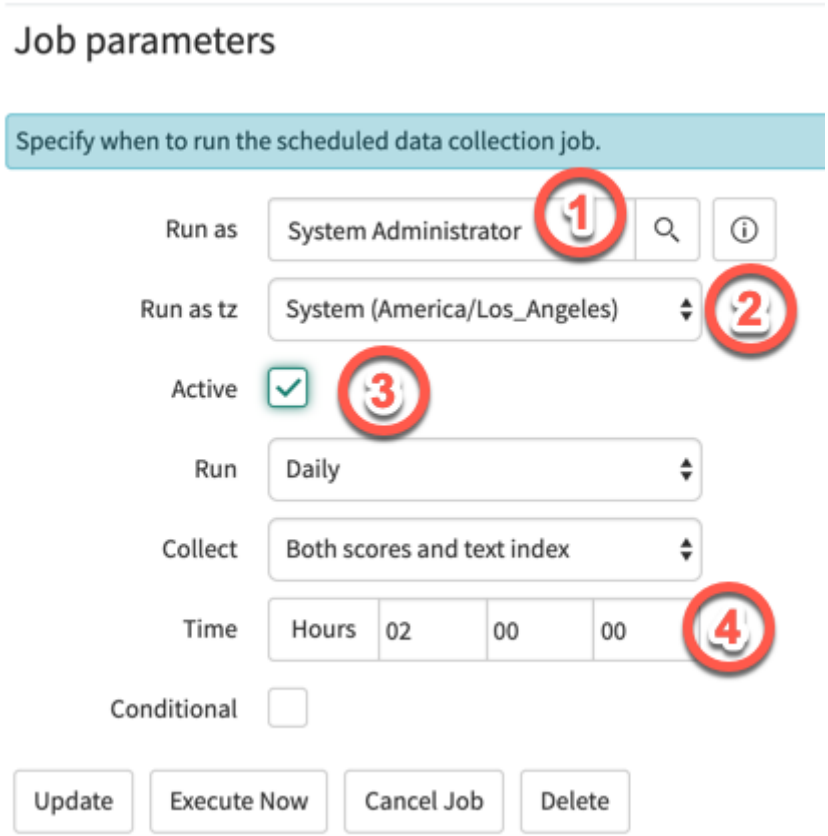
すべての Now Intelligence ソリューションには、定期的なデータ収集ジョブが含まれています。

手順

1. 移動先 すべて > **Performance Analytics** > データコレクター > ジョブ.
2. ジョブリストを [[[実行][次の値の 1 つではない][Once |On Demand]] かつ [[Active][is][false]]]。
   アクティブ化していない定期的なデータ収集ジョブのみが表示されるようになりました。
3. ソリューションの Now Intelligence 定期的なデータ収集ジョブを開きます。
   次の手順では、ジョブレコードの [ジョブパラメーター] セクションを参照します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. [実行方法] フィールドで指定されたユーザーが存在することを確認します。
   ドメイン分離を使用している場合は、 別のユーザーとして実行 ユーザーが表示できるドメインからのみレコードを収集します。ただし、[別のユーザーとして実行] ユーザーのアクセス制御リストの権限は、データ収集には影響しません。
5. 実行時のタイムゾーンが会社に適していることを確認します。
   このジョブに対して作成されたデータベースクエリーは、このタイムゾーンを使用します。このタイムゾーンは、このジョブのログに反映されます。このタイムゾーンは、[[作成済み][日付][今日]] のようなインジケーター条件の「今日」の曜日も決定します。
6. [アクティブ] を選択して、ジョブのスケジュールされた実行を有効にします。
   スケジュールオプションを使用できるようになりました。
7. ジョブの実行時間が会社のダウンタイム中であることを確認してください。
   - [時間] の値は、[実行時のタイムゾーン] タイムゾーンではなく、ユーザーセッションのタイムゾーンに基づいています。
   - 1 日の正確な測定値を取得するには、その日が完了している必要があります。日次ジョブの場合、前日について収集するには、タイムゾーンの [実行方法 **(Run as tz)**] タイムゾーンの [時間 **(Time)**] の値は午前 0 時から 06:00 の間である必要があります。たとえば、ニューヨークからログインしていて、システム/ロサンゼルスのタイムゾーンの 05:00 にジョブを実行する場合は、[**Time**] を 08:00:00 に設定します。
   - 月次ジョブの場合は、ジョブを実行する日も設定します。通常、月の最初の日、つまり [実行時のタイムゾーン] の真夜中過ぎに実行するように設定します。この設定では、月の長さに関係なく、前月のすべてのデータが取得されます。

タスクの結果

次の収集期間が過ぎると、ダッシュボードとウィジェットにはその期間のスコアが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
ジョブログをチェックして、次の期間の後にジョブが正常に実行されたかどうかを確認します。

関連情報

データ収集ジョブの作成またはスケジュール

インストール済み **Performance Analytics** インジケーター

このセクションには、および他のアプリケーションに含まれる プラットフォームアナリティクスソリューション インジケーターのリストが含まれています。

インジケータを含まないパフォーマンスアナリティクスものを含む の完全なプラットフォームアナリティクスソリューションリストについては、を参照してください利用可能な プラットフォームアナリティクスソリューション。

インジケータを含む パフォーマンスアナリティクス 他のアプリケーションの完全なリストについては、次を参照してください ServiceNow Store コンテンツを含む パフォーマンスアナリティクス アプリケーション。

Advanced Work Assignment インジケーター

Advanced Work Assignment プラットフォームアナリティクスソリューションに含まれるインジケーター。

詳細については、 Advanced Work Assignment (com.snc.pa.awa) を参照してください。

インジケーター	導入されたバージョン
超過ターゲットタスク作業アイテムの割合	ニューヨーク
超過ターゲットインタラクション作業アイテムの数	ニューヨーク
承認されたタスク作業アイテムの数	ニューヨーク
タイムアウトしたタスク作業アイテムの数	ニューヨーク
却下されたタスク作業アイテムの割合	ニューヨーク
超過ターゲットインタラクション作業アイテムの割合	ニューヨーク
承認されたタスク待ち時間の合計	ニューヨーク
却下されたタスク作業アイテムの数	ニューヨーク
却下されたインタラクション作業アイテムの数	ニューヨーク
承認されたインタラクション待ち時間の合計	ニューヨーク
タイムアウトしたインタラクション作業アイテムの割合	ニューヨーク
却下されたインタラクション作業アイテムの割合	ニューヨーク
タスク作業アイテムの数	ニューヨーク
破棄されたインタラクション作業アイテムの割合	ニューヨーク
超過ターゲットタスク作業アイテムの数	ニューヨーク

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
タイムアウトしたインタラクション作業アイテムの数	ニューヨーク
インタラクション作業アイテムの数	ニューヨーク
承認されたタスク作業アイテムの割合	ニューヨーク
タイムアウトしたタスク作業アイテムの割合	ニューヨーク
破棄されたインタラクション作業アイテムの数	ニューヨーク
承認されたタスク待ち時間の平均	ニューヨーク
承認されたインタラクション作業アイテムの割合	ニューヨーク
承認されたインタラクション待ち時間の平均	ニューヨーク
承認されたインタラクション作業アイテムの数	ニューヨーク
AWA メッセージング:破棄率	Paris
AWA メッセージング:キャンセルされた会話	Paris
AWA メッセージング:クローズされた会話の合計数	Paris

エージェントグループ管理インジケーター

のエージェントグループ管理アプリケーション ServiceNow® Storeには、次のインジケーターが含まれています。

インジケーター	追加されたバージョン
WFO:# クローズされた顧客満足度サーベイの数	Paris
WFO:# of customer satisfaction surveys	Paris
WFO:新規インシデントの平均顧客満足度	Paris
WFO 正規化された顧客満足度スコアの新しいインシデント	Paris
WFO 顧客満足度サーベイインスタンスの新規インシデント	Paris
WFO:CSAT 応答率	Paris
WFO:P5 インシデントの平均顧客満足度	Paris
WFO:P4 の平均顧客満足度	Paris
WFO:P3 インシデントの平均顧客満足度	Paris

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	追加されたバージョン
WFO:P2 インシデントの平均顧客満足度	Paris
WFO:P1 インシデントの平均顧客満足度	Paris
P5 インシデントの WFO 正規化された顧客満足度スコア	Paris
P4 インシデントの WFO 正規化された顧客満足度スコア	Paris
P3 インシデントの WFO 正規化された顧客満足度スコア	Paris
P2 インシデントの WFO 正規化された顧客満足度スコア	Paris
P1 インシデントの WFO 正規化された顧客満足度スコア	Paris
P5 インシデントの WFO 顧客満足度サーベイインスタンス	Paris
P4 インシデントの WFO 顧客満足度サーベイインスタンス	Paris
P3 インシデントの WFO 顧客満足度サーベイインスタンス	Paris
P2 インシデントの WFO 顧客満足度サーベイインスタンス	Paris
P1 インシデントの WFO 顧客満足度サーベイインスタンス	Paris
WFO：平均顧客満足度	Paris
WFO 顧客満足度サーベイインスタンス	Paris
WFO 正規化された顧客満足度スコア	Paris
WFO:再オープンされたクローズ済みインシデントの数	Paris

Agile 2.0 インジケーター

Agile 2.0 (sn_scrum_dashboard) ServiceNow Storeプラットフォームアナリティクスソリューションに含まれるインジケーター。

このダッシュボードの詳細については、「Performance Analytics Content Pack for Agile 2.0 のインストール」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
スクラム：現在のリリースのアクティブストーリーのストーリーポイントの合計	New York
スクラム：現在のスプリントのアクティブストーリーのストーリーポイントの合計	New York
スクラム：アクティブなリリースのすべてのストーリーのストーリーポイントの合計	New York
スクラム：エピック内のすべてのストーリーのストーリーポイントの合計	New York
スクラム：現在のスプリントのすべてのストーリーのストーリーポイントの合計	New York
スクラム：アクティブなリリースの完了したストーリーのストーリーポイントの合計	New York
スクラム：エピック内の完了したストーリーのストーリーポイントの合計	New York
スクラム：スプリントでの経過時間	New York
スクラム：ストーリーの平均ステータス期間	Orland
スクラム：ポイントによる完了率	Orland
スクラム：リリースのポイントによる完了率	Orland
スクラム：ストーリーのステータス期間	Orland
スクラム：現在のスプリントの完了したストーリーのストーリーポイントの合計	Orland
スクラム：リリースでの経過時間	Orland
スクラム：アクティブなリリースのすべてのストーリーの数	Paris
スクラム：現在のエピックのすべてのストーリーの数	Paris
スクラム：現在のスプリントのストーリー数	Paris

Application Portfolio Management インジケーター

パフォーマンスアナリティクス Application Portfolio Management プラットフォームアナリティクスソリューションに含まれるインジケーター。

詳細については、 Application Portfolio Management (com.snc.pa.apm) を参照してください。

インジケーター	導入されたバージョン
会計四半期ごとの合計アプリスコア	キングストン以前
合計アプリケーションインジケータースコア - 四半期	キングストン以前
四半期別のユーザーあたりの平均コスト	キングストン以前
合計アクティブユーザー数	キングストン以前

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

アプリケーションセキュリティインジケーター

Application Security コンテンツパックおよびベース機能、com.snc.pa.instance_sec_dashおよびcom.glide.instance_sec_centerに含まれる パフォーマンスアナリティクス インジケーター。

インジケーター	導入されたバージョン
AppSec - 設定プロパティの合計数	London
AppSec - 非準拠設定プロパティの数	London
AppSec - 準拠構成プロパティの数	London
外部ログイン	London
管理ログイン	London
失敗したログイン	London
AppSec：合計コンプライアンススコアの計算	London
セキュリティ昇格	London
代理操作	London
管理者ユーザーが追加されました	London
1 日あたりの AppSec-Spam メール	Madrid
AppSec - 1 日あたりのメールの数	Madrid
SNC ログイン	New York

ケースマネジメントインジケーター

com.snc.pa.customer_service_advanced Case Management コンテンツパックに含まれる パフォーマンスアナリティクス インジケーター。

インジケーター	導入されたバージョン
# 最初の問い合わせで解決されたケースの数	Kingston
最初の問い合わせで解決されたケースの割合	Kingston
SLA に違反しているオープンケースの数	Kingston
再オープンされた解決済みケースの割合	Kingston
アサインされていないオープンケース #of	Kingston
クローズ済みケースのエージェントの再アサイン数の合計	Kingston
プロモータの数 (NPS)	Kingston
再オープンされたオープンケースの数	Kingston
NPS	Kingston
CSAT	Kingston
オープンケースのエージェントの再アサイン数の合計	Kingston
再オープンされたオープンケースの割合	Kingston
再アサインされたオープンケースの数	Kingston

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
P1 オープンケースの割合	Kingston
最初の応答時間の合計時間	Kingston
オープンケースの数	Kingston
エスカレーションされたオープンケースの割合	Kingston
満足している顧客の数 (CSAT)	Kingston
CSAT サーベイの回答者数	Kingston
エージェントが再アサインされたオープンケースの割合	Kingston
NPS サーベイの回答者数	Kingston
エスカレーションされたオープンケースの数	Kingston
解決済みケースの合計再オープン数	Kingston
プロモータの割合 (NPS)	Kingston
反対者の割合 (NPS)	Kingston
PRB が指定されたオープンケースの数	Kingston
SLA に違反しているオープンケースの割合	Madrid
過去 5 日間更新されていないオープンケースの割合	Madrid
エージェントあたりのオープンケースの数	Madrid
再アサインされたクローズ済みケースの割合	Madrid
未解決ケースの前回の更新の経過時間合計	Madrid
ケースの平均 NPS	Madrid
オープンケースの前回の更新の平均経過時間	Madrid
エージェントあたりの週ごとのクローズ済みケースの数	Madrid
再アサインされたクローズ済みケースの数	Madrid
アクティブなエージェントの数	Madrid
解決済みのケースの数	Madrid
新規 P1 ケースの割合	Madrid
オープンケースの経過時間合計	Madrid
オープンケースの平均再アサイン回数	Madrid
クローズされたケースの所要時間合計	Madrid
オープン日にクローズされたケースの数	Madrid
エージェントあたりの月ごとのクローズ済みケースの数	Madrid
過去 30 日間更新されていないオープンケースの数	Madrid
オープンケースの平均経過時間	Madrid
過去 5 日間更新されていないオープンケースの数	Madrid
オープンケースの再アサイン回数の合計	Madrid
エージェントあたりの月ごとの新規ケースの数	Madrid

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
総合顧客満足度のケース平均	Madrid
エージェントあたりの週ごとの新規ケースの数	Madrid
新規ケースの数	Madrid
ケースの平均解決時間	Madrid
SLA 違反をしているクローズ済みケースの割合	Madrid
オープン日にクローズされたケースの割合	Madrid
クローズされたケースの数	Madrid
SLA に違反しているクローズ済みケースの数	Madrid
ケースの平均クローズ所要時間	Madrid
過去 30 日間更新されていないオープンケースの割合	Madrid
解決済みのケースの合計期間	Madrid
ブロックされた未解決ケースの数	Madrid
変更によって発生したオープンケースの数	Madrid
再オープン率	Madrid
オープンしている重大なケースの数	Madrid
解決済みの重大なケースの割合	Madrid
重大なケースから自動作成された子ケースの割合	Madrid
インシデントのあるオープンケースの数	Madrid
重大なケースの子であるケースの数	Madrid
重大なケースの候補の割合	Madrid
インシデントのあるクローズ済みケースの数	Madrid
解決済みの重大なケースの数	Madrid
重大なケースにより影響を受ける顧客の数	Madrid
重大なケースの子である解決済みケースの数	Madrid
インシデントのあるオープンケースの割合	Madrid
再オープンされた解決済みのケースの数	Madrid
重大なケースの子であるオープンケースの数	Madrid
応答ケース数	Madrid
ケースバックログの増加	Madrid
要求のあるオープンケースの数	Madrid
変更によって発生したクローズ済みケースの割合	Madrid
要求のあるクローズ済みケースの数	Madrid
反対者の数 (NPS)	Madrid
オープンしている重大なケースの割合	Madrid
変更によって発生したオープンケースの割合	Madrid

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
オープンのケース SLA	Madrid
問題のあるクローズ済みケースの割合	Madrid
変更によって発生したクローズ済みケースの数	Madrid
重大なケースの候補の数	Madrid
重大なケースから自動作成された子ケースの数	Madrid
変更のあるオープンケースの割合	Madrid
問題のあるオープンケースの割合	Madrid
変更のあるクローズ済みケースの数	Madrid
変更のあるクローズ済みケースの割合	Madrid
問題のあるオープンケースの数	Madrid
ブロック解除されたオープンケースの数	Madrid
要求のあるクローズ済みケースの割合	Madrid
要求のあるオープンケースの割合	Madrid
ケース平均応答時間	Madrid
問題のあるクローズ済みケースの数	Madrid
変更のあるオープンケースの数	Madrid
オープンケースごとのエージェント再アサイン数の平均#	Madrid
インシデントのあるクローズ済みケースの割合	Madrid
クローズ済みケースごとのエージェント再アサイン数の平均#	Madrid
PCSO:重大なケースに昇格された内部報告ケースの割合	ニューヨーク
PCSO:ケースが空でないアラートの数	ニューヨーク
PCSO:影響を受ける展開の数	ニューヨーク
PCSO:プロアクティブなケースの数	ニューヨーク
PCSO:プロアクティブケースを生成した重大なアラートおよび確認済みアラートの割合	ニューヨーク
PCSO:重大および確認済みアラートの数	ニューヨーク
PCSO:影響を受けた顧客の数	ニューヨーク
PCSO:重大なに昇格されたプロアクティブな報告ケースの数	ニューヨーク

Change Management インジケーター

Change Management プラットフォームアナリティクスソリューションに含まれるインジケーター。

詳細については、 Change Management (com.snc.pa.change) を参照してください。

インジケーター	導入されたバージョン
終了予定日時前のクローズした変更の数	キングストン以前

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
再度割り当てられたオープンな変更の数	キングストン以前
クローズした変更の平均作業時間 (緊急の変更の割合)	キングストン以前
クローズされた変更の平均再アサイン回数	キングストン以前
新規の高リスク変更の割合	キングストン以前
却下された変更の割合	キングストン以前
変更バックログの増加	キングストン以前
未解決の変更の数	キングストン以前
1 回以上再アサインされたオープン中の変更の割合	キングストン以前
オープン中の変更の平均経過時間失敗した変更の割合	キングストン以前
未解決の変更の平均再割り当て数	キングストン以前
却下されたクローズした変更の数	キングストン以前
新規変更の数	キングストン以前
変更の平均クローズ時刻	キングストン以前
未解決の変更の更新後の合計経過時間	キングストン以前
クローズした変更の数	キングストン以前
オープン中の変更の更新後の平均経過時間	キングストン以前
終了予定日時前のオープン中の変更の割合	キングストン以前
新規の緊急変更数	キングストン以前
クローズした変更の合計期間	キングストン以前
クローズされた変更の作業時間合計	キングストン以前
新規の緊急変更の割合	キングストン以前
終了予定日時前にクローズした変更の割合	キングストン以前
終了予定日時前のオープン中の変更の数	キングストン以前
未解決の変更の合計経過時間	キングストン以前
失敗した変更の数	キングストン以前
終了予定日時後のオープン中の変更の数	キングストン以前
未解決の変更の合計再割り当て数	キングストン以前

変更の成功スコアインジケーター

Change Management - 変更の成功スコアアプリケーションに含まれるインジケーター、com.snc.change_management.change_success_score。

詳細については、 Change Management (com.snc.pa.change) を参照してください。

インジケーター	導入されたバージョン
失敗した変更の割合	Paris

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
成功したが問題のある変更の割合	Paris
成功した変更の割合	Paris
変更の成功スコア平均	Paris
変更の成功スコア	Paris
失敗した変更	Paris
変更による P3 インシデント	Paris
変更による P2 インシデント	Paris
変更による P1 インシデント	Paris
成功したが問題のある変更	Paris
成功した変更	Paris
合計変更回数	Paris
合計変更回数	Paris
変更の成功スコア.変更による P3 インシデント.乗数	Paris
変更の成功スコア.変更による P2 インシデント.乗数	Paris
変更の成功スコア.変更による P1 インシデント.乗数	Paris
変更の成功スコア。成功したが問題のある変更.乗数	Paris
変更の成功スコア。失敗した変更.乗数	Paris
変更の成功スコア。成功した変更.乗数	Paris
変更の成功スコア.昨日のスコアの調整	Paris
P3 incidents caused by change.Yesterday	Paris

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
P2 incidents caused by change.Yesterday	Paris
P1 incidents caused by change.Yesterday	Paris
変更失敗。昨日	Paris
問題を残したまま変更に成功。昨日	Paris
変更に成功。昨日	Paris

Cloud Insights インジケーター

上の ServiceNow Store すべての Cloud Insights アプリケーションは、次のインジケーターを共有します。

インジケーター	追加された日付
Cloud Insight の節減見込みに関する推奨事項	2020-03-16
Cloud Insights の実現された節減額	2020-02-18
Cloud Insights の見込み節減率	2020-02-18
Cloud Insights の消費量	2020-02-18
Cloud Insights の見込み節減額	2020-02-18

クラウド管理インジケーター

クラウド管理コンテンツパック (com.snc.pa.cmp) に含まれる パフォーマンスアナリティクス インジケーター。

重要:

Tokyoこのリリースでは、コンテンツパック - Cloud Management プラグイン (com.snc.pa.cmp) のサポートパフォーマンスアナリティクスは廃止されました。このプラグインは、リリースで Paris 廃止された Cloud Management v1 プラグインの一部です。

インジケーター	導入されたバージョン
Cloud Management 請求処理の日次コストの合計	キングストン以前
総コストの %	キングストン以前
日次使用 GB 時間の合計	キングストン以前
日次使用時間の合計	キングストン以前
1 日あたりの使用量合計 (GB)	キングストン以前

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クラウド支出インジケーター

上の ServiceNow Store クラウド支出コアアプリケーションは、次のインジケーターを使用します。

インジケーター	追加された日付
現在の SaaS 支出	2020-03-27
SaaS の見込み節減率	2020-03-24
SaaS 推奨事項の概要	2020-04-28
SaaS サブスクリプション再利用候補	2020-03-27
低実績 SaaS 支出	2020-03-27

CMDB および CSDM データ基盤ダッシュボードインジケーター

上の ServiceNow Store CMDB および CSDM Data Foundations Dashboards アプリケーションは、次のインジケーターを使用します。

CSDM Data Foundations Dashboard で使用されるインジケーター

これらのインジケーターは、CSDM Data Foundations Dashboard で使用されます。

基盤のインジケーター

インジケーター	追加された日付とバージョン	ビジュアライゼーションの例
製品所有者がいない指定製品モデル	2020-12-17 バージョン 1.2.0	製品所有者がいない指定製品モデル
親がない所在地	2020-12-17 バージョン 1.2.0	親がない所在地
会社なしの事業部門	2020-12-17 バージョン 1.2.0	会社なしの事業部門

クロールのインジケーター

インジケーター	追加された日付とバージョン	ビジュアライゼーションの例
ビジネスアプリケーションの関係が正しくないアプリケーションサービス	2020-12-17 バージョン 1.2.0	次に消費されない、アプリサービスとビジネスアプリの関係：
ビジネスアプリとの関係がないアプリケーションサービス	2020-12-17 バージョン 1.2.0	ビジネスアプリとの関係がないアプリケーションサービス
アプリケーションサービスとの関係がないビジネスアプリケーション	2020-12-17 バージョン 1.2.0	アプリサービスとの関係がないビジネスアプリ

ウォークのインジケーター

インジケーター	追加された日付とバージョン	ビジュアライゼーションの例
テクニカルサービスへの参照がないテクニカルサービスオファリング	2020-12-17 バージョン 1.2.0	テクニカルサービスへの参照がないテクニカルサービスオファリング

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ウォークのインジケーター (続く)

インジケーター	追加された日付とバージョン	ビジュアライゼーションの例
テクニカルサービスオファリング	2020-12-17 バージョン 1.2.0	テクニカルサービスオファリング
サポートまたは変更グループがないテクニカルサービスオファリング	2021-03-26 バージョン 1.3.0	サポートまたは変更グループがないテクニカルサービスオファリング
CMDB グループがないダイナミック CI グループ	2021-03-26 バージョン 1.3.0	CMDB グループがないダイナミック CI グループ

実行中のインジケーター

インジケーター	追加された日付とバージョン	ビジュアライゼーションの例
カスタム CMDB テーブルを使用するサービス	2020-12-17 バージョン 1.2.0	カスタム CMDB テーブルを使用するサービス
カスタムサービステーブル	2020-12-17 バージョン 1.2.0	カスタムサービステーブル
ビジネスサービスオファリングがないアプリケーションサービス	2020-12-17 バージョン 1.2.0	ビジネスサービスオファリングとの関係がないアプリサービス
アプリサービスとの関係がないビジネスサービスオファリング	2020-12-17 バージョン 1.2.0	アプリサービスとの関係がないビジネスサービスオファリング

フライのインジケーター

インジケーター	追加された日付とバージョン	ビジュアライゼーションの例
ビジネスアプリとの関係がない情報オブジェクト	2020-12-17 バージョン 1.2.0	ビジネスアプリとの関係がない情報オブジェクト
情報オブジェクト	2020-12-17 バージョン 1.2.0	情報オブジェクト

CMDB データ基盤ダッシュボードで使用されるインジケーター

これらのインジケーターは、CMDB データ基盤ダッシュボードで使用されます。

ベストプラクティスのインジケーター

インジケーター	追加された日付とバージョン	ビジュアライゼーションの例
シリアル番号がないハードウェア CI	2020-12-17 バージョン 1.2.0	シリアル番号がないハードウェア CI
所有者のいないサービス	2022-07-28 バージョン 2.0.0	所有者がいないサービス

カスタマイズのインジケーター

インジケーター	追加された日付とバージョン	ビジュアライゼーションの例
カスタムビジネスアプリケーションテーブル	2022-07-28 バージョン 2.0.0	カスタムビジネスアプリケーションテーブル

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

カスタマイズのインジケーター (続く)

インジケーター	追加された日付とバージョン	ビジュアライゼーションの例
標準の命名規則を使用しないカスタム CMDB テーブル	2022-07-28 バージョン 2.0.0	標準の命名規則を使用しないカスタム CMDB テーブル
カスタム CMDB リレーションシップタイプ	2022-07-28 バージョン 2.0.0	カスタム CMDB リレーションシップタイプ
削除および再作成されたベースシステム CMDB 関係タイプ	2022-07-28 バージョン 2.0.0	削除および/または再作成されたベースシステム CMDB 関係タイプ

データ管理慣行における指標

インジケーター	追加された日付とバージョン	ビジュアライゼーションの例
IRE で処理されない CI	2022-07-28 バージョン 2.0.0	IRE で処理されない CI
未処理の重複 CI	2020-12-17 バージョン 1.2.0	未処理の重複 CI
名前のない CI	2020-12-17 バージョン 1.2.0	名前のない CI
90 日間更新されていないアクティブな CI	2020-12-17 バージョン 1.2.0	90 日間更新されていないアクティブな CI
モデルエントリがない管理対象 CI	2022-07-28 バージョン 2.0.0	モデルエントリがない管理対象 CI
ホスト名を反映していないインストール済みサーバー CI の命名	2022-07-28 バージョン 2.0.0	ホスト名を反映していないインストール済みサーバー CI の命名
重複する場所	2022-07-28 バージョン 2.0.0	重複する場所
孤立 CI	2020-12-17 バージョン 1.2.0	孤立 CI
サーバーの場所がありません	2022-07-28 バージョン 2.0.0	サーバーの場所がありません

ITSM プロセスのインジケーター

インジケーター	追加された日付とバージョン	ビジュアライゼーションの例
CI を参照していないインシデント	2022-07-28 バージョン 2.0.0	CI を参照していないインシデント
CI を参照していない変更	2022-07-28 バージョン 2.0.0	CI を参照していない変更
サービスにも CI にも関連しないインシデント	2022-07-28 バージョン 2.0.0	サービスにも CI にも関連しないインシデント
サービスにも CI にも関連しない変更	2022-07-28 バージョン 2.0.0	サービスにも CI にも関連しない変更

CMDB Workspace インジケーター

上の ServiceNow Store CMDB Workspace は、次のインジケーターを使用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	追加されたバージョン
CI 概要	San Diego
更新されたサービスマップ	San Diego
新規サービスマップ	San Diego
新しいアプリケーション	San Diego
新規デバイス	San Diego
アプリケーションサービスの機能停止	San Diego
更新されたアプリケーションサービス	San Diego
新しいアプリケーションサービス	San Diego
トータルアプリケーションサービス	San Diego
重複 CI	San Diego
更新された CI	San Diego
作成された CI	San Diego

コーチングインジケーター

com.sn_coaching Coaching アプリケーションに含まれるインジケーター。

インジケーター	追加された日付
コーチングアセスメントがクローズされました	2020-04-13
フィードバックが「不満」でクローズしたコーチングアセスメント	2020-02-11
フィードバックが「やや不満」でクローズしたコーチングアセスメント	2020-02-11
フィードバックが「普通」でクローズしたコーチングアセスメント	2020-02-11
フィードバックが「良い」でクローズしたコーチングアセスメント	2020-02-11
フィードバックが「とても良い」でクローズしたコーチングアセスメント	2020-02-11
コーチング：計算済みのアセスメントフィードバックスコア	2020-02-12
品質評価 -フィードバック評価	2020-02-12
コーチング：インシデント関連アセスメントの数	2020-04-20
コーチング：完了したインシデント関連アセスメントの数	2020-04-20
コーチング：インシデントありでクローズされたアセスメントの割合	2020-04-13
Coaching の研修生の品質評価	2021-08-23
コーチングの研修生のサーベイインスタンス	2021-08-23
正規化された研修生スコアのコーチング	2021-08-23

Communities インジケーター

コミュニティ プラットフォームアナリティクスソリューションに含まれるインジケーター。

詳細については、 Communities (com.snc.pa.communities) を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
コミュニティ - アクティビティのあるコンテンツの割合	Kingston
コミュニティ - 解決済みとしてマークされた質問の割合	Kingston
コミュニティ - 未回答の質問の割合	Kingston
コミュニティ - コンテンツアイテムごとの回答/コメントの平均数	Kingston
コミュニティ - コンテンツアイテムごとのソーシャルアクティビティの平均数	Kingston
コミュニティ - コンテンツアイテムごとの平均表示回数	Kingston
コミュニティ - アクティブな貢献者の数	Kingston
コミュニティ - コンテンツの表示回数	Kingston
コミュニティ - 新しい寄稿コンテンツの数	Kingston
コミュニティ - 新規メンバーの数	Kingston
コミュニティ - 回答された質問の数	Kingston
コミュニティ - 解決された質問の数	Kingston
コミュニティ - 検索の数	Kingston
コミュニティ - コミュニティに含まれるセッションの数	Kingston
コミュニティ - メンバーの合計数	Kingston
コミュニティ - 未回答の質問の数	Kingston
コミュニティ - ブログ、ビデオ、およびドキュメントの合計数	Kingston
コミュニティ - コンテンツ全体でのコメントと回答の合計数	Kingston
コミュニティ - コンテンツの合計数	Kingston
コミュニティ - コメントまたは回答以外のコンテンツの合計数	Kingston
コミュニティ - アクティビティのあるコンテンツの合計数	Kingston
コミュニティ - 貢献者の合計数	Kingston
コミュニティ - ディスカッションの合計数	Kingston
コミュニティ - 役に立ったマークの合計数	Kingston
コミュニティ - 付与されたポイントの合計数	Kingston
コミュニティ - 質問の合計数	Kingston
コミュニティ - 賛成票の合計数	Kingston
コミュニティ - 合計ソーシャルアクティビティ	Kingston
コミュニティ - 注目のコンテンツ	ニューヨーク
コミュニティ - アクティビティから移動されたコンテンツの数	ニューヨーク
コミュニティ - アクティビティに移動されたコンテンツの数	ニューヨーク

構成管理 (CMDB) インジケーター

構成管理 プラットフォームアナリティクスソリューションに含まれるインジケーター。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

詳細については、「構成管理 (CMDB) (com.snc.pa.cmdb)」を参照してください。

インジケーター	導入されたバージョン
合計 CI 購入コスト	キングストン以前
CI のオープン中のインシデントの数	キングストン以前
CI 不具合発生回数の平均	キングストン以前
CMDB ヘルス評価結果 - ブレークダウン	キングストン以前
CMDB 精度比率	キングストン以前
CI のコスト合計	キングストン以前
CMDB 健全性スコアカード	キングストン以前
CI 不具合発生回数の合計	キングストン以前
新規 CI の数	キングストン以前
CMDB ヘルス評価結果	キングストン以前
検出された CI の数	キングストン以前
構成アイテムの数	キングストン以前
監視対象構成アイテムの割合	キングストン以前
CI のオープン中の変更の数	キングストン以前
インストールされた CI の数	キングストン以前
購入済み CI 数	キングストン以前
CI 所有率	キングストン以前
監視対象構成アイテム数	キングストン以前

自動翻訳

コンテンツ分析インジケーター

for Content Analytics に含まれる プラットフォームアナリティクスソリューション インジケーター。

詳細については、「Content Analytics [com.sn_content_analytics]」を参照してください。

インジケーター	導入されたバージョン
過去 365 日間のすべての訪問	Madrid
セッションあたりの平均ページビュー	Madrid
1 日あたりの訪問	Madrid
1 日あたりのページビュー	Madrid
本日のトップページ	Madrid
今週のトップページ	Madrid

コンテンツ公開 インジケーター

コンテンツ公開 向けのプラットフォームアナリティクスソリューションに含まれるインジケーター。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

詳しくは、 Content Analytics による従業員エンゲージメントの測定 を参照してください。

インジケーター	導入されたバージョン
実行日数	Madrid
合計エンゲージメント	Madrid
経時的イベントアクティビティ	Madrid
経時的コンテンツ別イベント	Madrid
経時的アクション別イベント	Madrid
キャンペーン：影響度ターゲット	Orland
キャンペーン：影響度の評価	Orland
キャンペーン：影響度ベースライン	Orland

継続的サービス改善インジケーター

継続的サービス改善コンテンツパックに含まれるインジケーター パフォーマンスアナリティクス 、sn_cim。

インジケーター	導入されたバージョン
CIM: オープンイニシアチブ	London

Customer Service Management - 詳細インジケーター

Customer Service Management のインジケーター プラットフォームアナリティクスソリューション が含まれています。

詳細については、「Customer Service Management - 詳細 (com.snc.pa.customer_service_advanced)」 を参照してください。

インジケーター	導入されたバージョン
CSAT	Madrid
最初の問い合わせで解決されたケースの割合	Madrid
超過チャットターゲット	Madrid
超過ケースターゲット	Madrid
平均解決時間	Madrid
ケースバックログの増加	Madrid
重大なケースにより影響を受ける顧客の数	Madrid
重大なケースから自動作成された子ケースの割合	Madrid
ブロックされた未解決ケースの数	Madrid
ブロック解除されたオープンケースの数	Madrid
5 日間更新されていないオープンケースの割合	Madrid
オープンしている重大なケースの割合	Madrid

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
SLA に違反しているオープンケースの割合	Madrid
P1 オープンケースの割合	Madrid
エスカレーションされたオープンケースの割合	Madrid
問題のあるオープンケースの割合	Madrid
エージェントが再アサインされたオープンケースの割合	Madrid
重大なケースの候補の割合	Madrid
再オープンされたオープンケースの割合	Madrid
要求のあるオープン率 (%)	Madrid
問題のあるクローズ済みケースの割合	Madrid
変更によって発生したクローズ済みケースの割合	Madrid
オープン日にクローズされたケースの数	Madrid
再オープンされた解決済みケースの割合	Madrid
解決済みの重大なケースの割合	Madrid
再アサインされたクローズ済みケースの割合	Madrid
SLA に違反しているクローズ済みケースの割合	Madrid
変更のあるクローズ済みケースの割合	Madrid
インシデントのあるクローズ済みケースの割合	Madrid
要求でクローズした割合	Madrid
エージェントの効率性の傾向	Madrid
エージェントおよびアカウント別のクローズ済みケース	Madrid
超過ターゲットタスク作業アイテムの割合	Madrid
承認されたタスク作業アイテムの割合	Madrid
承認されたインタラクション作業アイテムの割合	Madrid
破棄されたインタラクション作業アイテムの割合	Madrid
オープンケースの数	Madrid
PCSO:アクティブなケースの機能停止	Orland
PCSO:平均機能停止期間	Orland
PCSO:影響を受けるインストールベースアイテムの数	Orland
PCSO:クローズ済みの機能停止の数	Orland
PCSO:影響を受ける顧客の数	Orland
PCSO:影響を受けた顧客の数	Orland
PCSO:機能停止の数	Orland
PCSO:機能停止の合計期間	Orland
ケースの最も遅い解決時間	Rome
ケースの最速解決時間	Rome

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
ケースの最も遅い応答時間	Rome
ケースの最速応答時間	Rome

DevOps Insights インジケーター

上の ServiceNow Store DevOps Insights アプリケーションは、次のインジケーターを使用します。

インジケーター	追加された日付
DevOps 変更によって発生した解決済みインシデントの平均所要時間	2020-05-10
DevOps 変更によって発生した解決済みインシデントの平均所要時間	2020-04-05
過去 30 日間の DevOps 変更によって発生した解決済みインシデントの平均所要時間	2020-04-10
DevOps 変更によって発生した解決済みインシデントの平均解決時間	2020-04-05
過去 30 日間の平均サービス可用性	2020-04-10
変更失敗率	2020-04-07
過去 30 日間にクローズされた DevOps の変更	2020-05-10
クローズされた DevOps の変更 (日次)	2020-05-10
インシデントの数 (日次)	2020-04-27
機能停止の数 (日次)	2020-04-27
インシデントに関連付けられた DevOps 変更要求の数	2020-04-07
DevOps 変更によって発生した解決済みインシデントの数	2020-04-05
変更を伴う本番展開の成功数	2020-04-07
サービス可用性 - 昨日	2020-03-20
過去 30 日間のサービス可用性	2020-05-06
DevOps の変更の合計数	2020-05-07

Digital Portfolio Management インジケーター

上の ServiceNow Store Digital Portfolio Management アプリケーションは、次のインジケーターを使用します。

インジケーター	サポートされているバージョン
アラートの数	San Diego
アラートによって引き起こされたインシデント	San Diego
時間の経過に伴うサービスの重大度	San Diego

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	サポートされているバージョン
サービス影響率	San Diego
アラート期間の合計	San Diego
最重要のインシデント:解決までの平均時間	San Diego
解決済みの重要インシデントの数	San Diego
解決済みの重要インシデントの合計期間	San Diego
アラートによって引き起こされた重大なインシデント	San Diego
重大度が「最重要」のアラート	San Diego
クローズした高リスクの変更	San Diego
クローズした緊急変更	San Diego
P1 インシデント数	San Diego
P2 インシデント数	San Diego
最重要のインシデント	San Diego
クローズ済み要求アイテムの数	San Diego
新規 P5 問題の数	San Diego
新規 P4 問題の数	San Diego
新規 P3 問題の数	San Diego
新規 P2 問題の数	San Diego
新規 P1 問題の数	San Diego
新規 P1 インシデントの数	San Diego
新しい重大なインシデントの数	San Diego
インシデントの平均顧客満足度	San Diego
インシデントの正規化された顧客満足度スコア	San Diego
インシデントの顧客満足度サーベイインスタンス	San Diego
1 評価 CSAT	San Diego
CSAT 評価 2	San Diego
CSAT 評価 3	San Diego
CSAT 評価 4	San Diego
5 評価 CSAT	San Diego
解決済みのインシデントの数	San Diego
解決済みのインシデントの合計期間	San Diego
解決に要する平均時間	San Diego
アイテム別のカタログアクティビティ	San Diego
アイテム別の平均クローズ所要時間	San Diego
RITM スキップしてクローズ	San Diego

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	サポートされているバージョン
RITM のスキップしてクローズの割合	San Diego
RITM 完了してクローズの割合	San Diego
RITM 完了してクローズ	San Diego
RITM 未完了でクローズ	San Diego
RITM 未完了でクローズの割合	San Diego
クローズに要する平均時間	San Diego
新規の緊急変更	San Diego
予定されている機能停止	San Diego
デグレードによる機能停止	San Diego
平均機能停止期間	San Diego
機能停止	San Diego
予定されている機能停止時間 (分)	San Diego
デグレードによる機能停止時間 (分)	San Diego
予定外の機能停止時間 (分)	San Diego
未解決の要求の数	San Diego
新規要求の数	San Diego
未解決の変更の数	San Diego
新規変更の数	San Diego
未解決の問題の数	San Diego
新規の問題の数	San Diego
変更バックログの増加	San Diego
クローズした変更の数	San Diego
今後の変更の数	San Diego
合計機能停止時間 (分)	San Diego

ディスカバリーインジケーター

ディスカバリー プラットフォームアナリティクスソリューションに含まれるインジケーター。

詳細については、 Discovery (com.snc.pa.discovery) を参照してください。

インジケーター	導入されたバージョン
本日実行したジョブの合計期間	キングストン以前
本日完了した新規ディスカバリー数	キングストン以前
ディスカバリーログ	キングストン以前
新規検出デバイス問題の割合	キングストン以前
問題のある新規検出デバイス	キングストン以前
新規検出デバイス	キングストン以前

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
デバイスの平均的な問題	キングストン以前
新規検出デバイスの問題の合計	キングストン以前

必須の**SaFE**インジケーター

の ServiceNow StoreEssential SAFe プラットフォームアナリティクスソリューション に含まれるインジケーター。

詳細については、「 Essential SaFE」を参照してください。

インジケーター	追加されたバージョン
SAFe：ストーリーの平均ステータス期間	
SAFe：ポイントによる完了率	
SAFe：PI のポイントによる完了率	
SAFe：ストーリーのステータス期間	
SAFe：現在の PI のアクティブストーリーのストーリーポイントの合計	
SAFe：現在のスプリントのアクティブストーリーのストーリーポイントの合計	
SAFe：現在の PI のすべてのストーリーのストーリーポイントの合計	
SAFe：現在のスプリントのすべてのストーリーのストーリーポイントの合計	
SAFe：現在の PI の完了したストーリーのストーリーポイントの合計	
SAFe：現在のスプリントの完了したストーリーのストーリーポイントの合計	
SAFe：PI での経過時間	
SAFe：現在のエピックのすべてのストーリーの数	Paris
SAFe：現在の PI のすべてのストーリーの数	Paris
SAFe：現在のスプリントのストーリー数	Paris
SAFe：エピック内のすべてのストーリーのストーリーポイントの合計	Paris
SAFe：機能内のすべてのストーリーのストーリーポイントの合計	Paris
SAFe：エピック内の完了したストーリーのストーリーポイントの合計	Paris
SAFe：機能内の完了したストーリーのストーリーポイントの合計	Paris

Event Management インジケーター

イベント管理 プラットフォームアナリティクスソリューションに含まれるインジケーター。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

詳細については、 Event Management (com.snc.pa.em) を参照してください。

インジケーター	導入されたバージョン
オープンアラートの合計経過時間	キングストン以前
オープンで未確認のアラートの割合	キングストン以前
再オープンしたアラートの数	キングストン以前
全アラート中のプライマリアラートの数	キングストン以前
全アラート中のプライマリアラートの割合	キングストン以前
今日作成されたすべてのアラート (仮想を除く) の数	キングストン以前
オープン日にクローズされたアラートの割合	キングストン以前
オペレータによってクローズされたアラートの割合	キングストン以前
重要な新規アラートの割合	キングストン以前
過去 5 日間更新されていないオープンアラートの数	キングストン以前
オープンアラートの最終更新の平均経過時間	キングストン以前
過去 2 日間更新されていない未解決アラートの数	キングストン以前
オープンな未確認アラートの数	キングストン以前
クローズされたアラートの合計期間	キングストン以前
1 回以上再オープンされたアラートの割合	キングストン以前
今日影響を受けるビジネスサービスの割合	キングストン以前
割り当てられたタスクのないアラートの割合	キングストン以前
フラッピングしているアラートの割合	キングストン以前
クローズ済みアラートの平均解決時間	キングストン以前
過去 5 日間更新されていないオープンアラートの割合	キングストン以前
フラッピングしているアラートの数	キングストン以前
クローズ済みアラートの数	キングストン以前
平均経過時間のオープンアラート	キングストン以前
グループ化されていないアラートの数	キングストン以前
過去 2 日間更新されていないオープンアラートの割合	キングストン以前
オープン日にクローズされたアラートの数	キングストン以前
オープンアラートの最終更新の合計経過時間	キングストン以前
イベントのアラートへの圧縮率 (今日)	キングストン以前
グループ化されていないアラートの割合	キングストン以前
未解決アラートの数	キングストン以前
本日作成されたすべてのイベントの数	キングストン以前
ビジネスサービスの合計数の割合	キングストン以前
今日のビジネスサービスアップタイムの割合	キングストン以前

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
影響を受ける新規ビジネスサービス	キングストン以前
影響を受けるサービスの合計数の割合	キングストン以前
今日の影響時間の割合	キングストン以前
影響を受けるビジネスサービス	キングストン以前
新規ビジネスサービス	キングストン以前
平均ビジネスサービス影響時間	キングストン以前
ビジネスサービス影響時間の合計	キングストン以前
新規アラートの数	キングストン以前
ビジネスサービスの数	キングストン以前
新規非セカンダリ アラートの数	Madrid
アラート グループのカバー範囲の割合 (%)	Madrid
アラート グループの数	Madrid
新規仮想アラートの数	Madrid
アラート グループの圧縮の割合 (%)	Madrid
割り当てられたタスクのないアラートの数	ニューヨーク
新規のグループ化されたアラートの数	ニューヨーク
システムアドミン以外によってクローズされたアラートの数	ニューヨーク

Field Service Management インジケーター

に含まれるインジケーター フィールドサービス管理 (FSM) プラットフォームアナリティクスソリューション。

詳細については、 Field Service Management (com.snc.work_management_pa) を参照してください。

インジケーター	導入されたバージョン
新規作業指示の数	キングストン以前
作業指示タスクの所要時間合計	キングストン以前
作業指示タスクの作業時間合計	キングストン以前
クローズされた作業指示タスクの予定所要時間に対する実際の所要時間の割合	キングストン以前
作業指示タスクのエージェントの稼働率	キングストン以前
クローズされた作業指示の数	キングストン以前
作業指示の平均クローズ所要時間	キングストン以前
作業指示タスクの予定所要時間の合計	キングストン以前
作業指示タスクの計画所要時間の合計 (時間)	キングストン以前
クローズされた作業指示の所要時間合計	キングストン以前

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
作業指示タスクの合計実績所要時間 (時間)	キングストン以前
作業指示タスクのエージェント生産時間の割合	キングストン以前
オープン作業指示の数	キングストン以前
クローズされた作業指示タスクのユニークエージェント数	キングストン以前

Financial Management インジケーター

に含まれるインジケーター ファイナンシャルマネジメント プラットフォームアナリティクスソリューション。

詳細については、次を参照してください。 ファイナンシャルマネジメント プラットフォームアナリティクスソリューション。

インジケーター	導入されたバージョン
Sum Charges Service.Charge.Expense.Line.Details	キングストン以前
Sum Cost Service.Charge.Expense.Line.Details	キングストン以前
前回の期間の料金差異合計	キングストン以前
会計四半期ごとの投資合計	キングストン以前
会計四半期ごとの合計経費	キングストン以前
製品のケース当たりのコスト	キングストン以前
会計四半期にクローズされたケースの数	キングストン以前
アカウントのケース当たりのコスト	キングストン以前
ケース当たりのコスト	キングストン以前
会社の作業指示タスク当たりのコスト	キングストン以前
製品の作業指示タスク当たりのコスト	キングストン以前
Fsm。作業指示当たりのコスト	キングストン以前
Fsm。四半期の総コスト	キングストン以前
Fsm。四半期ごとの作業指示の数	キングストン以前
FSM.Total cost for fiscal quarter	キングストン以前
年次計画実績	Kingston
保留中のタスクの数	Kingston
予算計画アイテム合計金額	Kingston
承認済みタスクの数	Kingston
合計経費金額	Kingston
合計投資金額	Kingston
計画タスクの数	Kingston
月次予算実績	Kingston

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
合計予算金額	Kingston
予算と実績の差異	Kingston
予算と予測の差異	Kingston
承認済みタスクの合計額	Kingston
合計予測金額	Kingston
承認済みタスクの割合	Kingston
保留中のタスクの合計額	Kingston
会計四半期ごとの経費合計 - サービスコストモデル	Madrid
会計四半期ごとの経費合計 - ビジネスケイパビリティコストモデル	Madrid
会計四半期ごとの経費合計ブレークダウン - ビジネスケイパビリティコストモデル	Madrid
ユーザーごとのコスト平均	Madrid
会計四半期ごとの経費合計 - ビジネスサービスコストモデル	Madrid
集計からの会計四半期ごとの経費合計 - 共有サービス	Madrid
集計からの会計四半期ごとの経費合計 - アプリケーションコストモデル	Madrid
ユーザーあたりの平均コスト - アプリケーション	Madrid
%総支出のアプリケーションコスト	Madrid
会計四半期ごとの経費合計 - アプリケーションコストモデル	Madrid
会計四半期ごとの合計ユーザー	Madrid
会計四半期ごとの経費合計のブレークダウン - ITSS - アプリケーションコストモデル	Madrid
会計四半期ごとの経費合計 - アプリケーション	Madrid
会計四半期ごとの経費合計ブレークダウン - ビジネスサービスコストモデル	ニューヨーク
会計四半期ごとの経費合計	ニューヨーク
会計四半期ごとの経費合計のブレークダウン - アプリケーションコストモデル	ニューヨーク
年次合計ターゲット計画	ニューヨーク

Financial Services Operations (FSO) インジケーター

に含まれる ファイナンシャルサービスオペレーション プラットフォームアナリティクスソリューションインジケーターは、 で ServiceNow Store利用できます。

詳細については、「Financial Services Operations の分析およびレポートソリューション」を参照してください。

インジケーター	導入されたバージョン
エージェントの生産性	1.0.1

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

インジケーター	導入されたバージョン
クローズされた支払ケースの数	1.0.1
エージェントの数	1.0.1
クローズ済みケースの数 (本日クローズされたケース)	1.0.1
クローズされたケースの数 (本日クローズされた SLA)	1.0.1
SLA に違反しているクローズ済みケースの数	1.0.1
SLA を満たしたクローズ済みケースの数	1.0.1
結果に基づく銀行エラーがあるクローズ済み外部請求の数	1.0.1
実際の処理が [例外] の銀行エラーがあるクローズ済み外部請求の数	1.0.1
実際の処理が [保護] の銀行エラーがあるクローズ済み外部請求の数	1.0.1
要求された処理が [例外] の銀行エラーがあるクローズ済み外部請求の数	1.0.1
要求された処理が [保護] の銀行エラーがあるクローズ済み外部請求の数	1.0.1
実際の処理が [例外] の顧客エラーがあるクローズ済み外部請求の数	1.0.1
実際の処理が [保護] の顧客エラーがあるクローズ済み外部請求の数	1.0.1
例外として要求された処理と顧客エラーがあるクローズ済み外部請求の数 (Number of closed external claims having customer error with requested treatment as exception)	1.0.1
要求された処理が [保護] の顧客エラーがあるクローズ済み外部請求の数	1.0.1
新規ケースの数	1.0.1
オープンケースの数	1.0.1
要求された処理が [保護] のオープンケースの数	1.0.1
要求された処理が例外であるオープンケースの数	1.0.1
要求された処理が [なし] のオープンケースの数	1.0.1
SLA に違反しているオープンケースの数	1.0.1
SLA 違反の割合が 80% を超えるオープンケースの数	1.0.1
要求された処理が [なし] の銀行エラーカテゴリがあるオープンな内部請求の数	1.0.1
要求された処理が [なし] の銀行エラーがあるオープンな内部請求の数	1.0.1
要求された処理が [例外] の銀行エラーがあるオープンな内部請求の数	1.0.1
要求された処理が [保護] の銀行エラーがあるオープンな内部請求の数	1.0.1
支払プロセッサーが [例外] の顧客エラーがあるオープンな内部請求の数	1.0.1
支払プロセッサーが [なし] の顧客エラーがあるオープンな内部請求の数	1.0.1
支払プロセッサーが [保護] の顧客エラーがあるオープンな内部請求の数	1.0.1
要求された処理が [例外] の顧客エラーがあるオープンな内部請求の数	1.0.1
要求された処理が [なし] の顧客エラーがあるオープンな内部請求の数	1.0.1
要求された処理が [保護] の顧客エラーがあるオープンな内部請求の数	1.0.1
支払い:SLA に違反しているオープンケースの数	1.0.1

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
クローズされた請求の請求金額の合計	1.0.1
クローズされた請求の払い戻し金額の合計	1.0.1
銀行エラーがあるクローズ済み外部請求の払い戻し金額の合計	1.0.1
実際の処理に基づく顧客エラーがあるクローズ済み外部請求の払い戻し金額の合計	1.0.1
銀行エラーがあるオープンな内部請求の合計額	1.0.1
顧客エラーがあるオープンな内部請求の合計額	1.0.1
オープンケースの経過時間合計	1.0.1
クローズされたケースの所要時間合計	1.0.1
クローズ済み支払ケースの所要時間合計	1.0.1
要求された処理に基づく銀行エラーがあるオープンな内部請求の合計数	1.0.1
顧客エラーがあるクローズ済み外部請求の合計数	1.0.1
銀行エラーがあるクローズ済み外部請求の合計数	1.0.1
実際の処理に基づく銀行エラーがあるクローズ済み外部請求の合計数	1.0.1
合計数の復旧で使用された銀行エラーがあるクローズ済み外部請求の合計数	1.0.1
顧客エラーがあるクローズ済み外部請求の合計数	1.0.1
実際の処理に基づく顧客エラーがあるクローズ済み外部請求の合計数	1.0.1
結果に基づく顧客エラーがあるクローズ済み外部請求の合計数	1.0.1
クローズされた内部請求の合計数	1.0.1
要求された処理が [例外] のオープンケースの合計数	1.0.1
要求された処理が [保護] のオープンケースの合計数	1.0.1
オープンな内部請求ケースの合計数	1.0.1
銀行エラーがあるオープンな内部請求の合計数	1.0.1
エラーカテゴリに基づく銀行エラーがあるオープンな内部請求の合計数	1.0.1
支払プロセッサー別に分類された銀行エラーがあるオープンな内部請求の合計数	1.0.1
顧客エラーがあるオープンな内部請求の合計数	1.0.1
支払プロセッサー別にグループ化された顧客エラーがあるオープンな内部請求の合計数	1.0.1
カスタムエラーカテゴリの顧客エラーがあるオープンな内部請求の合計数	1.0.1
銀行エラーがあるクローズ済み外部請求の払い戻し金額の合計	1.0.1
顧客エラーがあるクローズ済み外部請求の払い戻し金額の合計	1.0.1
合計ボリューム	1.0.1

ファイアウォール監査およびレポートインジケーター

からの ServiceNow StoreFirewall Audits and Reporting アプリケーションに含まれるインジケーター。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	作成日
ファイアウォールデバイス	2020-04-01
ファイアウォールセキュリティ方針	2020-04-06
新しいファイアウォールセキュリティポリシー	2020-04-06
未完了のファイアウォール監査応答	2020-04-06
未完了のファイアウォールタスク	2020-04-06

GRC:詳細ダッシュボードインジケーター

GRC: Advanced Dashboards (com.sn_grc_pa_advanced) プラグインに含まれるインジケーター。

インジケーター	追加された日付
承認された問題	2020-03-08
承認済み例外	2020-03-09
重要な優先度の問題	2020-03-06
期限切れの例外	2020-03-09
高優先度の問題	2020-03-06
高リスク	2020-03-31
本日クローズした問題	2020-03-02
本日作成された問題	2020-03-02
今月で解決する問題	2020-03-02
今四半期で解決する問題	2020-03-02
今週で解決する問題	2020-03-02
今年で解決する問題	2020-03-02
今日で解決する問題	2020-03-02
低リスク	2020-03-31
リスクのモデレート	2020-03-31
承認された例外の数	2020-03-09
要求された例外の数	2020-03-09
オープンな例外	2020-03-09
公開問題	2020-03-06
期限切れの問題	2020-03-06
期限切れの問題新規	2020-03-02
期限切れの問題ステータス分析	2020-03-02
対応のステータスにある期限切れの問題	2020-03-02
期限切れの問題ステータスレビュー	2020-03-02
期限切れの修正タスクオープン	2020-03-02

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	追加された日付
対応のステータスにある期限切れの修正タスク	2020-03-02
レビューのステータスにある期限切れの修正タスク	2020-03-02
対応中のステータスにある期限切れの修正タスク	2020-03-02
今月が期限の保留中の例外承認	2020-03-10
今四半期が期限の保留中の例外承認	2020-03-10
今週が期限の保留中の例外承認	2020-03-10
今日が期限の保留中の例外承認	2020-03-10
今月が期限の保留中の例外延長承認	2020-03-10
今四半期が期限の保留中の例外延長承認	2020-03-10
今週が期限の保留中の例外延長承認	2020-03-10
今日が期限の保留中の例外延長承認	2020-03-10
却下された例外	2020-03-09
今日クローズした修正タスク	2020-03-02
今日作成された修正タスク	2020-03-02
今月で 完了する修正タスク	2020-03-02
今四半期で 完了する修正タスク	2020-03-02
今週で 完了する修正タスク	2020-03-02
今年で完了する修正タスク	2020-03-02
今日で完了する修正タスク	2020-03-02
今月予定されている受け入れタスク有効期限	2020-03-31
今四半期予定されている受け入れタスク有効期限	2020-03-31
今週予定されている受け入れタスク有効期限	2020-03-31
今年予定されている受け入れタスク有効期限	2020-04-13
今日予定されている受け入れタスク有効期限	2020-03-31
来週予定されている例外有効期限	2020-03-31
今月予定されている例外有効期限	2020-03-31
今週予定されている例外有効期限	2020-03-31
今日予定されている例外有効期限	2020-03-31
明日予定されている例外有効期限	2020-03-31
非常に高いリスク	2020-03-31
非常に低いリスク	2020-03-31

GRC:Advanced Risk インジケーター

GRC: Advanced Risk (sn_risk_advanced) アプリケーションの GRC: Risk Events、GRC: Exposure by Risk Statements、GRC: Exposure by Entity、および GRC: Operational Risk Management の各ダッシュボードに含まれるインジケーター。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
アクティブイベント	ニューヨーク、修正されたオーランド
この四半期に対して計算された平均 ALE の平均 [ActiveGRCEntities から]	New York
この四半期に対して計算された平均 ALE の平均 [ActiveGRCRiskStatements から]	New York
この四半期に対して計算された ALE 合計の平均 [ActiveGRCRiskStatements から]	New York
この四半期に対して計算された ALE 合計の平均 [ActiveGRCEntities から]	New York
優先度別の自分のリスクタスク	New York
チームリスクバックログ	New York
チームの非常に高いリスク	New York
未アサインのリスク	New York
期限切れのリスクアセスメント	New York
計算済みスコア別のチームリスク	New York
引用 各種法令・基準等のコンプライアンス	New York
プロファイル全体のコンプライアンス (四半期)	New York
平均引用各種法令・基準等コンプライアンススコア	New York
この四半期に対して計算された最大 ALE の最大値 [ActiveGRCEntities から]	New York
この四半期に対して計算された最大 ALE の最大値 [ActiveGRCRiskStatements から]	New York
この四半期に対して計算された最小 ALE の最小値 [ActiveGRCEntities から]	New York
この四半期に対して計算された最小 ALE の最小値 [ActiveGRCRiskStatements から]	New York
# 財務以外の影響度が高いイベントの数 (月次)	Orland
# 財務以外の影響度が高いイベントの数 (四半期ごと)	Quebec
# of events with impact > 1 M (月次)	Orland
# of events with impact > 1 M (四半期ごと)	Quebec
年間損失予測 [ActiveGRCMonthlyEntities から]	Orland
年間損失予測 [ActiveGRCMonthlyRiskStatement から]	Orland
イベントあたりの平均追加コスト	Orland
イベントあたりの平均総損失	Orland
イベントあたりの平均純損失	Orland
損失イベントあたりの平均復旧数	Orland
総損失 (日次)	Orland

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
ニアミス	Orland
純損失 (日次)	Orland
財務以外の影響	Orland
イベント数	Orland
高残存リスクの数	Paris
無効なコントロールの数	Paris
# of Risk リスクに関連するイベント	Paris
平均コントロール有効性	Paris
平均固有リスク	Paris
平均残存リスク	Paris
非財務リスクイベント	Paris
リスクアセスメント (オープン)	Paris
監視ステータスのリスクアセスメント	Paris
合計予想損失	Paris
リスクの合計総損失	Paris
リスクの合計純損失	Paris
合計潜在的損失	Paris
エンティティの残存リスク傾向	Quebec
残存リスク	Quebec
PPM：プロジェクトリスクアセスメント	Quebec
PPM：エンタープライズリスクアセスメント	Quebec
PPM：評価されたリスク	Quebec
PPM - 企業要件のリスク	Quebec
PPM：合計リスク	Quebec
失敗したコントロールのある高リスク	Quebec
失敗したインジケーターのある高リスク	Quebec
リスク傾向	Quebec
コントロールアセスメントスコア	San Diego
残存アセスメントスコア	San Diego
固有のアセスメントスコア	San Diego

自動翻訳

GRC:Audit Management インジケーター

GRC: Audit Management プラットフォームアナリティクスソリューションに含まれるインジケーター。

詳細については、「GRC: Audit Management Analytics and Reporting Solution (GRC: Audit Management 分析およびレポートソリューション)」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
すべてのコントロールテスト数	Quebec
今四半期に作成されたコントロールテスト	Quebec
失敗したコントロールテスト (四半期ごと)	Quebec
失敗したコントロールテスト	Quebec
失敗したコントロールテストの割合 (過去 6 か月間)	Quebec
コントロールテスト不合格率	Quebec
失敗したコントロール	Quebec
テストされていないキーコントロール	Quebec
進行中のコントロールテスト	Quebec
オープンな監査問題	Quebec
成功したコントロール	Quebec

GRC:Policy and Compliance インジケーター

からの ServiceNow StoreGRC: Policy and Compliance アプリケーションに含まれるインジケーター。

インジケーター	作成日
失敗したコントロールインジケーターの数	2020-03-30
失敗したコントロールテストの数	2020-03-30
コントロール (廃止されていない)	2020-03-30
証明書の失効数	2021-03-26、バージョン 12.0.1
失敗したコントロールインジケーターの数	2021-03-26、バージョン 12.0.1
# 失敗したコントロールテスト数	2021-03-26、バージョン 12.0.1
アクティブコントロール	2021-03-26、バージョン 12.0.1
過去 6 か月間のすべてのアクティブなコントロールインジケーター	2021-03-26、バージョン 12.0.1
権限ドキュメントのコンプライアンススコアの割合	2021-03-26、バージョン 12.0.1
引用コンプライアンススコア (%)	2021-03-26、バージョン 12.0.1
証明されていないコントロール	2021-03-26、バージョン 12.0.1
コントロール目標に対するコンプライアンススコア (%)	2021-03-26、バージョン 12.0.1

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	作成日
KCI のないコントロール	2021-03-26、バージョン 12.0.1
テスト計画のないコントロール	2021-03-26、バージョン 12.0.1
エンティティコンプライアンス スコア (%)	2021-03-26、バージョン 12.0.1
免除されたコントロール	2021-03-26、バージョン 12.0.1
過去 6 か月間の失敗したコントロールインジケーター数	2021-03-26、バージョン 12.0.1
キーコントロール	2021-03-26、バージョン 12.0.1
失敗したインジケーターのあるキーコントロール	2021-03-26、バージョン 12.0.1
必須コントロール	2021-03-26、バージョン 12.0.1
新しいコントロール	2021-03-26、バージョン 12.0.1
孤立コントロール	2021-03-26、バージョン 12.0.1
Policy and Compliance スコア (%)	2021-03-26、バージョン 12.0.1
合計コントロールインジケーター	2021-03-26、バージョン 12.0.1
月ごとの失敗したコントロールインジケーターの割合	2021-05-06、バージョン 14.2.0
月ごとに実行されているコントロールインジケーターの合計数	2021-05-06、バージョン 14.2.0
月ごとの失敗したコントロールインジケーターの数	2021-05-06、バージョン 14.2.0

GRC:プロファイルインジケーター

の ServiceNow StoreGRC: Profiles アプリケーションに含まれるインジケーター。

インジケーター	作成日
インジケータータスク (今四半期作成)	2020-03-31
問題 (今四半期作成)	2020-03-31
すべてのオープンな問題	2021-03-27
すべてのオープンな問題 (前四半期比)	2021-03-27
すべての未アサインの問題	2021-03-27
今月 (月次のすべてのオープンな問題)	2021-03-27

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	作成日
今月 (月次のすべてのアクティブな修復タスク)	2021-03-27
今四半期 (四半期ごとのすべてのオープンな問題)	2021-03-27
今四半期 (四半期ごとのすべてのアクティブな修正タスク)	2021-03-27
今週 (週次のすべてのオープンな問題)	2021-03-27
今週 (週次のすべてのアクティブな修復タスク)	2021-03-27
今年 (すべてのオープンな問題 (年次)	2021-03-27
今年 (年次すべてのアクティブな修正タスク)	2021-03-27
今日 (日次すべてのオープンな問題)	2021-03-27
今日 (日次すべてのアクティブな修復タスク)	2021-03-27
経過時間インジケーターの問題	2021-03-27
新しい問題	2021-03-27
オープンな修復タスク	2021-03-27
修復タスクの経過時間インジケーター	2021-03-27
今月	2021-03-27
今四半期	2021-03-27
今週	2021-03-27
今日	2021-03-27

GRC:Risk Management インジケーター

の ServiceNow StoreGRC: Risk Management アプリケーションに含まれるインジケーター。

インジケーター	作成日
失敗したリスクインジケーターの数	2020-03-30
オープンな軽減タスクの数	2020-03-30
コントロール目標に対するリスクステートメント	2021-01-07
リスク傾向	2021-03-22
オープンな問題の合計数	2021-01-18
月ごとの失敗したリスク指標の割合	2021-01-17
月ごとの失敗したリスク指標の数。	2021-01-17
月ことの合計リスクインジケーター数	2021-01-17
新しいリスク (New Risk)	2021-01-07
KPI のないリスク	2020-07-26
未評価リスク	2020-07-26
孤立リスク	2020-07-26
コントロールを軽減しないリスク	2020-07-26
アクティブなリスク	2020-07-26

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	作成日
失敗したリスクインジケーターの割合	2020-05-19
合計リスクインジケーター (四半期)	2020-05-19

ガイド付きツアーインジケーター

ガイド付きツアー プラットフォームアナリティクスソリューションに含まれるインジケーター。このソリューションはアプリケーションとして ServiceNow Store 利用可能です。

詳細については、「)」を参照してください。

インジケーター	導入されたバージョン
ガイド付きツアー：すべての認定ツアーユーザー	ニューヨーク
ガイド付きツアー：ツアーを完了したユーザー	ニューヨーク
ガイド付きツアー：失敗したツアー	ニューヨーク
ガイド付きツアー：一意のユーザー	ニューヨーク
ガイド付きツアー：週次の一意のユーザー	ニューヨーク
ガイド付きツアー：合計セッション時間	ニューヨーク
ガイド付きツアー：完了したツアー	ニューヨーク
ガイド付きツアー：却下されたツアー	ニューヨーク
ガイド付きツアー：プレイ	ニューヨーク
ガイド付きツアー：週次のツアーを完了した一意のユーザー	ニューヨーク
ガイド付きツアー：平均セッション期間 (秒)	ニューヨーク
ガイド付きツアー：予約がないユーザーの数	ニューヨーク
ガイド付きツアー：すべてのツアー完了ユーザー	ニューヨーク
ガイド付きツアー：認定ツアーユーザーに対する完了ユーザー	ニューヨーク

Hardware Asset Management インジケーター

の NOW Intelligence ソリューション ハードウェア資産管理に含まれるインジケーターは、で ServiceNow Store入手可能です。

詳細については、「 ハードウェア資産管理のパフォーマンス分析ソリューション 」を参照してください。

インジケーター	互換バージョン
% モデル正規化	San Diego
合計モデル数	San Diego
モデル正規化数	San Diego

Health Log Analytics インジケーター

の NOW Intelligence ソリューション ヘルスログアナリティクスに含まれるインジケーターは、で ServiceNow Store入手可能です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

詳細については、「NOW Intelligence Solutions for Health Log Analytics (Health Log Analytics 向け Now Intelligence ソリューション)」を参照してください。

インジケーター	作成日
節減額 (USD)	2021-03-28 バージョン 19.1.4
節減額 (MTTR)	2021-03-28 バージョン 19.1.4
アクティブなストリーミングエンドポイント	2021-03-28 バージョン 19.1.4
アラート圧縮率	2021-03-28 バージョン 19.1.4
KB を伴ったアラート	2021-03-28 バージョン 19.1.4
Alerts.Open	2021-03-28 バージョン 19.1.4
HLA アラート発生時刻からアラートクローズ時刻までの平均時間	2021-03-28 バージョン 19.1.4
ITSM チケットを伴わなかったクローズ済みアラート	2021-03-28 バージョン 19.1.4
Detections.accepted	2021-03-28 バージョン 19.1.4
重要としてマークされた HLA アラート	2021-03-28 バージョン 19.1.4
ITSM チケットになった HLA アラート	2021-03-28 バージョン 19.1.4
ITSM チケットを伴う HLA アラート	2021-03-28 バージョン 19.1.4

人事インジケーター

[人事]、[人事:従業員関係 (Human Resources: Employee Relations)]、および [人事ライフサイクル] イベント プラットフォームアナリティクスソリューションに含まれるインジケーター。

詳細については、「 HR Performance Analytics Scoped Solutions (HR Performance Analytics スコープ対象ソリューション)」および「 Analytics and Reporting Solutions for Employee Relations (Employee Relations の分析およびレポートソリューション)」を参照してください。

インジケーター	導入されたバージョン
オープンケースの平均経過時間	キングストン以前
新規ケースの数	キングストン以前
クローズされたケースの所要時間合計	キングストン以前

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
最初の 30 日間に記録されたケースと要求の合計数	Kingston
雇用後の最初の 30 日間に記録された HR ケースの数	Kingston
雇用後の最初の 30 日間に記録された IT 要求の数	Kingston
雇用後の最初の 30 日間に記録された設備要求の数	Kingston
オープンケースの平均再アサイン数	Kingston
クローズ済みケースの平均経過時間	Kingston
オンボーディングアクティビティの平均所要時間 - 従業員	Kingston
離職する従業員の数	Kingston
オンボーディングアクティビティの平均所要時間 - 履行者	Kingston
オンボーディングケースごとのオンボーディングアクティビティの平均数 - 履行者	Kingston
オンボーディングケースごとのオンボーディングアクティビティの平均数	Kingston
オンボーディングケースごとのオンボーディングアクティビティの平均数 - 従業員	Kingston
オンボーディングアクティビティの平均所要時間	Kingston
オープンケースの合計再アサイン回数	Kingston
再アサインされたオープンケースの数	Kingston
HR ケースの増加	Kingston
SLA に違反しているオープンケースの数	Kingston
過去 10 日間更新されていないケースの数	Kingston
クローズ済み HR ケースの数	Kingston
オープンケースの合計期間	Kingston
過去 3 日間更新されていないケースの数	Kingston
アサインされていないオープンケースの数	Kingston
平均ケースサーベイスコア	Kingston
オープンケースの数	Kingston
クローズ済み HR ケースの数	Kingston
新規雇用満足度の平均サーベイスコア	London
新規ライフサイクルイベントケースの数	London
クローズされたオンボーディングアクティビティの数 - 従業員	London
オープンライフサイクルイベントケースの数 - プレ 1 日目	London
クローズされたオンボーディングアクティビティの数	London
オープンライフサイクルイベントケースの数 - ポスト 1 日目	London
オンボーディングアクティビティの合計期間	London
オンボーディングアクティビティの合計期間 - 履行者	London

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
クローズ済みライフサイクルイベントケースの数	London
オンボーディングアクティビティの合計期間 - 従業員	London
クローズされたオンボーディングアクティビティの数 - 履行者	London
オープンライフサイクルイベントケースの数 - 従業員 (今後 7 日以内に開始)	London
ContentAnalytics.Daily Page Views	Madrid
ContentAnalytics.All Visits	Madrid
ContentAnalytics.Daily Visits	Madrid
ContentAnalytics.Weekly Page Views	Madrid
ContentAnalytics.Daily Unique Users	ニューヨーク
ContentAnalytics.Daily Events	ニューヨーク
Content Analytics.Events.ServiceNowTracking Only	ニューヨーク
Content Analytics.Daily Page Views.ServiceNowTracking Only	ニューヨーク
Content Analytics.Dailybounce rate	ニューヨーク
ContentAnalytics.Daily 新規ユーザー	ニューヨーク
ContentAnalytics.Daily average time per page	ニューヨーク
Content Analytics.All-time average page views per session.ServiceNow Tracking Only	New York
Content Analytics.Daily Browser Visits	New York
ContentAnalytics.Weekly Visits	ニューヨーク
ContentAnalytics.Average session duration	ニューヨーク
Content Analytics.All Page Views.ServiceNowTracking Only	ニューヨーク
ContentAnalytics.Daily Total Session Duration	ニューヨーク
ContentAnalytics.Weekly average page views per session	ニューヨーク
Content Analytics.Weekly Page Views.ServiceNowTracking Only	ニューヨーク
ContentAnalytics.Daily Bounces	ニューヨーク
Campaign.To-dos.All	ニューヨーク
ERCases.AllegationTypes	Quebec
ERCases.CorrectiveActions	Quebec
ERCases.NewThisWeek	Quebec
ERCases.Open	Quebec
ERCases.PastSLA	Quebec
ERCases.Restricted	Quebec

Idea Manager Dashboard のインジケーター

から ServiceNow StoreIdea Manager Dashboard for PPM に含まれるインジケーター。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	作成日
失敗したリスクインジケーターの数	2020-03-30
オープンな軽減タスクの数	2020-03-30

Incident Management インジケーター

Incident Management コンテンツパックに含まれる パフォーマンスアナリティクス インジケーター:com.snc.pa、com.snc.pa.itsm_dashboards、com.snc.pa.itsm_dashboards。

インジケーター	導入されたバージョン
オープンインシデントの前回の更新の平均経過時間	キングストン以前
1 回以上再度割り当てられたオープンインシデントの割合	キングストン以前
未解決のインシデントの数	キングストン以前
新規インシデントの数	キングストン以前
過去 30 日間更新されていないオープン中のインシデントの割合	キングストン以前
期限切れのオープンインシデントの割合	キングストン以前
過去 5 日間更新されていないオープンインシデントの数	キングストン以前
クローズされたインシデントの所要時間合計	キングストン以前
オープンインシデントの前回の更新の合計経過時間	キングストン以前
オープンインシデントの数	キングストン以前
インシデントの平均クローズ所要時間	キングストン以前
オープン中のインシデントの平均再アサイン数	キングストン以前
オープン日に解決されたインシデントの数	キングストン以前
オープン日に解決されたインシデントの割合	キングストン以前
過去 30 日間更新されていないオープンインシデントの数	キングストン以前
クローズされたインシデントの数	キングストン以前
解決済みインシデントの平均解決時間	キングストン以前
解決済みのインシデントの合計期間	キングストン以前
オープンインシデントの合計経過時間	キングストン以前
インシデントバックログの増加	キングストン以前
未解決の期限切れインシデントの数	キングストン以前
オープンインシデントの合計再割り当て数	キングストン以前
セルフサービスによりクローズされたインシデントの割合	キングストン以前
セルフサービスによりクローズされたインシデントの数	キングストン以前
重要な新規インシデントの割合	キングストン以前
再アサインなしで解決されたインシデントの割合	キングストン以前
解決済みのインシデントの数	キングストン以前
未解決のインシデントの割合	キングストン以前

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
最初のアサイン先グループにより解決されたインシデントの数	キングストン以前
最初のアサイン先グループにより解決されたインシデントの割合	キングストン以前
平均経過時間のオープンインシデント	キングストン以前
再度割り当てられたオープンインシデントの数	キングストン以前
過去 5 日間更新されていないオープンインシデントの割合	キングストン以前
SLA を満たさなかったオープンインシデントの割合	Kingston
問題があるオープンインシデントの割合	Kingston
期限切れの要求アイテムの割合	Kingston
アクティブである重大なインシデント	Kingston
クローズ済み作業負荷	Kingston
ITSM 平均総合顧客満足度	Kingston
ITSM 正規化された満足度スコア	Kingston
ITSM サーベイインスタンス	Kingston
今日オープンされた重大なインシデント	Kingston
新規作業負荷	Kingston
SLA を満たさなかったインシデントの数	Kingston
7 日以内に計画されている未解決の変更の数	Kingston
アサインされていないオープンインシデントの数	Kingston
問題があるオープンインシデントの数	Kingston
解決済みの重大なインシデントの数	Kingston
オープン作業負荷	Kingston
解決済みの重大なインシデントの合計期間	Kingston
作業負荷バックログの増加	Kingston
違反した SLA のある解決済みインシデントの数	Madrid
ITSM サーベイインスタンス	Madrid
SLA 違反をしているクローズした要求の割合 (%)	Madrid
SLA を満たさなかったオープンインシデントの割合	Madrid
未解決のインシデントの予測平均コスト	Madrid
SLA 違反を含む解決済みインシデントの割合	Madrid
要求あたりの平均コスト	Madrid
7 日以内に計画されている未解決の変更の数	Madrid
クローズ済み作業負荷	Madrid
問題があるオープンインシデントの数	Madrid
アサインされていないオープンインシデントの数	Madrid
アクティブなタスク SLA の数	Madrid

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
本日のアクティブな違反された SLA	Madrid
期限後にクローズされた要求の数	Madrid
違反 SLA のあるクローズ済み要求の数	Madrid
作業負荷バックログの増加	Madrid
解決されたインシデントのコスト	Madrid
ITSM 正規化された満足度スコア	Madrid
ITSM 平均総合顧客満足度	Madrid
期限切れの要求アイテムの割合	Madrid
オープン作業負荷	Madrid
完了した要求のコスト	Madrid

Incident SLA Management インジケーター

Incident SLA Management プラットフォームアナリティクスソリューションに含まれるインジケーター。

詳細については、 インシデント SLA (com.snc.pa.sla) を参照してください。

インジケーター	導入されたバージョン
未解決で期限切れのインシデントの数	キングストン以前
未解決で期限切れのインシデントの更新後の合計経過時間	キングストン以前
未解決で期限切れのインシデント割り当ての割合	キングストン以前
未解決で期限切れのインシデントの更新後の平均経過時間	キングストン以前
時間内に応答したインシデント割り当ての数	キングストン以前
時間内に解決しなければならない未解決インシデントの数	キングストン以前
時間内に解決されたインシデントの割合	キングストン以前
未解決で期限切れのインシデントの割合	キングストン以前
未解決で期限切れのインシデントの平均経過時間	キングストン以前
# 時間内に応答しなければならなかったインシデント割り当ての数	キングストン以前
時間内に応答したインシデント割り当ての割合	キングストン以前
未解決で期限切れのインシデントの合計経過時間	キングストン以前
時間内に解決しなければならなかった解決済みインシデント #of	キングストン以前
未解決で期限切れのインシデントの合計再アサイン回数	キングストン以前
未解決で期限切れのインシデントの平均再アサイン回数	キングストン以前
時間内に解決されたインシデントの数	キングストン以前
# 時間内に応答しなければならないオープンインシデント割り当ての数	キングストン以前
未解決で期限切れのインシデント割り当ての数	キングストン以前

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Instance Security Center に含まれるグローバルインジケーター

Instance Security Center に含まれ、すべてのインスタンスで利用可能なインジケーター。

インジケーター	追加された日付
アクティブな MFA ユーザー	2021-08-16
ロックアウトされた MFA ユーザー	2021-08-16
MFA バイパスを使用しているユーザーの数	2021-08-16
MFA に登録されているユーザーの数	2021-08-16
PCI:合計コンプライアンススコアの計算	2021-08-16
PCI - 準拠構成プロパティの数	2021-08-16
PCI:構成プロパティの合計数	2021-08-16
エクスポート	2021-01-11
非アクティブなユーザー	2020-08-24
アクティブなユーザー	2020-08-24

ITSM インジケーター

(ITSM エージェント、ITSM マネージャー、ITSM エグゼクティブ) に含まれる ITSM プラットフォームアナリティクスソリューション インジケーター。

詳細については、「ITSM ダッシュボード (com.snc.pa.itsm_dashboards)」を参照してください。

インジケーター	導入されたバージョン
SLA 違反をしているクローズした要求の割合 (%)	Madrid
最初のアサイン先グループにより解決されたインシデントの割合	キングストン以前
重要な新規インシデントの割合	キングストン以前
重要な新規問題の割合	キングストン以前
SLA を満たさなかったオープンインシデントの割合	Kingston
過去 5 日間更新されていないオープンインシデントの割合	キングストン以前
問題があるオープンインシデントの割合	Kingston
過去 30 日間更新されていない未解決問題の割合	キングストン以前
期限切れの要求アイテムの割合	Kingston
未解決で期限切れのインシデントの割合	Orland
SLA 違反を含む解決済みインシデントの割合	Madrid
本日のアクティブな違反された SLA	Madrid
未解決問題の平均経過時間	キングストン以前
未解決の要求の平均経過時間	キングストン以前
オープンインシデントの平均経過時間	キングストン以前

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
要求の平均クローズ時刻	キングストン以前
インシデントあたりの平均コスト	Madrid
要求あたりの平均コスト	Madrid
要求あたりの平均コスト - 週次 =	Madrid
解決済インシデントあたりの平均コスト - 週次	Madrid
オープン中のインシデントの平均再アサイン数	キングストン以前
未解決で期限切れのインシデントの平均再割り当て数	キングストン以前
解決済みインシデントの平均解決時間	Orland
クローズ済み作業負荷	Madrid
解決されたインシデントのコスト	Madrid
完了した要求のコスト	Madrid
ITSM 平均総合顧客満足度	Madrid
ITSM 正規化された満足度スコア	Madrid
ITSM サーベイインスタンス	Madrid
新規作業負荷	Madrid
アクティブ タスク SLA の数	Madrid
本日の違反タスク SLA の数	Madrid
クローズ済みの完了した要求の数	キングストン以前
クローズされたインシデントの数	キングストン以前
クローズした問題の数	キングストン以前
クローズした要求の数	キングストン以前
違反 SLA のあるクローズ済み要求の数	Madrid
SLA を満たさなかったインシデントの数	Kingston
新規インシデントの数	キングストン以前
新規の問題の数	キングストン以前
新規要求の数	キングストン以前
未解決で期限切れのインシデントの数	キングストン以前
今後 7 日間に計画されている未解決の変更の数	Madrid
アサインされていないオープンインシデントの数	キングストン以前
オープンインシデントの数	キングストン以前
過去 5 日間更新されていないオープンインシデントの数	キングストン以前
時間内に解決しなければならない未解決インシデントの数	キングストン以前
問題があるオープンインシデントの数	キングストン以前
未解決の問題の数	キングストン以前
過去 5 日間更新されていない未解決の問題の数	キングストン以前

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
1 つ以上のオープンインシデントを含むオープンな問題の数	キングストン以前
未解決の要求アイテムの数	キングストン以前
期限日前の未解決の要求アイテムの数	キングストン以前
未解決の要求の数	キングストン以前
期限後にクローズされた要求の数	Madrid
解決済みのインシデントの数	キングストン以前
最初のアサイン先グループにより解決されたインシデントの数	キングストン以前
違反した SLA のある解決済みインシデントの数	Madrid
オープン作業負荷	Kingston
未解決のインシデントの予測平均コスト	Madrid
未解決の要求の予測平均コスト	Madrid
オープンインシデントの合計経過時間	キングストン以前
未解決の問題の合計経過時間	キングストン以前
未解決の要求の合計経過時間	キングストン以前
クローズした要求の合計期間	キングストン以前
解決済みのインシデントの合計期間	キングストン以前
オープンインシデントの合計再割り当て数	キングストン以前
未解決で期限切れのインシデントの合計再アサイン回数	キングストン以前
作業負荷バックログの増加	Kingston

ナレッジ管理インジケーター

に含まれるインジケーター ナレッジ管理 プラットフォームアナリティクスソリューション。

詳細については、 Knowledge Management (com.snc.pa.knowledge_v2) を参照してください。

Knowledge Management、London 以前のバージョン (廃止)

インジケーター	導入されたバージョン
公開されたナレッジ記事の合計評価	キングストン以前
新規ナレッジフィードバックの評価の合計	キングストン以前
アクティブな質問の数	キングストン以前
閲覧された公開記事の数	キングストン以前
ナレッジ記事が公開されるまでの平均時間	キングストン以前
使用された公開記事の数	キングストン以前
ナレッジ記事あたりの平均閲覧回数	キングストン以前
公開記事の平均閲覧回数	キングストン以前
却下されたインシデントの数 ナレッジ別	キングストン以前

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Knowledge Management、London 以前のバージョン (廃止) (続く)

インジケーター	導入されたバージョン
回答されたアクティブな質問の数	キングストン以前
平均質問回答数	キングストン以前
新規ナレッジフィードバックの数	キングストン以前
フラグ付けされた公開記事の数	キングストン以前
新規ナレッジ記事の数	キングストン以前
公開されたナレッジ記事の閲覧回数合計	キングストン以前
役に立たないとマークされた公開記事の割合	キングストン以前
役に立ったとマークされた公開記事の割合	キングストン以前
閲覧されたナレッジ記事の数	キングストン以前
ナレッジ記事を閲覧したユニークユーザー数	キングストン以前
公開されたナレッジ記事の使用回数合計	キングストン以前
公開されたナレッジ記事の数	キングストン以前
記事の平均評価	キングストン以前
閲覧されたナレッジ記事の使用率	キングストン以前
フラグ付けされた公開記事の割合	キングストン以前
ナレッジ記事あたりの平均使用回数	キングストン以前
閲覧された公開記事の割合	キングストン以前
回答された質問の割合	キングストン以前
フラグ付けされたナレッジ記事の数	キングストン以前
役に立ったとマークされた公開記事の数	キングストン以前
平均質問閲覧回数	キングストン以前
使用された公開記事の割合	キングストン以前
フラグ付けされたナレッジ記事の割合	キングストン以前
公開記事の所要時間合計	キングストン以前
役に立たないとマークされた公開ナレッジ記事の数	キングストン以前
評価済みの新規ナレッジフィードバックの数	キングストン以前
使用されたナレッジ記事の数	キングストン以前
ナレッジ記事の数	キングストン以前

ナレッジ管理 **v2**

インジケーター	導入されたバージョン
公開されたナレッジ記事の割合	London
平均クリックランク	London
公開までの平均時間	London

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ナレッジ管理 **v2** (続く)

インジケーター	導入されたバージョン
クリックスルーレート	London
記事の月次平均評価	London
検索を実行したアクティブなユーザーの数 - 月次	London
記事を表示したアクティブなユーザーの数 - 月次	London
アクティブなナレッジ記事の数	London
公開されたナレッジ記事の数	London
評価されたナレッジ記事の数 - 月次	London
ナレッジ検索の数とランク - 月次	London
ナレッジ検索の数 - 月次	London
ナレッジ記事の評価合計 - 月次	London
ナレッジ検索ランクの合計 - 月次	London
非認証ユーザーの平均クリックランク	Quebec
非認証ユーザーのクリックスルー率	Quebec
非認証ユーザーによる記事ビューの数 - 月次	Quebec
非認証ユーザーによるナレッジ検索の数 - 月次	Quebec
非認証ユーザーによるナレッジ検索の数とクリックランク - 月次	Quebec
非認証ユーザーによるナレッジ検索ランクの合計 - 月次	Quebec

自動翻訳

Legal Service Delivery インジケーター

に含まれるインジケーター 法務サービスデリバリのパフォーマンスアナリティクスコンテンツパック。

インジケーター	導入されたバージョン
コンテンツレビュー	Rome
利益相反	Rome
SLA を満たしたプライバシーおよびコンプライアンス要求の割合	Rome
SLA で完了した法務に関する要求の合計	Rome
SLA 内で完了した要求	Rome
プライバシー影響度評価	Rome
Stock Pre-clearance	Rome
デジタルフォレンジック	Rome

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
販売契約レビュー	Rome
NDA 要求	Rome
一般的な法的要求	Rome
プライバシーアセスメント	Rome
弁護士ごとの平均要求数	Rome
法務グループのメンバー数	Rome
プライバシーとコンプライアンスの平均要求完了時間	Rome
YTD 法務プライバシーおよびコンプライアンス要求	Rome
経過時間 > 60 日	Rome
経過時間 30 ~ 60 日	Rome
経過時間 < 30 日	Rome
法的要求の MoM 傾向	Rome
実務エリアごとの平均要求完了時間	Rome
YTD 法務に関する要求	Rome

Major Incident Management インジケーター

に含まれるインジケーター 重大インシデント管理 プラットフォームアナリティクスソリューション。

詳細については、 Major Incident Management (com.snc.pa.incident.mim) を参照してください。

インジケーター	導入されたバージョン
アクティブである重大なインシデント	Madrid
アクション用のレコードを選択:重大なインシデントの平均昇格時間	Orland
アクション用のレコードを選択:重大なインシデントの平均解決時間	Madrid
アクション用のレコードを選択:本日オープンされた重大なインシデント	Madrid
アクション用のレコードを選択:昇格された重大なインシデントの数	Orland
アクション用のレコードを選択:解決済みの重大なインシデントの数	Madrid
アクション用のレコードを選択:昇格された重大なインシデントの合計期間	Orland
アクション用のレコードを選択:解決済みの重大なインシデントの合計期間	Madrid

NLU ワークベンチインジケーター

NLU Workbench プラグイン (com.snc.nlu_studio) に含まれるインジケーター。

インジケーター	追加されたバージョン
NLU インテント予測数	Paris

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

On-Call Scheduling インジケーター

On-Call Scheduling プラグイン (com.snc.on_call_rotation) に含まれるインジケーター。

インジケーター	追加されたバージョン
オンコール：確認済みのエスカレーション連絡試行の割合 (%)	Paris
オンコール：確認済みのエスカレーションの割合	Paris
オンコール：確認されていないエスカレーション連絡試行の割合 (%)	Paris
オンコール：確認されていないエスカレーションの割合 (%)	Paris
オンコール：平均エスカレーション応答確認	Paris
On-Call：平均レベル応答確認	Paris
オンコール:平均通知確認応答	Paris
オンコール：確認済みの連絡試行回数	Paris
オンコール：エスカレーション連絡試行の数	Paris
オンコール：エスカレーション通知数	Paris
オンコール: 確認されたエスカレーション通知の数	Paris
オンコール：確認されていないエスカレーション通知の数	Paris
オンコール：エスカレーション数	Paris
オンコール：確認されたエスカレーションの数	Paris
オンコール：確認されていないエスカレーションの数	Paris
オンコール：エスカレーション連絡試行の確認されていない数	Paris

測定基準インテリジェンスインジケーター

測定基準インテリジェンスコンテンツパック (com.snc.sa.metric.pa.content) に含まれる プラットフォームアナリティクス インジケーター

インジケーター	導入されたバージョン
昇格した異常アラートの割合	London
クローズされた昇格済み異常アラートの合計期間	London
クローズされた昇格済み異常アラートの数	London
新規昇格済み異常アラートの数	London
新規異常アラートの数	London
昇格したアラートの平均解決時間	London

Performance Analytics 使用状況の概要インジケーター

使用状況の概要コンテンツパックとダッシュボードに含まれる パフォーマンスアナリティクス インジケーター (com.snc.pa.usage.overview の基本 パフォーマンスアナリティクスインストールに含まれています)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
PA：日次エラー数	Kingston
PA：日次ジョブ	Kingston
PA：日次削除回数	Kingston
PA：日次削除回数 (マイナス)	Kingston
PA：日次合計実行時間	Kingston
PA：日次実行時間 (分)	Kingston
PA：エラーが発生した日次ジョブ	Kingston
PA：警告が発生した日次ジョブ	Kingston
PA：日次警告回数	Kingston
PA：レポート	Kingston
過去 6 か月間に表示されていないレポートの割合	Kingston
PA：日次ネットスコア挿入回数	Kingston
PA：日次挿入回数	Kingston

プラットフォーム使用率インジケーター

プラットフォーム使用率コンテンツパックとダッシュボードに含まれる パフォーマンスアナリティクス インジケーター。これは次の基本 パフォーマンスアナリティクスインストールに含まれています:com.snc.usage_admin.dashboards

インジケーター	導入されたバージョン
合計カスタムテーブル数	Madrid
マッピングされていないテーブル	Madrid
サブスクリプションごとにマッピングされたテーブル	Madrid
サブスクリプションごとに含まれるテーブル	Madrid

Predictive Intelligence インジケーター

Predictive Intelligence レポートコンテンツパックに含まれるインジケーター:com.glide.platform_ml_pa

インジケーター	導入されたバージョン
本日の作成に基づく試行予測の数	London
予想負担	London
最終実行日に基づいてスキップされない成功予測の数	London
予測精度	London
最終実行日に基づいた予測結果の数	London
本日の作成に基づずき適用された予測の数	London
最終実行日に基づく推定試行数	Orland

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

インジケーター	導入されたバージョン
予測の取り消し	Orland

Predictive Intelligence Workbench - ITSM コンテンツインジケーター

Predictive Intelligence レポートコンテンツパックに含まれるインジケーター:com.glide.platform_ml_pa

インジケーター	導入されたバージョン
低実績しきい値プロパティ値	Paris
ネット自動化しきい値 PIWB インシデント	Paris
推定ネット自動化	Paris
インシデントの予測精度	Paris
インシデントの予測範囲	Paris
インシデントの最終実行日に基づいてスキップされなかった成功予測の数	Paris
インシデントの最終実行日に基づいた予測結果の数	Paris
本日のインシデントの作成に基づき試行された予測の数	Paris
本日のインシデントの作成に基づき適用された予測の数	Paris
インシデントのネット自動化	Paris
インシデントの予測数	Paris

Problem Management インジケーター

Problem Management プラットフォームアナリティクスソリューションに含まれるインジケーター。

詳細については、 問題管理 (com.snc.pa.problem) を参照してください。

インジケーター	導入されたバージョン
クローズした問題の合計期間	キングストン以前
クローズした問題における関連インシデントの数	キングストン以前
1 回以上再度割り当てられた問題の割合	キングストン以前
問題バックログの増加	キングストン以前
新規の問題の数	キングストン以前
既知のエラーとして分類された未解決の問題の数	キングストン以前
過去 90 日間更新されていない未解決の問題の数	キングストン以前
最初のアサイン先によりクローズされた問題の数	キングストン以前
再度割り当てられたオープンな問題の数	キングストン以前
未解決の問題における関連インシデントの数	キングストン以前
重要な新規問題の割合	キングストン以前
既知のエラーとして分類された未解決の問題の割合	キングストン以前

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
未解決の問題の更新後の合計経過時間	キングストン以前
未解決の問題の平均再割り当て数	キングストン以前
クローズした問題の数	キングストン以前
未解決の問題の更新後の平均経過時間	キングストン以前
未解決問題の平均経過時間	キングストン以前
1 つ以上のオープンインシデントを含むオープンな問題の数	キングストン以前
未解決の問題の合計再割り当て数	キングストン以前
過去 30 日間更新されていない未解決の問題の数	キングストン以前
クローズメモなくクローズした問題の割合	キングストン以前
過去 30 日間更新されていない未解決問題の割合	キングストン以前
最初のアサイン先によりクローズされた問題の割合	キングストン以前
未解決の問題の数	キングストン以前
未解決の問題の合計経過時間	キングストン以前
クローズメモの記述なくクローズされた問題の数	キングストン以前
問題の平均クローズ時刻	キングストン以前
過去 90 日間更新されていない未解決問題の割合	キングストン以前
1 つ以上のインシデントを含むオープンな問題の割合	キングストン以前
クローズされた問題の平均再アサイン回数	キングストン以前

Procurement Service Management インジケーター

に含まれるインジケーター ソーシングと調達オペレーションのパフォーマンスアナリティクス。

インジケーター	導入されたバージョン
すべての購買要求数：月次	Paris
すべてのソーシング要求数：月次	Paris
交渉による購入明細の合計削減額	Paris
発注書：合計明細金額	Paris
注文明細リビジョン後の明細金額	Paris
交渉による親明細の削減額	Paris
クローズされた購買要求数：月次	Paris
ソーシング要求：平均サイクル時間 (日数)：月次	Paris
オープン中の発注書明細の合計明細金額	Paris
オープンな購入タスク数	Paris
失敗した交渉の合計数	Paris
コスト回避の合計交渉数	Paris
契約条件の合計交渉数	Paris

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
標準削減額の合計交渉数	Paris
合計交渉数	Paris
交渉による購入明細の削減額	Paris
購買要求の合計数 (ATF)	Paris
(ATF) 購入明細 - 合計明細金額	Paris
オープンな交渉の数	Paris
注文明細合計明細金額 (履歴明細)	Paris
期限切れが間近の契約数	Paris
オープンなソーシング要求数	Paris

Project Portfolio Suite with Financials インジケーター

に含まれるインジケーター ファイナンシャルを備えたプロジェクトポートフォリオスイート プラットフォームアナリティクスソリューション。

詳細については、 Project Portfolio Suite with Financials (com.snc.financial_planning_pmo) を参照してください。

インジケーター	導入されたバージョン
プロジェクトタスクの期限超過時間合計	キングストン以前
オープンなプロジェクトの平均完了割合	キングストン以前
プロジェクトの見積コスト合計	キングストン以前
ポートフォリオの数	キングストン以前
オープンプロジェクトタスクの数	キングストン以前
期限切れのプロジェクトタスクの数	キングストン以前
期限切れプロジェクトの割合	キングストン以前
プロジェクトのリソース実コスト合計	キングストン以前
プロジェクトの実績コストの合計	キングストン以前
期限切れプロジェクトタスクの割合	キングストン以前
プロジェクトあたりの未解決プロジェクトタスクの数	キングストン以前

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
期限切れプロジェクトタスクの平均期限超過時間	キングストン以前
クローズされたプロジェクトタスクの数	キングストン以前
プロジェクトの予算コスト合計	キングストン以前
新規プロジェクトタスクの数	キングストン以前
期限切れのプロジェクトの数	キングストン以前
プロジェクトのリソース計画コスト合計	キングストン以前
プロジェクトマネージャーあたりの未解決プロジェクトの数	キングストン以前
期限切れプロジェクトの平均完了割合	キングストン以前
ポートフォリオあたりのプロジェクトの数	キングストン以前
オープンプロジェクトの数	キングストン以前
プロジェクトタスクバックログの増加	キングストン以前
プロジェクトの期限超過時間合計	キングストン以前
PPM - 今月のプロジェクトを含むデマンドの数	Madrid
PPM - オープンプロジェクトの合計経過時間	Madrid
PPM - 送信済み、スクリーニング、認定済み、承認済みステータスのオープンデマンドの合計経過時間	Madrid
PPM - 今月のプロジェクトのデマンドの合計経過時間	Madrid
PPM - 計画コストより大きい EAC	Madrid
PPM:オープンなアイデアの数	Madrid
PPM - ステータスが [オープン]、[処理待ち]、[対応中] のアクティブなプロジェクト	Madrid
PPM - 送信済み、スクリーニング、認定済み、または承認済みのオープンデマンド	Madrid
PPM - オープンなアイデアの合計経過時間	Madrid
PPM - 今月の合計デマンドの数	Madrid
PPM:今月のデマンドのあるアイデアの数	Madrid

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Request Management インジケーター

Request Management (要求アイテム) および Request Management (要求) Performance Analytics ソリューションに含まれるインジケーター。

インジケーター	導入されたバージョン
未解決の要求アイテムの合計再アサイン数	キングストン以前
未解決の要求アイテムの平均再アサイン数	キングストン以前
未解決の要求アイテムの平均経過時間	キングストン以前
却下された要求アイテムの割合	キングストン以前
過去 30 日間更新されていない未解決要求アイテムの数	キングストン以前
期日前のクローズ済み要求アイテムの割合	キングストン以前
過去 5 日間更新されていない未解決要求アイテムの数	キングストン以前
キャンセルされたクローズ済み要求アイテムの数	キングストン以前
却下されたクローズ済み要求アイテムの数	キングストン以前
未解決の要求アイテムの数	キングストン以前
未解決の要求アイテムの合計経過時間	キングストン以前
期限日前の未解決の要求アイテムの割合	キングストン以前
クローズ済み要求アイテムの数	キングストン以前
未解決の要求アイテムの更新後の平均経過時間	キングストン以前
期日前のクローズ済み要求アイテムの数	キングストン以前
過去 30 日間更新されていない未解決の要求アイテムの割合	キングストン以前
要求アイテムの平均クローズ時間	キングストン以前
未解決の要求アイテムの更新後の合計経過時間	キングストン以前
新規要求アイテムの数	キングストン以前
要求されたアイテムのバックログの増加	キングストン以前
期限日前の未解決の要求アイテムの数	キングストン以前
クローズ済み要求アイテムの合計期間	キングストン以前
過去 5 日間更新されていない未解決要求アイテムの割合	キングストン以前
キャンセル済み要求アイテムの割合	キングストン以前
期日前の未解決の要求の数	キングストン以前
新規要求の数	キングストン以前
期日前にクローズされた要求の割合	キングストン以前
要求の平均クローズ時刻	キングストン以前
要求バックログの増加	キングストン以前
未解決の要求の平均再アサイン数	キングストン以前
期日前の未解決の要求の割合	キングストン以前
未解決の要求の数	キングストン以前

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
未解決の要求の合計再アサイン数	キングストン以前
期日前にクローズされた要求の数	キングストン以前
未解決の要求の合計経過時間	キングストン以前
クローズした要求の合計期間	キングストン以前
クローズした要求の数	キングストン以前
過去 30 日間更新されていない未解決の要求の割合	キングストン以前
未解決の要求の更新後の平均経過時間	キングストン以前
過去 5 日間更新されていないオープン中の要求の数	キングストン以前
未解決の要求の平均経過時間	キングストン以前
未解決の要求の更新後の合計経過時間	キングストン以前
過去 30 日間更新されていないオープン中の要求の数	キングストン以前
過去 5 日間更新されていない未解決の要求の割合	キングストン以前

セーフワークプレイスインジケーター

から ServiceNow StoreSafe Workplace ダッシュボードに含まれるインジケーター。

インジケーター	追加された日付
作業への復帰を望む従業員の割合	2020-05-14
予約済みスペースの割合	2020-05-15
アクティブなケース	2020-06-16
調査中の接触者	2020-06-17
従業員拒否率 (前日からの変化)	2020-05-15
新規確認症例	2020-05-14
新たな死亡者数	2020-05-14
入所者数	2020-05-13
復帰準備ができていない従業員数	2020-05-12
復帰可能な従業員数	2020-05-12
拒否された従業員数	2020-05-13
復帰準備状況について調査された従業員数	2020-05-14
職場の予約可能スペース数	2020-05-13
職場の予約済みスペース数	2020-05-13
作業スペースの数	2020-05-13
職場タスクの数	2020-05-13
PPE 在庫	2020-05-13
PPE 在庫割合 (前日からの変化)	2020-05-15
確認されたケースの総数	2020-05-14

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	追加された日付
総死亡者数	2020-05-14

Strategic Spend Tracking for PPM インジケーター

の ServiceNow StoreStrategic Spend for PPM アプリケーションに含まれるインジケーター。

インジケーター	作成日
調整済み vs 未調整の実績コスト	2020-03-19
調整済み vs 未調整の実績コスト目標	2020-03-19
調整済み vs 調整されていない利益	2020-03-27
調整済み vs 未調整の利益目標	2020-03-27
調整済み vs 未調整の予定コスト	2020-03-19
調整済み vs 調整されていない計画コスト-目標	2020-03-19
調整済み vs 未調整プロジェクト	2020-03-18
調整済み vs 未調整プロジェクト:目標	2020-03-19
目標に対して調整済みのプロジェクトの数	2020-03-18
戦略に対して調整済みのプロジェクトの数	2020-03-18
目標に対して未調整のプロジェクトの数	2020-03-18
戦略に対して未調整のプロジェクトの数	2020-03-13
すべての目標の合計実コスト	2020-03-18
すべての戦略の合計実コスト	2020-03-18
すべての未調整プロジェクトの合計実コスト	2020-03-10
すべての未調整プロジェクトの目標に対する合計実績コスト	2020-03-18
すべての目標の合計メリット	2020-03-27
すべての戦略の合計メリット	2020-03-27
すべての未調整プロジェクトの合計メリット	2020-03-27
すべての未調整プロジェクトの目標に対する合計メリット	2020-03-27
すべての目標の合計計画コスト	2020-03-18
すべての戦略の合計計画コスト	2020-03-18
すべての未調整プロジェクトの合計計画コスト	2020-03-10
すべての未調整プロジェクトの目標に対する合計計画コスト	2020-03-18

Security Incident Response インジケーター

でアプリケーションServiceNow Storeとして利用可能な Security Incident Response プラットフォームアナリティクスソリューションに含まれるインジケーター。

詳細については、「Security Incident Response (com.snc.security_incident.analytics)」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
SI：インシデント中度リスク	キングストン以前
過去 30 日間更新されていないオープンセキュリティの割合	キングストン以前
SI：インシデント優先度 1	キングストン以前
最初のアサイン先によりクローズされたセキュリティインシデントの数	キングストン以前
オープンセキュリティインシデントの平均経過時間	キングストン以前
オープンセキュリティインシデントの数	キングストン以前
SI：平均期間	キングストン以前
クローズされたセキュリティインシデントタスクの所要時間合計	キングストン以前
セキュリティインシデントタスクの平均クローズ所要時間	キングストン以前
SI： 超高リスクインシデント	キングストン以前
クローズされたセキュリティインシデントタスクの数	キングストン以前
未解決のセキュリティインシデントの割合	キングストン以前
SI：インシデントすべてのリスク	キングストン以前
SI:インシデントのビジネス上の重要度:重大以外	キングストン以前
クローズ済みセキュリティインシデントの平均解決時間	キングストン以前
セキュリティインシデントの平均クローズ所要時間	キングストン以前
再アサインされたオープンセキュリティインシデントの割合	キングストン以前
セキュリティインシデント - クローズ	キングストン以前
過去 5 日間更新されていないオープンセキュリティインシデント #of	キングストン以前
未解決セキュリティインシデントの再アサイン回数合計	キングストン以前
オープンセキュリティインシデントの平均再アサイン回数	キングストン以前
SLA に違反している HR オープンケースの割合	キングストン以前
SI：平均識別時間	キングストン以前
オープンセキュリティインシデントの合計経過時間	キングストン以前
SI：インシデント重大度 1	キングストン以前
新規セキュリティインシデントの割合	キングストン以前
過去 30 日間更新されていないオープンセキュリティインシデント #of	キングストン以前
最初のアサイン先によりクローズされたセキュリティインシデントの割合	キングストン以前
SI：インシデント優先度 2	キングストン以前
SI：インシデント重大度 2	キングストン以前
SI：インシデント影響度 2	キングストン以前
再アサインされた未解決セキュリティインシデントの数	キングストン以前
SI：インシデント優先度すべて	キングストン以前
オープン日にクローズされたセキュリティインシデント #of	キングストン以前
SI:インシデントのビジネス上の重要度 - 高	キングストン以前

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
SI：合計インシデント数	キングストン以前
オープン日にクローズされたセキュリティインシデントの割合	キングストン以前
SI：インシデント影響度すべて	キングストン以前
SI：インシデント影響度 1	キングストン以前
セキュリティインシデントバックログの増加	キングストン以前
重大な新規セキュリティインシデントの割合	キングストン以前
クローズ済みセキュリティインシデントの数	キングストン以前
クローズ済みセキュリティインシデントの合計期間	キングストン以前
オープンセキュリティインシデントの合計経過時間	キングストン以前
セキュリティインシデントの前回の更新の平均経過時間	キングストン以前
過去 5 日間更新されていないオープンセキュリティの割合	キングストン以前
SI：サービス拒否	キングストン以前
SI：高リスクインシデント	キングストン以前
SI：重大度インシデントすべて	キングストン以前
新規セキュリティインシデントの数	キングストン以前
未解決セキュリティインシデントの前回の更新の経過時間合計	キングストン以前
SI:インシデントのビジネス上の重要度 - 重大	キングストン以前
平均識別時間 (週次)	キングストン以前
平均封じ込め時間 (週次)	キングストン以前
平均除去時間 (週次)	キングストン以前
今週の新規セキュリティインシデント	キングストン以前
今週クローズされたセキュリティインシデント	キングストン以前
優先度別のセキュリティインシデントの数	キングストン以前
新規とクローズされたセキュリティインシデント (週次)	キングストン以前
セキュリティインシデントマップ	キングストン以前
セキュリティインシデントのあるビジネスサービス - ビジネスへの影響度	キングストン以前

セルフサービス分析 **PA** インジケーター

セルフサービス分析 PA プラグインに含まれるインジケーター。このプラグインは、セルフサービス分析をダッシュボードに配置するためのウィジェットを作成する パフォーマンスアナリティクス ために必要なインジケーターとブレークダウンを提供します。このプラグインは、カスタマーサービスのセルフサービス分析コンテンツパックの依存関係として自動的にインストールされます。

インジケーターソース

インジケーターソース	導入されたバージョン
Catalog.Views.Monthly	Paris
Catalog.Requests.Monthly	Paris

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーターソース (続く)

インジケーターソース	導入されたバージョン
Community.Feedback.Monthly	Paris
Community.Views.Monthly	Paris
Knowledge.Views.Monthly	Paris
Knowledge.Feedback.Monthly	Paris
VA.Conversations.Monthly	Paris
Deflections.Created.Monthly	Paris
Cases.Resolved.Monthly	Paris

インジケーター

インジケーター	導入されたバージョン
カタログ：要求の割合	Paris
カタログ：成功率	Paris
カタログ：今月のビュー	Paris
Communities：有用なフィードバック	Paris
Communities：閲覧されたコミュニティの割合	Paris
Communities：今月の閲覧数	Paris
ナレッジ：今月閲覧された記事	Paris
ナレッジ：役立つフィードバック	Paris
ナレッジ：閲覧された記事の割合	Paris
カタログ要求の数	Paris
有用なコミュニティコンテンツの割合	Paris
役立つナレッジ記事の割合	Paris
セルフサービス：エンゲージメント	Paris
セルフサービス：成功率	Paris
セルフサービス：完了エンゲージメント	Paris
セルフサービス:コスト削減	Paris
VA：今月の会話	Paris
VA：会話の割合	Paris
VA：成功率	Paris
VA：成功した会話	Paris
VA：回避	Paris
カタログ：回避	Paris
Communities：回避	Paris
セルフサービス：潜在的な回避	Paris

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター (続く)

インジケーター	導入されたバージョン
セルフサービス：確認済みの回避	Paris
ナレッジ：回避	Paris
回避数	Paris
解決済みのケースの数	Paris

カスタマーサービスのセルフサービス分析インジケーター

カスタマーサービスのセルフサービス分析プラグインに含まれるインジケーター。このコンテンツパックをインストールすると、セルフサービス分析 PA が依存関係として自動的にインストールされます。2 つのコンテンツパックには、Customer Service Management のセルフ プラットフォームアナリティクスソリューション サービスのすべてのインジケーターが含まれています。

詳細については、「 セルフサービス分析 PA」を参照してください。

インジケーターソース

インジケーターソース	導入されたバージョン
Cases.Resolved.Monthly	Paris
Deflections.Created.Monthly	Paris

インジケーター

インジケーター	導入されたバージョン
カタログ：回避	Paris
Communities：回避	Paris
ナレッジ：回避	Paris
解決済みのケースの数	Paris
回避数	Paris
セルフサービス：確認済みの回避	Paris
セルフサービス：コストが削減されました	Paris
セルフサービス：潜在的な回避	Paris
VA：回避	Paris

Service Desk Chat インジケーター

サービスデスクチャット プラットフォームアナリティクスソリューションに含まれるインジケーター。

詳細については、「 Service Desk チャット (com.snc.pa.chat)」 を参照してください。

インジケーター	導入されたバージョン
新規チャットの数	キングストン以前

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
クローズされたチャットの合計数の割合	キングストン以前
平均対応時間	キングストン以前
チャットキュー平均対応時間	キングストン以前
クローズされたチャットの平均所要時間	キングストン以前
クローズされたチャットの数	キングストン以前

サービスレベル管理 インジケーター

サービスレベル管理 向けのプラットフォームアナリティクスソリューションに含まれるインジケーター。

インジケーター	導入されたバージョン
本日の違反タスク SLA クローズの平均時間	London
本日クローズしたタスク SLA の数	London
本日達成された SLA の平均時間	London
本日達成したクローズ済みタスク SLA の数	London
本日の達成した SLA	London

詳細については、次を参照してください。 プラットフォームアナリティクスソリューション for サービスレベル管理 。

サービスマッピングインジケーター

Service Mapping コンテンツパックに含まれる パフォーマンスアナリティクス インジケーター:com.snc.service-mapping.pa.content

インジケーター	導入されたバージョン
サービスマップステータス	Kingston
サービスマッピングエラーカテゴリ	Kingston

Service Portfolio Management インジケーター

Service Portfolio Management Premium に含まれるインジケーター:snc_spm

インジケーター	導入されたバージョン
SPM 可用性	Madrid
SPM P1 インシデントと重大なインシデントの数	Madrid
SPM カタログアクティビティ	Madrid
サービスオファリング：登録者	Madrid
サービスパフォーマンス	Madrid
SLA 違反の SPM	Madrid
分類ノードのパフォーマンス	Madrid

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
SPM SLA%	Madrid
サービスオファリング別 SPM CSAT	Madrid
オファリング測定基準の加重	New York
オファリングパフォーマンス	New York
サービス CSAT	New York
サービスポートフォリオのパフォーマンス	Orland

シフト計画インジケーター

の ServiceNow StoreShift Planning アプリケーションに含まれるインジケーター。Shift Planning は、 ITSM のワークフォース最適化.

インジケーター	導入されたバージョン
スケジュールの順守	San Diego
スケジュールの適合率	San Diego
作業していない時間の合計	San Diego
予定時間の合計	San Diego
予定外利用可能時間の合計	San Diego
作業時間の合計	San Diego
Agent Schedule の適合率	San Diego
Agent Schedule の遵守	San Diego
週次の利用可能な予定されていない時間の合計	San Diego
作業していない週次時間の合計	San Diego
週次の合計計画時間の合計	San Diego
週次の合計作業時間の合計	San Diego

Software Asset Management インジケーター

インディケータは ソフトウェア資産管理 、プロフェッショナル プラットフォームアナリティクス ソリューションに含まれています。

詳細については、 Software Asset Management Professional (com.snc.pa.samp) を参照してください。

インジケーター	導入されたバージョン
ライセンス供与過剰金額	キングストン以前
節減見込み	キングストン以前
コンプライアンス違反のパブリッシャー	キングストン以前
ライセンス供与過剰パブリッシャー	キングストン以前
節減見込み	キングストン以前

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
ライセンス供与過剰製品	キングストン以前
コンプライアンス違反のパブリッシャー	キングストン以前
ライセンス供与過剰製品	キングストン以前
ライセンス供与過剰金額	キングストン以前
ライセンス供与過剰パブリッシャー	キングストン以前
コンプライアンス違反製品	キングストン以前
準拠製品の割合	Kingston
使用中の支出	Kingston
アクティブな削除候補	Kingston
今までの節減実績	Kingston
製品の数	Kingston
使用されていない支出の割合	Kingston
コンプライアンス遵守製品	Kingston
月次 SAM % ソフトウェア支出の変化	Kingston
コンプライアンス違反 SAM 製品	Kingston
ソフトウェア支出	Kingston
総調整コスト	Kingston
調整コスト	Kingston
使用されていない支出の割合	London
準拠製品の割合	London
未使用のサブスクリプションの割合	London
使用中の支出	London
調整コスト	London
ライセンス供与過剰金額	London
節減見込み	London
ライセンス供与過剰パブリッシャー	London
コンプライアンス違反のパブリッシャー	London
ライセンス供与過剰製品	London
コンプライアンス違反製品	London
アクティブな削除候補	London
節減実績の年度累計	London
ソフトウェア支出	London
アクティブな権限の合計	London
現在のサブスクリプション支出	London
未使用のサブスクリプション	London

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
利用可能なサブスクリプション	London
製品の数	London
コンプライアンス違反 SAM 製品	London
総調整コスト	London
コンプライアンス遵守製品	London
SQL Server のインストール数	London
コンプライアンス違反のソフトウェアモデル	London
アサインされたサブスクリプション	London
使用された権限	Madrid
所有している権利	Madrid
月次の SAP 固有ユーザー	Madrid
SAP の節減見込み	Madrid
名前付きユーザーアサインのない SAP システムユーザー	Madrid
90 日以上前に最後にログオンした SAP ユーザー	Madrid
ライセンスを消費しているロックされた SAP ユーザー	Madrid
名前付きユーザーアサインのない SAP 非ダイアログユーザー	Madrid
SAP ライセンス供与過剰金額	Madrid
SAP 総調整コスト	Madrid
コンプライアンス違反指名ユーザー	Madrid
ロールに基づく最適化の SAP の潜在的ユーザー	New York
SaaS で利用可能なサブスクリプション	New York
SAP ユーザーアクティビティ	New York
月次のアサインされたサブスクリプション	New York
低実績サブスクリプション支出	New York
残りのエンベロープ	New York
サブスクリプション再利用候補	New York
古いサブスクリプションの割合	New York
エンベロープが消費されました	New York
経費	New York
SAP Web アクティビティ	New York
買掛金	New York
使用中のサブスクリプション	New York
ソフトウェアサブスクリプション調整コスト	New York
古い	New York
アクティブに使用	New York

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
SAM:エンジニアリングアプリの現在の消費量	Orland
SAM:エンジニアリングアプリの節減見込み	Orland
SAM:潜在的な PA SAP ユーザーアクティビティ	Orland
SAM:間接アクセスのための SAP PA Web アクティビティ	Orland
SAM の期限切れメンテナンス	Orland
SAP アクティブエンジン	Paris
コンプライアンス違反の SAP エンジン	Paris
SAP エンジンの使用率は 90% 以上に達しました	Paris
SAP 未使用エンジン	Paris
Citrix ライセンス消費履歴	Quebec
ハイブリッド環境全体の Microsoft 製品	Quebec
ライセンスの最適化による節減見込み	Quebec
ソフトウェアサブスクリプションの節減見込み	Quebec
SAM：SAP 合計節減見込み額	Quebec
トランザクションベースのライセンス最適化の SAP の潜在的ユーザー	Quebec
SAP 削除候補からの節減見込み	Quebec
SAM 削除候補からの節減見込み	Quebec
古いサブスクリプション	Quebec
アクティブなサブスクリプション	Quebec
注意が必要な候補	Quebec
削除される未割り当てのインストール	Quebec
削除されるライセンスなしのインストール	Quebec
削除される制限付きインストール	Quebec
残りのユニット	Quebec
消費されたユニット	Quebec
二重ライセンスユーザーの削除	Quebec
Office 365 E3 から E1 にダウングレード	Quebec
Office 365 E5 から E3 にダウングレード	Quebec
二重ライセンスユーザー	Quebec
ダウングレード	Quebec
O365 使用状況レポート	Quebec
製品の合計数	Quebec
ライセンス供与過剰金額	Quebec
調整コスト (週次)	Quebec
合計消費量	Quebec

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スポットライトインジケーター

スポットライトコンテンツパックに含まれる パフォーマンスアナリティクス インジケーター:com.snc.pa.spotlight.incident

インジケーター	導入されたバージョン
スポットライトになっているオープンインシデントの数	キングストン以前
スポットライトになっているオープンインシデントの割合	キングストン以前

ユニバーサル要求インジケーター

Universal Request コンテンツパックの Performance Analytics and Reporting に含まれるインジケーター:com.snc.universal_request.pa。この パフォーマンスアナリティクス コンテンツを使用するには、Universal Request アプリケーションが必要です。

インジケーター	導入されたバージョン
ユニバーサル要求のプライマリチケット転送 (解決なし)	Quebec
ユニバーサル要求のプライマリチケット SLA 違反	Quebec
プライマリチケットを使用したユニバーサル要求の解決 SLA に違反した割合 (%)	Quebec
プライマリチケットを使用したユニバーサル要求の解決 SLA	Quebec
プライマリチケットを使用したユニバーサル要求の解決 SLA 違反	Quebec
ユニバーサル要求の解決 SLA 平均	Quebec
ユニバーサル要求の応答 SLA 平均	Quebec
プライマリチケットを使用したユニバーサル要求の解決 SLA 平均	Quebec
ユニバーサル要求の応答 SLA 違反	Quebec

Vendor Management Workspace のベンダー成功指標

の ServiceNow Storeベンダー成功指標アプリケーションに含まれるインジケーター。このアプリケーションは、 ベンダー管理ワークスペース次のインジケーターを提供します。

インジケーター	導入されたバージョン
平均要求フルフィルメント	Rome
平均要求フルフィルメント SLA 達成度	Rome
平均インシデント SLA 達成度	Rome
違反 SLA のあるクローズ済み要求の数	Rome
SLA を満たしたクローズされた要求の数	Rome

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
違反した SLA のある解決済みインシデントの数	Rome
SLA を満たした解決済みインシデントの数	Rome
作成されたインシデントの合計数	Rome
サービスオファリングの平均パフォーマンススコア	Quebec
ベンダースコア	Quebec
平均安定性 - 重大なインシデント	Quebec
平均 SLA 達成度	Quebec
平均要求アクティビティ	Quebec
平均顧客満足度	Quebec
平均可用性	Quebec

Vulnerability Response インジケーター

に含まれる 脆弱性対応 プラットフォームアナリティクスソリューションインジケーターは、 の ServiceNow Storeアプリケーションとして利用できます。

詳細については、「Vulnerability Response (com.snc.vulnerability.analytics)」を参照してください。

インジケーター	導入されたバージョン
脆弱性一致アイテムの数	London
脆弱性 - 重大な脆弱性のあるサービス	London
脆弱性一致アイテム:重大な脆弱性スコア	London
脆弱性一致アイテム - 高脆弱性スコア	London
脆弱性一致アイテム - 重大でない脆弱性スコア	London
脆弱性の数	Madrid
脆弱性一致構成アイテム	Madrid
リスク評価別の脆弱性一致アイテム	Madrid
経過時間およびリスク評価別の脆弱性一致アイテム (Vulnerable Items by Age and Risk Rating)	Madrid
脆弱性グループの数	Madrid
修復ターゲットを満たした脆弱性一致アイテムの割合	Madrid
VI 平均修正時間 (MTTR)	Madrid
期限間近の重大な脆弱性グループ	Madrid
新規およびクローズされた脆弱なアイテム	Madrid
修復ターゲットステータス別のクローズされた脆弱性一致アイテム	Madrid
アサイン先グループ別の重大な脆弱なアイテム	Madrid
重大な脆弱なアイテム	Madrid

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	導入されたバージョン
期限切れの重大な脆弱なアイテム	Madrid
高リスク脆弱性一致アイテム	Madrid
サービスオーナー別の重大な脆弱性一致アイテム	Madrid
サービスオーナー別の重大な期限切れの脆弱なアイテム	Madrid
期限切れの高リスク脆弱性一致アイテム	Madrid
理由別の保留された脆弱なアイテム	Madrid
期限切れ間近の保留要求 (Deferral Requests About to Expire)	Madrid
リスク評価とステータス別の脆弱性グループ	Madrid
リスク評価および修復ターゲットステータス別の脆弱性グループ	Madrid
アサイン先グループ別の期限切れの重大な脆弱性グループ	Madrid
アサイン先グループ別の重大な脆弱性グループ	Madrid
未アサインの脆弱性グループ	Madrid
未アサインの脆弱なアイテム	Madrid
ステータス別の脆弱性グループ (Vulnerability Groups by State)	Madrid
修復ターゲットステータス別の脆弱性一致アイテム	Madrid
脆弱性グループの詳細	Madrid
個別の脆弱性	Orland
保留された重大な脆弱性一致アイテム	Paris
保留要求 (作成済み)	Paris
クローズされたターゲットに一致した脆弱性一致アイテムの割合	Quebec
アクティブな脆弱性一致構成アイテム	Quebec
アクティブな脆弱性一致アイテム	Quebec
脆弱なアイテムの平均経過時間	Quebec
資産あたりの平均脆弱性	Quebec
クローズされた脆弱なアイテム	Quebec
クローズされた脆弱性一致アイテム (ターゲット達成)	Quebec
現在のスキャン範囲	Quebec
保留された脆弱なアイテム	Quebec
月次修復効率	Quebec
新しい脆弱なアイテム	Quebec
スキャンが可能な資産	Quebec
スキャンされた資産	Quebec
最も脆弱なサービス	Quebec
クローズされた脆弱性一致アイテムの合計期間	Quebec
脆弱性一般アイテムの平均修復時間	Quebec

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Workforce Optimization for Customer Service インジケーター

に含まれる カスタマーサービスのワークフォース最適化インジケーター。

インジケーター	バージョン
最初の問い合わせで解決されたケースの数	Quebec
最初の問い合わせで解決された P1 ケースの数	Quebec
最初の問い合わせで解決された P2 ケースの数	Quebec
最初の問い合わせで解決された P3 ケースの数	Quebec
最初の問い合わせで解決された P4 ケースの数	Quebec
チャットの平均処理時間	Quebec
チャットの平均待ち時間	Quebec
チャットの CSAT	Quebec
ケースの CSAT	Quebec
P1 ケースの CSAT	Quebec
P2 ケースの CSAT	Quebec
P3 ケースの CSAT	Quebec
P4 ケースの CSAT	Quebec
ケースの MTTR	Quebec
P1 ケースの MTTR	Quebec
P2 ケースの MTTR	Quebec
P3 ケースの MTTR	Quebec
P4 ケースの MTTR	Quebec
破棄されたチャットの数	Quebec
処理されたチャットの数	Quebec
クローズされたケースの数 (週次)	Quebec
クローズされたケースの数 (日次)	Quebec
クローズされたチャットの数	Quebec
クローズ済み P1 ケースの数	Quebec
クローズ済み P2 ケースの数	Quebec
クローズ済み P3 ケースの数	Quebec
クローズ済み P4 ケースの数	Quebec
受信ケースの数	Quebec
解決済みのケースの数	Quebec
解決済み P1 ケースの数	Quebec
解決済み P2 ケースの数	Quebec
解決済み P3 ケースの数	Quebec

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	バージョン
解決済み P4 ケースの数	Quebec

Workforce Optimization for ITSM インジケーター

に含まれる ITSM のワークフォース最適化インジケーター。

インジケーター	バージョン
WFO コンテンツパック研修生サーベイインスタンス	Rome
WFO コンテンツパックの正規化された研修生スコア	Rome
研修生の品質評価	Rome
すべてのインシデントの平均処理時間	Quebec
最初のコールで解決された P5 インシデントの割合	Quebec
最初のコールで解決された P4 インシデントの割合	Quebec
最初のコールで解決された P3 インシデントの割合	Quebec
最初のコールで解決された P2 インシデントの割合	Quebec
最初のコールで解決された P1 インシデントの割合	Quebec
最初のコールで解決されたインシデントの割合	Quebec
最初の応対での解決で解決されたインシデントの数	Quebec
最初の応対での解決 P5 で解決されたインシデントの数	Quebec
最初の応対での解決 P4 で解決されたインシデントの数	Quebec
最初の応対での解決 P3 で解決されたインシデントの数	Quebec
最初の応対での解決 P2 で解決されたインシデントの数	Quebec
最初の応対での解決 P1 で解決されたインシデントの数	Quebec
解決済みインシデント P5 の数	Quebec
解決済みインシデント P4 の数	Quebec
解決済みインシデント P3 の数	Quebec
解決済みインシデント P2 の数	Quebec
解決済みインシデント P1 の数	Quebec

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	バージョン
平均処理時間	Quebec
P5 インシデントの平均処理時間	Quebec
P4 インシデントの平均処理時間	Quebec
P3 インシデントの平均処理時間	Quebec
P2 インシデントの平均処理時間	Quebec
P1 インシデントの平均処理時間	Quebec
解決済み P5 インシデントの合計期間	Quebec
解決済み P4 インシデントの合計期間	Quebec
解決済み P3 インシデントの合計期間	Quebec
解決済み P2 インシデントの合計期間	Quebec
解決済み P1 インシデントの合計期間	Quebec
クローズ済み P5 インシデントの数	Quebec
クローズ済み P4 インシデントの数	Quebec
クローズ済み P3 インシデントの数	Quebec
クローズ済み P2 インシデントの数	Quebec
クローズ済み P1 インシデントの数	Quebec

自動翻訳

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス

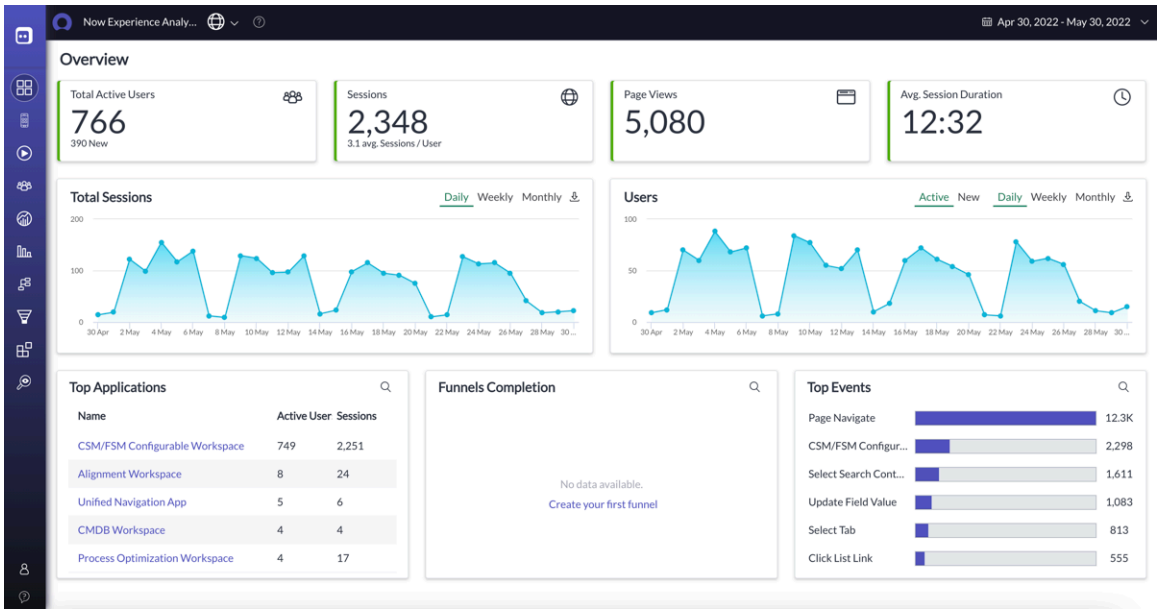
ServiceNow® ユーザーエクスペリエンスアナリティクス アプリケーションは、Next Experience Web アプリケーションと 仮想エージェント、ServiceNow Mobile、および サービスポータル アプリケーションの使用状況分析を監視するためのダッシュボードビューを提供します。測定基準とやり取りを可視化してユーザーエクスペリエンスをより的確に把握し、より直観的な操作をユーザーに提供します。

User Experience Analytics の操作方法と使用方法を示すビデオ

このビデオでは、 を使用して ユーザーエクスペリエンスアナリティクスアプリケーション内のユーザーエクスペリエンスを分析する方法を紹介します。

によって ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 収集されたデータを分析目的で使用し、プラットフォームのさまざまな ServiceNow チャネルで使用される製品の使用状況と採用をよりよく理解できるようにレポート機能を提供します。顧客側の追跡を容易にする ユーザーエクスペリエンスアナリティクス ために、サードパーティの追跡技術は使用されていません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データへのアクセス

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データには次のいずれかでアクセスできます。

- ダッシュボードから。ユーザーエクスペリエンスアナリティクス詳細については、「 User Experience Analytics の使用」を参照してください。
- データビジュアル化コンポーネントを介してデータを公開する。詳細については、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」を参照してください。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス を設定

管理者は、プラットフォーム上にServiceNow Mobile構築された Web アプリケーションを構成しサービスポータルて、ユーザー分析を追跡できます。

のデータサービスポータルの設定ユーザーエクスペリエンスアナリティクスについては、「User Experience Analytics for Service Portal 」を参照してください。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス プラグイン

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス新しいWashington DCインスタンスおよびアップグレードされたインスタンスではNow Platform、プラグイン (com.glide.appsee) がデフォルトで有効になっています。このプラグインは以下を担当します。

- サーバーに登録する ServiceNow 新しいアプリケーションを 1 時間ごとにチェックします。
- ダッシュボードへのアクセス権 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス を提供します。

注:
ユーザーエクスペリエンスアナリティクス はオンプレミスインスタンスではサポートされていません。

のドメイン分離のサポート ユーザーエクスペリエンスアナリティクス

基本レベルでは、ドメイン分離がサポートされています ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 。詳細については、「アプリケーションでのドメイン分離のサポート 」を参照してくださいドメイン分離と ユーザーエクスペリエンスアナリティクス。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

プラグインのリスト (San Diego)

用 User Experience Analytics サービスポータル

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 設定を構成

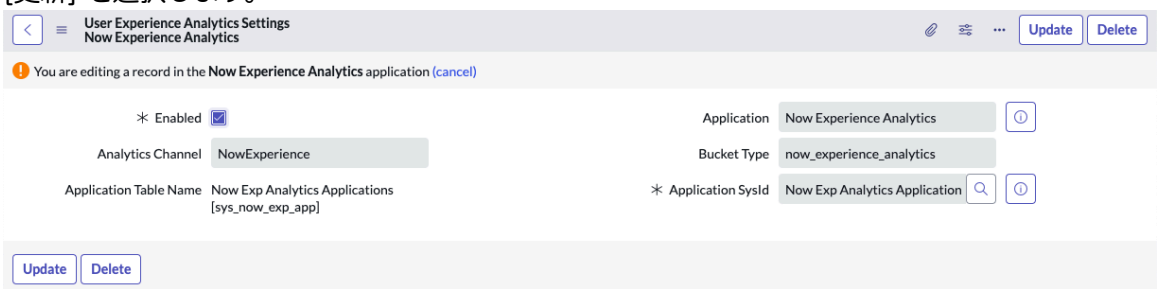
設定テーブルを使用してユーザーエクスペリエンスアナリティクス、特定のアプリケーションを有効または無効ユーザーエクスペリエンスアナリティクスにすることができます。

始める前に
必要なロール:analytics_admin、mobile_analytics_admin、web_analytics_admin、または portal_analytics_admin

注:
の サービスポータルユーザ分析のトラッキングをオンにするには、「」を参照してください。
の User Experience Analytics 設定の作成 サービスポータル。

手順

1. 移動先 すべて > ユーザーエクスペリエンスアナリティクス > 設定。
2. リストで、分析の追跡を有効にするインスタンスのレコードを見つけます。
   アプリケーション名が [名前] 列に表示されます。
3. 同じ行で、[有効] 列の値が **false** に設定されていることを確認します。
4. フォームで、[有効] を選択します。
5. [更新] を選択します。



次のタスク
web_analytics_viewerまたはportal_analytics_viewerロールをユーザーにアサインして、ユーザーが ダッシュボードを表示できるようにします。

でのユーザーのプライバシー、追跡、およびユーザー同意管理 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス は、ユーザーアクティビティの追跡を使用して KPI の採用、維持、使用状況を測定し、製品と実装に関するより適切な意思決定を行うのに役立ちます。

でのユーザーの追跡 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス

ユーザーエクスペリエンスアナリティクスはプラットフォームアナリティクス、 コア UIServiceNow Mobile Platformサービスポータル仮想エージェントユーザーエクスペリエンスアナリティクス

での ユーザーエクスペリエンスアナリティクス ユーザーの追跡では、ユーザーの同意管理 (UCM) 機能を利用して、管理者は追跡対象のすべてのアプリケーションで分析追跡設定を構成できます。この機能により、各国の同意ポリシーを柔軟にカスタマイズし、ユーザーの場所を検出する方法を選択できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

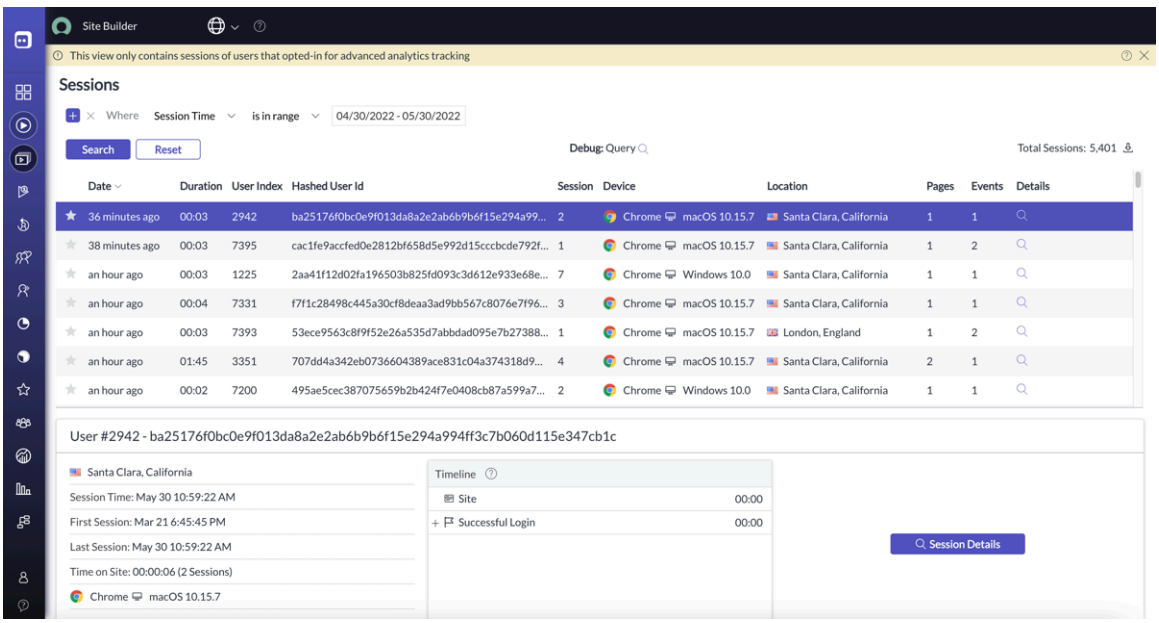
ユーザーの同意管理で使用できるオプションには、次のようなものがあります。

- 国ごとに異なる追跡同意ポリシーを適用する。
- 特定のユーザーを追跡しているか、特定のロールを持つユーザーを追跡しています。
- ユーザーの場所を検出する方法を定義します。

ダッシュボードの ユーザーエクスペリエンスアナリティクス カウンターには、集計されたユーザー数が含まれています。

注:
[無効] という名前の追跡同意ポリシーが選択されている場合、ユーザー メトリックは追跡されません。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス セッションビュー



追跡を有効または無効にするユーザーエクスペリエンスアナリティクス

設定を更新することで、ServiceNow Mobile Platform、、および [会話型分析 (Conversational Analytics)] 仮想エージェント 領域のプラットフォームアナリティクス追跡をユーザーエクスペリエンスアナリティクスオフまたはオンにサービスポータルできます。

始める前に

必要なロール:analytics_admin、mobile_analytics_admin、web_analytics_admin、now_experience_analytics_admin、または portal_analytics_admin

手順

1. 移動先 すべて > ユーザーエクスペリエンスアナリティクス > 設定。
2. リストから、分析の追跡を無効にするアプリケーションのレコードを見つけます。
   アプリケーション名が [名前] 列に表示されます。
3. 同じ行で **[true**] または **[false**] を選択してレコードを開きます。
4. フォームで、次のいずれかの操作を行います。
   - [有効] チェックボックスをオンにすると、追跡がオンになります。
   - 追跡をオフにするには、[有効] チェック ボックスをオフにします。
5. [更新] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクスの追跡同意ポリシーのタイプ

個々の国に対して定義できる追跡同意ポリシーには 5 つのタイプがあります。このオプションを使用すると、国やユーザーやロールに応じて追跡ポリシーを柔軟に定義できます。

次の 3 つの異なるユーザーグループに対してデフォルトの設定があります。

- 米国からのユーザー
- EU、英国、欧州自由貿易連合 (EFTA) 諸国 (アイスランド、リヒテンシュタイン、ノルウェー、スイス) のユーザー
- 他のすべての国のユーザー。

デフォルトの同意ポリシーは、エンドユーザーの地理的位置によって異なります。

上記の一覧では、使用可能な追跡同意ポリシーの詳細と、米国のユーザー、EU、EFTA、英国のユーザー、 他のすべての場所からのユーザーのデフォルトの設定が取り上げられています。

明示的オプトイン

ユーザーには、追跡をオプトインするか拒否するかを選択するためのメッセージが表示されます。このポリシーは、EU、EFTA、英国のユーザー のデフォルトの同意ポリシーです。

通知

ユーザーには、アプリケーションでのアクティビティが追跡されることを説明するメッセージが表示されます。このポリシーは、米国以外および EU、EFTA、英国のユーザー 以外のデフォルトの同意ポリシーです。

同意不要

ユーザーは自動的に追跡され、オプトインするか追跡を拒否するかを尋ねるメッセージは表示されません。このポリシーは、米国ユーザーのデフォルトの同意ポリシーです。

基本追跡

基本追跡同意ポリシーにより、アドミンロールを持つユーザーは使用状況測定基準のみを取得できます。この同意ポリシーは、ユーザーアクティビティを追跡および処理しますが、基本的なユーザーデータのみを保存します。この基本データには、ハッシュ化されたユーザー ID (情報がServiceNow ユーザーエクスペリエンスアナリティクスサーバーに送信される前にエンドユーザー識別子をハッシュするプロセス) と、セッション時間を含む部分的なセッションの詳細の保存内容が含まれます。

> **注:**
> ユーザーが追跡をオプトアウトすると、基本追跡は有効ではなくなります。ユーザーは、オプトインプロンプトに `「いいえ」` と答えるか、 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス > 追跡の有効化/無効化。

無効

どのユーザーエクスペリエンスアナリティクス追跡対象アプリケーションでもユーザーの追跡は行われません。使用状況測定基準は、これらのユーザーからは取得されません。

> **注:**
> 同意ポリシーは、関連するカウンターを更新することで、ユーザーエクスペリエンスアナリティクスダッシュボードの数値 KPI に影響を与えます。このプロセスでも、ユーザーベース全体の測定基準を表示できます。たとえば、すべてのユーザーに関連するイベント数といった集計データなどです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

国ごとの同意ポリシーの定義

さまざまな国内のユーザーの追跡同意ポリシーを定義します。すべての国に対して同じ追跡同意ポリシーを選択するか、割り当てられたデフォルト値を使用することも、国ごとに異なる同意ポリシーを定義することもできます。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
このタスクでは、[同意ポリシー] ページにある ユーザーエクスペリエンスアナリティクス さまざまな追跡同意ポリシーオプションを設定する方法について詳しく説明します。ポリシーをデフォルト値に戻すオプションがあります。次のデフォルトの追跡同意ポリシーは、国で使用できます。

注:
EFTAは、欧州自由貿易連合(アイスランド、リヒテンシュタイン、ノルウェー、スイス)の略です。

- 米国のユーザー:同意不要
- EU、EFTA、英国のユーザー – 明示的なオプトイン
- 米国以外および非EU、EFTA、英国のユーザー – 通知

トラッキング・ポリシーの詳細については、を参照してください ユーザーエクスペリエンスアナリティクスの追跡同意ポリシーのタイプ。

手順

1. 移動先 すべて > ユーザーエクスペリエンスアナリティクス > 同意ポリシー。
   [User Experience Analytics 同意ポリシー (User Experience Analytics consent policies)] ページが表示されます。

   注:
   ポリシーを選択すると、選択したポリシーに関連付けられているすべての国のリストが表示されます。

2. 次のいずれかの操作を実行します。

   注:
   追跡同意ポリシーを特定の国に適用する手順については、を参照してください 各国の同意追跡ポリシーの表示と更新ユーザーエクスペリエンスアナリティクス。

通知および明示的オプトインユーザー同意管理ポリシーのテキストの定義

提供されたデフォルトのテキストから、通知および明示的なオプトイン同意ポリシーのテキストを編集する方法について説明します。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて。
2. ナビゲーターに「 sys_ui_message.list 」と入力して「メッセージ」ページを開きます。
3. [キー] フィールドに、次のいずれかを入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- glide.analytics.consent.text.notice
- glide.analytics.consent.text.explicit_opt_in

4. 編集するキーメッセージを選択します。
5. メッセージ領域で、更新したテキストを入力し、[更新] を選択します。

ユーザーの同意管理ポリシーの表示

ユーザーとその追跡選択設定に関する詳細を表示および分析します。

始める前に
必要なロール:analytics_admin

手順

1. 移動先 すべて。
2. ナビゲーターに「 sys_analytics_user_consent_decision.list 」と入力して、User Experience Analytics の [ユーザーの同意の決定] ページを開きます。
3. ユーザーの追跡選択に適用されるデータを確認します。
このテーブルには、検出ポリシープロバイダーと、廃止されたテーブル [m2m_user_consent_info] からの移行日も含まれています。

ユーザーの場所を検出する方法を定義する

検出ポリシーを選択して優先順位を付けることで、ユーザーを検出します。これらのポリシーが適用される順序を定義することもできます。事前定義された検出ポリシーがありますが、カスタムスクリプトを作成して定義に柔軟性を持たせることができます。

始める前に
必要なロール:analytics_admin

このタスクについて
ユーザーの場所を検出するには、4 つの方法があります。[順序] フィールドを使用して方法に優先順位を付け、ポリシーをアクティブにするかどうかを選択します。

> **注:**
> 検出プロバイダーがアクティブでない場合、またはスクリプトが応答を返さない場合は、明示的なオプトインのシステムデフォルトポリシーが実装されます。

利用可能な検出ポリシープロバイダーは次のとおりです。

ユーザーの国

ユーザー テーブル [sys_user] に格納されている国コード [country] 列を使用します。

国 顧客スクリプト

プラットフォームに ServiceNow ロードしてユーザーの場所を特定し、国の ISO 3166-2 コードを返すカスタムスクリプト。

> **注:**
> 顧客スクリプトが定義されていても [アクティブ] フィールドが選択されていない場合、注文テーブルの次の優先度がアクティブ化されます。

ポリシー顧客スクリプト

ユーザーの同意ポリシーを決定し、同意ポリシーテーブル [sys_analytics_detection_policy_provider] からユーザーエクスペリエンスアナリ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ティクスポリシー名の 1 つを返すためにプラットフォームにServiceNowロードできるカスタムスクリプト。

> **注:**
> 顧客スクリプトが定義されていても [アクティブ] フィールドが選択されていない場合、注文テーブルの次の優先度が有効になります。

GeoIP

内部サービスを使用してユーザーの地理的位置を識別する IP ベースの検出プロバイダー。このプロバイダーは、検出ポリシーが選択されていない場合のデフォルトのオプションです。

手順

1. 移動先 すべて > ユーザーエクスペリエンスアナリティクス > 検出ポリシープロバイダー。
   [検出ポリシープロバイダー] ユーザーエクスペリエンスアナリティクス ページが表示されます。
2. いずれかの検出ポリシープロバイダーを選択して、そのアクティブステータスを更新し、ポリシーが適用される順序を変更します。

   > **注:**
   > ポリシーを適用するには、そのポリシーがアクティブである必要があります。

3. オプション: [国の顧客スクリプト] または [ポリシー顧客スクリプト] のいずれかを選択し、ユーザーの場所またはユーザーの同意ポリシーを特定して値を返すスクリプトを入力します。

   > **注:**
   > システムプロパティ *glide.analytics.consent.script_timeout* を使用して、スクリプトの実行時間を定義できます。詳細については、「ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 関連プロパティ」を参照してください。

   スクリプトの使用の詳細については、「JavaScript syntax editor」を参照してください。

各国の同意追跡ポリシーの表示と更新ユーザーエクスペリエンスアナリティクス

すべての国の同意追跡ポリシーを表示するか、既存のポリシーを更新する国を選択します。

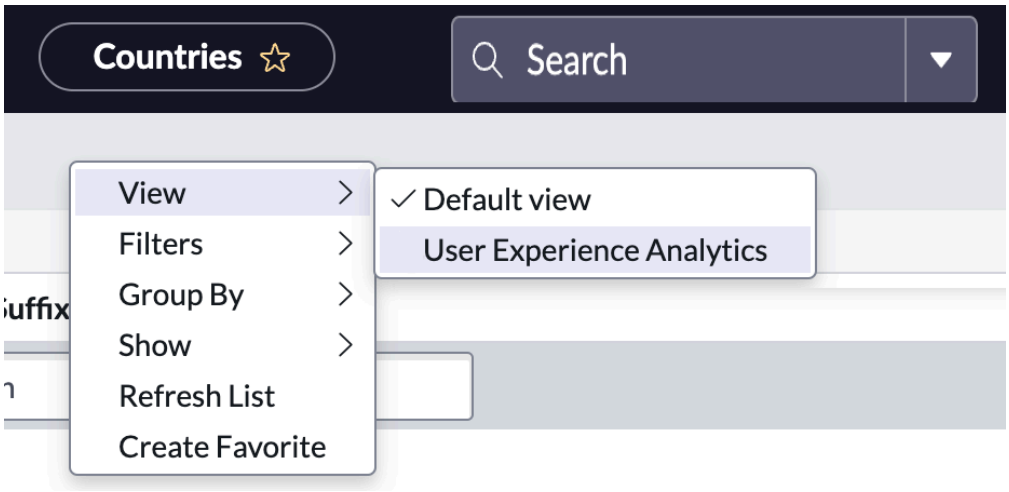
始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > ユーザー管理 > 国。
   「国」ページが表示されます。
2. ページヘッダーで、右クリックしてメニューを表示し、 ビュー > ユーザーエクスペリエンスアナリティクス

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



選択したビューには、すべての国とその割り当てられた同意追跡ポリシーが表示されます。

3. 同意追跡ポリシーを更新する国名を選択します。
4. [国] ページ内の [分析同意ポリシー] フィールドで、検索アイコン ( ) を選択します。
5. 新しいトラッキング同意ポリシーを選択します。
6. [更新] を選択します。

追跡対象分析フィールドと **Cookie**

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス は、Web およびモバイル分析フィールド、クライアント側の Cookie など、複数のソースからのデータを追跡します。

の追跡対象 **Web** 分析フィールド ユーザーエクスペリエンスアナリティクス

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス Web アプリケーションからデータを収集します。これらのテーブルには、追跡されるフィールドが一覧表示されています。レポートとグラフは、これらのフィールドから生成されます。

データの使用の詳細については、次を参照してください ユーザー分析の表示。

Web セッションに従って収集されるデータ

名前	説明	サンプル出力値
Userid	User Experience Analytics 内部ユーザー ID (順次 ID)	1
ハッシュ化されたユーザー ID	ユーザーの ServiceNow sys_idの SHA256 ハッシュ	f4a9baa650ab13d429abacf9f8c78d14fcf5c
Sessionid	一意のセッション ID	
セッションインデックス	特定のユーザーのセッションのシーケンシャルインデックス	sn_callback.callback_max_retry_attempts
Starttime	セッションの開始時間 (UTC 形式)	2023-03-23T23:59:58
セッションの期間	セッションの期間 (ミリ秒)	5165
デバイスタイプ	電話/タブレット/デスクトップ	電話

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明	サンプル出力値
デバイス	デバイスのメーカーとモデル。モバイルおよびタブレットデバイスのみ。	iPhoneの12
OSType	デバイスのオペレーティングシステム	iOS
Osversion	OS のバージョン	16.5
市区町村レベルの場所	市の場所は、エンドユーザーの IP アドレスから変換されます。IP はデータベースに保存されません。IP は、都市レベルのおおよその位置を提供するためにのみ使用されます。	カリフォルニア州ロサンゼルス
ブラウザの種類	Web ブラウザーの種類	Chrome
ブラウザーバージョン	Web ブラウザーのバージョン	(クローム)30.0
ロケール	ユーザーロケール文字列	EN-US

ページ訪問ごとに収集されるデータ

名前	説明	サンプル出力値
説明	ページ訪問で収集されたデータに関する追加情報	ホームページ
ページ ID	ページの一意の識別子	ホーム
Starttime	セッション内の相対開始時間	2023-03-23T23:59:58

自動翻訳

顧客イベントのために収集されるデータ (オプション)

これらのイベントは、クライアント側 API を呼び出すことによって追加できます。

名前	説明	サンプル出力値
名前	イベントの名前	カタログ要求の送信
時刻	セッション開始からのイベント時間 (ミリ秒)	945

イベントプロパティのために収集されるデータ

名前	説明	サンプル出力値
ページ ID	現在のページの ID	ホーム
プロパティ名と値	プロパティ名と値のキー値コレクション	{"バージョン" : "1.0", "アクティブ" : "false"}

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプションのプロパティについて収集されるデータ

名前	説明	サンプル出力値
プロパティ名と値	プロパティ名と値のキー値コレクション	{"言語" : "英語"}

の追跡対象モバイル分析フィールド ユーザーエクスペリエンスアナリティクス

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス はモバイルデバイス上のモバイルアプリケーションからデータを収集します。これらのテーブルには、モバイルアプリケーションで追跡されるフィールドがリストされています。レポートとグラフは、これらのフィールドから生成されます。

データの使用の詳細については、次を参照してください ユーザー分析の表示。

モバイルアプリセッションに従って収集されるデータ

名前	説明	サンプル出力値
ユーザー ID	User Experience Analytics 内部ユーザー ID (順次 ID)	1
ハッシュ化されたユーザー ID	ユーザーの ServiceNow sys_idの SHA256 ハッシュ	f4a9baa650ab13d429b185d12b14fcf5c
セッション ID	一意のセッション ID	5a2b73857345abc3546243
セッションインデックス	特定のユーザーのセッションのシーケンシャルインデックス	sn_callback.callback_max_retry_attempts
開始時間	セッションの開始時間 (UTC 形式)	2023-03-23T23:59:58
セッションの期間	セッションの期間 (ミリ秒)	5165
アプリケーションバージョン	アプリケーションのバージョン番号	3.4.0
デバイスタイプ	電話/タブレット	電話
デバイス	デバイスのメーカーとモデル。モバイルおよびタブレットデバイスのみ。	iPhone X13 Pro
ROMのバージョン	ROM版(Androidのみ)	4.3.9
オペレーティングシステムバージョン	デバイスのオペレーティングシステムのバージョン	iOS 16.5
ネットワーク接続	WiFi /セルラー	WiFi
市区町村の場所	ユーザーの IP アドレスから変換された市区町村レベルの場所	カリフォルニア州ロサンゼルス

各画面訪問で収集されるデータ

名前	説明	サンプル出力値
画面名	データが収集される画面の名前	ログイン

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明	サンプル出力値
開始時間	セッション内の相対開始時間	2023-03-23T23:59:58

画面アクションのために収集されるデータ

名前	説明	サンプル出力値
型	UI アクションのタイプ (ボタンタップ、リスト選択など)	ボタンタップ
説明	UI アクションを説明するラベル	ログイン
Starttime	セッション開始時間からの時間 (ミリ秒)	780

画面ジェスチャーのために収集されるデータ

名前	説明	サンプル出力値
ジェスチャータイプ	ジェスチャのタイプ (タップ、スワイプなど)	タップ
座標	タッチ ジェスチャの X、Y 座標	TAP (X=100, Y=200)
応答	ジェスチャが応答したかどうかを示します	True
Starttime	ジェスチャ開始時間 (ミリ秒)	925
Endtime	ジェスチャ終了時間 (ミリ秒)	933

顧客イベントのために収集されるデータ (オプション)

これらのイベントは、クライアント側 API を呼び出すことによって追加できます。

名前	説明	サンプル出力値
名前	イベントプロパティの名前 (文字列)	購入完了
時刻	イベントプロパティの値 (文字列、ブーリアン、日付、数値)	9456

イベントプロパティのために収集されるデータ

名前	説明	サンプル出力値
プロパティ名	イベントプロパティの名前 (文字列)	記事名、言語
プロパティ値	イベントプロパティの値 (文字列、ブーリアン、日付、数値)	KB0050925

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユーザープロパティのために収集されるデータ

名前	説明	サンプル出力値
プロパティ名	ユーザープロパティの名前 (文字列)	英語
プロパティ値	ユーザープロパティの値 (文字列、ブーリアン、日付、数値)	sn_callback.callback_max_retry_attempts

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス クライアント側ストレージ **cookie**

クライアント側のユーザーアクティビティを追跡するには、、 ユーザーエクスペリエンスアナリティクスプラットフォームアナリティクス、 コア UIサービスポータル

SNAnalytics SDK は、セッションストレージとローカルストレージ変数の組み合わせを使用して、分析の追跡を容易にするために必要な情報を追跡します。

セッションストレージとローカルストレージの詳細については、 JavaScript.Info ドキュメントを参照してください。

SNAnalytics SDK の詳細については、開発者コミュニティの「SNAnalytics 」を参照してくださいSNAnalytics - Client 。

キー構造

ローカルに保存されるすべてのキーは、`sn:{API_KEY}:{KEY NAME}` という構造を使用して格納されます。

追跡対象の各ポータルには、インスタンスに保存される一意のAPI_KEYがあります。たとえば、API キー `abcd` とキー名 `tab` を持つポータルの場合、ローカルキーの値は `sn:abc:tab` になります。

セッションストレージ

セッションストレージは、Web ページの更新とユーザーナビゲーションの間の情報フローを維持するために使用されます。セッションストレージ内の情報は一時的であり、現在のタブの有効期間中のみ利用可能です。タブを閉じると、セッションストレージ情報は削除されます。

このテーブルには、セッションストレージに保存されているキーと値のリストが表示されます。

キー	説明
Srt	サーバーの応答時間。SNAnalytics が最後にサーバーと ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 正常に通信した時刻。
data	バックエンドに定期的にフラッシュされる、一時的に保存された分析データポイントのキュー。
ページ	現在のページの名前。サーバーによって自動的にキャプチャされます ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 。
タブ	現在のタブに対してランダムに生成された一意の識別子。

ローカルストレージ

ローカルストレージは、同意情報の追跡、ユーザーのハッシュ化されたID(同意が取り消されるとクリアされます)、およびブラウザ用にランダムに生成された識別子を維持するために使用されます。ローカルストレージ変数はローカルで永続的であり、ユーザーが閲覧データを消去すると削除されます。

自動翻訳

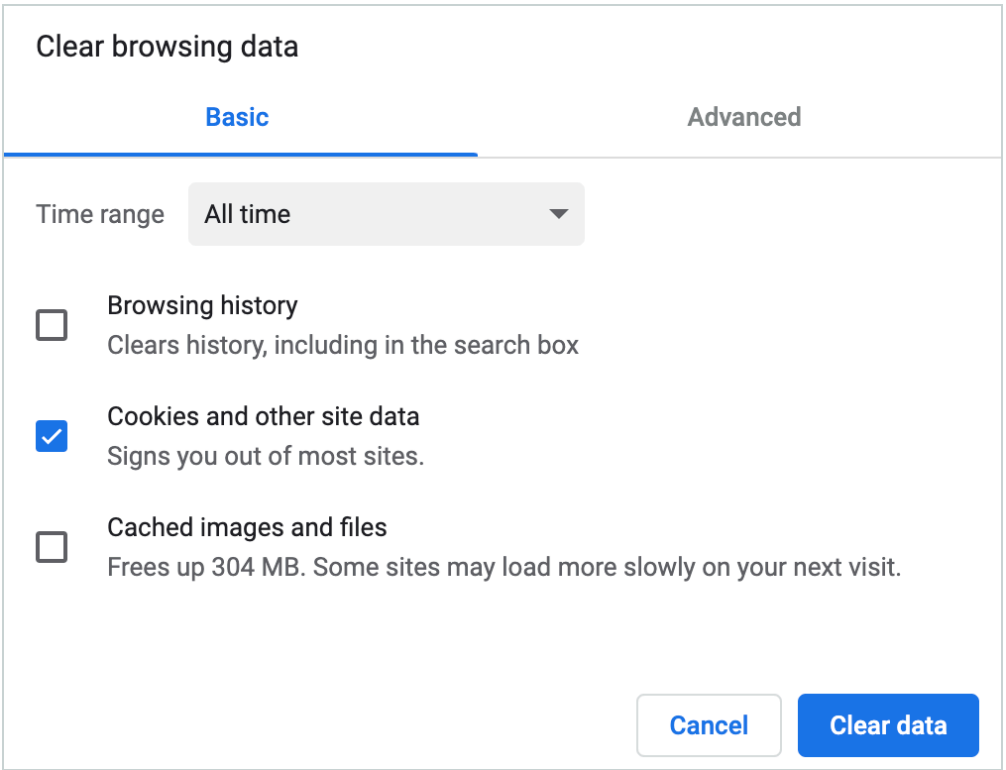
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このテーブルには、ローカルストレージに保存されているキーと値が一覧表示されます。

キー	説明
ブラウザー	現在のブラウザーに対してランダムに生成された一意の識別子。
クライアント	ブラウザーのキー値にマップされたサーバー割り当て ID。
user	顧客から提供されたハッシュ化されたユーザー ID。
同意	ユーザーが追跡されることに同意するかどうかを示すブール値 (はい/いいえ)。

ローカルストレージの削除

ローカルストレージ変数を削除するには、ユーザーはブラウザー内から閲覧データを消去する必要があります。たとえば、Chrome ブラウザーで、 履歴 > 全履歴を表示 > 閲覧履歴データを消去する。[閲覧履歴データの消去] ウィンドウで、[**Cookie** とその他のサイト データ] を選択し、[データの消去] を選択します。



ドメイン分離と ユーザーエクスペリエンスアナリティクス

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス ではドメイン分離がサポートされています。 ドメイン分離では、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

サポートレベル：ベーシック

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- アプリケーションサービスプロバイダーのユースケースに合わせてデータが適切なドメインに送られるようにするビジネスロジックが存在します。
- このアプリケーションは、Domain Separation を完全にサポートしています。ドメイン分離には、ユーザーインターフェイス、キャッシュキー、レポート、ロールアップ、および集計からのドメインの分離が含まれます。
- インスタンスのオーナーは、複数のテナント間で正常に機能するようにアプリケーションをセットアップする必要があります。

サンプルユースケース：サービスプロバイダーがチャットを使用してテナント顧客のメッセージに応答する場合、お客様がサービスプロバイダーの応答を確認できるようにする必要があります。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメイン分離のサポート)」を参照してください。

注:
内の ユーザーエクスペリエンスアナリティクス ドメイン分離は Mobile Platform、 サービスポータルに適用されます プラットフォームアナリティクス。内の ユーザーエクスペリエンスアナリティクス ドメイン分離は会話型分析には適用されません。

概要

のドメイン分離は、 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 特に関連するユーザーアクティビティの ユーザーエクスペリエンスアナリティクス ドメインデータを表示します。データには、指定されたドメイン内のアクティブなユーザーとセッションの数が含まれます。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクスにおけるドメイン分離の仕組み

の ユーザーエクスペリエンスアナリティクス ドメイン分離により、分析ビューアーはドメインごとに分析データを表示できます。 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス データは中央の ServiceNow データセンターから保存および取得され、インスタンスには保存されません。

のドメイン分離の設定方法 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス

Domain Separation プラグイン を有効にすると、のドメイン分離を設定する追加の手順は不要になりますユーザーエクスペリエンスアナリティクス。インスタンスに追跡データを含む複数のドメインが含まれている場合、モジュールのメニューに ドメイン モジュールアイコンが表示されます。

でのドメイン分離データの表示 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス

の ユーザーエクスペリエンスアナリティクス ドメイン分離データにアクセスして、指定されたドメイン内のアクティブなユーザーとセッションの数を表示します。

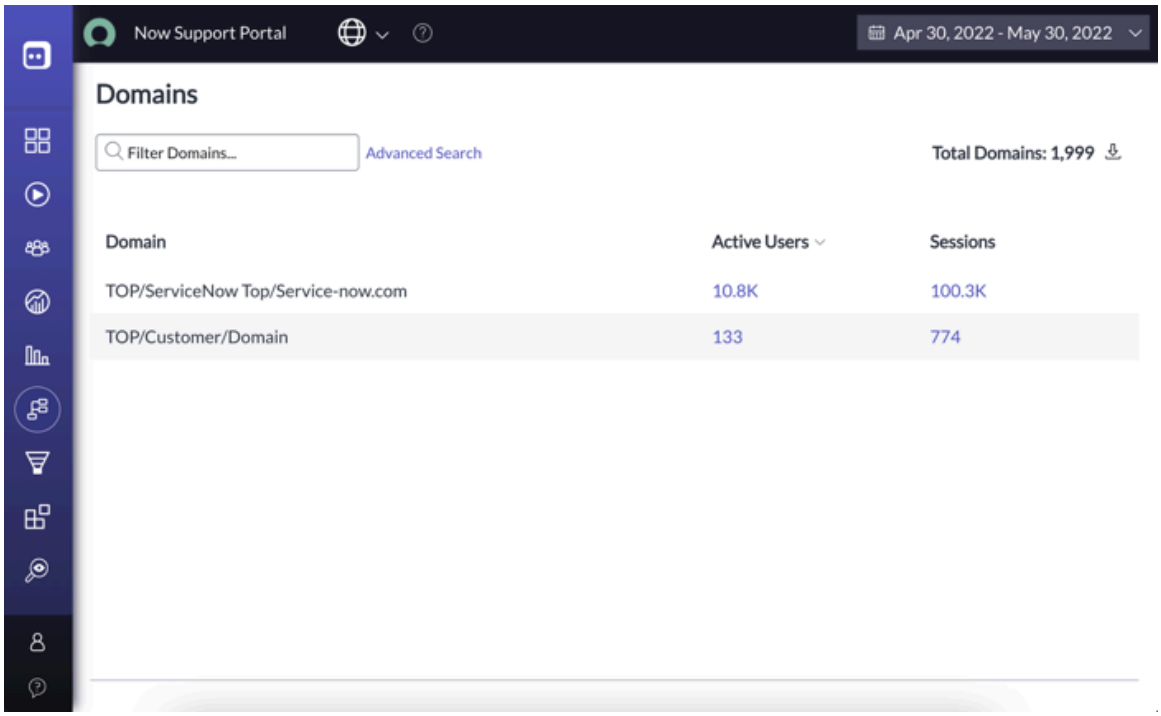
始める前に
必要なロール:analytics_viewer

Domain Separation プラグイン (com.snc.pa.domain_support) を有効にする必要があります。

手順

1. 移動先 すべて > ユーザーエクスペリエンスアナリティクス > ダッシュボード。
2. ドメインモジュールアイコン (ドメイン
   ドメインダッシュボードが開き、利用可能なすべてのドメインのリストが表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. ドメインダッシュボードで次のいずれかのアクションを実行します。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス とともにインストールされるコンポーネント

ユーザーロール、ジョブスケジュール、テーブルなど、いくつかのコンポーネントがプラグインとともに ユーザーエクスペリエンスアナリティクス インストールされます。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス は、これらのロール、スケジュール設定済みジョブ、テーブル、およびビジネスルールを使用します。

注:
アプリケーションファイルテーブルには、このアプリケーションとともにインストールされたコンポーネントがリストされています。このテーブルへのアクセス手順については、「アプリケーションとともにインストールされているコンポーネントの検索」を参照してください。

ジョブスケジュール

スケジュール設定済みジョブ	説明
ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 設定	sys_sg_native_clientテーブルを 1 時間ごとに照会し、対応する User Experience Analytics 設定が sys_analytics_bucket テーブルで定義されていないモバイルアプリケーションを処理します。
分析	一致するエントリがないsys_analytics_bucketのエントリを sys_analytics_authentication に登録します (認証設定のない分析バケット)。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル

テーブル	説明
ユーザーエクスペリエンス アナリティクス 設定 [sys_analytics_bucket]	プライマリテーブル。参照 ServiceNow するアプリケーションをサーバーに関連付ける情報が含まれています。

ビジネスルール

ビジネスルール	テーブル	説明
設定を作成ユーザーエクスペリエンスアナリティクス	sys_sg_native_client	新しい Web アプリケーションまたはモバイルアプリケーションが作成されるたびに設定を作成しますユーザーエクスペリエンスアナリティクス 。
新しい Web およびモバイルアプリケーションの登録	sys_sg_native_client	新しい Web アプリケーションやモバイルアプリケーションの即時登録を有効にします。

ロール

分析管理者 **[analytics_admin]**

アプリケーションナビゲーター内のユーザーエクスペリエンスアナリティクスダッシュボードのリンクと設定を表示し、各モバイル、Web、およびサービスポータルアプリケーションの設定を制御しユーザーエクスペリエンスアナリティクスます。割り当てられたユーザーは、User Experience Analytics ダッシュボードからじょうごおよびコホートレポートを作成できます。

ロールを含む

ロール内に含まれるロールのリスト。

- analytics_viewer
- chat_analytics_admin
- mobile_analytics_admin
- sdk_anaylitcs_admin
- web_analytics_admin

- アプリケーションナビゲーターでユーザーエクスペリエンスアナリティクスダッシュボードのリンクと設定を表示できます。
- 各モバイル、Web、およびサービスポータルアプリケーションの設定を制御 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス できます。
- じょうごグラフとコホートの各レポートを [User Experience Analytics] ダッシュボードから作成できるようにするには、 **admin** ロール権限が必要です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

グループ

分析管理者 [analytics_admin] は、分析設定マネージャー グループに含まれています。

特別な考慮事項

注:
より分化したロールが利用可能な場合は、管理者ロールを付与しないでください。

モバイル分析管理者 **[mobile_analytics_admin]**

アプリケーションナビゲーター内のユーザーエクスペリエンスアナリティクスダッシュボードのリンクと設定を表示し、各モバイルアプリケーションの設定を制御しユーザーエクスペリエンスアナリティクスます。アサインされたユーザーには、User Experience Analytics ダッシュボードからじょうごグラフとコホートの各レポートを作成できる admin ロール権限があります。

ロールを含む

モバイル分析管理者 [mobile_analytics_admin] には、モバイル分析ビューアー [mobile_analytics_viewer] ロールが含まれています。

グループ

モバイル分析管理者 [mobile_analytics_admin] は、モバイル分析設定マネージャーグループに含まれています。

特別な考慮事項

注:
より分化したロールが利用可能な場合は、管理者ロールを付与しないでください。

ウェブ解析管理者**[web_analytics_admin]**

アプリケーションナビゲーターの [ダッシュボード ユーザーエクスペリエンスアナリティクス] リンクと設定を表示し、各 Web アプリケーションの設定を制御し ユーザーエクスペリエンスアナリティクス ます。アサインされたユーザーには、User Experience Analytics ダッシュボードからじょうごグラフとコホートの各レポートを作成するための admin ロール権限があります。

ロールを含む

ロール内に含まれるロールのリスト。

- core_ui_analytics_admin
- now_experience_analytics_admin
- portal_analytics_admin
- web_analytics_viewer

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

特別な考慮事項

注:
より分化したロールが利用可能な場合は、管理者ロールを付与しないでください。

User Experience Analytics ビューアー [analytics_viewer]

アプリケーションナビゲーターの にある [ユーザーエクスペリエンスアナリティクス ダッシュボード] リンクを表示します。割り当てられたユーザーには、モバイルおよび Web アプリケーションのビューアロール権限 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス があります。

ロールを含む

ロール内に含まれるロールのリスト。

- web_analytics_viewer
- mobile_analytics_viewer
- sdk_analytics_viewer
- chat_analytics_viewer

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

特別な考慮事項

なし。

モバイル分析ビューアー **[mobile_analytics_viewer]**

アプリケーションナビゲーターの にある [ユーザーエクスペリエンスアナリティクスダッシュボード] リンクを表示します。割り当てられたユーザーには、モバイルアプリケーションのビューアロール権限 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス があります。

ロールを含む

ロール内に含まれるロールのリスト。

なし。

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

特別な考慮事項

なし。

Web 分析ビューアー [web_analytics_viewer]

アプリケーションナビゲーターの にある [ユーザーエクスペリエンスアナリティクス ダッシュボード] リンクを表示します。割り当てられたユーザーには、Web アプリケーションのビューアロール権限 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロールを含む

ロール内に含まれるロールのリスト。

- portal_analytics_viewer
- core_ui_analytics_viewer
- now_experience_analytics_viewer

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

特別な考慮事項

なし。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 関連プロパティ

システムプロパティを使用してユーザーエクスペリエンスアナリティクスプラットフォームアナリティクス、ServiceNow Mobile Platformサービスポータルおよび会話型分析領域を構成します仮想エージェント。

一般的な ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 関連プロパティ

、ServiceNow Mobile Platform、サービスポータル、の会話型分析領域仮想エージェントでプラットフォームアナリティクス次のシステムプロパティを使用します。

glide.analytics.enabled

ユーザー分析を追跡するオプションを有効にするかどうかを選択します。

- タイプ：true | false
- デフォルト値：false

glide.analytics.user.consent.script_timeout

プロバイダーのカスタムスクリプトをトリガーするときに、User Experience Analytics 同意ポリシーメカニズム中にスクリプトを実行できる最大時間 (ミリ秒)。最小値は 100 ミリ秒です。最大値は 5000 ミリ秒です。

- タイプ：文字列
- デフォルト値：2000

サービスポータル の ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 関連プロパティ

次のシステムプロパティ サービスポータル のみを使用します。

glide.analytics.tracking.force_allowed.portals

指定されたポータルのユーザーの同意ポップアップをオフにします。

- タイプ：文字列
- デフォルト値：なし

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

glide.analytics.tracking.restricted.portals

指定されたポータルのユーザー分析の追跡をオフにします。

このプロパティは *glide.sp.analytics.enabled.portals* プロパティを上書きします。ポータルを指定するには、その sys_id を [値] フィールドに貼り付けます。複数のポータルを指定するには、スペースを入れずにカンマ区切りのリストを入力します。

- タイプ：文字列
- デフォルト値：なし

glide.sp.analytics.enabled.portals

指定されたポータルのユーザー分析の追跡を有効にします。デフォルトでは、ベースシステムのサービスポータルで追跡が有効になっています。

- タイプ：文字列
- デフォルト値：81b75d3147032100ba13a5554ee4902b

のユーザー追跡設定 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス

高度な追跡は ユーザーエクスペリエンスアナリティクス いつでもオプトインまたはオプトアウトできます。

始める前に
必要なロール：ユーザー

このタスクについて
高度なトラッキングのオプトインまたはオプトアウトは、モバイルデバイス、 で、 サービスポータルまたは Web ベースの UI 内で行うことができます。オプトインまたはオプトアウトの選択は、高度な追跡が行われるすべての領域 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス に適用されます。

手順

プラットフォームにアクセスし、モバイルアプリケーション、 、サービスポータルまたは Web ベースの UI を使用して、高度なトラッキング設定を行いますユーザーエクスペリエンスアナリティクス。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス の **KPI**

でUI ビルダーサポートされている KPI をインポートユーザーエクスペリエンスアナリティクスできます。

サポートされている **KPI**

KPI	定義	必須項目	サポートされている可視化タイプ
イベント	アプリケーションでトリガーされるイベント。この KPI を選択すると、1 つのイベントプロパティの発生回数と値分布を表示できます。	• アプリケーション • イベント名	• 単一スコアチャート • 時系列

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

KPI	定義	必須項目	サポートされている可視化タイプ
			• 棒グラフ • 円グラフ
セッション	Web アプリケーションまたはモバイルアプリケーションでトリガーされたセッションの数。 • Web アプリケーション: セッションは、30 分間の非アクティブ状態または 4 時間の進行中のアクティビティとして定義されます。 • モバイルアプリケーション：アプリケーションがフォアグラウンドとバックグラウンドで切り替えられるたび。	アプリケーション	• 単一スコアチャート • 時系列
ユーザー	アプリケーションを使用しているアクティブな一意のユーザーの数。 • アクティブユーザー:アプリケーション内のすべてのユーザーの数を表します。 • 新規ユーザー: 最初のセッションを実行したユーザーの数を表します。	• アプリケーション • ユーザータイプ (アクティブまたは新規ユーザー)	• 単一スコアチャート • 時系列

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス と パフォーマンスアナリティクス の統合

プラグインの更新 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス パフォーマンスアナリティクス統合 をから ServiceNow Store取得します。

始める前に

必要なロール：admin

このタスクについて

とパフォーマンスアナリティクスのデータの統合ユーザーエクスペリエンスアナリティクスはベースシステムに含まれています。このタスクでは、プラグインを ユーザーエクスペリエンスアナリティクス パフォーマンスアナリティクス統合 アンインストールして再インストールするシナリオについて説明します。アプリケーションの詳細については ServiceNow Store 、「」を参照してください Install a ServiceNow Store application 。

への UI ビルダーデータのエクスポートの詳細については、「 データの可視化 UIB のセットアップ 」を参照してください。

手順

1. インスタンスで ユーザーエクスペリエンスアナリティクス プラグイン [com.glide.appsee] が有効になっていることを確認します。
2. ServiceNow Storeに移動し、 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス パフォーマンスアナリティクス統合を検索します。
3. の ユーザーエクスペリエンスアナリティクス パフォーマンスアナリティクス統合最新バージョンを選択します。
   ストアは、更新と ユーザーエクスペリエンスアナリティクス パフォーマンスアナリティクス統合データ構成ツールをインストールします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス の使用

Web アプリケーションおよびモバイルアプリケーションの使用状況と導入状況を把握するために使用します ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 。

を使用すると ユーザーエクスペリエンスアナリティクス、Web およびモバイルアプリケーションの使用状況と導入に関するインサイトを得て、より直感的なユーザーエクスペリエンスを作成できる場所を理解できます。アプリケーションを利用するユーザーの数と時間の経過に伴う保持率を確認することに加えて、ステップを実行するときのユーザーの行動を表示し、ユーザーフローを確認して、ナビゲート方法のより大きなビューを提供できます。さらに、 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 場所、セッションの長さ、オペレーティングシステムなどの分析をレポートするユーザーレポートを作成するツールを提供します。

管理者は、次の ServiceNow アプリケーション内のアプリケーションのユーザーアプリケーションの使用状況、イベント、およびユーザーレベルの分析を確認できます。

- プラットフォームアナリティクス
- サービスポータル
- Mobile Platform (Mobile Agent、Now Mobile、Now Mobile Admin を含む)
- 仮想エージェント

注:
データをエクスポートしてデータにアクセスする ユーザーエクスペリエンスアナリティクス こともできます。 UI ビルダー「 Data Visualization UIB の設定 」を参照してください。

注:

この Mobile Onboarding アプリは廃止される予定です。

Rome リリース以降 Now Platform 、アプリのサポートは段階的に廃止 Mobile Onboarding され始めました。アクティブ化できなくなり、拡張機能や重要でないバグ修正は開発されません。Mobile Onboarding 機能は 、HR Service Delivery 向けの Now Mobile アプリ で利用できます。

ダッシュボードの概要ユーザーエクスペリエンスアナリティクス

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス ダッシュボードとリストビューに詳細な KPI データを表示します。プロダクトマネージャーは、Webまたはモバイルアプリケーションの使用と採用に関する適切なインサイトを得ることができます。

閲覧 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 者ロールを持つユーザーは、次の場所に移動してダッシュボードにアクセスできます。 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス > ダッシュボード.

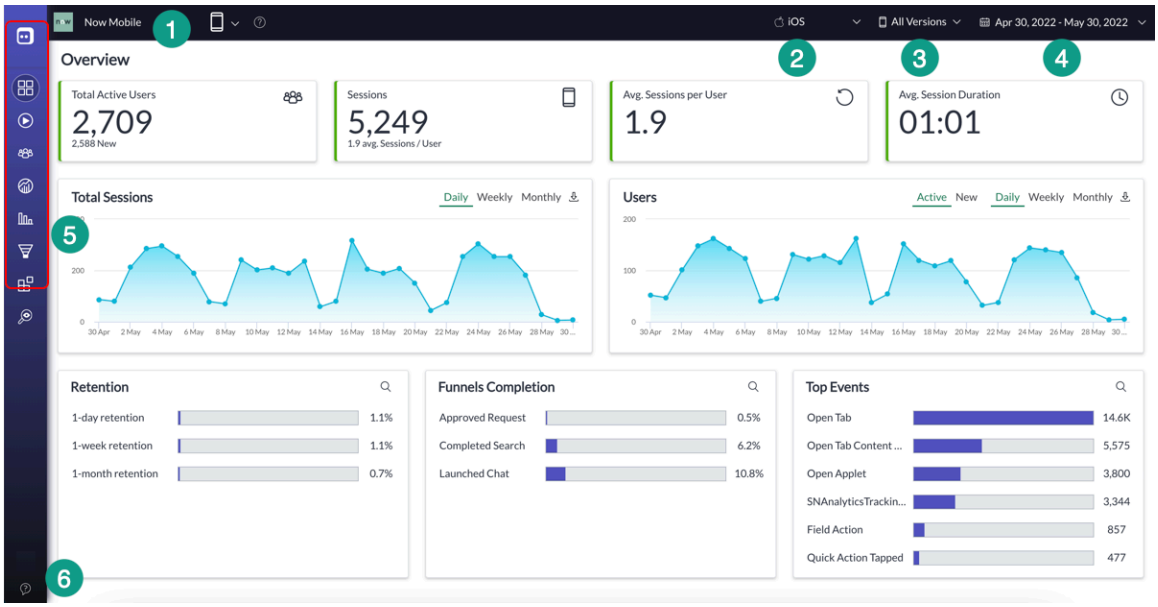
ダッシュボードの ユーザーエクスペリエンスアナリティクス カウンターには、集計されたユーザー数が含まれています。

注:
[無効] という名前の追跡同意ポリシーが選択されている場合、ユーザー メトリックは追跡されません。

ダッシュボードでは、次のモジュールとコントロールにアクセスできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ダッシュボード

トップメニューには、最も頻度の高いダッシュボードタスクを実行するために選択した Web またはモバイルアプリケーション、プラットフォーム、およびバージョンのリストが含まれています。

アプリケーション、プラットフォーム、およびバージョンのメニュー

特長エリア	UI コンポーネント	説明
1	Web およびモバイルアプリケーションリスト	登録された Web およびモバイルアプリケーションのリスト。次のビューから選択できます。 • [すべてのアプリケーション] (デフォルトのランディングページ) には、現在のインスタンス内のすべてのアプリケーションに関する基本的な統計情報が表示されます。 • 分析を表示する個々のアプリケーションを選択します。
2	モバイルプラットフォームリスト (いずれかのモバイルアプリケーションを選択すると表示されます。)	分析を表示するモバイルプラットフォームを選択します。 • すべてのプラットフォーム **注:** このオプションを選択すると、UI Analysis モジュールと Conversions モジュールは表示できません。 • **iOS** • **Android**
3	モバイルアプリケーションバージョンリスト (モバイルアプリケーションを選択し、モバイルプラットフォームを指定すると表示されます。)	分析を表示するために選択できるアプリケーションバージョンのリスト。

自動翻訳

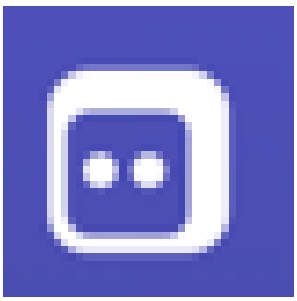
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーション、プラットフォーム、およびバージョンのメニュー (続く)

特長エリア	UI コンポーネント	説明
4	日付範囲セレクター	日付を入力するか、スライダーを使用して表示するデータの日付範囲を選択します。デフォルトは [過去 **30** 日間] です。

モジュールメニューでは、セッション、分析、および変換レポートモジュールにアクセスできます。

モジュールメニュー

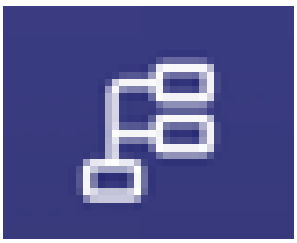
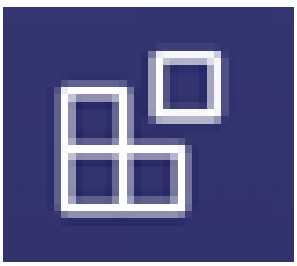
特長エリア	UI コンポーネント	説明
	ロゴ 	ロゴ。ユーザーエクスペリエンスアナリティクス
	概要 	選択したアプリケーションまたは現在のインスタンス内のすべてのアプリケーションについて、KPI の概要を 1 つの画面に視覚的に表示します。
	アプリケーション 	アプリケーションリストを表示します。このオプションは、[アプリケーション] リストから選択した プラットフォームアナリティクス 場合に使用できます。
	セッション 	フィルター、ドリルダウン、およびエクスポートが可能なユーザーセッションリストを表示します。
	ユーザー 	フィルター、ドリルダウン、およびエクスポートが可能なユーザーリストを表示します。
	UI 分析 	アプリケーションの UI に関するインサイトを表示します。このモジュールは、[モバイルプラットフォーム] リストから [すべてのプラットフォーム] が選択されている場合は利用できません。
	分析	次の分析を表示します。

sn_callback.callback_max_retry_attempts

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モジュールメニュー (続く)

特長エリア	UI コンポーネント	説明
		• 使用法 • 技術的 • 地理的 • イベント • 保持
	ドメイン 	関連するユーザーアクティビティ専用の ユーザーエクスペリエンスアナリティクス ドメインデータを表示します。データには、指定されたドメイン内のアクティブなユーザーとセッションの数が含まれます。
	じょうごグラフ 	関連するユーザーのコンバージョン プロセスに基づいてじょうごグラフ レポートを表示し、作成できるようにします。このモジュールは、[モバイルプラットフォーム] リストから [すべてのプラットフォーム] が選択されている場合は利用できません。
	コホート 	ユーザーが目標を達成するために実行した一連のアクションに基づいてコホートレポートを表示し、作成できます。このモジュールは、[モバイルプラットフォーム] リストから [すべてのプラットフォーム] が選択されている場合は利用できません。
	検索のアナリティクス 	検索の分析ダッシュボードを表示します。このオプションは、高度な AI 検索管理ツールアプリがある場合に使用できます。
6	ヘルプ	関連ドキュメントへの URL リンクを提供します。

自動翻訳

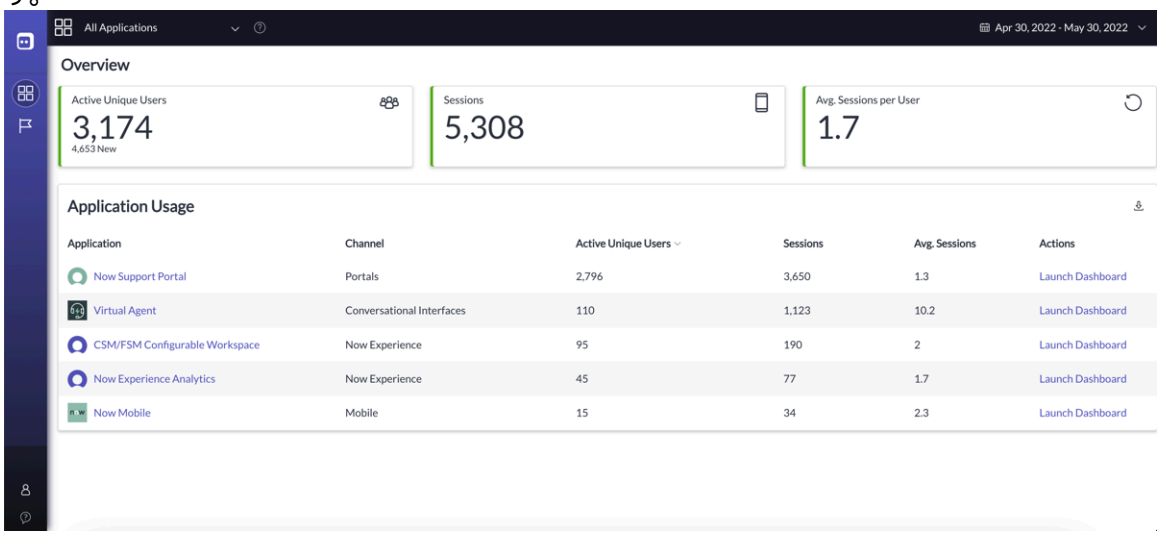
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モジュールメニュー (続く)

特長エリア	UI コンポーネント	説明
		

すべてのアプリケーションの測定基準

ダッシュボードから、インスタンス内のすべてのアプリケーションの基本的なアプリケーション使用状況とイベントの詳細を表示できます。これらのメトリックを同時に表示するには、[Web アプリケーションとモバイルアプリケーション] リストから [すべてのアプリケーション] をクリックします。

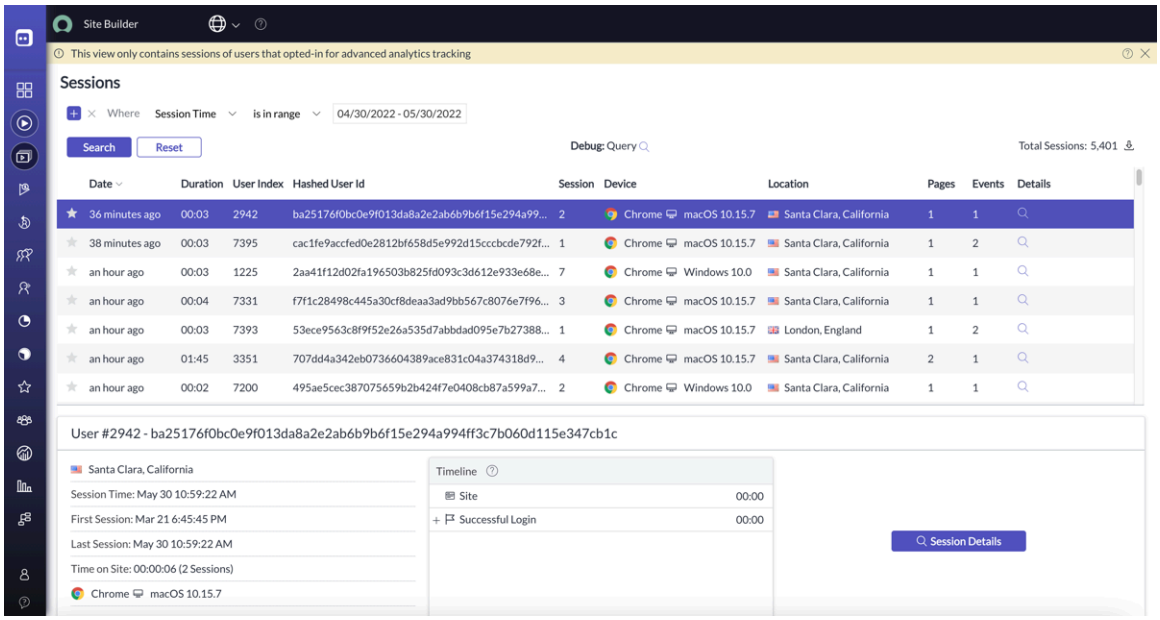


セッション分析の表示

セッションモジュールには、 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス より詳細なインサイトを得るためにドリルダウンできるフィルター可能なアプリケーションセッションが一覧表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



セッションモジュール - セッションリスト

フィールド	説明
リフレッシュ	選択したフィルターと更新されたセッションデータでセッションリストを更新します。
リストフィルター	セッションリストをフィルタリングするためのプロパティオプション。
日付	セッションが発生した日付。
合計セッション数	選択したプラットフォーム、アプリケーションバージョン、日付範囲、およびフィルターオプションで利用可能なセッションの合計数。
期間	セッションが継続した時間の長さ。 **注:** ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 最大セッション長 4 時間を追跡します。
バージョン	モバイルアプリケーションのバージョン。
ユーザーインデックス	アプリケーションバージョンの一意の各ユーザーにアサインされる自動生成番号。内部ユーザー ID の代わりに使用できます。
ハッシュ化されたユーザー ID	各ユーザーに対して生成されたハッシュ化された `sys_id` 値。実際のユーザー ID は表示されず、代わりに SHA-256 ハッシュ関数によって自動的にハッシュ化されます。 **注:** ポータルにログインしていないユーザーは「匿名」として表示されます。
セッション	ユーザーの一意のセッション番号。ユーザーがセッションを開始するたびに、新しい連続したセッション番号が追跡されます。
デバイス	ユーザーセッションが発生した特定のデバイス。
所在地	ユーザーがアプリケーションにアクセスした場所。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

セッションモジュール - セッションリスト (続く)

フィールド	説明
画面/ページ	ユーザーがアクセスした画面の数またはセッション中に表示したページの数。
アクション	セッション中にユーザーが実行したアクションの数。
詳細	選択したモバイルセッションのセッション詳細レコードを開きます。
インジケーター	セッションまたはユーザーレコードに関連付けられたインジケーターとタグを表示します。
ユーザーセッションレコードペイン	個々のセッションの概要を示し、個々のセッションの詳細に移動できるようにします。レコードペインは、セッションリストの下にあります。

注:
セッションリストは、セッションの日付でのみ並べ替えることができます。

フィルターオプション

セッションリストは、次のプロパティでフィルタリングできます。

- アクション
- 強制終了されたアプリ
- ブラウザの種類
- ブラウザーバージョン
- 市区町村
- 接続性
- 国
- デバイス
- デバイスタイプ
- 期間
- イベント
- ハッシュ化されたユーザー ID
- ロケール
- オフライン
- オペレーティングシステム
- オペレーティングシステムバージョン
- ページ
- スクリーニング
- セッション#
- 都道府県/地域
- タグ
- ユーザーインデックス

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

セッション詳細 レコード

セッションリストの表示

事前にフィルタリングされたセッションリストを表示し、追加のプロパティでセッションを検索します。

始める前に

必要なロール：ユーザー

手順

1. ダッシュボードから、 セッション をクリックし、表示するセッション・リストを選択します。

セッション・リスト・オプション	説明
すべて	すべてのユーザーセッションをリストします。
最初のセッション	アプリを初めて開いたユーザーのセッションを一覧表示します。各ユーザーの最初のセッションのみを表示します。
リピーター	アプリを複数回開いたユーザーのセッションを一覧表示します。2 番目のセッションから開始されたユーザーセッションのみを表示します。
常連ユーザー	アプリを 5 回以上開いたユーザーのセッションを一覧表示します。ユーザーの 5 回目のセッション以降のセッションを表示します。
クイック破棄	ユーザーが最初のセッションで 20 秒未満しか費やさなかったすべてのセッションをリストします。
ショートセッション	20 秒未満続いたセッションをリストします。
長時間のセッション	5 分以上続いたセッションを一覧表示します。
オフラインセッション	すべてのオフラインセッションをリストします。
お気に入り	お気に入りとしてマークされた個々のセッションを一覧表示します。

2. フィルターを定義してリストの結果を絞り込みます。

3. セッションのリストを表示するか、個々のレコードをクリックして特定のユーザーセッションの詳細を表示します。

関連情報

ユーザーとセッションの詳細の表示

セッションリストのフィルタリング

セッションリストを絞り込んで、アプリケーションに対して選択した画面やイベントなどのデータに焦点を当てます。

始める前に

必要なロール:analytics_admin、mobile_analytics_admin、web_analytics_admin、または portal_analytics_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. **Where** 条件行で、フィルターメニューからプロパティを選択します。
2. 必要に応じて演算子と値を選択します。
3. 別のプロパティを追加するには、プロパティの追加アイコン ( ) をクリックします。

- フィルターをクリアしてセッション・リストの元のフィルター・セットに戻すには、「 リセット」をクリックします。
- フィルタプロパティを削除するには、プロパティの横にある削除アイコン ( ) をクリックします。

4. [検索] をクリックしてフィルターを適用し、リストを更新します。

セッションおよびユーザーリストインジケーター

[セッション] リストまたは [ユーザー] リストでインジケーターとタグを表示およびフィルタリングできます。

リストフィルターを使用すると、使用可能なインジケーターまたはタグでユーザーまたはセッションのリストをフィルタリングできます。

注:
セッションモジュールまたはユーザーモジュール内からレコードに追加されたインジケーターは、そのモジュール内でのみ表示されます。たとえば、ユーザーモジュール内からユーザーレコードに追加されたタグは、[ユーザー] リストにのみ表示され、[セッション] リストには表示されません。

リストインジケーター

アイコン	説明
	オフラインセッションを示します。オフラインセッションは、ユーザーが接続できないか、携帯ネットワークが貧弱な場合に発生します。 **注:** ユーザーエクスペリエンスアナリティクス はデフォルトでオフラインセッションを追跡します。
	アカウントユーザーがセッションにタグを追加したことを示します ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 。

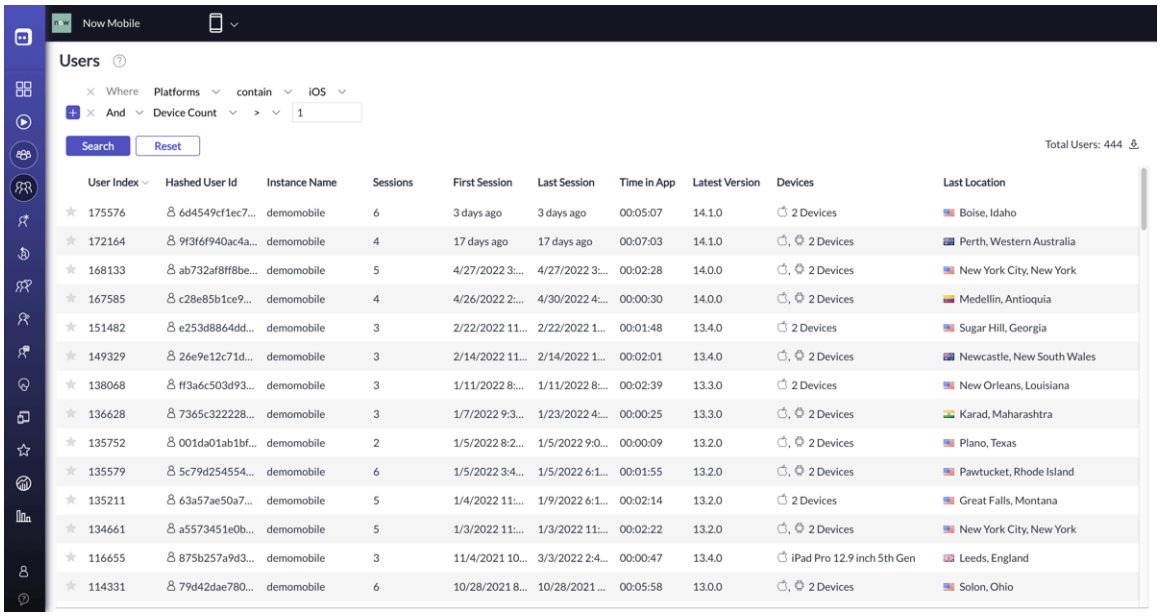
ユーザー分析の表示

ユーザーモジュールを使用すると、アプリケーションでのセッションの開始から終了までの、アプリケーションを介した個々のユーザージャーニーを表示できます。

タップやスワイプ、その他のタイムラインアクションなど、ユーザーの分析と行動を表示します。表示するユーザーを選択し、フィルターを設定し、個々のユーザーセッションにドリルダウンして、より詳細なインサイトを得ることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



[ユーザー] モジュール - [ユーザー] リスト

フィールド	説明
リストフィルター	ユーザーリストをフィルタリングするためのプロパティオプション。
合計ユーザー数	選択したアプリケーションバージョンとフィルターオプションのユーザーの合計数。
ユーザーインデックス	アプリケーションバージョンの一意の各ユーザーにアサインされる自動生成番号。内部ユーザー ID の代わりに使用できます。
ハッシュ化されたユーザー ID	各ユーザーに対して生成されたハッシュ化された sys_id 値。実際のユーザー ID は表示されず、代わりに SHA-256 ハッシュ関数によって自動的にハッシュ化されます。 **注:** ポータルにログインしていないユーザーは「匿名」として表示されます。
インスタンス名	インスタンスの分かりやすい表示名。
セッション	すべてのバージョンとデバイスでユーザーが実行したセッションの合計数。
第1セッション	ユーザーが最初にアプリケーションにアクセスした日時。
前回のセッション	ユーザーが最後にセッションを開始した日時。
アプリでの時間/サイトでの時間	すべてのバージョンとデバイスでユーザーがアプリケーションに費やした平均時間。
デバイス	ユーザーがアプリケーションをインストールしたすべての Web デバイスまたはモバイルデバイス。
前回の場所	ユーザーが最後にアプリケーションにアクセスした場所。
インジケーター	セッションまたはユーザーレコードに関連付けられたインジケーターとタグを表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
ユーザーリストは、ユーザーインデックスでのみ並べ替えることができます。

フィルターオプション

ユーザーリストは、次のプロパティでフィルタリングできます。

- アプリケーションバージョン
- ブラウザー
- ブラウザーバージョン
- 国
- デバイス数
- デバイスタイプ
- お気に入り
- 最初のセッション時間
- ハッシュ化されたユーザー ID
- 前回のセッション時間
- ロケール
- オペレーティングシステム
- セッション数
- セッションが存在します
- タグ
- 現地滞在時間
- ユーザーインデックス
- カスタムプロパティ

ユーザー リストの表示

事前にフィルタリングされたユーザーリストを表示し、より多くのユーザーまたはセッションプロパティでユーザーを検索します。

始める前に

必要なロール:analytics_admin、mobile_analytics_admin、web_analytics_admin、または portal_analytics_admin

手順

1. ダッシュボードから、 ユーザーをクリックし、表示するリストを選択します。

[ユーザー] リストオプション	説明
すべて	すべてのユーザーをリストします。
新規ユーザー	指定された期間内に初めてアプリを開いたユーザーを一覧表示します。各ユーザーの最初のセッションのみを表示します。
リピーター	すべてのデバイスでアプリを複数回開いたユーザーを一覧表示します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

[ユーザー] リストオプション	説明
常連ユーザー	アプリを 5 回以上開いたユーザーを一覧表示します。ユーザーの 5 回目のセッション以降のセッションを表示します。
返されない	アプリを 1 回だけ開いたユーザーを一覧表示します。
先週アクティブ	過去 7 日以内にアプリを開いたユーザーを一覧表示します。
マルチプラットフォーム	iOS と Android の両方にアプリをインストールしたユーザーを一覧表示します。
マルチデバイス	複数のデバイスにアプリをインストールしたユーザーを一覧表示します。
お気に入り	お気に入りとしてマークされた個々のユーザーを一覧表示します。

2. フィルター条件を追加して、リスト結果をさらに絞り込みます。

次のタスク
リストアイテムをクリックして、選択したユーザーのセッションレコードを表示します。

ユーザーリストのフィルタリング

Web プラットフォームやモバイルプラットフォーム、ユーザーの国などのデータに焦点を絞ってユーザーリストを絞り込むか、カスタムフィルターを追加します。

始める前に
必要なロール:analytics_admin、mobile_analytics_admin、web_analytics_admin、または portal_analytics_admin

手順

1. **Where** 条件行で、フィルターメニューからプロパティを選択します。

2. 必要に応じて演算子と値を選択します。

3. 別のプロパティを追加するには、プロパティの追加アイコン ( ) をクリックします。

- フィルターをクリアしてユーザーリストの元のフィルターセットに戻すには、[リセット] をクリックします。
- フィルタプロパティを削除するには、プロパティの横にある削除アイコン ( ) をクリックします。

4. [検索] をクリックしてフィルターを適用し、リストを更新します。

セッションイベントのタイムラインを表示する

ユーザーセッションのタイムラインを表示して、ユーザーがセッション内でページ上の要素とやり取りした時間を示すイベント時間のリストを表示します。

始める前に
必要なロール:analytics_admin、mobile_analytics_admin、web_analytics_admin、または portal_analytics_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. に移動します。 すべて > セッション または ユーザー モジュールをクリックし、リストアイテムを選択してユーザーセッションレコードを表示します。
2. ユーザーセッションレコードでタイムラインを表示するか、タイムラインからユーザージェスチャーリストアイテムを選択して [セッションの詳細] 画面から表示します。

ユーザーとセッションの詳細の表示

ユーザーセッションとセッションの詳細レコードで、ユーザーセッションの詳細とセッションの 履歴を表示します。

[ユーザー] または [セッション] モジュールに移動し、リストアイテムを選択して個々のユーザーセッションレコードを表示します。

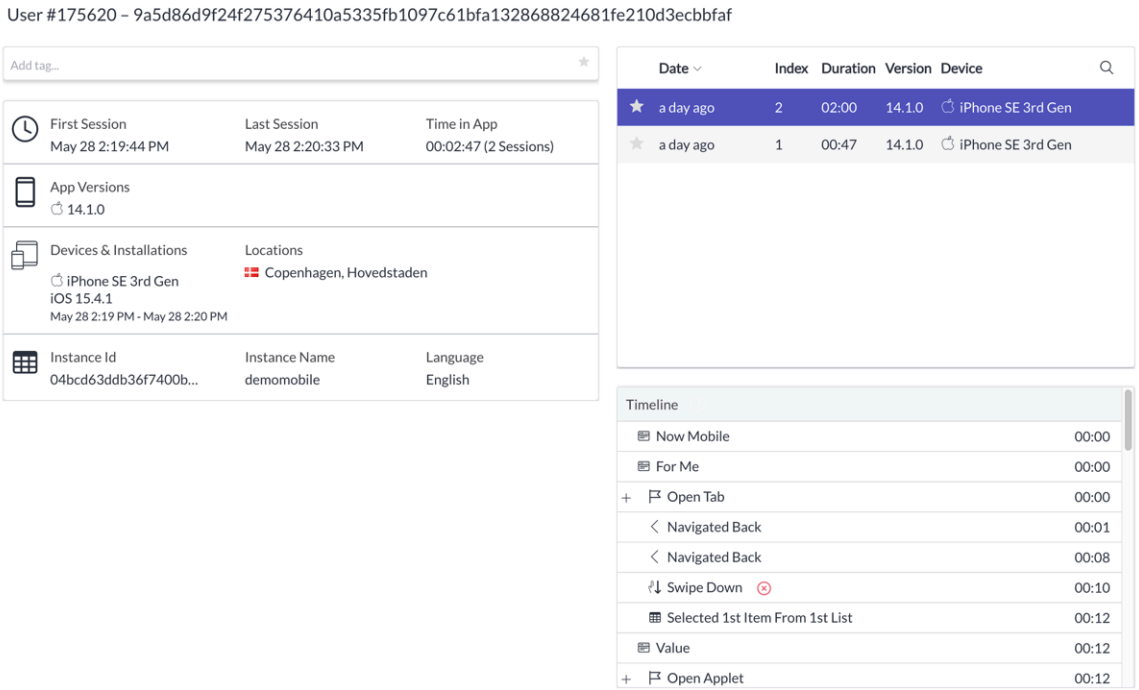
注:
ユーザーデータはデバイスごとに追跡され、ユーザーの下でセッションをログに記録します。ただし、ユーザーが複数のアプリケーションインスタンスまたは言語にアクセスする場合、履歴データは追跡されず、インスタンス ID、インスタンス名、および言語にはユーザーの最新のログインのみが反映されます。

ユーザーセッションレコード

ユーザーの全体的なセッション統計情報と、ユーザーの特定のセッションのイベントタイムラインの詳細を表示します。

セッション画面またはユーザーリスト画面からユーザーセッションレコードにアクセスできます。

- セッションリスト画面で、タイムラインイベントをクリックします。
- ユーザーリスト画面で、リストからユーザーレコードをクリックします。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ユーザー ID	各ユーザーに対して生成されたハッシュ化された sys_id 値。実際のユーザー ID は表示されず、代わりに SHA-256 ハッシュ関数によって自動的にハッシュ化されます。 **注:** ポータルにログインしていないユーザーは「匿名」として表示されます。
タグの追加	ユーザーのレコードに関連付けるテキストラベル名を入力します。割り当てられたタグは、[ユーザー] リストまたは [セッション] リストの個々のレコードで表示できます。
検索	ユーザーが実行したすべてのセッションについてフィルタリングされたセッションリストを開きます。
第1セッション	ユーザーが最初にアプリケーションにアクセスした日時。
前回のセッション	ユーザーが最後にセッションを開始した日時。
アプリでの時間/サイトでの時間	すべてのバージョンとデバイスでユーザーがサイトまたはアプリケーションで費やした平均時間と、ユーザーが実行したセッションの合計数。
ロケール	ユーザーがアプリケーションを表示した言語とアクセス元の国。
アプリケーションバージョン	ユーザーがすべてのデバイスにインストールしたすべてのアプリケーションバージョン。
デバイスとインストール	ブラウザーのタイプ、ユーザーが使用したデバイス、デバイスのバージョン、およびインストールごとにユーザーがアクティブであった日付範囲のリストを表示します。ユーザーがアプリを再インストールするたびに、新しい日付範囲が表示されます。
場所	ユーザーがセッションにアクセスした場所のリスト。
カスタムプロパティ	カスタムプロパティの追加に関する情報を提供する、利用可能な SDK API リファレンスドキュメントを開きます。
インスタンス ID	インスタンスの一意の識別子。
インスタンス名	インスタンスの分かりやすい表示名。
言語	セッションの実行に使用された、ユーザーのデバイスに設定された優先言語。
ログイン数	ユーザーがメールとパスワードを入力してアプリにログインした回数。
「セッション」ウィンドウ	次のセッションの詳細を表示します。 • 日付:セッションが発生した日付。 • インデックス:ユーザーのセッションの連番。 • 期間:セッションが継続した時間。 • バージョン:セッションが発生したモバイルアプリケーションのバージョン。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• デバイス:ユーザーがセッションを実行したモバイルデバイス。 • 検索 - 選択したユーザーのセッションに固有のセッションリストに移動します。 セッションは、日付、インデックス番号、セッション期間、またはアプリのバージョンで並べ替えることができます。
タイムライン	ユーザーセッションのイベントのタイムラインを表示します。 イベントの詳細を表示するには、タイムライン上のイベントの横にある展開アイコン + をクリックします。
セッション の詳細	選択したセッションの セッション 詳細 レコードを表示します。

関連情報

セッション詳細 レコード

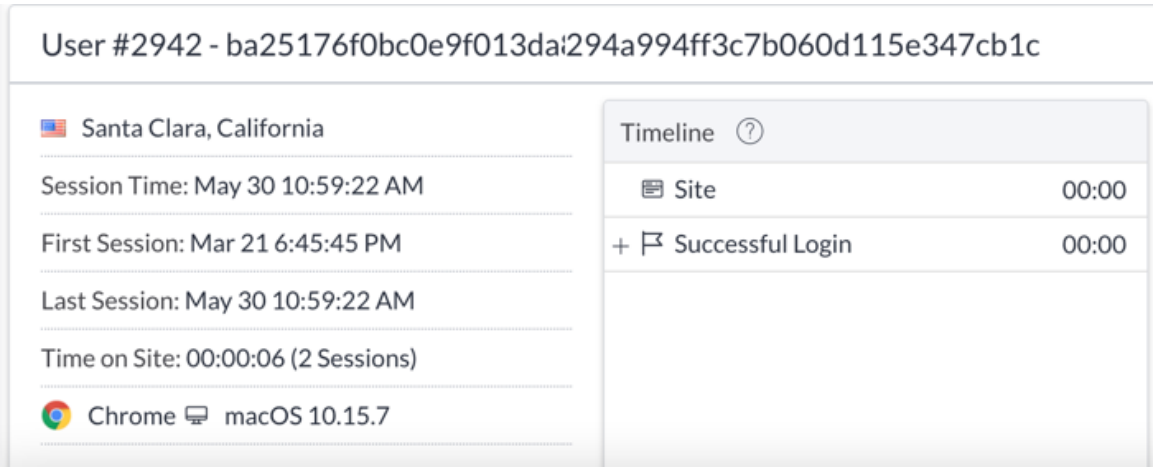
セッション詳細 レコード

特定のユーザーセッションの統計情報とタイムラインの詳細を表示します。

ユーザーセッションレコードからセッション詳細 レコードにアクセスします。

- セッションリスト画面から:ユーザーセッションレコードで、[セッションの詳細]ボタン または タイムラインイベントをクリックします。
- ユーザーリスト画面で、リストからユーザーレコードをクリックし、タイムラインイベントをクリックします。

セッションの詳細 レコードからタグを表示して追加したり、ユーザーのセッション履歴を表示したりすることもできます。



関連情報

ユーザーセッションレコード

お気に入りのユーザーとセッションレコードのブックマークと表示

お気に入りのユーザーとセッションレコードのブックマークと表示

ユーザーレコードとセッションレコードを手動で選択して、お気に入りリストに表示します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

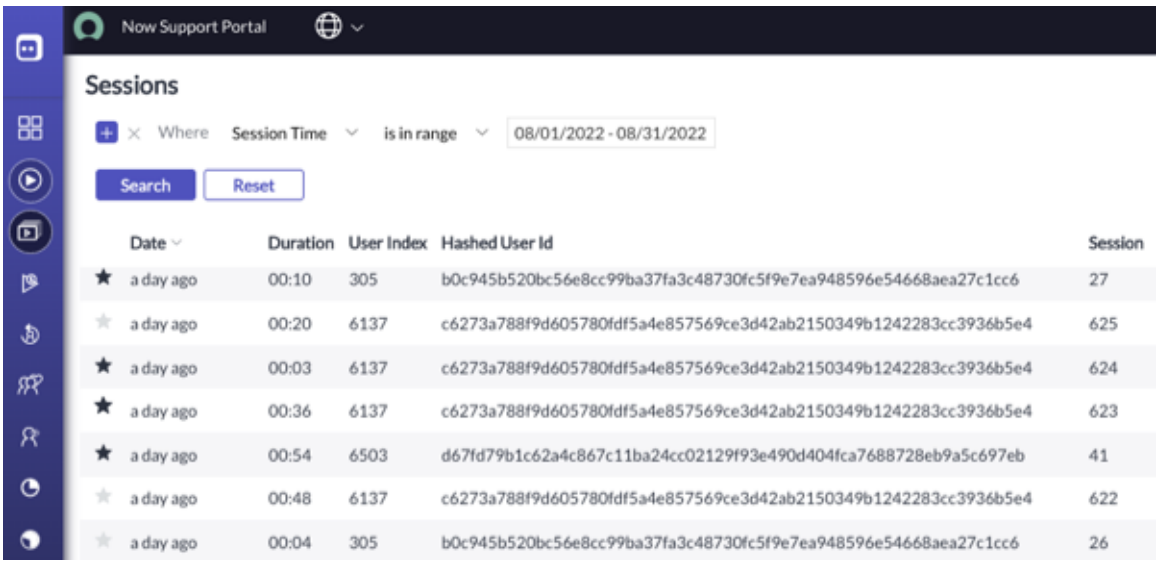
自動翻訳

始める前に
必要なロール：ユーザー

このタスクについて
ダッシュボードの各ユーザーおよびセッションレコードには、ユーザーインデックスまたはセッション日付の左側に星アイコンがあります。星型アイコンを選択して、レコードをお気に入りリストにブックマークします。

星をオンまたはオフにして、お気に入りリストからユーザーまたはセッションレコードを追加または削除し、選択したレコードからお気に入りを表示します。

セッションリストでお気に入りとしてブックマークされたレコード



手順

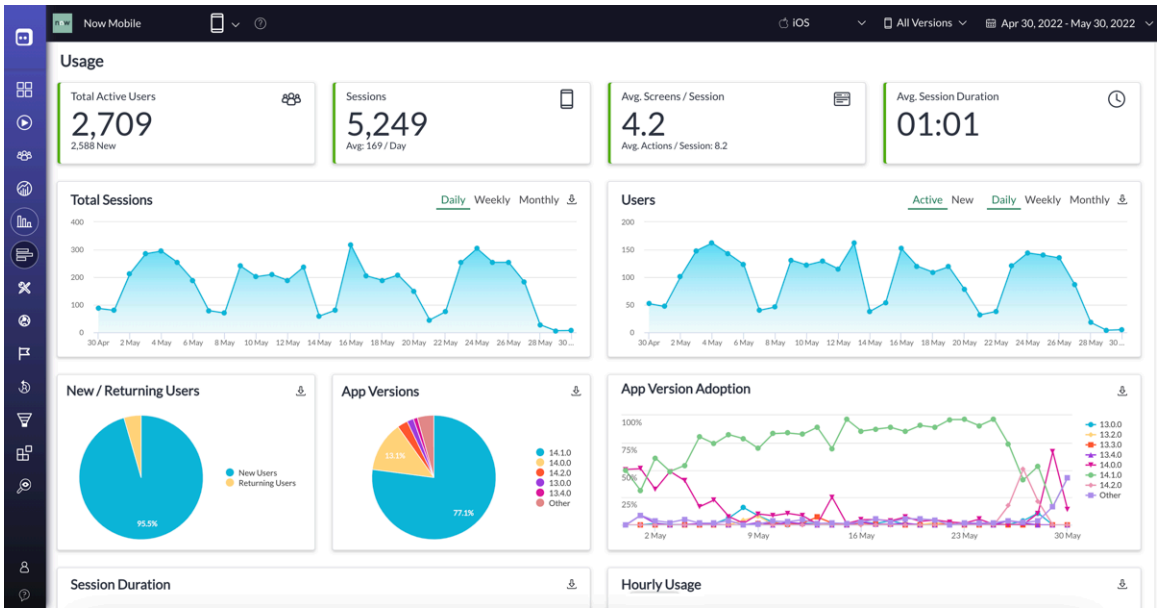
1. ユーザーモジュールまたはセッションモジュールのいずれかで、レコードの左側にあるお気に入りアイコン ([★ を選択してレコードをブックマークします。
2. 次のいずれかを実行して、ユーザーまたはセッション用にブックマークされたレコードを表示します。
   - モジュールメニューで、 ユーザー > お気に入り。お気に入りの結果をフィルタするには、「」を参照してください ユーザーリストのフィルタリング。
   - モジュールメニューで、 セッション > お気に入り。お気に入りの結果をフィルタするには、「」を参照してください セッションリストのフィルタリング。

Analytics モジュールの使用

シングルユーザーと集計されたインサイトをリアルタイムで取得します。

分析モジュールには、アプリの使用状況、技術的、地理的、イベント、およびユーザーのつなぎとめのデータがいくつかの視覚化タイプで表示されます。KPI は、選択したプラットフォーム、アプリバージョン、および日付範囲に固有に表示されます。特定のチャート化では、日次、週次、月次のデータビューの表示を選択できます。

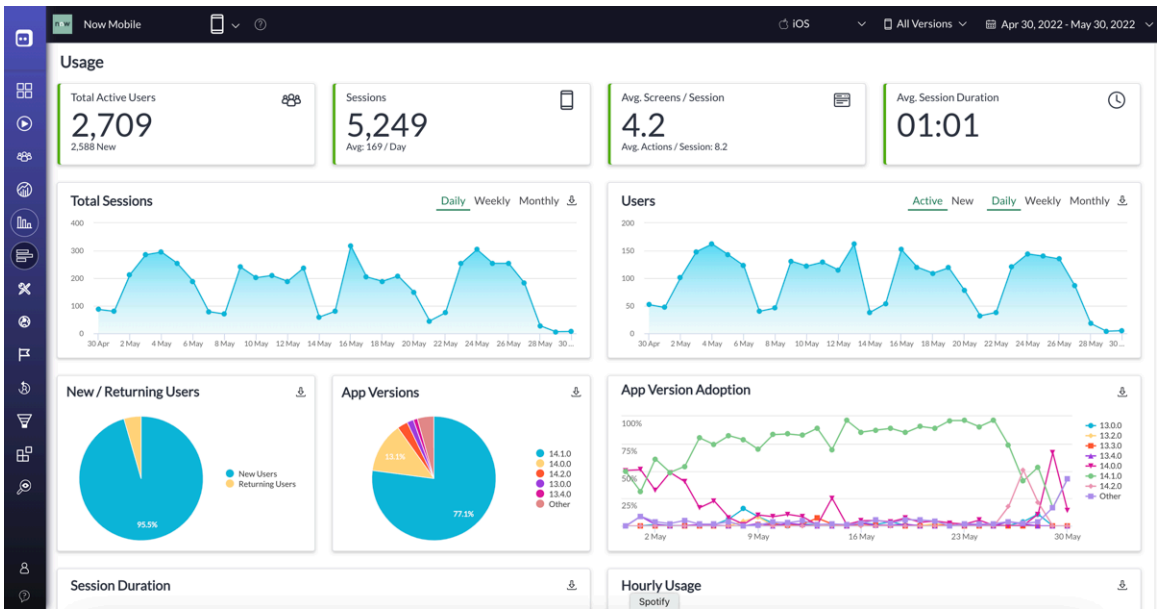
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



アプリ使用率

ユーザーの導入状況を把握するには、サイトやアプリのユーザーの合計数、毎日開かれたセッションの平均数、セッションの平均所要時間などの分析情報を確認します。

移動先 分析 > 使用法 を使用して、使用状況 KPI の概要を表示します。ほとんどの視覚化をポイントすると、セッションの日付、ユーザーの数と割合、アプリのバージョン番号など、簡潔で関連する詳細を表示できます。



アプリ使用状況 **KPI**

KPI	説明
合計アクティブユーザー数	指定された期間内に最初のセッションが発生したユーザーの合計数 (新規ユーザーを含む)。
セッション	発生したセッションの合計数と 1 日あたりの平均セッション数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリ使用状況 **KPI** (続く)

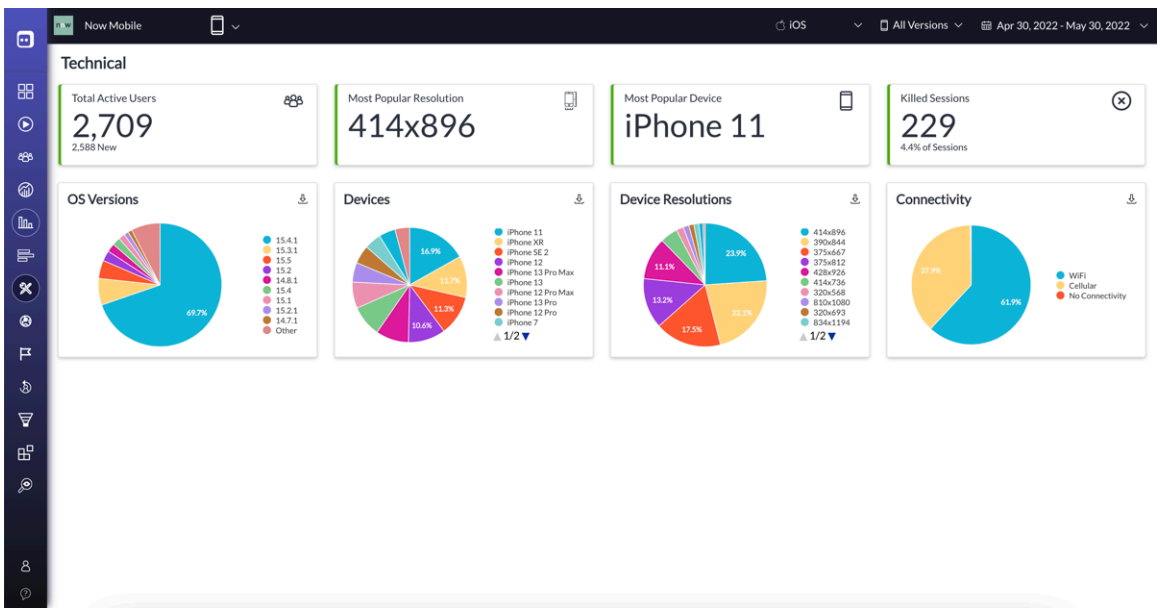
KPI	説明
平均画面数/セッション	セッションごとに表示されたページまたは画面の平均数と実行されたアクション。
平均セッションの期間	すべてのユーザーのセッション全体で費やされた平均時間。
合計セッション数	日次、週次、および月次で実行されるセッションの合計数。
ユーザー	日次、週次、月次のアクティブなユーザーと新規ユーザーの合計数。
新規/リピーター	指定された期間内に最初のセッションが発生したユーザーの割合と、その後に 2 番目のセッションを開始したユーザーの割合。
アプリケーションバージョン	選択したプラットフォームのユーザーによってインストールされたアプリのバージョン。
アプリバージョンの採用	アプリの異なるバージョン間のセッション区分を表示します。たとえば、昨日新しいアプリバージョンがリリースされ、今日が全アプリセッションの 10% を示している場合、新しいアプリバージョンの現在の採用率は 10% です。
セッションの期間	長さ/期間でセグメント化されたセッションの割合。
時間ごとの使用率	全日にわたる特定の時間に発生したアプリの平均起動回数。

テクニカル分析

ユーザーのオペレーティングシステム、デバイス、解像度データなどの分析を表示します。

テクニカル分析には、特定のオペレーティングシステムまたは特定のデバイスを使用するユーザーの数、特定の解像度でアプリケーションを使用するユーザーの数、Wi-Fi接続時にアプリにアクセスするユーザーの数などのデータが表示されます。

特定のチャート化をポイントすると、追加のパーセンテージまたは数値の詳細が表示されます。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

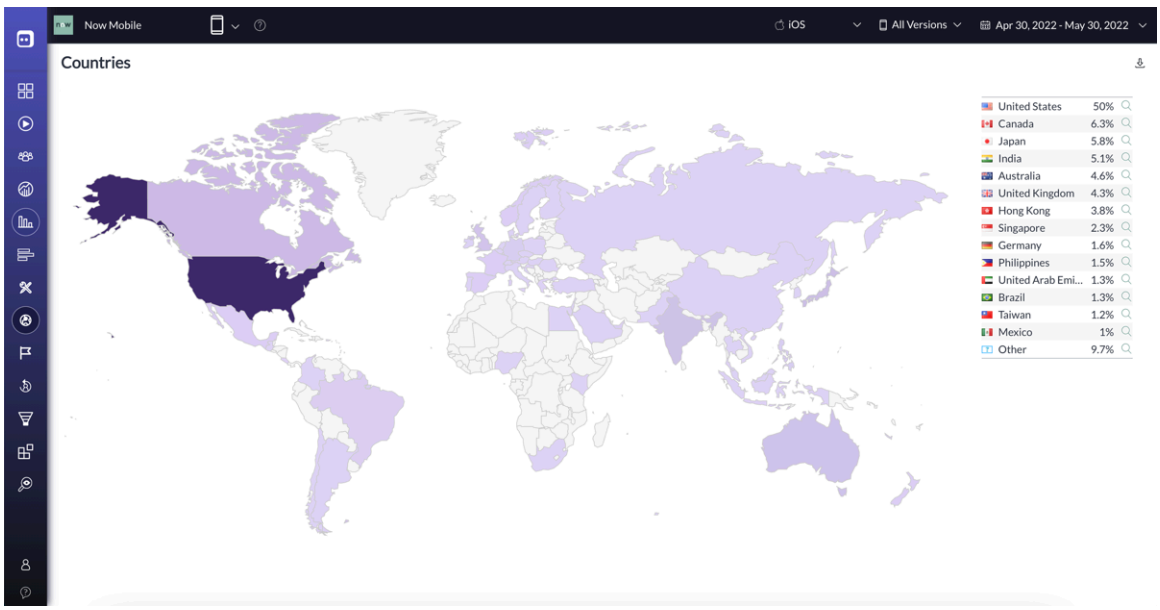
技術 KPI

KPI	説明
合計アクティブユーザー数	指定された期間内に最初のセッションが発生したユーザーの合計数 (新規ユーザーを含む)。
最も人気のある解決策	最も一般的に設定される解像度は、ユーザーデバイスがセッション中に設定されました。
最も人気のあるデバイス	セッション中に最も一般的に使用されるデバイス。
強制終了されたセッション	ユーザーによって強制終了されたセッションの数と、すべてのオープンセッションで強制終了したセッションの割合。
OS バージョン	ユーザーがセッションを実行した OS バージョン。
デバイス	ユーザーがセッションを実行したモバイルデバイス。
デバイス解像度	解像度は、セッション中にユーザーデバイスに設定されました。
接続性	ユーザーがセッションのためにインターネットにアクセスしたネットワーク方式。

地理解析

モバイルユーザーがアプリケーションにアクセスする地域、国、および州を確認します。

移動先 分析 > 地理的 をクリックして、国別のアプリの使用状況を確認します。



国の都道府県、またはテリトリーの内訳にドリルインするには、マップ内の国をクリックするか、パネルリスト内の国名をクリックします。

「その他」は、ユーザーがどの国からセッションを実行したかが不明であることを示します。

[拡大] アイコン [ をクリックして、その国のセッションのフィルター済みリストに移動します。

イベント

ユーザー分析イベントの発生を表示して、ビジネスプロセス内のコアステップを分析するのに役立ちます。

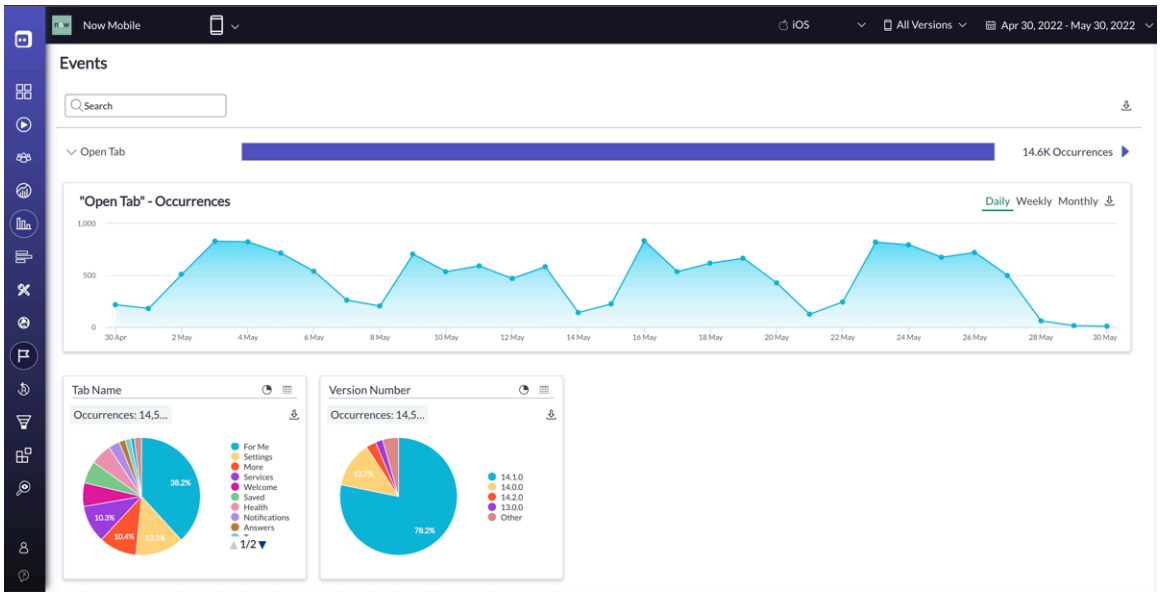
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール：ユーザー

このタスクについて
ユーザーエクスペリエンスアナリティクス は、アプリ内のすべての画面、ジェスチャー、ユーザーアクションを自動的に検出するため、時間を節約し、ワークフローを改善します。メニューの選択、ボタンのクリック、スワイプなど、ユーザーがトリガーしたイベントの発生を表示できます。

円グラフ ビューまたはテーブル ビューを表示するには、次のいずれかの切り替えオプションを選択します。 円



注:
[サンプルデータ] と表示されるイベントプロパティは、最新の 1 万件のレコードのみに基づくブレークダウン分析です。

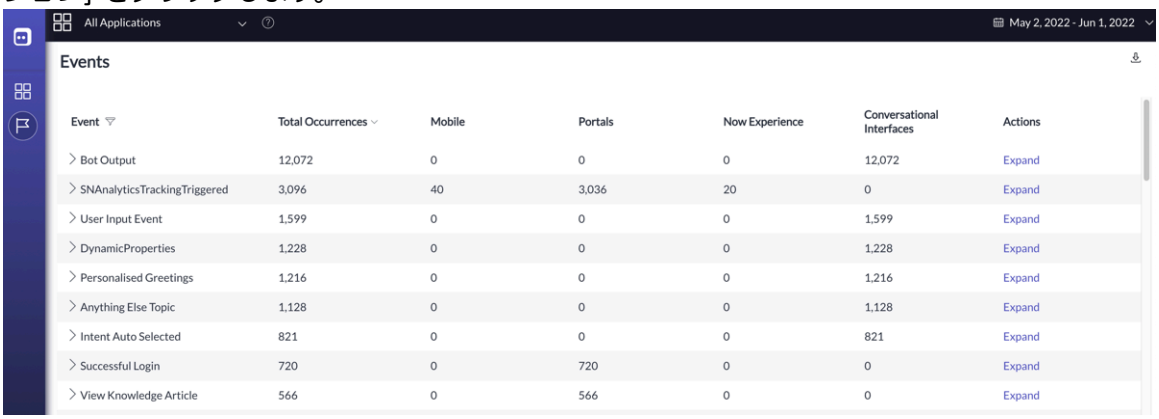
手順

1. 移動先 すべて > 分析 > イベント。
2. 次のいずれかのオプションに従います。
   - イベントを検索:
     a. 検索フィールドで、「イベント」リストでフィルタリングするイベントの名前を入力するか、スクロールして「イベント」リストを検索します。
     b. 表示するイベントの横にある右矢印アイコン (をクリックします。
     c. イベントの横にある「セッション・リスト」アイコン(「 をクリックして、セッション・リストから類似のオカレンスを表示します。
   - すべてのアプリケーションのイベントを表示します。

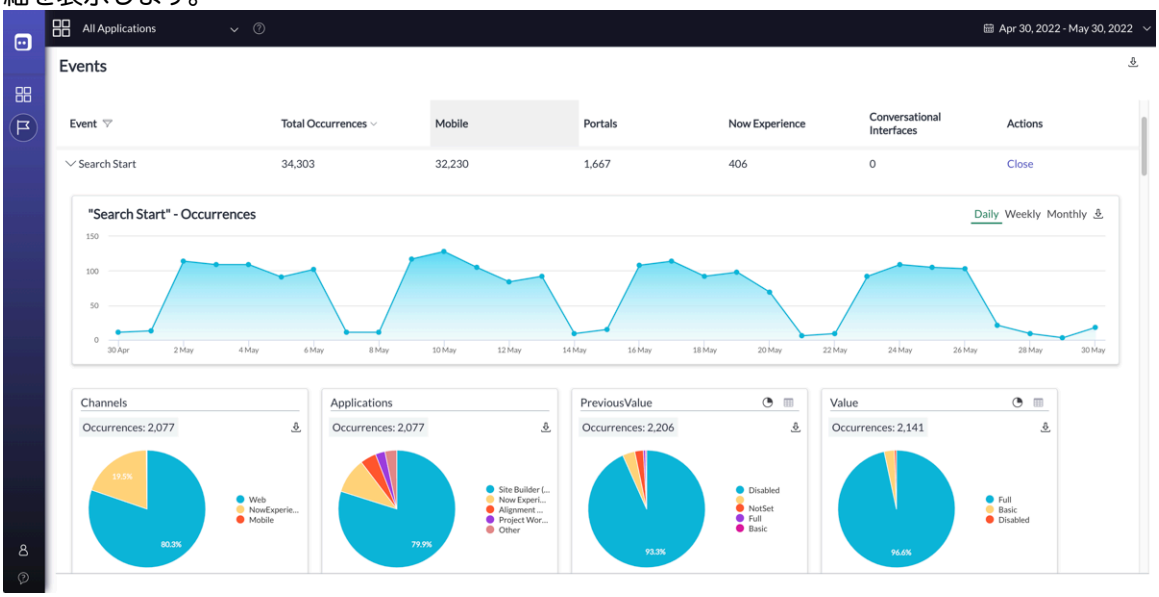
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ダッシュボードの [Web およびモバイルアプリケーション] リストから [すべてのアプリケーション] をクリックします。



- [選択したイベントのアクション] で、 [展開] を選択して、視覚化された追加のイベントの詳細を表示します。



ユーザー分析イベント **KPI**

これらのイベント KPI は、Web およびモバイルプラットフォームで追跡されます。

イベント **KPI**

KPI	次の場合にイベントログが記録されます。
外部でのアプリ起動	ユーザーは、通知またはディープリンクからアプリケーションを起動します。
ユーザーログイン	ユーザーが正常にログインしました。
アプリ/ALP を開く	ユーザーが ALP/画面をタップします。
アプレットを開く	ユーザーがアプレットを開きます。
盗聴された音声検索	ユーザーが [マイク] アイコンをタップします。
タップされたサポートへの連絡	ユーザーが [サポートへの連絡] アイコンをタップします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

イベント **KPI** (続く)

KPI	次の場合にイベントログが記録されます。
フィールド アクション	ユーザーが [通話] や [メール] などのボタンをタップします。
検索開始	検索アクションが開始します。
検索完了	検索アクションが完了しました。この時間はミリ秒単位で記録されます。

ユーザー維持

ユーザー維持率レポートは、アプリがユーザーのニーズと期待を満たしているかどうかを把握し、アプリの最適化の取り組みがユーザー維持率にどのように影響するかを測定するのに役立ちます。

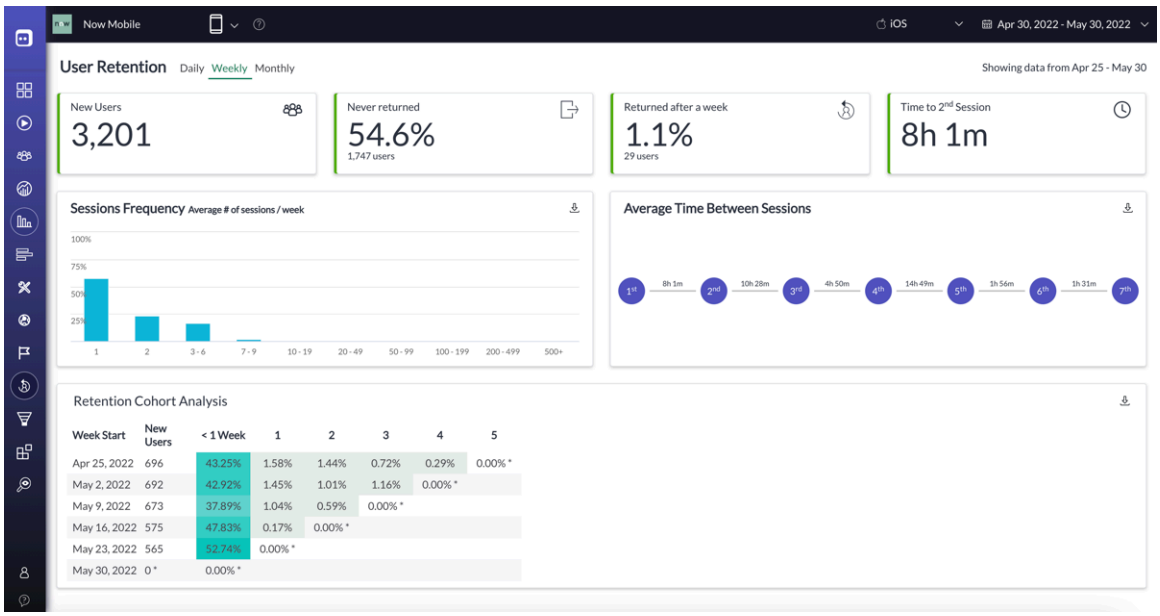
始める前に

必要なロール:analytics_admin、mobile_analytics_admin、web_analytics_admin、または portal_analytics_admin

このタスクについて

新規ユーザーの数、戻ってこなかったユーザーの数、翌日戻ってきたユーザーの数などのデータを表示します。ユーザー維持率データには、ユーザーセッションの頻度と、特定のタイムバケットでのセッション間の平均時間も表示されます。ユーザー維持分析は、次のような場合に役立ちます。

- コホート分析を使用して、定着率が低い月、週、または日を特定します。
- バージョンやデバイス間で保持分析を比較します。



手順

1. 移動先 すべて > 分析 > 保持。
2. 日次、週次、月次のインサイトのいずれを表示するかを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リテンション **KPI**

KPI	説明
新規ユーザー	指定されたタイムバケット内の新規ユーザーの数。
返されない	最初のセッション後に再びアプリを使用することはなかったユーザーの割合と数。
日/週/月後に返される	最初のセッションの翌週にアプリを使用したユーザーの割合と数。
2回目のセッションまでの時間	最初のセッションと 2 番目のセッションの間の平均時間間隔。
セッション頻度	選択したタイムバケット (日次/週次/月次) 内の平均セッション数を測定します。たとえば、ユーザーの 25% が 1 日に 2 回アプリを使用していました。
セッション間の平均時間	最初のセッションとそれ以降のセッションの平均時間。
リテンションコホート分析	指定したタイムバケット中にアプリの使用を開始した新規ユーザーの数と、後の週にアプリの使用に戻ったユーザーの数が表示されます。

UI 分析

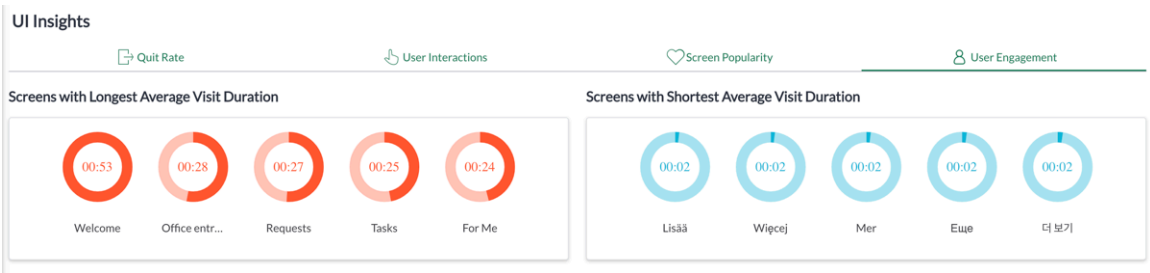
モバイルアプリケーションの UI に関するインサイトと、ユーザーの UI とのインタラクションを確認します。最も人気のある画面や画面から離脱したユーザーの割合などの分析は、ユーザーの進捗状況や、画面上で問題が発生している可能性がある場所を理解するのに役立ちます。

注:
[すべてのプラットフォーム] が選択されている場合、この機能は使用できません。個々のデバイス プラットフォームを選択して、これらの分析情報を表示します。

アプリケーションの UI インサイトを表示するには、次に移動します。 **UI** 分析 と、インサイトを表示するモジュールが表示されます。

UI インサイト

ダッシュボードの UI 分析 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 用のインサイトモジュールには、画面 KPI の概要がタブ付きで表示されます。



次のいずれかのタブの画面イメージをクリックすると、画面の詳細な分析に移動できます。

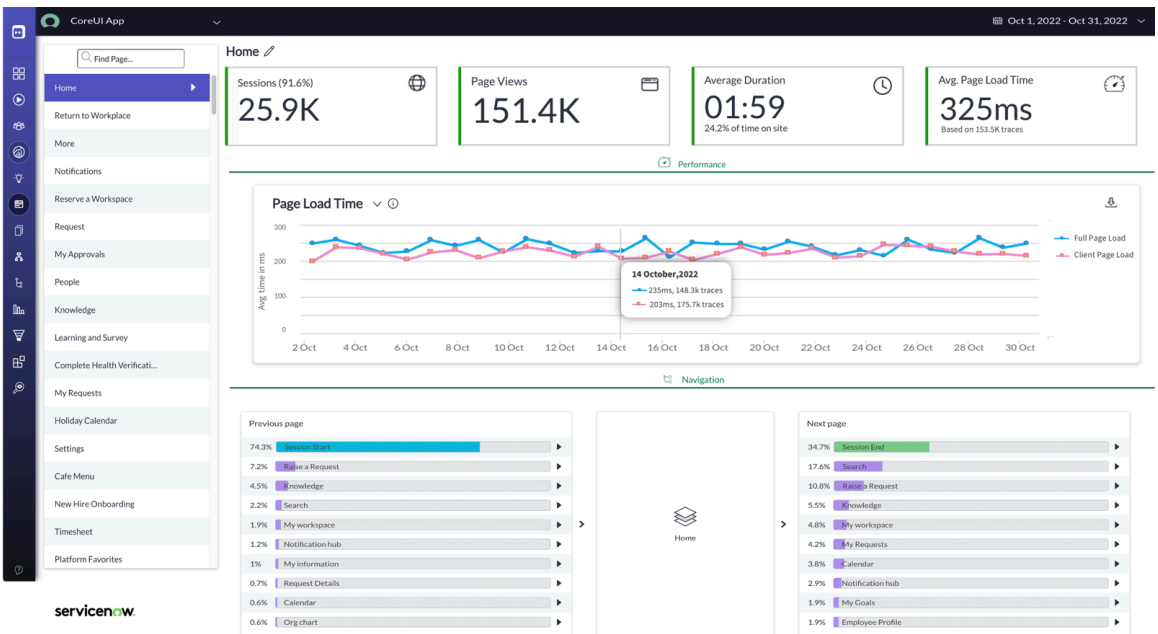
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[UI インサイト] タブ

タブ	説明
終了率	終了率が最も高い画面 - ユーザーが最も多く終了した画面を表示します。アプリの合計終了数に対する、画面で終了したセッションの合計数で測定されます。
ユーザーのインタラクション	ユーザー操作が最も多い画面 - アプリ内のすべてのユーザーが実行したジェスチャの合計数に対する、画面内で実行されたジェスチャーの数 (タップやスワイプなど) で測定され、ユーザーが最も多く操作する画面を表示します。
画面の人気	最も閲覧された/最も閲覧されていない画面 - アプリセッションの合計数に対する、その画面を含むセッション数で測定された、視聴率が最も高い画面と最も低い画面を表示します。
ユーザーエンゲージメント	訪問期間が最長/最短の画面 :訪問期間が最長および最短の画面を、平均訪問期間とともに表示します。
ユーザビリティの問題	• ジェスチャーが応答しない画面 - ユーザーのジェスチャーに応答しなかった画面など、ジェスチャーが最も反応しない画面を表示します。すべてのユーザーが画面で実行したジェスチャーの合計数に対する、応答しないジェスチャーの数によって測定されます。 • 最初のアクションまでの時間が遅い画面 - 最初の画面の表示から実行された最初のジェスチャまでの平均時間を示すことで、最初のアクションまでの時間が最も長い画面を表示します。これらは、ユーザーにとって混乱を招く画面を示している可能性があります。

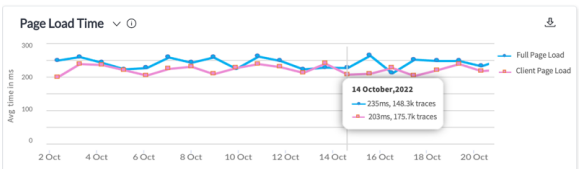
Web ページ

ダッシュボードの UI 分析 ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 用のページモジュールには、Web ベース UI のページに固有の分析が表示されます。各 Web ページのユーザーアクション、パフォーマンス、およびナビゲーションの詳細を表示します。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

アイテム	説明
ページ名	選択したページの名前。ページの名前を変更するには、編集アイコン をクリックします。
セッション	指定したページに含まれているセッションの数を表示します。セッション中にページが複数回開かれた場合は、1回のみカウントされます。
平均期間	ページで費やされた平均時間を示します。また、セッション中にアプリ全体で費やされた平均時間に対する、ページで費やされた時間の割合。
平均ページロード時間	ページが表示された回数に基づいて、ページのロードにかかる平均時間を表示します。
パフォーマンスグラフ	選択したトレース・タイプの日次パフォーマンス傾向をグラフで表示します。メニューの矢印から、トレースの種類として、クライアント時間、ネットワーク時間、サーバー時間、ページ読み込み時間のいずれかを選択します。 必要なデータが利用可能になると、選択したトレースの種類のパフォーマンス グラフに、ページ全体の読み込みとクライアント ページの読み込みの傾向線が表示されます。 • フルページロード – Webドキュメント全体を再ダウンロードしてページをレンダリングするために必要な時間。 • クライアントページのロード - 新しいコンテンツのみをダウンロードしてページをレンダリングするために必要な時間。たとえば、クライアント側のルーティングなどです。 
ページのロード時間	ブラウザーでページが完全にレンダリングされた時間からユーザーがページを要求した時間を差し引いた、ページの全体的な配信時間
サーバー時間	サーバーがトランザクションを処理するのにかかる時間
ネットワーク時間	ネットワークが要求を処理するのにかかる時間。ブラウザーでページのロードが開始された時間からユーザーの要求の時間を差し引き、さらにサーバーの処理時間を差し引いて計算されます。
クライアント時間	ブラウザーでページのロードを開始した時間から、ページが完全にレンダリングされた時間を差し引いた、ブラウザーがページを配信するためにかかった時間
ナビゲーション	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アイテム	説明
前のページ	ユーザーが選択したページに到達したトップページを表示します。また、各ページへのナビゲーションの合計数に対する、各ページから到着したセッションの割合。まれなアクションは省略される場合があります。
次のページ	選択したページからユーザーがたどり着いたトップページを表示します。また、各ページからのナビゲーションの合計数に対する、各ページに移動したセッションの割合。

Web ページ分析の表示

各ページのユーザーアクション、パフォーマンス、ナビゲーション分析を表示します。

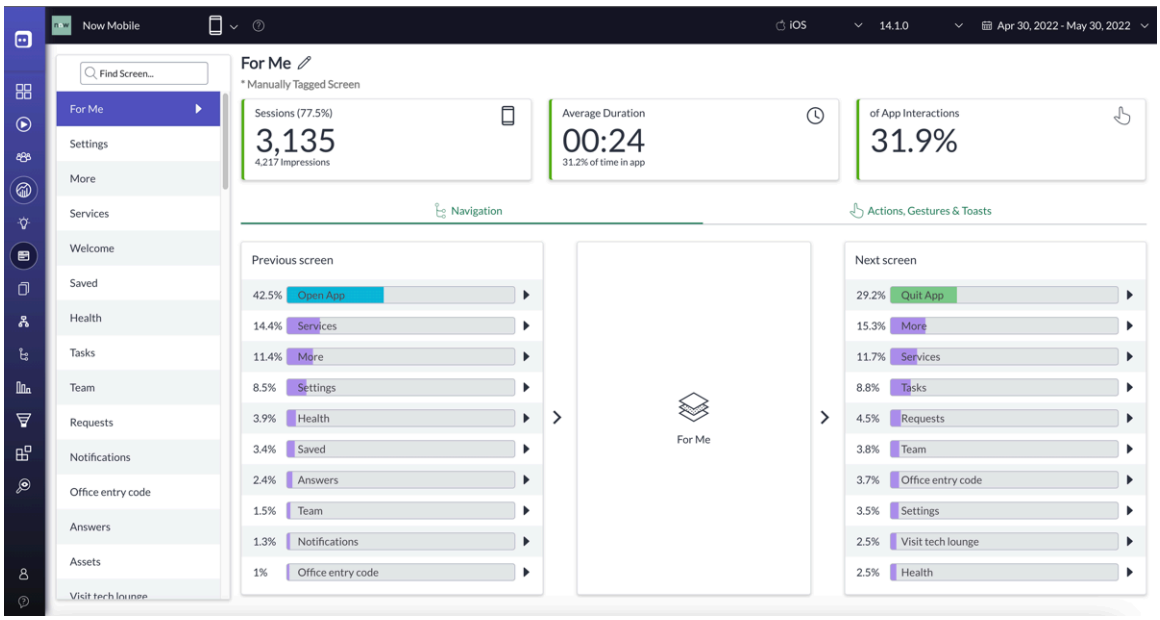
始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > **UI** 分析 > ページ。
2. ページリストをスクロールするか、「 検索 」フィールドにテキストを入力して、ページを見つけて選択します。

モバイルアプリ画面

画面モジュールには、モバイルアプリケーションの画面に固有の分析が表示されます。モバイルアプリの各画面のユーザーアクションとナビゲーションの詳細を表示します。



アイテム	説明
画面名	選択した画面の名前。画面の名前を変更するには、編集アイコン をクリックします。
セッション	画面が含まれていたセッション数とインプレッション数が表示されます。セッション中に画面が複数回開かれた場合は、1 回のみカウントされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アイテム	説明
平均期間	画面で費やされた平均時間を表示します。また、セッション中にアプリ全体で費やされた平均時間に対する、画面上で費やされた時間の割合。
アプリインタラクションの割合	実行されたジェスチャーの数で測定された、画面の相対的な操作レートを示します。
アクション、ジェスチャー、トースト	
上位のユーザーアクション	• % 発生件数 • % セッション • 平均/セッション
ジェスチャー	画面あたりのユーザージェスチャーの比率と、応答しないジェスチャーの割合。
結合アクション 結合アクション	アクションを結合できます。
ナビゲーション	
前の画面	ユーザーが選択した画面に到達した上位の画面と、その画面へのナビゲーションの合計数に対する各画面からのセッションの割合が表示されます。まれなアクションは省略される場合があります。
次の画面	選択した画面からユーザーがアクセスした上位の画面と、そこからのナビゲーションの合計数に対する各画面に移動したセッションの割合が表示されます。

可能な場合は、特定の画面を含むセッションを表示できます。「セッション・リスト」アイコンをクリックすると、「セッション」リストからこれらのセッションが表示されます。

モバイルアプリ画面分析の表示

各画面のユーザーアクション、ジェスチャー、ナビゲーション分析を表示します。

始める前に
必要なロール：ユーザー

手順

1. 移動先 すべて > **UI** 分析 > スクリーニング。
2. 画面リストをスクロールするか、[検索] フィールドにテキストを入力して、画面を見つけて選択します。

結合画面アクション

画面を追跡する 2 つ以上のアクションを結合します。

始める前に
必要なロール:analytics_admin、mobile_analytics_admin、web_analytics_admin、または portal_analytics_admin

このタスクについて
アクションのマージは新しいセッションにのみ適用され、既存のデータは変更されません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

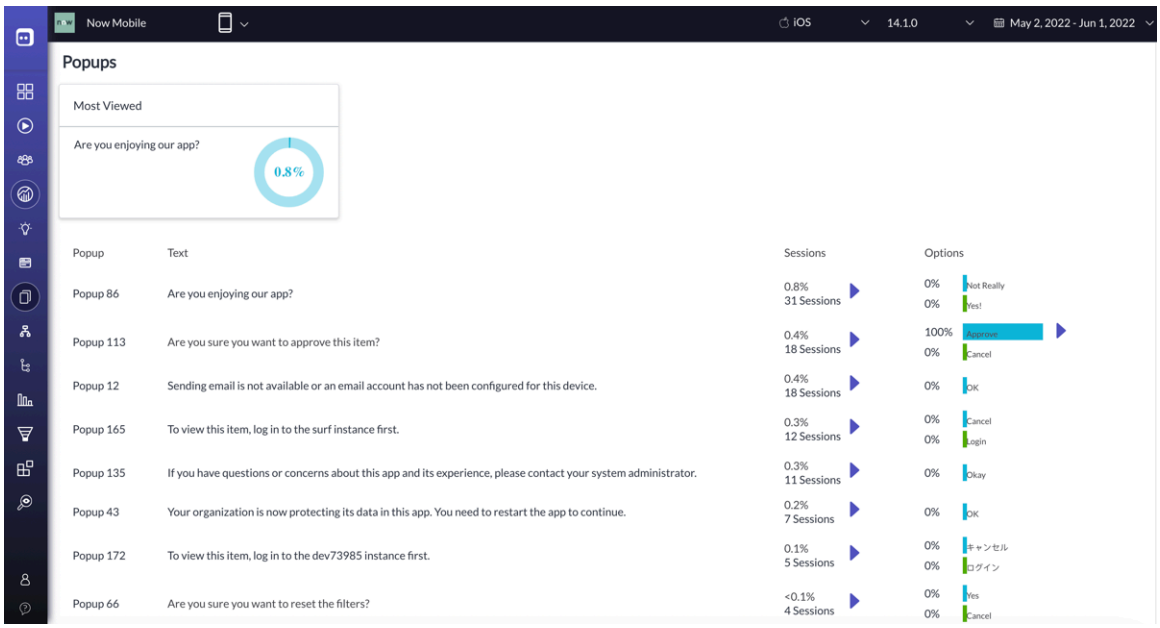
注:
合併が実行された後は、アクションを元に戻すことはできません。

手順

1. 移動先 すべて > **UI** 分析 > スクリーニング。
2. 結合するアクションを含む画面を検索して選択します。
3. 結合する最初のアクションの横にある結合アイコン () をクリックします。
4. 結合する 2 番目のアクションの横にあるチェックボックスをオンにします。
5. 画面に結合するすべてのアクションを選択したら、[適用] をクリックします。
   結合されたアクションは、最初にリストされたアクションの名前の下に一覧表示されます。

ポップアップ

特定のポップアップが表示されるモバイルアプリユーザーのセッションを表示します。ポップアップ分析は、ユーザーが遭遇したバグやエラーを簡単に特定するのに役立ちます。



ポップアップ画面要素

アイテム	説明
もっとも表示された	アプリ内で最も閲覧されたポップアップ (ビュー数およびすべてのポップアップに対する割合)。
最高退職率	ユーザーが最も多く終了した画面を表示します。アプリの合計終了数に対する、画面で終了したセッションの合計数で測定されます。
ポップアップ	ポップアップの名前。 ポップアップの名前を変更するには、ポップアップ名をポイントし、編集アイコンをクリックしてポップアップの名前を変更します。
テキスト	ユーザーがポップアップで読み上げるテキスト。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

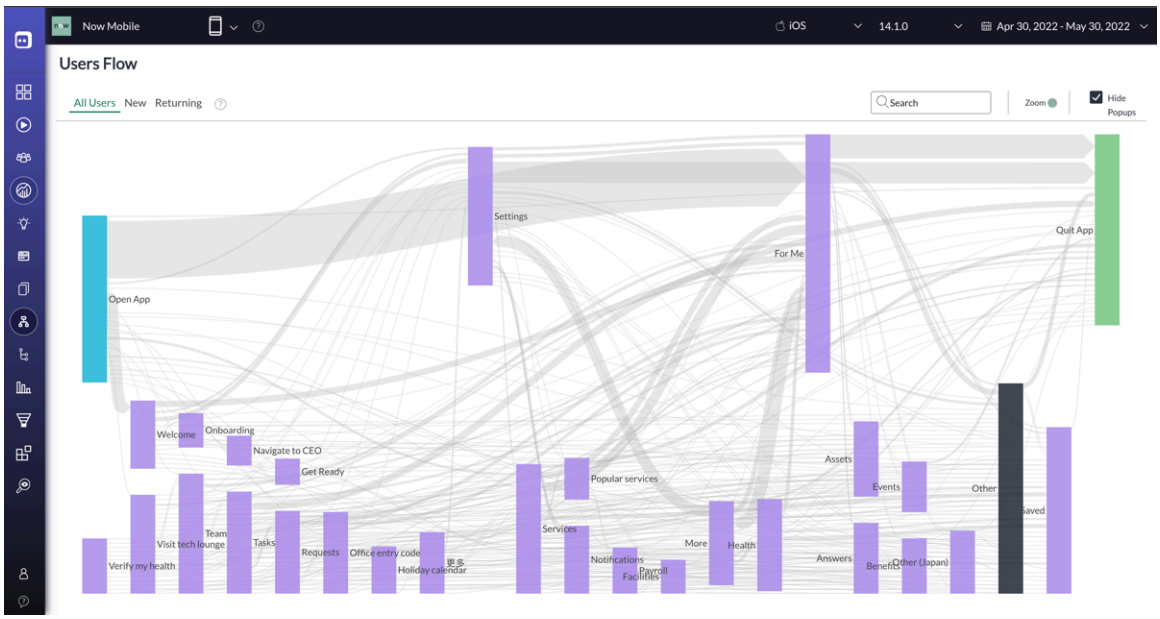
自動翻訳

ポップアップ画面要素 (続く)

アイテム	説明
セッション	ポップアップが表示されたセッションの割合。選択したポップアップの「セッション・リスト」( )アイコンをクリックすると、そのポップアップを含むセッションのリストが表示されます。
オプション	ポップアップでユーザーに提示されたオプションを表示します。たとえば、「確認」や「キャンセル」などです。 「セッション・リスト」() アイコンをクリックすると、選択したポップアップ・オプションのオプションでフィルタリングされたセッションのリストが表示されます。

ユーザーフロー

Webまたはモバイルアプリのユーザーがたどる一般的なフローとさまざまなパスを確認して、どのようにナビゲートしているかをより詳細に把握します。



ユーザーフローは、ほとんどのユーザーが異なる画面間を移動する場所をすばやく把握するのに役立ちます。フローには、アプリ内の各画面とポップアップのインバウンドジャーニーとアウトバウンドジャーニーが表示されます。ユーザーフロー分析情報を使用すると、次のことができます。

- 問題のある画面を調査して、画面の使いやすさやパフォーマンスの問題を把握します。
- ユーザーの意図を理解します (たとえば、アプリ内を検索する新規ユーザーとリピーターの傾向の違いなど)。
- ナビゲーションパターンを定期的に監視します。
- デバイス、ユーザー人口統計、オペレーティングシステムなどの要因全体の行動傾向を検出します。

ユーザーフローとナビゲーションパスの違い

ユーザーフローには、アプリ内の各画面の受信トラフィックと送信トラフィックが表示され、各画面との間のナビゲーションの傾向を把握できます。フローのビジュアル化では、各画面は 1 回のみ表

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

示されます。これらのフローは、ユーザーが特定の画面の後にどこに移動するかという質問に答えるのに役立ちます。

ナビゲーションパスは、アプリ内の特定の順序付けされたナビゲーションの頻度を示すため、ユーザーがアプリでたどる最も一般的なパスを確認できます。各画面は、ナビゲーションパス内に複数回表示されることがあります。例を次に示します。 **A** > **B** > **A** > **C**。

ユーザーフローの表示と操作

すべてのユーザー、新規ユーザー、またはリピーターの分析を示すフローを表示するかどうかを選択できます。画面にアクセスしたユーザーの比率は、パスフロー幅の増減として表示されます。画面のパスラインをポイントすると、特定の画面に移動したユーザーの割合が表示されます。

フローをより簡単に視覚化するためのヒント

これらのヒントを使用すると、フローの視覚化を簡単に表示できます。より簡単に表示するには:

- 特定の画面からのフロー:検索フィールドに画面名を入力し、リストから選択します。
- ユーザーの移動先:画面バーをクリックして目的の位置にドラッグすることで、フロー内の画面の位置を変更します。

これらの方法で、さらにユーザーフローを操作できます。

アクション	ステップ
ビジュアル化でポップアップを表示または非表示にします。	[**Hide Popups & Menus]** ボックスをオンまたはオフにして、非表示または表示します。
特定の画面にドリルダウンして、セッション数、インプレッション数、それに関連する受信または送信画面を表示します。	画面バーをポイントして表示するか、さらに受信または送信の切り替えをクリックして、対応する画面パスをハイライト表示します。
ナビゲーションを含むセッションのリストを表示します。	フローをポイントし、[セッションリスト ] アイコンをクリックします。
ほとんどのユーザーが実行する特定の順序付けされたナビゲーションの頻度を表示します。	該当する画面をポイントし、[ナビゲーションパスを開く  アイコンをクリックします。

ナビゲーションパス

ナビゲーションパスを使用すると、Web アプリケーションやモバイルアプリケーションを経由するユーザーのジャーニーをすばやく把握して分離できます。ユーザーがたどる最も一般的なナビゲーションパスと最も一般的でないナビゲーションパスを評価し、それらを改善する方法を評価します。

ナビゲーションパスは、ユーザーがルート画面からたどるパスについてのインサイトを提供します。これらは、次のことに役立ちます。

- ユーザーの混乱を示すユーザージャーニーを特定します (たとえば、2 つの画面間を行き来するナビゲーションなど)。
- 早期に終了する重要なジャーニーを特定します。
- ユーザーのナビゲーションに対するポップアップの影響を理解します。

ユーザーフローとナビゲーションパスの違い

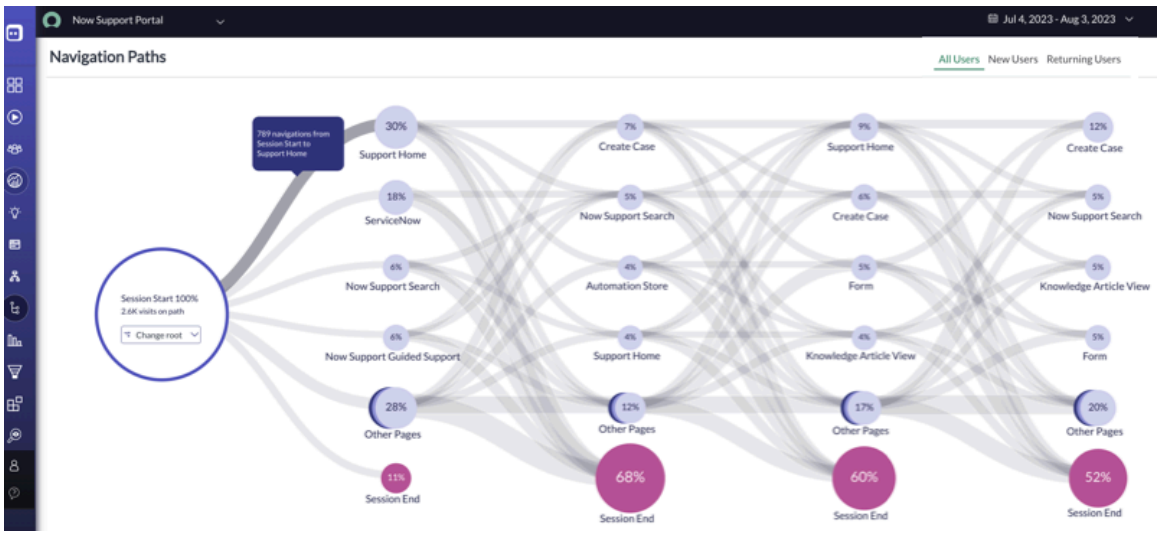
ユーザーフローには、アプリ内の各画面の受信トラフィックと送信トラフィックが表示され、各画面との間のナビゲーションの傾向を把握できます。フローのビジュアル化では、各画面は 1 回のみ表

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

示されます。これらのフローは、ユーザーが特定の画面の後にどこに移動するかという質問に答えるのに役立ちます。

ナビゲーションパスは、アプリ内の特定の順序付けされたナビゲーションの頻度を示すため、ユーザーがアプリでたどる最も一般的なパスを確認できます。各画面は、ナビゲーションパス内に複数回表示されることがあります。例を次に示します。 **A** > **B** > **A** > **C**。



ナビゲーションパスの表示と操作

[ナビゲーション パス] 画面には、アプリに含まれるすべての画面のデータを含む初期視覚化が表示されます。ビジュアル化の各円はナビゲーションレベルを表し、前の画面からのナビゲーションの数 (最大 5 レベル) を示しています。すべてのユーザー、新規ユーザー、またはリピーターの分析を含む可視化を表示するかどうかを選択できます。

下部のグラフには、すべてのパスの 1 番目と 2 番目のナビゲーションの集計が表示されます。

ナビゲーションパスは、次の方法で操作できます。

アクション	ステップ
ビジュアル化でポップアップを表示または非表示にします。	[**Hide Popups & Menus]** ボックスをオンまたはオフにして、非表示または表示します。
ルート画面を変更して、画面に対する以前のナビゲーションに関係なく、その画面以降のナビゲーションパスを表示します。	ルート画面をいくつかの方法で変更します。 • 該当する画面をポイントし、[ナビゲーションパスの表示 ] アイコンをクリックして、選択した画面からのパスをルートとして表示します。 • 検索フィールドに画面名を入力し、リストから選択します。
UI 分析を確認する画面に移動します。	画面をポイントし、その画面タイトルをクリックします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

変換レポートの作成

イベントベースおよびアクションベースの分析レポートを表示および作成して、ユーザーが Web アプリケーションまたはモバイルアプリケーションでステップやプロセスをどの程度効率的に実行しているかを確認できます。

注:
[すべてのプラットフォーム] が選択されている場合、この機能は使用できません。個々のデバイス プラットフォームを選択して、レポートを表示および作成します。

のじょうごグラフレポート ユーザーエクスペリエンスアナリティクス

ファネルレポートは、集計されたユーザー行動のコンバージョン率と傾向を示し、特定のアプリケーション内ユーザー目標の成功または失敗の背後にある理由を明らかにします。コンバージョンファネルを調査すると、アプリケーション内の関連プロセスのコンバージョン率を測定し、最適化するのに役立ちます。

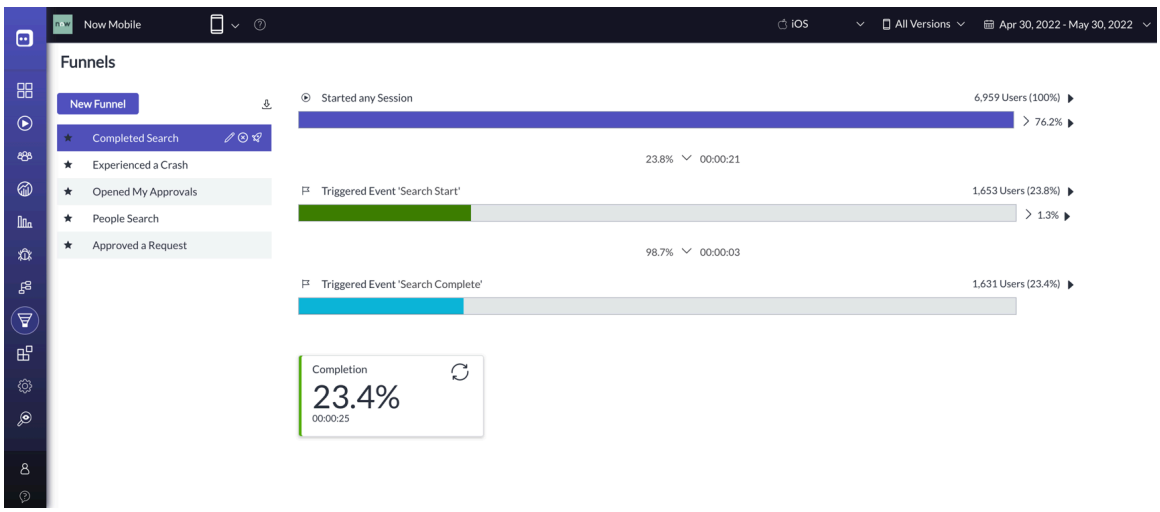
じょうごグラフ レポートの作成方法と使用方法を動画で詳しく説明します。

この動画では、じょうごグラフ レポートを作成して使用する方法を紹介します。

じょうごグラフ分析では、オンボーディングの完了など、アプリケーションのクリティカルパスに沿って目的のアクションを完了したユーザーの割合を示します。また、ユーザーが離脱する理由を見つけることもできます。

じょうごグラフには、コンバージョンの成功または失敗に至るまでのさまざまなアクションを含めることができます。ユーザーが目標を達成するまでの経路は複数ある可能性があるため、コンバージョン目標到達プロセスを構築して、どの目標経路がユーザーにとって最も関連性が高く効果的かを判断することをおすすめします。特定の目標に対するユーザーのコンバージョン率を測定するには、コンバージョンファネルの全体的な効果のベースライン評価を行うために、3つの主要な指標を検討する価値があります。

- あるステップから次のステップに進むユーザーの数
- 関連する換算率
- ユーザーがあるステップから次のステップに進むのにかかる平均時間



じょうごグラフ レポートを作成する

集計されたユーザー行動のコンバージョン率と傾向を表示して、特定のアプリケーション内ユーザー目標の成功または失敗の背後にある理由を明らかにします。コンバージョンファネルを調査すると、アプリケーション内の関連プロセスのコンバージョン率を測定し、最適化するのに役立ちます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール:analytics_admin、mobile_analytics_admin、web_analytics_admin、または portal_analytics_admin

手順

1. 移動先 すべて > ユーザーエクスペリエンスアナリティクス > ダッシュボード をクリックし、アプリケーションを選択します。
2. ダッシュボードから、じょうごアイコン ()  を選択し、[**Create Your First Funnel** or New Funnel (最初のじょうごグラフまたは 新しいじょうごグラフを作成)] を選択します。
3. 測定する関連プロセスの名前を入力します。
4. 含めるセッションの時間枠を選択し、 [次へ] を選択します。

オプション	説明
今	レポートは、レポートが保存された瞬間からデータの収集を開始します。
1週間前	現在の日付の 7 日前のデータをレポートします。日付の午前 12 時 (GMT) に生成されたデータが含まれます。
1 か月前	現在の日付の 30 日前のデータをレポートします。日付の午前 12 時 (GMT) に生成されたデータが含まれます。
3ヶ月前	現在の日付の 90 日前のデータをレポートします。日付の午前 12 時 (GMT) に生成されたデータが含まれます。
元の日付	このオプションは、既存のレポートを編集するときに使用できます。レポートの元の日付からのデータをレポートします。

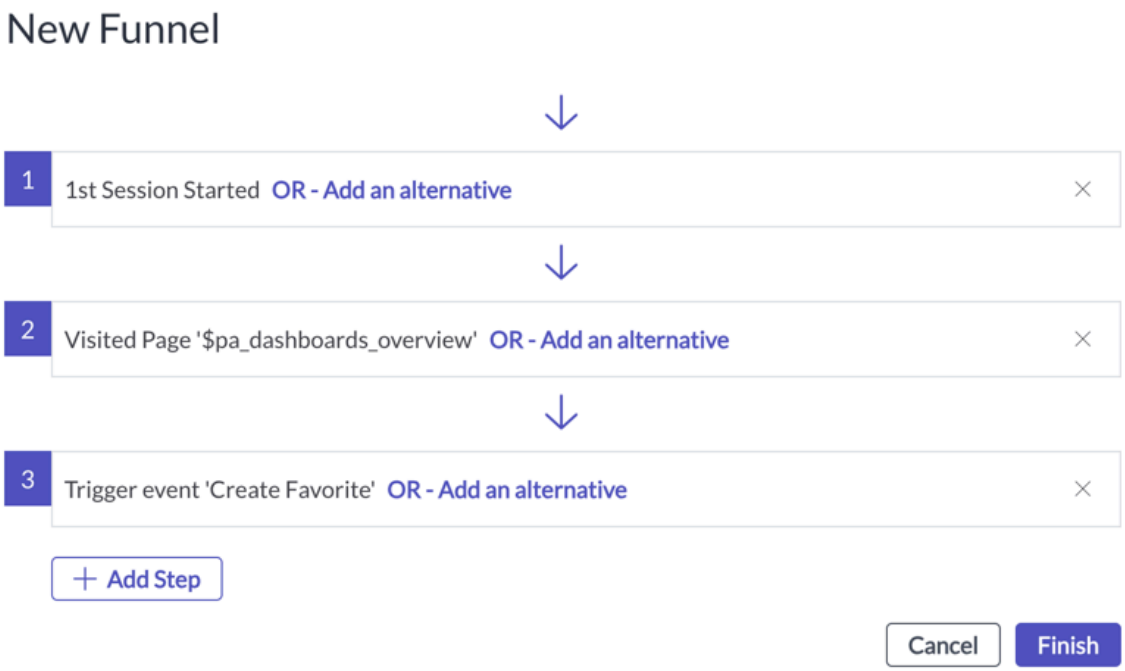
5. [ステップタイプ] オプションから、測定するステップを選択し、必要に応じて画面、イベント、またはアクションを選択します。

オプション	説明
イベントトリガー	選択 ユーザー分析イベント KPI して測定します。 選択したイベントを特定のプロパティで照合するには、[プロパティで照合] をクリックし、ドロップダウンからプロパティを選択して、プロパティの値を入力します。
画面アクション	画面と適用可能なアクションタイプを選択します。
画面ビュー	画面を選択します。
セッション開始(1回目)	ユーザーの最初のセッションを測定する場合に選択します。
セッション開始 (任意)	任意のユーザーセッションを測定する場合に選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. [イベント名] を選択し、[追加] を選択します。
7. 該当する場合は、ユーザーがパスのその時点で選択できる代替のステップタイプを追加します。
8. じょうごグラフに追加するステップを選択します。



9. [完了] を選択します。

じょうごグラフを編集

収集するじょうごグラフデータまたは分析に含めるステップを編集します。

始める前に

必要なロール:analytics_admin、mobile_analytics_admin、web_analytics_admin、または portal_analytics_admin

手順

1. [じょうごグラフ **(Funnels)]** モジュールで、既存のじょうごグラフのリストから編集するじょうごグラフを選択します。
2. 編集 アイコンを選択します。
3. じょうごグラフの名前、含めるセッションの期間を変更し、必要に応じてステップを編集または追加します。
4. [完了] を選択して、じょうごグラフの構成を更新します。

じょうごグラフを削除

じょうごグラフを簡単に削除できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール:analytics_admin、mobile_analytics_admin、web_analytics_admin、または portal_analytics_admin

手順

1. [じょうごグラフ **(Funnels)]** モジュールで、削除する既存のじょうごグラフをじょうごグラフリストからハイライト表示する場合に選択します。
2. 削除  アイコンを選択してじょうごグラフを削除します。
3. [**OK]** を選択して、じょうごグラフを削除することを確認します。

じょうごグラフの照合方法ユーザーエクスペリエンスアナリティクス

ユーザーが目標に到達する前に表示されると予想されるページのシーケンスとどのように一致するかユーザーエクスペリエンスアナリティクス を学びます。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス は、セッションではなく一意のユーザーに基づいてじょうごグラフの照合を行うため、セッション間でステップを照合できます。たとえば、ユーザーは最初のセッションでじょうごグラフの最初のステップを開始し、別のセッションで次のステップを続けることができます。ユーザーは選択した時間範囲で 1 回のみカウントされ、ステップ完了はユーザーごとに 1 回のみカウントされます。

じょうごグラフは、30 日以内に目標到達プロセスのステップを完了したユーザーを測定するため、ユーザーは 1 月 1 日にステップ #2 を完了し、1 月 30 日にステップ #3 を完了するとカウントされます。

じょうごグラフのステップは緩やかに一致しています。ユーザーは、じょうごグラフを定義するステップ間で他のステップを実行できます。例：

じょうご A > B > C の場合:

- A > B > C が一致します。
- A > B > D > C も一致し、D は任意のユーザー・アクションにすることができます。
- A > B > E が一致しない場合、ユーザーはステップ B のみを完了したと見なされます。

重複するステップが一致する場合、じょうごグラフ分析では、じょうごグラフを進行させる最初の発生が選択され、重複する出現は無視されます。たとえば、じょうご A > B > C の場合、B > B >> C を実行するユーザーの場合、2 番目の B は無視されます。

時間範囲を選択すると、分析には、時間範囲内でじょうごグラフ全体を完了したユーザーのみが表示されます。ユーザーが選択した時間範囲の前または後に最初のステップを開始した場合、そのユーザーはカウントされません。

じょうごグラフ分析では、じょうごグラフの入口の重複が考慮されます。たとえば、じょうご A > B > C の場合、ユーザーは次のアクションを実行します。

A（日曜日）> B（月曜日）> A >（火曜日）> B（水曜日）> C（木曜日）

日曜日 - 木曜日、月曜日 - 木曜日、火曜日 - 木曜日を選択するとユーザーは返されますが、水曜日 - 木曜日を選択した場合は返されません。

この動作は、個々のセッションの確認 と集計されたユーザー数の両方に当てはまります。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス 無視された発生件数を除き、選択したステップのじょうごグラフを進行するすべてのセッションが表示され、ユーザーの複数のセッションを表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーションバージョンでフィルタリングする場合、分析には、選択したバージョンから最初のアクションを実行したユーザーのみが表示されます。

コホートの作成

あらかじめ決められた一連のアクションを完了したユーザーの分析を作成することで、各ステップでのコンバージョン率を追跡できます。

コホートを作成して使用する方法を詳しく説明するビデオ。

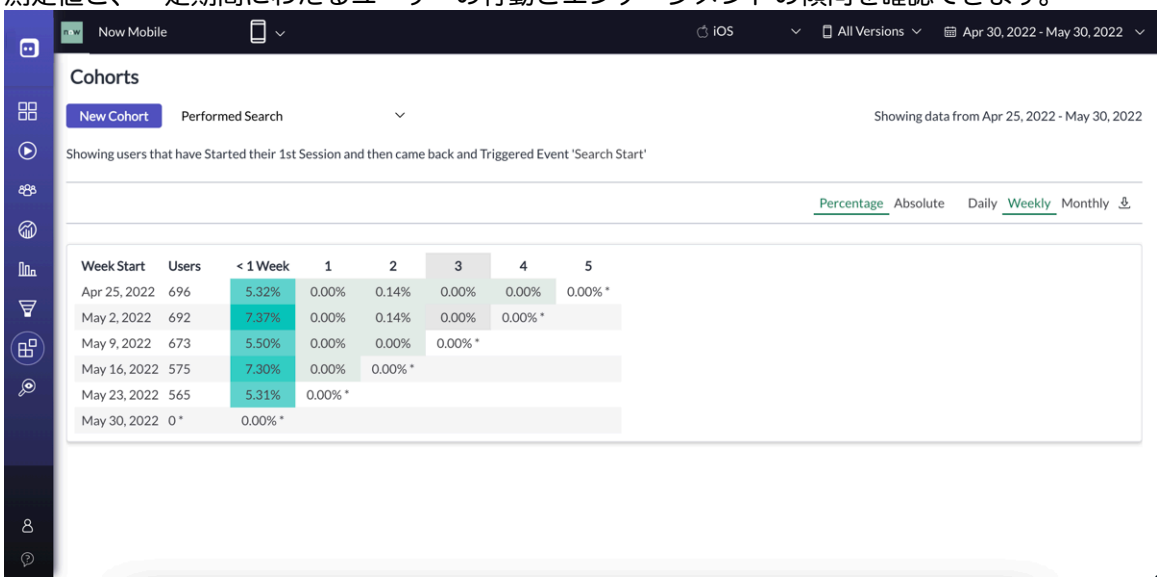
このビデオでは、コホートを作成して使用する方法について説明します。

始める前に

必要なロール:analytics_admin、mobile_analytics_admin、web_analytics_admin、または portal_analytics_admin

このタスクについて

コホートを使用すると、ユーザーが特定の期間内にアプリに戻り、特定のアクションを実行する頻度を把握できます。指定された期間内に集計されたユーザーグループによって実行された一連のアクションを分析します。したがって、コホートレポートは、あるアプリ内アクションが別のアプリ内アクションとどのように関連しているかに関する情報を提供します。一連のアクション間の経過時間の測定値と、一定期間にわたるユーザーの行動とエンゲージメントの傾向を確認できます。

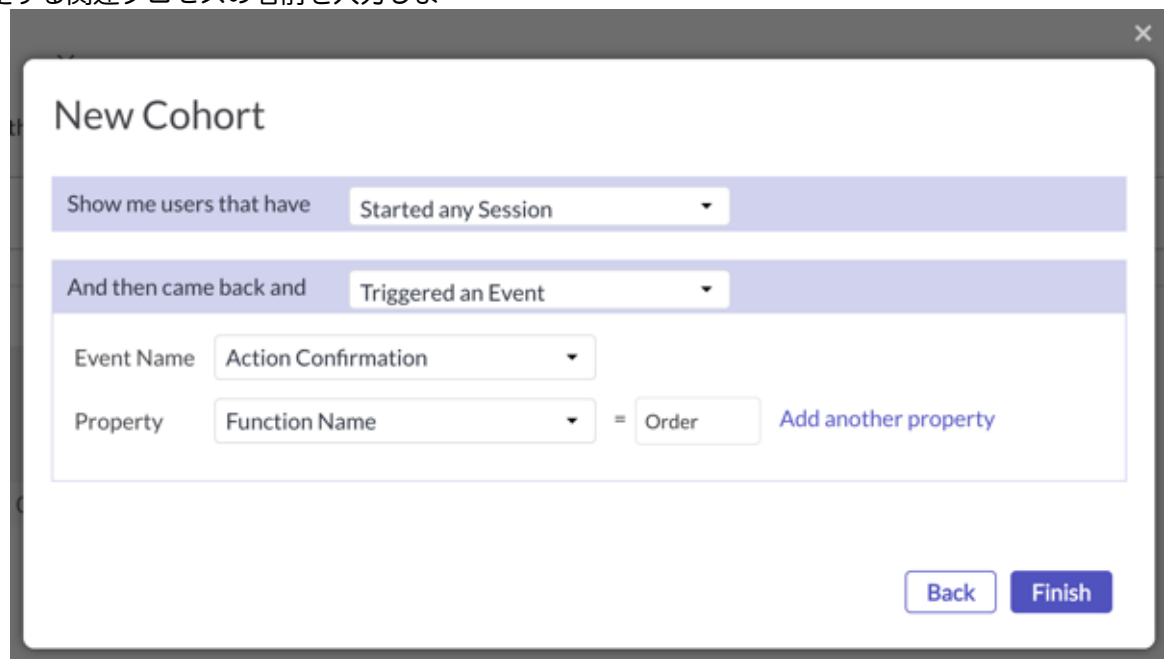


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. ダッシュボードから、 コホートをクリックし、[最初のコホートまたは新しいコホートを作成] をクリックします。
2. 測定する関連プロセスの名前を入力しま



す。
3. 含めるセッションの期間を選択します。
4. [次へ **(Next)]** をクリックします。
5. コホートを定義するオプションから最初のアクションを選択します。
   定義されたアクションを実行するユーザーは、コホートの行にグループ化されます。

   - 画面にアクセスしました
   - イベントをトリガーしました
   - アクションを実行しました
   - いずれかのセッションを開始しました
   - 第1回セッション開始

6. [プロパティで一致] をクリックして、アクションを照合するプロパティ値を選択して入力します。
7. コホートを定義する 2 番目のアクションと、該当する画面、イベント、またはアクションを選択します。
8. [完了] をクリックします。

次のタスク

コホートを表示して、最初に定義されたアクションを実行したユーザーのうち何人が 2 番目のアクションを実行するために戻ったかを確認します。

注:
コホート分析で示されたデータが最終データでない場合は、遡及的なデータがまだ処理中であることを示す注記があります。画面を更新して、最終データを含むレポートを表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コホートを編集する

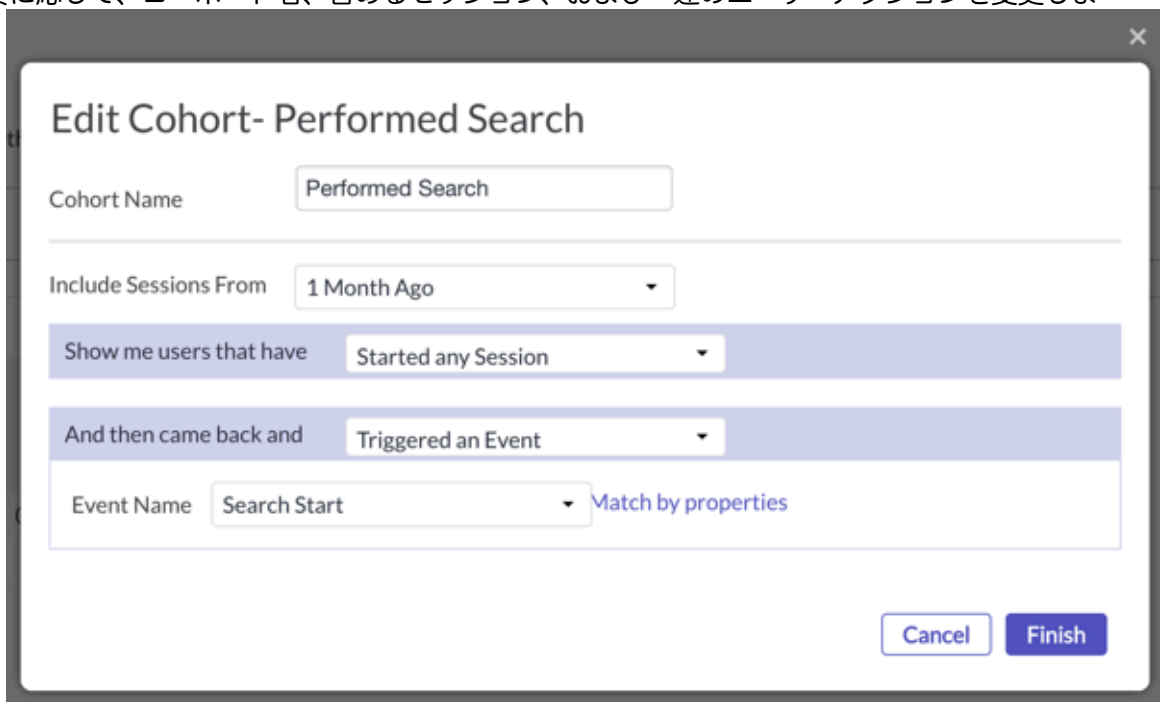
分析に含めるコホートセッションデータを編集します。

始める前に

必要なロール:analytics_admin、mobile_analytics_admin、web_analytics_admin、または portal_analytics_admin

手順

1. [コホート] モジュールで、ドロップダウンから編集するコホートを選択します。
2. コホート名をポイントしてオプションを表示し、[編集] [グラフを編集] アイコンをクリックします。 アイコンをクリックします。
3. 必要に応じて、コーホート名、含めるセッション、および一連のユーザーアクションを変更します。



4. [完了] をクリックして、コーホート構成を更新します。

コホートを削除する

コホートレポートを簡単に削除できます。

始める前に

必要なロール:analytics_admin、mobile_analytics_admin、web_analytics_admin、または portal_analytics_admin

手順

1. [コホート] モジュールで、削除するコホートをドロップダウンリストから選択します。
2. コホート名をポイントしてオプションを表示し、[削除] アイコンをクリックします。
3. [**OK]** をクリックして、コーホートを削除することを確認します。

リテンションの計算方法

がユーザーとアクションの保持を計算する方法 アナリティクス を理解します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユーザー維持

ユーザー維持分析は、ユーザーの合計数ではなく、新しいユーザーをグループ化します。コホートには、定義された期間と選択した日付バケット (日次/週次/月次) 内にアプリを使用するすべての新規ユーザーが含まれます。新規ユーザーはコホートごとに 1 回のみカウントされますが、複数のコホートに含めることができます。

たとえば、週次コホートの場合、リテンション レポートの上部にある 1、2、3 とマークされた数字は、週単位のバケットを示します。各週次バケットの下の割合は、その特定のバケット中にアプリケーションを使用するために戻ったユーザーの数を表します。

各バケットの開始と終了は、コホート内の新しいユーザーごとに異なります。「1」とマークされたバケットは、ユーザーの最初のセッションから 7 日間の期間を示します。たとえば、ユーザーの最初のセッションが日曜日の 10:00 に開始された場合、そのユーザーのバケット 1 は翌週の日曜日の 10:00 に開始されます。ユーザーのバケット 1 は、最初のセッションから 7 日間から 13 日間に延長されます。

アクションの保持

リテンション コホート分析では、アプリケーション ユーザーの合計数ではなく、コホートに対して定義された最初のアクションを実行したユーザーの数がグループ化されます。コホートには、アプリを使用し、定義された期間と日付バケット (日次/週次/月次) 内で最初のアクションを実行するすべてのユーザーが含まれます。

たとえば、週次コホートの場合、リテンション レポートの上部にある 1、2、3 とマークされた数字は、週単位のバケットを示します。各週次バケットの下の割合は、アプリケーションの使用に戻り、その特定のバケット中に 2 番目のアクションを実行したユーザーの数を表します。

各バケットの開始と終了は、コホート内の新しいユーザーごとに異なります。「1」とマークされたバケットは、ユーザーの最初のセッションから 7 日間の期間を示します。たとえば、ユーザーの最初のセッションが日曜日の 10:00 に開始された場合、そのユーザーのバケット 1 は翌週の日曜日の 10:00 に開始されます。ユーザーのバケット 1 は、最初のセッションから 7 日間から 13 日間に延長されます。

新規ユーザーはコホートごとに 1 回のみカウントされますが、複数のコホートに含めることができます。たとえば、週次コホートがログインイベントに基づいている場合、毎週 1 回以上ログインする顧客はすべてのコホートに表示されます。

ユーザーが 2 番目のアクションを実行すると、最新のアクションだけでなく、期間内に実行された最初のアクションごとにカウントされます。各コホートセルは一意です。ユーザーが同じバケット内で 2 番目のアクションを 2 回実行すると、1 回カウントされます。両方のステップが類似しているコホートを作成する場合、すべてのアクションは最初のアクションと 2 番目のアクションの両方として機能します。

たとえば、コホートが 2 つの類似したログインアクションを定義したとします。ユーザーが日曜日、月曜日、火曜日の 3 回ログインした場合、月曜日に実行されたアクションは、日曜日のログインの 2 番目のアクションとしてカウントされます。また、火曜日のアクションが完了する新しいコーホートも開きます。

アプリケーションバージョンでフィルタリングする場合、分析には、選択したバージョンから最初のアクションを実行したユーザーのみが表示されます。

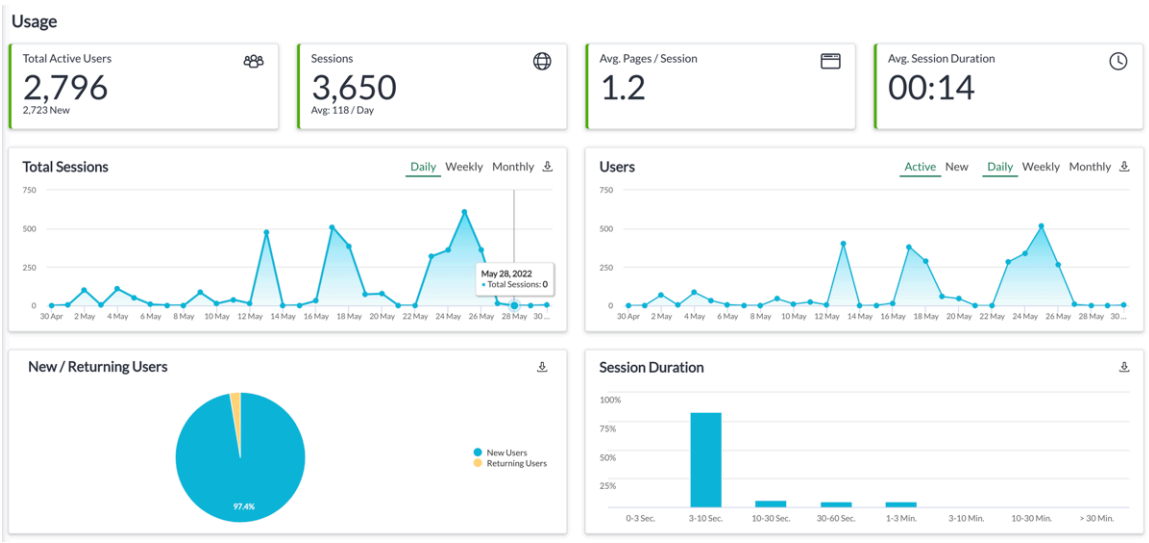
データのエクスポート

データレコードをCSV形式でエクスポートできます。ユーザー・リスト、セッション・リスト、その他の分析データのCSVへのエクスポートは、ダウンロード・アイコン() が表示されている場所であればどこでも可能です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

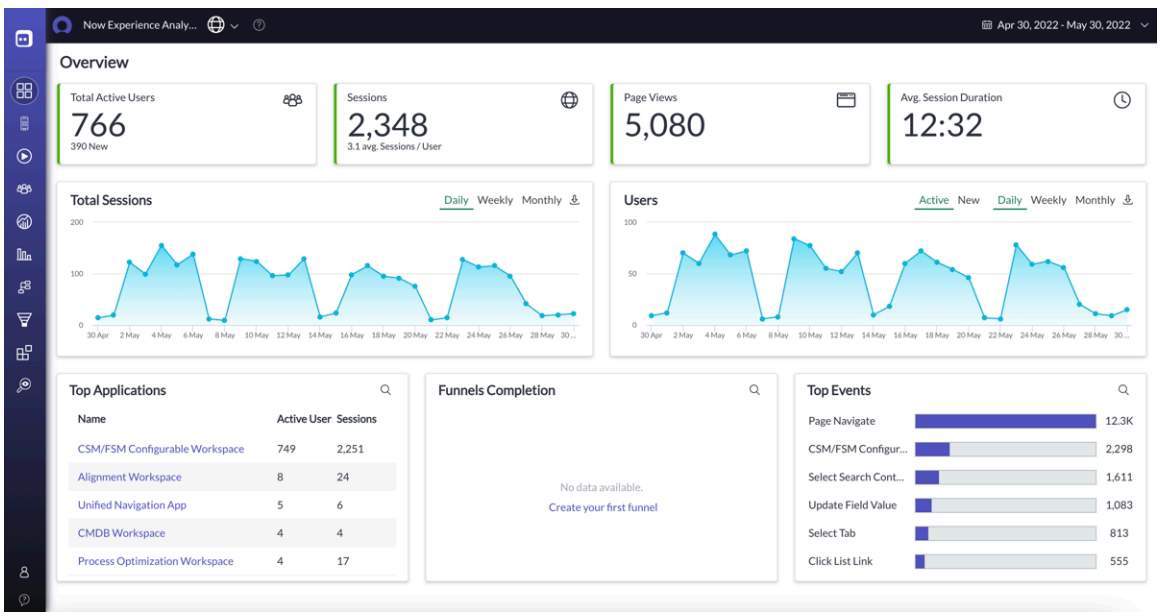
(を選択すると、データの自動エクスポートが開始されます。



User Experience Analytics データソース

ServiceNow® ユーザーエクスペリエンスアナリティクス アプリケーションは、Next Experience Web アプリケーションと 仮想エージェント、ServiceNow Mobile、および サービスポータル アプリケーションの使用状況分析を監視するためのダッシュボードビューを提供します。

概要



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

開始するには

詳細を読む	Web を介した User Experience Analytics の構成	Service Portal を介して User Experience Analytics を構成する
測定基準とやり取りを可視化してユーザーエクスペリエンスをより的確に把握し、より直観的な操作をユーザーに提供します。		

トラブルシューティングとヘルプ

- 既知のエラーポータルで既知のエラー記事を検索する
- 連絡先 カスタマーサービス & サポート

User Experience Analytics の探索

ユーザーエクスペリエンスアナリティクスユーザーエクスペリエンス分析ダッシュボードからデータにアクセスするか、データを UI ビルダーにエクスポートします。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクスの概要

ServiceNow® ユーザーエクスペリエンスアナリティクス アプリケーションは、Next Experience Web アプリケーションと 仮想エージェント、ServiceNow Mobile、および サービスポータル アプリケーションの使用状況分析を監視するためのダッシュボードビューを提供します。

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス のワークフロー

インフォグラフィックは存在しません。

情報 t/k

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス のメリット

メリット	機能	ユーザー
User Experience Analytics の追跡を有効または無効にする	UXA を構成するためのリンク	now_experience_admin ロールを表示
ドメイン分離データの表示	ウェブとモバイルの両方	
セッション・リストの表示	ウェブとモバイルの両方	
セッションイベントのタイムラインを表示する	ウェブとモバイルの両方	

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

User Experience Analytics の構成

管理者は、ユーザー分析を追跡するために、モバイルプラットフォーム上に構築された ServiceNow サービスポータルと Web アプリケーションを設定できます。

構成の概要

User Experience Analytics プラグイン

ユーザーエクスペリエンスアナリティクス新しいVancouverインスタンスおよびアップグレードされたインスタンスではNow Platform、プラグイン (com.glide.appsee) がデフォルトで有効になっています。このプラグインは以下を担当します。

- に登録する新しいアプリケーションを 1 時間ごとにチェックしています ServiceNow
- User Experience Analytics ダッシュボードへのアクセスを提供します。

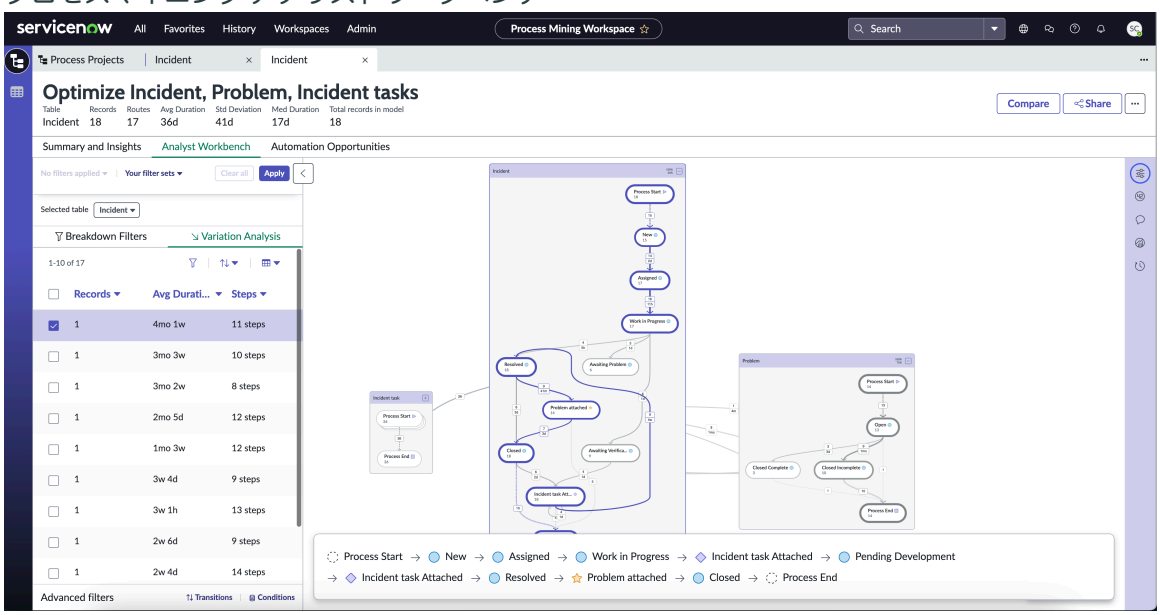
> **注:**
> ユーザーエクスペリエンスアナリティクス はオンプレミスインスタンスではサポートされていません。

プロセスマイニング

プロセスマイニング は、アナリストとプロセスオーナーがビジネスプロセスを迅速に分析して最適化するのに役立ちます。

> **重要:**
> Vancouver リリース以降、Process Optimization アプリケーションの名前が に プロセスマイニング変更されました。

プロセスマイニング アナリストワークベンチ



データから自動化されたビジネスプロセスフローを作成し、プロセスの非効率性を監視し、より迅速に検出できるようにします。[プロセスマイニング] では、次のことができます。

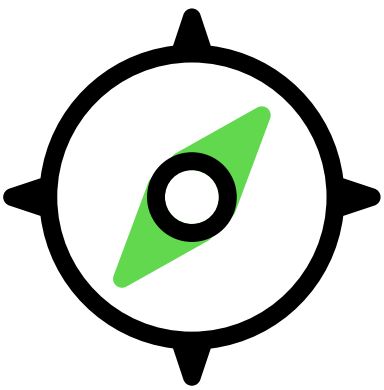
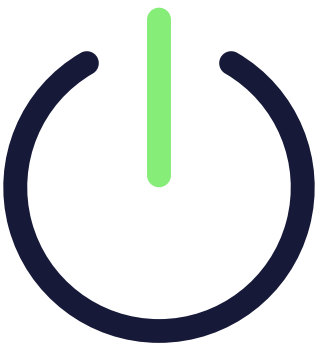
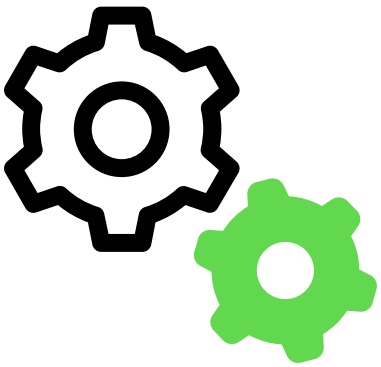
- プロセスの実行またはカスタマージャーニーを可視化し、採用およびユーザーエクスペリエンスについてのインサイトを提供します。
- ボトルネックを特定し、重要業績評価指数に与える影響を確認して、根本原因となる問題を解決できるようにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

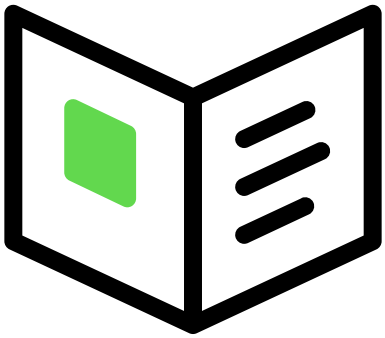
- プロジェクトを構成して、1 つのビューに複数のテーブルを作成します。
- 複数のテーブルを 1 つのビューにマイニングすることで SLA 違反が発生する理由を理解します。
- 自分が作成したプロジェクト、共有しているプロジェクト、またはすべてに基づいて、Analyst Workbench にフィルターを適用します。
- プロセスの監査により、重要な変更や潜在的な問題がビジネスに悪影響を及ぼす前に、すぐに検出することができます。
- プロセス ServiceNow® パフォーマンスアナリティクス と統合し、 継続的改善管理 プロセスを改善する機会を見つけます。
- プロセスを比較して、パフォーマンスの差異や逸脱を調査します。
- メインの業務に影響しているものをより包括的に把握するために、連携しているプロセスをリンクします。
- アクティビティの移行を表示して、特定の測定基準全体にわたって貢献している上位のアクティビティの移行を確認します。
- 機械学習と AI の拡張性によって、高度な計算を実行します。
- 機械学習 (ML) ベースのクラスター分析を実行して、インスタンスまたはレコードの類似のグループまたはパターンを見つけます。

開始するには

詳細を読む	アクティブ化	構成
		
概念と機能について プロセスマイニング 学ぶ	アクティブ化方法を学ぶ プロセスマイニング	プロセスマイニング の構成

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

使用	参照	
		
使用方法を学ぶ プロセスマイニング	主要な用語やコンポーネントのインストール情報などの詳細 プロセスマイニング を取得します	

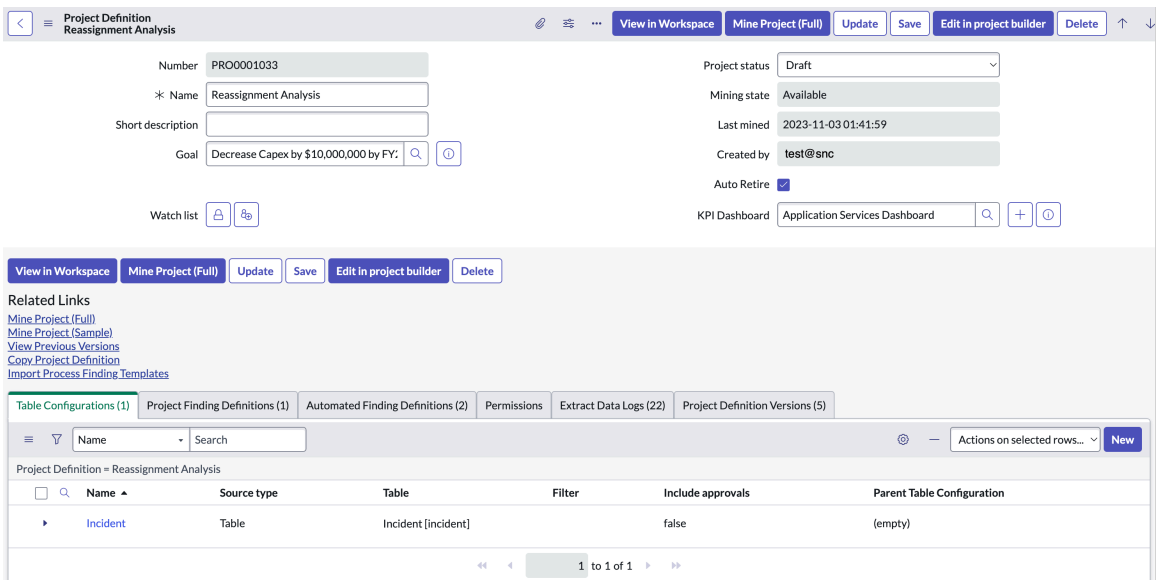
主な機能

自動プロセス検出

プロセステーブルを選択し、マイニングするアクティビティとブレークダウンを選択して、プロジェクトを定義します。プロジェクトビルダーでプロジェクトを編集することもできます。

ビジネスプロセスに対して少なくとも 1 つのアクティビティ定義を構成します。アクティビティは、ビジネスプロセスの一部として発生する可能性のあるさまざまなステップを定義します。

フィルターとして機能し、カテゴリボリューム、速度、および適合率に関するインサイトを提供するブレークダウンを構成する必要があります。

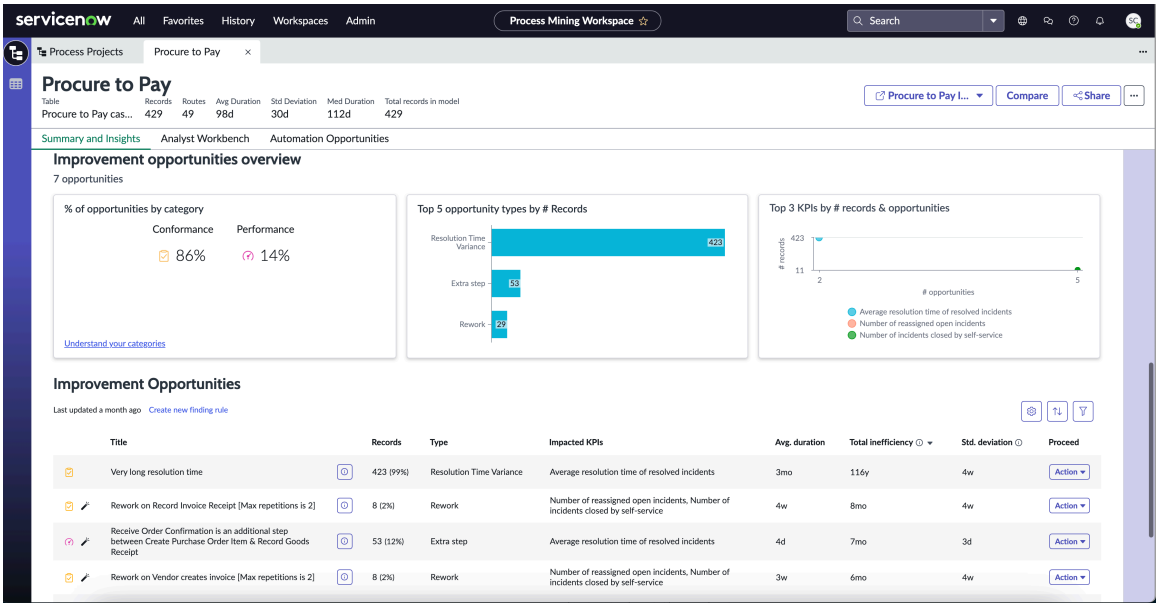


[サマリーとインサイト] ダッシュボード

自動翻訳

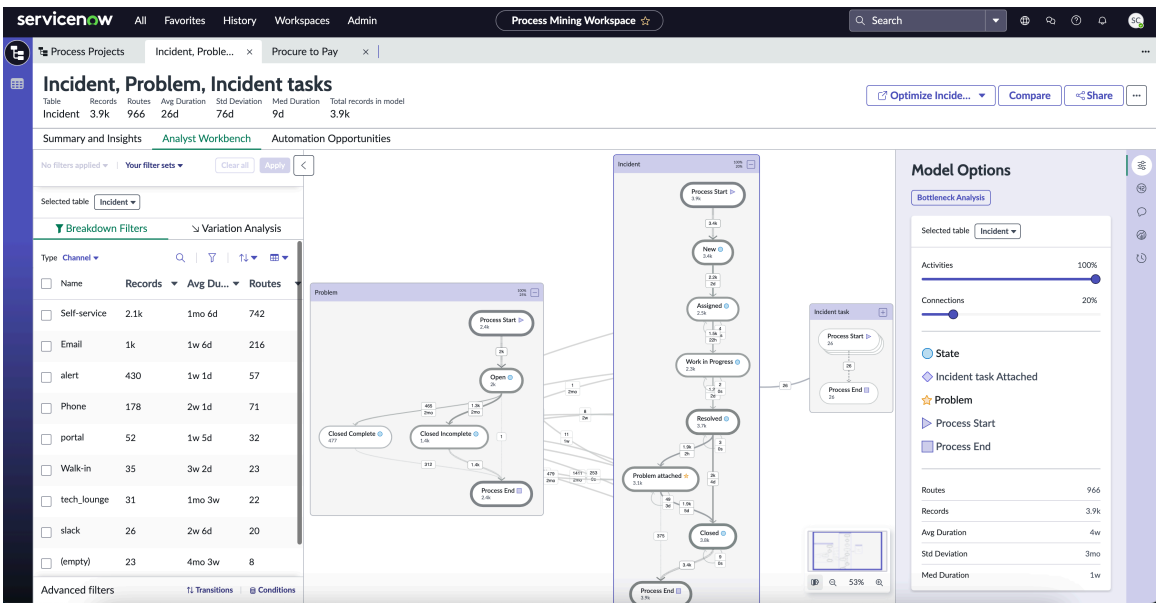
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロセスのパフォーマンスをすばやく把握できます。サマリーおよびインサイトダッシュボードから、重要業績評価指標、改善機会の概要、および改善機会のリストを表示します。



アナリストワークベンチ

インタラクティブなプロセスマップ、探索的フィルターパネル、および構築済みのパフォーマンス測定基準を使用して、ビジネスワークフローを視覚的に分析します。プロセスのバリエーション、ブレークダウン、ボトルネック分析、ML およびスマートルールベースのインサイトを確認できます。また、重複する監査もすべて削除され、グラフ内のすべてのセルフループが削除されます。

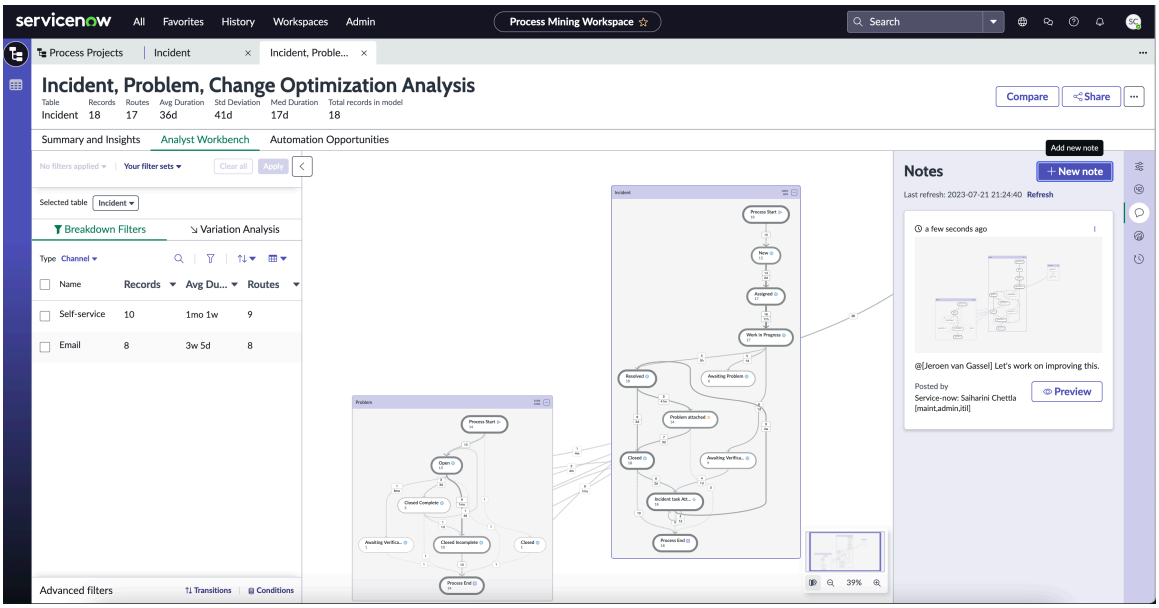


簡単なコラボレーションと共有

ステークホルダーとプロジェクトを共有し、プロジェクト内のメモやスクリーンショットを使用して共同作業を行います。

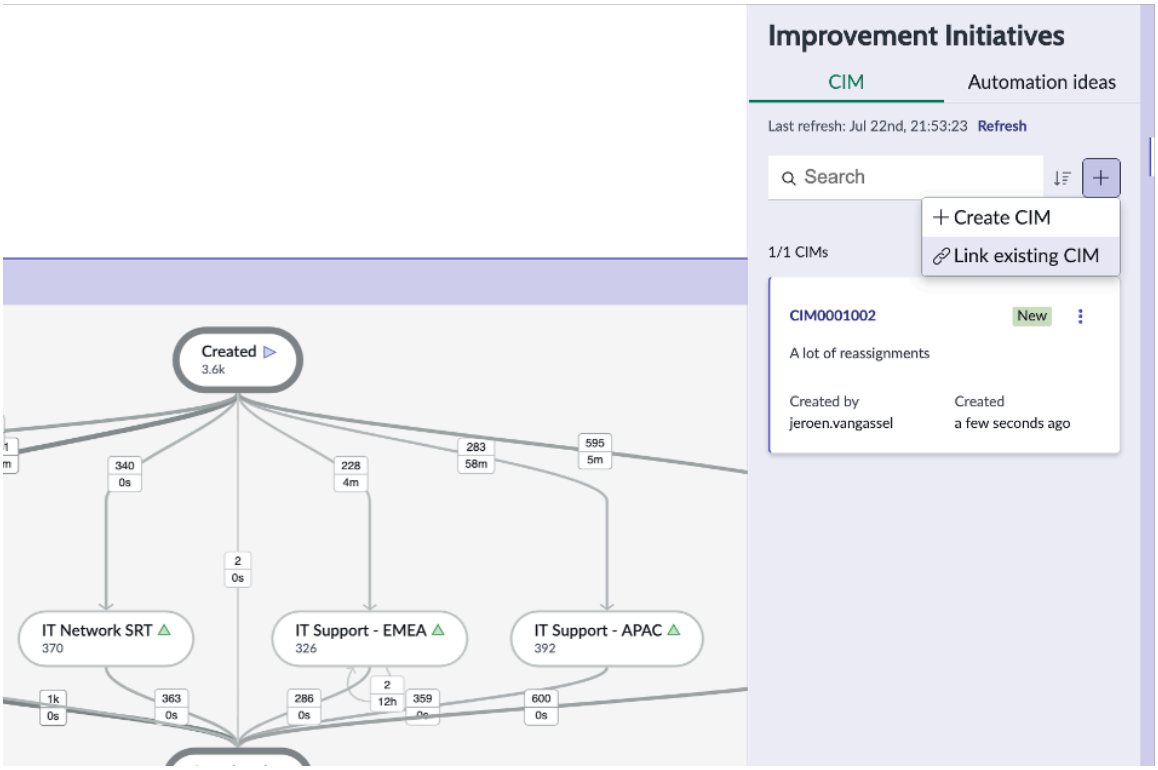
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



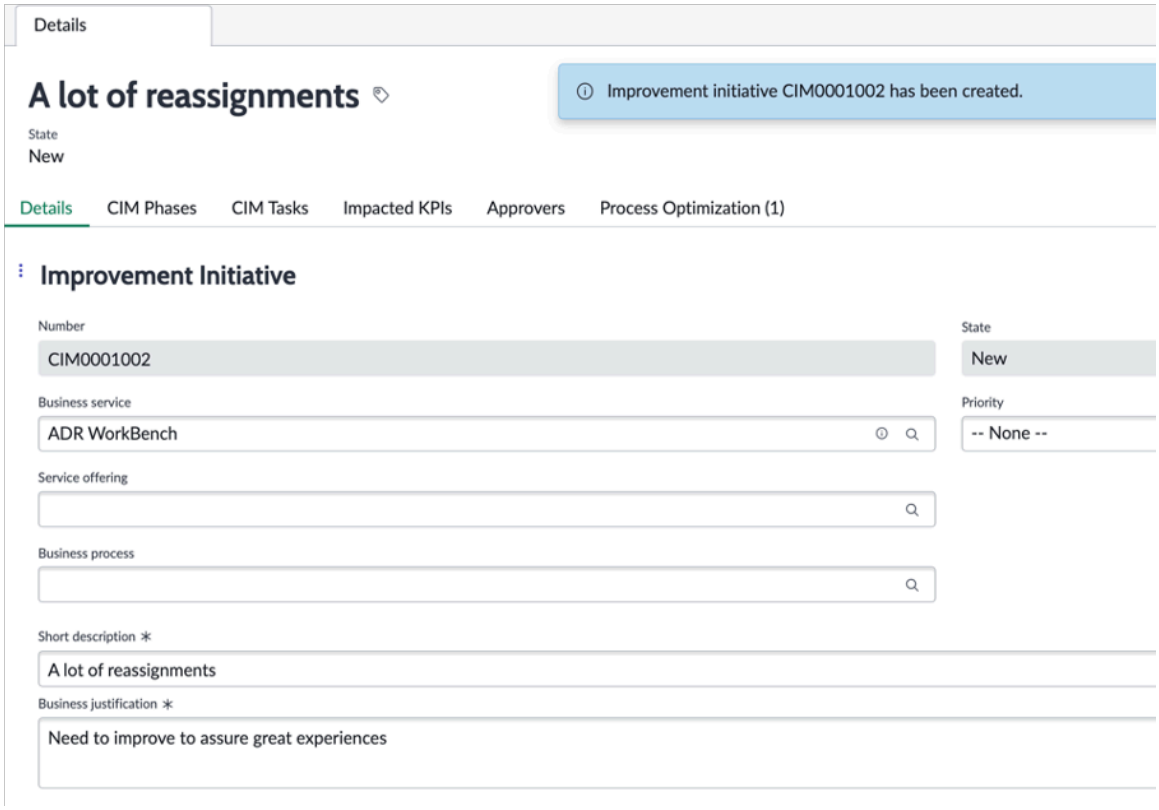
統合された継続的最適化

改善イニシアティブのステータスを作成および表示します。



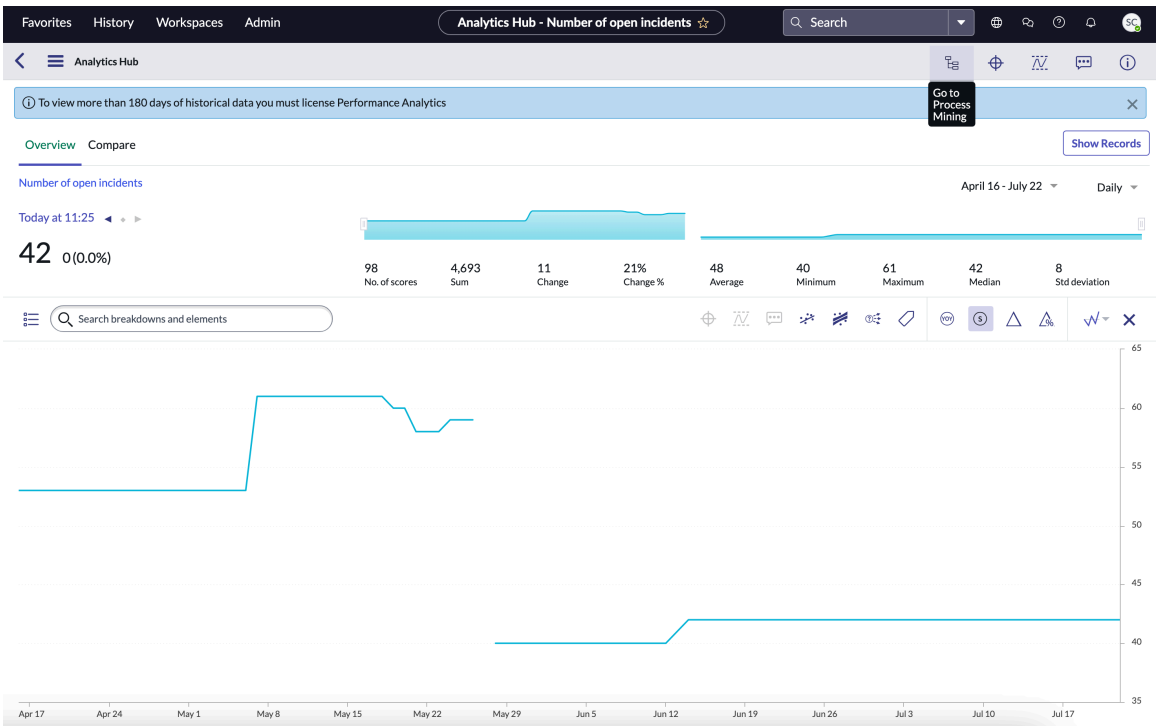
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



パフォーマンスアナリティクスとベンチマークとの統合

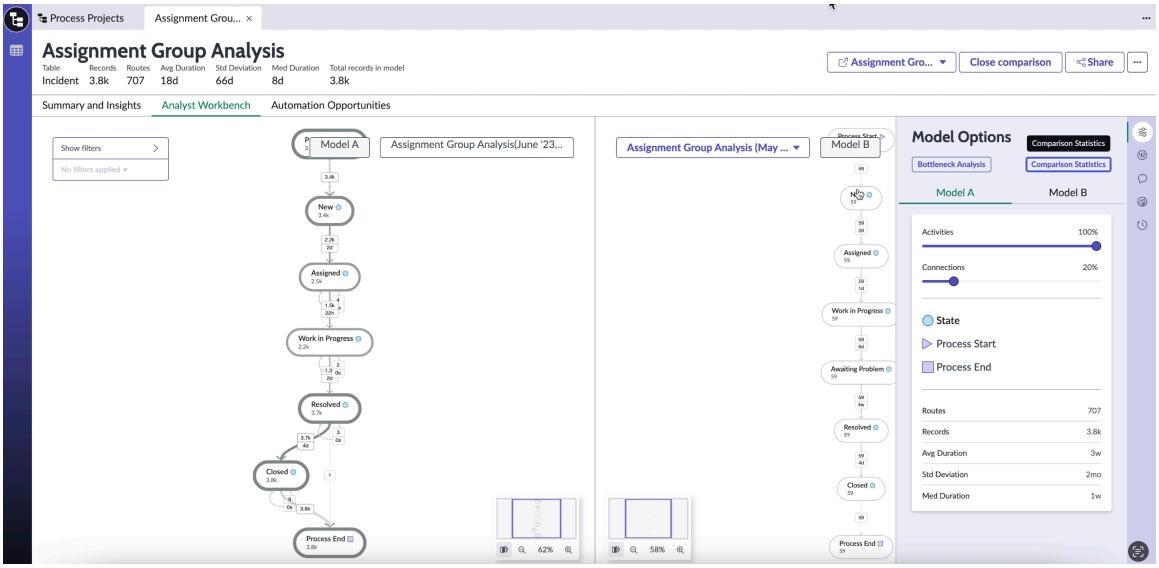
- 統合を使用して パフォーマンスアナリティクス 根本原因分析を行うために、パフォーマンスの低いインジケーターを分析します。
- ベストプラクティスベースの実装を使用します。事前定義された ITSM プロセスマイニング プロジェクトと改善イニシアチブにより、価値実現までの時間を短縮できます。



プロセスの比較

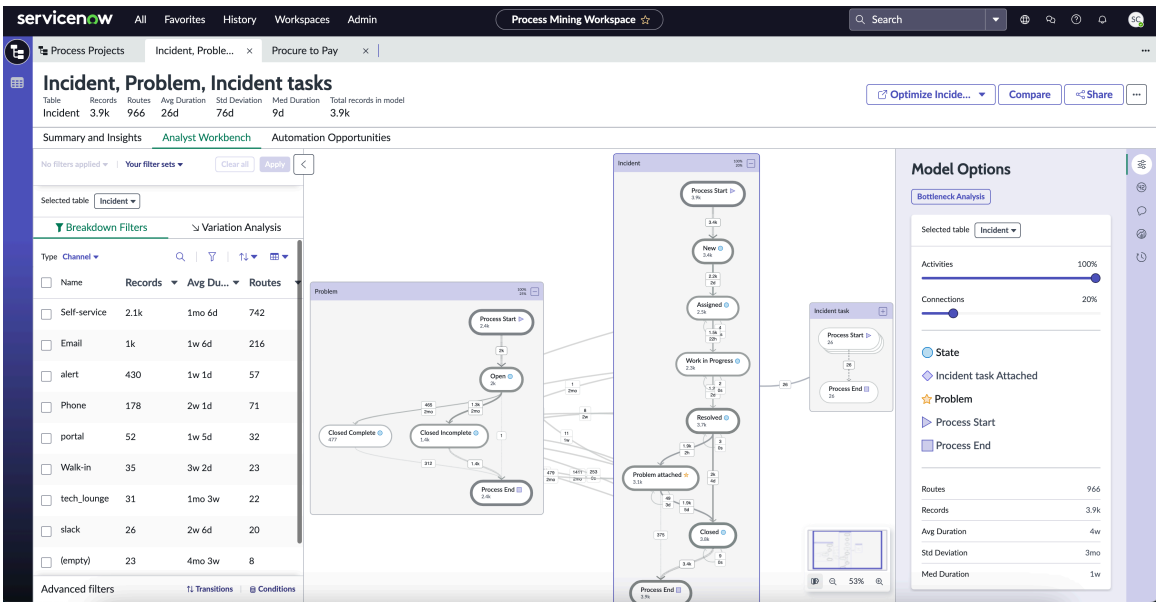
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロセスを比較して、パフォーマンスの差異や逸脱を調査します。



多次元プロセス

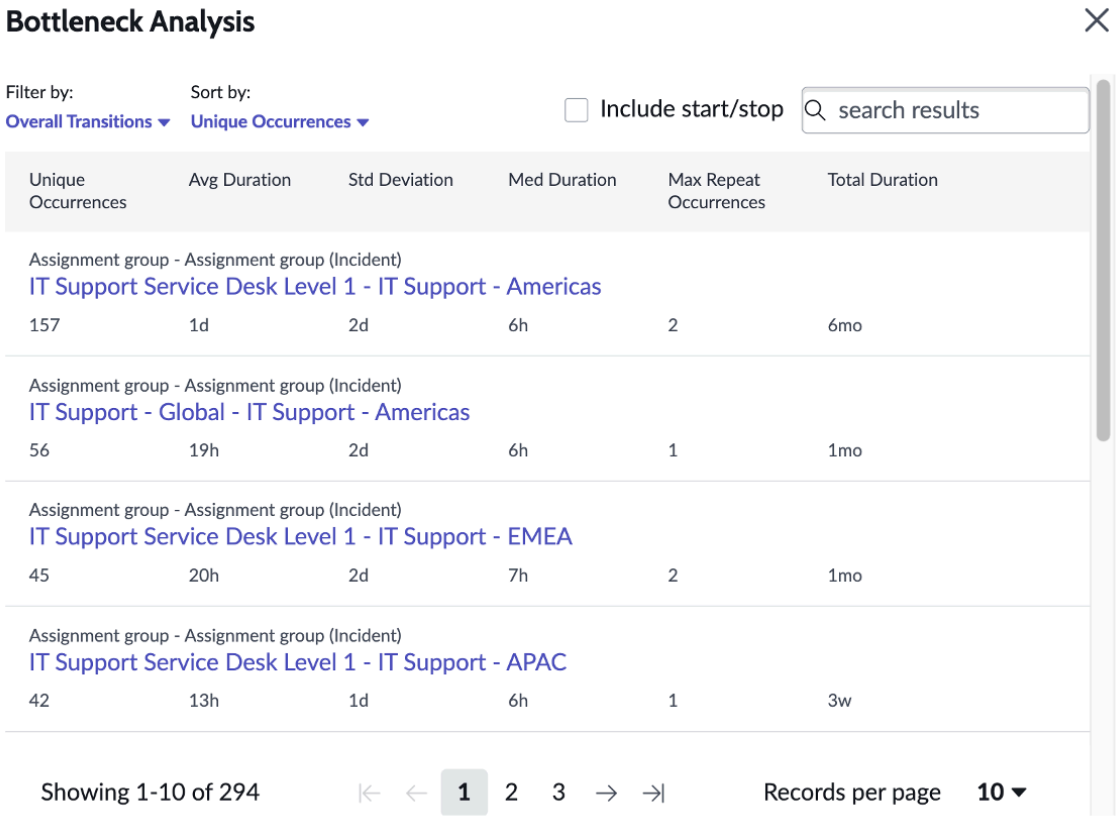
多次元プロセスとは、テーブルの階層をマイニングすることです。これはマルチテーブルマイニングです。これは、プロセスの依存関係をより包括的に表示するために使用されます。



ボトルネック分析

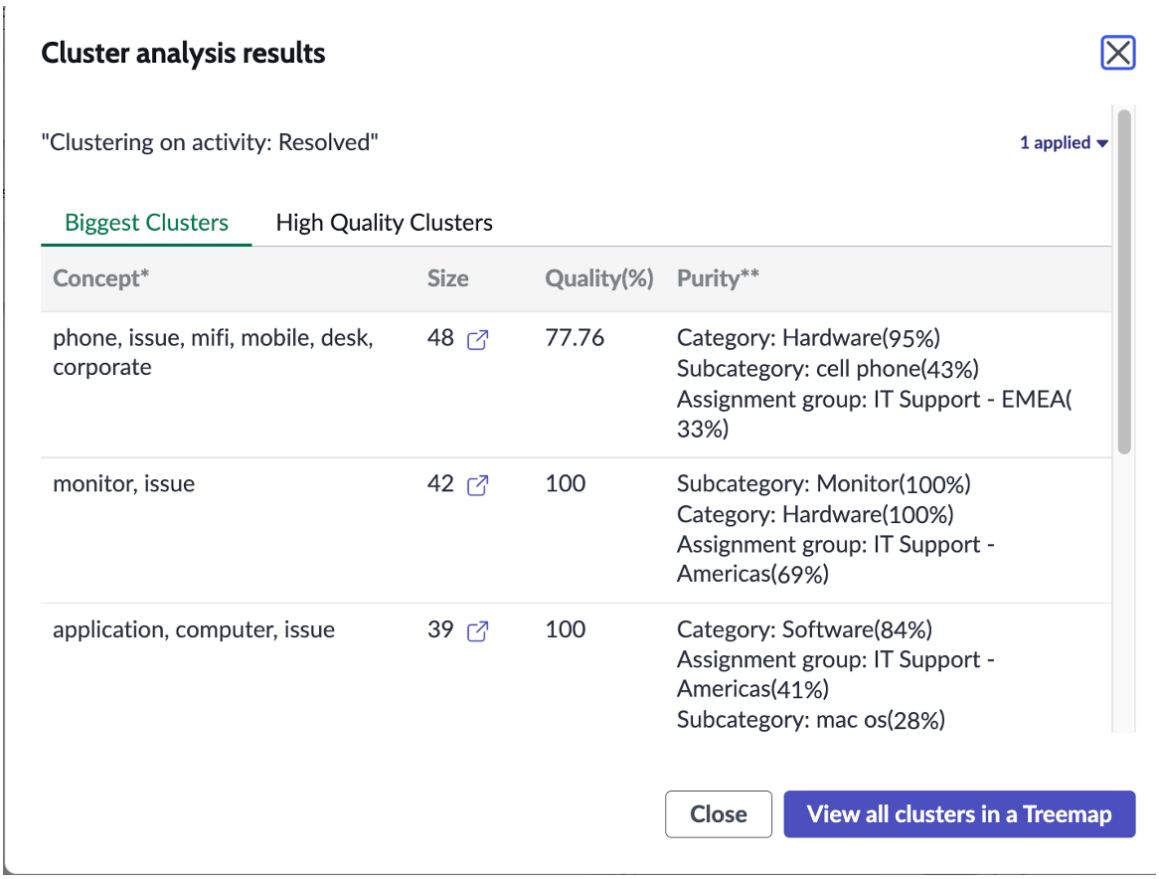
ボトルネック分析機能で定義したアクティビティ移行を表示します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ML ベースのクラスタリングを使用してプロセスを分析する

類似のレコードを機械学習パターンで識別されたクラスターにグループ化します。

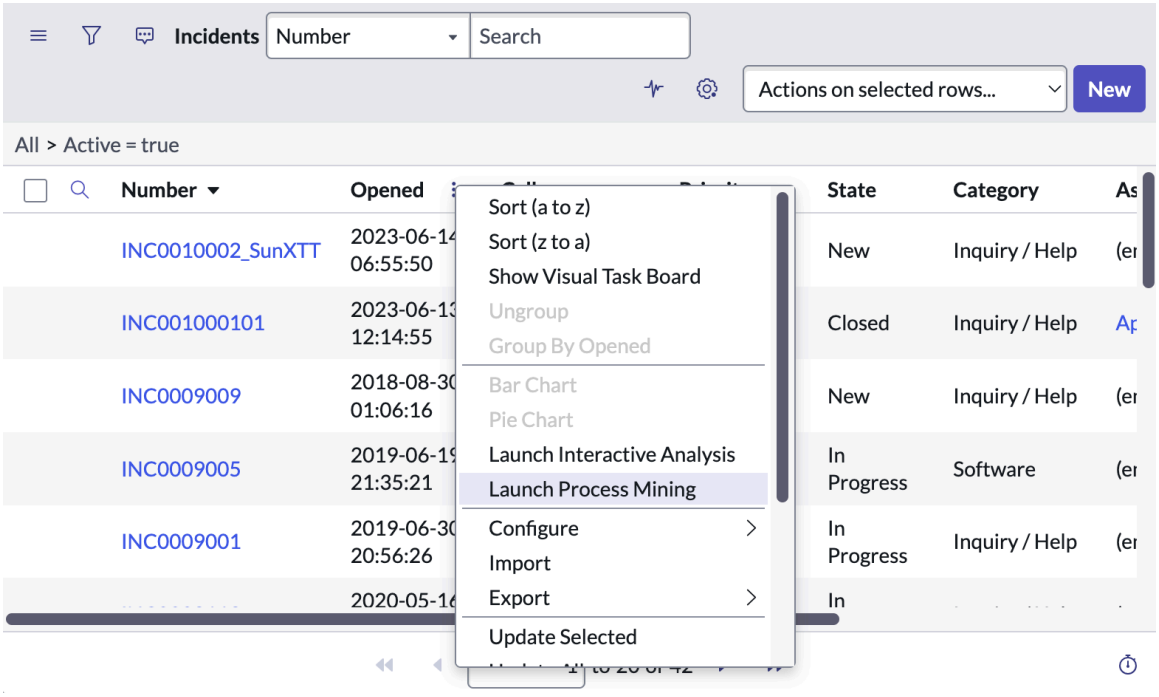


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パフォーマンスインジケーターとレコードリストの背後にあるプロセスを迅速に分析する

不適切なサービスレベルアグリーメントや CSAT スコアなどのシナリオの背後にあるわかりやすいプロセス。任意のプラットフォームリストまたはレポートから分析を実行します。



プロセスマイニング の詳細

ビジネスプロセスの分析と最適化に使用します プロセスマイニング 。

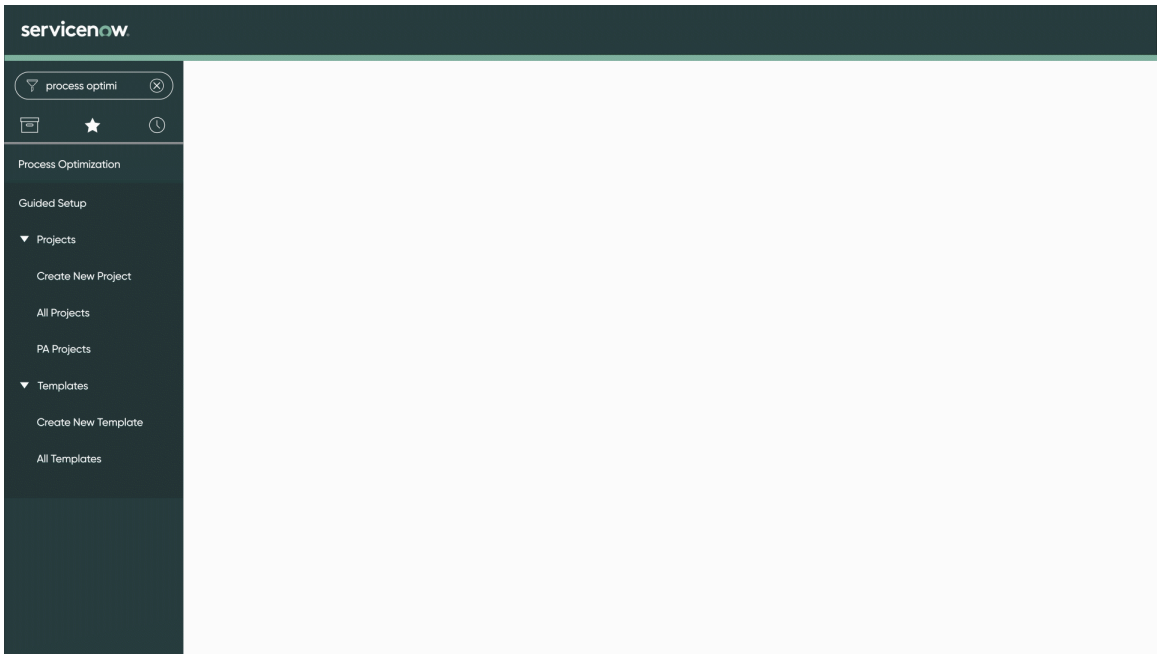
プロセスを評価し、ボトルネックを特定して、ビジネスの成果を促進 プロセスマイニング

プロセスマイニング を使用すると、次のようなプロセス改善の質問に対する回答を見つけることができます。

- ビジネスで最も時間を費やしている場所、または時間を浪費している場所はどこですか?
- プロセスのパフォーマンスが低下する根本的な原因は何ですか?
- 企業はプロセスのどこで次に自動化を適用する必要がありますか?
- 手戻りはどこで発生していますか?
- プロセス内の各アクティビティの推定コストと節減見込みは?
- ビジネスでは、そのプロセスでどの程度の逸脱が見られますか?

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



アナリストは次のことができます。

- ITSM CSMファイナンシャルサービスオペレーションとプロセスを積極的に評価してHR サービスデリバリ (HRSD)改善します。
- デジタルトランスフォーメーションを加速します。データとベストプラクティスコンテンツに基づいて、改善と自動化の領域を見つけます。

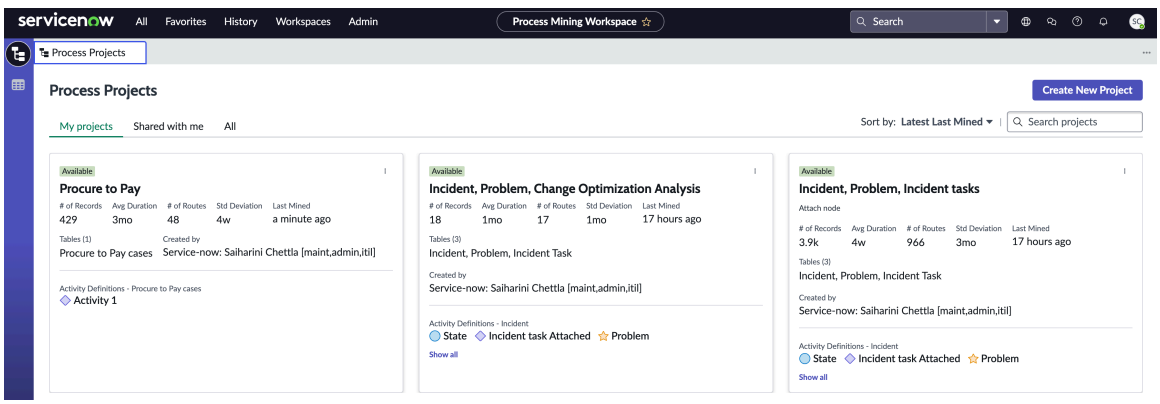
プロセスオーナーは、次のことができます。

- プロセスを可視化し、コラボレーションを開始します。
- プロセスのボトルネックを評価し、弱点のある領域を見つけて、最適化する可能性のある領域を見つけます。

プロセスマイニング ワークスペース

ワークスペースから プロセスマイニング ビジネスプロセスとワークフローを可視化して表示します。

ワークスペースには プロセスマイニング 、プロジェクトが詳細、サマリー、および視覚化とともに表示され、ビジネスプロセスの分析と最適化に役立ちます。プロセスマイニング開始するには、インスタンスフィルターナビゲーターからワークスペースにアクセスします。



ワークスペース プロセスマイニング には次の機能が含まれています。

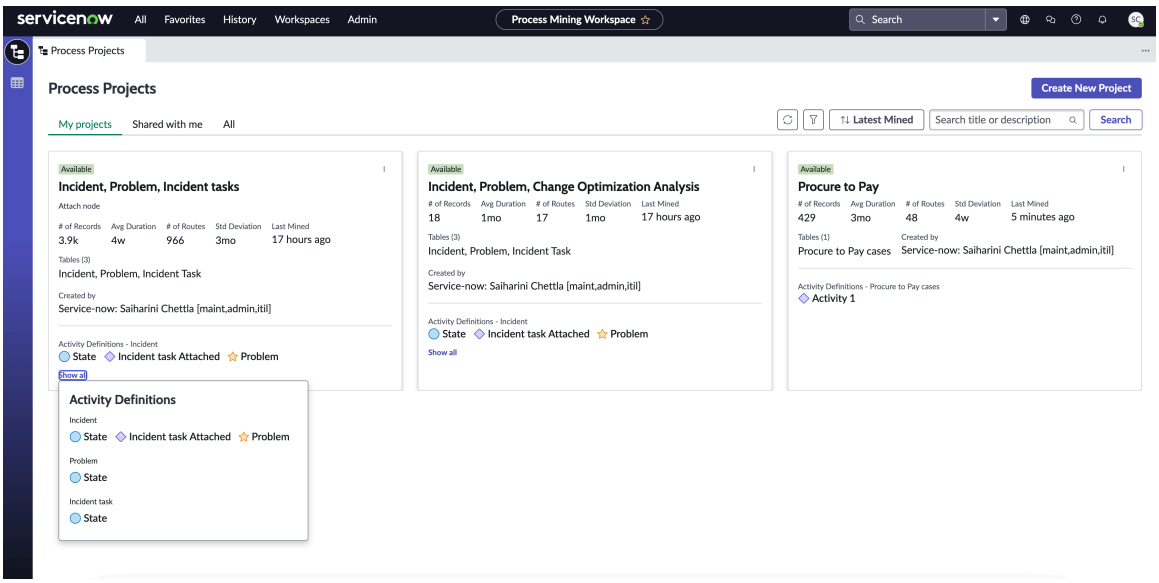
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロジェクトのランディングページ

プロセスマイニング のプロジェクトランディングページから、生成されたプロジェクト、ビジネスプロセスインサイト、および Analyst Workbench にアクセスできます。

プロジェクトのランディングページには、作成された、または表示用に共有されたプロジェクトのプロジェクトカードが表示されます。作成済みでまだ生成されていないプロジェクトには、グレー表示されたタイトルの横に警告アイコン ⚠ が表示されます。この警告は、プロジェクトを表示できないことを示します。

プロジェクトのランディングページ



プロジェクトカードには、マイニングされたプロジェクトの概要の詳細が表示されます。テーブル、作成者、プロジェクト、アクティビティ定義、名前、または簡単な説明でフィルタリングできます。

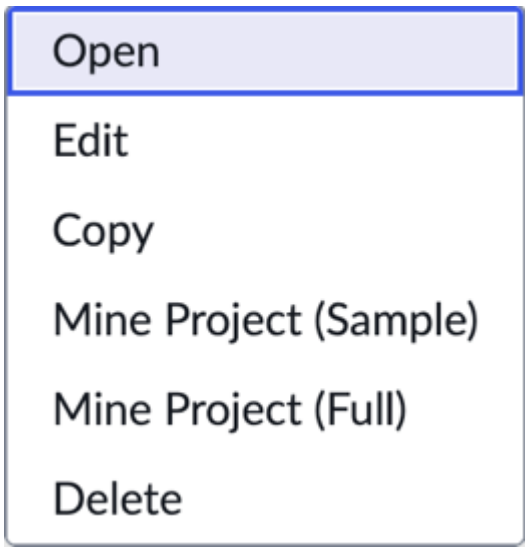
プロジェクトカードの詳細

フィールド	説明
プロジェクト名	プロジェクトの名前。プロジェクト名を選択すると、Analyst Workbench が開き、ビジネスの結果にアクセスできます。
ステータス	プロジェクトの使用ステータスの指定。
プロジェクトの簡単な説明。	プロジェクトに関する簡単な説明が記載されています。
作成者	プロジェクトを作成したユーザー。
テーブル	プロジェクトがレポートする選択されたテーブル。
最終マイニング日	プロジェクトのデータが最後にマイニングされた日時 (日単位)。
レコード数	プロジェクトの選択されたデータテーブルとフィルター構成に適用されるレコードの数。
プロセスバリエーション	プロセスステップ不確実性パーセンテージプロファイル。例：複数のルートをたどっているユーザー数と目標への理想的なパスの比較。パーセンテージは、バリアントの数をレコードの数で割って算出されます。
平均時間	クローズされたすべてのフィルター済みレコードに関するオープンされてからクローズされるまでの平均時間。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロジェクトカードから、関連するユーザーロールは、カードのメニューを選択して次のタスクを実行できます。



プロジェクトカードのメニュー

メニュー項目	説明
オープン	選択してプロジェクトを開きます。
編集	プロジェクトを編集する場合に選択します。
コピー	構成をコピーしてプロジェクト定義を作成する場合に選択します。
マイニングプロジェクト (サンプル)	完全なデータ抽出を実行する代わりに、限られたデータを使用してサンプルプロジェクトをマイニングします。
マイニングプロジェクト (フル)	プロジェクトの完全なデータ抽出をマイニングします。
削除	プロジェクトを削除します。

[プロセスの詳細] ページ

の プロセスマイニング プロセス詳細ページでは、インタラクティブに視覚化されたプロセスマップに加えて、概要のインサイトと機会にアクセスできます。

プロセスの詳細ページから、次の操作を実行できます。

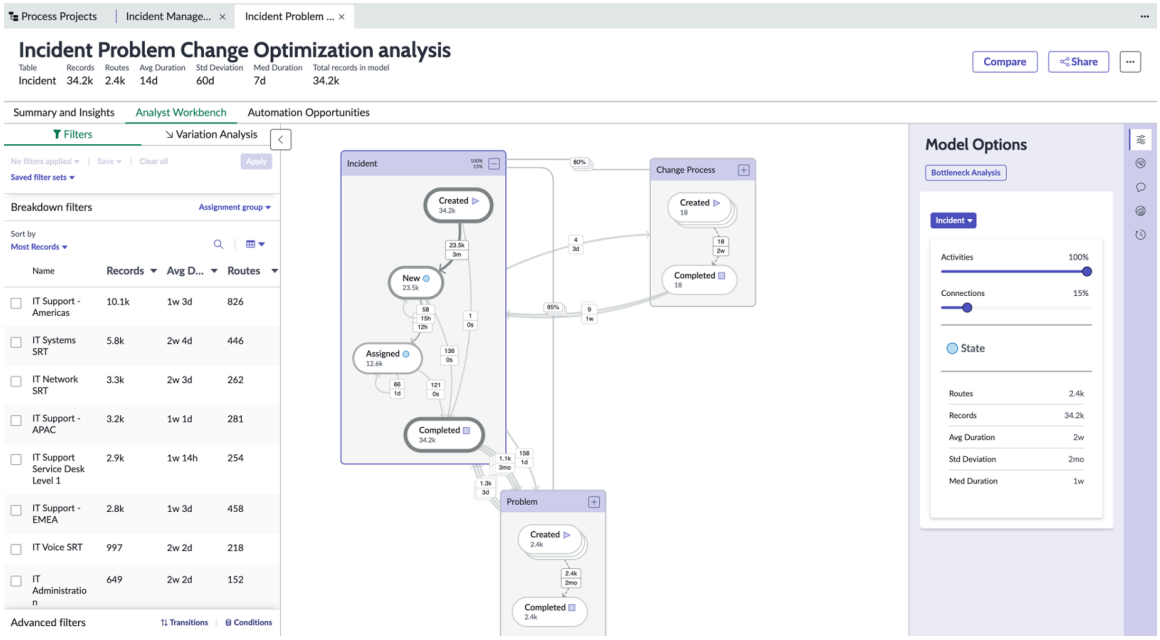
- [サマリーとインサイト] タブを選択して、プロセスに影響を与える速度、品質、コストに関するインサイトを確認します。
- [**Analyst Workbench**] タブを選択してプロジェクトダッシュボードにアクセスすると、プロジェクトの可視化されたプロセスマップを表示できます。
- [自動化機会] タブを選択し、機械学習とプロセスベースの分析を使用して自動化機会を検索します。

注:
すべてのプロジェクトカードを表示できるプロジェクトのランディングページに戻るには、[プロジェクトを処理] タブを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

概要パネル



プロジェクトの概要パネルには、次の概要の詳細と簡単なコンテキストメニューが表示されます。

UI 要素	説明
概要の詳細	プロジェクトに関する重要な情報。 • プロジェクト名 • データがレポートするテーブル • 適用されたフィルターに従ったプロジェクトのスコープ内の合計レコード数 • レコード内で表されるルートの数 • レコードのクローズにかかった平均日数 • ルート期間の平均値からの標準偏差の偏差。 • 期間中央値 • プロジェクトのデータに含まれるレコードの数
メニューアイコン ()	追加オプションのメニューにアクセスします。 プロジェクトを編集 現在のプロジェクトを編集するには、このオプションを選択します。詳細については、以下を参照してください。 プロジェクトの編集 バージョンを編集 プロジェクトバージョンの名前を変更するには、このオプションを選択します。詳細について

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

UI 要素	説明
	は、「」を参照してください プロジェクトのバージョン名の変更。

プロジェクトパネル

プロジェクト ビュー内のプロジェクト パネルには、ビジネス インサイト、データ ビューを絞り込むためのフィルター ツール、およびルートの詳細へのアクセスが用意されています。

UI 要素	説明
[サマリーとインサイト] タブ	ビジネス目標、重要業績評価指標のサマリーインサイト、移行、およびルートのバリエーションを表示します。
[Analyst Workbench] タブ	このタブを選択すると、以下にアクセスできます。 • [ブレークダウンフィルター] タブ:フィルターセットを作成および削除し、詳細フィルター条件を設定します。 • 「バリアント分析 」タブ: データ・セット内のレコードに分布するルートを表示します。
[自動化機会] タブ	ワークフローの自動化機会を特定するのに役立ちます。ITSM でのみ使用できます。

プロセスマップ

プロセスマップには、視覚化されたプロジェクトとルートが表示され、そのビューをフィルタリングおよびドリルダウンするための次のツールが提供されます。[Analyst Workbench] タブからプロセスマップにアクセスできます。

UI 要素	説明
測定基準	プロセスマップに表示するプライマリおよびセカンダリ測定基準。
絞り込み	マップ上のアクティビティと接続を調整します。このタブを選択すると、以下にアクセスできます。 • [アクティビティ] タブ:プロセスマップ上のアクティビティの詳細ビューを拡大または縮小します。 • [接続] タブ:プロセスマップ上のアクティビティ間の接続の詳細ビューを拡大または縮小します。
レコードを表示	選択した 1 つ以上のルートのレコードを表示します。
モデル統計	プロセスモデルの統計は、モデル統計全体と比較する際に全体像を示すのに役立ちます。このタブには、フィルタリングされたレコードまたは選択したバリアントルートに関する次の統計情報が表示されます。 • メトリック:比較されたプロジェクト間のメトリック値の合計、プロジェクト固有、または差異を示します。 • レコード:選択したルートをたどるフィルター済みレコードの数。 • ルート:フィルタリングされたレコードがたどったルートの数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

UI 要素	説明
	• 平均期間 (Avg duration):フィルタリングされたレコードまたは選択したルート内のレコードがクローズするまでにかかった平均日数。この値は、モデル内のすべてのレコードの平均日数と比較されます。 • 標準偏差: 経路平均所要時間値からの偏差。 • Med Duration: ルートの中間期間の値。
ボトルネック分析	指定した測定基準フィルターに基づいて、上位の移行を表示します。
アクティビティの凡例	アクティビティカテゴリを示す記号とともにプロセスマップに表示される定義済みのプロジェクトアクティビティ。
プロセスマップ	プロセスの測定基準を表示したり、フィルタリングに使用するアクティビティ条件を追加したり、その他のアクションを実行できるインタラクティブマップ。
ズーム	プロセスマップのビューを拡大または縮小します。

メモ、イニシアチブ、およびスケジュール設定済みタスクパネル

メモ、イニシアチブ、およびスケジュール設定済みタスクパネルには、メモ、スナップショット、および改善イニシアチブを作成および表示するためのツールが用意されています。また、スケジュールしたマイニングタスクのステータスを確認することもできます。

UI 要素	説明
メモアイコン	メモリストの表示、メモの作成、メモの編集または削除を行います。
イニシアチブアイコン ()	イニシアチブリストの表示、新しいイニシアチブの作成、既存のイニシアチブへのリンク、またはイニシアチブの削除を行います。
スケジュール設定済みタスクアイコン ()	スケジュールされたマイニング、フィルタリング、および要求されたクラスター分析タスクのステータスを表示します。

[サマリーとインサイト] ダッシュボード

パフォーマンス目標と重要業績評価指標 (KPI) を表示します。改善の機会に関するハイライトとインサイトを取得します。

サマリーとインサイトの概要

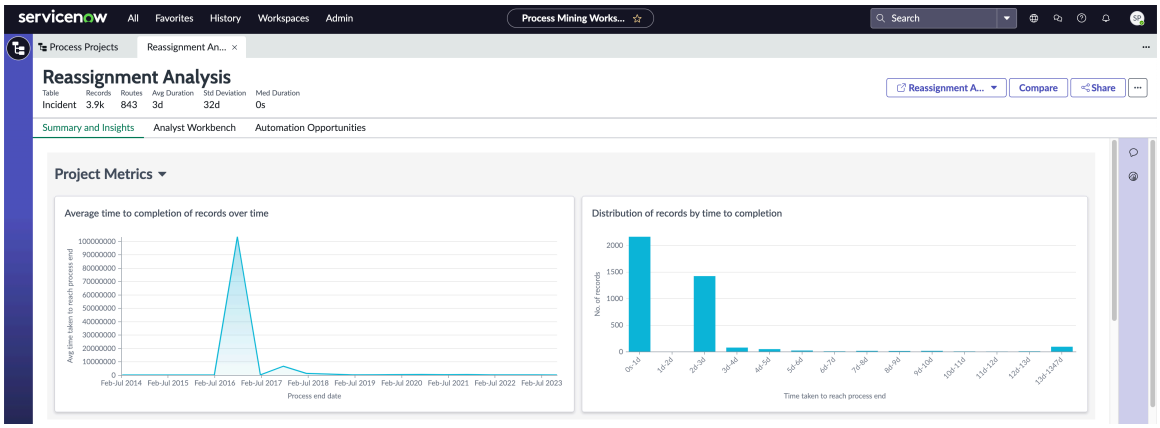
[サマリーとインサイト] ダッシュボードを使用すると、プロセスを最適化する機会を表示できます。プロジェクトからダッシュボードにアクセスします プロセスマイニング 。

プロジェクトの測定基準ダッシュボードを表示できます。ここでは、 のデータ プロセスマイニングから情報が計算されます。これは、次の 2 つのグラフで示されています。

- 時系列グラフ:レコードの完了に要した平均時間を経時的に示すトレンドライン。
- ヒストグラム:プロセスが終了するまでにかかった時間別のレコードの分布。

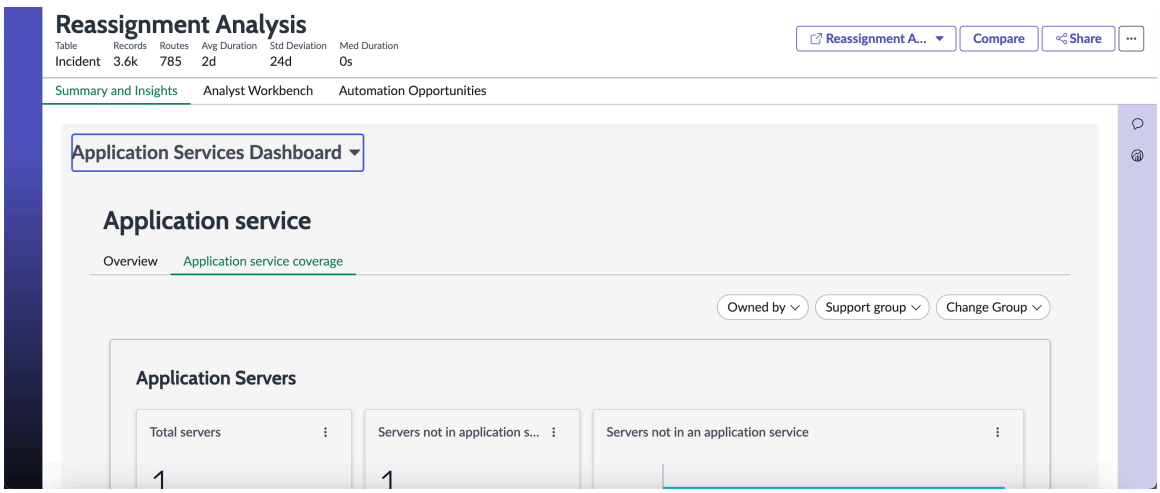
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



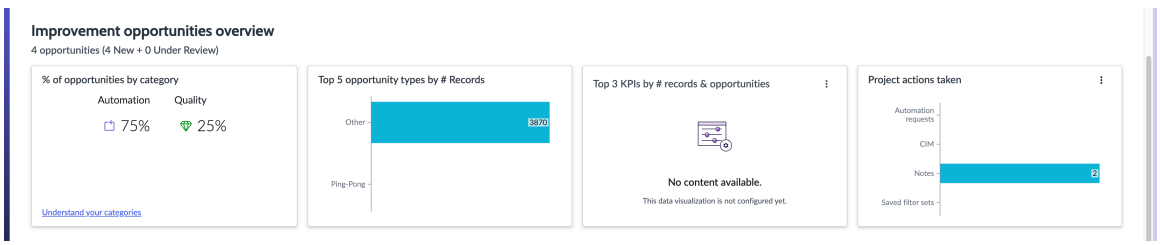
[プロジェクト測定基準] ボタンを切り替えると、KPI ダッシュボードを表示できます。管理者は、ワークスペースから プロセスマイニング プロセスグラフを表示するように構成することもできます。ビジネスプロセスとユーザーのニーズに合わせてダッシュボードを構成すると、これらのダッシュボードセクションからクイックスナップショットを表示できます。

次の図は、再アサイン分析プロジェクトに添付された KPI を示しています。



改善の機会の概要

改善機会の概要セクションでは、生成されたインサイトに関するプロジェクト関連の統計の概要を表示できます。

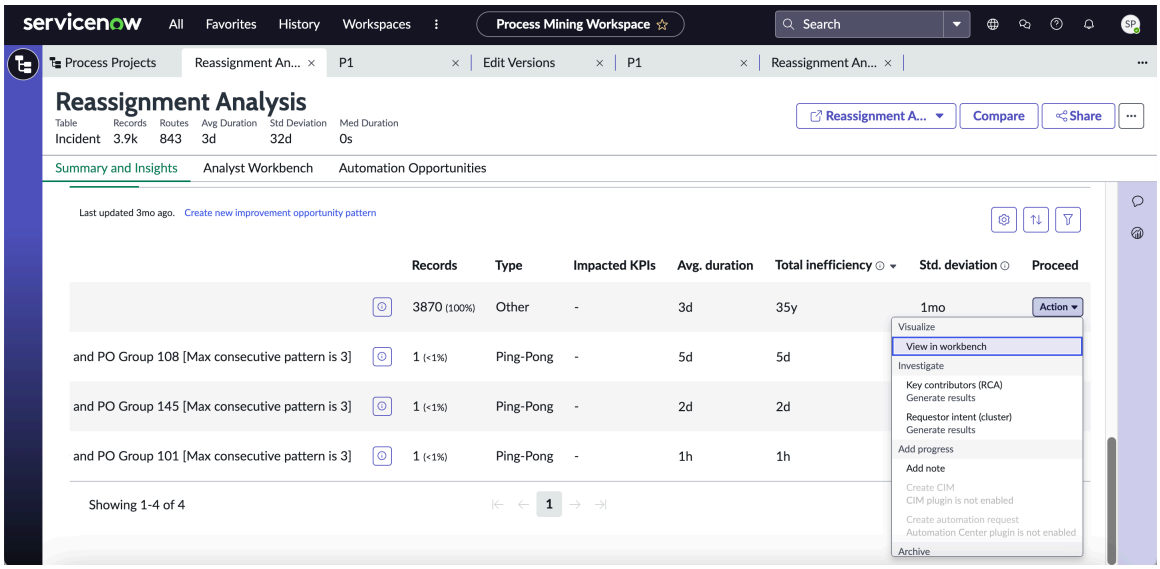


改善の機会

[改善の機会] セクションでは、プロジェクトに関連付けられたルールベースの自動検出結果のリストを表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



次の詳細を表示できます。

- 新規、レビュー中、アーカイブ済みの検出結果。
- [新しい改善機会パターンの作成] リンクを選択して、ルールベースの結果を作成します。このリンクをクリックすると、 検索定義 ページに自動的に移動します。詳細については、「ルールベースの検索定義の構成」を参照してください。
- プロジェクトに関連付けられた検出結果とすべての詳細のリスト。
- タイトルの横にある を選択すると、結果の詳細が表示されます。
- [アクション] を選択し、リストから任意の項目を選択して詳細を表示します。
- 列を表示または非表示にするには、[ ] を選択します。
- [ ] を選択して、列を並べ替えます。
- [ ] を選択して、検出結果のリストをフィルタリングします。

Performance Analytics ダッシュボードとの統合

Performance Analytics ダッシュボードを統合して、確認する KPI と表示方法を含めます。ダッシュボードビルダーを使用すると、プロジェクト専用のカスタムウィジェット/KPI を含む独自のダッシュボードを作成できます。これらのダッシュボードは、プロジェクトまたはプロセス構成レベルでリンクできます。

アナリストワークベンチ

プロジェクトのダッシュボードから可視化を管理し、分析タスクを実行するためのツールを使用して、可視化されたプロセスマップを表示します。

Analyst Workbench へのアクセス

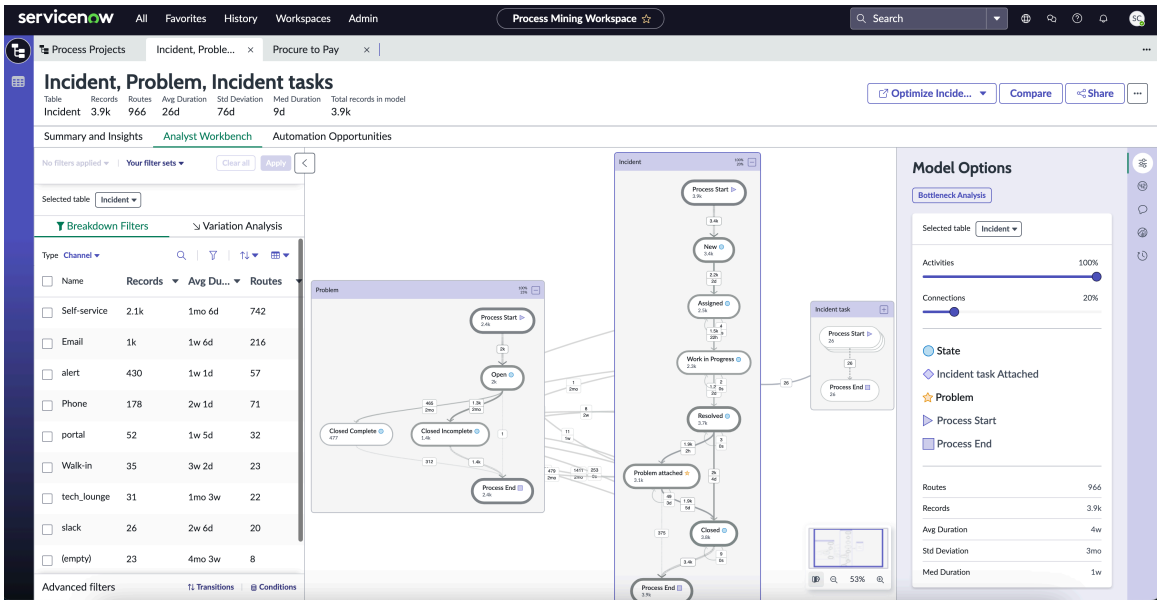
Analyst Workbench から、可視化されたプロセスワークフローデータとデータを分析するためのツールにアクセスできます。

Analyst Workbench にアクセスするには:

1. 移動先 すべて > プロセスマイニング > プロセスマイニングワークスペース.
2. プロジェクトを開き、Analyst Workbench に移動します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

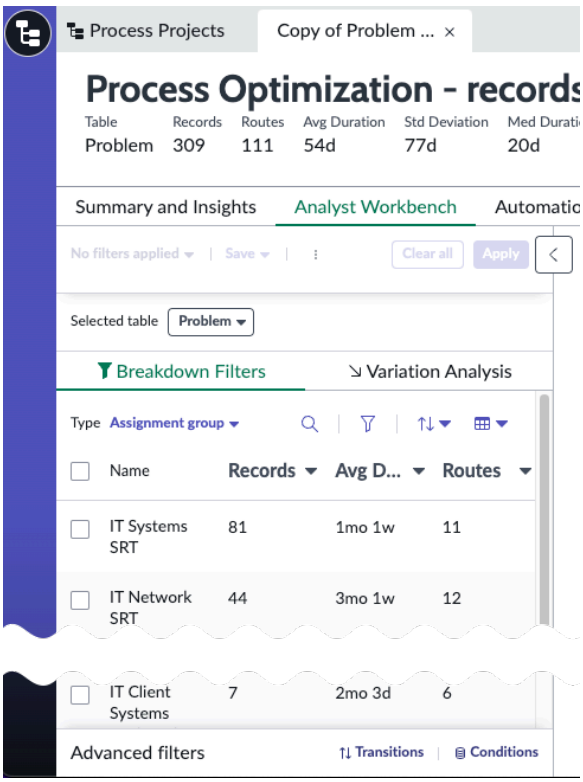


ブレークダウンフィルター

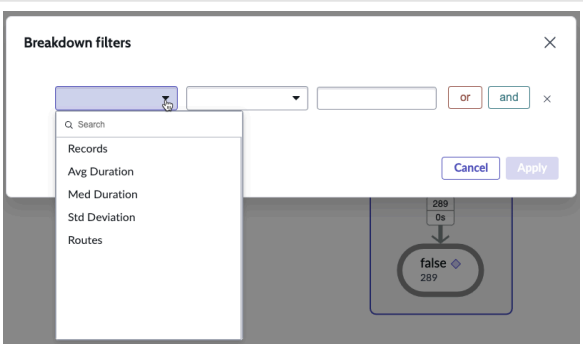
[ブレークダウンフィルター] タブを使用して、フィルターセットを作成および削除したり、詳細なフィルター条件を設定したりします。

[選択したテーブル] ドロップダウンを使用するか、プロセスマップ内の要素を選択して、さまざまな要素のブレークダウンを表示します。

> **注:**
> ブレークダウンフィルターは親テーブルにのみ適用できます。ただし、ブレークダウンの統計情報は、子テーブルと親テーブルの両方で使用できます。



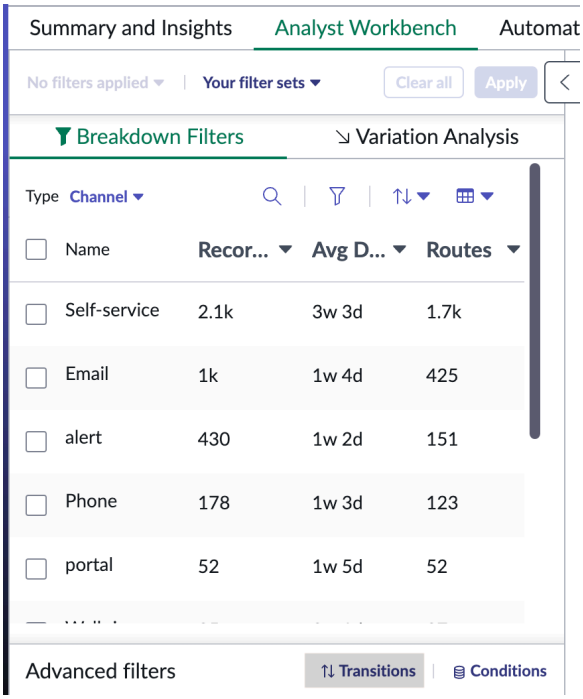
[ブレークダウンをフィルター] アイコン ([ ]) を使用して、フィルターで選択した条件に基づいてブレークダウンをフィルタリングします。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

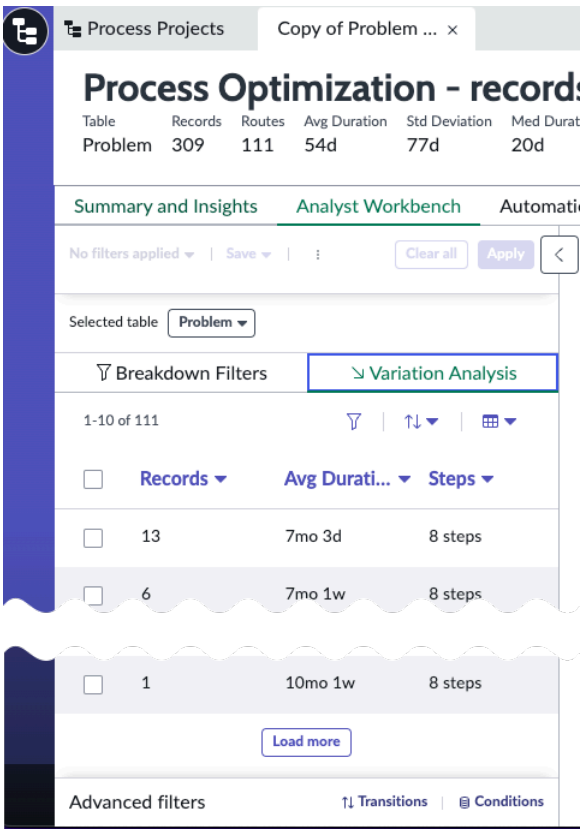
「トランジション」ボタンを使用して、トランジションに高度なフィルターを定義します。このプロセスの詳細については、「アクティビティへの移行フィルターの適用」を参照してください。



バリアント分析

[バリアント分析] タブを使用して、レコードがたどったルート、ケース数、平均期間、および各ルートに含まれるステップ数を表示します。プロセスマップでルートを強調表示するルートを選択します。

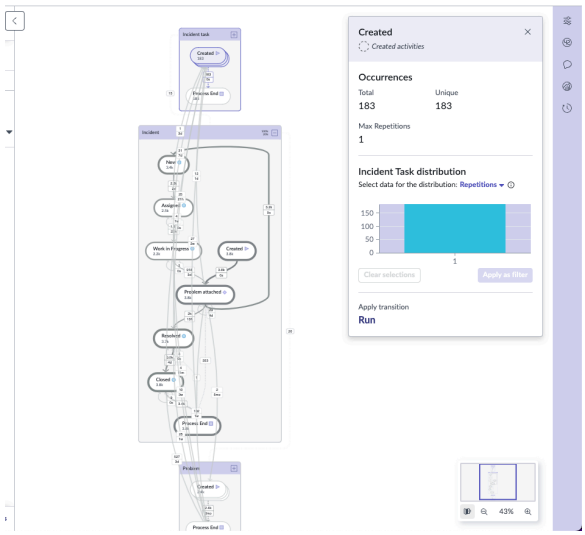
[選択したテーブル] ドロップダウンを使用するか、プロセスマップ内の要素を選択して、さまざまな要素の分析を表示します。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロセスマップ

プロセスマップを使用して、プロジェクトの視覚化されたマップを表示します。マップ内で、ビジネスプロセスをドリルダウンして、ビジネスプロセスをより適切に理解して最適化できます。プロセスマップには、表示または測定する KPI に従ってルートも表示されます。



マップ内のノードまたは移行線を選択すると、選択したアイテムに関する追加の詳細が右側のモーダルウィンドウに表示されます。

これらのウィンドウには、追加情報を表示する棒グラフのヒストグラムが含まれています。

- ノードを選択して、分布または繰り返し情報を表示します。
- 移行線を選択して、継続時間または繰り返し情報を表示します。

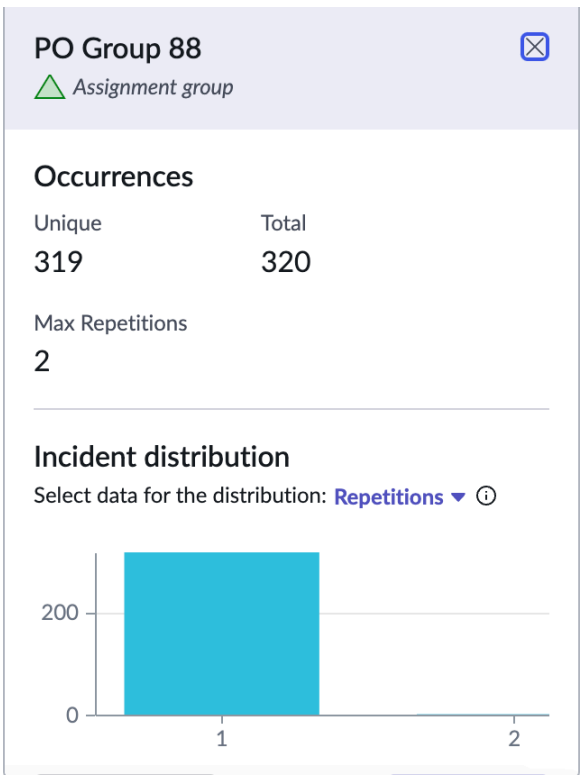
棒グラフを選択し、[フィルターとして適用] を選択して、これらの結果でフィルター処理します。

このツールの使用方法の詳細については、「 プロセスマップの絞り込み」を参照してください。

ノードを選択すると、モーダルウィンドウに、選択したノードを介したレコードの送信分布と受信分布が表示されます。

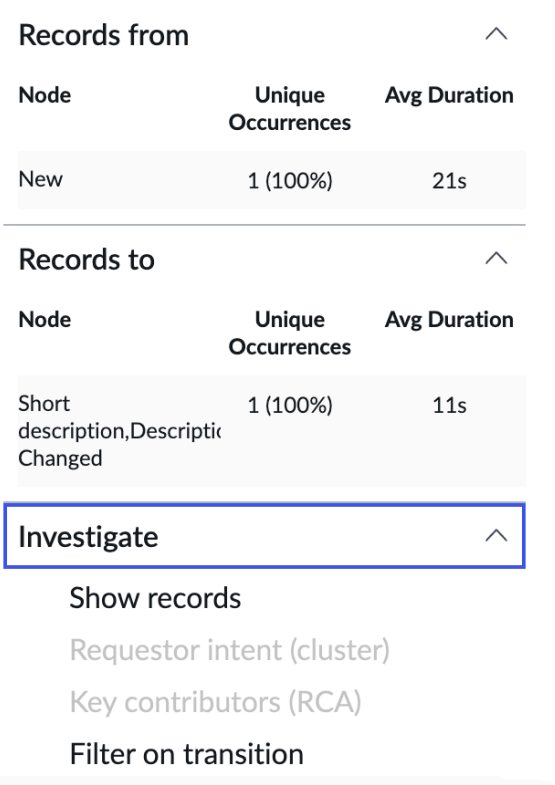
これは、[レコード送信元] セクションと [レコード送信先] 折りたたみ可能セクションに表示されます。

[調査] ドロップダウンから、関連するレコードの表示、クラスター分析、根本原因分析の実行、または移行の適用を行うこともできます。これらのタスクは、バックグラウンドで実行されるスケジュール設定済みタスクを使用して実行されます。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

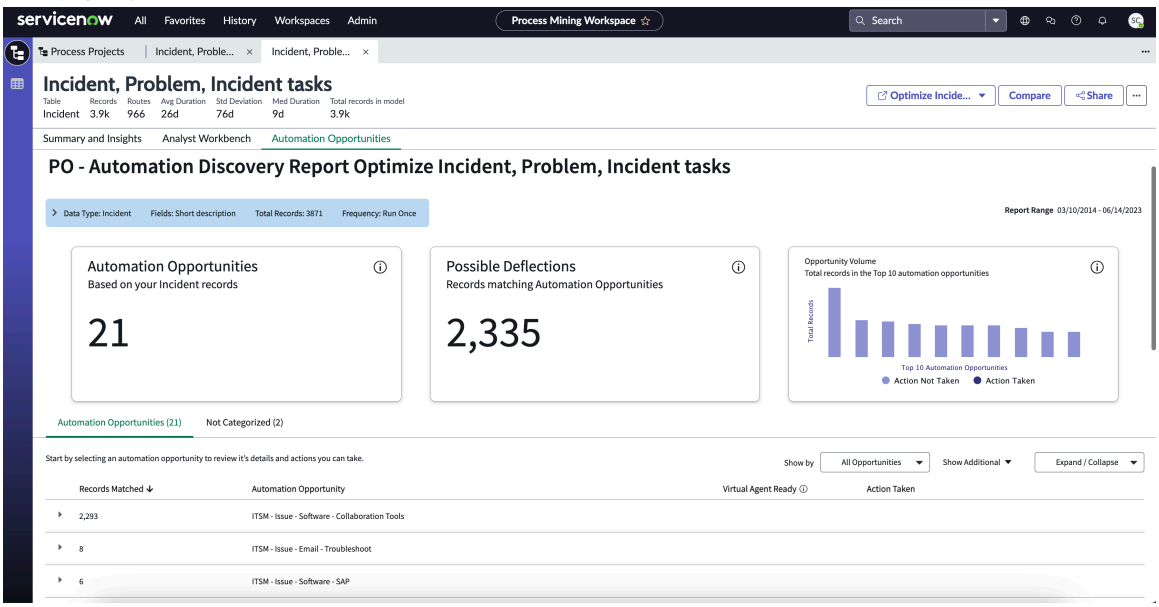


注:
構成可能なワークスペースのダッシュボードで、プロセスマップのほとんどの機能を再現できます。詳細については、「ダッシュボードで Process Mining マップを構成する」を参照してください。

自動化機会ダッシュボード

自動化機会ダッシュボードを使用して、機械学習とプロセスベースの分析により自動化機会を検索します。

自動化機会ダッシュボード



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サマリーカード

ページの上部に表示されるカードには、検出された機会の簡単な概要が表示されます。概要には、影響を受けるレコードの数と、これらの自動化機会を使用して節約できる推定時間が表示されます。

自動化機会

自動化機会カードには、自動化検出によって検出された数が表示されます。このカードセクションの下にある [自動化機会] リストで、検出された機会を確認します。

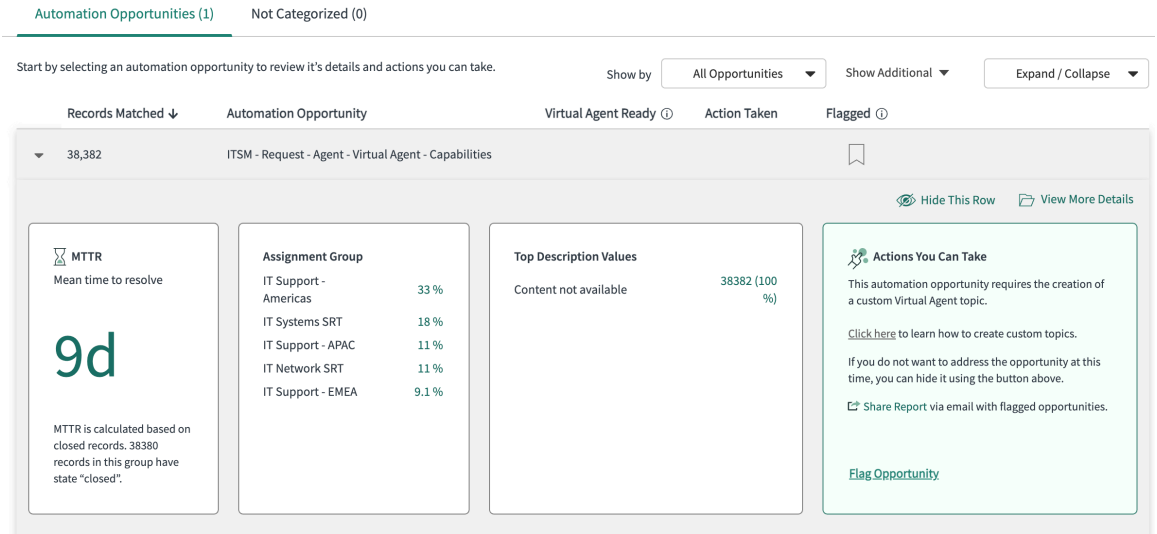
可能な回避

[考えられる回避] カードには、検出された自動化機会の対象となるレコードの数が表示されます。この数は、このカードセクションの下にある [自動化機会] リストにも表示されます。

機会ボリューム

機会ボリュームカードには、上位 10 件の自動化機会の合計レコードが表示されます。

自動化機会リスト



自動化機会リストを使用して、機会の概要、推定平均解決時間、およびこれらの自動化を実装するために実行できるアクションを確認します。

注:
自動化分類は ITSM でのみ使用できます。

プロセスマイニング のアクティブ化

アクティブ化して プロセスマイニング アプリケーションを使用し、メリットを得ることができます。

プロセスマイニング を要求する

Service Catalog から Now Support Core プラグイン (com.sn_po) を要求してプロセスマイニングアクティブ化プロセスマイニングします。このアプリケーションには、デモデータが含まれています。まだインストールされていない場合は、関連する ServiceNow Store アプリケーションとプラグインをインストールします。

始める前に
プロセスマイニング では、他の Now Platform とは別のサブスクリプションが必要です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サブスクリプションを購入するには、ServiceNow アカウントマネージャーにお問い合わせください。サブスクリプションを購入すると、特定のプラグインが自動的にアクティブになります。有料プラグインが自動的にアクティブになっていない場合は、インスタンスの [すべてのアプリケーション] リストから手動でアクティブ化できます。

注:

サブスクリプションを購入する前に、Now Support サービスカタログ から非本番インスタンスを要求することによって、その機能を課金なしに評価できます。

必要なロール：administrator

このタスクについて
プロセスマイニング とともに次のアイテムがインストールされます。

- プラグイン
- ロール
- テーブル

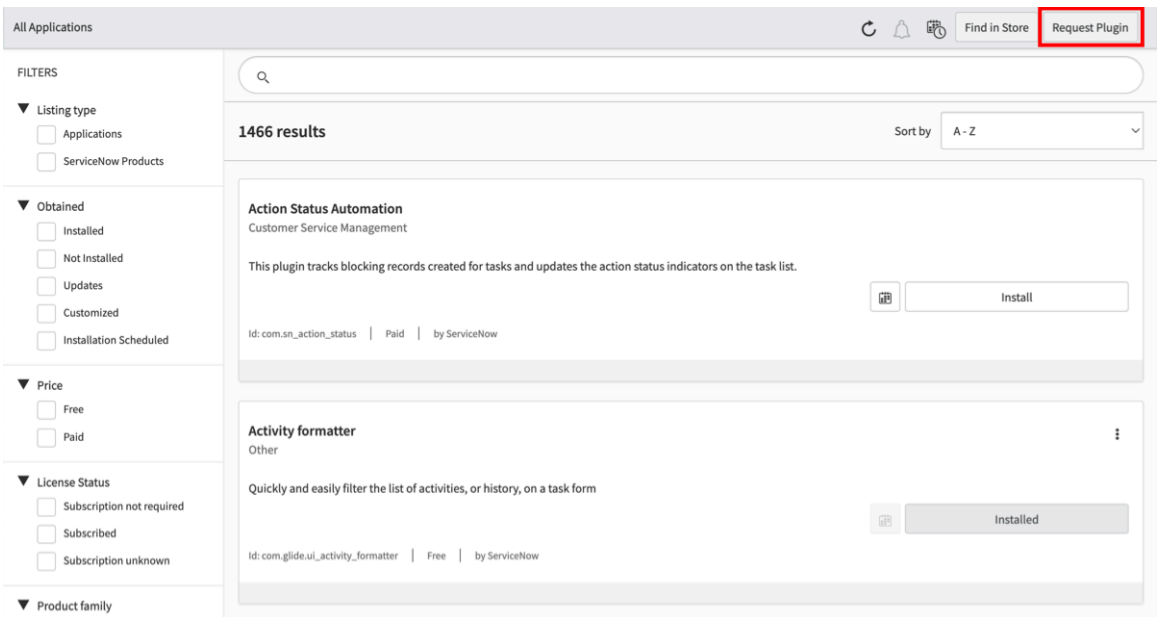
詳細については、「プロセスマイニング とともにインストールされるコンポーネント」を参照してください。

注:

サブ本番クローンインスタンスを有効にして探索 プロセスマイニング する場合は、監査データとログデータをコピーして本番環境からクローンを作成します。これを行うには、[クローン作成時に 監査およびログデータを除外 する] の選択を解除します。この手順を実行すると、 を使用して プロセスマイニング完全なプロセスマップを作成するための監査ログが使用可能になります。

手順

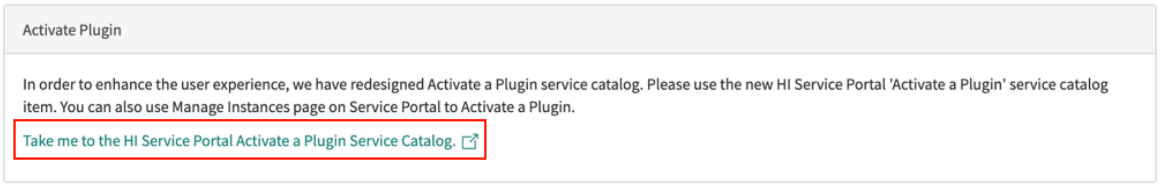
1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて。
2. [すべてのアプリケーション] ページで [プラグインの要求] をクリックして、Now Support で [プラグインをアクティブ化] フォームを開きます。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. Now Support で、Now Support サービスポータル サービスカタログ にアクセスするリンクを選択します。



4. フォームのフィールドに入力します。

プラグインアクティブ化の要求フォーム

フィールド	説明
ターゲットインスタンスは何ですか	プラグインをアクティブ化するインスタンス。
プラグイン名	次のように入力します。 Process Mining プラグイン (com.sn_po)
メンテナンスの日時を選択 (Select Maintenance Date and Time)	プラグインをアクティブ化する日時。 **注:** プラグインは、米国太平洋標準時で、毎営業日の朝と夕方の 2 回のバッチでアクティブ化されます。特定の時刻にプラグインをアクティブ化する必要がある場合は、[理由/コメント **(Reason/Comments)]** フィールドに要求を入力します。

5. [送信] を選択します。
プラグインの要求の詳細については、次を参照してください。 の Service Catalog [KB0751715] 記事からのプラグインの要求 Now Support ナレッジベース。

コンテンツパックのアクティブ化プロセスマイニング

コンテンツパックをアクティブ化 プロセスマイニング して、ビジネスの特定の領域向けの構築済みプロジェクトにアクセスします。

コンテンツパックですぐに開始プロセスマイニング

プロセスマイニング コンテンツパックには、プロセスモデル定義、プロセス検索定義、およびビジネスの特定領域向けの構築済みプロセス改善インサイトを含む構築済みプロジェクトが含まれています。

注:
コンテンツパックの プロセスマイニング アクティブ化はオプションの手順です。で プロセスマイニング使用可能なコンテンツパックを使用する場合は、このタスクを実行する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

利用可能なコンテンツパック

コンテンツパック	説明
のコンテンツパック ITSM	コンテンツパックはITSM プロセスマイニング、(ITSM) プロセス用にIT Service Management事前設定されたプロセスマイニングモデルと改善イニシアチブを提供します。
のコンテンツパック SPM	戦略的ポートフォリオ管理 (SPM) プロセスマイニングデマンドのコンテンツパックは、アナリストとプロセスオーナーがデマンドプロセスの有効性を理解するのに役立つ事前設定されたプロセスマイニングプロジェクトを提供し、継続的なパフォーマンス改善の機会も提供します。
のコンテンツパック ファイナンシャルサービスオペレーション	コンテンツパックを プロセスマイニング ()FSOとともにファイナンシャルサービスオペレーション使用すると、KPI に関連するプロセスを分析し、ケースに関連するFSOボトルネックを特定できます。
のコンテンツパック カスタマーサービス管理 (CSM)	プロセスマイニングコンテンツパックを使用するとカスタマーサービス管理 (CSM)、KPI に関連するプロセスを分析し、カスタマーサービスケースに関連するボトルネックを特定できます。
注文の 電気通信 コンテンツパック	プロセスマイニングコンテンツパックを使用するとOrder Management for Telecommunications and Media、KPI に関連するプロセスを分析し、注文に関連する電気通信ボトルネックを特定できます。
のコンテンツパック HR サービスデリバリ (HRSD)	プロセスマイニングコンテンツパックを使用するとHR サービスデリバリ (HRSD)、KPI に関連するプロセスを分析し、カスタマーサービスケースに関連するボトルネックを特定できます。

コンテンツパックのアクティブ化

インスタンスのアプリケーションリストからコンテンツパックをアクティブ化する

始める前に
必要なロール:sm_cim_requestor、管理者

- アプリケーションとその関連するすべての ServiceNow Store アプリケーションに有効な ServiceNow エンタイトルメントがあることを確認します。詳細については、次を参照してください。 のエンタイトルメントの取得 ServiceNow 製品またはアプリケーション.

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. プロセスマイニングフィルター基準と検索バーを使用して、インストールするコンテンツパックを検索します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Store へのリクエストが必要になることがあります。

ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

3. アプリケーションのインストールダイアログボックスで、アプリケーションの依存関係を確認します。

   依存するプラグインとアプリケーションがインストールされている場合、現在インストールされている場合、またはインストールする必要がある場合は、リストに表示されます。インストールする必要があるプラグインまたはアプリケーションがある場合は、コンテンツパックをインストールする前にインストールする必要があります。

4. オプション: 利用できるデモデータをインストールするには、[デモデータのロード] チェックボックスをオンにします。
   デモデータには、一般的なユースケース向けのアプリケーション機能を説明するサンプルレコードが含まれています。開発またはテストインスタンスで初めてアプリケーションをインストールする場合は、デモデータを読み込みます。

   > **重要:**
   > インストール時にデモデータを読み込んでおかないと、後から読み込むことはできません。

5. [インストール] を選択します。

のコンテンツパック **ITSM**

コンテンツパックは、ITSM プロセスマイニング(ITSM) プロセス用にIT Service Management事前設定されたプロセスマイニングプロジェクトと改善イニシアチブを提供します。

ストアでアプリを要求する

ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

コンテンツ パック (sn_itsm_po) は ITSM プロセスマイニング 、 プロセスマイニング 次の ITSM プロセスの構築済みプロジェクト定義を追加します。

- インシデント管理
- 問題管理
- 変更管理
- 要求管理

このパックには、インシデントおよび変更プロセス用の事前定義済み 継続的改善管理 (CIM) イニシアチブも含まれています。改善イニシアチブと プロセスマイニング プロジェクトは自動的にリンクされます。

このコンテンツ パックを有効にするには、.ServiceNow Store 詳細については、「コンテンツパックのアクティブ化プロセスマイニング」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ダッシュボード

コンテンツパックの ITSM プロセスマイニング プロジェクトのデフォルトの KPI ダッシュボードを使用できます。ダッシュボードを作成し、要件に応じて要素を追加することもできます。

ITSM 作業アイテムのクラスター分析構成

アプリケーションは プロセスマイニング 、インシデント、問題、変更要求、および要求アイテムのソリューション定義を提供します。これらの定義を使用して、それらの作業項目のクラスター分析を構成できます。

重要:
この機能は、 ServiceNow Store プロセスマイニング ITSM コンテンツパック v1.2 で利用可能です。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

クラスターリングソリューション定義の構成

プロセスマイニング管理者 (sn_process_optimization_admin) は、次の場所に移動して、ITSM 作業アイテムソリューション定義の構成にアクセスできます。 予測インテリジェンス > クラスタリング > ソリューション定義.

注:
デフォルトでは、これらのソリューション定義は次のように構成されます。

- [フィールド] フィールドは [簡単な説明] に設定されています。
- [クラスターあたりの最小レコード数] フィールドの値は 150 に設定されています。
- [ワードコーパス] フィールドは、対応するワードコーパスレコードに設定されます。たとえば、インシデントクラスタリング定義は、インシデントワードコーパスレコードに設定されます。各ワードコーパスレコードは、過去 12 か月間のすべての説明と簡単な説明のデータを収集します。

クラスタリングソリューション定義には、以下のテーブルにリストされている純度フィールドも含まれています。

クラスタリングソリューション定義	純度フィールド
インシデント	• アサイン先グループ • カテゴリ • 構成アイテム • サービス
問題	• アサイン先グループ • カテゴリ • 構成アイテム • CMDB の CI • ビジネスサービス

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クラスタリングソリューション定義	純度フィールド
変更要求	• アサイン先グループ • カテゴリ • モデル • リスク • タイプ
要求済みアイテム	• アサイン先グループ • カテゴリアイテム • 要求元 • 担当者

アプリケーションから プロセスマイニング クラスター分析を実行する方法については、「 クラスター分析の実行」をご参照ください。

ダッシュボードで プロセスマイニング **ITSM** 作業アイテムの **KPI** を構成する

目的の重要業績評価指標 (KPI) を追加して、サマリーおよびインサイトダッシュボードで プロセスマイニング ITSM 作業アイテムのパフォーマンスを監視します。使用しなくなったインジケーターを削除します。

始める前に

重要:
この機能は、 ServiceNow Store プロセスマイニング ITSM コンテンツパック v1.2 で利用可能です。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

必要なロール：administrator

手順

1. KPI を表示する ITSM 作業アイテムアプリケーションのプラグインを有効にします。
   Incident Management プラグインはデフォルトで有効になっています。

2. 目的のインジケーターデータソースを [サマリーとインサイト] ダッシュボードに追加します。
   以下の表にリストされている KPI は、デフォルトで利用可能です。

作業アイテム	重要業績評価指標
インシデント	○ インシデントの解決に要する平均時間 ○ 最初のアサイン先により解決されたインシデントの割合
問題	○ 問題の平均クローズ時刻 ○ 最初のアサイン先によりクローズされた問題の割合

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

作業アイテム	重要業績評価指標
変更要求	○ 変更の平均クローズ時刻 ○ 新規の緊急変更の割合
要求済みアイテム	○ 要求アイテムの平均クローズ時間 ○ 却下された要求アイテムの割合

ダッシュボードで プロセスマイニング **ITSM** 作業アイテムのインサイトを構成する

インシデント、問題、変更要求、または要求アイテムのルール定義を構成して、[サマリーおよびインサイト] ダッシュボードでインサイトを検出します。

始める前に

重要:
この機能は、 ServiceNow Store プロセスマイニング ITSM コンテンツパック v1.2 で利用可能です。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

必要なロール:sn_process_optimization_power_user

このタスクについて

手順

1. 移動先 すべて > プロセスマイニング > プロセスの構成.
2. 目的の検索定義を設定します。
   以下の表にリストされているインサイトフィルターは、デフォルトで使用できます。

ITSM 作業アイテムのインサイトフィルター

作業アイテム	インサイトフィルター
インシデント	○ マルチホップの問題 ○ ソリューション却下の問題 ○ 保留中ステータスの誤用 ○ SLA 未達成の問題
問題	○ 問題がキャンセルされました ○ 問題リスクが受け入れられました ○ 解決済みの問題が再分析されました ○ 問題の修正が完了していない ○ 問題が再オープンされました
変更要求	○ モデルがプロセスで変更される ○ 事前に承認された変更要求 ○ 失敗した変更要求

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

作業アイテム	インサイトフィルター
要求アイテム	○ RITM ステータスが未完了でクローズまたはスキップしてクローズ ○ マルチホップ:RITM が 2 回以上の再アサインを行う

検索ルールが更新されると、ダッシュボードの [インサイト] セクションで確認できます。

3. [サマリーとインサイト] ダッシュボードで、選択したインサイトについて、次の操作を行います。
   - プロセス分析を実行するには、「 プロセス分析」を選択します。フィルターが適用されたマップを表示できます プロセスマイニング 。
   - クラスター分析を実行するには、「 クラスター分析」を選択します。[クラスターの表示] を選択して結果を表示します。詳細については、「 クラスター分析の表示」をご参照ください。

のコンテンツパック **SPM**

戦略的ポートフォリオ管理 (SPM) プロセスマイニングデマンドのコンテンツパックは、アナリストとプロセスオーナーがデマンドプロセスの有効性を理解するのに役立つ事前設定されたプロセスマイニングプロジェクトを提供し、継続的なパフォーマンス改善の機会も提供します。

ストアでアプリを要求する

ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

ダッシュボード

コンテンツパックの SPM プロセスマイニング プロジェクトのデフォルトの KPI ダッシュボードを使用できます。ダッシュボードを作成し、要件に応じて要素を追加することもできます。

作業アイテムの **SPM** クラスター分析構成

プロセスマイニングアプリケーションは、クラスター分析を構成するために使用できるデマンドのソリューション定義を提供します。

重要:
この機能は、 ServiceNow Store プロセスマイニング SPM コンテンツパック v1.0 で使用できます。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

クラスターリングソリューション定義の構成

プロセスマイニング管理者 (sn_process_optimization_admin) は、次の場所に移動して作業アイテム ソリューション定義の構成にアクセスできますSPM。 すべて > 予測インテリジェンス > クラスタリング > ソリューション定義.

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
デフォルトでは、これらのソリューション定義は次のように構成されます。

- [フィールド] フィールドが [説明] に設定されます。
- [クラスターあたりの最小レコード数] フィールドの値は 150 に設定されています。
- [ワードコーパス] フィールドは、対応するワードコーパスレコードに設定されます。たとえば、デマンドクラスタリング定義は、デマンドワードコーパスレコードに設定されます。各ワードコーパスレコードは、過去 12 か月間のすべての説明と簡単な説明のデータを収集します。

クラスタリングソリューション定義には、部門、business_unit、および優先度というデマンドの純度フィールドも含まれています。

ダッシュボードでプロセスマイニング作業アイテムの **SPM KPI** を構成する

目的の重要業績評価指標 (KPI) を追加して、サマリーおよびインサイトダッシュボードでプロセスマイニング作業アイテムのパフォーマンスSPMを監視します。使用しなくなったインジケーターを削除します。

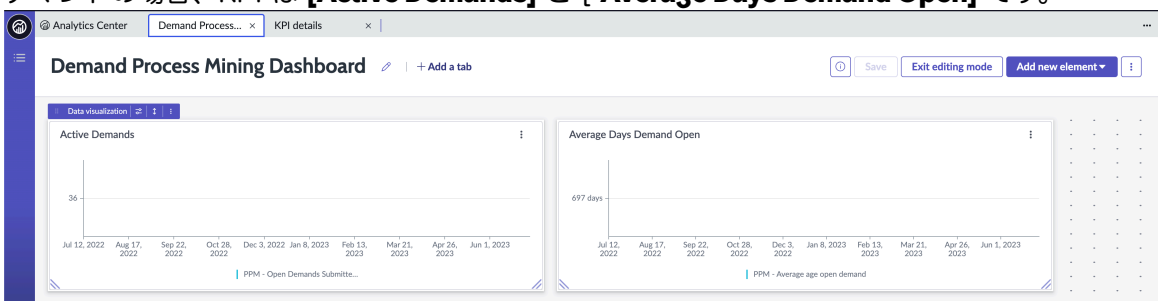
始める前に

重要:
この機能は、 ServiceNow Store プロセスマイニング SPM コンテンツパック v1.0 で使用できます。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

必要なロール：administrator

手順

1. **Project Portfolio Management Standard** プラグインがインストールされていることを確認します。
2. 目的のインジケーターデータソースを [サマリーとインサイト] ダッシュボードに追加します。デマンドの場合、KPI は **[Active Demands]** と [**Average Days Demand Open]** です。



ダッシュボードでプロセスマイニングデマンドの**SPM**インサイトを構成する

サマリーおよびインサイトダッシュボードでインサイトを検出するために、デマンドのルール定義を構成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に

> **重要:**
> この機能は、 ServiceNow Store プロセスマイニング SPM コンテンツパック v1.0 で利用可能です。 ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

必要なロール:sn_process_optimization_power_user

手順

1. 移動先 すべて > プロセスマイニング > プロセスの構成.
2. 目的の検索定義を設定します。
   デマンドに対してデフォルトで利用可能なインサイトフィルターを次の表に定義します。

   のデマンドに関するインサイト プロセスマイニング

検索定義	認定なしで承認されたデマンド
	承認されずに次のステージに移動されたデマンド
自動検索定義	リワーク

   検索ルールが更新されると、ダッシュボードの [インサイト] セクションで確認できます。
3. [サマリーとインサイト] ダッシュボードで、選択したインサイトについて、次の操作を行います。
   - プロセス分析を実行するには、「 プロセス分析」を選択します。フィルターが適用されたマップを表示できます プロセスマイニング 。
   - クラスター分析を実行するには、「 クラスター分析」を選択します。[クラスターの表示] を選択して結果を表示します。詳細については、「 クラスター分析の表示」をご参照ください。

のコンテンツパック ファイナンシャルサービスオペレーション

コンテンツパックを プロセスマイニング ()FSO とともにファイナンシャルサービスオペレーション使用すると、KPI に関連するプロセスを分析し、ケースに関連するFSOボトルネックを特定できます。

> **重要:**
> Vancouver リリース以降、Process Optimization アプリケーションの名前が に プロセスマイニング変更されました。

FSO Process Mining Content Pack の有効化については、「」を参照してくださいコンテンツパックのアクティブ化プロセスマイニング。

最適化プロジェクト

コンテンツパックは、 プロセスマイニング これらの ファイナンシャルサービスオペレーション アプリケーションの構築済みプロジェクトモデル定義を追加します。

- Financial Services Business Deposit Operations
- Financial Services Business Loan Operations
- Financial Services Business Lifecycle
- Financial Services Card Operations

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- Financial Services Client Lifecycle
- Financial Services Complaint Management
- Financial Services Payment Operations
- Financial Services Personal Loan Operations
- Financial Services Personal Deposit Operations
- Financial Services Treasury Operations
- Individual Life Servicing
- Group Life Servicing
- Commercial Lines Claims
- 個人向け生命保険請求
- Intelligent Servicing for Fraud

ロール

ファイナンシャルサービスオペレーションアプリケーションを使用しているプロセスマイニングアプリケーションに基づいて、次のロールが必要です。

の **Financial Services Operations** に必要なロール プロセスマイニング

ファイナンシャルサービスオペレーション アプリケーション	必要なロール
Financial Services Card Operations	異議申し立て管理:sn_bom_credit_card.dispute_manager および sn_process_optimization_analyst
Financial Services Payment Operations	sn_bom_payment.payments_manager および sn_process_optimization_analyst
Financial Services Business Loan Operations	sn_bom_loan_b2b.manager および sn_process_optimization_analyst
Financial Services Personal Loan Operations	sn_bom_loan.b2c_manager および sn_process_optimization_analys
Financial Services Business Lifecycle	sn_bom_clo_b2b.manager と sn_process_optimization_analyst
Financial Services Client Lifecycle	sn_bom_clo_b2c.manager および sn_process_optimization_analyst
Financial Services Complaint Management	sn_bom_compl.manager および sn_process_optimization_analyst
Financial Services Business Deposit Operations	sn_bom_deposit_b2b.manager および sn_process_optimization_analyst
Financial Services Personal Deposit Operations	sn_bom_deposit_b2c.manager と sn_process_optimization_analyst
Commercial Lines Claims	sn_ins_claim_cml.manager と sn_process_optimization_analyst
個人向け生命保険請求	sn_ins_claim_pers.manager および sn_process_optimization_analyst

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

の **Financial Services Operations** に必要なロール プロセスマイニング (続く)

ファイナンシャルサービスオペレーション アプリケーション	必要なロール
Financial Services Treasury Operations	sn_bom_treasury.admin および sn_process_optimization_analyst
Individual Life Servicing	sn_ins_indiv_life.manager および sn_process_optimization_analyst
Group Life Servicing	sn_ins_group_life.manager および sn_process_optimization_analyst
Intelligent Servicing for Fraud	sn_bom_fraud.manager および sn_process_optimization_analyst

関連情報

for の例プロセスマイニングファイナンシャルサービスオペレーション

for の例プロセスマイニングファイナンシャルサービスオペレーション

金融サービスケースのプロセスを分析し、ボトルネックを特定してケースフローの遅延を最小限に抑え、カスタマーエクスペリエンスを向上させます。

たとえば、あなたが金融機関のプロセスアナリストであり、金融サービスケースに関連する現在のプロセスに関する分析を送信する必要があるとします。Analyst Workbench を使用して、金融サービス支払業務、ローン業務、および苦情管理のプロジェクト定義のマイニングされたプロセスにアクセスできます。

B2C プロジェクト定義での ローン返済猶 予など、次のワークフローを使用して、ケースプロセスフローを分析し、プロセスを改善する方法を提案できます。

1. 選択したプロジェクトから [ワークスペースで表示] を選択します。Analyst Workbench が新しいタブで開きます。

   ローン返済猶予ケースレコードがクローズされるまでの平均所要時間を確認できます。

2. [プライマリ測定基準] と [セカンダリ測定基準] のリストをそれぞれ [一意の発生回数] と [平均期間] に設定して、プロセスマップの測定基準を表示します。
3. [絞り込み] を選択し、接続幅を選択してプロセスマップを絞り込み、測定基準の完全なリストを表示します。

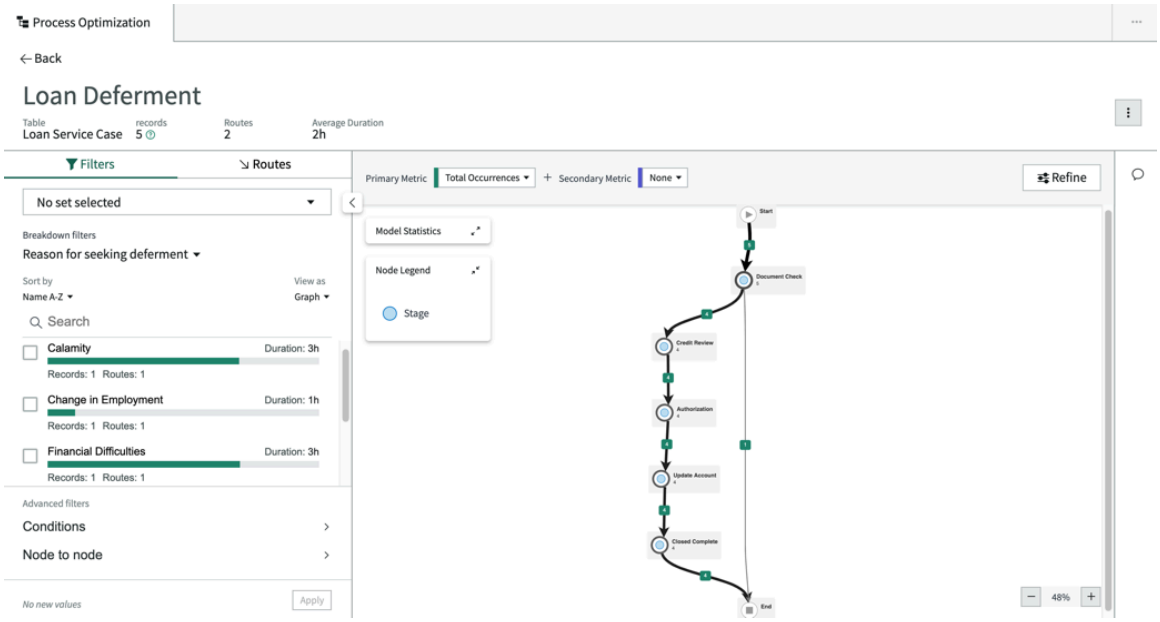
   ステータスの遷移とその期間を確認できます。

4. [フィルター] タブで、カテゴリのブレークダウンフィルターリストを設定し、アクティビティトランジションフィルターを使用してレコードを除外します。
5. [バリアント分析] タブでは、レコードがたどったルート、ルート内のケース数、平均期間、およびルートに関連するステップ数を表示できます。ルートを選択すると、マップ上でルートが強調表示されます。
6. メモアイコン () を選択してプロジェクトにメモを追加し、分析を送信します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロセスマイニング **B2C** でのローン返済猶予向け



関連情報

プロセスインサイトの分析と取得

のコンテンツパック ファイナンシャルサービスオペレーション

のコンテンツパック カスタマーサービス管理 **(CSM)**

プロセスマイニングコンテンツパックを使用するとカスタマーサービス管理 (CSM)、KPI に関連するプロセスを分析し、カスタマーサービスケースに関連するボトルネックを特定できます。

プロセスマイニング CSM のコンテンツパックを有効にする方法の詳細については、「」を参照してくださいコンテンツパックのアクティブ化プロセスマイニング。

エンドユーザーとロール

必要なロールがある場合は、Analyst Workbench を使用して、可視化されたプロセスワークフローデータや、カスタマーサービスケースに関連するデータの分析ツールにアクセスできます。詳細については、「アナリストワークベンチ」を参照してください。

プロセスマイニング アプリケーションを カスタマーサービス管理 (CSM) で使用するには、次のロールの組み合わせが必要です。

ロールの組み合わせ

プロセスマイニング ロール	カスタマーサービス管理 (CSM) ロール
sn_process_optimization_admin	sn_customerservice_manager
sn_process_optimization_power_user	sn_customerservice_manager
sn_process_optimization_analyst	sn_customer_service_agent

カスタマーサービスケースの最適化プロジェクト

プロセスマイニング Content Pack for CSM (sn_csm_po) は、カスタマーサービスケースの事前定義済みカスタマーサービスケースプロジェクト定義を含む構築済みプロジェクトを追加します。デフォルトでは、カスタマーサービスケースプロジェクトは、過去 2 四半期のカスタマーサービスケースをフィルタリングします。構築済みプロジェクトに基づいて新しいプロセスプロジェクトを構

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

成することもできます。詳細については、「Platform を使用した ServiceNow プロジェクトの作成」を参照してください。

カスタマーサービスケースプロジェクトには、カスタマーサービスケースのデフォルトのアクティビティ定義とブレークダウン定義が含まれており、そのまま使用することも、カスタム構成用に変更することもできます。

- アクティビティ定義を使用して、対応中ステータスからソリューション提案ステータスに移行するケースなどのステータス移行を把握し、問題 (PRB) レコードなどのリンクされたプロセスを分析します。
- ブレークダウン定義を使用して、レコードをフィルタリングし、カテゴリ別にプロセスマップを分析します。たとえば、カスタマーサービスケースデータをさまざまなチャネル、製品、アサイン先グループ、および場所でフィルタリングできます。

カスタマーサービスケースの 継続的改善管理 イニシアチブ

Continual Improvement Management (CIM) アプリケーションが有効になっている場合は、Analyst Workbench から CIM プロジェクトを使用して、カスタマーサービスケースの改善イニシアチブの進捗状況を追跡することもできます。改善イニシアチブと プロセスマイニング プロジェクトは自動的にリンクされます。詳細については、「統合： 継続的改善管理」を参照してください。

カスタマーサービスケースの パフォーマンスアナリティクス

パフォーマンスアナリティクス (PA) アプリケーションが有効になっている場合は、利用可能なテンプレート構成を使用して、カスタマーサービスケースデータに基づいて Performance Analytics (PA) インジケーターから プロセスマイニング アプリケーションを開くこともできます。詳細については、次を参照してください。 統合: パフォーマンスアナリティクス.

関連情報

for の例プロセスマイニングCSM

for の例プロセスマイニングCSM

カスタマーサービスケースのプロセスを分析し、ボトルネックを特定してケースフローの遅延を最小限に抑え、カスタマーエクスペリエンスを向上させます。

たとえば、あなたが ACME 社のプロセスアナリストで、カスタマーサービスケースに関連付けられている現在のプロセスの分析を送信する必要があるとします。Analyst Workbench を使用して、 カスタマーサービスケース プロジェクトのマイニングされたプロセスにアクセスします。

ケースのプロセスフローを分析し、次のワークフローを使用してプロセスを改善する方法を提案します。

1. **Customer Service Cases** プロジェクト定義から [**View in Workspace** (ワークスペースで表示)] を選択します。Analyst Workbench が新しいタブで開きます。

   カスタマーサービスケースレコードがケースをクローズするまでに平均 16 日かかることがわかります。

2. [プライマリ測定基準] と [セカンダリ測定基準] のリストをそれぞれ [一意の発生回数] と [平均期間] に設定して、プロセスマップの測定基準を表示します。
3. [絞り込み] を選択し、接続幅を選択してプロセスマップを絞り込み、測定基準の完全なリストを表示します。

   [対応中 - 情報待ち] 移行ステータスに 2 日以上かかっていることがわかりました。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

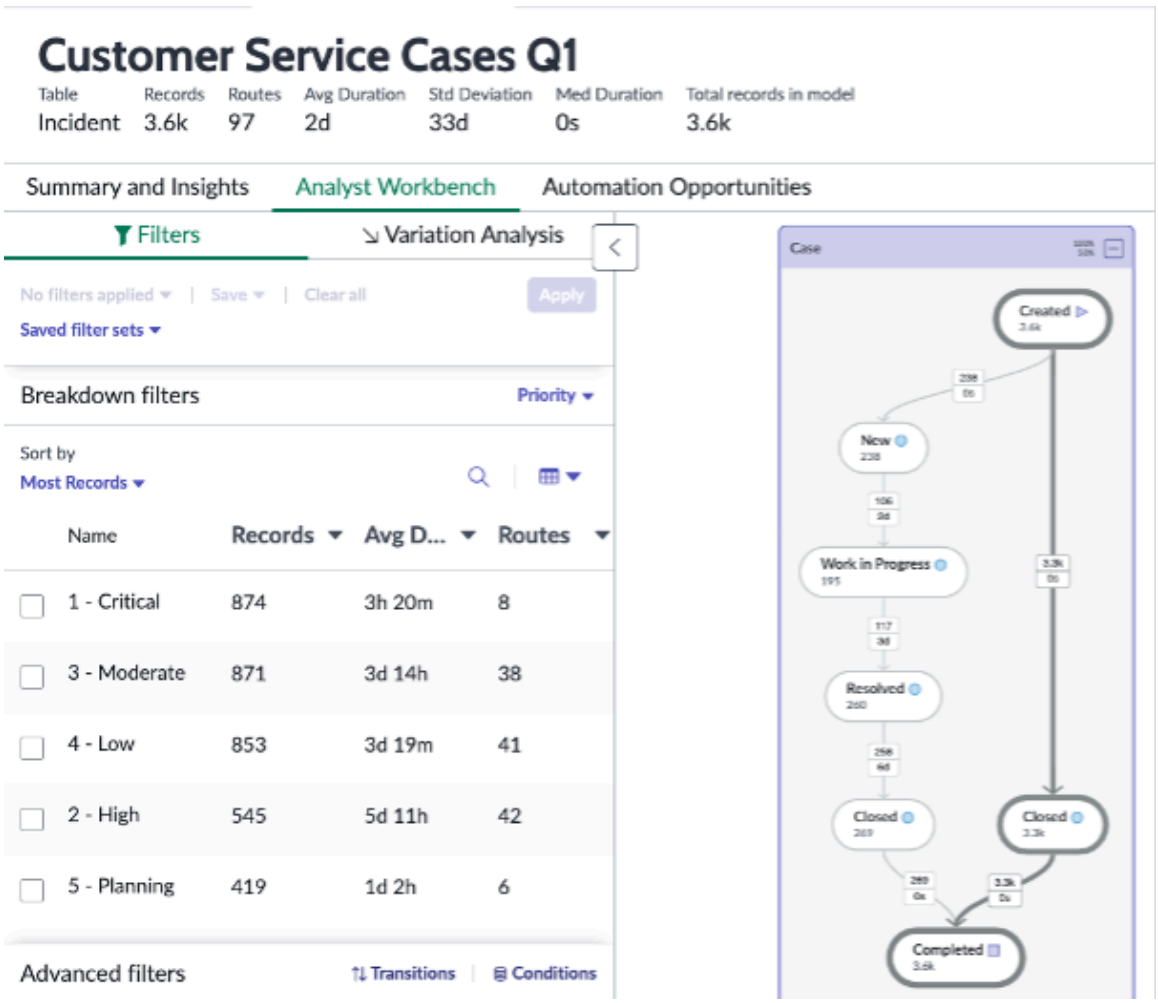
4. [フィルター] タブで、[ブレークダウンフィルター] リストを [アサイン先グループ] に設定し、アクティビティフィルターを使用して、[対応中 - 情報待ち] アクティビティと [対応中] アクティビティの間のプロセスフローを表示します。
5. [ルート] タブで、選択したアクティビティ間の平均期間 (2 日間) よりも長くかかったすべてのレコードを表示するため、[並べ替え] リストで [ほとんどのレコード] を選択します。次に、任意のプロセスパスを選択して、そのルートのケースを表示します。

   ほとんどのケースがメールに関連していることがわかります。

6. メモアイコン () を選択してプロジェクトにメモを追加し、分析を送信します。

   メモでは、エージェントと顧客間のメール取引を改善するために、標準化されたテンプレートを使用することを提案します。

カスタマーサービスケースの プロセスマイニング



関連情報

プロセスインサイトの分析と取得

のコンテンツパック カスタマーサービス管理 (CSM)

注文の 電気通信 コンテンツパック

プロセスマイニングコンテンツパックを使用するとOrder Management for Telecommunications and Media、KPI に関連するプロセスを分析し、注文に関連する電気通信ボトルネックを特定できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

for を有効にする方法についてはプロセスマイニング、を参照してくださいコンテンツパックのアクティブ化プロセスマイニング。電気通信

エンドユーザーとロール

必要なロールがある場合は、Analyst Workbench を使用して、可視化されたプロセスワークフローデータや、電気通信オーダーに関連するデータの分析ツールにアクセスできます。詳細については、「プロセスマイニング ワークスペース」を参照してください。

アプリケーションを使用しているプロセスマイニングアプリケーションに基づいて電気通信、次のロールが必要です。

- 電気通信製品の注文の場合:sn_process_optimization_admin、sn_process_optimization_analyst、sn_process_optmization_power_us
- 電気通信サービスオーダーの場合:sn_process_optimization_admin、sn_process_optimization_analyst、sn_process_optmization_power_us
- 電気通信リソースオーダーの場合:sn_process_optimization_admin、sn_process_optimization_analyst、sn_process_optmization_power_us
- 電気通信オーダータスクの場合:sn_process_optimization_admin、sn_process_optimization_analyst、sn_process_optmization_power_us

アプリケーションの最適化プロジェクト電気通信

コンテンツパックは、次の Order Management for Telecommunications and Media アプリケーションエンティティの構築済みプロセス最適化プロジェクト定義を追加します。

- 製品注文
- サービスオーダー
- リソース注文
- オーダータスク

構築済みプロジェクトに基づく新しいプロセスプロジェクトを構成することもできます。詳細については、「プロジェクトビルダーを使用したプロジェクトの作成」を参照してください。

関連情報

for の例プロセスマイニング電気通信

for の例プロセスマイニング電気通信

電気通信注文のプロセスを分析し、ボトルネックを特定してケースフローの遅延を最小限に抑え、カスタマーエクスペリエンスを向上させます。

たとえば、あなたが電気通信サービスプロバイダーのプロセスアナリストで、電気通信オーダーに関連付けられている現在のプロセスの分析を送信する必要があるとします。Analyst Workbench を使用して、電気通信製品の注文、サービス注文、リソース注文、および注文タスクのプロジェクト定義のマイニングされたプロセスにアクセスできます。

電気通信プロジェクト定義の製品注文に対して次のワークフローを使用して、ケースプロセスフローを分析し、プロセスを改善する方法を提案できます。

1. 選択したプロジェクトから [ワークスペースで表示] を選択します。Analyst Workbench が新しいタブで開きます。

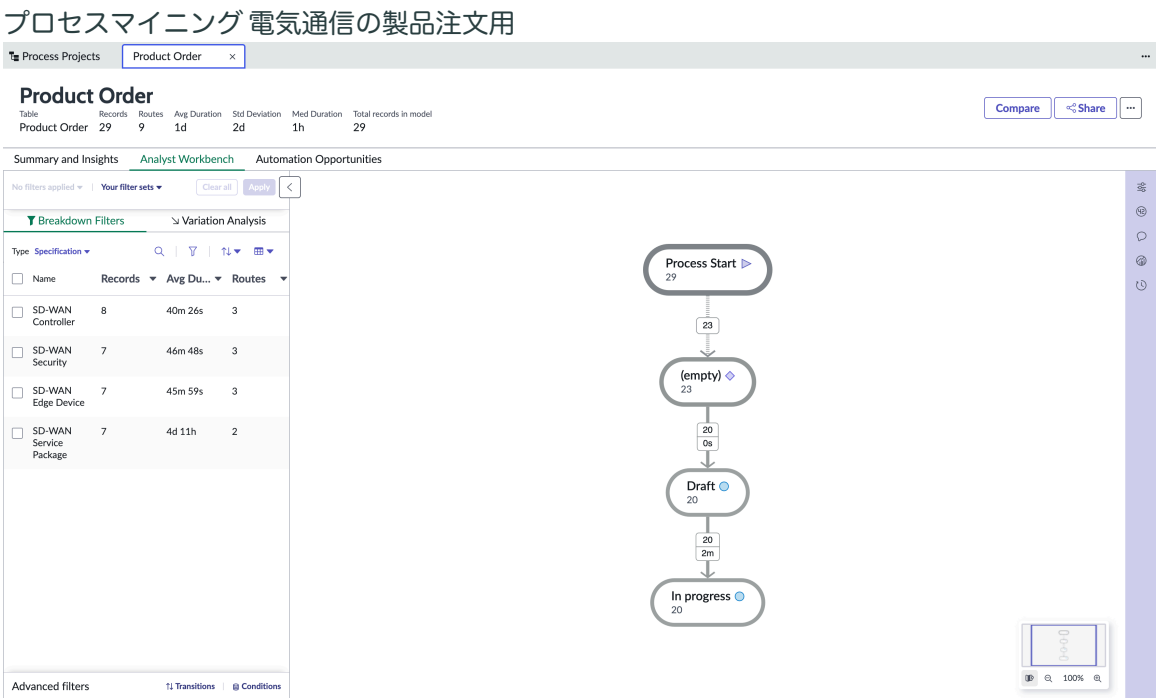
   電気通信業界の顧客の注文が履行されるまでの平均時間を確認できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

2. [プライマリ測定基準] と [セカンダリ測定基準] のリストをそれぞれ [一意の発生件数] と [平均期間] に設定して、プロセスマップの測定基準を表示します。
3. [絞り込み] を選択し、接続幅を選択してプロセスマップを絞り込み、測定基準の完全なリストを表示します。

   ステータスの遷移とその期間を確認できます。
4. [フィルター] タブで、カテゴリの [ブレークダウンフィルター] リストを設定し、アクティビティトランジションフィルターを使用してレコードを除外します。
5. [バリアント分析] タブでは、レコードがたどったルート、ルート内のケース数、平均期間、およびルートに関連するステップ数を表示できます。ルートを選択すると、マップ上でルートが強調表示されます。
6. メモアイコン () を選択してプロジェクトにメモを追加し、分析を送信します。



関連情報

プロセスマイニング ワークスペース

プロセスインサイトの分析と取得

注文の 電気通信 コンテンツパック

のコンテンツパック **HR** サービスデリバリ **(HRSD)**

プロセスマイニングコンテンツパックを使用するとHR サービスデリバリ (HRSD)、KPI に関連するプロセスを分析し、カスタマーサービスケースに関連するボトルネックを特定できます。

ストアでアプリを要求する

ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

HRSD プロセスマイニング コンテンツパックの有効化の詳細については、「」を参照してくださいコンテンツパックのアクティブ化プロセスマイニング。

エンドユーザーとロール

必要なロールがある場合は、Analyst Workbench を使用して、可視化されたプロセスワークフローデータや、カスタマーサービスケースに関連するデータの分析ツールにアクセスできます。詳細については、「アナリストワークベンチ」を参照してください。

プロセスマイニング アプリケーションを HR サービスデリバリ (HRSD) で使用するには、次のロールの組み合わせが必要です。

ロールの組み合わせ

プロセスマイニング ロール	HR サービスデリバリ (HRSD) ロール
sn_process_optimization_admin	sn_hr_core.admin
sn_process_optimization_power_user	sn_hr_core.case_writer
sn_process_optimization_analyst	sn_hr_core.basic

HR ケースの最適化プロジェクト

HRSD プロセスマイニング コンテンツパック (com.sn_hr_process_optimization) は、事前定義された HR サービスケース (インストールされている場合) ライフサイクルイベント を含む構築済みプロジェクトを追加します。デフォルトでは、プロジェクトは過去 2 四半期のケースをフィルタリングします。構築済みプロジェクトに基づいて新しいプロセスプロジェクトを構成することもできます。詳細については、「プロジェクトビルダーを使用したプロジェクトの作成」を参照してください。

プロジェクト定義には、ケースのデフォルトのアクティビティ定義とブレークダウン定義が含まれており、そのまま使用することも、カスタム構成に変更することもできます。

- アクティビティ定義を使用して、対応中ステータスからソリューション提案ステータスに移行するケースなどのステータス移行を把握し、問題 (PRB) レコードなどのリンクされたプロセスを分析します。
- ブレークダウン定義を使用して、レコードをフィルタリングし、カテゴリ別にプロセスマップを分析します。たとえば、さまざまなチャネル、製品、アサイン先グループ、および場所でケースデータをフィルタリングできます。

HR ケースの 継続的改善管理 イニシアチブ

継続的改善管理 (CIM) アプリケーションが有効になっている場合は、Analyst Workbench から CIM プロジェクトを使用して、HR ケースの改善イニシアチブの進捗状況を追跡することもできます。改善イニシアチブと プロセスマイニング プロジェクトは自動的にリンクされます。詳細については、「統合： 継続的改善管理」を参照してください。

HR ケースの パフォーマンスアナリティクス

パフォーマンスアナリティクス (PA) アプリケーションが有効になっている場合は、利用可能なテンプレート構成を使用して、カスタマーサービスケースデータに基づいて PA インジケーターからアプリケーションを開くプロセスマイニングこともできます。詳細については、次を参照してください。統合: パフォーマンスアナリティクス.

for の例プロセスマイニングHR サービスデリバリ (HRSD)

HR サービス (インストールされている場合) ライフサイクルイベント のケースのプロセスを分析し、ボトルネックを特定してケースフローの遅延を最小限に抑え、ユーザーエクスペリエンスを向上させます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

たとえば、あなたが HR オンボーディングプロセスアナリストで、サービスデリバリの速度や品質を向上させたいと考えていて、現在のケースプロセスに関する分析を送信する必要があるとします。Analyst Workbench を使用して、HR サービスのマイニングされたプロセス、およびインストールされている ライフサイクルイベント 場合はケースのプロジェクト定義にアクセスできます。

次のワークフローを使用して、ケースプロセスフローを分析し、プロセスを改善する方法を提案できます。たとえば、標準の人事サービスケースモデル定義の場合、次のことが可能です。

1. 選択したプロジェクトから [ワークスペースで表示] を選択します。Analyst Workbench が新しいタブで開きます。

   [すべて **HR** サービス別] タブで、HR サービスケースレコードがクローズされるまでの時間を確認できます。

2. [プライマリ測定基準] と [セカンダリ測定基準] のリストをそれぞれ [合計発生件数] と [平均期間] に設定して、プロセスマップの測定基準を表示します。
3. [絞り込み] を選択し、接続幅を選択してプロセスマップを絞り込み、測定基準の完全なリストを表示します。

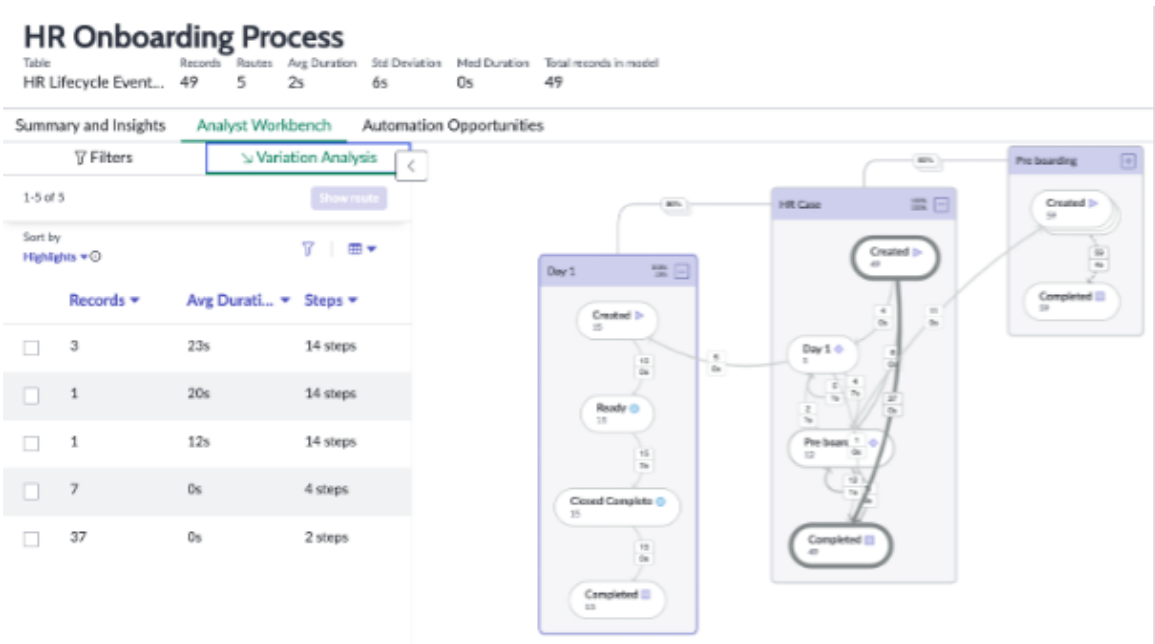
   ステータスの遷移とその期間を確認できます。

4. [ブレークダウンフィルター] タブで、カテゴリのブレークダウンフィルターリストを設定し、アクティビティトランジションフィルターを使用してレコードを除外します。
5. [バリアント分析] タブでは、レコードがたどったルート、ルート内のケース数、平均期間、およびルートに関連するステップ数を表示できます。ルートを選択すると、マップ上でルートが強調表示されます。

   注:
   1 つ以上のルートを適用すると、[ブレークダウンフィルター] タブにリストされたブレークダウンには、それらのルートに適用可能なブレークダウンのみが表示されます。

6. メモアイコン () を選択してプロジェクトにメモを追加し、分析を送信します。

プロセスマイニング 標準の人事サービスケースの場合



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

FSM のコンテンツパックの例

作業指示タスクのプロセスを分析し、ボトルネックを特定してワークフローの遅延を最小限に抑え、カスタマーエクスペリエンスを向上させます。

この例では、あなたは ACME 社のプロセスアナリストであり、作業指示書タスクに関連付けられている現在のプロセスの分析を送信する必要があります。Analyst Workbench を使用して、 作業指示タスク プロジェクト定義のマイニングされたプロセスにアクセスします。

作業指示プロセスフローを分析し、次のワークフローを使用してプロセスを改善する方法を提案します。

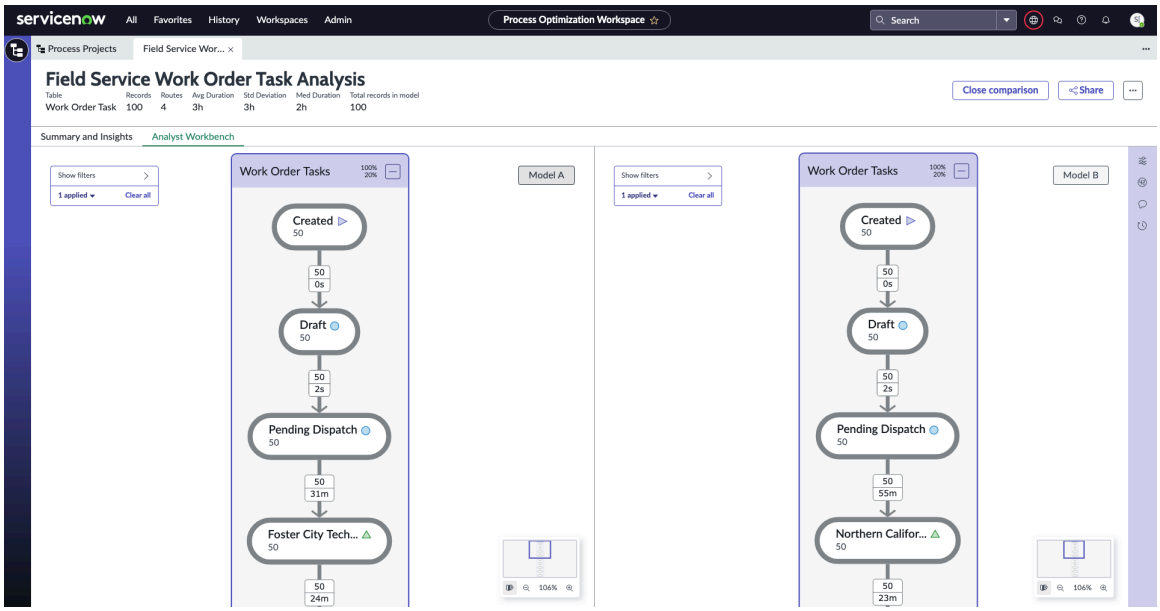
1. [**Analyst Workbench**] を選択します。Analyst Workbench が新しいタブに表示されます。
2. ブレーク ダウンフィルター リストを アサイン先グループ に設定し、 適用 を選択して、プロセスマップ内のすべてのレコードのスタンドアロン分析を表示します。
3. [絞り込み] を選択し、接続幅を選択してプロセスマップを絞り込み、測定基準の完全なリストを表示します。

   タスクのスケジュールが遅れている理由を観察し、分析します。
4. レコードを表示する を選択して、データをフィルター>レコードを表示します。

   ほとんどのタスクがインストールに関連していることがわかります。
5. メモアイコン () を選択してプロジェクトにメモを追加し、分析を送信します。

   メモで、インストールタスクのディスパッチ時間が長くなる理由を確認することをお勧めします。

プロセスマイニング フィールドサービス作業指示タスクの



関連情報

Process Mining for Field Service Management

プロセスマイニング の統合

継続的改善ライフサイクル全体を通じて使用 プロセスマイニング して、プロセスを一貫して正確に分析します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

管理者はプロセスマイニングITSMServiceNowファイナンシャルサービスオペレーション継続的改善管理パフォーマンスアナリティクスカスタマーサービス管理 (CSM)、

改善の機会を見つけて、これらのステージを通じてプロセスの変更と進捗状況を監視します。

1. 識別:現在のプロセスを積極的に評価し、改善の機会を見つけるために使用します プロセスマイニング 。
2. 計画と実行:問題領域の根本原因を特定し、新しいタスクや不足しているステップを明らかにします。
3. 測定:最新のプロセスデータを監視します。
4. 結果を表示する: プロセスを再分析し、測定可能な結果を示します。



自動翻訳

統合： 継続的改善管理

アプリケーションと ServiceNow® 継続的改善管理 統合することで、改善の機会を特定した後に要求を作成できます。

(CIM) アプリケーションと ServiceNow® 継続的改善管理 の統合により、プロセス改善関連のイニシアチブを要求および表示したり、既存のイニシアチブにタスクを追加したりできます。

プロセスマイニングプラグイン (com.sn_po) は、と継続的改善管理アプリケーション間のプロセスマイニングデータ連携を提供します。 継続的改善管理 は、CIM (com.sn_cim) プラグインのアクティブ化と統合します。

移行元 プロセスマイニング:メモとスナップショットをタスクとして既存の CIM イニシアチブに共有します。から プロセスマイニング改善イニシアチブを作成すると、要求はプロジェクト内で プロ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

セスマイニング 作成されたメモに関連付けられ、 プロセスマイニング KPI が改善イニシアチブに追加されます。

移行元 継続的改善管理:CIM から Analyst Workbench を起動し プロセスマイニング ます。

ロール

と 継続的改善管理 の統合では、ロールに プロセスマイニング ロールは追加されません。機能を有効にする 継続的改善管理 には、この機能を必要とするユーザーに agent_workspace_user ロールを追加する必要があります。

関連情報

- 継続的改善管理使用例プロセスマイニング
- 継続的改善管理
- Continual Improvement Management を要求する

CIM から起動プロセスマイニング

CIM ワークベンチから起動 プロセスマイニング して既存のプロセスを分析し、改善の新たな機会を見つけます。

始める前に
必要なロール:improvement_manager

プラグイン (com.sn_cim) とプロセスマイニングプラグイン (com.sn_po) を有効にします継続的改善管理。

手順

次のいずれかの方法で **Process Mining** ワークベンチに移動します。

継続的改善管理使用例プロセスマイニング

改善要求を作成または追跡する方法を理解します。

改善マネージャーは、ワークベンチダッシュボードを毎日使用 継続的改善管理 して、運用作業と進行中のイニシアチブを表示します。インシデントプロセスを最適化し、平均解決時間 (MTTR) を短縮するためのオープンなイニシアチブがある。

イニシアチブフォームから、 プロセスマイニングに移動を選択します。このアクションにより、過去 3 か月間にクローズされたケースを示す Analyst Workbench で プロセスマイニング 生成されたプロジェクトに移動します。

Process Mining との統合により、継続的改善をルーチンの一部にする

統合： ベンチマーク

と ITSM ベンチマーク のデータ連携により、KPI に関連するプロセスを分析し、関連するインシデントを作成および表示できます。

関連情報

- ベンチマーク使用例プロセスマイニング
- のコンテンツパック ITSM

ダッシュボードからベンチマーク起動プロセスマイニング

ダッシュボードからベンチマーク起動プロセスマイニングして、低パフォーマンスの KPI に関連するプロセスを分析します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール:sn_bm_client.benchmark_recommendation_viewer

プラグイン (com.sn_po) を有効にします プロセスマイニング 。

手順

1. 移動先 すべて > ベンチマーク > ダッシュボード。

2. [プロセスマイニングに移動] アイコン () を選択します。

> **注:**
> KPI で必要なプロセスモデルが利用できない場合は、ダッシュボードによって自動的に作成されます。

ベンチマーク使用例プロセスマイニング

KPI に関連するプロセスを分析する方法を理解します。関連するインシデントのステータスを作成または表示します。

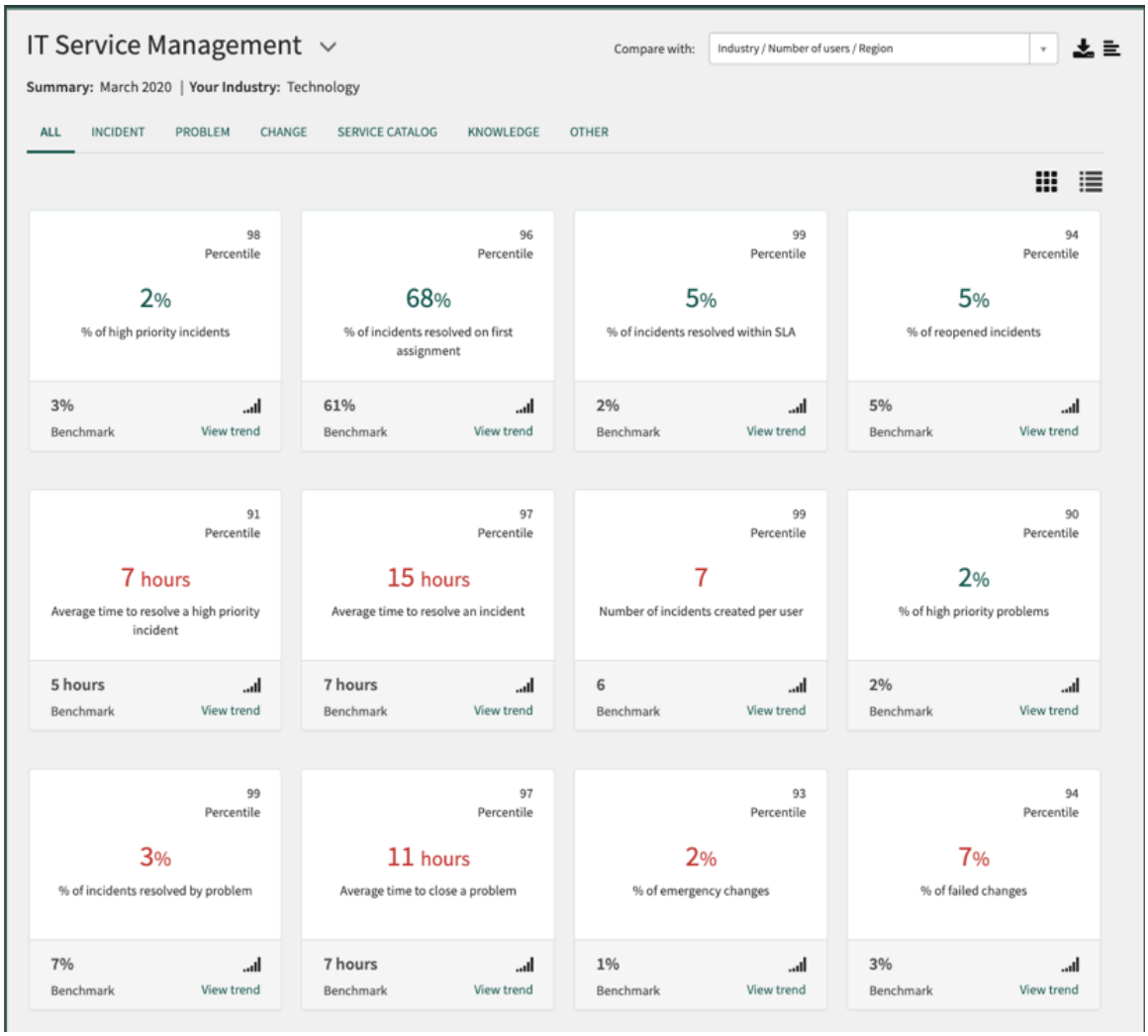
識別、分析、適用: プロセスマイニング Now Platform で簡素化

ある IT アナリストが月次 ベンチマーク レポートを確認します。彼らは、「高優先度インシデントの MTTR」KPI のパフォーマンスが同業他社と比較してマイナスになっていることに気付きました。CIO は、その理由を理解したいと考えています。

アナリストは、KPI から ベンチマーク[プロセスマイニングに移動] アイコンを選択します。このアクションにより、新しいタブの Analyst Workbench に移動します プロセスマイニング 。改善が必要な領域をすぐに発見し、CIM イニシアチブを送信します。CIM イニシアチブが完了すると、同業他社の比較表で ベンチマーク 改善を確認できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



統合: パフォーマンスアナリティクス **(PA)**

ともにServiceNow® パフォーマンスアナリティクス使用するプロセスマイニングと、インジケーターからデータ抽出を実行し、解決時間などの KPI に関連付けられたプロセスを分析できます。

プロセスマイニングプラグイン (com.sn_po) は、とパフォーマンスアナリティクスアプリケーション間のプロセスマイニングデータ連携を提供します。プラグインを有効にすると、 プロセスマイニング 統合が自動的に行われます。その後、インジケーターの パフォーマンスアナリティクス からアナリティクスハブワークベンチを開くプロセスマイニングことができます。

この プロセスマイニング プラグインは、次のテーブルを使用するインジケーターソースのテンプレート構成を提供します。

- カスタマーサービスケース [sn_customerservice_case]
- インシデント [incident]
- 問題 [problem]
- 変更 [change]
- 要求アイテム [sc_req_item]

他のテーブルに基づくインジケーターをサポートするには、それらのテーブル用のテンプレートを作成します。詳細については、「テーブル構成のセットアップ」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロセスマイニング は自動インジケーターのみをサポートしています。アナリティクスハブ式インジケーターの から を開くことはできますプロセスマイニングが、式内の貢献している自動インジケーターの 1 つを選択する必要があります。

重要:
プロセスマイニング では、データベース ビューを使用するインジケーター ソースはサポートされていません。アプリケーションはテーブルのみをサポートしています。

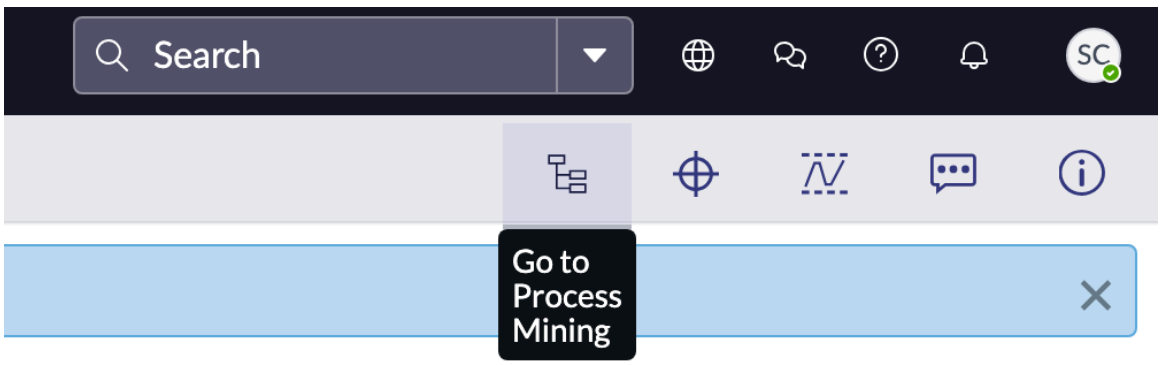
ロール

と パフォーマンスアナリティクス の統合では、ロールに プロセスマイニング ロールは追加されません。統合機能を有効にする パフォーマンスアナリティクス には、この機能を必要とするユーザーに PA ビューアーロール (pa_viewer) プロセスマイニング を追加する必要があります。同様に、機能を必要とするプロセスマイニングユーザーに適切なプロセスマイニングロールパフォーマンスアナリティクスを追加します。

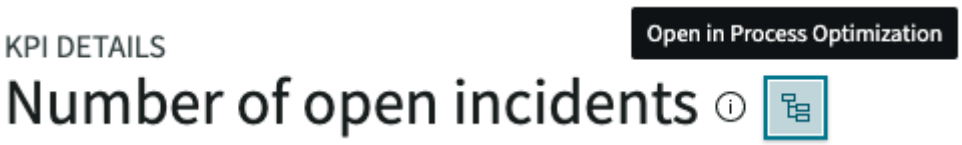
起動して使用する プロセスマイニング

とのデータ連携により パフォーマンスアナリティクス 、[データの抽出] オプションがメニューに追加されます アナリティクスハブ 。ユーザーは次のことができます。

- から起動しますプロセスマイニングアナリティクスハブ。



- からKPI 詳細特定のインジケーターに対して開きますプロセスマイニング。



- インジケーターからのデータ抽出をスケジュールします パフォーマンスアナリティクス 。

インジケーターのデータ抽出を開始すると、抽出の進行状況が表示されます。完了すると、Analyst Workbench から プロセスマイニング プロジェクトを表示できます。後で同じインジケーター設定で別の日付に抽出を開始すると、新しい PA プロジェクトが プロセスマイニング > プロジェクト > **PA** プロジェクト 少し特別なマジックを 適用します

関連情報

パフォーマンスアナリティクス使用例プロセスマイニング

特定のインジケーターの分析ハブ

KPI 詳細のインジケーターの探索

自動翻訳

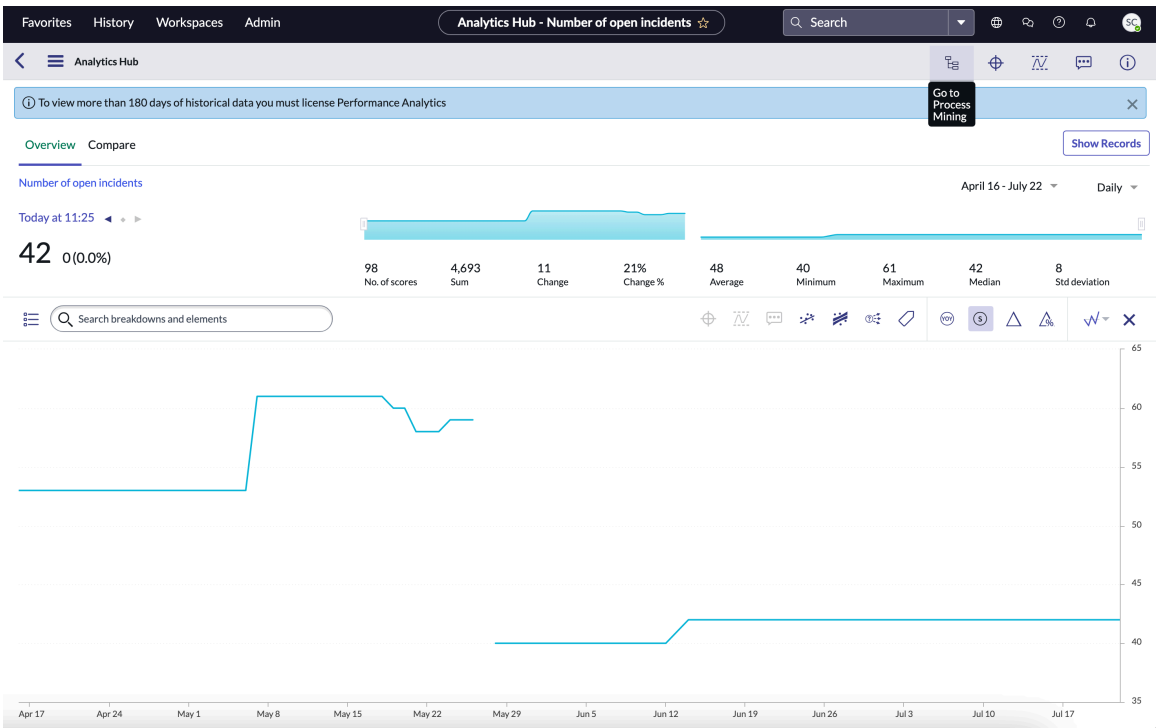
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パフォーマンスアナリティクス使用例プロセスマイニング

インシデント、問題、変更、カスタマーサービスケース、または要求プロセスデータに基づいてインジケーターから パフォーマンスアナリティクス データを抽出する方法を理解します。

プロセスアナリストとして、ダッシュボードを表示 パフォーマンスアナリティクス し、「オープンインシデントの数」インジケーターが過去 2 か月間に増加したことを確認します。この種の測定基準を増やすと顧客満足度が低下し、ビジネスコストが増加することを理解しています。数字を詳しく調べるには、インジケーターの を開きます アナリティクスハブ 。

オープンインシデント数の分析ハブインジケーター



には多くの アナリティクスハブ分析ツールがありますが、ワークベンチを開く プロセスマイニングことができます。を使用すると プロセスマイニング、このインシデントの増加を解決できる場合があります。

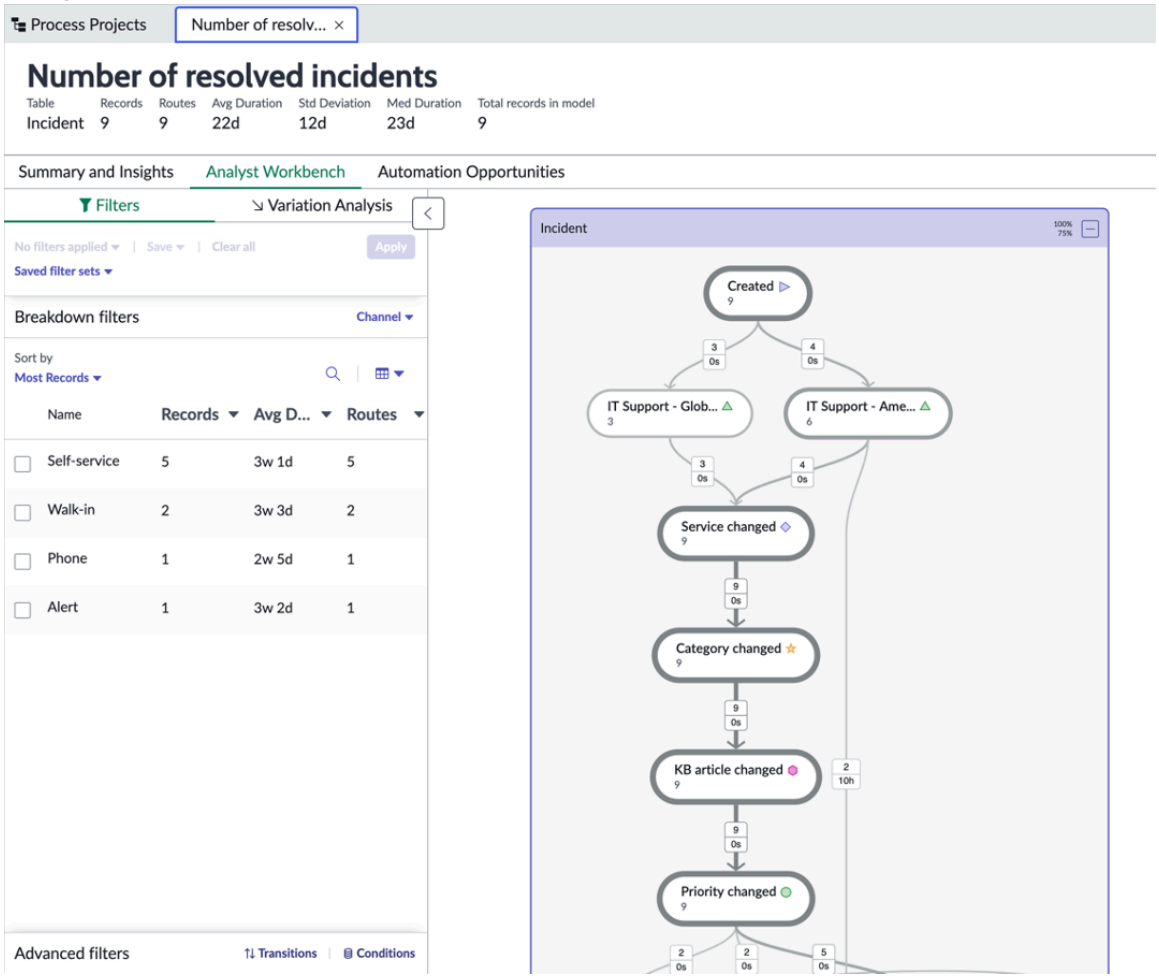
ダッシュボードから [プロセスマイニングに移動] アイコンを選択します。

このアクションは、インジケーターのコンテキストでプロセスマップを自動的に作成します。Analyst Workbench に移動し プロセスマイニング て根本原因を調査します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Analyst Workbench のオープンインシデント数のインジケーター



関連情報

統合: パフォーマンスアナリティクス (PA)

Automation Discovery との統合

内 プロセスマイニングから Automation Discovery を実行します。

使用方法の概要

Automation Discovery はレコードを分析して、自動化の機会を特定するのに役立ちます。

アプリを使用すると、構築済みの分類に対して指定されたレコードのデータセットを分析する検出レポートを実行できます。このプロジェクトでは、記録から 180 を超える自動化の機会を特定します。機会は、システムがユーザーのクエリに自動的に応答できるインテントと考えてください。

レポートは、自動化の予測される機会別にレコードをグループ化します。未分類のレコードの場合、レポートはレコードを関連するクラスターにグループ化します。

仮想エージェント などのアプリケーションの場合、オートメーションディスカバリー は、回避と迅速なインシデント解決につながる自動化機会の実装に役立ちます。

Automation Discovery の詳細については、「 Automation Discovery」を参照してください。

Automation Discovery の構成

Automation Discovery は、自動化の機会と ID を分析するのに役立ちます。

自動翻訳

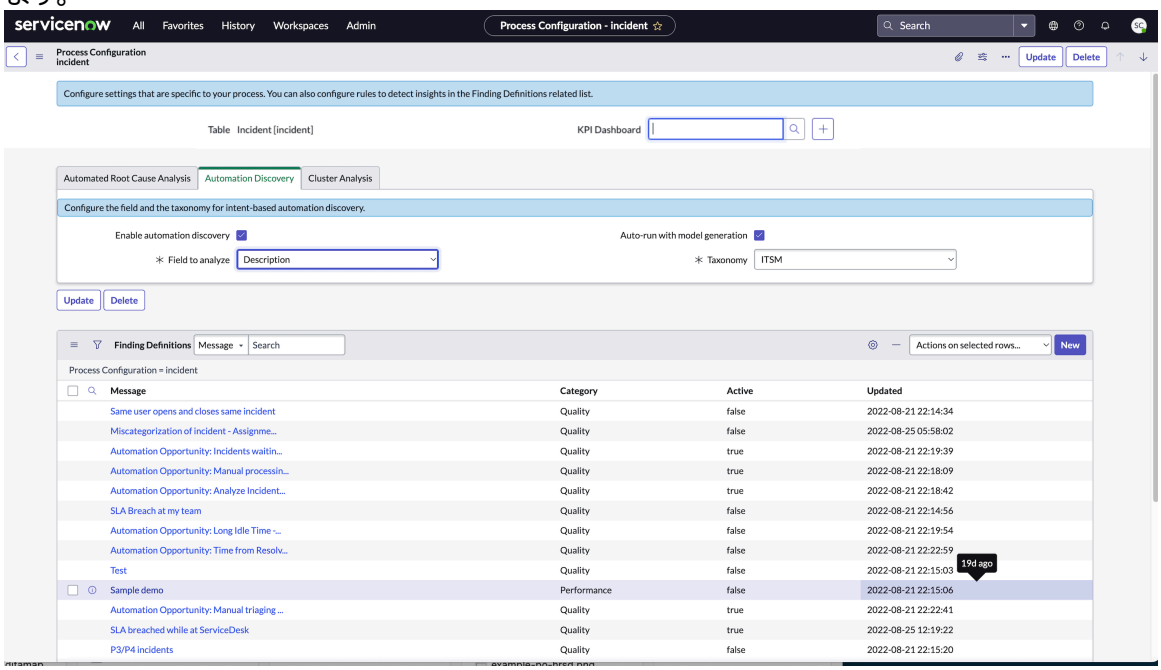
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
構成する前に、Automation Discovery アプリケーション (sn_auto_discovery) をインストールする必要があります。詳細については、「Automation Discovery をインストールする」を参照してください。

必要なロール：administrator

手順

1. 移動先 すべて > プロセスマイニング > プロセスの構成.
2. インシデントテーブル [incident] を選択します。
3. オプション: **[KPI** ダッシュボード] フィールドを使用して、このプロセス構成に関連付ける KPI ダッシュボードを選択します。
4. [**Automation Discovery**] タブに移動します。
5. [自動化検出を有効にする] と [モデル生成による自動実行] を選択し、必須フィールドに入力します。

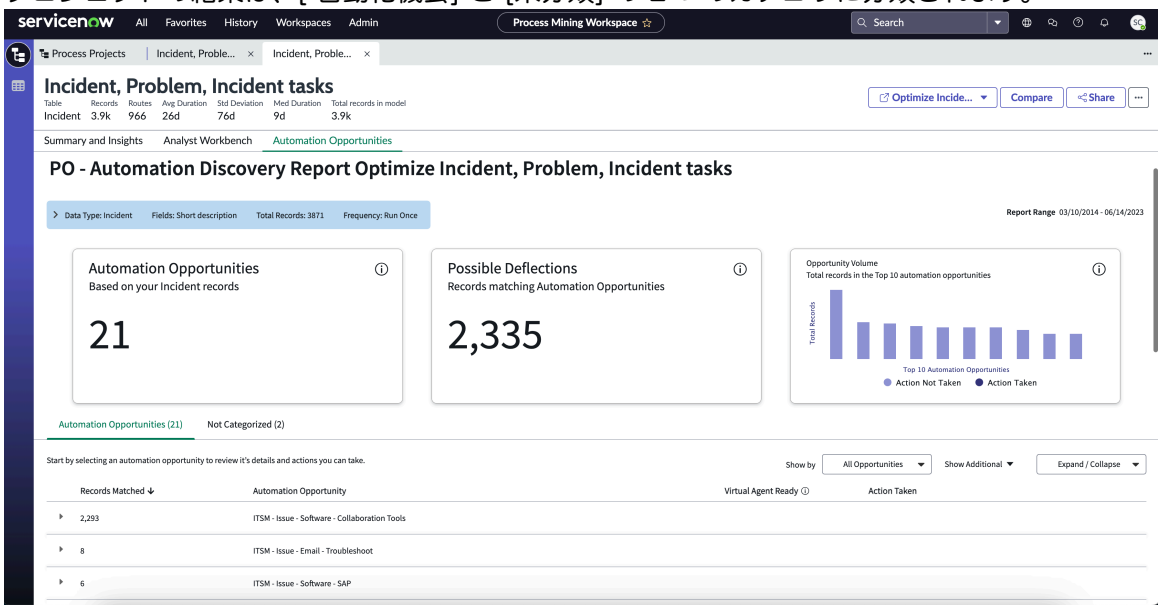


プロジェクトでは、両方のオプションが選択されている場合に、モデル生成を含むオートメーション検出が自動的に実行されます。

6. [更新] を選択します。
7. 移動先 すべて > プロセスマイニング > プロセスマイニングワークスペース.
   [ワークスペース] プロセスマイニング ページが開きます。
8. プロジェクトを開き、[自動化機会] を選択します

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

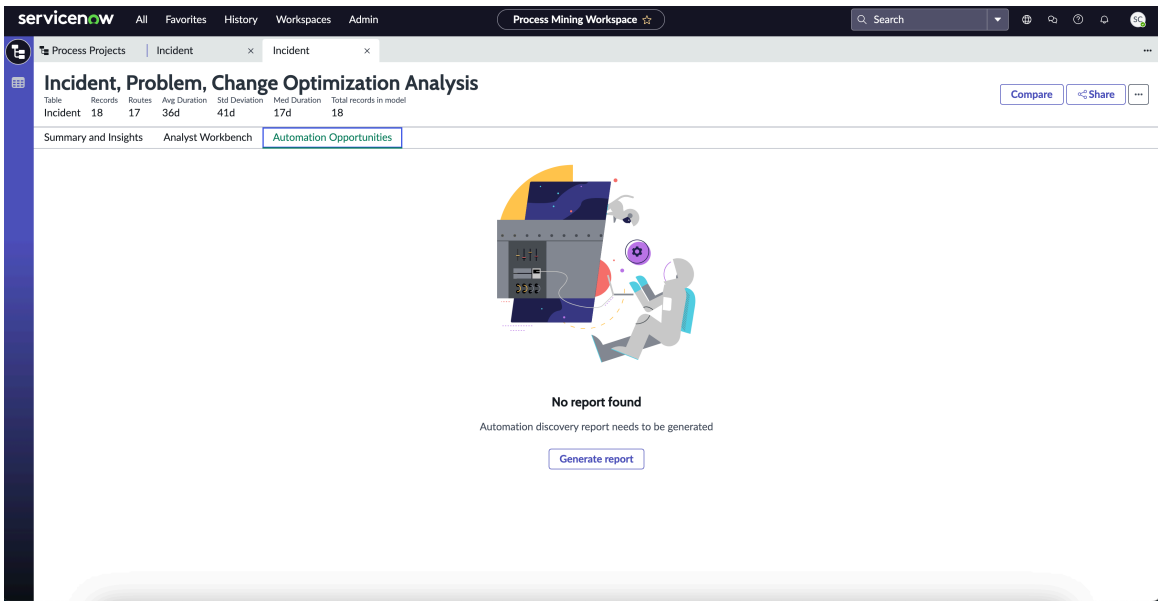
プロジェクトの結果は、[自動化機会] と [未分類] の 2 つのカテゴリに分類されます。



9. 追加情報のレコードを選択します。

[プロセスマップを開く] をポイントして、追加のマイニングをトリガーします。

[自動化検出を有効にする] または [モデル生成による自動実行] を選択しない場合、自動化機会は表示されません。**Analyst Workbench** から、[レポートを生成] を選択してレポートを作成します。



必須フィールドに入力してレポートを作成します。

統合： オートメーションセンター

オートメーションセンターとのデータ連携により、Automation Center ワークスペースから自動化要求にアクセスできます。

から プロセスマイニング、Automation Center Workspace に表示する自動化要求を作成できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動化アイデアの送信

Automation Center ワークスペースを使用して、さまざまなソースからの自動化要求を検出、優先順位付け、管理します。

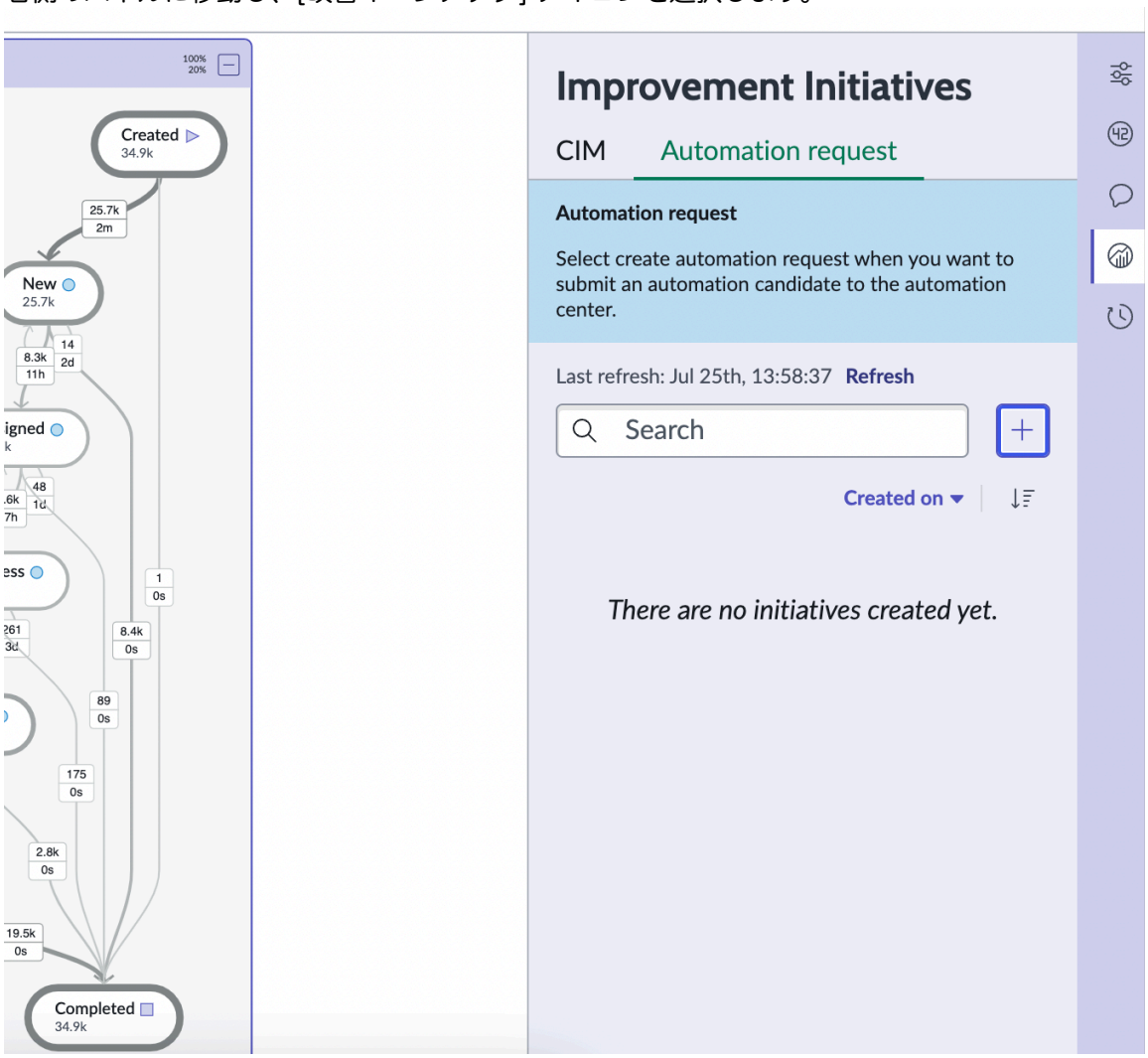
始める前に

構成する前に、Automation Center プラグインをインストールして構成する必要があります。詳細については、「Install Automation Center」を参照してください。

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

手順

1. 移動先 すべて > プロセスマイニング > プロセスマイニングワークスペース.
2. プロジェクトを選択します。
   Automation Center 機能は、[サマリーとインサイト] または [アナリストワークベンチ] タブの下に表示されます。
3. 右側のパネルに移動し、[改善イニシアチブ] アイコンを選択します。

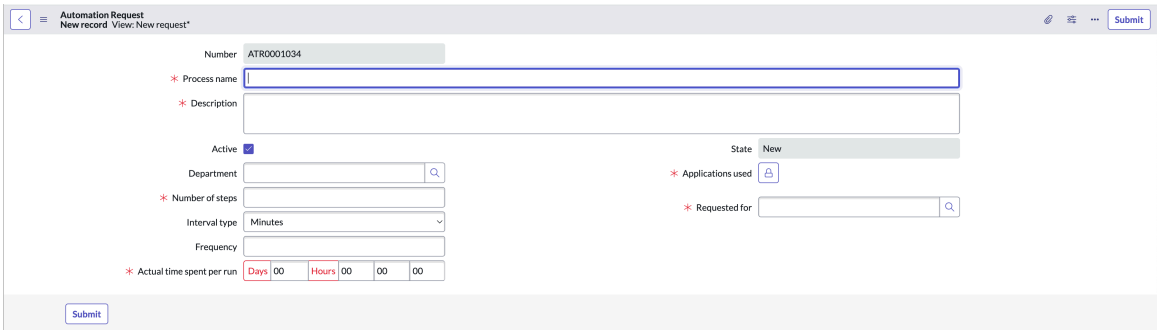


4. プラス記号を選択して、自動化のアイデアを作成します。
   新しい [自動化要求] ページが開きます。

自動翻訳

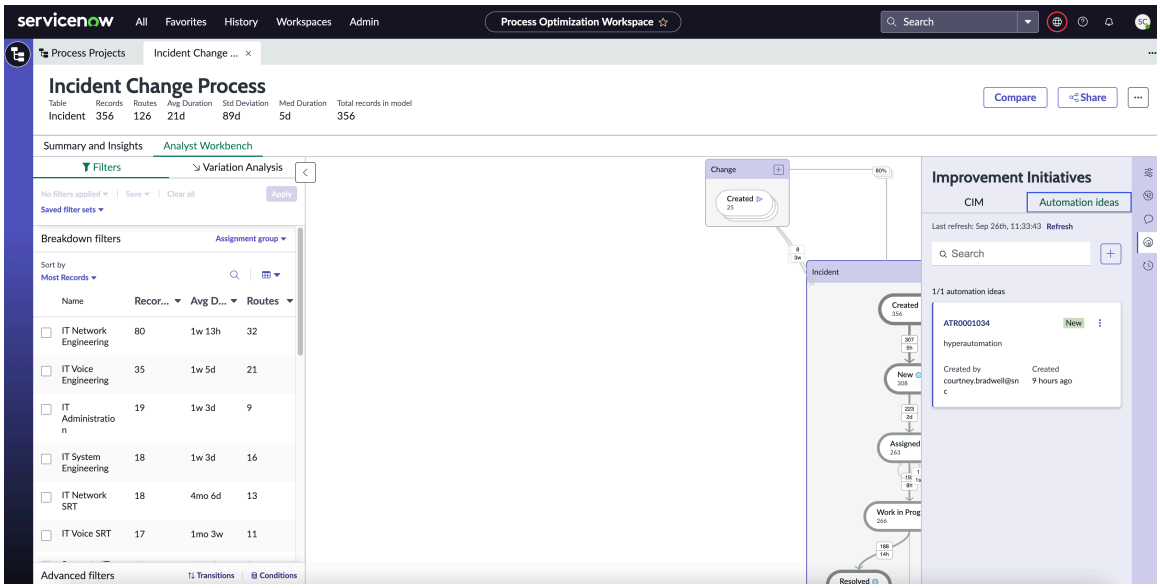
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. 要求の必須フィールドに入力し、[送信] を選択します。



詳細については、「Automation request form from Automation Center」を参照してください。

タスクの結果
新しい要求が [改善イニシアチブ] パネルに表示されます。



プロセスマイニング の構成

管理者は、アナリストとマネージャーが Analyst Workbench にアクセスし、プロジェクトを作成および管理できるように設定できます プロセスマイニング 。

注:
プロセスマイニング は、インスタンスがセットアップされている場合にのみ、オンプレミスインスタンスでサポートされます 予測インテリジェンス 。セルフホステッド環境の詳細については、 KB 記事 KB0782052 を参照してください。

プロセスマイニング を設定するには：

- (com.sn_po) プラグインを プロセスマイニング アクティブ化します。
- ロールを割り当てて、ユーザーがアプリケーションナビゲーターからプロジェクトを作成し、Analyst Workbench からプロジェクトを表示または管理できるようにします。
- (オプション)ITSM、Customer Service Management などの他のアプリケーションと統合 プロセスマイニング する場合は、 ファイナンシャルサービスオペレーションそれぞれのコンテンツパックを有効にします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ドメイン分離がサポートされている

このアプリケーションはドメイン分離をサポートしています。詳細については、「ドメイン分離とプロセスマイニング」を参照してください。

アクセス制御

プロジェクトを生成または共有するときに、 プロセスマイニング テーブルのアクセス制御ルール (ACL) に従います。

プロジェクトの生成時に、 プロセスマイニング プロジェクトがレポートするテーブルの ACL を優先し、監査テーブルの ACL を無視します。promin_viewer ロールを持つユーザーには、読み取り専用アクセス権があります。

プロジェクトを共有する場合:

- Analyst Workbench に表示されているすべてのデータは、プロジェクトにアクセスできるすべてのユーザーに表示されます。
- すべてのマイニング操作は、プロジェクト作成者の [sys_created_by] アクセス権に従って実行されます。これには、より高い権限レベルのロールによって実行されるマイニングも含まれるため、マイニングされるデータが少なくなる可能性があります。

[サマリーとインサイト] ダッシュボード:

- KPI は、関連する KPI にアクセスするために必要な権限を持つすべてのユーザーに表示されます。
- インサイトは、プロジェクトにアクセスできるすべてのユーザーに表示されます。

プロセスマイニング データのクリーンアップ

プロセスマイニングプロパティページには、 の構成プロセスマイニングオプションがあります。

データクリーンアッププロパティ

スケジュール設定済みのクリーンアップ ジョブによってプロジェクトが削除されるまでの期間 パフォーマンスアナリティクス を決定するプロパティを設定します。

これらのプロパティはプロセスマイニングで利用可能です。

データクリーンアップの プロセスマイニング プロパティ

プロパティ	説明
最終更新日から PA プロジェクト (プロジェクト定義) を保持する日数を定義します **promin.persist.pa_model**	(PA) プロジェクトが パフォーマンスアナリティクス 最後に更新された日付以降に保持される日数を設定します。 • タイプ：整数 • デフォルト値： 30 (日) • 勤務地: プロセスマイニング > システム > プロパティ
非アクティブ**promin.auto_retire_days**を理由にプロジェクトを廃止する日数を定義します	プロジェクトが廃止されるまでの非アクティブな日数を設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データクリーンアップの プロセスマイニング プロパティ (続く)

プロパティ	説明
	• タイプ：整数 • デフォルト値:90 (日) • 勤務地: プロセスマイニング > システム > プロパティ
廃止されたプロジェクトをクリーンアップする日数を定義する **promin.auto_clean_days**	廃止後、プロジェクトがクリーンアップされるまでの日数を設定します。ただし、プロジェクト構成は保持されます。 • タイプ：整数 • デフォルト値:90 (日) • 場所：プロセスマイニング システム プロパティ

関連情報

パフォーマンスアナリティクス使用例プロセスマイニング

バージョンクリーンアップのジョブをスケジュール

スケジュール済みスクリプト **ProminVersionCleanup** を実行して、古いバックアップバージョンを削除し、クラスター分析レコードをクリーンアップするジョブをスケジュールします。

始める前に
必要なロール：administrator

このタスクについて
プロジェクトを再生成すると、 **ProminVersionCleanup** ジョブは古いキャッシュされた統計を削除します。古い統計情報は以前のバージョンに移動され、更新されたプロジェクトに対して新しいバージョンが作成されます。

プロジェクトを再生成または削除すると、このジョブはクラスター分析中に作成されたレコードを消去します。

手順

1. 移動先 すべて > プロセスマイニング > バックグラウンドジョブ.

2. スケジュール設定済みジョブ **ProminVersionCleanup** を選択します。

3. 以下を確認または設定してください。

a. [Active (アクティブ)] チェックボックスをオンにします。

b. [実行] フィールドが [日次] になっているかどうかを確認します。

c. 時間を時間単位で設定します。

4. [今すぐ実行] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
バックアップバージョンとクラスターレコードのクリーンアップは毎日実行されます。

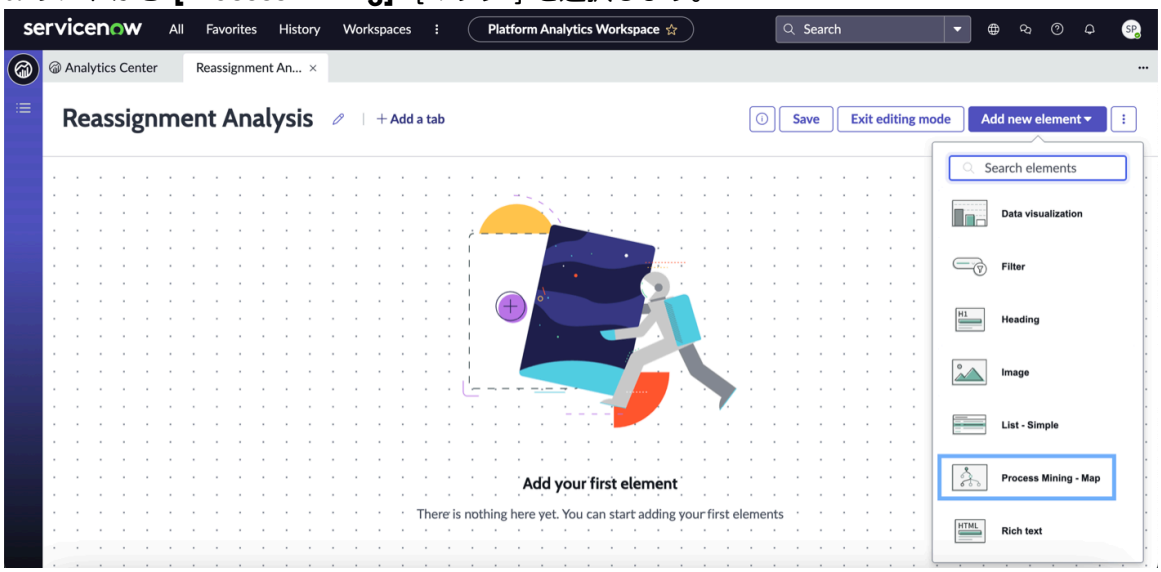
PAR ダッシュボードでマップを構成プロセスマイニング

プロセスマイニング PAR ダッシュボードでプロセスグラフを表示するマップを構成します。

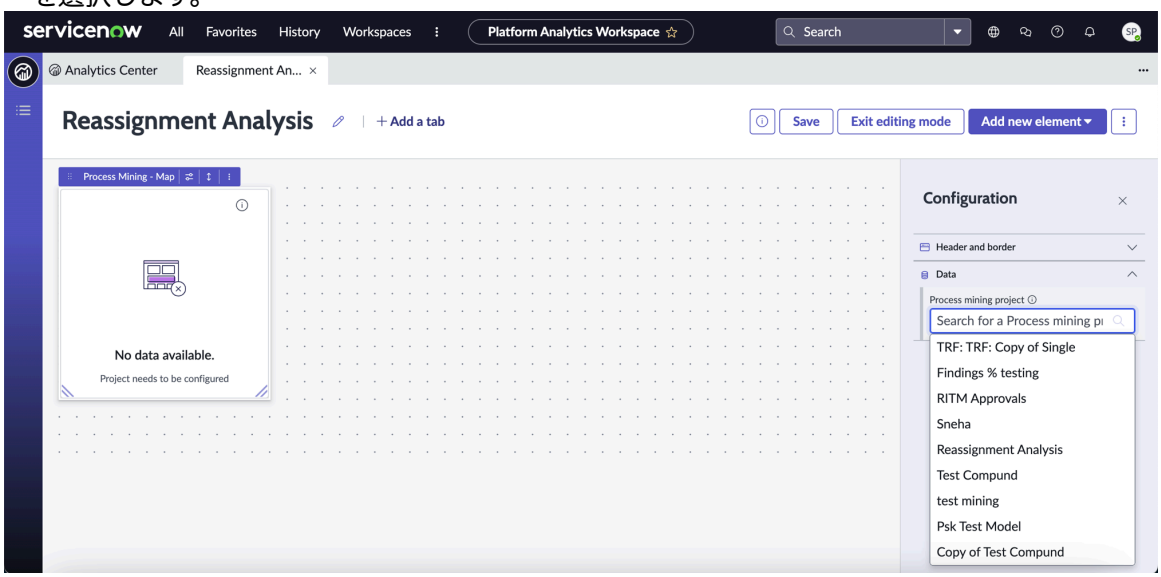
始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_power_user または sn_process_optimization_admin

手順

1. PAR ダッシュボードに移動します。
2. マップを構成します プロセスマイニング 。
   a. [新しい要素を追加] を選択します。
   b. リストから **[Process Mining]** - [マップ] を選択します。



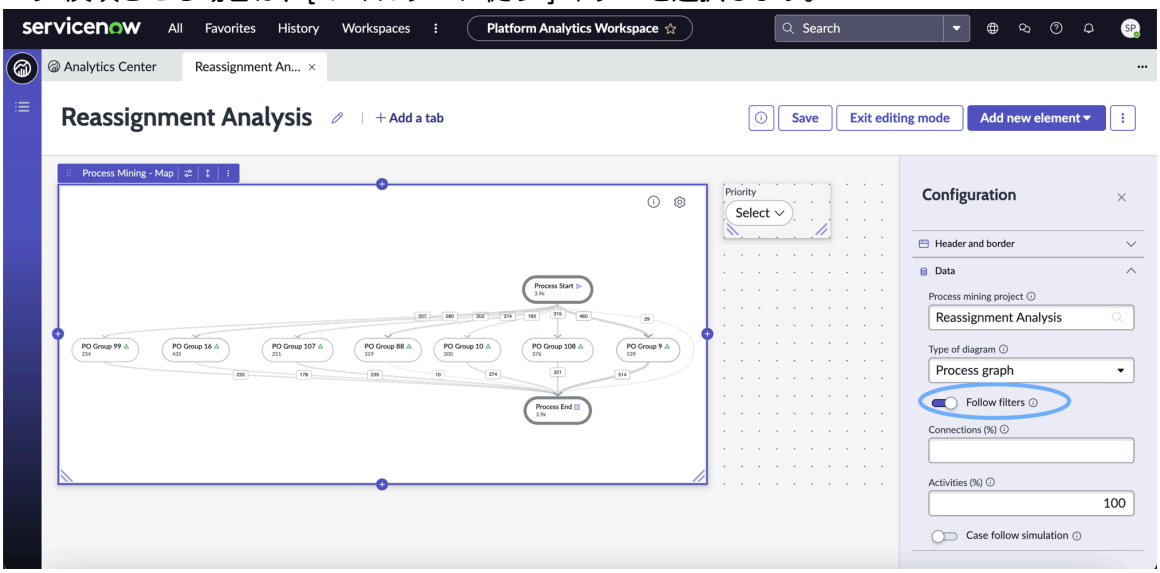
3. プロセスマイニングマップのプロジェクトを構成します。
   a. プロセスマイニング[構成] 領域の [プロセスマイニングプロジェクト] リストからプロジェクトを選択します。



自動翻訳

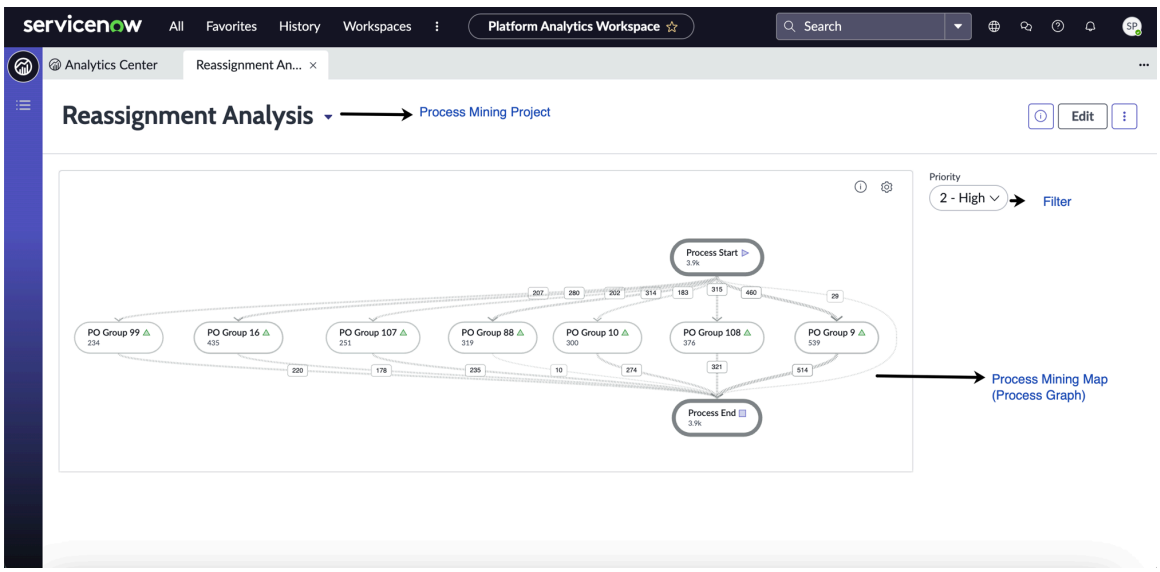
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. ダッシュボードでフィルターを構成していて、適用されたフィルターをマップに プロセスマイニング 反映させる場合は、[フィルターに従う] ボタンを選択します。



5. [保存 して 編集モードを終了] を選択します。

タスクの結果
マップは プロセスマイニング PAR ダッシュボードで利用できます。



プロセスマイニング アーキテクチャ

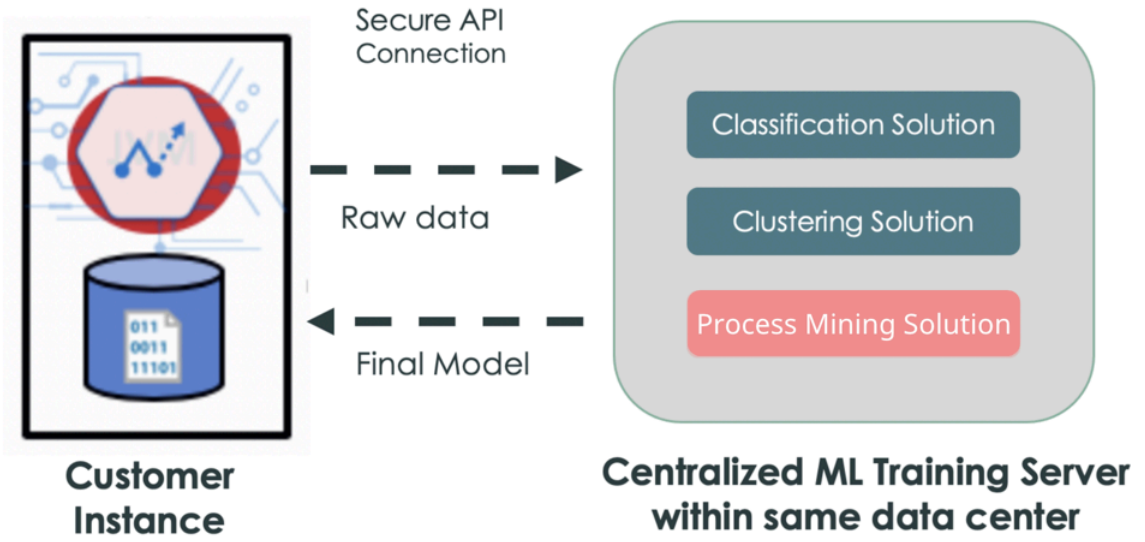
アーキテクチャの基本的な属性を理解します プロセスマイニング 。

- マイニング エンジンは プロセスマイニング 、プロジェクト設定に基づいて監査履歴からデータを抽出します。その後、データファイルは中央のトレーニングサーバー(ServiceNow® 予測インテリジェンス) を同じデータセンター内に配置できます。一元化されたトレーニングサーバーにより、新しい測定基準の高度な計算が可能になります。一元化されたサーバーは、インスタンスにパフォーマンス負荷をかけることなく、スケーラビリティのためにより多くのデータをサポートします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- プロセスマイニングプロジェクトの準備が整うと、トレーニングサーバーは最終的なプロジェクトをインスタンスに送り返し、サーバーからすべてのプロジェクトデータを削除します。データは、セキュリティで保護され暗号化された API を使用して転送されます。
- プロジェクトの最新バージョンが、インスタンスの Analyst Workbench UI でビジュアル化されます。



関連情報

予測インテリジェンス

プロセスマイニング の使用

最適化するプロセスを選択し、プロセスデータを生成して、可視化された実用的なインサイトを取得します。

は、冗長性の排除、変更の予測、ワークフロー プロセスマイニング の合理化などの分野でビジネスプロセスを改善する際に、これらの目標を達成するのに役立ちます。 プロセスマイニング は、エンドツーエンドの可視性の実現、リスクの軽減、市場コンプライアンスの維持などを支援します。

実装の計画

最大限の労力を実現するには、 プロセスマイニング 次の手順を計画します。

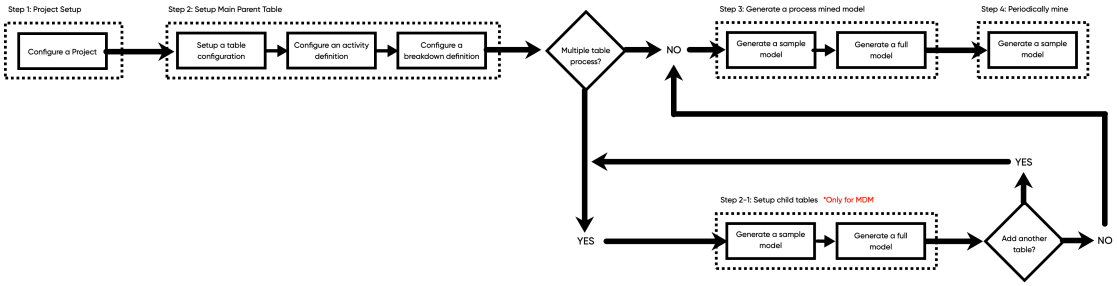
- 特定: 最適化が必要な問題のあるプロセス領域を特定します。
- 視覚化: プロセスに含める必要がある重要な要素を特定します。目標、開始と終了、アクティビティ、およびプロセスに含める必要があるユーザーを理解します。
- 分析:最適化する領域を分析して、目的の目標を達成できない場所と理由を特定します。
- 最適化: プロセスに重要でないステップを削除します。
- 監視:プロセスのパフォーマンスを継続的に監視し、領域が目的の目標を満たすまで改善します。

ワークフロー プロセスマイニング

次のフローチャートは、 の プロセスマイニングプロジェクトを設定するために使用する手順を示しています。これらの手順の一部は省略可能であるか、多次元マイニング機能を利用するかどうかによって異なります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



テーブルのプロセス設定レコードを作成する

インスタンスからテーブルを使用するたびに同じデフォルト構成を使用するように、テーブルのプロセス構成を作成します。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

手順

1. 移動先 すべて > プロセスマイニング > プロセスの構成.

2. [新規] を選択します。

3. フォームのフィールドに入力します。

プロセス構成フォーム

フィールド	説明
テーブル	構成を作成するテーブルを選択します。 **注:** テーブルごとに許可されるプロセス構成は 1 つだけです。
KPI ダッシュボード	KPI ダッシュボードを選択します。
自動化された根本原因分析	自動トゥート原因分析を設定する場合に選択します。詳細については、「自動化された根本原因分析」を参照してください。
自動化ディスカバリー	オートメーションディスカバリーを設定する場合に選択します。詳細については、「Automation Discovery の構成」を参照してください。
クラスター分析	クラスター分析を設定する場合に選択します。詳細については、「クラスター分析」を参照してください。
検索定義	ルールベースの検索定義を設定する場合に選択します。詳細については、「ルールベースの検索定義の構成」を参照してください。
自動検索定義	自動検索定義を設定する場合に選択します。詳細については、「自動検索定義の構成」を参照してください。

4. [更新] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロジェクトビルダーを使用したプロジェクトの作成

プロジェクトビルダーを使用してプロジェクトを作成およびマイニングします。プロジェクトビルダーでは、プロセス全体が3つのセクションと概要に分割され、タスクをより簡単かつ効率的に行うことができます。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

プロジェクトをマイニングするには、プロジェクトの親テーブルの 監査ログ が有効になっていることを確認します。

手順

1. [プロセスマイニングワークスペース] > [ワークスペース] に移動します。
2. 右上隅にある [新しいプロジェクトの作成] を選択します。
   [プロジェクトのセットアップ] ページが表示されます。

次のタスク

次のステップを実行します。

目標の設定

グラフで表示および分析するデータまたはプロセスの種類を定義します。分析するデータがある特定のテーブル (親テーブル) を選択する必要があります。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

手順

1. [新しいプロジェクトの作成] を選択すると、 [目標の設定] ページに移動します。
2. 次の詳細を入力します。
3. [保存して次へ] を選択します。
4. オプション: テンプレートを選択してプロジェクトを作成することもできます。
   既存のテンプレートを選択した場合は、テンプレートを選択した後、[レビューとマイニング] ページに移動します。

分析のスコーピング

グラフに表示するデータを定義します。

データを表示するテーブルを選択しました。おそらく、データの 1 つの側面に焦点を当てる必要があります。グラフに表示するデータのみを表示するフィルターによって、プロジェクトの範囲が設定されます。

次のセクションで詳細を説明します。

アクティビティ定義の設定

プロジェクトのグラフに表示する特定のデータを定義します。アクティビティは、プロセスで実行されるアクションです。アクティビティは時系列で記録されるため、プロセスマイニングアルゴリズムはイベントのシーケンスを分析し、プロセスフロー、ボトルネック、バリエーション、および潜在的な改善に関するインサイトを明らかにすることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

注:

親テーブル構成には最大 10 個のアクティビティ定義を、子テーブル構成には最大 5 個のアクティビティ定義を設定できます。アクティビティ定義に対して 5000 を超える要素を生成することはできません。

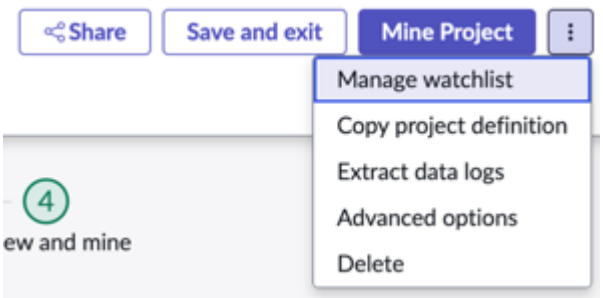
このタスクについて
プロセスマイニング は、定義したアクティビティの監査ログフィールドデータを収集します。特定のアクティビティを開始、終了、または通過するレコードを抽出してプロセスマップに表示するアクティビティを少なくとも 1 つ構成します。

注:
プロジェクトを構成する際は、まずメイン (親) テーブル構成を設定し、アクティビティ定義を定義し、ブレークダウン定義を設定する必要があります。必要なテーブルが 1 つだけの場合は、データを使用して定期的にマイニングおよびスケジュール設定できる完全なプロジェクトを生成できます。複数のテーブルが必要な場合は、追加の (子) テーブルを作成し、それをメイン (親) テーブルに関連付けて、アクティビティ定義を定義する必要があります。子テーブルにブレークダウン定義を設定することもできます。

プロジェクトビルダーからプロジェクトを作成する場合、ドット連結と複合はサポートされません。ただし、プロジェクトを編集する場合は、プラットフォームから ServiceNow プロジェクトを開いてプロジェクトに追加できます。プロジェクトを編集するには、Process Mining ワークスペースから [プロジェクトの編集] を選択します。



次のページで、[詳細オプション]を選択します。



プラットフォームビューから ServiceNow プロジェクトを更新できるようになります。

手順

1. 移動先 すべて > プロセスマイニング > プロジェクト > すべてのプロジェクト.
   [目標の設定] ページから続行すると、[分析のスコープ設定] ページが表示されます。
2. [分析の範囲を設定] セクションの編集ボタンを選択します。
3. [分析のスコープ設定] ページで、左側のバーから [アクティビティ] を選択します。
4. [活動の定義] 領域で [新規] を選択します。
5. フォームに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

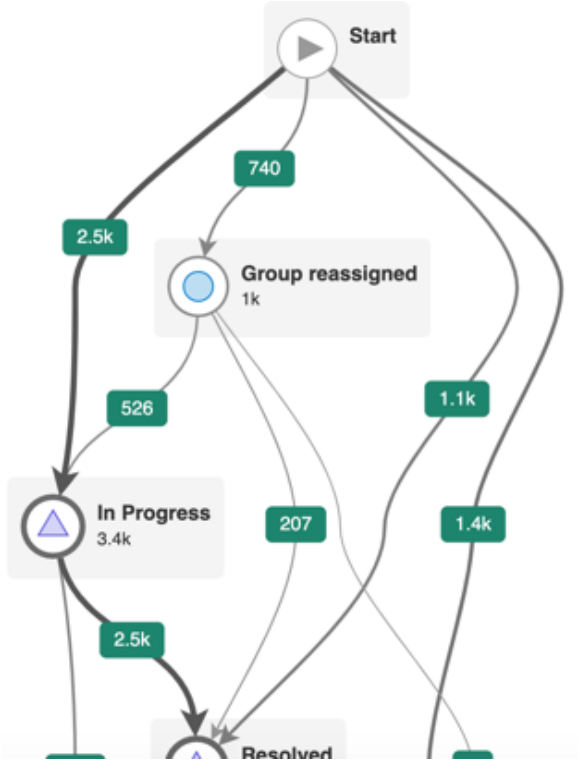
[アクティビティ定義] フォーム

タイプの選択	マイニングする値のタイプ。 次の値があります。 ○ フィールド値 (デフォルト): これがデフォルトの選択です。このオプションは、アクティビティ定義を作成するたびに使用できます。 ○ 日時:監査履歴ではなく実際のレコードの日時値を使用し、プロセスマップにグループ化されたノードとして表示されます。 ○ 添付子:このオプションは、テーブル構成に 2 つのテーブルを選択し、子と親の関係性を設定している場合に使用できます。このオプションは、親テーブル構成でのみ使用できます。グラフでは、子がプロセスにいつアタッチされたかを確認できます。 ○ 親の添付:このオプションは、親レコードがいつ子に添付されたかを表すノードを子プロセスに作成します。
フィールド	プロセスグラフにデータを表示するテーブルのフィールドまたは列を指定します。
アクティビティ名 (オプション)	このアクティビティに表示する名前。名前を入力しない場合、アクティビティ名には [フィールド] に指定された値が表示されます。
アクティビティとして追加する値を選択します	選択したフィールドの特定のアクティビティ値をマイニングすることを選択できます。 たとえば、 インシデント テーブルを選択したとします。ここで、アサイン先グループのサービスデスクとアサイン先グループのデータベースを経由したレコードを表示します。このデータを表示するには、[フィールド] として [アサイン先グループ] を選択し、[値のリストから**Service Desk]** と [データベース] を追加する必要があります。
グループアクティビティ	グループアクティビティを選択すると、プロセスマップにアクティビティの変更グループが 1 つの変更アイテムとして反映されます。たとえば、レポートする アサイン先グループ を構成し、その変更を追跡するように選択するとします。 ○ アサイン先グループに変更が発生すると、グループ A >グループ B >グループ C として監査ログにリストされます。 ○ 結果:プロセスマップのデータは、「アサイン先グループが変更されました」という 1 つの変更として反映されます。 このオプションがオフの場合、プロセスマップには変更の各インスタンスのレコードが個別に反映されます。例:レポートする アサイン先グループ を構成できますが、 [グループアクティビティ] は選択しないでください。 ○ アサイン先グループに変更が発生すると、グループ A >グループ B >グループ C として監査ログにリストされます。 ○ 結果:プロセスマップには、加えられた個々の変更が反映され、監査ログの標準として変更が引き続き反映されます:「変更:グループ A > 変更:グループ B >変更:グループ C」。

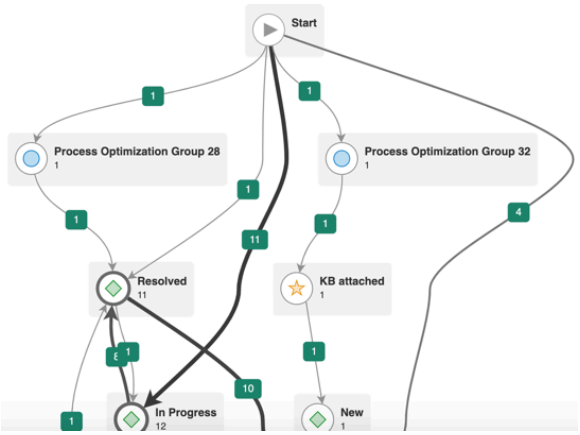
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

変更がグループ化される



変更を標準として表示



対象のアクティビティ	フィールドの変更が Analyst Workbench に表示されるかどうか **注:** このオプションを選択すると、フィールドの変更は Analyst Workbench に表示されませんが、移行または検出結果のコンテキスト条件で使用できます。
空の開始ノードを含める	レコードの作成時に選択したアクティビティ定義フィールドが空の場合、プロセスグラフに空のノードを含めます。

注:
アクティビティ定義を編集するには、リストからアクティビティ定義を選択して編集します。アクティビティ定義を削除するには、リストからアクティビティ定義を選択し、「削除」アイコン ( ) を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. [保存] を選択し、[次へ] または [保存して終了] を選択します。
[次へ] を選択すると、 [改善の機会] ページに移動します。[分析の範囲] ページで何かを追加または編集する場合は、手動で戻ることができます。

ブレークダウン定義の設定

プロジェクトのフィルターとして機能するブレークダウン定義を設定します。ブレークダウン定義は、特定の基準または属性に基づいてデータをフィルタリングおよび分析するために使用されます。これらの定義により、プロセスの特定のディメンションまたはパースペクティブに焦点を当てて、分析をより小さなサブセットに分割できます。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

- プロジェクトビルダーを使用したプロジェクトの作成

このタスクについて

注:
親テーブル構成には最大 10 のブレークダウン定義を構成し、子テーブル構成には最大 5 のブレークダウン定義を設定できます。ブレークダウン定義に対して 5000 を超える要素を生成することはできません。

手順

1. 移動先 すべて > プロセスマイニング > プロジェクト > すべてのプロジェクト.
[目標の設定] ページから続行すると、[分析のスコープ設定] ページが表示されます。
2. [分析の範囲を設定] セクションの編集ボタンを選択します。
3. [分析のスコープ設定] ページで、左側のバーから [ブレークダウン] を選択します。
4. [ブレークダウン] 領域で [新規] を選択します。
5. [ブレークダウン定義] フォームで、必要に応じてフィールドに入力します。

ブレークダウン定義フィールド

フィールド	説明
表示名	このブレークダウンに表示する名前。名前を入力しない場合、ブレークダウンには [フィールド] フィールドの値が表示されます。
ブレークダウン	ブレークダウンに使用するフィールドを選択します。アサイン先グループなどの参照フィールドを使用する場合は、フィルター条件を追加することもできます。
フィルター条件の追加	必要なフィルター条件を追加します。

6. [保存] を選択し、[次へ] または [保存して終了] を選択します。
[次へ] を選択すると、 [改善の機会] ページに移動します。[分析の範囲] ページで何かを追加または編集する場合は、手動で戻ることができます。

詳細設定を行う

プロセスに存在する承認を表示するかどうかを指定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

手順

1. 移動先 すべて > プロセスマイニング > プロジェクト > すべてのプロジェクト.
   [目標の設定] ページから続行すると、[分析のスコープ設定] ページが表示されます。
2. [分析の範囲を設定] セクションの編集ボタンを選択します。
3. [分析のスコープ設定] ページで、左側のバーから [詳細設定] を選択します。
4. プロセスに存在する承認を表示する場合は、[承認を含める] オプションを選択します。
5. [保存] を選択し、 [保存して終了] を選択します。

子エンティティの追加

子テーブルまたは関連テーブルを追加して、関連プロセスからアクティビティを追跡します。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

このタスクについて
多くの場合、完全なワークフローの開始と終了は、ビジネスプロセスのライフサイクル外で発生します。これらの外部イベントの分析に役立つ場合は、プロセスに関連する他のイベントを追跡するための別のテーブルを追加できます。たとえば、インシデントテーブルが親テーブルであり、インシデントタスク [incident_task] テーブルをインシデントテーブルの子テーブルとして定義した場合、インシデントタスク [incident_task] テーブルのレコードが作成されると、プロセスマップに [インシデントタスクが作成されました] アクティビティとして表示されます。「作成済み」または「クローズ済み」のイベントのみが、プロセスグラフにアクティビティとして表示されます。

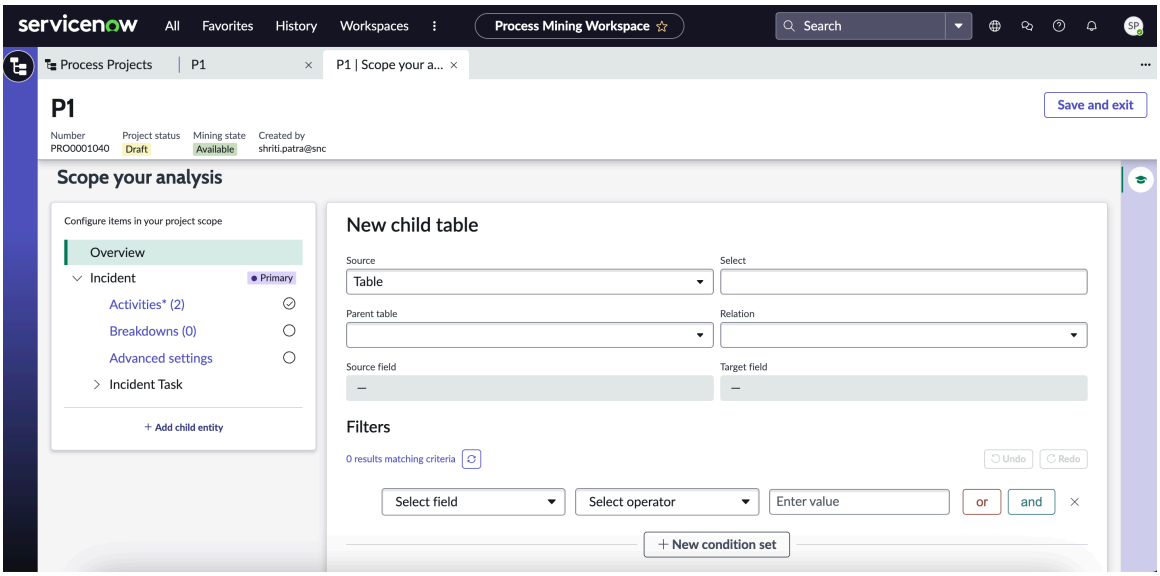
> **注:**
> 定義された子テーブルの外部イベントは、移行または条件フィルターの条件オプションとして表示されません。

手順

1. 移動先 すべて > プロセスマイニング > プロジェクト > すべてのプロジェクト.
   [目標の設定] ページから続行すると、[分析のスコープ設定] ページが表示されます。
2. [分析の範囲を設定] セクションの編集ボタンを選択します。
3. [分析のスコープ設定] ページで、左側のバーから [子エンティティの追加] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. フォームに詳細を入力します。

新しい子テーブルフォーム

ソース	テーブル構成のソース。ソースタイプを選択できます。 ○ テーブル:任意のデータベーステーブル ○ レポート ソース:レポートを含むテーブル ○ アーカイブされたデータ:アーカイブされたテーブル
選択	プロジェクトの親テーブルと関係があるテーブルを選択します。
親テーブル	プロジェクトのプライマリテーブルを選択します。
関連	テーブル間の関係は、 子 または 参照のいずれかになります。
ソースフィールド	[子] 関係を選択した場合は、親テーブルとの関係を持つフィールドを子テーブルから選択します。 [参照]リレーションを選択すると、[ソース]フィールドが自動入力されます。
ターゲットフィールド	参照関係を選択した場合は、親テーブルとの関係を持つ子テーブルからフィールドを選択します。 [子] 関係を選択すると、[ターゲット] フィールドが自動入力されます。
フィルター (オプション)	必要に応じて、子テーブルのフィルターを設定できます。
関連リスト条件 (オプション)	フィルターセットに対して選択した数の関連レコードを表示します。さらにフィルタリングできます。

5. [保存] を選択し、[次へ] または [保存して終了] を選択します。
[次へ] を選択すると、 [改善の機会] ページに移動します。[分析の範囲] ページで何かを追加または編集する場合は、手動で戻ることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

改善の機会の設定

改善の機会を設定して、チームがプロセスを最適化できる改善領域を見つけます。利用可能なルールのリストから選択するか、独自のルールを設定できます。設定したルールに基づいて、改善領域を表示できます。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

このタスクについて
設定できる営業案件には 2 つのタイプがあります。

- ルールベースの検索定義:これらの定義は、順番に実行される 1 つ以上の検索ルールチェーンで構成されます。これらの仕様のロジックに一致するレコードは、改善の機会に一致するものとして分類されます。

- 自動検索定義:改善の機会は、既に選択可能なデフォルトのパターンに基づいて表示されます。

手順

1. 移動先 すべて > プロセスマイニング > プロジェクト > すべてのプロジェクト.
   [分析のスコープ設定] ページから続行すると、[改善の機会の設定] ページが表示されます。
2. [改善の機会] セクションの編集ボタンを選択します。
3. [改善の機会の設定] ページで、[ルールベース] または [自動化] タブを選択します。

   ルールベースの定義の場合は、ライブラリから新しいルールを作成するか、既存のルールを追加できます。作成方法の詳細については、「」を参照してください ルールベースの検索定義の構成。

   自動検出の場合は、リストされた検出結果から選択するか、ライブラリから既存のルールを追加します。

   検索定義を編集するには、検索定義を選択します。[検索定義] ページに自動的に移動します。その後、検索定義を編集できます。

   検索定義を削除するには、検索定義を選択し、 削除 を選択します。

4. オプション: ライブラリから結果を選択するには、[ライブラリから追加] を選択し、ルールを選択します。
   これらのルールは、テーブル構成から利用できます。プロジェクト用に選択したテーブルに検出結果が構成されている場合、それらの検出結果はライブラリに表示されます。テーブル構成の詳細については、を参照してください テーブルのプロセス設定レコードを作成する。
5. [保存] を選択し、 [保存して終了] を選択します。
   手動で次のページに進むことができます。

プロジェクトのレビューとマイニング

目標を設定し、分析の範囲を設定し、改善の機会を追加してプロジェクトを作成したら、プロジェクトをマイニングします。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

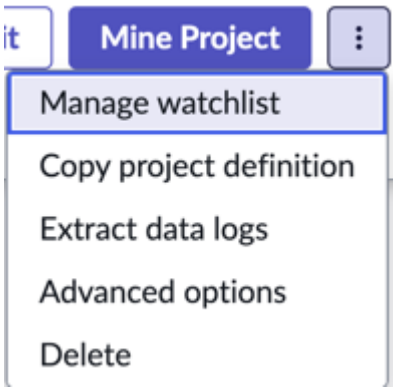
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > プロセスマイニング > プロジェクト > すべてのプロジェクト.
   改善の機会 ページから続行すると、レビューとマイニング ページに移動します。
2. [レビューとマイニング] セクションの編集ボタンを選択します。
3. [レビューとマイニング] ページで、プロジェクトを確認します。

   このページで追加の手順を実行できます。



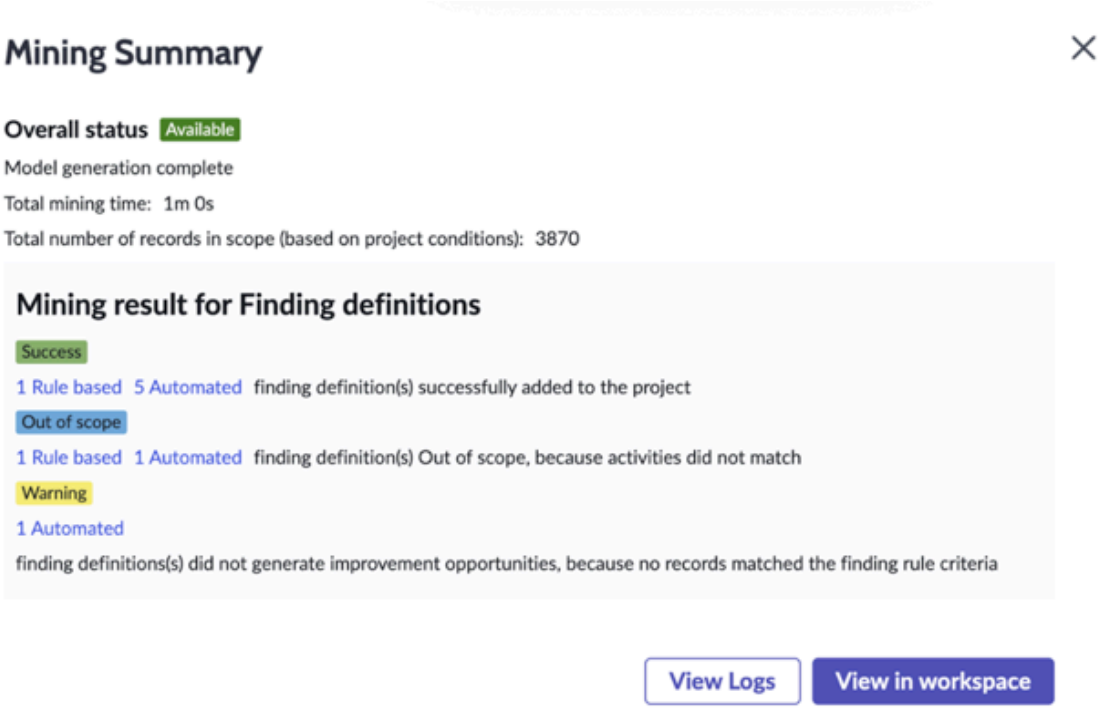
   - [ウォッチリストの管理] を選択して、マイニングされたプロジェクトのステータスに関する通知を受け取るユーザーを追加します。
   - [プロジェクト定義のコピー] を選択して、プロジェクトをコピーします。
   - [データ ログの抽出] を選択して、使用可能なログを表示します。
   - ServiceNow プラットフォームビューでプロジェクトを編集するには、[詳細オプション] を選択します。
   - [削除] を選択してプロジェクトを削除します。
4. [プロジェクトのマイニング] を選択して、プロジェクトをマイニングします。
5. 「 **Mine** 」ウィンドウで、「 **Sample Mine** 」または 「Full **Mine**」を選択し、「 **Confirm & Mine**」を選択します。

タスクの結果

[マイニングの進行状況] ページが表示されます。マイニングが完了すると、[マイニングの概要] ページが表示されます。このページには、マイニングに関する追加の詳細が表示されます。また、マイニングに含まれなかった検出結果の定義も一覧表示され、実際の原因を理解するためのリンクも提供されます。ログを表示するか、ワークスペースに移動し プロセスマイニング てグラフを表示することもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



Platform を使用した **ServiceNow** プロジェクトの作成

プロジェクトステータスと分析するプロセスの概要を構成および管理します。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

プロジェクトのモデルを生成するには、選択したテーブルの 監査ログ を有効にする必要があります。

このタスクについて
プロセス情報のフローの視覚化されたインタラクティブなルートを表示するプロジェクト定義を構成します。

手順

1. 移動先 すべて > プロセスマイニング > プロジェクト > すべてのプロジェクト.
2. [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

   フィールド値の説明については、「プロジェクト定義フォーム」を参照して ください。
4. **[Save** (保存)] を選択します。

   プロジェクト定義レコードが作成されます。

テーブル構成のセットアップ

グラフで表示および分析するデータまたはプロセスの種類を定義します。分析するデータがある特定のテーブル (親テーブル) を選択する必要があります。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

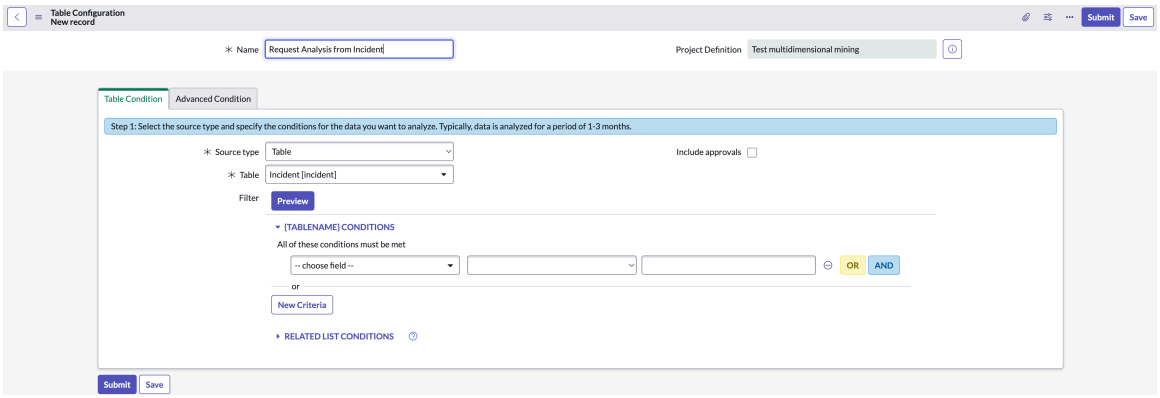
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. プロジェクトを開き、[テーブル構成] タブを選択します。
2. [新規] を選択します。

   新しい [テーブル構成] ページが表示されます。



3. [名前] フィールドにテーブル構成の名前を入力します。
4. [テーブルの条件] タブで、フィールドに入力します。

テーブル条件フィールド

フィールド	説明
ソースタイプ	テーブル構成のソース。ソースタイプを選択できます。 ○ テーブル:任意のデータベーステーブル ○ レポート ソース:レポートを含むテーブル ○ アーカイブされたデータ:アーカイブされたテーブル
承認を含める	承認が含まれているかどうか。
テーブル	適切なテーブルを選択します。
フィルター	[フィルター] セクションの条件を使用して、分析するデータを選択します。 **注:** データを 1 か月から 3 か月の期間に制限することで、長いトランザクション時間を回避します。 プレビュー を選択して、設定されたフィルターで使用可能なレコードの数を確認します。

5. [送信] を選択してテーブル構成を保存します。

   作成したテーブル構成を表示する [テーブル構成] ページが表示されます。テーブル構成のアクティビティ定義を構成します。詳細については、「アクティビティ定義の構成」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

多次元マイニングの構成

多次元マイニングを使用して、複数の関連テーブルのデータを評価することで、非効率性を特定し、パフォーマンスを向上させます。

始める前に

テーブルで多次元マイニングを構成する前に、プラグインをインストールして構成 プロセスマイニング する必要があります。

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

このタスクについて

多くの場合、完全なワークフローの開始と終了は、ビジネスプロセスのライフサイクル外で発生します。これらの外部イベントの分析に役立つ場合は、プロセスに関連する他のイベントを追跡するための別のテーブルを追加できます。たとえば、インシデントテーブルが親テーブルであり、インシデントタスク [incident_task] テーブルをインシデントテーブルの子テーブルとして定義した場合、インシデントタスク [incident_task] テーブルのレコードが作成されると、プロセスマップに [インシデントタスクが作成されました] アクティビティとして表示されます。「作成済み」または「クローズ済み」のイベントのみが、プロセスグラフにアクティビティとして表示されます。

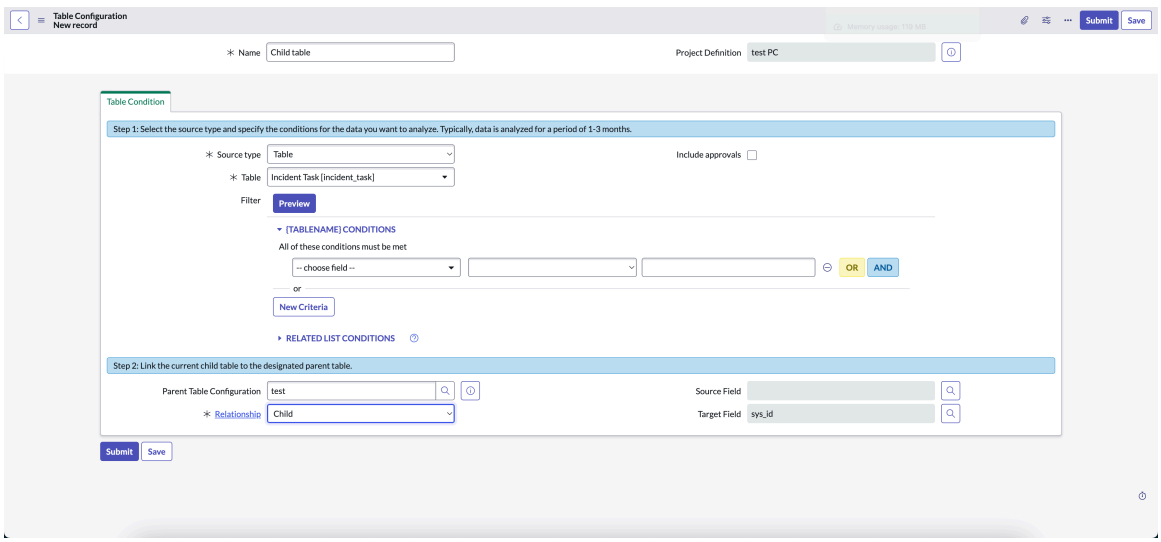
> **注:**
> 定義された子テーブルの外部イベントは、移行または条件フィルターの条件オプションとして表示されません。

手順

1. 多次元マイニングを構成するプロジェクトを選択します。
2. テーブル構成 タブに移動し、新規 を選択します。

   > **注:**
   > プロジェクトには、親テーブル構成が既に設定されている必要があります。

   新しいテーブル構成ページが表示されます。



3. [名前] フィールドに子テーブル構成の名前を入力します。
4. [ステップ **1**] セクションで、テーブル構成の場合と同様に詳細を入力します。
   詳細については、「テーブル構成のセットアップ」を参照してください。
5. 関係を設定するには、[ステップ **2**] セクションのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
親テーブル構成	[親テーブル構成] の横にある検索アイコンを選択し、親テーブル構成を選択します。
関係性	関係タイプに応じて、[関係] のドロップダウン リストから [参照] または [子] を選択します。 参照フィールドには、別のテーブルのフィールドへの参照が格納されます。たとえば、インシデントテーブルの [問題] フィールドは、問題テーブルへの参照です。子レコードは特定の親レコードに関連付けられています。たとえば、要求されたアイテムには、サービスカタログタスクまたはインシデントと SLA レコードがあります。
ソースフィールド	[子] 関係を選択した場合は、親テーブルとの関係を持つフィールドを子テーブルから選択します。 [参照]リレーションを選択すると、[ソース]フィールドが自動入力されます。
ターゲットフィールド	参照関係を選択した場合は、親テーブルとの関係を持つ子テーブルからフィールドを選択します。 [子] 関係を選択すると、[ターゲット] フィールドが自動入力されます。

6. [送信] を選択します。

   新しい子テーブル構成が作成されます。

   テーブル構成のアクティビティ定義を構成します。詳細については、「アクティビティ定義の構成」を参照してください。

詳細条件の構成

テーブル構成のカスタムの開始条件と終了条件を構成して、プロセスのどの部分をプロジェクトにプロセスマイニング 含め、分析に使用できるようにするかを定義します。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

手順

1. テーブル設定レコードの [詳細条件] タブで、[プロセス開始条件] フィールドの横にあるプラス記号を選択します。
   詳細条件を使用すると、プロセスの終了ステータスとして [クローズ済み] ではなく [解決済み] を指定するなど、プロセスマップから特定の開始条件と終了条件を設定できます。別の例として、[New] ステータスの最初の発生から最後の [Resolved] の発生までのプロセスのみを検出し、クローズ済みステータスを分析から除外するというものがあります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

開始条件を既に構成している場合は、参照アイコンを使用して既存の条件を [プロセス開始条件] フィールドに追加できます。

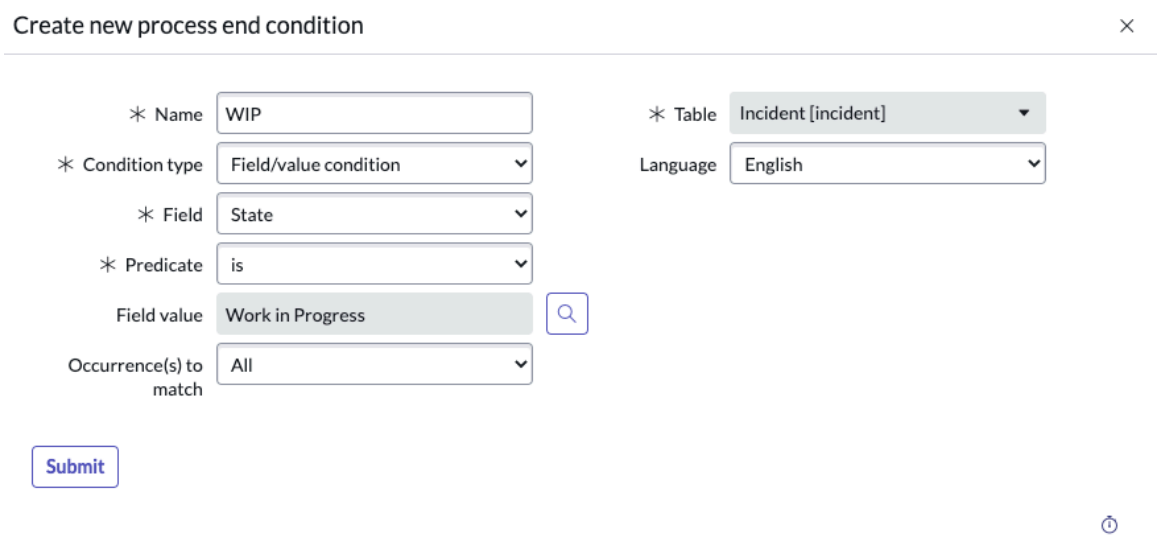
2. [新規プロセス開始条件を作成 **(Create new process start condition**)] フォームのフィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「新しいプロセス開始条件を作成」を参照してください。
3. [送信] を選択して条件を保存します。
4. 終了条件を作成するには、[プロセス終了条件] フィールドの横にあるプラス記号を選択します。
5. [新規プロセス終了条件を作成 **(Create new process end condition**)] フォームのフィールドに入力します。

   注:
   フィールドと説明は、[新しいプロセス開始条件を作成 **(Create a new process start condition**)] フォームのフィールドと説明と同じです。

6. [送信] を選択して条件を保存します。

Example: 構成済みのプロセス条件

この例では、インシデントレコードが [対応中] ステータスになったときにプロセスの終了条件が設定されます。[一致する出現件数] フィールドが [最初のみ] に設定されているため、この条件はレコードのステータスが [対応中] に初めて変更されたときにのみトリガーされます。



アクティビティ定義の構成

ビジネスプロセス内で発生するステップについてレポートします。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

- プロジェクトビルダーを使用したプロジェクトの作成

注:
親テーブル構成には最大 10 個のアクティビティ定義を、子テーブル構成には最大 5 個のアクティビティ定義を設定できます。アクティビティ定義に対して 5000 を超える要素を生成することはできません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
プロセスマイニング 定義したアクティビティの監査ログフィールドデータを収集します。特定のアクティビティを開始、終了、または通過するレコードを抽出してプロセスマップに表示するアクティビティを少なくとも 1 つ構成します。

注:
プロジェクトを構成するときは、最初にメイン (親) テーブル構成を設定し、アクティビティ定義を定義し、ブレークダウン定義を設定する必要があります。必要なテーブルが 1 つだけの場合は、データを使用して定期的にマイニングおよびスケジュール設定できる完全なプロジェクトを生成できます。複数のテーブルが必要な場合は、追加の (子) テーブルを作成し、それをメイン (親) テーブルに関連付けて、アクティビティ定義を定義する必要があります。子テーブルにブレークダウン定義を設定することもできます。

追跡するあらゆる種類の変更にフラグを付けるドット連結をアクティビティに設定できます。

大規模な組織では、特にそれらが法的および地理的エンティティに関連付けられている場合、構成アイテム (CI) とビジネスサービスを変更することが非効率的または非準拠であると感じています。これに対処するために、これらの重要な属性を変更することなく、ドット連結フィールドでデータマイニングを実行してインサイトを得ています。

アクティビティ定義を追加するときに、参照フィールド (ドット連結フィールド) を追加して、そのような非準拠にフラグを設定できます。例:Assigned_to。場所。マイニングが完了すると、グラフにさまざまな場所のデータフローが表示されるため、コンプライアンス違反を簡単に追跡できます。

複数のアクティビティをグループ化して、各アクティビティに加えられた変更を追跡することもできます。このために、タイプ「複合」のアクティビティ定義を追加し、フィールドを選択します。マイニングが完了すると、これらのフィールドで何かが変更されたことがグラフに表示されます。これにより、グラフが簡略化されます。詳細を知るために、さらにフィルタリングすることができます。

注:
ドット連結と複合は、プロジェクトビルダーからプロジェクトを作成する場合はサポートされません。ただし、プロジェクトを編集する場合は、プラットフォームから ServiceNow プロジェクトを開いてプロジェクトに追加できます。

自動翻訳

手順

1. テーブル設定レコードの [アクティビティ定義] タブで、[新規] を選択します。
2. フォームのフィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「アクティビティ定義フォーム」を参照してください。
3. [送信] を選択します。

次のタスク
ブレークダウンを構成するか、プロジェクトを生成します。

ブレークダウン定義の構成

ブレークダウンを追加してレコードをフィルタリングし、カテゴリ別にプロセスマップを分析します。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

- プロジェクトビルダーを使用したプロジェクトの作成
- 多次元マイニングの構成

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて

注:
親テーブル構成には最大 10 のブレークダウン定義を構成し、子テーブル構成には最大 5 のブレークダウン定義を設定できます。ブレークダウン定義に対して 5000 を超える要素を生成することはできません。

手順

1. 移動先 すべて > プロセスマイニング > プロセスマイニングワークスペース をクリックし、プロジェクトレコードを選択します。
2. ブレークダウン定義を構成するテーブルを特定し、[テーブル構成] タブから関連するテーブル設定レコードを開きます。
3. [ブレークダウン定義] タブで、[新規] を選択して新しいブレークダウン定義レコードを開きます。
4. [ブレークダウン定義] フォームで、必要に応じてフィールドに入力します。

ブレークダウン定義フィールド

フィールド	説明
フィールド	ブレークダウンに使用するフィールドを選択します。
表示名	このブレークダウンに表示する名前。名前を入力しない場合、ブレークダウンには [フィールド] フィールドの値が表示されます。

5. オプション: [フィルター条件の追加] を選択し、ブレークダウンをフィルター処理するための条件をさらに選択します。

注:
フィルター条件は、[フィールド] フィールドで参照フィールドが選択されている場合にのみ使用できます。

6. [送信] を選択します。

次のタスク
プロジェクトのマイニング。

検索定義の構成

検出されたインサイトを [サマリーとインサイト] ダッシュボードに提供するための検索定義を設定します。

検索定義は、指定されたテーブルに基づくプロセスに関連するインサイトを検索するルールを作成します。定義を構成すると、関連するレコードが [サマリーとインサイト] ダッシュボードの [インサイト] セクションに検出として表示されます。

検索定義には次の 2 つのタイプがあります。

- ルールベースの検索定義
- 自動検索定義

どちらの検索定義も同じ目的を果たしますが、作成方法は異なります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ルールベースの検索定義が作成され、セカンダリテーブルに基づいて開始条件と停止条件を持つようにテーブルを変更できます。検索ルールと検索制約があり、これらはユーザーが設定する必要があります。

自動検出は簡単に作成できます。このプロセスは短く、数回の選択で完了できます。

ルールベースの検索定義の構成

ルールベースの検索定義を構成して、検出されたインサイトを [サマリーとインサイト] ダッシュボードに提供します。

始める前に

- プロセスに基づいて、プロジェクトごとにテーブルごとに 1 つの構成を作成できます。
- ルールベースの検索定義は、[プロセス構成] ページまたは [プロジェクト] ページから作成できます。
- 必要なロール：
  - sn_process_optimization_adminロールとsn_process_optimization_power_userロールは、プロジェクトの検索定義を作成できます。
  - sn_process_optimization_analystロールは、プロジェクトの検索定義を表示できますが、定義を作成、編集、または削除することはできません。

手順

1. 移動先 すべて > プロセスマイニング > プロセスの構成.
2. 検索定義を作成するテーブルのプロセス構成レコードを開きます。
   目的のテーブルのプロセス構成がない場合は、作成できます。
3. [新規] を選択します。
4. [テーブル] フィールドに移動し、検出結果に使用するテーブルを選択します。
5. フォームヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。
   [検索定義] 関連リストがフォームの下部に表示されます。
6. [検索定義] 関連リストから [新規] を選択します。
   [プロジェクト定義] ページからルールベースの検索定義を構成することもできます。プロジェクト定義 ページの プロジェクト検索定義 タブで、 新規 を選択します。次に、手順 7 と 8 に従います。
7. フォームのフィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「検索定義フォーム」を参照してください。
8. [送信] を選択します。

次のタスク

- 検索ルールを作成します。このプロセスの手順については、「」を参照してください 検索ルールの構成。
- 検索条件を作成します。このプロセスの手順については、「」を参照してください 検索制約の構成。

検索ルールの構成

検索定義の検索ルールを設定します。検索ルールは、検索定義をトリガーするレコード基準を定義します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

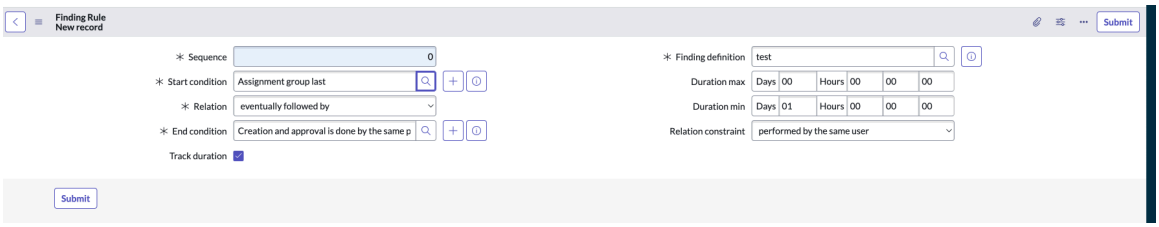
始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

手順

1. 検索ルールを追加する検索定義レコードを開きます。
2. 「 検索ルール 」タブで、「 新規」を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「検索ルールフォーム」を参照してください。
4. フォームヘッダーを右クリックし、[保存] を選択して検索ルールレコードを保存します。
5. オプション: 同じチェーン内に追加の検索ルールを作成するには、[次のルールを作成 (同じチェーン)] を選択します。
   このオプションは、同じチェーン内に新しい検索ルールを開きます。シーケンス値は、現在のルールより 1 つ大きい値です。
6. オプション: 新しいチェーン内に追加の検索ルールを作成するには、[次のルール (新しいチェーン) を作成] を選択します。
   このオプションは、新しいチェーン内に新しい検索ルールを開きます。

この例では、誰かがインシデントレコードの承認を要求し、その承認が同じユーザーによって承認されたときに検索する検索ルールが作成されます。[最小期間] フィールドが 1 日に設定されているため、ルールは、承認が要求されてから 24 時間以上経過してから承認された場合にのみトリガーされます。

ルールレコードの検索例



次のタスク

- 自動化された根本原因分析を構成して、望ましくないプロセス動作の根本原因を見つけます。この機能の詳細については、「自動化された根本原因分析」を参照してください。
- ワークフローの自動化機会を特定するのに役立つように設定します オートメーションディスカバリー 。この構成の詳細については、「 Automation Discovery」を参照してください。
- パターンを識別できるように、クラスター分析を構成して類似のレコードをクラスター (1 つのグループ) にグループ化します。この構成の詳細については、次のリンクを参照してください クラスター分析。

検索制約の構成

検索定義の検索制約を設定します。検索ルールに加えて、検索制約は、期間や関係制約などの測定基準を使用して、検索定義の範囲をさらに絞り込みます。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 検索条件を追加する検索定義レコードを開きます。
2. [検索条件] タブで、[新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「検索制約フォーム」を参照してください。
4. [送信] を選択します。

使用例:a-**b-a** トランジション

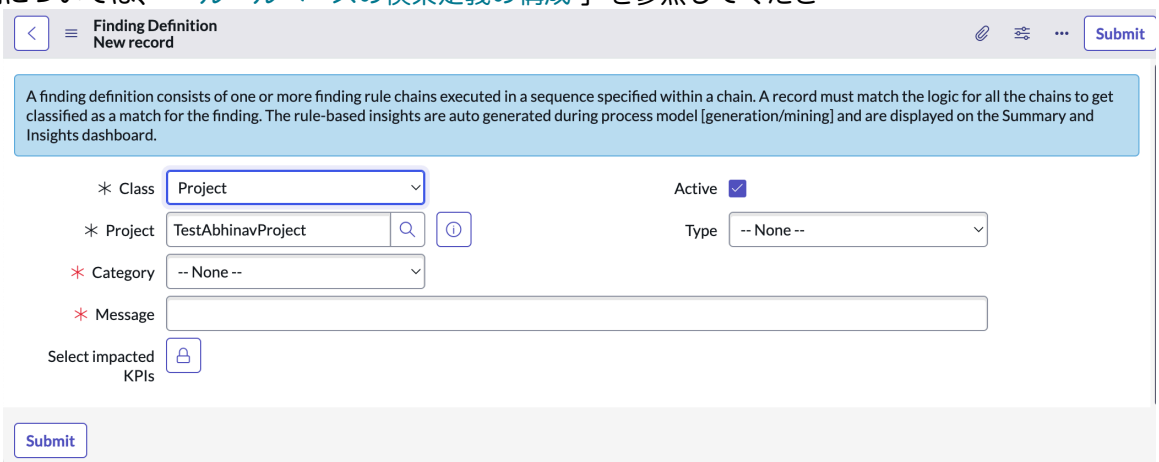
検索ルールを使用して、レコードがいつ前の状態に戻るかを特定します。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

この例では、2 つの検索ルールと検索制約を使用して、インシデントがグループ (この例ではデータベース グループ) にアサインされ、その後元のアサインに切り替わったタイミングを識別する検索定義を作成します。このような検索定義を使用して、インシデントが誤って割り当てられている状況を特定します。

手順

1. 移動先 すべて > プロセスマイニング > プロジェクト > すべてのプロジェクトをクリックし、この検出結果を含めるプロジェクトを開きます。
2. [プロジェクト検索定義] タブで、[新規] ボタンを選択して検索定義を作成します。
3. 検索定義レコードに詳細を入力します。
   詳細については、「 ルールベースの検索定義の構成 」を参照してくださ
   い。



4. フォーム ヘッダーを右クリックし、コンテキスト メニューから [保存] を選択します。
   保存後、[検索ルール] タブと [検索制約] タブが表示されます。
5. 「 検索ルール」 タブで、「 新規 」ボタンを選択して検索ルールを作成します。
6. [開始条件] フィールドの右側にあるプラス (+) アイコンを選択して、開始条件の作成を開始します。

   注:
   ルールごとに条件を作成する必要があります。既存のルールを選択するオプションはありません。

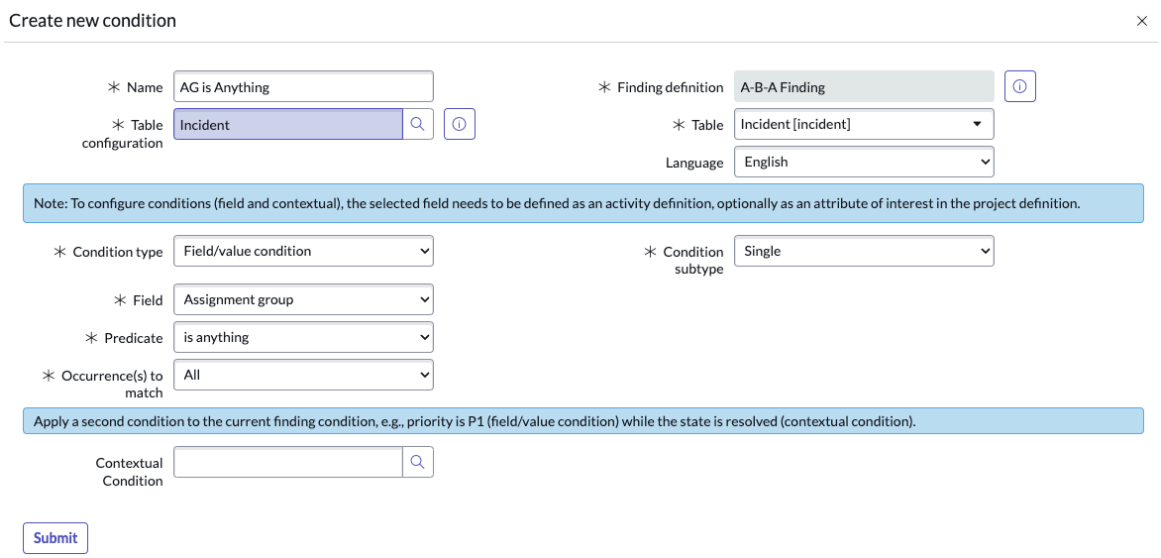
7. [新しい条件を作成] フォームのフィールドを使用して、最初の条件を作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

開始条件では、[アサイン先グループ] フィールドの任意の値を使用してインシデントが作成される条件を作成します。

フィールド	値
名前	AG は何でもあり
テーブル構成	インシデント
条件タイプ	フィールド/値条件
フィールド	アサイン先グループ
述語	は何でも
一致する出現	すべて
条件サブタイプ	個数



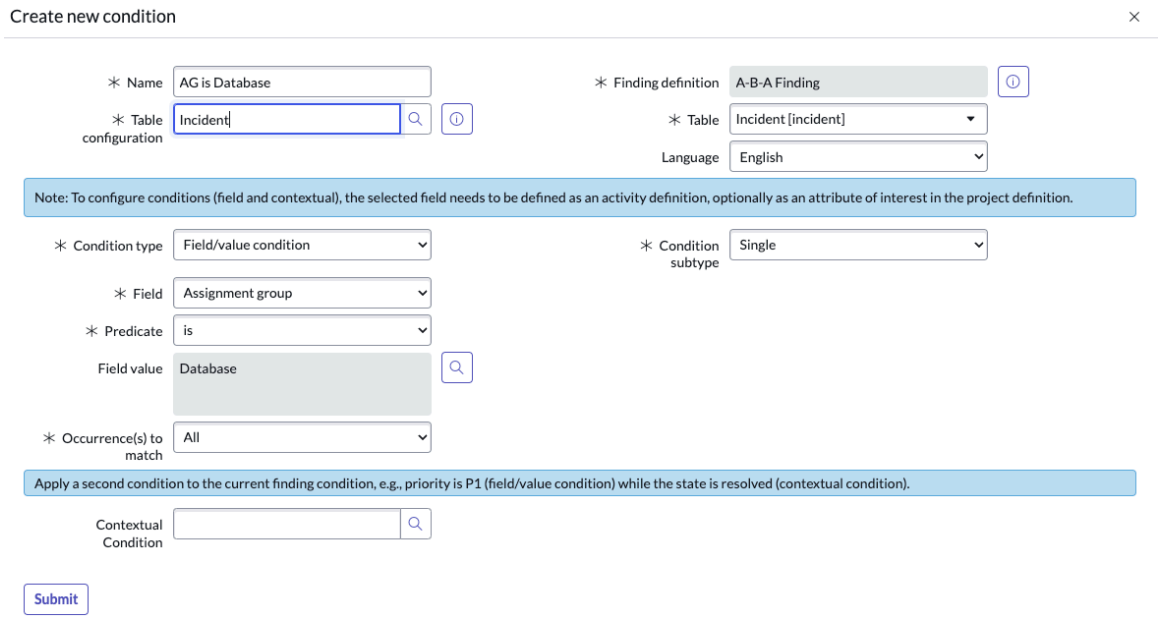
8. [送信] を選択して条件を保存します。
9. [関係] フィールドで、[最終的に次が続く] を選択します。
10. [終了条件] フィールドの右側にあるプラス (+) アイコンを選択して、終了条件の作成を開始します。
11. [新しい条件を作成] フォームのフィールドを使用して、2 つ目の条件を作成します。

    2 番目の条件では、インシデントがデータベースグループに割り当てられる条件を作成します。

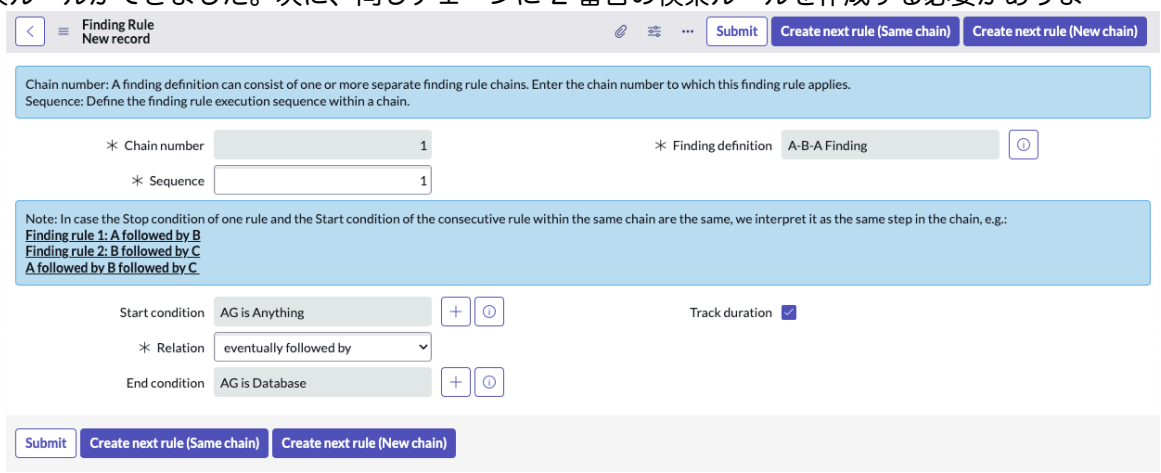
フィールド	値
名前	AG は何でもあり
テーブル構成	インシデント
条件タイプ	フィールド/値条件
フィールド	アサイン先グループ
述語	次の値に等しい (=)
フィールド値	データベース

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
一致する出現	すべて
条件サブタイプ	個数



12. [送信] を選択して条件を保存します。
これで、インシデントがデータベースグループにアサインされるタイミングを識別する最初の検索ルールができました。次に、同じチェーンに 2 番目の検索ルールを作成する必要がありま

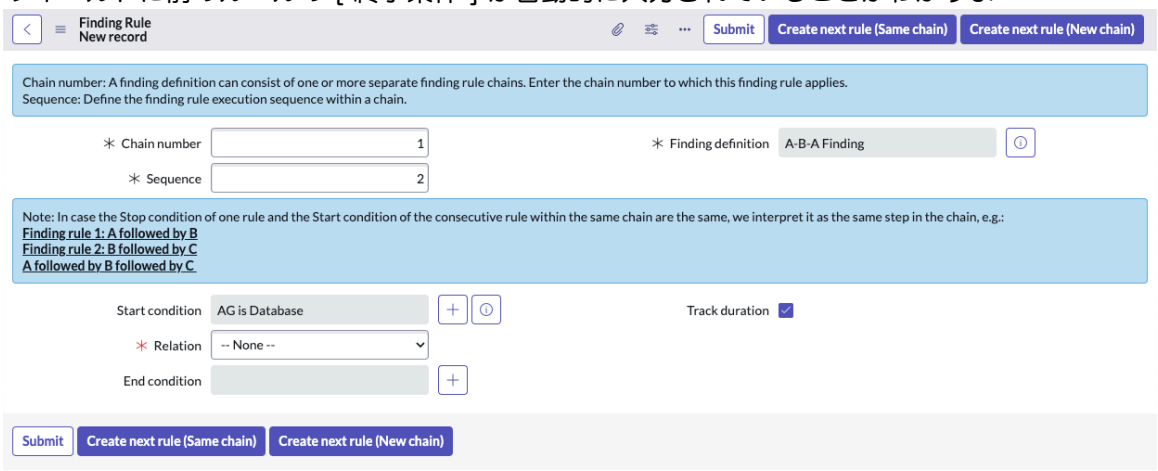


す。

13. [次のルールを作成 (同じチェーン)] を選択します

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

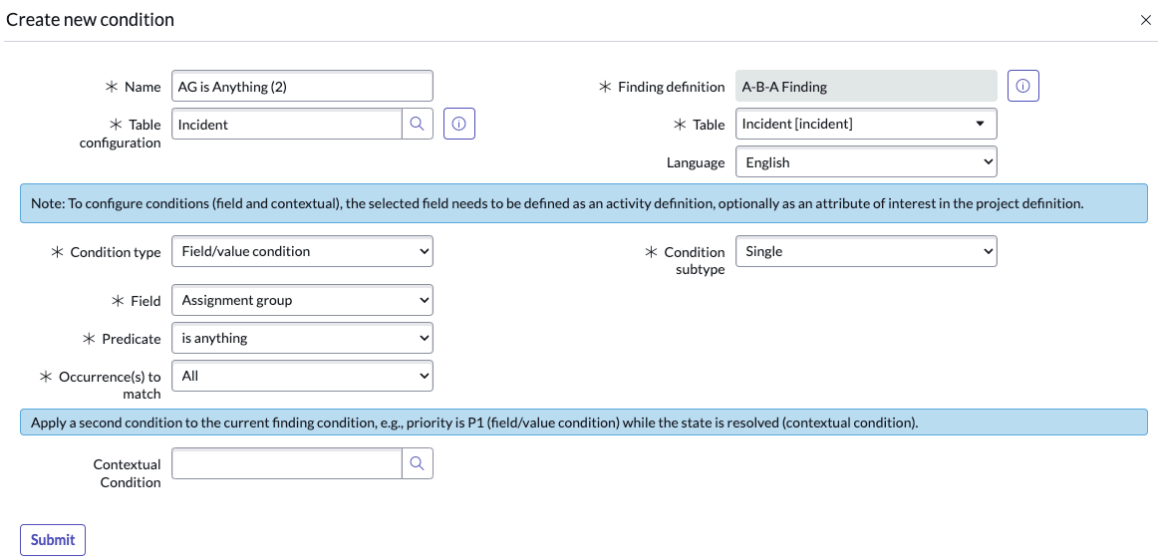
これは同じチェーン内の新しいルールです。[シーケンス] フィールドが 2 で、[開始条件] フィールドに前のルールの [終了条件] が自動的に入力されていることがわかります。



14. [関係] フィールドで、[最終的に次が続く] を選択します。
15. **[End condition]** フィールドの右側にあるプラス (+) アイコンを選択して、2 番目の終了条件の作成を開始します。
16. [新規条件を作成] フォームのフィールドを使用して、終了条件を作成します。

    2 番目の条件では、インシデントがデータベースグループに割り当てられる条件を作成します。

フィールド	値
名前	AGは何でも (2)
テーブル構成	インシデント
条件タイプ	フィールド/値条件
フィールド	アサイン先グループ
述語	は何でも
一致する出現	すべて
条件サブタイプ	個数



17. [送信] を選択して条件を保存します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

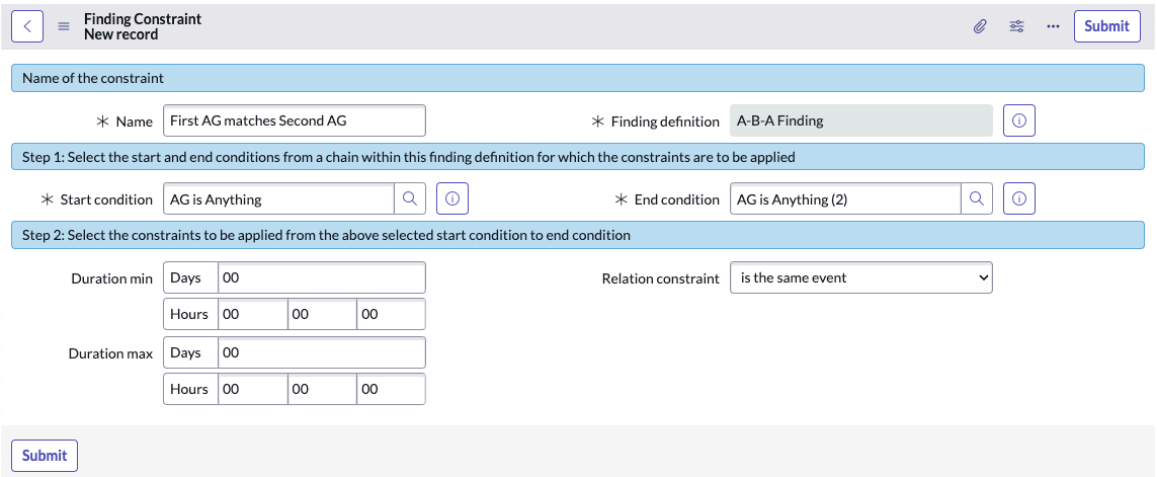
これで、2 番目の検索ルールが完成しました。

18. [送信] を選択して検索ルールを保存します。
19. プロジェクトレコードを再度開きます。
20. [プロジェクト検索定義] タブで、前のステップで作成した検索定義を開きます。

> **注:**
> これは、手順 3 で作成したものであるはずです。

21. [検索条件] タブで、[新規] ボタンを選択します。
22. 検索制約フォームのフィールドを使用して、制約を作成します。

フィールド	値
名前	最初の AG は 2 番目の AG と一致します
開始条件	AG は何でもあり
終了条件	AGは何でも(2)
関係制約	が同じイベントである



この検索条件により、検索ルールが絞り込まれます。これで、たとえば、インシデントが ネットワークにアサインされ、次に データベースにアサインされ、その後 ネットワークに戻った場合、この検索ルールによって検出されます。

23. [送信] を選択します。

自動検索定義の構成

自動検索定義を構成して、サマリーとインサイトダッシュボードで指定したインサイトを表示します。

始める前に

- プロセスに基づいて、プロジェクトごとにテーブルごとに 1 つの構成を作成できます。
- 必要なロール：
  - sn_process_optimization_adminロールとsn_process_optimization_power_userロールは、プロジェクトの検索定義を作成できます。
  - sn_process_optimization_analystロールは、プロジェクトの検索定義を表示できますが、定義を作成、編集、または削除することはできません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
自動検出は、プロセス構成のテーブルに対して構成されます。これらの結果は、改善の機会を生成するために、そのテーブルに基づく任意のプロジェクトにインポートできます。

手順

1. 移動先 すべて > プロセスマイニング > プロセスの構成.
2. 検出結果に使用するテーブルを選択します。
3. [自動検索の定義] タブで、[新規] を選択します。
4. [自動検索定義] フォームのフィールドに入力します。

自動検索定義のフィールド

フィールド	説明
名前	インサイトのタイトル。このテキストは、[サマリーとインサイト] ダッシュボードのインサイトカードの上部に表示されます。
アクティブ	検索定義がアクティブかどうか。
タイプ	検出結果のタイプ。利用可能なリストから選択できます。次の 3 つのオプションを使用できます。 ○ やり直し:プロセス内の繰り返しステップまたはアクティビティを指します。これは、プロセスステップをやり直すか、再検討する必要がある場合に発生します。 ○ ピンポン:レコードが 2 つのプロセスステップまたはアクティビティ間で中断なしにバウンスする繰り返しパターン (ループ) を指します。 ○ 追加ステップ:各ルートを比較して、1 つのステップでのみ逸脱するさまざまなルートの存在を識別し、不要な遷移が発生したプロセスステップを特定します。 ○ 繰り返しパターン:不要な繰り返しシーケンスのステップを検出します。 ○ 極端な期間:他の移行レコードと比較して移行時間が非常に長いレコードを検索します。 ○ 極端な繰り返し:同じアークの他のレコードと比較してアークの繰り返し回数が非常に多いレコードを検索します。 ○ 遅い移行:類似した期間のレコードのクラスターがあり、このクラスターが他のレコードグループと比較して平均期間が高い状況を識別します。この検出器は、特定されたクラスターの重要性のブレークダウンも提供し、根本原因に関する詳細なインサイトを提供します。
カテゴリ	この検索定義のカテゴリ。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

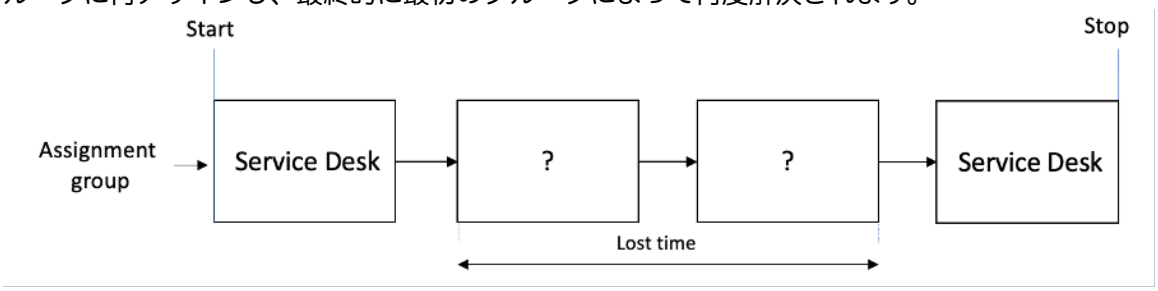
フィールド	説明
	○ 品質 ○ 自動化 ○ 適合率 ○ パフォーマンス
フィールド	検索定義が使用されるフィールド。
影響を受ける KPI の選択	検索定義にリンクする関連 KPI を選択します。 **注:** このフィールドは、PA インジケーターテーブルから入力されます。

5. [送信] を選択します。

検索定義の例

検索定義のユースケースを以下で説明します。

ユースケース 1a:グループ間でのレコードのバウンスアナリストは多くの場合、特定のグループ (サービスデスクなど) からのレコードを特定し、別のグループに再アサインし、最終的に最初のグループによって再度解決されます。



最初のグループがわかっている場合は、メッセージとカテゴリの検索ルールを使用します。

- 開始条件テーブル構成:インシデント
- 開始条件
  - 名前:グループ名 (Service Desk など)
  - 条件タイプ:フィールド/値条件
  - フィールド = アサイン先グループ
  - 述語 = 次の条件に一致
  - フィールド値 = Service Desk
  - 一致する出現件数:最初のみ

関係:最終的に次が続く

- 終了条件テーブル構成:インシデント
- 終了条件
  - 名前:グループ名 (Service Desk など)
  - 条件タイプ:フィールド/値条件

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- フィールド = アサイン先グループ
- 述語 = 次の条件に一致
- フィールド値 = Service Desk
- 一致する発生件数:最後のみ
- 追跡期間:true

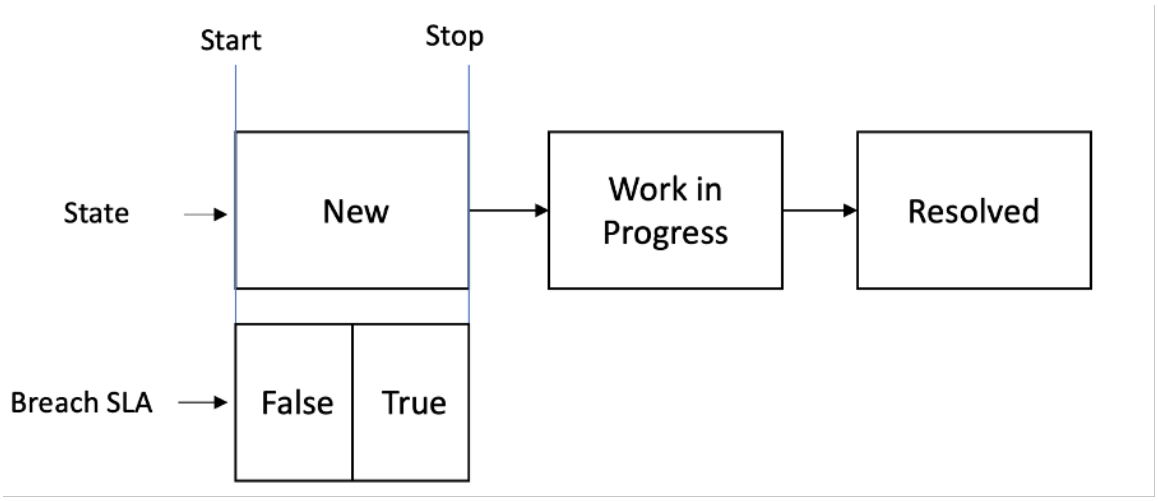
ユースケース 1b:類似した初期グループを持つグループ間ですべてのバウンスレコードを特定する必要がある場合は、メッセージとカテゴリの検索ルールを使用します。

- 開始条件テーブル構成:インシデント
- 開始条件
  - 名前:アサイン先グループは何でも
  - 条件タイプ:フィールド/値条件
  - フィールド = アサイン先グループ
  - 述語 = 何でも
  - 一致する出現件数:最初のみ

関係:最終的に次が続く

- 終了条件テーブル構成:インシデント
- 終了条件
  - 名前:アサイン先グループは何でも
  - 条件タイプ:フィールド/値条件
  - フィールド = アサイン先グループ
  - Predicate=Is anything (述語=は何でも)
  - 一致する発生件数:すべて
  - 追跡期間:true
  - 関係制約:同じアサイン先グループを持つ

ユースケース 2:SLA 違反SLA 違反が発生したときに [新規] ステータスだったすべてのレコードを表示しま



す。

自動翻訳

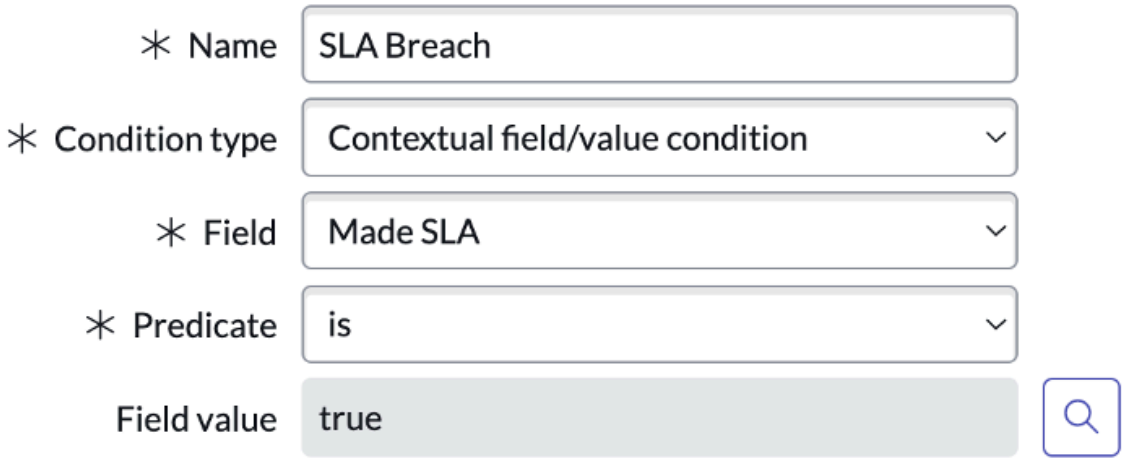
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

検索定義にメッセージとカテゴリを指定したら、次のように検索ルールを指定します。

- 開始条件テーブル構成:インシデント
- 開始条件
  - 名前 = ステータス
  - 条件タイプ:フィールド/値条件
  - フィールド = 都道府県
  - 述語=Is
  - [フィールド値] = [新規]
  - 一致する発生件数 = 最初のみ
- コンテキスト条件:
  - 名前 = SLA 違反
  - Finding Def = 検索定義メッセージを追加
  - 条件タイプ = コンテキストフィールド/値条件
  - Field=Made SLA (プロジェクトでアクティビティ定義として [Made SLA] が定義されていることを確認してください)
  - 述語=は次の値と異なる
  - フィールド値 = true
- 関係:直行
- 終了条件テーブル構成:インシデント
- 終了条件
  - 名前:都道府県
  - 条件タイプ:フィールド/値条件
  - フィールド = 都道府県
  - 述語=is
  - [フィールド値] = [対応中]
  - 一致する発生件数 = 最初のみ
- コンテキスト条件:
  - 名前 = SLA 違反
  - 条件タイプ = コンテキストフィールド/値条件
  - Field=Made SLA (プロジェクトでアクティビティ定義として [Made SLA] が定義されていることを確認してください)
  - 述語=is
  - フィールド値 = true
- 追跡期間:true

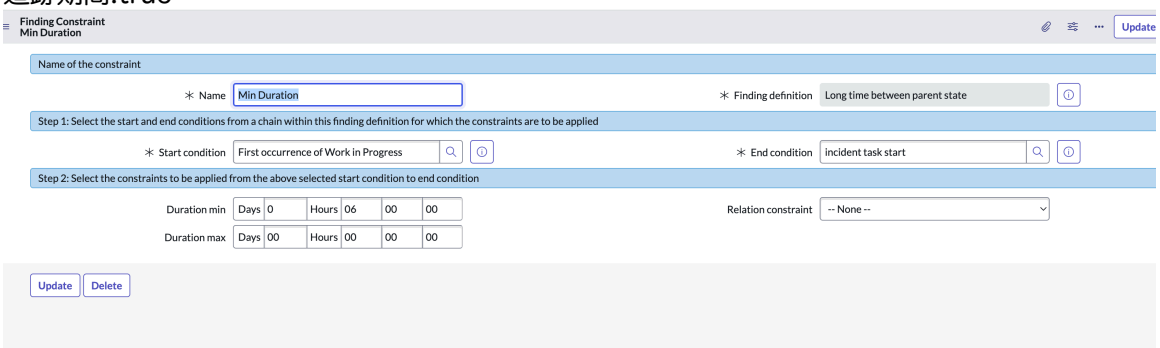
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



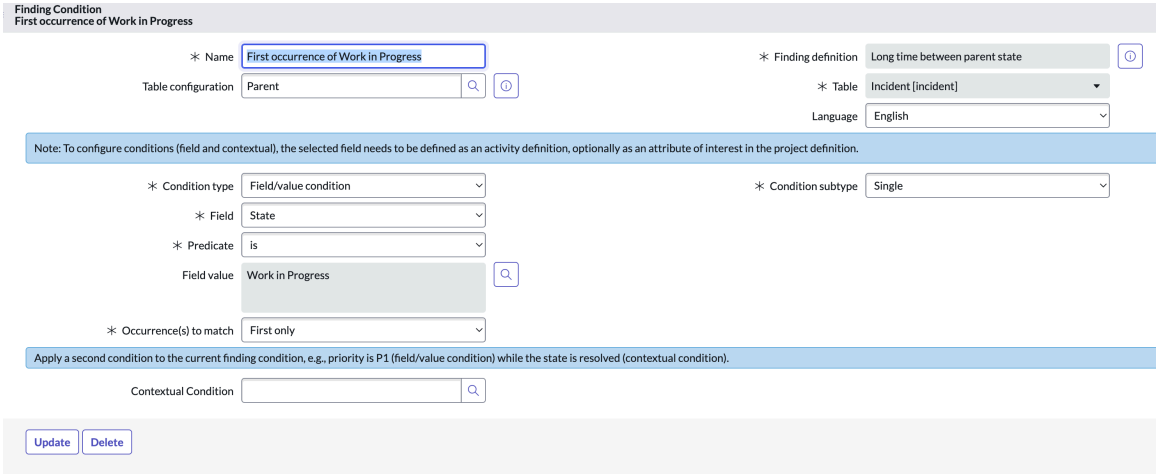
ユースケース 3:親ステータスが [対応中] からタスクの作成まで 6 時間を超えている。解決時間またはレコードは、多くの場合、1 つ以上のタスクの完了によって異なります。したがって、メインレコードの解決時間を改善するには、メインレコードが [対応中] ステータスに達した後、できるだけ早くタスクを開始することが重要です。この例では、ユーザーは、メインレコードが [対応中] になってから、基になるタスクの作成に 6 時間以上かかったすべてのレコードを検索したいと考えています。検索定義にメッセージとカテゴリを指定した後、次のように検索ルールを指定します。

- 開始条件テーブル構成:インシデントなどの親
- 開始条件
  - 名前:対応中の最初の発生
  - 条件タイプ:フィールド/値条件
  - フィールド = 都道府県
  - 述語=Is
  - [フィールド値] = [対応中]
  - 一致する出現件数:first、only
    - 関係:最終的に次が続く
    - 終了条件テーブル構成:インシデントタスク
    - 終了条件
      - 名前 = incident task start
      - [条件タイプ] = [プロセスの開始]
        - 制約:最短期間は 6 時間です
        - 追跡期間:true



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



検索定義をインポート

検索定義をテンプレートとして関連するプロジェクトにインポートします。[アクティブ] ステータスの親テーブルのプロセスの検出結果をインポートできます。プロセスからプロセスの結果をインポートしない場合、検出結果はプロジェクトマイニング中に使用されません。

始める前に
必要なロール：なし

手順

1. 移動先 すべて > プロセスマイニング > プロジェクト > すべてのプロジェクト.
2. 検出結果をコピーするプロジェクトを開きます。
3. [関連リンク] セクションで、[プロセス検索テンプレートをインポート] を選択します。

タスクの結果
プロジェクトにインポートされたルール検出結果と自動検出結果の数が表示されます。

プロジェクトのマイニング

視覚化するデータを構成したら、プロジェクトのマイニングを開始できます。

始める前に
必要なロール:po_analyst

このタスクについて
プロセスマイニング 抽出するレコードの上限は最大 500,000 です。選択したテーブルでその制限に達した場合は、フィルターを追加してデータセットを絞り込みます。

注:

- プロジェクトの最適化には、かなりの時間がかかる場合があります。プロジェクトの抽出の進行中は、そのプロセスマップを探索することはできません。
- フルマイニングまたはサンプルマイニング中に、 プロセスマイニング 監査ログを分析します。

手順

1. アプリケーションナビゲーターから、次の場所に移動します。 プロセスマイニング > プロセスマイニングワークスペース.
2. プロジェクトのカードメニューから、次の項目を選択します。

自動翻訳

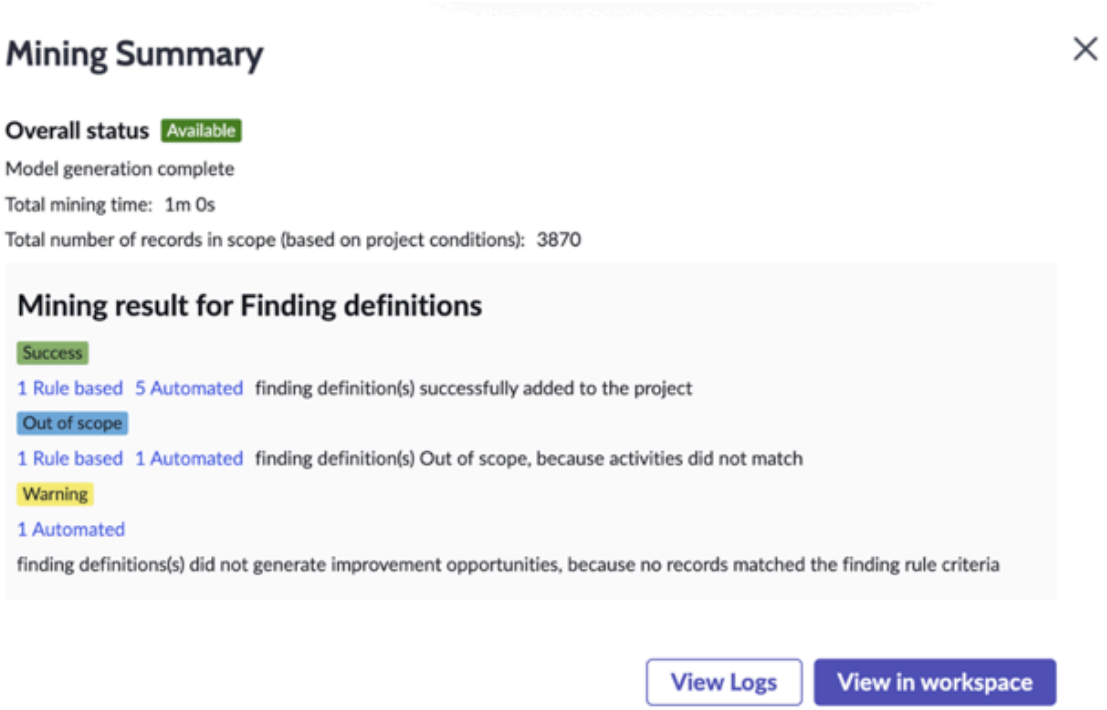
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- プロジェクトをマイニング (完全) **(Mine project (Full))** は、プロジェクト全体をマイニングします。
- プロジェクトのマイニング (サンプル) プロジェクトに適用可能なすべてのレコードをマイニングするのではなく、最大 3,600 レコードをマイニングします。

  注:
  サンプルをマイニングすると、アナリストはプロジェクトの完全なデータ抽出を実行する前に、プロジェクト構成設定を検証できます。

3. [**OK**] を選択して、プロジェクトのマイニングを開始することを確認します。
4. オプション: ウォッチリストに追加する場合は、[完了したら通知] を選択します。
   マイニングが完了すると、メール通知が届きます。デフォルトでは、1 日あたりのジョブ制限は 50 に設定されています。制限を超えると、エラーメッセージが表示されます。
5. オプション: [進行状況の表示] を選択して、マイニングの詳細を表示します。

   (Optional) マイニングが完了すると、「 マイニングの概要」 ページが表示されます。このページには、マイニングに関する追加の詳細が表示されます。また、マイニングに含まれなかった検出結果の定義も一覧表示され、実際の原因を理解するためのリンクも提供されます。ログを表示するか、ワークスペースに移動し プロセスマイニング てグラフを表示することもできます。



タスクの結果
抽出が正常に完了すると、プロジェクトカードにマイニングステータスが [利用可能] と表示されます。

マイニングジョブをキャンセルする

アナリスト、パワーユーザー、または管理者は、現在処理中のマイニングジョブをキャンセルできます。

始める前に
必要なロール：なし

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

プロジェクトのマイニング中に [キャンセル] を選択して、プロセスをキャンセルします。

キャンセルプロセスが完了するまでに数分かかる場合があります。マイニングをキャンセルした時点で進行中の作業ユニットは、キャンセルが発生する前に完了する必要があります。

[プロジェクト定義] フォームのマイニングステータスが [キャンセル] と表示されます。

マイニング状態

プロジェクトをマイニングしようとすると、プロジェクトワークフローレコードに次のいずれかのステータスが表示されます。

ワークフローレコードマイニングステータス

ステータス	説明
新規	プロジェクトデータに対するマイニングは試行されていません。
マイニングデータ	プロジェクトのマイニングが進行中です。
取り消し中	マイニングは、ユーザーが開始したキャンセルの処理中です。
キャンセル	ユーザーがプロジェクトで処理中のマイニングをキャンセルしました。
利用可能	データに対してマイニングが実行され、プロセスマップの可視化を表示できます。
エラー	マイニングが試みられましたが、正常に完了しませんでした。 • まだ正常にマイニングされていない新しいプロジェクトは、Analyst Workbench で開くことができません。 • ワークフローレコードから正常にマイニングされたプロジェクトについて、Analyst Workbench からデータ更新を試行できます。プロジェクトデータが正常に更新されない場合、エラーアイコン ⚠ が表示されます。詳細を調査するには、「プロジェクト定義」フォームから 「データ・ログの抽出 」タブを表示します。
予約済み	プロジェクトに対して、指定された時間間隔でマイニングされるジョブがスケジュールされています。 **注:** ジョブ内でマイニングがスケジュールされているプロジェクトが複数ある場合、プロジェクトは順番に実行されます。たとえば、プロジェクト 1 と 2 がスケジュールされているジョブは、最初にプロジェクト 1 をマイニングし、プロジェクト 1 のマイニングが完了した後にプロジェクト 2 のマイニングを開始します。

ジョブを プロセスマイニング スケジュール

後で 1 つ以上のプロジェクトをマイニングするジョブを プロセスマイニング スケジュールします。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_power_user または sn_process_optimization_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
プロジェクトごとに作成できるスケジュール設定済みジョブは 1 つだけです。ただし、複数のプロジェクトをジョブに関連付けることはできます。ジョブ内でマイニングがスケジュールされているプロジェクトが複数ある場合、プロジェクトは順番に実行されます。たとえば、プロジェクト 1 と 2 がスケジュールされているジョブは、最初にプロジェクト 1 をマイニングします。次に、プロジェクト 1 のマイニングが完了した後、プロジェクト 2 のマイニングを開始します。

手順

1. 移動先 すべて > プロセスマイニング > スケジュール済みジョブ > 新規作成.
2. [ジョブスケジュール プロセスマイニング] フォームで、作成するジョブの該当するフィールドに値を入力し、[送信] を選択します。
   スケジュール設定済みジョブレコードのフィールドの説明 を参照してください。
3. 「プロジェクト定義」セクションで、「 編集」を選択します。
4. 「 メンバーの編集 」フォームから、マイニングするプロジェクトを「 コレクション 」列で選択し、「 プロジェクト定義リスト 」列に移動します。
5. **[Save** (保存)] を選択します。
   スケジュール設定済みジョブは、設定した頻度で実行されます。

次のタスク

- Analyst Workbench から正常に生成されたプロジェクトを表示します。
- 移動先 すべて > プロセスマイニング > スケジュール済みジョブ > すべてのジョブ スケジュール済みプロセスマイニングジョブを表示します。

プロジェクトの編集

プロジェクト定義フォームからプロジェクトを編集して、更新されたプロセスマップを生成します。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

- sn_process_optimization_analystロールは、自分が作成したプロジェクトを編集できます。

手順

1. 移動先 すべて > プロセスマイニング > プロセスマイニングワークスペース.
2. [プロジェクト] リストから、編集するプロジェクトの横にある省略記号を選択します。
3. [編集] を選択します。
4. 目的のフィールドに変更を入力し、[更新] を選択します。
   アクティビティ、ブレークダウン、または子テーブルを定義した後にテーブルを変更することはできません。

次のタスク
更新されたプロジェクトでデータ抽出を実行して Analyst Workbench に表示し、関連するフィルターを適用します。

プロジェクトの削除

使用していないプロジェクトを削除し、データをクリーンアップします。プロジェクトを削除すると、プロジェクトの構成とバージョン、またはプロジェクトが生成したプロジェクトが削除されます。Analyst Workbench のワークフロー定義レコードまたはプロジェクトカードからプロジェクトを削除できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーションナビゲーターからのプロジェクトの削除

プラットフォームナビゲーターから構成済みのプロジェクトを削除します。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_power_user または sn_process_optimization_admin

sn_process_optimization_analystロールは、自分が作成したプロジェクトを削除できます。

[プロジェクト定義] リストから、プロジェクトリストまたはワークフローレコードからプロジェクトを削除できます。

手順

- プロジェクトリストから、次の操作を行います。
  1. プロジェクトリストから削除するプロジェクトの横にあるチェックボックスをオンにします。
  2. 行アクション リストから、 削除 を選択します。
  3. もう一度 [削除] を選択して確定します。
- ワークフローレコードから:
  1. プロジェクトの名前または番号を選択して、そのワークフローレコードを開きます。
  2. レコードで、 [削除] を選択します。
  3. もう一度 [削除] を選択して確定します。

Analyst Workbench からのプロジェクトの削除

Analyst Workbench 内から構成されたプロジェクトをすばやく削除します。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_power_user または sn_process_optimization_admin

sn_process_optimization_analystロールは、自分が作成したプロジェクトを削除できます。

手順

Analyst Workbench から、プロジェクトカードのメニューアイコンを選択し、[削除]を選択します。

プロセスインサイトの分析と取得

自動化されたプロセスデータからビジネスフローを視覚化して分析し、それらのインサイトに基づいて行動します。

[サマリーとインサイト] ダッシュボード

プロセスを視覚化するだけでなく、プロセスの改善に役立つ興味深い事実を確認することもできます。 プロセスマイニング は、接続、アクティビティ、およびルートのルールとクラスター分析を使用して、これらの計算されたインサイトを提供します。[サマリーとインサイト] ダッシュボードから、スピード、品質、ビジネスへのコストの影響などの測定基準に関する統計的に関連する結果にアクセスできます。改善の機会の概要と詳細レポートを表示できます。ここから、プロジェクトの新しい検索ルールを作成することもできます。

アナリストワークベンチ

ビジネスプロセスをより適切に分析するには、プロジェクトデータから生成されたプロセスマップを絞り込みます。Analyst Workbench からマップを絞り込むことができます。ワークベンチから、2

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

つのプロジェクトを並べてさらに分析したり、改善イニシアチブで共同作業したり、測定基準を表示したりできます。

> **注:**
> Analyst Workbench にアクセスできるのは、プロジェクトを構成し、そのデータをプロセスマップに生成した後のみです。

ダッシュボードまたはワークベンチから、クラスター分析やプロセス分析などのタスクを実行できます。

ビジネスインサイトの表示

[サマリーとインサイト] ダッシュボードからビジネスプロセスに関する重要な情報を表示します。目標とパフォーマンスインジケーターを確認し、改善の機会に関するインサイトを取得します。

[サマリーとインサイト] ダッシュボードには、プロセスを最適化する機会が表示されます。次のスナップショットを表示できます。

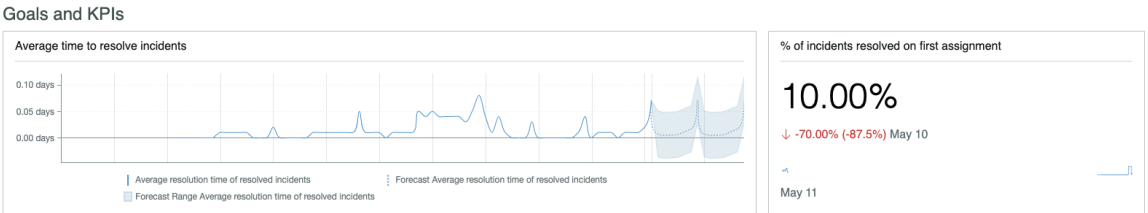
- 達成済みまたは未達成の目標と KPI
- 改善の機会の概要
- 新しい改善の機会

ゴールと **KPI**

> **注:**
> [目標と KPI] セクションは、 を パフォーマンスアナリティクス統合すると利用できます。

[目標と KPI] セクションは、以下 UI ビルダーから構成します。

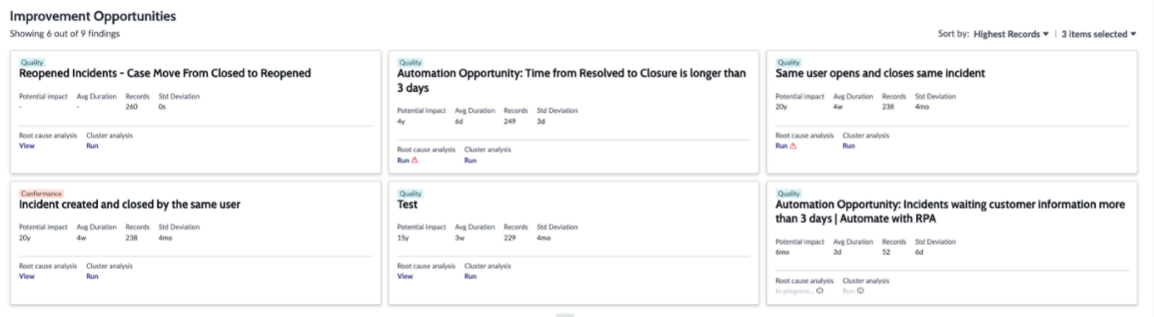
[目標と KPI] セクションから、 KPI 詳細 ビューからインジケーターの詳細をより詳細に分析するためのチャート化を選択します。[KPI 詳細] には、特定のインジケーターの傾向、予測、ブレークダウン、および関連レコードが表示されます。[KPI 詳細] ページでは、重要業績評価指標の背後にある詳細情報を確認できます。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

改善の機会の概要

改善機会の概要セクションでは、カテゴリ、タイプ、KPI 別にソートされた機会を 3 つの異なるカードで確認できます。



構成するルールは、ビジネスに関する結果を検出します。たとえば、次のようなルールを設定できます。

- [クローズ済み] または [解決済み] ステータスに直接移行したレコード
- 顧客が承認しなかったソリューション、またはステータスが「解決済み」から「対応中」ステータスに変更されたソリューションでレコードを作り直しました。
- グループ割り当てが間違っているか、多数あります

ダッシュボードに表示するインサイトカテゴリの組み合わせを選択します。

- 品質
- パフォーマンス
- 適合率

各インサイトから、完了したクラスターまたはプロセス分析を要求または表示してから、完了したクラスターまたはモデルをワークベンチから表示できます。

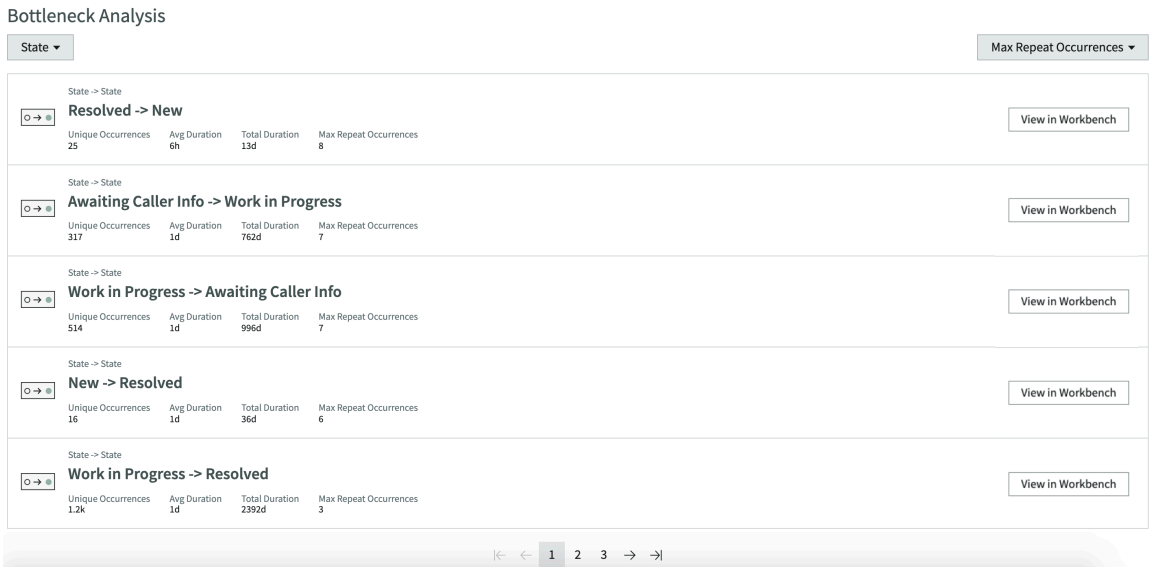
選択したインサイトのプロジェクトを生成するには、カードを選択して、カードデータの Analyst Workbench に移動します。プロジェクトを表示できるようになったら、[プロセス分析の表示] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ボトルネック分析

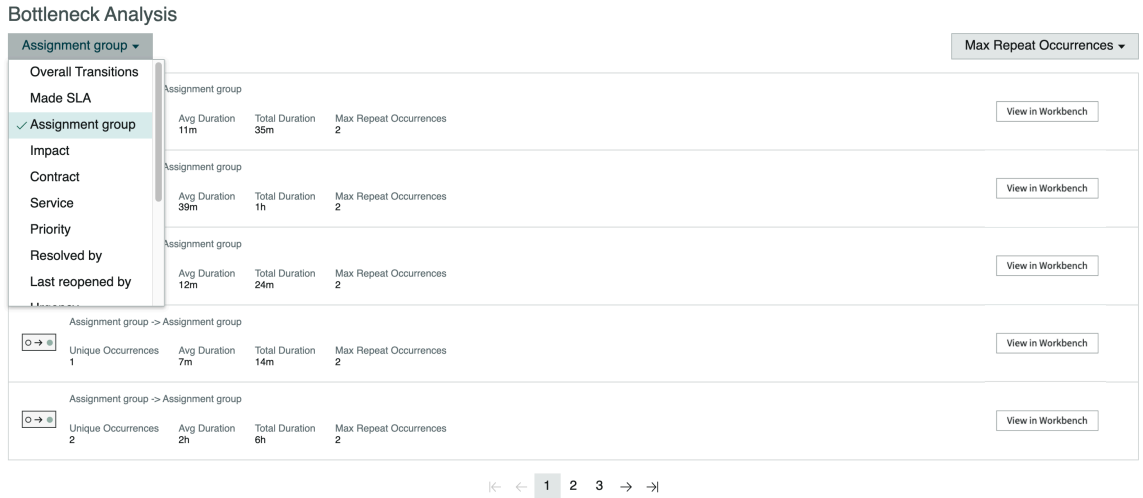
[ボトルネック分析] セクションから、プロセスレコード内で検出された特定済みのボトルネックソースを確認できます。



ブレークダウンを選択してルートリストを絞り込んでから、リストを次の基準でソートします。

- 一意の発生
- 合計時間
- 平均期間
- 最大繰り返し発生件数
- 合計発生件数

ボトルネック分析 - ブレークダウン



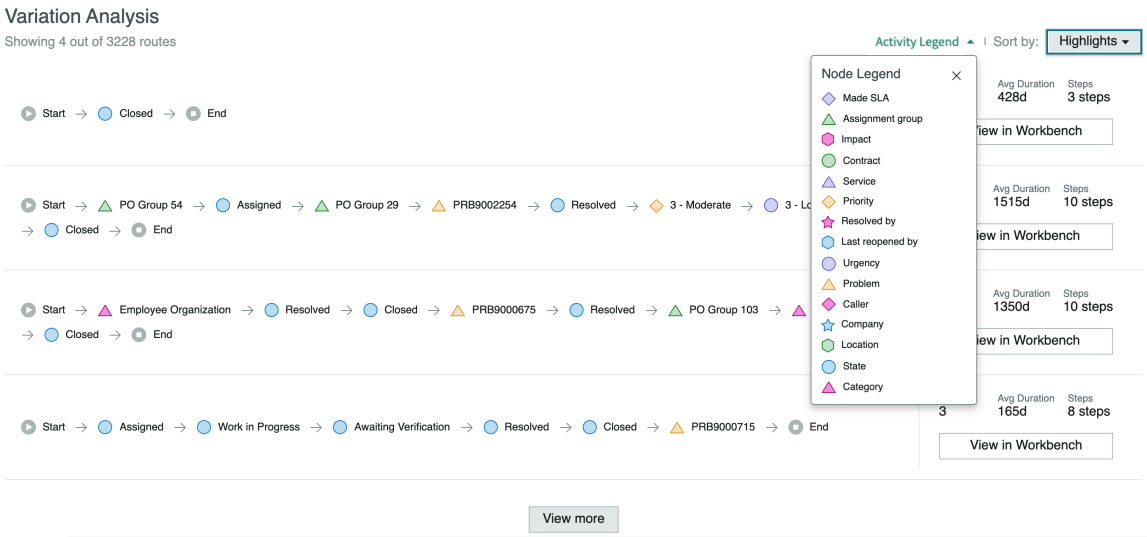
「 ワークベンチで表示 」を選択して、選択したトランジションのプロジェクトを表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

バリアント分析

工程のすべてのルートは、変動分析セクションに表示されます。ルートの順序は、ハイライト、レコード数、平均時間、または歩数でソートできます。



ワークベンチで表示 を選択して、個々のルートのプロジェクトを表示します。

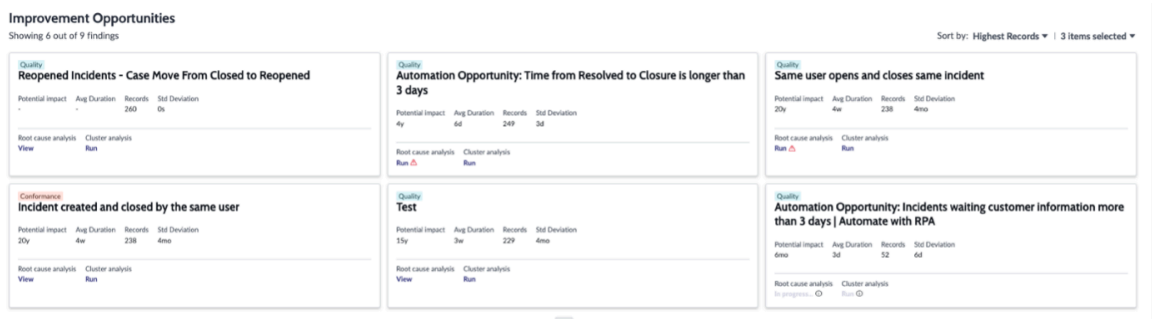
関連情報

KPI 詳細

検索定義の操作

検索定義を使用して、検出されたインサイトを [サマリーとインサイト] ダッシュボードに提供します。

検索定義には、プロジェクトで プロセスマイニング 収集された情報が表示されます。これらは、サマリーとインサイトダッシュボード内にカードとして表示されます。この情報を使用して、ビジネスプロセスに関する重要な情報を確認し、ボトルネック、ルートのバリエーションなどに関するインサイトを得ます。



検索定義の作成については、次を参照してください ルールベースの検索定義の構成。

プロセスマップの絞り込み

可視化されたワークフロープロジェクトを表示して、ビジネスプロセスのインサイトと改善の機会を確認します。

視覚化されたプロセスマップは、問題に固有のデータを確認するのに役立ちます。マップ内でドリルダウンして根本原因を把握できます。また、表示または測定する KPI に従ってルートを表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
構成可能なワークスペースのダッシュボードで、プロセスマップのほとんどの機能を再現できます。詳細については、「ダッシュボードで Process Mining マップを構成する」を参照してください。

- アクティビティ スライダーと接続スライダーを使用して、最も頻繁に発生したプロセス ステップに焦点を合わせます。また、頻度の低いステップを含めることもできます。
- アクティビティをマップワークスペースの別の位置に移動します。
- 視覚的表示を改善するために、接続に沿って測定基準の数値をスライドします。
- アクティビティまたは接続を選択して 、測定基準 の詳細を表示します。

アクティビティと接続のスライダー

例	定義
	最小 1 つと最大 2 つのパフォーマンス メトリックを示す規則的なノード移行線。次のパフォーマンス測定基準を表示できます。 • 合計発生件数 • 一意の発生件数 • 最小期間 • 最大期間 • 平均期間 • 合計時間 • 標準偏差 • 中央期間
	モデル間遷移スライダーには、グラフで非表示になっている遷移の数が表示されます。ユーザーは、モデル間移行線を選択して、グラフショー内の移行率を変更できます。親子関係ごとに 1 本の線が表示されます。
	人工的な線は、プロセスがどのノードから終了するかをユーザーが理解するのに役立ちます。エンティティごとに異なるノードからプロセス終了までの複数の人工的な線が発生する可能性があります。
	破線は、エンティティが折りたたまれていることを示します。ユーザーが + アイコンを選択してエンティティを展開すると、線は消えます。
	円弧の方向は、アクティビティの発生順序を示します。たとえば、2.2k のレコードの場合、[アサイン済み] ステータスに移行する平均 10 か月前に [新規] ステータスが発生します。

プロジェクトデータのフィルタリング

フィルターを適用して、プロセスマップの特定の側面を絞り込み、ドリルダウンします。

プロセスマイニング には、プロセスマップを絞り込むための次のフィルタリングツールがあり、[フィルター] タブとプロセスマップからアクセスできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[フィルター] タブ

- ブレークダウンフィルター:カテゴリ別にグループ化されたレコードを表示します。
- 条件:条件ビルダーを使用して、テーブルフィールドの条件でフィルタリングします。
- 移行フィルター:アクティビティ条件でフィルタリングして、アクティビティを移行したルートを表示します。

プロセスマップ

- 測定基準フィルター - アクティビティと接続に関する選択した測定基準を表示します。
- アクティビティと接続フィルター - スライダーを使用して、表示するアクティビティまたは接続を増減します。

ブレークダウン フィルターの適用

自分が作成、共有した、またはすべての Analyst Workbench プロジェクトをフィルタリングします。

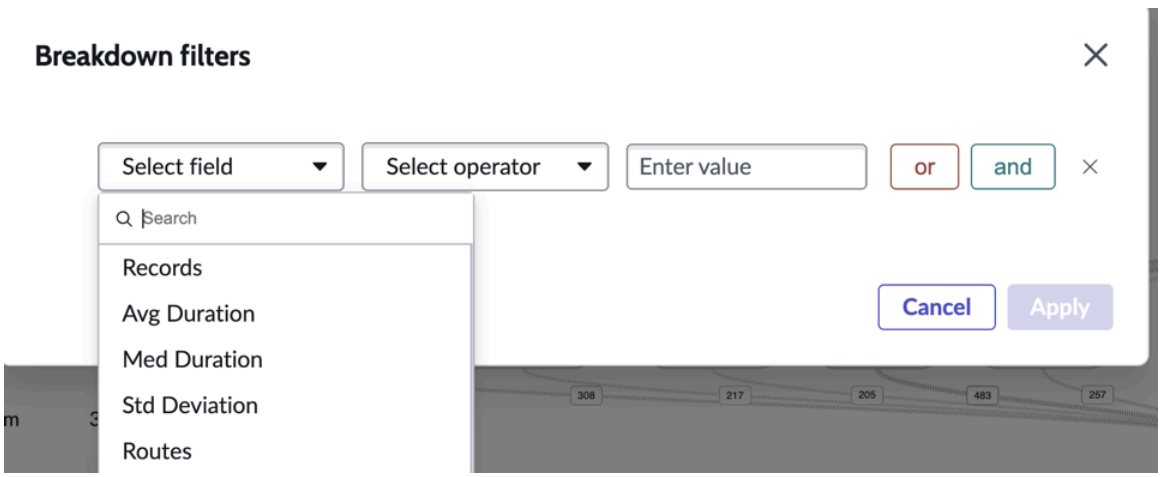
始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

手順

1. 移動先 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. プロジェクトを選択します。
3. [**Analyst Workbench**] タブを選択します。
4. [ブレークダウンフィルター] セクションで、フィルターアイコン [ ] を選択します。

   [ブレークダウンフィルター] ウィンドウが開きます。



5. フィルターを指定し、 [適用] を選択します。

フィルターセットの作成

現在のフィルター選択を後で同じプロセスマップに適用できるように、フィルターセットを作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

手順

1. ブレークダウンまたは詳細フィルターを適用します。
2. [フィルター] タブで、[セットとして保存] を選択します。
3. フィルターセットに名前を付けて、[保存] を選択します。

タスクの結果
[フィルターセット] リストには、新しいフィルターセットが含まれています。

フィルターセットの更新

保存したフィルターを編集します。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

手順

1. [フィルター] タブで、[フィルターセット] リストを選択します。
2. プロセスマップに適用する保存済みのフィルターセットを選択します。
3. ブレークダウンまたは詳細フィルターの変更を追加します。
4. 必要に応じて [適用] を選択し、 [フィルター セットの更新] を選択します。
5. 表示される [フィルター セットの更新] ダイアログで、必要な変更を確認し、 [保存] を選択します。

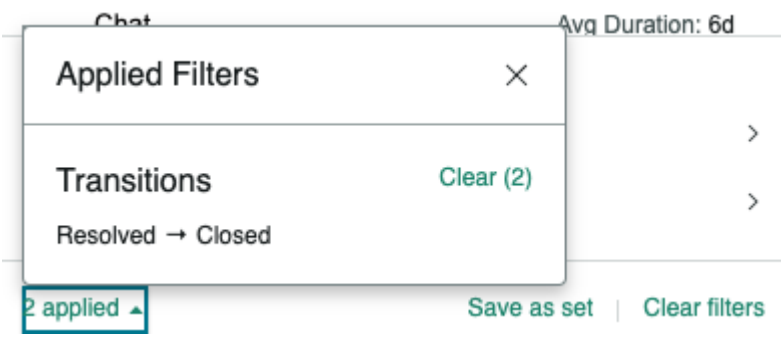
タスクの結果
フィルターセットが更新されます。

フィルターをクリア

適用されたフィルターを削除します。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

[フィルター] タブからフィルターを追加すると、選択したフィルターの一覧に、現在選択されているがまだ適用されていない新しい値が表示されます。[適用済みフィルター] リストには、現在適用されているフィルター値と、それらが追加されたパネルカテゴリも表示されます。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. [フィルター] タブに移動します。
2. 適用されたフィルターリストを選択します。
3. 削除する個々の適用済みフィルターの横にある [クリア] を選択します。
   現在適用されているすべてのフィルターをクリアするには、 [フィルターのクリア] を選択します。

タスクの結果
プロセスマップは自動的に更新され、以前に適用されたフィルターは削除されます。

フィルターセットの削除

プロジェクトで役に立たなくなったフィルターセットを削除します。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

手順

1. [フィルター] タブで、[フィルターセット] リストを選択します。
2. 削除するフィルターセットの横にあるごみ箱アイコンを選択します。
   フィルターセットが削除されます。

アクティビティへの移行フィルターの適用

アクティビティトランジションのフィルタリングにより、レコードが通過するさまざまなルートをより詳細に表示できます。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

移行フィルターを使用して、指定したアクティビティを移行する実行済みワークフローのレコードをフィルタリングします。これにより、対応する値を詳しく調べることができます。

ヒント:
プロセスマイニング 完了した非アクティブなワークフローアイテムを分析します。ただし、データがマイニング時にアクティブであった不完全なレコードで構成されている場合があります。プロジェクトの定義時に「Closed on」などの日付関連の条件を選択することに加えて、移行フィルターを使用して不完全なレコードを削除します。

このタスクについて
トランジションフィルタは、次の 2 つの方法で適用できます。

- 特定の条件を手動で作成する
- 事前定義されたフィルターに移行フィルターを適用する

トランジション フィルターを手動で作成

ニーズを満たす移行フィルターを作成し、それを適用してプロセスグラフに結果を表示します。

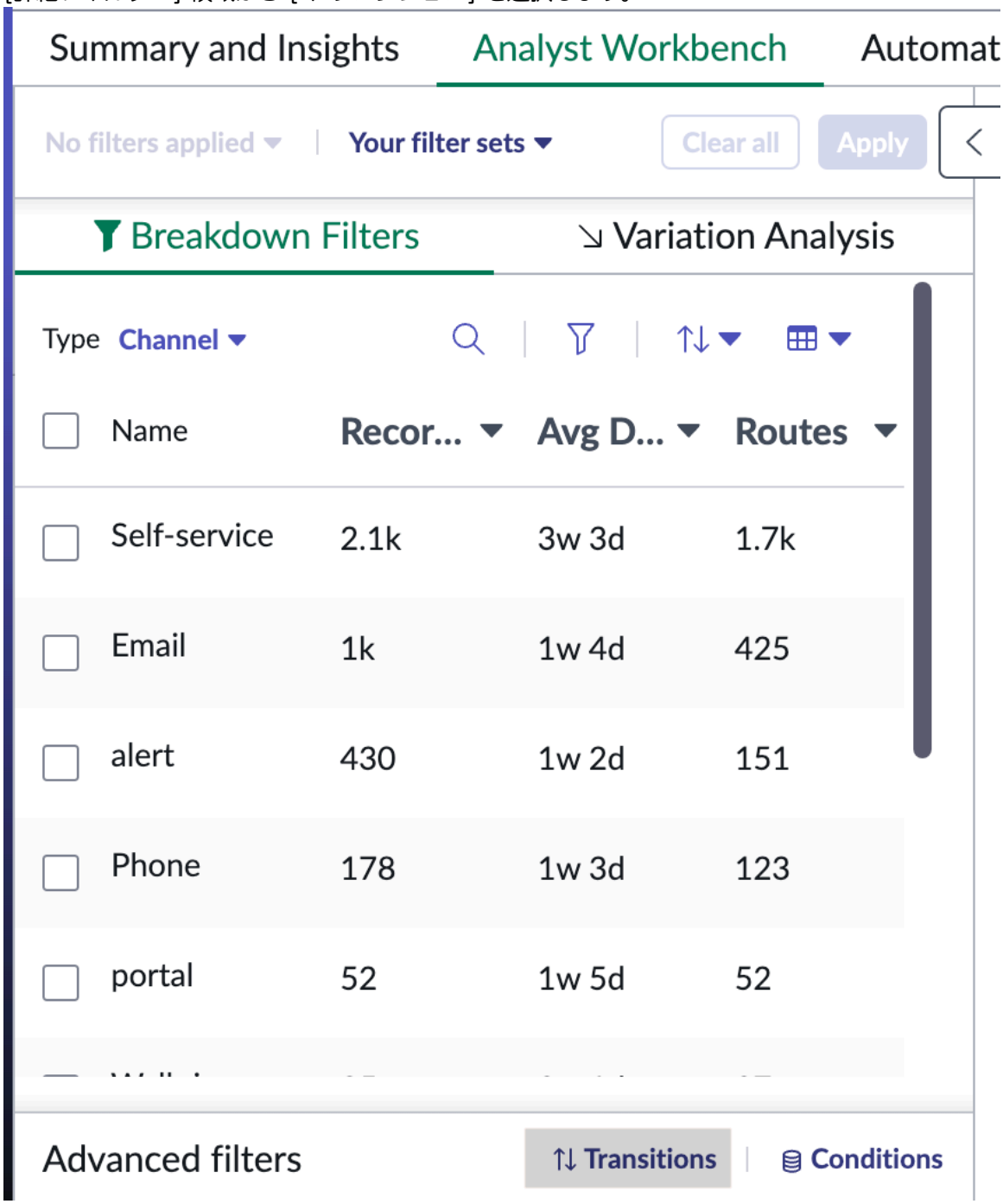
始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. トランジションフィルターを設定するプロジェクトを開きます。
3. [**Analyst Workbench**] タブに移動します。
4. [詳細フィルター] 領域から [トランジション] を選択します。

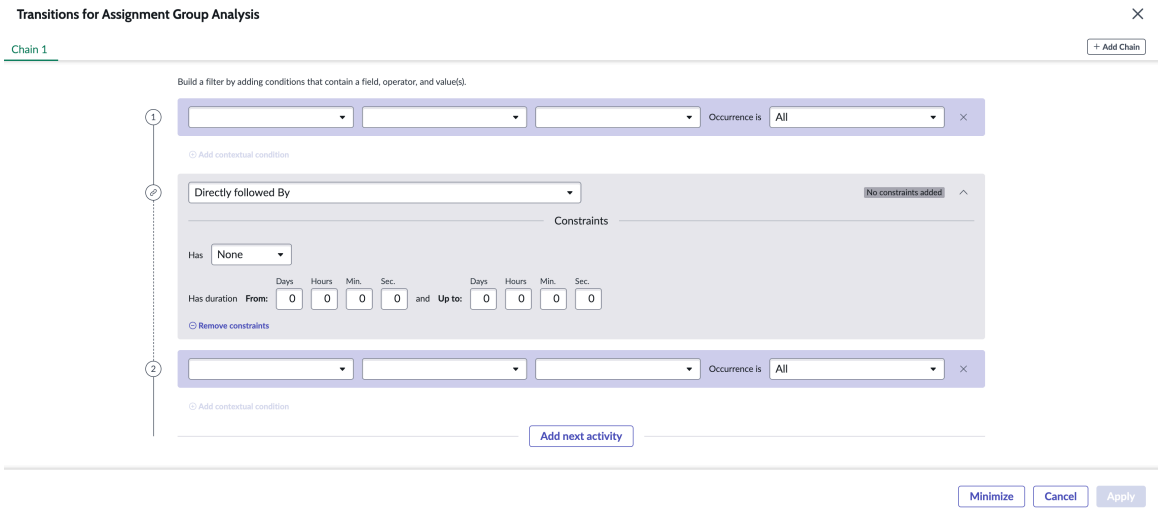


移行フィルターフォームが表示されます。

5. 移行フィルターフォームに必要な条件を入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



a. フィールド、演算子、および値を含む条件を追加して、アクティビティを定義します。
[発生件数] フィールドを使用して、この条件の最初、最後、またはすべての出現にフィルターを適用するかどうかを定義します。

b. [コンテキスト条件を追加] ボタンを使用して、このアクティビティの追加のコンテキスト条件を定義します。
[and] および または **[or]** ボタンを使用して、必要な数のコンテキスト条件を作成します。

c. 次の アクティビティを追加 を選択して、このチェーン内の別のアクティビティを定義します。
新しいアクティビティを作成すると、2 つのアクティビティの間に [関係] セクションが表示されます。このセクションでは、すぐ上とすぐ下のアクティビティ間の関係を定義します。

d. アクティビティ間の関係を選択します。

- 次が直接続く
- 最終的に次が続く
- 次が直接続かない
- 最終的に次が続かない

e. [制約が追加されました] テキストの横にある ([トラン]) を選択して、この関係の制約を編集します。

制約を作成した後、([ ]) を選択して、制約エディターを最小化できます。

f. [**+** チェーンの追加] (右上) を選択して、追加のアクティビティ チェーンを作成します。
チェーンは、リンクされた一連のアクティビティです。新しいチェーンを作成して、同じく true と評価される必要があるが、別のチェーン内のアクティビティと関係がない関連アクティビティの個別のセットを定義します。新しいチェーンを作成したら、ウィンドウ上部の チェーン **<**番号**>** タブを使用してチェーン間を移動できます。

g. フィルターの作成が完了したら、[適用]を選択して保存し、 **Analyst Workbench**に戻ります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

h. フィルターの作成が完了したら、[適用]を選択して保存し、 **Analyst Workbench**に戻ります。
タスクはバックグラウンドで実行されます。

6. タスクが完了したら、Analyst Workbench の [Scheduled tasks] パネルで [**View result**] を選択します。

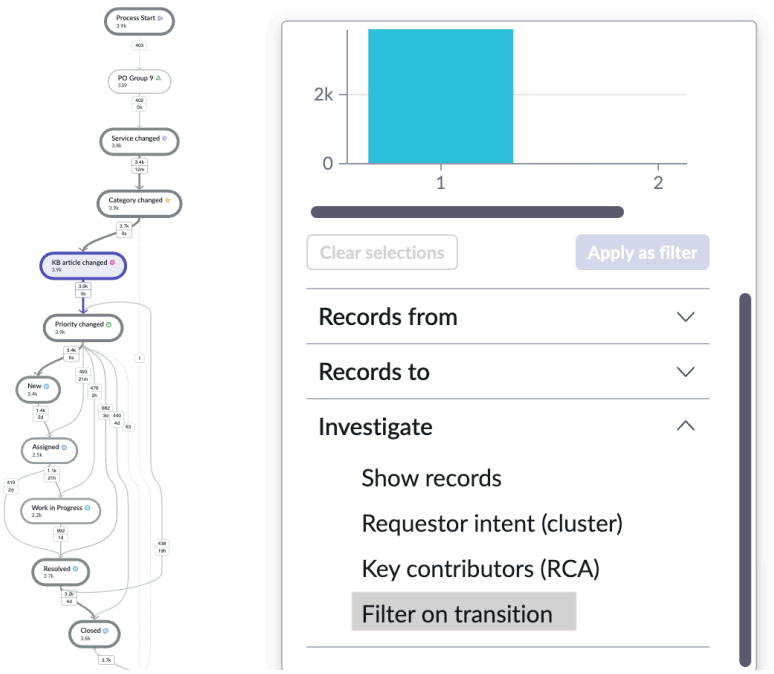
事前定義されたフィルターに移行フィルターを適用

選択したノードまたは接続に遷移フィルターを適用します。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

手順

1. 移動先 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. トランジションフィルターを設定するプロジェクトを開きます。
3. [**Analyst Workbench**] タブに移動します。
4. グラフ上のノードまたは接続を選択します。
[メトリック] ウィンドウが表示されます。
5. [Metrics] ウィンドウから [**Investigate > Filter on transition**] を選択します。



タスクはバックグラウンドで実行されます。

6. タスクが完了したら、Analyst Workbench の [Scheduled tasks] パネルで [**View result**] を選択します。

測定基準を適用

プロジェクトのビジュアル化を洗練させて、プロセスの目標により関連性の高い KPI と測定基準を表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

注:
期間測定基準はアクティビティには適用されないため、表示されません。

手順

1. プロセスマップ画面で、マップに表示する プライマリ指標 をリストから選択します。

2. オプション: 表示する セカンダリ メトリック を選択します。

タスクの結果
プロセスマップが自動的に更新され、測定基準の選択が表示されます。ルートのメトリック ボックス()の数字は、選択したメトリックに対応しています。

アクティビティと接続のフィルタリング

アクティビティビューと接続ビューを調整して、アクティビティがプロセスにどのように関連しているかに焦点を当てます。

プロセスマップ画面から、アクティビティと接続のスライダーを動かすことで、アクティビティに関連する差異の表示を増やすか減らすかを選択できます。

アクティビティスライダーを使用して、特定のアクティビティが特定のしきい値を超える頻度が多いまたは低い頻度で通過するレコードを拡大します。

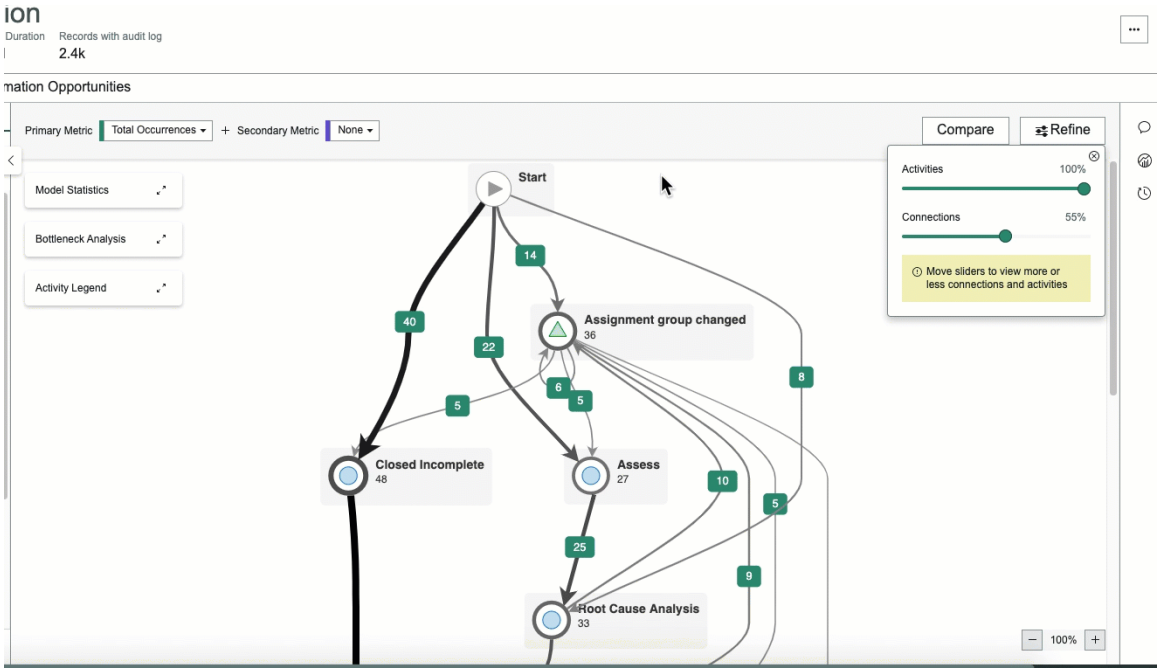
[接続] スライダーを使用して、ルート内のアクティビティシーケンスに続くレコードの下限を拡大します。

注:

- プロセスマイニング 定義されたアクティビティごとに 5000 要素の制限を生成します。
- [アクティビティ] スライダーと [接続] スライダーの両方を最大範囲にスライドさせると、プロセスマップのレンダリングが影響を受ける可能性があります。マップのレンダリングを最適化するには、定義されているアクティビティをさらにグループ化するようにプロジェクトを構成します。「アクティビティ定義の構成」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



プロセスマップでさまざまなルートの接続を比較すると、幅が異なる場合があることがわかります。幅は、接続または経路をたどるレコード数の増減に対応します。

測定基準とアクティビティの遷移の表示

定義した測定基準とアクティビティの移行を表示します。

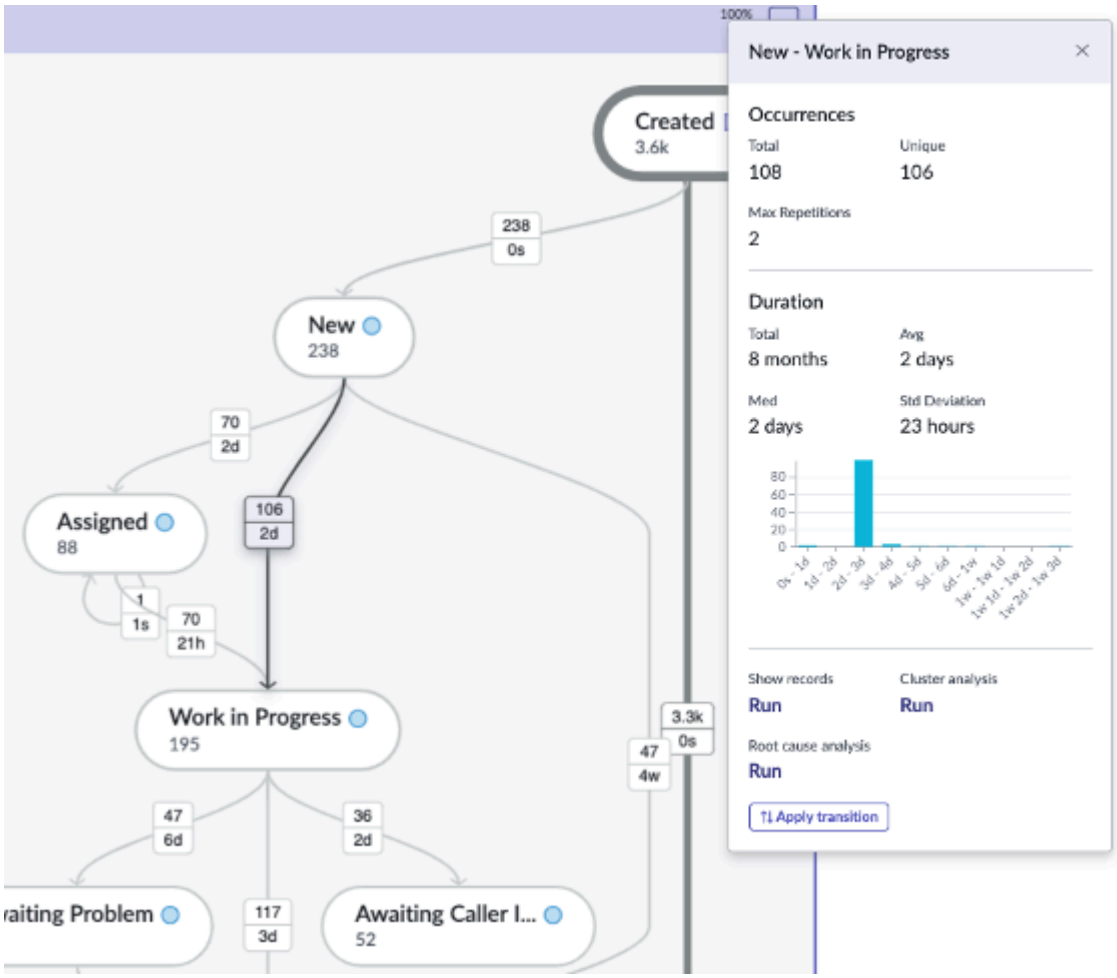
測定基準を表示

選択した測定基準、またはアクティビティまたは接続の測定基準の完全なリストを表示します。ルートのメトリック ボックス ( ) には、プロセス マップに表示するために選択されたプライマリ メトリックとセカンダリ メトリックが表示されます。

アクティビティまたは接続を選択すると、すべての測定基準のリストが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



アクティビティ遷移の表示

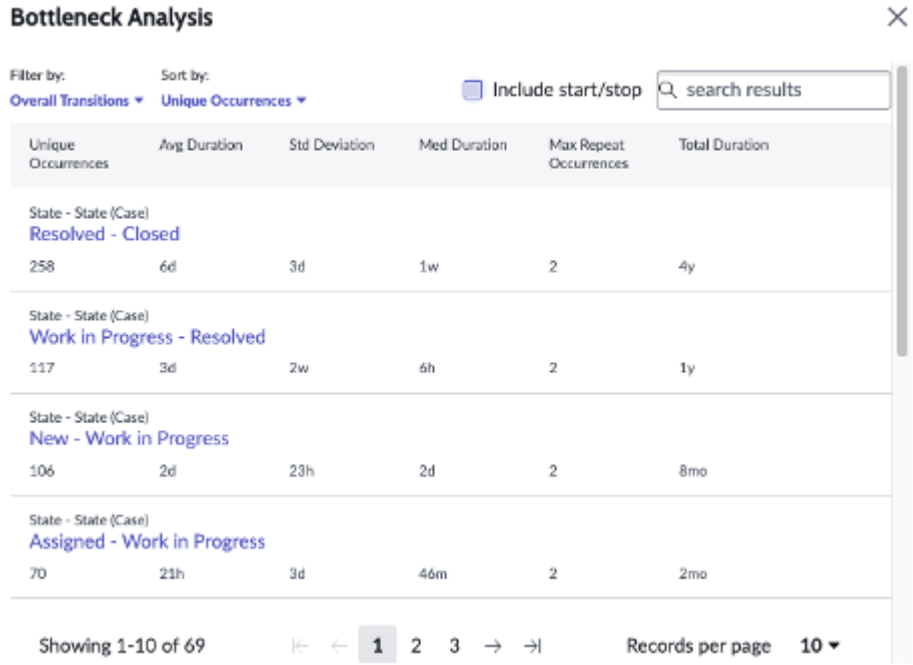
ボトルネック分析機能から定義したアクティビティ移行を表示します。

[ボトルネック分析] ボックスを展開すると、これらの特定の測定基準全体にわたる全体的なアクティビティ状態と指定されたアクティビティ状態の移行の上位 5 つが表示されます。

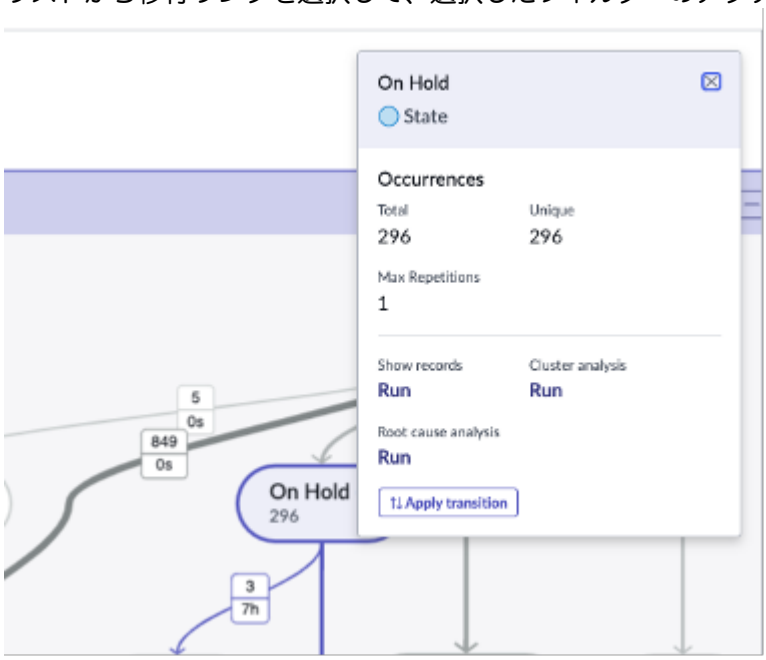
- 一意の発生
- 最大繰り返し発生件数
- 平均期間
- 合計時間
- 合計発生件数

リストから選択した移行と測定基準を表示します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



リストから移行リンクを選択して、選択したフィルターのアクティビティを編集します。



関連情報

アクティビティへの移行フィルターの適用

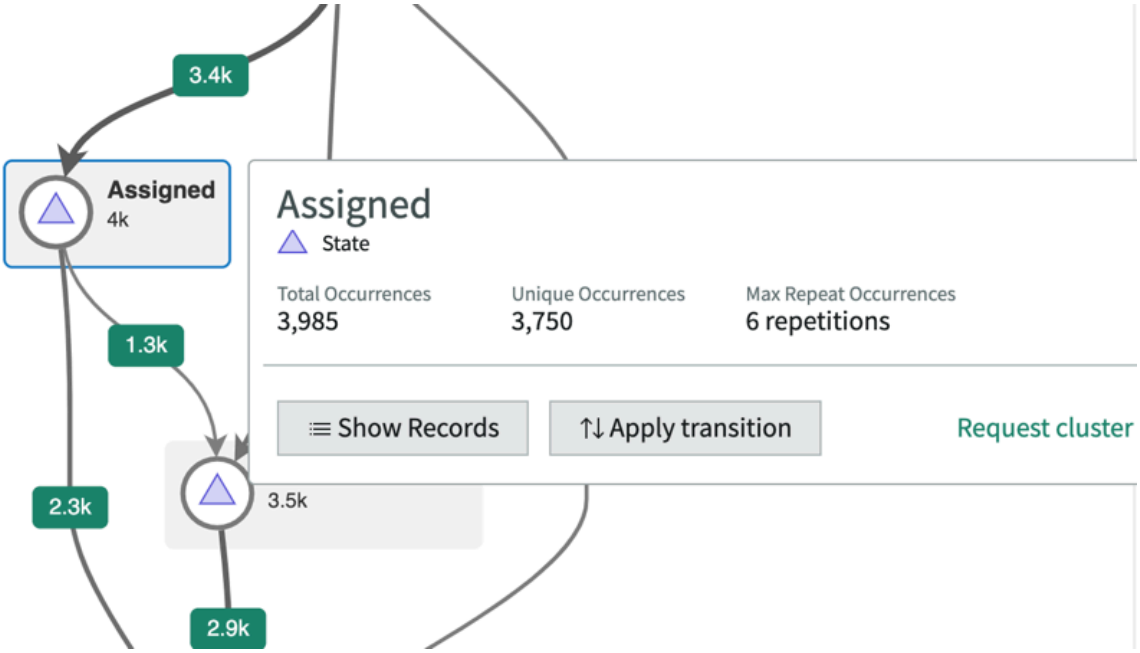
アクティビティまたは接続のレコードの表示

アクティビティまたは接続を経由したレコードリストを参照して、データをより詳細に分析します。

ルート上のアクティビティまたは接続を選択して、測定基準ボックスを表示します。その後、[レコードを表示] を選択して、通過したレコードのリストを開くこともできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
[レコードを表示] リンクは、アクティビティまたは接続に対して返された最大 100,000 レコードに表示されます。管理者は、promin.show_records.limit システムプロパティを追加して、この制限を変更できます。sn_process_optimization_analystロールには、promin.show_records.limit システムプロパティへの読み取りアクセス権が必要です。プロパティの追加手順については、「 システムプロパティの追加 」を参照してください。



ワークフロールートの探索と比較

キー インジケーターを比較し、最適ルートと例外または代替ルートの違いを分析します。

プロセスマップには、ルートがレコード全体にどのように分布しているかが視覚的に示されます。ルートは、プロセス内のステップまたはアクティビティを通る開始から終了までのパスで構成されます。プロセス内のさまざまな工順には、プロセスサイクル (レコード) のさまざまなステップの組み合わせを含めることができます。 プロセスマイニング は、データからプロセスルートを自動的に抽出し、プロセス内で何がうまくいっていて何がうまくいっていないかを把握できるようにします。

たとえば、ルートを探索して、次の問題を調査または特定します。

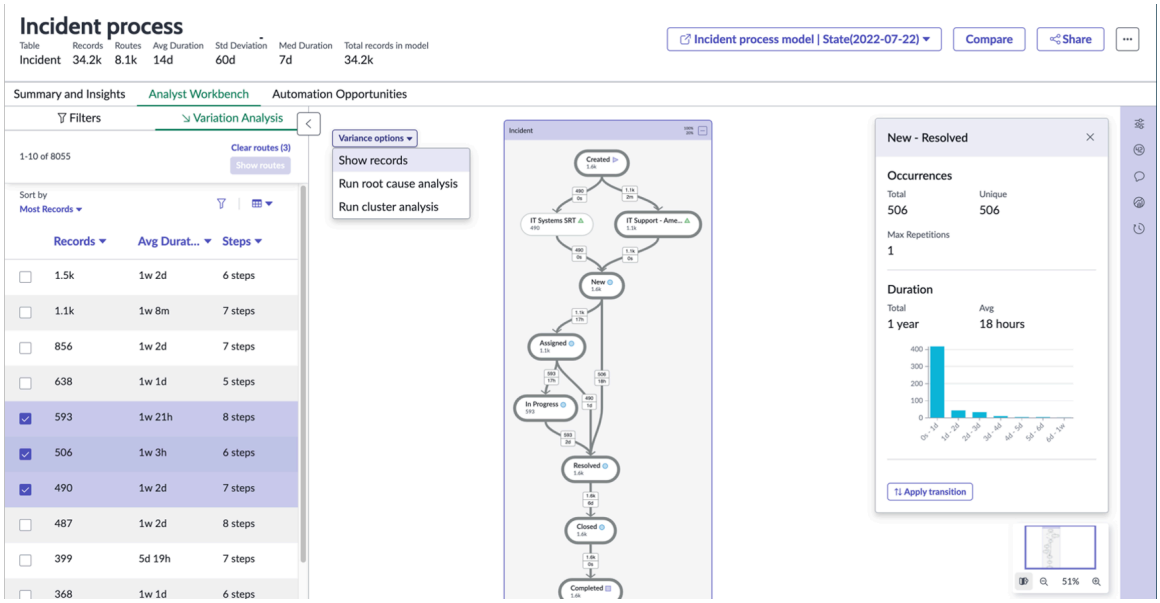
- 最も一般的なルートでカバーされるレコードの数、またはルートのバリエーションの量。
- ほとんどのルートがプロセスを完了するのにかかる時間。
- 特定のアクティビティで長い待ち時間が発生しているかどうか、またはプロセスステップの数が時間の経過とともに変化しているかどうか。
- 予期しない、または一般的でないレコードのステータスまたはルートの移行 (レコードがクローズされてから再オープンされた場合や、その期間がかなり経って再分類された場合など)。
- 成功したプロセスと効率の悪いプロセスからのインサイトを比較してベンチマークします。
- ルート内のクラスター化された類似性 グループ。

[バリアント分析]パネル

[バリアント分析] パネルには、ルートで表されるレコードの累積数、各ルートのステップ数、およびルートの完了にかかった期間 (日数) が表示されます。ルートにポインターを合わせると、ルートのバリエーションを示すポップアップが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



[並べ替え] を使用して、リストに表示されるルートの順序を並べ替えることができます。

サンプルパネルには、取得された 130 の異なるルートが表示されます。例のリストに表示されているルートから、各ルートが 18 回から 244 回まで取得されたことがわかります。ルートごとに平均期間または標準偏差が計算され、たとえば 130 の平均または標準偏差になります。リストは、これらの平均で最高/最長から最低/最短の順にソートされます。

ルートリストのソート順

ハイライト	期間の長い方に向かって最も大きく逸脱した順にルートをソートします。
最多レコード	ルートを経由したレコード数が多い順にルートをソートします。
最小レコード	ルートを経由したレコード数が最も少ないものから多いものの順にルートをソートします。
最長平均期間	各ルートの平均期間の計算に基づいて、平均値 (プロセスの開始から終了までの平均時間) の長いものから短いものの順にルートを並べ替えます。
最短の平均期間	各ルートの平均期間の計算に基づいて、平均値が短いものから長いものの順にルートを並べ替えます (プロセスの開始から終了までの平均時間)。
最長医療期間	各ルートの期間の中間値 (または 2 つの中央値の平均) の計算に基づいて、中央値が長いものから短いものの順にルートを並べ替えます。
最短の医療期間	各ルートの期間の中間値 (または中央の 2 つの平均値) の計算に基づいて、中央値が短いものから長いものの順にルートを並べ替えます。
ほとんどのステップ	ステップ数の多い順にルートをソートします。
最小ステップ数	ステップ数が最も少ない順にルートをソートします。
最高の標準偏差	各ルートの所要時間の標準偏差の計算に基づいて、ルート平均値からの変動が大きいものから低いものの順にルートをソートします。
最低の標準偏差	各ルートの所要時間の標準偏差の計算に基づいて、ルート平均値からの変動が最も小さいものから大きいものの順にルートをソートします。

これらのアクションは、Variation Analysisパネルから実行することもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ルートリストをグラフまたはテーブルとして表示します。
- ルートを強調表示:
  - リストからルートを選択して、プロセスマップでハイライト表示します。
  - リスト内の 2 番目のルートをポイントすると、そのルートが同時にハイライト表示されます。
  - 選択したルートは、ページの下部にポップアップとして表示されます。
- を実行します クラスター分析。

ルートを表示

プロセス内のさまざまな一連のステップに従った 1 つ以上のルートを表示します。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

このタスクについて

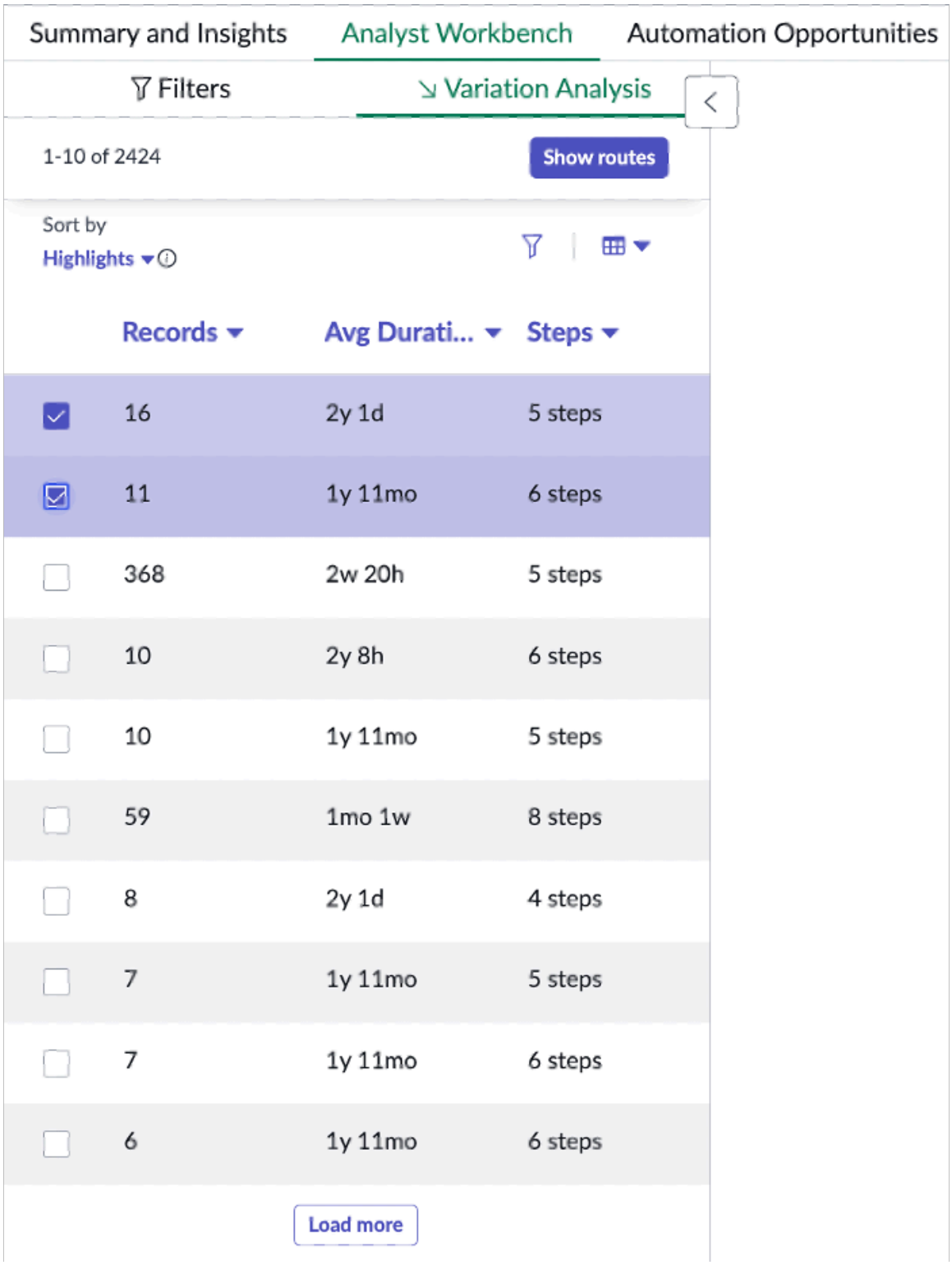
ルートを分析すると、プロセスの複雑さを確認し、代替の成功パスまたは欠陥のある例外パスを特定するのに役立ちます。たとえば、IT プロセスマネージャーは、インシデントの管理に適したルートを確認できます。

手順

1. [変動分析]タブに移動します。
2. リストから 1 つ以上のルートを確認します。
3. [ルートの表示] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



注:
1 つ以上のルートを適用すると、[ブレークダウンフィルター] タブにリストされたブレークダウンには、それらのルートに適用可能なブレークダウンのみが表示されます。

次のタスク

- 元のプロセスマップに戻るには、 ルートのクリア を選択します。
- 別のルートを表示するには、リストから他のルートを選択し、[ルートの表示] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ルートのレコードを表示

[バリアント分析] パネルから、選択した 1 つ以上のルートをたどったレコードのリストを表示します。

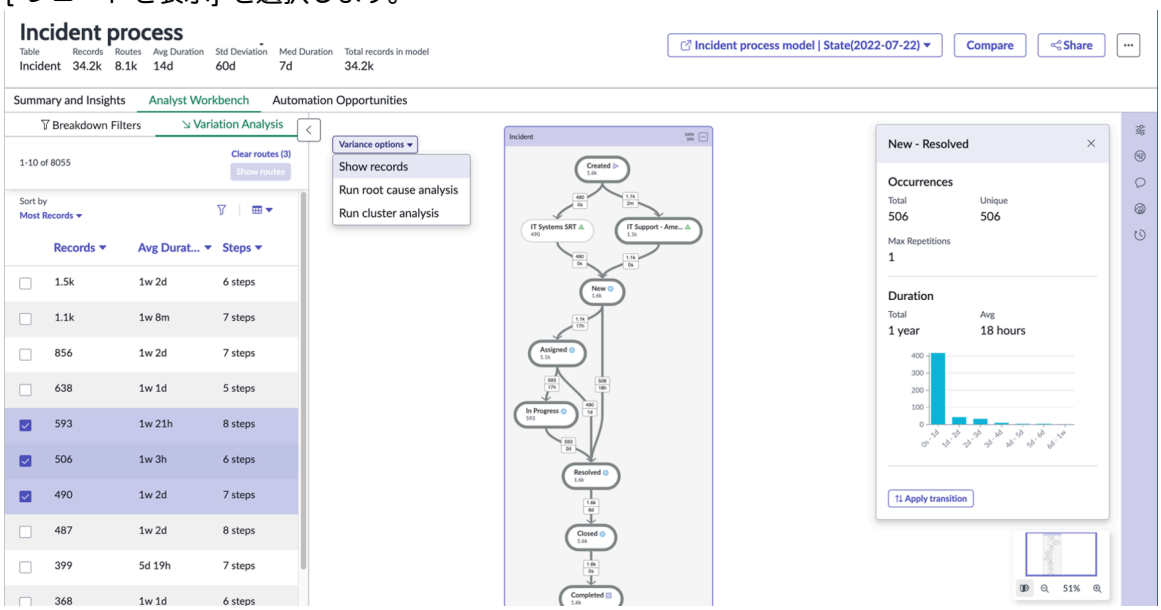
始める前に

必要なロール：なし

- ルートのレコードを表示するには、sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin ロールが必要です。
- プラットフォームリスト ACL が適用されます。ユーザーには、アクセス権を持つレコードのみが表示されます。
- [レコードを表示] は、レコード数が 10 万未満の場合に使用できます。

手順

1. [バリアント分析] パネルから、レコードを表示する特定のルートを選択します。
2. [ルートの表示] を選択します。
3. [レコードを表示] を選択します。



> **注:**
> 1 つ以上のルートを適用すると、[ブレークダウンフィルター] タブにリストされたブレークダウンには、それらのルートに適用可能なブレークダウンのみが表示されます。

準備ができると、要求されたレコードが新しいタブで開きます。

次のタスク

レコードリストから、次のことができます。

- レコードのフィルタリング
- Excel、CSV、JSON、または PDF 形式へのレコードのエクスポートとダウンロード/メール送信
- レコードの編集
- インシデントレコードの自己アサイン
- 新しいインシデントを作成

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロジェクトにメモを追加する

プロジェクトのメモを追加、表示、削除して、タスク、アイデア、インサイトの管理に役立てます。他のユーザーにタグを付けて、メモを表示するように通知します。

プロジェクトの概要パネルから、メモを追加したり、プロジェクトに関連付けられたメモのリストを表示したりできます。

注:

- メモを追加または削除するには、sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin ロールが必要です。
- sn_process_optimization_viewerは、共有されているプロジェクトにメモを追加できます。

メモを表示

プロジェクトに投稿されたメモを確認します。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、sn_process_optimization_admin または sn_process_optimization_viewer

メモは、メインプロセスまたはリンクされたプロセスから表示できます。メモは、メモが作成されたプロセスマップから編集または削除できます。

注:
メモは比較ビューに表示されません。

手順

1. メモを表示するプロジェクトを選択します。
2. プロジェクトビューから、Notesアイコン( )を選択してNotesパネルを開きます。
3. [表示] リストから、次のオプションを 1 つ以上表示するかどうかを選択します。
   - 現在のモデル メモ - 現在表示しているプロセスで作成されたメモを表示します。
   - メイン モデル メモ：リンクされたプロセスから、メイン プロセスで作成されたメモを表示します。
   - すべてのリンクされたメモ - メインプロセスおよびすべてのリンクされたプロセスで作成されたすべてのメモを表示します。

メモを追加

後でレビューするためにプロジェクトにメモを追加します。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、sn_process_optimization_admin または sn_process_optimization_viewer

手順

1. メモを追加するプロジェクトを選択します。
2. プロジェクトビューから、メモ( )アイコンを選択して[メモ]パネルを開きます。
3. [新しいメモ] を選択し、ボックスにメモを入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

メモで誰かの注意を引くには、その人にメンションします。通知するユーザーごとに、ユーザーの名前を含む@mentionを追加します。メモが保存されると、ユーザーはメール通知を受信します。

4. オプション: [スナップショットを添付] をオンにして、現在のプロセスマップビューのスナップショットを追加します。
   ビューをスクロールして、スナップショットを作成する領域を含めます。プロセスマップ画像の拡大または縮小ビューを追加するには、スナップショットとして追加する前にメイン画面でマップを拡大します。
   - スナップショットを追加すると、後で設定を復元するのに役立ちます。たとえば、メモに再度アクセスするときに、添付されたスナップショットをプレビューして、スナップショットが追加された時点で構成された設定を確認できます。プロジェクトを同じ状態に複製する方法がおわかりいただけたと思います。
   - リンクされたプロセスを表示すると、メインプロジェクトとリンクプロジェクトの両方のスナップショットがメモに追加されます。
5. [投稿] を選択します。

メモの編集

プロジェクトメモを更新します。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

このタスクについて

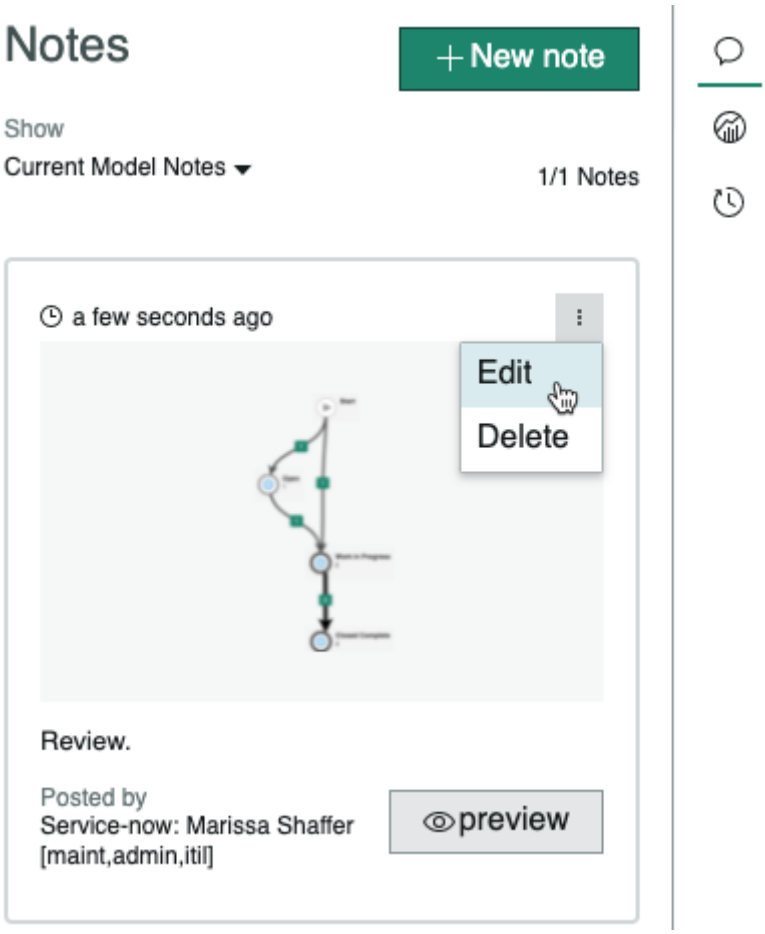
メモは、メモが作成されたメインプロセスまたはリンクされたプロセスから編集できます。

手順

1. プロジェクトビューから、[メモ]アイコン() を選択します。
2. [メモ] パネルから、メモのコンテキスト メニューを選択し、[編集] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. メモを編集したら、 更新 を選択します。
   更新されたリストに更新が表示されます。

メモを削除する

解決した、または削除したいプロジェクトメモを削除します。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

このタスクについて

メモは、メモが作成されたメインプロセスまたはリンクされたプロセスから削除できます。メモを削除しても破棄されず、プロジェクトビューから削除されるだけです。メモのレコードには、[関連リスト] セクションの [メモ] タブから引き続きアクセスできます。

手順

1. プロジェクトビューから、[メモ]アイコン() を選択します。
2. [メモ] パネルから、メモのコンテキスト メニューを選択し、[削除] を選択します。
3. [はい] を選択して確定します。
   メモが更新されたリストから削除されます。

スナップショットの表示

プロジェクトに投稿されたプロセスマップのスナップショットを確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

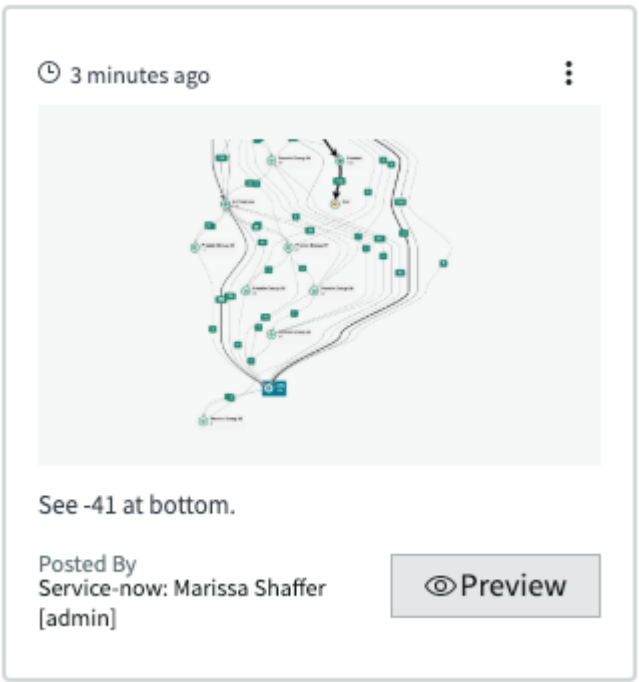
始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、sn_process_optimization_admin または sn_process_optimization_viewer

このタスクについて
スナップショットは、スナップショットが追加された時点のプロセスマップとその構成設定を確認するのに役立ちます。メインプロセスマップおよびリンクされたプロセスマップから、およびメインプロセスマップのスナップショットを表示できます。

> **注:**
> このタスクでは、メモが作成されたプロセスマップからスナップショットを表示する方法について説明します。「プレビュー」**(Preview)** オプションは、別のモデルで作成された注記には使用できません。

手順

1. スナップショットを表示するプロジェクトを選択します。
2. プロジェクトビューから、Notesアイコン( )を選択してNotesパネルを開きます。
3. メモの [プレビュー] ボタンを選択します。
   スナップショットのメイン マップ ウィンドウに、モデルの統計情報とともにプレビューが表示されます。



   - プレビューマップでは、プライマリおよびセカンダリ測定基準のビューを調整したり、表示するアクティビティと接続を選択したり、ズームインおよびズームアウトしたりできます。ただし、スナップショットプレビューからフィルターとルートを表示することはできません。
   - スナップショットを更新できません。
4. スナップショット プレビューの表示が完了したら、[プレビューの停止] を選択して前のマップ ツールとフィルター ツールに戻るか、別のスナップショットのプレビューを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

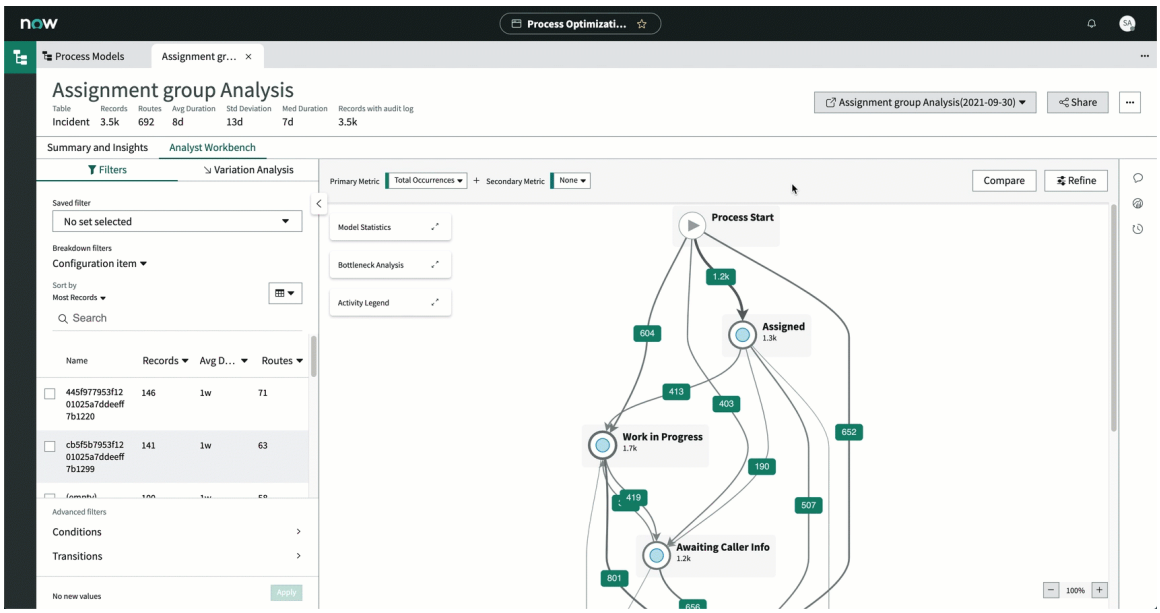
プロジェクトの比較

プロジェクトを並べて比較することで、パフォーマンスの違いや理想的なルートからの逸脱を調べることができます。

マネージャーは、ある地域が他の地域よりも平均解決時間が大幅に短縮された理由を理解するために、地域のチーム全体のパフォーマンスを比較したいと考えています。マネージャーは、プロセス比較機能を使用して、プロセスマップにブレークダウンとフィルターを適用し、ボトルネックを調査します。マネージャーは以下を比較します。

- 場所と以前の期間にわたるチームのパフォーマンス。
- 採用率と逸脱に関するインサイトを得るための理想的なルートに反する地域。

プロジェクトを比較すると、同じプロジェクトの 2 つのバージョンまたはシナリオを同時に分析できます。比較するときは、プロジェクト バージョンの選択、さまざまなフィルターの設定、表示するルートの選択、およびそれらのレコードの個別の表示を行うことができます。



プロジェクト比較ビューから、各マップのアクティビティと接続を絞り込むことができます。また、フィルターとルートを適用し、それらの統計情報を比較することもできます。

比較を開始

プロジェクトを並べて比較します。

始める前に

必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

このタスクについて

メインプロジェクトまたはリンクプロジェクトの比較を実行できます。

手順

1. 比較するプロジェクトを選択します。
2. **Analyst Workbench** 内のプロセスマップから、[**Compare**] を選択します。
   比較ビューには、メインプロセスまたはリンクされたプロセスからアクセスします。
3. 次のいずれかのルートを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- [フィルターの適用] を選択して、比較するフィルターまたはルートを選択します。
- 「バージョンの比較」から、プロジェクト・バージョンを選択します。

4. [フィルターを適用] を選択した場合は、次のいずれかのアクションを実行します。

a. [フィルター] パネルから、比較するブレークダウンフィルターと詳細フィルターから選択します。

b. [バリアント分析] パネルから、比較するルートを選択します。

5. フィルターを選択した場合は [適用] を選択し、比較するルートを選択した場合は [ルートの表示] を選択します。
フィルターが適用された 2 つ目のモデルがメイン モデルの横に表示されます。ブレークダウンフィルターのアイテムも、適用されたルートに従ってフィルタリングされます。

> **注:**
> フィルターを適用した後、ウィンドウの右上隅にあるセレクターを使用して、別のモデルバージョンを表示できます。

次のタスク
2 つのプロジェクト間の遷移または統計を比較します。

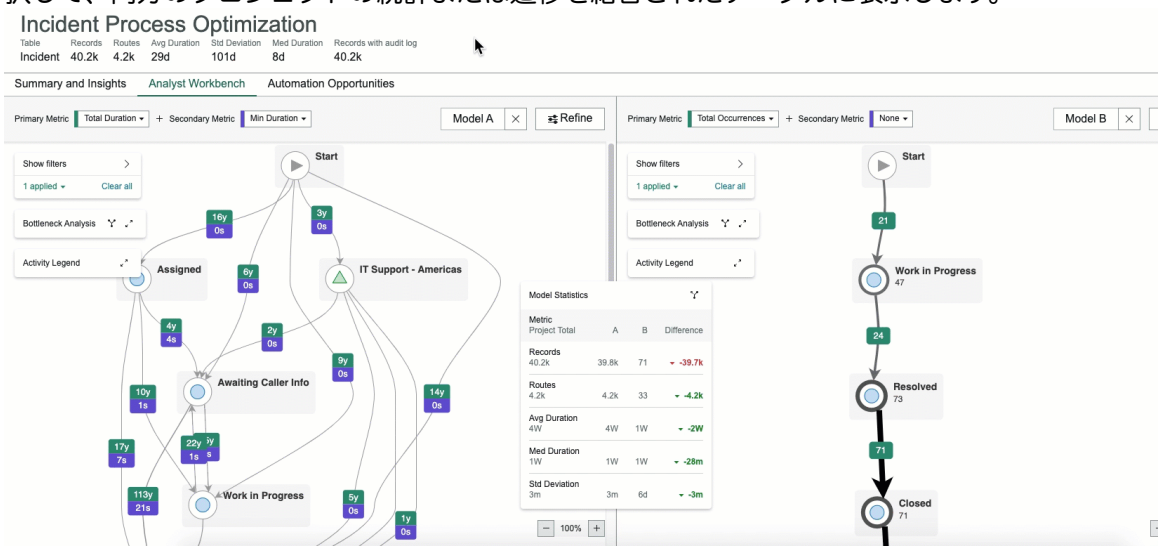
2 つのプロジェクト間の統計と移行の比較

2 つのサイドバイサイドプロジェクトのレコード、ルート、平均ケース期間、および移行を比較します。

始める前に
必要なロール：なし

手順

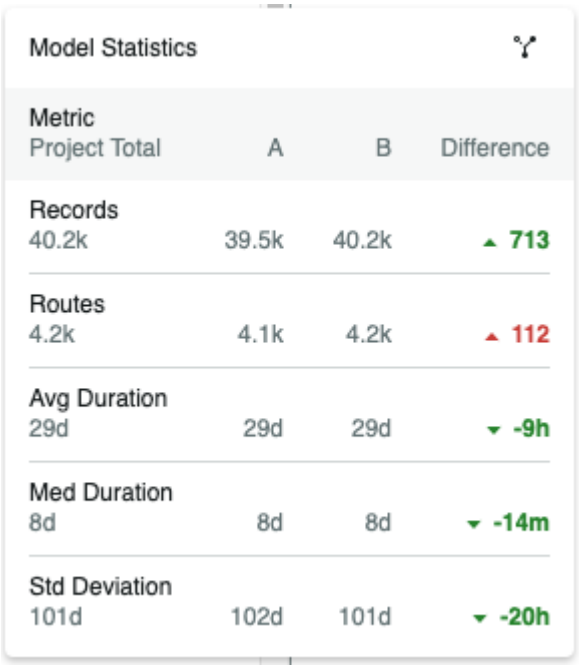
1. いずれかのプロジェクトの [ボトルネック分析] テーブルを展開し、結合/分割アイコン () を選択して、両方のプロジェクトの統計または遷移を結合されたテーブルに表示します。



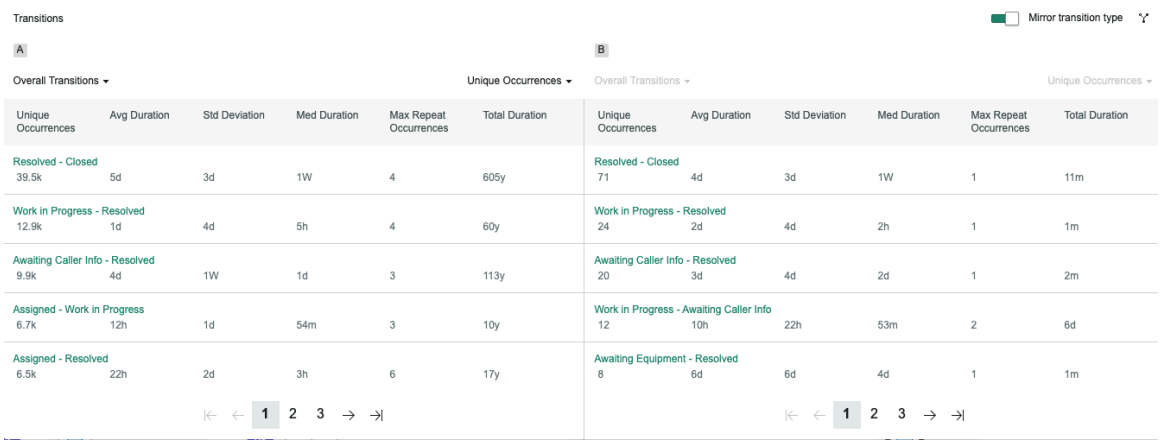
結合された統計テーブルには、各プロジェクトのレコードとルートの数、平均ケース期間の統計、およびそれらの間の差分統計が表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳



結合された遷移テーブルには、各プロジェクトに表示するように指定した 全体的な遷移 または ステータス遷移 が並べて表示されます。**[Mirror transition type]** トグルを有効にすると、同じトランジションタイプとメトリックを持つ両方のプロジェクトが自動的に表示されます。トグルを無効にして、プロジェクト間で異なる移行タイプと測定基準を選択できるようにします。



2. 各プロジェクトの統計テーブルを対応するマップに再配置するには、分割アイコン () を選択します。

次のタスク
比較ビューからのレビューが終了したら、表示を停止するプロジェクトの比較ビューの停止アイコン ( ) を選択します。残りのプロジェクトは、適用したフィルターを含むメインビューとして表示されます。

プロジェクトのバージョン名の変更

プロジェクトバージョンの名前を変更して、表示時や比較時に参照しやすくします。

始める前に
必要なロール：administrator

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > プロセスマイニング > プロセスマイニングワークスペース.
2. 名前を編集するバージョンを含むプロジェクトを選択します。
3. 画面の右上隅にある省略記号 () メニューを選択し、[バージョンの編集] を選択します。
4. [バージョンの編集] リストで、名前を選択して変更するバージョンを選択します。
5. 「プロジェクト定義バージョン」フォームで、「名前」フィールドにプロジェクト・バージョンの新しい名前を入力します。
6. [保存] を選択します。

自動化された根本原因分析

自動化された根本原因分析を使用して、プロセス内で非効率が発生する場所と理由を特定します。

自動化された根本原因分析は、特定のプロセスパフォーマンスが発生する理由と場所を検出します。これにより、問題の根本原因を解決するための適切なアクションを実行できます。また、どの属性がそれらに影響を与えているかも理解できます。

注:
自動化された根本原因分析は、レコード数が 100 を超える場合にのみ使用できます。

インサイトから、または Analyst Workbench 内の特定のマップ接続で根本原因分析を実行します。

プロセスオーナーと管理者は、自動化された根本原因分析をカスタマイズして分析するフィールドを指定し、オプションで分析を自動的に実行するように構成できます。

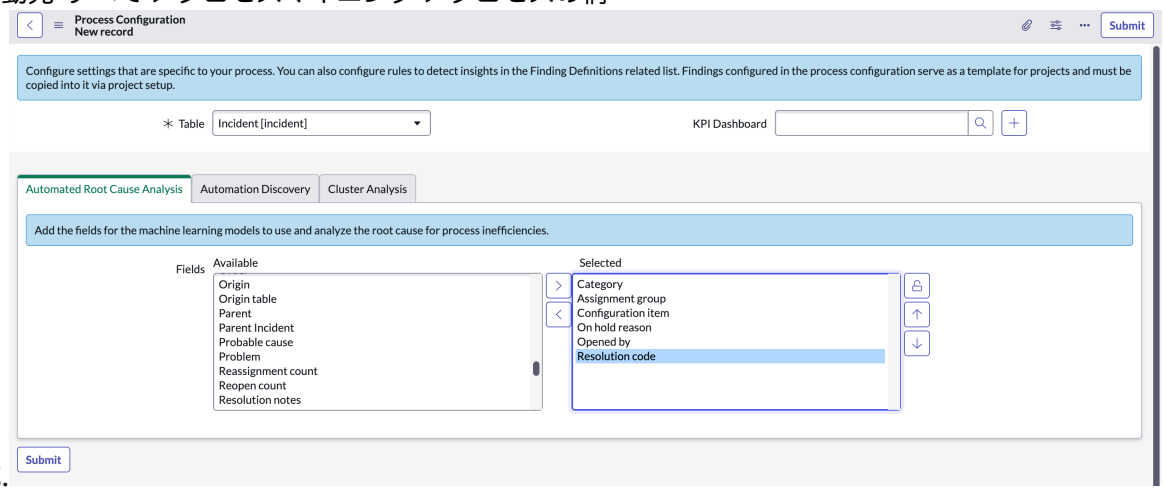
自動根本原因分析の構成

プロセス構成レコードから自動根本原因分析を設定します。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_admin、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_analyst

手順

1. 移動先 すべて > プロセスマイニング > プロセスの構成.



2. 自動化された根本原因分析を構成するプロセス構成を開きます。
   または、[新規] を選択して、新しいプロセス構成を作成することもできます。詳細については、「テーブルのプロセス設定レコードを作成する」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. [自動根本原因分析] タブで、分析に含めるフィールドを選択します。

4. [送信] または [更新] を選択します。

タスクの結果
テーブルに対して自動根本原因分析が構成されます。

自動根本原因分析レポートの実行

自動化された根本原因分析を実行して、プロセスを最適化します。

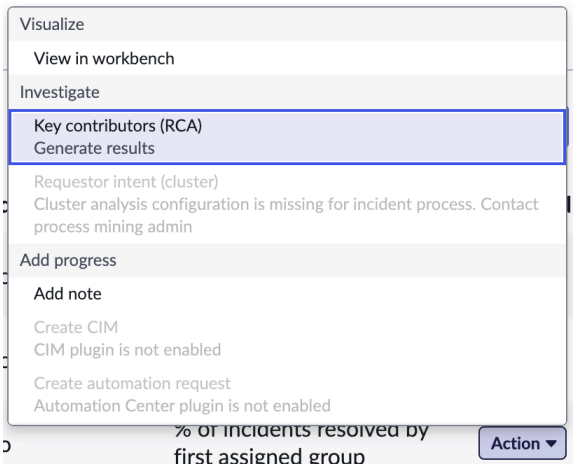
始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_admin、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_analyst

手順

1. 次のいずれかの場所から自動根本原因分析を実行します。

プロジェクトを開きます。

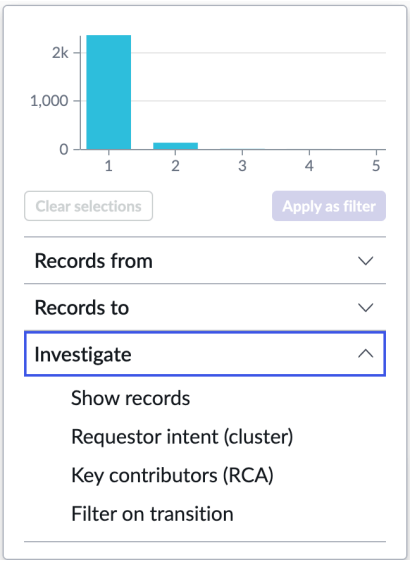
[概要とインサイト] ダッシュボードで、[改善の機会] セクションに移動します。利用可能な改善の機会から、[アクション] > [主要な貢献者 **(RCA)]** を選択します。



プロジェクトを開きます。

Analyst Workbench ダッシュボードで、ノードまたはコネクターを選択します。

ポップアップ ウィンドウから [主要な貢献者 **(RCA)>**調査] を選択します。



自動翻訳

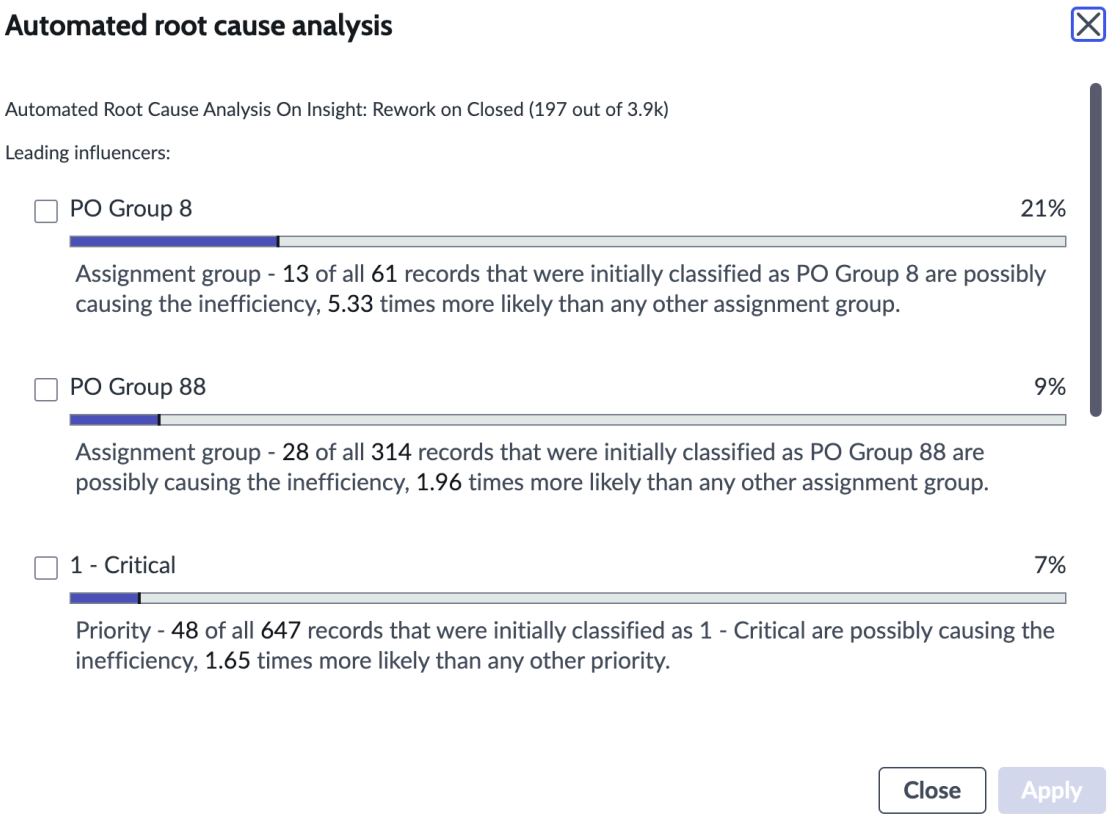
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

根本原因分析タスクの実行が開始されます。分析が完了すると、通知が表示されます。画面の右側にあるスケジュール設定済みタスクアイコン () を選択すると、タスクの進捗状況の更新を確認できます。

2. 根本原因分析が完了したら、Analyst Workbench のスケジュール設定済みタスクパネルで [結果を表示] を選択します。

   [概要と分析情報] ダッシュボードから [結果の表示] を選択することもできます。

   根本原因分析の結果は次のようになります。



自動化された根本原因分析のレビューと解釈

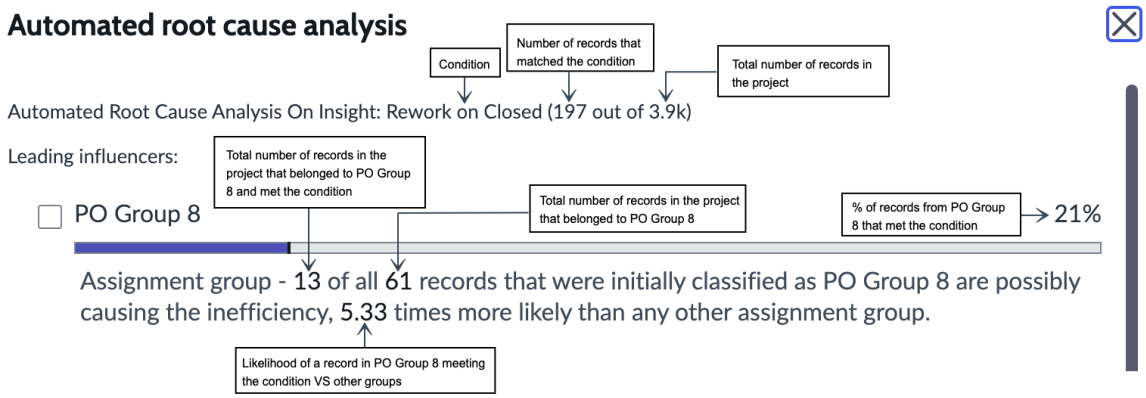
分析レポートを確認し、パフォーマンスの問題の根本原因を理解します。この情報を使用してプロセスを最適化します。

> **注:**
> 結果を確認して解釈するには、自動化された根本原因分析を実行しておく必要があります。詳細については、「自動根本原因分析レポートの実行」を参照してください。

次のように、自動化された根本原因分析の結果を読んで理解する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



上記の例では、根本原因分析は [リワーク] タイプの検出結果定義に対して実行されます。レコードが [クローズ済み] ステータスになった後にリワークが行われたレコードを調べています。これは、レコードが [クローズ済み] ステータスの後に [プロセス終了] に移行しない理由を示しています。

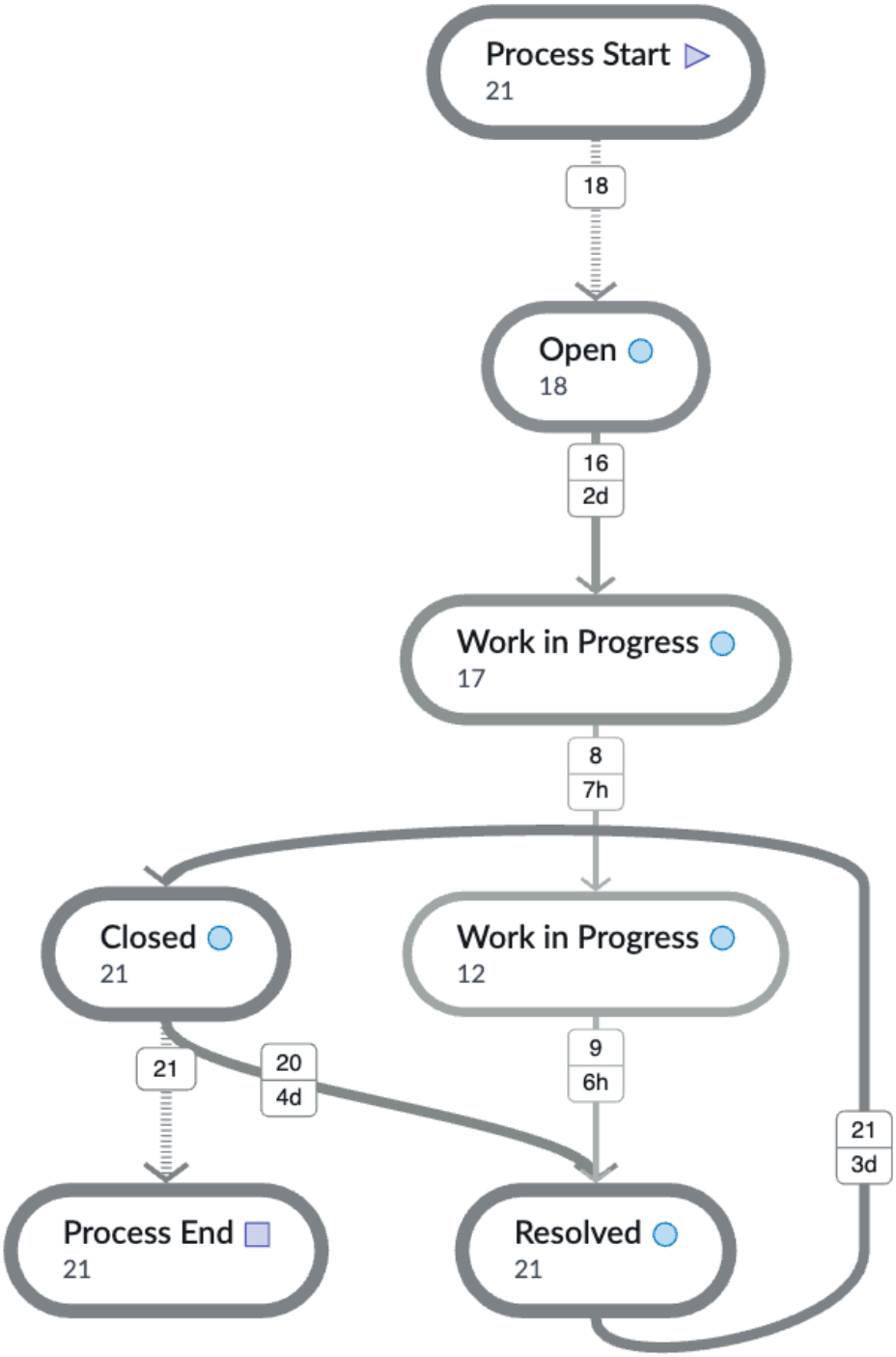
この分析によると、最初に PO グループ 8 に割り当てられたインシデントのうち 13 件は、[クローズ済み] ステータスでやり直しがありました。この数は、PO グループ 8 に割り当てられ、このプロジェクトの一部としてマイニングされたインシデントの総数の 21% に相当します。最初にこのグループにアサインされたインシデントは、他のどのグループよりも 5.33 倍高い確率で [クローズ済み] ステータスでやり直されます。

結果を解釈した後、特定のインフルエンサーを選択して、その詳細を表示できます。インフルエンサーを選択し、 [適用] を選択します。別のスケジュールされたタスクが開始され、スケジュールされたタスクパネルで進行状況と結果を表示できます。

この例から、PO グループ 8 が適用されると、次のような結果が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



このグラフから、一部のレコードがプロセス終了に移動する前に [クローズ済み] から [解決済み] に移行している理由を分析できます。

クラスター分析

アクティビティ、接続、改善の機会、またはルーティングを潜在的なボトルネックとして特定する場合は、キーワードの説明とアサイン先グループのクラスターを表示してインサイトを取得します。

クラスター分析では、類似レコードをクラスター (1 つのグループ) にグループ化して、パターンを識別できるようにします。データセットは、指定されたラベルに基づくグループ化ではなく、さまざまな自然な類似性グループに分割されます。この教師なし機械学習手法により、無関係なケースやレコードがプロジェクトの一部になるのを防ぐことができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
クラスタリングは、100,000 から 300,000 までのレコード数で使用できます。

クラスタリングがどのように機能するかについて、概念的な例を使用してみましょう。自動車修理工場では、顧客は多数のサービスオプションから選択できます。ゼネラルマネージャーは、最も使用されていないサービスを特定したいと考えています。マネージャーは、これらの領域で使用するスペシャリストの数を減らすことで、コストを削減したいと考えています。マネージャは、キーワードの説明とサービス カテゴリ領域のビューを生成するクラスタ分析を開始します。サービスアクティビティの類似したグループのクラスターが生成された後、マネージャーは限られた数のサービスを使用する顧客グループのより小さく、よりパターン化されたデータセットを持つことになります。マネージャーは、より詳細な分析のために、より小さなデータセットにさらにフィルターを適用します。

クラスタリングソリューションのプロセスの構成

クラスター分析を生成できるようにプロセスを設定します。

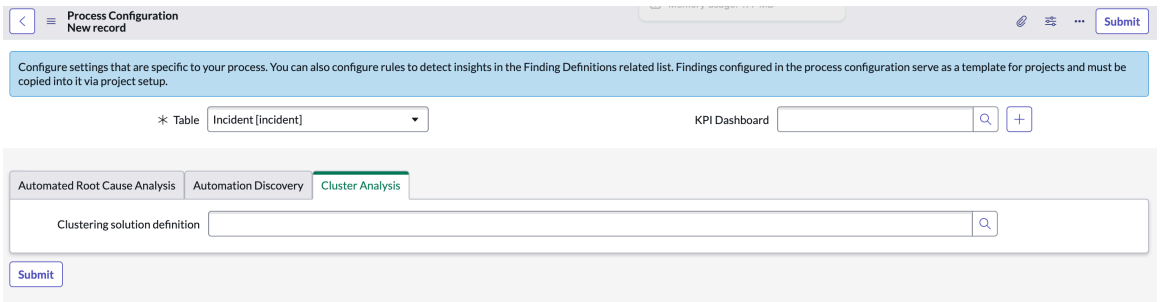
始める前に

注:

- プロセスに基づいて、プロジェクトごとにテーブルごとに 1 つの構成を作成できます。
- 必要なロール：
  - sn_process_optimization_adminロールとsn_process_optimization_power_userロールは、クラスタリングソリューション定義をプロジェクトに関連付けることはできますが、定義を作成することはできません。
  - sn_process_optimization_analystロールはクラスタリングソリューション定義を表示できますが、定義を作成、編集、関連付け、または削除することはできません。

手順

1. 移動先 すべて > プロセスマイニング > プロセスの構成.
2. クラスター分析を構成するプロセス構成を開きます。
   または、[新規] を選択して、新しいプロセス構成を作成することもできます。詳細については、「テーブルのプロセス設定レコードを作成する」を参照してください。



3. [クラスター分析] タブで、[クラスタリングソリューション定義] フィールドから検索アイコンを選択します。
4. [クラスタリング定義] リストから既存の定義を選択するか、[新規] を選択して新しいクラスタリングソリューション定義フォームを作成します。
   - 管理者ロールとml_adminロールは、新しいクラスタリングソリューション定義を作成できます。
   - 新しい定義を作成する場合は、 クラスタリングソリューションの作成とトレーニング のガイダンスに従ってフィールドを設定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. [送信] を選択します。
   クラスタリングソリューション定義は、選択したテーブルのプロセスに関連付けられます。

次のタスク
クラスター分析の実行

クラスター分析の実行

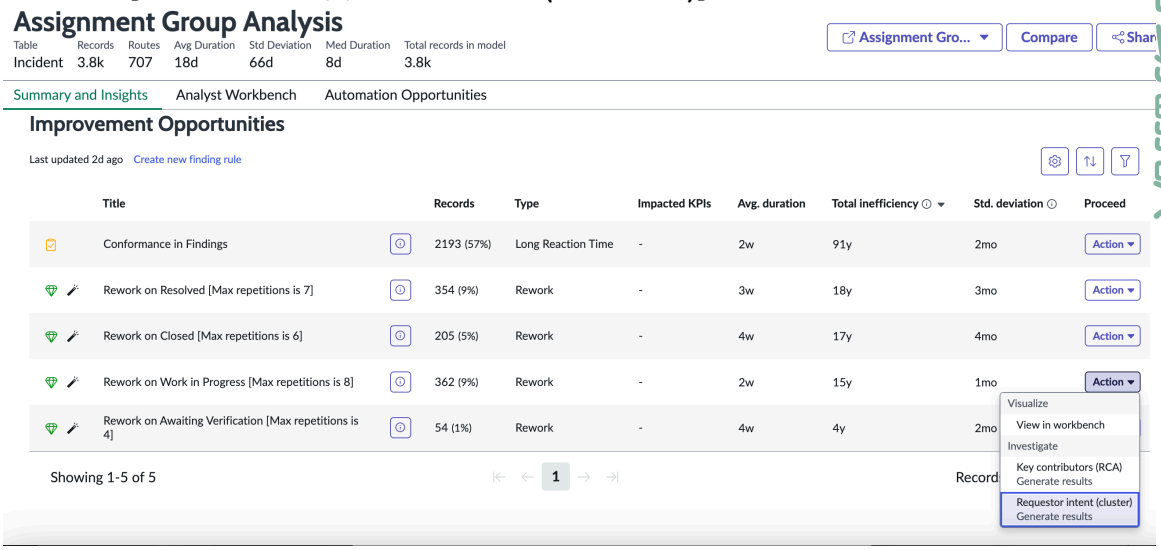
アクティビティ、アクティビティ間の接続、ルート、または改善機会に関するクラスター分析を生成します。

事前準備

- クラスタリングソリューションのプロセスの構成。クラスター分析を生成するには、プロジェクトの関連テーブルのクラスタリングソリューションで構成されたプロセスが必要です。
- 必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin
- 分析は、最小 100,000 レコード、最大 300,000 レコードのアクティビティ、接続、改善機会、または組み合わされたルートに対して実行できます。

次のいずれかの方法でクラスター分析を実行します。

- [サマリーとインサイト] ダッシュボードから:
  1. [改善の機会] セクションから、結果を選択します。
  2. 「 アクション 」リストで、「 要求者インテント (クラスター)」を選択します。



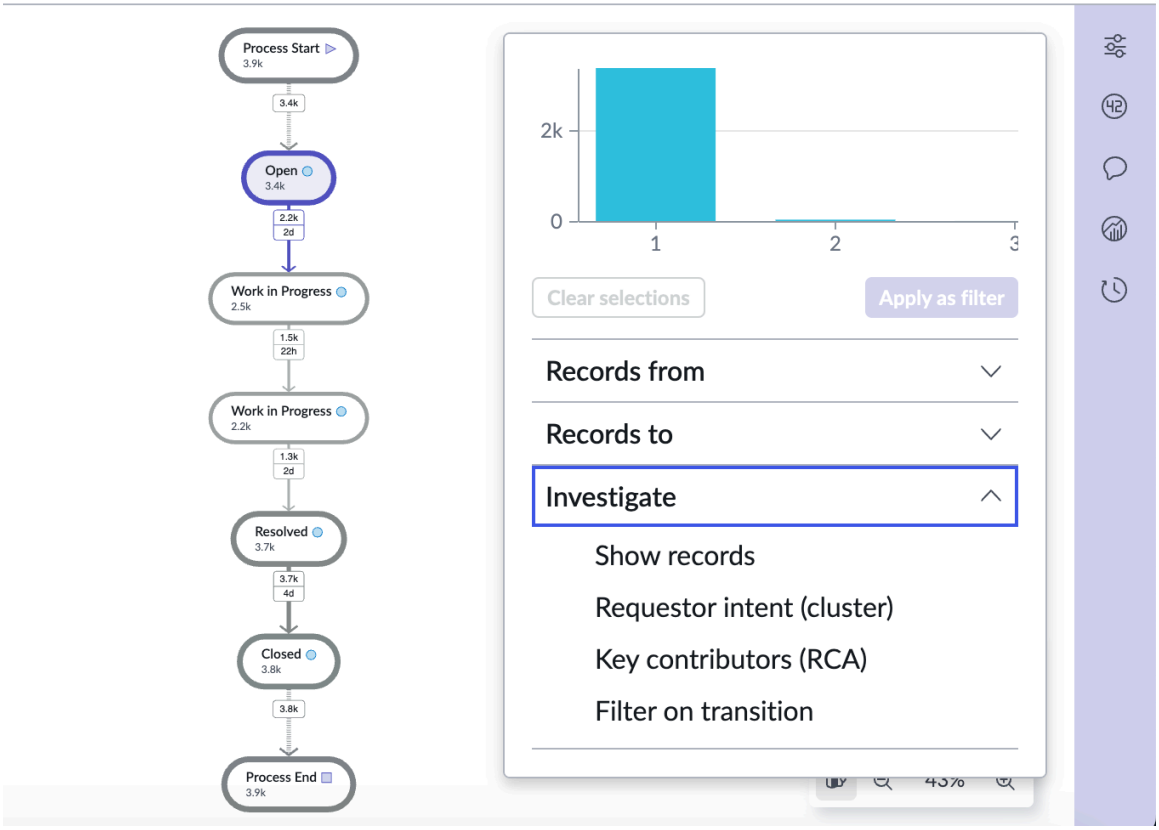
す。

> **注:**
> 要求のステータスは、タスクが完了するまで [対応中] と同じオプションで表示されます。

- プロセスマップのアクティビティまたは接続から:
  1. プロセスマップからクラスター分析を実行するアクティビティまたは接続を選択します。
  2. メトリック ボックスから、 [> リクエスターのインテント (クラスター)の調査] を選択します。

     タスクがバックグラウンドで実行されているという通知が届きます。通知を閉じることができます。タスクが完了すると、通知されます。[スケジュール設定済みのタスク] ウィンドウで詳細を確認できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. [スケジュールされたタスク] ウィンドウまたはクラスター分析が要求されたメトリック ボックスから、 [生成完了後に 結果を表示] を選択します。

関連情報

クラスター分析の表示

クラスター分析要求の再送信

構成の問題やクラスタリングソリューションの変更が発生した場合は、フォローアップのクラスター分析をスケジュールできます。

始める前に

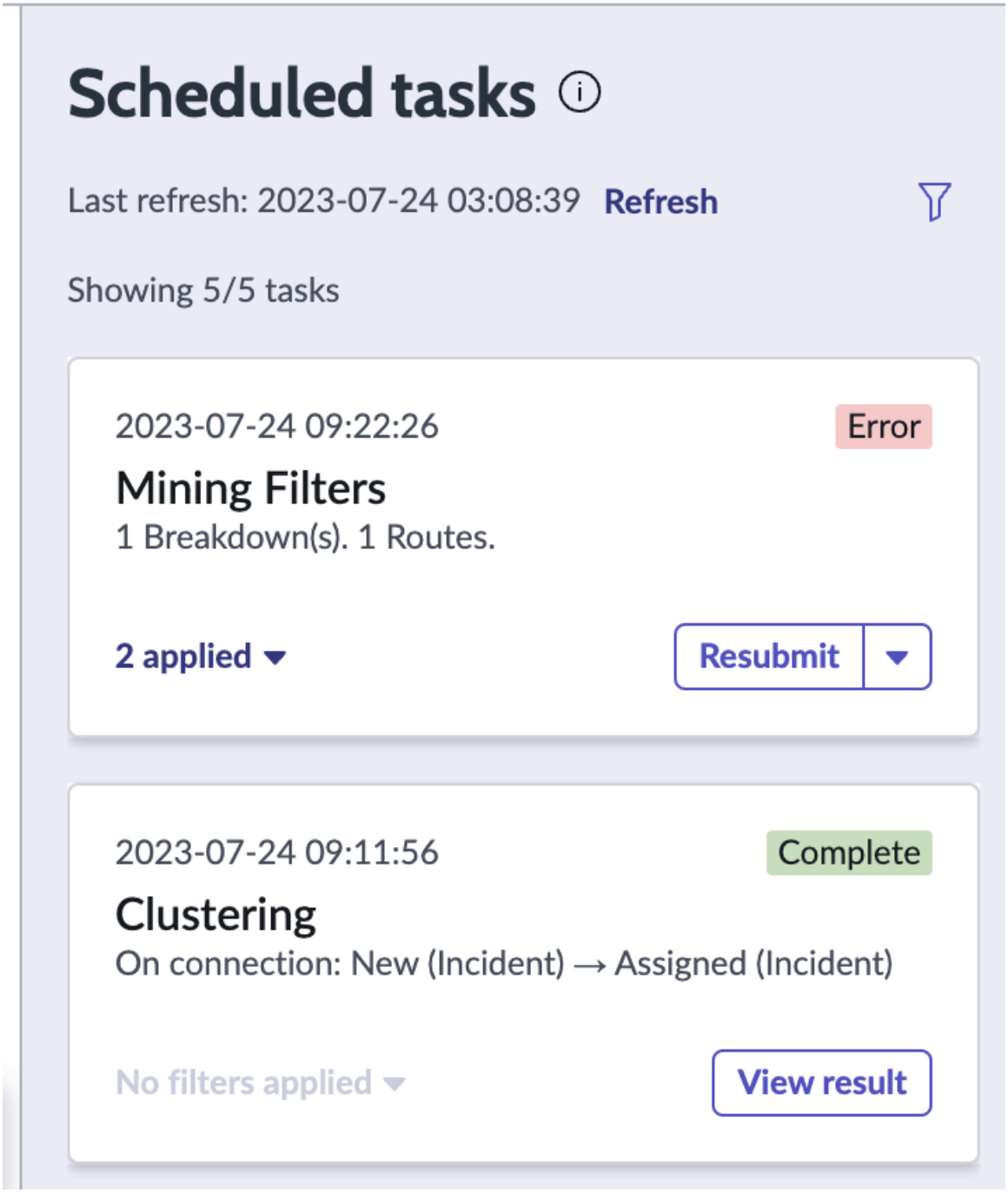
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. [スケジュール設定済みタスク] ペインで、更新された分析を生成するアクティビティまたは改善の機会に対して [再送信] を選択します。



前のクラスター分析要求の詳細を表示するには、 [エラーの詳細の表示] を選択します。エラーの詳細を表示すると、失敗したタスクの ML ソリューションフォームに移動します。

2. タスクが完了したら、 [結果の表示] を選択します。

次のタスク

ツリーマップでのクラスターの表示

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クラスター分析の表示

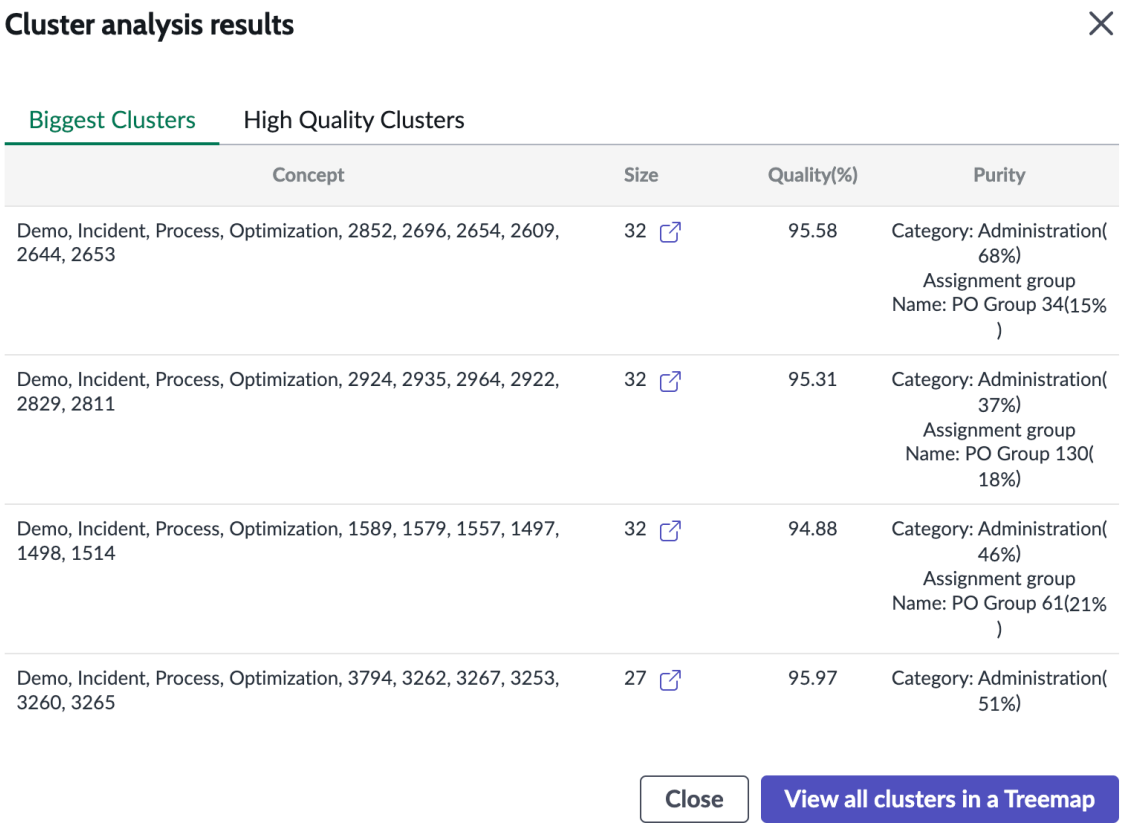
アクティビティ、アクティビティ間の接続、またはルートの上位 3 つのクラスターのクラスター分析を表示します。

完了したクラスター分析を次のいずれかの方法で表示します。

- クラスター分析が実行されたプロセスマップから接続またはアクティビティを選択します。メトリック ボックスで、 [表示] を選択します。
- [スケジュールされたタスク] ウィンドウで、 [選択したクラスター タスクの結果 の表示] を選択します。
- [概要と分析情報] ページで、表示する分析情報のボックスに [要求者の意図 (クラスター) 結果を表示する] を選択します。

クラスター分析結果

[クラスター分析結果] ダイアログには、上位のクラスターと高品質のクラスターが表示されます。



結果ダイアログには、接続またはアクティビティのタイトル、または解析が実行されたルートの数が表示されます。結果には、上位の最大かつ高品質のクラスターについて、これらの統計情報が表示されます。

コンセプト	クラスター内で見つかった最も目立つ単語またはコンテンツのリスト。ここでは、クラスターに含めるレコードをシステムが識別できるように、入力フィールドタイプとして [Short description (簡単な説明)] を使用しました。したがって、上記のクラスター分析結果には、レコードの簡単な説明に最も頻繁に出現する単語が表示されます。

自動翻訳

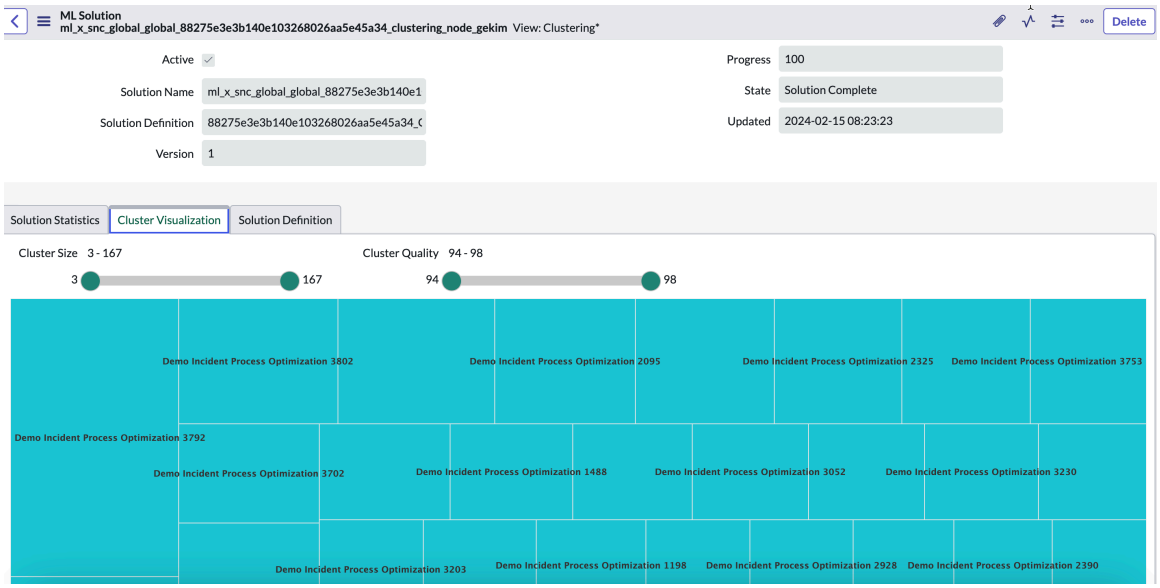
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サイズ	クラスター内のレコードの数。
品質 %	ケースの類似度のパーセンテージ値。
純度	分布の有意性に基づいて、クラスターで最も頻繁に表示されるクラスの測定基準。純度のインサイトは、クラスター内で最も頻度の高いフィールド値を特定するのに役立ちます。

ツリーマップでのクラスターの表示

結果ダイアログにリストされている上位 3 つ以外のクラスター (存在する場合) を含むクラスターの詳細を表示するには、[ツリーマップ内のすべてのクラスターを表示] を選択します。

ツリーマップによるチャート化を使用すると、クラスターのさまざまな側面をよりよく理解し、最初に注目するクラスターを決定するのに役立ちます。ツリーマッププロットが [クラスターの可視化] タブに表示されます。



ツリーマップの使用の詳細については、「 クラスタリングソリューションの作成とトレーニング 」を参照してください。

改善イニシアチブの作成と追跡

アプリケーション内 プロセスマイニング から改善イニシアチブを表示、作成、および関連付けます。

改善イニシアチブには、成功を測定するための目標と、フェーズが含まれます。フェーズには、改善を完了するための特定のアクションを持つタスクが含まれます。

改善イニシアチブを表示、作成、または関連付けるには、Continual Improvement Management プラグインがアクティブ化されていて、ユーザーがイニシアチブを表示または作成する権限を持っている必要があります。

イニシアチブリストの表示

プロセスプロジェクトに対して作成された、またはプロセスプロジェクトに関連付けられた改善イニシアチブのリストを表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、sn_process_optimization_admin または sn_process_optimization_viewer

手順

1. プロジェクトビューを開きます。
2. [メモとイニシアチブ] パネルでイニシアチブアイコン ()  を選択します。
   イニシアチブリストが表示され、各イニシアチブの CIM ID、簡単な説明、作成の詳細、および現在のステータスが表示されます。以下のことを行うことができます。
   - 以下を表示するかどうかを選択します。
     - 現在のモデルイニシアチブ:現在表示しているプロセスで作成されたイニシアチブを表示します。
     - メインモデルイニシアチブ:リンクされたプロセスから、メインプロセスで作成されたイニシアチブを表示します。
     - すべてのリンクされたイニシアチブ:メインプロセスおよびすべてのリンクされたプロセスで作成されたすべてのイニシアチブを表示します。
   - 必要に応じて、リストを [作成日]、[作成者]、または [状態] で昇順または降順にソートします。
   - 簡単な説明または CIM 番号の後に少なくとも 3 文字を続けて検索フィールドに入力して、特定のイニシアチブを検索します。
3. オプション: イニシアチブのコンテキストメニューを選択して、詳細を表示、編集、または削除します。

からの改善イニシアチブの作成 プロセスマイニング

で プロセスマイニング分析しているプロジェクトに関連付けられた改善イニシアチブを作成します。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

手順

1. プロジェクトビューを開きます。
2. 次のいずれかの方法で、新しい改善イニシアチブフォームを開きます。
   - 概要パネル メニュー [を選択し、[新しい改善イニシアチブ] を選択します。
   - [メモとイニシアチブ] パネルから、次の操作を行います。

   a. イニシアチブアイコン ()  を選択します。

   b. 選択 作成 > 新しいイニシアチブ
   新しい改善イニシアチブフォームが別のタブに表示されます。
3. フォームフィールドに記入します。
   フィールドの詳細については、次を参照してください: 改善イニシアチブを作成します。
4. オプション: サポート ドキュメントを添付する場合は、[参照] を選択し、ファイルを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. [Save (保存)] を選択します。

6. プロジェクトビューから [イニシアチブ] アイコンを選択してリストを更新します。

タスクの結果
プロジェクトに対して作成された改善イニシアチブを表示できます。

次のタスク
レコードを変更するには、CIM レコードから以下の手順を実行します。

- レコードを更新する: レコードを変更し、[保存] を選択します。
- イニシアチブを削除する: レコードから、メニュー アイコンを選択し、 削除 を選択します。

イニシアチブの関連付け

既存の改善イニシアチブをプロジェクトに関連付けます。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

手順

1. プロジェクトビューを開きます。

2. [メモとイニシアチブ] パネルからイニシアチブアイコン () を選択します。

3. プロジェクトに関連付ける 1 つ以上のイニシアチブを検索してオンにします。

4. [リンク] を選択します。

タスクの結果
関連する改善イニシアチブが、更新されたイニシアチブリストに表示されます。

イニシアティブを削除する

関連するタスクを完了したら、関連する改善イニシアチブをプロジェクトから削除するか、またはキャンセルします。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

このタスクについて
改善イニシアチブは、作成されたメインプロセスまたはリンクされたプロセスから削除できます。イニシアチブを削除しても削除されませんが、プロジェクトからイニシアチブのリンクが解除されます。

手順

1. プロジェクトビューを開きます。

2. [メモとイニシアチブ] パネルからイニシアチブアイコン () を選択します。

3. リストからイニシアチブのコンテキスト メニューを選択し、[削除] を選択します。

4. [**OK]** を選択して、イニシアチブを削除することを確認します。

タスクの結果
イニシアチブが、更新されたイニシアチブリストから削除されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

流入・流出解析:ノードスター図

プロセスグラフをノードスター図として表示します。ノードのスター図には、選択したノードに入っているアクティビティと、選択したノードから出ているアクティビティが明示的に表示されます。

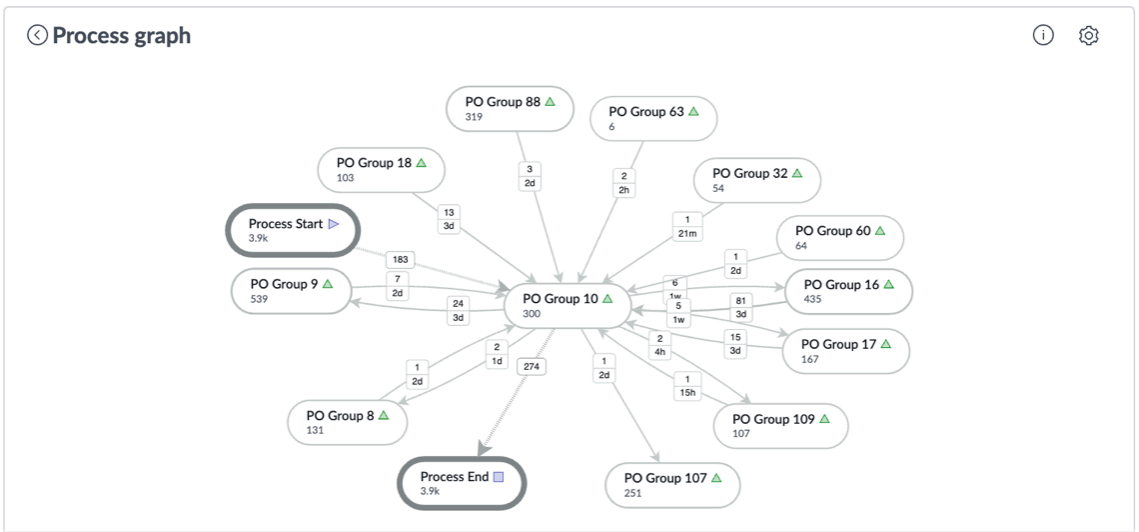
プロセス・グラフを表示し、グラフ内の1つのノードの詳細を知りたい場合は、ノード・スター・ダイアグラムを使用する必要があります。

次のプロセスグラフは、再アサイン分析の詳細を示しています。



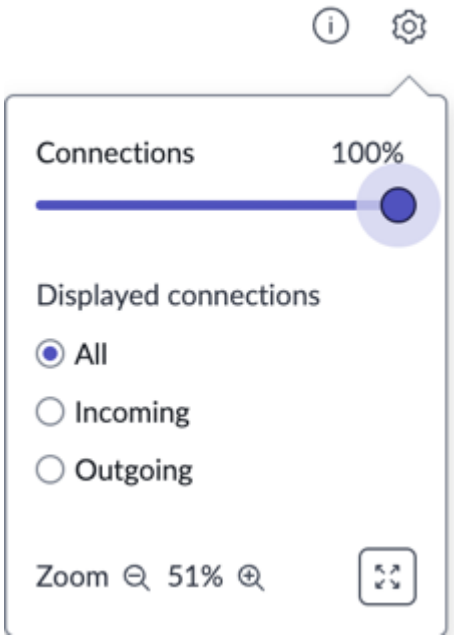
プロセスグラフの任意のノードを選択すると、グラフがノードスター図に変わり、選択したノードからのすべての入力アークと出力アークが表示されます。[プロセスグラフ] ボタンを再度選択すると、グラフ全体がプロセスグラフとして表示されます。

「POグループ10」を選択すると、次の図のようなノード・スター・ダイアグラムが表示されます。PO グループ 10 に割り当てられたレコードを表示できます。また、発注書グループ 10 から他のグループに割り当てられたレコードを表示することもできます。

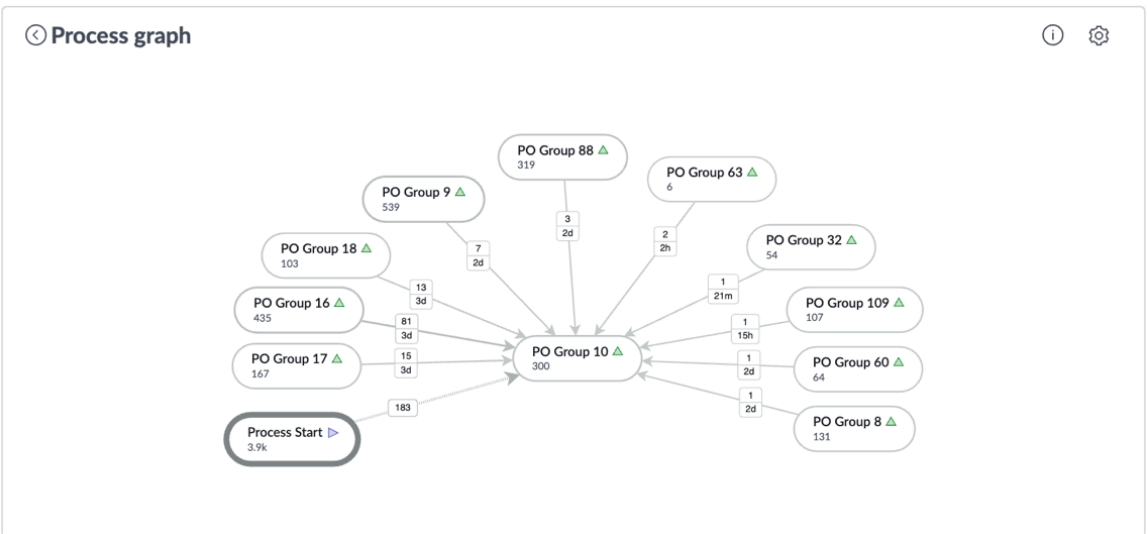


送信レコードまたは受信レコードのいずれかでフィルタリングできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

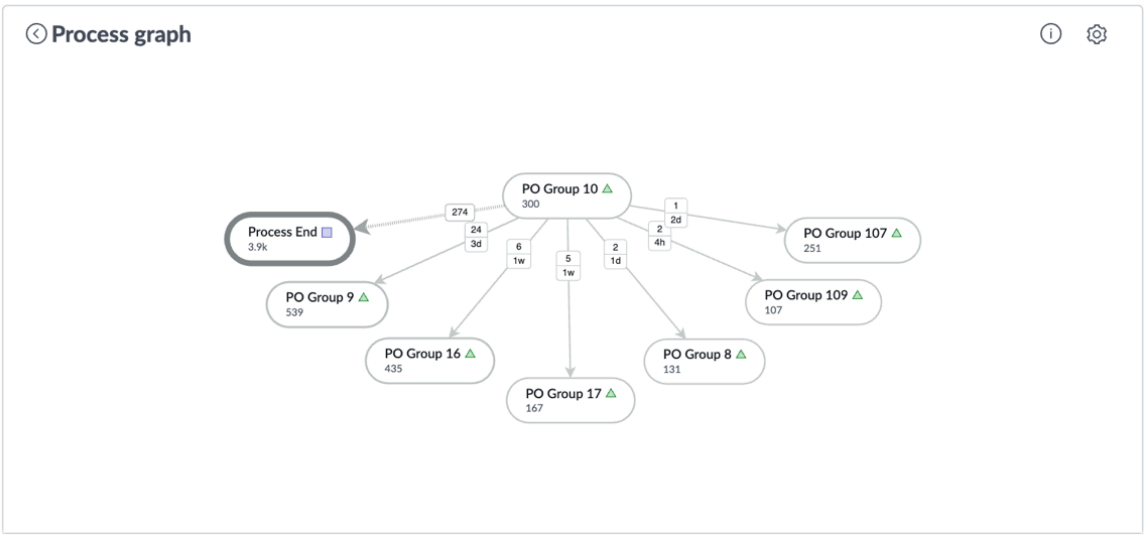


[受信] でフィルター処理すると、PO グループ 10 に割り当てられているすべてのレコードが表示されます。PO グループ 10 のマネージャーは、どのグループがグループにいくつのレコードを割り当てているかを確認できます。その後、発生した問題の修正に集中できます。



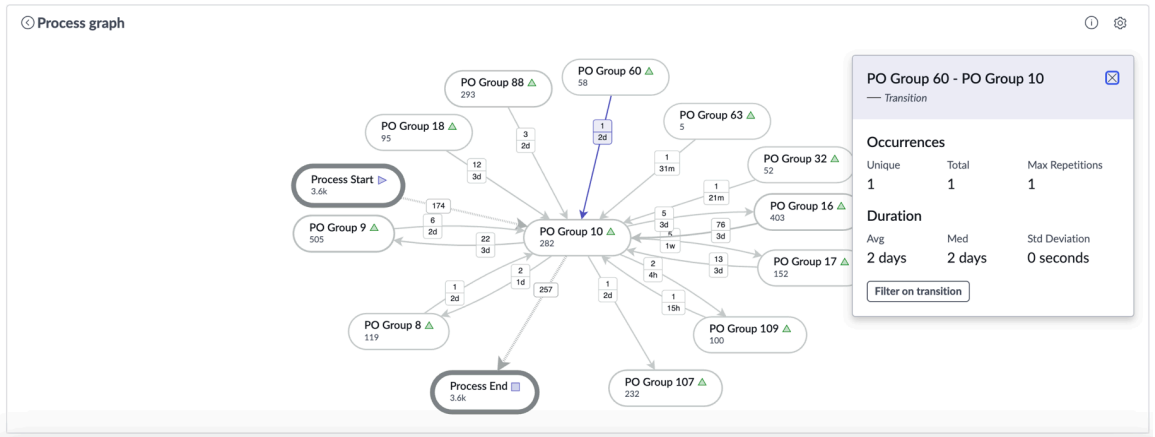
送信 でフィルター処理すると、PO グループ 10 によって他のグループに割り当てられているすべてのレコードが表示されます。PO グループ 10 のマネージャーは、PO グループ 10 からどのグループに再アサインされたレコードの数を確認できます。その後、発生した問題の修正に集中できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

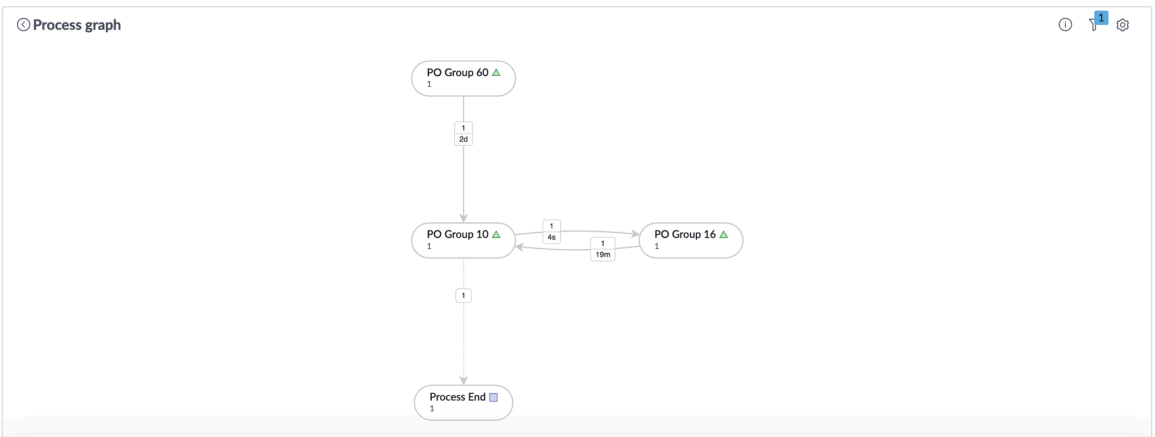


トランジションでフィルタリングすることもできます。任意の円弧を選択すると、遷移の詳細を示すウィンドウが表示されます。

PO グループ 60 を選択すると、次のようなウィンドウが表示されます。



[トランジションでフィルター] を選択します。ノード スター図には、その 1 つの遷移の結果のみが表示されます。この画像は、PO グループ 60 が PO グループ 10 にレコードを割り当てたことを示しています。その後、PO グループ 10 はレコードを PO グループ 16 に割り当てました。その後、PO グループ 16 はレコードを PO グループ 10 に割り当てました。最後に、レコードは閉じられました。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

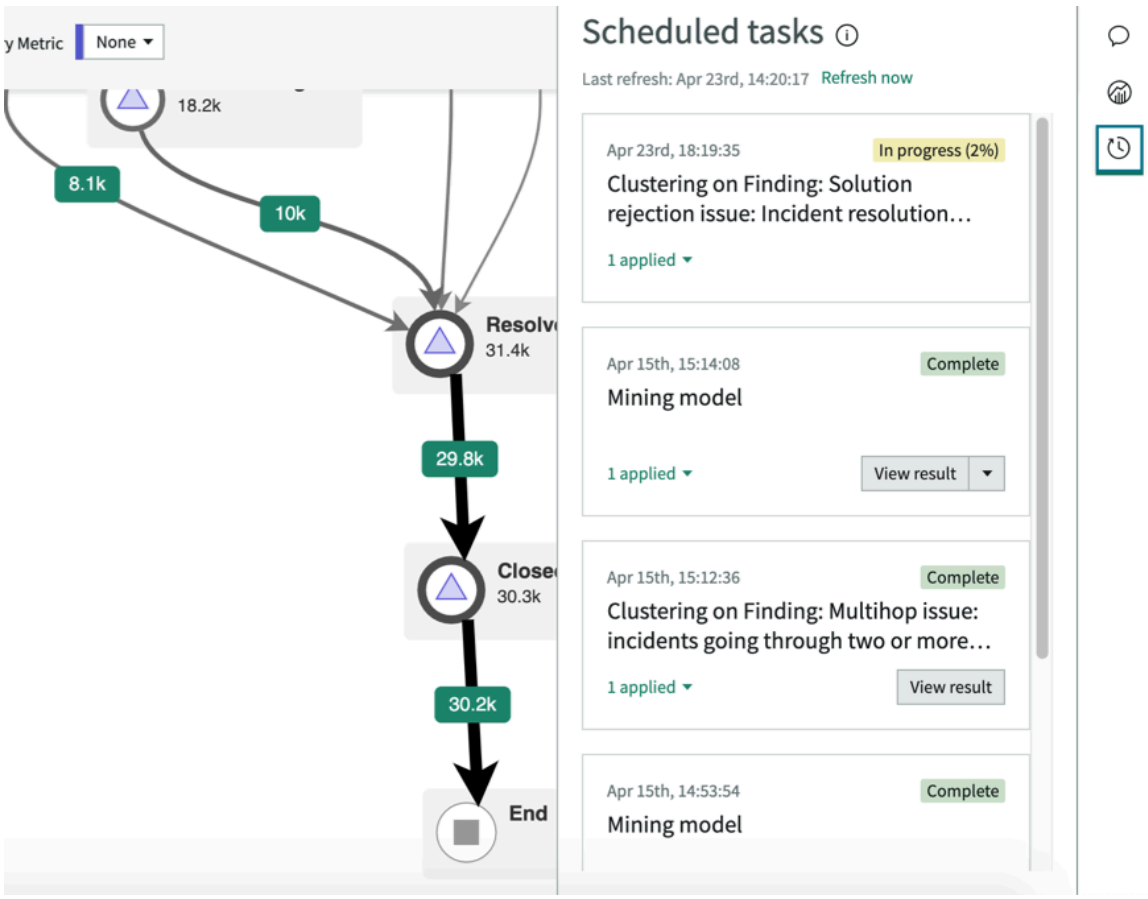
自動翻訳

スケジュール設定済みタスクの表示

[スケジュールされたタスク] ペインから、ステータスを表示し、要求されたクラスター分析や適用されたフィルター ビューなど、オンデマンドでスケジュールされたマイニング タスクの結果にアクセスします。

[スケジュールされたタスク] ペインには、これらのスケジュールされたマイニング タスクの現在の [キューに格納]、[進行中]、[エラー]、または [完了] ステータスが表示されます。

- クラスター分析要求
- リンクされたプロセスマイニング
- フィルター、ブレークダウン、移行、およびルートの適用



[スケジュール設定済みタスク] ペインから、結果またはビューにさらにアクセスできます。

外部データセットの操作

環境プロセスマイニング外でServiceNow® 利用可能なデータを使用して、プロセスを最適化し、ビジネス上の問題を解決します。外部データセットを使用するには、まず外部データセットを環境にServiceNow® インポートする必要があります。

> **注:**
> 外部データのライセンスとパッケージ情報については プロセスマイニング 、アカウントチームにお問い合わせください。

外部データセットを環境に ServiceNow® インポートすると、ソースを気にせずに任意のデータを使用できる プロセスマイニング ため、作業が楽になります。

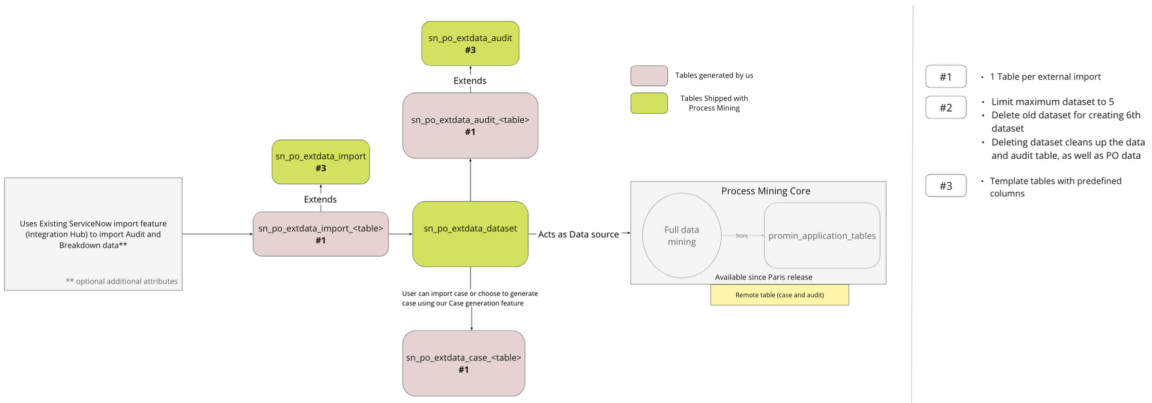
外部データセットをインポートし ServiceNow® 、それを使用してプロジェクトを作成してマイニングするには、次の手順を実行する必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 監査テーブルを作成する
- 監査テーブルにカスタムフィールドを追加する
- 監査テーブルへの外部データのインポート
- インポートされたデータの検証
- レコードテーブルの作成
- プロジェクトを作成してマイニングする

外部データセットのアーキテクチャ



監査テーブルを作成する

データを格納する監査テーブルを作成します。監査テーブルは、外部データを入力するために必要な列で作成されるステージングテーブルです。

始める前に

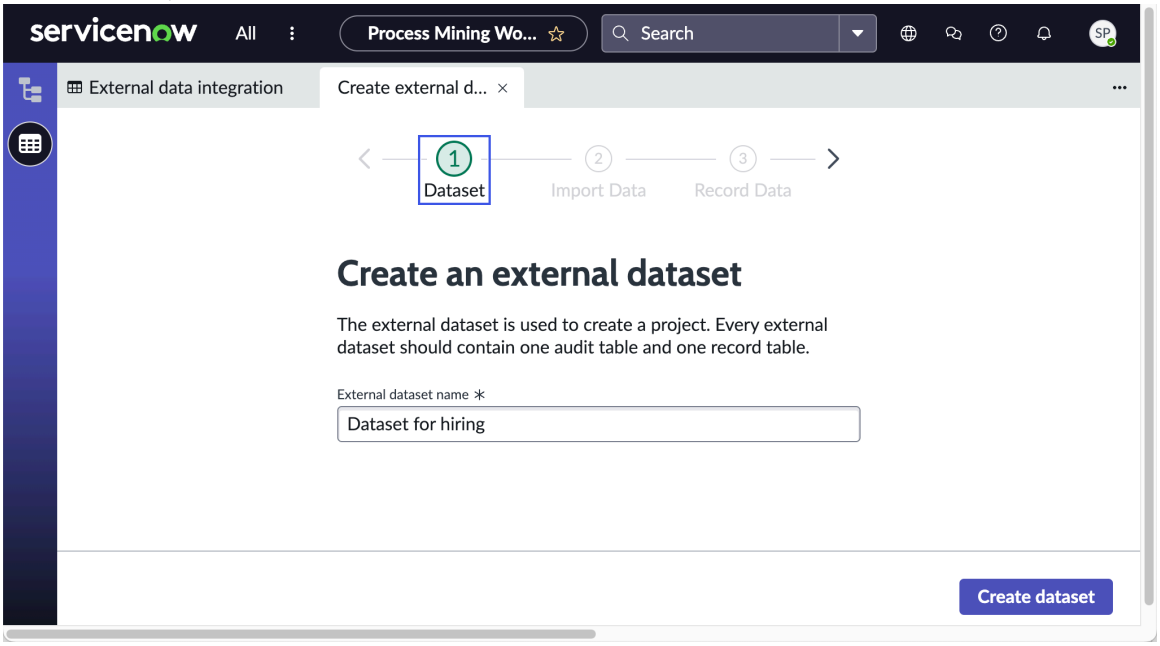
必要なロール:sn_process_optimization_admin

手順

1. 移動先 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. ページの左側で、外部データ統合アイコン ( ) を選択します。
3. [データセットの作成] を選択します。
   [外部データセットを作成] タブが開きます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. データセットの名前を指定しま

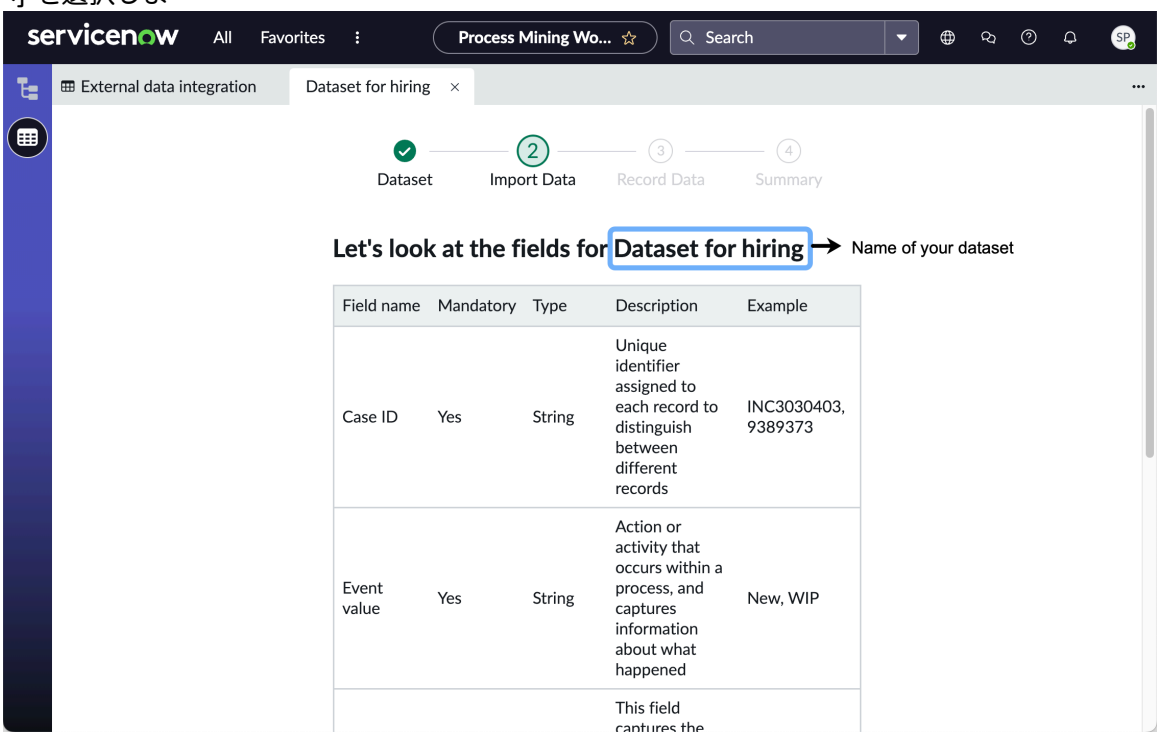


す。

注:
データセット名は一意である必要があります。後で簡単に使用できるように、データのタイプとソースが明確になるわかりやすい名前にしてください。

5. [データセットの作成] を選択します。
次の画面には、監査テーブルの列のリストが、その説明と例とともに表示されます。

6. [次へ] を選択しま



す。
次の画面では、テーブルのカスタム列を追加できます。既に提供されている列よりも多くの列が必要な場合は、ここで行うことができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブルに自動的に追加される列

列タイトル	説明
ケース ID	異なるレコードを区別するために各レコードに割り当てられる一意の識別子を参照します。
イベント値	プロセス内で発生するアクションまたはアクティビティを指し、何が起こったかに関する情報をキャプチャします。
タイムスタンプ	イベントが発生した日時をキャプチャします。
ユーザー	(オプション)アクションを実行したユーザーを指します。
イベントタイプ	(オプション)イベント ログに記録されている特定の種類のアクティビティを参照します。イベントタイプは、類似したタイプのイベントを 1 つの列にまとめるためによく使用されます。

7. [次へ] を選択します。

監査テーブルにカスタムフィールドを追加する

カスタムフィールドは、プロセスグラフを表示するときにブレークダウンフィルターとして形成されます。カスタムフィールドがないと、ブレークダウンフィルターは存在しません。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_admin

手順

1. [追加フィールドの追加] ページで、[カスタム フィールドの追加] を選択します。

> **注:**
> 最大 5 つのカスタムフィールドを追加できます。

2. 名前を入力し、タイプを選択します。
このタイプには次のオプションがあります。

- 文字列:サイズの場合、許可される最大長は 4000 文字です。デフォルト値は 80 です。
- ブール
- 日付と時刻
- 日付
- **10** 進数: サイズの場合、許可される最大長は 20 文字です。デフォルト値は 15 です。
- 整数:サイズの場合、許可される最大長は 20 文字です。デフォルト値は 15 です。
- 参照: [参照] を選択した場合は、参照テーブルと参照フィールドを選択する必要があります。これにより、外部データセットを使用して多次元マイニングを実行するときに、ソースフィールドとターゲットフィールドを構成できるようになります。

3. [次へ] を選択します。
次の画面には、監査テーブルのすべての列が表示されます。

4. オプション: カスタム フィールドを変更する場合は、[戻る] を選択して詳細を追加または削除 します。

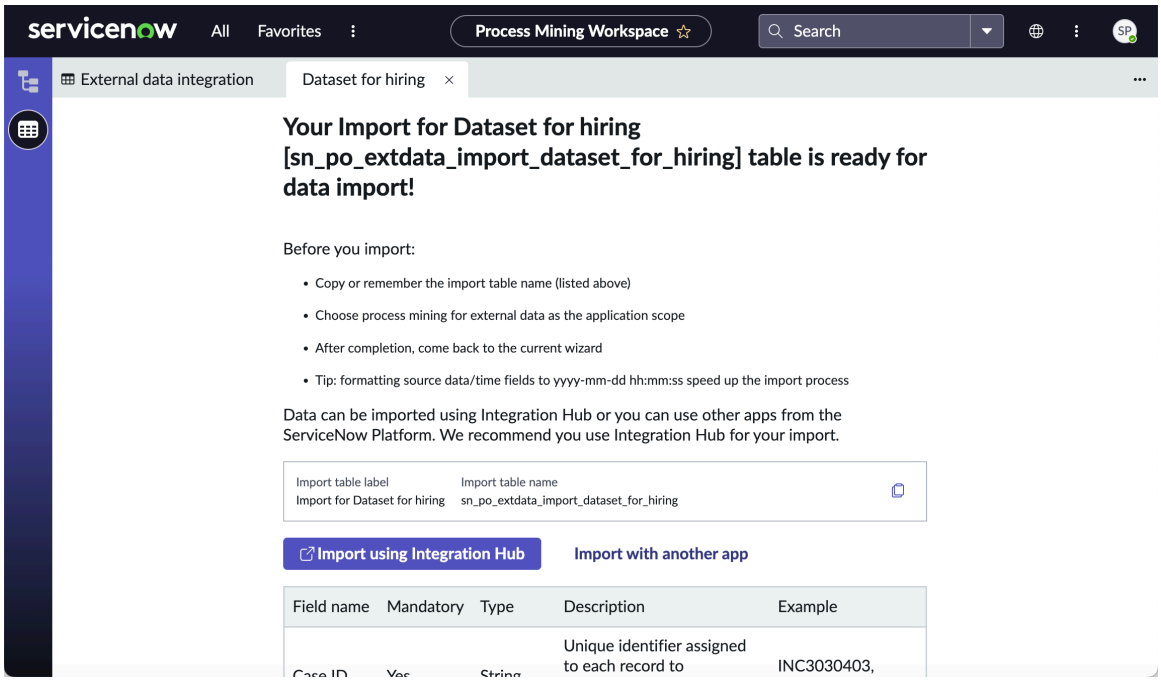
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

変更を行った後、 [次へ] を選択します。

5. 列のリストを検証した後、 [インポート テーブルの作成] を選択します。

> **注:**
> この画面には、作成されるテーブルの名前が表示されます。このテーブル名は、次の手順でデータをインポートするときに必要になります。



監査テーブルの準備ができました。これで、テーブルにデータをインポートする準備ができました。

監査テーブルへのデータのインポート

外部データセットを監査テーブルにインポートして、 の プロセスマイニングデータの操作を開始します。

始める前に

- 監査テーブルを作成する

他のアプリケーションを使用して ServiceNow 統合ハブ インポートできます。この項では、を使用して ServiceNow 統合ハブデータをインポートする方法について説明します。

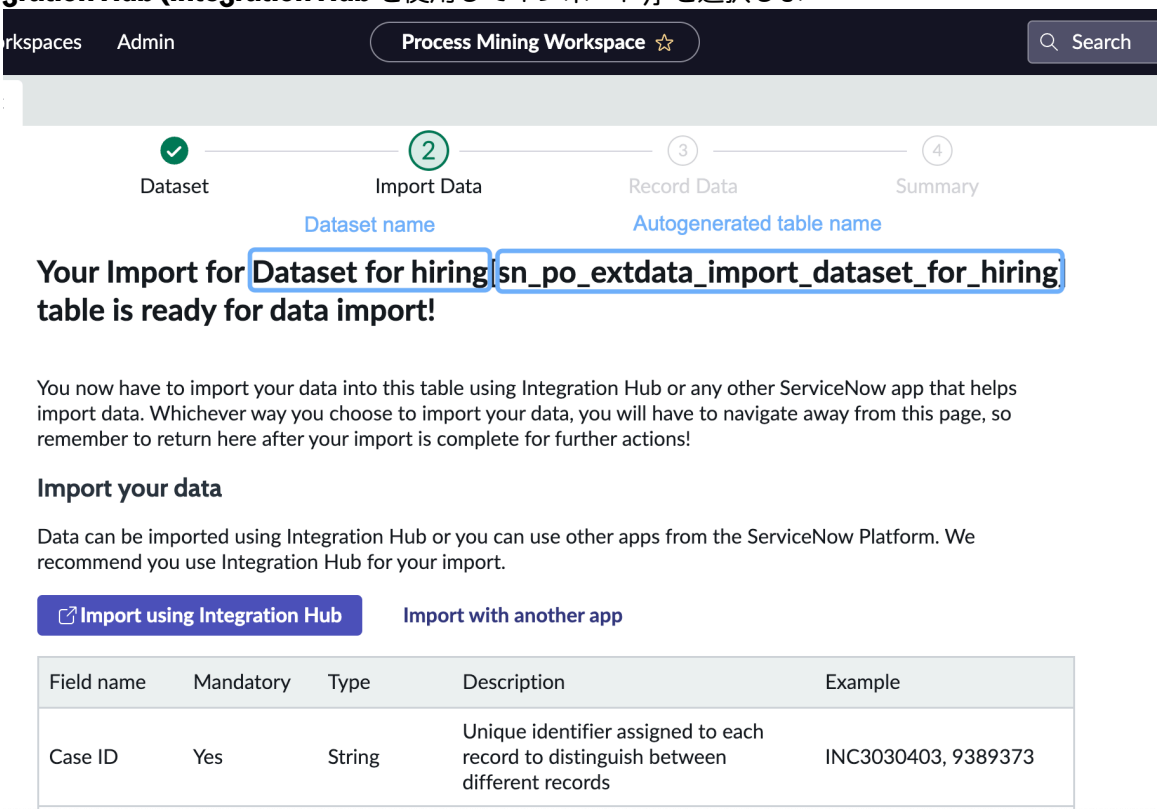
必要なロール:sn_process_optimization_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. [Import Data (データのインポート)] セクションで、[**Import using Integration Hub (Integration Hub** を使用してインポート)] を選択します。

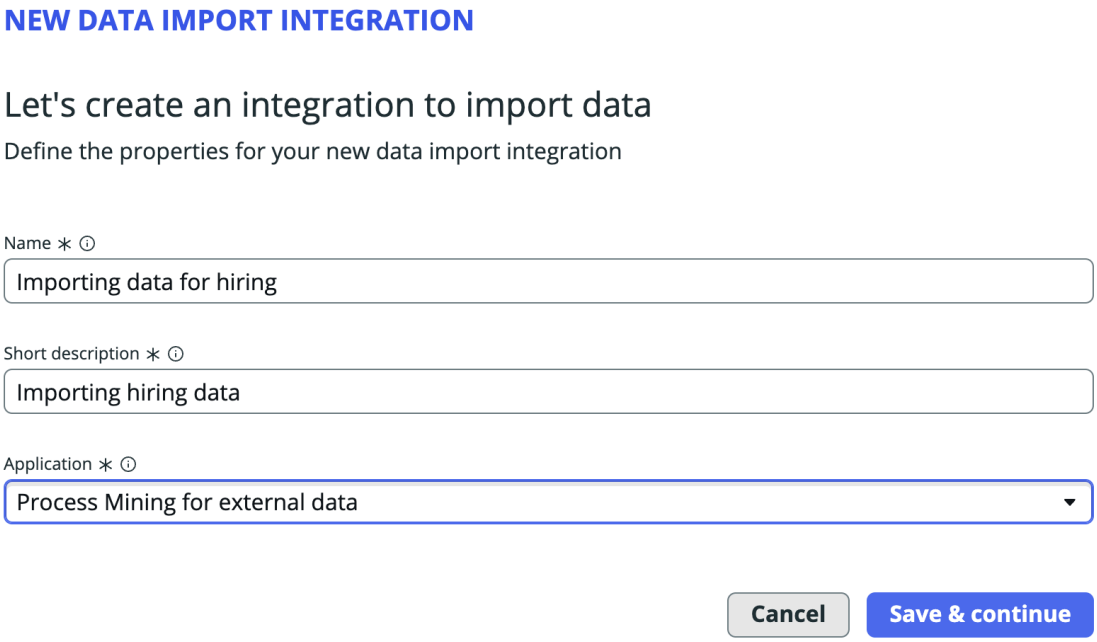


   選択内容を確認するダイアログボックスが表示され、Integration Hub からデータをインポートした後、このページに再度移動する必要があることが通知されます。
2. [**Proceed to Integration Hub**] を選択します。
   統合ハブ が新しいタブで開きます。
3. [新しい統合を作成] を選択します。
4. [新しいデータインポートの統合 (NEW DATA IMPORT INTEGRATION)] ページで、フィールドに入力します。

   注:
   [アプリケーション] フィールドで、外部データの Process Mining を指定していることを確認してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



5. [保存して続行] を選択します。

6. データソースを選択して設定します。

a. ドロップダウンリストからソースタイプとして [ファイル] を選択します。

b. データの保存方法に応じて、Excel または CSV のいずれかを選択します。

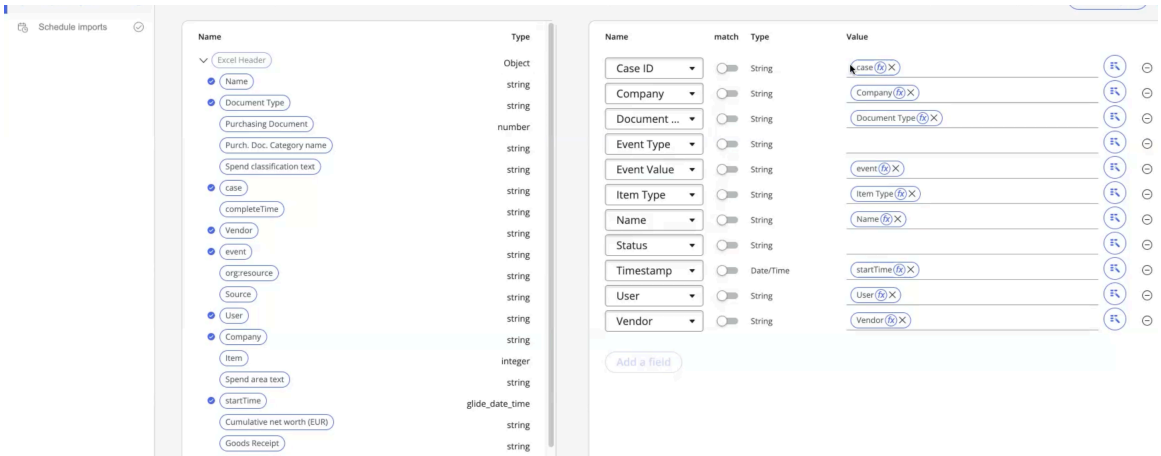
> **注:**
> 日付が jjjj-mm-dd uu:mm:ss の形式になっていると便利です。これにより、Integration Hub の変換時間が短縮されます。また、インポートしやすいように CSV ファイルを使用することをお勧めします。

7. 次に、ソースをターゲットにマップする必要があります。

a. [テーブルの追加] を選択します。

b. ターゲットテーブルを選択します。これは、作成したテーブルと同じである必要があります。

c. ターゲットフィールドをソースフィールドにマッピングします。



8. インポートをスケジュールします。
詳細については、「Integration Hub - Import」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

インポートされたデータの検証

インポートされたデータを検証し、データが正確であることを検証します。データマイニングが成功するかどうかは、インポートしたデータの精度にかかっています。

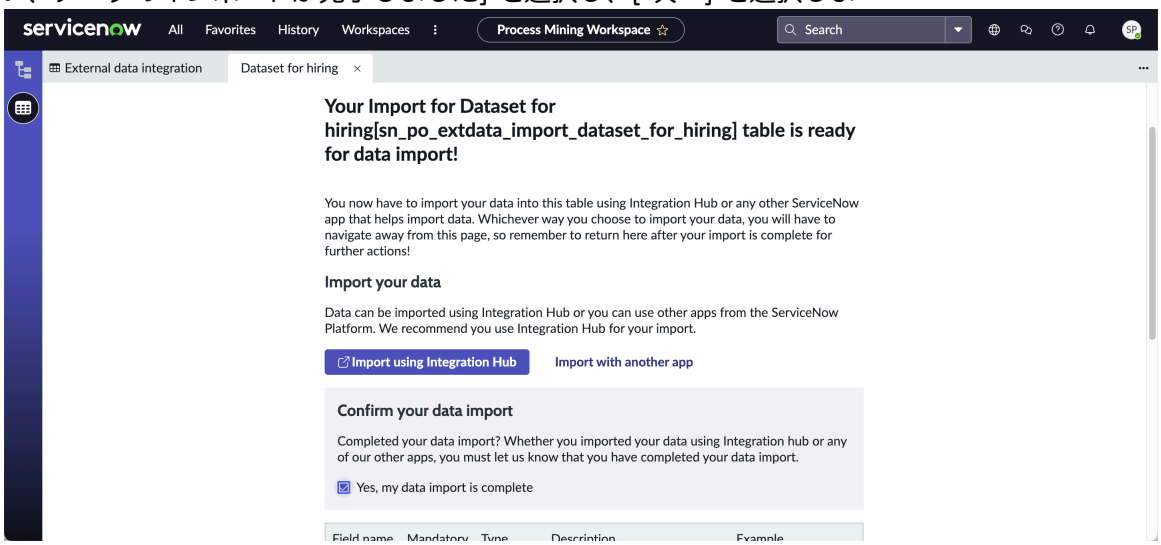
始める前に

- 監査テーブルを作成する。
- 監査テーブルへのデータのインポート。

必要なロール:sn_process_optimization_admin

手順

1. セクションで **[Import using Integration Hub (Integration Hub**監査テーブルへのデータのインポート を使用してインポート)] を選択したステップに移動します。
2. [はい、データのインポートが完了しました] を選択し、[次へ] を選択します。



3. 次のページで、 [プレビュー] を選択して、インポートしたデータを確認します。
必須フィールドとカスタムフィールドに、ソースファイルで指定した値があることを確認します。
4. オプション: データセットを再度インポートする場合、またはインポートしたデータセットを編集する場合は、[データセットの編集] リンクを選択します。
5. [確認] を選択し、 データの検証後に続行します。

インポートされたデータのケースレコードを作成

プロジェクトを作成してマイニングするために重要なため、インポートされたデータのケースレコードを作成します。レコードテーブルがないと、プロジェクトを作成できません。

始める前に

- 監査テーブルを作成する
- 監査テーブルへのデータのインポート
- インポートされたデータの検証

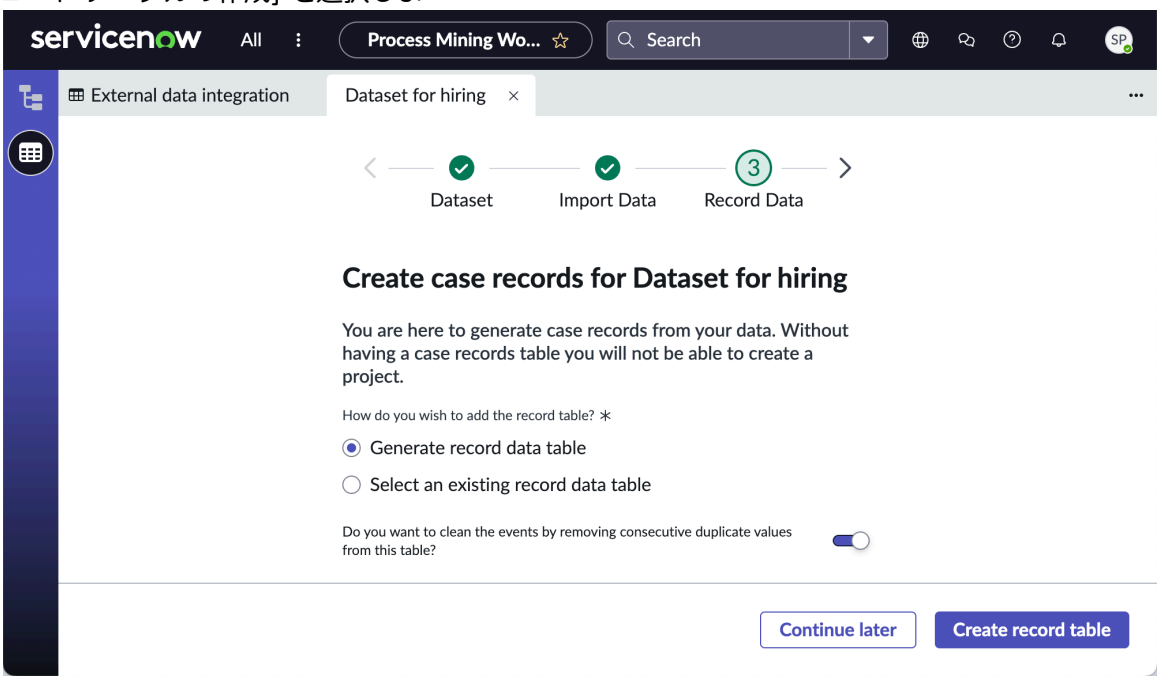
必要なロール:sn_process_optimization_admin

自動翻訳

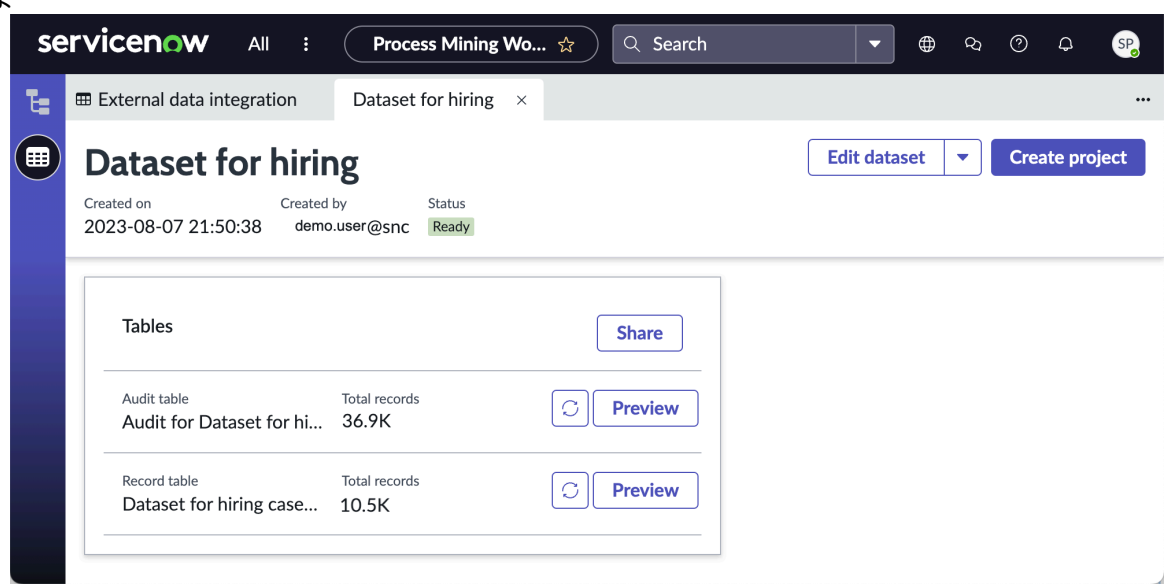
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. インポートしたデータを検証したら、[レコードデータ] セクションからレコードテーブルを作成します。
2. [レコードテーブルをどのように追加しますか?] でオプションを選択します。
   監査テーブルにカスタムフィールドがある場合、2 つのオプションはグレー表示されます。デフォルトでは、[レコードデータテーブルを生成] が選択されています。
3. [レコード テーブルの作成] を選択しま



す。
レコードテーブルが作成されると、タブが開き、監査テーブルとレコードテーブルの詳細が表示されま



す。

プロジェクトを作成する

インポートされた外部データを使用してプロジェクトを作成します。データを分析してプロセスを改善するには、プロジェクトをマイニングする必要があります。

始める前に

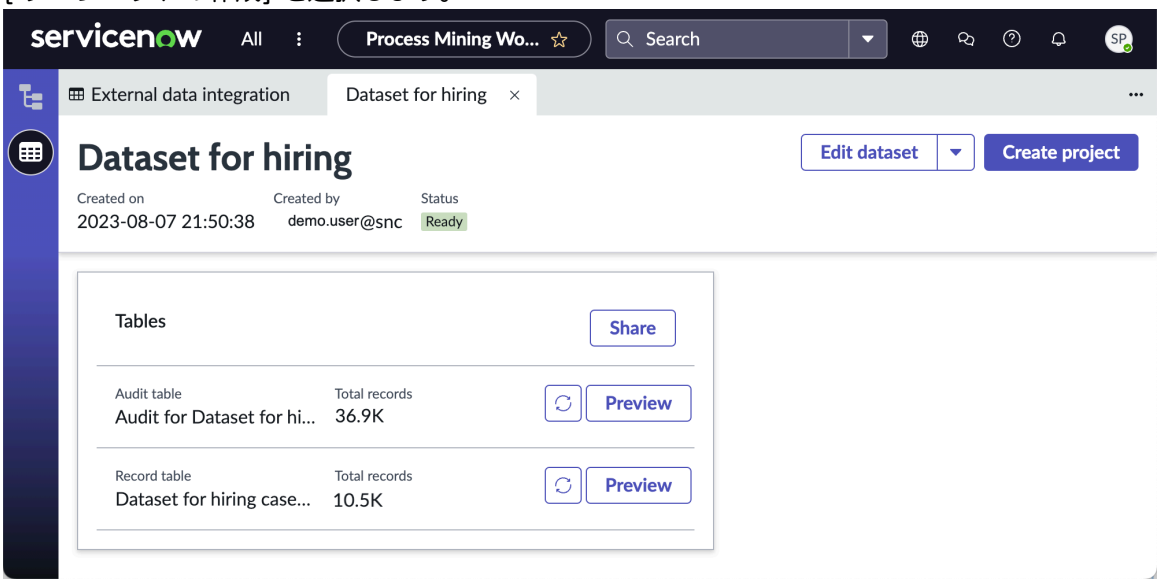
必要なロール:sn_process_optimization_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. ページの左側で、外部データ統合アイコン ( ) を選択します。
3. プロジェクトの作成ベースにするデータセットを選択します。
   データセットが新しいタブで開きます。
4. [プロジェクトの作成] を選択します。



   プロジェクトビルダーの [分析のスコーピング] ページに自動的に移動します。
5. プロジェクトにアクティビティ定義を追加します。

   必要に応じて、ブレークダウンフィルターを追加できます。

   詳細については、「分析のスコーピング」を参照してください。
6. オプション: [子エンティティの追加] を選択します。

   注:
   外部データを使用して多次元マイニングを実行する場合は、子エンティティを追加する必要があります。

7. オプション: フォームのフィールドに入力します。

新しい子テーブルフォーム

フィールド	説明
ソース	次のいずれかのソースタイプを選択できます。 ○ テーブル:任意のデータベーステーブル ○ レポート ソース:レポートを含むテーブルを選択します ○ アーカイブされたデータ:アーカイブされたテーブルを選択します。
選択	外部データセットとリンクするテーブルを選択します。
親テーブル	プロジェクトの作成に使用する外部データテーブルを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
関連	これは参照フィールドになるので、[参照] を選択します。
ソースフィールド	これは自動的に入力されます。
ターゲットフィールド	ターゲット参照フィールドを選択します。 **注:** このフィールドに値を指定するには、監査テーブルの作成時に 参照 タイプのカスタムフィールドを作成する必要があります。これにより、ソースフィールドとターゲットフィールドを適宜設定できるようになります。詳細については、「監査テーブルにカスタムフィールドを追加する」を参照してください。

注:
必要なアクティビティ定義またはブレークダウンフィルターを追加できます。

8. [次へ] を選択します。
9. 必要に応じて改善の機会を作成します。
   詳細については、「 改善の機会の設定 」を参照してください。
10. プロジェクトをレビューしてマイニングします。
    詳細については、「 プロジェクトのレビューとマイニング 」を参照してください。

監査テーブルの管理

インポートされたデータで監査テーブルとレコードテーブルを作成したら、それらを使用してプロジェクトを作成できます。テーブルを共有、編集、空にしたり、削除したりすることもできます。

監査テーブルとレコードテーブルを共有する

アナリストと監査テーブルとレコードテーブルを共有してデータを分析します。監査テーブルとレコードテーブルは、管理者のみが使用できます。ただし、管理者は、アナリストにテーブルを確認してプロジェクトを作成してもらいたい場合があります。

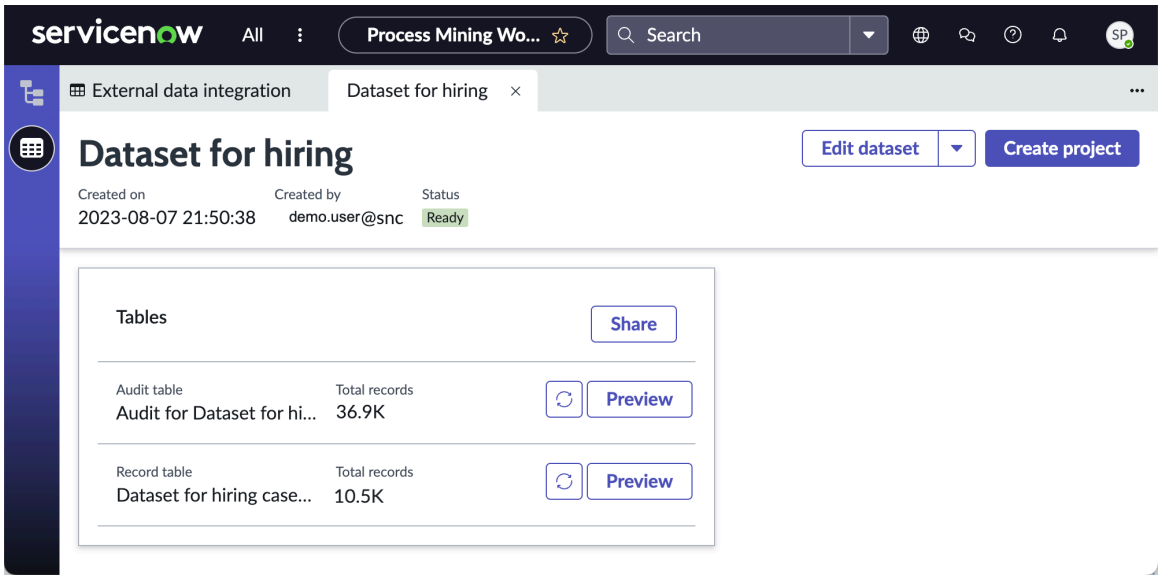
始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_admin

手順

1. 移動先 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. ページの左側で、外部データ統合アイコン ( ) を選択します。
3. 共有するデータセットを選択します。
   データセットが新しいタブで開きます。
4. [共有] を選択します。

自動翻訳

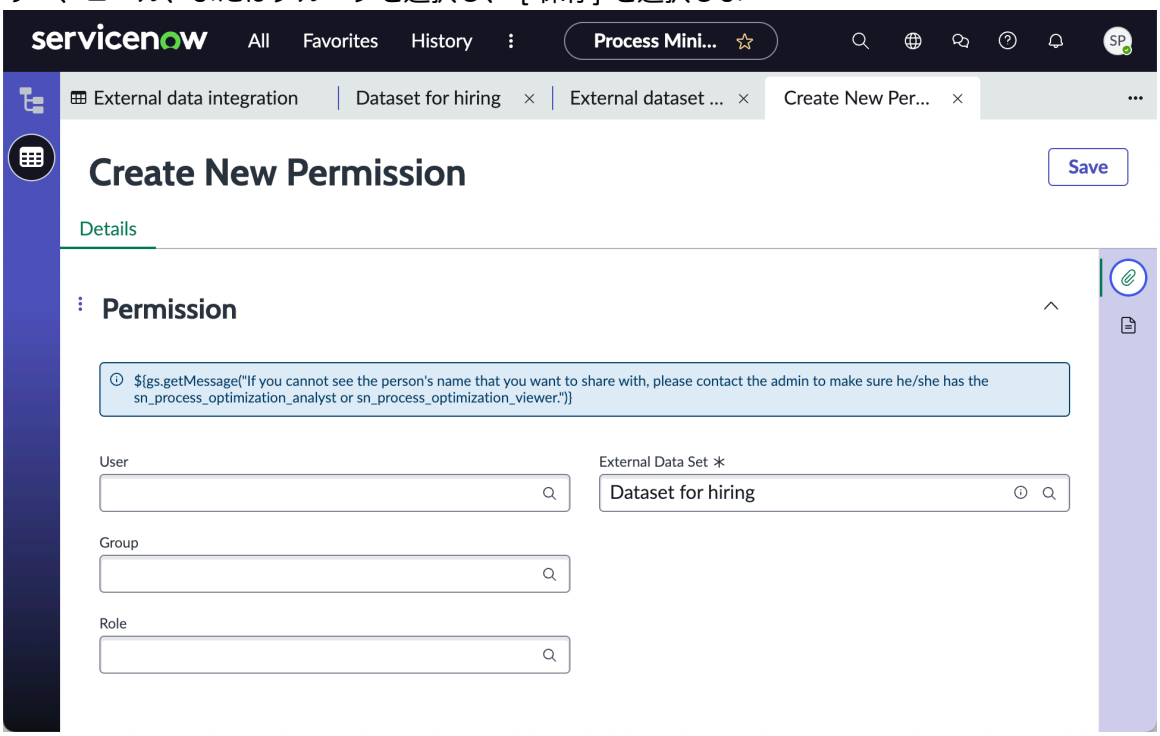
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



[外部データセットのアクセス許可] タブが表示されます。

5. [新規] を選択します。
[新しい権限の作成] ページが表示されます。

6. ユーザー、ロール、またはグループを選択し、 [保存] を選択しま



す。
指定された権限を持つすべてのユーザーは、監査テーブルとレコードテーブルにアクセスできます。

データセットの編集

現在のデータセットからデータを追加または削除するなど、データセットを変更する場合は、データセットを編集します。

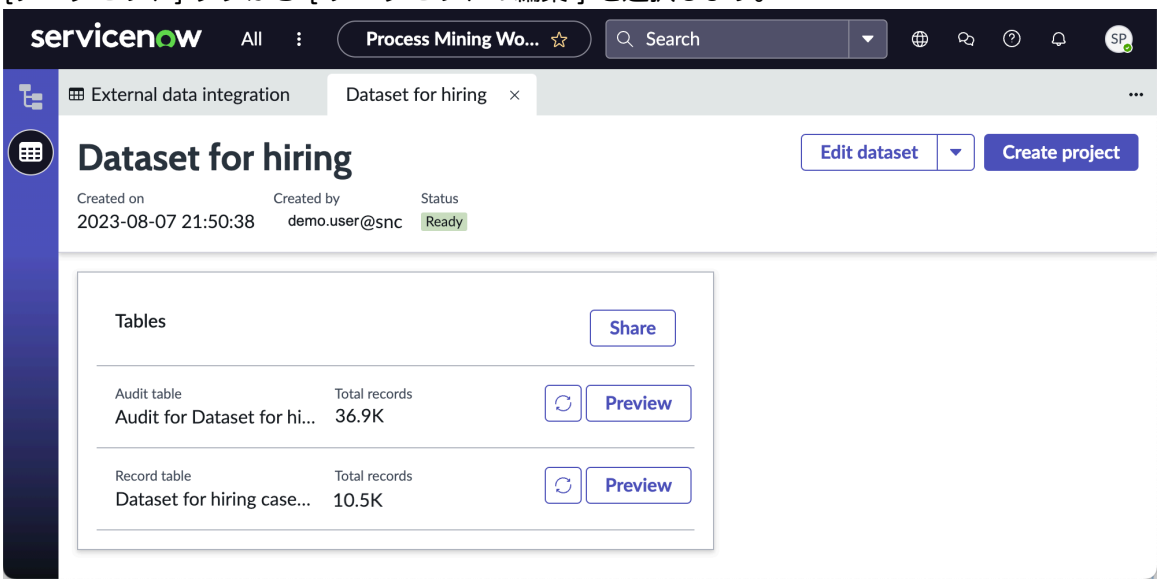
始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. ページの左側で、外部データ統合アイコン ( ) を選択します。
3. 編集するデータセットを選択します。
   データセットが新しいタブで開きます。
4. [データセット] タブから [データセットの編集] を選択します。



[データのインポート] タブに戻ります。テーブルに入力する新しいデータをインポートできます。データをインポートする手順については、「」を参照してください 監査テーブルへのデータのインポート。

データセットを空にする

古いデータを削除し、新しいデータを同じ外部システムから同じテーブルにインポートする場合は、データセットを空にします。

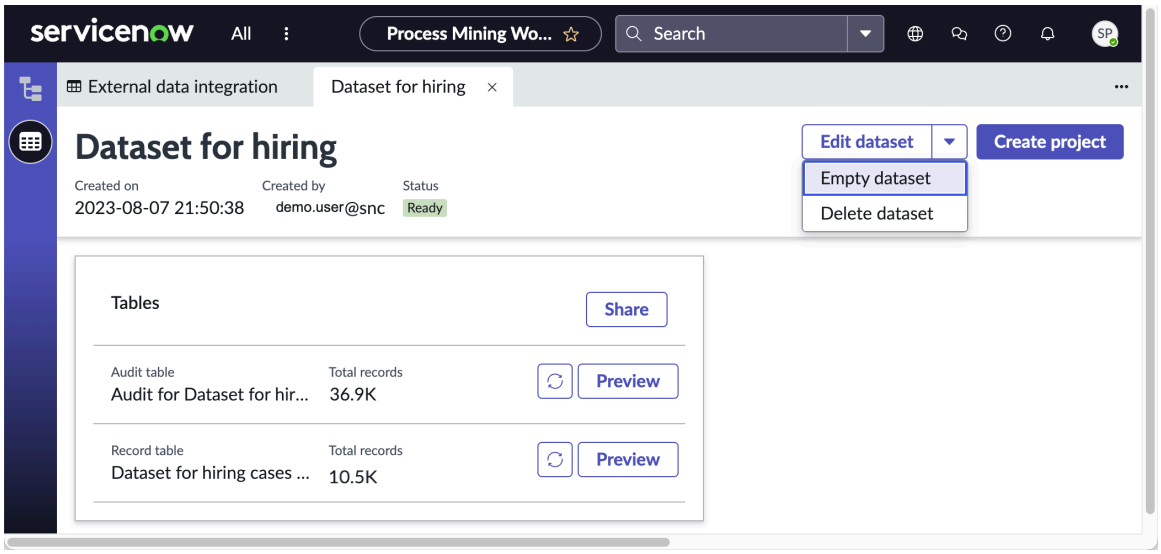
始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_admin

手順

1. 移動先 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. ページの左側で、外部データ統合アイコン ( ) を選択します。
3. 空にするデータセットを選択します。
   データセットが新しいタブで開きます。
4. [データセット] タブから [空のデータセット] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



選択したデータセットを空にするかどうかを確認するダイアログボックスが表示されます。

5. 確認領域に「空」と入力し、 [空のデータセット] を選択します。
監査テーブルとレコードテーブルの内容が削除されます。データセットを空にした後、任意のデータセットを再度インポートできます。データをインポートする手順については、「」を参照してください 監査テーブルへのデータのインポート。

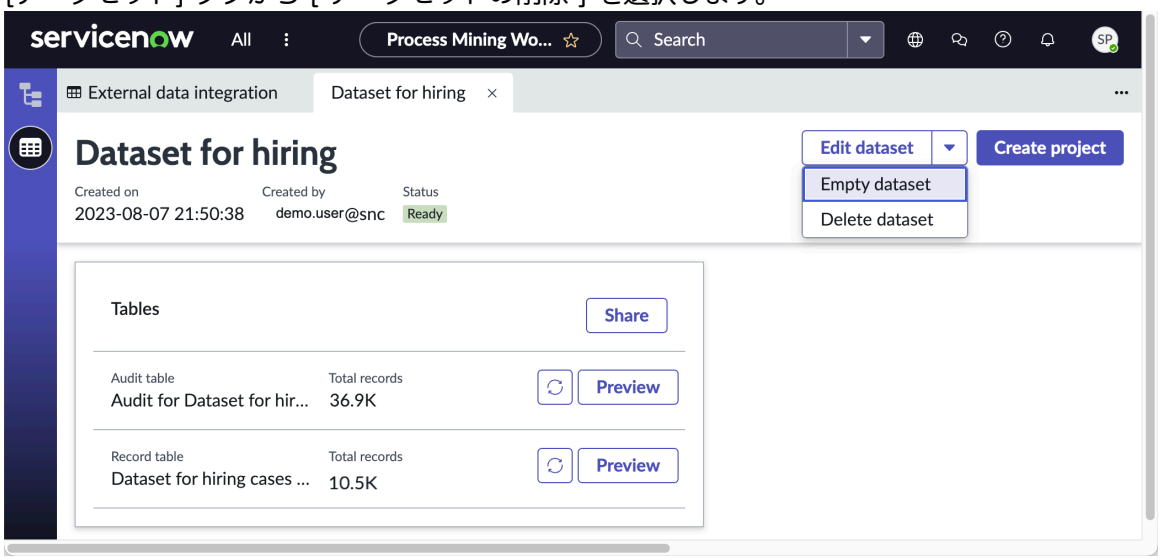
データセットの削除

データセットが不要になったら、データセットを削除します。分析が完了したので、テーブル全体を削除したい。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_admin

手順

1. 移動先 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. ページの左側で、外部データ統合アイコン ( ) を選択します。
3. 削除するデータセットを選択します。
データセットが新しいタブで開きます。
4. [データセット] タブから [データセットの削除] を選択します。



選択したデータセットを削除するかどうかを確認するダイアログボックスが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. 確認領域に「削除」と入力し、 [データセットの削除] を選択します。
監査テーブルとレコードテーブル、および関連する プロセスマイニング プロジェクトのデータが削除されます。

> **注:**
> テーブルは削除されません。データのみが削除されます。テーブルを削除する場合は、管理者が手動で削除する必要があります。管理者は、テーブルを定期的に削除する必要があります。

プロセスマイニングプロジェクトの共有

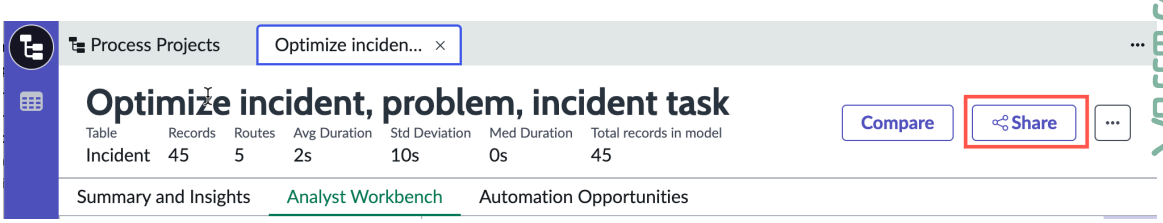
プロジェクトを共有して、自分が見ているものを他のユーザーに公開し、プロセスオーナーがさらに分析できるようにします。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

> **注:**
> プロジェクトを共有しているユーザーには、sn_process_optimization_analystロールが必要です。

手順

1. 移動先 ワークスペース > プロセスマイニングワークスペース.
2. [サマリーとインサイト]、[**Analyst Workbench**]、または [自動化機会] タブで、[共有] ボタンを選択します。



[プロジェクトの共有] ウィンドウが表示されます。

3. プロジェクトを共有する任意のユーザー、ロール、およびグループを入力し、ドロップダウン リストから正確な名前を選択します。
4. [追加] を選択します。
5. [確認] を選択します。
このウィンドウには、プロジェクトが共有されているすべてのユーザー、ロール、およびグループが表示されます。このリストは、[対象者タイプ] リストで選択した値 ([すべて]、[ユーザー]、[ロール]、または [グループ]) によってフィルタリングされます。
6. オプション: プロジェクトへのアクセス権の付与からユーザー、グループ、またはロールを削除するには、そのユーザー、グループ、またはロールの [アクション] リストから [削除] を選択します。

プロジェクトデータをリフレッシュ

プロジェクトのデータを更新するには、Analyst Workbench からプロジェクトをマイニングします。

始める前に
必要なロール：なし

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. アプリケーションナビゲーターから、次の場所に移動します。 すべて > プロセスマイニング > プロセスマイニングワークスペース.
2. データを更新するプロジェクトのコンテキストメニュー を選択します。
3. [プロジェクトのマイニング (完全)] を選択します。

   a. ヒストグラムの範囲と複数の検索ルールを選択します。
   最初のルールで繰り返しが選択されている場合、他の検索ルールは見つかりません。

4. [**OK]** を選択して、プロジェクト データをマイニングすることを確認します。

   進行状況ウィンドウが開き、監査ログ分析とプロジェクトマイニングの進行状況が表示されます。

5. マイニングが正常に完了したら、[ワークスペースで表示] を選択して、更新されたプロジェクトデータを表示します。

プロジェクトをコピー

既存の定義をコピーして、関連する構成を新しいプロジェクト定義に適用します。

始める前に
必要なロール:sn_process_optimization_analyst、sn_process_optimization_power_user、または sn_process_optimization_admin

手順

1. 移動先 すべて > プロセスマイニング > プロセスマイニングワークスペース.
2. [プロジェクト] リストから、コピーするプロジェクトの横にある省略記号を選択します。
3. [コピー] を選択します。
4. [**OK**] を選択して、構成をコピーし、そこからプロジェクト定義を作成することを確認します。
   以下を含む新しいプロセスモデル定義が作成されます。
   - 同じ説明
   - ソースタイプ
   - フィルター条件
   - アクティビティ定義
   - ブレークダウン定義
   - 子テーブル定義
5. 必要に応じて名前、説明、フィルター条件、または定義を変更し、 [更新] を選択します。

次のタスク
プロジェクトのマイニング

プロセスマイニング に関する参照情報

参照トピックは、プロセスマイニング を構成および管理するために使用しているリストとフォームの追加情報を提供しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロセスマイニング とともにインストールされるコンポーネント

com.sn_po プラグインが有効になると、いくつかのタイプのコンポーネント (テーブル、ユーザーロール、ジョブスケジュールなど) がインストールされます。

注:
アプリケーションファイルテーブルには、このアプリケーションとともにインストールされたコンポーネントがリストされています。このテーブルへのアクセス手順については、「アプリケーションとともにインストールされているコンポーネントの検索」を参照してください。

インストールされるスケジュール済みジョブ

ジョブスケジュール	説明
ProminVersionCleanup	古いバックアップバージョンを削除します。

インストールされるテーブル

テーブル	説明
プロセスマイニング 定義 [ml_capability_definition_promin]	Process Mining ソリューションを識別する識別子。
プロセスマイニング インタラクティブ定義 [ml_capability_definition_interactive]	プロセスマイニングソリューションをその場で識別するための識別子。
プロセスマイニング レコード定義 [ml_capability_definition_record]	プロセスマイニングビューレコードソリューションを識別する識別子。
アクティビティ定義 [promin_activity_def]	監査ログの変更を示すアクティビティをプロセスグラフのフィールドに保存します。
プロセスの接続 [promin_arc]	プロジェクトの接続統計情報を保存します。
ブレークダウン定義 [promin_breakdown_field]	プロセスマップが分類されるブレークダウンを保存します。
ブレークダウン統計情報 [promin_breakdown_stats]	プロジェクトのブレークダウン統計を保存します。
フィルターセット [promin_filter_set]	プロジェクト定義に適用される複数のフィルターセットを保存します。
データログの抽出 [promin_log]	プロジェクトバージョンのマイニング時に生成された抽出された監査ログデータエントリを保存します。
ジョブスケジュールプロセスマイニング [promin_job]	ジョブスケジュールを保存します プロセスマイニング 。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
プロセスモデル [promin_model]	プロジェクトバージョンの複数のモデル統計情報を保存します。
バージョン [promin_model_def_version]	マイニングされたプロジェクトのバージョン。
プロセスノード [promin_node]	プロジェクト定義のアクティビティを保存します。
プロセスノード統計情報 [promin_node_stats]	アクティビティの統計情報を格納します。
注意 [promin_note]	メモレコードを保存します。
権限 [promin_permission]	プロジェクト定義が共有されているユーザー/グループを保存します。
プロセスルート [promin_route]	特定のプロジェクトのルート統計情報を保存します。
ケースレコード [promin_case_record]	アクティビティ、接続、またはルートからのレコード詳細を保存します。
プロセスマイニングトラッカー [promin_ua_mining_tracker]	以前の鉱山に関する情報を保存します。
フィルター設定条件 [promin_conditions]	プロジェクトに対応するフィルター条件を保存します。
プロセススケジュール済みタスク [promin_scheduled_task]	要求されたクラスター分析、データマイニング、および プロセスマイニング タスクを保存します。
プロセスの構成 [promin_process_def]	プロセス構成のデフォルトを保存します。
検索定義 [promin_finding_def]	検索定義レコードを保存します。
結果 [promin_finding]	プロジェクトについて検出された結果を保存します。
検索ルール	検索ルールレコードを保存します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
[promin_finding_def_rule]	
検索条件 [promin_finding_def_condition]	検索条件を保存します。
検索制約 [promin_finding_def_constraint]	2 つの条件に作用する検索制約を保存します。
自動検索定義 [promin_automated_finding]	自動検出の定義を保存します。
自動検索構成 [promin_automated_finding_configuration]	自動検出の構成を保存します。
プロセスノード統計情報 [promin_route_stats]	ルートの統計情報を保存します。
顕著なケースデータ [promin_case_data]	フルマイニング中に収集されたログを保存します。
ジョブプロセスマイニングプロジェクト [promin_job_m2m_project]	ジョブに添付されたプロジェクトに関する情報を保存します。

自動翻訳

プロセスマイニング ロール

プロセスマイニング は、これらのロールを追加します。

Process Optimization 管理者 [sn_process_optimization_admin]

すべてのプロジェクトにアクセスし、すべてのプロジェクト設定と構成を管理し、バックグラウンドとジョブをスケジュールします。

ロールを含む

Process Optimization 管理者 [sn_process_optimization_admin] ロールには、Process Optimization パワーユーザー [sn_process_optimization_power_user] ロールが含まれています。

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

特別な考慮事項

注:
より分化したロールが利用可能な場合は、管理者ロールを付与しないでください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロセスマイニングパワーユーザー **[sn_process_optimization_power_user]**

このロールにアサインされたときに、次のアクションを実行します。

- すべてのプロジェクトにアクセスし、すべてのプロジェクト設定と構成を管理できます。
- プロジェクトを作成して共有できます。
- 他のユーザーが作成し、他のユーザーと共有しているプロジェクトを表示、編集、共有、削除できます。
- ジョブをスケジュールできます プロセスマイニング 。

ロールを含む

Process Optimization パワー ユーザー [sn_process_optimization_power_user] ロールには、Process Mining アナリスト [sn_process_optimization_analyst] ロールが含まれています。

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

特別な考慮事項

なし。

Process Mining アナリスト **[sn_process_optimization_analyst]**

このロールにアサインされたときに、次のアクションを実行します。

- プロジェクトを作成して共有します。
- 他のユーザーが作成し、他のユーザーと共有しているプロジェクトを表示、編集、共有、および削除します。

ロールを含む

Process Mining アナリスト [sn_process_optimization_analyst] ロールには、Process Mining ビューアー [sn_process_optimization_viewer] ロールが含まれています。

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

特別な考慮事項

このロールを持つユーザーは、すべてのプロジェクトにアクセスできるわけではありません。

Process Mining ビューアー **[sn_process_optimization_viewer]**

プロジェクトを表示し、他のユーザーが作成して共有したプロジェクトにメモや改善イニシアチブを作成します。

ロールを含む

ロール内に含まれるロールのリスト。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

なし。

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

特別な考慮事項

このロールを持つユーザーは、プロジェクトまたはプロジェクト設定を作成、編集、または削除することはできません。

プロセスマイニング のプロパティ

システムプロパティは、システムの動作を制御します。このセクションのプロパティは、アプリケーションに固有です プロセスマイニング 。

これらのプロパティはプロセスマイニングで利用可能です。

注:
システムのプロパティ [sys_properties] テーブルを開くには、ナビゲーション フィルターに「sys_properties.list」と入力します。

プロセスマイニング のプロパティ

プロパティ	説明
promin.limit.node_def	プロセスマップ内の プロセスマイニング 親ノードのアクティビティの最大数を定義します。 • タイプ：整数 • デフォルト値：10 **注:** この値を 10 以下に設定することで、パフォーマンスの問題や UI の乱雑さを避けることができます。
promin.limit.child_node_def	プロセスマップ内の プロセスマイニング 子ノードのアクティビティの最大数を定義します。 • タイプ：整数 • デフォルト値： 5 **注:** この値を 5 以下に設定することで、パフォーマンスの問題を回避してください。
promin.limit.breakdown_def	プロセスマップ内の プロセスマイニング 親ノードのブレークダウンの最大数を定義します。 • タイプ：整数 • デフォルト値：10

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロセスマイニング のプロパティ (続く)

プロパティ	説明
	注: この値を 10 以下に設定することで、パフォーマンスの問題を回避してください。
promin.limit.child_breakdown_def	プロセスマップ内の プロセスマイニング 子ノードのブレークダウンの最大数を定義します。 • タイプ：整数 • デフォルト値： 5 **注:** この値を 5 以下に設定することで、パフォーマンスの問題を回避してください。
promin.primary_metric	Analyst Workbench で使用されるプライマリ測定基準。 • タイプ:選択リスト • デフォルト値:caseFreq • 使用可能な値 ○ 平均期間 = avgDuration ○ 最大期間 = maxDuration ○ 中央期間 = medianDuration ○ 最小期間 = minDuration ○ 標準偏差 = 標準偏差 ○ 合計期間 = totalDuration ○ 合計発生件数 = absoluteFreq ○ 一意の発生件数 = caseFreq
promin.rca.min_condition_and_effect	主要なインフルエンサーリストに表示するために必要なレコードの最小割合。 • タイプ：整数 • デフォルト値：10
promin.rca.min_odds_ratio	最低限必要なオッズ比。 • タイプ：文字列 • デフォルト値： 1
promin.rca.result_count	表示する上位インフルエンサーの数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロセスマイニング のプロパティ (続く)

プロパティ	説明
	• タイプ：整数 • デフォルト値：20
promin.secondary_metric	Analyst Workbench で使用されるセカンダリ測定基準。 • タイプ:選択リスト • デフォルト値:avgDuration • 使用可能な値 ○ 平均期間 = avgDuration ○ 最大期間 = maxDuration ○ 中央期間 = medianDuration ○ 最小期間 = minDuration ○ 標準偏差 = 標準偏差 ○ 合計期間 = totalDuration ○ 合計発生件数 = absoluteFreq ○ 一意の発生件数 = caseFreq
promin.perf.result_page_size	マイニング結果ページを構成します デフォルト値は 700 です。

自動翻訳

主要な プロセスマイニング 用語

プロセスマイニングで使用される主要な用語です。

プロセスマイニング の主要な用語

用語	説明
アクティビティ	追跡フィールドを含む、プロジェクトの視覚化に使用される監査ログからのキャプチャされたタスクまたはアクションの選択。アクティビティは、プロセス内の 1 つのステップ、またはルート内で発生した 1 つのステップで構成されます。アクティビティ間で接続が実行されます。
対象の属性	プロセスグラフ、ブレークダウン、または差異統計に表示されないアクティビティ。これらの定義は、ルール検出結果ロジックで引き続き使用できます。
監査ログ	日付、時刻、アクティビティなど、タスクの実行時に発生する運用システムのイベントまたはアクティビティのレコード。
接続	マップ内の 2 つのアクティビティまたはプロセスステップを結合する線。接続は、2 つの連続した接続されたステップを持つプロセスの一部を反映します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロセスマイニング の主要な用語 (続く)

用語	説明
結果	ビジネスプロセスについて検出された主要なパフォーマンスに関するインサイト。検出結果は、さらに注意が必要な領域を確認するのに役立ちます。
生成	運用システムのイベントログからデータを抽出またはマイニングし、ビジネスプロセスフローの傾向と詳細な全体像を明らかにするアルゴリズムを適用するプロセス。
リンクされたプロセス	メインプロセスにリンクされている接続済みプロセス、またはサブプロセス。
プロセスマップ	データ抽出が実行された後に生成されたプロジェクトで、定義されたビジネスプロセスの一部であるシステムの監査ログから収集されたイベントを視覚的に表します。マップは、定義された始点から終点までの一連のステップで構成される実際のイベントまたはルートを表します。また、プロセスマップは、実際のルートと定義されたターゲットルートを比較して、ビジネスプロセスのパフォーマンスのビューを提供します。
プロジェクト	プロセスマイニング 構成されたプロセスモデルの用語。
レコード	ルートを通るプロセスサイクル (プロジェクト) のビジネスレコード。多くのレコードがルートを通過できます。では プロセスマイニング、フィルターを適用するとレコード数が変わる可能性があります。
繰り返し	繰り返されるステップ (アクティビティ) またはステップ セット (接続)。
ルーティング	一連のステップ内の少なくとも 1 つのアクティビティーが、そのプロセスの他のすべてのオカレンスと異なるプロセスの発生。ルートには、最適に定義された成功ルートのほか、代替の成功パスまたは障害のある例外パスである可能性があるバリアント ルートまたは可能性のあるルートを含めることができます。複数のルートを同時にプロセスマップに表示できます。
スライダー	プロセスステップを表示するためのプロセスマップ画面のアクティビティおよび接続スライダーツール。スライダーを使用すると、それらの間の連続した接続を多かれ少なかれ詳細なビューで表示できます。
移行	アクティビティステータスの変更。

ドメイン分離と プロセスマイニング

ドメイン分離は プロセスマイニング でサポートされています。ドメイン分離では、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。その後、どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

サポートレベル：ベーシック

- アプリケーションサービスプロバイダーのユースケースに合わせてデータが適切なドメインに送られるようにするビジネスロジックが存在します。
- このアプリケーションは、Domain Separation を完全にサポートしています。ドメイン分離には、ユーザーインターフェイス、キャッシュキー、レポート、ロールアップ、および集計からのドメインの分離が含まれます。
- インスタンスのオーナーは、複数のテナント間で正常に機能するようにアプリケーションをセットアップする必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サンプルユースケース：サービスプロバイダーがチャットを使用してテナント顧客のメッセージに応答する場合、お客様がサービスプロバイダーの応答を確認できるようにする必要があります。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメイン分離のサポート)」を参照してください。

概要

プロセスマイニング は、監査記録の監視と有効性の分析からビジネスプロセスフローを生成する方法を提供するため、プロセスの非効率性を迅速に検出できます。これにより、結果を改善するためのビジネスプロセスの詳細な分析が可能になります。

プロセスマイニングにおけるドメイン分離の仕組み

プロジェクトは、プロセスフローを生成するように構成されます。アクティビティ定義、ブレークダウン定義、子テーブル定義、抽出データログ、フィルターセット、メモ、CIM イニシアチブなど、プロセスモデル定義に関連するすべてのエンティティは、プロセスモデル定義と同じドメイン内に作成されます。

新しいプロジェクト定義を作成するときは、そのドメインを現在のユーザーのドメインに設定します。モデル定義のすべての関連エンティティを同じドメインに配置するため、ドメイン分離プロジェクト定義の関連エンティティを作成すると、エンティティはプロジェクト定義のドメインに割り当てられます。

プロジェクトは、その独自のドメインまたはグローバルドメインユーザーと共有できます。

スケジュール済みジョブには プロセスマイニング 、対応するジョブのドメイン内のプロジェクト定義のみを含めることができます。

Performance Analytics KPI から起動されたプロジェクト定義は、現在のユーザーのドメインに作成されます。

ワークスペースから プロセスマイニング 追加された新しい CIM イニシアチブがプロジェクト定義のドメインに作成されます。

自動翻訳

ユースケース

1. ACMEドメインで作成されたプロジェクト定義:ACMEドメイン、その親、またはグローバルドメインに属するユーザーは、プロジェクト定義を表示できます。
2. プロセスマイニング ACME ドメインで作成されたスケジュール設定済みジョブ:ACME ドメイン、その親、またはグローバルドメインに属するユーザーは、スケジュール設定済みジョブを表示できますプロセスマイニング。
3. プロセスマイニング ACMEドメインで作成されたスケジュール設定済みジョブ:ユーザーは、ACMEドメインに属するプロジェクト定義のみを含めることができます。

   注:
   カスケードドメインの変更はサポートされていません。

関連情報

サービスプロバイダーのドメイン分離

プロジェクト定義フォーム

プロジェクト定義フォームを使用してプロジェクトを作成します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロジェクト定義フォーム

フィールド	説明
Number (数値)	プロジェクト番号。この番号は、レコードが作成されると自動的に生成されます。
プロジェクトステータス	プロジェクトのステータス。 新規 プロジェクトは新規です。これは、新しく作成されたプロジェクトのデフォルトのステータスです。 ドラフト まだ使用されていないセットアップフェーズのプロジェクト。 公開済み プロジェクトは、資格のあるユーザーが使用する準備ができています。 廃止 プロセスの分析には Project を使用しないでください。 プロセスアナリストユーザーは、プロジェクトのステータスを追跡するために、このフィールドを手動で更新する必要があります。これは、特定のプロセスに複数のプロジェクトがある場合に不可欠です。
名前	プロジェクトの名前
マイニング状況	このプロジェクトの現在のマイニングステータス。
簡単な説明	プロジェクトの簡単な説明。
最終マイニング日	プロジェクトが最後にマイニングされた日付。
目標	既存の目標レコードから選択された、このプロジェクトに関連付けられた目標。
自動廃止	指定した日数 (デフォルト: 90 日) の非アクティブに基づいてプロジェクトを自動的に廃止する場合は、[自動廃止] チェックボックスをオンにします。 さらに 90 日 (デフォルト) 後にバージョンがクリーンアップされる前に、公開済みまたはドラフトステータスに戻すことで、廃止を延長できます。 指定された日数内に廃止ステータスを変更しない場合、マイニングされたバージョンは完全に削除されます。ただし、プロジェクト定義は削除されません。このチェックボックスをオフにすると、自動廃止をオプトアウトできます。 デフォルト値の 90 日は、管理者が [システムのプロパティ] で変更できます。詳細については、「データクリーンアッププロパティ」を参照してください。
テンプレート	デフォルトテンプレートを作成するか、Workforce Optimization テンプレートを作成するか。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロジェクト定義フォーム (続く)

フィールド	説明
ウォッチリスト	生成されたプロジェクトのステータスに関する通知を受け取るユーザー。
KPI ダッシュボード	このプロジェクトに関連付けられた PAR ダッシュボード [par_dashboard]。既存のダッシュボードを選択するか、プラス (+) アイコンを使用してダッシュボードを作成します。 これらのダッシュボードの作成の詳細については、「ダッシュボードの作成と使用」を参照してください **注:** このフィールドにダッシュボードを追加すると、プロジェクトレベルでダッシュボードがリンクされます。プロセス構成レベルでダッシュボードを追加するには、プロセス構成 [promin_process_def] レコードの同じフィールドを使用します。

新しいプロセス開始条件を作成

[新しいプロセス開始条件を作成] フォームを使用して、テーブル構成のカスタム開始条件を構成し、プロセスのどの部分をプロジェクトに含め プロセスマイニング 、分析に使用できるようにするかを定義します。[新規プロセス終了条件の作成 (Create new process end condition)] フォームにも同じフィールドがあります。

[新しいプロセス開始条件を作成 **(Create new process start condition)]** フォーム

フィールド	説明
名前	条件の名前。
テーブル	条件のテーブル。このフィールドには、テーブル設定レコードで選択したテーブルが自動的に入力されます。
条件タイプ	この条件に使用される条件タイプ。 • フィールド/値条件 • コンテキストフィールド/値条件 • 実施者 • AND • または • プロセス開始条件 • プロセス停止条件
言語	条件の言語。このフィールドには現在の言語が自動的に入力されます。
フィールド	条件に使用するフィールド。これらは、[テーブル] フィールドのテーブルのフィールドです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[新しいプロセス開始条件を作成 **(Create new process start condition)**] フォーム (続く)

フィールド	説明
	指定された開始および停止フィールドは、開始または停止条件を機能させるためのアクティビティ定義として構成する必要があります。
述語	条件の修飾子。 • 次の値に等しい (=) • 次の値と異なる (!=) • は何でも • 次の値のいずれか • 次で始まる • は次の値で終わる • 次の値を含む • 次の値を含まない
フィールド値	この条件を定義するために述語とともに使用する値。フィールドが参照フィールドの場合は、参照アイコン ()  を使用して値を選択できます。
一致する出現	この条件に一致する発生件数を選択します。 • すべて • 最初のみ • 最後のみ
コンテキスト条件	現在の条件がトリガーされたときに true でなければならない追加条件。 たとえば、レコードが [新規] ステータスのときにトリガーされるように条件を設定します。[優先度] が [高] であることも指定する場合は、[コンテキスト条件] フィールドを使用して指定できます。

自動翻訳

アクティビティ定義フォーム

[アクティビティ定義] フォームを使用して、ビジネスプロセス内で発生するステップについてレポートします。

[アクティビティ定義] フォーム

フィールド	プロセスグラフにデータを表示するテーブルのフィールドまたは列を指定します。
タイプ	マイニングする値のタイプ。 次の値があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[アクティビティ定義] フォーム (続く)

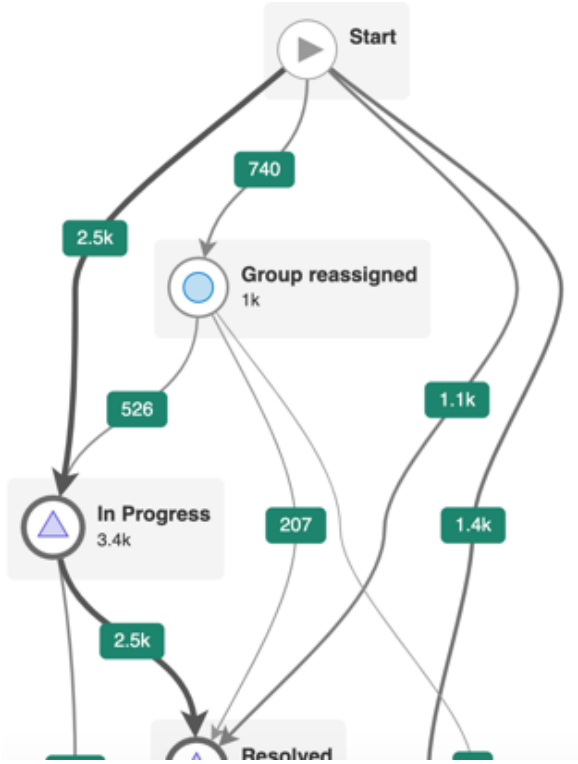
	• フィールド値 (デフォルト): これがデフォルトの選択です。このオプションは、アクティビティ定義を作成するたびに使用できます。 • 日時:監査履歴ではなく実際のレコードの日時値を使用し、プロセスマップにグループ化されたノードとして表示されます。 • 複合:監査履歴ではなく実際のレコードの複数フィールド値の変更を表す 1 つのノードまたはプロセスグラフ。 • 添付子:このオプションは、テーブル構成用に 2 つのテーブルを選択し、親子関係を設定している場合に使用できます。このオプションは、親テーブル構成でのみ使用できます。視覚化では、プロセスで子がいつ添付されたかがわかります。 • 親の添付:このオプションは、親レコードがいつ子に添付されたかを表すノードを子プロセスに作成します。
表示名 (オプション)	このアクティビティに表示する名前。名前を入力しない場合、アクティビティ名には [フィールド] に指定された値が表示されます。
アクティビティ値を選択	選択したフィールドの特定のアクティビティ値をマイニングすることを選択できます。
アクティビティの値	このフィールドは、[アクティビティ値を選択] フィールドを選択した場合にのみ使用できます。 このフィールドには、マイニングする選択したフィールドの値のリストが表示されます。 たとえば、 インシデント テーブルを選択したとします。ここで、アサイン先グループのサービスデスクとアサイン先グループのデータベースを経由したレコードを表示します。このデータを表示するには、[フィールド] として [アサイン先グループ] を選択し、[値のリストから**Service Desk]** と [データベース] を追加する必要があります。
グループアクティビティ	アクティビティをグループ化することを選択した場合、プロセスマップには、アクティビティの変更グループが 1 つの変更アイテムとして反映されます。たとえば、グループアクティビティをレポートして選択するように アサイン先グループ を構成するとします。 • アサイン先グループに変更が発生すると、グループ A >グループ B >グループ C として監査ログにリストされます。 • 結果:プロセスマップのデータは、「アサイン先グループが変更されました」という 1 つの変更として反映されます。 このオプションがオフの場合、プロセスマップには変更の各インスタンスのレコードが個別に反映されます。例:レポートする アサイン先グループ を設定しますが、アクティビティをグループ化するようには選択しません。 • アサイン先グループに変更が発生すると、グループ A >グループ B >グループ C として監査ログにリストされます。 • 結果:プロセスマップには、加えられた個々の変更が反映され、監査ログの標準として変更が引き続き反映されます:「変更:グループ A > 変更:グループ B >変更:グループ C」。

自動翻訳

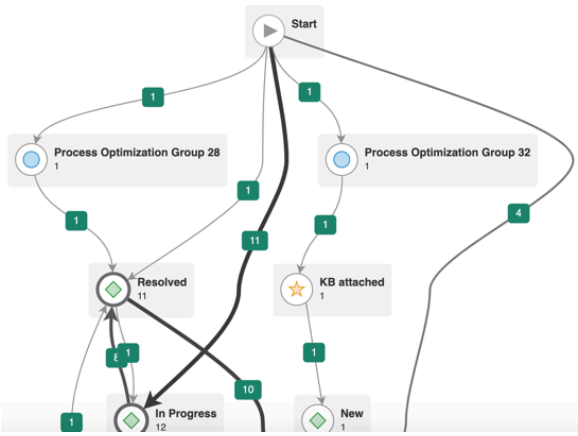
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[アクティビティ定義] フォーム (続く)

変更がグループ化される



変更を標準として表示



グループ化されたアクティビティ名	グループ化されたアクティビティに対して自動生成された名前。また、フィールドへの変更に対して別の名前を入力してビジュアル化に反映させることもできます。 **注:** このフィールドは、[グループ活動] フィールドが選択されている場合にのみ使用できます。
対象のアクティビティ	フィールドの変更が Analyst Workbench に表示されるかどうか。 **注:** このオプションを選択すると、フィールドの変更は Analyst Workbench に表示されませんが、移行または検出結果のコンテキスト条件で使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[アクティビティ定義] フォーム (続く)

空の開始ノードを含める	レコードの作成時に選択したアクティビティ定義フィールドが空の場合、プロセスグラフに空のノードを含めます。

検索定義フォーム

[検索定義] フォームを使用してルールベースの検索定義を構成し、検出されたインサイトを [サマリーとインサイト] ダッシュボードに提供します。

[検索定義] フォーム

フィールド	説明
クラス	この検索定義を プロセス または プロジェクトに適用するかどうか。
アクティブ	検索定義がアクティブかどうか。
プロセスの構成	この検出結果定義に関連付けられたプロセス構成。このフィールドは、自動的に入力されます。 **注:** このフィールドは、[タイプ] フィールドで [プロセス] が選択されている場合にのみ表示されます。
プロジェクト	この検索定義に関連付けられたプロジェクト。 **注:** このフィールドは、[タイプ] フィールドで [プロジェクト] が選択されている場合にのみ表示されます。
タイプ	検出結果のタイプ。利用可能なリストから選択できます。
カテゴリ	この検索定義のカテゴリ。 • 品質 • 自動化 • 適合率 • パフォーマンス
メッセージ	インサイトのタイトル。このテキストは、[サマリーとインサイト] ダッシュボードのインサイトカードの上部に表示されます。
影響を受ける KPI の選択	検索定義にリンクする関連 KPI を選択します。 **注:** このフィールドは、PA インジケーターテーブルから入力されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

検索ルールフォーム

[検索ルール] フォームを使用して、検索定義の検索ルールを構成します。検索ルールは、検索定義をトリガーするレコード基準を定義します。

検索ルールフォーム

フィールド	説明
チェーン番号	この検索ルールが属するチェーン。 **注:** 検索ルールは、複数のチェーンで構成できます。
検索定義	この検索ルールに関連付けられた検索定義。このフィールドは、自動的に入力されます。
シーケンス	同じチェーン内のルールが実行される順序。値が小さいルールは、値が大きいルールよりも先に実行されます。
開始条件	検索ルールをトリガーするイベント。既存のルールを選択するか、フィールドの右側にあるプラス (+) ボタンを使用してルールを作成できます。 **注:** 条件の作成の詳細については、次のリンクを参照してください 詳細条件の構成。
関連	[開始条件] フィールドで定義されたイベントと [終了条件] フィールドで定義されたイベント間の接続。 • --なし-- • 次が直接続く • 最終的に次が続く • 次が直接続かない • 最終的に次が続かない **注:** 選択した関係に関連するルールセットの実行方法に合わせて、ルールシーケンスを適切に順序付けします。**none** 以外のオプションを選択した場合は、目的の順序で式を完成させるルールを作成します。
終了条件	検索ルールを終了するイベント。既存のルールを選択するか、フィールドの右側にあるプラス (+) ボタンを使用してルールを作成できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

検索ルールフォーム (続く)

フィールド	説明
	注: 条件の作成の詳細については、次のリンクを参照してください 詳細条件の構成。
追跡期間	開始条件と終了条件の間の期間を追跡するかどうか。

検索制約フォーム

[検索条件] フォームを使用して、検索定義の検索条件を設定します。検索ルールに加えて、検索制約は、期間や関係制約などの測定基準を使用して、検索定義の範囲をさらに絞り込みます。

検索制約フォーム

フィールド	説明
名前	検索制約の名前
検索定義	この検索条件に関連付けられた検索定義。このフィールドは、自動的に入力されます。
開始条件	検索制約をトリガーするイベント。既存のルールを選択するか、フィールドの右側にあるプラス (+) ボタンを使用して新しいルールを作成できます。 注: 条件の作成の詳細については、次のリンクを参照してください 詳細条件の構成。
終了条件	検索制約を終了するイベント。既存のルールを選択するか、フィールドの右側にあるプラス (+) ボタンを使用して新しいルールを作成できます。 注: 条件の作成の詳細については、次のリンクを参照してください 詳細条件の構成。
最小期間	[開始条件] フィールドで定義されたイベントと [終了条件] フィールドで定義されたイベントの間の最小期間。[終了条件] フィールドのイベントは、このフィールドで指定された時間の後に発生する必要があります。
関係制約	制約がトリガーされるタイミングをさらに定義するオプションの制約条件。 -- なし -- 関係制約なし が同じ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

検索制約フォーム (続く)

フィールド	説明
	レコードは、特定のフィールドで同じ値を持つ必要があります。このフィールドを [関係制約フィールド] フィールドに指定します。 が異なる レコードは、特定のフィールドに異なる値を持つ必要があります。このフィールドを [関係制約フィールド] フィールドに指定します。 同じユーザーが実行 開始条件と終了条件は、同じユーザーがトリガーする必要があります。 別のユーザーが実行 開始条件と終了条件は、異なるユーザーがトリガーする必要があります。 は同じイベントです が異なるイベントである
関係制約フィールド	関係制約に使用されるフィールド。このフィールドは、関係制約フィールドで **[has the same** or **has different]** が選択されている場合に表示されます。 **注:** [開始条件] フィールドまたは [終了条件] フィールドに選択肢がない場合、使用可能な関係制約フィールドは空になります。
最大期間	[開始条件] フィールドで定義されたイベントと [終了条件] フィールドで定義されたイベントの間の最大期間。[終了条件] フィールドのイベントは、このフィールドで指定された時間より前に発生する必要があります。
関係制約フィールド	関係制約に関連付けられたフィールド。 **注:** このフィールドは、[関係制約] フィールドが [同じ または 異なる] に設定されている場合にのみ表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Automation Discovery

ServiceNow® オートメーションディスカバリー は、ワークフローの自動化機会を特定するのに役立ちます。Discovery レポートを使用して、仮想エージェント (VA)、エージェントアシスト などの自動化ソリューションを実装または改善します。

使用方法の概要

Automation Discovery はレコードを分析して、自動化の機会を特定するのに役立ちます。

アプリを使用すると、構築済みの分類に対して指定されたレコードのデータセットを分析する検出レポートを実行できます。このモデルは、レコードから 180 を超える自動化の機会を特定します。機会は、システムがユーザーのクエリに自動的に応答できるインテントと考えてください。

レポートは、自動化の予測される機会別にレコードをグループ化します。未分類のレコードの場合、レポートはレコードを関連するクラスターにグループ化します。

仮想エージェント などのアプリケーションの場合、オートメーションディスカバリー は、回避と迅速なインシデント解決につながる自動化機会の実装に役立ちます。

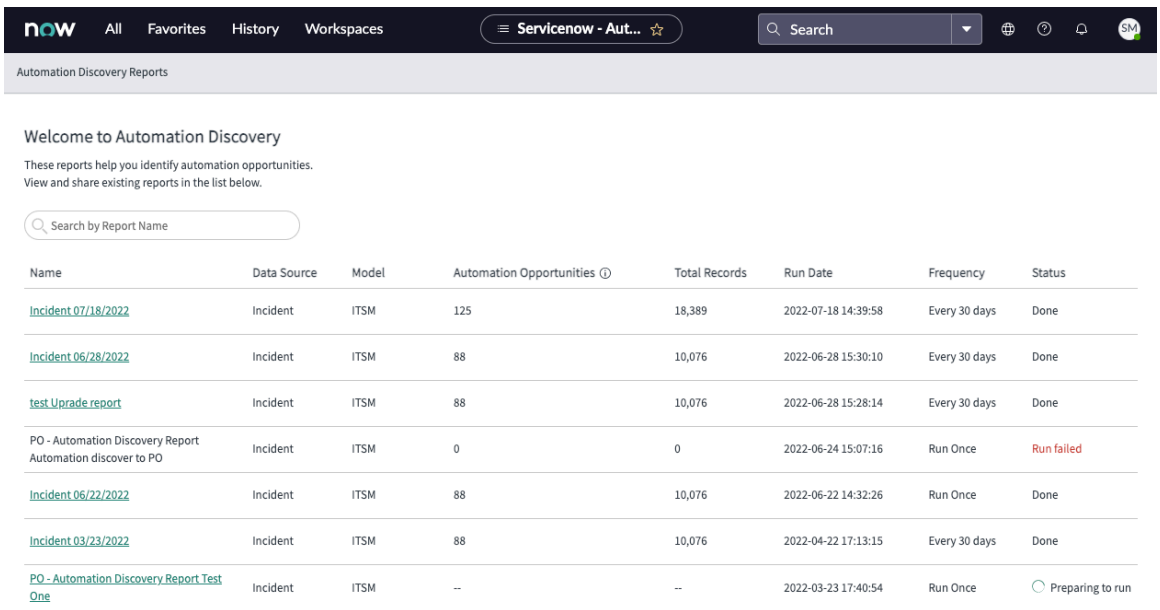
インストール

オートメーションディスカバリー は ServiceNow Store から利用できます。詳細については、「Automation Discovery をインストールする」を参照してください。

言語サポート

Automation Discovery は、英語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、および日本語のインスタンスをサポートしています。

Discovery レポート



[Automation Discovery レポート] ページに、作成したレポートが一覧表示されます。レポートごとに、次の情報が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

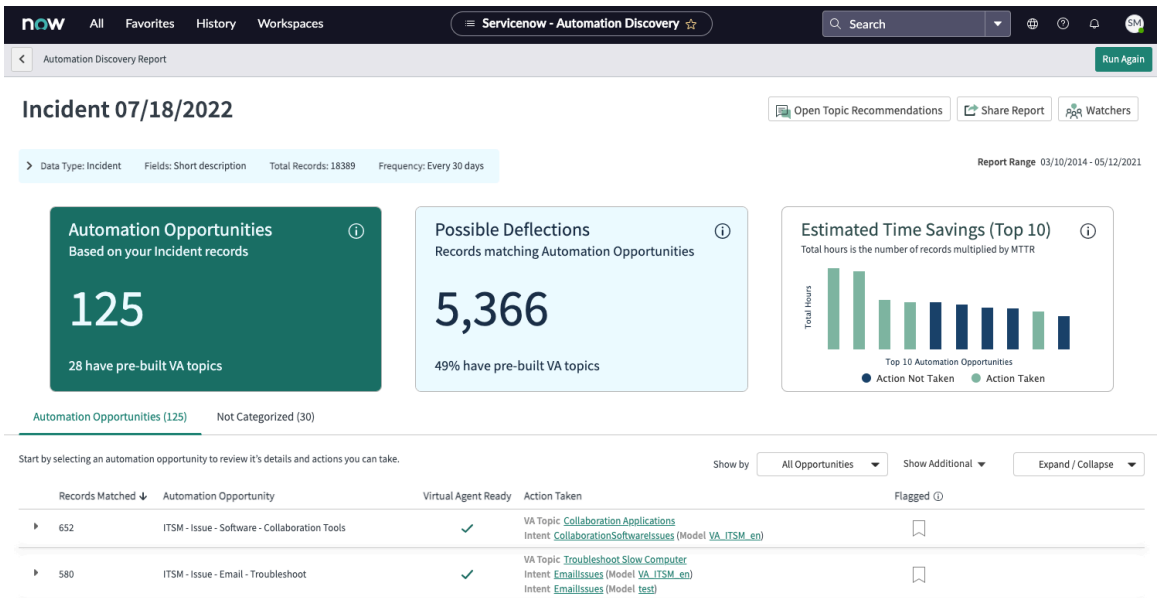
列	説明
名前	作成時にレポートに付けられた名前。
データソース	分析されたレコードのソース。
モデル	レポートを実行するための分類。
自動化機会	レコードと一致するさまざまな構築済みインテントの数。
未分類	構築済みのトピックと一致しない発言を含むクラスター化されたグループの数。
合計レコード	レポートで分析されたレコードの数。
実行日	最新の実行日時。
周期	レポートを実行する回数。
ステータス	レポートのステータス。

新しいレポートを作成するには、「Automation Discovery レポートの作成」を参照してください。

結果を表示するには、レポートの名前をクリックします。

レポートのブレークダウン

成功したレポートごとに、レポートページに自動化機会に関する情報が表示されます。

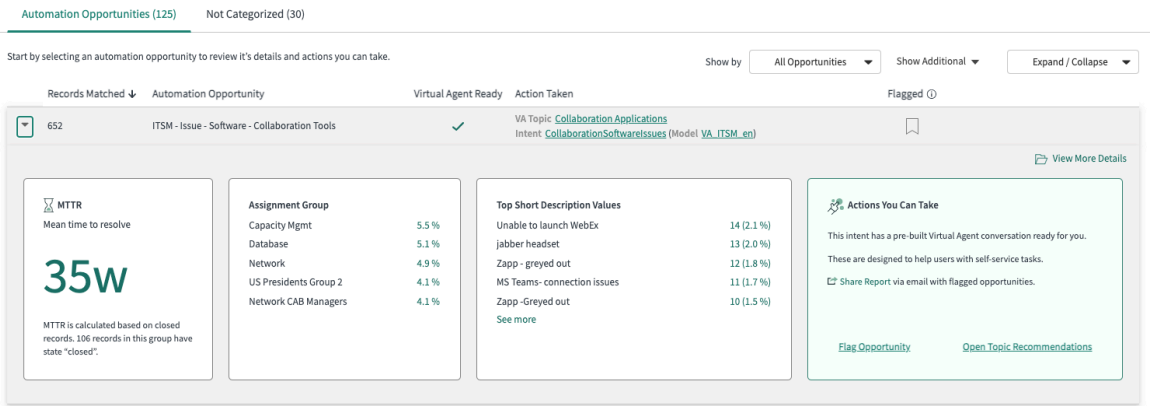


レポートは、一致するレコードを機会別にグループ化します。この例では、オートメーションディスカバリー が分析した数千件のインシデントから 125 件の自動化機会を見つけました。インシデントが同じインテントに一致するため、複数のレコードが同じ機会にグループ化されます。

回避は、自動化によってすぐに解決できた可能性のあるインシデントを参照します。オートメーションディスカバリー は、自動化機会に一致するすべてのレコードを合計して、[可能な回避] 数を取得します。一部の機会には、[仮想エージェント準備完了] としてマークされた、一致する構築済みの VA トピックがあります。

MTTR または平均解決時間は、インシデントの解決にかかる平均時間を参照します。このレポートは、一致するレコードの数に MTTR を掛けて、上位 10 件の機会の [推定削減時間] を取得します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



[自動化機会] タブには、データに一致する自動化機会が一覧表示されます。各行のリストアイコンをクリックすると、その機会のレコードに関する詳細情報が表示されます。

[未分類] タブには、構築済みのインテントと一致しないレコードのクラスターが表示されます。レポートは、類似性に基づいて未分類のレコードをクラスターにグループ化しようとします。各行のリストアイコンをクリックすると、そのクラスター内のレコードに関する詳細情報が表示されます。

トピックの推奨事項 への機会の追加

仮想エージェント トピックの推奨事項 は 仮想エージェント の自動化の改善に役立ちます。オートメーションディスカバリー レポートから トピックの推奨事項 に自動化機会を追加できます。

[実行できるアクション] カードには、レポートの自動化機会で実行できる内容が表示されます。[仮想エージェント準備完了] の機会の場合は、[トピックの推奨事項を開く] をクリックして機会を トピックの推奨事項 に追加します。

トピックの推奨事項 では、自然言語理解 (NLU) (NLU) モデルと仮想エージェントにトピックを追加できます。モデルに機会を追加すると、[実行されたアクション] に対応するインテントまたはモデルが表示されます。

詳細については、「 仮想エージェントトピックの推奨事項の使用 」および「」を参照してください NLU models 。

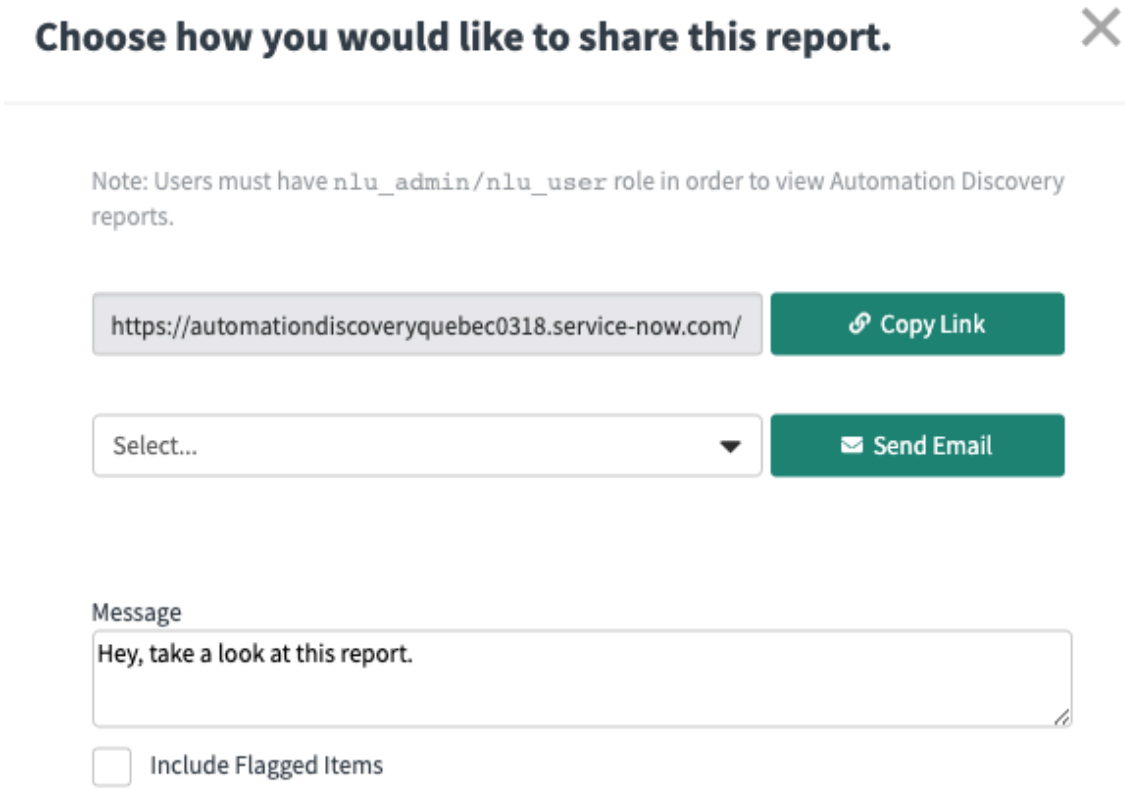
VA の準備ができていない機会のカスタムトピックを作成することもできます。カスタムトピックの作成の詳細については、ServiceNow 開発者サイトの「Creating Virtual Agent Topics (仮想エージェントトピックの作成) 」を参照してください。

共有とフラグ付け

検出レポートをチームの他のメンバーと共有できます。レポートページで、[レポートの共有] をクリックしてレポート共有ポップアップを開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



提供されたリンクを使用するか、メールでレポートを共有できます。

> **注:**
> オートメーションディスカバリー レポートを表示するには、nlu_admin または nlu_user ロールが必要です。

強調表示する特定の自動化機会にフラグを設定することもできます。機会にフラグを設定するには、フラグアイコンをクリックします。レポートを共有するときにフラグ付きアイテムを含めるには、[フラグ付きアイテムを含める] チェックボックスをオンにします。

プロパティ

Automation Discovery の [プロパティ] ページでは、Discovery レポートの設定を制御できます。

レコードの最小数と最大数を設定すると、分析するデータの量を制御できます。クラスタリングがレポートで機能するように、一意の一致しないレコードの数を設定することもできます。

クラスタリングを実行する前にデータのサンプリングをアクティブ化すると、レポートの生成を高速化できます。ただし、レポートは少量の一致しないレコードをクラスター化します。

関連情報

仮想エージェント

Automation Discovery をインストールする

admin ロールを持っている場合は、 Automation Discovery アプリケーション (sn_auto_discovery) をインストールできます。このアプリケーションは、関連する ServiceNow Store プラグインをインストールします (まだインストールされていない場合)。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に

- アプリケーションとその関連するすべての ServiceNow Store アプリケーションに有効な ServiceNow エンタイトルメントがあることを確認します。詳細については、次を参照してください。 のエンタイトルメントの取得 ServiceNow 製品またはアプリケーション.

必要なロール：admin

このタスクについて
Automation Discovery とともにインストールされるアイテムは、プラグイン、ロール、およびテーブルです。

詳細については、「Automation Discovery とともにインストールされるコンポーネント」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > すべて.
2. フィルター基準と検索バーを使用して Automation Discovery アプリケーション (sn_auto_discovery) を検索します。

   名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Store へのリクエストが必要になることがあります。

   ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。
3. アプリケーションのインストールダイアログボックスで、アプリケーションの依存関係を確認します。

   依存するプラグインとアプリケーションがインストールされている場合、現在インストールされている場合、またはインストールする必要がある場合は、リストに表示されます。インストールする必要があるプラグインまたはアプリケーションがある場合は、 Automation Discovery をインストールする前にインストールする必要があります。
4. **[Install** (インストール)] をクリックします。

次のタスク
最良の結果を得るには、ITSM の VA Conversations (sn_itsm_va) プラグインと NLU Model Builder (com.snc.nlu_studio) プラグインをインストールします。詳細については、「仮想エージェント Activate the NLU Workbench の追加プラグイン」を参照してください。

Automation Discovery とともにインストールされるコンポーネント

テーブルとロールは、Automation Discovery プラグインのアクティブ化とともにインストールされます。

> **注:**
> アプリケーションファイルテーブルには、このアプリケーションとともにインストールされたコンポーネントがリストされています。このテーブルへのアクセス手順については、「アプリケーションとともにインストールされているコンポーネントの検索」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

インストールされるテーブル

テーブル	説明
オートメーションディスカバリーで処理されたメッセージ [sn_auto_discovery_processed_message]	元のデータソースレコードへの参照 (例:インシデント)。重複したレコードは含まれません。
オートメーションディスカバリーパラメーター [sn_auto_discovery_param]	レポートのパラメータを含むテーブル。
オートメーションディスカバリーラベル [sn_auto_discovery_labelled_message]	レポートレコードへの参照。
オートメーションディスカバリーインテント [sn_auto_discovery_intent]	Automation Discovery レポートを含むテーブル。処理されたメッセージおよびレポートのトレースによって参照されます。
オートメーションディスカバリーグループ [sn_auto_discovery_group]	レポート内の自動化機会を含むテーブル。
オートメーションディスカバリーメッセージコンテンツ [sn_auto_discovery_message_content]	元のデータソースレコードへの参照 (例: インシデント)。重複したレコードが含まれます。
オートメーションディスカバリーレポート [sn_auto_discovery_report]	Automation Discovery を使用して以前に作成されたレポート。
オートメーションディスカバリージョブ [sn_auto_discovery_job]	Automation Discovery レポートジョブの実行を管理するテーブル。
オートメーションディスカバリーレポートトレース [sn_auto_discovery_report_trace]	レポートのインテントまたはクラスターによって追加された Natural Language Understanding (NLU) インテントの履歴。
オートメーションディスカバリーレポート定義 [sn_auto_discovery_report_definition]	レポートの実行方法とレポートのステータスを定義するテーブル。1 つのレポート定義から複数のレポートを実行できます。
オートメーションディスカバリークラスター [sn_auto_discovery_cluster]	レポートからの未分類のレコードのクラスター。処理されたメッセージおよびレポートのトレースによって参照されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インストールされるロール

ディスカバリー作成者 **[sn_auto_discovery.DiscoveryAuthor]**

Automation Discovery レポートを作成し、自動化機会にフラグを設定して、それらに対してアクションを実行します。

ロールを含む

ディスカバリーの著者 [sn_auto_discovery.DiscoveryAuthor] ロールには NLU ユーザー [nlu_user] ロールが含まれています。

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

特別な考慮事項

なし。

Automation Discovery レポートの作成

Automation Discovery レポートを作成して、自動化機会のレコードを分析します。

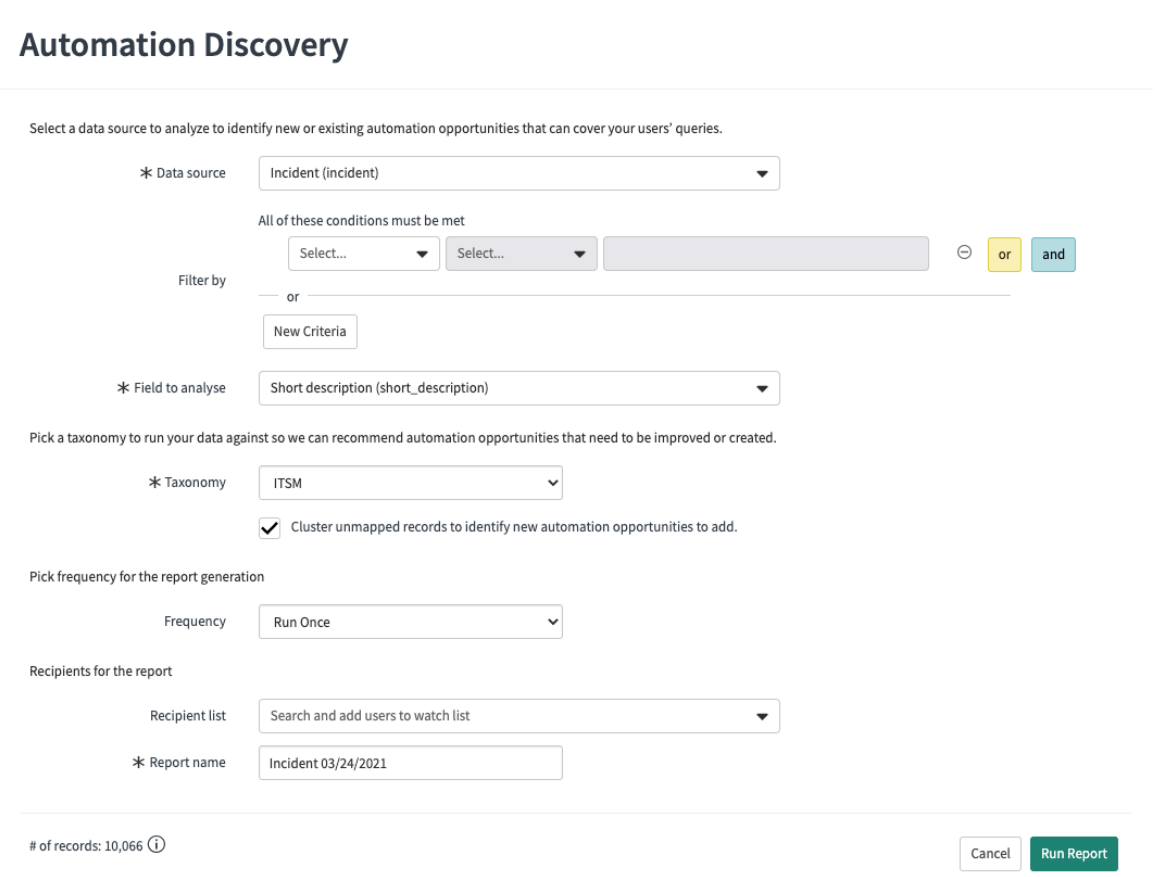
始める前に
必要なロール:admin、nlu_admin、または sn_auto_discoveryディスカバリー作成者

手順

1. 移動先 すべて > 自動化ディスカバリー > オートメーションディスカバリーレポート.
2. 「 新規レポート」をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. フォームフィールドに記入します。

フィールド	説明
データソース	分析するレコードのタイプ。 デフォルトは [インシデント **(incident)]** です。
フィルター基準	分析するレコードを選択するための基準。
分析するフィールド	Automation Discovery で分析するデータテーブルのフィールド。
分類	データの実行対象のアプリケーション。 デフォルトは **ITSM** です。 チェックボックスをオンにすると、同じ分類を使用して一致しないレコードがグループ化されます。
頻度	指定された条件でレポートを実行する頻度。 デフォルトは **[1** 回実行] です。 モデルに機会を追加した後、継続的にレポートを実行して改善を確認することもできます。
受信者リスト	メールでレポートを受信するユーザー。
レポート名	レポートの名前。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:
[# of records] 番号は、基準を満たすレコード数の推定値を示します。

4. [レポート実行] をクリックします。
レポートは、[**Discovery** レポート] ページのリストの一番上に表示されます。ページには、レポート のステータス が一覧表示されます。分析が完了したら、レポートをクリックして結果を表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。